

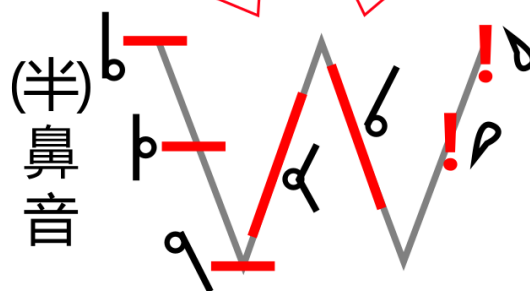
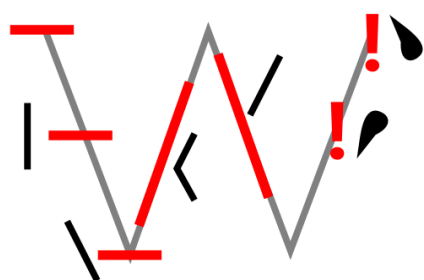
臺日大辭典索引 辭典頁數 細體上冊 粗體下冊

	Y	ㄚ	ㄛ	ㄜ	ㄝ	ㄞ	ㄟ	ㄠ	ㄡ	ㄢ	ㄣ	ㄤ	ㄨ	ㄩ	ㄚ	ㄛ	ㄜ	ㄝ	ㄞ	ㄟ	ㄠ	ㄡ	ㄢ	ㄣ	ㄤ	ㄨ	ㄩ		
	1	8	11	17	17	18	22	23	28	100	107	114	115	121	126	140	145	147	147	148	152	152	126	158	136	137	137	137	
ㄍ	161	183	191	206	208	209	216	218	224	353	367	374	377	402		428	441	445	446	447		455	467	481	490	494	495	495	386
ㄍ。	231	232	232	233		233	235	235	235	393	394	399	399	423		513			516	516		519	521	529	529			529	
ㄎ	532	546	552	553	554	555	558	558	564	753	758	767	768	782		802	812		813	813		815	820	823	825	826	826	826	771
ㄎ。										779		781	790		830							830							
ㄎㄨ	567	579	590	607	608	612	616	620	623	320	334	349	357	790		831	836		837	838	843	843	852	857	866		867	867	364
ㄎㄨ。	1	11	23	39	42	43	48	50	55	373	380	386	387	401		418			441	442		445	449	461	475		478	478	390
ㄎㄨㄨ	490	493	494							503			507		507							509							503
ㄎㄨㄨ。	509	515	521	525	526	527	531	533	536	697	700	707	708	750		783	787		789	793	801	801	810	820	829	831		831	
ㄎㄨㄨㄨ	539	542	543	545	550	551		555	555	718	718	723	724	759		844			845	845		847	851	852	861			864	
ㄎㄨㄨㄨ。	557	575	585	589	593	596			598	727	729	733	742	768		867			879	879		881	886	894	901		904	748	
ㄎㄨㄨㄨㄨ	908	909	910							919	920			923		924	927					927	927						920
ㄎㄨㄨㄨㄨ。	929	931	935	942	945	945	947	948	952	1002	1004	1006	1008	1011		1014			1015	1015		1016	1018	1024	1032	1034	1034	1034	

	ㄚ	ㄛ	ㄜ	ㄝ	ㄞ	ㄟ	ㄠ	ㄡ	ㄢ	ㄣ	ㄤ	ㄨ	ㄩ	ㄚ	ㄛ	ㄜ	ㄝ	ㄞ	ㄟ	ㄠ	ㄡ	ㄢ	ㄣ	ㄤ	ㄨ	ㄩ			
	36	42	44	44	45	48	48	57	69	70	70	74	80	80	81	84	87	93	97	97	914	1038	120				139		
ㄍ	236	246	250	250	251	256	257	278	285	291	294	298	307	307	308	311	316	318	322	324								512	
ㄍ。	332	335	336	337	337	338	338	344	344	346	346	347		348	349	349		350	352	352								531	
ㄎ	625	634	640	641	642	643	649	667	679	682	683	688	695	695	698	704	714	718	726	728								828	
ㄎ。	733	733	734	734	734	735	735	740	741	741	742	742		742	743	743	744	746	750	752								830	
ㄎㄨ	66	90	97	98	100	104	106	131	151	156	158	167	185	186	188	193	203	220	229	230								871	
ㄎㄨ。	234	239	247	247	249	254	254	271	276	282	283	291	302	302	303	309	314	316		319								873	
ㄎㄨㄨ	495	496				498	501					503																489	
ㄎㄨㄨ。	606	609		610	611	612	613	620	623	624	625	629	633	634	634	637	638	639	640	640	715	716	717	718	718		842	844	
ㄎㄨㄨㄨ		641				641	647	647	648	648	649				653	653	654											866	
ㄎㄨㄨㄨ。	657	661	662			663	664	677	677	680	681	686			691	692	694											907	
ㄎㄨㄨㄨㄨ	911					911									914														
ㄎㄨㄨㄨㄨ。	957	959	962	962	963	967	968	973	978	980	981	985			994	995	998	999	999	1000	1001					1010		1037	1038

臺日大辭典音標對照表

	ㄚ	ㄟ	ㄨ ^{ㄨㄚ} _{ㄨㄛ}	ㄛ	ㄛ	ㄛ	ㄨ	ㄨ
1	ア	イ	ウ _ㄨ	エ	オ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
6"	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
6"	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		
7	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ			ㄇㄣ
6'	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		
4	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
4	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
5	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ			ㄇㄣ
8	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		
2	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
2	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
6	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
2'	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
3"	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
3"	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
3	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
3'	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ
9	ㄐ _ㄐ	ㄒ _ㄒ	ㄑ _ㄑ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ	ㄒ _ㄒ		ㄆㄣ



臺日大辭典

臺日大辭典 卷下 正誤

頁段行		誤	正
二上	五	桌仔	桌仔
四上	三	稻仔	稻仔
四下	三	混で	混せて
六上	七	タアスイ	タアスイ
九中	二	一犬	一犬
一〇中	一	【辨盤】	【辨盤】
一〇下	三	【查哺生】	【查哺生】
一四下	六	タイキアウザア	タイキアウザア
一四中	三	【太白星】	【太白星】
一五中	六	脚尻	脚川
一五上	九	一肩頂屋根	削除
一六中	五	日暮くまで	日暮まで
一六上	六	て用ふ	して用ふ
一七上	六	「生む」	「生む」
一七中	七	一一個	一一個
一八中	二	食肉桂	食肉桂
一八上	二	厝内	厝内
一九中	六	甜める	舐める
二〇上	五	……而已	……而已
二〇中	三	チアカアキ	チアカアキ
二〇下	六	看見	看見
二一上	九	【此久】	【此久】
二一中	七	免	免
二一上	七	查某	查某
二二下	六	【着實】	【着實】
二二上	三	チアムシイ御籤	チアムシイ籤詩
二二中	三	三名	名
二二下	二	此回	此回
二三上	九	一夫人	一口夫人
二三中	八	【鮮】	【鮮】
二三下	七	【有刺赤蘭】	【有刺赤蘭】
二四上	二	【四色牌】	【四色牌】
二四中	二	【墨賊】	【墨賊】
二四下	二	青唻唻	青唻唻
二五上	九	潜	潜
二五中	三	手骨	手骨
二五下	三	磚仔	磚仔
二六上	二	萬古	萬古
二六中	二	深淘	深淘
二六下	一	チオピイ	チオピイ
二七上	三	謀略	謀略
二七中	三	伊的願	伊的願
二七下	六	蜈蚣	蜈蚣
二八上	三	無赴	無赴
二八中	三	的人	的人
二八下	三	一到	一到
二九上	七	吊聯	吊聯
二九中	七	引込め	引込む
二九下	五	チアウクイ	チアウクイ
三〇上	八	能	能
三〇中	八	雨落	雨落
三〇下	五	チアムツイ	チアムツイ
三一上	三	槽	槽
三一中	七	【枝檣】	【枝檣】
三一下	一	チイキイチウ鐵	チイキイチウ鐵
三二上	六	ポイコト	ポイコト
三二中	二	膨らせる	膨らせる
三二下	二	緊來	緊來
三三上	三	チエンレパイ	チエンレパイ
三三中	三	實買な契約	實買な契約など
三三下	一	ツイリエクス	ツイリエクス
三四上	三	所住所	所住所
三四中	三	ツウ數	ツウ數
三四下	三	食與人客	食與人客

ビ アウ……六四一
 ビ エク……六四二
 ビ エン……六四三
 ビ ヌ……六四四

ビ

ビ ア……六五七
 ビ アン……六五八
 ビ エク……六五九
 ビ エン……六六〇
 ビ ヌ……六六一

フ

フ イ……六七七
 フ ヌ……六七八
 フ ウ……七〇〇
 フ ム……七〇一
 フ ライ……七〇二
 フ ライ……七〇三
 フ ライ……七〇四
 フ ライ……七〇五
 フ ライ……七〇六
 フ ライ……七〇七
 フ ライ……七〇八

ブ

ブ イ……七二八
 ブ ヌ……七二九
 ブ ウ……七三〇
 ブ ム……七三一
 ブ ライ……七三二
 ブ ライ……七三三
 ブ ライ……七三四
 ブ ライ……七三五
 ブ ライ……七三六
 ブ ライ……七三七

ヘ

ヘ エ……七五〇

ベ

ベ エ……七五九

ペ

ペ エ……七六八

ホ

ホ ア……七八三
 ホ アヌ……七八四
 ホ オ……八〇〇
 ホ プ……八〇一
 ホ オエ……八〇二
 ホ ア……八四四
 ホ エ……八四五
 ホ ク……八五六
 ホ ア……八九七
 ホ エ……八九八
 ホ ク……九〇九
 ホ ア……九五〇
 ホ エ……九五〇
 ホ ク……九六一

ボ

ボ ア……八四四
 ボ エ……八四五
 ボ ク……八五六
 ボ ア……八九七
 ボ エ……八九八
 ボ ク……九〇九
 ボ ア……九五〇
 ボ エ……九五〇
 ボ ク……九六一

ポ

ポ ア……八六七
 ポ エ……八六八
 ポ ク……八六九
 ポ ア……九二〇
 ポ エ……九二一
 ポ ク……九二二
 ポ ア……九七三
 ポ エ……九七四
 ポ ク……九七五

マ

マ ア……九八八
 マ イ……九八九
 マ ウ……九九〇
 ミ ア……九二二
 ミ イ……九二三
 ミ ヌ……九二四
 ム ……九二五
 ム イ……九二六
 ム ウ……九二七

メ

メ エ……九三三

モ

モ ア……九三三
 モ オ……九三三
 モ ア……九三三
 モ イ……九三三
 モ エ……九三三

ラ

ラ ア……九三三
 ラ ク……九三三
 ラ プ……九三三
 ラ ア……九三三
 ラ イ……九三三
 ラ ッ……九三三
 ラ ム……九三三
 ラ ……九三三

リ

リ ア……九三三
 リ アア……九三三
 リ イ……九三三
 リ エツ……九三三
 リ オク……九三三
 リ ッ……九三三
 リ ム……九三三
 リ アウ……九三三
 リ アム……九三三
 リ ウ……九三三
 リ エヌ……九三三
 リ オン……九三三
 リ ヌ……九三三
 リ ヌ……九三三
 リ ヌ……九三三

ル

ル イ……九三三
 ル ヌ……九三三
 ル ……九三三
 ル ……九三三
 ル ……九三三
 ル ……九三三
 ル ……九三三
 ル ……九三三
 ル ……九三三
 ル ……九三三

ロ

ロ ア……九三三
 ロ エ……九三三
 ロ ク……九三三
 ロ ……九三三
 ロ ……九三三
 ロ ……九三三
 ロ ……九三三
 ロ ……九三三
 ロ ……九三三
 ロ ……九三三

ン

ン ……九三三

タア

トビツルヲツク。即能四角紙を折るには
若要拗紙着。一拗即能四角紙を折るには
對角線に折らないと四角にならない。堅一對
角點に立つ。

タア カン 擔工。①苦力。擔人足。②擔貨。苦力賃。
發一苦力賃を支拂ふ。

タア キア 打件。出來上り何程として請負ふ。不是算
工的是一的日儲でなく請負でするのだ。

タア キアウ 踏橋。竹馬に乗る。一行索竹馬に乗
り網渡する。

タア キアウ キアウ 乾噹噹。前から同じ。

タア キアウ キアウ 乾噹噹。前に同じ。

タア キイ 乾枝。枯枝。折一枯枝を折る。

タア キイ 乾去。乾上る。乾く。瀝れる。枯れて
しまふ。樹絡一枯枝が枯れてしまった。

タア キイ 那去。どこへ往った。

タア キイ 撐去。掌で支へる。掌に支へて挿す。用
手一手に支へて持運ぶ。

タア キエク 打撃。(國) 打撃。

タア キエン 乾經。月經が止まる。月經閉止。

タア キエン 乾壘。稻仔一稻が穂の所から枯れる。

タア キエン 擔經。道士が經文を擔ぎ死人の爲に濟度
タア キヤ 搭橋。假の橋を掛ける。「する。

タア キヌ 打緊。無一無打緊。

タア

タア キア シヲ踏急燒。急須を重ねて其の上を踏む、
俗侶のする大道藝。

タア ギイ 踏硬。強硬に主張する。高飛車に出る。

タア クイ 疊高。(疊) 疊高。

タア クイ 撐高。(撐) 撐高。

タア クウ アア 震久仔。一寸。暫く。少し。暫時。
少の間。你等一君一寸待つて。

タア クウ 乾去。(乾) 乾去。

タア クウ 那去。(那) 那去。

タア クウ 撐去。(撐) 撐去。

タア クウ キイ 踏滑去。踏滑る。脚一同上。

タア ケエ 姑家。夫の用。姑。一有嘴媳婦無嘴
姑は口が有るが嫁は口がない。嫁は姑に服
從せざるべからずの義。緊紡無好紗。緊嫁無
好一急いで紡げば良い絲が取れず、急いで嫁
げば良い姑に返はない、急いで事を怠損する。

タア ケエ 乾疥。(乾) 乾疥。

タア ケエ 單價。出較一値段を競上げる。

タア ケエ 搭架。足代を作る。足場を作る。

タア ケエ 踏過。踏越える。

タア ケエ 搭客。乗客。

タア ケエ 疊價。値を競上げる。

タア ケエ ヲアヌ 搭雞丸。(搭) 搭雞丸。

タア

タア ケエ コア 姑家官。夫の父母。舅と姑。舅姑。

タア ケエ ピア 搭雞餅。(搭) 搭雞餅。

タア ゲエ 踏硬。(踏) 踏硬。

タア コア 姑官。夫の父。舅。

タア コア 踏看。踏んで見る。

タア コアイ 疊高。重上げる。積重ねる。

タア コアイ 撐高。掌にのせて物を差上げる。

タア コアヌ 疊高。(疊) 疊高。

タア コアヌ 撐高。(撐) 撐高。

タア コエ 乾疥。沙疥。

タア コエ 踏過。(踏) 踏過。

タア コエ ヲアヌ 搭雞丸。豚の肉を細く切り麩粉と
混で丸め油で揚げた料理。

タア コエ ピア 搭雞餅。敲いた雞肉に麵粉を和して丸
め油で揚げた料理。

タア コラ 乾洩。四色牌の勝負の際、手にある元手
を全部取ける。

タア コク コク 乾柝柝。乾付く。乾乾に乾く。

タア コク コク 乾柝柝。前に同じ。

タア コン フオ 踏公租。財産分配の時祖先の祭祀又
は子孫教育のため別に共同の財産を残し置く。

タア コオ 踏過。(踏) 踏過。

タア コオ 乾疥。(乾) 乾疥。

タアゴオ 錯誤。誤謬。間違ふ。誤る。違ふ。誤解する。

タアサア 踏要。産氣付く。

タアサア 踏束。●家庭などの指揮監督。取締。締括。――俾伊好よく指揮監督をする。――真好よく取締る。●産氣付く。

タアサア 疊衫。着物を重ねる。重着。

タアサア ラン 擔衫籠。●莫龍を擔ふ。●(喧嘩などの場合の)非常事者。第三者。――的人人同上。

タアサイ 擔尿。肥料を擔ぐ。――沃伊の榕樹に肥を擔いで彼の榕樹にかける。大木の榕樹に尙ほ肥をするといふ意にて金持に更に金儲をさせるが如きにいふ。――臭脚川に肥桶擔尻が臭い、陰で人に罵られ評判悪しき意。――不知尾後臭。●肥桶を擔ぐものは自分の通つた後の臭くなるを知らず、同上の意。

タアサウ 打掃。掃く。掃除する。

タアサツ 他殺。(國) 他殺。

タアサン 乾鬆。●爽する。爽快する。洗身驅人。就較――入浴すると氣分がさっぱりする。錢還人了、今都較――金を返してしまつてもうさっぱりした。●土などはびらびらする。●砂土較――砂土はさらさらする。

タアサア 打束。面倒を見る。補助する。老人要過溝仔着爲伊――老人が溝を越えるから面倒を見てやりなさい。我落難の時伊有爲我――僕が逆境に陥つた時に彼は面倒を見てくれた。●乾柴。枯柴。乾いた材木。

タアサア 踏差。●踏誤る。●道ならぬ事をする。脚――同上。

タアサア 打岔。●喰違。手違。行違。差支。差障。●離離。來去賤有――出入の勘定に喰違がある。身軀何一位仔有――身體の何處かに差障がある。敢是有甚――即没得來――多分何行違が有つて來られないのだらう。●邪魔する。妨げる。伊不時要來共我――彼は常に來て邪魔をする。你不可來――君は妨げに來てはいけない。

タアサイ 打載。貨物の運搬を一船若しくは一車何程として請負。

タアサイ ホエ 麥菜花。肥料にする爲田に植ゑてある菜の花を掘返す。鋤返す。

タアサウ 乾草。枯草。乾草。

タアサウ 乾臭。乾いて腐る。藏間落薯――圍つて置いた薩摩薯が同上した。

タアサウ 踏草青。【清明】の前に野原へ往つて遊ぶこと。野遊。【踏青、踏青】。「めよ。

タアサツ 踏實。踏固める。土脚着――土間を踏固

タアサツ 麥田。田を鋤起す。用犁――韓鋤で田を

タアサツ 膽汁。(鼻) 膽汁。【鋤起す。

タアサム ラア 今慘喇。(失敗過失又は災を受けたときいふ詞) さあ大變だ。南無三寶しまつた。【今死喇、今害喇】。

タアサン ボエサイ 擔葱賣菜。葱を擔ぎ菜を賣る、野菜の擔賣をする。

タアシア ブスウ 打蛇不死。――招後殃。●蛇を打つて殺さざれば後日の殃を招く、充分に禍根を取除いて置かないと災害を招く。――反被蛇傷 同上の意。

タアシアン 打傷。(打) 【打傷】。

タアシイ 踏死。踏殺す。

タアシイ ラア 今死喇。【今慘喇】。

タアシエヌ 乾癩。(癩) 乾性の頭癩。

タアシエン 在先。【在先】。

タアシエン 他生。(文) 他生。

タアシオン 打傷。打つて傷付ける。――的藥打撲傷を癒す藥。

タアシヌ 乾身。●よく乾燥した。此塊柴較――この木はよく乾いてゐる。●自分さへ宜ければ人

タア

タア

タア

タア

はどりでも構はない性質。利己主義の一本立。伊
做人眞一彼の爲人は同上だ。

タア シム 乾心。●心が乾く。●悶へて苛苛する。想
到一色色と考へて心を惱ます。

タア シム 搭心。心が能く合ふ。意氣投合。一
人●心の合った人。一子●思子。愛子。一
的朋友●気の合った友達。

タア ジアウ 打擾。邪魔する。騒がせる。不可一
人●人の邪魔をしてはいけない。眞一●你
(挨拶の詞) 御騒せしました。

タア ジツ 錯日。日を取違へる。算一●日を數へ損
タア ジツ 他日。(多) 他日。

タア ジヌ 他人。(多) 他人。自己不能保焉能保
一●己を保つて行くことが出来ないのに何して他
人を保つて行くことが出来やうぞ。

タア スイ 打算。(多) 【打算】。

タア スイ 錯算。(多) 【錯算】。

タア スウ 打死。(多) 叩殺す。撲殺。

タア スン 打算。考へる。思ふ。積る。段取。工夫。
見計ふ。見積る。計ふ。見込。打算。考へる。一
不着●違算。一●怎樣●どう考へるか。

タア スン 錯算。違算。
タア セエ 搭鯨。【鯨鯨】。

タア

タア セエ 踏雪。雪見。去大屯山一●大屯山に雪
見に往く。

タア セエ シム ムイ 踏雪尋梅。(多) ●雪を踏んで梅
を尋ねる。●家鳩等を材料として煮た料理。

タア セエ セエ 乾撒撒。水分あるものがからからに乾
タア モエ 踏青。(多) 【踏青】。

タア モエ エエ 乾脆脆。からからに干涸びる。
タア ソア シアウ 今撒精。(多) 南無三寶。

タア ソア ヒイ 搭沙魚。【鯨鯨】。
タア ソア リエン 踏山龍。臺の位置を相する。
タア ソア ヌ 打算。【打算】。

タア ソオ ソオ 乾酥酥。からからに干涸びる。
タア ソヲ 乾燥。乾く。燥く。乾燥。土地一●土地
が乾燥してゐる。嘴内一●口熱が有る。人
一●上氣してゐる。

タア ソヲ 踏索。綱渡。
タア ソヲ 搭座。壁を作る前に柱を立てるなど。足場

タア タア 乾乾。乾燥。乾く。一●去●乾燥く。

タア タア 食食。【食】。

タア タア 單單。【單】の(一)。

タア タア 搭搭。●すっからかんに。びしゃんに。平
べったく。輪一●すっからかんに取ける。了一
●ねこそげに損をしてしまう。倒一●びしゃん

タア

こに倒れる。鼻刷一●鼻を地面に擦附ける、
平身低頭して感謝する。●【搭】の(一)(二)(三)(四)(五)(六)(七)

タア タア 焦焦。【焦】。
タア タア 踏踏。【踏】。

タア タア 擔擔。【擔】の(一)。
タア タア 擔擔。●荷を擔ぐ。●責任を負ふ。

タア タア 打打。【打】の(一)(二)(三)(四)(五)。
タア タア 咀咀。【咀】。

タア タア 攪攪。【攪】。
タア タア 燥燥。【燥】。

タア タア 錯錯。【錯】。
タア タア 參參。【參】。

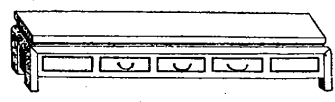
タア タア 參參。【參】。
タア タア 疊疊。【疊】の(一)(二)。
タア タア 擇擇。【擇】。

タア タア 打打 打打 打打。【打打】。
タア タア バム バム 食食 食食。(乳兒
に對して言ふ詞) 旨旨御食。

タア タイ 疊疊。不一●分に安んぜ
ぬ。勿體ないことをいふ。替澤を

いふ。
タア タウ 踏斗。寢臺に上る爲の引出
のある踏臺。眠床一●同上。

いふ。
タア タウ 踏斗。寢臺に上る爲の引出
のある踏臺。眠床一●同上。



踏斗

タア、タウ、搭頭。主に男女間の相手。相方。

タア、タウ、搭頭。仰向く。仰向く。――看天、仰向いて空を見る。――不起、人に頭が上らぬ。

タア、タウ、度胸。度胸。――好、度胸が好い。――在、氣丈。

タア、タウ、擔頭。擔頭。荷物。責任。負擔。――真重、責任が重い。

タア、タウ、疊頭。疊頭。勝つ。較、伊、彼に優る。――重ねた物の上に重ねる。

タア、タム、踏陸。踏陸。凹に踏込む。陥込む。――商賣など喰込む。損をする。近來、不止、近來、甚だ喰込になる。

タア、タム、打探。探偵する。探る。偵察。――軍情、敵情を探る。軍の模様を探る。――民情、民情を探る。

タア、タン、打桶。殞殞。死人を棺に入れて家の内に置くこと。與伊、在、無、彼と懇にし

タア、チア、搭車。汽車に乗る。――踏車、踏車を踏む。踏車を踏む。

タア、チア、踏車。水車を踏む。踏車を踏む。

タア、チア、膽汁。膽汁。

タア、チイ、搭箭。矢を番へる。

タア、チイ、打錢。品物の代りに金を遣って先方に買はせる。品物の代りに現金を遣る。

タア、チイ、踏青。踏草青。

タア、チウ、搭酒。酒を汲む。酒を買ふ。

タア、チウ、乾樹。枯木。枯木。

タア、チウ、搭手。手を拍つ。手を敲く。拍手。

タア、チウ、ラン、ヲエト、オラン、擔栗籠、揆土籠。――と音似たるにより地口にいふ。

タア、チエヌ、乾薦。神佛に供へる乾した砂糖漬の果物。――「浴薦」に對す。

タア、チエヌ、打籠。官人など旅行の際宿場にて食事

タア、チエヌ、打戰。合戰。戰ふ。鳴鼓。――大鼓を鳴して合戰をする。

タア、チエヌ、ビイ、搭戰棚。諍ひする。喧嘩する。争ふ。不時、都、常に諍をする。

タア、チエヌ、ベエ、搭戰棚。前と同じ。

タア、チエン、打整。手入する。整へる。飾る。繕ふ。――厝内、家の内を繕ふ。懲戒する。懲しめる。歹、困、仔、着、悪い子供は懲さねばならぬ。

タア、チオン、ゴアヌ、打狀元。骨子を以て行ふ勝負事。多く上流に行はれ一般に菓子食物を賭す。

タア、チウ、踏石。染物屋にて布に光澤をつける爲に踏轉がす石。同上を踏む。研布石、参照。

タア、チウ、踏七、踏八。よろよろと歩く。よ

ぼよぼと歩く。

タア、チウ、搭七、搭八。話を雑返す。

タア、チヌ、打診。打診。

タア、チヌ、搭盡。一網、一網打盡。

タア、チヌ、搭住。掛目をよくする。日方を充

タア、チアウ、搭住。貼付ける。――「分にする。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア、チアウ、搭住。踏住。踏住。踏住。

タア

タア チエン 擔燈。 嫁入の時、男女家より各一人の子供が轎に乗って一對の大きな提燈をその前後に掛けて置くこと。

タア チエン 打聽。 探る。 探偵。 一軍情敵情を探る。

タア チエン ベイ 搭燈棚。 提燈の屋臺を造る。

タア チ、ヲ スイ 打着算。 (算) 次に同じ。

タア ツイ 乾水。 水気が無くなる。 柚仔。 即好食。 朱欒は水気が無くなると旨くなる。

タア ツイ 踏水。 水車を踏んで水を上げる。 一滝田。 同上して田を灌溉する。

タア ツウ キイ 踏起去。 踏んで滑る。

タア ツウ クウ 踏起去。 (算) 前に同じ。

タア ツウ トエ 踏厝地。 敷地を踏査する。

タア ツウ ヌ 搭船。 船に乗る。

タア ツイ 踏確。 杵を踏んで臼を搗く。 唐臼を踏む。

タア ツウ ヲ 踏腕。 踏外す。 脚。 足を踏外す。 講話。 一。 口を滑らす。

タア ツウ 乾湯。 蒸語る。 者詰める。

タア ツエ 罩得。 四這になる。 躡ふ。 一。 躡。 四這になつて陸行する。

タア

タア テ エ 踏底。 (算) 【踏底】。

タア テ エ 踏題。 (算) 【踏題】。

タア テ エ 擔壓。 擔業。 重いものを擔ぐ仕事。 無力。 没。 力が無ければ擔業は出来ぬ。

タア テ エ エ 踏茶鍋。 【踏急燒】。

タア テ エ 牙 踏茶鍋。 (算) 前に同じ。

タア テ エ キイ 踏地基。 地面の區劃をする。 地取。

タア テ エ コオ 踏茶碇。 【踏急燒】。

タア テ エ ゼエ 踏得接。 躡る。 躡る。

タア テ エ パヌ 踏地板。 【踏地板】。

タア テ エ リイ 踏地理。 【踏地理】。

タア ト エ 踏底。 どん底。 極度。 輪到。 一。 極度に負。

タア ト エ 踏題。 文章。 議論など題意に適合する。

タア ト エ キイ 踏地基。 【踏地基】。

タア ト エ パヌ 踏地板。 床板を敷く。

タア ト エ リイ 踏地理。 地勢の吉凶を見る。

タア ト オ 搭渡。 渡を越える。 渡を通る。 「を擲る。」

タア ト オ 搭土。 土を掘る。 用掘仔。 一。 鶴嘴で土。

タア ト オ 搭桌。 桌を打つ。 搭椅。 一。 怒った時など椅子や卓を打つ。

タア ト オ ヲ 踏倒。 踏倒す。

タア ト オ チイ 踏倒釘。 靴の後踵部を踏み付けてへ。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア ト オ ヲ 新鞋。 一。 一。 新らしい靴を同上す。

タア

タア ト ン 他動。 (國) 他動。

タア ト ン スウ 他動詞。 (國) 他動詞。

タア ト ン スウ 他動詞。 (算) 前に同じ。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

る。 營澤をする人を輕蔑していふ。

タア ト ン 打洞。 洞を打つ。 山賊などの巢窟を攻める。

タア ト ン 打動。 事を惹起す。 人を刺戟する。 人の心を動かす。 此條事情は甚麼人。 一。 一。 此の事は誰が惹起したか。 一。 一。 人的心。 人の心を動かす。

タア ト ン 他動。 (國) 他動。

タア ト ン スウ 他動詞。 (國) 他動詞。

タア ト ン スウ 他動詞。 (算) 前に同じ。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア

タア ト ン 他動。 (國) 他動。

タア ト ン スウ 他動詞。 (國) 他動詞。

タア ト ン スウ 他動詞。 (算) 前に同じ。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ト オ エ 搭題。 (算) 【搭題】。

タア ハア 打合。(國) 打合。

タア ハム 踏陥。穴などに足を踏込む。

タア バア 搭密。●伸善。親密な。朋友不止。友達同士甚だ睦しい。●指物などしつくりと合ふ。

此塊桌做了不止。この卓子はしつくりと工合よく出来てゐる。

タア バア モイ 答肉刺。(魚) ●しろつぶ(茸科、花葉を利尿劑、種子を解熱・消化劑として煎服す)。

(茸科)なんてんかづら。●(金虎尾科)こうしゆんかづら。

タア バア リヌ 搭肉綾。死人に著せる襦衣。

タア バク 攪目。目を閃かせる。目紛しい。日頭能

タア バク 錯目。見違える。見損ふ。僻目。

タア パア シアン 打撲傷。(海) 次と同じ。

タア パア シオン 打撲傷。(國) 打撲傷。

タア パイ 踏歹。踏荒す。

タア パウ 踏包天。不敵。大膽。大膽不敵。

タア パヌ 打扮。●身支度。装。扮する。著飾る。身

形。俏す。装束。三分人四分。三分の人

に四分の装、器量よりも化粧又は馬子にも衣裳な

ど。賢。著飾る。著こなしがうまい。梳

粧。御化粧身仕舞。●看做す。心得る。將

我準奴才。僕を奴隷と心得てゐる。

タア パヌ サウ タウ ライ 踏板走透來。(轎昇の合圖

言葉) 橋があるから曲れ。

タア パヌ ライ 踏板來。(轎昇の合圖) 橋を渡る。

タア パン 踏枋。●寢臺の踏繼。踏臺。足場。上。●

續要上眠床。踏臺に上ると直ぐ寢床に上りた

がる、増長し附上がる意。●物と物との間に掛

タア パン 他邦。(多) 異邦。外國。[渡した踏板。

タア パン イイ 踏枋椅。[踏枋の。]

タア パン ビイ 踏枋棚。床板を敷く。

タア パン ペエ (海) 踏枋棚。前と同じ。

タア ヒア 搭嚇。(睡眠中など) 驚える。喫驚する。一

下。●驚する。

タア ヒイ 乾耳。[粗糠耳。]

タア ヒイ 錯耳。開違。聽了。●聞損ふ。

タア ヒイ ビイ 搭戲棚。踊屋臺をつくる。芝居の小

屋掛をする。

タア ヒイ ペエ 搭戲棚。(海) 前と同じ。

タア ヒエツ カク 參擲擲。棒などで突いて棄てる。棒

の先に引掛けて捨てる。[胸を打つ。

タア ヒエン 搭胸。(喧嘩などの時の示威) 胸を敲く。

タア ヒエン 他行。(國) 他行。他處に往く。

タア ヒオン 他郷。(文) 他郷。一外里。他郷。他

處。久旱逢甘雨、一遇故知。早魃に雨に

逢ひ他郷で舊知に遇ふ、地獄で佛。

タア ヒラ 乾葉。枯葉。赤葉。

タア ビイ 足袋。(國) 足袋。

タア ビイ モエ 乾米糲。(海) 次と同じ。

タア ビイ ヲエ 乾米糲。[糲]の原料にする米の粉。

タア ビヌ 單面。顔を被ふ。覆面。

タア ビア 搭壁。●壁に寄掛ける。桌仔移較。一咧

●桌子をもつと壁に寄掛けなさい。●壁に貼附け

る。●手の平で一才壁を打つ。

タア ビア パン 搭壁枋。下見板。家の四面の板壁。

タア ビア リエヌ 搭壁蓮。(海) 三角仙人掌。はひさば

タア ビイ 乾陵。水の無い池。[てん。

タア ビイ 搭棚。芝居などの小屋掛をする。屋臺をつ

タア ビイ 踏扁。踏んで平くする。[くる。

タア ビイ 踏平。踏平す。

タア ビイ 乾片。(新) 寫眞の乾板。

タア ビイ 乾片。からからに乾く。

タア ビエヌ 乾片。(新) 寫眞の乾板。[なしに話す。

タア ビエヌ コオ 打邊鼓。遠延に話をする。それと

タア ビツ 錯筆。書損ふ。書損じる。

タア フヌ 單雲。雲が掛る。雲が薄麗く。

タア

タア

タア

タア

タア フン 麥園。畑を鋤返す。
 タア ブウ 罩霧。霧が掛る。瓦斯が掛る。
 タア プイ 擔肥。肥を擔ぐ。
 タア プイ エエ 擔肥的。肥取。不淨取。——臭尾
 後 肥取の通った後は臭い、陰の評判悪しき意。
 タア プン 搭傍。考試の成績など貼出す。揭示する。
 タア ヘエ 搭貨。貨物を送る。
 タア ヘエ 踏火。火渡。
 タア ヘエ 麥火。灰の中の火を穿くる。
 タア ヘエ ビア 搭蝦餅。蝦の肉を粉で固め油で煎げ
 タア ベエ 乾尾。梢枯。 「た料理」
 タア ベエ 錯賣。〔錯買〕。
 タア ベエ 錯賣。〔錯買〕。
 タア ペエ 乾焙。からからに焙じる。乾焙じ。
 タア ペエ 搭棚。〔搭棚〕。
 タア ペエ 踏平。〔踏平〕。
 タア ペエ 搭批。〔搭批〕。
 タア ペエ 麥埔。田を鋤返す。
 タア ホア 搭岸。岸に倚る。船——船を岸に寄掛
 ける。●頼る。依頼する。頼寄る。無——頼る
 べき人が無い。
 タア ホア コオ 打花鼓。芝居の藝題の名。 「す。
 タア ホア ツ 打發。差遣す。——家丁 家僕を差遣

タア

タア ホエ 搭貨。〔搭貨〕。
 タア ホエ 踏火。〔踏火〕。
 タア ホエ 麥火。〔麥火〕。
 タア ホン 他方。〔他方〕。
 タア ホオ 踏火。〔踏火〕。
 タア ホオ 搭貨。〔搭貨〕。
 タア ホオ 麥火。〔麥火〕。
 タア ポエ 乾尾。〔乾尾〕。
 タア ポエ 錯買。誤って高く買ふ。買損ふ。買被る。
 ——無錯賣 買損はあつても賣損はない。
 タア ポエ 錯賣。誤つて安く賣る。賣損ふ。
 タア ポン 罩霧。霧が掛る。瓦斯が掛る。
 タア ポア 打盤。結納を贈る時禮物少きを慮り齎錢
 一束(約一萬文)を添へる。〔辨盤〕の代に男家よ
 り女家に現金を贈ること。
 タア ポア 踏破。踏潰す。踏碎く。 「打破る。
 タア ポア 打破。撃破る。打破る。——城門 城門を
 タア ポエ 乾焙。〔乾焙〕。
 タア ポエ 搭批。手紙を送る。
 タア ポエ 麥埔。〔麥埔〕。
 タア ポオ 查喃。男。男子。——無學 百里奚 男子
 は百里奚を學ぶものでない(百里奚は糟糠の妻を
 捨てて顧みず遂に自殺せしめた人)。翻鋪就生

タア

——寢臺の上で轉かると直ぐに男の子が生まれ
 る、結婚の時などにいふ縁起言葉。
 タア ポオ 踏布。布に光澤をつける爲巻いた布の上に
 凹字形の石を戴せ踏んで轉す。〔研布石〕参照。
 タア ポオ 踏歩。歩調を取つて歩く。
 タア ポオ キア 查喃子。●男の子。●男子。男。――
 瑠鬚食目 男子は敏捷で機智が無くて
 はならぬ。
 タア ポオ ギヌアア 查喃困仔。男の子。男兒。
 タア ポオ サア 查喃查某。男女。男女。
 タア ポオ シイ 查喃生。(女が)男の様。
 タア ポオ スヌ 查喃孫。男の孫。
 タア ポオ セエ 查喃生。〔查喃生〕。
 タア ポオ ハヌ 查喃漢。男。男らしい男。
 タア ポオ ラン 查喃人。●男子。男。●夫。亭主。
 恩——彼の夫。
 タア ポラ 打破。〔打破〕。
 タア ポオ 乾焙。(乾焙)。
 タア ポオ 麥埔。(麥埔)。
 タア マア 打馬。松明。——松明をつける。
 タア マア イウ 打馬油。瀝青。タール。コールタール。
 タア マア カア 打馬膠。アスファルト。
 タア マア コロ 打馬膏。前に同じ。

タア

タア マア ヘエ 打馬火。松明。
 タア マア ペエ 打馬把。松明。
 タア マア ホエ 打馬火。(魚) 打馬火。
 タア マア ホエ 打馬火。(魚) 打馬火。
 タア ムイ 乾燥。(魚) 乾燥。コークス。
 タア ムン 礁蓋。食用にする緑色の海藻。
 タア モア ビア 搭店坪。壁又は岸を利用して小屋掛する。突出をする。
 タア モオ 礁蓋。(魚) 礁蓋。
 タア ラア 乾燥。乾燥。
 タア ラア 罩罩。罩罩。
 タア ラア 搭搭。搭搭の②。
 タア ラア 焦焦。焦焦。
 タア ラア 踏踏。踏踏。
 タア ラア 參參。參參。
 タア ラア □□。□□。
 タア ラア 疊疊。疊疊。
 タア ラア ツツ ライ 參參出來。樫の先等で突出す。穿出す。穿鷺し出す。穿廻す。
 タア ライ 罩罩。飛掛る。飛付く。狗一 要咬 犬が飛付いて来て咬付かるとする。
 タア ラウ 疊樓。二階を作る。一的厝 二階建。
 タア ラブ 踏凹。足を踏陥す。踏抜く。

タア

タア ラン 疊人。人に勝る。人に譲らぬ。
 タア ラン カア ジェツツ トア 擔籠較熱粧且。役者より高籠擔が熱心、本尊の當人より寧ろ外のものが熱心なるをいふ。
 タア リア ボヲ タア パン 錯掠無錯放。警官などが間違つて人を捕へることはあるが間違つて放免することはない。
 タア リア ウ 乾料。多く正月に用ひる乾菓子。
 タア リア ウ 搭寮。小屋掛する。
 タア リア ウ タア 疊了疊。上へ上へと重なる。重重。
 タア リア ウ テエ 踏寮地。(魚) 次に同じ。
 タア リア ウ トエ 踏寮地。踏寮地を踏査する。
 タア リア ウ トエ 踏寮地。(魚) 前に同じ。
 タア リア ア 搭粒。仲好。親密な。二個不止 一人は甚だ仲好だ。最愛の。最も可愛がる。一的子 最愛の子。親生的較 一の生みの子は最も可愛い。
 タア リア ム 他念。(又) 他念。
 タア リイ 乾離。乾燥。乾く。乾上る。路較 路が乾く。土面籠没 地面が少しも乾上らない。一的生理 手足を濡したり汚したりせず出来る商賣。手清潔な商賣。翼股 一 雛が卵から出て翼が乾いた、一人立が出来る。他人の

タイ

厄介にならずに獨立が出来るなど。
 タア リイ ラア 今裂喇。南無三寶。さあ大變だ。ああ
 タア リウ 踏瑠。つるつと踏外す。 「しまった。
 タア リエヌ 搭聯。年末など新しい聯を貼る。
 タア リエヌ 搭襖。兩端に物を入れる細長い袋、中央を折り肩に掛け歩く掛取袋。背 一 同上を負ふ。
 タア リエヌ 他年。(又) 他年。
 タア ルイ タイ 打擂臺。演武臺に上つて仕合をする。
 タア レエ 乾絡。枯れた小枝。枯枝。
 タア ロオ 錯路。道を誤る。行 一 道を間違へる。
 タア ロラ 那落。何處。何處。一 去 何處へ行った。
 タイ タイ タイ
 タイ 抵。狗尾 一 犬の尾の如き穂ある粟。【稷仔】。
 タイ 懂。鈍感で無智な。頭鈍くて無慾な。阿呆。御人よし。馬鹿。問拔。
 タイ 歹。惡。爲非作 一 非を爲し惡を作す。
 タイ 滓。滓。沈澱。渣 一 沈澱物。油 一 油滓。
 藥 一 藥の澱。狗頭滴着麻油 一 犬の頭に胡麻の油の澱を滴す。舌はあれども舌が屈かぬ意にて眼前にあつて取る事のできぬにいふ。【滓】。
 タイ 帶。帶ぶ。帯びる。一 疑 疑を持つ。一 病 病氣がある。一 憂容 憂色を帯びる。心配顔をする。

タイ

錢司阜せんしふ 金を借りてゐる時は大王の如く、催促する時は本職の様だ、借は拂はず貸は抜目なく催促するにいふ。

タイオン太主。●皇帝の父。上皇。●文王の祖父。

タイヲアヌヲアヌ 臺灣。●錢淹脚目せんえんかくもく 臺灣は錢で足の障が埋まる、金儲が多い土地だ。――糖

籠有去無回頭ろういうきむくわう 臺灣の砂糖籠で往ったきり歸らない、自分の物を他人が持つて往つて返して来ないなど。――無三日好光景むさんじつこうけい 臺灣には好い景氣が三日と續かない、不景氣のこと。――路

快乾かいけん 一杓某快過脚いちしゃく 某快過脚 臺灣の路は乾き易く臺灣女は浮氣っぽい。――蟬無膏せみむこう 臺灣の蟹は類が無い、臺灣の學者の無學を輕蔑していふ。

タイヲアヌシヌシア臺灣神社。(國) 臺灣神社。

タイヲアヌタウ臺灣頭。臺灣の取附。――行到臺灣尾こうたう たいわんび 臺灣の隅隅まで歩いた。

タイヲアヌチムボヲコヲ臺灣蟬無膏。臺灣の蟹には類がない、臺灣の學者の無學を輕蔑していふ。

タイヲアヌベエ臺灣尾。臺灣の果。

タイヲアヌボエ臺灣尾。(龜) 前に同じ。

タイヲアヌニイオン臺灣黃楊。(種) (黃楊科) たいわんあさまつげ。

タイヨヲスウマアカアコク大澳斯馬加國。澳

タイ

タイカアカア 羣鴛。(多) 羣鴛。行隊。

タイカアカア 大家。(多) 大家。

タイカアカア 大鴛。(多) 大鴛。

タイカアカア 台鴛。(多) 台鴛。

タイカアカア 大甲草。(種) きだちだいでいげき。(大戦科、毒蛇咬傷藥として用ひらる、葉及根を搗碎して患部に貼付し又は水にて煎服す)。

タイカアカア 大甲席。大甲席。

タイカアカア 大甲帽。大甲帽にて織った帽子。

タイカアカア 大甲蘭。(種) たいかふみ。(莎草科、織維は各種の編物の原料となす)。

タイカアカア 大甲笠。(多) 次に同じ。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイカアカア 大甲笠。(多) 大甲笠。

タイ

タイカカ 大賢は愚の如し。

タイカカ 大奸。大奸。

タイカムカム 太監。宦官。

タイカムカム 太監椅。肘掛の無い寄掛椅子の一種。タイガガイ 大言。(多) 【大言】。

タイキキ アウアウ 削曲柴。目上に對して愚圖る。強請る。不平を排べる。文句をいふ。反抗する。談判する。與伊カウイ 彼に不服を排べる。

タイキキ アムアム 太鹹。●あまり鹽辛い。●餘り高價だ。●非常な吝嗇。

タイキキ アムアム 太儉。非常な節儉。

タイキキ 埋去。●埋没。●(卑) 除ける。退け。

タイキキ 大氣。(多) 大氣。

タイキキ 大器。(多) 大器。――晩成ばんせい 大器晩成。――小用しょうよう 大器を小さい所に用ひる、大人物を詰らぬ所に用ひるが如きにいふ。

タイキキ 擡擧。(多) 【擡擧】。

タイキキ 太羹。孔子を祭る時の供物の一種。

タイキキ 太基祖。鼻祖。元祖。

タイキキ 刈起來。●切つてしまふ。切落す。●文字などを削る。

タイキキ 大戦。(種) たかとうだい。(大戦科、有毒植物にして薬用とす)。

タイキエク 太極。太極。

タイキエク オオニイ 太極芋泥。白砂糖を芋の團子

に混ぜて作ったもの。

タイキエク キム太極金。【金紙】の一種。

タイキエク ゴイシム 太極刺參。【刺參】葱・豚肉・

筍等を材料として煮た料理。

タイキエツ 大吉。(古の詞)大吉。——利市。大吉で

商賣繁昌。

タイキエン ゴアヌ 大經元。(又)讀書人の尊稱。

タイキエン ホヲ 大慶賀。(又)大慶。

タイキホク 大局。大局。看——大局を見る。

タイキオン ホヲ 大恭賀。(又)大慶。

タイキム 貸金。(國)貸金。

タイキム イヌヲ 代金引換。(國)代金引換。

タイギアア 大業。大業。

タイギイ 帶疑。疑心を抱く。疑ふ。怪む。

タイギイ 大義。(又)大義。——滅親。大義親を滅す。

タイギイ コク 大義國。伊太利。

タイギイ スウ 代議士。(國)代議士。

タイギエク 大逆。(又)大逆。——無道。大逆無道。

謀反——謀叛大逆。

タイギエヌ 大言。(又)大言。開——大言する。

タイクイ 削削。切既。切割る。切離す。

タイクイ ビツイウ タイチエヌ 大貴必有大賤。

非常に高貴になれば又必ず非常に賤しくなるこ

タイクウ 擡擧。【開擧】。

タイクヌズウ スウ 大晒如死。ぐすつと晒込んで死

タイクウ 擡擧。(又)擡擧。【擡擧】。

タイグウ 削牛。屠牛。——的。牛殺。——殺馬漢

——非常に慘酷な人。

タイグウ 待遇。(國)待遇。

タイケエ 大家。皆様。而面。一同。皆。何れも。御

互に。——齊到。大勢が一緒に着く。——落水

平。平。沈。水に落れば共に皆沈む。勢力の伯仲す

るが如きをいふ。

タイケエ 大家。前に同じ。

タイケエ 代價。(國)代價。

タイケエ アウ 帶家後。家族連。

タイケエ カア カウ 削雞教猴。(又)【削雞教猴】。

タイコエ 削削。手術。解剖。粒仔着——即能好

——腫物は手術せねば治らぬ。

タイコエ アヌ 胎權。(又)胎權。抵當權。

タイコエ アヌ シエク 戴冠式。(國)戴冠式。

タイコエ カア カウ 削雞教猴。鶏を殺して猿を教へ

る、人を罰して他の見せしめにする。

タイコエ シエンクヌ 大魁星君。文章の事を司る

星の神、此の像は右手に筆を持つ。

タイコエチエヌ ハア 大魁天下。狀元になる。

タイコオ 大故。(又)父母の喪。(又)大なる事故。

大事件。——東の間の事。些些たる事。雲仔久的

——東の間の事。一寸の間の事。少許的

——些細な事。如此敢有甚麼——それが何

ぞ大した事柄か。

タイコオ 太古。大昔。太古。

タイコヲ 太過。(又)太過。

タイコヲ 癩癩。(癩)癩病。癩。天刑病。——上面

癩が顔に表はれる、厚顔。鐵面皮。恥知らずな

どの義。——的。要食鷓鴣。癩病者が去勢せぬ

鷓鴣を食はうとする、益益事を悪くするが如きにい

ふ。——松柏出楠。古くて節くれ立った松は松

明になる、出楠と出名とは同音なるより有名な

の意味の隠語として用ひらる。——無惜鼻粘

涎。癩病者は鼻汁や涎を穢いとも思はぬ、身

分を辨へずして無遠慮な者を罵っていふ。

タイコヲ 太過。過度。法外。過當。傷——餘りに

法外。

タイコヲクイ 癩癩鬼。汚い。穢らしい。ばばっちい。

タイコヲチエン 癩癩榕。(植)榕樹の一種(瘤多く癩

患者の如きより此の名あり)。

タイ

媽ママ高カウ祖母ソバ。

タイワヲ 大佐。(國) 大佐。

タイワヲ フウ貸座敷。(國) 貸座敷。

タイワクク 代作。(鬼) 代作。

タイワクク 大族。多人數の宗族。大族。

タイワクク 太簇。一月の異名。

タイワン 大宗。(又) 大宗。

タイワン 大葬。(又) 大葬。

タイワン シエン 大藏省。(國) 大藏省。

タイワン タイシヌ 大藏大臣。(國) 大藏大臣。

タイワン トシ 大總統。大總統。大統領。

タイワン ビエク 大宗伯。(官名) 大宗伯。

タイタア 鱧。鱧を捕へるに用ひる籠の如きもの。

タイタイ 鱧。鱧。

タイタイ 滓滓。汁など泥泥濁つてゐる。

タイタイ 帶帶。【帶】。

タイタイ 埋埋。【埋】。

タイタイ 代代。歴代。累代。代代。——的人臣ニクニク。——相傳シヤントク。——代代傳タイタイはる。——單丁タンテイ。——代タイ。

代一人息子。

タイタイ □□。(小さな銅鑼の音) ちゃんちゃん。

タイタイ 刑刑。【刑】。

タイタイ 台臺。(又) 貴君。足下。

タイ

タイタイ 篩篩。【篩】の(①)。

タイタイ 太太。(夫人に對する敬稱) 御新造様。奥様。

タイタイ 削削。【削】。

タイタイ □□。【削】。

タイタイ チエヌ チエヌ 大大典典。大片。公然。這是——的ケイケイ事情。これは大片な事だ。

タイタク 在頭。最初。當初。

タイタク 篩斗。藥粉などを篩ふに用ひる篩。絹篩。

——紗シヤ絹篩ニウニウの紗。

タイタク 削頭。斬首。首を斬る。——短命タンメイ。——婦人フジンの罵る語。打首ウチウキで短命タンメイ。斃ハレ損奴。

タイタク キア 篩斗符。篩の縁。篩の框。

タイタク ホアヌ 削頭犯。●死刑囚。——的ケイ面メン。悪相。●亂暴ランボウな人。

タイタン 臺東。(地名) 臺東。

タイチア 臺車。(國) 臺車。

タイチアン 大將。(將) 【大將】。

タイチアン 擡鎗。二人で打つ銃。

タイチアン イア 大將爺。(尊) 【大將爺】。

タイチアン クヌ 大將軍。(尊) 【大將軍】。

タイチイ 事情。事。事故。事柄。用事。事實。事件。仕事。事務。甚麼。——何事。有。——用事がある。事件がある。做。——仕事をする。

タイ

タイチイ 迨至。(又) 至る。及ぶ。

タイチイ 帶青。青味を帯びる。青ばむ。青さめる。

タイチイ キア 大至急。(國) 大至急。

タイチウゴアヌ 大秋元。(又) 讀書人の尊稱。

タイチエウ 帶疾。【帶疾】。

タイチエツギイ 大節義。(又) 大節。大義。

タイチエヌ 臺前。(又) 手紙などに用ひる敬語。御前。御北。座右。

タイチエヌ 大戦。(又) 大戦。

タイチエヌ 台前。【臺前】。

タイチエン 大正。(年號) 大正。【清律例】。

タイチエン 大清。清國。——律例リツレイ清國の法律。大

タイチエン 胎前。産前。——産後サンゴ産前産後。

タイチオン 大將。大將。

タイチオン イア 大將爺。武勳ある者を祀りたる神。

タイチオン イア 大衆爺。祀る者なき位牌・遺骨を神として祭りたるもの。無縁佛。

タイチオン クヌ 大將軍。大將軍。

タイチオン ビヲ 大衆廟。【大衆爺】を祀る廟。

タイチヲ 胎借。抵當を入れて金を借りること。抵當貸借。——字ジ一種の抵當權テイダウケンの設定證書。「端」。

タイチツ 帶疾。主に外部に表はれぬ不具。廢疾。片

タイチヌ 大進。(占の詞) 惠方。明方。

タイチヌ 太盡。餘りに甚しい。錢用了ー金を餘りに甚しく使過ぎた。

タイチア 太爹。紳士階級の人の父の敬稱。御尊父。

タイチアン 大腸。大腸。

タイチアンフウ 大丈夫。〔大丈夫〕。

タイチイ 萍甜。煩纏く甘い。甘くてあくどい。

タイチイ 大抵。(文) 大抵。大方。凡そ。

タイチイ 剖猪。豚を殺す。燻着ー夫肉頭肉尾好炒葱 豚殺に嫁入すれば肉の切つ端で葱が煮られる。

タイチイアア 剖猪仔。①豚を殺す人。②小豚を殺す人。

タイチイアア エエ 剖猪仔的。豚を殺す人。豚殺。

タイチイ エエ 剖猪的。前に同じ。

タイチイ コン 剖猪公。神に供へる豚を殺す。ー無相請、嫁査某子贈大餅 豚を殺した時は招きもしないで、娘を嫁にやる時は大菓子を送つてよこす(大菓子を贈られたるに對しては返禮をなすを例とす) 慾深く利己的なるにいふ。

タイチイ トイ 剖猪倒羊。豚を殺し山羊を殺す、非常な馳走の意。

タイチイ エヌ 大典。①大典。②大片。公然。少しも憚る所なく。公公然と。ー就共伊入去 大片で這入つて往け。

タイチエヌ コエ 胎典契。質入證書。抵當付の金錢

タイチエヌ ジイ 胎典字。前に同じ。〔借用證。借入證。〕

タイチエヌ ソアヌ 大殿撰。擧人の稱呼。

タイチエン 臺頂。演壇。講壇。教壇。ハー 演壇に登る。

タイチエン ホン 大寸黄。(植) ①こうしゅんいぬびは(桑科)莖葉を搗碎して毒蛇咬傷の患部に貼付し又之を水にて煎服し風薬となす。②たいわんあづさ(衛矛科、材は杖、筥其他の細工用に供す)。③【大楓草】。④(馬鞭草科)むらさきしきぶ。

タイチオン 臺中。(地名)臺中。

タイチオン 臺帳。(圖) 臺帳。

タイチオン 大腸。(文) 大腸。

タイチオン フウ 大丈夫。大丈夫。(體面を重んずる意の)男。男子。ー不可一日無權 大丈夫一日も權なかるべからず、男子たるもの一日も徒食して居つてはならぬの意。驚妻 ー打妻猪 狗牛 妻を恐るる者は大丈夫にして妻を打つものは大猫の如しの意。ー一言放出 駒馬難追 大丈夫の一言駒馬も追難し。ー男子漢 大丈夫たるもの眞の男子たるもの。

タイツイ コアヌ 帶水關。水難の相がある。

タイツイ タイルイ 大吹大擡。①祭の時など大に銅

繩や太鼓を鳴す。②大散財をする。

タイツウ 嚙子。愚鈍な子供。馬鹿な子供。

タイツウ 貸主。(圖) 貸主。

タイツウ 大字。(文) (謙遜して人の名前を問ふ語) 貴方の御名前は。〔妃。〕

タイツウ 太子。太子。皇太子。皇儲。ー妃 太子。

タイツウ イア 太子爺。【哪吒】の尊稱。太子。

タイツウ シオン 太子像。【哪吒】太子の像。

タイツウ タイピイ 大慈大悲。大慈大悲。

タイツウ タイフウ 太子太傅。太子の太傅。

タイツウ チエン 太子亭。皇太子の宮殿。

タイツウ 代出。立換へる。立引く。

タイツウ ゴアヌ 大春元。擧人の稱呼。

タイツウ 剖猪。(圖) 剖猪。

タイツウ 剖猪。(圖) 前に同じ。

タイツウ エ 大體。大凡。概略。大要。取其ー 其概要を取る。

タイト アヌ 大段。折目正しい。行儀正しく凡帳面な。

眞面目。端正。重重しい。沈著。激 ー 角爪らしい。澄す。困仔人着 ー 不可草丑仔神 子供は端正でなくてはならぬ、不眞面目で輕輕しい動作をしてはならぬ。

タイト エ 代替。①代人。②代理する。

タイ

タイ

タイ

タイ

タイトオ 大度。(文) 大度。

タイトオ 擡頭。(文) 擡頭。

タイトオ 態度。(圖) 態度。

タイトオ 怠惰。(文) 怠惰。

タイトオ 大套。梗概。粗方。講一下。俾您聽。梗概をちよと話して君等に聞かせる。

タイトオ 豈何。次に同じ。

タイトオ 豈可。そんな筈はない。如何してか。何故。何して。焉んぞ。豈。是如此。何してそんなことがあるものか。一有如何して有るものか。一有此號事情。どうして這樣な事があるものか。一要來。何して來るものか。【豈何、敢何】。

タイトオ コン 大道公。醫藥の神様。保生大帝。又は吳・許・孫三姓の真人といふに同じ。一保生大帝の生日就ち舊三月十五日頃に吹く大風【保生大帝】。

タイトオ ホエ 帶桃花。(卜者の語)女 浮氣な性。蓮葉な性。一驛馬的の御轉變。御依。

タイトオ 胎毒。胎毒。生。胎毒に起因する腫物

タイトオ 胎毒。胎毒。生。胎毒に起因する腫物

タイトオ 胎毒。胎毒。生。胎毒に起因する腫物

タイトオ 胎毒。胎毒。生。胎毒に起因する腫物

タイトオ 胎毒。胎毒。生。胎毒に起因する腫物

タイ

タイトイン 大統領。(文) 大統領。

タイトイン シアウイイ 大同小異。大同小異。

タイトイン リエン 大統領。武官の名 總指揮官。總大將。大統領。

タイナイ 刑罰。刑罰。

タイナイ □□。□□。

タイハア 帶孝。喪に服する。喪に居る。

タイハア 帶下。(稱) 帶下。子宮内膜炎。

タイハア 大廈。(文) 大廈。一高樓。大廈高樓。

タイハイ 大海。一不擇細流。大海は細流を擇ばず。萬事卸落。一萬事を大海に流し捨てる。萬事に流すなど。

タイハク 大學。本の名 大學。大學。一學生。大學生。

タイハク イイ 大學院。(國) 大學院。

タイハク スウ 大學士。大學士。

タイハク トン 大學堂。大學堂。

タイハク 大寒。(二十四節の一) 大寒。一不寒人馬不安。大寒の節に寒くなれば人や家畜などの病氣が流行する。

タイハク 大旱。(文) 大旱。

タイハク ポアツ 削旱魃。雨乞をする時紙で貼った旱魃の神の首を断ること。

タイ

タイハバ シェク 待合室。(國) 待合室。

タイハバ シツ 待合室。(津) 前に同じ。

タイハバ ソオ 待合所。(國) 待合所。

タイハバ 削肉。肉を切る。要。詰らない。駄目だ。叫我。一(反抗的に)語已を呼んで何するのだ。真。無茶だ。無鐵砲だ。真敢。俾人。一非常に無鐵砲なことをする。

タイハバ 怠慢。怠慢。怠る。忽にする。公事不可。一公務は忽にしてはならぬ。

タイハバ 削打。命掛で争ふ。力争する。

タイハバ 削力。彼と力争する。催事などを思切つて大袈裟にする。

タイハバ 大敗。大敗。一必有大興。大敗必ず大興あり。浮。瀕があるなど。

タイハバ 臺北。(地名) 臺北。

タイハバ シア 臺北城。臺北城。

タイハバ 大阪。(地名) 大阪。

タイハバ 代辦。代理。代辦。一的人の代理者。

タイハバ 洋香。あくどい香。強烈な香。

タイハバ 鱧魚。(動) 鱧。真鱧。

タイハバ 鱧魚。おちよぼ口。

タイハバ 鱧魚。みそなをし。(葷科、葉を味噌醬油の中に挿入し置けば防蟲劑となる)。

タイヒエン 大興。大變繁昌。一必有大敗。大興は必ず大敗あり。上坂あれば下坂ありなど。

タイヒエン 管刑。管刑。管罪。叩放し。【管刑】。

タイヒエン 口胸。胸を突出す。反身。

タイヒオンジツ 大凶日。黒日。大凶日。

タイヒヌ 大興。(舊)【大興】。

タイピアウ 太廟。(文) 太廟。

タイビイ 滓味。(甘き汁などの) 煩穢。あくどい。糖蜜酒若糖島參傷多就能。糖蜜酒に【糖島】を餘り多く入れるとあくどい味になる。

タイビイ 篩米。米を篩ふ。

タイビイコク 大美國。亞米利加合衆國。

タイビエン 大名。【敬語】御名前。御芳名。【一】燃【寶】及【難】の賭博方法の一。

タイビエン スウ 代名詞。(國) 代名詞。

タイビエン スウ 代名詞。(衆) 前に同じ。

タイピアウ 代表。(國) 代表。

タイピアウチア 代表者。(國) 代表者。

タイビイ 帶病。病氣がある。病氣を帯びる。病氣して行く。病氣を持って行く。

タイビイ 大比。擧人などの大試験ある年。一時的年

同上。

タイビイコク 大比國。白耳義。白耳義。

タイビエク 太迫。急迫。非常に迫る。事情一仕事が非常に迫る。【星】。

タイビエク 太白。(星の名) 太白。一金星。太白

タイビエク 太白星。曙の明星。太白星。宵の明星。金星。

タイビエク フヌ 太白粉。粟より採った澱粉。

タイビエヌ 大便。(國) 大便。一不通。便秘。

タイビエン 帶病。病持。病を受ける。一出門。病を帯びて外出する。【帶病】。

タイビエン 大兵。(文) 大兵。

タイビエン 大鵬。大鵬。一有翅恨天。低。大鵬翅あり天の低きを恨む。讀書人などの放言大語。

タイビエン 太平。太平。昇平。山崩見。一山崩れて太平を見る。山崩は不吉の兆なれども縁起直に斯くいふ。又雨降って地堅まるなどの意もあり。矮人無行天下。一小男が好讒でなければ天下太平だ。愿做。一狗不做亂世民。甘じて太平の犬となるとも亂世の民とならず。

タイビエン イウ 太平洋。太平洋。

タイビエン イエヌ 太平宴。豐捷祝賀の宴。食。一。同上を食ふ。又富裕な人をいふ。

タイビエン オン 太平主。太平の時代の王様。

タイビエン コア 太平歌。(祭禮の時などに奏する歌

曲の名) 太平の歌。

タイビエン コア 太平襟。長衣の上に著る上衣。長袖にて胸の處にて合す。

タイビツ 代筆。代筆。代書。

タイビツ 大關。イスラエル民族の王。大關王。

タイビツラン 代筆人。代書人。

タイビヌ 大賓。(文) 佳賓。

タイファイシエン 貸費生。(國) 貸費生。

タイフウ 大夫。(文) (文官) 大夫。

タイフウ 台甫。(文) (敬語) 御名前。

タイフウ 太傅。【三公】の一。(官名) 太傅。

タイフウジヌ 太夫人。(文) (敬語) 御老母。御母堂。

タイフヌ 大婚。(國) 大婚。

タイフヌウイ 大勳位。(國) 大勳位。

タイブツリアウ 大不了。差障。不都合。我如此講敢有甚麼。一。僕がさう言つたとて何も差障はないではないか。

タイプツリエツチエヌコク 大不列顛國。英國。

タイプヌイア 大本營。(國) 大本營。

タイプヌカウ 大本教。(國) 大本教。

タイヘエ コアヌ 帶火關。火難の性を帯びてゐる。

タイヘエ 帶白。白っぽい。白む。白む。

タイヘエ 帶病。(文) (帶病)。

タイ

タイ

タイ

タイ

タイ|ペエ|代賠。代つて賠ふ。

タイ|ベエ|玳瑁。玳瑁。龜甲。【玳瑁】。

タイ|ホアツ|コク。大法國。佛蘭西國。

タイ|ホアヌ|大凡。(又)大抵。凡そ。

タイ|ホアヌ|アア|劊番仔。(遊戯)軍事。

タイ|ホエ|大茴。(種)(木蘭科)八角茴香。

タイ|ホエ|大會。(國)大會。

タイ|ホエ|チオン。大會狀。擧人の稱呼。

タイ|ホエ|ヒオン。大茴香。【大茴】。

タイ|ホオ|太后。太后。皇太后。

タイ|ホオ|シアウ|キアウ|大呼小叫。大きな聲で嘯鳴る、やかましい。

タイ|ホロ|大和。(國)大和。一魂||大和魂。

タイ|ホロ|ケエ|太和雞。(海)次に同じ。

タイ|ホロ|コエ|太和雞。チャボの如き小雞の名。

タイ|ホク|ビイ|大腹皮。(藥)大腹皮。檳榔子の實の殼

(霍亂・暑氣當・水腫・惡阻等を治するに用ふ)。

タイ|ホン|帶紅。紅味を帯びる。赤ばむ。

タイ|ホン|大方。●度量の大きいなる人。大様。豪放。彼個人不止||彼は大様だ。●寛。此領衫

穿了不止||この着物は寛りして居る。●

見事。立派。壯大。字寫了不止||字が大

層見事に書いてゐる。層起了不止||家が

タイ

眞に壯大に出来てゐる。

タイ|ホン|大黃。(藥)大黃。(少量は健胃劑として消化

不良殊に大便秘結を兼ねる症に用ひ大量は下劑として用ふ)。

タイ|ホン|颯風。颯風。颯風。大風。

タイ|ホン|太皇。太皇。

タイ|ホン|タイ|ホオ|太皇太后。太皇太后。

タイ|ホン|テエ|大皇帝。大皇帝。

タイ|ボラ|バア|劊無肉。切つても肉が無い。||可

超來||金など請求する場合)追求しても取れぬ。

責めても取れぬ。

タイ|ボア|シイ|劊半死。半殺。

タイ|ボア|ヌ|大半。大半。大部分。

タイ|ボエ|大焙。茶の商品名。

タイ|ボエ|玳瑁。玳瑁。龜甲。||猫||三毛猫。三毛。

タイ|ポオ|フヌ|大部分。(國)大部分。【玳瑁】。

タイ|ポラ|太保。【三公】の一。(官名)太保。

タイ|マア|太媽。●高曾母。●(敬語)御尊母。御母堂。

タイ|ライ|帶帶。【帶帶】。

タイ|ライ|埋埋。【埋埋】。

タイ|ライ|節節。【節節】。

タイ|ライ|劊劊。【劊劊】。

タイ|ライウ|太老。(敬語)御尊父。御親父。

タイ

タイ|ライウ|チア|太老爹。前に同じ。

タイ|ライウ|マア|太老媽。(敬語)御尊母。御尊母。

タイ|ライヌ|大難。(又)大難。

タイ|ライア|代納。代納。

タイ|ラム|臺南。(地名)臺南。

タイ|ラン|劊人。殺人。||擄劫||切取。||放火

||殺人放火。||種瓜||手品師が子供を殺して

から西瓜を植ゑその西瓜が間もなく、成長すると

いふ手品。

タイ|ラン|チイ|帶人錢。抵當を入れて錢を借りる。抵

當借。

タイ|ラン|ポオ|劊人埔。仕置場。刑場。

タイ|リアム|帶念。●思慕する。思ふ。||師恩||師

の恩を思慕する。●免じる。||著伊此帮即

容允你||彼に免じて今回は赦してやる。

タイ|ライ|代理。(國)代理。||店||代理店。

タイ|ライ|大利。大なる利。||東西不利南北||東

西は大利で南北は不利。

タイ|ライ|大呂。十二月の異名。

タイ|ライ|カイ|大理概。世間||世間は大概に

せよ、浮世三分五厘といふが如し。

タイ|ライ|チヲ|大理石。大理石。

タイ|リウ|胎瘤。(癭)初生兒に固有の疾患。頭血腫。

タウ

を引く。落を落す。一老鼠ネズミ鼠を鼠取で落す。
 一火雞ヒナ銃の引金を引く。手被窓仔テビ一着テ手
 を窓にばちんと挟まれた。一發條仕掛ハチなどのもの
 或は落。一仔コ發條仕掛などで出来たもの。ばち
 人留ヒトドマリ。老鼠ネズミ鼠落。門カド一門の掛金。銃シ
 銃の引金。

タウ投。一人の悪事などを目上に云付ける。告口ツギ訴へ
 る。一保正ホセイ保正に訴へる。一先生シヤウシヤ先生に云
 付ける。見鶏ミトリ亦モ見狗ミイヌ亦モ雞トリや犬イヌにまで訴
 へる。誰タレにでも彼カレにでも告げる。一投テする。入
 る。一海洋カイヤウ海賊の群に入る。一小刀會シヤウタウ小刀
 會に入る。意氣相イキサマ一意氣相投する。一水死スイシ
 身投ミテをする。

タウ豆。一豆マメ豆。一荳科マメゴ豆類の總稱。種タネ一豆マメを
 蒔く。打ウ一豆を柄で量る。一搯ネ豆粕。
 タウ腹。領ネ一襟。衫仔カミ一襟。
 タウ讀。句ク一旬讀。
 タウ討。眞強マシキヤウ一官人など人民を虐げて錢を貪る。
 タウ偷。一盜ヌス。被賊ヒトヌス一盗人に盗まれる。一人的ジヤク
 物モノ人の物を盗む。一竊ヒソカに。そつと。こつそつと。
 一看ミ一そつと見る。一講コウ一竊に話す。一走シヤウこつ
 そりと逃げる。一報ホウ一密報する。

タウ解。解く。緋ヒく。一索仔ソクサ一繩を解く。一結ムス結目

タウ

を解く。講コウ一氣キ不平などを人に話して氣を晴ら
 す。事情シヤウキョウ一没開ボクガイ事件が紛糾して解決がつかぬ。
 通トウ。(空氣、水など)流通する。通る。流リウ通る。瓦
 孔カキ没ボク一溝が通じない。煙吹没エンフイボク一煙管が詰
 て通らない。一名聲メイセイ一屋號など通する。通る。
 名聲メイセイ眞マシ一名聲がよく通る。字號ジヤウ眞マシ一屋號
 がよく通る。有名ユウメイ。(語原は【解】と同一なるべし)。
 通トウしてある。通する。此條水チヤウ一到彼旁イダヒ
 此の水はあちら迄通つて居る。此條路チヤウ一到臺北イダヒ
 此の路は臺北迄續いて居る。沃着バク雨アメ雨アメ衫カミ浴ユク
 過カ一雨に濡れて着物が濡通した。一通トウせしめる。
 通トウす。瓦孔カキ一俾伊通ヒイトウ一溝を通せしめて水の流通
 の様にする。一煙吹エンフイ一煙管を通す。一粉コ流動物
 などを混ぜる。入れる。一冷水レイスイ一水を混ぜる。
 流リウ。風カゼなど烈しい。強い。風眞カゼマシ一風が烈い。
 水眞スイマシ一雨が烈しい。一雨アメ又は晴を侵す。一雨アメ
 來キ一雨を侵して来る。一早來サウライ一閻を侵して来る、
 朝アサ非常に早く来る意。一終シュウ。初ハジメより終まで。徹テウ
 する。一暝メイ一夜通。一日イチニチ終日。看到キョウカ一終まで
 見る。讀ドク到トウ一終まで讀む。一竊ヒソカに報せる。透トウ
 仔サ來キ一即知キョクチ一問謀が来て報せたので知れた。一
 濕シツ。一雨アメ一と濕シツの雨。一煙管エンカンなどを通すも
 の。阿片アヘン一阿片を吸食する煙管を通すもの。

タウ透。一通トウしてある。通する。此條水チヤウ一到彼旁イダヒ
 此の水はあちら迄通つて居る。此條路チヤウ一到臺北イダヒ
 此の路は臺北迄續いて居る。沃着バク雨アメ雨アメ衫カミ浴ユク
 過カ一雨に濡れて着物が濡通した。一通トウせしめる。
 通トウす。瓦孔カキ一俾伊通ヒイトウ一溝を通せしめて水の流通
 の様にする。一煙吹エンフイ一煙管を通す。一粉コ流動物
 などを混ぜる。入れる。一冷水レイスイ一水を混ぜる。
 流リウ。風カゼなど烈しい。強い。風眞カゼマシ一風が烈い。
 水眞スイマシ一雨が烈しい。一雨アメ又は晴を侵す。一雨アメ
 來キ一雨を侵して来る。一早來サウライ一閻を侵して来る、
 朝アサ非常に早く来る意。一終シュウ。初ハジメより終まで。徹テウ
 する。一暝メイ一夜通。一日イチニチ終日。看到キョウカ一終まで
 見る。讀ドク到トウ一終まで讀む。一竊ヒソカに報せる。透トウ
 仔サ來キ一即知キョクチ一問謀が来て報せたので知れた。一
 濕シツ。一雨アメ一と濕シツの雨。一煙管エンカンなどを通すも
 の。阿片アヘン一阿片を吸食する煙管を通すもの。

タウ頭。一頭アたま。大オホ一頭。一毛ウシ一頭アたまの毛。一尖耳薄チヤウ
 一頭尖り耳薄い發相の意。一戴別人天タイ一戴別人天、脚踏別
 人地アタ一頭は他人の天を戴き脚は他人の地を踏む。
 自分の一身は皆他人の庇保に依るの意。一初ハジメ
 先マシ。年ネン一年の初。一日イチニチ一初の日。一到尾イダヒ
 初ハジメより終まで。做シヤウ一行イチヤウ一先になつて歩く。一本ヒト
 源ネボ。根本。樹キ一樹の根本。嘴鬚シヤウ一鬚の根本。
 電火デンカ一發電所。一初回ハジメの生産物。最初ハジメに取れ
 た物。初ハジメ。一番。藥ヤク一第一回目に煎じ出した
 藥。酒サケ一一番酒。菓子カシ一菓物の初生。一上カミ
 風カゼ一風上。溪カハ一川上。街カミ一町の上。一頭アたま
 長チヤウ。一一人ヒト支配者。工コウ一職工長。司阜シ
 親方チヤウ。一公衆の往來し又は集合する場所に附け
 る詞。路ロ一道路。道路。地チ一地方。土地。火
 車カ一ステーション。埠ボ一波止場。一廢物イ。屑
 等の意を表す。磚仔レンサ一煉瓦の燒け損。番薯ハ
 一甘薯の掘屑。豆マメ一豆腐の滓。絲シ一絹絲の
 屑。一同一種類の物を總括して之を代表し、若く
 は同一種類中の代表的な物なることを表す場合に
 用ひる詞。石イシ一石。指サシ一指。銀仔ギンサ一金
 錢。牽ヒキ一質物。菜サイ一菜根。一事物の有様。現
 象。風カゼ。風味等を言表す詞。……その物。……自

タウ頭。一頭アたま。大オホ一頭。一毛ウシ一頭アたまの毛。一尖耳薄チヤウ
 一頭尖り耳薄い發相の意。一戴別人天タイ一戴別人天、脚踏別
 人地アタ一頭は他人の天を戴き脚は他人の地を踏む。
 自分の一身は皆他人の庇保に依るの意。一初ハジメ
 先マシ。年ネン一年の初。一日イチニチ一初の日。一到尾イダヒ
 初ハジメより終まで。做シヤウ一行イチヤウ一先になつて歩く。一本ヒト
 源ネボ。根本。樹キ一樹の根本。嘴鬚シヤウ一鬚の根本。
 電火デンカ一發電所。一初回ハジメの生産物。最初ハジメに取れ
 た物。初ハジメ。一番。藥ヤク一第一回目に煎じ出した
 藥。酒サケ一一番酒。菓子カシ一菓物の初生。一上カミ
 風カゼ一風上。溪カハ一川上。街カミ一町の上。一頭アたま
 長チヤウ。一一人ヒト支配者。工コウ一職工長。司阜シ
 親方チヤウ。一公衆の往來し又は集合する場所に附け
 る詞。路ロ一道路。道路。地チ一地方。土地。火
 車カ一ステーション。埠ボ一波止場。一廢物イ。屑
 等の意を表す。磚仔レンサ一煉瓦の燒け損。番薯ハ
 一甘薯の掘屑。豆マメ一豆腐の滓。絲シ一絹絲の
 屑。一同一種類の物を總括して之を代表し、若く
 は同一種類中の代表的な物なることを表す場合に
 用ひる詞。石イシ一石。指サシ一指。銀仔ギンサ一金
 錢。牽ヒキ一質物。菜サイ一菜根。一事物の有様。現
 象。風カゼ。風味等を言表す詞。……その物。……自

タウ

煙吹エンフイ一煙管通。
 煙吹エンフイ一煙管通。
 煙吹エンフイ一煙管通。

タウ頭。一頭アたま。大オホ一頭。一毛ウシ一頭アたまの毛。一尖耳薄チヤウ
 一頭尖り耳薄い發相の意。一戴別人天タイ一戴別人天、脚踏別
 人地アタ一頭は他人の天を戴き脚は他人の地を踏む。
 自分の一身は皆他人の庇保に依るの意。一初ハジメ
 先マシ。年ネン一年の初。一日イチニチ一初の日。一到尾イダヒ
 初ハジメより終まで。做シヤウ一行イチヤウ一先になつて歩く。一本ヒト
 源ネボ。根本。樹キ一樹の根本。嘴鬚シヤウ一鬚の根本。
 電火デンカ一發電所。一初回ハジメの生産物。最初ハジメに取れ
 た物。初ハジメ。一番。藥ヤク一第一回目に煎じ出した
 藥。酒サケ一一番酒。菓子カシ一菓物の初生。一上カミ
 風カゼ一風上。溪カハ一川上。街カミ一町の上。一頭アたま
 長チヤウ。一一人ヒト支配者。工コウ一職工長。司阜シ
 親方チヤウ。一公衆の往來し又は集合する場所に附け
 る詞。路ロ一道路。道路。地チ一地方。土地。火
 車カ一ステーション。埠ボ一波止場。一廢物イ。屑
 等の意を表す。磚仔レンサ一煉瓦の燒け損。番薯ハ
 一甘薯の掘屑。豆マメ一豆腐の滓。絲シ一絹絲の
 屑。一同一種類の物を總括して之を代表し、若く
 は同一種類中の代表的な物なることを表す場合に
 用ひる詞。石イシ一石。指サシ一指。銀仔ギンサ一金
 錢。牽ヒキ一質物。菜サイ一菜根。一事物の有様。現
 象。風カゼ。風味等を言表す詞。……その物。……自

煙吹エンフイ一煙管通。
 煙吹エンフイ一煙管通。
 煙吹エンフイ一煙管通。

煙吹エンフイ一煙管通。
 煙吹エンフイ一煙管通。
 煙吹エンフイ一煙管通。

タウ

タウ イエヌチエン 頭椽銃。列をなして發砲する時、初回に發する鐵砲。

タウ イエン 偷聞。開眼を偷む。――來爲你看。開暇を偷んで見に來てやった。

タウ イエン 偷用。盗用。

タウ イオク 偷約。竊に約す。内約。

タウ イオン 偷用。(濫) 偷用。

タウ イオン 頭陽。重陽。舊九月九日。――聖不及二陽定。九月九日に雨が降れば後期の收穫時は必ず雨續で不作だが、九月十九日に雨が降れば尙更それ以上に悪いの意。

タウ イ、ヲ 投藥。(圖) 投藥。

タウ イ、ヲ、ベ、エ、パイ 頭搖尾擺。頭を揺り尾を振る、得意の風。意氣揚場。

タウ イ、ヲ、ベ、エ、ヒイ 頭搖尾擲。前に同じ。

タウ イ、ツ、ヨ、ン 頭一航。一等。ばりばり。

タウ イ、ツ、チ、エン 頭一等。前に同じ。

タウ ウイ 頭桅。舳の方にある帆柱。船頭の一の櫓。

タウ ウイ 頭圍。(宜蘭地方の地名) 頭圍。

タウ ウイ 頭位。首座。首位。首席。坐。――首座に坐る。

タウ エエ 頭的。最初の者。前者。

タウ エエ 頭的。頭。親方。親玉。

タウ

タウ エエ 頭下。最初。――不是我講。最初は僕が話したのではない。今少し前。今し方。伊。――即返去。彼は今し方歸つた。

タウ エエ ア 頭下仔。【頭下】の(三)。

タウ オク 鬥惡。互に怒って争ふ。

タウ ヲア 挽倚。引寄せる。引緊める。船。――岸。船を岸に引寄せる。手着。――身軀即有力。手は身體に引緊めなければ力が出ない。――どろどろしたものに粉などを入れて固める。做豆腐着牽石膏即能。――來。――豆腐を造るには石膏を入れないければ固らない。

タウ ヲア 倒換。他の持物が己の持物よりも自分にとつては更に必要なるものなる場合に互にそれを交換し合ふ。與生番。――生番と交換する。你的聖經與我的字典。――好不。君の聖書と僕の字典とを交換しようではないか。

タウ ヲア 偷換。竊にすり替へる。

タウ ヲア 門噓。惡徒などの仲間に入る。徒黨を組む。――門黨。同上。

タウ ヲエ 門鞋。靴の上部と底とを合せて縫ふ。

タウ ヲエ 門話。口を合せる。話を合せる。賢。――口合がうまい。

タウ カア 門脚。人數の仲間に入る。仲間入。

タウ

タウ カア 偷舍。腋の下などに入れて竊取る。掠める。ちよるまかす。去布店。一塊布。吳服屋に往つて反物一反賣引する。

タウ カア 透脚青。植物の根本まで枯葉なく青青した。此叢花。――この植木は同上だ。一家一族など皆息災で連綿たる様。日本の國體萬世一系。――日本の國體は萬世一系で皇統連綿である。徳彼家。――成好命。彼の一家は同上で眞に仕合だ。

タウ カア 透脚青。手傳ふ。加勢する。手助する。

タウ カア ツン 透申鑽。棒の先に尖つた金物を損めた鎗の如きものにして盜賊の豫防などに使用するもの。

タウ カア トア シヌ 頭較大身。頭が身體より大きい。――反つて餘計な費用や手数がかかる。二重手間。手數損。費用倒。此款の案件若要情辯護去告反轉。――こんな事件は辯護士を雇つて訴へれば反つて費用倒だ。若要就自己創到情人。――やるなら自分でやるさ人を雇つたりすれば費用損だ。若有寫不着的所在改就好更重抄。――書損つた所は直せばよい、更に書直せば二重手間だ。

タウ カア、ベ、エ 頭到尾。頭到尾。

タウ

タウ キイ 投機。心機に投合する。機に投ずる。話不

一 半句多 話機に投ぜざれば半句も多し、話が相手方の心機に投合しなければ半句も多し。

タウ キイ 透機。委細に。詳細に。知到一 一部始終を知っている。講到一 何も彼も打明けて話す。聽到一 詳細に聞く。

タウ キイ 頭旗。神佛の行列に用ひる旗。一 涼傘 同上の旗と傘。

タウ キイ 頭更。初更。

タウ キイ 頭椗。算盤の初の椗。一 司仔 職人の一番弟子。打一的 飛切のもの。無比のもの。

タウ キイ 解氣。怒を解く。鬱憤を晴らす。

タウ キイ 通氣。空気を通ずる。通風。一 窓 風窓。

タウ キイ 頭起。一 先。始。初回。一 頭となる。采配を振る。出しゃばる。指圖する。各項事要欲。一 何事にでも出しゃばりたがる。一 訴訟事件 など第一回目的事件。

タウ キイ キイ 頭欹。頭を歪める。頭をまげる。

タウ キイ サイアア 頭椗司存。職人の一番弟子。高足。高弟。

タウ キイ シエン 頭起先。【頭先】。

タウ キイ スリ 頭起先。(衆)前に同じ。

タウ キエン 門勤。人を扶持する。補助する。銭を出

タウ

タウ キエン 斗匡。一 枘の上部の框。一 窓框。張一 して人を助ける。

一 同上をしつらへる。

タウ キヲ 頭脚。【頭椗】の(三)。

タウ キヲ 偷拾。一 竊に拾ふ。一 剽竊。一 人的文章 人の文章を剽竊する。

タウ キヲ 解徽。人から受けた呪詛を祓ふ。叫符法 先來一 符法先 呼んで同上してもらふ。

タウ キヌ 頭巾。(海) 【頭巾】。

タウ キム ツイ 頭禁水。船の頭を蓋ふ木。

タウ ギア 斗額。(量)分量。斗量。一 十足 分量が充分に有る。

タウ ギア 門額。數を合せる。不足の數を埋合せる。更提三個來一 更に三つ持って来て一定の數にする。

タウ ギア 偷秀。一 鼎恨偷掘 芋 銅泥棒が芋盗人を恨む。一 鼓井亦着認 井戸を偷んだらうと言はれても承認せねばならない、非常な冤罪も屈服せねばならない。

タウ ギヲ 頭棧。【龍船】の船の二つの權。擡一 同上を扱ふ。一 落水 一 扒龍船】のスタートをきる時に船先に居る二人の漕手が權を動かすこと(同上せざれば更に何回もスタートをきり直すを

タウ

例とす。

タウ クイ 偷懷。一 盗んで懷にする。一 竊に懷中に忍ばせる。一 短銃 一 ビストルを竊に懷中する。

タウ クイ 解開。結目又は糸のもつれなどを解く。繻く。解放す。

タウ クイ 解氣。一 嘆つ。歎く。恨などを人に話して氣を晴らす。講一 一 言って氣を晴らす。溜飲をさげる。無塊可一 氣を晴らす方法が無い。

一 ほとと息をつく。一 氣を抜く。蒸氣などを放出させる。炊糶着一 即能熟 餅を蒸すには蒸氣を出さなければ出来ない。

タウ クイ アア 豆鬼仔。充分成熟せず萎びた小な豆。

タウ クイ テイ 頭閉市。一 商の手始。一 仕事の仕始。創業。

タウ クウ 門久。久しく長くことを競ふ。根競する。坐一 一 坐りつくらする。

タウ クヌ 投軍。軍に投ずる。入營。從軍。一 卷。

タウ クヌ 頭巾。女の頭を包むもの。婦人の頭巾。鉢

タウ クヌ テン 頭巾頂。一 頭の頂上。頭上。頭巾を被った上。一 船の帆の上部。戎克の頂上の帆。

タウ クヌ レエ 頭巾持。手懸。擲所。四界瑠瑠走 續尋無一 一方方へ飛んで歩いて捜様がない。連看見一 都無 影も形も見えない。你都

不知一個——君は事の糸口さへも知らな
いぢやないか。

タウクン 透光。透通る。透く。玻璃——硝子が透
通る。

タウクン 偷藏。隠す。密藏する。隠匿ふ。

タウクワン 頭巾。(巻)【頭巾】。

タウケエ 投契。意氣投合。講話不止——話が真
にしくりと合ふ。二個不止——二人は意氣
投合してゐる。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 透過。端より端に達する。通る。徹する。
貫く。突抜ける。——後行街——裏町まで突抜け
る。——厝頂——屋根に突抜ける。

タウケエ 頭經。(巻)【頭經】。

タウケエツオ 頭家租。業主に納める租谷。小作米。
納——小作米を納める。

タウケエニウ 頭家娘。(主人の妻)御上様。主婦。奥
様。奥様。

タウケエシヌチウケエ 頭過身就過。頭が通れば
體も通る、最初の難關が通れば後は易い意。

タウゲエ 豆芽。豆の蘗。蘗。

タウゲエ 豆莢。【豆莢】。

タウゲエ 頭牙。正月二日に行ふ【土地公】の祭【牙】
體も通る、最初の難關が通れば後は易い意。

タウコエ 豆干。豆腐を四角形に壓し固め梘子などを
溶した灰汁で燻でたもの、燻豆腐に相當するもの。
——孝媽祖——同上で媽祖を祭る。簡略に濟す意。

タウコエ 頭掛。牛を交代に使役する場合、第一回目
コエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

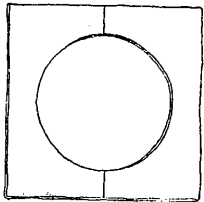
タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」

タウコエ 偷着。竊に見る。偷見る。「の勞役」



豆干 柳

タウコエパン 豆干枋。豆腐を壓搾する板。

タウコエペエ 豆干焙。【豆干】を火に乾す器。

タウコエペエ 豆干胚。未だ燻でない【豆干】。

タウコエボオ 豆干模。【豆干】を作る時豆腐を壓固
める型。

タウコエ豆莢。(巻)【豆莢】。

タウコエ頭盛。兜。戴——兜を被る。

タウコエ門股。資本を出合ふ。合資。——做生理——
合資で商賣をする。

タウコエ豆莢。豆の嚢。

タウコエ豆籬。一枚一枚になった豆粕。削——豆粕
を削る。

タウコエ豆蔴。(種)【肉豆蔻科】にくづく。

タウコエ解股。●縫合せたものを解く。髪を解く。
●條理明かである。要領を得る。情理聽没——
●理窟を聞いても要領を得ない。講話有——
●話の筋道が立ってゐる。

タウコエ投稿。(又)投稿。

タウコエ投告。神佛などに訴へる。——天地——天地
に訴へる。

タウコエアア 頭寄仔。遊人などの頭。兄貴。親分。
親方。

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

タウコエ頭擲。額。——較大——額が出て居る。魚——

要用斤聲 秤目で量るか斤目で量るか。

タウ シアム 偷睛。竊に覗く。透見する。

タウ シアム 偷閃。竊に避ける。

タウ シイ 豆鼓。次に同じ。

タウ シイ 豆鼓。醬油を造つたあとの諸味。(副食物として用ふ。)

タウ シイ 偷生。竊に生む。私生。一子一竊に子を

タウ シイ 頭生。家畜。畜類。飼一一家畜を飼ふ。

タウ シイ 毒死。毒殺する。盛殺す。

タウ シイ ポオ 豆鼓苞。醬油を作る本。醬油麴。一

没發芽 醬油麴の芽が出ない、老人などの元

氣なく無能なるをいふ。

タウ シイ ポロ 豆鼓粕。醬油粕。醬油の質。一

咬做旁 醬油粕を嚙んで二つに割る、非常に吝

蓄な意。

タウ シイ ラン 透世人。一生。一生涯。【歸世人】。

タウ シエン 投誠。(交) 降服。歸順。

タウ シエン 頭先。●當初。初。一我都不知初

に僕は知らなかつた。●最初。今少し前。

一伊有來 最初彼は来た。

タウ シエン ア 頭先仔。【頭先】の③。

タウ シオン パン 門相帮。【門相共】。

タウ シヨ カン 門相共。【門相共】。

タウ シヨ ヒイゾア 頭燒耳熱。熱氣がある。何とな

く身體工合が悪い。徳恙。人永永亦能一

一 人は時には身體の工合の悪いことがあるもの

「だ。」

タウ シヌ 投身。(國) 投身。身故。

タウ シヌ 透身。全身。被雨沃到一 浴雨がかかっ

て全身びしょ濡れになる。

タウ シムリアン 透心涼。胸がすく。心が涼しくな

る。氷的麥仔酒食着一 冷ビールを飲む

と胸がすく。

タウ ジイ 豆乳。(漢) 【豆乳】。

タウ ジイ 頭子。上前。打一 上前をはねる。

タウ ジイ 頭字。初の字。安一 頭韻。折句。

タウ ジエ ッ チエン 痘熱症。(病) 痘瘡。

タウ ジッ 透日。終日。一日。一 無歇晷 終日

休まず。

タウ ジッ 頭日。初日。最初の日。

タウ ジッ タウ 透日晷。正午を通して。正午をも休

まずに。一 無歇晷晷を遙して休まない。

タウ ジヌ リエク 豆仁綠。草色。綠。

タウ ジナ 透入。中に續く。中に通る。中に徹する。

中に通じる。一 厝内 家の中に通じてゐる。

タウ スウ 攪私。孤獨癖。偏癖者。旋毛曲。意地張。

タウ スウ 投書。(國) 投書。

タウ スウ 投詞。下級官吏に提出する 説諭願の如きも

の。放一 後所などに同上を提出する。

タウ スウ 頭序。序文。緒言。

タウ スウ 頭緒。絲口。端緒。手懸。摸無一 手懸

が無い。

タウ スウ 門樵。樵を填込む。

タウ スウ 頭旬。初七日。做一 初七日の供養をす

タウ ズウ 豆乳。豆腐の水を搾つて鹽をつけ乾して固く

なったのを味噌に漬けたもの。

タウ セエ 門賽。競ふ。競争する。

タウ セエ 偷生。(漢) 【偷生】。

タウ セエ 頭生。(漢) 【頭生】。

タウ セエ コロ 豆紗糕。羊羹の類。

タウ モエ 豆渣。豆腐の殻。豆滓。三個錢一 開城

門 三文の豆滓を買ふ者にもわざわざ城門を開い

て通す、非常に面倒なる意。

タウ モエ 豆青。(漢) 【豆青】。

タウ モエ 解罪。人の死んだ時罪業消滅を祈る 道教の

儀禮。【解罪】。

タウ モエ 頭髓。腦髓。

タウ モエ リウ 豆渣瘤。(病) 脂肪瘤。

タウ ソア 偷山。吉日を擲ばないで埋葬する。假埋葬。

タウ ソア 透行。船車など途中で停止せぬこと。急行。

タウ

タウ

タウ

タウ

——輛カマ通とほし駕籠かご。——車クルマ中間ちゅうかん無な停車ていしやの汽車きしや。
 タウ ア 頭行かみり。●初はじめての行ぎやう。初はじめての列りゆう。●初はじめての陸路りくろ又は航路かうろなど。——車クルマ一番いちばん汽車きしや。
 タウ ア 偷ちゆう毛もう。誘拐きどはかす。連出つれだす。——人ひと的てき查某子チャカシ。|| 人ひとの子こ女にやを誘拐きどはかする。
 タウ ア エ 偷ちゆう做ぞう。密造みつぞう。密製みつせい。
 タウ ア エ ツイ 門かど做堆ぞうたい。一處しよにする。一處しよに集あつまる。
 タウ ア ヲ 豆まめ糞ふん。熬豆いりまめを砂糖さとうで固かためた菓子かし。神かみを祭まつる時ときに用もちふ。豆まめ粒つぶ。|| などに用もちふ。豆まめ粒つぶ。
 タウ ア ヲ 頭槽かみづか。【簸箕ハシ】の第一だいいちの區切くわい。最もともよい米こめの落おちちる所ところ。
 タウ ア ヲ ホア 門かど造化ぞうけ。【造化ゾウケ】。
 タウ ア ヲ 門かど創ぞう。助合たすけあつてする。手傳てでんつてする。
 タウ ア ン 偷ちゆう藏ざう。贓品ざうひん又は罪人ざいじんなどを密ひそかに隠かくす。密藏みつざう。隱匿いんたくする。
 タウ ア ア 門かど搭たつ。調子てうしを合あせてする。手取てと早く工合ぐあひよくやる。做工ぞう課着かちやく大家だいが較かく。——即能すなはち緊きんし仕事しごとは皆みなよく調子てうしを合あせてやらねば早はやく出来できぬ。伊い若わ較かく。——爲咱わが門脚かど手今いま仔こ日ひ都無みな此こ號ごう艱が苦く。|| 彼かれが工合ぐあひよくやつて手傳てでんつてくれさへすれば今日けふこんなに苦くるむことばないのだ。
 タウ ア 頭かみ罩づま。葬式まうしきの時とき女にやの冠かむる麻あしなどで作つくつた頭巾づま

タウ

の類るい。
 タウ タイ 投胎たうたい。腹はらに宿やどる。腹籠はらごも。神魂しんたま——神靈しんれいが腹はらに宿やどる。耶蘇イエソウ是上帝シテ——出世しよせ的てきイイエスは神かみの靈たまが宿やどつて生うれたのである。
 タウ タイ 偷埋ちゆうまい。密葬みつざう。
 タウ タイ 偷割ちゆうかく。闇討あんたく。暗殺あんころ。
 タウ タウ 挽くわん。【挽クワン】。
 タウ タウ 倒たう。【倒タウ】の(一)(二)(三)(四)(五)。
 タウ タウ 門かど。【門カド】の(一)(二)(三)(四)(五)。
 タウ タウ 單單たんたん。【單タン】の(一)。
 タウ タウ 啄たく。【啄タク】の(一)。
 タウ タウ 篤篤たくとく。信しん——信しんじきつて居ゐる。親おや——極ごく親おやしい。緊きん——少せうしも餘裕よゆうがない。切切ききき決着けつちやく。脆ぜい——大變だいへん脆ぜいい。餅もち——餅もちの足あしが強つよい。考かう——|| 濃のこい。どろどろ。有あ——|| 甚はなはだ固かたい。倦う——|| 甚はなはだ疲つかれる。
 タウ タウ 投投たうたう。【投タウ】。
 タウ タウ 篤篤たくとく。【篤篤タクトク】。
 タウ タウ 屢屢たうたう。屢屢たうたう。——來き|| 屢屢たうたう來きる。
 タウ タウ 逐逐たうたう。【逐逐タウタウ】。
 タウ タウ 斗頭たうたう。(量りやう) 拊目ぶくめ。分量ぶんりやう。——較有かくあ|| 量りやうがよい。——足あし|| 同上。
 タウ タウ 門頭かどかみ。相手あいで。相棒あひざき。組ぐみになる。組合くみあひになる。

タウ

悠ゆう——|| 玉たま的てき君きみの相手あいで。我われ要與よと伊い——|| 僕ぼくは彼かれと組ぐみになる。
 タウ タウ 豆頭まめかみ。【豆渣まめぢや】。
 タウ タウ 透單たうたん。正午しょうごを通とほして。正午しょうごを休やすまずに。——做工ぞう|| 晝ひるでも休やすまずに仕事しごとをする。
 タウ タウ 頭單かみたん。【頭單タウタン】。
 タウ タウ 偷偷ちゆうちゆう。【偷チウ】。
 タウ タウ 解解かいかい。【解カイ】。
 タウ タウ 通通たうたう。【通タウ】の(一)。
 タウ タウ 透透たうたう。【透タウ】の(一)(二)(三)。(一)残のこらず。すっかり。残のこる限かぎなく。總すべて。行い——|| 何處どこへも皆みな行いつて。看み——|| 残のこる限かぎなく見みる。講かう——|| 洗せん浚じゆんいふ。残のこらずいふ。皆話みなはなす。
 タウ タウ 頭頭かみかみ。初はじめて。最初さいしよ。
 タウ タウ 毒毒たくとく。【毒タク】。
 タウ タウ ア 逐逐たうたう。焦心あせらずに。ぼつぼつと。急いそがずに。徐徐じよじよと。——行い|| 徐徐じよじよと歩あく。——|| 講かう|| 徐じよに話はなす。
 タウ タウ エ 門頭かどかみ的てき。相棒あひざき。棒組ぼうぐみ。相方あひかた。
 タウ タウ タウ エ 門頭かどかみ尾び。手傳てでんふ。力ちからになる。助たすける。
 タウ タウ 偷偷ちゆうちゆう。●竊ひそかに儲もちける。●竊ひそかに稼かせぐ。
 タウ タウ 偷重ちゆうちゆう。掛目かひめを盗ぬすむ。

タウ タン 透冬。收穫期を通じて。收穫期中。一年中。――無落雨。收穫期中雨が降らなかった。

タウ タン 頭桶。首桶。首入。

タウ テア 門成。助けて仕上げる。助成。

タウ テア 偷食。盗食。――狗有罪。盗食した大は罪がある。悪事をした者は自然と其言動に表れる意。――没膳得嘴齒討堵没膳得郷里。盗食して齒を欺くことは出来ぬ。情夫を拵へて郷里を欺くことは出来ぬ。能曉。――就能曉拭嘴。盗食する位な者は口を拭ふことを知ってゐる、盗みする位な者は其痕跡をこまかすことは知ってゐる。

タウ テア 偷請。神像などを竊に請する。――神主竊に位牌を持つて往く。

タウ テア ポオ 偷食歩。勝負事の場合に竊に手段を弄する。狡猾をする。狡猾い手を出す。用。――同上を用ひる。

タウ テア ム 豆筥。豆を原料として作った素麵の如きもの。豆素麵。打。――同上を作る。又時間を限つて女郎買をするが如きをもいふ。

タウ テア ム 頭尖。佛像を擔廻るとき先棒を擔ぐ者。扛。――同上をする。

タウ テア ム 頭顛。船の龍骨の前部。船の舳の方の底。

タウ チアム ツイ ツヌボ。頭尖嘴唇薄。頭が尖つて唇が薄い、貧相又は早死の相。

タウ チアム ヒイ ボ。頭尖耳薄。頭が尖つて耳が薄い、前の意に同じ。

タウ チイ 豆糍。豆の入った餅。

タウ チイ 豆青。豆の蘗。豆の芽。

タウ チウ 豆漿。豆腐を作るとき豆を挽いて未だ絞らないもの。

タウ チウ 豆醬。味噌。雞膏比。――鶏の糞を味噌に比する。提燈に釣鐘といふ如き差の非常に甚しきをいふ。

タウ チウ 頭漿。〔紅頭仔船〕などの取航。右舷にある櫓。船首の方の漕手、又は同所の櫓を採る所の船方。搦。――右舷にある櫓を漕ぐ。――同上。

タウ チウ 頭上。初産。――仔子。初の子。――的。――子。頭手。――第一等の手利。――司仔。――第一番弟子。高足。――第一番目の取引人。――交給。――第二手。――第一番目の取引人が其次の取引人に渡す。――月琴。弾。――月琴を弾く。

タウ チウ スヌ 頭上孫。初孫。

タウ チウ マア 透掌蛇。〔病〕瘰癧の一種。

タウ チウ ポオ 豆醬菹。味噌を作る本。

タウ チエン 痘症。〔病〕痘瘡。

タウ チエン 頭前。前。前。光頭。前面。做。――先頭になる。前になる。――齒。――前齒。――門。――前門。表口。表門。有花不挿。――要挿尻脊。後。花が有るのに前に挿さないうで後に挿す、死金を使ふ如きにいふ。

タウ チエン 透清。〔酒〕阿片又は一厘錢など。雜物のない生一本。

タウ チエン 頭清。――第一回目につめて吸ふ阿片。〔二清〕に對す。――御初。〔二清〕參照。――る。

タウ チツ 頭七。初七日。做。――初七日の供養をする。

タウ チツ エエ 啄一。下。蝦蟇口などを閉める音。ばちんと。

タウ チツ エエ 啄一。下。〔鏡〕ばちんと。かちんと。――鎖落去。かちんと鏡をおろす。

タウ チツ エエ 頭一個。一番。最先。一番初のもの。

タウ チツ エエ 頭一。下。初回。初。最初。

タウ チツ キイ ベエ チツ ヒ。頭一枝尾一葉。花の如き美人。

タウ チツ コアヌ 頭一關。――初。關。――若打能得過起去就能較快活。――最初の難關が切抜けられれば其後は樂だ。

タウ チツ ジツ 頭一日。初日。初日。初日。

タウ チツ チウ 頭一章。第一章。

タウ

タウ

タウ

タウ

タウチッパイ頭一次。初回。嘯矢。始。

タウチッリアア頭一粒。一番勝れた者。權威者。

タウチヌ斗秤。秤と秤。一公平。一秤に秤が公平だ。一一刻薄。一量が酷だ。

タウチヌチ斗秤尺。度量衡。

タウチヌバクキア頭真自愛。人の顔色をよく見分ける。目から鼻に抜ける。伊是。一伊的人。一彼は目から鼻に抜ける様な人だ。

タウチア偷聴。竊聴。立聞。暗。一同上。

タウチア頭痛。頭痛。

タウチアア頭條。前條。始の項。

タウチアア偷貼。金を密に補助する。

タウチアア門點。賽の目を争ふ賭博。「取換へる。」

タウチアア透砧。靴の裏など悉皆修理する。新しく

タウチアムツッ偷點挂。竊に知らせる。暗に知らせる。暗に忠告する。それとなしに注意する。

タウチイ到底。到底。遂に。所詮。一體。一伊亦。是没。做。到底彼でも出来ない。一你是要去也。不去。一體汝は行くのか行かないのか。

タウチウ頭場。●秀才。●舉人などの第一回試験。●第一回の公判若くは審問。

タウチウ透抽。鯛の一種。

タウチウ頭抽。酒・醬油などの最初に取ったもの。一

タウ

番。一。的豆油。一番醬油。

タウチエツ透徹。合點がいく。納得する。徹底する。講了無。一話が徹底しない。講到俾伊。一合點がいくまで話して聞かせる。

タウチエヌ偷電。(新) 盗電。電力を盗む。

タウチエン斗燈。箱提燈。祭祀の時などに用ふるものにて一の美しい枙を造り之に米を盛り其上に燈を置いたもの。

タウチエン頭等。一等。

タウチエンシウ斗燈首。【斗燈】の名頭。

タウチエンテクトク頭等提督。武官の名。

タウチエンペア頭頂百。【面頂百】。

タウチオンタウ透中單。【透單】。

タウチアヘエシイ頭着尾是。順調に運ぶ。上首尾。始も終も宜し。終始適當してる。

タウチツ透直。鉛直。一直。

タウチヌ門陣。連立つ。連合ふ。行列に入る。與する。一一行。連立って歩く。

タウチヌ豆藤。豆の蔓。網網。一複雑した。こん



斗燈

タウ

がらかる。

タウチヌ頭陣。第一陣。先陣。

タウツイ投水。身投する。身を投げる。「す。

タウツイ透水。水を入れたす。水を混ぜる。水をさ

タウツイ頭水。●禽獸の初生。初子。●植物果實の初生。

タウツイ頭嘴。一家の人数。人口。您一家有幾個。一而己。一私はたった一人きりだ(一人は孤獨の意味なり、孤獨といふことを忘みて特に十一個といふ)。

タウツイシイ投水死。身を投げて死ぬ。

タウツイツヌ頭水春。農作物及び家畜の初めての收穫若くは收益。

タウツウ投資。(圖) 投資。

タウツウ萱蓐。(萱科)くずいも。まめいも。【葛蓐】。

タウツツ頭齣。初めの出物。序幕。一戯。一序幕の一番目。

タウツヌ頭陣。最初の陣痛。

タウツヌ頭候。始。最初。初の一類。

タウツヌ頭春。初春。

タウツン痘瘡。(病) 痘瘡。

タウツン頭脛。一番船脛。

タウマイ門替。交代して仕事などをする。
タウツイ頭對。連合。配偶。夫婦。夫と妻。做一
|| 連合になる。有一的夫婦者。配一 || 配偶者
者を定める。

タウマイ偷替。磨替へる。偷に取換へる。
タウツウ透托。【阿片煙吹】を掃除する金屬製の棒。
タウツウアア頭適仔。【頭先仔】。

タウツン頭堂。裁判所の最初の審問。初審。始審。
タウツンケエ頭返客。最初の里歸。里開。
タウテエ攪得。拘留。留置く。

タウテエ到底。【到底】。
タウテエ透底。(薄)【透底】。
タウテエ偷提。盗む。竊盜。食旺一衰 || 人に食は
れるのは榮える基、人に盗まれるは衰へる基。

タウテエ頭胎。初産。
タウトア頭段。序幕。冒頭。文章などの始の段。
タウトア解脱。融通をきかせる。折合をつける。

タウトア解脱。融通をきかせる。折合をつける。
タウトア解脱。融通をきかせる。折合をつける。
タウトア解脱。融通をきかせる。折合をつける。

タウトエ攪題。文章など題意に適合する。

タウトエ門替。【門替】。
タウトエ透底。底まで。下まで通る。徹底する。極
點まで。極度まで。一 || 浴 || 下まで濡れる。一
軟 || 衣類など全部絹物つくめ。料理など表面よ
り底まで全部好い材料。講到 || 極點まで話
す。

タウトエ偷提。【偷提】。
タウトエ頭釵。簪。
タウトエ頭投。自訴。自首。對警察筒 || 警察
署に自首する。

タウトケエ頭倒客。【頭返客】。
タウトク頭托。二本脚の簪。
タウトン門黨。徒黨を組む。徒黨に加はる。

タウトンマン頭當糖。最上の砂糖。
タウトンペエ頭當白。三益砂糖。三益白。
タウナウ頭腦。頭腦。腦。一 || 病 || 腦病。舊 || 一 ||
頭が舊い。新 || 一 || 頭が新しい。

タウニア脰領。襟。
タウニイ偷拈。握盜む。掠める。竊取ねる。一 || 偷
拈 || 一世入缺欠 || 盜をする様な人間は一生涯
貧乏する意。

タウニイ透年。一年中。年中。
タウニイ頭年。初の年。初年。
タウニウ門梁。梁を組む。

タウハム投函。投書。投函。
タウハム頭銜。位階の第一位。
タウハン投降。降参。降伏。降る。

タウハン頭項。事件の内容。いきさつ。不知 || 一 ||
事件の内容を知らぬ。

タウバアバア罩密密。きっかりと填る。
タウバク頭目。●頭と目。●頭。頭目。巨魁。首
領。酋長。十軍九 || 十人の兵に九人の頭、
船頭多くて舟山に上る又は娘一人に婿八人とい
ふに似たり。

タウバクカイ頭目巧。(人の爲てある事を見れば習
はずとも直に出来る如き) 利巧。
タウバクサイキア頭目知崎。次に同じ。

タウバクサイタン頭目知動。気が利く。敏捷い。
氣轉が利く。よく気が附く。
タウバクチアウ頭目鳥。先に立つて働く者。親方。
親分株。幅利。ちやきちやき。

タウパイ頭次。最初。初度。初。始て。
タウパグラン頭北人。福建省興化府地方の人。
タウパヌ頭班。最初の組。

タウパヌ頭辨。●最上等の品。一 || 貨 || 同上。●最
初の番。打 || 一 || 最初の番に當る。
タウパン解放。解放。得着 || 一 || 解放される。

タウ

タウ

タウ

タウ

タウ パン 頭帮。汽車船などの一番。初度。一番目。
 ー 一批 朝第一回に配達される手紙。ー 車 一番汽車。
 タウ パン サヌ 門帮。援助する。助力する。助勢。
 タウ ヒア 偷櫛。衣類、書類など盗む。盗取る。
 タウ ヒア 頭額。額。ー 蓋蓋 額の飛出てる。
 愚鈍。馬鹿。ー 柄柄 額の飛出てる。
 タウ ヒア 頭兄。頭。親分。兄。聞者。立物。
 タウ ヒア 頭横。船頭の間船。
 タウ ヒイ 門喜。共に喜ぶ。共に祝ふ。来ー 来て共に祝する。
 タウ ヒイ 門魚。【三班】。
 タウ ヒイ 毒魚。毒草の汁など流して魚を捕る。
 タウ ヒウ 頭香。寺廟に於ける初線香。搶ー 先鞭をつける。笑ー 新しがり。おせっかい。でしゃばる。物好。
 タウ ヒエヌ 透軒。家根を新しくする。家根をすっかり新しく葺換へる。
 タウ ヒエン ヒエン 頭興興。ー 尾冷冷 初めは乗気で終には冷淡になる。
 タウ ヒオン 偷餉。關稅を逃れる。脱稅。
 タウ ヒツ 投宿。泊る。宿る。投宿。ー 客館 宿屋に泊る。

タウ

タウ ヒヌ バク アム 頭眩目暗。眩暈。頭が痛くて目が眩む。
 タウ ビイ 斗米。一斗の米。斤雞 一斤の鶏を飼ふには一斗の米がいる。ー 三錢 一斗の米が三錢、非常に豊年なる意。
 タウ ビイ 偷匿。潛伏する。竊に隠れる。
 タウ ビエン 門猛。勇猛を競ふ。腕力較。
 タウ ビエン 投明。棄暗 暗より逃れて明に入る、悪い支配者より去って善良な支配者に従ふ。
 タウ ビヌ 頭劇。頭をかく劇子。
 タウ ビヌ 頭面。一劇。頭部。看人的 人の力を頼る。我無看你的 私は御前の厄介にはならない。書物など一三五等奇数の頁。
 タウ ビヌ チエン 頭面頂。上等。第一等。重立つ。頭立つ。ー 人 頭立つ人。ー 百 面頂。
 タウ ビア 豆餅。一枚一枚になつてゐる豆粕。【頂百】。
 タウ ビア ホン 單壁黃。【山芥菜】の。
 タウ ビア ロン 透壁閉。官人の婢僕などの死んだ時其屍を正門より出さず壁に穴をあけ其所から出すこと。刑罰の一種。壁穴に手足を這ひ更に板に穴を開け手足に通し錠を御すを云ふ。壁を突透して締をする貫木。
 タウ ビイ 頭篇。前篇。初篇。

タウ

タウ ビエヌ 頭遍。初度。一番。始めて。ー 茶 始まりばな。出花。ー 染 下染。
 タウ ビエヌ サウ 頭遍草。田の一番草取り。
 タウ ビエン 豆旁。漢字の豆偏。半分割の豆。豆の片方半分。
 タウ ビエン 頭旁。【頭面】の。
 タウ ビヨ 投票。投票。
 タウ ビヨ 頭標。第一番の目標。愛搶 競争などに首位を取りたがる。一等になりたがる。
 タウ ビヌ チエン タイ 頭品頂戴。官位一品頂戴。
 タウ ビヌ ホオ 透鬚鬚。蓬蓬と生えてゐる鬚鬚。
 タウ フウ 豆腐。豆腐。壓 壓搾して豆腐を作る。ー 肩鴨母蹄 豆腐の肩に家鴨の蹄、物も擔けないし路も歩けない意。加水加 水を増せば豆腐も餘計になる、人など餘計になれば従つて餘計な費用を要するが如きにいふ。ー 與石頭 無碓 豆腐は石にぶつつけられない、豆腐は石の敵でない。敵對できない意。較弱 豆腐より弱い、健康の悪い人を云ふ。關公賣 關羽が豆腐を賣る、勇猛なる關羽が豆腐の様な軟かいものを取扱ふといふ意にて強者が弱者を壓制するが如きにいふ。有人好酒 有人好 ー 或者は酒を好み或者は豆腐を好む、蓼食ふ蟲

も好き好き。食一水、損扇擔刀豆腐の絞汁を食はしておいて打つ時は天秤棒で打つ、吝嗇で苛酷なるをいふ。

タウフウケエ豆腐格。格子。一的布格子縞の反物。

タウフウタア豆腐担。豆腐の擔荷。脆弱者。

タウフウチイ豆腐煎。油揚。油煎。「力無。

タウフウパン豆腐枋。豆腐を壓搾する板。

タウフウペエ豆腐皮。豆腐の薄く平いもの。湯葉。

タウフウホエ豆腐花。泡雪豆腐。「掛。

タウフヌ挽粉。料理に餛飩粉などをかけること。餛飩。

タウフヌ單雲。雲がかかる。雲に被はれる。

タウフヌ豆粉。豆粉。豆の澱粉。

タウフヌ頭婚。初婚。

タウブウ斗母。北斗星。拜一孫姓の人七つの燈を點じて北斗を祭る。

タウブウ單霧。霧がかかる。

タウブヌ投文。投書。寄稿。

タウブヌスウ投文書。前に同じ。

タウプヌ頭本。首卷。第一卷。

タウプヌケエ頭笨客。船の上等客。

タウヘエ門下。共に力を合せて願をこめる。

タウヘエ投火。火の中へはひる。火に投ずる。

タウ

タウヘエ投下。祈る。祈願する。願を懸ける。

タウヘエキイ門影計。商業など共同する。仲間を組む。組合を作る。男女の通すること。くつ

つく。女を拵へる。一緒になる。色になる。一的くつきあひ。

タウヘエコエ啄火雞。銃の引金を引く。火蓋をき

タウヘエ透尾。仕舞まで。終まで。講到。仕舞まで話す。

タウベエ頭尾。頭と尾。終始。顛末。本末。一三

年。足掛三年。一算。始の終のと數込む。一摘。前の方と後の方とを選んで取る。芝居な

ど始と終とをする。一四。頭も尾も勻しい。一没相顧。戦争など。前軍と後軍と相救ふこ

とが出来ない。(事柄など)前後釣合はない。後先を考へない。

タウベエチイ頭尾青。嫁入の時に持行く【竹梳】【腰桶】及び【尿桶】。

タウペエ豆皮。湯葉。

タウペエ頭帛。葬式の時に纏ふ白い布。喪章。包的

一的醫生。喪章をつけてゐる醫者。患者の死ぬる醫者。敷醫者。

タウホエ豆花。豆の花。泡雪豆腐。豆腐の未だ

凝固せぬ物。壓。同上を四角に壓し固める。

タウ

タウホエキイ門影計。(門影計)。

タウホオ豆虎。豆の中に居る小さい蟲。豆を食ふ

小さい羽蟲。(種)まめだふし。(旋花科、薬用に供す)。

タウホオ透雨。雨を犯して。一來。雨を犯して來

タウホオチウ門虎鬚。共謀する。ぐるになる。

タウホラ頭號。一號。初號。上等。一的酒

上等の酒。

タウホク偷伏。潜伏。一在棧間。倉庫に潜伏す

タウホン透風。甚い風。

タウホン頭瘋。(瘋)頭部の神經痛。

タウホンコフヌガヌ頭瘋貫眼。前に同じ。

タウボエ偷竊。竊に。こそごとと。人目を掠めて。人目を忍んで。一出去。一こそ出て行く。一

一走去。一こそごとと逃げて行った。一一塊布

一反物。一反を萬引した。

タウボエ偷賣。密賣。

タウボエエ頭尾青。(頭尾青)。

タウボオ門謀。共に謀る。謀を助ける。計畫を援

助する。

タウボン單障。霧が深くかかる。

タウボオチイ頭尾青。(頭尾青)。

タウボオ門伴。路連になる。連立つ。寂しい時

タウ

タウ

などの相手をする。

タウポアトア 門伴壇。役には立たぬが賑にする爲

に排べた物。添物。枯木も山の賑。

タウポアヒイウイ 頭破耳聾。頭が割れ耳が裂る、

全身に負傷すること。火車跋落馬大家撞到

―――汽車が脱線し皆の者が打當り合つて全

身に重傷を負った。

タウポオ 豆苞。豆の麩。醬油や味噌の本。「休む。

タウポオ 透喃。半日を通じて。半日。歇――半日

タウポオ 頭布。寒い時男子が頭に纏ふ布。鉢巻。頭

巾。包――同上を巻く。

タウポオ 頭部。頭部。

タウポオ 頭麩。雲脂。生――雲脂がでる。錠――

――梳櫛で雲脂を取る。

タウポオクヌ 頭布巾。【頭布】。

タウポオツツ 豆苞出芽。豆の麩に芽が出る。

等到――即可與您子孫相見――この豆の

麩に芽が出るまで待て、その時汝の子孫と逢つ

てよろしい(納棺の時に豆の麩を少し棺に入れ死

人に對していふ言葉、亡魂の迷出づるを恐れてか

くいふ)。

タウポヲ 豆粕。落花生を壓搾して油を取った粕。豆

タウポヲ 儉報。密告。

タウ

タウボンビヌボン 頭凸面凸。顰面をする。

タウマウ 頭齧。兜。

タウミア 頭名。筆頭。筆頭。頭。一番。占――

筆頭を占める。

タウミイ 挽麵。餛飩粉に肉などを入れ煮ながら攪拌

して堅めたもの。

タウミイ 偷擄。握盜む。偷に握取る。くすねる。

タウミイ 透暝。夜通。夜を徹する。夜終。終夜。徹

夜。――顛――不寢を爲る。不寢番。

タウミイノア 門綿爛。根氣比をする。根比。

タウムン 陡門。(鼻)堰。水門。

タウムン 偷問。密に問ふ。

タウムン 頭毛。髮。頭髮。髮毛。――茂――髮が濃い。

――金閃閃――髮がつやつやして居る。――越――

――髮が縮れる。――蓋蓋――額の生際の下った。

額が狭く飛出た様。――參――髮が蓬蓬として

ゐる。髮が亂れる。――參白――白髮雜。半白。

――試火――髮の毛で火を試みる、危険を冒す意。

――結髮的――頭毛粘上の。――尙臭雞酒

味――子供の生意氣なるを罵る語。乳臭い。剪――

――髮をかる。囁――バリカンで髮をかる。

タウムンカア 頭毛脚。生際。――齊――生際は揃

つてゐる。

タウ

タウムンキイ 頭毛枝。髮筋。髮毛。

タウムンシイ 頭毛絲。髮毛。髮筋。毛筋。――

――毫髮。毫末。些少。――少し。

タウムンシイアア 頭毛絲仔。極く些細な。ほんの

タウムンツア 頭毛蛇。(鼻)髮の間に生ずる腫物。生

――同上を生ずる。

タウムンチエン 頭門銃。第一發の鐵砲。

タウムンビヌ 頭毛刷。頭の刷子。頭をかく刷子。

タウムンベエ 頭毛尾。髮の末。――也臭雞酒

味――若者を卑める詞。乳臭い。

タウムンラア 頭毛蠟。(前)頭髮につけるチック。

タウムンリアムチウエエ 頭毛粘上の。正式の儀

式で初て結婚したもの。初婚の夫婦。

タウメエ 透暝。(薄)透暝。

タウモオ 豆膜。豆の薄皮。

タウモオ 頭毛。(薄)頭毛。

タウライアマキイ 偷來暗去。(男女など)密に往來

する。密に情婦の許に通ふ。逢引。私通する。

人目を忍ぶ。

タウライシアムキイ 偷來閃去。密に往來する。

タウラウ 挽挽。【挽挽】。

タウラウ 倒倒。【倒倒】。

タウラウ 門門。【門門】。

タッ

を慮める。不時要與人――常に人と喧嘩を

タッ、ツツ 讀書。(集) 讀書。【する】

タッ、テエ 觸纏。(集) 觸纏。【する】

タッ、テエ 各塊。各地。各處。各方。

タッ、テエ アア 觸塊仔。①一つ宛に切る。②女の罵

詞。一寸試に切られて殺される。

タッ、トヲ 觸倒。衝突して倒れる。衝倒す。

タッ、ニイ 各年。毎年。毎年。年年。

タッ、ハン 各項。各品。各級。各種。何彼と。何でも。

――知何でも知ってる。

タッ、パイ 各次。毎度。毎回。其都度。屢屢。

タッ、ピエヌ 讀偏。①間遠讀。②振って讀む。

タッ、ベエ 觸尾。針などの尖端が少し曲る。――針

先の曲った針。萬年筆――去萬年筆の先が曲

つてしまった。

タッ、ホアツ 讀法。讀方。

タッ、ホヲ 各號。各號。各種。

タッ、ミイ 各暝。每晚。毎夜。

タッ、ラッ 觸觸。【觸觸】。

タッ、ラッ 剔剔。【剔剔】。

タッ、ラッ 讀讀。【讀讀】。

タッ、ラン 觸人。①牛が角で人を突く。②人に喧嘩を

賣る。喧嘩を吹掛ける。

タッ

タッ、ラン 各人。各各。銘銘。各人。

タッ、リアウ 讀了。①讀切る。――了了讀通す。――

一流水すらすら讀む。――真順流同上。

②卒業する。

タッ タッ

タッ、嘩。設計。構。組立。計畫。厝――家の建方。打

――設計する。計畫。

タッ、達。①達。②通る。通ずる。立つ。達する。――

於上聞上聞に達する。――道理理が通る。筋

道が立つ。――則善天下窮亦善其身達す

れば天下を善くし窮すれば其身を善くす。――目

的の目的を達する。

タッ、値。價。直打。價值。甲斐。不――上幾個銀幾

らの價もしない。有エ――伊給料相當な仕事。

買不――高く買過ぎた。行不――爲甲斐のない。

――十當五價十圓のものなれば五圓の質に取

る。――一百元百圓につく。如此較――それ

が勝た。真不――甚だ詰らない。

タッ、塞。詰める。塞く。填塞。塞止める。栓をする。

――研塞瓶に口をする。――耳孔耳を塞ぐ。――

城門不――飯孔城門を塞いでも下水口は塞が

タッ

ぬ、縦へ如何なる犠牲を拂つても意地でも相手方

の要求に應じ難い。①栓。詰。研――瓶の栓。

タッ、躑。①蹴る。――球蹴る。馬相――馬が蹴合

ふ。豎高山看馬相――高山に居て馬の蹶合を

見る。高見の見物。歹馬亦有一歩――駄馬も

又一つの蹶る法を有す、一寸の蟲にも五分の魂。

②司公白。七。七つ。――仔銀七圓。

タッ、滓。蓋をして醜む。――湯汁を醜む。――滑重湯

を醜む。――乾醜んで汁を切る。【滓】。

タッ、アア 筈仔。堅笛。【筈仔】と同じ。同條を見よ。

タッ、アア 塞仔。栓。

タッ、アア 躑仔鞋。兵士の穿つ靴の類。

タッ、アア トヲ 躑仔刀。兵士の用ひる短刀。

タッ、カン 塞孔。①孔を埋める。孔を潰す。②不足を

補ふ。借錢來――金を借りて来て埋合をす

タッ、キア 塞隙。前に同じ。

タッ、キイ 姐己。股綉王の妃。姐己。【姐己、姐己】。

タッ、キウ 躑球。蹴鞠。捲脚興――跛者が蹴球をし

たがる、よく出来ぬ上に尙ほ見悪い意。

タッ、キエヌ 躑燕。細く切った紙を束ねて厘錢に結附

け足の裏にて蹴上げて遊ぶ追羽子の類。

タッ、ギア 塞類。埋合。補足。

タッ、クイ 躑開。蹴放す。蹴飛ばす。

タツケエ 塞缺。補欠。

タツ コアヌ 達觀。(又) 達觀。

タツ コオアア 躑躅仔。(前) 石蹴りの遊び。

タツ コン 塞硯。不足を補ふ。埋合。借錢來——

金を借りて来て埋合をする。

タツ タア 洋乾。醸んで汁を切る。

タツ タツ 洋洋。【洋】。

タツ タツ 躑躅。【躑】の①。

タツ タツ 塞塞。●塞がる。一ぱい。——淀——充滿した。一ぱい満ちてる。●【塞】の①。

タツ タツ 洋洋。【洋】。

タツ テイ 値錢。金目。直打が有る。——的物——金目

な物。直打有る物。不——直打が無い。

タツ テウパン 塞手縫。●指の間を塞ぐ。●僅少な

入費を充すに足る。無到我——私の費用に

も足りない。——用了了——右から左へと遣

つてしまった。此幾個銀給我亦無到我——

——こればかりの金をくれても私の小遣錢にもな

らない。——的錢——端金。

タツ チェンリイ 値情理。——的話——理窟のある

話。道理に適った話。

タツ チイ 達知。(又) 告知。達する。

タツ チヲ 値着。【不值着】を見よ。

タツ ツイ 塞嘴。口塞。口を塞ぐ。

タツ ツン 洋湯。汁を醸む。

タツ ツン 塞斷。道など斷切る。遮斷。

タツ ツン 洋湯。汁を醸む。●【塞】。

タツ テエ 塞得。梗塞。塞る。●【塞】。

タツ トヲ 躑刀。兵士の用ひる長刀。

タツ トヲ 躑倒。蹴倒す。

タツ トヲ コエ 塞倒街。魚菜類など市場に一杯。街頭

に溢れる。今仔日赤鯨——今日赤い鯛

が非常に澤山出た。

タツ トヲ ツン 躑倒轉。蹴返す。

タツ トヲ リイ 達道理。道理を知る。

タツ バツ 塞密。塞く。閉塞。

タツ ヒエン 躑胸。●胸を蹴る。●呑氣にして居る。

勿體無い事をいふ。贅をいふ。太平樂を掛べる。

タツ ヒム 躑熊。(子供の遊戯の一種) 石蹴。地に大圈

を書き熊となる人及他の人々が一緒に入り熊は四

つ這になり自分に悪戯に来る他の人々を蹴り、蹴

られた者は代つて熊となる子供の一種の遊戯。

タツ ヘエ 達笑。(姓) 達笑。

タツ ヘエ 塞下。詰める。塞ぐ。

タツ ポオ 塞補。補ふ。足す。

タツ ポヲ 達婆。(動) 轆車魚。

タツ モオ 達摩。達摩。

タツ モオ フオ スウ 達摩祖師。達摩大師。

タツ モオ フツ 達摩佛。達摩佛。

タツ ラウ 塞漏。漏を止める。漏孔を詰める。

タツ ラッ 洋洋。【洋洋】。

タツ ラッ 躑躅。【躑躅】。

タツ ラッ 塞塞。【塞塞】の②。

タツ ロオ 塞路。路を塞ぐ。

タヌタヌ

タヌ 丹。●(姓) 丹。●煉藥。丹藥。丹。仙——仙丹。

●膏丸散——煉藥。膏藥。丸藥。散藥。

タヌ 噸。噸。二百——二百噸。【噸】。

タヌ 痺。動植物が病又は害蟲などの爲に發育不良

な。萎縮する。ひよろひよろ。鴨仔——鶩の同

上。媳婦仔——貫ひ子のいぢけた様をいふ。甘

蔗續——去——甘蔗が萎れてしまった。稻仔——

稻が萎れてゐる。

タヌ 單。●單獨。獨。一我一個——僕ひとりだけ。一

人獨馬——單獨。一騎。一刀直入——單刀直入。

●縮又は新束などを締める。引締める。一俤伊

雨雨の降らない内に。得をする。只儲。一看
 見得。一阿飽食儲。多敷の羊、牛などを
 追ふ。一羊陣。羊の群を追ふ。一牛陣。牛の
 群を追ふ。

タヌ アア 毯仔。毛布。毛布。金砂。一アメリカ製
 の上等の毛布。

タヌ アア 趁鴨。鷺を追ふ。鷺を飼ふ。

タヌ アア 單闕。十二支の卯の別名。

タヌ アア 彈壓。威壓する。

タヌ イイ 釘椅。【童丑】の用ひる鐵釘を植えた椅
 子。釘椅子。

タヌ イウ 趁様。見習ふ。真似る。倣ふ。

タヌ イオ 趁様。【通】前に同じ。

タヌ イヲ 丹藥。煉藥。

タヌ イヲ 彈藥。彈藥。

タヌ エエ 蟬的。【蟬】の②。

タヌ ヲア ツウ 檀越主。檀家。

タヌ ヲア ヌ 彈丸。彈丸。

タヌ カア キア 趁脚行。歩き損。草臥儲。【る】。

タヌ カク 擲擲。【擲】投げる。擲つ。投棄てる。投遣

タヌ カク 蟬壳。蟬の殻。蟬の貝壳。較儻。一蟬貝

よりも反つてゐる、豹變の甚だしい意。

タヌ カヌ 單簡。【着】簡單。

タヌ カブ 担蓋。俯。下。一俯に置く。一俯
 になつて寝る。

タヌ ガイ 但礙。然し。だが。……であるが併し。併
 し困ることには。好是好。一伊學校尙未卒

業。善いことは善いが併し彼は未だ學校を卒業
 しない。愛去是愛去。一我無閑可去。往き

たいことは往きたいが往く暇がない。

タヌ キア 坦堅。縦。直立。垂直。一一目釣眼。

目を縦にする。【する】。

タヌ キア ウチア 趁賭食。賭博常習者。博突で渡世

タヌ キイ 姐已。【姐已】。

タヌ キイ 蟬去。【蟬】こねる。死ぬ。くたばる。

タヌ キイ 坦欵。横に傾く。傾く。一横になつ

て眠る。倒。一横に倒れる。

タヌ キイ 炭氣。【新】炭酸瓦斯。

タヌ キイ 嘆氣。憤慨する。爲人。一義依心を起し

て人を助ける。

タヌ キイ 趁去。一自矜。金を多く儲けて喜ぶ。一

飽浚。しこたま儲けた。

タヌ キイ シヌ 坦欵身。上半身を横に傾ける。欵て

る。倒。一横に倒れる。

タヌ キヌ 趁緊。素早く。一創創。素早くやれ。

一。一睨。さつさと寝る。

タヌ キブ 單級。【國】單級。

タヌ キム ブツ。ギウニイ。彈琴不入牛耳。琴

を弾いても牛の耳に入らぬ、馬の耳に念佛。

タヌ クイ 丹桂。【種】木犀の一種。手攀。一進士に

なる。手攀。一第一枝。一狀元になる。月中

一。一月中の中にあるといふ桂の木。【道】。

タヌ クイ 單軌。【國】單軌。一鐵路。一單軌の鐵

タヌ クイ ホエ 丹桂花。木犀の一種。

タヌ クウ 擲去。【擲】投付ける。投る。擲遣る。

タヌ クウ 趁去。【趁去】。

タヌ グウ 趁牛。牛を追ふ。牛を飼ふ。

タヌ グウ スウ 嘆語辭。【新】感嘆詞。

タヌ コア 蟬干。乾した蟬貝。干蟬。

タヌ コア ア 趁欵。真似る。象る。一倣。真似て造

タヌ コオ 鳴鼓。【鐘】。【整鼓】。

タヌ コヲ ヲア ヌ サヌ 丹青丸散。【藥の種類】丹青

丸散。一真仙難辨。一丹藥。膏藥。丸藥。

散藥などは仙人でも真偽の見分かつかぬ。

タヌ コク 丹國。デンマーク。

タヌ ゴアヌ 嘆願。【國】嘆願。

タヌ ゴアヌ スウ 嘆願書。【國】嘆願書。

タヌ サク 擲擲。【擲】棄てる。投棄てる。放擲。

タヌ サア 檀柴。線香を造る材料の木。白檀。

タヌ

タヌ

タヌ

タヌチイ 趁鏡。金儲。儲ける。一有數性命着願儲は知れたものだ、生命は大切にせねばならぬ。一無過代金は儲けても子孫には傳らぬ。猪刀利利一不過後代脈を殺す刀は鏡くても錢は子孫に傳はらぬ、豚殺は殺生をするから金が儲かっても子孫に残らない。

タヌチイ フオエ 趁這節。(泉) 今の内に。此の際。

タヌチイ チエン 單子銃。(番) 單發銃。

タヌチエン 丹青。(文) 彩色畫。丹青。繪。畫。色取。畫一彩色畫をかく。色取る。

タヌチヲ 坦笑。仰向。仰向。睨一仰向に寢る。

タヌチヲチイ 坦笑天。前に同じ。

タヌチツツ 趁此候。今の内に。此の際。一着緊去一今の内に早く往け。

タヌチヌ 袒親。一方へ偏つて味方する。依怙摩負。

タヌチヌアア 釘稱仔。(泉) 秤に日盛をする。一薩摩裏の裏に生ずる薩摩裏。

タヌチア 煙埒。煙具の居る處。煙具の養殖場。種煙在一煙具を養殖場に養殖する。

タヌチアウ 丹條。四幅で一細の掛字。

タヌチアウピツ 丹條筆。一二寸位の字を書く筆。椎實筆の類。

タヌチイ 丹堀。(文) 宮殿の階下又は朝廷。丹堀。

タヌチエヌ 丹田。丹田。激一丹田に力を籠める。

タヌチエン 單子。一人息。一人の男の子。一過代一一代一人息子。一代一人の男の子。

タヌチオン 趁暢。人の相伴をして面白い思をする。快樂の爲得。牽猪哥一豚の種下は快樂を儲ける、種下屋は豚を交尾させ豚の快樂を見て相伴し喜ぶといふ意にて人の御相伴で旨いことをしたときなどにいふ。

タヌチツ 坦直。縦。眞直。下一縦に置く。

タヌチツツ 趁翅。遊び儲。遊び得。

タヌチツイ 趁嘴。口に従ふ。言通りに従ふ。一給人一商人などが客の附値通に賣る。不一言ふことを聞かぬ。

タヌチツイチアトヲ 泊ヲ 趁水食都無。水を買つて飲む程の儲もない、儲や稼の甚だ少きをいふ。

タヌチツウ 痺痕。(病) 丹毒。

タヌチツウ 坦起。傾斜してゐる。勾配がある。斜な。傾いた。崎仔一坂が傾斜してゐる。

タヌチツン 釘床。(泉) 釘床。

タヌチワイアア 等對仔。四色牌を用ひ二人乃至四人にて行ふ賭博にして親は十一枚他は十枚の札を配布し同色同種のもを早く組合終つた者を勝

タヌチトア シウ 等大壽。【等板】。

タヌチトヲ 坦倒。横にする。横。一連一目標の獨樂を横たへておいてそれに向つて交々に他の獨樂を打當てる遊戯の方法。

タヌチトク 丹毒。(病) 丹毒。

タヌチトク 單獨。(團) 單獨。

タヌチナア 毯仔。毛布。毛布。

タヌチニイ 煙的。(煙的)。

タヌチハウ 等候。【等候】。

タヌチバク 坦覆。俯。俯向。俯く。伏す。伏せる。睨一俯になつて寢る。

タヌチパヌ 等板。棺を買つて家に入れるときにする式。【等大壽、接大壽、接板】。

タヌチパヌ 等辨。自分の番を待つ。

タヌチパン 趁縫。隙に乗ずる。付込む。乗ずる。一走出城一隙に乗じて城を退出す。

タヌチピア 釘靴。(泉) 雨靴。底に釘を打つた長靴。

タヌチヒウ 檀香。(種) 白檀。梅檀。

タヌチビイ 嘆美。(文) 嘆美。

タヌチビイ 袒庇。(文) 袒庇。

タヌチビイ 袒邊。側面。横。一身一狭い所を通る時など身體を横に向ける。

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌチビイ 坦扁。平い。横。横面。平たい方面。下

タヌ

タヌ **パイ** 坦平。水平線。水平。平。平。此條線

着線——即能用得——この線は水平に引かねば

タヌ **パイ** 坦伏。【坦覆】。「ならぬ。」

タヌ **パイ** **フア** 坦平行。水平線。

タヌ **パイ** **レエ** 單比例。【圖】單比例。

タヌ **ピエ** **ク** **チツ** 蛋白質。【圖】蛋白質。

タヌ **ピエ** 坦偏。●狭い所を通る時など身を横に向け

る。像翁——寫眞を側面からとる。●よろけ

て傾ぐ。醉酒行——酒に酔って千鳥足で歩く。

タヌ **ピエ** **シヌ** 坦偏身。前に同じ。

タヌ **フイ** 坦横。次に同じ。

タヌ **フア** **イ** 坦横。【意】「ない意」

タヌ **フウ** **チア** **モエ** 單夫雙妻。一夫一妻。未だ子の

タヌ **フント** **ク** **パイ** 單方獨味。一種だけの薬。他に

あはせぬ 合物のない薬。

タヌ **ヘエ** 坦平。【意】「坦平」。

タヌ **ホアイ** 坦横。横様に。下——横に置く。

——十二事が紛糾し又は物事が亂雑になつてあ

る様。

タヌ **ホアイ** **シイ** 坦横生。●難産の一にて手から生れ

るものを云ふ。●小形で小肥で且つ骨格淫しい

骨格をいふ。●依怙風負。曲庇。

タヌ **ホオ** 袒護。【意】依怙風負。曲庇。

タヌ

タヌ **ホン** 單方。一味。一劑。——獨味——唯一味の薬

タヌ **ホン** 丹紅。●丹の色。●名刺の赤紙。【劑】

タヌ **ホン** 丹黃。赤い黄色な繪具。

タヌ **ホン** 等風。帆船の風待。——即要出帆——風待

をしてから出帆する。

タヌ **ボオ** 旦暮。【意】朝夕。旦暮。

タヌ **ボオ** **イ** 陳布衣。昔の畫家。陳布衣。——

嫁查某子——陳布衣娘を嫁にやる。陳布衣は嫁入

の引出物として多くの書を贈りたり。【畫】畫は

漳州音にて【畫】といふ。【畫】と【話】とは同音な

るを以て【多畫】【畫が多い】を【多話】【饒舌】に振

つて斯くいふ。

タヌ **ラヌ** 單單。【單單】の③。

タヌ **ラヌ** 登登。【登登】の③。

タヌ **ラヌ** 擲擲。【擲擲】の③。

タヌ **ラヌ** 趁趁。【趁趁】の③。

タヌ **ラン** 趁人。人眞似。人に倣ふ。乞食婆——走

反——女乞食が人眞似して反亂を避ける、身分不

相應なことをするなど。

タヌ **ラン** **コエ** **ラウ** 等人快老。人を待てば老易し、

待遠しい意。

タヌ **レエ** 等咧。●待て。待て居れ。●後刻。後程。

今少ししてから。——即去——後刻往く。——你

タヌ

知影可返去——没——後程歸る時君歸路を知つてゐ

タヌ **ロオ** 丹爐。丹藥を煉る爐。【るか】

タヌ **ロオ** 等路。旅行先よりの土産。家苞。

タヌ

タヌ **タ** 沓。次に同じ。

タヌ **タ** 沓。●水など滴る音。ぼつり。水滴到——下一

「二下」水がぼつりぼつりと滴る。●舌打する

音。ちやぶちやぶ。食到——叫——ちやぶちやぶと物

を食ふ。

タヌ **タ** 答。●答へる。答。返答。報答。報——報答。應

答。●返禮をする。一禮——同上。一人——

同上。

タヌ **タ** 塔。●塔。

タヌ **タ** 凹。●陥む。落込む。窪む。——「——」一窪。中央

一落去——眞中が落込む。●穴。隙間などを埋め

る。埋合せる。一來去——あちこちと埋合せる。

●填重ねる。填合せる。二頂帽仔相——二つ

の帽子を填重ねる。一襪——靴下を重ねて穿く。●

資本など喰込む。生理——落去——商賣が喰込む

だ。●五個一組になる鉢などを敷へる語。揃。組。

一——一揃の鉢。

タヌ **タ** 答案。【圖】答案。

タプ イエン コオ スウ 答應故事。催事など氣は進

まないが世間體を繕ふ爲に御附合にする。御茶を

タプ ウヌ 答恩。恩返。報恩。[濁す。]

タプ ヲヲ 凹窩。[凹窩]。

タプ カア 凹鉸。(布など)互違に切る。――就能省

布||同上すると布が餘計にいらぬ。

タプ カア 凹脚。●踵と爪先とを接する。――行||同

上して歩く。●差向に腰掛ける時など足と足とを

差交はす。人眞來着脚――即坐能落||雜沓

するから足と足とを差交はせて坐らないと坐りき

タプ カア 觸礎。[觸礎]。

タプ ゴアヌ 答願。願解。刮猪公――豚を屠殺し

神に供へて願解をする。

タプ サア 凹衫。[套衫]。

タプ サア 沓屑。●效果。こたへ。實。煙食了無

――煙草を喫んでも實にならぬ。好食是好食、

食此屑仔而已無――甘いことは甘いが此つ

ぽちも食べたとして口汚だ。●約。極。做事情無

――||仕事に約がない。

タプ シア 答謝。謝禮。報酬。答禮。

タプ シウ 凹壽。家屋の正面の入口の凹字形に入込

だ部分。

タプ ジイ 凹字。彫込。

タプ スウ 答詞。(圖) 答詞。

タプ フア 答紙。香奠返。――敬||同上。――裸||香

奠返に贈る白い餅。

タプ タイ 沓滓。●詰らぬ事の爲に面倒な。五月蠅い。

手数。――人||面倒を言掛ける。邪魔をする。

●不吉な。けちが附く。番が悪い。近來眞――

||近來眞に番が悪い。

タプ タウ 凹頭。使過ぎ。足を出す。此月日――五

十元去||今月は五十圓使過ぎた。

タプ タウ ケエ 凹頭糶。(魚)前に同じ。「あるもの。

タプ タウ コエ 凹頭糶。(魚)前に同じ。「あるもの。

タプ タウ サイ 凹頭糶。眞倒。――跋落去||眞

倒に落込んだ。

タプ タウ タブ エ 沓頭沓尾。こごごした仕事な

どを面倒を見て片附ける。處理する。取纏める。

タプ タウ タブ エ 沓頭沓尾。前に同じ。

タプ タウ タブ エ 沓頭推。前へ倒れる。のめる。行路

行到要――||のめりさうにして歩いて居る。

タプ タブ 答答。[答]。

タプ タブ 沓沓。次に同じ。

タプ タブ 沓沓。ぼろぼろ。ぼつりぼつり。――滴||

ぼつりぼつりと出る。ぼろぼろと滴れる。目尿――

一滴||ぼろぼろ涙をこぼす。汗――一滴||汗がだら

だら流れる。油――油だらけ。

タプ タブ 凹凹。●凹んである。穴だらけ。――凹凹

||道又は土地などがでこぼこに凹む。窪い。目矚

――||目が凹んでゐる。●[凹]の(一)(二)(三)(四)。

タプ タブ カア カア 觸觸礎礎。[觸礎]。

タプ タブ タイ タイ 沓沓滴滴。[沓滴]。

タプ チエツ 踏切。(圖)踏切。

タプ チエン チエツ 踏青節。清明の節。

タプ チイ 沓滴。●面倒。五月蠅い。手数。水牛肉

灌水――||水牛の肉に水を注入した様に滴る、

非常に面倒なる意。●こごこご。――||的物||こ

ごごした物。――||工||こごこした仕事。

タプ ツイ コオ 答嘴鼓。冗談を言合ふ。徒口を叩き

合ふ。「もの。

タプ トオ 凹堵。區劃された壁又は仕切の凹形になった

タプ バク 凹目。窪んだ目。窪目。

タプ バク コオ 凹目鮎。(鮎)小さい平な魚の名。

タプ パイ 答拜。(又)答禮に人の内へ行く。禮を返す。

タプ ビエヌ 答辯。(圖)答辯。「する。

タプ プヌ 凹本。●資金が不足する。●本金に足前を

タプ ベエ 凹襪。●靴下を穿いて靴を穿く。●靴下を

二枚重ねて穿く。

タプ

タプ

タプ

痰・唾を吐く、悪口をいって輕蔑する。

タム 壺。酒・油などを入れる器具。罐。臭油。石油。罐。臭油。石油。一壺。酒。一壺。酒。一壺。

タム 障。弛む。彎曲する。弓形になる。一堵。中心の窪んだ。弛んだ。財産など食込む。家伙。落去。財産を食込んだ。一歸萬銀。一萬圓ほど

タム アア 探仔。探。密偵。食込んだ。アア 潭仔。淵。潭。アア アイウ 打馬油。コールド。瀝青。打馬油。

タム イアムモエオ 嘗鹽。嘗。鹽を嘗め醋を敷る、非常に儉約の意。

タム イウ 擔憂。心配する。心を煩はす。爲國。國の爲に心を煩はす。替人。悲しんでゐる人に同情する。

タム イエヌポヲサウ 痰涎暴嗽。(病) 肺炎。イエン 障用。所得より支出の方が多。食込む。イオク 貪慾。強慾。貪慾。使込む。

タム ウイ 淡黄。(漢) 淡黄。ヨア 談話。(國) 談話。カア 探監。囚人と面會する。囚人を見舞ふ。

タム カア カア 潜餃。餃。びしびしする。濡る。びし濡れ。歸身。全身びし濡になる。借

金だらけになる。

タム カウカウ 潜腐腐。前に同じ。タム ガヌ 談言。(雜) 談言。

タム ガム 頓癩。馬鹿の如き風。頭を垂れて愚鈍な様。タム キアム 嘗鹹。鹹い味を嘗める。一搵醋。鹽氣を嘗め醋を付ける、非常に節約する意。

タム キイ 淡氣。(毒) 窒素。タム キイ 探去。頭手など及腰して伸す。一提。手を伸して取る。

タム キイ キエツ ヒオン 痰氣結胸。(病) 肺炎。タム ギエヌ 談言。(文) 物語。談論。語らふ。

タム ツツ 潭窟。淵。深い水たまり。害人落。人を淵に陥れる。タム ケエ 頓低。下向。垂下る。

タム ケエ 探客。秀才及其他の及第者竝に新任官吏が挨拶の爲に名刺を配ること。タム コア 探看。探つて見る。

タム コア 探看。探つて見る。タム コア アウウリイ 貪官汚吏。貪官汚吏。賄賂を貪

タム コア アウウリイ 貪官汚吏。貪官汚吏。賄賂を貪。タム コア アウウリイ 貪官汚吏。貪官汚吏。賄賂を貪

タム コア アウウリイ 貪官汚吏。貪官汚吏。賄賂を貪。タム コア アウウリイ 貪官汚吏。貪官汚吏。賄賂を貪

タム コア アウウリイ 貪官汚吏。貪官汚吏。賄賂を貪。タム コア アウウリイ 貪官汚吏。貪官汚吏。賄賂を貪

タム ゴオ 耽誤。人を誤らせる。手違をさせる。期待を裏切る。一人的事情。人に大變迷惑を掛け

る。一妻子。妻子を不幸な目にあはせる。

タム サウ 痰嗽。(病) 呼吸器の疾患。タム サム 啖嚙。慰に食ふ。茶請。一仔。同上。這

俾您。これを召食りなさい。買。一寡。茶請を少し買ふ。

タム サア 潜柴。(材) 生木。一難燃。生木は燃えに。タム サア 探査。探察。偵察。一軍情。軍情を偵察

する。タム サイ 貪財。財を貪る。欲張。一害命。財を貪らんが爲に人を殺す。我較。一喘。(人から物や

禮金などを貰ふ時に挨拶にいふ) 私はどうも欲深です、こんなものを戴いて済みません。

タム シアウイヒエン 貪除畏遠。掛買を爲たがって代金は返したくない。

タム シアケイボエ 貪除貴賈。掛買の高賈。タム シエク 貪色。好色。色を貪る。淫慾の深い。

タム シエン 擔承。引請ける。擔當する。擔任。一力。一極力引請ける。

タム シエン パア スウ 貪生怕死。生を貪って死ぬことをおそれる。臆病な。

タム シヌ 頓神。愚鈍な者又は病後の者など首を垂れる。萎える。勢のない容貌。

タム シヌ 潜身。濕氣のある。濕っぽい。一的柴。

タム

タム

タム

タム

濕氣のある木。

タムシフ 潜濕。じゅくじゅく濕った。田母較ー低

い田はじゅくじゅくしてゐる。

タムシム 談心。心からの話をする。心中を打明ける。

無彼號知己可ー心中を打明けて話をする

様な知己が無い。

タムシム 貪心。慾張る。貪慾。

タムジイブウイアム 貪而無厭。貪て厭く無し。

タムジヌ 擔認。引受ける。請合ふ。

タムジム 擔任。(國) 擔任。

タムスウイア 擔輸贏。勝負事などでびくびくせぬ。

思切がよい。不ー思切が悪い。串怯。

タムスウブツ 貪ムリオク 貪四不貪六。省略算

にて四又は四以下なるときはそれを切捨て、六又

は六以上なるときはそれを繰上げる。四捨五入。

タムセエ 頓睡。項垂れる。萎える。力なくなる。ぐ

にゃりと。しよげる。がっかりする。

タムソエ 頓睡。(海) 前に同じ。

タムゾア 貪熱。厚着する人。寒がり。ー無貪寒

薄着するより厚着せよの意。

タムワアヌ 痰喘。(病) 喘息。

タムワエ 貪多。慾張。慾心。

タムワオツウ 探祖厝。祖先の家を訪問する。同

タム

姓の女と關係する。

タムワン 淡妝。(多) 薄化粧。薄化粧する。

タムワン 貪饑。貪食。貪食ふ。意地穢い。ー成

飯鬼 貪食する者が胃病などを起して飲食の出

来ぬ様になるをいふ。

タムタア 潜乾。濕つてゐるのと乾いてゐるのと。收

いふ。何でも取込む。掃溜。

タムタアイツトオビイ 貪他一斗米。ー

失却 半年糧 一斗の米を食らんとして却つて

半年の糧を失ふ、一文惜の百知らずの意。

タムタリアア 潜乾粒。米などの半潜。

タムタイ 擔帶。責を負ふ。責任を引受ける。ー責

成 同上。ー妻子 妻子を引受ける。

タムタイ 澹臺。(姓) 澹臺。

タムタウ 頓頭。頭を下げる。低頭。俯く。

タムタウ 探頭。次に同じ。

タムタウ 探頭。首を突出す。ー看鼓井 井戸を覗

タムタム 嘗嘗。光 光嘗嘗。嘗。

タムタム 瞻瞻。怖怖と。怖怖。心内 心中びく

タムタム 頓頓。頓。

タムタム 溶溶。溶。

タムタム 淡淡。さして善くもなく又悪くもない。如

タム

何にか斯うにか。可もなく不可もない。生理

ー 餘り面白い儲もない。ー過日 如何にか斯

うにか日を暮す。ー問過 同上。

タムタム 探探。探。

タムタム 探探。探の。

タムタム 探探。探。

タムタム アア 淡淡仔。餘念なく徐徐に。一心にそ

ろそろと。側目も振らずに。ー行 側目も振

らずに歩く。ー算錢 餘念なくそろそろと

金を算へる。

タムチア 貪食。貪食する。意地穢い。ー的人連

碗亦祇 貪食の人は鉢までも嘗める。

タムチアクツ 貪食窟。頸の後の中央の窪。益窪。

タムチアウ 談笑。(多) 談笑。冗談。

タムチイ 嘗舌。一寸嘗める。

タムチイ 潜移。じゅくじゅく濡れる。

タムチイマア 探子馬。(多) 探子馬。

タムチウチウ 潜啣啣。びしびし濡れる。

タムチウチウ 潜啣啣。前に同じ。

タムチエヌ 潜薦。果物の砂糖煮。【乾薦】に對す。

タムチエヌアア 潜薦盒。果物の砂糖煮を盆に盛り

線香を挿したものの(死人を祭るに用ひる)。

タムチエン 探偵。(國) 探偵。

タムチエン 痰症。(病) 呼吸器の疾患。

タムチエン シアアアア 探偵塞仔。探偵の下働。

密偵。手先。犬。

タムチヌ 探親。親類を訪問する。

タムチヌ 探聴。探聴く。問合せ。聞合せる。探索する。――知探知する。聞出す。無――狗吠

影四方八方を偵察する。

タムチイ 膽智。膽力と才能。膽略。有――膽略がある。膽力と才能とを兼備した。伊不止――

彼は仲仲遣手だ。

タムチイ 啖甜。茶請などに食ふ菓子類。此的錢俾你買――この金を上げるから菓子でも買つて食べなさい。

タムチイ 潜滴。【潜咽咽】。

タムチエク 淡竹。(種) ささくさ。(禾本科) 乾燥せる葉を煎服し解熱劑となす。

タムチエク チアブウイアム 貪得者無厭。貪欲者は飽くなし。

タムチエヌソアットエ 談天說地。天を談じ地を説く。四方山話をする。

タムチヌ 探陣。敵情を偵察する。

タムツイ 淡水。(地名) 淡水。

タムツイトエ 潜水地。沼地。

タムツウ 郷子。【二十四孝】の一人。啖子。

タムツウマア 探子馬。斥候。問諜。問者。放――問者を放つ。

タムワイ 障俥。張渡された繩などの中央が垂下する。索仔――同上。窮地に陥る。伊此幾年真――彼はこの數年甚だ窮境に陥つた。迷惑をかける。――朋友友達に迷惑をかける。

タムワン 擔當。受持つ。引受ける。負擔する。擔當。――的擔當者。要――一石米不――一個困仔庄――一石の米を引受けても小さい子供一人は引受けぬ、子供を守つて重荷物よりも厄介

タムテエテエ 潜汐汐。びしょびしょ濡れる。

タムトエ 潜地。濕地。

タムトオ 障堵。弛む。中程が弛んで垂下した様。

タムトオヲアヌ 障堵彎。弛む。弓形に中心の陥ん

タムトン 擔當。(又) 負擔する。

タムニア 擔領。引受ける。擔當。負擔する。――的擔當者。引受手。

タムノア 痰涎。痰唾。痰唾――痰を吐く。

タムハイチエン 探海燈。(國) 探海燈。

タムハヌ 瞻漢。度胸ある者。

タムハヌ 瞻寒。恐恐。惴惴する。おっかなびつくり。――同上。

タムバイ 嘗寬。嘗めて見る。

タムバク 淡墨。薄墨。

タムバクキイ 潜目境。(病) 目の縁の赤く爛れる病。

タムパン 探房。花嫁の弟又は甥が婚後三日目に其の家を訪ひ鮮花又は造花を花嫁に贈ること。

タムヒアム 探險。(國) 探險。

タムヒアムツイ 探險隊。(國) 探險隊。

タムヒイ 潜耳。【瘍耳】。

タムビヌ 貪眠。眠を貪る。

タムビイ 潜片。(新) 寫眞の濕板。

タムビイ 探病。病氣を見舞ふ。

タムビエヌ 潜片。(新) 寫眞の濕板。

タムブヌ 探問。(又) 訪ふ。訪問。

タムヘエ 痰火。――激起來――咽喉加答兒や氣管支加答兒の症狀になる。――蔽心――逆上する。

タムベエ 貪迷。慾に迷ふ。貪る。――酒色――酒色を貪る。――女色――女色に耽る。

タムベエ 探馬。【探子馬】

タムホア 曇花。【優鉢曇花】

タムホアブツ ボアヌサアサアヘエ 貪花不滿三十歲。花を貪る者は三十歳に滿たず、遊蕩に耽

タム

タム

タム

タム

る者は長生しない意。

タムホア又擔煩。氣掛。懸念。心配する。厚一人快老。心配多い人は速く年をとる。俾你真。基だ御心配を掛けました。

タムホア又贈簪。(簪) 贈簪。

タムホエ探花。三番で進士の試験に及第した者。

タムホエ曇花。【優鉢曇花】。

タムホエ痰火。(痰) 痰火。

タムホエア探花紅。【荔枝】の一品種。「の喪」。

タムホク禪服。(文) 黒の喪服の名。二年三箇月。

タムホク禪服。前に同じ。

タムホン臆謊。暗に人の心事を窺ふ。事に寄せて人の心事を探る。我俾你没。得。僕は君の録

にはかからない。口車にはならない。騙取する為殊更に紛らはしくする。空惚けて他人の物を自分の物の如くにして持去る。一人的物。人の物を騙取する。【訪】。

タムホン探訪。探偵する。探索する。聞合せる。探

タムホンイオン。淡磺養酸。(稀) 稀硫酸。

タムホンキオン。淡磺強水。前に同じ。

タムボン探墓。墓参をする。

タムボア談判。(圖) 談判。

タムボオ潜肺。干物などの甘干。生干。半干。

タム

タムボラ擔保。【請合ふ】。保證する。引受ける。責を負ふ。(圖) 擔保。一物品。擔保品。

タムボラ淡薄。少し。僅か。些と。一高。小高。一功勞。寸功。較好。少しはよい。

一久。暫。少しの間。

タムボラア淡薄仔。前に同じ。

タムボク淡泊。(文) 淡泊。

タムマア探仔。(探仔)。

タムムン探問。訪問。聞合せる。問合せる。見舞ふ。

タムメエ噴猛。速く。急いで。一來。速く来い。

タムラウ貧老。(臭老)。

タムラム嘗嘗。【嘗嘗】。

タムラム頓頓。【頓頓】。

タムラム探探。【探探】。

タムラム探探。(文) 貧婪。

タムラム探探。【探探】。

タムラム探探。【探探】。

タムランチアム探膿針。醫術上の用具。探。

タムリアン瞻量。(海) 瞻量。

タムリイ貪吏。(文) 貪吏。

タムリイ貪利。(文) 貪張る。(文) 利息を貪る。

タムリウリウ潜瑠瑠。濡れて滑る。つるつるする。

タムリエク瞻力。瞻力。度胸。

タム

タムリホク瞻略。(文) 瞻略。

タムリオン瞻量。瞻力。度胸。

タムリム瞻淋。(病) 瞻石淋。

タムルヌ潜潤。濕っぽい。潤る。

タムルヌ談論。談論。談する。語らふ。

タムロア又貪戀。(文) 淫亂。貪る。貪婪。戀戀として耽溺する。決不可。異郷。妻が旅行先の夫などにやる書面の文句。決して戀戀として異郷に耽溺すべからず。

タムロア又痰亂。氣が狂れる。逆上する。正氣の沙汰でない。你在。一途に思詰めて逆上する。想到

道を探る。道筋を探査する。事柄の筋

タムロオチヲ探路石。盜賊が構内へ忍込む時壁の上から地上に投下して地面の硬軟又は障碍物の有無などを試みる爲の石。

タムロラ頓落。撓む。曲る。一垂下がる。

タムロラ痰癆。(病) 肺結核。肺病。「垂下がる」。

タムロラライ墜落來。弛む。弛む。弓形に中央が

タムロクログ潜濃濃。一びしよびしよ。びしよ滯。

借金だらけ。
タン 淡黄。薄黄。

タン タン

タン 棠。(姓)棠。

タン 東。●(姓)東。●東。一西南北。●東西南北。行

一去西。●東へ往たり西へ往たりする、あちこちへ往く。

タン 冬。●冬。一天。●冬。●刈入時。●收穫。出来秋。

放。●收穫時に休を與へる。●年。讀三。●三年勉強した。一幻過三。●瞬く間に三年経つ、

時の過ぎ易い意。●魚屋の隠語。三。三つ。一仔銀。●三圓。

タン 璫。金屬製の樂器や琴などの音。ちりんちりん。

びんびん。玳瑁。●ちりんちりん。びんびん。

タン 躡。一着。●足にて石塊などを踏み足の裏を傷める。脚。●着。●同上。

タン 董。(姓)董。

タン 擔。拳を打つ時他の敗者の罰金を引受けて敗者に代り更に勝者と勝負をなすこと。引受ける。我

一僕が引受けた。

タン 棟。税。一仔。●同上。家。●身上。●身代。●資産。

タン 睨。目を凝める。伊共我。一。●下。●彼は私に目を

擧めた。
タン 臆。爪先を立てて押す。爪の痕をつける。用指

甲。●爪で痕をつける。一疵仔。●面頬をだす。

タン 凍。●凍る。●凍。●同上。肉湯。●去。●スープが凍った。●煮凍。●牛肉。●牛肉の煮凍。●舌や歯

に烈しく刺戟を與へる。和蘭西水能。●舌。●ムネは舌を刺す。食氷能。●歯。●氷を食ふと歯に

凍みる。●露にあてる。潤す。●花盆着捧去。●露。●植木鉢は持っていて露にあてねばならぬ。●

吝嗇。●真。●甚だ吝嗇。一。●到不成身命。●吝嗇

で人に成つてゐない、非常に吝嗇い。

タン 處。(同)●有。●又は無。●冠し場所若しくは目的物等の有無に依つて其行爲の可能或は不可能を示す。有。●情。●困。●仔。●工。●無。●小僧が雇はれるか。無

一。●税。●厝。●家が借りられない。在。●臺北。●有。●一。●買。●無

●臺北で買ふことが出来るか。阮。●厝。●無。●一。●個。●私。●の。●家。●には。●そんな。●に。●澤。●山。●な。●人。●は。●寢。●られ。●ぬ。

●能。●又は。●没。●を。●冠。●し。●主。●語。●の。●動。●作。●の。●可。●能。●若。●し。●く。●は。●不。●可。●能。●を。●示。●す。能。●來。●來。●來。●來。●彼。●早。●没。●一。●到。●位。●そ。●んな。●に。●早。●く。●は。●着。●け。●な。●い。算。●能。●一。●了。●没。●算

へ。●き。●れる。●か。食。●没。●一。●落。●去。●食。●べ。●き。●れ。●ぬ。

タン 同。●同。●同。●同。●同上。一。●苦。●甜

●夫婦苦樂を共にする。一。●有。●一。●無。●有。●れば。●皆。●有。●り

無ければ皆無し、財産を共同にしてゐる者などに

いふ。
タン 童。上。●一。●童。●に。●神。●靈。●が。●乗。●移。●る。掠。●一。●同。●上。

退。●一。●神。●靈。●が。●童。●に。●去。●る。假。●一。●害。●衆。●人。●假。●の

【童】は多くの人を害する。熟童快關。●熟練した【童】は神の乗移がはやい、經驗ある者は

不込の早いなどの意。

タン 銅。(總)銅。赤金。食。●食。●鐵。●銅。●を。●食。●ひ。●鐵。●を。●食。●ふ、

貪慾にして厭くことを知らざるが如きにいふ。錢

不用是。一。●賊。●不。●做。●是。●人。●錢。●は。●用。●ひ。●ざ。●れば。●銅。●な

り、賊は成さざれば人なり、【銅】と【人】同韻を用ふ。此號。●没。●擇。●得。●こ。●ん。●な。●金。●は。●儲。●ける。●こ。●と。●は

出來ぬ。身。●軀。●斷。●一。●懷。●に。●金。●が。●な。●い。

タン 筒。●筒。●竹。●一。●竹。●筒。●筆。●一。●筆。●筒。●一。●藥。●水。●

一本の注射液。●(布帛)一。●一。●一。●卷。

タン 顛。●小。●壺。●金。●一。●骨。●壺。●一。●小。●壺。●一。●壺。●や。●壺。●

タン 動。●動。●動。●動。●動。●動。●能。●一。●命。●令。●な。●ど。●が。●よ。●く

用ひられる。言ふことがよく通る。生理。●做。●没。●一

●元。●金。●不。●足。●な。●ど。●商。●業。●が。●う。●ま。●く。●い。●か。●な。●い。一。●脚。●

手。●手。●足。●を。●動。●す。一。●干。●戈。●干。●戈。●を。●動。●す。一。●鼓。●樂

●音。●樂。●を。●奏。●す。一。●鑼。●鼓。●一。●銅。●鑼。●や。●太。●鼓。●を。●鳴。●す。一

算盤。●算。●盤。●を。●弾。●く。一。●開。●始。●す。一。●工。●工。●事。●を

始める。茶。●一。●茶。●が。●出。●始。●める。廊。●一。●砂。●糖。●の。●製。●造

タン

を開始する。●【胎神】に觸れる。障る。一着就
能落胎。同上すると流産する。

タン重。●重い。頭壳。頭が重い。一輕重いと輕
いと。死罪無餓罪。死罪は餓罪ほど重から
ず、饑饉の時よく反亂を起して死罪を恐れざるこ
と。●重さ。目方。二斤。目方一斤。一句話
三斤六。一言が三斤六十匁の重さ、非常に聲
が大きくて怒氣を帯びたる如く聞えるをいふ。不
知天地幾斤。天地の重さ幾斤なるを知らず、
物が少しも分らず愚鈍なるにいふ、殊に子供など
此る時に用ふ。●甚しい。烈しい。強い。嚴しい。
疑心。疑深い。耳孔。耳が遠い。利息。
●利子が高い。所費。費用が餘計にかゝる。
手頭。手が荒っぽい。味真。香が強い。入
字。運が強い。軍令真。軍令が嚴重。

タン可。●可。可し。宜しい。差支なし。你返去。
汝は歸つて宜しい。一也。不。可。い。か。い。か。
不。不可い。●【有】又は【無】を冠して、行使す
べき資料の有無を表す詞。……する……がある。
……すべき……がある。有。穿。無。着る。着物が
あるか。無。米。煮。炊。米がない。有。錢。買。
買ふ金がある。●動詞と動詞とを結び付けて其動作
の目的を示す詞。……して……する。……する爲

に……する。……すべく……する。起火。煮飯
火を起して飯を炊く。買地。起厝。家を建て
る爲に土地を買ふ。緊穿。出門。外出すべ
く急いで着物を着る。●【有】又は【無】を冠して許
可承諾若くは行爲能力の有無に依つて其行爲の
能、不能を示す詞。有。一也。無。承諾してくれ
るか。出来ないか。有。來。來られる。無。來。來
られない。有。俾。我。講。私に言はしてくれ
無。俾。我。講。私に言はしてくれない。明仔。再
有。還。無。明日返せるか。無。隨。時。返。來。直
に歸ることができない。無。食。貧。乏。で。食ふこと
がでぬ。●【有】又は【無】を冠して形容の状態
を示す詞。有。心。適。面白味がある。有。甜。
甘味がある。無。古。錐。可愛げがない。無。好。
食。甘味がない。無。好。好くない。●【能】又は
【没】を冠して【能得可】又は【没得可】の意を示
す。同條を見よ。

タン

タン窓。窓。玻璃。硝子窓。天。屋根裏にある光
桶。●桶。樽。罈。一。縮。桶の縮。一。一。桶。
縮。桶を作る。桶に縮をはめる。一。擲。桶の手。
拈。手桶。提。來。窓。桶を持って來て窓を
塞ぐ。用を異にして適當ならざるにいふ。桶と窓
とは同音なるより地口にいふ。●長靴又は靴下な

どの胸。靴。長靴の胸。襪。靴下の胸。
タン通。●通ずる。通る。相。過。相方に通つて居る。
四。界。行。一。方。方。一。通。歩。廻。つ。た。猴。孔。相。噴
一。猿。の。穴。が。相。通。つ。て。居。る。惡。者。同。志。の。氣。脈。が。相
通。つ。て。居。る。●度。度。此。一。此。度。一。一。一。度。
タン桐。●桐。桐。
タン童。●童。童。
タン蟲。主。に。無。足。の。昆。蟲。這。ふ。蟲。一。要。命。鼠。要
命。蟲。も。命。が。惜。しい。鼠。も。命。が。惜。しい。況。して。や
人。は。命。を。欲。す。る。こ。と。切。なる。意。鹽。麩。生。一。鹽。の
麩。に。蟲。が。わ。く。鹽。の。麩。に。蟲。の。生。ず。る。譯。は。な。い。の。に
自。分。で。蟲。を。生。ぜ。し。め。て。居。ると。い。ふ。意。で。人。の。思。つ。て
居。ない。事。を。自。分。で。邪。推。する。に。い。ふ。青。盲。雞。啄。着
一。一。盲。目。の。雞。蟲。を。啄。き。當。て。る。ま。ぐ。れ。あ。た。り。と
い。ふ。意。

タン箒。泛子。泛子。同上。竹。一。竹の浮子。
タン弄。●囁く。二個在。甚事。二人は何を囁いて
ゐるのか。●尻押をする。智恵をつける。焚つけ
る。無人。伊。沒。曉。得。智恵をつける者がなけ
れば彼は知らない。●●交合する。腰をつかふ。
タンア。棟仔。稅。一。頭。掛。檣。稅の上に檣
の實を載せる。必ず轉倒する意。
タンア。筒仔。小。筒。小。筒。

タン

ど。の。胸。靴。長靴の胸。襪。靴下の胸。
タン通。●通ずる。通る。相。過。相方に通つて居る。
四。界。行。一。方。方。一。通。歩。廻。つ。た。猴。孔。相。噴
一。猿。の。穴。が。相。通。つ。て。居。る。惡。者。同。志。の。氣。脈。が。相
通。つ。て。居。る。●度。度。此。一。此。度。一。一。一。度。
タン桐。●桐。桐。
タン童。●童。童。
タン蟲。主。に。無。足。の。昆。蟲。這。ふ。蟲。一。要。命。鼠。要
命。蟲。も。命。が。惜。しい。鼠。も。命。が。惜。しい。況。して。や
人。は。命。を。欲。す。る。こ。と。切。なる。意。鹽。麩。生。一。鹽。の
麩。に。蟲。が。わ。く。鹽。の。麩。に。蟲。の。生。ず。る。譯。は。な。い。の。に
自。分。で。蟲。を。生。ぜ。し。め。て。居。ると。い。ふ。意。で。人。の。思。つ。て
居。ない。事。を。自。分。で。邪。推。する。に。い。ふ。青。盲。雞。啄。着
一。一。盲。目。の。雞。蟲。を。啄。き。當。て。る。ま。ぐ。れ。あ。た。り。と
い。ふ。意。

タン箒。泛子。泛子。同上。竹。一。竹の浮子。
タン弄。●囁く。二個在。甚事。二人は何を囁いて
ゐるのか。●尻押をする。智恵をつける。焚つけ
る。無人。伊。沒。曉。得。智恵をつける者がなけ
れば彼は知らない。●●交合する。腰をつかふ。
タンア。棟仔。稅。一。頭。掛。檣。稅の上に檣
の實を載せる。必ず轉倒する意。
タンア。筒仔。小。筒。小。筒。

ど。の。胸。靴。長靴の胸。襪。靴下の胸。
タン通。●通ずる。通る。相。過。相方に通つて居る。
四。界。行。一。方。方。一。通。歩。廻。つ。た。猴。孔。相。噴
一。猿。の。穴。が。相。通。つ。て。居。る。惡。者。同。志。の。氣。脈。が。相
通。つ。て。居。る。●度。度。此。一。此。度。一。一。一。度。
タン桐。●桐。桐。
タン童。●童。童。
タン蟲。主。に。無。足。の。昆。蟲。這。ふ。蟲。一。要。命。鼠。要
命。蟲。も。命。が。惜。しい。鼠。も。命。が。惜。しい。況。して。や
人。は。命。を。欲。す。る。こ。と。切。なる。意。鹽。麩。生。一。鹽。の
麩。に。蟲。が。わ。く。鹽。の。麩。に。蟲。の。生。ず。る。譯。は。な。い。の。に
自。分。で。蟲。を。生。ぜ。し。め。て。居。ると。い。ふ。意。で。人。の。思。つ。て
居。ない。事。を。自。分。で。邪。推。する。に。い。ふ。青。盲。雞。啄。着
一。一。盲。目。の。雞。蟲。を。啄。き。當。て。る。ま。ぐ。れ。あ。た。り。と
い。ふ。意。

タン

タン オオ 銅壺。●水時計。●金壺。銅の壺。

タン オオツヌ 銅壺尊。孔子を祭る時用ひる器具の

タン ヲア 同安。福建省の地名。同安。「名。

タン ヲア 同案。同時に秀才になった人。同年に秀才に
及第した人。

タン ヲアヌムン 東轅門。東轅門。

タン ヲヲ 茶高。【茶高】。

タン ヲヲザイ 茶高菜。【茶高】。

タン カアツウウウ 冬甲子雨。——牛羊凍死
|| 冬の甲子の日に雨が降れば非常に寒くなつて牛
羊など凍死する。

タン カアツン 重脚川。尻が重い。

タン カイ 蟲子。(同) ●小蟲の總稱。●惡戯者。惡
戯をする者。此尾——在作祟|| このちよっかい
者が惡戯をしてゐるのだ。

タン カイア 蟲子仔。前に同じ。

タン カウサウ 同口灶。同居。同じ所帯。

タン カウソエ 桶鈎漆。(桶) 漆の一種。「めもどぎ。

タン カウチヌ 桶鈎藤。(桶) (風李科) たいわんくろう
タン カヌ 銅馨。佛教に用ひる樂器の名。

タン カヌ コヲ 動干戈。干戈を動かす。戦争をする。

タン カム 桶柑。(種) 密柑の一種にて【低牆】【高牆】の
二種あり【低牆】は普通種にして舊曆十二月の候

タン

に成熟し【高牆】は翌春三月頃迄樹上にあるを
以て有望なり。果實は中等大にして圓形外皮橙
黄色にして稍粗なり。内部充實し剥皮容易にし
て瓢囊八九乃至十個を有し稍離れ難し汁多く甘
味にして頗る口に適す。

タン カン 東港。東の港。——無魚西港抛|| 東港に
魚が無いと西港に網を入れる、必ずしも一定の場所
でのみ獲がぬでもよいなど。

タン カン 動工。工事に着手する。工事に取掛かる。
仕事を始める。起工する。

タン ガア 甌仔。【甌仔】。
タン ガア 窓仔。【窓仔】。

タン ガク 東嶽。能顯得一没顯得城隍|| 東岳の
神に事へれば城隍の神に事へることは出来ぬ、
彼方立てれば此方が立たぬなど。【東嶽】。

タン ガク テエ 東嶽帝。神の名。

タン ガク ビヲ 東嶽廟。【東嶽帝】を祀る廟の名。

タン キア 東京。東京。

タン キア 同行。同道。——不如同命|| 行を
同にするは命を同にするに如かず、旅は道連世
は情など。——的|| 伴侶。連。

タン キア 桶擗。桶の手。
タン キア ヒイ 銅鏡魚。(鮠) 鏡鯛。

タン

タン キアム 桶鉗。桶に鉗をはめる時用ひる鐵の鉗。

【桶鉗】參照。

タン キイ 同居。(同) 【同居】。

タン キイ 童乩。神下の際に神靈の乗移る者。男現。
神下の法は神を祭り點燈燒香して前に卓を置き
(又は卓上に砂或は糠を敷き)【乩童】は其前に立
ちて神の乗移を待つ、側に【聖桌頭】なる神下の
行者あり、金紙を燒きつつ咒文を唱へ神の降下
を急する、之を【關童】といふ、斯くする時に【乩
童】は漸次失神して躍動し靈語を發するに至る。
又同上の神下法にて【乩童】の肩にせる神輿に神
下を施すことを【關童】といひ、又其手にせる
【乩】に神下を施すことを【關乩】といふ。斯くし
て神輿の棒又は【乩】に神靈が乗移ることを【降
乩】といひ、卓上の砂又は糠に文字を記すことを
【出乩】【乩示】又は【出字】といふ。傍の【聖桌
頭】は【乩童】の靈語を通譯し又は文字を判じて善
惡吉凶を定めるなり。【童子】、【童身】。

タン キイ 銅旗。——敢設就敢倒|| 自分で銅の旗を
設けたからには倒すのも自分です、言出すから
には其責に當るといふが如き意。銅旗は銅製の旗
にて武人など其武勇を試めさる時演武場などに
設けらるるものにて一方之を樹てて守り居るに對

し一方より攻寄せて之を倒せば勝となる。

タンキイ 同庚。同年。

タンキイ 凍齒。齒にしみる。

タンキイ 桶箒。桶に箒をはめる時用ひる鐵の鈎。【箒】

タンキイ コオ 章阜鼓。【關童】に用ひる太鼓。

タンキイ バウ ホン 冬己卯風。—— 櫛内空

で小屋が空になる。

タンキイ ピエン 重敬旁。重さが一方に偏寄る。偏重

タンキイ ライ 懸起來。爪先で挽く。

タンキイ エヌ 蟲繭。繭。

タンキイ オク 冬菊。寒菊。冬菊。

タンキイ タウ 重輕頭。擔ふ荷の兩方の重さが一方

に偏する。又釣合がとれぬこと即ち提燈に吊鐘な

どの意にもいふ。—— 配没過 提燈に吊鐘で

妻すことができぬ。

タンキム 同襟。相婿。

タンクイ 冬季。冬季。

タンクウ 同屆。同屆。

タンクン 透光。● 明い。光等よく徹る。透過る。

屑内 不止—— 室内が甚だ明い。玻璃—— 硝子が透過る。● 通達して。通曉。熟知。行

情—— 相場をよく知つてゐる。

タングヌ 銅銀。銅の多く混つた銀。銅臺の銀貨。——

買紙靴、雙人帳 價金を以て紙靴就ち價靴を

買ひ、賣る方も買ふ方も互に喜んでゐる。

タンケエ 重枷。弁一面—— 一個の重い枷を掛け

る、重い責任を負ひ又は非常な心配事などあるに

タンケエ 窓格。格子。窓格子。

タンケエ 通過。通抜ける。突抜ける。

タンゲエ ヲヲ 銅牙槽。● 銅の齒莖。● 強情。鐵齒

—— 鐵の齒と銅の齒莖、強情に言逆ふ意。

タンコオ 冬寒。多寒い。—— 做大早 冬寒ければ天

タンコオ 銅顆。【銅錢】。

タンコオ 桶蓋。桶の蓋。

タンコオ 桶棺。桶の手。

タンコオ イ コア イ 重口。非常に重い。

タンコエ 冬瓜。● 種 (胡蘆科) 冬瓜。冬瓜。—— 大

種是菜 冬瓜は大きても野菜だ、人の身體ばかり

り大くて無能なるにいふ。獨活の大木。—— 好

看不好食 冬瓜は大きくて見よ味が味は不味

い、外見のよいもの必しもよくないといふ意。

● 菓子の名。冬瓜の蜜餞。

タンコエ ア 冬瓜鴨。鷺肉を冬瓜と一緒に煮た料

タンコエ ケ 冬瓜糲。米を水粉に磨き水を去り冬

瓜の刻んだものを混ぜ小蝦の肉など入れて蒸した

タンコエ リアウ 冬瓜料。冬瓜の蜜餞。【料理】

タンコオ 冬菰。【香菰】。

タンコオ 章鼓。【關童】に用ひる太鼓。退—— 事柄

から手を引く。

タンコオ 銅鼓。行商人の鳴す振鼓。揺—— 同上

を振る。行商をする。

タンコオ 銅箍。金箍。

タンコオ 桶箍。桶の箍。

タンコオ タン 手イ 同苦同甜。夫妻—— 夫婦

婦が苦樂を共にする。

タンコオ ビイ 桶箍篋。桶の箍にする削った竹

タンコク 同國。同國。

タンコン 銅管。● ブリキの罐。● 藥莖。

タンコン 銅熨。● 銅製の太砲。● 阿片の煙管。● よ

く自慢をする人又は熱し易き人を云ふ。

タンコン 銅貢。金錢で買った「貢生」。

タンコン 銅礦。銅礦。

タンコン アア 銅管仔。● ブリキ罐。● 藥莖。

タンサア シン 東三省。東三省。

タンサイ 東西。● 東西。東と西。—— 有利ト者の

語。東西が吉。—— 南北 東西南北。—— 無

所不 何でも好んで取る。—— 廿七八 東西廿

タン

七八、無茶苦茶をいふ意。●【東西】を分けて動詞の下に添へて使用するもの。色色。様々。彼方も此方も。講東講西。色色なことをいふ。看東看西。様様な物を見る。想東想西。色色と考へる。提東提西。様様な物をとる。行東行西。彼方此方を歩く。

タン サイ 同姓。夫の兄弟の妻同士を云ふ。姉姪。

タン サイ 蟲尿。●蟲の尿。●(植)やんばるあかめがしわ。

タン サイ アヌ 東西案。●中央の高い卓の左右兩側に在る低い卓。●儀式の時に主僧の左右に居る僧。

タン サイ ヲア 東西案。前に同じ。

タン サイ ジイ、チツ、ポエ 東西廿七八。講到——何んだ斯んだと色色様様にいふ。不管你——御前がどうであらうとからであらうと僕の關する所でない。

タン サイ タア 東西塔。身體の巨大な者を形容していふ。奈良の大佛。堅得那——倒得那洛陽橋。立つ時は東西塔の如く寝る時は洛陽橋の如し、非常な大男の形容。東西塔も洛陽橋も共に福建省泉州にあり。

タン サイ ラム、パク 東西南北。東西南北。

タン シア 窓間。窓の翳。上翳。

タン

タン サイ 銅指。縫物をする時などに用ひる眞鍮の指。

タン サイ 重轍。汽船汽車などの重い積荷。「輪」。

タン サイ 東菜。乾した山東菜の鹽漬。

タン サイ アア 東菜鴨。全身のままの鴨と山東菜とをくつくつと久しく湯煮にして爛にし之に醬油を和して汁とした料理。

タン サイ ザウ、ヒイ 東菜草魚。【草魚】山東菜等を材料として煮た料理。

タン サイ ヲア、ヌア、アア 東菜全鴨。【東菜鴨】。

タン サイ ホエアア 東菜會鴨。【東菜鴨】。

タン ザウ 冬草。冬季繁茂する草類にしてたんぼぼ、なつな等の冬草。

タン ザウ 蟲草。(藥)せみたけ(支那西藏より輸入し咳止薬として煎服す)。「妾をする」。

タン シア 銅城。【燃寶】の別名。攻——【燃寶】の博。

タン シア 重聲。目方。重量。近來粟是買——的。近來粟は斤量で買ふのだ。

タン シア 桶聲。糖汁や粉などの如き桶に入れて收穫するもの分量。稻仔割無——粉の收穫分量が少い。

タン シアン 重傷。(傷)【重傷】。

タン シイ 東勢。東の方。東方。——拆簿——東がほんのりと白む。東が白むとなる。——做色——同上。

タン

タン シイ 當時。何時。不論在——何時でも。

タン シイ 凍死。凍死。凍死。

タン シイ 銅絲。細い銅線。

タン シイ 銅匙。金杓子。

タン シイ 同時。同時。

タン シイ 同姓。同苗。同姓。

タン シイ 蟲絲。天蠶絲。天蠶絲。「する」。

タン シイ、シイ、シイ 同生死。生死を共にする。艱難を共に

タン シエ、ク 銅色。銅色。

タン シエ、ヌ 銅鏡。銅の鏡。綠青。上——綠青がふく。身軀斷——身體に金の錆もない、文無の意。空穴。

タン シエ、ヌ 銅錢。(香)銅貨。銅錢。【銅類、銅鑄】。

タン シエ、ヌ、ロ、ク 銅宜爐。香爐の一種。銅製の香爐。

タン シオン 凍傷。凍傷。

タン シオン 銅像。銅像。

タン シオン 重傷。重傷。痛手。

タン シヌ 童身。(童)【童身】。

タン シヌ 重身。●身體が重い。——的人較没走跳。身體の重い者は敏捷にできない。●目方の

重い物。鐵較——鐵は重い。

タン シヌ、チ、ク、ク 銅身鐵骨。銅の體で鐵の骨。寒暑をも打撃をも恐れぬ者。

タン シヌ ニウアア 同身娘仔。●刺繡の時に造る人形。●身體の細い、女子に似たものをいふ。

タン シム 同心。同意。同心。同志。——一意同心。一意。——協力同心協力。協同一致。

タン シム 通心。心に徹する。極。甚く。——痛極痛。食氷——涼氷を食べると非常に冷い。

タン シム コア 同心肝。同じ心。同心。

タン スウ 董事。祭事等の世話役。幹事。主事。

タン スヌ 冬筭。孟宗竹の筍にして冬季收穫するものを云ふ。

タン スン 凍霜。●萎える。寒さに凋む。蕃薯——去薩摩書が同上。●鄙吝。鄙吝。你真——汝は大變吝嗇だ。

タン スンケ 凍霜客。吝嗇な客。吝嗇坊。

タン スンシ 凍霜死。霜氣る。霜枯れる。霜枯。

タン スンノア 凍霜爛。霜燒。霜腫。

タン スンボア 動算盤。算盤を弾く。

タン セエ 同姓。●同姓。

タン セエ 重税。苛税。重税。

タン セエ 冬祭。冬の祭。

タン セエ 冬節。●冬節。

タン セエ 重債。高利。放——高利な金を貸す。

タン セエ 銅青。●銅青。

タン ソア 銅山。銅山。

タン ソア 銅線。銅線。抽——銅線を作る。

タン ソア キム 銅線琴。銅線の琴。ピアノ。

タン ソア パン 銅線網。金網。

タン ソア ボエ 銅線批。●電信。損——電信をうつ。●電線。

タン ソア ボエ ソア 銅線批線。電線。電信線。

タン ソア ボエ チアウ 銅線批柱。電信柱。

タン ソア ノオ 銅宣爐。銅の香爐。

タン ソエ 重税。●重税。

タン ソア 重詛。咒——重大な誓をする。重い罰を承知の誓を立てる。

タン ソア チイ カウ 銅蛇鐵狗。銅の蛇。鐵の犬。俗に地獄にあり現世にて悪事をなした者を噛むといふ。

タン ワエ 冬節。冬至の節。無——都擲圓無講——冬至で無くても團子を作るのだからまして冬至には言ふまでもない、機會が無くてさへも爲たがるのであるから況んや其機會が有れば言ふ迄もなく無論爲るの意。——在月頭要寒在年兜——冬至が月の上旬にあれば年の暮に寒くなる。——在月中央無雪與無霜——冬至が月の中旬にあれば雪も霜も無い、寒氣が烈しくない。——在

冬尾要寒正二月——冬至が月の下旬にあれば一月頃寒くなる。

タン ワエ 當做。……と看做す。——我無路用——僕を無能者と看做す。好意——歹意——善意を惡意

タン ワエ 同節。同時。

タン ワエ 同齊。同時に。一緒に。諸共に。——一行——一緒に歩く。同道。同行。——奏樂——合奏。——

タン ワエ 重罪。重罪。唱——合唱。

タン ワエ イイ 冬節圓。冬至に家神及び祖先の位牌に供へる米の粉の團子。

タン ワオ ホアツ 動粗法。腕力に訴へる。毆る。

タン タア 重擔。●肩に擔ぐ重荷。擔——重荷を擔ぐ。●重大な責任。卸——重い責任を捨てる。

タン タウ 重倒。●重頓。一期の初。

タン タウ 冬頭。●春頃。——冬尾——春と冬。●收穫

タン タウ 重頭。目方。分量。有——目方がある。

タン タウ キヌ 重頭輕。●重輕頭。

タン タウ 桶剔。桶の漏る所等へ油漆喰等を損める器。竹の篋。

タン タン 冬冬。每收穫期。年年。

タン タン 瑣瑣。●金——金瑣瑣。美——美瑣瑣。細——細瑣瑣。赤——赤瑣瑣。狂——狂瑣瑣。●講話——叫——べらべら

タン タン 瑣瑣。●金——金瑣瑣。美——美瑣瑣。細——細瑣瑣。赤——赤瑣瑣。狂——狂瑣瑣。●講話——叫——べらべら

タン タン 瑣瑣。●金——金瑣瑣。美——美瑣瑣。細——細瑣瑣。赤——赤瑣瑣。狂——狂瑣瑣。●講話——叫——べらべら

タン タン 瑣瑣。●金——金瑣瑣。美——美瑣瑣。細——細瑣瑣。赤——赤瑣瑣。狂——狂瑣瑣。●講話——叫——べらべら

タン タン 瑣瑣。●金——金瑣瑣。美——美瑣瑣。細——細瑣瑣。赤——赤瑣瑣。狂——狂瑣瑣。●講話——叫——べらべら

タン タン 瑣瑣。●金——金瑣瑣。美——美瑣瑣。細——細瑣瑣。赤——赤瑣瑣。狂——狂瑣瑣。●講話——叫——べらべら

タン タン 瑣瑣。●金——金瑣瑣。美——美瑣瑣。細——細瑣瑣。赤——赤瑣瑣。狂——狂瑣瑣。●講話——叫——べらべら

タン

タン

タン

タン

と話をする。食飽(チハバウ)去(ク)飯(イ)を食(ク)つてしまふと
方(カタ)方(カタ)はつつき歩く。

タン/タン 擔擔。【擔】。

タン/タン 滓滓。濁(ダク)濁(ダク)滓(ダク)滓(ダク)。

タン/タン 隱隱。【隱】。

タン/タン 凍凍。【凍】の(一)(三)(四)。

タン/タン 當當。穩(ウヰ)穩(ウヰ)確(タカ)確(タカ)に大丈夫(オトコ)。

タン/タン 睨睨。目(メ)を窺(カサ)める。目(メ)頭(カ)ー目(メ)を窺(カ)める。

目(メ)瞞(マ)ー同上。

タン/タン 通通。行(イ)行(イ)通(トウ)通(トウ)。

タン/タン 弄弄。【弄】。【彼此】。

タン/タン サイサイ 東東西西。何(ナ)んだのか(カ)んだの。

タン/タン ヒアヒア 懂懂味(チ)味(チ)。【懂味】。

タン/チア タンクヌ 同食(ドウシキ)同晒(ドウシヤク)。寢食(シメシキ)を共(トモ)にする。

タン/チアム 銅針。銅(ドウ)の針(ハリ)。鐵(テツ)没落(ボツラク)銅(ドウ)の針(ハリ)を通(トス)さうとしても通(トス)らぬ、非常(ヒジョウ)に吝嗇(ケチマタ)又は融通(ユウツウ)のきかぬが如(トシ)きにいふ。

タン/チア 銅像。銅(ドウ)像(ゾウ)。

タン/チイ 冬至。冬(フユ)至(シ)。

タン/チイ 凍趾。霜(しも)脚(あし)生(ハ)生(ハ)る。脚(あし)生(ハ)生(ハ)る。霜(しも)脚(あし)生(ハ)生(ハ)る。

タン/チイ 凍舌。舌(した)を刺(さ)す。舌(した)を刺(さ)す。食肉柱(チクニクイ)能(ユ)ー肉柱(ニクイ)を食(タ)べると舌(した)を刺(さ)す。

タン/チイ 隱折。爪(つめ)で傘(かさ)折(ヒ)る。

タン

タン/チイ 童子。童(ドウ)子(シ)。

タン/チイ 銅錢。一厘(いちりん)錢(せん)。一文(いちもん)錢(せん)。

タン/チイ 冬青。種(タネ) (冬青科) (冬青科) そよご。

タン/チイ 銅青。染料(せんりょう)の一種(しゆ)。刺字(チジ)着搦(チヤク)入墨(イレボク)をするには同上(ドウジョウ)を塗(ぬ)らねばならぬ。

タン/チイ 桐子。桐(桐)の實(み)。油(アブ)桐(桐)の實(み)の油(み)。

タン/チイ コア 銅錢割。一厘(いちりん)錢(せん)位(位)宛(宛)に身體(しんたい)を切(き)取る刑罰(けいばつ)の名(な)。

タン/チウ 重手。荒(あ)げぼい。手(て)荒(あ)げ。手(て)に力(ちから)を入(い)れてす(す)る。不可(ム)下(カ)ー手(て)荒(あ)げしてはいけぬ。【輕手】に對(たい)す。

タン/チウ 動手。手(て)を動(うご)かす。比脚(ヒカク)ー手(て)足(あし)を動(うご)かす。伊先(イセン)ー彼(かれ)が先(ま)に手(て)出(で)をした。君子(クニノミ)的(てき)人動(じんどう)嘴(くちばし)不(ふ)ー(冗談(じやうだん)の時(とき) 君子(クニノミ)は口(くち)を動(うご)かし手(て)を動(うご)かさず。【仕事(しごと)などに取掛(とりか)かる。着手(てしよ)する。工(こう)事(じ)尙(な)未(ま)ー工(こう)事(じ)に未(ま)だ取掛(とりか)らない。

タン/チウ 桶酒。桶(た)酒(しゆ)。

タン/チウ 蟲蛙。蟲(むし)蛙(わ)。

タン/チウ 桶膺。桶(た)の側(がは)の膺(よう)。

タン/チウ 桶廬。桶(た)屋(や)。

タン/チウ ア 同咒詛。誓約(ちかひ)する。互(たがひ)に誓(ちか)ふ。

タン/チウ チイピア 銅牆鐵壁。銅(ドウ)の垣(かき)鐵(てつ)の壁(かべ)建(た)物(もの)など堅固(けんこ)なこと。

タン

タン/チエン 銅鐘。鈞鐘(クニノカネ) 絲線吊(イトシツ)ー絲(イト)で鈞鐘(クニノカネ)を吊(つ)す、一髮(いちぱつ)千斤(せんじん)を繼(つな)ぐといふ如(トシ)く非常(ヒジョウ)に危(き)険(けん)なるに

タン/チエン 重症。重病(じゆうびやう) 重症(じゆうびやう)。

タン/チツ イウ 同(ドウ)一(いつ)様(やう) 同(ドウ)様(やう) 一(いつ)様(やう)。

タン/チヌ 當真。慥(た)かに。本當(ほんたう)に。正(ただ)しく。確(た)と。實(じつ)際(ま)い。ー是(こゝ)如此(トシ)本當(ほんたう)にさうだ。【頂真(テイマ)】の(一)(二)。

タン/チヌ 當真。前(まへ)に同(ドウ)じ。

タン/チヌ 重秤。秤(はかり)が狂(くる)つて實量(じつりやう)より少(すく)ない目方(めがた)を示(し)す秤(はかり)。用(もち)買(か)ひ的人較(じんけう)有偏(ゆうへん)同(ドウ)上(じやう)を用(もち)ひると買(か)手(て)が得(と)く。【量(りやう)の割合(わりあ)ひに目方(めがた)の重(おも)いもの。書册(ショハク)是(こゝ)較(けう)一的(いつてき)物(もの)書(しよ)籍(せき)は目方(めがた)の重(おも)い物(もの)だ。【輕稱(ケイセイ)】に對(たい)す。

タン/チア 東碇。厦門(アモイ)港(こう)外(がい)の島(しま)の名(な)。

タン/チア 銅鼎。阿片(アヘン)など煮(に)る銅(ドウ)又は眞鍮(しんじゆ)の銅(ドウ)。

タン/チア 疼痛。痛(いた)む。痛(いた)む。疼(いた)む。歸身(クイシン)軀(く)ー全(ぜん)體(たい)痛(いた)む。【身(み)が痛(いた)む。】

タン/チアウ テエガク 銅柱(ドウチ)地獄(ぢごく) 地獄(ぢごく)の處(ところ)刑場(けいば)。

タン/チイ 重致。【重頓】。

タン/チイ 動箸。箸(はし)を取(と)る。箸(はし)を著(つ)ける。大(だい)家(け)ー(宴會(えんかい)の時(とき)などいふ)皆(みな)さん箸(はし)を御取(おとり)下さい。

タン/チイ 冬夫。冬(ふゆ)ー行(い)春(はる)令(れい)寒(さむ)い冬(ふゆ)の時(とき)節(せつ)に春(はる)の如(トシ)く暖(あたた)かい。

タン/チイ 桶棹。次(つぎ)に同(ドウ)じ。

タンチイ 桶棧。桶に籠を打込む時用ひる楔形の木。
タンチイシイ 冬。天時。冬季。霜枯時。〔縮木。〕

タンチイアム 銅鐵店。金物屋。
タンチイリイ 銅鐵類。金。金物。

タンチエン 銅登。孔子を祭る時用ひる器具の名。

タンチエン 銅釘。銅の釘。

タンチエン 同等。同等。

タンチエン 桶燈。寺廟若くは大家の門に吊る大提燈。

タンチヲ 鑿釣。●羨ませる意にて誘ふ。羨ましをいふ。當付ける。你好額人皆知影免得。君の金持なことは誰でも知つてゐるから何も誘うには當らない。●見せびらかす。提物四界。人物を持つて方方往つて見せびらかす。

タンチヲ 踏肴。烈しく踏む。脚。石頭。石を踏む。足で石塊を踏み足の裏を傷める。

タンチヲ 動肴。〔振動肴。〕

タンチヲ 動肴。妊娠中に淫りに家具を動しなどした爲に妊婦が「胎神」の祟に觸れる。――就能落胎。同上すると流産する。

タンチヲ 同陣。同行。

タンチム 重頓。●重みがある。どっしりしてゐる。鉛比錫較。――鉛は錫より重がある。此擔較。――この荷物がどっしりしてゐる。●身上骨が

しつかりしてゐる。伊的傢伙較。――彼の身代がしつかりしてゐる。

タンチムタンチム 重頓重頓。前に同じ。

タンツイ 動肴。口を動かす。君子。不動手。君子は口を動して手を動かさず。食瓜子。――口紛に西瓜の種子を食ふ。

タンツウ パヌ童子班。歌女の團體の名。

タンツウ 同庄。同村。

タンツイ 桶梯。稻扱桶の上に置き稻を扱落す棧木。

タンツウ 動肴。(同)

タンツウ 動肴。(同)

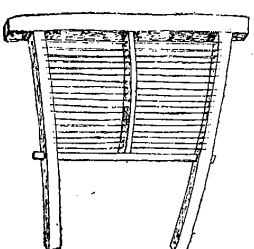
タンツウタン 冬抵冬。●前の刈入時より後の刈入時に至るまで。所收的米食到。――收穫した米を後の刈入時まで食ふ。●收穫期と收穫期とを比較する。――此多有較好。收穫期を比較すると今期の方が好い。

タンツウ 桐枝。母の葬式を送る時に當るものがついで行く麻布を附けた梧桐の材。〔竹杖〕に對す。

タンテエ 桶棧。(同)〔桶棧〕。

タンテエ エエ 銅茶鍋。銅の藥鍋。

タンテエ コオ 銅茶碇。銅の藥碇。湯沸。



桶梯

タントア 窓拖。無雙窓。
タントア 蟲多。蟲。昆蟲。蠅。――亦過一世入。蟲蠅でも一生を過す。蟲の生涯も亦一生。

タントエ 桶底。桶の底。

タントオ 東都。昔時支那より臺灣を指して云ふ。

タントオ 同途。同業。――生理。同じ商賣。

タントオ 動土。●〔土神〕の祟に觸れる。●〔看日師〕の詞。土工など總て土地を掘返して差支の無い日。――興工。同上の日に工事を始める。明日再要。――明日地形始をする。

タントヲ 冬道。收穫。取入。歹。凶作。

タントヲ 同桌。食事に卓を同する。同席する。

タントヲ 同道。同じ商賣。同じ職業。――的人。同業者。

タントヲ サイファイ 東倒西歪。非常に秩序の亂れた様。醉到。――ぐでぐでに醉ふ。屠被風。毆打到。――家が暴風雨でめちやめちやにやられた。被敵軍削到。――敵軍に攻められて蜘蛛の子を散すが如くに敗北する。

タンニイ 同年。同年。おないどし。歹查。厚。――歹查某厚。姉妹。――悪い男は同年多く悪い女に伯母さん多し。正しからぬ人は互に同類を作つて悪事をする意。

タン

タン

タン

タン

タン/ ニウ 桶樑。桶の鉞。桶の手。
 タン/ ハア 重孝。【孝男】の如き血統の近い者の喪。長期の喪。重い喪。【輕孝】に對す。
 タン/ バク 睨目。顰めた目。目を顰める。
 タン/ バツ 重墨。筆に墨をたつぷりとつける。濃い墨。
 タン/ パイ 銅牌。銅牌。結——汽車などで手荷物に銅の荷札をつける。
 タン/ バイ 同派。同派。同じ系統。
 タン/ パウ 銅包。銀を着せた銅錢。贗銀貨。
 タン/ パウ 同胞。同胞。同胞。
 タン/ パウ/ アア 銅炮仔。●雷管。●吸ふべく造へられた阿片の小球を冗談に云ふ。
 タン/ パウ/ チイ 銅炮子。彈藥の莢。【北東風】
 タン/ パグ 東北。東北。——方||良。——風||
 タン/ パグ 同腹。同腹。
 タン/ パヌ 銅版。銅版。
 タン/ パヌ/ エエ 同班的。同組。相番。
 タン/ パン 桶枋。桶の板。
 タン/ ヒア 懂味。急遽しい。輕率な。粗忽。
 タン/ ヒア 懂嚇。驚える。喫驚する。
 タン/ ヒア 桶瓢。桶に柄を附けた如き柄杓。
 タン/ ヒア 桶靴。長靴。
 タン/ ヒア 蟲蟻。蟲。蟻と蟻。

タン

タン/ ヒイ/ ヒイ 重欵欵。非常に重い。
 タン/ ヒイ/ ヒイ 重欵欵。前に同じ。
 タン/ ヒウ 東向。東向。
 タン/ ヒウ 同郷。同郷。
 タン/ ヒウ/ ラン 同郷人。同郷人。
 タン/ ヒウ/ リイ 同郷里。同郷。
 タン/ ヒエツ 同穴。同穴。
 タン/ ヒエン 銅劍。孔子を祭る時用ひる樂器の名。
 タン/ ヒエン 重刑。重い仕置をする。嚴刑。
 タン/ ヒオン 重餉。重稅。苛稅。奢侈品打——奢侈品に重稅を課する。
 タン/ ヒョ/ モウ 冬葉樹。【大右樹】の○。
 タン/ ビイ 桶篋。桶の籠にする削った竹。
 タン/ ビツ 冬蜜。蜜。冬期に收穫する蜜。冬蜜。
 タン/ ビヌ 東面。東の方。東の面。
 タン/ ビヌ 重眠。熟睡。寢込む。
 タン/ ビヌ/ クヌ 重眠。よく寐入る。熟睡する。
 タン/ ビヌ/ プヌ 銅面盆。銅の金盥。
 タン/ ビア 銅片。銅片。
 タン/ ビイ 重病。重病。
 タン/ ビイ 銅花。●雷管。電管の蓋。●錢。●錢。●お金。臭——目腐金。身軀斷——懷に一文もない。空穴。

タン

タン/ ビイ 桶柄。桶の柄。
 タン/ ビエツ/ アア 冬捌仔。【三八氣】。
 タン/ ビエヌ 銅片。銅貨。【器の名】
 タン/ ビエヌ/ チエン 銅編鐘。孔子を祭る時用ひる樂器。
 タン/ ビエン 東旁。東方。東側。
 タン/ ビツ 動筆。染筆。筆を振ふ。
 タン/ ビツ 重筆。墨をたつぷりつけて書く。
 タン/ ビツ/ コン 銅筆管。金屬製の筆の帽。筆のさや。
 タン/ フウ 銅篋。孔子を祭る時用ひる器具の名。
 タン/ フヌ 東粉。豆索麵。綠豆の粉で造った索麵の如きもの。【山東粉】。
 タン/ フヌ/ マン 東粉湯。【東粉】の汁料理。
 タン/ フン 東方。東方。東。
 タン/ フウ 重霧。濃霧。
 タン/ プッ/ フオ 銅佛祖。銅製の佛像。金佛。
 タン/ プツ 動不動。何彼といふと。ともすると。——就來||何彼といふとやうて來る。——愛怒氣||ともすると怒る。
 タン/ プヌ 重本。大資本。下——大資本を投する。
 タン/ プヌ 桶架。稻拔桶に取付けられた籾の散亂を防ぐ爲めの帆の如きもの。
 タン/ ヘエ 銅貨。銅貨。
 タン/ ヘエ 同歲。同年。相——互に同じ年。

タンヘエ 桐灰。【桐油灰】。
 タンベエ 冬尾。年の暮。晩冬。冬頭。春と冬。
 タンベエ 通尾。末まで通る。
 タンベエ 子イ冬尾犬。冬。冬季。——時同上。
 タンホア 銅按。金屬を接合するに用ひる盤陀の如き銅。——按銅同上で銅を接合する。
 タンホア フヌ 冬花粉。植物から採った粉。又其から取った薬。

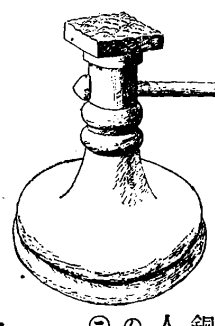
タンホアイホアイ 重類類。非常に重い。
 タンホアイホアイ 重類類。前に同じ。
 タンホアツ 重罰。嚴罰。
 タンホオ 桶虎。桶の箍をかける器具の名。【箍桶鈎】。
 タンホヲ 可好。……するに好し。……しても好し。
 ——返去歸つても好い。——食食ふに好し。
 ——與伊參詳彼と相談しても好い。「する。」

タンホヲ 同禍福。禍福を同にする。運命を共に
 タンホン 東風。東風。東風。「が出る。
 タンホン 銅黃。綠青。上——綠青がつく。綠青
 タンホン 重風。強風。強い風。食——(舟)強い風
 を受ける。
 タンホン 動封。●開封する。别人的批没使得——
 ——人の手紙を開封してはならぬ。●今まで手をつけたことのない物に始めて手をつける。此碗

タンホニ 通風。風通。厝内不止——家の中間が風通が好い。
 タンホニ 通晃。馱法螺を吹く。大風呂敷を披ける。講——人聞の好い様な風呂敷を披ける。
 タンホニ 通晃。前に同じ。
 タンホニイオン 銅礮臺。(礮)膽礮。
 タンボオ 同謀。共謀。話合ふ。
 タンボヲ 冬帽。冬帽。
 タンボア 銅盤。印刷に用ひる銅盤。
 タンボア 同伴。連。連合。道連。
 タンボア 桶盤。廣蓋。盆。
 タンボアキウ 東半球。(圓)東半球。
 タンボアツア 銅鍍仔。銅貨。
 タンボエ 同輩。同輩。
 タンボオ 同鋪。同じ寢臺。——晒同衾。
 タンミア 同名。同名。
 タンミア 同命。同じ運命。同行不——行を同行するは命を同にするに如かず。旅は道連世は情

タンムイ 東門。(橋)次に同じ
 タンムン 東門。東門。
 タンムン 陡門。樋の口。水門。堰。
 タンムン 同門。姉妹を妻とせる人人。相婿。

タンムンチウ 同門丈。妻の姉妹の夫。
 タンライ 重利。高利。重利。放——高利で貸す。
 タンラム 東南。東南。一方——透——東南の風が吹く。早看——晚看西北——朝は東南、晩は西北を見よ、天氣晴雨を知る。
 タンラン 擔擔。【擔擔】。
 タンラン 應應。【應應】。
 タンラン 凍凍。【凍凍】。
 タンラン 銅人。●銅像。●重い物を引上げる機械の
 タンラン 通疎。疎。
 間の隙いた。疎
 な。門開較——
 ——門を開けて
 間を透す。激
 ——疎にする。間を開ける。孔を開ける。此
 間厝不止——この家は大層風通がよい。
 タンラン 弄弄。【弄弄】。
 タンリウ 銅鈕。金屬で作ったボタン。
 タンリエク 銅綠。綠青。
 タンリエン 凍冷。非常に寒い。冷える。
 タンルイ 銅鐘。【銅鐘】。
 タンロオ 凍露。露に當てる。——漂雨——風雨に晒す。
 タンロオ 棟路。梁の支柱を据える基礎。



銅人 ⑤

タン

タン

タン

チア

タンロオ重露。露が多い。

タンロク銅鑼。銅鑼。――指下手袂内打銅鑼を袖の中で鳴す、世間に通用せぬ無理な理窟をいふ意。横紙破。車を横に轆く。――較打――聲。後母較好後母名銅鑼は幾ら打つても銅鑼の音、繼母は幾ら好くても繼母といはれる。

タンロクア銅鑼仔。銅製の銅鑼。

タン中央。(意)「中央」。

タン重黄。濃い黄色。

チア チア

チア此。此處。此方。在――此處にある。對――此處から。按――來――此處から来る。

チア遮。蓋ふ。遮る。翳す。庇――庇。一雨傘傘を翳す。【遮】。

チア者。(意)者。使――使者。牧――牧者。生――必死。生者必滅。順天存、逆天亡。

チア姐。(意)姐。拾――母。産婆。婆――母。小兒を守る女神。小――御嬢さん。姉。一夫。姉婿。一妹。姉妹。(意)妻。夫仔。夫婦。大――本妻。

チア藉。(意)藉。藉。頼む。假――藉。託け

チア

る。一錢力金力を藉る。一人的名色。一人的名義を藉る。一人的勢力。一人的勢力を頼む。

チア蔗。(意)甘蔗。砂糖黍。甘――同上。搾――甘蔗の汁を搾る。一廊。舊式の製糖所。一裁。甘蔗の苗。一鐘。甘蔗の莖幹を包む皮。一粕。甘蔗を壓搾した粕。

チア糖。(意)糖(禾本科)はますすき。わせをばな。

チア我。薬などを蜜で調製する。一膏。同上の【黄耆】。一草。蜜で調製した甘草。

チア此。(意)侮蔑する意味で中指で人を指しながらいふ語(中指は陽物を意味す)。陽物でも喰へ。

チア脊。尻。一脊。腰。一骨。脊骨の下半部。

チア跡。無影。一形跡がない。嘘。無影無――同上。

チア隻。(意)船車など交通機關に用ひるものを數へる語。艘。隻。臺。一。船。船。一。此。火車。この汽車。彼。孔明車。あの自轉車。一。鳥を數へる語。羽。二。鳥。二。羽の鳥。一。獸を數へる語。匹。三。牛。三。匹の牛。一。足のある蟲類を數へる語。匹。四。蚊。四。匹の蚊。五。田。始。仔。五。匹の蛙。(意)脚のある道具を數へる語。脚。一。桌。一。脚の卓。一。揃の料理。一。船車禽獸などの種類。船。一。船舶。鳥。一。鳥類。飼牛。一。牛を飼ふ。

チア

チア即。(意)或事柄の完了を條件として而して後といふ意を表す場合)……してから。食飽。一。來。食事が済んでから来た。較停。一。來。去。一。少。し。してから行きませう。卒業。一。無。若。久。一。卒業してから間がない。(意)或事柄が辛而完了後間もなき意を表す場合)やと……。漸く……。纏に……。

したばかり。我早起。到位。私は今朝着いたばかりです。藥抹。三次。止痛。三度藥を塗ってやと痛が止った。四界。問。問。到。路。尾。一。知。影。一方。で。尋。ね。て。最。後。に。漸。く。判。つ。た。一。剩。一。個。銀。而。已。纏に一圓残ったばかりです。(意)原因となるべき事柄の完了若くは決定を條件として更に次の動作を起す意を表す場合)……したら。……ならば。有。一。給。你。有。れば。上げ。ます。好。食。一。更。食。甘。ければ。又。食。べ。る。不。合。意。一。提。來。還。我。氣。に入らなければ持つて来て返さない。用。了。一。更。討。略。使。つ。て。し。ま。つ。た。ら。又。買。ひ。な。さい。(意)或結果に就き其原因を説明する場合)……であるから、それで……。だから、それで……。無。顧。身。命。一。能。破。病。一。身。體。を。大。切。に。し。ない。から。そ。れ。で。病。氣。を。す。る。の。だ。無。細。膩。一。能。跋。倒。一。氣。を。付。け。ない。から。そ。れ。で。轉。ぶ。の。だ。無。難。一。買。鴨。一。雞。が。ない。から。鷄。を。買。つ。た。伊。不。減。價。我。一。不。共。伊。買。一。彼。が。減。價。な

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

……。

いからそれで僕は買はないのだ。⑤(或條件に基
 き其行爲の可否、是非若くは能、不能等を示すに
 用ひるものにして、語形上より見る時は、斯の如
 くあれば可、則ち、……でよし、すればできる、
 等の如き詞に見ゆれども、其語意は、斯の如くな
 れば可、能、然らざれば不可、不能等反語の意を
 表す場合)……でなければいけない。……しなけ
 ればならぬ。……でなければならぬ。……しなけ
 ればいけない。如此一能使得斯うでなければ
 いけない。創如此一好斯う爲なければいけな
 い。穿較多領一能燒一澤山着なければ暖まらな
 い。食三碗一能飽一三杯食べなければ腹が張ら
 ない。用雪文洗一能清氣一石鹸で洗はなけれ
 ば清潔にならない。煮一能食得一煮なければ食
 べられない。

チア 此。此様に。こんなに。これほど。これくらゐ。
 一細一此様に。一遠一こんなに遠い。一寒一
 これほど寒い。⑥(感動詞)さあ。それ。一提去一
 嘴一さあ持つていけ。一錢給你喇一それ金をや
 るぞ。【此】。

チア 此。(姿)【此】。

チア 誰。(意)【誰】。

チア 謝。(性)謝。

チア 食。食ふ。食べる。死生活一死んだ様に坐つ
 てゐるが食ふことは活潑だ、懶惰にして徒食する
 者をいふ。敢一敢使一存分に食ひもし金も使ふ、
 飲む打つ買ふなど。遊縣一縣、遊府一府、遊縣に
 往つては縣で生活し、府に往つては府で生活する、
 一定の住所職業なく方方放浪し歩くにいふ。一
 飯一飯を食ふ。一無錢米一囚人など金の掛ら
 ない飯を食ふ。一四秀一果物や駄菓子などの間
 食をする。一死錢一収入なく徒に持金を使ひ、
 厨食する。一死飯一同上。一銅一鐵一銅や鐵を食
 ふ、如何な物でも自分に取込む意。一没了一食
 切れぬ。⑦賄一食事。一父母一親賄。一頭家
 一主人賄。我是一自己一私は自分賄だ。⑧壓
 迫する。偏頗な事をする。手前勝手な事をする。
 我を通す。我儘を通す。狡猾に私利を計る。不法
 利得をする。人を馬鹿にする。こみやる。併呑す
 る。一我真到一僕を非常に馬鹿にする。一伊過
 過一彼を充分に壓迫する。伊要一人一彼は手前
 勝手な事をする。我俾你没一得一僕は御前の
 我儘を通させない。人を馬鹿にするない。一脚一
 手一手足を働かして食つて往く。部下の上前を撥
 ねる。舊囚一新囚一舊い囚人が新來の囚人をい
 ぢめる、新來の者を壓制すること。⑨渡世する。

生活する。職業とする。一筆尾一筆の先で生活
 する。一頭路一職に就く。一俸祿一月給で衣食
 する。一扁擔一天秤棒で渡世する。我一伊没
 倒一僕には動まらない。我一伊没乾一同上。
 ⑩歸依する。一教一(罵つていふ)耶穌教に歸依
 する。一榮一齋食教に歸依する。一三六九一三
 六九の日の精進する。⑪籍りる。胃稱する。一姓
 一他人の姓を胃稱する。一別人的字號一他人
 の屋號を胃稱する。一名一人名を騙る。⑫喫する。
 飲む。吸ふ。一茶一茶を飲む。一酒一酒を飲む。一
 藥仔一藥を飲む。一煙一煙草を吸ふ。⑬注込む。
 附ける。塗る。車母一水一機關車に水を注込む。
 自轉車一油一自轉車に油を差す。布一漿一布に
 糊を附ける。一膠一膠を附ける。一漆一漆を塗
 る。一色一色を附ける。⑭生長らへる。一老一
 歳を取る。一到六十歳一六十歳まで生長らへ
 る。一長歳壽一長生する。⑮滿面に當る。精一
 杯受ける。船一風一船の帆に一杯風が當たる。眞
 一工一眞に精のいる仕事だ。較一火一火の光が
 充分に行渡る。此枝柱較一力一この柱が一番
 餘計に力を受ける。破病眞一力一病力を甚く
 受ける、病氣が重い意。一北風一北風を受け
 る。⑯しっくりと填る。ぴったりと合ふ。よく合

チア

チア

チア

塗つて大官などになる役者。鳥—顔を黒く塗つて勇士奸臣などになる役者。

チア 負。(負) 負ふ。【負】。

チア 奪。(奪) 奪ふ。

チア 車。●車。車。拖—車を挽く。坐—車に乗る。手—人力車。火—汽車。孔明—自轉車。

齒—車の齒。●車で運ぶ。運搬する。一貨—貨物を運ぶ。一家私什物—家具を運搬する。●一粟—(粟十石) 一車の粟。三—三車。三臺。

●廻轉する機械など。一仔—ミシン機械。索仔—繩絞機械。到一把新—新しい機械が一臺きた。●ミシンや轆轤などを廻轉して製造する。細工する。仕事をする。一衫—ミシンで着物を縫ふ。一牙—象牙を轆轤にかける。一鐵枝—鐵棒を轆轤で削る。使天車—貨—轆轤で貨物を引上げる。帆—較疎—帆を高く上げる。

チア 穿。●蝨食。白蟻—柱仔—白蟻が柱を食ふ。蟲在—臭肉—蟲が腐った肉を食ふ。●品物など矢鱈と穿返す。箱仔内濫摻—箱の中を矢鱈と播廻す。【穿】。

チア 推。手平で前方へ押す。一厝—倒れかかった家を押し上げる。一倒—押倒す。與乞食相—乞食と押合をする。つまらぬ者を相手にする。

チア

チア 赤。●赤。赤。●赭褐色。赤。赤い。一到不成鬼—赤ちやけた。悪く赤い。一仁土—赤土。粘土。紅天—日頭—灼熱炎天。紅頭—鬚—顔赤く鶏冠赤し、眞赤になつて怒る。●貧乏。貧しい。赤貧。貧窮。一人—貧乏人。一到入草去—赤貧。一到鑊金—同上。●女猛しい。剛い。一查某—きかない女。健者。

チア 刺。●針棒などで刺縫する。編む。結く。一凸紗帽—毛絲の帽子を編む。一網—網を結く。一皮鞋靴を拵へる。一鞋合着脚—縫上げた靴が足に合ふ。棚から牡丹餅などの意にあたる。●刺す。對腹肚邊—落去—横腹を目がけて刺込む。一血—牛や豚などの頸動脈を刺して血を出す。殺す。一字—入墨をする。●鉄などで鋤く。十能などで抄ふ。一草芥—芝草を根のままで一枚一枚鋤く。用火挑—火灰—十能で灰を抄ふ。●缺點などを摘發する。發く。素破抜く。一人的根底—人の素性を素破抜く。

チア 斜。●傾く。傾斜。月—月が傾く。一通—屋根の斜になつてゐる桁。【斜】。

チア 且。●且。且。●暫く。假に。一寸。一寄你—暫く汝に預けます。一等咧—まあ待ちなさい。

チア

チア 請。●招待する。招く。一人客—客を招待する。一新娘酒—新婚祝の御馳走をする。騙—害餓—馳走をすると言つて騙して饑しい思をさせる。●案内する。迎へる。招聘する。一醫生—醫師を迎へる。一賢人—賢人を招聘する。一神佛—神佛を迎へる。一鬼醫病—鬼を頼んで病を治す、悪人を頼み其結果が反對に悪くなる意。一戲—芝居を呼ぶ。●何卒。願くは。乞ふ。一坐—何卒おかけなさい。一你放心—御放心を乞ふ。一你恩典—何卒御赦し下さい。一你更講一遍—何卒もう一度話して下さい。●神佛。位牌などを持運ぶ。大身佛難—大きい佛像は持運び難い。一神主入龕—厨子に位牌を入れる。一布袋戲店仔—人形芝居の人形を操る。

チア 情。●傭ふ。抱る。一困仔—子供を傭ふ。一工—職工を雇ふ。一人哭無目屎—葬式に泣男を雇つたのでは涙が出ない、人頼りでは思ふ様に爲てくれぬの意。●(臺南地方の方言)【央】。

チア 成。●成。成。●手を入れる。直す。仕上げる。仕上をする。成就。一俾伊好—宜く仕上げる。一到親像人—一人前に仕上げる。一鮮免若多鹽—鹽魚を鹽辛にするにはいくらの鹽もいらぬ、相當に土臺のあるものを完成せしめるには多

チア

チア

く、の努力を要しない。●或徴候を助長して遂に本物にする。……するに至らしめる。一人驚く人をして恐怖心を起さしめる。一人清心●愛想を盡かさせる。一人做歹●悪事をするやうにさせる。

チアアア 刺仔。スコップ。シヤベル。

チアアア 刺仔。車の歯。

チアアア 赤仔。(種) 稻の一品種。

チアアア キイ 車仔歯。車の歯。

チアアア コン 車仔燻。●大砲。●大砲。●●【阿片煙吹】。不時在牽——常に阿片を吸食して

チアアア ソア 車仔線。カタン線。

チアアア チエン 車仔銃。大砲。【車仔燻】。

チアアア ハヌ 赤仔漢。無資産者。無一物の階級者。——出身的●裸一貫から出世した者。

チアアヌ ニイ 即如此。たったこれだけ。……而已

同上。

チアアム 食暗。夕飯を食べる。——即去喇●夕飯を食べて行きなさい。

チアア淡口。鹽氣が足りない爲に味が水っぽい。此的豆油較——この醬油は味が水っぽい。

チアア刺瘍。●體がむずむずする。むず癢い。無洗浴即能——體を洗はないからむずむずする。●氣がいらいらする。くしゃくしゃする。你

チア

在——甚事●あなたはどうかしてくしゃくしゃして

チアアア淡口。●淡口。【淡口】。「ゐるか。」

チアアアチアア淡口。●淡口。【淡口】。

チアアアア 車葉。車の矢。龍骨車の一葉。

チアアアム 遮掩。掩隠す。證據十足——没得過●證據充分にして掩隠しても免れられない。

チアアアムカアアエリイ 食鹽較多你食米。汝の米食ふ費用よりも我の鹽食ふ費用が多い、互に費用の多いのを誇る時などいふ。

チアアアイ食圓。●團子を食べる。●新枕を交す。床入する。

チアアイウ 食油。●油を食ふ。油を吸ふ。●油を付ける。油をさす。無——能生縮●油を付けなければ錆がつく。——車較賢●油を食せれば車がよく廻る。

チアアイウ 正酉。(夕方) 六時。

チアアイウ 成様。●形を成す。形がよい。恰好がよい。●人才不止——風采が非常によい。●子供等附上る。好い氣になる。●困仔乘了就能——子供を嬌養すと附上つて来る。

チアアイエヌ 正燕。●燕巢。好い燕巢。

チアアイエヌ 赤燕。●赤い燕巢。●悪い燕巢。

チアアイエヌ 食用。食ふことと使ふこと。——計計看

チア

伊●日常生活費は皆彼にたよつてゐる。

チアアイエヌ 且用。暫時使用する。假に用ひる。

チアアイエヌ ビイ 食開米。●無馱飯を食ふ。●無用な事に係合ふ。你真——同上。

チアアイエヌ プン 食閉飯。前に同じ。

チアアアイオン 借用。(文) 借用。

チアアアイオン 借用。藉る。頼む。——人的氣力●人の力を藉る。

チアアアイオン 食勇。兵隊になる。

チアアアイオン 斜陽。(文) 斜陽。

チアアアイツピス 正一品。正一品。

チアアアアイヌ 正印。實印。●擲——實印を押す。

チアアアアイム 正音。●正しい音。●官話。北京音。講——官話を話す。●中華民國民國から来る北京語の臺詞の芝居。——戲●北京語の臺詞の芝居。搬——同上を演ずる。

チアアアアウイ 正位。正位。坐——正位に坐す。

チアアアアエエ 此的。此等の。此等。——人●これらの人。

チアアアアエエ 此的。前に同じ。【此的】。

チアアアアエエ 正的。本當の。純粹の。這是——これは本物だ。

チアアアアエエ 情的。雇つたもの。雇うたの。——人●雇

チアアアアエエ グヌ 成個銀。一圓位。

チア エエタウ食下罎。書飯を食ふ。

チア オオアアツイ刺鳥鴨嘴。生番の婦人など頼に
入墨をする。

チア オン斜王。漢字の玉偏。

チア オン請王。(海)人の死後(做旬)をする時に道士
等を頼んで閻羅様を請じて供養する。

チア オンタウトエソエ食旺偷提表。食はれるは
榮える基、盗れるは衰へる基。

チア ヲアライセエヲアゴア食碗内説碗外。茶
碗の中を食って茶碗の外を説く、身内の者を庇は
ずして他人を庇ふ意。

チア ヲエ藉話。藉りていふ。辭を設ける。言を藉る。
——講的、不是眞的、假令と言つたので本當の
話ではない。

チア ヲエ食話。食言。

チア ヲエ刺鞋。靴を刺す。靴を作る。——合着脚、
人の作つた靴が丁度自分の足に合ふ、少しも勞せ
ずして偶然に好機會に遭遇する。棚から牡丹餅。

チア ヲエ成話。人の話を言直す。言更へる。人の話
を轉意する。

チア ヲエタア食能乾。食切れる。我慢しけれ
る。堪へきれぬ。彼號頭路你亦——あんな
な仕事を君はよくも堪へきれぬ。

チア カア食膠。膠を食はず。膠を附ける。無——
粘没住、膠を附けないとくっつかない。接目
などびったりひっついてしつかりしてゐる。しつかりして力がある。樺單去——柄がうまく揃つてしつかりついてゐる。話講了不止——話した事が非常にしつかりして力がある。

チア カア正醇。本物。本式。正式の。此號貨是——
この品は本物だ。眞米——妻、子など正統なもの。

チア カア赤脚。跣足。徒跣。土足。脱——跣になる。——逐鹿、穿鞋食肉、跣足の者が鹿を逐ひ靴を穿いた者が肉を食ふ、勞した者は報を得ず、反つて勞せぬ者が益を得るが如き、椽の下力持。天然足。——的、天然足の婦人。

チア カアキイエエビイ食自己的米。——講別人話——身内の飯を食つて他人に有利なことを話す。——作别人的繕——身内の飯を食つて他人の仕事をする。——煩惱別人的事情——身内の飯を食つて他人の事を心配する。

チア カアキイチアアチイジイ食自己貼錢二。自分の飯を食つて其上金まで出してやる、自腹を切つてまで他人の爲にする。

チア カアシエヌ赤脚先。跣足の先生。素養のない

醫者又は教師などをいふ。

チア カアチアチウ食脚食手。手足を働かして食つていく。勞働する。

チア カアチアチウ赤脚赤手。手ぶらで跣足、荒仕事をする者をいふ。

チア カウ食教。ある教門にはいりそれによつて飯を食つていく。耶穌教に入るものを悪く言ふ語。

チア カウ食到。人を壓迫する。人を馬鹿にする。品——他人を無視して自分の利益のみを計る。無理に手前勝手なことをする。對人眞——餘りに人を馬鹿にする。人を食つたやり口。

チア カウ正厚。白い大な紙の名。

チア カウ藉口。僞稱。事寄せる。かこつける。——推辭——事にかこつけて辭退する。

チア カウ赤狗。赤犬。——斬尾假鹿——赤犬が尾を切つて鹿を眞似る。鶴を眞似る鳥に同じ。

チア カウ赤校。(種)穀斗科)くりかし。

チア カウ赤猴。刻煙草の一種。素寒貧。——限

チア カウ赤口。吉凶を占ふ「六壬時課」の一。——日

チア カウ淡腐腐。次に同じ。「赤口日。

チア カウ淡腐腐。味が足らぬ。水っぽい。

チア カウジツ赤口日。赤口日。

チア

チア

チア

チア

チア カウトヲ 正創倒刺。當削る。皮肉。站
 在衆人面前。―― 衆人の前で當削を言ふ。
 チア カウビヌ 正九品。位階の名。正九品。
 チア カウラウヲ カウラウ 食到老學到老。年
 をとる迄學ぶ。死ぬ迄物事を習ふ。
 チア カク 赤壳。炒る前に赤土を混ぜた龍眼。
 チア カクツツ 赤殼桃。(穂) 第一期作及第二期作水稻
 糯米の一品種。
 チア カアア 赤蛤仔。(動) 赤蛙。赤蛙。山蛙。
 チア カムシア 赤炭社。臺南の舊名。
 チア カムラウ 赤炭樓。臺南に於ける舊蹟。赤炭樓。
 チア カン食工。手間が入る。手数が掛る。
 チア カン 正港。【透港】。
 チア カン成孔。穴が出来る。傷が出来る。打到――
 毆つて傷ができる。
 チア カン車工。●轆轤を使ふ人。轆轤師。●荷車な
 どの運賃。發―― 運賃を拂ふ。―― 眞貴 眞貴 眞
 貴が高い。
 チア カン情工。人を雇ふ。人夫を雇ふ。
 チア カン赤孔。貧乏。貧しい。困窮。比候當――
 〓今は困窮してゐる。
 チア ガヌ 藉言。(途) 【藉言】。
 チア キア成子。成つて居る子供。眞面目な子供。不――

チア

―― 成つて居ない子。
 チア キア成行。本當によく歩く。今仔日我――
 今日僕をよく歩いた。
 チア キア成隙。隙が出来る。
 チア キア推秀。●室内の道具などを彼方此方へと位
 置を變へる。弄り廻はす。散かす。困仔歸陣滾
 絞―― 子供が大勢わいわい騒いで道具を弄り廻
 はず。●祭典や儀式などの費用を思ひ切つて使ふ。
 大袈裟にする。大仕掛にする。仰仰しくする。
 大―― 大落氣 大袈裟にすればする程權儀も澤
 山出て来る。
 チア キア赤子。貧乏人。―― 出身 裸一貫より出
 世する。不知―― 的艱苦 貧乏人の苦を知ら
 ない。【薬とす】。
 チア キイ炙膏。(藥) 蜜で調製した【黃膏】。(緩和強壯
 チア キイ食忌。忌日の供物を食ふ。
 チア キイ食煠。●自殺するとき煠油を飲む。●他人
 の爲に迷惑を被る。掛合になる。馬鹿を見る。
 險 險―― 〓もう少しで馬鹿を見るところであつ
 チア キイ正忌。一周忌。年忌。年回。【た】。
 チア キイ食氣。意氣張盡く。依怙地になる。片意地
 になる。與伊―― 彼に對して依怙地になる。
 チア キイ正齒。本當の齒。乳齒の後に生えるもの。

チア

チア キイ車箕。粗抄などに用ひる箕。
 チア キイ車輻。車輪の輻。車の矢。
 チア キイ請見。(召使にいふ語) お入りなさいといへ。
 チア キイ車齒。車の齒。
 チア キイ推去。押遣る。
 チア キイアア 車箕仔。粗抄などに用ひる箕。
 チア キイキイ 赤障障。【赤鬼鬼】。
 チア キイキイ 赤障障。【赤鬼鬼】。
 チア キイキイ 赤障障。【赤鬼鬼】。
 チア キイキイ 赤障障。【赤鬼鬼】。
 チア キウ食響。強情。強情張る。頑固に反對する。
 他人の言を用ひず一途にやる。―― 着打加下 頑
 強に抵抗すれば餘計に打つてやる。
 チア キウ謝丘。(姓) 謝丘。
 チア キウアア 赤蟪仔。(動) 蝨蟪。
 チア キウキウ 赤趨趨。非常に貧しい。
 チア キウキウ 赤趨趨。前に同じ。
 チア キウキウ 赤趨趨。前に同じ。
 チア キエク成格。(家) 造作する。厝起好内面着
 〓家が出來たら中を造作する。―― 的所費
 〓造作の費用。
 チア キエツキエツ 赤臺臺。●濃い。赭褐色。●赤
 登。●女の非常に猛しい。
 チア キエヌ食堅。片意地になる。強情張る。―― 教

没行ボウキョウ片意地かたいちになつて言ふ事を聞かぬ。「る。

チアキエン 食弓。戦の時弓を射る組に入る。

チアキエン 正宮。皇后宮。中宮。皇后。一娘娘

皇後様。

チアキエン 車弓。人力車の母衣の骨。

チアキヨ ボヲリアムチイ 食茄無粘蒂。茄子を食

ふのに蒂は附けない、誰の世話で立派になつたか其本を忘れて居るの意。

チアキツ 車杖。臺車又は荷車の車臺の四隅にさして

チアキヌ 食根。(海)【食根】。

チアキヌ 赤樅。(海)【木樅】。

チアキヌ 斜絹。裏地にする薄い黒い布。

チアキヌ コンボア ヲア 食緊損破碗。急いで食つ

て茶碗を毀す、急いで事を爲損するの意。

チアキヌ コンボア チア 食緊損破鼎。前に同じ。

チアキム 正金。本金。純金。

チアキム 赤金。前に同じ。

チアキム イエヌ 食禁烟。阿片・煙草を吸つて烟を少

しも外に出さずに呑んでしまふ。

チアギア 食額。負擔。責に任ずる。引受ける。替人

一一人の責任を負ふ。

チアギア 推弁。【推弁】。

チアギア 正業。●正業。●本業。

チアギイ 食硬。強硬。飽迄する。反對して降らぬ。

一無食軟強者に對しては強硬に出て譲ら

チアギイピア 食硬癖。次に同じ。「ない。

チアギイビイ 食硬片。強硬。頑張る。硬く反對し

て降らぬ。一一人的人同上の人。

チアギイビイ 食硬鼻。前に同じ。

チアギエヌ 藉言。偽稱。事寄せる。かこつける。一

破病病氣にかこつける。

チアギオク 斜玉。漢字の玉偏。一旁玉偏。

チアギヌ 正銀。(海)【正銀】。

チアギヌ ツイ 食銀水。(海)【食銀水】。

チアギヌ ナア 成団仔。成つて居る子供。不一一

成つて居ない子供。

チアクイ 遮光。(海)【遮光】。

チアクイ 食虧。迷惑若くは損失を受けること。一

一半委託物の盗まれた時等其の一半を償ふ。保

認人一真多錢保證人が非常な損失を受け

チアクイ 車機。轆轤。

チアクイ 請奏。(海)【請奏】。

チアクイ 赤鬼鬼。●赤赭褐た。色緞退到一一

色が褪めて赤赭褐た。●赤貧。一

一要何可討貧乏で催促しても駄目だ。●女の

非常に猛しい。

チアクイタイチオン 食鬼大將。【三十六將】の一、

麒麟に騎し鬼を捕へて食ひつゝある状をなす。

チアクウ 蔗龜。(動) 甘蔗の根につく蟲の名。

チアクウ 此久。●近頃。近來。一好麼此節は何

です。近頃御機嫌は如何ですか。●こんなに久し

い。久久。一即看見久振で遇つた。一尙

未來一こんなに久しいのに未だ來ない。

チアクウ 碑礮。(動) 碑礮貝。【五爪蚶壳】

チアクウ アア 此久仔。【此久】の○。

チアクウ ランアン 推龜弄龜。【推弁】の○。

チアクツ 赤骨。(種) 第一期作水稻稈の一品種。

チアクヌ 食根。糊口の路。一斷口が乾上る。

チアクヌ ザイ 赤根菜。【波稜菜】。

チアクヌ スウ 正軍師。●軍師。●子供の喧嘩などを

指揮する者。

チアクン 遮光。光を遮る。不可站彼一一そこに

居つて光を遮つてはいけない。

チアクン 正鋼。純良の鋼鐵。鋼。

チアクン 請奏。守札を受ける。御守を受ける。

チアクン 且藏。暫く置く。假に收つて置く。

チアグウ 赤牛。(動) 飴牛。黄牛。

チアグヌ 正銀。銀無垢。純銀。

チアグヌ ツイ 食銀水。銀の價に打歩する。

チア

チア

チア

チア

チア ケエ 遮格。仕切つて遮る。仕切る。壁屏風。壁屏風を立て、遮る。目隠内有一重膜。得。目に一枚の膜が遮つてゐる。

チア ケエ 食價。氣に入つた物等買ふ時高い値を堪へる。共伊買。高い値を堪へて買ふ。價を張込んで買ふ。

チア ケエ 正價。正價。實價。

チア ケエ 車架。修繕する時に車をのせる臺。

チア ケエ 赤家。貧家。貧乏家。

チア ゲエ 食硬。(漢)【食硬】。

チア ゲエ 正月。正月。一月。開張。正月賣初。寒死。龜。二月寒死。牛。三月寒死。播田。夫。正月は龜を凍死せしめ、二月は牛を凍死せしめ、三月は田植の農夫を凍死せしむ、春の三箇月は仲寒いの意。狂查。二月狂查。某。

正月は男が多く遊び二月は女が多く遊ぶ、廟などに参り遊ぶ。義。雷。二月雪。三月無水。過田。隙。正月に雷鳴り二月に雪降れば三月には水が田の畔の切目を越す程もない。

チア ゲエ シイ 正月時。正月の時。正月時分。

チア ゲエ ジツ 成月日。一箇月ばかり。過。一箇月ばかり過ぎた。

チア ゲエ ワエ 正月初。正月の初の十日。

チア

チア ゲエ チア シイ 正月正時。次に同じ。

チア ゲエ チア タウ 正月正頭。松の中。正月の前半。正月の初数日の間又は十五日までの間。没使。得。討。錢。也。是。歹。嘴。同上の間は借金。の催促又は悪口を言つてはいけない。

チア ゲエ ベエ 正月尾。正月の下旬。

チア ゲエ ポア 正月半。正月の中旬。

チア コア 正枯。正月十六日より二十日頃までをいふ。松明。【枯正】。

チア コア 淡干。白乾。魚菜類等の其ま、乾したもの。

チア コア 正官。陰陽家などのいふ五行の中にある性の一。帯。同上を帯びてゐる。

チア コアイ 食乖。片意地になる。困仔。不聽嘴。子供が片意地になつて言ふ事を聞かぬ。

チア コアイ 車杆。輓。車輪の輻。下坂にすべらないやうにする車にある横木。ブレーキ。

チア コアイ 車桿。車輪の輻。車の矢。

チア コアツ コアツ 赤撒撒。【赤憂憂】。

チア コアヌ 成欸。【成様】。

チア コアヌ 車灌。自轉車などの空氣入。用。灌風。空氣入で空氣を入れる。

チア コアヌ 車圈。卷轆轤の棒。

チア コアヌ 車環。車。車の輪。

チア

チア コアヌ エエ 車灌的。銀貨を中空にして鉛をつめたもの。

チア コエ 食乖。(漢)【食乖】。

チア コエ 車魁。石段などの左右の仕切。

チア コエヲア コエチアアアアア 食雞倚雞。雞を食へば雞に荷擔す、利益を與へた者の方に身方するの意。

チア コエツア 食雞腿。鶏の股をしゃぶること。

同上から赤坊が自分の指をしゃぶることを云ふ。

チア コオ 鷓鴣。鷓鴣。其土地での物知。世話。有樹就有鳥歇、有埠頭就有。木。があれば鳥の宿る所があるし、一つの土地には必ず物知が居る。【鷓鴣】。

チア コオ 藉口。【藉口】。

チア コオ 車鼓。滑稽芝居の一種。傳人。去。借金のかたに人によつてしまふ。納利。複利計算によつて利息を元金に繰入れる。

チア コオ コン 車鼓公。【車鼓】の劇に出る老人。

チア コオ チウ 車鼓丑。【車鼓】の劇に出る茶利役。

チア コオ トア 車鼓旦。【車鼓】の劇に出る女形。

チア コオ ヒイ 車鼓戲。滑稽芝居の一種。

チア コオベエ 車鼓馬。【車鼓】を肩に載せて祭禮の行列に加はる者。

チア コオラン 車鼓弄。【車鼓戯】。

チア コラ 車轆。轆。航棒。

チア コラ 赤柯。(種) (穀斗科) 赤檜。赤檀。

チア コラ イ 即更來。●又來つしやい。請你——

チア コク 食柵。小石又は瓦缺を用ひてお手玉の如き遊をすること。

チア コク 赤柵柵。非常に貧窮なること。

チア コク 赤柵柵。前に同じ。

チア コン 蔗硫。折——二人して甘蔗の兩端を持ち之を折り、折口の有様によりてきめる勝負事。

チア コン トヨ 破——甘蔗を垂直に立て刀にて割る勝負事。

チア コン トヨ 正講倒講。正面からも言ひ反面からも言ふ。

チア コン トヨ 正講倒刺。【正創倒刺】。

チア コン ペエ 正貢白。極白い上等の砂糖。三盆白。三盆砂糖。

チア ゴエ 正月。(漢) 【正月】。

チア ゴオ 正午。正午。

チア ゴオ 車整。(動) 蛤。

チア ゴオ シイ 正午時。【正午】。

チア ゴオ バシ 食五棒。(遊戲) 石投子。手玉。御手玉。同上をすること。

チア ゴオ ビヌ 正五品。(位階) 正五品。

チア ゴオ 正月。(皇) 【正月】。

チア サア 車衫。ミシンで着物を縫ふ。

チア サア イ イ ツイ シイ イ イ 食三文醉四文。三文の酒で四文酔ふ、少し飲んで大いに酔ふ意。

チア サア ニイ シエヌ サイ 食三年仙尿。——一要上西天三年仙人の糞を食うて西天に上らうとする、修業も積まぬのに一足飛に上らうとする意。

チア サア ビヌ 正三品。(位階) 正三品。

チア サア ラク カウ 食三六九。三、六、九の日に精進する。

チア サイ タン 穿尿蟲。(動) 蛆蟲。【進する】。

チア サヌ オオ 赤珊瑚。(蔬菜) にんじん。

チア サム 赤杉。(種) (松柏科) 杉。

チア サム サヌ ゴオ ビイ 食三餐五味。——穿綾羅紗三餐五味を食ひ綾羅紗袖を纏ふ、奢侈、富裕の形容。

チア サア 遮蘭。●遮る。仕切る。雲——得——雲が遮つてゐる。庶仔頭被醫——得——腫孔が醫に遮られてゐる。無——無内外仕切をつけないと内外の區別がつかない。●庇ふ。庇立。好得我共伊——無就有罪——幸に僕が庇つてやったから

罪にならないで済んだ。

チア サア 車蘭。●土砂などを積む爲に設けた車臺の柵。●車輪の泥よけ。

チア サア 車柴。●轆轤細工する。●材木を運搬する。

チア サア キイ ワン 食早起頓。——不知下單頓的事。朝飯は食つたが晝飯の事は判らぬ、一寸前は判らぬ意。【強かもの】。

チア サア ボオ 赤查某。聴かぬ氣の女。猛しい女。

チア サイ 蔗栽。甘蔗の苗。

チア サイ 食菜。●菜を食ふ。●精進。菜食。——先天教、龍華教、金堂教などの各派にて肉食をせぬ一種の教派を奉ずるもの。

チア サイ 淡菜。(動) 貽貝。

チア サイ 赤菜。(種) 角又。(紅藻類の海藻、煮て糊を作り【金銀紙】に金銀箔を貼るに用ふ)。

チア サウ ビイ 食臭米。臭い米を食ふ、役所の小使などを罵る詞。——的——小役人。

チア サク 斜鑿。鑿の一種。

チア サク トロ プツ 正鑿倒刺。滅茶切。前後左右を突き又は難倒す。

チア サツ 蔗節。●甘蔗の節。●甘蔗をよき程に切つた



斜鑿

チア

チア

チア

チア

もの。(食用として賣る)。「手」。

チア サヌ車雷。滑車などで引揚る大きな四手網。四

チア サアジイシア 赤十字社。(團) 赤十字社。

チア サム車站。●驛。停留所●汽車などの發車時。赴無着ー||汽車の時間に合はない。

チア サン 赤鯿。次に同じ。

チア サンヒイ 赤鯿魚。(動) 鯛の一種。赤い鯛。

チア シア食聲。●虚勢を張る。怙一枝嘴在ー||口先ばかりで虚勢を張る。●偽の主張をして誤魔化す。ー||食影||同上。俾你沒ー||得||誤魔化しはきかぬぞ。

チア シア 正寫。●(草書などに對していふ)楷書。●(略字などに對していふ)正式の文字。本字。

チア シアア 食澁。澁を塗る。網仔ー||網に澁をつける。澁を引く。

チア シアアジツ 赤冊日。甘藷の品種の名にして葉は淡緑紫色、蔓に毛ありて根塊は紡錘形、外皮は紅色なり。

チア シアン 成雙。一對をなす。鞋ー||靴が一對揃

チア シイ 即是。即ち是。彼個不是此個ー||其

チア シイ 即是。即ち是。彼個不是此個ー||其

チア シイ 正是。正に然り。御尤も。如何にも左様。私の家です。

チア

チア シイ 即是。(漢)【即是】。

チア シイ 車扇。(漢)【車葉】。

チア シイチイ 食死錢。【食死飯】。

チア シイビイ 食死米。【食死飯】。

チア シイピヌ 正四品。(位階)正四品。

チア シイブン 食死飯。無駄飯を食ふ。厝内各個ー||家中のものが皆無駄飯を食ふ。

チア シイレエ 即是咧。道理で。ー||是如此喲||道理でさうでしたか。なある程左様か。

チア シウ 刺繡。刺繡。縫取。繡物。刺繡。

チア シェク 藉索。偽稱する。偽の主張をして誤魔化す。ー||人的各字||人の姓名を偽稱する。俾你沒ー||得||お前の偽稱の誤魔化には乗らんとぞ。

チア シェク 食色。●著色する。彩色する。色揚をする。色を附ける。●勢力、信用など有る者の名義を利用する。顔を借りる。你来俾我ー||下可俾我過繚咧||君ちよと顔を利かせてくれ而して一時の凌をつけさせてくれ。伊是ー||的||彼は他人の名義を利用したのだ。

チア シェク 淡色。薄い色。淺い色。

チア シェク 正色。●本當の色。●本當の品物。本物。ー||貨||同上。

チア シェク 正式。(團) 正式。

チア

チア シェク 赤色。赭褐色。赤。

チア シエヌ 食先。(蟹) 健啖な者。

チア シエン 正生。(生)の立役。「上の醬油」。

チア シオン 正上。純良。特別上等。ー||豆油||同

チア シラ 淡燒。白燒。ー||白魚||白燒の大刀魚。

チア シラタウ 赤小豆。(種) たらあづき(醬料、涼劑として用ひる)。

チア シラチアム 食小點。一寸した點心を食べる。

チア シツ 食食。●滋味を食ふこと。飲食。飲食。好ー||美食。よい暮。有ー||よい暮をして居る。馳走がある。●食物。食物。ー||着細膩||食物に氣を付けなければならぬ。

チア シツ 正實。眞實。眞劍。本當。實に。實際。眞に。誠に。假伴變到ー||嘘の事が本當の事になった。ー||要是||本當にやるのか。ー||賢||

チア シツ 赤翅。(動) 黒鯛。茅苧。

チア シヌ 食新。初物を食ふ。【實際偉い】。

チア シヌ 淡身。味が淡い。水っぽい。豆油ー||醬油が淡い。

チア シヌ 正身。家の中央の棟、母屋。護龍較大ー||家の袖が母屋より大きい、不釣合の意。

チア シヌ 赤身。素肌。裸。ー||露體||丸裸。

チア シヌ 赤信。(藥) 砒石。

チアシヌ 請神。神を請する。道士が經を念じて神を

迎へる。――鎮然神を迎へて崇を鎮める。

チアシヌロオテエ 赤身露體。丸裸。赤裸。

チアシナジイシア 赤十字社。(國) 赤十字社。

チアシム車心。車軸。車の心棒。機軸。

チアシム刺心。胸が焼ける。胸が支へる。蕃薯食多能――薩摩薯を澤山食ふと胸が焼ける。

チアジイ食餌。餌を食ふ。

チアジイ正字。●官話。支那語。老――べらべらと官話を喋べる。●楮書。角字。――草字楮書行書。

チアジイ刺字。入墨。文身。彫刻物。歸身軀――全身に入墨をする。

チアジイチエン食二清。●頭清の萍を更に吸ふ。

●既に男に接した女に更に他の男が接する。包的――閨主は閨女が他の男に接した後接する。旦那は冷飯を食ふ。閨女の浮氣をいふ。

チアジイピヌ正二品。(位階) 正二品。

チアジオクピエン斜肉旁。漢字の肉月。

チアジツ成日。約一日。終日。寒着倒――風邪で約一日寝た。

チアジツ斜日。漢字の日旁。

チアジヌ食認。認めて引受ける。承認する。負擔す

る。責に任ずる。自己不――叫別人――自分

分が認めて引受けないで人に引受けさせる。到時

我不――嗚――其時になつてから僕は責に任じな

チアジヌトオ赤仁土。赤土。粘土。「いよ。

チアジヌピエン食人命。人命の賠償金を受ける。

チアスイ車栓。(車) 車栓。

チアスイア車栓仔。(車) 前に同じ。

チアスイエエ刺酸噎。(刺) 刺酸噎。

チアスウ藉詞。僞稱。事寄せる。かこつける。不時

――不去讀――常に託けて學校へ行かぬ。

チアスン車栓。●車軸に通す栓。●沙魚。鱈。

チアスンア車栓仔。前に同じ。「き。

チアスンア車桑仔。(植) (無患樹科) はうちのは

チアスンエエ刺酸噎。溜飲。打――溜飲が出

チアスンオ刺酸噎。(鼻) 前に同じ。「る。

チアスワ藉詞。(鼻) 藉詞。

チアセエ車紗。絲を繰る。

チアセエ車税。●齒代。車の借賃。●車の税金。

チアセエ請坐。挨拶の言葉。御掛けなさい。御座り

なさい。

チアソア食山。墓。家。又は船など山手に寄る。山

に沿ふ。山を背景にする。風水着做較――

墓は山に沿ふて造らねばならぬ。

チアソア車線。絲を紡ぐ又は捲く。

チアソア赤砂。(砂糖) 赤粗目。――糖同上。

チアソアイ蔗様。(植) 深い土の中より生ずる甘蔗。

チアソアアトオロオギヲ食蒜仔吐露膏。蒜を食つて辣蕪を吐く。慾張つて反つて損をする。

チアソエ車税。(車) 車税。

チアソヲ車索。滑車の綱。

チアソソ食喰。人の愚なるに乗じて自分の利益を計り或は其者を馬鹿にする。田舎者扱にする。馬鹿者扱にする。

チアソア食紙。告了能――訴が思ふ盡に填る。

チアソア食蛇。●蛇を食ふ。――配虎血虎の血を菜にして蛇を食ふ。貪慾な。殘酷な。殘忍な。●着服する。錢共人――去金を着服してしま

チアソア車行。(車) 車行。「った。

チアソア斜行。斜線。

チアソエ食罪。服罪。替人――人の罪を背負こむ。

チアソオ食祖。先祖の祭がすんだ後で一族が會食

すること。

チアソオ食醋。●醋を飲む。●香氣。燒餅。甚助。

嫉妬。(昔或王様が嗚天下の功臣に子供のなきを憂

ひて其妻を召して曰く、夫に妾を娶らせ、然らざ

れば此杯の毒藥を飲めと、妻は頭として肯せず、

チア

チア

チア

チア

遂に其の毒薬を飲む、然るに其は毒薬に非ずして醋なりしといふ傳説より斯く云ふ。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア、フオケエ正祖家。木當の舶來。——的の本當の舶來品。

チア

蕃石榴。這是一一的醃瓜不是倒頭的此れは同上の白瓜で季節外ではない。——的蓬萊米第一期作の蓬萊米。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア、タウ車斗。人力車の背面。

チア

チア、タンチア、サイ食東食西。色々な物を食ふ。チア、タンチア、チア、食銅食鐵。銅と鐵を食ふ、如何なるものでも自分に取込むが如きに言ふ。——的人の人情のない強慾な人。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

チア、チア、遮遮。【遮】。

寸以前。——也在彼在講話。先頃までまだそこに居て話をしてゐた。●近日。此の頃。近頃。——無幾日の事情。近頃の事である。つひ此間の事である。

チアチアクヌ 車車滾。【冲冲滚】。

チアチアサク サク 推推揀揀。突出したり推したりする。突いて推す。——一直趕。同上して急立てる。

チアチアツン 車車轉。●ぐるぐる廻る。機器——機械がぐるぐる廻る。●人が絶えず出たり入ったり往たり来たりする。大街人——大通では交通が頻繁である。●纏のない話を繰返して言ふ。話——講没直。纏のない話をいくらかしても纏らない。●金不還在與我——金を還さないで理の解らぬことをいふ。

チアチアア 蔗汁。砂糖黍の汁。
チアチアム 車針。ミシンの針。
チアチアン 車掌。(國) 車掌。【官吏】。
チアチイ 食錢。收賄。賄賂を取る。——官。同上のチアチイ 成錢。●多額の錢。趁真——大金を儲ける。●一処になる。

チアチイ 食市。場所など賣行の好い。賣捌がよい。——的所在。賣行のよい所。市内の最も多く人

の出入する所。十字路頭較——四辻の方がよく賣れる。

チアチイ 車錢。車錢。車賃。

チアチイ 奢侈。(多) 奢澤。奢侈。

チアチイ テエ 且持得。暫く見合せる。【る】。

チアチイ ニウ 食錢糧。●兵となる。●租税に衣食す

チアチウ 食酒。酒を飲む。飲酒。——漢。酒飲。

チアチウ 食漿。布などに糊をつける。

チアチウ 蔗漿。甘蔗を折って折口に出来る突起。折——勝負事。一種。二人で甘蔗の兩端を持ち之を折り折口の突出した方を勝とす。拔——同上。

チアチウ 藉手。他人の手を以て。人の手を藉りて。——害人。人の手を藉りて害を加へる。

チアチウ 正手。右の手。右て。利手。坐——旁。右の

チアチウ 請酒。酒を振舞ふ。馳走する。【方に坐る】。

チアチウ 車手。轆。航棒。

チアチウ 赤手。空手。空手。手ぶら。【せること】。

チアチウ 情鎗。試験の時などに人を雇うて文を作ら

チアチウ ギヲ 正手傍。左舷に在る漕手。

チアチウ ヒイ 請酒戲。酒宴の爲にする芝居。

チアチウ ビエン 正手旁。右手の方。右側。

チアチエヌチアサウ 且戰且走。●戰ひ乍ら逃げ

る。●將來の好時機を待つ爲に目前の苦勞を忍んで働くこと。

チアチエヌツイ 食淺水。淺所に居る。——的魚。同上の魚。

チアチエヌパイ 車戰棚。船の床の二重板。

チアチエン 蔗種。甘蔗の苗。

チアチエン 藉稱。偽稱。事寄せる。かこつける。——人的名字。人の名を偽稱する。

チアチエン 食清。冷える物を食ふ。清涼劑を飲む。清淨な物を食べる。美食。——咽宮。美食して宮に眼る。豊かな衣食住。吞氣に食って部屋で寝る。——領便。食はせても貰ひ入用な金も貰つて不自由がない。

チアチエン 食銃。兵卒となる。

チアチエン 食穿。衣食。——無。打罵有。苛酷な夫を持った婦人などのいふ詞。衣食はさせずに打擲と罵言はある。

チアチエン 正榕。(樅) 桑科) がじゅまる。

チアチエン 赤榕。【鳥屎榕】。

チアチオク 赤芍。(種) たいわんはまさじ(磯松科、根を豚肉及水と共に煎服し解熱及血液清淨) となす。

チアチオン 正冲。干支と相性とが正面より相觸れ

チア

チア

チア

チア

る、其巢重しといふ。【偏沖】参照。

チア チオン 車掌。(車) 車掌。

チア チオン コア 且從權。一時間に合せる。此間

眞細間總是都無好的所在。一咧この部屋は小さいけれども外に好い所がないから一時間に合に居て下さい。

チア チヲ 食少。小食。

チア チヲ 赤石脂。(藥) 代赭石。赤鐵鑛。(收斂

藥として用ひらるる漢方藥名)。

チア チッ キア 食一驚。一驚を喫する。びっくり。

チア チッ ビイ 且一邊。それはまだしも。それは先差

置いて。それは何うでもよいとして。それは兎も角。提無利息。連母銀續討無利息が取れないのは何うでもよいとして元金までも返してくれない。

チア チッ ビノ 正七品。(位階) 正七品。

チア チヌ 食盡。食詰める。食盡す。

チア チヌ 赤疹。(癩) 麻疹。

チア チヌ カウ 食眞到。壓迫を加へる意で非常に馬鹿にする。

チア チヌ カウ ツイ 食眞到水。前に同じ。

チア チヌ ツイ 成清夫。定った天氣。好天氣。

チア チム クン 即線光。曙。明方。黎明。

チア

チア チム ツイ 食深水。魚。魚が深い所に住む。火船。汽船の喫水が深い。高い報酬などを取る。一の醫生。同上の醫者。此個官是。この役人はなかなか高い賄賂を取る。

チア チム ヒエン コン 食鱈興管。蟹を食べるのに蟹の缺を好む。しゃべりたがる。興管と興講(しゃべりたがる)とは同音なるより振って斯くいふ。

チア チア 食定。男家より女家に【送定】する時に男家の者が女家に於て馳走になるをいふ。

チア チア 正廳。家の正面にある中央の廣間。

チア チア 車礎。礎を捲上げる。

チア チア ウ 食佳。阿片。酒。煙草など飲癖が附く。阿片。阿片癮者になる。

チア チア ウ 正祧。宗親。嫡流。本家。嫡家。

チア チア ウ 車柱。油を搾る機械(油車)を架する四本の柱。水車などの柱。

チア チア ウ チア ウ 赤條條。赤裸。眞裸。

チア チア ア 請帖。招待状。案内状。

チア チイ 食甜。甘い物を食べる。一憶着鹹。甘い物を食べて鹹い物を思出す。咽境にある時は逆境のことを忘れてはならぬ。一食鹹臭脚鼻。鹹。甘いものや鹽からを一緒に食べると鼻に

チア

かゝる。チア チイ 淡甜。甘口。薄甘い。

チア チイ 正剃。正しく剃る。剃り下す。【倒剃】に對

チア チイ 成夫。天氣が定る。天氣になる。

チア チイ 成持。養育する。育てる。守立てる。歹人子兒好人。悪人の子でも善人の養育で好くなる。

チア チイ トオ ニイ 食在肚裡。一死在路裡。棺柴在狗腹肚裡。食うては腹にあり、死んで路傍にあり、棺桶は犬の腹にあり、飲食に浪費する者を罵つていふ。

チア チイ ロオ 食天露。露にうたせる。露にさらす。

チア チウ 正綱。本綱。

チア チウ 車長。汽車の車長。

チア チエヌ 正殿。正殿。本堂。

チア チエヌ リオン 食天良。良心に恥ない行動又は生活をする。一即有好尾。良心に恥ない行動をすれば良い果報がある。

チア チエン ハウ 且等候。暫し待て。須臾く待て。

チア チヲ 遮着。蔽ふ。遮る。日被雲。一日が雲に遮られる。

チア チヲ 即着。日本比臺灣較寒。一日本は臺灣より寒い筈だ。伊知影。一彼は知

つて居る筈だ。●それだから。―被人罵。―
から叱られるのだ。―共你講。―それだから君
に話すのだ。 「ひつこ。

チア、チヲ、食釣。食ひつく。釣れる。魚。―魚が食
チア、チヲ、チイ、イツ、チヲ、キアム、食着甜憶着鹹。
甘いのを食べるにつけて鹽辛いのを思ふ、富でも
貧乏の時を忘れぬこと。

チア、チヲ、ツイトオ、食着水土。水や土を食ひ慣れ
る、氣候風土に慣れ身體に合ふの意。

チア、チツ、食直。【行直】。
チア、チツ、トヲ、食迫迫。間食する。徒食。
チア、チヌ、成陣。陣をなす。群をなす。―人。群を
なす人。

チア、ツイ、食水。水を飲む。船。―船の吃水。開孔
俾伊。―穴を掘り水の出る様にして他人に飲
ます、道をつけてやるの意。―用棕囊毛紐
水飲むにも籠の毛で水を切る、無能、懶惰に
して金儲の下手な者にいふ。

チア、ツイ、淡水。淡水。眞水。―鳥。川。池に居る
チア、ツイ、車水。水車で水を汲む。 「鱧。鱧。
チア、ツイ、請水。【乞水】。 「み。

チア、ツイ、赤嘴。〔動〕肉の赤い、蛤の如き貝。おきしじ
チア、ツイ、斜嘴。竹などを斜に切った斜な口。

チア、ツイ、クウ、ボヲ、ベ、エ、カ、ク、食水龜無扒壳。源
五郎龜を食ふに甲を剥かない、猫を被るの意。

チア、ツイ、ウ、淡水塩。淡水の養魚池。 「製した蓆
チア、ツイ、チヲ、淡水席。淡水中に發生する三角菌で
チア、ツイ、ヒイ、淡水魚。川魚。川魚。―入鹹水
港。淡水魚が鹹水に入る、本分以外の事をするに

チア、ツイ、正痘。〔病〕天然痘。痘瘡。疱瘡。 「いふ。
チア、ツイ、正主。本當の主人。本當の持主。
チア、ツイ、正子。〔夜〕九。夜の十二時。

チア、ツイ、車蛆。〔動〕子。棒振蛆。棒振。 「赤蛆。
チア、ツイ、赤蛆。〔動〕溝等に居り金魚に食はすもの、
チア、ツイ、赤鼠。〔動〕剛。こそ泥棒。―状態
才。泥棒は狀元の才能を有す、泥棒に悪智惠の
あるをいふ。

チア、ツイ、コヲ、正主考。考試の試験官の長。
チア、ツイ、ウ、シヌ、正厝身。母屋。本屋。
チア、ツイ、赤梳。【赤敷梳】。

チア、ツイ、推出。突出す。押出す。―去。同上。
チア、ツイ、キラ、請出輪。花嫁に請うて駕籠から出ても
チア、ツイ、赤村。寒村。赤村。 「らふ。
チア、ツイ、車床。〔旋盤〕。車の臺。
チア、ツイ、赤瘡。〔病〕癩疹。
チア、ツイ、車蛆。〔泉〕【車蛆】。

チア、ツイ、赤蛆。〔泉〕【赤蛆】。
チア、ツイ、赤鼠。〔泉〕【赤鼠】。
チア、ツイ、食注。賭博に勝った者が相手の賭錢を取
る。●賭博の當事者の一方が相手方の賭金が餘り
に多い爲に恐れて勝負を爲兼ねた場合に第三者が
其者に代つて勝負の責任を負ふこと。●損失など
を引受ける。責を負ふ。若有事我即。―若
し事があれば僕が引受ける。

チア、ツイ、ホヲ、成適好。●好い安排に。折好く。丁
度。●生憎。折悪く。
チア、ツイ、アヲ、車吞仔。臺車の發著所。
チア、ツイ、正轉。右廻。右へ廻る。
チア、ツイ、正頓。毎日三回の食事を指していふ。黥
心。―三度の食事と茶請。

チア、ツイ、正堂。主なる役人。官衙の長官。縣。―
チア、ツイ、赤糖。赤砂糖。
チア、ツイ、サイ、食長齋。長い精進。
チア、ツイ、シイ、正當時。年頃。好時節。好時季。丁
度よい時。―的少年家。年頃の若者。血
氣盛な青年。此候桃仔。―今頃は丁度桃の
出盛である。

チア、ツイ、食題。〔書〕【食題】。
チア、ツイ、食茶。茶を飲む。

チア

チア

チア

チア

チア テエ 車底。(漢)【車底】。

チア テエ 請茶。●茶を勧める。●(挨拶)御茶を御上。

チア テエ 赤楊。裸。赤裸。

チア トア 正具。芝居の立女形。立小山。女形。

チア トア 車單。汽車の切符。車の切符。拆——切

チア トア 請單。招待狀。【符を買ふ。】

チア トア キアム 食大鹹。餘程鹹いものを食ふ。

チア トア ザウ 食大草。●牛など多量の草を食ふ。一

一的脚賬(兼) 大食家。●報酬・賄賂などを

澤山取ること。此個醫生是——的この醫

者はなかなか料金を澤山取る。——的官賄

賂を澤山取る役人。

チア トア ベエ 食大麥。——講皇帝話

●麥粥を食つて皇帝の様な事を言ふ。柄にない大

言を吐く意。

チア トア 又 遮斷。(國) 遮斷。

チア トア 又 藉端。僞稱。事に寄せる。かこつける。一

生事(シヤク) 事にかこつけて事端を惹起する。

チア トエ 食題。答案が能く題意に合ふ。文章做去

——作つた文章がよく題意に合ふ。

チア トエ 車底。車の蹴込。

チア トオ 正途。●正しい途。●正業。做——不可行

偏途(ヒヤン) 正業に就く可し邪道を辿つてはいけない。

チア

●主たる職業。本職。——偏途(ヒヤン) 本職と副業。

チア トオ 刺吐。箸などで舌根部を掻き吐気をおこさ

せて後産を早くすること。

チア トオ 赤土。赤土。——色(シキ) 赤褐色。赤土色。

チア トオ 斜土。漢字の土偏。

チア トオ エ 且度下。一時間に合一時臆掛に居る。

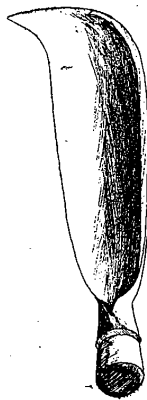
チア トオ チア プヌ 食土食糞。土と糞を食ふ。禮義

人情を知らない畜生。——的人(ニク) 同上の者。

チア トオ ビエン 斜土旁。漢字の土偏。

チア トラ 蔗刀。●甘蔗を切る草鎌の如き柄の長い

刀。●甘蔗の節皮などを削る刀。



③の刀蔗

チア トラ 食桌。馳走を食べる。

チア トラ 食道。(國) 食道。

チア トラ 正道。正道。行——正道を行ふ。

チア トラ 推倒。●押しつけて倒す。●突倒す。

順風(ジュンフウ) 一押しして倒す。●突倒す。

悪い事をする。●顛覆する。●顛覆する。——碗(ワン)

茶碗を顛覆す。——米(コメ) 扱有(アツク) 米が轉覆して

扱入れると却つて以前より澤山になる。辨償する

チア

とき原の物よりも多く返す意。——人的飯碗(ニク)

人の飯茶碗を顛覆す。人の生活の道を奪ふ。

チア トラ 請桌。馳走に招待する。招ぶ。【を害する。

チア トラ サツジ 藉刀殺人。他人の力を借りて人

チア トラ フオアン 推倒醋甕。醋の甕を押し倒す義、

焼餅の人にいふ。恣牽手(ジケンテ) 在(ア) ——彼の妻が

焼餅を焼いて居る。

チア トン 車當。制動機。ブレーキ。【けた

チア トン 斜道。椽を支へる椽。屋根の斜になつてゐる

チア ナア テエ 且住得。まあ宿つていなさい。暫く

居なさい。

チア ナア ビア 食那傾。——做工課(シヤク) 那傾(カケ)

る様に食ふが仕事する時は雇はれ人の様にする、

大食の怠者の意。

チア ニア 請請。【請請】。

チア ニア 情情。【情情】。

チア ニア 成成。【成成】。

チア ニア 此呢。こんなに。此の様に。——美(ミ)

なに綺麗。——早(ハヤ) こんなに早い。

チア ニア 食乳。乳を飲む。——困(クワシ) 仔(コ) 乳(チ)

チア ニア 成年。一年ばかり。一年近い。

チア ニア ラツ 食乳力。一世一代の力。全身の力。

——續(ツグ) 出(デ) 一世一代の力を出す。力の有り丈

出す。「になる。」

チア ニウ 食糧。●兵糧を食べる。●兵となる。兵隊

チア ニウ 斜梁。樵。

チア ノア 遮欄。●遮止める。遮断する。遮る。――

伊的 去路。彼の往道を遮止める。牽草索――

●繩を張って遮断する。●言分などして被隠す。

庇ふ。爲伊門――彼の爲に同上。

チア ハア 蔗箒。甘蔗の葉。剃――同上を剃く。

チア ハン 成項。品物などの纏った。――錢纏った金。

チア ハン 赤魴。(動) 赤魴。

チア バア 食肉。肉食。――滑溜瑠討錢面憂憂――

金を借り肉を買って食ふ時は旨いが金を催促され

ると澁面になる。

チア バア 赤肉。次に同じ。

チア バア 赤肉。豚肉の赤身。赤肉。

チア バア ビア 食肉餅。【肉餅】を食ふ。人に殴られ

チア バウ 正卯。朝の六時。

チア バク 食目。目立つ。人の目を引く。際立つ。

チア バク 刺目。●差明しい。目映ゆい。目映い。傷

光倒――光が強過ぎると反って目映ゆい。●目

障になる。見て積に障る。嫉む。看了――當没

往――目障になって堪兼ねる。看人在好孔你就

――人のうまい事を見て直嫉み始める。●目に

付いて欲しくなる。目欲しい。羨む。見着物就

――物を見ると欲しくなる。「を見る。」

チア バク 斜目。斜視。横目。使――看人――横目で人

チア バヌ 成萬。殆ど一萬。萬近い。――人――一萬人

近い。

チア バヌ 且緩。暫待て。――即――暫く待て。「す。

チア バン 刺網。網結。網を結く。網を編む。網を刺

チア パア 食飽。十分食べる。腹が張る。食事が済む。

你――未――食事は済みましたか。日常の挨拶と

して用ひる。――後――食後。――憶著父――腹が

張って父を憶ふ。本當に父を憶ふに非る意。――

●眠飽食――醉生夢死。――穿燒――飽食燂衣。

――一度過日――徒食する。――播促死人――米の

とぎ汁たらふく食って今度は人の邪魔をする、非

常に五月蠅い意。――換飢――只で人のために働

く。――一度老發鬚鬚是趁的――腹が張って年寄

まで過す外に鬚の生えるだけが儲け物、食って行

かれるだけで金儲は出来ない意。「歩ばかり。

チア パア 成百。●百になる。●百斗。――歩脚――百

チア パア イエヌ 食右烟。肺に阿片の煙の若干を殘

しながら阿片を軽く吸ふ。

チア パア チアトク 成葩成菜。果實など房房なつて

チア パア ビア 食打餅。殴られる。殴るぞ。殴られ

るぞ。加講話――餘計な事をいへば殴るぞ。

チア パア ベエ 食飽未。(挨拶の語)御飯は済みました

チア パア ボア 食飽未。前に同じ。「か。

チア パア リヌ 車抛輪。翻筋斗つ。翻筋斗する。綿

被不眠蠟壳――布團に寝ないで蠟殼の上

に轉轉する、安きに居ないで好んで困難に居るが

如きをいふ。「る。

チア パア リヌ タウ 車抛輪斗。翻筋斗つ。翻筋斗す

チア パイ 食牌。●桶を持つ兵になる。●骨牌の札を

チア パイ 正派。正統。嫡流。

チア パウ ア 食包仔。饅頭を食ふ。【考試】を受け

るをいふ。

チア パク 正北。●眞北。●本當の北支那からの輸入

品又は産物。――的 金總北支那本場の刺繡用

の金絲。

チア パク 正腹。本當の腹から出た子。實子。――與

乞的有差――實子と實子とは隔がある。

チア パク 車腹。油を搾る機械即ち【油車】の腹部。

チア パヌ 食班。諸處他人の家を食歩く者。食潰。

チア パヌ 正版。●本當の版。――的 法帖――同上の

法帖。●本當の。眞の。本式。正則。正式。掠

チア

チア

チア

チア

本式の官話。

チア パヌ 正辨。●正しい品。一假辨。正しき品物と偽物。●正當。本式。正しい。一學的學士。本式の學士。講此的話較。一話した此等の事は正當である。

チア パヌツン 赤斑瘡。(病) 麻疹。

チア パン 車帮。汽車などの發車數を數へる語。頭行。一一番列車。一赴没着。汽車に間に合は

チア パン 車房。機關室。

チア パン 車帆。●母衣。●帆を揚げる。帆を捲上げる。

チア パンキイ 車帆起碇。帆を揚げ碇を上げる。出帆。出港。

チア ヒア 此彼。此所彼所。彼方此方。彼所此所。

チア ヒイ 車魚。●水車で換乾して魚を取る。●車で魚を運搬する。

チア ヒイ 請戲。芝居を雇ふ。

チア ヒツ ホヲブン 食彼號飯。一々念彼號經。其道の飯を食へば其道の經を讀む。人間は皆手

前味噌を捏ねる意。

チア ヒム 赤能。(動) 赤能。飛。

チア ヒム プイ リヌカウ 車熊反輪狗。(巻) 次に同

チア ヒム ポア サイ 車熊拌獅。熊の様に轉んだり獅

チア

舞をしたりする、惡戯をしてわいわい騒ぐ。

チア ビアウ 蔗苗。(名) 甘蔗の苗。

チア ビイ 淡味。淡薄。あつさりした味。

チア ビイ 正米。(名) 正米。

チア ビイ 赤米。(名) 米の一品種。

チア ビイ チア チエク 食米食粟。一較熟人の様に米や籾を食へば禽獸でも利巧になる

の意。體の宴會。

チア ビエン 食盟。神明を祭祀する爲に組織したる團

チア ビヌ 正面。表面。正面。眞向。【側面】に對

チア ビヌ 斜面。斜面。

チア ビア 食癖。依怙地。片意地。駄駄をこねる。意

地を張る。一不去作。依怙地になつて行つて働かぬ。與序大人在。一親に對して意地を

チア ビイ 車棚。車の天井。「張る。

チア ビイ 淡撃撃。次に同じ。

チア ビイ 淡撃撃。【淡薄薄】。

チア ビイ 淡薄薄。【淡薄薄】。

チア ビイ 淡薄薄。【淡薄薄】。

チア ビエヌ 食便。掘睡で食ふ。何不足なく暮す。一領清。左團扇。生計の心配なしに呑気に暮す。

一穿燒。飽食暖衣。

チア ビエン 正旁。右側。右の方。一倒旁。左右。

チア

チア ビロ 車票。汽車などの切符。

チア ビツ 正筆。眞蹟。眞筆。孟子的。一孟子的の筆を以て生活する。

チア ビツ ベエ 食筆尾。筆を以て生活する。

チア ビヌ 正賓。(名) 主賓。上客。正賓。

チア ビヌ 赤貧。(名) 赤貧。

チア フィ 車費。車賃。

チア フィ 刺血。牛・豚・羊等を殺して血を流出するをいふ。刺殺す。此隻猪要。一この豚を刺殺す。一刀。獸類の喉を刺す刀。

チア フィ ア 赤血仔。(名) (大戟科) あかかんこ。

チア フィ チア 車磁車。轆轤臺。玉環藏在。一磨。翡翠の腕輪を轆轤臺にかけて磨く。

チア フィ ト 刺血刀。獸類を屠殺し血を流出せしめるに用ひる刀。

チア フウ 姉夫。姉の夫。

チア フウ 正副。正副。

チア フウ 車夫。車夫。車引。

チア フウ チア 正副皇。正副二通の訴狀。

チア フウ テエ 正府第。本邸。

チア フヌ 食煙。喫煙。煙草を吸ふ。煙草を飲む。阿

チア フヌ 車痕。車轍。轍。

チア フヌ 請煙。●煙草を振まふ。●挨拶の語阿片。

「片を飲む。」

煙草を御上り。何ぞ一服召上れ。

チア フク 車魚。(魚)【車魚】。

チア ブウ 姐母。小兒を守る女神。一〇〇做記號〓同上

が印をつけた、生れながらにして身體の一小部分

に生ずる痣又は畸形などは皆女神がつけたとい

チア ブウ 正母。嫡母。生母。實母。

チア ブウ 車母。機關車。一〇〇牽貨車〓機關車が貨車

を挽く。

チア ブヌ 斜紋。雲霧織。雲霧。綾織の木綿。

チア ブヌ ポオ 斜紋布。前に同じ。

チア ブイ 食肥。食って肥える。食肥る。一〇〇走瘦〓

食って肥らせやうとするのが却って瘦せる、御馳

走を食って腹を毀す又は澤山儲けても費用儲する

に言ふ。一〇〇脱鬚〓食ひ肥って髪の毛を抜く、金

持ぶって食好するが如きを罵る詞。一〇〇可俤人

削肉〓唯肥えて居ても何もしない、肉だけ人に供

せらるる意、飲食のみして何もせぬ人を罵る詞。

チア ブイ 食飯。(飯)【食飯】。

チア ブウ キイ 推浮起。迫上げる。迫出す。押上げ

る。鐵櫃着〓一〇〇金庫を押上げなければなら

チア ブウ シエウ 赤肺色。(色)【葡萄色】。

チア ブウ プウ 淡薄薄。味が悪い。水臭い。鹽氣が

少い。水っぽい。

チア プウ プウ 淡薄薄。前に同じ。

チア プウ ボウ ラウ チエン 食飽無留種。飄籩を食

って種を残さない、後後の事を慮らない意。

チア プッ 請佛。神佛を迎へる。

チア プッ チウ 食不憶。一〇〇【行直】の手の一。兩天秤

の手。一〇〇食っても食っても食盡せぬ。有此的施

主和尚就〓一〇〇是等の施主が居れば和尚は初

中終食遊はしない。

チア プッ プン 食佛飯。【童乳】又は廟守などが神佛

に頼って生活をする。

チア プヌ 食本。資本を食減らす。食込。食込む。損。

本を喰込む。凉水會社寒天着〓一〇〇飲料水の

會社は冬季には損。本を喰込む。

チア プヌ 正本。(圖) 正本。

チア プヌ タウ 車糞斗。翻筋斗。翻筋斗つ。轉覆る。

轉覆す。顛倒る。有眠床不眠要站在蟻

壳〓一〇〇寢床があるのにそれに寝ないで態と牡

蠣壳の上で癡轉ぶ、安逸に構へてよい者が態と危

険な事に手を出して苦しい思をするなどにいふ。

チア プヌ プヌ 淡播播。【淡□□】。

チア プン 食飯。御飯を食べる。食事。喫飯。一〇〇後

〓食後。一〇〇下〓服藥する時を示す詞。食前

(下半身の病氣は何たるを問はず皆此用法を取る

といふ、其は藥が食物の下にあるを以て下半身に

はよく效驗あると信するに因る)。一〇〇頂〓服藥す

る時を示す詞。食後(上半身の病氣に對しては皆

此用法を取るといふ、其は藥が食物の上にあるを

以て上半身によく效驗あると信するに因る)。一〇〇

飽〓飯を食ってから。一〇〇未〓御飯は濟みまし

たか(挨拶の語)。一〇〇皇帝大〓食事の時は皇帝

と同じく神聖である、人が食事の邪魔をする時に

斯く云ふ。

チア プン 正榜。擧人の試験に及第して擧人の稱號

を得た揭示(試験に及第しても缺位なき時は【副

榜】といふ、即ち之に對する語)。

チア プン ヲア 食飯丸。(新) 握飯を食ふこと。一〇〇

監獄に入ること。不收脚能〓一〇〇惡事を改め

ないと監獄に入る。

チア プン タン 食飯動。物を噛む時筋肉の動く所を云

ふ。顎顫。

チア ヘエ 食火。一〇〇火を食ふ。火雞能〓一〇〇七面鳥

は火を食ふといふ。一〇〇燈火の光が充分に行渡る。

此間較能〓一〇〇この部屋は明るい。【こと】。

チア ヘエ 食會。親母子譜の會員が講親の馳走になる

チア ヘエ 正貨。眞物。本物。一〇〇假貨〓本物と偽物。

掠着〓一〇〇本物を捕へた。

チア

チア

チア

チア

チアヘエ 正系。正統。正系。
 チアヘエ 車貨。車で貨物を運ぶ。
 チアヘエ 請火。信仰する神の祭の儀式に加はれぬ時其神に上げられた線香の灰を持来って神に擬し祭の儀式をすること。
 チアベエ 食未。(挨拶の詞)御飯は済みましたか。
 チアベエ 淡麿。粥。【鹹麿】、【甜麿】に對して普通の粥をいふ。
 チアベエ 成尾。食一魚一魚を一定ばかり食べた。
 チアベエ 車馬。車馬。
 チアベエ 赤尾。尾又は先端が赤い。稻仔一稻の穂先が赤い、稻が成熟した。
 チアベエ 刺襪。靴下を作る。靴下を編む。
 チアベエ 情馬。論文などかくに人に頼む。
 チアベエ 成尾。手入する。仕上する。後の始末をする。爲上げる。尻拭。此篇文爲我一咧この文章の後始末をつけて下さい。
 チアベエ タイ 赤尾。鮓。(鮓)毒蛇の名。あをへび。
 チアベエ チア サツブウ ムリア 食要食 虱母不掠。食ふことは食ふが虱も取らない、情者で只居食して居るをいふ。
 チアヘエ 遮蔽。遮る。蔽障す。秘障す。月被雲一得月が雲に遮られる。門爲伊一一彼の爲

チア

チアペエ 食父。一倚父食母倚母父が食せれば父に付き母が食せれば母に付き、自分に利益を與へる方へ荷擔する意。五十歳一五十年食子五十歳までは親のものを食ふし五十歳からは子のものを食ふ、仕合な人をいふ。
 チアペエ 正父。生の親。實父。
 チアペエ 蔗桃。甘蔗の屑。
 チアペエ 赤皮。①赤皮。②植いちめがし。(穀斗科、材質は建築器具材となす)。
 果實は食用として材は種々の器具に用ふ。
 チアペエ シイ 赤百姓。窮民。貧民。
 チアペエ チア ブウ 食父 食母。親の脛齧。
 チアペエ トオア 赤皮杜仔。(植)なんばんがし。(穀斗科、材は建築器具材となす)。
 「二種」
 チアペエ ヒイ 食白魚。①大刀魚を食べる。②賭博の父の飯を食って母の給を着る、親の脛を齧って生

チア

チアホアヌ 者番。(又)今回。此度。
 チアホアヌ 正番。【正番鴨】。
 チアホアヌ 正犯。正犯。
 チアホアヌ アア 正番鴨。(動)鷺の一種。正番鷺(鼻の邊に肉冠状のものあり淡紅色の斑點あり。全身羽毛黒し)。
 チアホエ 食火。(動)【食火】。
 チアホエ 食會。御馳走の會合。會員などの催す宴
 チアホエ 正花。【護生草】。
 チアホエ 正貨。(動)【正貨】。
 チアホエ 刺花。花の繡。刺繡。繡。
 チアホエ 請火。(動)【請火】。
 チアホオ 遮雨。雨を遮る。
 チアホオ 蔗虎。(動)甘蔗の發育を阻害する蟲。
 チアホオ ソア 遮雨傘。傘を翳す。
 チアホア 正號。本物の商標の記號。本物の印。本物。
 一烏龍種一 本物の烏龍茶。
 チアホア 刺號。文身。入墨。
 チアホア 成好。仕上げる。好くする。一是無成歹是有一 悪い人と交はれば好くする事はなく悪くするばかりである。
 チアホク 食福。①食ふ福。有一一食ふ福がある。食是一、磨是磨落一 食ふ者には食ふ福があ

り、働く者には苦勞をする様に運命付けられてる。●【食盟】。

チア ホク 正服。本然の喪服にして父母祖父母兄弟等に對するもの。

チア ホン 遮風。●風除。風を遮る。風除をする。風を妨げる。●寢臺の風除。――棹●寢臺の風除の柱にわたす横木。――片●寢臺の風除。――塔●寢臺の風除の板。

チア ホン 食風。●風を食ふ。去海境――食到飽●海邊へ行って腹一杯に空気を吸ふ。――放屁●風を吸うて屁をひる。屁をひつた時にいふ。●空気を入れる。孔明車着――自轉車には空気を入れなければいけない。●風を含む。風を受ける。帆真――帆がよく風を受ける。較――的所在――もつと風がよく當る所。

チア ホオ 食火。(●)【食火】。

チア ホオ 正貨。(●)【正貨】。

チア ホオ 請火。(●)【請火】。

チア ポエ シアウ 食没消。●消化しない。消化ない。●堪られぬ。我慢しきれない。辛棒しきれない。やりきれない。此號頭路我――この様な仕事には我慢が出来ぬ。頭家在踏躓――主人の侮辱には堪へ切れぬ。

チア ポエ タア 食没乾。●食ひきれぬ。●【食没消】の(●)。

チア ポエ トロ 食没倒。能力がなくて爲きれぬ。負擔しきれぬ。彼號頭路我――あの仕事は僕にしきれぬ。

チア ポエ ブイ 食没肥。食つても肥えない。食つても身にも皮にもならない。食つた甲斐がない。

チア ポエ ラウ シイ 食没老 死没臭。食つても歳を取らない、死んでも腐らない、男が女に汝は年を取つて居ると戯れると女は男に汝は食つても歳を取らない死んでも腐らないと反對に戯れる詞。

チア ポオ 正妻。本妻。正妻。嫡妻。

チア ポラ 車母。(●)【車母】。

チア ポライウ サイワン 食無油菜湯。――脚無脚眠床●油の入れぬ菜の汁を食ひ脚のない寢臺に寝る、非常に吝嗇な意。

チア ポラ サア ジツ サイ 食無三日菜。――就要上西天●三日も菜食せずして西天に上らうとする、未熟者の非望をいふ。

チア ポラ フエ シアウ 食無多精。――糊到滿嘴鬚●僅ばかりの利益を得た爲に他より彼此と非難せられるが如き、間尺に合はない。

チア ポラ タイビイ 食無錢米。――做無錢工課●金の掛らぬ米を食つて金にならない仕事をする、居候の如き。

チア ポラ バア マア ウウ 食無打罵有。食はず事はなく打つ叱る事はある、主人が大いに虐待するなどにいふ。

チア ポラ ロウ パク 食無落腹。――放無落唇●食つて腹に落ちず大便をして厠に落ちない、阿片飲をいふ。

チア ポア 正盤。正しい。本式。正當。本當。――的方法●正當な方法。你講此的話就較――あなたの言つた是等の話は先づ正當である。――的價數●正當な値段。

チア ポア 車跋。悶躁。●足搔く。ぬたくる。站眠床在――寢臺で悶躁く。

チア ポア 車盤。●持つて住つたり持つて來たりする。やりとりする。嫁娶――眞費氣●結婚のときは贈物を持つて住つたり來たりするので非常に面倒である。大――大落氣●冠婚葬祭の時大袈裟にやればやる程失敗も大きい。●口論する。言合ふ。水掛論をする。過了身息了事――亦無路用●過去した事であるから口論したつて駄目だ。――開仔話●つまらぬ事に水掛論をする。

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア

チア ポア ツッ 食博迫。阿片吸食、賭博、遊蕩の三つ。――三字全飲む、打つ、遊ぶの三つ揃。――打算爲一飲む、打つ、遊ぶには打算が第一である。――通都可打算要緊三拍子は一尙差支ないが考へてやらねばならぬ。

チア ポア ビエン 車破反。●翻筋斗したり轉んだりする。臥轉ぶ。のたくる。困仔歸陣在――子供が大勢同上してゐる。腹肚痛站在眠床――腹が痛いので寢床で臥轉ぶ。●仕事又は場所などを常に變へる。不時在――頭路に職業を變へる。

チア ポア リヌ タウ 車破輪斗。【車糞斗】。

チア ポエ ビヌ 正八品。(位階)正八品。

チア ポオ 食補。藥食する。補養に食ふ。滋養ある物を食ふ。轉大人の時着――聲變して大人になる時分に滋養劑を食へなければいけない。

チア ポオ 淡肺。鹽を淡くした干物。一鹽。

チア ポオ 蔗廊。砂糖を搾る所。砂糖製造所。

チア ポオ キウ 正埔姜。【埔姜】。

チア ポヲ 蔗婆。●甘蔗を白に挿む人。●甘蔗の一種。

チア ポヲ 蔗粕。甘蔗の搾滓。

チア ポン ビア 食凸餅。目玉を頂戴する。がりを食ふ。無骨力做能――眞面目にやらないと

チア

チア マア フオ トア フオ 請媽祖討大租。【媽祖】を迎へて大租を催促する。【媽祖】を迎へる爲に費用を要し利益なくして却つて損になる。

チア ミア 藉名。名を騙る。名を借りる。――去角人的錢人の名を騙つて詐欺をする。

チア ミア 食名。●【藉名】。●名前が賣れて居る。名代。名義を利用する。彼是――的。不是正經有價值的――あれば看板がよいので實際に値打があるのではない。

チア ミア 食命。好い運命に因つて生活する。幸福を享樂する。幸福な生活をする。人――我食氣力――人は幸運に因つて生活するも私は力に因つて生活する。

チア ミア 正名。本名。實名。

チア ミア 成命。命を失ふに至らしめる。最期をとげる。食此帖藥適好可――此藥を飲んで命を失ふに至らしめるに丁度よい、この藥を飲んで最期をとげるによい。若不還、你的生理續――若返金しなければあなたの商賣は遂におしまひになる。

チア ミイ 食物。●食物。●物を食ふ。

チア ミイ 正物。正物の本物。

チア

チア ミイ 成暝。一夜。夜通。終夜。

チア ミイ 成物。物に成る。物に成つて居る。不――物になつてゐない。揀較――的。もつと物になつてゐるものを選ぶ。もつと上等な物を選ぶ。困仔――子供がよく出来てゐる。没――物にならぬ。成功しない。此個別日能――この人は他日立派な者になる。粒仔――出来物が充分に熟んだ。

チア ムサイ パア 食不知飽。食うて飽くことを知らぬ。貪慾で飽くことを知らぬ。貪心的人――貪慾な人は飽くことを知らぬ。

チア ムイ 正門。【正門】。

チア ムン 食物。(泉)【食物】。

チア ムン 正門。正門。本門。大門。表門。

チア ムン 成物。(泉)【成物】。

チア モア 遮瞞。秘し隠す。庇ひ隠す。

チア ラア ラア 赤蠟蠟。【赤瑞瑞】。

チア ライ コン 即來講。無論……としてのこと。免錢――無論只としてのこと。正的――本物としての話。

チア ラウ 食老。年取る。年寄る。年を取る。――較無記持――年を取ると物賈が悪い。

チア ラク 車轆。滑車。用――吊貨物。滑車で貨

物を吊上げる。

チア ラッ、ピヌ 正六品。(位階)正六品。

チア ラッ、食力。甚く力を受ける。影響が甚たい。

此枝柱較一この柱が一番重力を受ける。

伊的病眞一彼の病氣は甚い。伊此帮了

彼多錢眞一彼は今度あんなに澤山損をして

實に甚い。

チア ラッ、成力。影響が甚しい。非道い。了。一下

不止一損失が甚だ非道い。

チア ラヌ 赤鱗。(植) (穀斗科)おほくりかし。

チア ラヌ 赤蘭。(植) たいわんあでく。やまつげもど

き。(桃金娘科、材は建築材、農具の柄等に使用せ

らる)。

チア ラン 食人。横暴で狡猾な手段を弄し不法利得

をする。你真一御前は本當に人を馬鹿にし

て居る。一人の物を食ふ。一頭鍾酒講人頭

句話一人より先に酒杯を持ち人より先に口を開

く、尊敬される地位にある人をいふ。一一斤

着還人四兩一人に招かれて一斤食べたら四十

匁の返禮をせよ、人より受けたものに對しては相

當の返禮をせねばならぬ意。

チア ラン 成人。大人になる。年頃になる。成人す

る。尙未一未だ結婚しない。不一才能

のない。醜い。人として成つて居ない。一成人器

一人前。一人の丈位になる。一水一人の丈

位な水、一尋位の深さ。一高い人の丈位の

高さ。一深い人の丈位の深さ。

チア ラン 赤人。貧乏人。

チア ラン カウボロバクサイ 情人突無自尿。葬

式の時に人を雇つて泣かすとも其人には涙が出な

い、他人に誠意がないから人頼するな。

チア ラン キア 成人驚。人を懲懲させる。恐がらせ

る。你此款の忘恩背義能一お前の様

な恩を忘れ義理に背く者は人を懲懲させる。

チア ラン ゴン 食人慾。(食人慾)。

チア ラン サイ 成人材。風采がよい。子婿不止一

一婿は非常に風采がよい。一輕蔑る。

チア ラン ソン 食人慾。愚鈍者と見て馬鹿にする。

チア ラン ツン 成人童。大きな子供になる。

チア ラン テエ 成人塊。(成人粒)。

チア ラン プン チエン ラン ムン 食人飯聽人間。

人の飯を食へば人の言ふ事を聞く、雇人は主人の

言ふが儘に従ふべきであるなど。

チア ラン ベエ 成人胚。(糞)次に同じ。

チア ラン リア ア 成人粒。恰幅がよい。體格がよい。

生做一好く肥太つて恰幅がよい。

チア リア 遮遮。(遮遮)。

チア リア 藉藉。(藉藉)。

チア リア 食食。(食食)。

チア リア 車車。(車車)。

チア リア 穿穿。(穿穿)。

チア リア 推推。(推推)。

チア リア 刺刺。(刺刺)。

チア リア ウ 食了。食終る。食盡す。一的子(甚)

上石。一退退一食ては遊ぶ。何もしない。一

眞快樂一食心地が好い。一牛犬地獄難免

一牛や犬を食へばきつと地獄に落ちる。

チア リイ 赤痢。(痢) 赤痢。痢病。

チア リイ 請你。何卒。何卒。何卒。何分。一較照

照下一何分頼む。一恕罪一高免を乞ふ。一

做前一どうか御先へ。

チア リエヌ 車輦。車輪。一車一車の心棒。一錢

一小さい滑車。弁一車輪を擔ぐ、轢死する。

チア リエン 食乳。(食乳)。

チア リエン 推靈。(除靈)。

チア リエン 赤赤。(赤) 赤色の「茯苓」。

チア リエン 請靈。埋葬後家の内で卓上に供物など列

べて死靈を請すること。

チア リエン 請令。單争又は刑の執行などの時に上司

チア

チア

チア

チア

より令狀を求むること。

チアリエンテエ 且量得。まあ一寸待つて。まあ少し猶豫してくれ。

チアリヌ食乳。乳を飲む。一団仔乳飲子。

チアリヌタウ車輪斗。【車糞斗】。

チアルヌ車輪。車輪。一車輪。一車輪の軸。一栓。一車軸に通す栓。一栓輻。一子同上。

チアルヌサイ車輪菜。【五根草】。

チアロア成埒。蚯蚓脹になる。脹上る。被人打到。一一人に打たれて蚯蚓脹になる。

チアロア正鸞。神の乗移る時手にした桃の枝で卓上の砂或は糠に神の御告を記す道士の類。

チアロオ正路。正路。正道。本道。一不行行偏路。本路を歩かないで横路を歩く。正道を踏まないで邪道を踏む。一生一本。純粹。本家本元。一貨。本家本元の品。

チアロオ車路。車の通ずる路。往來。大道。

チアロオツイ食露水。露を食べる。魚。一人食露水。魚は露を食べて生きることが人は口先によって生活する。

チアロ、推落。推下す。推落す。

チアロ、パグ食落腹。腹へ呑込む。

チアロク、コク食碇。小石でする御手玉の遊戯の

チアウ

チアウ チアウ

チアウ劍。(姓) 劍。

チアウ燭。(姓) 燭。

チアウ昭。(姓) 昭。

チアウ椒。(姓) 椒。

チアウ招。罪状等を認める。白状。不打不。打たなければ白状しない。屈打成。拷問されて無實の白状をする。一財王財を招く。一財進寶財を招き寶を進む。一牌看板。一財進寶財を招き寶を進む。一牌看板。打蛇不死。後殃。蛇を打って殺さざれば後日の殃を招く。充分根切り葉切りして置かないと災害を招く。

チアウ鳥。一鳥。一隻。一羽の鳥。一仔。一羽の鳥。一巢。鳥の巢。打。鳥を打つ。一籠。鳥籠。一飛過亦着落。一羽毛。鳥が飛過ぎても尚ほ一本の手を落させる。勘定高く貪慾なるをいふ。

チアウ照。照す。一法律。法律に照す。一看。照して見る。一借我。一圓貸してくれ。

チアウ通。一起工。仕事始の通。規則通。一約。約束の通。一舊。舊の儘。一實。實際の儘。有の儘。一父梳頭。一母縛髻。父の通に髪を梳り母

チアウ

の通に髪を結ぶ。子供は萬事親を見習ふ。一規則正しく公平に。一行。几帳面にする。一輪。一番にする。一開。費用など等分に割當てる。一買。値。公平なる價格でそれに値する品物を買ふ。

一證明をする文書。爲。一證據とする。移居。一甲の教會から乙の教會へ轉會する爲の轉籍證明書。一見。來去少。一咧。一寸往つて見て來ませう。店頭爲我。一咧。好。一店先を見張つて呉れないか。

チアウ詔。(文) 詔。願。一詔を公布する。接。一儀式を行つて詔書を受ける。

チアウ箒。(箒) 箒。

チアウ齊。(姓) 齊。一齊。全部。行互る。皆。揃ふ。寫去。一書いた字が揃つて居る。抹去。一塗つた白粉など厚薄がない。一全。完全。完備。一到。皆到着した。一好。皆宜しい。一形容詞に冠して。可也に。相當に。好。加減に。一高。可也に高い。一緊。相當に速い。一大。好。加減に大きい。一好看。可也に見映がする。【齊】。一る。

チアウ懺。一心扒腹。もどかしがる。非常に心配す

チアウ箒。(箒) 箒。

チアウ超。(姓) 超。

チアウ

チアウイオン 笑容。(文) 笑顔。笑顔。
 チアウウウ 鳥羽。【蝴蝶花】の○。
 チアウウウ 照巡。順順に。順に。輪番。代番。
 チアウウウ 齊巡。順調に。休なしに。斑がない。仕切なしに。間隔を置かずに。都合よく。滞なく。雨水真一雨が順調に降る。一雨出勤休なしに出勤する。經水一雨經が滞らない。【齊巡】。
 チアウウア 移倚。片寄せる。片付ける。【巡】。
 チアウカア 照合。平均のとれる様に添合せる。附合せる。取合せる。好歹着一好い物に悪い物、悪い物に好い物をつけて平均しなければならぬ。
 チアウカア 鳥脚。鳥の脚。脚のない足。鳥の足の様に細長い足。一蜘蛛肚能食無行路鳥の足に蜘蛛の脚腹をしてるてよく食べるが歩けない、腹の大きくて足の細長い者は仕事が出来ぬ。
 チアウカア 捜家。家宅捜索。家捜し。
 チアウカア 搏醉。釀母を播種せる。
 チアウカア タア 鳥脚踏。宿木。【種】。
 チアウカア チエン 鳥咬種。(種) 第二期作梗の一品
 チアウカク 鳥鴨。雄。雄鳥。
 チアウカク 鳥虎。鳥の剝製。
 チアウカム 照坎站。【照紀綱】。
 チアウカン 鳥公。雄。雄鳥。

チアウ

チアウキア 照行。規則正しくする。約束を履行する。照呼一約束通りに履行する。
 チアウキイ 照期。定めた期日の通に。期限通に。一分納一定めた期日の通りに分納する。無一期限通にしない。
 チアウキイカン 照紀綱。規則立てて。規則正しくする。規則正しい。几帳面。本来…すべき筈だ。【紀綱】を見よ。
 チアウキイチアウカン 照紀照綱。前に同じ。
 チアウキエヌ 鳥臆。鳥の眞胃。鳥の白。鳥の沙肝。
 チアウキエヌ ホエ鳥臆花。(種) (省沽油科) ござ
 チアウキオク 笑劇。(喜劇) 喜劇。【ゐ】。
 チアウギア 照額。額に照して、額に應じて。一奉還一本の額の通に御返申す。一攤錢額に應じて金額を割當る。一本来ならば。當前ならば。一着定你的罪一本来ならばお前の罪を裁定すべきである。一着去當前ならば往かなければならぬ。
 チアウクイ 鳥管。鳥の餌袋。
 チアウクイ 照開。費用などを割付ける。割振る。等
 チアウクウ 照舊。本の通。従前の通。
 チアウクツ 移骨。接骨。
 チアウクヌ 昭君。(人名) 昭君。一怨(曲) 昭君の

チアウ

チアウクヌ 超羣。(多) 拔羣。挺出する。武藝一武藝が拔羣。
 チアウクヌウイ 昭君帷。婦人用の裝飾頭巾。
 チアウクヌバイ 昭君肩。昭君が用ひ始めたといふ一種の額當の如き被物、婦人の裝飾に用ひる物。
 チアウクヌホア 昭君和番。昭君が番人と和する劇曲又は山車物の名。
 チアウケエ 照價。定價通。値段に依る。
 チアウケエ 箒過。隔越える。飛越える。
 チアウケエ 捜家。家宅捜索。家捜し。
 チアウケエ 移價。値段を歩合ふ。
 チアウケエ 箒過。隔越える。飛越える。【す】。
 チアウコア 鳥卦。小鳥に筮竹を拔かせ其に依つて判斷
 チアウコア 照着。本来の物事に照して見れば。一此號行情没起今迄の例に依ればこの相場は上らない。
 チアウコア 捜着。撥返して捜して見る。
 チアウコアケエ 照割價。卸站。卸値通。
 チアウコアヌ 照管。保管する。管理する。拜託人一家伙人に財産の保管を頼む。一公業公の財産を管理する。
 チアウコアヌ 照款。方式通。無一就沒用得方式通にせねばならぬ。

チアウ コオ 照顧。保護。世話。介抱。看護。愛顧。

チアウ コオ 照原。原の儘。舊來の通。

チアウ コラ ボク チオン 樵歌牧唱。(又) 樵歌牧唱。

チアウ コン 照講。●定つてゐる通に話す。●話の通。

チアウ ゴア ヌ 照原。原の儘。舊來の通。

チアウ ゴア ヌ ケ 照原價。本値。

チアウ サア 昭沙。(連) 昭沙。

チアウ サイ 鳥屎。鳥の糞。面抹。顔に鳥の糞を塗付ける、でれすけ。頭壳滴着。頭に鳥の糞がかかる、幸運に恵まれない。

チアウ サイ チエン 鳥屎糞。(連) 桑科、材は玩具類を製す。

チアウ サイ ビヌ 鳥屎面。●道化役者の面。●女にうるさくされかかる。でれすけ。與査某在。女にうるさくされかかる。

チアウ サツ 鳥虱。(連) 羽蟲。

チアウ サム ツク 勦三族。三族を滅す。

チアウ サア ボオ 悍査某。きかない女。強者。赤扒扒。きかない女が猛しい。

チアウ サイ オン 招財主。財を招く神。福の神。

チアウ サイ チヌ ボラ 招財進寶。財を招き寶を進む。

チアウ シイ 詔書。(連) 詔書。

チアウ シイ 照時。時間通に。時刻を違へずに。照候。同上。照刻。同上。

チアウ シウ 鳥巢。鳥の巢。有。着有鳥歇。鳥の巢があれば必ずとまる鳥がある、女は幾ら醜くても誰か貰手がある。

チアウ シエン 超昇。(佛教の言葉) 成佛。

チアウ シエン 超生。(佛教の言葉) 生變る。再生。萬世不能。萬世生變ることが出来ぬ。

チアウ シオン 照常。何時もの通。辦事。何時もの通に事務を取る。

チアウ シオン ツウ 照相處。寫眞屋。

チアウ シツ 鳥翼。翼。羽交。下。下。翼をばたばたさせる。

チアウ シツ 照實。有の儘。實の所。講。有體にいふ。賣猫。説。猫賣の様に正直に話す、正直な猫賣の話あるよりいふ、隠す所なく有の儘に。

チアウ シツ 齊蝕。皆既蝕。皆既。

チアウ シヌ フヌ 照身分。身分に依つて。身分に依つて。

チアウ シム 焦心。(又) 焦心。苛立つ。

チアウ シム 焦心。氣を苛立てる。一扒腹。心配する。胸がむしゃくしゃする。もどかしがる。氣を

チアウ ジエ ヌ 超然。(又) 超然。

チアウ ジツ 照日。日數に依る。一算。日割。

チアウ ジヌ 招認。認める。白狀。自白。服罪。順供。一供述通に服罪する。打到死都不。死ぬまでに打れても白狀しない。

チアウ スイ 鳥嘴。陽物の先の穴の下部。

チアウ スウ 詔書。(又) 詔書。

チアウ スン 照算。計算に照して。當前に勘定して見る。一無彼價值。當前に勘定して見ればそんな直打はない。

チアウ エ 鳥隻。(連) 鳥隻。

チアウ エ エ 搜尋。探す。探索する。尋ねる。搜索。穿鑿。一犯人。犯罪者を搜索する。

チアウ ソア 移徙。移易へる。一位置をかへる。

チアウ ファツ 超絶。(又) 超絶。

チアウ ファエ 照做。凡て規則通にする。規則正しく實行する。伊若較。一咱亦加寡薪水給伊。若し彼がもつと規則正しく眞面目にやればこちらでも幾らか餘計に給料をやる。

チアウ ワエ 搜尋。(連) 搜尋。

チアウ ワヲ 焦憤。(又) 焦慮。煩悶憂慮する。

チアウ ワオ 搜尋。(連) 搜尋。

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

チアウター、鳥踏。宿木。

チアウター、チイ鳥踏刺。(植)てりばごんせう。(葉・

根を用ひ咽喉病・齒痛・マラリヤ・腫毒・横痃等を治す)。「る籠」。

チアウター、ラン鳥踏籠。鳥を捕へる罾。鳥を捕へ

チアウター、昭代。(文)昭代。

チアウター、招待。(圖)招待。——券||招待券。

チアウター、鳥啄。●鳥を捕へる罾。●精米機の米搗

器の光。

チアウター、照頭。初から順序正しく。順順に。——

講||初から順順に話をする。——排||順立。

——理路||初から順序正しく仕事をする。規律

を守って真面目にする。——序路||同上。

チアウター、照頭巡。先線に。順線に。

チアウター、パイ照頭排。番立。順立。

チアウター、ル又照頭輪。先線に。順線に。

チアウター、踏躓。(同)【踏躓】。

チアウター、笑談。笑談。滑稽話。冗談。打——||

笑談をいふ。

チアウター、齊動。全體動く。機關——||機械が全體

動く。三十六骨節——||三十六の骨節が全體

動く、全身を動かす。

チアウター、鳥隻。鳥。鳥類。——傍冬熟||鳥が收

チアウ

獲の餘澤を受ける。年冬好收——||食到若多

||豊年満作ならば鳥が食うても知れたもの。

チアウチア、鳥精。怪鳥。鳥の精。——開宋朝||鳥の

精が宋朝を騒がす、一人の悪者が騒を起す義。

チアウチア、チアウアエ照食照做。規律正しく真面

目に仕事をする。若——||頭家無辭你的頭

路||當前に仕事を真面目にすれば主人があなたの

仕事を辭らない。

チアウチア、チアウバア照食照打。●正當に賭博の

規則を守って札をとって一枚出すこと。●自分の

責任だけの事を凡帳面にする。きちんきちんと仕

事をする。

チアウチア、アエ鳥食麥。鳥が麥を食ふ。一枝嘴那

親像——||口がまるで鳥が麥を食ふ様である、

べらべら喋る意。

チアウチアウ昭昭。(文)明らか。明明白白。天理——

||天理昭昭。

チアウチアウ招招。【招】の○。

チアウチアウ焦焦。焦心。思焦がれる。心肝悶——

||心が悲しくなる。

チアウチアウ照照。【照】の○。

チアウチアウ悄悄。靜——||【靜悄悄】。

チアウチアウ箒箒。【箒箒】。

チアウ

チアウチアウ齊齊。揃。揃ふ。斑がない。打揃ふ。

何も。擧つて。大家——||皆來揃つた。——要

||皆が好む。——仔大||皆揃つて大きい。

チアウチアウ箒箒。【箒箒】。

チアウチアウ搜搜。【搜】。

チアウチアウ搏搏。【搏】。

チアウチアウ勤勤。【勤】。

チアウチアウ稍稍。甚少。少し。少少。稍。

チアウチアウ箒箒。●【箒箒】。●晃——||晃箒

箒。紅——||紅箒箒。

チアウチアウ移移。【移】。

チアウチアウ箒箒。●【箒】の○。●始終。常に。

頻に。——||頻に瞬する。——念||ぶつぶ

つぶ。

チアウチアウア稍稍仔。稍。少し。天——||光

||空が少し明るくなる。

チアウチアウキヲ箒箒叫。次に同じ。

チアウチアウハウ箒箒哮。●拍子木などの音、びし

やりぴやりと。箒仔打到——||拍子木をび

しゃりびしゃりと打鳴らす。●べちやべちやと喋る。

嘴——||同上。

チアウチイ鳥精。●怪鳥。鳥の精。鳥の怪物。●物

知。敏感な。目から鼻に抜ける。非常に悟のよ

い。困仔不止。子供はなかなか敏感である。各項眞一。凡べての事をよく知つてゐる。

チアウチイ 詔旨。聖旨。

チアウチウ 鳥槍。(種) (樟科) くすのきだまし。

チアウチエク 搏撃。爽快。清浄する。気分がよい。

氣持がよい。無食假吐噎。無穿假一。食は

ないのにげつぶを吐く風をなし、着ないのに快

活な風を装ふ。空景氣。今仔日我人眞一

今日僕は眞に爽快だ。

チアウチエツ 照折。數量などの歩合に應じて。一

分攤。破産の時に債權の額の歩合に應じて

チアウチエン 鳥槍。鳥銃。鳥銃。

チアウチエン 鳥槍。鳥銃。鳥銃。

チアウチエン 鳥槍。鳥銃。鳥銃。

チアウチウ 齊少。次に同じ。

チアウチウ 齊少。次に同じ。

チアウチウ 齊少。次に同じ。

チアウチウ 齊少。次に同じ。

チアウチウ 齊少。次に同じ。

不足を補ふ。

チアウチウ 超等。優等。特等。最上等。一。的

三花。最上等の茶利符。一。辨。一等助手。

チアウチオンイウ トヲ 笑中有刀。笑中刀有り、眞

チアウ

綿に針を包む、或は外面如菩薩内心如夜叉の意。

チアウチオン スウ 昭忠祠。招魂社。

チアウチオン マン キアム 笑中藏劍。笑中有刀。

チアウチウ ツ 照直。公平。正直。眞直。有の儘。一

判断。公平に裁断する。買賣着。一。賣買する

時は正直でなければいけない。不與休。一。説

正直にやらない。一。講。有の儘言ふ。一。説

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

●我克の腫の處に突出た物の名。青。一。同上の

青いもの。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

●此候の少年家無與你一。今の若者

は定めた規則に従はない。今の若者は不遜にして

無作法である。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

順序通に。一。排。順順に排べる。與我不

チアウ

止。一。私に對してはよく秩序を守つてやる。

做事情不。一。秩序を守つて仕事をしない。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウツウ ツ 憔悴。瘦焦ける。一。同上。

チアウ

チアウ

チアウトオ博士。土を捏ねる。
 チアウヌン鳥卵。鳥の卵。去食——往って鳥の卵を食ふ。難船して船員が無人島などで鳥の卵を食つて生をつなぐ。外国に出稼する者などを罵つ
 チアウハハ照合。(同) 照合す。照台。「ていふ。
 チアウパイ招牌。看板。招牌。就我的名字在做——僕の名儀を以つて看板にする。僕の名儀を假つて仕事をする。
 チアウパイ照排。順序を立てて並べる。順繰り並べ
 チアウパヌ照辨。見本通。見本に照す。——買見本に照して買ふ。
 チアウパン招房。民刑事各案訊問の際申立を筆記するもの。書記。
 チアウパイ齊備。揃ふ。完備。調ふ。齊備。皆調ふ。【齊備】。
 チアウピエヌ齊便。前に同じ。
 チアウピエン笑柄。(又) 一咄。笑話。
 チアウフウ招扶。雇負。世話。眷顧。愛顧。引立てる。你爲我——咧喇お引立を願ひます。賢——よく世話をする。
 チアウフウ姉夫。姉の夫。
 チアウフウ樵夫。(又) 樵夫。
 チアウフヌ招魂。(同) 招魂。

チアウ

チアウフヌタイ照份開。勘定。費用などを等分する。
 チアウフヌセエ招魂祭。(同) 招魂祭。「頭割
 チアウフヌプヌ照份分。頭割。振分ける。配分す
 チアウブウ鳥母。牝。雌鳥。牝。「る。
 チアウブヌ照分。等分に分ける。等分する。均分。頭割。大家——皆で頭割にする。
 チアウブヌチイ照本錢。本値通。「賣」。
 チアウベエチアウベエ照買照賣。(同) 照買照
 チアウベエソエタウ照父梳頭。——照母縛
 鬘父の様に頭を梳り母の様に髪を結ぶ。子供は萬事親を見習ふ意。
 チアウベエエ悍拵拵。(女) 猛しい。剛い。
 チアウホアツ照法。法に照す。——辨罪法に照して處罰する。事事無——事毎に規律を守らな
 い。難得——規則通りにやり難い。
 チアウホアヌ焦煩。苦悶。苦慮。屈托。氣苦勞。心配する。人——消瘦落肉氣苦勞した爲に瘦衰へる。俾序大人——親達に心配をかける。
 チアウホエ照會。(同) 照會する。
 チアウホオ招呼。●世話をする。面倒を見る。望你較——咧喇どうか御世話をお願いします。賢——よく面倒を見る。●持なす。接待する。款待す

チアウ

る。お世辭をいふ。——人客にお客様を接待する。生理人着較賢——咧喇商人はもつとお世辭をうまく使はなければならぬ。「する。
 チアウホオチアウキア照呼照行。約束の通りに履行
 チアウボエ鳥照。用——當鳥照を使って鳥をとる。
 チアウボエチアウタツ照買照値。相當な値打の物に對してそれ相當な金を支拂ふ。拂つただけの代價に相當するものをやる。「値段で賣る。
 チアウボエチアウボエ照買照賣。買直段に相當な
 チアウボク昭穆。(又) 廟内などの位牌を安置する順
 チアウボオ鳥照。(同) 鳥照。「序」。
 チアウボア搜盤。【車盤】。
 チアウボア移撥。臨時又は暫時の貸借。暫時借る。時借。没得適好的時大家即來相——お互に金の廻らぬ時などに貸借をする。
 チアウポアツ超拔。(又) ●超越する。非凡。武藝——武藝が非凡である。●拔擢する。——門生門生を拔擢する。
 チアウボエ照配。●分に應じて割當てる。頭割にする。●照合」。
 チアウボン椒房。(又) 皇后の居らせらるる間。
 チアウムン鳥毛。羽根。綿毛。羽毛。——扇

鳥の羽で作った團扇。――被羽布團。鳥要飛過亦着落――鳥でさへ飛んで過ぎやうとするには羽を落して行くべきのである、山賊が旅人の金品を強要する時に言ふ。

チアウライ鳥梨。(種)たいわんまめなし。(薔薇科、果實は食用となす)。「部納める。」

チアウラア齊納。全部納める。税金――税金を全チアウラム鳥籠。鳥籠。放出――鳥籠から鳥を放す、自由な世界へ放出す。

チアウラム照覽。(交)照覽。チアウラン鳥籠。鳥籠。チアウラン鳥籠。鳥籠。

チアウランコエ搏人蛙。人の鹽辛を捏ねる、擾亂又は瘟疫などの際察官などが民家に臨み嚴重に搜索などをなし人心恟恟たる有様を言ふ。

チアウリアウ招招。招招。チアウリアウ鷓鴣。(交)巧婦鳥。

チアウリアウ照照。照照。チアウリアウ照料。保護して管理する。面倒を見る。目を掛ける。公業無人可――公業を保護して管理するものがない。――家内家の事について面倒を見る。

チアウリアウ搜搜。搜搜。

チアウ

チアウ

チアウ

チアウリアウ搏搏。搏搏。チアウリアウ勦勦。勦勦。チアウリアウ移移。移移。チアウリアウ箒箒。箒箒。チアウリイ照理。道理に照す。チアウリウ鷓鴣。鷓鴣。

チアウリウ鷓鴣。鷓鴣。「備。」

チアウリウ鷓鴣。鷓鴣。チアウリウ鷓鴣。鷓鴣。チアウリウ鷓鴣。鷓鴣。

チアウリイ鳥類。鳥類。「もの。」

チアウリイ照泉。等級若くは數量等に照して按分する。計算する。多少錢――金額の多寡は持分によって按分する。優劣善悪多寡等を平均させる。同くする。好歹着――好い物には悪い物、悪い物には好い物をつけて平均させる。

チアウルヌ照輪。順番。順線に。交代に。――管理順番に管理する。

チアウレ照禮。禮に従ふ。禮として。――相讓禮讓。――照數禮儀を守る。

チアウレ照例。例の通。例の如く。チアウロヲクウ移落白。脱白した骨をはめる。

チアク爵。爵。「爵」。

チアク

チアク

チアク濺。押筒筒又は水鐵砲等で水を濺ぐ。撥懸ける。水濺――水水鐵砲で水を濺ぐ。「濺」。

チアク擲。筒の中にある竹籬などを上下に震動せしめる音又は多くの錢などを擲む音。錢――叫金がざくざくと音を出す。籤筒――下――御蘭の筒をざくざくと音を出させる。――びっくりして動悸がする。害我――下僕をびっくりさせた。心肝掠在――胸が頻に動悸を打つ。

チアク街氣。街氣。物體ふる。氣障。因爲傷即能被人打――餘りに街ふから人に殴られるのだ。你免在傷――喘餘氣障なまねをするな。

チアクカウ擲。街ふ。物體ふる。氣障な奴。(女)けすかない。傷――即能哭喉――餘に物體風るから人に酷い目に遭されて泣吐ふのだ。――無底氣障な奴は見を張つても長續しない。「擲」。

チアクシツ着實。(着)着實。

チアクチアク濺濺。濺濺。

チアクチアク促促。茹――茹促促。

チアクチアク擲。擲。筒の中にある竹籬を振る音又は多くの金を擲む音など(ざくざく)。袋仔――叫懐がざくざくする、金を澤山持つてゐる。

チアクチアク擲。擲。筒の中にある竹籬を振る音又は多くの金を擲む音など(ざくざく)。袋仔――叫懐がざくざくする、金を澤山持つてゐる。

チアク

チアク

(羊齒類、木賊科、莖根を蔭干し水にて煎服し貧血症及び眼病等に效ありと云ふ)。

チアブクタン 接骨筒。前に同じ。

チアブクヌ 接近。(國) 接近。

チアブコアカアツン 捷着脚川。――就龍跋落屎岩屢屢尻を見ると雪隠に落ちる、度重れば顯はれる意。

チアブアア 接挿。足纏く。纏足して安排する。更提一塊布來――布をもう一きれ持って來て纏足す。此篇文章不止有――この文章は句の配合が仲仲よくできてる。講話賢――話の言廻がうまい。

チアブシホク 接續。續く。接續。引續く。續様に。續續。――趁續様に金を儲ける。雨水――雨が適度に降續く。錢寄了無――送金が順當に行かない。

チアブシホク スウ 接續詞。(國) 接續詞。

チアブシヲソア 接相續。續ける。續合ふ。――的橋繼橋。行香的人――參詣人が引續いて居る。

チアブジム 接任。後任。引繼を受ける。

チアブスヌ 接榫。榫を填める。

チアブスヌカウ 接榫壳。榫を填める、うまく調子を

合せる。御上手をいふ。相槌を打つ。

チアブソア 接續。引續く。足接く。繋る。連續。相續する。接續する。有後頭可――相續する後繼者が居る。

チアブアア 接行。繋目。繼目。

チアブタイ 接待。(國) 接待。

チアブタク 接頭。附根。對――開去附根から放れ

チアブタクグウ 接頭語。(國) 接頭語。

チアブチアブ 汁汁。目開――目が爛れてゐる。爛目。鳥――鳥汁汁。

チアブチアブ 接接。接の(國)。

チアブチアブ 捷捷。屢屢。度度。頻に。――講屢屢話す。――聽度度聽く。――愛落雨。鬼角雨勝。――去善く往く。――來善く來る。

チアブチアブ 啞啞。嘴――叫口をびちびちいはせる。

チアブチウ 接手。受取る。接手する。此號物我無――着こなな物を私は受取なかつた。手――手を接する。手を経る。取次する。手渡す。彼

チアブチ、接着。接する。接受。受取る。――你的條錢是伊――的の金は彼の手を経たのだ。批君の手紙に接する。

チアブチヌ 接陣。敵陣に接する。應戰する。出兵

――兵を出して應戰する。他の行列につづく。他の行列と一緒にになる。站在半路――途中で他の行列につづいて一緒にになる。

チアブツイ 接嘴。番目。合目。繼目。

チアブツウ 竊取。竊取。竊む。

チアブトラ 竊盜。(國) 竊盜。

チアブバク 汁目。爛目。汁目。

チアブヒアア 接洽。下相談する。打合せる。先――即來做事情。先づ下相談をしてから事をす。與本店――竟咧本店と打合せて見なさい。意見などが合致する。一致する。大家意思不止――お互の意見がよく合ふ。兄弟任着較――咧兄弟は和合して一致協力せねばならぬ。

チアブヒエク バア 接肉肉。【腰内肉】。

チアブビイグウ 接尾語。(國) 接尾語。

チアブフヌ 接痕。繼目。合目。

チアブブヌ 接吻。(國) 接吻。

チアブホン 接風。知人が旅行から歸つた時響應する。旅の疲を慰める。洗塵。

チアブホン 接紅。【墨賊子】を以てする賭博の一種。チアブラバ 接納。受容れる。肯ふ。望上帝――我的哀求。私の哀願を受容れる様に祈る。チアブリアア 接接。【接接】。

チアム

チアブリエクバア 接力肉。【腰内肉】。

チアブリエン 接龍。【黒賊子】の目数を以て勝敗を争ふ賭事。

チアブルツルツ 捷角。言動が非常に早い。講話

チアブ 接袂。袖を縫いで長くする。

チアム チアム

チアム 膺。(姓) 膺。

チアム 膺。●進 膺。●氣を付けて見る。大家着相

一 咧 打當らぬ様にお互に氣を付けて見る。店頭少爲我 一 咧 店先を一寸見張って呉れ。

チアム 簪。女の頭に挿すもの。簪。簪。一 仔 簪。

【簪、簪】。

チアム 針。●針又は先の尖つたもの。風 風雨計。寒暑 寒暑計。鉄仔 一 時計の針。鐵槌磨成

一 鐵鎚も磨げば針の様になる。一心をこめれば何事でも出来る。●注射。一 薬水 一 薬を注射する。【針】。

チアム 蝶。蝶や蠅など集る。蝴蝶 一 花 一 蝶が花に集る。蝴蝶 一 尿 一 蠅が尿に集る。蜂 一 花 一 蜂が

チアム

花に集る。

チアム 占。●占ふ。一 伊の夢 一 彼の夢を占ふ。一 卦 一 卦を占ふ。●(臺南地方の方言) 錢。一 一 一 錢。十一 一 十 錢。

チアム 尖。●尖る。嘴 一 舌利 一 口が尖って舌が鋭い、口先がうまい。頭殼 一 頭が尖つてゐる、幸運に恵まれない。鞋頭 一 靴の先が尖つて居る。●尖。尖端。山 一 山の頂。刀 一 刀の尖。靴 一 一 長靴の尖。

チアム 佔。●占める。占領する。乗取る。一 大股 一 合資事業など資本の大部分を占める。一 大位 一 上座を占める。一 便宜 一 自分勝手都合の好いことをする。胎神 一 眠床 一 妊娠の神が妊婦の寢臺を占領する。●横領する。横取る。一 人的土地 一 ひとの土地を横領する。一 人的妻 一 人の女房を横取る。●喧嘩などを制止する。遮って止める。庇ふ。老父打子 一 老母來 一 父が子を折檻すると母が来てそれを止める。冤家出刀 一 無人敢 一 刀を抜いて喧嘩してゐるのを誰も止手がない。●相場の成行を考へて豫め賣買する。思惑。一 買 一 思惑買。

チアム 潛。(姓) 潛。

チアム 漸。段階に。次第に。一 進 一 段階と進む。一 光

チアム

一 次第に明るくなる。【一 間に合】。

チアム 暫。假に。暫。一 住 一 暫の間假に住む。一 權

チアム 籤。竹の籤。抽 一 御籤を引く。撮 一 同上。一 詩 一 御籤の詩。觀音媽 一 觀音様の御籤。

チアム 箋。●竹を薄く削つた箋又は細長く裁つた紙片の類。一 仔 一 附箋。敷取に用ひる竹の箋。●細く刻んで乾したもの。切乾。菜脯 一 大根の切乾。番薯 一 甘薯の切乾。●刺込む。籬仔 一 較密 一 咧 一 竹垣に竹を差込んで目を細くせよ。一 薬水 一 薬を注射する。●署名する。姓名を書く。一 名 一 同上。

チアム 兪。選舉する。你要 一 甚麼人 一 汝は誰を選舉するか。我被人 一 着 一 私は當選した。

チアム 鑽。●刺。糖 一 砂糖の刺。米 一 米俵の刺。●刺込む。突刺す。用米鑽來 一 米 一 米刺で米俵を刺す。●串刺にする。李仔糖 一 歸 一 李

チアム 槌。船の底。船の龍骨部。壓 一 龍骨を据ゑる儀式。

チアム 鐵。豚牛などを屠殺する時鋭利な刀で突刺す。一 猪 一 豚を刺殺す。

チアム 簪。差出がましい。出過ぎる。一 的 一 人 一 出過

者。生意氣。僭越な者。

チアム鏡。【鏡】。

チアム割。強く突刺す。突通す。ずぶつと刺す。對腹

肚邊共伊一落去一横腹をずぶつと突刺す。

チアムアア尖仔。(種) 第二期作水稻梗の一品種。

チアムアア簪仔。簪。【簪仔】。

チアムアア針盒。針箱。

チアムアア簪仔。御圍。簪竹。

チアムアア簪仔。細長い紙片。附箋。數取などに用

ひる竹の篋。

チアムアア簪押。書判を書く。花押。一名字

花押する。差押へる。被官入一役人に差

押へられる。民刑事事件の訴狀を【刑名】【錢穀】

に呈送し奥書を求める。

チアムアア鐙仔。肉叉。フォーク。刺。串。

チアムアアコア簪仔封。簪竹を以てする占。

チアムアアタウサア簪仔頭挿。髮飾。簪。筭。

チアムアアツツ。尖仔穂。【赤穀穂】。【の總稱】。

チアムアアビー尖仔米。【尖仔】。

チアムアアチアムスウ估贏不估輸。利已的。

自分に都合よい様にする。

チアムアア占掩。【占封】と【掩封】。

チアムアアコア又占有權。(國) 占有權。

チアム

チアムイウブツ。占有物。(國) 占有物。

チアムイエン暫用。暫く用ひる。假に用ひる。用立

てる。雖是歹的門一悪いものだけれども

間に合せに用ひる。

チアムイ又簪引。(國) 簪引。

チアムウイ僭位。僭位。氣儘に自稱する位。

チアムウ又估穩。危險を冒すよりも安全な方を取る。

一較沒離經一投資する時などに安全な方にの

み手を出せば損しても大した痛手を被むらない。

チアムオン簪王。廟にある【簪詩】の頭。

チアムヲア鐙倚。桶の底など竹釘で繼合せる。釘で

板を繼ぐ。打竹釘一竹釘で繼合せる。

チアムヲアツ僭越。(又) 僭越。

チアムカアイウ針脚幼。縫針が上手。縫目の細い。

チアムカアイウチウ針脚幼手。(男) 手足が細く

上品な。優男。一粗重無法律一優男

には粗仕事が出来ない。

チアムカアツン尖脚川。器具等の尻窄。

チアムカク尖角。銳角。

チアムカム尖箴。竹又は棕櫚製の鍋蓋。

チアムカン針孔。針孔。針眼。針で開た孔。

チアムキイ占據。(海) 【占據】。

チアムキイ僉舉。(海) 【僉舉】。

チアム

チアムギイ僉議。役割の相談。選任を議する。一

俾某人做保正一相談して某を保正にする。

チアムクイ鐙貫。(海) 【鐙貫】。

チアムクウ占據。占據する。占領する。一關隘

一要害を占領する。

チアムクウ僉舉。選舉。推薦。推舉。一總理一總

裁を推舉する。

チアムクン鐙貫。串刺。

チアムクウ占據。(泉) 【占據】。

チアムクウ僉舉。(泉) 【僉舉】。

チアムグウ諺語。(文) 諺語。妄語。

チアムコア占封。占ふ。易。占。八卦を置いて見る。

チアムコア簪掛。秀才などに及第した時に帽子に飾

る簪と肩にかける赤い布。

チアムコア又暫權。暫く權限を代理する。局長無

在得課長一局長不在の爲課長が暫く權限

を代理する。一學一臨時に書房先生の權限を代

理する。

チアムコア又僭權。越權。僭上。僭越。出過ぎる。

差出がましい。一坐大位一僭越にして上席に

チアムコエ針簾。針箱。【坐る】。

チアムコン鐙管。米、或は砂糖の刺。

チアムサイ針指。指貫。

チアム

チアム

チアムシイ 暫時。暫く。當分。暫時。――抵當。一時凌。――過曲。一時凌。――仔。只暫の間。
 チアムシイ 御籤に照合せて引く運性などを書いた詩。
 チアムシウ 兪首。城市の下級行政官吏、郷村の里長に相當す、總兪首、副兪首の別あり。
 チアムシエツ 暫設。假設。臨時の。――的橋。假橋。
 チアムシム 潛心。――勉勵する。眞面目。潛心。
 チアムジイ 簽字。署名する。路照要俾領事。――旅行券を領事に署名してもらふ。
 チアムジエヌ 斬然。【斬然】。「入る。
 チアムジブ カアキエン 漸入佳境。――漸く佳境に
 チアムスイ 潜水瓶。潛航艇。
 チアムスウ 兪事。官名。書記官。
 チアムズウ 僭踰。――僭踰。
 チアムソア 針線。針と線。――盒。針箱。
 チアムソアジイ 針線兒。――遊女屋の主人。
 チアムソヲ 尖梭。――梭子魚。――魚。同上。
 チアムソヲ 尖鎌。尖の次第に細くなつてゐる。
 チアムタア 尖擔。薪木、藁などを擔ふ兩端の尖つた竹の棒。草席捲。――雙頭吐。席を同上に捲くと兩方の頭が出る、喧嘩する者が雙方とも亂暴である。【草擔】。
 チアムタウ 尖頭。尖。尖つて居る。

チアム

チアムタウ シアチイ 針頭削鐵。針の折、鐵の屑、一寸した金になる屑物に乗せずに利用して儉約すること。生理人着較。――商賣人は一寸した金になる屑物でも棄てずに利用して儉約せねばならぬ。
 チアムタン 針筒。針を入れる筒。
 チアムタン 籤筒。御籤を入れてある筒。
 チアムチア 暫且。暫く。假に。一時。――用看寛。假に使つて見る。――歇。暫く休む。
 チアムチアム 針針。【針】の③。
 チアムチアム 占占。【占】の①。
 チアムチアム 尖尖。尖る。尖つて居る。頭亮。――頭が尖つてゐる、幸運に恵まれない。
 チアムチアム 估估。【估】の①③⑤。
 チアムチアム 漸漸。段階。漸進。次第に。追追。――消大。賣出す。――多。殖える。――侵。蠶食。――低。平坂下。だんだん下る。――進益。駁駁と進む。――出身。歴上る。――那。慣勢。――馴致。――那。階段寒くなつて来る。
 チアムチアム 簽簽。【簽】の③④。
 チアムチアム 踏踏。【踏】の③④⑤。
 チアムチアム 鐵鐵。【鐵】。
 チアムチアム 割割。【割】。

チアム

チアムチアム アア 漸漸仔。【漸漸】。
 チアムチアム ラウ 潛潛流。目屎。――涙がぼろぼろ出る。
 チアムチイ 針指。●針仕事。裁縫。御針。仕立。●縫目。――眞幼。縫目が大層細かい。
 チアムチイ 尖尖。面。――顔が長くてとがっている。
 チアムチイ バンタウ 占星望斗。天體を觀察すること。天文學者又は豫言をする者之行ふ。
 チアムチエン 僭稱。僭稱。
 チアムチヲ 暫借。暫く借りる。
 チアムチヌ 漸進。段階進む。追追進む。漸進。
 チアムチアウ 估柱。(遊戲)鬼ごっこ。
 チアムチアウ 簽條。荷物などにつける札。繪符。
 チアムチエン 暫停。中休。中止。暫く休む。
 チアムチエン 踏踏。●相釘。切釘。板などを繼合せの釘。●釘を刺込む。――落棒。釘を刺込み、柄を入れる、違約せぬ様に固い約束をする。駄目を押す。【釘が刺る】。
 チアムチヲ 踏踏。刺等が刺る。脚。――鐵釘。足に金
 チアムツイ 尖嘴。尖口。窄口。鶴の嘴。
 チアムツイ 僭嘴。餘計な口出をする。出しゃばつて話

す。没曉得更要——出来なくせに出しやば
つて話す。

チアムツイウヌ尖嘴鱷。(吻)鱷。

チアムツイエエ尖嘴的。鼠の異名。

チアムツイチヲ尖嘴椒。【番薑】。

チアムツイチエン潜水艇。(新)潜航艇。

チアムツウ暫住。假に住む。暫く滞在する。——幾
日幾日か暫く滞在する。

チアムツウ漸次。(又)漸次。【擧する】。

チアムツウ尙取。選舉。推舉。——委員委員を選

チアムツヌヲ又古春蘭。支那に産する製茶の商品

名。

チアムツン尖鑽。敏捷。鋭敏。敏捷い。ちよこちよこ

する。——不值抵撞——こせこせするよりもじつ

として時機を待つ方がよい。果報は寢て待ての

意。人不止——人間がなかなか敏捷い。

チアムトア暫住。假住居。暫く滞在する。——的厝

|| 寓居。——幾日幾日か暫く滞在する。

チアムトアヌ尖端。(國)尖端。

チアムトエ佔地。土地を占領する。土地を横領する。

チアムトオ暫度。一時の間に合。腰掛。——岡過時

|| 一時の間に合で日を過す。まあまあどうにかか

うにか日を送る。

チアム

チアムトヲ尖刀。尖った庖丁。

チアムトヲ鐵刀。彫刻刀。切出。小刀。豚を去勢す
るに用ひる切出の如き小刀。

チアムトヲアア鐵刀仔。前に同じ。

チアムニア占領。(國)占領。

チアムバア鑷肉。フォークなどでに肉を刺す。

チアムバア鑷猫。(毒)狸を刺す。

チアムパウ針包。針包。

チアムパヌギイ佔便宜。自分勝手都合の好いこと
をする。事事都要——事事毎に皆自分勝手の

都合の好いことをする。

チアムパン占房。寢室を占領する。胎神——妊娠
中に産土神が妊婦の寢室に占居すること。

チアムヒイ針魚。(吻)針魚。

チアムヒイコア占米卦。米粒で占ふ占。

チアムヒイ針鼻。針眼。針の耳。針孔。展那廊亭
捏那——展げれば製糖所の屋根の様で縮めれ

ば針の孔の様だ、誇大に吹聴しながら終には形

ばかりにするが如きを見ふ。有看見——無看見

大西門——針眼を見て大西門を見ない、本末を忘

れる意。

チアムヒイ鑷邊。縁縫。縁を縫ふ。

チアムヒイ針血。次に同じ。

チアム

チアムファイ簽血。血を抽出する。血液を取る。——
試験——血液を取って試験する。

チアムファイ鐵血。豚など屠る時頸を刺して血を出す。
屠殺する。

チアムファイトラ鐵血刀。豚などを屠殺する際頸部を
刺して動脈を切断するに用ひる長さ一尺幅一寸

五六分の細身の刀。

チアムフヌ僭分。僭越。越權。——坐大位——僭越に
して上席に坐る。

チアムベエ尖尾。尖。先細。先の尖った。——靴——
先の細い軍人用の靴。

チアムベエトラ尖尾刀。劍。尖った劍。

チアムベエホン尖尾峯。【澤蘭】の①。

チアムベエホン尖尾風。(種)【節節紅】の①。

(菊科)たいわんひよどりばなもどき。

チアムホアツ針法。鍼。——的醫生——鍼醫。

チアムホエ啗花。【啗花】。

チアムホエ簪花。花を簪にする。——秀才に及第し
た時帽子に金箔で作った花をさすこと。

チアムホヨ僭號。【僭稱】。

チアムホン暫封。假に差押へる。

チアムホンチエン潛航艇。(國)潛航艇。

チアムボエ尖尾。(種)【尖尾】。

チアム

チアム

チアムボエ 估賣。期米などの思惑買。
 チアムボエ 估賣。期米などの思惑買。
 チアムボン 瞻望。(文) 仰望。
 チアムボヤ 尖尾。(象) 尖尾。
 チアムポク 占卜。占ふ。一運途運氣を占ふ。
 チアムマア 簪仔。(簪仔)。
 チアムマアビイ 尖仔米。尖仔米。
 チアムミア 簽名。記名調印。署名。記名。一畫號。
 || 記名調印。
 チアムライ 尖利。鋭い。尖って鋭い。
 チアムリアム 針針。(針針)。
 チアムリアム 占占。(占占)。
 チアムリアム 估估。(估估)。
 チアムリアム 簽簽。(簽簽)。
 チアムリアム 鐸鐸。(鐸鐸)。
 チアムリアム 鐵鐵。(鐵鐵)。
 チアムリアム 割割。(割割)。
 チアムリウリウ 尖瑠瑠。非常に尖つてゐる。
 チアムリウリウ 尖瑠瑠。前に同じ。
 チアムリエン 占領。(圖) 占領。
 チアムリオン 潛龍。(文) 潛龍。
 チアムレエ 僭禮。僭禮。分限を超えた禮。
 チアムレエ 尖絡絡。非常にとがってゐる。

チアン

チアン チアン

チアン 漳。(地名) 一州 漳州。一泉 漳州と泉州。
 チアン 將。章。……(漳) 【チオン 將。章。……】。
 チアン 掌。掌る。管理する。支配する。一櫃 帳場。
 出納係。一家事 家事を掌る。一板 管刑を掌る。又は其人。
 チアン 長。(語原は官話より轉じたるものなるべし) ●
 値が上る。騰貴する。銀價 銀の値が上る。
 米價 米の値が上る。一價 値が上る。一植 物類がよく伸びる。發育する。一直 起來 伸びずんずん伸びてくる。
 チアン 將。(將)。
 チアン 負。(負)。
 チアン 増。(増)の②。
 チアン 鎗。(語原は官話より轉じたるものなるべし) 銃。鐵砲。鳥 鳥銃。毛 毛劊。一毛 一セル銃。
 チアン 昌。娼。……(漳) 【チオン 昌。娼。……】。
 チアン 趟。(語原は官話より轉じたるものなるべし) ●
 片足を上げて跳ぶ。一脚行 同上で歩く。一過 溝 片足で溝を跳越える。一方の足に重みを掛けて破引く。破引く。躡着 脚骨 緩緩 仔 返 來 足を傷めた爲にのそりのそりと破引いて歸へ

チアン

つて来る。

チアン 唱。(語原は官話より轉じたるものなるべし) ●
 唱ふ。一高調 高調子に歌ふ。一言明 する。明かに口約束をする。你有 與伊 無 汝は彼と明かに口約束をしたか。一呼揚 げる。名告る。一名 名を呼揚げる。一價 値段を呼揚げる。一唱) 唱)。
 チアン 腸。(語原は官話より轉じたるものなるべし) 腸詰。煙 煙した腸詰。
 チアン 冲。力強く水等を流す。打潑 ける。一水 水を打潑ける。水を撒く。
 チアン 戕。穴を掘る時など突刺して抄ふ。一土 土を抄ふ。對腹 肚 一落去 横腹を目がけて突刺す。一シヤベルの如き土を掘る器。土 同上。
 チアン 儵。儵 儵 銅 銅儵。
 チアン 箇。でくはす。遭遇する。相 同上。一仔 遇着 杭仔 思掛なくも機會に遭遇する。偶然に機會に際會する。糊から牡丹餅。注文した様に。
 チアン ア 戕仔。先に平い金物を填めた穴を掘物。
 チアン イア 將營。(將營)。
 チアン イアン 昌陽。(昌陽)。
 チアン イウレエ ツ 娼優 隸卒。(娼優 隸卒)。
 チアン イム 漳音。漳州音。

チア/ン カア 趨脚。ちんちんもがもが。片足を後に曲げ片足で跳ねる。ー行同上して歩く。

チア/ン カア ケエ 趨脚捲。前に同じ。

チア/ン キイ 将鉦。(海) 【将鉦】。

チア/ン キイ 将基。(海) 【将基】。

チア/ン キイ 将旗。(海) 【将旗】。

チア/ン キイ 娼妓。(海) 【娼妓】。

チア/ン キイ タウ 唱起頭。(海) 【唱起頭】。

チア/ン キヲ 掌轎。官人の轎昇。轎を管理する。

チア/ン キヌ 將近。(海) 【將近】。

チア/ン ギアク 瘡瘡。(海) 【瘡瘡】。

チア/ン クイ 掌櫃。帳場。出納係。金庫を掌る者。

チア/ン クヌ 將軍。(海) 【將軍】。

チア/ン ケエ 掌家。家を管理する。又は其人。

チア/ン ケエ 娼家。(海) 【娼家】。

チア/ン ケエ 唱價。①高値を稱へる。②競賣の時など價を大聲で呼ぶ。

チア/ン ケエ チウ ケエ 將計就計。(海) 【將計就計】。

チア/ン コアヌ 掌管。管理する。支配する。掌管。掌る。

チア/ン コアヌ ジイ 掌管字。不動産の收益權を設定する。證書。

チア/ン コオレエ 趨脚裂。(海) 【趨脚裂】。

チア/ン コン 猖狂。(海) 【猖狂】。

チア/ン

チア/ン サムケエゴ 將三改五。(海) 【將三改五】。チア/ン 常イ 常在。(語原は官話より轉じたるものなるべし)元から極つてある。定つてある。常住ある。常にある。雇人又は取引など或一定の人にきまつた。

チア/ン シア 掌扇。大官人の行列の時前で大きな團扇を持つ。

チア/ン シイ 將時。今頃。昔年ー去年の今頃。昨昏ー昨日の今頃。

チア/ン シイ 唱始。(海) 【唱始】。

チア/ン シウ 唱首。(海) 【唱首】。

チア/ン シエツ 唱設。(海) 【唱設】。

チア/ン シエン 昌盛。(海) 【昌盛】。

チア/ン シヌ チア/ン ギイ 將信將疑。(海) 【將信將疑】。

チア/ン シム ビイ シム 將心比心。(海) 【將心比心】。

チア/ン スウ 將士。(海) 【將士】。

チア/ン スウ 縦事。(海) 【縦事】。

チア/ン セエ 漳紗。漳州より出る紗。

チア/ン ソエ 將帥。(海) 【將帥】。

チア/ン マアヌ 漳泉。漳州と泉州。ー傾漳州の人と泉州の人とが互に争ふ。福建完完不值ー福建省全體でも漳州、泉州に値しない。漳州泉州の肥沃を自慢した諺。

チア/ン

チア/ン マヲチウマヲ 將錯就錯。(海) 【將錯就錯】。

チア/ン タイ 將臺。(海) 【將臺】。

チア/ン チア/ン 掌掌。(海) 【掌掌】。

チア/ン チア/ン 増増。(海) 【増増】。

チア/ン チア/ン 髮髮。複雑した形容。茹ー無茶苦茶。こちやこちや。わや。

チア/ン チア/ン 唱唱。(海) 【唱唱】。

チア/ン チア/ン 律律。ー行一早早と行く。ー走急に走る。

チア/ン チア/ン 冲冲。①くらくらと。ぐらぐらと。水ー滾湯がぐらぐら煮立つ。腹肚ー滾腹が煮くりかへる。②がやがやと。わやわやと。人ー滾人ががやがや騒ぐ。③滾滾と。水ー流水が滾滾と流れる。

チア/ン チア/ン 戕戕。(海) 【戕戕】。

チア/ン チア/ン 冲冲。【冲冲】の(㊸)(㊹)(㊺)。

チア/ン チア/ン クヌ 冲冲滾。水ー湯がぐらぐらと煮立つ。①人ー人ががやがやと騒ぐ。街内ー町通が賑かである。②腹肚内ー腹の中が煮くりかへる、くしゃくしゃする。

チア/ン チウ 漳州。漳州。ー道漳州の道臺。

チア/ン チウ 將就。(海) 【將就】。

チア/ン チウ チヌ 漳州鎮。漳州の鎮臺。

チア/ン

チア

チア^ンチ^ニヲ 將盡。(海)【將盡】。
 チア^ンチ^ニヲ 長進。(海)【長進】。
 チア^ンチ^ニヲ エン 章程。(海)【章程】。
 チア^ンチ^ニヲ 衝着。出合ふ。遭遇する。
 チア^ンツイ 沖水。浴びる。水をかける。
 チア^ンツツ 將船。(海)【將船】。
 チア^ンツウ 衝適航。次に同じ。
 チア^ンツウ 衝適衝。偶然に。圖らずも。――
 在路裡撞着||偶然に路で出會した。
 チア^ンハウ 將校。(海)【將校】。
 チア^ンババ 娼猫。(海)【娼猫】。
 チア^ンパヌ 漳版。漳州府でおこした版木。
 チア^ンパヌ 掌板。若刑を掌る又は其人。
 チア^ンビエン 償命。(海)【償命】。
 チア^ンピアウ 娼娘。(海)【娼娘】。
 チア^ンフウ 娼婦。(海)【娼婦】。
 チア^ンホエ 掌會。司會。
 チア^ンポオ 菖蒲。(海)【菖蒲】。
 チア^ンポオ シイ 掌簿司。閻魔帳を掌る神。【城隍爺】の隨神。【席を取る】。
 チア^ンミア 唱名。名を呼上げる。出席簿を呼ぶ。出
 チア^ンライ 將來。(海)【將來】。
 チア^ンラウ 娼樓。(海)【娼樓】。

チイ

チア^ンリイ 掌理。掌る。支配する。――人||支配人。
 一店内||店を取締る。
 チア^ンリアン 掌掌。(海)【掌掌】。
 チア^ンリアン 増増。(海)【増増】。
 チア^ンリアン 唱唱。(海)【唱唱】。
 チア^ンリアン 沖沖。(海)【沖沖】。
 チア^ンリアン 戕戕。(海)【戕戕】。
 チア^ンリエン 將令。(海)【將令】。
 チア^ンレエ 漳螺。(海)【九孔】。
 チア^ンレエ 唱禮。祭祀などの儀式に式順や禮を號令
 すること。
 チイ 脂。(海)【脂】。
 チイ 之。(海)【之】。積善一家||積善
 の家。①陰門。一之||同上。②女同士の用ひる
 最悪の罵詞。三八||馬鹿。娘子||淫賣女
 め。③同上で罵る。被入||人に罵られる。一
 到無一塊||完膚無きまでに罵る。
 チイ 紫。(海)【紫】。一色||紫色。
 チイ 只。(海)【只】。一有||只……あるのみ。
 一有三本||三册あるのみ。一能漢文||只漢文
 だけ出来る。④紙幣などの束。一||束。

チイ

チイ 址。(海)【址】。境界||境界。坐||所在地。
 チイ 姉。(海)【姉】。一妹||姉妹。大||長姉。一夫||姉婿。
 チイ 子。(海)【子】。日||日子。甲||干支。③實。核。仁。
 種子。瓜||西瓜の種。栗||栗の實。結||實
 を結ぶ。④種子の如き形をした物。魚||魚の
 卵。算盤||算盤の珠。銃||分銅。銃||鐵
 砲の丸。⑤棧。格。格子。樓梯||梯子の棧。
 窓仔||窓の格子。烘爐||焔爐の火をうける
 格子。さな。絞||轉手。⑥音||音色。鼓||
 鼓の打方によって出る音。
 チイ 指。(海)【指】。一十||齊全||十指完全。手||指輪。①口で
 指す。一示||指示。一點||指摘する。指示する。
 一鹿爲馬||鹿を指して馬と爲す、隱物を本物と
 假稱する。
 チイ 止。(海)【止】。止める。止る。停止。不||三十||三十に止
 らぬ。一嘴乾||渴を止める。一痛||痛を止める。
 血||喇||血が止つた。②迄。五歳到十歳||五
 歳から十歳まで。對廿五起到三十一||二十五
 から初つて三十迄。
 チイ 這。(海)【這】。一遭||此回。一幾個||此等幾人か。一
 人||此一人。
 チイ 煮。(海)【煮】。
 チイ 志。(海)【志】。有||志がある。有志者。有||無氣||

チイ

チイ 諍。言争ふ。強辯する。一嘴同上。一輸言争うて負ける。與孔子公一子孔夫子と字を言争ふ。蠟螂の斧などの意。一無無いと主張する。你尙且要一御前はまだ強情をいふか。【諍】

チイ 煎。油で揚げる。一油同上。一肉肉を揚げる。一揚物。天麸羅。蝦一蝦の天麸羅。一拵。拵込む。拵込む。壁一磚仔一壁に棟瓦を差込む。一人縫一入込の中へ潜込む。雞鴨一管一賣る時に目方を殖すために雞や鴨の餌袋に餌を押込む。一先を争ふ。一在先同上。一做頭一先に立たうとして争ふ。一洗や風を湧る。逆行する。魚一水一魚が水を湧る。

チイ 錢。一姓。錢。錢。鳥目。金。錢。趁一錢を儲ける。一四脚人二脚一錢は四足で人は二足、錢の無くなり易いこと。一閉了人那生鳥一金を使つてしまへば相手にしない。一無脚能行路一錢は脚が無くとも能く歩く。一父。三一二三二分。

チイ 簷。軒。一口軒先。一夫人一軒端の女神。チイ 晴。晴れる。天籠没一天氣がさっぱり晴れない。早雨早一晴雨住限一朝の雨は早く晴れ夜の雨は夜中歇まない。【晴】。

チイ 紙。【紙】。

チイ

チイ 靜。天氣が穩か。風一風靜か。風が風ぐ。息一雨風など止む。天氣が曇れる。風一湧平一波風が鎮る。【靜】。

チイ 崖。(姓) 崖。チイ 鰓。魚の鰓。魚一同上。鰓魚食水一下過一鰓は水を飲むも鰓の下から通抜ける、咽元過ぐれば熱を忘れる、又手から手に渡るの早きにもいふ。チイ 痴。女好。助平。でれすけ。人眞一甚だ女好。チイ 嗤。滾った油に物を入れる時又は水の煮立つ時などの音。じゅう。一滾一じゅうじゅうと沸く。水在一水がじゅうじゅういつてゐる。一やけた鐵などを水に入れる。一水同上。一油一熱い銅に油を入れる。

チイ 敷。蛆。……【ツウ敷。蛆。……】。チイ 鼠。處。取。……【ツウ鼠。處。取。……】。チイ 刺。刺。刺。厚一刺が多い。撒一刺をほじり取る。撮着一刺をたてる。欺負爛土無一泥には刺が無いとて馬鹿にする、弱い者いぢめをする。一魚の小骨。魚一同上。幼一小骨。食鱸仔魚味一鱸を食つて小骨を吐出す、營養なことをする。

チイ 翅。鱧の鱧。魚一同上。チイ 尸。屍。屍。要娶新娘不可去見一花嫁を

チイ

貰ふときには死んだ人を見に行くな。照一死人の燈明、足の方に置く。一油同上燈の油。チイ 試。試みる。試す。一伊的心事一彼の心を試す。一看一試して見る。頭毛一火無滾笑一頭髮で火を試みるは焼けるにきまつてゐる、冗談ぢやない。薪を抱いて火に望むなど。

チイ 弒。弒する。一君一君を弒する。チイ 頤。頤垂れる。俯く。頭一頭を垂れる。一落海一船先を俯けに海中に突込む。飛行機一落來一飛行機が俯に下降して来る。一寸眠る。一一下一同上。

チイ 徐。(姓) 徐。チイ 持。持する。持つ。見合せる。相一相持する。且一得一暫く見合せる。一替持替。持。チイ 洶。濕っぽい。衫仔褲一着物が濕っぽい。鹽上一鹽が水氣を帯びる。一腐腐一じとじとと濕める。

チイ 市。市。菜一野菜市。魚一魚市。開一市を開く。罷一(商賣)同盟休業。一市。町。一街一市街。一内一市内。上城一町へ行く。

チイ 飼。飼ふ。養ふ。飼養する。育てる。一牛一牛を飼ふ。一查某一妾を圍ふ。一到五歳一五歳ま

チイ 嗤。【嗤】。

チイ 飼。飼ふ。養ふ。飼養する。育てる。一牛一牛を飼ふ。一查某一妾を圍ふ。一到五歳一五歳ま

チイ 嗤。【嗤】。

チイ

チイ アア タウ 市仔頭。町の四角。四辻。
 チイ アア チイ 菁仔子。檳榔の實。檳榔子。
 チイ アア チウ 子仔樹。(通)【子仔】。
 チイ アア チウ 菁仔樹。(植) (棕櫚科) 檳榔子。
 チイ アア ツウ 鴿仔厨。鳩部屋。鳩の巢。
 チイ アア テエ 菁仔宅。檳榔を栽培する畑。
 チイ アア トヲ 刺仔刀。小さな彎曲した刀。
 チイ アア ハア シイ 菁仔籐扇。檳榔樹の皮の團扇。
 チイ アア ヒヲ シイ 菁仔葉扇。檳榔樹の葉の團扇。
 チイ アア ビイ 錢仔疋。鑲錢。歹——同上。連
 一文——亦無一鏰一文もない。
 チイ アア ロア 刺仔埒。【刺仔】の○の生籐。
 チイ アウ 止嘔。嘔吐を止める。食鹹——鹽氣の物
 を食べて嘔吐を止める。
 チイ アウ 生嘔。吐氣を催す。空吐する。病子的人
 能——惡阻のある人は吐氣を催す。
 チイ アヌ 錢緊。手元不如意。金融逼迫。——生理做
 没動——金融逼迫で商賣を切廻すことが出来ない。
 チイ アッ 錢盒。小さい錢箱。
 チイ アイアウ 至要。極要。要。緊急——緊急にして
 樞要な。——的物——極大切な物。
 チイ アイアウ 生飢。餓える。病後食欲が亢進する。非
 常に餓い。腸仔病好起來能——腸室扶斯

チイ

が治れば食欲が亢進する。
 チイ アイアム 煮鹽。(通)【煮鹽】。
 チイ アイアム 生鹽。粗製の鹽。——滴鹽の苦。苦鹽。
 【熟鹽】に對す。
 チイ アイイ 旨意。勸旨。御旨。奉陛下——陛下の歡
 旨を奉ずる。
 チイ アイウ 掙油。梘を打込んで油を搾る。油搾——
 油を搾る機械で油を搾る。人來到那——油
 を搾る様に人が押合壓合する。
 チイ アイウ 煎油。煎げる。油で揚げる。
 チイ アイウ 戸油。【脚尾火】に用ひる油。(普通落花生
 の油を用ひる)。
 チイ アイウ 酉己酉丑。【巳酉丑】。
 チイ アイエウ 鼠疫。(鼠)【鼠疫】。
 チイ アイエン 支應。支給に應ずる。需要に應ずる。一
 切的學費我即——僕が一切の學費を支辨す
 る。一切の學費を引受ける。
 チイ アイエン 只用。只……のみ用ひる。——我一人
 只僕一人のみ用ひる。——甘草五分——只甘草を
 五分だけ用ひれば足りる。もうこれで十分であ
 る。
 チイ アイエン 試用。試に使ふ。試用。
 チイ アイオン フウツウ 紫陽夫子。【朱文公】。
 チイ アイオン ホエ 紫陽花。(植) (荳科)【金合歡】。

チイ

チイ アイヨ 青將。骨牌の札。【四色牌】を見よ。
 チイ アイヨ 青灼。(動) 青蛙。雨蛙。
 チイ アイヨ 生藥。生藥。——舖——生藥屋。【熟藥】に對
 して。
 チイ アイヌ 指引。(及) 指導。
 チイ アイヌ 接印。官印の引繼を受ける。職權の受授。
 チイ アイヌ 取引。(及) 【取引】。
 チイ ウイ 刺猪。(動) 豪猪。針鼠。(皮を藥用に供す)。
 チイ ウウ 只有。只……だけ。只。——彼個——彼丈。
 ——我去而已——私が往つただけだ。——百五
 張——只百五十枚有るだけ。
 チイ ウウ 至於。(及) 至る迄。天子——庶民——天子よ
 り庶民に至る迄。
 チイ ウウ 折窩。纏足などで曲る。脚——足の甲が
 高く曲つてゐる。
 チイ ウッブイ コエ 生廚肥雞。雞肉・椎茸・葱・筍
 等を煮た料理。
 チイ ウヌ 市尹。(國) 市尹。
 チイ ウヲ 至於。(及) 【至於】。
 チイ エエ 這個。此の。此。
 チイ オク 質屋。(國) 質屋。
 チイ オン 諍主。強辯する者。賢服事——よく強
 辯をする者。
 チイ オン 青將。骨牌の札。【四色牌】を見よ。

チイ ヲア 壓倚。喧嘩の時など近寄って迫る。肉薄する。――要來打近寄って來て殿らうとする。

チイ ヲア 趨倚。勢よく飛掛る。差迫る。差寄る。――去つと差寄る。――來吠吠付く。――去つて飛掛つて殿る。

チイ ヲア 青荷。【蚊仔燻草】。【供の渡垂】。

チイ ヲア 生蠟。生の牡蠣。賣――牡蠣を賣る。子客――他處から來た見知らぬ人。新入者。各項較

チイ カア ツン 青脚川。(番裏の青い紙幣。臺灣の拾

チイ カア ツン アア 青脚川仔。前に同じ。

チイ カア プン 飼子飯。(魚)【魷仔】。

チイ カイ 持戒。(又)持戒。戒を保つ。「を乞ふ」。

チイ カウ 指教。指導。教を乞ふ。望休――御指導

チイ カウ 至交。知己。親友。心安い。伊與我是一――彼と僕とは斷金の交である。

チイ カウ 舌劍。舌拔。

チイ カウ 箭鉤。矢筈。

チイ カウ 生猴。●ぼつとで。新參者。内山的――田舎這出。●周章者。做事不可傷――事を

チイ カウ アア タン 刺狗仔蟲。(動)毛蟲。

チイ カウ カン 生猴公。●生猴。●早合點して怒る者。物事を究めず直に怒る者。

チイ カウ カン モウ 生猴公樹。(種)べにまめのき。(善科、材は建築器具材に適し種子は蕃人の裝飾用に供す)。

チイ カウ フウ ジヌ 簷口夫人。崇神の一種。軒端の

チイ カウ ホアヌ 生厚簾。簾水紙。

チイ カウ 枳殼。(種)枳殼。枸橈。(芸香料、疝氣・下痢等を治し腫を消す効あり)。

チイ カウ 止渴。渴を止める。飲茶――茶を飲んで渴を止める。

チイ カム 舌疳。(病)舌瘡。口腔の瘡腫。

チイ カム 鯖甘。【鯖甘魚】。

チイ カム アア 刺柑仔。(種)茄科)天竺茄。【五宅

チイ カム ヒイ 鯖甘魚。(動)いなだ。鯛。

チイ カン パア 青公有。一穗の中の一部分の粒がよく實つてゐない。稻穂がよく熟してゐない。

チイ カン ペエ 青空白。青白い。灰壁――石灰で塗つた壁の色が青白い。

チイ カン ボオ 刺江牡。【大葉刺葱】。

チイ ガイ 痴呆。馬鹿。白痴。痴愚。

チイ ガヌ 至言。(漢)【至言】。

チイ ガヌ 箭眼。矢狭間。

チイ ガム 舌瘡。(病)舌瘡。

チイ キア 生驚。喫驚。驚く。魂消る。肝を潰す。――搭嚇。喫驚して恐怖く。

チイ キア プン 飼子飯。【魷仔】。

チイ キア ボアルヌ プン 飼子無論飯。――飼父母賤頓。自分の子供に食はせる飯は構はないで父母を養ふには一食何程と勘定する。

チイ キイ 止饑。饑を止める。腹を拵へる。飲水――水を飲んで饑を凌ぐ。

チイ キイ 志氣。志氣。意氣地。氣骨。氣概。意氣。有――就能獎志。氣概があれば眞面目になる。無――意氣地なし。

チイ 要吠嗅。犬を飼つて夜番をさせる。

チイ 頭奔。頭を垂れて尻を上げる。行路――

チイ キイ 折去。挫ける。折れる。

チイ

チイ キイ 市區。(海) 【市區】。

チイ キイ 生柿。生柿。【熟柿】に對す。

チイ キイ シェク ボラ フヌ 生見熟無份。生の時は見るが煮えた時は分配に與らない。雇人などが料理の手傳をして馳走に與らない意。

チイ キウ 嫩膏。新生膏。生膏の芽。

チイ キウ 刺球。【金合歡】。【童鼠】の用ひる針を植ゑた木の穂。

チイ キウ 持久。(文) 持久。

チイ キウ 生膏。(植) 生膏。

チイ キウ アア 刺球仔。【刺球】。【兇猛な人を輕蔑していふ。】你不可去惹着彼個——汝はあの刺刺しい人に觸つてはいけない。

チイ キウ キウ 青縮縮。未だ熟さない。生らしい。

チイ キウ ホエ 刺球花。【刺球】の○又は其花。

チイ キエク 至極。至極。無上。非常に。至つて。極。骨頂。——溫柔——至極柔順。——的道理——至理。到——極に到る。

チイ キエク 刺戟。(國) 刺戟。

チイ キエク 刺客。●刺客。●暗殺する。刺殺す。弑殺。被入——人に暗殺される。要行——暗殺を企てる。

チイ キエヌ 贊見。(文) 次に同じ。

チイ

チイ キエヌ レエ 贊見禮。(文) 高貴の人に謁見する時に贈る禮物。先生又は醫者への禮物。

チイ キエン 紫荊。(植) はなすわり。(豈科、庭園に栽培して觀賞用に供す)。

チイ キエン 取經。(海) 【取經】。

チイ キオク 支局。(國) 支局。

チイ キオク 錢局。造幣局。

チイ キオン 止宮。(植) (無患樹科) あかぎもどき。

チイ キオン 持強。腕力に訴へる。——迫倚——腕力を用ひて差迫る。

チイ キヲ 刺茄。(植) 蛇苳。にしきはりなすび。きんぎんなすび。(茄科、葉及び根を用ひて腫物、横根、微毒等を治す)。

チイ キヌ 舌根。(海) 【舌根】。

チイ キヌ キヌ 生觀觀。(目) きよろきよろ。目開——驚いた時など目を見張る。

チイ キブ 至急。(國) 至急。

チイ キブ 至及。(文) 至る。及ぶ。——到彼時——其時

チイ キブ 取扱。(海) 【取扱】。

チイ キム 紫命。芝居に使ふ昔の冠物の一種。

チイ キム 至今。今迄。自古——昔から今迄。

チイ キム 青金。純金。少し青色を帯びた金。

チイ キム 生擒。生擒。——的——俘虜。捕虜。

チイ

——活掠——同上。

チイ キム チア 紫金錠。(藥) 紫金錠。

チイ キム ヒイ 飼金魚。金魚を飼ふ、情夫を拵へる。若し燕を飼ふ。

チイ ギア 錢額。金額。

チイ ギア ギア 刺秀秀。●刺だらけ。歸身——全身刺だらけ。●因縁を附けて喧嘩などを吹掛ける者。無賴漢の様な刺刺しい者。

チイ ギアム 試験。(國) 試験。

チイ ギイ 贊儀。(文) 【贊見禮】。

チイ ギイ 生疑。疑ふ。怪む。危む。胡散に思ふ。——下——怪見な顔をする。自己具脚川不即能——自分に缺點があるので胡散に思ふのだ。

チイ ギウ ギウ 青縮縮。【青縮縮】。

チイ ギエク 弑逆。(文) 弑逆。

チイ ギエク 青玉。碧玉。翡翠。サファイヤ。

チイ ギエヌ 至言。(文) 至言。

チイ ギズ 錢銀。(海) 【錢銀】。

チイ ギズ ギズ 生睨睨。【生觀觀】。

チイ ギズ ギズ 生睨睨。前に同じ。

チイ クイ 紫莢。(植) (錦葵科) 錦葵。

チイ クイ 精鬼。敏捷。素捷い。目から鼻に抜ける。各項眞——凡べての事に抜目がない。

此個仔較——この子供は素敏い。

チイクイ 摺管。鳥などの目方を重くする爲に飯などを胃袋に詰込む。——的鴨無人要買——同上の鷺は買ふ人がない。

チイクイ 錢鬼。愛錢奴。

チイクイ 錢櫃。錢箱。金箱。掌——金錢出納係。

チイクイ 錢貫。(舊)「錢貫」。

チイクイ 掙開。榷などはめて割る。

チイクイ 錢氣。金錢。金廻。——量量——金廻がよい。——緊——金融逼迫。

チイクイ 刺鯢。(動) 刺河豚。

チイクイ 生氣。嫌な臭。不快な味。————嘔氣を催すやうな臭。

チイクイ 醒氣。嗅覺や味覺をそそる。嫩薑食了較

——新生薑を食ふと同上。

チイクイ 腥氣。青臭い香。

チイクイ アア 錢櫃仔。錢箱。金箱。

チイクイ アア アア 錢櫃仔店。兩替屋。

チイクイ クイ 精鬼鬼。「精鬼」。

チイクイ タウ 錢貫頭。(舊)「錢貫頭」。

チイクイ ニイ 此幾年。近年。——來——年頭。年

チイクウ 青車。背牌の札。「四色牌」を見よ。

チイタウ 市區。(國) 市區。——改正——市區改正。

チイクウ リウ 之龜脫。(動) 鳥打帽子。

チイクウ 箭骨。矢幹。

チイクウ 舌根。舌の根。掠人的——人の舌の根を捉へる。口振で人の意中を看破する意。短——

舌の根が縮む。臨終の時話が不明瞭になる。

冤鬼拵——冤鬼が舌の附根を引張る。亡靈が眞の犯人の舌を引張って白状させる。

チイクウ 弒君。主殺。君を弒する。

チイクウ 青筋。青筋。靜脈。——脹領——青筋を立て

チイクウ 青將。「四色牌」を見よ。

チイクウ 錢貫。錢差。網。青網。較算亦是剩一條——いくら敷へても錢差一本だけ残る、いくら算へても金が足りない。收支價はぬ意。

チイクウ 青缸。藍瓶。藍壺。

チイクウ ゲエ ヒエヌ 星光月現。星光り月現る。

チイクウ タウ 錢貫頭。錢差の結目。序大人把——親が同上を守る、親が金を握つてゐる。——縛緊緊——錢差の結目をしっかり括る、金を握つて出さない。

チイグイ 刺猬。(動) 豪猪。(皮を薬用に供す)。

チイグイ 飼糞。「糞」に食はせる。好可——「糞」に食はせてもよい、肥えてゐて役に立たぬ人などを罵つていふ。

チイグウ 飼牛。牧牛。——的——牛飼。牧童。

チイグウ 生牛。新牛。馴れぬ牛。

チイグウ アア 生牛仔。新牛。——不識虎——新牛は虎を知らない、青二歳事理を辨ぜず。

チイグウ 錢銀。金錢。錢。財。貨財。金。金子。——開盡——金を使盡す。——流通——金廻。金融。

——桌仔——兩替屋。——礫礫叫——錢がざくざく鳴る。——三不便——金錢は有る時もあるが無い時もある。暗路政行——無愛父母不驚——

關路は平氣で歩くし、金錢は惜まらず、父母を畏ない、放蕩息の大膽なるを言ふ。——是仙人頭壳碗髓——金錢は仙人の腦髓、貴重な意。

チイグヌ ポオ 錢銀舖。兩替屋。

チイケエ 煎標。「標」の油揚。

チイケエ 刺圭。(植) (木犀科) ひひらぎ。

チイケエ 刺果。(植) (桑科) くわくわつがゆ。「黃檀」。

チイケエ 刺格。「刺圭」。

チイケエ 市街。(海)「市街」。

チイケエ 市價。相場。

チイケエ アア 錢架仔。兩替屋。「錢桌仔、銀桌仔」。

チイケエ アア アア 煎標店。餅を揚げて賣る店。

チイケエ トオ 星過度。星が飛ぶ。

チイゲエ 此個。次に同じ。

チイ

チイ

チイ

チイ

チイ ゲエ 此個。(鼻) 此れ。此の。

チイ コア 錢封。三文又は五文を以つてする一種の占。

チイ コア 錢指。青緋一貫文。

チイ コア 止渴。渴を止める。飲没——飲んでも渴を止めることが出来ない。

チイ コア 試看。試して見る。——即能知猪母肉

|| 牝豚の肉かどうか試して見なければ分らない、試して見なければ實際の困難は分らない。

チイ コア ザウ 錢指草。(種) (車前科) 車前。【五根草】

チイ コア チエン 接官亭。新任の大官の暫時滞在する家。旅行の時官人の休む處。

チイ コアイ 箭桿。矢柄。矢の幹。

チイ コアイ 飼乖。飼つて馴らす。飼馴れる。

チイ コアツ 處決。(鼻) 【處決】。

チイ コアヌ 只管。勝手に……差支ない。構はずに。我到有應聲——做你創——儀が許した以上は君は勝手にやって差支ない。——做你来——構はずにやって来なさい。

チイ コアヌ 質權。(國) 質權。「る時の式。」

チイ コアヌ 接棺。棺を迎へる。棺を買つて家に入れ

チイ コアヌ 錢關。金關。金錢。金廻。——緊金融逼追。——量金廻緩漫。

チイ コエ 煎糶。(海) 【煎糶】。

チイ

チイ コエ 刺瓜。(種) (葫蘆科) 胡瓜。

チイ コエ 市街。(國) 市街。

チイ コエ 青蛙。(動) 雨蛙。

チイ コエ ボラ ヌン 嫩瓜無眼。——嫩子無腹腸——小瓜に中子なく幼い子に分別なし。

チイ コオ 枳枯。(種) (桑科) あいぎよくしもどぎ。

チイ コオ 錢鼓。手・肘・肩・膝等に打當てて鳴す鼓の一種。タンポーリン。弄——同上を弄ぶ。

チイ コオ チイ 青苔苔。青海苔。

チイ コロ 痴痴。女好。でれすけ。助平。でれでれす

チイ コロ 刺果。【黃楸】。「蟹のみそ。」

チイ コロ 蠟膏。蟹の腹にある卵の黄身の如きもの。

チイ コロ 生膏。阿片煙膏。煮——阿片玉を煮て阿片煙膏を拵へる。

チイ コロ 膏膏。藍墨。青墨。生猪頭旁着抹——扁桃腺炎の時は藍墨を塗らなければいけない。

チイ コロ 青稿。(種) 第二期作水稻類の一品種。

チイ コロ 齒科。(國) 齒科。

チイ コロ ザウ 青蘘草。【蚊仔燻草】。

チイ コロ チアム 青稿尖。【青稿】。

チイ コロ ム 接寄姆。花嫁の世話をする老婆。嫁附の老婆。【新娘摺】。

チイ コロ ム 接寄姆。前に同じ。

チイ

チイ コク 錢敷。①金錢敷類。②同上を取扱ふ役人の官名。——師爺——財政産業などの顧問役。

チイ コン 至公。公平。——堂——擧人の試験の時試験官の坐る他より一段高い所。——無私——至公で私がない。——至平——至って公平である。——至正無偏無私——公平無私。

チイ コン 生狂。周章てる。狼狽する。狼狽へる。周章。——狗——周章者。——鬼——同上。——力——時の強い力。——狗食無尿——周章てる犬は食を求めても糞も見つからない。——鬼推倒菜羹飯——周章てた鬼が供物の飯や汁を顛覆する、粗忽者の意。——午突破之——粗忽な周章者を罵つていふ惡口。

チイ ゴア 市外。市外。

チイ ゴアヌ 志願。(國) 志願。——書——志願書。

チイ ゴエ 技藝。【技藝】。

チイ ゴエ 巳月。(鼻) 【巳月】。

チイ ゴオ 醒悟。悟る。覺める。悔悟る。目醒める。覺醒する。無共伊點醒伊没——警告してやらないと彼は目醒めない。

チイ サイ 青鱗。【青鱗】。

チイ サイ イウ 淺西洋。淺葱の金巾。

チイ サツ 錢風。——在咬——錢の風が食つてゐる、詰

らぬ金を使ひたい時などにいふ。

チイ サマ 錢箱。(泉)【錢箱】。

チイ サム チイ スウ 至三至四。再三再四。念に念を入れる。——勸伊不可——再三再四、いけな
いと忠告した。講到——念に念を入れて
話した。

チイ ザア 錢鈔。金。金銭。——緊金が無い。朋友
——往來着清楚——友達の間は金の貸借をきれ
いにしなければいけない。

チイ ザア 噴吵。次に同じ。
チイ ザア 噴吵。●物を揚げたり煎ったりする時などの
音。煮到——嘍——じいじいと御馳走をこしらへ
る。——濃——じゅうじゅうと沸く。●悶熱——
ごたごた脈はぶ。蟲在蚊——蟲がうじゃうじゃ
してゐる。

チイ ザア 生炒。生で油に入れて炒める。——雞——同
チイ ザア 生柴。伐り倒されたばかりの材木。生の材
木。準——豎得——同上として堅て置く、態と
相手にせず居候扱にして困らせる。(妾や養女な
どに對して家長などがいふ)。做——同上。

チイ ザア 醒鐘。鑼鼓——大鼓や銅鑼などがどん
ちゃんがんちゃんなる。

チイ ザア 醒鐘。銅鑼や鏡鉞などを打つ音。ちゃんちゃ
ん。どんちゃんがんちゃん。

チイ ザア ア 錢挿仔。財布。

チイ ザア ア ア ピイ 生炒鴨片。薄く切った生の鴨と
豚肉・椎茸・筍・葱等を混ぜて油で炒めた料理。
チイ ザア イ ウ ト オ 生炒羊肚。生の山羊の胃の腑と
筍等とを混へ油で炒めた料理。

チイ ザア イ ヨ チイ 生炒腰子。生の豚の腎臓と豚
肉・椎茸・葱とを混へ油で炒めた料理。
チイ ザア オ オ フ ヨ 生炸芋棗。白砂糖を混ぜた芋の
團子を油で揚げた料理。

チイ ザア カ ス リ エ ン 生炸肝脰。生の肝臓等に餛飩
粉をつけて油で揚げた料理。
チイ ザア カ ス リ エ ン 生炒肝脰。生の肝臓と豚肉・
椎茸・筍・葱等と混へ油で炒めた料理。

チイ ザア キ ヨ 噴吵叫。煮到——じいじいと御
馳走を拵らへる。樹葉——木の葉が騒騒す
る。講到——こそこそと話す。嘯く。

チイ ザア キ ヨ 醒鐘叫。銅鑼や鏡鉞等の音。ちゃんち
やんと。搬到——ちゃんちゃんど芝居をやって
ゐる。

チイ ザア コ エ チ エ ン 生炒雞丁。生の雞の肉片と
豚肉・葱・椎茸・筍等を混へ油で炒めた料理。

チイ ザア コ エ ピ イ 生炒雞片。生の雞肉・豚肉・椎
茸・葱等を材料として油で炒めた料理。

チイ ザア フ オ バ ア 生炒醋肉。生の豚肉を焼めてか
ら醋・筍・葱等を混へて煮た料理。

チイ ザア チ ム バ ア 生炒蟬肉。生の蟹の肉を主とし
豚肉・椎茸・葱・卵等を混へて煎った料理。
チイ ザア ト オ チ ア ム 生炒肚尖。生の豚の胃の一部
分を細く切つて油で煎つた後に豚肉・椎茸・葱・
筍等を混ぜて煮た料理。

チイ ザア ト オ ピ イ 生炒肚片。生の豚の胃を薄く切
つて油で煎つた後に椎茸・葱・筍等を混ぜて煮た
料理。
チイ ザア ハ ウ 噴吵嘍。【嘍叫】。
チイ ザア ハ ウ 醒鐘嘍。【醒鐘叫】。

チイ ザア バ ア シ イ 生炒肉絲。細く切つた生の豚肉
と椎茸・筍・葱などを材料として煎った料理。
チイ ザア バ ア ピ イ 生炒肉片。薄く切つた生の豚肉
を椎茸・葱等に混へ煎った料理。

チイ ザア ヒ ウ レ エ 生炒香螺。生の螺螺・豚肉・椎
茸・葱等を材料として煎った料理。
チイ ザア ビ エ ン ヘ エ 生炒明蝦。生の蝦などを材料
として煎った料理。

チイ ザア ヘ エ ク ン 生炸蝦捲。生の蝦に麵粉につけ
油で揚げた料理。

チイ ザア ヘ エ ジ ヌ 生炒蝦仁。蝦の肉・豚肉・椎茸。

チイ

チイ

チイ

刺葱。(大戟科)ひとつばはぎ。

チ/ シア 止瀉。下痢を止める。

チ/ シア 錢聲。錢の音。一際際々々錢がざくざくなる。錢の兩換の價。錢の相場。彼間錢莊在算的。一較無。あの兩替屋です。兩換の價は割が悪い。銀的。一眞落。銀の相場が非常に下つてゐる。

チ/ シイ 指示。論。指示。指揮。指圖。請。我。御指圖を願ひます。

チ/ シイ 止是。精精。まあまあ。有限決着。一俾。你食俾你穿而已。精精汝に食せて穿せてやる位なのだ。一。二個銀息。まあまあ二圓位。

チ/ シイ 巳時。四。巳の刻。「なものだ。」

チ/ シイ 挿死。(鬼)拳固で突殺す。

チ/ シイ 刺死。刺殺す。突殺す。「物の名。」

チ/ シイ 生絲。生絲。膏絲。【熟絲に對す。】絹。争ふ。強辯する。一。一。都講無。飽までも無いと強辯する。

チ/ シウ 試験。考へてみる。想つて試る。着不着。一。就知影。是非か君が考へて試たら分る。

チ/ シウ 持守。保持する。守る。一。關隘。關所を守る。

チ/ シウ 星宿。星宿。星座。

チ/ シウ 青箱。次に同じ。

チ/ シウ チイ 青箱子。(種)のげいたう。(寛料)花及び根を陰干したるものを水にて煎服し解熱・月經不順等に用ひ又他の薬と共に洗眼用に供す。

チ/ シエク 煮熟。(煮)【煮熟】。

チ/ シエク 青色。青色。青色。

チ/ シエク 生熟。生と熟したのと。生熟。半。一。チ/ シエク 淺色。薄い藍色。淺葱。「半熟。」

チ/ シエヌ 至善。(至)至善。文も金がない。

チ/ シエヌ 青蟬。(虫)小さい青い蟬。

チ/ シエン 指醒。(至)注意を與へる。指示する。

チ/ シエン 至聖。(至)至聖。真心。

チ/ シホク 取贖。(贖)【取贖】。

チ/ シオン 箭傷。矢創。チ/ シオン 生傷。生傷。一。生傷を檢査する。チ/ シヲ 生燒。肉・魚など生で揚げる。一。的。同上したもの。

げた料理。

チ/ シヲ コエ 生燒雞。雞肉に麵粉を和し油で揚げ

チ/ シヲ タウ 青小豆。【綠豆】。「た料理」。

チ/ シツ 枳實。(種)芸香科)からたち。【枳殼】。

チ/ シツ 接神。陰曆正月四日線香・蠟燭・神饌を供

【金紙】と【神馬紙】を燒きて前の年の陰曆十二月二十四日に昇天した諸神を迎へること。【送神】を見よ。

チ/ シヌ 嫩身。質など若い。柴尙。一。材はまだ若

チ/ シヌ 井神。井戸の神。

チ/ シヌ 星辰。(至)星辰。星斗。日月。一。日月星

チ/ シム 刺參。(同)【刺參】。「辰」。

チ/ シム スウ 試心事。氣を引く。心事を試す。

チ/ ジイ 生字。見馴れぬ文字。知つて居ない文字。【熟字】に對す。

チ/ ジツ コヲ シエン 指日高陞。(至)容易に昇進する。

チ/ ジヌ 痴人。(至)痴人。一。畏婦。賢女敬夫。

痴人妻を畏れ賢女夫を敬ぶ。

チ/ ジヌ 蟻仁。蟹の甲の中にある黄色の醬。

チ/ ジヌ オオ タウ 青仁烏豆。豆の一品種。

チ/ ジヌ タウ 青仁豆。前に同じ。

チ/ ジヌ チイ ツウ 至仁至慈。至仁至慈。

チイ

チイ

チイ

チイ

チイジブ 摺入。詰込む。挿込む。割込む。――屑内

―家に踏込む。――人縫い人込の間に割込む。

チイスイ 支署。(國) 支署。

チイスイ 志士。(又) 志士。

チイスイ 靑土。骨牌の札。【四色牌】を見よ。

チイスイ ヒイスイ 這事彼事。此の事彼の事。

チイスイ ボンシオン 痴忠妄想。(又) 空想。妄想。

チイスイッ 技術。【技術】。

チイスイ スス 青損損。驚いた時などの顔色。眞青。青冷める。驚到――驚いて顔が眞青になる。

チイズウ ヌア 紫椽柴。堅い黄色な材。裝飾にする黄色な材木。

チイセエ 持勢。勢を恃む。彙に着る。――要偏蓋人勢力を彙に着て人を馬鹿にしよとす。

チイセエ 生紗。紡いだ儘の綿糸。

チイモエ 箭筈。矢柄。

チイモエ 取齊。(海) 【取齊】。

チイモエ 市制。(國) 市制。

チイモエ 噴泄。(雨や水の音) ざあざあ。じゃあじゃあ。雨落到――叫雨がざあざあ降る。水流到――叫水がじゃあじゃあ流れる。

チイモエ 生脆。食物などの新しくてかりかりする。花枝食了不止――烏賊を食べたら新しくか

チイ

りかりしてなかなかおいしい。

チイモエ 生冊。未讀の書。

チイモエ プイ コエ 生炊肥雞。鶏等を材料として蒸して作った料理。

チイソア 支線。(國) 支線。

チイソア 紫痧。(病) 猩紅熱。

チイソア オン 青山王。靈安尊王と稱する武徳神にて悪疫防止の神なりといふ、泉州府惠安縣青山に本靈を祭る。

チイソア リエン 青山龍。銃の名。

チイソア イ 脂様。(種) 【様仔】の一種。

チイソア フヌ 煎選。油で煎った長い菓子。

チイソア 紫蘇。(種) (唇形花科) ●紫蘇。(葉は紫色花は淡紫色にして全草は悪寒・痰咳・水腫・心腹・脹満・脚氣等を治し又皮膚を強壯する效あり葉は梅漬の料となし質は鹽漬にして食用に供す)。

をじそ。(綠葉を有し白花を開く)。

チイソオ 刺菟。(刺菟)。

チイソオ 生疎。未熟。不案内。疎い。不馴。初初しい。人地――人も土地も不案内。交情漸漸――交誼が段階と疎くなる。

チイソオ ソオ 生疎疎。さっぱり不馴。から未熟。まるで不案内。

チイ

チイソム 刺參。刺のある海鼠。海鼠。

チイソア 井泉。井戸の泉。

チイソア 生撥。恐れる。びくびくする。一直話續講没得 出来びくびくしてあてついで話が出なくなる。講着錢就――金の話を持出すとびくびくする。

チイソア 閃撥。(臭) 雷がびかびか光る。雷鳴――雷が鳴り稲光がびかびか光る。

チイソア カア コエ プウ 飼蛇咬雞母。蛇を飼って鶏を咬ませる、飼犬に手を咬まれるなどの意。

チイソア ツ 痴拙。(又) 阿呆。愚鈍。馬鹿。

チイソア フヌ 鼠竄。(海) 【鼠竄】。

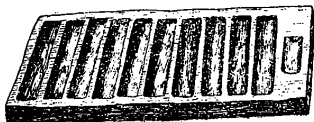
チイソエ 這節。此節。趁――此機に乗ずる。

チイソエ 生糶。生の【糶】。【熟糶】に對す。

チイソワ 這遭。今度。此度。――就無彼快活今度はさう易易とくまなく行かぬ。

チイソワ 煎糶。米の粉に砂糖を混ぜ長圓形に圓めて油で揚げたもの、正月の五箇日内に年始の客などに出す。

チイソワ 錢槽。一文錢を錢差に差す時に錢を揃へ且數へる器の名。――槽錢同上に金を置揃へる。



槽 錢

チイヲヲ 芝草。(種)さるのこしかけ科)さいはひた

け。靈芝。きんねんたけ。まじやくし。(菌類類にして觀賞用となすべし)。

チイヲヲ 志操。(文) 志操。節操。

チイヲヲ 生造。根もない事を作る。一話作話。一白設根も葉もない話。

チイヲヲ 腥臊。腥い。腥物。癩疔忌一癩疔は腥物を忌む。

チイツク、キヲ 唧濯叫。洗濯する時等の音。じゃぶじ

チイワク、キヲ 唧濯叫。前に同じ。

チイワン、ペ、エワン 生創白創。矢鱈と作る。矢鱈と弄る。無茶苦茶に拵へる。粗造。一亦能使得矢鱈と作つては駄目ぢやないか。

チイヲオ 生脆。(臭)【生脆】。

チイ、タイ 舌苔。舌に生ずる白い黴の様なもの。苔。

チイ、タクウ 這兜。(同)此處。此方。在。此處に

チイ、タクウ 煮單。(煮)【煮單】。

チイ、タクウ 舌頭。舌の根。一硬舌が重い。舌が強

チイ、タクウ 箭頭。箭の根。鏃。

チイ、タクウ 錢頭。錢。一乏錢につかへる。金

チイ、タクウ 星斗。星斗。が缺乏する。

チイ、タクウ 青豆。(種)大豆の一品種。

チイ、タクウ 頭項。頭を下げる。項垂れる。俯く。一在行路俯いて歩いてゐる。船一船先が俯いてゐる。

チイ、タクウ 市頭。一市から町に入る所。町の入口。一市の始。一買較貴市の始に買ふと高い。【市尾】に對す。

チイ、タクウ 摺頭。先頭を争ふ。

チイ、タクウ アア 青頭仔。臺灣の拾圓紙幣。

チイ、タクウ サイ 青頭獅。一臺灣の拾圓紙幣。頭の獅。

チイ、タクウ チヌ、ビヌ 生頭清面。怒顔。凄顔。恐しい顔。講到。一顔色を變へて話す。一共伊罵怒顔で彼を叱る。

チイ、タクウ チヌ 摺頭陣。一番駈。先頭を争ふ。不驚死的即可。一死を畏れない者は一番駈になつてもよい。大家。一皆が先頭を争ふ。

チイ、タクウ ヒウ 試頭香。次に同じ。

チイ、タクウ ビヲ 摺頭標。出過ぎる。出しゃ張る。無半ノ更要。一何も出来ないくせに出しゃ張る。

チイ、タクウ ポヲ 痴頭婆。(種)【機松科】しまながじらみ。せいろんまつり。【馬面馬】。

チイ、タクウ 毘毘。毛毘。フェルト。

チイ、タン 錢筒。錢筒。

チイ、タン 刺冬。【有刺赤蘭】。

チイ、タン 青銅。唐金。

チイ、タン 生童。初て童亂になった者を云ふ。一難關。同上に神靈が乗移り難い。初心者はなかなか教へ難い。掠。一神佛の靈が普通人に乗移る。【熟童】に對す。

チイ、タン 菁桶。一藍桶。藍桶。一菁仔叢の。

チイ、タン アア 青蟲仔。(動)青蟲。

チイ、タン シェク 青銅色。青銅色。

チイ、チア 煮食。(煮)【煮食】。

チイ、チアウ 接詔。勅詔を奉迎する。

チイ、チアウ 唧箭。鳥などちゅうちゅう。一叫ちゅうちゅうと鳴く。

チイ、チアウ 嫩鳥。【嫩鳥仔】。

チイ、チアウ 嗤箭。次に同じ。

チイ、チアウ 嗤箭。(女の子など)悪作。惡戯。惡巫山。【戲をする】。

チイ、チアウ 唧箭。【唧箭】。

チイ、チアウ アア 嫩鳥仔。一若い小鳥。一初心者。若輩。初。未達子。一快被人掠過馬。初心者は人に誤魔化され易い。事事尙更。一何事もまだ初だ。

チイ

チイ

チイ

チイ

チイチアウキヲ 唧箒叫。次に同じ。

チイチアウハウ 唧箒唃。鳥などちゅうちゅう囀る。

ちゅうちゅう啼く。

チイチアウハウ 唧箒唃。前に同じ。

チイチアブ 接接。●應接。接待。●款待。待遇。待遇。一不暇。●應接。暇ない。一入客。●客を待遇

ふ。●扱ふ。取扱ふ。取引する。受授する。接

衝する。我有與伊。一私は彼と取引した。

與官廳。一官廳と接衝する。

チイ チアム コエ シツ 生尖雞翼。雞肉・豚肉・椎茸。

筒等を材料として煮た料理。

チイ チイ 之之。【之】の②。

チイ チイ 紫芝。【芝】の①。

チイ チイ 止止。【止】の①。

チイ チイ 緻緻。ぶくぶくと。肥。一ぶくぶくと肥つて

チイ チイ 寂寂。恬。一恬寂寂。

チイ チイ 摺摺。【摺】の①。

チイ チイ 緻緻。ぐにぐに。軟。一軟かい。ぐに

やぐにやと軟かい。

チイ チイ 砥砥。【砥】の①。

チイ チイ 瀦瀦。餅など弾力性がなく口當が悪い。

黍仔織食。一黍の餅を食べたら弾力性が

なく口當が悪い。

チイ

チイ チイ 唧唧。鼠などちゅうちゅう。錢鼠。一叫

地鼠がちゅうちゅうと鳴く。

チイ チイ 折折。【折】の①。

チイ チイ 爭爭。【争】の③。

チイ チイ 掙掙。●狭。一掙掙。●掙。【掙】の③

チイ チイ 諍諍。【諍】の①。

チイ チイ 煎煎。【煎】の①。

チイ チイ 摺摺。【摺】の①。

チイ チイ 靜靜。そと。こっそりと。靜に。●

寝靜る。よく寝入る。

チイ チイ 砥砥。【砥】の①。

チイ チイ 支持。支。支へる。支持。維持する。一

没住。一支持することが出来ぬ。

チイ チイ 錢鼠。【錢鼠】の①。

チイ チイ 菁子。藍の實。

チイ チイ 青子。未成熟の青味を帯びた玄米。一粒

同上。【青水粒、青粒】。

チイ チイ 噓噓。【噓】の②。

チイ チイ 數數。【數】の①。

チイ チイ 刺刺。板などざらざらする。刺が多い。

チイ チイ 試試。【試】の①。

チイ チイ 處處。【處處】の①。

チイ

チイ チイ 非常に賑か。無閑。一煎。●炒。●燻。●

雞。●燻。●なかなかな忙しく。●燻を煎り。●燻を燻

め。●鶏を煮。●燻を湯煮する。忙しい形容。

チイ チイ 頭頭。●項垂れる。●頭。一頭垂れる。

●頭。●馬鹿。●頭。【頭】の①。

チイ チイ 瀦瀦。じとじと。じたじたと。濕っぽい。

厝内。一家中が濕っぽい。衫。一未乾。着

物がまだ水気があって乾いてゐない。

チイ チイ 飼飼。【飼】の①。

チイ チイ 青青。青青と。

チイ チイ 生生。生生しい。

チイ チイ 鮮鮮。鮮しい。

チイ チイ 凄凄。恬。一恬凄凄。●靜。一靜凄

●醒醒。【醒】の①。

チイ チイ 檢檢。【檢】の①。

チイ チイ キヲ 唧唧叫。鼠などがちゅうちゅう鳴く。

チイ チイ キヲ 舌舌叫。話などが吃つて出ない時な

ど。話窄着。一講無路。一話を問詰めたら吃

つて言へなくなる。話かじどろもどろになる。

チイ チイ キヲ 噓噓叫。湯などの沸く音。しゅうしゅ

チイ チイ キヲ 噓噓。前に同じ。一う鳴る。

チイ チイ クヌ 噓噓。●沸騰。ぐらぐら煮返る。●

チイ

群衆の混雑。雜問。煮返る。がやがや騒ぐ。

チイチイクヌ 嗤嗤潔。前に同じ。

チイチイクヌ 顛顛。すやすや眠る。

チイチイサアサア 嗤嗤吵吵。●喃喃と囁く。私語。二個不時在——二人が常に何かを囁いて居る。●煎付けたり揚げたりする時などの音。煮到——じいじいと料理する。

チイチイサアサア 舌舌譚譚。【舌譚】。チイチイサアサア 嗤嗤唾唾。ざざざざ。洗衫洗到——ざざざざ洗濯する。行到——泥濘等をざざざざと歩く。

チイチイチアウチアウ 唧唧箏箏。【唧箏】。チイチイチアウチアウ 唧唧箏箏。前に同じ。チイチイチエツチエツ 嗤嗤跼跼。【嗤跼】。チイチイツウツウ 嗤嗤嗾嗾。【嗤嗾】。チイチイハウハウ 舌舌喙。【舌舌叫】。

チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。●湯の沸く音など、じゅうじゅうと鳴る。●斃泣。しくしくと泣く。

チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。

チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。

チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。

チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。チイチイハウハウ 嗤嗤嗾。【嗤嗾叫】。

チイ

金のなる木。——開花。金のなる樹に花が咲く、藝者等をして居る自分の娘に盛に収益ある意。挿——五月の節句に乞食が小枝に赤糸で錢を結付け門前に立ち縁起の善い文句を稱へて物貰をする事。

チイチウ 市秋。職に離れる。浪人する。徒食する。住在——何もせずにはぶらぶらして居る。

チイチウ 飼畜。家畜を飼ふ。——家伙上。家畜を飼へば身代が増す。

チイチウ 生手。素人。手馴れない。下手。未熟。——的。初心者。頭仔較。——尾仔就熟手。始は手馴れないが終頃になると手馴れて来る。【熟手】に對す。

チイチウ 青象。骨牌の札。【四色牌】を見よ。チイチウツウ 錢樹子。妓女。娼家の女。チイチエク 咫尺。咫尺。——之地。咫尺の地。

チイチエク 青燭。青い蠟燭。チイチエツ 枝節。枝葉。多——枝葉が多い、人や事件など面倒な。うるさい。生出——枝葉を生ずる、事件が紛糾する。【大切】。

チイチエツ 至切。一切に。折入って。至要。肝要。チイチエツ 處折。【處折】。

チイチエツ 嗤跼。スリッパや草履などの音。ばたば

チイ

た。ばたばた。——叫。ばたばたする。——叫。同上。

チイチエン 指正。【文】詩文などの添削を受くること。の謙稱。叱正。チイチエン 指證。證人になる。你爲我——汝證人に立って下さい。

チイチエン 至情。【文】至情。真心。衷情。チイチエン 拮据。先を争ふ。前に押出る。チイチエン 痴情。【文】痴情。

チイチエン 市政。市政。チイチエン 市情。市場の情況。チイチエン 試穿。【意】洋服の假縫。

チイチエン 飼銃。銃に食はせる、弱兵の意。專是——的。脚賬。悉く皆弱兵だ。

チイチエン シイ 飼畜生。家畜を飼ふ。牧畜。チイチエン セエ 飼畜生。【意】前に同じ。【精細】。

チイチエン チイビイ 至精至微。【文】正確。精密。チイチオン 青將。【青將】。

チイチオン クヌ 生將軍。【兔耳草】。チイチラ 至少。切て。最少。少くとも。最少限。——亦着五十元即有到。——少くとも五十圓なければ足りない。

チイ

チイチラ 嫩鮮。幼少。稚い。若い。人尙——世情

チイ

看没透 人間が尙幼稚で世情を見抜く力がない。

チイチヲ 星石。星石。隕石。星尿。

チイチヲ 青石。青石。

チイチヲ 生鮮。肉類の新しい。新鮮。生々と。眞新

しい。魚鮮魚。死慮の死。横死。

チイチヲ イエン 紫石英。(鹽) 紫水晶。

チイチヲ 生鮮。生鮮。

チイチヲ ヘエ 生石灰。生石灰。

チイチツゲ 此一月。今月。此の月。

チイチツジ 此一日。今日。此の日。

チイチヌ 至親。至親。至つて親しい。無絶情

身内に對しては無情とはできない。莫如

父子至親は父子に如くはなし。骨肉。骨肉。

親。骨肉。

チイチヌ 生臍。目玉を丸くする。目の色を變へる。

問到 起來 目の色を變へて尋ねる。近視

的看人較 近視はよく目を丸くして人を見

る。出抜に。不意に。藪から棒に。俄に。

病 急性の病。雨 俄雨。起 俄に騰

貴する。

チイチヌ 生清。標然する。物凄。風 標然す

る風。聽着到能 起來 聽くと身の毛が翳

立って来る。

チイ

チイチア 支應。(團) 支應。鎮痛劑

チイチア 止痛。痛を止める。痛が止まる。的藥

チイチア 菁靛。青い色料。

チイチア 支應長。(團) 支應長。

チイチア ペエ 青定白定。出抜に。突然。俄

に。藪から棒に。好天好時。做風颱

好い天氣であるのに俄に嵐がやって来る。

死曲曲 突然死んでしまった。

チイチア ボヲ ペエ 青定無白。前に同じ。

チイチア ウ 既條。廊下などに敷く段通の敷物。羅既

敷 同上を敷く。

チイチア ウ 取調。(團) 取調。

チイチア ウ 菁條。藍靛。青靛。

チイチア ウ 生跳跳。魚等非常に新しい。海

路 海からとった魚介類が非常に新しい。

衫 着物が綺麗さっぱりしてゐる。

チイチア ム 支店。(團) 支店。長支店長。

チイチア ム 指點。指示する。指示す。求神。墟下

弟子 願をかける時などとなる語。どうか御

告を下し給へ。伊的路徑 彼の行くべき道

を指示する。甚人 誰の差金か。

チイチア ム 錢店。兩替屋。

チイチア ム 煮忝。(團) 煮忝。

チイ

チイチア ム 取點。(海) 取點。

チイチイ 慣治。(團) 慣治。

チイチイ 處置。(團) 處置。

チイチイ 刺猪。(團) 豪猪。豪猪。

チイチイ 嚙鐵。次に同じ。

チイチイ 嚙鐵。赤く焼いた鐵を水に入れる。

チイチイ 生鐵。生鐵。熟鐵に對す。

チイチイ 青苔。(團) 苔。石擊。青苔。上苔

が生える。(團) 目白。

チイチイ ア 青苔仔。(團) 目白。鳥 同上。

チイチイ ア 飼猪成猪哥。飼猪成猪哥。

飼雞成伯勞 豚を飼へば種豚の様に瘦せるし

鶏を飼へば百舌の様に小さくなる。

チイチイ ビイ 生猪鼻。生豚の鼻。敢食。敢

て同上を食ふ。理不盡に横領する義。胸慾非道。

チイチウ 姉丈。姉婿。

チイチウ 市長。(團) 市長。

チイチウ 市場。(團) 市場。

チイチエ ヌ 紫竹。(種) 寒竹。(禾本科。稈を器具料と

なし筍を食用す臺灣には之を産せず)。

チイチエ ヌ 至徳。(文) 至徳。

チイチエ ヌ 嫩竹。今年竹。若竹。

チイチエ ヌ 箭竹。(種) 臺灣矢竹。(禾本科。垣等に用

チイ チエック 刺竹。(種) 刺竹。針竹。(禾本科、枝に刺

あるを以て人家の周圍の防風を兼ね垣根として栽培す、稗は肉厚く強韌なるを以て擔棒、家具、柱、箸、竹筏、籬等をつくるに用ふ。

チイ チエック 青竹。青竹。生竹。

チイ チエック アア 箭竹仔。【箭竹】。

チイ チエック カンアア 刺竹公仔。(種) 刺竹の餘り太

くなく質の硬いもの。

チイ チエック クヌ 青竹棍。青竹の棒。

チイ チエック シイ 青竹絲。(動) 毒蛇の一種。青蛇抵指。青蛇。【青竹鏢 青鏢】。

チイ チエック ビヨ 青竹鏢。前に同じ。

チイ チエック フウ 青竹符。青竹の片面を削りそれに符を書いた咒、魔除等に用ひる。安ーー||同

上を堅てる。

チイ チエヌ 青靛。藍の色料。青い色料。

チイ チエヌ チヲ 指天椒。【番椒】。

チイ チエヌ ハウ シホク 止典候贖。質屋が貸出を止

めて受出すのを待つ。

チイ チエン 指定。(圖) 指定。

チイ チエン 井亭。井戸屋。

チイ チエン 青頂。青玉を附けた官帽。又は同上を被

チイ チヲ 接膏。接する。受取る。受入れる。

チイ チヌ 市鎮。市の立つ町。市街。

チイ チヌ ホエ 紫藤花。(種) (荳科藤)

チイ ツイ 之鑽。(動) 【之鑽】。

チイ ツイ 井水。井戸水。一化做酒尙嫌猪無糟

井戸水が酒に成れば今度は豚に食はせる酒の糟

がないとて不足をいふ、人心の飽くことを知らぬ

をいふ。

チイ ツイ 措水。流を測る。魚一魚が流を測る。

鳥仔魚一鱈が流を測る、なかなか負惜を

言ふ。

チイ ツイ 銭水。金銭。金。金融。一量量

金銭の豊な。一眞量剩金有餘る。一眞

緊燥金剛逼迫。此期較有。一此頃は金廻

がよい。

チイ ツイ 諍嘴。諍。論争。言争ふ。強辯する。一

諍舌。強辯。論争。別日仔不可。一後日に

なつて文句を言つてはいけない。

チイ ツイ 生水。生水。

チイ ツイ 飼嘴。石鑿などの双に水をくれること。

チイ ツイ 青嘴。(動) 鱗。

チイ ツイ 青翠。草木など緑。青翠としてゐる。樹木

一樹木が青青としてゐる。此塊玉不止

一この翡翠は青青として透つてゐる。

チイ ツイ 醒嘴。珍しい物などを食べて味覺をそる。

口に合ふ。旨しい。食了眞一食べて旨しい。

脾土無開食物即没。一食慾が進まないか

ら食物は旨しく感じない。

チイ ツイ アア 是誰仔。誰。誰か。

チイ ツイ コオ 舐嘴。犬猫などの口嘗。舌で口の

廻を嘗める。

チイ ツイ チイ チイ 舐嘴舐舌。舌をべろりと出して

口の廻を嘗める。

チイ ツイ リアア 青水粒。【青子】。【て用ふ】。

チイ ツウ 梔子。(藥) 【山黃梔】の實。(血症の藥とし

チイ ツウ 撒注。惡戯をする。惡作をする。一油斷

のならぬ。危險な者。彼個眞一あれは油斷

のならぬ奴だ。一乳線。一滑稽。講話一

一話が滑稽で居る。冗談の様だ。【撒注】の。

チイ ツウ 嗤喚。【嗤喚】。

チイ ツウ 舌痕。(病) 舌瘡。口腔の癰腫。

チイ ツウ 支取。支拂を受ける。引出す。對伊一錢

項彼より金銭を引出す。

チイ ツウ 錢鼠。(動) 地鼠。汚穢猫咬一穢い

猫が地鼠を取る、悪い女が間男をこしらへる。一

守錢奴。金に目をくらます者。

チイ ツウ 生書。未讀の書。【熟書】に對す。

チイ

チイ

チイ

チイ

チイツウ 菁菹。孔子を祭る時の供物の一種。

チイツウ 噴喉。蒸氣の吹出る音又は導火の燃える音など。すうすう。すつすつ。水櫃ー叫ーボイ

ラーがすうすうなっている。嗒子心燃到ー嗒ー

ダイナマイトの導火がすつすつと燃えている。密密と話す。站在邊頭在ー隔で

チイツウ ジイイ 只此而已。(支) 只これ丈。

チイツウ ビイ 試滋味。玩味。味ふ。

チイツウ 支出。(國) 支出。

チイツウ 青卒。骨牌の札。【四色牌】を見よ。

チイツウ キイ 擲出去。迫出す。

チイツウ 至尊。天子。非常に尊い。無對 尊くて比べるものがない。【墨賊子】の一にして牌面赤點四黑點二のもの一枚と牌

面赤點一黑點二のもの一枚との一組をいふ。

チイツウ ピア 煎春餅。萌蘗・豚肉・麵粉・笋・椎茸・豚脂蝦等を「櫻餅」の如くして油で揚げた料理。

チイツウ 之鑽。世事に通曉してめて素敏い。目から鼻に抜ける。困仔 不止ー子供がなかなか素敏い。無較ー趁無食 拔目なく敏捷にやらなければ食へない。

チイツウ 錢莊。預金・兩替・爲替などを業とする私

チイ

立銀行の如き店。

チイツウ □□。鼻腔にて強く呼吸する形容。困仔ー 嗒ー子供が嗚咽泣く。

チイツウ 錢鼠。(鼠) 錢鼠。

チイツウ 生書。(鼠) 生書。

チイツウ ジイイ 只此而已。(鼠) 只此而已。

チイツウ 生糖。砂糖の一種。粗製砂糖。

チイツウ 這塊。此處。ー彼塊 此處彼處。

チイツウ 氈底。(氈) 氈底。

チイツウ 煎塊。油で揚げた菓子。油で揚げた物。

チイツウ 箭袋。箭。胡録。鞆。【同上】

チイツウ 錢袋。錢を入れる袋。錢入。金入。ー仔

チイツウ 肢體。體。身體。

チイツウ 生茶。粗製の茶。

チイツウ エ取締。(氈) 取締。

チイツウ エビエ 争體面。體面の爲に争ふ。意氣張盡

チイツウ ア紫檀。(檀) 紫科いんどしたん。

チイツウ ア至大。至大。非常に大い。ー無比 非常に大くて比べるものがない。

チイツウ ア錢單。爲替券。小切手。

チイツウ ア錢導。悪い錢を良い錢に混ぜて使ふ時に於ける良い錢を云ふ。ー導錢 良貨に悪貨を混ぜて使用する。

チイ

チイツウ 錢攤。親が若干の錢を握出す數を推して賭

チイツウ 生炭。石炭。【熟炭】に對す。「ける賭博」

チイツウ シウ接大壽。【等板】

チイツウ 泰錢導錢。貸金又は投資した金などより出た金利が更に金をつくり出すが如く金が金を生出す。

チイツウ アチエン飼大銃。大砲に食はせる、弱兵の意。各個都是ーどれもこれも皆弱兵ばかりだ。

チイツウ アアランロバア 錢大百人落肉。報酬が多ければ人が瘦せる、欲張って無理な稼をするれば體を悪くする。

チイツウ アア又處斷。(處) 處斷。

チイツウ エ氈底。フェルトの底。

チイツウ エ井底。井戸の底。ー水蛙 井底の蛙。

チイツウ オ指導。(鼠) 指導。

チイツウ オ菁塗。藍澤。藍玉。

チイツウ オオビツ 刺杜蜜。(檀) 大戟科まるやまかんこ。

チイツウ ア指導。(鼠) 指導。ー者 指導者。

チイツウ ア至道。(支) 至道。

チイツウ アア 錢桌仔。【錢架仔】。

チイツウ ア生刀藥。【傷藥】。【倒吊蓮】の①。

チイツウ ア生力草。【倒吊蓮】の①。

チイ

チイ トヲ ハン 鎗刀巷。【鎗刀巷】。
 チイ トヲ ビツ 刺桃蜜。【刺杜蜜】。
 チイ トク 試毒。【試毒】。
 チイ トン 刺桐。【刺桐】。梯枯。【葎科、葉、樹皮
 及び根は潰瘍劑、利尿劑等となす】。
 チイ トン 青桐。【梧桐】。
 チイ トヲ 此塊。【這塊】。
 チイ トヲ 錢袋。【錢袋】。
 チイ ナア 支那。支那。
 チイ ナア 蠟籃。【蠟】を捕る籃。
 チイ ナア ポオ 刺林苞。荊棘の林。
 チイ ニイ 争争。【争争】。
 チイ ニイ 拵拵。【拵拵】の③。
 チイ ニイ 諍諍。【諍諍】。
 チイ ニイ 煎煎。【煎煎】。
 チイ ニイ 拵拵。【拵拵】。
 チイ ニイ 醒醒。【醒醒】。
 チイ ニイ 越越。【越越】。
 チイ ニイ ツウ 止尼薯。【土茯苓】。
 チイ ニウ 錢糧。租稅。年貢。稅。納。|| 税金を納
 チイ ニウ アア 餉娘仔。養蠶。|| 蠶室。
 チイ ニウ キホク 錢糧局。租稅を取立てる役所の名。

チイ

チイ ニウ モエ 錢糧差。地租を取立てる人。
 チイ ニウ ツアヌトア 錢糧串單。租稅領收書。
 チイ ニウ トア 錢糧單。租稅納入告知書。
 チイ ヌン 生卵。生卵。
 チイ ノア 煮爛。【煮爛】。
 チイ ノア 井欄。井戸側。井筒。|| 看做春白|| 井
 筒を臼と見違へる、粗忽な人を叱る時又は近眼を
 嘲笑する時などに言ふ。
 チイ ノア 青蠟。【青蠟】。
 チイ ノア イヲ 止爛藥。防腐劑。
 チイ ハイ シム 生海參。【海參】。次に同じ。
 チイ ハイ ソム 生海參。海鼠。
 チイ ハイ モオン 巳亥沖。巳と亥は相尅する。
 チイ ハウ 至孝。至孝。
 チイ ハク 菁碧。藍を溜める穴。藍溜。
 チイ ハヌ 痴漢。【痴漢】。
 チイ ハア 試合。【試合】。
 チイ ハン 錢項。錢。金。金錢。
 チイ ハン 刺寬。【刺寬】。
 チイ バア 筋肉。鐵。鐵。矢根。
 チイ バア ムチイ ツウ 餉猫不餉鼠。猫は飼うても
 鼠は飼はない、同じ棄てるにしても汝の手には
 棄てぬなどの意。

チイ

チイ バイ 之。陰門。|| 蒂仔|| 陰核。|| 一心|| 同
 上。|| 毛|| 陰毛。研槽做|| 藥研を陰部に
 する、甲の物を以つて乙の物の代りに間に合せる
 ことは出来ない。
 チイ バイ 試寬。試みる。試して見る。|| 即知事||
 試して見れば分る。試みないと分らない。
 チイ バイ ツイ 之之嘴。【陰門】の口、無茶苦茶な
 話をする意。
 チイ バイ ビヌ 之之面。【陰門】の顔、恥を知らぬ意。
 チイ バク 刺目。眩しい。目映い。|| 見て癢に障る。
 看了|| 當没住|| 見ると癢に障つて勘忍が出来
 ない。
 チイ バク 生目。病人が道士を請じて【做獅】をする
 以前に一回も其病人を見舞つたことのない者。
 禁|| 或る期間を限つて同上の者に面會するこ
 とを禁すること。
 チイ バク 青墨。青墨。藍墨。
 チイ バク 醒目。目立つ。目につく。目を惹く。水際
 立つ。店窓厨着排較|| 的物件|| ショウウ
 インドにもつと目立つ物を並べよ。
 チイ バク 繪目。目映い。目映い。
 チイ バク ヒウ 青木香。【香】。ころばうまのすずぐ
 さ。(馬兜鈴科、毒蛇咬傷の際根を酒・水各等量と

チイ

共に煎服し又は傷部を搗碎せる汁液にて洗滌す又根を咀嚼すれば腹痛を治し解熱の效あり。①【防己】。②【七葉蓮】。

チイ/パイ 支派。(支) 支族。分家。別家。

チイ/パウ 錢包。數個の錢を振撒いて早く其の數を當てた者を勝とする賭。チイ/パウ 青包。骨牌の札。【四色牌】を見よ。

チイ/パウ タウ 刺包頭。【刺葱】の①。

チイ/パク ウイ フヌ 指腹爲婚。胎中にある時婚姻契約をすること。妊娠中の兒に付いて婚姻を豫約すること。

チイ/パヌ 接板。【等板】。

チイ/パン 飼蜂。養蜂。

チイ/ピア 生艾。生の艾。

チイ/ピアウ 鷓鴣。(支) 鷓鴣。梟。【鷓鴣 鷓鴣】。

チイ/ピイ 市場。(支) 市場。

チイ/ピイ 生魚。鮮魚。生魚。

チイ/ピイ 刺身。刺身。

チイ/ピエン 答刑。【答刑】。
チイ/ピエン 處刑。(處) 【處刑】。
チイ/ピエン 刺寬。(種) 劍寬。(寬科、嫩苗は豚の飼料)
チイ/ピエン サウ 刺寬草。前に同じ。

チイ

チイ/ヒオン 志向。(支) 志望。

チイ/ヒオン 生兎。慌しい。行了傷。非常に慌しく歩く。一一走。慌しく走る。大急で走る。

チイ/ヒオン 生雄。【生狂】。

チイ/ヒョ 嫩葉。若葉。
チイ/ヒョ 生葉。①生の葉。②【高仔菜】。

チイ/ビイ 紫薇。(種) さるすべり。ひやくじつこう。(千屈菜科、觀賞用として庭園等に栽培せらるる)。
①緞子に似た織物の一種。

チイ/ビイ 至微。(支) 極微。至精。極く精微である。
チイ/ビイ 試味。味。味をみる。

チイ/ビイ タイ テエ 紫微大帝。星の神。

チイ/ビイ 紫微星。紫微垣にある星の名。

チイ/ビイ ホエ 紫薇花。【紫薇】。
チイ/ビイ ク 指墨。爪書。爪に墨を著けて字や畫を書くこと。一畫。爪書の繪。

チイ/ビイ ク ウイ 指墨畫。爪で書いた繪。

チイ/ビイ ク ジイ 指墨字。爪で書いた字。

チイ/ビエン 指明。指示す。指示して明にする。
チイ/ビヌ 市民。(國) 市民。
チイ/ビヌ 市面。商賣の状況。市場の景氣。此幾年一真歹。この數年間は景氣が非常に悪い。影響。一市況に影響する。

チイ

チイ/ビヌ 青面。青い顔。

チイ/ビヌ 生面。怒顔。向になる。本氣になって怒る。快。怒易い。變。怒顔になる。

チイ/ビヌ 醒眠。①目醒める。②茶などを飲んで眠を

チイ/ビヌ カン 之面孔。(尊) 鐵面皮。【覺す】。
チイ/ビヌ ニアウ ゲ 青面獠牙。子供などを脅す時に用ひる語。青鬼。無緊怪。能來。泣止まない。青鬼が来るよ。

チイ/ビヌ ホオ 生面虎。怒易い者。

チイ/ビヌ リアウ ガ 青面獠牙。青鬼の如く顔の青い牙の長い容貌。番將生得。夷の大將は同上の相をしてゐる。

チイ/ピア 菁餅。藍玉。

チイ/ピア 生壁。半燒の煉瓦。

チイ/ピアン ピアン 青兵。青青と。果物などの未だ成熟せぬさま。一。要仔食。未だ生し

チイ/ピアン ピアン 青兵。前に同じ。

チイ/ピイ 井邊。井戸端。

チイ/ピイ 箭柄。矢柄。
チイ/ピイ 之花。【之花仔】。
チイ/ピイ 箭鏃。矢の根。
チイ/ピイ 錢花。惡錢。質の悪い薄い一厘錢。一仔

質の悪い薄い錢。臭一仔目腐錢。

チイ、ピイ、壓扁。拉ぐ。壓して平くする。

チイ、ピイ、アア、之、死仔。(産)ちっぼけな體。ちび。

チイ、ピイ、ザウ、井邊草。(種)(羊齒類瓦草科)のもの

チウ。

チイ、ピ、エ、ク、ツ、ヌ、ホ、ン、齒、白、唇、紅。(交)齒白く唇の

紅い。美少年若くは美人の形容。

チイ、ピ、エ、ン、錢、旁。一厘錢の缺片。

チイ、ピ、ロ、紫、萍。(丘萍)。

チイ、ピ、ロ、青、鏢。【青竹絲】。

チイ、ピ、ロ、青、萍。(種)(萍萍科)あをうきくさ。

チイ、フ、イ、指、揮。(國)指圖。指揮。一、刀、指、揮、刀。

チイ、フ、イ、止、血。血止。止血。

チイ、フ、イ、青、磁。青磁。

チイ、フ、イ、コ、ア、指、揮、官。(國)指揮官。

チイ、フ、ウ、姉、夫。姉婿。

チイ、フ、ウ、錢、賦。租税の受取。

チイ、フ、ウ、弑、父。(交)父を弑する。

チイ、フ、ウ、市、墟。(交)市。市場。

チイ、フ、ウ、生、魚。(同)【生魚】。

チイ、フ、ツ、支、拂。(國)支拂。一、命、令、支、拂、命、令。

チイ、フ、ヌ、脂、粉。紅白粉。紅粉。

チイ、フ、ヌ、摺、痕。折目。疊目。一、直、折、目、が、正、し、い。

チイ、フ、ヌ、處、分。(漢)【處分】。

チイ、フ、ヌ、持、分。(國)持分。一、買、賣、持、分、の、買、買。

チイ、フ、ヌ、生、煙。質良く黄色な刺煙草。

チイ、フ、ヌ、菁、粉。藍の粉。【煮た料理】

チイ、フ、ヌ、ヒ、ウ、レ、エ、生、燻、香、螺。榮螺等を材料として

チイ、フ、ウ、市、墟。(泉)【市墟】。

チイ、フ、ウ、生、魚。(泉)【生魚】。

チイ、ブ、ウ、チ、イ、ザ、ア、嘸、武、嘸、吵。耳語。嘸く。私語。站在邊頭。一、隅、の、方、で、嘸、い、て、居、る。一、

一、老、鼠、相、咬、細、か、な、聲、を、立、て、て、風、が、咬、合、を、す、る、夫、婦、が、嘸、き、な、が、ら、戯、れ、て、ゐ、る、時、に、な、に、言、ふ。

チイ、ブ、ウ、チ、イ、ツ、ウ、嘸、武、嘸、嘸。前に同じ。

チイ、ブ、ウ、チ、イ、ツ、ウ、嘸、武、嘸、嘸。前に同じ。

チイ、ブ、イ、煮、飯。(漢)【煮飯】。

チイ、ブ、イ、ポ、ア、煮、飯、婆、仔。(漢)【煮飯婆仔】。

チイ、プ、ッ、接、佛。神佛を迎へる。

チイ、プ、ン、青、楓。(種)ふんきこかへで。

チイ、ヘ、エ、取、下。(漢)【取下】。

チイ、ヘ、エ、試、火。火に入れて試みる、敢て危険な事に

近づく。頭毛。一、髪、の、毛、を、火、に、い、れ、て、試、め、す、危、險、に、近、寄、る。

チイ、ヘ、エ、生、灰。生石灰。

チイ、ヘ、エ、青、火。青い火。電光。

チイ、ヘ、エ、ボ、オ、支、貨、簿。通。通帳。

チイ、ヘ、エ、姉、妹。姉妹。夕猫、賢、鼻、尋、夕、查、某、厚、一

一、惡、い、猫、は、よく、嗅、廻、り、惡、い、女、は、姉、妹、が、多、い、同、じ、臭、味、の、者、を、よく、尋、ね、て、黨、を、作、り、類、を、以、つ、て、集、る、意、一、桌、一、入、る、當、日、催、す、送、別、の、宴。

チイ、ヘ、エ、舌、尾。舌の先。舌頭。捲。一、舌、が、釣、る。

チイ、ヘ、エ、錢、尾。勘定の端。釣錢。連。一、亦、算、清、楚、一、勘、定、の、端、も、き、れ、い、に、拂、ふ。一、賞、走、桌、一、釣、錢、を、料、理、屋、の、ポ、ー、イ、に、や、る。

チイ、ヘ、エ、市、尾。一、町、から、村、に、入、る、出、口。町、外。一、市、の、終、【市、頭】に、對、す。

チイ、ヘ、エ、青、馬。骨牌の札。【四、色、牌】を、見、よ。

チイ、ヘ、エ、生、馬。一、新、馬。一、跳、馬。荒、馬。悍、馬。一、氣、一、氣、分、の、粗、粗、し、い、喧、嘩、好、【妹】。

チイ、ヘ、エ、ア、姉、妹、仔。姉妹。兄弟。一、兄、弟、姉、妹、。

チイ、ヘ、エ、ア、青、麥、仔。青麥。

チイ、ヘ、エ、ア、ク、ヌ、姉、妹、仔、群。女同志。女友達。

チイ、ヘ、エ、モ、エ、箭、尾、叉。矢筈。

チイ、ヘ、エ、ホ、エ、姉、妹、花。(種)薔薇の一品種。

チイ、ヘ、エ、箭、把。矢的的。矢筈。考。一、的、的、を、射、る。

チイ、ヘ、エ、錢、幣。貨幣。銀貨銅貨。

チイ、ヘ、エ、鼠、病。(漢)【鼠病】。

チイ、ヘ、エ、青、白。青白い。肉色。一、皮、膚、が、青、白、い。

チイ

チイ

チイ

チイ

チイ/ペエ 浅白。人が死んだときに用ひる青布と白布。

チイ/ペエ 刺楸。刺のある植物。茨。一墾。墾の垣根。

チイ/ペエ 生皮。生皮。【熟皮】に對す。

チイ/ペエ エタウ 青皮豆。(種) (豇科) 青皮豆。大豆。

チイ/ホアツ 煮法。(薄) 【煮法】。

チイ/ホアツ 取法。(薄) 【取法】。

チイ/ホアツ 處罰。(薄) 【處罰】。

チイ/ホアツ エ子發的。實生。實生。

チイ/ホアツ 生番。生番。番人。一婆。一蕃婦。一話。一蕃語。一欸。一蠻風。【熟番】に對す。

チイ/ホアツ 生攀。青明攀。綠攀。【熟攀】に對す。

チイ/ホアツ シウ 生番巢。生番の居住する所。

チイ/ホアツ タウ 生番豆。(種) 大きくて良い落花生。

チイ/ホオ 飼虎。虎を飼ふ。虎に食はせる。一不願飼狗。虎には食はせるが犬に食はせるのを甘んじない。兄弟財産争をする時などに他人に取られるのは構はぬが兄弟に取られるのは嫌だ。送肉。一肉を持って行って虎に食はせる。敵に糧を假す。薪を抱いて火に投ずなどの意。

チイ/ホオ 指號。爪判。爪印。拇印。

チイ/ホオ 處和。(薄) 【處和】。

チイ/ホン 搢風。逆風。向風。船。一没行。向風で船が進まない。

チイ/ホン 靜風。風風。

チイ/ホン 越風。風に逆行する。

チイ/ホン 葶方草。(和) 蘭豆草。

チイ/ホン ツウ 紫風珠。(種) (菊科) 菊の變種の名。

チイ/ホオ 試火。(泉) 【試火】。

チイ/ホオ 生灰。(泉) 【生灰】。

チイ/ボエ 鼠尾。(薄) 【鼠尾】。

チイ/ボエ ケエ イヌ 飼没過引。子供や家畜など養つても育たない。

チイ/ボロ 諍無。無いと言張る。

チイ/ボロ 青帽。青色の帽子。喪の時被る帽。

チイ/ボロ コア ハイ ボロ ノア 井無蓋海無欄。井戸に蓋がなく海に柵がない。勝手に飛込んで死ぬといふ意。

チイ/ボロ ヌン イイ 錢無二文。一蹴没鳴。錢は二文なければ投げて音がない、相手のない喧嘩はできない意。

チイ/ボン 志望。(又) 志望。

チイ/ボン ヲン 生妄狀。狼狽。周章。狼狽する。

チイ/ボオ 姉妹。(泉) 【姉妹】。

チイ/ボオ 井盤。井戸端。井戸の洗。

チイ/ボオ 刺盤。(牛公刺)。

チイ/ボオ アヌ ハア 青半夏。【土半夏】。

チイ/ボエ 錢筭。死者の意思を知る爲一個の錢で作つた【聖筭】。【聖筭錢】を見よ。

チイ/ボエ 支配。(圖) 支配。

チイ

チイ/ボエ 接批。受信。一的人。一受信人。

チイ/ボエ ア 錢具仔。銀貨。

チイ/ボエ ジヌ 支配人。(圖) 支配人。

チイ/ボオ 支部。(圖) 支部。

チイ/ボオ 姉夫。(泉) 姉の夫。姉婿。

チイ/ボオ 紫布。布の一種。

チイ/ホオ 市虎。街の悪者。

チイポオ 止歩。立止る。止れ。――揚聲〓奥向に用

事のある者は立止つて聲を揚げよ、奥屋敷などの入口にかけてある札の文句。

チイポオ 此候。今。只今。

チイポオ 支舗。(國)支舗。

チイポオ 青埔。草原。野原。憶着〓誤了熟園〓未開墾の原野の事ばかり考へて居る間に立派な畑が荒れてしまった。欲張つて却つて損すること。

チイポオ 浅布。浅葱の布。浅葱木綿。

チイポオ イオン シェン 止歩揚聲。奥向に用ある者は立止つて聲を揚げよ、奥屋敷などの入口にかけてある注意書。

チイポオ 至寶。至寶。重寶。

チイポオ 錢寶。一厘錢。繡〓一厘錢の形を刺繡する。一耳鈎〓一厘錢の形につくった耳飾。

一厘錢三十六枚の内若干を茶碗の中に入れて之を伏置き其の敷を當てる賭博の一種。

チイポオ 市報。(國)市報。

チイポオ 青舂。青色に塗った船縁。

チイポオ 刺莓。(種)野莓。草莓。莓。臺灣莓。

チイポオ ビイカウ 錢寶耳鈎。一厘錢の形につくった耳飾の一種。

チイボンベ 青磅白磅。唐突。突然。出拔に。

敷から棒に。――死曲曲〓突然に死んでしまった。――要來借錢〓敷から棒に金を借りに来る。

チイマア ウイロク 指馬爲鹿。馬を指して鹿となりす。〔指鹿爲馬〕。

チイミア 指名。名宛。指名。名を指す。

チイミア 清明。二十四氣の一。清明。――祭墓〓清明の時墓參をする。

チイミア ザウ 清明草。〔鼠麴〕。

チイミア フェ 清明節。〔清明〕。

チイミイ 煮麵。(湯)煮麵。

チイミイ 青瞋。盲。盲目。――仔座頭。――的盲。盲。――查某〓瞽女。――怨壁〓盲壁を怨む。自ら失策をしながら他人を怨む意。――牛文盲。――看告示〓盲が告示を見る、何の効もない。――查某認錯婚〓盲の女が自分の夫を見違へる、己の失した物に似た物を見て自分のものだと思張する人などに對していふ。――猫遇着死老鼠〓盲猫が死鼠に遇ふ。浮木の龜の意。

一目的有目金の可牽〓盲人にも手を引いて呉れる目明が居る、馬鹿にも教へ導いて呉れる物識が居る意。――看目光的不知食若多好物〓盲人は目明がどんなに好い物を食へて居るかと思ふ、想像を逞しうする意。――愛跋管〓盲人が〔管〕を占ひたがる、盲人の覬覦の意。――的看見、臭耳的聽見〓盲人が見て、聾者が聴いた、嘘の意。――的顯柑、怙喝〓盲人が蜜柑畑の番をする、無闇に吠鳴ること。――雞、啄着蟲

盲の鶏が蟲を啄き當てる、紛當の意。――雞、啄着蟲

雞、啄着死老鼠〓盲の鶏が死んだ鼠を啄き當てる、紛當の意。――聽拐〓盲人が杖に頼る、騙し易い意。――猫咬雞〓盲猫が鶏を咬へる、容易に放さぬ意。――打不見談〓盲が〔談〕をな

くす、盲人に色目を使うても通せぬ意。――不驚蛇〓盲人蛇に怖ぢず。――不畏銃〓盲人が鐵砲を畏れない、盲人蛇に怖ぢず。――與啞口做夫妻〓盲人と啞と夫婦になる、似たもの夫婦又は因果同士の寄合などの意。――精啞口靈〓盲人は聰明で啞は賢い。――青觸〓盲滅法失敗許りして物をこぼす人を叱つて云ふ。

チイミイ 生麵。生餛飩。

チイミイ グウ 青瞋牛。文盲。

チイミイ チイ 青瞋之。(母)盲者の女を罵る語。

チイム 親姆。嫁の母若くは婚の母。

チイムイ エン シイ タン 錢不用是銅。――賊不做是人〓錢は用ひざれば銅なり賊を爲さ

チイ

チイ

チイ

チイ

れば人なり。「母」
 チイムマア 親姆媽。伯叔の妻の母若くは母方の祖
 チイムンタン 刺毛蟲。(動) 毛蟲。青蟲。
 チイモア 芝麻。(植) (胡麻科) 胡麻。
 チイモア 青鱚。(動) 緑色の鱚。
 チイモアイ 姉妹。(動) 【姉妹】。
 チイモエ 姉妹。(動) 【姉妹】。
 チイラア 生蠟。生蠟。
 チイライ 止利。利息を止める。――還母||利息を止めて元金のみ返す。
 チイライ 市内。(國) 市内。
 チイライ 青内。薄青。青っぽい。
 チイライ 生利。生物などを食べてそのため胃を害する。鳳梨較――||パイナップルはよく胃を害する。
 チイライ 青内青内。【青内】。
 チイライ 青内内。前に同じ。
 チイラウ 摺流。流を逆行する。逆流。
 チイラウ 澗流。水流を測る。
 チイラウ アア 錢寮仔。錢入。金入。財布。
 チイラウ 接力。支へる力。没――||力が入らない。
 チイラウ 生力。一氣に強く出す力。下――||一氣に強く力を出す。

チイ

チイラウ クヌ 生力軍。生兵。新手の兵。
 チイラウ 芝蘭。(名) 芝蘭。
 チイラウ 青鱗。(動) ひら。鱈。
 チイラウ 青蘭。【報春蘭】。
 チイラウ ヒイ 青鱗魚。【青鱗】。
 チイラム 刺楠。【刺杜蜜】。
 チイラム クウ 指南車。(名) 磁石盤。羅針盤。
 チイラム チアム 指南針。磁石。指針。羅針盤。
 チイラン 生人。●未熟な者。疎い者。不馴な者。●急遽しい者。
 チイラン ケエ 接人客。接待。――||的||接待員。
 チイラン ラン 青瓏瓏。海など青青とした。
 チイリアウ 煎料。揚物の材料。
 チイリアア 青粒。【青子】。
 チイリアン 青亮。●寶石など青く透徹してゐる。――||的玉||同上の翡翠。●第三等武官の被る帽子の頂に付けた青色透明の球。――||頂||同上を被る。
 チイリアン リアン 青曉曉。【青瓏瓏】。【官位】。
 チイリイ 之之。【之之】。
 チイリイ 支理。引受けて支辨する。支拂ふ。無到的。額我即――||不足額は僕が支辨する。放下得俾我――||打遣つて置いて僕に反拭をさせる。
 チイリイ 支齋。●音臭い。●音齋。●少しばかりの事

チイ

にも矢金しくいふ。分釐毫忽亦與人在――||分釐毫忽までも人とやかましく言つて争ふ。
 チイリイ 止止。【止止】。
 チイリイ 至理。(名) 至理。
 チイリイ 摺摺。【摺摺】。
 チイリイ 舐舐。(動) 舐舐。
 チイリイ 折折。【折折】。
 チイリイ 噓噓。【噓噓】。
 チイリイ 敷敷。(動) 【敷敷】。
 チイリイ 處理。(動) 【處理】。
 チイリイ 處女。(名) 【處女】。
 チイリイ 取利。(動) 【取利】。
 チイリイ 試試。(動) 【試試】。
 チイリイ 顛顛。【顛顛】の①。
 チイリイ 飼飼。【飼飼】。
 チイリイ リイ 折離離。骨などがきれいに折れて居る。
 チイリウ 支流。(國) 支流。
 チイリエヌ 試煉。(文) 試煉。
 チイリエヌ アア 錢擦仔。錢獨樂。
 チイリエン 技脂。(國) 技脂。(技は技の誤)。
 チイリエン 紫翎。(名) (菊科) 菊の變種の名。
 チイリエン 箭翎。矢の羽根。
 チイリエン 生冷。●腐寒い。冷い。●暝尾不止――||

チウ

をいふ。愚痴を論ず。辛勞在—僱人が小言を
言つてゐる。—亦無路用—愚痴を論じたつて仕
様がない。

チウ 蚌。蝨食ふ。蝨む。—齒—齧齒。白蟻—土地—白
蟻が【土地】の神像を喰ふ、小指が指指に勝つ。
【咳】の⑤参照。樹腹—去—木の中が腐蝕して仕
舞った。

チウ 就。①(姓) 就。②(動詞として働く場合) 就く。近
付く。—先生學—先生に就いて習ふ。降價來
—伊—値を下げて買値に近づく。做去—伊—彼
の望通りに爲していく。屈脚相—膝を屈して
相就く。③【將】の意味に用ひる場合。以て。依
て。…を。—我所有的俾伊做所費—私の持
つて居るのを以て彼の費用にさせる。—伊的話
來想亦能知影—彼の話に依て考へても分る。
—此個給伊—これを彼にやる。—銀單領銀—
銀券で金を受取る。④(或動作が終つて後極めて久
しき意を示す場合) 既に。疾に。未領臺以前
我—有與内地人來往—領臺前から私は疾に
内地人と往來して居つた。早起天未光我—來
—今朝夜の明けない内に私は既に來た。自古早
—有—昔から疾に有る。⑤(或動作が終了後直ち
にといふ意を示す場合) ……すると間もなく。…

チウ すると直に。你返去伊—來—汝が歸ると間も
なく彼が來た。食—一杯酒面—紅—酒を一杯飲
むと直に顔が赤くなる。⑥(或事柄を假定して其
結果を説明する場合) ならば。なら。なければ。
すれば。すると。無顧身命—能破病—身體を
大切にしないと病氣をする。無細賦—能跋倒
—氣を付けないと轉ぶ。你若不減價我—不共
你買—汝が減價なければ私は買はない。⑦【自
の⑤の意味に用ひる場合】より。から。—彼雲無
更來—その時からもう來ません。—今仔日我
要與伊絶交—今日から私は彼と絶交する。—
如此睷去—其儘寢てしまった。—細漢到今—
子供の時から今まで。「睷く」。

チウ

チウ 唶。鼠や小鳥などの鳴く聲。—「下—ちゆうつと

チウ 唶。①(姓) 唶。②(動詞) 唶。③(名詞) 唶。④(名詞) 唶。⑤(名詞) 唶。⑥(名詞) 唶。⑦(名詞) 唶。⑧(名詞) 唶。⑨(名詞) 唶。⑩(名詞) 唶。⑪(名詞) 唶。⑫(名詞) 唶。⑬(名詞) 唶。⑭(名詞) 唶。⑮(名詞) 唶。⑯(名詞) 唶。⑰(名詞) 唶。⑱(名詞) 唶。⑲(名詞) 唶。⑳(名詞) 唶。㉑(名詞) 唶。㉒(名詞) 唶。㉓(名詞) 唶。㉔(名詞) 唶。㉕(名詞) 唶。㉖(名詞) 唶。㉗(名詞) 唶。㉘(名詞) 唶。㉙(名詞) 唶。㉚(名詞) 唶。㉛(名詞) 唶。㉜(名詞) 唶。㉝(名詞) 唶。㉞(名詞) 唶。㉟(名詞) 唶。㊱(名詞) 唶。㊲(名詞) 唶。㊳(名詞) 唶。㊴(名詞) 唶。㊵(名詞) 唶。㊶(名詞) 唶。㊷(名詞) 唶。㊸(名詞) 唶。㊹(名詞) 唶。㊺(名詞) 唶。㊻(名詞) 唶。㊼(名詞) 唶。㊽(名詞) 唶。㊾(名詞) 唶。㊿(名詞) 唶。

チウ 唶。①(姓) 唶。②(動詞) 唶。③(名詞) 唶。④(名詞) 唶。⑤(名詞) 唶。⑥(名詞) 唶。⑦(名詞) 唶。⑧(名詞) 唶。⑨(名詞) 唶。⑩(名詞) 唶。⑪(名詞) 唶。⑫(名詞) 唶。⑬(名詞) 唶。⑭(名詞) 唶。⑮(名詞) 唶。⑯(名詞) 唶。⑰(名詞) 唶。⑱(名詞) 唶。⑲(名詞) 唶。⑳(名詞) 唶。㉑(名詞) 唶。㉒(名詞) 唶。㉓(名詞) 唶。㉔(名詞) 唶。㉕(名詞) 唶。㉖(名詞) 唶。㉗(名詞) 唶。㉘(名詞) 唶。㉙(名詞) 唶。㉚(名詞) 唶。㉛(名詞) 唶。㉜(名詞) 唶。㉝(名詞) 唶。㉞(名詞) 唶。㉟(名詞) 唶。㊱(名詞) 唶。㊲(名詞) 唶。㊳(名詞) 唶。㊴(名詞) 唶。㊵(名詞) 唶。㊶(名詞) 唶。㊷(名詞) 唶。㊸(名詞) 唶。㊹(名詞) 唶。㊺(名詞) 唶。㊻(名詞) 唶。㊼(名詞) 唶。㊽(名詞) 唶。㊾(名詞) 唶。㊿(名詞) 唶。

チウ 唶。①(姓) 唶。②(動詞) 唶。③(名詞) 唶。④(名詞) 唶。⑤(名詞) 唶。⑥(名詞) 唶。⑦(名詞) 唶。⑧(名詞) 唶。⑨(名詞) 唶。⑩(名詞) 唶。⑪(名詞) 唶。⑫(名詞) 唶。⑬(名詞) 唶。⑭(名詞) 唶。⑮(名詞) 唶。⑯(名詞) 唶。⑰(名詞) 唶。⑱(名詞) 唶。⑲(名詞) 唶。⑳(名詞) 唶。㉑(名詞) 唶。㉒(名詞) 唶。㉓(名詞) 唶。㉔(名詞) 唶。㉕(名詞) 唶。㉖(名詞) 唶。㉗(名詞) 唶。㉘(名詞) 唶。㉙(名詞) 唶。㉚(名詞) 唶。㉛(名詞) 唶。㉜(名詞) 唶。㉝(名詞) 唶。㉞(名詞) 唶。㉟(名詞) 唶。㊱(名詞) 唶。㊲(名詞) 唶。㊳(名詞) 唶。㊴(名詞) 唶。㊵(名詞) 唶。㊶(名詞) 唶。㊷(名詞) 唶。㊸(名詞) 唶。㊹(名詞) 唶。㊺(名詞) 唶。㊻(名詞) 唶。㊼(名詞) 唶。㊽(名詞) 唶。㊾(名詞) 唶。㊿(名詞) 唶。

チウ

ろした泥。泥濘。起—反物などの糊を落す。食
—反物など糊をする。②糊を着ける。衫—滑—
着物に糊を着ける。【漿】。

チウ 蔣。(姓) 蔣。【蔣】。
チウ 掌。(姓) 掌。①掌。②掌。③掌。④掌。⑤掌。⑥掌。⑦掌。⑧掌。⑨掌。⑩掌。⑪掌。⑫掌。⑬掌。⑭掌。⑮掌。⑯掌。⑰掌。⑱掌。⑲掌。⑳掌。㉑掌。㉒掌。㉓掌。㉔掌。㉕掌。㉖掌。㉗掌。㉘掌。㉙掌。㉚掌。㉛掌。㉜掌。㉝掌。㉞掌。㉟掌。㊱掌。㊲掌。㊳掌。㊴掌。㊵掌。㊶掌。㊷掌。㊸掌。㊹掌。㊺掌。㊻掌。㊼掌。㊽掌。㊾掌。㊿掌。

チウ 蔣。(姓) 蔣。【蔣】。
チウ 掌。(姓) 掌。①掌。②掌。③掌。④掌。⑤掌。⑥掌。⑦掌。⑧掌。⑨掌。⑩掌。⑪掌。⑫掌。⑬掌。⑭掌。⑮掌。⑯掌。⑰掌。⑱掌。⑲掌。⑳掌。㉑掌。㉒掌。㉓掌。㉔掌。㉕掌。㉖掌。㉗掌。㉘掌。㉙掌。㉚掌。㉛掌。㉜掌。㉝掌。㉞掌。㉟掌。㊱掌。㊲掌。㊳掌。㊴掌。㊵掌。㊶掌。㊷掌。㊸掌。㊹掌。㊺掌。㊻掌。㊼掌。㊽掌。㊾掌。㊿掌。

チウ 蔣。(姓) 蔣。【蔣】。
チウ 掌。(姓) 掌。①掌。②掌。③掌。④掌。⑤掌。⑥掌。⑦掌。⑧掌。⑨掌。⑩掌。⑪掌。⑫掌。⑬掌。⑭掌。⑮掌。⑯掌。⑰掌。⑱掌。⑲掌。⑳掌。㉑掌。㉒掌。㉓掌。㉔掌。㉕掌。㉖掌。㉗掌。㉘掌。㉙掌。㉚掌。㉛掌。㉜掌。㉝掌。㉞掌。㉟掌。㊱掌。㊲掌。㊳掌。㊴掌。㊵掌。㊶掌。㊷掌。㊸掌。㊹掌。㊺掌。㊻掌。㊼掌。㊽掌。㊾掌。㊿掌。

な。耻しくはないか。

チウ アア ツウ 墻仔抵。垣の控柱。

チウ アア ベエ 鎗仔尾。鎗光。鎗の穂光。

チウ アウ 酒甌。杯。猪口。猪口。一。座。盃。酒俤人食。一。續。被人損破。酒を飲ました上に杯まで割られる、恩を仇で返される。

チウ アウ 上後。彈に行く。便所に行く。

チウ アウ 秋後。秋の終。一。熱。残暑。

チウ アウ ヲアヌ 手後彎。【手後訂】。

チウ アウ キアウ 手後曲。【手後訂】。

チウ アウ シイ 手後訂。【手後訂】。

チウ アウ ゴア 秋後熱。残暑。

チウ アウ ツイ 手後訂。臂。一。屈入無屈出。肘は内へ曲られるが外へ曲られぬ、身内の者に味方する意。

チウ アウ テエ 手後訂。(文) 前に同じ。

チウ アウ エン 手後卯。臂の卵形になってゐる部分の稱。使。一。倒撞。臂で後に突く、臂鐵砲。

チウ アヌ 搶案。強盗事件。

チウ アヌ ニイ 就如此。其儘。一。無更來。其儘再び来ない。

チウ アム 守暗。夜番。

チウ アム 漿滑。衣類に糊を着ける。日眉毛無。一。

|| 眉毛に糊を付けてゐない、目が利かぬ意。

チウ アム 手頷。手頷。腕頷。

チウ アン 酒甌。酒甌。酒甌。一。土。酒甌の口を封じるに用ひる粘土。熟熟入買一個漏。一。黒人も時には漏る酒甌を買ふ、精通した人も時には失敗するなど。天公。一。天公の酒甌。酒甌は一名「酒甌」といふ、天公酒甌は「天甌」(取留の無い。馬鹿馬鹿しい。)となるより振つて斯くいふ。酒傾落春白。一。借人。酒を白にあげて酒甌を人に貸す、遺線の方法が間違つてゐること。酒を能く飲む人をいふ。飲助。

チウ イア 樹影。樹蔭。

チウ イア イア 癢挖挖。一。むずむず痒い。身軀。一。|| 身體がむずむず痒い。一。焦燥しい。懊惱しい。心肝。一。|| 焦燥しがかる。

チウ イイ 酒意。(文) 酒氣味。酒を欲しがる氣味。

チウ イイ 就伊。彼に近づく。駛去。一。船など馳せて近よる。落價來。一。値を負けて彼のいふ所に近くする。

チウ イイ 樹蔭。木の芽。

チウ イイトオ 就伊土。一。糊伊壁。彼の土を以て彼の壁を塗る、結婚の時など結納金の多寡によりそれ相應の嫁入仕度をするなどをいふ。一。

作伊墻。彼の土で彼の垣を作る、同上の意。

チウ イウ 周遊。(文) 周遊。

チウ イウ 酒友。酒飲の友達。

チウ イウ 蛙。蚌。(文) 米食蟲。

チウ イウ 上様。嬌える。附上る。乗了。困仔就罷。一。|| 嬌すと子供は附上る。

チウ イウ 手幼。手が嫩か。脚尖。一。足が小さくて手が嫩か、文人など柔弱な。

チウ イウ 樹油。樹の脂。

チウ イウ 樹蔭。木の芽。

チウ イウ 象油。膏藥に使用する象の脂肪。

チウ イエウ 周易。周易。易經。

チウ イエヌ 酒宴。宴。酒宴。

チウ イエヌ 酒筵。前に同じ。

チウ イエン 手閑。暇。手透。等我。一。咧。僕の手透になるまで待て。

チウ イオン 周陽。(姓) 周陽。

チウ イオン 愁容。心配顔。愁容。

チウ イヌ 上引。火附。没。一。火が附かない。

チウ イヌ 手印。搦印。手印。打。一。手の形の印を

チウ イム 手淫。(文) 手淫。

チウ イム 樹蔭。(文) 木蔭。

チウ ウイ 周圍。周圍。

チウ ウイ 周圍。周圍。

チウ

チウ

チウ

チウ

チウウイ 就位。(交) 着席。
 チウウイ 上位。上位。上席。
 チウウイ 秋蘭。(交) 學人の試験。
 チウウイ 手杖。(交) 【手杖】。
 チウウイ 墻圍。垣の圍。圍。一仔同上。
 チウウイ 秋雨。(交) 秋雨。
 チウウイ 上運。開運。有卦に入る。
 チウウイ 手下。部下。部下。
 チウウイ 樹下。樹下。木の下。〔る。〕
 チウウイ 上警。目に星が出来る。目に薄い曇がで
 チウウイ エエツツ 手下節。下腕。下脚。
 チウウイ エエタウ 此下單。(同) 今日晝。
 チウウイ エエフン 此下昏。(同) 今晚。
 チウウイ エエム。エ 癢的不扱。一痛の招到血
 流。癢い所は搔かないで、痛い所を血の出る程引
 掻く、爲す事が要點に當らない意。
 チウウイ 就倚。近寄る。近づく。一要娶に近い申
 に嫁を貰ふ。
 チウウイ 手碗。(同) 肘の關節。
 チウウイ 樹榿。枝。樹の根元より最初に分れる大
 きな枝又は又。
 チウウイ ヲアツ ヲアヌ 手越彎。肱の内側の凹。
 チウウイ ヲアヌ 手彎。前に同じ。

チウ

チウウイ ヲアヌ 手腕。(同) 手腕。一靈敏。手腕が至つ
 てさえてゐる。
 チウウイ ヲエ 酒話。酒の上の徒口。講。一酒に酔など
 して徒口をいふ。管を巻く。
 チウウイ ヲエ 揪話。問詰める。判官賢。一判官がよ
 く詰問する。
 チウウイ ヲエ 樹榿。(同) 【樹榿】。
 チウウイ ヲエ 上鞋。靴の底臺に上部の皮形を組合せる。
 チウウイ ヲエ 上學。登校。入學。
 チウウイ ヲエ ブツ 手荷物。(同) 手荷物。
 チウウイ ヲエ カア 上教。覺慣れる。覺えてくる。
 チウウイ カア 樹膠。樹脂。樹脂。
 チウウイ カア 樹脚。木の下。樹脚。
 チウウイ カア 墻脚。垣の根元。
 チウウイ カウ 酒厚。酒が濃い。酒が強い。
 チウウイ カウ 槳扣。權を船縁の支柱に繋ぐ繩。
 チウウイ カウ 上栲。手足などに栲を掛ける。共伊。一
 彼に栲を掛ける。
 チウウイ カウ 手栲。手栲。手鏡。
 チウウイ カウ 手交。手から手に渡す。手渡す。
 チウウイ カウ 樹壳。木の空になた外殼。
 チウウイ カウ 酒杆。銚子。徳利。
 チウウイ カウ 象簡。象を取扱ふもの。

チウ

チウウイ カヌ タウ 贖牽頭。(同) 質を受ける。
 チウウイ カム 上埃。一塵に上る。一十百千萬の如く算盤
 の上の桁に上る。家伙剩有。一無財産が或一
 室の桁に達したか。出有。一即來。一賣買の時
 など。値が桁以上に出せたら相談に來なさい。
 チウウイ カン 上工。仕事に掛る。仕事に取掛る。
 チウウイ カン 蛙孔。蟲喰。
 チウウイ カン 咒摺。主に女が其目下などに對して入釜敷
 く小言をいふ。口八釜敷く罵る。一詈罵。同
 チウウイ カン 手工。(同) 手工。手工。手工。一上。
 チウウイ カン 守空房。空閑を守る。
 チウウイ ガウ 酒肴。酒の肴。
 チウウイ ガウ 愁顔。心配顔。愁容。
 チウウイ キア 上崎。坂を上る。
 チウウイ キア 上京。上京。
 チウウイ キア 手擦。カンテラ。手點。手燭。雪洞。一
 チウウイ キア 手鏡。柄のある鏡。一仔。一鬢鏡。
 チウウイ キア コアイ 手擦高。一手を差上げる。一望你
 一寛大な處置を求める詞。堪忍して下さ
 い。勘辨して下さい。
 チウウイ キア 手擦鼎。柄のついた鍋。フライパン。
 チウウイ キア 手曲。肘。一肘枕。一屈入無
 屈出。一肘は内へ曲るも外に曲られぬ、他人

よりは身内の者に味方するの意。

チウ キアブ 搶劫。強奪。横奪。略奪。奪取る。一成家横奪して家を成す。

チウ キアム 醬鹹。漬物。漬物にする。漬ける。チウ キイ 守更。夜番。夜廻。偵賊。一賊を雇うて夜番させる。泥棒に鍵を貸すなど。

チウ キイ 上乱。神靈が【乱】に乗移る。チウ キイ 酒氣。酒の精氣。酒氣。帯。一酒氣を帯チウ キイ 蛀齒。齧齒。

チウ キイ 上去。上去。上去聲。チウ キイ 手鋸。【手鋸】。

チウ キイ 手技。手の技術。手藝。チウ キイ 樹枝。樹の枝。小枝。

チウ キイ 樹杞。(種)紫金牛科)もくちらばな。チウ キイ 唱機。(音)蓄音機。

チウ キイ 塙基。塙の土臺。チウ キイ 象棋。象牙で拵へた將棊の駒。

チウ キイ 手摘。子供が母を離れず何處までも附いて往くなど。手足纏。

チウ キイ 樹蟻。(動)樹に居る蟻。チウ キイ コウ 守更柝。夜警に用ひる竹製の鳴物。

チウ キイ 黍去鮮。布など糊が



柝更守

ついて硬ばる。さっぱりとする。

チウ キウ 醬薑。味噌漬の生薑。チウ キウ 上腔。上腔。上髒。

チウ キウ 手球。手球。一ヴァレーボール。チウ キエク 唱曲。歌を謡ふ。一解心悶歌を唄うて心の憂を解く。聽你在。一御前の歌を聞いてある、何をぬかすか。

チウ キエン 秋景。(文)秋景色。秋色。チウ キエン 上弓。弓を張る。

チウ キオク 秋菊。秋の菊。チウ キオン 秋宮。【雞髻花】。

チウ キヨ 上轎。花嫁など轎に乗る。一十八變。女は嫁入すると十八變する、物事を知つて來る意。一即縛脚。轎に乗る間に纏足する、泥棒を捕へて繩を縛ふ意。

チウ キヨ 手轎。手車。打。一手車を打する。チウ キヌ 就緊。可成早く。可成急いで。一返去。可成早く歸る。

チウ キヌ 就近。(海)【就近】。チウ キヌ 上斤。(海)【上斤】。

チウ キヌ 手巾。(海)【手巾】。チウ キヌ 樹根。(海)【樹根】。

チウ キブ 稠急。(文)人の困窮を見て賑すこと。助

る。賑恤する。施救ふ。金錢を出して救済する。

チウ キブ シヲ 酒急燒。酒を暖める器。チウ キム 手琴。一ヴァイオリン。一手風琴。

チウ ギア キイ 手奔起。次に同じ。チウ ギア コアイ 手奔高。一手を高く上げる。一寛大に處置する。

チウ ギア ア 就業。(國)就業。チウ ギア フウ 醜業婦。(國)醜業婦。

チウ ギイ 咒語。(海)【咒語】。チウ ギイ 樹口。折れた枝の木に残つてある部分。

チウ ギエ ヌ 咒言。(文)誓言。チウ ギヌ 上銀。(海)【上銀】。

チウ クイ 酒鬼。酒好。大酒飲。上戸。チウ クイ 上高。【上高】。

チウ クイ 酒氣。酒の香のする息。酒氣。チウ クイ 秋季。(文)秋季。

チウ クイ 秋葵。(文)【向日葵】。チウ クイ 手卷。(海)【手卷】。

チウ クイ 手卷。(海)【手卷】。チウ クイ 象管。(海)【象管】。

チウ クイ ホンリエン 石工 秋季皇靈祭。(國)秋季

チウ クウ 蛙龜。(動)糲や米等を食ふ蟲。穀象。豆象。

チウ

チウ

チウ

チウ

チウクウ章句。章句。

チウクウ手鋸。手鋸。

チウクウ手白。●手の關節。肘。●手白仔。

チウクウアア手白仔。

薬など搗碎く小い。

白。

チウクツ蛙骨。●骨を

蝕む。●徒者。囚

仔真——子供が甚だ悪戯た。

チウクツ酒窟。●仔同上。

チウクツ手骨。手骨。腕骨。腕。打折——顛倒勇

●手の骨を折って却って強くなる、雨降って地面まるなど。

チウクヌ就近。●近い所。近所。接近してゐる所。

——去买——近所に往って買ふ。●就く。——先生

チウクヌ上斤。一斤になる。一斤に上る。——雞

一斤に上る鶏。

チウクヌ手巾。●手帕。——雙頭浴——ハンカチの

兩方が濡れる、贈答の爲に雙方ともに費用のかかるなどの意。●風呂敷。用——包——風呂敷で包

チウクヌ樹根。樹根。木の根。

チウクヌキアン唱崑腔。【崑腔】の曲を唱ふ、吞氣



手白仔

チウ

に太平樂をいふ。

チウクン手卷。文字などを書いた巻物。「もの。

チウクン手養。貝などに糸を通して子供の腕に巻く

チウクン象管。象の鼻。——更門牙柄——象の鼻に

更に牙の柄をつける、強欲非道なこと。眞——非常に強慾な。

チウクウ手鋸。(象)【手鋸】。

チウグイ樹鬚。(動)木に居る蟲の名。木虱笑——

南京蟲が【樹鬚】を笑ふ。日糞が鼻屎を笑ふと云ふに同じ。【陪贖】。

チウグウ咒語。秘文。咒文。眞言——眞言の呪文。

チウグウ樟牛。(種)樟科)もやうぎう。

チウグヌ上銀。一圓になる。銀貨の表價丈の額にな

チウグウ咒語。(息)【咒語】。

チウケエ酒價。酒價。

チウケエ守更。(窓)【守更】。

チウケエ上街。(窓)【上街】。

チウケエ上價。●價が上る。●價格に達する。

チウケエ上契。(意)【上契】。

チウケエ手枷。手枷。

チウケエカア上家甲。戸籍簿に登せる。

チウゲエ上衙。出勤。出仕。役所に出る。

チウゲエ手藝。手仕事。手工。手細工。

チウ

チウゲエ樹芽。木の芽。「象牙細工。

チウゲエ象牙。象牙。——箸——象牙の箸。——器

チウコア守寡。後家を立てる。——的——寡。後家。

——人——同上。——面——陰鬱な顔。淋しさに打

沈んだ顔。【守寡】。

チウコア就官。任官。

チウコア上官。赴任。

チウコア唱歌。歌を唱ふ。唱歌。

チウコアイ上高。●高きに登る。上る。扒——上

に上る。——落低——高きに登り低きに下る。●

高官になる。出世する。別日仔——即牽拾我

●他日出世したら世話して下さい。

チウコアイ樹桿。樹の幹。

チウコアイ鎗桿。鎗の柄。

チウコアイチアウ唱高調。高調子に唱ふ、大きな事を言ふ意。

チウコアアア手扶仔。敲槌。

チウコアヌ酒館。酒樓。料理屋。

チウコアヌ上高。(意)【上高】。

チウコアヌ手環。腕輪。腕貫。掛——腕輪を填める。打——腕輪を作る。

チウコアヌピア手環鏡。腕時計。

チウコエ守寡。(婦)【守寡】。

チウ コエ 醬瓜。瓜の漬物。瓜の味噌漬。

チウ コエ 上街。街に往く。

チウ コエ 上契。證書中に記す。證書に書入れる。

チウ コエ 牆節。女牆。一仔門同上。一仔門女

牆に裝置へた門。

チウ コエ 牆挾。土壁を作る時に用ひる木の樞。

チウ コオ 酒砧。酒を温める土瓶。

チウ コオ 守顧。護衛。番をする。

チウ コオ 酒庫。大な酒屋。

チウ コオ 上課。(泉)【上課】。

チウ コオ 手鼓。振鼓。

チウ コオ 手股。二の腕。上膊。一頭二の腕の上

チウ コオ 搶孤。施餓鬼の式後供養したものを分取る

チウ コオ 愁苦。嘆き悲む。

チウ コオ ヒイ 鹹鮎魚。(物) 絲綫鯛。

チウ コロ 上課。授業に就く。

チウ コロ 手窠。肘掛。一布同上の覆。

チウ コク 酒柝。酒を量る器具。

チウ コン 周公。周公。

チウ コン 酒狂。【酒狂】。

チウ ゴア 又周元。(古錢) 占に用ひる錢。

チウ ゴエ 手藝。【手藝】。

チウ

チウ トゴ 上五穀。五穀を貯蔵する。

チウ サア 漿衫。着物に糊を附ける。

チウ サア 上沙。福建地方より北部の方に航海するこ

チウ サア 手砂。墓の兩翼の土饅頭。

チウ サヌ 上鎗。(同) 鎗。【上鎗】。

チウ サア 樟柴。樟樹の材木。

チウ サア キイ 此早起。(同) 今朝。

チウ サア コラ 手挿格。手で腰のところを支へる。

チウ サイ 酒菜。酒肴。

チウ サイ 醬菜。漬物。味噌漬。

チウ サイ 手指。手の指。

チウ サイ 手菜。多くの材料で作った料理。鳥や魚に他

の材料を交へて作った料理。込入った料理。(他の

材料を交へず鶏や魚を其の儘作って出す料理に對

していふ)。

チウ サイ 痲睨。不——係ることを厭ふ。無愛想に

する。有——部下などに愛想よくする。親を示

チウ サイ トヲ 酒在桌。墓碑の前にある石卓。

チウ サウ 酒糟。酒糟。

チウ サウ 酒灶。造酒の竈。

チウ サウ 秋草。秋草。

チウ サウ 手抄。(筆) 手帳。手寫。手控。

チウ

チウ サウ リエ 樹草蓮。(種) (蘭科) きばなしゆすら

ん。【金線蓮】。

チウ サツ 章節。章句。章に節。

チウ サツ 守賊。泥棒の番をする。一更、做賊一

嘆。泥棒の番をする者は一時で疲れるが泥棒は一

晩中働く。賊の防禦は困難なるをいふ。

チウ サツ 手節。腕。

チウ サヌ 關養。錢を與へて救ふ。賑す。

チウ サム 咒讖。●咒咀。咒咀。●目下などの落度

に對して小言をいふ。ぶつぶついふ。徳序大人

不時在——彼の親は常にぶつぶつ小言を言

てゐる。一醫罵——母親が其子供に對してぶつ

ぶつ小言を言つて罵るなど。

チウ サム 秋蠶。(文) 秋蠶。

チウ サム ツン 手斬斷。●手を斬る。●田地や家屋

を賣却する時證文に印を押す。

チウ サム レエ 咒讖。●次に同じ。

チウ サム ロエ 咒讖。●母親などが其子供に對し

て小言をいふ。ぶつぶついふ。

チウ サン 樹叢。樹木。木立。

チウ サン バク カン 鬚懸目降。鬚を背らせ目を怒

チウ シア 酒席。酒席。

チウ

チウ

チウ シア 上聲。上聲。上聲。

チウ シア 秋社。(又) 立秋後第五戊に當る日を云ふ。

チウ シアウ 酒狂。酒狂。酒亂。酒醉心頭定

一 無性命酒に酔ふ人は正氣で居るが酒狂の

人は命がなくなる、酒酔は大した差支はないが

酒狂になるとそれこそ困る意。

チウ シアウ 上賤。帳面に附ける。

チウ シアブ ボエリアブ 上世没攝。(多) 四十歳にな

ればもう駄目だ。

チウ シイ 就是。取不直。即ち。其が其の。詰。空角

一 曲角がそれだ。我 生理人 私は即

ち商賣人だ。一 恁不着即被人講 諸君が

悪いから人に言はれるのだ。

チウ シイ 掌扇。團扇の一種。

チウ シイ 上司。上級官衙。上官。上役。上司。

チウ シイ 手書。(簿) 【手書】。

チウ シイ 手勢。療治又は養育などの手際。好 一 一

手際が好い。上手だ。

チウ シイ コア 守生寡。夫から何等の關係を受けて

ゐない妻。夫はゐるが寡婦の様な生活をする婦

人。

チウ シイ コア 上司官。上級官衙の官吏。上役。上

チウ シイ モエ ア 咒死絶誼。死を賭して誓ふ。飽

チウ

迄も強辯する。

チウ シイ ラク ア 咒死瘳誼。前に同じ。

チウ シイ レ エ メ 咒死嘗罵。(簿) 次に同じ。

チウ シイ ロ エ マ 咒死嘗罵。次に同じ。

チウ シイ ロ エ メ 咒死嘗罵。女が人を咒ひ罵る。

チウ シウ 秋收。秋の收穫。

チウ シウ 手袖。指なしの指袋。

チウ シエ ク 酒色。酒色。一 之徒 酒色の徒。好

一 酒色を好む。貪迷 一 酒色を貪る。

チウ シエ ク 酒席。酒席。

チウ シエ ク 醬色。小豆色。

チウ シエ ク 上席。(圖) 上席。

チウ シエ ク 秋色。(多) 秋色。秋景色。一 平分

【秋分】の頃。

チウ シエ ク 首飾。女の頭の飾。

チウ シエ ク タヌ 秋石丹。【消食丹】。

チウ シエ ヌ 酒仙。酒好。酒客。酒仙。上戸。大酒飲

排 一 芝居の藝題の名。

チウ シエ ヌ 秋蟬。(多) 蟬。秋蟬。一 仔 同上。

チウ シエ ヌ 樹蟬。(多) 小蟬の名。

チウ シホ ク 手續。(圖) 手續。

チウ シヨ 手脂。手の脂。生 一 手に脂が出る。

チウ

チウ シツ 酒食。酒肴。酒肴。一 兄弟千個有、患

難之時 一個無 酒あり肉あれば朋友多く患難

の時には一人もない。

チウ シヌ 上身。神靈や精靈などが乗移る。一 開口

一 訛言がある。神託。

チウ シヌ 樹身。幹。幹。一 堅得正不怕樹尾風

一 樹の幹が確りと立って居れば梢が風に揺られる

のを恐れぬ。

チウ シヌ 手信。音物。土産物。手土産。

チウ シヌ 樹神。樹の神。木魂。木靈。

チウ シヌ 搶新。新しい物を奪ふ。目新しい物を入

り先に取る。御初を失敬する。

チウ シヌ 贖神。(同) 【贖精神】。

チウ シヌ レ エ ミア 咒身嘗命。(多) 次に同じ。

チウ シヌ ロ エ ミア 咒身嘗命。女が自分の運命を怨

む。命を咒ふ。

チウ シツ 上濕。濕る。濕る。

チウ シム 掌心。掌の窪。手底。手の平。

チウ シム 秋審。按察使より擬律上奏方を上申し來れ

る死罪犯若くは救命事件などに對する巡撫又は總

督の審問。

チウ シム 手心。掌の真中。掌の窪。手底。

チウ ジア 揖讓。手を拱いて拜禮する。

チウ

名字シライ——名前なまへが掲かかげられる。

チウワア 上行。仕事しごとに慣なれる。要領えうりやうを得える。教けう都と没ぼつ——教せうへても駄目だめ。學まな尙しやう未ま——未まだ仕事しごとに慣なれない。

チウワア 搶撥。●手荒てあらく引ひ手て繰くる。●當あたり散ちらす時ときなど品物しなぶつを荒あ荒らしく取と扱あつ。碗盤わんぱん如ごと此ごと在ある——要損えいそん破は是こ不な——即すなはち小鉢せうはちをそんなてあら手荒てあらく扱あつて毀こすつものなにか。●仕事しごとを端折はなせる。手早てはやくする。●事情じやうけ若無わく——就すなはち没起ぼつし——仕事しごとを手取てとり早はやくしないと間まに合あはれない。過年かねん的てき生理しやうり着較ちやくかく——例れい——年末ねんまつの商賣しやうばいは儲まうは少すくなくとも手早てはやく賣うつてしまはねばならぬ。

チウワア 又周全。●周到しやうちゆう。周密しゆうみ。

チウワア 又酒癡。●酒拔しゆんぱ。キルク拔ぬき。コロップ拔ぬき。用い——拔酒ぬきしゆ塞せん——榨拔せんぱでキルクを抜ぬく。

チウワオ 調助。●文ぶん。錢ぜにや物ものを與あたへて助すけける。救助きゆうすけ。

チウワオ 咒詛。●詛じゆふ。咒詛じゆそ。

チウワヲ 上槽。豚ぶたの子こが物ものを食たべる様ようになる。食物じやうぶつを取とる様ようになる。

チウワヲ 上座。位置いちに附つく。座ざに上のぼる。坐まに直ただる。

チウワヲ 手作。細工さいくなどの手際てがは。造工やうぐ合あい。歹たい——不手際ふてがは。——真好ちま好ま——手際てがはが甚た好よい。

チウワヲ シムサウ 蔣草しやうそう心草しんそう。●種くさほそばのきみづ。

チウ

(葎麻科刀傷及び打撲傷などに莖葉を搗碎して患部に貼付す)。「りる。

チウワニ ア 周倉翁。關羽くわんうの部下かか、關帝くわんていと共に祭まつ。

チウタイ 上臺。舞臺ぶたいに上のぼる。演壇えんだんに登のぼる。

チウタク 酒頭。一番酒いちばんしゆ。

チウタク 樹豆。●種くさきまめ。●普科ふこ。大豆だいず又は豌豆びん豆の代用だいようとして肉類にくるいと共に煮にる。

チウタク 手頭。●手て。●權けん在ざい伊い的てき——權けん限げんは彼かの手てにある。——緊きん——金きん錢せんに乏たしい。——量りやう——金廻かぬまわりがよい。——寬かん——金使かぬしが粗せい。齊せい齊せいしない。

チウタク 樹頭。切株きりかぶ。木きの根元ねもと。根子ねこ。——發はつ的てき藥やく——藥やく。——的てき周圍しゆうい——根廻ねまわり。食菓じやくくわ子こ無拜むはい——●果物くわぶつを食たべて樹きの根ねを拜はいまない。●本元ほんげんの恩おんを知しらぬといふ意い。死猫しにゃう吊たり。●死狗しこ放水はうすい流りゅう。●猫ねこが死しんだら樹きに吊たりせ、犬いぬが死しんだら水みづに流ながせ。

チウタク 上頭。輿こし入いれせんとする時とき嫁よめ婿むこ兩家りやうけで子孫しそん多おほき夫妻ふうさいに請こうて頭あたまを洗あひ髪かみを梳かみ嫁よめには弁かみをさし婿むこには帽子ぼうしを被かかして貰もらひし後のち、神かみを拜はいし子孫しそん繁はん昌さかを祈いのること。——戴たい髻げ——同上どうじやうの時ときの嫁よめの禮裝れいさう。

チウタク アヌ 手頭緊。●手元てもと不ふ如意に。●金きん錢せんに乏たしい。

チウタク キヌ 手頭輕。●手てに餘あり力ちからを入いれない。

チウ

手柔てやはかい。●醫い師しが劇藥げつやくを餘あまり使用しやうせぬこと、料りやう理り人にんが醬油じやうゆを餘あまり入れぬことなどをいふ。

チウタク ギイ 手頭硬。●思切おもひきつて荒療治あつらうぢなどをしきること。●臆おそぜずして手荒てあらなことをしきること。●外がい科け的てき醫い生せい着ちやく——即すなはち能よ得とく——外科醫げけいは同上どうじやうで無なくてはならぬ。

チウタク タン 手頭重。●手てに力ちからを入いれ過ぎすぎる。●手荒てあらい。●醫い師しが激げき烈りやうなる藥やくを多た量りやうに使用しやうすること、料りやう理り人にんが料りやう理りに醬油じやうゆを多た量りやうに入いれるが如ごときをいふ。

チウタク チウピヌ 上頭上面。●梅毒ばいどくなど顔かほや頭あたまに出でてくる。●不ふ品ひん行かうをする者ものなどが人目ひとめに觸ふれることを恐おそれなくなつてくる。

チウタク チエン 牆頭頂。塙ひらの上うへ。

チウタク ヒウ 搶頭香。先驅せんかする。先鞭せんべんをつける。

チウタク ビヲ 搶頭標。先驅せんかする。一番驅いちばんか。伊い的てき人にん愛あい——彼かれは先驅せんかしたがる、彼かれは出でしやばりたがる。

チウタク ラアサイ 上頭擲屎。擲あかすために子供こどもが好よい氣きになつて附つ上のぼる。

チウタク ツ 酒塞。●酒瓶しゆびんの栓せん。●キルク。

チウタク ム 酒壘。●酒壘しゆらい。●酒壘しゆらい。

チウタク ム 手談。●碁ごを打うつ。●圍碁ゐご。

チウタン 上冬。收穫の時になる。農時になる。

チウタン 上童。神佛が「童」に乗れる。

チウタン 酒桶。酒樽。酒樽。

チウタン 蛙蟲。竹や木を喰ふ蟲。

チウタン シエヌ 上銅鑄。緑青が吹く。

チウタン モエ 上銅青。(意)「上銅青」。

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

チウタン ア 咒重誦。違背すれば甘んじて重い刑罰を受ける旨を天地神明に誓ふ。固く誓ふ。固く

情不止。仕事をするのに真に周到だ。發落不止。行届いて世話をする。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 酒錢。酒代。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 章旨。(意) 文章の趣旨。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 蟹蟻。(意)「蟹蟻」。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 上錢。嬌える。拗ねる。做。嬌垂れる。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 激。假病などして拗ねる。假。同上。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 上取。(意)「上取」。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 上市。商賣が賑ひ始める。商賣の忙しい盛。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 料理仔店。生理着暗時即有。料理屋の商賣は夜にならぬと賑はない。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 手指。指輪。指輪。指輪に造付の時計。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 手摺。折本。手帖。手摺。手摺。手摺。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 手箭。投箭。尖った金剛の一端に鳥毛を縛り

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

人又は鳥などに投げつける手裏剣の如きもの。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 樹子。木の實。果實。食。無拜樹

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

頭。木の實を食って木の根を拜まぬ、他人の世話

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

になつて其恩を知らぬ意。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 樹青。「石松」。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 上湖。濕っぽくなる。鹽。水氣を

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ ア 手摺仔。折本。手帖。覺帳。手控。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 薄。同上。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 薄。同上。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 薄。同上。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 薄。同上。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウチイ 薄。同上。

チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。チウチイ 口守。守銭奴。守銭奴。

チウ

チウチウ 橡樹。(植) (穀斗科) クエルカスブンゲアナ。
 チウチウコエ 上手契。【頂手契】。
 チウチウワアワア 槍槍撥撥。【槍撥】の(一)。(一)。
 チウチウチエンチエン 手手銃銃。【手銃】の(一)。(一)。
 チウチウロヲロヲ 上上落落。絡繹。行交ふ。往來。往來。
 チウチウク 颯爽。颯を風に吹かせて芥や萩敷などを。
 チウチウク 上粟。萩を貯へる。【寡】。
 チウチウツ 守節。後家を立てる。——查某。後家。
 チウチウエヌ 上淺。愛に狎れて好い氣になる。我儘をする。附上る。【が悪い】。
 チウチエヌ 手弄。何でもよく弄りたがる。【手癖】。
 チウチエン 酒鐘。杯。猪口。猪口。——能榜過省。拳頭母沒鑿過壁。盃は投げて省の境を越す。ことが出来るが拳骨で壁を透すことは出来ない。武力で仕様とすると難しいが親しく談合つてする。と出来る意。
 チウチエン 酒精。(國) 酒精。アルコール。
 チウチエン 醬清。味噌の回などに出来る上清汁。
 チウチエン 手銃。【ピストル】。短銃。【惡戲】。惡戲する。惡作をする。打——手淫をする。猴打去。不是——猿が手淫しても手淫ぢやない、柄にない事をして失敗したる時などにいふ。

チウ

チウチエンアア 手銃仔。惡戲つ子。
 チウチエンシヌ 贖精神。(同) 烈しくものに驚いてそれが爲病氣に罹つたときなど道士などを頼み心魂を呼戻して其體中に入れること。
 チウチオク 酒爵。【禮爵】。
 チウチヲイアム 酒石鹽。(鹽) 酒石酸。
 チウチツ 就職。(國) 就職。
 チウチヌ 秋清。【涼しい】。——的風。涼風。【涼む】。涼納涼。去有影的所在。——日影に行つて涼む。【身軀無甚】。——身軀の工合が何もうよくない。
 チウチヲ 舟楫。(又) 舟楫。
 チウチム 就寢。(又) 就眠。
 チウチム 手枕。手枕。臂枕。【手枕で寝る】。
 チウチム 秋深。秋荒る。
 チウチア 漿摘。楫の端の丁字形になつて横木。
 チウチア 州廳。(國) 州廳。
 チウチア 上廳。【結婚後三日目に花嫁其室を出て夫と共に神佛及び祖先の位牌を拜し且つ親戚に紹介されること】。【出廳】。【官衙に登廳する】。「つ」。
 チウチア 上繩。穀物を買込み貯藏して價の騰るを待
 チウチアウ 周朝。周の時代。「と」。
 チウチアウ 上申。縊死すること。死刑執行に行くこ

チウ

チウチアウ 上朝。參朝。參内。朝廷に上る。
 チウチアム 酒店。酒屋。有心開。——不怕酒錢除。【覺悟の上で酒屋を開くからには酒代が貸になるのを怖るな】。
 チウチアム 槩拈。擢を掛ける突出した木。擢掛。
 チウチアムタン 上店窓。店頭などの晝間取外し置く窓の戸を損める。戸締をする。
 チウチイ 酒痔。(痔) 痔瘻。痔疾。
 チウチイ 酒甜。酒を造る時の米の蒸に麴を混ぜて藏置したる後甘くなったもの。
 チウチイ 上夫。昇天。天に上る。空中に上る。——説價落地還錢。天にも届く様な高い値段をいうて賣る時には非常に安い。——無路。天に上るに路なし、非常に窮する意。——叫三界落地叫不知。人の恩を忘れる意。喉元過ぐれば熱さを忘れる。
 チウチイ 秋夫。秋。秋季。
 チウチイアア 手猪仔。力瘤。
 チウチイ スウ 州知事。(國) 州知事。
 チウチイ トエ 咒夫咒地。天地を詛ふ。自分の運命を歎く。
 チウチウ 酒簾。酒席に興を添へる爲の簾。角又は竹で造り一面に詩の句を刻し一面に鬮を引いた者が

行ふべき藝又は事を記す。

チウ/チウ 酒抽。サイホン。酒の吸管。

チウ/チエク 酒徳。酒機嫌。酒癖。一ノ歹。酒後がよ

くない。酒癖が悪い。

チウ/チエヌ 酒癲。醉狂。酒亂。酒狂。一ノ酒狂。同

チウ/チエヌ 上殿。昇殿。「上。

チウ/チエヌ 上殿。昇殿。「上。

が釘を裁へた寢臺上に仰臥すること。

チウ/チエン 上丁。成年になる。十六歳一ノ十六歳

で成年になる。

チウ/チエン 手燈。提燈。手下提燈。

チウ/チエン アア 手燈仔。前に同じ。

チウ/チエン サツ 手頂筋。上臂。腕。二腕。

チウ/チオン 掌中。掌中。

チウ/チオン シム 手中心。手心。手の平。性命在

我一ノ一ノ生命は我手中に在り。

チウ/ツイ 酒醉。酒に酔ふ。酔。一ノ心頭定。酒に酔

つても心は確りして居る。一ノ心頭定。酒狂無

性命。酒に酔つても心は確りして居るが、醉狂

するものは命がなくなる。一ノ誤江山。酒は破

滅を來す。

チウ/ツイ 咒水。咒の水。祈禱師、巫女などが神に假

托して病を治すといふ水。

チウ

チウ/ツイ 嚮水。水弄をする。

チウ/ツイ 上水。水が上る。鼓井此滿較有。一ノ

井戸の水が今はよく上る。一ノ荷揚。陸揚。水から

上がる。一ノ鮮。今水から上げた許の清鮮な魚

など。一ノ魚。今水から上げた許りの魚。一ノ景氣

がよい。生理此候當在。一ノ今商賣は景氣

のよい最中だ。

チウ/ツイ 揪水。水流に逆つて泳ぐこと。

チウ/ツイ 汲水。手繰つて水を汲む。

チウ/ツイ チヌジヌ 咒水真人。「三十六將」の一に

て目が三つあり馬に騎る。「煮た料理」

チウ/ツイ プイ コエ 酒醉肥雞。鶏等を材料として

チウ/ツイ 蟹蟻。蟹。蝦蟇。蟾蜍。疣蛙。蟞。蟹蟻。

蟹蟻。蟹蟻。蟹蟻。

チウ/ツイ 上書。書載せる。書物に記載する。

チウ/ツイ 上取。取得。有。一ノ取得が有る。無。一ノ

取得が無い。

チウ/ツイ 樹薯。(種)大戦科)いものき。たびおか。

チウ/ツイ 鎗主。考試の時などに文章を代作する人を

備ふ備主。

チウ/ツイ ライ 揪出來。言を構へて言はさせる。言ひ

くるめて白状させる。

チウ/ツイ 上船。乗船。船に乗る。

チウ

チウ/ツヌ 上春。上春。初春。

チウ/ツン 上賍。贓物を上げる。掠賊。一ノ掠姦在

床。賊を捕へるには贓物を上げよ、姦通を捕へる

には寢臺に於てせよ。

チウ/ツン 上粧。化粧して映りよい。着飾つて見よい。

化粧映がする。大目的。一ノ細目的。晦昏。目玉

の大きいものは化粧映がするが小さいものは眇の

チウ/ツン 上床。寢臺に上る。「様だ」

チウ/ツン 上倉。貨物を買込んで貯藏し價の上るのを

チウ/ツツ 蟹蟻。(蟹)蟹蟻。

チウ/ツツ 上書。(書)上書。

チウ/ツツ 樹薯。(薯)樹薯。

チウ/ツイ 手碓。手で搗く石臼。

チウ/ツイ 手斷。(海)手斷。

チウ/ツイ 樹斷。(海)樹斷。

チウ/ツウ アア 手猪仔。(回)手猪仔。

チウ/ツン 上堂。出廷。法廷に出る。

チウ/ツン 手斷。手を切斷して残る部分。

チウ/ツン 樹斷。木の切株。「する」

チウ/ツン 上糖。砂糖を買込んで値段の上るまで貯藏

チウ/ツン タウ 贖當頭。質を受出す。質物又は抵當物

を受出す。

チウ/ツン チウ トオ 愁腸愁肚。非常に憂ひ悲しむ。

チウ

チウ

断腸の思をする。

チウ ツン ツヌ チイ 手断寸鐵。手に寸鐵を帯びず。

チウ ツウ アア 手猪仔。(魚)【手猪仔】。

チウ テエ 酒退。酔が醒める。

チウ テエ 手底。(漢)【手底】。

チウ テエ 手蹄。(漢)【手蹄】。

チウ テエ 搶奪。奪ふ。ふんだくる。

チウ テエ キム コオ 手提金庫。(國) 手提金庫。

チウ トア 手段。●手際。方法。伎倆。技能。好一

手際がよい。立派な腕。好一。一滾就爛。敏腕で一沸すれば煮える、よく事を處すること。

●(國) 手段。

チウ トア ポオ ブウ 手大步母。拇指。大指。親指。

チウ トア ツ 搶奪。引渡。奪ふ。強奪。

チウ トエ 手底。●手の平。手内。掀。俾人看

ての平を人に見せる、身内同士の不和を他人に知らせる意。●遺産。遺傳。相傳。恩序大人放若

多一。給伊。彼の親はいくら遺産を彼に残したか。祖公的。祖先の遺業。

チウ トエ 手蹄。腕首。手首。斬。給伊。文書に手

印を施してやる。一。眞弄。手癖が悪い。

チウ トエ チエン ホアツ 就地正法。其場で斷罪に處する。

チウ

チウ トエ ツウ ニウ 就地取糧。●軍隊が其駐屯する

地方から租税を取立てて費用に充てる。●物を造る場合など其土地に有合の物のみを以て造上げ

チウ トオ 酒徒。上戸。

チウ トオ 手肚。腕の肉の多い處。腕の内面。一。仁

力瘤。

チウ トヲ 上臬。食卓につく。宴席につく。

チウ トヲ 酒甌。酒壺。小さい酒瓶。

チウ トヲ 手刀。手の小指の方の端。用。一。整。同上

にて打つ。

チウ トヲ 鎗刀。槍。一。木爬。兵器。武器。兵具。

一。劍戟。武器。

チウ トヲ イ ヲ 鎗刀藥。傷藥。「行く」。

チウ トヲ マイ 上刀梯。梯子に刀を縛し其上に登り

チウ トヲ ハン 鎗刀巷。嚴重に警戒をする時など左

右の列より槍や刀などを突出す。到那排。一。仙走亦無路。同上の様に警戒して居るから逃げようとしても逃げられない。【鎗刀巷】。

チウ トク 酒毒。酒毒。中。一。酒毒に中る。

チウ トン 州同。(各) 州衙門の役人。

チウ トン 周堂。【通書】にある日の吉凶の見出。

チウ トン 手當。(國) 手當。

チウ トオ 搶奪。(魚)【搶奪】。

チウ

チウ ナア 樹林。林。木立。森。森林。樹林。一。茂

茂。森がこんもりしてゐる。チウ ナア ポオ 樹林苞。茂った林。木の林。

チウ ナア ライ 樹林内。林間。

チウ ニイ 上年。前年。先年。舊年。

チウ ニイ 樹乳。ゴム。

チウ ニイ ウ 樹乳油。ゴムの溶液。

チウ ニイ イヌ 樹乳印。ゴムの印。

チウ ニイ ヲエ 樹乳鞋。ゴム靴。

チウ ニイ キエン 樹乳弓。小供の用ひるパチンコ。

チウ ニイ クン 樹乳管。ゴムの管。

チウ ニイ コオ 樹乳糊。タイヤを修繕する時に用ひるゴムの液體。

チウ ニイ サア 樹乳衫。防水衣。

チウ ニイ タウ 樹乳頭。子供に乳を飲ませる時に用ひるゴムの乳頭。

チウ ニイ トア 樹乳帶。ゴム製のバンド。

チウ ニイ ヒイ 象耳魚。(鰻鱺類)あご。

チウ ニウ 上椽。棟上。上棟。

チウ ノオ 樟腦。【樟腦】。

チウ ハア アア 就孝娶。【順孝娶】。

チウ ハイ トン 秋海棠。(植) 秋海棠。

チウ ハク 就學。(交) 就學。

チウ

チウハク 上學。便所に往く。手水場に往く。
 チウハク 墻斛。土壁を築く時用ひる框。
 チウバア 酒肉。酒肉。一的朋友酒飲友達。
 チウバア 上肉。肉附く。病若好就龍一病氣が治ると肉がつく。
 チウバア 上濼。微びる。壁一壁に微ができる。
 チウバク 上目。眼中におく。値打を認める。價值を認める。看不一眼下に見下す。卑下む。看一就買一値打を認めれば買ふ。
 チウバク 手目。手首の節。
 チウバク 樹目。木理。
 チウバク 樹木。樹木。一花草一樹木や花や草。
 チウバン 手網。投網。唐網。打網。抛一投網を
 チウパア 手鞆。退一腕押。腕相撲。「打つ。
 チウパイ 酒牌。酒賣捌鑑札。
 チウパイ 手牌。籐で造つた圓形の楯。「下る。
 チウパツ 上北。北に往く。一落南一北に上り南に
 チウパツ 樹腹。樹幹。樹幹の中。幹の内部。
 チウパツ 槍剣。追剣。追剣く。剣奪。一人的錢一
 人の金を強奪する。
 チウパツ ツツ 槍一劍賊。追剣。強盜。
 チウパヌ 酒瓶。銚子。
 チウパヌ 上班。役所の門衛番人などの番に當る。當番。

チウ

チウパヌ 上辨。形が成つて居る。見本通に成つて居る。此塊桌做了有一この卓子は上等に出る。
 チウパヌ 手板。【手掌】。「來てゐる。
 チウパヌ 上班。星が出来る。斑點が出る。微が出る。衫流汗無緊洗就龍一着物に汗がついて直ぐに洗はないと星が出来る。
 チウパン 手縫。指の股。指の間。「揖讓。
 チウピア 揖讓。兩手を額の所まで上げて禮拜する。
 チウヒイ 酒戲。宴席から見る芝居。
 チウヒイ 鯽魚。(動) 章魚。
 チウヒイ 鯧魚。(動) 眞名鯧。
 チウヒイ 象耳。(動) 新竹(動) 平鯧。
 チウヒイ 象耳。酒臭。酒臭い。臭一同上。
 チウヒエン 酒興。酒興。
 チウヒエン 手形。(國) 小切手。手形。一簿一手形帳。空一空手形。
 チウヒョ 槳葉。權の尖の幅廣く平たくなつて居る所。
 チウヒョ 樹葉。木の葉。
 チウヒツジ 就彼日。即日。一返來一歸。
 チウビイ 酒味。酒氣。酒の香。有一酒の香がある。酒臭い。「悲しむ。
 チウビイ 愁眉。(多) 愁眉。一不展一眉をひそめて
 チウビイ 薔薇。(植) しきざきいばら。いばら。

チウ

(薔薇科、薔薇屬の總稱にして多數の種類を含む而して東洋種としては、からしんばらは其代表と云
 チウビイ ホエ 薔薇花。薔薇の花。「ふべし」。
 チウビヌ 就眠。(國) 就眠。
 チウビヌ 上面。上部。上側。表面。「顔」に出る。
 チウビヌ 上面。手の内。手の平。一趁食一手職で稼ぐ。自分の腕で食ふ。一錢一有金。現金。一寛一氣前が好い。一眞大一費用が多い。費用が掛る。
 チウピア 上平。上平。
 チウピア 酒癖。酒癖。
 チウピア 墻壁。練堀。一有耳一壁に耳あり。
 チウピア 手又 墻壁。古壁などに生ずる鳥。
 チウビイ 酒籠。大酒飲。飲酒家。
 チウビイ 上棚。舞臺に上る。芝居が始る。戲一未一芝居が始りましたか。
 チウビイ 蛙鼻。鼻缺。鼻腐。一的同上の人。失敗する意。困る。失敗る。失敗った。今都一喇一さあしました。難癖をつける。難題をいふ。與我在一僕に難癖をつける。
 チウビイ 手比。手で指す。手で形容する。手真似。

チウ

チウ/ 口没講話用——嘔者は口がきけないので

手真似をする。

チウ/ ビイ 手痺。手が痺れる。手が麻痺する。

チウ/ ビイ 鎗柄。槍の柄。

チウ/ ビイ 象鼻。①象の鼻。②武器の名。

チウ/ ビエン 此旁。(同) 此方の方。

チウ/ ビヨ 手鏡。腕時計。

チウ/ ビヨ ホエコアヌ 手錶花環。腕輪の一種。

チウ/ ビツ 手筆。手跡。筆跡。書。

チウ/ ビツ 手賊。手の鱗。手に鱗ができる。

チウ/ フウ 州府。州府。

チウ/ フウ 上府。出府。府に出る。

チウ/ フツ 蛙核。龍眼や荔枝の小さい核。——的龍眼
較好食。小さい核の龍眼は甘い。

チウ/ フヌ 掌痕。掌の筋。

チウ/ フヌ 秋分。秋分。中日。——節。彼岸。——暝
日平分。秋分は晝夜が平分だ。

チウ/ フヌ 手痕。手筋。手の跡。手の形。手紋。

チウ/ フヌ 贖魂。【贖精神】。吹出る。

チウ/ フヌ 上粉。粉が吹出る。柿糰——乾柿に粉が

チウ/ フヌ 上雲。雲がかかる。曇る。雲が出る。

チウ/ フヌ トヲ 酒婚桌。床盃。結婚の時新郎新婦と

し向ひ酒を酌交すために特に設ける食卓。食——

チウ

——新郎と新婦が同上を食ふ。

チウ/ ワン 醬園。味噌漬屋。

チウ/ ブイ 樹蟻。(動) 臭い蟻の名。椽象。

チウ/ ブウ 酒母。酒母。醸母。酒の元。酒を醸す元。

チウ/ ブウ 樹母。臺木。本堂の幹。

チウ/ ブウ 上霧。鏡などが曇る。霧がかかる。鏡——
看没明。鏡が曇ってよく見えない。

チウ/ ブウ オン 周武主。周の武主。

チウ/ ブヌ 醜門。(姓) 醜門。

チウ/ ブヌ オン 周文主。周の文主。

チウ/ プウ 上微。微びる。微かほえる。

チウ/ プヌ 上本。①上疏。上書。上奏。皇帝又は大
官に拜謁する時自己の住所・官・姓名などを記
した赤い折紙を呈すること。②上の巻。

チウ/ プヌ 手本。身分ある人に面會を求める時に差出
す名刺。

チウ/ ヘエ 上火。火が點る。火がつく。火の手があが
る。街頭籠——喇。町に皆火が點った。觀音
山有——觀音山に火の手が上がった。

チウ/ ヘエ 捨灰。——連棺柴續去。石灰の錢を儲け
様として棺桶の錢まで無くする。棺桶を買ふ金は
あるが之を埋るに用ひる石灰代を取らうとして賭
博をしたら却って負けて棺桶代までも取られた。

チウ

チウ/ ベエ 上馬。馬に乗る。

チウ/ ベエ 手尾。①手先。——力。手先の力。激——
力を入れて手を握る。手に力を入れる。②遺物。
形見。紀念。——物。遺物。序大人有放——
目上の者が遺産をのこす。——錢。遺産。又父
母など死亡したる時手頸に結びつける錢。

チウ/ ベエ 樹尾。①梢。末木。——葉。末葉。——瑠
②梢。——無風没搖。梢は風がなければ動か
ぬ、或事柄には必ず原因がある意。③——瑠的

チウ/ ベエ 鎗尾。槍玉。鎗先。

チウ/ ベエ チイ 手尾錢。①一種の喪章。父母など死ん
だ時腕に結附ける錢。②死者の遺した金。遺産。
放——遺産をのこす。

チウ/ ベエ ハヌ 上馬寒。房事の際起る危険な病の名。
交接後直ちに死亡する一種の病名。

チウ/ ベエ ホン 上馬瘋。前に同じ。

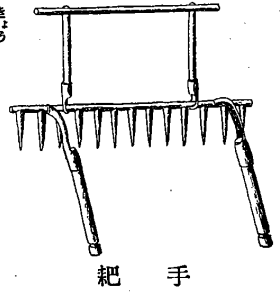
チウ/ ベエ ホン 樹尾風。梢の風。樹身豎得正不
怕——樹の幹正しければ梢の風を怕れず、
正直なれば恐ろしきものなき意。

チウ/ ベエ ラッ 手尾力。腕力。手の力。

チウ/ ベエ リウ エエ 樹尾溜的。猿の別名。(主に女な
どのいふ語)。

チウ/ ペエ 上棚。(一) 上棚。

チウ/ペエ 酒配。酒の肴。
チウ/ペエ 手把。馬銚。



馬銚。【犁】及び【割把】にて耕耙した後之を以つて土壌を平均し且つ粉碎する用に供す。

チウ/ペエ 鎗柄。(澤)【鎗柄】。

チウ/ペエ 松栢。(同)松。

チウ/ペエ 手帕。女の用ひる手巾の類。繡模様のある

チウ/ペエ 樹皮。木の皮。

チウ/ペエ 象皮。象の皮。象皮。一症。象皮病。

チウ/ペエ アア 手帕仔。小服紗。風呂敷。手巾。

チウ/ペエ チイ 手皮錢。洗濯或は繩綱など兩手で働いて儲けた金。

チウ/ホア 上岸。上陸。

チウ/ホアツ 手法。手風。

チウ/ホアヌ 搶犯。犯人を奪ふ。罪人を奪取る。

チウ/ホエ 上火。(澤)【上火】。

チウ/ホエ 手花。矢鱈と振廻す手附。手振。弄。一。矢鱈と手を振廻す。

チウ/ホオ 酒虎。底拔。大酒。酒仙。

チウ/ホヲ 秋毫。(多)秋毫。一。無犯。秋毫も犯さず。

チウ/ホン 酒瘋。飲酒の爲に出る病氣。酒の中毒。

チウ/ホン 抽疊。打。一。強請つて分前を取る。

チウ/ホン 秋風。秋風。

チウ/ホン 手癩。(病)手の關節痲痺質斯。

チウ/ホン 手癩。手に有りと稱する毒氣。手有。一。不可横粒仔。手には毒氣があるから腫物を弄つてはいけない。

チウ/ホン 颯風。穀物の殼や塵埃を風に吹かして除くこと。一。風に吹かれる。不可站風港。一。風の吹通す所で風に吹かれてはいけない。

チウ/ホン 上礮。銀銅類など鑄が出来る。

チウ/ホン キム 手風琴。手風琴。

チウ/ホン コオ 颯風鼓。唐箕にかける。

チウ/ホオ 上火。(泉)【上火】。

チウ/ホエ 手尾。(澤)【手尾】。

チウ/ボオ 守墓。墓を守る。一。的。墓守。

チウ/ボオ 手模。手印。掌印。打。一。手の印を押す。

チウ/ボオ 上墓。墓。墓。墓。

チウ/ボヲ 秋帽。秋の帽子。

チウ/ボヲ ギアトヲ 手無斧刀。手に刀を持たぬ。一。一。閉。一。手に刀を持たねば呑氣なものだ。(喧嘩など)關係がないから何の心配もない。

チウ/ボク 樹木。樹木。

チウ/ボン 上濼。霧が起る。

チウ/ボン 上墓。墓。墓。

チウ/ボン チエヌ 手罔弄。手感。手遊。

チウ/ボン ビイ 手罔變。前に同じ。

チウ/ボオ 手尾。(泉)【手尾】。

チウ/ボア 州判。州衙門の役人。

チウ/ボア 手盤。手の甲。

チウ/ボア 唱盤。(新)蓄音機のレコード。

チウ/ボエ 酒杯。盃。猪口。

チウ/ボエ 酒配。(澤)【酒配】。

チウ/ボエ 樹皮。(澤)【樹皮】。

チウ/ボオ 酒苞。酒の元。

チウ/ボオ 槳抄。舟を漕ぐ櫂を船縁の支柱に繋ぐ繩。

チウ/ボオ 守鋪。通夜をする。

チウ/ボオ 酒鋪。酒屋。酒店。

チウ/ボオ 上簿。登録。帳面に附ける。

チウ/ボオ 手斧。手斧。

チウ/ボヲ 州報。(國)州報。

チウ/ボヲ 酒保。(國)酒保。

チウ/ボヲ 酒粕。酒粕。

チウ/ボヲ 手模。手首。手首の形。

チウ/ボヲ ハイジイ 手抱孩兒。一。憶着父母時。手に子供を抱いて父母の時を思ふ。子を持つて知る親の恩。

チウ

チウ

チウ

チウ

チウボオ酒配。(泉)【酒配】。
 チウボオ樹皮。(泉)【樹皮】。
 チウマア咒罵。咒ふ。罵る。咒ひ罵る。
 チウミイ守喫。不寝番。夜番。
 チウミイ上錠。双が付く。双を付ける。「味噌漬」。
 チウミイチア醬麵衣。麵粉團子の乾したるもの。
 チウム樹梅。やまもも。(植)(楊梅科、果實は食用と)。
 チウム樹梅。(海)前に同じ。「なす」。
 チウムピア樹梅餅。山桃を漬して鹽及び砂糖に漬けたもの。「降る雨」。
 チウムホオ樹梅雨。梅雨。山桃の熟する頃に。
 チウムポオ樹梅脯。乾山桃。(船舶の薬とする)。
 チウムン守門。門番。
 チウムン手門。(虎口)の③。
 チウムン上門。戸を填める。
 チウムンツア上門娶。正式な儀式をして結婚する。
 チウメエ守喫。(海)【守喫】。
 チウメエ咒罵。【咒罵】。
 チウメエ手脈。脈。手の脈。
 チウライ手内。手の内。手の腹。手中。
 チウライジイ手内子。手の内にある札。駒又は金。
 按——収入によりて支出を加減する。
 チウラウ酒樓。酒樓。料理屋。

チウ

チウラウ酒漏。酒を注ぐ漏斗。①(鮫)大酒飲。
 チウラウ上樓。樓上にする。登樓。
 チウラヌ手跡。手の跡。
 チウラヌ樹蘭。(植)樹蘭。(棟科、芳香ある花を探る爲に栽培し又庭園樹として賞用す)。
 チウラムヒエン手攪胸。腕組をする。
 チウラン葦人。女子供等が人差指で自分の頬を撫ながら人を嘲笑ふ。
 チウリアウ酒料。酒の肴。
 チウリアウ醬料。味噌漬。漬物。
 チウリアム呪念。咒詛。詛ふ。詛ふ。
 チウリアム歟鯨。(動)糸綆綱。ひめじ。
 チウリアム手粘。手癖が悪い。
 チウリアム唱念。謠ふ。吟する。——好し謠方が旨。
 チウリアムライ手捻内。相手方の金又は抵當品が自分の手許にある。伊有俾我——彼は僕の手許に金を預けてゐる。此對手環俾你做——
 此の腕輪を君に抵當にする。
 チウリアン秋涼。秋涼。
 チウリウ周流。(文)周遊。遊歴。
 チウリウ樹瘤。木の瘤。
 チウリエヌ週年。周年。——的紀念——一周年の紀念。
 チウリエン酒令。酒席の坐興などに行ふ詩句の句合

チウ

又は對句の附合等の如きもの。行——同上を行
 チウリエン秋冷。秋冷。
 チウリエン樹乳。【樹乳】。
 チウリエン樹龍。(植)ひとつばまめづた。(羊齒類瓦葺科、薬用に供す)。
 チウリホク上陸。(國)上陸。
 チウリオン酒量。酒量。有——大酒。——大酒が強い。棋局——碁將棋には限度あれ、酒には量あれ、物事に度合あるべき意。
 チウリヌ樹乳。護謨。——管護謨管。——葦護謨輪。樹の脂。樹から出る汁。
 チウリヌアア漿乳仔。(植)(桑科)けいぬびは。
 チウリム秋霖。(文)秋の時雨。時雨。
 チウリュイ樹椽。木の瘤。
 チウリュ手輪。手の關節。手頸。腕首。
 チウリュ上潤。湿が来る。湿っぽくなる。
 チウリュ周禮。(書)周禮。
 チウリュ酒醴。御酒。神佛に供へる酒。神酒。奉敬三牲——犧牲や御酒を神に供へる。
 チウリュ咒罵。(海)【咒罵】。
 チウリュ章螺。(動)常節。
 チウリュ樹絡。枝。小枝。
 チウロア上瀬。船など瀬を上る。

チウロエ 咒言。女が呪ひ罵る。咒詛。罵言。罵る。

チウロオ 樟腦。(臭)樟腦。

チウロオ 上路。出立。出發。

チウロオ 手爐。道士の使用する柄の附いた香爐。

チウロオ 手路。手際。腕前。

チウロオ 手杖。袖。一管杖。袖。一口袖。

チウロオ 手袋。手袋。

チウロオ 手籠。舶來の酒や罐詰を賣る店。外國の酒。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

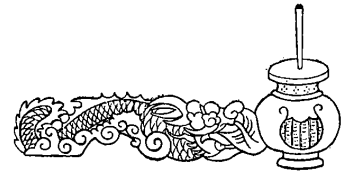
チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウロオ 手籠。手袋。

チウ



手 爐

チウロクイ 手杖管。袖の中。杖。

チウロソグ 手杖束。草取の時などに手首にはめるもの。

チエク 稷。(姓)稷。

チエク 叔。(姓)叔。父の弟。叔父。叔父。叔。夫の弟に對する稱呼。三。啊。三番目の弟さん。細。夫の弟。

チエク 燭。燭。蠟燭。燭。同上。鼓燭臺。一臺。同上。挿。蠟燭をたてる。燭光。十六。十六燭。

チエク 則。田畑の等級。則。五。田。五則田。

チエク 責。責める。伊的罪。彼の罪を責める。備。謹責する。

チエク 積。積む。貯へる。積る。溜る。水。住。水が溜る。一惡。積惡。一歸堆。停滞する。一少。成多。塵も積れば山となる。出日着。雨來。糧。日の照つてゐる中に雨天の糧を貯へよ。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

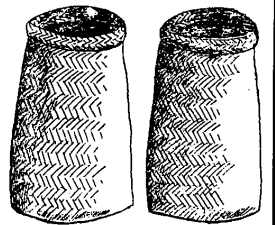
チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク 躓。躓。硬直な長いものを突當てて曲げる。脚。着。足を同として挫いた。手骨。着。續。脱。白。

チエク



手 杖 束

チエク 窄。押。押して中のものを出す。扱。扱って中のものを押出す。一疵仔。面應を押潰す。一鯽仔。魚。鮒の腸を押出す。一澳。蟻。かんでんいたびの實に水を加へ袋に入れ捏ねて汁を絞出す。不時對。序大人。錢。常に彼の親から金を紋取る。一。ざつしりと詰める。鮪詰にする。火車。内。人。眞。自動車の中が甚だこむ。自動車。坐。七八個。就。傷。一。自動車。に。七八人も乗れば脂詰だ。一。彼。多人。那。能用得。一。そんなにぎつしり一杯詰込んではいけない。一。追求する。詰責する。詰る。責める。對。保證人。一。緊。保證人に對して嚴重に追求する。被。人。一。到。無。話。可。應。一。人。から詰責されて返答が出来ない。不。認。一。到。認。一。白。狀。し。な。け。れ。ば。白。狀。する。まで詰る。

チエク 此。(臭)一個人。此人。

チエク 疾。(姓)疾。

チエク 瘡。(姓)瘡。

チエク 籍。戶籍。族籍。臺灣。一。臺灣の籍。籍。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク 一。(臭)【一】。

チエク

寡起來||梁を少し切つて短くしなければいけな

チエクキエク 積極。(國) 積極。

チエクキエク 即刻。(又) 即刻。

チエクキエク 扯極。【結極】。

チエクキエク 積極的。(國) 積極的。

チエクキエク 促近。(漢) 【促近】。

チエクキム 即今。(又) 即今。只今。

チエクキム 積金千萬兩。|| 不如明解經書|| 金を積むこと千萬兩、經書を明解するに如かず。

チエクギアム 粟朶。稻の穂の枝。

チエククイ 燭光。(漢) 【燭光】。

チエククイツイ 積歸堆。一杯溜つてゐる。堆積。糞掃|| 塵が一杯溜つてゐる。事情|| 人が一塊になつてゐる。

チエククニ 促近。側に接近する。漸漸|| 來|| 段段接近して來る。|| 去聽|| 側に近寄つて聽く。

チエククン 燭光。(國) 電燈の燭光。三十二|| 三十二燭光。

チエククンテ 積藏得。貯へて置く。

チエクケエ 燭架。蠟燭を作る時、乾かす具。

チエクゲエ 此個。(卷) 【此個】。

チエクゲエ 此個。(卷) 【此個】。

チエクゲエ 粟芽。粟の芽。

チエクコア 叔官。夫の父の弟に對する敬稱。

チエクコア 即管。隨意。勝手に。忌憚なく。遠慮なしに。構はずに。心任。|| 講|| 構はずにいへ。|| 來|| 來るなら來い。構はずに來い。

チエクコア 又 籍眷。籍。我的|| 在臺中州|| 私の籍は臺中州に在る。

チエクコオ 燭鼓。燭臺。

チエクコクホニキ 積穀防饑。(又) 穀物を蓄積して饑饉を防ぐ。

チエクコン 叔公。祖父の弟。大叔父。

チエクコンヲオ 叔公祖。父方の曾祖父の弟。

チエクコンロヲ 積功勞。功勞を積む。

チエクサイ 燭屎。蠟燭の燃殻。火糞。

チエクサイ 燭臺。【燭臺】。

チエクサン 燭葱。蠟燭を立てる燭臺の管。

チエクシア 則聲。田畑の等級。等則。

チエクシア 粟墟。穀を貯藏する所。【となる】。

チエクシアウシエン トヲ 積少成多。塵も積れば山

チエクシイ 即時。即刻。即時に。直に。即座に。|| 死|| 即死。|| 來|| 來直く來る。

チエクシイシアウジヌ 賊是小人。|| 智過

君子|| 賊は小人なれども智は君子に過ぐ。

チエクシイボヲ 即時報。(國) 即時報。

チエクシエク 側室。(又) 側室。

チエクシエヌ 積善。積善。|| 成名積惡滅身|| 積善は名を成し、積惡は身を滅す。|| 之家必有餘慶積不善之家必有餘殃|| 積善の家に餘慶あり、積惡の家に餘殃あり。

チエクシエン 責成。責任。責。大|| 大責任。|| 大|| 責任が重い。無我的|| 僕の責任では過勞に因る結核。勞症。「ない。」

チエクシム 燭心。蠟燭の心。

チエクシム 赤心。(又) 赤心。

チエクジイソヲ 測字數。字を見て判じる占。

チエクジツ 即日。(又) 即日。

チエクジヌチイシムチエクキイ 責人之心責己。|| 恕己之心恕人|| 人を責むる心を以て己を責め、己を恕する心を以て人を恕す。

チエクジム 責任。(國) 責任。責。你的|| 汝の責任。

チエクスヌ 叔孫。● 叔父と甥。● 親族。遠い親類。

チエクスヌヒアチイ 叔孫兄弟。同姓の親族の男

チエク

チエク

チエク

停滯。——的錢銀。積金。——錢財。金を溜
 チエックツウ 赤子。(又) 赤子。 「める。
 チエックツウ 尺寸。(又) 尺寸。——不移。少しも動か
 ない。

チエックツウ 粟倉。 粟倉。米倉。——做眠床。 粗倉を
 寢臺にする。別に意義なきも倉と床と音似たるよ
 り地口にいふ。情賊守。——泥棒を雇うて粗倉
 の番をさせる。泥棒に鍵を貸す。玳瑁猫守。——
 三毛猫が粗倉の番をする。

チエックテエ 積得。 停滯。 滯滯。
 チエックテエ 扯得。 絲。繩等を寬く括る。繋げる。輪差
 結に結ぶ。

チエックトオ 嫉妬。(又) 嫉妬。
 チエックトオ 赤道。(又) 赤道。
 チエックトオ 赤道。(又) 赤道。 「馬」。

チエックトオ 赤道。(又) 赤道。
 チエックトオ マア 赤兔馬。關羽の愛馬の名。【臙脂
 赤道】。
 チエックトオ 赤道。(又) 赤道。 「馬」。

チエックトク 責督。 躡ける。督責。監督。細漢不。——
 別日做砧。 小さい時に躡けなければ後には
 放蕩息子になる。先生。——學生。先生が生徒を
 督責する。

チエックトク 尺牘。(又) 尺牘。 書簡文。——文。書牘
 文。消息文。
 チエックトク 測度。(又) 推量。 推測。 沒。——得。 推度

チエック

ることが出来ない。
 チエックニイ 側耳。(又) 耳を敬てる。——而聽。 耳を
 敬てて聽く。
 チエックハア 膝下。(又) 膝下。 膝元。
 チエックハウソ 測候所。(又) 測候所。
 チエックバン 燭芒。 蠟燭の心。 蠟燭の心の串。安。——
 同上を附ける。

チエックヒウ 粟芒。 稻の穂の莖。
 チエックヒエン 即興。(又) 即興。
 チエックビイウイ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 即墨。(又) 即墨。 「なる。
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と

チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と

チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と

チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と

チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と

チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と
 チエックビエウ 積微爲山。 塵も積りて山と

チエック

チエックヘエ 積下。 停滯。 集積。 蓄積。 食物を持越す。
 水が溜る。——得。 積置く。 溜める。 蓄へる。
 貯蓄する。 停滯する。
 チエックベエエ 促馬勢。 身構。 てがすねひく。
 チエックペエ 叔伯。 伯叔。 叔父伯父。——公。 從祖父。
 ——小弟。 從弟。
 チエックペエ 側栢。(又) このてがしは。(栢樹科。庭園
 觀賞樹として用ふ葉を酒水各等量と共に煎服し吐
 血。痢血。尿血。崩血。白帶下。痛風。リウマチス等を
 治す)。
 チエックペエ 粟把。 板の中央に五尺許の柄を附け丁
 字形にしたもの、乾した穀を覆し又は擴げ或は田
 地を平坦にするに用ふ。

チエックペエ 叔伯。 伯叔。 叔父伯父。——公。 從祖父。
 ——小弟。 從弟。
 チエックペエ 側栢。(又) このてがしは。(栢樹科。庭園
 觀賞樹として用ふ葉を酒水各等量と共に煎服し吐
 血。痢血。尿血。崩血。白帶下。痛風。リウマチス等を
 治す)。
 チエックペエ 粟把。 板の中央に五尺許の柄を附け丁
 字形にしたもの、乾した穀を覆し又は擴げ或は田
 地を平坦にするに用ふ。

チエックペエ 叔伯。 伯叔。 叔父伯父。——公。 從祖父。
 ——小弟。 從弟。
 チエックペエ 側栢。(又) このてがしは。(栢樹科。庭園
 觀賞樹として用ふ葉を酒水各等量と共に煎服し吐
 血。痢血。尿血。崩血。白帶下。痛風。リウマチス等を
 治す)。
 チエックペエ 粟把。 板の中央に五尺許の柄を附け丁
 字形にしたもの、乾した穀を覆し又は擴げ或は田
 地を平坦にするに用ふ。

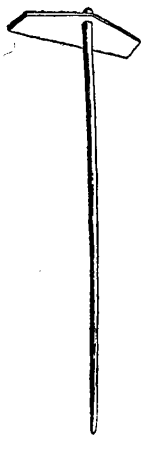
チエックペエ 叔伯。 伯叔。 叔父伯父。——公。 從祖父。
 ——小弟。 從弟。
 チエックペエ 側栢。(又) このてがしは。(栢樹科。庭園
 觀賞樹として用ふ葉を酒水各等量と共に煎服し吐
 血。痢血。尿血。崩血。白帶下。痛風。リウマチス等を
 治す)。
 チエックペエ 粟把。 板の中央に五尺許の柄を附け丁
 字形にしたもの、乾した穀を覆し又は擴げ或は田
 地を平坦にするに用ふ。

チエックペエ 叔伯。 伯叔。 叔父伯父。——公。 從祖父。
 ——小弟。 從弟。
 チエックペエ 側栢。(又) このてがしは。(栢樹科。庭園
 觀賞樹として用ふ葉を酒水各等量と共に煎服し吐
 血。痢血。尿血。崩血。白帶下。痛風。リウマチス等を
 治す)。
 チエックペエ 粟把。 板の中央に五尺許の柄を附け丁
 字形にしたもの、乾した穀を覆し又は擴げ或は田
 地を平坦にするに用ふ。

チエックペエ 叔伯。 伯叔。 叔父伯父。——公。 從祖父。
 ——小弟。 從弟。
 チエックペエ 側栢。(又) このてがしは。(栢樹科。庭園
 觀賞樹として用ふ葉を酒水各等量と共に煎服し吐
 血。痢血。尿血。崩血。白帶下。痛風。リウマチス等を
 治す)。
 チエックペエ 粟把。 板の中央に五尺許の柄を附け丁
 字形にしたもの、乾した穀を覆し又は擴げ或は田
 地を平坦にするに用ふ。

チエックペエ 叔伯。 伯叔。 叔父伯父。——公。 從祖父。
 ——小弟。 從弟。
 チエックペエ 側栢。(又) このてがしは。(栢樹科。庭園
 觀賞樹として用ふ葉を酒水各等量と共に煎服し吐
 血。痢血。尿血。崩血。白帶下。痛風。リウマチス等を
 治す)。
 チエックペエ 粟把。 板の中央に五尺許の柄を附け丁
 字形にしたもの、乾した穀を覆し又は擴げ或は田
 地を平坦にするに用ふ。

チエック



粟把

チエツ イアウ切要。(文) 大切。肝心。緊要。

チエツ イアク節約。(文) 【節約】。

チエツ イイ切意。(文) 心を込める。折角。――拜托

チエツ イイ切意。(文) 心を込める。折角。――拜托

チエツ イエシ節約。(文) 【節約】。

チエツ イオク節約。(文) 【節約】。

チエツ イオン節約。(文) 【節約】。

チエツ イム切音。(文) 反切。反。

チエツ カウ折扣。割引する。貨辨無對着。――即能用得。商品が見本と合はなければ金を差引かなければいけない。

チエツ カン浙江。(地名) 浙江省。

チエツ キアム折減。差引く。因爲貨物無對被伊

チエツ キアム折減。差引く。因爲貨物無對被伊

チエツ キアム折減。差引く。因爲貨物無對被伊

チエツ キアム折減。差引く。因爲貨物無對被伊

チエツ キアム折減。(文) 節減。

チエツ キアム節儉。(文) 節儉。

チエツ キイ節氣。(文) 時候。氣候。【節季】。

チエツ キイ切氣。拗ねて辭退する。斷る。我要給

チエツ キイ切氣。拗ねて辭退する。斷る。我要給

チエツ キイ切氣。拗ねて辭退する。斷る。我要給

チエツ キエン捷徑。(文) 捷徑。近道。

チエツ キオク折曲。(文) 【曲折】。

チエツ ギイ節義。(文) 節義。時窮見――時窮して節義を見る。國亂れて忠臣現はる。

チエツ ギエヌ切言。(文) 切言。

チエツ クイ切開。切開く。切割る。

チエツ グヌ折銀。割引する。差引く。貨與原裝無同着。――品物が製造元の原品と違ふから金を差引かなければいけない。銀の相場に換算する。金水――金の相場を銀の相場に換算する。金に換算する。金に見積る。將物――物品を以て金に見積って計算する。

チエツ ケエ折價。割引する。減價る。

チエツ ゴエシエンキイ節外生枝。(文) 節外に枝を生ず。違約して紛議を生ずる意。

チエツ ゴイ捷才。頓才。機智。敏捷。做詩不止。――詩作になかなか頓才がある。講話不止。――なかなか口達者だ。

チエツ シアウ折賤。勘定の割引。

チエツ シエン節省。節約。

チエツ シツ切實。(文) 切實。

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ シエ節制。節する。制限する。無――節制

チエツ タヌア切坦斜。斜に切る。

チエツ タイ截止。止る。切上げる。限。到明日日――明日迄で止める。就今仔日――不與伊交陪。今日限彼と交際しない。

チエツ タヌア切坦斜。斜に切る。

チエツ タイ截止。止る。切上げる。限。到明日日

チエツ タイ截止。止る。切上げる。限。到明日日

チエツ タイ截止。止る。切上げる。限。到明日日

チエツ モイ切齒。(文) 切齒。咬牙――切齒して怒

チエツ シア折錢磨。爲替相場などによって換算する。爲替相場に依り差引く。

チエツ シウ切手。(文) 切手。

チエツ チエツ折折。【折】の①②③④。

チエツ チエツ截截。【截】。

チエツ チエツ捷捷。簡單に。手取早く。――講俾伊聽。簡單に話して聞かせる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ チエツ切切。切に。折入って。屹度。必ず。――勿悞。必ず誤ってはならない。――思切って。心肝――同上。――做落去。思切ってやる。

チエツ

チエツ

チエツ

チエツ

チエツ **チオンボトアヌ** 截長補短。(又) 長を截り短を補ふ。

チエツ **ツイボア** 折對半。折半。半分。

チエツ **ツン** 截斷。打切る。話共人。人の話を打切る。戯擧到今仔日。演戲は今日で打切る。到此。不與伊交陪。今日限今後彼と交際しない。

チエツ **ツン** 切斷。切斷。打切る。銅線を切斷する。電話電話を切る。關係關係を斷つ。

チエツ **トアヌ** 截斷。【截斷】。

チエツ **トアヌ** 切斷。【切斷】。

チエツ **トエ** 切題。題意に合す。做無。文章など題意に合はない。

チエツ **トオ** 節度。(又) 適度。節度。

チエツ **トオ** 截途。(又) 待伏する。路を遮る。劫路に待伏して強奪する。

チエツ **ハウ** 節孝。節婦。孝子。祠同上を奉祀する廟。坊同上の旌表。同上を表彰して立てる石の鳥居様のもの。

チエツ **バン** 切望。切望。

チエツ **ビー** 贅味。贅えた包。有。贅えた包がある。味が無くなる。味が悪くなる。贅える。

チエツ

暑天的食物較快。夏分の食物は早く味が悪くなる。

チエツ **フウ** 節婦。貞女。

チエツ **フヌ** 切痕。切目。

チエツ **フン** 節坊。節婦の旌表。

チエツ **ホアツ** 捷法。簡便な方法。捷徑。取。簡便な方法を取る。

チエツ **ホク** 折福。幸福を能と徒にする。財物を徒にする。勿體無ことをする。贅澤。奢。人着惜福不可。人間は須らく儉約にして贅澤をしてはいけない。

チエツ **ボク** 節目。節目。簡條。少許。些ばかり。

チエツ **ボン** 切望。(又) 切望。

チエツ **ポア** 折半。折半。半減する。

チエツ **ラン** 折人。人の話を反駁して閉口させる。人を陥せる。不時要。常に人を陥せる。的話口を挿む。論鋒を挫く。

チエツ **リエツ** 折折。【折折】。

チエツ **リエツ** 節烈。(又) 節烈。

チエツ **リエツ** 截截。【截截】。

チエツ **リエツ** 切切。【切切】。

チエツ **リホク** 節略。(又) 節略。

チエツ **ルウ** 節女。節女。

チエヌ

チエヌ チエヌ

チエヌ **箋**。(又) 箋。

チエヌ **煎**。油で焼ける。煎ける。魚魚を油で煎る。鴨卵卵焼。日に晒す。日に晒す。被日頭。到面鳥日に晒されて顔が眞黒になる。物件提出來一日。道具を持出して日に晒す。

チエヌ **箋**。箋紙。書簡又は詩を書く用紙。一刀紙。一帖の便箋紙。蠟。蠟引の箋紙。蘇。蘇州から出る箋紙。詩。詩箋。

チエヌ **剪**。鉄切るもの。繡。小さい鉄。鉸。鉸。薬。薬を切る具。開。鉄の使ひ初め。鉄な。どで切る。鉄切る。刈込む。一。鉄で切る。髪。髪を刈る。樹仔。木を鉄切る。蟲喰。被繆蠟。了了。油蟲に喰はれてしまった。蟲。破衫。蟲が着物を喰破る。買。一。布。布を買ふ。一。人。人を買ふ。舟。舟が川を横切る。横断する。一。過對面岸。向岸に横切つて行く。拘摸る。票包仔被伊去。財布を拘摸られた。示合せて騙取する。べてんにかけて取る。かたる。一。賭。詐欺賭博をする。一。人的貨物。人の商品を騙取する。想要。我。僕を。べて

んにかけようとする。

チエヌ 棧。(姓) 棧。

チエヌ 戦。(姓) 戦。戦ふ。出ー出陣する。

一場戦場。大一場一場の大戦、大喧嘩など。争ふ。口争。與伊一到乃字成及字乃の字が及の字になるまで争うた、能迄争うた意。對一議論を戦はず。言争ふ。

チエヌ 箭。(冬) 箭。日月如梭、光陰似一日月は梭の如く光陰は箭に似たり。

チエヌ 薦。(冬) 薦。推薦する。推舉する。周旋する。一頭路職を周旋する。你要一其人君は誰を推薦するか。一乾一神佛に供へる乾した砂糖漬の果物。沿一供養の時などに用ひる果物の砂糖着。

チエヌ 錢。錢。一縁三美四少年一は金、二は愛敬、三は器量、四は年若、嫖客などの資格をいふ。有一豈無光景一錢さへあれば興趣の無いことはない。有一能使鬼一錢あれば鬼も使へる。有一者生無一者死一錢あるものは生き錢なき者は死す。有一道真話、無一話不真一金あれば言ふことが眞實になり、金なければ言ふことが眞實にならない。

チエヌ 前。(冬) 前。前。一後一前後。以一以前。進一前へ進出する。

チエヌ 弄。(冬) 弄。弄る。電扇不可一電扇を弄るな。(子供)悪戯する。悪作する。彼個囚仔眞賢一あの子供はよく悪作する。

チエヌ 賤。賤しい。彼個眞一彼は賤しい。下一下賤。一破九貴一一つの賤しいことが九つの貴い事を破る、一行失あれば百行俱に傾く。臭一下品。卑賤。下等。

チエヌ 阡。(姓) 阡。

チエヌ 選。(冬) 選。選。一都一選都。役場一去別位一役場を他處に遷す。一左遷する。彼個官做不着被人一去別位一あの役人は悪いことをして他に左遷された。

チエヌ 千。千。一言萬語一十言萬語。一萬不可一萬萬いけない。

チエヌ 中。正確に當る。適中する。射箭眞一射的が正確に當る。較一突龜一龜を突くよりも正確に當る、非常によく適中するをいふ。成一去適着伊一偶然にも彼に逢うた。

チエヌ 棧。(冬) 手蘭盆などに用ひる菓子・肉などを高く積上げた供物の一種。拾一同上を盛る。糕仔一落雁を積上げた供物。一同上の助數詞。三一一三山。一勝負を争ふ。やつつける。與伊一略、免驚伊一怖る。ことがあるものかやつつけてやれ。

當つて見る。打當つて見る。彼塊地看伊要賣也。不賣共伊一看覓一あの土地を彼は賣るのか賣らないのか一いつ當つて見よう。一成行を見る。形勢を觀望する。一看覓一同上。

チエヌ 淺。淺い。淺近。深一深淺。由一入深一淺きより深きに入る。一淡一淡い。色一色一薄い。一淺薄。伊所想的、事情眞一彼の考は淺薄だ。一易しい。此款的問題眞一こんな問題は易しい。一奥行の淺い。一落的厝一奥行の淺い家。一山一平地に近い山。一目鏡の度が薄い。一目鏡一同上の目鏡。

チエヌ 倘。(冬) 肯。肯。

チエヌ 遷。(冬) 手間取る。隙を潰す。延る。永引く。遷延。一時間一愚圖愚圖して時間を費す。三一二一愚圖愚圖する。一宴會の時など互に座席を譲る。一位一席を譲る。相一讓合ふ。大家不可相一喘一皆さん左様に讓合ひなされるな。

チエヌ アア 蟬仔。(冬) 紙魚。

チエヌ アア 剪仔。(冬) 木鉄。一拘摸。

チエヌ アア 淺仔。(冬) 淺仔鼎。

チエヌ アア シウ 淺仔想。(冬) 淺想。

チエヌ アア シエン 淺仔性。(冬) 淺性。

チエヌ アア 淺仔鼎。淺い鍋。平釜。

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌアア 薦盒。落雁に似た菓子などを入れて神前に供へる區劃のある箱。三方。【糕仔盒】。

チエヌアア ケエ 薦盒格。前に同じ。

チエヌアン 淺紅。薄紅。薄赤。

チエヌアン キイ 中紅柿。熟した柿を數歩前に置き厘錢を投付けて挿りたるを勝とする遊戯。

チエヌイア 前營。前營。

チエヌイイ 遷移。遷移。變遷。

チエヌイウ 煎油。油で煎る。

チエヌイウ 千様。千態。千様。

チエヌイウク 戰役。戰役。

チエヌイウク 千億。千億。

チエヌイエ 前縁。前縁。因縁。――註定。因縁。

チエヌイエ 宿世。宿世。宿縁。

チエヌイエ 遷延。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

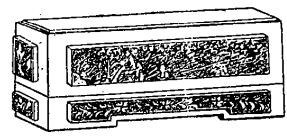
チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。

チエヌイエ 遷延。遷延。際を潰す。延る。永引く。遷延。



薦盒

チエヌ

チエヌウヌ 芋井。芋井。

チエヌウヌ 淺運。二歳で五行による廻合の運期に遭遇すること。【深運】に對す。【運】の參照。

チエヌウヌ バヌ シア 千慮萬謝。平身低頭して感謝する。

チエヌオオ 前胡。【血藤】の枝で作った漢方薬名。

チエヌカア 戰甲。鐵衣。

チエヌカア シエン 千家姓。人の姓を記載した書物の名。

チエヌカア チエヌ オウ 弄脚弄手。惡戯をする。

チエヌカア アヘ 千家貨。日用の必需品。日用品。

チエヌカウ 戰溝。塹壕。開――同上を掘る。

チエヌカア アア 田舎仔。田舎仔。

チエヌカン 遷工。手間を取る。永引く。此號 橋頭。眞――こんな仕事は非常に手間を取る。俾你不止――甚だ御手敷をかけた。

チエヌガヌ バヌ ギイ 千言萬語。【千言萬語】。

チエヌキアウ 剪賭。詐欺賭博。

チエヌキイ 薦擧。【薦擧】。

チエヌキイ 戰坑。【戰坑】。

チエヌキイ 前去。【交】行く。交付買主――掌管。【不動産買賣證書などに書く文句買主に交付し、行って掌管せしむ。】

チエヌキイ 遷府。【遷居】。

チエヌキイ 遷居。【遷居】。

チエヌキイ 遷居。【遷居】。

チエヌキイ 遷居。【遷居】。

チエヌキイ 遷居。【遷居】。

チエヌキイ 遷居。【遷居】。

チエヌキイ 遷居。【遷居】。

チエヌ

チエヌキエヌ 前愆。【文】從前の罪過。

チエヌキエヌ 淺見。淺見。淺慮。淺薄な考へ。――的。人没曉。深想。淺見の人は遠く慮ることを知ら

チエヌキエン 賤荊。【文】愚妻。荊妻。【ない。】

チエヌキエン 賤庚。【文】謙遜して自分の齡を言ふ時用ひる語。私の年齡。【貴庚】に對す。

チエヌキヲ 戰脚。【好】戦ふ者。戦の上手な人。【仕事】が巧な遣手。此號不即是――これこそ本當の遣手である。

チエヌキヲ シエウ 淺茄色。董色。若紫。藤色。

チエヌキヌ ツウ サ 千斤抵十。【千斤抵十】。

チエヌキム 前金。【前金】。前金。

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌキム 千金。【千金】。賜子――不如教子。藝子に千金を與ふるは一藝を教ふるに如す。易得。好語難求。千金を得るは易く、人に褒らるるは難し。一字値――一字千金に値す。寸絲爲定。――不移。僅少な物でも手附として渡したからには千金を以つても運約すること

チエヌギアア 賤業。(四) 賤業。一婦人 賤業婦。

チエヌギエヌ 前言。(文) 前言。

チエヌギエヌ バヌグウ 千言萬語。(文) 千言萬語。

チエヌギホク シエク 淺玉色。薄緑。薄い玉色。

チエヌクウ 薦擧。推擧。引立てる。

チエヌクウ 前驅。先驅。「私の身體」

チエヌクウ 賤軀。(文) 謙遜して自分の身體を言ふ語

チエヌクウ 遷居。(文) 轉宅。轉居。

チエヌクウ ホクホオクウ カイ 前車覆後車戒。

チエヌクウ 賤骨。下衆。賤しい人柄。卑賤の性質。

チエヌクウ 働かずともよい身分なるに働かずに居られぬ性質。貧者。ちつとして居られない質。

チエヌクウ シオン 賤骨相。下衆根性。働かずともよい身分なるに働かずに居られぬ性質。貧者。ちつとして居られない質。

チエヌクウ 前軍。先陣。先手。

チエヌクウ 千斤秤。一萬力。車地。横杆。擬。

チエヌクウ ツウザブ 千斤抵十。反駁する。楯を突く。逆撥を喰す。見若講着就與我。何かを言つて聞かせるともう直私に楯を突く。

チエヌクウ バヌベエ 千軍萬馬。千軍萬馬。

チエヌクウ ポアツ 千斤拔。(植) 葦科)えのきまめ。

【一條根の】

チエヌクヌラツ 千斤力。千斤の重さを擧げる力。千

人力。一不値四兩命 千斤の力持も四兩

の運命に如かず、何程力があつても幸運の者には

及ばない意。一不如一兩智 千斤の力も

一兩の智に如かず。

チエヌクウ 薦擧。(文) 【薦擧】。

チエヌクウ 遷居。(文) 【遷居】。

チエヌクウ ホクヒヲクウ カイ 前車覆後車戒。

チエヌグヌ 千銀。千金。一買厝 萬銀買厝邊 千兩で家を買ひ萬兩で隣を買ふ、家を買ふは易

いが善い隣を得るは難かしい義。

チエヌケエ 前科。前の試験。一進的 前の考試

に及第したもの。(四) 前科。一犯 前科

二犯。

チエヌケエ サブエタンラン 戦過十八銅人。

仕掛のある十八個の銅製人形を打破つて修業を積

んだ武者。剛の者。此個查某是 一この女は海山千年の健者だ。

必要品。日用品。

チエヌケエ ヘエ 千家貨。日常の必需品。日用品。

チエヌケエ ロオ 千家路。日常に必要な器物。

チエヌコア 棧着。當つて見る。打當つて見る。成

行を見る。形勢を觀望する。

チエヌコアヌ 遷棺。(葬式)の日に或る時刻を選んで

棺桶を外に運出す儀式のこと。辰時 一午時

進葬 辰の刻に棺桶を外に運出す式を擧げ午の

刻に埋葬する。棺を發掘して他處へ移す。官人

要清塚着 一役所が墓地を整理するから棺を

他處へ移さなければならぬ。

チエヌコアヌ 千欸。(文) 千態。

チエヌコオ 戦古。軍談。

チエヌコオ 戦鼓。陣太鼓。搦 一陣太鼓を打つ。

チエヌコオ 千古。(文) 千古。一奇觀 千古の奇觀

一未有 未曾有。

チエヌコオ ラスフヌ 千口難分。【千嘴難分】。

チエヌコオ 前科。【前科】。

チエヌコク 戦國。戦國。

チエヌコグスイア 錢穀師爺。租税に關する官の

チエヌコン 戦功。戦功。

チエヌコン 前功。以前の功績。一盡去 過去の努

力が水泡に歸した。費了 一過去の努力の結

チエヌコオ 前科。(文) 【前科】。

チエヌサウ 前哨。前哨。前衛の兵隊。

チエヌサヌバヌスイ 千山萬水。千山萬水。

チエヌザア 煎炒。油熬。炒る。煎揚げる。

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌサイ 剪裁。材料を仕立てる。切盛する。
 チエヌサイ 千載。(又) 千載。千年。――一週千載。
 チエヌサイ 浅才。(又) 浅才。一週。
 チエヌサイ バヌエエ 千災萬厄。千災萬厄。
 チエヌサウ 遷走。家墓などを取拂ふ。取除ける。
 チエヌサウ ツウクヌ 剪草除根。【斬草除根】。
 チエヌサヌ パク 千屏剝。【萬仔菜】。
 チエヌサン シェク 浅棕色。薄い棕櫚色。
 チエヌシア キム 前謝金。(國) 前謝金。【匙】。
 チエヌシイ 煎匙。揚匙。着物をする時に用ひる鐵の
 チエヌシイ 薦書。(澤) 【薦書】。
 チエヌシイ 戦死。戦死。
 チエヌシイ 前世。前の世。前世。
 チエヌシウ 浅想。浅薄な考。
 チエヌシウ チエヌガヌ コアヌイム 千手千眼觀音。千手觀音。
 チエヌシエン 戦勝。勝軍。戦捷。
 チエヌシエン 前生。(又) 前生。前世。
 チエヌシエン 賤姓。(又) (自分の姓を謙遜して言ふ
 詞) 私の姓。【貴姓】に對す。
 チエヌシエン 浅性。感情を押へきれぬ質。氣短。短
 氣。――的人話忍没住。短氣な人は話を控
 て置くことが出来ぬ。――無腹内。氣短の者は

チエヌ

思慮がない。
 チエヌシヌ 前身。(又) 前身。
 チエヌシヌ 前信。(又) 前便。先便。
 チエヌシヌ バヌコオ 千辛萬苦。(又) 千辛萬苦。
 チエヌシム 剪參。人參を切る。人參を買ふ。
 チエヌジイ ブヌ 千字文。本の名。千字文。
 チエヌジオン 剪絨。(植) かはらなでしこ。石竹。唐
 撫子。(石竹科、觀賞用として園地に栽培す)。
 チエヌジオン 剪茸。鹿の袋角を切る。【麥】。
 チエヌジツ 前日。先日。先達。
 チエヌジツ 千日。(又) 千日。――長、一日短。平生
 はよく出来て肝心の時巧く出来ぬにいふ。
 チエヌジツ ホン 千日紅。【圓仔花】。
 チエヌジヌ 賤人。婦人が婦人を罵る詞。下衆。此個
 ー此の下衆め。
 チエヌジヌ キオン キエヌ 千人共見。(又) 十目の視
 る所十指の指す所。
 チエヌジヌ ソオチイ 千人所指。――無病而
 死。千人の指す所病なくとも死す。衆人の言
 ふ所は違はない意。
 チエヌスウ 薦書。推薦狀。
 チエヌスウ 戦死。(又) 戦死。
 チエヌスウ 戦士。(又) 兵士。

チエヌ

チエヌスウ 前事。(又) 前事。【萬考】。
 チエヌスウ バヌシオン 千思萬想。(又) 千慮。千思
 チエヌスウ バヌチエヌ 千書萬典。――孝義
 爲先。千書萬典孝義を先となす。
 チエヌスツ 戦術。戦術。
 チエヌスン バヌスン 千算萬算。【千算萬算】。
 チエヌスウ 薦書。(泉) 【薦書】。
 チエヌセエ 前世。前世。――今世後世。三世。――
 業。前世の宿業。
 チエヌセエ 剪製。藥など切つて調劑する。
 チエヌセエ 剪齊。(澤) 【剪齊】。
 チエヌセエ 戦册。戦書。兵書。――兵書戦書。
 チエヌセエ 前妻。前妻。先妻。
 チエヌセエ ビイ 剪齊肩。額髪を垂れて剪揃へる。
 チエヌソア 戦線。(國) 戦線。【都】。
 チエヌソア 遷徙。移す。移動。移る。――帝都。遷
 チエヌソア 浅沙。浅瀬。
 チエヌソア 浅山。平地に近い山。
 チエヌソア バヌソア 千算萬算。(又) 千思萬考。
 人有。――不若天。一算。人の千思萬考は天
 の一意に如かず。【年】。
 チエヌソエ 賤歲。(謙遜して自分の齡をいふ詞) 私
 チエヌソエ ア 千歲翁。親王又はこれに次ぐ榮爵

の稱號。

チエヌロム 剪參。●人參を切る。●人參を買ふ。

チエヌワア 箋紙。詩箋。箋。狀紙。

チエヌワア 蟬蠟。(動) 紙蠟。箔蠟。——仔同上。

【蟬蠟仔、蟬仔】。

チエヌワア 煎饜。一寸炒げてから煮る。據在人

——人のするが儘に炒げたり煮たりせられる、人のするが儘に任せる。

チエヌワエ 剪做。●材料を仕立てる。切盛する。●

種々な方法を以て他の金錢を誤魔化する。細工する。我被你没——得——私は御前に誤魔化されない。

チエヌワエ 剪齊。平に刈る。切つて揃へる。

チエヌワオ 薦祖。祖先を祭る法事の一。

チエヌワヲ 茜草。(植) 赤根。(茜草科、根は利尿劑、

強壯劑となし又痲病、マラリヤ等を治すに用ふ。

チエヌワヲ シエウ 遷座式。(國) 遷座式。【長】。

チエヌワン 千總。千人の兵を總べる武官の名。千人

チエヌワン 遷葬。改葬。【善別】。

チエヌワン バヌタイ 千狀萬態。(又) 千態萬狀。千

チエヌタイ 前代。前代。

チエヌタウサン 剪頭髮。理髮。剪髮。

チエヌタウマン 剪頭毛。前に同じ。

チエヌタウモオ 剪頭毛。(前) 前に同じ。

チエヌタウリエウ 淺豆粒。薄萌葱。

チエヌタン 剪蟲。(動) 挾蟲。

チエヌタン 弄蟲。(小供) 惡戯者。惡戯兒。

チエヌタン アア 蟬蠟仔。【蟬蠟】。

チエヌソイ 棧試。【棧】の(三)(四)。

チエヌチウ 前章。前章。

チエヌチウ キム 前手金。(新) 前金。

チエヌチウ 弄手。惡戯。子供など戯な。

チエヌチウ 鞞鞞。鞞鞞——同上に乗る。

チエヌチウ 千秋。(又) 千秋。千年。——萬歳——萬年。

永い間。永久。萬古——疾くの昔。ずっと以前。

チエヌチウ 遷手。手數。手數が掛る。手間が取れる。

手間取る。較省——手數が掛らない。面倒がない。不可——共我收去——面倒なことをしないで取つて下さい。

チエヌチウ キア 鞞鞞鏡。廻轉の出來得る様に作った鏡。化粧鏡。

チエヌチウ ケエ 鞞鞞架。鞞鞞の支柱。

チエヌチウ コアヌイム 千手觀音。千手觀音。

チエヌチウ コラ 鞞鞞閑。鞞鞞に子供を乗せて引廻す山車。

チエヌチウ セエ 剪秋紗。(植) (石竹科) せんをう。

チエヌチウ ピイ 鞞鞞棚。鞞鞞の棚。

チエヌチウ ポア 淺堵薄壁。低い壁に薄い壁。家の中が容易に見られる様な締のない家。又家の

中の事など容易に外に知れるにもいふ。——難掩人的耳目——同上ではなかなか人目を忍難い。——賊——一下亦入來——締のない家は泥

棒が造作なく入られる。

チエヌチウ ロク 剪秋羅。【剪秋紗】。

チエヌチウ ク 戰策。(又) 戰略。

チエヌチウ ツ 戰捷。(國) 戰捷。勝軍。

チエヌチエヌ 煎煎。【煎】。

チエヌチエヌ 剪剪。【剪】の(三)(四)(六)。

チエヌチエヌ 戰戰。【戰】の(三)。

チエヌチエヌ 薦薦。【薦】の(一)。

チエヌチエヌ 弄弄。【弄】。

チエヌチエヌ 遷遷。【遷】の(三)。

チエヌチエヌ 棧棧。【棧】の(三)(四)。

チエヌチエヌ 遷遷。【遷】の(一)。

チエヌチエヌ 戰爭。(國) 戰爭。

チエヌチエヌ 前清。●清朝時代。●領臺以前。

チエヌチエヌ 戰將。●名將。戰に巧な大將。●大膽。膽略。不止——膽略がありよく事を成し

送げる。

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌチヌ前進。●前進。●表屋。前の棟。――後進。表屋と奥の棟。

チエヌチヌ煎鼎。煎鍋。

チエヌチヌ前庭。家の入口にある【庭】。

チエヌチヌ浅碇。鉤の一つある【碇】。

チエヌチヌ前朝。(文)前朝。

チエヌチヌ前條。(文)前條。

チエヌチヌ剪綯。絹を貫ぶ。

チエヌチヌ戰場。戰場。

チエヌチヌ前敵。(文)先鋒。先手。

チエヌチヌ前殿。(文)前殿。

チエヌチヌ前庭。(文)次に同じ。

チエヌチヌ前庭。(文)前庭。先途。行末。●秀才。擧人などの試験に及第して與へられた資格。

學位。問伊的――彼の資格を聞く。打無――學位資格を失はせる。

チエヌチヌ千重糕。白紙の如く幾枚も重ねてつくった菓子の名。

チエヌチヌ千重酥。八重蓋の形に作り油でからからに揚げた菓子の名。

チエヌチヌ千重酥。八重蓋の形に作り油でからからに揚げた菓子の名。

チエヌチヌ千重酥。八重蓋の形に作り油でからからに揚げた菓子の名。

チエヌ

チエヌチヌ前陣。(文)前陣。先手。――不比後陣。前陣は後陣に比べられない。勝負事の時など前者より後者は強いぞと人を戒めるにいふ。

チエヌチヌ弄水。(子)水遊び。水弄。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌチヌ浅水。水の浅い所。魚有箇站。有箇站深水。或る魚は浅い所に住み或る魚は深い所に住む。浅船行。――底の平い浅い船は浅い所を通ふ。

チエヌ

チエヌチヌ中適中。偶然思つた通になる。思ふ盡に堪る。豫想通的中する。果して。――適。――同上。恐見能落雨。雨傘来。――雨此大。雨が降るかも知れないと思つて傘を持って来た所果してこんな大雨だ。

チエヌチヌ剪斷。剪斷。鉄切る。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌ

チエヌチヌ中適中。偶然思つた通になる。思ふ盡に堪る。豫想通的中する。果して。――適。――同上。恐見能落雨。雨傘来。――雨此大。雨が降るかも知れないと思つて傘を持って来た所果してこんな大雨だ。

チエヌチヌ剪斷。剪斷。鉄切る。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌチヌ浅腸。浅腸。浅腸。

チエヌトヲ 剪刀。●藥草など刻む掘付の切物。藥刀。
●地獄の處刑場。

チエヌトヲ 前導。(圖) 前導。案内。

チエヌトヲ 淺桃。櫻色。一色||同上。「る地獄。」

チエヌトヲ テエガク。剪刀地獄。罪人の指を剪斷す

チエヌトヲ バヌコア。千刀萬割。寸寸に切る刑罰の

名。
「ペンシス。」

チエヌトヲ ホエ剪刀花。(植)(石蒜科)シアネラケイ

チエヌナア 剪仔。(圖) 剪仔。

チエヌナア 蟬仔。(圖) 蟬仔。

チエヌナア 淺仔。淺仔。

チエヌナア シウ淺仔想。淺仔想。

チエヌナア シエン淺仔性。淺仔性。

チエヌナア チア淺仔鼎。淺仔鼎。

チエヌニノウ 淺猫。薄痘痕。

チエヌハク 淺學。(文) 淺學。一深挖||淺學の者が

人に聞き習って學問を深めて行く。

チエヌバヌ 千萬。千萬。幾重にも。偏に。折入って。

決して。必ず。屹度。萬萬。一不可講||萬萬

話してはならぬ。一俾我拜托||幾重にも御頼

チエヌパイ 戰敗。戰敗。

チエヌバグワン 淺腹腸。淺肚腸。

チエヌパン 棧房。棧房。

チエヌ

チエヌパン 賤房。(文) 愚妻。荆妻。

チエヌピア 戰靴。戰時に用ひる長靴。

チエヌヒイ 蟬魚。蟬仔。

チエヌヒエヌ 淺塊。内容が容易に知れる。直にわか

る。簡易。淺牆薄壁較||低い牆に薄い壁

の家は家の中のことがよく人の目に付易い。耳目

一||直人に知られる。極||的の事||極平易な

事。
「||祖庭。」

チエヌヒエン 餞行。餞別。餞。送別。||的酒筵

チエヌヒエンテエ 賤兄弟。(文) 謙遜して自分の兄

弟をいふ詞)私の兄弟。

チエヌヒエンバヌワン 千形萬狀。(文) 千體萬狀。

チエヌヒヲ 前後。(泉) 前後。

チエヌビイ 剪肩。額髮。留||前髮を残す。

チエヌビエン 賤名。(文) 謙遜して自分の名をいふ

詞)私の名。手前の名。一是鴻章||私の名は

鴻章と申します。

チエヌビエン 闡明。(文) 闡明。

チエヌビヌ 賤民。(文) 賤民。

チエヌビヌ 淺眠。目睡。寢聽。

チエヌピア 煎餅。●菓子を煎る。(圖) 煎餅。

チエヌビイ 戰棚。搭||女同志が口喧嘩をする。

チエヌ

チエヌビイ 淺擊。非常に淺い。

チエヌビイ 淺擊。前に同じ。

チエヌビエツ 餞別。(圖) 餞別。餞。一會||送別會

チエヌピエヌバヌホア 千變萬化。千變萬化。

チエヌピエン 戰兵。(文) 戰地にある兵。

チエヌフイ 前非。(文) 前非。先非。

チエヌフウ 賤婦。(文) 賤婦。

チエヌフヌ 戰雲。(文) 戰雲。

チエヌブウ 剪霧。【剪霧】。

チエヌブウ 前母。前の母。

チエヌブヌバヌホオ 千門萬戶。(文) 多數の門戸。

多數の人家。

チエヌプウバヌノア 千富萬爛。大金持。掠我

是||私を大金持たと思つてゐる。

チエヌプツヒエン 千不幸。萬一折悪く。||你若

適着要怎樣||萬一出會たらどうする。

チエヌベエ 戰馬。軍馬。戰馬。

チエヌベエ 戰棚。(圖) 戰棚。

チエヌペエヒイ 煎白魚。脊と脊と合せて負ふ遊戲。

チエヌホアツ 剪髮。斷髮。髮を刈る。||店

||床屋。||爲尼||髮を剪つて尼になる。

チエヌホアツ 戰法。戰法。

チエヌ

チエヌホオ 前後。(文) 前後。後先。||照應||前後

「||照應。」

チエヌ

チエヌ

チエヌ ホヲ 戦壕。(新) 斬壕。

チエヌ ホン シウ バヌ ホン ホオ 千封賞萬封侯。

功勞を賞して之を封する。

チエヌ ホン ツイ 前鋒隊。(國) 先鋒隊。

チエヌ ボヲ 前母。(新) 【前母】。

チエヌ ポア 煎盤。●煎鍋。焙烙。平鍋。フライパン。

狗舐ー鼻有食無ー狗が煎鍋を舐つても香はあ

るが物はない。(●) 陰門。

チエヌ ポア 淺鉢。●淺い鉢。(●) 陰門。

チエヌ ポア 淺盤。平鉢。

チエヌ ポア バヌ ポア 千般萬般。千千に。色色。様

様。種種雜多。

チエヌ ポア ツ 薦拔。推薦する。引立てる。無人ー

推薦する人がない。ー某人做庄長ー某を

庄長に推薦する。

チエヌ ポエ 前輩。先輩。前輩。老ー大先輩。

チエヌ ポエ 薦批。紹介状。

チエヌ ポオ 剪布。反物を買ふ。

チエヌ ポオ 遷鋪。臨終に近い時病人を部屋より

【大廳】に移すをいふ。

チエヌ ボヲ 戦報。(國) 戦報。【薄い。

チエヌ ポヲ 淺薄。(色) 薄い。色水較ー色が一寸

チエヌ ボク 淺薄。(多) 淺薄。

チエヌ

チエヌ ミア 賤名。(謙遜して自分の名をいふ詞) 私の

名。ー是文林ー私は文林と申します。

チエヌ ラム 戦艦。(國) 軍艦。戦艦。

チエヌ ラム リエン 淺藍綾。染金巾の一種。

チエヌ ラン 薦人。人を進める。人を推薦する。

チエヌ リイ 千里。千里。ー路途三五歩ー劇場な

どの入口に書いて貼り附け置く文句にて芝居では

千里の路も僅かに四五歩なる義。近在眼前、遠

在ー近いと云へば眼前に居るし、遠いと云へ

ば千里も離れて居る。ー寄毫毛、寄得不寄

失ー千里の處へ手を一本送るにも送り届けて失ふ

ことなし。

チエヌ リイ ガヌ 千里眼。千里眼。【媽祖】の隨神と

して祀られる鬼面にして額上に角あり一手を額

に翳し目を張りて遠望するの態を示す。ー順

風耳ー千里眼は目の鋭い神、順風耳は耳の鋭い

神、耳目の敏捷なるをいふ。

チエヌ リイ キア 千里鏡。望遠鏡。雙眼鏡。

チエヌ リイ キア 千里急。【鳥面馬】。

チエヌ リイ キア 千里及。【鳥面馬】。

チエヌ リイ クウ 千里駒。(多) 千里の馬。駿馬。

チエヌ リイ コン 千里光。(植) めどはぎ。(葺料) 葦葉

を陰干し水にて煎服し利尿、解熱劑となし又眼病、

チエヌ

腎臓に効あり。

チエヌ リイ ビウ 千里彪。千里の彪。良馬の名。

チエヌ リイ ビヌ 戦利品。(國) 戦利品。

チエヌ リイ ベエ 千里馬。千里の馬。駿馬。

チエヌ リイ ボヲ ビア 淺籬薄壁。離浅く盛薄し。家

が小さく粗末な意。

チエヌ リイ マア 千里馬。【千里馬】。

チエヌ リウ 剪批。掏摸。巾着切。掏摸。ー仔同

チエヌ リウ 淺柳黄。(色) 鶯茶。

チエヌ リエ ク 淺綠。淺綠。

チエヌ リエ ヌ 煎煎。【煎煎】。

チエヌ リエ ヌ 剪剪。【剪剪】。

チエヌ リエ ヌ 戦戦。【戦戦】。

チエヌ リエ ヌ 薦薦。【薦薦】。

チエヌ リエ ヌ 弄弄。【弄弄】。

チエヌ リエ ヌ 遷遷。【遷遷】。

チエヌ リエ ヌ 棧棧。【棧棧】。

チエヌ リエ ヌ 遷遷。【遷遷】。

チエヌ リエ ヌ シオン 千年松。(多) 千歳の松。「い。

チエヌ リオン 淺量。(多) 酒量が少い。●度量が淺

チエヌ リヌ ツン 剪輪轉。船などの軸先を廻して返

チエヌ ルイ 戦壘。(新) 壘堡。壘。

チエヌ ルウ イッ シツ 千慮一失。(多) 千慮の一失。

チエン

で造った排塵。●拂く。排ふ。一靴一靴。一桌一卓を排く。●刷毛などにて胡粉などを塗る。一壁一壁塗をする。●鶏などが土を掻く。●雞母在土一土。●鷓鴣が土を掻いて居る。●牛などが角で引掛ける。●牛用角尾一人一牛が角の先で人を引掛ける。●胸などがどきどきする。●心肝頭在一同上。●脈股爆爆一脈博がどきどきと打つ。●言語又は態度の上に自慢の意を表はす。●鼻を高くする。●威張る。●矜顔に衒示す。●眩惑させる。●少年人四界一若者が各方に行つて眩惑させる。●打一浪費する。●笑、笑、笑。

チエン 請願。請ふ。●有對衛門一無汝は後所に願つたか。一鑑札一鑑札を請ふ。

チエン 銃。銃。●鐵砲。●小銃。●煙一鐵砲の煙。●六腹仔一六連發銃。●放一鐵砲を放つ。●鳴香過身一銃の鳴る頃には香は行き過ぎてしまふ。●後の祭などの意。

チエン 蒸。●空中に高く上る。●登る。●風吹一高風が高く揚る。●火煙一煙が上る。●団仔團了一高起來一子供が寢臺に寝て段段と頭の方へ轉げていく。●蒸氣・火藥などで火傷する。●被滾煙一着湯氣で火傷した。●飯一薩摩薯などを蒸す。●蒸す。●炊ぐ。●一番薯一薩摩薯を蒸す。一

チエン

油飯一油飯を炊く。●燻す。燻べる。●帽仔一燻就能白一帽子は硫黄で燻すと白くなる。●花などで香をつける。●茶一茶に香をつける。●粉一白粉に香をつける。●鼻を拭む。●鼻一同上。●湧出する。●進る。●鼻血貢貢一鼻血がたらだらと出る。●水泉一直一泉がどンドン湧出す。●値段など騰る。●價一値段が騰る。●三元一三圓あがる。●盛になる。●増す。●家伏一直一起來一財産が段段と殖えて来る。●字運在一運氣が盛になつてゐる。●湖一骨牌で勝續ける。●出張る。●差出口をする。●不可傷一餘り出張るな。

チエン 稱。適する。●合ふ。●職一職が適する。●職が合ふ。●意一心意好い満足する。

チエン 戕。●戕。

チエン 榕。がじまる。●植(桑科綠蔭喬木にして全株無毛、幹枝より氣根を生じ、庭園樹、行道樹となす)。●挿一較健龍、挿艾龍長命一五月五日榕樹の枝を門口に挿せば龍より強くなり艾を挿せば長命を得る。

チエン 躡。●躡。

チエン 穿。●着る。●衫一着物を着る。●儉一得新一着物を大事にして着れば何時も新しい。●足に穿

チエン

つ。●穿く。●一褲一ズボンを穿く。●鞋一靴を穿く。●做三脚褲傳人一三本脚のズボンを作つて人にかせる。●殊更に人に面倒をかける。●嵌める。●褲頭一沒密一柄の頭がびっしりと嵌まらない。●門弁來一戸を持って来て嵌込む。●相食一しつくりと嵌まる。●身形。●裝。●身一同上。●粗一不斷着。●鍋や七輪などの上に火氣の放散を防ぐ爲にのせる上置。●鼎一鍋の上置。●掛一同上を置く。

チエン アア 種仔。●小。●小。●小。

チエン アア 笄仔。●拂塵。●塵拂。●塵拂。●糊刷毛。

チエン アア 銃仔。●小筒。●小銃。

チエン アア 前後。●前後。●前後。●後先。

チエン アア 請安。●安否を問ふ。●慰問。●挨拶。●請你替我共先生一どうか先生に宜敷申上げて下さ

チエン アム 前暗。●先晩。●先夜。

チエン アン 前夫。●前夫。●先夫。

チエン アン 清紅。●鮮明な赤色。

チエン アン ケエ アン 穿紅隊夫。●紅いものを着て隊入する。●別に他意なし紅と夫と音の似たるより地

チエン イア 前營。●前衛。●前衛。

チエン イア ク 前約。●前約。

チエン イア ム 精鹽。●精製の鹽。●燒鹽。

チエン

チエンイア^ン 靜養。(海)【靜養】。

チエンイア^ン 稱揚。(海)【稱揚】。

チエンイイ 春圓。米の粉を蒸して餅の様にし一つ一つ圓めること。祝事等の時に團子を作る。

チエンイイ 僧院。(又) 僧院。僧の居る所。

チエンイイ 情意。情。情緒。人情。情。好。好意。親切な。親切な。歹。不親切。意地悪い。有。親切心がある。不該。情意からいへば正當でない、好意に反する。

チエンイイ 贈與。(海)【贈與】。

チエンイイ 青衣。秀才の着る禮服。【青衿】。【苦】。

チエンイイ 稱意。快。氣持が好い。満足する。

伊有。允。你無。彼は快く承諾したか。不承不承。いやいや。

チエンイウ 情由。理由。筋合。

チエンイウ 淨油。油を焚いて祓をする。拂清める。宅を清める。火難除の祈禱。壓火。火難除の祓。

チエンイウ 清幽。清楚で閑靜。站較。的所在。もつと清楚で閑靜な所に住む。厝内傾去。家の中はきれいに掃除してある。澄む。清い。水真。水が澄んで居る。

チエンイウ 清油。第一期作水稻粳の一品種。落

チエン

花生から取った油。

チエンイウ 千様。千様。一萬様。千差萬別。

チエンイウイウ 春幼幼。突碎く。

チエンイウイウ 清幽。清い。澄む。

チエンイウコ^ラゴ^アヌ 情有可原。(又) 情狀酌量すべき所がある。

チエンイウサ^ア 清油早。第一期作水稻粳の一品種。

チエンイウホ^エ 政友會。(國) 政友會。

チエンイウエ^クキ^ウチエン 精益求精。(又) 精通してゐるが其上更に精通しようと思ふ。

チエンイウツ^ウ 種痘。種痘。

チエンイエツ 請謁。謁見を請ふ。

チエンイエン 精英。活氣。精氣。精力。活活としてゐる。元氣。失。精氣を失ふ。氣拔。喪心。漸漸。一段段と蘇生する。

チエンイエン 清閑。閑散。安樂。氣樂。一的人。閑人。氣樂人。一命。安樂の身。

チエンイエン 蒸影。上機嫌で氣樂さうに呑氣に冗談を言ひ若くは滑稽な事をする。呑氣。有趁錢。就罷。一命。命があれば自然呑氣なことを言つてゐられる。眞成。一命。とても上機嫌だ。

チエンイエン 蒸甕。【蒸甕】。

チエンイオ^ク 前約。先約。前約。

チエン

チエンイオ^ク 情慾。(又) 情慾。

チエンイオ^ン 整容。(又) 容子を繕ふ。容を正す。

チエンイオ^ン 靜養。(國) 靜養。

チエンイオ^ン 青陽。(世) 青陽。

チエンイオ^ン 稱揚。(又) 稱揚。

チエンイ^ヲ 銃藥。火藥。銃藥。

チエンイ^ツ 千一。千百。

チエンイ^ム 清音。清音。清音。

チエンウイ 贈位。(又) 贈位。

チエンウ^ウ 贈與。(國) 贈與。

チエンウ^ウ ケ^エ 晴雨計。(國) 晴雨計。

チエンウ^ウ 贈與。(泉)【贈與】。

チエンエ^エ 前下。以前。先に。先度。先般。

チエンオ^オ 青鳥。(姓) 青鳥。

チエンオ^オ 清湖。【清湖】。

チエンオ^オ 蒸湖。骨牌で勝續ける。

チエンオ^オ キ^イ 蒸鳥去。煤る。

チエンオ^オ サ^アチ^アム^オオ^オチ^アウ 穿鳥衫占鳥柱。黒い着物を着て居る者は黒い柱を占める、同類のものに味方をする。

チエンオ^ンチエンテ^エ 稱主稱帝。王と稱し帝と稱す、世事に關係せず安樂に構る。左團扇にな。返來去厝裡。一若好得。家に戻つて

安樂に構へた方が何程好いか知れない。

チエンヲアイヲアイ 清泱泱。澄んで居る。清い。

坑溝水——谷水が澄んで居る。

チエンヲエ 穿鞋。靴を穿く。——釣襪。靴を穿き靴

下を穿く、勞働する必要なき者。——釣機的人

同上の人。脱赤脚越鹿——食肉。素足の者

が鹿を逐ひ靴を穿いて見てゐる者が肉を食ふ、働

かずに樂をしてゐる者が利益を収める意。

チエンヲ 種蟻。蟻を増養増殖する。

チエンカア 増加。(國) 増加。

チエンカア 指甲。(海) 【指甲】。

チエンカア 前脚。前脚。

チエンカア 請假。賜假を請ふ。——鎧を着る。

チエンカア 穿甲。鎧を着る。——戴笠。兜を被り

チエンカア ザウ、指甲齧。(海) 【指甲齧】。

チエンカア ジオン 指甲茸。(海) 【指甲茸】。

チエンカア セエ 指甲紗。(海) 【指甲紗】。

チエンカア ツイ 指甲鑽。(海) 【指甲鑽】。

チエンカア バイ 指甲盾。(海) 【指甲盾】。

チエンカア ホエ 指甲花。(海) 【指甲花】。

チエンカイ 政界。政界。

チエンカウ 爭較。取戻す爲に争ふ。——物件。物を争ふ。——到彼項物倒返來。其物を取戻す

迄争ふ。對法院——法院に訴へて物を争ふ。

チエンカウ 正教。正教。

チエンカウ 清溝。溝を浚へる。下水掃除。

チエンカウ 請教。教を請ふ。教を仰ぐ。物事を御伺

ひ致す。御教を願ふ。——強的人。傑い人に就

いて教を仰ぐ。——律師。辯護士にお願する。

病眞傷重着——醫生。病氣が非常に重いから

醫者にお願しなければいけない。

チエンカウ 銃口。銃口。筒口。

チエンカウ タア 從到今。今迄。此迄。——不曾

歇咽。今迄休んだ事がない。

チエンカヌ 鐘磬。佛教に用ひる樂器。

チエンカヌ プツキエンキイ 晴乾不肯去。——

——等待雨淋頭。晴た時に行かないで雨の非

常に降るのを待つて出掛ける、機を失して事をな

し又は普通人と異つた行をするが如きをいふ。

チエンカン 舂工。賃搗。米搗。

チエンカン 清港。港や川を浚へる。——船。浚漚船。

チエンカン 蒸孔。水の噴出る穴。鑿などの開ける

穴。——眼。

チエンカン 銃孔。(牆壁などに裝置しある) 銃門。銃

チエンガア 清雅。清雅。

チエンガヌ 衆眼。(衆眼)。

チエンキアム 増減。(國) 増減。

チエンキイ 證據。(海) 【證據】。

チエンキイ 證見。●見て居つた人。立會。——人。立

會人。●證據。有——無。證據があるか。

チエンキイ 前裾。(海) 【前裾】。

チエンキイ 前期。前期。

チエンキイ 蒸氣。(國) 蒸氣。

チエンキイ 衝去。突當てる。

チエンキイ 爭氣。意地を張つて争ふ。——不爭財。意氣地で争うて財を争はない。

チエンキイ 正氣。心の正しい。正氣。正直。律義。

堅氣。——的人。律義者。堅人。——無邪心

——正直で邪心がない。

チエンキイ 前驅。(海) 【前驅】。

チエンキイ 前齒。前齒。

チエンキイ 前起。前の裁判。——案。前の訴訟事件。

チエンキイ 請期。【六禮】の一にして【送日頭】に同

じ。

チエンキイ 清氣。綺麗。清潔。清い。清に。——相

清潔。清潔好。——第。清貧。——水。清い

チエンキイ 銃器。鐵砲。銃器。

チエンキイ 蒸氣。蒸氣。氣が蒸發する。

チエンキイ アウカン 前去後空。出でからから。出

チエン

チエン

チエン

チエン

て誰も居ない。出してしまつて後に何も無い。店內――没得出門――出てしまふと店がからからになるから他處へ出られない。

チエンキイコア 正氣歌。道歌。

チエンキイコヲ 清氣哥。棺桶の中に男の召使として入れられる紙の偶像。――伶俐嫂の棺の中に入れる死者の紙の男召使と女召使。

チエンキイシウ 清氣相。①清潔好。②清潔さつぱりとしてゐる。

チエンキイバヌヒヲ 千枝萬葉。千枝萬葉、繁茂若くは複雑の形容。

チエンキイフヌ 前期分。(國)前期の分。

チエンキイライ 踵起來。踵る。脹れる。

チエンキウ 請求。(國)請求。

チエンキウスウ 請求書。(國)請求書。

チエンキエツ 清潔。(又)①清潔。潔白。②(新)清潔。法。大掃除。

チエンキエン 正經。①正しい。眞面目。不――的查。某――ふしだらな女。――頭路――正業。――人――正し人。堅氣な人。――路――正路。――脚――眞面目な人。②本當に。實際に。有――要無――本當に入用なのか。實際にやるのか。――要相割就縮脚――いざ戦争の時になるともう逃隠れる。

チエン

チエンキエン 情景。(又)狀況。景況。有様。

チエンキエン 清景。心配がない。氣樂。你上――君は一番氣樂だ。

チエンキホク 前局。(墓など)前方。前。

チエンキホク 銃局。砲兵工廠。

チエンキオン 正供。(又)國庫に納入すべき租稅即ち正租。錢糧――同上。

チエンキゾ 増給。(國)増給。

チエンキツ 増給。増給。

チエンキツ 増給。増給。

チエンキム 精金。純金。

チエンキム 前金。(國)前金。

チエンキム 青衿。(又)秀才の着る禮服。

チエンギア 増額。(國)増額。

チエンギイ 争議。(國)争議。

チエンギイ 正義。(又)正義。「を知る。」

チエンギイ 情義。情義。義理。人情。有――義理

チエンギウ 青牛。(姓)青牛。

チエンクイ 前季。(作物)第一期。前期。

チエンクイ 銃櫃。牆壁に櫓の如きものを築き銃眼を装置したもの。

チエンクイ 前氣接没。後氣着。前の息と後の息が續かない、喘ぐ。息

チエン

急切る。息もつけない。餘裕がない。緊到――――生計など少しも餘裕がない。

チエンクイム 前氣不接後氣。前に同じ。

チエンクウ 證據。證據。――分明――證據十分。――充分――同上。

チエンクウ 前裾。着物の前の裾。

チエンクウ 春白。搗白。白。酒傾藏下――酒麴借別人酒を白に入れて置いて置いて酒の麴を人に貸す、事理を顛倒する意。

チエンクウ 前驅。前驅。先駟。

チエンクウ 春白槌。杵。

チエンクウ テエガク 春白地獄。地獄の處刑場。

チエンクウ 整軍。(又)軍兵の勢揃。軍を整へる。

チエンクウ 衆軍。衆軍。軍勢。

チエンクウ 前軍。前軍。

チエンクウ 精勤。(國)精勤。

チエンクウ 證據。(景)證據。

チエンクウ 前裾。(景)前裾。

チエンクウ 前牛偷食。――後牛賠。前の牛が偷み食をして後の牛が賠償する、他人の罪を脊負ふ意。

チエンクウ ベエサア 穿牛皮衫。牛の生皮の着物を

着る。半の生皮が乾くと收缩して體をぎゅっと締める刑罰の名。

チエン グヌボエツウ 千銀買厝。——萬銀買厝邊 千兩で家を買ひ萬兩で近隣を買ふ、近隣との和合が大切なる意。

チエン ケエ 前過。先般。前回。先度。

チエン ケエ 前客。先客。

チエン ケエ 千家。千軒。——富没顧一家窮 千軒の金持一軒の貧乏を顧みることができない。

チエン ケエ 請假。請暇。暇を請ふ。

チエン ケエ 銃架。銃架。

チエン ケエ 蒸價。値段が上る。騰貴。

チエン ケエ ニウアウケエ 前客讓後客。先の人か後の人に譲る。

チエン ゲエ 前月。先月。前の月。

チエン コア 衆官。諸官。

チエン コア 情歌。情歌。

チエン コア 清官。清廉な官吏。——難斷家常事 清廉な官吏も家事は公平に斷じ難い。

チエン コアイ 銃桿。銃身。

チエン コアイ 蒸高。上騰。高く上る。——的水 噴水。價數——値段が高く上る。

チエン コアイ 穿慣。着馴れる。着付ける。

チエン

チエン コアヌ 政權。(國) 政權。

チエン コアヌ 靜觀。(文) 靜觀。

チエン コアヌ 蒸管。樂器の調子が高い。

チエン コアヌ 蒸高。(海) 蒸高。

チエン コアヌ 穿慣。(海) 穿慣。

チエン コエ 前過。(海) 前過。

チエン コオ 鐘鼓。鐘と太鼓。

チエン コオ 整鼓。起鼓。

チエン コオ 正果。(果) 正果。

チエン コオ イライ 從古以來。古來。昔から。

チエン コラ 正果。(佛敎) 成——道を修得する。得

チエン コラ 蒸哥。(蒸兄)。

チエン コラ 清氣。暢氣。氣樂。有錢即能——金があつて始めて暢氣に構へられる。

チエン コラ シイ 青菓鼓。橄欖の鹽漬。

チエン コク 衆國。諸國。

チエン コク 鐘板。鐘と木魚。 「みること。

チエン コク 前擴。前頭部の突出部分。額が突出て

チエン コク 清國。清國。——人支那人。清國人。

チエン コン 精工。巧。上手。巧妙。精い。對箭

法——弓矢道に就いては巧である。工夫學

到——仕事に上手になる迄習ふ。聰明。賢し

い。利巧。——的匣仔 利巧な子供。

チエン

チエン コン 請功。功勳を立てた報酬を請求すること。功勞を矜る。功勞なきに自分に功勞あるが

如くにいふ。一四界去——方へ行つて自分の手柄を吹聴する。出しゃばる。各項愛——何事にも出しゃばりたがる。

チエン コン パア 揮擲打。擲る。打つ。打擲する。不時與人——常に人と喧嘩をする。

チエン コオ 前過。(果) 前過。

チエン コオ 千外。千餘。——人千餘人。銀仔頭——金額が千餘圓。千餘圓の金。

チエン コアヌ 情慮。甘んじて。承知の上。悦んで。快く。——要給伊悦んで彼に與へる。不——要去 快く行かない。不——嫌。好まぬ。好かぬ。不承不承に。厭厭。

チエン コアヌ 請願。(國) 請願。——書 請願書。

チエン ゴオ 正午。正午。

チエン サア 穿衫。着物を着る。

チエン サア アウ シイ 前三後四。豚の脚を賣る場合前脚ならその重さより三十匁を後脚なら四十匁を

チエン サウ 前哨。前軍。 「差引く。

チエン サウ 筊掃。掃除。

チエン サツ 銃殺。(國) 銃殺。

チエン サア 精差。違。違ふ。差。隔。開。有——

チエン

チエン

チエン

チエンザア 清卓。(神佛禮拜など業務以外の事に就いて) 清清しい朝未明。早朝。一一起來焼香夜明に起きて線香を立て禮拜する。

チエンザア 穿挿。装。身形。着こなし。賢。一。よく着得す。好。一。立派に着飾る。一。無合打。一。服装が釣合はない。

チエンザア カウター。従早到今。昔から今まで。古。チエンザイ 鐘臍。鉦や銅鑼の中心の脹れた所。チエンザイ 清彩。一。晴朗。朗。晴れる。天氣。一。天氣が好い。一。(心)爽快。爽。悠然と。機嫌が好い。心が延延とする。心肝。一。心が清清する。人有。一。病人など氣分が好い。一。

チエンザイ 清菜。精進物。食。一。精進物を食べ。チエンザウ サア 穿草衫。一。薬の着物を着る。一。切妻の端又は草でおはれてゐる壁のやうに芽などで葺いてあること。

チエンザウ サウ 靜悄悄。寂としてゐる。寂しい。寂寥。物淋しい。

チエンザク 種族。一。血筋。血統。好。一。血筋が好い。一。氣象。性質。種。恩。老。父。的。一。彼の父親の氣象を承けてゐる。

チエン

チエンザツ 春寒。春固める。チエンザツ 情節。入譯。仕儀。曰く。譯。行掛。い。きさつ。内中的。一。我都不知影。其間のいきさつは僕は知らない。

チエンザツ 征賊。賊を征する。チエンザツ 稱讚。一。稱揚。賞讚。讚美。チエンザア サア 穿十三尺。一。長衫を着る。(十三尺は一丈三尺即ち丈三にして「長衫」と同音なるより斯く云ふ)。

チエンザム 曾參。孔子の弟子にして「二十四孝」のチエンシア 鐘聲。鐘聲。一。曾參。チエンシア 整聲。他人の相談を阻げんとて當附などをいふか又は他に暗示を興へる爲に反排等する。您。老。父。在。一。一。今不可去較好。一。汝の父さんが何か言つて居るからもう行かない方がよろし。

チエンシア 前謝。(國) 前謝金。チエンシア 銃聲。銃聲。チエンシア 銃城。(國) 打。一。射殺された者の靈魂を地獄から救ふ爲の法事をする。糊。一。同上の時に用ひる紙張の城の模型を作ること。

チエンシアウ 清賤。勘定を濟せる。掛を濟せる。清算する。要與你。一。汝との勘定を清算する。汝の爲した惡事などに對して總勘定をする。清算をする。

チエン

チエンシアン 禎祥。(一) 禎祥。チエンシアン 銃傷。(銃) 銃傷。チエンシイ 拵死。拳固で突殺す。撲殺す。チエンシイ 畜生。畜生。獸。家畜。四足。飼。一。家畜を飼ふ。

チエンシイ 證書。(簿) 證書。チエンシイ 情詩。戀情のほどを述べた詩。チエンシイ 情死。(國) 情死。チエンシイ 前世。宿世。一。的。冤孽。宿業。一。註定。一。前世の約束事。一。相欠債。一。前世からの惡縁。前世からの因縁づく。一。踏破。棺。蓋。一。前世に汝の棺桶の蓋を踏破つたのだ、性質が合はず不和な者にいふ。

チエンシイ 前時。前に。以前。先に。一。後日。前日。日外。豫豫。チエンシイ ヲアヌ 前世冤。前世に於て互に敵たりしこと。前世の仇。チエンシイ シイ 前世。前世。一。撞破伊的黃金帶。一。前世に彼の骨盤の蓋の取手を毀したのならば、夫婦喧嘩等の絶えぬのを罵りていふ。

チエンシイ チア 千四正。厦門地方で用る大きな秤。チエンシウ 徵收。(泉) 徵收。

チエン シウ 清秀。清秀。秀逸。文雅。――風流にし
チエン シウ 銃手。銃手。〔て清秀

チエン シエク 正室。正室。本妻。

チエン シエク 正式。正式。

チエン シエヌ 爭先。先を争ふ。

チエン シエン ウウラム 青勝於藍。青きこと藍
に勝る、藍より出て藍よりも青し。

チエン シオク 靜肅。靜肅。

チエン シオン 禎祥。祥瑞。吉瑞。國家將與必
有。――國家將に與らんとする時は必ず祥瑞あり。

チエン シオン 爭訟。爭事。訴訟。居家戒。――
訟則終凶。――家に居ては争事を戒めよ、訴訟
は凶に終る。

チエン シオン 青裳。〔ねむのき。〔葦料、樹皮を用
ひて打撲・咳嗽・小兒の感冒・痲病を治し健胃驅蟲
に効あり。

チエン シオン 稱頌。〔稱讚する。賞稱へる。

チエン シオン 銃傷。銃創。鐵砲傷。巧所掠做。――
陰部を銃創と取違へる、物を取違へる意。

チエン シオン ギアア 蒸營業。〔祖先の祭祀料とし
て一家に屬する財産。

チエン シウ 穿燒。衣類を著重ねて體を温めること。

食飽。――飽食暖衣。

チエン シツ 正室。〔正室〕。

チエン シツ 淨實。正味。風袋ぬき。

チエン シヌ 精神。目醒める。目を醒す。打。――
眠つてゐる者の目を醒させる。目没。――目を醒
さない。――起來。目醒める。――聴い。賢い。

彼個仔仔眞。――あの子供は甚だ賢い。――
光眼。利發。精氣。元氣。――充足。元氣旺
盛。失了。――精氣を失ふ。精神。

チエン シヌ 正神。正しい神。正神。生爲正人死爲
――生きては正直の人たれ死しては正しき神
たれ。〔邪神〕に對す。

チエン シヌ 衆神。衆神。

チエン シヌ 清晨。〔朝明。黎明。

チエン シヌ 銃身。銃身。筒。

チエン シヌ バクキア 精神目變。〔頭眞目變〕。

チエン シヌ ビエン 衆神明。衆神。神。八百萬の
チエン シヌ ペエガムアア 精神皮變。賢さうな
皮で中身は馬鹿。利巧の様に見えるが實は馬鹿

チエン シム 靜心。靜心。心靜。

チエン シム 青心。〔茶樹の品種名。

チエン シム 清心。氣樂。安樂。安氣。散散。氣

晴。一半次仔亦着去北投。――咧。罕には
北投にでも行つて氣晴しなさい。〔を逐く。

チエン シム 稱心。心に稱ふ。――遂意。心に稱ひ意

チエン シム トア 清心彈。好い氣持になつて樂器を弾
く。暢氣相にする。氣樂相にする。

チエン シム トア 青心大有。〔茶樹の品種名。

チエン シム ビエン ボク 清心明目。よい物を食べた
り、珍しい物事を見聞したりする時など好い氣持
になる。氣が清清する。

チエン ジアウ 前爪。禽獸の前足の爪。前足。

チエン ジエヌ 整然。〔整然。

チエン ジラ 清尿。混合物なき小便ばかりをいふ。

チエン ジツ 前日。前日。先日。先達。――任。同上。

チエン ジツ ホン 千日紅。〔圓仔花〕。

チエン ジヌ 證人。〔證人。

チエン ジヌ 情人。〔情人。

チエン ジブ 衝越。奔走する。駈廻る。尋廻る。――
錢項。金の工面に駈廻る。――醫生。方方を駈
廻つて醫者を呼ぶ。

チエン ジム 前任。前任。――的官。前任官吏。

チエン スウ 證書。〔證書。

チエン スウ 政事。〔政事。

チエン スウ 衆事。公の事。公衆に關する事。愛挿

チエン

チエン

チエン

チエン

チエン スウ 正事。(又) 正事。

チエン スウ 情書。(又) 情書。

チエン スウ 情史。(又) 情史。

チエン スウ 情死。(又) 情死。

チエン スウ 青史。(又) 青史。

チエン スウ ハア 請賜暇。賜暇を請ふ。

チエン スウ 曾孫。(又) 曾孫。

チエン スウ 穿樵。樵を填込む。

チエン スン バヌ スン 千算萬算。一畫一畫千慮萬考も天の一畫に値しない、天命は如何ともできぬ意。一畫一畫不値遇撞千思萬考も運の廻合には及ばない。

チエン スウ 證書。(又) 證書。

チエン セエ 精細。(又) 精細。

チエン セエ 畜生。(又) 畜生。

チエン セエ ギア ア 前世業。宿業。

チエン セエ シイ 前生世。(又) 前生世。

チエン セエ 精製。精製。

チエン セエ 精債。子供など思慮分別のあること。利

チエン セエ 整齊。(又) 整齊。

チエン セエ 靜坐。安坐。靜に坐る。ちっと靜にして

居る。你一聽我講一靜にして我のいふことを

チエン

聽け。

チエン エト アツ チエン 爭妻奪田。一見死如眠妻を争ひ田を奪はる時は死を恐れず飽迄争ふ意。

チエン ソア 精選。(又) 精選。

チエン ソン 清爽。爽快。心地よい。愉快。清爽。有來有往無來一來れば往かなければならぬから來ない方が却って氣樂である、物などの贈答をする時などに持つて來ない方が面倒がない。

チエン ツア 精差。【精差】。

チエン ツア 前行。前の行。前の項。

チエン ツア 清紙。生漉紙。

チエン ツエ 整齊。整頓する。調ふ。揃ふ。揃ひ整ふ。街面不止一町が甚だ整頓してゐる。隊伍

一隊伍が整つてゐる。【と】。

チエン ツエ 春糶。水に浸して碾いた米の粉を春くこ

チエン ツエ 請罪。處罰を請ふ。待罪。

チエン ツオ 曾祖。曾祖父。

チエン ツオ 精粗。(又) 精粗。

チエン ツオ 清楚。(又) 財產を失ふ。蕩盡する。一文無になる。空尻。素寒貧。(物) 全部無なる。某人的家伙已經一喇一誰某の財產はもう全部無なつてしまつた。烟與酒今一喇一烟草と

酒はもう無なつてしまつた。

チエン ツオ フウ 曾祖父。曾祖父。

チエン ツオ ブウ 曾祖母。曾祖母。

チエン ツオ 衝射。【走躐】。

チエン ツオ 種作。耕作。稼穡。田を耕す。

チエン ツオ 貞操。(又) 貞操。

チエン ツオ 清早。(又) 【清晨】。

チエン ツオ 清楚。始末がつく。片附く。埒があく。落着。完結。済む。終る。完了する。事情尙未一事が未だ片付かない。寫一喇一書いて仕舞つた。明。明瞭。はっきり。講没一話がはっきりしない。整然として明な話をする。ことが出來ない。聽能一明瞭に聞分けられ

チエン

チエン ツク 種族。種族。

チエン ツン 正莊。方正。正しい。几帳面。端正。

チエン ツン ラム 銃床桶。(又) 梧桐科)ちやせんぎり。

チエン ツオ 靜坐。(又) 【靜坐】。

チエン タア 前擔。駕籠昇などの前肩。前棒。

チエン タア チエン キウ ツク 憎他憎九族。(又) 彼を憎んで九族を憎む。坊主が憎けりや袈裟まで憎

チエン タイ 前代。前代。先代。【いの意】。

チエン タイ 青黛。(又) 藍翠を製する時に水に浮ぶ藍

花の石灰分をとつて乾燥してつくつたもの。(止血

諸瘡などの外用薬として用ひらる。

チエンタイ 青苔。(又) 青苔。

チエンタウ 種痘。(意) 痘瘡を植ゑる。種痘。

チエンタウ 種豆。豆を蒔く。「する。

チエンタウ 衝頭。頭をぶつつける。相——頭を鉢合

チエンタウ 指頭。(意) 【指頭】。

チエンタウ 症頭。症。病症。容體。看——診察

する。甚麼——何の病氣か。想——病症

を考へる。悪いたくらみをする。無——病症

がない。悪いたくらみなどの方法がない。

チエンタウ 前頭。●擔ふ荷の前の荷。●先。前の方。

チエンタウ 從頭。始めから。——到尾——始から終ま

チエンタウ 銃啄。撃鐵。引金。【で。

チエンタウ 銃頭。銃床。臺尻。

チエンタウ アア 指頭仔。(意) 【指頭仔】。

チエンタウ エエ 前頭的。先棒。先肩。

チエンタウ コン 指頭公。(意) 【指頭公】。

チエンタウ バク キア 精頭自變。【頭眞目變】。

チエンタウ ヒウ 笏頭香。新しがり。おせっかひ。で

しゃばる。物好。

チエンタウ ブウ 指頭母。(意) 【指頭母】。

チエンタウ プウ コン 指頭母公。(意) 【指頭母公】。

チエンタウ ボラ 指頭母。(意) 【指頭母】。

チエン

チエンタウ 贈答。(國) 贈答。

チエンタム 政談。(國) 政談。

チエンタム 偵探。(新) 探偵。

チエンタム 清淡。家事の不廻。貧しい。家事——

暮向が不廻。

チエンタム 清痰。薬を飲んで痰を去る。

チエンタン 増重。重を増す。日方を増す。

チエンタン 淨重。正味の重さ。

チエンタン 精蟲。(國) 精蟲。

チエンタン 銃桶。火藥桶。

チエンチアウ 衆鳥。諸諸の鳥。——籠在要討毛——

諸諸の鳥が毛を貰ひたがる、方方から借金取が催

促をする。——要食番仔通的粟——諸諸の鳥が

番仔通(番通事)の糶を食ひたがる、多くの者が

一人の者に要求する。

チエンチアウチアウ 靜悄悄。寂としてゐる。淋し

い。深閑と。

チエンチイ 種子。種。種子。種物。效——種を蒔

チエンチイ 清錢。●良い一厘錢。●勘定を清算する。

勘定を支拂ふ。掛を濟す。

チエンチイ 銃子。彈丸。彈丸。一粒那——人な

ど彈丸の様に小さい。

チエンチイ 榕子。榕樹の實。

チエン

チエンチイウケエ 春磁做裸。餅を掲ぎ「裸」を作

る、祭の準備をするなどをいふ。

チエンチイ 靜凄凄。とても靜。寂りとしてゐ

チエンチウ 潭州。(意) 【潭州】。

チエンチウ 春埧。土埧を築く。

チエンチウ 榕鬚。(意) 【榕鬚】。

チエンチウ 前手。●前。前の手。——接錢後手空

前の方から金が入つても後の方では無なつてゐ

る、金が入つても直に無なるをいふ。●先代。前

の代。——的人做的——前の代の人が作つたの

だ。●(新) 前謝金。

チエンチウ 榕樹。(意) 【榕樹】。

チエンチウ 清酒。生酒。清酒。醇酒。

チエンチウ 笏鬚。【笏】の鬚。

チエンチウ 榕鬚。榕樹の氣根。

チエンチウ 榕樹。(植) (桑科) 榕樹。がじゅまる。大

好蔭影——大きな榕樹は好い蔭をなす、富める

者は恩澤を施し易い意。

チエンチウイウ 榕樹油。テレピン油。

チエンチウオン 榕樹王。榕樹の神。

チエンチウチイ 蒸上夫。天に沖する。立上る。

チエンチエツ 政策。(國) 政策。【女。

チエンチエツ 貞節。貞節。貞操。——婦——節婦。貞

チエン

チエン

チエンチエン情節。【情節】。

チエンチエン清節。清節。貞節。

チエンチエンフン貞節坊。節婦の旌表。

チエンチエン又争戰。戰爭。

チエンチエン又青錢。青錢。金。

チエンチエン精精。●聰い。賢い。此個困仔

此個破病人尙——この病人はまだ元氣がある。

チエンチエン衝衝。【衝】。

チエンチエン揮揮。【揮】。

チエンチエン春春。【春】。

チエンチエン増増。【増】。

チエンチエン整整。【整】。

チエンチエン腫腫。【腫】。

チエンチエン種種。【種】。色色。

チエンチエン種種。【種】。

チエンチエン増増。【増】。

チエンチエン靜靜。●森閑と。靜。靜肅。——坐

靜に坐つてゐる。——聽靜肅に聽く。——仔

講しんみりと話する。しつぱりと話す。【靜】

の。

チエンチエン清淨。清淨。清潔。綺麗。不知好了

了不見爲——知らなければ何でもよい、見え

チエン

なければ清淨である。知らぬが佛。

チエンチエン清靜。靜。閑靜。所在不止——場

所は非常に閑靜である。

チエンチエン清清。●清い。澄む。清清と。澄渡る。

綺麗。泉水——泉の水が澄んでゐる。——閑

閑清閑。——白白清白。清淨。潔白。●

只只。一途に。只管。——要去——一途に行く

言ふ。叫伊不可講伊——要講——彼に言ふなと

言ふのに只管言はうとする。【清】の。

チエンチエン請請。【請】。

チエンチエン筊筊。【筊】の。

チエンチエン蒸蒸。●沸——沸蒸蒸。香——

【香蒸蒸】。【蒸】の。

チエンチエン穿穿。【穿】の。

チエンチエンバヌバヌ千千萬萬。千千萬萬。多

チエンチツ稱職。職が適する。適任。適役。伊來做

保正就不止——彼が来て保正になれば甚だ

適任である。

チエンチツアム前一暗。前晚。前夜。

チエンチツジツ前一白。前の日。

チエンチヌ精進。熟達する。上達する。進歩する。

學問——學問が上達する。

チエン

チエンチヌ増進。【増進】。

チエンチヌ前進。【前進】。

チエンチヌ情盡。愛想がつきる。今都——啊——もう

愛想が盡きてしまった。聽着此款實在——

こんな事を聞いて本當に愛想がつきる。

チエンチヌ衝越。【衝越】。

チエンチヌ正寢。【正寢】。●男の臨終に際し【徒鋪す

【大應をいふ。】(男)死去。死亡。

チエンチヌ前廳。正面の間。應接間。正面の廳。

チエンチヌアウ清朝。清朝。清。——錢明朝進士

清朝では錢、明朝では進士、最も重んぜられたる

チエンチヌアム増添。増し添へる。【もの】。

チエンチヌアムヨエ増添契尾。從來土地を登

記する時は雙方同行を要せり、其時設定行爲者は

多少の金を與へざれば同行を肯せぬことあり、之

を與へる事を増添契尾といふ。

チエンチヌ政治。【政治】。

チエンチヌ春杵。【春杵】。

チエンチヌ銃箸。込矢。棚杖。槩杖。

チエンチヌ清甜。あつさりした甘さ。あつざりと甘い。

チエンチヌ井底蛙。【井底の蛙】。——不知

天若大井底の蛙天の大きさを知らず。

チエンチヌ政治家。【政治家】。

チエンチイカイ 政治界。(國) 政治界。

チエンチイハク 政治學。(國) 政治學。

チエンチエク 正徳。明朝の年號、正徳。

チエンチエクニアウジイ 爭得猫兒。——失却牛脚。——爭うて猫の子を得て牛の足を失ふ、小

を争うて大を失ふ意。

チエンチエヌ 前殿。前殿。

チエンチエヌ 晴天。(國) 晴天。

チエンチエヌ 青田。(文) 青田。

チエンチエヌ 青天。青天。青空。——白日。青天白日。好天氣。太平無事。——白日續有土匪。——

太平の世の中に土匪などがあるものか。

チエンチエヌトアツコク 爭天奪國。(文) 天位を爭ひ國を奪ふ。

チエンチエン 清丁。船の積荷の事を管する助手。——頭。船の積荷の事を管するもの。

チエンチエン 蜻蜒。(文) 蜻蜒。

チエンチエン 蒸頂。頭の上に出来た腫物。頭壳生

——頭。頭の上に出来る腫物。

チエンチエンツア 千軍紙。(國) 雲母。

チエンチオク 増築。(國) 増築。

チエンチオン 爭長。(文) 長を争ふ。好物を得んと

争ふ。——較短。長短を争ふ。多少を論ずる。

チエン

チエンチオン 増重。酒など良いものに悪いものを混ぜる。

チエンチオン 清丈。土地丈量。政府が土地を調査して整理すること。

チエンチオン 清塚。無縁の亡者の墓を改葬して一の無縁塚を作ること。墓地を整理する。

チエンチ、ヲ 衝着。突掛る。

チエンチ、ツ 正直。正直。正直。

チエンチ、ヌ 前陣。先陣。前哨。——不比後陣。前陣は後陣の比にあらず、後者は前者に優る。

チエンチ、ヌ 銃陣。鐵砲の列。

チエンチ、ツイ 精水。精液。淫水。

チエンチ、ツイ 増水。水を混ぜる。水を混ぜて量を増す。

チエンチ、ツイ 春碎。春碎く。

チエンチ、ツイ 清水。清水。清水。——煮白米。清水で白米を炊く。何處までも潔白正直なるをいふ。

チエンチ、ツイ 銃嘴。筒口。筒先。——布の類。

チエンチ、ツイ コア 淨水葛。白い麻類の布。晒した麻

チエンチ、ツイ コア 清水葛。前に同じ。

チエンチ、ツウ 曾子。孔子の弟子、曾子。

チエンチ、ツウ 増註。(文) 増註。

チエンチ、ツウ 種痘。種痘。

チエンチ、ツウ 淨厩。家を淨める。火難除。悪魔除の爲に

祈禱を行ふ。

チエン

チエンツ、ウラム 青出於藍。青は藍より出づ。

チエンツ、ヌ 整船。船裝。出航の準備。船を出す用意。——貨船又は廻船の商賣をする。——税人。——

意。——貨船又は廻船の商賣をする。——税人。——貨船をやつて居る。——行北頂。北支那方面の廻船業をやつてゐる。

チエンツ、ヌ 青春。青春。——少年時。青春時代。——不再。青春は再び来らず。當。——青春の

チエンツ、ツ 銃床。銃床。

チエンツ、ツ 春確。搗臼。足で踏んで春く臼。

チエンツ、ツイ 鐘槌。撞木。鐘撞棒。

チエンツ、ツイ 前腿。獸類の前脚の腿。前脚。

チエンツ、ツイ 銃隊。銃隊。

チエンツ、ツウ 春杵。手杵。杵。

チエンツ、ツウ 銃托。柳杖。

チエンツ、ヌ 整頓。整頓。整理。調へる。——去次序。秩序よく整頓してある。——家私頭。家具を調へる。市街無。——市街は整理してゐない。

——身穿。服装を調へる。

チエンツ、ヌ 筈黠。舊十二月の末の煤拂。煤拂。【筈

チエンツ、ヌイウバア 清燉羊肉。山羊の肉等を煮た料理。

チエンツ、ヌイウヒイ 清燉草魚。【草魚】等を煮た料理。

チエン

チエン

チエン

チエン

チエン

チエン

チエンツヌスイコエ清燉水蛙。蛙等を煮た料理。
 チエンツヌワアアア清燉全鴨。鴨を全で煮た料理。
 チエンツヌワアアアア清燉全雞。鶏を全で煮た料理。
 チエンツヌトアヌビイ清燉團籠。籠等を煮た料理。
 チエンツヌベエカア清燉白鵪。鵪を主とし刻んだ椎茸、筍等を混ぜて煮た料理。
 チエンツヌホアモア清燉河鰻。鰻等を煮た料理。
 チエンツヌ精糖。精製した砂糖。白砂糖。
 チエンツヌ種傳。氣象や氣質などの遺傳。有——よく親の氣象を承けてゐる。
 チエンツヌ清湯。澄汁。澄。吸物。ソップ。
 チエンツヌアア清湯鴨。鴨の肉を主とし刻んだ野菜を混ぜて煮た汁の料理。
 チエンツヌアアチウ清湯鴨掌。鴨の水掻、筍等を煮た汁の料理。
 チエンツヌイウパウ清湯洋鮑。鮑を主とし豚肉・筍・椎茸等を混ぜて煮た汁の料理。
 チエンツヌカアタヌ清湯鷓鴣。鷓鴣の卵・豚肉・椎茸・筍等を煮た汁の料理。
 チエンツヌコエ清湯雞。雞肉を主とし刻んだ野菜を混ぜて煮た汁の料理。

チエン

チエンツヌコントオ清湯廣肚。豚の胃の腑を主とし豚肉・椎茸・筍等を混ぜて煮た汁の料理。
 チエンツヌシム清湯參。煎海風・椎茸・豚肉・筍等を材料として煮た汁の料理。
 チエンツヌチアコオ清湯鷓鴣。家鳩を主とし刻んだ椎茸等を混ぜて煮た汁の料理。
 チエンツヌチムバア清湯蟬肉。蟹の肉・豚肉・椎茸等を煮た汁の料理。
 チエンツヌトオ清湯肚。豚の胃袋を刻んだ中へ豚肉・椎茸・筍などを混ぜて煮た汁の料理。
 チエンツヌパウヒイ清湯鮑魚。鮑を椎茸、筍等と一緒に煮た汁の料理。
 チエンツヌヒイチイ清湯魚翅。鱧の鰭を主として豚肉・椎茸等の細く刻んだのを混ぜた汁の料理。
 チエンツヌヒイトオ清湯魚肚。鮑と豚の胃の腑を主とし豚肉・椎茸・筍等を混ぜて煮た汁の料理。
 チエンツヌヒイナウ清湯魚腦。魚・筍・椎茸・豚肉等を煮た汁の料理。
 チエンツヌヒウレエ清湯香螺。榮螺を主とし豚肉・椎茸・葱等を混ぜて煮た汁の料理。
 チエンツヌビイ清湯籠。籠・豚肉・椎茸等を煮た汁の料理。
 チエンツヌパイアア清湯肥鴨。鴨・椎茸・筍等を煮た汁の料理。

チエン

チエンツヌパイコエ清湯肥雞。鶏・豚肉・椎茸・筍等を煮た汁の料理。
 チエンツヌヘエアア清湯蝦丸。蝦の碾肉に鷓鴣の卵・片栗粉を混ぜて丸く捏ねたものを煮た汁の料理。
 チエンツヌ政體。(國)政體。
 チエンツヌ青帝。春を象ぶる神。青帝。
 チエンツヌ清茶。神佛などに供へる清淨な御茶。
 チエンツヌ蒸茶。茶に香をつける。
 チエンツヌ春地基。(春)【春地基】。
 チエンツヌ衆弟子。多くの弟子。
 チエンツヌ計算書。
 チエンツヌ爭奪。爭奪。——天下を爭奪す。
 チエンツヌ前蹄。獸の前足の蹄。前足。
 チエンツヌ春地基。地堅。地形。
 チエンツヌ爭鬪。(國)爭鬪。
 チエンツヌ僧徒。(又)僧侶。僧徒。
 チエンツヌ正途。正路。正業。行——同上を行ふ。
 チエンツヌ不可賺偏途。正業により金を儲けよ不逞——不正な事をして金を稼ぐではないけない。
 チエンツヌ淨土宗。(國)淨土宗。
 チエンツヌ正道。正道。公道。
 チエンツヌ征討。(又)征討。

チエン トロ 争討。争って取戻す、返還を追求する。

— 物件 || 品物を争って取戻す。 「て安心な。

チエン トロ 正妥。(文) 正しくて信用すべき。正しく

チエン トロ 清道。大官の行列などの先拂。

チエン トク 銃托。柳杖。

チエン トン 正當。(國) 正當。

チエン トン 政黨。(國) 政黨。

チエン トン 精通。精通する。委しい。通ずる。武藝

— || 武藝に精通する。

チエン トン 正統。(文) 正統。 明朝の年號、正統。

チエン トン ホエ貞桐花。【龍船花】。

チエン ニア 請領。請受る。 — 鑑札 || 鑑札を受ける。

チエン ニア ベエシイキア 前嶺未是嶺。 — 後嶺較崎壁 || 後の峠は前の峠よりも更に險

しい、後者は前者よりも更に険しいなどの意。

チエン ニイ 榕乳。(果) 同。【榕乳】。

チエン ニイ 前年。前年。往年。先年。

チエン ニイ 千年。千載。千年。 — 田地八百主 ||

千年の田地八百の持主、變遷の多いこと。

チエン ニイ 榕乳。【榕乳】。

チエン ハイ 銃械。銃器。

チエン ハン 衆項。種種。諸諸の。 — 物 || 色色の物。

チエン ハヌ 清閑。【清閑】。

チエン

チエン ン 請降。(文) 降を乞ふ。

チエン バヌ 千萬。千萬。千と萬。 「聰い。

チエン パア パア 精霸霸。非常に利巧なこと。非常に

チエン パイ 前次。前に。前回。先度。

チエン パイ 政派。(國) 政派。

チエン パイ 正派。正しい流派。正派。 — 的戲脚

|| 正派の役者。學 — || 正派を習ふ。

チエン パイ 衆派。衆派。諸流。

チエン パイ 請牌。鑑札を受ける。免状を受ける。許

可證を受ける。

チエン パヌ 淨板。鐵の箸を束ねた様なもの、僧侶・道

士の使用する樂器。

チエン パヌ 筊班。俤さりに誇って諸處を歩廻る連中。

チエン パン 前帮。前回。先般。先頃。先度。

チエン パン 淨紡。晒した麻布の類。白い葛布。

チエン パン 清香。よい香。あつさり芳しい。

チエン パン 蒸香。茶に花など入れて匂を着ける。

チエン パン チヌ 清香藤。(種)(木犀科)ヤスミヌム、

パニクラツム。

チエン ヒア 蒸兒。出張りたがる人を輕蔑して言ふ。

チエン ヒイ 整戲。役者を募集し諸道具を整へ芝居興

行をする。 — 的人 || 元締。

チエン

チエン ヒウ 淨香。抹香。香料。

チエン ヒウ 清幽。清楚で閑靜な。

チエン ヒエツ 精血。精血。血氣。 — 充足 || 血氣

盛。精力に富む。精力の充ちた。

チエン ヒエン 情形。事情。事柄。景況。模様。狀

態。成行。いざよ(一)。

チエン ヒラ 榕葉。榕樹の葉。

チエン ビイ 春米。米搗。米を搗く。 (一) 居眠。

チエン ビイ 精米。(國) 精米。 「船を漕ぐ。

チエン ビイ 精微。(文) 綿密。精密。

チエン ビエヌ 情面。(文) 情況。情態。事情。

チエン ビエン 争名。(文) 名を争ふ。 — 奪利 || 名や

利を争ふ。

チエン ビエン 證明。(國) 證明。

チエン ビエン 晴明。(文) 朗な。晴朗。

チエン ビエン 清明。(文) 清明。 — 穀雨寒死虎母

|| 清明の節穀雨の節(共に陰曆三月の節)にも虎の

牝の死ぬ様に寒いことあり。

チエン ビエン 請命。(文) 長上の命を請ふ。

チエン ビエン スウ 證明書。(國) 證明書。

チエン ビツ 精密。(文) 精密。綿密。

チエン ビヌ 前面。先。前。前面。 — 岸 || 對岸。

チエン

チエン ビアウ 清標。(男) 美顔。色白。色男。

チエン

チエンピアン 征傾。強盜。押込。——賊。同上。

チエンピイ 前篇。前篇。

チエンピイ 青皮。薬用に供する蜜柑の皮。陳皮。

チエンピイ 蒸鼻。手演を擽む。演を擽む。——糊。搥。涎搭。手演を擽んで擦り唾を付けて貼りつける。作方が間に合せて丈夫でないこと。

チエンピエツク 清白。(又) 清廉。潔白。清い。——人。家。良家。

チエンピエヌ 争辯。(又) 論争する。辯論する。

チエンピエヌ 政變。(又) 政變。

チエンピエン 精兵。(又) 精兵。

チエンピエン 増兵。増兵。

チエンピエン 整兵。(又) 兵隊の整頓。

チエンピエン 銃兵。兵士。不成童生不成——【童生】にも成らず、兵士にも成らず、文の方も駄目、武の方も駄目といふ意。

チエンピエン ボオ 銃兵補。(新) 練兵場。

チエンピラ 鐘鏡。時計。——店。時計屋。

チエンピヌ 贈品。(新) 品物を贈る。

チエンピヌ 清貧。(又) 清貧。

チエンフウ 政府。(國) 政府。

チエンフウ 情婦。(國) 情婦。

チエンフウ 淨符。祓清の符。——安宅。同上で家

チエン

を平安にする。

チエンフウ 清賦。(又) 土地整理をして賦課する。

チエンフウ 青蚨。(又) 錢。金。

チエンフウ 請負。(國) 請負。——業。請負業。

チエンフウ 情份。情緒。情愛。情。温情。夫仔妻的。——夫婦の情愛。——來。去。互に温情を以て交際ふ。

チエンフウ 前份。豚などの前半身。【後份】に對す。

チエンフウ 青雲。(又) 青雲。

チエンフウ 蒸粉。白粉に香を附ける。

チエンブウ 種母。母親の氣質をうけつぐ。

チエンブウ 政務。(國) 政務。

チエンブツクウ 晴不作雨具。——健康の時病の糧を作らず、甚だ不用意な意。

チエンブヌ 整本。資本を下す。——和番。資本を下して夷と和解する、白腹を切つて人の爲に和解な

チエンブン 蒸飯。飯を炊ぐ。

チエンヘエ 春灰。石灰を搗いて堅める。「する。

チエンヘエ 整火。燈火を裝置する。火を點す仕度を

チエンヘエ 整會。相。——折合ふ。讓合ふ。和解す

チエン

る。折衝して妥協する。

チエンヘエ 清火。●薬によって上氣を去る。逆上をは

らふ。——壓嗽。上氣を去つて咳を鎮める。●吞

氣。氣樂。快い。爽する。賺有食就能——不

備があれば吞氣に構へられる。心肝無——不

愉快。

チエンヘエ 筭灰。壁に刷毛などで灰を塗る。白壁を

チエンヘエ 清塵。澄んだ粥。

チエンヘエ 銃尾。銃の先。筒先。

チエンヘエ 穿襪。靴下を穿く。足袋を穿く。

チエンヘエ トロ 銃尾刀。劍。銃劍。「白くする。

チエンヘエ 春白。穀類等を精げる。穀類など春いて

チエンヘエ 種父。父親の氣質をうけつぐ。

チエンヘエ 松栢。(松栢)【松栢】。

チエンヘエ 前父。前の父。

チエンヘエ 清白。純白。

チエンヘエ 銃把。銃的。

チエンヘエ 銃斃。(新) 罪人の銃殺。

チエンヘエ 松栢。(植) (松科) 臺灣こえふ。(橋梁材、建築材等とす)。——炭。松炭。——長青。松栢

長に青し、節を變ぬ意。風頭。——風上の松、

風に當り馴れてるより老練な者をいふ。●臺灣

赤松。●臺灣とがさはら。●【松蘿】の①。

チエンヘエア 松栢仔。前に同じ。
 チエンヘエイエヌ 松栢涎。松脂。
 チエンヘエカア 松栢膠。前に同じ。
 チエンヘエクヌ 松栢根。●松の根。●(動)短くて赤い毒蛇の名。

チエンヘエシイ 衆百姓。民衆。
 チエンヘエチウ 松栢鬚。松葉。
 チエンヘエミア 松栢楠。松の樹脂。
 チエンヘエルイ 松栢椽。松球。【柴椽】。
 チエンホア 精華。(文) 精華。

チエンホアツ 蒸發。(國) 蒸發。一氣蒸發氣。
 チエンホアツ 征伐。(國) 征伐。
 チエンホアツ 正法。●正法。●法に照して處刑する。
 チエンホアヌ 征番。蕃人征伐。夷を討つ。
 チエンホアヌ 清還。全部返済する。皆済。一債項。●借金を皆返済する。借を済す。

チエンホアヌ 清鑿。(國) 明鑿。
 チエンホエ 春灰。(漢) 【春灰】。
 チエンホエ 整會。(漢) 【整會】。
 チエンホエ 清火。(漢) 【清火】。
 チエンホエチイシム 清會刺參。海參を椎茸・筍・葱・豚肉等に混ぜて煮た料理。

チエンホエチムキイ 清會蟬羹。蟹の肉等を煮た料理。

チエン

チエンホオ 稱呼。稱號。美稱。稱呼。稱へる。
 チエンホオ 清湖。●手の札が揃って直ぐ上になる。【湖】の⑤を見よ。●金などがきれいになくなる。無一文になる。●銭に到り損して無一文になる。開一一金を全部使ってしまった。

チエンホヲ 晴和。(文) 晴和。
 チエンホヲ 清和。(文) 四月の異名。
 チエンホヲ 請和。和を請ふ。和解を請ふ。割地。●土地を割譲して和を請ふ。

チエンホク 征服。(國) 征服。
 チエンホン 清風。清風。一明月。清風明月。
 チエンホンチエンテエ 稱皇稱帝。【稱王稱帝】。
 チエンホオ 春灰。(泉) 【春灰】。
 チエンホオ 整會。(泉) 【整會】。
 チエンホオ 清火。(泉) 【清火】。
 チエンボオ 前妻。先妻。前妻。一打到死後妻不。甘比。先妻は死ぬ程打ち後妻には打つ眞似もし。

チエンボヲ 僧帽。僧侶の被る頭巾。「ない」。
 チエンボヲキウビエン 前無救兵。一後無糧草。前に援兵なく後に糧食なし、進退谷まる意。

チエンボクカヌ 井木犴。【二十八宿星】の一。
 チエンボオ 清糜。(泉) 【清糜】。

チエン

チエンボア 衝破。衝破る。一墓墳。墓所を衝破る。非常に狼狽するをいふ。
 チエンボア 銃盤。引火彈丸を置く所の板金。
 チエンボエ 前輩。先輩。
 チエンボエ 情批。艶書。色文。
 チエンボエ 前配。前妻。
 チエンボオ 増補。(文) 増補。

チエンポオアウ 前補後補。清朝の官服。(官服の背中と胸部とに四角形の裝飾した補布あるより斯く云ふ)。
 チエンポン 僧房。(文) 僧房。僧舎。僧刹。
 チエンミイ 前暝。先夜。前夜。
 チエンムン 前門。前門。表門。
 チエンムン 請問。教を請ふ。御尋する。
 チエンムンタア 前争門踏戸。亂暴に人の玄関先へ闖入する。

チエンメエ 前暝。(漢) 【前暝】。
 チエンメエ 靜脈。(國) 靜脈。
 チエンモエ 清糜。(漢) 【清糜】。
 チエンラア 清蠟。生蠟。
 チエンラウ 鐘樓。鐘樓。

チエンラウ 衝流。流がぶつつかる。相一逆巻く。
 チエンラウ 青樓。(文) 娼樓。青樓。女郎屋。

チエンラウ 青樓。(文) 娼樓。青樓。女郎屋。

チエン

チエン

チエンラウ 銃樓。土匪や強盜などを防ぐ爲に私人の建てた堅牢な二階建の家、不斷は銃器などを置き事のある時は應戦するに用ふ。

チエンラク、ゲエ 前六月。去六月。

チエンラム、サウ、パグ、キア、タン、キイ、サイ 征南走北行東去西。南北に走り東西に行く。東奔西走。

チエンラン 衆人。多くの人。衆人。大勢。公衆。一申中人。一嘴衆口。一傳名說聲。一耳目衆人の耳目。一嘴難掩衆人の口は塞ぎ難い。一嘴極毒衆人の口は至極恐しい。一放尿擲砂没做堆衆人が小便をして砂を捏ねても固まらない、多くの人共同で事を爲ようとすると仲歩調が一致しない。一衆事衆人の公の事。一互難合衆人の陽物

は含難い、公の事などに對して多くの人の氣に入る様にするには難い。一互難扶同上。一喪無人扛死んだ落魄者などに對して衆人がしてやる葬式の時それを昇か者がない、共同責任のある公の事に對して互に其責任を免れようとする。

チエンラン 前人。前の人。一餓死後人前人の人

チエン

が惡事をした爲後の人にまで迷惑を及ぼす。一殺花、後人站影前代の者の苦心經營により後代の者が御蔭を蒙る。

チエンラン、キア 前人子。前夫又は前妻の子。繼子。後母苦毒。一繼母が繼子を虐める。一不取食後母乳。先妻の子が繼母の乳をよう飲まない、繼母を畏れるをいふ。

チエンラン、キイ 千人見。一不值着一人識。千人の見一人の識に如かず。チエンリアム 清廉。清廉。潔白。一正直廉直。一官清廉廉な官吏。チエンリアン 清涼。涼しい。清涼。チエンリアン 清亮。晴朗。清い。玲瓏。透明。天。一空が晴わたる。此塊玉不止。一この弱翠は非常に透徹して居る。

チエンリイ 争利。(又) 利を争ふ。チエンリイ 整理。(又) 整理。チエンリイ 正理。(又) 眞理。正理。強詞奪理。一強辯正理を奪ふ、理を非に曲げる。チエンリイ 情理。條理。理由。譯。道理。一一條無二條。道理に一つあつて二つなし。一跋倒泰山。正理は泰山をも倒す。一人禪自己脱。道理を識って居る人は自分で禪を脱ぐ、己に

チエンリイ 情理。條理。理由。譯。道理。一一條無二條。道理に一つあつて二つなし。一跋倒泰山。正理は泰山をも倒す。一人禪自己脱。道理を識って居る人は自分で禪を脱ぐ、己に

チエン

過あれば直ちに罪に服する意。

チエンリイ、キエ、ヌク、ヌタイ 靜裏乾坤大。一閉中日月長。靜寂の裡に居れば天地大にして閑散の中に居れば日月長し。

チエンリウ、ウイ、蒸溜水。(又) 蒸溜水。前服し解熱及酒毒に效あり。

チエンリウ、ツイ、蒸溜水。(又) 蒸溜水。

チエンリウ、ク、精カ。(又) 精カ。

チエンリウ、ク、貞烈。(又) 貞烈。

チエンリウ、ク、前列。(又) 前列。

チエンリウ、ク、精鍊。(又) 精鍊。

チエンリウ、ク、青年。(又) 青年。

チエンリウ、ク、ホエ、青年會。(又) 青年會。

チエンリウ、ク、衝衝。(又) 衝衝。

チエンリウ、ク、掙掙。(又) 掙掙。

チエンリウ、ク、春春。(又) 春春。

チエンリウ、ク、増増。(又) 増増。

チエンリウ、ク、精靈。(又) 精靈。

チエンリウ、ク、腫腫。(又) 腫腫。

チエンリウ、ク、整整。(又) 整整。

チエンリウ、ク、種種。(又) 種種。

チエンリウ、ク、政令。(又) 政令。

チエンリウ、ク、増増。(又) 増増。

チエン

チエンリエン 靜靜。【靜靜】の③。
 チエンリエン 清清。【清清】の③。
 チエンリエン 蜻蛉。【蜻蛉】の③。
 チエンリエン 請請。【請請】の③。
 チエンリエン 筭筭。【筭筭】の③。
 チエンリエン 請令。【請令】の③。
 チエンリエン 蒸蒸。【蒸蒸】の③。
 チエンリエン 穿穿。【穿穿】の③。
 チエンリオン 精良。【精良】の③。
 チエンリオン 青龍。【青龍】の③。
 チエンリオン トヲ 青龍刀。關羽の所持せるといふ刀。青龍刀。
 チエンリヲ 青樓。【青樓】の③。
 チエンリヌ 鐘乳。●鐘の外側にある状。●鉦の外側の敲く所。●鐘乳石。
 チエンリヌ 腫乳。男女が年頃になり乳の大きくなる。
 チエンリヌ 榕乳。【榕乳】の③。
 チエンリヌ 榕乳。護謨。――鞋||護謨靴。――帶||護謨紐。――布||護謨引の布。
 チエンルイ 鐘樓。【鐘樓】の③。
 チエンルイ 種類。【種類】の③。
 チエンルウ 貞女。【貞女】の③。
 チエンルウ 僧侶。【僧侶】の③。

チオ

チエンルウ 青女。【青女】の③。
 チエンルヌ 爭論。【爭論】の③。
 チエンルヌ 政論。【政論】の③。
 チエンレエ 前例。【前例】の③。
 チエンレエ パイ 前禮拜。【前禮拜】の③。
 チエンロオ 正路。【正路】の③。
 チエンロオ 前路。【前路】の③。
 チエンロオ 青樓。【青樓】の③。
 チエンロオ 銃路。●着弾點までの彈道を云ふ。●敵の砲火から脱れしむるために盛り上げられた掩堡を云ふ。犯着人的――同上を犯す、人の怒に觸れる。人の感情を害する。
 チエンロヲ 前落。家の前部に建てた家。前の棟。
 チエンロン 情郎。【情郎】の③。
 チエン 種秧。苗を植ゑる。
 チオ 樟。鯨。鯨。章。……【チウ樟。鯨。鯨。章。……】。
 チオ 蔣。繁。繁。掌。……【チウ蔣。繁。繁。掌。……】。
 チオ 醬。……【チウ醬。……】。
 チオ 上。癢。……【チウ上。癢。……】。

チオ チオ

チオ

チオ 鯨。鯨。……【チウ鯨。鯨。……】。
 チオ 廠。搶。……【チウ廠。搶。……】。
 チオ 唱。……【チウ唱。……】。
 チオ 壻。……【チウ壻。……】。
 チオ 畜。匠。象。相。汲。上。像。……【チウ畜。匠。象。相。汲。上。像。……】。
 チオ アア 鯨仔。【鯨仔】の③。
 チオ アア 鯨仔。【鯨仔】の③。
 チオ アア 鯨仔。【鯨仔】の③。
 チオ アア 鯨仔。【鯨仔】の③。
 チオ アア コヲ 漿仔膏。【漿仔膏】の③。
 チオ アム 漿消。【漿消】の③。
 チオ イウ 象油。【象油】の③。
 チオ イオ 上様。【上様】の③。
 チオ エエ 上警。【上警】の③。
 チオ カウ 漿扣。【漿扣】の③。
 チオ キア ア 搶劫。【搶劫】の③。
 チオ キア ム 醬鹹。【醬鹹】の③。
 チオ キエ ク 唱曲。【唱曲】の③。
 チオ キオ 醬膏。【醬膏】の③。
 チオ キヲ 上轎。【上轎】の③。
 チオ クイ 象管。【象管】の③。
 チオ クウ 章句。【章句】の③。
 チオ クヌ キアン 唱崑腔。【唱崑腔】の③。

チオ

チオケエ 上街。(補)【上街】。
 チオゲエ 象牙。(補)【象牙】。
 チオコフイ 鎗桿。(補)【鎗桿】。
 チオコエ 醬瓜。(補)【醬瓜】。
 チオココ 槍孤。(補)【槍孤】。
 チオコア 樟柴。(補)【樟柴】。
 チオコイ 醬菜。(補)【醬菜】。
 チオサツ 章節。(補)【章節】。
 チオシイ 掌扇。(補)【掌扇】。
 チオシエク 醬色。(補)【醬色】。
 チオシヌ 上身。(補)【上身】。
 チオシヌ 槍新。(補)【槍新】。
 チオシツ 上濕。(補)【上濕】。
 チオシム 掌心。(補)【掌心】。
 チオジム 上任。(補)【上任】。
 チオセエ 漿洗。(補)【漿洗】。
 チオソア 上山。(補)【上山】。
 チオフア 上紙。(補)【上紙】。
 チオフア 上槽。(補)【上槽】。
 チオタウ 上頭。(補)【上頭】。
 チオタン 上銅青。(補)【上銅青】。
 チオタン 上銅磺。(補)【上銅磺】。
 チオナム 鎗尖。(補)【鎗尖】。

チオ

チオチイ 章旨。(補)【章旨】。
 チオチウ 上手。(補)【上手】。
 チオチウ 鎗手。(補)【鎗手】。
 チオチオ 醬醬。(補)【醬醬】。
 チオチオ 癢癢。(補)【癢癢】。
 チオナム 上店窓。(補)【上店窓】。
 チオチイ 上天。(補)【上天】。
 チオツイ 上水。(補)【上水】。
 チオトアツ 槍奪。(補)【槍奪】。
 チオトロ 鎗刀。(補)【鎗刀】。
 チオハツ 上岩。(補)【上岩】。
 チオバク 上目。(補)【上目】。
 チオパヌ 上斑。(補)【上斑】。
 チオヒイ 鯨魚。(補)【鯨魚】。
 チオヒイ 鯧魚。(補)【鯧魚】。
 チオヒイ 鯨魚。(補)【鯨魚】。
 チオヒイ 鯧魚。(補)【鯧魚】。
 チオヒイ 鯨魚。(補)【鯨魚】。
 チオヒイ 鯧魚。(補)【鯧魚】。
 チオビヌ 上面。(補)【上面】。
 チオイイ 象鼻。(補)【象鼻】。
 チオフイ 醬園。(補)【醬園】。
 チオフヌ 掌痕。(補)【掌痕】。
 チオフヌ 上粉。(補)【上粉】。
 チオプウ 上徽。(補)【上徽】。
 チオホン 颯風。(補)【颯風】。

チオク

チオホンコ 颯風鼓。(補)【颯風鼓】。
 チオボエ 鎗尾。(補)【鎗尾】。
 チオメエ 上銃。(補)【上銃】。
 チオリアウ 醬料。(補)【醬料】。
 チオリアム 唱念。(補)【唱念】。
 チオレエ 章螺。(補)【章螺】。
 チオロオ 上路。(補)【上路】。
 チオロオ 墻路。(補)【墻路】。
 チオロロ 樟腦。(補)【樟腦】。
 チオロロ 上落。(補)【上落】。
 チオロロイウ 樟腦油。(補)【樟腦油】。

チオク 灼。(進)灼。
 チオク 斫。(進)斫。
 チオク 祝。(進)祝。●祝。●壽。●祝。●一生日。●誕生日。●を祝ふ。●你老康健。●御老體の益御健康になることを祝ふ。

チオク 足。(進)足。●足。●兄弟如手。●兄弟は手足の如し。●足る。●充つる。●十分。●たっぷり。●充。●十分。●願。●願が叶ふ。●不知。●飽足らない。●不満足。●一重。●目方が十分。●困到。●眠。●十分に寝が足りる。●一里路較。●一里は

たつぷりある。二斗ニトはたつぷり。●甚はなはだ。頗おほる。非常ひじょうに。一美ミ甚はなはだ美しい。一寒サムイ頗おほる。寒サムイい。一好ホト非ひじょう常に好おほい。

チオク 爵しやく。●賜たまい。爵しやくを賜たまはる。五ご一いち五ご爵しやく。●孔子こうしを祭まつる時とき用もちひる器き具ぐの名な。

チオク 觸しゆく。●一いちぎくりと心こころに感かんじる。觸ふれる。一景けい生せい情じやう景けいに觸ふれて情じやうを生せいずる、そのもの

を見るにつけても去まりしことなどを思おもひ出す。一着ちやく伊い的てきの意い彼かれの意いに觸ふれる。●人ひとの悪あく事じなどを見みつ。一人的てき歹たい人ひとの悪あく事じを見みつ。被あれ我われ一いち着ちやく僕ぼくに見み附つけられた。

チオク 擗ぬか。●泥ぬか澤ざる。泥ぬか澤ざる。どろどろ 路みち一いち路みちがぬ

かる。●ぐちゃぐちゃにする。捏こねる。揉もむ。一土つち土つちを捏こねる。一紙し擗ぬか紙かみを揉もんで捨すてる。●踏ふ付つける。蹴け散さんす。困ま仔ざ一いち水みづ子こ供どもが水みづを蹴け散さんす。一着ちやく牛うし尿し牛うしの尿しを踏ふ付つける。●擗ぬか、擗ぬか、

チオク アアピエン 足仔あしこ旁はた。漢字かんじの足偏あしへん。【擗ぬか】。

チオク イア 爵爺くわく。華族くわしやくを尊稱そんしやうして言いふ。華族くわしやく様さま。

チオク イイ 足意あしご。満足まんぞくする。尙且いん/おと無な一いち尙な不ふ満まん足あしである。

チオク イエン 足用あしもち。用もちが足あしる。使用しやうに足あしる。衣食いん/えき一いち衣い食じが充じゆう分ぶん足あしる。

チオク イオク 芍薬しやくやく。(植しょく) 芍薬しやくやく。(毛茸料まうじゆうりやう、觀賞用くわんがうじやうとし

て庭園に栽培し又腹痛、腰痛を治すに効あり)。

チオク イオク 雀躍せきやく。(文ぶん) 雀躍せきやく。

チオク イム 足淹あしひ。田たに引ひ入れた水みづが十分じゆうぶんに足あしる。不ふ

足あしなく濯せんせられる。

チオク ウイ 爵位しやくゐ。爵位しやくゐ。

チオク オオキム 足烏金あしぐま。純金じゆんきん。金無垢きんむく。

チオク カク 觸角しゆくかく。(觸しゆく) 觸角しゆくかく。

チオク キア 足鏡あしきやう。非ひじょう常に眼識がんしきがある。目めが鏡きやうい。目め

が利きく。慧眼けいがん。目め一いち同どう上じやう。

チオク キエヌ 足見あしけん。知しるに足あしる。明あきらかに知し得とる。知し

れきつてゐる。對たい此し層じやう的事じ一いち伊い的てき人じん無む歹たい

意い此し問題もんたいに就しゆうつ彼かれが惡あく意いがないといふ事ことが十じゅう

分ぶんに知し得とる。一伊い洩せつ卒業そつぎやく一いち彼かれは卒業そつぎやくが出來でな

いことはよく見みえてゐる。

チオク キエン 祝敬しゆくけい。(文ぶん) 祝敬しゆくけい。

チオク キエン 觸景しゆくけん。●景けいに觸ふれる。一生情しやうじやう景けいに

觸ふれて情じやうを生せいずる、山水さんすいの景けいを見て詩情しじやうを動うごす。

見るにつけて思おもひ出す。●觸景しゆくけん。

チオク キム 足金あしきん。純金じゆんきん。

チオク ギア 足額あしがく。數量じゆうりやう額がくが充じゆう分ぶんある。足あしる。飽足あま

る。無な一いち數量じゆうりやうが充じゆう分ぶんでない。額がくが不ふ足ある。眞ま一いち充じゆう分ぶん足ある。嫌きら無な一いち不ふ充じゆう分ぶんに思おも

ふ。飽足あまりない。

チオク グツ 足訖あしじつ。(文ぶん) 正まさに終しまる。終しま了りやう。親收しんしゆう一いち

(文書に用ひる句)正まさに受取済うけとりしま。

チオク コアヌ 即管しやくくわん。(同どう) 即管しやくくわん。

チオク コオ 足鼓あしこ。孔子こうしを祭まつる時とき用もちひる樂器がくきの名な。

チオク ゴアヌ 足願あしがん。願ねがひが叶かなふ。

チオク ゴアヌ 足願あしがん。願ねがひが叶かなふ。

チオク ゴアヌ 足願あしがん。願ねがひが叶かなふ。

チオク ゴアヌ 足願あしがん。願ねがひが叶かなふ。

チオク ゴアヌ 足願あしがん。願ねがひが叶かなふ。

チオク ゴアヌ 足願あしがん。願ねがひが叶かなふ。

チオク ゴアヌ 足願あしがん。願ねがひが叶かなふ。

チオク シア 足成あしじやう。金銀きんぎんなど純良じゆんりやうな。純粹じゆんすい。上じやう等どう。

チオク シア 足成あしじやう。金銀きんぎんなど純良じゆんりやうな。純粹じゆんすい。上じやう等どう。

チオク シア 足成あしじやう。金銀きんぎんなど純良じゆんりやうな。純粹じゆんすい。上じやう等どう。

チオク シア 足成あしじやう。金銀きんぎんなど純良じゆんりやうな。純粹じゆんすい。上じやう等どう。

チオク シア 足成あしじやう。金銀きんぎんなど純良じゆんりやうな。純粹じゆんすい。上じやう等どう。

チオク シウ 祝壽しゆくじゆう。壽じゆうの祝しゆく。壽じゆうを祝しゆくふ。

チオク シエツ 雀舌せきじつ。茶ちやの商品名しやうひんめい。

チオク シエツ 雀舌せきじつ。茶ちやの商品名しやうひんめい。

チオク シエツ 雀舌せきじつ。茶ちやの商品名しやうひんめい。

チオク シエツ 雀舌せきじつ。茶ちやの商品名しやうひんめい。

チオク ジツ 祝日しゆくじつ。(國こく) 祝日しゆくじつ。

チオク

チオク

チオク

チオク

チオク スウ 囑書。(文) 遺言書。遺産分配の場合に用
 チオク スウ 祈膏。(姓) 祈膏。「ふ。
 チオク スウ 祝詞。(國) 祝詞。
 チオク スウ 祝詞。(泉) 前に同じ。
 チオク ソオ 足敷。或る數量又は金額に達する。不足
 なし。足る。――清還不足なしに返済する。
 チオク タイチオン 捉大將。【三十六將】の一にて馬
 チオク タウヒウ 雀頭香。【香附】。「に騎す。
 チオク テアキム 足赤金。純金。
 チオク チウ 祝酒。祝酒。
 チオク チオク 足足。充分足る。強。――一百元
 百圓に充分足る。百圓強。
 チオク チオク 搏搏。【搏】の(三)(三)。
 チオク チツ 促織。(文) 【蟋蟀】。
 チオク チヌ 足稱。目方が足る。重さが充分。
 チオク チヌ 促進。(國) 促進。――派促進派。「む。
 チオク チイトロ ボオ 足智多謀。(文) 才智謀略に富
 チオク チヲ 觸着。人の意を犯す。思寄る。心に浮ぶ。
 思付く。――意思氣障。――機思出す。思
 當る。――心事思當ることがある。
 チオク ツイ 搏水。水を蹴散す。水を弄ぶ。「敬稱。
 チオク ツウ 爵主。華族の敬稱。小――華族の息の
 チオク トオ 搏士。士を握ねる。

チオク

チオク トク 囑託。託む。囑託。
 チオク トンリオン シム 觸動良心。(文) 良心を覺ま
 す。良心が現れる。
 チオク ナア 捉拿。(文) 捕へる。捉へる。捕縛する。
 逮捕する。――奸細間者を逮捕する。
 チオク ハア 足下。(文) 足下。
 チオク ハウソオ 測候所。(國) 測候所。
 チオク パヌ 祝版。孔子を祭る時用ひる器具の名。
 チオク ビヌ 足眠。眠が足る。睡眠が充分である。關
 無――睡眠不足。
 チオク フウ 囑咐。(文) 云付ける。申付ける。千叮
 嚮萬――くれぐれも申付ける。
 チオク フウ 酌婦。(國) 酌婦。
 チオク フウカウスウ ハア イオク ジイ 囑咐圖書
 合約字。(文) 親が命令して其の子に父祖の財産
 を圖分させる證書。
 チオク フヌキム 足分金。純金。
 チオク ブヌ 祝文。祝文。祝詞。
 チオク ホアヌ 觸犯。崇神などに觸れる。人の氣に觸
 る。犯す。――祭神崇神に觸れる。――着伊
 的銃路彼の怒に觸れる。
 チオク ホヲ 祝賀。(國) 祝賀。
 チオク ホヲ 綽號。徒名。綽號。異名。

チオン

チオン ホク 祝福。(文) 祝福。
 チオン ボク 屬目。(國) 屬目する。目をかける。
 チオン ポエ 爵杯。(文) 神に供へる酒を盛る盃。【禮
 チオン リオク 搏搏。【搏搏】。
 チオン リオク 酌量。(文) 酌量。酌量。相――互に
 チオン ロク 爵祿。(文) 爵祿。「酌する。
 チオン 章。(姓) 章。
 チオン 終。(姓) 終。終。終。一日終日。善惡
 有報善惡は終に報あり。有始無――始め有
 りて終なし。――世人一生涯。
 チオン 將。(姓) 將。以って。……を。一功補罪
 功をもつて罪を補ふ。一田爲胎田地を抵當に
 入れる。――新給你新しいのを君に上げる。
 【將】。
 チオン 種。(文) 種。種類。此一人此種の人。各
 一的貨物各種の貨物。【種】。
 チオン 此。(名) 此。一個此。
 チオン 將。將官。將。猛――猛將。將。將を將
 敗兵之不敢言勇敗軍の將は兵を語ら
 ず。【將】。
 チオン 衆。(文) 衆。寡不敵――寡は衆に敵せず。民

チオン

鬼を退治する、有力者が他人を強制するなどをいふ。――治鬼チイ同上。

チオンクウ将鉦。(姓)将鉦。

チオンクヌ劊君。將某の王手。共你チイ王手だぞ。

チオンクヌ將軍。將軍。――無在得小軍打獵チイ將軍が居ないと部下が獵する、鬼の留守の間に洗濯などの意。

チオンクヌ將近。近い。間近い。――三里チイ三里近い。――三十歳チイ三十歳近い。

チオンクヌ衆軍。(又)衆軍。――殺人罪及主帥チイ兵が人を殺したのでも罪は統率者に及ぶ。

チオンクヌ從軍。(國)從軍。

チオンクヌ充軍。流罪。島流。――問罪チイ懲役流罪にする。――問流チイ同上。

チオンクヌチアウ將軍柱。――屠殺する前に牛馬を結付ける屠殺場の柱。勇勇馬縛チイ在チイ――遅しい好い馬を同上に結付けて居る、轆轤不遇等の爲に働を發揮することが出来ないなどをいふ。

●胡弓の柄。

チオンクヌチウ將軍帳。帷帳。帷幕。

チオンケエチウケエ將計就計。計に依つて計を就す。計謀の裏をかく。

チオンゲエ此個。(息)【此個】。

チオン

チオンコア衆官。諸官。

チオンコア衆寡。(又)衆寡。

チオンコア從官。官の爲す所に従ふ。

チオンコア充官。没收。官没。

チオンコア又掌管。(掌管)。

チオンコア又從權。(且從權)。

チオンコア又從寬。寬に從つて罪する。酌量して軽く取扱ふ。――辨罪チイ酌量して輕罪に處する。

チオンコア又沖罐。茶を入れる時先づ熱湯を注いで急須を温める。

チオンコア又チイトヲ縦貫鐵道。(國)縦貫鐵道。

チオンコオ衆口。(又)衆口。――同音チイ異口同音。――辭チイ同上。――難消寸水無魚チイ衆人の口は消し難く僅かの水には魚無し。

チオンコン充公。沒收。官沒。走水貨被官人チイ――密輸入品は政府に沒收される。

チオンコン猖狂。惶恐しい。狼狽。周章てる。倉卒。倉皇。做事員チイ――事をするに非常に周章てる。

チオンコンボオチエ將功補罪。功を以て罪を補ふ。

チオンゴア又從願。(又)願が叶ふ。

チオンゴア又狀元。●殿試チイに於て最上位の成績を擧げた者。狀元。――命チイ狀元になる運命。

チオン

子チイ他日狀元になる子供。好運の子。――遊チイ街チイ狀元が巡廻する。――拜相チイ狀元が宰相を師として仰ぐ。有チイ學生無チイ先生チイ狀元になる學生はあるが狀元になる先生はない。――無満中、漢女不入宮チイ清朝に於いて満洲族の人は狀元になれず、漢民族の女は宮門に入れない。●最上の。上等の。――田チイ第一チイ等の田。――地チイ最上の土地。――價チイ最高値段。歹歹亦是チイ骨チイ幾ら悪くても矢張上等品の地合、腐つても鯛。

チオンゴア又チウ狀元籌。狀元以下の學位を記し置き此を引く圍の如きもの。

チオンゴア又チウ狀元抽。【狀元】、【貢生】、【秀才】等の文字を記した板上に骰子を振り勝負を争ふ賭博。

チオンゴア又トエ狀元地。●將來狀元が生れ出る程の墓場の好位置。墓場の位置善惡に依り貧富の子孫生ずとするより此語あり。●上等な土地。一等地。

チオンゴア又ピア狀元餅。中秋頃に用ひる【狀元】の模様のある菓子的一种。

チオンゴア又ホン狀元紅。●酒の名。●骰子三個若くは六個を用ひて行ふ賭博の名。●【荔枝】の品

種の名にして果實は楕圓形、熟すれば果皮一面に鮮紅色を呈す。

チオンゴオ 鐘吾。(姓) 鐘吾。「欺くこと」。

チオンサムコエゴオ 將三改五。三を五にかへる。

チオンシイ終始。(文) 終始。

チオンシイ唱始。發起。首唱。

チオンシイラン終世人。一生涯。一生。

チオンシウ 獎賞。(新) 褒賞。「頭人」。

チオンシウ唱首。首唱。發起。——的發起人。發

チオンシエツ唱設。(文) 發起。首唱。

チオンシエヌ從善。(文) 善に従ふ。改惡——惡を改めて善に従ふ。

チオンシエン衆生。(文) 衆生。——超度衆生濟度。

チオンシエン 充盛。豐。充滿。澤山。此候榮頭眞

——今大根の出盛。「榮える」。

チオンシエン昌盛。旺盛。隆盛。子孫——子孫が

チオンシエンロンロン衆星朗朗。——不如

孤月獨明衆星朗朗たるも孤月の獨り明かなるに如かず。

チオンシオク 從俗。(文) 風俗習慣に従ふこと。

チオンシオン將相。(文) 將相。文武最高官の人。

公侯——公侯將相。高位高官。——本無種、男兒當自強將相本種なし男兒當に自ら強む

べし。

チオンシヌ終身。終身。一生。一日爲君一日爲

主一日君たれば終身主たり。——不第一生

浮ぶ瀬がない。——遊四海、到處不求人終

身四海に遊んで到る處人に求めず、旅藝人又は

文士など諸處を旅行して生活するをいふ。一日

爲師——爲父一日師たれば終身父たり。

チオンシヌ衆神。(文) 衆神。

チオンシヌチオンギイ將信將疑。半信半疑。

チオンシム 掌心。(文) 手底。手の腹。

チオンシムピイシム將心比心。自分の身に引較べ

て見る。知己知彼——己を知り彼を知り

心を以て心に比す、身を以て察して見る意、我

が身を抓つて人の痛さを知れ。

チオンシムフヌ沖心悵。大いに怒り恨む。

チオンジツ終日。(文) 終日。

チオンジヌ衆人。衆人。一人不敵——智一人は

衆人の智に敵せず。

チオンジヌオオ衆人惡。(文) 衆人が憎む。

チオンジヌヲアヌ衆人怨。(文) 衆人が恨む。

チオンズウ 蝨蝨。(文) 蝨蝨。

チオンズウ將士。(文) 將士。

チオンズウ 從事。(文) 從事。

チオンズウ 縦事。平地に波を起す。紛紜を起す。出

過ぎる。事端を生ずる。愛——暗睡好。

チオンズウシエク 鐘乳石。(鐘) 鐘乳石。

チオンソエ 將帥。(文) 將帥。

チオンワヲチウワヲ 將錯就錯。間違つたら間違を

其儘にやる。

チオンワク 種族。(種) 種族。

チオンタイ 將臺。(文) 將軍の練兵を觀る臺。

チオンチイ 獎志。意氣地を張る。到彼無——そんな

に意氣地がない。——讀書意氣地を張つて眞

面目に勉強する。

チオンチイシエンシエン衆志成城。衆人の志城

を成す、團結すれば強くなる意。

チオンチウ 將就。まあまあ我慢してそれで済す。ず

るずるべつたりにする。泣寝入にする。岡——

まあまあ従ふ。同意する。你要——伊不汝

は彼の言ふ通りにするか。伊各項要——人

彼は何でも人の言ひなり放題にする。

チオンチエヌ 從前。從前。以前。照——的欸從

チオンチエン 從前。前に同じ。「前の通り」。

チオンチオク 充足。十分に足る。豐。豐富。充分。

満ちる。家資——財産が非常に澤山。

チオンチオン 種種。(種) 種種。

チオン

チオン

チオン

チオン

チオン 充充。【充】の③。

チオン 沖沖。【沖】の③。

チオン チオンイオンイオン 従従容容。【従容】。

チオン 起身 今から出發する。

チオン 將盡 將に盡んとする。氣力 氣力が將に盡んとする。

チオン 長進 才能ある。甲斐性ある。役に立つ。偉い。人伊較 我不拘不 人の甲斐性があるけれども僕は駄目だ。成功する。出世。一世入籠没 一生成功しない。伊今都有 喇 彼はもう既に成功した。(語原は官話より轉訛したるものなるべし)。

チオン 終點 (國) 終點。

チオン 天 天に沖する。氣 意氣天に沖す。激怒 一的志氣 沖天の意氣。

チオン コアヌ 沖天冠 (文) 帝王の冠。

チオン 章程 法規。規則。規定。例規。變換 規定を變更する。不識 規則を知ら

チオン 掌中 (文) 掌中。 ない。

チオン 從中 其間。此内。その内。就中。中 第一難

より。取利 中間で利を取る。第一難

チオン

的 就是英語 就中一番難かしいのは英語だ。

一撮合 中に立つて融和させる。

チオン ツウ 掌中珠 (文) 掌中の珠。

チオン ツウ 蟹蟹。【蟹蟹】。

チオン ツウ 旗艦。旗艦。

チオン ツウ 衝突 (國) 衝突。

チオン ツウ 衝突 打付かる。衝突。在山腹 山腹で山賊に打付かる。

チオン テエ 沖茶 茶を入れる。茶を煎じる。

チオン トオ 沖肚 腹がへり過ぎて物を食べると吐嘔すること。

チオン トン 從堂 再從兄弟關係の總をいふ。

チオン トン 衝撞 (文) 衝突。突當る。

チオン トン 從堂叔 父の從弟。

チオン ヒエン 縱橫 (文) 縱橫。天下 天下を縱橫する。一恣に 横逆。

チオン ヒエン カア 縱橫家。【上九流の一。縱橫家】。

チオン ビイ 藩蔽。【藩蔽】。

チオン ビアウ 娼妓。娼妓。賣女。遊女。同上だ

チオン フィ 獎費。【新 獎勵費】。

チオン フウ 娼婦 (文) 娼婦。

チオン フヌ 充分 (國) 充分。

チオン フヌ 沖恨 大いに憤慨する。非常に恨む。

チオン ブツ 不然 慙慙仕方の無い時には。 錢賠伊息 結局仕方なければ金を賠償す

チオン ペエ 松栢 (源) 【松栢】。 「るだけだ。

チオン ホアヌ 從犯 (國) 從犯。

チオン ホアヌ 衝犯 祟神などに觸れる。犯す。 着鬼 鬼門に觸れる。惡魔に取憑れる。 我的馬頭 僕の氣嫌を損ふ。相 互に忌嫌

チオン

チオン ホク 沖服 薬に湯をかけて薬汁を出して飲む。

チオン ホン 倉皇。【倉皇】。

チオン ボア 沖破 甲子五行などの忌剋を破る。相性

を破る。八字 同上。

能使得得——没——拜借するわけに行かぬか。暫
時——咧——暫時貸して下さい。

チヨイオン借用。(國)——品——借用品。——證——

チヨイオン笑容。笑顔。

チヨイオンチェンスウ借用證書(國)借用證書

チヨイヲ招邀。人を誘ふ。相——互——に誘合ふ。

チヨイヌ招引。誘ふ。誘引。——人做事業——人を
誘つて事業をする。

チヨイヌ石印。石印。

チヨウイ石茸。(種)石草。(羊齒類瓦葺科、葉は水に

て煎服し利尿劑となす又腫物を治し出血を止める

チヨウイ笑黃。(種)【笑黃】

チヨウエ少話。話が少い。寡言。有個多話有個

——或人は饒舌で或人は無口である。

チヨウエ笑話。笑話。戲言。冗談。伴——|| 馱酒
落を言ふ。打——|| 冗談を言ふ。

チヨカア招脚。人員を募集する。仲間を集める。||

——做生理——仲間を集めて商賣をする。

チヨカア石脚。土臺石。疊——|| 土臺石を積む。

チヨカアカア笑哈哈。からからと笑ふ。大笑。

チヨカアヌンクツ笑到軟骨。骨の軟かになる程笑

ふ。臍の皮がよれる程笑ふ。

チヨカイ石泉。石柱の界標。

チヨ

チヨカウヌト石狗卵。石塊。

チヨカク石角。石屑。割栗石。石の缺。獅手——||

獅子の手に石の缺。鬼に金棒。

チヨカク峭角。反つて突出した尖端。銳角。

チヨカクアア石紋仔。石段。

チヨカム石籠。石の厨子。

チヨカム石坎。石階。石段。

チヨカム石坎。石崖。崖。

チヨカムトン石敢當。鬼門を防ぐ爲に路旁に立て
る石碑。石敢當。【石敢當】。

チヨカン石工。石屋。石切。石工。

チヨカン石棟。(動)●頬白より少し大きく色の赤い
鳥。●鵜鯨の一種。

チヨカン石孔。岩の孔。

チヨカン鵲杭。交尾期に達した有角動物の雄。牡。

チヨガム石岩。岩石。

チヨキア照鏡。鏡に映す。鏡に照す。

チヨキア石崎。石坂。

チヨキア石鏡。(動)●海月。

チヨキア借堅。家を借りて住む。

チヨキアサイ招子壻。壻を貰ふ。

チヨキアウ石織。(動)●鰻の一種、體に斑あり。

チヨキアクキアク鵲變鵲。【鵲略略】。

チヨ

チヨキアクキアク鵲變鵲。前に同じ。

チヨキアム石劍。【石草】。

チヨキアムコヲ椒鹹糕。菓子の名。

チヨキイ照見。照して見る。

チヨキイ石基。土臺石。礎。——底——柱礎。

チヨキイ石距。(種)【石距】。

チヨキイ石器。石器。

チヨキイカア石基脚。石の土臺。

チヨキイキイ鵲嘩嘩。【鵲略略】。

チヨキイチアムオグトエキイジイ招起店屋地
基字。宅地貸借證書。

チヨキエツアア石級仔。【石級仔】。

チヨキエン招耕。小作人を招いて耕作させる。

チヨキエンジイ招耕字。業主が佃人に交付する小作
證書。【招耕耕字、招耕字】。

チヨキエンタイチヨジイ招耕帶借字。小作人か
ら金を借りる證書。

チヨキエンタイチエヌコエジイ招耕帶契字。
小作人に耕地を賃入して金を借りる證文。

チヨキエンタイチエヌジイ招耕帶典字。前に同
じ。

チヨキヨ借叫。同姓若くは遠縁の故を以て左も親し
い續柄の如くに装ひ、兄弟姉妹などと呼ぶ

チヨ

チヲ

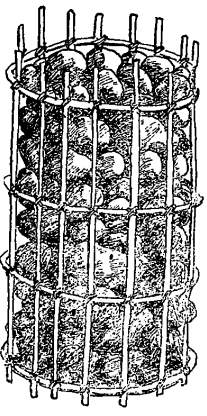
をいふ。
 チヲ キヲ 石橋。石橋。
 チヲ ギイ ギイ 鶴嚙嚙。【鶴略略】。
 チヲ ギイ ギイ 笑嚙嚙。笑ふ。頻りに微笑する。ここにこする。眞好客情對人客——愛敬よく客に對して常にここにこする。
 チヲ ギヲ 峭嶮。嶮。傍若無人な振舞。
 チヲ ギヌ 借銀。借銀。【借銀】。
 チヲ ギム 石砵。家の入口などにある石階。石段。
 チヲ ギム アア 石砵仔。前に同じ。
 チヲ クイ 照光。照光。【照光】。
 チヲ クイ 石桂。八角の【照光】。
 チヲ クイ 照光。照光。【照光】。
 チヲ クイ チヌ 招歸陣。人を大勢集める。驅催す。驅集める。——搭船。船租較俗。團體を組んで乗船をすれば船賃が安い。
 チヲ クウ 石距。草魚。
 チヲ クウ 石白。石白。
 チヲ クツ 石窟。石の洞穴。石窟。
 チヲ クヌ 招軍。兵を募る。——買馬。軍を呼び馬を
 チヲ クン 照光。照す。光に照す。
 チヲ クン 照光。暗闇などを光で照す。
 チヲ クウ 石距。【石距】。

チヲ

チヲ グヌ 借銀。金を借りる。借金。——字。金子借用證。——單。同上。
 チヲ ケエ 石塔。石層。
 チヲ ケエ 招客。客を引く。客を招く。
 チヲ ケエ 少缺。何程でもある。有ふれる。——頭路。幾らでも仕事がある。若要親像此欸——大母四界。この様なものなら澤山ある。どこにでもある。
 チヲ ケエ 鶴嚙。【鶴嚙】。
 チヲ ケエ 笑談。冗談。滑稽。笑草。——話。冗談。——戯。茶利芝居。成。——與郵便局。在講價庭仔頭。郵便局で切手を値切るなんて實に滑稽だ。
 チヲ ケエ レ 借過咧。他人の間などを通過するときの詞。通して下さい。
 チヲ コア 蕉葛。芭蕉布。
 チヲ コア 借欸。借欸。【借欸】。
 チヲ コア サア 石棺柴。石棺。【字】。
 チヲ コア ツヌ ジイ 招着圳字。招賤水圳合約。
 チヲ コア ツ ビエン 石決明。種。めどはぎ。葺料。莖葉を蔭干し水にて煎服し利尿解熱劑となし又眼病腎臟病に効あり。
 チヲ コアヌ 石棺。石棺。
 チヲ コアヌ 借欸。借欸。借金の條件。

チヲ

チヲ コエ 少缺。【少缺】。
 チヲ コエ 石溪。石川。
 チヲ コエ 鶴嚙。去勢せぬ牡雞。遊牝の附いた雞。癩癩的要食。——癩病病が同上を食はうとする。去勢せぬ牡雞を食べると病勢を増長する。己の身の程を思はず無遠慮な意。
 チヲ コエ 笑談。【笑談】。
 チヲ コオ 招股。株を募集する。共同出資者を集める。——做生理。同上して商賣をする。
 チヲ コオ 石鼓。磨若くは衙門の戸の兩側にある輪形の石。大きな丸石。
 チヲ コオ 石糊。麻織物の一種。
 チヲ コオ 石膏。石膏。(下熱劑、或は豆腐をつくる時苦鹽の代りに用ひらる)。
 チヲ コク 石筍。漁獵若くは灌漑などの目的で水を堰く爲の蛇籠。石籠。
 チヲ コグ コグ 鶴略略。頻りに遊牝。非常に遊牝する。血氣盛ん、元氣旺盛。少年家——若者はとても元氣旺盛だ。



石籠

チヨ コク、コク 鶴略略。前に同じ。

チヨ コク、コク 鶴略略。前に同じ。

チヨ コク、コク 鶴略略。前に同じ。

チヨ コク、ジイ 石柝子。【柝子】。

チヨ コシ 石墻。掘った岩の穴。

チヨ コオ 少缺。(泉) 【少缺】。

チヨ コオ 笑談。(息) 【笑談】。

チヨ ゴアツ 石月。(植) ときはあけび。むべ。(木通科、

果實は食用とす)。

チヨ サア 蕉衫。芭蕉布の衣。

チヨ サイ 招婿。娘の爲に夫と爲るべきものを家に入

れる婚姻にして夫は婦家の姓氏及財産を承継す

る權利なきもの。

チヨ サイ 石獅。廟若くは衙門の戸の兩側にある石の

唐獅子。狛犬。打——同上を造る。——亦驚

人告——狛犬の立てである衙門の人即ち官人も亦

人の告訴を恐れる。——亦畏人抵臍——狛犬で

も【抵臍】を畏れる、強者も敵をつくることを好

まない。用別人拳頭母拵——他人の握拳

を以て唐獅子をつく、人の贗鼻禪で相撲を取る。

チヨ サザ 石屑。石屑。石片。

チヨ サン 借送。男の親の葬式に婚約の女を會葬させ

チヨ

る。

チヨ サウ 蓆草。(植) 大甲蘭。三角管、蓆を造る草。

(蓆草科、莖を裂きて蓆、帽子其他各種のものを

編むに用ふ)。

チヨ サレ 照田螺。燈を點けて田螺を捜す。

チヨ サム 石鑿。石切鑿。石鑿。

チヨ サン シェク 笑棕色。薄い棕色。

チヨ シアア 石澱。(植) (楡科) こばのえのき。「瓦」

チヨ シイ 尺四。●一尺四寸。●一尺四寸四方の敷

チヨ シイ 照屍。死人の足の側に燈を點して屍體を照

すこと。

チヨ シイラン 笑死人。●笑止の至。捧腹絶倒。●他

人を冷笑する詞。臍が茶を沸す。冗談ぢやないぜ。

チヨ シェク 笑色。青緑・淺葱・紅・黄色の淡い。

チヨ シオン 照像。寫眞を寫す。——鏡——寫眞のレン

ズ。——館——寫眞屋。

チヨ シオン 石松。(植) あかてつ。(赤鐵科、材は建築

用又は器具材となす)。

チヨ シオン 石像。石像。

チヨ シロ 燭燒。(海) 次に同じ。

チヨ シロ 燭燒。負喧。火に當る。暖まる。

チヨ シヌ 石顛。額門の堅くなったものを云ふ。「る。

チヨ シヌ 笑神。愛嬌。羞爾した。好——愛嬌があ

チヨ

チヨ シヌキア 照身鏡。姿見。屍體の上に置いて棺に

入れる小鏡。

チヨ ジイ 借字。借用證。借用證書。

チヨ ジイ 尺二。●一尺二寸。●一尺二寸の敷瓦。

チヨ ジイ ツン 尺二磚。尺二寸の敷瓦。

チヨ ジイ ヌン 照字影。岩などに字を刻する時字形を

チヨ ジイ ビン 石字旁。漢字の石偏。「映すこと。

チヨ ジッ 照日。日に照す。日光に照す。猴精——

猿の化物が負喧をする、貧窮で着る衣服すらな

チヨ ジッ 招入。婿入する。「い意」

チヨ ジッ アア ツ 招入娶出。自分が嫁すれば祖先

を祭祀するものなく家が斷絶するので結婚後夫婦

間に生れた子女に女家を相續させる約束で【招婚

字】には入婿を取ると記載し實は男家に入るをい

ふ。

チヨ ジッ アア ツ 招入婿。夫たるべきものが妻の家に

入るべき婚姻。入夫結婚。

チヨ ジム 石濤。(地名) 同安の港。

チヨ スイ コエ 照水蛙。燈を點けて蛙を捜す。燈を點

けて蛙を捕る。

チヨ スウ 醜事。【醜】。

チヨ スツ 石屑。石屑。石屑。

チヨ スヌ 石樵。石の樵。

チヨ

チヲ

チヲ スン 少算。安くする。減く。差減く。一淡薄仔。少し減く。熱似人有。無加算。馴染の者に對しては安くすることはあるも高くすることはない。

チヲ セエトエキイジイ 招税地基字。地基の賃貸證。宅地の賃貸證書。

チヲ セエ 借債。借財。負債。

チヲ ソア 照傘。縁に布の下つてある大傘。

チヲ ソア 石山。石山。

チヲ ソア 石線。暗礁。

チヲ ソアヌ 石蒜。(植)(石蒜科)したまがり。まんじゆしやけ。てんがいばな。ひがんばな。

チヲ ソヲ 石埒。(形)砂利。

チヲ ソア 石泉。石の間から湧出る泉。

チヲ ソヲ 石槽。石の飼槽。

チヲ ソヲ 笑槽。屋根の溝。屋根の瓦の凹んで溝をなしてある部分。

チヲ タア 石塔。石塔。

チヲ タア ア 石塔仔。(動)沙魚に似た河魚。

チヲ タウ 石頭。石。石塊。一車。一仔。

チヲ タウ 石頭。石。石塊。一車。一仔。小石。一山。石山。一溪。石塊の底の溪。

チヲ タウ 尺頭。尺。尺量。有。一尺がある。

チヲ タウ イウ 石頭袖。(植)【斗袖】の一品種、いし

チヲ

チヲ タウ コオ 石頭鼓。大きな丸石。

チヲ タウ コン 石頭公。石に靈ありとして神としたもの。石の神様。

チヲ タウ テウ 石頭牆。石垣。

チヲ タウ チヲ ビヌ 笑頭笑面。笑顏。莞爾顏。

チヲ タウ チヲ 尺斗稱。度量衡。

チヲ タウ ツイ 少頭嘴。家族が少い。小人數。我較。一伊較多頭嘴。私の方は小家族で彼の方は大家族である。

チヲ タウ ピア 石頭坪。岩石より成る坂。岩石より成る傾斜面。

チヲ タウ ポオ 石頭埔。石原。

チヲ タウ リア ア 石頭粒。次に同じ。

チヲ タウ リア ア ア 石頭粒仔。豆砂利。小石。

チヲ タム 泥濘。糊。墨など拭去る時水にて少し濡すこと。一寸水に濡らす。

チヲ タン 石重。船の積荷の少いとき底に積む石。舟の底積の石。バラスト。

チヲ タン トオ 尺窓堵。壁又は牆の上部などに風通の如き孔あるもの。一。的盾脊。同上の仕掛ある棟。

チヲ チア 石車。石の車。甘蔗壓搾の時などに使用する棟。

チヲ

チヲ チイ 石脂。(鹽)白堊。白土。(腸加管兒の下痢止劑又は腸出血の止血劑として用ひらる)。

チヲ チイ 借債。金を借りる。借錢。借金。一。行利。錢を借り利を拂ふ。一。様面討錢。一樣面。借りる時の地藏顔返す時の閻魔顔。

チヲ チイ 笑市。布、空などの色の鮮な。分明。晴れ晴れしてゐる。

チヲ チイ 笑靨。薄靨。

チヲ チイ 笑淺。水色。淺葱。

チヲ チイ 照戶。【照戶】。

チヲ チイ ショク 石青色。黒味を帯びた青色。暗綠色。青花崗石の色。

チヲ チイ ポオ 笑淺布。薄淺葱の棉布。

チヲ チウ 照牆。清朝時代の官衙の門前の牆壁。

チヲ チウ 石墻。石垣。

チヲ チウ 石匠。石工。石切。

チヲ チウ 笑手。平手。一。趁食。平手で稼ぐ、乞食になること。

チヲ チウ チエウ キエン 石秋特磬。孔子を祭る時使用する樂器の名。

チヲ チウ ポオ 石菖蒲。【石菖蒲】。

チヲ、チエク 石燭。石燈籠。石燈籠。

チヲ、チエンクウ 石春白。石臼。大水没流得。――

――大水も石臼を流す事は出来ない、確固不動の意。

チヲ、チエンズウ 石鐘乳。石鐘乳。鐘乳石。

チヲ、チオンクヌ 石將軍。墓の左右に建てる武人の石像。

チヲ、チオンポオ 石菖蒲。(種)(天南星科)石菖。

チヲ、チヲ 招招。【招】の㊦㊧㊨。

チヲ、チヲ 少少。少。僅少。

チヲ、チヲ 照照。【照】の㊩㊪㊫㊬。

チヲ、チヲ 燭燭。(種)【燭】。

チヲ、チヲ 借借。(借)の㊭。

チヲ、チヲ 整整。【整】。

チヲ、チヲ 泥泥。【泥】。

チヲ、チヲ 照照。【照】。

チヲ、チヲ アア 少少仔。輕少。少許。

チヲ、チツ 石鯽。(魚)石首魚。

チヲ、チツ 峭脊。兩端の反上った家根の棟。

チヲ、チツ アア 石拭仔。(新)石懸拭。

チヲ、チツ ヒイ 石鯽魚。【石鯽】。

チヲ、チヌ 招親。【招子婿】。

チヲ、チア 招集。招集。糾合。呼集める。――英雄

英雄を招集する。――同志同志を糾合する。

チヲ、チム 石枕。石枕(死者にさせるもの)。

チヲ、チア 石庭。石を敷いた庭。

チヲ、チアウ 石跳。飛石。

チヲ、チアウ 石柱。石柱。

チヲ、チエク 石竹。(種)石竹。(稈長大にして肉厚く轉

の撥棒に適し筒は食用に供す)。

チヲ、チエヌア 照殿紅。【大紅花】。

チヲ、チエン 石燈。石燈籠。

チヲ、チオン シエン 石長生。(種)はこねさう。はこね

しだ。(羊齒類瓦草科、薬用に供す)。

チヲ、チヲ 鴿投。小供動物などの活潑な様。びんびん

してゐる。生生してゐる。潑潑たる。此候當

――若者など今時分はとも元氣潑潑である。

チヲ、チツ 照直。曲直高低の有無を通視する。目を

當てて見る。

チヲ、ツイ 泥水。水で濕す。

チヲ、ツイ 借嘴。自分が物を食べる時などに人に先づ

それを差上げるが如く遜讓する一種の挨拶。どう

か御食り下さい。

チヲ、ツイ チイ 少嘴舌。口数の少ない。寡言。

チヲ、ツイ 借主。借人。借主。

チヲ、ツウ 石珠。大きい柱を据ゑる圓い土臺石。礎。

チヲ、ツウ 石儲。【赤皮】。

チヲ、ツウ 石薯。(種)おとぎりまを。(蕁麻科、莖葉を

用ひ惡血の吸出薬とす)。

チヲ、ツウ 石屑。石室。

チヲ、ツウ アア 石珠仔。(種)【石薯】。【おほはひめ

まを。(蕁麻科、葉を搗碎して微毒腫物に貼付す)。

チヲ、ツツ 招出。【招入娶出】。

チヲ、ツヌ 照準。狙を澄す。

チヲ、ツヌ チエク キエン 石春特響。孔子を祭る時用

ひる樂器の名。

チヲ、ツイ トア 尺寸單。寸法書。

チヲ、ツイ 石堆。●積重ねた石。●漁獵の爲に川岸に

積重ねた石。

チヲ、ツイ 石礎。石の踏石。

チヲ、ツイ 石梯。石の梯子。石段。

チヲ、ツイ 石槌。石の文翁。石の槌。

チヲ、ツイ タウ 石碓頭。石杵の頭。

チヲ、ツヌ 石墩。積重ねた石。【重い石】

チヲ、ツヌ 石磬。石臼の如き圓柱石。石臼の様な形の

チヲ、テエ 石塊。石塊。石塊。

チヲ、テエ シエク 笑茶色。薄茶色。

チヲ、テエ テエ ガク 石壓地獄。地獄の處刑場の一。

チヲ

チヲ

チヲ

チヲ

チヲトア 醜壇。【醜】の時の壇又は屋臺。塔——同上を造る。結——同上。

チヲトア 借住。無賃で借りて住む。借家主。且共イヌ多。恐兜——例——暫く彼の家を拜借して住みなさ

チヲトア 借單。借用證書。

チヲトア 石炭。(國) 石炭。

チヲトア スン 石炭酸。(國) 石炭酸。

チヲトエ 石地。石の多い地。

チヲトヲ 借刀。漢字の偏、利刀。立刀。刀を借りる。——殺人——刀を借りて人を殺す、人を使つて悪をなすをいふ。——堅磨、借牛食掛——借りた刀は立てて磨き借りた牛は使はれるだけ使ふ、人の物は粗末にする意。

チヲトヲ ラン 笑倒人。【笑死人】。「戸」。

チヲ トン 石洞。石の洞穴。石室。岩窟。——孔——岩

チヲ ナア チヲクヌ 招那招軍。——打那打賊

チヲ ナウ 石腦。(鐵) 石腦。「て煎服す」。

チヲ ニイ 石耳。(植) いはたけ。(地衣類、解熱劑とし

チヲ ヌイ 石卵。(海) 次に同じ。「大粒の石。

チヲ ヌン 石卵。石塊。卵の様な圓い石。大粒——

チヲ ヌン アア 石卵仔。石塊。栗石。礫。

チヲ

チヲ ハア ハア 笑嘘嘘。からからと笑ふ。あはあはと笑ふ。

チヲ ハア ハア 笑噓噓。高笑。からからと笑ふ。あはあはと笑ふ。

チヲ ハア ハア 笑嘘嘘。【笑嘘嘘】。

チヲ ハイ ハイ エン 照海燈。サーチライト。

チヲ ハイ ハイ 笑哈哈。【笑哈哈】。

チヲ ハッ 石壑。石で造つた穴藏。石倉。

チヲ ハッ 石斛。(植) 石斛。(蘭科、莖を煎服して強壯劑となす)。

チヲ バア バア 笑合合。客を款待する時などの笑方。あはあはと笑ふ。

チヲ バッ 石墨。(國) 石墨。「を掛ける」。

チヲ パア 石壩。石原。

チヲ パイ 招牌。(商人の) 招牌。看板。掛——看板

チヲ パイ 石碑。石碑。立石。石塔。堅——石碑を立てる。

チヲ パク キエン ジイ 招購耕字。【招耕字】。

チヲ パク ジイ 招購字。地主が小作人に與へる小作證書。

チヲ パク ツイ ツヌ ハア イ オク ジイ 招購水圳合約字。【圳主】が【購辦】者に渡す【水圳】の【購辦】證書。

チヲ

チヲ パク ツヌ イ オク ジイ 招購圳約字。前に同じ。

チヲ パク トエ キイ ジイ 招購地基字。【招稅地基字】。

チヲ パク ハア イ オク ジイ 招購合約字。地主と小作人とが取交す小作契約書。

チヲ パヌ 石斑。(動) 生蕃鯉。

チヲ パヌ 石版。石版。

チヲ パヌ 石板。板石。切石。

チヲ パン 椒房。【椒房】。

チヲ パン 招房。裁判官の側に立ち原被告の申立を筆記する裁判所書記の如きもの。

チヲ パン 石枋。石の板。板石。牛屎龜町——黒黄金蟲が板石を仕上げやうとする、蟻が碇を引くといふに當る。

チヲ ガン 石帆。海中に生ずる珊瑚の如きもの。

チヲ ヒイ 石魚。(動) 石首魚。

チヲ ヒイ 石硯。石の硯。

チヲ ヒイ ヒイ 笑嘻嘻。【笑含含】。

チヲ ヒイ ヒイ 笑微微。【笑含含】。

チヲ ビヌ 照面。顔を映す。

チヲ ビヌ 笑面。笑顔。辨——笑顔をする。表

向。表側。表。仰向。——蓋面——表側と裏側。反——仰向に引線反へす。

チヲ ビヌ ホオ 笑面虎。笑顔の虎。顔は笑顔で心は虎の様な。笑中刀有り。

チヲ ピア 照壁。朝日を畫いた墻壁。

チヲ ピア 石壁。石の壁。石壁。石崖。

チヲ ピア 石屏。石の薄板。

チヲ ピア 石坪。【石頭坪】。

チヲ ピア ベエ 石壁皮。岩石の表面を彼ふ土壤。種在——同上に植ゑる。

チヲ ピア リエヌ 石壁蓮。(種)(桑科)おほいたび。

チヲ ピイ 石碑。石碑。——印的法帖。墨帖。石刷。

チヲ ピイ 一字碑銘。碑文。

チヲ ピイ 笑牌。【牌】を見よ。

チヲ ピイ 笑牌。體内にある笑を起す元。人若し其病に罹る時は終に笑死すといふ。着——是——不——同上に罹つたのか。些細なことに笑轉ける者又は止度なく笑ふ者などにいふ。

チヲ ピイ パイ 石碑牌。石碑。碑。【器の名】。

チヲ ピエヌ キエン 石編磬。孔子を祭る時用ひる樂器。

チヲ ピエン 招兵。徵兵。兵を募る。

チヲ ピエン 石兵。(動) 鮎に似て谷川に住む魚。臺灣ひなまどり。

チヲ ビツ 石筆。●墓の左右にある筆の形の石柱。●(圖) 石筆。

チヲ ビヌ ボヲ チヲ チエヌ 笑貧無笑賤。貧窮を嘲笑ひ賤業を嗤はない。現代社會の情勢を諷刺していふ。

チヲ フウ 招夫。妻が夫と爲るべきものを自分の家に入れる婚姻にして夫は婦家の姓氏及財産を承継する權利なきもの。入夫。——養子勢出無奈。夫を招き子を養ふは止を得ざるに出づ。

チヲ フヌ 招婚。入婿の婚姻。

チヲ フヌ 招魂。魂祭。招魂。死人の靈魂を招く。七日——七日目に魂祭をする。

チヲ フヌ ジイ 招婚字。入婿の結婚證書。

チヲ フン 石坊。人の善行美德を表記した石の旌表。

チヲ ブヌ ブヌ 笑吻吻。にこにこ笑ふ。

チヲ ブヌ ブヌ 笑吻吻。前に同じ。

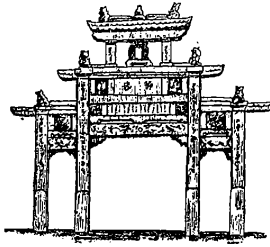
チヲ ブイ 石墳。(動) 臭い蟲の名。

チヲ ブイ 石楓。(海) 【石楓】。

チヲ プッ 石佛。石佛。

チヲ プン 醮榜。【醮】の時役割及び寄附者の名等を記して廟に張出す札。

チヲ プン 石楓。木の名、材は堅く靱白の齒に用ふ。



石坊

チヲ ヘエ 招會。無盡講を催す。

チヲ ヘエ 少歳。年下。年少。年若。

チヲ ヘエ 照火。明光で照す。火に照す。

チヲ ヘエ 石灰。石灰。石灰。

チヲ ヘエ チヲ 石灰石。石灰石。

チヲ ヘエ ヒイ 石灰魚。(動) 鱈。

チヲ ベエ 石碼。福建省の地名。

チヲ ベエ 石馬。●石の馬。●山の端や海岸川端などに突出した岩。

チヲ ベエ チヲ ベエ 招買招賣。(動) 【招買招賣】。

チヲ ペエ 石椽。石屑。石片。

チヲ ペエ 石皮。石の表面。

チヲ ペエ 螻蛄皮。皮を刺す。痛く感ずる。恐れる意。全然無——着——全でびくともしない。連——都無——登之揺もしない。少しも痛痒を感じない。

チヲ ホエ 招會。(海) 【招會】。

チヲ ホエ 少歳。(海) 【少歳】。

チヲ ホエ 照火。(海) 【照火】。

チヲ ホエ 照會。(海) 【照會】。

チヲ ホエ 石灰。(海) 【石灰】。

チヲ ホエ 石花。次に同じ。

チヲ ホエ サイ 石花菜。(種) 天草。心太草(天草科、海藻にして食用等となす)。

チヲ

チヲ

チヲ

チヲ

チヲ、ホエザウ、石花草。前に同じ。

チヲ、ホエ、パイ、石花牌。心太草を固めたもの。

チヲ、ホエ、パイ、石花片。心太草を固めて切ったもの。

チヲ、ホオ、招呼。●面倒を見る。世話をする。望你較
 ー|||どうか御世話を願ひます。●勧誘する。勸
 める。ー|||人來入會||人を勧誘して入會させ
 る。ー|||人入保險||人を勧めて保険に入れる。
 ●愛想よく持成す。款待する。ー|||人客||客を
 持成す。賢|||持成がうまい。

チヲ、ホオ、石虎。(動) ●臺灣山猫。●本島南部に居る
 蜥蜴の一種。

チヲ、ホン、石黄。【石黄】。

チヲ、ホオ、招會。(景) 【招會】。

チヲ、ホオ、少歲。(景) 【少歲】。

チヲ、ホオ、照火。(景) 【照火】。

チヲ、ホオ、石灰。(景) 【石灰】。

チヲ、ボエ、チヲ、ボエ、招買招賣。商人がお世辭を言っ
 て買はしめたり賣らしめたりする様にする。雖
 然伊無要買咱亦着碍|||看覓||買はな
 いとしても吾吾商賣人は矢張お世辭を使つて買
 はないかと當つて見る。

チヲ、ボオ、招募。募集する。募る。石募。ー|||學生||
 生徒を募集する。ー|||股份||株を募る。

チヲ

チヲ、ボヲ、石磨。次に同じ。

チヲ、ボヲ、アア、石磨仔。摺臼。碾臼。穀臼。燈心没
 支得|||燈心は碾臼にすけることは出来な
 い、相當の事が出来ない意。一磬|||一個
 の摺臼。

チヲ、ボヲ、アア、カウ、石磨仔鈎。碾臼の柄。

チヲ、ボヲ、アア、シム、石磨仔心。碾臼の心棒。就我
 做|||私を同上にする、悪い事などに私を
 板挟にする。

チヲ、ボア、石盤。●大きく平い石。落花生から油を採
 る時用ひる石で組んだ大圓盤。●石盤。

チヲ、ボア、ラン、エ、ツイ、笑破人的嘴。人をして捧
 腹絶倒させる。

チヲ、ボエ、石桃。(菓) 【石桃】。

チヲ、ボエ、石皮。(菓) 【石皮】。

チヲ、ボエ、笑筭。振落した【聖筭】が二とも平面(表)の
 み出ること。

チヲ、ボエ、アア、尺八仔。口の直径一尺八寸ある鍋。

チヲ、ボオ、蕉布。芭蕉布。

チヲ、ボオ、石埔。石原。磯。

チヲ、ボオ、石斧。石斧。

チヲ、ボヲ、石堡。石を積上げて作った堤防。堰。

チヲ、ボヲ、石杵。(植) 臺灣榎。南蠻榎。(楡科、材は白

チヲ

等を製す)。

チヲ、ボヲ、蝨粕。【蝨粕】。

チヲ、ボヲ、石梳。(器) 【石梳】。

チヲ、ボヲ、石皮。(菓) 【石皮】。

チヲ、ムイ、借問。(借) 【借問】。

チヲ、ムイ、石口。(器) 李の類にて幹に節多しパイブな
 間掛ける語。一寸御尋します。ー|||
 「例|||同上。

チヲ、ライ、少利。●利息が少い。郵便寄金較|||
 郵便貯金は利息が少い。●利息を減する。要共
 我|||利息を減かうとする。 「去|||貸借。

チヲ、ライ、借來。借りて来る。ー|||看|||借覽。ー|||借
 チヲ、ラク、アア、尺六仔。口の直径一尺六寸ある鍋。

チヲ、ラム、石研。石の癩。

チヲ、ラム、石楠。(植) 樟科臺灣いぬぐす。

チヲ、ラム、笑藍。薄藍色。

チヲ、ラン、少人。人少い。ー|||食|||食ふ人は少い。ー|||
 一講|||いふ人は少い。加入加業|||塞壘|||人
 が多ければ餘計苦勞がある人が少いと仕末がよ
 い、大家族の方はゆるさく面倒少家族の方は世
 話なしでよい。

チヲ、ラン、借人。貸す。貸與。人に貸す。ー|||的銀||
 貸金。ー|||死、不借人生|||人の死ぬ場合は場所

を貸すが生れる場合は貸さない。死ぬ場合は場所の福分が残るが生れる場合は生兒が其場所の福分を持去るといふ迷信に因る。

チヨ、ラン、石人。石像。石人。

チヨ、ラン、整人。蟲などが人を刺す。

チヨ、ラン、ケン、笑人窮。——怨人富。人の貧を笑ひ人の富を怨む。

チヨ、リアウ、椒料。胡椒。胡椒の類。

チヨ、リアウ、石條。長形の切石。

チヨ、リイツ、ツイ、ヌジイ、招理水圳字。【招理水圳】。

チヨ、リイ、リイ、笑裂裂。莞爾と笑ふ。撞着——

出會ふ度ににこにこする。愛敬よく挨拶をする。

チヨ、リウ、石柳。(種) (黄楊科) ①沖繩黄楊。②臺灣あ

さまつげ。(材は堅硬にして彫刻・樂器・玩具等を用

チヨ、リウ、石榴。【石榴】。

チヨ、リウ、ホン、石硫黄。(種) 硫黄。(緩下劑、發汗及祛

痰劑として内服せられ、又殺蟲劑として疥癬等に

塗用せらるる)。

チヨ、リエク、石粟。くくのつと。(大戟科、種子より

得る油は燈用、石鹼製造、薬用、塗料となし仁肉

は食用となる)。

チヨ、リエク、笑縁。淺緑。

チヨ、リエク、笑縁。淺緑。

チヨ、リエク、石乳。(動) 磯巾着。

チヨ、リエク、石枱。(種) げつきつ。(芸香料、材は器具

の柄、洋杖、印材等となし又庭園樹として栽培せ

らるる)。(九里香)。

チヨ、リエク、クウ、石枱鼻。(種) (芸香料) はなしんぼう

チヨ、リエク、ヒイ、石鯪魚。【鯪】。

チヨ、リヨ、招招。【招招】。

チヨ、リヨ、照照。【照照】。

チヨ、リヨ、照照。【照照】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、リヨ、借借。【借借】。

チヨ、ロオ、石路。石路。

チヨ、ロオ、照路。道を照す。擇燈——燈火で道を照

チヨ、ロオ、石腦。(種) 石腦。

チヨ、ロオ、チア、席老爹。低い武官を嘲る詞。

チヨ、ロオ、石黄。(種) 雄黄。鶏冠石の分解物にして暗赤

色の結晶物。(薬用、顔料、火薬等に用ふ)。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チヨ、ン、笑黄。玉子色。薄黄。

チ ッ チ ッ

チッ、蛭。(姓) 蛭。

チッ、到。(姓) 到。

チッ、即。(姓) 即。

チッ、質。(姓) 質。氣——氣質。性——性質。

チッ、職。(姓) 職。革——免職。一分——職分。

チッ、任。(姓) 任。在——怨——無——思——職に就いて居

る時は己の職を悪く思ひ、職を放れると其職を

チッ、鯉。(動) 鯉。

チッ、脊。(動) 脊。棟——山の脊。厝——家の棟。

チッ、尻。(動) 尻。脊筋。曲——棟の兩端反上つたもの。

チッ、織。(動) 織。一布——布を織る。一被——靴下を織る。

チッ、紡。(動) 紡。紡——紡ぎ織る。

チッ、此。(動) 此。一個——これ。一位——この方。一次——此度。

チッ、此。(動) 此。一個——これ。一位——この方。一次——此度。

チッ、此。(動) 此。一個——これ。一位——この方。一次——此度。

チ ヲ

チ ヲ

チ ヲ

と。柄一丁二つと。

チ、エエアア、此下仔。此頃。近頃。——真熱

近頃は非常に暑い。

チ、エエアア、一丁仔。一寸の間。暫く。——就

好一寸の間で出来る。

チ、エエアア、チ、エエ、一個仔一個。一つ一つ。

——。一人一人。

チ、エエアア、ジエ、一個悉尿的。——

換一個悉尿的。——寝小便する者を悉尿する者

と取換へる。人など取換へて却って以前より悪い

など。

チ、エエチ、エ、一個錢。——四兩福。一文の錢に

四兩の福あり。金を粗末にするなど。——打

四十九結。一文の錢を四十九度も結んで置く。

奇奮なこと。——打世八結。同上四十八度

結ぶ。同上。

チ、エエチ、エ、一個一個。一つ宛。各。其其。

チ、エエチ、クヌ、一個一斤。——一個十六

兩。一つは一斤、一つは百六十匁。同じこと、五

分五分。

チ、エエビ、一個面。顔全。——骨骨。瘡せ

て顔中骨ばかり。

チ

一個八兩橋。一つは半斤重く、一つは八十匁

チ、エエラン、一個人。——九個尾。人間の末路

には色色ある。

チ、オオキム、ヒ、一壺金魚。——没堪得。一

尾。中尾。一尾の中の金魚は一尾の「中尾」の範暴

に堪へぬ。一人の不良者の爲に一家が迷惑するな

ど。

チ、オン、七主。——祠。臺南地方にて臺南神社をい

ふ。——祭。十月二十八日に行はれる同上の祭

チ、ヲ、アイ、ポ、エ、ヲ、アイ、七彎八彎。色色と理窟をつ

けて金をねたり取る。

チ、ヲ、アイ、ポ、エ、ヲ、アイ、七歪八擗。——曲りくねる。

歪み振ける。——凡てぐれはまになる。失敗。阻

礙。喰違になる。——錢水續没轉。凡て

が喰違になつて遂に金が廻らなくなつてしまつた。

チ、ヲ、ア、ヌ、職員。——職員。

チ、ヲ、ア、ヌ、ポ、エ、ヲ、ア、ツ、七彎八空。紆曲と。紆る。

——的。路。曲路。心肝。——心が曲

つてゐる。拗けてゐる。

チ、ヲ、ア、ヌ、リ、オ、ク、職員録。——職員録。

チ、ヲ、エ、ポ、エ、ヲ、エ、七畫八畫。——七畫八畫。

チ

チ、カ、ア、一子。——少し。一寸。較長。——少し長

い。等。——一寸待て。——久。少しの間。

チ、カ、ア、一脚。片足。片方。欠。——片方足

りない。——戸内。戸外。片足は敷居

の内片足は敷居の外にある。心が未だ定まらぬ

をいふ。

チ、カ、ア、ポ、エ、ヲ、ウ、七脚八手。七つの足に入つ

て、手を出し足を出す。大家緩緩仔是不可

如此。——皆緩りしなさい、さう手出し足

出してはいけない。

チ、カ、イ、ポ、エ、カ、イ、七開八開。浪費する。——

隨時了。矢鱈と浪費すれば直ぐに無くなる。

チ、カ、ウ、サ、ア、ザ、ラ、ク、一蘭三十六。些細な儲。

目腐金。趁人。——別慶你都沒曉趁。御前は目腐金を儲るより外に儲けることを知らな

チ、カ、ウ、ト、オ、七巧圖。智慧の板。「いのだ。

チ、カ、ウ、ポ、エ、カ、ウ、七扣八扣。次に同じ。

チ、カ、ウ、ポ、エ、ヲ、ウ、七扣八除。何だの彼だのと差引

く。種種排除する。乞伊。——無去。——彼に種

種差引かれて無くなる。「六十三。

チ、カ、ウ、ラ、ク、サ、ア、七九六十三。(九九)七九

チ、カ、ン、職工。——職工。

チ、カ、ン、織工。織手。織子。機械。

チ

をする、僅かの人にて種種の仕事をするなどをいふ。

チッキョヒイアア七脚戲仔。前に同じ。

チッキョアア職業。(圖) 職業。

チッキョエヌ七言。(文) 七言。一詩七言の詩。七言。

チッキム織錦。(文) 錦を織る。

チッキイ織機。機織器。

チッキイ此氣。此節。此度。一有較緊此頃は金融が逼迫してゐる。

チッキイ七歸。七で割る。八算の七で割る部。

チッキイアア一氣仔。一時。束の間。好額亦是。一而己金持なの束の間だ。

チッキイエエ此幾個。此等。此の數個。

チッキイゲエ此幾月。此の數月。

チッキイジツ此幾日。この數日。數日來。頃日。

チッキイジツアア此幾日仔。前に同じ。

チッキイニイ此幾年。この數年。較近。近年。一來數年來。

チッキウ此久。今。幾點。今何時。

チッキウヲエ一句話。一三斤六重。一言が三斤六十匁の重さ、聲が大きくて怒ってゐる様に聞えること。一三尖六角。一句の言葉が三つの尖と六の角がある、同じ言葉でも言ひ様によ

つては角立って聞える意。

チツクヌ一咽。一度に。一時に。一食彼多。一時にそんなに澤山食ふ。做一用了了。一度に使ってしまった。一息。宿一息休む。

チツクヌアア一咽仔。前に同じ。

チツクヌジツ此近日。其内。近日。

チツクエ此過。此度。今度。

チツクエ一家。家中。一家。一五個人。一家五人。一人。一家族の人。一團圓。一家團圓。

チツクエカウ一家口。一戸。

チツクエヘエ一家伙。全家。一家。

チツクエポアケエ一過半過。一回半回。二回。折には。一は無相干。一回や二回位は差支がない。

チツクエ此月。本月。今月。當月。

チツクエ七月。七月。一初。一雷。九龍來。舊曆の七月一日の一雷は九回の大風が来る。一關無了。七月地獄の釜の蓋の開く日に出て来た餓鬼の様だ。小供など食物を食を罵つていふ。一無聞和尚。七月の坊主は忙しい、七月は盆にて祭祀盛に行はれ坊主の忙しき時なればいふ。

チツクエジツ一月日。一箇月。一月。

チツクエツンツンパア七月頓頓飽。一。八月擲無巧。七月は御馳走ばかりだが八月には何も無い、七月には祭があるが故にいふ。

チツクエポア七月半。中元。盂蘭盆。一。鴨仔不知死。七月十五日益になつても驚は己の殺されることを知らない、將に來らんとする凶事などを知らず平氣な者をいふ。盲目蛇に怖ぢず。

チツクエポアクイ七月半鬼。七月十五日の餓鬼。

チツクア一寡。少し。少少。僅か。些。一仔。ちよんびり。少許。

チツクア一割。(圖) 一割。

チツクア一着。一見。一就識。一見して識る。

チツクア七瓜。(文) 七月の異名。

チツクアア一寡仔。僅か。少しばかり。ちよんびり。

チツクアイボエ。色色騙す。色色とらまいことを言つて騙す。

チツクアツボエ。七訣八訣。前に同じ。

チツクア職權。(圖) 職權。

チツクア此欺。斯様。此様。一。的布。此様な布。一。的紙。斯様な紙。

チツクア職權。(圖) 前に同じ。

チツ

チツ

チツ

チッ

チッ コアノポア 七管半。音樂の調子の種類。
 チッ コアヌラムイオン 職權濫用。(圖) 職權濫用。
 チッ コエビヌ一昏眠。一寸と一眠。斷——同
 上もしない。少しも寝ない。
 チッ コエボヲヒイ 此溪無魚。——別溪釣
 此の河に魚が無ければ外の河で釣る、此所ばかり
 に日が照らぬ意。
 チッ コエポアコエ 一過半過。(源)「一過半過」
 チッ コオ疾苦。(冬) 疾苦。
 チッ コオアアウイ 一籠仔園。「二籠園」。「落」
 チッ コオウイ 此籠園。此の周圍。此の邊。此の部
 チッ コオウイ 一籠園。場所の一廻。一部落。一箇
 所。——仔同上。
 チッ コオチイ 七姑星。金牛宮の頂部を廻轉する七
 チッ コヲ 織羔。羊の毛織。
 チッ コヲヒウ 織羔裘。毛織物の袷。
 チッ コヲポエ 七翺八翺。①矢艦と塗す。②な
 んだかんだといつて強請取る。③頻に強請取る。
 チッ コヲポエ 七翺八翺。あちこちに轉す。矢
 艦と轉る。「用す」。
 チッ コヲポエ 七疇八疇。何だ彼だと愚圖愚圖
 チッ コツポエ 七酷八酷。何だ彼だと絞取る。
 チッ コツポエ 七柄八柄。彼方にこつんと此方

チツ

チツ にかちんと打當る。一寡碗——損損破
 幾らかの茶碗が彼方此方に當つて破れてしまった。
 チツ コシ 七孔。目・鼻・口・耳七の孔。——流血同
 上より血を流す。——無起喘耳・目・鼻・口の
 七つの孔から喘ぐ息を出しても及ばない、非常に
 困難の意。
 チツ コシパツキアウ 七孔八竅。身體の七つの孔八
 つの孔。敏捷で抜目がな。目から鼻に抜ける。
 ——的人同上の人。「艦と話す」。
 チツ コンポエ 七講八講。何だ彼だと言ふ。矢
 チツ コオポアコオ 一過半過。(泉)「一過半過」。
 チツ コオチシ 七五七十一。(八算)七五
 七十の二。
 チツ サムスウシ 七三三三三三。(八算)七三
 チツ サアポエ 七早八早。早朝。滅法早い。
 チツ サアポエ 七早八内。滅法界に早い。
 チツ サウ 織草。藁や藁などで敷物を織る。
 チツ サアア 一節仔。一節。一節。路程の僅な
 こと。もう一足。更——就到——もう一足で直
 着く。「用す」。
 チツ サヌタア 七層塔。(種)めばうき。(蔬菜として食
 チツ サナ七十。(柒拾)七七十。
 チツ サアサア 七十三三十八十四。講

チッ

チッ 到——徒言をいふ。
 チツ サアジイテソア 七十二地條。七十二の地
 上の崇神。
 チツ サアジイビエヌ 七十二變。猴齊天——
 孫悟空は七十二遍形を變る、人の心の色色に變
 るなどをいふ。
 チツ サアジツサア 七十日早。(種) 第一期作水稻
 類の一品種。甘藷の一品種。
 チツ サアタンポエサアチイ 七十銅八十鐵。【七
 銅八鐵】。
 チツ サム 此站。此の度。今の時機。
 チツ サムアア 一站仔。「一節仔」。
 チツ サムシオンポエサムシオン 七參詳八參詳。
 色色と話合ふ。色色と相談する。
 チツ サムポエサム 七參八參。彼も此もこつちやに
 混合せる。矢艦と混合せる。
 チツ シア 一聲。一聲。——不知百聲無事。知らな
 いと一言言へば何の掛合にもならない、知らない
 といふに限る。——父——母——天——地——父よ
 母よ天よ地よと泣立てる。
 チツ シア 七夕。七夕。七夕。
 チツ シイ 此世。此世。今生。現世。——做、後世
 收——今生でして來世で報を受ける。

チッ シイ 此勢。こつちの方向。此方。

チッ シイ 此時。現今。今。只今。一没比得彼時

一今は其當時の比でない。

チッ シイ 一世。一代。一世。一人。一生涯。

チッ シイ 一時。一時。同時。一寸。一仔。一時。

同時。一仔開寸隙。寸暇。一仔久。一時。

暫時。一錯去。一寸間違つた。一刻。即

時に。一風駛。一船。一時の風は一時の船を

駛す。機に應じて事をする意。一没比得。一

其時其時のこと。一没比得。一的狀況。

チッ シイ アア 一絲仔。少し。ちよんびり。ぼつちり。

チッ シイ シイ アア 一絲絲仔。前に同じ。

チッ シイ ラン 一世人。一生。一生涯。一代。終

身。一有可食。一生食つて往かれる。一

次。一世一度。一親像做人客。人間の

一生は御客の様なものだ。

チッ シエク 一色。一種。一色。一色。

チッ シエク 七夕。七夕。

チッ シエク ホエ 七夕會。七夕。牽牛星が織女星に

會する劇曲又は山車物の名。

チッ シエヌ コオ 七仙姑。七人の仙女。

チッ シエン ポアヌゴアツ 七星伴月。月に伴ふ七

星。一廣東の有名な墓地。

チッ シエン ポエ パイ 七成八敗。七箇月で生れる子

供は成功するが八箇月で生れる子供は失敗する。

七箇月の子供は育つが八箇月の子供は育たない。

チッ シヌ 質訊。一審問。訊問。

チッ シヌ 一身。一身。全身。翹。一土。轉んで泥

まみれになる。一光瑠瑠。赤裸。真裸。一

一擔。全責任。皆一身にかかる。一命。一

孤獨。一褴褛。一身に附けてゐるものは皆

貴い。人に物を興へず或は人に取合はぬものな

どにいふ。一死了。了。留。一。枝。嘴。全身は死ん

でゐるも口一つだけが残つてゐる。なかなか負惜

の強いことをいふ。一遊戯。遊戯などの一回。一度。一

一就突到。玉突の時一回で突切る。

チッ シヌ チア サア シヌ シオン 一身食三身相。

一人が食ふのを三人が見る、人の食事を立見する

が如きを笑つていふ。

チッ シム 一心。一心。一。要死。一。要食米。一心

は死なるとし一心は飯を食はうとする、不決斷の

意。一。要死。一。要活。同上。

チッ ジア 此跡。此の箇所。此の處。此處。

チッ ジア アア 此跡仔。此の邊。一に値す。

チッ ジイ チエン 七二駢。一圓銀を七匁二分に衡る

チッ ジイ ワイ 七字對。七言對句。一秤。

チッ ジイ ハア カア リホク 七二下加六。(八算)七

チッ ジイ バイ 一字派。同一流派。二下加の六。

チッ ジイ ピエン 七二秤。一圓銀貨を七匁二分に計量

する秤。

チッ ジッ 一日。一日。一日。一過。一日。一日。一日

と過ぎる。一。走。拋。拋。一。暝。點。燈。管。一日遊

回つて居て夜明を點けて仕事をする。一。徙。栽

三日堅黃。一日植換。れば三日目には黃はむ。

移轉の不利をいふ。一。食。三。頓。一。暝。餓。到。光

一日に三度食つて夜は何も食べない。一。食。飽

張。街。路。石。一日食飽きて路の石を敷へてゐる、

毎日ぶらぶらして遊ぶ。一。日。寒。日。増。に。寒

くなる。一。日。大。日。増。に。太。一。無。開。職

職。毎日暇がなくて忙しい。一。瑠。瑠。走。毎日出て行く。

一。念。到。暗。言。暮。す。一。割。九。猪。九。日。無。猪

割。一日に九匹の豚を去勢するが後の九日間は何

もしない。一日仕事があつて九日遊ぶなど。一

夫。妻。百。世。因。縁。一日の夫婦も百世の縁。袖

振。合。ふ。も。多。少。の。縁。一。食。飽。算。蚊。帳。目。終。日

食つて居る蚊帳の目を敷へてゐる。一。討。魚。三

チッ

チッ

チッ

チ ッ

日曝網 一日漁して三日間網を干す、仕事を怠ること。――平安一日福 一日平安なれば一日の福なり。――騙過 一日逃をいふ。「忌」

チ ッ ッ 七日。 〇七日。 〇初七日。 〇引魂 七日

チ ッ ジ ッ ウヌ 七日臺。(種) (大戯科) たかさごこばん

チ ッ ジ ッ 職任。(又) 職務。役目。職分。 「のき。」

チ ッ ジ ッ 責任。(同) 責任。

チ ッ ジ ッ 一任。一任期。三年 〇一任期三年。

チ ッ ス ウ 一軀。(身) 一着。 〇衣裳 〇着物 一着。

チ ッ ス ウ ゴ オ シ ッ ゴ オ 七四五十五。(八算) 七四五十の五。

チ ッ ス ッ ア ア 一脣仔。ぼつちり。少し。 〇一給我 〇少し下さい。食 〇一ぼつちり食ふ。 「る。」

チ ッ ス ッ ポ エ ス ッ 七術八術。賺したり騙したりす

チ ッ ス ッ ラ ア 一脣仔。 〇一脣仔。

チ ッ ス ッ 七旬。 〇七七日。 〇四十九日。 〇做 〇一 〇七七日の供養をする。

チ ッ ス ン 一牀。一蒸籠。一蒸籠。 〇一眞大牀 〇主に女を罵る詞。大きな胴體。でつかい身體。

チ ッ セ エ 此世。【此世】。

チ ッ セ エ 一説。一説。 〇一講は無影 〇一説には虚説ださうだ。如此講亦較有 〇一斯言へばまた或一説をなしてゐる、斯言へばまた相當信せら

チ ッ

れる所がある。

チ ッ セ エ 一旋。一廻。一廻。 〇一廻 〇一廻する。

チ ッ セ エ スヌ 七世孫。七世の孫。

チ ッ セ エ タイ 一世代。一代。一世。

チ ッ セ エ ラ イ セ エ 此世來世。現世と來世。

チ ッ モ エ 脊髓。脊髓。 〇一衣裳 〇脊髓及延髓の疾患。 〇一出血 〇同上。 〇一發炎 〇同上。

チ ッ モ エ ア ア 一撮仔。一撮。少し。少量。

チ ッ モ エ ポ エ ペ エ 七坐八坎。 〇一 〇九發牙 〇赤坊が七箇月になると坐れるし八箇月になると這はれるし九箇月になると齒を生ずる。

チ ッ ソ ア ポ エ パ イ 七煞八敗。 〇失敗に失敗を重ねる。凡て失敗する。 〇埋めてから七年目に死人の骨を拾ふ時は祟があるし八年目にすれば家運が衰へる。【拾骨】参照。

チ ッ ソ オ 此所。(同) 此奴。此奴。

チ ッ ソ オ 窒素。(同) 窒素。

チ ッ ソ オ 質素。(同) 質素。

チ ッ ソ オ サ イ 此所在。此所。當地。當所。

チ ッ ソ オ サ イ 一所在。一箇所。一所。

チ ッ フ ア 一紙。證文など一枚。一通。一札。 〇一約字 〇一通の契約書。 〇一契 〇一通の證文。 〇一札。

チ ッ

チ ッ フ ア 一行。一行。一筋。片路。一列。 〇一去 〇一來 〇絶えず往來する。 〇一虹 〇一條の虹。 〇一 〇路 〇一條の路又は片路。

チ ッ フ ア ツ ヌ 一行船。一航海。

チ ッ フ ア ポ エ チ イ 七擲八刺。何だの彼だのと因縁をつけて喧嘩を吹かける。

チ ッ フ エ 一齊。同時に。一時に。一緒に。一度に。 〇一換新 〇一新。

チ ッ フ ラ 此遭。今度。今回。 〇一無可彼好巡 〇今度はさう前見た様にうまく行かぬ。

チ ッ フ ラ 一座。一座。 〇一厝 〇一軒 〇一進 〇一屋敷に二棟の家屋あるを云ふ。 〇一組 〇一厝仔 〇一組の人形。 〇一羣。 〇一山 〇一羣の山。

チ ッ フ ラ キ エ ク 織造局。【織造廠】。

チ ッ フ ラ サ ヌ 一艘賣。三艘の船で網一枚を用ひて漁業をなすもの。

チ ッ フ ラ モウ 織造廠。機械工場。織物工場。

チ ッ フ ヲ 一族。一族。 〇一的人 〇一族の人。

チ ッ フ ヲ 一撮。 〇一撮。頭毛白 〇一頭の毛が一撮程白くなる。 〇一叢。一羣。 〇一厝 〇一叢の家。人彼 〇一此 〇一人が彼方に一羣此方に一

チ ッ フ ヲ ア ア 一撮仔。前に同じ。 「群」

チ ッ フ ン ポ エ フ ン 七狀八狀。人を陥る時など、

矢鱈と言葉を捏造する。「鱈と弄る。」

チツ、マン、ポ、エ、マン、七創八創。色色と手を施す。矢

チツ、タ、ア、此處。(衆) 此處。一仔此處。一彼處

チツ、タ、ア、一打。(新) 一打。

チツ、タ、ア、ク、ウ、ア、一曇久仔。「曇仔久」。

チツ、タ、ア、チ、一擡錢。一千圓。(昔一封五十圓の一

圓銀貨を十封五百圓にして一擡の片方となしたる

より斯く云ふ)。

チツ、タ、ア、ポ、エ、ポ、エ、タ、ア、チ、七踏八踏七。矢

鱈に足を踏込む。

チツ、タ、イ、此代。今代。當代。「端。一方。」

チツ、タ、ウ、此頭。當方。此方。兩端あるものの一

チツ、タ、ウ、一透。(雨) 一頻。一雨。一頻の雨。地

下五六寸位迄を濡らす雨。一壁。一壁。一壁。一壁

上。一滾。一滾。一滾。一滾。一滾。一滾。一滾。一滾

チツ、タ、ウ、一頭。片荷。片端。片方。一貨。一貨。一貨

チツ、タ、ウ、一擡。一擡。一擡。一擡。一擡。一擡。一擡。一擡

一方に擔いで、兩方で啼く、何れの方にも差支あ

り彼方立てれば此方が立たぬ、又は心は二つ身は

一つなどの意。

チツ、タ、ウ、チ、一頭錢。五百圓。「擡錢」参照。

チツ

暗に損める。

チツ、タ、ア、キ、イ、七四九。色色の形をした七つの小

い机にて組合せると一つになるもの。

チツ、タ、ム、ポ、エ、タ、ム、七階八階。財産など何だ彼たと

食込む。

チツ、タ、ン、此通。今般。今回。此度。一着休。今

回は君の番だ。

チツ、タ、ン、一通。一週。一週。一週。一週。一週。一週。一週

迴走廻る。四界行。一週。同上。

チツ、タ、ン、ポ、エ、チ、七銅八鐵。がらくた。やくざ。

一物的物。やくざ物。講彼的。一物的。一物的。一物的

取るに足らぬ詰らぬ話を喋る。

チツ、チ、ア、一隻。禽獸など一疋。一牛。一牛。一牛。一牛

一疋の牛から二枚の皮を剥ぐ、金の二度取する

が如きをいふ。一那。一那。一那。一那。一那。一那。一那。一那

一鳥。一羽の鳥。一牛。一疋の牛。一雞。一雞。一雞。一雞

二粒核。一羽の鶏を去勢して二つの卵丸を取

た、全く其の通り實際などの意。一鷓鴣。一鷓鴣。一鷓鴣。一鷓鴣

里雞仔。一羽の鷓鴣が七里の間の鷓鴣を占める、

權勢遍きをいふ。一蜻蛉。一疋の蜻蛉。一主

に交通機關など艘。一隻。一隻。一隻。一隻。一隻。一隻。一隻。一隻

チツ

(衆) 卓・椅子など一脚。一桌。一脚の卓。一

チツ、ア、織車。機織機。

チツ、ア、ゴ、オ、ペ、七推五扒。次に同じ。

チツ、ア、ゴ、オ、ペ、七赤五扒。女などしがみつ

く。武者振附く。一擡。一擡。一擡。一擡。一擡。一擡。一擡。一擡

女がしがみついて引掻いてゐる。一女の強者

など。

チツ、ア、ポ、エ、チ、七食八食。何の彼のと言って食

ふ。何の彼のと言って金を誤魔化す。

チツ、ア、ウ、一鳥。一圓。了去。一圓。一圓。一圓。一圓

チツ、ア、ク、摺摺。摺摺の摺摺。

チツ、チ、イ、一折。一紙。一紙。一紙。一紙。一紙。一紙。一紙

チツ、チ、イ、一錢。一奴。一重。一奴。一奴。一奴。一奴。一奴

チツ、チ、イ、七星。北斗七星。七星。北斗。踏。一呪

禁をする時などに北斗七星の位置と同じ形に足を

運ぶ。

チツ、チ、イ、キム、七星金。祭の爲に殺す豚の血を付け

た「金紙」。

チツ、チ、イ、チ、エン、七星燈。祈禱する時に用ひる七星

を七つに分けた七箇の提燈。魏延推倒。一魏延

魏延が同上を押倒す、大事を破る意。

チツ

チッ

チッ 薄板。

チッ チイ/ベエ七姉妹。(種) (薔薇科) ほさついでばら。

チッ チウ一周。西瓜など四つ切にした一片。

チッ チウ一手。●片手。一脚一没振動片足と片手とが動かぬ、半身不随。一入一入出片手より入つて片手より出る、金など取る一方から使ふ。一交過一一人の手から一人の手に渡す、次次へ手渡す。●骨牌を配る時など一手。一揃。分一五枝一四色牌一五枚揃を一手として配る。

チッ チウボエキヲ七手八脚。七手八脚。よく手出をする。我不是一我には澤山手がないからそんなに澤山仕事は出来ない。伊是ー一的彼は何でも手を出す人。一。

チッ チウボエチウ七捨八捨。何でも彼でも強奪す

チッ チエツボエチエツ七折八折。何だ彼だといつて割引をして差引く。

チッ チエヌボエチエヌ七遷八遷。何だ彼だといつて愚圖愚圖する。

チッ チエン此種。此種。一的人此種の人。こ

チッ チエン一種。一種。

チッ チエン一千。一千。一銀亦不值着一個親生子一千兩の金も一人の親身の子に如かず。一

チッ

チッ 八百銀一十圓や八百圓からの金。一賒不值八百現一十文の掛賃は八百文の現金に如か

チッ チエン七政。(又) 七曜。

チッ チエン七情。(又) 七情。喜怒哀懼愛惡欲の七。

チッ チエンボエバア一千八百。八百なり千なり。千圓や八百圓からの金。你敢有提一交我汝は八百なり千なりの金を私に渡した事があるか。

チッ チオンパツキム七縦八横。諸葛孔明が孟獲を七度放して八度捕へたことをいふ。

チッ チヲ織席。一席を織る。一的人的榻椅同上の人は椅子に寝る、染物屋の白袴。●晝間仕事もせず寢臺に横はる者などを言ふ。

チッ チヲカウタウバア一石九斗有。一石の粗の中九斗が空糶である、言ふことが凡べて皆嘘である。

チッ チヲワイ七尺槌。(武器) 七尺棒。大きな棒。一無存三尺後七尺の棒を使ふに三尺の柄元を残して置かぬ、事をなすに餘地を存せずにする。一着留三尺後事をなすに餘地を存せよの意。

チッ チヲ織織。織。

チッ チヲ七七。死後四十九日。中陰。

チッ

チッ チッ拭拭。【拭】。四十九。

チッ チッシイザバカウ七七四十九。(九九)七七

チッ チアコア一廳官。一任期在職せる官吏。

チッ チアウ一條。一條。一挺。一件。一項。一筋。一本。一賜通脚川一條の賜が尻に通ず、話など残らず話して腹に藏せぬ意。一那番薯一本の甘藷の様だ、木偶の棒の様だの意。一一路那天一條の路天に至る如し、非常に遠い意。墨一墨一挺。

チッ チアウチイ一吊錢。一串の錢。一千文。

チッ チアウチエヌ一吊錢。一串の錢。一千文。

チッ チアウチツトア一條一段。一條一段と順序次第を踏んで。逐條に。講到一順序よく話す。一講俣伊聽逐條に話して聞かせる。

チッ チアウチイ一桐猪。一無一隻能創的豚小屋全體の中で殺して好いものは一匹も無い。一家の内に一人として有能の者が無い。

チッ チアア此雲。今。只今。現今。趁一此の時に乗じ。今の中に。

チッ チアアアアクウ一雲仔久。少の間。暫時。片時。等一少の間の間待つ。

チッ チアアバア一雲仔。前に同じ。

チッ アム 質店。(新) 質屋。

チッ アム 一點。①一點。②一畫。③一點一畫。④一

一畫。⑤一畫。⑥一畫。⑦一畫。⑧一畫。⑨一畫。⑩一

一畫。⑪一畫。⑫一畫。⑬一畫。⑭一畫。⑮一畫。⑯一

一畫。⑰一畫。⑱一畫。⑲一畫。⑳一畫。㉑一畫。㉒一

一畫。㉓一畫。㉔一畫。㉕一畫。㉖一畫。㉗一畫。㉘一畫。㉙一

一畫。㉚一畫。㉛一畫。㉜一畫。㉝一畫。㉞一畫。㉟一畫。㊱一

一畫。㊲一畫。㊳一畫。㊴一畫。㊵一畫。㊶一畫。㊷一畫。㊸一

一畫。㊹一畫。㊺一畫。㊻一畫。㊼一畫。㊽一畫。㊾一畫。㊿一

一畫。①一點。②一錢。③二角。④二角一分。⑤二角二分。

チッ アム アア 一點仔。少し。ぼつちり。聊。差。一

一。①僅かの違。少しの差。②遠。少しの距

離。少の遠さ。③給我。ぼつちり下さい。

チッ アム チイ 一點錢。一錢。

チッ アム チェン 一點鐘。一時。①久。②一時間。

チッ アム チツツ 一點一柱。一點と一ちよぼを

打つ。①都。②都。③都。④都。⑤都。⑥都。⑦都。⑧都。⑨都。⑩都。

チッ アム ツイ 一點水。一滴の水。①都。②都。③都。④都。⑤都。⑥都。⑦都。⑧都。⑨都。⑩都。

チッ アム マア 一點仔。【一點仔】。

チッ アム マアクウ 一點仔久。【一點仔久】。

チッ チイ 一滴。一滴。①一滴もない。②一滴の水。③一滴の涙。④一滴の汗。⑤一滴の血。⑥一滴の油。⑦一滴の汗。⑧一滴の汗。⑨一滴の汗。⑩一滴の汗。

チッ チイ アア 一滴仔。一滴。一滴。

チッ チイ ポエ チイ 七纏八纏。矢鱈と巻付ける。五

月蠅く附纏ふ。

チッ チウ 一場。一場。一件。一片。①的好意。②

一片の好意。③事。④一件の事。⑤開熱。⑥

所の賑かさ。⑦沖。⑧沖。⑨一場に集つて騒ぐ。

⑩的話。⑪一場の話。⑫罵。⑬罵倒。⑭

チッ チウカン 一場工。態態。暇を潰して。了。①

へまな事をする。②來。③態態來た。

チッ チエヌ ポエ トラ 七顛八倒。七顛八倒。踰踰す

る。行到。①踰踰して歩く。

チッ チエン 一重。一重。一枚。①衫。②死人

の一重の衣。③膜。④一重の膜。⑤門。⑥一重

の門。⑦山。⑧一列の山。⑨水。⑩一條の川。

チッ チエン 一停。一頻。一回。雨落。①雨が一

頻降る。②過。③一回。④一回と繰返す。次か

ら次と。限。⑤過。⑥一日延。食。⑦過。⑧

次から次と来て食べる。滾。⑨過。⑩櫛没好

勢。⑪ごたごた繰返し皆目纏らない。

チッ チエン ポエ トラ 七騰八倒。①九斜十

落。②金牛宮の頂部を廻轉する七小星【姑星】の

夜明に於ける位置を言ふ語、故に該星が七月頃の

夜明には中天に位置し八月頃は其より下つて位

置し九月頃は低く位置し十月頃は入つて仕舞ふ

といふ。

チッ チヌ 一陣。一群。一行。一組。①仔。②小勢。

③風。④一陣の風。⑤仕切の風。⑥隨香。⑦線

香を擽けて神輿の後に従ふ一列。

チッ チヌ ムイ 七珍梅。山桃の砂糖煮。

チッ チム ポエ チム 七洗八洗。①【七階八階】。

チッ ツイ 此水。此の度。今度目。今般。①無孔。②

商賣など此の度はよくなかつた。

チッ ツイ 一水。①真瘡辣。②一時は非常に羽振が

きいた。③雞仔。④一回に生んだ鶏。【水】の

⑤參照。

チッ ツイ 一嘴。一つの口。一口。①傳。②一舌。③

一つの口から一つの舌へと傳へる。口傳。④一合

一舌。⑤一つの口に一つの舌を含む。無言。⑥一掛

雙舌。⑦一つの口に二枚の舌をもつ。⑧飯。⑨一尾

魚。⑩一口の飯に必ず一正の魚を要する。飽迄

十分ならんことを求めるをいふ。

チッ ツイ 拭嘴。①口を拭く。②掩嘴。

チッ ツイ アア 一水仔。一定の時期。一時。季節。柑

チッ

仔一 當是時 蜜柑が一時盛だ。少年人 欲開亦是 一若い者が遊ぶのも一時だ。

チッ ツイ アア 一碎仔。(數量)少し。少少。

チッ ツイ カム チッ チイ 一嘴含一舌。一つの口に 一つの舌を含む、沈黙無言の意。

チッ ツイ シアン タウ ツッ 一嘴双頭出。一つの口 から嘔も吐けば下痢もする、虚言を吐く。出鱈目を 言ふ。二枚舌。

チッ ツイ トアヌ チッ チイ 一嘴傳一舌。一つの口 から一つの舌へと傳へる、次から次へと言傳へる。

チッ ツイ ポエ チイ 七嘴八舌。色色差出口する。大 勢の人が側から何だの彼だのとやかましく言ふ。

チッ ツウ 一圭。一つに纏つた。一所。包一 一個 所の請負。一 襤一個所の仕事。一 錢一纏つ た金。

チッ ツウ 此次。今度。今般。此度。一 恩典 你 今 度だけは赦してやる。

チッ ツヌ 此候。今。當節。當今。一 仔 今時分。 今頃。一 也有 今もある。一 要去 今往く。

チッ ツヌ アア 一寸仔。光線が少し。少許。一 日的日影 瞬時の日當。寸時の日光。一 日 日暮。少しで夕方になる。更 一 日 暫時の 後。少し計り經て。

チッ

チッ ツヌ キム 七寸金。【遠志】。

チッ ツヌ ナア 一寸仔。【一寸仔】。

チッ ツン 一穿。針の小さい孔一つ。

チッ ツウ 此次。(衆)【此次】。

チッ ツイ 一堆。一山。一積。一塊。(人)一團。 一仲間。一 人 一團の人。

チッ ツイ 一對。一對。一 旗仔 一對の旗。一 夫 妻 一對の夫婦。一 雞仔 一番の鶏。

チッ ツイ シイ 一對時。或る時刻より二十四時間經過 した翌日の其時刻。過 一 即能行氣 二十四 時間たつてから薬が利く。

チッ ツウ パツ カウ 七除八扣。何だ彼だと控除す

チッ ツウ ポエ カウ 七除八扣。前に同じ。

チッ ツウ ポエ ツウ 七抵八抵。何だ彼だと差引 く。一 矢鱈と突張る。一 何だ彼だと柄を突く。

チッ ツウ ポエ ツウ 七突八突。矢鱈と突く。

チッ ツウ ポエ ムチ 七週八不着。七度遇つて八 度違ふ、交際の嘴の食違。一 串 串遇 石 七度遇つて八度違ひ、常に菊目石に打當る、 同上。

チッ ツン 一丈。一丈。一 差九尺 一丈に九尺の 差、間違の甚しい意。一 身九尺 無路用 一 丈の體で九尺は役に立たぬ、大男で役に立たぬ

チッ

人をいふ。一 槌着留三尺後 一丈の棒を使 ふ時は三尺を手元に残して横かなければならぬ、 物事をする餘裕を残さなければならぬ。

チッ テエ 此塊。此處。當所。一 仔 此處等。此邊 一 彼處 彼處此處。彼方此方。

チッ テエ 一塊。一塊。一つ。一個。一 鐵鍊無若 多鎗 一塊の鐵を鍛へたところで幾らも鎗が出 ない、限られてゐるところからは幾らも取れない。

チッ テエ 一袋。一袋。一 米 一袋の米。

チッ トア 一丈。非常に大きい。一 碗 大茶碗。一 陣 大勢。一 堆 山盛。一 鼎 大鍋に 一 攄 一抱に餘る程な束。一 拖 眷族 や持物の多數なこと。一 と引摺。

チッ トアヌ キイ 織緞機。絹を織る機。

チッ トエチ ヲア 一替一換。着換に用ひる一着 の衣服。衫仔褲 一 而已 着換にする着物 は一着だけだ。

チッ トオ 嫉妬。(又)嫉妬。

チッ トオ ポエ トオ 七十八士。粗野で少しも禮法を 知らぬ。非常に粗野な。無作法な。講話 一 話が粗野である。

チッ トロ 一倒。一 倒 一回倒れる。

チッ トロ 一倒。一 倒 一回倒れる。

チ、トヲツク 一倒船。船の一往復。行返。一航海。

チ、トッ、ポエトク 七托八托。吳吳頼む。色色頼

チ、トシ、パツタツ 七通八達。四通八達。七七。

チ、トシ、パン 一背帆。轉帆の一廻轉丈の帆の上下。

更車 一 帆を今一卷まけ。

チ、トシ、ボエトシ 七撞八撞。何だ彼だと手間取

る。愚圖愚圖する。

チ、トシ、ボエトシ 七重八重。前に同じ。

チ、トシ、オ 此塊。(巻)【此塊】。

チ、トシ、オ 一塊。(巻)【一塊】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ 一袋。(巻)【一袋】。

チ、トシ、オ

二年目には口返答をし三年目には桶を突く。嫁の

附上がるを諷刺していふ。一 半載 一年半載

一 三百六十日 一年三百六十日。一年中。

チ、トシ、オ 七拵八拵。【九擲擲】の時に

骰子の目が七點であれば賭錢の一部を取得し八點

であれば罰として賭錢に幾かの金を出して付添

る。一 九擲擲十無分 同上の他に骰子

の目が九點の時は賭錢を全部取上げるし十點の時

は失權する【九擲擲】の方法。一 矢櫃と手出し

て物を取る。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

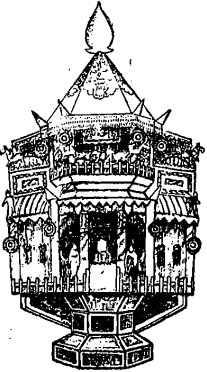
チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ 七娘奏。【七娘奏】。

チ、トシ、ウ



亭媽娘七

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン 二日。一兩日。

チ、トシ、ン

チッ

で一番目下。一一句做一、句講一、句を一句で話す、約言すれば。一一句五十雙一、句が即ち五十雙、何程言つても同じこと。

チッ、**パアチウ**一巴掌。●片手。一つの掌。一一大一掌大。●片手の指の敷丈をいふ。五、五十、五百等の意。

チッ、**パアポエザ**一一百八十。百なり八十なり。僅な敷。一亦着去診一、僅な金でも往つて稼がなければならぬ。

チッ、**パイ**此大。此度。今般。今回。一仔一此程。近頃。

チッ、**パグ**一幅。一卷。一財子壽一、一幅の福神、郭子儀、彭祖を書いた畫。一擦一掛物一幅。一布一、一巻の布。

チッ、**パグ**一縛。(食器)一括。一組。一碗一十個一。括の茶碗。一箸一十膳一括の箸。

チッ、**パグ**質朴。(又)質朴。質素。

チッ、**パグ**コンチッ、**パグ**ジュ一腹狂一腹熱。心か上つたり下つたりする、落着かず周章すること。
チッ、**パグ**チウ一獲手。手の甲の厚の高さ。一水一平手を押付けた手の甲の高さの水。
チッ、**パグ**ボエチウ七覆八笑。七度俯き八度仰く、非道い目に遇ふ。被伊害到一、一あれに非

チッ

道い目に遇はされた。

チッ、**パヌ**此辨。(品質種類などを表す)此の手。一貨一此の手の品。一人一此の様な人。

チッ、**パン**此帮。今般。今回。此度。
チッ、**パン**チイ一捧箭。一人分の箭一組。
チッ、**ピアム**ボエピアム七嫌八嫌。小言だらだら。何でも彼でも小言をいふ。

チッ、**ヒイ**鯉魚。(鮠)鮠。一仔一鮠。一食水、腮下過一、鮠が水呑めば腮の下から出す、喉元過ぐれば熱さを忘る。一釣大鱧一、小さい鮠で大なる、鰻で鯛を釣る。一抱箭一、一尾二尾大一、鮠が浮子に繋かつて一疋が二疋の大きさになる、豫想より二三倍も多し金を要した時にいふ。

チッ、**ヒイ**カンジヤ一耳孔入。一耳孔出。一方の耳から入って一方の耳から出る、馬耳東風の意。

チッ、**ヒイ**タア 鯉魚膽。(種)むらさきしたいしやう。(爵林科、腫毒の際薬と糯とを搗碎して患部に貼付す)。(紫金牛科)臺灣せんりやう。

チッ、**ヒイ**チ、**ヒイ**ウ一喜一憂。一喜一憂。
チッ、**ヒイ**ヌ七賢。(又)七賢。(伯夷・叔齊・虞仲・夷逸・朱張・柳下惠・少連)。(又)竹林七賢。(嵇康・阮籍・阮咸・向秀・劉伶・山濤・王戎)。

チッ

チッ、**ヒイ**ヌキム七絃琴。七絃琴。

チッ、**ヒイ**ヌサウ七絃草【書帶草】。
チッ、**ヒオン**チッ、**シ**ホク一郷一俗。一郷に一俗あり、郷里に依つて風俗が違ふ。

チッ、**ヒイ**リヌ七葉蓮。(葉)たいわんつくばね。(根を腹痛・横痃・胃腸薬・毒蛇咬傷等の民間薬に用ふ)。

チッ、**ヒイ**ヌ一面。●片面。片面。一抹壁雙面光一、片面の壁を塗つて両面が光る、争事などを仲裁して雙方圓く治まる意。●表全體。一面。一計計是花一、一面に花ばかり。一龍是孔一、表面全體が傷だらけ。顔一面に傷だらけ。●平面。一物を指して數へる語。一鏡一、一面の鏡、鏡一個。一鏡一、銅鏡一個。一牌一、一面の牌、楯一つ。讀一、一頁讀む。●一方では……するし一方では……する。傍に。一讀一、寫

チッ、**ヒイ**一邊。一方。一邊。片側。一是溝一、是圳一、一方は溝で一方は堀だ、係争などの時何方も親戚又は知合の關係上孰にも味方をする理にいかない。彼方立てれば彼方が立たず、此方立てれば



七絃琴

ば彼方が立たぬ。

チ、ピイ一片。●一片。片邊。片方。片破。一枚。

—肉—一片の肉。—玻璃—一枚の硝子。●文章や話などの纏った。講到—情理話—如何にも理窟立つてゐる様や纏った話をする。講—

—書—一段落の文を講釋する、屁理窟を並べる。

チ、ピイアア—一疋仔。ちんぼり。ぼつちり。ちっぼ

け。

チ、ピイソチイ七篇所致。地位を得たのは七篇

(秀才・學人などの試験)の致す所である、學位、

地位などを獨力で得たのを言ふ。

チ、ピイパン—一片捧。話などの纏った。—情

理—纏った理窟のある話。

チ、ピイアア—一疋仔。【一疋仔】。

チ、ピイポエ、ピイ七變八變。色色に變る。色色と

弄る。

チ、ピイホアヌ七魄旛。葬式に用ひる旗の一種。

チ、ピイヌ—一片。●一片。●土地など一面。

—樹林—一叢の森。—田—一面の田地。

チ、ピイヌボエ、ピイヌ七騙八騙。何だ彼だと騙

す。色色と騙す。

チ、ピイエン此旁。此方。此の方。—彼旁—

此面彼面。—弄過來彼旁弄過去—彼方此

方で煽動する。

チ、ピイエン一旁。一方。片方。—是溝—是圳—

一方は溝で一方は堀、彼方立てれば此方が立たず

此方立てれば彼方が立たぬ意。

チ、ピイエン此旁邊。此方の方。此方側。

チ、ピイ一筆。●(土地)一筆。●—錢—一口の金。

—一帳—一口の勘定。

チ、ピイチイ此筆錢。此の金。此口の金。

チ、フウシイコア一府四縣。一府四縣(昔の臺

灣をいふ)。—遊透透—一府と四縣を皆廻

った、何な處でも行かぬ處はない。

チ、フウチ、チア一副一正。一副一正。正副。

チ、フウピエックフウ一虛百虛。一事が虚ならば百

事が虚。

チ、フヌ職分。職分。役目。各人着認自己的

—姓名自分の職務を眞面目にせよ。

チ、フン此方。此方の方面。此の方角。

チ、ブウ職務。(團)職務。

チ、ブヌ質問。(團)質問。

チ、ヘエ一夥。一緒。一團。做—一一緒にする。

一團となる。同—的人—同じ仲間の人。同じ

欺く、左様は騙されぬ意。—罵八歳天壽—

チ、ペエコアリオンア一馬掛兩鞍。一疋の馬

に二つの鞍を置く、心一つに氣は二つの意。

チ、ペエチウ此尾手。其後。其後。

チ、ホアツ、チ、ホアジ、一跽出一跽人。一

足は外、一足は内、何方にも氣があつて躊躇逡巡

する意。

チ、ホアヌチ、ヌンホアヌヌン一還一還二還二

一は一、二は二、各其分あり亂すべからざる意。

チ、ホエ織花。花を織出す。模様を織る。

チ、ホオジイバヌゴオ七呼二萬五。自分勝手に

無茶な値段をつける。當にならぬ無茶なことを言

ふ。

チ、ホラ此號。●此號。此符號。此種。—是頭號

—此號は一號。—比別號較歹—此號は他の

號より悪い。●これ。この。—一人—この人。—

所在—この所。—天—この天氣。—給你

—これを與る。

チ、ホラカアチ、ガイ一好合一泉。—

無二好相排—一人の賢者に一人の愚者を配し、

夫婦二人とも揃つて賢者たる事なし。

チ

チ

チ

チッ

チッ ボンボエボン 七摸八摸。矢船と弄る。

チッ ボア 一般。一樣。一般。同様。同じ事。與乞食
—— 乞食と同様。—— 一樣と同様。

チッ ボア 一半。●半分。一半。半。風吹斷了線家
伏去—— 風の絲が切れて身代の一半を失ふ、
望の綱が切れるの意。—— 較加過半。●一つ
や二つ。僅か。少い。—— 一個銀一圓や二圓。
僅かな金。—— 一回や二回。稀に。偶に。
—— 過同上。—— 時同上。—— 日同上。一兩日。
近日。—— 一人一兩名。僅かな人。—— 暗仔
—— 一晚や二晩。偶に。

チッ ボア 一盤。●一皿。—— 魚仔揚揚頭一皿の
魚は皆頭ばかり、一家中の者が各頭に立ちた
がるをいふ。●(將棋)一番。●—— 生理一切
の營業。

チッ ボア イウ 一般様。同様。同じ。一樣。

チッポエ.....七.....八.....。●主に動詞の場合。
何だの彼だのと。何の彼のと。彼此と。一極一刺
何だの彼だのと言掛をする。一扣一除何の
彼のと差引く。一講一講彼此言ふ。●主に時に
關する形容詞の場合。未斯様に。最る彼様に。
既に。一早一早尚尙様に早いのに。一少年
一少年伊那要死尚尙彼様に若いのに彼は何

チッ

故死ぬのか。伊食到老一老尙且要開查某
彼は最早彼様に年を取て居るのにまだ女遊を
する。 「五十の六。」

チッ ポエゴオサアラク 七八五十六。(九九)七八
チッ ポエツウライゴアカウ 七八除内外扣。(七
除八扣)。

チッ ポオ織補。織足す。補繕ふ。

チッ ポオ織布。布を織る。機を織る。—— 司阜織
屋。—— 料織地。

チッ ポオ此候。【此候】。

チッ ポオ一晡。半日。—— 久半日の間。—— 稽
半日の仕事。

チッ ポオ一步。●一步。一足。一步仔—— 一步一
步つ。—— 還—— 同上。●一手段。一手。
—— 棋—— 挖—— 將某の一手一手によってそれに對
應する手がある、相手の出様次第によってそれ相
應の手段をめぐらす。

チッ ポオクウ 一晡久。●半日。●暫く。稍久しく。
●徐徐と。

チッ ポオクウ 一晡久。●半日。●暫く。稍久しく。
想—— 即應暫く考へてから答へる。

チッ ポオワア 七步蛇。(動) 非常に危険な毒蛇の一
種。この蛇に咬まれると七步にして死すといふ。

チッ

チッ ポラ 脚婆。大きな鮎。

チッ ポラ 七寶。七寶。

チッ ポラタン 七寶銅。赤銅。

チッ ボク 質朴。(文) 質料。質素。

チッ ボク 一焮。一つの疔。身軀起—— 體に
疔瘡が出来る。—— 大拇焮—— 大きな一つの疔、
ぶくぶくしてゐる陰部をいふ。

チッ ミアタン キアシア 一名通京城。名聲京城に
響く。

チッ ミイ 一暝。一晚。一夜中。—— 揚揚頭路天光
無半歩—— 一夜中種種な仕事を計畫するも夜が明
けると何もやらす實行しない意。—— 那獵狗呢
—— 夜通獵犬の様にうろろする。

チッ ミイアア 一撮仔。一撮。少量。

チッ ミイジツ 一暝日。一晝夜。

チッ ミイチツジツ 一暝一日。一日一夜。一晝夜。

チッ ムン 質問。(國) 質問。

チッ ムンバイ 一門派。一流。一派。

チッ モア 此滿。●今度。●今。●只今。—— 即
來今來た。【此滿。此滿。此滿。】
チッ ラアチツサウ 一撈一臭。一回撈過せば一回
の臭味が出る、事件など穿れば穿る程臭聞が廣が
チッ ラアヒイ 脚仔魚。(動) 鮎。

チヌ

チ、ロオツウ一路取。長所。取得。取所。伊有

ー彼は取得がある。無ー取得がない。長所がない。

チ、ロロ此號。【此號】。

チ、ロンポエロン七弄八弄。色色と煽動する。

チヌ チヌ

チヌ 甄。(進)甄。

チヌ 眞。(進)眞。眞。眞實。本物。我講的是一

的私の言つたのは眞實のことだ。此粒眞珠是

一的この眞珠は本物だ。一假本物に偽物。眞偽。明かに。確と。我聽無ー私は明かに

聽取れない。你着查較ー汝は確と調べなさい。一本當に。甚だ。大層。大變。一好一本當に

好い。一痛甚だ痛い。一寒大變寒い。打消の反語。彼一有ー何んでそんな事があるものか。

我在一要喃ー何んで僕が承知するものか。彼一有影ー何んでそんな馬鹿らしい事があるものか。

チヌ 升。米ー米の杓。一升。一米ー米一升。

チヌ 清。澄む。溪水眞ー川の水がよく澄む。一糲ー澄んだ米の白汁など。水ー魚現ー水澄めば魚

チヌ

現る、事實が明白になれば黑白が判るなどの意。

粒などぶくくりと脹れた様。豆仔眞ー豆が同上。粒仔眞ー腫物が同上。

チヌ 軫。(進)軫。

チヌ 晋。(進)晋。(國名)晋。

チヌ 進。進む。一退兩難進退兩難。一前前に進む。工事没ー工事が進まぬ。一秀才秀才に進む。一椗一椗進める。(家屋を敷へる

詞一棟。厝一一家一棟。前一前の棟。後一後の棟。一獻げる。獻上する。一香香を獻げる。一貢貢物を獻上する。一給皇上上天

皇陛下に獻上する。一祖廟に奉祀する爲に位牌を差出す。一主同上。一二身二身差出す。

チヌ 證。症。……【チエン證。症。……】。

チヌ 秦。(進)秦。(國名)秦。

チヌ 繩。注目。注視。狙ふ。掠伊一直ー彼に頻りに注目する。一了無準ー狙が外れる。一墨繩。牽ー墨繩を引く。彈ー墨繩を打つ。一當。伊講的話没ー得彼の話を當にならない。

チヌ 盡。(進)盡。盡す。盡きる。一忠忠義を盡す。講没ー話盡せない。用一食一當一即去

自ー使盡し食盡し、質に入盡して自殺する。一悉く。残らず。一有ー給人ー有りったけの物を

チヌ

残らず人にやる。一趁一開一儲けただけ皆使盡す。一限。一今仔日今日限。一此月日本月限。一駄目を押す。念を押す。更共伊一

次もう一度駄目を押す。

チヌ 眞。(眞)眞の意味を強めん爲に特殊轉調したるもの。滅法界に。馬鹿に。非常に。一好ー非常に好い。一美滅法界に綺麗だ。

チヌ 親。(進)親。親。母ー母親。一血を分けたもの。親族關係。同胞血族。舉目無ー近くに身内がない。伊與我有ー彼は私と續間である。一親親む。親しい。近しい。疎不間ー疎、親を問せず、疎遠な者が親密な者を離間し得ぬ。伊與我較ー彼は私と親しい。一躬躬ら。親しく。一身去躬躬ら行く。一目看親しく見た。

チヌ 稱。二十斤位迄秤の秤。半秤。一仔同上。一有起勢ー秤の竿が上る。量目がよい。一同上で秤る。一看秤て見る。一到起起ー量目よく秤る。一了較表ー掛目がわるい。一秤て買

ふ。一猪肉ー豚肉を買ふ。一三斤三斤買ふ。一挺子で扶上げる。此塊石一看能起來没ーこの石は扶上げられるかしら。一浮起來ー扶上げ

て浮上うきあがらせる。

チヌ清。●冷めた。冷えた。一飯ひやく冷飯。一茶ちや冷めた茶。一汗あせ冷汗。●映えない。色いろ緞じゆん一色いろが映えない。一面ひとへ無愛相むあいさうな顔かほ。登相とんさう。

チヌアア稱仔。二十斤位まいごころもなほ送秤おくりはかりの秤。

チヌアアト親仔堂。親堂おやだう。

チヌアイ親愛。親愛おやあい。親密おんみつ。

チヌイア進益。發展はつてんする。果取はかどる。進歩しんぱする。進む。有あり一果取はかどる。仕事しごとが運はこぶ。生理しんり有あり一商賣しょうばいが發展はつてんする。

チヌイウ親友。親友おやゆう。

チヌイエウ進益。進益しんえき。

チヌイオン親勇。護衛ごゑいする者もの。護衛兵ごゑいへい。

チヌウウ盡有。有あり丈ぢやう。悉皆しつがい。一盡買ぢんばい有あり丈買ぢやうばいふ。一盡食ぢんじき不な殘食ざんじきべる。

チヌウヌ親恩。親恩おやおん。

チヌエエ眞的。本物ほんぶつ。生粹なまじゆ。實物じつぶつ。一物ひとぶつ本物ほんぶつ。

チヌオン親主。親主おやぬし。

チヌヲヲ進學。童生どうせいが考試かうしに及第きつだいして秀才しやうさいの稱號しょうごうを得る。秀才しやうさいの試験しけんに及第きつだいする。

チヌカア稱脚。秤はかりを持もちて茶ちやの買出かひでに歩あるくもの。茶ちやの仲買なまばい。

チヌカイ盡皆。悉皆しつがい。殘らず。根除ねぞろ。一賣ばい了りやう了りやう。

根除賣ねぞろばいつてしまった。

チヌカウ秦丸。秦丸しんくわん。●げんたるさうの莖きと葉はを細こく切きつた漢藥かんやくの名な。澤蘭たくらんの參照さんしやう。

チヌカウ稱鈞。秤はかりの鈞かぎ。

チヌカク盡角。極點ごくてん。極端ごくたん。行詰ぎやうじつ。極隅ごくぐ。話講到わはかうたう。一極端ごくたんな話わをする。路行到ろぎやうたう一話講到わはかうたうで歩く。下在げざい一極隅ごくぐの所ところに置く。

チヌカン晋江。晋江しんかう。泉州府せんしゆふ内うちにある縣けん。一驢ろ晋江しんかうの驢ろ。晋江しんかうの者ものを罵ののす。

チヌキア進京。上洛じやうらく。上京じやうきやう。

チヌキアン秦腔。主として竹製ちやくせい・木製もくせいなどの樂器がくきで奏そうする音樂おんがくの一種いしゆ。

チヌキイ振起。振起あふあす。一家風かかぜ家いえを起おこす。

チヌキイキイ清啞。非常ひじやうに冷ひやい。

チヌキウ賑救。救恤きうじゆ。救濟きうさい。賑なます。救助きうじゆ。

チヌキエウ々々々々。盡極頭きんごくとう。極端ごくたん。極點ごくてん。

チヌキエン眞景。實景じつけん。眞景しんけん。

チヌキエン驢敬。餞別せんべつ。

チヌキエンチヌサム眞經眞懺。本當ほんたうの經文きやうもん。

チヌキヌ盡根。盡根じんこん。

チヌキヌ親近。親近しんこん。

チヌキブ進級。進級しんきき。

チヌキム眞金。眞の金しんのかん。純金じゆんきん。一不怕火おそ眞の金しんのかん。

金は火を恐れぬ。

チヌギイ驢儀。餞別せんべつ。

チヌギイ盡義。義ぎを盡つくす。

チヌギエヌ眞言。眞言しんごん。一咒語じゆご眞言しんごんの呪文じゆもん。

チヌギエヌ進言。言上ごんじやう。一的路言路ろごんご。

チヌギエヌ眞言宗。眞言宗しんごんしゆう。

チヌギエン親迎。新郎しんごうが新婦しんぷの家いへにゆき自らみづか新婦しんぷを迎むかへること。

チヌクイラッ盡氣力。根限こんげん。全力ぜんりきを盡つくす。

チヌクツジオク親骨肉。肉親にくしん。骨肉こつにく。

チヌクツヒエク親骨肉。前に同じ。

チヌクヌ進軍。進軍しんぐん。

チヌクヌ盡根。證書しやうしに用もちひる字句じくご。根ねこそぎ。悉皆しつがい殘らず。杜賣とばい一字いち不動產ふどうさんなどの一切いっけいの權利けんりを殘のこらず賣渡うりわたす證書しやうし。

チヌクヌ親近。親おやく近ちかく。親おやい。昵懇ぢつこん。一伊い彼かれに親おやく近ちかく。不可ふた一歹人なげん悪人あくじんと親おやんではいけない。

チヌクン進壙。進壙しんぐん。

チヌグイ眞偽。眞偽しんぎ。一不明ふみやく眞偽しんぎ不明ふみやく。

チヌケエ眞假。眞假しんか。眞偽しんぎ。與我よれ在あ籍せき一私わたくしに對たいして眞偽しんぎを問とふ。乃公おれに楯たてをついて辯駁べんぱくする。

チヌケエ眞價。眞價しんか。

チヌ

チヌ

チヌ

チヌ

チヌ ケエ 親家。夫婦雙方の父親が互に呼ぶ語。――
 對門禮數原在親戚が向合で居ても禮義は
 存す。冤家變成――喧嘩して反つて親類の様
 に仲よくなる意。雨降つて地固まる。

チヌ ケエ チエク 親家叔。姻家の叔父。

チヌ ケエ ペエ 親家伯。姻家の伯父。

チヌ コア 震卦。八卦の一、震の卦。

チヌ コア 清汗。冷汗。寢汗。流――冷汗をかく。

チヌ コアイ 稱棹。秤の竿。――釘稱花秤に目を
 チヌ コアイ 親眷。(又) 眷族。

チヌ コアイ 親權者。(又) 親權者。

チヌ コエベエ 盡契尾。不動産などを悉皆賣放す。
 多少の權利の残つてゐるのを皆譲渡す。

チヌ コオ 進姑。【臨水夫人】。

チヌ コオ 親姑。父の姉妹。小母。

チヌ コラ 盡業。悉く頼る。杖柱と頼む。――伊一
 人凡て其人にたより頼む。

チヌ コク 眞郭。(姓) 眞郭。

チヌ コク 晉國。晉の國。

チヌ コク 秦國。秦の國。

チヌ コン 進貢。獻貢する。貢を納める。

チヌ コン 進壙。棺を墓穴に差入れる。午時――午
 の刻に同上の式を擧げる。

チヌ

チヌ コン オン 秦廣王。第一閻魔廳を掌る閻魔王の
 名。

チヌ サイ 眞知。好く知る。此條我所――この事
 は僕の好く知つてゐることである。

チヌ サイ 震災。(國) 震災。

チヌ サイ 賑災。災厄で困つてゐる人を助ける。

チヌ サイ 進財。財を進める。大に儲かる。金が出来
 る。添丁――子供が殖えて財産が増す。

チヌ サイ 盡知。知抜いて居る。知盡す。

チヌ サイ 盡在。權――在伊手裡權限は盡く彼
 の手に在る。能輸也是能贏――今仔日負
 けるか勝つか眞に今日定まる。

チヌ サイ 親裁。(又) 親裁。

チヌ サイ 清彩。映えざると映えたと。何でも
 勝手。隨意。――好何でも構はない。③(名詞
 に冠する場合)……でも。――人誰でも。――
 時何時でも。――所在何處でも。④(動詞に
 冠する場合) 勝手に。好い加減に。隨意に。――
 行勝手歩く。――寫好い加減に書く。――
 入去看隨意に入つて行つて見る。

チヌ サイ シウ 進財首。祭の時の一部分の擔當者。
 【斗燈首】の一。

チヌ サツ 診察。(國) 診察。

チヌ

チヌ シア 升聲。(田地賣買の計算方法) 一圓につき小
 作米の收得額の何升何合といふ升の分量。算――
 不算分聲。田地の賣買の時同上によつてする
 一段幾らといふ田地の廣さによる賣買はしない。

チヌ シア 親寫。自ら書く。自筆。

チヌ シイ 眞死。本當の死。――さあ、しまった。困つ
 た。――扁擔續折去さあ、しまった、擔棒が
 チヌ シイ 親生。實子。――子同上。「折れた。」

チヌ シイ オン 秦始皇。秦の始皇帝。

チヌ シイ キア 親生子。實子。血を分けた子。――
 不値自己財、自己財不値荷包内生の
 子は己の財産に如かず、己の財産は巾着の中に有
 るに如かず。

チヌ シイ ホン 秦始皇。秦の始皇帝。

チヌ シウ チオク グツ 親收足訖。(又) 文書に用ひる
 語句。正に受取済。確に受領。

チヌ シエヌ 眞仙。眞の仙人。――没救無命子眞
 の仙人も命の無い者は救はれず。

チヌ シエヌ 進膳。(又) 馳走を献上する。飯を供へる。

チヌ シエン 眞成。好く似て居る。生寫。眞に迫る。

チヌ シエン 眞誠。(又) 至誠。誠心。

チヌ シオク 親屬。(又) 親類。親屬。

チヌ シオン 眞相。本來の面目。眞相。

チヌ シオン 進上。(又) 奉る。進上。

チヌ シオンギアア 蒸嘗業。(漢) 【蒸嘗業】。

チヌ シヲ 子イ 親小。弟。實の弟。

チヌ シツ 眞實。眞實に。眞實。本當。

チヌ シツ 盡蝕。皆既蝕。

チヌ シヌ 眞神。眞の神。

チヌ シヌ 摺紳。(又) 摺紳。

チヌ シヌ 親身。躬ら。自身。親く。手づから。――
傳授直傳。――講口づから言ふ。

チヌ シム 眞心。眞心。

チヌ シム 盡心。心を盡す。丁寧にする。――端力――
心を盡し力を竭す。――教心を盡して教へ
る。――唱嫌無聲心盡して歌つても聲の
無いのを咎める、熱心に盡力するにも拘はらず尙
且不足をいふなど。

チヌ シム 清心。斷念。思切。見附。愛想がつき
る。懲りる。愛想を盡かす。不肖子成人――
放蕩子息が人に愛想を盡かさせる。

チヌ ジイカム 進二甘。果物が成熟しておいしい。

チヌ ジエツ 親熱。非常に親しい。甚だ親密。情交
の密な。――的交陪親交。

チヌ ジヌ 眞人。神、仙人又は道教を傳道する人の尊
稱。眞人。――眞做直入眞人といふ字を直

入といふ字と間違へて讀む、無學粗忽を罵る意。

チヌ ジヌカウ 進人口。子孫の人数が多くなる。

チヌ ジム 親任。(國) 親任。――官親任官。

チヌ スイ 晋水。【晋江】。

チヌ スイイヌ 軫水蚓。【二十八宿星の一】。

チヌ スウ 眞書。楷書。

チヌ スウ 進士。(人) 登用の試験に及第せしものの稱
號。進士。清朝錢明朝。――清朝では錢、
明朝では進士が最も重んぜられる。

チヌ スウ 親事。婚嫁の事。

チヌ スウクツ 進士骨。●進士になる素質。●品物
の素質がよい。よい材料。歹歹亦是――悪
くても素質がよい。腐つても鯛。

チヌ スウチウ 進士場。進士の試験場。

チヌ スウリホク 進士録。進士の人名録。

チヌ スツ 賑恤。(又) 賑給。賑恤。施行。――的米
救米。

チヌ スン 清霜。●飯や茶などの冷い。●日當の悪い
爲に土地の瘦せた。

チヌ セエ 親疎。(漢) 【親疎】。

チヌ セエ 親生。(漢) 【親生】。

チヌ セエ 賑濟。賑す。施す。救濟。――赤人負し
い人を救濟する。

チヌ モエ 親醒。(漢) 【親醒】。

チヌ ソア 繩線。墨繩。準繩。

チヌ ソア 稱終。祟の爲病む時秤に病人の膏物と一
斗の米をかけて祟を祓ふ祈禱式。

チヌ ソアヘ 盡息尾。最後。一番終。

チヌ ソエ 親疎。親みと疎み。親疎。――在人做親
疎は人のやり様による。

チヌ ソオ 眞蘇。●極閑雅。眞に立派。●(鳥) 自分勝
手な事をいふな。勝手な眞似をするな。

チヌ ソオ 親疎。(又) 親疎。【親疎】。

チヌ ソヲ 繩索。墨繩。

チヌ ソエ 進贅。結婚後夫が妻の家に至り暫時同居し
其後夫は妻を連れて歸家する結婚。【入門】を見
「下」。

チヌ ソク 振作。(又) 鼓舞。振作。

チヌ ソク 親族。(又) 親族。

チヌ ソラレエトアヌ 眞草隸家。(字體) 楷草隸家。

チヌ ソン 眞宗。眞宗。

チヌ ソン 進葬。埋葬。葬る。

チヌ ソンチエク 眞踪跡。實跡。

チヌ タアチヌ 親壘親。既に親類又は縁類たるもの
が重ねて縁組する。重縁。

チヌ タウ 升斗。杓。

チヌ タウ 症頭。(漢) 【症頭】。

チヌ

チヌ

チヌ

チヌ

チヌタク 盡頭。端。どんづまり。果。終。行止。極

點。路行到。行詰る所まで歩く。官做到

一最高位の官になる。

チヌタク 稱頭。掛目。無。掛目が無い。添

掛目を添へる。

チヌタク カム進頭甘。果物が丁度成熟した。

チヌタク タウ親篤篤。甚だ親しい。親密な。

チヌタク 眞童。眞正の「童」。三十歳查哺是

三十歳查某是老人。三十歳の男は眞の人即

ち働盛で三十歳の女は老人である。

チヌタク 稱重。重さを量る。偷掠雞無。盗ん

だ雞は重さを量らない、雞を殺す前に盗んだ

ものの外は目方を量つてから殺す習慣があるより

いふ。保認的無傳我過。我不敢借伊

保證人の信用を秤にかけなければ彼に貸すこと

は出来ぬ。

チヌチア 眞正。眞正。眞實。一眞正の

金。一眞に。誠に。實に。實際。一賢眞に偉

い。一寒實に寒い。

チヌチア 眞成。眞に成る。成つて居る。一様實

に形を成して居る。一本當に。大層。大變。一

賢本當に偉い。一寒大層寒い。

チヌチア 親成。姻戚。縁續。一五月親類や縁

チヌ

續。一五十同上。與阮有。縁續であ

る。一氣仔遠縁。一絲仔同上。人

錢性命。人は姻戚、金は命、金問題になると姻

戚どころでないといふ意。婚姻の縁談。一講

没好勢。縁談がうまく纏まらぬ。放。一女家

が嫁人などに頼んで縁談を方方に求めること。

チヌチアウ 噓筈。【噓筈】。

チヌチアア 眞捷。大變手早い。頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌチアア 眞捷。一頻頻と。繁繁と。

チヌ

書。一交伊手づから渡す。繡毬。一抛。繡

毬を手づから投付ける、自ら選んだのである。

チヌチウ 親像。似る。似てゐる。……の様だ。一到

無二。そっくり。よく似てゐる。無。似てゐる

ない。一花。花の様だ。冷到。一氷。氷の

様に冷い。一俾。俾。去。去。奪はれた様

だ、人が急病で死んだ時などにいふ。【親像】。

チヌチウラン 親像。人間並。人間並になる。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

チヌチエウ 親戚。親戚。親類。縁者。

の爲に泣いて誠意を盡すが如く同情をする振をする。

チヌチエン 親征。親征する。御駕——同上。

チヌチエン 親政。(又) 天皇が自ら政治を爲す。

チヌチオク 進爵。(又) 爵を進める。

チヌチオク 進酌。(又) 神佛に盃を捧げる。

チヌチヲ 清笑。作笑。假笑する。伴——同上。

チヌチツ 盡職。職分を盡す。無——不眞面目。一辨事——職分を盡して事を扱ふ。

チヌチヌ 進進。【進】の(一)(三)(四)。

チヌチヌ 繩繩。【繩】の(一)。

チヌチヌ 親親。【親】の(四)。

チヌチヌ 稱稱。【稱】の(二)(三)(四)。

チヌチヌ 清清。●映えない。色緞——色が映えない。面——貧相。●冷たい。寒——極寒い。

冷——極冷たい。

チヌチヌチイチイ 清清彩彩。【清彩】。

チヌチヌチアーンチアーン 親親阜阜。【親阜】。

チヌチヌチヌ 清清清。泡瘡などの丸く綺麗に出た様。豆などの眞丸く綺麗に熟した様。

チヌチヌチエチエ 進進退退。進んだり退いたり。

チヌチヌチアウ 晋朝。晋朝。晋の時代。

チヌチヌチアウ 秦朝。秦朝。秦の時代。

チヌチイチイ 清鐵鐵。次に同じ。

チヌチイチイ 清鐵鐵。甚だ冷たい。鐵の様に冷たい。

チヌチウ 眞張。本気で。本當に。心から。你敢有——要去留學。君は心から留學に行くのか。你敢下——要與伊輸贏。君は果して實際彼と争ふのか。見——伊就走去。目前の時にすると彼は逃げてしまふ。

チヌチウ 進場。試験場に入ること。

チヌチエク 進德。(又) 徳を進める。道徳を積む。

チヌチエヌ 親展。(又) 親展。

チヌチエン 進燈。結婚して第三日の朝に寢室から廣間に提燈を提出すること。

チヌチエン 親丁。●官人などに使用せられるもの。從者。●新嘉坡に於ける警察。

チヌチエン 進皇。(又) 進皇。

チヌチオン 進中。考試に及第。登第。

チヌチオン 盡忠。忠を盡す。忠勤。盡忠。——報國。盡忠報國。——難以盡孝。忠を盡せば孝を盡し難い。——死無棺柴。忠を盡して死んだものに棺桶なし。正直は馬鹿をみる意。

チヌチオン 親長。目上の親戚。

チヌチヲ 親挑。手づから選抜する。擇る。伊的妻。是伊的。彼の妻は彼自身で選擇したのだ。

チヌツイ 進水。(又) 進水。——式——進水式。

チヌツイ 清水。冷えた水。湯冷。

チヌツイ 親嘴。口づから。親く。——講——自身の口から言ふ。

チヌツウ 眞珠。眞珠。走馬看——馬を馳らせて眞珠を見る、見方が粗略な、ぞんざいな。——財寶——眞珠財寶。寶物。——螺——眞珠貝。——藏到變成老鼠屎。眞珠が鼠の糞に變る迄それをしまひ込む、處置をつけない爲に價值あるものが無價値になる意。

チヌツウ 眞主。亡國の際に現はれる眞の皇帝。出——同上が現れる。

チヌツウ 進主。位牌を祖廟に合祀する。

チヌツウ 進取。(又) 進取。

チヌツウ 親子。(又) 親子。

チヌツウ イイ 眞珠衣。眞珠の着物。冬着れば温く夏着れば涼くなる寶の着物。着れば涼くなる寶の着物。一種。

チヌツウ コアヌ 眞珠環。眞珠のついてゐる腕輪の一種。

チヌツウ ジエツチエン 疹子熱症。(又) 猩紅熱。

チヌツウ フヌ 眞珠粉。眞珠を粉にしたもの、薬に用ひらる。

チヌツウ ベエ 眞珠廳。眞珠の粥。(明朝の正徳帝の召

チヌ

チヌ

チヌ

チヌ

上る麥の粥を一臣下が稱して言ふ。

チヌツウボア 眞珠末。【眞珠粉】。

チヌツッ 盡出。總出。總掛。――去出切。總出。

チヌツイ 稱錘。分銅。――柝你掩缸分銅で甕を

敷る、貧乏人が金持と喧嘩するが如き。――拖着

尾秤の錘をずらして端の方に押やる、人の老

いて行く程零落するなどをいふ。

チヌツイビ 稱錘泳。水を替る方法の一種。洗

込む。洗没する。不時愛弄水早緩能一次

――常に水遊をすればいつか一度は洗む目に遇

ふ、溺死ぬよ。船續――船が遂に洗没した。

チヌツウチヌ 眞適眞。本當。眞實。――實適實

――同上。――鏡適鏡――眞實である。明白な事

實である。――現適現――本當である。

チヌツウホラ 眞適好。丁度好い。好い加減。折善

く。程よい。――折悪く。生憎。――此満無在

得――生憎今は居ない。

チヌテエ 進茶。茶を勧める。

チヌテエ 進退。進退。駈引。

チヌテエ 進宅。【入厝】。

チヌテエ 親弟。親を同じうする弟。同腹の弟。

チヌテエ 清塊塊。愛想が盡きる。――冷えき

る。色が非常に映えない。

チヌ

チヌトアヌ 診断。【診察】。

チヌトアヌ 眞傳。眞の祕訣。眞の祕傳。得着師傳

的――師匠の祕傳を得る。

チヌトエリオンラヌ 進退兩難。進退兩難。

チヌトアヌ 盡傳。皆傳。

チヌトアヌ スウ 診断書。【診斷書】。

チヌトエ 振替。【振替】。

チヌトエ 進退。進退。――兩難進退谷。――維

谷――同上。知――爲英雄進退を知るは英雄

チヌトエ 稱底。古き秤など標準の秤に照して重

さに多少の出入あること。秤の癖。重さの基準

の各各異った秤の種類。用甚厭――秤とどん

な種類の秤ではかったのか。

チヌトエタウツウ 升地斗厝。敷地の狭い大きな

邸宅。敷地を買ふは家を建てるに比すれば些少

なこと。――劍勝負。

チヌトエ 眞刀。眞劍。――眞鎗――本物の刀や鎗。眞

チヌトエ 秤銚。分銅。

チヌトエ 振動。【振動】。

チヌトエ 親堂。同一祖先の子孫。同族。身内。續

間。――兄弟――再從兄弟。――親しみの意を表す

場合）同姓者。

チヌトエ 進退。【進退】。

チヌ

チヌナア 稱仔。【稱仔】。

チヌノオ 震怒。【震怒】。

チヌハウ 盡孝。孝を盡す。孝行。盡忠難以――

忠を盡せば孝を盡難し。

チヌハンワヲ 眞行草。【眞行草】。

チヌバツ 親目。親目。――看見親く見た。目

撃した。――所看見――同上。――過看親く目

を通す。

チヌバツ 眞識。よく識つてゐる。――貨品物をよく識

つてゐる。――食口が奢る。

チヌバツ 盡識。盡く識る。各項――各種の事を詳

チヌバン 盡望。【盡望】。――しく識る。

チヌパイ 親派。同一祖先の子孫。同族。一族。

チヌパウ 眞包。本物。眞物。【假包】に對す。

チヌパグピア 盡腹傾。腹にある總てを吐出す。腹藏

無い。有話――打解けて話す。腹藏なく話

す。司卓――教司仔――師匠が腹にあるすべて

の祕傳などを弟子に教へる。弟子に皆傳を與へ

チヌパヌ 進班。試験に及第して進級する。【進】。

チヌパン 進房。婚姻の時夫婦が一斗枰を持ちながら

部屋に入ること。床入。

チヌパン 盡帆。帆を一杯に張る。――駛風を十

分に受けて駛る。充分帆を張る。――ぎりぎりけつ

ちやく。極端。做事情不可做到。事をするには餘りに極端に走過ぎてはいけない。此號價算是。一。喇。これはぎりぎりけつちやくの値段だ。

チヌペンピア 畫帆傾。帆を一杯に張って走る、精一杯。一生懸命。無。走没。贏伊。一生懸命に走らないと彼に勝つことが出来ない。

チヌヒア 親兄。一。實兄。一。弟。同腹の兄弟。一。情。歌の文句に用ひる語。汝。貴方。此方の人。

チヌヒウ 進香。線香を上げる、參詣。去龍山寺。一。龍山寺へ參詣に往く。

チヌヒエツピエウ 眞血脈。正統。眞の血統。チヌヒエツピエウ 親血脈。血筋。眞の血筋。血縁。

チヌヒエヌ 進獻。進獻。獻上。捧げる。寶貝。國王。寶物を國王に獻上する。

チヌヒエン 振興。振興。一。國家。國家を振興する。生理能。一。商賣が繁昌する。

チヌヒエン 進行。進行。一。歌。進行歌。一。曲。進行曲。

チヌヒエンヲ 眞行草。眞行草。チヌピアウ 眞妙。大出来。上出来。絶妙。話講去。一。なかなかうまく話した。此計。一。此計畧は實に妙計だ。

チヌビイチア 眞米正釀。眞の米と本當の麴で作ったもの。正真正銘。正式の。正統の。我是。一。的。不是。隨人。走的。私。正式に嫁入したので、墮落者ではない。一。的。秀才。不是。捐的。一。眞眞の。秀才。で金で資格を買ったのではない。

チヌビエン 眞命。亡國の際に民間に生れ出た皇帝。見。着。一。着。躡脚。同上に出會ふと躡む、眞劍の場合になるとへこたれる。

チヌビエンチエヌツウ 眞命天子。前に同じ。チヌビツ 親密。親しい。親密。夫妻不止。一。夫婦がよく親しんでゐる。一。的。朋友。一。莫逆の友。

チヌビツ 親密。非常に親しくする。見。着。頭。到。一。出會つた時には非常に親しくする。

チヌビヌ 清面。無愛相な顔。貧相。笑容。一。にこにこする顔と無愛相な顔。生。頭。一。顔色を變へて無愛相な顔をする、腹を立てる。

チヌピアン 清兵。非常に冷い。冷い。飯。一。飯が非常に冷い。

チヌピイ 親披。一。直披。親展。チヌピイ 清擎擎。一。清兵兵。チヌピイ 清擎擎。前に同じ。

チヌピイ 清擎擎。前に同じ。チヌピイ 清擎擎。前に同じ。

チヌビエン 進兵。兵を進める。チヌビエン 親兵。護衛兵。皇帝的。一。近衛兵。チヌビエン 親朋。一。親友。一。故友。一。親い舊友。

チヌビラ 進表。天皇又は神佛に表を奉る。チヌビツ 眞筆。正筆。一。蹟。眞筆。チヌピツ 親筆。自筆。直筆。一。蹟。親筆。我的。一。字。私の自筆。

チヌフイ 親夫。一。夫。チヌフウ 親夫。一。夫。チヌフヌ 盡份。一。盡職。

チヌブウ 親母。實母。生の母。チヌブウヲ 進武學。武の秀才になる。

チヌブウテエ 晋武帝。晋朝の武帝。司馬炎。チヌブウテエクヌ 眞武帝君。一。支天上帝。

チヌブヌヲ 進文學。秀才になる。チヌブイ 清飯。一。清飯。

チヌプツ 進不進不退。進むに進めず退くに退けず。

チヌブヌ 眞本。眞實の資本。眞商無。一。本當に商賣はやってゐるがそれに伴ふ眞實の資本はない。無。一。生理做没動。一。本當の資金がなければ商賣は出来ぬ。

チヌブヌ 清糶。澄だ米の浙汁。

チヌ

チヌ

チヌ

チヌ

チヌ プヌ チヌ ライ 眞本眞利。 實際に資本がかかっている。 --- 的物 實際に資本のかかっている品物。 這是 --- 的 不是人送我的 这是實際に買ったので人が呉れたのではない。

チヌ プヌ チヌ リイ 眞本眞利。 前に同じ。

チヌ プン 清飯。 冷飯。 食 --- 丸 冷えた握飯を食ふ、刑務所に入ること。 --- 當飢人 冷飯を取って置いて飢えてゐる人を待つ、つまりぬ物でも

藏つて置いて有用に使ふ時機を待つ意。 --- 無食是查某 爛的 冷飯は食はないでも矢張下婢のもの、結局自分でせねばならぬ意。

チヌ プン チヌ 清飯。 蕁蕁(植) 蕁蕁つるそば。(製科、

莖葉を叩きて糲と共に指の腫物に貼用す)。(きだちすなびき。(紫草科、根を搗碎して潰爛せる部分に貼用す)。

チヌ ヘエ 眞貨。 眞物。 本物。 --- 假貨 品物などの

眞物と贗物。 掠着 --- 本物を捕へた。

チヌ ベエ 盡尾。 果。 終。 仕舞。 去到 --- 果まで往

く。 扒到 --- 頂上まで登る。

チヌ ベエ 稱尾。 秤の末尾。 --- 起勢 秤の末尾が

上つてゐる、目方が充分にある意。

チヌ ベエ 清糜。 冷い粥。 放 --- 刀 冷い粥を食はせてやると流言を放つて人を却す。 --- 不食查某

チヌ

親的 冷い粥を食はないでも矢張下婢のもの、結局自分でせねばならぬ意。

チヌ ベエ 親伯。 父の兄。 伯父。 眞の伯父。

チヌ ベエ 親父。 實父。 生の親。

チヌ ホア 進化。(國) 進化。

チヌ ホアツ 進發。 進發。 軍隊など進出する。 軍兵 望東 --- 兵隊が東に向つて進出する。

チヌ ホアヌ 眞犯。 正犯。 眞犯。

チヌ ホエ 稱花。 秤の目盛。 秤の目。 --- 看錯 目盛を見誤る、見違へる意。

チヌ ホオ 親厚。(又) 親厚。 親密。

チヌ ホオホオ 親厚。 非常に親しい。 認到 --- 親しさに親類の續合の話をする。

チヌ ホク ロアヌ 眞霍亂。(病) 虎列拉。

チヌ ホン 盡風。 駛 --- 風を十分に受けて駛る。

チヌ ホン チヌ 眞風。 眞風。 【風塵】。

チヌ ボエ 盡賣。 盡く買ふ。 買上る。

チヌ ボエ 盡賣。 盡く賣る。

チヌ ボク キウ 眞無救。 眞に救ふ方法がない。 施す術がない。 本當に仕様がな。 --- 天尊 同上。

上。 遇着此號夕妻 --- こんな悪い妻に遇つては本當に仕様がな。

チヌ ボク 親睦。(又) 親睦。

チヌ

チヌ ボオ 進歩。(又) 進歩。 進む。 果取る。 發達する。 上達する。

チヌ ボオ 盡歩。 行詰る。 どんづまる。 --- 無法度 行詰つて施す術がない。 做乞食是眞 --- 乞食 になるのは本當によくよくの事だ。

チヌ ボク ボク 清焔。 一粒などふつくりとふくれ

ある。 事柄が明白だ。

チヌ ボン 盡磅。 全力を出す。 火車駛 --- 汽車が 全速力を出す。 着準節、不可放 --- 控目に

しなさい、全力を出してはいけない。

チヌ ミア 眞命。 本當の生年月日。

チヌ ミア 眞命。 命のあらん限り。 一生懸命に。 --- 傾 懸命にやる。

チヌ ミイ 眞物。 正物。 本物。

チヌ ムン 盡門。 どんづまり。 限限。 限限決著。 極度 止。 果。 --- 價一元 限限決著一圓。 今都

一 喇 極端に達した。

チヌ モオ 清膜。(病) 尋麻疹。 癩子。 起 --- 同上が

「出来る。

チヌ モオ ナア 清膜凹。 前に同じ。

チヌ ライ 盡内。 一番奥。

チヌ ラツ 盡力。 精一杯。 力の限。 力を入れる。 --- 辨 精出して辨する。 --- 傾 力の限出す。

に打たれる、恩を仇で報いられるが如きをいふ。

チム 咬。接吻。接吻。抱在―抱いて接吻する。―嘴
接吻する。

チム 枕。●(性)枕。●枕。●同上。●頭売。●後頭
部の下方。加落―頭が枕から落ちる、寐違へ
る。

チム 嬌。父の弟の妻。叔父の妻。叔母。―婆。―祖父の
弟の妻。大叔母。小―弟の妻。【嬌】。

チム 浸。漬ける。浸す。―水。―水に浸す。香草。茶油
―香のする草を椿油に漬ける。

チム 蟬。●(動) 蟬。●蟬。●海蟹。●蟹。●(紅)蟬。●菜蟬
の區別あり。―無脚没行路。蟬は脚がなけれ
ば路を歩けない、手足となる部下がなければ仕事
はできぬ意。掠。―走蟻。海蟹を捕へて蟻(蟹の
類)を逃がす、事の齟齬するをいふ。

チム 尋。●(動) 【尋】。

チム 侵。●(性) 侵。●侵す。―别人的境界。他人の
境界を侵す。●使込む。●孔を明ける。伊。我的
錢。彼は、私の金を使込んだ。―着頭家的錢。主
人の金へ手を附けた。―無微。●孔を明けて填
合がつかぬ。

チム 深。●深。●深さ。―浅。―深淺。眞。―大層深。四
尺。―深さ四尺。●奥深。●奥。奥行。彼間

厩。眞。―あの家は大層奥深い。丈八。―奥行三
間。―山。―奥山。●學問など難しい。程度が高
い。此本書眞。―この本は大變難しい。伊守
識眞。―彼は仲仲よく字を識つて居る。●歳が暮
れる。夜が更ける。年。―歳が暮れる。更。―夜
が更ける。●色合が濃い。―紅。―深紅。―緑。―濃
い。●眼鏡の度が強い。目鏡較。―眼鏡が強
過ぎる。

チム 踏。●足で探る。―脚行。探足で歩く。緩仔。―
同上。●(事) 探る。探査する。―看虚也實。―
嘘か本當か探つて見る。

チム 鏡。●地均などする時、鍬の刃先にて軽く地面を
突く。土面先。―即效。菜子。地面を先づ突い
てから野菜の種を蒔く。●物を縫合せる時など合
目が少い。棒など差込方が小い。布拗傷。―紮
没住。―布の折目が餘り浅いから縫合しない。棒
單了傷。―即没住。―棒の差込方が餘り浅いから
うまく損らないのだ。

チム 鏡。●…したばかり。日。―暗。―日暮。―日暮
り。―即來。―來たばかり。天。―光。―夜が丁度
明けたばかり。―即講連。―没記得。―今話し
たばかりなのに、もう忘れてしまった。

チム 鏡。【鏡】。

チム アア 此満。【此満】。

チム アア 嬌仔。叔母。

チム アア サヌ 蟬仔寶。【蟬寶】。

チム アウ イエン 枕後離。●(病) 後頭部に生ずる癩。

チム アン 深紅。深紅。

チム イア 深夜。●深夜。

チム イイ 深意。●深意。

チム イイ 寢衣。●寢衣。

チム イイ ホク クヌ 寢衣幅巾。●(文) 死者に着せる着
者と頭巾。經帷巾。

チム イエヌ 深淵。●(文) 深淵。

チム イエン 使用。●金錢を使込む。―頭家的錢。主
人の金を使込む。

チム イラ 浸藥。●液體に藥を浸す。藥の浸出。●藥
に浸す。過。―就沒臭。先藥に漬ければ腐敗し
ない。

チム ウヌ 深恩。●(文) 深い恩。

チム ウヌ 深運。●八九歳で五行による廻合の運期に遭
遇すること。【淺運】に對す。【運】の參照。

チム オオ 深壺。●深い壺。

チム ヲア アヌ 蟬丸。●蟬の肉の料理。蟬團子。

チム ヲア アヌ 深遠。●(文) 深遠。

チム ヲヲ ヲヲ 深奥。●深奥。●奥深。●地形の摺鉢形を
した所。

チム アア 此満。【此満】。

チム アア 嬌仔。叔母。

チム アア サヌ 蟬仔寶。【蟬寶】。

チム アウ イエン 枕後離。●(病) 後頭部に生ずる癩。

チム アン 深紅。深紅。

チム イア 深夜。●深夜。

チム イイ 深意。●深意。

チム イイ 寢衣。●寢衣。

チム イイ ホク クヌ 寢衣幅巾。●(文) 死者に着せる着
者と頭巾。經帷巾。

チム イエヌ 深淵。●(文) 深淵。

チム イエン 使用。●金錢を使込む。―頭家的錢。主
人の金を使込む。

チム イラ 浸藥。●液體に藥を浸す。藥の浸出。●藥
に浸す。過。―就沒臭。先藥に漬ければ腐敗し
ない。

チム ウヌ 深恩。●(文) 深い恩。

チム ウヌ 深運。●八九歳で五行による廻合の運期に遭
遇すること。【淺運】に對す。【運】の參照。

チム オオ 深壺。●深い壺。

チム ヲア アヌ 蟬丸。●蟬の肉の料理。蟬團子。

チム ヲア アヌ 深遠。●(文) 深遠。

チム ヲヲ ヲヲ 深奥。●深奥。●奥深。●地形の摺鉢形を
した所。

チム

チムカア 深脚。土壤が厚い。深い。——的田較有

收成 土壤の厚い田は收穫が多い。

チムカア 踏脚。探足。——行 探足で歩行く。

チムカイ 侵泉。界を侵す。

チムカウ 深交。入魂。深交。與我無——私と親意

チムカウ 纒到。着いたばかり。着かうとする。——此位 此所に着かうとする。

チムガヌ 箴言。(意) 【箴言】。

チムキアム 侵欠。借金を持つ。負債。無——負債

がない。——頭家 主人に對して借金を持つ。

チムキイ 罽。海蟹の肉・椎茸・豚肉・葱・片栗粉等を材料として煮た羹。

チムキイ 浸柿。樽柿。醃した柿。

チムキイ 深更。深夜。深更。

チムキイ 深坑。深い谷。嘴は無底——口は底のない谷。跋落萬丈——萬丈の深坑に落ちる。失敗などする意。

チムキイ 纒去。往ったばかり。往かうとする。

チムキエン 深耕。(文) 深耕。

チムキエン 深徑。(文) 山奥の路。——不宜獨行 深山の路は獨り行くに宜しからず。

チムキオン 深宮。(文) 御所。

チムキヌ 深淺。深淺。打——深淺をはかる。

チム

チムギエヌ 箴言。(文) 箴言。格言。「色」

チムギホク シエク 深玉色。濃い翡翠の色。濃い緑

チムクイ 箴規。(文) 箴規。

チムクイ 深閨。(文) 閨中。——内 閨中。

チムクイルウ 深閨女。(文) 箱入娘。處女。

チムクツ 枕骨。後頭骨。

チムクン 纒光。明けたて。明けたばかり。天——夜が明けたばかり。

チムケエ 深閨。(文) 深閨。深窓。

チムケエ 深坑。(意) 【深坑】。

チムケエルウ 深閨女。(文) 【深閨女】。

チムコア 踏看。●足などで探つて見る。先——即 行去 先に探つて見から歩かねばならぬ。●事

などを探索する。亦無——事實 少しも事實を探索しない。——伊 的意思 彼の心を探つて見

チムコアヌ 侵欺。(意) 【侵欺】。

チムコオ 侵庫。官金費消。官金を私用する。

チムコヲ 罽膏。海蟹の腹にある味噌の如きもの。

チムコン 罽管。蟹の蓋。蟹の爪。——挾 同上。

チムコンザイ 罽管菜。(植) つるむらさき。(落葉科、葉は食用となし小兒が食すれば髪が黒くなると云ふ)。

チムサイ 罽臍。蟹の腹部にある圓形の蓋の如きもの。「蟹の種」。

チム

チムザイ 罽菜。(意) 【罽菜】。

チムサヌ 罽竈。中央に餌を下げ蟹を取る小な四手網。

チムサヌ 深田。深田。

チムシイ 浸死。水死。水に洗んで死ぬ。

チムシウ 深想。深く考へる。熟考。

チムシエク 寢室。(意) 寢室。

チムシツ 侵蝕。(意) 侵蝕。

チムシツ 寢食。(文) 寢食。

チムシツ 踏實。眞實を確める。——行情 相場を確

チムシヌ 侵身。負債の爲に困窮する。

チムシヌ 深信。深く信ずる。

チムジヌ 罽仁。蟹の腹にある黄身。

チムジヌ 侵入。侵入。——厝内 家に侵入する。

チムスウ 深思。(文) 沈思。黙考。

チムソエ 深井。(意) 【深井】。

チムソア 深山。奥山。深山。——林内 同上。

チムソオ 浸醋。酢に浸す。

チムタウ 枕頭。枕。——脚 枕邊。枕許。——箱 箱枕。——簾 小枕。——咒 寢物語にいふ告

口。——袋 枕の被。——套 枕かけ。枕被。

——鬼聖 枕許の鬼は靈驗がある。枕許で妻の

言ふことはなかなか利く。火炭做——炭を枕

にする、炭に寝ると頸が黒くなる、頸が黒くなる

ことを(烏管)といふ故同音【烏龜】の掛詞として用ふ。【烏龜】の◎参照。

チムタム 浸潜。浸して濡す。

チムタム 侵隣。次に同じ。

チムタム 侵隣。(財産)食込む。傾く。家事―財産が食込んで家が衰へる。

チムチアム 侵佔。侵す。侵畧する。地を畧す。―官地||官有地を侵す。

チムチイ 深井。中庭。―仔||小庭。―單||中庭

チムチイ 侵取。(強)【侵取】。「の目蔽」

チムチイ 鏡醒。【鏡醒】。

チムチイザア 鏡醒錘。鏡鉢を打つ音。ちゃんちゃん。

【鏡醒錘】。

チムチイシエク 深紫色。濃紫。

チムチウ 浸酒。酒に浸す。

チムチエック チエン 浸粟種。粟を蒔く前に水に浸す。

チムチエツ 深切。(文)手厚い。深切。

チムチエヌ 深淺。深淺。

チムチエン 浸種。種子を蒔く前に水に浸す。

チムチオク 斟酌。●用心する。氣を付ける。注意。

失―||不注意。無―||氣を付けない。―賊

仔||泥棒を用心する。●考慮する。熟慮する。

大家即―||看覓||お互に考へて見ませう。―

チム

了過―||考慮の上に考慮を重ねた。チムチヲ 尋索。懇ろに説得する。口を酸っぱくして得心させる。

チムチム 箴箴。【箴】の◎。

チムチム 侵隣。【侵】。

チムチム 浸浸。【浸】。

チムチム 尋尋。【尋】。

チムチム 侵侵。【侵】の◎。

チムチム 蹠蹠。【蹠】。「た所」

チムチム 纏纏。只今。―即來||丁度今來た。今來

チムチムチオク チオク 斟酌酌酌。【斟酌】。

チムチムチウ 潜潜流。目屎―||涙がぼろぼろ

チムチイザア 鏡醒錘。【鏡醒錘】。「出る」

チムチヌ 侵陣。敵の陣中に入込む。深入。

チムチム 深沈。深慮ある。沈着な。做事不止―

||事をするになかなか思慮深い。

チムツイ 浸水。水に浸す。―浸汁||水や液汁に浸す。―綿紗夕紡||水に浸した綿糸は紡ぎにく

い。【夕紡】の意。

チムツイ 咬嘴。口をすぶ。接吻。

チムツイ 深水。水の深い處。食―||船が深い處を航行する。又魚などが深い處に棲息する。賄賂を

多く取り又は過分の謝禮を負るをいふ。堅―||

チム

水の深い處に立つ、人の難儀などを傍觀する。高處の見物。

チムツイツヌ 咬嘴唇。接吻。

チムツイホオ 浸水雨。淫雨。霖雨。

チムツウ 枕疽。(病)後頭部の腫物。

チムツウ 浸漬。浸る。浸潤。―雨||長雨。

チムツウ 侵取。横領する。侵取る。―別人的錢||他人の金を使込む。―人的妻子||人の妻子を横領する。

チムチエ 侵提。給金より餘計に取る。使込む。各月都―||毎月の給金より餘計に金を使込む。

チムチエシエク 深茶色。茶褐色。

チムトエ 侵提。【侵提】。

チムトエヒイチイ 蟬底魚翅。海蟹を主として鱧の髓を配した料理。

チムトラ 枕套。枕の被。枕かけ。

チムトラ 深桃。(色)狸狸紺。

チムトエ 侵提。(泉)【侵提】。

チムニイ 纒年。年末。年末に近い。

チムハン 侵項。使込んだ金。費消した金額。

チムバア 蟬肉。蟹の肉。

チムバク 深目。窪んだ目。凹目。

チムビアウ 深妙。(文)微妙。

チム

チム

チム ビエヌ カイ 侵邊界。邊境を侵す。
 チム ビエヌ グウ 枕邊語。(又)寢物語。「刑場の一」。
 チム フィ テイ 浸血池。●血の池に浸す。●地獄の處。
 チム フィ テイ テエ ガク 浸血池地獄。地獄の處刑場の一。
 チム ブウ 鐵巫。(姓)鐵巫。
 チム プヌ 侵本。本を侵す。資本を喰込む。新生理顯不可——商賣の新しい内は資本を喰込まぬ様にする。
 チム ホアツ 侵伐。(又)侵伐。
 チム ホアヌ 侵犯。犯す。侵害する。侵犯。——邊界 || 邊境を侵す。無人敢——我敢て吾を犯す者がない。——家宅 || 家宅を侵害する。
 チム ホオ 浸雨。雨水に浸す。長雨に曝す。草菜——能爛 || 野菜を雨水に浸すと腐る。
 チム ホオ 深厚。(又)手厚い。深厚。
 チム ボオ 深謀。(又)深謀。
 チム ボク 枕木。(又)枕木。「斬木」。
 チム ボク 侵木。(植)あせび。(石南科)殺蟲劑として使用せらるる。
 チム ボン 深望。(又)熱望。
 チム ボラ 嬖婆。祖父の弟の妻。大叔母。
 チム マア 此滿。「此滿」。

チム

チム ム 嬖母。父母の伯叔の妻。伯叔母。厝邊——近所の小母さん。
 チム ム 轉口。「轉口」。
 チム モア 此滿。「此滿」。
 チム ラム 深藍。濃い藍色。
 チム リエク 深緑。深緑。
 チム リホク 侵略。(國)侵略。
 チム リム 箴箴。「箴箴」。
 チム リム 侵侵。「侵侵」。
 チム リム 浸浸。「浸浸」。
 チム リム 尋尋。「尋尋」。
 チム リム 侵侵。「侵侵」。
 チム リム 深林。(又)深林。
 チム リム 蹣蹣。「蹣蹣」。
 チム ルヌ 浸潤。(又)浸潤。
 チム レエ 浸禮。(又)浸禮。
 チム レエ カウ 浸禮教。浸禮教會。
 チム ロエ タン ペエ 深犁重把。——較好放横債 || 深く鋤き重く把けば高利を貸すより利益がある。
 チム ロヲ 深落。(家)奥深い。——的厝 || 奥まった家。
 チム ロン ロン 深墮墮。大變深い。
 チム ロン ロン 深曠曠。大變深い。

チア

チア 了 了 了

チア 爹。●上流の家庭にて父を呼ぶ稱。父様。阿——阿父様。●老 || 御前。旦那様。
 チア 摘。●振く。摘取る。抜く。抜取る。●果子 || 果物をもく。一面毛 || 顔の毛を一本一本抜取る。●選擇する。指摘する。指名する。名指する。呼ぶ。●伊的 || 伊的 || 彼を指名する。●戲 || 芝居の外題を選択する。●菜 || 料理を選んで注文する。●糶。穀類を買ふ。穀物の買入。●米 || 米を買ふ。●粟 || 粟を買入れる。
 チア 顛。(海)踰眼く。●落水 || 踰眼いて水に落ちる。●行在 || 踰眼きながら歩く。●行到 || 來 || 去 || ひよろひよろしながら歩く。●顛 || 顛の①。
 チア 鼎。●鼎。●鍋。釜。●内炒 || 蠔 || 鍋で蠔を炒る。袋の風。一口 || 一つの鍋。●較冷灶 || 鍋が籠より冷い。乘氣がしないなどの意。煮三 || 三鍋煮る。●一個 || 一棹一粒鴨卵 || 一つの鍋で一つの卵を煮る。手數な事をするをいふ。
 チア 礎。礎。一莖 || 一挺の礎。一門 || 同上。細門 || 小さい礎。淺 || 一つの鈎ある礎。片爪錯。大 || 大礎。抛 || 礎を下す。【礎】。
 チア 庭。(姓)庭。

チア

チア ア/ 錠仔。錠。
 チア アア/ 塚仔。小庭。狭い土間。
 チア アウ/ パン 應後房。中央の廣間の後にある室。
 チア アイ/ エヌ ロヲ 鼎煙烙。煤。鍋墨。
 チア アイ/ ヲ 拆藥。●藥を買ふ。●漢藥などを調劑する。
 チア アイ/ ヌ 摘印。官印を取上げる。免職。解職。解任。
 チア アイ/ ム キイ 聽音器。(初) 聽音器。聽診器。
 チア アイ/ ヌ 又 聽員。廳の官吏。
 チア アイ/ エ 聽話。話を聴く。話に耳を傾ける。
 チア アイ/ カウ/ キム ケ/ エ タン 程九金假章。芝居の外題の名。
 チア カウ/ ピ ヌ 應口屏。廣間の入口の仕切。
 チア カム/ 鼎 簞。鍋蓋。一蓋。同上。一椀。鍋蓋の取手。一蠅蟻。鍋の蓋に居る蟻、逃れ様なき意。一浮銭。鍋蓋の浮く銭、一日に三回利子を取る高利の金をいふ。
 チア カム/ 鼎 蓋。前に同じ。
 チア カム/ ヲ ア 鼎 簞 門。鍋蓋の取手。
 チア カム/ チア 鼎 蓋 鼎。●鍋に鍋を被せる。●女同志が情事をなすこと。といちはいち。
 チア カム/ チイ 鼎 簞 刺。(種) 刺のある草の一種。
 チア カム/ マウ 鼎 簞 浮。●鍋蓋が水蒸氣の爲に動く。

チア

チア キイ/ 錠 齒。錠の爪。
 チア キイ/ 聽 見。聞く。聞える。承はる。拜承。聞付ける。一講。講明。再要來。明日来るさうだ。青だ。一講明仔再要來。明日来るさうだ。青限的看見。臭耳的。一盲目が見、聾か聴いた、見たと言ひ聴いたと言ふのは嘘ならんとの意。
 チア キエ/ ク 聽 曲。歌曲を聴く。
 チア キム/ 定 金。(初) 手付。手付金。
 チア ギ/ ヌ 定 銀。(種) 【定銀】。
 チア クイ/ 拆 開。●分れ分れになる。分れ分れにする。●手紙など開く。明ける。刺く。●説明す。説明する。一意思。意味を解く。一題目。題目。解題。
 チア クイ/ シイ 聽 憤 勢。【聽憤勢】。
 チア クウ/ ベ エ パウ 摘 車 馬 炮。【帥仕相】の○。
 チア クン/ オ オ 摘 光 鳥。一枚若くは二枚の一厘錢の表裏を言當てる賭事。
 チア クリ/ シイ 聽 憤 勢。(種) 【聽憤勢】。
 チア グ/ ヌ 定 銀。手附。手附金。

チア

チア グ/ ヌ 又 定 銀。(種) 前に同じ。
 チア ケ/ エ 痛 過。痛が鎮まる。痛が止る。
 チア ゲ/ エ 摘 挾。毛抜。ピンセット。釘抜の如きもの。
 チア ゲ/ ヌ ツン ソノ カシ ラア タッ パイ キア ウカヌ 痛茨川搔摺撈陸眉曲干。道士の使用する隠語。一三三四五六七八九十。
 チア コア/ 鼎 蓋。鍋蓋。一蠅蟻。鍋の蓋にゐる蟻。逃れ様なき意。
 チア コア/ 鼎 指。鍋鉉。
 チア コア/ 聽 看。聞いて見る。
 チア コア/ イ シイ 聽 憤 勢。耳慣れる。聞慣れる。
 チア コア/ ヌ シイ 聽 憤 勢。(種) 前に同じ。
 チア コエ/ 痛 過。(種) 【痛過】。
 チア コオ/ 拆 股。合資組織など解散する。商賣仲間を解く。起交攪即。一仕事に着手してから間もなく解散する。【立聞する】。
 チア コッ/ 聽 柝。●柏子木の音を聴く。●(蠅) 房事を
 チア コヲ/ 痛 過。(種) 【痛過】。
 チア コエ/ 摘 挾。【摘挾】。
 チア サイ/ 鼎 膺。鍋釜の外面の底の中央。一窩。鍋釜の内面の底の中央。
 チア サイ/ 摘 菜。料理を選んで注文する。
 チア サウ/ 鼎 灶。釜と籠。

チアザウ 摘抄。抜書。抜寫。書抜く。抄記。

チアシア 聽聲。聲を聴く。

チアシア 拆城避車。城を徹して車を避く。不道理な横紙破。

チアシイ 鼎鏝。鍋鏝。鏝鏝。一錢。鍋鏝。

チアシエック 摘釋。連名の願書などより除名すること。除名を乞ふ願書。入一。同上を差出す。一。呈。除名を乞ふ願書。

チアシヤ 愛情。愛憐む。愛でる。可愛がる。愛惜す。

チアシヌ 碇身。碇の重い鐵の部分。碇の身。碇幹。

チアシジイ 旱字。生徒の清書を直す。

チアシジイソオ 拆字數。字を見て判断する。占。辻。

チアシジヤ 糶入。穀物を買込む。買入れる。

チアシモエ 鼎刷。(釜)鼎刷。

チアシソア 拆散。解きほどく。解分ける。分離する。分れ分れになる。

チアシソヤ 碇索。碇綱。

チアシワア 拆紙。紙をちぎる。夫婦が最後の離別をなすこと。

チアシワエ 定做。誂へる。注文する。

チアシワエ 鼎刷。鍋などを洗ふ。把藥。

チアシワエ 聽做。聞做。聞做す。一伊的聲。聞いて彼の聲だと思った。

チアシワエ 鼎刷藤。(種)てりばかにくさ。(蟹草科)鬱血の際、莖・葉を酒と共に煎じて局部を瘡

法し、又他の藥草と共に煎服して肺結核の吐血を

チアシワエ 定做。(定做)。「治す」。

チアシワエ 聽做。(聽做)。

チアシワエ 聽錯。聞誤る。聞損ふ。間違へる。

チアシワエ 碇擔。碇の横木。碇杆。

チアシワエ 聽錯。(聽錯)。

チアシワエ 支瞻。心丈夫にする。氣丈夫にする。自己一個驚驚叫一個來。一人で恐いから一人呼んで来て心丈夫にする。

チアシワエ 庭斗。門口にある庭。土間。空地。

チアシワエ 定頭。手附。一金。手附金。手附。手金。一銀。同上。打一。同上を打つ。一字。手附金の受取。一簪。婚約の時女に贈る簪。

チアシワエ 聽頭。客室の正面。神佛の幅物などかける場所。床の間。一弔。聯。客間の正面に掛軸を掛ける。祝の時親類等より貰った軸物の落款を見て順序を定めて掛ける。これを看款といふ。

チアシワエ 聽頭。利目。利く。効果がある。不止。一

大變よく利く。藥食了有。一藥を飲んで利目がある。講了有。一話をして利目がある。

チアシワエ 摘讀。文章の一部分を省略して跳讀すること。拾讀。

チアシワエ 愛疼。愛する。可愛がる。愛憐む。寵愛す。

チアシワエ タンリイポオサイピア 拆東離補西壁。東の籬を毀して西の壁を補ふ。遺續算段。

チアシワエ 碇車。碇を巻く車。

チアシワエ 定刺。靴・足袋など誂へて作らせる。

チアシワエ 拆食。裂いて食ふ。己は勝手な主張をなし相手に口をきかせぬ意。伊要。一我。彼は専横で私に口を開けない。

チアシワエ トア 拆車單。一乗車券を買ふ。切符を買ふ。一乗車券を賣る。

チアシワエ 定錢。手附金。手附。手金。

チアシワエ 愛錢。錢を惜む。

チアシワエ チエン 埕前。庭前。庭先。「せる櫃」。

チアシワエ チエニ 鼎穿。鍋の中の物が溢出ない様に上に載

チアシワエ チヌキイ 聽診器。(圖)聽診器。「父様」。

チアシワエ 爹爹。上流の家庭にて子が父を呼ぶ稱。御

チアシワエ 摘摘。「摘」。

チアシワエ 糶糶。「糶」。

チアシワエ 呈呈。「呈」。

チア

チア

チア

チア

チア ア 定定。●固定してゐる。何時もちつとして居る。静止。——蠟得^{ウヌアエ}常^{ツネ}に何もせず^{ニセズ}に居る。——多^タ多^タ開^カ開^カ。——關^{カン}得^{トク}閉^ヘ閉^ヘ。締^{ツメ}切^キる。——想^{ソウ}沈^シ思^シ默^{マク}考^{カウ}。——坐^ザ居^グ坐^ザ。——咧^レ靜^{シヤウ}か^カにしる。●常^{ツネ}に。度^{タク}度^{タク}。初^{シュウ}中^{チュウ}。——來^{ライ}初^{シュウ}中^{チュウ}來^{ライ}。——歇^ケ烟^{エン}常^{ツネ}に休^ユむ。●定^{テイ}の^ノ定^{テイ}。

チア ア 拆拆。【拆】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩。

チア ア 聽聽。【聽】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩。

チア ア 支支。【支】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩。

チア ア 廳長。(國)廳長。

チア ア 痛^{ツウ}痛^{ツウ}。痛^{ツウ}痛^{ツウ}。大^{ダイ}變^{ヘン}痛^{ツウ}い。

チア ア 痛^{ツウ}痛^{ツウ}。痛^{ツウ}痛^{ツウ}。前^{マヘ}に同^{ドウ}じ。

チア ア 羅^ラ羅^ラ。五^ゴ穀^{コク}を商^{ショウ}ふ。穀^{コク}物^{ブツ}を賣^{バイ}買^{バイ}する。

チア ア 定^{テイ}着^{チャク}。●極^{キョク}め^める。定^{テイ}め^める。極^{キョク}ま^まる。定^{テイ}ま^まる。決定^{ケツテイ}。有^{アリ}——定^{テイ}ま^まつた。きま^{きま}つて居^ゐる。——的^{テキ}的^{テキ}。額^{ガク}定^{テイ}額^{ガク}。定^{テイ}量^{リヤウ}。——的^{テキ}的^{テキ}。定^{テイ}價^{ケイ}。——了^{リョウ}了^{リョウ}。既^キ定^{テイ}。尙^{シヤウ}未^ミ——未^ミだ極^{キョク}ら^らない。●ちつとして居^ゐる。大^{ダイ}人^{ニン}しくして居^ゐる。彼^{カノ}個^{コノ}仔^{シヤウ}較^{ケツ}——あの子^{コノ}供^{コト}は大^{ダイ}人^{ニン}しい。你^{ライ}此^{コノ}個^{コノ}仔^{シヤウ}無^ム一^{イツ}時^ジ——御^{オノ}前^{マヘ}は少^シしもちつとして居^ゐない。●必^{ヒツ}ず。決^{ケツ}して。——不^フ共^{コノ}伊^イ買^{バイ}決^{ケツ}して彼^{カノ}から買^カはない。伊^イ——能^{ノウ}來^{ライ}彼^{カノ}は必^{ヒツ}ず來^{ライ}る。

チア ア 聽^{テイ}着^{チャク}。聞^キ取^クる。開^カ付^ツける。

チア

チア ツイ 聽嘴。聽^{テイ}容^{ヨウ}れる。言^{コト}ふこ^トを聽^キく。

チア ツツ 摘齣。芝^シ居^グの外^{ガイ}題^{タイ}を撰^{セン}ぶ。

チア ツイ ポア 拆對半。折^{セツ}半^{ハン}。半^{ハン}分^{ブン}分^{ブン}。

チア ツヌ 鼎黠。鍋^{ナベ}鑿^{ソク}。

チア ツン 廳堂。大^{ダイ}な屋^ヤ敷^シの中^{チュウ}央^{ヤウ}の廣^{ヒロ}間^{カン}。

チア テエ 礎地。(礎)【礎地】。

チア テエ ボッ 鼎低腫。【犁壁草】。

チア トア 拆單。●切^キ符^フを賣^ウる。●切^キ符^フを賣^ウる。

チア トエ 礎地。旅^{リョ}光^{クワウ}で泊^{トマ}る親^{シン}戚^{シツ}友^{ユウ}人^{ニン}な^なの^の家^{イヘ}。有^{アリ}——同^{ドウ}上^{ジョウ}が有^{アリ}る。

チア ニア 呈呈。【呈呈】。

チア ニア 定定。【定定】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩。

チア ニア 聽聽。【聽聽】。

チア ニア 支支。【支支】。

チア ニア 支支。【支支】。

チア ニウ 爹娘。上^{ジョウ}流^{リウ}の家^カ庭^{テイ}に^にて父^フ母^ボを呼^ヨぶ稱^{ジョウ}。阿^ア父^フハ、ハ、拆^チ纏^{エン}。竹^{タケ}の皮^カな^などを剥^ヒ取^クる。天^{テン}——空^{カラ}がほんのり^{ほんのり}と白^{しろ}む。

チア パク 定嘆。年^{ネン}年^{ネン}一^{イツ}定^{テイ}の租^ソ穀^{コク}を以^{もつ}て小^コ作^{サク}さ^させる。

チア ヒイ 摘戲。外^{ガイ}題^{タイ}を撰^{セン}ぶ。

チア ヒイ 定戲。手^テ金^{キネ}を打^ウつて芝^シ居^グを履^{ハキ}ふ約^{ヤク}束^{ソク}をす^する。

チア ヒウ 聽香。舊^{キウ}の正^{シヤウ}月^{ゲツ}又^{マタ}は八^{ハチ}月^{ゲツ}の十^{ジュウ}五^ゴ夜^ヤに神^{カミ}前^{マヘ}に香^{カウ}を焚^カき【聖^{シヤウ}筭^{ソク}】に^にて判^ハじた方^{ホウ}位^イに往^{ユク}き最^{サイ}初^{シュウ}に聞^キいた言^{コト}葉^{エフ}に依^ヨり吉^{キチ}凶^{キウ}を判^ハじること。

チア

チア ビイ 糴米。米^{コメ}を賣^ウる。米^{コメ}を仕^シ込^コむ。

チア ビエン 呈明。官^{クワン}廳^{テイ}に説^{セツ}明^{メイ}書^{ショ}を提^{テイ}出^{シュツ}する。

チア ビエン 拆明。説^{セツ}明^{メイ}す。説^{セツ}明^{メイ}する。解^{カイ}説^{セツ}する。言^{コト}。

チア ビエン 重明。更^{シヤウ}に説^{セツ}明^{メイ}して聽^キか^かせる。【聞^キかせる】。

チア ビニ 廳面。廣^{ヒロ}間^{カン}の内^{ウチ}。應^{オウ}接^{セツ}間^{カン}の外^{ガイ}見^{ケン}。全^{ゼン}——應^{オウ}接^{セツ}間^{カン}の設^{セツ}備^ビ品^{ヒン}。

チア ビイ 鼎炆。飯^{イハ}の焦^カ。お焦^カ。

チア ビイ 聽病。(新)聽診。

チア ビニ 應屏。廣^{ヒロ}間^{カン}と廣^{ヒロ}間^{カン}との仕^シ切^キ。廣^{ヒロ}間^{カン}の衝^{シュツ}立^{リツ}又^{マタ}。

チア フツ フツ 痛沸沸。非^ヒ常^{ジョウ}に痛^{イタ}い。

チア フツ フツ 痛沸沸。前^{マヘ}に同^{ドウ}じ。

チア フヌ ヒノ 拆煙葉。煙^{エン}草^{ソウ}の葉^{エフ}の心^{シン}を取^クる。

チア ヘエ キイ 拆夥計。合^{カウ}同^{ドウ}を解^{カイ}く。仲^{チュウ}間^{カン}を分^{ブン}離^リする。仲^{チュウ}間^{カン}を脱^{ダツ}する。

チア ヘエ サウ 拆伙灶。財^{サイ}産^{サン}を分^{ブン}つ。分^{ブン}家^カする。分^{ブン}する。【勁^{キヤウ}灶^{ソウ}】參^{サン}照^{ジョウ}。

チア ヘエ 子ア 拆伙鼎。前^{マヘ}に同^{ドウ}じ。【打^{ダチ}まける】。

チア ペエ 拆白。剝^ヒ出^{シュツ}。——講^{コウ}打^{ダチ}明^{メイ}けて話^{ワタシ}をする。

チア ペエ 拆批。(漢)【拆批】。

チア ホエ 摘花。花^{ハナ}摘^{ツメ}。花^{ハナ}を摘^{ツメ}む。

チア ホエ キイ 拆夥計。(漢)【拆夥計】。

チア ホエ サウ 拆伙灶。(漢)【拆伙灶】。

チア ホエ 子ア 拆伙鼎。(漢)【拆伙鼎】。

チア ホン 拆封。封したものをはがす。開封。

チア ホン 聴風。風聲を聞く。風向を聞く。

チア ホオ キイ 拆夥計。(臭) 拆夥計。

チア ホオ サウ 拆伙灶。(臭) 拆伙灶。

チア ホオ チア 拆伙鼎。(臭) 拆伙鼎。

チア ポア 拆破。毀す。破る。裂く。引裂く。

チア ポエ 拆批。手紙を開封する。

チア ボラ 應報。(圖) 應報。

チア ボグ 鼎膊。(圖) 鼎膊。

チア ミア チア シイ 摘名摘姓。人の姓名を呼捨にする。

チア ラア 痛喇。しまった。困った。や又大變だ。今一

チア ラン コン 聽人講。●人の話を聞く。●人の話

に依れば。●伊眞賢●人の話に依れば彼は

甚だ偉いさうだ。

チア リア 摘摘。[摘摘]。

チア リア 羅羅。[羅羅]。

チア リア 拆拆。[拆拆]。

チア リイ 拆離。分離する。分け分れになる。一家一

一家が分れ分れになる。夫妻一夫婦分

チア リイ 拆裂。裂く。引裂く。

チア リエン 應令。(圖) 應令。

チア ルイ 聽雷。雷を聞く。鴨仔一鷺が雷を聽

く、何を言はれても感がない。馬の耳に念佛。

チア ロロ 鼎烙。煤。鍋鏢。

チア ロロ ヒイ 聽落耳。よく聴取る。腑に落ちる。聞

える。分かる。

チアウ チアウ

チアウ 貂。(姓) 貂。

チアウ 朝。(姓) 朝。

チアウ 朝。(姓) 朝。

チアウ 朝。(姓) 朝。一タ朝夕。

チアウ 刁。(姓) 刁。●態と人を困らせる。伊要一人

●彼は人に難題を掛ける。一價錢値を上げ

て人を困らせる。工錢特工共你一得不給人

●賃金を態と引張って呉れない。各次要共伊

提錢伊就要一人●何時も金を受取りとする

と彼は人をいじらせる。伊要一人不肯做●彼は

爲淋って中爲ない。放一困らせてやるぞと流

言を放つて人を虚喝する。

チアウ 彫。(姓) 彫。彫刻する。一刻同上。一佛一佛

像を彫る。一像一肖像を彫る。●撓める。曲げ

る。一弓一弓を撓める。樹絡共伊一落來一樹

の枝を下の方に引張って曲げる。●惡癖など矯め

る。矯正する。父母死早の困仔一沒來一父

母に早く別れた子供は矯正しても駄目だ。●懲

戒の意味で殴る。打つ。被警察掠去一警察

官に引張られて殴られた。

チアウ 特。態と。態態。故意に。殊更に。特に。一來

買米五升一特に米五升買ひに來た、態態來たの

だの意。【特、特、特】。(語原は【刁】と同一なる

べし)。

チアウ 佻。尻上の發音。尻上の話方。伊講話較一

彼の言方は尻上だ。

チアウ 弮。一軸一葬式のとき用ひる掛軸。【軸】参照。

公一追悼式。一電弮電。

チアウ 召。●召す。呼出す。召喚する。一證人一證

人を呼出す。一單一召喚狀。●招集する。一兵

●兵を招集する。

チアウ 吊。●吊す。一燈一ランプを吊す。一傀儡一

操人形を操る。一橋一吊橋。●一旦與へたも

のを取上げる。引上げる。權一起來一權限を取

上げる。一鑑札一鑑札を引上げる。●黓を出す。

色をつける。舊金牌過藥水一色一古い金牌を

薬で洗って黓を出す。一膠水一布一古帽子などに

膠をひいて色をつける。●薬を用ひ毒氣などを

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

引出して散す。一膿一膿を吸出す。粒仔一俾伊

チア

チアウ

チアウ

チアウ 疵。面炮。一仔同上。苦ツノ一ツノ小ツノ面炮。爛ツノ一ツノ 大きい面炮。

チアウ 柱。厝ツノ一ツノ家の柱。龍ツノ一ツノ龍を彫った石の柱。做ツノ楹ツノ做ツノ一ツノ楹となし柱と做す。杖柱と頼む。

チアウ 襖。一族。支族。一仔内ツノ一ツノ近親。分做ツノ二ツノ一ツノ二族に分れる。(擔當を二團體に分ける。

チアウ アア 彫仔。(也)陽物を指していふ。一ツノ要來ツノ一ツノ陽物が来る、即ち何が来るものかの意。

チアウ アア 吊仔。係蹄。

チアウ アア 桐仔。(也)ほそばしらかし。(穀斗科、材は器具・鐵の柄・牛車の軸等に用ひらる)。

チアウ アア 條仔。附札。附箋。下札。下紙。差紙。

チアウ アア 疵仔。面炮。

チアウ アア 柱仔。柱。二枝ツノ一ツノ二本の柱。

チアウ アア カア 柱仔脚。柱の根本。柱。一ツノ厝ツノ一ツノ竹の骨組や編垣や荒打漆喰で出来てゐる家。

チアウ アア ソア 吊仔索。端ツノに鈎ツノを附け籠などを擔

チアウ アア ライ 疵仔子。面炮の根。「ふ繩」

チアウ イア 跳快。本の丁を飛す。使役するをいふ。

チアウ イア アク 跳躍。(也)【跳躍】。

チアウ イア アン 彫養。(也)【彫養】。

チアウ イイ 特意。【特意】。

チアウ イイ 朝衣。(也)朝服。

チアウ イイ 特意。次に同じ。「意」。

チアウ イイ 特意。故意に。態と。【特意、特意、特

チアウ イイ 特意。前に同じ。

チアウ イイ コオ 特意故。【特意】。

チアウ イウ チエン 挑餘丁。選抜して兵卒などの不足を補充する。

チアウ イオク 條約。條約。

チアウ イオク 跳躍。(也)跳躍。

チアウ イオン 彫養。養生。攝生。保養。攝養。一ツノ身命ツノ一ツノ身體を養生する。

チアウ イオン 朝陽。(也)朝陽。旭。

チアウ イオン 吊藥。散藥。

チアウ イヌ 調印。(也)調印。

チアウ ウイ 弔慰。(也)弔慰。

チアウ ウイ 朝威。(也)朝威。

チアウ エエ チア 柱下石。礎。

チアウ オオ 吊棹。撥釣瓶。在ツノ一ツノ撥釣瓶を立てる。

チアウ 上ツノ一ツノ撥釣瓶で水を汲む。一ツノ柱ツノ一ツノ撥釣瓶の柱。撥釣瓶。一ツノ桶ツノ一ツノ撥釣瓶の桶。

チアウ ヲア 召倚。召集。

チアウ ヲア イ 彫歪。引張つて歪める。引掛けて歪める。撓める。

チアウ ヲア ヌ 彫彎。撓て反せる。

チアウ ヲア ヌ 寫遠。道の遠い。遠隔。懸離れてゐる。隔る。路途ツノ一ツノ路が非常に遠い。

チアウ ヲア ヲ 吊棹。(也)【吊棹】。

チアウ カア 吊膠。布などに膠をかける。ゴム引。

チアウ カア 柱脚。柱の本。一ツノ厝ツノ一ツノ竹の骨組や編垣や荒打漆喰で出来てゐる家。

チアウ カア コア ヌ 跳加冠。芝居の始に行ふ芝居。式三番。三番疊。

チアウ カア コエ 跳脚雞。(小兒の遊戲)ちんちんもが

チアウ カア ソア 吊脚痧。(病)虎列刺。

チアウ カア ツイ 吊膠水。布・古帽子などに膠をひいて色をつける。

チアウ カア ラム 吊脚擲。【君子擲】。

チアウ カア レエ 吊傀儡。操人形を操る。

チアウ カイ 條戒。(也)戒。戒律。

チアウ カウ 吊猴。骨子三個を用ひて行ふ賭博。一博公之、十八博扁之【吊猴】でも一番悪い

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

采の目が出【十八】でも一番悪い采の目が出る。廻合の悪いこと。●(新)行燈部屋に入れる。

チアウカウ 跳溝。溝を飛越える。

チアウカウ ケン 吊猴間。(新)行燈部屋。

チアウカウ 吊角。筋違。筋向。斜掛。隅違。――

行||對角線。――斜||筋違。斜。折物の字などの角が歪んで居る。――縛得||斜に括る。風呂敷

など四隅を取って結ぶ。

チアウカム 跳坎。間をぬかす。間をとばす。順序をとばす。點燈有份。分龜――燈明を上げる時は役割が當って饅頭を分ける時は除外する、

勞して賞なきこと。

チアウカン 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウカン 特工。【特工】。

チアウカン 召工。人夫を召集する。

チアウカン 特工。【特工】。

チアウカン 住工。毎日休まないで働く。作稿不止

――||仕事をやらずによく働く。

チアウカン 挑工。●荷物や擔ぶ仕事。●同上入夫。

チアウカン 特工。殊更。態態。折角。特に。特別に。

――||講||殘更に話す。――||來||態態來た。【特工、特工、特工】。

チアウカン 跳港。川に投身する。身投。入水。

チアウカン 跳港。川に投身する。身投。入水。

チアウカン 跳港。川に投身する。身投。入水。

チアウカン 跳港。川に投身する。身投。入水。

チアウ

チアウカン 特工。【特工】。

チアウカン アア 召工仔。【召日仔】。

チアウキア 吊鏡。●鏡を掛ける。●掛鏡。

チアウキア 召鏡。●望遠鏡。●蟲目鏡。

チアウキア 條件。(團)條件。箇條。

チアウキアウ 吊賭。(賭博)勝逃。

チアウキイ 吊裾。(薄)【吊裾】。

チアウキイ 吊旗。吊の旗。吊旗。【調する】。

チアウキイ 朝見。朝見。拜調。――皇帝||皇帝に拜

チアウキイ 眺去。氣を失ふ。呆然とする。呆返る。

煩惱到||心配してほんやりしてしまった。

チアウキイ 跳起。跳上る。――||來||踊上る。跳立つ。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウキイ 彫工。彫刻師。彫刻の職。

チアウ

チアウキエン 朝慶。(交)朝賀。

チアウキエン 挑羹。【湯匙】。

チアウキエン 挑經。【功德】をなす時、道士が經文を擔いで廻る儀式。

チアウキエン 跳間。【跳坎】。

チアウキホク 住局。【四色】などの時【車馬包】か又は【將士象】の三揃を手に持つこと。

チアウキオン 挑羹。(交)【挑羹】。

チアウキア 吊橋。釣橋。

チアウキキ 朝覲。(交)朝見。朝覲。

チアウキキ 跳級。一足飛。――昇||飛んで昇級する。

チアウキイ 朝議。(交)朝議。廟議。

チアウキイ 吊鬼。●縊死した人の靈。首縊の靈。那

――||呢||首縊の首の様に長い。――||叫||首

縊の靈が汝を仲間へ引込め。首を縊って死んで仕舞へ。●【吊鬼仔】の(交)。

チアウキイ 條規。箇條書。條例。規則。

チアウキイ 跳開。跳退く。跳んで離れる。

チアウキイ アア 吊鬼仔。●鳥獸を捕る落。係蹄。●

【西路】に用る胡弓の一種。



⑤の仔鬼吊

チアウクウ 吊橋。左右の橋の釣上ること。

チアウクヌ 朝君。朝見。

チアウクヌ 朝裙。登朝の時女官の用ひる袴。

チアウクウ 吊裾。(泉)【吊裾】。

チアウケエ 吊架。(一)絞罪(刑臺)。(二)釣棚。

チアウケエ 召契。(海)【召契】。

チアウケエ 跳過。跳越える。踊越える。一溝二溝を越える。一去二跳越える。一溝食三甌二溝を跳越えたら三杯食られる。飯を客に勧める時などに溝を一つ越えても直ぐに消化するといふ意にていふ。

チアウコア 貂襜。貂の皮の【馬襜】。

チアウコアヌ 條欸。箇條。條欸。條目。

チアウコエ 吊雞。上海雞。大な雞の種類。

チアウコエ 召契。契字を出させる。地券を呈出させる。

チアウコエ 跳過。(海)【跳過】。

チアウコエ ア 彫雞鴨。神に供へる爲、鷄・鷺の毛を塗り臟腑を去り脚を腹に挿込み翼を脊に曲けて

チアウコオ 跳鼓。【弄花鼓】。

チアウコオ イ 特故意。次に同じ。

チアウコオ イ 特故意。次に同じ。

チアウコオ イ 特故意。故意に。態と。特更に。一害死二故殺。【特故意。特故意。特故意】。

チアウコオ イ 特故意。前に同じ。

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウコオ ト 彫古童。(一)骨董品の様なものを作る。(二)人を玩具にする。翻弄する。愚弄する。被

チアウサイ 跳獅。(一)獅舞。(二)獅舞の様な動作をする。牛一牛が戯る様な動作をする。囚仔一子供が雀躍する。

チアウサイ ハク 跳尿岩。(遊戲)尿溜飛。

チアウサム ボオ スウ 朝三暮四。朝三暮四。言を左右にして人を馬鹿にするが如きをいふ。

チアウサア 調査。(國)調査。

チアウサウ 吊走。(勝負事)勝逃。

チアウサウ 跳走。跳退く。跳んで逃げる。

チアウサヌ 朝餐。(文)朝食。

チアウシアウ 召消。鑑札など取上げる。

チアウシイ 吊死。頸を縊つて死ぬ。縊死。

チアウシイ 條絲。刻煙草。

チアウシイ 調勢。(海)【調勢】。

チアウシイ フヌ 條絲煙。刻煙草。

チアウシエク 朝夕。(文)朝夕。朝夕。

チアウシエヌ 朝鮮。朝鮮。

チアウシオン 彫像。彫像。

チアウシヌ 召訊。(文)召喚して訊問する。

チアウシヌ 潮信。(多)潮のさしひき。潮候。

チアウシヌ 朝臣。朝臣。

チアウシヌ 柱身。柱の幹。柱幹。

チアウシム 住心。心に止める。記憶する。

チアウシム 朝審。京師に控訴せし重大な裁判事件を天子が親断するをいふ。

チアウシム チアウコア 住心住肝。よく心に止め忘れないやうにする。

チアウジツ 朝日。(國)朝日。

チアウジツ ア 召日仔。臨時雇の労働者。日傭。

チアウスイ 吊穗。【吊莖】。

チアウスウ 甲辭。(國)甲詞。

チアウセエ 調勢。調子。有一調子が整ふ。好一調子がよい。一較不好調子が悪い。

チアウセエ 甲祭。(國)甲祭。

チアウソアヌ 挑選。選擇する。精選する。

チアウソヲ 吊燥。乾燥。彼の所在較一彼處は

チアウ

チアウ

チアウ

チアウ

乾燥地だ。

チアウソヲ挑唆。教唆。

チアウソヲ跳索。(遊戯)繩飛。

チアウソソ吊喪。弔ふ。

チアウソア弔紙。悔に贈る物又は「銀紙」。

チアウソソ弔葬。弔ふ。弔葬。

チアウソソ住壯。根基——(易者の語)子供など健康長壽で榮える。

チアウタア彫搭。【彫搭】。

チアウタア跳躑。子供など活潑に飛廻る。びんびん跳廻る。活活して居る。

チアウタウ吊脰。頸織。首を織る。頸を吊る。——上後脚——頸織の足を引張る、一層苦境に陥れる意。

チアウタウ凋頭。立枯。枯れる。根まで枯れる。

チアウタウ朝頭。國朝の始。

チアウタウ兆頭。兆。前兆。有——兆がある。

チアウタウ柱頭。柱の根元。

チアウタウクイ吊脰鬼。縊死者の靈魂。【懸吊鬼】。

チアウタウ彫搭。婦女など身形がきちんとしてゐる。粧去不止——着飾つて姿がきちんとしてゐる。

チアウタウ跳躑。【跳躑】。

チアウタン朝東。東向。

チアウ

チアウタン吊桶。釣瓶。撥釣瓶。

チアウタン跳躑。【童童】が神氣を受けて狂ふこと。

【童童】参照。

チアウタンソヲ吊桶索。釣瓶繩。井戸繩。

チアウチア特請。特に招待する。特に招く。

チアウチア特情。特に屈ふ。態度屈ふ。

チアウチイ彫折。採めて折る。

チアウチイ彫處。(處)【彫處】。

チアウチイ貂鼠。(鼠)【貂鼠】。

チアウチウ吊手。字を書く時肘を附けない。懸腕。——字——同上して書いた字。

チアウチウ吊樹。地獄の處刑場の一。

チアウチウ跳章。文章など飛す。章を飛す。

チアウチウ跳上。跳上る。跳上る。——臺頂——講壇の上に跳上る。

チアウチエク柱燭。高官の人の墓の左右などに立ててある石の柱。

チアウチエヌ挑戦。(國)挑戦。

チアウチエン吊鐘。掛時計。柱時計。

チアウチエン朝政。(文)朝政。

チアウチエンホエ吊鐘花。(花)右南科どうだんつつじの一種。

チアウチヲ調笑。(文)愚弄ふ。

チアウ

チアウチツエエ跳一下。がっかりする。呆返る。

チアウチツエエ篤一下。ぱちんと。——折去——ぼっくりと折れる。

チアウチツエエ跳一下。ひらりと跳ぶ。ぴよいと跳ぶ。

チアウチツチイ跳七星。七個所の位置を定め一本足で遊ぶ遊戯。

チアウチア召集。召集。

チアウチア吊鼎。炊く物なくて鍋を懸けて仕舞こむ。口が乾上る。共你——お前を食ふことの出来

ない様にする。趁食人若定落雨就能——獵人は雨天には口が乾上る。

チアウチア彫彫。【彫】。

チアウチアウ俳俳。講話——言葉が尻上だ。尻上の訛がある。

チアウチアウ召召。【召】。

チアウチアウ吊吊。●引吊る。突張る。此領衫穿了——この着物を着ると腋下が引吊る。●目

睨——臨終の時など眼が吊る。●【吊】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

チアウチアウ條條。●廉贖。一件毎に。一個一個。●清楚——きちきちと埒があく。●赤

一——赤裸。眞裸。

チアウチアウ住住。●確りと。咬——確り嚙む。

咬付いて放さない。縛——確り縛着ける。記
——確と覺える。擒——確と絶付く。【住】

チアウチアウ調調。【調】の⑤。 「の〇。

チアウチアウ挑挑。【挑】。

チアウチアウ屢屢。(屢)【屢屢】。

チアウチアウ特特。【特】。

チアウチアウ挑挑。【挑】。

チアウチアウ挑挑。【挑】。

チアウチアウ跳跳。●活活してゐる。びんびんして
ゐる。活——生きてびんびんしてゐる。生——

●魚などびんびんしてゐる。非常に新しい。●

チアウチアウ屢屢。【屢屢】。

チアウチアウ特特。【特特】。

チアウチアウ特特。次に同じ。

チアウチアウ特特。●態態。折角。殊更に。殊に。特に。
●故意に。——來態態來た。●特特。特特。特持。特持。

チアウチアウ特持。【特持】。

チアウチアウ特持。【特持】。

チアウチアウテエガ。吊鐵樹地獄。地獄の處

チアウチアウテエク。甲軸。葬式のときに使ふ掛軸。

チアウチアウテエ甲電。(甲)甲電。

チアウチアウテエ又朝天。(又)天子に拜謁する。

チアウチアウテエ吊燈。●燈を吊す。提燈を吊す。●目
張の黒目。目張。目睨——目玉が吊上つてゐ

チアウ

る。

チアウチエン朝廷。朝廷。——的恩。朝恩。天恩。

——口裏無虚言。朝廷の言に虚言なし。

チアウチエン調停。(調)調停。仲裁。和解。——官

チアウチエン調停。前に同じ。 「調停官。

チアウチオン挑暢。氣持よく思ふ。氣に入る。講到

俾伊能——彼の氣に入る様に話す。無——
氣に入らぬ。氣を悪くする。不——同上。没——

——同上。

チアウチツ條直。●正直。實直。樸直。義理堅い。
——人——律儀者。●片附く。落着する。辨——

●處理して落着する。未——未だ落着しない。
難——片附き難い。如此較——勝——その方が
世話無しだ。

チアウツイ跳水。身投げ。入水。

チアウツウ朝珠。大な數珠の如き官人の頸飾。

チアウツウ貂鼠。(動)貂。——皮。貂の皮。——帽
●貂の皮の帽子。 「停する。

チアウツウ彫處。取成す。調和する。和解する。調

チアウツウ住厝。外出せずに常に自宅に居ること。

着較——不可四界走。成るだけ家にゐな
さい。方方へ出歩いてはいけない。

チアウ

チアウツウ柱珠。齧石。礎。

チアウツウ柱尊。最初に植えた薩摩薯の親薯。【釘
稱仔】の⑤の親薯。同條を見よ。

チアウツウ吊床。釣床。ハンモック。

チアウツウ貂鼠。(鼠)【貂鼠】。

チアウツイ朝對。對立する。向合ふ。萬山——萬
山が對立してゐる。

チアウツイ吊梯。釣梯子。

チアウツウ柱抵。柱の支撐。支柱。助柱。

チアウツウ挑堂。試験官の面前で試験すること。口

チアウテエ吊得。吊す。垂下げる。 「頭試問。

チアウテエ朝代。朝代。世。御世。時代。——尾——
世の末。邊季。

チアウトア吊帶。ズボン吊。

チアウトア召單。召喚狀。呼出狀。差紙。

チアウトア條段。●簡條。條項。分——簡條分に
する。何——何の條項。●段落。筋道。無
——順序が無い。筋道が立たない。有——
條理がある。筋道がある。

チアウトエ吊底。檔高。此領禪傷——このズボ
ンは餘り檔が高い。

チアウトエ住底。例になる。定例。癖になる。貼錢
貼了能——金を援助してゐる中に其が例にな

チアウ

チアウ

る。

チアウトオ彫度。行儀作法などの躰をする。聽人
―人の躰をよく守る。趁細漢着―小さい
内に躰をせねばならぬ。

チアウトオ調度。(圖)調度。

チアウトヲ貂套。貂の皮の上衣。

チアウトツ彫琢。(文)玉などを彫る。彫刻する。―
玉器玉の器物を彫る。―人物人物を彫

刻する。

チアウトツ彫督。躰ける。訓育する。監督する。―
子姪子弟をよく躰監督する。―學生學生

徒をよく監督する。【押束】。

チアウトン調動。官吏を移動する。

チアウナア吊籠。吊籠。

チアウハアミイタンロオ朝霞暎重露。朝の霞は
夜露が多い。

チアウハヌ跳漢。手数のかかる子供。手に合はぬ子
供。悪戯者。【入れる】。

チアウハヌリム挑翰林。進士を選抜して翰林院へ

チアウバア吊肉。肉を吊す。―跋死猫肉を吊し
て猫を戯弄する。見せびらかす。

チアウバイ召霧。雨落到―篠を突く様に雨が
降る。車軸を流す様に雨が降る。

チアウ

チアウバク條目。目次。條目。箇條。條項。

チアウバヌ刁頑。頑で意地張。強情張。困仔―
教没行子供が強情張で言ふことをきかない。

チアウバヌ刁頑。前に同じ。

チアウパイ朝拜。(文)朝拜。拜謁。

チアウパイ特派。特派。

チアウバク朝北。北向。

チアウバク住腹。覺込む。記憶する。讀書没―
本を讀んでも覺えない。【賭博】。

チアウパツキウ吊八九。木札三十二枚を用いて行
チアウパヌ朝板。笏。

チアウパン跳枋。上陸の時など用ひる板。歩板。渡
チアウヒイ調戲。愚弄。―婦女婦女を愚弄。女を

チアウヒイ挑戲。女に冗談を言つてからかふ。女を
チアウヒイ鮭魚。(動)「花鮭」。

チアウヒイ鮭魚。(動)「口説く」。

チアウヒウ貂裘。貂の皮で作つた二重の着物。

チアウビエン朝命。(文)朝命。

チアウビエン召兵。兵を召集する。軍勢を催す。

チアウビエン調兵。兵を派遣する。

チアウビエン朝聘。(文)朝見。

チアウピヌ吊箒。入口に吊下げた網代の戸。

チアウフウ挑夫。(文)擔夫。輕子。

チアウブウ朝霧。(文)朝霧。

チアウ

チアウブウ跳舞。踊る。舞ふ。踊。舞踏。

チアウブヌ弔文。(文)弔文。

チアウブヌトヲシエクスウコライイ朝聞道夕
死可矣。(文)朝に道を聞かば夕に死すとも可な

チアウプツ彫佛。佛を彫る。―司阜佛師。「り。

チアウヘエズヌ跳火盆。火渡。

チアウヘエ朝尾。世の末。漢季。

チアウペエ吊白。【吊白網】。

チアウペエ貂皮。貂の皮。

チアウペエ跳白。舟の兩側に白く塗つた板を附け川
を下り驚いて舟に跳込む魚を捕る。

チアウペエア跳白仔。前に同じ。

チアウペエバン吊白網。河の淺瀬に仕掛ける流網。

チアウホアヌ召犯。罪人を呼出す。

チアウホアヌツン召喚狀。(圖)召喚狀。

チアウホエ彫花。花を彫刻する。花を種種の形に手
入する。―刻鳥花を彫り鳥を刻む。―木

花や木を彫刻する。

チアウホエボエチウ召花陪酒。藝者を呼んで酒席
に侍らせる。

チアウホヲ調和。調和。仲よくする。調子を合せる。

チアウホヲ朝賀。(文)朝賀。

チアウボアツ朝末。(文)【朝尾】。

子アア

子アア 雲。(連) 雲。

子アア 樛。神佛又は亡靈に對する祈願文。咒詛文。一文

同上。燒。同上を燒く。

子アア 雲。一類。度。打四五。四五回打った。此

此度。此頃。彼。あの時分。あの頃。雨落

二。雨が二回降った。

子アア 疊。重ねる。疊む。重。重疊。一字。重

複して用ひる文字、疊字。一韻。他と同じ韻字を

用ひる。形などを整へる爲打平す。俾伊平

同上。俾伊塞。しかり打固める。打つ。

被。被父母。不驚。父母に打たれて畏くな

い。被鱸鰻。無頼漢に毆られる。

子アア 帖。帖。一。葉。一包の葉。名刺。放

相探。名刺を出して訪問する。招待状。請

同上。放。請客。招待状を出して客を案内

する。法帖。手本。看。學寫。手本を見て手

習をする。

子アア 貼。代償として支拂ふ。補助する。足前する。

補償する。補ひ足す。補ふ。棧房。税。藏敷料

を拂ふ。一。伙食。賄料を拂ふ。一的。銀分。打

歩。一。過限的。銀。約束の期限が過ぎて割増する

金。毎月日。伊五元。毎月彼に五圓補助する。

做公親。一本。仲裁をして元金まで補償する。盜

子アア

人に追錢。

子アア 疊。順序よく積む。重ねる。一。甄仔。煉瓦を

積む。積。山。一。雁子。煉瓦一積。

子アア アア 雲仔。少し。較好。少し好い。較緊

一。少し速い。一。久。暫。

子アア アア 帖仔。悪口を書いた貼札。張出。共人出

一。同上を貼る。

子アア アア 帖盒。名刺受。

子アア アア クウ 雲仔。暫時。一寸の間。

子アア アア 貼案。高い長方形の卓。普通位牌。燭臺。

香爐。花などを飾る。

子アア イイ 帖意。手本の字體。手本に似た型。伊

的。字醜。醜不拘有。彼の字は拙いこと

は拙いが手本の筆意がある。

子アア ウヌ 疊韻。他と同じ韻字を用ひる。

子アア カア エエ 貼脚的。踏臺。脚榻。

子アア キイ 帖氣。【帖意】。

子アア キイ ライ 疊起。來。積重ねる。疊む。疊重ね

子アア キヨ 貼脚。芝居などの補助役。

子アア クイ ツイ 疊歸堆。積上げる。

子アア クヌ 疊環。【疊環】。

子アア コアイ 疊高。高く盛る。重上げる。積重ねる。築上げる。

子アア

子アア コアヌ 疊高。(連) 前に同じ。

子アア コアヌ 疊環。繩の環など高く積む。一。在坐

盤坐をかく。膝を組む。脚。同上。「六。

子アア コアヌ エエ 疊環坐。盤坐をかく。安座。丈

子アア ザウ 疊草。刈取った稻の葉を積重ねる。

子アア シエク 帖式。書狀の様式。招待状又は案内

狀の様式。

子アア シツ 疊實。嵩張らない様にきちんとまとま

つてゐる。透間なくつまつてゐる。行李。欸。俾伊

一。手荷物の中を同上にする。眞面目で几帳

面。彼個人。不止規矩。彼は甚だ眞面目で

几帳面だ。

子アア ジイ 帖字。法帖の字。

子アア ジイ 疊字。種種、茫沍などの如く同じ漢字を重

ねたもの。隔字。

子アア モエ 疊坐。【疊環坐】。

子アア フヲ 疊坐。【疊環坐】。

子アア タア 疊打。子供など懲戒する爲に仕置をす

る。躰ける。病症など手當をする。

子アア タア イイ シエン 疊打醫生。打傷。腫物など

を癒す者。骨接。

子アア チア ツイ 疊成堆。堆積する。

子アア モアム 帖籤。案内狀などの表に貼る赤い紙。

手アム

を明日まで藏つて置くなら鹽で腐るのを防がねばならぬ。

手アム添。足す。添へる。補ふ。一改一補。一額的一足前。一補一補。一落一加。一落去。一差加へる。一壽一延命。一註一補註。書込む。

手アム忝。●(性)忝。●(被害の甚しい状態)甚い。病真一病が甚い。被人打真一一人に甚く打たれた。被伊害真一彼に甚い目に遭された。●よく煮る。どろどろになる迄煮る。肉煮真一肉をよく煮る。「が静まる。」

手アム恬。(多)静な。一静一同上。風一浪静一波風手アム沉。●沉める。一落井一井戸に沉める。一落海一海に沉める。●元手などを注込む。因爲此號症頭一幾若百元落去一この病氣の爲に何百圓も注込んだ。近來家事感一落去一近來財産が一段減つて来た。

手アムアア店仔。店屋。小店。開一店屋を開く。手アムアア沉仔。【沉酒】。手アムアア店仔脚。小店の前。手アムアア店仔口。小店の前。手アムアアチウ沉仔酒。【沉酒】。手アムアムイアウ站飯猫。(遊戯)隱坊。【匿飯猫】。手アムイアウ站猫。【站飯猫】。

手アム

手アムイアム恬鹽。鹽漬にして腐敗を防ぐ。手アムイウ點油。我共你一做記號一己は御前に油をさして印をつけて置いてやる。この恨は死んでも忘れないぞ。我共你一同上。

手アムイウ添油。油を注足す。手アムウイ算位。儀式の時跪くために座布團の敷いてある定めた位置。

手アムウヌ沾恩。(多)恩を受ける。「横木。」手アムウヌ箆障。舢の水にあたる所に附てある手アムエエ砧鞋。(多)【砧鞋】。手アムヲアヌ店員。(團)店員。

手アムヲエ砧鞋。靴の修理をする。靴を繕ふ。手アムカア站脚。引籠る。蟄居する。伊不時一不曾出來外面一彼は常に引籠つて居て外に出たことがない。

手アムカウ點交。員數などを調べて渡す。手アムカウ店口。店口。店頭。一貨一店頭に並べてある品物。小賣の品物。手アムカク店売。(建物)を指している店。商店の建物。干乾一値六千元一店の建物だけでも六千圓の價値がある。

手アムカン站孔。蟄居。蟄伏。穴居。手アムカンクウ站孔龜。【站孔】。

手アム

手アムガヌ點眼。●佛像など入眼。●目薬をつける。點眼。

手アムキア點件。件數を查べる。一交你一件數を檢査して真下に渡す。

手アムキイ點鼠。神託。神の示。手アムキイ點痣。痣に薬をつける。手アムキイ點痰。灰汁を用ひて柿を酢す、涎を抜く。手アムキイ店基。店舗の敷地。店の土地。

手アムキイ蟄枝。挿木。手アムキムス點金術。造金術。手アムギア店額。店の軒數。店の數。

手アムクウ點句。句を切る。句點を打つ。句讀を切る。一開股一句讀點を打ち、段落の印を附ける。手アムケエ店客。店の客。「る。」手アムサイ恬才。沈著。沈重。おとなしい。徒口をきかない。

手アムサイ檢彩。【檢彩】。手アムサイ檢彩。【檢彩】。手アムサツ恬實。徒口などをいはぬ。眞面目。沈重。落著く。手アムサツ站賊。賊を隠す。手アムシアウ點賬。●勘定を查べる。●勢力。有。一幅が利く。有。一的人一有力者。立者。

チアム シウ 站巢。巢籠る。

チアム シウ 添壽。壽く。長命を祈る。祝ふ。爲你

—— 貴方の爲に壽く。

チアム シウ トク 添壽圖。劇曲又は山車物の名。

チアム シム 點心。點心。間食。茶菓子。茶請。茶子。

食—— 間食する。—— 頓—— 間食。雷公——

雷の茶請。悪者など雷に打たれて死ぬこと。

チアム シム アア 點心心盒。【點心】を入れる箱。

チアム シム チアム 點心店。間食物を賣る店。飲食

チアム セエ 店税。店の家賃。【店】。

チアム モエ 恬靜。【恬靜】。

チアム モエ 點册。句讀を切る。

チアム モエ 點醒。【點醒】。

チアム モエ エ 恬寂寂。非常に寂しい。しんとして

チアム ソア タウ ケエ 站山頭家。●山に住む主人。

チアム ソオ 點數。點數。【合員】。

チアム ソオ 店税。【店税】。

チアム タア 點打。注意を與へる。注意する。心添す

る。—— 伊不可放蕩—— 放蕩しない様に彼に注

意を與へる。

チアム タア チョツ サヌ 點塔七層。—— 不如暗

處一燈—— 七重の塔に燈火を點けるは暗所の一燈

チアム

に如かず、深遠なるものよりも手近が適切なる

意。【に立つ木】。

チアム タウ 砧斗。【同】棟木を支へる爲楯の上に垂直

チアム タウ 砧頭。【砧頭仔】。

チアム タウ 店頭。店先。店屋。店。

チアム タウ 忝頭。【忝】の①。

チアム タウ アア 砧頭仔。物を打ち又は切る爲の臺。

チアム タウ ラン 店頭人。店の人。店者。

チアム タウ タヌ 點丹。丹藥を附ける。藥を附ける。

チアム タン 店窓。店頭などの畫間取外し置く窓の戸。

店の窓。上—— 同上を填める。抜—— 同上を

チアム タン パン 店窓枋。店の窓の板。【取外す】。

チアム チイ 點主。【點主】。

チアム チイ 恬靜。【恬靜】。

チアム チイ 點醒。●注意する。忠告する。警告する。

●神託。神の示。神明暗—— 神が暗示を與へ

る。蟲が知らせる。

チアム チイ 沉錢。資本を注込む又は元手を喰込む。

チアム チイ チイ 恬寂寂。非常に寂しい。しんとして

る。【莫】寂寥。

チアム チイ チイ 恬凄凄。非常に寂しい。森森と。寂

チアム

る。

チアム チエウ 點燭。●蠟燭を點す。燈をつける。●

結婚の時男家より女家に禮物を贈る。

チアム チエン 點鐘。時。時間。五—— 五時。

チアム チエン 恬靜。●靜な。寂寥。鎮まる。鎮靜。

●時較—— 夜は靜だ。●黙つてゐるもの靜。

彼個仔較—— あの子供はもの靜だ。

チアム チエン 恬靜。【恬靜】。

チアム チオン 點將。將を指名する。拳を打つ時の方

チアム チツ エエ 點一下。ぼつりと點を打つ。

チアム チツ チアム 點一點。一つ點を打つ。

チアム チアム 點點。【點】の④。

チアム チアム 點點。●新—— 品物など非常に新し

い。【點】の③④⑤⑥。

チアム チアム 站站。【站】の③。

チアム チアム 沉沉。【沉】。

チアム チアム 簞簞。【簞】の③。

チアム チアム 恬恬。●靜に。ちっと。沉黙。黙する。

鳴を鎮める。大家—— 皆靜に。—— 想—— 沉思

黙考。—— 坐—— 默坐。—— 讀—— 默讀。伴—— 知

らぬ風をする。【恬】の③。

チアム チアム 墊墊。【墊】。

チアム

チアム

チアムチアム 沉沉。【沉】。「怪らぬ。」
 チアムチアム キム 點點金。注意深い。周到。綿密。
 チアムチアム チヌ 點點真。前に同じ。
 チアムチイ 恬治。(女)物靜。開雅。靜肅。大人しい。
 チアムチイ 恬澁。水が漲つて水面が動かぬ様。水が充分に満ちる。水が溢れる。潮が満ちる。水一

チアム

チアムチオク 恬着。子供など大人しい。自尊心がある。沉着な。
 チアムチヌ 點陳。注意深い。周到な。綿密な。精密な。細い。辨事情真——仕事をするに基だ注意深く綿密な。
 チアムツイ 點水。●水を點する。●竹竿で水深を測
 チアムツイクイ 站水鬼。兒童の遊戯の名。
 チアムツイチアムチイ 恬嘴恬舌。沈黙を守る。
 チアムツウ 點主。子孫が好運にあやからん爲に、棺を埋めた後、好運の人・學者・官人などを頼んで位牌の面の上下に朱點を打って貰ふこと。
 チアムツウ 店主。店主。
 チアムツウ コア 點主官。位牌に朱點を入れる人。【點主】を見よ。
 チアムツウラン 店主。店の主人。「ある。」
 チアムツツ 恬卒。非常に寂しい。しんとして
 チアムツン 添粧。興入前に友人などより結婚祝として女家に贈物をする。爲徳——彼に贈物をする。不傳人——女家に於て遠慮して祝物を受けない。
 チアムツイ 添隊。隊を増す。兵を増す。
 チアムツウ 點注。博奕の時賭錢に對して勝負をするぞと合圖する。

チアム

チアムツウ 點柱。それとなしに注意をする。窺かに忠告する。耳打をする。暗示する。偷——同
 チアムテエ 店底。(海)「店底」
 チアムテエ 站得。在住。居住。居る。
 チアムテエ 沉底。(海)「沉底」
 チアムトア 點斷。「拳頭」の手の名。血管の急所に觸れること。これをされた者は不具となり又は死ぬといふ。
 チアムトエ 店底。●店の持主。此間——是甚人的
 〓この店の持主は誰だ。〓商品又は營業用の器具。店の品。〓要打給人〓同上を人に賣渡す。
 チアムトエ 沉底。●底に沈む。●土臺など確りしてある。伊的家伙較——彼の財産は土臺が確りしてある。平平是秀才伊較——均しく秀才であるが彼の方が素養がある。
 チアムトエジ 點題字。隱題。
 チアムトラ 店倒。店が倒れる。破産。倒産。
 チアムトン 店東。店の主人。
 チアムハイ 沉海。海に沈める。海に打込む。掠去——捕へて海に沈める。「つて點呼をする。」
 チアムパウ 點卯。「知縣」など下級使用人の名簿によ
 チアムパツ 點密。室内に燻る。引籠る。
 チアムパン 簞枋。船底の板。船板。板子。

手アム ヒア 簞横。船板を列べる横木。舟底の横木。

手アム ヒイ 點戯。芝居の外題を選ぶ。

手アム ヒウ 點香。燒香。線香に火を附ける。

手アム ヒエツ 點穴。●地理師が墓地の位置を撰定する。位置を占ふ。●拳術などで急所を突く。

手アム ヒオ 點香。(蒲)【點香】。

手アム ビイ 站泳。水を潜る。潜る。

手アム ビイ 諂媚。阿る。胡麻摺。諂媚を使ふ。諂ふ。媚びる。

手アム ビイツ 站泳船。潜航艇。

手アム ビヌ 店面。店先。臭柑排——腐った蜜柑を店先に並べる、婦人など顔の醜きをも顧みず人前に出しゃばるを罵つていふ。

手アム ビエン 點兵。兵を點呼する。兵を點檢する。

手アム ビエン 添兵。兵を増す。

手アム フィロオ 點血路。【點斷】。「痕」。

手アム フヌ 砧痕。籐椅子の編目などの皮膚に附いた

手アム プヌ 添本。増資。

手アム ヘエ 點火。火を點す。火をつける。

手アム ヘエ 點貨。貨物を檢査する。貨物目録を作る。

手アム ヘエ 店夥。店員。

手アム ペエツエ 砧皮鞋。靴直。——食毛靴直。屋は毛を食ふ。食ふ物が無いといふ義。毛と無と

音の似たるより振つて斯くいふ。

手アム ホア 點化。神の御告。夢の告。靈感。

手アム ホアヌ 點犯。犯人を點檢する。

手アム ホエ 點火。(漢)【點火】。

手アム ホエ 點貨。(漢)【點貨】。

手アム ホエ 店夥。(漢)【店夥】。

手アム ホオ 店戸。店。店舗。

手アム ホオ 站雨。雨宿する。雨を避ける。

手アム ホヲ 店號。屋號。商號。——印店の印。

手アム ホクシウ 添福壽。幸福と壽命を増す。

手アム ホン 站風。風除に隠れる。(船避難する。

手アム ホン 恬風。風く。靜まる。風風。——靜浪。風收り波靜まる。

手アム ホヲ 點火。(泉)【點火】。

手アム ホヲ 點貨。(泉)【點貨】。

手アム ホヲ 店夥。(泉)【店夥】。

手アム ボア 點破。解釋して示す。言つて聞かせる。

——俾人聽。説明して聞かせる。

手アム ボアチエン 點半鐘。一時三十分。

手アム ボアツ 點撇。セミコロン。;(Semicolon)。

手アム ボエエ 砧皮鞋。(漢)【砧皮鞋】。

手アム ボオ 點斧。入棺の時、縁起のよい詞をいって棺に釘を打つこと。

手アム ポオ 店舖。店。店舗。

手アム ポオ 簞補。足す。不足を補ふ。添補する。

手アム ポオ 添補。前に同じ。

手アム ポヲ 牙エ 砧皮鞋。(泉)【砧皮鞋】。

手アム ミア 點名。點呼。名前を點檢する。

手アム ミア 名簿。名前を點檢する。名前檢査簿。

手アム ミイ 諂媚。【諂媚】。

手アム メエ 緊猛。【緊猛】。

手アム ラウ 沉瀾。船が漏る。水がさす。

手アム リアム 砧砧。【砧砧】。

手アム リアム 點點。【點點】。

手アム リアム 站站。【站站】。

手アム リアム 沉沉。【沉沉】。

手アム リアム 簞簞。【簞簞】。

手アム リアム 墊墊。【墊墊】。

手アム リアム 恬恬。【恬恬】。

手アム リアム 添添。【添添】。

手アム リアム 沉沉。【沉沉】。

手アム ロヲキイ 沉落去。沈む。沈没する。

手アム ロヲツイ 沉落水。水に沈む。(人)水に溺れる。

手アム ン 站影。日陰に居る。日陰に翳ふ。前人栽

樹、後人——前の人が樹を植えて後の人が蔭に翳ふ、後繼者が利益を得る意。

手アム

手アム

手アム

手アン

手イ

手イ

手イ

手アン 手アン

手アン 瓊。●琴などの音。びんびん。ちりんちりん。

手イ 琴。●琴などの音。びんびん。ちりんちりん。

手イ 琴。●琴などの音。びんびん。ちりんちりん。

手アン 長。●長。

手アン 漲。●長。

手アン 腸。●長。

手アン 誰。●誰か。

手アン 丈。●杖。

手アン 暢。●暢。

手アン シイ。●何時。

手アン 手アン ハウ。●瓊瓊嗒。

んしゃん。(言葉)べらべら言ふ。

手アン フィサムクヌ。●長隊參軍。

手アン フウ丈夫。●丈夫。

手イ 手イ

手イ 知。●知。

手イ 不。●不。

手イ 不。●不。

手イ 不。●不。

手イ 不。●不。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 猪。●猪。

手イ 著。●著。

手イ 置。●置。

手イ 致。●致。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 滴。●滴。

手イ 誰。誰か。一知一誰が知るものか。一人不愛體

面一誰が體面を顧みない者があらう。

手イ 除。(連)【除】。

手イ 稚。(連)稚。

手イ 在。(連)在。●動作の歸著する地位を示す。……

に……責成在一我一責任は僕に在る。權屬

一伊一權限は彼に屬する。下一桌頂一桌子の上

に置く。●在る。居る。錢一彼一金は彼處に在

る。我一内地の時一僕が内地に居った時。魚一

海裡一魚は海に居る。鼓一内聲一外一鼓は内

に在りて聲は外にあり、本元は内に在っても世評

は外である。●(比較)より。よりも。較高一天

一天よりも高い。較深一海裡一海よりも深い。

●から。より。一彼來一彼處から來る。一此返

去一此處から歸る。【在、在】。

手イ 箸。箸。●着遮目一箸を持つには目を遮らな

ければならぬ、悪事をなすには人目を蔽ふべしの

意。火一火箸。一雙一一膳の箸。【箸、箸】。

手イ 弟。弟。小一同上。兄一兄弟。

手イ 痔。(病)痔。痔疾。内一内痔。穴痔。

手イ 治。●治める。統治する。一國一國を治める。無

法可一治める方法がない。●退治する。鐘馗

一鬼一鐘馗が鬼を退治する。一妖怪一妖怪を退

治する。●治する。直す。癒す。一病一病を癒

す。一飢一飢を癒す。一百症一百病を治する。

●散散に虐る。困らせる。被蝕蝕一眞忝一破

落片に散散に虐られた。困仔賢一序大人一子

供がなかなか親を困らせる。

手イ 何。一時一何時。一日一何の日。一一個一ど

れ。何の物。

手イ 碟。醬油などを入れる小皿。手鹽皿。豆油一

醬油皿。碗一箸一碗皿。箸。食器類。

手イ 値。要る。入用。要一同上。愛一同上。

●一要らない。我要一細的の僕は小さいのが入

用だ。【値、値】。

手イ 釘。脚後一踵。手後一臂。鞋一靴の踵。

手イ 甜。●甘い。一鹹淡無嫌一甘いも鹹いも淡いも

構はない、何でも構はない。糖一蜜一話など

が砂糖蜜の様に甘い、甘言。●旨い。旨しい。美

味。味がある。日本豆油眞一日本の醬油

は味がよい。

手イ 伴。空惚ける。振をする。白ばくれる。一不知

一知らない振する。一懸一白ばくれる。一死一死

んだ振をする。一醒一寢た振をする。【同】

と同一なるべし。【伴】。

手イ 町。息詰む。息張る。息む。一尿一便所に行つて息

む。一力一息んで力を出す。一目一目を見張る。

目睨一大蕊一眼玉を大きく見張る。【町】。

手イ 纏。(連)纏。●卷附ける。卷附く。絡む。

絡著く。纏はる。一索仔一繩を卷附ける。一身

一身體に纏はる。一脚一手一手足纏。

手イ 程。【程】。

手イ 擲。(連)擲。●擲。【擲】。

手イ 擲。靠れて背で押す。門など開かない様に木を立

てかける。相一背合せ。相一脚川一尻と尻と

を突合はせる、心を合せぐるになつて事をするな

どの意。

手イ 淀。満ちる。湛える。一杯になる。水一水が満

ちる。貯一一杯に盛る。

手イ 握。確り握る。一緊一握緊める。手で締付ける。

一破一握潰す。一生葩一翠丸を握る。一領頸一

咽喉を締める。【握】。

手イ 桶。●縮木。桶一同上。●縮木で箍を締める。

一桶箍一同上。【桶】。

手イ 提。(連)提。【提】。

手イ 値。(連)値。【値】。

手イ 締。(連)締。【締】。

手イ 株。(連)株。【株】。

手イ

手イ

手イ

チイアア 天啊。窮苦を訴へる時などの詞。噫天道様。
チイアア カア 磔仔脚。甘蔗蜜餞など入れて食卓の
四角に置く小皿。

チイアア カウアア 猪仔狗仔。冬至の日に糯米の粉
で作る豚と犬、子供の弄ぶもの。

チイアア キア 猪仔子。豕。豚の子。

チイアア ゲエ 猪仔牙。豚の仲間。

チイアア タウ 猪仔頭。豚の子の群の中一番大きな

チイアア アム 鐵仔店。金物屋。鍛冶屋。古金屋。

チイアア ヒイ 猪仔墟。豚市。

チイアア ベエ 猪仔尾。豚の子の群の中一番小さいも

チイアア ポア 甜仔盤。(植)はまちゃんちゅう。

チイアア 治安。(國)治安。一妨害治安妨害。

チイアア 鐵案。變更の出来ない案件。控訴のできな
い訴訟事件。

チイアア アア 天合合。曇る。空が曇って暗い。

チイアム 撐領。頰杖をつく。

チイアウ 治飢。物を食べて餓を癒す。腹をこしら

チイアウ 治妖。化物を退治する。

チイイイ 致意。意を致す。心を込める。注意を拂ふ。

入念。一做事情一入念に事をする。伊龍無
一彼は少しも注意を拂はない。

チイイイ 天意。天意。知一一天意を先知する。

チイイウ 知友。(又)知友。【知恩】
油を出す。

チイイウ 猪油。豚の油。煎一豚の脂肪を煎って

チイイウ 猪羊。豚と山羊。一架一神佛に供へる爲
の豚と山羊を載せる臺。【猪架】参照。

チイイウ 添油。油を差す。

チイイエク 猪疫。(番)豚疫。

チイイエヌ 遅延。(又)遅延。延引。

チイイホク 智育。(國)智育。

チイイオン 智勇。(又)智勇。一雙全一智勇兼備。

チイイヨ 猪腰。豚の腎臓。一範一豚の腎臓形。楕
圓形。一形一同上。

チイイヌ 知恩。(漢)【知恩】。

チイイヌ 鐵印。鐵の印。焼印。

チイイム 知音。(又)知己。知音。

チイイム 致蔭。引立。引負。御蔭。庇護。恩顧。助
引立てる。庇ふ。受人一一人の御蔭を蒙る。

望你一御引立を願ひます。

チイウイ 天位。帝位。皇位。皇位。坐一位置に即
く。争一帝位を争ふ。打一同上。

チイウウバク 天有目。天に目がある。罰だ。悪事の
失敗した時にいふ。

チイウウ 知恩。一報本一親の恩をかへす。恩を知
て其本に報ずる。

チイウヌ 知恩。(奥)【知恩】。

チイエ 訛的。舌の纏れる者。吃。

チイエ 天下。天下。日の下。一太平一天下太平。
一下雷一響一雷の一鳴天下に響く。一火
碗一天下の燈臺。天下の事は何でも知って居る意。
一火碗平平大一天下の燈臺は何れも同じ大
きさ、彼も人なり我も人なり。同等の意。

チイオオ 鐵壺。鐵の壺。

チイオオオ 天鳥鳥。曇る。曇天。

チイオン 池主。【池王爺】。

チイオンイア 池王爺。池の姓を有する宗族の祖神。

チイラアヌ 遲緩。(又)遅延。

チイラアヌ 鐵丸。鐵丸。

チイラエ 添話。言添へる。言足す。

チイカア 治家。(又)家を治める。一家を経営する。

チイカア 猪脚。豚の脚。一肉一豚の脚の肉。婚姻
の時に男家より女家に送る。【手足纏】。

チイカア 纏脚。足に絡まる。足に纏る。一絆手一

チイカア 鐵甲。(動)一鱧の一種。一ひざらがひ。

チイカア エエ 天脚下。日の下。天が下。天下。世界。

チイカア クウ 鐵甲龜。(動)いねのとげとげ等の龜に
て稻葉に白い脈絡の痕を残す。

チイカア 手手 纏脚纏手。手足まとひ又は物事

チイ

チイ

チイ

子イ

など絡纏ふ。

子イカア子イチウ添脚添手。足を添へ手を付ける。尾端をつける。各次講話——何時も話に尾端をつける。

子イカアツヌ鐵甲船。甲鐵艦。

子イカアビー鐵甲魚。(魚)鱈の一種。

子イカアチオンク又鐵甲將軍。【牛屎龜】。

子イカアラム猪脚楠。(植)たぶのき。いぬぐす。(樟科、材は家具・建築材として廣く使用せらる)。

子イカウ知交。入魂。親交。親密。

子イカウ猪狗。豚と犬。——畜生。犬畜生。

子イカウ致到。成って仕舞ふ。結果を生ずるに至る。

……の目になる。……のことになる。——如此。此の様なことになる。こんな事になる。——惹起。大事。大事を惹起するに至る。

子イカウ鐵鈎。鉤。

子イカウ啼哭。泣く。啼哭。哀哭。

子イカウキムシウ猪狗禽獸。畜生奴。犬畜生。

子イカウザウ鐵鈎草。(植)ざくろさう。(蕃杏科、眼藥として根を煎服し、或は之を浸水して得たる汁液にて眼を洗滌す)。

子イカウチエンシイ猪狗畜生。犬畜生。

子イカウ猪鴨。牡豚。種豚。

子イ

子イカク知覺。(又)知覺。

子イカヌチエン鐵干證。確證。確な證據。

子イカン猪公。牡豚。

子イカン纏工。手間がかかる。

子イカン鐵工。鍛冶。鐵工。——廠。鐵工廠。——場。鐵工場。

子イガヌツイ鐵滲水。鐵を滲す。滲く。

子イガヌビツギイ甜言蜜語。(漢)【甜言蜜語】。

子イキア猪子。豚の子。——飼大不認猪哥做父。豚の子が大きくなって種豚を父と認めない。情婦に生ませた子が自分を父と認めざるをいふ。

子イキア箸奇。一本箸。

子イキア鐵橋。鐵樑。鐵樑。

子イキアムチアボヲピアム甜鹹淡無嫌。甘いも鹹いも淡いも構はない、何でも皆食へる。

子イキイ知己。(又)知己。親友。——的人。知己。知己の人。——知彼將心比心。己を知り彼を知り心を以て心に比す、我身を拵って人の痛さを知れの意。

子イキイ知見。立會。立會人。

子イキイ甜柿。甘柿。

子イキイ鐵枝。鐵棒。金棒。

子イキイ鐵齒。鐵の齒。飽迄否定する。強情。

子イ

張。——銅牙糖。同上。——王。強情。負嫌。

子イキイ鐵器。鐵器。金物。金具。【不順】。

子イキイ天氣。天氣。氣候。日和。——不順。氣候。

子イキイイツ知其一。——不知其二。其一を知つて其二を知らず。

子イキイチウ鐵枝橋。鐵柵。

子イキイライ撐起來。棒で押上げる。突上げる。

子イキイラン知見人。立會人。

子イキエク運刻。(圖)運刻。

子イキエク鐵菊。(植)花瓣の硬い菊の一種。

子イキエツ甜橋。(植)あまたちばな。ほんきつ。(凸柑類の一品種、果肉は甜味に富み食用に供す)。

子イキエヌチヲ伴度笑。せせら笑。空笑。

子イキヲ鐵橋。鐵橋。

子イキヲ鐵轎。鐵の轎。——扛沒動。鐵の轎は擔いでも動かない、臂の重い人をいふ。

子イキム展金。——看。目を光らして見る。

子イキム貯金。(漢)【貯金】。

子イギア抵額。埋合。埋合をする。

子イギイ致疑。疑ふやうになる。疑を抱くに至る。

子イギイ遲疑。(又)遲疑。疑つて躊躇ふ。

子イギエヌビツグウ甜言蜜語。巧言。甘言。

子イギエヌビツグウ甜言蜜語。(原)前に同じ。

チイクイ 猪臘。豚を入れて運ぶ檻。

チイクイ 治鬼。鬼を退治する。

チイクイ 甜氣。甘い味。甘口。

チイクイ 探開。靠て押す。船などを背にて押出す。

チイクイ 鐵櫃。弗匣。金庫。

チイクイ 天光。【天光】。

チイクイ 撐高。【撐高】。「披見」。

チイクイ 展開。推廣げる。廣げる。開ける。——看

チイクイ 鐵軌。【鐵軌】。鐵道のレール。軌條。

チイクイ 天閑。雨が上る。雨が霽れる。

チイクイ 甜氣甜氣。【甜氣】。

チイクイ アア シイ 鐵骨仔生。小くて丈夫な體。

チイクイ アア アア 鐵骨仔蛇。【鐵骨仔蛇】。足の指に出来る

チイクイ ムン 鐵骨毛。【猫公刺】。「腫物の名」。

チイクイ ララ 鐵骨蘭。【蘭科】鐵骨素心蘭。

チイクイ ヌ 伴晒。虚寝入。虚眠。

チイクイ ヌ 鐵棍。金棒。鐵棒。「拳をする」。

チイクイ ヌ タウ ブウ 捉拳頭母。拳を握る。堅く握

チイクイ 鐵管。鐵管。

チイクイ 鐵鋼。鐵鋼。

チイクイ 天光。夜明。早朝。夜が明ける。——早

同上。——日暗。明暮。朝夕。朝晩。——一暝。楊

楊歩。——無半路。——一晚中色と計畫を考へ

て夜が明けると何もしない、實行しないこと。

チイクイ バウ 天光卯。明六つ。卯の刻。早朝。

チイクイ 撐高。【撐高】。

チイグウ 知遇。【知遇】。殊遇。

チイグウ ジブ チヲ 鐵牛入右。【鐵牛入右】。ほうざんつづら

ふち。【防巳科】。根を煎服して強壯劑として用ひ

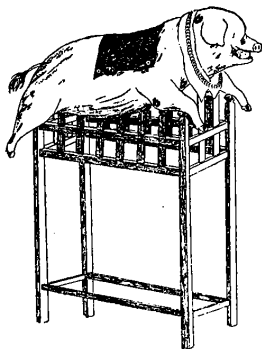
る。【性體】の

チイケエ 猪架。

【性體】の

豚を載せる

組臺。



猪架

チイケエ 戴髻。女が髻の如き冠を被ること。

チイケエ 甜糶。米の粉に砂糖を混ぜ蒸揚げた糶粉餅。

チイケエ 雌雞。【雌雞】。「砂糖餅」。

チイケエ 添價。値段を出し添へる。きばる。

チイケエ キアム 添加減。加減して足す。

チイケエ クウ 甜糶。糶の形の【甜糶】。

チイケエ ビヌ 戴假面。假面を被る。

チイコア 猪肝。豚の肝。豚の肝臓。「マウ」。

チイコア サイ 天芥菜。【馬鞭草科】なんばんり

チイコア シエク 猪肝色。海老茶色。

チイコア イ知縣。縣知事。知縣。

チイコア イ鐵枋。【鐵枋】。次に同じ。

チイコア 鐵枋。鐵杖。鐵枋。

チイコア 撐高。突上げる。押上げる。

チイコア イシエヌ 鐵枋仙。【八仙】の一人。

チイコア 知縣。【知縣】。

チイコア イム 鐵觀音。上等の茶の一種。

チイケエ 戴髻。【戴髻】。

チイケエ 雌雞。雌雞。

チイケエ 甜瓜。【甜瓜】。眞桑瓜。味瓜。苦瓠連根苦。

——透帶甜。【透帶甜】。苦夕顔は根まで苦く、眞桑瓜は蒂

まで甜い、悪ければ何から何まで悪い、善ければ

何から何まで善いなど。

チイケエ 甜糶。【甜糶】。

チイケエ 雌雞。雌雞。

チイケエ エ 雌雞尾。雌の尾。挿——雌の尾

を挿して飾る。

チイコオ 甜苦。甘いと苦いと。甘苦。

チイコオ 鐵箍。鐵の箍。金輪。輪鐵。

チイコオ サウ 治冠草。【毛茛科】たがらし。

チイコオ 猪哥。【種豚】。助平男。一隻那虎頭

——虎の頭をした種豚の様だ、好色漢を罵って

いふ。

チイコラ 知過。【知過】。過を知る。——必改。過を知

れば必ず改める。

チイ

チイ

チイ

子イ

子イ コラ 猪笥。豚を運ぶ籠。――笥猪 同上で豚を運ぶ。

子イ コラ キアウ 猪哥橋。種豚の尖った口。ひよと

子イ コラ ゲエ 猪哥牙。豚の牙。八重歯。【こ】。

子イ コラ ツイ 猪哥嘴。種豚の口。ひよと【こ】。

子イ コラ ヒム 猪哥能。(動)熊の一種。

子イ コラ ビヌ 猪哥面。種豚の顔。ひよと【こ】面。

子イ コラ ム 猪哥姆。醜婦。――仔伴五娘賞花。醜婦が貴女と共に花見する、身の程を顧みず貴女の眞似などするをいふ。

子イ コク 治國。國を治める。治國。

子イ コク シエン 鄭國姓。(人名)國姓爺。鄭成功。

子イ コン 猪公。(神佛を祭る時の)牡豚。●愚者。問拔。大馬鹿。

子イ/コシ 抵抗。(國)抵抗。

子イ/コン 鐵管。鐵管。

子イ/コン 天公。天公。御天道様。神。天帝。――祖 同上。――賬簿大册 天の帳面は大册だ、【册】は【感】に通ずるより非常に悔しがるをいふ。――酒甕 天公の酒甕。【酒甕】は一名【酒甕】といふより【天甕】即ち馬鹿の意に用ひる。【玉皇】。【玉帝】。

子イ/コン 鐵壙。鐵壙。

子イ/コン アム 猪公領。猪頸。

子イ

子イ/コン サイ 天公齋。毎月一日と十五日の精進。

子イ/コン シイ 天公生。【天公】の誕生日(舊正月九日)

子イ/コン セエ 天公生。(意)前に同じ。【に當る】。

子イ/コン ツイ 鐵損鐵。鐵で鐵を打つ、負けず劣らず對抗する。

子イ/コン テラ 天公醜。一地方擧げて行ふ盛大な【天公】の祭典。

子イ/コン テエ/コン 天空地空。――一人亦空 天地人一切空なり。

子イ/コン トア 天公壇。【天公】の祭壇。

子イ/コン ニウ 猪公量。【牲體】の豚を秤る秤。

子イ/コン ボラ 天公報。【天公生】(舊一月九日)に吹く大風。【ふる毛】。

子イ/コン ムン 猪公毛。(意)小兒の顔門の所に伸して

子イ/コン モオ 猪公毛。(意)前に同じ。

子イ/コン ロオ 天公爐。屋内の神佛の前に吊してある線香立。

子イ/コオ 甜糶。(意)【甜糶】。

子イ/ゴラ 池鷺。(動)ベリカン。伽藍鳥。

子イ/ゴン 伴鷺。馬鹿な風する。空惚ける。しらをきる。――食狗屎 馬鹿な風をして犬の尿を食ふ、分りきつた事を空惚けて人に問ふなど。――使歹錢 白ばくれて質の悪い金を使ふ、白ばくれて悪事をするなど。――使弱銀 同上。

子イ

子イ/サア 絨衫。着物を縫ふ。

子イ/サイ 猪屎。豚の糞。

子イ/サイ 盯屎。大便をするとき息詰む。

子イ/サイ 鐵屎。鐵屎。鐵屑。

子イ/サイ 天使。(基督教)天の使。天使。

子イ/サイ 擗脚。両手で頬杖をつく。(犬)――在坐 蹲る。しゃがむ。

子イ/サイ/ゲエ 猪屎箕。豚の糞を扱むもの。

子イ/サイ/サイ 猪屎菜。(種)つくしめなもみ。(菊科、莖葉を細切し水にて煎服すれば、リウマチス・喉痛・便毒に効あり)。

子イ/サイ/ツウ 猪屎托。豚の糞を播集めるもの。

子イ/サイ/ナア 猪屎籃。豚の糞を入れる籠。――結絲 同上に飾りする、不似合の意。――亦抽出來品寶 同上を抽出して寶物とする、詰らない物を持って誇るをいふ。

子イ/サイ/ペエ 猪屎扒。豚の糞を掻集めるもの。

子イ/サイ/ラム 鐵屎桶。(種)樟科)たいわんかごのき。

子イ/サウ/テウ 鐵掃帚。卜者の語。帯――鐵掃帚の性がある(此の性の女は縁が遠いといふ)。

子イ/サヌ 鐵鎗。(意)【鐵鎗】。

子イ/サア 猪閘。【猪閘】。

子イ/サム/パツ 伴三八。馬鹿な風をする。しらばく

チイザア 醒鐘。【醒鐘】。

チイザア 鐵搭。【鐵搭】。

チイザア キエンチヲ 甜炸苜蓿。苜蓿の實を油で揚

チイザア チイトエ 天差在地。雲泥の差。霄壤の

チイザイ 誰知。誰が知るものか。誰が分るものか。

チイザイ 伊不來 彼が来ないといふことは誰が分る

チイザイ 伊不來 伊不來 伊不來 伊不來 伊不來 伊不來

チイザイ 猪菜。豚の飼料、薩摩薯の蔓・葉など。

チイザイ 甜菜。(種) ●(水蓼科) こなぎ。【鴨舌草】。

チイザイ 甜菜。(種) ●(水蓼科) こなぎ。【鴨舌草】。

チイザイ 鐵指。鐵の指輪。

チイザイ 鐵彩。絲を紡ぐ機械の附屬具。紡錘。

チイザイ 猪菜草。(種) (菊科) ぶくりやうさい。

チイザイトエ 天知地知。—— 你知我知

チイザウ 猪灶。豚を屠殺する所。屠所。

チイザウ 甜糟。甘糟。

チイザン 猪鬃。豚の頂鬃。

チイシア 治邪。邪鬼など退治する。

チイシア 鐵杓。金杓子。

チイシア 添寫。書添へる。書足す。

チイシアウ 伴狂。氣違の風をする。白ばくれる。し

チイシイ 救閃。巫山戯て人の肩などを軽く打つ。

チイシイ 何時。何時。—— 仔何時頃。——

チイシイ 伴死。死んだ風をする。—— 饑餓食蟻

チイシイ 捻死。握殺す。絞殺す。

チイシイ 天時。時候。時節。季節。氣候。天氣。天

チイシイ 天生。—— 地養 天生じ地養ぶ。【候

チイシウ 猪巢。豚の巢。豚小屋。—— 不值狗巢穩

チイシエク 抵塞。引當にする。充てる。暫且將此

チイシエク 智識。智識。

チイシエク 鐵色。鐵色。

チイシエク 天色。空模様。空合。看—— 空合を見

チイシエク 鐵縮。鐵縮。

チイシエヌイウ 鐵縮油。鐵縮。

チイシエン 知性。性質を知る。—— 可以同居 性

チイシツ 智識。(種) 【智識】。

チイシツ 株式。(種) 【株式】。

チイシヌ 纏身。身體に纏ふ。身體に絡る。事情——

チイシヌキオク 置身局外。身を局外に置く。

チイシヌア 纏身蛇。(種) 全身に廣がる腫物の名。

チイシヌブウテ 置身無地。身の置處が無い。

チイシヌペエア 纏身飛蛇。(種) 全身に發疹する。

チイシヌミア 致身命。不治の病に罹る。

チイシム 猪心。豚の心臟。

チイシム 致心。心を致す。心を込める。精を出す。

チイシム 致心。致心致血。一生懸命。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイシム 致心。致心致命。前に同じ。

チイ

チイジヌチイビエヌプツチイシム知人知面不

知心。人を知り顔を知るも心を知らず。

チイスウ知事。知事。

チイスウ致使。(文)……せしむるに至る。一感傷

重 || 益益重くしてしまつた。一變歹人 || 到頭

悪人にしてしまつた。

チイスウエ天賜的。天賜。天の與へた賜物。

チイスウライ天賜來。天から授かる。

チイスウロク氏士貉。【二十八宿星】の一。

チイスン鐵栓。鐵栓。

チイセエ底細。物事の仔細。不知 || 仔細を知ら

ない。事情を知らない。

チイセエ治世。(文)治世。

チイセエ鐵紗。蚊帳などに用ひる目の粗い紗の一種。

チイモエ抵制。商品などの取引を拒んで制裁を加へ

ること。ポイコント。一祭る。

チイモエ致祭。(文)供養・法事などに行き死者の靈を

チイモエ鐵叉。鐵の刺股。十手。

チイモエチイモエ滴下滴下。點點と落ちる。ぼた

りぼたりと滴る。

チイソア鐵沙。砂鐵。

チイソア鐵線。鐵の針金。鐵線。一網 || 金網。一

橋 || 鐵線橋。

チイ

チイソアチヌ鐵線廢。(種)甘薯の一種。

チイソアリエヌ鐵線蓮。(種)鐵線。(毛茸科、有毒植

物にして觀賞用とす。)

チイソアロク鐵線羅。蚊帳などに用ひる目の粗い網

チイソエ鐵梳。稻扱。鐵扱。後家倒。

チイソク遅速。(文)遅速。

チイソア鉄行。縫目。

チイソアトエ天差地。天地の差。

チイソアロク戴紙褰。紙袋を被る。空惚ける。

猫を被る。一假哭 || 同上して泣く風をする。

チイソエ知罪。罪に服する。服罪する。

チイソエ治罪。治罪。罪を捌く。

チイソエ添多。殖す。増す。足す。

チイソオ鐵租。豊凶に拘らず一定した小作米など。

【死租】。

チイソク猪槽。豚の飼桶。一駛過洋 || 猪の飼槽で

大洋を横切る、危険を冒して成功するなど。

チイタア猪膾。豚の膾。

チイタア滴乾。曬む。

チイタア鐵搭。鐵の熊手の如きもの。備中鐵。

チイタイ知事。處置をつける。跡始末をつける。事

情籠是放俾我一事をやり放にして總て僕

に尻始末をつけさせる。為伊 || 彼の跡始末

チイ

をしてやる。

チイタイ值事。係。關係。與我無 || 僕と關係

が無い。有甚麼 || 何の係があるか。

チイタク猪頭。豚の頭。一不顧顧鴨母卵 || 豚の

頭は顧す鴨の卵を顧る。大事は等閑に附して小

事にこせこせする意。

チイタク甜頭。甜味。此號柑仔較無 || 此の蜜

柑は餘り甜味が無い。

チイタク鋤頭。鐵。唐鐵。一嘴糞箕耳 || 口は鐵

の様で耳は箕の様だ、醜いこと。

チイタク剃頭。頭を剃る。歹 || 剃りにくい頭、

煮ても焼いても食へないなどの意。一飼花眉

|| 理髮師が「花眉」を飼ふ、身分を辨へずして柄

にもない事をするなどをいふ。

チイタク添頭。添へる。足す。補ふ。

チイタク撐頭。出しゃばる。出過ぎる。差出がまし

い。僧上。御説戒。僧越。一番薯 || 出過者。

出しゃばりや。

チイタクア剃頭仔。(無)頭を剃る人。床屋。

チイタクキエン剃頭間。床屋。髮結床。

チイタクキヲ抵豚叫。(滴)ぼちぼち。(時計)かちか

ち。(靴音)ことこと。

チイタクク撒啄龜。(動)米搗龜。

チイタクゴオシエン猪頭五牲。豚の頭等五つの供物。

チイタクタア剃頭擔。路傍などで理髪をする床屋の擔ぎ荷。

チイタクオウ剃頭匠。床屋の職人。理髪職。

チイタクチアアベ添頭貼尾。不足を補ふ。不足を補充する。補助する。

チイタクチアム剃頭店。【剃頭間】。

チイタクチイイイ猪頭猪鼻。豚の頭に豚の鼻。愚鈍な人を罵る語。

チイタクトヲ剃頭刀。剃刀。――石剃刀。――皮剃刀の皮砥。――剃倒大叢樹。――刀で大木を伐倒す。小な者が大なる者に勝ちし時などいふ。用生葩皮磨。――陰囊の皮で剃刀を磨く。危険千萬の意。

チイタクハヌツウ撐頭春蓐。出過ぎ。出しゃばり

チイタクビヌ猪頭面。豚に似た顔。醜い顔。

チイタクビイ鋤頭柄。鋤の柄。無名無姓間。――名もない姓もない。鋤の柄にでも尋ねて見る。敬意を拂はないで路を尋た者などに對していふ。

チイタクビエン猪頭旁。(稱) 耳の下部の腫れる病。

扁桃腺炎。生。――同上が出来る。

チイタクフウジヌ池頭夫人。産の神様。

チイタクペエ猪頭皮。豚の頭の皮。肉の附いて食用にする部分。

チイタク抵抗。【抵抗】。

チイタク抵抗。一杯。充滿。

チイタク鉄釘。(泉)【鐵釘】。

チイタク抵背。――叫物を食ひ又は水の滴る音。

チイタク添重。足して重くする。重さを増す。

チイタク鐵桶。バケツ。

チイタク天窓。天窓。引窓。明窓。明取。――厝。明窓のある家。

チイタクコエ撒動雞。雞をからかふ。子供などよく巫山戯る者。悪戯者。草蜢。――稻子が同上。自分から手出をして反つて甚い目にあふなど。

チイタクシイ何當時。何時。何時頃。

チイチアウ池沼。(又) 池沼。

チイチアウ恥笑。(又) 嘲笑。冷笑。

チイチアム鐵鎗。米や砂糖の検査をする時に突挿す鐵の尖つたもの。刺。

チイチアン鐵戕。土を掘る器。鐵のシヤベル。

チイチイ底止。(又) 底止。際限。無所。――底止する所なし。無。――際限がない。【意】。

チイチイ致志。(又) 志を致す。専心。――専心専志。

チイチイ伴生。不然體。白白しい。惚る。空惚。白をさる。白はくれる。

チイチイ鐵子。鐵丸。

チイチイ鐵錢。鐵錢。鏹。鏹錢。

チイチイ天井。【天井】。

チイチイ天晴。雨が霽れる。雨上。

チイチイ添錢。金を補足する。

チイチイサウ戴星草。【穀精】。

チイチイトンチイ知止當止。(又) 知止當止。不恥止まるを知つて當に止まれば終身恥なし。

チイチウ知州。州知事。

チイチウ甜酒。甜い酒。

チイチウ抵手。(稱)【抵手】。

チイチウ鐵樹。鐵の木。――開花鐵の木に花が咲く。百年河清を待つなどの意。――植たいわん

チイ

チイ

チイ

手イ

ひとつばたご。かつばんひとつばたご。(木犀科、臺灣特産として有名なり、庭園樹として花を觀賞す。)(緑珊瑚)。

手イ 手ウ 鐵匠。鐵冶屋。鐵冶。鐵匠。

手イ 手ウ カウ 鐵手扣。鐵の手錠。手鐵。

手イ 手ウ プヌ 致手本。小官が大官に拜請する時赤い折紙の名刺を差出すをいふ。

手イ 手ウ ホエ 鐵樹花。【鐵樹】の㊦。

手イ 手エヌ ソエ 池千歳。【池王爺】。

手イ 手エヌ ソエ イア 池千歳爺。前に同じ。

手イ 手エン 知情。難有がる。恩を知る。情を知る。

手イ 手エン 鐵戔。土を掘る時用ひるシヤベルの如きも

手イ 手エン 天清。晴天。

手イ 手エン アア 猪種仔。小さい牝豚。

手イ 手オク 知足。足を知る。満足する。心不—

|| 心中足るを知らず。— 當足、終身無辱 ||
足を知つて當に満足せば終身辱なし。

手イ 手ヲ 猪腦。豚の腦髓。

手イ 手ヲ 伴笑。作笑。空笑。

手イ 手ヲ 鐵蕉。【鳳尾松】。

手イ 手ヲ 鐵石。鐵石。

手イ 手ヲ 恥笑。嘲笑ふ。嘲笑。冷笑。

手イ 手ヲ 天尺。測量の器具。經緯儀。

手イ

手イ 手ツ エエ 何一個。何方。何れ。何れ。

手イ 手ツ エエ 手イ 戴一個夫。— 踏一個地

|| 唯一つの天を戴き唯一つの地を踏む、財産の無

手イ 手ツ ジツ 何一日。何時。何の日。【いこと。

添へる。— 仔 || 同上。入婿などを罵る詞。

手イ 手ヌ 手ヲ 伴清笑。苦笑。空笑。嘲笑ふ。

手イ 手ア ハア 天拆鐘。夜明。朝朗。夜がほのほのと

手イ 手ア ウ 猪棚。豚小屋。【あける。

手イ 手ア ウ 纏住。絡まる。絡付く。

手イ 手ア ウ 鐵條。鐵棒。鐵棒。

手イ 手ア ウ 撐住。支する。突張る。【い。

手イ 手ア ウ 天柱。天柱。那— || 雲突くばかり大き

手イ 手ア ウ コン 猪桐公。豚小屋の神。

手イ 手ア ウ タイ 値條事。共你— || お前と何の

關係があるのか、餘計なお世話だ。

手イ 手ア ア 添貼。補助金などを増加へる。

手イ 手ア ム 猪帖。豚の肉を切る臺。同上盤臺。

手イ 手ア ム 伴恬。黙つて居る。黙つてゐる風をする。

手イ 手ア ム 鐵帖。鐵敷。鐵床。

手イ 手ア ン 是誰。誰か。

手イ 手イ 知知。【知】の㊦。

手イ

手イ 手イ 唧唧。嘴— 鳴— べらべら喋る。

手イ 手イ 抵抵。【抵】。

手イ 手イ 戴戴。【戴】。

手イ 手イ 撒撒。【撒】。

手イ 手イ 罌罌。鶯を呼ぶ聲。

手イ 手イ 在得。【在得】。

手イ 手イ 治治。【治】。

手イ 手イ 町町。【町】。

手イ 手イ 程程。【程】。

手イ 手イ 纏纏。纏絡る。こんぐらがる。— 豆藤

一大拖 || 南京豆の蔓が揃合つて一團となる、親

類など關係者が系統をなして一團となるが如き

手イ 手イ 淀淀。一杯になる。満ちる。【をいふ。

手イ 手イ 捏捏。【捏】。

手イ 手イ 捏捏。【捏】。

手イ 手イ 捏捏。【捏】の㊦。

手イ 手イ 掟掟。【掟】。

手イ 手イ 鐵箸。鐵火箸。

手イ 手イ 展展。(同)【展】。

手イ 手イ 竊竊。【竊】の㊦。

手イ 手イ 展展。【展】。

手イ 手イ 剃剃。【剃】。

手イ 手イ 鐵鐵。有— || 有鐵鐵】。

チイチイ 剃剃。(笑)【剃】。

チイチイ 記説。●舌が縫れる。吃る。――叫||同上。

チイチイ 添添。【添】。

チイチイ 撐撐。【撐】。

チイチイ 紮紮。【紮】。

チイチイ キヲ 脚脚叫。よくしゃべる。一枝嘴||

チイチイ キヲ 記説叫。吃る。口こもる。【る】。

チイチイ クヌ 記説脚。重病人などたわいなく眠

チイチイ タウ タウ 抵抵塚塚。【抵抵塚塚】。

チイチイ タウ 脚脚鳴。【脚脚叫】。

チイチイ アウ アウ 抵抵篤篤。ぼきぼき。ぼき

チイチイ ツウ ツウ 躊躊躊躊。【躊躊】。【る】。

チイチイ ツウ ツウ 記説愚愚。詰って吃る様に話す。

チイチイ ツウ ツウ 詰詰詰詰。詰詰詰詰。詰詰詰詰。

チイチイ エク 猪澤。(舞)【猪荅】と澤瀉の球莖を混合し

チイチイ エク 抵敵。敵對。抵抗。手向。

チイチイ エヌ 伴願。次に同じ。

チイチイ エヌ チイゴン 伴願伴願。狂の真似をする。

馬鹿の風をする。白痴を装ふ。白ばくれる。

チイチイ エヌ チイシアウ 伴願伴狂。前に同じ。

チイチイ エヌ ハア 治天下。(笑) 天下を治める。

チイチエン 戴頂。【紅頂】を被る。官吏の正帽を被

る。官吏になる。

チイチエン 鐵釘。鐵釘。――相三日無打就生鏽

鐵釘の様だ。三日打たないと鏽が出る。始末に

おへぬ子供などにいふ。――釘大柱||釘を大柱

に打つ、深く入込んで變更のできぬ意。

チイチエン 天頂。天上。天の上。上界。天。――地

下||宇宙間至る所。

チイチエン ケエ 天頂價。途轍もない高い値段。

チイチエン シヌ 鐵釘神。鐵釘の神。打懲さるべき

惡戯者。――愛人打||同上惡戯をして打たれ

たがる。

チイチエン チイコン 天頂天公。――地下下母

舅公||天上では天の神、地上では祖母の兄弟が

宴席などで一番上席を占める意。

チイチエン バヌ 鐵釘挽。釘拔。【の名】

チイチエン リアウ 鐵釘庭燎。孔子の祭に用ひる器具

チイチエン オク 貯蓄。(意)貯蓄。

チイチエン オン 致重。【對重】。

チイチエン オン 天中。空中。虚空。

チイチヨ 鐵鈞。鐵の鈞針。

チイチヨ 鐵鈞。把手のある小さい鍋。

チイチヨ コア 鐵鈞竿。(種)●せんだんぐさ。(菊科、

莖・葉を煎服して下痢止に用ふ。●姫萩。(遠志

科、薬用に供す)。●鐵馬鞭。

チイツイ 滴水。●水の滴。●軒先の雨垂の落ち

チイツイ 鐵錐。石突。船竿の先の金を附けた所。

チイツイ キイ 鐵嘴齒。●鐵の齒。●強情。頑固

――銅牙槽||鐵の齒に銅の齒莖、飽迄強情を

チイツイ 稚子。(笑) 稚子。幼兒。【言張る】

チイツイ 致此。此れが爲に。――即無來||これが爲

に來なかつた。――失敗||これが爲に失敗した。

チイツイ 添註。増註。【命。天運】

チイツイ チア 天註定。因縁盡。前世の約束事。天

チイツイ ボク ジョウ フウ 知子莫若父。――

知臣莫若君||子を知るは父に若くはなし、

臣を知るは君に若くはなし。

チイツイ ライ 町出來。息み出す。【毒】

チイツイ ツン 痔瘡。(病) 痔。痔疾。――姦漏||痔疾と梅

チイツイ ツン 天瘡。(病) 痘瘡。

チイツイ 猪梯。豚を屠って腹を切開く時に用ひる梯

の如きもの。

チイツイ 猪腿。豚の腿。

チイツイ 鐵槌。金槌。鐵槌。槌。――磨成針||鐵

チイ

チイ

チイ

チイ

チイ

チイ

手イ

ん。路頭擔燈心、路尾擔——持運に始は
燈心の様に軽く終には鐵櫃の様に重くなる、初
は易く終は難しくなる意。

手イ ツイ 天梯。非常に高い梯。那——呢塔や山な
ど非常に高い。

手イ ツイ 撐腿。疲れて足が棒になる。

手イ ツウ 蜘蛛。(蜘蛛) 蜘蛛。長脚——手長蜘蛛。——
經絲——蜘蛛が巣をかける。——結網——蜘蛛が網

手イ ツウ 柱柱。懸——懸柱柱。「をかける。

手イ ツウ 敬柱。(敬注) 敬注。●笛の形した菓子、餡で
作り吹いて鳴す。噴——同上を吹く。●吳耳
聾——非常に耳が遠い。

手イ ツウ キヲ 記愚叫。舌が纏れて吃る様に話をす
る。講話——同上。

手イ ツウ シイ 蜘蛛絲。蜘蛛の絲。

手イ ツウ トオ 蜘蛛肚。蜘蛛の腹。脹れた腹。鳥脚
——鳥の脚に蜘蛛の腹、腹脹れて足の細い人

手イ ツウ パン 蜘蛛網。蜘蛛の巢。「をいふ。

手イ ツウ 遅鈍。(遲鈍) 遲鈍。

手イ ツウ アア 猪豚仔。三四十斤位の豚の子。

手イ ツン 抵當。引受ける。責に當る。責を負ふ。賣
者——賣手が責を負ふ。敢——思ひ切つて責
に當る。

手イ

手イ ツン 抵當。(圓) 抵當。——品——抵當品。

手イ ツン 池塘。池。溜池。

手イ ツン 甜湯。甘い汁。

手イ ツン 甜糖。甘い砂糖。砂糖。

手イ テエ 在得。●……に居る。……に居る。……に
在る。伊——樓頂——彼は二階に居る。魚——海
裡——魚は海に居る。錢——票包仔裡——金は蝦
蟻口に在る。昨昏你有——層裡無——昨日君は
家に居たか。●(動作又は状態の繼續を示す)……
……してゐる。……しつある。——創甚——何を
してゐるか。——寫字——字を書いてゐる。——
笑——笑つてゐる。火——紅——火が赤くなつてゐる。
事情——好勢——仕事が工合よくなつてゐる。水
——燒——水が熱くなつてゐる。伊——好額——彼は
金持になつてゐる。●(動作の場所を示す)……で。
……に於て。我——東京——僕は東京で買った。
伊——學校讀書の時——彼が學校で勉強してゐ
た時。大家——役場會議——皆が役場で會議を
してゐる。【在得】。

手イ テエ 在得。居る。居る。——的所在——
居る場所。有——居る。無——居ない。錢——
無——金は在るか。【在得】。

手イ テエ 甜茶。甘茶。砂糖を入れた茶。

手イ

手イ テエ 纏隨。附纏。附添。附從。附廻る。
——的人——付添。附人。

手イ テエ 天地。(天地) 【天地】。

手イ テエ コオ 鐵茶砧。鐵瓶。

手イ トア 知單。案内狀。招待狀。

手イ トア 糊割。鋏で草を切る。耕す。

手イ トア タイ 值大事。關係。與你無——汝
との關係もない。

手イ トア トエ トア 天大地大。天地の大きさ。重大。
重要。——的事——由由しい大事。

手イ トエ 天地。天地。天壤。敬——天地を
敬する。謝——天地に謝する。下——天地に
祈る。不知——無意識。——壇——天地の神を
祭る壇。——變遷——世の變遷。世の移變。——
——尾——國の末。——無餓死人——世の中に餓死す
る者はない。天地は人を餓死させない。——無私
天地に私なし。——補忠厚——天は正直の者
を補ける。——内——宇内。——有目——天地に目
あり。不知——幾斤重——天地の重さ何斤なるを
知らず、無頓着で何事も分らぬ意。——圓輪輪
串餓是單身——天地は眞丸く飢える者は獨身者
のみ、獨身者が懶惰で飢えるに至るを戒めてい
ふ。——所設——不是困仔作孽——天地の定めた

もので子供の悪戯事ではない、房事などをいふ。

チイ トエ 鐵蹄。馬齒。鐵齒。馬蹄鐵。

チイ トオ 猪屠。豚を屠る處。屠獸場。

チイ トオ 猪肚。豚の胃の腑。――襪。昔用ひた布の靴下。足袋。

チイ トオ 鐵道。(英)鐵道。

チイ トヲ 猪刀。豚切庖刀。――利利趁錢不過後代。豚を殺す刀は鋭くても儲けた錢は子孫に傳

はらない、豚殺を業とする者の金は子孫に残らぬ意。

チイ トヲ 在何。何處にある。何處で。――做。何處

チイ トヲ 甜桃。桃。――「でする。

チイ トヲ 鐵道。(國)鐵道。

チイ トヲ ボク 鐵刀木。(植)たがやさん。(葺料、本邦にては唐木として尊重すれども、ビルマにては洋杖斧の柄等に使用する)。

チイ トヲ ライ キイ 鐵刀利器。双物。

チイ トヲ ロ、ヲ 在何處。何處にある。

チイ トン 抵當。【抵當】。【國】抵當。

チイ トン 運撞。遅延する。延延になる。

チイ トン 抵統。責任。埋合に當てる。形式的に。型ばかりに。無彼項可給伊、將此個給伊做

――あれは遺れないから埋合にこれを遣る。

チイ トン コアヌ 抵當權。(國)抵當權。

チイ トン ビヌ 抵當品。(國)抵當品。

チイ ニアウ 鐵猫。(捕)捕風器。鼠取。

チイ ニイ 町町。(町)町。

チイ ニイ 纏纏。(纏)纏。

チイ ニイ 程程。(程)程。

チイ ニイ 捏捏。(捏)捏。

チイ ニイ 捏捏。(捏)捏。

チイ ニイ 捏捏。(捏)捏。

チイ ニイ 捏捏。(捏)捏。

チイ ニイ 添添。(添)添。

チイ ニイ 天年。世の中。時代。世。伊的。――彼の世の中。歹。――悪い世。

チイ ニイ 撐撐。(撐)撐。

チイ ニイ 紮紮。(紮)紮。

チイ ノア 猪欄。豚の圍。豚の出ない爲に作った障

チイ ハウ 啼啼。泣く。叫喚く。叫ぶ。

チイ ハウ 天候。天候。氣候。

チイ ハンロオ 鐵烘爐。鐵の焔爐。ストーブ。

チイ バア 猪肉。豚肉。豚の肉。

チイ バア カウ 猪肉鉤。豚の肉を掛ける鉤。

チイ バア ジイ 鐵錨兒。錨。

チイ バア パウ 猪肉包。豚の肉を餡にした饅頭。

チイ バク 町目。眺む。目を見張る。

チイ バク 瞳目。羞明しい。目映い。――展没金。目映くて目が開けられない。

チイ バン 鐵網。鐵網。金網。

チイ パア チア 天打天成。天が打つて天が仕上げる。天の爲す所で人力が及ばない。

チイ パツ コロ プン 甜八果飯。八種の物を入れた糯米の甘い飯。

チイ パツ ポロ プン 甜八賣飯。前に同じ。

チイ パヌ 鐵板。鐵板。鐵板。――色。鐵色。――不移。鐵板の様で動かない、物事の確定して變更の出来ないこと。

チイ パヌ 鐵瓶。鐵瓶。

チイ ヒア 在彼。彼處に居る。彼處に在る。

チイ ヒイ 猪肺。豚の肺臟。

チイ ヒエク 猪肉。豚の肉。

チイ ヒエン 抵還。埋合にして返す。物品で返す。他の物で返す。變賣。――賣って仕舞って返済する。

チイ ヒエン 管刑。(國)管刑。

チイ ヒエン ジヌ フウ 甜杏仁腐。杏仁の豆腐に砂糖を混せて煮たもの。

チイ ヒエン ジヌ ロオ 甜杏仁露。砂糖と杏仁とを混

チイ

チイ

チイ

チイ

せて作ったもの。

チイヒヲ 抵後。(泉)【抵後】。

チイヒム 猪熊。(動)熊の一種。豚に似た熊。

チイビイ 甜味。甘み。甘味。

チイビエン 致命。(交)致命。能ー命にかかる。生命にかかる。

チイビツ 甜蜜。甘ったるい。甘い。非常に甘い。

チイビツ 甜蜜。非常に甘い。話ー甘言

チイビツ 剃面。佛像などの面を削ること。「蜜語」

チイビヌ べエ 鐵面皮。鐵面皮。厚顔。恥知らず。

チイビヌ ぼエ 鐵面皮。(漢)前に同じ。

チイビヌ ぼエ 鐵面皮。(泉)前に同じ。

チイビヌ 鐵胆。鐵片。延金。

チイビイ 致病。重い病氣に罹る。難病に罹る。

チイビイ 治病。癒す。療治。治療。一的法度

療法。醫術。

チイビイ 伴病。假病。

チイビイ 戴花。瘡蓋が出来る。粒仔ー腫物に瘡蓋が出来る。

チイビイ 鐵鞭。鐵鞭。打ー賣膏藥

自分で打って膏藥を賣る、大道で賣藥行商するものなど。

チイビイ 天邊。天涯。天涯。一角

チイ

チイビイ タウニイ 甜扁豆泥。【扁豆】に砂糖を混ぜて煮た料理。

チイビエン 治平。治平。太平。國家

チイビツ 鐵瓢。鐵柄杓。

チイビツ 鐵筆。鐵筆。ペン。一桿

チイビツ 添筆。添筆。添書。

チイビヌ 猪筩。豚を運ぶ具、竹で編んだもの。

チイファイ 猪血。豚の血。縣口

市井の徒多く集り豚など賣買せり醜業婦の粉飾して遊蕩兒を引付けるが如きをいふ。

チイファイ 智慧。智慧。智識。

チイファイ 除非。(漢)【除非】。

チイファイ タン 猪血桶。豚の血を入れる桶。

チイフウ 知府。府知事。知府。

チイフウ オンイア 池府王爺。【池王爺】。

チイフウ チエヌソエオンイア 池府千歳王爺。前に同じ。

チイフヌ 致恨。怨む。怨を抱く。一在

チイフヌ 鐵粉。鐵粉。

チイフヌ 天雲。雲。

チイブウ 知母。(種)知母。はなすげ。(百合科、地下部は解熱薬とす)。

チイ

チイブウ 猪母。繁殖用にする牝豚。一牽去牛墟

牝豚を年の市に引張って行く、女を醜業婦にするなどをいふ。一近戲館邊、没吹簫亦能打

拍

牝豚も芝居小屋の近邊に居れば簫は吹けなくも拍子は打てる、門前の小僧習はね經を讀むの意。一掛鞍不是馬

牝豚は鞍を掛けても馬にはならない。蓮葉女を罵つていふ。一變虎

牝豚が虎に變る。虚弱な人が人をまけさせた時にいふ。

チイブウ サムチアウ 猪母三朝。豚の子が生れて三日目に團子など造つて福德神を祭ること。

チイブウ サイ 猪母交。【猪母乳】の。

チイブウ サウ 猪母乳。【猪母乳】の。

チイブウ チエン 猪母乳。【猪母乳】の。

チイブウ チイ タウ 脚拇揪啄。片言でべちゃべちゃ話をする。

チイブウ チイ タン 脚拇脚指。親しげに話する。

チイブウ チエヌ 猪母癩。(種)精神病。

チイブウ ニイ 猪母乳。【猪母乳】の。

チイブウ ニウ 猪母櫻。屋根を支へる梁。

チイブウ バア 猪母肉。牝豚の肉。試覓即知

一牝豚の肉たといふことは食って見なければ分らない、實際に當って見なければ難易は分らない

意。——有唯。牝豚の肉は咀嚼しにくい。賢い人は容易に利用することが出来ないなど。

チイブウリエン 猪母乳。【猪母乳】の①。

チイブウリヌ 猪母乳。(種) ①すべりひゆ。(寛科、莖葉は豚の飼料として廣く用ひらる。)(桑科) たりばいぬびは。②漁業網の一種。

チイブウリヌクウ 猪母乳銀。横挽の銀。

チイブウリヌクウ 猪母乳銀。【大右樹】の①。

チイブツ 甜吻。非常に旨い。

チイブツ トン 伴不憚。空惚ける。馬鹿な風をする。

チイブン 添飯。飯を盛る。飯を繼ぐ。自己一食無飽。自分で飯を盛って食ひながら腹一杯食はないといふ、自分で爲ながら後で不足をいふ人などをいふ。

チイヘエ底系。①素姓。經歷。育。伊的。一都知。知。知。彼の素性は分りきつてゐる。②根本。起。仔細。不知。一。事の起を知らない。

チイヘエ 天火。天の火。怪火。

チイヘエ 在要。【在要】。

チイヘエ 甜糜。砂糖などを入れた粥。

チイヘエ 甜麥。(種) 蕎麥。【蕎麥】。

チイヘエ 鐵馬。①風鈴。硝子の片などを糸で釣した鳴物。②家根の上に置いて雨水を収集する具。③

自轉車。④五徳。【東雲】。

チイヘエクン 天要光。夜明。拂曉。明方。曙。曉。

チイヘエクン 天未光。未明。

チイヘエトエ 鐵馬蹄。蹄鐵。

チイヘエビイ 鐵馬鞭。(種) くまつづら。(馬鞭草科、全草を胃腸藥・解熱藥等に用ふ)。

チイヘエライニイ 甜尾梨泥。梨に白砂糖を混ぜて作ったもの。

チイヘエ 猪父。①種豚。②馬鹿。間拔。

チイヘエ 猪胚。未だ十分成長しない豚。四十斤以上八十斤位の豚。

チイヘエ 鐵把。鐵の熊手。

チイヘエ 鐵把。馬把。

チイヘエ 燈白。目映い。白く光って差明しい。

チイヘエキアムアア 甜皮鹹餡。皮は甘い餡は鹹い。腹黒。陰險。

チイホアツ 法。知法。怕法。法を知るものは法を怕る。

チイホアツ 法。知法。怕法。法を知るものは法を犯す。

チイホアツ 猪販仔。豚の仲買人。豚の才取。

チイホアツ トエロアツ 天皮地亂。天下が亂れる。大亂が起る。

チイホエ 猪血。(種) 【猪血】。

チイホエ 知會。(文) 通知。報知。照會。通曉。告知。

チイホオ 抵後。(文) 今後。此後。

チイホオ 滴雨。雨が滴る。雨がぼちぼち降る。

チイホオソア 鐵雨傘。(種) まんりやう。(紫金牛科、庭園に植えて觀賞し、又根を煎服して利尿・下毒・毒蛇咬傷の劑となす)。

チイホン 持防。豫防する。用心する。警戒する。防ぐ。防禦する。——海口。海防。

チイホン 持防。前に同じ。

チイボアヌボアヌ 淀滿滿。一杯に滿ちる。一杯漲る。

チイボオ 智謀。(文) 智謀。

チイボラ 猪母。(種) 【猪母】。

チイボラ 戴帽。帽子を被る。

チイボラ 猪母菜。(種) 【猪母菜】。「しない。チイボラ ツイ 天無錯對。天は間違つた配合はチイボラ ツア 伴無聽。聽えない風をする。虚聲。

チイボラ 猪母願。(種) 【猪母願】。

チイボクク 鐵木棍。(種) たいわんひめじう。(唇形科、莖葉を乾して茶の代用とす、又莖葉を搗碎し汁液を以て打傷部の傷口を洗滌する)。「一枝香」の①。

チイボア 纏絆。纏る。絡る。纏綿。——脚手。手足

チイ

チイ

チイ

チイ

チイ 纏。事情——事が纏れる。 「握潰す。」
 チイ ポア 掟破。拉く。握潰す。——雞卵 雞卵を
 チイ ポア 拆破。(連) 裂く。破る。
 チイ ポア イエン ポオ 天破用補。失錯は止を得ない、善後策を講じなければならぬなどの意。
 チイ ポエ 治杯。(又) 宴を設ける。
 チイ ポエ 猪胚。(連) 【猪胚】。
 チイ ポエ シヌ シア 治杯申謝。(又) (祝賀の贈物をなしたる人へ案内状の文句) 杯を治めて申謝す。御禮の爲一献差上たい。
 チイ ポエ ハウ カア 治杯候禮。(又) (案内状の文句) 杯を治めて駕を待つ。
 チイ ポオ 猪鋪。生きた豚の相場。——甚價 豚の相場は何程か。
 チイ ポオ 添補。増補。追加。「みる。
 チイ ポン ボン 淀滂滂。一杯満ちてゐる。充滿して
 チイ マア 天媽。(連) 天の女神。——生 同上の誕生
 チイ ミア 抵名。欠員を補ふ。補欠に抵てる。「日。
 チイ ミア 抵命。生命を生命で償ふ。將伊爲伊——
 彼を以て彼の身代に立てる。
 チイ ミア 致命。致命。命に關る。——的所在 致命の箇所。——的事情 命に關る事。
 チイ ム 猪姆。(同) 【猪母】。

チイ

チイ ム サイ 伴不知。白ばれる。白をきる。知ぬ風をする。空惚ける。
 チイ ム チア 猪不食。——狗不哺 豚も食はぬし 犬も咬へない、振向いて見る者もない意。
 チイ ム イ チウ 甜梅醬。山桃のジャム。「へる。
 チイ ム ン 控門。門の開かれんとするを背で押して支
 チイ ム ン 天門。天の門。——開 天の門が開く、地獄の釜の蓋が開くなどの意。開——天の門が開ける。舊曆六月六日天氣一轉するをいふ、此日曝書曝衣を行ふ。
 チイ モア ビイ 鐵麻鞭。【鐵馬鞭】。
 チイ モア モア 淀滿滿。満ちて一杯になる。
 チイ ラク 猪脊。豚の脂肪。——油 豚の脇腹の脂肪。
 チイ ライ チイ キイ 纏來纏去。種種からまる。彼此纏はる。彼此こんがらかる。
 チイ ラウ 痔漏。(病) 痔瘻。
 チイ ラウ 淀流。満潮。上潮。
 チイ ラウ ラウ 淀流流。漲る。一杯になる。満ちる。
 チイ ラク ソラ 猪韃索。豚を捕へる繩。
 チイ ラツ 町力。力む。息む。息張る。きびる。
 チイ ラツ チイ ニイ 甜菓子泥。栗に白砂糖を混ぜて作ったもの。
 チイ ラム 猪籠。子豚を入れて賣歩くに用ひる籠。

チイ

チイ ラン 誰人。誰。——不愛親 醜頭毛長 人誰か夫婦の末長からんことを欲しないものがあらう
 チイ ラン 箸籠。箸をさす籠。箸立。箸差。「か。
 チイ ラン 鐵籠。鐵の籠。
 チイ ラン 鐵人。打たれることを恐れない人。鐵の様な人。不死身。——没攻得 紙城 鐵の人も紙の城を攻めることはできぬ、豆腐に銚糖に釘。
 チイ ラン サウ 猪籠草。(植) (猪籠草科) うつぼかづ
 チイ リア ウ 猪寮。豚小屋。
 チイ リア ウ 猪料。豚の餌にする材料。
 チイ リア ウ 治療。(圖) 治療。
 チイ リア ウ 甜料。甘い物。菓子。正月用ひる茶菓子。【冬瓜 紅棗 冰糖 糕仔粒 生仁】など
 チイ リイ 知知。【知知】。「の砂糖漬。
 チイ リイ 知理。(又) 理を知る。道理を知る。不止——よく道理を知る。己の義務を知つてゐる。——莫怪人 理を知る者は人を恨まず。
 チイ リイ 抵抵。【抵抵】。
 チイ リイ 抵利。利子に充てる。利息にする。收租——小作料を取つて利子に充てる。
 チイ リイ 戴戴。【戴戴】。
 チイ リイ 撒撒。【撒撒】。
 チイ リイ 治理。(又) 治める。處理する。

チイリイ 治治。【治治】。

チイリイ 展展。(同) 【展展】。

チイリイ 鶉鶉。【鶉鶉】。

チイリイ 展展。【展展】。

チイリイ 剃剃。【剃剃】。

チイリイ 剃剃。(異) 【剃剃】。

チイリイ 天理。天理。天道。無一不道理。有一即有地理。天の理無くば地の理は無い、自分が孝行をせねば子も亦自分に孝行をしないなど。天無照甲子、人無照一。天の運行不順にして人天の道理に従はず、天災地變ありて無道の事行はれるなど。

チイリエウ 智力。(國) 智力。

チイリエヌ 鐵鏈。鐵の鎖。鐵鎖。鐵索。

チイリエヌチイニイ 甜蓮子泥。白砂糖を蓮の實に混ぜて煮たもの。

チイリエン 猪苓。(藥) 松の根に發育する菌塊。(澤瀉と共に煎服して利尿劑となす)。

チイリエン 置靈。【安靈】。

チイリエン 智能。(國) 智能。

チイリエン 除靈。(遠) 【除靈】。

チイリエンテエホオ 天龍地虎。龍は天に住むもの、虎は地に住むもの。

チイルイ 天雷。雷。雷。

チイルツアア 猪廂仔。【猪豚仔】。

チイレエ 在得。【在得】。

チイロアヌ 治亂。(交) 【治亂】。亂を定める。

チイロオ 鐵爐。鐵爐。

チイロオ 鐵路。鐵道。

チイロオ 天路。天の路。天道。青天井。野天。野天に寝る。野宿。

チイロオ 天露。露。花着食。即能用得。植木は露にあてなければならぬ。

チイロオハヌ 鐵羅漢。最上等の茶の一種。

チイロオライ 滴落來。滴る。滴落ちる。

チウ 牙ウ

チウウ 棄てる。擲。投棄てる。擲。同上。

チウウ 抽。髪を梳く時など毛が櫛にからまって引張る。用万柴梳梳頭梳了頭毛能。悪い梳櫛で髪を梳くと同上する。

チウウ 書。(姓) 書。(名) 書。一夜書夜。

チウウ 挖。引張る。引釣る。舌尾。人が死ぬときなどに舌を引釣る。人的衫裾尾。人の裾を引張る。頭鬚尾。鬚髪を引張る。ちくちく痛む。びりびりする。頭殼筋在。頭の筋がちくちく痛む。

ちく痛む。粒仔。彈。腫物がびりびりする。

細い竹などで軽く打つ。下。ちよと打つ。

小さい軽い物などを持運ぶ。此項物爲我。去彼旁。此品物を一寸あちらへ持って行って呉れ。

チウ稠。(姓) 稠。

チウ嘔。(姓) 嘔。

チウ稠。稠。仔雨傘。絹張の傘。一級絹布。油。護謄引の布に似た絹。羽。吳綿。

チウ籌。仕事の度數を知る爲一回毎に労働者に遣る數取札。符木。マンボウ。照。算錢。符木によつて金を勘定する。

チウ淘。葛粉など精製する時水に沈澱させて浮いた滓を取去る。淘ぐ。水粉。白粉を淘ぐ。淘汰する。撰。撰る。撰分ける。撰って別別にす。撰抜。好的物件。好い品物を撰出す。

チウ胃。(姓) 胃。

チウ稻。(植) 禾本科(稻)。穗。稻の穂。割。稻刈。張。張。装置へる。仕掛ける。一門。一門を装置へる。活鬼。彈機を仕掛ける。觸仔。觸仔を仕掛ける。構へる。身構へる。一勢面。身構へる。一勢同上。拗戻る。賢。一よ。去匿。拗戻て隠れる。紙。車。寢臺。鋤などを數へる助數詞。枚。通。臺。一。弓。

チウ

チウ

チウ

チウ

チウ

チウ

チウ

チウ

チウ

チウ

チウ

子ウ

子ウ 一引一張。一紙一紙一枚。一紙一紙一通の手紙。一書。一車一車一輛。車一臺。一眠床。一臺の寢臺。一梯一梯の梯子。一梨。一挺の鋏。【張】。

子ウ 長。頭。長。隊。一隊長。甲。一甲長。會。一會長。【長】。

子ウ 銀。僧侶。道士などの用ひる鉦。六部巡禮の鉦に似たもの。【銀】。

子ウ 帳。帳。緞帳。斗帳。几帳。神。一神佛の帳。蚊。一蚊帳。【帳】。

子ウ 脹。一腫れる。脹れる。食物など靠れる。腹肚。一腹が脹れて張り切る。蕃薯食了能。一甘薯を食ふと靠れる。一猪肥。一狗瘦。一入成黃疸。一靠れた豚は肥え、靠れた犬は瘦せ、靠れた人は黃疸になる。一子供などを罵る詞。喰へ。一着物などに裏をつける。一裏。同上。一力を入れる。一緊張する。一力。同上。一索仔。一綱引をする。【脹】。

子ウ 漲。漲る。満ちる。一杯になる。海水一起來。一海水が漲ってくる。【漲】。

子ウ 場。場所。處。工。一工場。官。一官場。賭。一賭場。生理。一營業場。【場】。

子ウ 丈。姻戚關係の者の夫。姑。一伯叔母の夫。一入。一妻の父。舅。姨。一母又は妻の姉妹の夫。大。

子ウ

子ウ 一妻又は母の姉の夫。細。一母又は妻の妹の夫。【丈】。

子ウ 抽。一引く。引抜く。一籤。一籤を引く。一竹心。一竹の心を引抜く。一劍。一劍を引抜く。一徵收する。撥ねる。引去る。一餉。一税を徵收する。一銀。一銀。一圓につき十錢撥ねる。一加二。二割とる。零五。一五分引。五分撥ねる。一ポンプやサイホンなどで液體を吸上げる。抽出。一又、其物。一臭油。一石油を吸上げる。酒抽。一酒。一酒吸ポンプで酒を吸上げる。一腹肚水。一腹水を出す。一酒醬油などを製造するときの回數。一頭。一酒。一番酒。一銅線。一針金を作る。一麵線。一麵線を作る。一ひよろひよろと延びる。一ひよろひよろと高くなる。白菜。一蒿。一白菜に臺が立つて延びる。一細長い。一瘦細い。一瘦。一同上。一身體較。一身體が細長い。一縁縫の廣きも。一箇縁。一牽。一同上。一撮。一撮縁を取る。一筋など疼く。一神經痛など鈍痛。一痛。一同上。一有瘋。一即能。一リウユマチスがあるので疼く。一大きい。一都。一不來。一幾ら呼んでも來ない。

子ウ 俞。(姓)俞。

子ウ 丑。一十二支の丑。一俳優の役の名。茶利役。道。

子ウ

子ウ 化役。【丑】。

子ウ 擇。擇抜く。擇出す。選んで除ける。歹的。一擲。一悪いのを擇除く。

子ウ 丑。【丑】。

子ウ アア 網仔。網。一衫。一絹の着物。

子ウ アア 稻仔。稻。一弄花。一稻の花が咲く。

子ウ アア 丑仔。芝居の茶利滑稽役。道化役。

子ウ アア タイ網仔節。絹節。

子ウ アア ベエ稻仔尾。稻の先。稻の穂。割伊的。一彼の稻の穂を盗む。情婦などを横取る。人の仕事を横取るなど。整人的。一同上。

子ウ アウ 場後。一芝居の囃子方。一舞臺の後方など。

子ウ アウ ソア 抽後線。(教唆)糸を引く。綾を引く。

子ウ アア 脹緊。腹が張る。腹がふくれる。

子ウ アイア 晝夜。(又)晝夜。

子ウ イウ 張様。拗ねる。拗ねた態度をする。一仔賢。一子供がよく拗ねる。

子ウ イエウ 罽畫。(又)計畫。

子ウ エエ 網的。絹物。

子ウ エエ オオ 抽的租。收穫の百分の十五を【壘首】が取り殘餘を小作人に與へる納租法。(生租)。

子ウ ヲア 脹倚。引張寄せる。索仔。一來。一繩を引張寄せる。

チウ ヲ、クイ 張活鬼。彈機を仕掛ける。門——

門に同上する。

チウ カウ 帳鉤。幕又は蚊帳の釣手

チウ カウ 抽圍。圍を引く。抽籤。

チウ カン 抽工。夫役を課する。

チウ カン 抽公。稻の葉ばかり出て穂の出ないこと。

稻仔——同上。

チウ キアウアア 挖賭仔。子供など賭博をする。

チウ キイ 場見。立會ふ。——人——立會人。

チウ キイ 脹氣。胸先が張る。食蕃薯——薩摩薯を食ふと胸がつかへる。

チウ キイ ライ 抽起來。引拔く。抜取る。

チウ キエン 張弓。●弓に弦をはめる。●弓を作る。

——司阜——弓師。

チウ キョ 丑脚。芝居の茶利役。滑稽な事をする役者。

チウ クイ 網機。高機。

チウ クイ 稻鬼。一番晩く發生した小さな稻。

チウ クイ 脹管。(鳥)餌袋が張る。餌袋が一杯になる。

チウ クヌ 稻困。【章困】。

チウ クヌ チエン 抽筋症。(病)筋肉の引釣る病氣。虎

チウ ケエ 張嫁。嫁入支度。——銀——持參金。——病

——嫁入する時に持つてゐる病。

チウ ケエ 張格。部屋の仕切。間取。

チウ ゲ、エ 丑月。十二月。

チウ コア 長官。(國)長官。

チウ コアヌ 張歇。拗めた様子。

チウ コヲ 稻藁。●稻の莖。四月初八雨、——曝到死——四月八日に雨が降れば早になって稻の莖が枯れて仕舞ふ。——鬚——稻株。稻の切株。——頭——

同上。●藁。——草——藁。

チウ コヲ 抽蒿。藁が立つ。蒺藜菜——歹食——蒺藜草に藁が立つて旨くない。

チウ コン 丈公。祖父の姉妹の夫。

チウ コンヲオ 抽公租。【踏公租】。

チウ ゴアツ ロク 張月鹿。【二十八宿星】の一。

チウ サア 網衫。絹着物。

チウ サア ボオイ ツ 張三某。一。名も知れぬ詰らぬ人。某某の手台。

チウ サア ボオ シイ 張三某四。前に同じ。

チウ サア リイ シイ 張三李四。前に同じ。

チウ サア 帳文。幕或は寢臺の蚊帳の重なつて交又す

チウ サイ 稻束。稻の葉。

チウ サウ 稻草。藁。——困——稻の藁の積重たもの。

チウ サヌ 張雷。四手網を掛ける。【へる】。

チウ サン 抽鬚。鬚をつくる時好い髪丈を拔出して揃

チウ シアク 稻揀。稻抜の時、抜く度毎に揃む丈の稻。

チウ シイ 張死。●造附。——的窓——造附の窓。●

在世中に死後の着物を用意するなど。

チウ シイ 脹死。食過ぎて死ぬ。

チウ シイ 抽絲。繭から絲を取る。

チウ シイ 丑時。丑の刻。丑の時。八時。午前一時頃より三時頃まで。

チウ シウ 抽壽。命を延ばす。食麵線——索麵を食べて、其れにあやかつて壽命の長くなる様に祈

チウ シエク 疇昔。(文)疇昔。昨日。

チウ シエン チア 張聖者。【三十六將】の一、麒麟に乗り、蛇を握る。

チウ シオン 抽象。(圖)抽象。

チウ シヌ 網身。絹地。絹の地合。絹の地質。

チウ シヌ 抽身。身を引く。身を脱する。——到去——身を脱して歸る。——退後——身を引いて後へし

チウ シヌ セエ 張身勢。【張勢面】。

チウ ジヲ 脹尿。小便が詰まる。

チウ スイ 稻穗。稻穗。——齊出——稻の穂が出揃ふ。

——出齊——同上。

チウ セエ 稻屑。稻の落穂。拾——稻の屑を拾ふ。

チウ セエ 抽税。税を徴する。徴税。

チウ セエ ビヌ 張勢面。身構をする。

チウ ソリアヌ 籌算。(文)勘定する。計算する。

チウ

チウ

チウ

チウ

チウソエ 稻梳。稻拔。後家倒。金拔。

チウソオ 場所。(圖) 場所。「を取る。

チウソオ 抽醋。酢を取る。用燒酒。燒酎から酢

チウタア 張打。懲戒を加へん爲に待構へる。打たん

とて待構へる。一 懲後生 息子に同上。

チウタウ 張門。器械など組合せる。裝置する。一

器具 同上。

チウタウ 張啄。一 係蹄を掛ける。一 謀を設けて人の

心を引いて見る。鎌をかける。一 人的心意

一 人の心を引いて見る。

チウタウ 稻頭。稻の切株。「同上。

チウタウ 脹頭。持堪へる。耐へる。粘強い。有

チウタウ 抽頭。上前を撥ねる。頭を撥ねる。手數料

を取る。手間賃を取る。一 的銀 撥錢。彼伊

一 彼に上前を撥ねられる。

チウタム 稻探。稻の初穂。

チウタヌ 張等。構へて待つ。待構へる。「稻拔桶。

チウタン 稻桶。稻の穂を打ちつけて穀を落す大桶。

チウタン 抽弄。一 指導する。指圖する。擺是伊在

一 皆彼が指圖してゐる。困仔着 一 即能

曉得 子供は指導してやらねば分らない。一 入

智恵をする。尻押をする。伊在爲伊 一 彼が

彼の尻押をしてゐる。

チウ

チウタン アア 挖銅仔。錢一個宛出合ひ掌に載せ

て石の上へ落し、裏の出た錢をとる勝負事。縮

銅仔。

チウタン ソア 抽銅線。針金を作る。

チウチア 丑正。丑三。

チウチアム 抽籤。圖を引く。一 討準 御圖を引い

て取るべき道を求める。

チウチアム クン 抽籤券。(圖) 抽籤券。

チウチアム コアヌ 抽籤券。(圖) 前に同じ。

チウチアム トア 抽籤單。(意) 前に同じ。

チウチイ クヌ 挖舌筋。舌が縫れる。舌が釣る。

チウチイ ベエ 挖舌尾。前に同じ。

チウチウ 帳鬚。幕の總。帳の總。

チウチウ 抽酒。サイフォンで酒を出す。

チウチエ ク 籌策。(又) 計畫。

チウチエン 帳前。帳の前。一 受用 大官などの

身邊に在つて用をする。

チウチエン 張穿。死者に經帷子を着せる。

チウチヌ クヌ 張眞君。張姓の神。

チウチヌ ジヌ 張眞人。前に同じ。

チウチム 晝寢。(又) 晝寢。

チウチア 稻埧。稻乾場。一 曝粟 稻乾場に穀を乾

チウチア 脹痛。腫物など疼く。

チウ

チウチア 抽痛。筋など疼く。

チウチイ 躊躇。(意) 躊躇。

チウチイ 張持。氣を附ける。用心する。注意する。

無 一 氣を附けない。油斷する。

チウチウ 攷攷。繁繁。度度。屢屢。一 來 一 つも

チウチウ 稠稠。紅 一 眞赤。

チウチウ 抽抽。緊 一 非常に逼迫する。非常に緊

い。

チウチウ 挖挖。一 筋などの釣り又痛む形容。ちくち

く。びりびり。一 弾 一 ちくちくと疼く。一 緊 一

一 非常に逼迫する。非常に緊い。倦 一 大

變疲れる。厭厭する。痛 一 一 ひどく痛い。一

【挖】の(一)(二)(三)。

チウチウ 洶洶。【洶】。

チウチウ 挖挖。【挖挖】の(一)。

チウチウ 抽抽。瘦 一 瘦せぎす。

チウチウ 張張。【張】の(一)(二)(三)。

チウチウ 銀銀。鉦の音。【銀】の音。かんかん。

チウチウ 抽抽。一 堅に細長い。ひよろりと。ひよろひ

よろと高い。瘦 一 瘦せぎす。一 抽】の(一)(二)(三)

チウチウ 擇擇。【擇】。

チウチウ 挖挖痛。疼く。ちくりちくりと痛む。

チウチウ ツウ ツウ 躊躇躊躇。【躊躇】。

チウチウチエチエ抽退退。戻込する。

チウチウトア挖挖。づきづきと疼く。

チウチウヌンヌン綢綢軟軟。穿到——綢物づくめ。御靈括。

チウチエヌクヌ張天君。張姓の祖神。

チウチエヌスウ張夫師。道教の神。——青鬼迷

「張天師」が鬼に欺かれる、偉い者が詰らぬ者に欺かれるが如きをいふ。

チウチエン張燈。提燈を吊す。——結綵儀式な

どの時、麗しい提燈を掛け紅い幕など張ること。

チウチエン抽丁。夫役を課する。

チウチオングヌ抽伸銀。口銭。仲買して儲ける錢。才取して儲ける錢。

チウチヲ張挖。欲しくない様な風をする。氣のない

風をする。好かない風をする。思はせ振して遊ぶ。

チウチヲホオ張趙胡。(姓)張趙胡。

チウチヌ抽藤。藤又は蔓を引き抜く。●盗賊の隠語。砂糖黍又は牛を盗む。

チウツイ垂水。水に投棄てる。風波の烈しい時船の積荷を同上する。

チウツイ脹水。水腫。

チウツイフヌ淘水粉。白粉を水に溶し攪亂して浮いた滓を取去る。

チウツツ抽出。引出す。取出す。

チウツヌ網春。【薔薇】。

チウツヌホエ網春花。【薔薇】。

チウツウ躊躇。躊躇する。躊躇ふ。ぐづぐづする。

チウツン抽長。引伸す。——去延びる。

チウツン抽腸。子供が嬌えて大聲を出して泣く。駄駄をこねて泣く。

チウチエ抽退。退く。立退く。身を引く。退却する。

——的所在立退場。賢——よく仲間から脱ける、巧く逃る。

チウチエポオ抽退歩。掛引。賢用——掛引が

チウトア張撥。拗ねる。拗戻る。怒氣——怒ってふんとする。

チウトア脹大。脹れて大くなる。

チウトリアヌ網緞。絹。絹物。絹布。——店吳服屋。絹物屋。——莊同上。

チウトエ挖蹄。豚など少し跛をひく。

チウトエ漲退。満干。満潮と干潮。

チウトエ抽退。引退く。後に退く。

チウトヲワン抽倒轉。退却する。軍などを退ける。

チウナア場籃。筆・紙・墨など入れて試験場に携

チウニウ張張。【張張】。

チウヌン網軟。絹物。一身軀專是——身體中絹

物づくめ、御靈括。

チウバン張網。●網を張る。●網を作る。

チウパン長房。木家。嫡家。

チウパン帳房。天幕張。幕屋。

チウパン張帆。●帆を上げる。帆を張る。●帆を作

チウヒオン抽餉。税金を徴収する。

チウヒヨ稻葉。稻の葉。

チウビイ帳楣。幕又は蚊帳の上部に吊す横に長い帳

チウビイ丑未。丑と未。——沖同上は相剋する。

チウビツ稠密。(又)稠密。

チウビヌ場面。(又)場面。

チウビア張癖。拗戻る。

チウビイ籌備。(又)計劃準備。

チウビエン抽兵。●軍を退ける。軍を引く。●徴兵。

チウピヲ脹鱧。●鱧を膨らせる。●子供を罵る詞。緊——早く食へつちまへ。

チウフヌ抽分。割前をとる。手數料を取る。上前を撥ねる。口銭を取る。

チウブウ稻堆。(又)稻の糞を積重ねたもの。

チウヘエ垂下。投げて置く。放って置く。事情共伊

——得事放って置く。

チウベエエ張馬勢。てぐすねひく。身構へる。——在當等てぐすねひいて待つてゐる。

チウ

チウ

チウ

子ウ

子ウ ホオ 稻虎。(動) 稻につく害蟲の名。

子ウ ホン 脹風。空氣で脹れる。風を含んで脹らむ。風を孕む。腹肚——腹が張って脹れる。

子ウ ホン 抽風。自轉車のタイヤなどに空氣を入れる。

子ウ ポア 脹破。脹裂ける。食到腹肚——腹が脹裂ける迄食ふ。講話——人的腹肚腸話が非常に人の感情を害する。

子ウ ミイソア 抽麵線。【麵線】を作る。

子ウ ム 丈母。妻の母。姑。岳母。

子ウ ムン 張門。戸を作る。門をしつらへる。

子ウ ラウ 張老。存命中死後の衣裳を作る。——物同上の衣服。經帷子。——衫同上。

子ウ ラヌ 々ウ 抽零頭。端の金や物などを割前として取る。端を貰ふ。

子ウ ラン 張人。拗ねる。駄駄をこねる。

子ウ ラン 脹臄。臄を持って腫れる。臄む。

子ウ ラン 丈人。妻の父。舅。岳父。

子ウ ラン コン 丈人公。妻の祖父。

子ウ ラン チエク 丈人叔。妻の叔父。舅の弟。

子ウ ラン チム 丈人嬢。妻の叔父の妻。

子ウ ラン ベエ 丈人伯。妻の伯父。舅の兄。

子ウ ラン マア 丈人媽。妻の祖母。

子ウ ラン ム 丈人姆。妻の伯父の妻。

子エ

子ウ リアム 抽念。文章の一部分を抜出して暗誦す

子ウ リイ 脹裏。着物などに裏を着ける。「る。」

子ウ リイ 帳簾。幕又は蚊帳の上部に吊す横に長い帳。

子ウ リウ 洵洵。【洵洵】の(三)。

子ウ リウ 擲擲。【擲擲】の(三)。

子ウ レエ 張犁。(漢)次に同じ。

子ウ ロエ 張犁。鋤を作る。唐鋤を作る。「執事。」

子ウ ロロ 長老。(基督教)長老。——執事——長老と

子ウ ロロ カウ 長老教。長老教。

子ウ ロロ パイ 長老派。長老派。

子ウ ロロ ホエ 長老會。長老會。

子エ

子エ ク 德。(一)德。(二)德。道徳。一行——德行。

子エ ク 竹。(種)禾本科竹類の總稱。竹。歹——出好笋

子エ ク 嫡。嫡。一子——嫡子。——出嫡——嫡出子。——妻

子エ ク 的。必。屹度。確に。確に。確に。屹度。一有——確に有る。——無——屹度ない。——是如此——

子エ

必ずさうだ。(一)商品などの單價又はその單價を

示す。替。一若多——何程替か。你爲我——較俗

一則——單價を安くしてくれ。貨單的頂面你爲我

一則——仕切書の上に單價を示してくれ。

子エ ク 得。得る。一勝——勝利を得る。一天下——天下を

とる。一舉兩——一舉兩得。

子エ ク 翟。(姓)翟。

子エ ク 狄。(姓)狄。夷——夷狄。

子エ ク 特。(一)特。(二)特。一製——特製。一特

子エ ク 敵。敵。一兵——敵兵。對——敵對する。

子エ ク 軸。長い布帛に弔意の字を書いて葬式に用ひる

もの。(青字は男、黄字は女、白字は男女共用ひる)。

子エ ク 擇。一友而交——友を擇んで交る。

子エ ク 斥。(姓)斥。一選——選擇する。一其善者而從之、其不善

者而改之——其善なる者を擇んで之に従ひ其不

善なるものは之を改む。

子エ ク 勅。勅。一語——勅。勅語。一令

子エ ク 剔。剔。骨に附着した肉を削取る。一骨——骨から同

上。肉——起來——肉を同上。

手エック節。●美しい。綺麗な。立派な。素敵な。眞一
 嘴素敵だ。一決決。甚だ綺麗だ。一獅獅
 同上。●愉快な。今仔日我眞一今日僕は眞
 に愉快だ。

手エックアア竹仔。竹の棒。一脚竹藪の側。
 手エックアアオオ竹仔湖。●播鉢の底の様に窪んだ
 地形にある竹藪。●(地名)竹仔湖。

手エックアアキイ竹仔枝。竹の枝。小さい竹。割った
 竹。着食。一竹で打たれるぞ。

手エックアアギム竹仔菜。小枝のついた竹の枝。
 手エックアアギム竹仔菜。前に同じ。

手エックアアコオ竹仔舳。竹の忍返。竹を尖らして
 作った逆茂木。

手エックアアサイ竹仔菜。(植)しまつゆき。はだか
 つゆき。(鴨跖草科、莖葉を叩きて腫物に貼用し

手エックアアサウ竹仔草。前に同じ。「熟を除く。
 手エックアアタウ竹仔頭。●漢字の竹冠。●竹の切

手エックアアチア竹仔蔗。(植)甘蔗の一品種。「株。
 手エックアアヒウ竹仔香。竹の心のある線香。「竹

手エックアアヒオ竹仔香。(植)前に同じ。「香」。
 手エックアアポオ竹仔埔。笹原。竹原。

手エックアア敵營。敵營。
 手エックアアウ摘要。(國)摘要。

手エ

手エ

手エ

手エックイアック特約。(漢)「特約」。
 手エックイイ竹椅。竹椅子。一仔同上。一轎
 子供の竹椅子。又は竹椅子に棒を附けた轎。

手エックイイ得意。得意。適意。揚揚。一得意揚揚。
 手エックイイホク德育。(國)德育。

手エックイオック特約。(國)特約。一店特約店。
 手エックイッボンシ一得。一忘十。一を得て十を忘る。

手エックウイ竹圍。農家などの周圍の竹藪の圍。竹の
 圍。竹の埒。空。一の中に家のない竹藪の圍。庄
 裡住到無。一村里に住んで竹藪の圍の無くな
 るまで居る、久しく住居する意。

手エックウイアア竹控仔。竹籠。
 手エックオオ竹湖。「竹仔湖」の○。

手エックヲアイヲアイ節決決。甚だ綺麗な。
 手エックカア竹脚。竹藪の下。竹藪の側。

手エックカア竹籠。漁夫などの用ひる竹籠。魚籠。
 手エックカアアア竹神仔。竹の網罟。細い竹を短く
 切り糸を通して繋いだ網シヤツ。

手エックカアレエ竹甲笠。(漢)次に同じ。
 手エックカアロエ竹甲笠。竹の皮の笠。

手エックカイ得解。(文)愉快な。心地がよい。
 手エックカウ徳教。(文)徳教。

手エックカウ竹猴。(動)竹藪の中に居る甲蟲の一種。

手エックカウ竹猴。(動)竹藪の中に居る甲蟲の一種。

手エックカウ竹猴。(動)竹藪の中に居る甲蟲の一種。

手エックカグ的確。屹度。必ず。髓に。曉と。是非。
 一要去。是非往く。屹度往く。

手エックカク剔擱。(漢)「拾擱」。
 手エックキア嫡子。嫡子。

手エックキイ竹枝。竹の枝。
 手エックキイ竹杞。「鐵仔」。

手エックキイ竹器。竹細工。
 手エックキイアア竹枝仔。竹片。細く小さい竹。

手エックキイアア得其中。中位。並。普通。中
 庸。一仔同上。

手エックキエン竹弓。竹の弓。
 手エックキエン竹棍。竹の槌。笥。

手エックキヨ竹棍。前に同じ。
 手エックキム徳禽。(文)徳禽。鶏をいふ。

手エックギムアア竹菜仔。竹の小枝。
 手エックギイ得宜。(文)適宜。適當。

手エックギイ徳義。(文)徳義。
 手エックギムアア竹菜仔。「竹菜仔」。

手エッククツ剔骨。骨を削る。骨に附いた肉を削り取
 手エッククヌ敵軍。敵軍。

手エッククヌチイ竹根青。青色の一種。
 手エックグウ勅語。(國)勅語。

手エックグウボンアヌ得魚忘筌。(文)魚を得て筌

手エ

手エ

手エ

子エウ

を忘る、人の恩を忘れるをいふ。

子エウ グヌ 的銀。商品の単價。

子エウ ケエ 的價。價格の單位を記す。

子エウ ケエ 得計。(又) 得策。

子エウ ケエ 特價。(國) 特價。

子エウ ケエ 特價。(國) 特價。

子エウ コア 竹竿。竹竿。竿。

子エウ コアイ 竹拐。竹の杖。

子エウ コアツ 得訣。愉快。痛快。

子エウ コアヌ 特權。(國) 特權。

子エウ コエ 竹雞。(動) 竹雞。

子エウ コオ 竹蕪。(植) 刺竹の枯れた根株に生ずる菌類の一種。まんねんだけ。

子エウ コオ 竹蕪。切った竹。割らない竹。丸竹。

子エウ コヲ 竹篙。竹竿。竿竹。一枝一押倒一船

載一一本の竹竿で船に乗ってゐる人を皆倒す、其人の一言によつて皆の人人が禍を被るなどをいふ。老風拖猫上ー風が猫を引いて竹竿に上る、猫が鼠を引くといふべきを逆にいって小供の戯に誦ぶ詞。

子エウ コヲ 特科。(國) 特科。

子エウ コヲクイ 竹篙鬼。竹竿の怪物。瘡せて丈の高い人を嘲つていふ。日蔭の唐土婆など。

子エウ

子エウ コロ コエ 竹篙瓜。(植) 絲瓜の一種。

子エウ コロ モエ 竹篙文。竹の刺股。

子エウ コロ マアヌ 竹篙串。竹鏡。

子エウ コロ タウ 竹篙頭。竹竿の元。●●● 鱈に似て鱈の細長い魚。一魚一同上。

子エウ コロ ツウ 竹篙盾。軒を齊へて長く並んだ狭い家屋。長屋。

子エウ コロ プウ 竹篙砲。(植) 夕顔の一品種。

子エウ コロ レエ 竹篙絡。節毎に枝を四五寸残し物干竿を掛ける様に作った竹竿。

子エウ コグ 德國。獨逸。

子エウ コグ 敵國。(又) 敵國。

子エウ コン 竹管。竹筒。筒竹。一袂一筒袖。一

仔銃一玩具の竹銃砲。一鞋一竹筒で造った女の履物。(雨天に用ひるもの)。一仔底箕土豆

仁一竹筒の中から南京豆を挾出す、一つづつ「一粒」といふことにて「一粒」は又親密の意あるより其隠語として用ひる。

子エウ コン アア 竹管仔。前に同じ。

子エウ コン トヲ タウ 竹管倒豆。竹筒に豆を打傾ける。講到那ー懸河の辯を振ふ。

子エウ サア 竹衫。「竹裨仔」。

子エウ サイ 特使。(國) 特使。

子エウ

子エウ サイ サイ 節獅獅。甚だ綺麗な。

子エウ サウ 竹掃。竹の帚。

子エウ サヌ 特産。(國) 特産。

子エウ サア 竹蘭。家畜の竹圍。

子エウ サツ 竹節。竹の節。

子エウ サツ 澤漆。(植) とうだいぐさ。(大戟科、莖より出づる白汁にて疣・墨子を除く)。

子エウ サツ ヲア 竹節碗。煎薬を入れる素焼の碗。

子エウ サツ サウ 竹節草。(植) はかたかつら。しまふむらさきつゆくさ。(鴨跖草科、觀賞用に供す)。

子エウ サツ チアム 竹節簪。竹の形した簪。

子エウ サツ ホン 竹節黄。「四葉紫蘇」。

子エウ サム 竹蕪。新竹の舊名。

子エウ サム ピア 竹蕪餅。新竹名物の菓子。甚麼命食到一一新竹の菓子を食ふ様な何んでそんな廻合が有るものか。運悪く不仕合などの時に「いふ」。

子エウ シア 澤瀉。「水芋」。

子エウ シア 特赦。(國) 特赦。

子エウ シア 敵城。敵城。

子エウ シアウ 的賤。單價と數量とを計算する。

子エウ シイ 竹絲。第一期作水稻糯米の一品種。

●キヤラコ。金巾。白ー白キヤラコ。

子エウ シイ 得時。時めく。時を得る。上り坂。一

手エウ

【地公】の氣に觸れて雞が育たない。【土地公】參

手エウ タア 竹擔。竹の天秤棒。竹の擔棒。【照】

手エウ タウ 竹頭。竹の切株。

手エウ タヌ 竹嚙。(動) 嚙。—— 雙頭吐 || 嚙は貝の
両端から頭を出す、双方とも無作法で鼻端が強

い。(喧嘩の當事者などを罵つていふ)。

手エウ タン 竹筒。●竹の筒。—— 升 || 竹の筒の杓

●(動) 丸齧。

手エウ タン 竹窓。竹の窓。

手エウ タン 竹筒。竹の浮標。竹の浮子。

手エウ チア 竹蔗。【竹仔蔗】。

手エウ チアム 竹籤。竹の籤。

手エウ チイ 特旨。(文) 特旨。

手エウ チイ 竹鼠。(漢) 【竹鼠】。

手エウ チイ 竹刺。竹の刺。

手エウ チイ 竹筵。竹の甘皮より製したるものにして

料理に用ふ。

手エウ チイ 竹青。竹の皮を薄く削つて乾した綿の如

きもの、船底の隙間などに詰めるもの。

手エウ チイ 勅旨。(文) 勅旨。

手エウ チウ 竹槍。竹槍。竹槍。

手エウ チウ 竹牆。竹垣。

手エウ チウ 敵手。敵手。相手。

手エウ

手エウ チエウ 得策。(文) 得策。

手エウ チエン 竹筵。竹の筵。

手エウ チエン 竹銃。玩具の竹鐵砲。

手エウ チオン 敵將。(文) 敵將。

手エウ チオン 勅章。(文) 勅書。

手エウ チツ 特質。(漢) 特質。

手エウ チア 得定。子供など大人しい。靜かな。沈着

手エウ チアウ 竹柱。竹柱。

手エウ チアム 特點。(漢) 特點。

手エウ チエウ 的的。●確に。屹度。—— 無 || 確に無

い。●【的】の②。

手エウ チエウ 剔剔。剔剔。

手エウ チエン 竹釘。竹釘。

手エウ チエン 特等。(漢) 特等。

手エウ チオン 得中。中位。中程。中庸。中等。適

手エウ チオン 得寵。●寵を得る。—— 的人臣 || 寵

臣。●寵愛する。可愛がる。—— 息尾子 || 末子

を可愛がる。

手エウ チオン ツウ 嫡長子。(文) 嫡子。嫡男。

手エウ チオン ルウ 嫡長女。(文) 嫡女。長女。

手エウ ツウ 嫡子。(文) 嫡子。

手エウ ツウ 得子。子を得る。子供を持つ。早——

早く子を持つ。

手エウ

手エウ ツウ 竹鼠。●(動) てんぢくねずみ。土撥鼠。

手エウ ツツ エエ 嫡出的。嫡出。【風花火】

手エウ ツン 竹床。竹の寢臺。

手エウ ツウ 得子。(漢) 【得子】。

手エウ マイ 竹梯。竹梯子。

手エウ マウ 竹厨。竹の戸棚。—— 仔 || 同上。

手エウ マン 竹杖。父の葬式を送る時、子に當るものが

ついて行く麻布を附けた竹の杖。【桐杖】に對す。

手エウ テエ 得地。(文) 地位を得る。

手エウ テエ 敵地。(文) 敵地。

手エウ テエ イイ 竹撐椅。竹の長椅子。

手エウ トア 又 特斷。必ず。確實に。—— 能來 || 必ず

來る。我敢—— 僕は斷言する。

手エウ トラ 竹刀。竹刀。竹刀。

手エウ トラ 竹桌。竹の卓子。

手エウ トラ 得道。(文) 得道。悟道。成道。—— 和尙

|| 得道の僧侶。

手エウ トラ 竹桃。【夾竹桃】。

手エウ ナア 竹林。竹藪。竹林。

手エウ ナア 竹籃。竹籠。

手エウ ハア 竹籜。竹の皮。筍の皮。

手エウ ハム 竹膾。竹の節。竹の節と節との間。

手エウ バク 竹目。竹の節。

子エックパイ 竹排。竹の筏。

子エックパイ 嫡派。

(又) 嫡流。

子エックパイ 特派。

(國) 特派。

子エックパイ 竹板。

割竹の管。安一一同上で人を叩く。一一椅一一竹の椅子。

子エックパン 竹蜂。(動) 枯竹の中などにゐる熊蜂の一種。

子エックヒウ 竹香。竹の足ある線香。



香竹

子エックヒエン 德行。(又) 德行。善行。一一高一一高德。有一一有徳。

子エックヒオ 竹香。(浦) 竹香。

子エックヒヨ 竹葉。竹の葉。笹の葉。

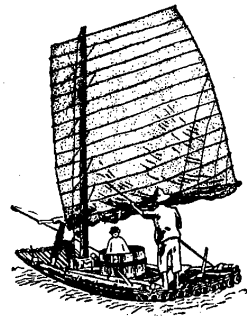
子エックヒヨウ 竹葉鱈。(青鱈)。

子エックヒヨウ 竹葉草。(種) 鴨跖草科) つゆくさ。

子エックヒヨウ 竹葉種。(種) 茶樹の品種名。

子エックヒヨウ トロ 竹葉刀。竹の葉の形をした刀。長さ六七寸、野菜や肉など切るに用ひる諸刃の刀。

子エックヒヨウ ラム 竹葉楠。(種) 樟科) こにしだも。



排竹

子エックヒヨリ エヌ 竹葉鏈。(動) 【鏈魚】の一種。

子エックビイ 竹米。竹の實。自然粒。

子エックビイ 竹篋。竹を薄く削ったもの。篋。一一店一一竹屋。竹細工屋。

子エックビイ キヨ 竹篋轆。網代輿。

子エックビイ ペエ 竹篋梳。篋屑。竹片。

子エックビイ リイ 竹篋簾。竹簾。

子エックビエン 特命。(又) 特命。

子エックビエン 勅命。(又) 勅命。

子エックビヨ 嫡母。(又) 【嫡母】。

子エックビヌ ツン 竹眠床。竹の寢臺。

子エックビヌ シム 得良心。民心を得る。

子エックポイ 竹披。竹で拵へた浅い目籠。魚を入れる浅い目籠。箆。一一仔一一同上。

子エックピエツ 特別。(國) 特別。

子エックピエヌ 竹籛。孔子を祭る時用ひる器具の名。

子エックピエン 竹旁。割竹。蓋一一割竹で屋根を葺

子エックピエン 敵兵。(又) 敵兵。

子エックピヌ 竹算。網代。篋。

子エックピヌ 竹屏。竹を網代に編んだ仕切。

子エックファイ 竹籠。孔子を祭る時用ひる器具の名。

子エックフウ 竹符。青竹に咒をした護符。竹を削りた

一枝を削りて符を書き頭に五色の紙など結び附

けて路傍に挿し置くもの、家内の悪疫などを除く咒として用ひらる。

子エックフウ 特許。(國) 特許。

子エックフウ 勅府。(又) 府廳に命令する。

子エックフウ 勅符。咒をしながら符を書く。

子エックフウ ジヌ 竹夫人。竹夫人。抱籠。一一稱。

子エックブウ 嫡母。(又) 嫡母。妻の子が父の正妻を呼

子エックブウ 特務。(國) 特務。

子エックブヌ 勅文。(又) 勅書。

子エックプヌ 竹筴。籾などを貯へる大籠。粗い竹の籠

一一筴栗一一同上に籾を入れて貯へる。

子エックベエ 竹馬。竹馬。竹馬。驚足。竹の寢臺

の脚。簡単な床を作るに用ひる臺脚。一一足が長く

てよく歩行する人を嘲りていふ。一一竹の中に

居る小さい蟲、牛が其れを呑めば毒になるといふ。

子エックペエ 竹篋。(種) 【竹篋】。

子エックペエ 竹栢。【山杉】。

子エックペエ 竹把。竹製の熊手。竹把。一一仔一一同上。

子エックペエ 竹皮。竹の皮。

子エックホア 徳化。(又) 徳化。【法式に適ふ。

子エックホアツ 得法。法を得る。法術を會得する。一一

子エックホエ 竹花。竹の花。

子エックホン 勅封。勅叙。高官の妻又は祖先に位階又

子エック

子エック

子エック

手エツ

は官名を賜ること。【雨】

手エツ ホンラヌウ 竹風蘭雨。新竹の風に宜蘭の

手エツ ボオ 竹模。群生した竹。

手エツ ボヲ 嫡母。【嫡母】。

手エツ ボク 竹木。竹木。

手エツ ボン 徳望。【文】徳望。

手エツ ポエ 竹篋。竹篋。笞。鞭。罪人又は生徒を打

手エツ ポエ 竹皮。【竹皮】。

手エツ ポヲ 澤瀉。(高雄) 魚の名。皮剥。其皮は

紙繭の如くに用ひらる。

手エツ ポヲ 竹部。【竹模】。

手エツ ポヲ 竹皮。(鳥) 【竹皮】。

手エツ マア 別馬。次に同じ。

手エツ メエ 別馬。此馬。馬。此る。

手エツ モオ 竹膜。竹の内側にある薄い皮。

手エツ ラヌ 澤蘭。(種) ①たしろひよどり。(菊科、莖・

葉を煎服すれば血行をよくし、水腫を治し、又吐

血・産前産後に効あり)。(おほじふにひとへ) (唇

形科、葉を煎服すれば元氣旺盛となる)。(きだち

きつねのまご)。(げんだるまご)。(爵林科、莖・葉を

酒と共に煎服し咽喉の痛、打撲傷、熱病等を治す)。

手エツ ラン 竹籠。竹籠。

手エツ リアウ 竹寮。竹を貯へて置く小屋。竹小屋。

手エツ

一仔 同上。

手エツ リアム 竹籬。竹の籬。

手エツ リイ 竹籬。竹垣。籬。

手エツ リイ 竹籬。竹の籬。

手エツ リイ 得利。利益を得る。利を得る。能ー

利益を得ることが出来る。

手エツ リエツ 的的。【的的】の③。

手エツ リエツ 得力。寵愛する。可愛がる。一

朝臣 腹心の臣。一子 愛子。大事の子。

手エツ リエツ 竹瀝。若竹を火で炙って切口より取った

液、薬として用ひらる。

手エツ リエツ 別別。【別別】。

手エツ レエン 勅令。【文】勅令。①神佛の御示。

手エツ レエ 竹絡。竹の枝。

手エツ レエ 竹螺。(鳥) 細長い貝。ながにしの類。

手エツ レエ 特例。(國) 特例。

手エツ ロオ 叱盧。(姓) 叱盧。

手エツ ロオ 筋路。【筋】の①。「を望む」。

手エツ ロン ボンシホク 得備望蜀。(文) 備を得て蜀

手エツ 手エツ

手エツ 秩。(姓) 秩。

手エツ 秩。(姓) 秩。

手エツ

手エツ 撤。撤する。引擧げる。撤回する。取除く。廢

止する。淘汰する。一去 取除けた。廢止になっ

た。會社此幫在 一人 會社では今人員淘汰中

である。「理徹す」。

手エツ 徹。(文) 徹。一理通百理 一理通すれば百

手エツ イエヌ 撤筵。(文) 筵を撤する。御開。

手エツ イオン 撤勇。兵を撤する。兵員を減する。

手エツ キイ 撤去。廢止。止める。廢する。撤する。

手エツ シイ 秩序。(文) 【秩序】。「取拂ふ」。

手エツ シエツ 鐵石。(文) 鐵石。一 心腸 鐵石の様

な情のない心。無慈悲。沒義道。

手エツ ジヌ 哲人。(文) 哲人。

手エツ スウ 秩序。(文) 秩序。

手エツ スウ 秩序。(鳥) 前に同じ。

手エツ ファヌ 撤饌。(文) 饌を撤する。神前などの供

物を取下げる。

手エツ タア イイシエン 跌打醫生。【疊打醫生】。

手エツ テイ 徹底。徹底。根本に至る。貫徹する。講

到 一 徹底するまで話す。輸到 一 一文無

になるまで負ける。

手エツ テエ 徹底。(文) 【徹底】。

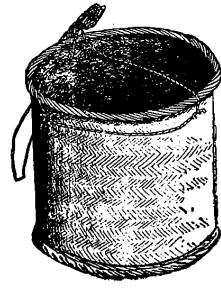
手エツ トエ 徹底。(文) 【徹底】。

チエヌキウ 電球。(電) 電球。

チエヌキウ 天九。賭博の名。一子二打天九に用ひる札。一牌同上。

チエヌキエツ 天才。遠廻に謎の様なことをいふ。駄洒落をいふ。へんてこりんな話をする。你講一話我沒曉聽君が謎の様なことを言っても僕には分らない。

チエヌキエン 天筐。果物行商などの使用する擔籠の一種。一籃同上。



筐 天

チエヌキム 電金。金の電氣鍍金。

チエヌキム 天金。【天公】を禮拜するときなどに用ひる【金紙】の一種。

チエヌギイ 奠儀。(奠) 香奠。

チエヌグイ 典獄。(典) 典獄。

チエヌクイ 展開。廣げる。開く。展べる。展開く。推廣げる。開廣げる。雨傘一傘を廣げる。

チエヌクイ 展開。前に同じ。

チエヌグイ スイ 天癸水。(月) 經。

チエヌケエ 電銀。銀の電氣鍍金。

チエヌケエ 典價。典權の設定と共に質主より所有者

に對し交付する金額。【典】を見よ。

チエヌケエ 典契。(簿) 【典契】。

チエヌゲエ 展牙。自慢する。誇る。高言。大言。

チエヌゲエ 展牙。前に同じ。

チエヌコア 典掛。(證書などに記載する文句) 抵當にする。質に入れる。亦無重張一他人一亦別の證書で他人に抵當に入れること無し。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌコア 展着。廣げて見る。披閱。

チエヌ

地煞 三十六體の天神に七十二體の地上の邪神。

チエヌコン 天空。(空) 大虛。大空。天空。

チエヌコン キアウ 天公曲。(影) 陽物。

チエヌコン シヌ 天卑神。星の名。

チエヌコン テエリヤ 天卑地煞。天地の善神惡神。八百萬の神。

チエヌコン ポア 天公破。拜擊。眞向から斬つける。

チエヌゴアツ チエツ フン 天月德方。よい方角。明の方。恵方。

チエヌゴアヌリエ 田元帥。【相公爺】の神號。役者の拜崇する神。

チエヌゴラ 天鵝。(動) 伽藍鳥。ペリカン。

チエヌゴラ ジホク 天鵝肉。ペリカンの肉。饑狗賤想一飢れた犬がペリカンの肉を食はうと思ふ。及ばざるを望むこと。夢想。空想。

チエヌゴラ ジオン 天鵝絨。天鵝絨。

チエヌゴン 顯懸。白痴。阿呆。馬鹿。

チエヌサム タイ 騰三代。試験願書又は履歴書などに三代の系圖を書寫すこと。

チエヌサイ 天災。(災) 天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌサイ 天災。天災。天罰。災難。一地震

チエヌ

チエヌ

チエヌ 金。得着——同上を得た。——票——富蘭。彩票。着着——票——彩票に當った。

チエヌ サイ天才。(又) 天才。

チエヌ サムシイ天蠶絲。(國) 天蠶絲。

チエヌ サン展鬚。馬が鬚を立てること。老馬——老人が勇氣を出して壯者の様な動作をするをいふ。老人の冷水。

チエヌ シアジツ天赦日。(又) 天赦日。

チエヌ シイ殿試。(又) 狀元、榜眼、探花、傳臚、翰林などの資格を得んとする「貢士」に對し皇帝が自らする試験。殿試。

チエヌ シイ電扇。(國) 電扇。

チエヌ シイ天時。(又) 天の時。——不如地利地利不如人和——天の時は地の利に如かず地の利は人の和に如かず。

チエヌ シイチエヌツヌ天始天愈。道教で奉ずる神。

チエヌ シウ佃首。佃人の頭。「屯租」を徴收する一

チエヌ シウ天授。(又) 天授。「種」の役名。

チエヌ シウコアヌ佃首館。官有田園の購出及び大

チエヌ シエックピライウボオ天色漂洋布。洋布の

チエヌ シエヌココラ天仙果。(種) 天仙果(桑料、果實は食用とす)。

チエヌ

チエヌ シエン天生。天然。天性。——自然——自然の事。勿論の事。天然自然。自然にさうなる。

チエヌ シエン天性。(又) 天性。

チエヌ シオン天上。(又) 天上。欲求——福、須點佛前燈——天上の幸福を求めんと欲せば須らく佛前の燈を點すべし。

チエヌ シオン天象。(又) 天象。一目觀——一目天象を觀る、一眼の者を罵りていふ。

チエヌ シオンシエンブウ天上聖母。「媽祖」。

チエヌ シオンシエンボヲ天上聖母。(卷) 前に同じ。

チエヌ シツ展翼。羽根を廣げる。羽を伸す。

チエヌ シツ展翼。前に同じ。

チエヌ シヌ電信。(國) 電信。

チエヌ シヌ天神。(又) 天神。——地祇——天神地祇。神祇。——下降——天の神が天下降る。

チエヌ シヌキイ電信機。(國) 電信機。

チエヌ シヌセエ展身勢。●身構へる。——在當等——身構をして待受ける。●勢力などを量に著て威張る。——要壓人——勢力を量に著て壓迫

チエヌ シム天心。(又) 天意。講易見——易經を講究して天意を見る。

チエヌ

チエヌ ジイ典字。質又は抵當を入れる貸借證書。チエヌ ジエヌ天然。●天然。自然。●勿論。無論。彼——嘴——それは勿論だ。——你着去——無論君は往かねばならぬ。

チエヌ ジエヌトオ天然痘。(國) 天然痘。

チエヌ ジヌ佃人。小作人。

チエヌ スウ典史。官職の名。地方官衙の文書係。

チエヌ スウ天師。道教の教祖。天師。——符——「張天師」を書いてある護符。——壇出鬼——天師の壇から鬼を出す、豫期せざりし不思議な事件をいふ。

チエヌ スウ天賜。天の賜。

チエヌ スウ天署。「天南星」。

チエヌ モエ典冊。經書。古書。

チエヌ モエ天井。「天井」。

チエヌ モエ天青。(卷) 「天青」。

チエヌ ソア電線批。(國) 電線。電線。——唯唯々々——電の針金が呻吟る。

チエヌ ソアボエ電線批。(卷) ●電線。●電信柱。——柱——同上。

チエヌ ソオ纏訴。(又) 訴訟。裁判沙汰。——不休——訴訟事が止まない。

チエヌソオ天敷。常敷。天命。一難逃一常敷逃れ難し。一難移一天命は移し難し。

チエヌワア又輾轉。(又)輾轉。反側。

チエヌワヲ天草。【木鼈子】。

チエヌワヲテエシエツ天造地設。(又)自然の事。天然自然。

チエヌタア天擔。【天】の②の一對。掠着一同上の hand がつく。

チエヌタア展參。你俾我沒一御前は僕の相手にはなれない。

チエヌタイ天台。吞氣に遊び興する。不時在一常に吞氣に遊び興じてゐる。

チエヌタイワン天台宗。佛教の一派。天台宗。

チエヌタウ纏頭。(又)纏頭。

チエヌタウ電頭。●電燈などのスイッチ。●壓電所。

チエヌチア電車。(國)電車。「使ふ」。

チエヌチア天車。起重機。車巻。使一起重機を

チエヌチイ天主。(源)【天主】。

チエヌチイ天井。●光線を取り又は煙を漏す爲屋根に明けた窓。天窓。●臺灣家屋の中庭。●掘抜井

チエヌチイ天青。紺色。縹色。一色一同上。「戸」。

チエヌチウ碘酒。【碘質】。

チエヌチウ奠酒。死人を祭る時に御酒を地に注ぐ事。

チエヌ

チエヌ

チエヌ

チエヌチウ電廠。電氣工場。

チエヌチウ電匠。電氣職工。

チエヌチエウ典籍。【文】典籍。

チエヌチエンチエン天清清。一地靈靈一道士又は僧侶の念ずる語。天は清淨地は靈。

チエヌチオク纏足。(新)纏足。

チエヌチオク天爵。(又)天爵。

チエヌチオン典章。(又)典章。

チエヌチオン奠章。(又)祭文。弔詞。

チエヌチヨグヌジイ典借銀字。質又は抵當を入れて金銭を借る證書。

チエヌチヲジイ典借字。前に同じ。

チエヌチツ碘質。ヨヂューム。沃土干幾。【埃阿頤】。

チエヌチツ天質。天質。

チエヌチツ天職。(國)天職。「る」。

チエヌチツエエ顛一ト下。ひよろつく。ひよろひよろす

チエヌチヌ天津。(地名)天津。

チエヌチアウ電柱。(國)電柱。

チエヌチアウ天朝。(又)皇朝。

チエヌチイ電池。(國)電池。「る」。

チエヌチイテエキエヌ天知地見。(又)天知り地見

チエヌチエクフン天德方。よい方位。住一在爽一方位の好所に住んで心持がよい。

チエヌ

チエヌチエヌ顛顛。ひよろひよると。よろよると。一醉一倒。一倒倒一幾度も躓き倒れる。一度度災などに遇つて失敗する。

チエヌチエヌ典典。【典】の②。

チエヌチエヌ展展。【展】。

チエヌチエヌ填填。【填】。

チエヌチエヌ電電。【電】の②。

チエヌチエヌ天々。●無頓着で平氣な。心が浮浮してゐて吞氣な。激一空嘯く。無關係な風をする。一瀉瀉一【天瀉】。●日日。一醉一毎日醉ふ。一來一毎日來る。●【天】の②。

チエヌチエヌ展展。【展】の②。

チエヌチエヌ填填。【填】。

チエヌチエヌ騰騰。【騰】。

チエヌチエヌアア偏偏仔。【偏】。

チエヌチエン電燈。(國)電燈。

チエヌチエン天燈。●店の軒先の燈。●天の神を祭る時用ひる燈。

チエヌチエンルイキイ天燈縫起。盜賊の隠語。【天燈】を引上げる、放火。「る」。

チエヌチエン天廷。天上。天界。上一上界に登

チエヌチオク天竺。天竺。一國一同上。

チエヌチオク天竹。(種)(小藥科)なんてん。

チエヌチオク天竹。(種)(小藥科)なんてん。

チエヌチオク天竹。(種)(小藥科)なんてん。

チエヌチオク天竹。(種)(小藥科)なんてん。

チエヌチオク天竹。(種)(小藥科)なんてん。

チエヌチオク天竹。(種)(小藥科)なんてん。

チエヌ

チエヌ

チエヌチオン 殿中。殿中。

チエヌチオンチエツ 天中節。五月五日。端午。

チエヌチオンチエツ 天長節。(國) 天長節。

チエヌチヌ 天津。(泉) 【天津】。一種。

チエヌチヌライ 天津梨。(泉) 天津から来る梨の一品

チエヌツウ 典主。典主。【典】参照。

チエヌツウ 天資。天資。天性。

チエヌツウ 天子。天子。天皇。——門生。天子の門

生、狀元。——犯罪與庶民同。天子罪を犯せば庶民と同じ。——無萬年。天子に萬年なし。

チエヌツウ 天主。天主。天主教の神。——堂。天主堂。——教。天主教。

チエヌツウコクシエク 天姿國色。(多) 天姿國色。女の非常に美しい形容。

チエヌツツ 典出。質に置く。抵當に出す。

チエヌツヌ 佃別。特定の権利者なきも其水を灌溉に供する人人が共同管理する埤圳。

チエヌツウ 天誅。(多) 天誅。

チエヌツン 典當。●品物を抵當にして金を借りること。質入。抵當。●質屋。

チエヌテエ 田地。(多) 田地。

チエヌテエ 天帝。(天公)。

チエヌテエ 天地。天地。——萬物。天地萬物。——

チエヌ

チエヌチエ 天體。(同) 次に同じ。

チエヌチエ 天體。勿體ない事をする。贅澤する。奢侈。奢る。倒。倒。——ごろごろして情けて居る。近近的所在伊亦要坐車成。——近い所なのに車に乗って本當に勿體ないことをする。

チエヌチエカク 天地角。【四維】の①。

チエヌチエパウ 天地炮。空中で爆發する仕掛花火。

チエヌチエポア 天地盤。記帳上の語。出入勘定。

チエヌチエボエ 天地被。(多) 屍を包む蒲團。

チエヌチエ展大。●誇大。●擴張する。

チエヌチエ躑度。(多) (天體) 緯度を回る。緯度を循環する。行。——同上。

チエヌチエ田土。(多) 田地。

チエヌチエトオ 電土。(電) カーバイト。

チエヌチエトオ 天道。(泉) 【天道】。

チエヌチエトオゴアヌソエ 田都元帥。【外江】の②に屬する連中の崇拜する神。

チエヌチエトヲ 顛倒。●跟踉倒れる。酒醉の——醉漢が倒れる。花研——續破去。花瓶が倒れて破れてしまった。●顛倒する。逆になる。反對。

チエヌ

チエヌチエトヲ 顛倒。●逆に。反對に。——講。反對に話す。——生。逆に生れる。●却。却。——較好。却。却。——被伊罵。却。却。叱られた。【應報あり】。

チエヌチエトヲ 天道。天道。稱理。——有報應。天道は馬鹿馬鹿しい。取留のない。講。——狂氣じみた話をする。

チエヌチエトヲ 殿堂。(多) 殿堂。

チエヌチエトン 天冬。【天門冬】。

チエヌチエトン 天堂。天国。

チエヌチエトン 叮嚀。突破人的。——人の祕事を摘發する。人の内證事を暴露する。

チエヌチエナア 偏愈。【偏】。

チエヌチエハア 殿下。(國) 殿下。

チエヌチエハア 天下。(多) 天下。——太平。天下太平。——擾亂。天下が動搖する。——君親師。天下に一番大切なるは主君に親に師なり。——世界中。——通。合鍵。——無難事。只怕有心人。天下に難事なし。只有心の人を怕る。——火碗。

子エヌ

可笑しく形容をして話をする。

子エヌ ホアイ 天懐。少しも物事に屈託せず常に愉快

気な態度をいふ。樂天主義。伊真好。一擺無

煩惱。彼は甚だ樂天主義で少しも心配をしない。

子エヌ ホアツ 天罰。(又) 天罰。

子エヌ ホアヌ テエ ホク 天翻地覆。天地が覆へる。

大變亂の形容。

子エヌ ホエ 電火。(電) 【電火】。

子エヌ ホエ 電匯。電報爲替。

子エヌ ホオ 佃戸。【墾首】より土地を得て開墾する

者。墾戸又は小租戸。小作人。田畑の借主。

子エヌ ホオ 天湖。【清湖】。

子エヌ ホオ 天后。【媽祖】。

子エヌ ホオ キオン 天后宮。天后宮。【媽祖宮】。

子エヌ ホオ ニウ ニウ 天后娘娘。【媽祖】。

子エヌ ホオ ビヲ 天后廟。【天后宮】。

子エヌ ホヲ 天河。天の河。銀河。天河。

子エヌ ホヲ チイ 天河井。光線を取り又烟を漏す爲

屋根に明けた窓。

子エヌ ホヲ パヌ 天河板。天井。天井板。

子エヌ ホン 展紅。景氣の好いのを誇る。威張る。

子エヌ ホン 電風。(新) 電扇。

子エヌ ホン 天皇。天皇。一陛下。天皇陛下。

子エヌ

子エヌ ホン シイ 天皇氏。太古の帝王。天皇氏。

子エヌ ホン マヲ クウ 天紅草蓼。(種) はまぐるま。

(菊科、葉を糯米飯とねりて小兒の頭部の腫物に

貼付すれば効あり)。

子エヌ ホン シヌ 展風神。偉がる。誇る。威張る。

降るといふ日。

子エヌ ホン ペエ ハア 天皇陛下。次に同じ。

子エヌ ホン ペエ ハア 天皇陛下。(國) 天皇陛下。

子エヌ ホオ 電火。(電) 【電火】。

子エヌ ボエ 典買。抵當にすることと買ふこと。質入

子エヌ ボエ 典賣。抵當にすることと賣ること。質入

子エヌ ボオ 田畝。(又) 田畝。

子エヌ ボオ 天幕。(國) 天幕。テント。

子エヌ ボン 天網。(又) 天網。一恢復報應甚速

天網恢恢、恢應甚速。一恢復報應而不漏

網恢恢疎にして漏さず。

子エヌ ボエ 佃批。借地人又は小作人より地主に出す

子エヌ ボオ 填補。埋合せる。填補。足補ふ。

子エヌ ボオ 典舖。(又) 質屋。

子エヌ ボオ 田圃。(又) 田圃。

子エヌ ボオ 填補。【填補】。

子エヌ

子エヌ ボヲ 展賣。誇示す。誇示す。物件提出來

在。一物品物を持出して誇示す。

子エヌ ボヲ 電報。(電) 電報。打。一電報を打つ。

子エヌ ボン 天房。一天井。一屋根裏と天井との中間。

子エヌ ライ 天來。次に同じ。

子エヌ ライ サア 天來早。(種) 第二期作水稻の一品

子エヌ ライ トヲ キイ 顛來倒去。踴躍。蹶躍。

酒食到。一酒を飲んで彼方此方へ蹶躍。

子エヌ ラム 展覽。(國) 展覽。

子エヌ ラム 電覽。(又) 御覽。電覽。

子エヌ ラム 天藍。藍色の一種。一「しゃう。

子エヌ ラム シエン 天南星。(種) (天南星科) てんなん

子エヌ ラム ホエ 展覽會。(國) 展覽會。

子エヌ ラム ポオ 天藍布。泉州産の藍色の紡績棉布。

子エヌ ラン 典人。抵當に出す。

子エヌ リアウ 仰養。田園に附屬する收納小屋。

子エヌ リアン 天良。(源) 【天良】。

子エヌ リイ 天女。(源) 【天女】。

子エヌ リイ 天理。一天理。天の道。一良心。良

心。天然の良心。一近。一天理の道は手近にあ

る。照。一。一。天の道に依る。有。一。一。即ち地理

天の道あれば地の理あり。尊。一。一。天道に従ふ。

一昭昭地理何在。一。一。天理昭昭たるに地理何く

にかある、俗間の迷信を喝破したる諺。●當然。
——天理天罰顯面。天道當然だ。さま見ろ。

チエヌリイカウ 天理教。(國) 天理教。

チエヌリウ 電流。(國) 電流。

チエヌリエク 電力。(國) 電力。

チエヌリエヌ 典典。(國) 典典。

チエヌリエヌ 展展。(國) 展展。

チエヌリエヌ 填填。(國) 填填。

チエヌリエヌ 電電。(國) 電電。

チエヌリエヌ 天天。(國) 天天。

チエヌリエヌ 天年。(國) 天年。天壽。

チエヌリエヌ 展展。(國) 展展。

チエヌリエヌ 填填。(國) 填填。

チエヌリエヌ 騰騰。(國) 騰騰。

チエヌリエヌ 電鈴。(國) 電鈴。

チエヌリエンシイ 天靈司。天神の命に依り下界を巡邏する神。

チエヌリオン 天良。良心。天性の良心。——喪盡

——良心が少しも無い。有——良心ある。尊——

——良心に従ふ。

チエヌリオンテエホオ 天龍地虎。龍は天に虎は地に在りて始めて勢あるの意。

チエヌルウ 天女。(又) 天女。

チエヌルヌ 天倫。(又) 天倫。兄弟。——之樂天倫

チエヌレエ 典禮。典禮。儀式。「の樂」

チエヌレエシイ 典禮司。(官名) 典禮司。

チエヌロオ 典路。(又) 典路。

チエヌロヲ 天牢。皇城の内にある牢屋。(罪ある大官を押込めるといふ) 禁落——同上に押込める。

チエヌロヲテエボン 天羅地網。天網。天地の網。

チエヌロヲパヌ 天羅板。天井。天井板。釘——

——天井を張る。

チエン チエン

チエン丁。(一) 丁。(十干) 丁。(成年) 男子。丁。

男——男一人。出——男子が生れる。——

口——男一女。一人三子六代千——一人に三人の子があれば六代目には千人の多きに達する。

多——奪財——男の子供多くして財を奪ふ、男兒を育てるに金が多かる義。

④米相場の用語——

錢。五——五錢。

チエン登。(一) 登。(一) 登。(一) 殿——殿に登る。

——位——位に登る。

チエン徴。(一) 徴。(一) 徴する。徴収する。——錢糧

——税を徴する。【徴】。

チエン釘。釘。鐵——金釘。釘——釘を打つ。船破

引着拾——船が破れてもせめて釘丈でも拾ふ、

少しものでも足しにせんとするをいふ。【釘】。

チエン燈。提燈などの總稱。燈。ランプ。燈。一盞

——一個の燈。一葩——同上。擲——不知脚下

暗——燈を携へて足下の暗きを知らず、己の缺點を知らざる意。點——燈を點す。

チエン行。(一) 行。生——行ができる。

チエン町。注意して吩咐ける。繰返して念を押す。——

噲——丁寧く繰返して吩咐ける。更共伊——次

——更に一度念を押す。無更共伊——驚了伊能

没記得——更に念を押して置かないと彼は忘れる

かも知れぬ。

チエン中。(一) 中。

チエン戩。戩等器具。戩秤。戩秤。藥——藥をはかる

戩秤。——同上にて權る。——銀——銀を權る。

チエン等。——等級。——一等。上——上等。平

——同等。——承繼する。繼。——伊的缺——彼の

缺を承繼する。——大房——本家を繼ぐ。——等。金

銀財寶——金銀財物等。——的物——色々な物。

チエン頂。——上。上。頂。桌——卓の上。山——山

の頂。——前。前。——日——前日。——最。一番

——好——最も好い。——寢臺。轎。車。帽子。笠など

をを數へる詞。二——車。二臺の車。——笠仔

チエヌ

チエン

チエン

チエン

一個の笠。

チエン典。(姓) 典。

チエン釘。●釘附にする。釘打つ。打込む。一釘二釘を打つ。一枋二板を張る。●蜂など刺す。被蜂一着二蜂に刺された。●針などで突刺す。刺縫する。用針一針二針で刺縫する。●目盛をする。一稱花二稱に目を盛る。●斑點ができる。一點二點。●同上。一烏點二黒い斑點ができる。●番薯一

根二薩摩薯が根を下す。【釘】。チエン中。中る。合ふ。適する。一人意二人の意に合ふ。一講、不聴二話す者には都合がよからうが聴く者には都合がわるい。一大意、不一小姑意二姑の氣に入つても小姑の氣に入らぬ。一主人意、便是好工夫二主人の氣に入る様にするのが上手といふもの。

チエン鏡。(姓) 鏡。

チエン勝。(姓) 勝。

チエン重。(姓) 重。●重。●一重。●一重。●一重。●一枚。●一衫二死人の。●一重の衣。●一膜二一重の膜。●一門二一重の門。●一山二一列の山。●一水二一條の川。●一厝二茅葺屋根を葺直す。一

新修拆二家屋を改造する。●遣直す。爲直す。重てする。更一一次二もう一度遣直す。更一寫

チエン

●更に書直す。●競賣の時など更に値を出す。一價二同上。要更一的人着喝二更に競上げる者は聲を出せ。

チエン廷。(文) 廷。朝二朝廷。法二法廷。

チエン亭。亭。四阿。數寄屋。亭。涼二涼亭。【亭】。チエン騰。騰寫。寫す。書く。更一張二今一枚書く。

チエン鄧。(姓) 鄧。

チエン閥。閥。數居。地輻。戸二同上。門二門の數居。【閥】。チエン有。有。鐵・石・木など堅い。一有二堅いと柔か

いと。頭壳二子供。壯健。丈夫。●金使が物堅い。錢眞二同上。【有、有】。

チエン粳。粳。米二粳米。

チエン定。定める。安二安定。決二決定。一罪二罪を定める。先一價數二先に値段を定め

る。一時間二時間を定める。チエン擗。費用などを頭割に出合ふ。各自平等に負擔する。所費大家照一即能用得二費用は皆で

平等に負擔せねばならぬ。

チエン艇。小船。端艇。廣東二廣東の小船。水雷一水雷艇。

チエン逞。逞。逞にする。一性二我儘勝手な性質。一權二我儘勝手な振舞をする。一伊的

チエン停。一時止める。停まる。止める。休。一八年即更來二八年振に來た。一工二仕事を休む。

チエン

勢頭二彼の勢力を縦にする。一伊的力二彼の力を逞にする。●増長させる。附上がらせる。嬌す。一乘二同上。一去價二増長させて癢がつく。不可傷二餘りに附上がらせてはい

チエン鏡。鏡。馬踏二同上。【鏡】。「けない。チエン听。賭博の賭金に對する。價金を支拂ふ。賭官

尙未一我的注二胴元が僕の掛金に對して未だ價金を支拂はない。一元二元二一圓に對して二圓の價金を出す。

チエン聽。任意にして差支ない。隨意に出来る。一討一還二何時催促してもよく何時返してもよい。一看二勝手に見られる。一入去二這入って往って

差支ない。清彩人都一買二誰でも勝手に買ふことが出来る。禮拜日一出門二日曜日に外出することが出来る。

チエン騰。(姓) 騰。●空に登る。高く上る。高上する。一空二空中に昇る。風吹一眞高二風が空

高く上る。飛行機一直一超去二飛行機がどんどんと昇っていく。●直立する。堅になる。較斜

不免彼二もつと斜にしなさいそんなに直立させぬでもよい。山一山が聳える。

一筆筆を停める。一頻回。雨落。一雨
が一頻降る。打幾若一何回も打つ。

手エン程。程。工一工程。路一路程。

手エンアア燈仔。提燈。ランプ。

手エンアア疔仔。(腫物)疔。

手エンアア釘仔。釘。

手エンアア駝仔。駝等具。蓋秤。蓋採。

手エンアア駝匣。駝仔を入れる箱。

手エンアア亭仔。亭。東屋。

手エンアア艇仔。小舟。輕舟。

手エンアアカア亭仔脚。亭仔脚。軒下。

手エンアアキアム釘仔鉗。(並)次に同じ。

手エンアアキイ釘仔鉗。釘拔。「な鉗。

手エンアアキヨ亭仔轎。市街内に用ひる短い四角

手エンアアサウ燈仔草。(種)梧桐科のちあふひ。

手エンアアワイ釘仔槌。鐵槌。

手エンアアワイ駝仔錘。蓋秤の錘。

手エンアアアロエ釘仔笠。釘の頭。

手エンアア又重限。更に延期する。

手エンアア又定案。判決。

手エンアア又エエア又頂案下案。一組の卓。一は高

くて長く一は低くて方形。

手エンアム頂暗。先晩。前夜。先夜。

手エン

手エンイアク訂約。(並)【訂約】。

手エンイアム釘鹽。ざつと鹽漬にする。

手エンイイ燈椅。踏臺。踏臺。足繼。

手エンイイ釘椅。【釘椅】。

手エンイイ中意。氣に入る。思召に適ふ。意に適す

る。無一氣に入らぬ。

手エンイイ定意。決意。有一要留學留學するこ

とに意を決した。

手エンイウ丁憂。(文)丁憂。喪に居る。

手エンイウ丁酉。(干支)丁酉。

手エンイウ懲役。(罰)懲役。

手エンイウ懲役。芝居など一時止める。

手エンイウ訂約。條約を結ぶ。訂約。

手エンイオン登庸。(文)登庸。

手エンイオン登用。(文)任用。

手エンイウ等因。斯斯の原因。有此欸的。斯

の如き原因が有る。

手エンウイ登位。(文)即位。踐祚。

手エンウイ頂位。上座。上座。坐一上座に坐る。

手エンウイ等位。位を繼ぐ。

手エンウイ停衣。後産の遅い。胎衣が出ない。

手エンウウ頂勻。前の代。自分よりも一廻前の代。

手エン

一的人先輩。

手エンエエ燈下。燈下。

手エンエエ頂下。上下。上下。一日其

日の前後。此の前。前の度。前。有來

此の前来た。一禮拜前の日曜。

手エンオク懲惡。(文)懲惡。勸善一勸善懲

手エンヲア又庭園。(園)庭園。「惡。

手エンヲエ釘鞋。滑らぬ様に釘を植えた靴の一種。

手エンヲヲ停學。(罰)停學。

手エンカア頂脚。脚。

手エンカア鼎甲。殿試の及第者の【狀元】榜眼、探

花をいふ。

手エンカア停脚。立止まる。止まる。陥止まる。

手エンカア重蓋被。賭博に負けた時など倍

損。帳簿など二重に記入する。附掛。

手エンカイビエ懲戒免。(罰)懲戒免職。

手エンカウ燈猴。竹骨にて作り中にカンテラを入

れたる燈籠にて四脚あり形洗面架に似たり、年

越の晩又は舊正月十五日に焼くもの。放炮焼

一爆竹を放ち同上を焼く。

手エンカウ頂郊。福建省の晋江・惠安・南安地方をい

ふ。一人同上の人。【下郊】に對す。

手エンカウカウ有敬敬。次に同じ。

手エン

子エン

子エンカウカウ 有磯磯。食物など大變堅い。
 子エンカク 燈亮。提燈の骨組。
 子エンカヌ停刊。休刊。
 子エンカヌロク 釘干祿。獨樂を廻す。
 子エンカム 重感。風邪の引返。風邪を引返す。――
 難醫 風邪を引返すと治り難い。
 子エンカン 頂港。上の地方。河上。――人 臺北から宜蘭地方の人を云ふ。
 子エンカン 停工。休業。仕事を休む。
 子エンカンシエン 聽講生。(國) 聽講生。
 子エンキア 燈摺。●提燈の柄。●手燭。カンテラ。
 子エンキア 燈符。大提燈又は大燈籠などの鉉。
 子エンキア 燈堅。洋燈の臺。燈火の油皿を載せる臺。
 子エンキアウウ 丁堅紵。(種) みすみぐさ。いがかうぞりな。(菊科、根を水にて煎服し刀創・リウマチスを治す)。
 子エンキアウキアウ 有啾啾。非常に堅い。
 子エンキアウキアウ 有啾啾。前に同じ。
 子エンキイ 登基。(又) 即位。踐祚。
 子エンキイ 登記。(國) 登記。
 子エンキイ 訂期。期日を決定する。
 子エンキイ 定期。定期。期を定める。
 子エンキイ 登柿。(臭) 樽柿。(澁柿より澁を脱したる

子エン

ものを云ふ)。
 子エンキイ 釘鉗。釘抜。
 子エンキイ 重起。●病など再發。再發。●家屋など更に建築する。
 子エンキイカイ 重起蓋。家を建直す。改築。
 子エンキイシアウ 定期賤。定期の勘定。定期に掛の代金を拂ふこと。買――定期の勘定で物を買
 子エンキイモエ 登記済。(國) 登記済。「ふ。
 子エンキイソオ 登記所。(國) 登記所。
 子エンキイポオ 登記簿。(國) 登記簿。
 子エンキウ 頂腔。口蓋。硬口蓋。上唇の下面。
 子エンキウ 停板。(又) 停棺。
 子エンキウヘエ 燈球火把。夜間催物などある時の提燈や松火。
 子エンキエウ 登極。(又) 登極。位に即く。「ない。
 子エンキエウ 停刻。暫く休む。無――少しも休まず
 子エンキエヌ 定見。定見。做事情無――事をするに定見が無い。
 子エンキエン 重肩。襟元に圓く繼を當て二重にした所、丸い肩繼の如し。繼――肩繼を刳取る。
 子エンキエンザウ 定經草。(種) ●(支參科) くちばしぐさ。【鴨舌黃】の○。●【龍吐珠】の○。
 子エンキエンチイ 重肩子。【重肩】。

子エン

子エンキオン 渾強。勢を縦にする。「るもの。
 子エンキヲ 釘橋。鐵の釘を植えた橋。【童叟】の用ひ
 子エンキヲ 停轆。轆を止める。
 子エンキヲ 等級。(又) 等級。階級。分――等級を
 子エンギア 定額。定額。定額。「分つ。
 子エンギイ 定議。(又) 決議。
 子エンギイ 定議。(又) 決議。
 子エンギイ 定議。(又) 決議。
 子エンギム 駢銀。(漢) 【駢銀】。
 子エンギム 頂矜。上の階段。
 子エンクイ 定規。●定まる。定める。定。●没――定められない。尙未――未だ定まらない。
 ●吃度。必ず。――能來 吃度來る。
 子エンクイ 重閉。●再び開く。更に開く。●費用を再び支出する。
 子エンクイ 騰貴。(國) 騰貴。
 子エンクイ 停氣。呼吸を止める。氣を止める。茶飲無――息もつかずに茶を飲む。「吃る。
 子エンクウ 重句。吃る。吃。講話――話をするに
 子エンクヌ 鏡巾。鏡を用す紐。
 子エンクヌチイオウ 淫君之惡。妻子などが他と喧嘩などなした時に少しもそれを制止せず或は却つて妻子に加勢をするが如き者を罵りていふ。
 子エングヌ 駢銀。釐揉で銀を秤る。

子エ/ンゲ又 跋銀。(意) 前に同じ。

子エ/ンケエ 頂過。先頃。先度。一仔り同上。

子エ/ンケエ 頂格。棚の上の段。腹の上部若くは

子エ/ンケエ 重價。競賣の時など更に値を出す。「胸。

子エ/ンケエ 定價。(國) 定價。

子エ/ンケエ 登科。【考試】の及第。補闕する。

子エ/ンケエ 等缺。前任者のあとを承継する。空位を

子エ/ンケエ トア 定價單。(意) 定價表。

子エ/ンケエ ピラ 定價表。(意) 定價表。

子エ/ンゲエ 頂月。先月。前月。「手。

子エ/ンコア 燈指。提燈の鉞。提燈又は燈籠を下げる

子エ/ンコア 頂掛。胸。

子エ/ンコア ワエ サア 頂看初三。一々下看十

八三日が雨天なれば其月の上半月は雨天となり

十八日が雨天なれば其月の下半月は雨天となる。

子エ/ンコア 子エ/ンハア 聴割聴繕。生殺與奪の權を

子エ/ンコアイ 駢桿。蓋秤の秤竿。「有する。

子エ/ンコアイ 騰高。上昇。高く上がる。

子エ/ンコアヌ 定欺。(意) 定欺。

子エ/ンコアヌ 淫權。僭越。我儘勝手な振舞をする。

子エ/ンコアヌ 停棺。吉日及び良き場所を選定するま

で死人を葬らずに其棺を停めおくこと。殯。

子エ/ンコエ 頂過。(意) 【頂過】。

子エ/ンコエ 頂節。上半身。上部。

子エ/ンコオ 登高。(意) 【登高】。

子エ/ンコオ 燈禱。提燈又は燈籠の圓柱形の骨組。

子エ/ンコオ 停課。(意) 【停課】。

子エ/ンコオ アア 釘糊仔。一厘錢に一厘錢を投じ其錢

の表裏により勝負を決する賭博の名。【做錢寶】。

子エ/ンコオ サム 頂股簪。(意) 次に同じ。

子エ/ンコオ チアム 頂股簪。簪の名。中差。

子エ/ンコオ 燈窩。【普度】又は【做醮】の時祭神の爲に

高く燈火を吊上げる竿。堅一々同上を立てる。

子エ/ンコオ 登高。九月九日の重陽節に山に登る。

子エ/ンコオ 登科。【登科】。

子エ/ンコオ 停課。(意) 放課。

子エ/ンコオ ジツ 登高日。九月九日の重陽節。

子エ/ンコオ ソア 燈篙竿。【燈篙】の祟。

子エ/ンコオ チエツ 登高節。九月九日の重陽節。

子エ/ンコオ イウ 丁國憂。(文) 國の喪に居る。

子エ/ンコオ コク 有栢栢。非常に固い。堅くてこつ

子エ/ンコオ 騰空。空中に昇る。空中に上る。仙一

一々仙人が空に昇る。

子エ/ンコン コン 有航航。非常に固い。

子エ/ンコオ 頂過。(意) 【頂過】。

子エ/ンゴアヌ ソエ 鄧元帥。【三十六將】の一にて牛

に騎し烏天狗の如く人面鳥嘴なり。

子エ/ンゴオ 燈蛾。(意) 火取蟲。蛾。

子エ/ンサヌ 登山。(文) 登山。

子エ/ンサア 有柴。質の固い木材。

子エ/ンサイ 登載。(文) 登載。

子エ/ンサイ 重再。再度。重ねて。再び。一開二

度咲。一々寫一書直す。

子エ/ンサイ 燈猜。種種の文句から成った判物。中物。

一々文一同上又は判文。「布。

子エ/ンサイ 燈線。祝賀の時裝飾に用ひる提燈と赤

子エ/ンサイ クイ 丁財貴。子孫と財産と貴い身分と。

(之を併有するものを至幸の人とする)。一々三

字全一男の子、財産、高貴の三つ揃。

子エ/ンサイ モエ ホン 子オク 庭栽棲鳳竹。一々

一池養化龍魚一庭には棲鳳の竹を植多池に

は化龍の魚を養ふ、繁榮して目出度い意。

子エ/ンサウ 燈草。【燈仔草】。

子エ/ンサツ 頂節。上の節。腕の上半分。上膊。

子エ/ンサヌ 頂膺。上段。上膺。

子エ/ンサム 停站。跡切れる。中斷する。間斷。

子エ/ンシア 重寫。書直。書替へる。

子エ/ンシア 騰蛇。【六神】の一。同條参照。

子エ/ン

子エ/ン

子エ/ン

チエン

チエン シア 騰寫。(國) 騰寫。
 チエン シア パノ 騰寫版。(國) 騰寫版。
 チエン シアウ 登賬。帳面に附ける。帳簿に記す。
 チエン シイ 頂司。上級官衙。一官一官一上級官衙の
 チエン シイ 頂勢。上の方。上手。「官吏」
 チエン シイ 釘死。釘締。釘付。一目的門一釘附の
 チエン シイ 定時。定期。時を定める。「門」
 チエン シイ 定是。定めし。必定。屹度。定めて。屹
 度さうだ。一没得來一きつと來られない。
 チエン シイ 停時。時間の間を置く。間斷。
 チエン シイ フウ 頂四府。汀州・邵武・建寧・延平の
 四府をいふ。
 チエン シイ ホン 頂勢風。向風。上風。上の方から
 吹いて來る風。
 チエン シウ 徵收。(文) 徵收。
 チエン シエク 頂色。身分ある。高等。高級。一一人
 一身分ある人。一藝姐一上等の藝者。
 チエン シエヌ 登仙。(文) 登仙。逝去。
 チエン シエン 鄭聲。(文) 鄭聲。
 チエン シエン 定性。心のしつかりした質。有一一
 意思の鞏固な質。心の確りした性質。無一一
 意思の薄弱な。
 チエン シエン 淫性。我儘勝手な性質。増長して附上

チエン

る質。一一的(三)人與人没和一我儘勝手な人は
 人と折合はない。
 チエン シエン 淫乘。嬌して附上がらせる。賢一子
 一子供を嬌す。
 チエン シオン 頂上。極上。最上。頂上。
 チエン シオン 早上。(文) 呈上。進呈。奉る。
 チエン シヌ 頂身。上部。上半身。
 チエン シヌ 定神。精神を集注する。一一看詳細一
 精神を集注して詳しく見る。
 チエン シヌ 挺身。身をぬきんで進む。挺身。一
 踏倚一喧嘩をするときなど挺身して進寄る。
 チエン シヌ 騰身。直立する。氣を附の姿勢をとる。
 チエン シッ ジイ ケエ 釘十字架。十字架につける。
 磔にする。
 チエン シム 燈心。燈心。燈心。一牙石磨一燈心を
 石臼の支にする、何にもならぬ義。一没得
 石磨一燈心は石臼の支にはならぬ、相當る事の
 チエン シム 重審。再審。「出來ぬ意」
 チエン シム アア 燈心盒。燈心入。
 チエン シム ザウ 燈心草。(植) 蘭。細蘭。燈心草(燈
 心草科、莖・葉を細切し水にて煎服し利尿及解熱
 チエン シム チヲ 燈心席。蘭席。「劑となす」。
 チエン シム ブツ 燈心筒。(動) 白子。

チエン

チエン ジイ 丁字。丁の字。一一壘一棟瓦など丁の字
 チエン ジイ コアイ 丁字枋。撞木杖。「形に積む」
 チエン ジイ チヲ 丁字尺。丁字形の物指。
 チエン ジイ ツウ 丁字抵。丁字形の突張。丁字形の
 支かひ。
 チエン ジイ ベエ 丁字馬。一一堅在一兩足を丁字
 形に踏まえて身構をする。
 チエン ジツ 頂日。先日。先達。前日。
 チエン ジツ 定日。日を定める。
 チエン ジム 重任。重任。
 チエン スウ 丁巳。(干支) 丁巳。
 チエン スヌ 重紋。二重險。目開一一同上。
 チエン スン 重喪。陰陽家の語にして此の日に葬式・納
 棺(除靈)・(台爐)をすれば更に死人を出すとい
 ふ不吉な日。友引。一一日一同上。
 チエン スン 定礎。家を建てるに三つの石を基礎とし
 て先きに座敷の後壁の下に積み上げるを云ふ。此
 の石を「三胎石」といふ。
 チエン セエ 丁税。人頭税。
 チエン セエ 徵稅。(國) 徵稅。
 チエン モエ 丁祭。(文) 釋奠。
 チエン モエ 釘册。本を綴る。
 チエン ソオ 定數。定數。天運。

チエンツア 燈臺。燈の油皿。

チエンツア ホエ 燈臺花。【鳳仙花】。

チエンツア 釘鏡。鏡前をつける。桌仔拖——

卓子の引出に鏡前をつける。

チエンツエ 重做。爲直す。仕返す。遣直す。

チエンツエ 定做。(新) 誂。注文する。誂へる。——

的誂品。

チエンツエ 定罪。罪を極める。罪を定める。處刑。

——犯己決囚。

チエンツオ 丁組。(新) 丁の組。

チエンツヲ 燈座。●

ボール紙を扁く巻

き中に金紙を入れ

外面に、切紙の人

形及び龍などを貼った飾物、祭などに用ふ。●

燭臺の蠟燭を立てる處。

チエンツヲ 頂座。簞笥など重ねた物の上段。

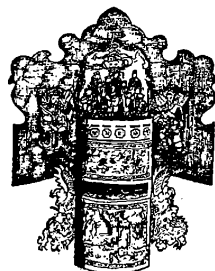
チエンツア 重誤。間違へる。違へる。誤る。齟齬す

る。聽了——聞き間違へる。講話——話を

誤る。事情——事が齟齬する。

チエンツア 燈塔。高燈籠。燈臺。

チエンツア 重疊。重なる。返返す。繰繰。度重る。



◎の座燈

疊む。相——重り合ふ。——欠負債が重る。

チエンタイ 登戴。祖公——祖先の遺勳に依つて得

たる世襲財産又は權利など。

チエンタイ 登臺。臺の上に登る。

チエンタイ 燈臺。(圖) 燈臺。

チエンタイ 頂戴。冠。冠。官帽。官吏の正帽。有——

官帽を被る資格がある。

チエンタイ 頂代。先代。

チエンタウ 燈罩。洋燈の笠。

チエンタウ 頂斗。上脛。上脛。

チエンタウ 頂罩。午前。晝前。——哺同上。

チエンタウ 有篤。●丈夫。強い。堅牢。此塊桌做

了不止——この卓子は甚だ丈夫に出来てゐる。

●(人)確してゐる。意志の堅固な。●小弟較——

彼の弟は確してゐる。

チエンタウ 頂頭。上。上。上部。頂。

チエンタウ 重頭。再び。重ねて。——做爲直す。

遣直す。——打起同上。

チエンタウ 有篤。甚だ固い。

チエンタウ 有痺。●薯などしこしこする。食了——

——食ふとしこしこする。●畜類・植物又は子

供など發育不良な様。猪仔飼了——豚の

チエンタン 頂冬。●稻の第一期の收穫。上季の取入。

●上半年。上半年。

チエンタン 燈桶。提燈の胴。

チエンチア 騰正。清書。淨書。

チエンチア 停車。停車。車を停める。——場停車

チエンチイ 重舌。吃。吃る。

チエンチイ 有甍。●肉など引締つて堅い。●薯など煮て

肉較——男の肉は引締つて堅い。●薯など煮て

こりこりしてゐる。●薯など煮て

●薯など煮て

●薯など煮て

●薯など煮て

チエンチイ 有錢。銅などを混入した悪しき圓鏡。

チエンチイ 停止。(圖) 停止。

チエンチウ 頂章。前章。上章。上文。

チエンチウ 頂手。先代。前の代。前の持主。前の人

自分に渡した前の人。彼是——的人創的——

これは前の代の人が作ったのだ。——賣我較貴——

仕入先が私に高く賣つた。

チエンチウ 汀州。(地名)汀州。——府汀州府。

チエンチウ 頂手契。現契約以前の契約書。

チエンチエツ 燈燭。燈火。燈火。

チエンチエツ 燈節。(文) 舊曆正月十五日即ち上元

チエン

チエン

チエン

る意。

チエンツイ 停嘴。口を休める。無——口を休めぬ。

チエンツウ 重厝。家屋を再び屋根葺すること。

チエンツウ 程子。(人名)程子。

チエンツウ イイ 聽主意。勝手に處置しても差支ない。任意に決定し得られる。

チエンツウ カアキア 頂厝教子。——下厝人子。乗——上の家で子供を懲すと下の家の子供は素直になる。

チエンツウ シイ 重出世。再生。更に生れ出る。

チエンツウ 定準。標準。目當。目當。當。有一個——即能用得——一つの目當が無くてはならぬ。

チエンツウ 停船。停船。

チエンツウ 疔瘡。(疔)疔。疔癩。

チエンツウ 釘床。釘を栽めた寢臺。晒——童出【が釘を栽めた寢臺に仰臥する。】

チエンツウ 旱狀。告訴狀を呈する。訴狀を出す。

チエンツウ イ 重對。再び對照する。重ねてつき合す。

チエンツウ イ 頂臄。股。太股。

チエンツウ ツヌ 頂脊。●石臼の上半。挽臼の上半。●

チエンツウ ツヌ 頂脊。上臄。【(骸)男】

チエンツウ ツヌ オウ頂脊。上臄。

チエンツウ ツン 重湯。更に煤でる。煤直す。熟魚更——

——煤でた魚を煤直す。

チエンテエ 登第。(文)登第。及第。

チエンテエ 等第。次第。順序。等級。格式。階級。——各様——格式を異にする。照——順順に。次第による。

チエンテエ 等替。(替)【等替】。

チエンテエ パス 釘地板。床を張る。

チエンテエ ア 有炭。堅炭。

チエンテエ アツ 定奪。裁斷する。俾君王——君主に裁決してもらふ。

チエンテエ 等替。入替る。交代する。承繼して代る。無人可——代るべき人が無い。

チエンテエ エギア カン 釘地蜈蚣。(種)つるうりくさ。

(玄參科、莖・葉を煎服して解熱劑となす)。

チエンテエ オ 登徒。(姓)登徒。

チエンテエ オ 程度。(國)程度。

チエンテエ オ チア 聽道者。求道者。

チエンテエ オ チエン ヒエン 聽討聽邊。何時催促してもよく何時返してもよい。

チエンテエ トク 釘毒。言語に惡意を寓する。刺。針。伊【講話真——彼の語には刺がある。】

チエンテエ トン 登堂。(文)參堂。——拜謁——參堂して拜

チエンテエ トン 橙桐。【血桐】。【調する。】

チエン トン 定當。確。大丈夫。安全。間違かない。

伊的人較——あの人のは確だ。先打定較——先に手附を打った方が間違かない。

チエン ナアア ア ホエ 燈籠仔花。(種)生垣にする植物の一種。

チエン ニイ 丁年。丁年。(男子を言ふ)。

チエン ニイ 頂年。先年。前年。

チエン ニイ 重染。色上。染直。染返。——色——色

チエン ニウ 燈檠。家の入口の間にあって【天公爐】【字姓燈】などを吊す梁。

チエン ハア 登選。(文)登選。

チエン ハイ 丁亥。(干支)丁亥。

チエン ハウ 登校。(國)登校。

チエン ハウ 等候。待つ。待設ける。待受ける。

チエン ハク 停學。(國)停學。

チエン ハヌ 定限。期限を定める。

チエン ハム 頂臄。上臄。上臄。——齒——上齒。

チエンハン 等項。等。杯。共。此——此等。

チエン バウ 丁卯。(干支)丁卯。

チエン バク 頂目。親族中にて自分より上の【字勻】の者。目上。

チエン パス 釘挽。(動)旗魚。

チエン パア 有有。●堅いと軟いと。●質實と空虚と。

チエン

チエン

チエン

子エンホアヌ重翻。●引繰返す。田土更ー田の

土を鋤返す。事情更ー約束事など更に變更する。●家を改築する。樓頂更ー二階を更に改築する。

子エンホエ燈火。(燈火)。

子エンホエ停會。停會。

子エンホエチアム釘花點。斑紋ができる。斑點がで

子エンホヲ頂好。上乘。飛切。最上。ー的物

子エンホヲ等號。種類。品等。種級。幾若ー色

色の種類。甚麼ー的人とどんな人。

子エンホヲ聴好。差支ない。隨意に出来る。ー買

買へる。ー講話をして差支ない。ー討

請求が出来る。

子エンホク頂楸。鴨居

子エンホク重複。重複。重なる。文句ー文句が

重複する。

子エンホンキイ定風旗。船上に樹てて風向を見る

旗。風切。風見。

子エンホンチアム定風針。風の方向を見るための仕

掛。風見。

子エンボアツコク丁抹國。(丁抹)。

子エンボヲ頂帽。昔の官吏が被った帽子。官帽。

子エンボア頂半。上の部。上半部。ー季上半季。

ー身上半身。ー腹宵の内。初夜。ー月

上半月。ー哺午前九時頃。

子エンボア等盤。商賣を承継する。伊的生理是

ー的彼の商賣は他の者から承継したのだ。

子エンボア頂盤。ー的生理製造元又は元賣商。

子エンボエ頂輩。年長者。先達。先輩。長上。目

上。先進。上輩。

子エンボオ微補。(交)追微。微補。

子エンボオ頂哺。午前。晝前。

子エンボオ停歩。踏止る。歩を停める。

子エンボヲ登報。新聞に掲載する。

子エンミー頂暝。先夜。前夜。

子エンムン重問。重ねて審問する。再審。

子エンラウ燈樓。燈明臺。燈臺。

子エンラウ登樓。(交)登樓。

子エンラウ停流。淀。澱む。停滞。

子エンラウ鼎力。大いに努力をする。盡力。

子エンラヌ丁蘭。(二十四孝)の一人。ー刻木爲

父母丁蘭は木を刻んで父母となす。ー孝父

母刻木爲爹娘丁蘭は孝を盡さん爲に木を刻

んで父母となす。

子エンラン釘人。蜂などが刺す。

子エンラン聽人。人のなす儘にする。人に許す。人

の自由にさせる。ー的所愛人の好む所にま

かす。ー呼喚人の呼ぶがままに呼ばれる、

人の言附けるままに隨つて使はれる。

子エンランホエ燈籠花。(倒吊蓮)。

子エンリアウ子エン重了重。重重。ー講都

聽幾度も話したが言ふことを聴かない。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子エンリイ定理。定則。定理。

子オ

子エンリエン 停停。【停停】。

子エンリオク 登録。【登録】。――商標登録商標。

子エンリオク 騰録。【考試】の受験人の文章を試験官の供閱に便する爲に書記が纏め之を朱にて淨寫

子エンリオン 定量。量を定める。定量。「すること。」

子エンリオン 登龍門。【登龍門】。龍門に登る、立身出世する。

子エンリツ 鼎立。【鼎立】。

子エンリム 登臨。【登臨】。

子エンル 定論。【定論】。「つてする。」

子エンレエ 定例。【定例】。照一做一。定例に依

子エンレエ 頂禮拜。前の週間。前週。先週。

子エンロエ 燈笠。電燈やランプの笠。

子エンロエ 釘笠。釘の頭。

子エンロオ 登樓。【登樓】。

子エンロオ 鼎爐。鼎の形をした香爐。――家鼎の足の如き形した篆字。

子オ

子オ 張。【張】。

子オ 長。銀。……【子ウ長。銀。……】。

子オ 帳。脹。漲。……【子ウ帳。脹。漲。……】。

子オク

子オ 場。【場】。

子オ 丈。【丈】。

子オ キイ 場見。【場見】。

子オ キイ 脹氣。【脹氣】。

子オ キエン 張弓。【張弓】。

子オ ケエ 張嫁。【張嫁】。

子オ サア ポオイッ 張三某。【張三某】。

子オ シイ 脹死。【脹死】。

子オ ソオ 場所。【場所】。

子オ オウ 帳鬚。【帳鬚】。

子オ ア 脹痛。【脹痛】。

子オ イ 張持。【張持】。

子オ パン 長房。【長房】。

子オ パシ 張帆。【張帆】。

子オ ラン 丈人。【丈人】。

子オ リイ 帳簾。【帳簾】。

子オ レエ 張犂。【張犂】。

子オ ロラ 長老。【長老】。

子オク

子オク 筵。【筵】。

子オク 竹。【進竹】。【文竹】。仔頭漢字の竹冠。

子オク 着。【有着一無着】を見よ。

子オク

子オク 遠。木材など變質する。朽ちる。腐る。彼塊枋藏久續去。あの板は久しく藏つて置いたので朽ちてしまった。

子オク 部。【部】。

子オク 畜。【畜】。六畜。一畜。一畜。

子オク アア タウ 竹仔頭。漢字の竹冠。【生】。

子オク イイ 着意。意を用ひる。着意。做事情着愛。

子オク イツ 逐一。逐一。一一。一一。講俾伊聽。逐一話してきかせる。

子オク イム キイ 蓄音機。【蓄音機】。

子オク イム キイ 蓄音器。【蓄音器】。

子オク カン 築港。【築港】。

子オク ガヌ 着眼。【着眼】。着意。

子オク キア 逐件。【逐件】。品品。種種。廉廉。事事。數數。

子オク キア 逐件。【逐件】。品品。種種。廉廉。事事。數數。

子オク キア 逐件。【逐件】。品品。種種。廉廉。事事。數數。

子オク キア 逐件。【逐件】。品品。種種。廉廉。事事。數數。

子オク ゴアツ 逐月。【逐月】。月月。

子オク シウ 着手。【着手】。

子オク シエク 着色。【着色】。

子オク シエン 竹筴。【竹筴】。

子オク シエン 畜生。【畜生】。

子オク シツ 着實。【着實】。實着。一一的人。

着實な人。【着實】。

ヲオク ジイタク 竹字頭。漢字の竹冠。

ヲオク ジツ 逐日。毎日。

ヲオク ズウ 竹茹。(藥) 【緑竹】の稈の内皮より採りたるもの。(吐血・肺癆・衄血等を治するに用ふ)。

ヲオク ツヲ 築造。(國) 築造。

ヲオク タン 逐冬。毎收穫期。

ヲオク テウ 着手。(國) 着手。

ヲオク チエク 蓄積。蓄積。積蓄へる。

ヲオク チエヌチイ 蓄電池。(國) 蓄電池。

ヲオク ツウ 逐次。(又) 逐次。

ヲオク バク 竹木。木質莖を有する植物の總稱。

ヲオク ビイ 築陵。池の土手を築く。

ヲオク ピエク 竹帛。(又) 竹帛。書籍。【追返す】。

ヲオク ホエ 逐回。(又) 追返す。――原籍||原籍地へ

ヲオク マア 竹馬。(又) 竹馬。竹馬。――之友||竹馬

ヲオク リイ 姉姪。(又) 兄弟の妻。【の友】。

ヲオク リオク 遂遂。【遂遂】。

ヲオク ロク 着落。● 着着する。目鼻がつく。極がつく。片付く。今略略仔有――喇||もう少しは

目鼻がついた。無――極がつかない。辨了有

――無||事が落着したか。● 責任觀念の有る。

ヲオク

確な。當になる。信用の出来る。間違のない。有||的人||間違のない人。無||的人||不確な人。當に出来ない人。

ヲオン

ヲオン 中。(連) 中。中。中。中等。學生

――學生の中。||的||中の物。上||下||上中

下。得||中庸。適度。

ヲオン 忠。忠。盡||忠を盡す。一臣||忠臣。

ヲオン 長。● 長ずる。生||生長する。一大人

幼。一者||長者。一子||長子。● 剩ある。多く

なる。増加する。錢有||金が剩る。一價||値

段が上る。【長】。

ヲオン 漲。漲る。漲へる。海水||起來||海水が漲る。

ヲオン 脹。腹などが脹れる。脹れる。腹肚||腹が

脹上る。【脹】。

ヲオン 中。掛る。中る。一箭||矢に中る。一着伊的

計||彼の計略に掛る。一毒||毒に中る。一擧人

擧人の試験に中る。一言不||一言無用||

機に當れば一言で効があるが當らなければ千言

費しても効がない。

ヲオン 長。(姓) 長。

ヲオン

ヲオン 賜。賜。大||大賜。小||小賜。【賜】。

ヲオン 長。● 儲かる。残る。得がある。餘る。今年你

一若多錢||今年君は何程残ったか。如此無||

それでは得がいけない。● 長所。取得。彼是伊

的所||あれは彼の長所だ。無||可取||

つも取得が無い。【長】。

ヲオン 仲。(姓) 仲。

ヲオン 材。材。刑||刑罰の木材。【材】。

ヲオン 仗。依頼する。頼む。托||同上。一伊去買||

彼に依頼して買ひに往つてもらふ。【仗】。

ヲオン 丈。面積を量る。測量。一看有若測||何の位

の廣さがあるか量つて見る。一路||道路を測量す

る。【丈】。

ヲオン 重。大切にする。重んずる。不可||深く好む

べからず。重んじてはいけない。一風水||墓を重

んずる。一眠||眠を貪る。先||衣冠後||人||

先づ衣冠を重んじて後人を重んず、外貌、身態で

人を軽重する意。

ヲオン 衷。(姓) 衷。

ヲオン 寵。● 寵。寵愛。一愛||同上。得

一||寵を受ける。

ヲオン 塚。墓地。墓原。塚。献||墓地を公衆の爲

に提供する。公||公の墓地。清||墓地を

ヲオン

子オン

発掘して整理する。

子オン 暢。(性)暢。●好い氣持。氣持が好い。痛快。銅銀買紙靴雙入。●賈金で紙の賈靴を買って兩方共に嬉しがってゐる。一尿。氣持の好い小便。●遊半分に。面白半分に。冗談に。講一。冗談に話す。讀一。遊半分に勉強する。打一。面白半分に殴る。【暢】。

子オン 種。(性)種。

子オン 杖。【杖】。

子オン アア 塚仔。墓場。

子オン アア 塚仔埔。墓場。墓原。共同の墓所。

子オン アイ 寵愛。寵愛。一的氣に入。

子オン アヌ 中案。廣間の正面に置かれる長方形の
高い卓。普通位牌。燭臺。香爐或は花などを飾る。
一。桌。同上。

子オン アヌ 長安。(地名)長安。一。雖好非久居

之所。長安の地好しと雖も久しく居るの地に非ず。

子オン アヌ 重案。重要な事件。重大な案件。

子オン アヌ ト。中案。桌。【中案】。

子オン イア 中營。●中營。●他に對して中指を突出すは侮辱を表す態度とせらる、其際の中指を云ふ。泚一。同上の態度をする。

子オン

子オン イア 重役。(國)重役。

子オン イアウ 重要。(國)重要。

子オン イアム 腸炎。(新)腸の炎症。

子オン イイ 中楹。棟木。

子オン イウ 中袖。【烏葉袖】。

子オン イウ 長幼。長幼。一。内外宜法肅辭嚴。長幼内外宜しく規則を正しうして言辭を嚴格に

子オン イウ 仲由。【二十四孝】の一。【すべし】。

子オン イエヌ 中浣。(文)中浣。中旬。【二の丸】。

子オン イエヌ シア 中核城。本丸の外をかこむ廓。

子オン イエン 腸癰。(病)腹膜炎。腸及直腸癰。

子オン イオン 中央。中央。一。政府。中央政府。

子オン イオン 忠勇。(文)忠勇。義勇。

子オン イオン 中庸。(文)中庸。

子オン イオン 中用。有用。役に立つ。實用に適する。

子オン イオン 中用。有用。役に立つ。實用に適する。

子オン イオン 重陽。重陽。重陽。重陽。役に立つ。一的物。調法な物。

子オン イオン 重陽。重陽。

子オン イオン 重陽。重陽。

子オン イオン スウ 忠勇祠。忠勇な人を祭つた祠。

子オン イオン ツエ 重陽節。重陽。重陽の節。

子オン イム 暢飲。快飲。痛飲。開懷。一。胸を打明けて快飲する。

子オン

子オン ウイ 中尉。(國)中尉。

子オン ウイ 中桅。中央の樞。【る】。

子オン ウイ 重圍。重圍。脱出。一。重圍を脱出す

子オン ヲア 中碗。直径約五寸位な中碗。

子オン ヲアヌ 中浣。(文)中浣。中旬。

子オン ヲヲ 中學。(國)中學。

子オン カイ 中肯。【中肯】。

子オン カヌ 中間。中間。中間。最中間。

子オン カヌ 忠諫。(文)忠諫。

子オン カヌ ギイ タム 忠肝義膽。(文)忠肝義膽。

子オン カム 忠監。忠義な官官。

子オン カム 中鏡。中位な鏡鏡。

子オン カン 中港。●中間の港。●新竹州の舊地名、中港。

子オン カン 長江。長い川。長江。

子オン ガク 中嶽。河南府登封縣にある山。中嶽。

子オン キア 中崎。月一。月が頭上に来る。日一。日が眞上に来る。

子オン キイ 中齒。前齒。

子オン キイ 中氣。(病)腦出血。腦溢血。中氣。

子オン キイ 長奇。得手。長所。取得。無甚麼。一。何の取得も無い。

子オン キイ 長崎。(國)長崎。

子オンキイ 長期。(國) 長期。

子オンキイ 杖期。喪中【孝杖】を用ひる期間。

子オンキイラン 中見人。中人兼立會人。證書請名

子オンキウ 重九。(交) 重陽。九月九日。「者の一人。

子オンキウ 長久。(交) 長久。永久。

子オンキエヌ 中堅。(交) 中堅。

子オンキエン 中間。中の部屋。中の棟。

子オンキエン 中梗。中判の【梗紙】。

子オンキエン 長庚。星の名。長庚。宵の明星。東

有啓明西有——東に啓明(曉の明星)有り西

に長庚(宵の明星)有り。「適中する。

子オンキエン 中肯。適中。講話講了有——話が

子オンキエン 長庚星。宵の明星。太白星。金

子オンキム 中金。【金紙】の一種。「星。

子オンキム 重禁。嚴禁。

子オンギア 長額。剰ある。多くなる。餘分。餘計。

潤澤。若有——即給你 剰があつたら君にや

子オンギイ 忠義。忠義。「る。

子オンギイ 重義。義を重ずる。疎財——財を疎ん

じ義を重んず。

子オンギエヌ 忠言。忠言。——逆耳利于行 良

藥苦口利于病 忠言は耳に逆ひりに利あり、

良藥は口に苦く病に利あり。

子オンギエン 中眼。中位の大さの【龍眼】。

子オンクイ 中饋。(交) 内助。妻。

子オンクイ 中氣。心臓の鼓動などを指していふ。無

——息切がする。有——息切がしない。——

没通 息切がして苦しい。

子オンクツ 腸滑。(病) 慢性腸炎。腸加答兒。

子オンクヌ 中軍。中軍。中堅。

子オンクヌ 中根。●中心の根。●(戲) 陽物。

子オンクヌ 重囑。貪眠ない。寢坊。

子オンクヌ アイコク 忠君愛國。忠君愛國。

子オンクヌ アイビヌ 忠君愛民。忠君愛民。

子オンクヌ フウ 中軍府。中軍を司る武官の名。

子オンクヌ ポラコク 忠君報國。忠君報國。

子オングウ 中語。適中した言葉。伊講的話真——

彼の言ふ話は甚だ適中してゐる。

子オングウ 寵遇。(交) 寵遇。

子オングヌ 中銀。●中等の銀。●五十錢銀貨。

子オングヌ 仲銀。仲買の手數料。才取の口錢。

子オンケエ 長價。價が少し上へ出る。價が上る。

子オンケエ 中計。計略に陥る。圖に中る。計略に

掛かる。

子オンコアイ 暢快。爽快。愉快。今任日 我人眞

——今日は僕は眞に爽快だ。

子オンコアヌ 寵權。寵愛を得て權を恣にする。細姨

——第二夫人が同上する。

子オンコオ 中古。中世。中古。中昔。中葉。

子オンコオ 暢古。滑稽話。講——滑稽話をする。

子オンコク 中國。中國。

子オンコク 忠告。(交) 忠告。

子オンゴアツ 暢月。十一月の異名。

子オンゴアヌ 中元。中元。慶讚——中元を奉祝

子オンゴエ 中外。(交) 中外。内外。

子オンゴオ 中午。正午。眞晝。午時。午時。打人的

——晝食の馳走になる。

子オンゴオ 重午。【端午】。

子オンゴオ 重五。前に同じ。

子オンサア フウ 長沙府。湖南省の首府。長沙府。

子オンサウ 中哨。中央の部隊。

子オンサヌ 中産。(國) 中産。——階級 中産階級。

子オンサヌ 腸疝。(病) 脱腸。腸管雜塞。

子オンサイ 中指。中指。

子オンサイ 仲裁。(國) 仲裁。

子オンサツ 中節。中段。中節。

子オンサヌ 中田。中田。中等の田地。

子オンサム 中站。中程。半途。半——同上。「子。

子オンシア 暢舍。暢氣者。氣樂者。——子 暢氣息

子オン

子オン

子オン

チオン

チオンシアチヌ長蛇陣。(文)長蛇の陣。布——

長蛇の陣を布く。

チオンシアウ中宵。(文)中宵。夜中。

チオンシアウ長賤。勘定が剩る。勘定が餘計になる。

チオンシウ中壽。八十歳をいふ。

チオンシウ重修。(文)重修。修繕。

チオンシウ長壽。●長壽。●線香の名。

チオンシウチエン長壽燈。常燈。常夜燈。

チオンシウヒウ長壽香。誕生日に用ひる線香。

チオンシエン忠誠。(文)誠忠。「立つ」。

チオンシエン長成。大人になる。成長。長ずる。生

チオンシエン長生。長生。——不死||長生して死なぬ。——不老||長生不老。——祿位||官人な

どの長壽を祈る爲に作った位牌。

チオンシエンコヲ長生菓。(文)【土豆】。

チオンシエンザウ長生草。【卷栢】。

チオンシエンシエヌスウ仲聖仙師。【靈厝】をこ

しらへる職工の奉祀する神。「ふ」。

チオンシオン中傷。(文)男女未成年にして死ぬを云

チオンシオン長上。目上。長上。目無——||目に

長上無し。

チオンシオン中傷。(文)中傷。

チオンシツ忠實。(文)忠實。

チオン

チオンシツ中食。(文)中食。晝飯。

チオンシヌ忠信。(文)忠信。

チオンシヌ忠臣。忠臣。——義士||忠臣義士。——不扶二主||忠臣二君に事へず。——不怕死||忠臣死を怕れず。

チオンシヌ重臣。(文)重臣。

チオンシム中心。(文)真中。

チオンシム懐心。残念に思ふ。口惜しく思ふ。成——||残念で堪らない。怨恨。恨を持つ。

チオンシムチアム中心點。(文)中心點。

チオンシムチオンコア懐心懐肝。【懐心】。

チオンシムフヌ懐心懐。【懐心】。

チオンジイ長字。字數が剩る。字餘。——出来||字餘になつた。

チオンジイカア虫字脚。虫の字を下にする漢字。

チオンジイタク寵字頭。漢字の冠。

チオンジイピエン虫字旁。漢字の虫偏。

チオンジヌ丈人。(文)岳父。妻の父。●老人。

チオンジム重任。(文)重任。再任。

チオンジム重任。(文)重任。重い任務。

チオンジム中書。●(官名)中書。●筆の名。

チオンスウ忠恕。(文)忠恕。

チオンスウ中暑。(文)暑中。中暑。

チオン

チオンヌヌ中旬。中旬。

チオンヌヌ長孫。嫡孫。長男の長男。

チオンヌヌ長孫。(姓)長孫。

チオンヌヌ仲孫。(姓)仲孫。

チオンヌヌギア長孫額。嫡孫の受ける分前。(父の財産を分配するに當り、長男は本宗を相續するものなる故に或る差異を付けて遺産相續者中幾分多くの分配を受く)。

チオンセエ長逝。(文)次に同じ。

チオンセエ長逝。(文)長逝。逝去。

チオンソア塚山。塚山。墓原。山の墓。「る」。

チオンソアヌ中選。入選。——臺展||臺展に入選す

チオンワエ杖罪。杖罪。

チオンワヲ中佐。(文)中佐。

チオンタア脹臆。●臆が膨脹する。——死||臆が膨脹して死ぬ。●心が太くなる。大膽になる。心肝一直||心が一段と大膽になる。

チオンタイ長大。成長。長ずる。大くなる。——成人||成長して大人になる。

チオンタイ重大。(文)重大。

チオンタウ中單。正午。午時。正午。——飯||午飯。——崎||太陽が頭の眞上に来る。

チオンタク長頭。餘分に剩る。餘計。錢——||金が

餘分に剩る。

ヲオンタウイウ中斗袖。中位の大きさの朱纒。

ヲオンタツ重値。値打がある。價值がある。不止。

一〓同上。能一〓得一〓同上。一〓若多一〓どれ丈

の値のものか。有工一〓伊一〓相當の價值ある仕

事をしてやった。

ヲオンタヌイア中壇爺。【哪吒】の尊稱。

ヲオンタヌゴアヌソエ中壇元帥。前に同じ。

ヲオンタム脹臆。心が太くなる。大膽になる。心肝

愈一〓一〓心が段段と太くなる。

ヲオンタン中筒。中細の【米粉】。一〓米粉一〓同上。

ヲオンチア長者。(文)長老。長者。

ヲオンチア重食。意地穢。食意地の張った。

ヲオンチアブン中正榜。舉人の試験に合格して【正

榜】に貼出されること。

ヲオンチアア寵妾。(文)妾を寵愛する。

ヲオンチイ中止。(國)中止。

ヲオンチイ中錢。神を祭り芝居を打って賑出する時

などに錢に擬して戸口の兩側に掛出す多くの孔

を穿った黄色の紙の束【高錢】。

ヲオンチイ中箭。箭に中る。

ヲオンチイ仲錢。才取の口錢。仲買の手数料。

ヲオン

夜。年怕一〓月怕十九一〓年は中秋を怕れ月は

十九日を怕る。中秋又は十九日以後は其年月が早

く過ぎ去るをいふ。好一〓好一晚稻一〓中秋に天氣

が好ければ二期作は豊作である。

ヲオンチウ仲秋。(文)陰曆の八月。仲秋。

ヲオンチウゴアツ中秋月。中秋の月。

ヲオンチウピア中秋餅。中秋の節に使用する菓子

の一種。

ヲオンチエク中則。中則。中等。一〓田一〓中等の

ヲオンチエクフウスウ賜室扶斯。(國)賜室扶斯

ヲオンチエツ忠節。忠節。

ヲオンチエツボラ中折帽。(國)中折帽。

ヲオンチエン中正。(文)中正。

ヲオンチオン中將。(國)中將。

ヲオンチツ中脊。屋根の棟。棟。

ヲオンチツイイ中脊樑。棟木。

ヲオンチブホエ長執會。(基督敎)長老及び執事の

ヲオンチア中廳。中央の棟又は間。

ヲオンチイ中磔。中皿。

ヲオンチウグウ中抽牛。牛車を曳く牛の三匹並んだ

ヲオンチエヌ中殿。本堂。中殿。

ヲオンチエン宮燈。【宮燈】。

ヲオン

ヲオンチエン重聽。(文)耳が遠い。耳が鈍い。

ヲオンチオン漲漲。【漲】。

ヲオンチオン脹脹。【脹】。

ヲオンチオン仲長。(文)仲長。

ヲオンチオン仗仗。【仗】。

ヲオンチオン丈丈。【丈】。

ヲオンチオン暢暢。【暢】(國)。

ヲオンチオンアア中中仔。普通。尋常。中等。中

位。並。無好亦無歹一〓一〓好くも悪くもな

い普通だ。

ヲオンチツ忠直。正直。忠直。律義。物堅い。

ヲオンツイ漲水。水が一杯。水が漲る。

ヲオンツウ長子。長子。長男。總領息子。

ヲオンツウサイ重賞財。一〓薄父母不成人子

一〓金錢を重じて父母に薄くするは人の子に非ず。

ヲオンツヌ中尊。祭典儀式の時數人の僧侶の中央に

居る主僧。主僧。導師。

ヲオンツヌ仲春。仲春。二月の異名。

ヲオンツヌチウ長春樹。(植)松柏科(一)位。

ヲオンツヌホエ長春花。【日日春】。

ヲオンツイ中隊。(國)中隊。

ヲオンツン中堂。大きな家屋の中央の廣間。

ヲオン

ヲオンツン中段。中途。中程。半一〓息去一〓半途で

子オンヘエ中把。東髪を結ぶ時に髪を三つに分けた内の中央のもの。

子オンペエ中白。米・砂糖などの中白。

子オンヘエ中把。的に中る。

子オンホア中華。次に同じ。

子オンホア中華。中華。中國。一民國中華民

子オンホアツ長髮。(文)長髮。

子オンホアツ重犯。重罪犯。

子オンホエ中會。(基督教)數箇の(堂會)より成る協

議若しくは決議機關。中會。

子オンホオ忠厚。温厚。素直。篤實。一看倣生神

温厚なる者を馬鹿と見る。天地補。一天地は

温厚なる者を補翼す。天地保。一天地は温厚

なる者を保護す。

子オンホヲ中和。中和。中庸。中。掠。一中を

子オンホヲ中號。中位の恰好。中形。「とる。

子オンホク重複。(文)重複。重る。繰返す。

子オンホン中瘋。(病)中氣。中風。一不語中瘋

で物が言へぬ。一症。腦出血。腦流血。

子オンボア又脹滿。(病)脹滿。

子オンボエ仲賣。(商)仲賣。

子オンボアツ中鉞。五十錢銀貨。「上。目上。

子オン

子オンボオ中部。(國)中部。

子オンボオ塚埔。臺原。臺場。共同墓地。

子オンボヲ中保。保證人。仲人。引受人。

子オンボヲ重寶。大切な寶物。重寶。

子オンボヲ中薄透。(銀紙)の一種。

子オンボク忠僕。(國)忠僕。

子オンムン中門。中門。正門。

子オンモア漲滿。溢れる。充滿。一杯。満ちる。

子オンラヌ重難。困難。難儀。面倒。六かしい。仕

子オンラム長男。(國)長男。「難い。

子オンラムキエトルウ重男輕女。男を重んじ女を

輕んず。男尊女卑。

子オンラン中人。賣買の仲立などをなす者。仲人。

子オンラングヌ中人銀。間に立つ人に贈る謝金。

子オンランテイ中人錢。前に同じ。

子オンランレ中人禮。前に同じ。

子オンリウ中流。中流。一的人の中流の人。

子オンリエツ忠烈。忠烈。一祠。忠勇義烈なもの

を祭る祠。

子オンリエヌ中年。中年。人到。一萬事休。人

中年に到って萬事休す。(昔時中年は五十歳位の

子オン

子オンリオン漲漲。漲漲。

子オンリオン脹脹。脹脹。

子オンリオン棟梁。役に立つ。彼個人不止有。一

一あの人は甚だ役に立つ。此個機器今都無。

一喇。この機械はもう役に立たぬ。

子オンリオン丈量。土地の測量をする。竿入。

子オンリオン仗仗。仗仗。

子オンリオン丈丈。丈丈。

子オンリオン重量。(國)重量。

子オンリウ中立。(國)中立。

子オンルウ長女。(國)長女。

子オンロヲ中落。前後の棟の中間にある棟。

子オンロヲ長老。長老。庄裡的。一村的長老。

子オンロク暢樂。樂む。楽しい。愉快。快樂。

子オンン中央。中央。中。中心。真中。央。間。

中間。一凸塔。中高。一凹落。中窪。中

低。一曠掠。中略。海。一海の真中。城。

一城の中央。中央。

子ヲ都。(都)。

子ヲ釣。釣針。蚊仔。蚊鉤。釣る。釣。一伊的

話。口占を引く。一伊的心事。人の心をそび

子ヲ

と間もなく。……すると直に。你返去伊一來
君が歸ると間もなく彼が来た。食一杯酒面一
紅酒を一杯飲むと直に顔が紅くなる。(ハ)或事
柄を假定して其結果を説明する場合(ナ)ならば。な
ら。するならば。すれば。すると。無顧身命一能
破病一身體を大切にしないと病氣をする。無細
膩一能跋倒一氣を附けないと轉ぶ。更一個銀
給伊一到額一もう一圓彼に遣れば充分だ。⑤

(能)又は(没)に附して未來の動作の能又は不能
を示す)看能一見える。掠能一捕へられる。
聽没一聞えない。買没一買へない。⑥(有)
又は(無)に附して過去の動作の能又は不能を示
す)看有一見えた。掠有一捕へられた。聽
無一聞えなかった。買無一買へなかった。

チヲ挑。●先の尖った物などで掻立てる。掻く。穿る。
穿る。一燈火一燈を掻立てる。一出來一掻出す。
●十能などで搦ふが如くに搦ふ。火挑一火灰一
十能で灰を搦ふ。●浮縫。一花刺繡一縫箔刺繡
●(家)肘木。出ー肘木が出て居る。燈一提
燈を垂下げる肘木の如き柄。●文字を書くに筆を
撥ね上げる或部分の運筆、又筆を撥ね上げて書く
べき文字の部分。撥。一ー一撥。一手一手偏。
(オ)。一土一土偏。(七)。

チヲ糶。(穀物)賣る。賣出す。一米一米を賣る。一出
糶入一穀物を賣出したり買入れたりする。
チヲ投。●などの如く反動力ではね返る。はずむ。此
粒球糶没一この球は少しもはずまない。
チヲ挑。●掻く。●選取る。●選抜する。●過一的に選抜い
たもの。一過即能用得一選取つたのでなければ
ばならぬ。親手一的自分親しく選んだのだ。
チヲアア釣仔。釣針。釣針。打ー釣針を造る。一
一齒一釣針の腰。釣針の倒鉤。

チヲアア鈔仔。把手のある小さい銅。
チヲイアウ着妖。狐などに憑かれる。化される。
チヲイウ潮陽。汕頭に近い縣の名。潮陽。
チヲイウコンチウ着羊公鬚。小兒などの腮に生ず
る腫物が出る。
チヲイエヌ着蟻。(蟻)を見よ。
チヲイエン着用。入用。入用。要る。
チヲウヌ着瘡。疫病になる。病疫につかれる。
チヲカアコエ投脚雞。(小兒の遊戯)片足をあげ他の
片足のみにて飛びあること。ちんちんもがもが。

チヲカアコエ投脚雞。前に同じ。
チヲカアコオ投脚雞。前に同じ。
チヲカアサウ着咳嗽。次に同じ。
チヲカアサク着咳逆。咽喉に物が掛つた様な感じがし

て咳を催す。嚏せる。嚏む。
チヲカアサムトエ投脚離蹄。足を離らせて強く踏
つける。地輪をふむ。
チヲカアタウ着脚觸。踏く。蹴踏く。
チヲカアツントエ投脚離蹄。地輪踏む。
チヲカアツントエ投脚離蹄。前に同じ。
チヲカウ釣鉤。釣針。釣針。

チヲカウ着猴。●子供が脾胃に似た病氣に罹る。●
你在ー主に女が男に冗談にいふ詞。お前
は馬鹿だね。
チヲカウ着圍。●圍を引く番に當る。●圍に當る。
チヲカウスン着猴損。着猴。
チヲカウタア着猴焦。着猴。
チヲカン着孔。(思)思ふ壺に入る。好くゆく。占得
た。しめこのうさうさ。串一奔走した結果
好くいった。

チヲキア着驚。魂消る。驚く。臆病神に附かれる。
臆病風に吹かれる。一ー一吓一吓驚。
チヲキアカム着子疳。●親が脾胃に罹る。●子煩
惱な者を冷笑していふ。
チヲキイ花棋。碁を打つ。將碁を差す。
チヲキイ釣齒。釣針の倒鉤。爪。
チヲキア着急。周章ふためく。周章で急込む。周章

チヲ

チヲ

チヲ

子ヲ

子、キムグウタクウ着擒牛頭。――不可擒牛

尾。牛の頭を擒へて牛の尾を擒へるな、根源を捕

へよの意。

子、クヌエ工着咽萎。眠つて憔悴する病氣に罹る。

眠坊の者を罵るの詞。

子、クヌソア着咽痧。前に同じ。

子、クヌソア着咽蛇。頻りに睡眠を催し且つ發熱

する病氣に罹る。

子、グウウヌ着牛瘟。牛疫に罹る。

子、ゲエ着月。月番に當る。

子、ケエ投契。(魚)【投契】。

子、コア釣竿。釣竿。

子、コン着公。【公業】管理の年番に當る。

子、コン着狂。(魚)氣違になる。

子、ゴアヌソエ趙元帥。【媽祖】又は【大道公】の廟

などにある黒面の隨神。【三十六將】の一にて虎

子、サイ挑才。漢字の手偏。「に乗る。

子、サイピエン挑才旁。前に同じ。

子、サツタクウ着賊偷。盜難にかかる。三次――

不可一次火加落。三度盜難にあつても一度も

失火するな、火事の被害の甚大なるをいふ。

子、サム着慘。失敗過失又は禍を受けたときいふ詞。

しまった。しまつたり。非道い目に遇つた。今――

子ヲ

子、シイギヌアアエ着死囚仔姿。(子供を罵

る語)憔悴して死ぬ病氣に罹れ。

子、シウ挑手。漢字の手偏。――旁。同上。

子、シオン着傷。怪我する。傷を受ける。傷を負ふ。

子、シヨジヲ着燒尿。(卑)(負擔や又は侮辱などに

對して)たまらない。やりきれない。こらへきれ

子、ジイ釣餌。(魚)餌。餌。「ない。

子、ジホクビエン挑肉旁。漢字の肉月偏。

子、ジツ着日。番に當る。當番。

子、モエ着萎。【萎】に罹る。

子、ソア釣線。釣線。

子、ソア着痧。【痧】に罹る。

子、ワヲ釣艘。海で漁撈する釣船。

子、タク着頭。●神佛を祭る番に當り祭主となるこ

と。●正しい向。向が合ふ。不――向が違ふ。

子、タク着觸。●蹟く。脚――足が蹟く。馬四

脚有時能――馬は四足あつても時としては蹟

くことがある。力財産權勢も時としては頼にな

らない意。●蹶跌する。失敗する。人更較賢

有時仔亦能――人はいくら偉くても時には

蹶跌することが有る。

子、タン釣筒。釣筒の浮。

子ヲ

子、タン投重。【童叟】に神が移り狂ふをいふ。

子、タン着蟲。植物などに蟲が附く。蟲が生ずる。

草菜――野菜に蟲が附く。

子、チアクチアク投擲擲。【擲擲跳】。

子、チアム着籤。當籤。

子、チイ着精。化物につかれる。化される。

子、チイ着箭。矢に中る。

子、チイキア着生驚。魂消る。驚く。

子、チイクヌ花舌根。舌縛。舌が縛れる。吃る。

講話――同上。鬼要共你――鬼が汝

の舌を引張るぞ。嘘を言つたら鬼が舌を抜くぞ。

話――話を舌がよく廻らぬ。

子、チイボア着之磨。(卑)大きな御世話。餘計な御

世話だ。――你同上。

子、チウ潮州。(地名)潮州。

子、チウ挑手。漢字の手偏。

子、チウアイ潮州。潮州汕頭地方に行れる芝居。

子、チエイン着銃。鐵砲に中る。

子、チイビイ着笑脾。【笑脾】を見よ。

子、チツキア着一驚。魂消る。びっくりする。俾我

――僕をびっくりさせる。

子、チア羅縹。穀類の賣買。

チヲチアエエ 糶糶的。米商。

チヲチアウ 釣住。縫附ける。假縫する。

チヲチアウ 着召。刑事事件に引掛かる。悪事など露見して警察の取調を受ける。

チヲチアウ 着吊。係附に掛る。

チヲチアウ 投跳。跳躍。地輪をふむ。小躍する。

チヲチアウアア 潮調仔。潮州地方より来る芝居の一種。

チヲチイブウチエヌ 着猪母顛。(猪)顛癩にかか

チヲチエヌチアウ 着夫吊。子供が蕪撃に掛って目を吊る。引附ける。

チヲチエン 挑燈。嫁入の時に男家より各一人の子供が輦に乗って一對の大きな提燈を其輦の前後に掛けて行くこと。

チヲチヲ 釣釣。【釣】の③④。

チヲチヲ 花花。【花】。

チヲチヲ 投投。●活——||びちびちして居る。生々してゐる。●【投】の③④。

チヲチヲ 震震。【震】。

チヲチヲ 挑挑。【挑】の①②③④。

チヲチヲ 糶糶。【糶】。

チヲチヲ 投投。【投】。

チヲチヲ 挑挑。【挑】。

チヲチヲチアウチアウ 投投跳跳。【投跳】。

チヲツツライ 花出来。引出す。引張り出す。さらけ出す。

チヲツツチアジブ 糶出糶入。穀物を賣出したり買入れたりする。

チヲツヌ 花船。船を引く。引船をする。

チヲツヌホン 着戦瘋。(病)手足が震へる病。同上の病に罹る。

チヲトア 長泰。漳州の縣の名。長泰。

チヲトアコン 着大。【大】の管理年番に當ること。

チヲトアピト 着大病。大病に罹る。「と」。

チヲトオ 挑土。漢字の土偏。——旁||同上。

チヲトク 着毒。毒に中る。中毒。

チヲニイ 着年。年番に當る。各支族が先祖の祭を順番にする際に其番に當る年。

チヲパヌジイ 釣中。子供の帽子又は着物に卍字の形を縫ひつける。

チヲヒイ 釣魚。魚を釣る。魚釣。姜太公——、愿者上釣||太公望の魚釣、納得した者が針にかか

る、無理強はしない意。

チヲヒイ 花耳。子供が倒れた時など、賤者める爲に耳を撫て引張る。——食百二||耳を引張ると百二十歳まで生きる。子供が倒れた時など耳を引張ながら縁起の言葉としていふ。

チヲヒイアン 釣魚翁。(動)魚狗。

チヲヒイ 糶米。糶。米を賣る。——店||米屋。

チヲヒイエン 挑明。詳しく説明する。解釋。説明。

チヲヒイ 着病。病に罹る。病付く。

チヲヒイ 着病。病に罹る。病付く。

チヲヒイ 着病。病に罹る。病付く。

チヲヒイ 着病。病に罹る。病付く。

チヲヒイ 着病。病に罹る。病付く。

チヲヒイ 着病。病に罹る。病付く。

チヲヒイ 着病。病に罹る。病付く。

チ

チ、ボア 着磨。骨折。勞苦。辛苦。俾你真——
 御骨折を掛けます。空空——無駄骨折。
 チ、ミイ 着嘆。泊番。宿直。
 チ、メエ 着脈。脈に當る。急所に當る。
 チ、ラアア 着口仔。破傷風に罹る。
 チ、ラッ 着力。●力が要る。力を入れる。骨が折れる。無——力が要らぬ。力が入ってゐない。
 兼、夕看——骨折損の草臥儲け。●影響が甚い。伊此帮了彼多錢真——彼は今度あんなに澤山損をして非道い目にあつた。
 チ、ラン 釣人。人の心をそびく。人を釣込む。
 チ、ラン ウヌ 着人癩。疫病に罹る。
 チ、リアム 釣粘。假縫。間に合に繼合せる。
 チ、リイ 釣裏。着物などに裏を付ける。
 チ、リエングウ 釣イ 着拾牛鼻。——不可拾牛尾——牛の鼻を引け、牛の尾を引くな、根源を捕
 チ、リイ 釣釣。【釣釣】。
 チ、リイ 花花。【花花】。
 チ、リイ 投投。【投投】。
 チ、リイ 震震。【震震】。
 チ、リイ 挑挑。【挑挑】。
 チ、リイ 糶糶。【糶糶】。
 チ、リイ 投投。【投投】。

チ

チ、リイ 挑挑。【挑挑】。
 チ、ロオ 着路。正しい路。間違ない路。正路。行——正しい路を歩む。
 チ、ロロ 長樂。福州の縣の名。長樂。
 チ、ロロ 着烙。牛羊等が皮膚病に罹る。
 チ、チ 得。●得る。得る。●失。●得失。將來能——天下將來天下を得る。一家伙——財產を得る。●能着——得られる。●動詞などに附して其意味を強め且つ語調を整へる語。記——覚えてゐる。●難——難しい。下——置く。
 チ、姪 姪。兄弟の子。甥。一仔——同上。
 チ、蟄 蟄。●啓蟄。雷打——百二日——啓蟄に雷が鳴ると百二十日間雨が降る。
 チ、直。●直。●真直。路——路が真直である。●去——去——真直に行く。排去真——真直に並べた。●縦。●横。●有五丈——興行が五丈ある。●直に。●直に。●講——直言。●諫——直諫。●告——直訴。●奏——直奏。●頻に。●休なしに。●雨——落——雨が頻に降る。●來——頻にやってくる。●作——休なしに働く。●走——頻に走る。●正直。●素直。伊的人真——彼は正直

チ

●人講——話——素直な人間は素直な話をする。●到那菜瓜鬚——絲瓜蔓の様に正直だ、馬鹿正直又は眞の正直ならざる人を嘲つていふ語。●片附く。●落着く。●事情難——事が片附●難い。●事没——事が落着かない。●(遊戯)十六六指の如きもの。●壓——同上をする。●行——同上。
 チ、値。●東——祭事などの主催者の順番に當る。●年祭事などの主催者の年番に當る。
 チ、退。●遊ぶ。●查某——女買をする。●能——成退。●受大勞——出来るものは遊の如く勞せずして出来、出来ないものは非常な勞をする。●食博——阿片を飲み賭博を打ち女を買ふ。
 チ、飾。●飾。●飾。
 チ、揉。●真直にする。●揉める。●没直——揉めても真直にならぬ。●直——揉めて真直にする。●落着させる。●事情——没直——事が落着かない。
 チ、アア 姪仔。兄弟の子。甥。従子。
 チ、アウ 直喉。一息に。使——飲——一息に飲む。
 チ、イア 直控。【煙劍】を見よ。
 チ、イア 偵役。人民又は原被告人を呼出して出頭した時廳内に導入れる役目の者。
 チ、イエク 直譯。【直譯】。
 チ、キア 直行。●真直に歩く。●直行。——無越頭

手ヌ

荷。足荷。

手ヌ タン 振動。動く。揺れる。震動する。能ー

同上。一日食飽不ー一日飯を食て何もし

ないである。

手ヌ タン 均重。荷物などの重さを平均させる。

手ヌ タン 振動着。【猛一着】。

手ヌ タン バア 振動肉。常に運動する部分の肉。

手ヌ チイシアウテエ 鎖之精塊。(專) 邪魔になる。

不可站此ー此處に居て邪魔してはい

手ヌ チウ 斟酒。酌をする。酒を注ぐ。「けない。

手ヌ チエン 鎖鐘。鐘の一種。

手ヌ チエン 陳情。(又) 陳情。ー書陳情書。

手ヌ チヲ 藤蓆。籐で編んだ蓆。藤蓆。

手ヌ チム 藤枕。籐を編んで作った枕。

手ヌ チア 鎖定。鎖定。鎖壓。

手ヌ チアウ 藤條。籐の棒。

手ヌ チアア 津貼。(又) 添補。添へて遣る。補給する。

手ヌ チアン 瑠璃。樂器などの金屬の相觸れる音。ち

りんちりん。じゃんじゃん。

手ヌ チョクアア 藤竹仔。(種) どうつるもどき。(山藤

科、莖は籐の代用として結縛其他に用ひらる)。

手ヌ チエヌ 鎮殿。鎮座。ー將軍鎮座將軍、同一

地位に久しく居り他に轉ぜざる如きをいふ。老

手ヌ

城隍在ー翡翠は内に引込んで鎮座して居

手ヌ チエン 鎖定。(國) 鎖定。

手ヌ チエン 藤釘。長さ一尺位な籐割。茅の屋根等を

手ヌ チオン 眞中。【蓋笑】を見よ。「作るに用ふ。

手ヌ チオン 珍重。珍重。大切にする。重する。ー

藏得珍藏。ー的物貴重な物。

手ヌ チヌ 叮叮。【叮】。

手ヌ チヌ 鎖鎖。【鎖】の④。

手ヌ チヌ 斟斟。【斟】の②。

手ヌ チヌ 均均。【均】の①⑤。

手ヌ チヌ イウビイ 津津有味。如何にも旨い味

もある。話など、如何にも事珍しく。如何に

も事面白く。講到ー如何にも事面白く

話をする。

手ヌ チヌ タンタン 叮叮瑠璃。琴などの音、ころり

んしゃん。ちりんちりん。ちらんちらん。

手ヌ チヌ チアンチアン 叮叮瑠璃。前に同じ。

手ヌ チヌ テエテエ 鎖鎖塊塊。場所を塞妨げる。

手ヌ チヌ トントン 叮叮瑠璃。琴などの音、ころり

んしゃん。ちりんちりん。ちらんちらん。

手ヌ チヌ トントン 叮叮瑠璃。【叮瑠】。

手ヌ ツウ 藤蓆。【木香】。

手ヌ

手ヌ ツウ ラヌ 珍珠蘭。【雞脚蘭】。

手ヌ ツン 藤床。籐の寢臺。

手ヌ チエ 鎖塊。場所を塞妨げる。邪魔になる。場

塞。場所塞。

手ヌ チエ 鎖宅。落成後始めて家に入り神を安置する

式。落成式。ー符安宅息災の符。

手ヌ テエ 斟茶。茶を注ぐ。

手ヌ トオ 塵土。(又) 穢土。

手ヌ トオ キヲ 藤肚轎。籐の轎。

手ヌ トヲ 籐桌。籐の桌子。

手ヌ トン 瑠璃。琴や風鈴などの音、ちりんちりん。

ちらんちらん。ころりんしゃん。

手ヌ トン 叮瑠。太鼓などの音、どんどん。鼓打到ー

ー叫太鼓をどんどん鳴す。

手ヌ ナア 籐籃。籐で作った籠。

手ヌ ヌン 藤眼。籐の心。籐の内部の軟い所。

手ヌ バツ バツ 鎖密密。場所を一ぱい塞いでゐる。一

ぱい充ちてゐる。

手ヌ パイ 藤牌。籐で作った圓形の楯。手楯。演ー

ー同上を使ひ操練する。

手ヌ ビイ 珍味。珍味。

手ヌ ビエン 陳明。(又) 陳明。陳情。上申。

手ヌ ビイ 藤鞭。籐の鞭。

チヌ^クピイ^ク陳皮。(藥) 陳皮。

チヌ^クピイ^クタン^ク均平重。重量が平均する。擔頭着。

チヌ^クピエン^ク陳兵。(文) 勢揃。整列。――布陣^{ハツ}勢揃をして陣を布く。

チヌ^クピヌ^ク珍品。(文) 珍品。

チヌ^クブウ^ク鎮撫。●(文) 鎮撫。鎮定。●武官の名。

チヌ^クブウ^ク塵霧。(文) 土煙。

チヌ^クブウ^クテエ^ク陳武帝。陳の武帝。陳朝先。

チヌ^クヘエ^ク鎮火。火を鎮める。鎮火。――符^フ火除の

チヌ^クペエ^ク藤皮。藤の皮。

チヌ^クホアツ^ク陣法。陣法。軍法。

チヌ^クホア^ク又^ク塵凡。(文) 塵世。浮世。

チヌ^クホオ^ク鎮護。(文) 鎮護。

チヌ^クボン^ク陣亡。陣亡。戦死。討死。

チヌ^クポオ^ク藤抄。砂糖依などを括る藤又は其結目。

チヌ^クポヲ^ク珍寶。寶物。珍寶。

チヌ^クボン^ク藤籐。籐の寢臺。――轎^{キョウ}籐の腰掛のある

チヌ^クラム^クコア^ク又^ク鎮南關。廈門と廈門關との間にあ

る關所。

チヌ^クリア^クア^ク珍攝。(文) 攝養。養生。――身體^{シニ}身體^カ身體

を攝養する。

チヌ^クリエツ^ク陳列。(圖) 陳列。――館^{コウ}館^ニ陳列館。

チヌ^クリヌ^ク町町。(町町)。

チヌ^クリヌ^ク鎮鎮。(鎮鎮)。

チヌ^クリヌ^ク樹樹。(樹樹)。

チヌ^クリヌ^ク均均。(均均)。

チヌ^クレエ^ク陳禮。(文) 禮を述べる。

チヌ^クロオ^ク鎮路。路を塞ぐ。往來の邪魔になる。

チヌ^クン^ク藤黃。籐に似た黄色。

チム チム

チム^ク鳩^ク陰險な。做人^{ウシ}陰險な人。「濃い線」

チム^ク鮎^ク(色)濃厚な。濃い。一色^{シツ}濃い色。一緑^{リキョウ}濃

チム^ク頓^ク●頭を下げる。辭儀をする時など頭を垂れ

る。一頭^{カク}御辭儀をする。●擔^ニ擔^ヒ擔ひたる荷が上下に

動揺するが如き又は流木などの浮沈するが如き動

作をいふ。大柴在溪中央在^ニ下^ニ下^ニ大木

が川の真中で浮上ったり沈んだりして居る。●手

で重さを量る。用手^テ看^ミ手^テ量^ルて見る。●石

などを投付ける。敲^ウ付^ケける。一石頭^{イシ}石頭^ニ石を投付

ける。【頓】。

チム^ク沉^ク●沈む。一落去^カ落去^ニ沈んでいく。大家落水平

平^ニ水に落れば共に皆沈む、損害や失敗など誰

も彼も一樣だなど。●品物を誤魔化してしまふ。

ずるずるべったりにしてしまふ。失敬する。被伊

一去^カ彼に同上された。

チム^ク朕。(文) 天子自稱の詞。朕。

チム^ク燂^ク●茶碗などに入れて蒸す。湯煎。蒸して煮

る。一肉^ニ肉を同上する。●事をぐづぐづと引張

る。長引かせる。事情緩緩仔^ニ事^ニ事をぐづぐ

づと長引かせる。

チム^ク椰。(姓) 椰。

チム^ク頓。(頓)。

チム^ク沉。(文) 沉。

チム^クア^クア^クチウ^ク沉仔酒。(文) 沉仔酒。

チム^クア^クン^ク沉紅。深紅。

チム^クイ^クエン^ク頓湧。波に漂ふ。波に上下する。

チム^クイ^クヤ^ク燂藥。藥を湯煎にする。藥を蒸す。

チム^クエ^ク燂鍋。湯煎の鍋。

チム^クギム^ク沉吟。(文) 沈思する。沈吟。

チム^クコ^クア^ク頓看。手で重さを量ること。手^テ手^テ手

量^ルて見る。

チム^クコ^クア^ク又^ク燂罐。湯煎に用ひる土瓶。蒸して煮る器

チム^クコ^クエ^ク燂雞。雞を湯煎にする。

チム^クシ^クシ^ク燂色。黒味を帯びた濃い淺葱色。

チム^クシ^ク燂燂。湯に通して暖める。茶碗蒸の如き方

法にて暖めること。

チム^クタウ^ク頓倒。手に載せて量る重味。較無^ニ餘

チヌ

チム

チム

手ム

り重味が無い。
 手ムクウ 頓頭。頓く。頭を下げる。頓首。頭を下げる。
 手ムクウ 頓頭。前に同じ。
 手ムタン 頓重。手で重さを量る。
 手ムタン 沉重。●病氣が重い。危篤。病——病氣が重い。●疲勞などの爲に全身が懈い。骨頭——同上。
 手ムチアバア 燂赤肉。肉を入れた碗を湯の中に入れて蒸したもの。
 手ムチイ 沈淺。濃い淺葱色。
 手ムチウ 頓手。握手する。
 手ムチヲ 頓石頭。石を放る。石を投げる。
 手ムチエヌ 沈澱。(國)沈澱。
 手ムチホク 沉着。沈着。落着。——的人較沒誤事。沈着な人は割合に事を誤らない。
 手ムチム 沉沉。紅——次に同じ。
 手ムチム 沉沉。紅——甚だ赤い。
 手ムチム 頓頓。【頓】の(一)(二)(三)(四)。
 手ムチム 沉沉。【沉】。
 手ムチム 燂燂。【燂】の(一)。
 手ムチム 沈沈。(姿)【沉】。
 手ムトエ 沈底。【沈底】。

ツイ

手ムトク 燂毒。燂毒。
 手ムパウシア 頓炮城。祭典の際など爆竹を四角に組みて高く竹竿に吊したるものへ群衆をして爆竹を投げつけ發火せしめる儀式。
 手ムヒウ 沉香。沈香。——色。沈香の色。
 手ムブツ 沈没。(國)沈没。【迷込む】。
 手ムベエ 沉迷。(文)耽溺する。——酒色。酒色に耽溺する。
 手ムボン 沈亡。沈没。船——船が沈没する。
 手ムラム 沈藍。【深藍】。
 手ムラン 沈人。借物や預り物などを其儘するするべからず誤魔化して仕舞ふ。
 手ムリエク 沈溺。(文)沈溺。溺れる。
 手ムリム 頓頓。【頓頓】。
 手ムリム 沉沉。【沉沉】。
 手ムリム 燂燂。【燂燂】。
 手ムリム 頓頓。【頓頓】。
 手ムリム 沉沉。(姿)【沉沉】。
 手ムルヌ 沉淪。沈淪。沈み落ちる。沈淪。——罪惡。罪惡に沈淪する。
 手ムロツキイ 沉落去。沈没。沈む。落沈む。
 ツイ 離。(態)離。

ツイ ツイ

ツイ

ツイ 離。●山盛。中高に盛った。貯到——起來。山盛に盛りなさい。淀到——山盛に満溢れる。●尖った金物。篙——竿の先に填めた尖った金物。
 ツイ 水。●(逆)水。●水。●激落地。難得。收起。覆水盆に歸らず。●反垢。●水に垢が出来る。●按列行。●水が水路を行く。死者の遺族を慰める時など老者が先に死するは自然の順序などの意に用ふ。●能治火。●水能く火を治す。●柔能く剛を制する意。●三年流東。●三年流西。●水は三年東に流れ三年西に流れる。有爲轉變は世の習の意。●裡無魚。●三界娘仔做大。●水中に魚がないと目高が幅をきかす。鳥なき里の蝙蝠の意。●盤過碗亦能消蝕。●茶碗の水でも何度か入れ換へれば減る。●物事の轉換を行へば結局損失を免れない。●流破布。●襪襪切が水に流れる。●諸處に引掛る意にて方々食倒し廻るなどをいふ。
 ●水っぽい。淡い。●糜煮了傷。●粥を炊いたところが餘りに水っぽい。●色有較。●色が餘り淡い。●紅仔。●淡紅色。●勢の旺盛なる時期。●盛時。●季節。●困仔賢大。●一子子供が盛んに發育するのは一時だ。●痞辣。●一羽振のよいのも一時だ。●雞妹仔到。●刺。●此雞が交尾期になった。●寒。●寒い季節。●冬。●熱。●暑い季節。●夏。

ツイ

に閉口する。●孔あるもの出入口。港―港
 口。粒仔―出来物の口。孔―孔の口。研仔
 瓶の口。門戸―戸口。●言葉。應―言
 葉を返す。返答する。歹―言葉汚い。粗―野
 卑な言葉。囚仔人有耳無―子供は耳あつて
 口なし、子供は人の話に口きくものでない。多
 多舌―お喋り。●双。刀―刀の刃。●(助数詞)
 口。食二三―二三口食へる。
 ツイ 碎。●屑。切端。破片。紙―紙屑。紙切。布―
 布屑。●碎ける。毀れる。米―去―米が碎け
 る。一屑屑―粉微塵。
 ツイ 村。穿。……【ツン村。穿。……】。
 ツイ 疇。【疇】。
 ツイ 串。【串】。
 ツイ アア 水鴨。(動) 鴨。山雞想―山の鶏が鴨
 の水上生活を羨しが、鵝の歳を鶴が羨むな
 ツイ アア 誰仔。【誰仔】。「ど。
 ツイ アア 嘴仔。口。―紅紅要食人―口を眞赤に
 して人の物を食はうとする。貪欲。「せる。
 ツイ アア ツイ 嘴攏嘴。口と口と近寄せる。口を寄
 ツイ アヌ 催緊。烈しく催促する。急ぎ立てる。
 ツイ アヌ 締緊。きつく締付ける。
 ツイ アム 水甌。水はき。下水。埋溝。埋樋。伏樋。

ツイ

放水溝。埋―消水―埋樋を埋めて水をはかせ
 ツイ アム 締鎖。喉を締める。
 ツイ アン 水甌。水甌。
 ツイ アン 水紅。鴨色。薄桃。薄赤。薄紅。
 ツイ アン アア 水紅仔。前に同じ。
 ツイ アン キム チイ 水紅金錢。(種) 椀の一品種。
 ツイ アン クツア 水紅骨蛇。(種) あきのうなぎつ
 かみ。(蓼科、莖・根を用ひて腫を治す)。
 ツイ アン ホエ 水紅花。おほけたで。(蓼科、莖・葉
 は消渴を治し、果實は解熱劑となり、花は消化に
 ツイ イア 水蝶。(動) 羽蟻。「效あり」。
 ツイ イア 水影。水影。面照―顔を水にうつす、
 ツイ イア ウジツ 水曜日。(國) 水曜日。「水鏡」
 ツイ イア ク 嘴約。(漢) 【嘴約】。
 ツイ イア アア アア 碎葉葉。毀れてちりちりばらばら
 になる。心肝―心が揺亂れる。
 ツイ イア ム イア ム 碎鹽鹽。粉微塵。微塵。
 ツイ イア ム スン 水鹽酸。【四葉草】。
 ツイ イイ 醉意。微醉。醉心地。有―微醉になる。
 ツイ イウ 水油。石油。石炭油。
 ツイ イウ 碎幼。細い屑。
 ツイ イウ イウ 碎溶解。粉微塵。粉微塵。
 ツイ イウ キア 水油摻。【油摻仔】。

ツイ

ツイ イウ キイ 水油坑。石油坑。
 ツイ イエヌ 水燻。●湯氣。水蒸氣。蒸―湯氣が
 あがる。●水氣。水燻。
 ツイ イエヌ 水蠟。植物が長く水に浸されたために萎
 れて来る病氣。着―同上になる。
 ツイ イオク 嘴約。口約束。口約。
 ツイ イヲ 水藥。煎じた漢藥。煎藥。「粉微塵」
 ツイ イヲ イヲ 碎葉葉。ばらばらに碎ける。粉微塵。
 ツイ イヌ 水引。水管など水を引くもの。―引水―
 水管で水を引く。
 ツイ イム 水淹。水が差して来る。差潮。上潮。―
 湧湧―水がだだだぶしてゐる。―來―汐が差
 す。―到鼻孔當没住―水が鼻の孔まで浸る、
 堪忍袋の緒がきれる。―到頸頸遇着―水が
 頸まで届く様になった、極點に達して萬已を得な
 い。退引ならない。
 ツイ イム アム 水淹鎖。水が頸まで差して来る、萬
 已を得ない、又は危機一髪などの意。
 ツイ ウイ 推諉。託言ける。假托する。事奇せる。口
 實を設ける。逃口上。遁辭。做事相―食飯
 爭做前―仕事をすると時は逃口上を云つて飯を食
 ふ時は先を争ふ。
 ツイ エエ 水厄。水難。水災。

ツイエエタウ 嘴下斗。 膠。 膠。 膠。

ツイエエハイ 嘴下類。 前に同じ。

ツイエエホアイ 嘴下類。 前に同じ。

ツイエエハム 嘴下類。 前に同じ。

ツイオオ 水壺。 水瓶。

ツイオオ 水芋。(種) おもだか。(澤瀉科、根莖を碎きて生豚油と混じり指間の糜爛に塗抹して之を治し、葉は魚菜などを包装するに用ふ)。

ツイオオビヌトオ 嘴烏面土。 無愛想に佛頂面。 言葉は素氣なく顔は苦り切る。 磕一着——

ツイオオ 醉翁。 酔っぱらひ者。 ——之意不在酒

ツイオン 醉翁の意酒に在らず。 醉翁の意酒に在らず。

ツイオン 醉翁。 椅子の名。 睡椅子。

ツイオン 水碗。 模様などの無い大きな茶碗。 料理物を盛るに用ひる。

ツイオン 嘴活。 辯舌が旨い。 辯舌が好い。 ——的人

ツイオン 水鴛鴦。(動) 鴛鴦。(水花火の一種)

ツイオン 水膠。 精製した透明の膠。 透膠。

ツイオン 水甲。 軟い爪。(柴甲)に對す。

ツイオン 水脚。 水を擔ぐ勞働者。 水擔。 麩屋などに使はれて水を擔ぎ米を搗きなどするもの。

ツイオン 水膠燻。(動) ふなむし。

ツイオン カアタン 水茄冬。(細葉基盤脚樹)。

ツイオン カアチイ 推申子。 干支を繰つて見る。

ツイオン カアブウ 水申母。(動) 毒のない蛇の一種。 あかはらしまへび。

ツイオン カウ 水溝。 溝。 下水。 溝渠。

ツイオン カウ 水狗。(類)。

ツイオン カウ 水垢。 澱。 水垢。

ツイオン カウ 水到。(水) 水が着く。(盗賊の隠語) 龍仔。 ——喇相棒よ、仲間が来たぞ。

ツイオン カウ 水口。 水の流出口。 放——水の出口を

ツイオン カウ 推敲。(文) 推敲。 「開ける。

ツイオン カウ 嘴口。 口元。 ——話口頭。 口上。 うっかりと口から出る話。 物到——即加落去。 物が口元まで来て落ちる、事が成かかって破れる。

ツイオン カウケエ 嘴口柳。 箱口具。 猿轡。 門—— 同上をはめる。

ツイオン カウゴアヌ 嘴口願。 神佛に口で言ふ誓。 發—— 同上を誓ふ。

ツイオン カウソオ 嘴口酥。 からからした圓い菓子の名。

ツイオン カウチエン 嘴口疔。(病) 口に生ずる疔。

ツイオン カウ 嘴角。 口の角。 口角。 口元。 ——疔口角にできる疔。

ツイオン カヌ 水疔。 水入。 水差。 水筒。

ツイオン カカ 嘴哈哈。 口を鎖す。 口を閉ぢる。 一言も出さない。

ツイオン カム 水柑。(種) 雪柑。 まんぐねんぼ。(雪柑)。

ツイオン カン 碎工。 随時の仕事。 短期間の仕事。 一定しない零仕事。

ツイオン カン 嘴孔。 口。 塞——口を塞ぐ。

ツイオン カンリエン 水江龍。(過溝龍)。

ツイオン ガヌ 醉眼。(文) 醉眼。 蕩けた目。 與查某在——蕩けた目で女に見とれる。

ツイオン キア 水鏡。 水中で用ひる目鏡。 水鏡。

ツイオン キアウ 水攪。 【燒賣】などの様なものにお汁を加へてつくった間食にする一種の食物。

ツイオン キアウキアウ 嘴曲曲。 肩が曲つてゐる。

ツイオン キアムザウ 水劍草。 【菖蒲】。

ツイオン キイ 水氣。 水氣。 水氣。 水分。 濕氣。

ツイオン キイ 水蟻。(動) 蟻。 蟻。

ツイオン キイ 水柿。 澁を抜いた柿。 醃柿。

ツイオン キイ 嘴齒。 齒。 ——咬緊緊きりりと食縛る。

ツイオン キイ 齶(不揃)出齒。 ——齶(不揃)同上。 ——密齶(不揃)同上。 ——饒饒(不揃)同上。 ——反背齶並が不揃。 ——齶齒が浮く。 ——軟同上。 ——齊齶並が好い。 ——痛齶痛。 齒が痛む。 ——打折合血吞

ツイ

歯を打折って血と一緒に呑込む、家庭内の秘事など外面に表さずに堪忍ぶ。目をうつろって居る。

ツイキイカア 嘴齒脚。齒根。齒の根。

ツイキイクヌ 嘴齒根。齒の根。――咬在咄。我慢に我慢をする。――咬緊緊。同上。咬――切齒する。

ツイキイシオン 嘴齒溝。齒尿。齒滓。

ツイキイジヌ 嘴齒仁。齒莖。齒齦。

ツイキイタク 嘴齒頭。齒の根。

ツイキイタン 嘴齒齒。齒の中の齒。齒の齒。齒を喰ふといふ處。

ツイキイバク 嘴見目見。極手近。鼻の先。目

ツイキイパン 嘴齒縫。齒の隙間。無可到塞。――齒の隙間を詰めるにも足りない、口汚。

ツイキイフヌ 嘴齒痕。齒の痕。齒形。

ツイキイホア 嘴齒岸。齒莖。齒齦。

ツイキイライ 錐起來。山盛になる。酒斟到。――酒を溢れるまで注ぐ。

ツイキウ水膏。(泉)【嫩薑】。

ツイキウ推究。(文) 推究める。

ツイキウ嘴響。不滅口。強情に言張る。――脚川

軟口は強硬だが尻は軟い、其場になって尻込するなど。

ツイ

ツイキエウヘエ 水尅火。水は火を尅す。(五行相尅の一)。

ツイキエツピン 髓竭病。(癩) 神経系統の病氣。

ツイキエン水梘。質。梘。水橋。

ツイキヨ水脚。水を擔いで運ぶ者。

ツイキヨ水茄。【刺茄】。

ツイキヨ水梘。梘。質。――梘水。質で水を引く。

ツイキツチア 水乞食。(動) 蜻蜓の幼蟲。

ツイキヌ催緊。急ぎ促す。急立てる。

ツイキヌバク 嘴近目近。(漢) 【嘴近目近】。

ツイキム嘴琴。●ハーモニカ。●番人の用ひる口琴。

ツイキムキア 水金京。(種) (茜草科)あかみつぎ。

ツイキムチア 水金定。前に同じ。

ツイギイ嘴硬。口返答などして強情な。強情張。

ツイギエク水蠅。(動) 蜻蜓の幼蟲。【ふ】。

ツイギエヌギエヌ 醉醺醺。大變醉ぶ。ぐでぐでに酔

ツイギヌ水銀。(漢) 【水銀】。

ツイギム水錦。(種) 木樺。

ツイギム嘴錦。盤。――【盤嘴錦】。

ツイギムホエ水錦花。(種) 木樺。きはちす。(錦葵

科、庭園樹・生垣となし樹皮より纖維を得べし)。

ツイタイ水鬼。水に溺れた人の靈。船幽靈。水鬼。

ツイ

――陸城隍。水鬼が【城隍】に陸格する、成上る。――叫擺瑞。水鬼が跛の瑞といふものを呼ぶ。水鬼が連を呼ぶ、邪道に誘引するなど。――

――水重柳。水鬼が重い柳をかける、水に居る苦しい上に尙ほ重い柳をかけられる、一層苦しい

意。――叫交替。水鬼が代りを呼ぶ、自分の身

代の爲に人を溺死せしめる。――騙城隍。水

鬼が【城隍】を騙す、無謀の義、蜻蜓の斧。――

羅漢乞食。水鬼、宿無、乞食、最も不良なる者

共の意。

ツイクイ水櫃。●水櫃。水櫃。水タンク。●蒸氣の

釜。ポイラー。【龍風】。

ツイクウ水龜。(動) 水に居る龜の名。げんごらう。

ツイクウ水坵。鹽田の蒸發池。――岸。同上の畔。

ツイクウ推擧。(國) 推擧。

ツイクウ水窟。水溜。――仔。同上。泉孔透。――

泉の孔が水溜に通ずる、少しの事も直に世間

に知れ渡る。

ツイクウ嘴滑。口がよく滑る。口速い。輕口。

ツイクウフヌシイ 碎骨分屍。高所より落ちて體が

木端微塵になるなど。

ツイクウ水軍。水師。海軍。

ツイクウサイ 水芹菜。(種) ●せり。(繖形科、嫩莖葉

を摘みて食用に供す。●みづわらび。(水蓼科、莖・葉を煮服すれば胎毒に効あり)。

ツイクヌバククヌ 嘴近目近。つい其處。鼻の先。目前。——的所在極近の所。

ツイクン 水缸。水瓶。——損破壺仔序大水瓶が毀れると小さい瓶が兄哥株になる。

ツイクン 水管。水管。

ツイグウ 水牛。(牛)【水牛】。

ツイグヌ 水銀。【水銀】。

ツイグヌ 碎銀。銀の屑。

ツイケエ 水蛙。(蛙)【水蛙】。

ツイケエ 醉過。醉が冷める。

ツイコア 催促。催促する。急立てる。督促する。

ツイコア 碎割。寸寸に切る。萬刀——寸寸に切る

ツイコア 嘴渴。喉が乾く。渴する。【刑罰】。

ツイコアイ 嘴快。口が軽い。軽口。口軽。

ツイコアヌ 水官。【水官】。

ツイコアヌ 水關。帶——水難の相がある。

ツイコアヌ 水罐。水入。水差。

ツイコアヌアア 水罐仔。前に同じ。

ツイコアヌ シウ 水官首。祭事の時一部分の擔當者。

ツイコアヌムン 水關門。水門。

ツイコエ 水瓜。【菜瓜】。

ツイコエイウ 水蛙油。(種)【蕁麻科】つるいはがね。こけつるまぞ。

ツイコオ 水襖。勞働者などの半股引。半ズボン。——丈半ズボンを作るだけの布。

ツイコオ 嘴鼓。打——徒口をきく。閑談をする。

ツイコオコオ 碎糊糊。粉微塵。粉微塵。切切に。びりびりに。

ツイコラ 水果。(交) 果物。水菓子。——類果物類。

ツイコラ 水柯。(種) たいわはんのき。(樺木科、材は薪料となす)。

ツイコラ 水洩。引洩。洩が引く。干洩。洩が干る。

ツイコク 水關。水中の樓閣。水關。

ツイコク アア 水椀仔。柄杓。

ツイコン 水管。水管。筧。樋。

ツイコン 催促。咒文を繰返して唱へ其靈験を早める。

ツイコン 嘴講。口述。口上。——真好聽。口奇麗な事をいふ。

ツイコン 嘴管。口を尖らした時の口附。彥徳の口附。

ツイコン 較娘下腦。口の先が髭よりも長い。口先斗

ツイコン シム 水管心。【水冬瓜】の①。

ツイゴアヌ 水源。水源。源。——木本。水の源木の

本、根本の義。飲水愛念。——頭。水を飲んだら

水源を忘れるな。恩を忘れるな。

ツイサイ 嘴饒。意地張い。食ひたがる。

ツイサイコン 水司公。(豆) 豆鼓。

ツイサウ 水哨。(動) 溝に生ずる小さい赤い蟲。赤子。いとみみず。

ツイサヌ 水産。(國) 水産。

ツイサプ 碎屑。細い屑。斷屑。

ツイサプ サプ 碎屑屑。粉微塵。甚だ細い。

ツイサプ サプ 碎屑屑。前に同じ。

ツイサア 水關。井堰。堰。

ツイサア 碎挿。草の名、薬用に供す。

ツイサアムン 水關門。井堰の門。水門。【火災】。

ツイサイ 水災。水災。水害。水難。——火厄。水害

ツイサイウイ 水彩畫。(圖) 水彩畫。

ツイサウ 水操。水練。水軍の操練。

ツイサウ 水草。水草。水草。

ツイサウ 推移。(鳥) 【推移】。

ツイサウ タイ 水走篩。茶を乾燥させる篩。

ツイサク 水漚。押脚筒。水鏡砲。

ツイサツ 水漆。(桐) 桐油。

ツイサツ アア 水賊仔。【土沉香】。

ツイサマ 水田。水田。——一段。水田一個所。

ツイサプ 水汁。(鳥) 【水汁】。

ツイサプ サイ 碎挿突。(圖) 碗損到——茶碗を

ツイ

ツイ

ツイ

ツイ

滅茶滅茶に毀した。被人打倒——滅茶滅茶に毀られた。衫仔褲拆到——着物をびりびり破った。

ツイ/ザン 水葱。(種) (莎草科) おほふこの。

ツイ/シア 水瀉。水瀉。腹下。下痢。

ツイ/シア 水杓。柄杓。杓。

ツイ/シア 水聲。●水聲。●(水を他のものと配合するときなど) 水の分量。——要用若多||水の分量をいくらにするか。●出——咳拂などで合圖をする。暗に警戒をする。出——俤伊知||えへんと咳拂などして暗に知らせる。

ツイ/シア 嘴聖。豫言などが不思議に中る。

ツイ/シイ 水時。潮時。汐合。赴——船などが潮時の間に合ふ。赴——潮時に間に合ふやうに急

ツイ/シイ 締死。締殺す。締殺す。

ツイ/シイ 催生。産の時護符薬などを用ひて産を早めること。難産の時【司公】を呼んで安産の祈禱を

ツイ/シイ イ、催生薬。産を早める薬。「して貰ふ。

ツイ/シウ 水手。荷物の積卸其他船の雑役をするもの。

舟子。水夫。舟子。

ツイ/シエク 翠色。(文) 翠色。

ツイ/シエヌ 水仙。(植) 水仙。(石蒜科、觀賞に供し又

ツイ

鱗莖は痲病に効あり)。

ツイ/シエヌ 水鏡。水垢。湯垢。——油||地澱。

ツイ/シエヌ 水癬。(癩) 水仕事をする人の手又は足の指間に生ずる瘡。水蟲。

ツイ/シエヌ 水疔。(癰) 陰囊水腫。

ツイ/シエヌ オン 水仙主。禹王を祀りたる稱。水仙王。海河及び水災等を保護する神。

ツイ/シエヌ キエン 水仙宮。同上を祀る廟。

ツイ/シエヌ チオン 水仙種。茶の一種。

ツイ/シエヌ ツヌオン 水仙尊王。【水仙王】。

ツイ/シエヌ ホエ 水仙花。【水仙】。

ツイ/シエヌ ホエザウ 水仙花草。(植) みぞかくし。(桔梗科、莖葉を搗碎し腐敗せる飯を混じて切傷の局部に貼付す)。

ツイ/シエヌ ムン 水仙門。船の舷門。

ツイ/シエン 水性。(女) 水性。婦人——女は浮気性

ツイ/シエン ボク 水生木。水は木を生ず。(五行相生の二)。

ツイ/シオン 水傷。水損。水害。水害を被る。溪境的

田較愛——川岸の田は水害を被り易い。——園不可買||水害を受ける畑は買ふな。

ツイ/シオン 揣想。(文) 想像。

ツイ/シオン キエンザツ 水上警察。(國) 水上警察

ツイ

ツイ/シヌ 水神。●水神。●(陰陽師の語)。——好||水神の地相がよい。

ツイ/ジアウ 嘴爪。嘴。

ツイ/ジイピエン 佳字旁。漢字の佳。

ツイ/スイ 嘴水。愛想。世辭。口前。人食——魚食

露水||人は愛想を食ひ、魚は露を食ふ、愛想をよくせよの意。伊較有——彼は愛想がある。

我籠無——僕は少しも世辭がない。

ツイ/スウ 水師。海軍。水師。

ツイ/スウ 全身。(魚) 全身。——權滑||全身すぶ濡。

ツイ/スウ 推辭。(文) 事寄せる。托言。——托故||

ツイ/スウ コア 水師官。海軍士官。「同上。

ツイ/スウ フントシ 水師總統。海軍司令官。

ツイ/スウ テエトク 水師提督。水師提督。

ツイ/スウ トンリエン 水師統領。【水師總統】。

ツイ/スン 推算。干支などの勘定をして繰る。

ツイ/スン 嘴算。口で勘定する。胸算。

ツイ/セエ 水勢。水の流。水勢。

ツイ/セエ 催生。(魚) 【催生】。

ツイ/セエ 嘴勢。口付。口元。

ツイ/モエ 水寒。水に沿うた寒。水寒。

ツイ/モエ 水井。(魚) 【水井】。

ツイ/モエ 水星。(魚) 【水星】。

ツイモエ 酔醒。(海)【酔醒】。

ツイソアヌ 水瓊。稍下等の金剛石。

ツイソアヌ 水澱。如露。一澱水。如露で水を注ぐ。

ツイソオ 水素。(國) 水素。

ツイソヲ 嘴燥。口が乾く。

ツイワア 水蛇。(動) 水中に棲む蛇の一種、毒なし。

ツイワア 水泉。泉。

ツイワア 嘴殘。食殘。食ひからし。唾の附いたもの。

ツイワア 嘴殘。食殘。食ひからし。唾の附いたもの。

ツイワア アア 水蛇仔。【水蛇】。

ツイワアヌ 水鏡。水道の振子。水道の栓。

ツイワアヌ タウ 水鏡頭。前に同じ。

ツイワエ 嘴多。多言。饒舌。輕口。

ツイワオ 水租。水租。埤圳の料金。【國】 水槽。

ツイワヲ 水槽。●樋。●張。一樋をかける。●

ツイワツ 水族。(國) 水族。一館。水族館。

ツイワク 嘴撮。使。一開口を動して命令する。口先

で言附ける。猪哥使。一種豚が口先を動かす、

口先ばかりで實際働かざるものをいふ。

ツイワン 水莖。水莖。

ツイタア 水乾。●水が乾く。●沙が引く。

ツイタア 嘴乾。咽喉が乾く。渴する。一喉渴。口

ツイ

同上。

ツイタア 嘴罩。(鼻) 鼻口を掩ふものマスク。

ツイタアカン 水乾港。旱魃などで水量の減じた川。

ツイタアツ 嘴踏腕。口足る。口が滑る。一

講出來。口が滑って話する。

ツイタウ 水斗。塗取。

ツイタウ 水頭。●水源。●上流。●水上。川上。

ツイタウ 嘴斗。口。歹。食物に選嫌をする。悪

態をつく。口穢く罵る。削。一。口穢く罵

る。一。腹がつかつか食ふ。口が卑しい。又はむ

やみに話す。一。輕(家畜など)食慾が少い。

ツイタウ 嘴頭。口。飲。一。食物を節約して食ふ。

一。硬。一。話振が強硬な。一。硬。同上。一

一重。一。食意地が張つてゐる。意地穢い。

ツイタウ イウ 水豆油。(動) 水蟲の名。水眼。

ツイタツ 嘴塞。猿轡。

ツイタヌ 水丹。(毒) 丹毒。

ツイタン 水桶。擔桶。

ツイタン コエ 水冬瓜。(種) ●高砂白玉。(獼猴桃科、

果實は食用とす)。●やへやまあをき。あかだま

のき。(茜草科、根を煎服し赤痢・解熱・強壯劑とな

し、葉を搗碎して潰瘍・刀創の局部に貼用す)。●

ツイ

ツイタン ツイコン 嘴動嘴講。序に話す。不是特

工講的。是。一。的。態と話したのではなく、

序に話したのだ。

ツイチア 水車。龍骨車。踏。一。同上を踏む。【龍

骨車】を見よ。

ツイチア 嘴淡。熱のある時よく味を感じないなど。

ツイチア アイア 水車葉。【水車】の齒。

ツイチア トオ 水車塔。【水車】の仕切板。●家の

軒下・棟の上の欄間の如きもの。

ツイチア バツスン 嘴食讖算。口で食つたら勘定を

知つてゐる、恩を受けたら忘れない意。

ツイチア ウ 水鳥。水鳥。浮鳥。水禽。

ツイチア ウ 推移。●相互の主張の距離を話合つて接

近させる。歩合ふ。折合をつける。妥協する。彼

條事情是我爲伊。一。好勢的。一。あの事は僕が

折合をつけて纏めてやったのだ。大家來。一。咧

咧。御互に歩合はうではないか。●融通をつけ

る。工面をする。共某人。一。寡錢來給。我

一。某から少し金を融通して貰つて来て下さい。

ツイチア ク 水澱。押脚筒。水鐵砲。一。澱水。同上

で水を掛ける。

ツイチア ア 水汁。用水。水。彼庄。一。眞量剩。一。あ

ツイ

ツイ

ツイチエヌロク 翠剪羅。【剪春羅】。

ツイチエン 水腫。(國)水腫。

ツイチエン 水清。水清し。一魚現。水清ければ魚

現る、事の真相が明かになれば後で黒白がわか

る意。一魚就定。水清ければ魚が静にしてゐ

ツイチエン 水松。(植)松科)水松。

ツイチエンヲエ 嘴前話。うっかりと口から出る話。

うかと口ばしる話。口を滑らした言葉。無張持

一講出来。ぼんやりしてゐてうかと口ばし

ってしまった。

ツイチエンキイ 水蒸氣。(國)水蒸氣。

ツイチエンシヌ 醉精神。醉から醒める。醉醒。

ツイチオク 催促。(國)催促。

ツイチヲ 水蕉。(植)臺灣濱萬年青。濱芭蕉。濱木綿。

(石蒜科)觀賞を主とし、又毒蟲の害を受けたる時

根を搗碎して局部に貼用解毒す。

ツイチヲ 水醜。水災除或は水死者の靈を祭る爲の祭

式、川施餓鬼の類。

ツイチヲ 水鶴。水牛が去勢の後一度遊牝がつくこと。

ツイチヲ 水尺。水尺。水尺。水準。水杖。

ツイチヲ 嘴哨。口答する。口返答をする。口で逆ふ。

ツイチヲ ハク 水石癖。藥の名。

ツイチツ 水質。(國)水質。

ツイチヌ 水舟。小さな片手桶。一仔。

同上。

ツイチヌ 水稱。水準器。水平盤。水盛。

ツイチヌ 嘴清。逆く。嘔氣を催す。

病子的人有個能。一要吐。一惡阻

のある者は人によつては逆いて吐き

さうになる。聞苦しい。伊的話

聽丁能。一彼の話は聞苦しい。

ツイチヌヒイヒエヌ 水清魚現。水清ければ魚現

る、事の真相が明かになれば黒白がわかる意。

ツイチア 醉定。醉が治まる。

ツイチア 催皇。訴訟事件の處理を督促する願書。

ツイチアムチイ 水恬淀。水が漲つて水面が動かぬ

様。潮が満ち切つて淀む。

ツイチイ 水池。溜池。池。

ツイチイ 水淀。漲る。潮が満ちる。上潮。差潮。滿

潮。滿潮。一一起來。水量が増す。

ツイチイ 水音。(植)みづごけ。水音。(蘚類にして園

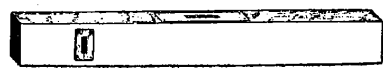
藝用に適す)。

ツイチイチイ、クツ、嘴甜舌滑。甘言蜜語。

ツイチイブウリヌ 水猪母乳。(植)千屈菜科)まる

ばきかしぐ。

ツイチウ 水漲。潮が満ちる。滿潮。滿潮。



水 稱

ツイチウ 水脹。水脹。腹肚。一腹が水脹になる。

消人的。一入の水脹を治す、人の惡感情を

ツイチウ 水抽。唧筒。龍吐水。

ツイチエン 水燈。孟蘭盆の燈籠流に用ひる燈籠。

ツイチエン 水程。水程。浪路。二日的。一海路二

日路。當者。

ツイチエンシウ 水燈首。孟蘭盆の時提燈行列の擔

ツイチエンシムサウ 水燈心草。【馬薯】。

ツイチエンタウ 水燈頭。【水燈】の一番先にある

燈。燈籠流に用ひる燈籠。

ツイチエンヒウ 水丁香。(植)きだちきんばい。(柳葉

菜科、根を煎服して毒蛇咬傷を治す)。

ツイチエンホン 水丁香。【鴨舌黃】の。

ツイチオン 水漲。水が漲る。うづる。

ツイチヌ水藤。(植)棕櫚科)みづとうづる。しまと

ツイツイ 錐錐。山盛になる。淀到。一杯になつ

て溢れさうになる。一粒。一腫物など腫れあ

がる。一滿滿。一杯滿ちる。滿溢れる。

ツイツイ 水水。酒。醬油など)水っぽい。水が多い。

ツイツイ 判判。【判】。

ツイツイ 鑽鑽。【鑽】。

ツイツイ 催催。【催】。

ツイ

ツイ

ツイツイ 推推。【推】。

ツイツイ 締締。【締】。

ツイツイ 碎碎。小さい粒。ぶつぶつ。痲仔生到——
 汗痲がぶつぶつ出来た。

ツイツイ 碎碎。微塵に。粉粉に。木端微塵に。——
 去碎ける。切——微細く切る。

ツイツイ 穿穿。【穿】。

ツイツイ 嗜嗜。【嗜】。

ツイツイ 串串。【串】。出る。

ツイツウ 水痘。(病) 水泡瘡。出——同上が

ツイツウ 水珠。●水玉。●稍下等の眞珠。

ツイツウ 水注。响筒。水鐵砲。

ツイツウ 水蛆。(動) 子子蟲。子子。

ツイツウ 水鼠。濡鼠。沃到一身軀那——呢身
 體中濡鼠の様に濡た。

ツイツツ 水卒。龍神の部下にあたる魚類などをいふ。
 水卒。魚蝦——魚や蝦などの如き水卒。

ツイツツ 水卒。【水濺】。

ツイツツ 水圳。田に水を引く爲に設けた溝。灌溉用
 の用水路。埤圳。

ツイツツ 推尊。推尊ふ。推す。——做會長——會長
 に推す。——伊做頭——推立てて頭とする。

ツイツツ 催陣。陣痛を催す。要性的時能——産

ツイ

ツイツツ 水船。船中にて水を貯へる所。水槽。

ツイツツ カア 水指甲。(種) (鳳仙花科) 鳳仙花。

ツイツイ 水碓。水車の仕掛ある米舂臼。——無繼米
 水車搗に黒い米なし、精密なる者のなしたるこ
 とに過がない意。

ツイツウ ツイ 嘴抵嘴。口と口。接吻。

ツイツウ ツウ 嘴注。口を鑿める。佛頂面をする。

ツイツウ 水遁。隱身術の一にて水を使って身を遁れ
 ること。水遁。

ツイツヌ 嘴鈍。訥辯。口不調法。

ツイツヌ 嘴脣。脣。——燥去脣が乾く。——燥燥
 同上。——縮縮脣が反返つてゐる。——趣趣
 同上。——曲曲同上。——唼唼脣を内へ
 向け口を嚙む。——唼唼同上。

ツイツヌ ペエ 嘴脣皮。脣の皮。盤——長く口
 論する。口舌を弄する。——相欸待——互に口
 先ばかりで交際をする。落人——人の脣の
 皮にかかる、人の口の端に掛る。人から彼此批難
 「される。

ツイツヌ ボエ 嘴脣皮。(薄) 前に同じ。

ツイツン 水返。潮が差す。差潮。上潮。

ツイツン コエ 水返雞。潮の満ちる時鶏の鳴くこと。

ツイテエ 水底。(薄) 【水底】。 「鶏の宵鳴。

ツイ

ツイテエ 水汐。水が引く。入潮。引汐。

ツイテエ 水退。前に同じ。

ツイトア 水瀨。(動) 河瀨。川瀨。

ツイトア 水瀨。推瀨。

ツイトア ツイ 嘴傳嘴。口傳。言傳へる。對古早
 到今——昔から今に至るまで言傳へられて
 る。

ツイトエ 水底。水底。水底。泳落——水底

ツイトオ 水土。風土。風土氣候。不服——風土に
 馴れない。食不着——風土氣候が身體に合は
 ない。食着——氣候風土に慣れる。

ツイトオ ニイ 水土蓮。【水刀蓮】。

ツイトヲ 水刀。豚を解體するとき用ひる庖丁。

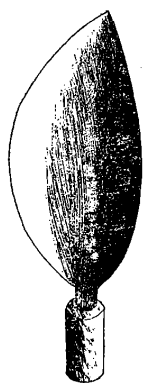
ツイトヲ 水鉞。海の深さを測るに用ひる網の一端に
 鉞をつけたもの。打——同上で深さをはかる。

ツイトヲ 水道。(圖) 水道。

ツイトヲ 催討。催促。督促。

ツイトヲ ソア 水鉞索。先に鉞をつけ海の淺深を測る

ツイトヲ タウ 水道頭。●水道の源。水源地。●水道
 栓。——着鑷得——水道の栓を振ぢなさい。



水刀

ツイ

利尿劑となり又毒蛇咬傷を治す。

ツイビツ 水筆。水筆。【軟筆】。

ツイビツアア 水筆仔。(種)(紅樹科)りうきうかうがひ。めひるぎ。

ツイビヌ 水屏。洗面器を載せる四脚の臺。臺上三方を圍ひある故に斯くいふ。

ツイビヌ 酔偏偏。泥酔。酩酊。

ツイフウ 水夫。水手。舟子。水夫。船頭。

ツイフウ 水府。【海龍王】の居る所。龍宮。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。

ツイフウ 水符。火難除の爲門に貼る護符。



吹煙水

ツイフヌツイテ 嘴煙嘴茶。煙草を吸へ茶を飲めと空御世辭をいふ。口先の挨拶。

ツイフヌ 碎粉粉。木端微塵。粉微塵。

ツイ

ツイフヌリエヌ 水煙撿。【水煙吹】で煙草を吸ふ時に用ひる點火用の大きな紙煙。

ツイブウ 水母。(動)水母。【石鏡、蛙】。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイブウ 水務。(動)水利の事務。埤圳の事務。

ツイ

後口が甚だ甘い。●話の終。學人的。●人の話の眞似をする。拾人的。●提起來講。●人の話の請賣をする。

ツイベエ 水白。水色。淡肉色。●色。●同上。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

ツイベエ 水披。(海)【披水披】。

満始める。

ツイ ホエ 水花。飛沫。水煙。噴着。飛沫がかか

ツイ ホエ 水花。【水花】。

ツイ ホエ 嘴花。口先。お世辭。お愛想。口前。利口前がうまい。好。お世辭がうまい。

ツイ ホオ 嘴呼。口約。口約東。二萬五千。口先ばかりで實行しない意。

ツイ ホヲ 嘴燻。口が焼付く様だ。口が乾く。食番薑。唐辛子を食べると口が焼付く様だ。

ツイ ホン 水瘡。水氣が傷口などに入った爲に起る。炎症。發。同上が起る。

ツイ ホオ 水火。【水火】。

ツイ ボア ボア 碎末末。粉粉に碎ける。木端微塵に

ツイ ボエ 水尾。【水尾】。

ツイ ボエ 嘴尾。【嘴尾】。

ツイ ボヲ 水磨。臼を碾かせる水車。使。同上を

ツイ ボン ボン 醉瞭瞭。【醉瞭瞭】。

ツイ ボン ボン 醉瞭瞭。【醉瞭瞭】。

ツイ ボア 水尾。【水尾】。

ツイ ボア 嘴尾。【嘴尾】。

ツイ ボエ 嘴筒。鷺。鷺鳥などの嘴。鴨。鷺の

嘴。死鴨硬。死んだ鷺で嘴が硬い、強

情に言張るなど。

ツイ ボエ 嘴頰。頰。頰。ほつべた。黧胭脂頰

に紅をさす。搦。頰を打く。

ツイ ポエ クツ 嘴頰骨。【頰骨】。

ツイ ポエ ポエ 嘴飛飛。【嘴飛飛】。

ツイ ポオ 水普。川施餓鬼。

ツイ ポオ 嘴燥。起床又は熱病の時など口が悪い。口

ツイ ポオ ア 水埔仔。渚。汀。【熱がある】。

ツイ ポヲ 水波。水の泡。

ツイ ポヲ フヌ 水波浪。浪模樣。浪形。墨流。衫仔

裾縁。着物の裾を浪形に縁をとる。

ツイ マア マア 醉嗎嗎。非常に酒に酔ふ。【占ふ】。

ツイ ミア 推命。干支などを續て運命を見る。運命を

ツイ ミア クイ 催命鬼。死神。在纏。死神に

取つかれる。

ツイ ムシ シイ 嘴不死。黙らない。口を嚙まない。尙

且。まだ不滅口を叩く。

ツイ ムイ 水門。【水門】。

ツイ ムン 水門。樋口。水門。放。水門を開ける。

ツイ メエ 水脈。水脈。

ツイ モア 水満。潮が満ちる。上潮。差潮。

ツイ モオ 揣摩。【揣摩】。

ツイ モオ キウ ツウ 吹毛求疵。毛を吹いて疵を

求める、少しの缺點でも穿鑿して求める意。

ツイ ラア ギア 水盪罎。水蜘蛛。川から水を

上げる水車。

ツイ ラア チウ 水蠟樹。【木犀科】いぼたのき。

ツイ ライ 水梨。【蔷薇科】梨。水梨。有實。

ツイ ライ 水利。船頭が貨物を仕入れる時に貸す金の

利子(船沈没すれば返済せざるを以て【山利】に比

して高利なり)。

ツイ ライ 嘴内。口中。嘴。迷言をいふ。口中

でぶつぶつ小言をいふ。一算。胸算。

ツイ ライ 嘴利。口が鋭い。辯舌が鋭い。

ツイ ラウ 水漏。漏斗。水漉。【屑。水屑】。

ツイ ラウ コア 水流掛。大水の時など水面に漂ふ藻

ツイ ラウ サア 水流柴。浮木。流木。一。碇倚嵌

来。流木が岸に流寄せて来る。

ツイ ラウ サウ 水老草。【水蓼】。

ツイ ラウ シイ 水流屍。川流。土左衛門。溺死人。

ツイ ラウ ボア 水流破布。水に流れる襦袢。那

一。一方に引掛かる。諸處を彷徨ふ。道草

ツイ ラッ 水力。水力。【を食ふ】。

ツイ ラム 翠嵐。【翠嵐】。

ツイ ラン 誰人。誰。誰。

ツイ リアウ 推料。次に同じ。

ツイ リアウ 揣料。【揣料】。推量。推察。推測。

ツイ

ツイ

ツイ

ツウ

る細い吹出物。薬一薬にかぶれて出る吹出物。
麥一子供に出来る吹出物の一種。【蛆、蛆】。

ツウ起。●(山路など)勾配ある。傾斜せる。崎仔一

坂が険しい。無一没御水一勾配がないと水が
疎通ない。●(急速力に)滑る。滑る。對山頂一
落来一山の上から滑り降る。脚踏了一去一足
を踏外して迂りこけた。

ツウ敷。擴げて敷く。一的枋一敷板。一蓆仔一塵を

敷く。一被一蒲團を敷く。【敷、敷】。

ツウ穿。(漚)【穿】。

ツウ警。(進)警。【警】。

ツウ處。●(進)處。●調停する。仲裁する。一和一和
解させる。甚麼人爲你一誰が君に仲裁して

やったか。一折一返濟すべき金など一部を棒引に
する。一八折一八割にする。【處、處】。

ツウ鼠。(動)鼠。田一田鼠。錢一鼠鼠。竹一土

撥鼠。猫一同眠一猫と鼠と一緒に眠る、和して
も實際相容る能はざる意。【鼠、鼠】。

ツウ取。採取する。取る。一竹仔一竹を採る。砂中

一金一砂の中から金を取る。一寶一寶を取る。一
俗一安きを取る。一有幾個親像伊彼欸一彼
の様な者が幾人あるものか。眞可一誠に取得
がある。上一取るに足る。取得がある。【取】。

ツウ

ツウ此。一時一今時。豈有一理一豈此の理あらんや。
一去一今より後。【此】。

ツウ飲。(進)飲。【飲】。

ツウ次。●(進)次。●次。●回。●度。一男一次男。此一

今度。今回。一一度。●少し劣った。二の
町。有較一的無一少し劣ったのがあるか。一略
的一次の品。伊的人眞一彼は眞に小人だ。
【次】。

ツウ厝。家。家屋。建物。起一家を建てる。

一間一軒の家。有路無一一路あつて家なし、
流浪する。頂一教子、下一人子乖一上の家で子
供を懲らすと下の家の子供は素直になる。

ツウ挿。(軟かい土の中などへ)ちよつと頭を突込む。ち

よつと挿込む。自動車一在田裡一自動車の頭を
田に突込んだ。雉雞一在草部裡一雉が草叢の
中へ頭を挿込んで匿れた。

ツウ炸。(小量の火薬などばちばちと爆發する音)ば

ちばち。番仔火一一下一マッチがばちばちと
いった。●(火の付きたるものを他の物に)當てる。
寄せつける。觸れる。香共我一一下做伊走
一線香を僕にちよいと押付けて逃していった。煙一
傳伊消一煙草の火を他の物に當てて消す。煙傳
我一一下喇一煙草の火をちよつと貸して下さい。

ツウ

●(軟)ちよいと頭を突込む。ちよいと爲る。人在
博賭我與伊一一下而已一人が賭博をして居
たから僕はちよいとやっただけです。一一下就
走一ちよつとやつて行ってしまった。

ツウ眈。●うとうとする。うつらうつらする。一仔

眈一うつらうつら眠る。●(或る事物に精神を集
注して)ぼつとする。ぼんやりする。氣を取られ
る。魂を取られる。看到一去一見蕩れる。【眈】。

ツウ泚。勢よく水が噴出する。用水龍一水一ポンプ、
で水を掛ける。一中營一泚中營】。

ツウ炷。(風火花などが走る様、若しくは小量の火薬に

火を點じた時の音)しゅう。しゅうと。老鼠仔炷
一來一去一風火花がしゅうしゅうと走る。一硝一

不發の爆竹に更に火を點じて爆發せしめる。

ツウ嗾。●嗾ける。一狗咬一犬を嗾ける。●耳話する。

耳擦をする。こそこそ話をする。ひそひそ話を
する。恣二個在一甚事情一彼等二人は何をこ
そこそ話して居るか。不時在一來一去一常にひ
そひそ話をして居る。

ツウ滑。じりじりと滑れる。じわじわと退る。緩緩仔

傳伊一落去一落去一じりじりと滑らし下げる。甄仔
一落來一瓦が滑れ下がる。
ツウアア珠仔。南京玉。

ツウ アア 註仔。註。註解。註釋。

ツウ アア 厝仔。小さい家。小家。小屋。

ツウ アア 珠仔草。●とさんさう。(菊科、莖葉を煎服し、胃腸・打撲傷又は毒蛇咬傷の薬となす)。

●【龍吐珠】の○。●紅骨擗置珠仔草。

ツウ アア タウ 珠仔豆。【九月珠】。

ツウ アア チアム 珠仔針。珠の附いた針。

ツウ アイ 慈愛。(文) 慈愛。

ツウ アイ 自愛。(文) 自愛。

ツウ アウ 主後。(基督教の語) 耶穌以後。西曆。一千九百年。西曆千九百年。

ツウ アヌ ニイ 自如此。其儘。それなり。——寄去。其儘送る。——不返来。それなり歸つて来ない。

ツウ アム ベエ 煮暗未。(婦人同士夕刻の挨拶の語。御飯は炊きましたか。

ツウ アン 朱紅。朱色。猩猩緋。緋色。

ツウ イアウ 主要。(國) 主要。

ツウ イアウ 樞要。(國) 樞要。

ツウ イアム 煮鹽。鹽を焼く。製鹽。

ツウ イイ 緇衣。(文) 僧侶の着る墨染の衣。緇衣。

ツウ イイ 書院。書院。學舎。

ツウ イイ 主意。●思慮。考。意見。思召。看依。——

怎樣一體君の思召はどうですか。●自分一個

の考で處置する。自分の考通に處理する。任意に決定する。此號事情是甚麼人在——この事は誰に決定權があるのか。我自己不敢——私自身では定めきれない。家内の事權是阮老父在——一家の事は皆私の父が處理してゐる。

ツウ イイ 注意。●心掛ける。心する。意を注ぐ。——在聽。心を凝して聞いている。●(國) 注意。

ツウ イイ ウイ シイ 自以爲是。自ら以て是と爲す。自分のする事は何でも善とする。你自己——汝は自分のする事は何でも善いとす。

ツウ イイ コン 朱衣公。文章の試験の神。文學の神。(書房に於て祀らる)。

ツウ イイ シヌ クヌ 朱衣神君。【朱衣公】。

ツウ イイ スウ 趣意書。(國) 趣意書。

ツウ イウ 書友。同學の友。學友。

ツウ イウ 自有。(文) 吉人——天相。善人は自ら天の助あり。惡人——惡人。惡人は自然と惡人の爲に苦められる。

ツウ イウ 自由。(國) 自由。——自在。自由自在。——戀愛。自由戀愛。——平等。自由平等。——結婚。自由結婚。——黨。自由黨。

ツウ イウ コアヌ 自由權。(國) 自由權。

ツウ イウ チエン テ エ 煮油淨宅。道士が災厄を拂ふ祈禱式。其法は油を釜に沸し咒文を唱へ口に啣みたる酒を吹入れ或は米を鹽と混ぜたるものを投げ入れ沸騰せしめ要所に符などを貼る。(多く火災後「に行はる)。

ツウ イエク 鼠疫。(病) ペスト。

ツウ イオン 滋養。(國) 滋養。——品。滋養品。

ツウ イオン 朱陽。(姓) 朱陽。

ツウ イオン 姿容。(文) 姿容。

ツウ イオン 子陽。(姓) 子陽。

ツウ イヌ 取引。(國) 取引。——所。取引所。

ツウ イム 滋陰。●神經衰弱などを治す爲に滋養物を食つて精力をつける。食飽——髓を食つて同上する。——補腎。神經衰弱を治し、記憶減退などを恢復する爲に滋養物を食つて精力をつける。●竊かに悦に入る。愉快に思ふ。肚内在——心中で竊かに悦ぶ。伊在——彼は悦に入つてゐる。

ツウ イム 子音。(國) 子音。子音。【壯劑】。

ツウ イム ボオ 滋陰補。病後の衰弱などを治する強

ツウ ウイ 諸位。(意) 諸君。各位。各方。

ツウ ウイ 主位。(國) 主位。

ツウ ウウ 諸積。(意) ながいも。(薯蕷科、食用に供す)。

ツウ

ツウ

ツウ

ツウ

ツウ ウヌ 主恩。(文) 主恩。

ツウ ウヌ 鼠廬。(新) 鼠廬。ベスト。

ツウ ウヌ 次韻。(文) 次韻。

ツウ エエ 自縊。(文) 自縊。縊死。

ツウ ヲエ 自衛。(國) 自衛。

ツウ ヲヲ 珠孃。(動) 眞珠貝。

ツウ カア 子家。(姓) 子家。

ツウ カア 駐駕。(文) 駐駕。

ツウ カア 敷脚。金錢などで援助する。提一寡給伊。――少し金を出して援助する。

ツウ カア 註脚。註釋。註解。

ツウ カア 嗾咬。犬を使嗾けるて咬ませる、うしうし。共喝――人に犬を使嗾ける。

ツウ カイ 註解。註釋。註解。――る。誇る。

ツウ カイ コヲ 自開誇。偉なことをいふ。自慢す

ツウ カウ 嗾狗。犬を使嗾ける。――相咬――同上して咬みさせる。

ツウ カク 自覺。(國) 自覺。

ツウ カク 厝角。●家の角。●家の附近。近隣。

ツウ カク 鼠麴。(種) 母子草。御形。御形。(菊科、嫩莖・葉を摘みて草餅の原料とし又全草を祛痰劑として煎服す)。

ツウ カク クウ 鼠麴鼻。(種) ちちくぐさもどき。(菊

ツウ

科、莖・葉を水・酒各等量と豚の赤肉と共に煎服し小兒の食積を治す)。

ツウ カク ケエ 鼠麴糰。草餅。母子草の餅。艾餅。

ツウ カク サウ 鼠麴草。(鼠麴)。

ツウ カツ 諸葛。(姓) 諸葛。――孔明――諸葛孔明。――亮――諸葛亮。――燈――紙の風船。

ツウ カツ サイ 諸葛菜。(蔬菜) 蕪。

ツウ カヌ 主幹。(國) 主幹。

ツウ カン 鑄工。鑄物師。

ツウ ガヌ 朱顔。(文) 朱顔。

ツウ ガヌ チエヌ チイスウ 取眼前之事。――何必談天説地――眼前の事を取るべし、何ぞ必しも天を談じ地を説かん。

ツウ キアム 自謙。(文) 謙遜。

ツウ キイ 自己。自己。自己。――一人――一人。――保つ能はず焉んぞ能く他人を保たん。――打掃門前雪、休管他人屋上霜――自分の門前の雪を拂へばよい、他人の屋上の霜を心配するには及

ツウ キイ 自欺。(文) 自ら欺く。

ツウ キイ 自棄。(文) 自棄。

ツウ キイ 樞機。(文) 樞機。

ツウ キイ 此去。此の後。今後。今より後。

ツウ

ツウ キエク 此刻。(文) 今。刻下。――を避く。

ツウ キエツ ビイ ヒオン 趨吉避凶。(文) 吉に趨り凶

ツウ キエヌ 主見。定見。意見。無――意見が無い。定見がない。

ツウ ケン 自耕。(文) 自ら耕す。自作。――が狭い。

ツウ ケエン 厝間。家。空――空家。――較狭――家

ツウ キオン 子宮。(國) 子宮。

ツウ キブ 自給。(國) 自給。

ツウ キブ 取扱。(國) 取扱。――所――取扱所。

ツウ キム 自今。自今。此後。以後。――以後――向後。今より後。自今。以後。

ツウ キム 自禁。(文) 自ら禁ず。不禁而――人から禁せられないで自分から禁ずる。

ツウ キム 自矜。(文) 自慢。自負。

ツウ ギイ 主義。(國) 主義。

ツウ ギイ 取義。意義を取る。意味を取る。

ツウ ギエク 珠玉。珠玉。玉。

ツウ ギエヌ 子言。(姓) 子言。

ツウ ギエヌ ツウ グウ 自言自語。(文) 獨言。獨語。

ツウ ギム ホエ 朱錦花。【大紅花】。

ツウ クイ 書櫃。本箱。書物箱。

ツウ クイ 子規。(文) 子規。時鳥。

ツウ クイ 自愧。(文) 自愧。有――自ら愧ぢる。

ツウクウ 書句。書句。

ツウクウ 沮渠。(逆) 沮渠。

ツウクウ 住居。(國) 住居。

ツウクヌ 諸君。(國) 諸君。各方。列位。臨席。

ツウクヌ 書巾。本を包む風呂敷。

ツウクヌ 主君。(國) 主君。

ツウクヌ ホン 風筋黃。【風尾黃】の○。

ツウクン 朱卷。舉人進士以上の及第者の文章を人に分つ爲に印刷したもの。

ツウグヌ 鑄銀。銀を鑄る。

ツウケエ 書架。書架。書棚。

ツウケエ 資格。(國) 資格。

ツウケエ 主客。常に取引する人。御得意。顧客。常客。好。御客様。

ツウケエ 厝價。家の價。「をかける」。

ツウケエ 厝架。家を建てる時の足場。搭。同上。

ツウゲエ 子月。子の月。十一月。

ツウコア 珠指。眞珠の首飾。女の裝飾品。「上」。

ツウコア 自誇。自慢。誇る。高ぶる。自己。同上。

ツウコア 厝蓋。屋根。蓋。薬屋根などを葺く。

ツウコア 次官。(國) 次官。

ツウコアツ 主決。裁決する。主として取定める。基。人在。誰が裁決してゐるか。

ツウコアツ 自決。(文) 自決。

ツウコアツ 處決。(國) 處決。

ツウコアヌ 珠冠。珠の冠。

ツウコアヌ 主觀。(國) 主觀。

ツウコアヌ 主權。(國) 主權。

ツウコアヌ 珠環。珠の腕環。

ツウコエ 朱瓜。(種) 葫蘆科【金瓜】。

ツウコエ 鮫鱈。(魚) 鮫。

ツウコエ 風瓜。(菜) 菜瓜。

ツウコエ 厝契。家屋賣渡證書。

ツウコオ 主顧。顧客。御客。存。客よりいふ。鼻負にする。(商人よりいふ) 常得意として取扱ふ。脚。一定してゐるお客。欠錢走。掛がたまると御客がにげる。

ツウコオ 慈姑。(種) 慈姑。

ツウコオ 自古。(文) 昔から。古より。及今。昔から今まで。以来。古來。經句。昔からの言來り。

ツウコオ 書庫。(國) 書庫。

ツウコオ 自苦。自ら苦む。自己。同上。何用。何ぞ自ら苦まん。

ツウコオケエ 主顧客。顧客。得意先。常得意。常

ツウコオ 朱膏。(染料) 紅粉。

ツウコヲ 主稿。文書の主任。主筆。起草を司る人。

ツウコヲ 自高。自慢。高慢。高ぶる。自己。同上。

ツウコヲ 主考。舉人の試験官。「上」。

ツウコヲ 自棄。自らを恃む。自己。免棄別人。自分の力を恃んで他人の力を恃むに及ばない。

ツウコツ 諸國。(國) 諸國。

ツウコツ 自國。(國) 自國。

ツウコン 主公。主君。主公。主人。大。金錢などを支給する後援者。後楯。

ツウコン 子貢。(人名) 子貢。

ツウゴアツ ホオ 背月猴。【二十八宿星】の一。

ツウゴオ 子午。十二支の二。時。子の刻と午の刻。日。子の日と午の日。月。子の月と午の月。年。子の年と午の年。沖。子と午は相剋する。對沖。性。伊與我。沖。彼と僕とは性が合はない。無。不規則。無照。有。規則正しい。

ツウゴオ 自誤。自ら誤る。自己。同上。

ツウゴオ 子午儀。子午儀。トランシット。

ツウゴオ 子午線。子午線。

ツウゴオ 子午針。磁石の針。

ツウゴオ 子午卯酉。子午卯酉。旋歸中。子午卯酉の刻に生れたものは旋毛が眞

ツウ

ツウ

ツウ

ツウ

中にある。

ツウ/ゴオホエ子午花。【午時花】の①。

ツウ/サツ自殺。(國) 自殺。

ツウ/サヌ資産。(國) 資産。

ツウ/サヌ聚散。(文) 聚散。

ツウ/サヌカア資産家。(國) 資産家。

ツウ/サア自早。昔から。一都有昔から有る。

ツウ/サイ資財。資財。

ツウ/サイ主宰。掌る。主管する。主裁する。

ツウ/サイ聚財。占者などの語。蓄財が出来る。

ツウ/サイ自在。●自若。沈着。安然。一自若として動しない。●据がよい。動かない。桌下了

不止。一卓子が甚だしかりと据つてゐる。

ツウ/サイ主裁。裁決する。裁断する。

ツウ/サイ自裁。(文) 獨斷。專斷。

ツウ/サイ煮茶。茶を煮る。

ツウ/サイソオ駐在所。(國) 駐在所。

ツウ/サツ駐禁。(文) 駐在。駐劄。

ツウ/サツ朱漆。朱塗。朱漆で塗る。

ツウ/サツア鼠賊仔。小鼠泥棒。鼠賊。小盗人。

ツウ/サヌ資助。助ける。補助する。

ツウ/サム處斬。斬罪。

ツウ/サン珠葱。(蔬菜(百合科)分葱)。

ツウ

ツウ/シア注射。(國) 注射。

ツウ/シア取捨。(國) 取捨。

ツウ/シアチイ取城池。城を取る。

ツウ/シアウ註消。帳簿などの記載を消す。

ツウ/シアウ取消。(國) 取消す。【させる。

ツウ/シアウ炸硝。不發の爆竹に更に火を點じて爆發

ツウ/シアウイオン自消容。(種(葦科)たぬきまめ屬。

ツウ/シアウトヲサイハク自小多才學。一平

平生の志氣が高くなる。

ツウ/シイ子時。夜の十二時。子の刻。子の時。一

正(夜の)丁度十二時。眞夜中。丑三時。

ツウ/シイ註死。天命で死ぬことが定つてゐる。死ぬ

定業。一打不見藥單。もう助からないと見

えて處方箋がなくなった。大事の場合に肝要なも

のがなくなるなど。南斗註生。北斗。一南斗

星は生を司り、北斗星は死を司る。

ツウ/シイ註生。天命で生れることが定つてゐる。生

る定業。一註死。天命で生死が定つてゐる。

未。一先註死。生れぬ前に死は極つてゐる。

ツウ/シイ自是。自らはとす。自己。一同上。

ツウ/シイ此時。今。當節。當今。此節。

ツウ/シイ次序。(漢)【次序】。

ツウ

ツウ/シイチイチオン自始至終。始終。始より終ま

で。

ツウ/シイニウ註生娘。安産の女神。産の守神。兒

を授ける女神。

ツウ/シイニウニウ註生娘娘。前に同じ。

ツウ/シイニウマア註生娘媽。前に同じ。

ツウ/シウ書籍。本籍。

ツウ/シウ自修。(國) 自修。

ツウ/シウ自守。(文) 自ら守る。

ツウ/シウ自首。(文) 自首。

ツウ/シウシウ自修室。(國) 自修室。

ツウ/シウシウ朱壽昌。【二十四孝】の一。

ツウ/シエク姿色。(文) 姿色。

ツウ/シエク朱色。朱色。朱。赤。

ツウ/シエク子息。占者などの語。子息。

ツウ/シエク主席。(國) 主席。

ツウ/シエク煮熱。煮える。よく煮える。煮熱する。

ツウ/シエク註釋。(國) 註釋。

ツウ/シエヌ慈善。(國) 慈善。一一家。慈善家。一

會。慈善會。

ツウ/シエン諸生。(文) 諸生。諸生徒。

ツウ/シエン資性。(文) 資性。

ツウ/シエン自省。(文) 自省。

ツウ シホク 取贖。(又)贖ふ。受戻す。

ツウ シホク 取俗。價の安いのを取る。

ツウ シオン 主上。(又)主上。

ツウ シオン 註詳。(又)詳解。 「矛盾する。

ツウ シオン マウツマ 自相矛盾。自家撞着。自ら

ツウ シヌ 書信。(又)書信。

ツウ シヌ 諸神。(又)神神。諸神。

ツウ シヌ 梓慎。(姓)梓慎。

ツウ シヌ 注神。注意する。心掛ける。心する。氣を

付ける。心を凝す。心を凝く。一聴一聞入

る。一一看一注目。目を着ける。一做一身が

入る。身を入れてする。

ツウ シヌ 自身。(又)自身。自分。自ら。一不能

保、焉能保他人。自身の始末さへ出来ないの

に何して他人の始末が出来よう。

ツウ シヌ 自信。(又)自信。

ツウ シヌ 厝身。母屋。建物の中心の部分。大一一

大きな母屋。

ツウ シア 自習。(又)自習。

ツウ シム 注心。念を入れる。心掛ける。心を凝く。

ツウ シム 慈心。情心。慈心。慈悲心。

ツウ シム チア 主心定。決心。腹を定める。做事情

着。一一事をするには腹を定めなければなら

ぬ。 「起す。

ツウ シム ツウ コア 注心注肝。心を注ぎ氣をつけ

る。注意深い。

ツウ ジア 痘跡。痘痕。痘痕。

ツウ ジア キイホヲ 自惹其禍。(又)自ら其禍を惹

ツウ ジイ キム 此而今。(又)今。現今。現在。

ツウ ジイ ビエン 子字旁。漢字の菓子偏。

ツウ ジエヌ 自然。天然。自然。自然に。自然に。

自と。一能一自然と出来る。一一的定理

定理。一發一自發。自然に生える。一而然

一自然にさるなる。自然と存在する。久慣成

一習慣久しくして自然をなす。有麝一香

麝香有れば自然に香ふ。學問有り又は道德の高き

者は自然に人に知れる。一無論。勿論。彼一嘮

一それは勿論のことだ。

ツウ ジエヌ カイ 自然界。(又)自然界。

ツウ ジエヌ チヲ 自然石。自然石。

ツウ ジエヌ トヲ タイ 自然淘汰。(又)自然淘汰。

ツウ ジエヌ ブツ 自然物。(又)自然物。

ツウ ジホク 譬辱。(又)譬辱。

ツウ ジツ 主日。(基督教の語)日曜。日曜日。

ツウ ジヌ 主人。(又)主人。

ツウ ジヌ 自認。自己の非行などを認める。自認する。

自己一一同上。

ツウ ジヌ オン 主人翁。(又)主人。主人公。

ツウ ジヌ カア 主人家。(又)亭主。主人。

ツウ ジム 主任。(又)主任。

ツウ スイ 齊衰。衣の下際を縫合せたるものにして第

二の喪服。五服の一にて二年の喪。

ツウ スウ 諸事。(又)諸事。

ツウ スウ 滋事。(又)紛議を起す。悶着を起す。一

生端一同上。

ツウ スウ 子思。(人名)子思。

ツウ スウ 主事。(又)主事。

ツウ スウ 自序。(又)自序。

ツウ スウ 處士。(又)處士。隱士。居士。

ツウ スウ 處事。事件を調停する。

ツウ スウ 處暑。(又)二十四氣の一。處暑。

ツウ スウ 次序。一順序。次第。順。照一一來排

順序通に並べる。一不着一順序が違ふ。一

秩序立ってゐる。整頓してゐる。厝内真一一

家の中が甚だ整頓してゐる。做事情真一一仕

事をよく秩序立ててする。一次序。次序。一

ツウ

ツウ

ツウ

ツウ

子孫愚と雖も經書は讀まざるべからず。

ツウ/ スヌタン 子孫桶。嫁入道具として持つて行く

【腰桶】【脚桶】【尿桶】などをいふ。

ツウ/ スヌチエン 子孫燈。葬式の時用ひる赤い提

ツウ/ スヌチエン 子孫釘。赤い布を付けて棺に打つ

ツウ/ ズウ 茶夷。【山茶夷】。

ツウ/ ズウ 朱諭。(官廳の命令又は告示に官吏自ら朱書

を入れて憑據としたもの)。同上の朱書の入った公文。出— 同上を出す。

ツウ/ ズウ 自如。(文) ① 自若。泰然。② 自在。自由。

心の儘なる。近來人較— 近來身體が樂になつた。

ツウ/ ズウ キム 此如今。(文) 現今。今。現在。現時。

ツウ/ セエ 硃砂。(藥) 丹砂。

ツウ/ セエ 姿勢。(圖) 姿勢。

ツウ/ セエ 仔細。(圖) 【仔細】。

ツウ/ セエ 處世。(文) 處世。世に處する。— 戒多言言多必失— 處世は多言を戒む、言多ければ必ず失す。— 勿用機謀— 處世に機謀を用ふる勿

ツウ/ セエ 厝稅。屋賃。店賃。借家料。

ツウ/ セエ アン 硃砂紅。赤い。眞赤な。

ツウ/ セエ キイ 硃砂痣。赤い黒子。

ツウ/ モエ 主祭。祭主。主祭者。司祭者。

ツウ

ツウ/ モエ 書冊。書籍。書物。圖書。

ツウ/ モエ 註冊。本に註を入れる。

ツウ/ モエ 娶妻。(文) 妻を娶る。

ツウ/ モエ フウブツ チイ 子債父不知。子の借銭は

ツウ/ ソア 子線。絃樂器の絲の細いもの。小筋の絲。

ツウ/ ソア 珠算。(圖) 珠算。珠算。

ツウ/ ソエ 齊衰。(文) 【齊衰】。

ツウ/ ソエ 仔細。注意する。氣を附ける。用心する。

ツウ/ ソエ 主帥。主帥。主將。大將。衆軍殺人罪

及— 軍兵が人を殺せば其罪大將に及ぶ。

ツウ/ ソエ 自細。幼い時から。小さい時から。— 就巧

— 幼い時から利巧。薑辣— 就是辣— 生姜は

小さい時から辛い、山椒は小粒でも辛い又檳榔は

雙葉より芳しなど。

ツウ/ ソエ ハヌ 自細漢。前に同じ。

ツウ/ ソオ 註疏。(文) 註疏。

ツウ/ ソオ 住所。(圖) 住所。

ツウ/ ソア 漬紙。押紙。吸取紙。

ツウ/ ソア 厝熾。家の貸借賣買などを周旋して利を得

る人を罵る詞。

ツウ/ ファヌ 自專。自分勝手。手前勝手。我儘。專斷。

ツウ/ マアヌ 自撰。(文) 杜撰。

ツウ/ マアヌ 風竄。(文) 抱頭— 頭を抱へてこそこ

ツウ

そと逃げる。

ツウ/ マアヌ マア 自轉車(圖) 自轉車。

ツウ/ マアヌ マアム 自藥店。木賃宿。木錢宿。

ツウ/ フェ 此節。當今。此節。

ツウ/ マエ 取齊。集合する。皆集り齊ふ。集まる。勢

揃をする。陣頭着站公園— 行列の團體

は公園で勢揃をせねばならぬ。

ツウ/ マエ 處罪。治罪。處罪。斷罪。

ツウ/ マオ 資助。(文) 錢を出して補助する。

ツウ/ マオ 厝租。借家料。家賃。

ツウ/ マヲ 鑄造。(圖) 鑄造。

ツウ/ マヲ 厝槽。【笑槽】。

ツウ/ マクギ ャツ 自作孽。自ら禍を招く。自作自

得。— 討死— 自ら惡事をして死を招く。—

— 不可活— 自業自得で免れ難い。

ツウ/ マク ツウ シウ 自作自受。自業自得。自縦自縛。

ツウ/ マク ツウ マアヌ 自作自專。我意を振舞ふ。自

分勝手。我儘。

ツウ/ マク ツウ トン 自作自當。自分でして自分で責

に當る。己のした事は己其責に任ず。

ツウ/ マン 趨踰。詔ふ。媚びる。追従。詔談。阿る。

ツウ/ タイ 書憶。學問はしても變通のきかない者。

ツウタイ自大。(又) 自負。自慢。夜郎——傲慢無禮。

ツウタウ煮罩。晝飯を拵へる。晝食の支度をする。

ツウタウ葷斗。【葷豆】。

ツウタウ葷豆。(植) (贈八樹科) こぼんもち。

ツウタウ主頭。頭立つ。伊在做——彼が頭に立っている。

ツウタウ自頭。● 始から。● 麻雀など牌を分配する時に最初に取るもの。

ツウタウカウベエ自頭到尾。始から終まで。

ツウタウキイリイ自頭起理。事の起因。始の原因。—— 做一下講俾伊聽—— 始からの起

ツウタウケエ屑頭家。大屋。家主。

ツウタウモエア屑頭隻仔。(海) (動) 雀。

ツウタウチイベエ自頭至尾。始から終まで。

ツウタウベエ煮罩未。(正午頃婦人同士の挨拶語) 午飯は炊けましたか。

ツウタウロラボン自投羅網。(又) 自ら網にかかる。

ツウタウ屑囉。家の建方。家の設計。打—— 家の設計をする。

ツウ

力—— 人の力を藉る。

ツウチア煮食。食事の支度をする。煮炊。割烹。賄。炊事。—— 的—— 料理人。賄方。

ツウチア自此。此より。此から。—— 起去—— 此から後。此から先。

ツウチア子車。(進) 子車。

ツウチアウア屑鳥仔。(動) 雀。

ツウチアア鼠竊。(又) 鼠賊。こそ泥坊。

ツウチアア娶妾。(又) 妾を入れる。

ツウチイ主旨。主旨。趣意。

ツウチイ鑄錢。錢を鑄る。造幣。

ツウチイ住址。住所。居所。

ツウチイ彗星。(又) 彗月猴。

ツウチイ主持。司る。主裁する。支配する。—— 項—— 勘定方を司る。

ツウチイ住持。(又) 住職。住持。

ツウチイ趣旨。(又) 趣旨。

ツウ

ツウチウ楮樹。【鹿仔樹】。

ツウチウ住手。手を止める。

ツウチウツウトア自唱自彈。自分で歌ひ自分で弾く。自分の成切を自慢する。手前味噌を並べる。

ツウチエツ處折。資金の殘部を打切つて捨てる。殘部を棒引にする。—— 還伊—— 同上にして貰つて返す。

ツウチエヌ主戰。(又) 主戰。

ツウチエヌ主前。(基督教の語) キリスト降誕前。西曆紀元前。—— 百五年—— 紀元前百五十年。

ツウチエン痘種。痘苗。牛痘の種。

ツウチエン鑄鐘。鐘を鑄る。

ツウチエン鑄銃。銃を鑄る。—— 打自己—— 銃を鑄て自分を打つ。自縛自縛の意。

ツウチエン自稱。自稱。自讚。—— 三齊王—— 自ら三齊王と稱す。自分免許の意。

ツウチエン炷銃。火細銃を發射する。財産など無茶苦茶になる。玉無になる。家伙—— 去—— 財産を臺無にする。

ツウチオク子爵。(又) 子爵。

ツウチオク自足。(又) 自ら安する。自ら満足する。

ツウチオン主將。(又) 主將。

ツウ

ツウチオン主唱。(又) 主唱。

ツウチラ主醜。【做醜】の際【天公】に對して感謝祈求

ツウチラ主醜。【做醜】の際【天公】に對して感謝祈求

ツウ

の儀式を司る役員。

ツウチヲ 磁石。(國) 磁石。

ツウチヲ 敷席。席を敷く。

ツウチツ 資質。(文) 資質。

ツウチツ 厝脊。屋根の脊。棟。

ツウチツ エエ滑二下。(滑る形容)つるりと。

ツウチツ タウ厝脊頭。家根の棟の端。

ツウチツ ベエ厝脊尾。前に同じ。

ツウチヌ 自盡。自殺。自害。自盡。用盡。食盡。當盡。即去。一使盡し食盡し質に入盡して其から自

ツウチヌ 慈親。(文) 慈母。慈親。「盡する。

ツウチフ 聚集。集まる。集合。會合。集會。寄合。寄集める。聚集。一歸中集會。一人

ツウチフ 鑄鼎。銅を鑄る。

ツウチフ 註定。前世の約束。運命。天命。命數。一

ツウチフ 的壽數。定命。宿命。

ツウチフ アウ取調。(國) 取調。

ツウチフ アウ厝柱。家の柱。

ツウチフ アム書店。本屋。書店。

ツウチフ アム煮忝。軟かに煮る。

ツウチフ ヌム取點。(國) 點を取る。

ツウチフ イ自治。(國) 自治。

ツウ

ツウチイ 處置。(國) 處置。

ツウチイ 處治。(文) 處斷。處理。判決。罪狀など

ツウチイ 處治。一定める。一煩しきほど人を惱ます。困らせる。懲

ツウチイ 賢一。懲老母。彼の息子は本當に彼の

ツウチイ 母を困らせる。隔壁の雞不時來咱的灶脚

ツウチイ 要一人隣家の雞はいつも家の臺所へ來て困

ツウチイ 炷鐵。熱した鐵を水に入れて鍛へる。

ツウチイ イイ主治醫。(國) 主治醫。

ツウチイ キオウ 鑄鐵局。製鐵所。

ツウチウ 主張。一獨斷。思慮。考案。一人一不値

ツウチウ 二人思量。一人の考案は二人の考に及ばない。

ツウチウ 主張。(國) 主張。

ツウチウ 次長。(國) 次長。

ツウチウ 厝場。家屋の敷地。宅地。一好不如肚

ツウチウ 腸好墳地好不如心地好。宅地の好きは腹の

ツウチウ 好きに如かず。墓地の好きは心の好きに如かず。

ツウチウ エク 自得。(文) 自得。

ツウチウ エヌ 書癩。學問過ぎての狂。學問狂。

ツウチウ エヌ 字典。字引。字典。

ツウチウ エヌ 自展。自分免許。自慢。

ツウチウ エヌ 厝佃。家の借主。借家人。店子。

ツウチウ エン 珠釘。頭の圓い釘。

ツウ

ツウチエン 厝頂。屋根の上。屋上。

ツウチエン エン水エ朱頂花。(種) (百合科)ひめゆり。

ツウチエン ベエ厝頂尾。屋根の上。

ツウチオン 書中。書中。

ツウチオン 主張。(國) 主張。

ツウチオン 自重。(文) 自重。請你玉體着較一

ツウチオン 此中。此の中。一の道理

ツウチオン 此の道理。一の意思。此の中の意味。

ツウチオン 蛆蟲。(動) 子子。

ツウチオン イア泚中營。人を侮辱する時に中指にて

ツウチオン サイ泚中指。【泚中營】

ツウチツ 子姪。子弟。不肖的。一不肖の子弟。

ツウチツ 自得。自得。

ツウチツ イ注水。水を注ぐ。水鐵砲などで水を掛ける。

ツウチツ 夜夜。屢屢。頻に。度度。

ツウチツ 朱朱。紅。一真赤。

ツウチツ 諸子。(文) 諸子。

ツウチツ 朱子。(人名) 朱子。朱文公。

ツウチツ 朱薯。さつまいもの一品種。

ツウチツ 煮煮。【煮】。

ツウチツ 鑄鑄。【鑄】。

ツウ

ツウ ツウ 漬漬。【漬】。

ツウ ツウ 漬漬。【漬】。

ツウ ツウ 自主。獨立。自主。——權。自主權。自己

——自分で一本立になる。

ツウ ツウ 敷敷。【敷】の⑤。

ツウ ツウ 突突。【突】。

ツウ ツウ 住處。【住處】。

ツウ ツウ 厝主。家主。家主。

ツウ ツウ 次子。次子。次男。

ツウ ツウ 起起。斜。坂など緩な。山——山がだら

だら坂になつてゐる。

ツウ ツウ 敷敷。【敷】。

ツウ ツウ 穿穿。【穿】。

ツウ ツウ 取取。【取】。

ツウ ツウ 眺眺。目開——目を細くする。

ツウ ツウ 玼玼。【碎碎】。

ツウ ツウ 此處。【此處】。

ツウ ツウ 處處。【處處】。方方。——君子——小人

何處にも君子あり何處にも小人あり。

ツウ ツウ 速速。緊——極速い。迅速。——急ぐ。

ツウ ツウ 眺眺。目開——眺。

ツウ ツウ 滑滑。つるつる滑る。

ツウ ツウ 泚泚。【泚】。

ツウ

ツウ ツウ 嗾嗾。【嗾】。

ツウ ツウ サイサイ 自在在在。①平氣。自若。②物

が一定の位置にあつて動揺せぬこと。振がよい。

ツウ ツウ ザウ 朱子草。【鐵鉤草】。【動かない】。

ツウ ツウ シオン 孜孜相。ちつと見つめる。熟視する。

目開——同上。

ツウ ツウ ジエヌジエヌ 自自然然。自然に。自然

ツウ ツウ ソオ 取次所。【取次所】。

ツウ ツウ ライ 注出来。水など注出する。射出す

る。迸出る。

ツウ ツウ 自尊。【自尊】。自慢。

ツウ ツウ 痘瘡。【痘瘡】。痘瘡。

ツウ ツウ イ 珠唾。【珠唾】。

ツウ ツウ 書厨。【書厨】。本箱。

ツウ テエ 子弟。子弟。好田地不如好——好

田地は好い子弟に如かず。①（多くは勞働階級の

若者にて銅鑼・胡弓等を鳴し祭禮などに加はるも

の。若い衆連。真——價值なきものに法外な

金を費す。徒なことをする。酷——他の無智

に附込んで浪費せしめる。

ツウ テエ 主體。【主體】。

ツウ テエ 自宅。【自宅】。

ツウ テエ 蛆袋。棒の先に袋をつけ金魚の餌にする子

ツウ

子赤子を抄取るもの。

ツウ テエ 厝地。【厝地】。

ツウ テエ 次第。【姓】次第。【文】次第。順序。

ツウ テエ 取縮。【取縮】。

ツウ テエ 厝宅。家屋敷。家宅。

ツウ テエ イア 取締役。【取締役】。

ツウ テエ ツ 子弟姪。子弟及び親戚の子供。

ツウ テエ ヒイ 子弟戯。若い衆連中のする芝居。

ツウ テエ ベエ 子弟尾。富家の子弟の末路。家産を

蕩盡した子孫。

ツウ テエ ホオ 子弟虎。金持の息子などを利用して

遊蕩する者。——出門空腰肚。人の懐中を

當にして遊ぶ者は外に出るとき財布は空だ。

ツウ テエ ラン 子弟人。【子弟】。

ツウ トア 朱單。朱書の書附。

ツウ トア 主壇。【做醮】の際祭壇に關する事を司る

ツウ トア 紫檀。【紫檀】。

ツウ トア 自大。自ら偉しとする。偉さうに振舞ふ。

ツウ トア ザウ 書帶草。【書帶草】。【沙草科】やぶすげ。書帶

草。

ツウ トア ツウ チウ 自彈自唱。【自唱自彈】。

ツウ トア ヌ 自斷。【自斷】。專斷。

ツウ トア ヌ 處斷。【處斷】。

ツウ

ツウトエ書底。有ー本を讀んで居る。學問の素

養がある。

ツウトエ自底。最初から。始から。ー都住在彼

最初から彼處に居た。

ツウトエ敷底。生活の基礎。定つた資産。恒産。

ツウトエ厩地。宅地。敷地。屋敷地。

ツウトエエグヌ敷底的銀。基本金。基金。

ツウトオ厩圖。家の設計圖。

ツウトヲ書桌。讀書の爲の卓。卓。

ツウトヲ書套。書冊を包むおほひ。帙。

ツウトヲ起倒。滑つて轉ける。滑つて倒れる。

ツウトヲアア書桌仔。【書桌】。

ツウトン書童。(文) 内弟子。

ツウトン書堂。(文) 本屋。書肆。

ツウトン阻當。(通) 【阻當】。

ツウトン自動。(國) 自動。ー詞自動詞。ー車

自動車。ー電話自動電話。

ツウトンホエ朱桐花。【龍船花】。

ツウノウ主腦。(國) 主腦。

ツウニウ姿娘。女。婦人。ー人ニウ女。女子。三

分ー七分打扮器量三分で化粧が七分。

ツウニウ取糧。就地。ー軍隊が其駐屯地方で租稅

を取立て費用に充てる。又物を造る場合など其土

ツウ

地に有合の物のみを以て造上げること。

ツウヌン薯榔。(種) そめものいも。(薯蕷科、根塊は

布又は魚網の染料として用ひらる)。

ツウヌンシエラ薯榔色。赤紫色。

ツウノア煮爛。軟かに煮る。

ツウハア取下。(國) 取下る。

ツウハンブウロオ此巷無路。ー看做北港

魚落。此巷無路(此の小路の先に路無し)の四字

を北港魚落(北の川の流を魚が下る)と讀誤る、無

學なるをいふ。

ツウバク注目。(國) 注目。

ツウバヌ自慢。(國) 自慢。

ツウバン眺眺。近視の如く目を細く眉を寄せて見る。

目開。ー同上。

ツウパイイツコグ自朝一國。自ら一國に朝たり。

自立して他の干渉を受けないこと。

ツウパウ書包。本の包。

ツウパヌ書辨。一書記。一書物の見本。

ツウパヌ自辨。自ら辨する。

ツウパヌ厩辨。家の形。家構。

ツウパン書房。書房。寺小屋。私塾。

ツウパン敷枋。板を敷く。板張。

ツウヒア蛆蛆。子子赤子などを抄ふ網。

ツウ

ツウヒア厩瓦。屋根瓦。

ツウヒイ朱熹。(人名) 朱熹。朱文公。

ツウヒイ朱硯。朱硯。

ツウヒイコン朱熹公。(人名) 朱熹。朱文公。

ツウヒエヌ書軒。(文) 寺小屋。書房。

ツウヒエン處刑。(國) 處刑。

ツウヒオン雌雄。(文) 雌雄。雌雄。決。雌雄を

ツウヒオンガヌ雌雄眼。片方が大きく片方が小さい

目。【日月眼】。

ツウヒオンキアム雌雄劍。大小の劍。一對の劍。

ツウビイ滋味。味。滋味。風味。

ツウビイ紫微。北極周圍の星座の總稱。紫微垣。

ツウビイ趣媚。(文) 詔ふ。媚びる。

ツウビイ趣味。面白。趣。興味。趣味。真。甚だ面白い。有。興味が有る。

ツウビエツ自滅。(文) 自滅。

ツウビエン主命。(文) 主命。君命。

ツウビエン註明。註解。註釋。

ツウビエンキム自鳴琴。自鳴琴。オルゴール。

ツウビエンチェン自鳴鐘。自鳴鐘。目覺時計。

ツウビイイ樞密院。(國) 樞密院。

ツウビヌ子民。(文) 人民。民。

ツウビヌ厩面。家の外見。家構。家の模様。

ツウ

ツウ/ペエ書皮。書物の表紙。
 ツウ/ペエ敷被。蒲團を敷く。床をとる。
 ツウ/ホアツ煮法。煮方。料理法。
 ツウ/ホアツ取法。方法を取る。
 ツウ/ホアツ處罰。處罰。
 ツウ/ホアツ此番。今回。此の度。
 ツウ/ホエ珠花。珠で作った女の頭の裝飾品。
 ツウ/ホエ主會。司會。【做醮】の際祭典全體の取締をなす役員。
 ツウ/ホエ聚會。集會。寄合。會合。
 ツウ/ホオ諸侯。諸侯。大名。
 ツウ/ホオ主後。【主後】。「彫物」。
 ツウ/ホオ蛆虎。家具などにしてある守宮の如き形の猫脚。
 ツウ/ホオカア蛆虎脚。猫脚。
 ツウ/ホオ書號。書物の名。書名。題號。
 ツウ/ホオ自號。自稱。
 ツウ/ホク子服。(連)子服。「仲裁する」。
 ツウ/ホク處和。仲裁。調停。爲慰——彼等の爲に
 ツウ/ホク次號。少し劣った品。二の町。【約束を無にするなど男らしくない者。卑怯者。此辨——脚賬——こんな卑怯な奴。
 ツウ/ホン處方。(國)處方。——箋——處方箋。
 ツウ/ボオ子母。(文)元利。元利。——清還——元利

ツウ

とも完済する。
 ツウ/ボオ主謀。(文)首謀。
 ツウ/ボオ鑄模。鑄型。——工——鑄型職工。
 ツウ/ボオ慈母。(文)慈母。
 ツウ/ボオソア子母線。太い線と細い線と並行したもの。子持線。「御上さん」。
 ツウ/ボオ主母。(連)(下男が主人の妻を呼ぶ稱)奥様。
 ツウ/ボオ慈母。(連)【慈母】。
 ツウ/ボオ主盤。主として營業を切盛する、又其者。店內伊在——店は彼が主裁してゐる。
 ツウ/ボエ朱批。文章に批評を朱書する。
 ツウ/ボエ鼠輩。(文)鼠輩。
 ツウ/ボオ滋補。滋養物。食——同上を食ふ。
 ツウ/ボオ書舖。書舖。書店。「る役員」。
 ツウ/ボオ主普。【做醮】の際施餓鬼に關する事を司
 ツウ/ボオ主簿。(文)【秘書。書記。】帳面を掌るもの。主簿。
 ツウ/ボオ此候。今。當今。只今。現今。現在。
 ツウ/ボオ珠寶。珠と寶物。寶。
 ツウ/ボオ取寶。寶を取る。【新】寶搜。
 ツウ/ボオ主僕。主僕。主従。
 ツウ/ボオ駐馬。(文)馬を止める。

ツウ

ツウ/ミテ書名。【册名】。
 ツウ/ミア字名。【字名】。「といふ」。
 ツウ/ミイ煮麵。細い饅頭を汁で煮たもの、普通汁蕎麥
 ツウ/ミイペエ敷綿被。蒲團を敷く。床を延べる。
 ツウ/メエ主脈。主脈。
 ツウ/ライ書内。書中。
 ツウ/ライ厩内。【家の中。内。做官騙——役人は家内の者を騙す、己が威信を示す爲に偽給職權などを吹聴して誇ること。】妻。家内。恣——不肯——彼の家内が承知しない。
 ツウ/ライタウ厩内頭。前に同じ。
 ツウ/ライチイ自來井。次に同じ。
 ツウ/ライツイ自來水。堀抜。堀抜井戸。
 ツウ/ライビツ自來筆。萬年筆。
 ツウ/ライヘエ自來火。燐寸。擦附木。「房」。
 ツウ/ライラン厩内人。【家族。眷族。】家内。女
 ツウ/ライウ書樓。書樓。
 ツウ/ライウツン鼠癩瘡。(病)癩癧。結核性水腫腺炎。
 ツウ/ライヌ珠蘭。【雞脚蘭】。
 ツウ/ラム次男。(國)次男。
 ツウ/ラン書籠。本を入れる籠。笈。【册籠】。
 ツウ/ラン主人。主人。主。主。——食與人客坐賬——主人が食うて客に勘定させる、利益は取つ

て責任は免れるなど。瘦狗御——瘦犬は主人の恥、主人が畜畜で十分に食を與へざることを表はすによりいふ。

ツウランオン 主人翁。主人公。

ツウランケエ 主人家。主家。主人の家。親方の内。

ツウランニウ 主人娘。主人の妻。お上さん。奥さん。

ツウランタク 主人頭。主人。親方。好——親方。

ツウリアウ資料。(國) 資料。

ツウリアウイアムバツ 自了尙木會。未だ會て……ない。————聽見未だ會て聞いたこと「がない。

ツウリアム 珠簾。(又) 珠簾。

ツウリアム 聚斂。(又) 聚斂。

ツウリイ 朱履。(又) 高官の穿く履。

ツウリイ 珠簾。珠簾。珠簾。

ツウリイ 梓里。(又) 郷里。

ツウリイ 主理。主として掌る。主任。主管。

ツウリイ 自理。自ら處理する。自分で片を附ける。

ツウリイ 處理。(又) 處理。處分。

ツウリイ 取利。利益を取る。居中——中間に居て利益をとる。

ツウリイ エキツア 自你做乞食。——不會打你的嗑管。汝が乞食になつて以來汝の

【嗑管】を借りて打つたことはない、汝が金持になつてから會て金を借りたことはない。

ツウリウ 珠旒。(又) 貴婦人などの被る冠の總。

ツウリエク 資力。(國) 資力。

ツウリエヌ 駐輦。(又) 駐輦。

ツウリエン 主令。主命。主人の命令。主になつて行る。命令して行ふ。

ツウリア 自立。(國) 自立。

ツウリイ 書類。(國) 書類。

ツウルク 煮煮。(又) 煮煮。

ツウルク 鑄鑄。(又) 鑄鑄。

ツウルク 漬漬。(又) 漬漬。

ツウルク 漬漬。(又) 漬漬。

ツウルク 敷敷。(又) 敷敷。

ツウルク 突突。(又) 突突。

ツウルク 敷敷。(又) 敷敷。

ツウルク 穿穿。(又) 穿穿。

ツウルク 處女。(又) 處女。

ツウルク 取取。(又) 取取。

ツウルク 次女。(又) 次女。

ツウルク 泄泄。(又) 泄泄。

ツウルク 嗑嗑。(又) 嗑嗑。

ツウレエ 珠螺。(又) 貝の名赤螺。

ツウレエ コエ 珠螺鮭。鹽に漬けた赤螺。

ツウロアヌ 朱樂。(又) 朱樂。

ツウロオ 朱鷺。(又) 朱鷺。

ツウロオ 子路。(人名) 子路。

ツウロオ エ 次路的。少し劣つたもの。第二等の。次の。二番目の。二位の。

ツツ

ツツ 卒。兵。兵——兵卒。將棋又は骨牌などの駒若しくは札の名。歩。卒。一仔——同上。

ツツ 稊。糯の總稱。糯米。一米——同上。

ツツ 卒。水鐵砲などで水を掛ける。用水卒——水鐵砲で水を掛ける。水——到滿面——水が顔一面に掛かる。

ツツ 拭。一寸と觸れる。擦る。撫でる。抹る。拭く。——下——一寸と擦る。濫摻——無茶に擦つて拭く。薄餅——煎鍋で薄餅を焼く。用手袂——鼻——袖で鼻を拭く。

ツツ 齣。(芝居などの) 幕。切。段。題。——幕。換——外題替。苦——悲劇。宴會の料理などの出し物。尙更幾——また幾皿出るか。此——眞好食——この料理は甚だ旨い。

ツツ 出。出。出。去外口、入來内面——外に

ツウ

ツウ

ツツ

ツクイ 出聞。(又) 聞を出でる。嫁入する。嫁ぐ。

ツクイ 出貴。貴人が出る。貴顯の人が出る。

ツクイ 出氣。心中の悲や不平を漏す。鬱憤を漏す。對人講。——人に對して同上する。腹縁をする。打伊の子。——其子を打つて同上。

ツクイ ラッ 出氣力。氣張る。力を出す。爲人門。——人の爲に力を出す。人の爲に盡力する。

ツクク 出骨。豚肉などの骨を出す。骨を抜く。骨を取る。

ツククヌ 出車。出兵。兵を繰出す。

ツククヌ 出勤。(圖) 出勤。——簿。出勤簿。

ツクグヌ 出銀。金を出す。出金する。

ツクケエ 出家。出家。俗家を去り佛又は道家の道に入る。——又帶柳。——出家も亦柳を帶ぶ。坊主も亦罪業ある意。——如初成佛有餘。——出家して初の如くなれば成佛餘あり。

ツクケエ 出聞。【出聞】。

ツクケエ 出嫁。嫁入する。縁付く。嫁する。嫁ぐ。

ツクケエ 出價。値を付ける。値をいふ。値切る。

ツクケエ 出客。●嫁に行く。嫁入する。●親戚などに贈物にする。此的物是要。——此等の物は贈物にするのだ。

ツクケエ シイ 出家私。喧嘩の時など棒や兇器などを持出す。

ツクケエ ラン 出家人。出家。坊主。世捨人。

ツクゲエ 出芽。五穀類など芽を出す。萌む。

ツクゲエ 出月。●月が出る。月が上る。●月を越える。來月。——即來月來月になってから來る。

ツクコエ 出官。店舗の使用人など官衙と交渉の任に當る。役所に出入する。

ツクコエ 出汗。發汗。汗をかく。

ツクコエ アヌ 出棺。出棺。野邊送。

ツクコエ アヌ 出關。國境を出る。

ツクコエ 出街。町に出る。——的。商家の雇人で町廻に出るもの。

ツクコエ ヨヲ 出考。試験を受ける。——的。受験者。

ツクコエ ヨツ 卒哭。(又) 喪の百日以後。

ツクコエ コン 出貢。貢生になる。

ツクゴエ 出外。旅。旅行。行旅。麗旅。他行。——客。旅人。——趁食。出稼。旅稼。——人。旅人。在家。日。好。——朝。朝難。家に居れば日。日。安。かなるも旅に出れば毎日困難あり。在。厩。有人。客。——有。主人。家に居て客を遇すれば旅に出た際人も亦自分を客として遇する。

ツクゴエ アヌ 出願。(圖) 出願。

ツクゴエ ホク 出五服。(喪服)五服外。

ツクサイ 出司。職人の弟子が年期を終る。一人前の職人になる。

ツクサイ 出使。使節として出て行く。

ツクサウ 出哨。出て見張をする。敵情を捜る。

ツクサヌ 出山。隱遁者が出て官に仕へる。

ツクサヌ 出産。産出。——的。所在。産地。——的。額。産額。

ツクサイ 出在。隨意。氣儘。勝手に。存分に。氣任。心儘に。心任に。——伊。彼。彼の自由。に任せる。——你。御意のままに。御都合次第。——我。私の勝手。

ツクサイ 出菜。料理を出す。料理が出る。

ツクサウ 出草。生番人が首狩に出る。出草。

ツクサツカウ 出札口。(圖) 出札口。

ツクサツ ア 出十。十を出る。——即去。十日過ぎて往く。

ツクシア 出賒。掛賣。貸賣。做。——的。生理。本錢。着。較。粗。掛賣の商賣は資本が多くなる。

ツクシア 出聲。聲を發する。聲を出す。——叫。呼。掛ける。聲を掛ける。

ツクシアウ 出賒。支拂勘定。出。出勘定。記。——出。に記入する。

ツッ

ツッ シイ 出世。出生。誕生。出生。産。生れる。坐
蓮花。蓮の花に坐つて生れる、逆産。一
帶來。生付く。生來。一。嬰仔。赤子。赤坊。
帶雙刀來。一。兩刀を帯びて生れて來る、將
來人を害する相あること。

ツッ シイジブシイ 出生入死。生死の岐に出入す
る、屢難局に當る。

ツッ シイラッ 出死力。死力を出す。死物狂。一
相創。死物狂に戰ふ。

ツッ シウ 出收。豫想外の増收。年冬。一。收獲が
例年よりも多い。

ツッ シウ 出首。(證書などの文句)自ら出る。自ら出
頭する。一。承買。自ら買受ける。一。抵當
。自分から出て引受ける。

ツッ シウ 出首。自首。一。投到。自首して出る。

ツッ シウ 出賣。(文)賣物に出す。發賣する。

ツッ シウ 出巢。巢立つ。巢立。巢離。一。雞母。雌
雞が雛を巢から運出す。おしゃべりをする女を
云ふ。

ツッ シウケエ 出賞格。懸賞を附ける。一。要
人。懸賞を附けて人を捕へる。

ツッ シエツ 出息。收益。收穫。一年。一。有萬五銀
。一年に一萬五千圓の收益がある。

ツッ

ツッ シエツ 出色。色彩がうまくなる。出色。見
榮がする。見場が好い。鮮か。窓仔門。做了第
一。一。窓が一番見榮よく出来てゐる。一。精液が
出る。

ツッ シエツ 出席。(國)出席。一。簿。出席簿。
ツッ シエン 出生。(國)出生。一。地。出生地。

ツッ シエンラウ 出生老。(植)(金絲桃科)ひめおとぎ
り。一。枝香の。

ツッ シヌ 出身。出身。立身。萬代都。没。一。何
時までたつても出世が出来ない。一。出身。伊
是商業學校。一。的。彼は商業學校出身だ。

ツッ シヌ 出神。眞に通る。戲。搬了眞。一。芝居を
眞に通つて演ずる。

ツッ シヌ 出刺。過剩。餘。一。的人。冗員。
ツッ シヌチア 出身者。(國)出身者。

ツッ シヌミア 出身命。一生懸命。命懸。非常に骨
折る。一。作稽。一生懸命で仕事をする。

ツッ シム 出審。出で審判を受ける。一。出で訊問す
ツッ ジイ 出字。【出字】。【重】。【參照】。
ツッ ジイニ 出廿裡。二十日過。下旬。

ツッ ジツ 出日。日が出る。那。一。那落雨。旱雨。
一。着積。雨來糧。天氣の好い時に雨天の糧を
積み。

ツッ

ツッ ジツホエアア 出日花仔。雲間を漏れて日光が
出る。

ツッ ジヌタク シオン 出人頭上。人より抜出る。
ツッ ジヌタク トエ 出人頭地。前に同じ。

ツッ ジブ 出入。出入。出入。出納。出入。一
。内外。場所を經てゐる。經驗がある。

ツッ ジブヘエ 出入貨。貨物の出入。貨物の賣買。
ツッ スイ 出穗。穗が出る。穗を出す。稻仔。一。稻
が穗を出す。

ツッ スウ 出嗣。他家に出でて名跡を繼ぐ。養子にな
る。嗣子になる。一。俾人。做子。出でて人の養
子になる。

ツッ スウ 出仕。官に仕へる。出仕。仕官。
ツッ スヌ 出巡。巡視。

ツッ ズウ 出論。論告文を出す。

ツッ セエ 出稅。料金を取つて貸す。貸附ける。損料
貸。搭。一。同上を貼出す。便厝。一。貸家の
貼札にかく文句。貸家。一。的。店。貸店。

ツッ セエ 出世。世に出る。世の中に出る。

ツッ モエ 出差。官吏を派遣する。
ツッ モエ 出妻。(文)妻を出す。離婚。一。屏子。妻
を去り子を追出す。

ツッ モエ 出髓。髓を出す。豚など頭を割つて髓を

出す。歹到——非常に悍猛な。甚だ悪い。

ツツ 出山。弔。埋葬。野邊送。葬式。——了請

ツツ 出所。(新) 警察官の派出所。見——喧嘩

ツツ 出訴。出訴。訴へる。對法院——法院

ツツ 出倫。【出脹】。——訴へる。

ツツ 出串。程度を越して話をする。言過ぎる。

ツツ 出罪。處罰する。掠。鱸。鱒。來——無頼

ツツ 出租。賃貸。損料貸。便屋——(貸家札

ツツ 出葬。葬式。野邊送。

ツツ 出擔。行商。振賣。——賣——同上。

ツツ 出瘡。天然痘が出る。

ツツ 出頭。頭を出す。顔を出す。頭角を顯す。

ツツ 出先。率先する。無人敢——誰も頭を出し

ツツ 出角。頭を出す。差出る。でしはる。——

ツツ 出損。頭を出せば角を損じる。率先するもの

は損をする。●餘計になる。超過する。額數——

ツツ 出頭。●芝居など) 暮。切。外題。下昏要

ツツ 出天。出世。立身。能得——

ツツ 出脚。先に立つてする。率

ツツ 出重。重さが餘計になる。重さが殖える。

ツツ 出成。値段の取極ができる。價——了——價

ツツ 出請。頭を下げて頼む。人——伊即要

ツツ 出金。金を出す。——無布目——金

ツツ 出山。山車は早げない。錢を出した甲

ツツ 出酒。悪酔する。酒に酔って吐く。

ツツ 出手。手を出す。——落脚——手を出す。ち

ツツ 出醜。(又) 醜を露す。恥曝をする。

ツツ 出陣。出陣。出戰。

ツツ 出征。征伐する。出て征する。

ツツ 出衆。秀でる。卓絶。卓越。——的才

ツツ 出衆。秀でる。卓絶。卓越。——的才

ツツ 出衆。秀でる。卓絶。卓越。——的才

ツツ 出衆。秀でる。卓絶。卓越。——的才

ツツ 出衆。秀でる。卓絶。卓越。——的才

斐がない意。——人主意——世中は金を出した者の

ツツ 出招。誘ふ。勧誘する。伊——人——彼が人

ツツ 出將。——入相——出でては大將となり

ツツ 出疹。(新) 猩紅熱。——に當る者。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ 出心。出盡心血。(又) 次に同じ。

ツツ

ツツ チヌ シム フイ 出盡 心血。心血を出盡す。心血を注盡す。

ツツ チア 出廳。結婚後三日目に新婦が室を出て夫と共に神及び祖先の位牌を拜し且つ親戚に紹介されること。新娘——同上。

ツツ チアウ 出桐。豚など充分に發育し商品として賣出されること。

ツツ チアン 出張。(漢) 【出張】。

ツツ チウ 出張。(國) 出張。——所——出張所。

ツツ チウ 出場。出場。——唱歌——出場して歌を唱ふ。出語。

ツツ チエヌ 出典。質入。質に入れる。質に置く。抵當に出す。——者——典の債務者即ち質置主。

ツツ チエヌ 出天。極極。無類。飛切。——夕——飛切悪い。【確る】。

ツツ チエヌ ホエ 出天花。天然痘が出る。天然痘に

ツツ チエン 出丁。男子が生れる。

ツツ チエン 出燈。提燈に火が附いて燃える。

ツツ チエン 出廷。出廷。訟廷に出る。【血】。

ツツ チオン 卒中。(病) 卒中風。中風。卒中。腦出

ツツ チオン 出張。(圖) 出張。——所——出張所。

ツツ チオン 出脹。間拔な言語、動作をする。非常識な言語、舉動をする。

ツツ

ツツ チヲ 出挖。勝った成績。勝れる。立勝る。抜群。傑出。抽でる。秀でる。卓絶。卓越。

ツツ チヲ 出挑。肘木が突出する。

ツツ チヲ 出頭。(景) 【出頭】。

ツツ チヌ 出陣。出陣。出征。

ツツ ツイ 出水。水が増える。水が出る。①(船などに)積荷する。積出す。②雨水などを外へ導出す。用水棍——管で水を出す。③氣晴。鬱散。打人——人を打って氣晴する。④厝——新築家

屋の屋根丈出來上る。⑤問責。責任を問ふ。責任者に掛つて行く。尻を持って行く。對伊——彼に尻を持って行く。【水】の參照。⑥商店員などの外部にて働く者。外勤者。

ツツ ツイ 出嘴。言出す。話講——話が口へ出る。已に言放つ。——有字——口を出れば文章になる、能辨の意。

ツツ ツイ シア 出水聲。えへんと掛辭して暗に知らせる。【水聲】を見よ。

ツツ ツイ ツウ 出水痘。水泡瘡が出る。【書】。

ツツ ツイ トア 出水單。荷主が問屋などより取る受取

ツツ ツイ ポオ 出水簿。貨物發送簿。

ツツ ツウ 出痘。瘡瘡が出る。瘡瘡を病む。

ツツ ツウ 出處。出處。——在何落——出處

ツツ ツウ 出處。出處。——在何落——出處

ツツ

は何處か。英雄不論——英雄出處を論ぜず。●落着。埒。案件續無——事件が到頭埒が開かぬ。對伊——彼に掛合つて落着をつける。

ツツ ツウ 出取。取所。長所。取得。無——取得がない。

ツツ ツウ 出處。金を出す。有錢——免驚買無——金を出して買ふのだから買へないことはない。

ツツ ツウ 出厝。家出。家を出る。在厝賤——貴——家

ツツ ツウ ベエ 出鼠尾。龍巻が起る。

ツツ ツツ 卒卒。暗——真暗い。考——粥糊なと濃厚。非常に濃い。悟——非常に寂い。しんとしてゐる。【卒】。

ツツ ツツ 拭拭。【拭】。

ツツ ツツ 卒卒。卒卒。【卒卒】。

ツツ ツツ 出出。看——言ふまでもなく明かに分る。分りきつてゐる。知れきつてゐる。【出】の

ツツ ツツ ジナジナ 出出入入。出入。出たり這入つ

ツツ ツツ 出船。出帆。船出。船を出す。出港。

ツツ ツツ 出庄。商家の雇人にて村廻をする者。

ツツ ツウ 出注。賭博のはり場所に錢を出して賭る。

ツツ ツウ 出注。賭博のはり場所に錢を出して賭る。賭錢をはる。——俤人叫——賭金を置いて他人を

ツ

挑む。喧嘩を仕掛ける。又女が人を挑むなどに
 ツツイン 出長。長さが餘る。「もいふ。
 ツツトア 出單。書付を出す。
 ツツトアツ 出脱。出世する。伊今都——喇(ラ)彼はもう出世した。没得——出世が出来ない。
 ツツトエ 出題。題を出す。
 ツツトエ 出倉。賣出す。發賣する。
 ツツトエ 出蹄。土臺が外部に食出す。「いふ。
 ツツトオ 出土。無作法な言語を剝出にいふ。露骨に
 ツツニウ 出糧。糧秣を出す。糧秣を支給する。
 ツツヌン 出卵。孵化する。孵る。
 ツツハイ 出海。出帆。出港。拔錨。——的(三)ジャンク船の宰領者。「漏れる。
 ツツパウ 出空。發覺する。ばれる。企事などが他に
 ツツパク 出腹。屠殺の時など臟腑を出す。
 ツツパク 出賤。小作に出す。不動産を賃貸する。——的(三)地(上)貸地。——者(三)土地小作權者。——地(上)基字(三)宅地賃借證。
 ツツパヌ 出癩。熱病などで身體に斑が出来る。
 ツツパヌ 出版。(圖)出版。
 ツツパヌ 出辨。●格外れ。殊の外。特に優れて。——懸(三)至愚(三)見本を出す。
 ツツパン 出帆。(圖)出帆。

ツ

ツツヒイ 出戯。芝居を始める。幕を開ける。
 ツツヒエツ 出血。血が出る。
 ツツヒエヌ 出現。出現。發露。現出。顯れる。本(三)相(三)——化皮を現す。龜脚(三)——龜の足が出る。馬脚(三)を露す。
 ツツヒエン 出行。他行。他出。餘所へ行く。
 ツツヒエンジツ 出行日。(占者の語)外出に吉日。外出の吉日。
 ツツヒオン 出餉。給料を出す。
 ツツビイ 秣米。糯米。糯米。狗食——無變(三)犬が糯米を食って消化しない。變通(三)のきかぬこと。
 ツツビイ 出米。米を産する。米が出る。
 ツツビイ 出味。●味が出る。茶(茶)泡(茶)——茶を入れて味が出る。●味や香が抜ける。香水(香水)——香水の香が抜ける。
 ツツビイクウ 秣米龜。糯米で作った龜の形の糰粉餅。
 ツツビイコオ 秣米糊。糯米の糊。
 ツツビイコヨ 秣米糕。餅米に砂糖を混ぜ一定の型に入れて蒸した食物。
 ツツビイサウ 秣米糟。糯米で作った酒の糟。
 ツツビイサウ 朮米草。「絲線草」。
 ツツビイシヨ 秣米燒。糯米で作った酒。
 ツツビイチイ 秣米糍。●糯米の餅。●「荔枝」の品

ツ

ツツビイチウ 秣米酒。糯米の酒。
 ツツビイチラム 秣米沉。糯米で作った上等の酒。
 ツツビイツウ 秣米珠。糯米で作った眞珠。
 ツツビイツウ 秣米煮。糯米で作った眞珠の玉。
 ツツビヌ 出面。●顔に出る。癩(癩)——癩病が顔に出る。●恥を知らぬ。鐵面皮。今都(今)——喇(ラ)不驚見笑(不驚見笑)もう面の皮が厚くなって平氣だ。
 ツツピア 出疹。發疹。麻疹。
 ツツピエヌ 秣變。(種)第二期作水稻類の一品種。
 ツツピエン 出兵。出兵。
 ツツピラ 出票。逮捕狀を發する。拘引狀を發する。
 ツツピヌ 出殯。出棺する。葬式を出す。
 ツツピヌ 出品。(圖)出品。
 ツツファイ 出血。血が出る。
 ツツフウ 出府。(圖)出府。「が出る。
 ツツフヌ 出烟。●烟が出る。●煙草を産する。煙草
 ツツフヌ 出痕。テニスなどでボールが線外に出る。
 ツツブツ 出沒。(三)出沒。
 ツツブヌ 出門。(三)外出。外に出る。——見喜(見喜)門を出て喜を見る。外出すると吉事があるといふ占の詞。
 ツツブツサヌ 出不産。産物類など大變多い。矢鱈(矢鱈)に有る。菜頭(菜頭)——大根(大根)が矢鱈とある。

する。擦り擦ってむちゃにする。
ツッロオ出路。相——行違になる。行違ふ。

ツヌ ツヌ

ツヌ尊。①姓尊。②孔子を祭る時用ひる器具の名。盃。③尊敬する。尊ぶ。一長——長者を尊ぶ。一伊——彼を尊崇する。彼を推す。④機會や座席などを譲る。遜讓する。相——坐位——坐席を譲り合ふ。相——食有剩——讓合つて食へば餘る。⑤敬意を拂つて其者の意思を尊重する。先——伊的意見看覓——先づ彼の意見を伺つて見よ。

ツヌ質。ぶるぶる震へる。がたがた震へる。癩癩——同上。

ツヌ遵。従ふ。遵奉。一伊的令——彼の命に従ふ。ツヌ準。①姓準。②的確に當る。適中する。講話不止——話が確に當る。時鐘有——無——時計は合つて居るか。③假にそれと定める。……とする。

有、一無——有つても無いとする。一我的來給你——僕のものとして君にやる。茶——酒來飲——茶を酒として飲む。④當になる。伊的話籠沒——彼の話は少しも當にならない。能——沒——我是不知——當になるかならないか僕は知らない。⑤準那。

ツヌ准。許す。允許。開濟。許可。免許。認許。允——同上。批不——官から認可されない。不——人入去——人の入ることを許さない。人看——見ること許可する。

ツヌ溝。①姓溝。②溝。③溝。④溝。⑤溝。⑥溝。⑦溝。⑧溝。⑨溝。⑩溝。⑪溝。⑫溝。⑬溝。⑭溝。⑮溝。⑯溝。⑰溝。⑱溝。⑲溝。⑳溝。㉑溝。㉒溝。㉓溝。㉔溝。㉕溝。㉖溝。㉗溝。㉘溝。㉙溝。㉚溝。㉛溝。㉜溝。㉝溝。㉞溝。㉟溝。㊱溝。㊲溝。㊳溝。㊴溝。㊵溝。㊶溝。㊷溝。㊸溝。㊹溝。㊺溝。㊻溝。㊼溝。㊽溝。㊾溝。㊿溝。

ツヌ圳。灌漑の爲に掘つた溝。埤圳。用水路。水——同上。一水——同上の水。水按——行——水は圳の通りに行く、自然の順序又は順當に行くこと。

ツヌ戰。震ふ。震へる。手——手が震へる。愕愕——ぶるぶる震へる。脚——貧乏揺。着——瘋——震へる病にかかる。

ツヌ船。①姓船。②船。一隻——一艘の船。近溪搭無——川の近くに居る人は船に乗れない(何時でも乗れると思つて油断するより)。一貨——一船の貨物。眩——船に酔ふ。搭——船に乗る。渡——渡船。火——汽船。坐人——愛人——走——人の船に乗つては其船の走ることを望む、人に仕へては其人の爲を思ふなど。一過、水無痕——船が通過ぎれば水に痕が残らない、喉元過ぐれば熱さを忘るなど。

ツヌ存。①主に準備の爲に)存す。残す。止む。残。溜て置く。一意——故意。一底藏得——控を取つて置く。一起來藏——残して置く。有——錢無——金を

残してあるか。①(帳簿など)差引勘定をする。計算をする。一看有剩無——勘定をして残があるか。一賬——計算をする。原收出——元金收入。支出。残高。

ツヌ候。此——今。時——時節。(語原は「陣」と同一な陣。頻。一風——一頻の風。一雨——一頻の雨。腹肚做——痛——腹がちくちくと痛む。

ツヌ鏝。振る。拈る。振くる。一輪轉——振廻す。一時鐘——時計の振子を廻す。一手骨——腕を振る。一面布——手拭を絞る。

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ春。①姓春。②春。一夏秋冬——春夏秋冬。一甲子雨、赤地千里——春の甲子の日に雨降れば旱魃がある。一己卯風、稻尾空——春の己卯の日に風吹けば稻が實らない。一看海口、冬看山頭——春は海の方を看、冬は山の方を看て天氣を知る。一既、冬加納——春の既、冬の鯛、其季節になると旨くなる。一霧、曝死鬼——春に霧あれば鬼を干し殺す、旱魃がある。一雨寒、冬雨靜——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。一報頭、冬報尾——春の風は雨の前に強く吹出し、冬の風は雨の後に強く吹出す。一朦、曝死鬼、夏朦做大水——春の霧は早魃になり、夏の霧は洪水になる。一南夏北、無水可磨墨——春の南風と夏の北風と

ツヌ

ツヌ

ツヌ

ツヌ

ツヌ コオホアツモエ 遵古法製。(又) 古法に遵つて作る。(薬舗などの看板の文句)。

ツヌ コロ 船篙。水竿。舟竿。

ツヌ コロ 存稿。書類の控。留——控を取って置く。

ツヌ コン 尊公。(又) 御尊父。

ツヌ コン 春光。(又) 春光。

ツヌ コン 竣工。(又) 竣工。「する分」

ツヌ サア 存査。戸口の門札の原簿にして官府に保存

ツヌ サイ 俊才。(又) 俊才。

ツヌ サイ 船儀。船荷。

ツヌ サイ 存在。(又) 存在。

ツヌ サイ 春菜。【長年菜】。

ツヌ サウ 准奏。裁可。裁許。

ツヌ サウ 春草。春草。春草。

ツヌ サウ プツリウ 寸草不留。【寸草不留】。

ツヌ サウ 寸鑿。一寸鑿。

ツヌ サツ 尊札。(又) 尊書。貴書。

ツヌ サツ 準節。程合を計る。注意して差控へる。節する。手心する。——用——節約して使ふ。着較する。——手加減して程合を計りなさい。

ツヌ サム 春蠶。春蠶。

ツヌ サン 船艘。碇泊する一團の船。放出——同上の中より船を外へ出さしめる。

ツヌ

ツヌ サン 鏡鬘。振鬘。

ツヌ シア 春社。立春後第五の戌に當る日を云ふ。

ツヌ シア 春榼。祝物などを運ぶ釣臺。

ツヌ シアウ 準賬。●差引勘定したものに見做す。做工——債務の代に仕事をして相殺したものと見做す。●約束を決定したものと見做す。今如此就——■■もこれ決ったことにするよ。

ツヌ シアウ 存賬。總勘定。仕切る。計算をする。伊在——■彼は仕切勘定をしてゐる。

ツヌ シアウ 春宵。(又) 春宵。春夜。

ツヌ シイ 存死。死を覚悟する。死を決する。——打

ツヌ シイ 死を決して百人を打つ。命知らず。

ツヌ シイ チエン 錠時鐘。時計の振子を廻す。

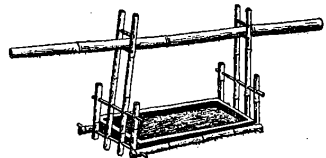
ツヌ シウ 遵守。遵守。

ツヌ シウ 俊秀。(又) 俊秀。容貌が立派な。童僕勿用——童僕は美男を用ふる勿れ。風儀上之を戒めたもの。

ツヌ シイ シヌベエ 存死身胚。死ぬ覚悟をする。

ツヌ シエク 春色。(又) 春色。

ツヌ シエン 尊姓。(又) 御姓。貴姓。



春 榼

ツヌ

ツヌ シオク 尊叔。(又) 叔父御。

ツヌ シヌ 尊信。(又) 尊信。

ツヌ シヌ 尊神。(又) 神を尊ぶ。

ツヌ シヌ 船身。船體。船身。

ツヌ シヌ 船神。船靈。船の神。

ツヌ シヌ 春信。(又) 春信。春便。

ツヌ シム 存心。有意に。心有つて。——特意做——有心故造。

ツヌ シム 春心。(女子に云ふ) 色氣。春情。色欲。色情。——動——色氣付く。色情を起す。

ツヌ シム 寸心。(又) 寸志。

ツヌ シム 存心。宿意。存意。覚悟。有——要爲你藏——考が有つて藏つておいてやったのだ。

ツヌ ジツ 春日。(又) 春日。

ツヌ ジヌ 尊人。(又) 御尊父。

ツヌ スウ 尊祠。(又) 人の祖廟に對する敬詞。

ツヌ スウ 俊士。(又) 俊士。

ツヌ スウ チオン フウ 尊師重傳。(又) 師を尊び傳を

ツヌ スヌ 逡巡。(又) 逡巡。

ツヌ スヌ 春筍。春の筍。

ツヌ セエ 船稅。●船の借賃。●船の稅。

ツヌ セエ 春紗。夏着に用ひる薄絹の一種。

ツヌ モエ 春祭。春の祖先祭。春の祭。

ツヌモ、エキウモ、エ伸下縮干。●艇など伸たり縮ん

だり。●もじもじする。へどもどする。逡巡す

ツヌソヲ 尊嫂。同輩の妻に對する敬詞。「る。

ツヌヲア 伸纏。●(財政)餘裕が出来る。樂になる。

較一裕福になる。●(病氣)少し好くなる。樂
になる。較一一分好くなる。

ツヌヲエ 準做。準へる。準へる。……として。一

你的來給我君の物として呉れたまへ。一
山に準へる。一薪水領來給料として受
取て來る。

ツヌヲオ 圳租。埤圳の水を利用する者に賦課する金。

埤圳の水租。

ツヌヲオ 船租。船賃。乗船賃。

ツヌヲヲ 準做。(準)準做。

ツヌヲヲ 寸裏。菓子の名。煎裏。

ツヌヲヲ 寸裏。寸草不留。寸草も留めず。刮到

一人も残さず殺す。皆殺にする。

ツヌタイ 船舵。舟子。水夫。

ツヌタイ 尊大人。(尊)御尊父。

ツヌタウ 圳頭。埤圳の起點。埤圳の取入口。

ツヌタウ 船頭。船首。船尾。船尾。船尾。

一貨船荷。

ツヌタウ 春頭。初春。

ツヌ

ツヌタウ 伸頭。首を延す。

ツヌタウ ギウタウ 錠頭揉脰。【揉頭錠脰】

ツヌタウ ハン 船頭行。自分の船で輸入品を一纏に買

ひ之を地方に發賣する店又は廻船問屋。「する。

ツヌタヌ 遵趁。遵奉する。一命令命令を遵奉

ツヌタン 船窓。船窓。船窓。

ツヌチア 尊者。(尊)尊者。

ツヌチア 船隻。船隻。船。

ツヌチアウ 存照。後日の證據として保存する證書。

ツヌミイ 尊姉。(尊)姉御。

ツヌチイ 船錢。船賃。

ツヌチイ 錠折。振折る。

ツヌチイ 春舩。【石舩】。

ツヌチイ 春錢。正月の飾、卓上の【春飯】の兩側に
供へる繒に通した錢。(春錢は剩錢に通じて、今
年も錢が餘り有る様にと縁起を祝ふ意)。

ツヌチイ 剩錢。金が餘る。

ツヌチイ 寸志。(寸)寸志。

ツヌチウ 船廠。造船所。

ツヌチウ 春酒。正月の宴會。

ツヌチウ 春秋。春秋。春秋。●星霜。歲月。●春

秋左傳。●春秋戰國。

ツヌチウ 伸手。●手を突出す。手を伸す。一摸心

ツヌ

肝手伸して心を押へる、良心に問ふ。一

突着壁手伸せば壁に突當たる、貧窮にて八

方塞りの義。●家の袖。一旁起二間一

方に家の袖を二軒建増す。

ツヌチウヲトア 春秋左傳。春秋左傳。

ツヌチエク 準則。(準)準則。

ツヌチエク 船籍。(國)船籍。

ツヌチエヌ 尊前。(尊)御前。

ツヌチエン 尊正。(尊)人の妻に對する敬詞(奥様)。

ツヌチエン 船政。海事船舶に關する行政。

ツヌチエン 尊稱。(尊)尊稱。尊號。一情を起す。

ツヌチエン 春情。(尊)春情。色氣。一發動。春

ツヌチエン 船政廳。海事船舶に關する事を管す

る役所。管船局。孔子を祭る時用ひ

る器具の名。

ツヌチヲ 圳照。埤圳開設の許可證。

ツヌチヲ 船照。船の鑑札。

ツヌチヲ 寸尺。●寸法。量一尺寸法をはかる。●

尺寸。一不移少しも動かぬ。

ツヌチヲトア 寸尺單。寸法書。

ツヌチヌ 準繩。目當。標準。照準。標識。目標。

没使得一當に出來ぬ。能一得當にな

ツヌ

ツヌ

る。做——目當にする。「を巻く。」

ツヌチア 船碇。碇。抛——碇を下す。車——碇

ツヌチイ 春天。春。春の空。春季。——時——春の頃。

——後母面——春の天氣と繼母の顔、變り易き意、人の短氣なるにもいふ。

ツヌチイ 寸鐵。寸鐵。窮的窮——富的富抵天——困窮する者は寸鐵もなく富める者は其の富天に

ツヌチウ 圳長。埤圳を管理する役の長。「達す。」

ツヌチウ 船長。(國) 船長。

ツヌチウ 春綯。薄い絹の類。

ツヌチエツ 寸鐵。(文) 寸鐵。

ツヌチエヌリアン 存天良。(漢) 次に同じ。

ツヌチエヌリオン 存天良。良心に照す。良心に照して慮る。

ツヌチエン 圳丁。埤圳を監守保護する人夫。

ツヌチエン 船燈。舷燈。

ツヌチオン 尊長。長上を尊ぶ。目上を尊重する。目無——眼中尊長なし。

ツヌチオン 尊重。尊ぶ。尊敬する。尊重する。

ツヌチオン 船中。船中。

ツヌチオン 剩長。餘して置く。剩餘金がでる。

ツヌチオン 寸衷。(文) 微衷。

ツヌチツ 伸直。眞直に延す。

ツヌ

ツヌツイ 圳水。埤圳の水。

ツヌツウ 圳主。埤圳の所有者。

ツヌツウ 船資。船賃。

ツヌツウ 船主。船主。

ツヌツウ 船姐。(動) 船姐。

ツヌツウ 船盾。船藏。船を入れる建物。

ツヌツウ キイ 伸出去。突出す。伸す。頭売——

——頭を突出す。

ツヌツヌ 存存。【存】。

ツヌツヌ 準準。正確。體に。間違なく。正しく。屹度。確く。時鐘仔——時計が正確な。——能來——間違なく来る。

ツヌツヌ 鏡鏡。【鏡】。

ツヌツヌ 尊尊。遜讓する。相——席など讓合ふ。

ツヌツヌ 伸伸。【伸】の(○)。

ツヌツヌ 寸寸。徐徐と。——進——徐徐と進む。——讀——徐徐と讀む。

ツヌツヌ 尊尊。【尊】。

ツヌツヌ 掙掙。【掙】。

ツヌツヌ アア 寸寸仔。じりじりと。少しづつ。——退——じりじりと退く。——進——少しづつ水が満ちてくる。——進——徐徐と進む。

ツヌツン 船艙。船艙。

ツヌ

ツヌツウ ラウ 船抵流。船が溯る。

ツヌツン 準當。抵當。引當。書入。擔保。形。——的物——抵當品。典物。俾你——君に引當に入

ツヌツン 鏡斷。抜切る。

ツヌツン 伸長。伸す。伸びる。長くなる。伸長する。

ツヌツン 存長。豫じめ用意して残して置く。賢——用心深く残して藏って置く。

ツヌツン チウ 伸長手。長い手を伸す、乞食。物質。

ツヌツエ 圳底。(漢) 圳底。

ツヌツエ 存底。(漢) 存底。

ツヌツエ 船底。(漢) 船底。

ツヌツエ 尊體。(文) 尊體。

ツヌツエ 春茶。春季摘採る茶。

ツヌツエ フツアオ 準提佛祖。十八の手のある觀音。准提菩薩。

ツヌツア 准單。免許狀。免狀。

ツヌツア 船舵。航。

ツヌツア 船單。乗船切符。拆——乗船券を買ふ。

ツヌツア ソエウイ 尊大細位。上席を互に讓合ふ。

ツヌツア アヌ寸斷。(文) 寸斷。「土地。」

ツヌツエ 圳底。埤圳の底。埤圳開通に使用した

ツヌツエ 存底。書類の控。留——控を残す。

ツヌツエ 船底。船底。船底。——生絹——船の底に烏

帽子貝が附く。 「する租穀。」

ツヌ トエ フオ 圳底租。 埤圳開通に使用した土地に對

ツヌ トオ 船肚。 船腹。 船腹。 一水船の底に溜った

水。 塗。

ツヌ トオ 寸土。 彈丸墨子の地。 寸土。 一難求寸

土も求め難し。 一屬王寸土も王に屬す。

ツヌ トウ 付度。 (又) 付度。 推量。

ツヌ トン 尊堂。 (又) 尊母。

ツヌ ナア 準那。 宛も……の様だ。 いかにも……の様

だ。 一死去宛も死んだ様だ。 一我的い

かにも僕のもの様だ。 「峰。」

ツヌ ニア 峻嶺。 險阻な嶺。 高山一高い山、 険い

ツヌ ニイ 船裡。 船中。 一客船客。

ツヌ ニイ 前年。 一昨年。 一昨年。 一昨年。

ツヌ ニウ 春糧。 食糧。 糧。 牛的。 一牛の糧。

ツヌ ノア 船欄。 船縁にある防衝材。

ツヌ ハイ トン 春海棠。(種) 秋海棠科) しうかいだら。

ツヌ ハヌ 春寒。(又) 春の寒さ。 春寒。 一料峭

ツヌ パイ 船牌。 船の鑑札。

ツヌ バイ イイ 存歹意。 惡意。 故意。

ツヌ パヌ 存辨。 準備する。 用意する。 一好勢

備ができた。 尙未一まだ仕度をしな。

ツヌ パン 船帆。 船の帆。

ツヌ ヒエン 尊兄。(又) 尊兄。

ツヌ ビエン 尊名。(又) 尊名。

ツヌ ビエン 尊命。(又) 尊命。

ツヌ ビエン 遵命。(又) 命に従ふ。

ツヌ ビア 春餅。 鶏肉・豚肉・蝦肉・胡蘆等を主料とし之

を麵粉製の皮にて包み油揚げにしたもの。

ツヌ ビイ 尊卑。 目上と目下。 尊卑。 有即好目

上に對しては相當の禮を以てせねばならぬ。

ツヌ ビイ 準備。(國) 準備。

ツヌ ビイ 船邊。 船端。 船縁。

ツヌ ビエク 尊伯。(又) 伯父様。

ツヌ ビラ 船票。 乘船券。

ツヌ ビヌ 準憑。 當。 目當。 標準。 没一當になら

ぬ。 做一當にする。

ツヌ フウ 尊府。(又) 尊府。

ツヌ フウ ジヌ 尊夫人。(又) 令夫人。 奥様。

ツヌ フヌ 春分。 春分。 中日。 一節彼岸の中日。

ツヌ フン 春方。 淫慾催進の處方。

ツヌ ブウ 船務。 船船に關する事務。

ツヌ ブヌ 尊門。(又) 尊族。 「も動せぬ。

ツヌ ブヌ 戰悶。 連一都無一益之搖もしない。 少し

ツヌ ブッ ロヲ 春不老。(種) 紫金牛科) まんりやう屬。

ツヌ ブイ 春飯。(種) 「春飯」。

ツヌ ブヌ 蠶笨。 粗野。 野鄙。 粗俗。 無作法千萬な。

下品な。 講話一話が野鄙な。 一漢無作

法者。

ツヌ プン 春飯。 新年の時井などに除夜に炊きたる飯

を山盛にし造花を挿し歳神又は祖先の佛前等に供

へるもの。(春飯)は「剩飯」(餘った飯)と普通じ

縁起を祝ふ意)。「過年飯」。

ツヌ ヘエ 存置。 溜めて置く。 残して置く。

ツヌ ヘエ チウ タン 春夏秋冬。 春夏秋冬。

ツヌ ヘエ テエ 剩下得。 餘す。 残す。 積置く。

ツヌ ヘエ トア 存貨單。 現品の目録。 残荷の目録。

ツヌ ベエ 圳尾。 埤圳の終點。 埤圳の下手。

ツヌ ベエ 船尾。 艦。

ツヌ ベエ シイ 存要死。 死ぬ覺悟をする。 「る。

ツヌ ベエ ホヲ 存要好。 後を考へる。 後後の爲を慮

ツヌ ペエ タン 寸白蟲。(動) 條蟲。 眞田蟲。

ツヌ ホア 圳岸。 埤圳の岸。

ツヌ ホア 春花。 香料の名。

ツヌ ホア ツ 駿發。(又) 開張一商賣繁昌。

ツヌ ホア ス ホン 船犯風。 船が風に出會す。

ツヌ ホエ 船花。 「龍船花」。

ツヌ ホエ 春花。 「春仔花」。

ツヌ

ツヌ

ツヌ

ツヌ

ツヌ **ホオ** 刈戸。●埤圳の所有者。●埤圳の組合員。
 ツヌ **ホオ** 船戸。●船籍。●船の持主。船主。●船を借りて使用する者。船頭。
 ツヌ **ホオ** 春雨。春雨。落——春雨が降る。春の長雨が降続く。——寒、冬雨静——春雨降れば寒く、冬雨降れば風止む。
 ツヌ **ホラ** 尊號。(又)尊號。
 ツヌ **ホラ** 船號。船號。船の名。
 ツヌ **ホン** 尊奉。(又)尊奉。 「る。
 ツヌ **ホン** 戰瘋。手足の震へる病。着——同上に罹る。
 ツヌ **ホン** 春風。●春風。春風。●緩やかに寛いでゐる。のんびりしてゐる。衫穿去——着物をゆつたり着てゐる。字寫去——字がのんびりと書けてゐる。 「温顔。
 ツヌ **ホン** ビヌ 春風面。寛いだ顔。親しみのある顔。
 ツヌ **ボオ** 春暮。(又)暮春。春の末。 「急存亡。
 ツヌ **ボン** 存亡。(又)存亡。興廢危急——興廢危
 ツヌ **ボア** 船破。破船。難船。難船。——亦着拾釘
 船が破れてもせめて釘だけでも拾ふ、少しのものでも足しにする。——海坐底——難船すれば海は責を負はねばならぬ、失敗した場合には主たるものに責任がある意。
 ツヌ **ポオ** 寸歩。(又)寸歩。——難行——寸歩も行難し。

ツヌ

ツヌ **ポラ** 船舫。船端。船縁。
 ツヌ **ポラ** キイ 船舫境。前に同じ。
 ツヌ **マア** 駿馬。(又)駿馬。
 ツヌ **ミア** 船名。船名。
 ツヌ **ライ** 船内。船中。
 ツヌ **ライ** ツヌ キイ 鋸來鋸去。彼方此方に振くる。
 ツヌ **ラウ** 船樓。船屋方。
 ツヌ **ラム** 春蘭。(植)蘭科)春蘭。
 ツヌ **ラム** 尊覽。(又)尊覽。
 ツヌ **リアウ** 圳。埤圳の事務を取扱ふ所にして多くは埤圳の租穀を貯蔵す。
 ツヌ **リエヌ** 春聯。●門聯の一、新年に赤い紙に目出度い文句を記し門口に貼るもの。 「嶺。
 ツヌ **リエ** 峻嶺。(又)險しい嶺。高山——高山峻
 ツヌ **リエ** エン 春令。春の時候。行——春めく。
 ツヌ **リオン** シム 存良心。良心に照す。良心に照し
 ツヌ **ルヌ** 存存。 「存存。
 ツヌ **ルヌ** 鏡鏡。 「鏡鏡。
 ツヌ **ルヌ** 伸伸。 「伸伸。
 ツヌ **ルヌ** 伸勻。(同) 「伸勻。
 ツヌ **ルヌ** 尊尊。 「尊尊。
 ツヌ **ルヌ** 掇掇。 「掇掇。
 ツヌ **ロア** 春暖。(又)春暖。

ツン

ツン **ロエ** 尊内。(人の妻の敬稱)御夫人。
 ツン **ロオ** 尊慮。(進)尊慮。
 ツン **ロオ** 圳路。【水圳】の路。
 ツン **ロオ** 船槽。槽。
 ツン **ロオ** 船路。船路。船路。
 ツン **ロッテ** エ 存落得。貯へる。保存する。貯蔵す
 ツン **ツン** ツン
 ツン **荘** ●姓。荘。●金錢又茶などの取引所。錢——兩替屋の類。茶——茶の取引所。
 ツン **磚** 數瓦。平瓦。煉瓦。一徙在石裡——煉瓦から石に移る、善き所より悪しき所に移るなどの意。
 ツン **鋪** 數瓦を敷く。【磚】。 「出口。
 ツン **庄** 村。庄。部落。一頭——村の入口。一尾——村の
 ツン **庄** 贓物。贓物。賊——同上。掠姦在床、掠賊
 上——姦夫を捕へるは現場を押へるに限る、賊を捕へるは贓物を上げるに限る。
 ツン **粧** ●装ふ。粧る。飾立てる。化粧する。飾る。
 一好看——立派に化粧する。一佛——佛像を作る。
 一傷——傷を装ふ。作傷。一到一個死死——死んだ振を装ふ。●荷造をする。包装をする。一貨——荷造をする。一茶——茶を包装する。●煙草などを煙管に詰める。一煙——同上。阿片煙——一鉢

ツ

ツイン、ヲ 瘡癩。瘡癩。

ツイン、ウイ 床帷。寢臺の上部から垂れた幕。

ツイン、カア 指甲。爪。【指甲】。

ツイン、カア、ツク 指甲鑿。通鑿。圓錐。

ツイン、カア、ジオン 指甲茸。爪の裏に添ふ肉。

ツイン、カア、セエ 指甲紗。爪の生際。性命在得——
——命は爪の生際にある、危機一髪のこと。

ツイン、カア、ツン 指甲鑽。壺鑽。

ツイン、カア、バイ 指甲屑。爪の先。——深爪の痕
が深い、爪を深くかける意にて能く賄賂を取り
或は醫師など謝金を貪るをいふ。怨が深い。

ツイン、カア、ホエ 指甲花。(種) ● 指甲花。つまぐれない
のき。(千屈菜科、庭園に栽培してその芳香を愛
し、又葉を搗碎し爪を染むるに用ふ。● 鳳仙
ツイン、カア、マア 狀脚媽。【狀】の◎の神。【花】。

ツイン、カウ、カウ 倉口。倉の出入口。——簿倉を出入する
敷敷を記載する帳簿。

ツイン、カウ、カウ 輪口。船輪の出入口。——単船荷の證書。
船に積んである貨物の目録。——簿船に積んで
ある貨物の帳簿。

ツイン、カン 鑽孔。錐で孔をあける。

ツイン、カン、カン 暗孔。弱點などを穿く。——暗縫に穿
鑿する。隙を狙ふ。

ツ

ツイン、カン、チア 暗孔刺。他人の弱點を穿くり又は利
益などの邪魔をする。

ツイン、ガア 磚仔。【磚仔】。

ツイン、ガア 鑽仔。【鑽仔】。

ツイン、ガア 串仔。【串仔】。

ツイン、キウ 床球。撞球。球突。

ツイン、クイ 床櫃。店頭などにある長櫃。(店員など夜間
其上に寝る)。

ツイン、クウ 粧句。文飾。

ツイン、クツ 暗骨。骨を舐る。

ツイン、ケエ 穿過。通す。貫通する。

ツイン、ケエ 串過。貫ける。通抜ける。

ツイン、ケエ 床架。寢臺に取附ける棚。【ること】。

ツイン、ゲエ 粧藝。【藝閣】に立たせる爲に扮装させ

ツイン、コア、ヌイム 粧觀音。【司公】の爲に滑稽劇。

ツイン、コエ、チイ 暗瓜子。西瓜の種子を前歯で割って食

ツイン、コオ 倉庫。(國) 倉庫。

ツイン、コヲ 粧閑。● 邊物。山車。● 同上を組立てて飾

ツイン、コケ 全國。全國。

ツイン、コン 床公。生兒の男神。——床媽同上と女神

ツイン、ゴア、ヌ 全願。只管願ふ所。全然願ふ所。此條事
情——你爲我設法——この事はどうか處理して
下さる様に只管御願します。

ツ

ツイン、シア、カウ、タア 從早到今。以前から今まで。

ツイン、サウ 鑽走。● 刺誤る。鰻など刺して外れる。

● 潜去る。

ツイン、ザ、サ 唆促。【唆】の◎。

ツイン、サム 磚鑿。煉瓦を切る

● 鑿。

ツイン、サム 全齋。拜——經文全部を誦讀する佛事。

ツイン、シア 庄社。村。庄。

ツイン、シイ、ヒョ 穿扇葉。扇を貼る。團扇を作る。

ツイン、シエ、ク 粧飾。裝飾する。飾付ける。飾る。潤
色する。【る用紙】。

ツイン、シエ、ク 狀式。訴狀の雛形。——紙訴狀を認め

ツイン、シエン 粧生。男形役者になる。——的男
形。男役。

ツイン、シオン 粧傷。傷のある様に見掛ける。作傷。

ツイン、シツ 暗翼。鳥が嘴で羽の根を掻き突く。

ツイン、シヌ 粧神。神を装ふ。——成神粧鬼成鬼神
を装へば神となり鬼を装へば鬼となる、立派なも
のに成るには立派な行が必要なり。

ツイン、シヌ 全身。總身。總身。滿身。全身。

ツイン、シヌ、チオン 粧神將。祭禮の時など神將の装を
する、又其者。

ツイン、シム、リエ、ヌ 鑽心蓮。【時錶仔花】。



鑿 磚

ツシジヤ 瘡跡。瘡の跡。

ツシジエヌ 全然。全く。全で。全然。絶えて。一向。

――没得得 全く出来ない。全く分らない。

ツシジホク 床褥。敷蒲團。

ツシジヤ 鑽入。突入。潜込む。――人縫 人込の中

ツシスイ スイ粧美。綺麗に着飾る。

ツシスウ 状師。状師。代言人。辯護士。

ツシスウ 状詞。(多) 告訴状に記載する詞。

ツシソア カア 穿山甲。【穿山甲】。

ツシソア リエン 穿山龍。①大砲の名。②(種)ちがや。

(禾本科、葉は屋根葺用に供し、嫩葉は家畜の飼

料となす) ③がんどろかづら。(葫蘆科、種子は洗

滌劑として打撲傷を治す) ④地脈の吉凶を卜し

て職業とするもの。――萬世窮 同上のもの

は代代貧乏する。

ツシソア 状紙。訴状を認める用紙。

ツシソア エ 粧做。似せる。見せかける。装置。装ふ。

ツシソア 全打。長期間の殯の場合に棺桶の隙間を

完全に塗ること。

ツシソア 粧艶。化粧をする。形を作る。俏す。着飾

る。艶飾す。

ツシソウ 庄頭。①村。村落。②村の入口。村の上。

ツシソウ 指頭。指。――仔 同上。――伸出来亦

有長短 指を伸しても亦長短あり、全部揃はせ

ることは困難なる意。【指頭】。

ツシソウ 従頭。初から。――不知 初から知らな

い。――起理 初からの事の起。

ツシソウ 床頭。寢臺の頭の方。――打床尾和 寢

臺の頭の方では殴合つても寢臺の足の方では伸直

をする。夫婦喧嘩。

ツシソウ アア 指頭仔。指。――磨成針 指先が

磨れて針になる、非常に働か意。

ツシソウ アア バク 指頭仔目。指の關節。指の節。

ツシソウ ケエ 穿透過。貫通す。貫く。

ツシソウ コン 指頭公。①拊指。②一番偉い。

ツシソウ ブウ 指頭母。拊指。大指。――印 拊印。

ツシソウ ブウ コン 指頭母公。【指頭公】。

ツシソウ アア 庄正。村の頭。立物。顔役。

ツシソウ アア 粧淨。【淨】に扮する。

ツシソウ アア 暗刺。慾心を以て穿鑿して見付出す。嗅出

す。穿出す。

ツシソウ アア ブウ 床祖母。産の前後を守る神。

ツシソウ アア 穿針。針に通す。

ツシソウ チイ 饞舌。舐する。舌舐。

ツシソウ チイ カン 鑽錢孔。錢の穴を通す。貪欲で何か金

儲はないかと諸處を潜歩く。――的人 人 同

ツシソウ チウ 全章。全文。

ツシソウ チウ 伸手。手を出す。手を伸す。――突着壁

手を伸せば壁に突當る、登之で壁以外に手に觸

るものなきにいふ。――摸心肝 手を伸して

心に當ててみる。良心に問うて見る。

ツシソウ チエン 粧整。飾立てる。飾整へる。

ツシソウ チエン 粧證。證據品たる贓物。

ツシソウ チア 磚庭。煉瓦を敷詰めた庭。

ツシソウ チア 磚廳。客間の土間の煉瓦を敷いてある所。

ツシソウ チア ビス 全廳面。應接間の設備品一式。粧奩

合――嫁入道具として應接間の設備品を持

て行く。 〔上になる。〕

ツシソウ チア ア 粧貼。芝居で下婢などに粉装する者又同

ツシソウ チウ 庄長。庄長。村長。

ツシソウ チウ 粧丑。茶利役になる。道化役者に扮する。

ツシソウ チウ ア 全張紙。全紙。一枚紙。

ツシソウ チエン 庄貞。田舎。片田舎。――欸 田舎風。

――人 在郷者。田舎者。

ツシソウ チオン 庄中。村内。庄内。

ツシソウ チオン ケエ バイ 庄中科派。村費。

ツシ

ツシ

ツシ

ツ

ツシ ヅッ 伸直。眞直に伸す。
 ツシ ヅヌ 穿麿。簾を通す、簾細工する。
 ツシ ツイ 鑽水。水を漕る。水を漕る。
 ツシ ツイ チエン 鑽水艇。(新) 潛航艇。
 ツシ ツツ ライ 鑽出來。買出る。漕って出る。
 ツシ ツシ 粧粧。【粧】。
 ツシ ツシ 鑽鑽。●辛——非常に辛い。●【鑽】の○
 ツシ ツシ 暖暖。【暖】。
 ツシ ツシ 饌饌。【饌】。
 ツシ ツシ 穿穿。【穿】の○。
 ツシ ツシ 伸伸。【伸】。
 ツシ ツシ 暗暗。【暗】。
 ツシ ツシ 串串。【串】の○。
 ツシ ツシ キヲ 駁駁叫。哮到——駁泣をする。
 ツシ ツシ ハウ 駁駁哮。【駁駁叫】。
 ツシ テエ 粧茶。茶の荷拵をする。茶を荷造する。
 ツシ トア 粧旭。女形の役者になる。女形に扮する。
 ツシ トエ 船底。船底に残った荷。——米——同上の米。
 ツシ トエ ホン 鑽地風。(動) 暗褐色の樹皮の薬品。
 (煎服して關節病を治す)。
 ツシ トヲ 床道。寢臺の框。寢臺の前方の縁。
 ツシ トク 瘡毒。微毒。瘡毒。瘡。——入骨——骨絡。
 ツシ ニイ 庄裡。村。田舎。村内。在郷。——欸——田

ツ

ツシ ヅニ 全年。全年。
 ツシ ニイ コアヌ 庄裡欸。田舎風。鄙風。
 ツシ ニイ シエヌ シイ 庄裡先生。田舎の先生。
 ツシ ニイ ビヲ 庄裡廟。村の廟。
 ツシ ヅシ 粧粧。【粧】。
 ツシ ヅシ 鑽鑽。【鑽】の○。
 ツシ ヅシ 暖暖。【暖】。
 ツシ ヅシ 饌饌。【饌】。
 ツシ ヅシ 伸伸。【伸】。
 ツシ ヅシ 暗暗。【暗】。
 ツシ ヅシ 串串。【串】。
 ツシ ハヌ 村漢。田夫者。田夫野人。
 ツシ バン 全望。只管望む。全然希望する。——你一
 個——汝一人を只管望む。只汝一人を頼にする。
 ツシ ヅイ 全派。全派。流派全體。
 ツシ ゴシ 穿縫。隙に物を通す。賢——よく人の缺
 點や金儲の口を探す。
 ツシ ヒア 磚瓦。煉瓦と瓦。
 ツシ ヒイ 粧戲。●役者が化粧する。扮する。●芝居

ツ

ツシ ヒイ 鑽耳。●耳輪など指める爲に耳に孔をあけ
 (俚語などにいふ)可愛想だよ役者にされて。
 ●耳を撃く。聲音能——音聲が同上。
 ツシ ヒヲ タン 晴葉蟲。(動) 穿葉蟲。「水を漕る。
 ツシ ヒイ 鑽泳。水を漕る。鷹鷲賢——鷲はよく
 ツシ ヒイ 倉米。倉庫の米。在庫米。「幕。
 ツシ ヒイ 床櫛。寢臺の蚊帳の上部に垂れ下る美しい
 ツシ ビヌ 庄民。庄民。
 ツシ ビア 磚壁。土間に敷く薄い煉瓦。——瓦——煉
 瓦等の總稱。
 ツシ ビイ 磚棚。四角の扁い煉瓦を敷いた平な屋根。
 露臺。ペランダ。——仔——同上。踏——露臺の
 煉瓦を敷く。
 ツシ ビイ 全備。全備。
 ツシ ビイ 全篇。全篇。全文。
 ツシ ビイ 駁鼻。鼻をかむ。
 ツシ ビツ ベヘ 饌筆尾。筆の先を舐る。
 ツシ フウ 全付。一組。合巻。一式。一揃。
 ツシ フウ 臟腑。臟腑。
 ツシ フヌ 粧煙。●煙草を荷造する。●阿片煙膏を罐
 詰にする。●阿片を吸ふとき阿片を煙管の頭につ
 ける。煙草を煙管に詰める。

ツ

ツム フヌ 瘡痕。瘡痕。
 ツム ブウ 床母。産兒を保護する神。生兒の神。
 ツム ブウ イイ 床母衣。【婆娑衣】。
 ツム プッ 賍物。(國) 賍物。
 ツム ブヌ 全文。(國) 全文。
 ツム プッ 粧佛。佛像を作る。佛の像を作る。
 ツム ヘエ 粧貨。荷作。荷捲。
 ツム ベエ 庄尾。村の端。村の出口。
 ツム ベエ 床尾。寢臺の足の方。
 ツム ホエ タア フヌ 粧花艶粉。假粧する。花を挿し
 白粉をつけてやつす。
 ツム ホヲ 全好。全治。全快。病——病氣全快。
 ツム ホン 瘡瘋。(病) 微毒。瘡毒。
 ツム ボオ ツエ イウ 粧模倣。虚言の言譚をする。
 ツム ボヲ 全無。全く無い。絶無。
 ツム ボヲ 床母。(漢) 【床母】。
 ツム ボオ 全部。(國) 全部。全體。
 ツム ボオ 床鋪。寢臺。寢間。
 ツム ポヲ 床婆。【床母】。
 ツム マア 床媽。【床母】。
 ツム ムン 庄門。村の門。
 ツム ムン 磚門。煉瓦の門。
 ツム ムン 嘴毛。鳥が嘴で羽の根を掻突く。

ツ

ツム ライ 庄内。村内。庄内。
 ツム ラッ 全力。全力。
 ツム ラン 鑽人縫。大勢の人の間を潛る。
 ツム リアム 粧奩。嫁入道具。嫁入支度。嫁入の持參
 金又は持參品。
 ツム リイ ソン 庄裡倉。山出。ぼつとで。田舎者。
 ツム リイ ツウ 庄裡厩。村家。在家。
 ツム リイ ラン 庄裡人。田舎者。
 ツム リエ ッ 全列。全列。
 ツム リエン 饌乳。乳を舐る。乳を舐る。
 ツム リヌ 饌乳。前に同じ。
 ツム レエ 庄例。村の規則。
 ツラ ツラ ツラ
 ツラ 苜。沮。茲。菑。睢。諸。茨。資。疽。書。…
 (衆) 【ツウ 苜。沮。茲。菑。睢。諸。茨。資。疽。書。…】。
 ツラ 子。煮。… 【ツウ 子。煮。…】。
 ツラ 漬。(衆) 【漬】。
 ツラ 慈。薯。… 【ツウ 慈。薯。…】。
 ツラ 自。字。… 【ツウ 自。字。…】。
 ツラ 蛆。數。… 【ツウ 蛆。數。…】。
 ツラ 臂。鼠。處。此。… 【ツウ 臂。鼠。處。此。…】。

ツ

…】。
 ツラ 飲。次。… 【ツウ 飲。次。…】。
 ツラ 毗。(衆) 【毗】。
 ツラ アイ 慈愛。(衆) 【慈愛】。
 ツラ アイ 自愛。(衆) 【自愛】。
 ツラ アヌ ニイ 自如此。(衆) 【自如此】。
 ツラ イイ 緇衣。(衆) 【緇衣】。
 ツラ イイ 書院。(衆) 【書院】。
 ツラ イイ ウイ 自由。(衆) 【自由】。
 ツラ イウ 書友。(衆) 【書友】。
 ツラ イウ 自由。(衆) 【自由】。
 ツラ イウ チエン テエ 煮油淨宅。(衆) 【煮油淨宅】。
 ツラ イエ ク 鼠疫。(衆) 【鼠疫】。
 ツラ イオン 滋養。(衆) 【滋養】。
 ツラ イオン 姿容。(衆) 【姿容】。
 ツラ イム 滋陰。(衆) 【滋陰】。
 ツラ イム 子音。(衆) 【子音】。
 ツラ イム ポオ 滋陰補。(衆) 【滋陰補】。
 ツラ ウイ 諸位。(衆) 【諸位】。
 ツラ ウヌ 次韻。(衆) 【次韻】。
 ツラ ウヲ 諸積。(衆) 【諸積】。
 ツラ エエ 自縊。(衆) 【自縊】。
 ツラ カイ コヲ 自開誇。(衆) 【自開誇】。

ツカ

ツカ カク 自覺。(泉) 【自覺】。
 ツカ カク 鼠麴。(泉) 【鼠麴】。
 ツカ カク コヲ 鼠麴標。(泉) 【鼠麴標】。
 ツカ カツ 諸葛。(泉) 【諸葛】。
 ツカ キアム 自謙。(泉) 【自謙】。
 ツカ キイ 自己。(泉) 【自己】。
 ツカ キイ 自欺。(泉) 【自欺】。
 ツカ キイ 自棄。(泉) 【自棄】。
 ツカ キエク 此刻。(泉) 【此刻】。
 ツカ ケエン 自耕。(泉) 【自耕】。
 ツカ キオン 子宮。(泉) 【子宮】。
 ツカ キム 自今。(泉) 【自今】。
 ツカ キム 自禁。(泉) 【自禁】。
 ツカ キム 自矜。(泉) 【自矜】。
 ツカ ギエヌ ツラ グラ 自言自語。(泉) 【自言自語】。
 ツカ クイ 書櫃。(泉) 【書櫃】。
 ツカ クイ 子規。(泉) 【子規】。
 ツカ クイ 自愧。(泉) 【自愧】。
 ツカ クウ 書句。(泉) 【書句】。
 ツカ クヌ 諸君。(泉) 【諸君】。
 ツカ クヌ 書巾。(泉) 【書巾】。
 ツカ クヲ 此去。(泉) 【此去】。
 ツカ ケエ 書架。(泉) 【書架】。

ツコ

ツコ ケエ 資格。(泉) 【資格】。
 ツコ コア 自誇。(泉) 【自誇】。
 ツコ コア 次官。(泉) 【次官】。
 ツコ コア ツ 自決。(泉) 【自決】。
 ツコ コオ 慈姑。(泉) 【慈姑】。
 ツコ コオ 自高。(泉) 【自高】。
 ツコ コオ 自古。(泉) 【自古】。
 ツコ コオ 自庫。(泉) 【自庫】。
 ツコ コオ 自靠。(泉) 【自靠】。
 ツコ コク 諸國。(泉) 【諸國】。
 ツコ コク 自國。(泉) 【自國】。
 ツコ コン 子貢。(泉) 【子貢】。
 ツコ コオ エ 鼠瓜。(泉) 【鼠瓜】。
 ツコ ゴオ 子午。(泉) 【子午】。
 ツコ ゴオ 自誤。(泉) 【自誤】。
 ツコ ゴオ サム 子午針。(泉) 【子午針】。
 ツコ ゴオ ソア 子午線。(泉) 【子午線】。
 ツコ ゴオ ホエ 子午花。(泉) 【子午花】。
 ツコ ゴオ 子月。(泉) 【子月】。
 ツコ サツ 自殺。(泉) 【自殺】。
 ツコ サア 自早。(泉) 【自早】。
 ツコ サイ 資財。(泉) 【資財】。
 ツコ サイ 自在。(泉) 【自在】。

ツク

ツク サイ 自裁。(泉) 【自裁】。
 ツク サツ ア 鼠賊仔。(泉) 【鼠賊仔】。
 ツク サヌ 資助。(泉) 【資助】。
 ツク シイ 子時。(泉) 【子時】。
 ツク シイ 自是。(泉) 【自是】。
 ツク シイ 此時。(泉) 【此時】。
 ツク シウ 自修。(泉) 【自修】。
 ツク シウ 自守。(泉) 【自守】。
 ツク シウ 自首。(泉) 【自首】。
 ツク シエク 姿色。(泉) 【姿色】。
 ツク シエク 子息。(泉) 【子息】。
 ツク シエヌ 慈善。(泉) 【慈善】。
 ツク シエン 諸生。(泉) 【諸生】。
 ツク シエン 資性。(泉) 【資性】。
 ツク シエン 自省。(泉) 【自省】。
 ツク シヌ 自身。(泉) 【自身】。
 ツク シム 慈心。(泉) 【慈心】。
 ツク スイ 齊衰。(泉) 【齊衰】。
 ツク スヌ 子孫。(泉) 【子孫】。
 ツク スヌ タン 子孫桶。(泉) 【子孫桶】。
 ツク スヌ チエン 子孫燈。(泉) 【子孫燈】。
 ツク スヌ チエン 子孫釘。(泉) 【子孫釘】。
 ツク スク 諸事。(泉) 【諸事】。

ツラ

ツラ スラ 子思。(息)【子思】。
 ツラ スラ 自序。(息)【自序】。
 ツラ スラ 處士。(息)【處士】。
 ツラ スラ 處事。(息)【處事】。
 ツラ スラ 處暑。(息)【處暑】。
 ツラ スラ 次序。(息)【次序】。
 ツラ セエ 姿勢。(息)【姿勢】。
 ツラ セエ 處世。(息)【處世】。
 ツラ モエ 書冊。(息)【書冊】。
 ツラ ソア 子線。(息)【子線】。
 ツラ ソオ エ 仔細。(息)【仔細】。
 ツラ ソノ エ 自細。(息)【自細】。
 ツラ フア ヌ 自專。(息)【自專】。
 ツラ フア ヌ 自撰。(息)【自撰】。
 ツラ フア ヌ 鼠竄。(息)【鼠竄】。
 ツラ フア ヌ オ ア 自轉車。(息)【自轉車】。
 ツラ フア ヌ マ ア ム 自藥店。(息)【自藥店】。
 ツラ フオ 資助。(息)【資助】。
 ツラ フク ギ ャ ャ ャ 自作孽。(息)【自作孽】。
 ツラ フク ツラ シ ウ 自作自受。(息)【自作自受】。
 ツラ フク ツラ フア ヌ 自作自專。(息)【自作自專】。
 ツラ フク ツラ トン 自作自當。(息)【自作自當】。
 ツラ フオ エ 此節。(息)【此節】。

ツラ

ツラ タイ 書懷。(息)【書懷】。
 ツラ タイ 自大。(息)【自大】。
 ツラ タウ 薯豆。(息)【薯豆】。
 ツラ タウ カウ ボ ア 自頭到尾。(息)【自頭到尾】。
 ツラ タウ キイ リイ 自頭起理。(息)【自頭起理】。
 ツラ タウ チイ ボ ア 自頭至尾。(息)【自頭至尾】。
 ツラ チア 資藉。(息)【資藉】。
 ツラ チア 煮食。(息)【煮食】。
 ツラ チア 自此。(息)【自此】。
 ツラ チイ 自持。(息)【自持】。
 ツラ チウ ツラ トア 自唱自彈。(息)【自唱自彈】。
 ツラ チエ ャ ャ ャ 處折。(息)【處折】。
 ツラ チエン 自稱。(息)【自稱】。
 ツラ チオク 子爵。(息)【子爵】。
 ツラ チオク 自足。(息)【自足】。
 ツラ チツ 資質。(息)【資質】。
 ツラ チヌ 自盡。(息)【自盡】。
 ツラ チヌ 慈親。(息)【慈親】。
 ツラ チアム 書店。(息)【書店】。
 ツラ チイ 自治。(息)【自治】。
 ツラ チイ 處治。(息)【處治】。
 ツラ チウ 次長。(息)【次長】。
 ツラ チエク 自得。(息)【自得】。

ツラ

ツラ チエヌ 書牘。(息)【書牘】。
 ツラ チエヌ 字典。(息)【字典】。
 ツラ チエヌ 自展。(息)【自展】。
 ツラ チオン 書中。(息)【書中】。
 ツラ チオン 自重。(息)【自重】。
 ツラ チオン 此中。(息)【此中】。
 ツラ チオン 蛆蟲。(息)【蛆蟲】。
 ツラ チッ 子姪。(息)【子姪】。
 ツラ チッ 自得。(息)【自得】。
 ツラ ツウ 自主。(息)【自主】。
 ツラ ツヌ 自尊。(息)【自尊】。
 ツラ ツラ 孜孜。(息)【孜孜】。
 ツラ ツラ 諸子。(息)【諸子】。
 ツラ ツラ 次子。(息)【次子】。
 ツラ ツラ 玼玼。(息)【玼玼】。
 ツラ ツラ 此處。(息)【此處】。
 ツラ ツラ 處處。(息)【處處】。
 ツラ ツラ 毗毗。(息)【毗毗】。
 ツラ ツラ サイ サイ 自在在。(息)【自在在】。
 ツラ ツラ シオン 孜孜相。(息)【孜孜相】。
 ツラ ツラ ジエヌ ジエヌ 自自然然。(息)【自自然然】。
 ツラ ツウ 書厨。(息)【書厨】。
 ツラ テエ 子弟。(息)【子弟】。

ツウ

ツウ、エ、自宅。(臭)【自宅】。
 ツウ、テ、次第。(臭)【次第】。
 ツウ、テ、エ、チ、ッ、子弟姪。(臭)【子弟姪】。
 ツウ、テ、エ、ヒ、イ、子弟戯。(臭)【子弟戯】。
 ツウ、テ、エ、ホ、オ、子弟虎。(臭)【子弟虎】。
 ツウ、テ、エ、ボ、オ、子弟尾。(臭)【子弟尾】。
 ツウ、テ、エ、ラン、子弟人。(臭)【子弟人】。
 ツウ、ト、ア、紫檀。(臭)【紫檀】。
 ツウ、ト、ア、自大。(臭)【自大】。
 ツウ、ト、ア、ザ、ウ、書帶草。(臭)【書帶草】。
 ツウ、ト、ア、ヌ、自斷。(臭)【自斷】。
 ツウ、ト、ア、ヌ、處斷。(臭)【處斷】。
 ツウ、ト、ア、書桌。(臭)【書桌】。
 ツウ、ト、ア、書套。(臭)【書套】。
 ツウ、ト、ア、ア、書桌仔。(臭)【書桌仔】。
 ツウ、ト、ン、書童。(臭)【書童】。
 ツウ、ト、ン、書堂。(臭)【書堂】。
 ツウ、ト、ン、自動。(臭)【自動】。
 ツウ、ト、エ、書底。(臭)【書底】。
 ツウ、ニ、ウ、姿娘。(臭)【姿娘】。
 ツウ、ヌ、ン、薯榔。(臭)【薯榔】。
 ツウ、パ、ヌ、自慢。(臭)【自慢】。
 ツウ、パ、ン、眈眈。(臭)【眈眈】。

ツウ

ツウ、パ、ヌ、書辨。(臭)【書辨】。
 ツウ、パ、ヌ、自辨。(臭)【自辨】。
 ツウ、パ、ン、書房。(臭)【書房】。
 ツウ、ヒ、エ、ヌ、書軒。(臭)【書軒】。
 ツウ、ヒ、エ、ン、處刑。(臭)【處刑】。
 ツウ、ヒ、オ、ン、雌雄。(臭)【雌雄】。
 ツウ、ヒ、ラ、諸侯。(臭)【諸侯】。
 ツウ、ビ、イ、滋味。(臭)【滋味】。
 ツウ、ビ、イ、紫微。(臭)【紫微】。
 ツウ、ビ、エ、ツ、自滅。(臭)【自滅】。
 ツウ、ビ、エ、ン、キ、ム、自鳴琴。(臭)【自鳴琴】。
 ツウ、ビ、エ、ン、チ、エ、ン、自鳴鐘。(臭)【自鳴鐘】。
 ツウ、ビ、ラ、慈母。(臭)【慈母】。
 ツウ、ビ、ヌ、子民。(臭)【子民】。
 ツウ、ビ、イ、慈悲。(臭)【慈悲】。
 ツウ、ビ、イ、自備。(臭)【自備】。
 ツウ、ビ、イ、鼠病。(臭)【鼠病】。
 ツウ、ビ、ツ、自筆。(臭)【自筆】。
 ツウ、フ、イ、慈惠。(臭)【慈惠】。
 ツウ、フ、イ、自費。(臭)【自費】。
 ツウ、フ、ウ、諸父。(臭)【諸父】。
 ツウ、フ、ウ、慈父。(臭)【慈父】。
 ツウ、フ、ウ、自負。(臭)【自負】。

ツウ

ツウ、フ、ヌ、自分。(臭)【自分】。
 ツウ、フ、リ、ヌ、自恨。(臭)【自恨】。
 ツウ、ブ、イ、滋微。(臭)【滋微】。
 ツウ、ブ、ヌ、自刎。(臭)【自刎】。
 ツウ、ブ、ヌ、資本。(臭)【資本】。
 ツウ、ブ、ン、煮飯。(臭)【煮飯】。
 ツウ、ホ、ア、ツ、煮法。(臭)【煮法】。
 ツウ、ホ、ア、ツ、處罰。(臭)【處罰】。
 ツウ、ホ、ア、ヌ、此番。(臭)【此番】。
 ツウ、ホ、オ、蛆虎。(臭)【蛆虎】。
 ツウ、ホ、ラ、書號。(臭)【書號】。
 ツウ、ホ、ラ、自號。(臭)【自號】。
 ツウ、ホ、ラ、處和。(臭)【處和】。
 ツウ、ボ、オ、鼠尾。(臭)【鼠尾】。
 ツウ、ボ、オ、ホ、ン、鼠尾風。(臭)【鼠尾風】。
 ツウ、ボ、エ、鼠輩。(臭)【鼠輩】。
 ツウ、ボ、オ、書舖。(臭)【書舖】。
 ツウ、ボ、オ、ツ、ウ、キ、自暴自棄。(臭)【自暴自棄】。
 ツウ、ボ、オ、書皮。(臭)【書皮】。
 ツウ、ボ、オ、敷被。(臭)【敷被】。
 ツウ、ミ、ア、書名。(臭)【書名】。
 ツウ、ミ、ア、字名。(臭)【字名】。
 ツウ、ライ、書内。(臭)【書内】。

ツイカム ハブ 對盜合。割印を合せて見る。割印を

した二枚の證文を合せて見る。

ツイカン 對講。直に話す。相對していふ。談合する。

ツイガヌ 對岸。(一) 對岸。

ツイキア 對行。將棋などの手合をする。

ツイキイ 對期。期限。期日。無一二期日でない。

期限でない。

ツイキイ 倅氣。足など病氣で腫る。腫む。

ツイキイ 返去。(一) 返去。

ツイキイ 替齒。齒が生換る。

ツイキウ 追究。(一) 追究。

ツイキエク 追擊。(一) 追擊。

ツイキエン 對景。折好く又は折悪く。丁度。計らず

も。偶然。一伊來一折好く彼が來た。一被

警察看見一折悪く警察官に見附けられた。

ツイキヌ 轉筋。(一) 轉筋。

ツイキヌ 斷根。(一) 斷根。

ツイキム 對襟。詰襟洋服の如く上衣の合目を中央に

作る仕立方。「積上げる。」

ツイキムチ エク ギオク 堆金積玉。(一) 金銀珠玉を

ツイキムチ アウ 兌金條。金の棒を銀貨に取換へる。

ツイギヌ 對銀。(一) 對銀。

ツイギヌ 兌銀。(一) 兌銀。

ツイクイ 推擦。強く擦る。藥などで擦る。頭壳痛

創薄荷氷一就能好一頭痛には薄荷で擦ると

よくなる。

ツイクイ クイ 脫光光。(一) 脫光光。

ツイクウ 對句。聯句。對句。

ツイクウ 確白。唐白。踏白。

ツイクヌ 追軍。追兵。「て揉む。」

ツイクヌ リア エン 捕拿掠龍。按摩する。按摩し

ツイクン 對扛。二人で擔ぐ。雙方で負擔する。

ツイクウ 捕牛。去勢する爲に牛の辜丸を叩き潰す。

ツイグウ キク キエン 對牛讀經。牛に向つて經を讀

む。馬の耳に念佛。

ツイグウ トア キム 對牛彈琴。牛に向つて琴を彈す。

馬の耳に念佛。

ツイグヌ 對銀。金を突合せる。金高を突合せる。

ツイグヌ 兌銀。銀貨に取替へる。銀貨を爲替にして

送る。

ツイケエ 對價。價を較べる。値段を合はせてみる。

ツイケエ 對過。引合済。照合済。債權債務など

差引勘定をする。「敵對。」

ツイケエ 對逆。反對する。逆ぶ。反抗する。角突合。

ツイケエ 追啓。(一) 二白。追啓。

ツイケエ 對拵。仲違。摩擦。反目。摩擦ふ。

ツイコア 追趕。追掛ける。追掛ける。若無隨時一

就掠没着一直に追掛けないと捕られない。一

能着一追着くことが出来る。

ツイコア 隊官。二三十人の長。隊長。分隊長。

ツイコア 對着。照合して見る。引合せて見る。

ツイコア 對卷。「做功德」の際の行事の一種。

ツイコエ 對過。(一) 對過。

ツイコエ 腿襠。豚・水牛などの腿の皮。一落落一

瘦せて腿の皮が弛む。

ツイコラ 對稿。原稿と引合はせる。

ツイコン 對講。對話。對談。會話。

ツイコン 對抗。對抗。抵抗。敵對。敵する。手向ふ。

ツイコン 與伊一一彼に對抗する。

ツイコン チイ 槌撞鏡。非常につらい。嚴しい。

槌頭一一仕事が同上。掛合ふ。與伊一一

彼に談判する。

ツイコオ 對過。(一) 對過。「ぶ。」

ツイゴオ 隊伍。隊伍。行列。一整齐一隊伍が整

ツイゴオ チオン 對牛衝。正反對。互に反目し合

仲が悪い。夫仔妻一一夫婦が互に反目し合

ツイサア 槌衫。洗濯のとき棒で着物を打つ。「ぶ。」

ツイサウ 堆草。草を盛上げる。

ツイ

ツイ

ツイ

ツイ

ツイツツ 追賊。盜賊を追ふ。

ツイシノウ 追賤。帳合。勘定を突合せ。

ツイシアン 對相。(英)【對相】。

ツイシイ 對時。一―翌日の同一時刻迄の間。一晝夜。二―晝夜。

ツイシイ 追死。撲殺す。打殺す。

ツイシウ 追收。(英) 追徴。

ツイシウ 追賞。追賞。

ツイシウク 追惜。(英) 追惜。

ツイシオン 追想。(英) 追想。

ツイシオン 對相。見合ふ。顔を見合せる。相――向合ふ。差向。

ツイシヌ 確身。杵の柄。

ツイシヌ 對訊。對審。對決。對質。

ツイシヌバア 腿身肉。●腿の赤肉。●大切な品。最も大切にしてゐる物。這是我的――これは僕の同上だ。

ツイシヌボエ 斷蠅飛。(英)【斷蠅飛】。

ツイシム 對審。對審。對決。對質。

ツイシムヒエク 腿心肉。【腿心肉】。

ツイジエク 追越。(英)【追越】。

ツイジヌ 腿仁。内腿の赤肉。

ツイジブ 追越。追跡。追緝。

ツイ

ツイスウ 追思。(英) 追思。

ツイスウ 追賜。追贈。

ツイモエ 對坐。對坐。差向。相――同上。

ツイモエ 轉生。(英)【轉生】。

ツイモエ 轉青。(英)【轉青】。積する。

ツイソア ツイハイ 堆山堆海。堆高い。山の如く集

ツイソオ 追租。租穀を追徴する。

ツイソオ 對租。債務辨償の方法として自己の受取るべき租穀を小作人より直接債權者の手に交付せしめること。一俾銀主打同上して債權者に徴收せしめる。

ツイソオ 對立。雙旁――相方對立する。

ツイソオ 對胎。●流産。●墮胎。子を下す。――的藥下藥。

ツイソウ 堆頭。堆積したもの。集合したもの。

ツイソウ 確頭。杵の頭。

ツイソウ 對頭。差向。相對する。向合ふ。向合ふ。相對盡く。一約互の約束。一有勢靠。兩方とも後援がある。一有主。兩方とも主がある。雙方とも據る處がある。一講對話。一誤。兩方とも間違。一講對話。對話。

ツイソウ 腿頭。太股の附根。

ツイソウク 腿頭骨。骨盤。

ツイソウバア 腿頭肉。太腿の肉。

ツイソウビイ 對頭米。一石の穀が白にかけて五斗の米になる、普通の質り。今年的粟有――無。今年のは同上ですか。一来る腫物。

ツイソウロン 腿頭臆。(英) 臂の傍の腫物。太股に出

ツイソウタナ 對答。應答。一如流。一應答流るるが如し。

ツイソウタム 對談。(英) 對談。對話。

ツイソウタン 對同。符合する。きっかり合ふ。

ツイソウタン 倅重。●重さを平均させる。下一塊石頭來。一石を一箇入れて重を平均させる。●目方に掛ける。這是算件的也是――的これは數で勘定をするのか又は目方に掛けるのか。

ツイ

ツイソウタン 倅重。●重いものをぶら下げる。縛石頭來。一暴風に吹飛されぬ様に重い石をぶらさげるなど。●ぶら下る重さ。銅錢真。一銅貨は甚だ重がある。

ツイソウチアウ 對照。(英) 對照。

ツイソウチアア 對接。直接に。打付に。直に。一與伊講。直接に彼に話す。

ツイソウチアア 替接。付替へる。接替へる。柱脚ヲ去着更。一柱が悪くなったから更に接替へねば

ならぬ。

ツイチイ 對指。對決。對質。叫來——呼んで来て對決させる。

ツイチイ 對錢。●金を突合す。●第三者をして勘定させる。——還伊——第三者の手から金を返す。

ツイチイ 倭縫。顔が下脹になつてゐる。

ツイチイ 梯子。梯の棧。梯の横木。

ツイチイ 倭縫。【倭縫】。——滿二年。

ツイチウ 對週。子午が生れて滿一年になる。二——

ツイチウ 對手。相手。相手方。片相手。——是其人——相手は誰か。不是伊的——彼の敵でない。

ツイチエウ 堆積。(又)溜る。積る。堆積する。——如山——山の如くに堆積する。

ツイチエウ 對促。折衷して折合をつける。【策】。

ツイチエウ 對策。●策間に對へる。對策。●【一】對

ツイチエウ 對扯。雙方の紐などを真中で繋げる。索仔若傷長着——細が長過ぎれば真中で繋げなさい。

ツイチエウ 對據。争の時仲裁人が入つて事を落着

させる。互に折衝して歩み合ふ。ツイチエウ エエチウ ソア 對淺的上山。淺い處か

ら上陸する。商賣など始から大仕掛にしない。ツイチエン 對證。雙方の證據を調べる。證據を對照する。

ツイチエン 倭精。(病)痲病。

ツイチオン 對衝。方角など正反對。相性など相剋する。八字——生れた年月日時の干支が同する。夫妻——夫婦の相性が合はない。五鬼——

——金神の方を犯す。強敵を有する。南北——南北が相剋する。

ツイチヲ 對照。●向合ふ。向合ふ。相對する。與觀音山——觀音山と向合ふ。●【一】對照。

ツイチヲ 轉笑。(或)轉笑。【壁】。

ツイチヲ 對照牆。清國時代の官衙の門前の牆。ツイチヲ 對右腕。一荷の紐を唐箕に掛けて藥屑

糞等を除き正味一石あること。ツイチヌ 對繩。●繩に合せる。寸尺など型に合せ

て量る。●規則通りにする。能——規則通りに出来る。——行路——規則通りに行ふ。

ツイチヌ 倭繩。下墨。大工の用ひる垂直を量る繩。ツイチヌ 對親。許嫁する。婚約する。婚縁を結ぶ。

妻せる。尙未——まだ婚約しない。ツイチアウ 對調。互に場所を換へる。人を入れ換へ

る。位置を入れ換へる。守備兵——守備隊が交代する。

交代する。

ツイチアム 對點。命中。適中。中る。能——必ず中る。見込がある。各次講話真——何時も話がよく適中する。

ツイチイ 對抵。【對抵】。

ツイチイ 對除。(或)【對除】。

ツイチウ 隊長。隊長。ツイチエウ 對敵。●敵。敵。相手。●敵對する。對抗する。手向ふ。——的黨——敵方。——的人

——敵人。不是伊的——彼の敵でない。到底叶はない。

ツイチエヌ 對佃。●債務辨償の方法として自己の受取るべき小作料を小作人より直接債權者の手に交付せしむること。——納利息——同上して利息を支拂ふ。●土地を賣渡した時買受人に對し小作人を引續ぐこと。

ツイチエヌキイ 對佃胎。【對佃】の方法を以てする【胎借】。一に之を「滙租」と云ふ。

ツイチエヌキイチヲジイ 對佃胎借字。【對佃胎】の借用證。

ツイチホク 追逐。(又)追放。驅逐。

ツイチオン 對中。真中。中央。中心。打着適適——丁度中心に當る。

ツイ

ツイチオン 對重。●貴重。●鄭重。大切。●重んずる。

鄭重にする。珍重する。丁寧にする。

ツイチオン 倅賜。(●) 歇爾尼亞。

ツイチヲ 追着。追付く。追付く。被伊——彼に追

付かれた。

ツイチツ 對直。直徑。直徑。——看——直視。——

去——直行。

ツイチヌ 對陣。對陣。相——同上。

ツイツイ 對嘴。向って話す。相對して口をきく。相——

講——相對づくで話す。——就應——相手の話に對して直に答へる。——就罵——相手のいふことに對して直に罵る。

ツイツイ 堆堆。【堆】の㊟。

ツイツイ 追追。【追】の㊟。

ツイツイ 對對。【對】の㊟。

ツイツイ 撻撻。【撻】の㊟。

ツイツイ 倅倅。【倅】の㊟。

ツイツイ 兌兌。【兌】の㊟。

ツイツイ 返返。【返】の㊟。

ツイツイ 斷斷。【斷】の㊟。

ツイツイ 轉轉。【轉】の㊟。

ツイツイ 擲擲。【擲】の㊟。

ツイツイ 燙燙。【燙】の㊟。

ツイ

ツイツイ 斷斷。【斷】の㊟。

ツイツイ 推推。【推】の㊟。

ツイツイ 替替。【替】の㊟。

ツイツイ 奈奈。【奈】の㊟。

ツイツイ 倅倅。【倅】の㊟。

ツイツイ 脫脫。【脫】の㊟。

ツイツイ 兌兌。【兌】の㊟。

ツイツイ 傳傳。【傳】の㊟。

ツイツイ 燙燙。【燙】の㊟。

ツイツウ 對抵。●押して来る力を防ぎ止める。突張

合ふ。押して防ぐ。●對抗し合ふ。二個在——

二人が對抗してゐる。

ツイツウ 對抵。●突張合ふ。●債權債務などを相殺

する。差引勘定をする。對彼條賬——彼の

勘定の中から差引勘定をする。

ツイツウ 對除。差引する。差引く。差引勘定。——

外尙欠五元——差引いて尙五圓借になる。

ツイツン 對段。眞中を通して二つに切る。眞二つに

切斷する。切——同上。

ツイテエ 替底。(●) 【替底】の㊟。

ツイトア 對單。書附を突合せる。——點物件——書

附と引合せて品物を點檢する。

ツイトエ 替底。底を取換へる。底を修理する。浴桶

ツイ

ツイトオ 追悼。(●) 【追悼】の㊟。

着——風呂桶の底を取換へねばならぬ。

ツイトオ 對都。適中。當る。講話不止——話が

よく適中する。射箭成——箭がよく中る。

ツイトオ 對途。途に對する。要點に當る。機宜に當

る。能——成功する。能く効を奏する。

ツイトオ 對圖。地圖を對照する。

ツイトオ 對肚。【對都】の㊟。

ツイトオ タン 倅肚重。船下砂——船が砂を積

んで吃水の釣合を保たせる。船がバラストを積ん

ツイトオ ホエ 追悼會。(●) 【追悼會】の㊟。【で同上】。

ツイトヲ 追悼。(●) 【追悼】の㊟。

ツイトヲ 隧道。(●) 【隧道】の㊟。

ツイトヲ 轉倒。(●) 【轉倒】の㊟。

ツイトヲ 追討。嚴しく請求する。嚴重に催促する。

ツイトヲ ガア 對何仔。(●) 何處から。

ツイトヲ ホエ 追悼會。(●) 【追悼會】の㊟。

ツイトツ 對啄。●相對して啄む。●二人で仕事する

など。恁二個在——彼等二人でやつてゐる。

ツイニイ 對年。一週忌。滿一年目。一回忌。一年忌。

做——一年忌をする。

ツイニイ キイ 對年忌。一年忌。一週忌。

ツイニイ ハア 對年孝。一年間の喪。

ツイヌイ 返返。(海)【返返】。

ツイヌイ 斷斷。(海)【斷斷】。

ツイヌイ 轉轉。(海)【轉轉】。

ツイヌイ 擲擲。(海)【擲擲】。

ツイヌイ 燙燙。(海)【燙燙】。

ツイヌイ 斷斷。(海)【斷斷】。

ツイヌイ 脫脫。(海)【脫脫】。

ツイヌイ 兌兌。(海)【兌兌】。

ツイヌイ 傳傳。(海)【傳傳】。

ツイヌイ 燙燙。(海)【燙燙】。

ツイヌイ 對打。●打合ふ。叩合ふ。向打つ。●衝突する。差障がある。鉢合する。日子——日日が衝突する。

ツイヌイ 對拜。互に禮する。相對して辭儀する。

ツイヌイ 替包。使——善い物を悪い物と替替る。替玉を使ふ。被入——去——人に同上された。

ツイヌイ 對辨。●見本に照す。見本と引合せる。●合する。適合する。合ふ。相應しい。相當する。無——相應しくない。駄目。能——相當する。

ツイヌイ 對向。(海)【對向】。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 追遠。贓品などを取戻して所有主に返す。

ツイヒエン 擲胸。(海)【擲胸】。

ツイヒオン 對向。向合ふ。向合ふ。向合。相——同上。坐——對坐する。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヒョ 替葉。舊い葉が散って新しい葉に變る。

ツイヘエ 追貨。貨物を催促する。

ツイペエ 倅平。(海)【倅平】。

ツイホア 對岸。(國)【對岸】。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 梯接。梯子の手摺。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

ツイホア 對反。反對。裏腹。反する。事情——事が反對。

る。廻合による。一着出會ふ。一屆く。突
當る。一着壁に突當る。能一着屏頂に屋根
に屆く。(語原は【抵】と同一なるべし)。

ツウ

抵。●突支椽。門一門の突支椽。●支ふ。突張
る。支ふ。支持。一門門を支へる。用柱脚一
柱で支へる。●他人の缺點などを咎立をす
る。楯を突く。創話一人口で楯を突く。擗飯
匙一猫一杓文字で猫を受止める。先に自己の缺
點を指摘せられたるに對し竹筵返をする。逆振
を喰す。●引去る。差引をする。差引く。共伊
一物品又は仕事で差引く。一三元一三圓差引
く。食物一賬一物を食って差引勘定をする。●
對する。向ふ。對抗する。紅的白的一赤いの
が白いのに對する。伊一伊一彼は彼に對抗する。
硬一硬一固いのが固いのに對抗する。雙方強情張
つて一歩も譲らぬ。人客一人客打球一客同志で
球を突く。年一年一年年。毎年。

ツウ

適。丁度。眞一好一丁度好い。一即一丁度……し
たばかり。一合我的意見一丁度僕の意見に合
ふ。(語原は【抵】と同一なるべし)。

ツウ

注。●賭博の賭錢。出一賭錢をはる。你听我
的。汝は私の賭金に對する。償金を拂へ。博
細一少しかける。博大一多ク錢をはる。翻

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

株。●一券一株券。一式一株式。【株】。
楮。●楮。【楮】。
楮。●春一同上。【楮】。
托。●支へる。突上げる。差上げる。一高一高く
捧げる。差上げる。突上げる。手一咧一手で支

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

你的。汝のはった所へ催合つてはる。二一
二所に賭ける。●金束。要趁大錢一大口に錢
を儲けようとする。彼一錢一あの金。

ツウ

著。著す。一書一書を著す。【著、著】。
滞。水など支へる。溜る。溜る。一水一水が溜
る。一陣人一住得一行列が行詰つてしまった。
一在討一債權者などが居催促をする。一在心肝
一胸に支へる。食了去一住得一食靠れる。一
没住一支へきれない。やりきれない。

ツウ

注。●輕く突く。押す。一印一印を押す。一榜仔
一杖を突く。用筆一咧一筆で點點を打つ。一
點一一點と一ちぼよを打つ。●居限る時な
どに頭をこつこつ下げる。一瞌睡一居限をする。
頭壳一没息一頻りと頭をこつこつ下げる。一頭
一禮をする。

ツウ

厨。●戸棚。厨子。風不入。櫥。押込。簞笥。杉
仔一簞笥。册一本戸棚。碗一風不入。虎一
虎の櫥。●獸類などを閉込める。押込む。監禁
する。虎厨一虎の櫥に虎を閉込める。

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

妖一妖怪を追拂ふ。一起五元一五圓引去る。
●除する。割る。用六一六で割る。加減乘
一加減乘除。【除、除】。

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

注。●除く。取除ける。差引く。引去る。一起此
項尙無較好藥一これを除いた他に良い薬はな
い。斬草一根一草を刈り根を除く。根絶する。一

ツウ

注。●呼吸・水などを塞ぎ留める。同上詰つて通ら
ない。一水一水を堰く。痰一起來一痰が喉に詰
まる。水一起來一洪水の時など水が逆差して
来る。話一一口返答をする。楯を突く。一着
一氣一氣一氣一氣一動もすると脹面をする。一氣一
息が詰る。●浸す。漬る。掠去水裡一捕へて
水につっこむ。一水一水に突込む。被水一死一
水に浸されて死ぬ。一鹹一鹽水に漬る。

ツウ

注。●力強く突く。突く。一破一突破る。一死
一突殺す。●缺點などを指摘する。突込む。一着
人的血母一人の鬪星を指す。一人的弊病一人
の缺點を指摘する。要一到俾伊無話一ぐうの
音も出ない程に突込む。

ツウ

へる。一手尾手で物を支へ力比をする。一
 嘴下斗頼杖を突く。一枒仔杖を突く。杖で
 支へる。●突いて穿る。突いて刺ぐ。穿って刺す。
 一嘴齒歯を穿る。一起来穿って刺す。一鼎鍋に
 鍋にこびり附いたものを穿って刺す。●他人の秘
 事過失などを發く。穿り出す。さらけ出す。當
 面一人目目前人の過失などをさらけ出す。一人
 的頭路人の秘事などを發いてその職業を失
 はしめる。●一仔物を鋤起すに用ひる眞直な刃
 の鋤の如きもの。銃一棚杖。

ツウ 鋤。(進) 鋤。

ツウ 儲。(進) 儲。【儲】。

ツウ 鋤。鋤る。鋤く。一割鋤で鋤る。一草同上。

【鋤、鋤】。

ツウ 躑。愚圖愚圖する。你那一彼呢久汝はなぜそ

んなに永くぐづぐづして居たのか。

ツウ 愚。鈍問。間拔。薄鈍。薄馬鹿。

ツウ アア 猪仔。(同) 【猪仔】。

ツウ アア 適仔。●今方。今方。一即來一今來ま

した。●丁度。一對中一丁度真中。最中。一

一好一丁度宜しい。

ツウ アア 厨仔。戸棚。鼠不入。

ツウ アア 箸匣。(同) 【箸匣】。

ツウ

ツウ アア 托仔。物を鋤起すに用ひる眞直な刃の鋤の
 如きもの。

ツウ アア チア 適仔即。今方。只今。少し以前。

ツウ イア 除夜。(又) 除夜。

ツウ イアム 注鹽。鹽漬にする。鹽に漬ける。

ツウ カア 猪脚。(同) 【猪脚】。

ツウ カアモエ 挂臙睡。居睡。こくりこくり眠る。

ツウ カアア 挂臙睡。(意) 前に同じ。

ツウ カイシアウゴア 除閉消外。費用を皆除いて。
 入費を差引いて。一尚剩五十元一入費
 を差引尚五十圓残る。

ツウ キアム 注鹹。鹽水に漬ける。

ツウ キイ 除起。除く。除ける。取除く。取拂ふ。以
 外。……の外。一你も無好人一汝をおいて
 他に好い人がない。

ツウ キイ 除去。取除く。廢する。止める。好的留
 得歹的。一好いのを残して悪いのを取除く。

ツウ キイライ 除起來。除く。除ける。

ツウ キウ 突球。球を突く。撞球。

ツウ キム 貯金。(同) 貯金。

ツウ ギア 抵額。足す。補ふ。

ツウ ギヌ 抵銀。(意) 【抵銀】。

ツウ クイ 除鬼。魔除。

ツウ

ツウ クイ 注氣。息が詰る。喉が支へる。呼吸が支へ
 る。

ツウ クウ 柱龜。●居眠する。●首垂れる。煩惱到
 一心配をして首垂れる。

ツウ クッパン 突骨縫。人の缺點などを指摘する。

ツウ クヌ 儲君。(又) 皇儲。儲君。

ツウ クン 株券。(同) 株券。

ツウ グウ 適遇。偶然出くはす。不圖出會ふ。遭遇。
 一伊來一丁度彼が來た。

ツウ グヌ 抵銀。錢を拂ふときなど差引する。

ツウ コアイ 托高。高く差上げる。突上げる。

ツウ コアイアア 拄枒仔。杖を突く。

ツウ コアイアア 拄枒仔。前に同じ。

ツウ コアヌ 株券。(同) 株券。

ツウ ゴアツ 除月。(又) 十二月。除月。

ツウ サツ 誅殺。(又) 誅殺。

ツウ サムシエン 抵三牲。犠牲になる。爲着衆人在
 一皆の爲に犠牲になる。

ツウ サイ 抵臍。腹に棒を當て押合つて力を比べる。棒
 押。

ツウ サイ 適彩。【檢彩】。

ツウ シアキイ 貯聲器。(新) 蓄音器。

ツウ シアウ 抵賍。勘定より引去る。勘定から差引く。
 將此個一此を借金の形に入れて其價を借

分の勘定から差引く。

ツウシイ 注死。息が詰って死ぬ。喉が支へて死ぬ。被

痰——痰が詰って死ぬ。被水——溺死する。用話要——人——癩に障ることを言って無念骨

ツウシイ 突死。突殺す。刺殺す。

ツウシイ 突生。命掛で突合ふ。與伊——

——彼と命のやりとりをする。

ツウシイ ツウツ 適時適候。●時折 伊來是——

——彼はときたまにしか来ない。●適當の時。丁度よい時。若要去尋伊着——去即有在得——彼を尋ねるならば適當の時に行かなければ居ない。

ツウシエツ 株式。(國) 株式。——會社——株式會社。

ツウシエツ 除夕。(文) 除夜。

ツウシエツ 株式。(國) 株式。

ツウシエヌ シエン 椿先生。紙の異名。

ツウシオン 突傷。突傷。

ツウシツ 除實。風袋を除けた重さ。正味。——即是五十斤正味は五十斤だ。

ツウシム 猪心。(同) 猪心。

ツウジツ 除日。(文) 大晦日。

ツウスツ 著述。(國) 著述。——家——著述家。

ツウセエロオ 抵西膏。露西亞に抵抗する。困難な事

件の衝に當るなど。擺是我在與伊——總て僕が難局に當つてゐる。

ツウモエ 著冊。本を著す。——的——著作。

ツウモエ ツウモエ 柱下柱下。●(輕く突く形容)こ

つこつと。枴仔——ステッキをこつこつと突く。●(居眠などの形容)こくりこくりと。那寫

字那——字を書きながらこくりこくりと

ツウソア 除算。除算。割算。【居眠する。

ツウソア ホア 遇造化。山子。投機をする。一六勝

負。一敷八敷やつて見る。——看覓——同上。

ツウツ 著作。(國) 著作。——權——著作權。

ツウタウ 滯倒。支へる。滯る。凝滯する。事情續

——没得進行——事件が滯つて進行しない。

ツウタウ 滯頭。【當頭】。

ツウタウ 拄頭。禮をする。

ツウタウ 鋤頭。鋤。

ツウタウ ケエ 突透過。刺通す。突抜く。

ツウタウ ペエ 猪頭皮。(同) 猪頭皮。

ツウタウ タク 抵觸。他人の缺點などを捕へて逆振を喰は

せる。竹筥返をする。突掛る。

ツウタム 注浴。浸して濡す。被單着先——即來洗

——布團の皮は先づ浸しておいてから洗ひなさい。

ツウタン 托窓。●上窓。突上窓。●窓を突上げる。

ツウチア 適即。今方。丁度今。只今。今方。——仔

——同上。——來——只今來たばかり。菊仔花——

在開——菊の花が丁度今咲初めてゐる。

ツウチア 著者。(國) 著者。

ツウチアン 適衝。丁度。折好く。圖らずも。——伊

來——圖らずも彼が來た。衝——偶然に。「する。

ツウチウ 抵手。手向ふ。抵抗する。相手にして鬭爭

ツウチウ 托手。手で支へる。手で差上げる。「合ふ。

ツウチウ ベエ 抵手尾。手の先と手の先とで互に押

ツウチウ ベエ 托手尾。手で物を支へ力比をする。

ツウチエツ 除籍。除籍。

ツウチエヌ 適中。【適衝】。

ツウチア 托鼎。●鍋にこびり附いたものを穿り裂し

又は鍋の中の菜を「煎匙」などにて攪返すこと。

●赤坊が始めて外祖父母の家(母の里方)に往く時

其の額に鍋墨を附ける。無事を祈る爲なりとい

ふ。●子供の遊戯の名。

ツウチアウ 抵住。しっかりと突張る。支ふ。

ツウチイ 抵夫。天に届く。天に響える。疊到——

天に届く程積上げる、高く積上げる。

ツウチエツ 抵敵。抗する。抵抗する。拮抗する。

ツウチエン 托燈。祭禮の時など用ひる高張提燈。

ツウ

ツウ/チホク 貯蓄。(國)貯蓄。

ツウ/チホク グスハン 貯蓄銀行。貯蓄銀行。

ツウ/チヲ 遇着。●行會ふ。出會ふ。會ふ。遭遇。一

一朋友友人に會ふ。一艱苦ひどい日に會

ふ。辛い目を見る。一兇略的事災難に會

ふ。一醜鬼悪いものに出會す。悪魔に出會

す。不吉が附くなどの意にいふ。●屈く。打當る。

多クツ 頭壳一簷前頭が軒に屈く。一壁壁に打

當る。

ツウ/チヲ 突着。●突當る。一壁壁に突當る。●

一血母綱星を指す。

ツウ/ツイ 抵水。手向ふ。抵抗する。抗敵。敵對す

る。要與伊一彼に抵抗しようとする。

ツウ/ツイ 滯水。水が溜る。

ツウ/ツイ 注水。●水に漬ける。●水を堰く。

ツウ/ツイ エエタウ 托嘴下斗。頬杖を突く。

ツウ/ツイ キイ 托嘴齒。齒を穿る。

ツウ/ツウ 著書。本を著す。一的著者。

ツウ/ツウ 株主。(國)株主。

ツウ/ツイ 猪腿。(同)猪腿。

ツウ/ツイ 抵榷。息杖。轎夫などの肩休の棒。支杖。

擧一一同上をかざす。竹筵返をする。逆振を

喰はせる。

ツウ

ツウ/ツウ □□。呵一龍角の音。水蝶一叫

汽笛がぶうぶう鳴る。

ツウ/ツウ 抵抵。●緊一非常に逼迫する。非常に

緊い。●抵。

ツウ/ツウ 孜孜。【孜孜】。

ツウ/ツウ 誅誅。【誅】。

ツウ/ツウ 適適。丁度。しっくりと。一在得居合

せる。一彼靈丁度彼の時。一彼時時し

も。一好丁度宜い。

ツウ/ツウ 抵抵。【抵】の(㊦)(㊧)(㊨)。

ツウ/ツウ 著著。【著】。

ツウ/ツウ 滯滯。【滯】。

ツウ/ツウ 拄拄。●一途に。頻に。一想一途に思

ふ。一要一頻に求める。●腐一不平顔。佛

頂面。緊一非常に逼迫する。非常に緊い。

狭一甚だ狭い。矮一(身長)甚だ低い。

鹹一(大變)鹽辛い。非常に香辛な。硬一

非常に硬い。非常に強い。懸一阿呆。間拔。

馬鹿。倦一甚だ疲れる。甚だ厭きる。【拄】。

ツウ/ツウ 厨厨。【厨】の(㊩)。

ツウ/ツウ 除除。【除】。

ツウ/ツウ 注注。●怒ってる様な顔。不快顔。一個

嘴一佛頂面をする。腐一不平顔。佛頂

ツウ

面。●注。

ツウ/ツウ 突突。●腐一不平顔。佛頂面。●突。

ツウ/ツウ 托托。【托】の(㊪)(㊫)。

ツウ/ツウ 糊糊。【糊】。

ツウ/ツウ 愚愚。無氣力な様。ぐづぐづ。のろま。一

一那孝男ぐづぐづして馬鹿の様だ。

ツウ/ツウ キイ 除除去。取除いてしまふ。取退ける。

ツウ/ツウ チア 適適即。今方。今方。今の先。一

返去今歸った。一一来今来た。

ツウ/ツウ 適撞。●丁度。幸に。折善く。都合よく。

一有有合せ。幸其物がある。丁度持つてゐ

る。一到丁度着いた。干算不值。一干思

萬考も運の廻合には及ばない。●生憎。折悪し

く。生憎。一無折悪しく其物が無い。

ツウ/ツウ 抵得。支をして動かない様にする。押をし

て揺れない様にする。共伊一それに同上す

る。●突張る。【突張る】。

ツウ/ツウ 抵得。支ふ。突張る。用柱脚一柱で

ツウ/ツウ 滞得。支へる。凝滞する。溜る。水一紙

孔没通水が支へて滞が通らない。

ツウ/ツウ テエ 厨得。檻に閉込める。檻に入れる。

ツウ/ツウ トア 厨拖。箆等の抽斗。

ツウ/ツウ トア 鞆鞆。鞆で転る。

ツウ/ハア 適合。丁度合ふ。適合。

ツウ/パン 厨房。●勝手。臺所。厨。庖厨。●炊事。料理人。料理人。贖人。

ツウ/ヒア 托額。小鬟の膝が上つてゐること。釣上がり

ツウ/ヒエヌ 著現。(文) ●顯著な。著しい。際立つ。●表明する。明かにする。――在衆人的面前

ツウ/ヒオン シウ 抵兇手。難局などに當る。難事などを脊負つて立つ。●是伊一個在――皆彼が一人で難局に當つて居る。

ツウ/ビエツ 誅滅。(文) 誅滅。

ツウ/ビエツ 除滅。撲滅。――瘟疫。流行病を撲滅す

ツウ/ビエン 著名。(文) 著名。

ツウ/ビエン 著名。(文) 顯著。著明。

ツウ/ビエヌ 柱眠。居眠する。こくりこくりと眠る。虎行路無――虎は路を歩くに居眠をしない。物事を行ふに巧にして疎漏なきが如きをいふ。

ツウ/ビエ 抵壁。壁に支柱をかふ。支柱で壁を支へる。

ツウ/ビイ 抵平。勝負事など勝敗の無いこと。――無輸贏。同上。打――同上。

ツウ/ビイ 抵平。前に同じ。

ツウ/ビエ 托屏。上庇。庇を突上げる。

ツウ/ワイ 除非。以外には。でもしなくては。……し

なければ。――死即不歹子。死にでもしなくては好くならない。――伊也無人能曉得。彼以外には誰も知らない。――若不是漢藥就無醫。漢藥以外では治らない。

ツウ/ワイチ 除非着。以外には方法はない。……以外には……しない。――地動即能倒。地震なら倒れるが他に倒れることはない。――行如此。さうするより他には方法がない。さうともするより仕方がない。――你去即有法度。君が行くより他に術がない。

ツウ/ワイブウ 突血母。岡星を指す。被人――人に岡星をさされる。

ツウ/ブン 除飯。【息飯】。

ツウ/ペエ 抵平。(意) 【抵平】。

ツウ/ペエカウ 托皮猴。【皮猴】といふ人形芝居をする

ツウ/ホアツ 誅罰。(意) 誅罰。

ツウ/ホアツ 除法。除法。割算。

ツウ/ホオイ 抵伸伊。差附ける。押附ける。――看。差附けて見せる。――做。差附けて爲せる。――倒。突轉す。

ツウ/ホラ 適好。丁度好い。好い加減。適當。程好い。折善く。――緊量。かつきりと合ふ。――伊來。來合せる。――用。使。――有。有合ふ。

ツウ/ホク 除服。(國) 除服。――出仕。除服出仕。

ツウ/ホン 抵風。風に逆ふ。向風。

ツウ/ボエチ アウ 滯没住。耐へきれぬ。遣切れぬ。堪へ切れぬ。支へ切れぬ。

ツウ/ボオシエク 除幕式。(國) 除幕式。

ツウ/ボヨチ 遇無着。食違ふ。遇はない。遇へない。

ツウ/ボア 突破。●突破。●突破。●人の缺點などを突破。――伊的雞管。彼の法螺を突破

ツウ/ボア 突破。●突破。――總鋪門。障子を突破

ツウ/ボア 突破。●突破。――種を明す。●缺點又は秘密などを突破。――種を明す。――人的町鑿。人の秘事を突破。――衙門紙糊窓。――不值半文錢。役所は障子の様でそれを突破れば半文の價値も無い。役所の事情など、種明をして仕舞へばもう値打がない。●設問かして注意する。暗示する。該哉你共我。――無就被伊騙去。幸君が注意して呉れたので好かつた。さもないければ誤魔化されるのであつた。

ツウ/ミア 除名。除名。――「に支へる。

ツウ/ムン 抵門。門に突支をする。頭壳。――頭が門

ツウ/ライゴアカウ 除内外扣。控除すべきものは總

有合せる。――鹹淡。味の鹽梅がよい。――合

ツウ/ホク 除服。(國) 除服。――出仕。除服出仕。

ツウ/ホン 抵風。風に逆ふ。向風。

ツウ/ボエチ アウ 滯没住。耐へきれぬ。遣切れぬ。堪へ切れぬ。支へ切れぬ。

ツウ/ボオシエク 除幕式。(國) 除幕式。

ツウ/ボヨチ 遇無着。食違ふ。遇はない。遇へない。

ツウ/ボア 突破。●突破。●突破。●人の缺點などを突破。――伊的雞管。彼の法螺を突破

ツウ/ボア 突破。●突破。――總鋪門。障子を突破

ツウ/ボア 突破。●突破。――種を明す。●缺點又は秘密などを突破。――種を明す。――人的町鑿。人の秘事を突破。――衙門紙糊窓。――不值半文錢。役所は障子の様でそれを突破れば半文の價値も無い。役所の事情など、種明をして仕舞へばもう値打がない。●設問かして注意する。暗示する。該哉你共我。――無就被伊騙去。幸君が注意して呉れたので好かつた。さもないければ誤魔化されるのであつた。

ツウ/ミア 除名。除名。――「に支へる。

ツウ/ムン 抵門。門に突支をする。頭壳。――頭が門

ツウ/ライゴアカウ 除内外扣。控除すべきものは總

ワウ

べて控除する。――即剩一百元〓總てを差引いて残り百圓。

ワウラウ 抵流。流に逆ふ。逆流。

ワウラウ 滯流。流が停滞する。流が滞る。

ワウラヌ 突生。(身) 癩に觸る。氣色を損ねる。〓突く。

ワウラン 抵人。人を陥ませる。用話――口で柵を

ワウラン 突人。〓人の氣に障る。癩に觸る。

ワウリエン 除靈。死人の靈を祭る期日(多くは四十九日)の満ちた時(司公)を請じて儀式を行ひ祭器

など始末すること。

ワウリホク 誅戮。(文) 誅戮。

ワウルク 誅誅。

ワウルク 抵抵。

ワウルク 抵抵。

ワウルク 著著。

ワウルク 滯滯。

ワウルク 拄拄。

ワウルク 厨厨。

ワウルク 除除。

ワウルク 注注。

ワウルク 突突。

ワウルク 托托。

ワウルク 糊糊。

ワツ

ワツロ、ワツキ 托落去。高し所などから突落す。ワツン、ピア 托秧胎。突穿つて稻の苗を土のついたまま取る。

ワツツ

ワツ 咄。如何にも尤らしく言つて騙す。うまいことを言つて誘導する。口車に乗せて引掛ける。一伊講〓騙して言はせる。一人的錢〓人の金を騙る。

ワツ 探。錫、眞鍮製の器具などに光澤を出す爲磨を掛ける。仕上をする。一俣伊金〓磨を掛けて光を出す。

ワツ 禿。〓禿。〓頭など禿る。脱ける。一毛〓毛が脱ける。頭毛〓頭の毛が脱けて禿る。〓

毛などを塗る。附着した泥を揉擦る。一鴨毛〓家鴨の毛を塗る。一脚〓足で擦る。足で足を洗ふ。足で足を搔く。用手〓手で擦る。

ワツ 脱。〓其場を外す。其事を避ける。逃を打つ。被入〓去〓人に逃られた。一走〓其場を外す。〓

ワツ 細。一鞋〓靴の甲の表裏を縫合せる。ワツ 脱。外れる。脱ける。一去〓脱ける。一輪〓關節が脱れる。打〓外す。脱せしめる。

ワツツ

ワツツ 禿。禿る。先が磨れて減る。筆〓尾〓筆の先が禿る。筆尾〓同上。

ワツツ ヲエ 細靴。靴の甲の表裏を縫合せる。

ワツツ クイ 脱闕。家の端に低く建出した所。破風の少し下より建出した部分。

ワツツ クウ 脱白。關節が外れる。脱白。骨違。

ワツツ クツ 脱骨。脱骨。

ワツツ クヌ 脱棍。詐偽師。へてん師。

ワツツ サウ 脱走。〓場を外す。〓へてんに掛けて取る。

ワツツ サウ 脱走。手に持った物が手から滑り落ちる。脱ける。外れる。

ワツツ シエヌ 脱先。へてん師。

ワツツ シヌ 脱身。流産。半産。

ワツツ ジエヌ 突然。(文) 突然。一間的事情〓突然

ワツツ タア 禿踏。踏附ける。踏む。ばたばた踏む。踏

ワツツ タイ 脱胎。堕胎。一薬〓堕胎薬。〓「荒す。

ワツツ タウ 禿頭。禿頭。一山〓禿山。坊主山。

ワツツ チエク 跣跣。(圖) 跣跣。

ワツツ ツツ 突出。(圖) 突出。

ワツツ ツツ 腫腫。厚〓非常に厚い。薄〓非常に薄い。

ワツツ ツツ 咄咄。(咄) 非常に固い。肥〓非常に肥えてゐる。

ワツツ ツツ 揆揆。〔揆〕。

ワッ、ワッ、腫腫。【腫腫】。

ワッ、ワッ、脱脱。【脱】。

ワッ、ワッ、細細。【細】。

ワッ、ワッ、秃秃。【秃】の(三)。

ワッ、ワッ、脱脱。【脱】。

ワッ、ワッ、秃秃。【秃】。

ワッ、ワッ、ワッ、脱腸頭。脱肛。

ワッ、ワッ、テエ、秃茶。熬り上げた茶の葉を足で揉むこと。

ワッ、ワッ、テエ、脱胎。①墮胎。子を下す。②流産。半産。

ワッ、ワッ、ベエ、秃尾。筆などの尖が秃る。

ワッ、ワッ、ホアッ、秃髮。秃髮。(世) 秃髮。

ワッ、ワッ、ムン、秃毛。毛が脱ける。

ワッ、ワッ、リイ、脱裏。着物の表が縮んだ時など裏が表より見える様になる。

ワッ、ワッ、ルウ、秃驢。(僧侶を罵る詞) 秃頭。坊主。乞食坊主。

ワッ、ワッ、ル、咄咄。【咄咄】。

ワッ、ワッ、ル、撲撲。【撲撲】。

ワッ、ワッ、ル、脱脱。【脱脱】。

ワッ、ワッ、ル、秃秃。【秃秃】。

ワッ、ワッ、ル、細細。【細細】。

ワッ、ワッ、ル、脱脱。【脱脱】。

ワッ、ワッ、ル、秃秃。【秃秃】。

ワッ、ワッ、ル、脱輪。關節が脱れる。脱臼。

ワッ、ワッ、ロオ、脱路。相一一行違ふ。行違になる。

ツヌツヌ

ツヌ、ツヌ、敦。敦。

ツヌ、ツヌ、諄。諄。

ツヌ、ツヌ、墩。土など高く盛上った所。煙一狼烟を上げる高臺。一土一山の土。一仔一小山又は堤など地面より高いもの。②藁などを積重ねる。一草一草。

同上。草一同上したもの。

ツヌ、ツヌ、順。順。

ツヌ、ツヌ、不。手入をする時など枝を切る。一樹絡一樹の枝。

ツヌ、ツヌ、鈍。鈍い。刀一刀が鈍い。目一目が鈍い。

ツヌ、ツヌ、盾。盾。一盾。一盾。一盾。一盾。

ツヌ、ツヌ、警。白の如き石。犯人を錠などにて繋ぐ圓く平な石。一犯一同上に繋いだ犯罪人。石一石白。

ツヌ、ツヌ、一石磨一磨白一つ。一土一土。一基の粗磨白。

ツヌ、ツヌ、一盗賊などを白の如き石に繋ぐ。一賊一同上。

ツヌ、ツヌ、一價の騰貴するのを見越して多量の品物を貯蔵する。積んで置く。一貨一商品を貯蔵する。

ツヌ、ツヌ、一多數の者の宿をする。一賊一泥坊の宿をする。

ツヌ、ツヌ、一牛灶間一査某一淫賣屋で大勢女を泊めておく。

ツヌ、ツヌ、一一人客一客の宿をする。③多數の者が集合する。

ツヌ、ツヌ、一聚ふ。集まる。歸陣人一在街路一群眾が街路に集合する。

ツヌ、ツヌ、順。順。

ツヌ、ツヌ、一引。引張る。一頭毛一頭の毛を引張る。出力一力を入れて引く。對

ツヌ、ツヌ、一手一我一我一下一僕の袖をちよいと引張った。

ツヌ、ツヌ、一手一揆一揆一握手。一走一引外して逃げる。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ツヌ、ツヌ、一唇。唇。一唇。一唇。一唇。一唇。

ワヌ

る。

ワヌ 鈍。人の性質など鈍い。鈍い。魯鈍。不器用。
一才不器用。脚手不器用。手足が鈍い。緩食無分鈍い者は食損をする。

ワヌ 棒。(種) ちゃんちん。(棟料、觀賞植物として栽培し、木材を器具用に供し、樹皮は煎服して痲病・月經不順を治す)。

ワヌ 吞。吞む。吞込む。加全丸吞する。一藥丸丸吞する。一涎唾を吞む。一着服する。横領する。生の阿片煙膏を吞込む。一着服する。横領する。一人的錢人の金を着服する。家伙共人財産を横領して仕舞ふ。一垂などを敷へる助敷詞) 一細。線路の遊線線へ汽車牽車などが避ける。一入去俾別張過避けて他の車を通してやる。一踏線路の遊線線踏附ける。踏附ける。踏駈る。一踏ばたばた踏む。濫摻無茶苦茶に踏附ける。風水被牛一歹墓が牛に踏破される。

ワヌ 豚。(獸類の乳離れした位のもの) 子。猪仔。豚の子。牛仔。牛の子。狗仔。犬の子。困仔。一十五六歳位の子供。

ワヌ 黠。一煤。烟。一鼎。一鍋。一筍。一末の煤拂。一色台が不鮮明で艶のない様。色織

ワヌ

一同上。

ワヌ 填。埋立てる。埋める。填塞。一的地築地。埋地。一溝仔溝をつぶす。一歯齒齒を填める。一腹肚。没没。腹はいくら食っても一杯にならぬ。生理直直。一商賣が段段と食込む。一鞋底。女の靴を作る時、底の形をした厚い布を一枚一枚重ね合せこと。

ワヌ アア 墩仔。墩の如く小高くなった所。小山。

ワヌ アイ 黠埃。(塵) 煤。煤塵。

ワヌ イア 屯營。屯。屯營。

ワヌ イム 脣音。脣音。

ワヌ ウヌ 黠。黠。黠。

ワヌ オオ シェク 黠鳥色。煤色。

ワヌ カク 鈍角。(圓) 鈍角。鈍角。

ワヌ キイ 鈍去。鈍る。鈍る。刀仔。小刀が切れ

ワヌ キム 吞金。自殺の方法として金箱を吞む。

ワヌ クン 薹藏。五穀や貨物などを貯藏する。

ワヌ ゲエ 棒芽。【棒】の芽。

ワヌ ゴオ 頓悟。(又) 頓悟。悟を開く。

ワヌ サア サウ 薹柴草。薹。薹などを澤山貯へて置

ワヌ サイ 鈍才。不器用。鈍才。

ワヌ サウ 拙走。振切つて逃げる。振拂ふ。

ワヌ

ワヌ サウ 遁走。忍術などで消失せる。身を隠す。

ワヌ サツ 屯築。駐屯する。

ワヌ サツ 薹賊。賊の宿をする。

ワヌ サツ 薹賊。賊を捕へて石臼に繫ぐ。一忍耐の意。

ワヌ シアルヌ キイ 吞聲忍氣。聲を吞み氣を忍ぶ。

ワヌ シウ 頓首。(又) 頓首。低頭。一再拜頓首再拜。一拜頓首。

ワヌ シェンジム キイ 吞聲忍氣。【吞聲忍氣】

ワヌ ジイ 豚兒。(又) 豚兒。一犬子(他人に對して自分の子をいふ) 豚兒。

ワヌ スウ 遁辭。(又) 遁辭。

ワヌ セエ 拙紗。絲を揃へる爲に引張る。

ワヌ セエ 遁世。(又) 遁世。

ワヌ エエ ツエ ツエ 拙下拙下。ぐきぐきと引く。魚食餌。一魚が餌をぐきぐきと引く。

ワヌ ソオ 頓數。(圓) 頓數。

ワヌ ソオ 屯所。(圓) 屯所。

ワヌ オオ 屯租。屯田兵に給したる土地の小作人より徵收する租穀。一田同上を納める田。

ワヌ ワヲ 頓挫。(又) 頓挫。

ワヌ ワン 敦昨。(又) 十二支の午の別名。

ワヌ タア 屯踏。(魚) 雜沓する。混雜する。込合ふ。

開熱次員多人。一祭禮の時多くの人が雜沓する。

沓する。

ワヌキア 躓疊。貨物などを積重ねる。

ワヌキア 踐踏。踏附ける。踏荒す。蹂躪する。多

人。一。家菜踏死。了。了。大勢で踏荒したの

で野菜を皆枯らしてしまつた。①屯踏。

ワヌキア 吞食。丸吞。被蛇。蛇に丸吞にされ

る。着服。横領。家伙被入。去。財産を

横領された。

ワヌキイ 鈍市。商賣など不景氣。一。貨。賣行の悪

ワヌキイ 填井。井戸を埋める。

ワヌキイ コヲ 吞生膏。生の阿片煙膏を吞込む。

ワヌキイ タイチオン 吞精大將。【三十六將】の一

にて虎に騎し妖怪を捕へ食ふ状をなす。

ワヌキイ 握手。握手。西洋人。一。行禮。西洋人は

握手の禮をする。

ワヌキイ 棒樹。【棒】。

ワヌキイ ウレエ 不樹絡。樹の枝を切る。

ワヌキイ エク 躓積。蓄積。買ひ貯へる。

ワヌキイ エク 屯積。兵糧を蓄積する。

ワヌキイ ア 躓羅。穀物を買込んで價の騰るのを待つ。

ワヌキイ ア 躓羅。貨物などを積重ねる。

ワヌキイ 子イ 托釘。子供など嬌えていふことをきかない。

だだをこねる。むづかる。一。不行。だだをこ

ねて歩かない。

ワヌキイ イイ 吞鐵圓。魔法使など鐵の丸を吞む。

地獄に於ける處刑の一種。那。一。同上の様

だ、藥など吞み難いこと。

ワヌキイ ウ 托張。心が僻んで強ひて我意を張る。拗ね

る。一。不來。拗ねて來ない。

ワヌキイ エヌ 屯山。屯山。

ワヌキイ エン 屯丁。屯山兵。

ワヌキイ ツイ チイ コエ 燂水晶雞。鶏等を材料として

ワヌキイ ツイ ノア 吞嘴涎。唾を吞込む。

ワヌキイ ツツ 鈍鈍。鈍い。刀嘴。刀が切れない。

ワヌキイ ツツ 墩墩。【墩】の②。

ワヌキイ ツツ 不不。【不】。

ワヌキイ ツツ 躓躓。【躓】。

ワヌキイ ツツ 躓躓。【躓】の②。

ワヌキイ ツツ 躓躓。【躓】の③。

ワヌキイ ツツ 遁遁。【遁】。

ワヌキイ ツツ 燂燂。【燂】。

ワヌキイ ツツ 吞吞。【吞】の①②。

ワヌキイ ツツ 臍臍。脊低く肥えて引締つたさま。

ワヌキイ 躓躓。【躓】。

ワヌキイ 躓躓。黧黒い。黒すんだ。色合が不鮮明で

黧のない様。

ワヌキイ 填填。【填】。

ワヌキイ エ 填地。土地を埋立てる。

ワヌキイ ト 吞吐。經驗・智識があつてよく事理を辨へて

ある。思慮分別がある。一。浮沉。世故に長け

て酸いも甘いも辨へてゐる。有。一。分別があ

る。少年人較無。一。若い者は分別がない。

ワヌキイ ト 填土。土を埋立てる。地盛をする。

ワヌキイ ト 鈍刀。寝刀。鈍刀。一。出利手。鈍

刀は利手を出す。鈍刀に會つて腕前が判る。

ワヌキイ トク 敦督。品性などを矯正する。一。子姪

一。子弟を矯正する。

ワヌキイ トク 敦篤。敦厚。篤實。

ワヌキイ トク スイ ヲア 吞獨睡丸。獨で眠る丸藥を

飲む。女色を絶つて一人で寝る。

ワヌキイ ノア 吞涎。唾を吞込む。一。落去白賊起來

唾を吞下げて嘘を吹上げる。

ワヌキイ ニウ 屯糧。糧食を蓄積する。積草。一。同上。

ワヌキイ バア 燂肉。肉を漫火でぐつぐつ長く煮る。

ワヌキイ バイ 踐歹。踏荒す。踏毀す。一。五穀。五穀を

踏荒す。

ツヌ

ツヌ ビイ 傲隨。隨をぐつぐつと着込んだ料理の名。
 ツヌ ビイ 填平。埋て平にする。
 ツヌ ビエン 屯兵。兵を屯する。「石女」
 ツヌ ブウ 豚母。●子を生まない獸類の牝。●不生女。
 ツヌ プヌ 填本。資本を補填する。元手を注込む。
 ツヌ ヘエ 躉貨。貨物を買込んで置く。
 ツヌ ペエ 填平。(海)【填平】。
 ツヌ ホア 填岸。岸の破壊した所などに土を埋る。
 ツヌ ホアツ 遁法。忍術。隱身術。五行による忍術。
 ツヌ ホアヌ 竊犯。捕へて石臼に繋いだ罪人。
 ツヌ ホアヌ 屯番。熟番人を藩界に駐屯させる。
 ツヌ ホエ 躉貨。(海)【躉貨】。
 ツヌ ホオ 敦厚。(文)敦厚。
 ツヌ ホオ 躉貨。(海)【躉貨】。
 ツヌ ボンチイ ハヌ 屑亡齒寒。(文)屑亡びて齒寒。
 ツヌ ルヌ 墩墩。【墩墩】。
 ツヌ ルヌ 不不。【不不】。
 ツヌ ルヌ 躉躉。【躉躉】。
 ツヌ ルヌ 竊竊。【竊竊】。
 ツヌ ルヌ 坵坵。【坵坵】。
 ツヌ ルヌ 屯屯。【屯屯】。
 ツヌ ルヌ 遁遁。【遁遁】。
 ツヌ ルヌ 傲傲。【傲傲】。

ツン

ツン ルヌ 吞吞。【吞吞】。
 ツン ルヌ 吞忍。忍耐する。堪へる。忍ぶ。辛抱する。
 ツン ルヌ 我慢する。堪忍ぶ。賢一好く堪へる。
 ツン ルヌ 踐踐。【踐踐】。
 ツン ルヌ 填填。【填填】。
 ツン ルヌ タアア 躉躉疊疊。【躉疊】。
 ツン ロオ 吞路。線路の避讓線。
 ツン ロオ 吞落。吞込む。一喉一吞込む。一三寸
 喉、變糞一咽元過れば糞になる、旨といふのも
 咽元三寸の意。
 ツン 當。●當る。會する。一面目前。一歹運一惡運
 に會する。一時當時。一彼時一其時に當る。
 當時。一起頭一最初。●丁度盛。盛んに。最中。
 正一時一丁度真盛。一我在講話一僕が話をし
 てゐる最中。日一崎一日が丁度頭の上に来る。
 一興一盛な最中。●擔當する。受持つ。爲る。
 當る。一没來一擔當し切れぬ。遣切れぬ。一保
 正一保正になる。一兵一兵士になる。一着差事
 一役割に當る。●機會などを待ち受ける。待ち設
 ける。一機會一機會を待ち受ける。一人的過失
 一人の過失を待ち受ける。探偵在一賊仔一探偵

ツン

ツン

ツン 頓。●進。頓。●一度の食事。片食。三一飯二三
 が泥坊を待ち設けてゐる。●係蹄。係蹄で捕る。
 老鼠一老鼠一鼠取で鼠を捕る。
 ツン 斷。摘切る。一臍一臍緒を切る。菊仔花着一心、
 花開了即能美一菊は芽を摘切らないと花が綺
 麗に咲かない。【斷】。
 ツン 轉。●廻轉する。ぐるぐる廻る。正一倒一當前
 に廻つたり逆に廻つたり。車輦一車輪が廻る。
 ●轉する。變る。交す。一風面一風の方向が變
 る。一身一身を交す。一紅一赤くなる。一較好
 量一氣質が濃厚になる。生理較一商賣が景
 氣附く。一大人一子供が大人になる。成熟する。
 一變一同上。一不成一虚弱などで成熟しない。
 ●遺棄をする。工面をする。才覚をする。你去
 一看有無一君に工面がつくかどうか。生理做
 没一商賣が旨くないかない。賢一才覚がうま
 い。●仲裁する。調停する。和解させる。一事
 情一同上。一没成一和解が成立しない。【轉】。
 ツン 返。●歸る。戻る。一來一歸つて来る。倒一戻
 る。●恢復する。市面有較一市況が恢復す
 る。病勢漸漸愈一病勢が段段と恢復する。
 面色有較一顔色が好くなつてくる。(語原は
 【轉】と同一なるべし)【返】。

ツイン

度の飯。一―一度の食事。一片食。一―飯。同上の飯。歹歹娘婦三―焼。娘は實子でも他に嫁してしまふが【媳婦】は如何に悪い者でも三度三度温かい飯を食はしてもらへる意。洗飯―三方に往つて人の飯を食ふ。【頓】。

質。質に入れる。質入する。提去―持つて行って質に入れる。共人―質に取る。一店―質屋。一頭―質物。

擲。擲げる。抛つ。一石頭―石を投げる。拳固などで叩く。一胸―胸を叩く。一椅―棹―椅子やテーブルを叩く。一假に置く。暫く置く。蹶傷。活―咧就能考―粥が餘り薄いが暫く置けば濃くなる。菜―下咧就能冷―茶を置いて置けば冷くなる。一―どしんと坐る。伊―在彼―彼がそこにどしんと坐つた。一―印―印を押す。【擲】。

燙。一度煮た料理を井などに入れ更に他の鍋の中に置いて温める。一―燒―同上。【燙】。

唐。一―唐。一―山―支那。中華民國。

段。一―段。一―長いものを半分に切つた一片。做二―二つにする。二本にする。半中―中途。【段】。

長。一―長。一―長い。一―短―長短。一―的椅條。

ツイン

長い椅子。一―丈。長さ。一丈―一丈の長さ。身―身の丈。一―得。利益。有較―即要去―利益があれば往かう。利益があるから往く。一―錢若多―差引餘計になつて金は何程。你倒―我三百錢―君は僕より三十錢得をした。

堂。一―堂。禮拜―禮拜堂。教―教會堂。菜。一―菜食人の堂。一―法廷。審所。坐―判官が法廷に着席する。出―法廷に出る。上―法廷に立つ。一―法廷に於ける審問の回数を數へる語。在地方問三―地方法院に於いて三回審問した。

塘。池。池―同上。

腸。腸。腸。百尋。大―小―大小腸。大―告小―大腸が小腸を訴へる。腹がへこべこになつる。【給】。

丈。一―一丈。一―長―一丈の長さ。一―較量―一丈少し出る。一丈以上。

撞。一―衝突。打つかる。火車抵火車相―汽車と汽車と衝突する。一―着伊的馬頭―彼の馬前に打つかる。彼の怒に觸れる。一―遇。出會ふ。一―着朋友―友達に遇ふ。相―頭―出會頭。一―戸の開かぬ様に椅子などを立掛ける。寄掛ける。奔椅去共伊―椅子を持っていて立掛ける。一―轉轉する。順送に次へ次へと轉する。一―

ツイン

本書―來―去續不知對何去―一册の本を讀つたり取つたりして何處に往つたか分からなくなつてしまつた。一―對伊彼去―彼の所に轉轉して往つた。我擔俾你―(荷物など次から次へと順送りにする)私が擔いで來て汝に受繼がせる。

邊。碗。桶などを濯ぐ。濯ぐ。

斷。一―斷れる。跡切れる。斷る。路―路が斷れる。與伊―路―彼と路を斷つ。絶交する。割―切つて斷つ。一―全く無くなる。絶える。絶無になる。死倒―一個―一人も残らず死んで仕舞ふ。一―隻蚊―一匹の蚊も居ない。一―點風―少の風もない。身軀―半文―身に一文の金もない。一―點塵―塵一本もない。一―折れてとれる。手骨一―腕が折れる。樹絡―樹の枝が折れる。【斷】。

湯。一―湯。湯。液。液。汁物。吸物。肉汁。肉の汁。此粒相仔較有―此の蜜相の方が汁がある。粒仔―出來物の汁。傷―餘り汁つぱい。

脫。一―脱ぐ。脱する。脱す。一―衫―着物を脱ぐ。一―紐仔―ボタンを脱す。我爲你―草鞋―僕が君の爲に草鞋を脱いでやらう。君が無事で歸つた爲の祝宴を開からの意。一―脱代。蛇―壳―蛇が脱代する。一―齒―齒が脱代。一―毛―毛が脱代

ツイン

る。【脱】。

ツイン 湯。●湯掻く。一茶野菜を湯掻く。●熱湯で火傷する。被滾水一到被被湯で火傷して脹れあがる。

ツイン 兌。●相當の値段で他に譲る。譲渡す。我共你一汝から譲受けよう。我你譲って上げよう。●事を譲る。此號事情一你辨この仕事を君に譲る。此擔擔一你擔この擔荷を君に擔がせる。【兌】。

ツイン 糖。●砂糖。白一白砂糖。烏一黒砂糖。●砂糖で加工したもの。柚仔一朱欒の蜜餞。明薑一生姜の蜜餞。

ツイン 團。一岡。團。結做一團一團に固まる。一線一團の線。【團】。

ツイン 傳。系統を傳へる。一伊的香煙彼の線香の煙を傳へる。彼の系統を繼承する。一神主位牌を傳へる。好種不、歹種不斷好種は傳はらず、悪い種は絶ゆることなし。【傳】。

ツイン 杖。喪主などの持つ杖。孝一杖。【杖】。

ツイン 斷。手足、樹木など先の切れ落ちたるをいふ。脚一足先の切落ちたもの。樹一木の切株。【斷】。

ツイン 礪。瀬戸物に塗る薬。琉璃。燒物藥又は釉藥をかける。有過一藥かかけてある。有浦一同

ツイン

上。

【燙】。

ツイン 燙。汁氣あるものを煮返す。煮直す。一燒同上。ツイン アア 腸仔。腸。腸。小腸。

ツイン アア 糖仔。飴等で固めた菓子類。

ツイン アア トオ 腸仔肚。臟腑。鳥獸などの雜物。

ツイン アア ビイ 腸仔病。(悪)腸壘扶斯。

ツイン アア ロオ 糖仔路。ボンボン・キャラメルなど砂糖で作った菓子の種類。

ツイン アム イイ 斷領颯。指の折目など裂ける。放風吹手續一風を揚げて手の指が同上になつた。

ツイン アン ロク 長頷鹿。麒麟。

ツイン アン 轉紅。赤くなる。赤ばむ。赤まる。赤みば

ツイン アン アア 糖疋仔。右平糖。【しる】。

ツイン アイ アム 腸炎。(新)腸の炎症。

ツイン アイ イイ 長椅。長椅子。

ツイン アイ イイ ワント 擲椅擲桌。椅子や卓に當散す。怒つた時など椅子や卓を叩く。

ツイン イオン 當勇。●元氣盛。年盛。●兵隊になる。

ツイン イイ 擲印。捺印。判を押す。

ツイン オオ 轉烏。黒くなる。黒まる。

ツイン オオ 糖烏。黒砂糖を煉って作ったどろどろしたも(飲食物などに附ける)。「曲角」。

ツイン ヨアツ 轉空。角を曲る。折れる。一「曲角」的所在

ツイン

ツイン ヨアヌ 轉彎。曲がる。彎曲する。廻る。

ツイン ヨアヌ 擲完。帳簿などに勘定済の判を押す。

ツイン ヨアヌ 糖圓。砂糖の團塊。

ツイン ヨエ コアヌ 轉話關。言葉を選す。言紛す。

ツイン カア 擲脚。怒つた時足で床をつよく踏附ける。足拍子。足で踏叩く。

ツイン カア 長合。絶えず往來する。何時も關係する。絶えず取引する。常得意として永く取引をする。雇ひつけ。何時も雇ふ。與伊在一彼と同上

ツイン カア アア 我要與你一僕は君と同上する。田庄人計計亦與茶舖在一田舎の者は皆干大根を常用して居る。

ツイン カア 長脚。足長。

ツイン カア チイ ツウ 長脚蜘蛛。(動)手長蛛。

ツイン カア ツン 長脚川。長尻。長尻。長坐。

ツイン カア ト 脱脚桌。足を取離して疊むことのできる卓。

ツイン カア パイ 長脚牌。官吏、若しくは神の階位を書きたる木牌。

ツイン カア ヘ 長脚蝦。(動)手長蝦。

ツイン カウ 返到。歸着。一臺灣臺灣に歸着する。

ツイン カウ 糖郊。砂糖の間屋。「家」。

ツイン カク 轉角。曲角。角を曲る。一「曲角」

ワシカウ 脱売。●脱ける。蛇(ヘビ)が脱ける。●

(出獄者又は鳥に糞を掛けられた者等が縁起直しに豚の足・索麵・卵等を食すること)縁喜直。食雞卵(タマゴ)に鶏卵(タマゴ)を食べて同上する。

ワシカン 長土。(労働者)年期奉公。雇附。常雇。●
●不驚(オドロカ)死(シ)、食(チ)不驚(オドロカ)頭家(カウ)第(ダイ)主人(シヤン)は雇人(ヤウジン)が死(シ)んでも構(カマ)はぬ程(ほど)仕事(シゴト)を爲(な)せ、雇人(ヤウジン)は主人(シヤン)が貧乏(ヒンパツ)になつても構(カマ)はぬ程(ほど)食(チ)ふ、主従(シヤウジヤウ)互(たがひ)に同情(ドウジヤウ)なきをいふ。

ワシカン 轉孔。工面する。算段する。才覺する。着(ツキ)即(ツキ)有(チ)錢(チ)工面(クワン)しなければ金(カネ)が無い。

ワシキア 當崎。日(ヒ)一(ヒ)日(ヒ)が頭(アたま)の眞上(マウ)に來る。

ワシキア 當行時。時めく。榮える。流行る。

ワシキイ 長期。(國)長期。借(チ)一(ヒ)的(テク)長期(チヤウキ)の借(チ)。

ワシキイ 返去。歸(カへ)つて行(イ)く。歸(カへ)る。退出(タישツト)。

ワシキイ 長去。得(トク)をされる。被(オオ)伊(イ)一(ヒ)彼(カレ)に得(トク)をさせ(サ)る。齒(ハ)が生(ハ)代(ト)る。

ワシキイ 脱齒。齒(ハ)が生(ハ)代(ト)る。「れた。

ワシキイ 起色。全盛(ゼンセイ)流行(ハヤ)る。時めく。

ワシキイ 枝竹。長枝竹。(種)長枝竹。(筍)は食用(シヨウヨク)となり、竹(タケ)は色色(シキシキ)の細工(サイウ)に用(ヨウ)ひらる。

ワシキエン 轉肩。肩(カタ)を換(カ)へる。亦(オ)生(シ)不知(シラ)可(カ)一(ヒ) (卑)陰莖(インキョウ)を擔(カウ)いで肩(カタ)を換(カ)へることを知らぬ、變通(ヘンツウ)の利(キ)かぬをいふ。

ワシキエン 斷問。一軒(イツケン)もない。半軒(ハンケン)もない。燒到(シヤカ)一(ヒ)一(ヒ)軒(ケン)も残(ノコ)らず燒(ヤ)ける。

ワシキヨ 長橋。長い橋。長橋。

ワシギア 糖業。(國)糖業。

ワシクイ 長櫃。長櫃。

ワシクイ 當開。花盛(ハナガサ)り。花(ハナ)一(ヒ)花(ハナ)が咲(サ)亂(ラン)れる。心(ココロ)花(ハナ)一(ヒ)心(ココロ)の花(ハナ)が咲(サ)亂(ラン)れる、非(ヒ)常(ジョウ)に機嫌(キゲン)の好(ヨ)いこと。

ワシクイ 轉氣。息(イキ)を吸(ス)ふ。吸(ス)氣(キ)。呼(コ)吸(ソク)をす。息(イキ)をつ。喘(アソビ)到(ト)没(ボツ)一(ヒ)息(イキ)が急(イサ)しくて呼(コ)吸(ソク)が出來(デ)ない。息(イキ)切(キ)れる。

ワシクイ 斷氣。絶息(ゼツソク)する。息(イキ)が絶(タ)える。息(イキ)が切(キ)れる。

ワシクウ 擲龜。(餅)尻餅(シラヒラ)を突(ツ)く。

ワシクウ 糖龜。龜(カメ)の形(カたち)に作(ア)つた砂糖菓子(サトウグシ)、婚(コン)姻(イン)の時(トキ)贈(オウ)物(モノ)に用(ヨウ)ふ。

ワシクツ 轉骨。年頃(トシヨウ)になる。大人(オトナ)になる。

ワシクヌ 轉筋。痙攣(ケイレん)引(ヒキ)つける。

ワシクヌ 斷根。根(ネ)を絶(タ)つ。根(ネ)絶(タ)つ。根(ネ)こそげ。病(ビョウ)没(ボツ)一(ヒ)病(ビョウ)氣(キ)が全(ゼン)治(チ)しない。

ワシクヌ サムトオ 長裙掃肚。好(イ)い着(キ)物(モノ)を着(キ)る、好(イ)い食(シ)物(モノ)を食(チ)ふ。美(ビ)衣(イ)美(ビ)食(シ)。

ワシクンクン 脫光。裸(ハダカ)。全(ゼン)裸(ハダカ)。裸(ハダカ)體(タマ)。

ワシクケ 脫柳。柳(ヤナギ)を脱(ハ)す。

ワシケエ 糖粿。米(コメ)の粉(コ)と砂糖(サトウ)で作(ア)つた一(ヒ)種(ル)の團子(ダンゴ)。

ワシヨコ 公叫(キョウ)你去(キ)食(チ)一(ヒ)先(サキ)祖(ソ)が汝(ニ)を呼(ヨ)んで同上(ドウジョウ)を食(チ)はせる、冥土(マイツ)から迎(ムカ)へ來(ク)る意(イ)。

ワシゲ 脫牙。齒(ハ)が抜(ハ)ける。齒(ハ)が抜(ハ)代(ト)る。

ワシコ 當寒。寒(サム)い盛(マ)り。大(オオ)寒(サム)。一(ヒ)的(テク)時(トキ)寒(サム)中(チュウ)。

ワシコ 轉寒。寒(サム)さに變(カ)わる。

ワシコ 長歌。長歌。長歌。「床(トコ)を突(ツ)く。

ワシコ 椰粉仔。怒(オ)つた時(トキ)などに杖(ツエ)で地(チ)又(マ)は

ワシコ 覆罐。茶(チヤ)を入(マ)れる前(マ)に瓶(ビン)に湯(ユ)をかけて熱(アツ)く

ワシコ 糖罐。砂糖(サトウ)を入(マ)れる罐(カン)。「くする。

ワシコ 糖雞。雞(トリ)の形(カたち)に作(ア)つた砂糖菓子(サトウグシ)、婚(コン)姻(イン)の時(トキ)贈(オウ)物(モノ)に用(ヨウ)ふ。

ワシコ 糖粿。(餅)糖粿(サトウグシ)。

ワシコ 轉鼓。芝居(シバ)などの幕(カ)が替(カ)ること。

ワシコ 糖鼓。太鼓(太鼓)の形(カたち)に作(ア)つた砂糖菓子(サトウグシ)、婚(コン)姻(イン)の時(トキ)贈(オウ)物(モノ)に用(ヨウ)ふ。

ワシヨオ 脫褲。ズボン(ズボン)を脱(ハ)く。

ワシヨオ 打褲。ズボン(ズボン)を脱(ハ)いで打(ウ)つてよ戯(オ)れよと呼(ヨ)ぶ、催(オモ)事(ジ)など口(クチ)先(サキ)ばかり大(オオ)奮(フ)成(セイ)などと言(イ)ひながら金(カネ)は一(ヒ)文(モン)も出(デ)さずそれ(それ)に加(カ)はるが如(ごと)きをいふ。人(ヒト)の褲(ハズ)で相(あ)撲(ぶ)をとる。

ワシヨオ 班。勞働者(ラウカウシャ)。

ワシヨオ 脫皮。甘(アマ)皮(カ)が剥(ハ)代(ト)る。

ワシヨオ 大歩。ズボン(ズボン)を脱(ハ)く。

ワシ

ワシ

ワシ

ツ

ツン いで大股に走れと叫ぶ。【脱褲打掃】。

ツン コロ 丈篙。測量用の棒。ポール。

ツン コロ 糖膏。砂糖を溶したものの。

ツン コロ 糖糰。(糸)【糖糰】。

ツン ゴアヌアエ 當原初。當初。最初。其初。

ツン サア 長衫。禮装として用ひる長衣。——襟裾|| 長衣長袖。

ツン サア 脱衫。着物を脱ぐ。脱衣。

ツン サグ 脱揀。脱捨てる。

ツン サア 堂間。客間と居間との間に立てる衝立。

ツン サイ 斷臍。臍緒を切る。

ツン サイ 長齋。長い期間の精進。食——同上をす。

ツン サイ 燙菜。野菜を湯掻く。

ツン サツ 當賊。賊を待受ける。

ツン サツ チエツ 長節竹。節の間の長い竹の一種。

ツン サム 長站。長い路程。長い路程。

ツン サム 斷站。間斷。跡絶える。跡切れる。絶間。

ツン サム 當慘。●非度い目に遇ふ。辛い目に遇ふ。●悲惨の最中。

ツン サム 脱站。驛場で苦力をかへる。宿場で夫人など交代する。

ツン サン 脱髮。獸の毛が脱ける。食到——閑暇人が無用の事に手出すなどを罵つていふ。

ツ

ツン サン 糖葱。砂糖を着詰めてどろどろにし之を棒に引掛けて延した氣孔の多い菓子。有平糖。抜——同上を造る。

ツン サン カウズヌビア 糖葱缺壞餅。【糖葱】を麵粉製の薄皮で巻いたもの。

ツン シア 轉聲。聲が變る。聲變。因仔——子供が聲變する。哭到没——留處もなく泣く。

ツン シア 長聲。長く引張る聲。牽——音聲の末尾を長く引く。

ツン シア 丈聲。反物などの丈。丈高。一疋若多——一疋の丈は何程あるか。

ツン シア 糖杓。溶した砂糖を酌む杓杓。

ツン シア テ/エキアム 長除短欠。勘定の内拂をしては又品物を買ひ、更に内拂をして永く勘定尻を残して置くこと。

ツン シアウ 當消。質を流す。——質流。

ツン シアウリエヌ 當少年。若盛。生若い。——的時着較勤讀書||若い盛には讀書に勤まねばならぬ。

ツン シアン シアン 長揀揀。甚だ長い。

ツン シイ 當時。●當時。其時。其頃。●盛時。正——眞盛。

ツン シイ 斷絲。一絲も無い。全然無い。少しも無い。

ツ

ツン シイ 湯匙。匙。散蓮花。用——搥||匙で抄ふ。

ツン シイサム 湯匙簪。(糸)【湯匙簪】。

ツン シイシイ 當是時。旺盛な時機。成熟期。農作物などの出盛。十八廿二——十八から二十迄が盛んな時だ。鬼も十八番茶も出端。——買較俗||出盛に買ふと安い。

ツン シイチアム 湯匙簪。笄の一種。匙の形した簪。

ツン シイホヲ 當時好。勢の盛んな時。時めく。

ツン シイミテ 長性命。長生。長命。長壽。

ツン シウ 長壽。前に同じ。

ツン シエツ 轉色。色めく。色づく。色が變る。面——顔の色が變る。

ツン シエン 當盛。盛。全盛。勢頭——勢が全盛。柑仔——蜜柑が出盛。

ツン シオン 糖商。(圓) 砂糖商。

ツン シヨ 燙燒。冷えた茶などを再び火に掛けて暖め。

ツン シヨ 燙燒。汁氣ある茶などを暖める。煮直す。

ツン シツ 長翼。(動) 鮪。鮪。

ツン シヌ 轉身。身をかはず。身動。身動。没——身動が出来ぬ。進退谷まる。

ツン シヌツウ 傳神主。位牌を傳へる。

ツト シヌベエ 斷蠅飛。一匹の蠅も飛ばない。――
 斷蚊咬 一匹の蠅も飛ばねば一匹の蚊も鳴か
 ない、非常に静な形容。

ツジ ジイ 擲字。荷物に打判などで字を印する。
 ツジ ジイ 唐字。漢字。

ツジ ジイ マイ 丈二槌。(武器)一丈二尺の棍棒。
 ツジ ジエツ 常熱。熱中する。夢中になる。

ツジ ジエツ チエン 腸熱症。(病)腸チブス。
 ツジ ジロ ビイ 糖尿病。(病)糖尿病。

ツス スウ 轉事。仲裁する。引分ける。調停する。賢
 ー ー 調停が上手。

ツス スウ 堂事。審問の時被問者の口供を傳へる役人、
 又は開廷に當り出頭者の名刺を官に呈送し及び
 公廷の役用をなすもの。公判の時法廷に於て雜務
 を掌る役人。

ツス スウ エ 常事的。當局者。當路者。
 ツト スツ 斷層。層一つ無い。少しもない。全然無い。

ツス スウ エ 空穴。家伏開到ー ー 財産を蕩盡して何物も
 無い。

ツス スン 長瘦。甘藷・大根等圓くて長い。細長い。
 ツス スン 糖霜。氷砂糖。ー 茶 ー 砂糖湯。

ツス ズウ 堂諭。法廷に於て發する命令。
 ツン セエ 轉旋。ー 廻轉する。廻る。旋轉。水車在

ー ー 水車が廻つてゐる。ー 争などを鎮める。
 轉旋する。拜托你爲我ー ー どうかよしなに
 執成して下さい。

ツセ セエ ワア 斷紗行。片絲一本も無い、極貧乏で
 着物が一枚も無い。穿到ー ー 同上。

ツモ モエ 當差。役所の小使。當番。ー 小使になる。
 ツソ ソア 唐山。唐土。唐。支那。中華民國。ー 客

支那人。民國人。ー 人 ー 同上。ー 戀 ー (民
 國人を罵つていふ)阿呆。馬鹿。

ツソ ソア 斷産。月經閉止。[品種]
 ツソ ソア サア 唐山早。(種)第二期作水稻粳米の一

ツソ ソア モエ 斷線坐。縦びる。縫目が解ける。
 ツン ソン 長爽。(態)長衣。[對す。]

ツン ファ 長行。長距離の路程。遠い所。[短行]に
 ツン ファ 湯泉。温泉。

ツン ファ エ 當初。當初。最初。ー 時 ー 同上。
 ツン ファ エ コエ 斷做節。二つに切れる。二つに折れ

ツン マカ 擲戳。官印などを押す。
 ツン タア 糖塔。砂糖で造つた塔。

ツン タア ペエ ジツ 當今白日。晝日中。眞晝間。
 ツン タイ チイ 轉事情。仲裁する。調停する。和解

ツン タウ 擲斗。土地又は鹽田の敷瓦などを搗固める
 とせらる。

器具の名、臺木に柄を附けたもの。

ツン タウ 長豆。[菜豆]の。

ツン タウ 轉頭。頭を廻す。方向を轉換する。病籠
 沒ー ー 病氣が少しも回復する様子が無い。

ツン タウ 返頭。本の所に戻る。引返す。一下去無
 ー ー 往つたきり歸つて来ない。

ツン タウ 當頭。質種。典物。質物。金。ー 金目の
 質種。金製品などの質物。贖ー ー 質物を受出

ツン タウ 腸頭。肛門。[す。
 ツン タウ 撞頭。行合ふ。相。ー ー 同上。

ツン タウ 湯頭。煮汁。煎汁。ソップ。好。ー ー 煮汁
 が旨い。煎藥の種類。伊開的藥落甚麽ー

ー ー 彼の處方にはどんな煎藥の種類があるか。
 ツン タウ ヲア ヲカ 轉頭空角。曲角。

ツン タウ ツイ ビエ 當頭對面。向合ふ。差向。顔と
 顔を合はせる。

ツン タウ ベエ ジツ 當頭白日。眞晝間。晝の日中。
 ー ー 搶關帝廟 晝の日中に關帝廟を襲ふ、
 日中房事を行ふ。

ツン タウ ムン 長頭毛。長髮。和尚無。ー ー 坊
 主に長髮なし、擱まれる様なものがなく抜目がな
 い意。

ツン タウ 當等。待受ける。待設ける。ー 伊來 ー 彼

ツン

ツン

ツン

ワン

の来るのを待受ける。

ワンタン 長冬。第一期作の收穫時。【短冬】に對す。

ワンタン 斷銅。文無し。一文の錢もない。鏝一文もない。裏袋仔——懐に金が一文もない。

ワンタン 長桶。長靴などの筒の長いもの。——靴——筒の長い長靴。——襪——筒の長い靴下。【短桶】

ワンタン シエヌ 斷銅縮。【斷銅】。——に對す。

ワンタン ヒエ 擲蠟坐。尻餅をつく。

ワンタン ヒエ 長桶靴。筒の長い長靴。

ワンタン ビエ 斷銅靴。【斷銅】。

ワンタン ベエ 長桶襪。筒の長い靴下。——居ない。

ワンチア 斷隻。一匹も居ない。——蚊——一匹の蚊も

ワンチア 轉成。大人になる。年頃になる。一人前になる。【仔】——子供が大人になる。

ワンチア エエ 長情的。肩附。抱。

ワンチア カア 脱赤脚。次に同じ。

ワンチア カア 脱赤脚。既足。素足。徒跣。——

ワンチア カア 脱赤脚。既足。素足。徒跣。——的尅鹿。穿鞋的食肉——素足の者が鹿を追ひ、靴を穿いて見て居た者が肉を食ふ、勞する者は何物も得ず、樂する者は却つて利益を得る意。

ワンチア ワン 長成長。——短成短——長い物は長く、短い物は短く、よく揃つてゐる。

ワンチア テエ 脱赤襪。裸體。

ワン

ワンチア バン 斷隻蚊。一疋の蚊も居ない。

ワンチア ム 糖鑽。砂糖の刺。

ワンチア ム ケエ 糖鑽客。誰彼の差別なく色を漁る者。【糖】。浮氣男。

ワンチイ 長錢。【高錢】の一種。

ワンチイ 轉生。病人——病人が悪い轉生を見る。

ワンチイ 轉青。青ばむ。青く色づく。樹葉到春頭就——木の葉が春になると青ばむ。

ワンチイ 斷青。早敷などで青物が出ない。【市】。

ワンチイ 糖市。年越などに開かれる砂糖の市。砂糖

ワンチイ カン 轉錢孔。錢の算段をする。金を才覚する。金を工面する。

ワンチイ コアヌ 轉舌關。言抜ける。言紛らす。

ワンチイ シエヌ 斷錢縮。【斷銅】。

ワンチウ 斷掌。手の筋が二本續いて一本になったもの。——查某守空房——同上の男は官吏になる。

ワンチウ 轉手。手をかへる。手を轉じる。

ワンチウ 長手。——長い手。伸——長い手を出す、乞食。——(圍などを引くとき)運が強い。よく引當てる。

ワンチエン 糖精。(番) サッカリン。舍利別。

ワンチエン 糖清。——舍利別。——糖蜜。砂糖蜜。

ワン

ワンチウ 轉笑。怒つてゐた者が笑ひ出す。【打つ】。

ワンチウ タウ 擲石頭。石を投げる。石を抛る。礮を

ワンチウ エエ ヨオ 脱——下襪。——打——打一下脚

川——ズボンを一度脱いで尻を一度打つ、仕事など一度にせずして何度にもするをいふ。

ワンチウ ツエ 當此節。差當。差詰。

ワンチウ ア 斷礎。——礎が斷れる。——頼の綱が切れる。望がなくなる。

ワンチウ ア ウセエ 斷條紗。(番) 【斷紗行】。

ワンチウ ア ム 當店。質屋。

ワンチウ ア ム イアム 斷點麩。少しも汚點がない。無

ワンチウ ア ム チヌ 斷點塵。塵一本もない。

ワンチウ ア ム ホン 斷點風。少しの風もない。

ワンチウ イ ビツ 長株。(番) 【長株】。

ワンチウ イ ビツ チイ 糖甜蜜甜。砂糖や蜜の様に甘い。交情の密なるをいふ。話講到——

巧に甘言を以ていふ。

ワンチウ エン 堂頂。法廷。審問する場所。

ワンチウ エン ヘエ ホア 當燈火灰。(約束又は誓の時の詞) 誓に背かば燈火の消える如く死んで仕舞ふといふ意。若騙你——若し騙したら同上。

ワンチウ チウ 撞着。行會ふ。出會ふ。往會ふ。

ワンチウ チウ 燙膚。湯などで火傷をする。敢做飽飢驚

浪滔ムー 敢て柄杓になりながら熱い重湯で火傷をするのを怖れる、覺悟の出來ざるを笑つてい

ツイン 轉嘴。【換嘴】の③。

ツイ 糖水。●砂糖水。單音利別。●糖蜜。

ツイレエ 長嘴螺。(動) 長辛螺。

ツイツ 唐船。ジャンク。支那形の船。

ツイヌチ 斷寸鐵。寸鐵も無い、極貧乏。

ツイウ 長株。長方形。長手。長形。長口。一圓

ツイン 常當。【當】の③。

ツイン 當堂。法廷で。公廷で。一審案。法廷で

ツイン 斷斷。【斷】の③。

ツイン 轉轉。【轉】の③。

ツイン 返返。【返】の③。

ツイン 當當。【當】の③。

ツイン 擲擲。【擲】の③。

ツイン 燙燙。【燙】の③。

ツイン 長長。長い。長長しい。一久久永久。

ツイン 長久。一暝。長夜。一離開。永訣。

ツイン 給給。【給】の③。

ツイン 撞撞。【撞】の③。

ツイン 燙燙。【燙】の③。

ツイン 斷斷。【斷】の③。

ツイン 脱脱。【脱】の③。

ツイン 兌兌。【兌】の③。

ツイン 燙燙。●燒。一非常に熱い。熱。一非

常に暑い。熱。一沸騰したものなど非常に熱い。【燙】の③。

ツイン 傳傳。【傳】の③。

ツイン 燙燙。【燙】の③。

ツイン テエ長短。●長短。長短。一脚。片跛。跛。十指有。一十本の指にも長短あり、大勢の中

には善きも悪きもある。●懸案中の事柄。●出入。債權債務の關係。●懸案中の事柄。●出入。債權債務の關係。●懸案中の事柄。●出入。債權債務の關係。●懸案中の事柄。

と出入關係がある。●苦情。文句。非難。講。一話。苦情をいふ。講人。一人を非難する。●多少。多かれ少かれ。一還。多少なりとも返

す。●湯茶。湯と茶。

ツイン テエ脱褌。肌脱。膚脱。裸。

ツイン テエカア長短脚。片跛。跛。講。一話。何

だかんだと苦情をいふ。

ツイン テエ脱褌。眞裸體。

ツイン トアラン 轉大人。大人になる。一ける。

ツイン トエ脱底。底が抜る。指桶。一水桶の底がぬ

ツイン トオ腸肚。●腸と腹。腸胃。腸。●腹。心。伊

的。一續被人知影。彼の心は人に知られてし

まった。ツイン トヲ 轉倒。●機轉がきく。覺が早い。氣働。●巧く使用する。運用。安掛。賢。一運用がうまい。才覺がある。

ツイン トヲ 長刀。長刀。

ツイン トヲ 撞倒。ぶつかって倒れる。衝突して倒れる。

ツイン ニイ 當年。年番に當る。其年に當る。

ツイン ニイザイ 長年菜。年越の日に煮た芥菜。正月

之を食うて長壽を得るといふ。【過年菜】。

ツイン ニイタン 長年通天。前と同じ。

ツイン ニイチア 長年蔗。新年に門後に立てかける根附

葉附の儘の甘蔗。門松の如きもの。

ツイン ニイプン 長年飯。【春飯】。

ツイン ヌン 當當。【當當】の③。

ツイン ヌン 斷斷。【斷斷】の③。

ツイン ヌン 轉轉。【轉轉】の③。

ツイン ヌン 返返。【返返】の③。

ツイン ヌン 當當。【當當】の③。

ツイン ヌン 擲擲。【擲擲】の③。

ツイン ヌン 燙燙。【燙燙】の③。

ツイン ヌン 給給。【給給】の③。

ツイン ヌン 撞撞。【撞撞】の③。

ツイン

ツイン

ツイン

ツ

ツト ヌト 湯湯。【湯湯】。
 ツト ヌト 斷斷。【斷斷】。
 ツト ヌト 脫脫。【脫脫】。
 ツト ヌト 燙燙。【燙燙】の②。
 ツト ヌト 兌兌。【兌兌】。
 ツト ヌト 傳傳。【傳傳】。
 ツト ヌト 燙燙。【燙燙】。
 ツト ハア 脫孝。喪服を脱ぐ。喪が明く。忌明。除服。忌明。忌明。【と】。
 ツト ハヌ 轉寒。解熱した後著しく身體が冷却すること。
 ツト ハン 糖行。砂糖の間屋。
 ツト バク 轉目。目を轉ずる。
 ツト バグ テエ 脱刺楊。【脱刺楊】。
 ツト バン 長蟒。長衣。【兵になる】。
 ツト パア テウ 常打手。芝居などの下役に扮する。雑
 ツト パウ 長袍。長い袷の着物。
 ツト パグ テエ 脱刺楊。肌脱。大肌脱。裸。【もの】。
 ツト パン 堂房。法廷に於て申立を傳ふる通事の如き
 ツト ヒア 長靴。深靴。長靴。
 ツト ヒイ 常魚。筭又は網などを張って魚を捕る。
 ツト ヒイ コア 撞敵封。見物する芝居に依つて吉凶を
 ツト ヒウ 長裘。長い【裘】。【占ふこと】。
 ツト ヒエツ カク 脱縛擲。脱捨てる。脱放つ。

ツ

ツト ヒエン 常興。神佛など參詣者が盛んにある。流
 行る。繁昌する。
 ツト ヒエン 擲胸。怒る時自分の胸を打つ。
 ツト ヒエン 長形。長形。
 ツト ヒエン チオン 常刑杖。罪人を打つ役になる。
 ツト ヒシイ 當彼時。當時。其場に臨む。其時。時
 ツト ヒツ アア 當彼雲。前に同じ。【しも】。
 ツト ビツ 糖蜜。【糖蜜】。
 ツト ビヌ 當面。向つげに。面と向つて。打附に。目
 前。——講直談。——指對質。
 ツト ビヌ 長面。長い顔。面長。馬顔。
 ツト ビイ 轉變。大人になる。年頃になる。春期發動。
 ツト ビイ 長柄。長柄。
 ツト ビイ 長病。長病。長病。
 ツト ビエン 當兵。兵役につく。兵隊になる。好子不
 ——好銅不鑄鐘。好い子は兵隊にせず、好い
 銅は鐘を鑄す、素性の悪いもののみが兵隊になる
 ツト ビラ 長標。長い鎗。
 ツト ビラ 當票。質札。
 ツト プツ キイ 當不起。【謙讓の詞】何致しまして。敢
 て當らず。私の力には及びませぬ。恐縮します。
 ツト プヌ 長本。大資本。——的生理。同上の商賣。
 ツト ヘエ シウ 長歲壽。長生。長命。長壽。食——

ツ

ツト ヘエ マイ ミイ 湯火腿麵。素麵を火腿等と混ぜ
 て煮たもの。
 ツト ヘエ フヌ 斷火燻。少しも火の気がない。
 ツト ベエ カウ 長尾猴。【長尾猴】。
 ツト ベエ サア ニウ 長尾山娘。【山娘】。嘴は赤
 く翼は翠、脊は褐色にして艶あり。
 ツト ベエ ソア ニウ 長尾山娘。前に同じ。
 ツト ベエ テイ 長尾星。【長尾星】。【悪い子供】。
 悪たれ。恁老母生到你此個——お前の
 母はお前みた様な悪たれを生んだ。
 ツト ベエ テイ アア 長尾星仔。【長尾星】の②。
 ツト ベエ 轉白。白くなる。白む。白む。白む。
 ツト ペエ ワン ケツ 當皮當骨。皮や骨を質に入れ
 る。何でも彼でも質に入れて遺練をする。無理算
 段をする。
 ツト ペエ ボエ ケツ 當皮賣骨。皮を質に入れ骨を賣
 る。前に同じ。
 ツト ホアツ イアム 腸發炎。【腸加答兒】。
 ツト ホアツ ザイ 當發彩。商賣など全盛。時めく。
 金の儲かる盛。
 ツト ホアツ チイ 當發錢。金の儲かる盛。
 ツト ホアツ ホエ 當發花。【當發彩】。

ツイン ホアヌ 長犯。長期の懲役。長期囚。

ツイン ホアヌ 糖販。砂糖の才取。

ツイン ホエ 堂會。【堂會】。

ツイン ホエ シウ 長歲壽。【長歲壽】。

ツイン ホヲ 常好。好い盛。

ツイン ホン 轉風。風向が變る。風が吹變る。

ツイン ホン ビヌ 轉風面。風の方向が變る。

ツイン ホン 轉瘋。古癪などが痛出す。

ツイン ホオ フヌ 斷火燵。【斷火燵】。

ツイン ボエ キイ 常沒起。(謙讓の詞)忝けない。恐多い。恐縮に堪へない。恐入る。

ツイン ボエ モエ 長尾星。(彗)【長尾星】。

ツイン ボエ チアウ 常沒住。堪らない。我慢が出来ない。遣切れない。耐へられない。

ツイン ボエ ライ 當沒來。責任など呑負ひきれない。遣切れない。出来兼ねる。

ツイン ボオ チイ 長尾星。(彗)【長尾星】。

ツイン ポア イイ 斷半文。一文もない。「い。」

ツイン ポア セエソア 斷半紗線。着る着物が一枚も無

ツイン ポア モエ 擲駝坐。【擲駝坐】。

ツイン ポエ サア 丈八柴。—— 削一枝檣蹄—— 丈

八尺もある木を一本の膊腕に切る。不經濟な使方をするをいふ。

ツイン ボエ ワンクッ 當皮當骨。(彗)【當皮當骨】。

ツイン ボエ ベエクッ 當皮賣骨。(彗)【當皮賣骨】。

ツイン ポエ マウ 丈八矛。(武器)一丈八尺の矛。

ツイン ボオ 當舖。質屋。質店。

ツイン ボオ 糖廩。砂糖製造所。【草廩】。

ツイン ボヲ 湯婆。湯婆。

ツイン ボオ ワンクッ 當皮當骨。(彗)【當皮當骨】。

ツイン ボオ ボエクッ 當皮賣骨。(彗)【當皮賣骨】。

ツイン ミア 長命。長命。長生。

ツイン ミイ 長嘆。長夜。夜長。

ツイン ムキイ 當不起。【當沒起】。

ツイン ムンイ 長毛。長髮。—— 賊—— 長髮賊。—— 王—— 同上の王。—— 反—— 同上の亂。

ツイン ムン 長門。商賣など長續する。—— 的生理—— 長續する商賣。較—— 長續する。

ツイン ムン 脫毛。獸など毛が脱ける。

ツイン ムン 脫門。戸を取外す。戸を外す。

ツイン ムン チエン 長毛僧。道士の一種。

ツイン ライ 返來。歸る。立歸る。歸つて來る。

ツイン ライ 長來。得をする。伊被我—— 彼は僕に得をされた。

ツイン ライ ワンキイ 轉來轉去。ぐるぐると廻る。

ツイン ラウ 返流。上潮。満潮。差潮。

ツイン ラウ 糖漏。砂糖の漏斗。

ツイン ラウ ツイ 長流水。常に絶間ない。間斷ない。

ツイン ラウ ワンタウ 長流長頭。初中終。常に絶間ない。

ツイン ラウ ツイ 長流長水。【長流水】。「い。」

ツイン ラク モエ 擲落坐。【擲落坐】。

ツイン ラク モエ 擲凹坐。【擲凹坐】。

ツイン ラン 唐人。人を待伏せる。

ツイン ラン 唐人。唐人。支那人。民國人。

ツイン ラン 糖籠。砂糖を入れる籠。

ツイン ラウ 轉噴。音樂歌曲の調子を轉ずる。聲調。音階を換へる。

ツイン リアウ 長條。長衣。

ツイン リアウ 糖料。砂糖で煮詰めた菓子類の總稱。

ツイン リアア 斷粒。一つもない。皆無。

ツイン リア シアン 長揀揀。【長揀揀】。

ツイン リウリウ 長摺摺。【長摺摺】。

ツイン リエヌ ヲアヌ 轉連環。機關銃などを連發する。

ツイン リエヌ ホアヌ 轉連環。前に同じ。

ツイン リエン 斷乳。乳離。乳を止める。乳を離れる。

ツイン リエン 糖龍。祭典の時に寺廟に供へる砂糖で造

ツイン リヌ 斷乳。【斷乳】。「った飾物。」

ツイン リヌ 斷厘。(彗)一文もない。

ツイン ルヌ 轉輪。●輪が廻る。●目の玉を廻す。目睨

ツイン

ツイン

ツイン

ツラ

ツラ 没一 眼球が動かぬ。

ツラ ロオ 長路。長路。長路。

ツラ ロオ 断路。路を断つ。絶交。往來をしない。與

伊一 彼と絶交する。

ツラ ロオ 湯路。汁。煮汁。ソップ。一好 汁の味が

ツラ ロオ 糖路。砂糖を材料として製したもの。總稱。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ロオ 糖籬。砂糖を乾す大きな平い籃。

ツラ ツラ

ツラ 猪。(猪)

ツラ 著。(著)

ツラ 除。鋤。...

ツラ 箸。在。何。...

ツラ 箸。杵。...

ツラ 儲。糊。...

ツラ アア 猪仔。(猪仔)

ツラ

ツラ アア 箸匣。(箸匣)

ツラ イア 除夜。(除夜)

ツラ カア 猪脚。(猪脚)

ツラ カイ シアウゴア 除開消外。(除開消外)

ツラ キイ 除起。(除起)

ツラ キイ ライ 除起來。(除起來)

ツラ キム 貯金。(貯金)

ツラ クイ 除鬼。(除鬼)

ツラ クヌ 儲君。(儲君)

ツラ クク 除去。(除去)

ツラ ゴアツ 除月。(除月)

ツラ シェク 除夕。(除夕)

ツラ シェヌ シェン 楮先生。(楮先生)

ツラ シツ 除實。(除實)

ツラ シム 猪心。(猪心)

ツラ ジツ 除日。(除日)

ツラ スツ 著述。(著述)

ツラ モエ 著册。(著册)

ツラ ソアヌ 除算。(除算)

ツラ ツク 著作。(著作)

ツラ タウ 鋤頭。(鋤頭)

ツラ タウ ポオ 猪頭皮。(猪頭皮)

ツラ チア 著者。(著者)

ツラ

ツラ チェク 除藉。(除藉)

ツラ チオク 貯蓄。(貯蓄)

ツラ ツク 著書。(著書)

ツラ マイ 猪腿。(猪腿)

ツラ ツク 著著。(著著)

ツラ ツク 除除。(除除)

ツラ ツク 糊糊。(糊糊)

ツラ トア 在得。(在得)

ツラ バア 猪肉。(猪肉)

ツラ ビエヌ 著現。(著現)

ツラ ビエツ 除滅。(除滅)

ツラ ビエン 著名。(著名)

ツラ ビエン 著明。(著明)

ツラ フィ 猪血。(猪血)

ツラ フィ 除非。(除非)

ツラ フィチ 除非着。(除非着)

ツラ ブウ 猪母。(猪母)

ツラ ホアツ 除法。(除法)

ツラ ポオ 猪胚。(猪胚)

ツラ ミア 除名。(除名)

ツラ リエン 除靈。(除靈)

ツラ ルチ 著著。(著著)

テ

去ク 螺旋ネヂが脱ヌける。螺旋ネヂが戻モる。無路用的ムロウテキ物モノ起キ来ライ。役ヤクに立タたぬものを取ト去クしてしまふ。
 張死的チヤウテキ一没イツ起キ来ライ。造附ゾウツクで取ト外ガイすことが出来デない。
 テエ替カ。(兼ニ)【替カ】。【退タイ】。
 テエ楊ヤウ。●裸ハダカ。素襦ソジュ。脱ヌ。裸ハダカになる。脱ヌ剝ハ。全ゼン裸ハダカ。●無ム一物イツブツ。きれいに。了到リョウダウ。損シして無ム一物イツブツになる。洗無センム。きれいに洗アはない。庭掃テイスイ去ク真マ。庭テイを非常ヒジョウにきれいに掃スイ除ジョした。
 テエ痲マ。(兼ニ)根太ネタイ。【痲マ、痲マ】。
 テエ提テイ。提テイ起キする。持モチ出デす。一案イツアン案件ケイケンを提テイ出デす。
 過カ了リョウ時ジ過カ了リョウ事ジ不可イカ更シ一イツ起キ過カ了リョウ過カ了リョウ話ワを再サイび持モチ出デしてはいけない。
 テエ擡タイ。文字モンジの行ユキを上げアげる。上書ジョウショする。擡頭タイダウ。一雙イツソウ。二ニ字ジ上げアて書カく。單タン。一イツ字ジ上ジョウ。一高イツコウ字ジを高コウく上げアげる。
 テエ蚱サ。(兼ニ)水母スイボ。一怙蝦コイサ做目サシメ。水母スイボが眼メを怙コんで目メにする。自ジ分の出来デないことを人ヒトを怙コんで辨ベンずるをいふ。
 テエ儂ニヤウ。意識イシキのぼんやりした様サマ。老耄ラウコウれて元氣ゲンキの無ムくなった様サマ。食老シキラウ在倒サイダイ。一イツ年ネンをとって元氣ゲンキがなくなクる。【儂ニヤウ】。
 テエ宅タク。●竹藪チクソクで圍カった屋敷地ヤシキチ。宅地タクチ。厝シヤ。一イツ同上ドウジョウ。

テ

●果物クワモノなどを栽培カイバイする畑ハタケ。菓子カシ。一イツ果物畑クワモノハタケ。柑カン仔ジ。一イツ蜜柑畑ミツカンハタケ。芭蕉ハヤシラ。一イツ芭蕉畑ハヤシラハタケ。●同上ドウジョウを數カへる語ゴ。一イツ芭蕉ハヤシラ。一イツ畑ハタケの芭蕉ハヤシラ。
 テエ提テイ。持モチつ。取トる。携カへる。受取ウケトル。一イツ面巾オモカシ來ライ。手テ拭ヌグを持って來ライる。一イツ來ライ。去ク。持モチつて來ライたり持モチつて往イったり。偷トウ。一イツ竊カクかに取トる。盜トウ。一イツ給人キョウジン。人ヒトに遺ユる。共伊キョイ。一イツ彼カから買カふ。不可イカ。一イツ取トつてはいけない。【提テイ、提テイ】。
 テエ脛ケツ。●兩肩リウケンを上げて竦クむ様サマにする。頸ケツを縮チヂムめて竦クむ様サマにする。一イツ肩ケン同上ドウジョウ。肩頭ケンダウ。一イツ肩ケンを竦クめる。●臨終リンシヨウの時トキなど息イキの根ネが絶タ絶タになる。微カに肩ケンを息イキをする。氣絲仔キシジ。一イツ下ゲ。一イツ下ゲ。將マに息イキを引ヒ取りかかカつてゐる。在要サイヤウ。去ク。死シにかかカつてゐる。【脛ケツ】。
 テエ擡タイ。(兼ニ)【擡タイ】。
 テエ臆オク。(兼ニ)【臆オク】。
 テエ程チヨウ。(兼ニ)【程チヨウ】。
 テエアア茶仔チャジ。(兼ニ)山茶料サンチャリョウ。●茶チャ。(數種スウシュウあり、何れも烏龍茶ウロンチャ、包種茶ホウシュウチャ等を製セイす)。●あつさむちや。(紅茶コウチャを製セイす)。
 テエアア袋仔カクジ。(兼ニ)袋物カクモノ。●ポケツト。隠カクレ。
 テエアア芋仔イモジ。(兼ニ)芋仔イモジ。
 テエアア地押チオシ。(兼ニ)地押チオシ。

テ

テエアア痲仔マジ。(兼ニ)根太ネタイ。生シ。一イツ同上ドウジョウが出來デる。
 テエアアイウ茶仔油チャジユ。●茶チャの實ミを搾シって製セイした油アブラ。
 テエアアソア芋仔線イモジセン。(兼ニ)芋仔線イモジセン。【一イツ棒油ツバネアブラ】。
 テエアアソグ袋仔束カクジタ。緒止オモセ。緒締オモセ。
 テエアアチイ芋仔薯イモジシ。(兼ニ)芋仔薯イモジシ。
 テエアアトヲ芋仔刀イモジタ。(兼ニ)芋仔刀イモジタ。
 テエアアポオ芋仔布イモジフ。(兼ニ)芋仔布イモジフ。
 テエアアポヲ胎仔帽イモジカ。生シれ立タの赤兒アカガの被カる帽子カザリ、中ナカ央ウラに孔アナあり。
 テエアアライ袋仔内カクジウチ。囊中ナカ。
 テエアア随後ズイゴ。●後アトにつく。後アトに隨ツふ。一イツ個行頭コウギョウダウ前マ。一イツ個行コウギョウ。一イツ人ヒトは前マを歩アき。一イツ人ヒトは後アトについで歩アく。●後アトから直ナに。一イツ去ク。後アトから直ナ行ユクく。
 テエアアウ茶碗チャワン。茶飲茶碗チャインチャワン。茶茶碗チャワン。天目テンメク。壓オシ。一イツ碗ワンの中ナカに入れて遺ユること。
 テエアア退後タイゴ。後アトへ下シる。後アトへ引ヒ下シる。退却タイセツ。退ヒく。
 進前シンゼン無路ムロ。一イツ無步ムフ。進シンむに路ミチ無ムく。退ヒく。進シンむに歩ア無ムし。進退シンタイ谷ヤる。【碗形ワンケイ】。
 テエアアアアホアア茶碗仔チャワンジ。茶飲茶碗チャインチャワンの形ケイ。茶チャ。
 テエアアアア壓案オシアン。案件ケイケンを押オシへて置オキく。握潰ニグツクす。一イツ不フ辨ベン。案件ケイケンを握潰ニグツクして捌ハかない。
 テエアアアア提案テイアン。提案テイアン。案アンを持モチ出デす。下級官廳カキョウカンテイより

テ、キア 壓驚。●物事に驚いて病気を起した時薬

を飲ませ又は道士を頼んで恐を鎮める。叫司公
来——道士を呼んで来て同上する。●災難など
を免れた者の爲に酒宴を張つて慰める。辨酒—
—同上。

テ、キア キヲ 隨子叫。子供の呼ぶ様に自分も呼ぶ
(妻が其夫を御父さんと呼ぶなど)。

テ、キア リウ 退寄留。(前)寄留退去。

テ、キア ム 短劍。短劍。短刀。 「上。

テ、キア ム 短欠。資金など不足。資本——同

テ、キア ム 退鹹。鹽出。鹽氣を去る。——即能食
得——鹽出しなければ食べられない。

テ、キイ 短期。短期。

テ、キイ 壓枝。樹木の枝梢の一部を押着めて土中に
入れ覆ひ、其箇處より根を生ぜしめて後其枝を切
放ちて苗木となす方法。壓枝。

テ、キイ 茶枝。茶の中に混つてゐる莖。

テ、キイ 茶几。應接間の椅子の側にある四角な小い

テ、キイ 地基。●敷地。●基礎。礎。

テ、キイ 地祇。(又)地祇。地の神。

テ、キイ 奪枝。壓枝。

テ、キイ 壓氣。嘔吐又は咳を催した時薬を用ひて押
へること。吸阿片煙——阿片を吸つて同上す

る。

テ、キイ 茶器。茶器。茶道具。

テ、キイ 地氣。●地氣。地熱。瘧疾是——激的

流行病は地氣から起るのだ。●氣候風土。臺灣

的所在——真好——臺灣は氣候が好い。

テ、キイ 奪去。奪去。被伊——彼の爲に取去ら
れる。

テ、キイ 退氣。●鬱憤などを鎮める。行徒——散
歩いて氣を鎮める。●運氣などが衰へる。左前

になる。伊此候在——彼は今左前になつてゐ
る。

テ、キイ 退去。退去。退去。退却。

テ、キイ 提起。提起する。提出する。你若
無——彼條事情——若しあなたがあの事を持出さ

テ、キイ アア 低氣壓。(國)低氣壓。 「なければ。

テ、キイ グヌ 地基銀。地代。借地料。

テ、キイ セイグヌ 地基税銀。地主が其開墾した土
地に對して納める税金。

テ、キイ アア 提忌紙。里の父母の忌日に「銀紙」を
持歸つて焼くこと。

テ、キイ オオ 地基租。地代。土地の賃貸料。

テ、キイ ツウ 地基主。●土地の開墾主。地主。●土
地の神。

テ、キイ トア 地基單。土地の所在面積等を記載した
「書面」。

テ、キイ ヒエンリエツ 提旗行列。(新)旗行列。

テ、キウ 地球儀。地球。——旋太陽——地球の公轉。—
—儀——地球儀。——圖——地球圖。

テ、キウ キウ 短縮。非常に短い。

テ、キウ キウ 短縮。前に同じ。

テ、キウ キウ 短趨。前に同じ。

テ、キウ キウ 短趨。前に同じ。

テ、キウ チエツ 地久節。(國)地久節。

テ、キウ ブウチツバク 提毒母拭目。生
畫で目の縁を拭ふ。空涙を出す。蘇州婆假有
義————蘇州の賣笑婦が情義のあるふり
をして空涙を出す。

テ、キエツ 締結。締結する。——條約——條約を締結
する。

テ、キエン 退耕。小作を止める。

テ、キエン 榎肩。肩を疎める。【榎肩】。

テ、キオン 袋恭。(國)腹の中に糞を入れてゐる、愚
圖で僻根性な者などをいふ。

テ、キヌ 地蝸。(昆)【土蝸】。

テ、キヌ 退勤。(退)【退勤】。

テ、キヌ 涕泣。(又)涕泣。

テ、キヌ シヲ 茶急燒。茶出。急須。

テ、キム 提琴。胡弓。ヴァイオリン。

テ、ギアウ トン シイ 帝堯陶唐氏。帝堯陶唐
氏。

テ、エ

テ、エ

テ、エ

テエ

テエギアア帝業。(又) 帝業。

テエギイ提議。(國) 提議。

テエギツギッ短縮縮。(短縮縮)。

テエギエク地獄。地獄。落——地獄に落ちる。過——地獄を通る。打——道士の儀式の一。地獄から救出す。

テエギエクシア地獄城。地獄。

テエギエクムン地獄門。地獄の門。開——七月一日地獄の門を開き一ヶ月間死靈を外に出す。關——七月末日地獄の門を閉むる。

テエクイ壓櫃。商取引の場合など保證金を提供する。提五百元共伊——五百圓を保證金として提供する。

テエクイ第幾。第何番。——號——第何號。

テエクイ地葵。(蒼耳)。

テエクイ推開。斷る。辭退する。撥附ける。退ける。否む。講好聽的話來——旨いことを言つて辭退する。「彼に讓る。」

テエクイ退開。退く。退く。——讓伊——身を引いて

テエクイキイ提開去。除ける。取除ける。取開く。

テエクイクイ推開開。(推開)。

テエクク地骨。(地骨)。(漢藥の名)。

テエククク短學學。極短。

テエ

テエクツワオ地骨租。地主に納める税。(骨租)。

テエクツツウ地骨主。地主。(骨主)。

テエクツクイ地骨皮。(骨皮)。(枸杞)。

テエクツクオオ地骨露。(地骨皮)から取った油の如きもの、解熱劑として用ふ。「い棒」。

テエクヌ短棍。(栲間)に用ひる木又は籐の棒。(短棍)。

テエクヌ帝君。神の尊稱。關聖帝君。文昌帝君。

テエクヌ地棍。地方の惡徒。地方の破落戸。「など」。

テエクヌ伴眼。(伴眼)。

テエクヌ退軍。退軍。退陣。

テエクヌ退勤。(退勤)。

テエクヌイア帝君爺。關羽の尊號。

テエクヌコン帝君公。醫藥の神。「大道公」。

テエクン茶缸。茶壺。茶を入れる器。

テエクン貯藏。(貯藏)。

テエグウ地牛。(地牛)。

テエケエ低價。低廉。廉價。

テエケエ地價。(地價)。

テエケエ遞解。(遞解)。

テエケエ短缺。金銭など乏しい。足りない。缺乏。不足。本錢較——資本が乏しい。

テエケエ茶客。茶の仲買人。茶の産地より來る客商。茶を嗜好する者。よく茶を飲む者。

テエ

テエケエ體格。(體格)。

テエケエ退價。値引。値下。減價。

テエゲエ體藝。(體藝)。

テエゲエ退衛。退廳。役所を退出する。役所を下る。役所の引。

テエコア短楯。馬乘羽織。羽織。

テエコア地瓜。薩摩薯。甘薯。「番薯」。

テエコア替掛。(替掛)。

テエコア茶館。茶商。「を入れる」。

テエコア茶罐。茶出。土瓶。——泡茶——土瓶で茶

テエコア地官。「三界公」の一。地を司る神。地神。

テエコア隨款。人の眞似をする。人のする通に眞

テエコア撐高。(撐高)。

テエコアヌウイ壓棺位。棺を外へ出した後、其の位置に「發標」と「紅圓」と赤い蠟燭などを置くこと。

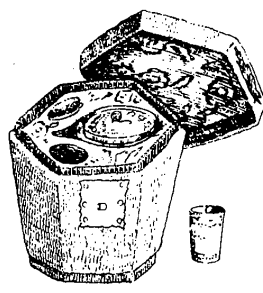
テエコアヌシウ茶罐巢。茶瓶を入れて保温する籐製の器。

テエコアヌシウ地官首。祭禮の擔當者

の一。

テエコアヌスイ茶罐

嘴。茶出の口。土瓶の口。——夕、能視嘴——



茶罐巢

土瓶の口が悪いので茶が尻に廻る。

テエ コエ 地瓜。【地瓜】。

テエ コエ ニイ 地瓜泥。煮た薩摩薯を磨り砂糖豚の油などを入れてどろどろにした料理。

テエ コエ ペエ 隨雞飛。――隨狗走隨乞食拵。菱鷹斗雞に隨へば飛び犬に隨へば走り乞食に隨へばアンペラ袋を提げる、夫と苦樂を共にすべき意。

テエ コオ 茶硯。湯洗。茶瓶。土瓶。――安金亦是磁土瓶に金を鏤めても矢張り瀬戸物、醜いものが如何に装うても矢張り醜いなど。

テエ コオ 短襦。短い股引。膝丈の袴。猿股。半股引。

テエ コオ 茶籠。茶の實より油をとった粕。石鹼の如く洗濯に用ひらる。

テエ コオ 退股。【股東】が【合股】より脱退する。合資組合を脱退する。

テエ コオ クイ コオ ヌ ジイ 退股歸管字。合資組合中の或者から或者に株を賣渡す證書。

テエ コオ コオ ヌ 提古關。過去に於ける自己の手柄話又は他人の缺點を提出す。過去した芥藻屑を提出す。

テエ コオ ジイ 退股字。【退股】の證書。「す。

テエ コオ ボア 茶籠末。茶の實より油をとった粕の粉。

テエ コロ 茶菓。茶と果物。――敬神茶と果物など

を神佛に供へる。

テエ コロ 撐窩。棹す。――的人船頭。肚内好。

――腹の中で棹すことができる、度量が大きい。節水――水の深さを計つて竿をさす、収入を計つて支出を定めるなど。

テエ コク 帝國。【帝國】。――主義帝國主義。

テエ コク アア 茶柄仔。茶柄杓。

テエ コク ギイ ホエ 帝國議會。【帝國議會】。

テエ コク コロ シヌ シイ 帝嚳高辛氏。古代の帝王の名。帝嚳高辛氏。

テエ コク タイ ハク 帝國大學。【帝國大學】。

テエ コン ジヌ ヒイ 地廣人稀。【地廣くして人稀なり】。

テエ コン ホエレ 短管花螺。【短管花螺】。

テエ ゴエ 體藝。【體藝】。

テエ ゴオ 第五。(連) 第五。

テエ ゴオ 退伍。除隊する。隊伍から退く。

テエ ゴン 伴戀。(連) 【伴戀】。

テエ サア 短衫。短い着物。襦衣。襦衣。

テエ サア トク シイ 推三托四。辯疏する。何彼に託ける。事に託する。逃口上をいふ。講要共伊

借錢伊就――彼に金を借りる事を言へば彼は直逃口上をいふ。

テエ サイ 袋屎。(連) 【袋恭】。

テエ サイ 町屎。(連) 【町屎】。

テエ サイ 胎屎。赤子が生後はじめてする糞。蟹屎。

テエ サイ 撐獅。(連) 【撐獅】。

テエ サウ 壓嗽。薬など用ひて咳を鎮める。食冰糖。――氷砂糖を食べて同上する。

テエ サク 退揀。――下戻す。――不取却下。受附けないで下げる。――取りはづす。取除く。無合咱

黨的人着――我が黨に合はない人は除名せよ。此枝腐櫛仔着――此の朽った梁を取除

テエ サブ 茶屑。粉茶。茶の屑。「きなさい。

テエ サン 遞送。遞送。遞送。

テエ サア ボオ 隨查某。女買をする。女郎買をする。

テエ サイ 壓載。バラストを積む。

テエ サイ 茶栽。茶の苗。「の。

テエ サイ 茶菜。茶の若葉を摘んでまだ製造しないも

テエ サイ 體裁。(連) 【體裁】。「茶の籠。

テエ サイ ラン 茶菜籠。摘んだ茶の若葉を入れる籠。

テエ サウ 退走。退く。飛退く。退却。――去邊邊

――脇に退け。彼方へ行け。敗軍――敗軍退却。

テエ サウ 提走。――取除く。無路用的物着――役

に立たないものは取除け。――持つて逃げる。銭――金を持逃す。

テエ

テエ

テエ

テエ

テエ/ザウ體操。(國)體操。
 テエ/ザヌ茶棧。茶を貯へる倉。茶の倉庫。
 テエ/ザン茶叢。茶樹。
 テエ/シア塊聲。個數勘定。個數で計算する。買豆餅是算一的不是量重的。豆粉を買ふには一個何程と數で勘定をするので、斤量で勘定をするのではない。
 テエ/シア帝城。帝城。
 テエ/シア壓檯。祝物・禮物などを受けた時少しの物を入れて返すこと。御返。御移。
 テエ/シア茶倉。茶島。山の傾斜面の茶畑。
 テエ/シア茶杓。茶柄杓。
 テエ/シア退社。(國)退社。
 テエ/シアア茶澁。茶澁。
 テエ/シアンジイ壓雙字。厘錢二文を廻轉して掌にて伏せ錢の表を言當てる賭博又はその錢の表が二文共字の有る面の出るをいふ。
 テエ/シイ壓死。壓殺す。啞口。子、無話可講。啞が過つて子を壓殺したが人に言つて聞かせることが出来ない、辯疏したいがすれば秘密が露れ痛し瀝して發表の出来ざるが如きにいふ。
 テエ/シイ壓生。【壓青】。
 テエ/シイ茶匙。茶杓。茶匙。

テエ

テエ/シイ伴死。(漢)伴死。
 テエ/シイ掟死。(漢)掟死。
 テエ/シイ推辭。斷る。辭退する。否む。
 テエ/シイ退時。時候後れ。盛を越える。柑仔。蜜柑が盛を越えた。運氣など衰へる。下り坂。伊今。喇。彼はもう下り坂だ。
 テエ/シイ提示。(國)提示。
 テエ/シイゲエ壓生月。女家より送つて來た【生月】を神佛・祖先の位牌の前に置くこと。三日間家内に不吉な事など無き時は婚約を取極めるといふ。
 テエ/シイゲエ提生月。婚姻のとき相性吉凶などを見る爲に女の生年月日を記したものを男家に送る。
 テエ/シイチイ壓死錢。金を麻す。麻金。「こと」。
 テエ/シイホン茶匙黃。(種)【金錢薄荷】の①。はひすみれ。(莖菜科、全草を煎服し感冒の解熱に用ふ。②)【莖菜科】つくしすみれ。③【金鎖匙】の②。④【鴨舌黃】の②。
 テエ/シウ壓箱。嫁に行く前に父母が娘の持行く箱に金の贈物を入置くこと。
 テエ/シウ茶巢。茶の冷えぬ様に茶瓶を入れて置く。【茶罐巢】。
 テエ/シウ茶箱。茶箱。「を守る」。
 テエ/シウ退守。退いて守る。關隘。退いて要害

テエ

テエ/シエク抵塞。【抵塞】。
 テエ/シエク帝室。(國)帝室。
 テエ/シエク茶色。茶色。褐色。
 テエ/シエク體式。書式。儀式。形式。式法。式作法。式例。體裁。
 テエ/シエク退色。色が褪める。色が變じる。色が變る。色が落ちる。變色。
 テエ/シエヌ茶洗。大きな茶碗の如き鉢。井。
 テエ/シヌ遞信。(國)遞信。
 テエ/シヌ胎神。胎兒を護る神。【胎神】。
 テエ/シヌ替身。(種)【替身】。
 テエ/シヌ退神。神佛の靈などが乗移つた身體より離れること。佛公。佛公。佛様の靈驗が衰へる。童鼠。童鼠に乗移つた神靈が其身體より離れる。
 テエ/シヌ保神。老人や病後の人の如く精神がうっとりとする。意識がぼんやりする。
 テエ/シヌ宅神。家宅を守る神。家の神。
 テエ/シム茶心。茶。煎茶。葉茶。茶。茶の葉で出した茶。(麥茶などに對していふ)。
 テエ/シム地心。地心。
 テエ/シムコア茶心罐。茶壺。茶入。
 テエ/シム茶心茶。お茶。葉茶で出した茶。(麥

茶などに對していふ。

テシムボヲ 茶心粕。茶滓。茶藪。

テジイ 壓字。文字を壓へる。書類を壓へる。三封算。文鎖。

テジイ 胎兒。胎兒。孕兒。

テジイア 壓子仔。賽三個を碗に入れ振廻して其の出る目を當て勝敗を争ふ賭博。

テジエツ 退熱。熱が引く。熱が冷める。

テジオン 退讓。讓る。放棄する。讓與する。

テジツクウロ 隨日頭落。次に同じ。

テジツロ 隨日落。(誓を立てる時用ひる語)。違背すれば命が日の落ちると共に落ちる。若無影。

テスイア 短穂仔。硬尾花穂。

テスウ 茶師。茶を鑑定する人。茶師。

テスウ 推辭。辭る。辭退する。言拔ける。一託故事に託ける。辯疏する。辯解する。遁辭。一治故同上。

テスウコオ 推辭故。前に同じ。

テスツ 體恤。同情して憐む。撫恤る。憐む。

テスツ 楊厚屑。何物も無い形容。空っぽ。空っけつ。袋仔内。袋の中が空っぽ。身軀。何物も持たない。空っけつ。

テスヌ 退棹。棹が離れる。桌脚。卓子の棹が外れる。

テスヌイウダウシイ 帝舜有虞氏。帝舜有虞氏。

テズウ 地楡。(楡)地楡。地楡。

テセエ 地勢。地勢。地形。土地の様。看一。地勢を見る。一。岷碛。地勢が凸凹になつてゐる。

テセエ 頼鮑。【頼鮑】。

テセエ 保垂。次に同じ。

テセエ 保垂。のそのそする。のろのろする。ぐづぐづする。着較傾勢。不可站在。一。のそそしないで精を出せ。

テエエ 帝制。(帝)皇帝政治の制度。

テエエ 伴生。(伴)伴生。

テエソア 茶山。茶の山。

テエソア 壓煞。祟などを鎮める。祓をする。

テエソア 地煞。地上の惡魔。天罡。一。天地の邪神。七十二。七十二の地上の邪神。

テエソア 退散。退散。

テエソア 頼鮑。【頼鮑】。

テエソエ 茶洗。井。大きな茶碗の如き鉢。大鉢。

テエソソ 隨驗。鈍鈍と人の後に随いて行く。「す。

テエソア 短行。短距離の路程。近い所。【長行に對テエソア 壓紙。清明の節に墓に参り【墓紙】を墓の上

に置き石を以て壓へておくこと。墓參。

テエソア 茶壽。茶飲茶碗。

テエソオ 地租。地租。土地の年貢。收。一。地租を取立てる。

テエソオケエ 地租科。地租を取る所。地租掛。地租を收める役所。

テエソオアヌ 地租串。地租の告知書及び請取。

テエソオトア 地租單。前に同じ。

テエソオフウ 地租賦。前に同じ。

テエソヲ 帝座。寶位。寶座。帝位。帝位。

テエソヲ 茶座。茶臺。茶托。

テエソヲ 體操。(國)體操。

テエソヲ 體操。(國)體操。

テエソアン 地藏王。地藏。地藏菩薩。

テエタア 笞乾。水を漉出して乾す。水分を切る。

テエタア 茶擔。茶を飲ませる行商人が擔いで歩く茶道具。茶の擔荷。

テエタイ 壓佃。(同)壓佃。

テエタイ 短胎。期限の短い。【胎借】。

テエタイ 茶篩。茶篩。

テエタイ 提臺。(武官の名)提臺。

テエタイ 體態。體裁。外觀。形振。狀態。有様。身振。姿勢。姿。態度。素振。様子。

テエ

テエ

テエ

テエ

テエタウ管斗。●鶏・鷺など尻の脹れてゐる様。鴨
母一較賢生卵。鷺の尻の脹れたものはよく卵
を生む。查某人一較賢生子。女の尻はよ
く子を生む。●身代などのどしりとして確な様。
伊的家伙較一彼の財産はしっかりしてゐ
る。
テエタウ題頭。●題頭。
テエタウ茶頭。●茶の株。一連茶叢。茶の木から
茶株一切。●搾残りの茶。粗茶。一「る。
テエタウ地頭。地方。一眞衰微。土地が甚だ荒れ
て居る。
テエタウ擡頭。文字の行を上げる。上書きする。
テエタウ提頭。頭立つ。率先する。首唱する。無人
要一誰も先に立つ者がない。一目的。首唱
者。張本人。
テエタウ擡頭。●擡頭。
テエタウアア。アア。提豆仔生。豆の收穫前にそれ
を引當として金を借りること。
テエタウハヌチ。擡頭番薯。●擡頭番薯。
テエタウフヌ。退頭婚。初婚の女が離縁になる。一
一的。出戻。
テエタウ體剔。●體剔。
テエタム。壓痰。薬などで痰を押へる。祛痰。
テエタン。短冬。第二期作の收穫。【長冬】に對す。
テエタン。茶冬。茶摘の時節。茶摘時。茶の出來秋。

テエ

茶の收穫。今年的一好。今年茶は豐作だ。
テエタン。地動。地震。
テエタン。袋重。風袋。風袋の重さ。扣一風袋を
テエタン。短桶。長靴などの胸の短いもの。一襪
胸の短い靴下。【長桶】に對す。
テエタン。塊可。【有塊可】及び【無塊可】を見よ。
テエタン。茶桶。茶を入れて置く。
テエタン。退童。【童】に移乗した神靈が離れること
又は水若しくは呪文などにて神靈を退かせるこ
と。
テエタン。コオ。退童鼓。●童に乗移った神靈が離
れる時に太鼓を打つこと。●約束事や共同でする
事業などを半途で手を引く。中途で止める。打
一同上。
テエタン。テエサイ。推東推西。何彼に託ける。事に
託する。
テエタン。ライ。タツ。提桶來寒窓。桶を持って
來て窓を寒く。用を異にして適當ならざるをい
ふ。又【桶】と【窓】とは普通するより地口にもいふ。
テエチアウアア。アア。啄鳥仔封。山雀に圍を啄ませ
て出すこと。
テエチアウアア。アア。啄鳥封。前に同じ。
テエチアム。壓菓。船の龍骨を据附ける儀式。

テエ

テエチイ。茶子。茶の實。
テエチイ。茶晶。茶色した水晶又は硝子。
テエチイ。地支。(子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥)十二支。
テエチイ。壓青。自分の子供が發育悪く死亡した時な
ど他家の女兒を貰受けて養女とすること。斯くす
れば將來健康な子女を生むといふ。抱一個來
一子供を一人貰つて同上する。
テエチイ。茶青。未だ摘採らない茶。賣一收穫前
に立木のままの茶を賣る。
テエチイ。地鼠。●地鼠。
テエチイ。クヌ。短舌根。臨終の時など舌が廻らぬ。
縫れる。釣る。
テエチイ。コオ。茶子籠。茶の實から油を搾った粕の塊。
テエチイ。シエ。茶青色。緑に茶と黒とまじった色。
鶯茶。
テエチイ。ボア。茶子末。茶の實を粉にしたもの。洗粉
の如く物を洗ふに用ふ。
テエチウ。短章。短篇。
テエチウ。啄蛙。雛が卵から出る前に嘴尖にて卵の中
より啄むをいふ。雞仔一同上。
テエチウ。抵手。●抵手。
テエチウ。短鎗。手槍。短い鎗。
テエチウ。隨手。手に従つて。手を附けると直に。手一

テエ

一就提去||手にするや否や直に持つてゆく。一
 一就好去||醫者などが治療すると立所に直る。
 テエチウ茶樹。茶の樹。
 テエチウ退酒。酔が醒める。
 テエチウ替手。(漢)【替手】。
 テエチウレエ奪樹絡。取木をする。
 テエチウク退籍。籍を退く。
 テエチウツ提折。割引させる。割引して取る。與伊
 一||彼から割引して取る。
 テエチエヌ地瓊。絨氈。段通。
 テエチエン茶鐘。茶飲茶碗。
 テエチエン短銃。短銃。短銃。
 テエチエンテエアウ隨前隨後。附纏ふ。団仔一
 一||要討錢||子供が常に附纏って金をせびる。
 テエチエンレエ壓鐘禮。寺廟などで僧侶が茶を出
 した時に禮として少しの錢を置くこと。茶代を置
 テエチオン提唱。(國)提唱する。
 テエチヲ短少。資金など少い。乏しい。足りない。
 テエチヲ地椒。【龍牙草】。
 テエチヲ伴笑。(漢)【伴笑】。
 テエチツ地質。地質。一學||地質學。
 テエチツ體質。(國)體質。
 テエチツ退職。退職。

テエ

テエチツチアコエシイ隨此隻雞死。若無影一
 一||若しか違つたらこの鶏の様に殺されて
 もよい。(誓を立てる時にいふ)。
 テエチヌ地震。(國)地震。
 テエチヌ退親。婚姻を破談にする。婚約を破棄する。
 テエチヌチヲ伴清笑。(漢)【伴清笑】。
 テエチヌ茶泰。茶澁。
 テエチヌ提侵。借越。貸越。薪水||給金を借越
 テエチヌ壓定。婚姻の約束が定つた時男の方より女
 の方へ結納金の内金として若干を送ること。
 テエチヌ退皇。訴状などの取下をする。
 テエチヌ退廳。(國)退廳。
 テエチヌアウ撐住。(漢)【撐住】。
 テエチヌア體貼。勞る。思遺る。同情する。朋友
 着相||友達は互に同情し合はねばならぬ。
 沒曉||思遺がない。
 テエチヌアシム體貼心。同情心。
 テエチヌアム茶店。茶屋。茶店。葉茶屋。茶亭。茶店。
 テエチヌアム地點。(國)地點。測量の基點。
 テエチヌアム伴侶。(漢)【伴侶】。
 テエチヌイ茶礫。紅茶又は珈琲茶碗の受皿。
 テエチウ退場。退場。
 テエチウク帝德。(文)天皇の御威德。帝德。聖德。

テエ

テエチウク第宅。(文)邸宅。
 テエチウクパイ撐竹排。●筏に棹す。●盜賊の隠
 語。鷺を盗む。
 テエチエヌ帝殿。王宮。皇宮。御所。
 テエチエヌ壓佃。敷金を取る。土地又は家を貸す時
 先づ保證として借手より保證金を取ること。
 テエチエヌ伴贖。(漢)【伴贖】。
 テエチエヌ退典。【贖典】。
 テエチエヌ退殿。御殿より下る。引かせられる。御
 テエチエヌ退佃。小作をやめる。小作を止す。
 テエチエヌキイ帝殿起。宮殿に做つて建てる家の
 建方。御殿作。
 テエチエヌグヌ壓佃銀。敷金。土地家屋を貸す際
 取置く保證金。
 テエチエヌヒエントラ體天行道。(文)天意を體し
 て道を行ふ。
 テエチエン茶亭。茶寮。茶室。茶亭。
 テエチエン提燈。(國)提燈。
 テエチエンチウ地十草。(植)ひなのぼたん。(野牡
 丹科。莖・葉を煎服し健胃・利尿緩下劑となす)。
 テエチエンヒエンリエツ提燈行列。(國)提燈行
 列。
 テエチヲカウ提釣鈎。一||去鈎猴||釣針で猿を

テエ

引掛ける。別に意味なきも【鈎】と【痕】の音似たるより地口にいふ。

テエチツ 壓直。十六六指をする。

テエチヌ 退陣。退陣。退軍。

テエチヌ 提鎮。(武官の稱)提督と鎮臺。

テエツイ 笞水。水を滴らせる。水をさる。

テエツイ 茶水。茶と水。茶を出すに適した水。

テエツイ 茶碎。粉茶。茶の屑。

テエツイ 胎水。妊婦の水腫。妊娠性浮腫。

テエツイ 退水。水が退く。布など糊を去り又は地を固めるために先づ水に浸すこと。先——即

絞——先に水に浸してから絞つ。此領衫有——この着物は水を通した。水に浸した。山賊仲間などの隠語、引上げる。退却する。

テエツイベエ 隨嘴尾。口真似。賢——よく口

真似をする。

テエツウ 茶主。茶畑の持主。

テエツウ 地主。地主。

テエツウ 弟子。弟子。信者。信徒。徒弟。神明與

——第——神佛が榮えたと信徒は貧乏する。厄顯——落魄——神様が流行ると信徒が貧乏する。生徒。門人。弟子。

テエツウ 袋鼠。(鼠)袋鼠。カンガル。

テエ

テエツツ 退出。退出。下る。

テエツツ 提出。提出する。差出す。出す。

テエツツ ライ 提出來。提供。取出す。差出す。持

テエツツ 茶船。茶臺。茶托。

テエツツ 撐船。船に棹す。——的——船頭。

テエツツ 茶莊。茶商。茶の取引商。

テエツツ 撐床。寝椅子。ソファ。

テエツツ 撐腿。(蒸)撐腿。

テエツツ 笞湯。汁を消む。汁を垂す。

テエツツ 退堂。公判を閉ぢる。閉廷。

テエツツ 塊塊。巧——非常に利口な。娟——

女がつんとしてゐる。澄してゐる。

テエツツ 短短。短い。目眉——交人無尾——眉毛

の短い人は人と交つて長繼しない。

テエツツ 貯貯。貯。

テエツツ □□。烏——真黒い。真黒で汚い。

テエツツ 笞笞。笞。

テエツツ 塊塊。油——油だらけ。つるつるする。

憂——心配顔をする。驕——いやにつんとする。生意氣な。餅——餅など粘強い。非常に粘い。苦——非常に苦い。清——愛想が盡きる。娟——女がつんとしてゐる。澄してゐる。

テエツツ 壓壓。【壓】の(一)(二)(三)(四)(五)(六)。

テエ

テエツツ 豚豚。豚。

テエツツ 茶袋。茶袋。

テエツツ 袋袋。袋の(一)(二)。

テエツツ 塊塊。苦——非常に苦い。油——油だらけ。つるつるする。

テエツツ 奪奪。奪。

テエツツ 汐汐。浴——びしょびしょ濡れる。【汐】。

テエツツ 叮叮。叮。

テエツツ 提提。提。

テエツツ 撐撐。撐。

テエツツ 推推。推。

テエツツ 退退。退。

テエツツ 替替。替。

テエツツ 楊楊。裸。真裸。一物もない。厝内——

家中は空空。毀——すっかり壊してしまふ。

脱——赤裸。白——真白。

テエツツ 提提。提。

テエツツ 儂儂。のそのそのりしてゐる。のろろしてゐる。行路——のそのそのりと歩く。伊

的人——彼は優柔不斷な性質だ。軟——(疲勞などで)ぐたぐたに。ぐにぐに。ぐんぐん。ぐにぐに。

テエツツ □□。烏——毆打のあとなど紫色にな

テエテエ 提提。【提】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエテエ 撑撑。【撑】。

テエトエ 壓地。敷金。土地を借る保証金。――銀

テエトエ 地底。地底。地の底。――同上。

テエトエ 宅地。宅地。屋敷地。――税宅地税。

テエトエグ 壓地銀。敷金。土地を借る保証金。賤田着――田を小作するには敷金がある。

テエトエヘ 壓底貨。棚晒。残品。――俗傾棚晒の品を乗賣する。

テエトオ 帝都。帝都。都。京師。

テエトオ 壓肚。結婚の際女家より男家に贈る腹掛の中に若干の金を入れてやること。――正月など子供などにやる小遣錢。二個銀俵你――二圓小遣にやる。

テエトオ 地道。地道。地。――同上。

テエトオ 地道。(桑)【地道】。

テエトオ 地土。土地。地面。地味。――不止肥地味が甚だ肥えてゐる。

テエトオエ 撐渡的。渡守。渡船の船頭。

テエトオタン 壓肚重。船脚を重くするために船の底に重き物を積むこと。――的物バラスト。王爺要共你掠去――王爺が汝を捕へて船底に積むぞ。神罰が當るぞ。

テエトヲ 短刀。短劍。短刀。

テエトヲ 壓桌。婚約を結ばんとする時男家より女家

に女子を見に行き約整ふや女家にて饗宴を催すを例とす。其際男家の者が若干の金銀を卓上に置いて贈るをいふ。又慶事に招かれし際にも置くことありといふ。

テエトヲ 地道。(番) 地下の道。

テエトヲア 茶桌仔。茶を載せる小い卓。――一寸休息する茶店。休茶屋。

テエトツ 提督。(官名) 提督。

テエトツ 推托。託ける。事に託する。遁辭を言ふ。言抜ける。言種にする。――官。

テエトク 提督軍門。(官名) 提督。軍司令

テエトク 抵統。(官) 【抵統】。

テエトク 退黨。脱黨。

テエトク 體統。體統。恰好。不成――型に填らな

い。體裁を繕ふ爲に。型ばかりに。形式的に。叫一個去做――形式的に一人遣す。

テエナ 壓籃。物を贈られた時入物に御移を入れて返すこと。御移。

テエナ 茶籃。茶籃。

テエニアウ シウ 壓猫桌。人から猫を買った時に黒砂糖を贈ること。斯くすれば與へた家に又猫が生れるといふ。

テエニ 壓年。正月用ひる供物。餅菓子。飯。錢な

テエ

テエ

テエ

テエ

どを卓上に置くこと。

テエ ニイ 胎裡。胎中。胎内。——帶來——先天。先天性。本能。生來。

テエ ネエ 町町。【町町】。

テエ ネエ 提提。【提提】。

テエ ニイ チイ 壓年錢。大晦日に親が子供等に與へる。

テエ ネエ 撐撐。【撐撐】。

テエ ネエ 撐撐。【撐撐】。

テエ ネエ 瞪瞪。【瞪瞪】。

テエ ハア 地下。泉下。地下。落——黄泉に下る。

テエ ハア シエツ 地下室。【地下室】。

テエ ハッ 退學。【退學】。

テエ ハッ トヲ 提學道。(官名)提臺と學臺と道臺。道臺にて提臺・學臺を兼ねるもの。

テエ ハヌ ツウ 壓蕃薯。薩摩薯を植まつける。

テエ ハム 地陷。●穴藏。土倉。開——穴藏を掘る。

●陷阱。おとしあな。跋落——落穴におちる。●地下道。

テエ ハン 茶行。茶の貿易商。

テエ ハン 炸魴。(動)轉車魚。

テエ バア 壓肉。食飽——飯を食って肉を壓附ける。

飯ばかり食って懶けてゐる者を罵つていふ。

テエ バッ 題目。(漢)【題目】。

テエ

テエ バッ 地目。(國)地目。

テエ バッ 町目。(漢)【町目】。

テエ バッ 瞪目。(漢)【瞪目】。

テエ パイ 短次。時間極の穉。ちよんのみま。備——臨時備。暫時の間雇ふ。

テエ パイ 隨拜。道士等に従つて拜む。擗香——線香を持つて同上する。

テエ パイ 壓拜。誕生祝の時に子や孫などが跪拜して祝意を表したるに對し少しの金を包みて祝儀を與へること。

テエ パグ 壓腹。婦人が分娩せし時腹を整へしむる爲直に陳皮を胡麻の油にて煮酒に浸したるもの、又は雞肉を胡麻の油は酒に浸して煮たるものを食せしむること。——雞——同上の爲食ふ鶏。

テエ パッ 地腹。地心。

テエ パツ 第八。(性)第八。

テエ パヌ 茶班。茶を飲む連中。

テエ パヌ 茶瓶。茶瓶。茶出。土瓶。

テエ パヌ 茶辨。茶の見本。

テエ パヌ 地板。板間。板敷。敷板。床板。床。——下。床下。——底。床下。踏——板敷をする。

テエ パン 茶房。茶室。喫茶室。

テエ

テエ パン コヲ 壓房糕。糕を壓る日に寢臺に置く【發糕】をいふ。

テエ ビイ 隨戲。●芝居に附纏ふ。——在賣物食——芝居をする先先へ附いていつて飲食物の振賣をする。●(戲)狹。

テエ ヒウ 短裘。短衣。短い衣服。

テエ ヒウ ロオ 壓香爐。【壓爐】。

テエ ヒエツ 地域。(國)地域。

テエ ヒエツ 提絃。【提仔絃】。

テエ ヒエン 地形。地勢。

テエ ヒエン 體刑。(國)體刑。肉刑。

テエ ヒエン スツ 地行術。地下に行くことの出來るといふ忍術の一種。

テエ ヒヲ 茶葉。茶の樹の葉。葉茶。

テエ ビイ 茶米。茶。煎茶。葉茶。

テエ ビイ 退味。氣がぬける。味がぬける。藏久就能——永く仕舞つて置くと同上。

テエ ビイ コアヌ 茶米罐。茶入。茶入の罐。茶罐。

テエ ビイ ウウ 茶米草。【鐵馬鞭】。

テエ ビイ テエ 茶米茶。煎茶を煎じ出したもの。茶。食藥仔不可食——藥を飲む時には茶を飲んではいけない。

テエ ビイ パッ ウア 短篋縛柴。篋で薪を縛る、收入

を斟酌し節約して支出する。力量に應じて事をする。

テ/ビエヌ 體面。體面。面目。面目。面目玉。譽。

名譽。光榮。有。光榮な。體面がよい。肩身が廣い。惜。體面を重んず。無。體面を失ふ。面目がない。賢做。體面を

テ/ビア 茶餅。茶と菓子。會。茶話會。「製ふ。

テ/ピア 地兵。地上の神兵。

テ/ビイ 壓牌。賭博をする時に勝負の金高を記憶する爲に錢などを並べて置くこと。「牌」参照。

テ/ビイ 壓扁。壓して平くする。壓潰す。

テ/ビイ 短篇。短篇。

テ/ビイ 推病。假病。病氣を出にする。病と稱して

ことわる。一不來病と稱して來ない。

テ/ビイ 退邊。脇に退く。離れる。傍に退く。傍へ

避ける。

テ/ビイカア 隨棚脚。芝居屋臺の周圍に群つて飲

食物の据賣をする。

テ/ビエン 退兵。退軍。退陣。兵を引取る。

テ/ビラ 短標。短い鎗。

テ/ビヌ 退稟。願書などを取下げる。願下。

テ/フウ 地府。陰府。冥途。地獄。彼世。

テ/フウ 弟婦。弟嫁。

テエ

テ/フヌ 茶粉。粉茶。

テ/フヌ 退婚。婚姻を破談する。結婚を斷る。

テ/フヌアア 壓婚仔。「壓生月」。

テ/フヌアア 提婚仔。婚約の前吉凶相性などを見る材料として女の生年月日を記したものを男家に送ること。

テ/フヌポア 壓煙盤。藝者屋などで阿片を各に進めた時に祝儀として若干の金を與へること。

テ/フン 茶園。茶島。茶園。

テ/フン 地方。地方。一官廳。地方官廳。

テ/フン コア 地方官。地方官。

テ/フン コヲ 地方課。(國)地方課。

テ/フン セエ 地方税。(國)地方税。

テ/フン ア 地方廳。(國)地方廳。

テ/フン ホアツイ 地方法院。(國)地方法院。

テ/フン ケエ 隨母嫁。母が再嫁する場合に女の連子を其夫の子の妻として同時に嫁入るをいふ。

テ/フヌハク 地文學。(國)地文學。

テ/フイ 貯飯。(國)貯飯。

テ/フウ 提浮。持上げる。脚。尻を持上げる。

テ/フツト 伴不懂。(國)伴不懂。

テ/フヌ 短本。小資本。資金不足。

テ/フヌ 袋糞。「袋恭」。

テエ

テ/ヘエ 底系。(國)底系。

テ/ヘエ 隨會。頼母子講に加入する。

テ/ヘエ 壓火。祈禱などして火難除をする。搬傭備。一人形芝居をして火難除をする。

テ/ヘエ 退火。逆上を下げる。逆上が下る。食菜頭。較。大根を食ふと逆上が下る。

テ/ヘエ 退貨。貨物を差出人に送り返す。

テ/ヘエ 提携。鼻負にする。世話する。引立てる。引上げる。面倒をみる。望你較。何卒御引立を願ひます。

テ/ヘエ サイ 壓火災。「壓火」。

テ/ヘエ シウ 短歲壽。若死。短命。早世。

テ/ヘエ ホア 隨火灰。誓を立てる時用ひる語。違背すれば人の命が火の消えると共に消える。

テ/ヘエ 短尾。短い尾。牛蒡尻。

テ/ヘエ 隨尾。後から。間も無く。其後。以後。較。一少し経ってから。後。其後。一來我。我の後に來る。較。一幾日。數日後に。幾日か経つてから。一出世先白毛。後から生れて先に白髪になる。後の雁が先になる。一落船先上。山。後から船に乗って先上陸する。同上の意。

テ/ヘエ 在要。將にせんとする。仕様とする。一往かうとしてゐる。一來。來ようとしてゐる。

テエ

テエ

る。一瑠尾^{ルウビ}身上^{しんじやう}が將に潰れんとする。家産^{かさん}が倒れんとする。一灰^{ハイ}火^ヒが消えさうになる。將に息が絶えなんとする。

テエ^テベエ^ベ弟妹^{ていまい}。弟妹。

テエ^テペエ^ペ茶焙^{ちやはい}。茶煎^{ちやせん}。茶焙^{ちやはい}。

テエ^テヘエ^ヘ伴病^{ばんびやう}。伴病^{ばんびやう}。

テエ^テペエ^ペ茶配^{ちやはい}。茶子^{ちやこ}。茶菓子^{ちやかし}。茶請^{ちやまう}。

テエ^テベエ^ベ地皮^{ぢい}。地皮^{ぢい}。

テエ^テホア^ホ退化^{たいか}。退化^{たいか}。

テエ^テホア^ホ堤岸^{ていがん}。堤防^{ていぼう}。

テエ^テホア^ホ茶販^{ちやはん}。茶猴^{ちやこう}。

テエ^テホア^ホ又^{また}地番^{ぢばん}。地番^{ぢばん}。

テエ^テホエ^ホ底貨^{ぢい}。底貨^{ぢい}。

テエ^テホエ^ホ壓花^{おし}。壓青^{おし}。

テエ^テホエ^ホ壓火^{おし}。壓火^{おし}。

テエ^テホエ^ホ茶花^{ちや}。山茶^{ちや}。

テエ^テホエ^ホ茶會^{ちやかい}。茶會^{ちやかい}。茶の會^{ちやのかい}。

テエ^テホエ^ホ體會^{たいかい}。主言^{しゆげん}を體得^{たいとく}する。理解^{りかい}する。了解^{りかい}する。呑込^{のりこ}む。聽了^{りやう}能^{なり}一^{いつ}沒^{めつ}一^{いつ}聞^きいて了解^{りかい}するか。

テエ^テホエ^ホ退火^{たい}。退火^{たい}。

テエ^テホエ^ホ退悔^{たいかい}。後悔^{こうかい}。悔^{かい}いる。想^{しゆ}一^{いつ}後悔^{こうかい}する。

テエ^テホエ^ホ退貨^{たい}。退貨^{たい}。

テエ^テホエ^ホ退回^{たいかい}。送返^{そうへん}す。一^{いつ}貨^か送返^{そうへん}した品物^{しなぶつ}。

テエ

テエ^テホエ^ホシウ^{シウ}短歲壽^{たんざいじゆ}。短歲壽^{たんざいじゆ}。

テエ^テホエ^ホヘエ^ヘ壓花會^{おし}。花會^{はなかい}といふ博奕^{はくあし}をする。

テエ^テホオ^ホ抵後^{ていご}。其後^{あご}。以後^{いご}。以來^{いらい}。

テエ^テホオ^ホジイ^{ジイ}退戶字^{たいこ}。大租權^{おほそせん}の賣買證^{ばいばいしやう}。

テエ^テホヲ^ホ體號^{たいごう}。容貌^{ようぼう}や性質^{せしやう}などによつて附ける渾名^{こんめい}。又其渾名^{またそのこんめい}をつける。一^{いつ}伊歪嘴松^{いざいすいそう}口歪^{くわい}の松^{まつ}と渾名^{こんめい}をつけた。

テエ^テホヲ^ホミア^ミ地號名^{ぢごうめい}。地名^{ぢめい}。「風^{かぜ}に靡^{なび}く。

テエ^テホン^ホ隨風^{ずいふう}。風の隨^まに。風に從^{したが}ふ。一^{いつ}頓落^{どんらく}と渾名^{こんめい}をつけた。

テエ^テホン^ホ地方^{ぢほう}。地方^{ぢほう}。

テエ^テホン^ホ地皇^{ぢかう}。又^{また}(太古^{たいこ}の王^{わう})地皇^{ぢかう}。

テエ^テホン^ホ退癢^{たい}。腫^{はれ}を退^ひかす。炎症^{えんせう}を退^ひかす。腫^{はれ}が退^ひかす。

テエ^テホン^ホ隈防^{くまぼう}。豫防^{よぼう}する。防禦^{ぼうえい}。防^{ぼう}く。防備^{ぼうび}。注意^{ちゆうい}する。癩疫^{らいえき}的時着^{てきじやく}一^{いつ}傳染病^{でんせんびやう}のある時は豫防^{よぼう}しなければならぬ。【持防^{ちぼう}】。

テエ^テホン^ホ堤防^{ていぼう}。堤防^{ていぼう}。

テエ^テホン^ホアア^ア提封仔^{ていふうざ}。チーハーの運送人^{うんそうだん}。

テエ^テホン^ホシイ^シ地皇氏^{ぢかうし}。(太古^{たいこ}の王^{わう})地皇氏^{ぢかうし}。

テエ^テホヲ^ホ壓火^{おし}。壓火^{おし}。

テエ^テホヲ^ホ茶末^{ちやま}。抹茶^{まっちゃ}。碾茶^{せんちや}。粉茶^{こなちや}。

テエ^テホヲ^ホ壓墓^{おし}。清朝^{せうてう}の節^{せつ}に墓^{はか}に參^{まゐ}り【墓紙^{ぼし}】を墓^{はか}の上に置き石^{いし}を以て壓^おへて置くこと。墓參^{はかまゐ}。

テエ^テボヲ^ボ茶磨^{ちやま}。茶臼^{ちやうす}。

テエ

テエ^テボヲ^ボ推無^{おしな}。一^{いつ}閒^{ひま}暇^{ひま}が無いに託^{たく}ける。一^{いつ}錢^{せん}錢^{せん}がないと言譯^{いひわけ}する。一^{いつ}在得^{ざいとく}居^いないと辯^{べん}疏^そする。

テエ^テボヲ^ボヲア^ア隨無行^{ずいむぎやう}。仕事^{しごと}など人に一^{ひと}緒^{しよ}に附^ついて行^いけない。迫^{おぼ}附^つけない。

テエ^テボヲ^ボヲク^ク又^{また}隨無着群^{ずいむしやくぐん}。羊^{ひつじ}一^{ひと}一^{ひと}羊^{ひつじ}が群^{ぐん}に逸^はれる。

テエ^テボヲ^ボヲヲ^ア隨無着行^{ずいむしやくぎやう}。人に連^ひられて行^いく者が其^{その}人^{ひと}を見失^{みしな}ふ。逸^はれる。

テエ^テボヲ^ボツイ^イベエ^ベ隨無水沫^{ずいむすいばく}。【隨無行^{ずいむぎやう}】。

テエ^テボヲ^ボベエ^ベ又^{また}隨無尾坐^{ずいむびざ}。【隨無行^{ずいむぎやう}】。

テエ^テボク^ク地目^{ぢめく}。地目^{ぢめく}。

テエ^テボア^ア壓盤^{おしばん}。婚姻^{こんいん}の際^{さい}締結^{ていけつ}の返^{かへし}として女^{をんな}の方^{はう}より刺繡^{ししゆ}した手巾^{はなからまた}又は食物^{じよく}の類^{るい}を贈^くること。

テエ^テボア^ア茶盤^{ちやばん}。茶盆^{ちやぼん}。

テエ^テボア^ア提破^{ていぱ}。提破^{ていぱ}。

テエ^テボア^ア炸盤^{さばん}。水母^{すみづ}の頭部^{づぶ}。水母皿^{すみづら}。

テエ^テボア^アイア^アキアウ^ウ隨博贏賭^{ずいぱくえいど}。賭博^{どぱく}に勝^かった者の張^はる所に倣^{なま}って張^はる。

テエ^テボア^アツ^ツ提拔^{ていぱつ}。最負^{さいひ}にする。世話^{せわ}する。取立^{とくだ}る。周旋^{しゆせん}する。引立^{ひきた}る。有^あり一^{ひと}一^{ひと}引^ひがある。

テエ^テボエ^エ茶杯^{ちやはい}。茶飲^{ちやのん}茶碗^{ちやわん}。茶茶碗^{ちやわん}。湯吞^{とうどん}。

テエ^テボエ^エ茶焙^{ちやはい}。茶焙^{ちやはい}。

テエポエ 茶配。(漢)【茶配】。

テエボエ 地皮。(漢)【地皮】。

テエボエ 提批。手紙を持つ。一郵便配達。

テエポエ ジイ 提八字。【提生月】。

テエポオ 地步。【地步】。

テエポオ 退歩。後に退く。退歩。後戻。後退。書若無復習就能力一一本を復習しなければ退歩する。

テエポオ パク ア 短抄縛柴。籤で薪を縛る。力量に應じて事をする。身分相應。

テエポオ 在ト。必しも然らず。疑問だ。

テエポロ 地保。地方に於ける最下級の行政を掌る者。保正の如きもの。

テエポラ 茶粉。茶滓。茶殿。

テエポラ ロラ 地波蘿。【鳳梨】。

テエポア 茶焙。(意)【茶焙】。

テエボア 茶配。(意)【茶配】。

テエミア 短命。●短命。天死。●女の麗詞。早くくたばれ。死そこないめ。天壽一同上。

テエミア クイ 短命鬼。【短命】の②。

テエミイ 短嘆。短夜。短夜。

テエムイ 茶梅。(種)ふたばなざんくわ。おほしまざんくわ。(山茶科、種子より製したる油は食用と

なす)。

テエムン 胎毛。産毛。胎髮。産髮。

テエムン 宅門。屋敷の門。【筋】。

テエメエ 地脈。陰陽師の言。地脈。地層の連り直る。

テエモオ 胎毛。(漢)【胎毛】。

テエライ 胎内。胎内。胎中。

テエラウ 茶樓。喫茶店。

テエラウ 茶漏。茶を袋に入れる時用ひる籠の漏斗。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエラウ 退流。退潮。

テエリアム 低廉。(國) 低廉。

テエリアン 退涼。逆上を下げる。逆上が下る。暑氣を拂ふ。食西瓜一西瓜を食って暑氣を拂ふ。

テエリイ 低利。(國) 低利。

テエリイ 茶釐。茶の税金。

テエリイ 地理。●陰陽師のいふ地相。地勢。行一。地相を見る。(國) 地理。

テエリイ 地理。(文) 地の利。地利。

テエリイ シエヌ シイ 地理先生。地勢の吉凶を見る人。陰陽師。方角見。

テエリイ スウ 地理師。前に同じ。

テエリイ チイ 地理誌。地誌。地理書。

テエリイ ツウ 地理書。(國) 地理書。

テエリイ ハツ 地理學。(國) 地理學。

テエリウ 袋瘤。(種) 瘤の一種。

テエリウ カイ 退留屈。(新) 寄留退去屈。

テエリウ ウウ 楊瘤。綺麗に何も無い。無一物。

テエリエク シエツ 茶緑色。鶯茶色。

テエリエヌ 遞年。(文) 毎年。連年。【こと】。

テエリエヌ 退聲。【關聲】の時神靈が神輿から離れる。

テエリエヌ ボラ 壓擦賣。【擦賣】に應ける。

テエリエン 壓靈。【靈桌】を外へ出す際にその位置に

テエ

テエ

テエ

テエ

【發糧】と【紅圓】と【紅い蠟燭】などを置くこと。
 テエレン地龍。【地龍】。【蠟燭】の別名にて薬用に供す。
 テエレン地靈。【地靈】。
 テエリオン體諒。諒とする。諒察する。同情をもつて理解する。請你——何卒御諒察を願ひます。
 テエリヌ 炸乳。海月の胸の附いてゐる所。
 テエリイ地雷。地雷。地雷火。埋——地雷火を埋める。●唐獨樂。打——同上を廻す。
 テエリイヘエパウ地雷火炮。地雷火。
 テエレエ貯貯。【貯貯】。
 テエレエ管管。【管管】。
 テエレエ壓壓。【壓壓】。
 テエレエ啄啄。【啄啄】。
 テエレエ茶禮。僧侶又は新婦に茶を饗されし際のの錢を遣ること。
 テエレエ袋袋。【袋袋】。
 テエレエ奪奪。【奪奪】。
 テエレエ沙沙。【沙沙】の③。
 テエレエ撐撐。【撐撐】。
 テエレエ推推。【推推】。
 テエレエ體例。式例。式作法。
 テエレエ退退。【退退】。
 テエレエ替替。【替替】。

テエ

テエレエ提提。【提提】。
 テエレエ提提。【提提】。「込む」。
 テエレエ短路。●近路。捷徑。●自殺。死の路。行——自殺する。尋——死場所を求め。
 テエロオ隨路。路に隨つて来る。
 テエロオ壓壓。●過爐をなす時に前の【爐主】が次の【爐主】に縁起を祝ふ爲に若干の金額を赤紙に包んで送ること。●聘金。授受の後女が死亡したるとき女家より女の位牌に添へて若干の金を男家に送ること。
 テエロオ茶園。●茶灘。急須などの底に附く茶灘。●茶の滓。茶の出敷。
 テエロオ茶爐。茶を出すに用ひる爐。
 テエロオ茶露。前日に入れた出残の茶。
 テエロオギアカン地路蜈蚣。(植)おきなほみちしば。(木本科、鐵道線路の土手等に多く此の芝士を用ふ)。
 テエロオヒウ壓爐香。聘金授受後女の死せし時女家より女の位牌に添へて若干の金を男家に送ること。
 テエロオ地牢。土牢。土の中に作つた牢。「こと」。
 テエロオ低落。(圖)低落。
 テエロオ地黄浦。【木香】。

トア

トア何。(原)(同)【何】。
 トア帶。●帶。帶。細。褲——ズボンの紐。皮帶。●身に附けて持つ。携帶する。帯びる。携へる。所持する。生無——死無——去——人は裸で生れて裸で死ぬ。一錢——金を所持する。●運命を持つてゐる。相を帯びてゐる。一貴人——富貴になる運命を持つてゐる。一桃花——淫奔の相を帯びてゐる。●引連れる。召連れる。伴ふ。一脚手——手下を通れる。一家眷——家族連。
 トア住。●住む。住ぶ。住居する。一在何位——何處に住つてゐるか。一臺灣——臺灣に住む。●居る。居る。一此看——此處に居つて見る。一衙門——役所に居る。●泊る。宿泊する。一一暝——一晩泊る。一客店——旅屋に泊る。●滞在させる。宿泊させる。一官府——官人を宿泊させる。一賊——賊を滞在させる。●同衾する。與查某——女と寝る。●雇はれる。一會社——會社に雇はれる。●頭路不——人に雇はれない。辭職する。
 トア撥。振放す。振放つ。振切る。振拂ふ。振解く。一例就走——振切つて逃げる。
 トア淘。【淘】。

トア アン シェク 大紅色。前に同じ。

トア アン シム 大紅心。【大葉面頭果】。

トア アン チア ボオ 單夫隻妻。夫婦二人切。

トア アン チム プン 大紅蟬飯。蟹の肉を飯に混ぜて

トア アン ツヌモウ 大紅棒樹。【楮】。「煮た料理。

トア アン ハツ チム 大紅合蟬。蟹の肉等を材料とし

て煮た料理。

トア アン パウ 大紅泡。製茶の商標名。

トア アン パウ 大紅袍。●長い大きな官服。●芝居

の外題の一。

トア アン ホエ 大紅花。(種) (錦葵科) 大輪咲の扶桑

花。――醜不知扶桑花は自ら醜いことを知

らぬ、己を知らざるをいふ。

トア イア 大爺。大官に給仕するもの。下男。下部。

僕。――壁門同上の者を罵つていふ語。――二

爺【七爺八爺】。

トア イア 大英。【英仔花】の○。

トア イア 大驚。強盗などの用ひる驚。

トア イア 大決。魚滾――魚が動いて大きな波紋を

起す。烏魚――鱸の波紋は大きい、見掛倒。

トア イア 大纜。金持で勢力と名望のあること。

トア イア ソエ イア 大爺細爺。【七爺八爺】。

トア イア ベエ 帶驛馬。淫奔な相を帯びてゐる。助兵

衛相。

トア イア ア 單葉。花瓣の單。

トア イイ 大姨。母の姉。伯母。【む羹】。

トア イイ 檀椅。線香を製造する時材料たる白檀を挾

トア イイ 團圓。●芝居終。終末。大團圓。●家族

など團圓に揃つてゐる。一家――同上。

トア イウ 大洋。●大海。大洋。荒海。大海。青海。

放――大洋に乗出す。●弗。一圓銀貨。

トア イウ 大様。●大形。立派。人生做――風采が

堂堂として立派な。●横柄。傲慢。成――占人

大位。横柄に上座を占める。

トア イウ 拖油。油の中に入れてざつと揚げる。

トア イウ 炭幼。粉炭。粉炭。

トア イエヌ 拖延。延引。

トア イエン 大湧。大波。荒波。波瀾。

トア イア 炭窩。炭籠。炭燒籠。

トア イヌ 帶孕。孕む。身持。懷妊。妊娠。

トア ウイ 大桅。船の中央にある大きな帆柱。

トア ウイ 大位。上座。上席。首席。主席。坐

――上座に坐る。

トア ウイ 單位。(國) 單位。

トア ウイ トア ソエ ウイ ソエ 大畏大細畏細。目

上に對しても目下に對してもびくびくする。

トア ウヌ 大恩。大恩。重恩。厚恩。受――大恩を

トア ウヌ チエン 大恩情。大恩。鴻恩。【受ける。

トア ウヌ ラン 大恩人。大恩人。

トア エエ 大個。大きなもの。大きい物。

トア エエ 大的。●大きい物。●兄弟中の年長者

阮――僕の兄。

トア エエ 大下。●高の多い。此碗較――この鉢は

盛が好い。●影響などの大きい。打較――き

つく打つ。此帮了較――今度は大損をした。

【細下】に對す。

トア エエ ムン 拖的門。遺戶。引戸。

トア オオ 大湖。【四色】で役が出来て上ること。役上

トア オン 大主。●王爺又は匪賊などの中で一番上

位のもの。●皇族で兄弟中の最年長者。●新

嘉坡の總督。

トア ラア 大碗。●井。親碗。大茶碗。●今着――

さあ大變だ。さあしまった。

トア ラア 大晏。●非常に晩い。●午前八・九時頃。日

關ける頃。明仔再――你即來。明朝八・九時

頃に君來なさい。

トア ラア 大旱。旱。旱魃。大旱。春寒雨那濃。冬

寒做――春寒ければ雨注ぐが如く、冬寒けれ

ば旱魃になる。

トア

トア

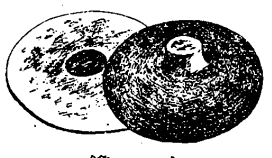
トア

トア

トア ヲア 拖倚。引寄せらる。
 トア ヲアヌ 大廻。大廻。大迂廻。
 トア ヲアヌ 大冤。●大いに争ふ。大喧嘩をする。與伊——彼と大いに争ふ。●非常な冤罪。受——同上を受ける。
 トア ヲアヌ 炭丸。炭團。
 トア ヲアエ 大話。高言。大言。自慢話。講——大言。
 トア ヲアエ 拖鞋。靴を引ずる。靴を突掛けて引ずる。
 トア ヲアエ 大襖。花嫁などの著る長い着物。打掛。
 トア ヲアエ 大學。大學。入——大學に入る。
 トア ヲアエ ヲア 大學堂。大學校。大學。
 トア カア 帶家。●特に抽でる。格別に好い。得手。おほこ。十八番。英語第一——英語が一番得手だ。●適合する。利目がある。叫伊去講第一——彼を遣って話をすれば一番利目がある。牛肉參葱仔煮第一——牛肉は葱と煮ると一番適してゐる。
 トア カア 大脚。大きな足。纏足しない足。——假細蹄。大足を小さい足に似せる。——桶。大きな桶。「細脚」に對す。
 トア カア クウ 拖較久。永引く。後を引く。病——病氣が永引く。
 トア カア オウ 單脚手。手傳ふ人無く自分獨でする。

トア

トア カアツツ 帶家齣。「帶家」。
 トア カウ 單教。「李老君」のみを奉祀する教。——的。「紅頭司」。
 トア カウ 大狗。新嘉坡又は鼓浪嶼の巡查頭を云ふ。——厝。警察署。
 トア カウ 大口。口が大きい。——家。家族の多い家。——喰。大いに食ふ。
 トア カウサイ 大对在。「大在」。
 トア カウヒイ 單鈎耳。印。却など漢字の右方にある口の字のつくり。ふしづくり。
 トア カグ 大麩。醱酵しかかつて大きくなった麩。
 トア カグ シヲ 大麩焼。濁麩。もろみざけ。
 トア カグ ツツ 大壳稔。大粒な種類の糯米。
 トア カヌ 大奸。大奸。
 トア カム 大惑。大馬鹿。
 トア カム 大鏡。芝居などで用ひる大きな銅鏡。
 トア カン 大工。大工。左官の如く建築に關する職の一人前の職人。——無人情。小工不肯行。——人前の職人としては誰も雇はないし、さりとして下働としては雇はれたくない。「小工」に對す。
 トア カン 大港。大川。大河。——無人顧。大河は誰



大鏡

トア

も番をしてゐない、早く身投でもして死んで仕舞へなどの意。
 トア カン 大孔。大孔。孔が大きい。——話。高言。大言。——開。金錢を惜氣もなく使ふ。展。——大言壯語する。見張る。——的。成年。擲的。成。萬。散財するものは貧乏になり吝嗇な人は金持になる。——擲没痛。大きな孔には物を挿込んで痛くない。金を浪費するものは平氣で使ふ。
 トア カン 拖工。仕事を長引かせる。仕事が延引する。
 トア カン クウ 大壤白。●一大事。大事件。重大事件。●重病。難治の病氣。此款的。症頭。若不緊創能變到——此の様な病氣は早く治療しないと取返がつかないことになる。●——的人。金遣の荒い人。鷹揚に金を遣ふ人。大きな仕事をやる人。
 トア カン ソエリイ 大孔細裂。被人打到——●酷く打たれて傷だらけになる。
 トア カン チイ 大孔錢。●康熙帝時代の大きくて良い一厘錢。●大口の金。纏った金。趁——纏った金を儲ける。
 トア カン ラン 大孔人。財力。勢力などの充分にある人。有力者。
 トア ガヌ 單眼。一つ目。——目鏡。片眼鏡。

トア ガノホエリエン 單眼花翎。孔雀の毛で作った名譽の標章。

トア ガムチヲ 大岩石。巖。岩。

トア キア 大子。長男。嫡男。長子。總領の息子。一啼細子啼。大供も小供も皆泣く、忙しき時子供の泣くにいふ。

トア キア 單行。一人で行く。獨行。獨道。「の箸」トア キア 單奇。一對の片片。片一方。一箸。一本トア キア 涙子。子が出来て殖える。繁殖する。苜蕉賢一。苜蕉はよく繁殖する。

トア キアム 大鹹。記帳用の語。【糕仔】をいふ。トア キアム 拖欠。借金を延す。延引して不足する。支拂の延滞又は不足。

トア キイ 大裾。(薄) 【大裾】トア キイ 大鋸。(薄) 【大鋸】トア キイ 單據。(薄) 【單據】

トア キイ 大去。(駕籠昇の合圖言葉) 右へ寄れ。トア キエツク 大曲。(端唄の反對) 大なき歌曲。大曲。トア キエツク 大吉慶。大慶。大いに目出度い。

トア キエヌ 大躡。糞袋が大きい。一時的動作の遲鈍な者。のろま。

トア キエヌ 大縮。(世) 大きな。でっかい。トア キエン 大梗。蘇州より出る大きな紙の名。

トア キオク ホエ 大菊花。(種) (菊科) 菊。大きい花菊。トア キヲ 大轎。四人以上の轎。夫が昇く大きな轎。

トア キヲ シアウ 大脚賤。次に同じ。

トア キヲ シエク 大脚色。有名な役者。名優。千兩役者。

トア キヌ 單根。(薄) 【單根】トア キヌ テエ 大根底。(薄) 【大根底】

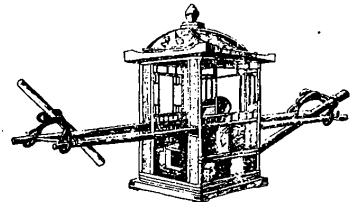
トア キム 大金。大判の【金紙】。トア キム 大始。母の兄の妻。小母。一嘴。小母の口。縁起の悪いことをいふ者にいふ。一。婆仔賢講話細始。婆仔賢跋答。母の兄の妻はよく話をするし、母の弟の妻はよく【跋答】をする、同上の意。

トア キム 彈琴。琴を弾する。琴を弾く。琴を奏でる。對牛。一。牛に向つて琴を弾する、馬の耳に念佛。

トア キム イエン 大金英。【英仔花】の。

トア キム サア 大襟衫。(新) 折襟の大きな洋服。トア ギイ 帶疑。疑を帯びる。疑を抱く。疑つてゐる。

トア ギエン ギエン フツ 彈龍眼核。龍眼の種子をトア ギヌ 大銀。(薄) 【大銀】。トア クイ 帶孕。子を宿す。孕む。



大轎

トア クイ 大機。大幅の布を織出す機。大機。織。大幅の布を織る。トア クイ 大櫃。勘定臺。帳場。

トア クイ 大孕。獸孕む。猪母。一。牝豚が孕む。

トア クイ 大開。● 稻實り始める。膨れる。稻仔。一。稻が實トア クイ 撥開。振放す。振切る。振拂ふ。トア クイ 大開。吹亂れる。満開。桃花。一。桃の花。トア クイ 大氣。大息。長大息。溜息。吐。一。溜息。子。一。ダイナマイトで爆破する。

トア クイ 彈開。爆裂。破裂。爆發。弾け開く。用嘩トア クイ 拖開。窓の戸などを引開ける。引出す。引張開ける。押開ける。窓。一。窓を開ける。

トア クイ エエ 帶孕的。懷妊した女。娶。一。懷妊した女を貰ふ。

トア クイ ジヌ 帶貴人。貴人の相を帯びてゐる。トア クイ タイ 帶鬼胎。● 妖魔の祟なりと稱する假相の妊娠をする。● 鬼胎妊娠をする。

トア クイ タウ 大氣頭。容體振る。偉さうにする。トア クイ ヒイ 大鰓魚。(動) 河豚。

トア クイ ボオ 大規模。大規模。鴻圖。トア クイ ポオ 大機布。大幅の布。

トア クウ 大龜。● 大龜。● 一。龜仔勁。誕生日に作

トア

トア

トア

トア

餅、大きな一つと、その側に小さな数個、事をなすに大小共に協力を要する意。

トアクウ大裾。衤の一種。前を右の方に合せる様に作った上衣の前側をいふ。中央に合せる様に作った【對襟】に對す。【大衲】。

トアクウ大鋸。大鋸。雁木。大鋸。

トアクウ大舅。●母の長兄。伯父。●妻の長兄。賣妻做ー妻を賣つて兄弟分になる、妻を賣つて其妻の家に出入する者などを冷笑していふ。

トアクウ單據。證書。證據書類。

トアクウ單句。單句。

トアクウ大椽。大きい椽。【言を吐く。】

トアクウヲエ大句話。大言。高言。講ー講大

トアクウヲエ單句話。單語。

トアクウ大骨。親骨。雨傘的ー雨傘の親骨。

トアクウ情骨。懶者。無性者。氣無性。

トアクヌ單根。登記證書の官に残存する一片。

トアクヌ大睨。よく寝る。よく寝入る。熟睡する。小死ー死んだ様に眠る。熟睡する。

トアクヌトエ大根底。大本。根本の原因。

トアクン帶養。守袋を下る。

トアクン大缸。口の廣く開いてゐる大きな甕。

トアクウ大裾。(兼)【大裾】。

トア

トアクウ大鋸。(兼)【大鋸】。

トアクウ單據。(兼)【單據】。

トアグウ大牛。●大きな牛。ー換肩ー大牛が肩を換へる、地震をいふ。●棺を昇く棒。●米粉車を壓する器具。

トアグウ單語。(國)單語。

トアグウシヲ大牛惜力。大牛が骨惜をする、大きな身體をして惜けること。

トアグヌ大銀。●大きな好い【銀紙】。●一圓銀貨。

トアグヌチエク大銀燭。死人に供へる【銀紙】と蠟燭。

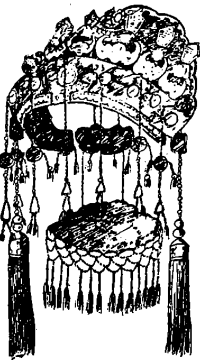
トアグヌヒウ大銀香。死人に供へる【銀紙】と線香。

トアグヌ大銀。(兼)【大銀】。

トアケエ大家。(兼)夫の母。姑。【姑家】。

トアケエ大街。(兼)【大街】。

トアケエ大髻。花嫁などの用ひる冠。



大髻

トアケエ大假。告ー永い間暇を貰ふ。

トアケエ大格。動物類の骨格の大きい。ー種ー同上の種類。【細格】に對す。

トアケエ大溪。(兼)【大溪】。

トア

トアケエ拖過。●一時の凌をつける。病人ー節季病人が氣候の變目を持越す。●一時逃。一日ー一日ー一日と引張る。

トアケエカウ大家口。大勢の家族。大家族。

トアケエケウ拖過月。月送。月延。月跨。月頭錢不可ー前家賃など次の月まで延しては

トアケエコエ大格難。大きな質の難。唐丸。ー緩啼ー唐丸は晚く啼く、大器晩成などの意。

トアケエシオン大客商。大口の仕入をする商人。

トアケエチア大客廳。廣間。大廣間。

トアケエニイ大科年。進士學人の試験のある年。

トアケエヘエ大家伙。大きな財産。金満家。大金持。

トアゲエ大牙。(兼)舊十二月十六日【土地公】を祭る日。做ー同上を祭る。【尾牙】。

トアゲエ舵帆。舵を動かす艇子。帆の柄。

トアゲエ大月。●大の月。●豚の子が生れて満二箇月になる。●祭事など物いりの多い月。

トアコエ大官。●高官。顯官。大官。●夫の

トアコエフウ住官府。官人を泊める。【父。舅。

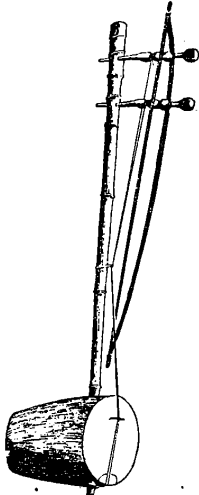
トアコエ大寒。嚴寒。極寒。

トア

- トア|コオ|ホオ|大官虎。(虎) 大官。顯官。
- トア|コエ|大街。大通。大きな市街。
- トア|コエ|大溪。大川。大川。大河。
- トア|コエ|單契。「文單」と「契字」。
- トア|コエ|ゴエ|拖過月。(海)【拖過月】。
- トア|コエ|ロオ|大街路。表通。通路。通。
- トア|コオ|大姑。●父の長姉。伯母。●夫の長姉。小姑。
- トア|コオ|大駒。荷船。大きな貨物船。
- トア|コオ|大鼓。大きな太鼓。開大門。打ーー大門を閉いて太鼓を打つ、公公然と悪事をするなどをいふ。
- トア|コオ|大籬。丸くて太い。でかい。人真ーー(●) 肥満した人。でかい人。ー柴ー大きな丸太。
- トア|コオ|炭股。総がもどる。索仔ーー繩の総がもどる。「の樂隊」。
- トア|コオ|モエ|大鼓吹。祭典・葬式などに加はる在來。
- トア|コオ|タイ|大籬櫃。肥太って遲鈍な性質。獨活の大木。
- トア|コオ|タウ|大籬頭。(●) 身體が大きい。大兵。
- トア|コオ|チヌ|大鼓陣。「大鼓吹」の行列。
- トア|コオ|トア|ベエ|大籬大把。次に同じ。
- トア|コオ|ペエ|大籬把。(●) でっふりと肥太った。大兵。肥満。

トア

- トア|コオ|ロア|ヌ|帶孤鸞。子のない運命がある。子に縁のない相を帯びてゐる。
- トア|コア|コア|大哥哥。兄。兄君。長兄。
- トア|コア|コア|ア|汰糕仔。「糕仔」を作る。
- トア|コア|コア|ア|フヌ|汰糕仔粉。「糕仔」を作る爲に粉に砂糖を混ぜて捏ねる。
- トア|コア|コア|大國。大國。
- トア|コア|コア|大國。上代の祖先若しくはそれに關する祭神公業。「小公」に對す。
- トア|コア|コア|大墳。●大砲。●餅。阿片を吸ふ煙。
- トア|コア|コア|炭鑛。(●) 炭鑛。「管」。
- トア|コア|コア|ギア|大功業。偉業。大業。大功業。
- トア|コア|コア|クヌ|大光棍。大詐偽師。
- トア|コア|コア|ザウ|大管草。(●)同「管草」。
- トア|コア|コア|チイ|大墳子。砲丸。
- トア|コア|コア|チイ|大康錢。「大孔錢」の○。「大鍋」。
- トア|コア|コア|チム|大廣深。直徑一尺餘、深さ一尺位の。
- トア|コア|コア|ヒエヌ|大管絃。胡弓の一種。
- トア|コア|コア|フヌ|大功勳。偉勳。大功。



大管絃

トア

- トア|コア|コア|フヌ|モエ|大墳煙吹。(●) 阿片の煙管。
- トア|コア|コア|ヘエ|大管蝦。(●) 手長蝦。
- トア|コア|コア|ホオ|ソア|大管雨傘。雨天。照降傘。
- トア|コア|コア|ロア|大功勞。大功。偉勳。
- トア|コア|コア|ゴオ|ゴオ|拖過月。(●)【拖過月】。
- トア|コア|コア|ゴア|ヌ|大願。大願。
- トア|コア|コア|ゴエ|大月。(●)【大月】。
- トア|コア|コア|ゴオリ|クウ|大五柳居。魚類に餌粉を和して「羹」とし更に筍・肉絲・胡椒の粉を混ぜて之を煮、少許の醋・醬油を加味した料理。
- トア|コア|コア|ゴウ|クウ|大鸞樹。(●) (玄參科) ここのへきり。
- トア|コア|コア|ゴオ|大月。(●)【大月】。
- トア|コア|コア|サア|單衫。裏なしの上衣。單の上衣。
- トア|コア|コア|サイ|大使。(●) 大使。
- トア|コア|コア|サイ|炭屎。石炭の燃殻。
- トア|コア|コア|サイ|ラム|大西南。西南より來る大風。起ーー同上が起る。
- トア|コア|コア|サイ|リエヌ|拖尿連。●女が他を罵る詞(大便を引きずって「連」(零落)せよといふ義) 零落れて恥を曝せ。のたれ死をしろ。●(●) 愚圖愚圖する。
- トア|コア|コア|サム|トン|大三鑿。高官の食時に奏する樂隊。
- トア|コア|コア|ザア|大柴。薪。焚ーー也是土炭ー薪を焚か

トア

トア 石炭を焚くか。
 トア ザア 檀柴。白檀。
 トア ザア ヲア 大柴碗。大きな木鉢。
 トア サイ 大載。梁を載せる横木。
 トア サイ 大在。成熟期に達する。發育の終期。今都
 ー 喇、没更大 ー もう充分に發育しきつたから
 ー 喇、没更大 ー もう充分に發育しきつたから
 ー 喇、没更大 ー もう充分に發育しきつたから
 トア サイ 大櫛。汽車、汽船など貨物を多く載せてゐ
 トア ザイ 大彩。富鐵の大鐵。
 トア ザイ 大菜。(種)たいさい。(十字科、大根と同種
 なれども特に莖葉の發育を主として改良し緑肥と
 して用ふ)。
 トア サイツウ 大財子。「金錢」の一種。
 トア サイツウ 大財主。大金主。大金穴。
 トア ザウ 撥走。振放して逃げる。振切つて逃げる。
 トア ザウ 大鈔。大きい鏡鈔。ー 小鏡 ー 大小の鏡鈔。
 トア ザウ 大操。大演習。多數の兵隊の訓練。「炭」
 トア ザウ 炭焦。燻る木炭。よく火の通つてゐない木
 トア ザウ 割草。草を削取る。鋏で草を掘取る。
 トア ザウ ハム 大草喰。大食。健啖。
 トア ザツ 住賊。賊の宿をする。
 トア ザツ 大賊。大盗人。
 トア ザツ コオ 大賊古。大泥坊。泥坊の親方。

トア

トア ザヌ コオ 大田糊。大田と云ふ所より出る芋の織
 物。
 トア ザア ジイ 大雑字。節用便覽の如く種種の事を載
 せてある書物の名。
 トア ザム 大鏡。大きな鏡鉢。「大鈔」。
 トア ザム コオ 大鏡鼓。大鏡鉢と大鼓。
 トア ザン チウ 大叢樹。大きな樹。ー 好蔭影 ー
 大樹は好き蔭をなす、富める者は恩澤を施し易い
 トア シア 大寫。●主任書記。●(大本字)。「意」
 トア シア 大赦。(●)大赦。
 トア シア 大聲。大きな聲。ー 厥 ー 嗚る。大聲で
 嗚す。激 ー 大聲を立てる。ー 哭 ー 號哭。泣
 叫ぶ。號泣。ー 叫喚 ー 喚く。嗚る。聲を振
 立てる。
 トア シア 單城。鑰の齒に一つの切込あるものを用ひ
 て開く鑰。
 トア シア アイアウ 大聲野喉。がやがや騒ぐ聲。講
 話 ー ー ー 銅鑼聲を出して話をする。
 トア シア イム 大聲音。大音聲。大聲。
 トア シア ヲエ 大聲話。大言。高言。
 トア シア ソエ シア 大聲細聲。「大細聲」。
 トア シア モイ 大城市。大都會。
 トア シア ウ 攤賬。勘定を按分して分配する。

トア

トア シア ク 大口。子供の身體の大きいこと。大人の
 様な子供。
 トア シア ク コロエ 大四界。(●)大四界。
 トア シア ム 舵刺。舵の先の廣き部分。ー 枋 ー 同上。
 トア シア トヲ 帶雙刀。兩刀を帯びる。ー ー 來
 出世 ー 人を害する相を帯びて生れる。
 トア シイ 大生。果物など好く出来る。澤山生る。柑
 仔 ー ー 蜜柑が同上。
 トア シイ 單姓。一字姓。(二字姓に對す)。
 トア シイ 單扇。片戸。ー 門 ー 片戸の門。
 トア シイ キア 單生子。獨子。
 トア シイ ケエ 大四界。(●)次に同じ。
 トア シイ コエ 大四界。何處にでも有る。澤山。許
 多。ー ー 有 ー 有觸れる。方方にある。
 トア シイ コン コエ 大四公界。前に同じ。
 トア シイ シウ 大生相。丑・午・辰・寅等の年に生れた
 者の性。ー ー 的人庫錢着較多 ー 同上の者
 が死ねば「庫錢」を澤山焼かねばならぬ。「小生
 相」に對す。
 トア シイ ジツ 大生日。長壽者の誕生日。
 トア シイ ヒア 大是兒。ー ー 細是弟 ー 大なるは兄、
 小なるは弟、長幼の序を守るべきをいふ。
 トア シイ ムン 單扇門。片扉の門。切戸。片戸。片

折手。

トア シイラン 憎死人。非常な悪者。

トア シウ大收。豐作。滿作。五穀。五穀。五穀。滿作。

トア シウ大壽。●畫像。肖像。畫。肖像を置く。

●生前作り置く棺。●赤い布に金紙などで壽の字

を貼り誕生視の贈物とするもの。

トア シウカウ大相狗。一個那。ぼんやりし

て坐つてゐる犬の様だ。除者にされた様だ。

トア シウトアイエヌ大鑲大縁。衣類を大いに派手

につくること。

トア シエウ大色。●幅利。羽振がよい。一人羽

振の好い人。●藝姐。●幅利者。●尊大ぶる。

トア シエウピアウ大色婁。羽振の好い淫賣婦。

トア シエヌ大身。●大きな偶像又は人形。●佛

●大きな佛像。●激。●尊大ぶる。横柄な態度

トア シエヌアン大身店。前に同じ。

トア シエヌブツ大身佛。大佛。

トア シオンケエ大商客。〔大客商〕

トア シヲ大小。●月の大小。大の月と小の月。●左

と右と。●一。●旁。●同上。

トア シヲゲエ大小月。大小の月。月の大小。

トア シヲツンホアツイアム大小腸發炎。(病)腹

トア シヲビエン大小旁。座席など左と右。〔膜炎。〕

トア シッロク帶食祿。●來出世。●豐富な食祿

の性を帯びて生れて来る。

トア シヌ帶身。(懸)身籠る。妊娠。懐妊。孕む。

トア シヌ單身。單身。獨身。獨身。

トア シヌ情身。情ける質。怠惰者。

トア シヌトミアトミア拖身拖命。病などを押して無理

に仕事をする。身を粉にして働く。一生懸命に

トア シヌハヌ單身漢。孤獨。獨身。獨身。〔働く。〕

トア シヌビツベエ單身匹馬。單獨。單身。孤獨。

トア シヌビツマア單身匹馬。前に同じ。

トア シヌフヌ大身份。大きな體格。大兵。〔小身

份〕に對す。

トア シヌボアトミア拖身磨命。〔拖身拖命〕

トア シヌミア大身命。臨月の婦人の様に大きな腹

をして運動の不自由なもの。

トア シヌラン單身人。獨者。獨身者。

トア シムクイ大心氣。●烈しく呼吸する。息急ぎ

る。走到。●息急ぎで走る。講到。●

●激昂して息巻く。●急込む。急る。苛立つ。免

●急込むには及ばない。

トア シムサイ大心菜。(蔬菜)芥菜の一種にして主に

其の莖を食用に供す。

トア シムスウ大心思。甚だ機智に長けてゐる。

トア ジイアア彈子仔。(遊戲)石彈。彈。

トア ジイイ単字姓。〔單姓〕。

トア ジツ大日。●かんかんと照る日。暑い日。●

曝死虎。●強烈な太陽が虎を焼殺す。非常に暑い

トア ジツシヌ大日辰。好い日柄。吉日。佳辰。

トア ジツチイ大日子。前に同じ。

トア ジツホオ大日虎。滿天雲無く太陽が輝いてゐ

る様。出。●同上の天氣になる。

トア ジエ拖入。引摺込む。引入れる。

トア スウ大事。大事。小事。小事。小事が大事

事になる。●化小事。小事化無事。大事は

化して小事となし小事は化して無事となす。悶著

事など可成無事に済すべきをいふ。

トア スヌ大孫。嫡孫。

トア スヌ大旬。人の死後三七日・五七日・七七日の供

養。〔小旬〕に對す。

トア スヌキヲ大孫輪。嫡孫が其祖父又は祖母の野

邊送を濟して歸る時に位牌を捧げて乗る輪。〔の。〕

トア スン大牀。●大きな蒸籠。●女の肥太ったも

トア

トア

トア

トア

トア スンキイ 炭酸氣。(新) 炭酸瓦斯。

トア スンツア 炭酸紙。(國) 炭酸紙。

トア スンハア 帶喪孝。服喪。喪に居る。

トア セエ 大細。(漢) 【大細】。

トア セエ 大雪。大雪。大雪。【魚】。

トア セエ 獺鮫。(動) 舌平目。牛の舌。舌底。【鞋底】。

トア セエザク 獺鮫鱗。舌平目を刺捕る具。魚杖。

トア セエシウ 大生相。(漢) 【大生相】。

トア セエヒイ 獺鮫魚。【獺鮫】。

トア モエ 大吹。大笛。大きな唐人笛。

トア モエ 大差。大きな後。當り。大役に當る。祭に負擔の多い時などにいふ。

トア モエ 大善。(漢) 【大善】。

トア モエジツ 大祭日。(國) 大祭日。

トア モエトア 大文大扱。箸又は匙で一度に澤山の食物を取る。

トア ソア 帶煞。女に夫又は父母に害を及ぼす相あるをいふ。

トア ソア 海沙。砂を篩にかける。

トア ソア 大山。大きな山。推し來壓我。大きな山を推して來て我を壓する。非常に威壓すること。

トア ソア 拖沙。ぐづぐづして抄取らぬ。隨取る。遅

トア

い。愚圖つく。間鈍い。間緩い。緩慢。賢い。能く延延にする。能く引張る。

トア ソアブウ 大山母。連山の中で一番高い山。

トア ソアヌ 大宣。畫仙紙の大判のもの。

トア ソアヌ 單宣。剝くことの出来ない一重の畫仙紙。

トア ソエ 大黍。(漢) 【大黍】。

トア ソエ 大細。大きいと小さい。大小。巨細。長幼。人着有。人は長幼の序がなければならぬ。

トア ソエシア 大細聲。言葉きびしく責めたる。がみがみいふ。どなる。【片聲】。

トア ソエシエヌ 大細腎。畢丸の大小不揃なるもの。

トア ソエシム 大細心。依怙負。偏頗。依怙。片落。片鼻負。

トア ソエチウ 大細丈。相婿。

トア ソエツン 大梳粧。作立てる。大いに化粧する。

トア ソエツン 大細頓。三食の分量が極つてゐない。むら食。

トア ソエバク 大細目。大小ある目。偏頗。不公平。依怙負。

トア ソエボエ 大細頬。嘴頬。兩方の頬が同でない。

トア ソエリイ 大細蕊。大小ある目。目開。同でない。

トア

目が大小になつてゐる。偏頗。不公平。依怙。

トア ソオ 單數。(國) 單數。【單負】。

トア ソオ 炭素。(國) 炭素。

トア ソオサイ 大所在。大きな所。都會。

トア ソア 大索。大綱。

トア ソア 大熱。嚴暑。酷暑。酷暑。

トア ソア 大蛇。大蛇。大蛇。

トア ソア 大行。大きな綱。大きな綱。花布。大綱の反物。

トア ソア 單行。片道。一的車單。片道の乗車券。

トア ソア 大娶。古例に則つた本式の結婚。【小娶】。

トア ソア ホエ 大行花。大柄の綱。【對す】。

トア ソアヌ 拖錠。抽斗の錠。

トア ソアエ 大罪。大罪。重罪。

トア ソオ 大租。大租。初め官府より開墾すべき土地を借受け、更に之を開墾者に轉讓するに當りて一種輕少の租穀を納するに起り、其後開墾者は更に第三者に小作せしむるに就て又別に一の租穀を徴收するに至りたるを以て、一個の土地に付て茲に二種の租穀を生ずるに至れり、此の二種の租穀を區別せんがため、前者を稱して【大租】となし後者を稱して【小租】となせり。納り。同上を納める。(國) 大便に行く。

トアヲオ 帶粗。親の死後四十九日間辯髪に麻の絲を用ひること。

トアヲオ 大粗。粗く肉厚き竹紙。

トアヲオ コアヌ 大租權。大租を徴收すべき權利。

大租權。【大租】參照。

トアヲオ ホオ 大租戶。大租權所有者。大租戶。

トアヲヲ 大船。漁船の一種。

トアヲヲ ジツ 大造日。一昨昨日。一昨昨日。一昨日。

トアヲツ 大族。豪族。大族。

トアヲン 大宗。●多量に生産される物産。糖與米

是臺灣的——砂糖と米とは臺灣の主要物産だ。●多量の商品。大量の品物。此帮的貨較——今度の貨物は大量だ。掠着——的賊貨。大量の贓品を取押へた。

トアヲン 大總。頭の中の統領。總指揮者。

トアヲア 大膽。大膽。太腹。岡太い。不敵。豪膽。

トアヲア 大打。【全打】。【肝が太い】。

トアヲイ 大驍。大馬鹿。【驍】參照。

トアヲイ 大事。大事。大變。

トアヲイ 大削。●大軍。大戦争。激戦。南北軍當在——南北軍が激戦の最中である。●文章などを大いに削除すること。●掛合事などで大談判をすること。

トアヲイ キエツ 大太極。【金紙】の一種。【奥様】。

トアヲイ タイ 大太太。官吏の本妻を敬稱する詞。

トアヲイ ツウ 大太子。皇長子。太子。

トアヲウ 大斗。大きな枱。一斗枱。

トアヲウ 帶頭。●帶の端。●銚具。

トアヲウ 大透。【銀紙】の一種。

トアヲウ 大頭。●大きな頭。——傷重帽仔——大頭

は帽子を作るにも大變である。●大部分。占——大部分を占めてゐる。鐘——同上。●人形芝居の下男に扮する者。

トアヲウ 舵頭。舵の軸。

トアヲウ 單頭。書附。附。勘定書。書出。打——勘定書を書く。【た新】。

トアヲウ 炭頭。少し燃して黒くなった薪。半炭になつ

トアヲウ アア 單頭仔。【單頭】。

トアヲウ イウ 大斗柚。(種)柑橘類)おにぎぼん。

トアヲウ ヲア 大斗碗。井鉢。井。

トアヲウ クヌ 大頭棍。先太の棒。

トアヲウ サン 大頭鬢。髪を丸く束ねて後頭部に結んだもの。老婦人の鬢。

トアヲウ ザン 大頭葱。(種)分葱。(百合科、葉及び鱗莖を煮て食用に供す)。

トアヲウ スッ 大頭賊。長い物など一端が太く他の一

端が細い形。

トアヲウ チエン 大頭釘。●頭の大きな釘。●甘薯。大根等一端が大きく一端が小さい形。●動。御玉

杓子の別名。

トアヲウ ツウ 大頭蛆。(動)子子の類。

トアヲウ テエ 大頭茶。(種)たいわんつばき。(山茶科、葬式の時盛花に用ふ)。

トアヲウ バン 大頭芒。稻の株の大きくて出る穂の小さいもの。——較没結尾——同上のものはよく實らない。

トアヲウ ヒア 大頭兄。首領。親玉。親分。頭。

トアヲウ ブウ 大頭拇。拇指。——人——親玉。親分。頭。

トアヲウ ポヲ 大頭婆。(種)粳米の一品種。

トアヲウ ラウ 大頭老。【大頭兄】。

トアヲウ リエヌ 大頭鱧。●頭の大きな【鱧魚】。●頭の大きな人を嘲つていふ。

トアヲヌ 大鱧。大鱧。互利を博する。——錢——同上。

トアヲム 大潭。大きな淵。

トアヲン 大冬。●漁業などの大收穫期。烏魚此候當在——鱧は今が捕獲期の最も盛んな時である。●(冬捌仔)の略。大馬鹿。

トアヲン 大筒。大きな喇叭。噴——同上を吹く。

トアヲン 大筒。大きな喇叭。噴——同上を吹く。

ひとつを選取る。要買着做一、下、一我、不賣、
買ふならば全部買ひなさい、半端には買らない。
トアチア 大鼎。大鍋。一未浪鼎仔冲浪。大
鍋は煮立たないのに小鍋はぐつぐつ煮立つ、主立
つた者が未だ何も言はない中に部下の者が騒立て
るなど。

トアチア 大廳。●中央の間。客間。廣間。大廣間。

トアチア 大官の秘書官又は顧問官の如きもの。

トアチア 大官の秘書官又は顧問官の如きもの。
トアチア 大廳爺。●大官の秘書官又は顧問
官に對する尊稱。●王爺。保生大帝。媽祖の廟

の隅に置かるる神。主神の用を足す神。
トアチアウ 舵吊。舵を釣上げる機。

トアチアウ 大調。棟一ノ聲を張上げて唱ふ。

トアチアウ 大挑。擧人の中より官吏に拔擢すること、
十二年間に三度皇帝自ら行ふ。

トアチアウ 大柱。●大柱。大黒柱。

トアチアウ 大祧。一族中の豪族。

トアチアウ ニイ 大朝年。閏年。閏年。閏年。

トアチアム 大沉。(同)【大沉】。

トアチアム ウウ 大點雨。(植)杉科くわうえふさん。
【廣葉杉】。

トアチイ 大猪。●大豚。●ほんくら。馬鹿。阿呆。

トアチイ 拖釘。靴の踵を踏潰して引摺る。一一行

同上して歩く。

トアチイ 拖記。延延になる。長びく。愚圖つく。做
事情不可一仕事をするのに愚圖つてはい
かぬ。一病。慢性病。持病。

トアチイ ケエ 大猪客。【大猪】の。

トアチイ ソエカウ 大啼細哭。喧しく泣叫ぶ。

トアチイ チヌチアウ 大猪進櫓。大豚が豚小屋に入
る、馬鹿な金持が人に金を搾られる爲に入つて來

トアチイ ロオ 住夫路。野宿する。露宿する。「る。

トアチウ 大籌。坐一ノ方角見のいふ話。家・墓など
少し方位に背いてゐる。

トアチウ 大場。進士の試験場。大場所。入一ノ同
上に入る。曾上一ノ進士の試験を受けたこと
がある。大舞臺を踏んだことがある。大事を経験
したことがある。

トアチウ 大丈。妻の姉の夫。【細丈】に對す。

トアチエク 大竹。【刺竹】。
トアチエク ソエ 拖竹梳。【竹梳】を持って行く。【竹
尺五寸幅二寸位あり。【小竹板】に對す。

トアチエク ヒエン 大德行。頑徳。高德。

トアチエク ポエ 拖竹篋。罪人を打つ管を引摺る。
官人の通行する際先頭に同上して行くこと。

トアチエヌ 大典。大きな質屋。

トアチエヌ 大殿。本堂。本殿。

トアチエヌ コアヌ 大夫官。藝者など總場する。開
一ノ同上にして遊ぶ。總花をうつ。

トアチエン 大燈。大きな提燈。一共伊繩起ノ盜
賊の隠語。火を放て。火事を起せ。

トアチエン 大丁。(一)陽物。

トアチエン 大戲。戲等具の大きなもの。藥屋で使ふ
トアチエン 單車。一重。一襪一重の靴下。

トアチエン 拖鏡。鏡を引く。落馬の時などに鏡に足
を引つけたまま引かれること。

トアチエン サウ 大丁草。(植)菊科)せんぼんやり。

トアチエン ワア 單頂娶。一雙頂返ノ嫁入の時
は一挺の轎で來るが里歸の時は一挺の轎と共に二挺
の轎で歸る。

トアチエン ホン 大丁黃。【大丁黃】。

トアチ、ヲ 帶着。情誼に絆されて隣をかける。容赦す
る。大目に見る。相一ノ同上。……に免じて。

トアチ、ヲ 伊的面上ノ彼の面に免じて。一伊的情
義ノ彼の情誼に免じて。打狗無一主人ノ犬
を打つに飼主に遠慮しない、相手を差置いて事を
するが如きをいふ。

トアチ、ヲ 彈着。撥ねて當たる。弾いて當る。被炮仔

トア

トア

トア

トア

トア | 爆竹の撥ねたのに當る。

トア | ツ | 大迫。豪遊。大盡遊。

トア | ツ | 大陣。大勢。多人數。

トア | ツ | 大沉。大沈。徹底的に。尙一層。思切。

大いに。一着修理。徹底的に改めねばならぬ。

一着改。徹底的に改めねばならぬ。

着打。思切。思切。思切。思切。思切。

に美しい。【大沈】。

トア | ツ | 大水。大水。洪水。一没流得石春臼。

大水も石臼を流す事は出来ない、確固不動の意。

那。一着改。徹底的に改めねばならぬ。

方此方で引掛り、路草を喰って容易に歸つて来ぬ人

などをいふ。

トア | ツ | 單水。爲替相場。一落價。同上が下る。

トア | ツ | 大嘴。大口。一開。一閉。大口を開ける。

呆氣にとられる。一飲。一飲。

トア | ツ | 拖水。紙などで水面をちよと擦る。

トア | ツ | 離水。瀬の水。

トア | ツ | イ | 大水蝶。(動) 羽蟻。

トア | ツ | イ | 大嘴開閉。大口を開いたまま。

トア | ツ | イ | 大嘴斗。遠慮會釋もなく。貶誹す。

臆面もなく扱下す。又は同上をなす者。

トア

トア | ツ | イ | 大水蚊。(動) 羽蟻。

トア | ツ | イ | 大水蟻。前に同じ。

トア | ツ | イ | 大水蕨。(種) ほていさう。ほていあふ

ひ。(水藻科、觀賞植物にして莖葉は家禽の飼料と

トア | ツ | 大薯。【田薯】。

トア | ツ | 大厩。大きな家。館。屋敷。二棺。棺

桶。買。一棺桶を買ふ。

トア | ツ | イ | 大主意。自分の勝手氣儘に極める。越

權。無權又要。一權利も無い。越權な

事をする。

トア | ツ | コ | 大主顧。大得意。上得意。

トア | ツ | コ | 大主考。學人の試験官。【後桶】

トア | ツ | シ | 大主公。金錢などを支給する後援者。

トア | ツ | シ | 大席身。本屋。母屋。

トア | ツ | ウ | 大主意。【大主意】。【種】

トア | ツ | 大稔。(種) 第一期作水稻糯米の大粒なる品

トア | ツ | 大齣。芝居の大幕。大きな出物。

トア | ツ | 大齣頭。前に同じ。

トア | ツ | 大出手。人に物を與へる時など思切つ

て氣張る。金離よく張込む。奮發する。

トア | ツ | 大齣戲。【大齣】。

トア | ツ | 大齣戲。引出す。引張出す。

トア | ツ | 大齣戲。船側に他の船をつけて曳く。曳船。

トア

トア | ツ | 大船。大船。親船。一難起碇。親

船は碇を揚げ難い、身分のある者は尻が重くて容

易に出掛けて来ない。

トア | ツ | 大船。船を引張る。船を曳く。曳船。

トア | ツ | 大尊大。一細尊細。目上は目上

として尊び、目下も亦互に尊合ふ。

トア | ツ | 大存年。一昨昨年。一昨昨年。

トア | ツ | 大腸告小臟。大腸が小

腸を訴へる、空腹のこと。

トア | ツ | 大隊。一官。二三十人の長。分隊長。

トア | ツ | 大隊。(圖) 大隊。

トア | ツ | 大隊。太股。股。

トア | ツ | 大隊。太股。股。

トア | ツ | 大隊。太股。股。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア | ツ | 大榎。榎。掛矢。

トア ツン 大腸。大腸。屎袋。――灌漑米。大腸に

糯米を詰める、内部に襦袢を澤山着込み外部に好
い着物を着るなどをいふ。――告小腸。大腸
告小腸。

トア ツン タウ 大腸頭。直腸。――發炎。直腸
炎。要指。――君の直腸を引出さうとして
ゐる、君から旨い汁を吸はうとしてゐる。

トア ツン チエヌ 大腸煎。豚の大腸に糯米を詰めて
蒸した腸詰。

トア テエ 住得。居る。居る。――飢餓。腹が減つ
た、腹が張つたと言って邪魔をする、御託を並べ
る。――顔唇。留守居をする。

トア テエ 大塊。――固體の大きなもの。――石。大き
な石。――碗。大きな茶碗。――横柄。倨傲。尊大。
傲慢。激。――横柄。倨傲。

トア テエ 單胎。一重線の蒸籠。――籠。同上。
トア テエ 單擣。文字の行を一字上書すること。一字
上。一字擣頭。

トア テエ ケエ 拖得過。危機を通過す。難關を無事
に越す。四十九歳。――食。到八十歳。四十
九の厄年が無事に越せば八十迄生きる。

トア テエ ホン 大退瘡。――大いに腫を退かす。――(種)
まつかぜさう。(芸香料、切傷の際に止血用として

葉を氷砂糖と共に碎きて塗用する)。

トア トア 帶帶。【帶】の(㊦)。

トア トア 住住。【住】。

トア トア 撥撥。【撥】。

トア トア 淘淘。【淘】。

トア トア 舵舵。【舵】の(㊦)。

トア トア 大大。大きい。大い。重大。重要。巨大。

トア トア 大事。大事。大い。重要。偉い事。

トア トア 不可。大いにいけない。

トア トア 單單。唯。唯。單。單。――一隻。た

トア トア 聚聚。度毎に。何時も。初中終。――擲頭
――何時も横紙破な事をする。――被先生嫌

トア トア 彈彈。【彈】の(㊦)。

トア トア 彈彈。【彈】の(㊦)。

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

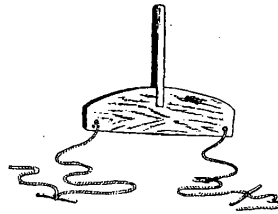
トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一

トア トア 情情。怠惰らしい。懶惰らしい。看伊一



大 拖

トア トア 拖拖。【拖】の(㊦)(㊧)(㊨)。

トア トア 拖拖。【拖】の(㊦)(㊧)(㊨)。

トア トア 汰汰。【汰】。

トア トア 汰汰。【汰】。

トア トア 導導。【導】。

トア トア 導導。【導】。

トア トア 灘灘。【灘】の(㊦)。

トア トア 灘灘。【灘】。

トア トア 灘灘。【灘】。

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア 團團。團滿に揃ふ。家族など皆揃

トア トア キヲ 拖底轎。三四人にて昇ぐ大な轎。

トア

トアトオ 大都。(文) 大都。

トアトオ 大肚。大きな腹。查捕大到廿五查某大
到——男は二十五まで育が伸びるが女は妊娠ま
でだ。

トアトオ 大土。●阿片原料。生阿片。(●) 強い酒。

トアトオ 拖土。●地に引ずる。●在——袴が地に
引ずつて居る。●車などで土を搬ぶ。用土車—
—荷車で土を搬ぶ。

トアトオ 割土。紙で土を削る。

トアトオ クイ 大肚管。子供などの大きく張って固く
なった腹。太鼓腹。

トアトオ シヌ 大肚申。申の字。

トアトオ タン 大肚桶。セメント桶の様な太鼓腹。

トアトオ フウ 大肚腹。(●) 脹満の如き婦人の病氣

トアトオ トヲ 帶刀。刀を佩びる。帶劍。帶刀。

トアトオ トヲ 大刀。太刀。大刀。關帝爺面前舞——
關羽の面前で太刀を振舞はす、身の程を知らず。
釋迦に説法など。

トアトオ トヲ 大狗。「大樞」。

トアトオ トヲ 單刀。一本の刀。空手收——空手で敵の
刀を奪ふ、無資本で大きな商賣をするなど。

トアトオ トヲ 拖刀。●刀を引ずる。(●) (運筆法の) 撥。人。
天・大の字などへの字書。

トア

トアトヲ ホエイ、アベエ 帶桃花驛馬。桃花と驛馬
の性を帯びてゐる、女が淫奔な性質を帯びてゐる
意。

トアトシ 大通。●大きな梁にて端より端に通抜ける
もの。●大いに通ずる。●非常に輕便な。

トアナ アウカン 大咽喉孔。「大喉孔」。

トアナ ナイ 大奶奶。官人などの婢僕が主婦に對
する尊稱。奥方。奥様。

トアナ ウ 大脳。大いに怒る。非常に怒る。「す」。

トアナ ウ 大鬧。大騒動。大騒動をする。大鬧着を起
トア ニイ トア フエ 大年大節。盆・正月・節句など。
重要な年中行事。

トア ニイ トア フエ 拖年拖節。無理算段をして年越
や節句をする。「扛秤」。

トア ニウ 大量。一斤以上のものを秤に用ひる大秤。
トア ムン 淡卵。魚類昆虫などが卵を方々へ生付け
る。卵を放附ける。

トア ノア 彈彈。「彈彈」。

トア ノア 彈彈。「彈彈」。

トア ノア 彈彈。「彈彈」。

トア ノア 彈彈。「彈彈」。

トア ノア 彈彈。「彈彈」。

トア ノア 彈彈。「彈彈」。

トア ノア 彈彈。「彈彈」。

トア

トア ハア 帶孝。喪に服する。服忌。喪に居る。

トア ハイ 大海。大海。大洋。大海。——不驚大水
|| 大海は大水に驚かず、度量の廣いこと。——
無人願 || 大海は番をする者が無い、海に飛込ん
で死んでしまへなど。——無魚三界娘仔爲王
|| 大海に魚がゐないと目高が王となる、鳥なき里
の蝙蝠。

トア ハウ シイ 大後生。長男。總領息子。嫡男。

トア ハク ハウ 大學校。(國) 大學校。

トア ハヌ 大漢。●身體が大きい。賢跋倒賢——
能く轉ぶ子は能く大きくなる、子供の倒れた時な
ど慰めていふ詞。●大人。細漢偷挽腕、——
多牽牛 || 子供の時に腕の様な小さい物でも偷む
者は大人になると牛の様な大きな物でも偷む様に

トア ハヌ ツウ 舵番妻。「舵の◎を見よ。「なる」。

トア ハン 大項。大きな物。——小項 || 大きな物と小
さな物。「同上」。

トア バク 大木。大工。家を建てる大工。做——的 ||

トア バク 大目。目が大きい。大きな目。——新娘看
不見灶 || 大目玉の花嫁は籠が見えない、目の前
に有る物が見當らないなどにいふ。——上粧細
目晦昏 || 目の大きな女は化粧映するが目の小さ
い女は化粧をすると却つて眇の様に見える。

トア バク 大目。目が大きい。大きな目。——新娘看
不見灶 || 大目玉の花嫁は籠が見えない、目の前
に有る物が見當らないなどにいふ。——上粧細
目晦昏 || 目の大きな女は化粧映するが目の小さ
い女は化粧をすると却つて眇の様に見える。

トア バク 大目。目が大きい。大きな目。——新娘看
不見灶 || 大目玉の花嫁は籠が見えない、目の前
に有る物が見當らないなどにいふ。——上粧細
目晦昏 || 目の大きな女は化粧映するが目の小さ
い女は化粧をすると却つて眇の様に見える。

トア バツ 単目。片目の。獨眼。隻眼。

トア バツ 拖目。數眼。瞶眼。

トア バツ コシ 大目孔。●(動) 鱒。●大きい目の玉。

大目玉。做人不可傷。——人は餘り大きい

目の玉をするものではない、餘り傲慢な態度をす
るものではない。

トア バツ サツ 大擧賊。博奕の一種。

トア バツ ヒイ 大目魚。(動) 餅。

トア バツ ベエ 拖自尾。洗目をおくる。横目をつか
ふ。秋波を送る。

トア バツ ロオ 大目鱸。(動) 眼張。

トア バツ 大蟬。●昔時官吏又は其の夫人の着た蟬の
繻ある禮服。●(新) オーバコート。庄——同上
を着る。

トア パア 大百。多額。澤山。——錢。大金。錢——
人落肉。澤山な金を儲けようとするれば自然健康
を害するに至る。燒——金。神佛に對して澤山の
「金紙」を焼く。

トア パア タウ 大方豆。大きくて質の悪い落花生。

トア パア チイ 大百錢。多額の金。大金。趁——
大金を儲ける。

トア パア モウ 大方樹。(植) ●(桑科)。常盤犬枇杷。

大葉犬枇杷。●(水冬瓜)の。

トア ガア チム 大方鱒。(動) 蟹の一種。

トア ガア ベエ 大葩尾。●終の方が段段と廣がつて
あること。狐狸。——狐の尾は同上。●將來
出世する。終に發展する。人若做好事就能——
——人は善事をすれば將來出世する。

トア パイ 大牌。先祖時代の戒名を記した位牌。

トア パイ 大桃。——水燈。燈籠流の際に擔廻る提
燈を垂下げた長い竹竿。【細排】に對す。

トア パイ 大敗。大敗。大負。

トア パイ 大旁。(同)「大旁」。

トア ガイ 大派。●妾などの立派なこと。堂堂たる風。
鷹揚な風。生做——妾が立派だ。——去
共伊講。堂堂と行つて話をせよ。●金錢など吝
嗇しない様。用钱不止——金使がきれいだ。
氣前が好い。

トア ガイ 導歹。悪い道に導く。

トア パイ シウ 大拜壽。劇曲又は山車物の名。

トア ガイ キウ 大派頭。「大派」の。

トア パイ トア ピラ 大牌大票。堂堂と大威張で。大
手を振つて。——去見主人。堂堂と行つて
主人に面會する。——入去看。大手を振つ
て入つて見る。

トア ガウ 大炮。●大炮。砲。——子。砲丸。

トア パウ キウ 大包头。體格が立派で大きい。

トア バグ 大腹。●銃口が大きい。砲口が大きい。●
中が一杯に張ること。乳——産婦の乳などが一
杯に張る。鼓吹噴了不止——息を一杯吸つ
て喇叭を吹く。

トア バグ 大北。北部地方。山東省の地方。

トア バグ モエン 大腹銃。口径の大きな銃。

トア バグ モエン 單腹銃。單身銃。

トア バグ リエヌ 大幅聯。大きい掛物。

トア パヌ 大板。●大筭。答罪又は拷問の時に用ひる
細長い板又は竹にて、大小の二種あり其大なる方
をいふ。【小板】【細板】に對す。●扁平にて幅の
廣いこと。

トア パヌ 大辨。●大形で立派。大柄。做較——不可
傷小局。大形に作れ、餘りせせこましくしては
いかぬ。●柄など引立つ。見映がする。●鷹揚な
態度。意張つた態度。

トア パヌ イイ 大板椅。長くて幅の廣い腰掛。

トア パヌ クヌ 大板筋。太い筋。太い筋肉。

トア パヌ ヒイ 大班戲。大掛な芝居。歌舞伎芝居。

トア パン 踏枋。(踏)【踏枋】。

トア パン 大房。●嫡流。本家。●分家の中で勢力の

トア

ある一族。一敷負細房。同上が勢力のない分家を馬鹿にする。●家屋の部分の名稱。【五間】

参照。

トア ン 拖帆。●帆を引摺る。●だらしが無い。一雞母。ふしだらな女などを罵っていふ。做事

情真。一仕事に甚だだらしが無い。

トア ヒア 大兄。●長兄。●一番の兄。●兄。

トア ヒイ 住戲。役者を雇ひ滞在させてする芝居。

トア ヒイ 帶魚。【白魚】。

トア ヒイ 大戲。大人の演ずる芝居。子供芝居。人形芝居などに對していふ。

トア ヒイ 大耳。●大耳。●利害得失を辨せずして遅鈍なる者。阿呆。馬鹿。被人搦。一一人にして

やられる。うかうかと人の口車に乗って馬鹿をみる。

トア ヒイ 大耳。(意)前に同じ。

トア ヒイ キエン 大喜慶。大きな慶事。大慶事。

トア ヒウ 大郷。大きな村。

トア ヒウ 大香。大きな線香。一共伊焼。去觀音

在所(泥坊の隠語)觀音様が居るから大線香をたけ。鶏などを盗まんとして女が居て邪魔になる時此の語を用ふ。前を捲つて小便せよ觀音様が居るといふ義。

トア ヒウ 檀香。(種)びやくだん。せんだん。(檀香料)

トア

材は彫刻香料に用ひ、又之より白檀油を採る。

トア ヒウ サ 檀香柴。檀香。白檀の材。

トア ヒエ ッ 大穴。【大地】。

トア ヒエン 攤邊。割拂。濟崩。借金など一時に拂はないで月賦などで濟崩に支拂ふこと。

トア ヒヲ 舵葉。舵の板面。舵の平板部。

トア ヒヲ 單葉。一重葉。單葉。

トア ヒヲ オオリオン 大葉烏龍。(種)茶樹の品種名。

トア ヒヲ カウチエンモエ 大葉九重吹。(種)かし

はばいぬびは。(桑科、材は製腦用の蒸槽を製す)。

トア ヒヲ キムシアリウ 大葉金樹榴。(種)おほの

ぼたんのき。きだちのぼたん。(野牡丹科、葉は美麗なるにより庭園樹に適す)。

トア ヒヲ シイ 大葉扇。一枚の葉で作つた團扇。

トア ヒヲ タイザン 大葉刺葱。(種)からすさんせう。

(芸香料、嫩葉は蕃人の香辛料として用ひられ、又葉を煎服して感冒マラリヤを治す)。

トア ヒヲ トオ 大葉杜。(種)穀斗科)かほかみかし。

おほばがし。

トア ヒヲ ハウリエク 大葉校力。(種)穀斗科)おほ

トア ヒヲ ビヌタウコヲ 大葉面頭果。(種)大戟科)かきばかんこのき。

トア ヒヲ ベムン 大葉白門。(種)灰木科)かんど

トア

ぶらうのき。

トア ヒヲ ラム 大葉楠。(種)樟科)おほばたぶ。

トア ヒム 大廠。吹鳴りつけておどす。一使呆錢。大聲で威嚇して銀錢を使ふ、吹鳴りつけて無理を通さうとするなど。

トア ビイ 淘米。【淘米】。

トア ビイ 汰米。米を研ぐ。

トア ビヲ 大廟。伽藍。大な廟。

トア ビヌ 大面。●大きな顔。●板などの廣い平面。

大きい面。●【較】を冠して想像の意を示す。無來較。一大方來ないだらう。贏較。一大方勝つだらう。

トア ビヌ 單面。片面。片一方。

トア ビヌ コエ 單面街。片側町。片一方のみに家屋の建てられた町。

トア ビヌ シヌ 大面神。少しも極悪がらぬ。しゃあ

しゃあしてゐる。厚顔しい。彼個查某真。一不驚見笑。一あの女は厚顔しいから少しも恥しがない。

トア ビア 大餅。圓形扁平の菓子、婚姻祭祀の場合に用ふ。【月餅】。

トア ビア 拖箒。(種)【拖坪】。

トア ビア 拖箒。足を傷め又は腰を抜して歩む。雞被

トア ア打(ア) 人打(ア) 一鶏(ア) 人が人に打たれて腰を抜して歩む。

トア アア 拖坪。屋根の傾斜面。

トア アア 大傾掃。(形) 大掃除。

トア アア 大餅皮。不注意の爲に手脱をする。うっかりしてゐて時機を失ひ不利を招く。油断をする。

トア アア 大嫖。豪遊。大盡遊。

トア アア 大嫖客。大盡遊をする客。大嫖客。

トア アア 舵柄。舵の柄。

トア アア 大病。大病。重病。篤疾。

トア アア 單鼻。支那靴の靴尖の凸起線一條なるもの。

トア アア 拖病。病を推す。病氣を我慢する。

トア アア 劇平。土地の高低を鉄などで平す。鉄で地を平坦にする。

トア アア 劇花。腦丁が手斧で樟樹を削って木片を取

トア アア 大鼻獅。團子鼻。

トア アア 大鼻。広い面積。土地——土地が広い。

トア アア 大拍。金銭などに對してこせこせせぬ。太腹。氣前が好い。

トア アア 大帶兵。兵を率ゐる。兵を帯びる。

トア アア 大旁。左の方。左側。向つて右。小

トア アア 大票。五圓札以上の紙幣。

トア アア 大品碗。大きな井鉢。

トア アア 炭灰。炭の屑。粉炭。

トア アア 大富翁。大金持。富豪。

トア アア 大富翁。大富翁。巨商。

トア アア 大富翁。大富翁。富豪。

トア アア 大份。大きな分前。大きな持株。伊份較

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母。正母。嫡母。【細母】に對す。

トア アア 大母粒。大きな粒。

トア アア 大問題。大問題。

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア アア 大肥。大いに肥つてゐる。人糞肥料。落

トア

の如き字を以て表すもの。一碼子同上。【細本】に對す。

トア プヌイア 大本營。(團) 大本營。

トア プヌキツチア 大本乞食。人の門邊に立ち藝などをなして錢を乞ふ乞食。鳥追。

トア プヌジイ 大本字。壹貳參肆伍陸柒捌玖拾等の數字。【細本字】に對す。 「一」大人物。

トア プヌスウ 大本事。偉い。才幹がある。一一人。

トア プヌソアクヌザイ 大本山芹菜。(植) ●たい

わんししうど。(鰾形科、葉及び根は薬用に供す)。

●(毛茛科)きつねのぼたん。

トア プヌソアトオタウ 大本山土豆。(植) しはは

ぎ。(苜科、根を豚の赤肉と混じて煎服すれば小兒

の積食を治す)。

トア プヌソアブウ トヲ 大本山葡萄。【大葡萄】。

トア プヌソアボヲ トヲ 大本山葡萄。【大葡萄】。

トア プヌベエホエアアサウ 大本白花仔草。【尖

尾風】の②。

トア プヌラウソエプヌチイ 大笨流細笨淀。菜

煮到——茶を大小の【笨】に一杯溢れ

る程煮る、大家族などで茶を喰ひきれぬ程豊に

煮ること。

トア プヌリヌアアサウ 大本乳仔草。(植) (大戦

トア

科)たいわんにしきさう。しまにしきさう。【紅乳仔草】の②。

トア プンサウ 大楓草。【大楓草】。

トア ヘエ 大夥。外國船の船長。

トア ヘエ 炭火。炭火。 「少い。」

トア ヘエ シヲ コエ 大下小解。御願は大きく報謝は

トア ヘエ テア 大火車。(輕便鐵道などに對していふ) 汽車。

トア ヘエ 大碼。大きい桁の數字。看不出——同上

を見出さない、意想外。案外。

トア ベエ 大麥。(植) (禾本科) 大麥。一較貴春種

大麥が春蒔の種子より高い。つまらぬ者が存

外高位置に居ること、又つまらぬ事に非常の手數

を要するが如きをいふ。

トア ベエ 單機。靴下の一種。

トア ベエ 拖尾。永引く。後を引く。

トア ベエ 炭塵。炭の屑。粉灰。

トア ベエ モイ 拖尾星。彗星。

トア ベエ ロオ 大馬路。廣小路。

トア ベエ 帶白。親の死後、【除靈】の後髪或は帽子

などに白き紐又は布を着けて喪を表すこと。

トア ベエ 大伯。●父の長兄。伯父。●夫の長兄。小

舅。

トア

トア ベエ 大白。米、砂糖などの純白なもの。大白。トア ベエ 單飛。獨で飛ぶ。打——遊里などに單獨で行くこと。

トア ベエ 類皮。類の皮。

トア ベエ ヒヲア 大白葉仔。(植) さきしますはう

のき。(梧桐科、材は白蟻の害を受けざるを以て建

築其他の器具に用ふ)。

トア ベエ ホエ 大白花。【白花仔草】。

トア ベエ ム 大伯姆。米の種類の名。

トア ホア 大跬。大跨。大足。一一行——大跨で歩く。

トア ホア 大駟。高駟。

トア ホア ツザイ 大發彩。大入。大繁昌。

トア ホア フヌ 大翻魂。(植) ●つきぬきおとぎり。

(金絲桃科、莖・葉を豚肉・酒と共に煎服し呼吸器病

に用ふ)。

●(倒吊蓮)。

トア ホア フヌ 大反亂。大亂。

トア ホエ 大花。●(植) 第一期作水稻類の一品種。●

俳優の重なる役を勤める者。奸臣勇士などに扮装

する立役者。大將役。●大層面倒になる。纏れ

る。絡まる。今事——「噱」さあ事がこんがら

つて来た。

トア ホエ 大茴。(植) (木蘭科)はつかくうるきやう。大

トア ホエ 大會。大會。

トア ホエイウ 大花様。大柄。大模様。

トア ホエビヌ 大花面。〔大花〕の②。

トア ホエフヌ 大肉塊。〔種〕かんばる。〔防〕已科、全草を胃腸病及び毒蛇咬傷に用ふ。

トア ホエボオ 大花布。大模様。形附木綿。

トア ホオ大雨。大雨。暴雨。大雨。落。大雨が降る。

トア ホヲスツファイアサウ 大號吸血仔草。〔種〕きんごじくろ。(錦葵科、莖・葉を煎服して胎毒を治す)。

トア ホヲソアトオタウ 大號山土豆。(種)〔豆科〕えびすくさ。

トア ホン大風。大風。強風。大風。吹有粟。大風が空を吹飛す、傳染病の流行する時など病身虚弱な人はやられるといふ意。

トア ホンサウ 大楓草。(種)大黃草。高砂菊。かいなうかう。(菊科、本種には龍腦を含み、葉を煎服して感冒・腫物・血の道を治す)。

トア ホンサウ 大黃草。前に同じ。

トア ホンチヌ 大風藤。〔風藤〕。

トア ホンホオ 大風雨。荒。暴風雨。大風。

トア ホンロク 大倅藤。高倅。大倅。

トア ボア 拖磨。骨が折れる。勤勞。苦勞。骨折。働

く。不時在。常に辛苦してゐる。

トア ボア 炭末。炭の屑。粉炭。

トア ボオ大妻。本妻。正妻。細姨。妻妾。トア ボヲ大帽。官吏又は學人進士などの用ひる帽子。

トア ボン大母。(種)〔大母〕。

トア ボンシイケエ 大母四界。(種)〔大母四界〕。トア ボンコン 大墓公。無縁塚。

トア ボンボン 大津滂。洪水の時など水の漲る様。

トア ボア 大鉢。煙草、阿片など煙管に澤山詰め込んだトア ボア 大鏡。大きな鏡。トア ボア 大牛。過半。大半。大方。過半数。半分以上。

トア ボア 大盤。大皿。一。的生理。問屋。御屋等の商賣。人前で卑猥な話などする女を賤んでいふ。彼個査某較。あの女は恥知らずだ。

トア ボア 彈破。彈破る。撥反して破る。講到。人耳孔。大聲で耳の孔の破れる様な話をする。

トア ボア 拖盤。一定の料理以外に出す出物、二の膳の如きもの。宴席に出す魚肉などに葛粉をか

けた四種の料理。

トア ボア ショチイ 大盤小碟。大皿小皿。

トア ボエ 類皮。(種)〔類皮〕。

トア ボオ 大埔。廣い野原。

トア ボオ 大斧。大斧。

トア ボオ 大布。〔大布針〕。縫針の一種。トア ボオ 大步。大股。大足。一行。大股に歩く。一企同上。

トア ボオ 大鋪。大きな寢堂。大いに款待す。特別扱をする。伊對我真。彼は僕に對して特別扱をする。

トア ボオ 大普。大施餓鬼。

トア ボオ 大鐘。大きな帳簿。私用帳簿に對する公の帳簿。

トア ボオ キエン 大步弓。大股に歩く。歩幅廣く歩く。急いで歩く。西北雨來。一。响。夕立が降つて來たぞ、急いで歩け。

トア ポオチアム 大布針。木綿針。仕附針。

トア ポオフヌ 大部分。(種)大部分。

トア ポオブウ 大步母。大指。親指。縫。親指と他の指との間。

トア ボヲキウ 大薄透。〔銀紙〕の一種。

トア ボヲトヲ 大葡萄。〔大葡萄〕。

トア ボヲロン 大波浪。大波。怒濤。激浪。荒波。トア ボヲ 類皮。(種)〔類皮〕。トア マア 大媽。祖父の本妻。祖母。〔庶媽〕に對す。

トア

トア

トア

トア 【媽祖】の偶像中の第一位のもの。 「一番」

トア マア 大馬。 惡罵。 非常に罵る。 ー一場罵倒

トア ミア 大名。 御高名。 尊名。 御名前。 號做甚麼

ー御名前は何とおっしゃいますか。

トア ミア 大命。 命。 有ー也無ー諸命があるか。

トア ミア 拖命。 病氣を押す。 命がけ。 生命を賭す。

トア 一生懸命。 ー走命から逃げる。 ー用

工命限働く。

トア ミア シア 大名聲。 大名。 高名。

トア ミイ 住喚。 消つて夜を過す。

トア ミイ 大麵。 饅餡。 紐草饅餡。 臺灣そば。

トア ミイ チアム 大麵店。 饅餡を製造して賣る店。

トア ム 大姆。 父の長兄の妻。 伯母。 夫の長兄

トア ム 大母。 (息) 【大母】。 「の妻。

トア ム シア ク コノエ 大母四界。(息) 【大母四界】。

トア ム イ 大門。(意) 【大門】。

トア ム イ ホエ 大梅花。(種) 大根。(臺灣在來種にして

晩生して大形なり、煮食用に適す)。

トア ム イ ホン 大門風。(意) 【大門風】。

トア ム ン 大門。 大門。 表門。 正門。 開ー打大鼓

ー大門を開いて大鼓を叩く、惡事など公然と大

びらでする。 【引戸】。

トア ム ン ホオ 大門戸。 大きな家柄。 門閥。

トア ム ン ホン 大門風。 富豪。 金持。 【小門風】に對

トア モア 大庄。 大きい雨合羽の様なもの。 「す。

トア モア 拖麻。 麻の裏服を着る。 ー穿索埋葬の

時麻の衣を着け細の帯を締めること。 ー指索

トア モア ホン 大痲瘋。(病) 癩病。 「同上。

トア ライ 大來。(駕籠昇の合圖言葉) 轆を右に廻せ。

トア ライ 大内。 馳走などの豊富なこと。 澤山。 此碗

トア ライ 大内。 馳走などの豊富なこと。 澤山。 此碗

トア ライ 大内。 馳走などの豊富なこと。 澤山。 此碗

トア ライ 大内。 馳走などの豊富なこと。 澤山。 此碗

トア ライ 大内。 馳走などの豊富なこと。 澤山。 此碗

トア ライ 大内。 馳走などの豊富なこと。 澤山。 此碗

トア ライ 大内。 馳走などの豊富なこと。 澤山。 此碗

トア ラウ ツイ 大流水。 大潮。 初一十五ー朔

トア ラウ ツイ 大流水。 大潮。 初一十五ー朔

トア ラウ ツイ 大流水。 大潮。 初一十五ー朔

トア ラム 大纜。 次と同じ。

トア ラム ソラ 大纜索。 シャンク船などの碇綱。

トア ラム マア 大南蛇。(動) ねずみしまへび。

トア ラン 大人。 大人。 ー較輪過困仔大人子供

に叶はず。 轉ー大人になる。 年頃になる。 成

トア 人する。 ー亂操操。 困仔愛年到大人は目

トア 人する。 ー亂操操。 困仔愛年到大人は目

トア 人する。 ー亂操操。 困仔愛年到大人は目

トア ラン キイ カイ 大人氣概。 子供などが折目正し

トア ラン キイ カイ 大人氣概。 子供などが折目正し

トア ラン キイ カイ 大人氣概。 子供などが折目正し

トア ラン トア チエン 大人大種。 大人らしくない事

トア ラン トア チエン 大人大種。 大人らしくない事

トア ラン トア チエン 大人大種。 大人らしくない事

トア リア ウ 大條。 腰掛や板など廣くて長い。 ー椅

トア リア ウ 大條。 腰掛や板など廣くて長い。 ー椅

トア リア ウ 大條。 腰掛や板など廣くて長い。 ー椅

トア リア ウ 大條。 腰掛や板など廣くて長い。 ー椅

トア リア ウ 大條。 腰掛や板など廣くて長い。 ー椅

トア リア ウ 大條。 腰掛や板など廣くて長い。 ー椅

トア リア ウ キイ 大條鋸。(意) 次と同じ。 「きな鋸。

トア リア ウ キイ 大條鋸。(意) 次と同じ。 「きな鋸。

トア リア ウ クウ 大條鋸。 二人で挽く大鋸。 縦挽の大

トア リア ウ クウ 大條鋸。 二人で挽く大鋸。 縦挽の大

トア リア ウ クウ 大條鋸。(意) 前に同じ。

トア リア ア 大粒。 大粒。 ー雨大粒の雨。 營

トア リア ア 大粒。 大粒。 ー雨大粒の雨。 營

トア 較トー彼は幅利だ。【細粒】に對す。

トアリ アラン 大粒人。勢力の有る人。有力者。

トアリ アナウ 大粒頭。【大粒】の㊟。

トアリ アナチ 大粒子。【大粒】の㊟。

トアリ アナビエン 大粒猛。勢力があつて猛猛しい。

トアリ イ 帶喇。……の所爲にする。言掛をする。因縁をつける。難癖をつける。伊要ー我ー彼は僕に言掛をする。没泗ー生葩湖水ー泳げな

いものだから翠丸が邪魔になるからだと言掛をする。自らの無能を棚に上げて他に言掛をするをいふ。ー風水ー家内に不幸續の時など祖先の墓の地相が悪いからだと言掛をつける。

トアリ イ 大利。巨利。大利。

トアリ エン 舵拾。舵を繋ぐ繩。

トアリ エン 大龍。棺桶を擔ぐ太い丸太。

トアリ エン 拖乳。抽斗の取手。引手。取手。

トアリ エン ア 大零仔。【大零網】。

トアリ エン コン 大龍嶺。大砲。

トアリ エンバン 大零網。底刺網の類。

トアリ オン 大量。●慈悲深い。情深い。●度量が大

きい。寛容。太腹。

トアリ マ 拖乳。【拖乳】。

トアリ マ 帶臬。【帶喇】。

トアリ イ 拖臬。【拖匿】。

トアリ イ ソエ 大樑細樑。被人打倒ー

人々に毆られて頼だらけになる。

トアル ウリン 大呂宋。大呂宋。西班牙。

トアレ レ 大禮。大禮。

トアラ オ 帶帶。【帶帶】。

トアラ オ 住住。【住住】。

トアラ オ 帶頰。【帶頰】。

トアラ オ 撥撥。【撥撥】。

トアラ オ 淘淘。【淘淘】。

トアラ オ 舵舵。【舵舵】。

トアラ オ 拖拖。【拖拖】。

トアラ オ 拖拖。【拖拖】。

トアラ オ 汰汰。【汰汰】。

トアラ オ 導導。【導導】。

トアラ オ ア 大亂。大亂。

トアラ オ エ 檀。檀香の材料の白檀を削る鑪。

トアラ オ オ 大路。大道。大道。往還。ー平

坡坡ー大路坦坦。大道が平坦。●音吝しない。

氣前が良い。你真ー貴方は本當に氣前が良

い。

トアラ オ 拖肉。魚などの鹽引。ー脯ー同上の干物。

トアラ オ タウ 大路頭。大通。大道。馬車路。

トアラ オ ワン 大路撞。大通。大道。

トアラ オ 大老。次に同じ。

トアラ オ イア 大老爺。府縣の長官に對する稱呼。

トアラ オ コオ 大鑼鼓。大きな銅鑼や太鼓を鳴したてる音樂團。ー陣ー同上の行列。【著く】。

トアラ オ シエン 住落性。居馴れる。居馴染む。居

トアラ オ シヲ 住落俗。前に同じ。

トアラ オ ヲア ヲア 大落大早。ー小落小早

大雨が降れば大早があり少し雨が降れば少し早がある。

トアツ 授。(授) 授。

トアツ 奪。(奪) 強辭ー正理ー強辯して正理を奪ふ。争天ー國ー天位を争ひ國を奪ふ。一人の

トアツ 脱。(脱) 脱。脱する。ー没離ー脱せられな

い。ー走ー脱走。●虚脱する。氣ー去ー同上。

トアツ イア 脱營。(脱) 脱營。

トアツ カク 脱壳。蛻を脱出する。金蟬ー蟬が蛻を

脱出する。價無き包物などを置いて喰迷するが如

トアツ

トアツ

トアツ

トアツ

トアツ

トアツ

トアヌ

絶えた。批信——音信を断つ。

トアヌヲヲ端坐。(文)端坐。

トアヌヲ端莊。●(主に婦人の)品行方正。●折目

正しい。端正。——流麗——端麗。激——しか

つめらしい。

トアヌタツ傳達。(文)傳達。「正しい。

トアヌチア端正。端正。方正。行が正しい。行儀が

トアヌチウ斷酒。禁酒。——戒煙——禁酒禁煙。

トアヌチエン端正。(文)「端正」。

トアヌチエン傳種。種を傳へる。

トアヌチオク短促。時間の餘裕がなく差迫つてゐる。

時間——同上。期日——期日が同上。

トアヌチア斷定。斷定する。

トアヌチア傳皇。告訴狀を取次ぐ。

トアヌチイ傳知。傳へ知らせる。——衆人——多くの

人に傳へ知らせる。

トアヌチウ團長。(圖)團長。

トアヌチエン斷定。(圖)斷定。

トアヌチオンヲ斷腸草。(芍藥)。

トアヌツウ短處。短處。缺點。人的——人の短處。

トアヌエ團體。(圖)團體。

トアヌトア傳單。通知書。

トアヌトアヌ撥擻。【擻】。

トアヌ

トアヌトア斷斷。●屹度。必ず。斷じて。斷然。

——不——斷じて不可。——無——決して無い。●

トアヌトア斷斷。【斷】。

トアヌトア鍛鍛。鍛。

トアヌトア傳傳。【傳】。

トアヌトア團團。——團住——ぐるりを圍む。取巻

トアヌトア團團。●(家の内が圓滿に行く様)

團團する。圓滿。一家——一家團團する。

トアヌトエ傳遞。(文)遞送する。傳遞。

トアヌトオ斷頭。(文)斷頭。

トアヌトヲ傳道。傳道師。傳道。

トアヌトヲスウ傳道師。(圖)傳道師。

トアヌヒイ團魚。(魚)【鰓】。

トアヌヒウ緞裘。縞子の袴。

トアヌヒエ又斷絃。(文)妻が死する。

トアヌヒエン短行。故意に人に損害などを與へて心

竊に悦ぶ性質。腹黒。根性曲。意地悪。

トアヌヒエン斷行。(圖)斷行。

トアヌビエン短命。(文)短命。

トアヌビエン傳名。(文)名を傳へる。

トアヌビエン傳命。(文)命令を傳へる。

トアヌビヲ傳票。(圖)傳票。

トアヌブ又傳聞。(文)傳聞。

トアヌ

トアヌホアツ斷髮。(圖)斷髮。

トアヌホン端方。品行方正。端正。——四正——同上。

激——しかつめらしくする。

トアヌボク端木。(進)端木。

トアヌボエ傳杯。(文)杯をさす。獻杯。——交盡——

杯の獻酬。

トアヌボオ傳播。(文)傳播。傳はりひろがる。

トアヌボヲ傳報。(文)傳へ報ずる。

トアヌミア傳名。名を傳へる。

トアヌミアセエシア傳名說聲。惡名を流す。悪い

評判を廣める。被人——人に悪い評判を

される。

トアヌリイ斷理。道理で斷ずる。——不斷親——道理

によつて斷ずるのであつて親疎によつて斷ずるので

はない。

トアヌリエ又鍛鍊。鍛へる。鍛錬する。——技藝——

藝を鍛へる。

トアヌリエン傳令。傳令。命令を傳へる。

トアヌルウ短慮。(圖)短慮。

トアヌロア又撥擻。【擻擻】。

トアヌロア又斷斷。【斷斷】。

トアヌロア又斷斷。【斷斷】。

トアヌロア又鍛鍛。【鍛鍛】。

トアヌ ロアヌ 傳傳。【傳傳】。

トアヌ ロオ 家爐。篆字型に押出仕掛の香爐。

トアヌ ロオ 傳臚。(多) 殿試に於ける第四位の合格者。

トアヌ ロオ 傳繼。銅繼を打て事を傳へる。

トエトエ

トエ 底。●底。下。箱仔。箱の底。鼎。銅の底。有。有蓋。底もあり蓋もある。金もあり學問もあるなど。靴破。原在。靴は破れても底は元の通り。古川に水絶えず。朴實有。華噴無。質素な者は財産が確實であるが、贅澤する者は不確實である。●中。内。内部。内。同上。箱仔。箱の中。鼎。鍋の中。批。有。手紙の内に書いてある。手。手の中。裏。裏面。尻。箱仔。箱の尻。鼎。鍋の尻。紙。紙の裏。布。布の裏。●基礎。素地。素性。地。根。根底。歹。元來悪い素質。趁。食。黒人上り。打。基礎をつくる。●残物。止。貨。賣れ残。碗。喰ひさし。倉。貨。倉浚の品。【底、底】。

トエ 貯。入れる。盛る。飯。飯を盛る。淀。一杯入る。有甚麼可。無。何か入れる物が有るか。

トエ 抵。手向する。抵抗する。相手になる。一人。同上。敢。敢。手向しきる。無人能。得伊。誰も彼に手向し得ない。【抵】。

トエ 隨。(意) 【隨】。

トエ 題。●題。出。題を出す。食。題意に適合する。小。大做。小。小さい題を大文章に作る。些細な事を大袈裟にする。●題する。一詩。詩を題する。一讀。讀を題する。讀を書く。●奉加帳に記入する。同上を求める。寄附を募る又は應募する。一捐。寄附を募る。【題、題】。

トエ 蹄。●蹄。馬。馬の蹄。●手足などの底。裏。鴨母。鴨の足の底。手。手の裏。●土臺。礎。用。礎仔。打。煉瓦で土臺を作る。一着築。較闊。土臺は廣く築け。【蹄、蹄】。

トエ 兌。交易。仕入。銀。兩替をする。一貨。品物を仕入れる。トエ 第。(意) 第。第一。第二。幾。第何番。

トエ 地。●地。土地。地面。天與。天と地。土。土地。厝。宅地。●底力。債務を返済すべき財物的餘力。伊都尙有。一咧使驚被伊倒去。彼にはまだ返済に値する物が有るから倒される心配はない。伊尙有。一也無。彼にはまだ能力があるかないか。【地、地】。

トエ 學。(意) からむし。まご。苧麻。(苧麻科、皮より苧麻を製し又根は解毒・解熱等の薬用に供す) 【苧、苧】。

トエ 釵。二股になつてゐる筚。簪。金。金の簪。玉。玉の簪。【釵、釵】。

トエ 體。風。身振。姿。スタイル。好。スタイルが好い。番仔。番人風。男人女。男であつて女の様な身振をするもの。查某。同上。【體、體】。

トエ 退。(意) 退。進。進退。一避。避ける。避ける。一職。退職。トエ 替。●代理になる。代る。身代になる。一工。仕事を代理する。一人贖罪。人の身代になって罪を贖ふ。一肩。擔荷など代つて擔ぐ。一伊賠。彼に代つて賠償する。●爲に。一伊煩惱。彼の爲に心配する。一人出頭。人の爲に責任を負うて立つ。【替、替、替】。

トエ 痠。(意) 痠。トエ 儂。(意) 儂。トエ 提。(意) 提。

トエ 燂。●兩肩を上げて疎む様にする。頸を縮めて疎む様にする。一肩。同上。肩頭。一肩を疎める。●臨終の時など息の根が絶絶になる。微か

トエ

トエ ア ア 肩で息をする。氣絲仔(カシヅ)一(ヒト)下(ヒタ)下(ヒタ)將(マシ)に息を引取らんとする。在(ア)要(ヤ)去(キ)死(シ)にかかつてゐる。

トエ ア ア 芋仔(カシヅ)。「芋」。

トエ ア ア 痲仔(カシヅ)。「痲仔」。

トエ ア ア カア 芋仔脚(カシヅカシ)。「發育(ハイク)の不良(ヘイリョウ)な短い芋」。

トエ ア ア カム 芋仔質頭(カシヅカシ)。「葬式(ムシマシ)の時(トキ)など女(メ)の用(ヨウ)ひる芋(カシ)の被物(カシモノ)」。

トエ ア ア サア 芋仔衫(カシヅカシ)。「芋(カシ)で作(ス)つた喪服(モウフク)。麻(アサ)の衣(エ)」。

トエ ア ア シイ 芋仔絲(カシヅカシ)。「芋(カシ)で紡(イト)いだ絲(イト)。芋(カシ)の絲(イト)」。

トエ ア ア ソア 芋仔線(カシヅカシ)。「芋(カシ)の絲(イト)。緒(イト)」。

トエ ア ア ソア 芋仔索(カシヅカシ)。「麻繩(アサヒモ)」。

トエ ア ア タウ 芋仔頭罩(カシヅカシ)。「芋(カシ)の頭(カシ)を覆(フ)ふ物(モノ)」。

トエ ア ア タン 芋仔蟲(カシヅカシ)。「芋(カシ)の葉(ハ)を食(ク)ふ蟲(ムシ)。「紅頭獅(ベニカシ)」」。

トエ ア ア マム 芋仔鑊(カシヅカシ)。「芋(カシ)を收穫(カシ)するときに皮(カシ)を引裂(ヒキ)くに用(ヨウ)ひる小刀(コボ)」。

トエ ア ア モア 芋仔尺(カシヅカシ)。「芋(カシ)織(カシ)の反物(オモ)をはかる尺(スケ)」。

トエ ア ア ツウ 芋仔裏(カシヅカシ)。「芋(カシ)の若根(カシ)。(之(カシ)を搗碎(カシ)して腫物(カシ)に貼付(カシ)す)」。

トエ ア ア トア 芋仔力(カシヅカシ)。「芋(カシ)の粗皮(カシ)を削去(カシ)るに用(ヨウ)ひる刀(カシ)」。

トエ ア ア ホク 芋仔服(カシヅカシ)。「芋仔衫(カシ)」」。

トエ ア ア ポオ 芋仔布(カシヅカシ)。「上布(カシ)。麻布(アサヒモ)。芋織(カシ)」」。

トエ ア ア ラウ パウ 芋仔腦包(カシヅカシ)。「次に同じ」。

トエ

トエ ア ア ラア 芋仔凹(カシヅカシ)。「葬式(ムシマシ)の時(トキ)男(オ)の子供(コ)が被(カシ)る麻(カシ)の被物(カシモノ)」。

トエ ア ア ウ 隨後(カシ)。「隨後(カシ)」」。

トエ イ イ 題意(カシ)。「(カシ) 題意(カシ)」」。

トエ イ イ エ 題捐(カシ)。「寄附(カシ)を募(カシ)る。寄附(カシ)に應募(カシ)する」。

トエ イ イ エ 替用(カシ)。「代用(カシ)。無別項(カシ)可(カシ)一(カシ)掛替(カシ)がな

トエ イ イ ャ 第一(カシ)。「第一(カシ)。第一(カシ)。一(カシ)好(カシ)一(カシ)番(カシ)好(カシ)一(カシ)勇(カシ)一(カシ)番(カシ)強(カシ)い」。

トエ ウ イ 地位(カシ)。「位置(カシ)。地位(カシ)。格式(カシ)。得着(カシ)好(カシ)一(カシ)好(カシ)い地位(カシ)を得(カシ)る。無(カシ)一(カシ)可(カシ)堅(カシ)立(カシ)額(カシ)がない。留(カシ)一(カシ)位(カシ)一(カシ)給(カシ)伊(カシ)極(カシ)端(カシ)まで責(カシ)めず餘(カシ)地(カシ)を残(カシ)しておく」。

トエ ウ ャ 地運(カシ)。「地響(カシ)。地鳴(カシ)」」。

トエ ウ ャ ャ 退隱(カシ)。「(カシ) 隱退(カシ)。退隱(カシ)」」。

トエ エ エ 底下(カシ)。「底下(カシ)。下底(カシ)。箱仔的(カシ)一(カシ)箱(カシ)の下(カシ)」

トエ エ エ 地下(カシ)。「地下(カシ)。地下(カシ)」

トエ ャ ア 替換(カシ)。「交代(カシ)する。入代(カシ)。取替(カシ)へる。一(カシ)的(カシ)衫(カシ)替換(カシ)。相(カシ)一(カシ)守更(カシ)交代(カシ)で夜番(カシ)をする」。

トエ カ イ 地界(カシ)。「地域(カシ)。區域(カシ)。領分(カシ)。地境(カシ)。界(カシ)」

トエ カ ャ 地曠(カシ)。「地下室(カシ)」

トエ カ ャ ャ 替工(カシ)。「仕事(カシ)を代理(カシ)する」。

トエ ガ ャ 地獄(カシ)。「地獄(カシ)。落(カシ)一(カシ)地獄(カシ)に下(カシ)る」。

トエ キ ア ア 地峽(カシ)。「(カシ) 地峽(カシ)」

トエ

トエ キ イ 地基(カシ)。「土地(カシ)の基(カシ)。地形(カシ)。地盤(カシ)。宅地(カシ)。建物(カシ)敷地(カシ)。踏(カシ)一(カシ)地形(カシ)をする。納(カシ)一(カシ)敷地料(カシ)を納(カシ)める。挖(カシ)人的(カシ)一(カシ)他人(カシ)の過去(カシ)の失敗(カシ)などをほ

トエ キ イ 地氣(カシ)。「地氣(カシ)。地息(カシ)。地熱(カシ)。一(カシ)冷(カシ)地氣(カシ)が冷(カシ)える。風(カシ)是(カシ)一(カシ)激(カシ)的(カシ)暴風雨(カシ)は地氣(カシ)から起(カシ)るのである」。

トエ キ イ カ ア 地基脚(カシ)。「地基(カシ)。敷地(カシ)の基礎(カシ)。一(カシ)無(カシ)在(カシ)地基(カシ)が固(カシ)まらない」。

トエ キ イ グ ャ 地基銀(カシ)。「地代(カシ)。土地(カシ)の賃貸料(カシ)。借地料(カシ)」

トエ キ イ セ グ ャ 地基稅銀(カシ)。「地基銀(カシ)」

トエ キ イ ツ ア 提忌紙(カシ)。「嫁入(カシ)をした女(カシ)が父母(カシ)の命日(カシ)に里方(カシ)へ銀紙(カシ)其他(カシ)の供物(カシ)を持歸(カシ)つて佛前(カシ)に供(カシ)へる」

トエ キ イ オ オ 地基租(カシ)。「地基銀(カシ)」

トエ キ イ ツ オ グ ャ 地基租銀(カシ)。「前に同じ」。

トエ キ イ ツ ウ 地主(カシ)。「土地(カシ)の第一(カシ)の所有者(カシ)であった昔(カシ)の地主(カシ)。孝(カシ)一(カシ)同上(カシ)の亡魂(カシ)を祭(カシ)る」。

トエ キ ウ 地球(カシ)。「地球(カシ)」

トエ キ ウ ギ イ 地球儀(カシ)。「地球儀(カシ)」

トエ キ ウ ト オ 地球圖(カシ)。「地球圖(カシ)」

トエ キ エ 替肩(カシ)。「擔荷(カシ)など代(カシ)つて擔(カシ)ぐ」。

トエ キ エ 榎肩(カシ)。「兩肩(カシ)を上げて竦(カシ)む様(カシ)にする。頭(カシ)を

縮めて疎む様にする。激——同上。

トエギア カン地蜈蚣。【倒地蜈蚣】。

トエギエク 地獄。地獄。

トエクイ 第幾。第何番。第何號。

トエクツ 地骨。●作物の生育する土地。土壤。——
若歹五穀種無可起來——土壤が悪いと穀物が
よく出来ない。●土地の業主権。不但講俣伊
多ヲヲトシテ——續給伊——租谷を徴收せしめ
收租而已連——續給伊——租谷を徴收せしめ
るばかりでなく業主権までも彼に與へた。

トエクツオ 地骨租。【地骨主】に納める税。

トエクツウ 地骨主。第一の開墾者にして其の耕
地を給附された者。【大租戸】に相當す。

トエクン 貯藏。貯藏する。器に入れて仕舞って置く。

トエグウ 地牛。●地の下において地を支へると
云ふ傳説の牛。——換肩——右の牛が肩をかへたと
いふ意にて地震の義。●重いものを擧げる槓杆。

トエグヌ 題銀。寄附金を募集する。

トエグヌ 兌銀。銀貨を交換する。兩替する。

トエケエ 地債。地債。

トエケエ 遞解。打——出稼人などを其出稼地から
送還す。追放する。

トエコア 兌封。(八封)兌の封。

トエコア 地瓜。【番薯】。

トエコア 替掛。耕作などに使役する牛を交代せしめ
ること。牛使到下單着——牛は晝まで使っ
たら交代せしめなければならぬ。

トエゴエ 體藝。做——遊半分に仕事をする。退屈
凌に事をする。慰半分にする。【體藝】。

トエサア 苧衫。【苧仔衫】。

トエサン 遞送。宿繼。遞送。

トエサヌ 題讚。讚を書く。讚を題す。題言。題辭。

トエサヌ 地曆。(圖)地曆。

トエシイ 題詩。題詩。詩を題する。

トエシイ 退時。(退)退時。

トエシオク 退縮。(又)退縮。臨陣——陣に臨んで
退縮する。其場になつて尻込する。

トエシヌ 題神。題意。題の意味。合——題意を十
分に言ひあらはす。

トエシヌ 替身。藥若しくは紙で作つた人形を云ふ。
厭勝のため此の人形を燒き或は之を路傍に乗て
て病氣の快復を祈るに用ふ。

トエシヌ 儼神。【儼神】。

トエシヌ 提新。新しい着物等を餘所へ出る時用ひる。
餘所行にする。留一半領藏得可——二枚
は残して置いて餘所行にする。——的衫——餘所
行の着物。

トエシヌキオク 遞信局。(圖)遞信局。

トエシヌシエン 遞信省。(圖)遞信省。

トエシヌタイシヌ 遞信大臣。(圖)遞信大臣。

トエジイ 題字。題辭。題する。

トエジホク 體辭。悪口を言つて侮辱する。

トエスウ 題序。題辭。題言。

トエセエ 地勢。地勢。地形。

トエセエ 地稅。(新)地代。地稅。

トエフオ 地租。地租。

トエフオフアヌ 地租串。地租の納入告知書又は其
トエフオトア 地租單。前に同じ。【領收書】。

トエフオフウ 地租賦。前に同じ。

トエファンオン 地藏主。地藏。地藏菩薩。

トエタア 地贖。漢藥の名。

トエタウ 題頭。題。問題。題目。

トエタウ 地頭。地方。一地方。土地。——較衰微——
土地が荒れる。

トエタウ 提頭。【提頭】。

トエタウ 體別。皮肉つて面罵する。缺點を指摘して
完膚なく責める。

トエタン 地動。地震。

トエソウ 抵手。抵抗。手向ふ。打返す。張合ふ。無
——抵抗力が無い。與乞食在——乞食を

トエ

トエ

トエ

トエ

相手にして張合ふ。

トエチウ 替手。手替。替する。替る。

トエチエヌ 地襖。毛の粗い毛襖。絨毯。

トエモエン 兌清。現金の賣上を記載する帳簿。現金賣上帳。

トエチヲ 底挖。●資産。恒産。有——恒産がある。●素性。身元。不知伊的——彼の素性を知らない。●素養。資格。有——素養がある。●事の起。原因。不知——原因を知らない。

トエチツ 地質。地質。地性。

トエチツ 退職。(又) 退官。退職。

トエチヌ 地稱。●細長き材の中

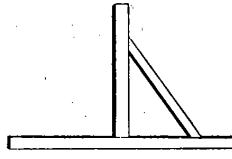
●尖に厚板を立て其厚板の中

●尖に垂直線を書き其上部よ

●り錘を垂下して地面の水平を

●見る器。水準器。●重い物を

●扶上げるに用ひる一種の擬。傾杆。



○の稱地

トエチヌ 退親。(又) 婚姻を破談する。婚約を破棄す

トエチア 提定。手附金を取る。

トエチアウ 退朝。(又) 退朝。

トエチイ 底帯。「底挖」。

トエチイ貯淀。一ばい入れる。一ばい満す。皿又は茶碗に山盛にする。

トエ

トエチウ 地場。場。場所。

トエチエヌ 替典。「激典」。

トエチヲ 底挖。「底挖」。

トエチヌ 退陣。退陣。退軍。

トエツウ 地主。地主。

トエツウ 地鼠。(動) 鼯鼠。

トエツツ 提出。出す。持出す。

トエトエ 貯貯。「貯」。

トエトエ 隨隨。「隨」。

トエトエ 題題。「題」。

トエトエ 兌兌。「兌」。

トエトエ 替替。「替」。

トエトエ 提提。「提」。

トエトオ 地岡。地岡。

トエトオ 地土。土地。地面。地味。

トエハム 地陷。「地陷」。

トエバウ 替卯。人員點呼などの時に實際の人の代になつて點檢を受ける。

トエバク 題目。題目。題。問題。

トエバク 地目。(目) 地目。

トエバク 地腹。地心。

トエバヌ 地板。板間。板敷。根太板。床板。鋪——

床板を張る。踏——同上。

トエ

トエバヌ 替辨。代辨。代つて仕事をする。

トエヒエツ 地穴。洞穴。

トエヒエン 地形。地形。地勢。

トエヒイ 地米來。「護生草」。

トエヒヌ 地面。地面。地上。地上。——凹孔地

面に穴ができる。

トエビヌチウ 地面上。前に同じ。

トエビア 地兵。地魔。地の神兵。「天兵」に對す。

トエビイ 地籠。(籠) 蟲類より製した薬の一種。

トエビイ 地本。平にした敷地。填土來打——盛土をして地均をする。

トエビイ 退避。(又) 退避。避ける。避ける。——三舍——三舍を避ける。

トエビエン 退兵。退軍。退陣。

トエフン 地方。地方。

トエフン コア 地方官。地方官。

トエフン セエ 地方税。(目) 地方税。

トエフン チイ 地方誌。風土記。地方誌。

トエフン チア 地方廳。地方廳。

トエブン 貯飯。飯を裝ふ。飯を盛る。飯を繼ぐ。

トエヘ 底貨。賣殘。貨物の殘。殘品。

トエヘ 底系。來歴。由來。由緒。由。

トエヘ 兌貨。商品を賣出し又は仕入れる。

トエ/ヘエ地火。地の下の火。

トエ/エイヌ兌貨印。問屋などより商品を賣出す時に押す印。發賣元の印。

トエ/ヘエボオ兌貨簿。問屋より小賣人に交付し置く帳簿にて小賣人が仕入をする時間屋に於て品目數量價格等を記入するもの。通帳。判取帳。

トエ/ペエ地皮。利用せられる地表の部分。——俾伊在收而己地骨猶原是我耕作物を彼に徵收してあるだけで業主權は矢張僕のものだ。

トエ/ホエ隨會。(會)「隨會」。

トエ/ホエ隨火灰。(會)「隨火灰」。

トエ/ホエ退戸字。大租戸が自己の大租權を他に譲渡す證書。

トエ/ホエ題號。表題。題號。

トエ/ホエ體號。(會)「體號」。

トエ/ホエミヤ地號名。地名。

トエ/ボエ隨尾。(會)「隨尾」。

トエ/ボラキエヌ地無牽。——天無坎地には掛金なく天には階段なし、物事がどうしても成功の見込みなきことを形容して云ふ。

トエ/ボラ地盤。(會)地盤。

トエ/ボオ苧布。上布。布。麻布。

トエ/ボオ地歩。地位。身分。境遇。伊的——真好

トエ/彼の地位は甚だ好い。慎修的——悲惨な境遇。

トエ/ボオ退歩。(退)退歩。——思量事難し退いて考ふれば事に困難なり。

トエ/ボオアシアウ提簿仔帳。日用品などを掛勘定で買ふ。掛で品物をとる。

トエ/ミア題名。名を題する。名を書く。寄附者の名を掲載する。

トエ/ミア地名。地名。

トエ/ミアジイ題名字。名を題する。名を書く。

トエ/メエ地脈。地脈。

トエ/モアクヌ芋麻根。芋麻の根。

トエ/ラン抵入。人に抵抗する。人に手向ふ。

トエ/ラン替人。人に代る。——燒香代香をする。

トエ/ラン一做代作。——食罪人の罪を被る。——硬軟「硬軟」を見よ。

トエ/リイ地理。陰陽師のいふ地勢。地の相。——先生陰陽師。看——地の吉凶を相する。

トエ/リイ地理。(會)地理。

トエ/リースウ地理師。地相を相する陰陽師。

トエ/リン地靈。地の靈氣。地靈。暗時——較輕——夜は音響がよく響く。日時——較重較無聽見晝間は反響が少なからよく聞えない。東

トエ/京的所在——較輕所以較捷地動——東京は地盤が固つてゐないからそれで度度地震がある。

トエ/——較重就較沒地動——地盤が据つてゐると地震が少ない。

トエ/ルイ地雷。(會)地雷火。埋——地雷火を埋める。

トエ/ルイ地雷。唐獨樂。打——唐獨樂を廻す。

トエ/ロエ貯貯。(會)貯貯。

トエ/ロエ隨隨。(會)隨隨。

トエ/ロエ題題。(會)題題。

トエ/ロエ兌兌。(會)兌兌。

トエ/ロエ替替。(會)替替。

トエ/ロエ提提。(會)提提。

トエ/ンボオ地黃浦。「禾香」。

トオ都。(會)都。帝——帝都。(會)都。

トオ多。(會)多。

トオ親。(會)親。

トオ塔。(會)塔。區劃された壁又は仕切。欄。石——石で作った欄。枋——板で作った壁。——花——書を書いた欄一つ。——塙圍仔——一つの垣。鏡——鏡を填める框の内面。

トオ都。(會)都。帝——帝都。(會)都。

トオ多。(會)多。

トオ親。(會)親。

トオ塔。(會)塔。區劃された壁又は仕切。欄。石——石で作った欄。枋——板で作った壁。——花——書を書いた欄一つ。——塙圍仔——一つの垣。鏡——鏡を填める框の内面。

トオ塔。(會)塔。區劃された壁又は仕切。欄。石——石で作った欄。枋——板で作った壁。——花——書を書いた欄一つ。——塙圍仔——一つの垣。鏡——鏡を填める框の内面。

トオ塔。(會)塔。區劃された壁又は仕切。欄。石——石で作った欄。枋——板で作った壁。——花——書を書いた欄一つ。——塙圍仔——一つの垣。鏡——鏡を填める框の内面。

トオ塔。(會)塔。區劃された壁又は仕切。欄。石——石で作った欄。枋——板で作った壁。——花——書を書いた欄一つ。——塙圍仔——一つの垣。鏡——鏡を填める框の内面。

トオ塔。(會)塔。區劃された壁又は仕切。欄。石——石で作った欄。枋——板で作った壁。——花——書を書いた欄一つ。——塙圍仔——一つの垣。鏡——鏡を填める框の内面。

トオ塔。(會)塔。區劃された壁又は仕切。欄。石——石で作った欄。枋——板で作った壁。——花——書を書いた欄一つ。——塙圍仔——一つの垣。鏡——鏡を填める框の内面。

トオ

トオ 肚。腹の如き脹みあるもの。腹一腹。一措一腹。掛一船一船腹。脚一足のふくらはぎ。(語原は「堵」と同一なるべし)。

トオ 門。競ふ。相一互に論争する。一氣一意氣張盡になる。喧嘩腰になる。一勇一強さを競ふ。

トオ 賭。●賭する。一輸一贏一勝負を賭する。一造化一運を賭する。一六勝負をする。●又博奕。一博一同上。●一飲一買一打つ飲む。

トオ 島。(衆)【島】。

トオ 駢。●透寫。數寫。一字一透寫にする。●色が染みて亂散る。染む。墨傷水就能一墨が餘り薄いと染む。●果實の腐れ爛れた部分などが他の果實に傳染る。●感染する。傳染する。感風能相一感風は傳染する。

トオ 妬。妬む。悋氣。嫉妬。嫉む。伊眞賢一彼はよく人を妬む。十婦九一十人の婦人九人の嫉妬。女は十人の中の九人まで嫉妬心を持つてゐる。

トオ 到。(衆)【到】。

トオ 塗。(衆)塗。

トオ 屠。(衆)屠。●屠殺場。屠獸所。禁一屠殺の禁止。開一屠獸所が開ける。

トオ 徒。(衆)手合。仲間。徒。連中。一類一仲間。酒色一酒色の徒。

トオ

トオ 圖。●圖。圖面。地一地圖。畫一圖を畫く。●圖畫。繪。學校在教畫一學校で圖畫を教へる。厩仔一人物などを畫いた繪。●自分の物を他人の物に混ぜなどして紛しうして誤魔化し取る。提歹的來一好的去一悪いのを持って來て好いのを誤魔化して持つて行く。蒜仔一肉油一蒜で豚の油を吸取る。詰らないものを出に使用して好いものを取込む。●計畫的に著服する。猫ばばをきめる。せしめる。伊各次要一人は彼は何時何人のものを著服する。此頂帽仔是共人一來的一この帽子は人からせしめて來たのだ。一人的錢一人の金を猫ばばをきめる。

トオ 途。●途。路一途。半一而廢一中途でやめる。●職業。仕事。變一職業をかへる。換一同上。做歸一専ら一つの仕事をやる。此一眞歹孔一此の仕事はなかなか危い。

トオ 土。(衆)土。

トオ 寶。(衆)寶。

トオ 逗。(衆)逗。

トオ 杜。(衆)杜。●杜。(松科)にひたかどまつ。

トオ 度。(衆)度。●度。度合。過一度を過す。熱三十九一熱が三十九度。二十五一酒(酒精分)二十五パーセントの酒。●暮す。口過をする。

トオ

トオ 豆。孔子を祭る時用ひる器具の名。

トオ 肚。●胃。胃腸。胃袋。猪一豚の胃袋。小一膀胱。腸一腸と胃。腸。●腹。大一大きな腹。爲你換一腹を換へてやる。君は旨い物ばかり食べてゐるからたまには不味い物を食べさせてやるなどの意。一内空一腹が空っぽ。又無學の意。

トオ 渡。渡。渡場。渡船。過一渡を渡る。義一無實の渡。一頭一波止場。渡場。一船一渡船。

トオ 駢。●染る。染る。被伊一去一彼から傳染させられた。一到歹一惡風を染される。悪い習慣に染る。●燃移る。燃廣がる。火一過間一火が隣家に燃移る。火炭一駢去一木炭に皆火が燃廣がってしまつた。

トオ 鍍。鍍金。めつき。一金一金めつき。一銀一銀めつ

トオ 道。(衆)道。

トオ 鑰。(衆)鑰。

トオ 針。(衆)針。

トオ 土。●土。一地。土地。一産。土地の産物。●禮儀や法則などを無視した言動。無仕附。向不見。盲滅法。伊的人真。彼は無作法で向不見だ。彼は粗野で無鐵砲だ。一想。出鱈目な考へ。一直。正直一方で無仕附な。馬鹿正直な。朴直な。

トオ 吐。●一氣。吐息をつく。一。大氣。溜息をつく。一寸突出る。飛出す。突出する。一舌。舌を出す。一。大腸頭。脱肛。肝膽。一。出臍。●(海) 一。百較。一。百餘。三十一。三十餘。

トオ 兔。●(動) 兔。守株待。一。木の株を守って兔を待つ。得られない物事を望む愚者などをいふ。逐。一。不得。一。二兔を逐ふものは一兔を得ず。

トオ 吐。●(性) 吐。吐く。吐出す。一。血。血を吐く。一。大話。大言を吐く。●芽や穂などを出す。苧。蕉。一。莖。苧蕉が莖を出しかける。一。穂。穂を出しかける。●目玉など突出する。飛出る。一目。奸臣。出目の奸臣。奸佞な人を罵る語。目。目。嘴。嘴。目玉が飛出て嘴がぼろぼろ生えてゐる。

トオ 給。俾。被。……(給)「ホオ給。俾。被。……」。

トオ 塗。(性) 塗。

トオ 土。●土。一。砂。土砂。赤土。●赤土。●左官。左官。做。一。左官をする。一。司。左官の職人。

トオ アア 肚仔。腹掛。腹窩。

トオ アア 杜仔。(植) (穀斗科) ●せいしやうがし。●こうだいほがし。

トオ アア 兔仔。(動) 兔。兔。

トオ アア 芋仔菜。(植) たかさごさう。(菊科、全草を兔の飼料に用ひ又皮膚病・マラリヤ・消化不良・毒蛇咬傷の薬として用ふ)。

トオ アア 芋仔草。前に同じ。

トオ アア 芋仔燈。兔の形に作った提燈、舊正月十五日に用ひる。

トオ アア バク。兔仔目。兔の目、目色の赤い者をいふ。

トオ アア バンゲ。兔仔望月。兔が月を望む、大きな空想を抱くなど。

トオ アア ベエ。兔仔尾。葬式の時喪に服するものが突く杖の端に附ける麻布の片。

トオ アア ホエ。堵仔花。寢臺等の衝立の胴元に飾める彫刻の飾物。

トオ アン 土甕。穴藏。土倉。土藏。

トオ アン アア 土庭仔。土偶。土人形。一。能涙人。土人形は崩れ易い、危険なことに關係すると巻添になるの意。涙(崩落する)と累(連累)とは

トオ アイ アウジツ。土曜日。(國) 土曜日。「音相通ず。

トオ アイ アム。肚掩。腹掛。腹窩。

トオ イイ 吐葉。萌む。芽す。田螺。一。田螺が角を

トオ イウ 土油。●石油。●落花生の油。「出す。

トオ イエン 杜英。(植) ほるとのき。(瞻人樹科、庭園に植う又樹皮は染料として用ふ)。

トオ イオン 門勇。勇を比べる。力競。

トオ イオン 肚離。(病) 腹に出来る癰。

トオ イヲ 吐葉。●吐き薬。吐瀉。●薬を吐く。

トオ イヌ 土蚓。(海) 「土蚓」。

トオ イブ 都邑。(文) 都邑。

トオ イム 土音。方言。國訛。

トオ ウイ 圖畫。繪圖。圖。圖畫。

トオ ウウ 鬪子。(性) 鬪子。

トオ ウヌ 土蚓。(動) 蚯蚓。

トオ ウヌ 土蚓。前に同じ。

トオ ウヌ チエン 土蚓蒸。蚯蚓の穴の上に持ち上った

トオ エエ 吐噎。噎をする。噎氣をする。食到。一。噎氣の出る程食へる。

トオ オオ 投壺。壺の中に物を投入して勝負する賭博。

トオ ヲア 度活。渡世。世渡。生活。

トオ ヲア ヌ 土圓。土の塊。土塊。土塊。

トオ ヲエ 土話。●俗語。卑語。●盲滅法な話。無仕

トオ カア 道家。(衆) 「道家」。「附な話」。

トオ カア 土脚。地面。地。地。土邊。床。土間。地

トオ

トオ

トオ

トオ

トオカアイヲロオ土到搗機。非常に無作法で向不

トオカアソヲ土脚趨。●土間を這ふ。●祭禮の行

列に加はり道化姿に扮して歩行するもの。

トオカアツウ土脚敷。土間の敷物。席。

トオカイ 岡解。岡解。

トオカイファイ多開費。(衆)【多開費】。

トオカウ 道教。(衆)【道教】。

トオカウ 土猴。(動) 大蟋蟀。

トオカウ 堵口。船の右側の櫂。右手にて使ふ櫂。廻

ががかる。

トオカウ 門口。大聲にて争ふ。喧嘩。口喧嘩。

トオカウ 土狗。(動) 臺灣大蟋蟀。害虫にして夜間美

トオカウ 土猴。(衆)【土猴】。

トオカウ 吐口。本音を吐く。白状する。

トオカウ アア杜狗仔。(動) 脊の低い小さな犬。

トオカウ ベエ土海麩。泥土。泥。どろどろな土。

トオカウ クウモオ兎角龜尾。兎の角に龜の毛、有

り得べからざる事の意。

トオカウ 土蟻。●土を捏ねて煉瓦より較大きな型に

トオ

入れて乾し固めたもの、壁をつくに用ふ。土角。

トオカニ 土壁。印。●同上を作る。●一層●同上で作

た家。●一壁●土角の壁。●賭博の一種。●疊

トオカニ 門姦。女の手で喧嘩をする。色喧嘩。

トオカン 土工。左官。

トオカン 土孔。土穴。開。●亦是你放土核亦是

トオカン 土壙。土地にある深い穴。穴藏。

トオカン 土壙。土地にある深い穴。穴藏。

トオカン 土壙。土地にある深い穴。穴藏。

トオカン 土壙。土地にある深い穴。穴藏。

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオキム シアム吐鹹。狼がはしい聞きしい話

トオ

トオキイ ポオ土經布。手織の粗い布。

トオキウ 土腔。方言。土地訛。國訛。田舎詞。

トオキエクスイ土尅水。土は水を尅す。五行相尅

トオキエンカイ土荊芥。(臭川荳)。

トオキオウ 土局。阿片税を取り立てる役所の名。

トオキオン 門強。否でも應でも。是非とも。●一

トオキオン 門強。否でも應でも。是非とも。●一

トオキオン 門強。否でも應でも。是非とも。●一

トオキオン 門強。否でも應でも。是非とも。●一

トオキオン 門強。否でも應でも。是非とも。●一

トオキオン 門強。否でも應でも。是非とも。●一

トオキオン 門強。否でも應でも。是非とも。●一

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオキム ツイ鍍金水。金めっきする。

トオクイ 土桂。(種科)肉桂の一種。
トオクイ 土鬼。【欄仔】。

トオクイ 吐氣。吐息をつく。歎息する。溜息をつく。歎く。嘆つ。一噴噴||慨嘆する。非常に歎悲

トオクツ 土窟。地面の窟。土窟。トオクツ 土刺。【土刺】。

トオクツ 肚楮。女の嫁に行く時用ひる腹掛。(鉛錢)【烏糖】、【五穀】など十二種、又は豚の心臓、猪の胸の肉を入れる。

トオクヌ 土棍。地方の悪黨。地方の破落戸。トオクヌ イエン 杜根英。【鬼仔菜】。

トオクタン 土壇。(墓)土の穴。墓の穴。トオクタン 道巾。(墓)【道巾】。

トオグウ 蠶魚。(又)鮎。鮎魚。トオグウ 土牛。昔蕃界と漢民族若しくは熟蕃の業地とを區劃する爲に境界に作った土壘、其形臥牛の如くなるに因る。

トオケエ 黦過。染む。染む。一去||染みる。染附く。染通る。

トオケエ 度過。過す。過する。一||時||時を過す。一||時日||月日を過す。口を過す。

トオケエ 土培。土壇の下層。トオケエ ジツ 度過日。其日其日を過す。口を過す。

トオケエ ジツ 度過日。其日其日を過す。口を過す。

トオゲエ キイ 門硬氣。(墓)【門硬氣】。トオコア 多寡。(墓)【多寡】。

トオコア 肚指。腹指。隠しのある胸卷。腹卷。闊||胸卷の金を抜き取る。一飽淀||胸卷に金が一杯。懐が暖い。

トオコア コオ 肚指襖。腹當に猿股を附着したる如きものにて子供の着るもの。

トオコアイ 土乖。(動)御玉杓子。トオコアイ ア 土乖仔。前に同じ。

トオコアヌ 杜鵑。(冬)子規。時鳥。杜鵑。トオコアヌ ホエ 杜鵑花。(冬)さつき。さつきつじ。

(石南科)内地より移入し庭園に栽培して觀賞す。トオコエ 闘雞。(闘)闘雞。

トオコエ ジツ 度過日。(度)【度過日】。トオコオ 門口。喧嘩。口論。争論。言合ふ。

トオコオ 度口。糊口。口過。トオコオ 豆蔻。【豆蔻】。

トオコオケエ ジツ 度口過日。日日の働を以て糊口する。其日暮。

トオコヨ 土膏。阿片。阿片煙膏。トオコヨ 杜康。酒屋の崇拜する神。

トオコヨ 土公。【土】の(公)墓の穴堀。御坊。トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオコヨ 土壇。石灰を用ひず土ばかりの墓穴。

トオ

トオ

トオ

トオ

トオツツ 土賊。土寇。土寇。

トオツツイイト 都察院。官廳の名。行政の得失を

監察し官吏の邪正を辨じ人民の冤枉を救ふ行政監督機關。

トオツヌ 土田。砂質の少い田。粘土の多い田。

トオシア 多謝。(泉)【多謝】。

トオシア 吐瀉。上下し。吐瀉。吐瀉。

トオシア 土城。土で作った城。土で作った砦。

トオシアチエン 吐瀉症。(病) 吐瀉病。霍亂。虎列刺。虎列刺。

トオシアウ 多少。(泉)【多少】。

トオシイ 都司。武官の名。

トオシイ 度死。一定の収入で口過をするのみで別個収入の望なきこと。食頭路的人是ー的籠無横擲||月給取は一定の収入で口過をするだけで臨時収入はない。

トオシイ 度生。渡世。世渡。生活。

トオシイ 土生。間子。雑種。

トオシイ 吐絲。絲を吐く。娘仔ー||蠶が絲を吐く。

トオシイ 兔絲。【豆虎】の②。

トオシイ アア 土生仔。間子。雑種。ー||欸||間子

トオシイ アア 土生鴨。【土番鴨】。

トオシイ アア キア 土生仔子。間子。「の様だ。

トオ

トオシイ キア 土生子。間子。

トオシイ ホオビイ 兎死狐悲。(又) 兎死して狐悲む。仲間の不幸を他の仲間が悲む。

トオシイ ミア 賭性命。命掛け。生命を賭ける。ー||做||命掛をする。

トオシイ ミア 度性命。命を繋ぐ。罔在ー||ど

トオシウ 土想。出鱈目な考。いい加減な考。

トオシウ 土箱。阿片を入れる箱。

トオシウ 土滞。どろどろの泥。

トオシウ コエ 吐綾雞。(動) 七面鳥。

トオシウ チウ 屠獸場。(園) 屠獸場。

トオシウ ク 土色。土黒い。土色。面如ー||驚いた時など顔が土色になる。

トオシエン 度生。(又) 渡世。世渡。

トオシエン 土性。●無作法で向不見な性質。●死ぬ。今都ー||去喇||もう死んでしまった。「す。

トオシエン キム 土生金。(五行の相性の一) 土金を生

トオシエン ホン 都城隍。都又は國土の保護神。城

トオシオク 土俗。土俗。土地の風。「隍神。

トオシオン 土儂。土儂。土儂。

トオシヨ キア 土小子。無仕附な向不見な者を罵る語。この馬鹿者奴。

トオ

トオシヌ 土神。土地を守る神。商人は特に福神として祭る。

トオシム 妬心。妬心。嫉妬心。ー||重||嫉妬心が強

トオシム 道心。(泉)【道心】。

トオシム 土心。下層の土。

トオジイ 駢字。字を寫す。

トオジイ 土字。作字。當字。俗字。

トオジイ 土子。小兒の遊ぶものにて瓦の破片などを丸く錢の形にしたもの。

トオジイ アア 土子仔。前に同じ。

トオジイ ウヌ 賭字連。【賭造化】。

トオジイ ビエン 土字旁。漢字の土偏。土偏。

トオジエヌ 徒然。(又) 徒。空い。枉ー||骨折損。

トオジホク ケイ 土肉桂。(種) やぶにくけい。(樟科。材は器具用に供し、果實よりは油を探り石鹼の原

トオジオン 土壤。(園) 土壤。「料となす」。

トオジツ 度日。日を暮す。日を送る。日を過す。ー||如度年||難儀してゐる人には一日が一年の如くに長い。

トオジヌ 土仁。【土豆仁】の略。

トオジヌ ケエ 土仁稜。【土豆仁稜】の略。

トオジヌ シム 土人參。(種) (菊科) あざみの一種。

トオジヌ マン 土仁湯。【土豆仁湯】の略。

トオジム 到任。(泉) 【到任】。

トオスイ 吐嘴。動物の陰莖が勃起して皮が剥ける。

トオスイグヌ 鍍水銀。銀流。稱花——秤の目に銀流をする。

トオスイハイ 斗水獺。(二十八宿星)の一。

トオスウ 觀斯。(姓) 觀斯。

トオスウ 岡書。(國) 岡書。岡書。

トオスウイア 賭輸贏。輸贏を賭す。勝負をする。

トオスウコフヌ 岡書館。(國) 岡書館。

トオスヌ 土笋。●海産物の名。海鼠。(沙蒜沙蒜)。

●地の深き所より生ずる筈。

トオスウ 道士。(泉) 【道士】。

トオセエ 度世。渡世。世渡。世過。

トオセエ 土生。(漢) 【土生】。

トオモエ 度歳。満一歳。九一つ。誕生日。生れて一年目。做——満一歳の誕生祝をする。

トオモエ 吐劑。吐劑。嘔吐劑。

トオソア 土煞。建築の時など土工をする時に祟をなす神。土公神。動着——同上に祟られた。

トオソア 土砂。土砂。塵埃。埃。——糞掃——土砂と埃。——揚——埃が飛び。

トオソア シヌ 土煞神。【土煞】。

トオソア フウ 土煞符。【土煞】を鎮める護符。

トオソエ オン 賭衰旺。運命のままに任せる。運次第。好くなるも悪くなるも運次第にする。

トオソオ 屠蘇。屠蘇。——酒——屠蘇酒。

トオソク 土偷。無仕附で間拔。無作法で頓馬。

トオソア 黥紙。吸取紙。

トオソア ツ 杜絶。(國) 杜絶。

トオソア ヌ 杜撰。(文) 杜撰。

トオソア ヌ 土撰。我流。自己流。

トオソア ニイ 土川連。(植) ほらしのぶ。(互草科、莖葉を煎服して下痢止となす)。

トオソア ホア 賭造化。伸るか反るかやってみる。いちかばちかやってみる。山子を張る。一六勝負。運を賭する。

トオソアン 土葬。土葬。

トオソアイ 道臺。(泉) 【道臺】。

トオソアイ 度胎。【度人胎】。

トオソアイ 土飾。土飾。

トオソアウ 渡頭。渡し場。船渡。上場。波止場。

トオソアウ 土豆。(種) 南京豆。唐人豆。落花生。(豇科、種子は落花生油を製し又食用に供す)。

トオソアウ 土頭。土の塊。

トオソアウ イウ 土豆油。南京豆の油。揚油。落花生油。

トオソアウ カウ 土豆壳。南京豆の殼。

トオソアウ クウ 土豆莖。(植) まるばたけはぎ。(豇科、牛畜の飼料となし又全草を消化劑として煎服し、根は肺病の薬となす)。

トオソアウ ケエ 紙透過。染通る。染巨る。

トオソアウ シナガヌ 兎頭蛇眼。兎の頭に蛇の眼、陰險で狡猾な者をいふ。

トオソアウ ジヌ 土豆仁。●落花生の實。——膜——落花生の實の皮。●蝸。蠶の蝸。

トオソアウ ジヌ ケエ 土豆仁糠。落花生で作った菓子。

トオソアウ ジヌ ムン 土豆仁湯。落花生の實水砂糖等を材料として作った汁。「した」もの。

トオソアウ ジヌ フウ 土豆仁麸。南京豆を砕いて粉に

トオソアウ タイ 土豆飾。土飾。落花生飾。

トオソアウ タン 土豆冬。落花生の收穫期。

トオソアウ マヌ 土豆藤。落花生の莖。

トオソアウ マン 土豆糖。餡と砂糖とを煮つめそれに南京豆を入れて固めた菓子。「籠」。

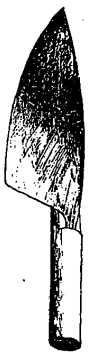
トオソアウ ピイ 土豆披。落花生を搦るときに用ひる

トオソアウ ペエ 土豆披。落花生を搦る器具にて庖丁

の形したるもの。

トオソアウ ヌ 道壇。(泉) 【道壇】。

トオソアウ ヌ 塗炭。(文) 塗炭。困苦する。生民——生



土豆披

トオ

トオ

トオ

トオ

民塗炭に苦しむ。――之の苦塗炭の苦。

トオ タム 黠滑。染込む。染通る。濕氣あるものの側に置いて濕氣がうつる。

トオ タム 多食。(泉)【多食】。

トオ タン 肚重。吃水の釣合を保たせるため船底に積載するもの。船の底積。バラスト。壓――同上をつむ。

トオ チア 度食。糊口。口過をする。口を糊する。難得――生活困難。

トオ チア 土車。大八車。車力。荷車。

トオ チアン 圖章。(巻)【圖章】。

トオ チイ 厨子。料理人。コック。

トオ チイ 都市。(圖) 都市。

トオ チイ 土芝。(植) はすいも。白芋。(天南星科、葉柄は蔬菜として生又は煮て食用とす)。

トオ チイ 吐舌。舌を出す。舌を吐く。

トオ チイ 土星。土星。

トオ チウ 土樟。(植) (樟科)こまるばくすのぎ。

トオ チウ 土州。陰府。あの世。去――賣鴨卵の世へ行って鶯の卵を賣る、死ぬといふこと。

トオ チウ 土漿。泥。壁土。

トオ チウ 土塙。土塙。春――土塙を造る。

トオ チウ 土匠。左官。左官。壁塗。

トオ

トオ チエン 多情。(泉)【多情】。

トオ チエン 杜松。(植) (松科)ねず。

トオ チエン スヌ 土蒸笋。【土笋】の②。

トオ チオン 圖章。重要な印判。印章。

トオ チオン 土娼。●地方の女郎。●藝又は曲を知らない女郎。

トオ チア 土埴。鹽田の小蒸發池。――岸――同上の

トオ チアウ 黠住。染着く。染む。

トオ チアウ 土柱。植物を移植する時に根本に付けて根を保護する土塊。合――即較快活――根本に土塊を付けて置かないと早く成長しない。

トオ チアア 度牒。(寺院本山より僧侶に出す辭令の如きもの)僧侶の免狀。度牒。度牒。

トオ チアム 讀點。讀點。點――讀點をつける。

トオ チイ 土地。(土地公)。

トオ チイ 土刺。(咬)甘、扁魚。

トオ チイ 土饋。(巻)【土饋】。

トオ チイ コン 土地公。鎮守の神。土地を守る神。福祿を授ける神。土地又は墓場の神。――土地婆下你嚙下你嚙到時捕總無福徳神に願をかけて禮を果さない。助を求める時は種物を供へんと約して其の時になると何も送らない義、普通兒童は之を歌の如く唱へる。――無

トオ

畫號虎不敢咬人。【土地公】の許しなれば虎は人を咬まぬ意にて上のものが承諾又は指圖をしなければ下のものが物事をするものでない義。――生【土地公】の誕生日舊二月二日に

行ふ祝祭。得罪――餉無雞【土地公】の感情を害すれば鶏が育たない、權限ある人の感情を害すれば其の權限内のことは何をやっても駄目だといふ意。十五身――在彼二旁十五體の土地公を二つに分けて兩方に置く、非常に粗野なる意。十五體の土地公を二つに分れば七土八土となる【七土八土】とは非常に粗野なる意なり。

トオ チイ コン ア 土地公仔。●上方の重量を支へるための横木。腋木。●捕鼠器などの落。

トオ チイ コン キム 土地公金。【福金】。

トオ チイ ツウ 土蜘蛛。(動)袋蜘蛛。土蜘蛛。地蜘蛛。

トオ チイ ボラ 土地婆。土地を守る女神。【土地公】に配する女神。

トオ チイ マア 土地媽。前に同じ。

トオ チウ 賭場。賭場。賭博場。

トオ チウ フィ 土張飛。【土張飛】。

トオ チエク 道德。(泉)【道德】。

トオ チエヌ ビエン 賭天命。【賭造化】。

トオチエン多丁。(魚)【多丁】。

トオチエン杜定。(魚) 蝦蟇の類にて非常に有毒なりといふ。木蝦蟇。蝦蟇咬雞母哈。一咬買棺

柴。一咬蟻に噛まれると牝鶏の嘴に唾を入れてそれを附ければ治るが【杜定】に噛まれると棺桶を買はなくてはならない。

トオチオン肚脹。(魚) 脹満。腹が脹れる。食去。一

トオチオン杜仲。(種) 杜仲。(大戟科、生材を用ひて煎服すれば解熱劑となり、又火に炙りて後煎服すれば關節炎を治し腎臓に効あり、火傷の際之を炙りて水と共に磨りたるものを附すれば特効あり)。

トオチヲ都着。(魚)【都着】。

トオチヲ黧着。●染みる。染付く。一臑臑。穢れる。汚れる。●染る。傳染する。感染する。

トオチツ土直。禮儀などを知らず正直一方なるを云ふ。愚直。馬鹿正直。

トオチヌ土藤。(水藤)。

トオチヌ土藤。●南京豆の蔓。●土藤。

トオチムヒウ土沉香。(種) おきなはちんかう。しましらぎ。(大戟科、老材を燃焼すれば沈香の如き佳香を發す又薬用に供す)。

トオツイ多嘴。(鳥)【多嘴】。

トオツイ吐水。水を吐く。溜飲。

トオツイ土水。左官。左官。

トオツイサイ土水司。左官屋。左官屋。壁塗職。

トオツイサイフウ土水司阜。前に同じ。

トオツイチウ土水匠。前に同じ。

トオツウ土朱。●紅殼。紅殼。●鐵分多き赤土。

トオツツ吐出。吐き出す。一眞情。眞情を話す。眞情を打明ける。

トオツヌ渡船。渡船。渡船。

トオツヌタウ渡船頭。渡場。渡船場。

トオツウ土贖。(動) 贖。丸贖。

トオツヌ吐唇。墓場などの前の土地が下層に突出するをいふ、吉なりとす。

トオツヌ土墩。高く積み上げた土。

トオツヌ土遁。忍術の語。土中に隠れる。

トオツヌ土踐。無仕附で解根性のもの。無作法の上になからずや。

トオツン肚腸。●胃と腸。●度量。無一。●度量がない。一狭。同上。一貯無半粒砂。腹の中に半粒の砂も貯へない、度量のない意。

トオツン土糖。【土豆糖】の略。

トオツンタウ吐腸頭。脱肛。

トオテエ肚袋。腹掛。腹管。

トオテエ徒弟。徒弟。生徒。門弟。

トオテエ土地。土地。地所。

トオテエコン土地公。(漢)【土地公】。

トオテエタイチウ土地臺帳。(圖) 土地臺帳。腹帶。馬の腹帶。

トオテア土炭。(圖) 石炭。

トオテアイウ土炭幼。石炭の極く細く砕けたもの。

トオテアイウ土炭油。石炭油。石臘油。原油。石油。

トオテアカン土炭孔。炭坑。石炭坑。

トオテアキイ土炭氣。石炭瓦斯。

トオテアクイ吐大氣。溜息をつく。嘆息する。

トオテアコン土炭壙。炭鑛。

トオテアサイ土炭屎。石炭の糞。

トオテアフウ土炭灰。石炭の屑。

トオテアボア土炭末。石炭の屑。

トオテア又多端。(魚)【多端】。

トオテエ肚底。船底。船底。【廣い】。

トオテエ土地。土地。地所。一眞闊。土地が甚だ

トオテエ土地。地下。地の下。地底。地中。

トオテエ土地。地面。地の表。下在。一地面に置く。關在。一地面に寝る。

トオトオ多多。(魚)【多多】。

トオトオ門門。(門)。

トオ

トオ

トオ

トオ

トオトオ 賭賭。【賭】。

トオトオ 駢駢。【駢】。

トオトオ 圖圖。【圖】の③④。

トオトオ 駢駢。【駢】。

トオトオ 度度。【度】の③④。

トオトオ 吐吐。【吐】の①②。

トオトオ 吐吐。【吐】の③④。

トオトオ 土鱧。【土鱧】。

トオトオ 都督。都督。【の一味】。

トオトオ 徒黨。輩。徒。一味。德的——彼等。

トオトオ 都統。將軍の次に當る武官の名。

トオトオ 土當歸。土當歸。(五加科、嫩莖は食用となし又風邪を治するに用ふ)。

トオトオ 土連。(種)くさのわう。(罌粟科、有毒植物にして、莖・葉より滴出したる黄色汁は頑癬を治し、其他種種の薬用に供せらる)。

トオトオ ニイキイコグ 土耳其國。(國名)土耳其古。

トオトオ ハア都下。(又)都下。

トオトオ ハイ兎臚。孔子を祭る時の供物の一種。「者」。

トオトオ ハヌ土漢。粗野で下品な者。無作法者。無仕附。

トオトオ ハツ都合。(圖)都合。

トオトオ ハツシオン都合上。(圖)都合上。

トオトオ ハム土陷。●陷穿。●土窟。穴藏。

トオ

トオハン 土魴。(動)赤鱧。「上が厚い」。

トオバア 土肉。耕作用に適する土壤。——較深——同。

トオバアチイ 吐肉措。切傷などが癒えて後皮膚の上

に新しい肉が隆起すること。

トオバウ 賭寶。目分量。概算。目算。此個是——

的。不是稱重的——之は目で見積つたので秤で量

つたのではない。

トオバク 賭目。【賭目色】。

トオバク 吐目。出目。

トオバク サイ 土木司。大工と左官。

トオバク シエク 賭目色。目分量。目子算。當競。

引引。我是——的。不知適適有若多——僕は目分量

で數へたのだから丁度いくら有るか知らない。

大家——互に當競をする。

トオバンゲ 兎望月。兎か月を眺める状をいふ。遊

戲の姿勢の名。

トオバア 度飽。口過する。糊口。

トオバア 土朝。土地の無頼漢。

トオバアラウ 土吧咭。田夫野人。無作法者。

トオパウ 土包。土袋。土を包んだもの。

トオパヌ 寶瓶。【獨瓶】の①。

トオパヌジヌタウ 土板仁豆。【關刀豆】。

トオパン 堵枋。板壁等を作る板。

トオ

トオバン 土蜂。(動)土蜂。穴蜂。

トオバン 土棒。(左官の用ひるもの)鋸板。

トオビイ 蠹魚。(動)箔蠹。紙魚。

トオビイ 門魚。【門魚】。

トオビイザウ 兎耳草。(種)たいわんぢわうぎく。(菊

科、莖・葉を煎服し腫毒を下し腫物を未然に防ぐ)。

トオビウ 土香。(種)濱菅。香附子。(莎草科、根莖を

乾燥し細切して煎服すれば腹痛・感冒其他婦人病

トオビウツ 土穴。土穴。【を治す】。

トオビエヌ 妬賢。他人の優越なるを妬む。悋氣。燒

トオビエン 徒刑。徒刑。

トオビヒヌ 妬恨。(源)【妬恨】。

トオビイ 餘醜。(種)ときんいばら。ぼたんばら。(薔

薇科、觀賞用として栽培す)。

トオビイサムチエヌ 斗米三錢。(又)一斗の米が三

錢で買へる程豊年。豊年満作。

トオビエン 門猛。勇を競ふ。力競。勇猛を競ふ。

トオビツチウ 土蜜樹。(種)(大戟科)かんこもとき。

トオビヌ 土民。(又)土民。土人。

トオビヌ 土面。地面。地上。看——不可看人面

地面を見て人の顔を見るな、收護は當になるが

人の援助は當にならぬ。

トオビヌタウ 土饅頭。土饅頭。――没起酵土
で作った饅頭は膨れないといふ意にて愚者は教ふ
べからざる義。

トオビア 土坪。土の傾斜面。

トオビイ 杜鵑。【菫麻】。

トオビイ 都鄙。【文】都鄙。

トオビイ 土披。落花生を掘るときに用ひる籠。

トオビイイウ 杜鵑油。菫麻子の油。

トオビイチイ 杜鵑子。菫麻子。

トオファイ 多費。【多費】。「する。」

トオファイ 徒費。徒費。徒使。――心神し心神を徒費

トオファイ 土匪。土匪。匪徒。――安静し土匪が定ま

る。――一定し同上。――發水し土匪が起る。

トオファイ 吐血。吐血。血を吐く。――跡形も無い嘘

をいふ。丸で嘘をいふ。你亦――能得出来し

よくも君は跡形も無いことが言へるものだ。――失

敗した時などの數聲。仕様がないなあ。しまった

なあ。困ったなあ。今都――さあしました。

トオファイチアウ 吐血鳥。(動) 時鳥。子規。杜鵑。

トオファイトオトヲ 吐血吐染。【吐血】の③。

トオフウ 到府。(衆) 【到府】。

トオフツ 土核。小さな土塊。土塊。

トオフヌ 妬恨。嫉む。妬む。

トオフヌ 土煙。(嘉義) 【山煙草】。
トオフヌ 土粉。土埃。塵埃。土烟。――關關揚
埃がばつばつとたつ。

トオフヲヌ 妬恨。(衆) 【妬恨】。

トオブウ 吐霧。霧を吐く。霧を出す。

トオブウ 土母。【鴨母樹】。

トオブヌ 土蚧。(衆)(動) 蚧蚧。【金】。

トオブウ 土富。無教育で下品な金持。田舎大盡。成

トオブウ 土蛹。(動) 草鞋蟲。

トオブウアア 土蛹仔。前に同じ。

トオブツ 土佛。土佛。土人形。

トオブツアア 土佛仔。前に同じ。

トオブヌ 土糞。糞土。土糞。

トオブヌツイ 土糞堆。塵溜。塵溜。

トオヘエ 吐火。噴火。

トオヘエ 吐笑。(衆) 吐笑。

トオヘエシツ 度伙食。糊口。生活する。

トオベエ 杜賣。(衆) 【杜賣】。

トオベエ 土鹽。泥。泥土。

トオベエチウ 土鹽漿。壁土。泥。

トオベエツイ 土鹽水。泥水。

トオベエ 土扒。(同) 蟻姑の一種。

トオベエ 土帕。春。輕籠。春。

トオベエ 土皮。●耕作に用ひる地表。表面の土。――
一起三尺し地表が三尺上る。大變な事になる。
大問題になる。●阿片丸の皮。

トオベエ 土埧。土塊。土塊。

トオベエアア 土扒仔。【土扒】。

トオベエアア 土埧仔。【土埧】。

トオベエタウ 土皮頭。耕した畠の土塊。

トオベエツヌ 土扒船。浚渫船。

トオホア 土鑽。圓匙の如きもの、土工に用ふ。

トオホア 土岸。土手。小堤防。

トオホアヌ 土番。●土番。原民。●【正番鴨】の雄と
普通の鶯の雌の雜種鶯。

トオホアヌアア 土番鴨。【土番】の②。

トオホエ 都會。(國) 都會。

トオホエ 吐花。花が咲く。

トオホエ 吐血。(衆) 【吐血】。

トオホエ屠戸。屠獸者。牛豚などを屠殺することを
業とする者。

トオホヲ 土號。俗名。俗稱。

トオホヲ 兎毫。筆先に用ひる兎の毛。

トオホク 多福。(衆) 【多福】。

トオホク 土夜。からすばさんきらい。(百合科、根塊
を細切し煎服して糖尿病・淋病を治し、強壯劑とな

トオ

トオ

トオ

ト オ

す。

トオホク、リエン 土茯苓。(種)たいわんたちしほで。
(百合科、根を解毒、健胃、強壯劑等に用ふ)。

トオホン 堵方。横物。横額。横軸。

トオボエ 杜賣。杜は杜絶の意、不動産など少しの關係も残りも無く賣る。根切り賣り拂ふ。

トオボエジ 杜賣字。賣渡證。根切賣渡證。

トオボエチヌクヌクイチウジ 杜賣盡根歸就字。共有又は祖先一人の所有なりしを其共有者各自又は其子孫に分割したるものを後に至り一人に賣却し若くは共有者中他の一人の持分を他の一人に賣却する場合に作る證書。

トオボエチヌクヌクサヌコエジ 杜賣盡根田契字。田地根切賣渡證書。

トオボエチヌクヌクソアテエコエジ 杜賣盡根山宅契字。山・宅地根切賣渡證書。「證」。

トオボエホンスイジ 杜賣風水字。墓地賣渡トオボエ 圖謀。企謀る。策略をめぐらす。悪企をする。——人的業の人の財産を横領せんと謀

トオボク 土木。(圖) 土木。

トオボクコソ 土木課。(圖) 土木課。

トオボクソア 土木惣。崇神。木を伐り或は墓、家などを作り修繕するとき崇をなす神。

ト オ

トオボア 肚盤。臍と陰部の間。

トオボアヌハア 土半夏。(種)りうきうはんげ。(天南星科、地下莖は毒蛇狂犬の咬傷を治す)。

トオボエ 土貝。(動) 大蜆。

トオボエ 土貝。(動) 泥貝。——不是三牲材 泥貝は「三牲」(牛、豚、羊、或は雞、鶩、豚)の材でない、才幹智能の足らざるをいふ。

トオボエ 土皮。(源) 土皮。

トオボエ 土塙。(源) 土塙。

トオボオ 徒歩。(圖) 徒歩。——旅行 徒歩旅行。

トオボラ 土婆。(動) 章魚の類。起——浪が起る。大波を起す。

トオポライエン 土婆湧。川口などにて風と潮と激して起る波。大浪。

トオボク 賭博。(圖) 賭博。

トオボオ 土皮。(泉) 土皮。

トオボオ 土塙。(泉) 土塙。

トオミア 賭命。命掛。「名」字。

トオミア 土名。(俗名) 俗稱。通稱。通名。土

トオム 土蓄。土の塊。土塊。土塊。

トオム 兎毛。兎毛。

トオム 土門。上土門。塙門。

トオム 土門。土門樓。櫓などのある塙門。上土門。

ト オ

トオモオビツ 兎毛筆。兎の毛で造った筆。

トオライ 肚内。腹の中。御中。腹中。——空虚 腹の中は空。無學。——反背 腹の中の工合が悪い。胸悪く吐かんとするなど。——瀧没 翻車 頑固で融通がきかぬなど。

トオライ 吐落。吐下。吐瀉。嘔吐。

トオライ 土壁の門樓。

トオライ 土力。無鐵砲な力。馬鹿力。

トオラム 土桶。(種) 二にしくすもどき。

トオラン 土人。無仕附な人。無作法者。粗野で下品な者。

トオラン 土鑿。土臼。臼。

トオラン 土臼。無換耳。土臼は耳を換へない。獨息子は掛替がない。

トオラン オオ 土鑿壺。靱挽臼の靱を入れる所。

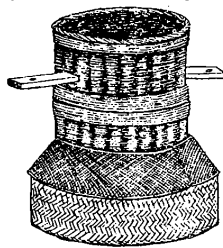
トオラン カア 土鑿脚。靱挽臼の臺にて十字形のもの。

トオラン カウ 土鑿鉤。靱挽臼の耳に引掛けて其臼を引廻はす木の手。

トオラン カウチアウ 土鑿鉤鳥。(動) 鳴の一種。

トオラン キイ 土鑿齒。靱挽臼の目。

トオラン キエン 土鑿間。農夫より靱を買集め玄米



土 鑿

トウ ウイ 桌帷。卓の前面に垂れる縫取のある布帛。祭などの時に用ひる。【桌裙】。

トウ ウウ 多于。(姓) 多于。

トウ ウヌ 倒運。不運。死運。惡運。

トウ エエ 刀厄。劍難。刀難。

トウ エエ 套鞋。(通) 【套鞋】。

トウ エエ ニア 套的領。上襟。

トウ ヲエ 套鞋。(通) 【套鞋】。

トウ ヲエ 套鞋。靴の恰好を拵へる。靴の型を作る。

トウ カア 刀子。(通) 小刀。

トウ カア 逃監。脱監。牢破。破獄。

トウ カア 倒脚。左足。左足。——正脚||左右の足。

トウ カア 桌脚。●卓の足。卓の足。●卓の下。卓の

トウ カア 道家。道家。道家。【下】。

トウ カア キア 討脚行。利益も無いのに空しく歩く。徒足。歩く丈損だ。

トウ カア キツ ロオキア 討脚乞路行。前に同じ。

トウ カア ツツ 到家齋。【帶家】。

トウ カア ポオ 套脚步。歩調を合せる。芝居など足の運びを下稽古する。

トウ カア ラウ 倒絞流。打返す波。

トウ カイ フイ 多開費。費用を餘計に使ふ。俵你——汝に物入を掛ける。物を貰ったり馳走にな

トウ カウ 道教。道教。【をいふ】。

トウ カウ 倒倒。——正倒||色と當擦をいふ。面當

トウ カウ キイ 倒鈎鋸。(通) 【倒鈎鋸】。【尖端】。

トウ カウ キイ 倒鈎齒。鈎針のもどり。鈎形になった

トウ カウ キエン 套口供。證人など口供を言合せる。陳述を謀合せる。

トウ カウ ギイ 倒鈎齒。【倒鈎齒】。

トウ カウ クウ 倒鈎鋸。●木挽が二人して用ひる大鋸で中央部から齒が反對についてゐる。●【倒

トウ カウ クウ アア 倒鈎鋸仔。前に同じ。【鈎齒】。

トウ カウ クウ アア 倒鈎鋸仔。前に同じ。【鈎齒】。

トウ カウ クウ アア 倒鈎鋸仔。前に同じ。【鈎齒】。

トウ カウ バク 倒鈎目。網の刺方の名。

トウ カウ カク 刀壳。(通) 刀の鞘。

トウ カウ タウ 討拳頭。質を請出す。質を受ける。

トウ カム 桌箒。次に同じ。

トウ カム 桌蓋。深い篩の形した網代張の簾。卓に置き食物などを蓋ふ。

トウ カム アム 倒蓋庵。川岸の崖が廂の如くに突出し其下が洞の如くになった所。

トウ ガア 刀仔。(通) 小刀。

トウ ガア 何仔。(通) 何處。何處。

トウ ガヌ 多言。(通) 【多言】。

トウ キア 倒鏡。銅の圓い鏡を寺廟の檐の上に立て邪鬼を拂ふもの。

トウ キア 倒行。後展。後退。

トウ キア 倒整。逆立。——騰||鯨立。

トウ キアルウ 倒騎驢。——不看畜生面||驢馬に後向に騎つて畜生の面を見ず、厭はしき事などに關係せざるをいふ。

トウ キアウキアウ 倒曲曲。倒れてしまふ。

トウ キアム 刀劍。打物。刀劍。

トウ キイ 倒棋。負將棋。負碁。

トウ キイ 桌境。卓の縁。卓の縁。

トウ キイ 倒去。退出。歸つて行く。——厝裡||歸宅。

トウ キイ 逃去。逃去。——匿||逃隠れる。

トウ キイ ライ 淘起。井戸の砂などを浚出す。砂

トウ キイ リヌ 倒麒麟。【倒地蜈蚣】。

トウ キウ 倒縮。退縮。辟易。引込む。逡巡する。後退る。尻込する。

トウ キウ 陶邱。(姓) 陶邱。

トウ キエク 倒激。水を堰止めて逆流せしめる。

トウ キエク 套曲。歌を下稽古する。

トウ キエン 刀壺。刀背。刀の峯。刀のむね。

トウ キエン 桌匡。卓の飾として特につけた縁。

トウ

トウ

トウ

トヲ

トヲ キエン 鑿鑿。樂器の一種。

トヲ キエン 套供。審問又は開陳に對する口供を牒合せる。陳述を申合せる。

トヲ キヲ 刀橋。道士などが術を行ふに用ひる刀を並べた橋。過——道士などが同上の上を歩行す。

トヲ キヌ 桌巾。(漢)【桌巾】。

トヲ ギアウ 倒機。人が生返る。

トヲ キヌ 道巾。(漢)【道巾】。

トヲ ギイ 多疑。疑深い。多疑。

トヲ ギイ 道義。(文) 道義。徳義。

トヲ ギイ 討議。(文) 討議。

トヲ ギイ 套語。(漢)【套語】。

トヲ ギイ 妥議。打合をする。熟議する。

トヲ ギイ 多言。多辯。多言。饒舌。

トヲ クイ 桌櫃。翻音閉になつた抽斗附の卓。——仔

トヲ クイ アア 桌櫃仔。前に同じ。換——同上

トヲ クウ 刀鋸。地獄の處刑場で使ふといふ大鋸。

トヲ クウ テエ ガク 刀鋸地獄。地獄の處刑場の一。

トヲ クヌ 桌巾。●布巾。●卓掛。

トヲ クヌ 桌鏡。(臺北)(動) 鏡。

トヲ クヌ 桌楯。【桌帷】。

トヲ

トヲ クヌ 道巾。道士の被る頭巾。

トヲ クヌ 套拳。拳術を練習する。

トヲ クン 刀綱。刀の綱。

トヲ グウ 套語。極文句。常套語。紋切形。

トヲ ケエ 刀架。刀掛。

トヲ ケエ 刀枷。【鏡仔枷】。

トヲ ケエ 倒價。問屋から小賣店などに對する相場の通知。行口——來即知影價數——問屋から相場

トヲ ケエ 駄架。荷鞍。

トヲ ケエ 道家。(漢)【道家】。

トヲ ケエ ヒア 討契兒。(漢)【討契兒】。

トヲ ケエ ヒア 討客兒。情夫を拵へる。

トヲ ゲエ 逃月。月經不順若くは月經の滯ること。

トヲ コア 多寡。(文) 多少。幾程か。若干。多寡。

トヲ コアイ 桌杆。卓の脚から脚に渡した横木。

トヲ コアイ 刀環。鐙。

トヲ コエ ヒア 討契兒。情夫を拵へる。男を拵へる。

トヲ コオ 道姑。【三姑六婆】の一。道教の尼。菜食教の女。

トヲ コオ 刀梳。櫛の周圍より多くの刀を突刺し双が内部に突出してゐる物、輕業師の用ひる具。過——同上を滑る。

トヲ

トヲ コヲ 倒戈。漢字の戈偏。

トヲ コン 道光。(清朝の年號)道光。

トヲ コン ロヲ 討功勞。褒賞を要求する。

トヲ ゴアツ 桃月。三月の別名。

トヲ ゴオシウ 倒五秀。【五秀】を作る。

トヲ サア 套衫。死人に着せる着物數枚を先づ【孝男】が着て着揃へた後之を死人に着せること。

トヲ サイ 套獅。獅子舞をする時の下稽古。

トヲ サウ 卓掃。食卓の掃、食卓の物を皆食ふ如きも。

トヲ サヌ 倒産。(國) 倒産。「のを冷笑していふ。」

トヲ サイ オン リウ 倒挿楊柳。柳を逆に挿す。騙の意。柳も逆に挿せば枝も葉も無くなり【棍】即ち棒になる。【棍】は又詐欺師などの意あるより斯くいふ。

トヲ サア ボオ 討査某。女員をする。女を拵へる。

トヲ サイ 多才。多才。才智の多い。

トヲ サイ 倒擣。逆立。倒。——落去——眞倒に落ち

トヲ サイ 桌菜。宴會の馳走。

トヲ サイ 淘菜。菜を煮る前に悪い葉を除く。野菜を

トヲ サイツン 倒在床。煩ふ。床に在る。寢床に横はる。

トヲ サウ 逃走。逃亡する。逃走する。逃走する。逃

トヲ サヌ 討電。四手網で魚をとる。手網で魚を取る。

トヲ シア 多謝。物を貰った時などの挨拶の語。難有う。難有い。忝ない。多謝。――多謝。難有う存じます。説――禮をいふ。

トヲ シア 刀聲。太刀音。刀の音。

トヲ シアウ 多少。幾らか。多少。何程か。多寡。――仔。多少。幾らか。――少年亡。不見白頭死。多少の少年は亡くなるが白頭の人の死したるを見ず、世間は老人よりは若い人が存外多く死ぬといふ意。

トヲ シアウ 倒賤。①貸倒れ。②貸を倒す。勘定を倒掛取。

トヲ シアウ 討賤。勘定を取立てる。掛金を催促する。

トヲ シアウ リエ 倒少年。却って若くなる。若返る。

トヲ シアム 逃閃。逃隠れる。逃退く。避ける。――的所在。逃場。逃處。

トヲ シアン ヒア 倒揀向。仰反る。仰様に倒れる。

トヲ シイ 逃生。――的路。逃路。――無逃死。生きんとて逃げるが死なうとて逃げる者はない。

トヲ シイ 討死。悪事などして死を招く。自ら死を求めぬ。

トヲ シイミア 逃性命。命から逃げる。

トヲ シウ 刀鞘。刀の鞘。【刀鞘】。

トヲ シウ 倒想。考へ直す。翻って考へる。

トヲ シウ 討讐。仇討。復讐。敵討。仇をかへす。敵を打つ。「をねだる。」

トヲ シウ 討堂。車夫。轎夫などが追銭を求めぬ。酒手トヲ シウチア シウ 倒想 正想。思廻す。思廻す。智慧を廻す。彼を思ひ之を思ひする。「求める。」

トヲ シエン 逃生。生きんがために逃走する。活路をトヲ シエン リイ 洵生理。商賣を見習ふ。

トヲ シホク 套俗。(意)【靠俗】。

トヲ シオン 刀傷。刀傷。刀傷。金創。切痕。

トヲ シオン サウ 刀傷草。(意) あつばみがな。(菊科、全草を豚・酒と共に煎服すれば血行をよくし打傷トヲ シヲ 刀鞘。(意)【刀鞘】。「を治す」。

トヲ シヲ ハイ 討小海。港内で漁する。

トヲ シヌ カウ 多神教。(意) 多神教。「起させる。」

トヲ シム 盗心。盗心。貧窮起――貧窮は盗心をトヲ シム 道心。道心。――堅。道心堅固。

トヲ ジイ 鈍子。分銅。――「く。」

トヲ ジイ トオ 套字點。習字の時手本を下に敷いて書トヲ ジヌ 道人。(意) 道人。

トヲ ジヌ 桃仁。(意) (蔷薇科) たかさごいぬざくら。くろぼしいぬざくら。

トヲ ジヌ チェン 討人情。恩誼に對する謝禮を求めぬ。恩に著せる。

トヲ ジヌ ビエン 討人命。人命を賠償させる。身内の者が殺された時など賠償金を要求する。

トヲ ジア 逃入。逃込む。逃入る。

トヲ ジム 到任。着任。入府。

トヲ スイ ラ 倒垂蘭。【倒吊蓮】の①。

トヲ スウ 島嶼。(意) 島嶼。

トヲ スウ 多事。多事。多端。多用。――餘計な事に關係する。餘計な世話を焼く。

トヲ スウ 道書。道教の書。道書。

トヲ スウ 道士。道士。山伏。――家。道家。道家。

トヲ スウ パウ 道士袍。道士の着る禮服。

トヲ スッ 刀磨。切磨。

トヲ スッ 道術。道教の術。

トヲ モエ 逃債。負債を逃れる。借金の爲に逃亡する。

トヲ モエ 道差。道臺の下級警官。

トヲ モエ 討債。――貸金を催促する。貸を請求する。無駄なことをする。勿論ないことをする。贅澤で濫費する。

トヲ モエ キア 討債子。親の財産を浪費する不孝者。放蕩息子。

トヲ ソア 倒山。山中の樹木。獸類などの自然に枯れ又は死んだもの。――樹。枯木。――茸。死んだ鹿の袋角。

トヲ

トヲ

トヲ

来真倒に落ちて来る。

トヲキウシイ倒頭生。逆産。逆子。逆産。

トヲキウシエヌシイ桌頭先生。●字引。――

反看寛就知字引を引いて見れば分る。●【桌頭】の◎。

トヲキウジイ倒頭字。返り證文。打――返り

證文を書く。

トヲキウソア倒頭産。(病) 一旦月經閉止した者の

局部から出血する病氣。

トヲキウキヌ倒頭趁。損。損する。――五元

五圓損する。

トヲキウチイ倒頭擗。楔などを逆に打込む。反對

に催促する如きをいふ。

トヲキウチア倒頭定。逆手附。送――地主が

小作人を換へるとき舊曆八月十五日以前に於て

小作人に小作換の通知をなすと同時に其約束のし

るしとして二圓以上の手金を打つこと。

トヲキウチアウ倒頭吊。逆様に吊す。

トヲキウチイ倒頭甜。十二月甘蔗――十二

月の甘蔗は先の方が甘い、老後になって段段と樂

になるなどをいふ。

トヲキウチエン桌頭燈。机の上などに置く洋燈。

トヲ

トヲキウマイ倒頭槌。倒棒。用――打倒棒で

打つ、反問苦肉の策を廻らす。「へ蹴る。

トヲキウツ倒躓。後へ蹴る。用脚後訂――踵で後

トヲキヌ道壇。【司公壇】。

トヲキヌ倒趁。却つて儲かる。

トヲキヌ討趁。稼ぐ。一日食飽不――終日食

てばかりみて稼がない。

トヲキヌカブ倒坦蓋。俯に倒れる。俯になる。

トヲキヌキイ倒坦欹。横に倒れたる。――晒

横になつて寝る。

トヲキヌチウキイフイ刀鳴就見血。刀鳴れば則

ち血を見る、一旦處理に著手すれば直ちに其事

の解決するなど。

トヲキヌチヲ倒坦笑。仰様に倒れる。仰けになる。

トヲキヌチツ倒坦直。寢臺に横はる時など堅の方

向に横はる。

トヲキヌホアイ倒坦横。同上横の方向に横はる。

トヲキム多貪。多慾。貪慾。

トヲキア度食。流離うて口過をする。看牛――牛

飼をして口過をする。

トヲチア討食。求食。做難做鳥――做水牛落

屎――鶏や鳥の様にあさつて食つて水牛の様に下痢

トヲ

零すなど。「斗する。

トヲキアブヌタウ倒車糞斗。後覆。後の方へ翻筋

トヲチアウ駄鳥。(馳) 駄鳥。

トヲチアム刀尖。切先。劍先。

トヲチイ刀子。料理人。板場。板前。料理人。賄。

――真好板前がうまい。

トヲチイ鈍子。分銅。分銅。錘。

トヲチイ淘井。井戸替。井戸を漂る。井戸を浚へる。

トヲチイ討錢。●金を催促する。借金を取立てる。

共人――人に金の催促をする。●金を貰ふ。

共老父――父に金を貰ふ。「面倒な。

トヲチイチエツ多枝節。事件など込入る。入組む。

トヲチウ刀鎗。刀槍。武器。兵器。

トヲチウ倒手。左手。左の手。弓手。左。――關刀

――左利。――字――左文字。――旁――左。左邊。

トヲチウピエン倒手旁。左側。左。「をいふ。

トヲチエク盜賊。(を) 盜賊。盗人。

トヲチエク叨粟。糶を啄む。鴨――糶を啄く。

トヲチエツ討折。掛金貸金など割引して取立てる。

トヲチエヌ討戰。戰を挑む。戰を求める。

トヲチエン多情。多情。浮氣。

トヲチエン討情。【討人情】。

トヲ

トヲ/ワイ 倒梯。段梯子。作附の梯子。(運搬する梯子に對す)。

トヲ/ワイチイ 倒梯子。段梯子の段。

トヲ/ツヌ 刀鈍。刀が切れない。鈍。

トヲ/ツヌ 逃遁。遁逃する。逃げる。

トヲ/ツヌ 倒吞。汽車・臺車などが線路の遊線線へ入る。——俣別隻先過——同上して他の車を先に通過せしめる。

トヲ/ツヌクイ 倒吞氣。拳門家など息を吞込む。

トヲ/ツン 倒返。引返す。還る。戻る。歸還。——來——立戻る。——想——考直す。

トヲ/ツン 倒長。●却って長い。反對に長い。●反對に先方が利得する。俣伊——去——却って彼に利得された。

トヲ/ツン 倒撞。肘などで後に突く。使後訂——肘

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツン 倒糖。銕した砂糖を型に注込む。

トヲ/ツエ 倒僕。食老在——年をとって元氣がなくなる。

トヲ/ツエケエ 倒地債。(安價)破格の値段。めっちゃう

トヲ/ツエホエ 倒地貨。(●)【倒地貨】。

トヲ/ツエポオ 倒退歩。後退。後退。退る。退く。

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(倒地槍)。

トヲ/ツエア 刀帶。刀の下緒。

トヲ/ツエア 倒彈。跳反る。彈む。球——毬が彈む。

トヲ/ツエア 道壇。●道教の祭壇。●道士の居る處。

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

トヲ/ツエア 倒涙。却って振が戻る。索仔——繩の結

るもの、乾燥せる莖・根を水にて煎服し、諸癩癩を治し、解熱劑とし、小兒食慾不振を助け、血行をよくし、結核に効あり。(蜈蚣草)の⑤。

トヲ/ツエケエ 倒地債。破格の値段。捨賣の價。めち

トヲ/ツエケエ 倒地債。破格の値段。捨賣の價。めち

トヲ/ツエケエ 倒地債。破格の値段。捨賣の價。めち

トヲ/ツエヘエ 倒地貨。破格に安い品。非常に安い品

トヲ/ツエホア 倒地貨。(●)前に同じ。

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ/ツエリエン 倒地槍。(●)ふうせんかづら。(無患

トヲ

トヲ 套套。●可も無し不可も無し。まあまあ好

加減なもの。學問——學問がまあまあ何うやら斯うやら出来る。價數——値段が安くも無く高くも無い。山路——山路が餘り險しく無い。生理——商賣がまあまあ手一杯。●【套】の(三)(四)(五)。

トヲ 愚愚。(三)【愚愚】。

トヲ トン妥當。穩當。適當。信が置ける。確實。手堅い。確か。安全。大丈夫。手丈夫。——人——確とした人。

トヲ ニア刀崎。鏡。

トヲ ニイ刀蓮。【水刀蓮】。

トヲ ニイアア刀蓮仔。【水刀蓮】。

トヲ ハイ倒海。海を倒様にする。移山——山を移し海を顛覆する。

トヲ ハイ討海。海を漁る。漁磯。漁る。漁とる。三日——四日曝網——三日漁に出て四日網を乾す、儲けることの少い意。

トヲ ハイタイチオン倒海大将。【三十六將】の一にて虎に乗り海水を傾くる状をなす。

トヲ ハイツヌ討海船。漁船。漁舟。

トヲ ハイラン討海人。漁人。漁夫。登人。海人。

トヲ ハクチア道學者。(一)道學者。

トヲ

トヲ ハエ盗汗。(又)盗汗。寝汗。

トヲ ハケイ倒哈齒。【倒哈齒】。「い。」

トヲ バア刀肉。刀の身。刀身。刃。——厚——刃が厚

トヲ バアソア倒肉山。肉の山が倒れると云ふ義にて名望家。財産家などが死亡した時は馳走が食へるといふ意。

トヲ ガア倒抛。後の方へ翻筋斗する。——獅——同上。——車輪——同上。——輪斗——同上。「合せる。」

トヲ ガイラン套歹人。悪人とするになる。悪人と牒

トヲ バウ套袍。官人の着る大禮服。

トヲ パウライ倒包來。背後より包圍する。

トヲ パヌ刀板。刀の面。用——打——刀を横にして打つ。用——拵——同上。

トヲ パン倒房。家名が絶える。一家斷絶。支族が絶える。絶家。

トヲ ヒア倒向。後の方に反返る。

トヲ ヒアア妥協。(一)妥協。

トヲ ヒイ刀魚。【獅刀】。

トヲ ヒイ討魚。漁。漁る。漁磯。

トヲ ヒイ套戲。芝居の下稽古。下馴。

トヲ ヒイアン討魚翁。漁夫。漁翁。

トヲ ヒイツヌ討魚船。漁船。漁舟。

トヲ ヒイボラ討魚婆。海女。

トヲ

トヲ ヒオンチエヌ倒向夫。仰反る。仰く。天上を向

トヲ ヒヨサオオ桃葉珊瑚。【極】。「く。」

トヲ ヒア倒翁。逆振を食せる。反對にやりこめる。

トヲ ビイ討米。米を求める。米代を儲ける。随人——随人落鼎——各人は各個で米を求めて各自釜で煮る、各人獨立の意。

トヲ ビク套謀。(三)【套謀】。

トヲ ビヌ倒面。裏。裏面。裏面。——不是正面——裏面であつて表面ではない。

トヲ ビヌ桌面。卓の表。卓の上。机上。

トヲ ビア逃僻。逃隠れる。逃れる。逃れ避る。一時トヲ ビア刀餅。【刀板】。「避難する。」

トヲ ビア倒平。勝負事などの損失又は負を取戻す。

トヲ ビイ刀柄。柄。刀の柄。

トヲ ビイ桌邊。机邊。卓邊。

トヲ ビイ逃避。逃隠れる。逃れる。逃退く。避ける。

トヲ ビイ倒平。【倒平】。

トヲ ビイ討平。打返す。取返す。返報。仕返す。此次着共伊——即能使得——今度は仕返をしなればならぬ。——十元返來——十圓取戻して来る。

トヲ ビエヌ套便。(一)豫め示合をする。下馴をする。

トヲ ビエン刀兵。兵火。鐵火。戰爭。——水火劫——

トヲ

トヲ ポオ 桌布。 布巾。 雑巾。 巾。 巾。 同上。

トヲ ポオ 道袍。 【司公】などの着る長衣の一種。

トヲ ポオ キエン 倒鋪間。 阿片吸食所。 「斬手。

トヲ ポオ シウ 刀斧手。 首斬役。 大刀取。 處刑者。

トヲ ポオ 討保。 保證を求める。 證明を求める。

トヲ ポク 倒駭。 反駭。 逆振。

トヲ ミア 逃命。 命からがら逃げる。 亡命。 逃れる。

トヲ ミア 討命。 怨靈などが命を求める。 取附く。

トヲ ミイ 刀錠。 怨靈が取附く。

トヲ ミイ 刀錠。 刀の双。

トヲ ミイ 倒錠。 双が捲れる。 捲れた双。

トヲ ライ 刀利。 刀が切れる。 一不驚你狗頭大

トヲ ライ 到來。 歸って来る。 歸る。 一去歸らうぢ

トヲ ライ 討來。 請求して取って来る。 貰って来る。

トヲ ラヌ 逃難。 避難。 避害。

トヲ ラヌ 盜難。 盗難。

トヲ ラヌ チアア 討生接鼻。 陽物を求めて鼻に

トヲ ラム チエツ トラクウ 多男則多懼。 (又) 男の

子が多ければ心配事が多い。

トヲ

トヲ ラム トア チエツ 倒浦大燭。 蠟燭の蠟を倒に流

す。(房事に関する語) 茶臼。

トヲ ラン 套人。 人と共謀する。 人と謀合せる。 一

打伊 豫め謀合せて彼を殺らせる。

トヲ リア 討掠。 漁獵。 去海裡 一海にいつ

て漁をする。

トヲ リア ウ 倒了。 却って損する。

トヲ リア ア 倒擗。 却ってへこたれる。 へたばる。 縮上

トヲ リイ 倒裂。 一反對に裂ける。 逆に破れる。 一却

て損する。 却って困る。

トヲ リイ 道理。 道理。 理窟。 理合。 條理。 筋道。

トヲ リイ 套裏。 裏をつける。 一的裏付。 裏付。

トヲ リイ 桃李。 桃と李。 桃李。

トヲ リイ ゴア 道理外。 道理の外。 理が無い。 道理が

ない。 道理外。 講一一的話 道理外のことを

いふ。

トヲ リイ リイ 倒離離。 すっかり倒れる。 ぴしゃんこ

に倒れる。

トヲ リエヌ 多年。 (又) 積年。 多年。

トヲ リエン 倒龍。 寺廟の屋上に在る裝飾の龍にて

城の鯨の如し、多くは磁器の破片を以て作る。

トヲ

トヲ リ オク 箱略。(又) 箱略。

トヲ リ オン シオク ビエツ スウ チエツ 稻梁菽麥黍

稷。 稻・梁・菽・麥・黍・稷の六穀。

トヲ リ ム シヌ 倒臨身。 事件など却って自分の身にか

らまってくる。 却って受身になる。 「込する。

トヲ ル ヌ 倒喙。 頭を後に引く。 引込める。 後退。 後

トヲ ル ヌ 討論。 (又) 討論。

トヲ レ エ 倒衰。 稱仔 一秤が下向になる。 掛目が

トヲ ロ オ 刀路。 肉や菜の切方。 一好 庖丁が上手。

トヲ ロ オ 道路。 (又) 道路。

トヲ ロ オ 倒倒。 (又) 倒倒。

トヲ ロ ヲ 何落。 何處。 何處。 何方。 何方。 何

トヲ ロ ヲ 倒落。 倒る。 倒れる。 顛倒。 轉げる。 轉

がる。 一去 倒れる。 一病氣で床に就く。 一死

ぬ。 早起就 一今朝死亡した。

トヲ ロ ヲ 倒倒。 (又) 倒倒。

トヲ ロ ヲ 逃逃。 (又) 逃逃。

トヲ ロ ヲ 駝駝。 (又) 駝駝。

トヲ ロ ヲ 淘淘。 (又) 淘淘。

トヲ ロ ヲ 拘拘。 (又) 拘拘。

トヲ ロ ヲ 燃燃。 (又) 燃燃。

トヲ ロ ヲ 叨叨。 (又) 叨叨。

トヲ/ ロヲ/ 討討。【討討】。

トヲ/ ロヲ/ 套套。【套套】の②。

トヲ/ ロヲ/ ニイ 哆囉咩。羅紗の一種。

トク

トク 督。(姓) 督。督する。取締る。監督。宰領。指揮する。指圖する。一工職工を取締る。一陣頭行列を監督する。一在創監視の下にしてゐる。

トク 醋。他の無智に附込んで騙取る。絞取る。能被人去人に爲て遣られる。一人便宜に酷く値切倒す。寛寛仔一ゆっくりと絞取る。除除に騙取る。一人的賭一いんちき賭博で金を捲上げ取る。

トク 啄。叩切る。叩く。一肉肉を叩切る。一做肉醬一肉を寸寸に叩切る。一石頭子仔一石を切つて遊事用ひる小石をつくる。

トク 啄。(玉など) 啄む。磨く。彫る。玉不不成器天狗鼻。

トク 鏗。(姓) 鏗。

トク 毒。(姓) 毒。毒。中一中毒。一氣一毒氣。以一攻一毒を以て毒を制す。較一死蛇一死んだ蛇より毒が烈しい。一惡辣。陰險。毒毒しい。一手一惡辣な手。一行一陰險。心肝眞一。心が毒毒しい。腹黒い。最一婦人心一最も陰險なのは婦人の心だ。一手足も出ない様に手段を廻らして妨害する。一死死一妨害して手も足も出ぬ様にする。動きのとれぬ様にする。被保正一。下續牌領没出来一保正に妨害されて遂鑑札が下らなくなつてしまつた。

トク 獨。獨。單獨。一往一來一獨往獨來。獨立獨行。一身一獨身。單一。單獨。一鯨寡孤一。鯨寡孤獨。一單に……のみ。唯。一欠此項一單にこれのみ不足してゐる。一此間無堅國旗一この家だけ國旗を立てない。一我一個一唯僕一人。

トク 託。頼む。依頼する。委託する。拜一。同上。一律師一辯護士に依頼する。一人去買一人に頼んで買つて貰ふ。一託ける。事寄せる。一事故一事故に託ける。無推無一食到老橋一。託けないで辭退しなければ長生する。人に頼むときに言ふ。

トク 托。突穿る。穿くる。一嘴齒一齒を穿る。一虱一梳櫛を穿ける。齒一。瓜楊枝。虱籠一。虱籠一。突く。つつく。一枴子一杖を突く。一蚊一蚊一袋に粉をつつき詰めて蚊燻を作る。一口一の中のものを舌で押出す。一乳頭一乳首を舌で押出す。一出来不食一乳兒など口にあるものを出して食べない。

トク 讀。(又) 讀む。耕者耕一者一耕す者は耕し讀む者は讀む。百姓は百姓、讀書人は讀書人らしく各各其職分を守る意。一詩千首、不作自有一詩を讀むこと千首なれば作らざるも自然に出来

トク イウ 獨有。(又) 專有。獨有。

トク イエヌモエン 毒煙銃。有毒の砲彈を發射する

トク イイ 獨一。(又) 獨一。唯一。一「刻する。

トク イヌ 琢印。水晶など固き物に印を彫る。印を彫

トク イム 濁音。(國) 濁音。

トク カアヲ 啄膿腫。(同) 拄膿腫。

トク カグウ 獨角牛。(動) 犀。

トク カン 督工。仕事を取締る。監督する。

トク ガヌ 獨眼。(又) 獨眼。片目。一眼。

トク キア 託寄。送届などを頼む。托する。言付ける。一物件一品物を托する。

トク キイ 酷去。被伊——彼に爲て遣られた。彼に絞取られた。

トク キイ 毒氣。毒氣。

トク キイ 托齒。齒をほじる。

トク ギエヌ 託言。(又) 言葉を藉る。辭を設ける。

トク ギホク 琢玉。(又) 玉を琢む。玉を磨く。玉を彫る。

トク ギム 獨吟。(又) 獨吟。

トク クイ 酷貴。價を高くいつて騙す。被伊——彼に高く賣付けられる。

トク クウ 啄龜。【狂龜】。

トク クウ 獨居。(又) 獨居。

トク クヌ 督軍。武官の名。

トク ケエ 毒計。惡計。惡計。毒計。

トク コアイ シエヌ 托拐仙。杖を突いてゐる仙人。

【八仙】の中の李鐵拐。

トク コオ 獨孤。(又) 獨孤。

トク コオ 託孤。孤を託す。世話するもの無い子供を人に依頼する。——字||孤兒を託する證書。

トク サツ 毒殺。(又) 毒殺。

トク ザウ 毒草。毒草。

トク シイ 毒死。毒殺。毒死。

トク シイ 獨生。獨子。——的||同上。

トク シイ 讀書。(又) 【讀書】。

トク シイ 讀詩。(又) 詩を讀む。讀詩。——千首、不作自有||詩は千首も讀めば作らないでも自然に出来る。

トク シイ シイ 毒死。妨害して手も足も出ぬ様にする。動きのとれぬ様にする。

トク シウ 獨手。片手。一本の手。——揮刀||片手撃。

トク シツ 篤實。(又) 篤實。

トク シツ 拓殖。(又) 拓殖。

トク シヌ 篤信。(又) 篤信。

トク シヌ 獨身。(又) 獨身。

トク シム 毒心。毒心。悪心。害心。惡意。

トク ジイ アア 搦子仔。子供が遊に使ふ瓦片を錢の様な形にしたもの。

トク ジエヌ 卓然。(又) 卓然。

トク スイツン 獨睡床。一人寐の寢臺。一人のベッド。

トク スウ 託詞。事故に託ける。事に託する。口實にする。

トク スウ 讀書。(又) 讀書。本を讀む。——不成相命醫生||學問して成功しない者は人相見か醫者かになる。

トク スウ コオ 託事故。事故に託ける。事に託する。口實にする。

トク スウ 讀書。(又) 【讀書】。

トク セエ 獨生。(又) 【獨生】。

トク セエ タウ 託勢頭。勢を藉る。人の勢をたのむ。

トク アア 毒蛇。毒蛇。

トク フヲ 督造。船や橋などを造ることを取締る。監督する。——的人||造船の監督者。

トク フヲ 獨坐。(又) 獨坐。

トク タウ 托透。内密に注意を與へる。内内で知らせる。——俾人知||同上。

トク タン 毒蟲。毒蟲。毒蟲。

トク チア 讀者。(又) 讀者。

トク チアム 獨占。獨占。——鰲頭||首位を獨占する。

トク チイ 篤志。(又) 篤志。——家||篤志家。

トク チイ 毒箭。毒矢。

トク チウ 啄蛙。【啄蛙】。

トク チウ 毒酒。毒酒。

トク チウ 毒手。毒手。殘忍な手。兇惡な手段。下——危害を加へる。

トク チウ チアウ 啄樹鳥。(又) 啄木鳥。

トク チエク 督責。(又) 督責。

トク チオク 獨酌。(又) 獨酌。

トク チオク 督促。(又) 督促。

トク チオン 獨唱。(又) 獨唱。

トク チアン 託仗。(又) 【託仗】。

トグ チオン 託中。中介者に頼む。仲人に依頼する。

トグ チオン 託仗。依頼する。任せる。頼む。託する。

トグ 委託する。一銀の委託金。一物的物委託

トグ チツ 獨得。獨占。獨有。「物」。

トグ チヌ 督陣。軍隊を指揮する。軍隊を指圖する。

トグ ツイ 毒嘴。口が悪い。毒口。惡口。

トグ ツイキイ 托嘴齒。齒をほじる。一物的爪

トグ ツン 毒瘡。(前) 瘡毒。惡瘡。瘡。生一同上

トグ ツイ 督隊。軍隊を指揮する。

トグ トアヌ 獨斷。獨斷。專斷。獨斷。一獨行

トグ 專制。一決して。慥に斷じて。一無確かに

トグ 無。

トグ 篤篤。緊一非常に逼迫する。非常に緊

トグ 矮一(身長)甚だ低い。狭一甚だ狭

トグ 鹹一非常に辛い。非常に奇癢だ。硬一

トグ 非常に硬い。非常に強い。倦一甚だ疲

トグ 大變厭きる。

トグ 督督。【督】の③。

トグ 酷酷。【酷】の②。

トグ 採採。【採】の①。

トグ 啄啄。【啄】の①。一途に。専心。一意。

トグ 一等候。一途に待つてゐる。永く待つ。一理想

切な思。執念深い。

トグ 琢琢。【琢】の①。

トグ 獨獨。唯。獨。單に。一我而已

トグ 只我一人。一一個唯一人。一自己一己。

トグ 毒毒。【毒】の④。

トグ 託託。【託】の①。

トグ 托托。【托】の①。

トグ ニウ トヲ 督糧道。糧米運送の事を掌る官。

トグ バア 採肉。肉を叩く。

トグ バン 託夢。夢枕に立つ。夢の告。一出現

トグ 夢に現れる。

トグ パヌ 獨瓶。神佛の前に供へる花瓶の一種。

(種)にはひはながき。(柿樹科、花は芳香あるを以

て觀賞用として栽培せらる)。

トグ パヌ ホエ 獨瓶花。【獨瓶】の③。

トグ ヒエン 篤行。(又)篤行。

トグ ヒエン 獨行。(又)獨行。

トグ ヒエン 毒行。陰險な。臭心一腹黒で陰險

トグ ビエヌ 獨眠。(又)徒寢。獨寢。

トグ ビエヌ 採壁。一厘錢を壁に投付け其反動にて尤も

遠くへ轉がりし錢の主が第一番に壁に投付けし者

の錢に又投げ付けて打ち當つれば之を取得する

トグ ビエヌ 啄鼻。鈎鼻。天狗鼻。【勝負事】。

トグ ビツ アア 啄鼻仔。(動) 小鳥の名。きんばら。

トグ フィ 毒血。惡血。毒血。

トグ フウ 毒婦。毒婦。惡婆。惡女。

トグ ブウ 督撫。總督と巡撫。

トグ ブヌ 讀本。(國)讀本。

トグ ホアツ 獨活。(種) 獨活。たいわんししうど。

(繖形科、葉及び根を藥用に供す)。一うど。【土

トグ ホアツ 讀法。(又)讀法。【當歸】。

トグ ホエ 督會。基督教團體の會議の一種。

トグ ホエ 讀會。(國)讀會。

トグ ホオ 獨狐。(姓) 獨狐。

トグ ホツ 托福。(挨拶の詞) 御蔭で。御蔭様。一平

安。御蔭で無事です。

トグ ボク キヲ 獨木橋。(又)一本橋。丸木橋。

トグ ボク ツヌ 獨木船。(又)丸木舟。

トグ ボア 採破。打碎く。打毀す。打破る。叩毀す。

トグ ボア 托破。突いて破る。突破る。用拐仔一

一ステッキで突破る。一窃かに知らせる。魂膽

を知らせる。一俾人知一同上。

トグ ボアツ 拓跋。(姓) 拓跋。

トグ ボオ 毒歩。奸惡な手段。惡計。奸計。下一

トグ マア 獨馬。單騎。一騎。單騎一同上。

トン

トンザツ 洞察。(又) 洞察。「る役員。」

トンサヌ 通譚。孔子を祭る時其式場の順序を號令す

トンシアウ 洞簫。竪にして吹く笛の一種。洞簫。一

掛鬚眞撞擲洞簫に掛けた總は吹けば吹くほど振動く、外見だけで却って邪魔になる意。老猿噴一一年とった猿が洞簫を吹く、瘦せた人が横に臥て阿片を吸ふ。阿片吸食者を嘲つていふ。



トンシアウ シツ 通消息。●消息を知せる。●消息子(耳掃除の道具)で耳を掃除する。

トンシアウ チェク 通宵燭。上元の夜に通宵點火する蠟燭。

トンシアン 常傷。(漢) 【當傷】。

トンシアン 通常。(漢) 【通常】。

トンシアン 通詳。(漢) 【通詳】。

トンシイ 東西。(語原は官話の轉訛なるべし) (戲) 代物。下作一此の下郎め。此の奴め。壞一不届な代物。不届な奴。

トンシイ 當時。當時。其の時。其の頃。當年。

トンシイ 唐詩。唐詩。

トンシイ 通書。(漢) 【通書】。

トン

トンシイ コエ 通四界。何處もかも。何處も彼處も。

トンシイ コノエ 通四界。(漢) 前に同じ。

トンシウ 堂守。【鬪】の役割の一人。

トンシウ 通袖。左右の手を反對の袖口の中に入れること。【通袖】。

トンシエン 童生。【秀才】の試験を受くべく準備中の讀書人。一脚踏筆塞手童生の様な足、筆翰の様な手、華奢な手足にて勞働に適せざる意。

トンシエン 同姓。同姓。一不同宗同姓ではあるが餘り近い親類ではない。

トンシオン 當傷。他人が家を立てんとする時など己の方の方位に損害有りとして故障をいふ。家墓など方が角が差障有りとて故障をいふ。

トンシオン 通商。通商。貿易。交易。

トンシオン 通常。(國) 通常。

トンシオン 通詳。官廳の照會。通知。通達。通牒。

トンシヨ 子イ 堂小弟。再從弟。再從弟。

トンシヨ ベエ 堂小妹。再從妹。再從妹。

トンシヌ 童身。(新) 童貞。守一童貞を守る。

トンシヌ 通身。全身。體中。總身。滿身。五體。體

トンシヌ 通信。(國) 通信。

トンシヌ キオク 通信局。(國) 通信局。

トンシム 黨參。(漢) 朝鮮人參の如きもの。

トン

トンシム 同心。心を同じうする。心を合せる。協心。

同心。一協力同心協力。一合意同心

トンシム 動心。心を動かす。激情を起す。【合意】。

トンシム 痛心。痛心。心配。心痛。「ふ。」

トンシム フヌ 痛心恨。いたく恨む。非常に恨に思

トンシム フヲヌ 痛心恨。(漢) 前に同じ。

トンジエ 童兒。(又) 子供。兒童。童子。

トンジエ 當然。當然。一的事當然の事。

トンジエ 倘然。(又) 假に……の様な事が有るとすれば。一如此難免其責任假に左様だとすれば其責任を免難い。

トンジツ 冬日。(又) 冬日。

トンジツ 當日。(又) 當日。其の日。

トンジヌ 同人。(國) 同人。

トンジヌ 同仁。(又) 同仁。一視一視同仁。

トンジヌ シム 動人心。人の心を動かす。錢銀一

一金錢が同上。

トンジム ナイ サム スウ 當忍耐三思。(又) 忍耐に當つては三思せよ。

トンスイ 統嘴。【吐嘴】。

トンスウ 當事。事に當る。係。主管者。一者當

トンスウ 同事。同僚。

トンスウ 動詞。(國) 動詞。

トンスウ 通書。日月星辰の運行など記載した曆書。

トンスウ 通事。通事。通辯。

トンスウ 倘使。若し。若しも。縦へ。縦しや。縦しんば。——如此||若し斯の如くならば。「る。

トンスウ 統率。統率。——大兵||大軍を統率す

トンセエ 東西。東西。——南北||東西南北。

トンセエ 當世。當世。

トンセエ カイ 通世界。全世界。

トンセエ カヌ 通世間。世間中。舉世。

トンセエ シウ 東西廂。母家の東西にある二つの袖。

トンセエ ラムボク 東西南北。東西南北。

トシモエ 重冊。本を積重ねる。

トシソアヌ 當選。當選。

トシソオ 童叟。子供と老人。——無欺||商店の看板などの文句。老若欺くなし。

トシソソ 長爽。爽。——長衫。

トシマオ 當初。最初。初。

トシマヲ 當座。當座。——預金||當座預金。

トシマヲ 通座。小舟の底の横木。

トシマヲ 蓮草。蓮。つうさう。かみやつで。通脱木。

(五加科、髓を薄片として造花料に供し、或は葉書・名刺・短冊・色紙等を製す、又藥劑として利尿等に用ふ)。

トシマヲ シイ 蓮草絲。蓮草の心の細い切屑。

トシマヲ シム 蓮草心。蓮草の木の心。山吹の心或は灯心に似て、造花等に用ふ。

トシマヲ ア 蓮草紙。蓮草の心を横にして刀を當て回轉しながら紙の如く薄く剥いたもの、造花用に供し或は人形製造・書畫用紙・帽子裏等に用ひらる。

トシマヲ ホエ 蓮草花。蓮草で造つた花。

トシマカ 同族。同族。同家。

トシマゲ 動作。動作。

トシマツ 通族。一族全體。

トシマシ 同宗。同族。一族。

トシマシ 東床。人の娘の夫に對する敬稱。

トシマシ 同窓。同窓。同門。——朋友||同窓の友。

トシマシ ホエ 同窓會。同窓會。「校友」。

トシマウ 當倒。●差止める。食止める。防止める。妨げる。伊共我——彼が私を差止めた。●塞止まる。凝滞する。開熱次人——自動車没得過||祭典の時人が込合つて自動車を通れない。

トシマウ 當頭。商人など客に對する態度が甚だ無愛想な。——持持||同上。

トシマウ 當頭。持。右——長持がする。使出がある。無——長持しない。

トシマウ 通過。●流通する。通る。銀孔没——溝が通じない。●物の道理がよく分る。融通がきく。變通がある。腹内右——同上。

トシマウ 通透。●通する。開通する。火車尙未——汽車が未だ通じない。●内通する。裏切る。伊與伊——彼が彼と内通する。

トシマウ 統頭。●頭が突出る。楹仔——梁が突出る。●數の餘。十元——十圓を出る。

トシマウ 通達。●事理に通達する。●(又)通達。通知。特此——特に此に通達す。

トシマウ 東坦。人の娘の夫に對する敬稱。

トシマシ 通桶。不——物の道理の分らない。愚圖で融通のきかぬ。

トシマシ 當籤。當籤。

トシマシ 冬至。冬至。

トシマシ 同志。同志。同腹。同心。

トシマシ 當市。市の盛。盛んに捌ける。魚肉早起時較——魚や肉は朝が盛んに賣れる。此項較——この品はよく捌ける。——的所在||盛場。

トシマシ ベエ 堂姉妹。父の從兄弟の娘。再從姉妹。

トシマシ 桐樹。(種) (大戟科) 油桐。

トシ

トシ

トシ

ト
ン

ト< チエク 掌叔。父の従弟。叔父。

ト< チエク コン 掌叔公。祖父の従弟。従祖父。

ト< チエヌ 當千。(又) 當千。一騎——一騎當千。

ト< チエン 同情。(國) 同情。

ト< チエン 動靜。動靜。形勢。情況。様子。探——
|| 動靜を伺ふ。

ト< チエン 通稱。● 皆がいふ。總てのものが稱する。

ト< チオン 黨衆。徒黨。一揆。黨類。

ト< チヌ 蕩盡。(又) 蕩盡。

ト< チム ポラ 堂嬪婆。祖母の従妹。従祖母。

ト< チアウ 唐朝。唐朝。唐。

ト< チアウ イツピヌ 當朝一品。當朝の一品。宰相。

ト< チアウ テ 當住得。● 十分に阻止する。差止め。被入——人に阻止された。● 滞る。凝滞する。水——水が溜る。

ト< チアア 通牒。(國) 通牒。

ト< チアム 當恬。ブレーキなどをかけて止める。車着——車を止めよ。

ト
ン

ト< チイ 同知。(官名) 地方廳の長官。

ト< チイ 同治。(清朝の年號) 同治。——君——同治年間。の皇帝。同治帝。

ト< チイ 通知。報道。通じる。知らせ。——情形——様子を知せる。

ト< チイ 統治。(國) 統治。——權——統治權。

ト< チイ 創治。(皇) 創治。

ト< チイ エエ 通天。全世界。舉世。天下。

ト< チイ ザウ 同治草。(種) (菊科) しろばなのせんだ

ト< チウ 通帳。(國) 通帳。「んぐさ。

ト< チエツ 通徹。賢明。聰明。解の早い。

ト< チエヌ カウツウ 通天教主。道教の神。

ト< チエヌ コアヌ 通天冠。玉冠。

ト< チエヌ ハア 通天。全世界。一天下。滿天下。天下。

ト< チエヌ ヒアウ 通天鱗。何でも知ってゐる人。物識。活字引。

ト< チエヌ ホクテ 洞天福地。(多) 景色の好い所。

ト< チエヌ ホクテ 動天覆地。(多) 天を動し地を覆す。

ト< チオン 同中。(證書などの文句) 仲人と共に。即日——三面議定——即日當事者並に仲人と共に議定せり。

ト
ン

ト< チオン 冬蟲。藥の一種。次を見よ。

ト< チオン ハア マヲ 冬蟲夏草。(藥) とうちゅうかさう。(一種の菌が蟲の幼蟲に寄生して之より蠶を生じたるもの、即ち蠶を附着したる蟲體にして、強壯劑又は夜育の藥とす)。

ト< チヲ 撞着。突掛る。打當る。當る。

ト< チツ 當直。(國) 當直。

ト< チツ 堂姪。同姓一族の子孫。

ト< チツ チアウ 當得住。よく堪得る。我慢しきる。

ト< ツウ 當住。前に同じ。

ト< ツウ 童子。童子。子供。兒童。——披肩——子供の肩掛。——軍——ボーイスカウト。

ト< ツウ 瞳子。瞳子。瞳子。瞳子。——散——瞳子が開く。盲になる。

ト< ツウ シアウ 童子瘡。(種) 尿の鹽類過多症にして關節の痛む病。

ト< ツツ 統出。突出。出張。突出。

ト< ツン 同庄。同村。同郷。

ト< ツン 通庄。村中。全村。

ト< ツウ 東儲。(又) 太子。

ト< ツツ 唐突。(又) 唐突。● 思はくが外れる。齟齬する。行違になる。喧嘩になる。事情——去——事が行違になる。

トン

トン ヒアウ 通曉。(國) 通曉。
 トン ヒイ 撞擲。●種種なものがぶら下つてゐる。ぶらぶらする。洞簫掛鬚、眞一洞簫に附けた總がぶらぶらして煩い、外見だけで却つて邪魔になる意。●事が複雑で面倒な。事情眞一同上。
 トン ヒウ 同郷。同郷。
 トン ヒウリイ 同郷里。同郷。
 トン ヒエツ 同穴。(又) 同穴。同じ穴に葬る。借老一借老同穴。
 トン ヒエツ 洞穴。洞穴。洞穴。
 トン ヒエヌ 同視。(又) 同窓。
 トン ヒエン 同行。(又) 同行。三人一必有我師。三人同行すれば必ず我が師有り。
 トン ヒエン 通興。(種) 第一期作水稻梗の一品種。
 トン ヒエン 通行。●比しく行れる。流通する。通用する。一話通話。通話。一紙票流通紙幣。●通行。牛馬一禁止。牛馬友達から幾何かの金を融通する。
 トン ヒオン 東郷。(姓) 東郷。「通行禁止」
 トン ヒオン 同郷。同郷。一會同郷會。
 トン ヒオン 通融。融通する。對朋友一寡錢友達から幾何かの金を融通する。
 トン ビエン 同盟。會盟。同盟。敵血一血を啜つて同盟する。一罷工同罷工。

トン

トン ビエン コツ 同盟國。(國) 同盟國。
 トン ビラ 同謀。(衆) 同謀。
 トン ビラ 通謀。(衆) 通謀。
 トン ビイ 通篇。全篇。通篇。
 トン ビエヌ 通片。平一面。一籠是田一平一面の田。
 トン ビエン 同病。(又) 同病。一相憐一同病相憐
 トン ビエン 動兵。(又) 兵を動かす。「れむ」
 トン フウ 蕩婦。(又) 淫蕩な女。淫婦。
 トン フウ イイブウ 同父異母。同父異母。
 トン フウ ジヌ 唐夫人。「二十四孝」の一人。
 トン フヌ 痛恨。痛恨。酷く恨む。一在心一いたく恨んで心に思つてゐる。
 トン ブウ イイフウ 同母異父。同母異父。
 トン ブツ 動物。(國) 動物。
 トン ブツ ヲアヌ 動物園。(國) 動物園。
 トン ブヌ 東門。(姓) 東門。
 トン ブヌ 同文。(又) 同文。一同種一同文同種。
 トン プツ キイ 當不起。謙遜していふ詞。恐入ります。憚りさま。傷入ります。「受没起」の②。
 トン プツ ツウ 當不住。前に同じ。
 トン プツ ツウ 當不住。耐へられない。●止めても止まらない。二個在

トン

相打一二人で喧嘩をしてめて止めても止まない。
 トン プツ トン 動不動。ともすれば。動もすれば。一就要冤家一ともすれば喧嘩をする。
 トン ヘエ 動火。逆上を引起す。食甜能一甘いものを食べると逆上せる。
 トン ペエ 堂伯。父の従兄。
 トン ペエ 通弊。(國) 通弊。
 トン ペエ コン 堂伯公。祖父の従兄。
 トン ホア 同化。(國) 同化。
 トン ホア ホエ 同化會。同化會。
 トン ホアヌ 當番。(國) 當番。「長い旗」
 トン ホアヌ 幢幢。供養の時に用ひる旗。先の尖つた細
 トン ホアヌ 通番。外國と通謀する。
 トン ホエ 棟花。臺灣檳榔の花。
 トン ホエ 堂會。(基督教) 一箇若しくは數箇の教會が集合して教務に就て協議又は決議をなす機關。小會。
 トン ホオクイ 通戸櫃。店頭窓に平行してしつらへた袋戸棚の如きものにて其上には品物を並べ下には品物を入れるもの。狗仔眼一有福不知惜一犬が同上に寝てゐて尙不満足をいふ。足ることを知らざる意。

トシ ホヲ 通和。牒合せる。講一〇〇言合せる。

トシ ホン 東方。(西) 東方。

トシ ホン 冬防。(國) 冬防。一〇〇警戒一〇〇冬防警戒。

トシ ホン 堂皇。衣冠・建物などの立派な形容。生做

不止一〇〇姿が立派だ。群起了眞一〇〇家が

宏壯に出来てゐる。

トシ ホン 通風。風を通す。風通。風通。風入。此

間較一〇〇この家は風通がよい。

トシ ホン ホエ 同風會。同風會。

トシ ボエ キイ 當沒起。【受沒起】の。

トシ ボエ ゲエ 當沒詣。止めても止まらない。遮れな

い。妨げられない。阻止することが出来ない。

トシ ボエ モエ 當沒濟。前に同じ。

トシ ボエ チアウ 當沒住。●止めることが出来ない。

防ぎきれない。維持が出来ない。大水來石岸

弱一〇〇一〇〇洪水で石堤が弱いので防ぎきれぬ。

●堪難い。堪らない。じれったい。堪兼ねる。堪

へられない。堪へられない。氣到一〇〇一〇〇腹が

立つて堪らない。寒到一〇〇一〇〇寒くて堪へられな

トシ ボエ ツウ 當沒住。【當沒住】の。

トシ ボオ 同謀。馴合ふ。共謀する。ぐるになる。

トシ ボオ 通謀。通謀する。謀合せる。一〇〇造計一〇〇計

略をめぐらして陰謀を計る。

トシ ボヲ 通無。少しも無い。皆無。

トシ ボヲ クウ 當無久。永續がしない。永持しない。

トシ ボク 洞沫。(西) 洞沫。

トシ ポア 通盤。皆。總て。全體。すっかり。

トシ ポア 通判。官の名。通判。

トシ ボエ 同輩。同輩。

トシ ポエ 通批。文通する。書面を以て牒合せる。與

外國一〇〇一〇〇書面を以て外國と通謀する。

トシ ポヲ 通寶。通寶。

トシ ポヲ 通報。通知する。報せる。

トシ ポヲ チイ 通寶錢。通寶。

トシ ポヲ チイ バア 東坡猪肉。豚の肉を材料として

煮た料理。

トシ ポク 童僕。(文) 小僧。童僕。一〇〇勿用俊秀一〇〇

童僕は美男を用ふる勿れ、風儀上之を戒めたもの。

トシ ポン 同榜。舉人又は進士の試験に同時に及第せ

しこと。

トシ ポン 洞房。(文) 新婦の寢室。一〇〇花燭夜、金榜

掛名時一〇〇洞房花燭の夜と金榜に名を掛くる時、

嬉しい時は新婚の夜と試験に及第して名を掲げら

トシ メエ 動脈。(國) 動脈。

トシ メエ リウ 動脈瘤。(國) 動脈瘤。

トシ ライ トン キイ 撞來撞去。目的が無くて彼方に

行つたり此方に來たりする。

トシ ラム 童男。(文) 童男。一〇〇童女一〇〇童男童女。

トシ ラン 通人。總ての人。一統。皆。誰でも。一〇〇

亦知一〇〇誰も知つてゐる。

トシ リアウ 同僚。同僚。

トシ リイ 東閩。(西) 東閩。

トシ リイ 童女。(西) 童女。

トシ リウ 通流。水が疏通する。疏通。一〇〇灌溉一〇〇

水を疏通させて灌溉する。

トシ リエツ 同列。同列。

トシ リエヌ 當年。一〇〇適齡。男の盛。二十歳正一〇〇

一〇〇二十歳は男盛だ。一〇〇當年。其の頃。

トシ リエヌ 通連。手拭などにする麻織物の一種。

トシ リエン 統領。(五百人長の武官名) 統領。

トシ リオン 棟樑。(文) 棟樑。柱石。一〇〇的臣一〇〇

柱石の臣。一〇〇之才一〇〇棟樑之才。一〇〇役に立つ。

有要な。一〇〇的物一〇〇役に立つ物。衙門内伊第

一〇〇一〇〇役所の中で彼が一番有要な人物である。

トシ ルイ 黨類。徒黨。仲間。同類。一味。黨與。

トシ ルイ 同類。同じ類。同類。

トシ ルウ 童女。童女。

トシ ルウ 童女。(意) 前に同じ。

トシ ロオ 當路。(文) 當路。

トシ

トシ

トシ

ト牙

トシロクイ通路欄。【通戸欄】。
トシロン東東。【東東】。
トシロン當當。【當當】の㊦。
トシロン螳螂。【螳螂】の㊦。——當車 || 螳螂が車に當る、螳螂の斧。
トシロン撞撞。【撞撞】。
トシロン通通。【通通】の㊦。
トシロン統統。【統統】の㊦。
トシロン啄啄。【啄啄】。
トシロン重重。【重重】。

ト牙 ト牙

ト牙短。【短】。
ト牙戴。塊。隨。……【テエ戴。塊。隨。……】。
ト牙啄。在。得。……【テエ啄。在。得。……】。
ト牙代。袋。……【テエ代。袋。……】。
ト牙奪。【奪】。
ト牙胎。推。……【テエ胎。推。……】。
ト牙退。【退】。
ト牙替。【替】。
ト牙痠。【痠】。
ト牙□。【□】。
ト牙ウイ胎衣。【胎衣】。

ト牙

ト牙ウイ退位。【退位】。
ト牙ウヌ退隱。【退隱】。
ト牙ヲヲ推學。【推學】。
ト牙ヲヲ退學。【退學】。
ト牙カア退膠。【退膠】。
トヤカン短工。【短工】。
トヤキイ短期。【短期】。
トヤキイ奪枝。【奪枝】。
トヤキエン退耕。【退耕】。
トヤキオン袋恭。【袋恭】。
トヤクイ推開。【推開】。
トヤクイ退開。【退開】。
トヤクヲ奪去。【奪去】。
トヤクヲ退去。【退去】。
トヤゲエ退衝。【退衝】。
トヤコア短褂。【短褂】。
トヤコオ短襪。【短襪】。
トヤココ退股。【退股】。
トヤコオ短缺。【短缺】。
トヤサア短衫。【短衫】。
トヤサアトクシイ推三托四。【推三托四】。
トヤサイ袋屎。【袋屎】。
トヤサイ胎屎。【胎屎】。

ト牙

トヤサグ退揀。【退揀】。
トヤサウ退走。【退走】。
トヤシア塊聲。【塊聲】。
トヤシイ退時。【退時】。
トヤシウ退守。【退守】。
トヤシヌ退神。【退神】。
トヤジエツ退熱。【退熱】。
トヤスヌ退樺。【退樺】。
トヤスウ推辭。【推辭】。
トヤソソ隨踰。【隨踰】。
トヤソソ短行。【短行】。
トヤクウフヌ退頭婚。【退頭婚】。
トヤタン短冬。【短冬】。
トヤタン短桶。【短桶】。
トヤタン退童。【退童】。
トヤタンコオ退童鼓。【退童鼓】。
トヤタントヤサイ推東推西。【推東推西】。
トヤチアウコオ啄鳥卦。【啄鳥卦】。
トヤチイクヌ短舌根。【短舌根】。
トヤチウ短章。【短章】。
トヤチウ啄蛙。【啄蛙】。
トヤチウ退酒。【退酒】。
トヤチツ退職。【退職】。

トオ

トオチア退皇。(息)【退皇】。
 トオチア退廳。(息)【退廳】。
 トオチウ退場。(息)【退場】。
 トオチエヌ退殿。(息)【退殿】。
 トオチエヌ退佃。(息)【退佃】。
 トオチヌ退陣。(息)【退陣】。
 トオツイ胎水。(息)【胎水】。
 トオツイ退水。(息)【退水】。
 トオツツ退出。(息)【退出】。
 トオツウ袋鼠。(息)【袋鼠】。
 トオトグ推托。(息)【推托】。
 トオトオ隨隨。(息)【隨隨】。
 トオトオ啄啄。(息)【啄啄】。
 トオトオ袋袋。(息)【袋袋】。
 トオトオ推推。(息)【推推】。
 トオトオ退退。(息)【退退】。
 トオトオ替替。(息)【替替】。
 トオトオ隨隨。(息)【隨隨】。
 トオトオ退退。(息)【退退】。
 トオトオ短篇。(息)【短篇】。
 トオトオ退邊。(息)【退邊】。
 トオトオ退裏。(息)【退裏】。
 トオトオ退婚。(息)【退婚】。

トオ

トオプヌ袋糞。(息)【袋糞】。
 トオホエ退悔。(息)【退悔】。
 トオホン退瘡。(息)【退瘡】。
 トオホオ隨會。(息)【隨會】。
 トオホオ退火。(息)【退火】。
 トオホオ退貨。(息)【退貨】。
 トオホオシウ短歲壽。(息)【短歲壽】。
 トオボヲボヲ随無尾坐。(息)【隨無尾坐】。
 トオボヲ短尾。(息)【短尾】。
 トオボヲ隨尾。(息)【隨尾】。
 トオボオ在喪。(息)【在喪】。
 トオボオ退步。(息)【退步】。
 トオボオ在ト。(息)【在ト】。
 トオミア短命。(息)【短命】。
 トオムン胎毛。(息)【胎毛】。
 トオラウ退流。(息)【退流】。
 トオラン隨人。(息)【隨人】。
 トオラン奪人。(息)【奪人】。
 トオリアン退涼。(息)【退涼】。
 トオリウ袋瘤。(息)【袋瘤】。
 トオロオ短路。(息)【短路】。
 トオロオ隨隨。(息)【隨隨】。
 トオロオ啄啄。(息)【啄啄】。

トオエ

トオロオ袋袋。(息)【袋袋】。
 トオロオ推推。(息)【推推】。
 トオロオ退退。(息)【退退】。
 トオロオ替替。(息)【替替】。
 トオエ底。(息)【底】。
 トオエ題。階。……【下エ題。階。……】。
 トオエ地。亭。第。……【下エ地。亭。第。……】。
 トオエ創。(息)【創】。
 トオエ釵。(息)【釵】。
 トオエ替。(息)【替】。
 トオエ提。(息)【提】。
 トオエアア学仔。(息)【学仔】。
 トオエイエ又題捐。(息)【題捐】。
 トオエイエン替用。(息)【替用】。
 トオエイツ第一。(息)【第一】。
 トオエヲア替換。(息)【替換】。
 トオエキイフア提忌紙。(息)【提忌紙】。
 トオエギエク地獄。(息)【地獄】。
 トオエグ又題銀。(息)【題銀】。
 トオエシヌ替身。(息)【替身】。
 トオエスウ題序。(息)【題序】。

トオエ トオエ

ナア

- トリエソ^ソ地稅。(泉)【地稅】。
- トリエタウ^ウ地頭。(泉)【地頭】。
- トリエチイ^イ底蒂。(泉)【底蒂】。
- トリエチヲ^ヲ底挖。(泉)【底挖】。
- トリエト^トエ^エ題題。(泉)【題】。
- トリエト^トエ^エ替替。(泉)【替】。
- トリエハム^ム地陷。(泉)【地陷】。
- トリエホ^ホ底貨。(泉)【底貨】。
- トリエボ^ボ地皮。(泉)【地皮】。
- トリエリ^リイ^イス^ス地理師。(泉)【地理師】。
- トリエリ^リエン^ン地靈。(泉)【地靈】。
- トリエロ^ロエ^エ題題。(泉)【題】。
- トリエロ^ロエ^エ替替。(泉)【替】。

ナア

- ナア^ア擧。(性)擧。
- ナア^ア拿。●捕へる。召捕る。逮捕する。被警察！去
 警察官に捕へられた。ー來！召捕つて來い。
 警察官に捕へられた。ー來！召捕つて來い。
 ●(動詞)取る。錢！來給我！金を持って來て
 くれ。恬恬共我！去！黙って持って行ってしまっ
 た。ー若多錢！いくら金を取ったか。
- ナア^ア那。●(反語)嵩。焉ぞ。何ぞ。どうして……
 があるものか。どうして……であるもんか。無

ナア

- 喇！有！無いさ、どうして有るものか。ー有彼號
 道理！如何してそんな道理があるものか、有り
 はしない。伊是通天曉、ー有不識！彼は物識
 屋だのにどうして分らないことがあるものか。●
 (疑問詞)如何して。何ぞ。何故に。何で。昨昏
 暗你！無來！昨夜君は何ぞ來なかつたのか。ー
 彼貴！如何してそんなに高價いのか。●恰も……
 の如し。様だ。似てゐる。様。ー金！呢！恰も
 金の様だ。丁度金の様だ。ー要去！不去！行く
 様でもあるし行かない様でもある。ー無愛！好
 まない様だ。●(名詞と名詞の間に置かれ取るに
 足らぬものなどの意を示す)……だか何だか分る
 ものか。……も糞もあるもんか。璇石！璇石！
 金剛石だか何だか分るものか。頭家！頭家！
 主人も糞もあるもんか。
- ナア^ア感。●(動詞)益益。次第に。一段。一日過一日
 一寒！日増に益益寒くなる。嬰仔！大漢！赤坊
 が段段と大きくなる。病！傷重！病氣が次第に
 重くなる。●(動詞)冠する。場合。感感益益。
 ……すればする程。ー看！心適！見れば見る程
 面白い。伊！攻撃我！反對！彼が攻撃すればす
 る程僕は益益反對する。●(一つの事をなしつつ
 他の事をする意)……しながら。……しつつ。ー

ナア

- 行！講！歩きながら話をする。ー講！食酒！話
 しつつ酒を飲む。
- ナア^ア嗜。●(嗜)の。
- ナア^ア電。●(電)の如くに閃く。ぴかぴかと光る。閃電
 ー下！下！稲光がぴかっと光る。刀金！刀金！刀が
 ぴかぴかと光る。●(蛇)の舌を出す時。ちらり
 ちらりとする様。べろべろと出す。嘴舌！下
 ー下！舌をべろべろと出す。狗！水！犬が水を
 飲む。頭毛被火舌！着！頭髮を火焰に焼かれ
 た。●一寸顔を出す。ー下！就返去！一寸顔
 を出して直に歸つた。ー頭！面！ちょちょこと頭
 を突出す。●(火)の光。ちよいと日光に曝す。ちよいと火に
 曝す。ー日！日！ちよいと日に曝す。
- ナア^ア哪。無責任に何事にも一寸口や手を出す。ー話！
 人の話を小耳に挿んで好い加減なことをいふ。痴
 氣筋なことをいふ。ー東！西！分らぬくせにつま
 らぬ口出をする。ー此個！彼個！彼方此方と少
 しづつ仕事を爲残す。
- ナア^ア場。●(場)の窪む。目。●(目)の窪む。●(窪)の窪む。
 面！面！壁の面が一窪凹んだ。ー窪！窪！
 氣絲仔在！微かに息をしてゐる。
- ナア^ア嗜。●(人)を呼掛ける感動詞)もし。ねえ。おい。
 ー、你！去也！去！おい、君！往！往！か往かない

ナア

了——嬌すと附上る。

ナア ヲヲ 塌窩。【塌窩】。

ナア カア 若到。若しも。なら。ならば。……とした

ならば。……とすれば。——如此——さうすれば。左様ならば。——有要給你——有るとすれば差上げる。

ナア カアレニ 那傀儡呢。操人形の様だ、人

に言はれて機械的に物事をするなどをいふ。

ナア カウキイヲ、ホオ 那狗見着虎。犬が虎を見

た様だ、非常に驚怖れた様をいふ。

ナア キア 籃符。籠の手。取手。

ナア キウ 籃球。(新) バスケッポボール。

ナア クイ 那鬼。●鬼の様だ。化物の様だ。●動作な

どが非常に敏捷だ。素敏い。

ナア クイ 欄閑。(落) 【欄閑】。

ナア クン 電光。ちよと光る。ちらりと明くなる。

ナア ケエ 籃格。重手籃の仕切。竹籃の重る様に来

た所。箱物の仕切。

ナア サア 電閃。烏——黒くて艶がある。黒光がす

る。金——金色などびかびか光る。

ナア サイ 那使。【亦使】。

ナア サイ 但使。單に……さへすれば。唯……丈で。

——有一元銀就到額喇——只一圓も有れば充

ナア

分だ。——如此就好——唯其丈でよろしい。——共伊講一句就能使得——單に一言彼に言ひさ

へすればそれで宜しい。

ナア サア 欄閑。(落) 【欄閑】。

ナア サア 籃層。籠の套子。

ナア シアウ 那狂。狂氣の様だ。狂氣染る。伊——

彼人は狂氣染てゐる。

ナア シイ 若是。若しも。若しか。なら。なら

ば。伊——不來着去叫——彼が若し來なければ

呼びに行きなさい。你打算——如此我不肯——

御前の考が然であるならば僕は承知しない。——

如此我歡喜——然であれば私は嬉しい。

ナア シイ 但是。單に……のみ。唯……だけ。——我

去而已——單に私が往っただけ。——百五元——唯

百五十圓だけ。

ナア シイ ナア 電閃電。稻妻が閃く。

ナア シイ リアウベエ タイ 那死了未埋。死んだ様

でもあるし、さればとて埋葬する譯にもいかない、

懶惰者を罵つていふ。「る。」

ナア ジツ 電日。一寸の間日に曝す。ちよと日に當て

ナア タイ チオン 拿大將。【三十六將】の一にて牛に

騎り逮捕牌を持つ。

ナア タウ 籃斗。取手のない籠。手のない籠。

ナア

ナア タウ 林投。(種) 林投。あだん。えらん。しまた

このき。(林投科、葉より林投帽を製し材は花筒を
作る)——葉拭脚川去倒裂——林投の葉で尻を
拭けば反對に尻が裂ける、善く仕ようとして却つ

て悪くなるをいふ。——帽——林投の織織で作った

帽子。——笠——同上。——埒——林投を植附けてあ

る土手。——筋——林投の織織。

ナア タウ アア 籃斗仔。取手のない籠。「所」

ナア タウ アム 林投庵。林投が茂つて洞の如くなった

ナア タウ コエ 林投雞。(動) 水鶏の別名。

ナア タウ コオ 林投菰。(種) 林投に生ずる菌の一

種。(本島人間に於ては小兒の咽喉に白色のもの

を生ずる時之の煎汁にて洗ふを常とす)。

ナア タウ シイ 林投絲。林投の織織。創——同

上を削取る。「突出す」

ナア タウ ナア ビヌ 電頭電面。ちよちよこと頭を

ナア タウ ボヲ 林投帽。林投の織織で造った帽子。

ナア タウ ロア 林投埒。林投を植附けてある土手。

ナア タク 礮礮。(礮礮、楊梅)。

ナア タン ナア サイ 哪東哪西。分らぬくせにつまら

ぬ口出をする。

ナア チア 住此。暫く此處に居る。暫時此處で待つ。

你——咧我連鞭來——僕は直來るから君此處で

暫時待って居てくれ。

ナア チ、イ 電舌。驚いた時などに一寸舌を出す。

ナア チオク 拿捉。(冬) 犯罪人など捕へる。捉へる。

逮捕する。

ナア チ、ヨ ニイサムジイ 那右裡懸字。石に字を彫

つけた様だ、約束事などを確守するをいふ。

ナア チア 而巳。(而巳)。

ナア チ、ヲ 電着。火焰が燃着く。燃移る。火炎に舐め

られて焦る。一頭毛頭髪を火で焼いた。

ナア ツ、ヌ 那準。恰も……の様だ。一外人他人

の様だ。一父母恰も父母の様だ。

ナア ツウセエロオ 那誅西魯。【西魯】を征伐する

様だ、非常に困難な意。

ナア テ、エ 住得。逗留する。居る。泊る。滞在する。

你一甚人兜貴方は誰の所に泊って居ますか。

下昏一喇今晩泊って行きなさい。

ナア ト、エ 籃底。籠の底。

ナア ナア 電電。●(電光など)びかびかと。きらきら

光る。焔く。●物を火炎に當て炙る。焼く。

ナア ナア 塌塌。窪い。落窪んでゐる。凹んでゐる。

口開一開口が落窪んでゐる。

ナア ナア 電電。火焰を物に當て焼く。炙る。

ナア ナア 而巳。丈。而巳。彼個一其丈。干乾

寒天一ただ多ただだ。二三個一三三人のみ。「手」

ナア ヒア 簾耳。籠の鉤を掛ける所。籠の耳。又籠の

ナア ピイ 塌鼻。鼻筋が窪んでゐるもの。挫鼻。

ナア プ、ツ 林抜。【林仔抜】。

ナア ボ、ヲ 若無。【也若無】。

ナア ポ、ア 鑊鉢。鑊鉢。弄一【功德】の時に【司公】

や僧侶がする所作の一。

ナア ポ、ア コオ 鑊鉢鼓。鑊鉢と鼓。

ナア ポ、ア ツ 林抜。【林仔抜】。

ナア ポ、オ 林苞。木の叢。林。鳥仔噪一鳥が林

の中で噪く。

ナア ポ、ク 蘿蔔。胡蘿蔔。【紅菜頭】。

ナア ポ、ク ゴイ 蘿蔔菜。前に同じ。

ナア ム、暗不。(女子供等の語)……よ。……ですよ。

……ですよ。……わよ。此個眞美一此は

眞に美しいですよ。

ナア リ、イ 那裏。●豈。いかで。如何にして。焉ぞ。

一有如此如何してそんな事があるものか。

●何處。要走一何處へ逃げて往くか。(語原

は官話の轉訛なるべし)。

ナア レ、エ ナア レ、エ 電咧電咧。ちらちらと光る。き

らきらと輝く。

ナア ロ、ヲ 塌落。●窪む。凹む。腹肚一腹が凹

む。目開一開口が窪む。●衰へる。勢頭一

●勢力が衰へる。風一風が鎮る。火一

火が衰へる。

ナイ

ナイ 痛。●病衰へる。瘦衰へる。だれる。一個人一

一瘦衰へてゐる。做一下一落去一一遍に瘦

衰へてしまった。●撓凋む。萎れる。樹葉一

木の葉が萎れる。

ナイ 奶。●(貴婦人に對する敬稱)。令夫人。貴婦人。

奥様。一同上。大一第一夫人。二一第二

夫人。●御母さん。阿一同上。

ナイ 乃。(冬) 乃ち。一是祖先的功勞乃乃ち祖先の

功勞だ。一字諱到成及字乃乃の字を及の字だ

と言つて争ふ、飽迄も強情を言張る。

ナイ 那。【那】。

ナイ 塌。【塌】。

ナイ 籃。(同)【籃】。

ナイ 蓮。(同)【蓮】。

ナイ 伊。(同)【伊】。

ナイ 荔。(同)【荔】。

ナイ 頼。頼にする。頼む。你要一甚麼人君は誰

ナア

ナア

ナイ

て樂器等を奏すること。

ナウチオクヒエツ 腦着血。(病) 腦充血。

ナウツツ 鬧出。惹起する。一事情事件を惹起す。

ナウツツヒエツ 腦出血。(病) 腦出血。

ナウトン 鬧動。多くの者が騒ぐ。人心が動揺する。

人心一入心人が動揺する。此條事情若一

起來要怎樣この事で多くの者が騒出したら

どうする。

ナウトンポン 鬧洞房。次に同じ。

ナウパン 鬧房。新郎の朋友が花嫁の寢室に於て馬鹿

話などをして花嫁を笑はせること。【吵新娘】。

ナウビイ 腦病。(病) 腦病。

ナウボンチオクヒエツ 腦着血。(病) 腦着血。

ニア

ニア領。●襟。着物の襟。一巾。襟巻。シヨール。一

帯。襟飾。ネクタイ。一後。襟頸。●衣類又は

布圍などを數へる語。此一衫。此の上。衣。彼一毯

仔。彼の毛布。一褲。一枚の褲。被。一布圍

一枚。●領する。承る。一兵。兵を領する。

一命。命を承る。●(被疑者など)保證して預

る。受出す。一出来。保釋してもらつて身柄を

受出す。保。同上。●(官衙又は目上などより)

受ける。受取る。貰ふ。一薪水。俸給を貰ふ。

一牌。鑑札を受ける。一餉。俸給を受取る。一

單。受取書。請書。一路照。旅行券の下附を受

ける。

ニア嶺。峠。山嶺。一頂。峠の登詰めた所。山一

嶺。過。一峠を越える。前。未是。峠。後。較

崎壁。前嶺未だ急ならず後嶺は一層急なり、前

者よりも後者は更に一解ひどいなどの意。

ニア那。(那) 【那】。

ニア態。(態) 【態】。

ニア展。臉を開ける。一日。同上。目。目。金。眼をば

つちりと開ける。目。目。高。上。目をつかふ。

ニア娘。御母様。母。阿。同上。阮。一私の母。

ニア陵。(姓) 陵。

ニア吟。稜線の形をしてゐるもの。山。山。山の脊。

湧。浪の蜿蜒。牛。牛の脊筋。魚。魚の

ニアアウ領後。襟元。襟頸。一脊筋。

ニアイウ領様。襟附。襟模様。

ニアカア嶺脚。嶺の下。麓。峠の登口。

ニアカウ領鉤。洋服などの襟の内側にある曲つた金

物。襟のホック。【受ける】。

ニアキツ領給。官廳より受取る。受領する。下附

ニアキムコア展。金着。目を見張つて見る。

ニアクヌ領巾。頸卷。襟卷。シヨール。

ニアクン領卷。秀才などの試験の時用紙を受ける。

ニアシウ領收。(國) 領收。一證。領收證。

ニアシウ領受。【牲醴】を供へて神を祭るに際し神の

來りてこれを享くること。納受。

ニアタウ領兜。襟元。

ニアタウ領頭。襟。

ニアタウ領頭。襟元。

ニアタク嶺頭。嶺の上。嶺の頂。峠の絶頂。

ニアチイ領旨。聖旨を奉ずる。對皇帝。天皇の

聖旨を奉ずる。

ニアチヲ領照。鑑札許可證。旅行券の類を受ける。

下附を受ける。

ニアチエン領清。全部の支拂を受ける。

ニアチツ嶺脊。山の脊。

ニアチツジイ領一字。●孤貧天。一符法

先などが其術を修得する爲孤獨か貧窮か天壽

かの中の一つの運命を受けねばならぬ。●一つの

事の中に既る。専。一讀書。専ら讀書にのみ

ニアチア而已。【既る】。

ニアチエン嶺頂。嶺の上。嶺の頂。峠の絶頂。

ニアツウ領敷。襟當。

ニアツツ領出。被疑者などを受出す。保釋された者

ニア

ニア

ニア

ニア

を受取る。保證して出す。
 ニアツ 領狀。保釋願。
 ニアト 領帶。襟飾。襟飾。
 ニアト 領套。襟の汚れぬ様其の下に附ける襟。下
 ニアト 而已。丈。而已。此個——此だけ。但有
 一元——只一圓持てゐるだけ。【而已】。
 ニアバ 展目。目蓋を見開く。
 ニアバ 領牌。鑑札を受ける。
 ニアヒオン 領餉。月俸を買ふ。俸給を受取る。
 ニアヒオンベエ 領餉尾。兵などが給料の残を買ふ。
 ニアビイ 領米。米を受ける。施米などの分與を受け
 る。
 ニアビエン 領命。命を奉ずる。命を承る。拜命。
 ニアビエン 領兵。兵を率る。兵を領する。
 ニアビエ 領憑。免狀を受ける。鑑札を受ける。公許
 を受ける。官衙の許可又は承認を受ける。
 ニアベ 領尾。襟先。【す】。
 ニアホエ 領向。官廳又は以上の者より取戻す。受戻
 ニアボエキア 領没崎。引受けて始末をつけきらぬ。
 此多項の事情我自己一個——こんな
 に澤山な仕事を私一人では引受けて始末をつけ
 きらぬ。
 ニアラン 領人。保釋せられた人を受取る。身柄を受

ニアウ

取る。
 ニアリエン 領令。(武官)命令を受ける。——出征
 命令を受けて出征する。
 ニアロオ 嶺路。坂路。坂路。山道。登道。峠路。
 ニアウ 猫。●動 猫。一推到滑、爲狗做生日、猫が
 重湯を顛覆して犬に誕生祝をしてやる、他の者
 が利益を得るをいふ。飢—想水魚、飢多た猫が
 水中の魚を思ふ、高嶺の花といふに當る。一毛
 一枝亦—二枝亦—猫の毛を一本抜いても痛
 いから鳴き二本抜いても亦同様に鳴く、五十歩百
 歩。畫虎無成、變成—虎を畫いて猫になる、
 まねな 眞似て成らざる意。擗飯匙、抵—飯杓子を取
 つて猫に抗する、竹篋返し。三脚—、四脚狗—三
 本脚の猫と四目の犬、珍奇怪物の意。一食麵災、
 假慈悲—猫が精進物を食つて慈悲を眞似る、偽
 善の意。●痘痕。痘痕。面—顔に痘痕があ
 る。一面—同上。●男色を賣るもの。男娼。做
 一—同上をする。臭嗽—男娼を罵つていふ。
 ニアウ 鳥。鳥。魚行水濁、一飛毛落—魚行いて
 水濁り、鳥飛んで毛落つ、何事でも行へば必ず
 影響あり、或は又何事をするにも必ず金錢を

ニアウ

要するが如きをいふ。
 ニアウ 爪。(爪)爪。
 ニアウ 爪。(爪)爪。
 ニアウ アア 猫仔。子猫。掠—看猫娘—子猫を捕へ
 るなら親猫を見よ、親の善惡に依つて其子の善惡
 が分る意。
 ニアウ アア 猫仔食。(猫)ちびりちびりと少しづ
 つゆっくりと食べる。
 ニアウ アア 猫仔面。痘痕面。
 ニアウ エエ 猫的。痘痕面の人。痘顔。——奸臣鬚
 的不仁—痘痕の者は奸物、鬚の者は不仁。
 ニアウ オオ 猫主。(子供を賺すときなどの詞)大きな
 猫。緊恬嘴——來嘴—速く黙りなさい、大き
 な猫が来たよ。
 ニアウ オン 猫主。【猫公】。
 ニアウ キアウ □□。●瘦衰へた様。ひよろひよろ。一
 個——ひよろひよろしてゐる。●小くて見
 映のしない。此個——那彼多錢—こんな
 詰らない物がどうしてそんなに高價いのか。
 ニアウ コオ 猫腕。猫の頸輪。
 ニアウ コン 猫公。●年をとった牡猫。●大きな猫。
 ニアウ コン 猫公刺。(植)みづすぎ。(石松科、
 胞子を用ひて癩癩を治し、丸薬衣及び肺・咳嗽の薬

となす、又全草を生花の材料とす。

ニアウ シウ 鳥獸。(又) 鳥獸。鳥獸。

ニアウ シホク 鳥俗。(性) 鳥俗。

ニアウ ソア シウ 猫徒集。猫が巢を移す。那ー

同上の様だ、頻繁に引越するものに對していふ。

ニアウ ツア 猫殘。猫の食殘。染着ー不可食

が口を附けたのだから食べてはいかぬ。

ニアウ ツヲ 猫槽。猫の食物を入れる器。

ニアウ タウ イエン 猫頭鷹。次に同じ。

ニアウ タウ チアウ 猫頭鳥。(動) 木莖。木莖。梟。

ニアウ チア 猫精。(遊) 「猫精」。

ニアウ チア 鳥銜。鳥銜。

ニアウ チイ 猫精。●猫の精靈。猫の精。●猫の。

ニアウ チイ 老鼠。(遊) 「老鼠」。

ニアウ チイ ア 老鼠仔。(遊) 「老鼠仔」。

ニアウ チウ チウ 猫蛙蛙。凸凹になつてゐる酷い痘痕。

ニアウ チウ チウ 猫蛙蛙。前に同じ。

ニアウ チアム 猫黠。痘痕。痘痕。痘痕。

ニアウ ツウ 老鼠。(動) 鼠。ー哭猫假慈悲。鼠が

猫の爲に泣いて慈悲の風をする、偽善の意。ー入牛角。鼠が牛の角の中に入る、死地に入る。ー食油眼。鼠が燈の油を食べる時目の前に光がある、眼前に目が眩んで後から捕へられ

ニアウ

る事を知らぬ。ー跋落灰間。鼠が石灰小屋に

落ちた、女の厚化粧を嚙つていふ。飼ー咬布袋

鼠を飼つて袋を咬まれる、飼犬に手を咬まれる。

家内無猫。ー能曲脚。家の内に猫が居なければ鼠は片足を擧げて氣樂にする、鬼の留守に洗濯

など。

ニアウ ツウ ア 老鼠仔。小な鼠。子鼠。

ニアウ ツウ ア ア 老鼠仔。小な鼠。報

仇を打つ。

ニアウ ツウ イ エン 老鼠藥。鼠の擲出した土の粒。

ニアウ ツウ イ ヲ 老鼠藥。殺鼠藥。鼠殺。鼠捕。猫

不用。

ニアウ ツウ カ ア 老鼠咬。贓物。買。贓品を

ニアウ ツウ カ ン 老鼠孔。鼠の居る孔。ー變成

圓光門。鼠の孔がアーチ形の門に變る、小事が

大事になる意。

ニアウ ツウ シウ 老鼠巢。鼠の巢。

ニアウ ツウ ジア 老鼠粒。紙鐵砲の類。

ニアウ ツウ タウ 老鼠啄。鼠落。鼠捕。捕鼠器。ー

一啄老鼠。捕鼠器で鼠を落す。

ニアウ ツウ タウ 老鼠觸。前に同じ。

ニアウ

ニアウ ツウ タン ビエ 猫鼠同眠。猫と鼠と一緒に

眠る、和しても實際相容る能はざる意。

ニアウ ツウ チイ 老鼠刺。(植) 禾本科よりはまむぎ。

ニアウ ツウ チエン 老鼠症。(病) 百斯篤。黒死病。

ニアウ ツウ モエン 老鼠蒸。鼠の擲出した土。

ニアウ ツウ ツウ 老鼠炷。鼠花火。

ニアウ ツウ ツウ 老鼠厨。鼠を飼ふ箱。鼠捕。

ニアウ ツウ ツン 老鼠當。鼠捕。鼠落。捕鼠器。

ニアウ ツウ ヒイ 老鼠耳。鼠の耳、小い耳。猴頭

ー猴の頭に鼠の耳、耳小く醜い様。

ニアウ ツウ リエク 老鼠勒。「老鼠刺」。

ニアウ ツウ 猫厨。猫を飼ふ箱。

ニアウ ニアウ 猫猫。痘痕だらけ。烏

眞暗。眞黒で穢い。暗。眞暗。

ニアウ ニアウ 猫猫。烏。眞暗。眞暗で穢い。

ニアウ ニアウ アア 猫猫仔。(遊) 愚圖愚圖と。ー

食。愚圖愚圖と食ふ。ー行。愚圖愚圖と歩く。

ニアウ ニアウ キエツ キエツ 猫猫級級。痘痕だらけ。

ニアウ ニアウ ヨア 猫猫着。一心に見詰める。見入

る。注視する。

ニアウ ニアウ シオン 猫猫相。前に同じ。

ニアウ ニアウ ニアウ 猫猫猫。痘痕だらけ。

ニアウ

ニイ アヌ 握緊。堅く握る。握締める。堅く握む。

ニイ アン 染紅。紅染。紅染。紅く染める。

ニイ イエヌチイ 染臙脂。紅染。紅で染める。

ニイ ウウチウトアヌ 昨羽網緞。羅紗・毛織・絹緞

ニイ オオ染鳥。黒める。黒く染める。【子の類。

ニイ ヲア 年倚。年が暮れる。年の末。歳末。

ニイ ヲア 握倚。握締める。握締める。握込む。

ニイ カア 企脚。瓜立つ。瓜先で立つ。――看瓜立つ

ニイ カア ベエ 企脚尾。瓜立つ。瓜立てる。伸上る。

ニイ カウ 染郊。染料の間屋。

ニイ カヌ 年間。年中。年間。年代。時代。彼――

ニイ カム 年柑。【柑柑】。

ニイ カン 染工。染色工。染物職。

ニイ キイ 年紀。歳。年齢。年紀。年輩。年頃。年端。

ニイ キイ 尙較少。歳がまだゆかない。【らない。

ニイ キイ 乳齒。乳齒。――尙未替乳齒が未だ生代

ニイ キイ キヌ 年紀輕。年下。年少。年若。

ニイ キイ ツエ 年紀多。年上。年が多い。

ニイ キイ チラ 年紀少。【年紀輕】。【年末結算

ニイ キエツ 年結。年末に一度する勘定。一年勘定。

ニイ キエン 年景。其年の景氣。歹――不景氣な年。

ニイ クウゲエチム 年久月深。年久しい。年月が重

ニイ クン 染紅。藍靛。藍靛。

ニイ ゲク 乳牙。【乳齒】。

ニイ ゲエ 年月。年月。星霜。歲月。――過去

ニイ コアイ 企高。瓜先で立つ。瓜立つ。

ニイ コオ 耳鼓。【鼓膜】。

ニイ コオ 尼姑。【三姑六婆】の一。尼僧。禪尼。

ニイ コオ 尼姑。比丘尼。罕得幾時。――一次満月

ニイ コオ アム 尼姑庵。尼寺。【ぶ。

ニイ コヲ 年糕。年越に作る粉菓子。

ニイ コヲ 年號。【干支】年。歳次。甚麼。――出世的

ニイ コヲ 何の年に生れたのか。【年號】。――帳簿な

ニイ コヲ 前に同じ。

ニイ ゴア 年外。歳餘。一年餘。

ニイ ゴオ 爾我。我與你無――僕と君とは別隔が

ニイ サア 襦袢。着物を擴げて乾す。

ニイ シイ 拈生。ちびりちびりと少しづつ食べる。

ニイ シイ 趣儉的人配茶真。――倣しい人は茶をちびり

ニイ シイ ちびりと少しづつ食べる。【仕事をするに愚圖愚

ニイ シイ 圖する。てきばきしない。【仕事不可】

ニイ シイ 仕事をするに愚圖愚圖してはいけない。

ニイ シイ シイ 握死。締殺す。握殺す。

ニイ シエク 染色。染める。布――布を染める。

ニイ ジイ ビエン 耳字旁。漢字の耳偏。【て耳順ぶ。

ニイ スヌ 耳順。【文】耳順。六十而――六十にし

ニイ スヌ 年巡。年廻。年の廻合。歹――年の廻

ニイ モエ 年節。【年節】。【合が悪い】。

ニイ モエ ニイ モエ 曝下曝干。日晒――絶

ニイ ソア 年驚。年の祟神。――西年の祟神は西に

ニイ ソア 年數。毛絲。

ニイ ソア 年中行事の有る日。物日。做――

ニイ ツエ 同上の行事をする。

ニイ ツオ 年租。一年の借地料。年年の租穀。

ニイ タウ 年兜。年末。年の暮。節季。歳末。歳暮。

ニイ タウ 冬節在月頭。要寒在――冬至が月の上旬

ニイ タウ 年頭。年の始。年首。年始。年頭。――年

ニイ

ニイ

ニイ

ニイ

尾年の始と年の末。

ニイタウビイ年兜邊。年末。年の暮。歳暮。節季。

ニイタウライ年頭利。一年間の利子を天減する利息。先引の利息。

ニイタン年冬。取入。收穫。好一豐年。收穫がよい。歹一凶年。不作。一好收査某人發嘴鬚豐年で忙しいと見えて女に鬚が生えてゐる、女の頬に鬚のついてゐる時などにいふ。

ニイタンゲエフエ年冬月節。節季祭日。

ニイタンニイサイ拈束拈西。彼を撮み此を撮む。

ニイチアウニイチアウ曝箔曝箔。呆氣にとられた時など日の玉を白黒させる。目をばちくりさせる。目隠し。同上。

ニイチイ簷前。軒。軒端。

ニイチイカア簷前脚。軒下。

ニイチイカウ簷前口。軒端。

ニイチイキエン簷前椗。軒先の榑。雨承。雨樋。

ニイチイキヲ簷前椗。前に同じ。

ニイチイツイ簷前水。雨垂。雨滴。雨瀉。玉水。

ニイチイビイ簷前邊。軒端。

ニイチエン乳腫。乳の水腫。「暮。年末。

ニイチオンゲエモア年終月滿。年終り月滿つ。歳

ニイテム年深。年末。年の暮。年末に近い。

ニイ

ニイテム年纒。(十二月二十日過ぎ)年末。年の暮。

ニイツウ爾朱。(姓)爾朱。

ニイツウニイ年週年。其年の其頃より次の年の其頃まで。作籩人米食到。農夫は米を前の收穫期から次の收穫期まで食べる。

ニイトア年攤。年賦。做一還一年賦で返す。

ニイトエ染底。下染。一没歹下染が悪くない。

ニイトエ年底。年中。年内。做没好年内には出来上らない。

ニイトオ年度。(國)年度。

ニイニイ拈拈。一一起来撮取る。偷む。愛。

ニイニイ曝曝。只管。一途に。一君他日もふらずに眺める。長く見詰める。凝視する。一管待つ。日尿一流。涙が止度もなく出る。困仔。一啜子供が頻に泣く。

ニイニイ年年。年年。毎年。年毎。

ニイニイシイシイ拈拈生。拈生。

ニイニイリアムリアム拈拈捻捻。次に同じ。

ニイニイレエレエ拈拈拈拈。彼方からも此方からも少しづつ撮取る。桌項的榮被困仔。

一草上の菜を子供に撮荒された。一ちよこちよこと偷む。手癖が悪い。彼個困仔各次要

ニイ

一の子供はいつも手癖の悪いことをす

ニイハハ年限。年限。年期。

ニイバク拈染。掠を取る。上前をはねる。頭をはる。你若不俾伊一伊就不爲你創。汝が掠を取らせなければ彼は爲てくれない。

ニイバク瞬目。瞬をする。瞬く。一瞬柱。瞬をしてそれとなしに注意する。

ニイバクチイ染目子。黄目子。

ニイパテオンチウ年怕中秋。一十月怕十五日は中秋を怕れ月は十九日を怕る、八月が来れば其の月は直ぐ経過すると言ふ意。

ニイパン染房。染屋。染物屋。

ニイピア摺瓦。瓦を置く。

ニイピアウ年表。(國)年表。

ニイピエク年迫。年が迫る。年が押詰る。

ニイファイ年費。一年の費用。歳費。

ニイフヌ年份。年分。今一今年分。

ニイブウ乳母。乳母。乳母。倘一育子乳母を雇うて兒を育てる。

ニイブヌ耳聞。(多)噂を聞く。耳に聞く。一不知

目見耳に聞くは目に見るに如かず。

ニイヘエ年歳。年。年齢。年紀。年齒。齡。照一

ニイ 較老^{カウシ}年^ニの割合には老^{ワカ}てゐる。同^{ドウ}年^ニ輩^{ハイ}。
 ニイ ベエ年^ニ尾^ビ。年^ニの暮^ク。年^ニ末^{マツ}。歳^{サイ}末^{マツ}。末^{マツ}方^{カタ}。到^{ツキ}一^ニ較無^{カク}開^{ケン}年^ニ末^{マツ}になつと中^{ナカ}忙^{マシ}しい。

ニイ ホエ年^ニ歳^{サイ}。(漢)年^ニ歳^{サイ}。
 ニイ ホエ年^ニ號^{ガウ}。年^ニ號^{ガウ}。

ニイ ホン年^ニ逢^{ブウ}。年^ニの廻^{マワ}合^{ガフ}。今^{イマ}年^ニ歹^{タイ}一^ニ籠^{ロウ}無^ム可^カ收^{シュ}成^{セイ}。今^{イマ}年^ニは年^ニの廻^{マワ}合^{ガフ}が悪^{ワル}いから少^{マシ}しも收^{シュ}獲^{カク}が

ニイ ホン年^ニ俸^{ブウ}。(漢)年^ニ給^{キツ}。年^ニ俸^{ブウ}。「ない」
 ニイ ポエ年^ニ尾^ビ。(漢)年^ニ尾^ビ。

ニイ ポウ耳^ニ目^ニ。耳^ニ目^ニ。掩^{カサ}人^ニ一^ニ人^ニの耳^ニ目^ニを暗^{カク}ます。人^ニ目^ニの關^ケを忍^{シノ}ぶ。一^ニ淺^{シヤ}現^{ゲン}直^{ジキ}人^ニ目^ニに觸^フれる。

ニイ ポア年^ニ半^{ハン}。一^ニ年^ニ半^{ハン}。「す」
 ニイ ポア握^ニ破^ニ。握^ニ破^ニ。握^ニ碎^ニく。握^ニ毀^ニす。握^ニ潰^ニす。握^ニ毀^ニす。

ニイ ポオ染^ニ布^ニ。布^ニを染^ニめる。
 ニイ ポオサイフウ染^ニ布^ニ司^ニ阜^ニ。染^ニ物^ニ師^ニ。染^ニ物^ニ職^ニ工^ニ。

ニイ ポオチアム染^ニ布^ニ店^ニ。染^ニ屋^ニ。染^ニ物^ニ屋^ニ。紺^ニ屋^ニ。
 ニイ ポラ年^ニ報^ニ。(漢)年^ニ報^ニ。

ニイ メエ年^ニ暝^ニ。(漢)次^ニに同^ニじ。「位^ニの間^ニ」
 ニイ メエタウ年^ニ暝^ニ。(漢)年^ニの押^ニ詰^ニ。年^ニ末^ニ十^ニ日^ニ間^ニ。

ニイ ラウ年^ニ老^ニ。一^ニ年^ニ寄^ニる。晚^ニ年^ニ。老^ニ年^ニ。一^ニ較^ニ無^ニ記^ニ持^ニ一^ニ年^ニ寄^ニると物^ニ覺^ニが悪^ニくなる。一^ニ死^ニ去^ニ。死^ニぬ。今^ニ都^ニ一^ニ去^ニ喇^ニも死^ニんでしまつた。

ニイ ラヌパアボオ握^ニ生^ニ葩^ニ步^ニ。陰^ニ囊^ニを握^ニる様^ニな方^ニ法^ニ。金^ニ錢^ニの支^ニ出^ニなど固^ニく引^ニ締^ニる遺^ニ方^ニ。頭^ニ一^ニ次^ニ做^ニ的^ニ生^ニ理^ニ着^ニ一^ニ即^ニ能^ニ用^ニ得^ニ一^ニ始^ニての商^ニ賣^ニは手^ニ固^ニく引^ニ締^ニつてやらねばならぬ。

ニイ アウ染^ニ料^ニ。染^ニ料^ニ。染^ニ種^ニ。
 ニイ アム拈^ニ捻^ニ。ちよこちよこと竊^ニ取^ニる。ちよろまかす。誤^ニ魔^ニ化^ニす。

ニイ リエクイア彌^ニ勒^ニ爺^ニ。佛^ニの名^ニ。彌^ニ勒^ニ菩^ニ薩^ニ。
 ニイ リエクトヲ鎌^ニ剛^ニ刀^ニ。(同)小^ニい鎌^ニの一^ニ種^ニ。

ニイ リエクフツ彌^ニ勒^ニ佛^ニ。彌^ニ勒^ニ菩^ニ薩^ニ。
 ニイ リエン握^ニ乳^ニ。乳^ニを絞^ニる。

ニイ レエ年^ニ例^ニ。毎^ニ年^ニの例^ニ。年^ニ例^ニ。「る」
 ニイ レエニエレエ曝^ニ咧^ニ曝^ニ咧^ニ。日^ニをばちばちさせ

ニウ

ニウ 幼^ニ飯^ニの菜^ニなど極^ニ少^ニ量^ニ。ちよんびり。ぼうちり。菜^ニ配^ニ較^ニ一^ニ御^ニ茶^ニをちよんびり食^ニへる。「幼^ニ」。

ニウ 兩^ニ。十^ニ匁^ニ。兩^ニ。一^ニ匁^ニ。一^ニ兩^ニ。一^ニ斤^ニ是^ニ十^ニ六^ニ一^ニ斤^ニは百^ニ六十^ニ匁^ニ。五^ニ斤^ニ番^ニ薯^ニ臭^ニ八^ニ十一^ニ一^ニ五^ニ斤^ニの薩^ニ摩^ニ薯^ニが八^ニ十一^ニ兩^ニ腐^ニつた。惡^ニ評^ニの方^ニが勝^ニてゐる意^ニ。五^ニ斤^ニは八^ニ十^ニ兩^ニに當^ニり腐^ニれが一^ニ兩^ニ多^ニいといふこと。「兩^ニ」。

ニウ 梁^ニ。(漢)梁^ニ。「梁^ニ」。

ニウ 棟^ニ木^ニ。梁^ニ。上^ニ。一^ニ棟^ニ上^ニ。上^ニ棟^ニ式^ニ。中^ニ一^ニ棟^ニ木^ニ。棟^ニ木^ニの如^ニき形^ニをしたるもの。桶^ニ一^ニ桶^ニの中央^ニにかけわたした弓^ニ形^ニ若^ニしくは半^ニ圓^ニ形^ニの把^ニ手^ニ。

ニウ 娘^ニ。母^ニ。阿^ニ一^ニ御^ニ母^ニさん。一^ニ奶^ニ一^ニ同^ニ上^ニ。一^ニ愛^ニ細^ニ子^ニ一^ニ母^ニは末^ニ子^ニを可^ニ愛^ニがる。(一)婦^ニ人^ニに對^ニする敬^ニ稱^ニ。

ニウ 御^ニ上^ニ様^ニ。阿^ニ一^ニ下^ニ女^ニが主^ニ婦^ニに對^ニしてい^ニ心^ニ御^ニ新^ニ造^ニ様^ニ。新^ニ一^ニ花^ニ嫁^ニ。姑^ニ一^ニ御^ニ嬢^ニさん。做^ニ一^ニ快^ニ、做^ニ姻^ニ難^ニ一^ニ奥^ニ様^ニたるは易^ニく下^ニ婢^ニたるは難^ニし。(一)女^ニ神^ニに對^ニする敬^ニ稱^ニ。月^ニ一^ニ御^ニ月^ニ様^ニ。註^ニ生^ニ一^ニ安^ニ産^ニの神^ニ様^ニ。「娘^ニ」。

ニウ 糧^ニ。糧^ニ食^ニ。米^ニ一^ニ同^ニ上^ニ。一^ニ草^ニ一^ニ兵^ニ糧^ニ。運^ニ一^ニ糧^ニ食^ニを運^ニ送^ニする。日^ニ出^ニ着^ニ存^ニ雨^ニ來^ニ一^ニ晴^ニ天^ニの時^ニ例^ニいて雨^ニ天^ニの糧^ニを貯^ニへよ。乞^ニ食^ニ亦^ニ有^ニ四^ニ月^ニ日^ニ剩^ニ一^ニ乞^ニ食^ニでも四^ニ箇^ニ月^ニの糧^ニを貯^ニへる。況^ニして眞^ニ人^ニ間^ニは多少^ニの貯^ニ蓄^ニはしなればならぬといふ意^ニ。(一)税^ニ。租^ニ稅^ニ。錢^ニ一^ニ同^ニ上^ニ。一^ニ差^ニ一^ニ租^ニ稅^ニ取^ニ立^ニの役^ニ人^ニ。完^ニ一^ニ租^ニ稅^ニ完^ニ納^ニ。「糧^ニ」。

ニウ 量^ニ。容^ニ積^ニ。長^ニ短^ニを量^ニる。一^ニ米^ニ一^ニ米^ニを量^ニる。一^ニ長^ニ短^ニを量^ニる。一^ニ地^ニ一^ニ土^ニ地^ニの測^ニ量^ニをする。用^ニ脚^ニ一^ニ看^ニ一^ニ步^ニ測^ニして見^ニる。一^ニ熱^ニ不^ニ可^ニ一^ニ寒^ニ一^ニ暖^ニには過^ニぎても寒^ニには過^ニぎるな、子^ニ供^ニの衣^ニ服^ニに關^ニする注^ニ

ニイ

ニウ

ニウ

ニウ

意。【量】。

ニウ量。●扛秤。扛秤。扛秤ではかる。目方をかける。●火炭。炭をはかる。一米。米をはかる。【量】。

ニウ讓。讓る。讓歩。較。伊。伊。下手に出る。一步讓る。大家相。互に讓合ふ。一。位。席を讓る。【讓】。

ニウアア娘仔。●(動) 蠶。桑蠶。吐絲。蠶が絲を吐く。一。絲。蠶の絲。蠶絲。●(情) 歌などを用ひる語。妹。彼女。

ニウアア娘仔。●(動) 阿母様。母上。●(下) 女が主婦に對する尊稱(奥さん)。

ニウアア量仔。●(動) 量。量る。扛秤。扛秤。

ニウアアイア娘仔蝶。●(動) 蠶の蛾。

ニウアアコク娘仔壳。●(動) 蠶の繭。

ニウアアシイ娘仔絲。●(動) 蠶の絲。蠶絲。

ニウアアチウ娘仔樹。●(種) しまぐは。桑の木。桑。(桑科、葉は蠶の飼料となし樹皮は製紙原料となす、又薬用として各部を用ふ)。

ニウアアチエン娘仔種。●(種) 蠶種。

ニウアアヒ、娘仔葉。桑の葉。【讓る】。
ニウウイ讓位。●讓位。位を讓る。禪位。●(場) 席を讓る。
ニウカウ量鈎。●(種) 鈎。
ニウキエヌ娘繭。●(種) 蠶の繭。

ニウ

ニウクイ糧櫃。●(租) 税など收めて置く金庫。●(租) 稅。收稅官吏。

ニウコアイ草桿。●(秤) 秤竿。

ニウザウ糧草。●(兵) 糧。糧食。糧前無救兵後無糧。一。前。援兵なく後に糧食なし、進退谷る意。

ニウシア兩聲。●(目) 兩の目方。貫目。

ニウシウ兩想。●(甲) 妻。應。輕。輕。一。見掛の割合に輕い。食了無。一。食べても食甲斐がない。應。撥了無。一。撥出がない。●(二) 句に分けて使用する場合。食了無。一。食べても腹に應へない。看了無。一。見甲斐がない。見てもあつけない。

ニウシヌ榎神。●(棟) 木の神。【する人】。

ニウモエ糧差。●(税金) 納入。土地及び登記などを督促。

ニウモエ量債。●(寛) 家。一。常に喧嘩口論をする。

ニウソア梁山。●(盜) 賊の住む所。梁山。一。的。賊馬。一。同上の盜賊。上。一。梁山へ上る。盜賊になる。

ニウソア涼傘。●(大) 官の通行。又。祭禮の行列などに懸す長柄の大傘。臺傘。



涼傘

ニウワン糧總。●(稅) 吏。和稅係の主任。收稅係長。

ニウタク量頭。●(掛) 目。較有。一。掛目がある。拗。

ニウ

ニウテウ讓手。●(技) 倆などを充分に出さずして相手に讓る。讓歩する。我較。緩。緩。你。着。較。一。一。例。一。僕は下手だから御手柔に。相打無。一。一。喧嘩には遠慮はしない。

ニウテアウ榎柱。●(棟) 支へる柱。

ニウテウ鑼銀。●(樂) 器。の一種。小な鉦。僧侶。道士は多く一本の柄に二個を附けたものを用ふ。●(同上) の音。●(戲) 素敵。強弱。素晴しい。立派。

ニウテウコク鑼銀板。●(子) 供の打つ銅鑼や太鼓の行。

ニウテウイ量錘。●(扛) 秤の錘。分鈎。

ニウテウエ量地。●(檢) 地。測量。

ニウテウエ量底。●(基) 準の各異った秤の種類。用甚。

ニウテウエキイカイボオオクジイ讓地起蓋舖屋字。●(宅) 地貸借證。

ニウテウエジイ讓地字。●(土) 地を無償にて贈與する證書。土地贈與の證書。【計理官】。

ニウテウエ糧道。●(糧) 林の事を掌る道臺。軍隊の計理官。

ニウテウエ量鈎。●(臺) 秤。かんかん等に用ひる秤の錘。



鑼の銀

大きな秤の錘。秤のたま。

ニウ 幼幼。細い。甚だ小さい。極小。茶配。

ニウ 茶をちよんぼり食べる。猫細。猫かちつぽけで可愛い。

ニウ ニウ 嬢嬢。●(皇后に對する稱呼) 皇后陛下。●(女神に對する稱呼) 註生。御産の神様。

ニウ ネエ 嬢嬢。御母様。母さん。母。查某子教。斷臍。女の子が母に臍の緒を切る方法を教へる。釋迦に説法。

ニウ パン 糧房。租税・契税及び田園墾墾の事を司る官若しくは其の官衙。

ニウ ペエ 嬢父。御父さん。父。【老父】。

ニウ レエ 嬢嬢。嬢嬢。嬢嬢。

ニウ ロエ 嬢嬢。嬢嬢。

ニオ

ニオ 兩。(通)【兩】。

ニオ 梁。樑。糧。嬢。量。……(通)【ニウ 梁。樑。糧。嬢。量。……】。

ニオ 量。讓。……(通)【ニウ 量。讓。……】。

ニオ アア 嬢仔。(通)【嬢仔】。
ニオ アア 量仔。(通)【量仔】。
ニオ ウイ 讓位。(通)【讓位】。

ニオ ザウ 糧草。(通)【糧草】。

ニオ シア 兩聲。(通)【兩聲】。

ニオ シオ 兩想。(通)【兩想】。

ニオ テウ 樑柱。(通)【樑柱】。
ニオ テエ 量底。(通)【量底】。
ニオ ニオ 嬢嬢。(通)【嬢嬢】。

ヌイ

ヌイ 躑。(通)【躑】。

ヌイ 軟。(通)【軟】。
ヌイ 躑。(通)【躑】。
ヌイ 卵。(通)【卵】。

ヌイ アア 袖仔。(通)【袖仔】。

ヌン

ヌン 躑。孔や透間などに徐徐と這入る。潛込む。上孔に這入る。對竅孔出來。下水の孔から出て来る。手出來。手を孔から出す。柴入。灶孔。薪を竅の孔に入れる。批對批。批對批。紙をポストに入れる。蛇對石壁孔出來。蛇が石垣の間から出て来る。乞食灶孔濫。乞食の竅の様に何でもくべる。選ぶ所なく食する意。【躑】。

ヌン 軟。●(弾力性の物など) 軟い。柔軟。麻絨。餅が甚だ軟い。困仔の手竹較。子供腕は軟い。●(温かな) 温和な。心やさしい。●(心地) 心やさしい。●(性) 心地。●(柔らかな性質) 食硬無食。●(硬を食って軟を食はず) 相手。●(穩) 此方も穩に出るが、強く出れば此方も飽。強硬に出る意。●(ぐにやぐにや) ぐにやにする。●(多) 多し。●(手足) 手足がぐにやになる。●(此) 此款の生理眞。●(斯い) 斯い。●(商賈) 商賈は甚だ利益が多い。●(趁) 趁。●(錢) 錢。●(勞力) 勞力少くして利益の多い金を儲ける。●(水) 水の流又は火力など烈しくない。●(弱) 弱。●(溪流) 溪流。●(川) 川の流が急でない。●(火舌) 火舌。●(焔) 焔の力が弱い。(硬)の反對【軟】。

ヌン 躑。孔や透間などを勢よく抜ける。通抜ける。●(火車) 火車。●(噴孔) 噴孔。●(汽車) 汽車がトンネルを通抜ける。●(人縫) 人縫出來。●(人中) 人中を通抜けて來た。●(火縫) 火縫走。●(火) 火の中を潜って逃げる。●(賢) 賢。●(孔) 孔を潜るのが上手。●(金) 金の工面などが上手。【躑】。

ヌン 郎。(姓) 郎。

ヌン 榔。(植) やし。●(古) 古。●(椰子) 椰子。●(松) 松。●(欄) 欄。●(果) 果。●(實) 實。●(コ) コ。●(ブ) ブ。●(ラ) ラを製し油を探り、又薬用。●(飼) 飼料用となす。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ヌン 餛。皮の直下にある肉。●(篋) 篋。●(竹) 竹の同上。●(藤) 藤の同上。●(賦) 賦。●(内外) 内外。●(二層) 二層ある皮の内層。

ニオ

ヌイ

ヌン

ヌン

ヌン キイ 軟枝。● 糊した枝。● (種) 第一期作水稻
粳米の一品種。

ヌン キイ 軟蟻。(動) 蟻。蟻。【蟻】。

ヌン キイ アア ビイ 軟枝仔米。【軟枝】の(三)。

ヌン キイ アアレエ 軟蟻仔螺。(動) 蝸牛。蝸牛。

ヌン キイツツ 軟枝秫。(種) 第二期作水稻糯米の一品種。

ヌン キウ キウ 軟縮縮。餅などの軟い様。ぐにやぐにや軟い。

ヌン キウ キウ 軟縮縮。前に同じ。

ヌン キウ キウ 軟節節。粘強くて軟い。

ヌン キヨ 軟轆。擔架。吊臺。

ヌン キム 軟禁。手軟く監禁すること。又は監禁と同様にすること。

ヌン クツ 軟骨。軟骨。軟い骨。

ヌン クヌ 軟網。釣竿を用ひず岸に絲を結附けて魚を釣ること。【硬網】に對す。

ヌン グヌ 軟銀。目方の軽い銀貨。銀貨の目方の弱い。

ヌン ケエ 軟椽。田植始め又は稻刈始めなどに造つて食ふ團子の一種。

ヌン ケエヌン ハイ 軟談軟語。婉かな所作。なよめかしい身振。

ヌン ギエ 軟牙。● ぐらぐらした歯。● 浮いた歯。● 弱い

齒。● 没咄ぐらぐらした歯では噛めない。● 口論などして遠詰められる。閉口する。へこたれる。● 續く無話可應に頭遠詰められて返答が出来ない。

ヌン コオ コオ 軟糊糊。糊の様に軟い様。軟くて粘気のある様。

ヌン コク コク 軟翱翔。糊・泥・餅など軟い様。どろどろ。べたべた。

ヌン サウ 軟走。脱走る。ぐぐり抜ける。脱逃げる。

ヌン サア サア 軟汁汁。(種) 【軟溢溢】。

ヌン サン 軟叢。蔓のある植物。【硬叢】に對す。

ヌン シイ 軟卵。卵を薄く焼いて絲切にしたもの。

ヌン シエン 軟性。涙脆い性質。心弱い質。大人しい質。

ヌン シヨ シヨ 軟常常。餅など軟い。ぐにやぐにや。

ヌン シヌ 軟身。一時的佛公佛像など衣は着てゐるが胴から下は像身の無いもの。

ヌン シム 軟心。涙脆い。心弱い。惻隱。同情心。

ヌン シム 軟心。伊真——彼は眞に心弱い。彼は眞に同情心がある。

ヌン シム 軟趁。糊と撓む。撓ふ。竹篙——竹竿が撓ふ。——床に發條仕掛の寢臺。

ヌン シム シム 軟趁趁。前に同じ。

ヌン ジヌ 軟卵仁。卵の黃身。雞——雞の卵の黃身。

ヌン スン 軟酸。疲れて骨節が痛む。倦怠い。草臥れる。辛度い。——酷く徐徐に少しづつ騙取る。ぼつぼつと絞取る。

ヌン スン 軟爽。● ぶくぶく脹れたものに坐つた時などの氣持の好い様。● 晒着山床眞——西洋寢臺に寝ると氣持が好い。● 【軟亮】の(三)。

ヌン ズヌ 軟嫵。軟くして粘強い。麻糘——餅が同上。字寫了眞——字がよく練れてゐる。伊的人眞——彼は粘強い質だ。

ヌン セエ 軟勢。(品物を取扱ふ時など) やんわり。徐徐に。軟に。——共伊下落去——やんわりと置く。

ヌン セエ 軟睡。ぐにやりと垂下る。頭壳——頭をぐにやりと垂下げる。花——花がぐにやりと垂下る。【下る】。

ヌン セエ 軟睡。前に同じ。

ヌン ソソ 軟煉。薄焼卵。

ヌン ソカ 軟索牽猪。軟い細で豚を引く。温和な手段を用ひて懐柔する。

ヌン ソソ 軟趁趁。【軟常常】。

ヌン ソソ 軟睡睡。(種) 【軟睡睡】。

ヌン ソア 軟軟。絹など手觸よく軟い。

ヌン フオ 軟租。安い小作料。敷しくない小作料。【硬

ヌン

ヌン

ヌン

ヌン

ヌン 租に對す。

ヌン ヲク 軟槽。石灰を用ひず瓦を並べた屋根の溝。

【硬槽】に對す。

ヌン チア 軟弱。弱弱しい。弱い。嫩弱い。手弱い。

い。孱弱な。一査某手弱女。縮絡子似一

一人足の子が貴公子の様に弱い風をする。詐つて怠け又は骨惜しみするなど。

ヌン チイ 軟錢。苦勞を要せずして儲けた金。泡錢。

ヌン チイ 卵青。稍青みを帯びた鶯の卵の色。極く薄

い青色。

ヌン チイカン 鑣錢孔。抜目なく金儲の口を獲す。

ヌン チイ 軟絨絨。餅等の軟い様。ぐにやぐにや。

ヌン チウ 軟手。心の弱い。心柔な。伊較一彼

は心が穏だ。

ヌン チウ チウ 軟啾啾。次に同じ。

ヌン チウ チウ 軟啾啾。餅など軟い。

ヌン チエン 卵清。卵の白身。蛋白。

ヌン チヌ ポア 二稱半。次に同じ。

ヌン チヌ ポア ジイゴオクヌ 二稱半廿五斤。造

作も無い。容易い。譯も無いこと。一一一一一
就好造作も無く出来る。

ヌン チアム スイ 二點水。漢子の偏、二水。

ヌン チエン ハア 二重孝。二人の喪に服する。

ヌン

ヌン ツイ 軟水。強硬で無い。手弱い。手厳しくない。

ヌン ツイ 軟嘴。談判事など餘り強硬に出ない。穩當

に話をする。

ヌン ツウ 軟主。手厳くない。弱腰な相手。

ヌン ツン 驢鑽。彼方此方と才覺し歩く。彼方此方と

金儲の口などを見附け歩く。賢一一同上が巧い。一不値適撞才力で巧みに立廻るのは好運に出交すには及ばない。

ヌン ヲイ 軟梯。繩梯子。吊梯子。

ヌン テエ テエ 軟僕僕。非常に疲勞した時などの様

ぐんにやりと。ぐんにやりと。

ヌン トア 卵蛋。卵巢の内にある小さい卵。

ヌン トエ 軟地。地盤のよく固つてゐない土地。一

没使得起厝地盤の固つてゐない土地には家を建てることは出来ぬ。一身體のぶくぶくした肉のある部分。粒仔生在一一同上に腫物が出るた。【硬地】に對す。

ヌン トエ 軟體。身體が嫩な。なよめかしい。

ヌン トオ 軟肚。太腹。下腹。

ヌン トオ 軟土。軟い土。軟土。一深掘軟い

土は深く掘れる、即ち正直な人は能く騙される

といふ意。

ヌン トヲ 軟桌。鳥獸魚肉に野榮其の他を加へて料理

ヌン

した普通一般の料理、【硬桌】に對していふ。

ヌン ナイ ナイ 軟痲痲。花や葉など萎れる。凋む。萎

ヌン ニア 軟領。(垂)ソフトカラー。「びる。

ヌン 軟軟。彈力性のものなど軟い。軟弱。柔

軟。しなしなど。くなく。査某人的肉幼一
一女の皮膚は軟い。

ヌン 軟卵。未だ殻の固まらない卵。

ヌン ハイ ハイ 軟擲擲。病氣や疲勞の時など身體がへ

とへとになる。ぐんにやりする。

ヌン バヌ 二瓣。中子二つ。脚川一尻の形は中子

二つ。了到脚川一損をして空穴になった。

ヌン パア チウ 二巴掌。一兩手。兩手の掌。一一

大一二つの掌の大きさ。伊一一去南洋趁彼多
錢返來一彼は手ぶらで南洋に行き彼様に澤山の
金を儲けて歸つた。一兩手の指の數だけをいふ。

十。百。千。萬等を意味す。

ヌン バイ 軟派。(圖)軟派。「ツ。

ヌン パウ 卵包。白身で黃身を包んだ卵焼。オムレ

ヌン パン 軟房。勢力の無い【房】。強房食一勢

力のある【房】が勢力の無い【房】を虐げる。【房】
の◎参照。

ヌン パン 軟紡紡。絹物など着てふくふくしてゐ

る様。穿到一一絹物づくめ。御蠶括。

ヌン ヒョ チエン 二葉松。(植)にえふまつ。(二葉を有する臺灣赤松・琉球松の類の總稱)。

ヌン ビイ 軟米。【軟枝秣】。

ヌン ビイ 軟鼻。牛の從順なもの。牛貫——牛に鼻細を通す。

ヌン ビエツ チオウ ニノノ鬚。八の字鬚。【二ノ鬚】。

ヌン ビエン 二旁。雙方。兩方。——和解——雙方和解

ヌン ビツ 軟筆。【水筆】。

ヌン プイ 卵尾。極少な發育不充分の卵。

ヌン プイ ヌン プイ 軟肥軟肥。でぶりと肥えてゐる。でぶでぶと肥えてゐる。

ヌン ヘエ 驢火。火を通抜ける。火中をつき抜ける。

ヌン ヘエ コオ 驢火箍。祈禱師或は奇術師などの行ふ火渡術の如きものにて火を輪にした中を潛抜けること。

ヌン ト ペエ 卵白。白身。蛋白。

ヌン ト ペエ 軟皮。軟い皮。軟革。

ヌン ト ペエ チツ 卵白質。(軟)蛋白質。

ヌン ホアツ 軟法。穩當な手段。穩かな方法。用——
|| 同上を用ひる。

ヌン ボヲ 軟帽。老人や子供などの用ひる布で作った軟い帽子。

ヌン ポアツ チオウ ニノノ鬚。八の字鬚。

ヌン ポオ 軟哺。七下。午後三時頃より五時頃までの日光の弱くなった時を言ふ。

ヌン ポオ ポア 二歩半。①二歩半。②二足半。③極く近い。——的所在你亦要坐車——直近所なのに汝は仰に乗る。④造作もない。容易い。——就清楚喇——御茶子さいさいで片附いてしまふ。——也了嘮——朝飯前に済んでしまふ。

ヌン ラン 軟人。勢力のない人。——要堅硬地——勢力のない人が堅い地面に立ちたがる。不適當な地位に居るなどをいふ。

ヌン リアム 軟腫。脇腹。横腹。

ヌン リヲ 軟略。弱な。身體が軟で優しい。査某人較——女は弱だ。

ヌン ルヌ 軟煙。【軟煙】。

ヌン ロアヌ 軟軟。肌理が細くて軟い。査某因仔的肉較——女子の肉は同上。網仔布較——絹布は同上。

ヌン ロオ 軟路。①骨の折れない仕事。樂な仕事。趁——樂な仕事で儲ける。——錢——同上で儲けた金。②泡錢。不正當な金。——我我不敢趁——私是不正當な金は儲けきらない。

ヌン ロヲ 軟落。地盤など落窪む。地基脚——同上。

ネエ 奶。①阿母様。母。阿——同上。感——彼の母。

ネエ 企。①【企】。

ネエ 問。【問】。

ネエ 橋。【橋】。

ネエ 元氣の無い様。弱つてゐる。老人——老人は元氣が衰へてゐる。火較——火が下火になつた。聲較——聲が弱つた。

ネエ 草。①餘裕ある様。たつぷり。一丈較——一丈たつぷりある。三月日較——三箇月はたつぷり

ネエ イヲ 問腰。【問腰】。

ネエ 問問。へこへこ。飢——饑しくて腹がへこへこする。

ネエ ロヲ 問落。【問落】。

ノア

ノア 摺。掌に押當て摺ちる。摺ねる。摺るね。揉む。——衫——洗濯板などで着物を揉洗ふ。——菜頭——大根を揉む。——鹹菜——菜漬を揉む。

ノア 滑。①(姓)滑。②悶躁く。あがく。ぬたくる。倒——在——横つてぬたくつてゐる。扒床——席——寢臺の上で悶躁き苦む。狗——砂——犬が砂の——ぬたくつ

ネエ ノア

てゐる。

ノア 欄。●遮る。立塞ぐ。差止める。止める。人在相打、去共伊ー一咧人が喧嘩をしてゐるから行って引止めなさい。一開立塞ぐ。一路路を避る。●起擡頭の一。

ノア 欄。出入を防ぐ爲の籬。埒。矢來。圍。牛ー一牛の圍。猪ー一豚の圍。井ー一井戸側。

ノア 涎。唾。唾。噴。唾を吐く。流。涎を流す。痰。痰唾。一噴到面、自己拭起來顔に唾をかけられても自分で拭取れ、堪忍強くせよとの意。

ノア 爛。●糜爛する。爛れる。粒仔去腫物が爛れた。一目爛日。●腐る。腐敗する。一柴枯木。身屍ー一屍體が腐った。柑仔去蜜柑が腐った。臭桃ー李腐った桃に腐った李。●煮炊したものと軟い。肉煮去一即好食肉は軟く煮ないと美味くない。煤能ー一茹でて軟くなる。又其事柄を爲し切る、爲遂げられる。●どろどろ。一溝塵溝泥。一土泥土。一水田泥田。

ノア 爛。だらしが無い。無性でふしだらな。一性同上上の性質。人眞ー一性質が甚だだらしが無い。

ノア アウ 爛喉。(病) 口峽炎。

ノア アウ タヌ サア 爛喉疥癬。(病) 實布的里亞。

ノア アウ チエン 爛喉症。(病) 口峽炎。

ノア カウ ベエ 爛溝塵。溝泥。

ノア キアム サイ 爛鹹菜。(芥菜を漬ける時の方法) 菜に鹽を掛けて捏ちる如く揉む。

ノア キイ 欄去。受流す。遮って外に向ける。

ノア キイ 欄去。欄れる。朽ちる。腐る。腐敗した。

ノア キア 欄轎。轎の前を遮る。一訴寃一襦籠訴をする。

ノア タイ 欄開。喧嘩などを遮って分ける。仲裁して分ける。阻止する。差止める。

ノア コエ 爛疥。(病) 潰瘍性の皮膚癬。疥癬。

ノア コオ コオ 爛糊糊。次に同じ。

ノア コオ コオ 爛糊糊。どろどろ。煮到ー一どろどろになるまで煮る。

ノア サア 欄衫。洗濯の時など着物を揉む。

ノア サア 欄開。行手などを立塞ぐ。遮る。阻止する。

ノア サア 欄柴。朽木。枯木。

ノア シエヌ 欄癬。(病) 田蟲の如き皮膚病。濕疹。

ノア シエン 欄性。無性でだらしが無い質。

ノア シム 欄心。●樹木などの心が腐る。●爛心木。

ノア シム ボク 欄心木。(漆樹科)らんしんぼく。とりばはぜのき。

ノア セエ 涎垂。涎掛。圍ー一涎掛をかける。

ノア モエ モエ 欄髓髓。非常にどろどろしてゐる。

ノア アア 欄賤。ふしだら。だらしが無い。用钱眞ー一金使がだらしが無い。做事情ー一仕事がふしだらな。

ノア アア 欄割。粗略にする。ぞんざいにする。いい加減にする。「しが無い。

ノア アア 欄割。ふしだらでぞんざいな。粗略でだら

ノア アア 欄割。【糝】を捏ねる。

ノア アオ 欄阻。差止める。遮る。阻止する。止める。妨げる。阻碍する。遮止める。【欄開】。

ノア タウ 欄頭。或物事を要求し又は辭退する爲の詞或は争などせんが爲の口實。又は同上をする。起ー一同上。【起擡頭】と同じ、同條を見よ。

ノア タン 欄冬。收穫の際に雨が降續くこと。長雨。

ノア テイ 欄止。【欄阻】。

ノア テウ 涎髮。唾の逆。口泡。伊講話講到ー一唾噴彼は口泡を飛して話をする。

ノア テアウ 欄痲。膿を持った大なる面癩。

ノア ツイ サヌ 欄水田。一年中水の有る水田。

ノア トオ 欄土。軟い土。泥。一無刺土に刺が無い、役に立たない者。意氣地無。欺負ー一無刺

泥に刺が無いとて馬鹿にする、弱い者いぢめを

ハア

在灶孔前焼籠の前に屈んで火に當る。●(白・氣味など)鼻を衝く。蒸返す。細仔間仔住彼多人、人氣眞ちひま所にあんなに大勢住んで居るから人の氣で蒸返される。●勢力を恃む。疊に着る。一勢同上。一官勢政府の力を疊に着る。【焔】。

ハア 段。(性)段。

ハア 瑕。(性)瑕。●瑕。●玉有帶一翡翠に瑕がある。一痕一罅。

ハア 霞。(多)霞。雲一雲霞。

ハア 結。●帯など締める。縛る。褲帶一較緊一帯をもつと締める。●袴を穿く。一裾一袴を穿く。スカートを穿く。●一刀一刀を帯びる。

ハア 下。(性)下。●下。上中一上中下。●上不顧一上を見て下を見ない、抜目の多い意。●一等一二等。●大小便下る。通ずる。大便没一大便が出ない。●牛商人の隠語。二。一斤二斤。【下】。

ハア 夏。●(朝名)夏。●夏。一季一夏季。

ハア 暇。(多)閑暇。閑一閑暇。應接不一應接するに暇なし。

ハア 嘘。【嘘】の○。

ハア 嘩。大勢の騒ぐ聲。わいわい。がやがや。歸街到

ハア

一起来町中のもが騒立てる。外口一甚事一外でわいわい騒ぐのは何事ですか。一倚來一がやがや騒いで集って来る。

ハア 唯。(疑問氷解又は感歎などの感動詞)唯。ああ。一原來都是如此一ああ、成程左様ですか。一可惜我無錢一ああ残念な事に私には金が無い。

ハア 縶。鞵鞵を包む皮。甲一竹の皮。蔗一甘蔗の皮。ハア 合。適合する。合致する。合せる。刺鞋一着脚一縫上げた靴が足に合ふ、願ったり叶ったり又は棚から牡丹餅などの意。與兄弟没一兄弟と合はない。一題目一題目に適合する。一主意一主人の氣に向く。音子無一音色が合はない。一絃管一樂器を合せる。

ハア 哄。恐喝する。強迫する。嚇す。威嚇す。不可一人一人を威嚇してはいかぬ。仙一都一不認一幾ら威嚇しても白状しない。【哄】。

ハア 唯。(肯定又は承諾の意を示す感動詞)唯。へえ。一、是都着一へえ、その通りです。

ハア 懸。●懸る。凭掛る。日一山一山日が山に懸る、日が西山に傾く。一鳥一暮掛る。●(事が中途で引掛って進行しない)其儘。事情一得一事が其儘

ハア 唯。(承諾の意を示す感動詞)へえ。はあ。一叫無所不是一何事にもへえへえ言ふ。

ハア

ハア 唯。(承諾の意を示す感動詞)へえ。はあ。一叫無所不是一何事にもへえへえ言ふ。

ハア 跨。跨ぐ。一過溝仔一下水を跨ぐ。一入門一敷居を跨いで家へ入る、一了没大漢一人に跨がれると大きくなならない。

ハア ア 結仔。第二期作の稻の苗の先を切つて束に揃へたもの。播一同上を植ゑる。

ハア ア 籐仔。竹などの葉鞵を包む皮。ハア ア 唯啊。何ですか。何をいふのですか。ハア イ 下院。(園)衆議院。下院。

ハア イ 合意。氣に入る。氣に合ふ。合意。無一項能一氣に入るものは一つもない。ハア イ シエヌ 嘘嚙先。【嘘嚙先】。

ハア イ ウ 合様。形に合ふ。衫做無一作った着物が形に合つてゐない。ハア イ エヌ 下洗。(多)下洗。下甸。ハア イ エン 合用。使ひころ。實用に適する。此枝刀仔不止一此の小刀は非常に實用的だ。無一實用に向かない。

ハア イヲ 結腰。帯をしめる。 「つた。

ハア イヲ 唯喲。嗚呼。——眞無采。——あ實に惜しか

ハア ウイ 下位。(冬) 下座。下の位置。居——下座

ハア ウウ 夏雨。(冬) 夏の雨。 「に居る。

ハア ウウ オン 夏禹主。夏の禹王。

ハア ウヌ 合韻。韻が合ふ。做詩着有——詩を作

ハア オオ 懸鳥。日暮。夕方暗くなる。暮れかかる。

ハア オオ コオ ア 下鳥糊仔。黒い帷子布の一種。

ハア ヲア 締倚。束ねる。結ぶ。締括る。柴共伊——

ハア ヲア 夏畦。(入類の始祖と稱せらるる女性)エバ。

ハア ヲア ヌ 下洗。(冬) 下洗。下甸。

ハア カア 下嫁。(冬) 降嫁。

ハア カア 夏假。(遊) 暑中休暇。

ハア カア 合脚。足に合ふ。足に適する。此双鞋較

ハア カイ 下界。(冬) 下界。

ハア カム 下疳。(腫) 下疳。

ハア カン 下降。天降る。降臨。降世。仙女——天

ハア カン 女が天降る。天神——天の神が降臨する。

ハア カン 合孔。榫など孔に合ふ。適合。向く。榫頭

——榫が孔によく挿る。此號頭路適好——

着伊——此様な職は丁度彼に適合してゐる。

ハア キイ 下去。入聲の下去。

ハア キイ ライ 嘩起來。哄然騒立てる。蹄街——

ハア キウ 取丘。(性) 取丘。

ハア キウ リウ 下九流。娼妓・俳優・巫女・按摩・笛喇叭

ハア キエ ヅ 夏桀。(冬) 夏の桀王。——商紂同上と

ハア キオク 夏菊。(種) 夏菊。夏に咲く菊。

ハア キア 下級。(圖) 下級。

ハア ギヲ 合曉。眼が少し開いてゐる。眼が細い。日

ハア クイ 夏季。夏季。

ハア クウ ア 彼久仔。暫時の間。追つけ直に。——

ハア クヌ 結構。袴を穿く。

ハア グウ 下愚。(冬) 下愚。

ハア グヌ 下銀。悪銀。粗銀。

ハア グラ ヌ 下銀。(銀) 前に同じ。

ハア ケエ 跨過。跨ぐ。——溝。溝を跨ぐ。

ハア ケエ ソエ 跨過衰。人の頭上を跨いで侮辱する。

ハア コア 下官。——(謙遜) 小官。卑官。

ハア コア ヌ 合管。調子が合ふ。調子が調ふ。你的絃

ハア コア ヌ 合欸。見本又は形などに合ふ。貨與原

ハア ゴア ヌ 下元。陰曆十月十五日の稱。下元。

ハア ゴオ 下午。午後。晝後。晝過。

ハア サア 孝移。喪服。

ハア サア 取曉。(冬) 次に同じ。

ハア サウ 取曉。次に同じ。

ハア サウ 取曉。桶など乾いて隙間が出来る。乾燥く。

ハア サウ ノオ 合身服。次に同じ。 「が出来ぬ。

ハア サウ ホオ 合身服。身にぴったりと合ふ下着。肉

ハア サウ ヌ 下田。下田。下等の田地。

ハア サム 夏蠶。夏蠶。晚蠶。

ハア シアウ 下疳。——尿の鹽類過多症にして關節

ハア

ハア

ハア

ハア

の瘡病。致一同上に罹る。●下手糞。弱蟲。成一淡淡事亦没曉得。下手糞だね、こんな
に容易しい事までも出来ないとは。

ハア シアウホン 下痢瘋。前に同じ。

ハア シイ 合時。時に合ふ。時宜に適する。衫襖無一
一衣服が時に合はない、流行後。死得一、
生氣猶存。死すべき時に死せば生氣猶存す。

ハア シウ 下壽。六十歳をいふ。

ハア シホク 下宿。(國) 下宿。

ハア シホク 下屬。屬僚。下役。下手。配下。一人的
人。下役の者。伊的。彼の部下。彼の下に
つくもの。

ハア シオン 下癆。(又) 男子八歳より十一歳までの間
に死ぬこと。天死。

ハア シヨ 嘘燒。息を吹いて暖める。膏藥一即搭
一膏藥を息で暖めてから貼付ける。

ハア シヨ 焯燒。湯氣・火氣などに當てて暖める。菜
湯着。お茶を暖めなければならぬ。

ハア シヌ 合身。體に合ふ。此副衫襖較一此の
服はよく體に合ふ。

ハア ジツ 夏日。夏日。

ハア ジア 下入。八聲の下入。

ハア ジム 合任。適任。伊做庄長不止。彼は

ハア

庄長として非常に適任だ。「理」

ハア スイ 下水。鶏・鶩などの内臓を煮て羹にした料
ハア スウ 合軀。(漢) 合身。

ハア スウ 下士。(國) 下士。

ハア スヌ 下旬。(國) 下旬。

ハア セエ 焯勢。勢力を恃む。疊に着る。我不驚伊
一彼が勢力を恃んでも私は畏れない。

ハア ソア 倚山。船が陸に近づく。船一同上。

ハア ソア 懸山。日などが山に入掛る。日頭一上。
上。

ハア アヲ 下作。下賤。卑賤。賤しい。一頭路。賤
業。一東西。下賤な者。下卑藏。下種。

ハア キア ハア 孝孿。喪の上に喪を重ねる、二人
の喪に服する。

ハア タイ 下臺。合ふ。折合ふ。適する。適合する。
不止。甚だよく合ふ。よく適する。此號頭
路我沒。この仕事は僕には適合しない。伊
與伊沒。彼と彼とは折合はない。

ハア タイ 合臺。前に同じ。

ハア タクワイ 合頭槌。合ふ。合致する。適合する。
此號頭路伊有。此様な仕事は彼によく
向く。二個有。二人はよく折合つてゐる。

ハア テウ 合手。手に合ふ。手頃。此枝鋤頭真一

ハア

此の鉄は手頃だ。

ハア テウ 喝噓。「喝噓」。

ハア チエクツ 下則田。下田。「下賤な」

ハア チエヌ 下賤。下賤。賤しい。人品。人品が
ハア チエヌクツ 下賤骨。下品。賤しい質。生成
一。生附が下種。

ハア チエヌソウ 下賤書。官職書を發する。

ハア チエヌトエ 下賤底。過去に賤しい職業をした
人。賤しい素性。一的人没使得考教
同上の者は考試を受けることが出来ぬ。

ハア チエヌラン 下賤人。賤しい人。下人。

ハア チエン 下情。(又) 下意。下情。民情。一上達
一。下意上達。

ハア チエン 合症。病に合ふ。藥有。病就快好
藥が病に適合すれば病氣も早く治る。

ハア チアウ 夏朝。夏の時代。夏の朝。

ハア チエン 孝燈。喪中に吊す提燈。

ハア チエン 下等。下等。下賤。賤しい。下流。一
階級。下等階級。一頭路。下賤な仕事。

ハア チエン ハア 下等下。最下等。極。一的貨。最
最下等な品物。乞食算。一。乞食は最下等

ハア チオン 孝中。喪中。

ハア チオン 夏蟲。夏蟲。

「な者だ」

ハアチヲ 焯着。毒氣又は火氣などに當る。觸れる。

ハアチヲ 毒氣。毒氣に當る。火。火の氣に觸れる。

ハアツイ合嘴。口觸が好い。口に合ふ。脾土無開

食物就没。食欲が進まないから食物が口に合はない。

ハアツイト合水土。風土氣候に馴れる。若無

一就能破病。同上しなければ病氣に罹る。

ハアツク 瑕疢。(文) 瑕疢。瑕疢。

ハアツシ 孝杖。父母の葬式の時子について行く杖。

麻布を附けた梧桐の杖。手弁。即知可哀。手に喪の杖を持って始めて哀を知る、親が亡くなってから初めて親の恩を知る意。

ハアテエ 懸得。事など途中に引懸つてゐる。宙ぶら

りになつてゐる。事情。事件が其儘になつてゐる。

ハアテエフウ下地府。閻羅王に病人の死期を問ふ

爲に「筆」などが睡眠中地獄に下る。

ハアトエ合題。題意に合する。話講無。話が

演題の意に合はない。

ハアトヲ 精刀。刀を帯びる。

ハアトヲ 厦島。厦門島。

ハアトヲチエン 厦門銃。厦門の種。一圓銀を七匁

六分に衡る秤。

ハアトク下毒。毒を混入れる。殺人。毒を混ぜて人を殺す。毒を下す。毒を出す。此帖薬

是要。此薬は毒を下すに使うのだ。

ハアナア 哄哄。【哄哄】。

ハアナア 焯焯。【焯焯】。

ハアナア 懸懸。【懸懸】。

ハアナア 跨跨。【跨跨】。

ハアナア 結領。襟をつける。襟をかける。

ハアナア 湯氣。湯氣や火氣などに當てて軟かくする。

ハアナア合欄。しっくり合ふ。合致する。適合する。二個没。二人は和合しない。應話不止。答へた事が彼の心によく合ふ。伊做保正。彼は保正として適任である。

ハアハア 嘘嘘。笑。あはあはと笑ふ。からからと笑ふ。けたけたと笑ふ。大母聲笑到。叫。大きな聲でからからと笑ふ。【嘘】の(一)。

ハアハア 焯焯。【焯】の(一)。

ハアハア 嘘嘘。笑。あはあはと笑ふ。からからと笑ふ。はあはと笑ふ。笑。同上。

ハアハア 結結。【結】。

ハアハア 嘩嘩。一。哮。嘘嘘と騒ぐ。一。滾。同上。

ハアハア 嘘嘘。あはあはと。笑。あはあはと笑ふ。【嘘】。

ハアハア 下下。【下等下】。【下】の(一)。

ハアハア 合合。【合】。

ハアハア 嘘嘘。喇叭などの音。鼓吹。一。哮。喇叭がぶうぶうと鳴る。蜂。蚊などの飛ぶ音。蚊。一。哮。蚊がぶんぶん鳴く。

ハアハア 哄哄。【哄】。

ハアハア 焯焯。【焯】。

ハアハア 懸懸。【懸】の(一)。

ハアハア 跨跨。【跨】。

ハアハア 嘘嘘。息などはあはあ。ふうふう。一。喘。あはあはと息切する。一。哮。同上。一。門。開。一。門を開放にする。嘘。開。一。大きな口を開けてゐる。【嘘嘘】。

ハアハア。曖昧な返事する時にいふ。伊。一。彼はふんふんといった。彼は何方ともいはない。

ハアハア クヌ 嘩嘩。次に同じ。

ハアハア キヲ 嘩嘩。嘘嘘。嘘嘘と騒ぐ。嘘嘘。

ハアハア キヲ 嘘嘘。喇叭などぶうぶうなる。蚊などぶんぶんなく。

ハアハア キヲ 嘘嘘。前に同じ。

ハアハア ヲア ヲア 嘘嘘。はあはあはと息切する。

ハア

ハアハアヲ 噫噫笑。 からからと笑ふ。

ハアハアヲ 嘩嘩震。 【嘩嘩叫】。

ハアハアハウ 嘩嘩哮。 【嘩嘩叫】。

ハアハアハウ 嘘嘘哮。 【嘘嘘叫】。

ハアハヌ 下潜。 (又) 下潜。 下旬。

ハアハウ 荷包。 【荷包】。

ハアハヌ 下弊。 ●品物など下等な。 一的貨較俗

●下等の品物は安い。 ●悪い所にしても、少くとも。 極一賞金亦有五十元 賞與金は極く悪い所にしても五十圓位はある。

ハアハ 結帆。 帆を絞る。

ハアハ 嘘嘘。 欠。 欠をする。

ハアハ 嘘嘘先。 なたにた笑つてゐる人。 にやにやと笑つてゐる者。 ぽかんと口を開けてゐる

ハアハ 下血。 血便を下す。

ハアハ 下弦。 (又) 下弦。

ハアハ 下民。 (又) 下民。 賤民。 細民。

ハアハ 下平。 八聲の下平。

ハアハ 合牌。 ●食物など消化し易い。 物到無一

一就不可食 同上の物でなければ食へてはいけない。 ●氣に入る。 適意。 好。 影戲是我第一。 一 僕は活動寫眞が一番好である。 做到能被人一 是真難 人の氣に入る様にする事は

ハア

甚だ困難だ。

ハアハ 下婢。 (又) 下婢。 下女。

ハアハ ト合牌土。 【合牌】。

ハアハ 下筆。 染筆。

ハアハ 下品。 (又) 下品。 一人做一頭路 下品

な人は下品な仕事をする。

ハアハ 瑕痕。 瑕。 磨痕。 磨痕。 水缸有 水甕

に磨痕が入つてゐる。

ハアハ 懸雲。 薄雲がかかる。 月一 月に同上。

ハアハ 下園。 下等の畑。

ハアハ 下間。 (又) 下間。 不恥 下間を恥ぢず。

ハアハ 孝尾。 ●喪の終り。 ●孝尾子。

ハアハ キア 孝尾子。 喪の終頭出来た子。 役に立たぬ子を罵つていふ。 「か。

ハアハ 夏皮楠。 (種) 薔薇科) にひたかかまつ

ハアハ 下花。 ●下等。 下品。 鄙劣。 我不是 的

人 私はそんな下種者ではない。 ●下手。 駄目。

無用。 到彼 絶無趁無食 稼いで食つてい

けない様なそんなに意氣地なしか。

ハアハ 夏候。 (種) 夏候。 「だ濟まない。

ハアハ 孝服。 喪服。 喪。 忌服。 未滿 喪が未

ハアハ 下方。 下方。 甘拜 甘んじて降服す

る。

ハア

ハアハ 蝦蟇。 (動) 蝦蟇。 蝦蟇。 一 跳在三絃

頂 蝦蟇が三味線の上で跳つてゐる、亂調子又は

下手な樂人を罵つていふ。

ハアハ 合盤。 算盤が引合ふ。 算若能 一 就可做

一 勘定が引合へばやつても宜しい。

ハアハ 下輩。 ●下輩。 目下。 比我較 一 私よ

りは目下だ。 ●賤しい奴等。 下流。 此號 一 的

話没信憑得 一 斯る賤しい奴等の話は信用する

ことが出来ぬ。

ハアハ 夏布。 夏地。 夏物。

ハアハ 下僕。 (又) 下男。 僕。

ハアハ 下馬。 ●下乗。 下馬。 ●詔ふ。 頭を下げる。

對你不免 一 お前には頭を下げなくてもよ

い。 お前に詔ふ必要はない。

ハアハ 下馬威。 官吏が擬勢を張る。 新任官

就展 一 新任の官吏が先づ擬勢を張る。

ハアハ 下馬禮。 (種) 臀部に出来る疔癰。

ハアハ 下馬牌。 下乘牌。 下馬札。

ハアハ 嘔嘔。 手織の名。 フランネル。

ハアハ 焯焯。 【焯焯】。

ハアハ 焯焯。 【焯焯】。

ハアハ 下下。 【下下】。

ハアラア 嘘嘘。【嘘嘘】の⑤。

ハアラア 合合。【合合】。

ハアラア ニイ 嗶嗶。毛織物の名。フランネル。

ハアライ 孝内。喪中。忌中。忌中。

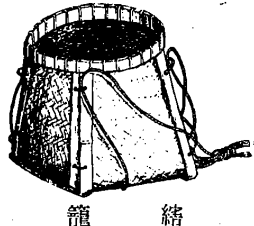
ハアララ 下轄。●頭を抑へて馬鹿にする。いちめる。愚弄する。尻に敷く。●爲し遂げる。やつてのける。此號事我ー没起！こんな仕事は僕には

やつてのけられない。

ハアラヌ 牙嘯。(連)【牙嘯】。

ハアラム 結籠。擔籠の一種。

ハアラシ 箆籠。内側に【甲箆】を敷き外側を竹で編んだ擔籠の一種。



籠 結

ハアラシイイ 合人意。人の氣にいる。做到ー

ハアラシイ 人の氣にいる様にする。

ハアラシキイ 押人氣。人の氣に當る。ー真熱

ハアラウ 下僚。屬僚。下役。下僚。

ハアライ 下痢。(連)下痢。腹を下り。

ハアリウ 下流。下流。下人。下等社會

不肖！下賤で役に立たない。

ハアリエヌ 孝聯。喪中戸に貼る聯。

ハアルウ 瑕呂。(連)瑕呂。

ハアルウ 下女。(連)下女。

ハアロエ 箆笠。竹の皮の笠。筍の皮の笠。

ハアロオ 孝路。葬式に使ふ物。葬具。備辦ー同上を準備する。

ハアロオ 霞露。(連)霞露。

ハアロオ 合路。適任。適役。時好に投ずる。氣に入る。適應。若是某人就不止ー若し某ならば非常に適役だ。

ハアロオ 唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

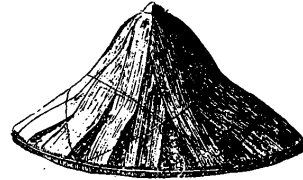
ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。

ハアロオ 唯嘯。唯嘯。【唯嘯】。



笠 箆

ハイ 骸骨を掘出して其の墓地を横領する。

ハイ 諸。否味をいふ。皮肉を言ふ。講話要！人一人に否味をいふ。

ハイ 亥。(連)亥。●十二支の一。亥。一年亥の年。

ハイ 害。●害する。損ふ。相ー相害する。一人一人を損ふ。一人則ー己一人を害するは則ち己を害するなり。天一人即能死、一人没死、天人を害すれば則ち死し、人人を害すれば死する事なし。●害。災ー災害。受ー害を受ける。一利一利一利一害。有ー於社會社會に害有り。●酷い目にあはせる。人に迷惑をかける。損害を興へる。損をさせる。我被伊ー一下眞忝、僕は彼に酷い目にあはされた。一人了錢、人に損をさせる。一人空行、人に徒足をさせる。一人冤家、人に喧嘩をさせる。●困る。萬一若没赴就、萬一間に合はないと困る。今都、喇、さあ困った。●役に立たぬ様になる。廢れる。●悪くなる。目眈無看見、今伊、喇、目が見えなくなつた、もう彼は役に立たぬ。身命、去、身體が悪くなつてしまつた。車母、去没行、機關車が毀れてしまつて動かない。●死ぬ。某人、去、某は死んでしまつた。

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハイ 咳。呻吟る。嗟嘆する。ー叫呻吟る。你

ハア

ハイ

ハイ

ハイキアア 海峡。海峽。追門。

ハイキイ 海境。海邊。海邊。濱邊。海岸。海際。一風真透海邊の風は非常に強い。

ハイキイ 海境。前に同じ。

ハイキイ 海氣。潮氣。一激雨潮氣が雨になる。

ハイキイ 害去。一悪くなる。毀れる。破損。事情。一事が悪くなる。打。一毀した。一死ぬ。某人。一某は死んだ。

ハイギア 海鵝。一信天翁。一ペリカン。一鵝の

ハイギア 海鵝。一海嶼。一沙蠶。一餌蟲。

ハイクウ 海龜。一海龜。

ハイクウ リイアア 海苦力仔。海岸の苦力。内地人などを罵っていふ。

ハイクツ 骸骨。骸骨。

ハイクヌ 海軍。海軍。水軍。舟師。

ハイクヌ シエン 海軍省。一海軍省。

ハイクヌ タイシヌ 海軍大臣。一海軍大臣。

ハイゲエ 亥月。一亥月。

ハイコアヌ 海關。税關。海關。

ハイコアヌ 海權。一海上權。

ハイコアヌ セエ 海關稅。關稅。輸出入稅。

ハイコアヌ トヲ 海關道。海關の事を掌る官。

ハイコアヌ ニウ 海關量。昔稅關に用ひた秤。

ハイコアヌ ビエン 海關秤。昔稅關に用ひた秤。

ハイコエブウ 海雞母。一海鷗。一船の入ったときなど仲買をするもの。才取。

ハイコオ 海寇。一海賊。

ハイゴエ 海外。海外。去。一趁食海外に行つて稼ぐ。一發展海外發展。

ハイゴエ 海挾。海峽。追門。

ハイゴラ 海鵝。一海鵝。

ハイサウ 咳嗽。一咳嗽。咳。

ハイサヌ 海産。海産。

ハイサヌ ブツ 海産物。一海産物。

ハイサイ 亥在。平氣。自若。物に驚かない。落着く。沉着。一おめずおくせず。

ハイサイ 解多。怪獸の名。牛に似て一角ある山羊なりと云ふ。高等武官の服に縫付けて飾とす。邪惡を除くと云ふ。

ハイサイ 海菜。海苔。昆布の總稱。

ハイサイ ポオ 解多補。一解多を縫付けた官服。

ハイサウ 海草。海草。海藻。海松。

ハイサウ ヲエ 害草鞋。一好貼土髒脚。破れ草鞋は靱白の下にすけるに用ひる。廢物で餘り役に立たぬ意。

ハイサツ 海賊。海賊。

ハイサツ ツヌ 海賊船。海賊船。

ハイサン アア 海權仔。一権みふくらぎ。琉球夾竹桃。(夾竹桃科、樹液は吐瀉・下劑に用ひらる)。

ハイシイ 海勢。一海口勢。

ハイシイ 害死。一殺す。殺害。毒殺。一生靈殺生。一生活上の利益又は伸行く前途などを悪くする。被伊。一即没出身。一彼に同上されたか。出世が出来ない。

ハイシイ 亥時。亥の時刻。

ハイシイ ラン 害死人。一害死。

ハイシウ 海獸。海獸。

ハイシオン 海相。一海軍大臣。海相。

ハイシオン 海上。海上。

ハイシヌ 海神。海神。龍神。

ハイシム 海參。一海參。海風。

ハイジイ 孩兒。孩兒。赤ん坊。一色。赤坊の色。肉色。雙手抱。一憶着父母時。一兩手に赤ん坊を抱いて初めて父母の事を思出す。子を持つて知る親の恩。

ハイジイ アア 孩兒仔。前に同じ。一色。肉色。

ハイジイ アン 孩兒紅。赤子の皮膚の様な色。淡紅。

ハイジイ テエ 孩兒茶。(藥) 阿仙藥。(熱帶地方に産する葷科のあかしあ・かてちうの心材及び樹皮よ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

り製したる單寧性のもの、健胃劑、收斂劑、又清涼劑として使用せらるる。

ハイジヌ 害人。人を害する。人を損ふ。一利己人を害して己を利す。一則害己人を害すれば則ち己を害す。

ハイ スウ 海嶼。小島。島。

ハイ ソア 海砂。海の砂。

ハイ ソア ポオ 海沙埔。海邊の沙原。干潟。瀉。

ハイ ソア 海線。●海の洲。船寄。一船が海の洲に

乗上げる。●(新) 海岸線。

ハイ ソム 海參。(動) 海參。海鼠。

ハイ フア 海蛇。(動) 海蛇。

ハイ フア チイ ロオ 海紙錢魯。(植) (千屈菜科) みづ

がんび。みづはぎ。

ハイ フヲ 海藻。【海藻】。

ハイ タア 海膽。(動) 海膽。

ハイ タイ 麥大。大い。

ハイ タイ サイ 海帶菜。(植) 昆布。荒布の類をいふ。

ハイ タウ ゲエ 海豆芽。(動) 大蜆。

ハイ タン 海冬。●海産收穫期。海産物の多く採れる時期。到。一真無閉。收穫時期に入ると非常に忙しい。●海からの收穫。今年。一真有。今年。非常に收穫がよい。

ハイ

ハイ タン 害蟲。●害蟲。●悪者。一庄没堪得一尾。一尾に悪者が一人でも居たら大變だ。

ハイ タン タン 害桶桶。滅茶苦茶に悪くなる。非常に悪くなる。事情。一事情が非常に悪くなった。事が面倒になった。

ハイ タン 青。海東青。(動) 鷺の類にして青色を帯び遠東に産す。

ハイ チイ シヌ ロオ 海市蜃樓。蜃氣樓。

ハイ チウ 海象。(動) 海馬。龍落子。

ハイ チエヌ 海戰。海戰。水戰。

ハイ チヨ 海石。輕石。

ハイ チイ 海猪。(動) 海豚。

ハイ チイ ア 海猪仔。前に同じ。

ハイ チイ ブウ 海猪母。前に同じ。

ハイ チエン 海程。(國) 海程。

ハイ チオン 海中。海中。

ハイ チオン 海漲。津浪。海嘯。

ハイ チヨ 械闘。(魚) 械闘。

ハイ チヌ 海藤。(植) 藤黃。藤黃料、樹脂を工業用の染料となし又薬用として緩下劑となす。

ハイ ツイ 海水。潮。海水。潮水。一雖潤船頭亦能相遇着。海は廣いが船は衝突する事がある、廣い様でも世界は狭い。

ハイ

ハイ ツイ イエヌ 海水煙。潮煙。海水のしぶき。

ハイ ツイ イオク 海水浴。(國) 海水浴。

ハイ ツイ ホエ 海水花。潮煙。海水のしぶき。

ハイ ツヌ 海豚。(動) 海豚。

ハイ トア 海帶。(植) しなほんだはら。(海中に産する褐色の藻類にして、乾燥して水にて煎服すれば瘰癧、結核等を治し、又利尿に効あり)。

ハイ トア 海嶼。(動) 海嶼。

ハイ トア 海灘。泥濘のある海邊。李世民落。一唐の太宗が同上に入る、大いに危難に遇ふ意。

ハイ トア サイ 海帶菜。【海帶菜】。

ハイ トエ 海底。海の底。一摸針。海の底で針を探す、出来難い事をいふ。

ハイ トエ ヒイ チイ 蟹底魚翅。蟹。椎茸。鱺の鱠等を材料にした料理。

ハイ トオ 海島。(魚) 【海島】。

ハイ トオ 海岡。海岡。

ハイ トオ 械闘。(文) 地方民と地方民との争闘。漳州人と泉州人との戦争など。械闘。

ハイ トオ 害蛇。【害】の(害)。

ハイ トオ 海土。海の底の土。海底の泥。

ハイ トロ 海島。島。

ハイ トロ 海盜。海賊。

ハイ トク 毒毒。(毒) 毒毒。

ハイ トン 海棠。(種) (薔薇科) 海棠。

ハイ トン 海桐。(種) とべら。(海桐科、葉を煎服して

リウマチス、風邪を治す)。

ハイ トン チェン 海東青。【海東青】。

ハイ トン トン 害當當。【害桶桶】。

ハイ ナイ 擲擲。【擲擲】の①。

ハイ ナイ 還還。(同) 【還還】。

ハイ ナイ 贈贈。(同) 【贈贈】。

ハイ ニイ 海裡。海中。海の中。——無魚第一 鮎

海に魚のない時は赤鱸が第一、鳥なき里の蝙蝠。

——無魚三界娘 仔爲王 海中に魚が居ない

と目高が王となる、同上の義。——摸針 海中

で針を探す、出来難い事をいふ。

ハイ ハイ 哈哈。笑——大きな口を開いて笑ふ。嘴

裂——大きな口を開く。

ハイ ハイ 海海。大まか。大ざっぱ。こせこせしない。

做人——爲人が餘り勘定高くない。朋友間

——就是 相互の間はおほまかでない。

ハイ ハイ 害害。【害】の②。

ハイ ハイ 咲咲。うんらん。——辱 うんらん呻吟る。

——沸 同上。了到——叫 損して泣言をいふ。

ハイ ハイ 擲擲。●歌——(病氣などの時)ぐにやぐに

やになる。●【擲】。

ハイ ハイ 還還。【還】。

ハイ ハイ 贈贈。【贈】。

ハイ ハイ 咲咲。——辱 うんらん呻吟る。ふうふ

ういふ。●歌——(病氣・疲勞の時など)へとへ

とになる。ぐにやぐにやになる。

ハイ ハイ キイ 害害去。毀れる。滅茶苦茶になる。

此頂帽仔——此の帽子は滅茶苦茶になった。

ハイ ハイ ハイ 変々々。とても大きい。腹肚——

腹が大變大きい。

ハイ ハン 海魴。(動) 鱈。赤鱸。

ハイ バウ ビイ 亥卯未。十二支の亥卯未。——

三合 亥卯未三つの相性。——煞在西 亥卯未の干支は西が鬼門だ。

ハイ パア 海豹。(動) 海豹。

ハイ パッ サイ 海雹菜。(種) あのみどり。(海藻類に

して食用となす)。

ハイ パッ コラ 海八哥。【烏鸛】。

ハイ ビイ 海魚。海の魚。海魚。山猫 想像——山

猫が海の魚を欲しがると、高根の花などの意。

ハイ ビイ 海味。海産物。市場——到眞少 市場に

は海産物が餘り來てゐない。

ハイ ビイ 海面。海面。海上。海面。海面。——平

平 海が穏だ。——討食 漁師の生活。

ハイ ビイ 海鱈。(動) 鱈。鱈。

ハイ ビイ 海坪。海岸の傾斜地。海濱。潮の満干する

ハイ ビイ シアウ 海螺蛸。(種) 烏賊の甲。(切創の

止血薬又は齒磨粉の原料となす)。

ハイ ビイ 海邊。海邊。海岸。濱邊。磯邊。

ハイ ビイ 海鼻。岬。崎。

ハイ フヌ 海粉。索麵に似た海藻の一種、食用となす。

ハイ フヌ リエク 海粉緑。海水の色。

ハイ プウ チョ 海浮石。輕石。

ハイ ヘエ 害貨。瑕物。——無人要買 瑕のある品

物は誰も買はない。

ハイ ヘエ シウ 海和尚。海坊主。妖怪。

ハイ ベエ 海馬。(動) 海馬。龍落子。

ハイ ホア 海岸。●海岸。海邊。——拾着鱉 海岸で

甲蟹を拾った、好運に出會す意。●海の堤防。築

——同上を築く。

ハイ ホア ソア 海岸線。【海岸線】。

ハイ ホア ヌ 海反。●海中の魚貝が反亂する。家内の

騒動。先生無在館學生搬——先生が教室

に居ないと生徒は騒動し出す。●劇曲又は山車

物の名。粧——同上を出して行列する。

ハイ ホエ 海蟹。(動) 海蟹。

ハイ

ハイホエ 害貨。(海)【害貨】。

ハイホエ シウ海和尚。(海)【海和尚】。

ハイホオ 海虎。(動) 海獅。

ハイホオ 遼遼。(交) 遼遼。出會ふ。

ハイホオ ジオン 海虎絨。海獅の毛皮の様に織った天鵝絨の一種。

ハイホオリイ 海狐狸。(動) 臘腸。

ハイホン 海風。海風。潮風。起——海風が起る、低氣壓の前兆。

ハイホン 海防。港口を警備する役。海防。

ハイホン チア 海防廳。港口を警備する役所。

ハイホオ 害貨。(海)【害貨】。

ハイホオ シウ海和尚。(海)【海和尚】。

ハイポオ チア 海盤車。(動) 海盤車。

ハイポオ チア 海盤車。前に同じ。

ハイポオ 海埔。海岸。濱。沙干瀉。海岸の沙原。

ハイポオ キウ 海埔姜。(植) はまがふ。(馬鞭草科、果

實は煎服すれば解熱・頭痛に効あり、葉莖は煎服してリウマチス・神經痛を治す)。

ハイポオ 海波。(海)の波の泡。(海綿)。

ハイミイ 海綿。海綿。海綿。海綿。

ハイミイ 害物。毀物。上物。廢物。——較多貨底

瀬戸物屋などで毀物が賣残の品より多い。

ハイ

ハイムン 海門。瀬戸口。

ハイモア 海鰻。(動) 鰻。海鰻。

ハイラア 害喇。しまった。困った。やあ大變だ。——船沉落去——やあ大變だ船が沈んだ。

ハイラア ギア 海蟬。(動) 蜘蛛海盤車。

ハイライ 害害。【害害】。

ハイライカム 海梨柑。(植)【桶柑】に似た密柑の名。

ハイラム 海南。(地名)海南。

ハイラム ゴン 海南驢。(動) 信天翁。信天翁。——大體をしてる阿呆。愚。馬鹿者。一寡子計計

是——數人の息子は皆阿呆である。

ハイラン 諧人。舌味ないふ。人を侮辱する。

ハイラン 害人。●人を害する。——不淺●人を害することか甚しい。●人に損害を興へる。——了錢

●人に損をさせる。你——倒案●あなたが人を敗訴させた。——拆散●人を離散させるやうに

ハイライ 海里。(國) 海里。

ハイライウ 海鰐。(動) 海豚。

ハイライエヌ 海鱧。(魚) 虱目魚。

ハイライエン 海乳。(動) 磯巾着。

ハイライエン 海龍。(動) 龍落子。

ハイライエン オン 海龍主。龍王。龍神。——辭水●海龍王が水を辭す、御好の物を召上らない

ハイ

人などに對していふ。

ハイライエン 海龍主。前に同じ。

ハイライオク 海陸。海陸。——平安●旅行など海陸共に無事。[を望む]。

ハイライオン 海量。大度量。寛大。望你——寛容

ハイレイエ 海例。●税關の税則。海關稅。關稅。●海上の規則。

ハイロエ 海内。海内。

ハイロオ 海路。●海路。水路。船路。七日の——七日間の船路。●魚貝類。今仔日市場——較少●今日は市場には同上が少い。——眞貴●同上の値段が高い。

ハイロオ 害嘴。●ああしまった。しまった。——續破去●ああしまった、破れてしまった。●死ぬ。某

人都——某はもう死んでしまった。

ハイロオ ソロ 啖口口。協力して仕事をする時の掛聲。えんやらやあ。よいこらしよお。

ハイロオ ソロ 擲口口。●前に同じ。●ぶらぶら。ぶらりぶらり。吊在——ぶらぶらりぶらりぶらり下

つてゐる。●事件など定らず宙ぶらりになつてゐる。剩一個事尾在——事の結末がつかないで宙ぶらりになつてゐる。

ハイロン 海狼。(動) 海獅。——帽●海獅の帽子。

ハイロンシカウ 海狼一口。海獺の毛皮をつけた袖口。

ハウ

ハウ談。●嘘。講話眞一話が全く嘘。你不可傷。君は餘り嘘をつくな。●漆瘡などの爲に赤腫れる。面一顔が同上。被日曝一下痲仔續一起來日に照らされて汗斑が赤く腫上つた。

ハウ哮。●泣く。嗚嗎一あんな泣く。困仔一飢。子供がひもじくて泣く。開聲一聲を立てて泣く。●鳥獸などが啼く。嗚嗚一鼠がちうちう啼く。牛聲馬一牛馬の鳴聲、大聲粗野の言などをいふ。鬼與馬一無同聲。鬼と馬とは鳴いても聲が違ふ、勘違してはいけぬなど。●鳴る。雷公在一雷が鳴つてゐる。

ハウ孝。●孝行。孝。有一孝行する。不孝。●心。孝行の心。●祭る。供養。公媽一先祖を祭る。一菜飯。菜や飯を供へて祭る。●食べる。食ふ。那不緊一早く食はないか。

ハウ剝。表皮などが剥ける。剝ける。折ける。漆一起來一漆が剥ける。一壳一表皮が剥ける。一皮一皮

ハウ候。(姓)候。「かむける。

ハウ候。●時機などを待つ。一看有機會一何か好い

機會を待つ。一火一火の加減を待つ。●ぐづぐづする。ゆっくり構へる。不可站在一ぐづぐづしてはいけない。●事など停滞する。引懸る。事情續一下一事が引懸つてしまった。●ぐづぐづして焦らす。困らせる。不時要一人いつも人を困らせる。

ハウ好。(姓)好い。不止一甚だ好い。●する。やる。やつつける。要一不較緊一やるならもう少し早くせよ。

ハウ校。(姓)校。兜蟹。(動)兜蟹。好好一刮到屎愈流一上等な兜蟹を殺して尿を垂した、旨く出来る物事を弄つて却つて悪くしたなどの意。捨着死一死んだ兜蟹を捨つた、儲物。拾物。「ある。

ハウ効。効。効果。藥食了有一藥を飲んで利目が待つ。●伺ふ。拜一訪問。一脈一脈を伺ふ。

ハウ好。好く。好む。有個一燒酒有個一豆腐或人は酒を好き或人は豆腐を好く、好嫌は人によつて違ふ。某查無一女は好かぬ。

ハウ殺。殺む。一着嘴舌一舌を嚙んだ。被狗一着犬に咬まれた。

ハウ殺。●芋、大根など生煮。煮ても軟かくなならない。

心が煮えない。菜頭燻了一菜根をぐつぐつ煮ても心が煮えない。半生熟的菜頭食了一

●生煮の大根を咬むとしこしこする。●半可。●候。「通。生物識。

ハウ殺。●物を嚙む音。ざくざく。かりかり。一哺。●ざくざく嚙む。かりかり食ふ。●芋大根などの心が煮えない。生煮。煮ても軟かくなならない。

ハウアア。●響仔頭。【響壳刺】。●合會。●響脚蟻。愚鈍。ぼんやり。理解が遅い。

ハウアア。●響仔刺。【響壳刺】。●合會。●響脚蟻。愚鈍。ぼんやり。理解が遅い。

ハウアア。●響仔刺。【響壳刺】。●合會。●響脚蟻。愚鈍。ぼんやり。理解が遅い。

ハウアア。●響仔刺。【響壳刺】。●合會。●響脚蟻。愚鈍。ぼんやり。理解が遅い。

ハウアア。●響仔刺。【響壳刺】。●合會。●響脚蟻。愚鈍。ぼんやり。理解が遅い。

ハウ

你此籠——お前の様な馬鹿者。

ハウカアチイ 鬻脚刺。【鬻壳刺】。

ハウカアチイ 候脚候手。手遅い。愚圖愚圖。

寛慢。船在要開你站在——船がもう

出るのにまだ愚圖愚圖してゐる。

ハウカアチイ 鬻脚線。【長枝竹】。泣止まぬ。

ハウカウ 哮哭。泣く。哭する。涕泣。——不知息

ハツカク 剥壳。漆器など剥ける。剥ける。折げる。

皮——皮が剥ける。佛公的面——佛様の

顔が剥ける。【杓子】。

ハウカク 鬻壳。● 兜蟹の甲。● 同上で作った柄杓。

ハウカク アア 鬻壳仔。兜蟹の甲、又は其の形に造

った木の杓。

ハウカク アア グヌ 鬻壳仔銀。極印などを澤山打込

んだ爲に凹んでゐる銀貨。

ハウカク アア シイ 鬻壳仔扇。浅い杓子形の團扇。

ハウカク チイ 鬻壳刺。(種) さるとりいばら。さんき

らい。(百合科、根及び嫩芽を薬用となす)。

ハウキイ 諛氣。虚言。——話講歸堆——虚言を澤山

並べる。

ハウキイライ 剥起来。表皮など剥ける。剥ける。漆

——漆が剥ける。皮——皮が剥ける。

ハウキエン 孝經。孝經。

ハウ

ハウキエン 孝敬。● 孝行する。敬ふ。敬する。對序

大人着有——的心肝——親に對しては孝行の心

を持たなければならぬ。目上に對しては敬ふ心を

持たなければならぬ。● 神佛などに供物をする。

——祖先——祖先に同上する。

ハウキヲ 哮叫。叫喚く。泣叫ぶ。叫ぶ。——腹肚痛

|| 腹が痛いといつて泣叫ぶ。

ハウギアム 效驗。効能。利目。効驗。果然不止有

——果して非常に利目があつた。

ハウギイ 孝義。孝行。行——孝行する。

ハウギヲ 候檣。● 權を持つて愚圖愚圖する。● 手遅

い。ぐづぐづする。你蓋——君はとも手遅

い。ぐづぐづする。

ハウクイ 孝鬼。死人を祭る。無縁佛の供養をする。

ハウケエ 候價。値段の様子を見る。値段の騰貴を待

つ。貨運得——商品を貯藏して同上する。

ハウケエ 候缺。缺員を待つ。候官在——官人の

候補者が缺員を待つてゐる。

ハウコア 候官。官人の候補者。

ハウコアチイ 孝棺柴頭。● 棺を祭る。● 子

供を屬る詞) 缺でなし。食潰し。やくど。

ハウコオ 孝孤。● 無縁佛を祭る。施餓鬼。● (罵詞)

食ふ。食べる。緊——早く食べつちまへ。

ハウ

ハウコヲ 效果。(國) 效果。

ハウコヲリヲ 好略了。【好了】。

ハウサウ 哮潮。大聲を出して威張る。嗚鳴る。嘲罵

する。罵りわめく。

ハウザヌ 哮屍。● うんうん呻吟る。倒在眠床——

|| 寢臺に寝轉んでうんうん呻吟る。● 損失などの

爲にふうふういふ。——了錢|| 損をしたとてふ

うふう言つてゐる。

ハウシア 哮聲。泣聲。

ハウシア 校舎。(國) 校舎。

ハウシア 鬻杓。兜蟹の甲の杓子。

ハウシアウ 談精。嘘。偽。虚言。——講歸擔|| 嘘

を澤山ならべる。——唐無影跡宋|| 唐朝の虚

言、宋朝の法螺、荒唐無稽の意。

ハウシアウケエ 談精價。偽の値段。掛直。

ハウシイ 後生。息子。男子。無——乞娘婦仔|| 子

供が無から養女を貰ふ。飼——養老睡|| 子供を

育てて老後に養つてもらふ。

ハウシイケエ 後生家。若衆。青年。若者。此候

的——不識禮|| 今の若い者は禮儀を知らない。

ハウシヌレエ 孝牲體。肉・鶏・魚などを神佛に供

ハウシヌビエン 孝神明。神を祭る。——拜公媽

ハウ 神を祭り祖先を拜む。 「せしむ。

ハウ シム 孝心。 孝心。 感動天。 孝心天を感動

ハウ シム 候審。 訊問を待つ。 審問を待つ。

ハウ スヌ 孝孫。 喪に居る孫。 服喪中の孫。

ハウ スヌ 孝順。 孝順。 孝行。

ハウ スヌ フウ 孝孫婦。 喪に居る孫の妻。

ハウ ソア 孝山。 二十四孝の人形などを装付けた紙貼の山、法事の時に用ひる。 糊。 同上を拵へ

ハウ フオ コン 孝祖公。 祖先を祭る。

ハウ チア ウ 孝鳥。 孝鳥。 鳥。

ハウ チイ 候旨。 聖旨を待つ。

ハウ チエ ク 校則。 校規。 校則。

ハウ チエ ク 效績。 效績。

ハウ チア 哮喘。 痛いと叫ぶ。 悲鳴をあげる。 愚痴をこぼす。 痛いと言ふ。 生理無趁。 商賣が儲からぬので愚痴をこぼしてゐる。 序大人在。 親がぶつぶつ言つてゐる。 困る。 事能。 事が面倒になる。 後日就。 後にな

ハウ チツ 孝姪。 喪に居る従兄弟の子。

ハウ チツ フウ 孝姪婦。 喪に居る従兄弟の子の妻。

ハウ チツ ルウ 孝姪女。 喪に居る従兄弟の娘。

ハウ チヌ 駿藤。 馬鞍藤。

ハウ ツイ 殺水。 大根などを煮ても軟かくなならない。 心が煮えない。 生煮。 菜頭尙更。 大根がまだよく煮えてゐない。

ハウ ツウ 孝子。 孝子。 家貧知。 國亂顯忠臣。 家貧にして孝子を知り國亂れて忠臣顯る。 久長病無。 長病氣の親には孝子はない、親が長く病氣をすると終まで孝行を續ける者がない。

ハウ ツウ 校主。 校長。

ハウ ツウ チエン 孝子亭。 孝子を表彰する爲に作る爲に立てた石の鳥居の様なもの。 「合會。

ハウ ツウ フン 孝子坊。 孝子の旌表。 孝子を表彰する爲に立てた石の鳥居の様なもの。 「合會。

ハウ ツウ ホエ 孝子會。 父母の死亡した時に互に助る。 七月の盆祭に「狀」の祭を祭る。

ハウ テエ 孝悌。 孝悌。 善く父母兄長に事へること。 孝悌。 善く父母兄長に事へること。

ハウ テエ シヌ 孝宅神。 宅地を護る神を祭る。

ハウ テエ ブウ 孝宅母。 宅地を護る神を祭る。

ハウ トラ 孝道。 孝道。 孝行。 行。 孝道を行ふ。

ハウ トン 談唐。 虚言。 無影宋。 唐朝の虚言、宋朝の法螺、影も形も無い虚言。

ハウ ナウ 殺殺。 殺殺。

ハウ ナウ 候候。 候候。

ハウ ハウ 談談。 一面。 癩病又は漆瘡などで顔

ハウ ハウ 哮喘。 哮喘の㊶。

ハウ ハウ 孝孝。 孝の㊶㊶。

ハウ ハウ 剝剝。 剝の㊶。

ハウ ハウ 候候。 候の㊶㊶㊶。

ハウ ハウ 哮喘。 わんわん。 吠。 わんわん吠える。

ハウ ハウ 殺殺。 殺の㊶。

ハウ ハウ 候候。 候の㊶。

ハウ ハウ 殺殺。 殺の㊶。

ハウ ハウ 殺殺。 物を齧む音、ざくざく。 かりかり。 嘖。 ざくざく齧む。 硬。 芋。 大根など生煮などでかりかりいふ。

ハウ ハウ 哮喘。 わんわん。 吠。 わんわん吠える。

ハウ ハウ 哮喘。 わんわん。 吠。 わんわん吠える。

ハウ ハウ キヲ 哮喘叫。 わんわん吠える。 頻りに吠

ハウ ハウ シアウ シアウ 談談精精。 空嘘。 嘘八百。

ハウ ハウ プイ 哮喘吠。 次に同じ。

ハウ ハウ プイ 哮喘吠。 わんわん吠える。

ハウ ハウ 荷包。 巾着。 錢入。 錢袋在我。 内。 金。 私の錢入に入れてある。 隨身。 腰巾着。 子供など附纏ふこと。

ハウ ハウ ギョ 荷包蟻。 蟻。 伊多良貝。

ハウ

ハウ パウソク 荷包束。巾着の紐又はねつけ。銭入

の紐又はねつけ。

ハウ パウチウ 荷包囊。巾着の紐。銭入の紐。

ハウ パウトア 荷包帶。銭入の紐。巾着の紐。

ハウ ヒア 孝兄。困った者。氣の利かぬ奴。你此個眞

一 お前は實際困った男だ。人到是一 做亦
有好事 氣の利かぬ奴だから好い事が出来るも

ハウ ヒア 蟹殼。兜蟹の甲の柄杓。杓。 「のか。

ハウ ヒア 蟹額。廣い額。出額。おでこ。

ハウ ヒイ 哮喘。胎く。苦情を云ふ。泣言を云ふ。愚

痴をこぼす。一 你着食擗 ぐづぐづ言つたら
歐つてやる。一 了錢 損をしたとて愚痴を
こぼす。

ハウ ヒイハウフツ 哮喘哮喘。泣言を云ふ。ぐちを

云ふ。生理做了 蝕本續在 一 一 商賣で
損したので愚痴をこぼしてゐる。

ハウ ヒエン 孝行。孝行。孝。

ハウ ビニ 哮喘。泣面。泣面。泣顔。

ハウ ビア 蟹餅。瀬戸の破片。破瓦。瓦の破片。困仔

起 一 厝 子供が瓦の片で家を潰る。 片。
ハウ ビア 蟹餅。瀬戸の破片。破瓦。瓦の破

ハウ ビア 蟹餅。蟹餅。前と同じ。

ハウ ビラ 蟹瓢。兜蟹の甲で作った杓子。

ハウ

ハウ ビニ 效靈。(英) 靈に效ふ。

ハウ フィ 校費。(國) 學校の經費。學校の授業料。

ハウ フィ 蟹血青。兜蟹の血の様な色。黒ずん

ハウ フウ 孝婦。神佛の祭をする。 「だ青。

ハウ ブツ 孝飯。死者の靈に對し百箇日間朝晩二回又

一 一 同上を停止する。
は喪期中朔日十五日に飯を供へて祭ること。停

ハウ ヘエ 候火。火の氣の工合を見る。 ぐづぐづ

してじらす。事不辨共我在 一 一 事を處理し
ないでぐづぐづしてじらす。

ハウ ヘエ 候下。放つて置く。打棄つて置く。事情共

人 一 得 人の事を放つて置く。

ハウ ベエ トヲ 蟹尾刀。銃鎗。

ハウ ペエ 談皮。癩病人など皮膚が赤く腫脹れる。癩

瘡 一 癩病人が同上。
「付ける。

ハウ ベエ モエ 蟹扒册。鐵窓。

ハウ ホア 哮喘。嚇す。恐喝。 一 困仔 子供を叱

ハウ ホアツ 傲法。見習ふ。従ふ。 一 先人 昔の

ハウ ホン 校風。(國) 校風。 「人に習ふ。

ハウ ボオ 孝墓。墓參。墓參り。清明 一 清明の時

に墓參をする。 「の候補。

ハウ ボオ 候補。候補。試補。後釜。 一 知府 知府

ハウ

ハウ ミイ 哮喘。夜泣。 一 哮喘 日夜も晝も泣く。

ハウ ミイ 孝物。物を供へる。供物を上げて祭る。

ハウ ムン 孝物。(英) 前と同じ。

ハウ ムンカウ 孝門口。門口で無縁佛を祭る。

ハウ メエ 候脈。脈を見る。脈を取る。

ハウ ラウ 談談。【談談】の②。
ハウ ラウ 談流。癩病人の顔など赤く腫れてゐる様

面 一 顔が感れて腫れてゐる。 一 柑 皮のぶ
くぶくしてゐる蜜柑。

ハウ ラウ 哮喘。【哮喘】。

ハウ ラウ 孝孝。【孝孝】。

ハウ ラウ 剝剝。【剝剝】。

ハウ ラウ 候候。【候候】。

ハウ ラク 談六。虚言。虚言をつく。赤嘘。偽。
你聽伊在 一 君彼の虚言を聞くな。 一 八
級 嘘八百。

ハウ ラク ハウ タク 談六談篤。嘘八百。嘘ばかり。

ハウ ラム 孝男。親の喪にある男。喪主。 一 謝拜
親の死亡せし時其子が吊客に對し辭儀して謝
すること。 一 擲棺 子が父の棺に取絶る。う

るさく附纏ふ意。(人)を罵りて云ふ。 一 間拔。馬

鹿。薄鈍。叫你此個 一 做無事情 一 お前の様

な間拔者には仕事をさせられるものか。

ハウラム サア 孝男衫。【孝男の喪服。脱——】

同上を脱ぐ、重い責任を解除する。

ハウラム シヌ 孝男神。よく泣く者。泣き蟲。

ハウラム ハウタク 孝男孝篤。(人を罵りて云ふ)馬鹿。阿呆。薄馬鹿。間拔。

ハウラム ビヌ 孝男面。脹面。泣きさうな面。——無人縁。泣きさうな面をして人に好かれない。

ハウラン 候人。人の……するを待つ。——的消息。人の消息を待つ。

ハウリアム 孝廉。——孝廉。——擧人の別稱。

ハウリアム ホンチエン 孝廉方正。孝行・廉直・方正。孝廉方正。

ハウリイ 孝女。(海)【孝女】。

ハウリイ ハイ 好利情。(敵)とつても恐しい。とつても腕利だ。敵國の大砲太——敵國の大砲はとつても恐しい。彼個真——彼はとつても腕利だ。——的人人やり手。

ハウリエク 效力。——盡力する。骨折る。力を効す。為你——君の爲に盡力する。——(國)效力。効果。利目。藥食了無——藥を飲んだが利目がない。

ハウリエン 孝靈。死人の靈位に供物をして祭る。

ハウリエン 效能。(國) 效能。利目。

ハウリエン 效能。(國) 效能。利目。

ハウリヨ 好了。(敵) やつつける。始末をつける。片付ける。爲る。やる。爲伊——彼をやつつける。此條事情無人敢——進んでこの事をやるものがない。地在要——もう直其土地を片付ける。被賊仔——去泥棒に盗まれた。

ハウルウ 孝女。親の喪に居る女。服喪中の女。服喪中の娘。

ハウロアラン 哮喘人。泣いて誣ひる。自己打た要——自分で弄って悪くしたのを泣いて人におつかぶせる。

ハウロラ 效勞。勞を致す。勤勞する。小心——奴僕など(まめやかに働く。犬馬——犬馬の勞を致す。

ハウ建 田。田。器具など買つて置くこと。——業。家屋・田園を買ふ。——家私。道具を買入れる。——擧の(國)。

ハク 擧。——堆肥などを溜置く穴。溜。善仔——善を溜置く穴。尿——小便溜。尿——糞溜。——同上を敷へる語。——肥。一溜の肥料。二善仔——二溜の善。銀十外——十數個の穴倉の金。——厠。雪隠。便所。——仔。同上。捷看脚川永能一次。

ハク 加落。屢屢尻を見るといつか一度は雪隠に落ちる。悪事も度重れば顯はれる意。

ハク 學。——學。修業する。——仙法。仙術を學ぶ。——入山。道。山奥に入つて修業する。——(國) 學。學問。社會——社會學。語——語學。——(國) 學校。在——中。在學中。退——退學。入——入學。

ハク アア 學仔。便所。雪隠。手水場。厠。去——便所へ行く。在——用便中。

ハク アアタン 學仔蟲。屎蟲。

ハク イイ 學院。秀才などの試験官の詰める所。學院。

ハク イウ 學友。校友。

ハク ウイ 學位。(國) 學位。

ハク カイ 學界。(國) 學界。

ハク ガア 學仔。(學仔)。

ハク キイ 學期。(國) 學期。

ハク キブ 學級。(國) 學級。

ハク ギアブ 建業。家・田畑を買ふこと。

ハク ギアブ 學業。(國) 學業。

ハク ケエ 學科。(國) 學科。

ハク ゲエ 學藝。(國) 學藝。

ハク ヨラ 學課。(國) 學課。

ハク ザヌ 建田。田地を買ふ。

ハク ザヌ 學田。學校の基本財産の田地。學田。

ハク 加落。屢屢尻を見るといつか一度は雪隠に落ちる。悪事も度重れば顯はれる意。

ハク 學。——學。修業する。——仙法。仙術を學ぶ。——入山。道。山奥に入つて修業する。——(國) 學。學問。社會——社會學。語——語學。——(國) 學校。在——中。在學中。退——退學。入——入學。

ハク アア 學仔。便所。雪隠。手水場。厠。去——便所へ行く。在——用便中。

ハク アアタン 學仔蟲。屎蟲。

ハク イイ 學院。秀才などの試験官の詰める所。學院。

ハク イウ 學友。校友。

ハク ウイ 學位。(國) 學位。

ハク カイ 學界。(國) 學界。

ハク ガア 學仔。(學仔)。

ハク キイ 學期。(國) 學期。

ハク キブ 學級。(國) 學級。

ハク ギアブ 建業。家・田畑を買ふこと。

ハク ギアブ 學業。(國) 學業。

ハク ケエ 學科。(國) 學科。

ハク ゲエ 學藝。(國) 學藝。

ハク ヨラ 學課。(國) 學課。

ハク ザヌ 建田。田地を買ふ。

ハク ザヌ 學田。學校の基本財産の田地。學田。

ハッ

ハッ シェク 學識。(國) 學識。
 ハッ シェク 學禪。禪を學ぶ。參禪。
 ハッ シェン 學生。生徒。學生。書生。弟子。――戯
 仔猴 生徒は猴芝居の猴、生徒がいたづらで蹴
 回るのしこば。――戯仔手 生徒は小役者、同
 上の意。
 ハッ シヌチエン 建身寮。好い着物を買ふ。趁錢專
 一 儲けた金は皆衣服を買ふ。
 ハッ シア 學習。學ぶ。習ふ。學習する。稽古する。
 一 仙法 仙術を學ぶ。得意。得手。専門。
 騎馬是伊 馬乗は彼の得意な所である。
 ハッ シア イ 學習院。(國) 學習院。
 ハッ スウ 學士。學士。
 ハッ スウ イ 學士椅。肘掛椅子。
 ハッ スツ 學術。(國) 學術。
 ハッ モエ 學制。(國) 學制。
 ハッ リア ツ 學說。(國) 學說。
 ハッ フオ 學租。儒學、書院等に於ける財産の收入を
 總稱して學租と云ふ。但し古は儒學即ち府縣學
 に屬するもののみを(學租)と稱し書院に屬する
 ものは之れを(書院租)と稱したり。
 ハッ タイ 學臺。秀才等の試験官。便所。見一
 便所に行く。告一 同上。

ハッ

ハッ タウ 學斗。學租取扱者。【學租】を見よ。
 ハッ チア 學者。(國) 學者。「がない。
 ハッ チエヌ 學淺。淺學。一才疎 淺學にして才能
 ハッ チエン 學政。秀才の試験官。
 ハッ チエン 建築。好い衣服を買ふ。
 ハッ ツウ 學資。學資。學資金。被人出 一人に學
 資金を出して貰ふ。
 ハッ トン 學堂。學堂。學校。
 ハッ トン 學童。學童。生徒。學生。
 ハッ ハウ 學校。(國) 學校。
 ハッ ハウ チウ 學校長。(國) 校長。
 ハッ ハク 建築。【建】。
 ハッ ハク 學學。【學】の(○)。
 ハッ ヒエヌ 學憲。秀才等の試験官。「澤山かかる。
 ハッ ファイ 學費。(國) 學費。一 傷重 學費が
 ハッ フウ 學父。(文) 生徒の父。
 ハッ ブウ 學務。(國) 學務。「博學。
 ハッ ブヌ 學問。學問。學業。一 眞博 學問が廣い。
 ハッ ホア ツ 學法。魔法を學ぶ。法術を學ぶ。上山
 一 山奥に行つて法術を學ぶ。
 ハッ ラク 建築。【建】。
 ハッ ラク 學學。【學學】。
 ハッ リア ウ 學寮。(國) 學寮。

ハッ

ハッ リイ 學理。(國) 學理。「が足りない。
 ハッ リエク 學力。(國) 學識。學力。一 不足 學力
 ハッ ルツ 解律。(姓) 解律。
 ハッ 喝。嗚鳴りつける。大喝する。嗚鳴る。大聲 我
 一 大きい聲で私を嗚鳴りつける。
 ハッ 轄。管する。支配する。管轄する。一 下 管内。
 此營是我所 此一隊は私が管轄して
 るのだ。
 ハッ 核。凝。凝。ぐりぐり。一 看做 凝り凝り 凝を横根
 と見違へる。牽 凝が出来る。
 ハッ 映。驚又は鷺鳥の鳴聲。
 ハッ 乏。● 缺乏する。少い。無い。乏しい。足りない。
 頂手貨真 一 卸元から来る品物が非常に缺乏
 してゐる。一 水 水が不足。水が無い。● 生活の
 資料などを制限する。一 我的 用度 私の使
 べき經費を制限する。私に自由に使はせない。
 一文亦 一 死 一文でも自由に使はせない。
 ハッ アア 結仔。胴卷。錢など入れて腰にまく長い袋。
 一 帶 同上。
 ハッ ヲヲ 乏窩。缺乏する。困窮する。錢 一 金 金
 缺乏する。我當 一 一 私は今非常に困窮し

てゐる。

ハッ キイ 喝去。喝鳴りつける。大喝する。大聲——
|| 大きい聲で喝鳴りつける。 「采する。

ハッ ザイ 喝采。(國) 喝采。衆人——大勢の人が喝

ハッ シアウ 喝精。(重) 劍突を喰はす。喝鳴り付る。被

人——人に劍突を喰はされる。叱られる。當

面——面前で喝鳴りつける。

ハッ シイシイ 乏死。手厳しく束縛する。一文亦

——一文でも自由に使はせない。

ハッ ジエヌ 豁然。(文) 豁然。

ハッ タウ 喝頭。叱責する。喝鳴る。大喝する。當面

——面前で叱責する。

ハッ タツ 乏津。命などを手厳しく制限する。——食

穿——衣食を同上する。對家内真——家のも

のに對して手厳しく束縛する。

ハッ チウ 喝嚙。●噎をする時の聲。●噎をする。

ハッ チアチア 乏定着。限定。量を限る。制限。

ハッ ツイ 乏水。●水が缺乏する。●缺乏する。乏し

い。錢當——命が今非常に缺乏してゐる。頂

手貨較——卸の方で品物が乏しい。

ハッ ハア 轄下。管下。管内。

ハッ ハッ 喝喝。【喝】。

ハッ ハッ 乏乏。【乏】の①。

ハッ パウ 結包。腰に下げる袋。

ハッ フウ 褙扶。(姓) 褙扶。

ハッ ポオ 結布。小兒を背に負ふ布。

ハッ ラッ 喝喝。【喝喝】。

ハッ ラッ 乏乏。【乏乏】。

ハッ ラン 喝人。人を喝鳴りつける。大聲——大きい

聲で人を喝鳴りつける。

ハ ヌ

ハ ヌ 闊。(姓) 闊。

ハ ヌ 罕。●姓 罕。●稀に。滅多にない。——得——同上。

——有——稀にある。——見——稀に見る。

ハ ヌ 喊。噂する。評判する。言觸らす。通街——起

來——町中が皆噂する。無影跡の事情伊亦

在——有もしない事を彼も附和して噂する。

ハ ヌ 僕。(姓) 僕。かん

ハ ヌ 漢。●姓 漢。●(朝名) 漢。滿——滿洲族と漢民

族。——字——漢字。●男。村——田舎人。無頼——

無頼漢。——子——男。——抵——一人對一

人。●人の體軀の柄。細——小柄。大——大兵。

好——肥太つてゐる。

ハ ヌ 韓。●姓 韓。●(國名) 韓。——國——韓國。

ハ ヌ 束。寬く縛る。——得就好不可縛傷緊——寬く縛

れば好い餘り緊く縛つてはいけない。

ハ ヌ 寒。●寒。寒冷。——熱——寒熱。——氣——寒氣。大

|| 大寒。小——小寒。●貧しい。——生——貧しい書

生。讀書人の尊上に對する稱。小生。——舍——貧

しい家。拙宅。——儒——貧乏書生。●病氣の一種。

——症——寒氣のする病症。轉——熱病の者が解

熱して却つて著しく身體が冷却するといふ悪性

の病氣。上馬——房事の際起る危険な病氣。馬

上——同上。

ハ ヌ 閑。(文) 閑。——暇——閑暇。——人——閑人。——靜——閑

ハ ヌ 還。(海) 【還】。

ハ ヌ 翰。(姓) 翰。かん

ハ ヌ 汗。●姓 汗。●(文) 汗。汗。發——發汗。——巾

ハ ヌ 限。●期限。期日。日限。到——期限が来た。過

——期限が過ぎる。●限る。制限する。——時

刻——時刻を制限する。——期——期日を限る。

ハ ヌ 旱。(文) 旱魃。旱。大——大旱。久——逢甘雨

旱魃に雨に逢ふ。地獄で佛。

ハ ヌ アア ザイ 明仔再。(漢) 【明仔再】。

ハ ヌ アア シイ 閑仔是。(漢) 【緩仔是】。

ハ ヌ イア 寒夜。(文) 寒夜。

ハ ヌ イイ 漢醫。漢方醫。【西醫】に對す。

ハ ヌ イウ 罕有。稀に有る。偶に有る。希有。稀有。

ハヌ

ハヌイ 一の事情に稀に有る事。世間一有此款的物。世間に此な物は非常に稀である。

ハヌイウ 閉遊。(又) 散步。四界去一一方へ行つて散歩する。

ハヌイエヌ 漢縁。立派で人に好かれる様な男子の風體。好一男振がよい。有一同上。

ハヌイオン 閉養。休養。静養。

ハヌイヨ 漢藥。漢方藥。【西藥】に對す。

ハヌイム 漢音。漢音。

ハヌウイ 漢畫。唐畫。

ハヌウイ 寒威。(又) 寒威。寒氣。一凛冽一寒威凛

ハヌヲアヌ 喊冤。冤を叫ぶ。撃鼓一法廷に備へてある太鼓を打つて冤を叫ぶ。對縣太爺一縣知事に對して冤枉を訴へる。

ハヌヲアヌ 翰苑。(又) 翰林。【林】です。

ハヌカア 寒家。己の姓の謙稱。一林一私の姓はハヌカイ 限界。(又) 限界。

ハヌガア 開雅。(又) 開雅。

ハヌガク 漢樂。漢朝の音樂。漢朝の樂器。

ハヌキイ 限期。一期限。一滿一期限が満ちた。一期限を定める。着一即能用得一期限を定めなければいけない。

ハヌキイ 罕見。【罕見】。

ハヌキイ 寒氣。寒氣。一凛然一寒氣凛冽。

ハヌキイライ 喊一起來。稱揚す。哄立てる。通街一

ハヌキエヌ 罕見。稀に見る。稀に遇ふ。此項真一此の品は滅多に見ない。你真一君は滅多にお目に掛らない。

ハヌギエン 寒荊。(又) 愚妻。荊妻。

ハヌギウチオン トン 汗牛充棟。(又) 汗牛充棟。書籍の甚だ多いこと。

ハヌギエウク 漢玉。漢時代の玉。

ハヌギホク 寒瘡。(病) 麻刺里亞。間歇熱。

ハヌクウ 寒居。拙宅。弊屋。

ハヌクウ 閑居。(又) 逸居。佗住居。閑居。

ハヌクヌ 汗巾。(又) 手帕。

ハヌコグ 韓國。韓國。朝鮮。

ハヌコヲオ 漢高祖。漢の高祖。劉邦。

ハヌコントアヌ 漢光緞。黒の綿繻子。

ハヌコンブウ 漢光武。漢の光武。劉秀。

ハヌサヌ 寒酸。【寒酸】。

ハヌ

ハヌ

ハヌサヌキイ 寒酸氣。【寒酸氣】。

ハヌサヌクイ 寒酸鬼。【寒酸鬼】。

ハヌサヌケエ 寒酸客。【寒酸客】。

ハヌザヌ 旱田。旱田。陸田。

ハヌシア 寒舍。拙宅。自宅。

ハヌシア 寒瀉。(病) 慢性腸炎。

ハヌシイ 限時。時を限る。時期を限定する。一限刻一時刻を限る。時間を限定する。【對す】。

ハヌシエウク 漢席。支那料理。漢人の料理。

ハヌシエク 寒色瘋。(病) 房事の際起る危険な病氣。

ハヌシエン 寒生。貧しい書生。讀書人の尊上に對する稱。小生。

ハヌシオンツウ 韓湘子。【八仙】の一人。

ハヌシツ 漢席。支那料理。漢人の料理。

ハヌシツ 寒食。寒食。此の日は火を断ち冷食すといふ。一節一同上。

ハヌシツトア 漢席捲。一定の【漢席】以外に尙ほ多數の料理を繼足したもの。

ハヌシツトア 漢席桌。支那料理。漢人の料理。開

ハヌシツトア 請人客一漢人の料理の宴席を張つて客を

ハヌシツトア 韓信。(人名) 韓信。【招待する】。

ハヌシツトア 韓信分龜。遊戯の名。

ハヌシム 寒心。(又) 寒心。聽着眞一聞くと身が

ぞつとする。替伊一彼の爲に寒心する。

ハヌジイ 漢字。漢字。支那文字。

ハヌジエツ 寒熱。寒熱。

ハヌジツ 限日。日に限る。日限を極める。一俣伊

起厝日限を定めて家を建てさせる。

ハヌスイシエク 寒水石。(藥) 苦鹽を凝結させた薬

品。寒水石。(下熱劑・清涼劑・眼病の薬用に供せら

ハヌスウ 漢土。(姓) 漢土。「れる」。

ハヌスウ 寒暑。寒暑。寒さと暑さ。

ハヌスウ 寒暑。寒暑。寒さと暑さ。

ハヌズウ 寒傷。(又) 貧乏な讀書人。

ハヌモエ 限制。制限。一錢項金を制限する。

ハヌソアヌ 寒酸。こせつく。吝嗇臭い。吝嗇する。人

不可傷一一人は餘りに吝嗇してはいけない。

ハヌソアヌキイ 寒酸氣。吝嗇臭い。一人的人錢

提没出來吝嗇臭い人は金を出しきらぬ。

ハヌソアヌクイ 寒酸鬼。吝嗇な人を賤んでいふ。

吝嗇坊。

ハヌソアヌケエ 寒酸客。吝嗇な人。細い事を

咄しくいふ人。

ハヌソアヌ 寒村。(又) 寒村。

ハヌツク 寒族。(又) 人に對して自分の家族を云ふ。

ハヌツン 閉窓。(又) 閉窓。十年的一十年間の勉

ハヌタイ 寒帯。(國) 寒帯。一地寒帯地。「學」

ハヌタヌ 范舟。(人名) 范舟。(俗傳に范舟の妻は彼に

嫁する前に九度嫁して其の夫皆死せりといふ。一

妻殺九夫范舟の妻九人の夫を殺す。

ハヌタヌイア 玄壇爺。寒さに畏れる神様。上元の

夜此の神を竹椅子に安置して擔廻る。

ハヌタヌチム 邯鄲枕。邯鄲の枕。

ハヌタヌボン 邯鄲夢。邯鄲の夢。

ハヌタム 閑談。(又) 閑談。雑話。

ハヌチアン 漢將。大兵。大柄。肥大。太る。人生

成眞一一人は體をしてゐる。

ハヌチイ 蕃薯。(漢) 蕃薯。

ハヌチエク 漢燭臺。神佛の前に供へる燭臺。

ハヌチエン 罕井。(姓) 罕井。

ハヌチエン 寒症。寒氣のする病氣。

ハヌチオンリイ 漢鐘離。「八仙」の一人。

ハヌチア 限定。限定。限る。極める。定める。切を

付ける。無一極つてゐない。毎月一所費

在俣伊用一毎月一定の費用を極めて彼に使はせ

ハヌチアウ 漢朝。漢朝。「てゐる」。

ハヌチウ 旱稻。陸穂。

ハヌチエン 限定。「限定」。

ハヌツツ 罕得。減多に無い。俱に。種。一一行減

多に歩かぬ。一一看見減多に見ない。此號物

眞一こんな物は非常に稀である。

ハヌツツクイ 罕得幾時。俱に一遍しかない。

一尼姑滿月尼さんが「做滿月」をする

ことは減多にない、稀なこと。一開熱

偶に一度しかないお祭。

ハヌツツチイ 罕得何時。前に同じ。

ハヌツツウ 蕃薯。甘薯。甘薯。一條那甘薯

甘薯の様な、馬鹿の様な。一看做芋甘薯を

里芋と見誤る、物を見誤る意。食一無存本心

甘薯を食つて本の心を残さぬ、親の世話になつ

てゐながら不孝なるが如きを罵つていふ。五斤一

臭八十一兩五斤の甘薯で腐れが八十一

兩、收拾すべからざる状態になった。能算没除

討米換一收入を算することが出来ても支出

を差引く事を知らない、米を出して甘薯と取換

へる。愚鈍の意。

ハヌツツ 漢書。漢書。漢籍。

ハヌツツ 漢子。馬骨。匹夫。

ハヌツツカウ 蕃薯溝。甘薯畑の溝。

ハヌツツクウ 蕃薯畷。「番仔藤」の②。

ハヌツツウケエ 蕃薯線。甘薯を粉にして其を煮てつく

る餅のやうなもの。

ハヌツウ コア 蕃薯干。甘薯の切乾。

ハヌツウ コオ 蕃薯錠。甘薯を厚く輪切にしたもの。

ハヌツウ サイ 蕃薯尿。甘薯の糞。甘薯は直に糞になつて出る。気が早い。短気。——性。——気が早

ハヌツウ サウ 蕃薯糟。甘薯で造つた酒の糟。「い質。

ハヌツウ セエ 蕃薯屑。甘薯の屑。拾——同上を

ハヌツウ モエ 蕃薯渣。【蕃薯糟】。【拾集める。

ハヌツウ マア 蕃薯擦。甘薯をおろす道具。甘薯を針状におろしたものを。甘薯の切乾。



①の擦薯蕃

ハヌツウ キアム 蕃薯簽。【蕃薯擦】の②。

ハヌツウ チイ 蕃薯煎。甘薯の切乾。

ハヌツウ チウ 蕃薯酒。甘薯で造つた酒。

ハヌツウ ヒラ 蕃薯葉。甘薯の葉。軟な葉は食用に供す。【過溝菜】といふ。——亦有一候鳥幼

甘薯の葉にも若芽の軟な時がある、鬼も十八等

ハヌツウ フヌ 蕃薯粉。甘薯から取つた澱粉。「の意。

ハヌ テエ 罕得。【罕得】。【大租】。

ハヌ トア アオ 漢大租。漢人の租権を有する大租。

ハヌ トエ イイ 限地醫。開業地を限定されてゐる醫

生。限地開業醫。

ハヌ トオ 限度。【限】。限度。

ハヌ トヲ 寒道。寒帯。

ハヌ ナア サイ 明仔再。【明仔再】。

ハヌ ニイ 限年。期年。年限。

ハヌ ハア 閉暇。閑暇。暇。手隙。餘暇。——的時即來。退退。暇の時に遊にいらつしやい。

ハヌ ハク 漢學。漢學。

ハヌ ハク チア 漢學者。漢學者。

ハヌ ハヌ 喊喊。【喊】。

ハヌ ハヌ 東東。【東】。

ハヌ ハヌ 還還。【還】。

ハヌ ハヌ 限限。【限】。

ハヌ パヌ 喊班。大官の入場する時など大勢の部下が威厳を示す爲聲を揚げること。

ハヌ ビエク 翰墨。【文】。翰墨。

ハヌ ビエン 漢兵。漢の兵。

ハヌ ビエン チイ 寒水池。地獄の處刑場。水池。

ハヌ ビエン テエ ガク 寒水地獄。前に同じ。【筆】。

ハヌ ビツ 早筆。字を書いて後穂を水に浸さずに置く

ハヌ ブヌ 漢文。漢文。【帝】。

ハヌ ブヌ テエ 漢文帝。【二十四孝】の一人。漢の文

ハヌ ホア 喊喝。嗚嗚騒ぐ。大聲——大なる聲で喊

鳴騒ぐ。

ハヌ ホア 喊譁。羣集などわいわい騒ぐ。——起來

騒立てる。——土匪要來。土匪が來るといつて

わいわい騒ぐ。

ハヌ ホン 罕逢。【稀】。稀に逢ふ。稀有。——此款的好

機會。——こんなよい機會には滅多に逢はぬ。——有

勝な事。澤山ある事。——使驚無。別に珍しく

もなく驚くに及ばぬ。

ハヌ ボアヌ 限滿。【限滿】。

ハヌ ボアツ 早魘。【早魘】。早魘の時の電光。——

鈍間。愚圖。下手糞。駄目。——脚脹。下手糞。

ハヌ モア 限滿。満期。

ハヌ ライ 限内。期間。期限内。

ハヌ ライ ハヌ キイ 喊來喊去。彼方此方に噂する。

色色に噂をして騒ぐ。

ハヌ ラヌ 喊喊。【喊喊】。

ハヌ ラヌ 東東。【東東】。

ハヌ ラヌ 還還。【還還】。

ハヌ ラヌ 限限。【限限】。

ハヌ リイ 寒痢。【病】。慢性腸炎。赤痢。

ハヌ リエン 寒冷。寒冷。寒い。天氣——氣候が寒

ハヌ リオン 限量。分量を限る。定量。無——定

量がない。限がない。——俾伊食乳。乳の分量を制限して飲ませる。

ハヌリム 翰林。翰林。——録。翰林選入の人名録。

ハヌリム イイ 翰林院。翰林院。

ハヌロアヌ 寒峻。(多) 寒峻。

ハヌロアヌ ケエ 寒峻計。(國) 寒峻計。

ハヌロオ 寒露。【二十四氣】の一。寒露。

ハヌロオ 早路。(多) 陸路。陸路。

ハ プ

ハプ 齋。(多) 齋。

ハプ 喰。——ばくりと食ふ。——下就香落去。ばくりと吞込んでしまふ。——上からおつかぶる様に落ちる。膳蓋。落来。屋根が落ちる。被桌仔。蓋。着。机の蓋が同上して挟まれた。——冗談を言ふ。滑稽を云ふ。——笑談。同上。——賣買などを掛合ふ。——看伊要買也。是。不。買。ふ。か。買。は。ぬ。か。掛。合。つ。て。見。よ。う。

ハプ 合。(多) 合。——合する。合ふ。集める。合併する。——一緒にする。合せる。合致する。一致する。——得。合。せる。——得。食。——一緒に。なって。食。べる。——股。做。生。理。——共同して。商。賣。を。する。——家。平。

ハプ 安。——一家平安。——疊む。閉ぢる。——雨傘。傘を。窄める。——劍。又は。瀬戸物を。數へる。助。數。詞。組。揃。——劍。二。本。一。組。の。劍。二。一。破。二。二。組。の。鉢。——合。五。一。五。合。

ハプ 哈。【哈】の①。

ハプ アア 合仔。次に同じ。

ハプ アア アア 合仔銀。中に銅を入れてある銀貨。贗。——阿片煙吹頭。振れば蓋がとれて灰の掃除が出来る。【阿片煙吹頭】の一種。——鏡無密。——同上を。び。つ。た。り。と。振。合。は。せ。な。い。息。が。漏。れる。即。ち。落。氣。の。意。に。し。て。襤。褸。が。出。る。こ。と。

ハプ アア アア 合仔趁。倍儲。十割儲ける。

ハプ アア アア 合仔錢。倍の利益。趁。——同上を。儲ける。

ハプ イイ 合意。氣に入る。看。了。——見て。氣に入る。——兩旁無。——雙方共氣に入らぬ。

ハプ イイ エン カイ 合應該。當然。當前。——着。做。——當然。し。な。け。れ。ば。な。ら。ぬ。——約。書。

ハプ イイ オク ジイ 合約字。共同契約證書。

ハプ イイ エ 合印。合判。割印。割判。——的。牌。仔。——割。符。

ハプ カア 合家。一家。全家。闔家。——平安。家内。安全。——大細。家中。皆。

ハプ カア サイ 合家司。道士を雇って一家の平安を祈禱する儀式。做。——同上をする。

ハプ カイ 合該。次に同じ。

ハプ カイ ジエ 合該然。當然。當前。其の筈。較。——如何にも。當前の。様に。考へて。ある。

ハプ カイ チ 合該着。當然。……する。のが。當然。だ。元。來。然。る。べき。筈。だ。此。款。的。大。逆。——刑。罰。大。逆。犯。人。は。當。然。死。刑。に。處。す。べき。もの。だ。

ハプ キエ 合格。【合格】。

ハプ キエン 合境。寺廟などの管内全部。全。境。内。

ハプ キオン 合共。合計。統計。通計。

ハプ キヌ 合呑。(多) 合呑。婚禮に夫婦の杯を取交す。

ハプ キム 合金。(多) 合金。

ハプ ギイ 合宜。——當然。當前。——着。去。——當然。行。く。べき。である。包。禮。去。賀。即。——祝。儀。を。包。んで。お。祝。に。行。く。のが。當。前。である。——的。話。——至。當。な。話。——適。宜。——適。當。——伊。做。保。正。有。——彼。は。保。正。と。して。は。適。當。である。

ハプ クウ 合居。(多) 同居。

ハプ ケエ 合計。合計。計。總計。——看。竟。——合計。し。て。御。覽。な。さ。い。

禮。

ハフヌトヲ合婚桌。婚禮の特別室にて新郎新婦

のみで行ふ。盃事。床盃。

ハフヌ合本。資本を合せる。合資。――生理難

做合資の商賣はなかなかやりにくい。

ハヘ合夥。共同する。組合。――做生理

共同して商賣をする。兄弟分開更再

兄弟が財産を分けた後また一緒にになる。

ハホアツ合法。適法。合法。

ハホアヌ合歡。夜合。

ハホアヌヲウ合歡草。見笑草。

ハホアヌモウ合歡樹。夜合。

ハホアヌホエ合歡花。夜合。

ハホヲ合和。和合して一致する。厝内各個着

愛――家中のものは同上しなければならぬ。

符合する。合ふ。此帮貨與原裝無――今

度の品物は見本と合はない。

ハボオ合謀。共謀。

ハボア合破。壓潰す。

ハライ合來。窄む。窄まる。閉ちる。花――花

が窄む。翹――下――羽を窄める。

ハララ合合。合合。

ハハラ合合。合合。

ハライ合理。合理。正當。理に當る。道理に叶ふ。

不――道理に合はぬ。――可作、小利莫争

合理の事は爲すべし小利は争ふ勿れ。

ハナリエ合禮。禮に合ふ。

ハナリエ合禮。禮に合ふ。協力一致。

ハム

ハム蚌。赤貝。淺蜆。蚌貝。板屋貝。

ハム腫。目蓋など浮腫む。目――同上の目。哭到目

開――泣いた爲目が腫れてゐる。――むくむくし

てゐる。ふっくりしてゐる。困仔眞――子供が

むくむくしてゐる。甘蔗眞――甘蔗が太い。

目開――目蓋。頂――同上。下――目の直下の

處。頂――上。下――下。竹などの節

と節との間。竹――同上。落――節と節との距

離が長い。――一節。

ハム撼。撼。

ハム識。周到でない。大ざらば。好い加減。大まか。締

括がない。無頓着。大抵にする。傷――生理就

能了――餘り大まかにすると商賣が失敗する。你

眞――敢做此號事君はとて無鐵砲だ。こんな

はない。

ハム腫。脚氣等で水脹になる。腫れる。脹れる。浮腫

む。脚――足が腫れる。面――顔が浮腫む。

腫。痕。参照。

ハム感。感。

ハム函。函。數居鴨居などの溝。穿無落

――同上にはまらない。柄穴。樺――同上。放

――殯の場合に棺の一部に孔を穿ち内部より柄

を挿入し置き埋葬に當つて柄を中に突入れて孔を

開くこと。

ハム銜。官吏などの資格。格。格式。待遇。禮遇。

相爺――首相の禮遇。肩書。一頭寫眞多

肩書を澤山書く。

ハム含。含む。恨。恨を含む。冤。敵意を含む。

――若多分量。幾ら分量を含んでゐるか。寄

合ふ。一緒にする。諸共に。と。及び。一人與

馬去被伊掠去。人も馬も諸共に捕へられた。

我――伊去。私は彼と一緒に行く。紙――筆。紙と

筆。――今年適三年。今年も合せて三年になる。

我――我都有罪。僕も亦罪がある。蕾。嚙む。

嘴。得。口を嚙む。花――花が蕾んでゐる。

ハム喰。食。

ハム陷。陷。土――土の窪。一坑。窪。

ハム

ハム

ハム

没落する。陥落する。陥る。厝蓋一落来一屋根

が落ちる。一落一陥落。●草木などの根本に盛土

をする。土を盛って被せる。葱仔着一土葱白即

能較長一葱は盛土をしないと白根が長くならな

ハム 嚙。嚙む。嚙一得一口を嚙む。

ハム 噎。欠をする時の聲。

ハム イイ合意。意味を含む。寓意。話中有一

ハム イオン涵養。涵養。修養。一一品性一品性を涵

養する。人無一修養を積んでゐない。

ハム イオン咸陽。(地名)咸陽。

ハム ヲアヌ喊冤。【喊冤】。

ハム ヲアヌ含冤。●敵意を含む。復讐の心を抱く。

●冤罪を受ける。此條命案伊有一この殺

人事件に就いては彼は冤罪を受けてゐる。

ハム ヲアヌ含怨。恨を含む。恨む。遺恨に思ふ。

一序大人無公道一親の不公平を怨む。

ハム カウ諷狗。無頓着。無定見。一食諷猪頭

無鐵砲者が危い事をする意。

ハム カウアアキイ合口仔齒。牛の乳齒。

ハム カウシアウ諷狗精。(モ)【諷狗】。

ハム カウスン合口算。暗算。胸算。心算。

ハム カグ蚶壳。【蚶】の殻。

ハム カグアアグヌ蚶壳仔銀。極印を澤山打込んだ

爲に凹んでゐる銀貨。

ハム カグアアチイ蚶壳仔錢。【蚶壳錢】。

ハム カグサウ蚶壳草。(種)つぼくさ。(繖形科、全草

を小兒の解毒劑・解熱劑として用ふ)。

ハム カグチイ蚶壳錢。貝殻に穴を開けて錢の様にし

たもの、子供の遊戯などに用ふ。

ハム キア膝鏡。鹿眼鏡。凸鏡。顯微鏡。凸面鏡。

照一顯微鏡で見る。

ハム キイ陥坑。奔。開一奔を掘る。跋落一

一奔に落ち込む。

ハム キイコア諷口。少しも打算がない。粗漏な。

思慮分別がない。無頓着な。做事一事を

するに非常に無頓着である。

ハム キウ咸丘。(姓)咸丘。

ハム ギイ含疑。疑を抱く。

ハム ギイ咸宜。(文)適當。正當。

ハム クヌ含根。根も共に。一扣一根根にする。一

一抜一同上。

ハム コアコア諷嘩嘩。【諷】。

ハム コエコエ諷夾夾。【諷】。

ハム コオ諷古。荒唐無稽の童話。講一同上を話

す。法螺を吹く。

ハム サアキイシイ含三缺四。がらくた物。やくざ

物で役に立たぬ。見來は一寡一来る

ものは皆やくざ者ばかりである。一物的物

一役に立たぬがらくたもの。

ハム サウ合脆。罇や陶器などが出来て破掛つてゐる。

桶一桶が乾燥く。桌都一喇一卓がもうぐ

らつて破掛つてゐるよ。碗盤計計一茶碗

や皿などが皆罇が入つてゐる。

ハム サウ合脆。前に同じ。

ハム サウシア合脆聲。罇の入つた音。磁仔損看有

一無一瀬戸物を打つて見て同上があるかを調

べる。嗽到起一咳して破聲が出て来る。

ハム サウフイ合脆磁。罇の入つた音のする瀬戸物。

一有磁一同上はなかなか破れない、弱い人

はなかなか死なぬ。柳に雪折れなし。一有啗

一同上。

ハム サム撼掃。(舞)●食ふ。一四五碗一四五杯食つ

た。●着服する。横領する。一人的錢一人

の金を着服する。家伙共我一去一僕の財産

を横領してしまつた。

ハム サム陥徳。●罇が入る。此塊碗一この茶碗

に同上。●病氣。病。身軀有一身體に病氣

がある。 「る。

ハムサイライ 含在內。 皆入つてゐる。 皆含まれてゐる。
ハムサム 陷讒。 【陷讒】。

ハムサムカム 蚌參柑。 混淆にする。

ハムシアウ 膠精。 (●) 前後の考ない。 無頓着。 無鐵砲。 無定見。 你因爲——即能失敗。 君は無頓着に事をするから失敗するのだ。

ハムシアウホエ 含笑花。(●) たりをがたま。 からたねをがたま。(木蘭科、花に芳香あり、庭園に栽培し觀賞す)。

ハムシイ 擻死。 擻殺。 打殺す。 敵殺す。 雷公——
ハムシウ 含羞。(●) 含羞。 「りぐさ。

ハムシウサウ 含羞草。(●) 豈料おぢぎさう。 ねむハムシエウ ホン 寒色瘋。(●) 寒色瘋。

ハムシオン 諛想。 妄想。 你在——彼の無的事情——貴方はそんな馬鹿げた事を空想する。

ハムジイヌ 豚臑。 (●) 水腫又は産後に腹の【臑】が厚くなること。 (●) でぶでぶ太つてゐる人を罵つていふ。

ハムジブ 陷入。 陥る。 ——陷坑——穿に陥る。 ——在得危險的地歩——危險な状態に陥つてゐる。

ハムジム 含忍。 怒を抑へる。 堪へる。 ——不住——怒を抑へることが出来ぬ。 我慢が出来ぬ。

ハムスウ 諛事。 (●) 締のつかぬ事。 收拾することの出

来ない事。 諛人做——無頓着な人は締のつかぬ事をする。 (●) 當にならぬ事。 ばつとしてゐる事。 此號是——稽考難真——これはばつとしてゐる事柄で其眞義を極盡す事が難しい。

ハムフエ 陷罪。 罪に陥る。 被人連累——受監——人の連累になつて罪に陥り收監される。

ハムタウ 銜頭。 肩書。 位記。 位階。 片紅落——名刺に肩書を入れる。 ——寫真多——肩書を澤山書く。

ハムタウラン 豚斗籠。 (●) 胴の大きな擔籠。 (●) 大づば。 無頓着。 無定見。 ——的人——同上の人。

ハムタム 豚淡。 體など水腫れてゐる。 身軀——走没去——同上で走切らぬ。 體がぶくぶくしてゐて走れない。 ——身命——水腫して弱い體。

ハムチエン 豚腫。 水腫。 面——顔が浮腫んでゐる。

ハムチム 含毒。 蓄んでゐる。 花蕊——花が蓄んでゐる。 嘴——口許が小さい。

ハムチイ 咸池。 【六神】の白虎の異名。

ハムチイ 函治。(●) 函治。

ハムチヌ 陷陣。 (●) 敗陣。 敗亡。 敗戦。 敗北。 (●) 敵陣

に陥る。 ——身亡——敵陣に陥つて身が亡ぶ。

ハムツイ 擻碎。 打碎く。 突碎く。
ハムツイツイ 擻碎碎。 粉微塵に打碎く。

ハムツウブツト 含珠不吐。 珠を含んで吐かない。 意見を吐かない。 會議の時你——脚川後講到話了了——會議の時に貴方は意見を吐かず、そして陰で何だ彼だと文句をいふ。

ハムトア 銜壘。 船の櫓を立てる所。 櫓の臺座。

ハムトアサウ 擻大草。(●) 牛などが草を澤山食ふ。 大食。 你成——貴方はとても食ふ。(●) 大に食ふ。 コンミツシヨンを澤山取る。 彼個官眞賢——の役人はとても賄賂を取る。 ——的醫生——大に食ふ醫生。

ハムトン 諛唐。 荒唐。 棒大。 講——的話——荒唐無稽な話をする。

ハムハイ 陷害。 中傷。 陷害する。 陥れる。 ——忠良——忠臣を同上する。 用計——人——謀を用ひて人を同上する。

ハムハム 腫腫。 【腫】の①。

ハムハム 沼沼。 紅——眞赤。 眞赤い。

ハムハム 擻擻。 【擻】。

ハムハム 腰腰。 【腰】。

ハムハム 諛諛。 大ざつぱ。 好い加減。 大まか。 大抵

ハン

ハンタン項重。●石臼など重い。大きくて重い。一

物的物歹勢轉倒。大きくて重い物は移すに面倒だ。●病が重い。病到。一就歹醫。病が重くなれば治療が難しい。

ハンチイ 魴刺。赤鱧の尾の刺。

ハンチウ 杭州。次に同じ。

ハンチウフウ 杭州府。(地名)浙江省の首府、杭州

ハンチエン 痲腫。腫れる。腫上る。粒仔。一起來

●腫物が腫上る。

ハンチエン 行情。相場。時價。市價。相場の氣配。

一較行。相場が上向。暗。一相場を隠して明言せぬ。一無光。相場に明くない。事情に詳しくない。

ハンチオク 杭杏。(地名)杭州産の芍薬。

ハンチムカウオク 巷深狗悪。路地が深くて犬が猛

悪な、深闊の女子など近づき難い意。

ハンチアム 行店。商店。商家。店屋。

ハンチウ 杭綯。杭州の絹。

ハンチウ 行長。商會などの長。問屋の支配人。

ハン トン 行東。問屋・商行などの主人。

ハン ハア 痲籜。●葉が大きな。稻仔傷。一難結穂。稻の葉が餘り大くなり過ると實らない。

●自慢する。誇張する。講話眞。一言ふ事が

ハン

非常に誇大である。●金放がよい。氣前がよい。人不止。一懐交。費用などを惜まずに氣前よく人附合をする。

ハンハン 烘烘。【烘】。

ハンハン 哄哄。【哄】。

ハンハン 痲痲。【痲】。

ハンハン 降降。【降】。

ハンハン 行行。【行】の◎。

ハンハン 項項。品品。

ハンヒイ 魴魚。(魚) 赤鱧。

ハンヒイ 烘魚。魚を炙る。

ハンヒイ キアム 魴魚劍。【魴劍】。

ハンヒウ 行衰。綿入を糸で綴ぢる。

ハンヒエク 哄嚇。威嚇する。嚇す。大聲。一人大な聲で人を威嚇する。

ハンヒア 哄翁。嗚嗚附けて嚇す。威喝する。

ハンヒア 烘餅。菓子焼く。煎餅を焼く。

ハンヒエヌ 哄騙。嚇して騙す。嚇したり賺したり。一看能驚没。驚くか驚かぬか嚇して見る。

ハンヒエヌ スツ 哄騙術。嚇したり騙したり賺したりする。教団仔着。一子供を教へるには嚇したり騙したり賺したりせねばならぬ。一氣暢忍。嚇し騙し賺し怒り喜ばし忍ぶ。子供を教

ハン

へる方法。

ハンヘエ 烘火。火に當る。火に當てる。火に焙る。

ハンヘエ 哄嚇。●嚇す。嚇附ける。嚇す。虚喝。一都不驚。嚇しても恐くない。大聲。一人

●大な聲で人を嚇附ける。●意地をはる。張合

●競合ふ。二個相。二人が互に張合ふ。

ハンヘエ 行灰。隙間などに漆喰をつめる。

ハンヘエ 行貨。●商行の貨物。●細工などが粗雑な品質が粗悪な。

ハンペエ 痲皮。●肥太る。嬰仔不止。一赤坊が

よく肥太つてゐる。●金放がよい。氣前がよい。

人不止。一錢無痛。非常に氣前がよく金などを惜まない。

ハンホア 哄喝。大な聲で嚇す。嗚嗚附ける。賢

一団仔。よく子供を嚇附ける。

ハンホア 哄譁。【哄譁】。

ハンホオ 行戸。●商家。大店。卸屋。商行。問屋。

●同上の持主。

ハンホヲ 行號。店號。屋號。

ハンホク 降服。服する。無人要。一伊彼に服する者がない。一伊的才情。彼の才能に感服する。

ハンホク 降伏。(ま) 降參。降伏。背を脱ぐ。

ハンボク 項目。(圖) 項目。

ハンミイヒウ行綿裘。綿入を綴ぢる。

ハンモオ降魔。降魔。惡魔降伏。

ハンモオキアム降魔劍。降魔の劍。

ハンモオマウ降魔杵。降魔の杖。

ハンラウ流。潮が岩などに當つて碎ける。

ハンラン烘烘。【烘烘】。

ハンラン烘烘。【烘烘】。

ハンラン痲痲。【痲痲】。

ハンラン降降。【降降】。

ハンラン行行。【行行】。

ハンリエン痲乳。【痲乳】。

ハンリエン枕綾。綾錦の類。

ハンリヌ痲乳。●年頃になつた女の乳の大きなこと。●乳兒など肥太る。嬰仔着満月過即能——赤坊は満一箇月後になつてから肥太るものだ。

ハンロオ烘爐。烘爐。七厘。頭壳戴——頭に焜爐を被る、非常に熱してゐる。

ハンロオ巷路。屋内の通路。廊下。

ハンロオケエ烘爐架。焜爐の臺。【んだ團扇】。

ハンロオシイ烘爐扇。焜爐を扇ぐ團扇。竹篾を編

ハンロオチイ烘爐子。焜爐の内部に置き、火を載

せ灰を落すもの。さな。

バア

バア含。赤坊の言ふあばあば。嘴一直——頻りにあばあばといふ。打——あばあばと口を鳴す。

バア肉。●肉。龍眼——龍眼の肉。猪——豚の肉。挖——嘴内哺——肉を剥つてむしゃむしゃ食ふ、自の兄弟や身内の悪口を他に言ふ意。●身。中身。刀——刀の刃。鎗——鎗の身。鎗の穂。鏡——鏡身。鏡やレンズの厚み。土——地表の下にある土壤。

バア婦。女を罵る語。阿婆擦尼。奴淫賣。すべた。腐——同上。破——同上。娼——同上。

バア猫。●猫。家内無——老鼠能曲脚——家の中に猫が居ないと鼠が膝を組む、鬼の留守に洗濯。好——管百家——好い猫は百軒の家を管する、手出し口出して餘計な世話を焼き廻はるが如きいふ。●(動)狸。一仔——同上。

バア痲。痺れる。痲痺する。無感覺になる。脚痺手——手足が痺れる。一藥——痺藥。

バア鏡。鏡などの曇。鏡面上——鏡に曇ができる。

バア碼。碼。碼。一——二元——一碼二圓。

バア鷓。●(五指で)掴む。一頭鬚——髪を掴む。五總頭被人——去——鬚を掴まれた、急所を押へられた。●掴んで攫ふ。捕る。鷓鷩——鷓鷩。鷓鷩が雛を攫ふ。

バア覓。有るか無いか當にならぬ物を探求める。探す。尋ねる。一頭路——職業を探す。口を求める。一厝——家を探す。

バア密。●物と物とがぴったり合ふ。きっちり。しつくりと。きちんと。没——びったり合はぬ。合仔頭鏡無——合仔頭がぴったりと合はない、談合などに話が行違になつて耻をかかなくなど。●仲間がよい。親密な。伊與局長真——彼は局長と親しくしてゐる。

バアア猫仔。(動)狸。

バアア肉餡。肉餡。餅有包——菓子には肉餡が入つてゐる。

バアイ肉圓。【肉圓】。

バアイ肉油。豚の脂肪、又其を溶した油。豚の油。蒜仔圖——蒜が豚の油を吸取る、僅なものを出に使つて人を誘ひ大利益を得るなど、蝦で鯛を釣る。

バアイエン肉瘰。肉腫の一種。

バアイヲ痲藥。(藥)痺藥。痲藥。痲醉劑。

ハン

バア

バア

バナ

バナウヌ肉鱈。(●) 潤目鱈。

バナウヌアア肉鱈仔。(●) 前に同じ。

バナヲアヌ肉團。碾いた豚肉に餛飩粉を混ぜて團子の様に作ったもの。肉團子。煎——肉團子を揚げる。

バナヲアヌマン肉團湯。油で揚げた【肉團】を入れたお汁の料理。「の顔」。

バナヲアヌビヌ肉團面。【肉團】の様な顔。丸ぼちゃ

バナカアサア密合腹。(●) 密腹。

バナカウ肉鉤。肉を掛ける鉤。

バナカウ猫狗。獵犬の一種。

バナカウ肉角。四角に切った肉。肉の角切。

バナカン寛孔。(●) 穴を捜す。(●) 金又は職を捜す。口を捜す。期脹到、着緊——勘定日が近づいたから早く金策しなければならぬ。歹景況難——不景氣で職が捜難い。

バナキアウ肉餃。餛飩粉で作った薄い皮で肉餡を包み其を蒸したもの、ソップを加えて間食に用ふ。

バナキイ肉羹。豚肉を葱・筍・餛飩粉等と一緒に煮て羹にした料理。「曇る」。

バナキイ麻去。鏡などが曇る。鏡頭——レンズが

バナキエヌ肉繭。(●) 肉に衣をつけ繭の形にして油で揚げた菓子的一种。(●) 俗物。你此籬——不識

バナ

半項——お前見た様な俗物は一つも分らぬ。

バナクツ肉骨。少し肉の附いてゐる豚の骨。

バナクツソオ肉骨酥。少し肉の附いてゐる豚の骨に餛飩粉をつけ、油で揚げて羹にした料理。

バナクツマン肉骨湯。豚の骨から取ったソップ。

バナクヌ肉筋。豚肉などの筋。

バナコア肉干。薄肉切を焼いて乾したもの。

バナココ肉蕨。初茸。(蕨類、食用として貴ばれる)。

バナサア密腹。(●) 物と物とがびつたりと合ふ。合行

止——接目がびつたりとよく附着してゐる。仲がよい。親合つてゐる。戀二個——彼等二人は非常に仲がよい。

バナザイ肉菜。右——肉附が好い。好——同上。

バナサン肉粽。糯米に肉類を入れ竹の葉に包み蒸した角黍。

バナシイ肉絲。豚肉を絲の如く切ったもの。切——同上を切る。

バナシイ肉腿。搦身。掠來豚——捕へて來て搦身の様に寸寸に切る。

バナシイザアフヌ肉絲炒粉。【米粉】に【肉絲】を混ぜて煎った料理。

バナシイザアミイ肉絲炒麵。【大麵】に【肉絲】を混ぜて煎った料理。

バナ

バナシイツウフヌ肉絲煮粉。【米粉】に【肉絲】を混ぜて煮た料理。

バナシイツウミイ肉絲煮麵。【大麵】に【肉絲】を混ぜて煮た料理。

バナシイビイフヌ肉絲米粉。【肉絲煮粉】。

バナシイミイ肉絲麵。【肉絲煮麵】。

バナシエク肉色。(●) 肉色。——的襪——肉色の靴下。

獸肉などの色合。此隻猪的——美——此の豚の肉の色合がよい。(●) 皮膚の色。血色。面的——歹——顔の色が悪い、血色が悪い。

バナシヌ肉身。生地。地。此正布——眞厚——此の反物は生地が厚い。無——生地が薄い。

バナジイガヌ猫兒眼。(●) 猫の眼。(●) 愉快氣に猫の様な細い目をする。倒在——阿片を吸ふ時等横になつて同上。(●) 猫の眼の様に種種の色を反射する寶石、オパール。

バナジイチエク猫兒竹。(●) 竹の一種、質堅くして長き節あり。

バナジオン肉絨。敲肉。寸寸に敲いた肉。

バナスツ肉腐。肉の屑。砧住——俎に肉の屑がくっついてゐる。激骨食——變者は肉の屑を食ふ、殊更に變つた事をすれば損をする意。

バナヌ肉笋。肉に生ずる蛆をフライにしたもの、

西洋人の食ふもの。

バク **モエアア** 猫文仔。(雜) 三叉の獵具。

バク **ソアイ** 肉様。纖維が少く核の小さな櫛果。【柴様】に對す。

バク **ソア** 肉擦。筋肉が震へる。你不聽嘴能——
汝は言ふ事を聞かぬと後で筋肉が震へるぞ、後で毆られるぞといふ意。

バク **タウ** 肉豆。(種) 藤豆。(苦科、食用の外に莖根を乾して痲病・月經不順等の薬となす)。

バク **タウ** 嬌頭。青樓の女主。女將。

バク **タン** 肉凍。肉の煮凍。

バク **チア** 覓食。食物を捜求める。生活の道を求める。四界去——方方へ行つて職を求め。

バク **チイ** 覓錢。金を工面する。金策をする。等我——即來與你落股——私が金を工面して資金を出すのを待ちなさい。

バク **チイ** 肉刺。靴の傷。靴摩。

バク **チウ** 肉膏。切刻んだ肉。割做——肉を一分刻にする。

バク **チオク** 麻雀。麻雀。——子——麻雀の道具。打——
——麻雀をする。

バク **チヌ** 癩疹。(癩) 癩疹。

バク **チア** 癩疹。癩疹。痺れる様な痛み。鈍痛。

バク **チアム** 肉砧。組。肉屋の大組。你要做——お前が同上になる、人に打たれる意。

バク **ツウ** 猫鼠。猫と鼠。——同眠——猫と鼠が一緒に眠る、悪人と気が付かず一緒に居るなど。

バク **ツウ** 覓厝。賣家又は貸家を捜す。人在厝厝你着緊——人が家屋明渡を催促してゐるからあなたは早く家を捜さなければいけない。

バク **ツク** 覓船。船を捜す。船を仕立てる。

バク **マン** 肉糖。肉を混ぜた菓子。

バク **ヌン** 肉髓。【膩髓】。

バク **ヌン** 肉油。皮の直下にある脂肪。

バク **バア** 舍舍。——打——あはあはと口を鳴す。お互の勘定を相殺して好い加減にけりをつける。
●笑——容を款待する時などの笑方。あはあはと笑ふ。

バク **バア** 肉肉。●肉附が好い。ぼつてり。ぼつてり。

ぼつちやりと。身軀——體がでっぷりと肥えてゐる。●金をどつさり持つてゐる。某人此久——
——某は今金をどつさり持つてゐる。●愛——よく可愛がる。不甘——惜んで物を容易に手放さぬ。

バク **バア** 癩癩。痺れる。癩癩する。無感覺になる。

脚骨——足が痺れてゐる。

バク **ババ** 鴨鴨。【鴨】。

バク **ババ** 鴨鴨。【鴨】。

バク **ババ** 覓覓。【覓】。

バク **ババ** 密密。ぴったりと。きっちり。しっくりと。關——密閉する。一千銀——きっちり一千圓。

バク **ババ** 癩癩。癩癩痺痺。痺れてゐる。——
——據伊去——大した事がないから我慢して彼のするが儘に任せる。

バク **バク** 肉目。働の鈍い目。見損などする目。不確な目。——真假没曉分——目が鈍いから眞偽を區別する事が出来ぬ。

バク **バア** 肉兜。豚肉を焼いて乾したもの。

バク **パウ** 肉包。肉饅頭。肉餡の饅頭。

バク **ハイ** 肉魚。【窩哥落】。

バク **ヒラ** 鴨鴨。(鴨) 鳶。——披身——鳶が羽根をひろげる。臂張。——鴨魚——鳶が魚を攫ふ。

バク **ビヌ** 癩面。●癩れた顔。●鐵面皮。耻知らず。——不畏人——鐵面皮で人を憚らない。

バク **ビヌ** 猪面。泡瘡の痕のある顔。痘痕顔。痘痕面。痘痕面。——满天星——顔一面に痘痕が有る。

バク **ビヌ** 癩面。鏡など曇る。鏡——鏡の面が曇る。

バク **ビヌ** 癩面。鏡など曇る。鏡——鏡の面が曇る。

バア

バア

バア

バア

バア ビア 肉餅。肉餡を入れた扁い菓子。壓一下成

―押潰されて同上の様になる。食―同上を食ふ、頬邊をびしゃりと打たれる。

バア ビア 婦片。(無) 娼妓。女郎。すべた。「顔

バア ビア ビヌ 肉餅面。「肉餅」の如き顔。横に廣い

バア ビイ 痺痺。痺痺。痺れる。脚―足が痺れる。

バア ビイ 肉片。豚肉を薄く切ったもの。切身。肉片。

バア ビエヌ 肉片。前に同じ。

バア フウ 肉脯。豚肉の田麩。

バア ブイ 含微。愉快氣になる。得意。心肝―悦に入る。日開―愉快氣に目を細める。●

甘味又は酸味など淡い。―甜―淡甘い。―酸

少し酸味がかる。

バア ブウ 癩癩。薄ぼんやり。曇る。曇。天色―

―空が薄ぼんやりしてゐる。鏡面―鏡の面が曇つてゐる。

バア ブウクン 癩癩光。曙。明方。夜明。天―

―ほんのりと夜が明ける。

バア ブヌ 含吻。微笑。嘴―微笑む。

バア ブヌヲ 含吻笑。にこり笑ふ。微笑。甚事你在―どんな事でああなたは微笑んでゐる

バア ベエ 肉皮。豚肉の皮。「のか。

バア ホン 癩癩。(癩) 癩病。

バイ

バイ ボエ 肉皮。(無) 肉皮。

バイ ミイ 肉麵。肉を混ぜた饅頭。

バイ ラア 鴉鴉。鴉鴉。

バイ ラア 鴉鴉。鴉鴉。

バイ ラア 覓覓。覓覓。

バイ リイ 密閑。船の客室。船室。食公司廂―

公共の物を買って船の客室に寝る、米の値も知らずに暮して行くなど。

バイ リイケエ 密閑客。船客。

バイ リイソア □□。事情―就是事を大抵にしたらよい。好い加減のところだけをつけたらよい。

バイ リイパン 密閑房。船の客室。船室。

バイ リウ 肉瘤。肉瘤。瘤。たん瘤。

バイ レエ 肉螺。(動) 法螺貝。長螺。

バイ ロオ 肉肉。鹽をした肉より出る汁。

バイ ロオ 肉路。料理に使用する肉類。茶專専用―較不好料理に肉類のみを使用してはよくない。

バイ

バイ 醜。醜い。下手。面―顔が醜い。字―字が下手だ。工夫較―細工が拙い。●活活しない。

バイ

元氣がない。映えない。死―同上。火―消え

かかった火。一手―左手。●主に漳州丞悪い。心肝―心が悪い。一味―悪い味。悪い臭。

バイ 肩。●肩。●肩。目―同上。畫―肩を畫く。●「司公」の使用する隠語。八。一仔銀―八

圓。

バイ 楣。門戸の上方柱間に互した梁。楣。鴨房。門―楣。窓仔―窓の上にある横木。

バイ 埋。埋める。埋める。―身屍―死骸を埋める。―姓名―姓名を隠す。―頭不出―引込んで顔を出さない。

バイ 覓。●見舞ふ。―病―病氣を見舞ふ。―喪―毎に往く。●尋ねる。求める。見る。探す。―銀孔

●金策する。―脈―脈を見る。●動詞に附して試す意を表す。食―食べて見る。用―使つて見る。試―試して見る。

バイ アア 之仔。陰門。

バイ アア 埋怨。怨を呑む。怨を隠す。拾恨―恨を抱き怨を呑む。

バイ カア 醜脚。左足。―撈着就倒―左足でも蹴れば直倒れる、相手になれない意。「醜い。

バイ カウ 醜猴。醜い。彼縮成―彼奴はとも

バイ クイ 醜鬼。夢に襲ふ鬼。被―壓―同上に壓附

られる。

バイタイ醜氣。【醜味】。

バイコテシウ醜者相。見つともない。醜い。悪相。生成——人相が悪い。

バイコアヌ醜狀。形が悪い。恰好が悪い。行路——歩く恰好が悪い。

バイジイ醜字。醜い字。下手な字。

バイソソ見喪。悔に往く。用に往く。——不哀、寧可免來——悔に往って哀しなれば寧ろ行かない方がましだ。

バイソソ埋葬。埋葬。葬る。

バイソソ埋藏。密かに埋めて隠す。埋藏。——賊贓。贓物を同上する。

バイキウ眉頭。眉間。

バイキウ醜手。左手。——字——左手で書いた字。

バイキウビエン醜手旁。左側。

バイチエン見症。病氣を診察する。——開藥——診察して處方を書く。

バイトオ埋頭。(笑) 頭を引込める。——不出——引込んで顔を出さない。

バイバイ埋埋。【埋】。

バイバイ寛寛。【寛】。

バイバク眉目。眉目。——分明——眉目清秀。

バイバン寛眇。物が分明しない時など目を細め眉を寄せて見る。【眇眇】。

バイビイ醜味。●香味が悪い。茶——茶の香が悪い。魚藏久能——魚を長く置くと醜える。

●男らしくない。穢い。賤しい。我對錢無彼——私は金のことについてそんなに穢い者ではない。自己——講別人——自分が賤しいのに人のことをいふ。

バイビエツ埋滅。埋没。田園被土砂——田園が土砂に埋没される。——無身屍——埋没して死骸がなくなる。

バイビエン埋名。名を隠す。匿名。——詐死——名を隠して詐り死す。隱姓——姓名を隠す。隱遁する。

バイビイ見病。病氣見舞。帶物去共伊——物を持って病氣見舞に往く。

バイブツ埋没。埋没。埋める。埋れる。

バイヘエ醜火。漫漫火。漫火。

バイヘエ醜貨。●悪い品物。古物商賣——古物屋が悪い品物を賣る。●卑劣。賤しい。穢い。你看我到彼——貴方が私をそんなに賤しいものと見るのですか。

バイベエ寛脈。(笑) 同【寛脈】。

バイホク埋伏。埋伏。四圍——兵馬——周圍に兵士

バイホエ醜火。(漢) 【醜火】。「を埋伏する。

バイホエ醜貨。(漢) 【醜貨】。

バイホオ醜火。(泉) 【醜火】。

バイホオ醜貨。(泉) 【醜貨】。

バイボオ醜妻。醜い妻。——傳家寶——醜い妻は家を傳へる寶である。醜婦は家を繁昌させる意。

バイメエ寛脈。脈を取って診察する。講症較好——診察よりは症狀を詳しく話す方がよい。

バイライ埋埋。【埋埋】。

バイライ寛寛。【寛寛】。

バイロオ醜略。粗惡。悪い。——貨——粗惡な物。工夫——細工が悪い。細工が拙い。用錢賠你取有——金で賠償するならさう悪くないぢやないか。

バイロラ口口。●【醜路】。●男らしくない。意氣地がない。賤しい。穢い。到給你就無討——彼——遣ったものは決して取戻さぬ、そんな男らしくないものではない。——脚賬無路用——意氣地のない手合は役に立たぬ。

パウ

パウ包。縁が内面に向って捲込んでゐる。——境——縁が圓

バイ

バイ

パウ

パウ

く捲込んで窄まってる。一倚||餓頭など皮で解を包む。一脣||脣を口の中に凹ませる。嘴||一齒の無い年寄など脣が凹んでゐる。

パウ/ 卯。●(十二支)卯。一時||卯の刻。一年||卯の年。行着||字遣||發展の微を意味する卯の運氣に廻合ふ。好運の意なれど通常反語として運の悪い意に用ひらる。●【知府】【知縣】などの下級使用人の名簿。縣||知縣の下級使用人の名簿。府||知府の同上。浮||一個||名||名簿に下級使用人としての名を載せる。點||名簿によつて點呼をする。應||點呼の時他人を代りに充てる。●實際に有る様子を掲げる。一名||下級使用人の名簿に實際居ないものを居る様に掲げた名。

パウ/ 包。金などを着服する。一人的錢||人の金を着

パウ/ 糲。一鞋底||女の靴を作る時 型を取った竹の皮に布を縫合せて靴底を作る。

パウ/ 茫。●(同)【茫】。

パウ/ 矛。【矛】。

パウ/ 糲。●(同)【糲】。

パウ/ 泡。湯掻く。一麵||臺灣蕎麥を同上する。一的不好食||湯掻いたもの是不味い。

パウ/ 貌。●(同)【貌】。

パウ

パウ/ 買。●(進)買。●請負ふ。引受ける。一工事||工事を請負ふ。一糲||同上。扛棺柴合||哭||棺桶を擔ぐこと泣くことまで引受ける。出過ぎて人の事までするをいふ。●一纏に買ふ。引括めて買ふ。一貨底||賣残の品を一纏に買ふ。相剋。

パウ/ イウ/ 卯酉。(十二支)卯と酉。一沖||卯と酉は餅に餡を入れてから包む。

パウ/ ヲア/ 包倚。餓頭などを包む。裸入餡即||餅に餡を入れてから包む。

パウ/ カン/ 賢工。請負ふ。請負。一真好趁||請負はよく儲かる。

パウ/ キイ/ 包埒。縁が圓く捲込んで窄まってる。鞋||一||靴の縁が同上。

パウ/ ゲエ/ 卯月。二月。

パウ/ シア/ 蔑蝕。蔑視。輕蔑する。一一人眞忝||人を餘りに輕蔑し過ぎる。

パウ/ シイ/ 卯時。卯の刻。明六。(午前五時頃より六時頃迄の稱)。一轉樞||卯の時刻に樞を出す。

パウ/ シツ/ 賢樞。工事を請負ふ。

パウ/ ソア/ 蔑瞬。見くびる。侮る。輕んずる。見下げ

する。一伊無才調||役に立たないといつて輕蔑する。

パウ/ タウ/ 賢頭。下請の上に居る請負人。

パウ/ チア/ 卯正。丁度卯の時。

パウ

パウ/ モイ/ 昂星。星の名。昂星。

パウ/ ツイ/ 賢堆。一つ宛でなく全體で買買する。

パウ/ ツヌ/ 包脣。脣を口の中に凹ませる。脣を食ひしめる。

パウ/ ツヌ/ 矛盾。矛盾する。喰違ふ。齟齬する。自相||自家撞着。

パウ/ トオ/ 賢土頭。●埋立などする時土を引く

るめて買ふ。●左官の頭。土工の頭。

パウ/ ニイ/ 卯年。卯の年。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 卯卯。【卯】の◎。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ バウ/ 包包。【包】。

パウ/ ミア/ 卯名。下級使用人の名簿に實際に居ないものを居る様に掲げた名。

パウ/ ミイ/ 泡麵。麵類など俵に入れて湯掻く。

パウ/ ライ/ 賢來。つう込で買ふ。込で買ふ。一緒に纏めて買ふ。

パウ/ ラウ/ 包包。【包包】。

バックアイ目鏡。眼鏡の絃の代りに絲を用ひ

その端につけた鉦。

バックアテ目鏡袋。眼鏡の袋。眼鏡のサック。

バックイ目鏡。睡。潜。一。睡が爛れてゐる。用

蠶母拭。一。生薑で睡を擦る、嘘の涙を流して同情を装ふ。

バックキ目今。目今。現今。方今。當節。當世。當

今。一。的人。當世の人。一。錢做人。當世は錢が人を作る、金の世の中の義。

バックキ目金。目光。

バックギ目眠。眠附ける。後目に懸ける。「赤い。

バックク目筋。目の筋。一。紅。目元が赤い。目が

バックク目光。目明。一。的。同上。青盲亦有

一可牽。盲にも手を引いて呉れる目明が居る、馬鹿にも教導いて呉れる物識が居る。

バックケ墨架。墨臺。墨もたせ。

バックコ染汗。汗が附く。汗染む。

バックコア墨干。鳥賊を乾したもの。

バックコア墨罐。墨罐。墨汁を入れる罐。

バックコヨ目鏡。目の縁。一。紅。目の縁が赤い。涙

が出さうになる。

バックコヨ墨膏。一。硯の面につく墨の滓。一。泥泥した

墨。粘した墨。墨汁。

バックヨシ目孔。(動) 鯨。室鯨。一。魚。同上。

バックサア木柵。柵。柵。一。門。柵。木柵

の門。

バックサアシ目瞬息。寐入端。とろとろ眠る。微

睡む。適適即。一。伊就來叫。一。度寐入端を彼が呼に來た。

バックサイ木司。大工。大工職。

バックサイ墨屎。硯の面につく墨の滓。

バックサイ目屎。目脂。目脂。一。涙。一。汪

汪流。一。さめざめと涙を流す。一。流入無流出

涙が流入して流出ない、餘りの悲痛で涙も出ない意。一。流落準飯吞。一。涙が流れて飯の様

に石む、悲痛極ること。

バックサイコヨ目屎膏。目脂。目屎。

バックサイチアム目屎尖。(病) 眼險に生ずる小な

腫物。物質。看人放尿能生。一。人の大便

してゐる所を見ると物質が出来る。

バックサイフウ木司卓。大工。大工職。

バックサイラウクヌ目屎流近。涙脆い。一。一

的人。涙脆い人。一。着。一。一。何かに

けて直涙をこぼす。

バックサツ木虱。(動) 南京蟲。床虱。床虱。一。食客

一。南京蟲が客を食ふ、主人が客の物を食ふなど

を云ふ。一。笑樹鬚。一。南京蟲が「樹鬚」を笑ふ、

目屎が鼻屎を笑ふなど。

バックサツ墨賊。(動) 烏賊。真烏賊。一。魚。甲烏

賊。一。墨賊子。一。賭博又は骰子四個を以つ

てする賭博の一種。

バックサツイエ墨賊煙。烏賊の墨。烏賊の墨身。

バックサツコア墨賊干。烏賊を干したもの。干烏賊

バックサツジイ墨賊子。(賭具) 木で造った三十二枚の

骨牌。二枚宛一組となり【至尊】【天】【地】【人】

【鵝】【板五】【板三】【板二】【慈】【錦屏】【玄六】

【玄五】【九仔】【八仔】【七仔】【五仔】十六組より

バックサツツヌ墨賊船。烏賊の甲。「成る。

バックシアウ目精。(鳥) 目屎。一。無創。一。目屎を創取

つてゐない、人を見分ける力のない者を罵つてい

ふ。目が無い。一。無髻。同上。

バックシエク目識。目の働。眼力。眼識。一。巧。目

端が利く。好。一。同上。

バックシエク墨色。一。墨色。一。墨の色合。一。無化。一

墨畫など墨の色合に變化が無い。

バックシツ目實。見掛。嵩。有。一。嵩がある。映え

る。見場が好い。

バックシヌ目神。目色。目元。一。清彩。一。目元ぼつち

りと。一。在在。一。目が坐る。一。活。一。目色が活

活してゐる。

バク スヌ 目紋。二重瞼の裏結。目の縁。

バク タウ 墨斗。大工の用ひる墨斗。矢立。

バク タウ 目頭。● 兩眼の相對する端。目先。目元。
—— 結束。同上を寄せる。顔を擧げる。—— 拾

糊。同上。● 巧。見ると直真似が出来る。

聰明な。如才ない。● 商標。マーク。

バク タウ ソア 墨斗線。陸墨。墨繩。

バク タウ モイ 墨斗刺。墨刺。

バク タウ チヌ 墨斗繩。墨繩。

バク タク 染濁。● 小さな道具など處置するに困る。
邪魔で仕様がな。煩い。剩一寡物害你。——

● 少の物を残して實際處置に困る。● 意地穢く
欲張る。穢い。我到彼。—— 提的物。私は

貴方の物を取るやうな穢い人ではない。

バク タム 染滑。濡れる。

バク タン 木桶。首を入れる桶。首桶。

バク チア 日刺。【日孔刺】。

バク チアムン 目睫毛。睫。—— 無漿滑。睫に糊
を着けない。見分ける力が無い。目玉を持たぬ。

バク チアアムン 目睫毛。前に同じ。

バク チアム 目尖。【目屎尖】。

バク チイ 目箭。秋波。色目。使。—— 色目を使ふ。

—— 亂射。矢鏢に色目を使ふ。

バク チイ 墨刺。大工の用ひる墨刺。

バク チイ バア 目箭肉。眶の肉。

バク チイ ベエ ト 目舌白吐。【目白舌吐】。

バク チウ 目瞞。目。眼。目玉。—— 挖起來。目の玉
を剝抜く。—— 煙暈。目が霞む。目が曇る。——

鳥暗。眩暈がする。目が眩む。—— 惡人。睨
む。—— 起翳。目に星が出来る。—— 金。目早

い。—— 金。目が閃閃してゐる。—— 昏瞶。目
目を閉ぢる。—— 柴柴吊。目がすわる。——

睨。—— 睡氣の差した時目がとろとろする。——
展三角。目を三角にする。睨む意。—— 凹凹。目
目が窪む。—— 降降。目を白くして睨む。——

吊吊。目がつる。眼をつりあげる。—— 砧砧
目の中に物が入つて傷む。—— 睨。目を細

める。—— 睨。眠さうな目。—— 轉輪。睨附
ける。—— 大細。偏頗。依怙。偏負。不公平。

—— 吐吐。目が飛出てる。—— 展高。上目を
使ふ。—— 放。目を閉ぢる。目を塞ぐ。——

霧霧。目が霞む。—— 微微。目を細くする。目
がとろとろとする。—— 反白。目を白くする。

—— □□。近眼の様に目を細くして物を見る。
—— 花。目が霞む。—— 被龍眼。核替去。目が

龍眼の核と入代つてゐる。目の利かぬ人を云ふ。

—— 利。目早い。目が利く。目先が利く。—— 利
害。鋭眼。眼光が鋭い。—— □□。角角。目が

ぎろぎろしてゐる。食。—— 金。眼識の如何によ
る。—— 蓋蓋。目が塞がっている。目先が見えぬ。

眼識がない。—— 看過七重壁。目が七重の壁
を見通す。眼識の高い意。—— 看高無看低。目

が高きを見て低きを見ず、上に詔ひ下に驕る。
—— 看錯。秤星。目が秤の目を見誤る、見當違の

意。—— 掛斗。看見人物就愛。目に斗擡
を掛けてゐて人の物を見るを欲しがらる、斗擡を掛

ける時は前方に引く故に物を欲しがりて取込む
形容にいふ。—— 看彼。脚踏彼火。目に其

の餅を見て足に其の火を踏む、利慾に氣を取られ
て遂に害を被る。—— 噴燈。燈火。目で燈火を

吹消す、觀察の鋭利な意。—— 沒貯得。一粒砂
目には一粒の砂も入れることが出来ぬ、忍耐出

來ない意。—— 花花。蕃薯看做菜瓜。目が眩
んで甘薯を瓜と見違へる、よく見誤りよく見分

附かぬが如きを嘲りて言ふ。—— 無帶。瞳子。目
に瞳孔が入つてゐない、明盲目で物を見分けるこ

とが出来ない。—— 出火。金星。目から火の星が
飛出る、なぐられて目から火が出る。又血眼にな

バク

る意。

バグ チウ 染手。手を染める。手を着ける。愛——
手を出したがる。干渉好。

バグ チウ 木匠。大工。大工職。指物師。做——無眠
床——大工には寝臺がない、紺屋の白袴。

バグ チウ イアム 目瞼掩。目蓋。
バグ チウ カン 目瞼孔。眼窩。眼孔。

バグ チウ キア 目瞼鏡。目が鋭い。目早い。
バグ チウ ギヌ 目瞼腕。腕腕。

バグ チウ クウ 目瞼白。眼窩。
バグ チウ クツ 目瞼窟。前に同じ。

バグ チウ コオ 目瞼縮。目の縁。——大——眼が
大きい。傲慢な意。

バグ チウ コン 目瞼孔。目の孔。——大——目の孔が
大きい。傲慢な態度。

バグ チウ ジヌ 目瞼仁。眼球。眼の玉。眼球。
バグ チウ チイ 目瞼子。前に同じ。

バグ チウ チエン 目瞼症。(病) 眼病。
バグ チウ チエン 目瞼前。目の前。面前。面前。當
你——罵俾你看——あなたの目の前で叱って見
せる。

バグ チウ チアム 木匠店。木具店。指物屋。建具屋。
バグ チウ ベエ 目瞼尾。日後。——一——瞭一下就知

バク

一寸見れば直分る。

バグ チウ ペエ 目瞼皮。險。眼險。——無漿滑——
險に糊を着けない。目玉がない。——擦——
がびくびく動く、不幸の前兆といふ。

バグ チウ ポエ 目瞼皮。(薄) 前に同じ。
バグ チウ ムン 目瞼毛。睫。——搔無起——睫を搔
上げない、目玉を持たぬ。

バグ チウ エン 目瞼。目先。目前。眼前。面前。
目前。遠在千里、近在——遠くて千里、近く
て目の前、目の前に在ることを暗に知らせる時
などいふ。右看見——無看見後來——眼前のみ
見て將來を見ない。

バグ チウ スツ 目一瞬。一瞬。瞬く間。——提去
——ちよろりと盗む。——過年又到——瞬く間に
又お正月が来た。

バグ チウ ソア 目一一些。一瞬。瞬く間。——已經
五年——瞬く間にもう五年過ぎた。

バグ チウ ニイ 目一瞬。一瞬。瞬く間。——就過
去——瞬く間に過去を行く。

バグ チウ アウ 染住。染着く。染まる。
バグ チウ アウ 墨條。墨。

バク

バグ チウ 染着。附ける。附く。染まる。——油——油
が附く。——烏——黒いものが引附く。——土——
泥に塗れる。泥が附く。——血——血が附く。血
塗。——汚穢——汚れる。

バグ ツイ 染水。水を附ける。
バグ ツイ 墨水。墨の水。洋墨。腹肚内無半點——
腹の中に半滴も墨の水がない、無筆の意。倒吊
無——倒様に吊しても墨の水が出ない。同上。

バグ ツイ 染嘴。口をつける。一寸口につけて食べる。
人——的物我無愛——人が口をつけた物は私
は嫌だ。

バグ ツイ ウイ 墨水畫。墨畫。
バグ ツイ コアヌ 墨水罐。筆洗。筆洗。洋墨壺。
バグ ツイ サア 墨水衫。煤又は泥土などで染めた墨く
灰色の衣。墨色に染めた衣。

バグ ツイ シエク 墨水色。墨色。
バグ ツイ ポオ 墨水布。墨色に染めた布。

バグ ツイ 墨槌。印刷。騰寫用のロール。
バグ テエ 墨塊。墨。

バグ テエ 目地。眼中。——無——輕んずる。見下げる。
眼中に置かない。輕蔑する。侮る。——無——
紙春仔——「鮎紙」を捕る春仔(人名)は眼中に
無い、初めは人に笑はれた鮎取の春仔も後に金

持になったといふ、人は滅多に輕蔑するものではないといふ意。無一見下げる。

バク ニイ 目裡。眼中。好歹在咱一善惡は自分の眼中にある、自分が見れば善惡が分る。一無人眼中に人無し。

バク ニイ 茉莉。【茉莉花】。

バク ニイ アア 目瞞仔。次に同じ。

バク ニイ クウ 目瞞久。瞬く間。咄嗟の間。瞬間。瞬時。一瞬間。一到位。瞬間に到着する。【煮た料理】。

バク ニイ スイ コエ 茉莉水蛙。蛙等を材料として

バク ニイ ホエ 茉莉花。(種)もうりんくわ。まつりくわ。(木犀科、盆栽とし、花は包種茶の加香料として用ひらる)。

バク ハイ 墨海。中央の浅く凹んだ大な硯。【合】。

バク バア 目肉。目の元に赤色を呈してゐる結膜の集

バク バイ 目肩。肩。一倒置肩を逆立てる。一短短、交人無尾肩の短いものは人と交つて終まで續かない。

バク バイ タウ 目肩頭。兩目の間。肩間。一打結肩を擡める。一拾襖肩間に皺がよる、年寄の意。

バク バイ ベエ 目肩尾。目尻。一挟死蝴蝶目

尻の皺で蠅を挟み殺す、歳老いて目に皺のあるものを冷笑していふ。

バク バイ ムン 目肩毛。眉毛。一搔無起肩毛を搔上げない、目が利かぬ。目玉を持たぬ。一無漿滑肩毛に糊を着けない、同上。

バク バク 染染。【染】。

バク バク 墨墨。次に同じ。

バク バク 墨墨。烏一真黒い。暗一真暗。

バク バク タク タク 染染濁濁。【染濁】。

バク ハム 目蚶。物質。生一物質が出来る。

バク ヒイ 墨魚。(動)鳥賊。

バク ヒイ 墨硯。硯。

バク ヒイ イエヌ 墨魚煙。鳥賊の墨。

バク ヒイ カク 墨魚壳。鳥賊の甲。

バク ヒイ ポア 墨硯盤。硯。

バク ヒウ 木香。(種)たいわんうまのすずきさ。(馬兜鈴科、根は毒蛇の咬傷、又は眩暈・腹痛に効あり)。

バク ヒウ ザア 木香柴。香木。

バク ベエ 目尾。目後。眈。使一色目を使ふ。用一割人人に秋波を送る。

バク ベエ トア 目尾拖。色目。秋波。横目。

バク ベエ 木鋸。先の三又に分れた武器。突棒。

バク ベエ チイ トオ 目白舌吐。目を白くして舌を出

す。驚到一驚いて同上する。食到一一目を白黒して食ふ、不味い物を無理に食べる時などにいふ。

バク ホエ 目花。●老眼などでよく見えない。●盲目。你成一看錯稱星。汝は盲目だ、秤の目を見

バク ホエ 目倍。横目で睨む。後目にかける。「違へた。

バク ホエ バク タク 目倍目觸。常に怒って睨む。不

平又は嫉妬の爲に人を睨む。被兄弟一兄弟に同上される。

バク ホエ バク ヒイ 目倍目口。前に同じ。

バク ボエ 目尾。(源)【目尾】。

バク ボエ 目尾。(原)【目尾】。

バク ボア 墨鉢。圓くて深い大な硯。

バク ボア 墨盤。硯。墨池。一溝。硯の海。

バク ボア アア 墨盤盒。硯箱。當函。

バク ボア コア 墨盤蓋。硯の蓋。硯蓋。

バク ボア チア 墨盤石。硯石。

バク ボア トエ 墨盤底。●硯の底。●硯を据ゑる臺。

バク ライ 目内。眼中。一無人眼中人無し。一無一みくびる。輕蔑する。一有敬。尊敬

バク ラウ 目瀾。(科)目に生ずる腫物。【する】。

バク ラク 染染。【染染】。

バク リアウ 木料。材木。木材。

パッロ木樺。【黄目子】。

パッロンチウ目浪樹。【黄日子】。

パッ

パッ白。(姓)白。

パッ識。知る。見知る。識別する。你與伊相。貴方は彼と知合の仲だ。讀權不。讀んでも解らぬ。銀の善悪をよく識別する。【識】。

パッ曾。曾て。...したことがある。去南洋。南洋へ行ったことがある。我做生理。私は嘗て商賣をしたことがある。不講。話したことがない。【曾】。(語原は「識」と同一なるべし)。

パッ密。(姓)密。密。隙間なき様。びっしり。びったり。草生。草が密生してゐる。孔去。孔が塞る。穴が埋れる。生去。毎年子供を生む。事情蓋没。事を内密にすることが出来る。謙銀。銀の善悪を見分ける。【密】。

パッコア。墨干。乾した鳥賊。【曾看見】。

パッコア。キイ。曾看見。嘗て見た。見たことがある。何時か見た。---你嘗て貴方を見たことがある。お目にかかったことがある。

パッサ。木虱。(動) 南京蟲。

パッサ。墨賊。【墨賊】。

パッサ。密實。ぎっしり一杯。壘俾伊。ぎっしり一杯に積む。

パッサ。ツイエヌ。墨賊煙。鳥賊の墨。

パッサ。ツツヌ。墨賊船。鳥賊の甲。シアム。シアム密閃閃。隙間がなく非常に密な。關到。密閉する。人。人がぎっしり一杯。貨壘到。品物をぎっしり一杯に積む。

パッサ。シウ。識想。辨。分別。思慮。成就様。辨へる様になれば結構だ。歲愈多。愈能曉。年をとるに連れて思慮分別もついて来る。

パッサ。ジイ。目實。【目實】。

パッサ。ジイ。識字。字を知る。【目實】。

パッサ。ム。識算不識除。米換蕃薯。勘定を知って引去ることを知らず米を要求して甘薯を取換へて受取る。一文惜の百知らずの意。

パッサ。ン。識爽。爽快な事を知っている。營養を知っている。乾更能曉。案外に營養を知っている。凡ての事を皆知っている。

パッサ。チア。密截。【密截】。

パッサ。チウ。密啣。透間がない。密な。關到。密閉する。事情蓋到。事を極秘密にする。

パッサ。チエツ。密截。隙間がない。秘密。内幕。做事情。真。事をするに秘密で抜かない。後間較。奥の部屋が秘密話に適している。

パッサ。ウ。チ。チア。曾遇着即知。猪母肉。燻也脆。實際出遇って始めて牝豚の肉の硬いか軟いかを知る。事は實際経験して見なくては分らぬといふ意。

パッサ。ナ。密監。細かく編んだ監。

パッサ。ウ。密密。隙間がない。びっしり。びったり。ぎっちり。雲單。雲がかかっている。是非常に多い。込合ふ。縮。家の中に引込む。疎む。人が一杯。人が一杯で摩合ふ。人で動けない。站。室内に燻る。引籠る。

パッサ。ヒエン。密胸。(着) 洋服の詰襟。

パッサ。ピヌ。密屏。細かく編んだ仕切又は衝立。屏風。

パッサ。ボエ。ボヲ。サヌ。識稗無由作。稗を見分けることが出来ても作るべき田がない。學問があつ

ても職の無いなど。

バツムカウ 識不到。十分知らぬ。好く知らぬ。先
先まで見透す力がない。此號是我——此
は私の智識の到らぬ爲だ。

バツポラ 識寶。●寶であることを知ってゐる。寶を
見分ける。●物の價值を知ってゐる。

バツラン 識人。人を知る。人を見分ける。

バツリウチイ 密紐紮。細かく縫ふ。交針釘——
返縫したうへに尙密く縫ふ、綿密で用心深

バツリウパン 密紐縫。前に同じ。 「いこと。

バツリウポア 密紐盤。前に同じ。

バツリウリウ 密紐紐。【密閃閃】。

バツレエ 識禮。禮を知る。——無子婿可做禮義
を識つてゐても妻がなければ婿になれぬ、智識が
あつても地位を得なければためである。

バツロオ 識路。路を知つてゐる。

バヌ

バヌ 厖。(漢) 末子。一子同上。一叔末の叔父。一

姑末の叔母。

バヌ 挽。●摘む。摘探る。一茶茶を摘む。一花花
を探る。●毛取る。引抜く。一毛毛を毛取る。

一牙齒齒を抜く。●無理に引止める。一没住

バヌ

バヌ

引止められない。將馬索一得手續を持つて
引止める。錢一得返すべき金を引止めて置く。
●苦痛などを無理に堪へる。我慢する。一阿片
我慢して阿片の吸食を止め、又は其の吸食量
を減らす。驚了錢一得不得食藥一金が惜いので
病氣を堪へて薬を飲まぬ。硬一硬撥無理に我
慢する。●女などつんとする。身軀一上下不
應伊つんとして返事しない。一個一つん
としてゐる。

バヌ 變。(姓) 變。

バヌ 閩。福建省の別名。全一福建省全體。全陸。

一族一福建種族。

バヌ 履。重ねて附着ける。一布一上に布を重ね附ける。

一鞋一靴の上に喪の標の麻布を附ける。更一
重一喪中麻の布を靴の上に縫附ける。【履】。

バヌ 頭。(賭博)同じ目へ幾度も繰返し賭ける。同一
の目が繰返し出る。連一三倒一三度同一の目へ

張る。三度同一の目が出る。●片意地で挺子でも
動かぬ。意地張。強情張。一柴頭一樹の株の椽
に挺子でも動かぬ。●鍋釜等物の煮え方が遅い。

鼎一鍋が同上。●秤が鈍くて重さを正確に示
さない。【懸】参照。此枝稱較一この秤は鈍

い。●反應・利目などが遅い。藥食了真一藥

バヌ

の利目が中中顯れない。病真一慢性病など中
中治らない。醉母發了真一麵包種が中中酸

バヌ 曼。(姓) 曼。

バヌ 蔓。(姓) 蔓。

バヌ 萬。●(姓) 萬。●萬。萬。一萬。一萬。一爲億
萬萬を億といふ。一無一失一萬に一つも遺損
はない。

バヌ 卍。卍。一字卍の字。卍字形。一天一寢臺の上
にある卍字形の様な四つ目格子の天井。

バヌ 瓣。中子などの瓣又は袋になつてゐるもの。蒜一
大蒜の根瓣。柑一蜜柑の袋。八一同上が
八つ。【瓣】。

バヌ 緩。遅い。遅れる。緩り。延す。傷一遅過ぎる。

緊一速いと遅いと。一仔行一緩緩歩く。彼
條錢一真久一あの金は永く延引しました。脚手
一手足が遅い。敏捷でない。一到一延着。

バヌ アア シイ 緩仔是。【緩且是】。

バヌ アヌ 萬安。平安。

バヌ イイ 蠻夷。(又) 蠻夷。戎夷。

バヌ イエン コラ 萬應膏。(藥の名) 萬應膏。萬創膏。

バヌ イオン 蠻勇。(國) 蠻勇。

バヌ イヲ 挽藥。採藥。

バヌ イツ 萬一。一萬一千。●若し。萬一。持防一

バヌ

パヌ

パヌ オクイムウイシウ 萬惡淫爲首。萬惡の中、淫を首となす。

パヌ ヲアツ 閩粵。福建省と廣東省。閩粵。

パヌ ヲエ 檣鞋。靴の上に裏の標の麻布を附ける。

パヌ キア 魁子。(海)末子。末子。季子。

パヌ キイ 萬機。(國)萬機。

パヌ キイ 挽齒。齒を抜く。

パヌ キイライ 挽起來。引拔く。挽ぐ。引挽ぐ。引全る。全る。

パヌ キエン 挽弓。弓を引く。一搭箭。箭をつがへて弓を引く。騎馬坐。一食馬に騎った様に足を展げて腰を掛け、弓を引く様に肘を張って物を食ふ、行儀の悪いこと。【姜】參照。

パヌ キエンチイ 蔓荊子。(藥)はまがふの實。【海埔】

パヌ キエンホン 慢經風。(病)脚疔。蟲氣。

パヌ キム 萬金。萬金。巨萬の富。一的家伙。萬圓の財産。一良藥。不如無疾。萬金の良藥も疾無きに川かず。一萬土。何でも産出する良土地。一子。金持の子。

パヌ クイ 晚季。第二期收穫の時。陰曆十月頃。

パヌ クイ 緩開。遅咲。後咲。

パヌ クイ 緩氣。遅い。鈍い。你傷。一即拆無單。

パヌ

貴方は餘り遅いから切符が賣切れて無くなった。緊急症没使得。一急病の時は一寸でもゆつくりしてはいかぬ。

パヌ クヌ 挽筋。癢癢する。引釣る。引付ける。脚手。一手足が引釣る。

パヌ クヌサイ 萬根菜。蔬菜の一種。

パヌ クヌサウ 萬斤草。(魚鱖草)。

パヌ クヌツヌアム 挽筋錠領。頸を伸し頭を廻す、不行儀なこと。

パヌ クヌヒエヌ 萬根獻。米の種類の名。

パヌ クヌラツ 萬斤力。金剛力。

パヌ コフイ 閩縣。(縣名)閩縣。

パヌ コエチウチ 挽瓜 揪藤。瓜を採るに蔓を引く、物事を其から其へと根本迄討究する意。

パヌ コオ 萬古。萬古。一流傳。萬古に傳はる。一千秋。千秋萬歲。一松。大くならぬ松。

パヌ コク 萬國。萬國。

パヌ ゴア 萬外。萬餘。一萬餘。銀仔頭。一金が。一萬圓餘もある。

パヌ サヌ 萬山。萬山。一朝對。萬山相對す。一遍野。野も山も一面に。

パヌ サアタク 頑柴頭。片意地で挺子でも動かぬ、頑固。柔順でない。一講不聽。頑固で言うて

パヌ

も聞かぬ。一破没開。片意地でいくら言聞かせても分らぬ。

パヌ シイ 萬世。萬代。何時迄たつても。一都没出頭天。何時迄たつても出世しない。一窮。萬代貧乏。

パヌ シイタイ 萬世代。年。古昔。疾の昔。一事情。古昔の事。一就還伊了。了。疾の昔にもう還してしまつたよ。一萬世。

パヌ シイニウ 萬氏娘。女神の名。

パヌ シイマア 萬氏媽。女神の名。

パヌ シウ 萬壽。聖壽。

パヌ シウキオク 萬壽菊。(種)(菊科)金盞花。こうくう。

パヌ シウコヲ 萬壽菓。【木瓜】。

パヌ シウシイ 萬壽生。天長節。

パヌ シウツエ 萬壽節。天長節。

パヌ シウチエツ 萬壽節。天長節。

パヌ シウチエン 萬壽燈。天長節に官衙の前に掲げ

パヌ シウチエン 萬壽亭。天子の御靈舎の名。

パヌ シウチエンア 萬壽燈仔。擗。一萬壽燈を掲げる、人を女郎屋へ導き入れること。

パヌ シウピイ 萬壽棚。萬壽節の時の舞臺。

パヌ シウブウ 萬壽匏。(種) 瓢箪に類し木瓜の如き實を結ぶもの。

パヌ シエヌ コン 萬善公。【有應公】。

パヌ シエヌ トンクイ 萬善同歸。無縁の墓から集めた骨を置く所。納骨堂。

パヌ シエン 閩省。福建省。

パヌ シエン 蠻性。(國) 蠻性。野蠻な性質。

パヌ シエン 慢性。(國) 慢性。

パヌ シエン 萬乘。(文) 萬乘。——之君 萬乘の君。

パヌ シオン 萬象。(文) 萬象。萬有。

パヌ シツ 挽翼。羽を引抜く。

パヌ シヌ コン 萬神公。男の無縁亡者。

パヌ シヌ マア 萬神媽。女の無縁亡者。

パヌ ジイ 萬二。一萬二千。

パヌ ジイ 卍字。卍の字。——脚 布の縁に繡などした卍字形の模様。——格 卍字形に組んだ格子。

——糖 卍字の形した砂糖菓子。——算 網代。

——花 卍字形の模様。

パヌ ジイ マン 卍字糖。卍の字の形につくった有平糖、婚姻の禮物に用ふ。

パヌ ジイ パヌ ボク 萬耳萬目。【萬耳萬目】。

パヌ ジヌ 閩人。福建人。

パヌ ジヌ イイ 萬人衣。功勞・名望ある官人などに對

し人民より送別に贈る衣。 「り贈る傘。

パヌ ジヌ ソア 萬人傘。官吏の轉任などの時に人民よ

パヌ ジヌ モエ 萬人妻。生做——死做無夫鬼 生

生きては萬人の妻となり死しては夫無き鬼とな

る、非常な淫婦をいふ。

パヌ ジヌ チエク 萬人敵。勇敢なる人。

パヌ ジヌ ツイ 萬人堆。無縁塚。千人塚。

パヌ スイ キョク 萬瑞菊。【萬壽菊】。

パヌ スイ チアウタン 萬水朝東。凡ての河が皆東に

パヌ スウ 萬俵。(姓) 萬俵。 「流れる。

パヌ スウ 萬事。萬事。諸事。萬般の事。——

有起頭 萬事始あり。——不由人計較 算

來都是命安排 萬事人の計算に由らず皆天命

の安排に由る。——如意 萬事意の如し。有子

——足 子があれば萬事足る。人到中年——

休 人中年に到つて萬事休す。

パヌ セエ 萬世。萬代。——一系 萬世一系。

パヌ ソエ 萬歲。●萬歲。萬歲。●皇帝の尊稱。

パヌ ソエ イア 萬歲爺。皇帝の尊稱。天子。

パヌ ソエ チヌ 萬歲藤。【天門冬】。

パヌ フアヌ 萬全。萬全。大丈夫。——之計 萬全の

パヌ フケ 閩族。福建人の種族。閩族。 「策。

パヌ タイ 萬代。萬代。萬世。去——疾の昔に行つ

た。——香煙 萬世の香煙、神として永遠に祀

る。——臭名 萬代の汚名。

パヌ タイ ニイ 萬代年。疾の昔。——就去勝 疾

疾の昔に行つた。——的 事情亦拾起來 膈

——古臭い昔の事取出して繰返す。

パヌ タウ 饅頭。【饅頭】。

パヌ タク 緩讀。晩學。

パヌ タン 緩冬。稻の第二期。——稻 第二期作の稻。

早冬——第一期作と第二期作。

パヌ チア 緩即。【緩且】。

パヌ チア 閩清。(縣名) 閩清縣。

パヌ チア 緩且。一寸待つて。暫く待ちなさい。緩と。

——來 少ししてから御出下さい。

パヌ チア シイ 緩即是。前に同じ。

パヌ チア シイ 緩且是。前に同じ。

パヌ チエク 厝叔。(漢) 父の一番末の弟。季の叔父。

パヌ チエク 閩籍。福建省の籍。閩籍。福建人の種族。

パヌ チエツ 閩浙。福建省と浙江省。

パヌ チエヌ 萬千。千萬。數が澤山。

パヌ チエン 蔓菁。【諸葛菜】。

パヌ チッキエク 緩一刻。追付。纏て。——伊能

來 纏て彼が来る。

パヌ

パヌ

パヌ

バナ

バナヲアムキム萬點金。【釘秤仔】。

バナヲウ緩稻。(種)晚稻。

バナヲエヌ卍夫。寢臺の天井。寢臺の四つ目格子の如き天井。

バナヲエヌコン満天光。【満天光】。

バナヲオンキヌ緩中緊。【福路】に屬する歌曲の名。

バナツイキイ挽嘴齒。齒を抜く。齒抜。

バナツヌ緩鈍。遅い。鈍い。手鈍い。愚圖つく。脚手——手脚がのろい。——食無份鈍鈍すれば食損をする、遅い者は物などが貰へない。

バナツン挽返。引戻す。挽回。

バナテエ挽茶。茶を摘む。茶摘。

バナテエコア挽茶歌。茶摘歌。

バナトラヲヲ萬刀剗。滅多切の刑罰。

バナトラツイコア萬刀碎割。前に同じ。

バナトラホエ蔓陀花。次に同じ。

バナトラホエ蔓桃花。(種)てうせんあさがほ。きちがひなすび。(茄科、葉及び花を乾燥し煙草の中に入れて吸へば喘息を止む、又根・果實を藥劑となす)。你食——是不——貴方は同上を食つたのか、物忘した風をする者にいふ、とほけるな。

バナニイヲエン萬年松。【卷栢】。

バナニイバナボク萬耳萬目。衆人の耳目。——

バナ

一的所在——衆人の耳目に觸れる所、目抜の所。

バナハン萬項。諸般。萬般。——事——萬事。萬般の事。

バナバナ挽挽。①女のいやにつんとする振舞。彼個查某行路——あの女は歩方がいやにつんとしてある。②挽の①②③④⑤。

バナバナ慢樓。【樓】。

バナバナ頑頑。【頑】の①②③④⑤。

バナバナ緩緩。遅い。鈍い。徐徐と。徐徐と。緩と。徐徐と。徐徐と。遅延と。——仔——徐徐に。——仔是ゆるりと。——行——徐徐歩く。緩緩歩く。

バナバナ萬萬。①萬の萬倍。萬萬。——爲一億——萬萬を一億と爲す。②如何しても。決して。——不能——如何しても出来ない。決して出来るもので

バナバナリエヌ萬萬年。萬萬年。【はない】。

バナバナ緩板。【西路】に屬する歌曲の名。

バナパン萬邦。萬邦。萬國。

バナヒエン萬幸。幸。仕合。幸に。仕合が善い。無了是真——損しなかつたのは何より幸で

バナビイ緩米。第二期米。【ある】。

バナビヌ挽面。顔の毛を抜く。(本島の婦人は毛を剃らず糸に絡まして抜くなり)。

バナビヌ萬民。萬民。

バナ

バナビイホン慢脾風。(病)脾疴。瘴氣。

バナフウ萬夫。一萬人。萬夫。——不當——萬夫不當。極めて剛勇な者。

バナブツ萬物。萬有。萬物。——之靈——萬物の靈。

バナブツチエクイ萬不得已。萬已むを得ず。這是——的——事——これは萬已むを得ざる事である。

バナベエ挽麥。麥を引抜く。(麥の收穫は稻の如く刈らずして根と共に引き抜くなり)。

バナベエ頑皮。強情張。意地張。片意地で挺子でも動かぬ性質。——打不驚——強情張で殴つても畏れない。不可——意地張つてはいけない。雜念大姑。出——媳婦——姑が口八釜しければ嫁は頑固になる。

バナホアキア萬花鏡。百色目鏡。

バナホエ挽花。花を摘む。花摘。

バナホエ挽向。挽回。引直す。引戻す。取返す。——天意——天意を挽回する。

バナホエタン萬花筒。百色目鏡。

バナホク萬福。挨拶の語、御機嫌好う。

バナボア萬般。萬般。萬端。諸般。

バナボアヌ萬般。(又)萬般。萬端。萬事。——都是命——萬般の事凡て命なり。——皆下品惟有讀

パン

縫ふ。粗縫する。一破衫やぶれぎぬ破着物を縫ふ。

パン 望。望む。希望。無一な望なし。一你手いちにぎ摺すり高たか何卒お手柔てやわらかに願ひます。死人しにん一功德いこうとく死し

人が法事を望む、死人が望んでも子孫が行ふか

どうか判らぬ、當あの望のぞをいふ。

パン アア 蚊仔。蚊。一釘牛角てんぎゅうかく蚊が牛の角を刺す、徒勞とらうの意。一報牙ほうぎ夕方ゆふたに蚊が群むれをなし

てふんぶんなくこと。

パン アア 網仔。網。小な網。

パン アア カン 網仔孔。網の目。

パン アア コン 蚊仔公。蚊の爺おや。(蚊を戯あそんで云ふ)。

パン アア サア 網仔衫。網シャツ。網襦袢あみじゅばん。

パン アア シイ 蚊仔詩。蚊に就つての詩。

パン アア セエ 網仔紗。織物の一種。レース。

パン アア ソア 網仔線。網子。

パン アア ソオ 蚊仔酥。蚊燻かいつを作る材料。

パン アア チアム 網仔針。網結針あみむすはり。網針あみはり。

パン アア チウ 網仔鬚。幕帳まくぢり・卓子掛つくさかけ等の下部の網の

如ごとき部分ぶぶんに附ついてゐる網。

パン アア チウザイ 網仔鬚彩。ペンシヤイ。

パン アア テエ 網仔袋。小な網の袋。

パン アア フヌ 蚊仔燻。蚊燻かいつ。蚊遣火かやりび。

パン アア フヌサウ 蚊仔燻草。(種) かはらよもぎ。

パン

(菊科、全草を乾燥し蚊燻として用ふ)。

パン イアア 忙挖挖。忙いそしい。繁忙はんぼう。

パン カン 網孔。網の目。

パン キイ 網椶。網の針。網結針あみむすはり。

パン キイ 夢見。夢見る。夢見。一頭發角くわんかく頭あたまに角

が生えた夢を見た、角の字は刀と用を組合せた字

で頭が刀の用となる、即ち首を切られる目に遇ふ

といふ意。

パン キイ 網去。捕とらへる。被警察はいけいさ一警察に捕へ

られた。一あ小な物などを盗ぬすむ。掠さらめる。

パン キウ 網球。テニス。ローンテニス。「の骨」

パン キエン 蚊弓。折疊をりたたまの出来できる様に作つくった蚊帳の竹

パン クヌ 蟬巾。明朝風あしたかぜの頭巾。戴たい一同上を被かる。

パン クヌ 網巾。婦人の頭に巻く布。

パン ゲエ 望月。月を望む。犀牛さいぎゅう一犀が月を望む、

望んで得えられないこと。兎仔うさぎ一兎が月を望

む。一占星てんせい一星を望み星を觀察する、頸を長

くして歸かへり待つ意。「樽」物見ものみ。

パン コヲラウ 望高樓。望樓ぼうろう。火見。火見樽ひみづ。物見

パン コヲリアウ 望高養。樽。

パン サア 網衫。一着物を縫ぬいつ。一網シャツ。

パン サウ 芒掃。芒すすの帚ほう。

パン サグ 蚊揀。蚊拂かいつ。拂子。

パン

パン サグ キイ 蚊揀枝。前に同じ。

パン サン 網菱。(籃) 網あみ。

パン サウ 芒草。芒。

パン シアク 蚊揀。蚊拂かいつ。拂子。

パン シアク キイ 蚊揀枝。前に同じ。

パン スツ 蚊揀。蚊拂かいつ。拂子。蠅拂はらひら。

パン セエ 網紗。一舊ふるい網をほどこいて作つくった檳架べんか。檳

皮。檳皮。甘肌。一網紗油あみさゆ。

パン セエイク 網紗油。豚の腸膜ちんちやくに粘着せる脂肪質

のもの、形網かたちあみに似たるを以て名付く。

パン ソア 網線。網子。

パン ソアソア 忙瞬。忙いそしい。周章あわてる。狼狽ろうたいへる。

慌あわしい。行到いきと一慌あわしく歩く。作到つくと一

一忙いそげに働く。

パン ソソ 網梭。網結針あみむすはり。

パン ソソ 網索。網繩あみなは。

パン ソソ 網槽。漁船いさなふね。漁舟。

パン タア 蚊罩。蚊帳かや。弓きう一蚊帳を吊かる。穿彼

領衫りやうしん那な一あんな蚊帳かやみた様な着物を着てゐ

る、だぶだぶした着物を着てゐる。

パン タア カウ 蚊罩鈎。蚊帳の鈎手の鈎。

パン タア キエン 蚊罩弓。(蚊弓)。

パン タア コヲ 蚊罩窩。蚊帳を掛けるに用ひる竹竿。

バン/ター/ザア 蚊罩文。蚊帳の入口の合目。

バン/ター/ザン 蚊罩簾。簾の一種。

バン/ター/テウ 蚊罩簾。蚊帳の上部に附けた帳の總稱。

バン/ター/ビイ 蚊罩榻。蚊帳の上部に飾として附けた

バン/ター/ペエ 蚊罩被。蚊帳と布團。「美しい帳。」

バン/ター/ペエ/テウ 蚊罩被席。蚊帳・布團・座などの

バン/ター/ライ 蚊罩簾。【蚊罩榻】。「夜具。」

バン/ターウ 蚊罩。【蚊罩】。

バン/ターウ 望斗。旗柱の中部にある四角な框木。

バン/ターウ 望頭。見張番。

バン/タン 芒芰。(種) 芒の類にて蠟燭の心を作るに用

ふ。掠—做拐—芒芰を以て杖を作る、用を誤る意。

バン/タン 望冬。(動) 小鳥の名。藪鶯。—仔—同上。

—生鵝卵—藪鶯が鵝鳥の卵を生む、小さな

女が大なる子を生む、鶯が鷹を生むなど。

バン/タン 蚊蟲。蚊・蚤・蠅・床蟲などの總稱。

バン/タン/テウ/アア 望冬鴉仔。【望冬】。

バン/チ/アウ 網鳥。網で鳥を捕る。

バン/チ/ウ 蚊帳。蚊帳。蚊帳。

バン/チ/ウ/カウ 蚊帳鉤。蚊帳の鉤。

バン/ツイ 蚊嘴。蚊の口。蚊口。蚊に食はれた痕。

バン/ツイ 網罅。罅。網罅。

バン

バン/テ 網袋。番人の用ひる網袋。

バン/バカ 網目。網の目。

バン/バン 網網。【網】。

バン/バン 濛濛。雨—雨が霧の様な。幼—粉

肌など非常に細い。碎—ばらばらに碎ける。

微塵になる。

バン/バン 蚊蚊。輕—極輕い。輕い。

バン/バン 濛濛。【濛濛】。

バン/バン 濛濛。水—水が茫茫としてゐる。醉

—醉潰れる。醉。【醉】の。

バン/バン 忙忙。緊—忙しい。忙しい。繁忙。

バン/バン 夢夢。醉—酔ひ潰れる。泥醉。醉。

バン/バン 網網。【網】の。

バン/バン/ロア/ヌ/ロア/ヌ 濛濛亂亂。心が亂れる。心

が無茶苦茶になる。

バン/ヒア 蚊虱。蚊を取る爲の柄のある網。

バン/ヒア 網瓢。摺網。玉網。又手。柄の附いた小な

網。箕の形をした抄網。

バン/ヒイ 網魚。網で魚を捕る。

バン/ヒウ 蚊香。蚊取線香。蚊遣火。蚊燻。蚊遣。

バン/ヒエツ 網縷。ハンモック。釣床。

バン/フツ/アア 蚊拂仔。【蚊拂】。

バン

蚊燻をして景氣をつける、深夜獨居して淋しい時

など蚊燻をして心を慰めるといふ意。

バン/ブイ 蚊蠶。(動) 蠶子の様な小な蚊。

バン/ブウ 濛濛。濛濛した霧。天氣のよい朝などか

かる霧。單—霧がかかる。霞かかかってぼ

っとしてゐる。看了—ぼんやりしてよく

見えない。

バン/ベ/エ/タン 網尾筒。網の浮子。

バン/ホエ 芒花。次に同じ。

バン/ホエツ 芒花穂。(種) 第一期作水稻糯米の一品

バン/ラン 網網。【網網】。

バン/ラン 濛濛。【濛濛】の。

バン/ラン 網網。【網網】。

バン/ロア/ヌ 忙亂。狼狽する。周章狼狽する。脚手—

バン/ロエ 芒笠。菅笠。「—」同上。

パア パア

パア/バ。(姓) 巴。

パア/爸。(子供の話) 父さん。阿—同上。

パア/把。乾酒びてからからしたものの、扁平な物にいふ。

鴨—鶯の乾物。人—木乃伊。粒仔膿堅—

出来物の膿がからからに乾酒る。

パア/皎。(漢) 【皎】。

パア

パア

パア 飽。(性) 飽。●中身など一杯になる。充實する。

一米糲、蕉實など同上。腹肚―腹が一杯になる。●豊富。此脚戲眞―此の役者はどんな

外題でもよく知つてゐる。一學●豊富な知識。一腹才智に富んでゐる。●飽く。厭になる。嘴―

口不―口に飽きて目に飽きず、くひしんぼう。戲看到―厭く程芝居を見た。一掛醉―飽いた

パア 豹。(性) 豹。(動) 豹。一死留皮、人死留名

●豹は死して皮を留め、人は死して名を留む。虎狼―彪虎・狼・豹・彪。

パア 覇。(性) 覇。●横取する。奪取る。占領する。

一占人的家伙―人の財産を横取する。自一方―自ら一方を占領する。強―無理に横領

パア 壩。石頭―河岸などの石原。溪―同上。

パア 爸。(鼻) 爸。●

パア 爸。父。父様。阮―私の父。

パア 暴。(性) 暴。

パア

パア 鉸。平手で打つ。拵る。一頭売―頭を拵る。掩頭

據伊―頭を抱へて勝手に打たせる、忍んで人の爲すが儘にさせる。

パア 罷。罷める。罷めさせる。一市―同盟罷賣。ポ

イコト。一工―罷工。一學―同盟休校。ストラ

パア 抛。●でんぐりかへる。翻筋斗。翻筋斗。一輪斗

同上。一三輪―二回でんぐりかへる。一三千里―一回でんぐりかへれば三千里行く。●大

廻に廻る。迂廻する。站在公園―一輪―公園を一廻した。一對城內返來―城內を廻つて歸

る。一對上海去―上海を經由して行く。●投げる。投ずる。下す。一網―網を打つ。船―碇

船が碇を下す。●碇泊する。船―在港口―船が港口に碇泊する。●放て置く。投遣にして置く。

捨て置く。事情共人―眞久―事件を永く放つて置く。

パア 葩。燈火又は總をなしたものを數へる語。二

一火―二本の火。大一尾―大きな尾。葡萄―葡萄が二房。一―情理―一條の道理。唱―

パア

歌―一箇の歌を唱ふ。

パア 焔。急に火の燃える音。火擦―二下燃起―來

パア 打。●動詞として使用する場合。(イ) 打つ。撃つ。叩く。敲る。一人―人を打つ。一

輪―駁合をして負ける。被水―過來―過去

パア 一。●動詞として使用する場合。(イ) 打つ。撃つ。叩く。敲る。一人―人を打つ。一

輪―駁合をして負ける。被水―過來―過去

パア 一。●動詞として使用する場合。(イ) 打つ。撃つ。叩く。敲る。一人―人を打つ。一

輪―駁合をして負ける。被水―過來―過去

パア 一。●動詞として使用する場合。(イ) 打つ。撃つ。叩く。敲る。一人―人を打つ。一

輪―駁合をして負ける。被水―過來―過去

パア 一。●動詞として使用する場合。(イ) 打つ。撃つ。叩く。敲る。一人―人を打つ。一

輪―駁合をして負ける。被水―過來―過去

がする。

(ハ) 顔に塗る。一面 役者など顔を作る。面 粉 顔に白粉を塗る。

(ト) 差込む。一門 根 横木を差込む。一 棒 棒を差込む。一 釘 釘を打込む。

(チ) たくたにして一つにする。一 纏に纏める。一緒にする。一 歸症 他病が無くなって一つの病気になる。一 歸人 一定の人ばかりにさせる。一 公家 財貨などを出合つて共用する。一 生理 店を譲受ける。

(リ) 肉などの一部分を切取つて買ふ。多量の物の一部分を分けて買ふ。一 猪肉 豚肉を買ふ。一 酒 大量に酒を仕入れる。一 鹽 鹽を買ふ。取除く。取除ける。歹貨 起來 悪い品を取除ける。一 出籠外 籠の外に取除けて出す、勘定の中に入れない。

(ル) ざつと組合せる。編む。組立てる。組立て作る。一 索仔 一 結 繩を結ぶ。一 索仔 繩を編む。一 草蓆 席を織る。一 網 網を編む。一 桶 桶を作る。

(ヲ) しつらへる。拵附ける。構へる。設ける。一 桌 宴席を張る。一 眠床 寢臺を拵附ける。一 中 晝食をする。一 跳 板を渡して足場を

かける。足場を造る。一 轎 轎を備ふ。一 輕便 臺車を借切る。一 船單 乗船切符を買ふ。

(ワ) 目標を附ける。符號を附ける。書く。一 號 番號を打つ。一 碼仔 數字を記す。一 定頭字 賣買契約書を書く。一 約 契約書を書く。一 契約する。一 印 焼印を打つ。一 稟 申請書などを書く。

(カ) 計算する。計る。數へる。一 水辨 水の深さを量る。一 噓 建築などの設計をする。一 算 打算する。考へる。

(ヨ) 交尾する。つるむ。一 没生卵 交尾しても卵が出来ない。一 種 種をつくる。一 蕾 蕾を結ぶ。

(タ) 税金などを取立てる。徴收する。一 餉 關稅を取る。一 租 租穀を取る。一 頭子 上前をはねる。頭をはねる。一 抽豐 強請つて分前を取る。一 店面 乞食が一定の日に自己の貰ふべき區域内の家毎に一人一文づつ貰ふこと。

(レ) 分らぬことを話す。べらべらしゃべる。一 客話 廣東話を話す。一 哈 冗談をする。一 挪涼 茶利をする。冗談をする。

●自動詞に冠して悪しき結果又は消極的結果を生ずべき事柄につき此を他動詞化する助詞と

して使用する場合。一 縮 縮める。一 破 破す。一 油 溢す。一 斷 断らる。一 不見 なくす。一 失落 落す。失はせる。一 醒 醒させる。一 缺 缺く。一 鬚 鬚を亂す。一 熄 消す。一 散 散らす。一 皺 皺くちゃにする。

●他動詞に冠して手強く又は慌しく……をするといふ意味を表す助詞として使用する場合。一 筭 荒荒しい金使をする。一 洗 洗ねたる。一 傾 精を出す。一 劫 強奪する。一 救 急病などを介抱する。一 煎 金を湯水の様に使ふ。一 趕 追出す。一 捋 人工呼吸などして介抱する。

●形容詞に冠して此を動詞化する助詞として使用する場合。一 長 打伸す。長くする。一 平 平にする。一 鬆 綿などを打つて脹らかす。一 烏 黒くする。一 汚穢 きたなくする。一 生 食 生の儘で食ふ。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

●「焔」。

使をしない。

バア カアチウ 打咳嚏。 咳嚏をする。 免——

下就好—— 咳もしない中に直出来上る。 容易

バア カアチウ 打咳嚏。 前に同じ。 「に出来る。

バア カアツン 打脚川。 管罪。 管刑。

バア カアラウ 打加落。 落す。 錢提到—— 金を

持つてゐながら落す。 此項物は我—— 去的

|| 此の品物は僕が落したので。

バア カウ 打狗。 犬を打つ。 —— 到無帶着主人—— 犬

を打つて少しも犬の飼主に遠慮しない、 相手を差

置いて事をするなど。 —— 不出門—— 犬が打たれ

ても外へ出ない、 非常に寒い又は土砂降りの雨の

時など云ふ。

バア カツ 打結。 結ぶ。 引結ぶ。 索引尾着—— 細

の端を結べ。 各文亦—— 在得—— 一厘毎に縦で引

結んで置く、 非常に奇臭い。

バア カツキウ 打結球。 纏れる。 —— ちやいぢやになる。

線—— 糸が纏れる。 事情—— 事件が紛

糾する。 心肝—— 心がこちやこちやになる。

バア カヌロク 打干樂。 獨樂を廻す。

バア カム 打柑。 【高柑】。

バア カン 罷工。 同盟罷工。 同盟罷工。

バア カン 打工。 ①石切や金物を打つことを職とする

人。 好脚賤的—— 細工の上手な打手。 ②石切

や金物などの細工賃。 工賃。 此脚手指若多—

—— 此の指環の細工賃はいくらか。

バア カン 打孔。 ①孔を開ける。 孔を通す。 ②金の才

質をする。 金策をする。 無—— 期賤能艱苦—— 金

策をしないと支拂期に困る。

バア キア 打驚。 驚かす。 驚す。 —— 人—— 人を驚か

す。 人を喫驚させる。 被伊—— 彼に驚かされ

る。

バア キアウ 打嗽。 内輪で不平などをならべて騒をす

る。 惡妻在—— 彼の妻が同上してゐる。

バア キアウ 百劫。 百難。

バア キアア 百劫。 百難。

バア キアア 打劫。 横奪。 横取する。 掠奪する。 山賊

下山—— 山賊が山から下りて掠奪を行ふ。

バア キイ 打旗。 旗で合圖する。

バア キイ 打柳。 連柳で打つ。

バア キイ 抛棄。 (團) 抛棄。

バア キイ 打欵。 傾ける。 斜にする。 —— 能出出来

|| 傾けると溢出て来る。

バア キイ 打起。 打出す。 始める。 先にする。 今仔日

—— 今日から爲始める。 對此—— 此から先

にする。 重—— 爲直す。

バア キイ 打缺。 次に同じ。

バア キイカク 打缺角。 缺く。 茶甌—— 茶碗を

缺かす。 一錢一厘亦無—— 一錢一厘でも

缺かさない、 非常に儉約な。

バア キイトク 打齒托。 冗談をいふ。 混返す。 徒口

をいふ。 閒閒坐在—— 閑なので腰掛けて

冗談をいつてゐる。

バア キイリヌ 抛麒麟。 兩手を地に突き横に廻轉し

て起直る子供の遊戯。

バア キウ 打救。 急病など手當をする。 救ひ助ける。

糞口到開—— 亦没活—— 溺死者の肛門が開いて

ゐれば手當をしても生きない。

バア キウ 打毬。 毬を打つ。 球を突く。 玉突。 庭球。 野

球などを打つ。

バア キエク 巴戟。 (藥) 【老風刺】の根。(強壯藥とし

る。 水櫃的水入去傷—— ボイラの水を餘

入過ぎた。

バア キエク 打革。 目上が目下を追出す。 被序大人

—— 出来做乞食—— 親に追出されて乞食になる。

バア キエク 打巴戟。 【巴戟】。

パ
ア

パア キエツ 巴結。① 詔ふ。媚びる。阿る。機嫌を取る。② 追従。善。――うまく詔ふ。――上司。上司の機嫌を取る。③ 降参する。参る。――你。喇不可弄我。降参するから私を苛めない様に願ひます。

パア キエン 霸耕。地代を拂はず、又は安い地代で人の耕地を無理に占領して耕す。悪佃。――悪い小作人が同上する。

パア キエン 右柏。【山柏】。――もの。

パア キエン クヌ 百欄楮。婦人の袴に百の襷積がある。

パア キエン ビエヌ 打輕便。靈車を借切る。

パア キオン 方棋。【山柏】。

パア キヲ 打轆。轆を仕立てる。

パア キム 打金。金細工。嫁着。――夫打頭。頭金。瑤瑤。金細工屋に嫁げば頭一杯に金の細工物が

びかびか光る。

パア ギアア 罷業。【罷工】。

パア ギイ 罷議。【罷論】。

パア ギヌ 打銀。【打銀】。

パア クイ 飽孕。稻穂の中實が一杯實る。

パア クイ チエン 打歸症。他病が無くなって一つの病気になる。

パア クイ ラン 打歸人。① 或一定の人に委せる。特

パ
ア

定の人に爲せる。――去辨。同上。② 同じ人を打つ。其の人ばかりを打つ。

パア クツ シアウ 右骨硝。(種) ① たいわんそくづ。(忍多科、葉を木賊の根と共に煎服して痲病を治す)。

② いがにがくさ。(唇形科、莖、葉を煎服してマラ

リヤ・感冒・肺病を治す)。

パア クヌ 打拳。拳術をする。柔術を使ふ。――賣膏藥。藥賣の旅藝人が拳術をして膏藥を賣る。

パア クヌ タウ 打筋斗。翻筋斗する。

パア クヌ タウ 打拳頭。拳術をする。柔術を使ふ。

パア グヌ 打銀。銀細工。

パア グヌ サイ フウ 打銀司卓。金銀細工師。

パア グヌ チアム 打銀店。金銀細工屋。

パア ケエ 打債。値附をする。値を附ける。

パア ケエ 打格。野を引く。

パア ケエ 打柳。① 首柳を掛ける。② 文章の悪い所などXの記號をつける。不着的所在有。在得

間違つてゐる所には同上してある。

パア ケエ 打逆。態と拗ねる。意地になる。意氣地になる。――不食。拗ねて食はない。――要去。意地になつて仕かうとする。

パア ケエ 打客。【打客話】。

パア ケエ エエ 打加下。餘計に打つ。撥響。――

パ
ア

抵抗すれば餘計に打つ。

パア ケエ ヲエ 打客話。廣東話を話す。福老話不講激。――福建話を話さないで態と廣東話を話す。

パア ケエ サア ポエ タン ラン 打過十八銅人。【戰過十八銅人】。

過十八銅人。

パア ケエ タン ラン 打過銅人。【戰過十八銅人】。

パア コア 百官。百官。文武。――文武百官。

パア コア 罷官。官を罷める。退官。――退隱。官を罷めて隠退する。

パア コア 打趕。叩出す。逐出す。放逐する。被序大人。――親に叩出される。

パア コア シイ 打官司。訴へる。訴訟する。爲。――了家伙。訴訟の爲に財産をなくする。

パア コア ジエツ 打寒熱。(病) 痲刺里亞。間歇熱。

パア コア ジエツ 打寒熱。瘧をふるふ。惡寒發熱。乞食症能。――痲刺里亞は惡寒がして發熱する。

パア コア ヌ 霸權。(圖) 霸權。

パア コオ 打鼓。鼓を鳴す。太鼓を敲く。太鼓を打つ。骨頭好。――骨が太鼓を打つに好い、死んで久しくなる意。仙人。――有時錯。仙人が太鼓を打つても時には間違へる、猿も木から落ちる。

コオ 有古。根のない昔話。荒唐無稽な昔話。
講——同上を話す。

コオ 打籠。竹の籠を作る。籠を作る。

コオ ビイ 打鼓邊。太鼓の隅を打つ、仄かす、又は密かに暗示する意。

コオ 飽膏。●蟹など腹の味噌が一杯ある。●飽水【の】。

コオ 罷考。同盟して試験を受けない。

コオ 罷課。同盟休校。

コオ 打稿。草稿を作る。起稿。起草。約字着先——証文は先づ下書をつくらなければなら

コオ 朝國。強い國。強國。『ぬ。』

コオ 打柁。次に同じ。

コオ 打柁。竹の根などで作った木魚の様なものを打つ。和尚——坊主が木魚を打つ。守更——拍子木を打って夜番をする。

コオ ケエ 打略嘆。此鶏が卵を生む時などコケイコケイと鳴く。不成雞仔——鶏に成つてゐないのにコケイコケイと鳴く、身分に似合はぬ事をするをいふ。

コオ ヨグ ヨグ 有柁柁。木や石など堅くない。ぼかぼか。ぶかぶか。

コオ ヨク ヨク 有柁柁。前に同じ。

コケエ 打公家。財貨などを出合つて共用する。共同する。

ゴア 百外。百餘。

サア サア 打相參。『打相參』。

サム 打巻。頭髪捌く。亂す。頭毛——髪の毛を亂す。

サム キオク 打三菊。賭博の一種。黄・白・青・赤・黒色の骨牌二十五枚を各人に八枚又は六枚を配付し賭首より順次に場にある残札から一枚宛台札を取り、組数の多きものを勝とす。

サン 打糞。土・綿など固つてゐるものをほここにする。——舊綿・舊綿を打返す。

アア 有柴。軟い木。

アア ヲ 打早學。朝早く書房に行つて勉強する。朝早く登校する。

アア 打笑。『打笑』。

アア カア 打菜脚。『打脚』の○。

アア コオ 打菜股。野菜の畦を作る。

アア 打走。逃がす。——主顧||得意先を逃がす。

アア キア アア 打草驚蛇。草を叩いて蛇を驚かす、子供を罰する時など軽く打つて驚かす丈に

アア ウスン エエ 打臭酸。溜飲。『止める。』

アア ウツラ 打臭腺。生臭物に手をつける、淫蕩を

買ふ意。

アア ウツラ 打草蓆。席を繰る。

アア サツ 飽寒。物など一杯満ちる。充滿する。店貨——店の品物がたつぷりある。入傷——餘に一杯入過ぎる。

アア シアウ 打擦賬。相殺。勘定しない事にする。彼條着——即能用得||あれは勘定しない事にするのがよい。

アア アア 打笑。『打笑』。

アア キア 打十擲。色色の仕事をやる。色色の事に手を出す。——趁無食||色色の商賣に手を出すと食つてゆけぬ。

アア サム 打糞。中断させる。阻止する。——人的話柄||人の話を遮る。

アア サン 有葱。葱(蒔草科)かんがれい。

アア シア 打瀉。下痢させる。腸仔病——就無醫||腸チブスは下劑で下したらもう治らぬ。

アア シア 打錫。錫細工。

アア シア 打城。●城を攻撃する。城を取る。●『做功德』の中の一儀式。

アア シアウ 有賬。取立の見込のない掛勘定。酒樓——極多||料理屋は同上が多い。

アア シアク 打揀。●閑隙いて苦しむ。——一瞬即

パア

生出来一晩も苦しんで後にお産をした。●「終

パア シアン 打傷。(重)「打傷」。「打」。

パア シイ 打死。打殺す。撲殺する。撲殺す。

敵殺す。一乞食好人賄命一乞食を殺して通

常の人の命で償ふ、人の古物を毀して新しいの

で償ふ。

パア シイ 怕死。死を怕れる。一非忠臣一死を怕る

るは忠臣にあらず。

パア シイ イイ 百四錠。百四十斤の秤。

パア シイ トロ 百四錠。厦門で用ひる中位の秤。一

一正同上の正しきもの。

パア シイ パヌ 打死板。二文の銭を落し又は廻轉し

て其の出た表裏に依り勝負を決する賭。

パア シイ フヌ 吧絲煙。刻煙草。

パア シイ ラン タア 打死人膽。人を打殺す程の膽

力。大膽不敵。

パア シイ ラン トア 打死人大。人を打殺す程ひど

い。雨一雨がとてもひどい。

パア シエヌ 有死。●無い。空ぼ。空袋仔一懐

が空っぽ。無一文。●阿片など含有成分が無くな

る。一吸的煙屎一主要成分の全然ない阿片の吸

料。●(戦)死ぬ。危険一去一危く死ぬところ

であった。

パア

パア シエヌ チウ 巴仙掌。掌。一掌。片

手。五、五十、五百、などの數をいふ。

パア シエン 馴性。猛烈しく剛情な性質。困仔一

不聽嘴一子供が剛情で言ふ事を聞かぬ。

パア シエン リイ 打生理。店を譲受ける。

パア シオン 打傷。打撲傷。毆打された局部の

永く痛む病氣。打身。

パア シン サム 打相參。混ざる。入混ざる。

パア シツ 打熄。火を消す。消す。一火無眩蚊一

火を消して蚊や蟲の來ない様にする、人を魅惑す

る原因になる物を取除く。

パア シツ 打翼。羽撃。鼓翼。

パア シツ ロッ 打失落。無る。紛失する。無す。一

一的物一遺失物。

パア シム 巴參。(参)米國より輸入する一種の植物の

根。(白色人參の如きものにして強壯劑として用ひ

らる)。

パア シム 有心。心が懸になつてゐる。懸が出来る。

パア シツ ジイ ホオ 打十字互。十文字に縛る。

パア ジア 打跡。染斑點又は色の褪めたところがぼつ

ぼつある。色織一變な色がところどこ

ろにある。

パア ジア ウ 打皺。皺くたにする。皺くちにする。

パア

パア ジイ 百一。百二十。壽元食一二百二十歳まで

パア ジイ キイ 打字機。タイプライター。「長生する。

パア ジイ クイ 打字機。タイプライター。

パア ジイ コロ 打字稿。「打稿」。

パア ジイ ホラ 打字號。記號をつける。「をする。

パア ジツ 百日。百日百。箇日。做一百日箇日の祭

パア ジツ アン 百日紅。「圓仔花」。

パア ジツ コアラ 百日關。百日の關所。子供の生後百

日以内又は百日目の日を危険の時としてかくい

ふ、其の間神の祟を恐れて屋外に出さず。

パア ジツ サウ 百日嗽。(病)百日咳。

パア ジツ サウ 百日草。(植)(菊科)ひやくにちさう。

パア ジツ モイ 百日青。「土杉」。

パア ジツ ヘエ 百日瘰。「百日嗽」。「い。

パア ジヌ 飽仁。落花生など中味がよく實る。實が大

パア スイ 飽穗。●穀物などよく實る。●同上の種。

パア スウ 打輸。負ける。打負ける。一人一人に負

ける。

パア スヌ 打樵。樵を差込む。

パア スン 打損。●徒にする。粗末にする。無益にな

る。一五穀一五穀を無駄にする。加做都無

一餘計にしたからとて無益になることはな

い。一劈一言甲斐なし。●惜しい。惜しいこと。

パア チエック 有粟。糶。――收入好米糶。糶を好い

籾籠に入れる、詰らぬ者が不相應な地位に居るなど。大風吹。――大風が糶を吹飛ばす、流行病の時、體の弱い人が罹るなど。閉人挨。――閉人が糶を碾く、無駄話をする。

パア チエック オオ 打觸悪。次に同じ。

パア チエック ソエ 打觸衰。縁起の悪い話又はその事をする。縁起を悪くする。有喜事の時你不

可。――喜事のある時は貴方は同上するな。パア チエック ヒウ 有粟香。飲料に香を付ける藥材。

パア チエック 打折。金額・數量などを少く計算する。割引する。銀水要換金水着。――銀相場を金

相場に換算する時は割引して計算しなければならぬ。貨底。――賣伊。賣殘の品を割引して彼に

パア チエック タウ 打折頭。前に同じ。「賣る。

パア チエック 罷戦。戦を罷める。

パア チエック 打鐘。鐘を打つ。

パア チエック 打種。動物など交尾して種をつくる。交尾する。老牛没。――老牛は同上することが出来る。此對雞仔可留。下在。――此の一番の

鶏は種を取る爲に残して置く。

パア チエック 打笏。贅澤に使ふ。濫費する。錢銀賢。――金錢をよく濫費する。

パア チエック 打銃。鐵砲を打つ。發砲する。

パア チエック シヌ 打精神。醒す。眼を醒す。覺醒させる。嬰仔在晒。你不。――赤坊が寝てるから眼を醒してはいけない。

パア チエック 飽足。●節足る。満足する。此多給。你尚無。――こんなに澤山遺るのに尙飽足らない。

●一杯に満ちる。充滿。錢水。――金が豊富なる。精水。――精液が満ちてゐる、精力旺盛。

パア チエック 芭蕉。●芭蕉。●芭蕉科、内地産の芭蕉をいふ。

パア チエック 打醮。水夫など船より佛像を運出して濱邊又は寺にて特に祭ること。

パア チエック 打石。石を切る。石切。有心。――石成穿。●心有りて石を穿てば石に小さき孔を穿つ、一心岩をも通すなど。

パア チエック 有右。輕石。浮石。

パア チエック 打席。席を織る。

パア チエック サイ 打石司。石切職。石工。

パア チエック シイ 芭蕉扇。芭蕉の葉の形に作った團扇の

パア チエック 肥脚。●空脚。

パア チエック 罷職。官を解く。解職。

パア チエック エエ 打一。一打。丁と打つ。一本食せる。

パア チエック カツ シイ 打一結死。惡癖など直らない。

パア チエック キイホオイカウ 打一枝俵伊到。札を一枚彼にやうて上らせる。一本食はせてやる、又はうまい事を一つさせてやるなどの意。

パア チエック ギアン 打七響。次に同じ。

パア チエック ヒアン 打七響。肩・手・膝などを拍子を取って打つ。――乞食。同上して錢を乞ふ乞食。

パア チエック リヌワン 抛一輪轉。一廻する。一周する。四界。――四方を一廻する。

パア チエック 打繩。繩を打つ。――彈柱。繩を打つて柱を彈く、當付ける。當擦る。

パア チエック 打清。●惡寒。寒氣。人一直。――頻に寒氣がする。●冷す。風邪を引く。腹肚。――腹を冷した。

パア チエック 有蟬。肉・味噌の少い海蟹。瘦蟹。――壳籠。●瘦蟹が籠を持上げる、柄に無い大言など。――無膏。●瘦蟹に味噌がない、厚間のない大兵の人をいふ。

パア チエック チエヌ 打深淺。水の深さを測る。

パア チエック 抛錠。錠を下す。錠を投ずる。錠泊。投鋪。

パア チエック 抛錠。前に同じ。

パア チエック 抛定。手附にする。錢提。一寡先共伊。――先に手附として若干の金を與へる。

パア チエック タウ 打定頭。手附をする。契約する。手附

パ

パ

パ

パア

金の受取證を書く。

パア アウ 罷朝。廢朝。

パア アウ 打跳。渡る爲に足場を造る。板を渡して足場をかける。

パア アム 打點。時間を打つ。時間の拍子木を撃つ。

パア アム ビヌ 打店面。乞食が一定の日に自己の繩張内の家から一人一文つつ貰ふこと。――的

パア アム 飽淀。●みっしり一杯。豪袋仔――懐に金がたつぷりある。店貨――店の品物が一杯ある。船下俵伊――船に一杯に積込む。●肥満。丸丸とふくらむ。身軀生做眞――體が丸丸と太つてゐる。天旁――雙方の髪がふくくりとしてゐる。

パア アム 打鐵。鐵を打つ。鐵冶。鐵を鍛へる。――司卓――鐵冶屋。鐵匠。――仔到食――鐵冶屋は食ひ足る。鐵冶屋は多く儲からないが食うて行く丈の事は出来る。――順熱――鐵を打つは熱の冷めない内にせよ。

パア アム 打棒。棒を以て突張る。支へる。――抵住

パア アム コロ 打鐵哥。●鐵冶屋様。●互に手を打合ひながら鐵冶屋様の歌を唱ふ子供の遊戯。●(動)

パア

暗綠色の小さな昆蟲

パア アム 打猪肉。豚の肉を買ふ。

パア アム ビイ 打鐵鞭。鐵の鞭で打つ。居台拔。――賣膏藥――自分の體を傷つけて膏藥を賣る。

パア アム ルヌ 打鐵崗。(植)第一期作水稻糧の一品

パア アム ロオ 打鐵鱈。(動)黒鯛。「種」

パア アム 飽脹。腹が張る。腹が脹れる。食了傷――餘食過ぎて腹が張る。噴風――瓦斯などが溜つて腹が脹れる。

パア アム エヌ ロク テエ ボン 打天羅地網。【做獅】といふ祈禱式の中の一節。

パア アム エン 打釘。釘を打込む。

パア アム エン アア 打丁仔。【打短次】。

パア アム オンゴオ 打中牛。晝飯を食ふ。晝食をする。

パア アム アウ 打着。打當てる。打止める。――伊心肝帯――彼の心を衝く。

パア アム アウ 打直。●眞直にする。眞直につくる。路――路を眞直につくる。頭髮――髪を結はな

いで垂して置く。●(位置)縦にする。縦につくる。眠床――寝臺を縦の位置に据ゑる。●訴

認など片附く。官司尙未――訴訟が未だ片附かない。●收支一杯一杯である。生理若――就好――商賣が一杯一杯で損得がなければ先好

パア

パア アム トロ 打迫退。打つて遊ぶ。面白半分に打つ。

パア アム 打廢。廢細工する。

パア アム 飽水。●穀物・果物など實る。稻仔――

稻が實る。苜蓿――バナナが實る。●精力な

ど満満である。少年家當――青年は精力旺盛の時である。●金など澤山ある。錢――同

上。豪袋仔――懐が暖かい。

パア アム 打水。水を都合する。船などの飲料水を汲

パア アム 打碎。砕く。打碎く。「入れる。

パア アム コオ 打嘴古。冗談。徒口。鍊仙――四方山話をする。

パア アム トロ 打水鉞。【水鉞】で深さを測る。

パア アム パヌ 打水辨。水の深淺を測る。

パア アム ホエ 打水花。水を叩いて飛沫を飛ばす。船

的車鼓葉――船の推進機が同上。

パア アム 右珠。悪い眞珠。

パア アム 右子。若死する子供。

パア アム ツランゴア 打出籠外。籠の外へ取出す。撰

残などの意。――的人詰らぬ人。役に立

パア アム 抛船。船擧。舟泊。碇泊。「たぬ人。

パア アム 打寸。土地に淺き溝を掘り長さ一二寸の竹

を斜に立ておき、他の竹にて其一端を打ち跳ね上

るを更に打ち遠き處へ跳飛す遊戯。

ヴァツノトア 打船單。乗船切符を買ふ。

ヴァツン 打鑽。●錐をもむ。●刺撃。始め打込み後
手にて振込む錐。

ヴァツン 打狀。【狀】といふ紙製の燈籠を作る。

ヴァツン キウ 打床球。玉突。【の一種。

ヴァツイ 打堆。【四色牌百十二枚を用ひて行ふ賭博

ヴァツイ 打隊。演習。在營艦在——兵營内で演
習をしてゐる。

ヴァツウツ 打抵直。收入と支出が同じで損得が
ない。所得與家費嗜好——所得と家の費
用とは丁度一杯で残がない。

ヴァツウツ 打脱。外す。脱ぐ。外れる。脱ける。手引
——手の關節が外れる。脱臼する。

ヴァツウツ シヌ 打脱身。墮胎。子墮。

ヴァツウツ テエ 打脱胎。前に同じ。

ヴァツウツ 打長。●打伸す。長くする。長く伸す。●
——在彼——常に其處に居る、長く其處に寐起し
てゐる。

ヴァツウツ 打斷。切る。打切る。——手骨顛倒勇
手の骨を打折つて却つて強くなる、雨降つて地面
まる。

ヴァツウツ カア 打長合。一定の相手に對して引續き

取引をする。彼間店我與伊——あの店は
私の取引の店である。此個是——的人客
——このお客は常得意である。

ヴァツン セエ 打長坐。長座。長座。

ヴァツン ヒョ 打長宿。常宿。下宿。

ヴァツエ 打退。●退避する。——敵兵——敵兵を撃
退する。●我若——十二歳若し私が十二歳若
かつたら。

ヴァツエ イツ 打第一。澤山の中で第一番に敗へら
れる。第一。一番。——賢——一番偉い。——
悠緩——一番下手だ。

ヴァツエ ガウ 打地獄。地獄より救ふといふ【做獅】
の中の一節。

ヴァツエ キイ 打地基。建物の礎をつくる。地取。

ヴァツエ ケエ 打遞解。【打遞解】。

ヴァツエ タン コオ 打退章鼓。乗移つた神が離去
するときの太鼓を打つ、中途で手を退く意。

ヴァツエ パイ 打短次。遊女など時間極で稼ぐこと。
ちよんのま。

ヴァツエ ボン 打地網。【打天羅地網】。

ヴァツエ トア 打帶。紐を打つ。

ヴァツエ トア 打大。賭博などの時、始にする人を極める
爲に骰子を振る。

ヴァツア 打單。●書付を作る。●切符を買ふ。

ヴァツア 右炭。消炭。軟い炭。

ヴァツア ペエ 打單飛。單獨で遊廓に行く。

ヴァツア ホエ 打大會。【毛公牌】を用ひて行ふ賭
博。

ヴァツア ミイ 打大麵。饅饅を打つ。

ヴァツア ムンクイ トア ホオ 打大門開大戸。大
門を打つて大な戸を開く、公然と事をなす意。

ヴァツア エ 打底。●底を作る。●下地を作る。本を作
る。基礎を拵へる。

ヴァツア エ 有地。固つてゐない地面。砂地。

ヴァツア エ イツ 打第一。【打第一】。

ヴァツア エ ケエ 打遞解。罪人を其の所屬の地に護送
する。出稼人などを郷里に送還する。追放する。
在住禁止。對厦門被入——返來厦門から
追放されて歸つて來た。

ヴァツア トオ 飽肚。●腹一杯。食一下傷——食過ぎ
た。●懐に一杯ある。どさりある。某人當
——某は今どさり金を持ってゐる。今非常に景
氣がよい。●着服する。賄賂を取る。——衆人
的錢——公の金を着服する。無傳伊——伊要
共你告發——賄賂を差出さないと彼が告發する。

ヴァツア トオ 打圖。圖面を製作する。設計圖を作る。

パア

パア トロラン 打土鑿。●糶摺臼を作る。●糶摺臼を廻す。

パア トロロオ 巴岡魯。本来滿洲語にして豪傑又は好漢の義、清朝時代に戰功偉大なる者に授けられた稱號。

パア トロ 朝道。朝道。行——朝道を行ふ。——輪王道。朝道は王道に劣る。

パア トロ 打刀。刀を打つ。す。

パア トロ 打倒。打倒す。打振ふる。打伏せる。轉が打倒す。宴席などの机を振ふる。食卓の支度をする。——請人客。宴を張つて客を招待する。

パア トロ 打倒頭槌。使倒頭槌。

パア トロ 打倒返。打返す。船被風——船が風の爲に吹戻された。

パア トロ 打通透。次に同じ。

パア トロ 打通套。示合せる。先に話合ふ。豫め申合せる。ぐるになる。謀を通ずる。——要食人。ぐるになるに人をして誤魔化さうとする。

パア ナア 有右。【有右】。

パア ニイ 百年。百年。——以後。百年以後。死後。ニイヘエアウ 百年歳後。百歳の後、死後。等

我——您即去分家伙。私の死後にお前達が財産を分けなさい。

パア

パア ヌン 打卵。蟲魚など卵を生む。金魚在——金魚が同上してゐる。

パア ヌン 有卵。孵化しない卵。

パア ノア 打摺。損易いものを手荒く取扱ふ。亂暴に取扱ふ。網級較没堪得——絹物は手荒く取扱はれない。傷重的病人是没堪得被你

——大病人は手荒く動かす事は出来ぬものですよ。●有——使出がある。持がよい。無——長持しない。

パア ハイ 打害。悪くする。傷める。損ふ。毀す。打毀す。——身命。體を壊す。物件共人——人の物を悪くしてしまふ。

パア ハク 飽學。學問が有る。學殖豐富な。——才子。同上な才子。

パア ハフ 打哈。【哈仙】。

パア ハム 打嘆。欠をする。阿片煙仙在——阿片癮者が阿片欲しさに欠をする。

パア ハム アア 有腦仔。次に同じ。

パア ハム チエウ 有腦竹。(種)叢生する竹の一種。

パア ハン 百項。種種。百般。色色。好藥治——症。好い薬は種種の病を治す。

パア バア 打肉。肉を買ふ。パア バア チョウク 打麻雀。麻雀をする。

パア

パア バア バア 打合合。●あばあばと口を鳴す。あばあばいふ。●勘定など相殺して好い加減にけりをつける。彼條事無應提起大家——就是

ああの事は問題にしないでお互に好い加減にけりをつける。

パア バク 打目。竹の筒を眼窩に當てて目玉を打出す。目玉を割り出す。

パア バク チウ 打目。前に同じ。

パア バク 百萬。百萬。——軍兵六七人。百萬の軍兵も僅か六七人、芝居にて僅か六七人の役者で百萬の大兵を表はす意。——家財。百萬の財産。百萬長者。

パア バク ジイ 打中字。中字の形を縫ふ。

パア バン 抛網。●網打。打網。網を打つ。●立乾に類し専ら鱈・黒鯛等を漁獲する網。

パア バン 打網。網を結く。網を編む。網を刺す。

パア バア 邦邦。乾物の様に瘦せてゐる。人——人が同上。癯——非常に瘦てゐる。瘦——同上。

パア バア 岐岐。【岐】。

パア バア 朝朝。●精——非常に利巧な。非常に聰い。惡——非常に強暴な。横——同上。懸——頑固で而も馬鹿な。●——叫。猛烈しく打

たんとしてぶんぶん怒る。——嘔。同上。——

パア

パア ビエツ 打滅。亡す。撲滅する。

パア ビエ 飽眠。十分に眠る。眠無一就寢能神

十分に寐ないと居眠する様になる。

パア ビエ 打面。顔を彩る。顔を作る。三花着

茶利役は顔を彩らなければならぬ。

パア ビエツツ 打眠床。寝臺を併付ける。

パア ビエツツケ 打眠床。人が寝床の上で死ぬ

ときは其靈が寢床の柵をはめられるといふ、之を

救ふ爲僧を請じて其の柵を外してもらふこと。

パア ビエ 打傾。●精を出す。一生懸命になる。努力

する。緊一急いで努力する。一錢孔一金

策をする。無一能落第一一生懸命にならない

と落第する。●努力して勝敗を競ふ。伸るか反

るか一六勝負を試みる。一薬生すか殺すか

の薬。劇薬。此帖薬與伊一殺すか治るか

といふ此の危険な薬を用ひて試みる。

パア ビエ 打併。你着食一お前は殴られる目に遇

はねばならぬ、殴つてやるぞといふ意。

パア ビエ 打平。【打平】。

パア ビエ チイ 打壁錢。【稼壁】。

パア ビエ アン コオ 打嗒鼓。【嗒鼓】を打つ。

パア ビエ アン コン 打嗒管。【嗒管】を打つ。

パア ビエ 犯秘。片意地で人の言ふことを聞かぬ。強

パア

情で我儘な。

パア ビエ 飽脾。思ふ存分に食つて腹一杯になる。你

食去傷一汝は食過ぎてゐるぞ、子供が悪戯

をした時など親が叱つていふ。

パア ビエ 飽併。中味が一杯ある爲に外皮が張る。腹

肚一腹が張つてゐる、金をどさり持つてゐる

などの意。

パア ビエ 豹皮。(在) 豹皮。【平す】。

パア ビエ 打平。平にする。平す。土地一地面を

パア ビエ 打平。勝負事などにて受けた撲法を相手方

より取返す。仕返す。盛返す。賭輸想一

賭博に負けて取返さうとする。

パア ビエ ケエ 打平過。【打平直】。

パア ビエ コオ 打邊鼓。【打鼓邊】。

パア ビエ ツ 打平直。計算など相殺して過不足なき

こと。生理嗜好一商賣が丁度一杯一杯

である。一準嗜好一互の勘定を相殺して

けりをつけることにする。

パア ビエ ロオ 打邊櫓。【打鼓邊】。

パア ビエ ヌク 打拍。拍板を打つ。拍子木を打つ。猪母

近戲館邊、没吹簫亦能一牝豚も芝居小屋

の近邊に居れば簫は吹けなくとも拍板を打つこ

とが出来、門前の小僧習はぬ經を讀む。

パア

パア ビエヌ 打騙。騙す。騙る。詐欺をする。一入

的錢銀一人の金錢を騙し取る。去四界一

方へ行つて騙す。

パア ビエヌ ポオ 打騙歩。詐欺手段。

パア ビエ 把柄。【把柄】。

パア ビエ 罷兵。兵を罷める。休戦。

パア ビエ 打平。平げる。退治する。

パア ビエ 怕並。他の品物と比較されることを恐れ

る、他の物に比較して見劣りがする、引目がある

等の意。貨一同上。

パア ビエ アア 打算仔。網代簀戸などを編む。

パア フィ 抛荒。(在) 【抛荒】。

パア フィヌ 打血盆。産死したものは地獄の血の池

に投せられて呵責の苦を受くといふ、之を救ふ爲

に僧を請じて其靈魂を血の池より救上げるを云

ふ。【牽血盆】。

パア フヌ 打粉。白粉を附ける。白粉を塗る。一扶

胭脂一白粉を塗り紅をつける。

パア フン 抛荒。荒れる。荒れる。荒蕪。荒廢。一

的地一荒地。一了了一荒果てる。放一荒

放題にして置く。

パア プッ 有堆。中味のない大なもの。ぶくぶくと太

る。肥満してゐる。大腕的。一大きなものは

中味がからからになってゐる。

パア/ウ/クン 打脚光。ぼつと白む。天——空が

ほんのりと白む。

パア/ウ/ホエ 打浮花。石切・金銀細工・漆塗など浮

模様をつける。

パア/ヌ 打釧。●猪・牛馬などが掻散す。撥散す。掻

荒す。山猪——田園——猪が田畑を掻荒す。●ぞ

んざいに取扱ふ。浪費する。——用——浪費する。

贅澤に使ふ。銭銀不可——金を同上してはい

けない。衫褲賢——着物を大事にしない。

パア/ヌ 打盆。食——阿片を少し喫む。

パア/ヘ 打火。火を消す。消防。

パア/ベ/エ/ア 打碼仔。数字を記す。

パア/ベ/エ/チ 打碼子。数字を記附ける。【碼子】を記

パア/ベ/エ 豹皮。豹の皮。【す。

パア/ペ/エ 打把。的を打つ。射的する。銃兵在——

兵隊が射的してゐる。

パア/ペ/エ 打胚。●地をこしらへる。型を作る。骨子

を立てる。●豫想する。豫期する。無——伊不

●彼が厭と言はうとは思はなかつた。【る。

パア/ペ/エ/ボオ 打胚模。型を作る。大體の骨子を立て

パア/ホア 打灰。打消す。消す。消す。

パア/ホ/アイ 打壞。打毀す。壞す。打潰す。——事

事を打破る。【悪くする。

パア/ホ/ヌ/トン 打還動。(塵物など)咎める。弄つて

パア/ホ/エ 打火。(意)【打火】。

パア/ホ/オ 打虎。●虎を打つ。——着留林——虎を打つ

には林を殘さねばならぬ、收益の本を殘せなどの

意。——拿賊着親兄弟——虎を打つも賊を捕へ

るも兄弟でなくてはならぬ、非常な場合には他

人では當てにならぬ意。●黄・白・青・紅・黒の五色

牌二十五枚を用ひて行ふ賭博。

パア/ホ/オ/イ/カウ 打俾伊到。【打一枝俾伊到】。

パア/ホ/オ/ラン 打給人。商品店などを讓渡す。生

理——商賣を全部人に讓渡す。

パア/ホ/ヲ 打號。番號を打つ。極印を打つ。記號を附

パア/ホ/ヲ 打火。(意)【打火】。【ける。

パア/ボ/ヌ/タウ 打滿斗。【打第一】。

パア/ボ/ヌ/チ/エン 打滿等。【打第一】。

パア/ボ/エ/タイ 打沒開。次に同じ。

パア/ボ/エ/チ/ツ 打沒直。收支が償はぬ。圓く收まら

ぬ。生理——商賣を切抜けることが出来ぬ。

パア/ボ/オ/ウ/イ 打妻來。【寒藁】。

パア/ボ/ヲ 打無。無す。無なす。失ふ。紛失する。——

去——同上。有人情——狗肝——人の恩義を無し

て仕舞ふ者は犬の心だ。人の好意を惡意に取る

時などにいふ。有功——勞功有るを勞なしと

する。

パア/ボ/ク/ギ 打無疑。出抜く。虚に附入る。不意に

乗する。——去攻城——不意に乗じて城を攻め

る。

パア/ボ/ク/ム 打無門。門を叩いても音がない。戸を

叩いても答がない。傷暗返去能——夜餘

晚いと家へ歸つても戸が開かない。

パア/ボ/ア 百般。百般の事。——起頭難——百般

の事始が難しい。——生理路不值翻田土——

凡ての商賣も田を耕すの安全には及ばない。——

武藝、不值鋤頭落地——百般の武藝も鐵で耕

すのには及ばない。

パア/ボ/ア 打破。毀す。破る。打毀す。打碎く。——

人因緣七代第——人の縁を破る者は七代致す

る。有功無賞——着賠——功が有つた時は賞なく

物を毀した時は辨償しなければならぬ、善い事は

賞められないで悪い事があると叱られるなど。

パア/ボ/ア/ヲ/ア ホエ 打破碗花。【曇桃花】。

パア/ボ/ア/ク/イ 打半跪。片方跪く。

パア/ボ/ア/シ/イ 打半死。半死半生に毆る。

パア/ボ/ア/ス/ウ 打破事。事を破る。【かす。

パア/ボ/ア/ト/ヲ 打破倒。倒す。打倒す。轉す。打轉

パア

パア

パア

パア

パア ポエ 百八。百八十。

パア ポエ 打胚。(兼)【打胚】。

パア ポオ 打鋪。簡單な寢臺を作る。床を張る。一

在廳邊||死者又は臨終の人を寐かす爲に【廳】の片側に床を張る。不時||在此||常に此處に床を張つてゐる。寐泊つてゐる意。

パア ポツ 打ト。冒險。投機。一六勝負。山子。

パア ボク 打焔。拍手。手拍。

パア ボク アア 打焔仔。●拍手。手拍。||一||喝彩||拍手喝采。●子供などが紙鐵砲を打つ。

パア ボン 打山。因つてゐるものをほろほろに解す。||一||舊綿||舊綿を打返す。

パア ボン シウ 打淨洞。(泳ぎ方)犬掻。

パア ボオ 打胚。(兼)【打胚】。

パア マア 打罵。打つたり叱つたりする。被父母||一||父母に同上される。食無||一||有||食ふ物はな

くて、打たれたり叱られたりすることはある。

パア ミイ 打綿。綿を打つ。

パア ミイ 打麵。餛飩を打つ。

パア ミイ チヲ 打綿續。綿を打つて布團を作る。布團に絲をかける。

パア ム 打蕾。蕾が付く。蕾を持つ。蕾を結ぶ。菊花在||一||菊の花が同上。

パア

パア ムキイ 打不見。紛失する。無する。無す。青盲

||一||談||盲人が【談】を無す、盲人に色目を使つても通ぜぬ、猫に小判など。

パア ムキエヌ 打不見。(兼)前と同じ。

パア ムチヲ スン 打木着算。打算違。思違。考が足りない。計割がくるふ。

パア ムツウ ホヲ 打不嗜好。不注意などの爲に仕損ずる。仕損ふ。一|半|次|永|能||一||一回や二|回|位|時|偶|に|仕|損|す|こ|と|が|あ|る|。

パア メエ 打罵。(兼)【打罵】。

パア モア 飽滿。滿ちる。一杯になる。充滿する。

パア ラア 餓餓。【餓餓】。

パア ラア 餓餓。你食去真||一||汝は食過ぎてゐるぞ。子供が悪戯する時など叱つていふ。

パア ラア 朝朝。【朝朝】の◎。

パア ラア 餓餓。【餓餓】の◎。

パア ラア 龍龍。【龍龍】。

パア ラア 抛抛。【抛抛】。

パア ラア 打擲。つまらぬ事をして喜び楽しむ。冗談話などをして喜び楽しむ。

パア ラア 打打。【打打】。

パア ラア 打獵。狩する。銃獵。狩獵。

パア ラア サム 打汚穢。穢す。汚す。衫不可||一||

パア

パア ラア リアン 打擲涼。呑氣らしく茶利をする。冗

談をする。歸陣在彼在||一||大勢其處で冗談話をしてゐる。你不時要與我||一||君は何時も僕に冗談をする。

パア ラウ 打落。愚弄をいふ。與藝姐||一||藝者に向つて愚弄を言ふ。站在店頭||一||店先で素見す。

パア ラウ ヒイ 吧咭魚。(動)鱈。

パア ラウ ゴヲ 怕老婆。(兼)嗔を恐れる。嗔天下。

パア ラク イ 百六鐘。廣東地方で用ひる百六十斤の

パア ラク トヲ 百六錠。前に同じ。【科】

パア ラッ 飽力。強力。力持。

パア ラヌ 打鱗。鱗を取る。鱗を刮げる。

パア ラン 吧鯽。(動)鯽。

パア ラン 吧鯽。晴れる。天有較||一||幾らか空が晴れて来た。

パア ラン 打人。人を打つ。||一||賊救人||人を打つておいて人殺だ助けてくれと叫ぶ。盗人ただけしい。

パア ラン 有嘔。畜類・植物又は子供など發育の良好なる様。猪仔飼了||一||豚の子を飼つたが發育が良好だ。ふくふく肥えてゐる。

パア ラン ヒイ 吧鯽魚。(動)鯽。

パリアウ 罷了。【罷了】。

パアリイ 巴里。パリ、佛國の首都。

パアリイ 巴里。パリ、佛國の首都。

パアリイ 巴里。パリ、佛國の首都。

パアリウ アア 打鉦仔。布を紐の様に縫合はせて鉦を作る。

パアリエン 打冷。●冷す。冷す。●冷中。冷込。

パアリヌ タウ 抛輪斗。【車糞斗】。

パアルヌ 吧輪。鶴看。全看。一一看同上。講話一吞話が曖昧な。一吞舌師を飲んで舐める。一吧吧全看。話が曖昧な。分明しない。一吐草牛など反芻する。

パアルヌ 罷論。議論を止める。話を止める。破談。此條暫且一先講彼條この問題は暫く話を止にして先にあの問題を話す。做一破談にする。

パアルヌ タウ 吧輪頭。夜具を頭に被る。蒲團を被る。

パアレエ 巴禮。(西班牙語Padreの轉訛)カトリック教の宣教師。呂宋一講自己道マニラの宣教師が自家の道理を布教する、他人の悪い所を責めて自己の悪い所を直さない。

パアレエ 巴梨。【巴里】。

パアラア 打持。揉んだり摩ったりなどする。人工呼吸

をする。一没精神同上しても蘇生しない。

パアロエ 吧口。●拈くる。弄る。爲る。一甚麼何をする。難一爲にくい。没曉一爲ることを知らない。●馬鹿にする。伊不時在被人一彼は常に人から馬鹿にされてゐる。

パアロオ 打齒。肉骨等の煮出を作る。

パアロク 打繩。銅繩を叩く。一尋因仔銅繩を叩いて迷子を捜す。四界去一一方方へ行って銅繩を叩く、方方へ行って宣傳する。

パアロク 打濁。濁す。濁せる。

パアロク 打落公。公の物にする。公共の用に供する。私奇錢提出來一私有的金を出して同上にする。

パアロク シヌ 打落身。墮胎。子墮。

パアロク 有稟稟。石・木材など非常に軟い。

パアロク 右稟稟。前に同じ。

パアロン 打弄。馬に鞭つ。馬を打って走らせる。

パアロン ボン 打擗。●突抜にする。打通にする。二間教室一做講堂二間の教室を突抜にして講堂の代にする。●一緒にして公用にする。一用同上。

パアン キイ 打不見。【打不見】。

パイ

パイ 擺。●體など振る。揺る。頭揺尾一頭を揺り尾を振る。揺揺一大手を振って歩く。●跛を引く。一脚一手手なえ足なえ。不具者。●ひやかす。與伊一彼をひやかす。不可與我在一僕をひやかしてはいけない。●一時貸す。一時借りる。時借。一人一人に金を一時貸す。一五元五圓借りる。

パイ 次。度。番。一一度。一應。一回。一遍。一應。一朝。一旦。一度。到我的一僕の番に當る。替一代番をする。開熱一お祭の時。

パイ 拜。●拜する。拜む。一神明一神佛を拜む。三跪九一三拜九拜。平身低頭。●崇め頼む。崇めて教を請ふ。一伊做軍師一彼を軍師として崇め頼む。後援として頼む。一司卓一師匠として崇め頼む。弟子になる。一伊做契父一彼を義父として崇め頼む。●冷評する。愚弄す。不可來與我一來てひやかしてはいけない。

パイ 棧。●棧。竹一同上。杉一杉で組んだ棧。絞一棧を組む。●同上を敷へる語。二一絞相連二つの棧を繋合せる。

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ 牌。●札。鑑札。看板。紙一骨牌。札。門一

パイ

門札。領一〇鑑札を受ける。招一〇看板。金一〇金牌。●榎。藤一〇藤の榎。虎頭一〇虎を畫いた榎。

パイ排。●並ぶ。並べる。排列する。一陣一〇列を並べる。陣を敷く。賢一〇情理一〇理窟を並べるのがうまい。一〇賭場一〇賭場を開く。一〇哨兵一〇歩哨を張る。一〇第幾一〇何番目か。何等か。●列。一〇一〇一列。

パイ敗。●負ける。敗北する。敗れる。成則爲王、一〇則爲賊一〇成れば王たり敗るれば賊たり、勝てば官軍負ければ賊軍。戦一〇戦に負ける。一〇軍之將一〇敗軍の將。一〇兵一〇戦に負けた兵。一〇訴一〇敗訴。●悪くなる。損ふ。失敗する。悪くする。●樹頭一〇樹が悪くなる。市價較一〇相場が悪くなる。●見創見一〇爲る度毎に失敗する。一〇人風水一〇人の墳墓を荒す。一〇筆一〇書損つて字形が悪い。家運一〇家運が衰へる。

パイ反。●同。●反。パイ旁。●同。●旁。パイ歹。●同。●歹。パイ浦。●姓。浦。パイ派。●派遣する。遣る。差遣す。一〇人去保護一〇人を遣つて保護させる。一〇欵差一〇勅使を派遣す

パイ

る。●割當てる。割付ける。配賦する。一〇富豪一〇富豪に割付けて寄附させる。一〇軍資一〇軍資を割當てて徴發する。●派。流派。流儀。一〇一派。一流。左一〇右一〇左傾派。右傾派。一〇下一〇派下。●身振。スタイル。大一〇大様な風。好一〇好い。スタイル。時一〇流行。當世風。

パイ歹。歹は元來廈門・漳州の發音なるが、臺灣に於ては漳州系と雖も鼻音に發音せざるものあり。●悪い。一〇後進一〇悪い子孫。一〇物一〇悪い物。一〇貨一〇悪い品。好一〇善惡。●しにくい。しにくい。一〇行一〇歩きにくい。一〇創一〇やりにくい。爲難い。一〇讀一〇讀みにくい。●變質若しくは組織の破壊等によつて悪くなる。傷む。毀れる。魚一〇去一〇魚がふるくなった。桌仔一〇去一〇机が毀れた。無氷能一〇冷蔵しないと腐る。●子供が死ぬ。困仔一〇去一〇同上。

パイ背。肩に掛けて背負ふ。背負ふ。負ふ。一〇箱仔一〇箱を背負ふ。狼能一〇困仔去食一〇狼が子供を背負つて行つて食ふ。パイアア牌仔。●骨牌。骨牌。博一〇骨牌をする。●門札。札。貨着結一〇荷物に荷札をつける。番戸一〇所番地の書いてある門札。

パイアアキアウ牌仔賭。【四色】【三合碰】などの骨牌の賭博。

パイ

パイアアタウ排仔頭。船渡。渡船場。パイアアミア牌仔名。●札に書いてある物又は人の名前。●劇目。外題。

パイアアリウ牌仔鈕。西洋ポタン。パイアウチヌ歹後進。悪い子孫。パイアン拜尪。神を拜む。パイアン歹夫。悪い夫。一〇累妻歹旗果鼓一〇悪い夫は妻に累を及ぼし悪い旗は進軍の太鼓に影響する。悪友が善人を悪化する。

パイイ歹意。惡意。パイイカウタイ歹油厚薄。一〇一〇歹查某厚目尿一〇悪い油は薄が多く悪い女は涙が多い。パイイエツ拜謁。●又。拜謁。面謁。パイイエン歹用。使悪い。パイイ派藥。【堅桌頭】童乩などが神の思召で患者に對して處方を授ける。處方を極める。パイイオン拜藥王。生前藥を多く服用した者が死後藥王を拜して謝するを云ふ。

パイイヨチイ歹育飼。子供など育て悪い。パイイッ拜一。月曜日。月曜。パイイヌ拜印。新任者が前任者より官印を引繼ぐこと。パイイヌ排印。●活字を組立てる。

パイヌイヌイヌヲ因縁。悪縁。[する。]

パイイヲ拜揖。手を拱いて禮をする。禮をする。揖。

パイウヌヲ運。不運。不仕合。運が悪い。

パイウヌトオヲ運途。前に同じ。[統。後裔。]

パイエエ派下。系統。後裔。祖先的。祖先の系。

パイエエヲ下。運が悪い。此擲真。此度は非常に運が悪い。[歹神氣]。

パイエエシアウヲ下。賤。前に同じ。

パイヲア次換。交代する。一々作。代番に働く。

パイヲエヲ話。悪口。悪口。噴人的。人の悪口を言ひふらす。忌詞。不吉の語。無想此句是。忌詞であるとは思はなかつた。

パイカア敗家。家を敗る。

パイカア躑脚。躑。躑。片躑。足躑。嫁着。一夫、行路那躑躑。躑の夫に嫁げば其歩方が[躑躑]の様である。一躑躑。躑が[躑躑]の様だ、躑を嘲つて言ふ。

パイカア歹脚。一歩悪い躑躑。一出すべき金を支拂はぬ人など、狡猾い。此個真。一欠錢無愛還。此人はなかなか悪い者で借りた金を少しも還さない。一賭脚。狡猾い博奕打。

パイカア歹脚柴。女の足の縛方が悪くて不恰好な。又は同上にて遠く行くことの出来ぬ。縛

去。一。同上。

パイカアシアウヲ脚賤。[歹脚]の②。

パイカアパイモウ擲脚擲手。躑に手裏。不具者。

パイカイ排解。縄を捌く。執成す。勸解。調停。一没成。調停が出来ない。一無事。執成して無事にする。

パイカウ反狗。一。漢字の獸偏。

パイカウ歹狗。一。意地の悪い犬。一。無頼漢。惡漢。不可與。一。做陣。惡漢と一緒にするのはいけない。

パイカウ歹九。悪い九の歳。厄年。(世俗九・十九・二十九・三十九・四十九等の九の歳を忌む)

パイカウツツモエ歹到出籠。とても兇惡な。猛惡な。此隻歹狗。一。この破落戸はとても兇惡である。

パイカウラン歹狗人。無頼漢。破落戸。惡漢。

パイカン歹孔。悪い孔。悪い結果になる。危険な。難しい。厄介な。一。的所在。危険な所。此帮の試験。一。今度の試験はとても難しい。一。厄介な人。病此呢傷重敢能。一。こんなに病が重いから死ぬかも知れない。

パイカンフウ歹工夫。不細工。

パイキア歹子。一。放蕩息子。道樂息子。不良少年。

一。女郎買をする。十七八歳着去。一。十七八からもう女郎買に行く。

パイキア歹行。歩悪い。

パイキア歹整。次に同じ。

パイキアキイ歹堅起。惡習又は盜賊惡漢などの多い爲に住悪い。此塊真。一。有物人就要提去。一。此處は非常に嫌な處だ、物があると直持つて行く。

パイキアキエン歹子間。女郎屋。淫賣屋。[く。]

パイキアスヌ歹子孫。悪い子孫。

パイキアタウ歹子頭。破落戸の頭。不良少年の頭。

パイキアチエン歹子症。花柳病。梅毒。[地。]

パイキアロオ歹子路。花柳の巷。遊里。惡所。遊廊。

パイキアワウ歹賭。詐欺博賭。博。一。詐欺博賭をする。

パイキイ拜見。一。御目に掛る。拜謁。一。訪問。伺ふ。

パイキイ歹去。一。破損。毀れる。潰れる。一。(食物)傷む。腐る。一。子供が死ぬ。一。仔。一。同上。

パイキイキオク排棋局。一。碁盤に碁を並べる。一。陥れる。欺く爲に奇計を用ひる。悪い事を企む。策略を施す。仕組む。二個在。一。要食。我。二人が同上して私をべてんにつけようとす

る。

パイキエツチアウ歹吉兆。凶兆。縁起が悪い。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

パイ

パイキエヌ 拜見。●拜顔。拜調。●(圓) 拜見。

パイキエヌ 派遣。差遣す。派遣する。

パイキエン 拜敬。茶食人の堂に於て精進物を供へる儀式。供物を供へる。祭物を供へる。

パイキホク 歹局。工合が悪い。羞しい。定定站態。兜眞——常に君の家に居候ばかりして居て誠に羞しい。

パイギア 次類。度敷。

パイギア 派類。物を入敷丈用意する。

パイクイ 拜幾。何曜日。何曜。

パイクイ 排開。並べて廣げる。陣などを廣げて布く。排列する。——陣勢陣を布く。

パイクイ 歹鬼。悪鬼。悪魔。邪鬼。——作弄悪魔が祟をする。

パイクイ コアイ 歹鬼怪。前に同じ。

パイクツ 排骨。●豚などの肋骨。肋骨。●豚の肋骨に肉の附いてゐるもの。炸——同上を油で揚げる。

パイクツ ソオ 排骨酥。肉の少つてゐる豚の肋骨を油で揚げた料理。「い。

パイクツ フエ 歹骨糍。子供など性質が悪い。性が悪い。

パイクツ テエ 歹骨塊。體の恰好が悪い。

パイクツ ペエ 歹骨胚。【歹骨糍】。

パイ

パイクヌ 歹晒。寐相が悪い。困仔——賢睡被子。供は寐相が悪くてよく布団を蹴飛す。

パイケエ 敗家。家を敗る。家を倒す。——卸祖宗。家を敗り祖宗を辱める。

パイケエ 拜啓。(圓) 拜啓。

パイケエ 拜客。客を訪問する。考試に及第した時或は新に任官した時訪問する。挨拶廻り。

パイケエ 歹價。悪い値段。面白くない値段。安價い。

パイケエ 歹客。悪い客。

パイケエ ア 排架仔。魚青物などを並べて賣る。小賣をする。在市場在——市場に小賣店を出してゐる。

パイコア 歹官。悪い官吏。暴官。

パイコア 歹看。醜い。不體裁な。見苦しい。體裁が悪い。隱龜抛車輪。着力兼——僂僕が翻筋斗すれば骨折つた上に尙見苦しい。町人の武士咄といふが如く柄にない事は見悪い意。

パイコア シウ 歹看相。醜い様。見苦しい。見つともない。人生做——悪い人相をしてゐる。查某人嘴喚喚叫眞——女がべちゃべちゃ饒舌る様はみつともない。被我出手你着——僕に手を出されたら君は醜い様になる、君は恥をかくぞ。

パイ

パイコヌ 拜觀。(圓) 拜觀。

パイコヌ 歹款。●悪い様。不恰好な。恰好が悪い。衫褲——着物が不恰好な。行路——歩く時の體の恰好が悪い。做——給序細看——悪い模範を目下に示す。●癖が悪い。食合含眞——人の御馳走を食べて尙且其残物を包んで持つて行くなどは癖が悪い。——看人食就要討——子供などが人の食べてゐるのを見ると直貰はうとするのは悪い癖だ。

パイコヌ シア 歹慣習。陋習。悪弊。悪風。悪習。

パイコヌ モエ 歹欸制。【歹欸】。

パイコヌ キイ 歹欸待。冷遇。

パイコエ カウチイ 歹瓜厚子。——歹人厚言語。●悪い瓜は種が多く悪い人は言語が多い。

パイコエ 敗國。國を敗る。傾國。——奸臣國を敗る奸臣。——軍師國を敗る軍師。

パイコン 拜公。神を拜む。

パイコン 歹講。言悪い。言難い。

パイコン シエ 歹講話。話が面倒になる。事が面倒になる。大家講一個直到時較没——愈愈其時になつて話が面倒にならない様に御互にけりをつけて置く。「す。

パイゴヌ 歹願。悪い願。發——悪い願望を起す。

パイゴオ 拜五。金曜日。金曜。

パイサア 拜三。水曜日。水曜。

パイサイ 牌屎。勝負のついた残の骨牌。賭猪糞。馬鹿な博奕打が同上をめぐり、上らなかつた人が残の骨牌をめぐって上札を探すなどを笑ふ語。

パイザウ 敗走。敗走。敗北。

パイザム 拜懺。【做功德】の一部にて死人の爲に御經を誦する。拜懺。拜謝。

パイシア 拜謝。謝する。拜謝。【を誦む】。

パイシアサウ 歹聲嗽。荒荒しく嗽鳴る。突慳慳なもののいひをする。靜靜仔講不可。靜かに話さない、荒荒しく嗽鳴つてはいけない。

パイシアチイト 拜謝天地。天地の神に拜謝する。

パイシイ 拜四。木曜日。木曜。

パイシイ 拜隣。暇乞。

パイシイ 歹死。臨終に久しく苦悶してから死ぬ意。悪い死様。兇惡。極惡。獄道。眞。非常に獄道な。若。同上。

パイシイ 歹勢。【歹勢】。

パイシウ 拜壽。誕生の祝をする人に跪いて壽く。人の誕生日を祝ふこと。

パイシウ シン 歹收成。凶作。不作。不出來。

パイシエツ エク 歹失德。因果な目に逢ふ。何の因果か情ない。阿又行着歹路。噫何といふ宿業の報か又悪い路に逢つた。偷食阿片被官人掠着就。阿片密吸者が役人に捕へられるとそれこそひどい目に遇はされる。

パイシエツ 排仙。天帝の妻が諸の仙人を招待する芝居の最初の外題。

パイシエヌ シイ 拜先生。先生を拜する。弟子入。師に就く。先生に就く。師匠を取る。弟子となる。無。没曉得。先生に就かなければ分らない。

パイシエン キイ 歹神氣。氣持が悪い。極が悪い。差しい。工合が悪い。俾你費神眞。御手敷をかけて甚だ申譯がありません。定定食別人亦没。常に人の御馳走ばかり食つてゐて羞しく思はぬか。

パイシエン テエ 歹性地。短氣な。怒つばい。

パイシエン リイ ビヌ 歹生理面。不景氣。

パイシホク 敗俗。風俗を紊す。傷風。風を傷つけ俗を敗る。

パイシオン 拜相。拜命して宰相になる。宰相を拜する。狀元。狀元のものゝ宰相を拜し師として崇める。

パイシオン 歹相。惡相。【歹欺】。

パイシラ 擺小。轎夫の合圖詞。右に寄れ。

パイシラ シエヌ 排小仙。芝居の最初に簡單に演ずる藝題。【排仙】参照。

パイシツ エク 歹失德。【歹失德】。

パイシヌ 敗腎。神經衰弱。

パイシヌ キイ 歹神氣。【歹神氣】。

パイシム 歹心。惡心。惡意。惡い心。意地が悪い。毒行。惡心兇行。被雷箴。惡い心の者は雷に打たれる。

パイシム コア 歹心肝。惡心。意地悪い。腹黒。性が悪い。烏腸肚要死。初。十五要埋風。合雨拾骨頭。尋無墓。惡人の死ぬ時は一日か十五日で葬式の時には雨風があり骨拾しても墓がないぞ、惡心の者を罵る語。

パイシム ツン 歹心腸。前に同じ。

パイシム トク ヒエン 歹心毒行。次に同じ。

パイシム ヒエン 歹心行。腹穢い。意地悪い。

パイジイ 拜上。火曜日。火曜。

パイジイ 排字。活字を組立てる。植字。

パイジイ ウヌ 歹字運。不仕合。不運。仕合が悪い。

パイジイ アア 歹字紙。舊反故。

パイジエヌ 沛然。沛然。

パイジツ 歹日。不吉な日。惡日。凶日。

パイ

パイジツシヌ 歹日辰。悪い日柄。悪日。

パイジツチイ 歹日子。前に同じ。

パイスウ 牌序。墓標に記入した月日。

パイスウ 歹事。悪事。曲事。曲事。――無所不做

悪事ではないものはない、所有悪事をする。

パイセエ 敗勢。負色。受太刀。

パイセエ 歹勢。工合が悪い。都合が悪い。――轉倒

持運ぶに工合が悪い。無去有較――行かな

いと一寸工合が悪い。

パイセエイエン 歹勢用。使悪い。用悪い。

パイセエキア 歹所行。(悪)歹所行。[話]

パイセエコン 歹勢講。言悪い。言難い。――歹講

パイセエビヌ 歹勢面。感情など工合が悪い。極

が悪い。不時俾你請眞――常に御馳走に

ばかりなつて極が悪い。別日行加講話就――

――他日文句が起ると工合が悪い。――旗色が悪

い。負色。――者に供へる。

パイモエ 排祭。【做功德】の時に澤山供物を並べて死

パイモエパイモエ 擺下擺下。(跛の歩行など)びよ

こびよこする。

パイソエラヌ 拜歳蘭。【報歳蘭】。

パイソオ 敗訴。(圖)敗訴。

パイソオキア 歹所行。品行が悪い。

パイ

パイワアキウ 歹系頭。悪所などへ導く者。悪い手

本を示す者。悪所などへ案内する。悪い手本を

パイワア 排行。並べる。連ねる。排列する。[示す。

パイワエ 排齊。並べて整へる。整列する。

パイタアリエヌ 背搭襖。掛取袋を肩に掛ける。

パイタイ 歹事。悪事。悪い事。串做是――爲る

事が皆悪事ばかり。凶事。不吉の事。好事無

相請――即來相尋――お目出度い事がある時に

は招待もしないで不吉の事が起る時には訪て來

る。你能――お前には凶事が起る。お前は困

る様になる。

パイタイ反口。(同)胸を反したり腹を出したりし

て不行儀な。困仔坐不坐站在――子供がじ

つと坐らないで同上をしてゐる。嘘をついて告

口をする。話――過來――過去――雙方に雙方の

事を告口する。

パイタウ 派頭。容姿。様子。恰好。好――恰好振

がよい。――粗い態度が堂々である。

パイタウサイ 歹頭彩。歹彩頭。

パイタウチア 排頭爹。城隍爺の隨神にて圓柱狀

の帽を被る、物を遺失した時など祈る神。

パイタク 歹讀。讀難い。

パイキム 拜探。伺ふ。訪ねる。人客來在――お

パイ

お客様が訪ねて來てゐる。

パイタン 歹蟲。悪い蟲。害蟲。奸物。意地悪。破

落戸などの悪者。悪い。此個眞――此奴はな

かなか悪い。你不可惹着此尾――あなたは

此の悪者に携はつてはいけない。

パイタンクウシア 歹銅舊錫。古金。悪者。

パイタンチイ 歹蟲刺。好んで喧嘩をする悪者。意地

パイタン トヲ 歹冬道。收穫の悪い年。凶作の年。

パイタンピイ 歹銅花。臭った銅片。鏝錢。

パイチア 拜正。賀正。年賀。冤鬼――怨靈が年

始に來る、害をなす者が來て事の成らぬが如きを

いふ。

パイチア 歹食。不味い。――是――拘是米粉底的

不味い事は不味いが併し材料は【米粉】である、

腐つても鯛など。

パイチア 排場。威勢を張る。外見を張る。見を

張る。官家氣愛――官僚振つてゐる威勢を張

りたがる。一家着物など豪華。華美。派手。華

奢。衣裳不止――衣服がなかなか華美であ

る。激去眞――なかなか豪奢な風をしてゐる。

パイチイ 排社。華奢。立派。華美。く喇叭。

パイチイ 排子。喇叭の符の一種。――吹く同上を吹

パイチイ 擺錢。金を一時借りる。時借。――轉孔

悪事が来ないといふ。

パイ 次次。毎度。度度。屢屢。度毎に。——講

都不聽。毎度言つても聞かない。——來。毎度

パイ 擺擺。【擺】の(三)④。 「やつて来る。

パイ 拜拜。【拜】。

パイ 排排。【排】の(一)。

パイ 敗敗。【敗】。

パイ 反反。【反】。

パイ 歹歹。【歹】。

パイ 派派。【派】の(一)④。

パイ 歹歹。●大變悪い。——亦是狀元骨。幾

ら悪くても矢張狀元の骨、腐つても鯛。——亦是

進士骨。幾ら悪くても進士の骨、同上。●(二)歹

パイ 背背。【背】。 「の(三)④。

パイ 歹歹。反反。□。□。(同) 【反】□。

パイ トオ歹腹肚。腹下。亂态食能。——

矢鱈に物を食ふと腹が下る。

パイ パツシエヌ排八仙。●排仙。●大家住在

——何もしないで冗談言つてゐること。

パイ バヌ排班。官吏の前で部下が整列すること。

パイ 又敗板。爲損ふ。失敗する。手違。爲損す

る。失敗る。若伊去辨没——若し彼がする

なら失敗しない。此號藥食無——この様な

薬を飲んで間違の起る様なことはない。

パイ パヌ歹癖。捌悪い。行悪い。

パイ ゴン歹紡。●紡悪い。●(二)歹孔。

パイ ヒイ歹戯。悪い芝居。下手な役者。——要穿好

靴。下手な役者が好い長靴を穿きたがる。——拖

棚。下手芝居の運始め、下手の文句澤山などとい

パイ ヒエン敗興。座が白ける。興が醒める。「ふ意

パイ ヒエンウイ歹行爲。品行が悪い。悪い行。「る。

パイ ビイ歹味。●悪い香。●物など遣える。腐敗す

パイ ビエン拜命。(圓)拜命。 「を失ふ。

パイ ビエン敗名。名を落す。——失節。名を敗り節

パイ ビヌ歹面。●顔が醜い。悪い人相。起——悪

い顔付になる。怒る。——好交關。顔は醜いが

性質がよくて交渉に都合がよい。●旗色が悪い。

形勢が悪い。官司漸漸——訴訟の形勢が段段

悪くなる。

パイ ビヌシエク歹面色。顔色が悪い。血色が悪い。

パイ ビヌチウ歹面像。悪い人相。人相が悪い。

パイ ビヌチエンキア排面前整。人前を飾る。表面

を取繕ふ。外見を飾る。虚飾。見せかける。賢

——同上が上手である。

パイ ビア歹癖。痲癩。痲癩持。怒っぽい。起——

痲癩を起す。未曾未講一直——起來未

。だ言はぬのに直ぶん怒出す。

パイ ビアパイ歹癖歹片。【歹癖片】。

パイ ビアパイ歹癖歹片。前に同じ。

パイ ビアパイ歹癖片。【歹癖】。

パイ ビアパイ歹癖片。前に同じ。

パイ ビイ排比。配置。手配。安排。料理——同上。

——俾伊好勢。うまい工合に安排する。由在

你——君のするが儘に任せる。

パイ ビイ歹病。悪病。悪疾。

パイ ビイウイ敗脾胃。胃を害する。

パイ ビイキイ歹脾氣。悪い癖。癖が悪い。——

欠錢無愛還。悪い癖で借れた金を還さうとも

パイ ビイキイ歹脾氣。前に同じ。 「しない。

パイ ビエツ拜別。暇乞。告別。

パイ ビエツ排別。並べ分ける。飾って並べる。整頓す

る。店頭——去眞好看。店先が綺麗に飾立て

である。

パイ ビエヌ牌匾。店の入口に掛けた家號の額。看板。

パイ ビエン排兵。兵を並べる。兵を整列する。——

布陣。兵を配し陣を布く。

パイ ビエン敗兵。敗兵。落武者。——之將。不敗

言勇。敗軍の將は敢て勇を語らず。

パイ ビア拜表。表を奉る。奏文を奉る。上朝——

パイ

パイ

パイ

パイ

朝廷てうていに上あつて奏文そうぶんを奉たてまつる。

パイピロ 牌票。鑑札。表札。

パイピツ 敗筆。●文字の書損。●悪筆。拙い筆跡。

——假老手かりやうて|| 悪筆老手あくひらてを似せる。

パイピツ 歹筆。悪い筆。悪筆。

パイピヌ 歹品。【歹款】の②。

パイピヌ ヒエン 歹品行。悪い品行。

パイファイ 歹血。悪血。悪血。悪血。

パイフヌ 歹份。割が悪い。

パイブヌ 反文。【反文】。

パイブツ 拜佛。佛を拜む。

パイブヌ 拜本。次に同じ。

パイブン 拜榜。表を奉る。上奏。上朝——朝廷

に上のぼつて奏文そうぶんを奉たてまつる。

パイヘエ 歹貨。悪い品。

パイヘエ 敗馬。●脱線する。火車——汽車が脱線

する。●失敗する。敗れる。案件若——就害||

若し訴訟事件が取訴になれば困る。

パイヘエ 歹馬。駄馬。悪い馬。——亦有一歩蹉||

駄馬も又一つの蹉る法を有す、一寸の蟲にも五分

の魂たましひ。

パイペエ 排白。必ず。きつと。——能来——必ず来る。

パイペエ 派胚。豫想。豫期。無——伊不來——来ない

パイ

とは豫期よきしなかつた。

パイペエ 歹皮。●悪い革。●毆たたかれる目に遇ふ意、

困る。不聽嘴ふりみ你能——言ふ事を聞かぬとお

前は後で困る様な目に遇ふ。被警察掠去你就

——警察に捕へられたらそれこそお前は困る

パイホアイ 徘徊。【歹】徘徊。

パイホアイ 敗壞。壊亂する。毀損する。——風俗

|| 風紀を紊す。風俗を壊亂する。——名聲|| 名

譽を毀損する。

パイホエ 拜會。面會。面調。訪問。尋る。

パイホエ 徘徊。【歹】徘徊。徘徊する。

パイホエ 歹貨。【歹貨】。

パイホエ カウチイ 歹花厚子。——歹人厚言

語|| 惡花實多く惡人言多し。

パイホヲ 拜賀。【歹】拜賀。

パイホク 拜復。【歹】敬復。拜復。

パイホク 拜伏。拜伏。——在地|| 地に拜伏する。

パイホク 拜服。敬服。感服。拜服。降参。——伊的

才情|| 彼の才能に敬服する。

パイホン 歹風。惡風。難風。

パイホン パイシホク 敗風敗俗。風俗を壊亂する。

パイボヲ 牌帽。帽子の一種。

パイボン 拜喜。墓参。

パイ

パイボン 敗亡。敗亡。

パイボア 擺撥。●一時借。一時貸。●神明——神

に災難避を祈る。

パイボア カア 背半脚。肩から吊す。

パイボエ 反背。【同】いびつ。不揃。歪む。

パイボエ 派胚。【歹】派胚。

パイボエ ジイ 排八字。●占に年月日時刻の干支を並

べる。●品定をする。磕——着要共人——

ともすると人を彼此と批評する。

パイボオ 擺布。計略にかける。謀つて害する。人を

計る。被奸臣——奸臣の讒言などによって陥

れられる。——無事|| 神佛の力によって災厄罪

障などを被ひ無事にする。

パイボオ 擺布。【同】前に同じ。

パイボク 敗北。【歹】敗北する。敗れる。

パイボヲ 派胚。【歹】派胚。

パイミア 敗名。名を穢す。聲價を落す。名を敗る。

——失節|| 名節を失ふ。

パイミア 歹名。悪い名。悪い評判。

パイミア 歹命。悪い運命。微運。薄命。不仕合。不

運。——歹篤|| 非常に不運な。——受苦|| 薄命

で苦難を受ける。

パイミア シア 敗名聲。【敗名】。

パイミヲラン 歹命人。不運な人。――没堪得好

命不仕合の人は幸福に暮得ない。

パイミイ 歹物。●悪い物。――無愛買。悪い物は買

度ない。●花柳病などの出来物。生――同上

が出来来る。●悪人。悪者。此號――着教乖即

應該然。こんな悪い奴は懲りてやるのが當

パイミイ 背物。物を負ふ。 「前だ。

パイムン 歹物。(愚)「歹物」。

パイライ 擺擺。【擺擺】。

パイライ 拜拜。【拜拜】。

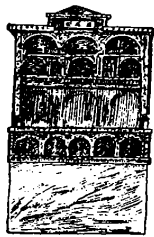
パイライ 排排。【排排】。

パイライ 敗敗。【敗敗】。

パイライ 歹歹。(臭)「歹歹」。

パイライ 派派。【派派】。

パイライ 牌樓。人形芝居



樓牌

パイラウ 舞臺。の舞臺。

パイラム 拜覽。(又)拜覽。拜觀。拜見。

パイラン 擺人。貸す。人に暫時貸す。

パイラン 歹人。悪人。悪い人。悪者。奸物。曲者。

――黨。悪徒。悪黨。――起閉去。悪人を退け

る。與好人行有布可經。與――行有子可

生。女は善人と交れば織るべき布が出来るが、悪

人と交れば私生児が出来る。――子兒。好人成

持。悪人の子も、善人の保育で好くなる。――

没出好子孫。悪人に好い子孫が出来ぬ、瓜の

蔓に茄子はならぬ。 「敗する。

パイリアウ 敗了。財産など使果す。失す。失ふ。失

パイリアム ビヌ 歹臉面。體面が悪い。面目が悪い。

パイリエツ 排列。並べる。排列。陳列。整列。

パイリエン 拜領。頂戴する。頂く。 「拜む。

パイリエン 拜靈。【安靈】してある靈を拜む。位牌を

パイリヌツン 反輪轉。(同)覆へる。顛倒する。倒さ

パイルツ 排律。(又)排律。 「まになる。

パイロオ 敗露。露見する。ばれる。事情――事

パイロオ コアヌ 拜路關。【做功德】の式の一。

パイロン 擺弄。煽動する。唆す。煽動する。

パウ パウ

パウ包。(姓)包。

パウ包。●姓。包。●包。袋。書。本の包。票。一

金の包。煙。煙草入。――一包。一袋。●

包む。圍む。一書。本を包む。被敵軍。住

敵軍に圍まれる。頭尾。――前後を取圍む。●獨

占する。話。得自己講。自分獨で占領して饒

舌る。一在賣。獨占して賣る。專賣。一房。芝

居の棧敷など借切る。一査某。女を圍ふ。●請

合ふ。請負ふ。引受ける。一橋。仕事を請負ふ。

一工。入夫を請負ふ。一醫。治療を引受ける。一

你能用得。必ず出来ると請合ふ。●借賭遊。猜

拳などの場合に相手の違法を罰する。一錢。罰金

をとる。一酒。罰杯を飲ませる。掠。違法を指

パウ鮑。(鮑)鮑。一魚。同上。 「摘する。

パウ胞。巨胞。同。一兄。同胞の兄。一弟。同胞の弟。

パウ密。●物を突破して出る。突出す。突出る。一齒。反齒。一猪。哥牙。八重齒が突出る。一芽。芽が出る。一藥。同上。●企。などばれる。發。同上。●事。若。出来就害。秘事がばれると困る。●腫物。など出来る。一粒。仔。同上。

パウ。【鮑】。

パウ。【鮑】。

パウ。【鮑】。

パウ。【鮑】。

パウ。【鮑】。

パウ。【鮑】。

パウ。【鮑】。

パウ。【鮑】。

●魚の卵。風などを潰す音。ぶつり。ぽつ

り。風母卵觸着。一。下。風の卵を潰すとぶ

つといふ。●齒切が悪い。かりかりしない。藏

久的土豆仁食了。――久しく仕舞って置いた

パウ

南京豆はかりかりしない。

パウ質【質】。

パウ電【電】。

パウ跑 疾走する。駢ける。一馬射箭馬に乗って駢ながら矢を射る。馬術と弓術。下性命一

一生懸命に駢廻る。●持逃。逃込む。費消する。一頭家的錢主人の金を持逃する。一王爺馬親王の馬に乗って駢ける。官金など費消するをいふ。一人的錢人の金を費消する。

パウ破 油で揚げて膨らせる。一魚鱧魚の浮袋を油で揚げる。一肉皮豚の皮を油で揚げる。

パウ袍 【長衫】の袷又は綿入に仕立てたもの。袍。長

一同上。袂一袷の袍。

パウ炮 大砲。一臺砲臺。臺場。大砲。開花一爆裂弾を打つ大砲。一門一砲一門。●爆竹。放一爆竹をする。松膠一松脂のつ

いてゐる大な爆竹。

パウ泡 茶、漢藥などに湯を注込む。振出す。一茶一茶を入れる。一藥一薬を振出す。

パウ電 【電】。

パウ胙 子供、草木などよく發育したさま。色艶よく生長したさま。ふくよか。ふっくり。団仔眞一子供が同上。稻仔不止一稻がよく發育してゐる。

る。花開了眞一花がふっくりと開いた。

パウ抱 抱へる。抱く。一頭鼠竄一頭を抱いて逃げる。尾を捲いて逃げる。一怨一怨を抱く。一新思想一新しい思想を抱く。

パウ泡 主に子供にできる腫物の一種。吹出物。熱一

一同上。起一吹出物が出来る。

パウ電 電。霰。落一霰が降る。

パウアア包仔。豚肉の團子を餛飩粉の皮で包み蒸したものの。肉餡の饅頭。

パウアア包餡。餡を包む。●傷口など外皮のみ癒えて内部が化膿する。粒仔一腫物の中が化膿する。

パウアア炮仔。爆竹。放一開正一爆竹を鳴して年始の祝をする。

パウアアヲエ包仔鞋。軟い布で底を作った小兒の

パウアアギヌ包仔銀。(童)【包仔銀】。

パウアアクヌ包仔猪。婦人の袴の一種。

パウアアグヌ包仔銀。中味の悪い銀貨。悪貨。

パウアアグヌ包仔銀。前に同じ。

パウ

パウアアシム炮仔心。爆竹の心。花火線香。線香

花火。口薬。

パウアアベエ包仔襪。袋の様で底の形の無い靴下。

パウアアリヌ包仔乳。小さく引締った乳房【布袋乳】に對す。

パウアヌ包案。辯護士などが訴訟に勝つことを保証する。勝訴になることを請合ふ。

パウイア包贏。勝つこと請合。きつと勝つ。此號案件一こんな事件ならきつと勝つ。

パウイイ包醫。病の治るまで一定の金額で醫治を受ける。着十二元即要一報酬が十二圓でなければ醫治を受けない。

パウイイ胞衣。(又)胎盤。胞衣。後産。一不下一後産が下りない。

パウイイ空藥。芽が出る。

パウイオン抱養。(又)抱き育てる。養子にする。

パウイ泡藥。薬を振出す。熱湯を入れて薬を出す。

パウウイ包衣。袋子。

パウウイ胞衣。胎盤。胞衣。

パウウイ包圍。取圍む。包圍。

パウウヌ包穩。屹度。必ず。一來一屹度来る。你一輸一貴方は必ず負ける。

パウオンイアベエ跑主爺馬【王爺】の馬を盗ん

採みて患部に貼用す。

科、黄熟したる果實は食用となり、全草を煎服すれば消毒・解熱の効あり、又毒蛇咬傷の際莖・葉を

採みて患部に貼用す。

科、黄熟したる果實は食用となり、全草を煎服すれば消毒・解熱の効あり、又毒蛇咬傷の際莖・葉を

採みて患部に貼用す。

科、黄熟したる果實は食用となり、全草を煎服すれば消毒・解熱の効あり、又毒蛇咬傷の際莖・葉を

採みて患部に貼用す。

パウ

パウアアシム炮仔心。爆竹の心。花火線香。線香

花火。口薬。

パウアアベエ包仔襪。袋の様で底の形の無い靴下。

パウアアリヌ包仔乳。小さく引締った乳房【布袋乳】に對す。

パウアヌ包案。辯護士などが訴訟に勝つことを保証する。勝訴になることを請合ふ。

パウイア包贏。勝つこと請合。きつと勝つ。此號案件一こんな事件ならきつと勝つ。

パウイイ包醫。病の治るまで一定の金額で醫治を受ける。着十二元即要一報酬が十二圓でなければ醫治を受けない。

パウイイ胞衣。(又)胎盤。胞衣。後産。一不下一後産が下りない。

パウイイ空藥。芽が出る。

パウイオン抱養。(又)抱き育てる。養子にする。

パウイ泡藥。薬を振出す。熱湯を入れて薬を出す。

パウウイ包衣。袋子。

パウウイ胞衣。胎盤。胞衣。

パウウイ包圍。取圍む。包圍。

パウウヌ包穩。屹度。必ず。一來一屹度来る。你一輸一貴方は必ず負ける。

パウオンイアベエ跑主爺馬【王爺】の馬を盗ん

採みて患部に貼用す。

科、黄熟したる果實は食用となり、全草を煎服すれば消毒・解熱の効あり、又毒蛇咬傷の際莖・葉を

採みて患部に貼用す。

科、黄熟したる果實は食用となり、全草を煎服すれば消毒・解熱の効あり、又毒蛇咬傷の際莖・葉を

採みて患部に貼用す。

科、黄熟したる果實は食用となり、全草を煎服すれば消毒・解熱の効あり、又毒蛇咬傷の際莖・葉を

採みて患部に貼用す。

で取出す、人の金を持逃す。人の金を費消する。
歹辛勞不時——悪い雇人は常に主人の金を同上する。

パウヲアヌ抱怨。怨を抱く。恨む。遺恨に思ふ。

パウカン包工。仕事を請負ふ。人夫の請負。

パヅキイ密齒。反齒。出齒。出齒。

パウキエン包莖。(又)包莖。皮被。

パウキム包金。金を着せる。金着。

パウクヌ包巾。頭を包む布。頭巾。

パウクヌ包君。兒童の遊戯の名。

パウクヌ包網。包んで縛る。——行李——行李を同上。

パウケエ砲架。大砲の臺。砲架。

パヅゲエ密芽。芽が出る。

パヅゲエ密牙。反齒。出齒。出齒。

パウコア袍襖。【長袍】と【馬襖】。靴帽——長靴。帽子及び同上の禮裝。

パウコアツ包括。包括する。引括めてまとめる。包含する。——在內——引括めた中に含まれてゐる。包含されてゐる。

パウコアヌ包管。請合ふ。引受ける。——你能用得——君で出来るといふことを請合ふ。——你無事情——君に問題の起る様な事は無いと請合ふ。

パウココ包裹。(急)次に同じ。

パウコロ包裹。風呂敷包。包。袱紗包。行李——行李と風呂敷包。

パウコヲア包青炒。阿片を吸ふ時前の吸殻に新しい阿片を混ぜてランプの火で焙ること。「る。

パウサイ包載。運送を請負ふ。運送を一手に引受け

パウサイジイ包載字。船頭が荷主に對して發する貨物船積受負證書。(運賃及び紛失・毀損の場合の賠償などを記載せるもの)。

パウサイライ包在內。含む。中にこめる。内に這入っている。貨價以外運賃亦——品物の價の外に運賃も含まれてゐる。

パウサウ跑走。①駈廻る。駈て逃げる。四界——四方を駈廻る。②持逃す。——人的錢——人の金を持逃す。

パウシア砲城。四角に組んだ竹に爆竹を結附けたもの、儀式祭禮の時に用ふ。仕掛花火。頓——群衆をして同上に爆竹を投げつけ火せしめる儀式。結——棒の先に爆竹をしかける。

パウシアウ包賤。會計事務を引受ける。

パウシウ炮首。大官の出入する際に鐵砲を打つ人。

パウシウ炮手。砲手。砲を打つ人。砲兵。

パウシウキウ抛繡毬。【繡毬】を投げて夫を選ぶ。

パウシオク胞叔。父の弟。叔父。

パウシオン炮傷。銃創。

パウシッ包穢。仕事を請負ふ。

パウスイ包嘴。包莖。皮被。

パウスウロン飽私囊。私腹を肥す。「る。

パウスヌ包紋。花瓶の口などの縁が内部に窄まって

パウスン包算。勘定の請負。

パウモエ包册。本を包む。

パウモエリイッウ抛妻離子。妻子を棄てる。

パウワア包紙。紙に包む。①包紙。

パウタイ包胎。袋子。

パウタイ炮臺。砲臺。臺場。

パウタウ包頭。①包。風袋。大——大なる風袋。——生理——乾物など一定の量を包として賣る商賣。——店——一定の量を包として賣る乾物屋など。②請負師。

パウタウチイツアヌ抱頭鼠竄。(準)次に同じ。

パウタウツウツアヌ抱頭鼠竄。頭を抱いてそこそそと逃げる、恥しくて座に堪へざる意。

パウタウツウツアヌ抱頭鼠竄。(準)前に同じ。

パウタン包銅。①銅を中に包む。②銅に銀を着せた

パウチイ胞姉。姉。

パウチイ包錢。①金を包む。——共伊賀——金を包んでお祝をする。②金錢事務を扱ふ。

パウチイ包錢。①金を包む。——共伊賀——金を包んでお祝をする。②金錢事務を扱ふ。

パウ

パウ

パウ

パウ

パウチイ 跑錢。金を持逃する。金を取逃する。
 パウチイ 炮子。大砲の彈丸。砲彈。砲丸。
 パウチイキウ 拋刺毬。【童毬】が【刺球】を弄する。
 パウチウ 包酒。罰杯を飲ませる。
 パウチウ 炮手。炮手。
 パウチウ 炮墻。城壁の外面に突出して大砲を打出す所。
 パウチエウ 胞叔。(父の弟)叔父。叔父。
 パウチオンテ 包種茶。包種茶。山梳。茉莉などの花で香氣を附けた茶。「する。
 パウチエヌ 泡天。(又) 氾濫。大水——洪水が氾濫する。
 パウチツ 胞姪。兄弟の子。甥。
 パウツウ 包書。本を包む。
 パウツヌ 炮船。軍艦。砲艦。
 パウツン 包粧。包裝。包。
 パウツン 炮瘡。砲瘡。
 パウツンカン 包粧工。煙草・茶などを包裝する、又は其の職工。
 パウツイ 炮隊。砲兵隊。
 パウマン 包糖。砂糖を包む。
 パウテエ 胞弟。實弟。同母弟。弟。
 パウテエ 包胎。袋子。包胎。
 パウテエ 泡茶。茶を入れる。茶を出す。
 パウトア 包單。【包載字】。

パウ

パウトオツウアヌ 抱頭鼠竄。【抱頭鼠竄】。
 パウトラ 袍套。官人の着る大禮服。
 パウニア 包領。請合ふ。引受ける。受持つ。——能く成功し成功を請合ふ。一人——一項し一名一つの仕事を受持つ。
 パウハム 包含。●包含。包括。含む。——真多意思し澤山の意味を含んでゐる。●曖昧。講話——話が曖昧な。
 パウハム 抱憾。(又) 遺憾に思ふ。
 パウハン 包行。專賣。一手販賣。這不是——買賣しこの品物は同上の様に獨で値段を極めるものでない。
 パウパウ 包包。【包】の(●)(●)(●)。「はない。
 パウパウ 窰窰。【窰】。
 パウパウ 皎皎。【皎】。
 パウパウ 胖胖。【胖胖】。
 パウパウ 跑跑。【跑】。
 パウパウ 破破。【破】。
 パウパウ 泡泡。【泡】。「る。
 パウパウ 胖胖。白——肌が白くふつくりと肥えてゐる。
 パウパク 包賤。●一手で小作する。伊的田園我在——彼の田畑は皆私が一手で小作してゐる。
 ●一手に請負ふ。一手に引受ける。一手に買込む。專賣局的酒糟我在——專賣局的酒糟は私

パウ

が一手に引受けてゐる。●自由をさせない。束縛する。——我沒住——私を束縛して置くことが出来ない。
 パウパヌ 包辦。引受けて取扱ふ。一手で請負ふ。一手に引受ける。此隻船の廚房我在——この船の炊事は私が一手に請負つてゐる。
 パウパン 包房。芝居の機數などを借切にする。
 パウヒア 胞兒。實兒。同母兒。兒。
 パウヒイ 鮑魚。【鮑魚】。
 パウヒイ 庖犧。(鮑) 庖犧。
 パウヒイ 鮑魚。鮑。干鮑。
 パウヒイ コエ 鮑魚雞。干鮑に鶏肉を取合せた料理。
 パウヒイ サン 鮑魚鬚。鮑鬚。
 パウヒイ イシム 鮑魚刺參。鮑・海鼠等を材料として煮た料理。
 パウヒイ チエン 鮑魚筊。(煎) 器物を擦洗ふに用ひるもの。たはし。
 パウヒイトオ 鮑魚肚。鮑に豚の胃を和して煮た料理。
 パウヒエン 胞兒。實の兒。「理。
 パウビイ 包庇。庇ふ。庇護する。不論好歹定定爲伊——善惡に拘らず常に彼を庇ふ。
 パウビエン 炮兵。砲兵。
 パウフイ 拋荒。(擲) 【拋荒】。

パウフウ 鮑魚。(同) 【鮑魚】。

パウフウ 抱負。(文) 抱負。

パウフヌ 抱恨。遺恨に思ふ。怨を抱く。――冲天。

怨恨天に冲する。非常に恨む。

パウフチ 鮑魚。(魚) 【鮑魚】。

パウフリヌ 抱恨。(魚) 【抱恨】。

パウヘエ 砲火。(國) 砲火。

パウベエ 包買。(魚) 【包買】。

パウベエ 胞妹。(魚) 【胞妹】。

パウベエ 包賣。(魚) 【包賣】。

パウベエ 跑馬。馬を走らせる。馳驅。行船。――無三分命。航海と馬乗は三分の命もない。非常に危

険な。パウベエ コアヌ 跑馬圈。競馬のレースの道。【險な

ら矢を射る。馬術と弓術。パウベエ シアチイ 跑馬射箭。馬に乗って駈けなが

ら矢を射る。馬術と弓術。

パウベエ 手ウ 跑馬場。競馬場。

パウベエ 包弊。不正なことが含まれてゐる。疚しい

事が潜んでゐる。事的内中有一在得。事の

中に同上してゐる。

パウベエ 胞伯。父の兄。伯父。伯父。

パウベエ 包皮。●皮で包む。●上包。包皮。

パウホアツ 砲法。砲術。

パウホエ 砲火。(魚) 【砲火】。

パウホク 包袱。風呂敷包。包。在生不樂。死了共

鬼捨。――生前に樂ます死後包を提げて鬼の御

件をする。守銭奴を嘲る語。

パウホクヌ 包袱巾。風呂敷。袱紗。

パウホクペエ 包袱背。(魚) 脊に出来る纏。

パウホクペエ 包袱皮。風呂敷。袱紗。

パウホン 包封。包装する。包む。――買賣。包装の

儘賣買する。

パウホオ 砲火。(魚) 【砲火】。

パウボエ 包買。一手で買ふ。講買の請負。

パウボエ 包賣。專賣。一手販賣。

パウボラ 包保。請合ふ。保証する。責を負ふ。你若

敢。――錢我敢借伊。あなたが敢へて保証する

なら私は金を貸してやる。――能成功。成功す

ることを請合ふ。

パウムイ 胞妹。實の妹。妹。

パウモエ 胞妹。(魚) 前に同じ。

パウモオ 包膜。膜で包む。

パウラウ 包包。【包包】。

パウラウ 窰窰。【窰窰】。

パウラウ 窰窰。【窰窰】。

パウラウ 窰窰。【窰窰】。

パウラム 泡泡。【泡泡】。

パウラム 包攬。引括めて請負ふ。手に受ける。一手

で引受ける。――賣。一手販賣。專賣。我總

――私は總てを皆引受ける。――詞訟。三百代

言などが訴訟を一手に引受ける。訴訟を教唆し

金錢を取る事。

パウラム 炮艦。砲艦。

パウラン 跑人。人の財物を着服したり費消したりす

る。四界去。――方方へ行つて同上。

パウリアア 窰粒仔。腫物が出来る。

パウレエ 包禮。●包金。お拵。●お禮の金を包む。

――給伊。金を包んで彼に與へる。お拵を彼に

遣る。

パウロアヌ 飽暖。(文) 思淫慾。貧窮起盜心。衣

衣食に飽きると淫慾を思ひ、貧窮になると盜心

を起す。

パウロオ 跑路。道を駈けて走る。遠い道を歩く。――

跑慣勢。同上に慣れてゐる。

パウロン 脾臟。(を) 陰囊。

パクパク

幅。●(性) 幅。●(掛物などを數へる語) 幅。軸。

巻。――一字畫。一幅の掛物。大。擦。大幅の掛

パウ

パウ

パク

軸。一布一巻の布。

腹。●(性)腹。●腹。一肚同上。下二下腹。

●中腹。山一山の中腹。樹一木の幹。●物

の中身。寒一寒の中身が一杯になつてゐる。空一

中身が空。空腹。乳大一乳が一杯に張つてゐ

る。鼓吹噴了不止大一息を一杯に張つて喇

叭を吹く。●筒。管。大一銃一口径の大銃。

煙吹一煙管の管。

北。北。北方。東西南一東西南北。一勢一北の

方。上二北方へ上る。上力へ上る。春南夏一

無水可磨墨一春の南風と夏の北風とは天氣が

續いて墨を磨る水も無くなる。

腹。腹する。辯駁する。一話骨一言葉尻を捕へて

反駁する。有情理一到無情理一理窟のある話

が辯駁されて屁理窟になる。

割。●割く。折く。割く。一皮一皮を割く。一蔗

箒一甘蔗の茎に巻付いてゐる皮を割く。●脱す。

取外す。脱ぐ。一手指一指輪を脱す。一衫一着

物を脱ぐ。一機器一機械を取外す。●強奪する。

強取する。強擯一人的錢一強盗が人の金を強奪

する。一百姓一人民から金を強奪する。

縛。●縛る。括る。結べる。括る。繫く。一犯人

犯人を縛る。一緊一緊く縛る。被妻子一住一

妻子に縛られてゐる。一死死一束縛されて自由

が出来ぬ。●綴合せなどして作る。一籠床一蒸籠

を作る。一棕蓑一蓑を作る。●碗箸など數へ

る語)束。括。一一碗一一括の茶碗。一箸一

一束の箸。一柴一薪一束。

賤。使用収益の目的を以て賃借する。賃貸する。

一田一田を小作する。對伊一彼から賃借する。

彼より請ける。船一伊一船を賃貸する。一査某

一女を抱へる。一戲一芝居を買ふ。一査某做娼

妓一女を抱へて娼妓にする。

覆。俯く。俯く。伏す。一笑一俯と仰。一在眼

一俯に寝て居る。店能一落來一店が傾く。店が

倒れる。公婆一狗屎一先祖の位牌が犬の糞の上

に俯く。祖先を祭る金がない程に貧乏する。

楸。門一扉軸又は貫木を差込む孔ある臺木。

頂一下一扉の軸を差込む孔ある上と下との臺

木。楹一母屋桁を支へる木。轉止。

曝。乾す。日に晒す。一衫一着物を乾す。風吹日

一風雨に晒す。一菜箸一切乾を乾す。

アア 楸仔。〔根〕。

アア ケ 北仔客。北方の客。支那の北部地方の

アア ピア 北仔癖。支那北部地方の人の性質、猛

猛しく怒る質。伊有一個一彼は同上をも

つてゐる。

アア アア 縛緊緊。固く縛る。

アア イアム 曝曬。潮を天日に曝す。天日製鹽。

アア イウ 北洋。一北洋。一北方。

アア イヨ 覆腰。老人など腰が曲む。蝦腰。

アア イム 北音。支那北方の言語の音。北京語の音。

●〔北管〕の音楽。

アア ヲア 覆碗。茶碗を伏せる。

アア ヲエ ヲエ 駁話骨。言葉尻を捕へる。舉足を取る。

アア カア 縛脚。纏足。要上輪即一花塚が輪に

乗らんとする時になつて纏足する。泥棒を捕へて

繩を綱ふなど。要嫁即一嫁に行く時になつ

てから纏足する。同上。

アア カア ヲエ 縛脚鞋。纏足の女の靴。

アア カウ 北郊。上海・天津等北支那地方と管界をす

る間屋。一の地方。

アア カウ ゴア 北口外。支那の西北境外。新疆伊犁

アア カク 剥壳。穀又は皮を剥く。皮が剥ける。

アア カン マア フオ 北港媽祖。一應外郷一

北港の媽祖は他郷の者に御利益がある。其地の者

には却つて薄い。

アア ガク 北嶽。北嶽。山西省の恒山。

アア キア 北京。北京。

パグ キイクツ 縛枝骨。①紙蒿などの骨を縛って組立てる。骨子をつくる。先——即糊風吹。先づ同上して紙を貼って紙意をつくる。②尻押をする。采配を振る。

パグ キエツ 北極。北極。

パグ キエツ 北極星。北極星。

パグ キエン 賤耕。農業又は牧畜等を目的として土地を小作すること。小作。賤耕。(主として田畑に關して用ふれども鹽田・養魚池、又稀には山林・原野に關して用ふることあり)。

パグ キエン コア 又 賤耕權。賤耕權。(工作物又は竹木所有の爲にする存續期間二十年以上の賤耕權は地上權に類し、耕作又は牧畜の爲にする存續期間二十年以上の賤耕權は永小作權に類し、又以上に該當せざる二十年以下の賤耕權は賃借權に類す)。

パグ キエン ジイ 賤耕字。小作契約書。土地の賃借證書。【賤耕】參照。

パグ キエン テア 賤耕者。小作人。土地の賃借人。【賤耕】參照。

パグ キエン リアウ 賤耕料。小作料。【賤耕】參照。

パグ クウチエン 覆龜亭。①迴廊。渡廊下。②門前にある小亭。

パグ クツ 剝骨。骨を抜取る。骨抜き。

パグ クンクン 剝光光。剝取る。裸にする。剝出。

パグ ケエ 縛髻。髻を結ぶ。髻を結ぶ。

パグ ケエ 北客。北方の旅客。

パグ コア 曝干。日に乾す。無可生食到可——生で食べるのにさへ不足なのに乾物にするものがあらうか、不足で餘裕がない意。

パグ コアラウ 八卦樓。八角堂。

パグ コア 又 北管。歌曲【南管】の①に對して稱する歌曲の流派にて其の開祖を【西秦王爺】といふ。此の流派に屬する曲の名は【西皮】【二簧】【刀子】【緩板】【緊板】【哭板】等にして之を【西路】と稱し主として竹製の胡弓を用ふ。

パグ コエ 北瓜。【金瓜】の①。

パグ コラ 腹稿。腹稿。

パグ サア 剝衫。強盗などが着物を剝取る。

パグ サア 曝衫。着物を乾す。

パグ サイ 縛柴。薪を縛る。薪を束ねる。

パグ サイ 腹臍。臍。

パグ ザヌ 賤田。田地を小作する。

パグ ザン 縛髻。髻を作る。

パグ ザン 縛粽。茅卷を括る。茅卷を拵へる。

パグ シア 剝削。誅求する。搾取する。——民財。民の財を搾取する。

パグ シイ 北勢。①北の方。②上海・天津などの北方地方。上方。——的網緞。同上の絹織物。

パグ シイシイ 縛死死。動けない程に緊く縛る。被事務——事務に束縛される。

パグ シツ 樸實。(又)質朴。質素。素樸。

パグ シヌ 縛身。衣服などで身がしまる。窮屈。穿了真——着ると非常に窮屈だ。「日干」。

パグ ジツ 曝日。日に乾す。日に晒す。日に當てる。

パグ スヌチエン 覆順亭。覆龜亭。

パグ セエ 賤稅。質貸借。質貸借。

パグ ソア 覆山。【巡山】。

パグ ソオ 樸素。(又)質素。質朴。素樸。

パグ ツヲ 賤作。小作。

パグ ツヲ 覆槽。瓦屋根の瓦の伏さつてゐる部。【笑槽】の反對。

パグ タア 曝乾。干して乾す。干す。乾す。

パグ タイ 北帶。夏至線。

パグ タウ 北斗。①北斗星。——星。同上。——註死。南斗註生。北斗星は死を司り南斗星は生を司る。——星君。北斗星の神。②棋の名。約五・八五斗に當る。

パグ タウ 北豆。北支那に産する豆。

パグ タウ 北頭。北の方。

パグ タウ 縛頭。女形の役者が女の様に頭を作る。

パグ タウ 北斗星。北斗星。

パグ タウ トヲ 剃頭刀。(動) 剃。

パグ チイ 縛只。【金銀紙】を一帖宛縛る。

パグ テウ 覆手。手を伏せる。高一—手を伏せた厚さ位高い。一—水—同上の深さの水。一—

珍食—手を伏せて稼ぐ、醫者になる意、脈を取る時手を伏せるによりいふ。

パグ チヲ 北蕉。【芭蕉】の一品種。

パグ チヲ 北右。青砥。

パグ モヲ 覆笑。●仰と俯。●一厘錢を回轉せしめ手で押へ裏か表かを言當てる賭事。

パグ チア 北錠。厦門附近にある島の名。

パグ チア 覆鼎。●鍋を伏せる。●伏せて物を焼く鍋。

●半球形の小山。

パグ チアウ 北朝。北朝。

パグ チアウ 北調。●北京語の調子。北方の調。●曲

パグ チアウ 縛住。●括付ける。括附ける。結付ける。

●【縛死】。

パグ チアウ 縛住佳。●しつかり括付ける。●

【縛死】。

パグ チエヌ 購佃。小作させる。小作に出す。

パグ ツウ 曝書。書物を干す。曝書。「る。

パグ ツウ 曝出。小作に出す。家屋又は土地を賃貸す

パグ ツウ 北船。支那の北方から来る船。

パグ ツウ 縛船。船を繋ぐ。

パグ ツウ 購船。一定の期間船を賃借する。

パグ ツウ 腹腸。●腹。●同一生出來的—同じ腹か

ら出たもの。●頭腦の働。智慧。頭。一—真好—頭が好い。浅—浅はかな考。浅慮。無—智慧がない。

パグ テエ 覆地。地に伏す。一—虎—四つ這になる。

パグ テエ 剝楊楊。【剝光光】。

パグ テエ 剝地皮。民の膏血を絞る。一—的官—同上の官吏。

パグ トエ 剝地皮。前に同じ。

パグ トオ 腹肚。腹。お中。一—縮絞痛—腹が絞る様に痛い。胃痙攣。一—脹緊—腹が突張る。一—

脹—腹が脹れる。一—撐撐—ぼつてりとした腹。一—貯牛肉嘴誦阿彌陀—腹に牛肉を貯へて

口に南無阿彌陀佛を唱へる、腹では素敵な事を考へながら口では殊勝なことを言っている。一—

飽脹—腹が張る。大—孕む。一—飽飽—

腹が一杯だ。一—與尻脊相搭—腹と脊とが附

着相な、瘡てゐる。一—貯没住—堪忍袋の緒が切れる。腹蟲が承知しない。一—暈暈—

腹がくうくうと鳴る。一—内無半點墨水—腹に半點の墨もない、無學の意。一—是無底深坑—腹は底のない深い穴、食物が何程でもはいる。一—内紡車仔輪—腹の中で絲車が廻っている、

心の中が煮返るなど。

パグ ハイ 北海。北海。

パグ ハイ トヲ 北海道。北海道。

パグ パア 曝犯。肉など干固める。

パグ パア 曝駭。【駭】。

パグ パア 剝剝。【剝】。

パグ パア 縛縛。【縛】の(一)(二)。

パグ パア 曝曝。【曝】。

パグ パア 曝曝。【曝】。

パグ ヒエ エ 曝曝的。芝居の勸進元。

パグ ヒエ ヌ 北絃。支那の北方の胡弓。

パグ ヒエ 北邊。北邊。北の端。

パグ ビエン 腹反。吐きさうになる。嘔吐。食着

酒—直要—悪い酒を飲むと逆く。

パグ ビエン 北旁。北の方。北方。

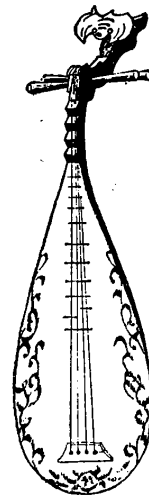
パグ ビエン イウ 北氷洋。北氷洋。

パグ フシ 北方。北の方。北方。

パグ ヘエ 北貨。北の方から来る貨物。

パグ ベエ アア 賤馬仔。娼妓などにする爲に女を年期で買ふ。年期で女を賣る。

パグ ペエ 北琶。【北管】に用ひる琵琶。【南琶】に對す。



琵琶 北

パグ ペエ 剥皮。皮を剥く。皮を折ぐ。――袋粗糠。皮を剥いて粗敷を盛る、刑罰の一種。

パグ ペエ ホオ 覆杖虎。俯に倒れる。四這にのめる。つんのめる。

パグ ホオ 縛虎。――容易。縦虎難。虎を捕ふるは易く虎を放つは難し。

パグ ホン 北風。北風。朔風。

パグ ホン ヲア 北風埃。北風を避けられる灣。

パグ ボエ 賤買。一手で買受ける。買締める。

パグ ボオ 覆模。漢字のハ冠。――仔頭。同上。

パグ ボア 腹破。腹が破れる。想到要。――腹が破れる程に考へる。

パグ ボア キウ 北半球。北半球。

パグ ボエ 剥皮。(巻)【剥皮】。

パグ ポオ 北部。(國) 北部。

パグ ポオ 曝布。布を晒す。布晒。

パグ ポオ 剥皮。(巻)【剥皮】。

パグ ムン 北門。北門。

パグ モオ 腹膜。(國) 腹膜。――炎。腹膜炎。

パグ ライ 腹内。腹の中。腹中。――空。虚。空腹。虚弱。無慮。――實實。腹が癢る。愚圖。――有翻車。腹の中で車を翻す。變通が利く意。――肝や腸。臍物。猪。――豚の臍物。雞。――鶏の臍物。

パグ ラク 駭駭。(國) 駭駭。

パグ ラク 剝剝。(國) 剝剝。

パグ ラク 縛縛。(國) 縛縛。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パグ ラク 曝曝。(國) 曝曝。

パッ

パッ 八。八つ。四方。達。四方。達。四通。八達。二。青春。二八の青春。

パッ 識。(巻)【識】。

パッ 會。(巻)【會】。

パッ 別。別の。他の。他の。一人。他の人。一日。他日。所在。餘所。下加の二。

パッ イツ ハア カア ジイ 八。一。下加二。(八算) 八。イム 八音。(平仄) 八聲。(八音) 八種の樂器の音。(巻)【音】の一種。

パッ イム キム 八音琴。オルゴール。

パッ ウイ 別位。餘處。他方。外。外。

パッ エエ 別的。別の。他の。他の。

パッ エエ 別個。他の人。他の物。

パッ カン 別孔。別の穴。別途。有。別の收入。別途の收入がある。轉。――他の職に轉ずる。

パッ キエン 八景。八景。

パッ キエン 別間。別席。別室。――房。同上。

パッ キオク 八脚。(動) 毛風。(陰風)。

パッ グ 識銀。(巻)【識銀】。

パッ ケエ 別家。他の家。他家。

パッ コア 八卦。八卦。

パッ コア 八卦。八卦。

パッ コア 八卦。八卦。

パッ コア 八卦。八卦。

パッ コア 八卦。八卦。

パッ コア 八卦。八卦。

パッ

パツ コア イイ 八卦衣。八卦の模様を刺繍してある着
 パツ コア キイ 曾着見。(泉同)【曾着見】。「物」。
 パツ コア ザウ 八卦草。【大甲草】。
 パツ コア ホエ 八卦會。一種の團體の名。
 パツ コア ラウ 八卦樓。八角堂。
 パツ コア ロオ 八卦路。迷路。
 パツ コア アヌ 別款。他の形。別の手。色變。
 パツ コグ 別國。他國。他邦。異國。
 パツ コロ 八喜。【交鶴】。
 パツ ゴオリホク シナジイ 八五十六。【八算】八
 五六十の二。
 パツ サムハア カア リホク 八三下加六。(八算)八
 三下加の六。
 パツ シア 八聲。(平仄)八聲。
 パツ シウ 識想。(泉同)【識想】。
 パツ シェク 別色。他の色。色變。
 パツ シエヌ 八仙。●八仙の仙人。即ち李鐵拐・呂洞
 賓・漢鍾離・何仙姑・藍彩和・曹國舅・韓湘子・和玄壺
 子の玄洞八仙。●(八仙桌)。
 パツ シエヌ ケエ ハイ 八仙過海。八仙海を過ぐる芝
 居又は山車の名。――隨人變通||八仙の仙
 人が海を渡って各各神通力を現す、人は各各其の
 能ある意。

パッ

パツ シエヌ コン 八仙管。耳搔・消息子等理髮師の用
 ひる器具。
 パツ シエヌ ザイ 八仙彩。室内裝飾などに用ひる幕。
 赤い縞子に入人の仙人を繡したもの。
 パツ シエヌ トロ 八仙桌。卓の一種。大卓。
 パツ シエヌ ニイ 八仙耳。菌類から取った青い粒。砂
 糖汁で煮て食用にする。
 パツ シエヌ ヒイ コロ 八仙魚蒸。魚肉を椎茸・葱な
 どと一緒に煮た料理。
 パツ シエヌ ビイ 八仙米。【八仙耳】。
 パツ ジイ 識字。(泉同)【識字】。
 パツ ジイ カア 八字脚。八の字になつてゐる足。鰭足。
 内鰭。外鰭。行路――同上で歩く。
 パツ ジイ シイ 別字姓。他姓。異姓。
 パツ ジイ シエン 別字姓。前に同じ。「下加の四」。
 パツ ジイ ハア カア スウ 八二下加四。(八算)八二
 パツ ジイ ヒエン 八字形。八の字の形。
 パツ ジイ ビイ 八字眉。八の字眉。
 パツ ジツ 別日。他日。後日。後日。
 パツ ジツ アア 別日仔。前に同じ。
 パツ スウ チアム ツク ゴオ 八四添作五。(八算)八
 四添作の五。
 パツ ソオ サイ 別所在。餘所。他所。

パッ

パツ ソン 識爽。(泉同)【識爽】。
 パツ ソラ 八座。八人擔の輦。
 パツ タイ 八臺。八人擔の輦に乗得る高官。(總督・巡
 撫・道臺等)。
 パツ タウ タウ 識透透。(泉同)【識透透】。
 パツ チアン ツウ 八槳船。次に同じ。
 パツ チウ ツウ 八槳船。八本櫓の船。
 パツ チエツ 八節。立春・春分・立夏・夏至・立秋・秋分。
 立冬・冬至の八節。
 パツ チエン 別種。別種。別種類。毛替。
 パツ チオン 八將。【軍將】。
 パツ チツ パツ シア リホク 八七十八十六。(八算)八
 七十八の六。
 パツ チアウ 別條。別項。
 パツ チオン サヌ サヌ ホオ 八重山珊瑚。【雞母子】。
 パツ ツイ 別隊。別手。別隊。
 パツ テエ 別塊。餘所。他方。他所。
 パツ トアヌ コオ 八團籠。圓い輪の形に圖案を施した
 絹織物の模様。
 パツ トオ 腹肚。【腹肚】。
 パツ ニイ 別年。他の年。他年。
 パツ ハン 別項。別種。――事||別事。他の事。
 パツ バイ 別派。別派。他流。

パッヒウリイ 別郷里。異郷。

パッビイトオ 八美岡。八美人の山車。

パッビイ 八比。(多) 八股文。

パッフヌ 八分。八分の隷書の書體。

パッフヌジイ 八分字。前に同じ。

パッフヌスウ 八分書。前に同じ。

パッブウ 八母。嫡母・繼母・庶母・慈母・乳母・養母・出母・嫁母の八母。

パッブヌ 別本。別册。別本。

パッホト 別號。別の手。他の種類。

パッホン 八方。八方。一美人 八方美人。

パッボエ 八寶。識神無田作。(象) 回神を

見分けることが出来るが作るべき田がない、知識

があつて之を用ふべき地位がない。

パッボラ アア 八寶鴨。鶯・豚肉・蝦・糯米・蓮實・筍・

椎茸等を材料として作った料理。

パッボラ ヲア 八寶碗。八角の碗。

パッボラ ヲアヌ 八寶丸。豚肉・葱などに麵粉を混ぜ

油で揚げた料理。

パッポラ ケエ 八寶雞。鶏肉・筍・葱・椎茸・松茸・豚肉

等を材料として煮た料理。

パッポラ オイ 八寶菜。肉・魚・野菜など八品の寄鍋。

パッポラ オアヌ アア 八寶全鴨。全の鶯に椎茸等を

混ぜて煮た料理。

パッポラ タウ フウ 八寶豆腐。豆腐に豚肉・椎茸・

筍・葱等と混ぜて煮た料理。

パッポラ チム キイ 八寶鱈羹。鱈の肉に豚の敵肉

を混ぜ鱈の卵を和して煮た後少しの【粉水任】

(水に溶かした餛飩粉)を加へて作った料理。

パッポラ ビイ フヌ 八寶米粉。【米粉】に種類の物

を混ぜて煮た料理。

パッポラ プン 八寶飯。龍眼肉・栗・豚肉・落花生・蓮

子・白砂糖等を糯米に混ぜて煮た飯。

パッポラ ペエ カブ 八寶白鴿。家鳩・椎茸・栗・豚肉・

葱などを材料として煮た料理。【料理】

パッポラ ミイ 八寶麵。【麵】を種類の物と混ぜて煮た

パッポラ ロク チム 八寶烙蟬。蟹の内に玉葱・馬鈴

薯・豚の白肉及び餛飩粉を混ぜ蟹の殻に入れて油

で揚げたもの。

パッミア 別名。別名。異名。

パッミイ 別塵。他。別。一物 他物。

パッミイ 別物。別の物。他の物。

パットム カウ 識不到。(象) 同 【識不到】。

パットム 別物。(象) 同 別の物。他の物。

パットラン 識人。(象) 同 【識人】。

パットラン 別人。別人。他人。一 一的拳頭拵押石

獅 人の拳で石の獅を突く、人の禪で相撲をと

る。一 一的脚川做面皮 人の尻の皮を自分の

面の皮とする、人の物事を我物顔に振舞つて好い

顔をするなど。一 一的子死没了 他人の子は

死んでも盡きない、主人の金を御構なく使ふな

ど。一 一的桌・筵肉餉姑家 人の馳走になり

ながら肉を取つて姑を養ふ、人の特鼻種で相撲

をとる。一 一本錢做生理 人の資本で商賣

をする、同上。一 一的妻就較美 他人の妻は

美しい、隣の飯は白いと同意。一 一的妻不過

五更 人の妻の所へ通つては五更を過すな。晩

く歸れば顯れる。一 一中進士、你拔死羊母

他人が進士に及第して汝は牝の山羊を引張り

殺す、人の喜事に大騒して自ら損失を招くな

ど。一 一懷寶劍我有筆如刀 人は寶劍を懷

き、我は筆の刀の如き有り、彼は武を以てし我は

文を以てす。有嘴講 一、無嘴講 自己 人の

事をいふ口は有つても己を責める口はない。

パットラン タウ 別人兜。餘所の家。人の家。

パットリウ 別流。他流。別流。

パットリホク チツ シア スウ 八六七十四。(八算) 八

六七十の四。

パットルイ 別類。異類。別種。

パヌギイ便宜。安値。廉價。安い。低廉。——不識

飽安くしてやっても尙飽足らない、好くしてやれば附上る。恩に狎れる。無——安くない。不利益。爲にならぬ。貪人——人の安値を負る、人の好意に狎れて飽くことを知らぬ。

パヌギイ便宜。前に同じ。

パヌケエ攀價。値段を固持する。賢——値段を固持して少しも負けない。

パヌケエヘエアア辨家伙仔。飯事。御馳走事。

パヌコアヌ班館。輕罪犯人を留置する所。留置所。

パヌコアヌ版權。(圖) 版權。

パヌコオヘエアア辨姑伙仔。飯事。

パヌコンヘエアア辨公伙仔。飯事。「るもの。

パヌゴオ板五。【墨賊子】の一にして牌面に黒點十あるもの。

パヌサア板三。【墨賊子】の一にして牌面に黒點六あるもの。

パヌサイ辨菜。菜を煮る。料理する。膳部を整へる。獻立。爲人——賄をする。——的料理番。

料理人。

パヌサツシウシイ斑節相思。【尖尾風】の㊦。

パヌサツヘエ斑節蝦。(動) 車蝦。

パヌシア辨聲。【水辨】に表れた水の深さ。

パヌシエク斑色。斑の色。斑。

パヌシエヌ辨仙。【排仙】。

パヌシツ餅食。餛飩粉で皮を作り豚肉・葱などを包んで煮たもの。「るもの。

パヌジイ板二。【墨賊子】の一にして牌面に黒點四あるもの。

パヌスウ班師。(文) 凱旋。振旅。「る。

パヌスウ辨事。事務を取る。執務。従事。事を處す。

パヌズウ頭論。(文) 刺論を公布する。「見る。

パヌセエ辨勢。様子。都合。模様。看——都合を

パヌモエ辨差。大官の視察又は上長官の責任な

どの時準備する。

パヌソア斑痧。(病) 天狗熱。

パヌフエ辨罪。處刑。處罰。刑に處する。

パヌタウ班頭。巡捕。——假老爹——巡查が大官ぶる。鶯が鴨の氣位。

パヌタウ辨頭。見本。標本。手本。雛形。

パヌタウコアヌ班頭館。留置所。

パヌタウライ板透來。(橋を渡る時駕籠昇の合圖言葉) 眞直に擔げ。

パヌチアウ頭詔。(文) 詔を公布する。

パヌチアムトヲ板尖刀。先の尖つてゐる幅の廣い刀。

パヌチイ斑芝。(木) 木綿樹。

パヌチイ班指。右手の拇指にさす指環。

パヌチイチウ斑芝樹。(木) 木綿樹。

パヌチイミイ斑芝綿。【斑芝より採つた綿】。

パヌチウ辨酒。酒を仕度する。酒肴を調へる。

パヌチエツヘエ斑節蝦。(動) 車蝦。

パヌチヨビヌ扮笑面。笑顔を裝ふ。

パヌチア版籍。(文) 版圖。版籍。

パヌチアム班店。棺桶屋。

パヌチウ班長。●座頭。座元。●(圖) 班長。

パヌチエクシウシイ斑竹相思。【尖尾風】の㊦。

パヌツイシエヌ辨醉仙。【排仙】。

パヌツウ班主。【班長】の㊦。

パヌツン板瘡。(病) 尻に出来る腫物。

パヌテエ辨茶。茶を買込む。茶を仕入れる。

パヌトア怠惰。(動) 怠惰。

パヌトオ版圖。(圖) 版圖。領地。

パヌトヲ板刀。幅の廣い刀。

パヌトヲ辨桌。(客を招く時など) 本式の料理を調へる。膳部を整へる。宴席を張る。

パヌニアウ斑猫。(動) 斑猫。

パヌパヌ攀攀。(攀)。

パヌパヌ板板。字など生氣がない。活氣がない。字寫了——字に生氣がない。

パヌパヌ扮扮。【扮】。

パヌ

パヌ

パヌ

パヌ

パヌ パヌ 辨辨。【辨】の(三)。

パヌ パヌ 攀攀。【攀】。

パヌ パン 班房。役所の局課。

パヌ ビエン 頒行。(文) 公布して施行する。――天下

天下に同上する。

パヌ ビエウ 斑白。斑白。白髪交り。胡麻鹽。

パヌ ビエン 班兵。(文) 凱旋。振旅。

パヌ フヌ 斑痕。斑痕。

パヌ ブヌ ロン フウ 班門弄斧。【習班】の門前で斧

を弄する、身の程知らず。釋迦に説法などの意。

パヌ ヘエ 斑蝥。(動) ふとみぞ蝥。

パヌ ヘエ 辨貨。商品を仕入れる。品物を調へる。貨

物を買込む。

パヌ エ 辨胚。豫期。豫想。積り。見込。――伊能

来彼が来ると豫期してゐた。無――伊能死

彼が死ぬとは思はなかつた。

パヌ ホアツ 辨法。仕方。爲方。

パヌ ホエ 辨貨。(漢) 【辨貨】。

パヌ ホオ 辨貨。(泉) 【辨貨】。

パヌ ボン 盼望。(文) 熱望。望む。

パヌ ポア 辨盤。婚姻の時、贈答する物品。料理など

を調へる事。【完聘】。

パヌ ポエ 攀拔。(漢) 【攀拔】。

パン

パヌ ポエ 辨胚。(漢) 【辨胚】。

パヌ ポオ 頒布。(文) 頒布。

パヌ ボオ 辨胚。(漢) 【辨胚】。

パヌ マウ 斑蝥。(動) まんはんめう。【同上】。

パヌ ラア 板筍。豚などの脇腹にある脂身。――油

パヌ ラヌ 攀攀。【攀攀】。

パヌ ラヌ 扮扮。【扮扮】。

パヌ ラヌ 辨辨。【辨辨】。

パヌ ラヌ 攀攀。【攀攀】。

パヌ リアウ 板條。音楽の拍子。有――拍子がある。

上手な。器用な。無――拍子がない。下手な。

不器用な。

パヌ リイ 辨理。處理する。辨理。處置。取扱ふ。――

國政。國政を取扱ふ。如何――如何に處理

すべきか。

パヌ リウ 攀留。引留める。我不敢強――休私は

無理に引留めようとはしない。

パンバン

パン方。(姓) 方。

パン邦。(姓) 邦。邦。番――夷狄の國。外

外國。入随俗。入港随海。邦に入つては

俗に隨ひ、港に入つては灣に隨ふ、郷に入れば郷

パン

パン崩。(姓) 崩。崩れる。崩す。山一地震。山は

崩れ地は裂ける。水一山一水が陸地を崩す、財産

などを見る見る内に失ふ。

パン枋。板。薄い板。能得一閉、没得鋸角。板は挽

分けられるが鋸は引抜けない、手を附けることは

易いが後始末は難しい。杉仔――椽板。地板

床板。條――板を挽く。鋸――板を鋸で挽く。

削――板に鉋をかける。

パン帮。助ける。帮助する。相――助合ふ。一忙

手傳する。一手一手を助ける。手助をする。

度。番。回。此――此度。彼――先回。頭一車

一番列車。一船一航海。寄二一批二回

手紙を送る。

パン放。放つ。釋放する。ゆるしてやる。一手一手放

す。一犯人一犯人を釋放する。一生一放生。

發射する。打つ。一銃一鐵砲を打つ。一揚げる。

一風吹一風を揚げる。一烟火一烟火を揚げる。

一排泄する。放る。一尿一小便をする。一屁一屁

をひる。一尿一糞を放る。一卵一魚など卵を産

む。一洗す。一竹排一筏を洗す。一水燈一燈籠

洗す。一利息を取る爲に貸す。一重利一高利で

貸す。一水利一放水利。一遺す。一手尾一遺

パン

産を産す。●打ちやうて置く。差置く。置く。一
 棟差置く。一抛荒一荒放題にして置く。一無
 要無緊一構はないで放つて置く。一無看見一見
 ない風をする。●下す。一門簾一簾を下す。一
 價一値を下げる。●擴大する。像一較大一寫眞
 を引伸す。一窓仔一窓を大きくする。●配置す
 る。配る。ばらまく。觸廻る。一帖一招待状を
 配る。一轎一駕籠を配置する。一親戚一縁談を
 方方へ持出す。

パン 逢。(姓) 逢。

パン 麗。(姓) 麗。

パン 房。●房。●部屋。室。新娘一花嫁の部屋。
 二一室。包一芝居の棧敷などを借切る。●
 小屋。棧一蔵屋。倉庫。書一寺小屋。學一
 同上。染一染物屋。磨一粉屋。藥一藥屋。
 馬一厩。●一族。支族。種族。兄弟財産分を
 した時に長男の家を長房又は大房(本家)、次
 男の家を二房(二房)といふ。三男以下これに準
 ず。強一勢力のある一族。弱一勢力の無
 い一族。●役所の名稱。兵一陸海軍省。刑一
 司法省。工一土木に關する役所。禮一儀
 禮。風教に關する役所。

パン

縫。紵ける。縫ふ。一衫一着物を縫ふ。一衫裾一
 裾を紵ける。

パン 棒。金剛杖の如く八角若しくは六角などになった
 棒、多くは武器として用ひらる。金剛一金剛杖
 一。●蚌。烏貝。泥貝。潮一相持漁人得利
 一。●蚌相持して漁夫利を得、二者争うて他に利せ
 ない。

パン 芳。(姓) 芳。

パン 蜂。(動) 蜂。蜜一蜜蜂。角一熊蜂。啞口被一
 釘着一啞が蜂に刺される、他から害を受けて言
 ふに言はれない意。

パン 香。馨しい。馨しい。香。蕙。芳香。蘭花真一
 蘭の花が大層好い匂がする。一臭一好い匂に悪い
 匂。一水一香水。土豆仁食了一南京豆は
 食べると馨しい。名聲真一名聲が馨しい。自
 己撥鮭讚美一自分が鰻子を撥いで薫が好い
 と褒める、手前味噌。

パン 紡。紡く。紡績。一絲一絲を紡く。緊一無好紗、
 緊嫁無好姑家一急いで紡げば良い絲が取れず、
 急いで嫁げば良い姑に遇はず、急いで仕事を仕損
 ずる。「く肥えてゐる。

パン 肝。肥える。太る。肥一同上。面真一顔がよ
 帆。帆。打一帆を造る。車一帆を巻上げる。
 有風不可駛盡一風が有つても帆を一杯張る

パン

な、物事は八分目など。出半一水流入一虹が半
 分出ると大水になる。一時風、駛一時一
 の風は一時しか帆の利用が出来ない、機會を逸せ
 ず事を行ふべき意。

パン 捧。●兩手で持つ。捧げる。一碗公一鉢鉢を持
 つ。一面桶水一金盥に水を持って来る。去一麵
 來食一麵を持って来て食べる。【麵】を注文して
 来て食べる。一飯一飯を捧げる、死者の靈に對し
 百箇日間朝晩二回又は喪期中期十五日に飯を
 供へて祭ること。歸手一一人で捧げる。一手
 に引受ける。一人的飯碗一人の茶碗を持つ。人
 の「娘婦仔」になる。又人の職業を奪ふにもい
 ふ。●一曲一関の歌。●到一未一ゲームに
 なったか。尙未到一未だゲームにならぬ。

パン 縫。●隙間。透。隙。間。間。間。間。間。
 空。孔一孔や隙間。脚一股間。雞卵密密
 引引一鶏の卵はいくら密でも矢張隙がある、
 秘密は如何に隠しても露顯する。●缺點。落度。
 掘人的一人の缺點をほちくる。鑽孔掘一
 缺點をほちくつて人に強請る。

パン ア/ 枋仔。板。

パン ア/ 房仔。室。部屋。一内一室内。

パン ア/ ツウ。枋仔厝。柿茸。

パン

パンナム放筒。【放筒】。

パンアン放紅。血が下る。下血。赤痢。

パンイア蜂蝶。蜂と蝶。

パンイア帆影。帆影。

パンイイ蜂膜。蜂蜜を取った後の蜂巢。

パンイウ放洋。船が大洋に出る。

パンイウ香油。香油。

パンイエニア放鷹仔。子供など鷹の形に折った紙を投げて遊ぶこと。

パンイヲ蜂腰。蜂の如き腰。

パンオン蜂王。蜂の王。女王蜂。

パンヨヲ放學。放課。放校。

パンヨヲツウ蜂窩疽。(病)疔。癰。【爲に盡す】。

パンカア邦家。(交)國。國家。爲一出力國家の

パンカウイ放狗屁。犬の屁を放る、馬鹿な事をいふ。無聽你在——お前は馬鹿な事をいつてゐる、そんな事言つても僕は聞かないぞ。

パンカク放擱。●差置く。放置する。●棄てる。手能膾臍緊——手が穢くなるから早く棄てる。

パンカク蚌壳。鳥貝の殻。

パンカグツウ烏壳珠。●蚌貝の殻で作つた珠。偽の眞珠。●貝と珠。

パンカム帆船。筥。用——遮開——筥で遮る。

パン

パンカムツウ帆船厝。厝屋。

パンカン放工。仕事を止める。仕事を差置く。我特

工——來——私は態態仕事を止めてやつて来た。工場幾點——工場は何時に仕事を休むか。

パンカン放港。●水先案内。●男女間の橋渡す。又其の人。

パンカン放孔。●物を通す爲に孔をつくる。孔をあける。●【放孔】。

パンカン放空。家など留守にする。年尾厝内不可

——年の暮には家を留守にしてはいけない。

パンカン紡工。絲を紡いで稼ぐ。

パンカンイア放空營。【放空】。

パンキア放子。親鳥が卵を産む頃に雛を振棄てる。

パンキイ崩去。崩れる。水——水が岸を崩す。

パンキエン房間。室。部屋。寢間。——内打不見

褲不是夫就是妻——部屋の中で褲が無くなれば夫が取ったか妻が取ったかの何れかである。

パンキエンセエ房間稅。席料。間料。

パンキヲ放轡。轡を差向ける。——來我即要去——轡を差向けて來れば行く。

パンクイ放開。手放す。放す。手——手を放す。

パンクイ香桂。(種)【油菜桶】。

パンクイ香氣。薰。香氣。

パン

パンクヌ放車。疫病流行の時など神に平安を祈ると神が軍兵を方方へ配置すること。

パンクヌ放線。延繩をかける。繩釣をする。

パンクヌ帆褚。大な帆の下の添帆。

パンクヌアア放線仔。繩釣をする。延繩をかける。

パンクヌソヲ放線索。前に同じ。

パンクヌヲヲ放線釣。前に同じ。

パンクン帆槓。帆桁。

パンクヌアア放銀紙。葬儀の時先導者が歩きながら【銀紙】を路に置いて行くこと。

パンクエ放假。休暇。——到來——休暇で戻つて来る。何時要——何時休暇になるか。

パンクエ放債。値を下げる。値をひく。無——無人要買——値を下げるなければ買ふ者が無い。

パンクエ放低。低く下げる。下げる。

パンクエ房科。役所内の課。部局又は其の長。六——更房・戸房・禮房・兵房・刑房・工房の六課、又は其の長。

パンクエ帆架。帆を巻き卸した時載せる臺。帆桁。帆棚。

パンクエアア枋架仔。寢臺の棚。

パンクエアア枋架仔拖。寢臺の棚の抽斗。

パンクアア放高。高くする。高く上げる。手——

パン

花嫁が小便したといつて彼此いふ、自分の事を爲さず、人の事を彼此いふなど。

パンジツアアチイ放日仔錢。烏金。日なし金を貸す。

パンジツトオ房日鬼。二十八宿星の一。

パンスイ放垂。下す。垂れる。下げる。手一〇手を垂下げる。

パンスン放栓。残の場合に棺の一部に孔を穿ち、内部より柄を挿入し、埋葬に當りて柄を中に突入れ孔を開くこと。

パンセエ崩雪。雪類。

パンセエ砌砂。(無)砌砂。

パンセエ房税。席料。間料。

パンセエ紡紗。糸を紡ぐ。

パンセエ放債。①金を貸付ける。金貸。②親などが債務を遺す。序大人一傳子孫還親が債務を遺して子孫に拂はせる。

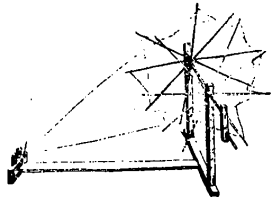
パンセエ帮差。小使の助手。

捕吏の助。捕吏の助手。

パンセエ紡績。紡ぐ。紡績。

糸を紡ぐ。

パンセエ紡績車。糸車。



紡績車

パン

パンソア崩山。山崩。水一〇水が山を崩す、大いに損をする。

パンソア放息。打遣る。打捨てる。事情一〇不辨。事を打遣つて行らない。

パンソア紡線。紡績。

パンソア房敷。間敷。

パンソソ放鎖。手錠、足錠などを取る。罪人を赦す。

パンソソ帆索。帆綱。帆繩。

パンゾア放熱。夏休。暑中休暇。夏季休業。

パンゾア放紙。葬式の時先導者が路路に「銀紙」を置く事、冥土へ行く路を買ふ意なりと云ふ。

パンゾア縫行。縫目。貼目。

パンゾア香紙。香水をつけた紙。

パンゾアホオ放紙虎。虎の繪に人の悪口を書いて諸所に貼付け又はばらまくこと。①對衙門一〇官廳に中傷的の投書をする。

パンゾオ帮租。佃人より開墾主に納める租穀。

パンゾオ帮助。帮助。補助。助ける。加勢。賛助。

大家一〇來一〇去一〇お互に助合ふ。

パンタア放膽。膽を太くする。大膽にする。度胸を据ゑる。一〇進前一〇度胸を据ゑて前に進出る。

パンタア帆踏。帆を半ば下した時支へるもの。

パンタア帆捲。帆捲。

パン

パンタウ枋頭。板の先。一〇枋尾一〇板の切屑。

パンタウ房頭。家筋。支族。接一〇家を繋ぐ。一〇内的人一〇同じ家筋の人。【房】の◎参照。

パンタウ香頭。食物などの蒸。旨味。好茶一〇較好。一〇好い茶は蒸がよい。

パンタウパンベエ枋頭枋尾。板切。

パンタン放冬。書房にて農作の取入期中休業すること。

パンタンエ放重債。次に同じ。

パンタンライ放重利。高利貸。高利で貸す。

パンチア紡車。①絲車。糸を紡ぐ車。②絲車を廻す。

パンチア帆車。帆を巻上げ下げする車。

パンチアソ紡車索。絲車の調絲。

パンチアヒエヌ紡車絃。早絲。早緒。

パンチアム縫針。新針。

パンチアム蜂尖。蜂の針。劍。

パンチイ放飼。飼放。放飼。野飼。放飼。

パンチイ捧齋。【硬關】。

パンチイ蜂刺。蜂の針。

パンチウ帮手。手傳ふ。手助。加勢。手を貸す。眞多人共伊一〇澤山の人が彼に手傳つた。

パンチウ枋塙。板屏。板垣。

パンチウ放手。①手放す。差遣く。手を置く。手を放す。②自己能堅一〇赤坊は手を放しても

獨で立つことが出来る。厝内我沒一得一家の事については私は手を放すことが出来ぬ。大目に見る。宥す。求你較一御手軟に願ひま

パンチウベエ放手尾。遺産を残す。「す。
パンチエン放銃。鐵砲を打つ。銃を打つ。發砲。
パンチエンチエン香蒸蒸。ふんふんと匂ふ。馥郁と匂ふ。

パンチヲ放債。人に金を貸付ける。一較穩主的
|| 確實な人に金を貸付ける。
パンチツ紡織。紡ぐ。紡績。

パンチヌ房親。近親。一族内の人人。
パンチヌチア放親成。娘の生年月日を書いて媒酌人に贈り配偶を求めること。

パンチヌブンチアウ放清飯。【放フ】。
パンチヌボン放盡。馬力をかける。最大速度を出す。街内汽車没使得一市内で自動車は最大速度を出してはいけない。

パンチヌラン房親人。一族内の人。同居の親族。
パンチム放蟻。蟻を捕へる爲籠を洗める。
パンチアカムプウ放鼎蓋浮。賭博者などに一日三回利子を取る高利の金を貸す。

パンチアウ幫條。大官などが暫時滞在する家の前に出す官・姓名を記した長い紙片。

パンチアウ放刁。人に危害を加へ若しくは災禍を生ぜしめる旨を言觸らす。宣傳して虚喝する。流言を放つて人を劫す。一放轉流言を放つて驚嚇する。謔言しておどかす。一要弄伊彼を毆るのと言觸らして其人を劫す。

パンチアウ放柵。豚など飼放。小屋から出す。
パンチアウライ房柱内。一族の内の者。親族。
パンチアア放牒。神佛に祈願の際紙に祈禱文を書いて焼くこと、又は人の悪口など記したものを神に奉ること。

パンチアア幫貼。錢を補助する。求好額人一本錢金持の人に資本金を補助して戴く。
パンチアア放帖。招待状を出す。

パンチイ捧甜。花嫁が客に甘いものを出す。
パンチウ放籐。多くの労働者を作業させる際一仕事毎に引換に札を渡すこと。

パンチウ房長。族長。【房】の主人。
パンチウ紡網。薄い網。
パンチエウパイ放竹排。筏を流す。

パンチエン帆燈。舷燈。
パンチオン房中。室内。寢室の中。
パンチツ放直。眞直に上げ下す。垂直。
パンツイ放水。田又は器の中にある水を吐かす事。

パンツイ香水。香水。
パンツイチエン放水燈。燈籠流し。【水燈】を流す。舊曆七月の【普度】の時に提燈行列をする。
パンツイト放水銃。【水銃】。を投込んで水の深淺を測ること。

パンツイフヌ放水煙。【劇場・博場・講談場などで】「水煙吹」に「水煙」を入れて人に吸はせる。
パンツイライ放水利。船頭の貨物仕入に資本を貸して高利を取る。

パンツイラウ放水流。水に流す。水葬。
パンツイ椰子。支那の北部地方に行はれる音楽の一種。
パンツイ枋屑。板葺。板屋。
パンツイ香鼠。【動】麝香鼠。

パンツイ帆船。帆船。帆船。帆船。
パンツイ帆船。帆船。帆船。帆船。
パンツイタウ放船頭。貨物を仕入れて出掛ける船頭に資金を貸すこと。

パンツウ蜂厨。蜜蜂を飼ふ箱。【茶を出す】。
パンテエ放茶。【芝居・賭場などで】お茶を賣る。お
パンテエイウ香茶油。女の髪などにつける香油。
パンテエトア捧茶具。【役者】娘形。小山。女形。

パントアイウ放大洋。大洋に乗出す。
パントオ枋堵。板の仕切。板壁。
パントク放毒。毒を入れる。毒を盛る。毒を投す

パン

パン

る。ー下得酒内酒の中に毒を入れて置く。
●病氣を根治させず又は事柄の要點を教へずに残して置く。先生ー不教人師匠が奥の手を残して人に教へない。醫生賢ー醫者が病氣を根本的に治さない。

パン トン房東。家屋の所有者。

パン ナ放籃。魚類を捕る爲に籃を仕掛ける。

パン ヌン放軟。●手足などを堅くしないで軟にする。身軀ー體をぐにぐににする。●大目に見る。寛くする。規矩没使得ー規則を寛くすることは出来ない。

パン ヌン放卵。魚・蟲などが卵を生附ける。卵を放る。卵を生む。卵を放附ける。

パン ハム崩陷。崩る。崩れ落ちる。崩壊する。山ー山が崩れる。

パン ハム放函。【放栓】。

パン バウ放泄。不問に附する。構はない。取上げな

パン バウ放目。見ぬ風をする。大目に見る。見流にする。我是ー不是無看見私は見ぬ風をしたので見なかつたのではない。ー諷情伊大目に見て恕してやる。

パン バン帮忙。忙しい時に手傳をする。伊來我此在爲我門ー彼は私の處に来て手傳を

パン

してゐる。

パン ギア放抛荒。荒放題にして置く。

パン パイ崩敗。悪くなる。失敗する。家内若在ー就出万子孫零落れてゆく様な家には悪い子孫が出る。見做見ー爲る度毎に失敗する。

パン ギイ豊厚。【豊厚】。

パン パイア崩敗窮。物事を爲る度毎に仕損ふ人前に同じ。

パン パウ放炮。爆竹を鳴す。

パン パヌ帮辨。●手傳ふ。ー店頭店先の手傳をする。●助手。海關ー税關の監吏の助手。監吏補。

パン パヌ放板。棺桶屋から棺桶を擔いで歸る。

パン パン崩崩。【崩】。

パン パン帮帮。●毎度。●毎回。ー來々毎度やつて来る。講話ー都無影毎度嘘をつく。●帮

パン パン放放。【放】。

パン パン縫縫。【縫】。

パン ギン枋縫。板間。

パン ギン紡紡。●戦ーぶくぶくしてゐる。【紡】。

パン ギン胖胖。顔が肥太る。

パン ギン捧捧。【捧】。

パン ヒアウヒアウ香饅頭。ぶんぶん匂ふ。

パン

パン ヒイタ放擲棄。放擲する。投げる。捨てる。投げやる。

パン ヒウ放休。見切る。見切を附ける。

パン ヒウ香香。香のよい線香。

パン ヒエツ放撈。打捨てる。打遣らかす。放擲。事情ー事を打遣つて置く。

パン ヒエツカ放撈。打棄てる。差置く。放棄。打遣る。放擲。放下す。見放す。すっぽかす。

パン ヒエツチウ放撈。前に同じ。

パン ビイ香味。香味。

パン ビイ放蜜。蜜を出す。蜜を吐く。

パン ビツ蜂蜜。蜂蜜。蜜。

パン ビア枋壁。板壁。板羽目。

パン ビア放兵。【放軍】。

パン ビイ枋棚。棧敷。板間。板間。

パン ビイ放病。醫者が薬代を食つて故意に病氣を長

パン ビエン放兵。【放軍】。

パン ビラ放標。【扒龍船】の時に金持の人が賞を出

パン ビラ綁票。身代金を取る爲に人を人質に取る匪

パン ビラ蚌瓢。烏貝の殻でつくつた柄杓。【徒の類】。

パン ビツ放筆。擱筆。

パン フィ放血。下血。血が下りる。

パン フウ放符。呪符を使ふ。ー念咒呪符を使ひ、

呪文を唱へる。――傷人――呪符を使って人を害する。

パンフヌ放煙。(芝居・賭場などで)煙草を一服づつ詰めて賣ること。

パンフヌ房份。家筋。接――分家の後を嗣ぐ。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

パンフヌアア放婚仔。【放親戚】。紙。

――出去退迫――仕事を遺放にして遊に出る。

パンヘエ放暇。放課。

パンヘエ蜂蟻。蜂の子。蜂の幼蟲。

パンヘエコン放火攻。燒討。火攻。

パンヘエサイ放火獅。獅子の形した物に爆竹を結付けた花火の一種。

パンヘエ放火馬。馬の形した物に爆竹を結付けた花火の一種。

パンヘエ放火弄。花火を揚げる。

パンヘエクウ放馬龜。龜の形の紙意をあげる。

パンヘエソウ放尾索。漁船の乗組員中の仕事の係の名にて繩を船尾に放下するもの。(拾尾索)參照。

パンヘエ放飛。鳥など獨で飛べる。●初めて女郎を買ふ。

パンヘエ放把。的に向って打つ。標的に向って發射する。射的。

パンヘエ放白。●隠語を使ふ。●【白話】で話す。●難しい話をしないで平易に話す。你着！一人即能曉聽。●平易な俗語で話さない人と人が分らない。●【白】糞を出す。●雞母――親鶏が白い糞を出す。

パンヘエ枋皮。挽残された材木・丸太などの皮。

パンホアイ崩壞。崩れる。崩壊。壊れる。

パンホエ放火。(兼)【放火】。

パンホエ香花。芳しい花。

パンホオベエ放雨白。颱風の前兆として風と共に降る霧雨。

パンホン放風。【放屁】。

パンホン放放放。物事に對して無關心で居る。餘所餘所しくする。構ないで居る。心肝――無關心で居る。厝内――家の事を構ない。

パンホオ放火。(兼)【放火】。

パンホオ放伴。代。――做り交替してする。代にする。――擔代擔。

パンボエ放飛。(兼)【放飛】。

パンボオ放步。脚――行。――大股に歩く。

パンボオ縫袍。端縫。端縫。

パンボオ帆布。テントにする布。ズック。――鞋。ズックの靴。――椅。ズックの椅子。

パンボラ捧寶。【撚寶】の賭博の道具を前に持出す。

パンボオ放飛。(兼)【放飛】。

パンミア香名。芳名。

パンミイ紡綿。綿を引く。綿を紡ぐ。

パンムン房門。部屋の戸。知伊月内。打伊――女の産後一箇月もたたぬことを知りながら部屋

パンムン房門。部屋の戸。知伊月内。打伊――女の産後一箇月もたたぬことを知りながら部屋

パン

の戸を叩いて之を挑む、人の嫌がることを素破抜
ギンラ、香蠟。鬘附。鬘附油。梳油。〔くこと。〕

パンライ放利。金を貸す。金貸。

パンライアン房内紅。闇を立派に飾つてゐること。

パンライチイ放利。金貸。金を貸す。

パンラン崩崩。〔崩崩〕。

パンラン帮帮。〔帮帮〕の③。

パンラン放放。〔放放〕。

パンラン縫縫。〔縫縫〕。

パンラン紡紡。〔紡紡〕の③。

パンラン捧捧。〔捧捧〕。

パンリアウ枋枋。材木。木材。

パンリアウ放料。材木を流す。按内山一出来

奥山から材木を流出して来る。

パンリアウソ、帆線索。帆の大綱に集まる小綱。

パンリイ放離。見放す。打遣。離れさせる。

パンリイ放痢。下痢。腹を下す。

パンリイ放利。金を貸す。金貸。

パンリイシエ、放利息。前に同じ。

パンリエン放容。立網を張る。

パンリエン放龍。地相見の詞。〔山龍〕から支脈が出て

てゐる。墓又は家を作る時に同上の地を選ぶ。

パンリエン放量。緩める。弛める。索仔一、不可

ピア

紐緊。繩を弛めよ強く引張てはいけない。規矩
一規則を寛かにする。

パンリエンアウ放龍喉。〔放龍〕。

パンリム帮廩。〔廩生〕に及第する。

パンロオア放路紙。〔放紙〕。

ピア

ピア瓠。①(性)瓠。②柄杓など抄ぶもの。匏。③匏の

柄杓。尿。小便の杓。網。抄網。又手網。

抄ぶ。抄ぶ。一魚。魚を抄ぶ。一蝶仔。抄網

で蝶を捕る。④大醉で食つてかかる。あべこべに

劍突を食はせる。伊要。人。彼は同上をする。

ピア靴。長靴。半桶。短い長靴。一桶。長靴の胴

一尖。長靴の尖。一破。底元在。長靴が破れて

も底は元の儘である、腐つても綱など。

ピア彼。其處。彼處。彼方。彼方。此到。右若

遠。此處から彼處までの距離が幾らあるか。

ピア彼。其程。其様に。其様に。左迄。彼様に。

其丈。あれ丈に。一多。其程多い。一呢賢講。

其様にうまく話をする。一無主意。其様に決斷

力が無い。〔彼〕。

ピア瓦。瓦。一厝。瓦葺の家。一窯燒。一瓦を

燒く竈で瓦を燒く。

ピア

ピア蟻。蟻。蟻。同上。白。白蟻。大水。白蟻の成蟲。紅。赤蟻。

ピア額。額。頭。同上。一痕。額の皺。雞胸。雞胸

不死。亦做乞食。鳩胸。鳩胸で廣い額の者は早死しな

ければ乞食になる。

ピア兄。兄。兄。一弟。兄弟。大。長兄。二

次兄。①(男の名の下に附する尊稱)……さん。

君。錦堂。錦堂さん。福。福さん。慶

慶君。

ピア瘡。鼻を痒く様な烈しい香氣。香水的原料鼻

了。一香水原料を吸くと烈しい香がする。

ピア角。角で引掛ける。被牛。着。牛に角で引掛けら

れた。

ピア味。ぴかつく。きらめく。星。一。下。星がぴかっ

と光る。天。空が灰灰と明けて来る。一目

人目を引く。日立つ。日に附く。

ピア向。後方へ傾く。仰く。反る。厝身較。家が少

し後へ傾いてゐる。一身。反身。踏反る。一前

前方へ傾がる。一流。退潮。

ピア撇。脇下に抱へて遊ぶ。一衫。着物を同上す

る。一被。蒲團を同上する。一書。書物を同上す

る。一同上する物を數へる語。一柴。一抱の

薪。二。一。二抱の毛布。一。反物などを買ふ。

一布ヒ同上。

ヒア 嚇ヒア。●喫驚する。愕とする。びくつとする。一翼ヒ下ヒ同上。●鳥が驚いて飛立つ時の右様。一翼ヒ羽撃をする。一羽ヒ鳥の飛立つ時の様に両手を左右に上げる。一價ヒ値段が一寸騰る。

ヒア 横ヒア。端艇又はジャンクの船の仕切。一仔ヒ小船の舳の敷板。頭ヒ船頭の船の仕切。尾ヒ船尾の船の仕切。

ヒア 焚ヒア。●焚く。焼べる。一火ヒ火を焚く。一柴ヒ薪を焚く。一滾ヒ滾水ヒ湯を沸す。

ヒア 艾ヒア。(菟科、嫩葉は草餅の原料とし葉は乾燥して灸を作る、又葉は煎服すれば滋養強壯劑となる)。

ヒア アア 狐仔。又手網。又手。抄網。一狐魚ヒ又手で魚を抄ふ。

ヒア アウ 向後。後方に傾く。踏返る。頭鬚ヒ梳了ヒ傷ヒ一鬚ヒ鬚が後に寄過ぎる。

ヒア アン 靴襠。長靴の胴。

ヒア イウ 瓦礫。薄い瓦の一種。「瓦を焼く。」

ヒア イヲ 瓦竈。瓦を焼く竈。一燒瓦ヒ瓦燒竈ヒで

ヒア イヲ 向腰。頭を後方に垂れて反る。

ヒア エエ 彼の。彼所の。彼の。其所の。其等の。

ヒア エエ 彼の。其等の。あれ等の。一人ヒ其等の

人。一案件ヒあれ等の事件。

ヒア オオ 味鳥。仄暗い。薄暗い。

ヒア ヲエ 靴鞋。長靴と靴。

ヒア カア 額脚。額際。生際。髪際。額の上。蓋蓋ヒ額の生際が下つてゐる。額が飛出てる。一齊ヒ額の生際が揃つてゐる。

ヒア カウ 瓦溝。臺灣瓦の屋根の溝。

ヒア カク 額角。肩の上、鬚の横に骨の高まった所。

ヒア カン 瓦工。瓦師。瓦屋。

ヒア タイ 向閉。●後に退く。●事件など手を引く。大家ヒ一不挿ヒ皆手を引いて係合はない。

ヒア クウ 彼久。●其様に久しく。彼様に永く。随分久しく。一無來ヒ久しく來ない。●先達頭。

ヒア クウ アア 彼久仔。●暫くの間。一龍無來ヒ暫くの間少しも來なかつた。●先達頭。一常來ヒ先達頭は屢屢來た。

ヒア クヌ 焚滾。焚いて沸す。焚いて滾らせる。水着ヒ一水ヒ水は同上せねばならぬ。

ヒア クヌ ツイ 焚滾水。湯を沸す。

ヒア ケエ 嚇價。値段が騰貴する。

ヒア ケエ 艾糰。艾餅。「夫。好い人。」

ヒア コヲ 兄哥。●兄様。兄い。兄貴。兄。●色男。間

ヒア コヲ 艾蕪。艾の莖。

ヒア コン 靴管。長靴の胴。

ヒア コン パウ 蟻公包。(植)第一期作水稻稈の一品

ヒア サヌ 瓦錠。(瘧)瓦錠。

ヒア サア 焚柴。薪を焚く。木を燃す。

ヒア サア イヘ 撤柴添火。木を抱へて火に添へる。教唆する。焚付ける。

ヒア ザン 瓦葱。(植)某天草科)まんねんくさ屬。セツムクリサツルム。

ヒア シイ 向時。其當時。其頃。一尙未有火車ヒ其當時は未だ汽車が無かつた。

ヒア シウ 蟻巢。蟻の巢。

ヒア シエヌ 瓦錠。(動)家根の瓦の間などにゐる小さな蟲の名。馬陸。蝸蝓。

ヒア シヲ 焚燒。火を焚いて熱くする。暖める。

ヒア シツ 嚇翼。羽撃をする。羽織をする。演武亭ヒ的雀鳥仔無ヒ演武亭の雀は羽撃しない、大膽にして物に驚かないこと。三門大銃無ヒ一砲ヒ大砲三發打つても羽撃もしない、同上の意。

ヒア シヌ 向身。反身になる。踏反る。

ヒア セエ 額勢。額付。一擴擴ヒ額が飛出てる。

ヒア ソヲ 兄嫂。嫂。

ヒア アヲ 瓦槽。臺灣瓦の屋根の溝。

ヒア タウ 額頭。額。前額。損着ヒ一額を打付けた。

ヒア

ヒア

ヒア

ヒア

ヒア タウ 兄頭。情夫。彼個查某有幾若個——

彼の女は幾人も情夫を持つてゐる。 「牡瓦。

ヒア タン 瓦筒。圓瓦。半圓狀の圓瓦。塊瓦。筒瓦。

ヒア タン 靴桶。長靴の胴。

ヒア タン 瓦蟲。(動) 馬陸。箴蟲。

ヒア チア 狐遮。大きくて邪魔になる。場所を塞ぐ。

嵩張る。嵩む。——鎮塊——嵩張つて邪魔になる。

ヒア チア 彼此。彼此此方。彼方此方。彼方此方。處

處。處處。——擁有一何處にでも有る。

ヒア チアム 靴尖。長靴の先。 「げる。

ヒア チウ 嚇手。鳥が飛立つ時の様に両手を左右に擧

ヒア チエン 額前。前額。額。

ヒア チオンクヌ 瓦將軍。瓦で作つた武人の像、惡魔

除の爲屋上に作る。 「を喫する。

ヒア チッ エエ 嚇一。下。はつと驚く。喫驚する。一體

ヒア チイ 兄弟。兄弟。兄弟。兄弟。昆弟。——那骨

肉——兄弟は骨肉の様なもの。——若同心。鳥

土變成金——兄弟心を同じうせば黒土も金にな

ヒア チイ アア 兄弟仔。前に同じ。

ヒア チイ アア コア 兄弟仔官。同等の官吏。相當官。

ヒア チウ 味場。式場。舞臺などが煌な。店頭排

去真——店頭が煌に飾立てられた。式場

ヒア

などに臨んで場打がする。氣後する。

ヒア ツウ 瓦屑。瓦屋。瓦葺の家。

ヒア ツヌ 瓦船。瓦に船を畫いたもの。商家建築の際、

繁昌を祈る爲屋上に作る。

ヒア トヲ 瓦刀。瓦、煉瓦を割るに用ひる具。

ヒア ニア 向向。[向向]。

ヒア ニア 撤撤。[撤撤]。

ヒア ニア 嚇嚇。[嚇嚇]。

ヒア ニア 焚焚。[焚焚]。

ヒア ニイ 彼呢。其の様に。其様に。彼様に。——緊

其様に速い。

ヒア バイ 額肩。一肩の上の處。——女子供、役者など

が飾の爲にする額當。

ヒア バク 味目。目立つ。華華しい。目に附く。映え

る。際立つ。網緞較——絹物は割に目立つ。

ヒア バン 瓢蚊。袋などで蚊を抄ひ取る。

ヒア パイ 花班。——華華しい。華やかな。立派な。強

氣な。強勢な。屑内格去真——家の中が立

派に裝飾してある。——得意満面なる様。得意で

鼻息が荒い。趁大錢到没——大金を儲け

たのだもの鼻息が荒い譯さ。

ヒア ヒア 瓢瓢。——開——開放。開放す。門——

ヒア

ヒア ヒア 瘡瘡。鼻を擧ぐ様な烈しい香氣。鼻了——

「嗅くと鼻につんとくる。

ヒア ヒア 味味。ほんのり。仄仄。天——空が仄仄

と明けて来る。

ヒア ヒア 向向。[向向]。

ヒア ヒア 撤撤。[撤撤]。

ヒア ヒア 嚇嚇。[嚇嚇]。

ヒア ヒア 煌煌。光——きらきら輝く。

ヒア ヒア 焚焚。[焚焚]。

ヒア ヒイ 瓢魚。又手などで魚を抄ぶ。

ヒア ヒア パア 艾葉豹。(動) 豹の一種。

ヒア ヒア ペエ 瓦餅桃。割瓦。瓦の破片。

ヒア ヒイ アア ツウ 瓦片仔屑。子供が遊事に瓦の

缺で造つた家。

ヒア フヌ 額痕。額の皺。額の筋。

ヒア ヘエ 焚火。火を焚く。焚火する。火を燃す。

ヒア ベエ 兄妹。兄と妹。

ヒア ペエ 瓦桶。瓦片。瓦の缺。瓦の破片。

ヒア ホエ 瓦花。欄杆又は煉瓦塀の透のある所などに

薄い瓦を渦巻形に装置したもの。

ヒア ホエ 焚火。(動) [焚火]。

ヒア ホン 嚇風。風に當る。困仔——就能破病——子

供が風に當ると病気になる。

ヒア ホオ 焚火。(原)【焚火】。

ヒア ボオ 靴模。長靴の型。

ヒア ボア 靴破。長靴が毀れた。――底元在||長靴が破れても底は元の儘である、腐つても綱など。

ヒア ポエ 靴具。(動) 貝の一種。玉珠。

ヒア ミイ 艾綿。艾。

ヒア ラウ 向流。退潮。干潮。

ヒア ラン 瓢人。大群で剣突を喰はせる。

ヒア リア 瓢瓢。【瓢瓢】の(動)。

ヒア ロア 瘠辣。●香や味が非常に強烈な。きつい。強い。●羽振が利く。利ける。勢力がある。生理亦――水||商賣も一時は繁昌する。當在――羽振の好い最中。

ヒアウ

ヒアウ 梟。(逆) 梟。

ヒアウ 僂。●反る。反返る。一 煙||同上。枋||去||板が反ってしまった。●豹變する。食言する。寐返を打つ。較||煙売||煙の殻よりも反返つてゐる、約束を翻す意。反||豹變する。被査某||去||女に欺かれた。一 人的銀||約束を無視して渡すべき金を渡さない、踏倒す。

ヒアウ 撓。鋤返す。播返す。播いて雑返す。一 尋||播

分けて播す。一 籠底||籠の底を雑返す。一 土||土を雑返す。

ヒアウ 噴。分る。理會する。一 得||分る。能||得||分る。出来る。没||得||分らない。出来ない。一 理||道理が分る。

ヒアウ 卸。投資。拾賣。相門||互に投資をする。一 擲||拾賣する。俗俗||較響欠賬||拾賣しても掛賣するよりはました。

ヒアウ 剝。(義) 次と同じ。

ヒアウ 剝。表皮などが剝ける。剝ける。一 売||貝||漆など剝ける。一 皮||皮が剝ける。漆||起來||漆が剝ける。

ヒアウ 嫖。(女) 淫奔。多淫。淫亂。一 的查某||助兵衛女。一體||助兵衛の身振。老||淫奔な老婆。●狼な行をする。淫がはしい行をする。與人||人と狼な行をする。

ヒアウ 癢。心がむずむずする。心肝||下||下||同上。

ヒアウ イオン 驕勇。猛しい。勇しい。勇猛な。

ヒアウ カツ 剥売。漆器などが剝ける。剝ける。腫物など皮が剝ける。

ヒアウ カン 嫩秀。(女) 淫奔な動作。色めかしい。

ヒアウ キイ キイ 嫩嘩嘩。(女) 非常に淫奔な。

ヒアウ キイ キイ 嫩嘩嘩。前に同じ。

ヒアウ ゴオ 嗜悟。悟を開く。悟る。考へつく。你尙且没||是||君は未だ目が醒めないのか。

ヒアウ シアウ 嫩狂。淫亂。淫奔。多淫。一 示衆||獄門にかけ

ヒアウ シム 僂心。心が豹變する。氣變りする。

ヒアウ ジツ 曉日。(多) 旭日。朝陽。

ヒアウ ズウ 曉諭。(多) 諭示。一 百姓||人民に諭

ヒアウ モエ 僂債。借金を踏倒す。

ヒアウ モエ 僂擻。播分けて搜す。一 板が反返る。

ヒアウ タヌ 僂燐。反る。乾反る。反返る。枋||一 族親人等||親族の者などを請うて迎へる。

ヒアウ チツ 曉得。分る。台點する。了解する。會得する。

ヒアウ マヌ 僂吞。横領する。取込む。猫姿をきめる。せしめる。一 公錢伴||不知||公金を横領して知らぬ顔をする。

ヒアウ トエ 嫩體。(女) 淫奔な態度。誘惑的な。

ヒアウ トオ 撓土。土を雑返す。ヒアウ ヒアウ 僂僂。【撓】。

ヒアウ

ヒアウ ヒアウ 卸卸。【卸】。
 ヒアウ ヒアウ 剝剝。【剝】。
 ヒアウ ヒアウ 剝剝。【剝】。
 ヒアウ ヒアウ 剝剝。【剝】。
 ヒアウ ヒアウ 馥馥。香——ふんぶん白ふ。
 ヒアウ ヒアウ 癢癢。心がむずむずする。気がむずむずして落着かない。心肝——同上。
 ヒアウ ヒアウ 儂儂。陰險な。危険な。
 ヒアウ ヒアウ ヒイサケ 卸擲揀。捨賣する。
 ヒアウ ヒアウ ヒエン 儂儂。●儂儂。儂儂。儂儂。——着着。●紛中。——錢失徳了 冤枉 錢博輸賭。不義な財は罪業の爲に失ひ不正な金は賭博に負け、悪銭身に附かず。——秀積 徳擧。秀才は儂儂、擧人は積徳。秀才の試験は儂儂でえられるが、擧人は積徳。秀才の試験は儂儂でえられるが擧人は徳を積まねば及策が出来ぬ。●婦人の託詞。何の因果か。何といふことか。まあまあ情ない。成——啊——寡雞仔 死了了。何といふ因果な。ことか難が皆死んでしまった。●婦人の詞。罪なことをする。悪いことをする。你不可傷——
 ヒアウ ヒアウ ヒエン チイ 儂儂 儂儂。不正の金。悪銭。——失徳了。●悪銭は罪業の爲に失ふ、悪銭身に附かず。
 ヒアウ ヒアウ ヒオン 儂儂。不人情。薄情。無情。朋友交

ヒアウ

陪不可——朋友の交際は不人情であつてはならぬ。彼個 查某 眞——あの女は眞に薄情だ。
 ヒアウ ヒアウ 儂儂。反返る。反る。枋——板が反返る。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 嫩嫩。淫奔な淫賣婦。助兵衛女郎。
 ヒアウ ヒアウ 儂儂。心變。豹變。背恩。義に負く。——人的恩。人の恩義に背く。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 儂儂。●儂儂。●豹變する。心變する。背く。●癢返を打つ。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 剝皮。皮が剝ける。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 嫩花。嬌治しい。——查某。淫奔らしい女。色めかしい女。●返を打つ。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 儂背。約束などに背く。背反。豹變。瘦
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ ラグ ラグ 嫩癖。極淫奔な。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 儂儂。【儂儂】。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 攪攪。【攪攪】。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 卸卸。【卸卸】。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 剝剝。【剝剝】。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 剝剝。【剝剝】。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ 噍噍。道理が分る。條理に通ずる。——人褲自己 脱。聰明な人は自らズボンを脱ぐ、自ら非を覺ること。【治しい】。
 ヒアウ ヒアウ ヒアウ リヌロン 嫩輪瓏。非常に淫奔な。非常に嬌

ヒアア

ヒアウ レレレ 嫩持持。前に同じ。
 ヒアア
 ヒアア 翁。【翁】。
 ヒアア 俠。(性) 俠。
 ヒアア 脇。脇。一下。脇の下。一骨。肋骨。
 ヒアア 協。協同。合する。無——不和。一心。協心。
 ヒアア 挟。挟む。抱く。一怨。怨を抱く。一恨。同上。一嫌。悪感を抱く。根に持つ。
 ヒアア 協。釘を抜く時など前後左右に動かす。一起来。同上して抜く。一被伊 擡。同上してぐらつく様にする。一没震動。揺動しても動かぬ。
 ヒアア エエ 脇下。脇の下。
 ヒアア ヲア ヲア 挾怨。怨を挾む。怨む。怨を抱く。
 ヒアア キエキエ 挾撃。(文) 挾撃。
 ヒアア ギイ ギイ 挾疑。懷疑。疑を挾む。疑を抱く。
 ヒアア ギイ ギイ 協議。(國) 協議。
 ヒアア ギイ ギイ ホエ 協議會。(國) 協議會。
 ヒアア ギイ ギイ ホエ ヲア ヲア 協議會員。(國) 協議會員。
 ヒアア クイ クイ 協開。開き難い戸など揺動して開く。動して開ける。
 ヒアア クツ クツ 脇骨。肋骨。肋骨。
 ヒアア シム シム 協心。互に助合ふ。協心。

ヒアアセエ 挾勢。勢を頼む。――要欺負人。――勢を頼んで人を馬鹿にする。

ヒアアモエ 挾債。(親子の場合など) 無奈に財産を費消して親を困らせる。惣子眞。――彼の子は甚だ同上だ。

ヒアアモエ 挾制。掣肘する。壓制する。強制する。保正做事員。――保正が仕事をするに甚だ壓制だ。

ヒアアタイ 協臺。武官の名、参府の上臺の下、大佐に相當す。

ヒアアチイ 協折。杖など前後に動して折る。

ヒアアチエヌシオンテエ 協天上帝。【關公】。

ヒアアチヌ 協鎮。武官の名。

ヒアアトク 協同。(團) 協同。

ヒアアパヌ 協辨。協議の上で事を辨する。協同して處置する。●補助者。顧問。協辨。

ヒアアヒアア 協洽。(支) 十二支の未の別名。

ヒアアヒアア 協協。【協】。

ヒアアヒアム 挾嫌。面白くない思を持つ。悪感を抱

ヒアアフヌ 挾恨。怨を挾む。

ヒアアホエ 協會。(團) 協會。【和合】。

ヒアアホヲ 協和。親密にして互に和合する。協和。

ヒアアリアア 協協。【協協】。

ヒアア

ヒアアライ 協理。主事の補助役。

ヒアアリエク 協力。(支) 協力。――同心。同心協力。

ヒアアロク、キウ、チウ 葉落九州。――根同一。處。葉は落ちて四方に廣がってゐるが根元は一處である、子孫が方々に分れても本は同一である。

ヒアム

ヒアム辛。辛い。一到凍舌。舌を刺すほど辛い。ひりりと辛い。番置食了能。唐辛子を食ふと辛い。

ヒアム險。●危い。危險。弄。危險を買す。一路。危險な道。危い所。較。擔油。滾つてゐる油を擔ぐよりも危い。臨。不。危險に臨んでし

かも危くなかつた、九死一生の時などいふ。●危く。既事に。――同上。一死。危く死ぬ所であつた。一没赴。既事に合はぬ所でした。●要害。險阻。險要。一險。險隘。據。一要害の地に據る。

ヒアム喊。●大聲で叫ぶ。一叫。同上。一救人。助けてくれと叫ぶ。一賊。賊だと叫ぶ。一冤。冤を叫ぶ。●聲を立てて逐ふ。一雞。鶏を逐ふ。一狗。犬を逐ふ。●呼ぶ。一人。人を呼ぶ。一手車。人力車を呼ぶ。警察。一你。警察官があなたを呼んでゐる。

ヒアム嫌。●嫌ふ。厭ふ。嫌がる。甜鹹淡無。一甘いのも鹽からの水っぽいのも嫌ではない、何でも好だ。●文句を言ふ。小言をいふ。一東。西何だ彼だと文句を言ふ。頭家在。一主人が小言をいつてゐる。一艱苦。苦を訴へる。一少錢。金が少いといつて不平をいふ。●叱る。先生。學生。先生が生徒を叱る。無塊可。一非難すべき處がない。言分なし。無縫可。一同上。ヒアムアイ 險隘。危險な場所。險阻。險隘。一。ヒアムイアウ 險要。要害。險要。據。一。要害に據ヒアムヲアヌ 喊冤。大聲で冤を訴へる。冤罪だといつて叫ぶ。

ヒアム

ヒアムカク 喊角。稻刈の終つた時落穂を拾ふ子供等に

ヒアムキイ 嫌忌。忌む。嫌ふ。相。一。互に忌嫌ふ。ヒアムキイ 辛痺。【辛縮縮】。

ヒアムキイ 辛痺。前に同じ。

ヒアムキウ 喊救。救を求め。助けてくれと叫ぶ。

ヒアムキウ 辛縮縮。非常に辛い。

ヒアムキウ 辛縮縮。前に同じ。

ヒアムキウ 喊叫。叫ぶ。呼ぶ。喚る。大聲。一。大聲で喚る。

ヒアムキウ 喊叫。叫ぶ。呼ぶ。喚る。大聲。一。大聲で喚る。

ヒアムキウ 喊叫。叫ぶ。呼ぶ。喚る。大聲。一。大聲で喚る。

ヒアムキウ 喊叫。叫ぶ。呼ぶ。喚る。大聲。一。大聲で喚る。

ヒアムキウ 喊叫。叫ぶ。呼ぶ。喚る。大聲。一。大聲で喚る。

ヒアムキウ 喊叫。叫ぶ。呼ぶ。喚る。大聲。一。大聲で喚る。

ヒアムキウ 喊叫。叫ぶ。呼ぶ。喚る。大聲。一。大聲で喚る。

ヒアム

を煮たものに少の胡麻油を入れた料理。

ヒアンイウヘク香油蝦。胡麻油で蝦を料理したも

ヒアンイエン響應。木響。山響。反響。「の。

ヒアンキエン響弓。風箏。風箏。風吹掛一風に

風箏を附ける。

ヒアンギヌ餉銀。(連)餉銀。

ヒアンクヌザイ香芹菜。(茴香)。

ヒアンシイ向時。其頃。其時。其當時。

ヒアンズウ香菇。(香菇)。

ヒアンソオ向素。其當時。其時。其頃。

ヒアンフア響蕪。樂器。小な銅鑼の一種。鉦。

ヒアンツイライ香水梨。(種)梨の一品種。

ヒアンヒアン香香。香かぶんぶん鼻をつく。

ヒアンヒアン享享。(享)。

ヒアンベエ響馬。追剝。山賊。土匪。

ヒアンベエザツ響馬賊。前に同じ。

ヒアンベエタヌ響馬丹。コブラからとった毒薬。盗

賊などが麻酔劑として用ひるといふ。

ヒアンベエボラ響馬婆。(女)の盜賊。(鐵)火な女。

女の無賴漢。鐵棒曳。

ヒアンペエ響皮。(靴)の鳴皮。鞋掛一靴に鳴皮

をつける。(燒餅)のかりかりした皮。

ヒアンム香茅。(種)レモングラス。(禾本科)葉より

香油を製し、又葉の煎汁は皮膚の痒きを治するに

ヒアンホグ享福。(享)享福。「用ふ)。

ヒアンリアン享享。(享)享享。

ヒアンリアン響亮。音が響渡る。

ヒアンロラ響鑼。好く響く銅鑼。

ヒイ

ヒイ希。(姓)希。

ヒイ義。(姓)義。

ヒイ儂。(姓)儂。

ヒイ稀。(姓)稀。稀。人生七十古來一人生七十古來稀なり。一罕一稀なり。

ヒイ墟市。市の立つ所。市を開く場所。牛一牛の市。落一市に往く。「墟)。

ヒイ噲。(笑)笑む時の口形。一甚麼事何で笑つてゐるか。(籠)帽子・布など歪む。歪になる。形が頰

れる。布袋嘴一去一袋の口が歪む。此號布眞賢一こんな布はよく縮んで歪む。一筍一籠など

の形が頰れて歪になる。粥など水っぽくて味がない。糜煮了傷一粥の煮方が餘りに同上

だ。一歹食一同上で不味い。

ヒイ虛。(虚)虚。

ヒイ喜。(喜)喜。一事一慶事。一酒一慶事

の酒。祝酒。賀一慶事を祝ふ。恭一同上。入門一嫁入して程なく妊娠すること。

ヒイ彼。(彼)彼。

ヒイ戯。(戯)戯。芝居。歌舞伎。演劇。劇。搬一芝居をする。看二齣一芝居を二番見る。大

一歌舞伎芝居。傀儡一操人形芝居。熟熟一跌落脚一熟練な役者も時には舞臺から落ちる。猿も木から落ちる。

ヒイ肺。肺。肺臓。傷着一肺を害する。一癆一肺病。猪一豚の肺臓。

ヒイ魚。(魚)魚。魚。魚。一尾一匹の魚。有

一不食頭一魚が澤山あると頭を食はない。食物に營養になる意。一食露水。人食嘴美一魚は露を食ひ、人は口先で食ふ。口先の上手な人は得

だ。一死、目不昏一魚は死んでも目が合はない。不満で瞑目が出来ない意。一趁生、人趁嫩一魚は生の中、人は若い中。一還一蝦還蝦一魚は

魚、蝦は蝦、區別して混同しないこと。(魚)魚。

ヒイ耳。(耳)耳。一耳。一入一出一片方の耳か

ら入って片方の耳から出る、聞いた事を直忘れてしまふ意。摺頭摺一頭を擧げ耳を立てる、不

眞面目で餘所見をする意。(銅)や土瓶などの鉞を掛ける耳の形した把手。耳。指桶一バケツの

ヒアン

ヒイ

ヒイ

ヒイカン 耳孔。耳の孔。耳。一膠耳鳴。嘈着。一

一騒騒しい。やかましい。耳ははりになる。一

一重耳が遠い。一輕輕しく信する。輕信。

一嘩嘩耳が鳴る。一入一出一出

一の耳から入って一の耳から出る、聞いた事を

直に忘れる。控一耳の孔を穿る。做一不

曾聽見この耳があつてから聞いた事がない。

一被牛踏去耳の孔が牛に踏潰された、

耳の遠い人を罵る語。一控利利耳をよくほ

じくって聞く。一傾空空在聽耳をすまして

聞く。傾聽する。

ヒイカン 耳孔。(應)前に同じ。

ヒイカン アア アア 耳孔存藤。(大葡萄)。

ヒイカン キヌ 耳孔輕。耳が輕い。輕信。一一的

人聽人的話隨時信同上の人は人の話を聽

くと直信じ切る。

ヒイカン クイ 耳孔鬼。鼓膜。一一嘩嘩耳が

鳴る。一一在哮同上。一一在要走出來

鼓膜が破れる様だ。

ヒイガヌ 戲言。(兼)【戲言】。

ヒイキア 耳鏡。鼓膜。一破鼓膜が破れる。

ヒイキイ 希奇。(珍)珍奇。珍しい。一一的物珍

い。

ヒイキイ 魚鱗。鱗。脊鱗。

ヒイキイ 魚莖。魚の莖。

ヒイキイ チエン トア 肺氣腫大。(病) 肺氣腫。

ヒイキウ 戲腔。芝居口調。臺詞訛。

ヒイキエウ 戲曲。(國) 戲曲。

ヒイキエツ フツ 肺結核。(國) 肺結核。

ヒイキエン 喜慶。(喜) 慶慶。慶事。

ヒイキヲ 喜輪。花嫁の輪。

ヒイキヲ 戲脚。俳優。役者。

ヒイキム 戲金。役者に與へる金。送一一同上を與

ヒイギエヌ 戲言。(喜) 冗談。無戲話。軍中無一一

軍中には冗談は無い、直面目な時に冗談を

いってはならぬ意。

ヒイクイ 肺管。(兼)【肺管】。

ヒイクツ 魚骨。魚の脊骨。魚の骨。

ヒイクン 肺管。氣管。氣管支。咽喉筋。一一新炎

急性氣管支炎。一一舊炎慢性氣管支炎。一一

炎症肺炎。

ヒイケエ 耳科。耳科。

ヒイケエ アア 魚架仔。魚の棚。魚屋。排一一

ヒイゲエ 彼個。次に同じ。

ヒイゲエ 彼個。(兼)彼。彼の。彼の。

ヒイコア 魚干。干魚。乾魚。

ヒイコア 硯蓋。硯蓋。

ヒイコアイウ 魚肝油。肝油。

ヒイコアヌ 喜捐。寄附。喜捨。

ヒイコアヌ 戲館。(兼)役者の家。劇場。芝居小屋。

近一邊猪母沒吹簫亦能打拍芝居小屋の

近邊の豚は尺八を吹くことは出来なくとも拍子

を打つ位の事は出来る、門前の小僧習はぬ經を

ヒイコアヌ 耳環。耳輪。耳の環。

ヒイコエ 魚鮭。魚の鹽辛。小な魚の鹽漬。

ヒイコオ 耳鼓。(新) 鼓膜。

ヒイコオ 魚籠。魚を輪切にしたもの。

ヒイコオ シア 戲鼓聲。芝居の銅鑼や大鼓などの音。

ヒイコヲ 喜筭。籠など歪む。形が頽れる。籃仔一一

籠が歪む。帽子一一帽子の形が頽れる。

ヒイコヲ 魚鍋。魚の寄鍋の如き料理。

ヒイコヲ 魚筭。筭。一一當魚筭で魚をとる。

ヒイコヲ 許可。(國) 許可。

ヒイサイ 耳屎。耳屎。耳垢。

ヒイサグ 擲揀。棄てる。投出す。投げる。投棄する。

橋過初一一橋を渡って杖を棄てる、咽元過ぐ

れば熱を忘れる。

ヒイ

ヒイサツ 魚虱。(動) 魚に寄生する虱。魚虱。

ヒイザイ 魚栽。飼育する爲の魚の子。魚苗。活——
魚苗を育てる。播——魚苗を育てる爲に容器
を常に揺動す。

ヒイサイフツアア 魚栽槽仔。魚苗の飼育池。魚苗
を入れる櫃の如きもの。

ヒイザイルウ 魚栽瀧。魚苗を抄ふ網。

ヒイザク 魚鱗。魚扱。

ヒイシア 喜捨。喜捨。寄進。施す。——銀冥加金。
良心——同情して施す。

ヒイシアンコオケ 虚傷癰腫。(虚) 虚傷癰腫。

ヒイシイ 彼時。其時。當時。——不比此時。昔と
今は違ふ。

ヒイシウ 喜壽。七十七歳。喜壽。做——七十七の
祝をする。爲伊賀——彼の爲に七十七を賀す
る。

ヒイシウ 戲箱。女形の役者に夢中になる人を罵つて
ヒイシウ 魚養。鹽魚を乾したもの。魚の干物。

ヒイシウ 硯箱。硯箱。「居の教師」

ヒイシエヌシイ 戲先生。役者に藝を教へるもの。芝
ヒイシエン 犠牲。(圖) 犠牲。

ヒイシエン 戲生。芝居の男役。男形。立役。花形。

ヒイシオンコオケ 虚傷癰腫。女の肺病。男の肺

ヒイ

病。脹滿。胃瘕の四病。(この四病は最も難治と

ヒイシツ 虚實。(虚) 虚實。「せらる」。

ヒイシツ 魚鱗。腹の鱗。

ヒイシヌ 喜信。(喜) 嬉しい便。吉信。吉報。

ヒイシヌ 喜神。好い神。迎——好い神を迎へる。

ヒイシム 喜心。喜の心。——施捨喜んで施しを
ヒイジイ 魚餌。魚の餌。餌。「する」。

ヒイジエツポラ 肺炎。肺熱暴喘。(病) 肺炎。

ヒイジツ 喜日。祝日。祝日。吉日。

ヒイスイ 虚詞。(虚) 虚詞。「い事」。

ヒイスイ 喜事。喜事。慶事。吉事。目出度

ヒイスイ 虚損。(虚) 虚損。

ヒイソツハイサウ 肺燥咳嗽。(病) 急性気管支炎。

ヒイソアン 戲園。(戲) 戲園。

ヒイソク 硯槽。硯の海。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイソク 魚腹。腹物。腹。

ヒイ

ヒイタウケ 戲頭家。座元。芝居の經營者。

ヒイタウコク 魚頭擴。魚の頭の骨。

ヒイタツ 耳塞。(病) 耳の孔に出来る腫物。生——
同上が出来来る。喪の時被る帽子に麻を結ひて
耳邊に下げるもの。服喪中世間の事を耳に入れぬ
意なりといふ。

ヒイタヌサグ 擲擲。投げ捨てる。投げやる。

ヒイタヌタア 擲擲。投げ捨てる。投げやる。

ヒイタヌソイ 魚趁生。——人趁嫩魚は生の中、
人は若い中。

ヒイタン 虚重。(虚) 虚重。

ヒイタン 魚凍。魚の煮凍。

ヒイタン 擲銅。(戲) 陽物。

ヒイチアロオツイ 魚食露水。——人食嘴美
魚は露を食ひ人は口先で食ふ、口先の上手の
は得が多い。

ヒイチアウ 喜鳥。(動) 鵲。

ヒイチアウ 嬉笑。(喜) 嬉しく笑ふ。

ヒイチアム 稀筴。(稀) つくしめなもみ。(菊科。莖・葉
を細切して煎服すれば、リウマチス・喉痛・便毒に
ヒイチアム 魚鑽。魚串。「効あり」。

ヒイチアム 魚針草。【魚筴草】。

ヒイチアム 稀筴草。【稀筴】。

ヒイチアムサウ 魚簽草。(種)ぶそろひばな。(唇形科、莖・葉を風邪・解熱等に用ふ)。

ヒイチイ 魚子。●鱈の卵。●鱈子。

ヒイチイ 魚煎。魚の天麩羅。フライ。

ヒイチイ 耳箭。兵の犯則者の耳に刺す矢。挿し。

同上を挿す。

ヒイチイ 魚腮。鰓。

ヒイチイ 魚翅。鱧の鱧。(料理の材料として用ふ)。

ヒイチイ 魚市。魚市。魚棚。魚市場。魚市。雜魚場。

ヒイチイ 魚生。生魚。買一ー來食生魚を買って来て食ふ。

ヒイチイ 魚腥。腥。腥物。食菜人不可食一ー

菜食人は腥物を食へてはいけない。「市」。

ヒイチイアア 魚市仔。魚市場。魚棚。雜魚場。魚

ヒイチウ 喜酒。慶事の爲の酒宴。祝宴。祝酒。食

一ー祝酒を飲む。「馳走」。

ヒイチウ 戲酒。祝賀の時に芝居を見ながら食べる御

ヒイチウ 魚齋。小魚などを味噌漬にしたもの。

ヒイチウ 擲手。手を振る。「こ」。

ヒイチエヌチウ 擲鞆鞆。鞆鞆に乗って前後に振るこ

ヒイチエントア 肺腫大。(病)肺氣腫。

ヒイチオク 喜鵲。(鳥)鵲。

ヒイチオン ヒイ 喜冲喜。吉、吉を刺す。甲乙兩家に

同時に吉事のある時、互に贈答すれば災難を招くといふ。

ヒイチヲ 硯石。硯石。

ヒイチアウ 喜兆。喜の兆。吉兆。吉瑞。

ヒイチアウ 戲柱。芝居好。芝居の常客。

ヒイチイ 戲猪。女形の役者などに夢中になるもの。

【鳥皮猪】。

ヒイチイ 魚池。邸宅内にある池。泉水。前一ー後果

子一前には泉水、後には果實、富豪などの邸宅の完備せる形容。

ヒイチイ 耳蒂。耳の孔を半ば被ふ軟骨突起。

ヒイチイ 耳痔。(病)耳腔に發生する一種の腫瘍。耳

ヒイチイ 硯池。硯の海。墨池。「茸」。

ヒイチウ 墟場。市場。

ヒイチウ 戲場。劇場。芝居小屋。

ヒイチウ 擲手。(擲)擲。

ヒイチエン 魚燈。上元に子供などが持遊ぶ魚の形し

ヒイチオン 肺脹。(病)肺氣腫。「た提燈」。

ヒイチオン トア 肺脹大。前に同じ。

ヒイチヌ 魚藤。【蘆藤】。

ヒイツウ 戲主。俳優の雇入主。興行主。

ヒイツウ 耳珠。耳朶。

ヒイツツ 喜鵲。目出度い芝居の外題。

ヒイツツ 戲齣。芝居の外題。暮。狂言。一ー的單

一ー番組。番付。摘一ー外題を擇ぶ。

ヒイツツ ボンゴエ 喜出望外。望外の喜。棚から

ヒイツツ 許準。許可。認可。許す。「牡丹餅」。

ヒイツツ 戲船。芝居をする船。

ヒイツツ 魚船。漁船。漁舟。漁船。

ヒイツツ 耳睡。一ー耳に吊り下げの金・銀・玉などの飾

耳飾。一ー耳朶。

ヒイツツ 耳脣。耳の縁。「加答兒」。

ヒイツツ カアタジイ 肺體加答兒。(病)氣管支

ヒイツツ キイチオン 肺體氣脹。(病)肺氣腫。

ヒイツツ エチエク ヒエツ 肺體積血。(病)肺充血及

び梗塞。

ヒイツツ エホアツイアム 肺體發炎。(病)肺炎。

ヒイツツ 戲單。一芝居の番付。外題書。一芝居の入

場券。

ヒイツツ 戲旦。芝居の女役。女形。賭鬼較美一

賭博の鬼が女形よりも奇麗な、賭博は芝居よ

りも溺れ易い意。

ヒイツツ 虛地。(虚地)。

ヒイツツ 喜題。喜捨。寄附。一銀一寄附金。

ヒイツツ 墟渡。市場に通ふ時の渡船。

ヒイ

ヒイ

ヒイ

をする。●(又) 戯語。諧語。

ヒイヒオク ヒイヒオク 戯語戯語。前に同じ。

ヒイヒヲ 耳葉。耳葉。耳葉。耳葉。

ヒイヒイ 稀微。寂しい。衰微。一時的所在寂しい所。潮漸一一段段と衰微する。

ヒイヒイ 戯棚。芝居小屋。舞臺。屋臺。扒起一頂。舞臺に登る。

ヒイヒイ 肺病。(圖) 肺病。

ヒイヒイ 魚披。魚を入れる筈。

ヒイヒイ ホン 耳邊風。耳邊の風。掠做一一同上とする。耳を傾けない。上の空で聞く。

ヒイヒエン 肺病。(圖) 肺病。

ヒイヒヲ 魚標。銚。

ヒイヒヲ 魚鰓。魚の浮袋。鰓。水袋。

ヒイヒヲ カア 魚鰓膠。魚の鰓で作った膠。鰓膠。

ヒイフウ 肺虚。(魚) 肺結核。肺病。詞。

ヒイフウ 肺腑。肺腑。肺腑。一的話心から出る

ヒイフウ 魚肺。魚肉の田敷。おぼろ。

ヒイフウ キヲ 噓嘘叫。一 粗摺白などの音。おと鳴る。風の吹く音。風一風がびゅう

びゅうと吹く。呼吸の烈しい様。はあはあ。喘

到一はあはあと喘く。

ヒイフウ チエン 肺腐症。(病) 肺壞疽。

ヒイフウ ハウ 噓嘘叫。【噓嘘叫】。

ヒイフウ ヒイハア □□□□。喇叭の音。ぶらう。ぶらうぶらう。

ヒイフン 戯園。芝居小屋。劇場。

ヒイブヌ 戯文。芝居の脚本。筋書。不知一 大氣

掠在噴一筋書も知らないくせに頻りに感心して

ある。劇に通ぜざるものを冷笑していふ。

ヒイブツ キエヌ ヒイ 喜不見喜。喜は喜を見ず、

甲乙兩家に同時に吉事の有る時は互に贈答しない。【喜沖喜】参照。

ヒイブヌ 戲盆。死者に供養する芝居。鱗介。

ヒイヘ ツイツツ 魚蝦水卒。魚類。魚族。水族。

ヒイベエ 噓噓。汗の多い。粥。淡い粥。

ヒイベエ 魚尾。魚の尾。

ヒイベエ エ 魚尾又。魚の尾の又になった所。

ヒイペエ 戲棚。(魚) 【戲棚】。

ヒイペエ 耳扒。耳搔。

ヒイペエ 熙皮。茶の商品名。

ヒイホア 虚華。(魚) 【虚華】。

ヒイホア 噓嘘。一 滾一高聲でさざめく。がやがや

騒ぐ。ぎゃあぎゃあ騒ぐ。一 叫一 同上。

ヒイホアヌ 喜歡。(又) 歡喜。

ヒイホアヌ 魚販。漁夫より魚類を仕入れ魚商に賣

る者。●魚類の振賣をする者。魚賣。

ヒイホアヌ ヒイ魚還魚。一 蝦還蝦一 魚は魚、

蝦は蝦、區別して混同しないこと。

ヒイホアヌ アア 魚販仔。【魚販】。

ヒイホアヌ アア エ 魚販仔白。魚賣の使用する

隠語。一三三四五六七八九十を【幼色冬真任皆

才捌欠臺】といふ。

ヒイホエ 虚火。(魚) 【虚火】。

ヒイホエ 魚花。魚群の遊ぶ時水面に出来る波紋。

ヒイホオ 戲虎。劇に精通せる者。劇通。

ヒイホオ 魚虎。養魚池などに侵入して害を爲す魚。

ヒイホク 喜服。(又) 悦服。

ヒイホク 戲服。役者の衣裳。芝居の着物。

ヒイホン 耳風。風説。噂。我有聽見此號一

私はこんな噂を聞いた。不可聽人的

人の噂に耳を貸すな。

ヒイボエ 魚尾。(魚) 【魚尾】。

ヒイボン 希望。(又) 冀ふ。望む。希望する。

ヒイボア 硯盤。硯。一 匣一 硯。硯。

ヒイボオ 魚肺。乾魚。干物。

ヒイボオ エ 魚肺稽。乾魚の屑。

ヒイボヲ 喜報。吉報。吉左右。

ヒイボク 稀薄。(圖) 稀薄。

ヒイ

ヒイメエヒエツキエツチエン肺脈血結症。(病)
 肺充血及び梗塞。
 ヒイモオ肺膜。肋膜。――積氣呼吸器の疾患。氣胸。――積膿同上。
 ヒイモオイアム肺膜炎。(病)肋膜炎。
 ヒイラア魚脊。魚の白子。白子。
 ヒイラウ耳漏。(病)耳漏。
 ヒイラウラウ嘻落落。非常に歪な。
 ヒイラヌ魚鱗。鱗。打――鱗をとる。
 ヒイラヌモエ魚鱗瘰。疣。魚目の類。――仔同上。
 ヒイラヌモエ魚鱗册。鱗の形に重ね並べる。●光緒十二年劉銘傳が土地整理をなせし時の土地臺帳。(臺帳に記載せる地圖の鱗形に畫かれたるを以て此の名あり)。
 ヒイラヌヒエン魚鱗形。鱗形。――「鰯」。
 ヒイラン戯弄。女に戯れる。巫山戯る。調戯ふ。
 ヒイラン戯籠。芝居の道具又は衣裳を入れる籠。
 ヒイラン戯弄。【戯弄】。
 ヒイリアア希臘。希臘。――國同上。
 ヒイリイ嘻嘻。【嘻嘻】の○。
 ヒイリウ魚鱗。(動)鱗。――「便孔」鱗は出來合の穴を見附けて住む。人の爲した後を追つて爲す

ヒウ

が如きをいふ。――不知尾後臭。鱗は自分の通つた後に泥が起つて臭いのを知らぬ。自分の不評判なことを知らずして威張る人などをいふ。
 ヒイリウコアヌ魚鱗環。腕輪の一種。
 ヒイリウサウ魚鱗草。(種)をひじは。ちからぐさ。(禾本科、莖葉を煎して外傷の洗滌劑となす)。
 ヒイリイ魚雷。(種)魚形水雷。
 ヒイロオ喜怒。(又)喜怒。――哀樂喜怒哀樂。
 ヒイロオ魚齒。鹽魚から出る齒汁。
 ヒイロオアイロウ喜怒哀樂。(又)喜怒哀樂。
 ヒイロウ肺癆。(病)肺病。肺癆。
 ヒイロウコオキョク虚癆癰腫。女の肺病。男の肺病。脹滿。胃瘕の四つの難病。
 ヒイロウ喜樂。(又)喜樂しむ。喜樂。
 ヒウ幽。(姓)幽。
 ヒウ休。(姓)休。休。無時――休む間がない。――業。休業。私――爭事など内済にする。性命――去。往生した。干――罰すべきものなどを徒で済す。
 ヒウ咻。呼叫ぶ。大聲で呼ぶ。――人。大聲で人を呼ぶ。大聲――大聲で叫ぶ。喝――喚叫ぶ。

ヒウ

ヒウ朽。朽ちる。腐る。――爛同上。爛――朽果て
 ヒウ糗。(姓)糗。
 ヒウ洒。手に附いた水等をきる様にして振掛ける。――水。水を振掛ける。――擲。振棄てる。――鼻。鼻を指先で指先の涙を振棄てる。――油。油を騰する落花生の油に水を少し振掛けて油の臭氣を去る。――鞞。鞞をする。香水。臧下身。――香水を體に振掛ける。
 ヒウ臭。(又)臭。一名。臭名。一味。臭味。遺。萬年。臭名を萬年に遺す。
 ヒウ裘。裏のある着物。袷物。――袂。同上の袖。袂。――袷。綿。――綿入。羊羔。――羊の毛皮を裏に付けた着物。食父飯。穿母。――父の飯を食ひ母の袷を着る。親の膝を齧つて生活する。
 ヒウ香。(姓)香。線香。香。――灰。線香の灰。燒。――線香を焚く。拈。――燒香する。亦無三枝。――落。三本の線香も香爐に入つてない。取分が少しもない意。――過。較香。線香を他の香爐に立てかへればよく香る。故郷より他の地にて名聲あるなどをいふ。用。照人肉。線香で人の體に灸をする。――瘦。ぼつた。瘠。長い。――同上。枝。小細。肉附わるく且つ小柄な。一直。――去。段段と瘦せる。【香】。

ヒウ 郷。郷里。村。田舎。一郷一俗。一郷に一俗、所變れば品變る。一社一村落。一里一郷里。

【郷】。

ヒウ 響。風など音がする。風聞聞。風がひゅうひゅうと吹く。【響】。

ヒウ □。引放すが如くに女などが身を振る。振切る。

ヒウ 一。下就去。同上して去る。【向】。

ヒウ 向。向。方。一方向。坐。東。東向。東向になつてゐる。

ヒウ 芒。穂の先。穂の莖。粟。一穂の穂の莖。麥。一穂の穂の莖。

ヒウ 唼。唼息などの音。瘵病。在。一唼息持がひいひいふ。未練がある。尙且不死心。心肝在。一まだ諦がつかないで未練が残つてゐる。

ヒウ アア 香鴨。白い鴨。卵を多く生むといふ。

ヒウ アア 香禽。香合。香合。

ヒウ アヌ 香案。【香案】。

ヒウ イイ 香圓。(種) 圓佛手柑。(芸香料、果肉は酸味多く、菓子を製し又は【香圓茶】を製す)。

ヒウ イイ コエ 香圓瓜。(種) 倅人瓜。(葫蘆科、米國輸入の蔬菜にして胡瓜の如く使用せらる)。

ヒウ イイ チェン 香圓種。(種) 茶樹の一品種。【物】。

ヒウ イイ テエ 香圓茶。圓佛手柑の切干を煎じた飲

ヒウ イイ ビイ 香圓米。圓佛手柑の切干、茶の如く

飲料に供す。

ヒウ イウ 香油。香油。

ヒウ イエヌ 香煙。線香の煙。一不斷香の煙が絶えぬ。祖先の祭祀。接。一同上をつなぐ、跡目相續。一田一收穫を以て祖先祭祀の資に充てる田地。

ヒウ イヌ 香引。線香をマッチの代りに用ひる。

ヒウ エエ 郷下。故郷。我的。一私の故郷。村落。村里。地方。明仔。再要去。一掠猪。明日村へ往つて豚を買ふ。

ヒウ ヲア 香案。祭の時など門口に据ゑて供物を供へる卓、又其の物。置。一同上をしつらへる。

ヒウ ヲア トヲ 香案桌。【香案】を載せる卓。

ヒウ ヲア ヌ 香丸。白玉。香料を團子の如く丸めたものにて女や子供の身體に帯びるもの。

ヒウ ヲエ 香鞋。靴形の香袋。

ヒウ カア 香脚。線香の心、蘆を削つたもの。

ヒウ カヌ 郷間。郷里。田舎。郷間。村内。村中。

ヒウ カヌ 休刊。(國) 休刊。

ヒウ キアウ シム 香嬌心。【風鼓】の②。

ヒウ キイ 香几。香爐を置く小な卓。

ヒウ キイ 休去。お仕舞ひになる。萬事。一萬事休す。性命。一往生した。

ヒウ キイ シヨ ソエ 香枝小細。【枝香小細】。

ヒウ ギア ア 休業。(國) 休業。

ヒウ ギイ 香儀。香奠。

ヒウ クイ 香桂。(種) (樟科) 【山肉桂】。【土檀】。【油葉楠】。

ヒウ クウ 幽居。(又) 隱居。閑居。

ヒウ ケエ 香客。神佛を拜みに參る者。參詣者。

ヒウ ケエ ソオ 休憩所。(國) 休憩所。

ヒウ ケエ ロオ 香過爐。一較香。線香を他の香爐に立てかへればよく薫る、故郷にて尊ばれず他の地にて名譽あるなど。

ヒウ ゲエ チヲ 香芽蕉。【粉蕉】。

ヒウ コア ヌ 香環。巻線香。渦狀に巻いた線香。

ヒウ コエ 香瓜。(種) 眞桑瓜。(葫蘆科、果實は生食す)。

ヒウ コオ 香菰。椎茸。

ヒウ コヲ 香果。【風鼓】の③。

ヒウ コン 香公。【廟公】。

ヒウ サム 香杉。(種) 櫛大杉。(杉科、廣葉杉又は福州杉の一種にして建築其の他の用材として貴重せらる)。

ヒウ サア 香柴。香木。

ヒウ サウ 香草。【香草】。

ヒウ シア 郷社。田舎。郷。村。村落。村里。一廢去。村落が荒廢する。

ヒウ

ヒウ

ヒウ

ヒウ

ヒウ シイ 香匙。香をすくふ匙。

ヒウ シウ 向相。(同)家、室などの方角。向。坐甚麼

ー ー どの向に建つてゐるか。

ヒウ ジイ 休宇。離婚状。

ヒウ ジイ 糗餌。孔子を祭る時の供物の一種。

ヒウ スウ 休書。離縁状。

ヒウ スウ ギアア 香祀業。先祖の祭祀料として一家一族に属する公業。【蒸業】【祭祀業】等皆同一

ヒウ ズウ 香楡。【鐵木棍】。

ヒウ ズウ テエ 香清茶。【鐵木棍】を煎出した茶。

ヒウ ソア ログ 香線袋。線香袋。

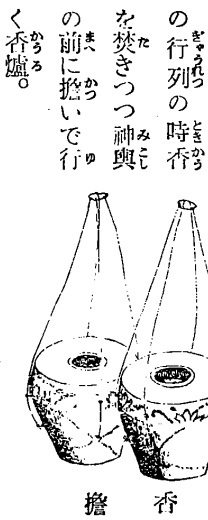
ヒウ ソア イ 香様。小くて香のよい線果。

ヒウ ソエ 香細。【枝香小細】。

ヒウ ソエ 香挿。女の髪に挿す香袋。

ヒウ ソク 香束。線香の袋。

ヒウ タア 香擔。祭



香擔

の行列の時香を焚きつつ神輿の前に擔いで行く香爐。

ヒウ タア 香塔。線香を塔の如き形に巻いたもの。

ヒウ タウ 香頭。香の一片。線香の層。

ヒウ タム 郷談。方言。地方言。

ヒウ

ヒウ タン 香筒。線香の筒。

ヒウ チイ フウ 休止符。(同)休止符。

ヒウ チウ 洒手。人を去らしめ、又は拒絶する時など、手の先を外の方へ振る。阿羅 ー ー 跛者が手を振って可笑な身振をして歩く。

ヒウ チエン 香銃。祭禮の時に用ひる鐵砲。

ヒウ チヲ 香蕉。(同)【芭蕉】。

ヒウ チツ 休職。(同)休職。

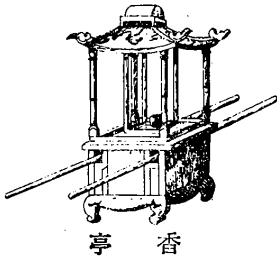
ヒウ チアウ 香條。線香。長い線香。祭禮の期日などを記載した細長い黄紙。出 ー ー 同上を掲げる。

ヒウ チアナ 香帖。簪などに附ける小な香袋。女の髪の中に入れる香袋。

ヒウ チアム 香店。線香屋。香具屋。

ヒウ チイ 香箸。香を挟む箸。

ヒウ チエン 香亭。香爐を載せた輦の如き物、葬式又は祭の時に用ふ。



香亭

ヒウ チヌ 香陣。祭の時に多大な線香を持って神輿に随ふ行列。

ヒウ ツイ 洒水。水をかける。打水。

ヒウ ツイ 洒嘴。口先を尖せて物を指示する。

ヒウ

ヒウ ツウ 休書。離縁状。

ヒウ ツウ 香珠。香の玉。香料で作つた數珠、願解に神佛に供へる。

ヒウ ツン 郷庄。在。田舎。村。村落。在所。地方。

ヒウ ツン 郷村。前に同じ。【村里】。

ヒウ テエ 香袋。香袋。香袋。

ヒウ トヲ 表套。【表】の上に着る衣物。

ヒウ ナア 香籃。香を入れる小な籃。

ヒウ ノア 朽爛。朽ちる。腐る。腐蝕する。

ヒウ ハア 休暇。(同)休暇。

ヒウ パウ 香包。香袋。

ヒウ パン 香香。絹の袋に香料を入れて婦人などの携帯するもの。

ヒウ ヒウ 咻咻。【咻】。

ヒウ ヒウ 休休。一而去 蹶然として去る。

ヒウ ヒウ 朽朽。爛 ー ー ぐじやぐじや。腐爛れる。

ヒウ ヒウ 洒洒。【洒】。

ヒウ ヒウ 洒洒。薄 ー ー 非常に薄い。寒 ー ー 非常に貧 ー ー 非常に貧乏な。

ヒウ ヒウ 香香。家畜・植物・子供など發育不良で細長い。瘦ぼつたい。萎縮する。【痺痺】。

ヒウ ヒウ 咻咻。痒疥 ー ー 叫 喘息持がせいせいとい

ヒウ ヒエン 復興。(多)興復。復興。

ヒウビイ 臭味。臭味。

ヒウビエン 臭名。汚名。萬載——萬世までの汚名。

ヒウビイ 酒鼻。指先に附いた涙を振捨てる。

ヒウビエン 彼旁。彼方。彼方。彼の側。

ヒウフウ 香灰。線香の灰。

ヒウヘエ 香火。線香の灰を入れた四角な赤い守袋。守袋。騰——旅行する時など位牌に記載せる祖先の出生・死に年月日及び戒名などを守袋の外に書移すこと。

ヒウヘエ 香蝦。蝦の形した香袋、佛像などに掛ける。

ヒウペエ 香胚。未だ仕上されない線香。線香の心にするもの。

ヒウホアイ 朽壤。朽ちる。朽壤れる。

ヒウホアヌ 休番。(新) 非番。

ヒウホエ 香火。(垂) 【香火】。

ヒウホオ 香火。(臭) 【香火】。

ヒウボア 香末。香の粉。抹香。

ヒウボウ 朽木。朽ちた木。朽木。不可彫。朽ちた木は彫刻が出来ない、やくざ者は如何に教へても仕方がない。

ヒウボエ 香胚。(箱) 【香胚】。

ヒウボオ 香舖。線香屋。

ヒウボオ 香胚。(臭) 【香胚】。

ヒウボオ 香胚。(臭) 【香胚】。

ヒウマウ 香茅。(種) かうするがや、又は同属の纏稱。(禾本科、葉より香油を製す)。

ヒウラム 香楠。(種) にはひたぶ。(樟科、樹皮を粉末にして水にてねり、糊の如くして線香製造に用)

ヒウリアウ 香料。香具。香料。

ヒウリイ 休離。離別。離縁。

ヒウリイ 裘裡。着物の裏。裕の裏。

ヒウリイ 郷里。郷里。故郷。古里。國許。做賊没贖得——賊を働くは巧でも郷里の者は騙され

ヒウリイラン 郷里人。田舎者。在郷者。「ない。」

ヒウリウ 咻咻。【咻咻】。

ヒウリウ 鴿鴿。【鴿鴿】。

ヒウリウ 酒酒。【酒酒】。

ヒウレエ 香螺。(動) 榮螺。紅螺。——刺。榮螺の角。

ヒウロオ 香爐。線香立。香爐。

ヒウロオアヌ コエ 香露。全雞。豚肉・椎茸・筍・葱等を雜へた鶏の全煮の料理。

ヒウロオヒイ 香爐耳。香爐の把手。香爐の耳。接——相續する。後を嗣ぐ。

ヒウロオ 香螺。(臭) 【香螺】。

ヒエク 赫。(姓) 赫。

ヒエク 黒。(姓) 黒。黒。暗。暗黒。——白。黒白。

近墨者——墨に交れば黒くなる。黒燒。——薑。生薑の黒燒。

ヒエク 嚇。感す。哄。怒鳴付けて嚇す。威嚇する。要。人。人を嚇さうとする。

ヒエク 獲。(姓) 獲。「獲こける。」

ヒエク 肉。肉。身。肉體。骨。骨肉。削骨落。或。或は。敢。是。如此。或はさうかも知れん。事に依るとさうかも知れん。一有。或はあるたら

う。一者。或は。一是。同上。

ヒエク アム 黒暗。暗黒。——的。世代。暗黒時代。

ヒエク ウヌイ エク 黒。瘡。瘡。病。黒死病。

ヒエク エエ 彼個。【彼個】。

ヒエク エエ 彼個。【彼個】。

ヒエク エエ 彼個。【彼個】。

ヒエク ヲアツ 或白。(交) 或は白く。

ヒエク キウ 黒薑。(藥) 生薑の黒燒。

ヒエク ゲエ 彼個。【彼個】。

ヒエク ゲエ 彼個。【彼個】。

ヒエク シア 黒蛇。(藥) 蛇の黒燒。

ヒエク シイ 或是。或は。それとも。又は。若しくは。——茶。滾水。給我。茶なり湯なり下さい。

ヒエク シウ 鹹首。(交) 鹹首。首切。

ヒエク シエク ジヌ チオン 黒色人種。(種) 黒色人種。

ヒウ

ヒエク

ヒエク

ヒエク

ヒエク シヌ 肉身。肉體。體。

ヒエク スウ ビエン 黒死病。(國)ペスト。黒死病。

ヒエク ツア リウ 黒砂瘡。【骨瘡】。

ヒエク フエ 獲罪。(又)罪を得る。——於天罪を天

ヒエク フヲ 黒糞。糞の黒糞。

ヒエク タイ 黒胎。(姓)黒胎。

ヒエク タウ 黒痘。(病)痘瘡。

ヒエク チア 或者。(又)或は。若しかすると。——不

亦無的確 || ひよとすると許可されるかも分ら

ヒエク テイ 黒齒。(姓)黒齒。

ヒエク ツウ 黒子。(又)黒子。黒子。

ヒエク テエ 黒帝。(又)冬。

ヒエク ビヌ ロクヌ 黒面郎君。(又)豚の別名。

ヒエク ビア 黒餅。孔子を祭る時の供物の一種。

ヒエク ビエク 黒白。黒白。——不分 || 黒白を辨ぜ

ぬ。——自分 || 黒白が自ら分る。

ヒエク ホオ シヌ 黒虎神。邪神の名。

ヒエク リイ 獲利。(又)利を得る。

ヒエク リエヌ 赫連。(姓)赫連。

ヒエク リオンカン 黒龍江。(河の名)黒龍江。

ヒエク リオンカン シエン 黒龍江省。(地名)黒龍

江省。

ヒエツ

ヒエツ

ヒエツ 血。血。氣 || 氣血。——不歸經 || 血の廻りが

順當でない。汚 | 痛 | 後腹。

ヒエツ 縛。投げる。放る。——来 | 去 || 投合ふ。——球 ||

ボールを投げる。——抜 || 投棄てる。

ヒエツ 穴。●穴。巢窟。巢穴。土 || 土穴。●墓場や

建物の敷地などで靈験ある地勢を成してゐる處。

靈地。結 || 靈験ある地勢を形成してゐる。活

——地相上墓場や建物の敷地として適當な箇所。

死 || 靈験の無い箇所。葬着 || 靈験の有る箇

所に埋葬した。田舎仔 || 蛙の形をした靈地。

鯉魚 || 鯉の形をした靈地。蜘蛛結網的 ||

蜘蛛が巣を作つてゐる様な形をした靈地。——風

水 || 一箇所の墓。一場 || 墓地。地理師點 || 地

相見が墓地を撰定する。●急所。——位 || 同上。點

——急所を突く。

ヒエツ アア 縛仔。時計の振子。

ヒエツ イエク 血液。(國)血液。

ヒエツ ウイ 穴位。急所。

ヒエツ カク 縛摺。棄てる。投棄てる。投棄する。打

ヒエツ キイ 血痣。充血の跡。赤痣。

ヒエツ キイ 血氣。血氣。血液。血。——運動 || 血が

ヒエツ

廻る。血液が循環する。——旺 || 血氣盛。——

方剛 || 同上。——凝得 || 血が滯る。血行が凝滯

する。——不行 || 血行が活潑でない。

ヒエツ キイ 縛去。擲つ。投げる。投棄る。

ヒエツ キエツ 血竭。(藥)麒麟竭。

ヒエツ キエヌ 縛燕。【蹄燕】。

ヒエツ コオ 血枯。衰弱の爲の月經停滯。

ヒエツ サク 縛揀。棄てる。投出す。遺棄する。打遣

る。打棄てる。

ヒエツ シア ジエツ チエン 血蛇熱症。(病)丹毒。

ヒエツ ジイ タウ 穴字頭。漢字の穴冠。

ヒエツ フク 血族。(國)血族。

ヒエツ チイ チエン 血箭疔。(病)淋巴系統の疾患。

ヒエツ チエヌ 血戰。(又)血戰。激戰。

ヒエツ チオン 血掌。掌の赤いこと。

ヒエツ チアウ 縛丟。(姓)【縛丟】。

ヒエツ チイ 血痔。(病)肛門の靜脈怒張及び靜脈瘤。

ヒエツ チウ 縛丟。棄てる。打遣る。打棄てる。

ヒエツ チウ 穴場。墓地。點 || 墓地を撰定する。

ヒエツ トエ 穴地。墓所。墓地。墓地。

ヒエツ ハヌ 血漢。●雄雄しい男。●雄雄しい。男ら

しい。——就允伊 || 男らしく承諾する。不 |

——男らしくない。

ヒエツ ヒイ 血虚。(漢)【血虚】。

ヒエツ ヒエツ 鰥鰼。(鰥)【鰥】。

ヒエツ ビエツ 血脈。血統。血筋。留一血統を殘す。同一血筋。

ヒエツ ビエン 血崩。(病) 崩漏。長血。血崩。産に因らざる子宮出血。

ヒエツ フウ 血虚。(病) 貧血。(病) 女の肺結核。

ヒエツ フヌ 血暈。分娩後など出血多量の爲虚脱する。

ヒエツ フヲ 血虚。(病)【血虚】。

ヒエツ ヘエ 鰥下。放つて置く。放置す。打遣る。打

ヒエツ ホン 血癲。(病) 血道。【遣らかす】。

ヒエツ メエ 血脈。血管。血脈。血統。血統。

ヒエツ リイ 血痢。(病) 赤痢。痢病。血痢。赤腹。

ヒエツ リウ 血瘤。(病) 動脈瘤。血管瘤。

ヒエツ リエツ 鰥鰼。(鰥)【鰥】。

ヒエツ リム 血痲。(病) 痲病。痲疾。血痲。

ヒエツ ルイ 血涙。(文) 血涙。

ヒエヌ

ヒエヌ 齋。(姓) 齋。

ヒエヌ 軒。(姓) 軒。軒。書一書院。書齋。祭

典に加はる音楽隊などの稱。長義一長義軒。徳樂一徳樂軒。

ヒエヌ 掀。(動) 捲上げる。開く。明ける。一書一

を捲る。一箱一箱の蓋を開ける。一蚊一蚊帳

を捲る。一秘密や献酬などをさらけ出す。我

共你一開一お前の秘密をさらけ出す。一脚蹠底

俾人看一蹠を出して人に見せる。身内同志が相

争つて醜聞をさらけ出す。一手底俾人看一掌

を出して人に見せる。同上。一闘争する。戦ふ。

争ふ。與伊一彼と争ふ。二個在一情理一二人

人が理論を戦はす。

ヒエヌ 顯。(姓) 顯。

ヒエヌ 顯。(動) 顯。顯。灼然。一然一顯然。

公然。一應一灼然。一庶一弟子落險一神靈が灼然

なれば一氏は祭典費の爲に落魄れる。一庶一弟子

了錢一同上。

ヒエヌ 撼。(動) 揺れる。踰限ける。揺ぐ。船真一船が非

常に揺れる。一擲擲一ぐらぐら揺れる。一航航一

一同上。行路激用一態と威張つて歩く。

ヒエヌ 憲。(姓) 憲。一兵一憲兵。一法一憲法。一

政一憲政。

ヒエヌ 献。(動) 献。献する。差上げる。一寶一寶

を差上げる。一紙錢一紙錢を焼いて神に奉納

する。一計策一献策。一功一献功。一露出にす

る。表面を露す。人前にさらけ出す。一胸一胸を

露出にする。一牌仔一骨牌を捲る。一俾人看一

藏してある物などを出して人に見せる。一塚一墓

地を公に提供する。一落公一公に提供する。一

原形一正體を露す。一開廣がる。口が開いて

みる。一嘴的碗一口の開いてある茶碗。孔嘴一

花一傷口が開いてある。一胸的洋服一脊廣服。

同上に切開く。廣げる。一做四一肉などを

四つに切開く。一裾一陣羽織の様に裾を開ける。

魚着一咧即焼能透一魚を切開いて焼くと

よく火が通る。

ヒエヌ 賦。(動) 動物などの悪い臭。香。香。羊公一羊

の臭。腋臭の臭。人一人の體の臭。日一日日向

臭い。一鴨一鴨の尻にある豆の様な二つの玉。

驚の尻にある軟な毛。

ヒエヌ 玄。(姓) 玄。

ヒエヌ 弦。(姓) 弦。弦。弓一弓の弦。

ヒエヌ 賢。(姓) 賢。賢。賢。敬老尊一

老者を敬ひ賢者を尊ぶ。書深人一學問が深け

れば自然に賢くなる。招一納士一賢を招き士を

納れる。

ヒエヌ 絃。(動) 琴・月琴などに用ひる絲。絃。續一絃を

續く。後妻を娶る。一絲を張つて彈奏する樂器。

三一三味線。七一七絃。一管一絃管。一胡

ヒエヌ

ヒエヌ

ヒエヌ

ヒエヌ

ヒエヌ 一任 同上。提一胡弓の一種。管仔一
【管仔絃】年籟月笛萬世一尺八は一年、
横笛は一月で習得するが胡弓は一生を要する。

ヒエヌ 懸。未解決の儘にして置く。手を着けずに放つて
置く。一在心肝頭一心に懸けてゐる。懸念して
ゐる。事情一下得一事を其儘に放つて置く。此
條案且一得一此問題を暫く懸案にして置く。

ヒエヌ 縣。(姓)縣。

ヒエヌ 現。●現。現に。現在。其場で。一任一現任。
一錢一現金。一時一現在。一年一直其の年。一人
尚在得一現に其の人がまだ居る。一趁一食一儲
けた金を其場でつかふ。一做一見一因果觀面。一

はつきり。明か。明白。看没一はつきり見えな
い。影影無甚一濛濛してはつきりしない。眞
一的事情一直分る明白な事柄。一發一發一發
現。露一露見。出一出現。著一顯著。

ヒエヌ アア 絃仔。提琴。胡弓。換一胡弓をひく。

ヒエヌ アア アカア 絃仔脚。胡弓をひく連中。胡弓の

ヒエヌ イア 顯影。(新)現像する。「ひき手」

ヒエヌ イア ウ 顯耀。(又)譽を顯す。名聲を揚げる。

ヒエヌ イア エ 顯應。神佛などの靈驗が灼然な。北港

媽真一北港の媽祖は甚だ靈驗がある。

ヒエヌ

ヒエヌ イエ 顯榮。(又)顯榮。

ヒエヌ イオ 顯揚。(又)顯揚。

ヒエヌ オオ クヌ 掀烏巾。婚姻の時新郎が花嫁の顔の
覆を取去る。

ヒエヌ ヲア ヌ 軒轅。(姓)軒轅。

ヒエヌ カア 献脚。肩脱ぐ。肌脱ぐ。

ヒエヌ カウ 現交。其場で交附する。即時に渡す。

ヒエヌ カウ 現圃。製糖會社の採收区域内に在る蔗
農。招一蔗農を募る。

ヒエヌ カウ コアヌ 現交關。現金取引。一不是
除賬一現金取引で掛勘定ではない。

ヒエヌ カン 献江。五月扒龍船を開始する日に芝居
など催して祭をする。「扒龍船」參照。講今仔日
要一今日からポートレースを始めるさうだ。

ヒエヌ カン 献孔。寄附金など人より多く申出でて見
えを張る。

ヒエヌ キイ 現見。●現に見る。●觀面。現做一
因果觀面。

ヒエヌ キイ ライ 掀起來。蓋など開ける。捲る。捲
る。引起す。一一看一開けて見る。

ヒエヌ キウ 軒丘。(姓)軒丘。

ヒエヌ キエン 响弓。風の風箏。風箏。

ヒエヌ ケン 献敬。供物をする。供物を上げて祭る。

ヒエヌ

一神明一神佛に奉る。一當する者。

ヒエヌ ケン シウ 献敬首。祭典の時供物のことを擔

ヒエヌ キヲ 靈轎。高官の乗る大な轎。

ヒエヌ キム 現今。目今。現今。只今。現在。當今。
當節。現時。今時。當世。目下。方今。對古早
到一昔から今まで。

ヒエヌ キム 現金。(圖)現金。

ヒエヌ ギヌ 現銀。(漢)【現銀】。

ヒエヌ クイ 献光。(漢)【献光】。

ヒエヌ クイ 掀開。捲つて開ける。蓋一蓋をあげ
ヒエヌ クイ 掀開。胸門などを開ける。開く。開廣
る。一開一開放。開放す。

ヒエヌ クウ 献裾。陣羽織の様に裾を開ける。

ヒエヌ クヌ 献君。天子に獻上する。

ヒエヌ クヌ 賢君。賢君。明君。

ヒエヌ クヌ ギオク 賢昆玉。(人の兄弟に對する敬
稱)。御兄弟。

ヒエヌ クヌ チオン 賢昆仲。前に同じ。

ヒエヌ クン 献光。人前などにさらけ出す。悉皆廣げ
出す。私奇錢一私財をさらけ出す。

ヒエヌ グウ 賢愚。(又)賢愚。

ヒエヌ グヌ 現銀。現金。有金。即金。正金。一交
易除欠免言一現金取引の事、掛賣一切御斷。

商店などに張出す文句。

ヒエヌ グラヌ 現銀。(泉)前に同じ。

ヒエヌ ケエチエツ 献計策。献策。

ヒエヌ ゲエ 現月。今月。

ヒエヌ コア 掀蓋。蓋を開ける。

ヒエヌ コア 献官。官に献納する。「楽曲」

ヒエヌ コアヌ 絃管。絃管。絲竹。管絃。——曲

ヒエヌ コヲ 顯考。(文)死亡した父の尊稱。先考。

ヒエヌ コヲ ビエヌ 現更便。金など現に有って何時で

も使へる。錢銀——金錢が同上。

ヒエヌ コン 献功。献功。

ヒエヌ コン 献公。公共の爲に提供する。將財産——

財産を公の爲に提供する。

ヒエヌ コン 献貢。貢を献上する。

ヒエヌ コン 現講。目の前と言ふ。

ヒエヌ ゴアツ 亥月。(文)九月の異名。

ヒエヌ サイ 賢婿。(人の婿に對する敬稱)婿様。

ヒエヌ サイ 現在。現在。今。現に。目の當り。

ヒエヌ シア 献城。城を開渡す。開城する。——投降

同上して降参する。

ヒエヌ シアウグヌ 現銷銀。地基給出の對價として地主に拂ふ一時拂の金を云ふ。永遠に納入する地基租に對して名けたもの。

ヒエヌ シアウテエトエグヌ 現銷壓地銀。一時に支拂ふ借地の保證金。

ヒエヌ シアウトエケエグヌ 現銷地價銀。現金にて渡す土地代金。

ヒエヌ シイ 憲司。高官。大官。

ヒエヌ シイ 現示。零落などして恥を洒す。恥晒。業曝。——着祖公。祖先の恥を洒す。更再返來

在——又歸つて來て業曝をする。

ヒエヌ シイ 現時。現在。今。目今。當今。目下。只今。現時。當節。

ヒエヌ シエン 顯聖。亡靈などが顯れる。鬼——要來

掠人。亡魂が顯れて人を捕うとする。

ヒエヌ シエン 懸丞。縣の文官。縣丞。

ヒエヌ シオン 献上。献上。

ヒエヌ シオン 懸賞。(圖)懸賞。——金懸賞金。

ヒエヌ シオン 現象。(圖)現象。

ヒエヌ シヌ 献身。——說法。自分の舊惡などを告白して人に說法する。

ヒエヌ シヌ 賢臣。(文)賢臣。——擇主而事。好鳥

擇樹而棲。賢人は主を擇んで事へ、好い鳥は樹を擇んで棲む。

ヒエヌ ジエヌ 顯然。公然。公に。白地に。顯に。——對人講。公然と人に話す。

ヒエヌ ジツ 現日。其の日。當日。

ヒエヌ ジヌ 賢人。賢人。賢者。——自斷。愚人公斷。賢人は自ら判斷し、愚人は公衆が判斷す。

ヒエヌ ジム 現任。現任。當職。

ヒエヌ スウ 賢士。(文)賢士。賢哲。

ヒエヌ スヌ 玄孫。玄孫。

ヒエヌ スヌ 賢孫。(人の孫に對する敬稱)御令孫。

ヒエヌ ズウ 憲諭。官廳の諭告。告示。訓諭。

ヒエヌ ズウ 賢儒。(文)賢儒。

ヒエヌ セエ 現世。此世。現世。

ヒエヌ モエ 献祭。神に供へる。供物を上げる。供物する。——牲醴。犧牲を神に供へる。

ヒエヌ モエ 掀册。本を開ける。書物を捲る。

ヒエヌ モエ 賢妻。(夫が妻に對する敬稱)賢妻。

ヒエヌ ソア 絃線。樂器の絲。

ヒエヌ ソエ キオク 献歲菊。(種)菊の一種。

ヒエヌ ソエ ラヌ 献歲蘭。【報歲蘭】。

ヒエヌ ソム 玄參。(種)(玄參科)こまのはぐさ。

ヒエヌ ファ 献紙。清明の時、墓參して墓に【墓紙】を置くこと。「する」。

ヒエヌ ファ チイ 献紙錢。【紙錢】を焼いて神に奉納

ヒエヌ ファ シイ ヒエヌ 献做四献。肉などを四つに切開く。

ヒエヌ

ヒエヌ

ヒエヌ

ヒエヌ

ヒエヌツエヒエヌキイ現做現見。次に同じ。
ヒエヌツエヒエヌボヲ現做現報。悪事に對する罰
面の應報。因果報面。

ヒエヌヲオイエンツン顯祖榮宗。祖宗の名を顯揚
ヒエヌツン現狀。(國)現狀。「墓」様。

ヒエヌタイ賢臺。(書狀の宛名の者に對する敬稱)賢
ヒエヌタイ現代。現代。當代。當世。

ヒエヌタウ猷倒。話など大袈裟な。伊的話眞一
彼の話は太袈裟だ。「功名顯達」

ヒエヌタツ顯達。(文)立身出世。顯達。功名——
ヒエヌタヌヒエヌチア現趁現食。儲けた金で飯を
食ふ。其日暮。——那有剩錢其日暮の者
がどうして金が残るものか。

ヒエヌチア賢者。(文)賢者。賢人。——爲愚者勞
賢者は愚者の爲に勞す。

ヒエヌチア現成。今。現今。現在。現時。
ヒエヌチイ現錢。現金。有金。正金。——交關現
金取引。——現水同上。除杉起厝賣——
材木を扱で買つて来て家を建て其を現金で賣る、
無理算段をして損を招くなどの意。

ヒエヌチウ猷手。金錢など大まかな。大様な。
ヒエヌチウ猷醜。猷點を暴露する。味噌を附ける。
在衆人的面前——公衆の前で同上する。

ヒエヌ

ヒエヌチウ現手。不動産などの現在の所有者。頂手
賣給——前の所有者が現在の所有者に賣つた。
ヒエヌチウコエ現手契。現在の所有者が買取つた證
書。

ヒエヌチウベエ猷手帕。婚姻の時新郎が花嫁の顔の
覆を取去る。

ヒエヌチエン憲政。(國)憲政。
ヒエヌチエン猷情。堪忍する。堪辨する。恕する。
求人——人に對して宥恕を求める。

ヒエヌチエン現證。現在の證據。現證。
ヒエヌチエン現前。現在。今。現時。

ヒエヌチエン現清。直様其場で清算する。直様
其場で懲戒する。

ヒエヌチツ顯職。(文)顯職。
ヒエヌチツ現職。現職。

ヒエヌチエク賢徳。(文)賢徳。
ヒエヌチエツ賢哲。(文)賢哲。

ヒエヌチエヌシオンテエ丈夫上帝。北方の天上を
掌る神。屠獸業者の崇拜する神。「上帝公、上
帝爺」。

ヒエヌチエン猷燈。祭禮の時など門前に燈を掲げる。
ヒエヌチオン猷塚。公共の爲に墓地を提供する。

ヒエヌチツ賢姪。(人の甥に對する敬稱)甥御さん。

ヒエヌ

ヒエヌツイ猷嘴。口の廣がった。——壺——口の廣い
ヒエヌツウ猷書。書物を捲る。
ヒエヌツウシイ現此時。今。現今。現在。今時。當
世。

ヒエヌツツ現出。顯れる。出現する。露出する。
ヒエヌツウヒエヌ現適現。明か。明白。——看
見——現に見た。眞適眞——明白な事實。

ヒエヌテ懸得。打遣つて置く。放つて置く。差置く。
日——暫時其儘にして置く。

ヒエヌテ現提。其場で直に受取る。
ヒエヌナア絃仔。胡弓。

ヒエヌナアボオ絃仔譜。胡弓の譜。
ヒエヌニイ現年。今年。今年。當年。

ヒエヌヒエク顯赫。【顯應】。
ヒエヌヒエヌ掀掀。【掀】。
ヒエヌヒエヌ撼撼。【撼】。
ヒエヌヒエヌ猷猷。【猷】の(㊦)(㊧)(㊨)。
ヒエヌヒエヌ懸懸。【懸】。
ヒエヌヒエヌ現現。分明。明か。明白。看見——
明かに見える。

ヒエヌヒエン猷胸。胸を現す。胸を出す。胸を開け
る。——一的洋服着換。
ヒエヌヒエン賢兒。(文)賢兒。貴兒。

ヒエヌ ビイ 玄米。(國) 玄米。

ヒエヌ ビイ キア 顯微鏡。(國) 顯微鏡。

ヒエヌ ビエヌ 軒冕。●勢力が盛な。隆盛。伊此候
當一彼は今勢力の旺盛な最中だ。●横柄な。
傲慢な。不可傷一餘り横柄にしてはいけな
い。

ヒエヌ ビエン 顯明。(又) 表明する。明かに示す。

ヒエヌ ビエン 顯名。(又) 名が顯れる。

ヒエヌ ビエン 賢明。(又) 賢明。聰明。

ヒエヌ ビイ 顯妣。(又) 死亡した母の尊稱 先妣。

ヒエヌ ビエン 憲兵。(國) 憲兵。

ヒエヌ フウ 賢婦。(又) 賢婦。賢女。一令夫貴、惡
婦令夫敗一賢婦は夫をして貴からしめ悪婦は夫
をして失敗せしむ。

ヒエヌ ブウ 玄武。【六神】の一。「を買ふ。

ヒエヌ ヘエ 現貨。現品。現錢買一現金で現品

ヒエヌ ペエ 献白。金などを人前に出して見せる。

ヒエヌ ホアツ 憲法。(國) 憲法。

ヒエヌ ホエ 揪花。【挿花】の(三)の場合に残札を捲るこ
と、同條を見よ。

ヒエヌ ホエ 献花。●口が廣る。龜裂して口が開く。

石榴一石榴が同上。粒仔嘴一腫物の口
が開く。●調停事件など決裂する。纏らない。事

情一事件が同上。

ヒエヌ ホエ 賢會。(女) 氣が利いて愛嬌がある。利巧
で愛想が好い。

ヒエヌ ホン 現封。(財産に就いていふ) 現命。一剩
萬五銀一現金で一萬五千圓残した。

ヒエヌ ホン 現況。(又) 現況。「で賣る。

ヒエヌ ポエ ヒエヌ ポエ 現買現賣。現金で買ひ現金
ヒエヌ ポオ 現候。差當。差向。目前。差詰。當節。
今。現在。

ヒエヌ ポラ 現報。罪惡に對する觀面の應報。現做一
一因果觀面。

ヒエヌ ミイ 献物。物を奉る。

ヒエヌ ミイ 現物。實物。現物。

ヒエヌ ラナ 献納。獻納。

ヒエヌ ラン 現人。本人。當人。一尙在得一現在其
者がまだ居る。

ヒエヌ リイ 賢女。(孫) 【賢女】。

ヒエヌ リエヌ 揪揪。【揪揪】。

ヒエヌ リエヌ 撼撼。【撼撼】。

ヒエヌ リエヌ 献献。【献献】。

ヒエヌ リエヌ 懸懸。【懸懸】。

ヒエヌ リオン 賢良。(又) 賢良。一方正一賢良方
ヒエヌ リオン 懸梁。(又) 縊死。縊れる。「正。

ヒエヌ リオン スウ 賢良禱。賢良な者を祀つた祠。

ヒエヌ ルウ 賢女。(又) 賢婦。賢女。癡人畏婦、一
敬夫一癡人妻を畏れ賢女夫を敬ふ。

ヒエヌ ルウ 賢女。(孫) 前に同じ。

ヒエヌ ロラ コン 献落公。公共の爲に出す。公共の
爲に提供する。

ヒエン

ヒエン 兄。(又) 兄。一弟一兄弟。一長一兄様。令一
一令兄。

ヒエン 胸。胸膈。一坎一同上。雞一鳩胸。食到
打一食うて胸を叩く、腹鼓を打つ意。

ヒエン 興。●興る。盛になる。繁榮する。一衰一盛衰
興廢。生理當在一商業が繁昌してゐる。●
神靈の利益。白目佛一外境一白眼の佛は遠い
所へ利益する、手近の者を權はないで却つて縁の
遠い者に手厚くするなど。【興】。

ヒエン 滓。(性) 滓。

ヒエン 興。●興。一頭一興味。面白味。有一興が
有る。失一興が無くなる。起一興が起る。●
好む。好く。嗜む。有個一燒酒、有個一豆腐一
或人は酒を嗜み或人は豆腐を好む、人によつて好
嫌が違ふ。一査某一女を好く。一挿事一事に

ヒエヌ

ヒエヌ

ヒエン

ヒエンキイ 興起。興る。勃興。

ヒエンキイ 行氣。血が循環する。酒能ー酒は血の循環を助ける。

ヒエンキエク 刑尅。五行が相剋して相手を損ふこと。妻行ー夫能死ー妻の同上の爲に夫が死ぬ。

ヒエンキエン 行徑。①路。ー要打對何去ー路はどう往くか。ー眞歹路が甚だ悪い。②行爲。行狀。伊的ー無可好ー彼の行狀は餘り好くない。

ヒエンキオン 行宮。①行宮。行在所。假宮。②聽即ー彼が承知しなければ強ひて爲る。

ヒエンギアア 興業。起業。興業。

ヒエンギイ 行儀。①行狀。品行。行儀。身持。②可嘉ー行甚だ神妙。

ヒエンギエク 横逆。暴虐。殘虐。暴戻。横暴。胴慾。酷。義理も人情もない。血も涙もない。慘いことをする。莫義道。非道い。

ヒエンクウ 刑具。①次に同じ。

ヒエンクウ 刑具。刑具。責道具。

ヒエンクヌ 行軍。①出兵。兵を繰出す。

ヒエンケウ 幸遇。①幸に遇ふ。

ヒエンケエ 胸格。胸臆。胸。

ヒエンケエ 贈糶。祭事の時など。【糶】を贈る。

ヒエンケエ 行啓。①行啓。行啓。

ヒエンコア 行權。①權道を行ふ。

ヒエンコオ 還庫。【做功德】の儀式の一つ。死者の爲に【庫錢】を焼くこと。

ヒエンゴアツ 杏月。二月の異名。ヒエンゴア 還願。願を解く。削猪公ー猪公を殺して同上する。

ヒエンサヌ 恒産。①恒産。

ヒエンサイ 行災。①災厄を降す。天地ー天地が災厄を降す。

ヒエンサイ 行在。①行在。ー所ー行在所。行宮。

ヒエンサイ 莧菜。①種。こびゆ。②蕒。葉。莖を煮て食用に供す。

ヒエンザブスウ 興挿事。事に關係したがらる。

ヒエンシアウ 還賒。勘定を仕拂ふ。掛を拂ふ。

ヒエンシエク 形式。①形式。

ヒエンシエヌ 行善。①善を行ふ。

ヒエンシオン 行商。①行商。

ヒエンシオン 形像。顔形。形體。形象。形状。

ヒエンジヌ 杏仁。杏子の仁。杏仁。

ヒエンジヌ 杏仁油。杏仁水。

ヒエンジヌ 杏仁酥。上に杏仁を置いて油でからからに揚げた菓子。

ヒエンジヌ タウ フウ 杏仁豆腐。杏仁で作った豆腐の如きもの。

ヒエンジヌ マン 杏仁湯。杏仁湯。

ヒエンジヌ テエ 杏仁茶。杏仁の粉と米の粉とを混ぜ砂糖を加へて煎出したもの。

ヒエンジヌ ロオ 杏仁露。杏仁水を精製したもの、香味料として用ふ。

ヒエンズウ 興事。殊更に事を好む。ー的ー彌次馬。

ヒエンズウ 行書。行書。

ヒエンズウ 行私。①私を行ふ。假公ー公を假りて私を行ふ。

ヒエンズウ 刑事。①刑事。

ヒエンズウ 興戲。巫山戯たがる。

ヒエンズウ 形勢。様子。形勢。有様。姿勢。

ヒエンズウ 還債。負債を返す。借を拂ふ。

ヒエンズウ 行船。①船を行ふ。

ヒエンズウ 興衰。盛衰。榮枯。興廢。ー一時ー盛衰時有り、時世時節。

ヒエンズウ アヌ イエン トヲ 興泉永道。興化。泉州。永春を管轄する道臺。

ヒエンズウ オ 行走。①不能ー歩行が出来ぬ。②好

ヒエン

ヒエン

一歩く態度が好い。

ヒエンヲ胸槽。鳩尾。胸部。一在痛鳩尾が痛

ヒエンヲ行草。(字體)行草。調度。

ヒエンヲ行装。(多)旅行の時の行李。旅支度。旅の

ヒエンヲ形状。●人の状態。形振。恰好。様子。

風。姿。様。甚麼一何んな風體。●(圓)形

ヒエンタイ兄臺。(文)貴兄。貴下。狀。

ヒエンタイ行臺。(文)大官の旅舎。

ヒエンタイ形態。(圓)形態。

ヒエンタク興倒。興味。有一興味が有る。真一

一甚だ興味を感じる。

ヒエンタク興頭。興。興味。無一興味が無い。

有一興が有る。

ヒエンタク杏壇。(文)孔子が弟子を教へた處。

ヒエンテイ姉。(新)姉。

ヒエンテイ行刺。暗殺。被人一一人に暗殺され

ヒエンテイ恒星。(圓)恒星。

ヒエンテイ行星。(多)惑星。遊星。行星。

ヒエンテイ興願。非常に興味を持つ。非常

に……したがる。

ヒエンチウ興酒。酒を嗜む。酒を好む。

ヒエンチウ行舟。(文)舟を走る。順水一一流に順

ひ舟を走る、事が故障なく成就せしときなどに

ヒエン

ふ。形跡が怪しい。形跡が疑はしい。

ヒエンチエク形跡。形跡。跡形。證據。一可疑

ヒエンチエン胸前。着物の胸の前に當る部分。胸光。

ヒエンチエウ刑條。懲罰に用ひる藤の笞。

ヒエンチオン兄長。兄さん。伊的一彼の兄さん。

ヒエンチオン刑杖。笞刑に用ひる笞。當一同上

で打つ役に當る。笞刑執行者になる。

ヒエンチツ幸得。幸に。都合よく。一伊來一幸

に彼が来た。

ヒエンツヌ恒春。(地名)恒春。

ヒエンテエ兄弟。兄弟。昆弟。一如手足、

妻子似衣服一兄弟は手足の如く妻子は衣服に

似たり、兄弟は離れることは出来ぬが妻は別れ

ることが出来る。有錢有酒多一急難何會

見一人一錢有り酒ある時は兄弟多く、急難有る

時は一人も見えない、人情の輕薄なる意。一是

一過江須用錢一兄弟は兄弟でも河を渡る

には渡賃を要す、兄弟でも金銭の事は別である

といふ意。一相害不如獨生一兄弟相害す

る位ならば獨り生れるに如かず。

ヒエン

ヒエンテエ幸得。【幸得】。

ヒエンテエ形體。容子。姿。風體。背恰好。形振。

態度。人品。●(圓)形體。

ヒエントオ形圖。人相書。肖像。畫一肖像を畫

ヒエントオ形頭。身形。激一身形を着飾る。有

一好行走一身形を着飾ると歩振も好くなる。

ヒエントニ行動。行動。行。振舞。仕打。仕振。

舉動。舉措。一舉止一起居動作。進退振舞。

ヒエントニ興通。(文)繁昌。利路一財源廣進

一(商賈の門聯などの文句)營利の路は感に開け、

財源は廣く進む。

ヒエントニクウチイ行動舉止。舉動。

ヒエンニウ行糧。兵糧を送る。未行兵先一

未だ兵を送らない先に兵糧を送る。

ヒエンハア胸脇。胸板。胸。胸膈。

ヒエンハイ形骸。體格。恰幅。骨格。體。看一無

看腹内一形骸を見て腹中を見ず、皮相の見

ヒエンハウ行孝。孝行。一父母一父母に孝行する。

ヒエンパイ興敗。興敗。榮枯。一有時一興敗時有

り、時世時節。

ヒエンパン刑房。司法事件を管する役所。

ヒエンパン行房。交合。交接。房事。

ヒエンピアムピアウヒエン行險僥倖。危險を冒し

て焼悴を求めぬ。――得着的錢――六勝負
で得た金。

ヒエンヒウ行香。寺廟に參つて焼香する。參詣。寺

ヒエンヒエツ行血。血行を盛ならしめて營養を補

ふ。――的藥――同上の藥。

ヒエンヒエン興與。【興】。

ヒエンヒエン悻悻。悦び勇む。いそいそと。――相

馬去――いそいと連立つて往く。起頭――尾手

冷冷――最初は勇立つてゐたが終には冷淡になつ

た。――戴雞毛笄――愉快氣に鶏の羽の拂塵を

戴いて役人の眞似をする。暢氣らしくするをい

ヒエンヒエン還還。【還】。

ヒエンヒエン刑刑。【刑】の②。

ヒエンヒエン横行。〔文〕横行。横逆。跋扈する。――

肆志――横暴。且將冷眼觀螃蟹、看你――

到幾時――暫く冷眼を以て蟹を見よ、蟹の横逆の

様な横逆が何日續くか。

ヒエンヒエン行幸。〔國〕行幸。

ヒエンヒエン贈贈。【贈】。

ヒエンヒオン行兇。〔文〕兇を行ふ。兇行。

ヒエンビイ興味。興味。趣味。趣。有――興味が

有る。

ヒエンビエン刑名。刑名。法律。――錢穀――法律と

租稅。――師爺――法律の顧問。

ヒエンビエン興兵。兵を起す。兵を擧げる。

ヒエンビエン行兵。〔文〕出兵する。兵を送る。

ヒエンビエン行聘。〔文〕聘を行ふ。結納を取交す。

ヒエンブウソ刑務所。〔國〕刑務所。

ヒエンブヌ行文。〔文〕行文。

ヒエンホア興化。〔福建省の府名〕興化。

ヒエンホア杏花。杏花。杏花。

ヒエンホアツ刑法。〔國〕刑法。

ヒエンホアツ刑罰。〔刑罰〕罰する。仕置をする。

――一黨――刑黨。――拷問。被伊――眞忝――彼に酷

拷問された。

ヒエンホエ興廢。興廢。興亡。――存亡――興廢存亡

ヒエンホエ杏花。杏花。杏花。

ヒエンホヲ横禍。〔文〕不意な禍。横禍。天災――

天災横禍。

ヒエンホク幸福。幸福。得着――幸福を得る。

ヒエンホン杏紅。オレンジ色。橙色。

ヒエンボオ形模。〔容〕容貌。〔形〕形状。形體。

ヒエンボン興亡。〔文〕興亡。

ヒエンボオ刑部。官省の名にて六部の一、律令刑法

を掌る所。刑部。【六部】參照。

ヒエンボヲ横暴。〔國〕横暴。

ヒエンボン行房。〔文〕行房。

ヒエンムイ杏梅。〔種〕梅の品種の名。梅。杏子。杏

梅。

ヒエンリイ行李。旅行する時の荷物。手荷物。欸――

――手荷物を纏める。荷造をする。

ヒエンリイ行旅。〔旅〕行旅。

ヒエンリエツ行列。〔國〕行列。

ヒエンリエヌ行年。〔文〕行年。享年。

ヒエンリエン興與。【興與】。

ヒエンリエン横領。〔國〕横領。

ヒエンリエン還還。【還還】。

ヒエンリエン刑刑。【刑刑】。

ヒエンリエン贈贈。【贈贈】。

ヒエンリオク刑戮。〔文〕刑戮。

ヒエンリオン興隆。〔文〕興隆。

ヒエンルウ行旅。〔文〕行旅。旅。

ヒエンルツ刑律。刑律。

ヒエンルウ行旅。〔旅〕行旅。

ヒエンレエ恒例。〔國〕恒例。

ヒオ

ヒオ郷。香。……〔ヒウ〕郷。香。……。

ヒオ響。〔響〕。

ヒエン

ヒエン

ヒオ

ヒオク

ヒオン

ヒオン

ヒオン

ヒオ向。(通)【向】。

ヒオアア、香盒。(通)【香盒】。

ヒオアア、香案。(通)【香案】。

ヒオイウ、香油。(通)【香油】。

ヒオイエヌ、香煙。(通)【香煙】。

ヒオカナ、香脚。(通)【香脚】。

ヒオココ、香菰。(通)【香菰】。

ヒオシア、郷社。(通)【郷社】。

ヒオチアウ、香條。(通)【香條】。

ヒオツン、郷庄。(通)【郷庄】。

ヒオホエ、香火。(通)【香火】。

ヒオリイ、郷里。(通)【郷里】。

ヒオク

ヒオク郁。(通)郁。

ヒオクジツ、旭日。(通)旭日。

ヒオクジツ、キイ、旭日旗。(通)日の丸の旗。旭日旗。

ヒオクジツ、チオン、旭日章。(通)旭日章。

ヒオン

ヒオン郷。(通)郷。郷。故郷。思。故郷を思ふ。

一親。同郷の者を指して言ふ。入。随俗。郷に入れば郷に随ふ。【郷】。

ヒオン香。(通)香。一氣。香氣。一油。白胡椒の油。

胡麻油。一案。香爐を載せる机。【香】の。

ヒオン胸。(通)胸。一中。胸中。一懷。胸懷。

ヒオン凶。(通)凶。一吉。凶。一事。凶事。一夢。凶夢。一歳。凶歳。

ヒオン兇。(通)兇。一兇。兇惡。行。兇を行ふ。一

手。下手人。人殺の罪人。一。人相など恐しい。

一。醜い顔をしてゐる。一。模様。色合などあくど

い。しつこい。下品な。布花較。一。布の柄があ

くどい。しつこい。一。穢い。手。手が穢い。厝

内。一。鬼鬼。家中が非常に穢い。一。慌しい。一

狂。同上。生。同上。

ヒオン享。(通)享。享ける。富貴同。富貴を共に享

ける。一。福。幸福を享有する。一。年。享年。

【享】。

ヒオン響。(通)響。影。一。影響。一。應。影響。利

目。【響】の。

ヒオン彼。(通)彼。彼の。あれ。あの。一。個。あれ。

ヒオン向。(通)向。向ふ。向く。向。一。南。南に

向く。一。天。仰。上。上。厝。一。家。向。坐。一

一。家。家などの向。方角。意。一。意向。對。一。差

向。【向】。

ヒオン餉。(通)關稅。一。銀。税金。打。關稅を課す

る。完。一。關稅を納める。走。一。脱稅。密輸入。

出入口。一。輸出入の稅。一。給料。俸給。發。一

俸給を支拂ふ。領。一。給料を受取る。

ヒオン雄。(通)薄情。殘忍。心肝。一。心が薄情な。心

が殘忍な。一。不人情。一。物凄。一。恐しい

様。一。容顏。一。面生。一。眞。一。恐ろしい顔付

をしてゐる。一。模様。色合などあくどい。しつこ

い。下品。花樣。一。模樣がしつこい。色織。一

色合があくどい。一。慌しい。一。荒荒しい。一。追追

一。慌しくする。走。一。傷。一。餘り荒荒しく走過する。

不可。一。荒荒しくする。周章。一。物價。一。起去

眞。一。物價が減茶苦茶に騰貴した。

ヒオンアヌ、香案。(通)【香案】。

ヒオンイウ、香油。(通)白胡椒の油。胡麻油。

ヒオンイウ、スイ、香油水蛙。【水蛙】を椎茸・葱

餛飩粉・香油と一緒に煮た料理。

ヒオンイエン、響應。(通)響應。響の如く應ずる。

ヒオンイオン、兇勇。一。響應。響の如く應ずる。

ヒオンイオン、郷勇。田舎の壯丁。在郷兵。

ヒオンイオン、向陽。一。南向。一。見晴が好い。厝

起了不止。一。家が見晴よく建築されてゐる。

ヒオンエ、彼個。(通)彼の。彼の。

ヒオン オク 兇惡。兇惡。猛惡。

ヒオン カイカイ 兇蓋蓋。●極めて穢い。●人相など極めて恐しい。

●極めて恐しい。

ヒオン カイカイ 雄蓋蓋。●人相など極めて怖い。恐ろしい見暮。●極めて慌しい。

ヒオン カマ 彼奉。(戯) ●彼れ。彼の者。彼奴。一件。――有提來無一件は持つて來たか。●爲る。やる。下喃即來――午後にやらう。

ヒオン カン 香港。香港。

ヒオン カンカウ 香港郊。香港から輸入する洋雜貨などを賣る店。

ヒオン ガア リイ 匈牙利。(國名) 匈牙利。

ヒオン キイ 香丸。香机。

ヒオン キイ 兇器。兇器。

ヒオン キイ 香氣。香氣。

ヒオン キエツ 凶吉。吉凶。

ヒオン キエツレエ 凶吉禮。凶事や吉事の禮物。贈物。

ヒオン クイクイ 兇鬼鬼。【兇蓋蓋】。

ヒオン クイクイ 雄鬼鬼。【雄蓋蓋】。

ヒオン クヌ 兇拳。――不打笑面 荒荒しい拳骨も笑顔を打たない、尾を振る犬は打たぬなど。

ヒオン グヌ 餉銀。●税關の税金。●給料。

ヒオン グヌ 餉銀。(息) 前に同じ。

ヒオン コアヌ 餉關。税關。

ヒオン コアヌ 餉館。税關。――大爺 税關の監査

ヒオン コヲ 香果。【風鼓】の◎。

ヒオン コン 兇狂。慌しい。狼狽する。狼狽へる。きよろきよろする。

ヒオン サイ 向西。西向。坐東――家など東に寄て西に向く。

ヒオン サウ 香巢。(又) 淫窟屋。女郎屋。

ヒオン シイ 兇死。殘忍。殘酷。慘い。兇惡。無慈悲。

ヒオン シイ 鄉試。科擧第一回の考試。鄉試。

ヒオン シイ 向時。【向時】。

ヒオン シイ 兇打。叩きのめす。したたかに打つ。二個在――二人が無茶苦茶に駁合をしてゐる。

ヒオン シウ 兇手。下手人。人殺の罪人。

ヒオン シウ 享受。(又) 享受。――幸福 幸福を享

ヒオン シウ 享壽。(又) 享年。【ける】。

ヒオン シオン 向上。(向) 向上。

ヒオン シオン 熊相。(熊) 熊相。

ヒオン シヌ 兇身。下手人。

ヒオン シヌ 鄉紳。田舎紳士。在郷の紳士。

ヒオン シヌ 凶神。凶神。惡魔。惡神。【魔】。

ヒオン シヌ オク ソア 凶神惡煞。祟をする神。惡

ヒオン シヌ ペエ 兇身胎。命知らず。無鐵砲。

ヒオン シム 兇心。殘忍な心。惡念。惡心。

ヒオン シム 雄心。不人情な心。薄情な心。

ヒオン ジツ 凶日。凶日。

ヒオン ジツクイ 向日葵。(種) 向日葵。日車。日輪草。(菊科、花は觀賞用とし、種子は炒りて食用に

ヒオン スイ マウ 香水茅。【香茅】。【供す】。

ヒオン スウ 凶事。凶事。

ヒオン スウ 熊率。(熊) 熊率。

ヒオン ズウ 香茹。(種) せりばのせんたんぐさ。(菊科、莖葉を煎服して肺病を治す)。

ヒオン セエ 餉稅。税關の税金。關稅。

ヒオン エエ 享祭。神佛が祭を享ける。

ヒオン ソア 凶煞。葬式の厄。葬式の時の祟。

ヒオン ソエ 凶歲。(又) 凶年。饑歲。

ヒオン マアヌ 鄉村。(又) 田舎。――四月 四月閑人少 田舎の四月は閑人が少い、田植時で皆忙しい。

ヒオン マン 凶葬。死體を埋葬すること。【吉葬】に對

ヒオン マン 雄壯。(又) 雄壯。【す】。

ヒオン キイタイ 兇歹歹。【兇蓋蓋】。

ヒオン タム 鄉談。方言。國訛。田舎語。土地訛。

ヒオン タン 向東。東向。坐西――家など西に寄つて東に向く。

ヒオン

ヒオン

ヒオン

ヒオン

ヒオンチウ兎手。【兎手】。

ヒオンチウチイ向上夫。上向。仰く。

ヒオンチエヌ向。前に向ふ。●先に立つ。進む。

一鼓舞進んで鼓吹する。

ヒオンチオン胸章。(翻)胸章。胸に掛ける徽章。

ヒオンチヲ香蕉。香のあるバナナ。

ヒオンチヌ郷親。同郷人。

ヒオンチイ向夫。【向夫】。

ヒオンチエヌ香奠。(翻)香奠。

ヒオンチエヌ向夫。上を向く。仰く。仰ぐ。

ヒオンチエヌサイ向夫獅。上を向いてゐる獅子。人の仰いてゐる状をもいふ。「みぎさう。」

ヒオンチエヌフア向夫齋。(種)唇形科)やんばるな

ヒオンチエヌチイ向夫池。山上にある池。

ヒオンチエヌホン向夫黄。(種)(白花菜科)ひめふう

てうさう。きばなのふうてうさう。

ヒオンチエヌリアウ香奠料。(翻)香奠料。

ヒオンチオン胸中。(文)胸中。心中。

ヒオントオ兎徒。(文)兎徒。悪者。

ヒオントオ雄岡。(文)雄岡。雄岡。

ヒオントト郷黨。(文)郷黨。

ヒオントト融通。(翻)融通。融通。

ヒオンハク向學。(文)學問に志す。向學。

ヒオン

ヒオンハヌ兎悖。(文)兎悖。

ヒオンハヌ兎漢。(文)兎漢。

ヒオンハム兎陷。災害など甚しい。慘然たる。慘い。酷い。由出しい。

ヒオンハン餉項。税關の税金。

ヒオンバン凶夢。悪夢。凶夢。「苦しい。」

ヒオンパアライニアウ雄巴裡猫。非常に醜い。見

ヒオンパアライラウ兎巴裡佬。前に同じ。

ヒオンパク向北。北向。坐南——家など南に寄つて北に向く。「を知らぬ。」

ヒオンピウ香臭。(文)香氣と臭氣。不知——善惡

ヒオンピエヌ郷賢。(文)其地方の賢人。

ヒオンピエヌスク郷賢祠。其地方の賢人を祭る祠。

ヒオンヒオン兎兎。●穢い。●慌しい。——狂狂

●狼狽する。慌しい。——赴赴同上。

ヒオンヒオン享享。【享】。

ヒオンヒオン向向。【向】の(三)。

ヒオンヒオン雄雄。●容貌が恐しい。●悍猛な。●

慌しい。——走——慌しく走る。——提——荒荒

しく取る。無理道に取る。

ヒオンピヲ向後。(鼻)【向後】。

ヒオンピエン兎猛。兎猛。

ヒオンピアピア雄迫迫。甚だ慌しい。狼狽へる。

ヒオン

急込む。急急と。

ヒオンピエヌ雄辯。(翻)雄辯。「す」。

ヒオンフウ香附。(翻)莎草の根莖。(感冒・腹痛を治

ヒオンフヌセエ香紋紗。ゴム引しない白色絹布の

一種、【絹】に似たもの。

ヒオンヘエ餉貨。課税する品物。税を取る貨物。

ヒオンホア香華。香華。——茶菓——神佛に供へる香

花・茶・果物。

ヒオンホアチエンコヲ香華燈菓。神佛に供へる

香・花・燈明・果物。

ヒオンホアチエンチオク香華燈燭。神佛に供へる

香・花・燈明・燭。

ヒオンホアイ胸懷。(文)胸襟。胸懷。

ヒオンホアヌ兎蕃。(翻)兎蕃。悪い蕃人。

ヒオンホアヌ兎犯。下手人。人殺の罪人。那掠——

下手人を捕へる様だ、無理に人を連出すなど。

ヒオンホオ向後。(翻)向後。

ヒオンホク凶服。(文)喪服。

ヒオンホグ享福。幸福を享ける。仕合な。幸福な。

不止——甚だ仕合。無一人親像伊彼——

——あの人の様な仕合者はない。

ヒオンホン雄黃。(翻)雄黃。雞冠石。「混ぜた酒。

ヒオンホンチウ雄黃酒。五月五日に飲む雞冠石を

ヒオンボヲ 郷保。地方にて【郷賢】【節孝】等の身元
 保証を爲すもの、城市にては之れを【坊保】とい
 ヒオンボヲ 凶報。凶報。

ヒオンボヲ 兇暴。(又) 兇暴。

ヒオンマウ 香茅。(香茅)。

ヒオンライ 向來。前方。以前。從來。從前。

ヒオンラウ 雄流。激流。烈しい流。

ヒオンラム 向南。南向。坐北——家など北に寄つ
 て南に向く。

ヒオンリエヌ 凶年。(又) 凶年。凶年。饑年。

ヒオンリエヌ 享年。(又) 享年。行年。

ヒオンリオン 享享。【享享】。

ヒオンリオン 向向。【向向】。

ヒオンレエ 凶禮。凶事の禮式。

ヒオンレエ 餉例。關稅の規則。關稅の制度。

ヒオンロオ 匈奴。(又) 匈奴。

ヒオンロヲ 郷老。(又) 村の長老。

ヒオンロク 享樂。幸福を享ける。仕合。幸福。【享福】。

ヒヲ

ヒヲ 儂。唇・縁などが少し上向に反返る。嘴脣一起來
 上唇が反返る。帽仔脣——帽子の縁が反返
 てる。桌墩——卓の縁が反返てる。

ヒヲ 歇。①休む。憩ふ。休憩。②禮拜日曜を休む。
 ③工仕事事を休む。④一團一休憩する。作無——
 休まずに働く。⑤一熱一夏休。⑥一寒一冬休。⑦止
 る。宿る。⑧一在客店一宿屋に泊る。鳥一樹枝一
 鳥が木の枝に止る。晏行早——晩く出て早く泊
 れ、旅行者の戒。【歇】。

ヒヲ 侯。浮。……【ホオ侯。浮。……】。

ヒヲ 是。左様。然。然り。一嘮一左様です。

ヒヲ 后。後。厚。……【ホオ后。後。厚。……】。

ヒヲ 雨。(雨)。

ヒヲ 葉。①(姓)葉。②葉。樹一木の葉。講到有枝
 有——話に枝葉を附ける、話に尾端を附ける。③
 葉の如き形のもの。葉一權の尖の扁たい所。金
 一金箔。扇一扇の地紙。④(葉などを數へる
 語)枚。一竹葉一一枚の竹の葉。肺分四——
 肺は四葉に分れてゐる。

ヒヲ アアロオ 葉仔路。【符仔路】。

ヒヲ エエアン 葉下紅。(葉)うすべにがな。(菊科、
 葉は火傷・打撲傷・腫毒を治し、又痲病藥に用ふ)。

ヒヲ エエキウ 葉下球。(葉)きだちこみかんさう。(大
 戟科、葉を煎服して打撲傷・腫物を治す)。

ヒヲ エエツウ 葉下珠。前に同じ。

ヒヲ エエペエ 葉下白。(葉)ぐみもどき。(大戟科、

根を水にて煎服しマラリヤ・腹痛を治す)。(齊墩
 果科)たいわんえこのき。【烏皮九苜】。(齊墩
 果科)うらじろえこのき。

ヒヲ ヲ 歇學。學校を休む。休學。

ヒヲ カア 歇脚。脚を休める。休む。

ヒヲ カン 歇工。仕事を休む。休憩。休業。【休憩】。

ヒヲ クヌ 歇晒。休む。息をつぐ。憩ふ。寛く。休息。

ヒヲ ケエ 歇客。來泊の客人。泊客。

ヒヲ コア 歇寒。冬休。

ヒヲ コアイ 歇杆。①泊木。②泊木に止る。

ヒヲ シウ 歇巢。巢籠る。

ヒヲ シエヌ 歇倦。疲を休める。憩ふ。休息。

ヒヲ ジツ 後日。(後)【後日】。

ヒヲ スウ 後嗣。(後)【後嗣】。

ヒヲ セエ 後世。(後)【後世】。

ヒヲ ザア 歇熱。夏休。暑中休暇。夏季休暇。

ヒヲ フアヌ 歇喘。一息休む。息を繼ぐ。

ヒヲ タイ 後代。(後)【後代】。

ヒヲ タウ 歇罩。晝休。

ヒヲ チア 歇車。車を止める。停車する。

ヒヲ チヌ 後進。(後)【後進】。

ヒヲ チム 歇站。宿泊する。泊る。宿る。

ヒヲ チイロオ 歇天路。露宿。野宿。

ヒヲ

ヒヲ

ヒヲ

ヒツチ、ジツ、彼一日。其の日。當日。

ヒツチアア彼雲。彼の時。當時。其の時。

ヒツチアアア彼雲仔。前に同じ。

ヒツチエンホヲ彼等號。其の種類。彼の種類。彼の
の手合。一一人彼の手合の人。

ヒツチエンラン彼等人。彼の種類の人。彼様な人。

ヒツツヌ彼候。●其の時。彼の時。●先刻。先程。

ヒツツヌアア彼候仔。前に同じ。

ヒツツエ彼塊。彼處。彼處。其處。彼方。彼
方。彼方。彼方。到一彼處まで。一此塊
彼方此方。彼方此方。

ヒツニイ彼裡。其處に。彼處に。彼に。下在一
彼處に置く。

ヒツハン彼項。彼の。一事情該事件。彼の
ヒツパイ彼次。彼の時。先般。先頃。先度。

ヒツパイアア彼次仔。前に同じ。

ヒツパヌ彼辨。【彼等號】。

ヒツパン彼帮。先般。先度。彼の時。

ヒツヒツ擲擲。【擲】。

ヒツビエン彼旁。彼方の方。彼方。其方。其
ヒツビエンビイ彼旁邊。彼方の邊。彼の邊。

ヒツフン彼方。彼方の方面。彼方の方向。

ヒツホヲ彼號。其の種。其の類。其の。彼の。彼。

ヒツ

一蛇傳彼號蛋其の種の蛇は其の種の卵を
生む。蛙の子は蛙になる。一花結一子一
粟出一米一其の花は其の實を結び其の粗は其
の米を出す。瓜の蔓に茄子は生らぬなど。

ヒツミイ彼暝。其の晩。當夜。

ヒツミイフン彼暝昏。前に同じ。

ヒツメエ彼暝。【彼暝】。

ヒツメエファイ彼暝昏。【彼暝昏】。

ヒツラン彼人。彼の人。

ヒツリツ擲擲。【擲擲】。

ヒツレエ彼個。【彼個】。

ヒツレエ彼個。【彼個】。

ヒツレエラン彼個人。【彼個人】。

ヒツロヲ彼號。【彼號】。

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツキヲ眩轆。轆に酔ふ。

ヒツゴン眩慧。頭がふらふらする。眩暈。

ヒツシイラン眩死人。女などが人を惱殺する。

ヒツシヌ身身。【身身】。

ヒツヌウ身軀。【身軀】。

ヒツソア眩山。山頂などによつて眩暈する。

ヒツチア眩車。車に酔ふ。

ヒツチア眩着。惚れる。一査某女に惚れる。被
査某一同上。

ヒツツツ眩船。船に酔ふ。船酔。船暈。

ヒツヒツ眩眩。【眩眩】。

ヒツヒツ恨恨。【恨恨】。

ヒツフヌ眩暈。眩暈。眩暈。

ヒツホン雄黄。【雄冠石。雄黄。黄色の薬にて
五月五日に酒又は水に混せて飲めば悪魔を去る
といふ。【雄黄】。

ヒツホンチウ雄黄酒。雄黄を混ぜた酒、五月五日
に之を飲めば悪魔を去るといふ。

ヒツホンヒイ雄黄虚。【虚】次に同じ。

ヒツホンフウ雄黄虚。病後の者など眩暈してふら
ふらすること。

ヒツボンボン眩曠。目がくらくらする。目がま
ヒツリヌ眩眩。【眩眩】。【はる】。

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ヒツ

ビイアン 米麴。米を入れる麴。米麴。――弄鏡シク米

麴で「弄鏡」をする、米櫃が空。

ビイイ 美意。(又)好意。美意。

ビイイ 米圓。米の粉の團子。

ビイイ 美以美。(基督教)メソヂスト。――

教メソヂスト教。

ビイオン 未央。(並)未央。

ビウウ 匿窩。窪に隠れる。

ビウウ 微雨。(又)微雨。

ビウウ 未雨。――先綱繆シメズク雨アメが来る前に先づ雨仕

度をせよ、轉クルばぬ先の材。

ビイカア 米絞。米を搗ツく機械。精米機。――絞米ツ

精米機で精米する。

ビイカア ヒウ 篋脚香。篋ヒツを心ココロにした線香。「かく。

ビイカイ 米槩。斗ト搗。樹搗。――槩米カイ斗ト搗トで米を

ビイカウ 米郊。米問屋。

ビイカウ 米猴。米の賣買バイバイを周旋しゅうせんして手數料てすれうを取る者。

米の才取。牽ヒキ――同上。

ビイカッ 米角。粉米。米の屑。

ビイカッ 篋壳。竹片たけのしんの皮を取去とつたもの。竹の削身。

ビイカム 米箴。穀類こくを貯たくわへる浅い大な箴。

ビイカム 箴箴。箴ひごで作つくつた箴。浅い籠。

ビイキアウ 米賸。(新)米穀の投機取引。空米相場。

博カ――同上をする。

ビイキイ 寐去。睡氣ねいきがさしてうつらうつらする。

ビイキイ 篋器。竹細工。

ビイキイア 篋枝仔。竹を細く割わつたもの、又は皮

を去とつたもの。竹片。箴。

ビイキイア 匿去站。逃隠のがれれる。避隠ひかくれる。人

目を避けて隠れる。

ビイキイア 篋器店。竹細工屋。竹器たけぶを賣うる店。

ビイキエヌ 未見。(又)未見。――其面そのおもて未だ顔を見

た事がない。

ビイキエン 美景。(又)美しい景色。美景。

ビイキヨ 篋輻。竹の輻。

ビイクイ 米櫃。米櫃。「搗つむし。

ビイクウ 米龜。龜かめの形かたちした米の粉こなの【標】(動)米

ビイクウ 美舉。(又)美舉。

ビイクヌ 微菌。(國)微菌。

ビイクン 米管。従來じゆらいの柄しらべの一種。五合柄。

ビイクン 米糠。米の糠。粉糠。

ビイクン コエ 米管瓜。(並)絲瓜へちまの一種。

ビイクン チウ 米糠醬。糠味噌。

ビイケエ 米糶。米の粉で作つくつた糶。

ビイケエ 米價。米の値段。米價。

ビイゲエ 未月。舊曆六月の別名。

ビイコア 米封。筥竹せきちくの代りに米粒こめつぶを用もちひる占うらなひ。其の

法はふは依頼者いらいしやをして卓上たけじやうの米粒こめつぶを取り少し宛づ三箇

處ところに置おかしめ其の一番目いちばんめ二番目にばんめに置おきたる米より

八粒宛はちつぶ引去ひきり残りの數かずに依よりて本封ほんふうを定め第三番

目めに置おきたる米より六粒宛むつつぶ引去ひきり残りの數かずに依より

て變封へんふうを定まむるなり。

ビイコアヌ 美觀。(國)美觀。

ビイコエ 米糶。(並)【米糶】。

ビイコオ 米糊。米の糊。

ビイコオ 篋縮。竹の縮。

ビイコラ 米糕。糯米もちあわに砂糖さとうを混まぜて炊たいたもの。九

頓とん――不上算しやうじざん一頓いっとん清せい醃えん拾しやく起き來らい脛けい九回くわいも

【米糕】を馳走ちそうになつてゐる事ことはいはないで、たま

さか一回いっかい冷ひやい粥かゆを食くはせた事は言い立てる、恩おんを

知らぬこと。

ビイコラ シウ 米糕滯。(並)【米糕】の粘ねい汁じゆ。●與カ我シ

在ア――僕ぼくにうるさく附纏つづふ。

ビイコラ チイ 未可知。未だ分わからぬ。……かも知れ

ぬ。或者あるひ允准いんしゆん亦また――或あるひは許可きょかになるかも

知しれぬ。

ビイコラ ベエ 米糕醃。糯米もちあわの粥かゆに砂糖さとうを入いれた甘酒あまじゆ

の如ごときもの。

ビイコラ 米穀。(又)米穀。

ビイ

ビイ

ビイ

ビー

ビー コグ 美國。米國。亞米利加合衆國。
 ビー コク コエ 匿略喉。(遊戯) 隱坊。隠れごっこ。
 ビー コクモアベエ 米國赤皮。濃紫色の甘藷。
 ビー コオ 米糲。(米) 【米糲】。
 ビー ゴアツ 彌月。(又) 【彌月】。
 ビー サアモエ 匿相尋。(遊戯) 隱坊。隠れごっこ。
 ビー シイ 未時。未の刻。
 ビー シイ 惟是。一途に。只管……してばかりゐる。
 笑——|| 笑ってばかりゐる。討——|| 只管強請る。
 好——|| 何でも斯でも宜しい。唯唯諾諾。
 ビー シイ 篋扇。篋で編んだ團扇。
 ビー シイナア 篋絲簾。紙の篋で作った籠。
 ビー シウ 篋箱。篋で編んだ箱。若籠。
 ビー シエン 微生。(姓) 微生。
 ビー シエンリエ 未成年。(團) 未成年。
 ビー シホク 美俗。(又) 好い風俗。
 ビー シオン 米商。(團) 米商。
 ビー シオン 微傷。(又) 微傷。淺手。薄手。
 ビー シヲモエ 匿相尋。【匿相尋】。
 ビー シム 米心。米の心。——未透|| 飯に心がある。
 ビー ジイピエン 米字旁。漢字の米偏。
 ビー ジオン 稷苜。(又) 稷の袋角。
 ビー ジヌ 美人。●美人。英雄難過——|| 關|| 英雄も

ビー

美人の關は越難し。●米國人。
 ビー ジヌケエ 美人計。美人局。
 ビー ジヌタウ 美人豆。【雞母子】。
 ビー ジヌチヲ 美人蕉。(種) ひめばせう。(芭蕉科、觀
 費用に供す)。
 ビー スイ 未遂。(團) 未遂。
 ビー スウ 美事。(又) 美事。成全人的——|| 人の美
 事を完成せしめる。
 ビー スツ 美術。(團) 美術。——家|| 美術家。
 ビー セエ 微細。(又) 微細。細微。
 ビー モエ 米糲。(米) 【米糲】。
 ビー ソエ 微細。微細。細微。
 ビー ソオ 味敷。味。味。好——|| 好い味。——|| 鹽
 || 味が變る。
 ビー ソオ 味素。(團) 味の素。
 ビー ソア 篋樞。割竹の刺。刺。
 ビー ソエ 米糲。米を水粉に碾いて袋で漉したもの、
 團子などを作る。練粉。
 ビー ソオ 米醋。米で作った酢。
 ビー ソヲ 米舂。米を積む舂。
 ビー タイ 米蛤。(動) 米にゐる蟲。米蟲。
 ビー タイ 米篩。米と糲とを篩分ける篩。
 ビー タイカア 米篩柙。篩の柙を張るため縁にはめる

ビー

ビー タイチエク 米篩竹。(種) べいしちく。(禾本科、
 稈は米篩を製し又提燈の骨となす)。
 ビー タイバク 米篩目。●篩の目。●【米糲】を餛飩
 の如くにしたもの、砂糖湯などに入れて食す。
 ビー タイビヌ 米篩前。●痘痕。痘痕。痘痕。●擽拔
 の品。別選品。特等品。
 ビー タウ 米斗。樹。斗樹。一斗樹。鴨卵拾到——
 泥|| 鷺の卵も拾ってゐる内には一斗樹に満ちる、
 借金も少しづつ返してゐる内に遂に全部になる。
 ビー タウ 米豆。(種) あづきささげ。(昔科、莖・葉を肥
 料となし果實を食用に供す)。
 ビー タウ 眉豆。【肉豆】。
 ビー タウ 米頭。白に掛け唐箕に掛け更に米篩に掛け
 残りたる糲と米。
 ビー タツ 米達。(昔) メートル。米突。
 ビー タム 米探。稻の初穂。
 ビー タン 米桶。米櫃。
 ビー タン 米蟲。(動) 米にゐる蟲。米蟲。
 ビー チア 彌姐。(姓) 彌姐。
 ビー チアム 米鏝。米の刺。
 ビー チイ 匿頭。娘など恥しうに頭を下げる。
 ビー チイ 米市。米の市。
 ビー チイ 篋刺。【刺】。

ビ/チウ 米酒。米を原料として作った酒の一種。

ビ/チウ 米糞。米を水粉に碾いたもの。米糊。

ビ/チエウ 米粟。米と粳。一雙頭尖。米や粳は

兩方の頭が尖つてゐる、米穀の相場は一定しない。
意。

ビ/チエツ 味養糞。味が悪い。味が變つてゐる。

ビ/チエン 未曾。未曾。……しない。一耳

聞。未曾。未曾。未曾。

ビ/チエンイウ 未曾有。未曾有。一席。

ビ/チヲ 籐蓆。竹の皮で編んだ蓆。竹の網代。竹の

ビ/チヌ 米升。一升樹。

ビ/チアソ 籐碗索。竹の皮を撚った碗綱。

ビ/チアム 米店。米屋。

ビ/チイ 未知。未知。一一生焉知死。未だ生

を知らず焉んぞ死を知らん。

ビ/チエンリヌ 未丁年。未丁年。

ビ/チオン 微衷。微衷。

ビ/ツイ 泳水。水を潜る。潜る。驚などが嘴を

水中に入れて餌を探索める。

ビ/ツイ 米碎。碎米。

ビ/ツイ 匿嘴。子供が泣く時など口を盛める。べ

そをかく。人を嘲ける時など口を歪める。一入

ビ/ツイ チアブン 米煮成飯。米が炊けて飯になつ

た、事が確定して變更し難きをいふ。一、一、

要怎樣移易。事が確定してしまつた、變更出來

ビ/ツン 米倉。米倉。一ものか。

ビ/ツン 微瘡。微瘡。

ビ/ツイ 米確。米を搗く石臼。唐臼。踏臼。

ビ/ツツ 米突。米突。

ビ/テエ 米袋。米袋。

ビ/トオ 泳土。子供が泥土を弄つて遊ぶこと。

ビ/トオパン 楣堵枋。上櫃の上部の板。寢臺の上

部の縁を飾る彫刻のある板。

ビ/トヲ 彌陀。彌陀。一佛。阿彌陀佛。

ビ/トヲ 籐套。籐を編んだもの、荷造の時に用ひる。

一一套茶箱。同上で茶箱を包む。

ビ/ナア 米籃。米などを運ぶに用ひる籃。右栗貯

着好。一糶を好い籐籠に入れる、詰らぬ者が

不相應な地位にゐるなど。

ビ/ナア 籐籠。竹籠。籠。

ビ/ナア サウ 米籃草。(種)しまいちび。たかさこい

ちび。(錦葵科、葉を煎服して風邪・頭痛等を治す)。

ビ/ニイ 米乳。米乳。

ビ/ニイ 籐籠。竹の籐籠。籐籠。

ビ/ニウ 米糧。糧。食料。糧食。柴空。一盡。一耕

は無し糧食は盡きる、貧乏なこと。

ビ/ヌン 籐籠。皮を剥去つた竹の身。竹の中身。

ビ/バツ 匿密。隠潛む。潛伏する。

ビ/パウ 米包。米包。米俵。

ビ/パン 米香。(菓子)粗妝。粗妝。岩粗妝。

ビ/パンマン 米香糖。前に同じ。

ビ/ヒウ 籐香。竹の心のある線香。

ビ/ヒエン 匿雄。交尾の際此雞が體を竦める。竦ま

ビ/ヒエン 微行。微行。

ビ/ビアウ 美妙。美妙。

ビ/ビアウ 微妙。明かな據處がない。漠然として

取留の無い。雲を掴む様な。鬼神是。一的事

情。鬼神が有るなどは取留の無い話だ。

ビ/ビアウ 微妙。微妙。

ビ/ビイ 微妙。風。一風がそよそよと吹く。微

風。春天的風吹了。一春風がそよそよと吹

く。一ここに。一一笑。一ここに笑ふ。笑。一

ビ/ビイ 美味。美味。一同上。

ビ/ビイ 籐籠。枯。一甚だ強い。非常に硬い。

ビ/ビイ 匿匿。(家など)狭苦しい。一家具など作

方が貧弱な。一ベそをかく。嘴。一同上。

矮。一非常に背が低い。狭。一非常に狭い。

近。一距離が近い。低。一山。樹木又は家

ビイポオ米舗。米屋。米店。

ビイボグシエヌチイ未ト先知。未だトせずして先づ知る、豫言者など。

ビイマウ美貌。(又)美貌。

ビイムイチヲ美妹蕉。【美人蕉】。「腐る程有る。

ビイモア彌滿。多一矢鱈に有る。うんと有る。

ビイモア未滿。(又)未滿。

ビイライ未來。(又)未來。【送る。

ビイライガヌキイ眉來眼去。色目を使ふ。秋波を

ビイラウ米老。菓子的一种。【糠干】を油で煎つて水

飴に浸し炒米の衣をかけたもの。【糠干】参照。

ビイラウ米漏。千石筵。

ビイラウ瘰癧。(又)瘰癧。

ビイラム篋籠。竹の皮で作った籠。ジャンク船の錨綱

などに用ひるもの。

ビイラムツウ美男子。(又)美男子。

ビイラン篋籠。竹籠。

ビイリアフ米粒。米粒。

ビイリイ美女。(又)美女。

ビイリイ匿匿。【匿匿】の(又)。「同上を吊す。

ビイリイ楣簾。入口などに吊す帳。暖簾。吊一

ビイリイ謎謎。【謎謎】。

ビイリイ泳泳。【泳泳】。

ビイリイ篋籠。篋。御簾。竹簾。簾。

ビイリイキエヌ美利堅。米利堅。米國。アメリカ。

ビイリイ微力。(又)微力。

ビイリイ彌勒。彌勒。

ビイリエン米乳。【米乳】。

ビイリエックフツ彌勒佛。彌勒佛。彌勒菩薩。

ビイリヌ米乳。玄米乳。

ビイリイ米菴。半煮の飯。

ビイルウ美女。美人。美女。

ビイルウ美女。(又)前に同じ。

ビイレエ美麗。(又)美麗。

ビイロア米籬。米籬を入

れる籠。無奈何在弄

一ニ詮術無くて籬籠

に當散らす。

ビイロク米籬。糠籬。白米と糠とを篩分ける目の

ビイロク麋鹿。(又)麋鹿。麋鹿。「小な篩。

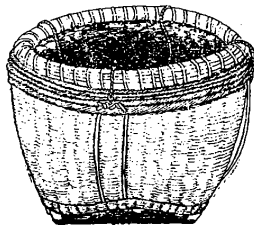
ビイロンア美濃紙。(又)美濃紙。

ビイン匿影。日蔭で休む。樹脚一ニ木蔭で憩ふ。

ビウ

ビウ謬。(又)性謬。(又)誤。背一ニ同上。差一ニ誤

謬。差之毫釐一以千里ニ差は毫釐の如くなる



籬 米

も謬るに千里を以てす、毫釐の差は千里の謬。

ビエク

ビエク覓。(又)覓。

ビエク黙。(又)黙。黙する。暗一ニ本を見ず

にそらで書く。一册ニ同上。一經ニ經書を見ずに

書く。一示ニ黙示。一不語ニ黙黙として語ら

ず。

ビエク脈。(又)脈。血一ニ血脈。親血一ニ肉身。

ビエク墨。(又)墨。文一ニ文筆。指一ニ爪に墨をつけ

て字や書を書く。

ビエクカア墨家。【上九流の一、墨家。

ビエクキイセエコラコ墨其西哥國。(國名)墨

ビエクキウ麥丘。(又)麥丘。「西哥。

ビエクキエン黙經。經書を見ないでそらで書くこと。

ビエクシア黙寫。【黙字】。

ビエクシイ黙示。(又)黙示。天啓。

ビエクシイリオク黙示録。聖書の黙示録。

ビエクジイ黙字。書取。

ビエクモエ黙册。前に同じ。

ビエクチウ麥秋。四月の異名。

ビエクツウ黙書。【黙字】。

ビエクトロ黙禱。(又)黙禱。

ビイ

ビウ

ビエク

ビエツ

ビエクトン 麥冬。【麥文冬】。

ビエック ビエック 黙黙。●(又) 一不語黙黙として語らず。【黙】。

ビエック ビツ 墨筆。官衙の職員の一にて訴狀の與書を謄寫し或は副本を正本に謄寫することを管するも「の」。

ビエック ブヌ 麥文。次に同じ。

和滋養・祛痰或は催眠劑として使用せられ、又膀胱病・腦神經系疾患・肺病に効あり。

ビエック リエック 黙黙。【黙黙】の③。

ビエツ

ビエツ 滅。滅す。一無埋滅する。一亡滅亡。一火

單アルコールランプなどの消光器。

ビエツ キイ 滅去。滅びる。消滅する。證據一證據

據が無くなった。

ビエツ コウ 滅國。亡國。國が亡びる。

ビエツ シイ 滅屍。●屍體を埋滅する。●預物などを

影も形も無くする。跡形も無くする。一枝萬年筆共一去萬年筆を一本同上してしまった。

ビエツ マツ 滅絶。亡びる。滅亡する。絶滅する。

ビエツ ツク 滅族。族滅。

ビエツ チヌ 滅盡。悉く無くする。滅盡する。

ビエヌ

ビエツ アウ 滅朝。朝が亡びる。

ビエツ ハイ 滅骸。(又) 死骸を埋滅する。一占墓他人の骸骨を埋滅して其の墓を横領すること。

ビエツ ビエツ 滅滅。【滅】。

ビエツ ボラ 滅無。埋滅する。證據共一去證據を埋滅してしまった。

ビエツ ボン 滅亡。亡びる。滅亡する。國家一國家が滅亡する。

ビエツ リエツ 滅滅。【滅滅】。

ビエツ ルヌ 滅倫。人倫を滅する。

ビエヌ

ビエヌ 免。●免。●免れる。免する。赦免。赦免

一税免稅。一租免租。一職免職。一學費免學費を免する。没得免難い。忍得一

時之氣、一得百日之憂、一時の怒を忍べば百日の憂を免れる、短氣は損氣。●それには及ばぬ。……しなくともよい。一講言はぬでもよい。

一返來歸って來ないでもよい。一彼多そんなに澤山には及ばぬ。

ビエヌ 鮠。(鮠) 鮠。春冬加納。春は鮠、冬は鯛、それぞれ其時節になると旨くなる。紅瓜加納。石首魚・鯛・鮠。味の好い三種の魚。

ビエヌ

ビエヌ 眠。(又) 眠。猫鼠同。猫と鼠と一緒に眠る、

敵同士が一緒に意。争妻奪田、見死如妻を争ひ田を奪はるる場合には死を見ること眠るが如し。

ビエヌ 面。面。前。前。面。體。方。方面。會。會。會。會。同上。一會之交。一面之交。

人。獸心。人面獸心。

ビエヌ イウ 綿羊。(動) 綿羊。

ビエヌ イオン 綿羊。(又) 綿羊。●羊の毛皮。一袍羊の毛皮で作った【袍】。

「ない。」

ビエヌ ウイ 免畏。恐れるには及ばない、心配に及ばぬ。

ビエヌ ウウ 綿雨。(又) 長雨。霖雨。

ビエヌ ヲア 綿遠。(又) 連綿。綿綿。

ビエヌ キア 免驚。●恐れるに及ばぬ。一你做你来心配しないでもよいから勝手に來なさい。●そんなことがあるものか。なかなかもって。どうして。一伊不來。彼が來ないことがあるものか。一伊肯。彼が承知するものか。

ビエヌ キイ 懸忌。死んだ人の誕生日を祭ること。做一同上。

ビエヌ キオン 勉強。●強ひて。勉めて。無理に。一食無理に食ふ。一去勉めて往く。一一人做強ひて人にさせる。一成自然

● 勉めて行へば遂には自然に行へる様になる。

ビエヌクヌ 面君。天子に拜謁する。〔國〕 勉強。

ビエヌケエ 面過。債權債務の關係者が目前「過賬」

ビエヌコア 免官。官を免ずる。免官。〔する。〕

ビエヌコン 免講。● 言ふに及ばぬ。閒話——徒話

は言はないでよい。● 言ふまでもなく。勿論。無

論。——伊亦能來言ふまでもなく彼は来る。

ビエヌスウ プツ ガア 面辭不雅。(店頭などに貼出

す文句) 掛賣一切御斷。

ビエヌズウ 面諭。(文) 面諭。

ビエヌセエ 免稅。税を免ずる。免稅。

ビエヌワエ 免罪。免罪。罪を赦す。

ビエヌワオ 免租。免租。

ビエヌタム 面談。(文) 面談。

ビエヌチイ 免錢。金を要せぬ。無代。只。ロハ。

ビエヌチエク 面積。(國) 面積。

ビエヌチエヌ パイ 免戰牌。敵に休戦を乞ふ札。掛

——同上を掛ける。

ビエヌチツ 免職。(國) 免職。

ビエヌチエヌ ハブ ホアヌ 緬甸合歡。(植) (豈料) び

るまねむのき。

ビエヌチオン 綿長。(文) 長く續く。連綿。長久。

ビエヌチツ 免得。それには及ばぬ。必要が無い。—

● 傳人費氣 人に面倒をかけずに済む。——來

ビエヌツン 免狀。(國) 免狀。

ビエヌテエ 免得。【免得】。

ビエヌハク 勉學。(國) 勉學。

ビエヌヒイ 免許。(海) 【免許】。

ビエヌヒイ 鮫魚。(動) 鮫。

ビエヌビエヌ 免免。【免】の②。

ビエヌビエヌ 綿綿。(文) 綿綿。〔せる。〕

ビエヌビエヌ 面面。(文) ——相觀 互に顔を見合

ビエヌビエヌ シイフツ 面面相佛。保爭當事者など

の雙方に懇意な。——要講亦不得不講亦

不得 雙方共知合だから話しても都合が悪い

し、話さないでも都合が悪い。

ビエヌフウ 免許。(國) 免許。

ビエヌヘエ 面會。計算の事などを納得のゆく様に説

明する。

ビエヌホエ 面會。● (國) 面會。● (海) 【面會】。

ビエヌボク 面目。(國) 面目。面目。

ビエヌリウ 晁旒。(文) 晁旒。

ビエヌリエヌ 免免。【免免】。

ビエヌルヌ 免論。論するに及ばぬ。無論。勿論。

ビエヌレエ 勉勵。勉勵。勵む。勉強する。

ビエン

ビエン 猛。猛しい。強い。展——威を振ふ。闘——勇

猛を競ふ。腕力較。一獸——猛獸。

ビエン 萌。(性) 萌。

ビエン 鳴。(性) 鳴。

ビエン 明。● (朝名) 明。一朝 明朝。● 明。明い。明

か。分明。一白 明白。一約 明かに約束をす

る。聽了真——分明聞える。——是如此 明

確にさうだ。看無——見ても分明しない。一理

● 理に明い。● 飭色で透明な。一薑 生薑の蜜

餞。一糠 飭色をした透明な砂糖菓子。魚子眞

——鱸子が好く透通つてゐる。鳳萊有——パイ

ナッブルが黄色に熟してゐる。

ビエン 螟。他人の子を買つて養子としたもの。螟蛉子。

這是親生的、彼是一的 此は生の子で彼は螟

蛉子だ。

ビエン 名。名。冒——名を冒す。僞名。一士 名

士。慕——名を慕ふ。一稱其實 名が實に稱ふ。

一不虛傳 名詮自性。有——無實 有名無實。功

成——遂 功成り名遂ぐ。人死留——虎死留皮

● 人は死して名を留め、虎は死して皮を留む。

ビエヌ

ビエヌ

ビエン

ビエン

ビエン 盟。誓ふ。一約誓約する。一兄弟義兄弟。伊是阮的。彼は僕の義兄弟だ。一父母會。神前に於て義兄弟の誓をなし、何れかの父母が死亡した時は互に費用を出合つて援助する旨を

ビエン 孟。(姓)孟。 「盟ふこと。

ビエン 命。一命。一令。命令。遣。遣言して命ずる。遣。命に違ふ。奉。命を奉ずる。一運命。天

一途多舛。運廻が悪い。聽天由一。天に聽せ命に由る、運を天にまかせる。紅顏

多薄。紅顏の美人は薄命多し。一命。生命。生

一同上。人。人命。能致。命に係る。一

案。殺人事件。謀財害。財物を奪ふ爲に人の

生命を害ふ。強盗殺人。殺人償、欠債還錢

人を殺せば命を辨償し、負債には錢を返す。

ビエン アア 盲啞。(國)盲啞。一學校。盲啞學校。

ビエン アヌ 命案。人命に關する事件。殺人事件。

ビエン イア 明夜。(又)明晩。一再來。明晩又來

ビエン イイ 名譽。名譽。國手。良醫。大醫。 「る。

ビエン イイ 名譽。(派)「名譽」。

ビエン イウ 明油。假漆。漆。假漆を塗る。

ビエン イオク 明約。明かに約束する。

ビエン イオク 盟約。誓約。

ビエン

ビエン イオン 猛勇。剛勇。勇猛。

ビエン イオン スウ ハイ 名場四海。(又)名が四海に揚る。名高い。

ビエン ウウ 名譽。(國)名譽。

ビエン エエ 螟的。次に同じ。

ビエン エエ キア 螟的の子。他人の子を買つて養子としたもの。螟蛉子。

ビエン オク 猛惡。猛惡。

ビエン ラエ 名畫。(國)名畫。

ビエン カア 明膠。精製した透明な膠。透明。

ビエン カア 名家。名家。大家。一畫。大家の畫

名人の繪。一字。大家の畫。一上九流の一、名家。(帶家)の。

ビエン カク 明角。一燈。角を薄くして作った透明なランプ。一糖。透明な砂糖のキャンデー。

ビエン カク 名角。(又)名優。 「銘する。

ビエン カム 銘感。(又)感銘。感佩。一五内。肝に

ビエン キア 猛強。非常に強い。非常に猛

ビエン キイ 名妓。(又)名妓。 「しい。

ビエン キイ 猛氣。勇しい。勇氣。

ビエン キイ 明氣。行動が公明正大な、潔白な。男らしい。氣前がよい。さっぱりした。死較。一死んだ方が男らしい。

ビエン

ビエン キイ サイ 明其知。分りきつてゐる。一能

輸。負けることは分りきつてゐる。一故意。分りきつてゐながら故意に蹴る、承知の上で悪いことをするなど。

ビエン キウ 明膏。砂糖漬の生姜。一糖。同上。

ビエン キエン 明鏡。(又)明鑑。請大人。一裁判官などに對していふ語。何卒御明察を請ふ。一高懸。明鏡高く懸る、上に公平なる裁判があるといふ意。

ビエン キエン チエン ツウ 明經正娶。(又)正式の婚姻。

ビエン キヲ 明轎。上に被の無い椅子の様な轎、迎春の式などに地方長官の乗るもの。

ビエン キム 明金。質の好い一文錢。一錢。同上。

ビエン キム シウ クヌ 鳴入金收軍。銅鑼を鳴らして兵

ビエン ギイ 名義。(國)名義。 「を收める。

ビエン クウ 名句。(又)名句。

ビエン クウ 名區。(又)名所。名勝。

ビエン クヌ 明君。英主。明君。

ビエン コア 明官。賢明な官吏。

ビエン コア キウ チイ 鳴官究治。(又)官に訴へて處

理してもらふ。

ビエン コア キウ ツイ 鳴官究追。(又)官に訴へて追

求(もと)めてもらふ。

ビエンコン 明講。明かに話す。明言する。〔月。〕

ビエンゴアツ 明月。(文) 明月。一輪——一輪の明

ビエンサヌ 名山。(文) 名山。

ビエンサヌ 名産。(國) 名物。名産。

ビエンサア 明早。(文) 明朝。

ビエンサイ 冥財。(文) 【車錢】。

ビエンサツ 明察。(文) 明察。明鑑。賢察。

ビエンシア 鳴謝。(文) 感謝の意を表する。鳴謝。特

此——特に茲に感謝の意を表す。

ビエンシウ 猛獸。猛獸。

ビエンシエク 名色。名目。借人——人の名目を

利用する。●面目。有甚——何の面目がある

か。

ビエンシエク 名色種。上等の茶の種類。

ビエンシエン 銘旌。(文) 銘旌。

ビエンシエン 名勝。(文) 名勝。

ビエンシヌ 名臣。(文) 名臣。

ビエンシヌ コブヌ 孟巨罐。孟臣といふ所より出る

上等の土瓶・茶瓶の類。

ビエンシヌ 名信片。(新) 郵便はがき。

ビエンシム 銘心。(文) 感銘。心に銘する。——刻骨

——心魂に徹する。——不忘——心に銘して忘れ

ず。銘肝。

ビエンジツ 明日。(文) 明日。明日。翌日。夕霞——

雨夕焼があれば明日は雨。今日不知——事

今日あつて明日の事を知らず。

ビエンジヌ 名人。(國) 名人。

ビエンズウ 名詞。(國) 名詞。

ビエンズウ 名士。名士。激——名士振る。假名士。

老——老練な名士。

ビエンズウ 名儒。(文) 大儒。大學者。宿儒。

ビエンセエ 猛勢。勇しい勢。威勢。

ビエンソノ 名所。(國) 名所。

ビエンワン 孟宗。【二十四孝】の一。

ビエンワン チエク 孟宗竹。(種) 孟宗竹。

ビエンタイ オオ 明太祖。明の太祖。朱元璋。

ビエンタツ 明答。(國) 明答。

ビエンチアン 猛將。(種) 【猛將】。

ビエンチアン 名將。(種) 【名將】。

ビエンチアン 明唱。明かに口約束をする。

ビエンチイ 名刺。(國) 名刺。

ビエンチウ 孟秋。孟秋。七月の異名。

ビエンチウ イオン イイトヲ 明鎗容易躲。——

——暗箭最難防——公然の鎗は容易に避く、暗

中の箭は最も防ぎ難し、陰險中傷などの危険

注意。

ビエンチウ クヌ 猛樹根。【巴豆】。

ビエンチエツ 名節。(文) 名節。全——名節を全う

ビエンチエン 明證。明かな證據。

ビエンチエン 名稱。(國) 名稱。【稱ふ】。

ビエンチエン キイ シツ 名稱其實。(文) 名は其實に

ビエンチオン 猛將。勇將。猛將。

ビエンチオン 名將。名將。

ビエンチアウ 明朝。(文) 明朝。明朝。

ビエンチアウ 盟帖。義兄弟の誓をする時などの誓文。

起請。誓約書。

ビエンチイ 明知。(文) 明かに知る。——山有虎、故

作探樵人——山に虎があるとは知りながら熊樵

夫となる、知りながら危険なことをするなど。——

——故犯——故意に罪を犯す。

ビエンチイ 明智。(文) 明智。叡智。

ビエンチイ 明治。(國) 明治。

ビエンチイ チエツ 明治節。(國) 明治節。

ビエンチエツ 明哲。(文) 明哲。

ビエンツウ 明珠。光る玉。明珠。

ビエンツウ 盟主。(國) 盟主。

ビエンツウ 孟子。孟子。

ビエン

ビエン

ビエン

ビエン

ビエンツヌ 孟春。孟春。一月の異名。
 ビエンマン 明糖。餡の如く透明な菓子。
 ビエントアヌ 明断。公明な裁判。明断。
 ビエントオ 命途。運命。運。一多外運が非常に悪い。不幸が多い。
 ビエン トン 孟冬。孟冬。十月の異名。
 ビエン トン 明通。通曉。一理に事理に通曉する。
 ビエン ハア 孟夏。孟夏。四月の異名。
 ビエン ハア 猛漢。勇気のある人。健兒。
 ビエン ヒアチ 盟兄弟。義兄弟。
 ビエン ヒエヌ 明現。著明。明白。
 ビエン ビエン 盟盟。盟。
 ビエン ビエン 明明。白地に。現に。明に。明瞭。明白。一白白。明白。明白。
 ビエン ビエウ 明白。明白。分明。分明。明白。明白。一的事。明白な事柄。一了解する。納得する。今都一喇。もうよく分った。一附。片附。済む。落着する。決着。清楚。一綺麗さっぱりと片附。事情。一事が落着する。
 ビエン ビエヌ 名片。名刺。
 ビエン ビエヌ 明品。明かに口約する。口約束をする。
 ビエン フウ 命婦。命婦。
 ビエン フヌ 名分。名分。名目。

ビエン

ビエン フヌ タイ ツウ 明婚大娶。正式の婚姻。
 ビエン ブウ 孟母。孟母。孟子の母。
 ビエン ブヌ 名聞。名聲。名聞。
 ビエン ブヌ 名門。名門。家柄。門閥。
 ビエン プツ フウト アヌ 名不虛傳。名は虚を傳へず。全く評判の通。
 ビエン ペエ ブウ ホエ 盟父母會。盟約して父母會。
 ビエン ホアヌ 明攀。明攀。
 ビエン ホオ 猛虎。猛虎。一没對得拳頭多。猛虎も澤山な拳固には叶はない。寡は衆に敵せず。一没對得大陣。猛虎も澤山の猿には叶はない。同上。一添牙。猛虎に牙を添へる。鬼に金棒。一添翼。猛虎に翼を添へる。同上。
 ビエン ホオ 明呼。明かに口約束をする。一明唱。一ボアヌ 明晚。明晚。一同上。
 ビエン ボエ ビエン ボエ 明賣明賣。明かに賣買する。公明なる賣買。
 ビエン ボク 名目。名目。名目。
 ビエン ボン 名望。名望。名望。名望。有。一的人。名望の有る人。
 ビエン ボン カア 名望家。名望家。
 ビエン モア アム ビエヌ 明暗暗。公然と欺瞞し竊に騙す。陰に陽に騙す。

ビエン

ビエン ラム 猛弱。強弱。勇猛と怯弱。
 ビエン ラン 猛人。勇者。健兒。
 ビエン ラン 明朗。音聲など明瞭。判然。明。聲音。一同上。讀書愛。一寫字着專心。讀書は音を正しくして読み、字を書くには専心なるべし。一事に通じてゐる。物事がよく分つてゐる。一的人。一事の分つた人。
 ビエン リアン 明亮。音聲がよく透通る。聲音。一同上。一透通る。透明。此塊玉真。一この玉はよく透通つてゐる。
 ビエン リイ 明理。理に明い。條理に通曉する。一的人。識者。
 ビエン リイ 名利。名利。名利。一紛心。名利に心を暗ます。名利に心が亂れる。一兩全。名利二つながら全し。
 ビエン リウ 名流。名高い人。名流。
 ビエン リエン 盟盟。盟盟。
 ビエン リエン 螟蛉。一動。螟蛉。青蟲。一金で買った養子。養子。一的人。一子上。一同上。
 ビエン リエン 命令。命令。言付。
 ビエン ルヌ ムン 明命堂。讀書人を集め訓諭演説などする孔子廟内の堂。
 ビエン ロウ 鳴鑼。銅鑼を鳴す。情人。一廣告など

の爲人を雇つて銅鑼を鳴す。 「落第の意」

ビエンロックスヌサヌ名落孫山。(名)名孫山に落つ、

ビヲ

ビヲ 秒。(圖) 秒。セコンド。

ビヲ 母。敵。……【ボオ母。敵。……】。

ビヲ 描。敷寫にする。透寫にする。寫す。一字一字を
同上する。一岡一岡を同上する。

ビヲ 謀。(衆) 【謀】。

ビヲ 廟。廟。廟宇。宮。宮一同上。祖一祖先を祀
る廟。近一欺神一廟に近いものは神を何とも思
はぬ。神も馴れると恐しくない様になる。

ビヲ アア 廟仔。小な廟。

ビヲ イエク 貿易。(衆) 【貿易】。

ビヲ ウウ 廟宇。廟宇。

ビヲ コン 廟公。宮守。堂守。廟守。寺番。乞食起一
一乞食が廟守を逐出す。庇を貸して母屋を取ら
れる。【廟祝。香公】。

ビヲ サヌ 廟出。廟に屬する田地。寺領。

ビヲ シア 描寫。透寫す。透寫。敷寫。

ビヲ ジイ 描字。字を透寫にする。

ビヲ チアム 秒針。(新) セコンドを示す時計の針。

ビヲ チオク 廟祝。【廟公】。

ビヲ

ビヲ 描描。【描】。

ビヲ ムン 廟門。廟の門。

ビヲ ライ 廟内。寺内。廟内。

ビヲ リヲ 描描。【描描】。

ビツ

ビツ 密。(衆) 密。密。秘一秘密。一約一密
約。一報一密に報せる。一訪一密に探査する。①

落込んで隠れて仕舞ふ。陥没する。沈込む。杙仔
着釘到一杙は頭の見えなくなるまで打込
め。船一落去一船が沈没した。地基一三四尺
一地面が三四尺陥没した。

ビツ 櫛。【八角】の②。

ビツ 蜜。①蜜。蜂一蜂蜜。一蜂作一蜜蜂が蜜をつ
くる。嘴一腹劍一口に蜜腹に劍。割一蜜を收
獲する。②蜜で煮る。蜜餞にする。過一的薬仔
一蜜で煮込んだ薬。創一落去一蜜で蜜餞にす
る。

ビツ アン 蜜甕。蜜を入れる甕。蜜甕。

ビツ イウ 蜜柚。(種) 【柚仔】の一種。みつごぼん。

ビツ イオク 密約。(圖) 密約。

ビツ ウイ 蜜黃。(衆) 【蜜黃】。

ビツ カム 蜜柑。(種) (芸香科) 蜜柑。

ビツ キエツ 密草。(姓) 密草。

ビツ

ビツ ギイ 密議。(圖) 密議。

ビツ サア 密査。密に調査する。

ビツ サウ 密奏。密奏。

ビツ スウ 密須。(姓) 密須。

ビツ スウ 密書。密書。

ビツ スウ 密事。密事。

ビツ スウ ジア 密輸入。(圖) 密輸入。

ビツ スウ ツツ 密輸出。(圖) 密輸出。

ビツ ズウ 密諭。密諭。内訓。

ビツ ソオ 密訴。密訴。密告。

ビツ ツヲ 蜜棗。蜜で煮た棗。棗の蜜餞。

ビツ チイ 密旨。密旨。

ビツ チエヌ 蜜餞。蜜餞。果物を砂糖で煮詰めたもの。
一糖糶一神に供へる同上及び菓子。

ビツ チエン 密偵。(圖) 密偵。 「つた料理」

ビツ チムヘマイ 蜜浸火腿。臘乾を蜜に浸して作

ビツ ツイ 蜜水。蜜を混ぜた水。水蜜。蜜汁。

ビツ マン 蜜糖。砂糖漬。

ビツ トヲ チエン 密陀僧。(圖) 密陀僧。

ビツ トン 密通。(圖) 密通。

ビツ パン 蜜房。蜂の巢。

ビツ パン 蜜蜂。(動) 蜜蜂。

ビツ ビツ 密密。【密】の③。

ビツ

ビヌ

ビッ、ビッ、蜜蜜。【蜜】の③。

ビッ、フツ、檳榔。【莽草】。

ビッ、ブウ、密霧。段段と遠ざかって微に見えること。

風吹放到——風が高く揚つて同上。

ビッ、ホエ、密會。(國)密會。

ビッ、ホン、密訪。密に探査する。

ビッ、ボラ、密婆。(動)蝙蝠。蝙蝠。【仙風】。

ビッ、マウ、密茅。(姓)密茅。

ビッ、ラア、蜜蠟。蜜蠟。

ビッ、リアウ、蜜料。砂糖漬や蜜餞の類。

ビッ、リッ、密密。【密密】。

ビッ、リッ、密蜜。【蜜蜜】。

ビッ、ロオ、蜜路。【蜜路】。

ビッ、ロキ、密落去。落込む。陥没する。杵仔——杵が埋没した。

ビッ、ニ、蜜黃。籠甲色。節色。蜜の様な黄色。

ビヌ

ビヌ、関。(姓)関。

ビヌ、眼。(姓)眼。

ビヌ、刷毛。刷毛。ブラシ。歯——歯磨粉。鞋——靴。

刷毛。●ブラシをかける。刷毛で擦る。一鞋——靴を磨く。一衫——着物にブラシをかける。

ビヌ

ビヌ、民。(姓)民。良——良民。一心——民心。

一有菜色——民に菜色あり。國泰——安天下泰。

平。官有正條。一有私約——官には官の規則あり。民には私の約束あり。

ビヌ、眠。眠る。安——安眠。貪——眠を貪る。淺——

寢聰い。咽没落——寢附かれない。咽無到——

寢が足りない。打醒——目を醒させる。一床——

寢臺。

ビヌ、面。顔。一色——顔色。一布——手拭。糊到——

粉——顔中白粉だらけ。一拾欄——顔に塵積をとる、

皺面。一臭臭——不平顔。三人二——契約や談判

などに用ひる語。雙方と仲人とを指している。

賊——菜公心——賊の様な顔をして堂守の心。外面

は恐しきも心は好き意。歹——好交關——顔の悪し

き者は性質がよくて相談などしやすい。癡——狂

狗目——馬鹿目で狂犬の目。愚にして物事を見分

けることが出来ない。改頭換——頭を改め面を

換へる。全く人が變る。●面。面。表面。上側。

水——水面。鏡——鏡の面。籠——的柑仔——籠の

上側の蜜柑。頂——表面。●圓。圓。平いものなど

を示す語。一鏡——一つの鏡。一鼓——一つの太

鼓。彼——鐘——あの鐘。此——牌——この牌。四頁。方

ビヌ

面。前——前の方。後——後の方。四——四方。

對——前面。裏——裏面。●形勢。狀況。風向。

旗色。勢——模様。雲行。形勢。市——市況。生

理——商賣の狀況。此下較有——今回は稍

風向が好い。●能過——機會などを捉へ得る。

趁能過——儲けられる。走没過——逃げ逃せ

ない。騙能過——騙し逃せる。

ビヌ、アア、刷毛。ブラシ。

ビヌ、アア、アウ、明仔後日。●明日又は明後日。

●明後日。明後日。

ビヌ、アア、アム、明仔暗。明晚。明日の晩。

ビヌ、アア、ア、明仔再。明日。明日。

ビヌ、アア、ア、明仔早起。明朝。明朝。下昏

討無——頓——今夜稼いで儲けても明日の朝

の飯がない。極貧なるをいふ。

ビヌ、アア、ア、明仔日。明日。明日。

ビヌ、アア、ア、面腐腐。面。不平顔。不興顔。顔を

ビヌ、アア、ア、民案。民事裁判。民事事件。「脹かす。

ビヌ、アア、ア、面紅。赤面。一肉没消蝕——顔は赤くな

っても肉は減らない。恥を知らぬ意。

ビヌ、アア、ア、面紅。紅顔。血色が好い。

ビヌ、アア、ア、民意。(國)民意。「類。

ビヌ

ビヌ、アア、ア、面油。顔に塗る化粧品。グリセリン製品の

ビエ バク 面目。●顔附。容貌。●面目。體面。無一

面目無い。●日利。目光。有ー日利。無ー目光が見えない。

ビエ バン 眼夢。夢見。夢見る。

ビエ ヒエン 面形。顔貌。顔附。面構。面相。

ビエ ビエヌ 眼勉。(文) 眼勉。

ビエ ビエヌ 眼勉。【勉】の③。

ビエ ビエヌ 眼眠。●薄薄眼眠る。昏昏と。うとうと。うつらうつらと。【眠】。

ビエ ビエヌ 岷岷。僅かな傾斜。だらだら上り。だらだら下り。山路ー山路が同上。

ビエ ビエヌ シイフツ 面面相佛。【面面相佛】。

ビエ ビエヌ 民變。(文) 人民が反亂を起す。一撥。

ビエ ビエヌ 民兵。國民軍。民兵。

ビエ フヌ 面粉。白粉。

ビエ フン 明昏。明晩。明日の晩。

ビエ プヌ 面盆。手水盥。金盥。洗面器。

ビエ ベエ 面馬。面構。面附。面。一四方よく整った四角な顔。一四角顔の釣合がよい。

顔の恰好がよい。顔の貌が長くもなく平くもなくよく整ってゐる。

ビエ ベエツン 面馬長。面長。長い顔。顔が長い。馬顔。顔の貌が長い。

ビエ ペエ 面皮。面皮。面の皮。惜ー體面を重んずる。留ー面目を存す。一較厚城牆面

の皮が城壁よりも厚い、面の皮が厚い。一較薄信紙面の皮が巻紙よりも薄い、非常に恥しがるもの。小心者。拵ー面の皮を張る、面目を整へる。

ビエ ペエシムコオオオ 面白心肝烏。顔は白くて心は黒い、面は好いが心は黒い。

ビエ ホアツ 民法 (國) 民法。

ビエ ホエ 刺花。手の込んだ刺繡をする。細い刺繡。

ビエ ホン 民風。(文) 民風。一土俗民風土俗、土地の風と人民の俗。【大なる顔】。

ビエ ボオ 面模。顔の貌。顔形。顔の輪廓。一大一

ビエ ボン 民望。德望。人望。民望。得ー受がよい。人望がよい。有ー德望がある。

ビエ ポエ 面皮。(魚) 面皮。

ビエ ポオ 面布。タオル。手拭。

ビエ ポオ 面模。顔貌。一四方顔貌が整って肥えてゐる。

ビエ ポオ 民舗。人民のいふ【舗】にして官定の【舗】より長し。

ビエ ボオ 面皮。(魚) 面皮。

ビエ マウ 面貌。容色。顔附。器量。容貌。顔貌。面

ビエ リヌ 剋剋。【剋剋】。【好】。

ビエ リヌ 眼眠。【眼眠】の③。

ピア アピア

ピア 壁。壁。磚仔。棟瓦壁。粉ー白壁。伸手突着ー手を伸ばせば壁に突當る、金を貸して呉れる者なく困窮に陥る意、八方塞りなど。青盲怨

一盲人が壁を怨む、下戸の酒怨みなどの意。

ピア 蟻。(動) 蟻。

ピア 食。(食) 食の③。

ピア 兵。兵。一部軍務を司る官省。兵部。一房兵事係。放ー神が神兵を繰出すこと。

ピア 拵。放投げる。放出す。一擲擲投棄てる。一颯擲。放投げる。放出す。一擲擲投棄てる。一颯擲。擲擲茶碗や皿を放投げる、怒って物を手荒く取扱ふ。骨頭好一狗汝の骨は大に投げてやるに好い、非常に瘦せてゐる人にいふ。【拵】。

ピア 丙。丙。一寅。丙寅。分甲乙ー甲乙丙に分ける。

ピア 餅。菓子。多話食臭乾。お饅古は焦菓子を食ふ、口は禍の門。加定做細ー前金を出して作らせた菓子は小さい。晝一個一在壁的。一つ

の菓子が壁に畫いてあるのだ、晝餅。煎餅の如

ビエ

ビエ

ピア

る、八當に當る。

ピア イイピアトヲ 拵椅拵桌。椅子や卓子を投げ

る、八當に當る。

ピア イウ 餅幼。菓子の屑。

ピア イヌ 丙寅。(干支)丙寅。

ピア ヲア シアク チイ 拵碗拵箸。茶碗を拵げ箸を放
る、八當に當る。

ピア ヲエ 僻語。隱語。合詞。合詞。符牒

ピア カア 壁脚。壁の邊。壁の根元。飢雞築——
飢多た鶏が壁際を掻く、貧乏人が少しでも金にな

るものを搜廻るなど。

ピア カア ピイ 壁脚邊。前に同じ。

ピア カウ ボヲ 傾厚薄。勝負する。勝敗を争ふ。雌
雄を決する。

ピア カツ 壁角。壁の内側の角。壁の角。「た厨子」

ピア カム アア 壁竈仔。壁に作附た竈。壁に取附け

ピア カン 壁孔。壁の穴。——字紙||壁穴の反故、役

に立たぬ學者の意。掃屑掃——洗面洗耳孔
||家を掃除する時は壁の孔を掃へ、顔を洗ふ時は

耳の孔を洗へ。

ピア キイ 拵去。投擲する。叩付ける。擲付ける。投付

ピア キイ クツ 拵枝骨。肋骨。肋骨。

ピア キイ チアム 拵去站。避けて隠れる。逃げて隠れ

ピア キイ ライ 平起來。負や損失を取返す。盛返す。

回復する。元元になる。博——賭博の負を

ピア グウ 僻語。「僻語」。

ピア ケエ 傾價。拾値。投資の値段。相——賣俗||互
に拾値で安く賣る。

ピア コア 餅干。ビスケット類の總稱。

ピア ゴオ 丙午。(干支)丙午。

ピア サウ 傾掃。取片付けて掃く。掃除する。

ピア サク 傾揀。放出す。投付ける。

ピア サウ 僻走。避けて隠れる。逃隠れる。

ピア サツ 僻賊。賊を磔にする。

ピア シア 平聲。平聲。平。平聲。

ピア シア 僻口。邊鄙。——的所在||邊鄙な所。

ピア シイ 傾勢。(海)「傾勢」。

ピア シイ シイ 傾生死。命掛で争ふ。決戦する。

ピア シイ ミア 傾性命。一生懸命。命掛。——倣

|| 一生懸命でする。

ピア シエヌ シイ 壁先生。油蟲の異名。

ピア シエン 癖性。癖。癖。仕癖。

ピア シホク ヘエ 傾俗貨。拾賈。投資。

ピア シヌ 丙申。(干支)丙申。

ピア シヌ 丙辰。(干支)丙辰。

ピア シヌ シイ 傾身死。一生懸命。必死。

ピア シア ジイ ケエ 辟十字架。十字架につける。

ピア ジイ 平字。平字。平。

ピア ジイ 盤字。字を寫す。

ピア ジア 傾入。闖入。押入る。押込む。土匪——
内||土匪が家の中に押入る。

ピア スッ 丙戌。(干支)丙戌。

ピア スッ 餅屑。菓子の屑。

ピア セエ 傾勢。一生懸命。必死。いそいそと。精一
杯。力一杯。——作稽——一生懸命で仕事をす
る。必死になつて働く。

ピア セエ ミア 傾性命。(海)「傾性命」。

ピア セエ 平仄。平仄。無——平仄が合はぬ。道

理講了有——話すことが理窟に適つてゐる。

ピア ツエ 餅糍。菓子を作る【糍】。

ピア ツオ 丙組。(國)丙の組。

ピア タウ ハン ベエ 壁頭巷尾。町の隅隅。——
行透透||町の隅隅まで歩廻つた。

ピア チイ 壁鏡。(動)ひらたくも。

ピア チエン 壁鏡。掛時計。柱時計。

ピア チエン 傾清。●皆明ける。悉皆綺麗に取除ける。

——厝内||家の中の物を皆運出して掃除する。

●債務などを完済する。——債項||債務を全部
返済する。

ピア

ピア

ピアチエン僻症。稀にある病氣。珍奇な病症。
 ピアチエン僻靜。邊鄙で閑靜な。——的所在は同
 ピアチエン疹症。(樹) 麻疹。「上な場所」
 ピアチツエエカウボヲ傾一下厚薄。人と勝負を
 争ふ。雌雄を決する。張合ふ。與伊——
 彼と勝敗を争ふ。
 ピアチアウ傾委。打散けて棄てる。
 ピアチアム餅店。菓子屋。
 ピアチヌ傾陣。戦争する。戦ふ。勝負を争ふ。
 ピアツイ傾水。水に乗てる。水を打散ける。
 ピアツイ餅碎。菓子の屑。
 ピアツウ丙子。(干支) 丙子。
 ピアツウ壁抵。壁の支柱。
 ピアツウ壁厨。壁に作りつけた戸棚。押入。厨子。
 ピアツン傾盪。拭き掃き掃除する。拭掃除。各日都
 ——毎日拭掃除をする。
 ピアツン壁段。煉瓦の半片。
 ピアテ壁得。隠れる。潜伏する。
 ピアトオ壁土。塗った壁土。
 ピアトラ壁刀。壁を塗る鋏。
 ピアトラツン平倒返。賭博の負など取返す。盛返
 する。
 ピアニア拵拵。「拵拵」。
 ピアニア傾傾。「傾傾」。

ピア

ピアニア盤盤。「盤盤」。
 ピアニア拵拵。「拵拵」。
 ピアニア平平。「平平」。
 ピアヘン僻巷。邊鄙の町。場末の路地。裏町。麴街
 ——曲りくねった場末の町。
 ピアバツ僻密。潜伏する。
 ピアパン兵房。兵事係。
 ピアパン傾房。部屋を片附けて掃除をする。本
 家と分家などが互に張合ふ。競ひ合ふ。風
 水——墓地の地相の悪い爲に同族中の一族が
 ピアパンタウ傾房頭。「傾房」の「頭」。「衰へる」。
 ピアヒイ壁魚。(動) 紙魚。衣魚。
 ピアヒエツカ拵拵。拵拵。投棄てる。放棄てる。
 ピアピア食食。「食食」。
 ピアピア拵拵。「拵拵」。
 ピアピア傾傾。「傾傾」。
 ピアピア盤盤。「盤盤」。
 ピアピア僻僻。「僻僻」。
 ピアピア兵兵。狂——慌しい。
 ピアピア拵拵。「拵拵」。
 ピアピア平平。「平平」。
 ピアピアサクサク拵拵。手當り次第に當散
 らす。八當に當る。

ピア

ピアビイ壁邊。壁の側。壁の際。行路倚——做事
 較大天——路を行くときは壁際を通るが何かする
 時は大きな事をする、危険にして猫を被るなどの
 意。
 ピアビイ僻避。脇へ避ける。——路邊——路の側へ避
 意。
 ピアビイ癖片。次に同じ。
 ピアビイ癖片。生付の癖。性癖。仕癖。性。性質。
 ——好——性質がよい。性がよい。一人一人的
 ——各それぞれの癖。「ねるもの」。
 ピアビイトラ兵備道。道臺にして陸海軍の事を兼
 ピアフム壁。繼子などの如く畏縮して黙込む者。
 ピアブヌ傾本。元金を回収する爲に安賣する。——
 選期賬——同上して勘定日の支拂を濟ませる。
 ピアホオ壁虎。(動) 守宮。壁に掛けるカンテラ。
 ピアポオ兵部。軍務を司る官省。兵部。
 ピアポオ傾鋪。「徒鋪」。寢床を整理する。——
 傳人容睡——同上して客人を寢させる。
 ピアポオ傾ト。危険を賭してする。冒險。投機。一
 六勝負。山子。仲るか反るかやってみる。
 ピアミア傾命。一生懸命。死物狂。命掛。——做
 ——一生懸命でする。
 ピアリア食食。「食食」。
 ピアリア僻僻。「僻僻」。

ピアリクウ 餅膚。豚などの肋。脇腹。ー肉肉肋
の肉。ー骨肋骨。

ピアリアウクツ 餅膚骨。肋骨。肋骨。我部無彼
號大ー私にはそんな甲斐性はない。

ピアロオ 壁爐。壁に作りつけた暖爐。ストーブ。
ピアロオ壁路。壁の土臺。壁の基礎。春ー壁
の敷地を春固める。

ピアロオ 餅爐。煎餅など焼く火鉢。
ピアロオ餅路。菓子類の總稱。賣ー菓子屋。

ピアウ ピアウ

ピアウ 姨。●娼妓。女郎。淫蕩婦。做ー娼妓になる。
ー子娼妓。ー間女郎屋。●女が女を罵
る。被人ー人に罵られる。ー到無一塊完
膚無ぎまでに罵る。

ピアウ 表。●表示。ー明表明。ー名名をつける。
命名。ー敬意敬意を表する。●汗や毒氣など
を發散させる。ー氣毒氣を出す。ー汗發汗。
ー没出發散させることが出来ない。●(母の兄
弟姉妹又は父の姉妹の子)從兄弟。從姉妹。ー兄
弟從兄弟。姑ー父の姉妹の子。姨ー母の姉
妹の子。ー姉妹從姉妹。●表。發ー發
表。ー示表示。ー面表面。時間ー時間表。

ピアウ 標。商品などの目標。印。マーク。レットル。
獅齒粉。獅子標の齒磨粉。老公仔。惠比
須標。ー頭商標。鹿仔。人形印の商標
又は紙の面個。[方に漂ふ。]

ピアウ 漂。漂ふ。ー流漂流する。ー來去彼方此
ピアウ 標。女郎買。女買。遊蕩。ー賭飲三字全
女買。賭博。酒飲の三つ揃。ー客嫖客。ー查某
遊蕩する。女ぐるひする。

ピアウ イエツ 飄逸。(多)氣苦勞無く快調な。飄逸。
ピアウ イムク。嫖飲作樂。酒色に入没る。
ピアウ エエ 表的。從兄弟又は從姉妹。[表の參照。
ピアウ キア 婬子。私生兒。父無兒。
ピアウ キイ 表記。婚約のしるしなど男女間に取交す
物。固めの標。送金銀做ー固めの標とし
て金の簪を贈る。

ピアウ キイ 表氣。毒氣を出す。毒氣を發散させる。
ピアウ キエン 婬間。女郎屋。淫蕩屋。貸座敷。妓樓。
ピアウ キエンイイ 表敬意。敬意を表する。[青樓。
ピアウ クウ スウ 表具師。(國)表具師。表具屋。
ピアウ ケエ 嫖客。遊客。嫖客。
ピアウ サアボオ 標查某。女郎買。女買。
ピアウ シイ 表示。(國)表示。土地ー土地表示。
ピアウ シオン 表頌。(多)表頌。

ピアウ シヲイ 表小弟。母の兄弟姉妹の子。父の
姉妹の子。從弟。
ピアウ シヲベエ 表小妹。母の兄弟姉妹の娘。父の
姉妹の娘。從妹。
ピアウ スヌアア 表孫仔。母の兄弟姉妹の孫。父の
兄弟姉妹の孫。父の
ピアウ タウ 姨頭。藝者屋などの女主人。女將。女亭。
ピアウ タウ 標頭。商標。レットル。効能計。
ピアウ チイ 表姉。父の姉妹の娘又は母の兄弟姉妹の
娘。從姉。
ピアウ チイベエ 表姉妹。父の姉妹の娘又は母の兄
弟姉妹の娘。從姉妹。
ピアウ チウ 表章。上奏文。上ー上奏文を奉呈
する。上疏する。上書する。
ピアウ チエク 表叔。祖母の兄弟姉妹の子。祖父の姉
妹の子。
ピアウ チオン 表彰。(國)表彰。
ピアウ チオン 表彰。[表彰]。
ピアウ チヌ 表親。父の姉妹の子孫又は母の兄弟姉妹
の孫。器量がよい。美しい。艶麗な。生
做真ー甚だ器量好だ。
ピアウ チイ 標幟。前と同じ。
ピアウ チイ 姨擗。淫蕩を稼がす爲に養ふ藝者。淫蕩な
ピアウ チイ 標幟。[標幟]。
ピアウ チツ 表姪。父の姉妹の孫。母の兄弟姉妹の孫。

ピアウ

ピアウ

ピアウ

ピアウ

ピアウチ、ツヌヌ表姪孫。【表姪】の子。

ピアウツウ、嬢子。娼妓。女郎。淫蕩婦。――較興契

兄、情夫よりも女郎の方が惚れてゐるが併し其風

を見せない、内心思つてゐても外に顯はさぬなど。

ピアウツウ、標註。(又)標註。【父無兒】

ピアウツウ、キア嬢子。淫蕩婦などの生んだ子。

ピアウツウ、キエン嬢子間。女郎屋。貸座敷。淫蕩

屋。【の陰門】

ピアウツウ、チイ嬢子之。(淫蕩婦などを罵る詞)娼妓

ピアウツウ、ツウ表著。(又)表彰。表旗。――功勞功勞

ピアウテエ表弟。【表小弟】。

ピアウトア、チイ表大姉。父の姉妹の娘又は母の兄

弟姉妹の娘。從姉。

ピアウトア、ヒア表大兄。父の姉妹の子又は母の兄

弟姉妹の子。從兄。

ピアウトエ、標題。(國)標題。

ピアウトオ、イム標賭飲。女と博打と酒。買ふ・打

つ・飲む。――三字全買ふ・打つ・飲むの三拍

ピアウハヌ表汗。發汗。【子揃】

ピアウヒア表兄。【表大兄】。

ピアウヒア、チイ表兄弟。父の姉妹の子又は母の兄

ピアウ

弟姉妹の子。從兄弟。

ピアウヒエン表兄。【表大兄】。

ピアウビエヌ表面。(國)表面。【る】

ピアウビエン表明。表示する。表明する。明かにす

ピアウビヌ表面。(國)表面。

ピアウビヌシオン表面上。(國)表面上。

ピアウピアウ表表。【表】の(一)。

ピアウピアウ漂漂。娼妓を買ふ。女郎買。淫蕩買。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアウピアウ漂漂。【漂】。

ピアク

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアクリアウ漂漂。【漂漂】。

ピアク

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ピアク爆。火に當ててからからにする。次る。炒る。

ビアク 爆。 嘯鳴りつける。 大聲で劍突を喰はす。 一人

同上。 一合語 當擦などを言つて嘯鳴りつけ

る。 灰 左官が石灰をび

ビアク 掩。 びしゃりと打付ける。 一水 手の平で水面

をびしゃびしゃたたく。

ビアク カン 爆孔。 悪事など發覺する。 ばれる。

ビアク クイ 爆開。 破裂する。 爆裂する。 鱗裂る。 爆

せる。 はちられる。

ビアク コオ 爆鼓。 直徑一尺位な

太鼓の一種。

ビアク コオ 爆縮。 縮が弾ける。 桶

一 桶の縮が弾ける。

ビアク チツ エエ 爆一。 物の爆せる音。 ばちん。 ぼ

ん。 ぶつり。 線 断去 糸がぶつり断れた。

ビアク チツ エエ 爆一。 扁い物の當る音。 びしゃ

り。 ぱたり。 門扇 倒落 戸がぱたりと

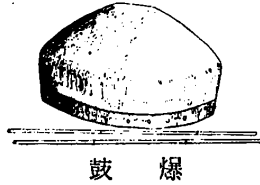
倒れる。

ビアク パア 爆押。 肉などを火で乾かす。 焼く。 雞肉

一 鶏肉を火に當ててからからに焼く。

ビアク ビアク 爆煽。 腐 木など非常に腐つてゐ

る。 緊 非常に逼迫する。 非常に緊い。 緊



な。 厚 非常に厚い。 酒・煙草など非常に強

い。 【煽】。

ビアク ビアク 爆爆。 【爆】。

ビアク ビアク 食食。 【食】。

ビアク ビアク 爆爆。 腐 木など非常に腐つてゐ

る。 緊 非常に逼迫する。 非常に緊い。 緊

一 非常に急ぐ。 硬 極硬い。 非常に頑固

な。 【燃】の③。

ビアク ビアク 爆爆。 【爆】。

ビアク ビアク 掩掩。 【掩】。

ビアク ビアク チアウ 爆爆跳。 怒つた時など身體を震

はせ暴動が荒荒しい。

ビアク ビアク チアウ 爆爆跳。 前に同じ。

ビアク ビアク トア 爆爆彈。 次に同じ。

ビアク ビアク トア 爆爆彈。 物の爆せて飛ぶ様。 ば

ちばちと跳ねる。 火炭 炭火がばちばち

と跳ねる。 頭痛・動悸などする。 ときときする。

びんびんする。 心肝 胸がびんびんする。

頭壳 頭がびんびんする。

ビアク ビアク ハウ 爆爆哮。 炭などの跳ねる音。 ばち

ばち。 火炭 炭火がばちばちいふ。

ビアク ビアク ハウ 爆爆哮。 扁いもので打つ音。 び

しゃりと。 打到 びしゃりと打つ。

【爆爆哮】。

ビアク ヘエ 爆火。 火で煮る。 「て塗る。

ビアク ヘエ 爆灰。 左官が石灰をびしゃりと壁に打付け

ビアク ボア 爆破。 鱗裂ける。 爆裂する。 破裂する。

頭痛 頭痛に要 頭が割れさうに痛い。 露

見する。 發覺する。 ばれる。 事情 事が露

見する。

ビアク ラン 爆人。 嘯鳴りつける。 大聲で劍突を喰は

ビアク リアク 爆煽。 【煽】の②。

ビアク リアク 爆爆。 【爆】。

ビアク リアク 食食。 【食】。

ビアク リアク 爆爆。 【爆】の②。

ビアク リアク 爆爆。 【爆】。

ビアク リアク 爆爆。 【爆】。

ビアク リアク 爆爆。 【爆】。

ビアク ロオ 爆爐。 煎餅など焼く爐。 一 扁餅 同上

で菓子焼く。

ビアン 兵。 金屬又は琴などの音。 かちん。 びん。 び

ん。 一 下 ちちんといふ。 扁いものを數へ

る語。 一 柴 一枚の板。 餅仔 一 此大 一

ても大な餅だ。

ビアン 嘩。 倒れる音又は爆發の音など。 としん。 ず

ビアク

ビアン

ピアン

どん。ごどん。ぼん。一ト就倒しんと倒れる。一落来しんと落ちて来る。銃聲一ト下し銃聲がずんと鳴る。一芽などがぼつと出る。一芽同上。

ピアン 啖。前に同じ。

ピアン 兵。一硝子などの破れる音又は琴の音。かちん。

ピン。一投げる。一丟し投棄てる。

ピアン 啖。【啖】の①。

ピアン 啖。【啖】の②。一太いものを敷へる語。四五一大水柴四五本の大きな流木。人不止大い大い胴體をしてゐる。

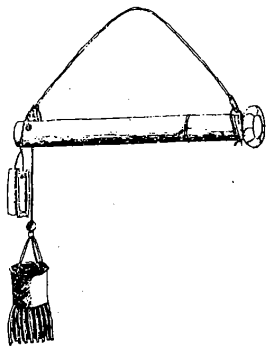
ピアン ゲエ 啖芽。芽がぼつと出る。

ピアン コオ 啖鼓。一鼓。【啖管】。

ピアン コン 啖管。竹の筒に皮を張った鼓、乞食の使用する物。自你做乞食不曾打你的。一汝が

乞食になってから未だ汝の鼓を打ったことはない、汝が金持

になつて以て金を借りた事はないなど。



管 啖

ピアン チイ 兵 錢。地上に錢を轉がして他の錢を打當てる遊戯。錢打。穴一。

ピアン

ピアン ピア 兵 壁。【探壁】。

ピアン ピアン 兵 兵。腐。一木など非常に腐つてゐる。一非常に逼迫する。非常に緊い。硬い

一極硬い。非常に頑固な。清。一非常に冷い。

ピアン ピアン 啖 啖。一叫ぶ走る音などたばたいふ。【啖】の②。

ピアン ピアン 兵 兵。緊。一非常に逼迫する。非常に緊い。一緊急周章てる。狼狽へる。硬い

一極硬い。非常に頑固な。青。一青々と。果物など未だ熟さない。黄。一真黄色い。

ピアン ピアン 兵 兵。【兵】の②。

ピアン ピアン 啖 啖。一青。一青々と。果物など未だ熟さない。黄。一真黄色い。一戸を開ける音

など。ごどん。門開到。一叫ぶ戸をごとんごとんと開ける。

ピアン ピアン 平 平。(數) 對對。對等。同等。五分五分。相子。一無輸贏五分五分で勝負が無い。

ピアン ピアン 啖 啖。鼓などの音。ぼんぼん。一啖

一ぼんぼん鳴る。

ピアン ピアン サウ 啖 啖 走。どんどん走る。

ピアン ピアン ハウ 啖 啖 走。走る時などたばたい

ふ。どたんばたんいふ。

ピアン ポア 啖 破。爆破する。弾ける。榕乳。一ミタ

ピイ

イヤなどがパンクする。水櫃。一ボイラーが破裂する。

ピアン リアン 啖 啖。【啖】の②。

ピアン リアン 兵 兵。【兵 兵】。

ピアン ロ、ライ 啖 落 來。どしんと落ちて来る。

ピイ ピイ

ピイ 卑。一卑。一賤しい。一賤し卑賤。一鄙。同上。一職。一卑職。小官。

ピイ 鄙。(姓) 鄙。

ピイ 陂。池。沼。貯水池。堤。乾。一枯渴した池。汚池を乾す。播漏。蓮花。一蓮池。

ピイ 碑。碑。堅。一碑を立てる。一文。碑文。石。一石碑。

ピイ 悲。樂極生。一樂極つて悲生ず。苦傷。一歎悲しむ。一慘。一悲惨。鬼死狐。一鬼死して狐悲しむ。同類相憐む。

ピイ 比。一比べる。比較する。一上不足。一下有餘。一上に比すれば及ぶも下に比すれば餘有り、比べるものによつて違ふ意。生鳥。一雞腿。一陽物を鶏の腿に比べる。一物にならない意。一武。一武藝の試合をする。一不等。一比様がなない。一舊年。一較熱。一去年より暑い。極大無。一非常に大きくて

ビー

胃腸。開——食慾を附ける。——不開——食慾が起らぬ。

ビウイ 鄙委。容貌など下品な。人材——體の恰好が醜くて小さい。

ビウウ 籠窩。籠のゐる所。籠の穴。

ビウウ 平均。同じ時代の者。同輩。

ビエエ 病厄。病難。

ビエエ トア 辨的帶。打紐。

ビオオ 陂島。(池)池で飼育する鱒。鱒。

ビオオ 澎湖。澎湖島。——有路臺灣能做帝都。澎湖島が臺灣と地續ならば臺灣は帝都になる、有り得べからざること。

ビオオ カウ 澎湖溝。臺灣海峡。過——臺灣海峡を通過する。

ビイ ヲア 拵。引寄せる。引張って寄せる。

ビイ ヲア 鼻鞍。【鼻腰】。

ビイ ヲア 扁蠟。(蠟)玉珠。

ビイ ヲア 鼻蠟。(蠟)青演。

ビイ カア 籠甲。【籠壳】。

ビイ カア 病子。(病)【病子】。

ビイ カア 棚脚。屋臺の下。舞臺の前。——堅久人的。舞臺の前の好い位置は永く其處に立っていた人のもの、利益を得るには永い間の辛抱を要する。

ビー

熟熟蹴蹴落——熟練した役者も時には舞臺から落ちる、猿も木から落ちる。

ビイ カア 披申。鎧を着る。鎧ふ。

ビイ カア タンチウ 比脚動手。足を動かし手を動かす。手足を無暗に動す。話講到——話をしながら同上する。

ビイ カア ビイチウ 比脚比手。前に同じ。

ビイ カウ 比較。(國)比較。

ビイ カウ 比到。無くてならぬ額。缺くべからざる一定の額。必需の定額。所費五元銀是日——玉の五圓の費用は日日缺くべからざる額である。

ビイ カウ ラン 變猴弄。●猿芝居。猿使ひ。手品。●玩具。扱にする。翻弄する。出在人——人の言ふがままに翻弄される。●巫山戯て邪魔をする。からかつて邪魔をする。惡戯する。

ビイ カク 邊角。隅。隅。

ビイ カク 籠壳。籠の甲。——糊土不是籠。籠の甲に土を塗っても籠でない、信用することの出来ない人などをいふ。

ビイ カム 脾疳。(疳)脾疳。腹膜結核。

ビイ カム 偏蓋。勢を恃んで慮める。強ひて不公平な處置をする。壓迫する。

ビイ カン 扁孔。(扁)【扁之】。

ビー

ビイ カン 變孔。●小細工をする。惡計をする。龍是伊在——皆彼が小細工をしてゐるのだ。●才覺する。工面する。遺線する。賢——遺線かうまい。

ビイ カン 鼻孔。鼻孔。鼻の孔。——展展鼻の孔が大い。——總總寒目などで鼻がつまる。——口上青苔鼻の下に者が生える、子供など常に漢をたらしこびり附いてゐるをいふ。——向落無一個好人鼻の孔の下に向いてゐる者は一人も善人は無い、世間に善人は一人も無い意。

ビイ カン クン 鼻孔管。鼻の孔の管。使——鼻聲

ビイ カン ホン 鼻孔風。鼻息。鼻息。「を出す。

ビイ カン ムン 鼻孔毛。鼻毛。

ビイ キア 平鏡。(新)平面鏡。

ビイ キア 病子。惡阻。惡阻。——飲嘴惡阻の時は食欲がなくなる。俾你生粒仔——貴方に腫物を出来させ惡阻を起させた、御手敷をかけ御苦勞様でしたといふ意にて冗談にいふ。

ビイ キア 平堅。地位。身分など肩を比する。與伊有——彼と同じ様に世に立つ。

ビイ キア ア 卑怯。(卑)卑怯。

ビイ キイ 鼻見。匂ふ。嗅附ける。——臭乾味焦臭い香を嗅附ける。

パイ キイ 脾氣。神經質な性癖。痲症。癖。歹——
惡癖。(語原は官話の轉訛なるべし)。

パイ キイ 脾氣。前に同じ。

パイ キイライ 平起來。損失などを取返す。取戻す。

パイ キエツ 秘結。秘結。便秘。大便が結する。

パイ キエツ 披肩。官吏秀才・學人などの肩の飾。

パイ キエツ 披肩。服飾品の一種にて肩掛の如きもの。阿

片の煙管の金具。

パイ キエツ 鄙見。(又) 鄙見。愚考。

パイ キエン 拼弓。弓を引く。弓を張る。

パイ キエン 變景。【變孔】。

パイ キオク 悲劇。(國) 悲劇。

パイ キヌ 拼絹。絹張。——的兩傘||絹張の傘。

パイ キヌ 拵。分量を別に分けて軽くする。

パイ キム 被擒。捕へられる。逮捕される。

パイ ギエヌ 鄙臉。【鄙臉】。

パイ クイ 拼機。刺繡のとき布を張廣げる器具。

パイ クイ 變鬼。小細工をする。悪い計をする。悪

戯をする。——變怪||同上。

パイ クイ 拼開。引張つて廣げる。

パイ クイ/パイ コアイ 變鬼變怪。【變鬼】。

パイ クウパイパイ 變龜變龜。【變鬼】。

パイ クツ 卑屈。(又) 卑屈。

パイ クヌ 病根。病源。病根。

パイ グウ 病牛。病牛。擗刀探——刀を携へて病

牛の見舞に往く、實際は殺しに往くといふ意、害

意を以て陰に人の消息を探るなど。

パイ コア 比看。比べて見る。比較して見る。

パイ コアツ 秘訣。秘訣。秘傳。極意。相傳的——

相傳の極意。

パイ コアツ フン 秘訣方。秘密の處方。秘方。

パイ コアヌ 悲觀。(國) 悲觀。

パイ コアヌ 扁環。腕輪の一種。

パイ コアヌ 變款。性質が變る。人が變る。氣質が變

パイ コアヌ 疲倦。(又) 疲勞。疲れる。草臥れる。

パイ コオ 拼鼓。太鼓を張る。

パイ コアヌ ボク 比觀|| 役者が所作をする。

パイ コオ 鼻葷。鼻。——着去刷||鼻を地面に擦附け

ねばならぬ、平身低頭して謝せねばならぬ。

パイ コヲ 被告。(國) 被告。

パイ コヲ 扁翹。平く歪む。歪になる。鯨仔——去||

籠がびしゃんに歪んだ。

パイ コン 鼻管。鼻孔。鼻腔。

パイ ゴアヌ 病源。(國) 病源。病根。

パイ ゴオ 彼我。(又) 彼我。

パイ サイ 鼻獅。好——よく鼻が利く。何んでもよ

く嗅ぎつける。

パイ サイ 鼻屎。鼻屎。招——食鹹鹹||鼻屎を取つて

食ふと鹹い、鹹鹹は又吝嗇の意あるより吝嗇

のことをいふ。

パイ サイ オン 鼻獅主。鼻獅の王、蟻をいふ。

パイ サア 擊束。身形をきちんと整へる。袖やズボン

を端折つて身仕度をする。甲斐甲斐しい出立をす

る。作稽着——仕事をするにきちんと身仕度

をしなければならぬ。

パイ サイ 比在。若し……とすれば。假りに……だと

してみれば。——你、你要怎樣||假りに君だと

すればどうするか。【可比】。

パイ サム 悲慘。(國) 悲慘。

パイ シア 脾瀉。(病) 腸結核。

パイ シイ 片死。腹が癒えぬ。腹の蟲が治らぬ。溜飲

が下らぬ。若無打一下給伊亦——一つ殴つ

てやらなければ腹が癒えない。想着真——考

へると癪にさはってたまらない。

パイ シウ 變相。(死ぬ前兆などで) 性質嗜好など從

前と打つて變る。様子が變る。食到五十歲即

パイ

パイ

パイ

ビイ タウ 扁豆。【肉豆】。

ビイ タウ 跛頭。●【跛】の上の方。●【跛】の岸。

ビイ タウ 邊頭。傍。側。邊。際。邊。近邊。偏邊。

脇。片方。一人的人。近傍の人。

ビイ タウ 扁頭。扁頭。扁頭。扁頭。

ビイ タウ 偏頭。割。得。現錢買較有。一。現金で買ふ方が割がよい。

ビイ タウ 鼻頭。鼻の尖。鼻面。鼻頭。

ビイ タウ サン 辨頭鬢。辨髮を組む。

ビイ タウ ツイ 捩頭嘴。一定の量ある食物など共同して食ふ場合に人数を多くして一人一人の分量を減らす。一。在飼伊。銚銚の食物の量を減らして彼を養ふ。

ビイ タウ 鄙剔。當附けて罵る。面當を言つて罵る。

ビイ タウ 悲歎。〔文〕悲歎。

ビイ タウ 皮蛋。【煨油】に土と粗穀とを雜せて煉り鷄の卵を之に漬けたもの。

ビイ タム ノア 鼻痰涎。一。換油火煙。漢や唾を油や煙草と換へる。淫賣屋などで素見客に對していふ悪口。

ビイ チア 變成。變る。變化する。一。好。好くなる。乖巧。一。慧。柔順な者はよく馬鹿にされる。

ビイ チア 平正。公正。公正。心肝無。一。心が公平でない。一。人。公平な人。不。一。不公平。不照。一。同上。

ビイ チア シム 平正心。公平な心。

ビイ チア ビイ チエン 變食變穿。食べること着ることの爲に離離する。主婦などの多忙なる様をいふ。

ビイ チアルヌ 平正論。公平に論ずる。

ビイ チア ア 比接。交渉する。一。看覓。交渉して見

ビイ チア ア 髮妾。〔文〕髮妾。愛妾。

ビイ チイ 扁之。【十八】又は【吊猴】の一番悪い骰子の目。

ビイ チイ ビニ 變生面。顔色を變へる。向になつて怒

ビイ チウ 比手。手真似。一。瞞目。手真似と胸。一。落脚。手真似足真似して話す。仕形話。

ビイ チウ ベエ 拚手尾。●手の先を引張り合ふ。●張合ふ。競合ふ。争ふ。●二個在。一。一。彼等二人で競合つてゐる。保争してゐる。

ビイ チウ ペエ ビア 拚墙扒壁。垣に攀ち壁に上る、子供の腕白など。

ビイ チエヌ 卑賤。卑賤。賤しい。下賤。

ビイ チエヌ 鄙賤。前に同じ。

ビイ チエン 病症。病症。病氣。疾病。油。

ビイ チエン イウ 棚前油。芝居の屋臺に點す燈火の

ビイ チヲ 比照。對照。照合せる。照合。

ビイ チツ 卑職。〔謙遜していふ詞〕卑職。卑官。小官。

ビイ チヌ 備進。秀才の試験には及第せるも定員に餘りて秀才に成らざるもの。

ビイ チヌ 偏稱。秤の目方をごまかす。

ビイ チア 平定。【平定】。

ビイ チア 脾痛。〔病〕胃癢癢。

ビイ チア 病痛。病む。病氣。疾病。病。身苦。一。病煩。厚。一。よく病氣をする。病身。

ビイ チイ 鼻痔。〔鼻〕鼻茸。鼻茸。

ビイ チエン 碑亭。石碑のある亭。

ビイ チエン 平等。〔圖〕平等。對對。同等。一。ぬ者。

ビイ チエン 病丁。意氣地無し。駄目な者。役に立た

ビイ チツ 平直。●平で真直ぐ。路真。一。路が甚だ同上。●得も無けれど損も無い。出入無し。生理若。一。就岡過。一。商賣が同上なればまあまあどうやらからやらやうやう。打。一。勝負無し。相手。

ビイ ツイ 扁嘴。●扁平な嘴。鴨母粧金亦是。一。鷺の雌が立派な節を着けても矢張嘴は扁い、お里が知れるなど。●ぐうの音も出ない。閉口。今都。一。喇嘴。もうぐうの音も出ないのか。もう閉口したか。

ビイ

ビイ

ビイ

ビー

ビイツイ 鼻水。涕。鼻水。水鼻。【こと】

ビイツイ/ビイ 披水披。石を水面に投げて滑らせる

ビイツウ 彼此。彼此。彼と此。

ビイツヌ 埤圳。(國)埤圳。【こと】

ビイツン 比賍。盗品の出るまで賤を打って拷問するこ

ビイツン 扁鑽。鋭い尖端を有する兕器の一種。扁い

錐。



鑽 扁

ビイツン 病床。病床。

ビイツン 鼻瘡。(病)鼻及び喉頭の疾患。

ビイツン 鼻穿。鼻の孔。賣火炭的徳妻鳥——

炭屋の女房は鼻の孔が黒い、冗談にいふ。

ビイツイ 比追。盗品など返す迄打つ。「にならぬ。

ビイツイ 比對。比較する。較べる。無塊——比較

ビイツウケエ 平抵過。差引して勝負無し。相殺し

て出入なし。相子。——無輸贏——同上。——

無相欠——雙方の貸借勘定を相殺して互に

借りが無い。

ビイツウ/チエン 平抵擽。費用などを平等に負擔す

る。頭割に出合ふ。相持。所費大家着——

費用は皆で相持にしなければならぬ。

ビー

ビイツウ/チツ 平抵直。【平直】の②。

ビイツン/ルヌ/テ/エ 比長論短。長所を比較し短所

を論評する。長短を論評する。

ビイツエ/病體。容體。病體。病勢。

ビイツエ/ビエヌ 拼體面。外見を張る。體面を飾る。

ビイツア 扁帶。平打の紐。

ビイツア/ヌ 秘傳。(ヌ)秘傳。

ビイツエ 平地。平地。平地。

ビイツエ/鄙體。【鄙別】。

ビイツオ/脾土。胃。胃腑。——好胃が好い。——

無開——食慾が進まぬ。——勇胃が強い。

ビイツラ 鼻刀。鼻筋。鼻柱。鼻柱。——劍劍——

鼻柱が突つてゐる。【盛返す】。

ビイツラ/ワン 平倒返。損失などを取返す。取戻す。

ビイツラ/プヌ 平倒盆。【平報盆】。

ビイツラ/ク 砒毒。砒石の毒。中——砒石中毒。

ビイツラ/ク 鼻啄啄。鼻鼻。鼻高。

ビイツン/シイ 彼當時。當時。其當時。

ビイツナ 扁籠。扁籠。

ビイツニ 鞭鞭。【鞭鞭】。

ビイツニ 拚拚。【拚拚】。

ビイツニ 變變。【變變】。

ビイツニ 辨辨。【辨辨】。

ビー

ビイツニ 偏偏。【偏偏】。

ビイツニ 捩捩。【捩捩】。

ビイツニ 平平。【平平】。

ビイツニ 鼻鼻。【鼻鼻】の②。

ビイツニウ 鼻樑。鼻筋。鼻柱。鼻柱。鼻ぶし。——

折折——鼻ぶしがへしゃげてゐる。

ビイツン 鼈卵。鼈の卵。

ビイツハイ 草薺。(種)からすきばさんきらい。(百合科、

根塊を煎服して疥病を治し又強壯劑となす)。

ビイツハイ 被害。(國)被害。

ビイツハイヌ 皮寒病。(病)麻刺里亞。間歇熱。

ビイツバクム 鼻目。鼻目。鼻目。猫にはむさむ

ざとしてやられても鼠にはしてやられぬ、等しく

してやられるにしても汝にはしてやられぬの意。

ビイツバク 鼻目。鼻目。

ビイツバク/ツイ 鼻口嘴。●目・鼻・口。顔付。顔貌。

——生做眞美——顔貌が眞に美しい。●端緒。

手懸。尋不見——端緒を見附けることが出

來ぬ。

ビイツバツ 秘密。極秘密にする。

ビイツバン 變蚊。●手の掛る面倒なことを計劃する。

小細工をする。からくりをする。權是伊在——

的——皆彼が小細工をしてゐるのだ。●(謝禮)の爲

ビイ

ビイビイ 撃撃。清——非常に冷い。冷い。

ビイビイ 比比。【比】の㊶㊷㊸。

ビイビイ 秘秘。【秘】の㊶㊷㊸。

ビイビイ 撃撃。●狭——甚だ狭い。淡——味が悪い。味が無い。甚だ淡い。水臭い。鹽が少い。

浅——非常に浅い。清——非常に冷い。冷い。枯——野菜の蔓が立ち又は鬆が入るなどして甚だ硬い。汚——粥など濃い。どろどろ。

うぢやうぢやと澤山。【撃】。

ビイビイ 避避。【避】。

ビイビイ 撃撃。汚——粥など濃い。どろどろ。群る。うぢやうぢやと澤山。淡——味が悪い。味が無い。甚だ淡い。水臭い。鹽が少い。浅——大變浅い。清——非常に冷い。冷い。枯——野菜の蔓が立ち又は鬆が入るなどして甚だ硬い。

ビイビイ 鞭鞭。【鞭】の㊶。

ビイビイ 拵拵。【拵】。

ビイビイ 扁扁。扁平。扁い。扁い。嘴——嘴が扁平。閉口する。雞嘴圓圓鴨嘴——雞の嘴は圓く鶯の嘴は扁い。始めに雞の嘴の様に圓く參して仕舞ふ。

ビイビイ 變變。【變】の㊶㊷。

ビイビイ 平平。●平。水平。平坦。——路跋死体猪母——平坦な道路に太った親豚が轉けて死んでゐる。道に倒れてゐる人を笑つていふ。●同じ。均しい。對等。對對。均等。平等。——的價——同値。——卅五枝——何方も均しく積上げた供物が四十五ある。何方も同様である。五分五分。【錢】の㊶參照。——分——山分。——歲——同年。——錢掠猪仔咬輸入——同じ様に金を出して豚を買つたのに咬合に負けるといふ筈はない。同じ會費を出して取扱は他より劣るなど。

ビイビイ 辨辨。【辨】の㊶。

ビイビイ 病病。●身體が弱い。虚弱。●意氣地なし。やくざなもの。

ビイビイ 卑鄙。卑賤。下賤。賤しい。——的的話——品な話。——的人——下衆。

ビイビイ 平平。●平に均す。地基着——敷地は平に均さねばならぬ。●平均させる。每包的斤聲着——包の斤量を各平均させねばならぬ。

ビイビイ 披披。【披】の㊶㊷。

ビイビイ 疙疙。乾——からからに乾く。ビイビイ 鄙鄙。【鄙】の㊶。ビイビイ 伏伏。【伏】。ビイビイ 皮皮。鐵面皮。おめおめ。のめ。のめ。憶面

ビイ

ビイビイ 平平。●平。水平。平坦。——路跋死体猪母——平坦な道路に太った親豚が轉けて死んでゐる。道に倒れてゐる人を笑つていふ。●同じ。均しい。對等。對對。均等。平等。——的價——同値。——卅五枝——何方も均しく積上げた供物が四十五ある。何方も同様である。五分五分。【錢】の㊶參照。——分——山分。——歲——同年。——錢掠猪仔咬輸入——同じ様に金を出して豚を買つたのに咬合に負けるといふ筈はない。同じ會費を出して取扱は他より劣るなど。

ビイビイ 辨辨。【辨】の㊶。

ビイビイ 病病。●身體が弱い。虚弱。●意氣地なし。やくざなもの。

ビイビイ 卑鄙。卑賤。下賤。賤しい。——的的話——品な話。——的人——下衆。

ビイビイ 平平。●平に均す。地基着——敷地は平に均さねばならぬ。●平均させる。每包的斤聲着——包の斤量を各平均させねばならぬ。

ビイビイ 披披。【披】の㊶㊷。

ビイビイ 疙疙。乾——からからに乾く。ビイビイ 鄙鄙。【鄙】の㊶。ビイビイ 伏伏。【伏】。ビイビイ 皮皮。鐵面皮。おめおめ。のめ。のめ。憶面

ビイビイ 平平。●平に均す。地基着——敷地は平に均さねばならぬ。●平均させる。每包的斤聲着——包の斤量を各平均させねばならぬ。

ビイビイ 披披。【披】の㊶㊷。

ビイビイ 疙疙。乾——からからに乾く。ビイビイ 鄙鄙。【鄙】の㊶。ビイビイ 伏伏。【伏】。ビイビイ 皮皮。鐵面皮。おめおめ。のめ。のめ。憶面

ビイビイ 平平。●平に均す。地基着——敷地は平に均さねばならぬ。●平均させる。每包的斤聲着——包の斤量を各平均させねばならぬ。

ビイビイ 披披。【披】の㊶㊷。

ビイビイ 疙疙。乾——からからに乾く。ビイビイ 鄙鄙。【鄙】の㊶。ビイビイ 伏伏。【伏】。ビイビイ 皮皮。鐵面皮。おめおめ。のめ。のめ。憶面

ビイ

もなく。しゃあしゃあとして。——食補脾——厚顔しく食つて脾を補ふ。招かれもせぬのにしゃあしゃあと出掛けて馳走を食ふなど。

ビイビイ 偏偏。【偏】の㊶㊷㊸。

ビイビイ 擗擗。【擗】。

ビイビイ 平平。【平】。

ビイビイ 鼻鼻。●粘粘する。滑——お粘が同上。

【鼻】の㊶。

ビイビイ アア 啡啡仔。【啡仔】の㊶。

ビイビイ アア 皮皮仔。【皮皮】。

ビイビイ アア 擦擦。ぶるぶる震へる。がたがた震へる。わなわな震へる。

ビイビイ アア 擦擦。前に同じ。

ビイビイ アア 喘喘。ふうふう喘ぐ。はあはあ喘ぐ。前に同じ。

ビイビイ アア 啞啞。啞啞。【啞】。

ビイビイ アア 輝輝。輝輝。【輝】。

ビイビイ エッ エッ 披披。魚など跳ねる様。びぢびぢ。はたはた。

ビイビイ エッ エッ 自動車の喇叭や放屁

の音。ぶうぶう。

ビイビイペエペエ□□□□。雨などの音。ゴゴゴゴ

あ。雨落到ー雨がゴゴと降る。

ビイビイボクボク。燐燐燐燐。炭などの爆せる音。

ばちばち。

ビイビイボクボク。啞啞燐燐。【啞燐】。

ビイビイツツ。披撒。魚などはねる音。ぱたぱた。び

ちびち。

ビイビイヌ被。被。官職を奪はれ且遠方に追はれ

ること。返還される。

ビイビイヌ披。披。踏って場所をふさぐ。のさばる。

はだかる。駅車内ー坐汽車の中などで一人

で場所をとってはだかつて坐る。ー食踏って食

ふ。ー眠床開潤大の字形になって寢臺に寐

る。●我儘勝手な振舞をする。不可傷ー餘

り我儘勝手な振舞をしてはならぬ。

ビイビイエン比並。●比較する。比べる。引比べる。

ー一看覧比較して見る。●譬へば。ー來講

●譬へて言へば。ー親像做大水譬へば丁

度洪水があった様なもので。

ビイビイエン比並。【比並】の②。

ビイファイ避諱。同じ諱を避ける。

ビイファイ鼻血。鼻血。流ー鼻血を出す。

ビイフウ鄙夫。(又)賤夫。匹夫。

ビイフヌ鼻煙。鼻煙草。鼻煙草。

ビイフン秘方。秘方。秘藥。

ビイブウ比武。武藝の試合をする。

ビイブウ病母。持病。宿病。痼疾。慢性病。ー難

得斷根持病は中根治しにくい。

ビイブク碑文。(又)碑文。【引籠る】。

ビイブク閉門。(又)門を閉ぢる。ー不出閉籠る。

ビイブイ拏。拏。引張る。引く。●損のいく事など

に人を拏合させる。ー人同上。●與伊有

ー彼と對抗する力量が有る。雙方計計有

勝負が一寸分らぬ。

ビイブク。自動車。喇叭や放屁の音。ぶうぶう。

ー叫ぶうぶういふ。

ビイブツチエン比不等。較べたところで較べ様が無

い。較べるにしても較べる証が無い。

ビイブヌ平分。平分。等分。

ビイブヌ病本。病氣に使ふ資金。醫療費。

ビイブヌ平本。前に損した元手を取戻す。

ビイヘエ平歳。同年。與伊ー彼と同年。

ビイヘエカウ。拼尾口。(●)男色を賣らんが爲に身

形を飾る。

ビイペエ琵琶。琵琶。琵琶。好ー吊上壁好い

琵琶を壁に掛ける、優れたる學識才能を有する人

が用ひられざるなど。【琵琶】。

ビイペエ枇杷。(●)枇杷。(薔薇科、果實は生食用に

「供す」。

ビイペエ扁栢。(●)檜木(柏樹科、材を建築、橋梁、車

輛、棺及び諸器具に用ふ)。

ビイペエ變白。白くなる。

ビイペエ拏皮。●皮を張る。鼓ー太鼓に皮を張

る。無一紗行多ー身に纏ふ一絲もない。

●懲戒の爲に子供などを打つ。要共你ー

お前を打つよ。

ビイペエギアウ琵琶。琵琶の撥。

ビイペエヒイ琵琶魚。(●)皮剥。(●)銅蓋魚。

ビイペエヒヨ枇杷葉。(●)枇杷の葉。

ビイペエ扁栢皮。檜皮。

ビイホアイ鄙懷。(又)微意。微衷。●愚見。

ビイホア又避反。反亂を避ける。

ビイホエ閉會。(●)閉會。

ビイホオ變虎。虎になる。ー要咬人虎になつて

人を咬まうとする。阿片がのみたくなると欠をす

る阿片吸食者を嘲つていふ。

ビイホオニフウ變虎猫。子供が指先で兩方の目を

ビイ

ビイ

ビイ

ビイ

剝くこと。べっかつかう。お化。あかんべい。

ビイ ホヲ 變好。好くなる。漸漸ー|| 段段と好くな

ビイ ホヲ 病好。病が癒える。治る。平癒。ー||。

ビイ ホン 避風。風を避ける。

ビイ ホン 病瘋。風疾を病む。半身不隨になる。你着

ー|| 死(黒) お前は半身不隨になって死ぬ。

ビイ ホン 鼻風。鼻息。

ビイ ホヲ 平歳。(息) 【平歳】。

ビイ ボエチヌ 比没盡。【比不等】。

ビイ ボク、ヒイ 比白魚。【類鮓】。

ビイ ボア 扁鉢。平べったい。扁平。面形ー||

顔の形が平べったい。

ビイ ボア 拼破。引張って破る。強く引いて破る。

ビイ ボア イウ 平般様。同様。同じ。一樣。

ビイ ボエ 扁篋。扁い。平べったい。

ビイ ボオ 比步。【拳頭】の形をつかふ。ー|| 要打伊

彼を打つ様な形をする。

ビイ ボオ 扁浦。【宛仔】。

「平原」

ビイ ボオ 平埔。原野。郊原。原。野原。平地。平地。

ビイ ボオ 捩鋪。濟崩。ー|| 還|| 濟崩で返す。ー||

納|| 濟崩で納める。

ビイ ボオ、バン 拼布帆。幕を張る。

ビイ ボオ、ホアヌ 平埔番。平埔番。熟番。

ビイ

ビイ ボオ、ロオ 平埔路。野道。

ビイ ポヲ、プヌ 平報益。相互に可否又は優劣なきこ

と。勝負無し。五分五分。相子。五角。

ビイ ポヲ、プヌ 平報益。前に同じ。

ビイ ポヲ、ポヲ 平坡坡。平。平坦。平い。一條路

ー|| ー|| 一條の路が平坦だ。

ビイ、ポク 鄙薄。見下げる。さげしむ。輕蔑する。被

人ー|| 人に見下げられる。

ビイ、ボク、咂咂。物の爆せる音。ばちばち。炮仔

ー|| 叫|| 爆竹がばちばちいふ。ー|| 雨の盛に降る音。

ざざざあ。雨落到ー|| 叫|| 雨がざざざあ降る。

動悸などの様。どきどき。心肝頭ー|| 叫|| 胸

がどきどきする。

ビイ、ボオ 拼皮。(息) 【拼皮】。

ビイ、モア 苧麻。(種) 唐胡麻。苧麻。(大戟科、莖は紅

色と緑色との二種あり、種子より搾取りたる油を

苧麻子油と稱し、薬用・工業用として用途廣し)。

ビイ、モア、イウ 苧麻油。苧麻子油。

ビイ、モア、サウ 苧麻草。【苧麻】。

ビイ、モア、チイ 苧麻子。苧麻。唐胡麻。苧麻子。

ビイ、モオ、皮毛。識一個ー|| 皮相の見。淺薄な知

識。生嚙。

ビイ、ラウ、フイ 鼻流血。鼻血。流ー|| ー|| 鼻血が出

ビイ

ビイ、ラウ、コン 鼻橐管。鼻。鼻の孔。鼻腔。

ビイ、ラウ、秘力。息を詰めて忍ぶ。堪忍ぶ。満を持し

て忍ぶ。力を貯へて我慢をする。五哥ー|| 同

上。

ビイ、ラウ、籠生。籠の陽物、短い陽物をいふ。

ビイ、ラウ、避難。避難。避害。

「ない。」

ビイ、ラウ、病難。病難。ー|| 未滿|| 病難が未だ盡き

ビイ、ラン、扁籠。扁籠。陰門。

ビイ、ラン、變弄。弄廻す。色色と弄ぶ。時鏡仔

ー|| 到歹去|| 時計を弄廻して壊してしまつた。好

好事情ー|| 到歹去|| ちゃんと旨くいつてゐる事

を色色と弄って打壊してしまつた。難ー|| 難し

い。やり悪い。没曉ー|| 遺方を知らない。賢

ー|| 旨くやつてのける。ー|| 玩具にする。翻弄す

る。馬鹿にする。據在人ー|| 人の言成放題に

玩具にされる。被人ー|| 眞忝|| 酷く人に翻弄さ

れる。

ビイ、ラン、病人。病人。病者。患者。ー|| 拖節氣

病人が季節を通越す、病氣は季節(二十四氣)

を無事に通越せば又暫くは危篤になることがな

い、一時難局を切抜ける又は一時巧く言抜ける

などにいふ。

ビイ、ラン、偏人。得手勝手なことをする。人に無理す

る。専横せんわうなことをする。

ビイ ヨンヲエイイ 扁人能圓。——圓人能扁

扁ひたい人は圓まるくなるし圓まるい人は扁ひたくなる、貧者ひんじやが金持かねもちになり金持かねもちが貧者ひんじやになるなど。

ビイ リア 比掠。手で計る。手で積る。——看有若

長ながいどの位くらいの長ながか手で計はかつて見る。

ビイ リアム 鼻腫。脚——向腫。

ビイ リイ 比比。【比比】

ビイ リイ 秘秘。【秘秘】

ビイ リイ 擊擊。【擊擊】の㊟。

ビイ リイ 避避。【避避】

ビイ リイ 披披。【披披】

ビイ リイ 鄙鄙。【鄙鄙】

ビイ リイ 鄙釐。【小鄙釐】。【鹹澁】の㊟。

ビイ リイ 伏伏。【伏伏】

ビイ リイ クイ 鄙釐鬼。【鄙釐】の人を嘲あざわつていふ。

ビイ リイ シイ 比利時。(國名)波斯。

ビイ リイ プルル。□□□□□□□□□□

ビイ リイ ペエエ。□□□□□□□□□□

ビイ リウ 扁鈕。扁ひたい鈕ねう。

ビイ リウ リウ 平溜溜。非常ひじょうに平坦へいたんな。

ビイ リエヌ 比連。家山いへやまなどが連つらなる。接せつする。續つづく。

緊つとがる。並ならぶ。比隣ひりん。軒並のきなみ。

ビイ リエヌ 鄙釐。【小鄙釐】。

ビイ リエヌ 皮臉。鐵面皮てつめんひ。厚顔こうがん。厚顔あつがんしい。

ビイ リエヌ ビエヌ 皮臉面。前まへに同じ。

ビイ リエン 鼻龍。(科)鼻茸びさけ。

ビイ リヌ 比隣。(交)近隣きんりん。比隣ひりん。

ビイ リヌ 鄙吝。(交)鄙吝ひりん。

ビイ ルイ 被祟。卷添まきそへを被かぶる。迷惑めいわくを被かぶる。連累れんらいに

ビイ ルイ チアム 避雷針。(國)避雷針ひらいしん。

ビイ ルヌ 比論。【比並】の㊟。

ビイ ルヌ 比論。前まへに同じ。

ビイ ルヌ 譬論。前まへに同じ。

ビイ レエ 比例。(國)比例ひれい。

ビイ ロアヌ 避亂。亂らんを避さける。

ビイ ロエ 扁釐。扁ひたい釐り。

ビイ ロオ 邊槽。船ふねの舷はなに用もちひる槽さう。

ビイ ロオ 披露。(國)披露ひろう。

ビイ ロオ コグ 秘露國。(國名)秘露國ペリロウコク。

ビイ ログ 鼻瘻。鼻はなの孔あな。鼻腔びかう。

ビイ ログ コン 鼻瘻管。前まへに同じ。

ピウピウ

ピウ 彪。(進)彪ひょう。(進)彪ひょう。虎狼豹ころうひょう——虎狼豹彪ころうひょうひょう、兇惡きょうあくな人をいふ。(進)素早すばやくく逃にげる。緊つと走ま走ま同

上うへ。一過唐山いっかたうざん——こっそりと對岸たいがんへ逃にげて行く。

仙せん一亦無路いっやくむろ——幾いくばくら逃にげたつて逃にげられない。(進)

財物ざいぶつなどを持もち逃にげる。一人的ひと錢ぜに——人の金かねを持もち逃にげる。

ピウ 彪。(進)彪ひょう。【彪】の㊟。「げる。

ピウ 嘖。滑すべつて外はれる。逸えれる。踏ふ去き踏ふ外はす。刀やいば

突つ着つ骨ほね續つ去き刀やいばが骨ほねに突つ當あたつて逸えれてしまつた。頭路かみぢ——擲なげ去き職しやくを失うふ。入札いりしやく入い到と去き

競争きやうそう入札いりしやくをしたところが外はれてしまつた。錢ぜに被伊ひ去き金かねを彼かれに持もち逃にされた。

ピウ コオ コン 彪古公。(種)おほばあかてつ。たここ

ん。(赤鐵科、庭園樹となし、果實は食用となす)。

ピウ サウ 嘖走。素早すばやくく逃にげる。

ピウ スン 嘖栓。(栓)栓せんが外はれる。(當)當あが外はれる。

ピウ ピウ 彪彪。【彪】の㊟。

ピウ ピウ 嘖嘖。【嘖】

ピウ ボヲ 彪婆。方はう方はう飛と歩ふく不良ふりやう少女せうによ。

ピウ リウ 彪彪。【彪彪】

ピウ リウ 彪彪。【彪彪】

ピウ リウ 嘖嘖。【嘖嘖】

ピウ リウ 嘖嘖。【嘖嘖】

ピウ リウ 嘖嘖。【嘖嘖】

ピウ リウ 嘖嘖。【嘖嘖】

ピエク

ピエク 伯。(進)伯はく。(進)伯はく。公侯こうこう子男しなん——公侯伯こうこうはく

ビイ

ピウ

ピエク

ビエック

子男。伯父。伯父。父同。

ビエック百。百。一年借老。百年借老。

ビエック焔。焔。

ビエック迫。迫。差迫。逼迫。倚身差寄。

る。日子眞。日子が非常に迫つてゐる。事に到塊。事が差迫つて来た。銭關。金融逼迫。

●急立てる。促す。催促する。●銭。金を催促する。●伊嫁。早く嫁ぐ様に急立てる。寫批去。

する。●手紙を送つて催促する。●黒白。

ビエック白。白。表。表。明白。明白。黒。

ビエック碧。碧。碧。

ビエック辟。辟。辟。

ビエック拍。拍板。拍子木。打。拍板を打つ。

拍子。二。拍子。無聲無。拍子が合つて居

ない。



○の拍

ビエック魄。魄。魄。人有三魂七魄。人

に三魂七魄あり。魂飛。魂飛び魄散ず。魄

驚仰天。

ビエック並。何れが優るかを試みる。決戦をする。決

ビエック

勝戦をする。輸贏を決する。較べて試験する。

平點更重。同點のものは更に決戦する。一

何一個較好工夫。何方が上手であるか勝負を

させて見る。

ビエックアヌ迫緊。差迫。切迫する。日子。

日が切迫した。●敵しく催促する。手強く督促

する。對伊。彼に同上。

ビエックイイ白衣。白。白衣。白衣。

ビエックイオン偏陽。偏陽。偏陽。

ビエックイオンテ白楊提。白楊提。白楊提。

ビエックウイ拍位。歌曲中の拍子の當る處。

ビエックオオ焔鳥。黒燒。

ビエックヲア迫倚。切迫する。押詰る。年。

が押詰る。日子。日子が切迫する。●押寄

せる。攻寄せる。歸陣軍兵。隊をなした軍

兵が攻寄せる。

ビエックカア百家。一家有事。忙。一家事

有れば百家忙し。

ビエックカアシイ百家姓。名字附。百家姓。

ビエックカアソノ百家鎖。小兒の飾として用ひる銀

製の錠の如きもの。

ビエックカウ迫劍。迫。切迫する。近付く。

ビエックキアウビエックリアウ百巧百了。百の工夫を

ビエック

して百を仕損ずる。色色小細工して皆失敗する。

ビエックキイ嗶岐。セルに似た毛織物の一種。

ビエックキイサウ百期嗽。百日咳。

ビエックキエン僻境。僻境。

ビエックキヌ迫緊。急立てる。促す。急せる。迫立て

ビエックキヌ迫近。迫近。

ビエックギホク碧玉。碧玉。

ビエッククヌ迫近。迫。押寄せる。近付く。近寄る。

ビエックコア焔干。火に焙つて乾す。火干。

ビエックコア並着。何れが優るかを試みる。勝負をさ

せて見る。

ビエックシア辟邪。惡魔除。能。邪氣を除けられ

る。一符。惡魔除の符。

ビエックシアウ迫賤。押金を催促する。

ビエックシイ迫死。嚴しく責める。詰る。迫る。一日

不時被伊。毎日彼に嚴しく迫られる。

ビエックシウ白手。赤手。空手。成家。空

手で身上を作る。成名。獨力で名を成す。

成功する。

ビエックシウトオ百壽圖。壽の字を百字家書で書いた

ビエックシエツニアウ百舌鳥。百舌。

ビエックシエン百姓。百姓。國民。民。人民。

ビエックシエン伯成。伯成。

ピエク シオク 伯叔。(又) 伯叔。

ピエク ジエツ 迫熱。暑中。中暑。

ピエク ジツ 白日。(又) 白日。晴天。——昇天。——白日。昇天。日出の勢。青天。——青天白日。

ピエク ジツ ホン 百日紅。(種) 千日紅。千日草。(寛

科、花園に栽培して觀賞す)。

ピエク ジム 白刃。(又) 白刃。白刃。

ピエク スイズウ 壁水滸。【二十八宿星】の一。

ピエク モエ 迫債。貸を催促する。

ピエク ソエ 百歳。(又) 百歳。——以後。——死後。——

——曾無。——人。——百年曾て百歳の人なし、百歳

まで長生する者は稀なる意。

ピエク タイ 白帶。(種) 白血。白帶下。白帶。白帶下。

ピエク タイ ハア 白帶下。前に同じ。【て栽培す】。

ピエク チウ 栢樹。(種) いとひば。(栢科、觀賞用とし

ピエク チエク 迫促。催促する。督促する。催す。急

せる。

ピエク チエツ 迫切。● 迫切する。急迫する。事情

—— 事が切迫する。● 切に。頻に。説明去真

—— 切に説明した。—— 講究。頻に講究する。

ピエク チオク 伯爵。伯爵。

ピエク チオク 白芍。白色の芍薬。

ピエク チオク 迫促。迫る。迫促す。

ピエク チオク チオン 百足蟲。(又) 【蜈蚣】の別名。

ピエク チオク 迫逐。追出す。——伊去外庄。——彼を

追出して他の村に往かせる。

ピエク ツウ 百子。——千孫。——百の子に千の孫、子孫

の多いこと。——千丁。同上。

ピエク ツウ リエヌ 百子蓮。(種) むらさきくんしら

ん。(百合科、觀賞用として栽培す)。

ピエク ツツ キイ 迫出去。追出す。追出す。

ピエク トヲ 迫討。手詰の催促。厳しく督促する。

ピエク トク 辟毒。毒除。食雄黄。——雄黄を飲んで

毒除をする。

ピエク ニイ ギイ コク 白耳義國。(國名) 白耳義

ピエク ハナ 百合。(種) 百合。百合科の百合屬の總稱。

ピエク ハナ フヌ 百合粉。百合より取つた粉。

ピエク ハナ ホエ 百合花。百合。百合の花。

ピエク バヌ 百萬。百萬。——軍兵六七八人。——之は劇

場の入口などに貼附ける門聯の句、百萬の軍兵

も芝居ですれば僅に六七人なりといふ義。

ピエク パナ 逼犯。鶏や鶩などを全焼にする。

ピエク パヌ 拍板。拍板。拍子木。

ピエク ヒアア 迫脅。(又) 脅迫。

ピエク ヒエン 百行。百行。——孝爲先。——百行は孝

を先と爲す。

ピエク ビエヌ 白面。(又) 白面。——書生。——白面の書

ピエク ビエン 白冥。(種) 白冥。

ピエク ビエク 燭燭。【燭】。

ピエク ビエク 迫迫。【迫】。

ピエク ビエク 並並。【並】。

ピエク フウ 伯父。(又) 伯父。伯父。

ピエク フウ ジイ サム 百無二三。百の中二三も無い。

ピエク ヘエ 迫火。火に當つて逆せる。

ピエク ホエ 迫火。(種) 前に同じ。

ピエク ホオ 伯侯。(姓) 伯侯。

ピエク ホオ 白虎。白虎。——青龍朱雀玄武。——四方

又は四方の神をいふ。白虎は東方、青龍は西方、

朱雀は南方、玄武は北方を意味す。

ピエク ホオ シオン ジヌ 迫虎傷人。虎に迫つて人を

傷つけしむ、餘りに他を責めて窮鼠猫を囓むが

如きに至らしむなどの意。

ピエク ホオ ビエン 白虎旁。(家や墓の方向) 向つて左。

ピエク ホヲ 百和。一唱。——一人言出せば皆之に和

ピエク ホヲ 迫火。(意) 【迫火】。

ピエク ホエ 匹配。【匹配】。

ピエク ポオ シア 百歩蛇。(意) 百歩蛇。此の蛇に咬ま

るれば百歩にして死すといふ。

ピエク ポオ チウ 百歩鎗。前に同じ。

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエク

ピエツリエツノノ。【ノノ】。
 ピエツリエツ撃撃。【撃撃】。
 ピエツリエツ撃撃。【撃撃】。
 ピエツロオノ路。【ノ送】。

ピエヌ ピエヌ

ピエヌ扁。(姓)扁。
 ピエヌ鞭。●乾した獸類の陰莖。食一補陽。同上を食べて精力を補ふ。鹿一鹿の陰莖。虎一虎の陰莖。狗一犬の陰莖。●武器の名。
 ピエヌ邊。孔子を祭る時用ひる器具の名。
 ピエヌ邊。(多)邊。廣大無一。廣大無邊。一界一邊境。
 ピエヌ攀。●物に手を掛け體重を利用して力一杯引く。金庫門被賊仔一開。金庫の扉を泥棒に開けられた。杓仔一俾伊折。杓を抜かうとして力一杯引張って折る。一手一窓仔一手拭。片手を窓に掛けて身體を支へながら片手で拭く。●商人など高値を固持する。一價一同上。一住住一高値を固持して少しも下げない。
 ピエヌ編。編する。作る。一歌一歌を作る。一戯曲一戯曲を作る。一僻話一隠語を作る。一字號一屋號を作る。
 ピエヌ扁。額。額面。掛一額を掛ける。扁額を掛け

ピエヌ

ピエヌ

ピエヌ

る。牌一看板。

ピエヌ騙。欺く。騙す。引掛ける。擔ぐ。ぺてんに掛ける。口車に乗せる。四界去一錢一地方へ行って金を騙取る。一伊出来一騙して誘出す。擔出す。一仙一詐欺師。ぺてん師。

ピエヌ貶。貶する。左遷。被一貶せられる。市長被一人一去做街長。市長が左遷されて街長になった。

ピエヌ遍。一度。一回。一。一遍。一度。一度。一回。一遍。一回。一遍。一度。一度。

ピエヌ遍。一回。一遍。一回。一遍。一度。一度。一回。一遍。一回。一遍。一度。一度。

ピエヌ變。●變る。變へる。…になる。隨機應一。隨機應變。天色一。空模様が變る。查某团仔十八一。若い内の女の器量は何度も變る。一較乖一。大人しくなる。●手品や奇術などをする。一把戲一。同上。眞賢一。同上が上手である。●工面する。造出す。一寡生理本一。幾らかの資本金を工面する。一頭路一。職業を見出す。一新菜一。新奇なお菜を作出す。●田畑や家具など一を賣拂ふ。不肖子頂次一。田園此次一家私一。不肖の子は此前に田畑を賣拂ひ今度は家具を賣拂

ピエヌ弁。(姓)弁。

ピエヌ下。(姓)下。

ピエヌ便。●便利。利一。同上。不。一便。一法一便法。●豫め用意してある。出来合。持合せる。一衫一不斷着。一菜一總菜。買一的。不是吩咐做的。出来合を買ったので注文して作らせたのではない。錢你有。無一君金を持合せてみますか。●便。大小一。大小便。

ピエヌ辨。辨する。眞假難一。眞假辨じ難し。一別。一辨別。分別。

ピエヌ辯。辯する。辯論する。一眞假一。眞假を辯する。是非を論ずる。一倒一。言負かす。一輸一。辯論に負ける。一駁一。辯駁。

ピエヌ偏。偏る。偏する。一方に傾く。偏頗。邪。一邊一。傍。一較正手旁一。右の方に偏つてゐる。一房一。側室。妾。一宮一。同上。講一。外の方へ話を言廻す。想一。邪なことを考へる。一坦張る。態と。一要去一。何でもかんでも往く。一不。一。どうでもかどうでも嫌だ。

ピエヌ翹。●羽根を擡げる。雞一翹一。雞が羽根を擡げる。雙手一。在桌頂一。卓の上に肘を張つてゐる。●雞などが土を擡ぐ。土一。到一。四界一。土を擡散す。飢雞一。尋食一。飢えた雞が餌を擡攪

ピエヌ弁。(姓)弁。

ピエヌ下。(姓)下。

ピエヌ便。●便利。利一。同上。不。一便。一法一便法。●豫め用意してある。出来合。持合せる。一衫一不斷着。一菜一總菜。買一的。不是吩咐做的。出来合を買ったので注文して作らせたのではない。錢你有。無一君金を持合せてみますか。●便。大小一。大小便。

ピエヌ辨。辨する。眞假難一。眞假辨じ難し。一別。一辨別。分別。

ピエヌ辯。辯する。辯論する。一眞假一。眞假を辯する。是非を論ずる。一倒一。言負かす。一輸一。辯論に負ける。一駁一。辯駁。

ピエヌ偏。偏る。偏する。一方に傾く。偏頗。邪。一邊一。傍。一較正手旁一。右の方に偏つてゐる。一房一。側室。妾。一宮一。同上。講一。外の方へ話を言廻す。想一。邪なことを考へる。一坦張る。態と。一要去一。何でもかんでも往く。一不。一。どうでもかどうでも嫌だ。

ピエヌ翹。●羽根を擡げる。雞一翹一。雞が羽根を擡げる。雙手一。在桌頂一。卓の上に肘を張つてゐる。●雞などが土を擡ぐ。土一。到一。四界一。土を擡散す。飢雞一。尋食一。飢えた雞が餌を擡攪

ピエヌ

ピエヌ

ピエヌ

ピエヌ

す。在土糞堆一出来一塵溜から掻出した。

ピエヌ片。●片。切。切一一つ一つに切る。薄一薄片。●名刺。紅一赤名刺。一単一単名刺。一紅一同上。●群。叢。續。一雲一叢の雲。一厝一一群の家。一部落。一稻仔一一面の稻。三一竹林一三つの竹林。一田一續の田。

ピエヌ騙。●騙す。騙る。欺く。ぺてんに掛ける。買一買一類似一商賣は馴染の客を欺く。七歳一八歳一七歳が八歳を騙す、然らば騙されない此方が上手だなどの意。被伊一到信信一彼に騙されて尙眞實と思つて居る。●子供などを騙す。慰める。困仔哭一没活一子供を騙しても泣止まぬ。

ピエヌ騙。【偏】。●騙す。騙る。欺く。ぺてんに掛ける。買一買一類似一商賣は馴染の客を欺く。七歳一八歳一七歳が八歳を騙す、然らば騙されない此方が上手だなどの意。被伊一到信信一彼に騙されて尙眞實と思つて居る。●子供などを騙す。慰める。困仔哭一没活一子供を騙しても泣止まぬ。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌアア。偏仔。【偏偏仔】。

ピエヌ

ピエヌイヌ。便印。雜印。認印。

ピエヌイム。變音。音が變る。音便。詭。轉訛。

ピエヌウイ。變黃。【變黃】。

ピエヌウウ。便有。出来合。有合。有合せる。有合ふ。

ピエヌエエ。便的。持合。出来合。有合。

ピエヌオオ。變鳥。黒くなる。黒む。黒まる。

ピエヌオク。ツツ。便屋出税。【貸家の貼札に書く文句】貸家。貸家。

ピエヌヲア。變換。●變る。變へる。變する。變更する。一別款一別の模様に変へる。籠一皆變る。●品物を金銭に換へる。此個柴一寡錢來糶米一この薪を金に換へて米を買ふ。

ピエヌヲエ。クツ。辯話骨。言葉尻をつかまへる。擧足を取る。

ピエヌカイ。邊界。邊土。邊鄙。邊疆。邊界。邊境。把守一邊界を守る。

ピエヌカク。偏角。端。端端。隅。片隅。

ピエヌカン。偏港。小港。

ピエヌキアウ。偏竅。遊事などに就ての頓才。頓智。此個困仔較有一この子供は頓才がある。

ピエヌキエク。編曲。歌を作る。歌曲を作る。

ピエヌキエク。片刻。【文】片時。片時。

ピエヌキエヌ。偏見。【偏見】。

ピエヌ

ピエヌキエン。變更。【變更】。變更。

ピエヌキエン。變景。事情が變る。様子が變る。

ピエヌキエン。偏宮。天子の側女。妃。

ピエヌキオク。變局。局面を變へる。方法を變へる。事態が變化する。

ピエヌキオク。騙局。偽の方法。詐欺の手段。用一捉人的錢一騙して人の金を取る。

ピエヌキオン。邊疆。【文】邊界。邊境。

ピエヌキオン。偏宮。【偏宮】。

ピエヌキオン。偏強。意地張。旋毛曲。強情。偏窟。

ピエヌキラ。偏叫。迷信の爲に親をお父さん【阿爸】。お母さん【阿娘】と呼ぶ。お伯叔父さん【阿叔】。阿伯【と】呼び、又は父母の實名を呼ぶこと。

ピエヌギイ。便宜。【國】便宜。

ピエヌギエヌ。片言。【文】片言。

ピエヌクイ。攀開。力一杯引張つて開ける。

ピエヌクイ。騙鬼。鬼を騙す。【人】が己を騙さんとする時にいふ。騙されるものか。你不在一官を騙し鬼は何を出鱈目をいふか。購官一官を騙し鬼を騙す、購着の巧なこと。

ピエヌグヌ。便銀。即金。現金。

ピエヌケエ。攀價。【攀價】。

ピエヌコア。編歌。歌を編作る。

ビエヌコア 貶官。官を貶す。

ビエヌコア 便着。都合を見て。都合に依って。模様を見て。模様依って。即共伊講都合を見て彼に話さう。即來去模様依って往か

ビエヌコア 邊關。邊關。把守。邊關を守る。

ビエヌコア 變欺。變化する。變る。法度。法が變る。人。人の性質が變る。

ビエヌコエ 變改。改變する。改變へる。

ビエヌコオ 編古。物語を編む。昔話を作る。

ビエヌサア 便衫。普通の服。平服。

ビエヌサイ 邊塞。邊塞。

ビエヌサヌ 偏産。逆産。

ビエヌザイ 便菜。出來合の菜。右合の菜。總菜料理。

ビエヌザイ 便菜飯。有合せの菜と飯。總菜料理。

ビエヌシア 偏斜。偏つて斜な。偏斜。

ビエヌシイ 便是。是即ち。好工夫。是即ち上手といふものだ。惡恐人知。大惡。惡事を

して人の知るを恐るは是即ち大惡である。

ビエヌシイ 偏視。斜視。

ビエヌシイ 片時。片時。片時。

ビエヌシイ 偏生的。妾腹。妾腹。

ビエヌシエツ 變色。色が變る。變色。色が褪める。

面。顔色が變る。

ビエヌシエツ 偏室。妾。側室。「る者。

ビエヌシエツ 誦仙。誦す者。欺者。旨く人を引掛け

ビエヌシエツ トン 變神通。機轉が利く。頓智が有る。

賢。好く機轉が利く。

ビエヌシエン 變性。性質が變る。

ビエヌシエン 變成。成變る。變つて...になる。變

る。歹人。好人。惡人が善人に成變る。

ビエヌシエン 編成。編成。

ビエヌシエン オン 下城主。閻魔王の名。

ビエヌシオン 變相。變相。

ビエヌシツ 扁食。點心の一種。餛飩粉で薄皮を作

り肉・野菜などの細く刻んだのを包んで煮たもの。底不是豆菜底料理の種が「扁食」で

あつて雨ではない。素性正しい。

ビエヌシツ 翹翼。翼を擔げる。

ビエヌシツ ペエ 扁食皮。餛飩粉を捏ね薄く延ばして

四角に切つたもの。「扁食」を作るに用ふ。

ビエヌシヌ 變新。新しくなる。一新する。

ビエヌシヌ 遍身。全身。體中。體一杯。滿身。無

一無開。目の舞ふ様に忙しい。天手古舞。是傷。體中傷だらけ。

ビエヌシヌ コオ 遍身苦。心配ばかり。苦勞ばかり。

一生。一生苦勞ばかり。

ビエヌシム 變心。心が變る。氣が變る。變心。

ビエヌシム 偏心。偏つた心。私心。心肝存。私

ビエヌジイ 扁字。扁類の字。「心を抱く。

ビエヌスイ 半癡。半身不隨。全身不隨。中風。

ビエヌスウ 偏私。偏頗。依怙。依怙偏負。「中氣。

ビエヌスツ 騙術。騙す。欺く。偽る。賢。好く

ビエヌモエ 變青。變青。「人を騙す。

ビエヌソア 便所。便所。

ビエヌソア 編纂。編纂。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌソエ 變做。變做。

ビエヌ

ビエヌ

ビエヌ

ピエヌ

ピエヌチエヌ 變遷。(又) 變遷。世事——世の中は遷り變る。

ピエヌチオン 偏沖。干支の一部と相性とが相剋する。其崇輕しといふ。【正沖】に對す。

ピエヌチヅ 編輯。(國) 編輯。

ピエヌチアウ 偏祖。末家。分家。

ピエヌチアム 便店。貸家。

ピエヌチアムチヲ 便店招租。(貸家の貼札に書く文句) 貸店。貸家。貸家。

ピエヌチアムツツセエ 便店出税。前に同じ。

ピエヌチアムツツソエ 便店出税。(邊) 前に同じ。

ピエヌチアムツツソ 便店出税。(邊) 前に同じ。

ピエヌチエヌ 便殿。(又) 便殿。

ピエヌチオク 扇蓋。(一) 扇蓋。はひまきえはぎ。(葦料、莖葉根を乾して煎服すれば解熱劑となり又黃疸痲疾等を治す)。(二) 細本乳仔草。

ピエヌチオン 偏重。(國) 偏重。

ピエヌツウ 便厩。貸家。

ピエヌツヌ 便船。便船。

ピエヌテエ 攀得。物に手を掛け自身の體重を支へて絶る。捉る。

ピエヌテエギム 遍地錦。(一) 錦。まるばちどめぐさ。(繖形科、切瘡・腫物等に特效あり)。(二) 花火の一種。

ピエヌ

ピエヌトア 懶惰。【怠惰】。

ピエヌトア 片單。名刺。名札。手札。

ピエヌトアテエ 片單袋。名刺を入れる袋。

ピエヌトエ 遍地。到處。何處も彼處も。

ピエヌトエ 偏地。僻地。

ピエヌトエギム 遍地錦。【遍地錦】。

ピエヌトオ 邊豆。孔子を祭る時用ひる器具。邊豆。

ピエヌトオ 偏途。不正な途。不正な業。行——惡所通をする。着行正途不可行——正業に就け、不正な業に就くな。

ピエヌトヲ 辯倒。言伏せる。言負かす。言込める。被人——人に言込められる。

ピエヌトヲ 便套。常。普通。並。尋常。當前。——的説法——當前の説方。——藥——家庭などに備へてある普通の藥。——飯——有合の食事。

ピエヌトヲエ 便套話。定文句。

ピエヌトヲタイ 便套事。誰でも出来る尋常の事。

ピエヌトク 便毒。(國) 便毒。

ピエヌトン 辨當。(國) 辨當。

ピエヌトン 變通。臨機應變の才智。變通。有——融通が利く。八仙過海隨人——八人の仙人が海を渡ると各自に神通力を現はす、人は各其の

ピエヌトンア 辨當盒。(新) 辨當箱。「能ある意。

ピエヌ

ピエヌハム 拊胸。敷居・鴨居などに溝を作る。段を刻む。

ピエヌパア 便能。便ち罷める。不——要就緊去——否ならそれまでのこと、行くなら速く行け。不愛來就——來たくなければそれまでのこと。無就——無ければ無いまでのこと。

ピエヌパア 變把戲。曲藝・輕業・手品などをす

ピエヌパグ 辯駁。(又) 辯駁。

ピエヌパン 偏房。妾。妾。側女。側室。娶——權妻を取る。妾を置く。

ピエヌピエン 變形。(一) 變相。(二) 變形。

ピエヌピエン 辯明。(國) 辯明。

ピエヌピヌ 變面。顔色を變へる。——無常——怒りつ

ピエヌピア 偏僻。邊鄙。片田舎。場末。——的所 在——邊鄙な所。行——路——邊鄙な路を歩く。花柳の巷などへ出入する。

ピエヌピアエ 偏僻話。符牒言葉。隱語。隱語。

ピエヌピア 天兵。【天神】の一種。天魔。惡魔。

ピエヌピアシイ 天兵時。【天兵】の祟る時。不吉の時。

ピエヌピアシヌ 天兵神。【天兵】。

ピエヌピアジイ 偏僻字。餘り使用しない字。

ピエヌピアジツ 天兵日。不吉の日。

ピエヌピアツン 偏僻庄。邊鄙な村。片田舎。

ピエヌピエヌ 偏僻路。●邊鄙な道。田舎道。間道。脱道。脇道。●色里。悪所。行——悪所通をする。

ピエヌピエヌ 偏邊。側。傍。側。側面。片隅。堅——

|| 傍に立つ。

ピエヌピエヌ 辯白。辯明する。替伊——彼に代つて言譯する。

|| 判別がつかない。

ピエヌピエヌ 辨別。分別。辨別。判別。識別。没——

|| 判別がつかない。

ピエヌピエヌ 攀攀。【攀】。

ピエヌピエヌ 編編。【編】。

ピエヌピエヌ 誦誦。【誦】。

ピエヌピエヌ 眨眨。【眨】。

ピエヌピエヌ 變變。【變】の(一)(二)(三)。

ピエヌピエヌ 遍遍。一面に。遍く行渡る。行届く。

一是田見渡す限り田。

ピエヌピエヌ 辯辯。【辯】。

ピエヌピエヌ 便便。豫め用意してある。持合せてある。出来てゐる。支度がしてある。銭——金がある合せる。金を持合せてある。買——買置がしてある。

ピエヌピエヌ 偏偏。●偏偏仔。●偏偏の(一)。

ピエヌピエヌ 懶懶。【懶】。

ピエヌピエヌ 騙騙。【騙】。

ピエヌピエヌ 騙騙。【騙】。

ピエヌピエヌ アア 偏偏仔。理が非でも。何とて

も。どうでもからでも。——不——どうでもからでも否た。——要去——理が非でも往く。

ピエヌピエヌ フイ 偏妃。【偏宮】。

ピエヌピエヌ フイ 便飯。(海)次に同じ。

ピエヌピエヌ プン 便飯。出来合の飯。有合の飯。食——作

便橋——有合の飯を食って極りきつた仕事をする、

單純な生活の意。

ピエヌピエヌ ベエ 變賣。(海)【變賣】。

ピエヌピエヌ ベエ 變白。白くなる。白む。白ける。

ピエヌピエヌ ペエ 便父。(戲)妊娠中の女を妻として迎へた

時其の生兒の父をいふ。做——同上になる。

ピエヌピエヌ ホア 變化。●化ける。狐狸能——狐は化ける。

●手品。——的手品師。手妻遣。●變

ピエヌピエヌ ホオ 辯護。(國)辯護。

ピエヌピエヌ ホオ スウ 辯護士。(國)辯護士。

ピエヌピエヌ ホヲ 變好。好くなる。

ピエヌピエヌ ホヲ 偏號。【偏名】。

ピエヌピエヌ ホヲ タウ 偏號頭。天地人又は元亨利貞などの

句を用ひて物の順序の名とすること。

ピエヌピエヌ ホク 蝙蝠。(動)大な蝙蝠。

ピエヌピエヌ ホク 變服。服を變へる。喪服に着換へる。

ピエヌピエヌ ホク 便服。略服。普通の服。平服。

ピエヌピエヌ ホク ポヲ シウ 蝙蝠抱壽。寢臺の上部に圓き

壽の字の周圍に四匹の蝙蝠を配した彫刻。

ピエヌピエヌ ホン 片紅。名刺。名札。

ピエヌピエヌ ホン ピエヌ 變風面。風向が變る。風の方向が

ピエヌピエヌ ポエ 變賣。田畑や家具などを賣拂ふ。「變る。

ピエヌピエヌ ボヲ リエヌ 變無撓。工面が附かぬ。遺線が出

來ぬ。融進が利かぬ。

ピエヌピエヌ ボヲ ロオ 變無路。前に同じ。

ピエヌピエヌ ポオ 變歩。●方法を變へる。仕組を變へる。

着更——更に仕組を變へよ。●遺線の方法。

今都無——もう工夫が附かぬ。●變通。

ピエヌピエヌ ボク 辯駁。辯駁。

ピエヌピエヌ ミア 編名。名を附ける。

ピエヌピエヌ ミア 偏名。號。代名。別名。異名。異稱。渾

ピエヌピエヌ ミイ 便物。有合の物。

ピエヌピエヌ ムイ 偏門。次に同じ。

ピエヌピエヌ ムン 偏門。潛戸。通用口。通用門。

ピエヌピエヌ ラム 便覽。(國)便覽。

ピエヌピエヌ ラン 騙人。人を騙す。人を欺く。

ピエヌピエヌ リイ 便利。(國)便利。

ピエヌピエヌ リエク フヌ 片栗粉。(國)片栗粉。

ピエヌ

ピエヌ

ピエヌ

ビエ

ビエヌリエヌ 攀攀。【攀攀】。

ビエヌリエヌ 編編。【編編】。

ビエヌリエヌ 誦誦。【誦誦】。

ビエヌリエヌ 眨眨。【眨眨】。

ビエヌリエヌ 變撻。【變撻】の①。【變撻】。

ビエヌリエヌ 變變。【變變】。

ビエヌリエヌ 辯辯。【辯辯】。

ビエヌリエヌ 偏偏。【偏偏】の①。

ビエヌリエヌ 翹翹。【翹翹】。

ビエヌリエヌ 蹠蹠。【蹠蹠】。

ビエヌリエヌ 蹠蹠。【蹠蹠】。

ビエヌルヌ 辯論。辯論。議論。討論。論辯。

ビエヌロアヌ 變亂。【變亂】。事變。

ビエヌロオ 偏路。【偏路】。間道。脫道。【色里】。惡所。行——惡所通をする。

ビエヌン 變黃。黃色くなる。黃ばむ。

ビエ

ビエン兵。【姓】兵。【兵】。當——兵になる。馬——

騎兵。【四色牌】の札の名。紅——赤札の兵。

黄——黄色い札の兵。

ビエン氷。【氷】。芭蕉——アイスクリーム。枝仔——

アイスキャンデー。堅——氷が張る。【氷の様

ビエン

なもの。糖——氷砂糖。薄荷——薄荷腦又はそれを固めたもの。【氷】で冷す。冷蔵する。【頭壳】

【氷】で頭を冷す。【的】麥仔酒——冷ビール。【厨】冷蔵庫。【魚】魚を冷蔵する。【冷】冷い。涼しい。【止】止——非常に冷い。冷——同上。食仁

丹嘴内能——仁丹を食べると口の中が涼しくなる。薄荷抹着真——薄荷を擦ると非常に涼しい。

ビエン 郎。【姓】郎。

ビエン 乘。【姓】乘。

ビエン 反。【顛覆】。顛覆する。裏返す。顛覆する。捲返す。【裏】裏を返す。【船】船が顛覆する。【旁】裏返す。【字紙籠】紙屑籠を擲廻す。【書】本を捲く。羊羔面快——一國者は氣が顛倒り易い。怒りっぽい。【取出】取出す。【字紙】出来——書付

【取出】取出す。【字紙】出来——書付を取出す。【案袋仔】的錢——ポケットの金を取出す。【七寸俾人看】足の裏を返して見せる、家庭内の不和などを他人に知らせる。【言掛】をす

る。難癖をつける。【人的】錢——言掛をつけて金を取る。【起】難題を持掛ける。【反反反】。

ビエン 井。【姓】井。

ビエン 並。【思】ったことに反して。存外。案外。思

たより。【賢】存外偉い。【好】案外好い。【有影】存外本當であった。【早既】に……したで

ビエン

あらう。とつくの昔に……しただらう。【到】位

【喇】早既に到着しただらう。【返去】喇喇と

つくの昔に往ってしまつたらう。【い】朋友。

ビエン 朋。【姓】朋。【朋友】。【友】同上。好——好

ビエン 平。【姓】平。【平】。並。通常。【素】平素。

【生】平生。【常】平常。通常。【仔】通

常。相變らず。五分五分。【平】平。平穩。波浪

變較——波が稍穩になった。國無——國が太平

でない。瘟疫漸漸較——傳染病が段々と下火

になる。【平】平げる。【番】番人を平げる。【土

匪】土匪を平げる。【牛】牛を賣買する者の隠語。

【三】。【仔】銀——三圓。

ビエン 旁。【方】。側。雙——兩方。兩側。左——右

【左】左方。【右】右側。【東】東の方。【頂】頂下

【上】上方。【二】二つに割った片方。【半】半分。【破】破

【二】二つに破る。西瓜倚大——割った西瓜の大

な方に手を出す。勢力の有る方に味方するな

ど。【錢】一厘錢の碎片。【字】漢字の片方。漢

【字】の偏又は旁をいふ。抱心——立心偏。【做】三

【四】三四片に割れた。【頁】讀——二頁讀

む。【旁】旁。旁。旁。

ビエン 病。【病】。病氣。病。【入】膏肓——病膏肓に入

る。【帶】病を帯びる。病持。病を持つてゐる。

ピエン並。●一向。全で。てんで。さっぱり。一無彼

號事情。そんな事は一向ない。我一不知。僕は
てんで知らない。●……よりも。海一山較闊。海は陸地よりも広い。臺灣一内地較熱。臺灣は内地より暑い。

ピエン烹。煎付ける。油で揚げる。一魚。魚を煎付ける。落去油鼎。油の滾っている鍋に入れて揚げる。

ピエン崩。●又。崩する。●坐食山。坐食すれば山
ピエン聘。●聘する。招聘する。一賢人。賢人を招聘する。一請名醫。名醫を聘する。●聘金。結納金。一金。同上。完。一聘金の全部を送る儀式。重。高い聘金。●聘金の一部分を送って婚約を結ぶ。婚約する。一定着。婚約が極った。一某人的查某子。某の娘と婚約する。

ピエン評。●姓。評。●評定する。批評する。批判する。●来去俾衆人。看覓。行って大勢の人に批評して貰はう。

ピエン坪。●坪。坪。

ピエン秤。●秤。天秤。盤秤。●天秤ではかる。一重。●重さをはかる。

ピエン平。●平。【平】。

ピエン並。●比べる。比較する。二項提来。一看。二

ピエン

つの物を持って来て比べて見る。貨怕。品物は比較を畏れる。比較すれば直ぐ善悪が分る故。一伊較賢。彼より偉い。今仔日。昨日較寒。今日は昨日に比べて寒い。●凭掛る。靠掛る。●身軀。在壁裡。體が壁に凭掛っている。●頼。有後壁山可。頼恃むべき後楯がある。●優劣を争ふ。競ふ。競争。一賢走。驅競をする。一早起来。早起を競ふ。

ピエンアア。兵仔。兵卒。

ピエンアヌ。平安。安穩。安穩。安泰。息災な。平穩。恙ない。安全。無事。一大吉。平安大吉。一日。一日福。一日平安なれば一日の福。

ピエンアヌシウ。平安首。【做醮】などの時の役割の一。

ピエンアヌジュ。平安熱。危険性の無い熱病。

ピエンアヌチ。平安醮。地方安泰の爲に行ふ祭。災厄を祓ひ平安を求むる祭式。

ピエンアヌパイ。平安病。危険性の無い病氣。

ピエンアヌフウ。平安符。家内安全の護符。

ピエンイア。兵營。兵營。營所。兵舎。陣營。ピエンイイ。兵衣。軍服。戎服。ピエンイウ。朋友。朋友。友達。友人。一弟兄。朋

ピエン

友同士。一伴。朋輩。友達。仲間同士。一事。●友達の間的事。

ピエンイウ。平洋。野原。平原。平野。郊野。一曠土。同上。虎落。虎が野に落つ。山から平地に出て来る義にて處を得ず勢力を逞しうする事の出来ないなど。

ピエンイウ。烹油。油で煎る。煎付ける。ピエンイウ。朋友。【朋友】。

ピエンイウ。兵役。●兵役。ピエンイオン。兵勇。兵卒。兵士。兵隊。

ピエンウヌ。平穩。平穩。ピエンウア。秤碗。秤皿。

ピエンウア。並倚。靠掛る。靠れる。立掛ける。一壁。壁に靠掛る。

ピエンカア。兵家。●兵家。●【上九流】の一。兵家。ピエンカアア。兵脚仔。雜兵。兵卒。卒。ぶら兵。

ピエンカアラヌ。反尻坦覆。裏返す。覆す。俯にひっくりかへす。

ピエンカアリヌ。反尻坦覆。前に同じ。ピエンカイ。氷解。●氷解。

ピエンカウ。反狗。漢字の獸偏。一旁。同上。ピエンカウア。反狗仔。●漢字の獸偏。●(遊戯)手を突いて宙返する。

ピエン

ピエン

ピエンカク 氷角。碎いた氷。ぶつかき氷。

ピエンカフ 反蓋。俯。俯伏せる。裏返す。

ピエンキイ 兵器。武器。軍器。武器。

ピエンキエヌ 反犬。漢字の獸偏。一旁同上。

ピエンキヲ 反拾笑。仰にする。仰ける。仰にする。

ピエンキヌ 平均。(譯)【平均】。

ピエンキム 聘金。聘金。結納金。

ピエンギイ 聘儀。結納として贈る物。

ピエンギイヲヌ 評議員。(國)評議員。

ピエンギイホエ 評議會。(國)評議會。

ピエンクヌ 平均。(國)平均。

ピエングヌ 聘銀。【聘金】。

ピエンケエ 評價。(國)評價。

ピエンケエピエン 反過旁。裏返す。裏返にする。裏向にする。

ピエンコオ 並着。較べて見る。比較して見る。

ピエンコヌ 兵權。兵權。一在手。兵權手に在り。

ピエンコオ 兵庫。武器庫。兵器廠。

ピエンコヲ 平果。(植)西洋林檎。(藩)藩科。果實は大形の漿果にして食用に供す。

ピエンコン 秉公。公平。公正。一辨事。公平に事

ピエン

を辨する。偏頗なく取扱ふ。【素通し】。

ピエンコンキア 平光鏡。度の無い眼鏡。平眼鏡。

ピエンコンバク 平光目鏡。前に同じ。

ピエンゴヌ 平原。(國)平原。

ピエンザツ 平賊。賊を平げる。

ピエンシアウジツ 氷消日。一月に於ける三日の不吉な日、即ち七日、十七日、二十七日。

ピエンシアン 平常。(譯)【平常】。

ピエンシイ 平時。平時。平常。居常。

ピエンシエン 秉性。性質。天性。江山易改、一難移。江山は改め易く天性は移し難し。

ピエンシオン 平常。●平生。平時。居常。一、時。同上。一、日。例日。●平常。並。普通。尋常。一、人。普通の人。一、菜。並の料理。

ピエンシオンラン 平常人。普通人。並の人。常人。尋常の人。

ピエンシツ 扁食。(國)【扁食】。

ピエンシム 秉心。無私の心。中心。一、無愧。中心愧づる所なし。

ピエンジイカク 病字壳。漢字の病垂。

ピエンジツ 平日。平日。不。断。

ピエンジツコヲ 病入膏肓。病膏肓に入る。

ピエン

ピエンジヌ 氷人。(多)氷人。媒灼人。媒介者。

ピエンスイ 並美。美を比べる。

ピエンズウ 兵書。兵書。一、戰册。同上。

ピエンズウ 兵士。兵士。兵卒。兵。

ピエンズウ 兵事。●兵端。●兵事。

ピエンズン 氷霜。氷で冷す。氷詰にする。一、的魚。冷藏した魚。

ピエンセエ 兵勢。兵勢。兵力。

ピエンセエ 礮砂。(譯)礮砂。

ピエンセエア 氷酒餚。凍餚。晒餚。

ピエンソエオン 並衰旺。運次第。運の如何に依る。廻合。能贏沒贏是。一、勝つか敗けるかは

ピエンソオ 兵數。兵數。【運次第】。

ピエンソオ 平素。不。断。常。平日。平生。平素。平常。【氷を削る】。

ピエンツア 氷撥。氷を削る具。一、撥氷。氷削で

ピエンツア 氷造化。運命に依る。天意に依る。能趁沒趁是。一、儲かるか儲からないかは

ピエンタア 氷撥。(意)氷の振賣。【運次第】。

ピエンタヌ 氷炭。(多)氷炭。氷と炭。

ピエンタヌカフ 反坦蓋。俯ける。俯にする。裏向にする。伏せる。

ピエンタヌチヲ 反坦笑。仰にする。仰ける。仰

ピエンタヌトヲ 反坦倒。倒して横向にする。横にす
ピエンタヌバグ 反坦覆。【反坦蓋】。「る。

ピエンタン 秤重。重さを量る。

ピエンチア 并且。且其上に。尙且。——伊不來。且
其上に彼は来ない。

ピエンチア 聘請。聘する。招聘する。招く。迎へる。

——先生來看。先生に來て見てもらふ。

ピエンチイ 秤子。分銅。

ピエンチイヲアシエク 反生換熟。氣が移り易い。

厭つばい。移氣。連鞭買此項連鞭無愛更再
買別款的成。——此を買ふかと思ふと直
に厭になつて又他の物を買ふ、眞に厭つばい。

ピエンチウ 反手。掌を反す。

ピエンチエン 秉正。公平。中正。

ピエンチエン 平靜。靜。靜穩。平穩。平安。安
靜。地方——地方が平安。食汚食餃着愛—
——粥を食つても重湯を飲んでも平和を求めよ、
不義の財を求め人などにいふ。

ピエンチオン 兵衆。軍勢。

ピエンチヲ 反笑。仰にする。仰ける。仰様。上向。

ピエンチツヌ 反七寸。——俤人看。足の裏を
返して見せる、家庭内の不和などを他人に知らせ
ること。

ピエンチア 平定。平定。鎮定。鎮る。土匪——土
匪が平定する。

ピエンチア 聘定。婚約が整ふ。——銀。婚約成立の
印として渡す。結納金の一部。

ピエンチアウ 烹調。料理。割烹。調理。賢。巧
く料理する。

ピエンチアム 氷店。氷店。氷屋。

ピエンチエン 兵丁。兵士。兵。兵卒。兵隊。

ピエンチエン 平等。平等。同等。

ピエンチオン 併仲。賣買等の仲介料。コンミッショ
ン。——銀。同上。

ピエンチヲ 平糶。米價暴騰の時など官廳が米價を制
限して販賣せしめること。

ピエンツイ 氷水。氷水。

ピエンツウ 兵書。兵書。——戦册。同上。

ピエンツウ 屏子。子を追出す。出妻。——妻を
離縁し子を追出す。

ピエンツウ 烹煮。煮焚。調理。料理。

ピエンツツ 兵卒。兵卒。卒。兵士。兵。

ピエンツヌ 反航。船が覆る。船が轉覆する。

ピエンツイ 兵隊。兵隊。

ピエンツウ 氷厨。冷藏庫。

ピエンツヌ 井吞。井吞。

ピエンワン 冰糖。冰糖。——嘴麥芽膏手。冰糖
糖の口に飴の手、口は甘く人を乗せ手は粘附して
財物を取る。

ピエンワンイウキイ 冰糖柚藥。朱藥に冰糖を加
へて煮たもの。

ピエンワンオオワヲ 冰糖芋棗。芋を團子の如くし
て冰糖を加へて煮たもの。

ピエンワンキエンチヲ 冰糖苧蕉。苧蕉の實に冰糖
糖を加へて煮たもの。

ピエンワンテク 冰糖茶。砂糖湯。

ピエンワンナイチ 冰糖荔枝。荔枝に冰糖を加
へて煮たもの。

ピエンワンピッライ 冰糖蜜梨。梨に冰糖を加へ
て煮たもの。

ピエンワンパイ 冰糖枇杷。枇杷に冰糖を加
へて煮たもの。

ピエンワンラツチ 冰糖菓子。栗に冰糖を加へ
て煮たもの。

ピエンワンリエンチ 冰糖蓮子。蓮の實に冰糖糖
を加へて煮たもの。

ピエンワンリエンギエン 冰糖龍眼。龍眼肉に冰
砂糖を加へて煮たもの。

ピエンテエ 冰块。氷の塊。

ピエン

ピエン

ピエン

ピエン

ピエンテエ 氷袋。氷囊。氷囊。

ピエンテエ 平地。平地。一一起風波 平地に波を起す。一一聲雷 平地に一聲の雷 震耳に水。

ピエントアヌ 兵端。(國) 兵端。

ピエントオ 反吐。倒れなどして胃がひっくりかへる。

(多くは脾臓破裂をいふ)。一能死 同上すると死ぬ。

ピエントヲ 反倒。顛覆させる。ひっくりかへす。

ピエントン 朋黨。朋黨。徒黨。

ピエンニウ 兵糧。兵糧。糧食。

ピエンハク 兵學。(國) 兵學。

ピエンハバ 併合。(國) 併合。

ピエンパ 烹飪。肉類を油で揚げてからからにする。

ピエンパク 反腹。反吐をつく。嘔吐。

ピエンバク 反覆。俯く。俯ける。伏せる。一得睡 俯いて眠る。俯して睡る。

ピエンパン 兵房。兵事を管する役所。

ピエンピアン 兵餉。(國) 兵餉。

ピエンピイ 氷魚。魚を氷詰にする。魚を冷蔵する。

ピエンピオン 兵餉。兵士の給金。

ピエンピヌ 平民。(國) 平民。

ピエンピイ 反變。生活の路を立てる。活路を開く。

一頭路 同上。無一 那有可食 生活の路

ピエン

を立てないでどうして食っていきけるものか。遺

縁をつける。工面をする。一寡錢 少しの金を工面する。

ピエンピエヌ 氷片。(腫) 腫物につける漢薬の一種。

ピエンピエン 氷水。一仁丹食了 一仁丹を食べべると口が涼しくなる。(一) 氷の(一)。

ピエンピエン 反皮。(反)。

ピエンピエン 反旁。引線返す。裏返す。魚 一即更 烘 魚を引線返して又焼く。

ピエンピエン 平平。一平凡。普通。並。一仔 同上。一無好無歹 普通で善くも悪くもない。

(一) 平の(一)。

ピエンピエン 烹烹。(烹)。

ピエンピエン 崩崩。(崩)。

ピエンピエン 聘聘。(聘)の(一)。

ピエンピエン 評評。(評)の(一)。

ピエンピエン 秤秤。(秤)の(一)。

ピエンピエン 並並。(並)。

ピエンピエン アア 平平仔。(一) 通常。並。相變らず。

五分五分。

ピエンファイ 兵費。軍費。

ピエンベエ 兵馬。兵馬。

ピエンベエ バク 反白白。白目を象出す。腕付ける。

「腕付ける。

ピエン

ピエンホアイ 崩壞。(又) 崩潰。

ピエンホアツ 兵法。兵法。兵法。兵術。

ピエンホラ 氷河。(國) 氷河。

ピエンホラ 平和。(國) 平和。

ピエンホン 病坊。(進) 病坊。

ピエンホンチエンロン 平風靜浪。(又) 風穩に浪

ピエンボク 並無。皆無。少しも無い。一彼 欸的 事情 一向そんな事は無い。

ピエンボア 氷盤。大皿。平鉢。

ピエンボエ 反背。反る。反返る。枋 被日曝了 一板が日に當って反返る。

ピエンボエ 平輩。同輩。

ピエンボオ 兵部。軍事を司る官衙。

ピエンマア 兵馬。兵馬。一控 兵馬控。

ピエンミイ 烹物。油で物を煎る。

ピエンライピエンキイ 反來反去。彼方へ反り此方へ反る。講話 一 一 言ふことが常に變る。

ピエンラウ 崩漏。(崩) 子宮出血。

ピエンラツ 並力。力を比べる。

ピエンライ 反裏。裏返す。裏をひっくりかへす。

ピエンリイク 兵力。(國) 兵力。

ピエンリエン 氷氷。(氷) 氷の(一)。

ピエンリエン 氷冷。冷い。冷い。水道水真 一 一

水道の水が甚だ冷い。

ピエリエン 反皮。【反皮】。

ピエリエン 平平。【平平】の②。

ピエリエン 平陵。(進) 平陵。

ピエリエン 平寧。(進) 平寧。

ピエリエン 烹烹。【烹烹】。

ピエリエン 崩崩。【崩崩】。

ピエリエン 聘聘。【聘聘】。

ピエリエン 評評。【評評】。

ピエリエン 秤秤。【秤秤】。

ピエリエン 並並。【並並】。

ピエリヌマン 反輪轉。顛覆す。顛覆る。顛覆す。碗——茶碗が顛覆る。

ピエリヌム 評論。評論。批評。批評。被人——人に批評される。叫保正俾伊——保正をして批評せしめる。

ピエリレ 聘禮。結納の禮物。送——同上を贈る。

ピエリロアヌ 兵亂。兵亂。騒動。

ピエリロアヌ 平亂。亂を平げる。

ピエリロン 氷囊。(圓) 氷囊。氷囊。

ピラ

ピラ 標。●鎗。投鎗。魚杖。毒藥——毒藥を塗付けた

投鎗。打——鎗を投げる。長—短—長い鎗と短い鎗。擗頭——一番鎗になる、出過ぎる。【擗】

龍船の時決勝鬨の旗竿の尖につけた鎗。目標。擗——同上を取る。●鎗を投げて刺す。—山猪—

猪を刺す。—魚—魚を刺す。●鋭く突出る。—出来—同上。嘴齒——齒が突出てゐる。—齒—

突出た齒。●新—入札する。—會—頼母子を落す。—襤—工事の入札。—着—落札。

ピラ 戲。(鼻) 戯れる。巫山戯ける。戯れる。講—笑—

戲事を言ふ。弄水は無—水遊は戲事ではない、なかなか危険だ。

ピラ 表。(進) 表。奏狀。—章—同上。做—入朝

奏狀を作り朝廷に入る。●表。定價—定價表。時間—時間表。【腕時計】

ピラ 錢。懐中時計。時—同上。金—金時計。手—

錢。魚の浮袋。魚—同上。鰻—鰻の浮袋。

ピラ 票。●札。紙幣。銀—同上。十—十圓札。—

包—錢入。●票。札。切符。券。車—汽車の切符。船—船の切符。當—質札。馬—馬券。

國債—國債證券。彩—富札。彩票。投—

投票。

ピラ 漂。晒す。—布—布を晒す。—風—雨—風雨に晒す。—藥—漂白粉。

ピラ 萍。(也) 萍。浮草。(水面に浮ぶ顯花及び隱花植物の總稱)。

ピラ 瓢。柄杓。柴—木の柄杓。鐵—鐵の柄杓。●

—免蟹の殻の柄杓。

ピラ アア 標仔。投槍。手槍。

ピラ アア 錶仔。懐中時計。袂時計。—停—時計が止る。—亮—懐中時計の側。

ピラ アア アア 錶仔。懐中時計の鐘。●懐中時計の龍頭。

ピラ アア アア 錶仔。懐中時計の針。

ピラ アイウ 漂洋。白金巾。

ピラ アイウ 漂藥。漂白粉。

ピラ アイウ 漂厚洋。木綿織の一種。

ピラ カウイウ 漂壳。懐中時計の外側。

ピラ キイ 標齒。突出た齒。

ピラ シッ 標檣。工事の入札。【奉】。

ピラ チウ 表章。奏狀。上奏文。奏——上奏文を

ピラ テラ 戲笑。(鼻) 巫山戯る。講——講——滑稽をいふ。笑談をいふ。

ピラ チラ 標着。落札。落札。札が落ちる。

ピラ テエ 錶袋。●時計を入れるサック。●時計を入れる

夾袋。ポケット。

ビッ

ビロパウ 票包。次と同じ。【財布】

ビロパウアア 票包仔。紙入。金入。蝦蟇口。銭入。

ビロヒイ 標魚。魚を刺す。

ビロビロ 標標。【標】の(㊦)(㊧)。

ビロビロ 戯戯。【戯】。

ビロビロ 漂漂。【漂】。

ビロヘエ 標會。頼母子を落とす。

ビロヘエ 漂白。●晒す。漂白する。●晒木綿。晒布。

ビロヘエ 漂白粉。晒粉。漂白粉。

ビロヘエ 漂白布。晒布。晒木綿。

ビロホオ 漂雨。雨に晒す。雨晒。

ビロホンビロホオ 漂風漂雨。風雨に晒す。

ビロポオ 漂布。布を晒す。

ビロリヲ 標標。【標】。

ビロリヲ 戯戯。【戯】。

ビロリヲ 漂漂。【漂】。

ビロロオ 漂露。露に晒す。露に當てる。

ビッ

ビッ畢。(性)畢。

ビッ擲。(性)擲。

ビッ筆。●筆。擧一忘字。筆を取って字を忘れる。

鐵一鐵筆。一一成一氣呵成。一秃尾筆の

ビッ

先が禿びる。●一錢一一口の金。大一錢一一口の金。●土地の區割を數へる語。筆。此坵田分做三一此田を三筆に分ける。一圓一筆の畑。

ビッ必。(多)必。必ず。一定同上。未一必ずとはいへない。必ずしもさうでない。

ビッ破。破が出来る。破がある。一痕一割目。酒研一破一徳利が破れた。柴曝日能一材木を日に晒すと破が出来る。脚手一手足に痺が出来る。面一顔が荒れる。

ビッ莩。(性)莩。匹。(多)匹。馬一匹。馬一匹。馬一匹。一夫一匹夫。單身一馬一單身匹馬。一没過一匹敵することが出来ぬ。

ビッ疋。疋。布一疋。布一疋。ビッ筆。【筆】の(㊦)。

ビッアア 畢仔。(動)金腹。ビッアア 筆匣。筆匣。筆入。ビッアア 莖仔草。(性)一いちがや。(禾本科、全草を解熱劑利尿劑として煎服す。●土筆。土筆。

ビッアア 筆仔尾。槍の穂の如き三稜角の武器。ビッイアウ 必要。(動)必要。

ビッ

ビッイイ 筆意。(多)筆意。ビッヲア 匹碗。鉢。井。ビッキイ 筆氣。(多)筆勢。筆力。ビッキエン 筆耕。(動)筆耕。ビッギアア 畢業。(動)卒業。ビッギアア シエン 畢業生。(動)卒業生。

ビックイ 膝開。爆ぜる。張裂ける。ビッケエ 筆架。筆架。筆もたせ。ビッケエ ソア 筆架山。筆架の如き形した山。

ビッコアイ 筆拐。筆の軸。筆柄。ビッコン 筆管。筆の鞘。ビッゴアツ オオ 畢月鳥。【二十八宿星】の一。ビッゴオ 匹偶。(多)配偶。

ビッシアウ 筆簫。筆の軸。筆柄。ビッシイ 必是。必ず。必定。屹度。確に。一如此一必ず左様だ。

ビッシム 筆心。筆の心。筆の先。一用去一筆の先が抜ける。筆の頭が抜ける。ビッジエヌ 必然。必然。必ず。屹度。一成功一必ず成功する。

ビッスウ 必須。(多)必用。必須。ビッスウ 必死。(多)必滅。ビッセエ 畢世。(多)畢生。一生。終身。一生涯。

ビッセエ筆勢。筆勢。筆力。

ビツソフ又筆算。筆算。洋算。

ビツソオ筆敷。筆敷。

ビツタイチオン必大將。【三十六將】の一にて龍

ビツタウ正頭。反物。賣。反物を賣る。一。郊

|| 吳服問屋。

ビツタツ筆墨。筆管。

ビツタツコン筆管。前に同じ。

ビツタツ筆凹。前に同じ。

ビツタム筆談。筆談。

ビツタン筆筒。筆筒。筆立。筆筒。

ビツタンチウ筆筒樹。(一)ふもとへ。(二)抄襪科

材は挿花筒・煙草入・筆筒・植木臺等を製し、山地にては小屋の柱に用ひ、又觀賞用として庭園に植う、尙ほ木質部を細切清洗して蜂蜜にて炒り、煎服して血液循環を促進し、咳嗽を止む。(一)同科(二)よけへ。

ビツチアム筆尖。筆の先。筆の頭。

ビツチエク筆蹟。筆跡。手跡。

ビツチエヌ筆戦。筆戦。

ビツチム賊咬。鱗がいて少し口が開く。枋。一

板が同上。花が咲初める。蕾が綻びかける。

ビツチア必定。必ず。屹度。儘に。必定。一。能

ライ屹度来る。

ビツチアム筆店。筆屋。筆店。

ビツチエク匹敵。匹敵。

ビツチエン必定。必定。

ビツツイ賊嘴。口が爆せる。口が割れる。

ビツツウ筆資。筆料。筆料。潤筆料。

ビツツウレ筆資禮。潤筆の禮金。

ビツツン賊穿。罅がける。罅仔。鉢に罅がい

ビツテエ筆袋。筆を入れる袋。

ビツバク筆墨。筆と墨。筆墨。

ビツバクヒイ筆墨硯。筆と墨と硯。

ビツパン賊縫。割目。裂目。一事がばれる。一破

談になる。同照が破れる。

ビツビエツ筆墨。筆墨。好。一。學問が有る。

ビツビエツ必滅。必滅。

ビツビエン畢命。命が終る。死ぬ。

ビツビイサウ植鼻草。撥鼻草。

ビツビツ賊賊。賊。

ビツビツボクボク輝輝焔焔。爆竹などの音。ばち

ビツフウ匹夫。(又)匹夫。一之勇。匹夫の勇。

ビツフヌ賊痕。鱗の痕。鱗の割目。鱗が出来る。

碗。一。茶碗に罅がある。手。一。手に罅がで

きる。

ビツベエ筆尾。筆の先。筆の頭。一。禿去。筆の先

が禿びる。食。一。筆の先で飯を食ふ。(代書人な

ど)。一。利。筆の先が鋭い。

ビツベエ匹馬。單身。一人ぼっち。

ビツホアツ筆法。手風。筆法。書力。書法。

ビツボエ筆尾。(一)筆尾。

ビツボエ筆尾。(二)筆尾。

ビツボエ匹配。配偶。無相當的。一。相當な配

偶がない。一。妻せる。一。思後生。彼の息子に

妻せる。

ビツボクハウ輝焔焔。爆竹などの音。ばちばち。

ばちばち。

ビツマア匹馬。單騎。一騎。

ビツライ筆利。筆先が利く。達筆。達者に書く。

ビツリイ賊裂。罅がいて裂ける。

ビツリッ賊賊。賊。

ビツレエ賊裂。罅がいて裂ける。罅破れる。

ビツロヲ伯勞。(一)百舌。飼雛成。一。鶏を飼っ

て百舌になる。鶏を飼って百舌の様に小さく瘦せ

てしまふ。

ビツロヲチイ筆羅子。(一)清風藤科)たいわんあわ

ビツ

ビツ

ビツ

ぐに用ひる竹の膜。明笛の孔に貼る薄皮。

ピヌ ヲア 品碗。大鉢。

ピヌ ヲエ 憑話。言葉に基く。――調査人の言葉に基いて調査する。

ピヌ カア 貧家。(又) 貧家。

ピヌ カア 髪脚。髪を生際。

ピヌ カグ 鬢角。額頭。

ピヌ キイ 稟見。名刺や書状を出して面會を求めること。――大官大官に同上する。

ピヌ キイ 憑據。(憑) 憑據。

ピヌ キイ 品氣。長壽又は出世の相。有――同上が

ピヌ キウ 稟求。稟請。請願。歎願。

ピヌ キエク 賓客。(又) 賓客。

ピヌ キオン 貧窮。貧窮。貧困。貧乏。貧賤。――起

盗心。貧窮は盗心を起す。――自在。富貴多

憂。貧窮は氣樂で富貴は心配が多い。

ピヌ キブ 品級。位階。階級。等級。官等。

ピヌ クウ 貧屑。(又) 貧家。

ピヌ クウ 憑據。證據。證據。證據。證據。

ピヌ クウ 憑據。(憑) 前に同じ。

ピヌ ケエ 品格。(品) 品格。品位。

ピヌ コア 稟官。官に願ふ。

ピヌ コア 常管。節。

ピヌ コオ 貧苦。貧苦。

ピヌ コラ 稟告。申告。稟告。

ピヌ サア 針衫。洋服の假縫などピンで留める。

ピヌ サツ プウ 篋鼠母。鼠を梳く。

ピヌ サイ 憑在。(憑) 憑在。

ピヌ シアウ 稟消。届書を出して取消す。

ピヌ シアウ 常簡。横簡と簡。

ピヌ シエク 稟式。願書・届書などの様式。書式。

ピヌ シエン 稟性。(又) 稟性。

ピヌ シエン 品性。(又) 品性。

ピヌ シヌ 憑信。信實。信用。有――信用が有る。

ピヌ シム 憑心。良心に基く。――講話。良心に

基いて話をする。

ピヌ ジイ 憑字。證書。

ピヌ スイ 鬢髮。髪の下の手。留――同上を殘す。

ピヌ スイ 鬢髮。前に同じ。

ピヌ ツア 稟紙。(稟) 對紙。對紙。

ピヌ ツン 殯葬。(又) 埋葬。

ピヌ タア 扇擔。擔棒。天秤棒。擡――擡棒を持

ピヌ タア 扇擔。(同) 前に同じ。

ピヌ タウ 篋頭。梳る。髪を梳く。

ピヌ タウ 憑頭。次第を逐って順順に。次から次へと。――寫。順順に書く。――排。順序よく並べ

る。――講俣伊聽。片端から一話して聞かせ

ピヌ タウ 篋剔。梳櫛を掃除する具。

ピヌ チアム 針針。ピン。西洋針。留針。

ピヌ チウ 鬢髮。額髻。

ピヌ チエヌ 貧賤。貧賤。貧しい。

ピヌ チエン 貧儉。(又) 愚儉。貧儉。

ピヌ チエン 稟請。請願。出願。願出る。

ピヌ チツ 品質。(又) 品質。品性。

ピヌ チツ シヌ シイ 憑一身死。一身を賭する。

ピヌ チアア 稟帖。歎願書。願書。「せる。

ピヌ チイ 稟知。(又) 上書して報告する。文書で知ら

ピヌ ツヌ 憑準。目當。標準。當。將此個做――

此を目當にする。講話無――話が當にならない

い。

ピヌ トア 憑單。● 證文。證書。● 書付を證據にす

る。書類に基く。――交付來人帶回。證據書

類に基き貴方の使者に渡して持たせてあげます。

(書面などの文句)。

ピヌ トア 怠惰。怠る。懶ける。ずるける。怠惰。

ピヌ トア クツ 怠惰骨。懶者。無精者。

ピヌ トア キン 怠惰蟲。前に同じ。

ピヌ トオ 屏堵。板仕切。板羽目。仲仕切。簡立。

ピヌ トヲ 貧道。(又) 貧僧。貧道。愚僧。

ピヌ

ピヌ

ピヌ

ビヌ

ビヌ トン 屏東。(地名)屏東。

ビヌ ヌン 檳榔。(種) 檳榔。(棕櫚科、未熟果は「老葉」

に包み石灰を加へて咀嚼用に供す、又果實は薬用及び染料となす)。

ビヌ ヌン オオ 檳榔芋。(種) 芋の一種。

ビヌ ヌン コヲ 檳榔膏。【柑仔蜜】。

ビヌ ヌン シム オオ 檳榔心芋。【檳榔芋】。

ビヌ ヌン スウ 檳榔嶼。(島の名) ビナン島。【照】。

ビヌ ヌン チイ 檳榔子。檳榔の實。檳榔子。【檳榔參

ビヌ ヌン ハア シイ 檳榔籐扇。檳榔樹の葉の團扇。

ビヌ ヌン ヘエ 檳榔灰。檳榔の實を咀嚼する時に用ひる石灰。

ビヌ ハヌ 貧寒。(又) 貧乏。貧困。貧窮。【す】。

ビヌ パア 品打。打つぞと公言する。打つぞといつて嚇

ビヌ パイ 屏牌。楯。使—楯を使ふ。

ビヌ パウ チヌ 蘋拋藤。(種) おほいたび。(桑科、材を刻みて煎服すればリウマチス、腹痛を治す)。

ビヌ パン 屏枋。板仕切。仲仕切の板。

ビヌ パン 屏房。本質宿。旅籠屋。

ビヌ パン セエ 屏房税。宿賃。宿泊料。旅籠料。

ビヌ ビエツ 貧血。(國) 貧血。

ビヌ ビエヌ 品行。品行。身持。行状。行跡。

ビヌ ビエン 稟明。言上する。告知らせる。上申す

ビヌ

る。—状況—状況を報告する。

ビヌ ビエヌ 品明。明かに公言する。稔と口約する。

ビヌ ビヌ 貧民。(國) 貧民。

ビヌ ビア 天兵。天上の邪神。天魔。惡魔。—神—

同上。犯着—同上に祟られる。

ビヌ ビア シイ 天兵時。【天兵】の祟る時。

ビヌ ビア ジツ 天兵日。【天兵】の祟る日。

ビヌ ビアン 鬚唳。烈しい足音又箱などの相觸れる音

ばたばた。がたがた。どたばた。

ビヌ ビアン 碎兵。三味線や琴などの音。びんびん。

—叫—びんびん鳴る。

ビヌ ビイ 鬚邊。鬚。小鬚。鬚面。瀨瀨。

ビヌ ビイ コヲ 鬚邊膏。頭痛膏。

ビヌ ビイ ムン 鬚邊毛。鬚の髪。揉上。

ビヌ ビエン 品評。(國) 品評。

ビヌ ビエン ホエ 品評會。(國) 品評會。

ビヌ ビヌ 稟稟。【稟】の②。

ビヌ ビヌ 筆筆。【筆】の②。

ビヌ ビヌ 針針。【針】の②。

ビヌ ビヌ 篋篋。【篋】の①。

ビヌ ビヌ 編編。【編】。

ビヌ ビヌ 偏偏。●踰踰。ひよろひよろする。歪—傾く。歪む。傾ける。醉—酔うて踰踰く。

ビヌ

ぐでぐでに酔ふ。●【偏】。

ビヌ ビヌ モエ モエ 杉彬濟濟。人物などの揃うて澤山な貌。濟濟たる多士。

ビヌ ビヌ ビアン ビアン 鬚鬚唳。烈しい足音又箱

などの相觸れる音。ばたばた。どたばた。がたがた。走到—ばたばた走る。

ビヌ ビヌ ビアン ビアン 鬚鬚唳。前に同じ。

ビヌ ビヌ ビアン ビアン 鬚鬚唳。前に同じ。

ビヌ ビヌ ビアン ビアン 碎碎兵兵。三味線や琴など

の音。びんびん。彈琴彈到—琴をびんびんと弾いてゐる。

ビヌ ビヌ ポン ポン 鬚鬚唳。【鬚鬚唳】。

ビヌ ビヌ ポン ポン 湖湖萍萍。水中に物を多く投入した時などの音。どぶんどぶん。じゃぶじゃぶ。泗水泗到—じゃぶじゃぶと泳いでゐる。

ビヌ フウ 貧富。(又) 貧富。

ビヌ ブヌ 憑文。官廳の發する辭令・稟狀・證書・鑑札などに關する書類の總稱。

ビヌ ブヌ ブヌ フウ 品文品武。訴訟でも來い腕力でも來いといつて我張る。

ビヌ ホグ 稟復。書面で復命する。—上官—上官

ビヌ ホン 屏風。屏風。

ビヌ ボオ 賓牟。(姓) 賓牟。【に同上】。

フイ

フイアア 磁仔。瀬戸物。陶器。焼物。――土陶土。

フイアアペエ 磁仔。桃。陶器の破片。瀬戸物の缺。

フイアイ 惠愛。(文) 慈愛。恵む。憐れむ。

フイアア 磁盒。陶器の蓋物。

フイアイム 肺炎。(病) 肺炎。

フイイエン 費用。●金などを使ふ。――錢財。金銭を費す。――心神。心神を使ふ。頭を費す。●

フイイオン 費用。費用。入費。(國) 費用。

フイイオンザウ 飛陽草。(植) (大戟科) ●しまにしき。

フイイラ 磁窰。陶器を焼く籠。陶窰。

フイイヌ 血印。血判。

フイウイ 非爲。非を爲す。非道を爲す。――作歹。非を爲し悪を作る。悪事をする。

フイウウ 毀譽。(文) 毀譽。

フイウウ 惠與。(文) 惠與。惠授。

フイエエ 磁鍋。瀬戸物の釜。土鍋。

フイアア 磁鍋。(器) 前に同じ。

フイアア 惠安。(地名) 惠安。

フイカア 磁礎。底の扁い瀬戸物の鉢。同上の聲。

フイカケ 血角。血の塊。血塊。

フイキイ 飛機。(新) 飛行機。

フイキイ 血痣。赤い黒子。

フイ

フイキイ 肥己。(文) 己を肥す。

フイキイ 費氣。面倒。煩しい。面倒臭い。五月蠅い。無甚。――何も面倒なことはない。――兼着力。面倒臭い上に骨が折れる。

フイキイ 血氣。血。血氣。――無行。血が好く廻らない。――衰。血氣が衰へる。虚弱な。――方剛。血氣盛。

フイキイ 磁器。陶器。磁器。瀬戸物。焼物。

フイキム 飛禽。(文) 飛ぶ鳥。――走獸。飛ぶ鳥と走る獸。飛禽走獸。

フイギアア 費業。財産を費す。費田。――家産を無。

フイギイ 誹謗。(文) 誹謗。「なことを言ふ。」

フイギエク 横逆。(同) 暴悪。非道。講。――話。非道。

フイギラ 血虯。(動) 伏老。

フイクヌ 血筋。血管。血筋。血脈。赤筋。削着。――血管を切った。骨頭牽。――拾骨の時骨に血管の様な赤い筋が有る。子孫に福が有るといふ。

フイクヌザウ 血根草。(植) 茜草。(茜草科、略血の際根を煎服す)。「紅根仔草」。

フイクン 血管。血管。

フイクエ 横逆。(同) 横逆。「は杖」。

フイココ 磁鼓。太鼓の形した瀬戸物。同上の腰掛又

フイ

フイコオイ 磁鼓椅。太鼓の形した陶器の腰掛。

フイコンシム 血攻心。心臓が動悸を打って呼吸が詰る。走了能。――餘り走過ると同上になる。

フイサイフウ 磁司阜。瀬戸物を作る職人。陶器の職工。

フイザア 横柴。(同) 横柴。「職工」。

フイザア 荒田。(同) 荒田。

フイシアウ 費消。(同) 費消。

フイシアン 非常。(同) 非常。「非常」。

フイシエク 血色。血色。血の氣。面斷。――顔に血の氣が無い。顔が眞青になる。

フイシエン 慧星。(文) 慧星。彗星。

フイシオン 非常。非常。格別。餘程。大變。――大漢。非常に脊が高い。

フイシオン 毀傷。(文) 毀傷。

フイシヌ 費神。(心) 心を費す意、人に物を頼み又は禮をいふ時などに用ふる語。難有。御苦勞。多謝。――汝。御手数でした。――爲我寫。――どうぞ書。

フイシム 費心。次に同じ。「こつ下さる」。

フイシムシヌ 費心神。心神を費す。心を痛める。苦勞する。骨折る。俾你。――御手数をかけました。此號事真。――斯る事は非常に心を痛めた。

フイシムスウ 費心思。前に同じ。「る」。

フイジァ 血跡。●血痕。●出生地。搖籃。――(泉

生れた處。

ファイジイヲアヌ肥兒丸。(男)子供の強壯劑。

ファイジヌブツ磁人物。陶器製の人又は物。

ファイソアイ血様。核に赤色の點あるマンゴー。

ファイタイ血滓。血の滓。血の塊。

ファイタク惠投。(文)惠投。惠與。

ファイタクトヲ横頭桌。(同)室内の横側に据ゑる小な

ファイタン血滓。血凝。血粘。血の塊。

ファイタン血凍。血の塊。

ファイモイ彗星。彗星。

ファイモウ費手。手数がかかる。手数がある。較省

ファイモウ血鬚。血煙。

ファイチエン惠贈。(文)惠與。惠投。

ファイモエン血清。(同)血清。

ファイモオン惠牆。(姓)惠牆。

ファイチヲ磁石。(同)磁鐵鑽。

ファイチツ非職。(同)非職。

ファイチヌ費盡。費盡す。使盡す。心力を盡す。

ファイチア磁鼎。瀬戸引の鍋。

ファイチアウ血條。血の痕。

ファイチイ血池。血の池。

ファイチエン飛艇。(同)飛行船。

ファイチツ横直。(同)横直。

ファイチヌ血糜。(植)葎科)くすもだま。

ファイツイ血水。水の様な薄い血。一唾唾滴同上

がだくだくと滴る。

ファイツイ翡翠。(文)翡翠。翡翠。

ファイツイアア血水仔。(血水)。

ファイツイギエツ翡翠玉。綠色の寶石。翡翠。

ファイツウ血書。血判した書類。血書。連判状。

ファイソウ飛鼠。(動)鼯鼠。

ファイツイ廢墜。廢れる。廢頽。

ファイマン磁礪。上藥。和藥。茶碗釉。浦一上

藥を掛ける。

ファイマンシイ磁湯匙。散蓮花。

ファイテエ血塊。血塊。血凝。

ファイテエココオ磁茶碯。土瓶。「まぶ。

ファイテエエ毀榻榻。家財などを賣拂つて無ししてし

ファイトオ匪徒。匪徒。土匪。

ファイトヲ非道。(文)非道。無道。非理。

ファイトヲ血染。血塊。血の塊。血凝。

ファイトン血桐。(植)おほぼぎ。(大戟科、材は建築材

となし葉は牛の飼料となす)。

ファイニアウ飛鳥。(文)飛鳥。

ファイヌイ荒荒。【荒荒】。

ファイヌイ横横。【横横】の②。

ファイハイ毀害。(文)毀傷。毀損。

ファイハム血蚌。(動)赤貝。

ファイパア血朶。血の塊。血餅。

ファイパンソア血崩山。陰部より夥しく下血する。

ファイビエンキイ飛行機。(同)飛行機。

ファイビエンチウ飛行場。(同)飛行場。

ファイビエンツヌ飛行船。(同)飛行船。

ファイビエン非命。(文)非業。非命。

ファイワイ飛飛。一就去一人に斷なしにふいと出

て行く。一去同上。

ファイワイ霏霏。(文)雪などちらちら降る。霏霏。

ファイワイ揮揮。【揮】。

ファイワイ毀毀。【毀】。

ファイワイ費費。【費】の①。

ファイワイ廢廢。【廢】。

ファイワイ荒荒。【荒】。

ファイワイ啜啜。一啜一啜泣する。しくしく泣く。

潜潜と泣く。一哭一哭おろおろ泣く。

ファイワイ横横。(同)兇惡。猛猛しい。面看見

一兇惡な人相をしてゐる。一横横。

ファイワイケエケエ横横逆逆。【横逆】。

フイ

フイ **フイコ** 横横翹。(同) 理不盡に横車を押す。無理な事を言ふ。與我——錢不還——無茶な事を言つて金を返さぬ。

フイ **フウ** 肺腑。肺腑。心中。看見你的——汝の心の奥底を見る。

フイ **フヌ** 血痕。血痕。

フイ **ブウ** 諱母。●忌詞。●人の嫌がる點。急所。突着人的——人の急所を突く。人の秘めてゐる恥かしい事などを發く。

フイ **ブウ** 血母。産後の子宮。——痛——後腹が痛む。

フイ **ペエ** 磁胚。瀬戸物の未だ焼かないもの。白地。

フイ **プヌ** 血盆。産死などの爲に血の池に苦んでゐる女の靈を救出す爲の紙貼りの燈籠。打——【做功德】の時に道士などが【血盆】を廻して血の池にある婦人の靈を救出す儀式。

フイ **ホアイ** 毀壞。毀損。破毀。破壞。——物件——品物を毀す。毀損する。

フイ **ホアツ** イウ 揮發油。(同) 揮發油。

フイ **ホアヌ** 非番。(同) 明番。非番。

フイ **ホアヌ** 非凡。(多) 非凡。

フイ **ホエ** 荒廢。(多) 荒廢。

フイ **ホエ** 横花。(同) 横縞。

フイ **ホオ** 肥厚。(多) 肥大。肥大である。太い。

フイ

フイ **ホヲ** 揮毫。(多) 揮毫。筆を揮ふ。

フイ **ホヲ** 飛禍。(多) 奇禍。不慮の災難。

フイ **ボヲ** 諱母。(多) 諱母。

フイ **ボン** 毀墓。墓を破壊する。墓を發く。

フイ **ボア** 磁鉢。扁鉢。平鉢。

フイ **ボエ** 磁胚。(多) 磁胚。

フイ **ボラ** シム 血抱心。(同) 心臟麻痺。衝心。

フイ **ボン** 誹謗。(多) 誹謗する。誹る。

フイ **マア** 誹罵。(多) 譏る。誹謗する。罵詈する。

フイ **ミア** 諱名。(多) 乳名。

フイ **メエ** 血脈。血脈。脈管。

フイ **リアム** 飛廉。(多) 風の神。

フイ **リアム** サウピア 飛簷走壁。軒を飛び壁を走る。有——の工夫——同上の藝を持つてゐる。

フイ **リウ** 血瘤。(同) 血瘤。

フイ **リエク** 費力。力が費える。骨が折れる。手数が掛る。較省——手数が省ける。

フイ **リエン** 横峻。(同) 横峻。

フイ **リム** 血痲。(同) 血痲。

フイ **ルイ** 揮揮。(同) 揮揮。

フイ **ルイ** 毀毀。(同) 毀毀。

フイ **ルイ** 匪類。(多) 匪徒。兇徒。●匪徒の様な悪事をする。亂暴をする。少年的時眞——若い時

フウ

フウ **フウ** は非常に亂暴であつた。

フイ **ルイ** 費費。(多) 費費。

フイ **ルイ** 廢廢。(多) 廢廢。

フイ **ロオ** 血路。血の通ふ路。打着——同上を撲つ。急所を打つ。照——急所に指を突込む。拳法の「手」。

フイ **ロオ** 遠路。(多) 遠路。

フイ **ロン** 横門。(同) 横門。

フイ **ロン** 横門。(同) 横門。

フウ

フウ **夫**。●(連) 夫。●夫。——唱婦隨——夫唱へて婦隨ふ。夫婦和合する。——妻——夫妻。●夫。匹——匹夫。村——俗子——田夫野人。田舎者。馬——馬子。人——人夫。轎——轎夫。

フウ **膚**。膚。皮——皮膚。肌——同上。

フウ **麸**。米麥・豆などの粉。麥——麥粉。豆仔——豆の粉。【灰】の(多) 參照。

フウ **灰**。●灰。火——同上。香——線香の灰。金——【金紙】の灰。●粉末。土——土の粉。杉仔——鋸屑。研——薬研などで粉末にする。米仔——炒粉。●灰のようになる。ぼろぼろになる。到久——來石頭亦能——久しくなると石でも風化してぼろぼろになる。柴——去——木が腐つてぼろぼろに

なる。一落落^{ララ}ぼろぼろしてゐる。【墟】。

フウ墟。市場。市。一場^{イチジョウ}同上。赴^シ市^シに往^{ユク}く。【墟】。

フウ嘘。汽笛などの音。びいびい。火車^{コウシャ}一^{イチ}下^ゲ就^{ジュ}行^{コト}汽車^{コウシャ}がびいっと鳴^なって發^は車^{しゃ}した。痛^{いた}む所^{ところ}な

行^{コト}汽車^{コウシャ}がびいっと鳴^なって發^は車^{しゃ}した。痛^{いた}む所^{ところ}な

行^{コト}汽車^{コウシャ}がびいっと鳴^なって發^は車^{しゃ}した。痛^{いた}む所^{ところ}な

行^{コト}汽車^{コウシャ}がびいっと鳴^なって發^は車^{しゃ}した。痛^{いた}む所^{ところ}な

フウ虚。虚。虚。空^{カラ}しい。空^{カラ}虚^{キョ}。空^{カラ}。一^{イチ}實^{ジツ}虚^{キョ}。

虚^{キョ}。一^{イチ}字^ジ虚^{キョ}字^ジ。有^{アル}一^{イチ}無^ム實^{ジツ}。右^{ミドリ}名^ナ無^ム實^{ジツ}。婦^メ

人^{ヒト}の肺^{ハク}病^{ビョウ}。一^{イチ}損^{シム}同上。老^{ライ}大^{ダイ}人^{ジン}一^{イチ}女^メの年^{ネン}寄^{ヨシ}の

肺^{ハク}病^{ビョウ}。一^{イチ}損^{シム}同上。老^{ライ}大^{ダイ}人^{ジン}一^{イチ}女^メの年^{ネン}寄^{ヨシ}の

肺^{ハク}病^{ビョウ}。一^{イチ}損^{シム}同上。老^{ライ}大^{ダイ}人^{ジン}一^{イチ}女^メの年^{ネン}寄^{ヨシ}の

フウ輔。輔。輔。御^ゴ苗^{ヒョウ}字^ジは何^{ナニ}といは

フウ甫。甫。甫。一^{イチ}台^{ダイ}一^{イチ}貴^キ姓^{セイ}。御^ゴ苗^{ヒョウ}字^ジは何^{ナニ}といは

フウ府。府。府。一^{イチ}縣^{ケン}一^{イチ}府^フ府^フ府^フ。官^{カン}一^{イチ}府^フ府^フ府^フ。

官^{カン}府^フ。一^{イチ}四^シ縣^{ケン}遊^ユ透^{トウ}透^{トウ}一^{イチ}府^フ四^シ縣^{ケン}の角^{カク}から角^{カク}

まで廻^{まわ}った、世^よ間^{かん}の事^{こと}をよく知^しってゐるなど。臺^{たい}

灣^{わん}は昔^{むかし}一^{イチ}府^フ四^シ縣^{ケン}なりし故^{ゆゑ}斯^{ごと}く言^いふ。一^{イチ}二^ニ鹿^{ロク}三^{サン}

編^{へん}一^{イチ}第^{ダイ}一^{イチ}は臺^{たい}灣^{わん}府^フ、第^{ダイ}二^ニは鹿^{ろく}港^{かう}、第^{ダイ}三^{サン}は編^{へん}脚^{かく}、臺^{たい}

灣^{わん}の昔^{むかし}の三^{さん}大^{だい}都^と會^{かい}。一^{イチ}邸^{てい}宅^{たく}。相^{あい}一^{イチ}首^{しゅ}相^{さう}の邸^{てい}宅^{たく}。

王^{わう}一^{イチ}親^{しん}王^{わう}の邸^{てい}宅^{たく}。貴^き一^{イチ}御^ご宅^{たく}。

フウ許。許。許。一^{イチ}可^カ許^コ可^カ。不^フ一^{イチ}許^コ許^コない。【許】。

フウ箒。孔子を祭^{まつ}る時^{とき}用^{もち}ひる器^き具^ぐ。箒。一^{イチ}肺^{はい}肺^{はい}。

フウ腑。腑。腑。一^{イチ}臟^{ソウ}腑^フ。五^ゴ臟^{ソウ}六^{ロク}一^{イチ}五^ゴ臟^{ソウ}六^{ロク}腑^フ。肺^{はい}

フウ肺。田^{でん}畝^ぼ。おぼろ。肉^{にく}一^{イチ}豚^{ぶた}の田^{でん}畝^ぼ。魚^{いそ}一^{イチ}魚^{いそ}の

田^{でん}畝^ぼ。【交付】。

フウ付。付。付。一^{イチ}托^{トク}一^{イチ}付^フ付^フ。委^い托^{たく}。交^{かう}一^{イチ}副^フ

副^フ。副^フ。副^フ。控^{ひき}。豫^よ備^び。正^{せい}一^{イチ}正^{せい}副^フ。一^{イチ}團^{ダン}長^{ちやう}一^{イチ}副^フ

長^{ちやう}。這^こ是^こ一^{イチ}的^{てき}。此^こは豫^よ備^びのだ。一^{イチ}手^テ助^{すけ}手^テ。

(物^{もの}を敗^{やぶ}へる語^{ことば}組^{ぐみ}。揃^{そろ}。一^{イチ}揃^{そろ}。一^{イチ}部^ぶ。一^{イチ}部^ぶ

組^{ぐみ}。一^{イチ}着^{ちやく}。一^{イチ}對^{たい}。一^{イチ}碗^{わん}一^{イチ}組^{ぐみ}の茶^{チャ}碗^{わん}。一^{イチ}書^{ショ}

一^{イチ}部^ぶの書^{ショ}物^{ぶつ}。一^{イチ}衫^{サン}一^{イチ}着^{ちやく}物^{ぶつ}一^{イチ}着^{ちやく}。一^{イチ}牌^{パイ}仔^ざ

骨^{こつ}牌^{はい}一^{イチ}組^{ぐみ}。一^{イチ}獎^{カウ}一^{イチ}對^{たい}の牌^{はい}。

フウ富。富。富。一^{イチ}貴^キ富^フ貴^キ。貧^{ひん}一^{イチ}貧^{ひん}富^フ。劫^{けつ}一^{イチ}助^{すけ}貧^{ひん}富^フ

者^{しや}を劫^{けつ}かして貧^{ひん}者^{しや}を助^{すけ}ける、義^ぎ賊^{ぞく}など。一^{イチ}國^{クニ}強^{カウ}

兵^{へい}一^{イチ}富^フ國^{クニ}強^{カウ}兵^{へい}。

フウ赴。赴。赴。一^{イチ}任^{ニン}赴^シ任^{ニン}。單^{たん}刀^{たう}一^{イチ}會^{かい}關^{かん}羽^うが

單^{たん}刀^{たう}を提^{てい}げ劉^{りう}備^びを護^ごつて吳^ご國^{こく}の招^{せう}待^{たい}に赴^しく。一^{イチ}間^{かん}

に合^あふ。一^{イチ}時^ジ一^{イチ}刻^{こく}一^{イチ}時^ジ間^{かん}にきつちり間^{かん}に合^あふ。一^{イチ}船^{せん}

期^き一^{イチ}出^{しゅつ}帆^{はん}時^じ間^{かん}に合^あふ。一^{イチ}没^{ぼつ}着^{ちやく}一^{イチ}間^{かん}に合^あは

ない。能^{のう}一^{イチ}没^{ぼつ}一^{イチ}間^{かん}に合^あふか。一^{イチ}流^{りゅう}水^{すい}一^{イチ}潮^{しほ}の流^{なが}

間^{かん}に合^あふ、好^{かう}機^き會^{かい}を捕^とへ得^える。一^{イチ}間^{かん}に合^あふ様^{よう}に供^{こう}

給^{たま}する。錢^{せん}一^{イチ}你^ニ用^{ヨウ}一^{イチ}金^{キン}を君^{キミ}に供^{こう}給^{たま}する。一^{イチ}你^ニ到^{タウ}

到^{タウ}一^{イチ}十^{ジウ}分^{ぶん}に供^{こう}給^{たま}する。

フウ賦。賦。吟^{ギン}詩^シ一^{イチ}吟^{ギン}詩^シを吟^{ギン}し賦^ふを作^{つく}る。詩^シ詞^ジ歌^カ

一^{イチ}詩^シ詞^ジ歌^カ賦^ふ。

フウ嘘。風^{かぜ}や雷^{かみなり}などの音^ね。ひゅうひゅう。こころ。風^{かぜ}

一^{イチ}哮^こ風^{かぜ}がひゅうひゅう吹^ふく。雷^{かみなり}公^{こう}一^{イチ}直^{ちやく}一^{イチ}

雷^{かみなり}が頻^{しきり}にこころ鳴^なる。

フウ符。符。符。一^{イチ}護^ゴ符^フ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

符^ふ。符^ふ。符^ふ。護^ご符^ふ。守^{しゅ}札^{さつ}。御^ご札^{さつ}。符^ふ。觀^{くわん}音^{いん}一^{イチ}

フウ

る。一身体に乗移る。

フウアアロオ符仔路。咒咀の術。使一一人

同上で人を害する。一真強一同上の術が上手だ。

フウアウチウ赴後手。肩を持つ。後楯になる。一

一的後援。後押。

フウイア副爺。【總爺】の下の武官の名。

フウイイ米肯。(又)【五根草】。

フウイウ蟬蟻。(又)蟬蟻。蟬蟻。

フウイウ父喪。(又)父の喪。丁一父の喪にあたり

フウイエツ傳説。股時代の人。大工より起つて宰相

となれりと云ひ傳へられ大工職の者。神として崇

フウイエン虚榮。(又)虚榮。【拜す】。

フウイオン扶養。(又)扶養。

フウイオンアンテム芙蓉紅蟬。蟹を殻のままに切

り油で揚げた料理。

フウイオンホエ芙蓉花。【芙蓉】。

フウイム計音。(又)計音。

フウイムチアア計音帖。死亡通知の書状。

フウウウ夫餘。(姓)夫餘。

フウエエ府下。府下。

フウオン富翁。金満家の人。

フウヲアツ斧鉞。(又)斧鉞。

フウ

フウヲエチ、赴能着。間に合ふ。【學】。

フウヲ、府學。考試の爲に府に設けられた學校。府

フウヲ、婦學。基督教信者の家族たる婦人に宗教教

育を施す學校。

フウカア富家。(又)富家。財産家。金満家。一的

子弟富家の子弟。

フウカア虚脚。犬を喚かける時の聲。

フウカア虚脚。足に力が無くて踟躕。破病即起

來行路尙能一病氣上で歩行くとときまだよ

ろよろする。

フウカアオン富家翁。金満家の人。金持の人。

フウカアツウ富家子。(又)金持の子。

フウカアトエ富家底。金満家の家柄。一的子

孫一同上の子孫。

フウカウ府郊。府の御用商人。

フウカウ府口。府廳の前の廣場。

フウカウシウ副教授。助教。

フウカウズウ副教諭。助教諭。

フウキア付寄。託する。附託する。物を託ける。物

件一某人共你提去一品物を某に託して持た

フウキアム負欠。(又)欠。不足。「せて上げる。

フウキイ附乱。神靈が【乱】に乗移る。神一同上。

フウキイ扶起。扶起す。起す。一扶倒一起した

フウ

り臥かしたり。

フウキイライ扶起來。持揚る。扶起す。

フウキウ浮邱。(姓)浮邱。

フウキエンリエウ府經歴。出納・文書などを掌る府

「の役人」。

フウキオン富強。(又)富強。「持上げる。

フウキヲ扶輪。輪を擔ぎ上る時他の者が助けて輪を

杖一級上る。

フウキア負笈。(又)笈を負ふ。遊學。

フウキム俘擒。(又)俘擒。捕虜にする。

フウキムモエ副欽差。副使。

フウギア副業。(又)副業。「く。

フウギイ負義。(又)義に背く。辜恩一恩義に背

フウギエ虚言。(又)虚言。

フウギエ又附言。(又)但書。附言。因にいふ。

フウギオン俯仰。(又)俯仰。

フウクイ富貴。(又)富貴。一如浮雲一富貴は浮雲

の如し。一才子一富貴才能・子供・壽命

の五つの福。一貧賤一富貴貧賤。一雙全一

富貴兩全。一在手足聰明在耳目一富貴は

手足に在り、聰明は耳目に在り、手足の相によつ

て人の富貴なることが分り、耳と目の工合を見れ

ば人の聰明なることが分る。一由命天註定

富貴は天の定むる所に由る。一在天富貴は天にあり。一三代方知飲食富貴で三代になると飲食通になる。一思淫慾富貴にれば淫慾を起す。

- フウクイ カア 富貴家。金満家。
- フウクイ タウ 富貴豆。【虎爪豆】。
- フウクイ ホエ 富貴花。牡丹の異名。
- フウクヌ 夫君。妻が夫に對する稱呼、郎君。夫君。
- フウクヌ 附近。近邊。近所。
- フウケエ 夫價。官吏の轎夫の賃。轎賃。
- フウケエ 虚價。掛値。
- フウケエ 婦科。婦人科。
- フウケエ アア 魚架仔。(回)【魚架仔】。
- フウゲエ 府衙。府の役所。府廳。
- フウコア 府官。知府。
- フウコア 副官。補助の官人。添役。副官。
- フウコア 虚潮。外法。
- フウコアイ 府縣。府縣。
- フウコアヌジイ 付管字。財産權移轉證書の一種。
- フウコソ 許可。(回) 許可。
- フウコソ 府考。府で行ふ秀才の試験。
- フウコソ 附課。考試の際の二等賞。【内課】に對す。
- フウコソ チエン 許可證。(回) 許可證。

富國強兵。(文) 富國強兵。天子には后といひ、諸侯には夫人といひ、大夫には孺人といひ、士には婦人といひ庶人には妻といひ。

- フウコグ キオン ビエン 富國強兵。(文) 富國強兵。
- フウコン 副貢。舉人の試験の及第者にして缺員なき故舉人にならざるもの。
- フウコン 虚空。(文) 虚空。空。天。
- フウゴア 府外。府外。
- フウゴオ チエン 婦五等。婦人の五つの階級、即ち天子には后といひ、諸侯には夫人といひ、大夫には孺人といひ、士には婦人といひ庶人には妻といひ。
- フウサイ 副使。副公使。
- フウザア 扶挿。腋の下へ手を差入れて扶起す。病人起來病人を抱起す。
- フウシア 斧削。(文) 添削。斧正。
- フウシア 府城。府城。府。都會。
- フウシイ 賦詩。(文) 詩を賦する。
- フウシイ 赴時。時間間に合ふ。
- フウシイ フウキエク 赴時赴刻。時刻間に合ふ。時間間に合ふ。
- フウシウ 魚養。(回)【魚養】。
- フウシエク 副室。(文) 側室。妾。
- フウシエク 赴席。出席。參會。
- フウシエン 副生。芝居にて【生】の副となる役者。
- フウシエン 賦性。天性。天賦。生付。
- フウシエン ホン 府城隍。府の【城隍】。

父叔。(文) 父の弟。叔父。附屬。屬。屬する。

- フウシオク 父叔。(文) 父の弟。叔父。
- フウシホク 附屬。附屬。屬。屬する。
- フウシオン 富商。豪商。紳商。
- フウシオン 負傷。(回) 負傷。怪我。手負。
- フウシオン コオケエ 虚傷蟻膈。(回) 女の肺病。男の肺病。脹滿。胃癰の四病。【探る】。
- フウシッ 虚實。虚實。眞偽。實否。探る。眞否。
- フウシヌ 富紳。金満家の紳士。
- フウシヌ 附身。乗移る。取附く。神。神靈が乗移る。冤鬼。怨靈が取附く。
- フウシム 虚心。(文) 虚心。恐しく感ずる。恐れる。心若無邪就沒。心に邪曲がなければ恐しいことはない。
- フウシム 負心。(文) 恩に負く。義に負く。
- フウジイ 虚字。焉矣乎などの助辭。虚字。【實字】に對す。
- フウジエツ 虚熱。漢方醫の詞。内臓に熱無く表面に微熱あるをいふ。
- フウジホク 虚弱。虚弱。
- フウジツツウ 虚日風。【二十八宿星】の二。
- フウジヌ 夫人。夫人。狀元。狀元の夫人。尊。令夫人。奥様。
- フウジヌ 婦人。婦人。女。婦女。楊花水性。

フウ

女は水性。(女は水性。)

フウジヌケエ婦人科。婦人科。

フウジヌマア夫人媽。女神。

フウジヌラン婦人入。婦人。婦女。婦女子。女子。女。妻。家内。

フウジヌリイ夫人李。李の一種。【李】の參照。

フウジム赴任。赴任。

フウスク虚詞。(文)虚言。虚妄。

フウスク副詞。(圖)副詞。

フウスヌ虚損。(病)女の肺病。

フウズウ腐儒。(文)腐儒。

フウズウ富裕。富裕。右福。富饒。食去真。有。

福に暮してゐる。

フウセエ浮世。(文)浮世。浮世。

フウモエ負債。(圖)負債。

フウモエ夫妻。夫妻。夫婦。妹背。一保老。相老。

一四日相對。夫婦が顔を見合はせる。夫婦差。

向で睨じ。意。一夜。百世。一夜の夫婦。

でも百世の恩愛。無冤無家。不成。一喧嘩が。

なくては夫婦を成さぬ。夫婦はよく喧嘩する意。

フウモエ副差。副使。

フウモエ副妻。妾。

フウソソホエ扶桑花。(佛)佛桑花。扶桑花。(錦葵)

フウ

科、觀賞用として廣く栽培す。

フウワエ夫妻。【夫妻】。

フウヲオ扶助。扶助。補助。助ける。

フウヲヲ輔佐。(文)輔佐。輔弼。

フウヲク父族。父方の親族。

フウワン附葬。(文)墓の側に一緒に葬る。同じ墓所に葬る。

フウワント副總統。副總統。

フウタウ夫頭。轎夫の親方。

フウタム負擔。(圖)負擔。

フウタン虚重。風袋。皆掛。

フウタンズウ副董事。副理事。

フウチイ墟市。市場。市。

フウチイ扶持。扶持。加護。守る。求神明。神の加護を祈る。

フウチウ俯就。(文)平伏す。平伏する。這蹲ふ。

フウチウ府上。御宅。一住在何落。御宅は何處ですか。

フウチウ符咒。咒ふ時の咒文。催。同上を繰返して唱へる。

フウチウ許樹。【苦林樹】の。

フウチウ副手。助手。助手。副手。

フウチエク附籍。附籍。

フウ

フウチエン斧正。(文)斧正。添削。

フウチエン父精。父の精液。一母血。父の精と母の血。一母血所致的。父の精と母の血の致す所。遺傳の意。

フウチオク赴足。間に合ふ様に補給する。不足を補充する。一俾伊用。彼に補給してやる。

フウチオク富足。(文)富有。有福。豊。

フウチオク咐囑。財産の處分などを委任する。一書字。同上の證書。

フウチオンフウスイ夫唱婦隨。夫唱へて婦隨ふ。夫婦和合する。

フウチオン副將。【總兵】の下の武官。副將。

フウチヌ膚疹。(病)麻疹。

フウチヌ父親。父親。父。

フウチヅ付執。(文)交付する。一爲照。交付して後の證據とする。

フウチア副礎。豫備の礎。第二の礎。

フウチア府廳。府廳。

フウチアアテイシム扶蝶刺參。海參。筍。椎茸。豚肉等を材料として煮た料理。

フウチアム附添。(圖)附添。一婦。附添の看護婦。

フウチウ墟場。市場。市。

フウチエク婦徳。(文)婦徳。

フウチオン 府中。邸内。

フウチム 浮沈。(又) 浮沈。浮沈。

フウツイ 符水。咒符。護符などを焼いた灰を入れた水。咒の水。

フウツウ 附子。(雙) 附子。雙龍菊の根に附く小塊。

(雙龍菊の根塊、滋養強壯劑又は發汗劑として用ふ)。

フウツウ 父子。父子。父と子。一之情親の情。

至親莫如一一至親は父子に如くはなし。

フウツウ ヨヲ 副主考。【擧人】の副試験官。

フウツヌ 府尊。府の長官。府知事。「易船」。

フウツヌ 府船。舊時臺灣と對岸との間を往復した賢。

フウツヌ キイ 赴船期。出帆に間に合ふ。

フウツン 疥瘡。(疥) 麻疹。

フウツウ □□。喇叭の音。とつとつとお。てってて。

フウテエ 府第。(又) 邸宅。邸。屋敷。「なし」。

フウトアヌ 虚傳。(又) 虚傳。名不一一評判に偽。

フウトアヌチウ 副團長。副團長。

フウトエ 虚底。體が弱い。虚弱。病身。人一一着。

食補藥 體が虚弱だから強壯劑を飲まなければならぬ。

フウトエ 虚地。埋立地など軟い地面。一没使得。

起厝 同上には家を建てるが出来ない。

フウトオ 虚度。(又) 空しく過す。一世人一一生を徒に過す。

フウトヲ 許多。(又) 許多。數多。錢銀用一一澤山の金を費す。

フウトヲ 府道。知府と道臺。

フウトヲ 副刀。●差添の刀。脇差。●首斬役の助手。

フウトヲ 婦道。(又) 婦道。

フウトク 付托。付託。委託。托する。

フウナア 魚籃。(同) 魚籃。「る」。

フウノア 腐爛。(又) 腐爛。腐る。屍首一一屍骸が腐。

フウヘア 符合。符合。一致。合ふ。原被告的話無一一原告と被告との話が一致しない。

フウハム 虚銜。非職官吏などに與へられた官職相當の禮遇又は資格。

フウバウ 府卯。(知府)配下の官吏又は使用人の名簿。

フウパイ 腐敗。(同) 腐敗。

フウパン 副房。側室。妾。

フウヒイ 赴墟。間に合ふ様に市場へ行く。

フウヒエン 父兄。父と兄。父兄。江湖一點訣、不共一一妻子説 八封置。輕業師。手品師などには必ず一つの秘訣があつて父兄妻子にも漏さない。

フウヒエン ホエ 父兄會。(同) 父兄會。

フウビエン 虚名。虚名。

フウフィ 虚費。徒費。浪費。徒使ひ。

フウフウ 嘘嘘。(汽笛) 汽笛などの音。水螺一一叫汽笛がびびいびい鳴る。泣く聲。哭到一一嗥ふんふんと泣く。嘘の嘘。

フウフウ 灰灰。(幼) 粉など細い。碎一一木端微塵。粉微塵。【灰】の【灰】。

フウフウ 夫婦。夫婦。夫婦。一有別一夫婦別あり。

フウフウ 赴墟。赴墟。「赴墟」。

フウフウ 赴赴。間に合ふ。折好時に合ふ。伊來一一彼は丁度好時に來た。

フウフウ 煦煦。燒一一甚だ熱い。

フウフウ 嘘嘘。「嘘嘘」。

フウフウ 扶扶。「扶」の【音】。

フウフウ 嘘嘘。雷の音。ごろごろ。雷公一一叫風一一叫風がひゅうひゅう鳴る。

フウフウ シッ シッ。虚虚實實。虚虚實實。

フウフウ フウ フウ。虚虚實實。虚虚實實。息を吹きかけていたはる。

フウフウ ホア ホア。虚虚幻幻。漠然。根底のない。不確な。ぱつととして要領が分らない。鬼的事情極其一一怪物の事は結局雲を掴む様なものだ。

フウ

フウフヌ 府份。府の管内。府下。

フウフヌ 浮雲。(又) 浮雲。浮雲。

フウブウ 虚無。(又) 虚無。

フウブヌ 虚聞。(又) 虚聞。虚傳。

フウブツ キヲ 赴不及。間に合はない。時間——

|| 時間間に合はない。

フウブン 副榜。舉人の試験の時第二回目の揭示、即ち「副榜貢」の揭示。

フウブン コン 副榜貢。舉人の試験に及第せしも人数に制限ありて舉人に成るを得ざるもの、舉人の候補者。

フウヘエ 虚火。逆上。敢是——激起來——逆上の所爲かしらぬ。退——逆上を下げる。

フウヘツ イツ ツ 魚蝦水卒。(同)「魚蝦水卒」。

フウホア 虚華。贅澤。奢侈。虚榮。人愛——人は虚榮を好む。上海是——的所在——上海は奢侈

フウホア ツ 符法。咒。咒法。魔法。「の巻」。

フウホア ツ シエヌ 符法先。咒法を使ふ者。魔法使。

フウホエ 赴會。會合に間に合ふ様に行く。參會。出

フウホエ 附會。(又) 附會。「席」。

フウホオ 虚浮。(又) 嘘。虚言。「家」。

フウホオ 富戸。金持。富豪。金満家。——家——金満

フウホラ 富豪。富豪。

フウ

フウホヲ 附和。附和。——雷同——附和雷同。

フウボエヲ 赴没着。間に合はない。

フウボオ 父母。(又) 父母。

フウボヲ 父母。(意) 前に同じ。

フウボエ 許配。妻として配することを許す。妻す。查某子——某人——娘を某に配する。

フウボオ 魚肺。(同)「魚肺」。

フウボヲ 府報。(同) 府報。

フウマア 駙馬。皇女の配偶者。駙馬。

フウミア 虚名。空名。虚名。

フウライ 府内。府内。

フウラウ ツイ 赴流水。●満潮又は退潮に間に合ふ。潮の流に乗ずる。●丁度好い時機に間に合ふ。丁度好い。我當在乏水的時你来還眼適——

——私が金に困つてゐる時に好い鹽梅に君が掛勘定を支拂つて呉れた。在要開桌你来真——

——開宴する間際になつて君が来たのは丁度よか

フウラウ ラグ 灰落落。ぼろぼろしてゐる。

フウラヌ 魚鱗。(同)「魚鱗」。

フウラヌ モエ 魚鱗册。(同)「魚鱗册」。

フウラム 虚弱。虚弱。衰弱。弱い。人漸漸——

フウ

體が段段衰弱する。

フウリイ 婦女。(意)「婦女」。

フウリエク 附録。附録。

フウリエン 府令。(同) 府令。

フウリエン 符令。護符。守札。符。安——護符を貼る。

フウリヌ タウ 和蘭豆。(同)「和蘭豆」。

フウルク 嘘嘘。「嘘嘘」の③。

フウルク 灰灰。「灰灰」の③。

フウルク 扶扶。「扶扶」。

フウルク 嘘雷。「地雷」の③。

フウルク 婦女。婦女。婦人。

フウルク ラン 婦女人。婦人。婦女。婦女子。

フウルク 婦女。(意)「婦女」。

フウルク アヌ 副變。「正變」の助手。

フウルク アヌ 附變。「變」に神靈が乗移る。神——同上。——術——神下の術。

フウロオ 俘虜。(又) 虜。俘虜。

フウロヲ 父老。父老。

フウロヲ コオ キエク 虚勞蠱隔。次に同じ。

フウロヲ コオ ケエ 虚勞蠱隔。女の肺病・男の肺病・脹滿・胃瘡の四病。

フウロヲ マア 扶落柴。死人を棺桶に入れる。入棺。

フク 魂。魂。飛魄散。魂が飛ぶ。聖驚仰天。
一不附體。魂身に添はず。一飛天外。魂
天外に飛ぶ。

フク 份。分。分限。持前。本。本分。守己安己。
己を守り分に安んず。認。身の程を知る。癩
瘡不惜。癩病患者が身の程を考へない。無
遠慮な者を罵っていふ。乞食。你的。乞食は汝
の持前である。將來。乞食になるぞといふ意。福
一。福分。縁。縁分。割合。割前。分。三
一。去。一。三分の中一分がおじゃんになった。三
分の一が悪くなった。四。三。四分の三。一部
分別受ける。仲間に加ふる。一。一分かた
る。一五株。五株出資する。伊。要。來。一。彼が
加入しようとする。一生理。仲間に加ふるして商賣
する。

フク 恨。恨。恨む。拾。恨を抱く。一到入骨髓。
恨が骨髓に徹する。一。咱無錢。自分に金のな
いのを残念に思ふ。恨恨。

フク 暈。卒倒。人事不省。聽着報死續。去。死亡
の知らせを聞いて卒倒した。去。幾。若。次。何。回。も
人事不省になった。

フク 渾。似てゐて紛しい。一成。同上。一化。同上。
没。得。紛。す。こと。が。出。來。ぬ。

フク 混。混合。混する。相。混。混合せる。一亂。混亂。
一雜。混雜。

フク アア 婚仔。女の生年月日時を記載した書附。婚
姻の時相性を見るに用ふ。放。一。媒。婚。人。など
に同上を渡す。

フク アア 煙盒。次に同じ。
フク アア 煙盒。卷煙草入。阿片煙盒。
フク アア 粉盒。白粉を入れる蓋物。白粉入。
フク アア 粉紅。櫻色。薄紅。薄赤。

フク アン 雲店。山又は人形の形した夕焼の雲。低氣
壓の前兆といふ。起。一。同上。が。起。る。天。弁。一
。空に同上の雲が走つてゐる。

フク アン 分野。(國) 分野。「色の玉」
フク イア 昏夜。(文) 暗夜。
フク イア 雲影。雲の影。看見一個。一亦無。雲の
影一つすら無い。影も形も見えぬ。

フク イイ 粉圓。小さな團子。砂糖湯に入れて食す。
フク イウ 分憂。(文) 憂を分つ。共に憂へる。同情す
る。爲。友。一。友の爲に憂を分つ。

フク イウ 煙油。煙草の脂。
フク イウ 粉幼。こまかい粉。
フク イウ 雲遊。仙人など雲に駕して廻る。一四海

フク イエヌ 煙煙。煙草の煙。
フク イエヌ 婚宴。(文) 婚姻の酒宴。
フク イエヌ 雲煙。(文) 雲煙。
フク イホク 獯鬻。(姓) 獯鬻。
フク イオン 奮勇。(文) 勇を奮ふ。勇立つ。一。直進
。勇を奮つて驍地に進む。

フク イヌレエ 婚姻禮。婚姻。定。一。婚姻を極める。
フク ウイ 勳位。(國) 勳位。位階勳等。
フク ウウ 雲雨。(文) 雲雨。
フク オオ 煙烏。黒く煤ける。煙つて黒くなる。黒く煙
べる。

フク ヨエ 椽鞋。型を入れて靴の恰好を取る、靴型で
靴を張出す。
フク カア 雲脚。雲脚。「界。分目」
フク カイ 分界。一。界をつける。分目をつける。一境
。界をつける。分目をつける。一境

フク カウ 訓教。(文) 教訓。
フク カウ 煙劍。雁首の中にある阿片の吸殻を掃除す
る筈の形したもの。
フク カガ 粉蛤。(動) 蛤。
フク カンチウ 分工場。(國) 分工場。
フク キアンキアン 燻強強。非常に煙い。

フク

フク

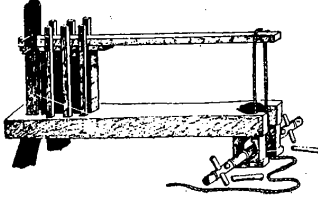
フク

フ

フヌキアンキアン 煙強強。前に同じ。
 フヌキイ 煙枝。巻煙草。
 フヌキイ 分支。●枝が分れる。●兄弟が分れる。分家。兄弟——同上。
 フヌキイ 墳墓。(文) 墓の敷地。
 フヌキイ 憤氣。(文) 憤。發憤。
 フヌキイ 奮起。(文) 奮起。奮起す。
 フヌキイ 暈去。氣絶する。氣を失ふ。人事不省にな
 フヌキイ 恨氣。怨。怨恨。滿腹——滿腹の怨、腹一杯に積る怨。一腹——沒消——腹一杯に積る恨が消えない、腹が癒えない。
 フヌキエク 奮激。(文) 奮激。奮激。
 フヌキエン 煙間。阿片小賣店。阿片屋。
 フヌキエウ 分局。支局。分局。
 フヌキヲ 魂轡。葬式の時位牌を安置する轡。
 フヌキム 分金。干支を方角に配した圖に照して定める墓又は家などの方向。定——同上を極める。
 フヌキム 混金。合金。
 フヌキム 分襟。(文) 別れる。別離。
 フヌキム アア 分金仔。僅。些少。少し。——精差——僅の違ひ。——差——同上。
 フヌキム キツ 分金代。【分金】を定める時に用ひる
 フヌキム エヒオン 分金坐向。【分金】

フ

フヌキム ソア 分金線。【分金】を定める時に用ひる繩。
 フヌギア 份額。割前。取分。分前。賣自己——的田——自分の持分の田を賣る。
 フヌギア ア 分業。家産を分ける。財産を分配する。
 フヌギイ 婚儀。婚儀。婚禮。祝言。
 フヌギエヌ 煙癮。阿片中毒。阿片癮。
 フヌギク 粉蝶。(動) 蛤。
 フヌクイ 煙機。煙草を刻む時葉を壓搾する機械。
 フヌクイ 煙鬼。阿片を多量に吸ふ人を嘲つていふ語。阿片好。
 フヌクイ 分開。分裂。別れる。別ける。
 フヌクイ 雲開。雲が散る。雲が晴れる。
 フヌクイ シエツ 分歸色。色分。
 フヌクイルイ 分歸類。部門を分ける。分類する。部類を分ける。系統を立てる。
 フヌクウ 分居。分居。
 フヌクヌ 昏君。(文) 暗君。
 フヌケエ 分家。分家。
 フヌケエ 粉糶。緑豆の粉で作った菓子の名。
 フヌケエ ア 煙架仔。煙草の小賣店。



機 煙

フ

フヌゲエ 雲寬。(文) 雲寬。
 フヌコア 分割。(圖) 分割する。分ける。——土地——土地を分割する。
 フヌコア 粉肝。豚の軟い肝臓。【柴肝】に對す。
 フヌコアイ 分縣。分縣。縣の支廳。
 フヌコアイ 分管。分擔。分業。業産——家産を分けて管理する。
 フヌコアヌ 混管。自他の所管を混同して他人の分まで蠶食する。
 フヌコフヌ 雲欸。雲形。
 フヌコエ 粉糶。(圖) 【粉糶】。
 フヌコオ 份股。株を持つ。出資する。
 フヌコオウ 份股株。前に同じ。
 フヌコオフヌ 份股份。前に同じ。
 フヌコヲ 分科。(圖) 分科。
 フヌコン 煙管。竹などで作った煙草入。
 フヌコンキア 分光鏡。(圖) 分光鏡。三稜鏡。
 フヌコンシム 粉光參。(植) 人參の一種。
 フヌコヲ 粉糶。(圖) 【粉糶】。
 フヌゴア 分外。次に同じ。
 フヌゴエ 分外。(文) 分外。
 フヌサイ 煙尿。阿片又は煙草の吸殻。
 フヌサイチ 煙屎礫。阿片の吸殻を入れる皿。

フヌサム 痕衫。(着) シャツ。線——木綿のシャツ。
白——ワイシャツ。

フヌザウ 煙草。(植) 煙草。(茄科、葉は煙草の原料となし、葉の粉末は害蟲驅除に用ふ)。

フヌザク 分鑿。幅の狭い鑿。
フヌザブ 混雜。混雜。錯雜。混亂。混濁。男女——男女が混濁になる。心肝——心が混濁する。

フヌシア 分聲。●割合。割合。割合。分。份。若多——何分分前を持つてゐるか。●(數の單位の名)分。——甲數——土地の面積の甲・分。

フヌシアウ 分賤。少し。稍。一寸。輸——少し割が悪い。聊か劣る。較贏伊——彼より一寸勝つてゐる。

フヌシアウ 雲霄。(文) 雲霄。雲居。飛入——雲の中に飛んで入る。

フヌシイ 煙絲。刻煙草。
フヌシイ 分司。縣の支廳の小なもの。

フヌシイ 訓示。(國) 訓示。
フヌシエウ 粉飾。(文) 粉飾。

フヌシヨヒイ 煙燒魚。魚を油で揚げ椎茸・葱・筍・鰯節粉等を混ぜて煮た料理。

フヌシヌ 魂身。祭に用ひ祭後に焼捨てる死者に擬した紙製の人形。形代。——焼黽——同上が焼けて

燃えてしまった、事の過去つた後に文句を並べても役に立たぬといふ意。

フヌシム 紛心。(文) 心が亂れる。心が混亂する。名利——名利が心を迷はす。

フヌシム 恨心。遺恨に思ふ。怨む。
フヌジア 痕跡。痕。跡形。痕跡。

フヌジアウヒイ 粉饒魚。(動) 雜魚。雜魚。
フヌジエヌ 憤然。(文) 憤然。

フヌスウ 婚書。婚姻の時男の家より女の家へ送る婚約書。回——同上に對して女の家より返事を送る。

フヌスウ 身軀。(意) 身體。體。
フヌスウ 訓辭。(國) 訓辭。

フヌスウ 雲師。(文) 雲の神。
フヌズウ 訓諭。(國) 訓諭。

フヌモエ 煙吹。煙管。——仔——パイプ。損狗——短くて頭の重い煙管。

フヌモエ スッアア 煙吹。喊仔。「水煙吹」の一部分、煙草を詰める管。

フヌモエ タウ 煙吹。透。煙管の脂通し。煙管通し。
フヌモエ ツイ 煙吹。嘴。煙管の吸口。●パイプ。火

フヌモエ テエ 煙吹。袋。煙管を入れる袋。
フヌモエ エエ 煙吹。尾。煙管の吸口。

フヌモエ エエ 煙吹。擦。「煙擦」。
フヌモエ エエ 煙吹。擦。「煙擦」。

フヌソア 分散。分散。解散。退散。一家——一家が散散ばらばらになってしまった。

フヌソア 粉線。裁縫の時、布地に白い痕を附ける墨繩の如きもの。
フヌソオ 分數。(國) 分數。

フヌソオ 分訴。辯解。言分。言開。申開。不容伊——言分を許さぬ。

フヌソア 煙紙。煙草を巻く紙。
フヌソア 煙蛇。瘦衰へた阿片癮者などを嘲つていふ。

フヌソア 分鑿。(文) 鑿を分ける。生計を別にする。分家。別家。別居。

フヌタア 煙罩。煙突の上の蓋。
フヌタウ 煙斗。阿片を喫む煙管の雁首。(球状をなし錫・黄銅・陶器などにて作る)。

フヌタウ 分頭。「分聲」の○。
フヌタウ 粉頭。●白粉を付けて化粧した顔。——不能看得——化粧した顔は相當に見られる。好——綺麗に化粧した顔。●人形の頭を白く塗る。

フヌタウ 緩頭。靴を作る時の木の型。佛蘭西款的——佛蘭西風の靴の型。

フヌタム 分擔。分擔。差配。

フヌ

フヌ

フヌ

フヌ

フヌ チア 渾成。區別しにくい。粉はしい。――
 粉はしい。本物と同じ様だ。
 フヌ チアウ 粉鳥。鳩。家鳩。飼鳩。――厨。鳩部屋。
 フヌ チアウ イエン 粉鳥鷹。【鳩鷹】。
 フヌ チアム 粉占。(種) 第一期作水稻稈の無芒の品種。
 フヌ チアン 混賬。横着。狡猾い。――東西。狡猾い。
 奴。做事――事をするに無茶苦茶な。
 フヌ チイ 煙錢。阿片又は煙草の代金。
 フヌ チイ 奮志。氣張る。勵む。奮發。發奮。奮奮。
 フヌ チイ 粉青。薄青。
 フヌ チウ 分州。州の支廳。
 フヌ チウ 粉漿。糯米を水に浸し白で碾いた泥泥した。
 フヌ チウ コオ 粉漿糊。【粉漿】の糊。
 フヌ チエウ 痕跡。(又) 痕跡。跡。
 フヌ チエヌ 奮戰。(又) 奮戰。
 フヌ チエヌ 雲箋。(又) 手紙。書翰。
 フヌ チエン 紛爭。(目) 紛争。
 フヌ チエン 煙清。阿片の吸殻。
 フヌ チエンギア 份前額。取分。得分。分前。持分。
 各人的――銘銘の持分。
 フヌ チオン 勳章。(目) 勳章。
 フヌ チヲ 粉蕉。(種) ていきくばなな。(芭蕉科、果
 實は短小にして軟く味良好なり)。

フヌ

フヌ チヲ 粉石。白粉又は白墨を製する石。
 フヌ チヲ 雲石。大理石。
 フヌ チヌ 粉繩。裁縫の時布地に白い痕を附ける墨繩
 の如きもの。
 フヌ チア 分拆。●分れる。分ける。分解する。――
 家伙。●財産を分ける。●意味などを解く。解割
 する。――意思俾伊聽。●意味を解いて聞かせ
 する。――
 フヌ チアウ 煙條。葉卷煙草。葉卷。
 フヌ チアウ 粉條。綠豆の粉を捏ね薄く延ばして細く
 切ったもの、冷水に浸し砂糖を加へ清涼飲料とし
 て用ふ。
 フヌ チノウ 分祧。一族が幾つかに分れる、又分れた
 家。家伙――分家する。――辨公。分れた一
 族が共同の祭祀などをする。
 フヌ チアラヌ 粉蝶蘭。(種) (蘭科) プラタンセラ、
 スサンナエ。
 フヌ チアム 煙店。煙草屋。
 フヌ チウ 粉綯。白い絹の類。
 フヌ チエヌギイ 渾天儀。渾天儀。天球儀。
 フヌ チエン 煙燈。【阿片煙燈】。
 フヌ チエン 雲頂。雲上。雲の上。
 フヌ チエン 魂亭。【魂轎】。
 フヌ チオン 雲中。雲間。雲中。

フヌ

フヌ チヌ 粉糜。(種) はひかづら。(葡萄科、莖を豚肉
 と共に煮て食すれば腫物に效ありといふ)。
 フヌ ツイ 煙嘴。卷煙草の吹口。パイプ。
 フヌ ツイ 粉碎。●粉微塵に碎ける。粉碎する。爲國
 來身軀。――亦無要緊。國の爲なら體が粉碎し
 ても構はない。●白粉の屑。
 フヌ ツイ ア 粉水仔。片栗又は麥の粉を水に溶かし
 た汁。牽――藥を拵へる時に同上を混ぜ
 る。餡掛にする。
 フヌ ツウ 婚書。【婚書】。
 フヌ ツウ 粉糞。孔子を祭る時の供物の一種。
 フヌ ツウ レ ア ア 婚書禮帖。婚約書と禮狀。
 フヌ ツヌ 分寸。●寸分。無差到――寸分違はず。
 ●程度。程合。度合。無――程度がない。開錢
 亦有一個――金を使ふにも程合がある。
 フヌ ツウ 粉蛆。(目) 【水蛆】。
 フヌ ツイ 分隊。隊を分ける。分隊。
 フヌ ツイ 雲梯。雲梯。高い梯子。用――攻城。雲梯
 を用ひて城を攻める。
 フヌ ツヌ 混沌。(又) 混沌。――初開。混沌初めて
 開く。天地開闢。●分明しない。辨了――爲
 た事が曖昧な。與伊――彼に對して誤魔化する。
 ●遲鈍い。敏捷でない。脚手――手足が遲鈍

い。

フヌテエ 煙袋。煙草入。

フヌテエ ザウ 煙袋草。【蟾蜍蘭】。

フヌテエ トア 煙茶炭。煙草と茶と炭。――換鼻痰涎。同上を鼻汁や痰や唾と換へる。お客には煙草などを出して款待するのに客は痰涎などを残して行くといふ意にて淫賣屋などが素見客に對していふ惡口。

フヌトア 援大。擴張。生理漸漸――商賣を一段擴張する。

フヌトア 分攤。分還。割拂。按月――還伊月賦で彼に返す。●金額などを割當てる。所費大

家――出来――皆が費用を分擔して出す。

フヌトエ 煙底。阿片の飲殘。

フヌトエ 墳地。墓地。 「する。

フヌトエ カイ 分地界。土地の境界を極める。區切

フヌトオ 煙土。阿片煙膏の原料。阿片玉。阿片煙土。

フヌトオ 粉土。黄色の粘土。

フヌトオ 薫陶。(又)薫陶。 「導。

フヌトオ 訓導。●教育關係の職名。訓導。●國訓

フヌトオ 暈倒。昏倒。卒倒。

フヌトオ 援動。腫物が脹れる。膿む。膿を醸す。粒

仔――同上。

フヌハウ 分校。(國)分校。

フヌハエ 雲漢。(又)天の河。銀河。

フヌハエ 混合。(國)混合。

フヌバア 燻肉。●肉を燻べる。●燻べた肉。

フヌバク 粉墨。白墨。

フヌバン 燻蚊。蚊遣。蚊を燻す。蚊を燻べる。

フヌバア 煙燻。【阿片煙燻】。

フヌパイ 煙牌。●阿片又は煙草を賣る鑑札。●阿片煙膏購買吸食特許鑑札。

フヌパイ 粉牌。字を書くに用ひる白塗の板。賬且觸藏下――勘定を心算に同上に記して置く。

フヌパイ 分派。●采配を振る。言付ける。指揮する。頭兄在――親方が采配を振つてゐる。神明――謝外方――神様が祈願者に【謝外方】を言付ける。●色の派に分れる。

フヌパウ 煙包。煙草入。

フヌパヌ 分辦。手分してする。分擔。分掌。

フヌパヌ 雲版。樂器の名。雲版。

フヌパン 粉枋。●粉牌。●黒板。

フヌパン 雲縫。雲の切間。雲の間。雲間。 「判る。

フヌピアウ 分曉。辨。分別。有――辨がある。

フヌピオン 焚香。(又)香を焚く。燒香。

フヌピオン ホア 魂香花。【茴香】。

フヌヒヨ 煙葉。煙草の葉。葉煙草。

フヌヒヨ ザウ 煙葉草。(舊)煙草。

フヌヒヨ ホア 煙葉販。栽培者より煙草の葉を買集めて「煙店」に賣込む者。

フヌビエヌ 分媾。(國)分媾。

フヌビエン 分明。分明。明白。判然。明に。看没――判然見えない。説――明白に話す。到底就――終になれば自然判明する。

フヌビエヌ 粉面。●白粉を顔に塗る。●白い顔。

フヌピア 粉壁。白壁。

フヌビエウ 魂魄。(又)魂。魄魄。

フヌビエツ 分別。分別。辨別。識別。區別。――善惡――善惡を辨別する。白黒を分ける。――眞假――眞偽を識別する。

フヌビエヌ 分辯。辯解する。言開く。言譯する。不容伊――彼に辯解をさせない。

フヌビエヌ コラ 雲片糕。菓子的一種。

フヌビツ 粉筆。白墨。

フヌファイ 魂飛。(又)魂が飛ぶ。――魂散。魂魄が飛散る。非常に驚く意。――天外。魂が天外に

フヌフウ 煙灰。粉煙草。 「飛ぶ。同上。

フヌフウ 分府。府の支廳。

フヌフウ 分賦。(又)納稅告知書を配付する。

フヌ

フヌ

フヌ

フヌ

フヌ フウ 吩咐。【吩咐】。

フヌ フヌ 紛紛。紛紛。區區。——不——紛紛。ならず。議論——議論紛紛。心肝亂——心が入亂れる、心が混亂する。

フヌ フヌ 分分。【分】の④。

フヌ フヌ 燻燻。【燻】の①。

フヌ フヌ 粉粉。①幼——非常に細い。粉微塵。碎——木端微塵に碎ける。②【粉】の④。

フヌ フヌ 援援。【援】の⑤⑥⑦。

フヌ フヌ 份份。【份】の③。

フヌ フヌ 暈暈。【暈】。

フヌ フヌ アア 分分仔。ちよびり。ちよんびり。ぼちり。少し。

フヌ フヌ ツヌ ツヌ 混混沌沌。【混沌】の⑤⑥。

フヌ フヌ ロアヌ ロアヌ 紛紛亂亂。紛紛。錯亂。混亂。心肝——心が錯亂する。

フヌ ブウ 雲母。(總) 雲母。

フヌ ブウ 雲霧。雲霧。雲と霧。

フヌ ブウ カケ 雲母壳。青貝の殻。

フヌ ブヌ 分文。一分一厘。——不取——一分一厘も取らない。正直の意。——無差——一分一厘も違はぬ。常に驚く意。

フヌ ブツ フウ テエ 魂不附體。魂體に附かず、非

フヌ

フヌ ヘエ 分會。言譯。辯解。言開。無聽人——人の言譯を聞かぬ。

フヌ ヘエ 雲霞。雲霞。雲霞。

フヌ ベエ 昏迷。①心が迷ふ。惑ふ。爲着查某一時心肝——女の爲に一時心が迷ふた。②昏迷。昏睡。——不省人事——昏睡して人事不省になる。

フヌ ベエ 雲馬。雲の上に立つてゐる神馬の繪。(神が此馬に騎りて舊十二月二十四日に昇天し一月四日に降臨すといひ當日此の繪を燒く)。騎——走不離——同上の馬に乗つても逃遂せることが出来ぬ。

フヌ ペエ 魂帛。布で覆うた假の位牌。靈代。

フヌ ホア 渾化。判別しにくい。區別しにくい。紛らわしい。話講去真——うまい工合に話をする。假去不止——眞偽がつかぬ程にうまく似る。接痕粘到——接目が分らない程に接合せである。

フヌ ホアツ 分發。割付ける。割振る。割當てる。——口糧——扶持をあてがふ。——工錢——賃銀を分けて與へる。

フヌ ホアツ 奮發。(文) 奮發。發憤。

フヌ ホエ 分會。(意) 【分會】。

フヌ ホエ 訓誨。(文) 訓誨。

フヌ

フヌ ホオ 分戸。(國) 分戸。

フヌ ホオ 雲雨。村雨。時雨。小雨。霧雨。

フヌ ホオ カイ 分戸厠。(國) 分戸厠。

フヌ ホオ 分毫。分毫。寸分。寸毫。——亦無——少しも無い。少しの金も呉れない。——無差——寸分

フヌ ホヲ 援口。【援動】。

フヌ ホヲ 援口。【援動】。

フヌ ホン 雲峯。(文) 雲の峯。

フヌ ホオ 分會。(意) 【分會】。

フヌ ホオ 煙末。粉煙草。

フヌ ボア 粉末。粉末。細末。粉。

フヌ ボアヌ 分婉。(國) 分婉。

フヌ ボオ 雲母。(總) 雲母。雲母。

フヌ ボオ 墳墓。(文) 墓。墳墓。塚。風水——同上。

フヌ ボオ チヲ 雲母右。【雲母】。

フヌ ボン 訓蒙。(文) 訓蒙。

フヌ ボン 墳墓。墓。墳墓。

フヌ ボア 分撥。全體の中から一部分取って分ける。——寡藏下此旁——一部分を分けて此方の方に置いて置く。

フヌ ポア 煙盤。阿片吸食の器具を載せる盆。



煙盤

フヌボエ 婚配。妻合はせる。配する。縁付ける。

フヌボエ 分配。●振分ける。割當てる。割振る。割
付ける。――稿頭――仕事に割當てる。●(國)分
配。

フヌポオ アア 煙薄仔。阿片煙膏購買通帳。
フヌマイ 分袂。(多)袂を分つ。別れる。別離。
フヌミア 恨命。運命を怨む。自――莫怨天――自ら
運命を恨んで天を怨む勿れ。

フヌラム 粉藍。薄い藍色。
フヌラム 雲南。(地名)雲南。 「す。
フヌラン 椽臙。段段臙んで来る。臙をもつ。臙を臙
フヌライ 分理。(多)手分してする。分擔。分掌。――
事務――事務を分擔する。
寸分違はぬ。

フヌライ アア 分釐仔。次に同じ。
フヌライ シイ アア 分釐絲仔。極僅か。僅少。差――
――極僅かな違ひ。欠――――ほんの僅か
足りない。

フヌライイ ホヲ フツ 分釐毫忽。分厘毫忽。極小數。
極僅か。――亦與人計較――極僅かな金で
も人と争ふ。

フヌリウ 分流。支流。

フヌリウ 粉瘤。(瘰)嗽い瘤の一種。

フヌリエヌ 煙擦。【阿片煙擦】。

フヌリエヌ 訓練。訓練。訓練。
フヌリエン 訓令。(國)訓令。
フヌリオン 分量。(國)分量。

フヌルイ 分類。分類。類別。口分。 「の争闘
フヌルイ ハイ トオ 分類械闘。府縣を異にした種族
フヌルヌ 分分。(分分)。
フヌルヌ 燻燻。【燻燻】。
フヌルヌ 粉粉。【粉粉】の③。

フヌルヌ 椽椽。【椽椽】。
フヌルヌ 份份。【份份】。
フヌルヌ 暈暈。【暈暈】。
フヌレエ 婚禮。婚禮。祝言。華燭の典。婚禮の式。
フヌレエ 奮勵。(多)奮勵。

フヌロアヌ 紛亂。紛亂。錯亂。亂れる。事情――
事件が紛亂する。心肝――心が錯亂する。
フヌロアヌ 混亂。混亂。混雜。混同。亂れる。
フヌロオ 憤怒。(多)憤怒。立腹。
フヌロオ 魂路。冥土に行く路。開――引導を渡す。

フヌン 分袂。田植。此站――較無開――此項は田植
で忙がしい。
フヌンモエ 分袂祭。田植祭。(田植の始と終の日に

【土地公】を祭るをいふ。

フム

フム□。(冷笑する時などの感動詞)ふん。ふん。
フム 撼。【撼】。
フム□。(制止する時などの感動詞)こら。これ。

フム 撼。●強く叩付ける。打叩く。用植仔――植で
打叩く。出力――力一杯に叩く。被雷――死
雷に打たれて死ぬ。●投付ける。――石頭――石を
投付ける。――着人――投付けて人に當る。●(雷)喰
ふ。――五六碗――五六杯喰ふ。――了了――平げて
しまった。【撼】。

フム茅。(姓)茅。(植)(禾本科)茅。
フム疹。(病)麻疹。赤疱疹。出――麻疹に罹る。
フム媒。媒。一人――同上。【媒】の③。

フム□。(訝る時などの感動詞)あら。おや。
フム□。(否定又は拒絕の意を間接に表はす語)ふう
ん。さうですなあ。さうかなあ。●人又は猛獸な
どの唸る聲。

フム 含。腹に一物を持って沈黙してゐる。陰險。伊較
――彼は同上だ。伴――食廿四碗――澄した顔を
して二十四杯食ふ。澄した顔をして其實中中隅に
は置けない。――食三碗半――同上。

フム

フイツウ/ 園主。島の地主。島の持主。

フントエ 園地。畑。島。

フントヲ 方道。占者・地相見などの使ふ語。吉凶に

關する方角。今年東勞的——無利——今年は

東の方角が不吉だ。衝犯北——北の方角の

邪神に觸れる。北方が塞りだ。

フン ムン 荒荒。【荒荒】。

フン ムン 極極。【極極】。

フン ハエ 園限。畑の【賤耕】の期限。

フン ヒイ ヒイ 荒擲擲。【荒荒擲擲】。

フン ヒウ 方向。方向。向。方位。方角。

フン ヒオン 方向。前に同じ。

フン ビアウ 坊表。善行を表彰する石の鳥居の様なも

フン フイ 荒廢。【荒廢】。「の。旗表。

フン フン 荒荒。【荒】の③。

フン フン 擲擲。【擲】。

フン フン □□。蚊などの鳴く聲、ぶんぶん。——唼唼

フン フン キヲ □□。叫。蚊などぶんぶん鳴く。蚊——

——同上。

フン フン ハウ □□。嗟。前に同じ。

フン フン ヒイ ヒイ 荒荒擲擲。取散らす。亂雜。不

整頓。厩内———家の中が不整頓だ。放到

———物を整頓せずにはつたらかす。

フン フン ヒエツ ヒエツ 荒荒縹縹。前に同じ。

フン フン ホエ ホエ 荒荒廢廢。前に同じ。

フン ホア 園岸。島の畔。畔。

フン ホエ 荒廢。●荒廢する。荒れる。荒れる。田園

———田畑が荒れる。●久しく練習せぬ爲、習

た事など忘れてしまふ。書冊——了了——學問

フン ボオ 荒埔。荒地。

フン ボオ 園埔。畑。

フン ボヲ 坊保。都會にて【郷賢】、【節孝】等の身元保

證をなすもの。

フン リウ リウ 遠瑠瑠。非常に遠い。

フン ロア 園埒。短冊形の一枚の畑。細長い一枚の畑。

フン ロオ 遠路。遠路。遠道。長路。

フン ロヲ ロヲ 遠叨叨。非常に遠い。

フヲ

フヲ 墟。虚。……虚【フヲ墟。虚。……】。

フヲ 許。【許】。

フヲ 魚。【魚】。

フヲ イエン 虚榮。【虚榮】。

フヲ カア 虚脚。【虚脚】。

フヲ ギエヌ 虚言。【虚言】。

フヲ ケエアア 魚架仔。【魚架仔】。

フヲ コオ 許可。【許可】。

フヲ シウ 魚養。【魚養】。

フヲ シツ 虚實。【虚實】。

フヲ スヌ 虚損。【虚損】。

フヲ スウ 虚詞。【虚詞】。

フヲ タン 虚重。【虚重】。

フヲ モイ 墟市。【墟市】。

フヲ ウウ 墟場。【墟場】。

フヲ トアヌ 虚傳。【虚傳】。

フヲ トオ 虚度。【虚度】。

フヲ トオ 許多。【許多】。

フヲ トオ エ 虚底。【虚底】。

フヲ トオ エ 虚地。【虚地】。

フヲ ナア 魚籃。【魚籃】。

フヲ ハム 虚衝。【虚衝】。

フヲ ヒヲ 虚浮。【虚浮】。

フヲ ビエン 虚名。【虚名】。

フヲ フィ 虚費。【虚費】。

フヲ フヲ シツ シツ 虚虚實實。【虚虚實實】。

フヲ フヲ ホアヌ ホアヌ 虚虚幻幻。【虚虚幻幻】。

フン

フヲ

フヲ

醉^{サケ}一^ニ釀^{ビョウ}母^ボ。字^ジ一^ニ字^ジ母^ボ。一^ニ與^カ利^リ元^{ゲン}金^{キン}と利^リ息^{シヨク}。

最大^{サイダイ}な物^{モノ}。指^{サシ}頭^{カビ}一^ニ指^{サシ}指^{サシ}。山^{ヤマ}一^ニ山^{ヤマ}堂^{ドウ}中^{チュウ}の高^{タカ}い山^{ヤマ}。一^ニ根^ネ親^{シン}根^ネ。【母^ボ】。

「同上。」

ブウ 侮^ウ。(又)侮^ウる。一^ニ辱^シ侮^ウ辱^ウ。一^ニ慢^{マン}輕^{ケイ}蔑^{ビョウ}。肆^シ一^ニ肆^シ。

ブウ 巫^ウ。(姓)巫^ウ。

ブウ 毋^ウ。(姓)毋^ウ。

ブウ 無^ウ。(又)無^ウ。無^ウし。萬^{マン}一^ニ失^{シツ}萬^{マン}一^ニ失^{シツ}無^ウし。六^{ロク}一^ニ六^{ロク}親^{シン}無^ウし。一^ニ益^{イク}無^ウ益^{イク}。天^{テン}下^カ一^ニ敵^{テキ}手^テ無^ウし。

に敵^{テキ}手^テ無^ウし。「上。」

ブウ 誣^ウ。誣^ウひる。加^カ一^ニ誣^ウひる。言^{ゴン}掛^カする。一^ニ頼^{ライ}同^{ドウ}。

ブウ 務^ウ。(姓)務^ウ。事^ジ一^ニ事^ジ務^ウ。職^{シヨク}一^ニ職^{シヨク}務^ウ。時^ジ一^ニ時^ジ務^ウ。世^{セイ}一^ニ世^{セイ}務^ウ。

ブウ 霧^ウ。霧^ウ。雲^{ウン}一^ニ雲^{ウン}霧^ウ。單^{ダン}一^ニ霧^ウかか^カる。

●霞^{カサ}む。曇^{クモ}る。鏡^{キョウ}頭^{カウ}一^ニ鏡^{キョウ}頭^{カウ}一^ニ曇^{クモ}る。目^メ瞶^{カウ}一^ニ目^メが霞^{カサ}む。一^ニ的^{テキ}玻^ハ璃^リ一^ニ的^{テキ}玻^ハ璃^リ一^ニ磨^マ硝^{シヨウ}子^シ。●霧^ウを吹^フく。

一^ニ水^{スイ}霧^ウを吹^フく。含^{カン}血^{ケツ}一^ニ天^{テン}一^ニ血^{ケツ}を含^{カン}んで天^{テン}に吹^フける。非^ヒ道^{ダウ}なことを言^{ゴン}明^{メイ}するなど。一^ニ車^{クルマ}仔^ジ煩^{ワン}。

●大^{ダイ}砲^{ポウ}を浴^{ヨク}せか^カける。

ブウ 堆^ウ。【堆^ウ】。

ブウ アア 母^ボ仔^ジ。母^ボ。老^{ラウ}母^ボ。

ブウ アア キア 母^ボ仔^ジ子^シ。母^ボと子^シ。親^{シン}子^シ。

ブウ アヌ 武^ブ安^{アン}。(姓)武^ブ安^{アン}。

ブウ イア 武^ブ營^{エイ}。兵^{ヘイ}營^{エイ}。

ブウ イアム 無^ウ厭^{エン}。(又)飽^{ボウ}足^{タク}らな^い。貪^{カン}而^ニ一^ニ貪^{カン}りて厭^{エン}くなし。

ブウ イアム 毋^ウ厭^{エン}。(姓)毋^ウ厭^{エン}。

ブウ イイ 母^ボ姨^イ。(母^ボの姉^シ妹^{メイ}伯^{ハク}母^ボ。叔^{シヨク}母^ボ。

ブウ イイ 無^ウ院^{エン}。巡^{ジュン}撫^フの居^イる官^{カン}廳^{テイ}。

ブウ イイ 無^ウ意^イ。(又)無^ウ意^イ。

ブウ イイ カヌ 無^ウ意^イ間^{カン}。【無^ウ意^イ中^{チュウ}】。

ブウ イイ ソア チアウ ラヌ 武^ブ夷^イ山^{サン}吊^{テイ}蘭^{ラン}。(植^{シツ}科^カ)

ブウ イイ チオン 無^ウ意^イ中^{チュウ}。●何^{ナニ}氣^キなしに。つひ。態^{タイ}とでない。出^{シュツ}在^{サイ}一^ニ何^{ナニ}氣^キなしにしたのだ。●偶然^{コウゼン}に。思^シ掛^カ無^ウい。一^ニ去^{キョ}遇^ウ着^{シヨウ}伊^イ偶^{コウ}然^{ゼン}彼^カに出^{シュツ}會^{カイ}った。『の茶^{チャ}。』

ブウ イイ テエ 武^ブ彝^イ茶^{チャ}。福^{フク}建^{ケン}省^{シヨウ}の武^ブ彝^イから出^{シュツ}る上^{ジョウ}等^{トウ}。

ブウ イエク 無^ウ益^{イク}。無^ウ益^{イク}。有^{ユウ}損^{テン}一^ニ損^{テン}有^{ユウ}りて益^{イク}無^ウし。

ブウ イエヌ チエン 無^ウ煙^{エン}銃^{チュウ}。(意^イ無^ウ煙^{エン}銃^{チュウ}。

ブウ イホク 撫^フ育^{イク}。(又)撫^フ育^{イク}。

ブウ イオン 撫^フ養^{ヤウ}。撫^フ育^{イク}。一^ニ百^{ヒャク}姓^{シヨウ}一^ニ人^{ジン}民^{ミン}を撫^フ育^{イク}する。

ブウ イオン 武^ブ勇^{ユウ}。武^ブ勇^{ユウ}。

ブウ イオン 巫^ウ陽^{ヤウ}。(姓)巫^ウ陽^{ヤウ}。

ブウ イオン 無^ウ庸^{ユウ}。(姓)無^ウ庸^{ユウ}。

ブウ イオン 無^ウ恙^{ヤウ}。(又)恙^{ヤウ}無^ウい。無^ウ事^ジ。

ブウ イム 母^ボ音^{イン}。(國^{クニ})母^ボ音^{イン}。母^ボ音^{イン}。

ブウ ウイ 武^ブ尉^{エイ}。【文^{ブン}丞^{シヨウ}武^ブ尉^{エイ}を見^ミよ。

ブウ ウイ 無^ウ爲^{エイ}。(又)無^ウ爲^{エイ}。

ブウ エエ 母^ボ的^{テキ}。牝^{メノ}雌^{メノ}。

ブウ エエ 武^ブ的^{テキ}。武^ブの方^{ホウ}。武^ブ人^{ジン}。

ブウ オゲ プツ ヲゲ 無^ウ惡^{アク}不^フ作^{サク}。(又)所^{ショ}有^{ユウ}惡^{アク}事^ジをす^スる。

ブウ オン 武^ブ主^{シュ}。周^{シウ}の武^ブ王^{オウ}。

ブウ ヲウ 武^ブ學^{ガク}。武^ブの【秀^{シウ}才^{サイ}】。進^{シン}一^ニ武^ブの【秀^{シウ}才^{サイ}】の考^{カウ}試^シに及^{キツ}第^{ダイ}する、武^ブの【秀^{シウ}才^{サイ}】になる。

ブウ ヲウ ヲン 武^ブ學^{ガク}堂^{ドウ}。兵^{ヘイ}學^{ガク}校^{カウ}。

ブウ カイ 武^ブ階^{カイ}。武^ブ官^{カン}の階^{カイ}級^{キョウ}。

ブウ カイ ゴアヌ 武^ブ解^{カイ}元^{ゲン}。第^{ダイ}一^{イチ}番^{バン}で及^{キツ}第^{ダイ}した武^ブの【擧^{キョ}】。

ブウ ガイ 無^ウ涯^{エイ}。無^ウ邊^{ヘン}。際^{サイ}無^ウし。

ブウ ガク 舞^ブ樂^{ガク}。舞^ブ樂^{ガク}。

ブウ キア 母^ボ子^シ。母^ボと子^シ。母^ボ子^シ。親^{シン}子^シ。一^ニ對^{タイ}父^フ子^シ一^ニ連^{レン}子^シの有^{ユウ}る父^フと連^{レン}子^シの有^{ユウ}る母^ボと結^{ケツ}婚^{コン}し、其^{ソノ}の連^{レン}子^シ同^{ドウ}土^ドも亦^{モトモ}結^{ケツ}婚^{コン}するこ

と。

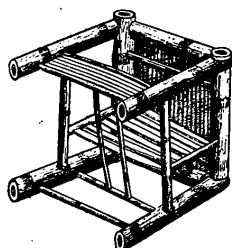
ブウ キア イイ 母^ボ子^シ椅^イ。子^シ守^シ椅^イ子^シ。

ブウ キア ム 舞^ブ劍^ム。劍^{ケン}舞^ム。

ブウ キイ 武^ブ擧^{キイ}。(擧^{キイ})【武^ブ擧^{キイ}】。

ブウ キイ 武^ブ棋^{キイ}。將^{シヨウ}棋^{キイ}。

ブウ キイ 舞^ブ妓^{キイ}。(又)舞^ブ妓^{キイ}。舞^ブ子^シ。



椅子母

ブウ

ブウ キイ 無幾。幾許も無い。少。僅。一個錢。少の錢。加亦。増した所で幾許もない。

ブウ キイ 武器。武器。兵器。

ブウ キイ ジイ 武棋。子。將棋の駒。

ブウ キイ タヌ 無忌憚。心置無く。忌憚無く。

ブウ キイ トオヒエン 無期徒刑。(國)無期徒刑。

ブウ キイ ブツイウ 無奇不有。どんな不思議な物でも有る。どんな面白い事でも有る。

ブウ キイ ポア 武棋盤。將棋盤。

ブウ キウ 母丘。(姓)母丘。

ブウ キエク 無極。無極。極無し。

ブウ キオン 武強。(姓)武強。

ブウ キオン チヌ 無窮盡。次に同じ。

ブウ キオン ブウチヌ 無窮無盡。無盡藏。際限がない。臺灣米出。臺灣の米は幾許でも出る。學問是。學問には際限がない。

ブウ キム 母姥。(母の兄弟の妻)伯母。叔母。

ブウ ギエヌ 無言。無言。默黙。默黙として言無し。可答。可答へる言葉が無い。

ブウ ギエヌ スウ 無言詞。無口。口不調法。

ブウ クウ 武舉。武の(舉人)。

ブウ クウ 母舅。(母の兄弟)伯父。叔父。

ブウ クウ ビアウ 母舅表。母の兄弟の子。

ブウ

ブウ クヌ 母根。一番大な根。親根。

ブウ クヌ 武綱。(武)綱。

ブウ グヌ 母銀。貸金の元金。元金。元金。與利錢。元金と利子。

ブウ グヌ 母銀。(泉)前に同じ。

ブウ ケエ 無稽。(多)無稽。之談。無稽の説。荒唐。荒唐無稽。

ブウ ケエ ポヲ 無價賣。評價することの出来ない貴重賣。値錢。同上。

ブウ ゲエ 武藝。武藝。武技。武術。武道。高強。武藝に達する。百般。不值鋤頭落地。百般の武藝も鋤で地を耕すに如かず。

ブウ コア 武官。武官。

ブウ コエ 武魁。武の(舉人)。「罪を被る。

ブウ コオ 無辜。(多)無辜。受屈。罪無き者が冤。

ブウ コオ 無故。(多)無故。無端。同上。

ブウ コオ 無過。(泉)無過。

ブウ コオ 武庫。武器庫。兵器廠。

ブウ コヲ 誣告。誣告。讒訴。

ブウ コヲ 無過。……に過ぎない。一頭半個銀。一圓か五十錢に過ぎない金。共伊講看。賁而已。唯單に彼に話して見ただけの事だ。一到罰錢息。精精罰金に過ぎない。

ブウ

ブウ コヲ ナイ ホヲ 無可奈何。無奈何。

ブウ コク 母國。(國)母國。祖國。

ブウ ゴエ 武藝。武藝。好。武藝が上手。比。武藝の試合をする。

ブウ サイ 武才。武才。「係が無い。

ブウ シアア 無涉。(多)關係無し。與你。君と關係。

ブウ シイ 武試。武の考試。

ブウ シイ ヒウ 無時休。休む時無し。休無し。

ブウ シイ ブウチオン 無始無終。(多)無始無終。

ブウ シウ サイ 武秀才。武の【秀才】。

ブウ シエン 武生。活劇を演ずる【小生】。武秀才。岳飛又は關羽などの尊才。

ブウ シエン 武聖。武の聖人。岳飛又は關羽などの尊。

ブウ シエン 武成。(姓)武成。

ブウ シエン 無成。成つてゐない。望が無い。一的子弟。頼しくない子弟。

ブウ シオン 武松。水滸傳にある人物。武松。請老大。武松が老人を招待する。立食の意。歇不着店。武松が誤って悪人の宿に泊る。住所の好くないなど。

ブウ シオン 無常。常ならず。反覆。反覆常ならず。變面。親しい間柄でありながら僅な事で急に態度を變へるなど。

ブク シオン 無上。無上。此の上無い。――賢い非常に偉い。――的(エキ)光榮(ヨウエイ)無上の光榮。

ブク シオン 務相。(姓)務相。

ブク シッ 舞臺。鼓臺。

ブク シヌ 母身。母親の體。産婦。先願。――即願。――仔(チ)先産婦の手當をして後に赤坊の手當をする。芭蕉吐子(ハチヤウ)子(チ)害(ガイ)――芭蕉は實を結ぶと親の體を傷ふ、結實後親木が枯れるより斯くいふ。

ブク シヌ 武神。武神。

ブク シム 無心。(文)無心。

ブク ジイ 無二。(文)無二。無雙。

ブク ジホク 侮辱。侮辱。輕蔑。

ブク スウ 武士。武士。武者。

ブク スウ 務須。(文)須からく……すべし。――斟酌(サツサツ)須からく注意すべし。

ブク スッ 撫恤。(文)撫恤。撫恤。

ブク スッ 武術。武術。

ブク スヌボオ 武巡捕。捕吏。

ブク ソア 母線。胡弓などの一番大筋の線。

ブク ソオ 無所。――底止(ソコ)底止する所が無い。――

ブク ソオ 無所。――底止(ソコ)底止する所が無い。――

ブク ソオ 無所。――底止(ソコ)底止する所が無い。――

ブク ソオ 無所。――底止(ソコ)底止する所が無い。――

ブク ソオ 無所。――底止(ソコ)底止する所が無い。――

所無し。――好(カ)何(ナ)でも彼(カ)でもよい、好(カ)ても悪(ワ)くても構(カ)はぬ。

ブク ソン 無雙。無雙。無二。

ブク ソク 母族。母方の親族。

ブク ソン 武裝。(圖)武裝。解(カ)武裝を解(カ)く。

ブク ソン 無跡。跡方(アト)がない。来(ク)去(ク)無跡(ク)来(ク)る

無影(ムカゲ)――影(カ)も形(カ)も無い。

ブク タイ 撫臺。(官名)撫臺。巡撫。

ブク タイ 舞臺。舞臺。劇場。

ブク タイ 母胎。母胎。出(デ)――母(ハ)の胎(ハ)内(ナ)から出(デ)る。

ブク タウ 母斗。標準(ヘンジュン)枱。

ブク モア 母車。(姓)母車。

ブク テイ 母錢。貸金(カシカネ)の元金(モトカネ)。元金。

ブク チェク チェヌ 武則天。唐(タウ)の則天(ソクテン)武后(ブコウ)。

ブク チェン 蕪菁。【諸葛菜】。

ブク チェン 無情。無情。非情。

ブク チオン 武將。武將。

ブク チオン 母終。(姓)母終。

ブク チオン 母將。(姓)母將。

ブク チオン 無終。終(ハ)無し。有始(ウチ)――始(ハ)有(ル)終(ハ)無し。

ブク チオン 武島。(地名)武島。

ブク チオン ゴアヌ 武狀元。武の狀元。

ブク チッ 武職。武職。武官。

ブク チヌ 母親。母親。

ブク チヌ スウ 武進士。武の進士。

ブク チイ □知。擦(カ)る。擦(カ)る。

ブク チイ チイ 無底止。限(カ)が無い。際(カ)限(カ)が無い。止(ト)處(ト)が無い。

「い。無比。」

ブク チエク 無敵。敵(カ)なし。無敵(ムテキ)。無類(ムレイ)。無雙(ムソウ)。並無(デム)牌(ハ)にて無敵(ムテキ)の語(ゴ)を記(シ)したもの。堅(カチ)――同上(ドウジョウ)を立(タ)てる。

ブク チエク ホエ 武徳會。(圖)武徳會。

ブク チホク 無着。責任(セキイン)觀念(カンニ)の無い。當(マ)にならぬ。信(シン)用(ヨウ)の出来(デ)ぬ。確(カ)でない。――的(エキ)人(ニ)同上(ドウジョウ)の人(ト)。

ブク チオン 武仲。(姓)武仲。

ブク チオン 母張。(姓)母張。

ブク チオン 無中。――生(シ)有(ル)無(ク)より有(ル)を生(シ)ず、根(ネ)な

し言(コト)を言(コト)ふ。――取(ト)有(ル)無(ク)から有(ル)を取(ト)る、適(タ)當(ト)

なものがないので次の最も好(カ)いものを取(ト)る。

ブク ツイ 霧水。水(ミヅ)を吹(フ)掛(カ)ける。水(ミヅ)を噴(フ)く。

ブク ツウ 母裏。薩摩(さつま)裏(うら)の親(おや)裏(うら)。

ブク ツツ 武齋。武張(ぶちやう)った芝居(しばい)の外(ほか)題(だい)。時(とき)代(だい)物(ぶつ)。活(くわ)劇(げき)。

ブク ツヌ 武腫。(同)次(つぎ)に同(どう)じ。

ブク マヌ 武腫。脊(せ)低(ひ)く肥(こ)えて引(ひ)締(しま)ってゐる。身(み)軀(く)生(せい)。

ブウ

ブウ

ブウ

ブ

ブ

ブ

ふこと。

ブ、ギイ物議。(文) 物論。物議。

ブ、ケエ物價。(國) 物價。――調節物價調節。

ブ、コエ没官。官に没収される。取上げられる。官

ブ、ゴオ勿誤。誤る勿れ。

ブ、サヌ物産。(國) 物産。 「色」する。

ブ、シエク物色。(國) 物色。――賢人偉い人を物

ブ、チツ物質。(國) 物質。

ブ、チツ勿得。(冬) 勿れ。いけない。――去行つて

はいけない。

ブ、エエ物體。(國) 物體。

ブ、ブツ示示。幼――非常に細い。

ブ、ブツ物吻。愛――只管欲しがる。一途に欲し

がる。甜――非常に甘い。非常に旨い。

ブ、ブツ物物。【物】。 「少し」甘い。

ブ、ブツアア示示仔。味など少し……。――甜

ブ、ブツアア物仔。【物仔】。 「酒」同上。

ブ、ラヌ子イ物蘭池。酒の名。ブランドイ。――

ブ、リイ物理。(國) 物理。――學物理學。

ブ、ルツ物物。【物物】。

ブ

ブ、ウ 吻。女など笑を含む。笑む。含一笑微笑。與人

在――人に対して笑を含む、女が挑発的に微笑んで人を誘ふ意。

ブ、漢。土など持上る。水など湧出る。漢風――一推

土、腫鼠が一盛の土を持上げる。――一孔土が

持上つて穴が出来来る。水泉在――泉がぶくぶく湧出てゐる。――土塵泥土が湧出る。

ブ、文。(姓) 文。文章。靴の底、カラ

――などの長さの単位。幾――何文。十一――十

一文。

ブ、聞。(文) 聞。聞。――其名其の名を聞く。

名が賣れてゐる。――風喪膽風を閉いて膽を失

ふ。新――新聞。

ブ、門。(門) 家。――戸門戸。――生門生

佛――佛門。――牛の仲買人などの隠語。七。――仔

銀――七圓。

ブ、紋。文。模様。斜――雲齋織などの斜の文。横――

布などの横の文。

ブ、問。(文) 問。――安――機嫌を伺ふ。――候――同上。――

罪――罪を問ふ。訪――訪問。――徒――追放の刑に處

する。――流――流刑に處する。

ブ、悶。(悶) 悶。――憂悶。――悶悶。――悶悶。――

解――酒を飲んで憂悶をする。――故郷の事などを

思出して気が蒸く。戀しがって悲しむ。心――同

上。心肝在――思父母母彼は親を慕つて悲んでゐる。――空腹の時など胸元が苦しい。飢――同上。

惜――同上。

ブ、漢。――ぶくぶくと湧く。噴出する。泉水――没息

――泉が絶えず湧出る。血――出来――血が湧出る。

――内地風に飯を焚く。――飯――同上。没曉――同

上の焚方を知らぬ。【飯】参照。 「役人」

ブ、アア文案。――文書案件。――文書案件を處理する

ブ、アア問安。安否を問ふ。機嫌を伺ふ。慰問。

ブ、イイ文意。文意。文義。

ブ、イイイイイイイイイイ。聞――以知十。一を聞いて

以つて十を知る。

ブ、オン文主。周の文主。――一――拖車――文王車を引

く。劇曲又は山車物の名。

ブ、オンオン文主籤。文主の始めた占

ブ、ヲ、文學。文の【秀才】。進――文の【秀才】の

考試に及第する。

ブ、カイ文階。文官の階級。

ブ、カウ文教。文教。文化。

ブ、カフ文蛤。【花蛤】。

ブ、ガア文雅。上品。風雅。文雅。高尚。優雅。――

粗俗雅俗。人生成――優雅な風姿をして

ゐる。講話――話が高尙た。

ブキキイ文丸。文豪。
ブキキイ文碁。碁。圍碁。

ブキキイビエン聞其名。●其名は聞いてゐる。――
―未見其面―其の名を聞く未だ其の面を見ず。
●名が賣れてゐる。有名な。某人眞―――某
は非常に名が賣れてゐる。

ブキキエン刎頸。(交) 刎頸。――之交―刎頸の交。
ブキギヌ紋銀。(兼) 紋銀。

ブククウ文學。文の【擧人】。
ブククウ文句。文句。文章中の句。

ブククウ文具。文房具。
ブクグヌ紋銀。純銀。銀無垢。――變做馬口鐵
―純銀が鐵葉に變る、善い物が悪くなる義。

ブクグヌ又紋銀。(兼) 前に同じ
ブクケエツア文格紙。考試用の野紙。論文を書く野
ブクゲエ文藝。文藝。

ブクコア文官。文官。――不愛錢武將不惜死
―文官は錢を愛せず武將は死を惜まず。

ブクコエ文魁。文の【擧人】。
ブクコオ文庫。文庫。

ブクコンスウ文公祠。朱文公の廟。
ブクコンチウ文公尺。指物師などの用ひる尺。(約我
が一尺四寸に當る)。

ブクゴエハヌ門外漢。門外漢。――に用ひる。
ブクサアポオ文三布。綾織に似たもの、主に洋服地
ブクサイ文才。文才。――が同上。

ブクサウサウ悶焦焦。憂悶へる。心肝――心
ブクシエク文飾。(交) 文飾。
ブクシエン門生。門生。門人。門下。弟子。

ブクシエンチアア門生帖。門弟の證。
ブクシエンブウウイ文丞武尉文は丞相武は大尉
の義、官廳又は寺廟の門扉に畫いてある像。

ブクシヌ文身。(交) 文身。入墨。
ブクシヌ文臣。文臣。文官。

ブクジイ文字。文字。文字。
ブクジイカク門字壳。漢字の門構。――に用ひる。

ブクジイボオ文二布。綾織に似たもの、主に洋服地
ブクジヌ文人。文人。騷人。――學士―墨客。
ブクジヌ門人。門人。門下。門生。

ブクジヌ聞人。(兼) 聞人。
ブクヌウ文書。文書。書類。書面。
ブクヌウ文詞。文章の詞。

ブクヌウ文士。文士。
ブクヌウ文事。(交) 文事。有――者必有武備―文
事有る者は必ず武備有り。

ブクヌウイオン文書勇。役所の文書を送達する者。

ブクヌウコアラ文書館。役所の文書を取扱ふ所。
ブクヌウボオサツ文殊菩薩。文殊菩薩。「文書課」
ブクモエ吻下。莞爾する。

ブクソン問喪。(交) 悔に往く。甲に往く。――不哀、
寧可免來―悔に往つて哀しまなければ寧ろ行か
ない方がましだ。

ブクフエ問罪。罪を問ふ。罪を糾す。
ブクフアラウ悶情情。悶焦焦

ブクタク饅頭。(兼) 饅頭
ブクタクウソア饅頭山。(兼) 饅頭山。
ブクタク文具。(兼) 朱樂の一種。文具。

ブクタク文壇。(交) 文壇。
ブクタクイウ文且袖。【文且】
ブクタク問答。問答。

ブクタン蝨蟲。(動) 蝨蟲。毒――薬を飲んで蝨
蟲を殺す。

ブクチアン文昌。(兼) 【文昌】
ブクチイ瀟風。(兼) 【瀟風】
ブクチイ門市。零細な物を商ふ。小賣。――生理―
小賣商賣。

ブクチウ文章。文章。文。――句―文句。――收束
―文章が約つてゐる。

ブクチウチエ文章袋。【卷袋】

ブヌ

ブヌ

ブヌ

ブヌ

ブヌモウラヌ 文樹蘭。(種) (石蒜科) たいわんはま

おもと。【引水蕉】。

ブヌモオン 文鳥。【文昌帝君】。

ブヌモオン コン 文昌公。【文昌帝君】。

ブヌモオン スウ 文昌祠。【文昌帝君】を祀る廟。

ブヌモオン テエクヌ 文昌帝君。文學の事を司る神。

ブヌモオン ビヲ 文昌廟。【文昌帝君】の廟。

ブヌモオン ホエ 文昌會。文人の會。

ブヌチヲ 文石。(書) 文石。

ブヌチヲ 物笑。莞爾笑ふ。微笑。

ブヌチヲ 文集。文集。

ブヌチヲ 悶痛。氣分が悪くて胸苦しい。心肝頭

——|| 同上。

ブヌチイ 聞知。(又) 聞いて知る。聞及ぶ。

ブヌチエヌ 文典。文典。

ブヌチエヌ 晁天。(又) 晁天

ブヌツウ 文書。文書。公文。

ブヌツウ 文字。文字。

ブヌツウ 瀟風。(動) 瀟風。瀟風。

ブヌツウ ラヌ 文珠蘭。【引水蕉】。

ブヌツウ 文齋。武張らない外題の芝居。人情物。世

ブヌツウ ライ 瀟出來。湧出る。噴出る。

ブヌツウ 眠床。(書) 【眠床】。

ブヌツウ 眠床。(書) 【眠床】。

ブヌツウ 眠床。(書) 【眠床】。

ブヌ

ブヌモエ 文體。文體。

ブヌトエ ツウ 瀟地風。(動) 瀟風。瀟風。

ブヌトエ 問題。(書) 問題。

ブヌトエ ツウ 瀟地風。瀟地風。

ブヌトオ 門徒。門徒。弟子。門人。門弟。

ブヌトオ 問徒。追放の刑に處する。「生」。

ブヌトク 文章。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌトク 文童。文の【秀才】の考試を受ける【童

ブヌ

ブヌビエン 文明。文明。

ブヌビエン 聞名。●名を聞く。——伊眞歹。彼は非

常に悪い奴であるといふ事を聞いてゐる。——

不如見面。名を聞くは面を見るに如かず。●有

名。名高い。名が賣れてゐる。某人第一。——

某が一番有名である。

ブヌビエン ニイ 文明眸。羅紗の一種。「廟」。

ブヌビヲ 文廟。孔夫子を祭れる廟。聖廟。聖堂。文

ブヌビツ 文筆。●文筆。●文筆の上手な手の相。

ブヌビヌ 文德。主に官廳より發給した文書。書付。

免狀。過關送——關所を過ぎて後通行券を送

る。祭の後の提燈。畢業的——卒業證書。

ブヌブウ 文武。文武。——棋。將棋。——全材

文武を兼ねる。文武兩道に秀でてゐる。——百官

文武百官。——官。文武官と武官。

ブヌブウ キエン 文武肩。二人で打ぐ時に一人は右

肩一人は左肩で擔ぐ。扛——同上。

ブヌブウ ホエ 文武會。文武官の會。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌブウ 吻吻。にこにこ。笑——にこにこ笑ふ。

ブヌ 悶悶。●悶える。憂悶。鬱鬱。――不樂。鬱鬱として気分が晴れない。●空腹の時など胸元が苦しい。――憎憎。同上。――仔痛。胸元が苦しく痛む様な感じがする。

ブヌ ブヌイウロオ 門門有路。左程努力せずしてうまい工合に金が手元に這入って来る。自ら金が手に入る。一世一人。――一生左程努力せずしてうまい工合に金が手元に這入って来る。伊有彼號。――的錢。彼には居ながらにして自然に手に這入る金が有る。

ブヌ プン 漬飯。内地人と同じ方法で飯を炊くこと。【槇飯参照】

ブヌ ホア 文化。(國)文化。――生活。文化生活。――家屋。文化住宅。

ブヌ ホアツ 文法。文法。

ブヌ ホオ 門戸。門戸。――開放。門戸開放。

ブヌ ホヲ 文豪。(文)文豪。

ブヌ ホン 門風。家柄。家格。大。――門閥家。小。――普通の家柄。好。的。人。家柄の好い人。

ブヌ ホン 開風。(文)風聞を聞く。風を喰ふ。――而。逃。風を喰って逃れる。――喪膽。風を聞いて膽を失ふ。――破膽。同上。

ブヌ

ブヌ ポア 文判。閻魔帳などを掌る神、又は【城隍爺】の随神。

ブヌ ポオシエン 文部省。(國)文部省。

ブヌ ポオタイシヌ 文部大臣。(國)文部大臣。

ブヌ ポク 問卜。占ふ。卜者に問ふ。『の文房具。』

ブヌ ポンスウボヲ 文房四寶。筆墨・紙・硯の四種。

ブヌ ライツウ 文來書。(種)薩摩書の一。種。

ブヌ リイ 文理。優雅。優しい。上品。文雅。――話上品な言葉。雅言。雅語。――一人。上品な人。

ブヌ リウ 問流。流刑に問ふ。充軍。――懲役流罪に。

ブヌ ルヌ 濃濃。【濃濃】。

ブヌ ルヌ 濃濃。【濃濃】。

ブヌ レエ 文例。文例。作例。

ブヌ

ブイ

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ 肥。●肥。●肥えてゐる。肥太つてゐる。――窓窓。でぶでぶと肥太つてゐる。貪。嫌瘦。肥

ブイ

ブイトク コヲ 拔毒膏。吸出膏藥。

ブイヌイ 反反。【反反】。

ブイヌン 肥軟。肉などが太ってゐて軟かい。

ブイノア 唾涎。唾を吐く。唾する。唾を吐く。被入
——人に唾を吐掛けられる、人に悪く言はれる
意。

ブイバア 肥肉。白身。脂身。拾——白身を拾ふ、
他人の喧嘩などに野次馬に入つて毆打すること。

ブイバン 抜網。網を引く。網引。

ブイバツ 肥胖。次に同じ。

ブイバシ 肥胖。福福と肥太つてゐる。—— || 同
上。身軀不止—— || 體が非常に肥太つてゐる。

ブイヒイサグ 唾擲。口の中にある物を吐出す。吐
ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ブイヒエツカク 唾擲。前に同じ。 【棄てる。

ぶでぶ太つてゐる。甚だ肥えてゐる。

ブイブイ 吠吠。【吠】。

ブイブイ 拔抜。【抜】。

ブイブイ 反反。【反】。

ブイブイ 唾唾。【唾】。

ブイブイ 肥糞。下肥。肥。肥料。

ブイベエ 肥白。肥太つて肌が白い。色白く肥えてゐ
る。身軀—— || 體が同上。

ブイホエ 拔花。花を抜く。花を引抜く。

ブイホオチウ 拔虎鬚。虎の鬚を引抜く、阿彌陀籤を
ひく。阿彌陀をひく。

ブイボン 肥凸。【肥凸】。

ブイリアウ 肥料。【肥料】。

ブイリウクイア 肥勒爺。(佛の名) 彌勒菩薩、肥太つ
た人を嘲つていふ。

ブイリエン 楓乳。(楓) 楓から出る白い汁。

ブイリュイ 肥椽。【肥椽】。

ブイリュイ 吠吠。【吠吠】。

ブイリュイ 拔抜。【抜抜】。

ブイリュイ 唾唾。【唾唾】。

ブイリュイ 肥椽。でぶでぶと肥太つてゐる。鳥
龜食到—— || 遊女屋の主人がうまい物を食つ
てでぶでぶと肥太つてゐる、遊女屋の主人を嘲つて

いふ語。

ブイリュルツ 肥角。でぶぶりと肥えてゐる。肥太
つてゐる。天飼人—— || 人飼人剩一枝骨
|| 天が人を養へば肥太り、人が人を養へば骨一本
を残す、人の力は到底天の力に叶はぬ意。

ブイレエ 飯末。(飯) 【飯末】。

ブイロクカク 拔鹿角。(鹿) 鹿の角を引抜く。無錢遊
興をする。鱸鰻不時去查某間—— || 破落
戸が常に女郎屋へ行つて無錢遊興をする。

ブウ ブウ

ブウ 吹。●汽笛などの音。ぶう。水螺在—— || サイレン
がぶうと鳴つてゐる。●口で吹く。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ 富。●富。富む。大—— || 由天、小—— || 由勤
儉 || 大富は天に由り小富は勤儉に由る、小さな
金持は勤儉にすれば成れるが大財産は運でなければ
出来ない意。—— || 抵天、窮的窮寸鐵 || 富
んでゐる者は天に屈く程非常に富んでゐるし貧し
い者は寸鐵もない程に困窮する。

ブウ

留種 飄を食うて種子を残さない、少しも残さず皆使盡して仕舞ふ意。細漢偷挽 一大漢偷牽牛 小さい時飄の様な小さい物でも偷む者は大きくなつて牛の様な大な物を偷む様になる。

ブウ 堆。積み。堆積。灰 堆積した灰。草 薬を積上たもの。一土 土盛。糞 糞を積上たもの。堆肥。

ブウ 焔。火や灰の中に入れて焼く。一番薯 薩摩薯を焼く。鐵 紅鐵を真赤に焼く。一栗子 栗を焼く。

ブウ 孵。一雞卵 雞の卵を孵す。押雞不成 無理に鶏を押へつけて卵を孵化させ様としても孵化するものでない、強ひてさせようとすると却つていけない。(夫婦不和の時等にいふ)。同時に孵った雛。二雞仔 二度に孵った雛。

ブウ 泡。蟹など泡を吹く。泡を出す。毛蟹 涎蟹が泡を吹出す。田仔 嘴涎 子供が唾の泡を吹出す。

ブウ 腫。水脹になる。潤ける。一到大母 腫潤けて大きくなる。面較 顔が水脹になつてゐる。浸水能 水に浸けて置くと潤ける。一膜 膜をもつて脹れる。一膜 同上。

ブウ 呼。一呼。

ブウ

ブウ 蝻。土 草鞋蝻。一撚實 及 攤の賭博に於いて賭錢を張る方法の一。壓 同上で張る。

ブウ 微。微。上 微が生える。臭 微臭い。ブウ 眺。鼠色。灰色。一色 同上。一緑 灰色がかった緑色。一薄 薄はんやりしてゐる。一白 薄はんつきり物を見る事の出来ぬ目。霧霧 薄はんやりしてゐる。天打 光 空がほんのりと白む。空がぼおつと白む。

ブウ 呼。一ぶつと息を吹く。吹込む。一薬粉 粉薬を吹かける。燈火 共伊 燈火を吹消す。一劍突を喰ふ。被入 人に劍突を喰はされる。

ブウ 浮。一色 浮。一浮。浮。浮せる。一嶼 浮島。一亦不沉 浮もしなければ沈もしない、まあま何にか彼にか維持してゐる意。一青筋 青筋が浮く。嘴齒 齒が浮く。脚骨 足が浮く様な感がある。扛 擔上げる。提 持上げる。

ブウ 假。一假に記置く名。虚名。一油に浮せる。揚げよ。一魚鱚 魚の浮袋を油で揚げる。

ブウ 假。一假に記置く名。虚名。一油に浮せる。揚げよ。一魚鱚 魚の浮袋を油で揚げる。

ブウ 假。一假に記置く名。虚名。一油に浮せる。揚げよ。一魚鱚 魚の浮袋を油で揚げる。

ブウ 假。一假に記置く名。虚名。一油に浮せる。揚げよ。一魚鱚 魚の浮袋を油で揚げる。

ブウ

ブウ 堆。糞。株。盛。一草 一株の草。一尿 一塊の糞。

ブウ 泡。泡が噴出る。溜 一起来 重湯の泡が噴出る。無氣的 麥仔酒 没 氣の抜けたビールは泡が出ない。

ブウ 翮。鳥などの飛ぶ音。ばたばた。ばつと。ぶらぶら。一 就飛去 ばつと飛んで行く。駛到 一 叫 飛行機又はオートバイなどがぶらぶらぶらぶらと飛んで行く。

ブウ 呼。口でふうふうと吹く。一俾伊冷 熱い物などに息を吹掛けて冷ます。一俾伊燃 吹いて燃やす。

ブウ 堆。大便などの塊。一尿 一塊の糞。放 一 那山呢 山の様に糞を放つた。

ブウ 呼。發動機や屁などの音。ぶつぶつ。屁到 一 下 一 下と尻を鳴らす。一 叫 一 オートバイなどがぶつぶつと鳴る。

ブウ アア 匏仔。(菰) 瓢箪。夕顔。瓠。瓢。(葫蘆科、未熟果は煮て食用に供し、熟果は乾して瓢、柄杓等を製す)。

ブウ アア クン 肺仔光。ほんのり白む。曝。ブウ アア コア 匏仔干。乾瓢。ブウ イイ 空籩。枝・莖などから芽が出る。萌む。萌

る。上春樹仔就ー春になると木が芽を出

ブイウ 空襲。前に同じ。「す。

ブイウ 浮油。油に浮せる。油で揚げる。

ブイオン 芙蓉。(植) ●芙蓉。(錦葵科、觀賞する外、

根を煎服して解熱劑となし、或は關節痛を治す)。

●もくびやくかう。(菊科、莖・葉・根を用ひて打傷

刀傷を治し、又解熱劑となす)。

ブイオンカウ 芙蓉郊。阿片煙土を取りする問屋。

ブイオンカブタ 芙蓉鴉旦。鴉の卵を色色の物

と混へ煮た料理。

ブイオンコヨ 芙蓉膏。阿片煙膏の異名。

ブイオンホエ 芙蓉花。芙蓉の花。「所。

ブイオンボオ 芙蓉舖。阿片小賣店又は阿片吸食

ブイエエアアエ 罌粟仔。土鍋で粥を煮る。

ブオオ 罌粟。黒燒。黒燒にする。

ブカッ 罌粟。罌粟の殻。(柄杓の代りに用ひる)。

ブキイ 浮屠。(兼) 【浮屠】。

ブキヨ 浮橋。浮橋。船橋。

ブキツ 勝代。(動) 磯鷓。

ブクウ 浮屠。假住。寄留。流寓。

ブクン 勝光。仄と夜が明ける。曙。仄仄。仄く。

ブグエ 空芽。(主に種から)芽が出る。芽が差す。

芽む。豆仔ー豆が芽を出す。

ブコン 勝光。●勝光菜。●風色がかつた薄緑。

ー色 同上の色。

ブコンアア 空管仔。ぶつぶつと音して泡が出る。

溜塵ー 粥から泡が出る。「に供す)。

ブコンサイ 勝光菜。(蔬菜) 綠葉甘藍(葉を食用

ブサイ 浮財。不安定な財産。ふはふはした財産。

損失し易い金。生理錢算是ー 商賣上の

金は即ち同上である。

ブサム 罌粟。赤く熱した點。

ブサン 勝葱。黒すんだ青色。鼠色の様な分明し

ない。色織ー 色が灰色がかって鮮明でな

い。看了ー 見て分明しない。無烏亦ー

ー 黒ではないが少しは鼠色がかってゐる。當ら

ずと雖も遠からず又十分といふ程まではないが多

少は出来る意。

ブシアウ 浮賤。勘定を假に記して置く。ー 的簿

同上の帳簿。暫且爲我ー 咧 勘定をまあ

假に書付けて下さい。

ブクシイ 罌死。燒死ぬ。被火活活ー 活ながら

燒死んだ。

ブクシエツ 勝色。鼠色。灰白色。灰色。

ブクジイ 浮字。浮彫の文字。

ブクスウ 浮嶼。浮島。中洲。浮洲。

ブクソア 浮砂。流砂。砂の浮洲。

ブクソア 浮線。●浮彫の線。起ー 家具などの線

に同上をとる。●浮洲。

ブクタク 富倒。金を澤山持つ。金持。豪袋仔ー

懐が暖かい。伊眞！ー 彼は非常に金持であ

ブクタク 斧頭。(兼) 【斧頭】。

ブクタク 浮頭。●頭を浮出す。頭が出る。龜ー

龜が浮いて頭を出す。●家・商賣など榮える。

出世する。生理權無ー 商賣が少しも繁昌

しない。萬世都沒ー 永久に浮ぶ瀬がない。

ブクキシン 浮筍。浮標。泛子。泛子。

ブクモアン □。愛ー 外見を張りたがる。

ブクチイ 浮錢。薄い厘錢。鐵錢。

ブクモイ 勝頭。近眼などで目がはつきり見えない。

目調ー 目がよく見えない。

ブクチウ 浮洲。洲。浮島。浮洲。

ブクモエン 浮銃。【浮銃】。

ブクモエン 泡蒸。輕輕しい。輕薄。遠かしい。做事

眞ー 事を非常に遠かしい。

ブクチヲ 浮石。(兼) 浮石。輕石。

ブクチエン 空燈。次に同じ。

ブクチエンアア 空燈仔。ぶつぶつと泡立つ。ぶつぶ

プウ プウ 浮浮。●足元が定まらぬ。浮浮する。浮つく。酒酔脚。酒に酔って足がふらふらする。●【浮】の㊦㊧㊨。

プウ プウ 泡泡。【泡】。

プウ プウ 呼呼。【呼】。

プウ プウ 關關。●鳥などの飛ぶ音。ばたばた。ぶうぶう。●一叫一飛行機やオートバイなどがぶうぶうなる。一叫一同上。●一飛一塵一石灰などが飛ぶ。揚一同上。一揚一同上。

プウ プウ 唳唳。發動機や屁などの音。ぶうぶう。ぶうぶう。一叫一ぶうぶうなる。ぶうぶうなる。

プウ プウ イエン 關關揚。塵又は石灰の粉など飛ぶ。

プウ プウ クヌ 泡泡滾。煮返る。沸る。煮立つ。

プウ プウ チエン 泡泡蒸。【泡蒸】。

プウ プウ ピヨピヨ 浮浮漂漂。【浮漂】。

プウ プウ ペエ 關關飛。●鳥などばたばたと飛廻る。

●塵や石灰などが飛ぶ。

プウ ヘエ 獻火。口で火を吹く。

プウ ベエ 包塵。粥を煮る。

プウ ベエ 空沫。泡が立つ。泡を吹く。

プウ ホエ 浮花。浮上彫の模様。高蔭縞。

プウ ホエ コン 浮花貫。浮織模様の縞子。

プウ ホエ トフヌ 浮花縞。浮織模様の縞子。

プウ ホウ 浮復。土砂が溜って浮洲が出来る。一池一同上によって出来た土地。一塩埔一沼地に出来た洲。

プウ ボエ 空沫。【空沫】。

プウ ボオ 浮簿。假に記して置く勘定帳。

プウ ボオ 空沫。【空沫】。

プウ ミア 浮名。假に記して置く名。虚名。

プウ ラア サア 浮口口。澤山浮んでゐる。陂仔魚死に到一池の魚が死んで澤山浮いてゐる。

プウ ラウ 匏老。匏の實。一而一同上の形をしてゐる顔。

プウ ラク ラク 富落落。金を非常に澤山持つてゐる。大金持。

プウ ラン 富人。金持。

プウ ラン 臍臍。臍を持つて脹れる。

プウ リア ア 空粒。腫物が噴出る。

プウ リエ ク 肺絲。灰色がかつた緑色。

プウ リウ チヌ 浮留藤。【老藤】。

プウ リエンバン 浮苓網。立網を張る。

プウ ルウ 富富。【富富】。

プウ ルウ 空空。【空空】。

プウ ルウ 忽忽。【忽忽】。

プウ ルウ 哧哧。【哧哧】。

プウ ルウ 泡泡。【泡泡】。

プウ ルウ 臍臍。【臍臍】。

プウ ルウ 呼呼。【呼呼】。

プウ ルウ 浮浮。【浮浮】の㊦。

プウ ルウ 泡泡。【泡泡】。

プウ ルウ 呼呼。【呼呼】。

プウ ルヌ 浮嶺。浮洲。一嶼一中島。浮島。中吹く。●汽笛などが鳴る。火船在一汽笛がなつてゐる。

プウ ロク コン 肺緑光。鼠色。灰色。色縞一。

一色合が灰色がかつてゐる。

プウ ロン 臍臍。腐敗しかかつて水腫になつてゐる。死屍一溺死者などの死體が同上。面一顔が水腫になつてゐる。一菜頭一水氣が多く中味の腐敗しかかつてゐる大根。

プウ ロン ソン 浮口口。柴一溪一洗木が川に一杯浮んでゐる。

プウ ロン チア 浮浪者。浮浪者。破落戸。一的收容所一浮浪者收容所。

ブッ
ブッ
ブッ

ブッ 不。●(性)不。●(打消の語)不。一諸世事一

ブッ 不。●(性)不。●(打消の語)不。一諸世事一

ブッ 不。●(性)不。●(打消の語)不。一諸世事一

ブッ 不。●(性)不。●(打消の語)不。一諸世事一

ブッ

事を語んぜず。一爲名則爲利名の爲にせざれば則ち利の爲にす。一見自明見なくとも分る。一言而知言はずして知る。●牛を賣買する者の使用する隠語。ハ。一仔銀八圓

ブッ 扱。扱抄ふ。一歸堆扱集める。一米米を扱抄ふ。用糞斗一芥取で扱抄ふ。一倒抄扱。雙手共伊去一兩手で扱扱する。

ブッ 李。(連) 李。ブッ 勃。(連) 勃。

ブッ 佛。佛。佛。一身一一體の佛。拜一佛を拜む。服事一佛を信仰する。●一想食雞一愚な佛が鶏を食ひたがる、愚な人が他の美食美衣を羨むなどを嘲つていふ。賤一做裸一佛を敷へて餅を作る、先に見込をつけて事をするを

ブッ 鉞。(鉞) 鉞。一制。力を込めて斜に打切る。削切る。打切る。打切る。一做節二つに打切る。一樹絡木の枝を斜に打切る。一没斷削切つても斷れない。

ブッ 嘖。跳跳ぬる時の形容。ひらりと。びんと。一一下就跳過一ひらりと跳越す。水蛙一一下跳過溝仔一蛙がびんと溝を越す。

ブッ アア 不亞。(又)……に劣らぬ。一男子一女子が男に劣らぬ。

ブッ

ブッ アア 佛仔。小な神佛の像。人形。一頭一佛の頭。人形の頭。三文一、裁四文嘴鬚三文の人形に四文の鬚をつける、小刀の鋸といふが如く不釣合なるをいふ。

ブッ アア 鉞仔。小銀貨。ブッ アア エ佛仔話。【佛話】。ブッ アア サイフウ佛仔司卓。佛像を作る人。ブッ アア トオ佛仔土。土偶を作るに用ひる粘土。粘土。陶土。

ブッ アア ポヲ佛仔報。舊曆四月四日頃に起る低氣。ブッ アア 不安。不安。心肝一中心が不安である。ブッ アム 不請。(又) 語んぜず。一世務一世事に通じない。

ブッ イアウ 不要。(又) 要らぬ。必要。一你一お前なんかは要らぬ。一官一財一官も要らず財も要らぬ、名利は欲しくない。

ブッ イイ 不意。(又) 思もよらぬ。意外。不意。出其一、攻其無備一其の不意に出で、其の不備を攻む。

ブッ イイ 不移。(又) 不易。移す能はず。許人一物千金一一人に一物を許せば千金も移す能はず、言責を重んずる意。

ブッ イイ カヌ 不意間。心に思つてゐない所に。何

ブッ

氣なしに。意外に。存外。一越一浮儲け。出在。一何気なしにやった。態とでない。故意。ブッ イイ オン 不意中。【不意間】。【でない】。ブッ イエウ 不易。(又) 不易。萬代一萬代不易。

ブッ イエンカイ 不應該。……すべき筈でない。……すべきでない。不當。你一挿一あなたが干渉すべき事柄でない。先生人一做彼欺的事。一先生たる者が彼様な事を爲すべきでない。

ブッ イオクジイトン 不約而同。(又) 約束せずして而も同じ、お互の行動が偶然にも一致する時などにいふ。

ブッ イオン 不容。(又) 容れず。容赦せず。天一地不載一天容れず地載せず、天地の神が容赦しない。奸奸巧巧天一不正奸曲は天の容れざる所なり。

ブッ イオン 不用。(又) 不用。ブッ イヲ 佛藥。佛の託宣による藥。佛の御告の藥。ブッ イツ 不一。(又) 一ならず。一のみでない。紛紛議論紛紛一議論紛紛として一ならず。意見が種種様様である。

ブッ ウヌ 不穩。●安心が出来ない。想了一考へて見たがどうも安心が出来ない。●(圖)穩でない。不穩。

ブツ ヲアツ 不越。考へてもさういふ道理がない。不思議。物不應該能無去、想了真一物がな

くなる譯がないがどうも不思議だ。

ブツ ヲエ 佛話。神靈の乗つた「童丑」の話、譯の分らぬ言葉の意。講一寡一譯の分らぬ事をいつてゐる。

ブツ カイ 不該。當然すべきでない。すべき筈のものでない。一食ふべきでない。扇頭打人没痛情意一扇子の先で人を打てば痛くはないが人情から言へば當然すべきでない、たいした事はないが其の精神が善くない意。「解せず。

ブツ カイ 不解。(又) 解せない。一其意一其意をブツ カウ プヌ 不到本。(意) 元手に達しない、引合はない意。一悪い。いけない。

ブツ カク 不覺。覺えず知らず。不覺。不知一覺えず知らず。

ブツ カム 不堪。堪へない。小舟一重載一小船は重きを載せるに堪へず。一重刑一酷い拷問に

ブツ カム 佛龕。厨子。佛壇。「堪へない。

ブツ カム トン 不敬當。恐入ります。何致しまして。ともてとて。

ブツ ガア 不雅。上品でない。體裁が悪い。不風流。言辭一言葉が野卑な。事若弄揚起來就

ブツ キイ シイ 不期時。何時でも。何時でも。一你做來何時でもよいかから來なさい。

ブツ キウ 不久。さう久しからず。間もなく。近い中に。一於人世一人の世に久しからず、もう直死ぬ意。一能來一近中にやってくる。

ブツ キウ ジヌ 不求人。一人に求めず。一孫の手。

ブツ キエツ 不吉。不吉。不祥。

ブツ キエツ 不潔。(又) 不潔。汚ない。

ブツ キエツ 不結。形がちつぽけで奇妙な風になつてゐる。桃仔生成真一桃の實がちつぽけで妙な形をしてゐる。人一ちつぽけで妙な體をしてゐる。一性質が人と變つてゐる。妙な質。一的人一妙な人。

ブツ キエヌ 不見。見えず。見ない。眼一爲淨一見えず清しと爲す、見ぬ中は極樂、知らぬが佛など。久久一久しく會はない。一自明一見ずして自ら明なり。

ブツ キエヌ テント。日覆。テント。

ブツ キエン 不敬。(又) 不敬。

ブツ キエン 佛經。經文。經卷。

ブツ キエン 不肯。承諾せぬ。きかぬ。聞入れぬ。

ブツ キエン キイ 不景氣。(又) 不景氣。

ブツ キキヲ 佛轎。神佛の輿。御輿。

ブツ キキヲ 不及。及ばぬ。一伊一彼に及ばぬ。一目置く。意想一思想外。思の外。

ブツ ギイ 不宜。宜しくない。

ブツ ギイ 不義。不義。不義理。一之財一不義の財。不仁一不仁不義。

ブツ クイブツ コアイ 不鬼不怪。鬼でもなければ怪物でもない、みつともない。粧到一粧にもみつともない化粧をする。宇寫到一宇寫にもみつともない字を書く。

ブツ タウ 不拘。拘らず。關せず。一年限一無期限。期限なし。一時何時でも。何時でも。一禮一禮義なく自由に。遠慮せずに。

ブツ クツ 佛骨。佛に成る骨相。佛骨。

ブツ クヌ ジヌ チエン 不近人情。人情に近からず、人情が無い。一的人一的人同上の人。

ブツ グウ 不慮。(又) 不慮。不慮。

ブツ グウ 不遇。(又) 不遇。

ブツ コアヌ 不管。關はらず。構はず。一甚麼人一人人に關はらず、誰でも。一甚貨一何物でも構はず。一你東西廿七八一御前が如何であらうと此様であらうと僕の關する所でない。

ブツ

ブツ

ブツ

ブッ

ブッ コアヌシイ 不管理時。何な時でも構はない。何時でも。何時でも。—— 做你来 何時でも構はないから来なさい。

ブッ コアヌキア 不管理他。他人には關係しない。他人は如何でも構はない。自己好就好—— 自分さへ好ければよい、他人は如何でも構はない。

ブッ コラ 不遇。●過ぎず。唯單に。唯……する丈だ。—— 是一頭半個銀 五十錢や一圓に過ぎない金。—— 是度一嘴飽而已 只口過をする丈のこと。●免に角。—— 我共伊講看覓 免に角彼に話して見よう。—— 你来就是 免に角君が来ればそれでよい。

ブッ コラ 不可。いけな。有勢—— 盡量 勢力は有っても 盡く出してはいけない、物は八分目。有勢—— 何のいけない事があるものか。

ブッ コラカム 不可堪。勸忍することが出来ぬ。不都合な。不届な。太—— 餘に不都合である。眞—— 我即有打伊 非常に不届であったから私が殴ってやった。

ブッ コン 佛公。佛様。安—— 佛様を安置

ブッ コンホエ 佛公會。神佛を祭る爲に組織した團體。

ブッ

ブッ ゴリヌ 不慮。甘じられない。不満。承知が出来ぬ。想若—— 更再控告 若し不満と思ふなら更に控訴せよ。我眞—— 僕は實際承知が出来ぬ、僕の腹が癒えない。

ブッ サイトン 不尿通。「不精通」。ブッ サグ 刺揀。切捨てる。樹絡—— 木の枝を切捨て、不完全な。物になつてゐない。ちくはく。買到彼的—— 物的物 帯には短し襟には長しといふ様な役に立たぬ物を買ふ。—— 的話 〓ものになつてゐない話。

ブッ サムブッスウ 不三不四。前に同じ。ブッ サア 制柴。木を削る。木を切る。

ブッ サイ 不才。不才。小弟較—— 拙者は不才な者です。

ブッ サイ 不在。●居ない。無い。—— 其位不謀其政 其の位に在らざれば其の政を謀らず、即ち僭越な事をしない義。—— 此限 此限にあらす。●必しも……でない。限らない。—— 今仔日 今日は限らない。—— 此如 斯と

ブッ サイライ 不在内。含まぬ。這入てゐない。内

ブッ ザッ 佛擦。神様の像を畫いた掛物。

ブッ

ブッ シアウ 不肖。少くない。錢銀開去—— 少からざる金を使った。干係就—— 責任が少くない。孫が不肖である。—— 子 不肖の子。—— 丁 同上。

ブッ シアウ トン 不精通。變通がない。氣が利かぬ。融通が利かぬ。—— 的人 同上の人。

ブッ シイ 不時。常に。何時も。始終。初中。—— 來去去 常に往たり來たりしてゐる。

ブッ シイ 不是。●非。過。悪い。間違つてゐる。會—— 過を詫びる。講來講去 是我一個—— 何といつても 兎に角 私人が悪かつたのである。●(動詞の下に附して)……きれない。……つくさない。看—— 見きれない。仙讀亦讀—— 幾ら讀んでも讀盡せない。

ブッ シイ 佛生。神佛の誕生日。—— 日 同上。食—— 佛の誕生日の馳走を食ふ。—— 會 神佛の誕生日の祭典。

ブッ シイ 制死。斬殺す。

ブッ シイ ジッ 佛生日。神佛の誕生日。

ブッ シェク 不識。識らない。識別しない。辨別しない。—— 輕重 輕重を辨しない。輕重を區別す

ることが出来ない。一時務り時勢を識らない。

目一丁目は丁の字を識らない、無學の意。

有眼一泰山眼有りて泰山を識らず、眼識が

ブシエヌ不善。(又)不善。「ない意」

ブシエン不成。(又)成らず。學業一學業成らず。畫虎一反類狗虎を畫いて成らず反つて

犬に類す。

ブシエンキイ不成器。(又)器に成らず。物にな

らない。玉不琢一玉磨かざれば器を成

さず。功名一功名が成就しない、考試に

落第する意。

ブシエンジヌ不成人。(又)人に成らぬ。物に成ら

ブシエンジヌスウ不省人事。(又)人事不省。一

時續一去一時人事不省になった。

ブシエンソファミ不成算。●數に這入らない。取る

に足らぬ。成つてゐない。一的人取るに足

らぬ者。役に立たぬ者。講到一寡話一

取るに足らぬ話ばかりをする。話に成つてゐな

い。●形體など變な。ちっげけな。此粒相仔成

一此の蜜柑は本當に妙な形をしてゐる。

ブシエンブツ不成物。(又)成つてない物。出來損

ひ。物にならない。

ブシエンブツソファミ不成不算。「不成算」。

ブシホク不俗。(又)俗ならず。風雅。鄙しからず。

雅氣がある。生成一生成れつき上品な。

ブシオン不祥。(又)不吉。不祥。

ブシオン不常。非常に。一開熱一非常に賑かだ。

一賢走一非常によく走る。

ブシオン佛儂。佛儂。

ブシオンカヌ不相干。目下などに對して無理を

いふ。又無理をする。序大人自己一親

達自身の方が悪い。

ブシオンソファミ不上算。「不成算」。

ブシオントク不相同。同じくない。風俗一

風俗が同じくない。大一一全然同じくな

い。全く違ふ。

ブジイ佛字。●梵字。●佛の託宣によって書かれ

た異形の文字。●御圍の文句。看一一同上を説

明する。

ブジイカア不二價。●定價通り。正札。掛値な

し。●極り切つてゐる。是非なくてはならぬ。出

門坐車一一他所へ行く時に車に乗ることは

極つてゐる。伊烏米一一彼には阿片が無く

てはならぬ。若是寒熱仔白藥一一若シマ

ラリヤだつたらキニーネは附物である。

ブジイケエ不二價。前に同じ。

ブジイコヲ不而過。「不過」の②。

ブジエヌ不然。不然ば。再一一然らずんば。愈

爲方が無ければ。

ブジエヌ勃然。(又)勃然。勃如。

ブジツ不日。不日。不日。近日。一伊能來一彼

は不日來る。

ブジヌ不仁。不仁。一不義一沒義道。不仁不義。

猫的奸臣、鬻的一一痘痕の者は奸物、鬻鬻の

者は不仁。

ブジテホオヒエツ不入虎穴。一一焉得虎

子一虎穴に入らずんば焉ぞ虎子を得んや。

ブジム不忍。心に忍びない。氣の毒に思つて心が

堪へられない。看了眞一一見るに忍びない。

一一俤子去艱苦一子を苦しい目に遇はせるこ

とは忍びない。自己想了一一自分が考へる

と氣の毒になつて心に濟まない。

ブジムシム不忍心。前に同じ。

ブスウ不死。不死。死なない。一藥一不死の藥。

ブスウ佛事。法會。佛事。

ブスウギイ不思議。(又)不思議。

ブスウクイ不死鬼。死なない鬼。鬼の如く形態の

醜い。ちっげけな。成つてゐない。みつともない。

普通人と行動の變つた妙な。人生成一一

ブ

ブ

ブツ

醜い人相をしてゐる。起到一間厩成
——建てた家がちつぽけでみつともない。——
的人の妙な性質を持つてゐる人。

ブツ スウコグ 不死國。不死の國。走到——同
上に逃げる、落延びる。

ブツ スウサウ 不死草。【麥文冬】。
ブツ スウシオンハア 不輸上下。甲乙がない。上下
優劣がない、對等。五分五分。與伊——
彼とは五分五分である。二個——二人は
五分五分である。

ブツ スヌ 不順。不順。天氣——天氣不順。
ブツ スウ 不如。……するに如かず。寧ろ。いっそ
の事に。百聞——一見。百聞は一見に如かず。一
人智。——兩人議。一人の智は二人で相談し
て行ふ事に如かず、三人寄れば文珠の智慧。遠
親——近隣。遠き親類は近隣に如かず。口説——
身逢。耳聞——眼見。口で言ふは身自ら逢ふ
に如かず、耳で聞くは眼で見るに如かず、百聞は
一見に如かずの意。——逃走較好。寧ろ逃げる方
がよい。

ブツ モエ 不齊。不揃。五官——五官が揃つてゐな
い、顔が醜い意。
ブツ モエ 萃薺。【馬薺】。

ブツ

ブツ モエ スウ 不濟事。用をなさぬ。役に立たぬ。駄
目。烏合之衆——烏合の衆は用をなさぬ。
ブツ アア 不全。不具。不具。
ブツ アオ 佛祖。觀音佛。佛祖。
ブツ アオ 佛報。觀音様の生誕日に吹く大風。
ブツ アヲ 佛座。佛座。須彌壇。
ブツ アンイオン 不中用。【不中用】。
ブツ タア 不打。打たず。鼓——不響。人——不招
——大鼓は打たざれば響かず、人は打たざれば言は
ず、拷問しなければ白狀しない。——自招。打
たずして自分で白狀する。

ブツ タア 佛塔。佛塔。塔。 「ふに及ばぬ。
ブツ タイギエヌ 不待言。言ふを要しない。勿論。言
ブツ タウカク 剃頭亭。首を刎ねる。首を斬る。
ブツ タヌ 不但。次に同じ。
ブツ タヌ 不但。のみならず。計りでない。——了錢
尙且有罪。金を損する計りでなく尙且罪があ
る。
ブツ タヌ ナア 不但者。前に同じ。
ブツ タヌ ホアヌ 不悻煩。苦勞を厭はず。
ブツ タヌ プツ 不答不七。不完全にして整つて
ゐない。無茶苦茶。不揃。成つてゐない。話講到
——話が不得要領だ。生理做到——
——商賣になつてゐない。

ブツ キム ブツ ツウ 不食不取。食らず取らず、正
直。——的人。同上の人。
ブツ チアア イツ 不接。引續いてゐない。中途で切
れる。切切。藥食了——引續いて藥を飲ん
でゐない。做日仔工的人趁了——日稼
人は収入が一定しない。錢寄較——切切に
送金をする。送金が不十分だ。
ブツ チアム 扒尖。尖つた形に積む。三角形に積む。
ブツ チアム サイ 不常在。いづれにせよ。好天雨來
——定着着去。天氣にせよ雨天にせよ、鬼に
角行かなければならぬ。公與私——着分明
——公私執れにせよ明かにすべきである。
ブツ チアン ブツ アヌ 不漳不泉。言葉が漳州系で
もなければ泉州系でもない、純粹の國訛でない。
ブツ チイ 不止。●本當に。甚だ。餘程。大分。誠に。
素敵に。隨分。大變。——艱苦。大にこまる。
——氷。非常に冷い。——開脾。大變食慾が
進む。●……に止らず。……ではきかぬ。もっと
多い。——五千。五千ではきかぬ。
ブツ チウ 佛咒。佛法の咒。
ブツ チウ エク 不測。料らず。思はず。——的事。豫期
せざる事件。不測の事。
ブツ チエヌ 不淺。少くない。淺からず。害人——

ブツ

ブツ キム ブツ ツウ 不食不取。食らず取らず、正
直。——的人。同上の人。
ブツ チアア イツ 不接。引續いてゐない。中途で切
れる。切切。藥食了——引續いて藥を飲ん
でゐない。做日仔工的人趁了——日稼
人は収入が一定しない。錢寄較——切切に
送金をする。送金が不十分だ。
ブツ チアム 扒尖。尖つた形に積む。三角形に積む。
ブツ チアム サイ 不常在。いづれにせよ。好天雨來
——定着着去。天氣にせよ雨天にせよ、鬼に
角行かなければならぬ。公與私——着分明
——公私執れにせよ明かにすべきである。
ブツ チアン ブツ アヌ 不漳不泉。言葉が漳州系で
もなければ泉州系でもない、純粹の國訛でない。
ブツ チイ 不止。●本當に。甚だ。餘程。大分。誠に。
素敵に。隨分。大變。——艱苦。大にこまる。
——氷。非常に冷い。——開脾。大變食慾が
進む。●……に止らず。……ではきかぬ。もっと
多い。——五千。五千ではきかぬ。
ブツ チウ 佛咒。佛法の咒。
ブツ チウ エク 不測。料らず。思はず。——的事。豫期
せざる事件。不測の事。
ブツ チエヌ 不淺。少くない。淺からず。害人——

人を害すること少くない。

ブツ チエヌカア 不弄脚。―― 隣行看覓 有無に

係らずまあまあ行つて見る。

ブツ チエヌチウ 不弄手。―― 去反着 有つても

よし無くてもよしと思つて徒ら半分に播捲つたら

見附出した。

ブツ チエヌツイ 不弄嘴。―― 間看覓 成否有無

に係らず言つて見る。まあ聞いて見る。

ブツ チエン 不正。不正。上―― 則下歪 上正しか

らざれば下亦正しからず。

ブツ チエン 不情。(文) 無情。非情。

ブツ チエン 不稱。合はない。似合はない。適合しな

い。―― 職 職に適しない。名 實 評判が

ブツ チオク 不足。不足。足らず。

ブツ チオンチヌ 不長進。出世しない。無能。役に

立たない。やくざな。―― 的人 同上人。

ブツ チツブツパツ 不七不八。【不容不七】。

ブツ チヌ 不盡。―― 盡きない。講 話 話しても盡き

ない。食 食しても盡きない。―― 上には上が

ある。賢 賢 賢い者の上には偉い者がある。

ブツ チイ 不知。知らない。不知。―― 去向 去先が

知らない。行先が知らない。―― 天地 天地を

知らない、世の中の事を忘れて無我夢中になる。

―― 足 足るを知らず。飽きるを知らず。―― 不

覺 無我無心。思はず知らず。覺えず知らず。――

―― 不罪 知らずして爲したのは罪しない。

ブツ チイ 不致。其迄に至らない。其迄にならぬ。其

程にならぬ。若有勤讀 不第 若し眞面目

に勉強したならば落第する迄にはならない。――

―― 到此 斯く迄には至らない。

ブツ チイ 不治。(文) 不治。

ブツ チイ 不拗。(文) 【不拗】。

ブツ チイツヌ 不知春。(種) 茶樹の品種。

ブツ チイブツカク 不知不覺。覺えず知らず。思は

ず知らず。

ブツ チウ 不儻。【行直】の手の一。兩天秤の手の一。

食 食しても食つても盡きない。

ブツ チウ 佛帳。佛前に垂れる帳。斗帳。

ブツ チエツ 不徳。(文) 不徳。

ブツ チエツ 不得。得ず。得ない。―― 時 時を得な

い。―― 開擧 思案に餘る、途方に暮れる。

ブツ チエツ 不得。……することは出来ぬ。了 了 責任を逃れることは出来ぬ。當惑の意。做 做 することは出来ぬ。してはならぬ。

ブツ チエツ イ 不得已。已むを得ず。餘儀なく。仕

方なく。餘儀ない。據ない。致方ない。

ブツ チエツ 不得不。……せざるを得ず。―― 着去 行かざるを得ない。―― 亦着 講 言は

ざるを得ない、如何しても言はなければならぬ。

ブツ チエツ 不シツ 不得不失。持成など厚くもな

ければ薄くもない。失禮にならない程度にする。

對好 歹人 我總是 好 好い人に對しても

悪い人に對しても私は兎に角失禮にならない程度

にしてゐる。

ブツ チエツ リアウ 不得了。只では濟まぬ。納 が 着

かない。當惑。困る。被伊 告着 你就 彼に告訴されたらそれこそ貴方が困る。

ブツ チエヌ 佛殿。殿堂。佛殿。

ブツ チエヌ 不頼不怪。茶利役など氣運

じみた振舞をする。諸誰ける。―― 權無大

段 同上で少しも大人らしくない。―― 字寫到 見 見つともない變な字を書く。

ブツ チエン 不等。―― 等しくない。同じくない。――

價 價が同じでない。値段が違ふ。―― (主に形容

詞などに附して上には上があるなどの意を表す)

限度がない。好 好い物の上には好い物があ

る。歹 歹い物の下には又悪い物がある。

比 比 比較の仕用がない。

ブツ

ブッ

ブツチエン 不定。不定。定まらない。極らない。確
 ブツチホク 不着。【無着】。「定しない」
 ブツチオン 不忠。不忠。忠ならず。
 ブツチオンイオン 不中用。やくざ。無用。役に立たぬ。用に立たぬ。——的(トク)東西(シヤウシヤウ)役に立たぬ者。
 ブツチオンチヌ 不長進。【不長進】。
 ブツチツ 不直。公正でない。道理が無い。曖昧にする。賤項(シヤクシヤク)與人(ニ)他人(タニ)との掛勘定(カケカンテイ)を曖昧にする。——(ニ)——(ニ)是你(シイ)——(ニ)紛争(マシヤウ)の場合(ババヤウ)に何れにしても貴方(アナタ)が無理(ムリ)である。
 ブツツウ 不住。●敵(テキ)對(テイ)しきれぬ。忍(ニ)——(ニ)堪(タ)へきれぬ。●申(マシ)譯(ワカ)がない。對(ニ)——(ニ)濟(ツ)まない。
 ブツツウジエヌ 不自然。(圓)不自然。
 ブツツウズウ 不自如。自在でない。心の儘(まま)にならぬ。不自由(ふじゆう)身體(シヤクシヤク)尙(ナ)——(ニ)身體(シヤクシヤク)がまだ工合(ウチヤウ)が悪い。站(チ)人(ニ)兜(トウ)較(カク)——(ニ)人(ニ)の家に居(イ)るのは不自由(ふじゆう)である。
 ブツツウリオン 不自量。己(オレ)の能力(ナリキ)を考(カ)へない。
 ブツツツ 不出。出(イ)ず。——所料(シヤクシヤク)案(アン)の如(ごと)く。思(オモ)ふ通り(トウシ)考(カ)へ通り(トウシ)推量(スイリヤウ)した通り(トウシ)——(ニ)十日(シヤウジツ)十日(シヤウジツ)を出(イ)でない。十日(シヤウジツ)以内(イノウチ)。
 ブツツヌ 不准。許(ヨ)さない。許(ヨ)可(カ)しない。——別人(フタリジン)看(ミ)他(タ)見(ミ)を許(ヨ)さず。

ブッ

ブツツイ 不對。合(あ)はない。違(ちが)ふ。口音(カウイン)——(ニ)發音(ハツオン)が違(ちが)ふ。
 ブツツウ 不鞫。愚鈍(ぐどん)。馬鹿(ばか)。分(わか)らず。——的(トク)人(ジン)——(ニ)同上(ドウジョウ)の(ノ)人(ヒト)。
 ブツツン 不斷。絶(た)えず。斷(き)れず。三頓(さんどん)魚肉(イサニク)——(ニ)三度(さんど)の飯(イ)の菜(さい)に魚肉(イサニク)を斷(き)たない。常(つね)に美(び)食(じき)してゐる意(い)。雨落(アメノラ)——(ニ)雨(アメ)が降(ふ)り續(つ)く。
 ブツツン 佛堂。佛堂(ぶつどう)。
 ブツツエ 不第。(進)不第。
 ブツツエ 不第。考(かう)試(し)に及(ま)り及(ま)りしない。落第(らくだい)蘇秦(そしん)假(か)——(ニ)蘇秦(そしん)人名(ニ)が遊説(ゆうせつ)に失(し)敗(ぱい)した風(ふう)を裝(ま)ふ。よく出(イ)来る者(モノ)が出來(イ)ない風(ふう)を裝(ま)ふ時(とき)などにい(イ)ふ。——(ニ)學(ガク)士(シ)進(シン)士(シ)の考(かう)試(し)に落(らく)第(だい)した學(ガク)士(シ)。
 ブツトア 佛壇。佛壇(ぶつだん)。
 ブツトアヌ 不端。不正(ふせい)。不行跡(ふぎやく)。不品行(ふひかう)。做(シ)——(ニ)不行跡(ふぎやく)な事(コト)をする。
 ブツトオハブ 不都合。(圓)不都合。
 ブツトヲ 制倒。伐倒(ばくたう)す。
 ブツトヲ 不到。出頭(しゅつとう)せぬ。出(イ)場(じやう)せぬ。
 ブツトヲ 佛桌。神明(しんめい)桌(しやく)。
 ブツトシ 不愾。愚鈍(ぐどん)。愚(ぐ)馬鹿(ばか)。你(ニ)真(マコト)——(ニ)お前(まへ)は本當(ほんとう)に馬鹿(ばか)だ。
 ブツトシ 不同。同(どう)じでない。不(ふ)同(どう)。違(ちが)ふ。今(いま)——(ニ)古(こ)ノ

ブッ

ブツトシ 不通。●通(つう)じない。不(ふ)通(つう)。言語(ゲンゴ)——(ニ)言語(ゲンゴ)が通(つう)じない。有(ウ)錢(ゼン)説(セツ)話(ワ)鳴(ネ)礮(カ)礮(カ)無(ム)錢(ゼン)説(セツ)話(ワ)真(マコト)——(ニ)金(カネ)が有(ア)ると言(イ)ふことがよく響(ひび)いて人(ヒト)に聞(き)かれ、金(カネ)が無(ム)いと言(い)ふことが通(つう)じない。●變通(へんつう)が利(き)かぬ。頭(あたま)が悪い。——(ニ)人(ジン)做(シ)文章(ぶんしょう)頭(あたま)の悪(わる)い人(ヒト)は拙(せつ)い文章(ぶんしょう)を作る。●拙(せつ)い。做(シ)法(ぽう)——(ニ)やり方(かた)が拙(せつ)い。屑(くず)起(おこ)此(こ)欺(たぶ)真(マコト)——(ニ)こんな家(いえ)を建てた(た)のは非(ひ)常(じょう)に拙(せつ)い。
 ブツトシサヌ 不動產。(圓)不動產。
 ブツトシシアウ 不通精。(進)變通(へんつう)が利(き)かぬ。馬鹿(ばか)。
 ブツトシトヲ 不同道。職業(しごく)が違(ちが)ふ。
 ブツトシブツ 不通不。(不)通(つう)の(ノ)不(ふ)通(つう)。
 ブツトシリイキエヌ 不動理率。役(やく)に立(た)たぬ。やくざ。——(ニ)的(トク)的(トク)物(モノ)やくざ物(モノ)。講(かう)彼(ヒ)的(トク)的(トク)話(ワ)——(ニ)話(ワ)あんな詰(つ)らぬ話(ワ)をする。
 ブツハウ 不孝。不孝(ふかう)。——(ニ)不義(ふぎ)不孝(ふかう)不義(ふぎ)。——(ニ)有(ア)三(さん)無(む)後(ご)爲(な)大(だい)不孝(ふかう)に三(さん)あり後(ご)嗣(し)なきを第一(だいいち)とす。——(ニ)怨(うら)父母(ふぼ)欠(か)債(さい)怨(うら)財(さい)主(しゆ)不孝(ふかう)者(モノ)は父母(ふぼ)を怨(うら)み金(カネ)を借(か)りた者(モノ)は債(さい)主(しゆ)を怨(うら)む。
 ブツハヘ 不合。合(あ)はず。
 ブツハヘギイ 不合宜。次(つぎ)に同じ。
 ブツハハシシエツク 不合式。當(た)然(ぜん)でない。適(て)當(たう)でない。

状。拜一奏状を捧げる。手一官吏の履歴を
 書記したもの。戯一外題を書記したもの。全一
 戯一外題全部の芝居。①册。巻。一册一册
 の本。一部有四一書籍一部が四册ある。②草
 木又は数字などの種類。草一草本。木一木
 本。大一花一八重又は大い花の種類。細一花一
 重又は小い花の種類。大一字一字畫の複雑な數
 字、壹貳參等の數字。細一字一・二・三等の
 數字。

プヌ 糞。肥。肥料。焼一堆肥を焼く。落一肥
 料を施す。多牛踏無一牛が多いと糞を踏散し
 て糞がなくなる。多人數で仕事をすれば却って仕
 事の出来ない意。

プク 噴。口で吹く。一風息を吹掛ける。一鼓吹一
 喇叭を吹く。火一熄一火を吹消す。①出放題を
 いふ。法螺を吹く。一雞管一法螺を吹く。摺一
 出放題をいふ。②言觸す。四界去一四方へ
 行って言觸す。一人的一歹話一人の悪口を言觸す。

プヌ 筍。農家で畑などを貯蔵する爲に用ひる粗い竹
 の籠、蛇籠の如きもの。竹一同上。茶煮到大
 一流細一泥一菜を大小の同上に一杯溢れる程煮
 る。大家族などで菜を食ひきれぬ程鹽當につくる
 こと。①同上に物を入れる。一粟一籾を入れる。

プヌ

プヌ 甲板。一頂一甲板の上。二一第二層の甲板。
 體が肥太って動作が鈍い。身軀一同上。臭
 一同上。牛較一馬較走跳一牛は鈍いが馬は
 敏捷である。平平路跋死一猪母一平坦な道に
 肥った牝豚が轉死ぬ。肥えた人の路に倒れたのな
 どを笑つていふ。

プヌ 渦。渦巻く。倒一流一打寄せて後へ返る渦潮。風
 倒一風が物に當つて渦巻いて後へ返る。土粉
 一起來一砂が捲揚る。砂一歸孔一砂原が渦潮に
 卷かれて穴が出来来る。雞一出雞欄一鶏がじた
 ばたと鳥屋を滑つて出る。

プヌ 奔。一進一奔走。一走一同上。一波一同上。
 出一出奔。

プヌ 橋。白水。浙汁。(豚の飼料となす)。米一同上。
 清一澄んだ浙汁。酸一酸っぱくなった浙汁。
 食飽一、促死人一浙汁を飽足る程食つて人の邪
 魔をする。腹一杯に食へば大人しくなるのに却
 て邪魔をして五月蟬の意。

プヌ 翫。猪や牛馬などが播散す。撥散す。踏荒す。
 園被牛一了了一畑が牛に踏荒されて悪くな
 ってしまった。被牛一着牛に蹴飛ばされる。①も
 がいて振切る。一走一振拂つて逃げる。②矢鱈と
 金を撒散す。打一用一同上。站查某間在一女

プヌ

邸屋で散財する。没堪得你一あなたの浪費に
 は堪へられない。

プヌ 噴。跳掛る。飛跳ねる。一火花一火花が飛ぶ。
 水花一着日睨一飛沫が目には掛る。油一到一四
 界一油揚する時に油が四方へ飛散る。①振
 散す。花盆着水一花盆に水を振散さなければな
 らぬ。一金仔粉一金の粉を散す。一幾點仔雨
 一ぽつぽつ雨が降つた。

プヌ 盆。盆。鉢。花一植木鉢。盆栽。一
 花一鉢の花。賭博の出目。衰一一目が悪い。
 旺一一目が好い。閃一賭博にはることを
 避ける。逃口上をいふ。②番。御鉢。此満着
 你的。一今度は君の番だ。今度は君に御鉢が廻
 った。

プヌ アア 笨仔。七本の竹に麻布を張つたもの【揀桶】
 の周圍に繞らし稲の籾を打ち落す際其飛散するを
 防ぐに便にす。

プヌ アア コラ 笨仔窩。笨仔を作るに用ひる竹の
 本。本愛。本来好き。元來好き。本から好む。
 一退退的人一本来遊好きな人。①本来すべき
 である。税金一着納一税金は納むべきもので
 ある。一着用一本来使ふべきである。

プヌ アヌ 本案。本事件。

プヌ

プヌ

プヌ アム 播漕。白水と飯の炊粘とを混ぜたもの、豚

などに食はせる。

プヌ イア 本營。本營。本陣。

プヌ イイ 本意。本志。本懐。下心。

プヌ イウ 噴油。滾かした油の中に符を入れ其油にて

手を洗ひ或は之を口に含みて噴く。(巫覡の行ふ術)。

プヌ ウイ 本位。●元の席。元の處。原位。○(●)本

位。用金做ー||金を本位にする。

プヌ ウウ 本有。本来ある。元からある。元から持つ

てゐる。ー||此款の規矩||元からかういふ規

プヌ エエ 分的。貰つたもの。貰子。不是親生的是

ー||貰子ではなく貰子である。

プヌ カア 本家。當家。

プヌ カウ 糞口。肛門。

プヌ カウ 盆口。賭博などの出目の工合。好ー||同

上がよい。運がよい。看ー||出目の工合を見る。

プヌ キイ 糞箕。箕の如き形の畚。塵取。ー||與春

楹||同上と婚禮の時の釣簾、月と籠、味噌と糞な

ど。ー||嘴||同上の様な口、大くて下唇の突出

プヌ キイ チヌ 糞箕塵。(也)(大戦科)つるあかめが

プヌ

しは。【鈎藤】の◎。

プヌ ケン 盆景。盆栽の景。盆栽の工合。虎耳草

件ー||雪の下でも盆栽の景を添へる、枯木も山

プヌ キム 盆金。大な【金紙】の一種。「の脈ひ。

プヌ タイ 分開。分離する。家伙ー||財産を分け

る。與你ー||貴方と別れる。

プヌ タイ 噴氣。息を吐く。氣息を吹く。

プヌ タイ チア 分開食。籠を分ける。分家して各自

に暮す。

プヌ クイルイ 分歸類。部分。分類。類別。

プヌ クウ 分籠。籠の形につくった餅を人に分けてや

る。ー||跳坎||同上の時に或店をとばして配る、

不公平の意。

プヌ クウ 本居。(●)本居。

プヌ クウ トエ 本居地。(●)本居地。

プヌ クン 播缸。米の白水を入れる甕。

プヌ グヌ 本銀。元金。元金。

プヌ ケエ 本家。宗家。本家。

プヌ ケエ ヘエ 分家伙。財産を分ける。

プヌ ゲエ 本月。(●)當月。今月。本月。

プヌ コア 本官。(●)本官。本職。

プヌ コアイ 本縣。本縣。當縣。

プヌ コエ タイ 噴難管。風船玉を吹く、法螺を吹く。

プヌ

プヌ コオ 分股。【拆股】。

プヌ コオ エ 噴鼓吹。唐人笛を吹く。喇叭を吹く。

剃頭ー||床屋は大抵同上を兼業する。

プヌ コロ 本科。(●)本科。

プヌ コク 本國。(●)本國。本邦。本土。

プヌ ゴアヌ 本元。本源。源。大本。根本。

プヌ サウ 奔走。(●)奔走。

プヌ サウ 斬走。振拂つて逃げる。

プヌ サウ 噴走。(物を切り又は碎くときなど)屑が跳

プヌ サヌ 本棧。本店。本舖。「ねる。飛ぶ。

プヌ サヌ トオ 分田土。田地を分ける。分地。

プヌ サン 分議。根株を分ける。根分。

プヌ シア 本社。(●)本社。

プヌ シアン 本相。(●)本相。

プヌ シアン シイ 本常時。(●)本常時。

プヌ シイ 本是。元から……である。元來。本來。|

如此||元から斯うである。ー||愛迫迫的人

||元來遊好きな人である。

プヌ シイ 本姓。本姓。

プヌ シエウ 本色。加工せざる本来の色。元からの色

ー||西洋||同上の金巾。

プヌ シエン 本性。本来の性質。本性。天性。生附。

プヌ シエン 益成。(●)益成。

プノ シオン 本相。本體。正體。現出。正體を現す。

プノ シオン シイ 本常時。元來。平素。平常。前には。元。伊是好額。元彼は金持であった。不曾做歹。平素悪い事をしたことがない。

プノ シツ 噴煙。吹消す。隔壁。燈火。隣家が燈火を吹消す。餘計な差出口をするをいふ。

プノ シヌ 本身。自身。自分。自。本人。去。自身で往く。

プノ シヌワン 本身湯。肉からつくったソップ。他物を混ぜない煮汁。

プノ シヌラン 本身人。本人。

プノ シム 本心。本心。下心。

プノ ジユヌ 本然。本来。元來。從來。元元。

プノ ジツ 本日。本日。

プノ スウ 本事。才能。腕。腕前。本領。伎倆。有。一。堪能。有爲。展。一。手腕を振ふ。手立を顯す。一。擧薦。二。運氣。三。一。推擧。二。運命。三。腕前。人の立身出世するに必要なもの。

プノ セエ 噴雪。(菫草科) 白丁花。

プノ ゼエ 噴吹。唐人笛を吹く。喇叭を吹く。

プノ ソア 分散。別別になる。散散に別れる。分散。解散。分裂。

プノ ソア 体糞。(麩) 狸頭糞。

プノ ソアツ 噴雪。(菫草科) 白丁花。白丁木。

プノ ソオ 本所。(麩) 元の所。生れた所。本来の所。

プノ ソオ 本訴。(麩) 本訴。

プノ ソヨ 糞掃。芥。塵。

プノ ソヨ シウ 糞掃箱。塵箱。芥箱。

プノ ソヨ タン 糞掃桶。芥箱。塵箱。一。在。假洋服厨。芥箱が洋服箆筒を似せる。下等な娼妓が上等の藝者を装ふ意。一。下等な淫賣婦。開。一。同上を買ふ。

プノ ソヨ ツイ 糞掃堆。塵溜。塵塚。掃溜。

プノ ソヨ プウ 糞掃堆。堆肥をつくる爲などに塵を積上げたもの。

プノ ソヨ ラン 糞掃籠。糞掃桶。

プノ ソエ 噴吹。(麩) 噴吹。

プノ ソオ 奔走。(麩) 奔走。馳廻る。

プノ ソウ 本曹。(紙の種類の名) 少しく黄味を帯びた肉厚の中版の紙。

プノ ソウ 本草。(交) 本草。

プノ ソウ 糞槽。豚に食はせる米の泔汁を入れる長形

プノ ソウ ハク 本草學。(麩) 本草學。植物學。

プノ ソク 本族。自分の宗族。自分の一族。

プノ ソウ 噴吹。(麩) 噴吹。

プノ タア 扁擔。(麩) 扁擔。

プノ タイ 糞滓。白水の洗滌物。

プノ タウ 糞斗。芥取。塵取。塵承。

プノ タウ 本頭。(査某爛) が買はれて他に嫁した時。舊主人に對する稱呼。舊の主人。舊の親方。

プノ タウ イイ 糞斗椅。竹で作った椅子。手をもたせる處のあるもの。

プノ タン 糞桶。米の泔汁を入れる桶。

プノ チア 分食。一。乞食する。食を乞ふ。一。家を分けて別別に暮す。分家する。分戸する。

プノ チア 本成。元來。元。以前。前。初。一。有錢。元から金を持つてゐる。一。想要去。初めは行かうと思つてゐた。

プノ チア 糞且。塵取。塵承。芥取。

プノ チア シイ 本成是。本是。

プノ チア ン 体戕。一。體が肥太つて動作するに工合が悪

い。身軀。一。同上。一。物など大く持扱ひ難い。柄。一。柄が太く持扱ひ難い。

プノ チイ 分錢。錢を分ける。倚索。一。地引の網を引張つて錢を分けて貰ふ。人に頼んで金を儲けさせて貰ふなど。

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ チイ 本錢。資本金。元手。元金。元金。一。利息。元金と利息。出。一。資金を出す。一。較

プノ

プノ

プノ

プヌ

粗ヌ資シ本ン金ンが澤山カかる。
 プヌイ本シ書シ。(種シ)たいわんこまつなぎ。(昔料、藍色染料とす)。
 プヌチウヲエク分ク上ク鞋ク。花嫁ハが夫トの母親ハ或ハは伯叔母ハに與ルる靴ク。
 プヌチエク本シ籍シ。(國シ)本シ籍シ。
 プヌチエク笨シ粟シ。籾シを貯藏スする。
 プヌチエン休シ戔シ。【休戔】。
 プヌチエン休シ戔シ。【休戔】。
 プヌチツク本シ質シ。本シ質シ。
 プヌチツク本シ職シ。(國シ)本シ職シ。本シ務シ。
 プヌチツク本シ籍シ。(國シ)本シ籍シ。
 プヌチアク本シ廳シ。本シ廳シ。
 プヌチアク分シ拆シ。仲間ナなど分離スする。分クける。――家ノ伏シ財シ産シを分クける。生理ニ――共同ノの店ガ分ク離ル。
 プヌチアウ本シ朝シ。本シ朝シ。我ガ國ノ。【する】。
 プヌチアム噴シ點シ。ぼつぼつ。點シ點シ。衫シ上シ斑シ――
 着物ニぼつぼつ星ガ出ルる。雨ニ――雨ガぼつぼつ落ルる。
 プヌチウク分シ張シ。子供ナなど物ヲを惜ミます人ニ分ク與ルる氣ヲ前ニ有ル――氣ヲ前ガ好シい。無シ――氣ヲ前ガ悪シい。
 プヌチウク笨シ抽シ。船ノ甲板ノ兩側ニ附クける長シ木ヲ。
 プヌチエン本シ等シ。●甲斐性シ。才能シ。伎倆シ。腕前シ。働ク。

プヌ

有ル――甲斐性シがある。歹シ歹シ我的シ――悪シいと
 いうても乃公ノの甲斐性ヲですることだ。開開我的シ
 ー金ヲを使ツつても乃公ノの甲斐性ヲですることだ。
 ー自分で負擔スする意ヲ承知スの上ニ了ス。了ス我的シ――
 損シすること承知スの上ニ了ス。損シをしたつて構ハはな
 い。赤シ、赤我的シ――貧乏シすることは承知スの上ニ
 だ、貧乏シをしたつて構ハはない。
 プヌチエン本シ頂シ。【本成】。
 プヌチエン笨シ頂シ。申板シ。デッキ。
 プヌツイク分シ水シ。分水シ。分水線シ。分水嶺シ。
 プヌツイクチウ噴シ水シ鬚シ。飛沫シが跳飛スぶ。
 プヌツイクチイ噴シ水シ池シ。噴水池シ。
 プヌツイクホエ噴シ水シ花シ。飛沫シが跳飛スぶ。
 プヌツイク噴シ春シ。舊ノの正月組ヲ成シて音楽ヲ奏スし各ノ家ヲ回リ祝儀ヲ貰ヒ歩くもの。
 プヌツヌクホエ噴シ春シ花シ。(漢)【飯春花】。
 プヌツンク分シ贓シ。贓品ヲ分クける。盗品ヲ分ク配スする。
 プヌツイク糞シ堆シ。芥溜シ。――石頭拾摺ニ芥溜ノ中の石ヲ取リ上ゲて棄テる、無用ノの廢物ヲ。役ニ立たぬ。
 プヌツンクアアチエン噴シ糖シ仔シ燈シ。砂糖ヲと飴等ヲを混ぜて煮キて固メ之ヲを噴キて脹リして種種ノの形ニ作リた菓子。
 プヌツエク本シ底シ。(漢)【本底】。
 プヌツエク本シ地シ。(漢)【本地】。

プヌ

プヌトエク本シ宅シ。(國シ)本シ宅シ。
 プヌトアク分シ單シ。書附ヲ配スる。
 プヌトアク怠シ惰シ。(漢)【怠惰】。
 プヌトエク本シ底シ。元來ニ固シより。從來ニ元シ。本來ニ自ラ就シ站在ニ彼ノ元ニから其處ニに住ンで居ルる。
 プヌトエク本シ地シ。●當地シ。此ノ地ノ。――的物ノ土地ノ物ノ。――人ノ當地ノ人ノ。本島人ノ。――話ノ土地ノ言葉ノ。本島語ノ。――香没香ノ土地ノの線香ハ薫ラない。土地ノの者は尊バれないといふ意ヲ。●臺灣特有ノの音調ヲを以テ奏スる音楽ヲ。【外江】に對スる。
 プヌトエトオク本シ地シ土シ。支那本土ニ出ルる阿片煙土シ。
 プヌトオク糞シ土シ。糞土シ。
 プヌトオクフヌ噴シ土シ粉シ。(蠟シ)埃ヲ噴キく、婿ガ死ンだ舅ノ姑ノの靈前ニ拜伏シてふうふうと涕泣スること。
 プヌトヲク分シ道シ。●轉轍器シ。(Pointの轉訛)。
 ●鐵道線路ノの分岐點シ。
 プヌトヲク本シ島シ。(國シ)本シ島シ。
 プヌトヲクフヌ分シ道シ嘴シ。【分道】の②。
 プヌトニク本シ年シ。(國シ)當シ年シ。本シ年シ。今年シ。今年シ。
 プヌトニク本シ檳シ榔シ。(漢)【檳榔】。
 プヌトハクハク噴シ嘘シ。ふうふうと喇叭ヲ吸ク。食到ル六十三要學ニ――年ガ六十三ニもなつて同上ノ稽古ヲする、老シいて阿片ヲ吸キ始める人ヲをいふ。

食^チ中心^ム的人^シ 飯^ツ鉢^クの真^マ中の飯^マを食^クつてゐる人、家庭内の一切の事に携^タらず只吞^ノ氣^キに食^クつてゐる人。

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

生科、莖・葉を煎服して神經痛を治す

香などを嗅^カぐ意、無愛^ム——你^ニお前^マを嗅^カぐ度ない、お前^マなんか相手^アにしない。御前^ミなんかは要^スらぬ。無愛^ム——轆^ル抹^マ你^ニ同上。——轆^ル抹^マ——

（嚇^オ文^ウ句^クなどに對^テしていふ）屁^ヘでもない。何^ニを糞^ク。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯桶、飯に居る蟲。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

飯斗、飯を入れる器。飯櫃、お鉢、お櫃。

三^サ攤^タづつ竹^チ串^クの先^マに貼^ハ附^ツけたもので正月^シ神^カや祖先^ソに供^マへる飯^マに挿^サすに用^ヨひらる。

賭博^トの際^キ他人^タの賭^カ錢^ゼに一部^イ催^メ合^フつて張^ハる。

飯頓、食事。飯、伊^イ——定^テ打^ダ在^ゼ我^ガ此^コ——

彼^カは常^{ジョウ}に食^シ事^ジを僕^{ボク}の所^{トコロ}でしてゐる、彼^カは常^{ジョウ}に僕^{ボク}の所^{トコロ}に泊^トつてゐる意、控^コ——飯^マの仕^シ度^ド「を」する。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

飯籃、破子。

ヘクヌ 歌囀。(通)【歌囀】。

ヘクン 火光。開一【開魂路】。

ヘクン 火管。火吹竹。一噴去【盜賊の隠語】銃を打て。發砲せよ。

ヘグヌ 會銀。頼母子講の掛金。講金。

ヘケエ 貨價。貨物の値段。物の價。

ヘケエ 下價。値が下る。物價が下落する。

ヘケエ 貨客。仕入に来る顧客。得意。

ヘゲエ 火筭。【火筭】。

ヘコヌ 火關。火難。帶一【火難の相がある】。

ヘコヌ 火罐。爆裂彈。爆彈。擲着【爆彈を擲んだ、手におへぬ嫁を買ったなどをいふ】。

ヘコヌ 下棺。入棺の後一定日の間棺を家に置く。【残】。

ヘコエ 火雞。銃の引金。打金。敵一【火蓋をきる。引金を引く。】七面鳥。【の肩】。

ヘコエ 蝦蟇。蝦の鹽辛。蝦の鹽漬。一【破】同上

ヘコオ 蝦蛄。(動) 蝦蛄。

ヘコオ 火籠。火の籠。鐵輪の周圍に裝置を施し火を點じたもの。驢一【童丸】などが同上を潜抜けて技を演ずる。

ヘコオ 夏枯草。(種) 唇形科(くるまばな)。

ヘコオ 夏枯草。(種) うつぼくさ。(唇形科、全)

草を煎服して婦人病を治す)。

ヘコオ 蝦蛄頭。(動) 蝦蛄。

ヘコエ 火鍋。錫製の器にして中央の筒に火を入れ料理を煮ながら食する装置のもの。一【同上に煮る料理、青銅の如きもの】。

ヘコエ 蝦蛄。蝦を捕る筈。

ヘコエ 灰壙。石灰で塗った墓穴。

ヘコエ 下願。願掛。願を掛ける。

ヘゴエ 火筭。鉄の形をした火を挟むもの。鐵鉄。

ヘサイ 火糲。煙火の一種。

ヘサイ 火尿。火粉。火花。一【燈心などの燃さしの頭に出来る赤い玉。丁字頭】。

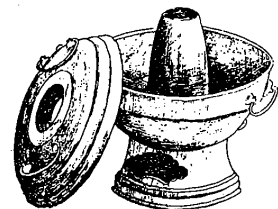
ヘサイ 火柴。マッチ。擦附木。

ヘサイ 火災。火事。火災。火難。

ヘサイ 貨財。貨財。財物。

ヘサイ 下戲。汽車。船などに積込む。荷を積む。

ヘサイ 火保。火災保險。(圖) 火災保險。



①の鍋火

ヘエウ 貨草。貨物の質。代物。一【没】代物が

ヘエウ 灰漆。石灰を混へた漆。【悪くない】。

ヘエウ 火漆。封蠟。封蠟。

ヘエウ 火擦。マッチ。擦附木。

ヘエウ 火城。多くの燈火を點じて裝飾したもの。イルミネーション。

ヘエウ 會帳。出納關係を説明し合つて勘定を突合せる。帳合。

ヘエウ 灰池。壁を塗る鏝。金鏝。

ヘエウ 下死槌。烈しく打つ。死ぬ程にひど

ヘエウ 下性命。生命を賭する。一生懸命。必死。一【走】必死になつて逃げる。一【趁】

一【一生懸命に稼ぐ】。

ヘエウ 歳壽。壽命。長一【長壽。長命。求天添一【神佛に長壽の願を掛ける】。

ヘエウ 和尚。坊主。和尚。坊様。坊僧。出家。一【無長頭毛俤人尋一【坊主に握む髮が

無い、人からせしめ取つても人にせしめ取られる様なことはない。一【倒頓仔米一【坊主が米を入れた甕を引繰返す、坊主と交れば米櫃が空になる。野到那一【坊主の様に情慾に燃えてゐる。奔一【死一【來答謝一【謝禮に一人の死んだ坊主を持つて来る、恩を仇で返す。一【騙団仔一

主を持つて来る、恩を仇で返す。一【騙団仔一

ヘエ

坊主が子供を騙す、鶏姦の意。

ヘシウアア 和尚仔。小僧。

ヘシウアム 和尚庵。和尚の住む庵。僧庵。

ヘシウヲヲ 和尚襖。僧侶が儀式の時に着る袈裟。

ヘシウカア 和尚家。桑門。沙門。

ヘシウカアア 和尚脚仔。伴僧。納所坊主。

ヘシウキア 和尚子。和尚の子。小僧。「法服」。

ヘシウサア 和尚衫。僧衣。僧衣。法衣。緇衣。

ヘシウタウ 和尚頭。坊主の頭。――乞無風母。坊主の頭には捜しても風は居ない、捜しても駄目の意。住――摸虱母。坊主の頭に住んで虱を捕へようとする、木に縋って魚を求めらな

ヘシウワイ 和尚樋。坊主を罵る語。糞坊主。

ヘシウトオテエ 和尚徒弟。和尚の弟子。所化。沙彌。道心。

ヘシウパン 和尚房。和尚の部屋。

ヘシウボヲ 和尚帽。僧侶の被る帽子。

ヘシウボヲ 和尚婆。僧侶の妻。大黒。

ヘシウラッ 和尚褌。頭陀袋。

ヘシウレエ 和尚禮。報謝。回向料。

ヘシエック 灰色。灰色。

ヘシエック 貨色。●貨物の種類。品。品柄。代物。

ヘエ

――較輪。品が劣る。●情婦。「性急」。

ヘシエン 火性。怒り易い性質。短気。性急。氣短。

ヘシオン 火傷。火傷。火傷。

ヘシオオオチャム 火燒烏尖。(種) 第一期作水稻類の一品種。「品種」。

ヘシヨキエック 火燒格。(種) 第二期作水稻無芒の一品種。

ヘシヨコオリアウ 火燒窟寮。網小屋の火事、無網(網が無い)と無望と同意にて望の無い意。

ヘシヨコヨ 火燒柯。「赤校」。

ヘシヨシム 火燒心。胸が焼ける。食番薯能――薩摩薯を食ふと胸が焼ける。

ヘシヨソア 火燒山。山火事。野火。

ヘシヨチウ 火燒酒。「火燒刀」。

ヘシヨツウ 火燒屠。火事。火災。驚跌落岩不驚――便所に落ちるのを恐れて火事を恐れぬ、身に纏へる衣服の外に何も有せざるなど。――燒過間。火事が外の家に移る、喧嘩など他に波及するをいふ。飛火。

ヘシヨツヌ 火燒船。船火事。

ヘシヨトヲ 火燒力。強度の焼酎の一種。

ヘシヨベエ 火燒麥。(種) 坊主麥。

ヘシヨポオ 火燒埔。●野原が焼ける。野火。●早魃。月圍籠――月に暈が出来る。と早にな

ヘエ

芒種雨六月――芒種の節に雨が降ると陰曆六月は早魃になる。

ヘシヨロヲ 火燒烙。燒木杙。燒残った木。

ヘシシ 伙食。日日の食料。糧。買――食事を食費。食料。「請負」。

ヘシシ 食神。火の神。祝融。

ヘシヌイア 火神爺。前に同じ。

ヘシヌトッブツ 下神託佛。神佛に祈る。

ヘシヌビエン 下神明。神に願を掛ける。

ヘシヌビヨ 火神廟。火の神の廟。

ヘシムワイ 回心轉意。(意) 回心轉意。

ヘジイカア 火字脚。漢字の四點火。烈火點。

ヘジイビエン 火字旁。漢字の火偏。

ヘジヌ 蝦仁。蝦の肉。

ヘジヌチエン 會人情。禮をいふ。恩を謝する。與人――人に恩を謝する。

ヘエスン 會算。「會賬」。

ヘエセエ 火勢。火の勢。火力。

ヘエモエ 火筆。火掃。

ヘエソア 火山。火山。噴火山。

ヘエソアテエガク 火山地獄。地獄の處刑場の一。

ヘエソアヌ 火燧。上等の金剛石。

ヘソエ 下搾。贈賄する。賂を使ふ。用錢。――金で同上する。

ヘソク 火速。(又)迅速。火急。至急。急速。

ヘソア 灰行。煉瓦又は瓦の接合目のセメントの筋。擦。――同上を塗込む。

ヘソア 下紙。【金紙】を焼いて祈る。――做微【金紙】を焼いて人を咒ふ。

ヘソエ 歳多。年をとる。年が行く。――賣無銭。年をとつてゐても賣つても金にならぬ、老年で役に

ヘソア 下作。(遊)【下作】。「立たぬ。」

ヘソン 火葬。(國)火葬。荼毘。

ヘソン 葬場。火葬場。焼場。

ヘソウ 灰頭。石灰を篩にかけた屑。

ヘソウ 火頭。炊事をする者。飯炊。――「る。」

ヘソウ 歳頭。年齢。――食多。年を食ふ。年をと

ヘソウ 貨頭。商品。品物。代物。

ヘソウ 回頭。(遊)【回頭】。

ヘソウ 會頭。●無盡講の親。●無盡の始。

ヘソウ オオ 回頭鳥。●川下に産卵して上つて来た鱈。●目的を達せず空しく逆戻りした者などを冷笑していふ。

ヘソウ キヲ 回頭轆。戻りの駕籠。歸り轆。

ヘソウ クヌ 火頭軍。軍隊の炊事番。

ヘソウ チアグ 回頭定銀。【倒頭定】。

ヘソウ ボヲ 火頭婆。炊事する女。

ヘソウ エヨヲ 下煙下蟻。謝禮として煙も上げる牡蠣も上げるといふ、充分に謝禮をすると言明する。事情未成。――到事情清楚無影。成功しない前には何んな御禮でもすると言つたが事が片付くと其は皆嘘だった。

ヘソア 回答。回答。返答。

ヘソア 同重。風袋の重さを差引く。――即知實重。同上すれば實際の重さが分る。

ヘソア 火窓。手提の手焙。

ヘソア 蝦籠。【蝦籠】。

ヘソア 火車。汽車。蒸氣車。搭。――汽車に乗る。

ヘソア 火刺。火を抄ふもの。十能。

ヘソア 貨車。貨車。荷物車。

ヘソア 下車。車に積む。

ヘソア コヲ 火炙糖。菓子の名。【ヨン】。

ヘソア タウ 火車頭。停車場。停車場。ステーション。

ヘソア トア 火車單。汽車の切符。

ヘソア ブウ 火車母。機關車。

ヘソア ロオ 火車路。鐵道。鐵道線路。



火窓

ヘソアム 火籤。長さ一尺二寸幅一寸五分斗りの竹片にして犯罪者を逮捕せんとする時【差役】に交付するもの。逮捕状。令状。執。――同上を携

ヘソアムピヲ 火籤票。前に同じ。【帶する】。

ヘソイ 火舌。炎。火焰。焰。――炸炸燃。火がぼうぼうと燃える。――電來電去。炎がべろべろと出る。【穴】。

ヘソイ 火井。火災の時貴重品を投入する爲に造つた

ヘソイ 火箭。火箭。石火矢。

ヘソイ 貨錢。賣上金。

ヘソイ 蝦煎。蝦の天麩羅。蝦のフライ。

ヘソイ 夏至。夏至。【はねて當る】。

ヘソイ 火星。火花。火の子。噴着。――火の子が

ヘソイ 蝦青。蝦の如き青味を帯びた色。

ヘソイ タウ フウ 蝦只豆腐。豆腐に蝦・豚肉等を混ぜて煮た料理。

ヘソイ 火酒。●焼酎。火酒。●酒精。アルコール。

ヘソイ 火鬚。炎。火焰。

ヘソウ 蝦鬚。蝦の鬚。

ヘソウ 下手。●手を下す。手を附ける。――月尾要。――月尾に着手する。取掛る。月尾要。――月尾に着手する。

ヘソウ 強。――先に手を出した者が勝つ。

ヘソウ 月尾要。――月尾に着手する。

ヘソウ 月尾要。――月尾に着手する。

ヘソウ 月尾要。――月尾に着手する。

へエ

へエ

へエ

へエチウアアソア 蝦鬚仔線。細い糸の名。

へエチエン火種。火種。共人討——人から火種を

へエチエン下種。種子を蒔く。「貰ふ。」

へエチヲ 灰石。石灰石。石灰石。

へエチヲ 火醜。火災避の爲にする【醜】。

へエチヲ 火石。火打石。燧石。

へエモツ 火拭。マツチ。

へエチヌヲウ 下真張。本気で。果して實際に。你

敢——要辭||君は本気で辭るのか。

へエチア 火鼎。●籠。幾個——籠は幾つ。幾家族。

拆——籠を分ける。分家する。●汽罐。ポイラ

へエチア 下碇。錨を下す。投錨。「」。

へエチアウ 同朝。(兼)「同朝」。

へエチアア 同帖。婚姻の際男家よりの贈物に對し女

家より返禮として贈る贈物の目録。

へエチイ 火箸。火箸。

へエチイ 夏夫。夏。夏季。

へエチイ へエトエ 天下地。天地に祈る。

へエチウ 夥長。ジャンクなどの船長。

へエチウ 係長。(圓) 係長。

へエチエン 下等。(海)「下等」。

へエチヲ 火挑。火挑。十能。

へエチヌ 夏藤。(植)「葎科」【紅口藤】。

へエツイ 灰水。石灰水。筧——刷子で壁に石灰

へエツウ 貨主。荷主。「水を塗る。」

へエツウ 火鼠。(動) 栗鼠。木鼠。

へエツヌ 火船。汽船。蒸氣船。搭——汽船に乗る。

へエツヌ 貨船。荷船。貨物船。

へエツン 貨倉。倉。貨物倉。倉庫。

へエマイ 灰槌。石灰を搗碎く棒。

へエマイ 火腿。ハム。臘乾。【煙腿】。

へエマイ シイ 火腿絲。ハムを絲の如く切つたもの。

へエマイ スヌ 火腿筍。ハムを筍に混せて煮た料理。

へエマイ タンコエ 火腿冬瓜。ハムを冬瓜等に混

せて煮た料理。

へエマイ ビイ 火腿片。ハムを短冊の如く切つたもの。

へエマイ ペエサイ 火腿白菜。ハムを豚肉・椎茸・白

菜等に混せて煮た料理。

へエツヌ 火遁。忍術の一種。火遁。

へエトア 貨車。商品の品付。目録。傳票。送状。

へエトア 火炭。炭。木炭。「送手形」。

へエトア アン 火炭壺。火消壺。消壺。

へエトア ヲアヌ。火炭圓。炭圓。

へエトア タウ 火炭斗。炭取。

へエトア タン 火炭桶。炭取。

へエトア アム 火炭店。炭屋。

へエトア ツイ 火炭碎。炭屑。

へエトア ツン 火帶瘡。(畜) 帶狀瘡行疹。

へエトア ビツ 火炭筆。燒筆。

へエトア ベエ 火炭塵。粉炭。

へエトア ペエアア 火炭把仔。炭槌。

へエトア ボア 火炭末。炭屑。粉炭。粉炭。

へエトア ラムアア 火炭桶仔。「石桶」。

へエトア ラン 火炭籠。炭籠。愛戴——炭籠を

被るを好む。人から諂はれることを好むこと。

へエトエ 貨底。商品の賣残。選屑。店晒。打——

残品を買ふ。

へエトエ オオ 貨底簿。仕入帳。

へエトオ 灰土。石灰に混つてゐる土。

へエトオ オオ 奚斗盧。(姓) 奚斗盧。

へエトヲ 火力。火打金。火打鐵。

へエトヲ キエツ 火力盛。火打。

へエトヲ チヲ 火力石。火打石。燧石。

へエトヲ パア 火力打。火打。

へエトク 下毒。毒を入れる。毒を混ぜる。毒を盛る。

へエトシ 系統。系統。

へエトア アア 火電殘。(稱) 小兒に出来る吹出物の

「名」。

へエネ エ 嗚嗚。(聲)「嗚嗚」。

へエネ エ 歇歇。(聲)「歇歇」。

ヘ/シ 火寛。【火寛刺】。

ヘ/シ 係項。●事の譯。筋道。不知——譯を知らぬ。筋道を知らぬ。●効果。甲斐。答。薬食了無——薬を飲んでも利目が無い。拜托伊較有——彼に頼んだ方が効果が有る。食了亦無——食つても食甲斐が無い。●端緒。目的。見込。今都有一個——もう一寸目算がついた。摸無——探るのに手掛が無い。尋着——一個——目的を見附けた。

ヘ/シ 火寛刺。(種)ふくろぎ。仙人掌。(大)戦科、莖葉より出づる白乳液を外用すれば腫毒

ヘ/バ 蝦肉。蝦の肉。「を治す。」

ヘ/バ 下網。網を張る。網を下す。

ヘ/バ 火牌。逮捕状。令状。

ヘ/バ 回拜。葬儀の時會葬者が焼香する時など喪主が答禮する。

ヘ/パ 灰包。石灰を包んだ袋。

ヘ/パ 貨包。荷造した品物。包装した貨物。

ヘ/パ 火炮。花火。放——花火を揚げる。

ヘ/パ 貨辨。商品の見本。

ヘ/パ 灰棒。鍍板。

ヘ/ヒ 火口。火口。——火口を入れる箱。

ヘ/ヒ 火魚。(動)金頭。

ヘ/ビ 火刑。火刑。火災。

ヘ/ビ 蝦米。皮を剥いた小な乾蝦。

ヘ/ビ イ 蝦米腰。乾蝦の様な腰。詔ふ。媚びる。阿佞る。——橄欖跳。乾蝦の様な腰をして橄欖の様に跳る、ペこべこと腰を低くして人に詔ふこと。

ヘ/ビ 貨面。商品の捌ける有様。——無消。商品が捌けない。

ヘ/ビ 灰壁。白壁。

ヘ/ビ 灰肝。白壁などの剥けて落ちたもの。——落落來。同上が落ちて来る。

ヘ/ビ 蝦車。小な乾蝦。

ヘ/ビ 灰花。白壁などの剥けて落ちたもの。

ヘ/ビ エ 下平安。年頭に「天公」に對し供物を供へて一年中の平安無事を祈る祭禮。【謝平安】

ヘ/ビ 火票。逮捕状。令状。「に對す。」

ヘ/ビ 下筆。筆を下す。

ヘ/フ 火灰。灰。

ヘ/フ 伏夫。料理人。

ヘ/フ 火夫。火夫。

ヘ/フ 蝦肺。蝦の田蘇。

ヘ/フ 下符。呪符を使って人を咒ふ。被入——人に同上される。

ヘ/フ シ エ 火灰色。灰色。

ヘ/フ シ エ 火灰性。怒性。癩癩。短氣。癩症。癩癩持。神經質。

ヘ/フ タ イ 火灰篩。灰篩。

ヘ/フ ツ イ 火灰水。灰汁。

ヘ/フ ツ 灰粉。石灰。石灰。

ヘ/フ 火燻。燻。無可隨人——人と同じ様に炊いで食っていくことが出来ぬ。去——家に炊ぐべき食物が無い。

ヘ/フ 回魂。生返る。蘇生する。——薬。氣付薬。——香。反魂香。

ヘ/フ 火煙車。汽車。蒸氣車。

ヘ/フ ツ 回婚書。婚姻の時女の家より男の家へ婚書の返事を送る。

ヘ/フ 火母。火種。斷——火種が絶える。

ヘ/フ 貨物。貨物。品物。「す。」

ヘ/フ 下肥。肥料を掛ける。肥をする。肥料を施肥。

ヘ/フ 火堆。燃す爲に藁又は薪などを積上げたもの。焼——同上を焼く。跳——舊曆一月十五日に「童子」などが同上の上を跳越えること。

ヘ/フ 下佛。佛に願を掛ける。

ヘ/フ シ 會不呈。託言をいふ。託る。あやまら。謝罪。陳謝。

ヘ

ヘ

ヘ

ヘリエンソフ 火龍素。●火繩。●草龍。

ヘリエンツウ 火龍珠。【鐵雨傘】。

ヘリイ 火雷。地雷。

ヘルウ 瑕呂。(連) 瑕呂。

ヘルヌチア 火輪車。汽車。蒸氣車。

ヘルヌツヌ 火輪船。汽船。蒸氣船。

ヘレエ 痒痒。【痒痒】。

ヘレエ 倍倍。【倍倍】。

ヘレエ 嚇嚇。【嚇嚇】。

ヘレエ 回禮。【回禮】。

ヘレエ 下下。【下下】。

ヘレエ 回回。【回回】。

ヘレエ 會會。【會會】。

ヘレエ 下下。【下下】。

ヘロオ 火爐。火鉢。爐。圍爐裏。ストーブ。一

火の路を断つこと。【使ふ】。

ヘロオ 下路。賄賂を使ふ。賄賂を送る。袖の下を

ヘロオ 火烙。焦げる。飯一飯が焦げる。臭一

一焦臭い。

ヘロオ 回落。機嫌が直る。見着錢就一喇一金

を見ると機嫌が直った。

ヘロオ 下落。●置く。下す。一船に積込む。

一車に積込む。一車に積込む。一車に積込む。

掛。端緒。筋道。不知一掛を知らない。

摸無一探しても端緒が分らない。●締括。

做事着有一事をすることは締括がなくては

ならぬ。●落着。極。始末。尙未有一未だ

落着しない。略略仔有一少しは日鼻が附

いた。

ヘロオ 唯嘴。(連) ええ。さうです。はいその通り。

ヘロオ キイ 下落去。下す。下す。下に置く。

ヘロン 火焔。狼煙。放一狼煙を揚げる。

ヘエン 火影。火の光。光線。

ヘ

ヘ尾。●尾。尻尾。馬一馬の尾。龜笑

龜無一龜が龜の尾の無いのを笑ふ。猿の尻

笑など。●魚類又は細長い蟲類を數へる語。匹。

尾。一蛇一蛇一匹。二魚一魚二匹。三蟲

一蟲三匹。●終。最後。有頭無一始有り

終無し。到一就知一終になれば分る。一行李

終列車。好頭不如好一最初に仲好くするよ

りも最後に仲好くする方がよい。争事を仲裁する

時などにいふ。年一年末。街一町の端。手一

一手の先。筆一筆先。八寸一杉仔一切口八寸

の丸太。●終から。仕舞から。一二指一薬指。

一二帙一終から二枚目。一三間一終から三間

目。【尾、尾】。

ヘ馬。●馬。一隻一匹の馬。騎一馬に乗

る。勇勇一縛得將軍柱一元氣の好い馬を大黒

柱に繋ぐ。活動する者を拘束するなど。一掛

兩鞍一正の馬に二つの鞍を掛ける。心一つに

氣は二つなど。落屎一下痢する馬。下手糞。

無牛使一牛がなければ馬を使ふ。適當なもの

が無ければ間に合せに他のものを使用する。●將

棋の柱馬。●物を載せる足のある臺。拗一木

挽の道具。三脚一三本脚の臺。五徳。柴一

材木を削る時載せる三又の木。

ヘ碼。數字。小一碼子數字。一子同上。大本

一壹貳參などの數字。紅毛一羅馬數字。

ヘ買。(連) 買。

ヘ要。●欲する。要る。要求する。一不在在人

も要る。一就来一要るなら来なさい。一新的

新しいのが入用。一我五百元一僕に五百圓要

求する。●動作の未來を表はす語。……する。一

食飯一飯を食べる。一去一往。一參詳一相談

ヘ

ヘ

ヘ

をする。●動作の將に起らんとする意を表す語。……しかかる。……しようとする。……しかけてゐる。天―光―夜が明けかかっている。日―暗―日が暮れかかっている。一嫁即縛脚―嫁入時になつてから纏足する。泥棒を捕へて繩を綱ふなど。●【要去】の【去】が省略せられて往くといふ意を表す語。一厦門做生意―厦門に往つて商賣する。明仔再―臺中―明日臺中に行く。你―何―君は何處へ往くか。●……とすれば。……ならば。一我我就不―僕だとすれば否だ。一好天就真好―晴天だとすれば真に好い。一知我亦不去―知つてゐたなら僕も往くのではなかつた。一無我講―僕が話さなかつたとすれば。●……の如きは。……などは。……なんか。一趁食人常無可食到飽―稼人の如きは常に腹一杯食ふことが出来ぬ。一中國透年都有擾亂杯食ふことが出来ぬ。一支那なぞは年中擾亂がある。一舊年無此寒―昨年なんかこんなに寒くはなかつた。●疑問詞に冠して意味を強める語。如何して……するものか。一那有彼號物―如何してそんな物があるものか。一甚知―如何して分るものか。一何尋―如何して搜せるものか。一怎仔共人討―如何して人に請求が出来るものか。【要、要】。

ベエ 糜。●粥。一滑滑―粥が薄い。亦滑―亦滑筆―粥も必要だが筆も必要、子供を愛するも必要だが筆も必要だ。●粥の如きとどろしたものの。土―泥。溝仔―下水の泥。煮傷―煮過ぎてとどろになる。【糜、糜、糜、糜】。

ベエ 迷。●迷ふ。迷はす。惑ふ。惑はす。心肝―去―心が迷つてしまふ。一目―目が迷ふ。目を暗ます。查某―查咄―女が男を迷はす。色不―人、人自―色は人を迷はさず人自迷ふ。●麻醉薬をかけて昏睡させる。一俾伊不知人―人事不省になる様に麻醉させる。先―即手術―先に麻醉させてから手術する。一魂藥―麻醉薬。

ベエ 妹。妹。小―同上。姉―姉妹。一婿―妹婿。【妹、妹、妹、妹】。

ベエ 未。●未だ……せぬ。未だ……せぬ。一到月生―月不足で生れる。一受教化―未だ教化を受けない。一嫁―未嫁。一會會―未だ未だ。●もう……したか未だか。食飽―飯はもう済んだか。來―來たか。去―行ったか。好勢―うまくいったか。【未、未】。

ベエ 寶。沒。……【ボエ寶。沒。……】。

ベエ 麥。●麥。●(禾本科)麥。一仔飯―麥飯。一粉―麥粉。

ベエ 襪。靴下。靴足袋。一雙―一足の靴下。鞋―釣脚―常に靴と靴下を穿いてゐる、労働しない人。絲仔―絹の靴下。【襪、襪】。

ベエ 脈。(食)脈。【脈】。

ベエ 尾仔。終。終。對頭仔到―最初から

ベエ 馬仔。●小馬。被人準―騎―小馬扱にされて人に騎られる、人に扱はれる。●琴柱。

ベエ 碼仔。【碼子】。

ベエ 麥仔。【麥】の②。

ベエ コ。麥仔藥。麥藥。

ベエ サウ。麥仔草。麥草。

ベエ チウ。麥仔酒。ビール。

ベエ テ。麥仔茶。麥湯。

ベエ フウ。麥仔麸。【麥麸】。

ベエ ア。麥仔園。麥畑。麥圃。

ベエ ア。麥仔飯。麥飯。麥飯。

ベエ ア。尾後。●後。後の方。後。後方。豎在―後に立つ。擔屎不知―臭―肥桶を擔ぐ者は自分の通つた後の臭くなるのを知らぬ、陰で人に罵られ評判が悪い意。●終。終。到―即知好歹―終にならねば善悪は分らぬ。

ベエ ア。ウ。馬喉痺。(病)實布の里亞。

ベエ ア。ウ。尾後背。船の方へ繫く。船仔被大

船ツク——小船が大船の船の方へ繋がれていく。

ベエム 要暗。夕方。日暮。暮方。暮台。暮合。夕刻。

ベエム アア 要暗仔。前に同じ。

ベエム イア 馬領纏。【馬纏】。

ベエム アン 襪。靴下の上部筒の如き部分。靴下の筒。

ベエム イア 馬爺。地獄の獄卒、馬頭。

ベエム イア 蝴蝶。蝶。蝶々。

ベエム イア 馬纒。馬の鬣。頂髪。

ベエム イア イエヌ 蝴蝶咽。蝶の羽の粉。蝶の羽についてる箔。

ベエム イア シウ 蝴蝶滑。前に同じ。

ベエム イア フアヌ 蝴蝶鏡。鏡の一種。

ベエム イア テウ 蝴蝶裘。蝶の鬣。動物の觸角。

ベエム イア テヌ 蝴蝶陣。兩翼を張る蝴蝶の陣形。

ベエム イア ホエ 蝴蝶花。(種) (鳶尾科) ●ひあぶぎ。(花は觀賞に供し根は煎服して解熱利尿・下劑・脚氣の薬となす)。

草を水にて煎服し咽喉の薬となす)。

ベエム イア ホエ 馬櫻花。【蝴蝶花】の①。

ベエム イア コオ 賣搖鼓。(種) 【賣搖鼓】。

ベエム イイ 馬椅。●材木を鋸で挽く時など動かぬ様に材木を載せる臺木。●竹の寢臺などの脚。

ベエム イオン テツ 没用得。(種) 【没用得】。

ベエム ウイ 尾桅。船の方に在る帆柱。

ベエム ウイ 尾位。末座。末席。席末。

ベエム ウヌ 尾運。行末の運。末路。——好々末吉し。

ベエム ウヌ 尾韻。詩の結句の韻。

ベエム エエ 没能。(種) 【没能】。

ベエム ヲア 馬鞍。馬の鞍。鞍。掛——鞍を置く。

ベエム ヲア ケエ 馬鞍架。鞍掛。

ベエム ヲア テウ 馬鞍草。【馬鞍藤】。

ベエム ヲア テヌ 馬鞍藤。(種) (旋花科) うちばかつら。ぐんばいひるがほ。

ベエム ヲア ツウ 馬鞍敷。鞍の下に敷くもの。

ベエム ヲア ヌヌ 賣完。(種) 【賣完】。

ベエム カア 馬鮫。(種) 鱈。小鱈。一昨二鮫三鱈。四——魚の中で一番旨いのは【鮫魚】で二番が赤鱈、三番が真名鱈、四番が鱈である。

ベエム カア 馬脚。●馬の脚。露出——馬脚を露す。真相が露見する。●炭頭。

ベエム カア キウ 馬咬糧。糧。糧。

ベエム カア ヒイ 馬鮫魚。(種) 鱈。小鱈。

ベエム カア リエン 馬鮫客。鱈など捕る網。

ベエム カイ ホア 未開化。草味。未開。

ベエム カウ 没到。(種) 【没到】。

ベエム カウ 尻口。●尻。尻。●お洒落。外見坊。眞

——甚だお洒落だ。愛——お洒落をしたがる。激——外見を飾る。

ベエム カウ テウ 尻口頭。前に同じ。

ベエム カウ テア 尻口精。(種) 洒落者。お洒落。

ベエム カウ テウ 馬口樹。【白銀香】。

ベエム カウ テイ 馬口鐵。鐵葉。

ベエム カウ プヌ 没到本。(種) 【没到本】。

ベエム カウ ボラバク サイ 要突無日尿。泣かうにも涙が無い、非常に苦痛の意。

ベエム カグ 麥角。●碾割麥。●オートミール。

ベエム カム テツ 没堪得。(種) 【没堪得】。

ベエム カン 馬公。牡馬。

ベエム キア 馬子。子馬。

ベエム キア 尾子。末子。末子。

ベエム キア テツ 没行得。(種) 【没行得】。

ベエム キイ 麥糲。麥を打つ連枷。

ベエム キイ 馬齒。馬の齒。乖——ハンカチの縁を色糸などで馬の齒の様に縫勝けること。盤——同上。

ベエム キイ 馬蟻。(種) 馬蟻。

ベエム キイ 迷去。迷ってしまふ。被査某——女に迷はされてしまふ。

ベエム キイ 没起。(種) 【没起】。

ベエム キイ 没去。(種) 【没去】。

ス H

ス H

ス H

ヘエ

ベ/エ/キ/イ/サイ/馬齒莧。【猪母乳】の①。
 ベ/エ/キ/イ/ザウ/馬齒草。【猪母乳】の②。
 ベ/エ/キ/イ/ソア/馬齒砂。小砂利。粗砂。
 ベ/エ/キ/イ/タウ/馬齒豆。(種) 豇豆(豇科、果實は食用に供し、莖・葉を緑肥とする)。
 ベ/エ/キ/イ/チツ/没記得。(漢)【没記得】。
 ベ/エ/キ/イ/ヒエン/馬齒莧。【猪母乳】の③。
 ベ/エ/キ/イ/レ/没記得。(漢)【没記得】。
 ベ/エ/キ/エツ/尾結。【尾景】。
 ベ/エ/キ/エヌ/シアウ/没見笑。(漢)【没見笑】。
 ベ/エ/キ/エン/尾鼻。生涯の終。末。最後。末路。果。——好末が好い。
 ベ/エ/キ/ホク/尾局。事の終。仕舞。終局。擧向の果。
 ベ/エ/ク/イ/尾櫃。【錢櫃】の小さなもの。【結局】。
 ベ/エ/ク/ウ/馬龜。龜の形の紙鳶。
 ベ/エ/ク/ウ/尾句。終の句。
 ベ/エ/ク/ヌ/馬軍。騎兵隊。馬軍。
 ベ/エ/ク/ヌ/馬楮。(馬具の名)障泥。
 ベ/エ/ク/ヌ/麥細。麥の束。
 ベ/エ/ク/ン/脈管。脈處。脈管。
 ベ/エ/ゲ/エ/尾牙。舊曆十二月十六日【土地公】を祭る日。做——同上をする。【牙】の◎参照。
 ベ/エ/ゲ/エ/麥芽。麥の萌。

ヘエ

ベ/エ/ゲ/エ/コ/麥芽膏。水飴。飴。
 ベ/エ/ゲ/エ/コ/麥芽膏手。飴の手、見る物を皆欲しがる如き人をいふ。——璇石目。飴の手にダイヤモンドの目、手癖が悪くて目のきよろとした人をいふ。
 ベ/エ/ゲ/エ/コ/コ/ロ/ア/麥芽膏籬仔。飴賣の打つ小さな銅籬。
 ベ/エ/ゲ/エ/ツ/ン/馬牙瘡。(種) 口腔腐爛症。
 ベ/エ/コ/ア/馬襠。後部の裂けた短い上衣。打裂羽織。——批到無内襠。羽織の裾が切れる程引張る、無理に人を引張って招待する時などにいふ。
 ベ/エ/コ/ア/イ/馬快。清國時代の密偵。捕方。捕手。【捕快】。
 ベ/エ/コ/ア/イ/コ/ア/ヌ/馬快館。【馬快】の居る詰所。
 ベ/エ/コ/エ/チツ/没記得。(漢)【没記得】。
 ベ/エ/コ/オ/チツ/没顯得。(漢)【没顯得】。
 ベ/エ/コ/ヲ/麥藥。麥藥。麥稈。
 ベ/エ/コ/ヲ/ザウ/麥藥草。麥藥。麥稈。
 ベ/エ/コ/ヲ/ケウ/麥藥頭。麥を刈取った株。
 ベ/エ/コ/ヲ/ロ/エ/麥藥笠。(新) 麥藥帽子。
 ベ/エ/コ/ニ/ア/馬公爺。神の名。馬姓の祖神。
 ベ/エ/コ/ン/ホ/オ/要諱呼。何も言はぬ。文句はない。到要還我——還して呉れるなら文句はない。

ヘエ

到要承認——承認するからには彼此言はぬ。
 ベ/エ/サイ/馬屎。馬の屎。馬糞。脚踏——傍官氣。足で馬糞を踏んで官威に便る、馬丁が主人の威を假ること、虎の威を假る狐など。
 ベ/エ/サイ/妹婿。妹婿。妹の夫。
 ベ/エ/サイ/チツ/没使得。(漢)【没使得】。
 ベ/エ/サウ/尾梢。【尾景】。
 ベ/エ/サイ/尾指。小指。
 ベ/エ/サイ/ア/尾指仔。小指。
 ベ/エ/サイ/ア/要怎仔。(反語) 何して。何で。——能使得。何で好いものか。彼貴——買。其様に高い物を何で買へるものか。
 ベ/エ/ザウ/馬草。飼藥。秣。飼葉。
 ベ/エ/ザウ/麥草。麥藥。
 ベ/エ/ザウ/シ/麥草扇。麥藥で作った團扇。
 ベ/エ/ザウ/ロ/エ/麥草笠。(新) 麥藥帽子。
 ベ/エ/ザツ/馬賊。(國) 馬賊。
 ベ/エ/ザン/馬鬃。馬の鬃。頂鬃。【食用に供す】。
 ベ/エ/ザン/麥葱。(蔬菜) あさつき。(百合科。莖・葉を粥を抄ぶ杓子)。
 ベ/エ/シア/糜杓。粥を抄ぶ杓子。
 ベ/エ/シア/サイ/要甚知。(反語) 何して分るものか。何で知れるものか。我——私に何して分るものか。

のか。―――你要來。汝が來るといふことが何
で知れるものか。―――伊是歹人。彼が悪人だ
といふことが何して分るものか。

ベエ シア ポオ 要甚歩。(反語) 何することも出来な
いではないか。無―――無いのを何すること
も出来ないではないか。到今―――今となって
何なるものか。

ベエ シイ 要死。●死なうとする。死にかかる。――
――死にかかっている。――即放臭屁。死にか
かっているから臭い屁を放る、畜畜な主人が店の倒れ
んとするに臨んで僅な恩恵を施すなど。今仔日
我人――今日私はどうも身體の工合が悪い。
氣分が悪い。●つまらない。何の役にも立たぬ。
何になるものか。駄目。買此個。――こんな物
を買って何になるか。叫我――私を呼んで何
するの。此層仔。――此んぼうちでは駄目で
はないか。●到――堪らない。仕様がない。痛
到――痛くて堪らない。寒到――寒くて仕
様がない。

ベエ シイ 要是。…とすれば。…ならば。――我我不
私だとすれば私は否だ。――伊伊没輸入。――
彼だとすれば彼は負けはしない。

ベエ シイ 未是。暫く待つて。暫くして。ちょっと待

つて。まだまだ。――去――少し待つて行け。――
喃。――ちよつと待つて。

ベエ シイ ナア ハイ 要死但喚。身體が非常に弱つて
苦しい。人――同上。作稿作到。――
●餘り仕事をして身體がへとへとになる。無閒
到。――忙しくて逆もやりきれない。

ベエ シイ ベエ ヲ 要死要活。何だ斯んだと苦情を
並べる。泣言をいふ。講到。――同上。食
到。――文句たらたら食ふ。了到。――
●損をしたとて泣言をいふ。作到。――文
句言ひ言ひ仕事をする。

ベエ シイ ポエ チ ヲ イ ツ 要死没得氣斷。死
にかかっているのに息の根が絶えぬ、やりきれな
いのにやらねばならぬ。否が應でもせねばなら
ぬ。
ベエ シエン 尾省。終の省。福建省をいふ。
ベエ シエン チエン 未成丁。未丁年。未成年。
ベエ シシヌ 尾身。終に。最後に。――伊即承諾。最
後に彼は承諾した。

ベエ シシヌ 迷信。(圖) 迷信。
ベエ ジイ サイ 尾二指。終から二番目の指。薬指。
紅差指。無名指。

ベエ ジイ ビエン 馬字旁。漢字の馬偏。

ベエ ジイ ビエン 麥字旁。漢字の麥繞。
ベエ ジツ 尾日。終の日。最終の日。末日。

ベエ ジヌ チツ 没認得。(漢) 没認得。
ベエ スイ 麥穗。麥の穂。
ベエ スイ ホン 麥穗黃。【鼠尾黃】の②。

ベエ スウ 馬師。(新) 馬術師。
ベエ セエ 馬勢。兩足を展げて身構をした姿勢。拳闘
の姿勢。整――同上をする。促――てくすね
ひく。屈――同上。張――同上。

ベエ モエ 尾坐。船尾の高い甲板。舵樓。
ベエ モエ チウ 馬紕手。馬の手綱。端綱。
ベエ ソエ 麥梳。麥扱。
ベエ ソツ 馬索。馬の手綱。端綱。
ベエ ソク 機束。靴下の上に締める紐。靴下止。
ベエ ファ 尾行。文など終の行。――車。終汽車。終
列車。

ベエ フヲ 馬槽。秣桶。飼桶。飼桶。乞食死在。――
●裡。乞食が秣桶の中で死んでゐる。路傍で死ぬ
べきに秣桶の中で死ぬは幸福などいふ意。
ベエ フヲ チツ 没做得。(漢) 没做得。
ベエ タア チエン 馬踏鏡。(漢) 次と同じ。

ベエ タア チエン 馬踏鏡。鏡。
ベエ タイ 要事。何事か。何か。去――行つて何する

ス
エ
エ

ベ
エ

ベ
エ

ベエ

ベエタイ 要嶺。次に同じ。

ベエタイトヲ 要嶺可。何して……ものか。――能
使得何して好いものか。――能來何して

来るものか。――肯何して承知するものか。

ベエタク 碼頭。埠頭。波戸場。荷揚場。船倚在――
――船が波戸場に着く。

ベエタク 馬頭。馬の頭。衝着伊的――彼の馬
の頭に衝當る、彼の怒に觸れる。――方頭魚。

●(龜) 龜頭。龜頭。雁首。

ベエタク 尾頭。端。端。街的――町外。

ベエタク 麥頭。麥粉を篩にかけた滓。

ベエタク イア 馬頭爺。【馬爺】。

ベエタク ヒイ 馬頭魚。(動) 方頭魚。

ベエタン 尾冬。●(動) 魚の名。にがねかたべ。●豚
の尻の肉。

ベエタン 麥冬。麥の收穫期。麥秋。

ベエタン 馬桶。女が腰湯をする時に用ひる桶。

ベエタン 襪桶。【襪桶】。

ベエタン クツ 尾冬骨。豚の尻の骨。

ベエタン バア 尾冬肉。豚の尻の肉。

ベエチア 馬車。馬車。駛――馬車を走らせる。

ベエチア 襪車。靴下を編む機械。

ベエチア ベエ 馬車馬。馬車馬。

ベエ

ベエチアム 尾蕪。船の龍骨の後部。船の鱧の方の底。

ベエチイ 馬子。柱。琴柱。

ベエチイ 碼子。算用に用ひる數字。――川又の玉
を打――同上を書く。

ベエチイ 馬薯。(種) たうじんぐわゐ。(蒔草科、食用
に供す)。――粉――同上の粉。

ベエチイ 馬箭。馬に乗って弓を射る。騎射。考――
騎射を試験する。

ベエチイ 馬錢。(藥) 毒藥の名。馬錢。

ベエチウ 尾槳。槳の漕手又は同所の櫂を採る船方。
押――舟を右に向ける爲左側の櫂に力を入れ
て漕ぐ。

ベエチウ 尾手。最後。最終。終。仕舞。止詰。擧
向の果。結局。起頭悻悻。――冷冷――始は
熱心で終は冷淡な。

ベエチウ 麥鬚。麥の芒。

ベエチウ 襪壇。【襪壇】。

ベエチウ サイ 馬上婿。馬に乗る様になる婿。官吏に
なる婿。偉い婿。

ベエチウ モエ 馬上吹。祭の時など馬上で音楽をす

ベエチウ ク 馬賊。馬賊。【る組】。

ベエチエヌ 馬襪。馬襪。鞍襪。

ベエチエン 未曾。未だ……しないのに。未だなのに。

ベエ

――講就要行未だ話さない内に往かうとす
る。――熱就要食未だ煮えもしないのに食べ
ようとする。――學行先學飛未だ歩く稽古
もしない内から先づ飛ぶ稽古をする、順序を誤
る意。――贏先想輸未だ勝たない内に負け
ることを考へる、深慮熟考する。――生子先

號名未だ子を生まない内から先づ名を附ける、
取らぬ狸の皮算用。――食三日清茶就要上
西天未だ三日の精進もしない内に西天に上ら
うとする、一足飛に事をしようとする意。

ベエチエン 馬銃。馬上用の小銃。騎銃。

ベエチエン サイ 尾指指。小指。

ベエチエン ベエ 未曾未。未だ……しないのに。まだ
なのに。――就要返去來たばかりなのに
直に歸らうとする。許可都尙未出來、――
就要開墾未だ許可も出ない内から開墾しよう
とする。

ベエチオン クヌ 馬將軍。地獄の獄卒。馬頭。

ベエチア 尾礎。船の礎。

ベエチア ウ 馬棚。馬小屋。厩。

ベエチア ウ 没住。(海) 【没住】。

ベエチア ウ 馬柱。馬を繋ぐ柱。猿木。

ベエチイ 要値。要る。欲しい。入用。入用。――若

――若

多^シ何^ニ程^ト要^ルるか。一^も也^も不^レ値^ル要^ルるか要^ルぬか。
一^も紙^ハ紙^ハが人^ノ用^ダだ。

ベ/チウ 馬場。馬場。

ベ/チエン 馬燈。舊正月の十五日に子供などの持
歩く^ル馬^ノ形^ノ提^ル燈^ト。

ベ/チエン 馬鏡。(鏡) 鏡。

ベ/チヲ 没着。(着) 没着。

ベ/チツ 没得。(得) 没得。

ベ/チツ コエ 没得過。(過) 没得過。

ベ/テム 脈沉。脈が沈滞する。

ベ/ツイ 尾牌。尾牌。雞一^ハ雞^ノ牌^ト。

ベ/ツイ 尾水。●禽獸の最後に生れたもの。一^ハ雞^ノ仔^ト同上の雞。●果實の最後に生れたもの。一^ハ雞^ノ相^ト行^ト較^ト没^ト甜^ト同上の蜜柑は餘り甘くない。【頭

ベ/ツイ 麥碎。碾割麥。【水】に對す。

ベ/ツイ クツ 尾牌骨。尾牌骨。鹿骨。龜尾。

ベ/ツイ バア 尾牌肉。牌。

ベ/ツウ 買主。(主) 買主。

ベ/ツウ 馬賣。(賣) 馬賣。

ベ/ツウ 賣主。(主) 賣主。

ベ/ツウ 襪敷。靴下を穿く前に足に纏ふ布。

ベ/ツウ 麥娘。(娘) 子供に出来る腫物的一種。皮膚

癢疹。起一^ハ同上が出来る。

ベ/ツツ 襪船。靴下又は足袋の底の周圍の縁。

ベ/ツイ 買斷。(断) 買斷。

ベ/ツイ 賣斷。(断) 賣斷。

ベ/ツウ 馬廚。(厨) 馬廚。

ベ/テエ 麥胎。(胎) 麥胎。

ベ/テエ キム 馬蹄金。(金) あふひごけ。(旋花科、
全草を煎服して風邪・腹胃病を治し又は小兒の解

熱となす)。(●) じんえふまきえはぎ。(葎科、葉を煎

服して解熱劑となす)。(「た菓子。

ベ/テエ ケエ 麥胎糶。麥粉と砂糖と混ぜて油で揚げ

ベ/テエ ヒウ 馬蹄香。(種) かんあふひ。(馬兜鈴科、
根は咳嗽利尿・發汗・通經に効あり)。

ベ/テエ ホエ 馬蹄花。(種) 三友花。(夾竹桃科、根は

酒及び水を以て煎じ頭痛、風邪の際に飲用す)。

ベ/トア 襪帶。靴下の上に締める紐。靴下止。

ベ/トエ 馬蹄。(蹄) 馬蹄。馬蹄。(●) 馬蹄花。

ベ/トエ 襪底。靴下の底。足袋の裏。納一^ハ足袋

の底を刺子にする。

ベ/トエ キム 馬蹄金。(金) 馬蹄金。

ベ/トエ コン 馬蹄撞。地面め又は土壁などを搗き固

めるに用ひる種。(「子。

ベ/トエ ソオ 馬蹄酥。固くて中が凹み馬蹄に似た菓

ベ/トエ チイ 馬蹄鐵。馬蹄鐵。

ベ/トエ プ、モエ 馬蹄荸薺。(薺) 馬薺。

ベ/トエ ホエ 馬蹄花。(種) 馬蹄花。

ベ/トエ ン 馬蹄袂。禮服の袖口の所に着けるカフス

の如きもの、布にて作る。

ベ/トエ ン 馬蹄黃。(黃) 葉下紅。

ベ/トオ 迷途。(途) 道に迷ふ。

ベ/トオ 要吐。逆く。吐氣がつく。嘔吐を催す。

ベ/トオ 要何。何處へ往くか。你一^ハ汝は何處へ

ベ/トオ 馬駄。(荷) 荷駄。

ベ/トオ キイ 要何去。(去) 要何

ベ/トオ シイ 要何生。(反語) 何處から其様な物が出

て来るものか。なんでそんな物が有るものか。如

何して其様な物が手に入るものか。

ベ/トオ ツン 馬刀瘡。(瘡) 癩癧。結核性水脈腺炎。

ベ/トオ ロ、ロ、シイ 要何落生。(落) 要何生。

ベ/ニ ア、クツ 尾牌骨。(骨) 尾牌骨。

ベ/ニ イ 要呢。何の用か。何するか。叫我一^ハ私

を呼んで何の用か。你捉此個一^ハ汝はこれを

持つてゐて何にするのか。

ベ/ニ ヌン 馬卵。米の粉を捏ねて卵の形に作り中に砂

糖を入れ油で揚げた菓子。

ベ/ニ ア 馬欄。馬を飼ふ欄。

ベ/ニ ハム キイ 馬陷坑。人馬共に陥れる窪。

ベ
エ
ハ

ベ
エ
ハ

ベ
エ
ハ

ベエ/ベエ/アア 要要啊。大方…しかかっている。殆ど

…しさうになつてゐる。破産亦敢…大方破産しかかっている。

ベエ/ベエ/シイ 馬尾絲。①(種)あきののげし。(菊科)

嫩莖・葉は食用に供し、又莖・葉は燒酎にて煎服して毒蛇の咬傷を治す。②(種)たかさごしのぶ。(瓦葺科)莖・葉を煎服して肋脾の熱を治す。③(種)たあしのぶ。(羊齒類)。④馬の毛。

ベエ/ベエ/シイ 瀾瀾是。瀾瀾是。

ベエ/ベエ/シイザウ 馬尾絲草。【馬尾絲】の①②③。

ベエ/ベエ/馬被。障泥。

ベエ/ホア/又 馬販。馬を賣買する者。博翁。

ベエ/ボヲ 馬母。(馬母)。

ベエ/ボヲ 要無。…でなければ。…でない。さもなければ。…我不返來…でなければ私は歸つて來ない。…我就肯…さもなければ私は承知する。

ベエ/ボオ 馬布。【束布】。

ベエ/ボオ 襪布。靴下を穿く前に足を包む布。

ベエ/ボオ 麥麵。麥の麵。

ベエ/ボオチイ 馬步箭。騎射と徒射。

ベエ/ミア 尾名。一番仕舞の名。びりの名。落…連名の最後に名を書く。卒業…びりで卒業。マイ 麥芒。麥の芒。麥穗の芒。【する】。

ベエ/ムト 要不。①欲するか。要るか。入用か。柑仔你

…蜜柑は汝は要るか。②…するか。酒水…泳をするか。返來去…歸るかどうか。

ベエ/メエ 麥芒。(麥芒)。

ベエ/ライ 尾來。終になつてから。最後になつてから。…續縮去…終になつてから到頭へこたれてしまった。…續反體…最後になつてから寐返を

ベエ/ライ 要事。【要事】。「打った」。

ベエ/ライ 沒來。(沒來)。

ベエ/ライリエヌブウ 要利連母無。利息を取らうとして元まで無くなる、欲張つて却つて損をする。

ベエ/ラク 尾流。①最後の潮時。…即要出港…終の潮時に出港する。②隊列などの仕舞。最終。末尾。抜…即返來…殿を承はつて歸つて來る。

ベエ/ラク 尾樓。船尾の高い甲板。舵樓。

ベエ/ラツ 馬力。(馬力)。

ベエ/ラヌ 馬鈴。馬の鈴。

ベエ/ラン 迷人。迷はす。惑はす。

ベエ/リアウ 沒了。(沒了)。

ベエ/リアウソツ 馬練索。馬の手綱。

ベエ/リイ 沒離。(沒離)。

ベエ/リウ 尾瘤。①最末。末端。樹…木の梢。山…

…山の頂。狗…犬の尾。死蛇活…蛇は死んでも尾の先は生きてゐる、事が未だ落着せぬなど。②最終。終。仕舞。上…同上。…我即返來…最後に私は歸つて來た。

ベエ/リウクソツ 馬勒索。馬の手綱。馬の絆。

ベエ/レエ 買買。【買買】。

ベエ/レエ 迷迷。【迷迷】。

ベエ/レエ 賣賣。【賣賣】。

ベエ/レエ コヲ 麥芽膏。【麥芽膏】。

ベエ/ロアヌ 迷亂。迷。亂れる。惑亂する。狂ふ。心肝…心か迷亂れる。

ベエ/ロオ 馬奴。(馬奴) 馬方。馬丁。馬子。

ベエ/ロオ 馬路。大道。本道。街道。馬車路。廣小路。

ベエ/ロオ 迷路。邪道。行…惡所通をする。惡所狂ひをする。遊里に通ふ。

ベエ/ロラ 瑪璃。(瑪璃) 瑪璃。

ベエ/ロラ 馬鑼。祭禮などに用ひる銅鑼の一種。

ベエ/ロラ 沒落。(沒落)。

ベエ/ロラゲエ 瑪璃榊。金銀細工などに磨をかける瑪璃の榊。磨榊。

ベエ/ロラチヲ 瑪璃石。(瑪璃石) 瑪璃。

ベエ/ロラツウ 瑪璃珠。瑪璃の珠。

H

H

H

歳の子供。棺柴―棺の材。籠林―蒸籠の材。

●将来悪しくなる運命を有する者。生附。持前。性。乞食―乞食の性。死身―殺される持前。命知らず。了鳥―財産を無くする生附。放蕩息子。拳頭砧―砧の臺の様に常に人に打たれる性。拳同臺。④(反対の結果を來した場合)

豫期する。豫想する。見込。辨―同上。一講伊能來伊續無來―彼が來ると思つてゐたのに到頭來なかつた。一叫是如此―かうだと思つてゐた。無―伊能輸―彼が負けようとは豫期しなかつた。●決心する。覺悟をきめる。一死―死を決する。一險―危険を冒す。一性命―命掛。一

生懸命。【胚、胚】。

●批。剋。……【ボエ批。剋。……】。

●頬。類。【頬】。

●椀。屑。切屑。破片。斷片。切端。割。碗―茶碗の破片。柴―木の切屑。石―石の切端。

●帕。●農家の女などの頭に纏ふ布。頭巾。手巾。女の用ひる手巾の類。花―模様のある風呂敷の類。生葩―積鼻褲。●手巾などに物を入れて兩端を上げる。用手巾―手巾で同上する。衫仔裾―着物の裾で同上する。用布―

手―纏帶した腕を布で吊る。

●醜。配する。菜にする。肴にする。物―飯や酒の菜。副食物。一飯―飯の菜にする。お菜にする。一酒―酒の肴にする。一牛肉―牛肉を菜にする。食蛇―虎血―虎の血を菜にして蛇を食ふ。貪欲殘忍なこと。【配の②、配】。

●靴。【靴】。

●皮。●皮。一仔裘―毛皮の裏をつけた袴。牛―牛の皮。竹―竹の幹の皮。柑―蜜柑の皮。土―地表の土。【皮、皮】。

●被。掛布團。烏毛―羽根布團。蓋―布團を掛ける。紙―趁人煤風母―紙の布團が普通の布團の眞似して虱を茹でる。鶴の眞似する鳥。

●沫。液体の表面などに出来る泡。消―重湯の泡。水―水の泡。壺―泡がたつ。【沫、沫】。

●塙。土の塊。土塊。土―同上。田土―田の土の塊。【塙、塙】。

●嫖。女に戯れる。女にからかふ。四界―四方へ往つて女にからかふ。少年人愛―若い者は女に戯れたがる。【嫖、嫖】。

●掘。【掘】。

●坪。坪。平。……【坪、坪。平。……】。

●存。赤坊の破傷風。起―同上に罹る。着―同上。一旬―破傷風の起る時期。【嗣仔】。

●把。●手把に似た農具。●糶を乾し、草などを攪取るに用ひる熊手の如きもの。

●批。●批。【批、批】。

●帕仔。【帕仔巾】。

●父仔子。●次に同じ。

●父仔子。父と子。親子。

●父仔子。●次に同じ。

●帕仔巾。農家の女などの頭に纏ふ布。頭巾。紅頂四輪扛不行單―隨人走―頂に赤い玉のある四人擔の轎で迎へる時に行かないで頭巾を被らせると人に附いて走る、外面は心が進まぬ様なれども内心然らざるが如き、又頼む時は行かず頼まぬ時は却つて行くが如きをいふ。

●父仔接母仔。後妻の連子と自分の息子とを結婚させること。

●皮仔裘。毛皮の裏をつけた袴。

●白益母。次に同じ。

●白益母草。●白花の充藹。益母草を見よ。

ヘ

ペエキエン 暗窮。償ふ。賠償する。

ペエキエン 白柏。【山柏】。

ペエキオク ホエ白菊花。(植) 白菊。

ペエキヲ 白茹。(蔬菜) 白茹。白茹(茄科、食用に供す)。

ペエキヲ 匪叫。次に同じ。

ペエキヲ 匪叫。(反對の結果を來した場合)豫期する。

豫想する。我——你不來|| 僕は君が來ないと
思つてゐたのに。——伊能輸|| 彼が敗けると思つ
てゐたのに。

ペエキツ 白杖。(病) 赤坊が生れて泣くことの出來ぬ

病(鼻から呼吸を吸出して治すといふ)。着——||
同上にかかる。

ペエキヌ 白絹。白絹。白絹。

ペエキヲ 白芨。(植) 紫蘭。(蘭科、花を賞する外根は

薬用とし又糊を作るに用ふ)。

ペエキヲ プヌ 敵及門。(自分の門人の謙稱) 私の門

ペエキム 白金。(銀) 白金。プラチナ。

ペエキム サウ シウ 飛禽走獸。飛禽走獸。禽獸。

ペエキム ツヌ アア 白金盾仔。質の好い一文錢の一

種。【先生】。

ペエギアア スウ 敵業師。(自分の先生の謙稱) 私の

ペエギエウ 白玉。白玉。白玉。——不驚瑕痕|| 白

ヘ

玉は瑕痕を恐れず、大行は細瑾を顧みず。

ペエギオク 白玉。【白玉】。

ペエギヲ アア 白燒仔。(動) 潮吹貝。

ペエギヌ 白銀。(銀) 【白銀】。【除ける】。

ペエクイ 拵開。押分ける。擲別ける。押退ける。撥

ペエクイ 拵開。● 剝く。剝く。割る。● 目を開く。

目を明ける。

ペエクイ キオク ホエ 白桂菊花。【青箱子】。

ペエクウ 敵厨。(又) 拙宅。弊家。弊居。

ペエクウ 白車。【四色牌】の骨牌札の名。

ペエクツ サイ 白扇菜。【土連】。

ペエクツ タウ 帕骨頭。風呂敷に骨を入れて両端を

持つ、人に殺されて骨になる意。酷く毆打され
る。你若去能——到來|| お前が往つたら叩の
めされて歸つて來るぞ。

ペエクツ ツウ アア サウ 白骨珠仔草。(植) きだち

こみかんさう。(大戟科、薬用に供す)。

ペエクヌ 白將。【四色牌】の骨牌札の名。

ペエクヌ 白根。白根。白根。

ペエクヌ サウ 白昆草。【益母草】。

ペエグウ 敵寓。次に同じ。

ペエグウ ソオ 敵寓所。(又) 弊宅。弊家。拙宅。

ペエグヌ 白銀。白銀。白銀。銀。

ペ

ペエグヌ ヒウ 白銀香。(植) (冬青科) くるがねもち。

ペエケエ 白契。(銀) 【白契】。

ペエケエ アア 白菓仔。銀杏の實。銀杏。(食用に供

す、又薬用として白帶下を治す)。

ペエケエ コアヌ 白雞冠。【青箱子】。

ペエゲエ 把衛。役所の守衛。

ペエコア コア 白葛葛。顔や皮膚など白い。身軀—
——|| 身體が真白い。

ペエコア イ 敵縣。(自分の縣の謙稱) 私の縣。

ペエコア ツ コアツ 白扶扶。白粉を厚くつけて白い。

眞白。粉抹到——|| 白粉を眞白に塗る。

ペエコアヌ 把關。關所を守る。

ペエコアヌ 敵館。(自分の書房の謙稱) 私の書房。

ペエコアヌ 敵縣。(敵) 【敵縣】。

ペエコエ 白契。官印の無い證書。未だ登記手續を經

ない【契】。【紅契】に對す。

ペエコエ イウ 白雞油。(植) ● 棕樹。棕林樹。(楡

科、材は天秤棒其他の器具材となし、果實は食用
となす) ● (木犀科) 臺灣しほぢ。● (木犀科) し
またこ。

ペエコエ イウ クウ 白雞油鼻。【白雞油】の目。

ペエコエ ケエ 白雞髻。白雞頭。

ペエコエ サイ チヌ 白雞屎藤。(植) ● たいわんつる

どくだみ。(蓼科、葉は餅と共に煮食して消化を進め、煎服して感冒を治し、又搗碎して刀傷に塗布す。)(茜草科)やいとばな。へくろかづら。

ペエ コエヌン 白雞卵。白い雞卵。烏雞母生——黒い雞か白い卵を生む、不思議な様で當り前の意。

ペエ コエブウ 白雞母。——生烏雞卵。白い雞が黒い卵を生む、其の道理なき意。

ペエ コオ白菰。(薊) 子供の口中に出来る病。嘴内起——口中に同上が出来る。

ペエ コオ白鮎。(同)「白鮎」。

ペエ コオアア 白鼓仔。「金銀紙」の一種。

ペエ コオソオホエ 白古蘇花。(種)おほきはぎ。(薺科、花を煎服して痲病・月經不順を治す)。

ペエ コオアアウ 白苦柱。(種)「蓼科」きぬたで。

ペエ コオアアエ 白鼓釘。「鬼仔菜」。「ひ」。

ペエ コロ 白柯。(種)「穀斗科」とげしひ。たかさごし

ペエ コク 敵國。(文)「敵國」私の國。

ペエ コン 伯公。祖父の兄。

ペエ コン 父公。祖先。先祖。——致蔭。先祖の御蔭。

ペエ コンギアア 父公業。父と祖父との遺産。家督。

ペエ コオ 白鮎。(動)海豚。

ペエ サア 白衫。白い着物。白衣。

ペエ サア 皮衫。皮。此隻牛の——眞美。此の牛の皮は甚だ綺麗だ。此粒柑仔——眞薄。此の蜜柑の皮は甚だ薄。熱天菜頭の——較枯脆。夏の大根の皮は硬い。

ペエ サア コエ 白煤雞。煤でた雞。

ペエ サイイウ 白西洋。白金巾。

ペエ サヌオオ 白珊瑚。白珊瑚。

ペエ サヌテエ 敵産地。(文)自分の生れた處。自分の産地。生れ故郷。

ペエ サイ 白菜。(蔬菜)白菜。(十字科、食用に供す)。

ペエ サイ 皮指。皮の指貫。

ペエ サウ 榨草。草を搾分ける。——尋親。草を搾分けて親類を捜す、零落した人が四方に走り廻って知人を求めるなどをいふ。

ペエ サウ 皮草。毛皮。羊羔的——眞美。羊の毛皮が甚だ綺麗だ。

ペエ サウ 箆齧。(種)「箆齧」。

ペエ サツ 精擦。表具。表装。——司阜。表具師。表具屋。經師屋。

ペエ サツ 白賊。嘘。空嘘。赤嘘。——話。同上。——歸擔。嘘八百。——白七。同上。——白角。同上。石涎落去——起來。唾を吞込んで嘘を吹き上げる。

ペエ サツ 批札。(紙)「批札」。

ペエ サツ 吐七。嘔吐。伊蓋——彼は本當に嘔吐だ。

ペエ サツ アム 精擦店。經師屋。表具屋。

ペエ サツ ツイ 白賊嘴。嘘。虚言。

ペエ サツ ヌイ 白賊卵。(紙)次に同じ。

ペエ サツ ヌン 白賊卵。孵らない卵。

ペエ サヌ 皮襪。靴の底に敷く皮。靴敷。敷皮。

ペエ サム コエ 白鷲雞。鷲を全て煤でてぶつぶつに切つたもの。

ペエ サン サン 白葱葱。眞白。純白。

ペエ シア 把城。城を守る。城に立籠る。

ペエ シア 敵舍。(文)「敵宅」。擗宅。擗家。「見よ」。

ペエ シアリウ 白石榴。(種)白花の石榴。「石榴を

ペエ シアウ クイ アア ビヌ 扒小鬼仔面。赤目。赤目。べっかつかう。「じ」。

ペエ シアウ ニアウ コン ビヌ 扒小猫公面。前に同

ペエ シアウ ロエ 賠差禮。婚約を破棄した時など損害を賠償する。

ペエ シアク シアク 白鑲鑲。白く光る。白くびかび

かする。龍銀——一圓銀貨が同上。刀——

刀が同上。

ペエ シアム シアム 白閃閃。刃物などきらきら光る。

ペエ

ペエ

ペエ

ヘエ

閃く。煌く。

ペエ シアムホエ白蟾花。(種)(茜草科)こくちなし。

ペエ シアン 毗相。(漢)【臂相】。

ペエ シイ 飛絲。蜘蛛の絲の空中に飛んでゐるもの。

ペエ シイ 百姓。人民。國民。

ペエ シイ 胚死。一生懸命。決死。命不知。生命を賭する。心死。――相割。血戦。――守。死守。

――打倒。百人。必死になれば百人でも打倒す。

ペエ シイ サツ 白死殺。顔色が青冷める。血色が無くなる。面。――同上。色が白っぽい。布。――布の色が同上。

ペエ シイ シイ 白死。前に同じ。

ペエ シイ シイ 白閃閃。【白閃閃】。

ペエ シイ タン 白絲蟲。(動)黄金蟲の幼蟲。一個那

――同上の様だ。顔に血色が無くて青白い。

ペエ シイ テエ 扒四展。大の字形。――在晒。大の字形になつて寝てゐる。

ペエ シイ ペエ シイ 白死。【白死殺】。

ペエ シイ ミア 胚性命。【胚命】。

ペエ シウ 把守。守る。――的。番人。守衛。張番。

――的兵。番兵。

ペエ シウ 批箱。(漢)【批箱】。

ヘエ

ペエ シウ 毗相。(漢)【毗相】。

ペエ シウ 皮箱。支那靴。革文庫。皮籠。

ペエ シエ ヌ 白色。白い色。白色。

ペエ シエ ヌ 白癖。(病)白い頑癬。

ペエ シエ ヌ 白鱗。(動)白い【鱗魚】。

ペエ シエ ヌ ト オ 白墻土。煉瓦製造などに用ひる白

ペエ シエ ン 敝省。(自分の省の謙稱)私の省。【土】。

ペエ シエ ン 敝姓。(自分の姓の謙稱)私の姓。

ペエ シオン 賠償。(圖)賠償。

ペエ シオン チイ 敝相知。(自分の知友の謙稱)私の

ペエ シヨ ヒイ チイ 白燒魚翅。鱧の鱧に椎茸・筍・葱等を混へて煮た料理。

ペエ シヨ ヒイ ツ ヌ 白燒魚脣。魚に椎茸・葱等を混へて煮た料理。

ペエ シヌ ヒイ ツ ヌ 白身。生地。白地。――的。布。白地の布。

――的。柴。白木。

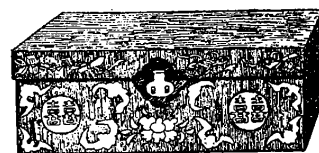
ペエ シヌ 批信。(漢)【批信】。

ペエ シヌ ラン 白身人。官職に就いてゐない普通の

ペエ ジ ア ウ ヒイ 白鱧魚。【粉鱧魚】。

ペエ ジ イ 白子。碁石の白石。

ペエ ジ イ 白字。●白い文字。●當字。俗字。



皮箱

ペエ ジイ ヒイ 白字戲。俗語を用ひてする芝居。

ペエ ジイ ヒイ アア 白字戲仔。前に同じ。

ペエ ジヨ ク 被褥。蒲團と敷蒲團。寢具。夜具。

ペエ ジヌ 白仁。●白眼。白眼。●卵の白身。

ペエ ジヌ ト オ 白仁土。【白墻土】。

ペエ ジヌ ビエン 賠人命。人を殺した時など金銭を以て償ふ。人命を賠償する。【と】。

ペエ スイ 白礮。暴風や害虫の爲に稲穂が白くなること。

ペエ スウ 敝祠。(自分の祖廟の謙稱)私の祖廟。

ペエ スウ 白土。【四色牌】の骨牌札の名。【毛皮】。

ペエ スウ アア 白乳仔。毛が玉の如く縮れてゐる羊の

ペエ セエ 敝省。(漢)【敝省】。

ペエ セエ セエ 白雪雪。眞白。純白。

ペエ エエ 平齊。(漢)【平齊】。

ペエ エエ 擧擧。擧分けて捜す。

ペエ エエ 扒廁。子供が悪戯な。

ペエ ソア 飛砂。砂を飛ばす。風。――風が同上。

ペエ ソア 飛煞。邪神などに祟られる。

ペエ ソア 白砂。●白砂。白い砂。●(種)(桑科)から

んびいぬびは。

ペエ ソア 扒山。山に登る。登山。

ペエ ソア サウ チョ 飛砂走石。魔術で風を起し砂や

石を吹飛ばすこと。

ヘエ

ペ、ツア、ホアヌツウ、白山蕃薯。(種) (防己科) あを

つづらぶぢ。

ペ、ソア、ホオ、扒山虎。【常春藤】。

ペ、ソア、ツア、白雪。眞白。純白。

ペ、ソア、背索。ジャンクの船側に材木を結び付ける

繩。船を引く繩。

ペ、ゾア、白熱。薄物。夏物。帷子地。熱天着穿一

一。夏は薄物を着ねばならぬ。【出来る。】

ペ、ゾア、飛蛇。(種) 吹出物の一種。生一。同上が

ペ、ゾア、精紙。【金銀紙】に箔を附ける。【紙を貼

る。表装する。表具する。

ペ、ゾア、白紙。白紙。白紙。一扇。白扇。一寫

鳥字。白紙に黒い文字が書いてある。字が書い

てあることだけ分るが何の字か分らないといふこ

とにて無學をいふ。

ペ、ゾア、批紙。(種) 【批紙】。

ペ、ゾア、敵族。(自分の一族の謙稱) 私の一族。

ペ、ゾア、把總。百人の兵を總べる武官の名。百人長。

ペ、ゾア、把總。前に同じ。

ペ、ゾア、焙乾。焙じて乾かす。

ペ、タイ、白帶。(種) 白帶下。【す】。

ペ、タイ、白豆。(種) 白豆。白大豆。(葷科、食用に供

ペ、タイ、白頭。白頭。白髮頭。腫物が膿をもって

先が白くなつてゐる。

ペ、タウ、被頭。蒲團の表側。

ペ、タウ、ア、白頭仔。(種) 【白頭鶴】。

ペ、タウ、オン、白頭翁。白髮の老人。白頭翁。

ペ、タウ、コエ、白頭契。【白契】。

ペ、タウ、コオ、白豆蔻。【寇花】。

ペ、タウ、コク、白頭鶴。(種) 鳥の名。白頭。【ぎもの。

ペ、タウ、チエン、白罩燈。洋燈の一種。笠の圓くて白

ペ、タウ、ブウ、クツ、父頭母骨。(種) 連一。續控

控出来。喧嘩の時相手の親代代までも引出して

悪口をする。

ペ、タウ、ムン、白頭毛。白髮。白髮。押尾出世在

先。一。後から生れて先に白髮になる。後の

雁が先になる。

ペ、タウ、モオ、白頭毛。(種) 前に同じ。

ペ、タウ、ヌ、皮甍。毛皮の敷物。

ペ、タン、白銅。白銅。

ペ、タン、批桶。(種) 【批桶】。

ペ、チア、白食。【只で食ふ。金を拂はずに食ふ。】徒

に食ふ。一。的。穀潰。

ペ、チア、白淡。水っぽい。淡い。一。無味。水っぽく

て味が無い。乾燥無味。

ペ、チア、ウ、飛鳥。飛鳥。飛鳥。懸狗追。一。愚な

犬が飛ぶ鳥を追ふ、出来もせぬ事をいふ。

ペ、チア、ウ、白鳥。【白鳥】。新しく綺麗な墨西哥弗。

ペ、チア、ム、白占。(種) 第二期作水稻類の一品種。

ペ、チイ、飛箭。流矢。流矢。逸矢。被一。射着。流

矢に當る。

ペ、チイ、擘錢。【金を擡起す。】金を儲ける。去内

山。一。生蕃山へ往つて金を儲ける。

ペ、チイ、賠錢。【金を償ふ。】金で償ふ。【用ふ】。

ペ、チイ、白苧。(種) しろばないりす。(鎮痙薬として

ペ、チイ、白鏡。【銀紙】の一種。白紙に銀齒状の孔を

穿ちたるものにて墓参の時墓の上に置き又は墓場

にて焼く。

ペ、チイ、飛星。婚星。流星。

ペ、チイ、白沍。白っぽい。艶のない白味がかった色。

一。一。同上。

ペ、チイ、ソオ、白紫蘇。【紫蘇】の(種)。

ペ、チイ、ビイ、白紫薇。(種) (千屈科) 白花の百日紅。

【紫薇】の(種)を見よ。

ペ、チウ、扒上。【攀る。】攀登る。搔上る。一。樹

木に登る。【上る。】登る。一。山頂。山に登る。

登山。一。樓頂。二階に上る。一。天。天に上

る。附上る。増長する。

ペ、チウ、扒癢。癢い處を爬く。

ペ、エ

ペ、エ

ペ、エ

へ
エ

へエチウ 白酒。白酒。焼酎の類。「ふ。
 へエチウ 摺手。敵の突いて来る手を拂除ける。打拂。
 へエチウ 白鬚。白い鬚。一孫。土下叔。白鬚の孫。
 に土間を這ふ叔父。孫が白鬚の老人で叔父さんが
 赤坊。目上の者必ずしも年長者とは限らぬ。
 へエチウ 白樹。(植)。(大戟科)おほぼつげ。(材は杵
 などを製す)。(蟲屎)の(齋敷果科)はん
 のはえごのき。
 へエチウ 白鯛。(動)眞名鯛。
 へエチウ 白象。白象。「四色牌」の骨牌札の名。
 へエチウ 配酒。酒に配する。酒の肴にする。「ぎ。
 へエチウ アア 白樹仔。(植)(金絲桃科)たいわんふく
 へエチウ クツ 皮癢骨癢。皮痒く骨痒し。不必
 要な事に手出して自ら禍を招くなど。
 へエチウ ビヌ 摺手前。相手になって争ふ。喧嘩する。
 不與伊。喧嘩の相手にしない。與乞食
 一。乞食を相手にして喧嘩する様なものだ。
 相手に道理を説聞せても分らぬときなどにいふ。
 與生鳥。陰謀を相手にして争ふ様なもの
 だ。同上の意。
 へエチウ ボヲ 白鬚報。舊曆八月十五日の「土地公
 の祭の頃に起る大風。
 へエチエック 敵威。(自分の親戚の謙稱)私の親戚。

へ
エ

へエチエックレエ 白痰藜。「三脚虎」の(脚)。
 へエチエックブイコエ 白切肥雞。鶏肉を主とし椎茸
 等を混へて煮た料理。
 へエチエヌジオン 白剪絨。(植)(菊科)菊の一變種。
 へエチエン 白榕。(植)(桑科)はまいぬびは。
 へエチエン 白松栢。(植)(松科)にひたかたう
 ひ。「松蘿杜」にひたかたとまつ。
 へエチオク 白芍。(藥)白芍藥。(腹痛痢疾等を治す)。
 へエチオクイオク 白芍藥。前に同じ。
 へエチオン 白將。「四色牌」の骨牌札の名。
 へエチヲ 白石。白石。石灰石。
 へエチヲ 皮尺。卷尺。
 へエチヲ イエン 白石英。大理石。
 へエチヲ チエン 白石頂。白石の珠を附けた官帽
 又同上を被る官の階級。
 へエチツレエ 白痰藜。「三脚虎」の(脚)。
 へエチヌ 父親。父。父親。
 へエチア 病痛。(病)病痛。
 へエチアウアア 批條仔。(批)批條仔。
 へエチアウチエン 白吊鐘。「板仔」。
 へエチアウチアウ 把住住。睨と守る。關隘。關隘。關隘を厳しく守る。「上を送る」。
 へエチアア 白帖。死亡を通知する書狀。放。同上

へ
エ

へエチアム 敵店。(敵)敵店。
 へエチアム 皮篋。皮の座蒲團。椅子に敷く皮の蒲團。
 へエチアムチウ 白沉酒。甘くて強い酒の名。
 へエチエックアア 白竹仔紙。竹を原料として製
 した紙の名。白紙。唐紙。
 へエチエックアア 白竹紙。前に同じ。
 へエチエン 白丁。官途などに就いてゐない普通の人。
 へエチエンキアウ 白丁堅紵。(植)しろばなのい
 がかうぞりな。(菊科、解熱劑となす)。
 へエチヲ 背銚。背中の上部の少しく突出してゐる人。
 一仔。同上。
 へエチヲ 白銚。(植)白銚。起。白銚が
 来る。掠閃電刷。一。稻妻を捕へて白銚を擦
 る。稻妻の光を掴んで擦附けると治るといふ。
 へエチヲアア 白銚仔。前に同じ。
 へエチヌベエ 帕陣尾。敵を追撃する。人の弱み
 へエチヌボエ 帕陣尾。(陣)前に同じ。「に附込む」。
 へエチヌボヲ 帕陣尾。(陣)前に同じ。
 へエチイキイ 白嘴齒。白い齒。白齒。「種」。
 へエツイギムホエ 白水錦花。(植)白花の木槿の品
 へエツイウ 飛鼠。(動)鼯鼠。掏摸。掏摸。畫意。
 畫盗人。
 へエツイウ 敵處。(自分の居所の謙稱)私の住所。拙宅。

入。 H

ペ、エツウ ヌン 白薯榔。(種) (薯預科) おほにがいも。
 ペ、エツウ ラヌ 白珠蘭。(種) (金粟蘭科) ちらんの一
 ペ、エツウ レ、エ 白珠螺。(動) 夜光貝。「種」
 ペ、エツウ 白卒。(スシツク) 四色牌の骨牌札の名。
 ペ、エツウ 白朮。(マツツ) 蒼朮。
 ペ、エツウ 白朮。(種) 第一期作水稻糯米の一品種。
 ペ、エツウ ヌ 飛船。(新) 飛行船。
 ペ、エツウ ヌ 批准。(海) 批准。
 ペ、エツウ カン、チ、ヲ 扒床招席。病氣などの爲床上
 で七轉八倒する。悶躁き苦しむ。
 ペ、エツウ イ 扒梯。梯を登る。
 ペ、エツウ ヌ 白吞。●薬など添物なしに其儘吞込む。此
 號苦藥你亦敢。君は好くもこんな苦い藥
 を其儘吞込むね。一免配菜。菜なしに御飯丈
 を食べる。●人の寄託物などを横領する。一
 人的錢。人の錢を着服する。家伙共人。一
 去。人の寄託した財産を横領して仕舞ふ。
 ペ、エツウ 白糖。白砂糖。
 ペ、エツウ コロ 白糖糕。油で煎った糯米を粉にして
 白砂糖を混ぜ種種の型に入れて固めた菓子。
 ペ、エツウ シ、ン 白糖葱。輕燒の如き菓子の名。
 ペ、エ、テ、エ 焙茶。茶を焙じる。
 ペ、エ、テ、エ 白茶。【白葉茶】。

入。 H

ペ、エ、テ、エ 敝宅。(又) 弊宅。拙宅。
 ペ、エ、テ、エ 白楊。垢抜がして色が白い。一好骨格。一
 同上且姿が好い。
 ペ、エ、テ、エ 批袋。(種) 【批袋】。
 ペ、エ、テ、エ 配茶。茶に添へる。お茶受にする。
 ペ、エ、テ、エ ア、ア 皮袋仔。革囊。
 ペ、エ、テ、エ、エ 白楊楊。【白楊】。
 ペ、エ、ト、ア 背帶。物を負ふ爲の紐。
 ペ、エ、ト、ア 白檀。【檀香】。
 ペ、エ、ト、ア 白炭。(病) 實布の里亞。
 ペ、エ、ト、ア 皮帶。革帶。帶革。革紐。
 ペ、エ、ト、ア 被單。蒲團の皮。
 ペ、エ、ト、ア チ、ム、ピ、イ 白大鱗片。蟹の肉・豚肉・筍・椎
 茸等を材料として煮たもの。
 ペ、エ、ト、ア ヒ、イ 白帶魚。(動) 大刀魚。
 ペ、エ、ト、ア ヌ 弊端。(又) 弊害。
 ペ、エ、ト、エ 白底。白い地。白地。
 ペ、エ、ト、オ 白土。白い土。
 ペ、エ、ト、オ 帕土。土を裾に包む。埋棺の時墓の土を裾
 に包んで歸り、香爐に入れ【除靈】の後之を棄つ。
 ペ、エ、ト、オ コ、ア、ヌ、ホ、エ 白杜鵑花。(種) (石南科) 白躑躅。
 ペ、エ、ト、オ コ、オ 白豆蔻。(種) 【豆蔻】の一種。(肉豆蔻
 科、嘔吐・瀉飲・肺病等に効あり)。

入。 H

ペ、エ、ト、オ、ザ、ア 白肚阜。(種) 第二期作水稻粳の一品
 ペ、エ、ト、オ、タ、ウ 搾土豆。落花生を搦る。「種」
 ペ、エ、ト、オ、ビ、イ 白杜鵑。(種) 蓖麻。白い蓖麻子。【蓖
 麻】を見よ。
 ペ、エ、ト、オ、フ、ヌ 飛土粉。砂煙が立つ。
 ペ、エ、ト、ロ 佩刀。刀を佩びる。佩刀。
 ペ、エ、ト、ロ ヒ、イ 白刀魚。(動) 大刀魚。
 ペ、エ、ト、ン 白桐。(種) 臺灣桐。(玄參科、材は板となし
 又下駄を製す、生番人は丸太を刳貫きて衣類櫃・
 蒸籠等を造る)。
 ペ、エ、ニ、フ、ウ、ツ、ウ 白老鼠。(動) 白鼠。
 ペ、エ、ネ、エ 拊拊。【拊拊】。
 ペ、エ、ネ、エ 拊拊。【拊拊】。
 ペ、エ、ネ、エ 平平。【平平】。
 ペ、エ、ノ、ア 白涎。【白沫涎】。
 ペ、エ、ハ、ア 陛下。【陛下】。
 ペ、エ、ハ、ア 扒嘘。欠。欠をする。
 ペ、エ、ハ、ア 陛下。(皇) 陛下。天皇。一。天皇陛下。
 ペ、エ、ハ、イ 弊害。(皇) 弊害。
 ペ、エ、ハ、ン 敝行。(自分の問屋の謙稱) 私の問屋。
 ペ、エ、バ、ア 白肉。豚肉の白身。脂身。請人食。一。一
 會葬者を饗應すること。
 ペ、エ、バ、ア 皮肉。腫物などに對する皮膚の性質。好。一

ヘ

一的人粒仔較快好。皮膚の好い者は腫物が早く治る。「を見よ。」

ペ、エ、バ、ア、タ、ウ、白肉豆。(種) 茨の白い藤豆。【肉豆】

ペ、エ、バ、ア、チ、エ、ン、白肉榕。(種) (桑科) しろがじゅまる。

ペ、エ、バ、ア、ペ、エ、ブ、ウ、ア、ア、白肉白匏仔。(種) (大戟科) あかめがしは。

ペ、エ、バ、ク、白墨。白墨。

ペ、エ、バ、ク、バ、イ、白自扇。白眉毛。一一人無人請自

己來。白眉毛が誰も招待しないのに自分で来る、招待しないのに厚顔しく来る人などを冷笑していふ。

ペ、エ、バ、ク、ブ、ツ、白自佛。白眼の佛。郭聖王。一一人

興外境。白眼の佛が管轄外に利益を興へる、手近の者を構はずに却て縁の遠い者に手厚くするなど。

ペ、エ、バ、ク、ベ、エ、白自麴。食人的。一一人居候などが

遠慮しながら食事をする。

ペ、エ、バ、ア、ク、ツ、シ、ア、ウ、白右骨硝。【右骨硝】の①。

ペ、エ、バ、ウ、白包。【四色牌】の骨牌札の名。

ペ、エ、バ、ウ、皮包。鞆。手提鞆。

ペ、エ、バ、ウ、バ、ウ、白胖胖。ふっくりとして真白い。困仔

一一人子供が同上。

ペ、エ、バ、ウ、バ、ウ、白胖胖。前に同じ。

ヘ

ペ、エ、バ、ク、把縛。束縛。拘束。被規矩。一一人規則に束縛される。受。一一人束縛を受ける。

ペ、エ、バ、ク、扒腹。気が苛苛する。苛立つ。気をもむ。焦慮する。焦心。一一人同上。多子多。一一人多娘

婦多體別。一一人子供が多ければ心配が多く養女が多ければごたごたが多い。

ペ、エ、バ、ク、白腹。(動) 一一人鯖。一一人鯖。

ペ、エ、バ、ン、ト、エ、白紡苧。麻織物の一種。

ペ、エ、ヒ、ア、飛蟻。(動) 羽蟻。羽蟻。

ペ、エ、ヒ、ア、白蟻。(動) 白蟻。一一人巢。一一人白蟻の巢。上。一一人白蟻が附く。一一人穿去。一一人白蟻が食った、瘦せた者を罵る詞。

ペ、エ、ヒ、ア、皮靴。長靴。

ペ、エ、ヒ、ア、イ、ウ、白蟻油。白蟻を豫防する薬劑。

ペ、エ、ヒ、ア、オ、ン、白蟻主。白蟻の女王。

ペ、エ、ヒ、ア、ト、オ、白蟻土。白蟻が食った跡の土の如く

なったもの。

ペ、エ、ヒ、イ、飛魚。【飛鳥】。

ペ、エ、ヒ、イ、白魚。(動) 太刀魚。太刀魚。

ペ、エ、ヒ、イ、皮戯。【皮猴】。

ペ、エ、ヒ、イ、バ、イ、白魚牌。骨牌札の一種。

ペ、エ、ヒ、イ、リ、エ、ン、飛魚空。飛魚を捕る網。

ペ、エ、ヒ、ウ、敝郷。(自分の郷里の謙稱) 私の郷里。

ヘ

ペ、エ、ヒ、エ、ン、サ、イ、白莧菜。莖と葉の白い「莧菜」。

ペ、エ、ヒ、エ、ン、ホ、エ、白杏花。(種) (薔薇科) もっこもど

ペ、エ、ヒ、オ、ン、敝郷。【敝郷】。

ペ、エ、ヒ、オ、ン、フ、ウ、白香附。(種) ひめくぐ。(莎草科) 根を煎服して感冒・腹痛を治す。

ペ、エ、ヒ、ヨ、ア、ア、白葉仔。(種) (大戟科) ほざきあかめが

しは。うらぐらあかめがしは。

ペ、エ、ヒ、ヨ、イ、ウ、白葉柚。【早柚】。

ペ、エ、ヒ、ヨ、テ、エ、白葉茶。支那より輸入する茶の名。(茜草科、こんろんくわ屬の植物の葉にて製したるもの如し)。

ペ、エ、ビ、イ、擇米。米を撿起す。金を儲ける。你亦

要來。一一人是不。一一人君も金儲にやつて來たのか。

ペ、エ、ビ、イ、白米。白米。清水煮。一一人清水で白米を炊く、濁らぬといふ意にて行爲の清淨潔白な

こと。

ペ、エ、ビ、イ、フ、ヌ、白米粉。(種) 第一期作水稻糧の一品

ペ、エ、ビ、エ、ン、批明。(種) 【批明】。

ペ、エ、ビ、ツ、チ、ウ、ム、白蜜樹梅。(種) 果肉の白い「樹

梅」。

ペ、エ、ビ、ヌ、白面。白顔。白首。淫賣婦。一一人

淫賣屋。

ペ、エ、ビ、ヌ、ア、ア、白面仔。白首。淫賣婦。

ペ、エ、ビ、ア、精壁。紙で壁を貼る。

ペ、ピア 扒壁。●壁に這上る。●堪らない。堪へられない。痛到要ー痛くて堪らない。熱到要ー熱くて堪らない。●附上る。増長する。●若無打就能ー毆らないと増長する。

ペ、ピナ 白餅。孔子を祭る時の供物の一種。

ペ、ピイ 扒拵。●(生活など)貧しい。足らぬ勝。且目。家事真ー家が甚だ貧しい。食ふや食はずに暮してゐる。●道線算段する。ー買無理算段して買ふ。ー納道線算段して納める。

ペ、ピイ 扒變。●努力して稼ぐ。●金など工面する。道線算段する。強擱ー孜孜として稼ぎ無理算段をして溜める。

ペ、ピイ コエ 白片雞。鶏を燻でて薄く切り椎茸・葱などを入れて煮た料理。

ペ、ピイ タウ 白扁豆。(種)【白肉豆】。

ペ、ピイ チム 白片燻。蟹を燻でて生姜・酢等を混へて煮た料理。

ペ、ピイ テイ バア 白片猪肉。豚肉を燻でて薄く切り椎茸・筍・葱等を混へて煮た料理。

ペ、ピイ バア 白鼻猫。鼻の白い狸。

ペ、ピイ ビウ レク 白片香螺。榮螺を燻でて薄く切り豚肉・椎茸・葱等を混へて煮た料理。

ペ、ピエヌ 皮鞭。牛の皮にて靴の底の形に作ったもの、輕罪犯人の白状せざるべき之を以て兩方の

ペ、ピエヌ コエ 白片雞。【白片雞】。「頬を打つ。」

ペ、ピエヌ チム 白片燻。【白片燻】。

ペ、ピエン 弊病。●疾しい事。有ー即不敢講。後暗い所があるからそれで言ひきれないのだ。●缺點。疵。政治上的ー政治上の缺點。

ペ、ピエン 批評。(漢)【批評】。

ペ、ピビ 幣帛。(文) 幣帛。

ペ、ピフウ 敝府。(自分の府の謙稱)私の府。

ペ、ピフウ 皮膚。皮膚。肌。膚。ー幼幼肌理が細い。歹ー皮膚が丈夫でない。

ペ、ピフウ ケエ 皮膚科。(國)皮膚科。

ペ、ピフッ ソン 白佛桑。(種)【佛桑花】。

ペ、ピフヌ 白粉。白粉。ー墨。白堊。チョーク。

ペ、ピフヌ 白雲。白雲。白雲。

ペ、ピフウ 父母。父母。親。兩親。兩親。ー與子親。親子。ー生成父母から生附けられた性質。生附。ー愛子長流水。子愛。ー樹尾風。父母の子を愛するは長き流水の如く永續すれども子の父母を愛するは樹梢の風の如く一時にて止む。ー愛細子。公媽愛大孫。父母は末子を愛し祖父母は長孫を愛す。ー着孝順。兄弟着合和。父母には孝順なるべし兄弟

は和合すべし。

ペ、ピフウ コア 父母官。牧民の官。地方官。

ペ、ピフウ ツウ 父母膺。親許。親里。實家。里。里方。返去ー親許に歸る。

ペ、ピフウ ホエ 父母會。神前に於て義兄弟の誓をなし、何れかの父母が死亡すれば葬式の費用を分擔する旨の盟をする會。盟ー同上の誓をする。

ペ、ピフウ ラッ 父母力。父母から與へられた力。使。ー同上を使ふ。有らん限りの力を出す。

ペ、ピブツ アア ヒイ 白魴仔魚。(魚)白子。縮細鱈魚。

ペ、ピブヌ 白文。句讀・註解などを施さざる漢文。白文。四書ー四書白文。

ペ、ピブヌ ジメ 敝門人。(自分の門人の謙稱)私の門人。

ペ、ピブイ 改飯。(漢)【改飯】。

ペ、ピブイ 扒拔。悲惨な境遇。

ペ、ピブウ 白匏。【白葉仔】。

ペ、ピブウ 白眺。白っぽく褻めた鼠色。薄鼠色。

ペ、ピブウ アア 白匏仔。【白葉仔】。「色」。

ペ、ピブウ シエック 白眺色。白っぽく褻めた鼠色。薄鼠色。

ペ、ピブウ ペエ 白眺。前に同じ。

ペ、ピブツ 把扒。竹杷。把搔。擗ー自己損頭額。把搔を持って自分の額を打つ、自業自得。

ハ

ハ

ハ

菜科。葉は下痢又は打撲傷を治し、根は治淋劑となす。【ちばかま】

ペエ ホエアアアサウ 白花仔草。(種) (菊科) しまふ

ペエ ホエコオナア 白花苦林盤。(種) 花の白

いほたくさぎ。【苦林盤】の①を見よ。

ペエ ホエサウ 白花草。やんばるくるまばな。やん

ばるつるはくか。(唇形科) 莖・葉を乾燥して茶の代用となす。

ペエ ホエチヌ 白花藤。【烏面馬】。

ペエ ホオ 白虎。●白虎。●白虎。●費斗仁」とい

ふ賽の目の白い方。青龍——賽の目の青と白の二種。●家又は墓などの右の方。——青龍の同上の右左。●女の陰部に毛の無いもの。かはらけ。【青龍】に對す。

ペエ ホオキア 白虎鏡。【倒鏡】。

ペエ ホオシヌ 白虎神。邪神。金神。「かはらけ。

ペエ ホオチイ 白虎之。女の陰部に毛の無いもの。

ペエ ホオチヲ 白胡椒。白胡椒。【胡椒】の果實から製した白色の胡椒。香辛料薬料に供す。

ペエ ホオニアウ 扒虎猫。べっかつかう。あかんべい。

ペエ ホオリイ 白狐狸。白狐。白狐。

ペエ ホヲ 敝號。(文) 弊號。私の家號。

ペエ ホヲ 白鶴。白い鶴。

ペエ ホヲチウ 白鶴酒。(圖) 酒の名。白鶴。

ペエ ホヲラヌ 白和蘭。(種) 甘薯の一種。

ペエ ホンザイ 白紅菜。(種) たかさごさんしち。(菊科) 刀傷、打撲傷又は毒蟲に螫されたる時、莖・葉を搗碎して局部に貼付す。

ペエ ボア 白抹抹。皮膚など真白い。

ペエ ボエ 帕尾。(種) 【帕尾】。

ペエ ボオ 胚模。●型。鱗形。模型。先打——先に型を作る。●規模。仕組。製糖會社の——打眞大——製糖會社の規模は甚だ大きい。

ペエ ボオタヌ 白牡丹。(種) 白牡丹。

ペエ ボヲ 父母。(種) 【父母】。

ペエ ボヲ 病母。(種) 【病母】。

ペエ ボクジイ 白木耳。次に同じ。

ペエ ボクニイ 白木耳。菌類、きくらげの一種。(高貴なる補養食料にして、咯血したる患者に對しては氷砂糖と共に煮て食せしむ)。

ペエ ボン 培墓。墓の周圍の土を掘起して掃除をする。

ペエ ボン 白茫茫。一面に真白い。雪落到——雪が降って一面に真白だ。銀世界になる。

ペエ ボオ 帕尾。(種) 【帕尾】。

ペエ ボア 把半。長さ重さ又は金員など約半分。二斤——約一斤半。一元——約一圓五十錢。三

尺——凡そ三尺五寸。

ペエ ボア 扒破。剥いて破る。剥く。——人的面——人の顔を引剥く、人に赤恥をかかせる。

ペエ ボア 扒破。播破る。

ペエ ボア 扒破。面。●赤恥をかく。在衆人的面前——大勢の前で赤恥を曝す。●恥を忍ぶ。忍従する。——在牽車——恥を忍んで車を挽いてゐる。

ペエ ボエ 白飛。(種) 【白飛】。

ペエ ボエ 拼皮。(種) 【拼皮】。

ペエ ボエ 批皮。(種) 【批皮】。

ペエ ボエノア 白沫涎。(種) 【白沫涎】。

ペエ ボオ 暗補。賠償又は支拂の不足分を補足する。——足數——同上して數を満たす。

ペエ ボオ 白布。白木綿。白布。

ペエ ボオ 被鋪。夜具。寢具。布團。

ペエ ボオキウ 白埔姜。(種) ●たいわんぶどうつぎ。(馬錢科) 莖・葉を水煎して皮膚病の局部を洗滌し又これを煎服して麻疹、神經痛を治す。●海埔姜。●虎耳草科おほばうつぎ。たいわんうつぎ。

ペエ ボリアウ 白布條。卷木綿。纏帶。

ペエ ボヲ 梢箔。箔を貼る。同上して【金銀紙】を作る。

ペエ ボヲ 白波。波。水湧——波が真白い。

ハエ

ハエ

ハエ

ヘエ

黄栌花開到——梔子の花が眞白に咲いた。

ペエ ポオ 白飛。(鳥) 【白飛】。

ペエ ポオ ノア 白沫涎。(鳥) 【白沫涎】。

ペエ ミア 賠命。命を償ふ。

ペエ ミア 胚命。一生懸命。命掛け。——走。——這這の體で逃げる。命辛辛逃げる。

ペエ ム 伯姆。●伯母。●父の兄と其妻。

ペエ ム イ 把門。(漢) 【把門】。

ペエ ム イ 白梅。(種) 白梅。

ペエ ム ン 把門。門を守る。——的。——門番。——將軍。——仁王。——神將。——仁王。

ペエ ム ン 白毛。白髪。——頭。——白髪頭。烏毛豎到。——黒い髪が白髪になるまで住む。一箇所に久しく住居すること。

ペエ モ ア 白鱈。(動) 鱈。

ペエ モ ア 白麻。(種) 白胡麻。【油麻】を見よ。

ペエ モ ア イ ウ 白麻油。白胡麻の油。

ペエ モ オ 白毛。(漢) 【白毛】。

ペエ モ オ 皮膜。●甘皮。●皮相。識。一個。——上面だけ知つてゐる。

ペエ モ オ カウ 白毛猴。(種) 茶樹の一種。

ペエ ラ ア 白蠟。白い蠟。

ペエ ラ ア サア 白蠟燭。水っぽくって味が無い。煮了。

ヘエ

——要。怎仔食。味も何も無く煮てどうして食へるものか。

ペエ ラ ア バク ラア 白蠟木蠟。【紅包樹】。

ペエ ラ ウ キア イウ 父老子幼。父は老い子は小さい。

ペエ ラ ヲ ア 皮棗仔。革囊。

ペエ ラ ヲ カグ 白六角。(種) 花の白い椀の一品種。

ペエ ラ ム 白朮。【檄朮】。茶焙。

ペエ ラ ン 焙籠。茶を焙じる蒸籠の如きもの。焙爐。

ペエ リ ア ウ 白了。只無する。只失ふ。無益に費す。

ペエ リ ア ク シア ク 白鑠鑠。【白鑠鑠】。

ペエ リ ア ン 白亮。官人の帽子に附ける白色の珠。——頂。——同上の珠を附けた帽子。

ペエ リ イ 白痢。(病) 白痢。白痢。

ペエ リ エ ン サイ 波蕨菜。(蔬菜) 蕨菜。

ペエ リ エ ン シイ 白鶴鷲。(動) 白鷺。鷺。——賢討。食無脚後肚。白鷺は如何によく食を求めても脚に肉が附かない。催促と小刀細工をして稼過つても結局金が残らないなど。——飛到胭脂巷亦是白。白鷺が飛んで紅の町へ往つても矢張り白い。素質は移すべからざる意。

ペエ リ エ ン ツ ヌ 扒龍船。●舊曆五月五日前後川施餓鬼の爲にするボートレースにして數日間繼續して催すことあり。【猷江】及び【謝江】参照。●扒

ヘエ

龍船を模擬した遊戯、一組五人を以て組織し一人は漕手と假定し左右二人は漕手の上腕を支へ他の左右二人は漕手の股を擁して抱上げ四人の者疾走すれば漕手は手を以て水を掻く眞似をなす一種の駢足競争。

ペエ リ エ ン ツ ヌ ホエ 白龍船花。(種) (馬鞭花科) しろばなのりうせんくわ。

ペエ リ エ ン ペエ ホオ 飛龍飛虎。高官の行列の前に樹て行く旗、龍及び虎を畫いたもの。

ペエ リ オ ン ツ ヌ 扒龍船。(鳥) 【扒龍船】。

ペエ リ ヌ 白綾。白綾。

ペエ レ エ 飛飛。【飛飛】の㊦。

ペエ レ エ 改改。【改改】。

ペエ レ エ 把把。【把把】。

ペエ レ エ 揜揜。【揜揜】。

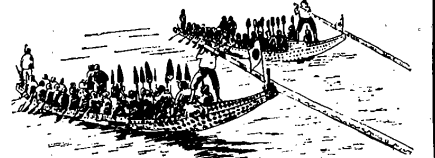
ペエ レ エ 蔽蔽。【蔽蔽】の㊦。

ペエ レ エ 梢梢。【梢梢】。

ペエ レ エ 扒扒。【扒扒】の㊦。

ペエ レ エ 辨辨。【辨辨】。

ペエ レ エ 扒扒。【扒扒】の㊦。



㊦の船龍扒

ハ

ペレロ 賠賠。【賠賠】。
 ペレロ 焙焙。【焙焙】。
 ペレロ 背背。【背背】。
 ペレロ 拔拔。【拔拔】。
 ペレロ 批批。【批批】。
 ペレロ 剋剋。【剋剋】。
 ペレロ 配配。【配配】。
 ペレロ 帕帕。【帕帕】の⑤。
 ペレロ 嫫嫫。【嫫嫫】。
 ペレロ 白雪雪。純白。眞白。
 ペレロ 白雪雪。前に同じ。
 ペロエ 手ッ 敵内姪。(自分の妻の兄弟の子の謙稱)
 わたくしつゝま まいごの子
 私(わたくし)の妻(つゝま)の兄弟(まいご)の子(こ)。
 ペロオ 焙爐。茶などを焙じる焙爐。
 ペロオ 白露。二十四氣の(一)白露。——土不可
 攪。白露の節になれば土を攪きませて稻の根の
 草を取ってはいけない。
 ペロオ シイ 白鷺鷥。(動) 白鷺鷥。
 ペロオ ツウ 白老鼠。(動) 南京鼠。鼯鼠。
 ペロオ テエ 白露茶。白露の季節に産する烏龍茶の
 一種。 【煮た料理】
 ペロオ プイコエ 白露肥雞。鶏等を材料として
 ペロロ 白羅。白絹。

ホ

ペエロ スウ 敵老師。(自分の先生の謙稱) 私の先
 生。
 ペエロ 白鹿。(鹿) 酒の名。白鹿。
 ペエロ 批麩。(麩) 【批麩】。
 ペエロ 批麩。(麩) 【批麩】。
 ペエロ 批麩。(麩) 【批麩】。
 ペエロ 皮囊。革囊。
 ホア 花。(花) 花。看一容易。畫一難。花を見るは易く
 花を畫くは難し、實行は困難の意。尋一問柳。花
 花を尋ね柳を問ふ、花柳の巷に通ふ。落一流水
 落花流水、非常に零落する意。錦上添一錦
 上に花を添ふ、綺麗なものの上に一層綺麗なもの
 のを添加へる意。
 ホア 灰。消える。打一消えさせる。消す。火一去
 火が消える。人親像要一去瘦衰へて元氣が
 無い。死にさうな體をしてゐる。
 ホア 華。(華) 華。
 ホア 化。化ける。化する。變る。千變萬一。千變
 萬化。一做人。人間に化ける。肉身無一肉體
 が變化しない、埋葬した屍が其儘で白骨となら
 ない。一骨符。魚の骨などの喉にかかったのを
 除く符。有物較難。堅い物は消化し難い。一
 暈す。暈取る。一較淺。薄く暈す。一墨水。墨

ホ

ホア 喝。叫ぶ。呼ぶ。一救人。救けてくれと叫ぶ。賊
 一賊。泥棒の泥棒叫はり。一不聽。嘯鳴しても聞
 かぬ。一沒動。嘯鳴しても動かぬ、命令が行は
 れぬ。一起。倒立して轉べと叫ぶ、支配する。命
 令する。
 ホア 磨。一寸磨く。用皮帶一剃頭刀。革砥で剃刀を
 一寸磨く。一水缸。水甕の縁で一寸磨く。
 ホア 彼。(彼) 彼。
 ホア 按。大摑に見積る。一算。同上。一看有若多
 何程有るか積つて見る。一喧嘩。喧嘩などを引分ける。
 止める。一息。同上。一不息。止めても聽かな
 い。你去爲伊。一咧。君往つて止めてやれ。
 ホア 華。(華) 華。
 ホア 譁。一嗷嗷と騒ぐ。一騒。騒ぐ。歸陣。起來。大勢
 がどとと騒立つ。外面一甚事。外で騒いで
 ゐるのは何事か。一巫山。戯れる。戯れる。戯
 ける。大人與。因仔。大人が子供と戯れる。一
 了能變面。巫山戯ると後で喧嘩になる。愛與

符を燒きその灰を水に混じて飲む、其護符をい

ホアク又 喝拳。拳を打つ。猜拳を打つ。「ふ。

ホアケエ 喝價。値上をする。大家——同商賣の者が言合はせて値上をする。「で越える。

ホアケエ 畦過。跨いで越える。——溝仔——溝を跨い

ホアケエ 按家。家を治める。家政を掌る。賢——家政がうまい。

ホアコエ 按看。積って見る。打算して見る。目算して見る。——起此歇的厝着若多錢——此様な家を建てるに何程かかるか積って見る。「兒。

ホアコエ 花魁。(又) 藝者などの一番名高い者。流行色町。花柳界。花柳の巷。

ホアコエ リウハン 花街柳巷。色里。遊里。遊廓。

ホアコオ パヌ 按鼓板。奏樂を指揮する。

ホアコン 畫工。(又) 繪師。繪師。畫工。

ホアコン チヲ 花崗石。(又) 花崗石。

ホアコン ボヲ 花公婆。【花公花婆】。

ホアゴアツ 花月。(又) 二月の異名。

ホアサイ 化齋。托鉢。和尚——僧侶が托鉢をする。

ホアサイ 華彩。華美。華やか。立派。

ホアサツ 華札。(又) 貴札。尊翰。尊書。

ホアシア 喝聲。掛聲。

ホアシア 鑲錫。錫で接合せる。

ホアシアウ 花消。金錢などを浪費する。

ホアシアウ 按賬。勘定を取扱ふ。——的——帳場。帳簿の係。勘定方。

ホアシイ 化生。化生。孵化。萬物——萬物化生す。

ホアシエク 化色。暈取る。暈す。

ホアシエン 化生。(又) 【化生】。

ホアシエン 化成。(又) 化成。

ホアシヌ 花信。(又) 花信。

ホアシヌ 化身。①化身。化現。權現。②人が死んで佛に成る。成佛する。——做佛——同上。——洞佛に成る。成佛する。——做佛——同上。——洞佛に成る。成佛する。——做佛——同上。

ホアシム ヒイゴアヌ 歡心喜願。心から満足して承知する。快く承諾する。甘諾する。

ホアスン 按算。大綱に見積る。大略計算してみる。——看——同上。

ホアソア 化山。【做功德】のとき【金紙】【銀紙】にて山の形を作り之れを燒くこと。

ホアソア 喝息。叱って止めさせる。

ホアソア 按息。喧嘩などを止める。仲裁して止めさせる。引分ける。

ホアソア 按息。前に同じ。

ホアソア 化紙。【靈盾】を燒く。

ホアソア 花草。(又) 花や草。花草。

ホアソン ビヌ 化粧品。(又) 化粧品。

ホアタア 按瞻。心丈夫にする。門——心丈夫にしてやる。

ホアタウ 按頭。家政などを掌る。家内是伊在——家の内は彼が指圖をして治めてゐる。「ゐる。

ホアタウ ヒイビヌ 歡頭喜面。嬉しうに笑顏して

ホアチア 喝。喝此喝彼。彼方も此方も喝喝散らす。

ホアチエヌ 華箋。(又) 貴札。尊翰。尊書。

ホアチエン タウ 按症頭。醫治を引受ける。引受けて病氣を治す。

ホアチオク 花燭。(又) 花燭。

ホアチヲ 花椒。【白胡椒】。

ホアチア 按鼎。銅を掌る。賄方をする。

ホアチア 按定。心を落着ける。心肝着——しつかりと心を落着ける。

ホアチアウ 花朝。(又) 舊二月十五日を百花の生ずる日として名けたるもの、此日晴天なれば百果豊熟すといふ。

ホアチイ ヒイトエ 歡天喜地。大喜。欣喜雀躍。

ホアチエヌ 花顯。色狂。色情狂。

ホアチエヌゴアツ テエ 花天月地。花天月地。柳巷花街などの意。

ホア

ホア

ホア

ホア

ホアチエヌチウテエ 花天酒地。前に同じ。

ホアツウ花子。(又) 乞食。物質。

ホアツツ花齣。芝居の齣事。

ホアツツホアジフ 跣出跣入。鬨を跨いで出たり入ったりする。

ホアトア化單。【葷丸】の作る處方箋の如きもの、之を焼いて病人に飲ませる。

ホアトア按舵。舵を取る。舵取。

ホアトオ喝土。道士が病魔を追ふ爲に咒文を唱へる。

ホアトラ喝道。先拂ひ。先乗。前驛。自己騎馬自己

己ー自分分が馬に騎つて自分で先拂ひの掛聲を

する、自讃又は自家廣告の如きをいふ。

ホアトラ岸刀。柄の長い鉞の如きもの、草を薙ぐ具。



刀岸

ホアトノ華堂。(又) 他人の家の敬稱。尊家。

ホアニアウ花鳥。(又) 花鳥。ー人物花鳥人物。

畫ー花鳥を畫く。

ホアノア横横。【横横】。

ホアノア按按。【按按】。

ホアノア按按。【按按】。

ホアノア鑼鑼。【鑼鑼】。

ホアハア華夏。(又) 中華。中國。

ホア

ホアハア華厦。(又) 貴ー貴宅。御宅。

ホアハハ化学。(又) 化学。

ホアハヌ華輪。(又) 芳墨。芳書。貴札。芳翰。尊書。

ホアハム華函。前に同じ。【尊翰】。

ホアヒアム喝喊。大な聲で呼ぶ。叫喚い。

ホアヒイ歡喜。嬉しがる。喜ぶ。嬉しい。ー到

没願得嬉しくて堪らない。快く。喜んで。

ー借入快く貸す。ー甘愿喜んで承諾す

る。面白半分に。慰みに。理由無しに。叫ー

面白半分に呼ぶ。打ー慰みに殴る。

ホアヒウ喝咻。叫喚い。

ホアヒムホアホオ喝熊喝虎。熊や虎の哮える様に

大聲で喚ぶ。

ホアビイ華美。(又) 華美。

ホアビイ花眉。【花眉】。

ホアビヌ化民。(又) 民を化する。民を教化する。

ホアビヌホエコアヌ華民會館。中華民國人の會

館。華民會館。

ホアビエク按拍。音樂の時拍子を取る。

ホアビエヌ花邊。(官話の轉訛) 銀貨。弗。

ホアピエンチオンキイ畫餅充饑。【畫餅充饑】。

ホアファイ華費。濫費。徒費。浪費。徒費。

ホアプツチアウキイ花不住枝。花枝に住らず、子

ホア

が生れて育たぬなど。

ホアブヌ華噴。贅澤して外觀を張る。

ホアヘエ化火。焼べる。燃す。批若看了着爲我

ー手紙を御覽の上は御火中の事。

ホアペエ磨皮。革砥。磨革。

ホアホア灰灰。【灰】。

ホアホア化化。大様な。大まかな。無頓着な。做

人ー爲人が同上。鬆ー蒸薯などに口

入れると溶ける様な。ほかほかする。【化】の

ホアホア喝喝。【喝】。

ホアホア磨磨。【磨】。

ホアホア按按。【按】。

ホアホア譚譚。風來ー風が吹いて木の葉など

がざわざわ音をたてる。【譚】。

ホアホア跬跬。【跬】の。

ホアホア幼幼。臆。薄暗い。月ー月。天ー

ー空が薄暗い。暢氣に構へて浮浮する。ー

過去ー浮浮と過してしまふ。

ホアホア横横。【横】。

ホアホア按按。【按】。

ホアホア按按。【按】。

ホアホア鑼鑼。【鑼】の。

ホアホアキヲ駢駢叫。ぐうぐう駢をかく。

ホア ホアクヌ 譚譚滾。嗷嗷騒ぐ。騒騒騒ぐ。わいわ
 ホア ホアチヲ 譚譚震。【譚譚震】。【譚譚震】。
 ホア ホアハウ 譚譚哮。嗷嗷騒ぐ。騒騒騒ぐ。
 ホア ホアハウ 譚譚哮。電線——電信の針金が
 ごおごおと叫ぶる。

ホア ホアヒイヒイ 歡歡喜喜。【歡喜】の②③。
 ホア ホアラグ 譚譚落。砂などがばらばら落ちる。
 ホア ホア 接盤。營業などを管掌する。支配する。
 生理是伊在——商賣は彼が主宰してゐる。

ホア ポエ 磨皮。(漢)【磨皮】。
 ホア ボオ 畫譜。畫譜。畫帖。
 ホア ボオ 磨皮。(鼻)【磨皮】。
 ホア マア 喝罵。大聲で叱る。
 ホア メエ 按摩。脈を取る。脈を見る。

ホア リイボク 花梨木。【花梨】。
 ホア リウカイ 花柳界。(漢) 花柳界。
 ホア リウチエン 花柳症。花柳病。
 ホア リウビイ 花柳病。(漢) 花柳病。
 ホア リヌロン 喝輪龍。競賣。競賣。
 ホア レエ華麗。(文) 華麗。壯麗。立派。

ホア レエロン 喝輪龍。【喝輪龍】。
 ホア ロア 灰灰。【灰灰】。
 ホア ロア 灰灰。【灰灰】。
 ホア ロア 灰灰。【灰灰】。

ホア ロア 灰灰。【灰灰】。
 ホア ロア 灰灰。【灰灰】。
 ホア ロア 灰灰。【灰灰】。

ホア ロア 喝喝。【喝喝】。
 ホア ロア 磨磨。【磨磨】。
 ホア ロア 接接。【接接】。
 ホア ロア 譚譚。【譚譚】の②③。
 ホア ロア 陸陸。【陸陸】。
 ホア ロオ 喝路。大官の行列などの先拂。露拂ひ。

ホアイ

ホアイ 淮。(進) 淮。
 ホアイ 槐。(進) 槐。(葦科、材は建築器
 具材となし、花を煮て得たる黄色液は染色用とし
 又解熱劑として用ふ)。

ホアイ 類。腰。下——下腰。嘴下——同上。
 ホアイ 懷。(文) 懷。一恨懷懷。一胎懷胎。開一
 痛飲——胸襟を開いて大いに飲む。
 ホアイ 壞。壞れる。厝——去——家が壞れた。●手に負
 へぬ。仕様がない。彼個成——彼は手に負へぬ
 「奴だ」。

ホアイ 類。齒軋又は毀れた椅子などの音。ぎしぎし。
 椅子不可——椅子をぎしぎし揺動かしてはいけ
 ない。●噛む。齧る。一柔魚——柔魚を噛む。一
 没斷——硬くて食ひきることが出来ぬ。哺到——
 「下——下——しし」と物を噛む。

ホアイ 類。齒軋又は毀れた椅子などの音。ぎしぎし。
 椅子不可——椅子をぎしぎし揺動かしてはいけ
 ない。●噛む。齧る。一柔魚——柔魚を噛む。一
 没斷——硬くて食ひきることが出来ぬ。哺到——
 「下——下——しし」と物を噛む。

ホアイ 類。齒軋又は毀れた椅子などの音。ぎしぎし。
 椅子不可——椅子をぎしぎし揺動かしてはいけ
 ない。●噛む。齧る。一柔魚——柔魚を噛む。一
 没斷——硬くて食ひきることが出来ぬ。哺到——
 「下——下——しし」と物を噛む。

ホアイ 横。一横。一直——縦横。一紗——横糸。一街仔——
 横町。●横にして置く。物——得路頭——物を通路
 に同上する。一藏得門口——入口に同上する。●
 邪。不正。横逆。一財——不義の金。人真——非
 常に横逆な。一霸朝——横暴な。【横横横】。

ホアイ 既。芋——芋苗。
 ホアイ 類。【類】。
 ホアイ イウ 横洋。大洋。行——大洋を航する。
 ホアイ イウ 横腰。窓の下などの横木。
 ホアイ イヌ 懷孕。孕む。妊娠。懷妊。身持。

ホアイ キアチツン 横行直撞。恐れるものなく大
 手を振って歩く。縦横無礙に歩く。
 ホアイ キウ 懷舊。(文) 懷舊。
 ホアイ ギイ 懷疑。(文) 懷疑。
 ホアイ ギエク 横逆。【横逆】。

ホアイ ケエ 壞家。身代を持崩す。
 ホアイ ケエ 横逆。●反對する。逆ふ。一序大人
 親に逆ふ。●物などが散亂つてゐる。亂雜。一
 歹勢過路——亂雜に散ばつてゐて通るに工合が

ホアイ コアア 横街仔。横町。横町。
 ホアイ コオ 懷古。(文) 懷古。
 ホアイ コオ 懷古。(文) 懷古。
 ホアイ コオ 懷古。(文) 懷古。

ホアイ コオ 懷古。(文) 懷古。
 ホアイ コオ 懷古。(文) 懷古。
 ホアイ コオ 懷古。(文) 懷古。

ホア

ホアイ

ホアイ

ホアイ

とをする。不可與人一一人に對して無理なことをしてはいけない。

ホアイゴフツ 槐月。四月の異名。

ホアイサヌ 淮山。(藥) 淮寧より産する山薯の一種の根を干して刻んだもの。(滋養強壯劑として用ひらる。)

ホアイサア 横柳。●横に抄ふ。●思設けぬ利得をする。僥倖に益を得る。食頭路的人歸世人亦無一一人に雇はれてゐる者は一生旨い儲けなどはない。一一的生理ニ濡手で粟の如き商賣。ぼろい商賣。

ホアイサア 横柴。●横の木。●一弁入灶ニ薪を横にして竈に入れる、横紙破。

ホアイサイ 横財。不正な手段で得た財。不義の財。

ホアイシイ 横生。横産。一一倒罫ニ同上。

ホアイスウ 壊事。事を破る。

ホアイセエ 横紗。横絲。

ホアイソア 横行。横の行。横線。

ホアイソア 横門。板の反らぬ爲版木などの兩端の切口に填めた細い材。端食。

ホアイタイ 懐胎。懐胎。妊娠。孕む。

ホアイタイ 横頭上。室内の側邊に置く卓。

ホアイチウ 槐樹。(植) 槐。

ホアイ

ホアイチツ 横直。●横と縦。縦横。縦横。●無挿人一一善惡に拘らず人の事に關係しない。不共你講一一否とも應とも返事をしない。你都不知一一汝は事情を知らない。

ホアイトオ 横渡。渡船。渡船。撐一一渡船に撐さ

ホアイトシ 横通。柱と柱との間に渡した横木。

ホアイトシ 横東。手に負へぬ奴。仕様のない

ホアイニア 横領。(國) 横領。【奴】

ホアイノアイ 類類。【類類】の◎。

ホアイノアイ 横横。【横横】。

ホアイハン 横項。横太に太つてゐる。

ホアイバア シイ 横肉生。次に同じ。【顔附】

ホアイバア ビヌ 横肉面。恐ろしい顔。惡相。瘡猛な

ホアイバア パア 横刺刺。●横暴。●非常に強暴な容

ホアイパウ 懐抱。(又) 懐抱。【貌】

ホアイヒエヌ 横疔。(疔) 横根。生一一同上が出来る。

ホアイビイ 横披。●横に廣い掛物。又扇類。●戸口

の上的の楯に貼る聯。

ホアイビイビイ 横變變。恐しい顔をする。強暴な態

ホアイビエヌ 横扇。扇類。額面。額。

ホアイフヌ 懐恨。恨を抱く。恨む。遺恨に思ふ。

ホアイブヌ 横紋。布などの横の文。横條。

ホアイペエペエ 横扒扒。非常に強暴な容貌。

ホアイ

ホアイホアイ 壊壞。【壊】の◎。

ホアイホアイ 類類。●重一一大變重。粗一一大變粗。粗ぼい。有一一肉・菓子・木・土など非常に固い。【類】の◎。

ホアイホアイ 横横。【横】の◎。

ホアイホアイ 類類。【類類】。

ホアイホアイ ギエク ギエク 横横逆逆。【横逆】。

ホアイホアイ ケケケケ 横横逆逆。【横逆】。

ホアイホエ 槐花。(藥) 槐の花。(解熱劑として用ふ)。

ホアイラウ 横流。横流。總一一横流に船を漕ぐ、危険を冒す。

ホアイラム 淮南。豆腐屋の崇拝する神。

ホアイラム サイ 槐藍菜。(藍) (蓼科) たいわんこまつなぎ。きある。

ホアイラン 横人。邪な人。一一理路直一一不正な事を

する者にも理窟は正しい、盗人にも理窟がある。

ホアイリアム 懐念。(又) 懐念。

ホアイリエン 横峻。椅子や卓子などの横木。貫。

ホアイレエ 淮蒞。【蒞枝】の一品種。

ホアイロアイ 壊壞。【壊壞】。

ホアイロオ 横路。横路。

ホアイロン 横門。横にさす貫木。

ホアイロン 横門。前に同じ。

ホアツ

ホアツ 髪。①(性)髪。②髪。白一童顔。白髮童顔。剪一髪。剪一髪。

ホアツ 法。①(姓)法。②法。知一怕一法を知る者は法を恐れる。家一法。算一法。筆一法。筆一法。通一忍術。入山學一山に入つて方術を學ぶ。我自乗我一我は我が法を用ひる。人は人、我は我など。③手段。方法。仕方。我有你

一僕は君に對して方法がある。君は僕の手を負へる。我有你同上。你無我一君は僕に對して仕様が無い、僕は君の手に負へぬ。你無我同上。擔有得一擔う方法がある。擔ぎきる。擔げる。讀無得一讀む方法が無い。讀みきれぬ。讀めない。

ホアツ 發。①(性)發。②生える。芽一芽が生える。草一草が生える。一牙齒一歯が生える。出

る。生頭一尾一頭や手足などに腫物が出て来る。一熱一熱が出る。一汗一汗。多人數に支拂若くは配布する。一工錢一賃銀を支拂ふ。一錢糧一納稅告知書を配布する。③盛んに起る。勢附く。景氣附く。一水一同上。龍船雙頭一龍船の軸光と艘と兩方ともスピードを出して勢附

ホアツ

いて来る、本店と支店と共に繁昌するなどをいふ。火一火が盛んに起る。怒氣を發する。一財産が殖えて来る。寅葬卯一寅の刻に葬れば卯の刻には運氣が盛んに興つて来る。醗酵する。一醗酵素を入れて作った「醗」。醗母没一醗母が醗酵しない。麵包一去眞凸一パンがふつくりと出来た。一賣一發賣する。路照尚未一出來一旅行券が未だ發給されない。萬弩箭齊一萬弩の箭を一時に發射する。種種の不幸が一時に起るなど。禽獸など屠殺して息が絶える。尚未一嘔、尚在蹠喘一未だ息が絶えないで悶騒している。

ホアツ 罰。懲罰。無照約行着一約束通りに行しなければ罰する。一戲桌一罰として芝居や馳走をおごらせる。

ホアツ 活。①(苗など)培養する。育てる。一魚栽一魚苗を育てる。繁殖させる。一樹栽一苗木を培養する。②十二分に捏廻して軟かくする。よく鍛錬する。練搦俤伊一餅を軟かに捏る。工夫煉去眞一手際がよく鍛錬されてゐる。寫去眞一書いた字が非常に老熟してゐる。ホアツ アアクツ 活仔窟。魚苗を培養する池。ホアツ アムサイ 發暗西。日暮方に降る夕立。

ホアツ

ホアツ アン 發紅。赤くなる。赤める。赤らめる。面一顔を赤める。

ホアツ イアム 發炎。炎症。痲衝。肺一肺痲衝。ホアツ イイ 法衣。法衣。僧侶などの着る衣。ホアツ イイ 發葉。芽を出す。萌む。芽さす。春來樹木一春が来ると樹木が芽を出す。

ホアツ イイ 法院。法院。ホアツ イウ 發様。芽を出す。萌む。芽さす。生根一根を差し芽を出す。

ホアツ イオン 發陽。男根の勃起。

ホアツ イム 發音。發音。

ホアツ カア 法家。上九流の一。法家。

ホアツ カア 發駕。發駕。發聲。

ホアツ カア 發酵。發酵。

ホアツ カイ 法界。法界。

ホアツ カイ 法戒。道士などの戒。戒律。

ホアツ カウ 發交。出して渡す。一薪水一給料を發

ホアツ カグ 發覺。露れる。發覺。露見。給する。

ホアツ カグ 發角。角が生える。

ホアツ カンチイ 發工錢。賃銀を支拂ふ。

ホアツ キアウホン 發賭癩。博打に逆上せる。賭博に

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。熱中する。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ キイ 發齒。齒が生える。

ホアツ

ホアツ

ホアツキエヌ 發見。(國) 發見。「す。

ホアツキエヌ 發遣。(又) 派遣。――飲差勅使を遣

ホアツキム 罰金。(國) 罰金。

ホアツギエヌ コアヌ 發言權。(國) 發言權。

ホアツクヌ 發根。根が出る。根差す。根が差す。

ホアツグヌ 發銀。官廳などで金を支拂ふ。

ホアツグヌ 罰銀。罰金。過料。

ホアツケエ 發糶。米をひき砂糖と麴を混ぜて醸酵せ

しめ茶碗又は蒸籠に入れて蒸したものを、蒸餅。【發

糶】の【發】は【發財】等の如く繁昌の意あるによ

り縁起のよい物とせらる。

ホアツゲエ 發芽。萌など芽を出す。萌む。芽差す。

豆仔――豆が芽を出す。

ホアツコア 法官。加持祈禱をする道士の稱。【司公】。

ホアツコア 發汗。發汗。食藥俾伊――薬を飲ん

で發汗させる。

ホアツコアヌ 罰款。罰金。納――罰金を納める。

ホアツコグ 法國。佛蘭西。

ホアツコン 發光。光を發する。發光。

ホアツコン 發狂。逆上する。氣が狂れる。熱病熱

到――熱病で高熱の爲に逆上した。――熱病熱

人嘴飛飛氣が狂れた人は謔言をいふ。
ホアツゴアヌ 發願。願立をする。願を掛ける。發

ホアツ

願。――若好願要修理宮廟金持になつたら

廟の修理をしませうと言つて願を掛ける。「める。

ホアツサヌ 發散。發散。汗俾伊――汗を發散せし

ホアツサヌ 發財。財産が殖える。金が出来る。――

票富闊。

ホアツサニ 發彩。繁昌する。榮盛する。榮える。此

幾年生理不止――近年商賣が甚だ繁昌す

ホアツサウ 發草。草が生える。

ホアツシア 發瀉。下痢を起す。

ホアツシアウ 發賤。勘定を仕拂ふ。掛金を拂ふ。

ホアツシイ 發生。【發生】。

ホアツシウ 發售。(又) 發賣。販賣。

ホアツシエウ 活石。(又) 滑石。

ホアツシエン 發生。●生える。草木――草木が生

える。(國) 發生する。

ホアツシエン 發性。癩癩を起す。腹を立てる。怒る。

ホアツシヲ 發燒。發熱。

ホアツシヌ 發身。元氣が旺盛になる。龍船――子

【龍船】がスピードを出す。団仔當在――子

供が發育する眞盛だ。

ホアツシム 發心。菩提心を起す。發心する。――要

施捨貧窮人菩提心を起して貧乏人に施を
する。――要食來發心して精進する。

ホアツ

ホアツジイタク 髮字頭。漢字の髮冠。

ホアツジエツ 發熱。熱が出る。發熱する。

ホアツジヌ 法人。(國) 法人。

ホアツスウ 法師。【法官】。

ホアツスツ 法術。魔法。妖術。司公用――辟妖

邪道士が妖術を以て妖怪を驅除する。

ホアツセエ 發誓。神佛に誓を立てる。

ホアツセエ 法制。(國) 法制。

ホアツセエ 法制局。(國) 法制局。

ホアツソヲ 法索。【司公】が鬼を驅除する時に用ひる

繩動――同上を用ひる。

ホアツソン 發喪。喪を發表する。

ホアツフエ 罰罪。罪を罰する。處罰。

ホアツフオ 發祖。●鼻祖。徳的――是在福建彼

の先祖は福建である。●源を發する。此條山

龍是對觀音山――此の【山龍】は觀音山か

ら源を發してゐる。淡水的水道是對紗帽

山――淡水の水道は紗帽山から源を發してゐ

る。

ホアツフヲ 發作。起る。發作する。家運――家運

が榮える。土匪――土匪が隆起する。病又――

――病氣が又發作した。
ホアツタツ 發達。●繁昌する。榮える。出世する。

生理——商賣が繁昌する。(一) 發達。

ホアツチイ 法旨。妖術を行ふ者が鬼神に發する命令など。領——鬼神が同上の命令を受ける。

ホアツチイ 發錢。●金が出来る。●金が溜る。●人夫などに賃金を支拂ふ。

ホアツチイ 罰錢。罰金を課する。罰金を出させる。ホアツチイ 發青。若葉が出る。樹木——樹木の葉が出る。[する。]

ホアツチイ ニウトア 發錢糶單。納稅告知書を配布。ホアツチウ 罰酒。罰として酒を飲ませる。罰杯を飲ませる。

ホアツチウ ホン 發酒癢。酒の中毒が出る。ホアツチエク 發跡。●立身する。出世する。●發覺する。事情——事が發覺する。

ホアツチエン 髮僧。有髮の僧。道士。ホアツチエン 發症。發病。

ホアツチアウ 發條。時計などの發條。發條。ホアツチアフ 法帖。法帖。習字本。習字帖。學——手本を習ふ。法帖を習ふ。[字帖。]

ホアツチウ 法場。●刑場。刑場。處刑場。●道士が法を使ふ場所。

ホアツチエヌ 發展。(一) 發展。ホアツチエヌキイ 發電機。(一) 發電機。

ホアツ

ホアツチエヌソ 發電所。(一) 發電所。

ホアツチエン 法廷。(一) 法廷。ホアツチエンザイ 罰燈線。保争の場合など負けた者に罰として提燈と赤布とを廟門などに吊して謝罪の意を表せしめること。[定代理人。]

ホアツチエンタイリイジヌ 法定代理人。(一) 法

ホアツツイ 法水。魔法の符などの入っている水。ホアツツイ 發水。●山城などが起る。土匪——土匪が押入る。●景氣附く。勢附く。盛になる。生理——商賣が盛になる。

ホアツツウ コン 法主公。道教の神。ホアツツツ 發出。生える。生ずる。發生する。

ホアツツン 發倉。●倉の粗が腐敗する。粟若曝無乾就能——粗は乾燥しないと同上する。●粗倉を開けて粗を安く賣り又は貧民に施す。——賑濟——粗倉を開けて賑恤する。

ホアツトエ 發兌。發賣する。賣出す。ホアツトエポオ 發兌鋪。賣捌所。

ホアツトオ 法度。方法。法。仕方。手段。仕様。術。ホアツトヲ 罰桌。罰として料理を奢らせる。

ホアツトヲツン 發倒轉。文書などを突戻す。突返

ホアツトク 發毒。毒を發する。[す。]

ホアツ トン 發動。(一) 發動。

ホアツ トン 活動。(一) 活動。

ホアツ トンキイ 發動機。(一) 發動機。ホアツ ナウ 發惱。癩癩を起す。腹を立てる。

ホアツ ハヌ 發汗。發汗する。——藥——發汗劑。ホアツ パグ 發密。●腫物が出る。出來物が出る。粒仔——同上。●發覺する。露顯する。ばれる。事情——事がばれる。

ホアツ ヒアウ 發嫩。女が男を挑發する様な態度をする。淫がましい動作をする。

ホアツ ヒイチウ 罰戲酒。保争の場合など負けた者に罰として御馳走や芝居を煮らせる。

ホアツ ヒイトヲ 罰戲桌。前に同じ。ホアツ ヒエヌ 發現。發現する。現れる。良心——良心が現れる。

ホアツ ヒエン 發興。興が出る。興を起す。興を催す。氣乗りがする。氣が向く。

ホアツ ヒエン 發邊。送還す。還附する。ホアツ ヒエン 發行。(一) 發行。

ホアツ ヒエンソ 發行所。發行所。ホアツ ヒオン 發餉。俸給を支拂ふ。

ホアツ ビエン 發明。(一) 發明。ホアツ ビエンカア 發明家。(一) 發明家。

ホアツ ビイ 發病。發病。

ホアツ

ホアツ

ホアツ

ホアツ ビエン 發兵。兵を出す。出兵。

ホアツ ビヲ 發表。●道士・僧侶が法事供養などにする儀式の初。最初。●(國)發表。

ホアツ ビヲ シウ 發表音。【做應】などの時祭禮擔當者の一。

ホアツ ビヌ ヌン 罰檳榔。係争などの場合に負けた者に罰として檳榔の實を提供して謝罪の意を表せしめること。

ホアツ フイ 發揮。(國)發揮。

ホアツ フヌ 發憤。發憤。

ホアツ ブウ 法務。(國)法務。一課||法務課。

ホアツ ヘエ 發灰。水を注いだ石灰が水化すること。

ホアツ ヘエ 發火。●發火。火を出す。火を發する。

●激昂する。心頭||同上。

ホアツ ヘエ 發貨。品物を發賣する。貨物を賣出す。

ホアツ ヘエ 發向。送返す。突返す。撥付け

ホアツ ホア キエン 法華經。法華經。

ホアツ ホアツ 發發。【發】の(三)(四)(五)(六)。

ホアツ ホアツ 罰罰。【罰】。

ホアツ ホアツ 活活。【活】の(一)。

ホアツ ホエ 發花。繁昌する。榮える。生理||

商賣が繁昌する。

ホアツ ホエ 發向。(海)【發向】。

ホアツ

ホアツ ホク 發福。肥太って福福しい。|| || || 同上。面|| || 顔が同上。

ホアツ ホン 發瘰。毒氣などの爲に皮下に炎症を起す。粒仔|| || 出來物が炎症を起して腫上る。

ホアツ ホン 發烘。火照って赤くなる。面|| || 顔が同上。

ホアツ ホン 罰俵。(國)罰俵。

ホアツ ポエ 發賣。發賣する。賣出す。賣捌く。

ホアツ ポエ ゴアヌ 發賣元。(國)發賣元。

ホアツ ポエ ソオ 發賣所。(國)發賣所。賣捌所。

ホアツ ボン 法網。(文)法網。

ホアツ ボアツ 活潑。活潑。潑刺と元氣がある。少年人不止|| || 若い者は同上。字寫了眞|| || 字が勢よく書けてゐる。講話無|| || 話がきはきしない。

ホアツ ポエ 發背。背に發する。背中に出来る。癰疽

|| || 癰が背に出来る。

ホアツ ポオ 發布。(國)發布。

ホアツ ムン 發毛。毛が生える。

ホアツ ラツ 發力。癰積を起す。腹を立てる。立腹す

ホアツ ラヌ ジオン 法蘭絨。フランネル。

ホアツ ラヌ セエ 法蘭西。佛蘭西。

ホアツ リアブ 發粒。腫物が出来る。吹出物が出来る。

ホアツ リエウ 法力。法力。佛力。|| || 無邊|| || 法力無

ホアツ

邊|| || 高強|| || 佛力が強い。

ホアツ リエヌ 發聲。【關聲】の時神靈が乗移って神輿が非常に動揺し始めること。【關聲】参照。

ホアツ リエン 發令。法令を敷く。命令を發する。

ホアツ リエン フクスウ 法令全書。(國)法令全書。

ホアツ ルイ 發雷。雷が落ちる。落雷。在厝後|| || 家の後に落雷した。

ホアツ ルツ 法律。(國)法律。

ホアツ ルツ パン 法律縫。法律の隙間。縫|| || 法律の孔を濟る。

ホアツ ロアツ 發發。【發發】。

ホアツ ロアツ 罰罰。【罰罰】。

ホアツ ロアツ 活活。【活活】。

ホアツ ロオ 發爐。香爐に残った【香脚】が突然燃上ること。凶兆なりといふ。

ホアツ ロオ 發怒。(文)怒を發する。

ホアツ ロオ 發落。指揮計畫して處理する。切盛する。

世話や仕度をする。|| || 家内|| || 家の中の取締をする。擺是伊一個在|| || 皆彼が一人で切盛

安排をしてゐる。

ホアツ ログ 活樂。氣持が好い。爽快な。愉快な。住

清幽的所在眞|| || 閑靜な所に住むと氣持

が好い。

ホア又

ホア又 謙。(性) 謙。

ホア又 番。(性) 番。番人。蠻夷。征。同上を征伐する。生。生番。熟。熟番。一通事。番通事。外國を輕蔑していふ語。夷狄。一仔。外國人。紅毛。毛唐人。烏面。黑坊。過。

外國へ行く。無智。頭是無い。困仔。子供は頭是無い。老。老耄。講話。話。前後して分らない。回。度。一過。一回に又一回。數回。錢討幾若。何回も金を催促した。(國) 番。番號。順番。電話。電話番號。十一。十番。着我的。私の番に當る。話番號。十一。十番。着我的。私の番に當る。

ホア又 旛。細長い旗。吹流。引魂。他郷で死んだ人の魂を呼返す爲に用ひる旗。擲。任。葬式の際に喪主の持つ旗。堅。【做功德】の時に旗を立てる。

ホア又 翻。(性) 反。反す。一來一去。来去。彼方へ反り此方へ反りして疎附かれない。頭。振返。一輪轉。引返す。一身。寐返す。田土。田の土を鋤返す。繰返す。一案。控訴する。新。更に新規にする。草。半。などが反芻する。講了。更。一度話したことを更に繰返す。

ホア又 汎。(性) 汎。大難駁。利害關係などを餘りに氣に留めない。而。無統。漠然として統一がない。與人。人に對して勘定高くない。人較。大まかで締のない人だ。【泛】。

ホア又 販。問屋又は生産者などから買出す。卸して來る。菓子來賣。果物を買出して來て賣る。魚。魚を卸して來る。三個錢。二個錢賣。三文で買つて二文で賣る、今聞いたことを直ぐ受賣するなど。卸して來た物を賣る。販賣する。真珠。真珠を賣る。一番。外國に販賣する。問屋又は生産者などと買手との中間に立ちて仲賣をするもの。才取。ブローカー。牙保。牙儉。做。同上をする。猪。豚の才取。茶。茶の才取。菓子。果物の才取。一倍。子供を買つて又他に賣歩く者。

ホア又 丸。(性) 丸。丸。

ホア又 垣。(性) 垣。垣。

ホア又 郎。(性) 郎。郎。

ホア又 莞。(性) 莞。莞。

ホア又 樊。(性) 樊。樊。

ホア又 蕃。(性) 蕃。蕃。

ホア又

ホア又 汎。(性) 汎。

ホア又 販。(性) 販。

ホア又 丸。(性) 丸。

ホア又 垣。(性) 垣。

ホア又 郎。(性) 郎。

ホア又 莞。(性) 莞。

ホア又 樊。(性) 樊。

ホア又 蕃。(性) 蕃。

ホア又 凡。(性) 凡。

ホア又 脱。(性) 脱。

ホア又 伊。(性) 伊。

ホア又 伊。(性) 伊。

ホア又 伊。(性) 伊。

て二三四五六七八九十を【天下平口水龍門
不見開】といふ。

ホアヌアアホエ番仔火。(種)【番仔火】。

ホアヌアアホヤ番仔火。(種)【番仔火】。

ホアヌアアボクコア番仔木瓜。(種)【番瓜樹科】ば
ばや。

ホアヌアアモア番仔庄。丸合羽。鷲。

ホアヌアアヲウヒヲ番仔老葉。(種)【胡椒科】くら
るふうとうかづら。

ホアヌアアリエンギエン番仔龍眼。(種)ばんりゆ
うがん。たいとうりゅうがん。(無患樹科、種子は
食用に供し、材は建築に用ひ又船舶器具等を造
る。

ホアヌアア翻案。訴訟事件が更に翻る。

ホアヌアア犯案。犯罪事件。刑事事件。

ホアヌアアン反紅。赤色を呈する。赤らむ。赤ばむ。

沙緑——【沙緑】(黒ずんだ緑色の布)の色が褪
めて赤くなる。天——空が赤らむ。

ホアヌアア反響。●兵營内に反亂が起る。●家内に
不和が起る。●家内在——同上。●子供が喧し
く騒ぐ。●先生無在得學生就——先生がゐ
ないと生徒が喧しく騒ぐ。【一品種】

ホアヌアアムツツ反鹽稔。(種)第二期作水稻糯の
ホアヌアアエク翻譯。(種)翻譯。

ホアヌ

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。
ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌ

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌアアエックコア翻譯官。(種)翻譯官。

ホアヌ

ホアヌ

ホアヌタツ 反窟。池の水など熱せられて魚の死ぬこ
 ホアヌグウ 反語。反語。「と。」
 ホアヌケエ 番客。外人と取引する者。外国より歸つ
 ホアヌクエチイ 番菓子。「華露」。
 ホアヌコア 番割。番人と物品交換を業とする者。
 ホアヌコア 番葛。(種) (葎科) 葛薯。葛薯。
 ホアヌコア 反卦。約束を破る。違約する。背約する。
 ホアヌコアヌ 宦官。(文) 宦官。
 ホアヌコエ 番瓜。【木瓜】。
 ホアヌコオ 翻縮。病返す。振返す。病更ー|| 同上。
 ホアヌコヲアア 翻稿仔。第一期作に對つた稻株を翻
 きかへす。
 ホアヌコグ 番國。異邦。異國。外國。
 ホアヌコン 反講。反對に言ふ。
 ホアヌコン 泛講。漠然と話す。
 ホアヌコン 翻控。控訴。上訴。
 ホアヌコン 反抗。(圖) 反抗。
 ホアヌサウ 販脩。小女、女婢などの賣買の媒介を業と
 するもの。女術。人商人。人買。
 ホアヌサウキエン 販脩間。【販脩】をする家。
 ホアヌサヌブツ 番産物。(圖) 番産物。
 ホアヌサム 番杉。外國より來る杉。米杉。
 ホアヌサムソア 犯三煞。家墓等に關し年・月・日の三

ホアヌ

つが崇神の方位を犯すこと。
 ホアヌサウ 翻草。●牛など草を嚼反す。反芻。●田
 の二度目の草取り。
 ホアヌサウピイ 翻草花。●芝生を作る爲の芝を取
 る。●【翻稿仔】。
 ホアヌサツ 反賊。反賊。逆賊。國賊。謀叛人。
 ホアヌサツチウ 番漆樹。(種) たいとううるし。(漆樹
 科、庭園樹となし、果實は食用に供す)。
 ホアヌサヌ 翻田。田を鋤返す。
 ホアヌサヌキヌ 翻田根。(種) 次と同じ。
 ホアヌサヌクヌ 翻田根。一日賣渡した田地に就いて
 買主から更に追加金を取ること。涙金を貰ふ。
 ホアヌサヌトオ 翻田土。田の土を鋤返す。到去徳
 厝ー|| 彼の家に歸つて山の土を鋤返す、官吏
 が免職になること。
 ホアヌサア 煩雜。煩雜。
 ホアヌシア 番社。番人の居住する部落。番社。
 ホアヌシア 反射。(圖) 反射。
 ホアヌシアロオ 反射爐。(圖) 反射爐。
 ホアヌシアン 反相。(種) 【反相】。
 ホアヌシアン 反常。(種) 【反常】。
 ホアヌシイ 反死。却つて悪い結果になる。攘讐ー||
 強情を張ると却つて悪い結果になる。

ホアヌ

ホアヌシイ 翻生。未だよく乾燥しない砂糖が風化し
 てさらさらになる。
 ホアヌシウキウ 番繡毬。(種) さくららん。(羅麻科、
 盆栽となす)。
 ホアヌシエウ 反色。色が變る。色が廻める。面ー||
 顔色が變る。
 ホアヌシエウ ホン 犯色瘋。【寒色瘋】。
 ホアヌシエウ 反舌。百舌。【百舌鳥】。
 ホアヌシエン 反省。(圖) 反省。
 ホアヌシオク 番俗。番人の風俗。番俗。
 ホアヌシホク 還俗。還俗。
 ホアヌシオン 反相。次と同じ。
 ホアヌシオン 反常。【變相】。
 ホアヌシオン 犯上。目上を犯す。上を犯す。
 ホアヌシツ 飯食。駕籠昇などに與へる食事。打ー||
 食事と與へる代りに現金をやる。
 ホアヌシヌ 翻新。更に爲直す。新規にする。
 ホアヌシヌ 翻身。●麻返り。身返り。●(往復などの
 場合) 直に。直に。直様。直に。ー|| 去|| 直往
 ー|| 返來|| 直様歸つて來る。●【拾骨】。
 ホアヌシヌ 煩神。心を煩はす。心勞する。心遣す
 ー|| 俾依ー|| 貴方に御心配をかけた。
 ホアヌシブ 反濕。濕が來る。濕氣が出る。壁ー||

壁に濕氣が出る。

ホアヌ シム 反心。心を變へる。變心する。異心を抱

ホアヌ シム 煩心。心痛する。心配する。思煩ふ。一

一扒腹 同上。

ホアヌ ジイ 番字。西洋の文字。横文字。

ホアヌ ジイ ブウトン 泛而無統。漠然として統一が

ホアヌ ジヌ 凡人。(多) 凡人。

ホアヌ スイ ヒウ 番瑞香。(夜來香)。

ホアヌ スウ 凡事。總ての事。萬事。一一起頭難 萬

事始めが困難な。一須當三思 凡そ事は須

らく當に三思すべし。一着存後歩 凡そ事は

餘地を残すべし。

ホアヌ スン ビイ 反酸味。饅える。酸くなる。

ホアヌ セエ 番紗。西洋木綿絲。

ホアヌ セエ 凡勢。一……かもしれぬ。……とも限ら

ぬ。事に依れば。ひよとすると。一能好勢 一

都合よくいくかも知れぬ。一不肯 承知しな

いとも限らぬ。一何かの機勢だ。何かの廻合せ

だ。一…… 同上。彼是 一喘 一それは何か

の機勢だ。

ホアヌ セエ 反省。(海) 【反省】。 「金を返す。

ホアヌ モエ 還債。借財を返済する。借を済ます。借

ホアヌ モエ 反青。(海) 【反青】。

ホアヌ

ホアヌ モエ 反生。(海) 【反生】。

ホアヌ モエ 反醒。(海) 【反醒】。

ホアヌ ソア 翻砂。牛馬など地面の上に轉廻る。

ホアヌ ソア 犯煞。家・墓などが【煞神】の方位を犯し

ホアヌ ソア 番蒜。(横仔)の。

ホアヌ ソエ 番黍。(種) (禾本科) せいばんもろこし。

ホアヌ ソエ イイ 番黍圓。黍圓子。

ホアヌ ソエ テエ 番黍茶。高黍の茶。

ホアヌ ソエ バン 番黍芒。高黍の穂の實を落した幹

ホアヌ ソオ 反訟。(國) 反訟。

ホアヌ ソオ ボク 番蘇木。【金合歡】。

ホアヌ ソア 攀紙。攀水紙。

ホアヌ ソア ツ 反拙。弄巧 一巧を弄して反つて拙

ホアヌ ソア ア 翻轉。氣轉。有 一氣轉が利く。

ホアヌ ソア ア 反轉。(海) 【反轉】。

ホアヌ ソエ 犯罪。犯罪。罪を犯す。

ホアヌ ソオ 番租。番人より借りたる土地の年貢。番

租。

ホアヌ ソオ 翻槽。屋根の瓦を葺換へる。

ホアヌ ソオ 販槽。中位な戎克。

ホアヌ タイ 翻胎。(海) 【翻胎】。

ホアヌ タイ 番嘆。人の言ふことを聴かぬ。聴分がな

ホアヌ タイ 凡胎。脱 一脱 凡胎。

ホアヌ

ホアヌ タウ 番豆。(種) (豆科) 赤豌豆。

ホアヌ タウ 番頭。人の頭の形を鑄た貨幣。一銀

同上の銀貨。損 一強制して金銭を取る。恐

喝して金をせしめる。

ホアヌ タウ 翻頭。引返す。後戻する。一即來

直ぐ引返して来る。病更再 一振返す。

ホアヌ タウ バク 番頭目。生番の頭目。

ホアヌ チア 患者。(國) 患者。

ホアヌ チア 翻車。氣轉。頓才。頓智。有 一頓智

がある。腹内着能 一氣轉を利かさねばなら

ぬ。没 一目光が見えない。

ホアヌ チア ア 番雀仔。(動) カナリヤ。

ホアヌ チア ウ 翻招。賭博の計算方の一種。【四色】の

役上り。【天湖】素到に對す。

ホアヌ チイ 番薯。(種) 【番薯】。

ホアヌ チイ 番菁。(種) なんばんこまつなぎ。(菁科、

葉莖を水に浸し藍分の浸出したるものに石灰を加

へ洗滌せしめて泥藍を製す)。

ホアヌ チイ 反青。青色を呈する。青ばむ。面 一

顔が青さめる。

ホアヌ チイ 反生。病人が死ぬ前に少し好くなること。

ホアヌ チイ 反醒。目覚める。覺醒する。没 一

覺醒することを知らぬ。

ホアヌ

ホアヌ

ホアヌチイアア番刺仔。【金合歡】。

ホアヌチエウ 犯則。(國) 犯則。

ホアヌチエウ 反切。反切。

ホアヌチエン 反症。病返し。振返し。暗頭食西瓜、

半暝——宵に西瓜を食って夜中にはもう病氣が
振返した、今約束した事を直破約するなど。

ホアヌチオンクヌ 范將軍。【范無救】。

ホアヌチヲ 番椒。【番薑】。

ホアヌチヲ 返照。照返す。反射する。

ホアヌチヲ 攀石。明攀。 「しこ屬」

ホアヌチヲ 番右竹。(種) 石竹科。石竹。なで

ホアヌチヲウ 反調。樂器など調子が變る。調子がぐ

れる。

ホアヌチイ 反夫。空模様が變る。悪い天氣になる。

ホアヌチイツウ 番柱。柱。無智で道理が分らない。聽

分が無い。

ホアヌチイホクトエ 翻天覆地。●天地を覆す。●

大騒動。

ホアヌチエヌ 番嶺。老峯。老嶽。老峯。

ホアヌチエヌ 翻天。——割角。賊など屋根から逃げ

る、巧に悪事を働く。——覆地。天地を覆す、
大騒動を持上げる。

ホアヌチエヌイヌ 翻天印。神仙の使用する印。偉

ホアヌ

大なる力を有すといふ。

ホアヌチエヌヒイテエ 歡天喜地。【歡天喜地】。

ホアヌチエン 番丁。生番の若者。番丁。

ホアヌチエン 幻燈。(國) 幻燈。

ホアヌチヲ 犯着。犯す。觸れる。——法律。法律に
觸れる。——銃路。彈道を犯す、人の氣に觸れ
る。——走馬天罡。崇神を犯す、突然災害な
どに出會ふこと。

ホアヌチツ 還得。……ならば……。要就——要、不
就——不。好いならば好いとすると、否ならば否
だとする。作就——作、歇就——歇。仕事をす
るならばするし休むならば休む。

ホアヌチヌ 凡塵。(天) 俗塵。紅塵。濁世。

ホアヌツイ 攀水。明攀水。攀水。

ホアヌツイ 反嘴。話が變る。前言を覆す。

ホアヌツウ 番痘。痘苗の一種。種——同上をうる
る。種痘をする。

ホアヌツウ 番薯。【番薯】。

ホアヌツウ 返主。野邊送り濟みて位牌を持返ること。

ホアヌツウ 番鼠。【竹鼠】の○。

ホアヌツウ 翻厝。家を改築する。家を建替へる。

ホアヌツウクウ 番薯鼠。【番仔藤】の○。

ホアヌツウ 番船。外國船。異國船。

ホアヌ

ホアヌツン 翻倉。倉に在る穀を再び曝す。

ホアヌツイ 反對。(國) 反對。

ホアヌツン 翻轉。次に來る年月など。翌。——月。翌
月。——日。翌日。翌日。翌日。——年。翌
年。翌年。

ホアヌツン 反轉。反對に。却つて。打つて變つて。一
較好。却つて好い。——了。反對に損をする。

ホアヌツン シヌ 翻轉身。●後を振向く。後向にな
る。●【翻身】の○。

ホアヌテエ 番地。(國) 番地。幾——何番地。

ホアヌテエ 翻胎。出産に臨み胎内の子の位置が顛倒
して頭部が下の方に向ふこと。子轉。

ホアヌテエヒラ 翻茶葉。茶の青葉を陰乾にする時茶
を混ぜくりかへすこと。

ホアヌトエ 番地。生番地。蕃地。

ホアヌトラア 番刀仔。外國から來る小刀の一種。

ホアヌトン 番童。(國) 番童。

ホアヌトン 反動。(國) 反動。

ホアヌトン 還動。膿返す。粒仔——出來物が膿返

ホアヌトンスウ 番通事。蕃通事。

ホアヌナア 番仔。【番仔】。

ホアヌナア 旗仔。【旗仔】。

ホアヌナア 販仔。【販仔】。

ホアヌナア 凡若。凡そ若し。大概の場合。大凡。一食酒就醉。酒を飲むと大概酔ふ。一愛去着。先入票。大凡往かうと思ふ者は先づ届出をせねばならぬ。

ホアヌナイチ 番荔枝。【釋迦果】。

ホアヌニイ 翻染。染返す。再び染める。

ホアヌヌン 反軟。一旦固くなったものが又軟くなる。怒などが和いで来る。

ホアヌハイ トン 番海棠。(植) げんのしょうこ。

ホアヌハン 番行。外國人の商行。洋行。

ホアヌバク ニイ 番茉莉。【馬蹄花】。

ホアヌパン タア 團蚊罩。蚊帳を吊る。

ホアヌペア リイ キアウ 翻吧里攪。(こつちやこつちやに混ぜてしまふ)。

ホアヌパグ 反復。吐瀉。嘔吐と下痢。食了能。食ふと吐瀉する。

ホアヌパカ 翻曝。倉に在る穀を再び曝す。

ホアヌパヌ 翻版。翻刻。再版。

ホアヌパヌ 反辨。見本に反する。見本と違ふ。

ホアヌパン 番邦。異邦。異國。外國。

ホアヌピアウ 反饒。約束を翻す。約變する。食言する。麻返をうつ。

ホアヌピアム 犯饒。【犯饒】。

ホアヌ

ホアヌヒエン 反形。行動や性格が急に變る。

ホアヌヒオン 番餉。番人に對する税。

ホアヌビイ 反味。味が變る。

ホアヌビヌ 反面。打って變る。豹變する。一無常。反常なし。性質が變り易い。愛憎常なき。一無情。急に打って變つて無情になる。

ホアヌビイ 反陵。池の水など熱して魚の死ぬこと。

ホアヌビエヌ 反變。變る。變化する。天。空模様か變る。

ホアヌビエン 番兵。外國の兵隊。番兵。

ホアヌビエン 番旁。南洋。過。趁食。南洋に出稼に往く。

ホアヌファイ 犯諱。諱を犯す。尊長の諱と同一の文字を自分の名に用ひるなど。

ホアヌフウ 吩咐。言付ける。命令する。下命。申付ける。命する。申聞ける。一做。誅へて作らせる。注文する。一人去。人に言付けて往かせる。

ホアヌフウ 翻符。道士などを招じて惡魔祓をする。

ホアヌフウ 蕃婦。(國) 蕃婦。生蕃の婦女。

ホアヌフウ 凡夫。(又) 匹夫。一俗子。田夫野人。

ホアヌフウ 翻魂。次に同じ。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌフウ 還魂。甦る。蘇生する。正氣に返る。

ホアヌ

ホアヌフヌイ 還魂藥。氣付藥。

ホアヌフヌサウ 翻魂草。【紅乳仔草】。

ホアヌフヌヒウ 還魂香。反魂香。

ホアヌブウ 蕃務。(國) 蕃地番人に關する事務。蕃務。

ホアヌブウキウ 范無救。城隍神の命令執行を掌る神なりといふ。祭禮の際行列に加はり歩く滑稽なる人形。

の内脊の矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。

矮方。



救無范

ホアヌブヌ 反文。漢字の文といふ字の旁。文鏡。

ホアヌベエ 番麥。(植) 玉蜀黍。南藜。唐黍。(禾本科、果實は普通焙り又煮て食し尙ほ解熱劑として煎服す又葉根は煎服して治麻藥となす)。

ホアヌベエ スイ 番麥穗。玉蜀黍の穂。

ホアヌベエ 反白。白む。頭毛。一頭の毛が白くなる。天。空が白む。

ホアヌベエ 攀皮。革を剥す。

ホアヌベエ パア 反皮肉。傷か癒りにくい。

ホアヌホア 反譁。擾亂。騒動。

ホアヌホア 繁華。(又) 繁華。

ホアヌホア ツ 犯法。法を犯す。犯罪。法に違ふ。

ホアヌ

ホアヌ

ホアヌ ホアヌ 翻翹。【翻】の①②③④⑤⑥。

ホアヌ ホアヌ 番番。無學。愚。馬鹿。●無智などで

何も分らない。講話——話が何を言てゐるのか分らない。●子供など頭はない。無邪氣な。

ホアヌ ホアヌ 反反。【反】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺。

ホアヌ ホアヌ 販販。番人と交換又は賣買をするこ

ホアヌ ホアヌ 販販。【販】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺。

ホアヌ ホアヌ 泛泛。おほざっぱで締りがいい。大まか

で好い加減な。——事——ぼんやりした事。ふはふはした事。取止めの無き事。

ホアヌ ホアヌ 攀攀。【攀】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺。

ホアヌ ホアヌ 還還。【還】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺。

ホアヌ ホアヌ 閨閨。【閨】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺。

ホアヌ ホアヌ 蟠蟠。【蟠】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺。

ホアヌ ホアヌ 犯犯。【犯】の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺。

ホアヌ ホアヌ コヲ 番番翹。聞分なく強請る。だだを

こねて強請る。

ホアヌ ホアヌ タイ/タイ 番番囉囉。【番囉】。

ホアヌ ホアヌ ゴエ/ゴエ 番番囉囉。【番囉】。

ホアヌ ホアヌ ホク/ホク 反反覆覆。言動が少しも一

定しない。變動して定まらない。

ホアヌ ホエ 番花。●(植) いんどそけい。(夾竹桃科、樹皮・樹液・根皮を天刑病及び濃漏の薬となす)。

ホアヌ

子宮内又は喇叭管に出来る悪性腫瘍。生——

同上が出来る。

ホアヌ ホエ 反悔。後悔。悔いる。悔改める。——罪過——罪を悔改める。

ホアヌ ホエ チウ 番花樹。【番花】。

ホアヌ ホエ ツン 番花瘡。(瘡) 癩腫。皮膚癩。

ホアヌ ホオ 番戸。(戸) 番戸。

ホアヌ ホヲ 煩惱。(癡) 【煩惱】。

ホアヌ ホク 反覆。反覆。言たことを翻す。——無常——反覆常ない。講話不可——一旦話したことを更に翻してはいけない。

ホアヌ ホン 反風。風向が變る。

ホアヌ ホン 犯風。船など風に出會す。

ホアヌ ポエ 販賣。(販) 販賣。

ホアヌ ポオ タヌ 番牡丹。(高麗菜)。

ホアヌ ポラ キウ 范無救。【范無救】。

ホアヌ ボク 反目。(目) 反目——夫妻——夫婦が不和

ホアヌ ボク コア 番木瓜。(木瓜)。

ホアヌ ボク ビイ 番木髓。(植) 馬錢。ストリキニーネ

の木。(馬錢科、種子は激毒分を含むを以て粉末又はエキス・チンキ等として神経麻痺等の醫藥とし、又鼠等を毒殺するに用ふ。)

ホアヌ ポアヌ 反叛。謀叛する。叛く。叛逆。寐返り

ホアヌ

ホアヌ ポエ 反背。違背する。背く。

ホアヌ ポエ 攀皮。(攀) 【攀皮】。【義あり】。

ホアヌ ポオ 反哺。(文) 鴉有——之義——鳥に反哺の

ホアヌ ポラ 番婆。●外國の女を罵りていふ語。毛唐の女。●【正番鴨】の雌。

ホアヌ ポラ 反報。時化。俄風。

ホアヌ ポラ アア 番婆仔。(番婆)。

ホアヌ ポラ ヲアヌ 番婆灣。(植) (葡萄科) おほうどの

ホアヌ ポラ ヲアヌ 番婆怨。【番婆灣】。【き】。

ホアヌ ポラ レエ 番婆螺。(動) 寶貝。

ホアヌ ポク 反駁。(駁) 反駁。

ホアヌ ポオ 攀皮。(攀) 【攀皮】。

ホアヌ ミイ 番棉。西洋棉。

ホアヌ ム 反木。約を破る。寐返をうつ。

ホアヌ ライ 番梨。【釋迦果】。

ホアヌ ライ ホアヌ キイ 翻來翻去。病氣などで頻に

寝返をする。輾轉反側。

ホアヌ ラウ 翻流。潮が満ちる。満潮。

ホアヌ ラウ 番樓。二階建の洋館。

ホアヌ ラヌ 思難。災難。思難。酒食兄弟千個有——之時——一個無——酒食の兄弟は千人あり、思難の時は一人も無し、人情の薄きを言ひしも

の。

ホアヌラム 汎濫。(又) 汎濫。

ホアヌラン 犯人。犯罪人。犯人。罪人。罪人。有良心解差、無良心。——罪人を護送する者には良心あり、罪人には良心なし、先方が寛大にしてくれると附上つて勝手に振舞ふなどをいふ。

ホアヌリエン 番龍。日本銀貨。

ホアヌリオン 象龍。(姓) 象龍。

ホアヌリツン 翻輪轉。●身體を轉ばす。寢返る。

●【翻身】の(三)。

ホアヌロアヌ 翻翻。【翻翻】。

ホアヌロアヌ 反反。【反反】。

ホアヌロアヌ 反亂。反亂。反逆。——大逆。反逆。——平定。亂が平く。亂が鎮まる。

ホアヌロアヌ 販販。【販販】。

ホアヌロアヌ 攀攀。【攀攀】。

ホアヌロアヌ 還還。【還還】。

ホアヌロアヌ 圍圍。【圍圍】。

ホアヌロアヌ 蟠蟠。【蟠蟠】。

ホアヌロアヌ 犯犯。【犯犯】。

ホアヌロオ 販路。(國) 販路。

ホアヌロオポク 番蘿蔔。【紅菜頭】。

ホアヌロウ 反濁。水が濁る。雨來天溪水能——

雨天には河の水が濁る。

ホアヌロウ 煩惱。心配する。氣を揉む。心を傷める。

氣遣ふ。食自己的飯。——別人的事。自分の飯を食つて他人の事を心配する、他人のことにつき要らざる心配をすること。

ホアヌロウ 歡樂。(國) 歡樂。

ホアヌン 反黃。黄色を呈する。黃走る。黃ばむ。樹葉——木の葉が黄ばむ。

ホアン

ホアン 風。(風) 風。

ホアン 鈔。和蘭の錢。

ホアン 泛。(風) 泛。

ホアンクラヌ 風筋。(風) 風筋。

ホアンゴヲ 風遊。(風) 風車。

ホアンゴヲ 風吹。(風) 風吹。——同上。

ホアン 昂昂。着物を綺麗に着飾るなど。穿到。

ホアン 泛泛。(風) 泛泛。

ホアン 波牙 風尾。(風) 風尾。

ホエ

ホエ 花。(花) 花。開。——花が咲く。梅。——梅の花。●反物などの柄。模様。縞。斑。——面素。

面。縞のあるのと無地。——仔布。模様布。——鹿斑鹿。——馬。斑馬。稱。——秤の目盛。●目が霞む。目。同上。——鏡。老眼鏡。干。——明育。明育。●事柄などが紛糾する。事情能。——問題が紛糾する。事。——同上。●事を面倒にしてごまかす。難癖をつける。四界去。——方方へ行つて同上。——先。——てん師。詐欺師。錢共人。——去。——人の金をごまかした。●庖丁を入れる。魚。着。——小。——魚。——一寸庖丁を入れなさい。——鯨。魚。——鯛に庖丁を入れる。●徒に手足などを繋ぐ。動。——手。——手を繋ぐ。振動。——行脚。——徒に足を繋ぐ。運。——水や火などの進。飛沫。水。——水の飛沫。火。——火花。日。——雲間より洩れ来る日光。●挿花を見よ。●(巫子などの使ふ語)。子。子。乞。——神に對して子供の生れる事を祈る。探。——探。——巫子が彼世に於ける人間の本體を探る。紅。——(紅は女性を意味す) 女性の本體。女子。白。——男子。

ホエ 灰。(灰) 灰。

ホエ 伯。横目で睨む。目。——同上。目。——目。——常に怒つて睨む。不平又は嫉妬のために人を睨む。(伯)。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホエ 悔。●悔いる。後悔する。反。——同上。——之。莫及。後悔する時は既に遅い。退。——後悔する。●婚。

ホアヌ

ホアン

ホエ

ホエ

ホエ

約を取消す。一親同上。親戚一擲抹一婚約を取消してしまふ。

ホエ火。夥。伙。……【火。夥。伙。……】。

ホエ廢。廢れる。廢する。廢棄する。半途而一半途で廢する。一無一取止める。一了了一廢れて仕舞ふ。郷社一去一村が荒れてしまった。一學校一學校を廢する。一人一廢人。不具者。一疾一廢疾。【廢】。

ホエ貨。歲。……【火。貨。歲。……】。
ホエ血。血。【血】。
ホエ潰。踏潰す。踏潰る。一死一蟲を踏潰す。一痰涎一痰涎を足で擦る。

ホエ回。一返る。返す。往一往復。一陽一廻る。起死一死より蘇生させる。一心轉意一本心に立返る。贖一諸戻す。一歸一歸る。一度。遍。闕。走一一回走る。講一古一闕講談する。【回】。

ホエ下。和。……【下。和。……】。
ホエ繪。繪。繪。

ホエ蟹。蟹。足に毛の生えてゐる蟹。毛一同上。金錢一小さな蟹の一種。【蟹】。

ホエ匯。匯。一爲替。一單一爲替券。電一電報爲替。金を爲替などで送る。錢着緊一早く送金し

ホエ

なさい。前日已經一去一この前に既に送金した。

ホエ會。會。會合。開一開會。教一教會。父

母一神前で義兄弟を契り父母の死亡した時に互に葬式費を出合つて援助する會。更一遍更にもう一度會合する。顔一顔を會せる。一面上。拜一お目にかかる。相一顔を會せる。理解する。知一同上。體一主旨を體得する。一意一理解する。【會】。

ホエ花仔。花仔。一小さな花。一米の名。一柄。柄。模

ホエ花押。花押。書判。押一書判をする。ホエ花匣。花匣。【花盒】。

ホエ回仔。回仔。【回仔】。
ホエアアギヌ。會仔銀。【會仔銀】。

ホエアアサ。花仔衫。模様のある着物。縞の着物。ホエアアア。花仔紙。模様のある紙。形紙。唐紙。

ホエアアニ。花仔帷。模様のある羅紗。ホエアアポオ。花仔布。模様のある布。ホエアアヌ。花案。花鳥などの彫刻ある【貼案】。ホエアアア。花盒。一造花を入れて置く箱。一模様のある小箱。

ホエ

ホエアン。花紅。一僧侶や道士に與へる心附け。謝禮。禮金。送一謝禮を遣る。一赤地に白い模様な

どある布。

ホエアンリウリ。花紅柳絲。裝飾などの派手

ホエアアア。火影。【火影】。
ホエアアア。花葉。瓣。花片。花瓣。瓣。ホエイアン。回陽。【回陽】。

ホエイイ。花衣。擧人の着用する長衣にて全體に花模様を刺繡したもの。

ホエイイ。花莖。花の芽。ホエイイ。會意。意味を理解する。心得る。合點する。會得する。聽了有一聽いて合點がいく。

ホエイウ。花洋。更紗の一種。ホエイウ。花様。一模様。文。花形。紋。形。

ホエイウ。火油。【火油】。
ホエイウ。會友。會友。會員。

ホエイエヌ。火煙。【火煙】。
ホエイエヌ。化縁。【化縁】。
ホエイエヌ。花煙仔。【新竹】。一蟹。ホエイエヌ。チイ。化縁錢。淨財。ホエイオク。廢約。破約。ホエイオン。回陽。廻る。生返る。蘇生する。

ホエ

ホエ イヲ 灰蜜。(漢) 【灰蜜】。
 ホエ イヲ 火薬。(漢) 【火薬】。
 ホエ イヌ 花印。書畫などに押す印。關防。
 ホエ イヌ 火引。(漢) 【火引】。
 ホエ ウウ 花羽。模様のある【羽】。
 ホエ エ 火厄。(漢) 【火厄】。
 ホエ ヲア 花碗。花鳥などを畫いた碗。
 ホエ ヲア 火碗。(漢) 【火碗】。
 ホエ ヲア 又 會員。(國) 會員。
 ホエ ヲエ 同話。(漢) 【同話】。
 ホエ カア 花甲。(漢) 【花甲】。
 ホエ カア 火絞。(漢) 【火絞】。
 ホエ カア 回家。家に歸る。歸宅する。
 ホエ カア 同駕。(又) 還幸。還御。
 ホエ カア 花礎。植木鉢。
 ホエ カウ 花狗。斑犬。
 ホエ カウ 花猴。花の賣買の媒介をする者。花の仲買。
 花の周旋人。
 ホエ カヌ 花研。花瓶。花瓶。花瓶。花立。花器。一
 座。花瓶の臺。
 ホエ カヌ 廢刊。(漢) 廢刊。
 ホエ カブ 花蛤。(動) 蛤。【文蛤】。
 ホエ キア 花鏡。老眼鏡。

ホエ

ホエ キア 火鏡。(漢) 【火鏡】。
 ホエ キア 同京。歸京。
 ホエ キア ア 火劫。(漢) 【火劫】。
 ホエ キイ 花枝。●花の着生する柄。花梗。●(動) 鯛
 鳥賊。障泥鳥賊。一船。鯛鳥賊の甲。
 ホエ キイ 花旗。米國。亞米利加。
 ホエ キイ 夥計。(漢) 【夥計】。
 ホエ キイ 火氣。(漢) 【火氣】。
 ホエ キイ 火鉗。(漢) 【火鉗】。
 ホエ キイ 廢去。廢れて仕舞った。駄目に成った。
 ホエ キイ ウヌ 花旗艦。亞米利加から來た鯛。
 ホエ キイ コク 花旗國。亞米利加合衆國。米國。
 ホエ キイ コヲ 花疑訝。●順序がごちゃごちゃになつ
 てゐる。秩序がむちゃくちゃになつてゐる。●【番
 疑訝】。
 ホエ キイ ジオン 花旗絨。綿ネルの一種。
 ホエ キエツ 火憂。(漢) 【火憂】。
 ホエ キエヌ 會見。(國) 會見。
 ホエ キエン 花間。藝者屋。女郎屋。遊女屋。淫賣屋。
 貸座敷。青暖簾。
 ホエ キエン 同敬。敬禮を返す。
 ホエ キエン サア ボオ 花間査某。藝者。娼妓。淫賣。
 ホエ キヲ 花轎。花を飾りつけてある轎。神佛の像を

ホエ

のせ又は花塚の乗る轎。
 ホエ キヌ 花絹。模様のある絹。
 ホエ キヌ 血筋。(漢) 【血筋】。
 ホエ キム 花金。【金紙】の一種。
 ホエ キム コオ 火金姑。(漢) 【火金姑】。
 ホエ キム ホエ トオ 花金花土。花は金でもあり又土
 でもある。茶に匂を附ける爲の花の値段は非常に
 高い時もあり又非常に安い時もあるといふ意。
 ホエ ギア ア 廢業。(國) 廢業。
 ホエ ギイ 會議。(國) 會議。
 ホエ ギエヌ 花言。殺し文句。甘言。巧言。一巧語
 同上。
 ホエ ギヲ 花蟻。(臺中)(動) おきあざり。
 ホエ ギヌ 會銀。(漢) 【會銀】。
 ホエ ギヌ 匯銀。(漢) 【匯銀】。
 ホエ クイ 火管。(漢) 【火管】。
 ホエ クイ 花開。花が開く。花が咲く。
 ホエ クウ 灰龜。(漢) 【灰龜】。
 ホエ クヌ 花巾。縫取のしてある手巾。
 ホエ クヌ 花根。花卉の根。
 ホエ クヌ 同軍。軍隊を引返す。軍を返す。
 ホエ グヌ 花銀。極印の多く打ちこんである銀貨。
 ホエ グヌ 匯銀。●爲替を送る。一去香港。香港に

ホエ

爲替を送る。●爲替。領一〇〇爲替を受取る。

ホエグヌトア 匯銀單。爲替手形。爲替券。

ホエケエ 火雞。(海)【火雞】。

ホエケエ 貨價。(海)【貨價】。

ホエケエ 下價。(海)【下價】。

ホエケエ 會計。(海)【會計】。

ホエケエ 花客。標客。

ホエケエ 火坑。(海)【火坑】。

ホエケエ 貨客。(海)【貨客】。

ホエケエ コヲ 會計課。(海)【會計課】。

ホエコア 廢官。廢官。

ホエコア 火罐。(海)【火罐】。

ホエコア 會館。集會所。會館。會所。中華一〇〇中華會館。

ホエコア 花欸。模樣。形。

ホエコア 花環。花環。

ホエコエ 會魁。進士試験の及第者中、第二位より第十位までを占めたるもの稱。

ホエコエ リウハン 花街柳巷。花柳の巷。

ホエコオ 花鼓。布で作った花を結びつけてある太鼓、祭典の行列などに用ふ。

ホエコオ 火箍。(海)【火箍】。

ホエコオ 花膏。●事柄などが紛糾する。●事を構へ

ホエコオ 花膏。●事柄などが紛糾する。●事を構へ

ホエ

て文句をつける。因縁をつける。けちをつける。

ホエコヲ 火鍋。(海)【火鍋】。

ホエコヲ 悔過。過を悔いる。

ホエコケ 回國。(交)【歸國】。

ホエコン 花貢。紋繻子。

ホエコン 灰墻。(海)【灰墻】。

ホエコンチ 花崗石。御影石。花崗石。

ホエコンホエボヲ 花公花婆。男女二神の名。子供

の生前男子ならば白き花を授け、女子ならば赤き花を授けて生後其子供を守護すといふ。【花】の

●参照。

ホエゴア 會元。進士試験の及第者中第一位を占めたるもの稱。

ホエゴオ 悔悟。後悔。悔悟。

ホエサイ 火尿。(海)【火尿】。

ホエサク 廢揀。取消す。廢する。

ホエサア 火柴。(海)【火柴】。

ホエサイ 花栽。花卉の苗。塾一〇〇花卉の苗を挿木

ホエサイ 花指。絃樂にて本譜以外の裝飾音。挿一〇〇

同上を入れる。

ホエサイ 火災。(海)【火災】。

ホエサイ 貨財。(海)【貨財】。

ホエサイ 花彩。【花紅】の〇。

ホエ

ホエサウ 火灶。(海)【火灶】。

ホエサウ 花草。花の咲く草。草花。

ホエサウ 貨草。(海)【貨草】。

ホエサツ 灰漆。(海)【灰漆】。

ホエサツ 火漆。(海)【火漆】。

ホエサツ 火擦。(海)【火擦】。

ホエサン 花叢。草花の株、根のある草花。

ホエシア 花謝。花が散る。花が落ちる。

ホエシア 會社。(海)【會社】。

ホエシアウ 會賤。(海)【會賤】。

ホエシイ 灰匙。(海)【灰匙】。

ホエシイ 潰死。蟲などを踏潰して殺す。踏みじる。

ホエシイ 會試。舉人が進士となる試験。會試。一〇〇

場一〇〇同上の試験場。

ホエシイヒエツカイ 花施繆解。散亂してゐる、取

散してゐる。ちらばらになつてゐる。亂雑になつ

てゐる。

ホエシウ 歲壽。(海)【歲壽】。

ホエシウ 會首。會の頭。

ホエシウ 和尙。(海)【和尙】。

ホエシウキア 和尙子。(海)【和尙子】。

ホエシエク 花色。模樣。一〇〇的布一〇〇模樣のある布

ホエシエク 灰色。(海)【灰色】。

ホエシエク 貨色。(海)【貨色】。

ホエシエン 回生。回生。蘇生。蘇生。生返る。起死——起死回生。

ホエシオ 和尚。(通)【和尚】。

ホエシオク 回贖。【典】の期限満了後所有者が典物を受戻すこと。質を受出す。

ホエシツ 伙食。(通)【伙食】。

ホエシツ ビイ 回食病。(病) 胃擦撃。

ホエシヌ 花身。(動)【魚塩】などに侵入して養魚に害を興ふる魚の名。鯖。いさぎの一種。

ホエシヌ 花信。【花信】。

ホエシヌ 花神。●花神。花の靈。●婀娜っぽい。浮気な。——的查某——浮気な女。

ホエシヌ 火神。(通)【火神】。

ホエシヌ 回信。返信。返事。返簡。

ホエシム 花心。雌蕊。雌蕊。

ホエシム 悔心。悔いる。悔悟する。悔む。今都——喇——もう悔悟した。

ホエシム 回心。思直す。

ホエシム 會審。立會審判。

ホエシム ツン イイ 回心轉意。思直して心を入れ換へる。本心に立返る。

ホエジアウ 花縵。紋縮緬。

ホエジイ 花字。●模様。文理。きめ。木理。紋形。

ホエ

ホエジオン 花絨。模様のある天絨絨。

ホエジヌ 廢人。廢者。廢人。

ホエスイ 會算。(通)【會算】。

ホエモエ 花債。遊女の境遇を脱することの出来ない運命。苦界に沈む業。——尙未滿——未だ同上が

ホエモエ 火井。(通)【火井】。「盡きない。」

ホエモエ 歳多。(通)【歳多】。

ホエモエ 火星。(通)【火星】。

ホエソア 花山。築山。造——築山を築く。

ホエソア 花散。花が散る。

ホエソア 火山。(通)【火山】。

ホエソア ワン 花砂糖。【赤砂】。

ホエソア フア 火璇。(通)【火璇】。

ホエソオ 會所(國)會所。

ホエソア 花紙。模様のある紙。

ホエソア 花行。綉。文。文理。斑條。

ホエソア 廢紙。廢棄した證書。反故。

ホエソエ 會齊。會同する。會合する。會する。集る。寄合ふ。集ふ。站公館——公館に會合

ホエ

ホエワエ 火簍。(通)【火簍】。

ホエワオ 匯租。【對佃胎】。

ホエワヲ 花草。●造花に用ひる蓮草の髓。●【花膏】。

ホエワツ 回族。回回教を奉ずる種族。

ホエワン 火葬。(通)【火葬】。

ホエワン 會葬。(通)會葬。

ホエタイ 花臺。盆栽を載せる臺。花壇。

ホエタウ 灰頭。(通)【灰頭】。

ホエタウ 火頭。(通)【火頭】。

ホエタウ 歲頭。(通)【歲頭】。

ホエタウ 貨頭。(通)【貨頭】。

ホエタウ 回頭。●引返す。返す。取返す。戻る。——轆——戻轆。——車——歸車。一去不——一度去つて歸つて來ない。往ったきり。●思直して改める。能曉——就好——改心すれば好い。——換面——喧嘩の時など思直して面色を和げる。

ホエタウ 會頭。●會頭。會長。(通)【會頭】。

ホエタウ オオ 回頭鳥。●産卵して上つて來た鱈。●目的を達せずして空しく逆戻りした者などを冷笑していふ。草臥羸。

ホエタウ チェン 花頭釘。裝飾に用ひる釘。伊達釘。

ホエタウ ヒア 花頭瓦。巴瓦。軒の端に列べる瓦。

ホエ

ホエツイトア 匯水單。荷出人より荷受人に發送する貨物と其の代價を記した書附。

ホエツウ貨主。(漢)【貨主】。

ホエツウ同書。(文) 同答書。返書。

ホエツウ會主。(國) 會主。

ホエツツ花齣。淫猥な芝居。濕幕。淫劇。

ホエツツ火船。(漢)【火船】。

ホエツツ貨船。(漢)【貨船】。

ホエツヌ回春。(文) 回春。

ホエツン貨倉。(漢)【貨倉】。

ホエツイ廢墜。(文) 廢類。衰頹。

ホエツイ灰槌。(漢)【灰槌】。

ホエツイ火腿。(漢)【火腿】。

ホエツウ廢除。(國) 廢除。

ホエツン回轉。(文) 歸る。——故郷——故郷に歸る。

ホエツン會堂。(國) 會堂。

ホエテエ花茶。山梔・茉莉などの花で香氣を附けた茶。包種茶。

ホエテエ貨底。(漢)【貨底】。

ホエテエ廢帝。●帝を廢す。●廢帝。

ホエトア花旦。芝居の派手やかな役を演ずる女形。

粧——同上に扮する。

ホエトア貨單。(漢)【貨單】。

ホエトア匯單。爲替券。爲替手形。

ホエトア火炭。(漢)【火炭】。

ホエトア花綴。模様のある綴子。

ホエトオ花肚。模様のある掛。

ホエトオ花堵。花鳥などを彫刻した【堵】。

ホエトオ灰土。(漢)【灰土】。

ホエトオ花土。花を栽るに用ひる土。

ホエトヲ火刀。(漢)【火刀】。

ホエトシ會黨。徒黨を組む。結黨。

ホエトシ會同。(國) 會同。

ホエナア花籠。花籠。花籠。

ホエナア火電殘。(漢)【火電殘】。

ホエナア火電痺。前に同じ。

ホエニアウニアウ花猫猫。●斑點などあつて甚しく見悪い。面——顔が同上で見つともない。●

事柄が大いに紛糾する。事情——同上。

ホエニウ花娘。色町の女。花柳界の女。

ホエノアイウヒイ會爛尤魚。鰻を豚肉等と混ぜて煮た料理。

ホエハイトン花海棠。【日】日春。

ホエハア會合。(國) 會合。

ホエバク花木。花卉。植木。種——同上を植ゑる。

ホエバク伯目。横目で睨む。睨む。

ホエピア花葩。次に同じ。

ホエピアリニアウ花葩裏猫。斑點などあり又は汚れてゐて甚しく醜い。面——顔が同上。

ホエパイ花牌。●茉莉花などを挿した花簪。花柳界の女に用ひらる。●【四色牌】百十二枚を用ひて行ふ賭博の一種。

ホエパイ回拜。葬式などの時會葬者が靈前で禮拜する時喪主が答禮すること。

ホエパウ貨包。(漢)【貨包】。

ホエパウ花炮。花の様な火花を出す花火。

ホエパウ火炮。(漢)【火炮】。

ホエパヌ花斑。斑。斑點。虎斑。斑紋。——點。●虎斑。虎の皮の斑紋。

ホエパヌ花瓶。花瓶。花立。花器。花瓶。

ホエパヌ廢版。絶版。

ホエパヌ貨辨。(漢)【貨辨】。

ホエパヌ花斑馬。(動) 縞馬。

ホエヒア花瓦。唐草瓦。

ホエヒアチイ會兄弟。兄弟分の誼を結んだ者の仲間。義兄弟。

ホエヒイ火魚。(漢)【火魚】。

ホエヒウ茴香。(植) 茴香。(繖形科、茴香油を採りて藥用に供し、果實を煎服して健胃・驅風の藥とな

ホエ

ホエ

ホエ

ホエ

す、又嫩芽を食用に供す。

ホエ ヒエツ 花血。●色や模様など華美な。艶麗な。此塊布傷一、我不敢穿。この反物は餘り華美で私には着られない。●華美で婀娜しい。婀娜っぽい。一査某婀娜しい女。

ホエ ヒオン 廢郷。田園村落が荒廢する。

ホエ ヒオン 回郷。歸郷。一告老郷里に歸って老先を養ふ。

ホエ ヒオン 茴香。【茴香】。

ホエ ヒヲ 花葉。●花卉の葉。●愉快さうな態度。有趁錢到没一一金儲をしたののいそいそとしてゐるのは當然だ。●婀娜しくて挑發的な。査某一女が同上。

ホエ ヒヲ リエウ 花葉緑。木の葉色。綠色。

ホエ ビイ 花眉。(動)ひめまるはし。鸚眉鳥(目の上に白色の眉あり聲美にして愛すべし)。剃頭飼一理髮師が同上を飼ふ、身分を辨へずして柄にも無いことをするなどをいふ。飼一同上を飼ふ、若い情夫を持つ。若い燕を飼ふ。

ホエ ビエヌ 會面。對面する。會ふ。面會する。

ホエ ビエン 會助。義兄弟の契を結ぶ時など會合して

ホエ ビヲ 廢廟。廢寺。廢廟。

ホエ ビヌ 花面。役者の様に化粧した顔。

ホエ

ホエ ビヌ 會面。【會面】。

ホエ ビア 灰壁。(建)【灰壁】。

ホエ ビア 灰肝。(建)【灰肝】。

ホエ ビイ 迴避。(交)迴避。避ける。

ホエ ビイ 花片。花鳥などを彫刻した板。

ホエ ビエヌ 花瓣。(園)花瓣。

ホエ ビエン 廢兵。(園)廢兵。

ホエ ビヲ 火票。(建)【火票】。

ホエ ビヲ 匯票。爲替手形。

ホエ フイ 會費。(園)會費。

ホエ フウ 火灰。(建)【火灰】。

ホエ フウ 火夫。(建)【火夫】。

ホエ フウ 回府。歸府。

ホエ フヌ 花粉。頭に挿す花と白粉。買一化粧品

ホエ フヌ 灰粉。(建)【灰粉】。

ホエ フヌ 悔婚。婚約を取消す。婚姻の破談。

ホエ フヌ 火燻。(建)【火燻】。

ホエ フヌ 悔恨。(建)後悔。後悔。

ホエ フヌ 廢婚。【悔婚】。

ホエ フヌ 廢墳。(交)古塚。荒れた墓。荒廢した墓。

ホエ フヌ 回魂。甦る。生返る。蘇生する。

ホエ フヌ キア 花粉鏡。花と白粉と鏡。化粧品。

ホエ フヌ チイ 花粉錢。花と白粉を買ふ錢。化粧品な

ホエ

どを買ふ金。

ホエ フヌツウ 回婚書。雙方に取交す結婚書の女家より男家に送るもの。

ホエ フン 花園。庭園。花畑。園。花園。後一後園。

ホエ フン 晦昏。近視の如く目を細く眉を寄せて見る目。大目上粧。細目一目の大きい女は化粧映えするが目の小さい女は化粧をすると反つて眇の様に見える。

ホエ フン アア 花園仔。小さい花園。

ホエ フウ 花母。花卉を接木する時の親木。臺木。

ホエ ブウ 會務。(園)會務。

ホエ ブッ 廢物。(園)廢物。一利用廢物利用。

ホエ ブツ 貨物。(建)【貨物】。

ホエ ブヌ 回文。回答の文。回答書。

ホエ プウ 花匏。(植)ゆふがほ。模樣のある匏。【匏仔】を見よ。

ホエ プッ シイ 會不是。(建)【會不是】。

ホエ プヌ 花噴。如露。

ホエ プヌ 花盆。植木鉢。

ホエ プヌ 火盆。(建)【火盆】。

ホエ ヘエ 花會。賭博の一種。一八。壓一同上の賭博に金をはる。

ホエヘエチウ花會場。一八の賭場。

ホエベエ花馬。斑點のある馬。駭のある馬。

ホエベエ火馬。(漢)【火馬】。

ホエペエ火籠。(漢)【火籠】。

ホエペエ火把。(漢)【火把】。

ホエペエ花帕。刺繡をした風呂敷。刺繡をした大なハンカチ。

ホエペエ回批。(漢)【回批】。

ホエホエ花花。●朦朧としてゐる。明かでない。目

調——眼がよく見えない。●色など斑になつて

ゐる。色織——同上。●事が紛糾する。事情

——同上。●間をおいて罕にあること。生理

——商賣がぼつぼつある。●花の(四)(五)(六)(七)。

ホエホエ花會。(漢)【花會】。

ホエホエ火花。(漢)【火花】。

ホエホエ悔悔。(漢)【悔】の(三)。

ホエホエ廢廢。(漢)【廢】。

ホエホエ潰潰。(漢)【潰】。

ホエホエ下下。(漢)【下】。

ホエホエ匯匯。(漢)【匯】の(三)。

ホエホエ會會。(漢)【會】の(四)。

ホエホエアア花仔。間をおいて罕に有ること。ぼつぼつ。ちよちよび。ぼつぼつ。生理——

商賣がぼつぼつある。客門——客足がぼつ

ホエホエカウ回回教。回回教。「ぼつある。

ホエホエワヲワヲ花花草草。世上——世

の中の事は大概にせよ、浮世三分五厘など。

ホエホエヒイヒイ花花擲擲。【花施擲】。

ホエホエヒヲヒヲ花紅葉。女が婀娜しい。挑撥

ホエホオカイ廢戸扇。(漢)【廢戸扇】。

ホエホヲ火號。(漢)【火號】。

ホエホク回復。回答。返事。返答。復命。

ホエボエ貨尾。(漢)【貨尾】。

ホエボヲ火母。(漢)【火母】。

ホエボヲ廢無。廢絶する。廢して無くなる。廢棄す

る。廢する。廢止する。

ホエボヲ血母。(漢)【血母】。

ホエボオ花肺。茶に香をつけた後萎びた花。

ホエボオ花布。模様のある布。

ホエボオ花簿。刺繡などの圖案。手本の畫帖。繪本。

ホエボオ貨簿。(漢)【貨簿】。

ホエボオキイ花肺去。花が萎む。萎れる。凋びる。

ホエボヲ花婆。女の花賣。(情夫の媒介などするもの多し)。

ホエミイ火綿。(漢)【火綿】。

ホエミイ貨物。(漢)【貨物】。

ホエミイ廢物。廢物。廢物。

ホエム花蕾。蕾。打——蕾を持つ。

ホエムチ、會不着。(漢)【會不着】。

ホエライ花梨。(植)紅花欄。

ホエラム回南。(漢)【回南】。

ホエラムシエク灰藍色。(漢)【灰藍色】。

ホエラン火窓。(漢)【火窓】。

ホエリイロ花哩囉。混亂して區別がない。こぢや

ごぢや。滅茶苦茶。事情——事が紛糾する。

講話講到——話が滅茶苦茶で分らない。一

個面槽到——顔に墨などついて汚い。

ホエリウ花紐。●刺繡とボタン。●造作。無——

造作ない。

ホエリエヌ花鏈。(動)【魚塼】などに侵入して養魚に

害を與へる魚の名。鱒。

ホエリエヌカン花蓮港。(地名)花蓮港。

ホエリエヌソア花蓮様。(種)橡果の一種。

ホエリエヌツイ花噓嘴。甘言。巧言。御上手。佞

辯。口車。被——拐去。口車に乗せられて騙

された。

ホエリエヌビヌ花臉面。役者など種種な色で塗った

ホエリエン花綾。模様絹の一種。

ホエリエン花翎。大官の帽子の頂に挿す孔雀の尾。

ホエ

ホエ

ホエ

ホエ

ホエリエン回龍。地相師の語、墓所の地脈が山に對して吉の方に向つてゐる意。――顧祖墳墓が同上で祖宗を守る。

ホエリオン火龍。(漢)【火龍】。

ホエリイ花薺。花。結――花を結ぶ。

ホエリイ火雷。(漢)【火雷】。

ホエルヌチア火輪車。(漢)【火輪車】。

ホエレエ花蠟。●(種)第一期作水稻稔の一品種。●事が面倒になる。紛糾する。此條事情真――この事件は甚だ面倒になった。

ホエレエ回禮。返禮。答禮。

ホエロエ花花。【花花】の④。

ホエロエ悔悔。【悔悔】。

ホエロエ廢廢。【廢廢】。

ホエロエ潰潰。【潰潰】。

ホエロエ下下。【下下】。

ホエロエ匯匯。【匯匯】。

ホエロエ會會。【會會】。

ホエロエ火爐。(漢)【火爐】。

ホエロオ賄賂。(國)賄賂。

ホエロオ血路。(漢)【血路】。

ホエロオ回落。(漢)【回落】。

ホエロオ花囉囉。【花囉囉】。

ホオ

ホエロク花鹿。(動)斑鹿。花鹿。

ホエロク回祿。火の神。回祿。

ホエロク花鹿鹿。【花鹿鹿】。

ホエロン火煨。(漢)【火煨】。

ホエン火影。(漢)【火影】。

ホオ

ホオ濼。(漢)濼。

ホオ噓。(漢)噓。

ホオ諱。(漢)諱。

ホオ呼。(漢)呼。●言ふ。言明する。口約束する。●照一照行―言つた通に行ふ。先―唎、無哮、即可來―先に言つて置くが、後で泣く様なら向つて來るな(喧嘩の時などにいふ)。●嘴―二萬五―口では二萬五千圓と言ふ、口先ばかりでは當にならぬ。●嘴―唎、就有―口を出せば直ぐ其の通りになる。●濼―出鱈目をいふ。用―的―口先だけの約束をする。●呼ぶ。叫ぶ。一風喚雨―風や雨を呼ぶ。咒文を唱へて風雨を起す。一天喚地―天と地よと叫ぶ。悲鳴をあげて叫ぶ。招―招呼ぶ、商賣人などがお世辭をいって持成すこと。●言附ける。申附ける。自己不做―東

ホオ

一西―自分で爲ないで何んだ彼んだと人に申附ける。一伊―你―彼に言附け汝に言附ける。

ホオ合。音樂の調子。合。

ホオ俦。【俦伊】。

ホオ被。【被伊】。

ホオ虎。●(種)虎。●(動)虎。死―做活―打―死んだ虎を活きた虎として打つ、見込のない者を尙手を盡して試る。送肉去餉―肉を送つて虎に食はせる。敵に糧を貸す、又は薪を抱いて火に投ずるなど。一雖怯、無掠子咬食―虎は猛惡ではあるが自分の子を捕へて食ふことはない、子を愛せぬ親はないといふ意。一行路、無挂眠―虎が路を歩く時は居睡をしない、老練家には越度が無い。一落平洋、被犬欺―虎でも平地に下りて來ると犬にまで馬鹿にされる、知らない所へ行くと偉い人も馬鹿にされる意。龍生鳳子、一生豹兒―龍は鳳の子を生む、虎は豹の兒を生む、偉い親に偉い子が出来る。一死留皮、人死留名―虎は死して皮を残し、人は死して名を残す。死人活―死人と活きた虎を最も恐しがる。●誤魔化す。儲を讀む。こみやる。五角做一元要―人―五十錢を一圓として人を誤魔化さうとする。一稱頭―目方を誤魔

化す。

ホオ物。(水牛を使ふ時の掛聲)しい。しっ。

ホオ好。(好)【好】。

ホオ辱。●塗抄などで水を抄ふ。一出抄つて出す。一水入田水を抄つて田に入れる。一上落抄上げたり下したり。一斗水を抄ひ出す。窟仔水捷捷一溜水を屢屢汲む。限り有る金を屢屢使つて無くする。●下から蹴上げる。用脚共伊一死蹴上げて殺す。一着下腹下腹を蹴上げた。●抄ふ様な形に出てる。反出てる。しゃくれる。下斗較一下勝が出てゐる。

●ちよいと播狭む。ちよと引勝げる。話聴無詳細一得就行一話を小耳に挿んで其儘往つてしまふ。别人的衫一得就行一他人の着物を引勝げて往く。

ホオ互。交叉する。十字一十文字に交叉する。相鉤一鉤と鉤とが互に掛る。

ホオ呼。(注意をひく時などの感動詞)それ。そら。一較緊一それ早くしなさい。一共你講一

(失敗した時など)そら言はないこつちやないぢやな

ホオ胡。(姓)胡。一「いか。

ホオ壺。(姓)壺。

ホオ狐。(姓)狐。一假虎威一狐が虎の

威を假る。野一亂戦一野狐が入亂れて戦ふ、事をするに順序なく亂雑なこと。

ホオ侯。侯。公一將相一公爵一侯爵一大将一首相、諸一諸侯。【侯】。

ホオ湖。【湖】の⑤。

ホオ鬚。類鬚のぼうぼうとした様。一鬚一ぼうぼうとした類鬚。鬚一、目調吐一鬚がぼうぼうとして目が飛出てる。人相の悪い意。一的奸臣、猫的不仁一鬚のぼうぼうとしてゐる人は奸佞で痘痕の人は不人情だ。

ホオ楓。抄取る。抄ふ。抄ふ。一萍一萍を抄ふ。用網一網一金魚一抄網で金魚を抄取る。一死人一溺死者の屍體を抄取る。一起来一抄上げる。

ホオ浮。(又)浮ぶ。浮漂ぶ。一泛一泛ははしてゐる。取留が無い。虚一同上。【浮】。

ホオ禾。何。豪。壕。和。……【ホヲ禾。何。豪。壕。和。……】。

ホオ祁。(姓)祁。

ホオ扈。(姓)扈。

ホオ后。(姓)后。皇后。太一同上。皇太一皇太后。【后】。

ホオ戸。(姓)戸。門戸。門一同上。一閥一閥。打大門、開大一門戸を開放する、公開する。

●戸。家。家一各戸。戸。一人口一人口。●後。後。一日一後日。事一事後。一來一其の後。先小人、一君子一最初に小人、後に君子、金錢の事など最初小人の様に細密に極め置けば後には君子の様に潔白にして面倒もなく誤解もなくなる。【後】。

ホオ雨。雨。落一雨が降る。一落四山、終歸大海一雨は四方の山に降つても終に大海に歸する、落つれば同じ谷川の水。打死人一人を打殺す様な雨、大雨の意。天無一、人無路一天に雨無ければ人に路無し、途方に暮れる意。

ホオ厚。●持成又は品物など十分な。手厚い。豊一豊富。欸待伊真一彼を非常に手厚く持成す。禮物真一禮物が非常に澤山だ。●濃厚篤實。忠一同上。一直一濃厚で正直な。一道一同上。【厚】。

ホオ給。與へる。遺る。授與。給與。上げる。贈る。呈する。一我一私に下さい。一你一貴方へ上げます。一人一人に遺る。【給、給】。

ホオ護。護る。保一保護。一身一身を護る。

ホオ被。(被役を表はす語)。……せられる。……される。……られる。……れる。一人一人に持つて往かれる。一伊打一彼に打たれる。一人一人去

ホオ

ホオ

ホオ

ホオ イイ 厚意。(又)厚志。厚意。厚情。深切。

ホオ イイ 雨意。雨模様。雨氣。有——雨模様だ。

ホオ イイ 後裔。(通)後裔。

ホオ イエヌ 呼延。(姓)呼延。

ホオ イオク 呼約。口約束。口約。

ホオ イオン 好勇。勇を好む。逸る。——無謀勇を好みて無謀な。猪武者。

ホオ イヲ 呼公。賭博の時一の目が出ると掛聲する。

ホオ イヲ 虎癩。合——虎を殺す薬を調合する、共謀して人を陥れる計畫をするなど。

ホオ イヲ ハツリホク 呼公喝六。賭博の時一の目が出る六の目が出ると掛聲する。噓しく指圖をする。噓しく差出口をする。

ホオ イム 呼音。字音を調べる時など發音して見る。漢字の音韻を發音して見る。反切に照して發音して見る。

ホオ イム 好淫。淫亂。淫奔。色狂ひ。助兵衛。

ホオ イム ロアヌ 好淫亂。色情狂。色狂。

ホオ ウイ 虎威。虎の威。狗傍——犬が虎の威に肖る、虎の威を假る狐。

ホオ ウイ 戸尉。門戸を守る神。門神——同上。

ホオ ウヌ 厚恩。(又)厚恩。大恩。

ホオ エエ 虎厄。虎の厄。蛇傷——蛇に咬まれ虎の

禍を受ける、災難に會ふ。

ホオ エエ 後裔。後裔。後胤。子孫。

ホオ エエ 後下。前に同じ。

ホオ オオ サイ 呼嗚哉。(他の忠告などに背いて失敗した者などを冷笑していふ詞)そら。それ見たことか。ざまみる。好い氣味だ。(哉は上去に發音す)。

ホオ ヲアヌ 後援。(通)後援。

ホオ ヲエ 虎鞋。虎仔鞋。

ホオ ヲエ 護衛。(通)護衛。

ホオ カア 兩脚。兩脚。對面山在放——向ふの山に兩脚が見える。噓——即去——兩脚を見て往く。

ホオ カア コエ 鬚脚雞。(通)足に羽毛の多い外國種の雞。

ホオ カア サイ 虎咬獅。【北管】に屬する【布袋戲】を嘲つていふ。(常に虎と獅子との格闘劇を演ずるより斯くいふ)。

ホオ カア 狐假虎威。狐が虎の威を假る。

ホオ カア ホン 虎咬黃。(通)もんばみみなぐさ。

もんばはこべ。(番香料、莖葉を煎服して毒を解き續を治す、又葉を搗碎して腫物に貼附す)。

【金錢薄荷】の①。「乗る」。

ホオ カア ロク 虎加羅。【三十六將】の一にて獅に

ホオ カウ 犀溝。溝を濼乾す。——掠魚——溝を濼乾し

て魚を捕る。

ホオ カウ 虎口。虎の口。虎口。入——就難嘸虎口に入つたものは之を吐き出させることは六かしい。危険人物の手に入つたものを取戻すことは困難の意。①拇指と人指指との間の蹠。

ホオ カウ 戸口。(通)戸口。

ホオ カウ サウプヌ 戸口抄本。(通)戸口抄本。

ホオ カウ モエ 戸口册。(通)戸口簿。「来る行」。

ホオ カウ チエン 虎口疔。(通)拇指と人指指の間に

ホオ カウ ツイ 虎口嘴。親指と人指指との間の

ホオ カウ ムン 虎口門。前に同じ。

ホオ ガヌ 厚顔。(又)厚顔。——不恥——厚顔無恥。

ホオ ガヌ 護岸。(通)護岸。——工事——護岸工事。

ホオ キア 厚摺。(通)厚杓。

ホオ キイ 好奇。奇を好む。好奇。物好。——的——茶

ホオ キイ 虎齒。虎の齒。

ホオ キウ 壺丘。(通)壺丘。

ホオ キウ 浮丘。(通)浮丘。

ホオ キエヌ ジヌ 後見人。(通)後見人。

ホオ キオン 後宮。(又)後宮。

ホオ キブ 呼吸。呼吸。息。——之間——咄嗟の間。——幾至——呼吸に脈搏幾つ。深長的——深

ホオ ギイ 狐疑。(又)遲疑。狐疑。躊躇。「呼吸」。

ホオ

ホオ

ホオ

ホオ

などを罵つていふ。――大婢。同上は中子が大い、身分を辨へず出しやばるものなど。一鉄。

ホオタクキイ 虎頭鉗。鍛冶屋などの使用する大きな。

ホオタクサア 虎頭間。刑具の一種。

ホオタクチヲ 虎頭椒。薬の名。(瓦葺科の植物の葉を乾して刻みたるもの如し、リウマチスを治するに用ふ)。「受口」。

ホオタクツイ 犀斗嘴。下脛が上脛より出てる口。

ホオタクウ 虎頭牌。門に掛ける魔除の札。楯に虎。

ホオタクウバン 虎頭蜂。(蜘蛛)。「の毒あり」。

ホオタクミア 戸頭名。官廳の土地又は戸籍の臺帳に登録せる名。業主名など。大抵數代變更せず祖先の名を其の儘用ふ。「する」。

ホオタムツイ 雨落水滴。長雨などでじとじと。

ホオタン 犀桶。川の水を田に汲み上げる桶。兩側に繩を附け二人にて之を振りながら汲む。

ホオチア 呼請。拜んで神の降臨を仰ぐ。

ホオチイ 雨晴。雨が晴れる。雨上。

ホオチイ 虎刺。(植)(西草科)たいわんありどほし。

ホオチイタア 鬚之塔哪。(專)知りもしないで矢鱈と人の事に差出口する。「治す」。

ホオチイホン 虎舌黄。(專)薬の名。煎服して腫物を。

ホオチイロエ 虎舌鐘。目の粗い鐘。

ホオ

ホオチウ 虎掌。(虎掌)。

ホオチウ 好酒。酒を好む。酒を嗜む。

ホオチウ 虎鬚。●虎鬚。拔――阿彌陀籤。●虎獅拿。●門――共謀する。ぐるになる。

ホオチウ 犀手。手招の反對。追拂ふ手振り。

ホオチウ 鬚鬚。頰鬚。缺嘴興――兔唇が頰鬚を立たたがる、兔唇が明かに話の出来ぬのに話をし。

ホオチウ 雨鬚。小雨。「たがる」。

ホオチウ ツウ 虎鬚垣。(病)行懸。

ホオチウ ビヌ 鬚鬚面。鬚面。

ホオチウ ホオキヲ 犀手犀脚。怒つて話をするときなど手足を振動す。

ホオチエク 后稷。農業の神。后稷。

ホオチエク 戸籍。(國)戸籍。

ホオチエク 簿。戸籍簿。(國)戸籍簿。

ホオチエヌ 好戦。好戦。戦を好む。

ホオチエン 厚情。(文)厚情。厚意。

ホオチオク 侯爵。侯爵。

ホオチオン 虎掌。(植)(天南星科)うらしまざう。

ホオチオン 虎將。●虎の様な猛き大將。●虎爺。

ホオチオン イア 虎將爺。(虎爺)。

ホオチオン コン 虎將公。(虎爺)。

ホオチヲ 虎醜。虎を殺したとき其靈を祭る式。

ホオ

ホオチヲ 胡椒。胡椒。――較少亦能辣。胡椒は少くても辛い、山椒は小粒でもびりりと辛い。――八角。食物に添へて食ふ香料。薬味。

ホオチヲ 雨醜。降雨を謝する祭。

ホオチヲ コン 胡椒管。胡椒を入れる筒。胡椒入。

ホオチヲ ヌ 後進。【後進】。

ホオチヲ 戸籍。(國)戸籍。

ホオチヲ ア フ 蝴蝶。蝶番。

ホオチヲ ム 雨點。雨の粒。

ホオチヲ イ 雨滴。雨の滴。雨滴。

ホオチヲ イ 滯者。(植)青海苔。

ホオチヲ イ サイ 虎撞獅。●頰杖。頰杖をつく。●伯犬の如き姿勢。

ホオチヲ イ ホ ア ヌ ト エ 呼天喚地。天上地よと叫ぶ。悲鳴をあげて叫ぶ。

ホオチヲ イ ホ オ ト エ 呼天呼地。●駝法螺を吹く。大風呂敷を廣げる。●呼天喚地。

ホオチヲ エ ヌ 後夫。(文)後天。

ホオチヲ エ ヌ カウ 後夫教。菜食教の一派。

ホオチヲ エン 戸闕。地幅。蹴放。闕。闕居。坐人的。打人的。困仔。人の闕居に坐つてゐる人の子供を打つ、義理人情を知らざること。――較高門。闕居が鴨居よりも高い、目下が目上よりも出

しやばる。

ホオチエンカア戸闊脚。戸前。戸口。

ホオチエンラン虎燈籠。【倒地杵】。

ホオチオン厚重。重重しくて着實な。重味がある。

四方——顔が肥太ってどろしりしてゐる。

ホオチオン虎杖。【川七】の○。

ホオチツ厚直。温厚で正直。

ホオチツ好迫。女三味。女好。遊好。

ホオツイ屏水。塗抄などで水を掻出す。水を抄ひ出

ホオツイ雨水。雨水。天水。——順續——時候

通りに雨が降る。五穀豊盛——接應——五穀が

豊饒で雨水が順調である。

ホオツウ戸主。(國)戸主。

ホオツウ瓢蛆。赤子を抄ふ。——銅金魚——赤子を抄

つて金魚に食はせる。

ホオツウ護盾。【護龍】。

ホオツウヲア護盾廳。【護龍廳】。

ホオツヌ雨陣。雨の降頻る最中。——不可去——雨

の降頻る最中には往くな。

ホオツウ虎厨。●虎の檻。●虎を捕へる係路。

ホオテエ後退。(獸)祖先の名を辱める子孫。不肖の

ホオトオ糊塗。無責任。ずぼら。遺放。【子孫。

ホオトオ后土。●土地の神。又【土地公】ともいふ。

ホオ

墓地を守る神として小碑に后土の二字を刻みて墓

地に立つ。●墳墓の左右及び後の三方に繞らし

た土饅頭。

ホオトラ厚道。正しい。公平な。做人——為人

ホオナアサア鬚電唾。【鬚屑屑】。

ホオナアサア鬚電唾。【鬚屑屑】。

ホオニアウ虎猫。虎と猫。一個面那——顔が虎

や猫の様だ、汚れて穢い。那畫——躑躅書。

ホオニアウアアヲエ虎猫仔鞋。子供の靴の先に虎

の頭の模様など繡したものの。

ホオニアウビス虎猫面。汚れて穢い顔。

ホオハゲ後學。(文)後學。

ホオハゲボヲサイ好岩無尿。屢屢便所に行くもの

は便が無い、色の事に手を出す者は成功せぬ。

ホオハツ呼轄。差圖する。命令する。——没動——命

令が行はれない。

ホオハム呼識。周到でない。大ざっぱな。好い加減

な。大まかな。無定見な。杜撰な。做事——

事をするに縮括が無い。講話——話が大大

ばで好い加減だ。

ホオバンパン雨濛濛。霧雨が降る。

ホオパア虎豹。虎と豹。

ホオパアキアウ虎豹賭。骰子は四角の獨樂の如く

ホオ

其の横の面に虎・豹・獅子・象を畫きたるものにて

之を回轉し止って倒れし時其の上面に出でたる

ものによつて勝負する賭博。

ホオパアサイチウ虎豹獅象。虎豹獅子象。

ホオパアタウ虎豹賭。【虎豹賭】に用ひる骰子。

ホオパウ荷包。【荷包】。

ホオバグ厚樸。(植)(木蘭科)木蓮の種類。マグノリ

アオフィシナリス。

ホオバナヌ虎斑。虎斑。

ホオバナヌカウ虎斑狗。虎斑の犬。

ホオバナヌシエウ虎斑色。虎斑の色。

ホオバナヌチアム虎斑點。虎斑。

ホオバナヌホエ虎斑花。前に同じ。

ホオパン戸房。【官莊租】の收入雜稅・外國との通

商及び戸籍を司る役所、又其の役人。

ホオパン雨縫。雨間。晴間。驢——雨間を見る。

ホオヒア犀瓠。【犀瓠】。

ホオヒイ虎魚。(動)虎魚。——一面——虎魚の様な顔、

甚だ醜い顔。

ホオヒイ犀魚。魚を抄ふ。漁る。

ホオヒイザウ虎耳草。(植)虎耳草。(虎耳草科、葉

を搗碎して液となし塗布して中耳炎を治す)。

ホオ

ホオホンホフヌウウ呼風喚雨。風を呼び雨を喚ぶ。呪文を唱へて風雨を起す。

ホオボエ 瀝尾。(瀝)【瀝尾】。

ホオボエラヌ虎尾蘭。(虎)【虎尾蘭】。

ホオボヲ 虎帽。【虎仔帽】。

ホオボヲ 胡母。(姓) 胡母。

ホオボヲ 雨帽。雨降りの時水夫などの被る帽子。

ホオボク 子又 侯莫陳。(姓) 侯莫陳。

ホオボン 厚望。(又)厚望。有——厚望。

ホオボヲ 瀝尾。(瀝)【瀝尾】。

ホオボエ 後輩。後輩。後進。

ホオボオ 戸部。官省の名にて【六部】の一。戸部。

ホオボヲ 厚報。(又)厚い報。厚い謝禮。厚い恩返。

ホオボヲ 厚刺。(又)えふみやくいち。(薔薇科。莖・葉を水にて煎服し解熱劑となす)。

ホオボク 厚薄。(又)厚薄。

ホオボク 厚樸。【厚樸】。

ホオミイ 雨暝。雨の降る晩。雨夜。

ホオムト 虎莓。(莓類の總稱。莓。木莓。野生の草)

ホオムン 雨麼。次に同じ。

ホオムン アア 雨麼仔。小雨。小雨。糖雨。

ホオモア 雨庇。雨外套。マント。

ホオリイ 呼來。さあ、來い。よし來た。——我

驚你——さあ來い、お前などが恐いものか。

ホオリイ 後來。後來。將來。今後。

ホオリイ 雨來。雨降。

ホオリイ 子イ 雨來天。雨天。雨降。

ホオリウ 雨瀉。雨瀉。掠——雨瀉を直す。

ホオリウ ツイ 雨瀉水。雨瀉の水。承——雨瀉

ホオリヌ 後難。(難) 後難。【をを受ける】。

ホオリラ サブ 鬚屑。【鬚屑】。

ホオリラ サブ 鬚屑。前に同じ。

ホオリラン 虎人。人を瞞着して物を取る。誤魔化して取込む。——没過股——人を瞞着しようとして仕

損じた。

ホオリラン 給人。人に與へる。人に遣る。人に送る。

ホオリラン 俾人。(使役を表はす語) 人にせしめる。

人に……させる。——知——人に知らせる。——看——人に見せる。——食——人に食はせる。

ホオリラン 被入。(被役を表はす語) 人にせられる。

人に……される。——知——人に知られた。——看——去——人に見られた。——食——去——人に食はれた。

ホオリアム 互連。(連) 素早い。手捷い。手早い。敏捷な。脚手——同上。

ホオリイ 狐狸。(動) 狐。——纏身——狐が取附く。

狐が附く。

ホオリイ 厚利。利益が多い。厚利。

ホオリイ アア 狐狸仔。小狐。

ホオリイ ザウ 狐狸草。狐の毛皮。

ホオリイ チイ 狐狸精。●狐の化物。●客を誑すこと。の上手な女。

ホオリイ ホオト 糊裡塗糊。【糊塗】。

ホオリウ 糊鱈。(動) 鱈。死——無反——死んだ鱈を捕るには土を引繰返さないでもよい、氣轉が利かぬ。

ホオリウ ツイ 糊鱈嘴。【千里光】。

ホオリウ ビウ 糊流彪。信用が置けない。油斷がな

らぬ。油斷も隙もない巾著切の様。——的

人——同上の人。

ホオリウ ホオビウ 糊流糊彪。前に同じ。

ホオリエン 護龍。母屋の兩端に直角に連續せる長屋。母屋の袖。

ホオリエン 子ア 護龍應。【護龍】にある【應】。

ホオリエン バク 屏龍目。【扒龍船】の始に舷側に

書いた目を洗ふこと。

ホオリオン パア ビウ 虎狼豹彪。【虎狼豹彪】。

ホオレイ 厚禮。厚い謝禮。手厚い御禮。

ホオロエ 雨笠。雨天に用びる大な笠。

ホオ

ホオ

ホオ

ホオ

ホヲ

ホヲ

ホオ 口才呼。【呼】。

ホオ 口才虎虎。【虎虎】。

ホオ 口才厚厚。【厚厚】の⑤。

ホオ 口才互互。【互互】。

ホオ 口才胡蘆。【胡蘆】(胡蘆科) 瓢箪。

ホオ 口才胡椒。【胡椒】。

ホオ 口才給給。【給給】。

ホオ 口才アア 胡蘆仔。瓢箪形に作った卓子などの

ホオ 口才アア 胡蘆脚。瓢箪形に作った卓子などの

ホオ 口才アア 胡蘆瓜。【胡蘆】。

ホオ 口才アア 胡蘆簪。横に挿す簪の一種。

ホオ 口才アア 胡蘆簪。瓢箪の形した根附など。

ホオ 口才アア 胡蘆單。乞食の出入を禁する札。乞食頭が商店などに發賣するもの。

ホオ 口才アア 胡蘆分。繪雙六の如き賭博の一種。

ホオ 口才アア 胡蘆匏。瓢箪。匏。

ホオ 口才アア 胡蘆婢。奴喚婢。(又) 婢僕を召使ふ。

ホオ 口才アア 胡蘆虎。虎を捕へる係蹄。

ホオ 口才アア 胡蘆魔化してせしめる。——人同上。

ホオ 口才アア 胡蘆破落戸。

ホオ 口才アア 胡蘆虎黄色。赤を帯びた黄色。蒲色。

ホヲ

ホヲ 蒿。(蒿) 蒿。

ホヲ 蒿。●熱氣などに當てる。當たる。一日日に照

附けられる。●熱暑中。日一人日日照附

ける。藏下鼎裡——咧鍋に入れて暖めなさ

い。●熱く感じる。火照る。厝内真——家の中

が暑い。身軀——身體がほてる。嘴——口が

ほてる。

ホヲ 好。●善。一心善い心。一人善人。學不可

學歹善を習へ惡を習ふな。●好い。宜しい。

好く。一天一時好い天氣。一貨好い品物。

日吉日。一魚肉好い魚や好い肉。美味。

歹是咱的命好くなるのも悪くなるのも自己

の運命次第だ。有一無二——一つ好い事があ

つて兩方好い事はない。相——仲が好い。共伊

講——彼に宜しく話す。彼に對して好い工合に話

をする。行俾——よい工合に歩きなさい。路を

氣を付けなさい。●好い隣梅に。幸に。一醫生

趕到幸に醫者が駈附けて来てくれた。一走得

緊無就被伊掠去速く逃げて好かった。さも

なければ捕るところであった。●上手な。巧い。

ホヲ

ホヲ 學問。●學問が秀でてゐる。●出來上る。完成

する。仕舞ふ。何時能——何時出來上るか。做

——仕上げる。寫——書終る。書上げる。●好く

なる。病——病氣が好くなる。市面漸漸——景

氣が段階好くなる。家事有較——身代が稍好く

なる。能也——没也倒出來れば好くなるが出來

なければ倒れる。伸るか反るか。●……するによ

い。……す可し。工合がよい。亦一氣、亦一笑

積にも障るが可笑くもある。一返來去——歸るの

が好い。歸時だ。一起行——出發してよい。一

死不死死んでよい者が死なぬ。●應諾の語。

はい。宜しい。一我即創——はい、私がやりま

す。聲聲句句都應——何でもはいはいといふ。

【好】。

ホヲ 焗。一度煮た魚や肉などをからからに炒附ける。

一熟魚——燂でた魚を同上する。

ホヲ 禾。(禾) 禾。【禾】。

ホヲ 豪。●(豪) 豪。一傑——豪傑。【豪】。

ホヲ 何。●(何) 何。一事不成——何事か成らざら

ん。一況——何ぞ況んや。有——貴事——何か御用で御

座いますか。無可奈——致方が御座いません。

一厭苦——何ぞ苦しむのか。【何】。

ホヲ 毫。●(毫) 毫。一毫。一毫。一毫。三——錢

一厘の十分の三。三毛。五一家無五毫はお互に無し、一厘に満たない金は勘定に入れない意。分一釐忽二分毫釐忽、コンマ以下。些少。些細の意。

ホク河。(性)河。天一透地一川の河が地の河につづく。銀一銀河。黄一黄河。

ホク壕。堀。堀割。一溝同上。将棋盤の陣の境界線。卒仔過一歩が成る。【壕】。

ホク和。合ふ。合せる。一脚步一歩調を合せる。一薬一薬を調合する。一絃管一樂器を合せる。合奏する。鞋與脚無一靴が足に合ない。一仲よくする。和解する。講一講和する。和解する。一處一仲直する。一暮一持基。一和。和する。一順一和順。家一萬事成一一家和して萬事成る。得人一一人の和を得る。氣受が好い。【和】。

ホク昊。(性)昊。
ホク浩。(性)浩。
ホク皓。(性)皓。

ホク賀。(性)賀。祝ふ。賀する。一正一賀正。一新婚一新婚を祝ふ。一禮一祝儀。

ホク號。記號。番號。標。字一屋號。店一同上。第一一第一號。做一標を附ける。此

ホク

一物一此手の品。彼一人一あの様な人。一名付け。一號する。一名一名称を付ける。一紳一紳名をつける。一坐席一場所などに標を付けて取る。此位是我一この席は僕が取ったのだ。先一位一先に各の取るべき場所を定める。【號】。

ホク禍。(交)禍。一不單行一禍は只一つ来るものではない。因一得禍一禍の爲に却って福を得る。禍變じて福となる。【禍】。

ホク鶴。(性)鶴。(動)鶴。田鶴。

ホクアア壕仔。堀。清一堀割を浚濬する。

ホクアアチエクタイ鶴仔燭臺。鶴の形の燭臺。

ホクイイ好意。善意。好意。一掠做歹意一善意を悪意にとる。

ホクイイ何以。(多)何を以て。一謂孝乎一何を以て孝と謂ふか。

ホクイイ號衣。次に同じ。

ホクイイコア號衣褂。胸や背に文字のある軍服。文字のある法被。

ホクイウ好友。好い友。良友。

ホクイウ好様。好い状。好い形。一子供の嬌える時叱つていふ好い氣になる。不免得一嬌えてはいけない。好い氣になって附上がるな。

ホク

ホクイエン好用。好く役に立つ。好く用に立つ。好く使へる。此枝筆真一この筆は使好い。

ホクイオク和約。和解の約束。和約。立一和約を結ぶ。

ホクイイ好薬。好い薬。良薬。

ホクイイ和薬。薬を調合する。薬を合せる。方劑。

ホクイイイ好育飼。子供など好く生立つ。好く育つ。育て易い。

ホクウイカウ好胃口。食欲が盛んな。

ホクウイ好運。運が好い。運合が好い。幸運。一牽成二一三才情一引二運三器量。人の立身出世は右の三つの順序に依る意。乞食亦有三年一乞食にも三年の幸運が有る。

ホクウイ和韻。和韻。次韻。

ホクウイヌキイ好運氣。【好運】。

ホクエエ好下。好い廻合。我到彼一私にそんな好い廻合が有るものか。一拾着查喃孫一廻合好く男の孫が出来た。

ホクヲエ好話。好い話。旨い話。一不過三人耳一好い話は餘り廣らぬ。好事門を出でず。一目出度い言葉。縁起の好い言葉。請乞食講一乞食を雇うて来て縁起の好い話をして貰ふ。目出度い席で客が不吉な詞を使った時など主人がこ

ホク

ホヲ

ぼして客を乞食に比していふ。

ホヲ カア 好脚。●好い足。●貸借に信用の置ける人。確かな人。伊真一較多除伊亦無要緊彼は確かな人だから幾許貸しても構はない。

ホヲ カア コオ 好脚股。達者な足。丈夫な足。

ホヲ カア シアウ 好脚賤。【好脚賤】。

ホヲ カア スウ 好家事。次に同じ。

ホヲ カア タン 好家棟。財産家。金満家。金持。物持。

ホヲ カア モウ 好脚手。●手足の敏捷な。手取。手利。腕利。●子供を安々と生むこと。安産すること。

●嫁して間も無く子を生むこと。

ホヲ カア ホヲ モウ 好脚好手。不具者でない。完全な身体。――亦在做乞食立派な體を持しながら乞食をしてゐる。

ホヲ カイ 和解。(通) 和解。

ホヲ カイ サイ 好該哉。好い鹽梅に。幸に。――你來好い鹽梅に汝が來た。

ホヲ カイ ビヌ 和解稟。(通) 官廳に提出する和解申請書。

ホヲ カウ 壕溝。堀。堀割。溝。――頭堀割の出口。

ホヲ カウ サイ 好口才。辯才が有る。辯舌が好い。能

ホヲ カウ シエツ 好口舌。前に同じ。

ホヲ カウ ハム 好口含。【好嘴斗】。

ホヲ

ホヲ カヌ 好姦。(通) 一你来(喧嘩の時などにいふ詞)度胸があるならやて來い。

ホヲ カヌ 和姦。(通) 和姦。

ホヲ カン 好孔。旨い事。ぼろい儲口。有。――着相報旨い事が有つたら知らせなさい。

ホヲ カン フウ 好工夫。細工が旨い。手並が好い。腕前が好い。手際が好い。

ホヲ ガヌ シエク 好眼識。目が好く利く。目先が利

ホヲ ガヌ シヌ 好眼神。目附が好い。――目利。

ホヲ ガヌ リエク 好眼力。目が利く。慧眼。具眼。

ホヲ キア 好子。身持の正しい若者。手堅い若者。好青年。――不用多、多子餓死父好い子は多く要らない、子が多いと父を餓死させる。――不當兵好銅不鑄鐘好い子は兵隊にならず、好い銅は鐘を鑄す。

ホヲ キア 好行。歩き易い。路真。――路が甚だ歩き易い。路が好い。

ホヲ キア 鶴子。鶴の子。雛鶴。

ホヲ キア サウ 好行走。歩き易い。

ホヲ キイ 和碁。勝負の無い碁。持碁。

ホヲ キイ 和氣。(通) 和氣。家内有一家庭が和合

ホヲ キイ クツ 好枝骨。女の背恰好の好いこと。器量

ホヲ

が好い。様子が良い。

ホヲ キイ サイ 好記才。物覚えが好い。記憶が好い。

ホヲ キイ シイ 好記性。前に同じ。【強記】。

ホヲ キウ モイ 好救星。【好貴人】。

ホヲ キエツ 豪傑。●豪傑肌で氣前が好い。太腹。●(通) 豪傑。英雄。――英雄豪傑。

ホヲ キエツ チアウ 好吉兆。縁起が好い。瑞兆。吉兆。

ホヲ キエツ ベエ 好結尾。次第次第に盛になる。末見。

ホヲ キエヌ シエク 好見識。見識が高い。卓識。卓見。

ホヲ キエン 好景。●好い景氣。絶景。佳景。●可笑しい。不思議な。妙な。你不在。――お前は可笑しなことをするな。お前は妙なことを言ふではないか。你此個成。――同上。【碁】。

ホヲ キオク 和局。●局を結ぶ。●勝負のない碁。持碁。

ホヲ キヲ 號叫。稱する。稱へる。いふ。你。――甚麼名。汝は何といふ名か。――大同。【大同】とい

ホヲ キヲ 號却。【講却】。

ホヲ キヲ シアウ 好脚賤。手腕が有る。敏腕。遣手。

ホヲ キヲ ナア ニア 號却而已。【講却而已】。

ホヲ キヲ ニア チア 號却而已。【講却而已】。

ホヲキヲボヲホヲイヌ好叫無好應。丁寧と呼ん
でも快く答へない。

ホヲキヲ號泣。(又)號泣。泣叫ぶ。

ホヲギア好額。金持。有福。富裕。一望百萬金
持百萬を望む。長者富に飽かず。

ホヲギアトエ好額底。本は金持。以前は物持であつ
た。

ホヲギアラン好額人。金持。金満家。財産家。

ホヲギイ賀儀。祝の時に贈る金。祝儀。

ホヲギエヌホヲグウ好言好語。(人を諫める時な
ど)丁寧な物言。――為伊苦勸噉んで含
める様に言つて聞かせる。

ホヲクイジヌ好貴人。●人の危難を救つた人。命
の親。救の神。●(危難などの場合)仕合な人。幸
な人。你亦成――喃。昨昏緊返來要無就
眞危険。汝は眞に仕合な人だ。昨日早く歸つて
来て、さもなくば大層危険であつた。

ホヲクウ好句。名句。佳句。好句。

ホヲククケ好骨格。體格が好い。逞しい。

ホヲクヌ好眼。●好く寐る。寐付が好い。●死較
――死んだ方が寐るよりましだ。死んだ方がよい。

ホヲケエ好價。好い値段。値段が高い。

ホヲケエ好計。智計。好い謀。旨い計略。

ホヲケエ好客。(商人などの)好い客。

ホヲケエカウ好家教。好い家庭。良家。

ホヲケエタン好家棟。金満家。財産家。

ホヲケエチエン好客情。商人など客に對する態度
が好い。愛想が好い。

ホヲケエハイ好談諧。役者などの所作振が好い。
――臭腹内。外観は好いが腹の中は悪い。

ホヲケエホン好家風。良い家風。良家。

ホヲコア好看。●外見が好い。美しい。立派な。綺
麗な。體裁が好い。見掛が好い。――不好食。見
掛は好いが食へては不味い。見掛倒し。●見て
面白い。把戲眞――輕業は大層面白い。

ホヲコア又好款。●好い恰好。恰好が好い。●好い
氣になる。愈乘愈――嬌養せば嬌養すほど好
い氣になつて附上る。

ホヲコエ河溪。天河。銀河。

ホヲコオ何故。何故。如何して。――要如此
何故左様するのか。

ホヲコオ何苦。何を苦んで。何と思つて。――着做
此款の頭路。何を苦んで此様な仕事をせねば
ならぬのか。

ホヲコヲ號叫。(號叫)。

ホヲコン豪光。●河又は山に於て夜見える光の顯象。
出――同上が出る。●佛の體より發射すると

いふ光輝。後光。――燦爛。後光が差す。

ホヲコンヲエ好講話。話が爲好い。話易い。

ホヲゴア號外。(圖)號外。

ホヲザア好柴。好い材木。――無流過關渡際。好
い材木は關渡の狭い處を流れて通ることがない。
關渡は淡水河口に近く河幅の狭まった所。役に立
つ人は直に人に拾上げられる意。

ホヲザイ好才。才能が有る。多才。器用。

ホヲザイタク好彩頭。吉兆。瑞兆。瑞相。

ホヲザイタイ好彩市。商賣上又は結婚などの場合
に縁起が好い。

ホヲザウハム好草合。好嘴斗。

ホヲシア好聲。聲が好い。美聲。美音。

ホヲシア和聲。聲を合せる。――喝萬歳。聲を合せ
て萬歳を唱へる。

ホヲシイ好死。●好い死方。好い死目。樂な死目。
●死ぬのが好い。――不緊死。死んで好いのに
なぜ死なないか。

ホヲシイ鶴扇。大官の行列の時、前に持運ぶ大な
團扇。鶴の羽の團扇。

ホヲシウ好收。豐熟。豐作。上作。滿作。當年。
年多――査某人發嘴鬚。豐年で忙しうと見
えて女に鬚が生えてゐる。女の頬に鬚の附いて

ホヲ

ホヲ

ホヲ

ホヲワア 好行。 行商人など収入が好い。 實入がよい。 今仔日眞一。 今日日は甚だ實入が好かつた。

ホヲワエ 和齊。 合ふ。 一致する。 揃ふ。 脚步着ー

ホヲワエ 號做。 【號叫】。

ホヲワエ コンキヲ 號做講叫。 【號却而已】。

ホヲワヲ 號做。 【號做】。

ホヲワヲ グウ 好遭遇。 好都合。 折善く。 工合よく。

ホヲワヲ ホア 好造化。 廻合が好い。 運が好い。

仕合。 幸運。

ホヲタア 好膽。 度胸が好い。 大膽な。 豪膽な。 不敵な。 氣丈な。

ホヲタア タウ 好瞻頭。 前に同じ。

ホヲタイ 好事。 【好事】。

ホヲタウ 號頭。 符帳。 符號。 番號。 目標。 見出。

標。 記號。 標識。 合圖。 信號。 出ー合圖

をする。 喇叭。 嘖ー喇叭を吹く。

ホヲキウ キイ 號頭旗。 信號旗。

ホヲキウ チエン 號頭銃。 號砲。

ホヲキウ ツイ 好頭嘴。 挨拶などが上手な。 御世辭

が好い。 愛想が好い。

ホヲキウ パイ 號頭牌。 番號札。

ホヲキウ プズメウ ホヲベエ 好頭不如好尾。 始

の好きは終の好きに如かず。

ホヲキウ ホヲビエ 好頭好面。 (交際する場合など)

好い顔をする。 臭脚川 見た所は好き

さうだが内心は悪い。 可相見 快く面

會することが出来る。

ホヲキウ ホヲベエ 好頭好尾。 始好く終も好し。

ホヲキウ 好讀。 讀み易い。 讀み好い。 口調が好い。

ホヲキウ 好趁。 實入が多い。 儲が多い。

ホヲタン 好冬。 豊年。 豊作。

ホヲタン 和同。 【和同】。

ホヲタン 號筒。 喇叭。 嘖ー喇叭を吹く。

ホヲタン トヲ 好冬道。 當年。 豊年。 好い收穫。

ホヲチア 好食。 旨い。 旨しい。 美味。 歹看ー見

掛は悪いが味は好い。 官司好打狗屎ー訴

訟好きな者は犬の糞が旨くなる。 遂には破滅に陥

るをいふ。 食ふに好い。 今飯ー嘖ーもう飯

ホヲチア 賀正。 年賀。 年禮。 賀正。 「が出来た。

ホヲチア シツ 好食食。 好い食事。 旨い食物。 美食。

三頓ー三度三度美食する。

ホヲチイ 好市。 景氣が好い。 商賣が有る。 品物が好

く賣れる。

ホヲチイ 好星。 好い星。 【好救星】。

ホヲチイ ウウ 好市草。 【好市】。

ホヲチウ 好酒。 好い酒。 醇酒。 銘酒。 一 沉麴底

好い酒は麴の底に沈む。 眞打は後からなど。

ホヲチウ 好手。 (骨牌遊など) 好い手。 拾着ー

好い手ができた。 「好い手際

ホヲチウ シイ 好手勢。 (療治など) 上手。 好い手並。

ホヲチウ セエ 好手勢。 手附が好い。 手並が好い。

ホヲチウ トア 好手段。 手際が好い。 上手。 腕利。

手利。 一 滾就爛 手際が好ければ一 沸し

で煮える。 敏腕な者は直ぐ事を片附ける。

ホヲチウ ビツ 好手筆。 能書。 能筆。 名筆。

ホヲチウ リオン 好酒量。 強酒。 大酒。

ホヲチエン 好情。 好意。 厚意。 厚情。 懇情。 芳志

ホヲチエン イイ 好情意。 前に同じ。

ホヲチエン サク 好種族。 血筋が好い。 正い血統。

ホヲチオン 和衆。 衆人に和する。 折合が好い。

ホヲチヲ 好笑。 可笑しい。

ホヲチヲ サウ 好笑灶。 竈の火がよく燃える。(客の

来る前兆といふ)。

ホヲチヲ シヌ 好笑神。 愛嬌がある。 愛しい。

ホヲチヲ ア 好聴。 聞好い。 聞易い。 講ー的話

人聞の好い話をする。 聞いて面白い。 蓄音器

眞ー蓄音器は面白い。

ホヲチア ウウ 好兆。 吉兆。 瑞兆。 瑞相。

ホヲ

ホヲ

ホヲ

ホヲ

ホヲチアウ和調。調子を調へる。調子を合せる。

ホヲチイ豪猪。(動)豪猪。針鼠。【刺猪】。

ホヲチイ好天。晴天。好天氣。晴。日和。天氣。一着存雨來糧。天氣の好い時に雨天の糧を貯

ホヲチイニイ好大年。好い御代。「へよ。

ホヲチイムリエヌチエン好鐵不鍊釘。一好子不當兵。好い鐵は釘を造らず、好い子は兵に成らず。

ホヲチイホヲシイ好天好時。天氣が好い。好天

ホヲチエクコオ何得苦。【何苦】。「氣。

ホヲチエン何等。●何の種類。何の品等。一一人。如何なる人。●如何にも。一艱難。如何にも困難な。一爽快。如何にも爽快な。

ホヲチエン鶴頂。鶴の羽を附けた帽子。又同上を被り得る官吏の階級。「となす」。

ホヲチエンラヌ鶴頂蘭。(種)鶴蘭。(蘭科、觀賞用)

ホヲチエンラン何等人。如何なる人物。如何なる人。

ホヲチツ好得。好い鹽梅に。幸に。一無去。好鹽梅に往かなかつた。一赴能着。幸に間に合った。

ホヲツイ好嘴。口前が旨い。話振が好い。口前が好い。御世辭が好い。一共伊講。辭を低うして

ホヲツイ鶴嘴。(圖)鶴嘴。「話す。

ホヲ

ホヲツイスイ好嘴水。愛想が好い。口前が好い。お世辭が旨い。

ホヲツイタウ好嘴斗。好嫌せずに何でも食ふ。

ホヲツイノアチ好嘴涎舌。人に物を頼む時など口上手に話す。

ホヲツウ好處。好い處。好い點。特點。

ホヲツウビ好厩邊。隣近所が好い。善隣。

ホヲツツ禾稔。(種)陸稻糯米の總稱。

ホヲツヌ河豚。(動)河豚。針河豚。捨命食。一命を捨てて河豚を食ふ、命知らず。

ホヲテエ好得。【好得】。

ホヲテエ好茶。好い茶。

ホヲテエビエ好體面。光榮。面目を施す。

ホヲトアタ好大膽。大膽。

ホヲトアヌ禍端。禍の起。禍根。起。一禍を醸す。

ホヲトエ好底。質が好い。好い素性。好い素地。品行上の好い經歷。

ホヲトエチ好底花。好い素性。身元が好い。正しい家柄。資産家の出。「する」。

ホヲトン和同。話や意思などが合ふ。一致する。和

ホヲニイ賀年。歳暮の贈物をする。歳暮を贈る。

ホヲニイタン好年冬。豐年。當年。豐作。

ホヲハイ河海。河海。

ホヲ

ホヲイ和諧。(交)和合する。和する。調子が合ふ。

ホヲハブヌ好學問。博學。【陸じい】。

ホヲハヌ好漢。●肥太。福福しい。太。立派な。恰幅の好い人。●雄雄しい男。男らしい男。度胸のある者。大丈夫。一藏打。男子は打たれても人に言はぬ。偉い人は黙って辛抱する。

ホヲハヌ河漢。(交)天河。天漢。天河。

ホヲハヌウ好漢草。【好漢】の◎。

ホヲハヌチオン好漢將。肥太。大兵。肥える。

ホヲハヌ和合。和合。親睦。和睦。親和。和する。

ホヲバアコアヌ好猫管百家。好い猫は百軒の家を管する、手出し口出ししてよく世話を焼くなど。「い」。

ホヲバアヌ好肉菜。肥太。福福しい。肉附が好

ホヲバクシエク好目識。目が利く。目先が利く。

ホヲパイ好派。氣味氣味して好い容姿。激。一容

子ぶる。氣取る。

ホヲパイ好歹。善惡。善惡。吉凶。優劣。黑白。當

否。曲直。可否。是非。

ホヲパイタク好派頭。【好派】。

ホヲパウ荷包。【荷包】。

ホヲパウ號炮。號砲。放。一號砲を打つ。

ホヲパン號房。受附。

ホヲ ヒアチイ好兄弟。●好い兄弟。●無縁佛。餓

鬼。孤魂。孝——無縁佛を祭る。施餓鬼。

ホヲ ヒアチイアア好兄弟仔。前に同じ。

ホヲ ヒアア和協。仲が好い。協心。和合。協和。

ホヲ ヒイ賀喜。祝ふ。賀する。祝する。慶賀。祝賀。

ホヲ ヒイ賀戲。慶事の爲にする芝居。祝賀の爲にす

ホヲ ヒイスウ賀喜事。慶事を祝する。一る芝居。

ホヲ ヒイホヲバア好魚好肉。好い魚と好い肉。美

ホヲ ヒエヌ和絃。胡弓を合はす。「味。

ホヲ ヒエヌオオツウ和玄壺子。「八仙」の一人。

ホヲ ヒエン豪興。氣が乗る。興を起す。一飲氣

乗して大いに飲む。

ホヲ ヒエンヲオ好行走。●歩き好い。走り好い。●

歩振が好い。有形頭——身なりを好くする

と歩振も好くなる。馬子にも衣裳。

ホヲ ビイ好味。旨い。旨しい。旨味。美味。好味。

ホヲ ビイシイ好惟是。何でも斯でも宜しい。唯唯諸

諾。各項——總て何でも斯でも差支ない。

ホヲ ビイソオ好味數。旨い。旨しい。好味。美味。

ホヲ ビイホヲソオ好味好數。●旨い。好味。美味。

乞食盤羅漢——乞食が宿無と同棲して

味なことをやってゐる。破銅に鐵蓋。●自己講

到——人間の好いことをいふ。

ホヲ ビヌチウ好面像。好い顔附。好い顔。「が好い。

ホヲ ビヌチエンキア好面前堅。欸待が好い。執成

ホヲ ビヌテエ好面地。好い顔附。好い容貌。

ホヲ ビイサイ好鼻獅。好く鼻が利く。好く嗅附ける。

ホヲ ビエヌ禾變。(種)稻の一品種。

ホヲ ビエン好朋。●良友。好い友達。●路を尋ねる

時など未知の人に呼掛ける詞。もしもし。——

的借問。例もしもし一寸御尋致します。

ホヲ ビエン和平。●溫和。柔和。伊的人真——

彼は溫和な人だ。●平和。事理通達。心氣——

物の道理に通ずれば心が平和になる。

ホヲ ビツ何必。何ぞ必ずしも。必ずしも……必要は

ない。——着去し必しも往くに及ばぬ。

ホヲ ビツコオ何必苦。【何苦】。

ホヲ ビヌヒエン好品行。品行が好い。

ホヲ フウ豪富。(交)富豪。

ホヲ ブヌ和文。(國)和文。

ホヲ ブヌビエウ好文學。文筆の才がある。

ホヲ プヌリエン好本領。技倆がある。才能がある。

ホヲ ベエ好馬。良い馬。良馬。

ホヲ ベエ好尾。終が好い。末が好い。好結果。歹心

肝的人均都亦無——心の悪い者はどうせ好

い終を遂げない。

ホヲ ベエ河馬。(動)河馬。

ホヲ ベエキエツ好尾結。【好尾】。

ホヲ ベエキエン好尾景。【好尾】。

ホヲ ベエロオ好尾路。【好尾】。

ホヲ ホア豪華。(交)豪華。贅澤。

ホヲ ホア河岸。(國)河岸。

ホヲ ホア又和番。【和番】。

ホヲ ホア又禍患。(交)禍患。災難。

ホヲ ホヲ焯焯。●紅——空など眞赤な。熱——

焼けつける様な熱氣。身體に非常な熱がある。黄

——厭な黄色。●【焯】の○。

ホヲ ホヲ好好。少しも悪くなつてゐない。好い状態

になつてゐる。ちゃんとしてゐる。完全。——在

得——同上。

ホヲ ホヲ焯焯。●日——日が照付ける。●紅——

空など眞赤。熱——焼けつける様な熱氣。身

體に非常な熱がある。●【焯】。

ホヲ ホヲ和好。睦しい。親密な。仲善。親睦。和睦。

親和。和する。夫妻——夫婦が睦しい。

ホヲ ホヲ和和。【和】。

ホヲ ホヲ賀賀。【賀】。

ホヲ ホヲ號號。【號】の○。【照】。

ホヲ ホヲ焯焯。非常に熱がある。非常に火

ホヲ

ホヲ

ホヲ

ホヲ

ホヲ/ ホヲラン 好好人。何の故障もない人。病氣の無い人。健康な人。達者な人。

ホヲ/ ホク 和服。和服。穿——和服を着る。

ホヲ/ ホク 禍福。禍福。——由天禍福は天に由る。

ホヲ/ ホン 何況。況て。況や。何ぞ況や。一個都不肯——彼多人那要肯——一人でさへも承諾しないのに況てあんなに澤山な人がどうして承諾するものか。

ホヲ/ ホンジツ 好風日。好い日和。晴天。天氣。

ホヲ/ ボエ 好賣。賣が好い。能く賣れる。

ホヲ/ ボク 和睦。親和。和睦。

ホヲ/ ボア 和盤。商取引の勘定が引合ふ。値段が引合ふ。算盤が取れる。

ホヲ/ ボアツ 賀拔。(姓) 賀拔。「い。

ホヲ/ ボオ 好歩。方法が好い。巧い仕方。遣り方が巧い。

ホヲ/ ボオ 號簿。(質屋) 番號帳。「福。幸運。

ホヲ/ ミア 好命。廻合が好い。運が好い。仕合。幸。

ホヲ/ ミア 號名。名附ける。命名する。名を附ける。

ホヲ/ ミア シア 好名聲。評判が好い。查某子 嫁大爺——娘が大爺に嫁して名譽の事で御座る、下賤の者が貴人の風して威張つてゐるのを冷笑していふ。

ホヲ

ホヲ/ ミアラン 好命人。廻合の好い人。仕合な人。幸運な人。

ホヲ/ ミイ 好物。好い物。佳品。——不在多——好い物は澤山無くてもよい。——不中飽人食——好い物でも飽いてゐる人には氣に入らない。

ホヲ/ ミイコオ 何慶苦。何苦。

ホヲ/ ム 好不。宜しいか。好いか。此個給我——此を私に呉れないか。咱返來去——我我は歸らうではないか。

ホヲ/ ムホヲ 好不好。善惡。可否。善惡。宜しいか。好いか。俾我看——私に見せてくれませんか。「た。

ホヲ/ ラア 好喇。(應答の語) 宜しい。分つた。承知し。

ホヲ/ ラウ ツイ 好流水。好い潮時。潮が好い。

ホヲ/ ラウ パイ 好流次。好い機会。好い時機。

ホヲ/ ラッ 和力。力を合せる。協力。戮力。協同。

ホヲ/ ラヌ 和蘭。和蘭。

ホヲ/ ラヌ 賀蘭。(姓) 賀蘭。

ホヲ/ ラヌ セエ 和蘭西。佛蘭西。佛國。

ホヲ/ ラヌ セエ ツイ 和蘭西水。ラムネ。

ホヲ/ ラヌ チイ 和蘭薯。(薯) 次と同じ。

ホヲ/ ラヌ ツウ 和蘭薯。(薯) 馬鈴薯。馬鈴薯。馬鈴薯。(茄科、薯を食用となす)。

ホヲ

ホヲ/ ラヌ ニイ 和蘭啤。ネル。フランネル。

ホヲ/ ラム 河南。(地名) 河南省。

ホヲ/ ラム イオン 河南勇。河南人の兵。

ホヲ/ ラン 好人。好い人。善人。親切な人。

ホヲ/ リイ 毫釐。毫厘。毫末。寸毫。——都不可——少しもいけない。差若——謬以千里——差は毫厘の如くなるも謬るに千里を以てす。

ホヲ/ リイロオ 好利路。好い儲口。好い利益。

ホヲ/ リエン 號令。號令。

ホヲ/ リエン タウ 和蘭豆。(和蘭豆)。「同上。

ホヲ/ リオン 好量。情深い。慈悲深い。好心——

ホヲ/ リヌ タウ 和蘭豆。(菘科) 豌豆。白豌豆。莢豌豆。

ホヲ/ リヌ タウ サウ 和蘭豆草。(菘) ねばりはこべ。やんばるはこべ。(石竹科) 莖葉を水にて煎服し、又生草を搗碎して毒蛇咬傷の患部に貼附す。

ホヲ/ ルウチ エク 好女德。淑徳。貞淑。女らしい。

ホヲ/ レエ 好禮。愛想が好い。丁寧。丁寧。懇切。懇切。——不值着孔方兄——厚い禮も金錢には及ばぬ、禮よりは金が大切だ。

ホヲ/ レエ 賀禮。祝儀。

ホヲ/ レエ アア 好禮仔。氣を附けて。注意して。靜かに。——好禮——同上。——提去——氣を附

けて持って往け。――共伊下落去。靜かに置

ホヲ ロヲ 焔焔。【焔焔】の◎。

ホヲ ロヲ 焔焔。【焔焔】の◎。

ホク ロヲ 福佬。福建人。此の語は本来廣東種族の人

建、(佬)は廣東語にて賊佬(盗人)啞佬(啞者)等

の如く名詞の下に附して悪しき意味を表す語尾な

ホク ロヲ 和和。【和和】。

ホヲ ロヲ 賀賀。【賀賀】。

ホヲ ロヲ 號號。【號號】。

ホヲ ロヲ コオ 好羅好鼓。口前が旨い。巧言。

講到――旨いことをいふ。人間の好いこ

とをいふ。

ホク ロヲ 福佬人。福建人。泉州人。漳州人。

ホク

ホク 郝(姓)郝。

ホク 霍(姓)霍。

ホク 斛(姓)斛。

ホク 福(姓)福。幸福。一氣同上。一至心

靈。福至れば心靈なり、貧すれば鈍するの反對。

復。返事。回。同上。一旨。天子に復命する。

稟。主人に申傳へる。書附などを更に繰返

して調べる。一幾若遍。何度も繰返して調べた。

一帳。勘定帳を更に調べる。一日子。日の吉

凶を確める爲にもう一度調べる。

ホク 覆(文)覆。反。反覆。反。無常。反。覆常な

らず。移反移。同上。翻天。地。天地を

覆す。大騒動の意。

ホク 密(姓)密。

ホク 處(姓)處。

ホク 蝮(姓)蝮。

ホク 伏(姓)伏。伏する。待伏する。一路頭。道

に待伏する。一兵。伏兵。

ホク 服(姓)服。服。衣服。衣。同上。素。一

不斷着。漢。支那服。心服する。従ふ。降

一降参する。降服する。感。一感服。一伊真

自己。毒。自分で毒を飲む。一藥。服藥。一藥

を敷へる語。服。一藥。一服の藥。

ホク 復(姓)復。復する。一職。復職。克。一克

復。取戻す。家。一倒返。一財產を取戻す。

ホク 楸。敷居。闊。鴨居。栢木。下。一敷居。頂。一

鴨居。

ホク アア 楸仔。栢。

ホク アン 福紅。赤い紙の名。

ホク イエク 服役。(國)服役。

ホク イエン 服膺(文)服膺。

ホク イヲ 服藥。一服藥。一爲伊。彼の爲に治療

費を出す。膏藥代を出す。

ホク イヌ 福引。(國)福引。

ホク イヌ コフヌ 福引券。(國)福引券。一する。

ホク イム 福音。福音。傳。一福音を傳へる。傳道

ホク イム 福蔭。御蔭。受你。一貴方の御蔭を受け

る。御蔭様。

ホク イム トアヌ 福音傳。(聖書)福音書。

ホク イム トン 福音堂。基督教の講義所。

ホク ヲアヌ 福音。大粒の龍眼を干したものの。

ホク ヲアヌ カグ 福音売。【福音】の売。

ホク ヲアヌ バア 福音肉。【福音】の売と核とを取去

つたもの。

ホク ヲアヌ ベエ 福音糜。【福音】を入れて煮た粥。

ホク キイ 福氣。福。幸。幸福。福分。有。一福分

がある。加人加。一人が殖えるに従って幸福

も多くなる。「復する。」

ホク キイライ 復起來。舊通になる。復する。回

ホク キエツ 福橋。【紅柑】。

ホク キエヌ 福建。福建省。天下徧徧不值。一完完

ホク

ホク

ホク

ホク

不值潭泉 福建は廣いが漳州泉州ほど好い所。

ホク ケニヌ シエン 福建省。福建省。「はない。

ホク キヤ 複級。(新)教——復式教授。

ホク キム 福金。【金紙】の一種。

ホク ギエン 福眼。(世)(無患樹科)大粒の龍眼の一種。福龍眼。

ホク コア 復官。復職。復官。

ホク コオ 復古。古に復る。復古。

ホク ゴアヌ 復原 原に復る。原の通になる。復する。身體——身體が原の通になる。本復する。

ホク サイ 服事。仕へる。傅く。奉仕する。服事する。——父母——父母に仕へる。——神佛——神佛に仕

ホク サム 福杉。福州から来る杉。福州杉。「へる。

ホク サブ 複雑。(世) 複雑。

ホク シアウ 復賬。計算を仕直す。改算。

ホク シイ 複姓。二字の姓。司馬・歐陽・諸葛など。

ホク シウ 復讐。(世) 復讐。

ホク シエク 服飾。役者の衣裳。——眞齊——衣裳がよ

ホク シエン 福星。家の方向などを護る福神。——照

ホク シエン 複姓。【複姓】。

ホク シエン 復聖。曾子と子思子の稱呼。

ホク

ホク シオン 福相。福相。福福しい。

ホク シツ 福食。日用の糧。日日の食事。——費——食

ホク シヌ 覆訊。(文) 覆審。再度の審問。「費。

ホク シヌ 福神。土地鎮守の神。地の神。

ホク シヌ 茯神。(世) 茯苓より製した薬の名。

ホク シヌ サイ 福神楽。(世) 福神漬。

ホク シブ 復習。(世) 復習。お復習。温習。

ホク シム 覆審。(世) 覆審。再審。

ホク シム ホアツ イ 覆審法院。(世) 覆審法院。

ホク ジツ 覆日。日の吉凶を確める爲に再び調べる。——禮金——結婚の日取の吉凶を女家に再調査せしむる爲送る金。

ホク ジヌ 福人。福人。——居福地——福徳ある人は福ある墓地に收まる。

ホク スイブ 覆水不返盆。(文) 覆水益に返らず。

ホク スイラヌ シウ 覆水難收。(文) 前に同じ。

ホク スウ 復書。(文) 返事。回答書。

ホク セエ 服制。(世) 服制。「壽の意。

ホク ソアヌ 鶴算。(文) 鶴齡——鶴の齡鶴の年、長

ホク フエ 服罪。(世) 罪に服する。服罪する。

ホク フン 服装。(世) 服装。

ホク チイ 福社。(文) 福社。幸福。

ホク

ホク チイ 復旨。次に同じ。

ホク チイ 復旨。復奏。復命。

ホク チウ 福州。福州。

ホク チウ キエツ 福州橋。【紅柑】。

ホク チウサム 福州杉。(世) 廣葉杉。福州杉。(杉科、建築・棺器具等の材となす)。

ホク チウシア 福州城。福州城。——假京——福州城が都の眞似する、假京と假驚と同音なるに

ホク チウフア 福州紙。【金銀紙】を作る粗紙。より振って恐がる風する場合にいふ。

ホク チウフウ 福州府。福州府。

ホク チエウ 復籍。復籍。

ホク チオン 服従。(世) 服従。

ホク チツ 復職。復職。復官。

ホク チエウ 福徳。福徳。

ホク チエウ イア 福徳爺。土地鎮守の神。地の神。

ホク チエウ シウ 福徳首。【做醮】などの祭禮擔當者

ホク チエウ シヌ 福徳神。【福徳爺】。「の」。

ホク チエウ チエン シヌ 福徳正神。【福徳爺】。

ホク テエ 福地。吉兆ある墓地又は宅地。——福人居

ホク トヲ 復到。取戻す。取返す。回復する。家伙

——財産を盛返す。江山——國家の勢を挽

ホニ 鳳。●姓 鳳。●鳳。畫龍畫一龍や鳳を畫く、樂書をする。閩雞趁一飛去勢した雞が鳳に倣つて飛ぶ。雁が飛べば鶩も羽撃する。龍交龍、一交、隱龜交俛懸一龍は龍と交り鳳は鳳と交り僂僂は馬鹿と交る、牛は牛連馬は馬連など。

ホニ 奉。●姓 奉。●奉する。敬一奉納。一主人命主人の命を奉する。一壁歸趙一壁を奉じて趙の國へ歸る、蘭相如の故事。借物を完全に還す意。

ホニ 俸。俸。一祿一俸。罰一罰。給一俸。俸。火照る。而發一顔が火照って赤くなる。厝内真一家中が暑い。

ホニ 哄。甘言を以て煽動てる。嗾ける。我被你没一得一僕は君の煽動には乗らない。一着錢就提出一來一煽動ててやると金を出す。一人冤家一人を煽動てて喧嘩を喚ける。

ホニ アア 封鴨。鷺を全の儲蓄たもの。

ホニ アア チエツク タイ 鳳仔燭臺。鳳の形の燭臺。

ホニ イアン 鳳陽。安徽省鳳陽縣地方より來て拳術、輕業などをして賣る者。

ホニ イアン ボヲ 鳳陽婆。女の鳳陽。

ホニ イウ 倣様。似せる。真似る。模倣する。象る。

ホニ イウ 礦油。鑛油。

ホニ イウ ギエヌ 防羊言。【苦瓜】。

ホニ イエク コア 防疫官。防疫官。【烈しい】。

ホニ イエン 風湧。波風。風波。一真透一風も波も母に仕へる。

ホニ イオン 奉養。事へる。奉養。一父母一父母に仕へる。

ホニ イオン トン 洪羊洞。芝居の外題の名。唐將楊六養の逝去する場面。

ホニ イヌ 封印。舊曆十二月二十日の御用納に官印を匣に藏めて之を封じること。封印。

ホニ ウイ 風圍。苗代などを保護する風除。

ホニ ウイ 方位。方位。方角。

ホニ ウイ 皇威。皇威。天威。

ホニ ウウ 風雨。風雨。風雨。

ホニ ウウ チアム 風雨針。晴雨計。風雨計。

ホニ ウウ ハク 風雨學。氣象學。

ホニ ウヌ 風韻。風韻。風致。風情。

ホニ ウヌ 洪恩。洪恩。大恩。

ホニ ウヌ 皇恩。皇恩。天恩。朝恩。聖恩。

ホニ エエ ビエン 風下旁。風下。風下。

ホニ オン 封主。王に封する。

ホニ ヲア ヌ 方圓。方圓。

ホニ カア 皇家。皇室。帝室。

ホニ カウ 吠狗。犬を喚ける。一相咬一犬を喚けて咬合をさせる。

ホニ カウ 奉教。教を奉する。

ホニ カウ 風口。風口。火門。火口。

ホニ カン 封港。港を封鎖する。

ホニ カン 風港。風の吹通す所。吹貫。

ホニ カン 風孔。風孔。風穴。

ホニ ガア 風雅。風雅。風流。

ホニ ガイ 妨碍。妨碍。

ホニ ガヌ 紅顔。紅顔。一薄命一紅顔の美人は薄命多し。

ホニ ガヌ 鴻雁。鴻雁。

ホニ ガヌ コエ 鳳眼鮭。【鯛仔鮭】。

ホニ ガヌ ツア 方眼紙。方眼紙。

ホニ キアウ 荒賭。賭博に耽る。

ホニ キアム 況兼。況んや。況て。其上。お負に。然も。好天都不去。雨來一雨來一天氣でさへ行かぬのに況んや雨天に於いておや。

ホニ キイ 風旗。風見の旗。

ホニ キイ 防已。種あをつづらふぢ。【防已科、根を細切し水にて煎服し胃薬となす】。

ホニ キイ 風氣。習俗。風儀。風俗。流俗。一未開一風俗が未だ開けない。文明でない。開一文明一明開化になる。一真夕一風儀が悪い。

ホニ

ホニ

ホニ

ホニ

ホニキイ 瘋氣。神經痛などの痛。
 ホニキイチア 瘋氣痛。前に同じ。「の二十」
 ホニキウチヌイツサ 逢九進一十。(八算)九進
 ホニキウチヌサアサ 逢九進三十。(八算)九進
 の三十。(三進の一十を三回すること)。
 ホニキエヌ 封建。(文) 封建。一時代 封建時代。
 ホニキエヌシオン 瘋犬傷。(病) 恐水病。狂犬病。
 ホニキエン 風鳥。紙鳶の風箏。掛一 同上を附ける。
 ホニキオン 皇宮。皇宮。御所。宮城。
 ホニキオン 惶恐。(文) 恐懼。
 ホニキオンキイ 皇宮起。皇居の様な建築。御殿造。
 ホニキオンツイ 破強水。硫酸。
 ホニキア 俵給。(國) 俵給。
 ホニキム 黄金。●黄金。黄金。一 無似阿耨無真
 黄金に贗物無く「阿耨」(薬名)に眞物無し。
 ●納骨の壺。骨壺。一 守到生疏即指走骨
 壺の中の骨を久しく置いて靈氣が生ずる様になっ
 てから外へ移す。折角成功しかかっているのに之
 を中止する。功を一體に缺くなど。一 貯水 骨
 壺に水を貯へる。骨が水に漬る意の「激骨」を
 變者【激骨】の隠語として用ふ。
 ホニキム 奉禁。禁制の宗教などを奉ずる。

ホニ

ホニキム 風琴。風琴。風琴。手風琴。
 ホニキムチエン 風琴鏡。風琴時計。
 ホニギイ 蜂蟻。(文) 蜂と蟻。一 識君臣 蜂と蟻
 は君臣の禮を識る。
 ホニギエヌ 方言。(文) 方言。
 ホニギエン 奉迎。(國) 奉迎。
 ホニクイ 風體。鞭。牽一 鞭を引く、喘息の人を
 いふ。壓一 蛇腹の鞭を押へて風を送る。
 ホニクウ 皇居。(文) 皇居。帝城。
 ホニクツ 破窟。硫黄の出る穴。硫氣孔。
 ホニクヌ 封巾。婦人の頭に巻く布。
 ホニクヌ 瘋筋。頸などの靜脈にて病毒のありとせ
 らるる局部。撒一 先生媽が針で同上を
 刺して病氣を治す。牽一 同上が腫れる。一
 浮 同上。
 ホニクヌ 風筋。風模様の時現れる雲の峯。牽一 上
 同上が現れる。
 ホニグウ 防禦。(國) 防禦。
 ホニケエ 鳳髻。婚姻の時に用ひる髻。
 ホニゲエ 虹霓。(文) 虹霓。虹。
 ホニコア 封官。官を授ける。
 ホニコアヌ 風灌。タイヤなどに空氣を入れるポンプ。
 ホニコアヌ 鳳冠。鳳冠。一 霞佩 寶冠と帯の飾。

ホニ

ホニコエ 封雞。鶏を全の燻煮たもの。
 ホニコオ 風鼓。●唐箕。搦一 唐箕にかける。鼓
 一 同上。●(植) ふともも。(桃金娘科、花は
 觀賞し果實は食用に供せらる)。
 ホニコオイフ 風鼓葉。唐箕の羽根。
 ホニコオウ 風鼓斗。唐箕の上部にあり籾を受け
 るもの。
 ホニコオチウ 風鼓手。唐箕の把手。「や糘」
 ホニコオベエ 風鼓尾。唐箕から煽り出された籾穀
 ホニコヲ 瘋膏。(藥) 痛風を治す膏藥。
 ホニコヲ 放告。開廷。役所を開いて訴を受入れる。
 ホニコヲ 封語。(文) 勅叙。接一 勅叙を受ける。
 ホニコヲ 皇考。(文) (位牌墓碑などに記す句)先考。
 ホニコヲ パイ 放告牌。役所を開いて訴を受入れる
 ときに出す札。開廷の時に出す札。
 ホニコケ 皇國。(文) 皇國。
 ホニココン 風光。(文) 風光。風景。
 ホニココン 荒狂。慌しい。周章てる。狼狽する。うろ
 たえる。急遽しい。
 ホニココン 奉公。(國) 奉公。公に奉ずる。「る」
 ホニココン スウ 奉公事。公事を承る。公務を奉ず
 ホニココン ホエ スウ 荒公廢事。遊事などに熱中し
 て公務を等閑にする。

ホンコンロオ封焼燼。肉類などの馳走。三頓食

——三度の食事に同上を食ふ。美食する。

ホンゴアツ風月。(又)風月。「の二十。

ホンゴオチヌイツサ、逢五進一十。(八算)五進

ホンゴヲ風遊。風車。

ホンサイ風獅。獅子に乗った武官の像、悪魔を避ける爲屋上に置く。

ホンサヌ皇産。皇室の財産。「い山野。

ホンサヌコンイア荒山曠野。秃山荒野。樹木の無

ホンサムチヌイツサ、逢三進一十。(八算)三進一十。

ホンサン放送。(圖)放送。——局放送局。

ホンサン奉送。進呈。進上。呈上。献上。——神

明神に奉納する。

ホンサア風蘭。苗代などの風除。「る。

ホンサアボオ荒査某。女に夢中になる。女にはま

ホンサイ風采。(又)風采。「方往った。

ホンサイ方纒。(又)只今。今し方。——即去今し

ホンサウ風草。【風草】。

ホンサツ訪察。(又)視察。

ホンサツ訪賊。(又)賊を探索する。

ホンザン風葱。(補)薬用に供する葱の一種。

ホンシア風邪。風邪。風寒。風引。——入裡

風を引込む。

ホンシア風聲。噂。評判。風説。風評。風聞。取沙

汰。——謗影流言蜚語。

ホンシア皇城。王城。皇居。宮城。

ホンシアウ鳳簫。孔子を祭る時の樂器の名。

ホンシイ風絲。微風。起——微風が起る。斷點——微風だに無い。風が少しも無い。「込む。

ホンシイ風扇。扇風器。電扇。牽——扇風器を引

ホンシイ奉侍。(又)奉侍。奉仕る。——枕席枕席

ホンシイアア風絲仔。【風絲】。「に侍す。

ホンシイチヌイツサ、逢四進一十。(八算)四進

ホンシウ豊收。豊年。滿作。「の二十。

ホンシウ封收。官没。沒收。

ホンシウ防守。(又)防禦。防守。防衛。

ホンシウヲオ封收租。官没した田園の租穀。

ホンシエク皇室。皇室。帝室。朝家。

ホンシエヌ鳳仙。【鳳仙花】。

ホンシエヌチイ鳳仙子。鳳仙花の實。

ホンシエヌホエ鳳仙花。(補)鳳仙花。つまくれなる。(鳳仙花科、花は觀賞し莖・葉は潰して指を染む)。

ホンシエン豊盛。豐作。滿作。豐熟。豐饒。

ホンシエン放生。放生。

ホンシエン鳳笙。孔子を祭る時の樂器の名。

ホンシエン奉承。事へる。傳く。奉仕る。——序

大親に仕へる。

ホンシエンコヲ蓬生果。【木瓜】。

ホンシホク風俗。風俗。風。習慣。風習。——習

慣風俗習慣。歹——悪い風俗。

ホンシホク皇叔。皇帝の叔父。

ホンシホクトオ風俗圖。風俗畫。浮世繪。

ホンシオン皇上。皇上。今上。聖上。

ホンシオン奉上。(又)進上。呈上。進呈。献上。

ホンシヌ風信。(又)風の模様。風向。風の便。

ホンシヌ芳辰。(又)良辰。佳節。吉辰。吉日。

ホンシヌ風神。●面目。名譽。眞——實に名譽な

事。打人無——人を打つのは譽めた事ではな

い。●鼻に掛ける。高振る。誇る。展——同

上。賢——氣障な。講——自慢する。

ホンシヌオグソア凶神惡煞。祟をする神。惡神

ホンシヌキイ風信旗。風見。「惡魔。

ホンシヌキイ防身己。己の身を守る。護身。

ホンシヌトア又封神傳。●荒唐無稽の小説の名。

●人より褒められて嬉しがる人。

ホンシヌ瘋濕。(補)慢性關節痲痺質斯。風濕。

ホンシヌ風習。(圖)風習。

ホンシヌシヌイアムチエン瘋濕新炎症。【瘋濕】。

ホン

ホン

ホン

ホニ

ホニシブア 瘋濕痛。(病) 神經痛。
 ホニシム 放心。放心。安堵。放念。休意。你做你ー
 ー貴方は決して心配しなされるな。ー調氣を
 ゆるして寝る。安心して寝る。
 ホンジイチヌイッザ 逢二進一十。(八算)二進
 の一十。
 ホンジツ 風日。日和。天氣。好ー好日和。
 ホンジヌビエヌマア 方人便馬。公衆の便に供す
 る。ー的所在同上の爲公開した場所な
 ど。ー聽好出入誰でも出入が出来る。
 ホニスイ 風水。墳墓。墓。墓場。一門ー一箇
 の墓。看ー墓場の地相を占ふ。ー歹
 墓場の地相が悪い。
 ホニスイ 洪水。(又) 洪水。
 ホニスイシエヌシイ 風水先生。墓場の吉凶を相
 る人。陰陽師。
 ホニスイタウ 風水頭。運の開始。
 ホニスイトエ 風水地。墓地。墓場。
 ホニスイフヌボオ 風水墳墓。墓。墓場。墳墓。墓
 ホニスイベエ 風水尾。運の末。[埒]
 ホニスウ 放肆。放肆。我儘。氣儘。氣隨。放縱。放
 ホニスウ 皇嗣。(又) 皇嗣。
 ホニスウ 鳳書。男家より送る結婚書、一に「乾書」と

ホニ

ホニスウ 奉事。(又) 奉仕。奉事。仕へる。
 ホニスウチヌジイザ 逢四進一十。(八算)四進
 の二十。(二進の二十を二回すること)。
 ホニスヌ 皇孫。(又) 皇孫。
 ホニスヌ 破筒。筒の形した硫黄の塊。
 ホンセエ 風勢。風向。順ー追手に従ふ。看ー
 風向を見る。形勢を觀察する。
 ホンセエ 風説。【風説】。
 ホンセエ 風雪。吹雪。風雪。
 ホンモエ 風吹。紙鳶。風のぼり。放ー紙鳶を揚
 げる。ー尾紙鳶の尾。ー斷了線家伏去
 一半紙鳶の糸が切れて身代の一半が無くなる、
 望の網が切れるなど。
 ホンモエ 風吹。風が吹く。
 ホンモエ 奉差。(又) 差遣の命を受ける。
 ホンモエ 鳳髓。鳳の髓。珍珠。龍肝ー龍の肝に
 鳳の髓。
 ホンモエ イムツウ 封妻蔭子。(又) 功勞ある臣下の
 妻子を厚遇して稱號を賜ふ。
 ホンモエ ザウ 風吹草。【風馳草】。
 ホンモエ エン 風吹燈。紙鳶の尾に附けた燈。
 ホンモエ トヲ 風吹刀。他人の紙鳶の糸を切斷する爲
 に糸に結び附けた小刀。

ホニ

ホンモエリエヌ 風吹葦。風車。
 ホンソアツ 風説。風説。噂。
 ホンソオ 紡蘇。紬。
 ホンソヲ 風騒。よく物見遊山などに散歩く。よく
 見物に散歩く。遊好。風流入。ー在人、無米
 趁衆風流は人に因って違へども食ふに米なくて
 も尙且之を求めんとするは誰も同じことなり。
 ホンソヲ 封鎖。(國) 封鎖。
 ホンソヲ クイ 風騒鬼。【風騒】の者を罵つていふ。
 ホンソヲ ケエ 風騒客。風流入。遊客。
 ホンソソ 風霜。(又) 風霜。受盡ー風霜を経てゐ
 ホンソアヌ 黄泉。(又) 黄泉。黄泉。冥途。
 ホンソオ 皇祖。(又) 皇祖。[祖父]
 ホンソオ コヲ 皇祖考。(位牌・墓碑などに記す句) 亡
 ホンソオ ビイ 皇祖妣。(位牌・墓碑などに記す句) 亡
 ホンソツ 皇族。(國) 皇族。[祖母]
 ホンソソ 皇宗。(又) 皇宗。
 ホンソソ 宏壯。(又) 宏壯。立派。
 ホンソア 放膽。放膽。大膽。
 ホンソタイ 奉戴。(國) 奉戴。
 ホンソタイ 風颺。颺風。暴風雨。大嵐。ー做了轉
 回南大嵐の終には風が南に變る、怒つて亂
 暴した後に溫和になるなど。

ホンタイヤウ 風颯草。(性) ささぎび。(禾本科、此の

植物の葉に横線あるときは暴風あるものとし、其
の回数は横線の数と一致するものと信ぜらるる)。

ホンタイヌ 風颯旬。颯風の時期。嵐の時節。

ホンタイツウ 皇太子。皇太子。儲君。太子。東宮。

ホンタイホオ 風颯雨。暴風雨。嵐。荒れ。

ホンタイホオ 皇太后。皇太后。

ホンタウ 風頭。風上。上手。颯——風の吹通す處
に寐る。颯——風上に立つ、人を押除けて自分
だけ有利な地位を得る。

ホンタウカウ 荒頭狗。(意) 直に物忘する者。「意。

ホンタウチエン 風頭松栢。風上の松、有名の

ホンタウツイ 風透水透。風が強くて水が烈し

ホンタウトエ 鳳頭釵。簪の名。「い。

ホンタウピア 風頭壁。軒並の一番外れの家の壁。角
家の壁。「終り。

ホンタウボラ 風頭報尾。暴風雨などの始めと

ホンタヌ 黄丹。染料の一種。鉛丹。黄丹。

ホンタヌ 黄痘。(病) 黄痘。

ホンタヌチエン 黄痘症。前に同じ。

ホンタプ 奉答。(圖) 奉答。

ホンタム 放臆。(文) 放臆。豪膽。豪胆。

ホンタムペエシム 瘋痰蔽心。狂氣染みる。

ホンタン 風筒。通風器。風取帆。自轉車のポ

ホンタン 風窓。風穴。風窓。「ソプ。

ホンタンチ 風動石。風が吹くと動く石。揺り石。

ホンチア 風車。(圖) 風車。

ホンチア 況目。況兼。

ホンチアホエ 風車花。時錶仔花。

ホンチアウチアウ 晃箭箭。衣服などびかびかする。
穿到——綺麗に着飾る。

ホンチアウチアウ 紅箭箭。晃箭箭。意氣揚
場とする。行到——意氣揚揚として歩く。

ホンチアウチアウ 紅促促。非常に威張る。
威張って歩く。

ホンチアム 風針。晴雨計。

ホンチアム 方針。(圖) 方針。

ホンチイ 方子。官人が人を叱るとき卓を打つ四角の
木。擲——同上を打つ。

ホンチイ 方錢。貨幣の一種。

ホンチイ 風靜。風が靜まる。風が靜かな。湧平
風は靜かに波平か。

ホンチイ 奉旨。聖旨を奉ずる。

ホンチエン 風箏。(文) 紙鳶の風箏。

ホンチエン 瘋症。(病) 癡麻質斯・神經痛の類。

ホンチエンウロオ 風晴雨露。風晴雨露。風に晴

に雨に露。繪畫などの四つの態。

ホンチオン 豐將。(進) 豐將。

ホンチオン 放縱。放縱。我儘。氣儘。

ホンチツ 奉職。(圖) 奉職。「の十一。

ホンチツチヌイツア 逢七進一十。(八算)七進

ホンチヌ 皇親。皇族。皇室。

ホンチア 瘋痛。癡麻質斯などの痛。

ホンチアウ 風潮。(圖) 風潮。「る短冊形の紙。

ホンチアウ 封條。物を封する紙。差押品などに封す

ホンチアウ 皇朝。(文) 皇朝。「な。

ホンチアウウ 風調雨順。(文) 風雨が順調

ホンチアムロンチエン 風恬浪靜。(文) 風穩かに波

ホンチイ 風致。(圖) 風韻。風致。「靜か。

ホンチウ 紡綯。綯子の一種。

ホンチウ 風抽。自轉車などに空氣を入れるポンプ。

ホンチウトオ 紡綯肚。綯子の腹巻。

ホンチエヌ 瘋顛。(病) 瘋顛。

ホンチエヌ 黄礁。埃多方散。「土。

ホンチエヌ 皇天。天。天。——后土。天地。皇天后

ホンチエヌ 奉天。(地名) 奉天。

ホンチエヌキエク 方天戟。矛の一種。

ホンチエン 風燈。(圖) 阿片煙燈。

ホンチエン 豐登。(文) 豐熟。五穀——五穀豐熟。

ホ

ホ

ホ

ホニ

ホニ 事エン 封釘。棺に死骸を収めて釘を打つこと。
 ホニ 子エン 奉皇。(又) 奉皇。
 ホニ 子エン ビエン 風頂旁。風上。堅——風上に立つ、人を押除け自分だけ有利な地位を得る。
 ホニ 子オン 蝗蟲。(又) 稻蟲。蝗蟲。
 ホニ 子ヲ 奉趙。(又) 返済する。
 ホニ 子ヌ 風藤。(種) ふとうとかつら。(胡椒科、莖は乾燥して煎服し風邪・神経痛等を治し根は毒蛇咬傷の際に用ふ)。
 ホニ 子ヌ 風塵。(又) 風塵。
 ホニ 子ヌ 封藤。海底に生ずる堅くて黒い植物。——手環——同上で作った腕環。
 ホニ 子ヌ 紅塵。(又) 紅塵。
 ホニ ツイ 礮水。温泉。
 ホニ ツイ 封嘴。封目。
 ホニ ツイ 風嘴。(種) 風疹。起——風疹が出る。
 ホニ ツイ ポオ 防水布。(種) 防水布。
 ホニ ツウ 風姿。(又) 風姿。風采。
 ホニ ツウ 皇子。(又) 皇子。皇子。御子。「斷する」。
 ホニ ツウ 封府。●家屋を差押へる。●家の交通を遮る。
 ホニ ツヌ 風陣。一類の風。一陣の風。——緊——風脚が早い。
 ホニ ツヌ 方寸。(又) 方寸。——之中——方寸の中。

ホニ

ホニ ヲウ 皇儲。(又) 皇儲。
 ホニ テエ 荒地。(種) 荒地。
 ホニ テエ 皇帝。皇帝。天子。天皇。帝王。講天説——作り話をする。——位——天位。帝位。
 ホニ テエ 皇弟。(又) 皇太弟。
 ホニ テエ 奉茶。(敬詞) 御光來を願ひます。お出下さい。閉即來敝舎——御開がありましたら拙宅へ御光來を願ひます。
 ホニ テエ 風體。(種) 風體。
 ホニ テエ コア 皇帝封。占の一種。
 ホニ テエ タウ 皇帝豆。(種) 菜豆。皇帝豆。(豆科、種子を食用に供す)。
 ホニ テエ チイ 皇帝星。紫微垣にある星の名。
 ホニ テエ チエヌ 皇帝殿。宮殿。皇宮。御所。
 ホニ テエ ニウ 皇帝娘。皇后。
 ホニ テエ ラン 皇帝人。皇帝の如き權威あるもの。——我都不驚伊——同上のものでも私は恐れ
 ホニ トアヌ 風傳。風評。「ない」。
 ホニ トエ 鳳斂。簪の一種。
 ホニ トオ 風堵。風除の爲の板仕切。——枋——寢臺の三方を繞らす腰板。
 ホニ トオ 風度。(又) 風度。風采。様子。「邊防の兵」。
 ホニ トオ 防堵。要害の場所を防ぐ。邊防。——兵——

ホニ

ホニ トオ 風土。(又) 風土。——人情——風土人情。
 ホニ トオ 封土。知行。封土。領分。
 ホニ トオ ビイ 風土病。(種) 風土病。
 ホニ トヲ 封刀。刀を封じる。刀を収める。
 ホニ トヲ 黃道。(又) 黃道。黃道。
 ホニ トヲ 瘋毒。僕麻質斯や梅毒などの毒。瘋毒。打——同上が出来る。
 ホニ トン 荒唐。荒唐。荒唐無稽。空説。無根言。——無影宋——唐の嘘に宋の法螺、荒唐無稽。
 ホニ トン 放蕩。放蕩。道楽。獄道。敢來——破了錢——放蕩をすると錢を無くする。
 ホニ トン 皇統。(又) 皇統。
 ホニ ニア 風領。防塞の爲の襟。
 ホニ ニアウ 黃鳥。(種) 高麗鶯。
 ホニ ハア 放下。放つて置く。差置く。
 ホニ ハイ 航海。(種) 航海。
 ホニ ハイ 妨害。(種) 妨害。
 ホニ ハウ 風候。(又) 風候。風の模様。
 ホニ ハヌ 風寒。(又) 風邪。邪氣。——暑濕——風邪。寒氣・熱病・濕氣當りの四種の病。
 ホニ ハヌ 防閑。(又) 子弟などの墮落を警戒する。用意周到に警戒する。——子弟——子弟の墮落を防ぐ。子弟を監督する。

ホンハム 風謙。●誇張する。針小棒大に話す。大風

呂敷を廣げる。講話——針小棒大な話をする。

●大ざっぱな。大まかな。做事情傷——爲る

仕事之餘りに大ざっぱだ。

ホンハム 凶陥。災害など甚しい。慘然たる。酷い。

由由しい。

ホンバア 封肉。種類の薬味などを加味した肉を鍋に

入れて軟かになるまでぐつぐつと煮ること。

ホンバカ 瘋目。(解)眼が赤くないで痛むもの。風眼。

ホンパツチヌイッサア 逢八進一十。(八算)八進

の四十。(二進の一十を四回すること)。

ホンパツチヌイッサア 逢八進四十。(八算)八進

の二十。(四進の二十を二回すること)。

ホンパン 方板。——六尺四方の板。

ホンピア 風蟻。(動)羽蟻。白蟻。上——白蟻が附

ホンピア 恍惚。(驚)「憧憬」。

ホンピアウ 逢儀。事柄が確實で無い。あぶなっかし

い。危険な。伊真——彼は當にならぬ。——

的事情不可挿——危険な事に係合つてはいけな

ホンピアム 凶險。危い。危険。——症——急病。「い。

ホンピアン 鳳陽。「鳳陽」。

ホンヒイ 荒耳。聞いたことを直に忘れること。籠耳。

ホンヒエヌ 奉獻。(國)奉獻。獻納。

ホンヒエン 皇兄。(又)皇帝の兄。惡到那——皇

兄の様に荒荒しい、非常に荒荒しい。

ホンヒエンコオスウ 奉行故事。●故事を奉じて行

ふ。(答)「答」。

ホンヒオン 方向。方角。方向。

ホンヒオン 風向。風向。

ホンビイ 風味。腐った風味。

ホンビエヌ 方面。●體面。面目。有——面目を施

す。●「國」方面。

ホンビエヌ 放免。(國)放免。

ホンビエン 奉命。(又)命令を奉ずる。承る。

ホンビヌ 風面。風向。風並。風向。轉——風向が

變る。好——工合がよい。運がよい。歹——

景氣が悪い。運が悪い。

ホンビヌ 方面。(國)方面。

ホンビヌキイ 風面旗。風見。

ホンピアウ 封標。祭典の期日などを記載した細長い

紙。貼出。出——同上を掲げる。

ホンビイ 皇妣。(又)位牌・墓碑などに記す句)先妣。

ホンビエク 風伯。(又)風伯。

ホンビエククイヲ 奉壁歸趙。璧を奉じて趙に歸

る。蘭相如の故事、借物を完全に還す意。

ホンビエヌ 方便。便宜をはかる。一毫之善、與人

——一毫の善も人に便宜を與へる。天上人間

——第一——天上も人間も便宜が第一。醫生着

較——醫師は人に便宜を與へなければならぬ。

ホンビエヌコヲ 紅片糕。落雁の一種。

ホンビエン 風評。(國)風評。

ホンファイ 荒廢。(意)「荒廢」。

ホンフイ 皇妃。皇妃。

ホンフウ 豐富。(國)豐富。

ホンフウ 皇甫。(姓)皇甫。

ホンフウ 皇父。(姓)皇父。

ホンフツ 髻髻。●髻髻。彷彿。宛然。真——甚だ

よく似てゐる。——親像伊——宛然彼の様だ。●

仄かに。——「聽」見——仄かに聞いた。

ホンフツ 恍惚。●恍惚。●物事に氣をとられてぼん

やりする。うっとりとする。うっかり。——續没

記得——うっとりして忘れてしまった。一時——

——一時ぼんやりする。——没認得——うっかり

して見覚えがつかぬ。

ホンフツ 奉佛。(又)佛を奉祀する。

ホン

ホン

ホン

ホン ホン 封封。【封】の(㊦)(㊧)(㊨)。

ホン ホン 荒荒。心が浮立って落着かない様。浮浮する。浮虚する。浮つく。心肝——心がうかうかしてゐる。

ホン ホン 晃晃。身形のけばけばしく華美な様。綺麗に着飾った様。

ホン/ ホン/ 訪訪。【訪】の(㊩)。

ホン/ ホン/ 做做。【做】。

ホン/ ホン/ 放放。無頓着。呑氣。氣樂。浮虚と。心肝——心がうかうかしてゐる。

ホン/ ホン/ 防風。(種)ぼたんにんじん。(繖形科、根を細切して煎服し感冒を治す)。

ホン/ ホン/ 防防。【防】の(㊪)。

ホン/ ホン/ 惶惶。(又)狼狽へる。周章てる。

ホン/ ホン/ 鳳鳳。鳳凰。

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ 烘烘。火照る。——熱——同上。焼——身

ホン/ ホン/ コン/ コン/ 荒荒狂狂。惶急しい。周章てる。けたたましい。うろたへる。

ホン/ ホン/ ジェツ 烘烘熱。ぼかぼかとほてる。面——顔がぼかぼかとほてる。

ホン/ ホン/ トエ 鳳凰蛻。(變)卵の殻を云ふ。

ホン/ ホン/ ヌン 鳳凰卵。【鳳尾松】。

ホン/ ホン/ ハウ 烘烘哮。火の燃えるとき或は耳を蓋ふ時など「お」お鳴る。

ホン/ ホン/ フツ/ フツ/ 恍恍惚惚。【恍惚】の(㊫)。

ホン/ ホン/ ヘエ/ ヘエ/ 哄哄嚇嚇。【哄嚇】。

ホン/ ホン/ ボク 鳳凰木。鳳凰木。(葎科、觀賞用として栽植す)。

ホン/ ホン/ ボロ 風帽。男子の被る冬帽子。頭巾。

ホン/ ホン/ ボン 荒忙。狼狽へる。周章てる。狼狽する。

ホン/ ホン/ ポエ 封批。①手紙の封をする。②封書。

ホン/ ホン/ ポエ ソア 風飛砂。(海)【風飛砂】。

ホン/ ホン/ ポオ 荒埔。荒地。荒野。曠野。不毛の地。

ホン/ ホン/ ポロ 風波。波風。風波。平地起——平地に風波を起す。

ホン/ ホン/ ポン 風謗。針小棒大に誇張する。仰山にいふ。

ホン/ ホン/ マア ギウ 風馬牛。(又)——不相及——風馬牛も相及ばず。

ホン/ ホン/ ムン 封門。①官より赤き紙にて門に封印する。

●(賭博の語)賭銭の制限。二元銀——同上が

ホン/ ムン 風門。①鞆の口。②火口。火門。③一圓。

ホン/ ムン/ カン 風門孔。(銃)火皿。

ホン/ ライ 蓬萊。(又)蓬萊。

ホン/ ライ 鳳梨。【鳳梨】。

ホン/ ライ/ コア 鳳梨葛。【鳳梨葛】。

ホン/ ライ/ ビイ 蓬萊米。(國)内地の水稻粳を本島に適する様改良したもの。蓬萊米。

ホン/ リアム 俸廉。俸祿。秩祿。

ホン/ リイ 紅利。容體振る。様子振る。氣取る。

ホン/ リウ 瘋癩。(病)癩の一種。

ホン/ リウ 風流。①風流。——瀟洒——風流洒落。②花柳社會の事情に通じてゐる。意氣な。粹な。

ホン/ リウ/ クイ 風流鬼。花柳社會の事情に通じてゐる人。粹人。通人。道樂者。

ホン/ リウ/ ケエ 風流客。前に同じ。

ホン/ リウ/ ツウ 風流子。前に同じ。

ホン/ リウ/ ラン 風流人。前に同じ。

ホン/ リエ ヌ 荒年。(又)不作。凶作。凶歲。凶年。——無六親——創饑年に六親無し。

ホン/ リエ ヌ 豐年。(又)當年。豐年。

ホン/ リエ ヌ 鳳輦。鳳輦。輿輦。

ホン/ リエ/ エン 芳齡。(又)芳紀。二八——二八の芳齡。

ホン

ホン

ホン

ホニ

ホニ<リ>エン 阜陵。(文) 御陵。御陵。「進の二十。」
 ホニ<リ>ホク チヌ イッ サ、逢六進一十。(八算六
 ホニ<リ>ホク チヌ サア サ、逢六進三十。(八算六
 進の三十。(二進の二十を三回すること)。
 ホニ<リ>ホク チヌ ジイ サ、逢六進二十。(八算六
 進の二十。(三進の二十を二回すること)。
 ホニ<ル>ウ 皇女。(文) 皇女。
 ホニ<レ>エ 風例。風習。習慣。
 ホニ<レ>エ 黄鵠。(動) 高麗鷲。
 ホニ<レ>エ パウ 皇禮砲。(國) 皇禮砲。
 ホニ<ロ>オ 烘爐。焜爐。七厘。
 ホニ<ロ>オ 航路。(國) 航路。
 ホニ<ロ>オ ケエ 烘爐架。七厘の臺。
 ホニ<ロ>オ シイ 烘爐扇。七厘を扇く團扇。
 ホニ<ロ>オ チイ 烘爐子。焜爐の中にかけて火を置くも
 ホニ<ロ>ウ 俸祿。俸祿。官祿。秩祿。「の。
 ホニ<ロン> 封封。【封封】。
 ホニ<ロン> 風浪。波風。風波。
 ホニ<ロン> 訪訪。【訪訪】。
 ホニ<ロン> 倣倣。【倣倣】。
 ホニ<ロン> 放浪。(文) 放浪。
 ホニ<ロン> 防防。【防防】。
 ホニ<ロン> 哄哄。【哄哄】。

ホヤ

ホヤ

ホヤ 灰。略。……【ヘエ灰。略。……】。
 ホヤ 火。略。伏。……【ヘエ火。略。伏。……】。
 ホヤ 貨。歲。……【ヘエ貨。歲。……】。
 ホヤ 和。下。回。……【ヘエ和。下。回。……】。
 ホヤ 會。(泉) 【會】。
 ホヤ アア グ又 會仔銀。(泉) 【會仔銀】。
 ホヤ イア 火影。(泉) 【火影】。
 ホヤ イウ 火油。(泉) 【火油】。
 ホヤ イエヌ 火煙。(泉) 【火煙】。
 ホヤ イヲ 灰窰。(泉) 【灰窰】。
 ホヤ イヲ 火藥。(泉) 【火藥】。
 ホヤ イヌ 火引。(泉) 【火引】。
 ホヤ エエ 火厄。(泉) 【火厄】。
 ホヤ ヲア 火碗。(泉) 【火碗】。
 ホヤ ヲエ 同話。(泉) 【同話】。
 ホヤ カア 火絞。(泉) 【火絞】。
 ホヤ カア 貨脚。(泉) 【貨脚】。
 ホヤ カツ 火臺。(泉) 【火臺】。
 ホヤ キア 火鏡。(泉) 【火鏡】。
 ホヤ キア ア 火劫。(泉) 【火劫】。
 ホヤ キイ 夥計。(泉) 【夥計】。

ホヤ

ホヤ キイ 火氣。(泉) 【火氣】。
 ホヤ キイ 火坑。(泉) 【火坑】。
 ホヤ キイ 火鉗。(泉) 【火鉗】。
 ホヤ キム コオ 火金姑。(泉) 【火金姑】。
 ホヤ クウ 灰龜。(泉) 【灰龜】。
 ホヤ クン 火管。(泉) 【火管】。
 ホヤ タン 灰壙。(泉) 【灰壙】。
 ホヤ グ又 會銀。(泉) 【會銀】。
 ホヤ ケエ 貨價。(泉) 【貨價】。
 ホヤ ケエ 下價。(泉) 【下價】。
 ホヤ ケエ 貨客。(泉) 【貨客】。
 ホヤ コア 又 火罐。(泉) 【火罐】。
 ホヤ コオ 火籠。(泉) 【火籠】。
 ホヤ コヲ 火鍋。(泉) 【火鍋】。
 ホヤ コエ 火雞。(泉) 【火雞】。
 ホヤ ゴエ 火筴。(泉) 【火筴】。
 ホヤ サイ 火屎。(泉) 【火屎】。
 ホヤ サア 火柴。(泉) 【火柴】。
 ホヤ サイ 火災。(泉) 【火災】。
 ホヤ サイ 貨財。(泉) 【貨財】。
 ホヤ サウ 火灶。(泉) 【火灶】。
 ホヤ サウ 貨草。(泉) 【貨草】。
 ホヤ ツツ 灰漆。(泉) 【灰漆】。

ホ牙

ホ牙^クツツ火漆。(泉)【火漆】。
 ホ牙^クツツ火擦。(泉)【火擦】。
 ホ牙^クシアウ會賬。(泉)【會賬】。
 ホ牙^クシイ灰匙。(泉)【灰匙】。
 ホ牙^クシウ歲壽。(泉)【歲壽】。
 ホ牙^クシウ和尚。(泉)【和尚】。
 ホ牙^クシウカア和尚子。(泉)【和尚子】。
 ホ牙^クシエク灰色。(泉)【灰色】。
 ホ牙^クシエク貨色。(泉)【貨色】。
 ホ牙^クシツ伙食。(泉)【伙食】。
 ホ牙^クシヌ火神。(泉)【火神】。
 ホ牙^クスン會算。(泉)【會算】。
 ホ牙^クソア火山。(泉)【火山】。
 ホ牙^クソアヌ火礮。(泉)【火礮】。
 ホ牙^クソニ火葬。(泉)【火葬】。
 ホ牙^クソオ火籠。(泉)【火籠】。
 ホ牙^クソオエ歲多。(泉)【歲多】。
 ホ牙^クタウ灰頭。(泉)【灰頭】。
 ホ牙^クタウ火頭。(泉)【火頭】。
 ホ牙^クタウ歲頭。(泉)【歲頭】。
 ホ牙^クタウ貨頭。(泉)【貨頭】。
 ホ牙^クタウ會頭。(泉)【會頭】。
 ホ牙^クタウチアグヌ回頭定銀。(泉)【回頭定銀】。

ホ牙

ホ牙^クタブ回答。(泉)【回答】。
 ホ牙^クタン火窓。(泉)【火窓】。
 ホ牙^クチア火車。(泉)【火車】。
 ホ牙^クチア火刺。(泉)【火刺】。
 ホ牙^クチア貨車。(泉)【貨車】。
 ホ牙^クチアム火籤。(泉)【火籤】。
 ホ牙^クチイ火舌。(泉)【火舌】。
 ホ牙^クチイ火井。(泉)【火井】。
 ホ牙^クチイ火箭。(泉)【火箭】。
 ホ牙^クチイ貨錢。(泉)【貨錢】。
 ホ牙^クチイ火星。(泉)【火星】。
 ホ牙^クチウ火酒。(泉)【火酒】。
 ホ牙^クチエン火種。(泉)【火種】。
 ホ牙^クチヨ灰石。(泉)【灰石】。
 ホ牙^クチヨ火醃。(泉)【火醃】。
 ホ牙^クチヨ火石。(泉)【火石】。
 ホ牙^クチア火鼎。(泉)【火鼎】。
 ホ牙^クチアブ回帖。(泉)【回帖】。
 ホ牙^クチウ夥長。(泉)【夥長】。
 ホ牙^クツイ灰水。(泉)【灰水】。
 ホ牙^クツウ貨主。(泉)【貨主】。
 ホ牙^クツヌ火船。(泉)【火船】。
 ホ牙^クツヌ貨船。(泉)【貨船】。

ホ牙

ホ牙^クツン貨倉。(泉)【貨倉】。
 ホ牙^クツウ火鼠。(泉)【火鼠】。
 ホ牙^クツイ灰槌。(泉)【灰槌】。
 ホ牙^クツイ火腿。(泉)【火腿】。
 ホ牙^クツウ火箸。(泉)【火箸】。
 ホ牙^クトア貨單。(泉)【貨單】。
 ホ牙^クトア火炭。(泉)【火炭】。
 ホ牙^クトオ灰土。(泉)【灰土】。
 ホ牙^クトヲカツ火刀臺。(泉)【火刀臺】。
 ホ牙^クトヲエ貨底。(泉)【貨底】。
 ホ牙^クパウ貨包。(泉)【貨包】。
 ホ牙^クパウ火炮。(泉)【火炮】。
 ホ牙^クパヌ貨辦。(泉)【貨辦】。
 ホ牙^クピア灰壁。(泉)【灰壁】。
 ホ牙^クピア灰胎。(泉)【灰胎】。
 ホ牙^クピラ火票。(泉)【火票】。
 ホ牙^クフウ火灰。(泉)【火灰】。
 ホ牙^クフウ火夫。(泉)【火夫】。
 ホ牙^クフヌ灰粉。(泉)【灰粉】。
 ホ牙^クフヌ火燻。(泉)【火燻】。
 ホ牙^クフヌツウ回帖書。(泉)【回帖書】。
 ホ牙^クフウ火魚。(泉)【火魚】。
 ホ牙^クブウ火母。(泉)【火母】。

ホヤ

ホヤ **ブツ** 貨物。(泉) 【貨物】。
 ホヤ **ブツ** シイ 會不是。(泉) 【會不是】。
 ホヤ **フヌ** 火盆。(泉) 【火盆】。
 ホヤ **ベエ** 火馬。(泉) 【火馬】。
 ホヤ **ペエ** 火把。(泉) 【火把】。
 ホヤ **ホア** 又和番。(泉) 【和番】。
 ホヤ **ホエ** 火花。(泉) 【火花】。
 ホヤ **ホヲ** 火號。(泉) 【火號】。
 ホヤ **ホク** 回復。(泉) 【回復】。
 ホヤ **ホヤ** 盼盼。(泉) 【盼盼】。
 ホヤ **ホヤ** 靄靄。(泉) 【靄靄】。
 ホヤ **ホヤ** 貨貨。(泉) 【貨貨】。
 ホヤ **ホヤ** 和和。(泉) 【和和】。
 ホヤ **ホヤ** 下下。(泉) 【下下】。
 ホヤ **ホヤ** 回回。(泉) 【回回】。
 ホヤ **ホヤ** 會會。(泉) 【會會】。
 ホヤ **ボヤ** 貨尾。(泉) 【貨尾】。
 ホヤ **ボエ** 火籠。(泉) 【火籠】。
 ホヤ **ボエ** 回批。(泉) 【回批】。
 ホヤ **ボオ** 貨簿。(泉) 【貨簿】。
 ホヤ **ミイ** 火綿。(泉) 【火綿】。
 ホヤ **ムチ** 會不着。(泉) 【會不着】。
 ホヤ **ムン** 貨物。(泉) 【貨物】。

ホヤエ

ボア

ホヤ **ラツ** 火力。(泉) 【火力】。
 ホヤ **ラム** 回南。(泉) 【回南】。
 ホヤ **ラム** シエツ 灰藍色。(泉) 【灰藍色】。
 ホヤ **リエ** 火龍。(泉) 【火龍】。
 ホヤ **レエ** 回禮。(泉) 【回禮】。
 ホヤ **ロオ** 火爐。(泉) 【火爐】。
 ホヤ **ロヲ** 火烙。(泉) 【火烙】。
 ホヤ **ロヲ** 回落。(泉) 【回落】。
 ホヤ **ロン** 火焔。(泉) 【火焔】。
 ホヤ **ロヤ** 盼盼。(泉) 【盼盼】。
 ホヤ **ロヤ** 和和。(泉) 【和和】。
 ホヤ **ロヤ** 下下。(泉) 【下下】。
 ホヤ **ロヤ** 回回。(泉) 【回回】。
 ホヤ **ロヤ** 會會。(泉) 【會會】。
 ホヤ **ン** 火影。(泉) 【火影】。

ボアエ

ボア

ボア **抹** 塗る。附ける。塗抹る。粉白粉を附ける。
 一壁壁を塗る。一膏藥膏藥を塗抹る。手一
 嘴涎手に唾を附ける。責成要一人責任

ボア

ボア **磨** 磨る。研ぐ。一墨墨を磨る。一刀刀を
 研ぐ。一鏡鏡を研ぐ。一玉環玉環翡翠の腕環に
 磨を掛る。骨頭一成針骨が針の様になるま
 で磨減らす、身を粉にして苦勞する。一菜頭
 大根を下す。●骨折る。苦勞する。勞働する。一
 了慣勢勞働に慣れてゐる。空一無駄骨折。
 俾你受一御苦勞様。一你同上。
 ボア **末** ●末。●末。粉。粉末。香一香の
 粉。香末。茶一粉茶。研一磨つて粉にする。
 ●芝居の豫備役者。端役。生且淨一男形。女
 形。敵役。端役。
 ボア **鮓** (鮓) 鮓。
 ボア **アア** 抹仔。膏藥などを塗る籠。
 ボア **アア** 磨仔。山葵卸。下。一齒同上の刺の如
 ボア **アア** 鮓仔。(鮓) 鮓。一皮一鮓の皮。
 ボア **アア** サウ 磨仔草。【鱧魚鱗】。
 ボア **アイ** 抹藥。藥を附ける。藥を塗る。
 ボア **カア** 磨硯。搗鉢。當鉢。
 ボア **キア** 磨鏡。鏡を研ぐ。鏡研。一司卓鏡
 ボア **コオ** 抹糊。糊を附ける。
 ボア **サウ** 磨草。【擒壁藤】。

ボア シアウ 抹消。塗抹する。抹消する。
ボア シム ボア コア 磨心磨肝。苦勞をする。苦心する。苦慮する。

ボア チイ イウ 抹戸油。【戸油】(死人の足の方に點す燈の油)を塗る。之を塗られた女は夫と仲違をするといふ。

ボア チヲ 磨石。●石を擦って平にする。●合砥。
ボア チヲ アア 磨石仔。【磨石】の①。

ボア チアウ 抹住。塗附ける。擦附ける。塗抹る。
ボア ツイ キア 磨水鏡。物の紛失したる時犯行者を見出すといふ一種の方法。其の方法は一面の鏡を伏せて上に一枚の白紙を敷き更に一面の鏡を伏せ其上に水を入れたる茶碗を置き家内の嫌疑者を周圍に立たしめ一同一定の咒語を唱へたる後茶碗の水を各一口づつ含みて鏡面に吹き掛ければ犯行者の肖像は鏡間の白紙に明かに映出すといふ。

ボア トア 磨拖。苦勞。辛苦。能堪得。一〇〇勞苦に堪へる。

ボア トヲ 抹刀。●革砥などで刀を磨く。一〇皮革砥。●泥鏡。金鏡。

ボア トヲ 磨刀。刀を研ぐ。
ボア バク 磨墨。墨を磨る。

ボア ヒヲ 鳴鴉。(動)鳶。

ボア

ボア ビア 抹壁。壁を塗る。一〇雙面光。二〇兩面が光る様に壁を塗る、喧嘩を仲裁して雙方を圓く治めるなど。

ボア ビツ 抹筆。筆を擦る。硯などに擦りつけて先を
ボア フヌ 抹粉。白粉を附ける。【揃へる。
ボア ヘエ 抹灰。石灰を塗る。
ボア ペエ 磨皮。磨革。

ボア ペエ 磨皮。磨革。
ボア ペエ 磨皮。磨革。

ボア ペエ 磨皮。磨革。
ボア ペエ 磨皮。磨革。

ボア ボア 抹抹。●幼一〇粉など細い。肌理が細い。美一〇女など大變綺麗な。白一〇皮膚など真白い。●抹。

ボア ボア 磨磨。【磨】。
ボア ボア 磨磨。【磨】。

ボア ボア 磨磨。【磨】。
ボア ボア 磨磨。【磨】。

ボア ボア 磨磨。【磨】。
ボア ボア 磨磨。【磨】。

ボア ボア 磨磨。【磨】。
ボア ボア 磨磨。【磨】。

ボア ボア 磨磨。【磨】。
ボア ボア 磨磨。【磨】。

ボア ボア 磨磨。【磨】。
ボア ボア 磨磨。【磨】。

ボアツ

ボアツ 末。●末。●末。一日。●末。●路。●末路。●景氣が悪い。不景氣な。光景真一〇景氣が非常に悪い。生理真一〇商賣が繁昌しない。

ボアツ キアア 末劫。劫。劫運。
ボアツ コク 末國。(又)末路に近い國。
ボアツ シエク 末席。(又)末席。

ボアツ シオク 末俗。(又)悪い風俗。
ボアツ ジツ 末日。末日。終の日。
ボアツ セエ 末世。(又)末世。

ボアツ チオン 末將。武將が自分を指していふ詞。
ボアツ チアウ 末朝。(又)末路に近い朝。
ボアツ ハク 末學。(又)後學。末學。

ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。

ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。

ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。

ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。

ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。

ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。

ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。
ボアツ ベエ 末尾。國家の末路。

ボアヌ

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

ボアヌ 満。●満。●満。溢れる。一杯。一〇起。一〇杯になる。一〇出来。一〇溢出る。一〇儼。一〇滿載。一〇意足。一〇心が満足する。●滿洲。一〇漢。一〇滿洲族と漢民族。一〇兵。一〇滿洲兵。

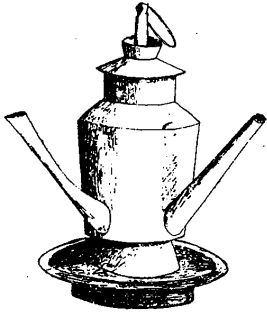
ボアヌ

ボアヌ

ボアヌアヌ 満限。満期。
 ボアヌイイ 満意。満足。
 ボアヌウウ ヒオン 晩餘香。【月來香】。
 ボアヌウヌ 晩運。(文) 晩運。
 ボアヌヲアヌ 満員。(國) 満員。
 ボアヌキイ 満境。縁にかかつて溢れさうになる。大
 碗兼——大きな碗で其上同上、要求が過大な
 ボアヌキエン 晩景。(文) 晩景。
 ボアヌクイ 晩季。第二期收穫の時、陰曆十月頃。
 ボアヌコアヌ 満棺。入棺後一週間死體が膨脹して棺
 桶一杯になること。七日——同上。
 ボアヌヨオ 満口。(文) 満口。——應承——大に賛成
 ボアヌゴアツ 満月。(國) 満月。
 ボアヌサイ 満載。満載。——榮歸——成功して歸る。
 ボアヌザヌ 晩餐。●晩餐。●晩飯。●夕食。●夕飯。●禁
 ——聖晩餐式に列することを禁ずる。
 ボアヌシエク 満席。満洲人の料理。【漢席】に對す。
 ボアヌシエン 晩生。(文) 晩生。小生。
 ボアヌシヌ 満身。體中。全身。満身。
 ボアヌジイ 満字。満洲の文字。満字。
 ボアヌジヌ 満人。満洲人。
 ボアヌジム 満任。任期が満ちる。
 ボアヌソエ 晩歲。(文) 晩年。老年。

ボアヌ

ボアヌワヲ 満座。満座。劇場など満員。
 ボアヌワッ 満族。満洲人。
 ボアヌタウ 満斗。【満斗】。
 ボアヌタン 晩冬。第二期の收穫。後期の收穫。
 ボアヌチウ 満洲。満洲。
 ボアヌチウ 満秋。(文) 晩秋。暮秋。
 ボアヌチウラン 満洲人。満洲人。
 ボアヌチエツ 晩節。(文) 晩節。
 ボアヌチエヌケ 満煎糶。小麦粉に砂糖を混ぜて
 捏ね油で揚げたもの。
 ボアヌチオク 満足。(國) 満足。
 ボアヌチオン 晩鐘。(文) 晩鐘。
 ボアヌチツ 満七。四十九。七七。做——七七
 の供養をする。
 ボアヌチアム 満點。(國) 満點。
 ボアヌチウ 晩稻。
 晩稻。
 ボアヌチエヌコン 満天光。夜
 間行商人な
 どの用ひるカンテラの一種。
 ボアヌチエヌシエン 満天星。【珠仔草】の○。
 ボアヌチエヌワイ 満天飛。官名のみにて一定の官



光天満

ボアヌ

箇に任命せられざる地方長官。
 ボアヌツヌ 晩春。(文) 晩春。
 ボアヌテエキムチイ 満地金錢。【兔仔菜】。
 ボアヌトク 晩唐。晩唐。
 ボアヌトン 満堂。(文) 満堂。堂に満ちる。
 ボアヌトン 満堂紅。燈の一種。
 ボアヌナア 満仔。(満仔)。
 ボアヌハク 晩學。(文) 晩學。後進。
 ボアヌハヌ 満漢。満漢。満洲と支那本部。
 ボアヌハヌシツ 満漢席。満洲料理と支那料理。
 ボアヌハヌトヲ 満漢桌。前に同じ。
 ボアヌヒア 満靴。満洲の長靴。
 ボアヌヒオンギホク 晩香主。【月來香】。
 ボアヌビエヌ 満面。(文) 満面。——春風——満面の春
 風、福福しい顔をいふ。
 ボアヌビエン 満兵。満洲兵。
 ボアヌボアヌ 満滿。【滿】の○。
 ボアヌボアヌ 慢慢。【慢】。
 ボアヌボア 満盤。(商取引の場合買手の附値など) 最
 高値段。極點の値段。出——尙且不賣——最高
 値段を出しても尙ほ賣らない。
 ボアヌボエ 晩輩。(文) 後進。後學。後輩。
 ボアヌリエヌ 晩年。(文) 晩年。

ボアノリエ又輓聯。(文) 甲の聯。
ボアノア又滿滿。【滿滿】。
ボアノア又樓樓。【樓樓】。

ボエ

ボエ徴。●こそごと。窃に。人目を忍ぶ。人目を掠める。一入房間に部屋に忍込む。一部分を切取る。削取る。殺取る。肉一一塊肉を殺取る。●窃に掠取る。時錶仔被去時計を掠取られた。一粒眞珠眞珠を一粒盗む。

ボエ買。●姓買。●買ふ。●賣算分、相請無論賣買は分までも勘定するが贈答は別問題だ。一厝一厝邊の家を買ふときは近隣も買はねばならぬ、近隣との親善が大切な意。貪賒貴一慾張って掛で買ふと却って高くなる。【買】。

ボエ尾。(海)【尾】。
ボエ要。(海)【要】。
ボエ四。四。鳥一鳥の四。賊一賊の四。客一客の四。【四】。
ボエ媚。女の機嫌を取る。媚びる。與伊在一彼にモーションをかけてゐる。
ボエ。ホテルや西洋人の給仕人。ボーイ。做一一同

上をする。(ボーイの轉訛なるべし)。

ボエ梅。(海)【梅】。

ボエ媒。(海)【媒】の①。

ボエ賣。●賣る。買一趁熟似一商賣は懇意な者から儲ける、知合の者は値切らぬゆゑ多附込んで高く賣る。一皮當骨皮を賣り骨を質に入れる、苦心して金を拵へる意。一妻一子一妻や子を賣る。俾伊一去你都不知影一あなたは賣られてゐるのも知らない、騙されてゐても知らない。●評判を悪くする。一名聲一同上。一您祖公的名聲一お前の祖先の名聲を悪くする。●新聞などに載せる。一新聞一同上。一藏得雜誌一雜誌に載せて置く。【賣】。

ボエ没。●出来ない。爲し得ない。能はぬ。下手。能也一出来るか出来ないか。一修理一修理が出来ない。一行路一歩けない。一講話一話が出来ない。伊較能、我較

一彼は上手だが僕は下手だ。●(斷定的の否定)……する様な事はない。穩當一死一吃度死ぬ様な事はない。一落價一値段が下りはしない。腹肚一飢一腹が空きはしない。●(形容詞の動詞形の否定)……くならない。病一好一病気が好くならない。洗亦一白一洗つても白くならない。藏

久亦一歹一永く仕舞って置いても悪くならない。【能】に對す。【没】。

ボエ末。(海)【末】。

ボエ襪。(海)【襪】。

ボエアア尾仔。(海)【尾仔】。

ボエアア尾後。(海)【尾後】。

ボエアム要暗。(海)【要暗】。

ボエアン襪。(海)【襪】。

ボエイア蝴蝶。(海)【蝴蝶】。

ボエイエンテ没用得。いけない。駄目だ。如此

ボエイコオ賣搗鼓。振鼓を振る小間物行商。

ボエウヌ尾連。(海)【尾連】。

ボエヲアヌ賣完。賣つてしまふ。賣切れる。

ボエヲアヌヘエ買緩貨。前金を入置などして必要な場合に品物を受取ること。

ボエヲエ没能。出来ない。能はず。能くしない。讀

一讀むことが出来ない。

ボエカウ没到。●着かない。到着しない。……し

きらない。學一習一習ひきらない。做一爲き

らない。辨一取扱きらない。

ボエカウ尾口。(海)【尾口】。

ボエカウテ没克得。我慢しきれない。堪らない。

ボエ

ボエ

ボエ

ボエ

堪へられない。――根同上。――苦しい。苦しい。堪らない。

ボエカムテ、没堪得。堪ない。堪兼ねる。……仕きれない。――用用いたへぬ。――艱苦

苦痛に堪ない。胃弱。――食飯。胃が弱いから飯は食ひきれない。

ボエキアチツ、没行得。――歩けない。歩かれない。

――いけない。爲れない。行へない。承知ができない。満足ができない。干乾五元銀我。――

たった五圓では承知ができない。「空米相場」

ボエカンボエカン、買空賣空。米穀などの空取引。

ボエキア、尾子。(兼)【尾子】。

ボエキイ、没起。【能起】の反対。同條を見よ。

ボエキイ、没去。【能去】の反対。同條を見よ。「賣。

ボエキイアアピエン、賣枝仔冰。アイスキャンデー

ボエキイシアウ、買期賬。掛勘定で買ふ。掛買。

ボエキイチツ、没記得。忘れる。物忘。失念。覚え

てゐない。忘却。

ボエキイテエ、没記得。前に同じ。「よ。

ボエキイライ、没起來。【能起來】の反対。同條を見

ボエキエツ、尾結。(兼)【尾結】。

ボエキエヌシアウ、没見笑。恥かしくない。恥ぢな

い。恥を知らない。厚顔しい。

ボエ

ボエキエン、尾景。(兼)【尾景】。

ボエクイ、買貴。高買。

ボエクイ、賣貴。高賣。

ボエクウ、尾句。(兼)【尾句】。

ボエクウチア、ボエビ、賣龜即買龜。龜を賣ってそれから龜を買ふ、先に計畫してそれから着手せよなど。

ボエケエ、買價。買價。買價。

ボエケエ、賣價。賣價。賣價。

ボエケエ、賣過。賣渡す。――彼頭。――先方に賣渡す。

ボエケエ、買客。買手。顧客。

ボエケエ、賣客。反物など家に持來りて賣る人。

ボエケエ、尾牙。(兼)【尾牙】。

ボエコエチツ、没怪得。怪しむに足らぬ。當前。もつとも。――伊怒氣。彼が怒るのは當前だ。如

此。――それは當然だ。――伊不來。彼が來ないのはもつともだ。

ボエコオチツ、没顧得。顧ることが出来ない。守られない。自己都。――到要顧別人。自分でき

へも顧ることが出来ないのに他人を顧ることが出来るものか。能顧得東岳。――城隍。東岳

の神に事へれば城隍の神に事へることは出来ない、彼方立つれば此方が立たぬ。――堪らない。痛

ボエ

到。――痛くて堪らない。歡喜到。――嬉しくて堪らない。

ボエコヲテエ、没靠得。當にならぬ。靠にならぬ。

ボエコク、賣國。賣國。

ボエコンチツ、没講得。話することが出来ない。話されない。申されん。言はれない。此條事情

――この事は言はれない。――美。申様もない綺麗だ。――人の言ふことを聞かない。被入

――同上。此個困仔。――この子供は言ふことを聞かない。

ボエサア、イイチエンシム、買三文燈心。――交關一坎店。――三文の燈心を買って一軒の店

の取引だといふ、體裁ふるをいふ。

ボエサイテエ、没使得。いけない。ならぬ。如此

――それはいけない。――食。食べてはいけない。――共別人講。人に話してはいけ

い。――返來。歸つて來ることはならぬ。

ボエサウ、尾梢。(兼)【尾梢】。

ボエサイ、尾指。(兼)【尾指】。

ボエサイエエ、賣菜的。野菜賣。八百屋。

ボエシアウ、没消。消化しない。こなれない。飽脹

――腹が張って消化しない。――癒えぬ。――腹が癒えぬ。恨。恨が癒えぬ。――食。――

ボエ

ボエツツ 賣出。賣込む。賣出す。
 ボエツツ 没出。【能出】の反対、同條を見よ。
 ボエツツ 買斷。買切にする。買切る。
 ボエツツ 賣斷。賣切にする。賣切る。
 ボエテテ 買茶。①茶を買ふ。②謝禮として金を與へる。五元銀給你——謝禮として五圓差上げ
 ボエテテ 買茶錢。謝禮として與へる金。「る。
 ボエトア 機帶。①機帶。②機帶。
 ボエトオ 要吐。①要吐。②要吐。
 ボエトオチエン 賣渡證。①賣渡證。
 ボエトヲ 没倒。【能倒】の反対、同條を見よ。
 ボエバアチイ 賣肉錢。①肉を賣つた錢。②無賴漢などが人に代つて身體を毆打されることに依つて得る金。③「兒童」などが自分の身體を傷けて衆人に見せて得る金。④賣淫の金。
 ボエバアビヌ 沒麻面。恥知らず。厚顔。
 ボエバツチエン 未會曾未。①未會曾未。
 ボエバツ 未會未。①未會未。
 ボエバアキウ 尾巴頭。①尾巴頭。
 ボエパツジヌ 賣捌人。①賣捌人。
 ボエパツソオ 賣捌所。①賣捌所。
 ボエパヌ 買辦。外國商館の商品仕入方を擔當する番頭の如きもの。買辦。——的同上。

ボエ

ボエパン 尾帮。①尾帮。
 ボエヒアウ 沒曉。【能曉】の反対、同條を見よ。
 ボエヒアウソエ 沒曉衰。①婦人の罵詞 恥を知らない。恥しくないか。阿呆らしい。「見よ。
 ボエヒアウタン 沒曉可。【能曉可】の反対、同條を見よ。
 ボエヒアウタンソエ 沒曉可衰。①沒曉衰。
 ボエヒアウチツ 沒曉得。【能曉得】の反対、同條を見よ。
 ボエヒアイン 沒曉可。【沒曉可】。
 ボエヒエヌチイ 買現錢。現金で買ふ。
 ボエビヌ 尾面。①尾面。
 ボエビエヌチツ 沒免得。①免れることが出来ない。免難い。②當然。當前。——伊怒氣彼の怒るのは當然だ。
 ボエマウツイ 買浮水。將來一定の時期に於て受渡す條件にて商品を買ふ。先物を買ふ。
 ボエベエツクツ 賣皮當骨。皮を賣り骨を質に入れる。何んな無理算段でもする意。——亦着還同上してでも返済する。
 ボエホエ 梅花。①梅花。
 ボエホエホオ 尾火虎。①尾火虎。
 ボエボエ 微微。①微微。
 ボエボエ 買買。①買買。

ボエ

ボエボエ 尾尾。①尾尾。
 ボエボエ 買賣。賣買。——算分賣買は分厘をも勘定する。——騙熟似賣買は識合をも
 ボエボエ 媚媚。①媚媚。「騙す。
 ボエボエ 糜糜。①糜糜。
 ボエボエ 賣賣。①賣賣。
 ボエボエアア 要要啊。①要要啊。
 ボエボオ 機布。①機布。
 ボエミア 尾名。①尾名。
 ボエミア 賣命。命を賣る。命がなくなる。傷好就
 能——夫婦など餘り仲が好すぎると命がなくな
 ボエライ 沒來。【能來】の反対、同條を見よ。「る。
 ボエラウ 尾流。①尾流。
 ボエリアウ 沒了。【能了】の反対、同條を見よ。
 ボエリアウボエチヌ 沒了沒盡。盡きない。盡せない。話講——話が話しきれない。
 ボエリイ 沒離。【能離】の反対、同條を見よ。
 ボエリウ 尾溜。①尾溜。
 ボエロエ 微微。①微微。
 ボエロエ 買買。①買買。
 ボエロエ 媚媚。①媚媚。
 ボエロエ 賣賣。①賣賣。
 ボエロオサイ 買奴才。奴僕を買ふ。提錢——來

ボオ

ボオソア 妻山。好ー好い女房。

ボオソア 墓紙。墓參の時に墓の上に置く紙。献ー

ボオソア 墓紙。墓參の時に墓の上に置く紙。献ー

同上を獻げる。

ボオタクウ 妻頭舅。妻の兄弟、小舅。【妻舅】。

ボオタクウ 妻頭親。妻の方の親類。外戚。

ボオタヌ 牡丹。(植) (毛茛科) 牡丹。ー花同上。

ボオタヌ 牡丹紅。(植) (山茶科) つばきの一品種。

ボオチイ 戊子。(干支) 戊子。

ボオチイ 墓誌銘。墓の碑文。墓誌銘。

ボオモウ 墓手。【墓手】。

ボオチヲ 墓集。(國) 募集。

ボオチヲ 墓埒。墓前の平場。

ボオツヌ 暮春。(文) 暮春。晩春。三月の異名。

ボオツイ 墓堆。【墓堆】。

ボオトエ 墓地。墓場。

ボオトヲ 墓臬。墓碑の前に据えてある石。

ボオハイ 謀害。(文) 殺害を謀る。

ボオハイ 墓碑。墓碑。石塔。石塔。塔婆。卒塔婆。

ー字 墓の碑文。

ボオヒエツ 墓穴。墓穴。

ボオビエン 墓名。(文) 名を慕ふ。ー食苦瓜 虚名

を慕って苦瓜を食ふ、自分は粥を啜ってゐて客に

ボオ

は御馳走するなど。

ボオビイ 墓碑。墓碑。石碑。

ボオビエン 募兵。兵を募る。兵を募集する。

ボオビス 募賓。(文) 募賓。

ボオフウ 幕府。(國) 幕府。

ボオブヌ 妻本。妻を娶る費用。也未有ー未だ同

ボオベエ 摸脈。(息) 摸脈。

ボオホア 謀反。謀叛。叛逆。

ボオホア 模範。(國) 模範。

ボオボア 摸磨。(息) 摸磨。

ボオボオ 摸摸。【摸】。

ボオボオ 某某。(某) ー仁兄 ー某兄。

ボオボオ 謀謀。【謀】の②。

ボオボオ 募募。【募】。

ボオマイ 摸嘆。(息) 夜更。深夜。稽頭作到ー

仕事を夜更までする。

ボオマイ 某麼。路などを尋ねる時に未知の人に呼掛

ける語。ー兄 ー某さん。

ボオマイ ラン 某麼人。(某) 誰。

ボオムン 墓門。墓の門。墓の入口。

ボオメエ 母脈。【脱脈】。

ボオモア 墓庄。墓の左右及び後方を包む馬蹄形の土

ボオラン 某人。(某) 某。

ボラ

ボオリイ 謀利。利を謀る。營利。

ボオリエヌ 暮年。(文) 晩年。老年。

ボオリエヌ 墓聯。墓の聯文。

ボオリオク 謀略。(文) 謀略。計略。計畫。

ボオロオ 摸摸。【摸摸】。

ボオロオ 妻奴。女房孝行な者を冷笑していふ語。女

ボオロオ 謀謀。【謀謀】。

ボオロオ 募募。【募募】。

ボラ

ボラ 母。(漢) 【母】。

ボラ 無。(性) 無。無。所持しない。有ー有る

か無いか。持っているか持っていないか。備ー

少しも無い。有紙一筆 紙は有る筆が無い。ー錢

金が無い。③(存在) 居ない。居らぬ。ー人在

彼 彼處に人が居ない。我真久 在内地 僕

は久しく内地に居らぬ。④(過去) 去 往かなか

った。ー買 買はなかつた。ー眠 寝なかつた。⑤

(状態の否定) 滾水 湯が熱くない。ー心適

面白くない。電火 光 電燈が明くない。⑥

(動詞に附して否定を示す) 打 門 門を叩いても

開かない。討 錢 金を催促しても貰へない。唱

聲 歌はうとしても聲が出ない。尋 人 尋ね

ても見當らない。趁一食一稼いでも食へない。看
 一明見てもはつきりしない。煮一爛煮ても軟
 くなならない。●出がない。長持しない。此種雜
 的米較一食一今度買った米は食出がない。此塊
 雪文較一洗この石鹸は使出がない。榕乳鞋
 較一穿一護謨靴は長持しない。紙雨傘較一摺
 傘は長持しない。●人が否定し又は同意しない
 時などにいふ語。それでは。それぢやあ。それな
 ら。そんなら。それならば。一、你勿去一それで
 は君行くのを止めたまへ。一、如此喇一それぢ
 やあ斯うしよう。一、你不可來一でなければ君來
 るな。●制止の時など人に呼掛ける語。こら。お
 い。一、吉仔你在創甚一こら。吉何をしてゐ
 るか。一、定仔你不緊去一おい、定(人の名)
 なせ早く往かないか。
 ボヲ 帽。帽子。帽。愛戴高一高い帽子を被りたが
 る、高ぶりがたる。
 ボヲ 磨。一碾白。石一同上。牛一牛に挽かせる碾
 白。挨一碾白を引廻す。●碾白で碾く。一豆
 粉一豆の粉を碾く。
 ボヲ 莫。(一)莫。莫。莫れ。するな。やるな。一應一
 同上。教伊一構ふな。一得較好一やらない
 ボヲ アア 帽仔。帽子。帽。シャッポ。「方が増だ。

ボヲ アア 磨仔。碾白。唐白。一、手一碾白の手。
 ボヲ アア 帽匣。帽子を入れる箱。
 ボヲ アア ケエ 帽仔架。帽子掛。
 ボヲ アア コア 帽仔指。子供などの帽子の紐。
 ボヲ アア ヨオ 帽仔縮。【帽縮】。
 ボヲ アア シム 磨仔心。石臼の心。
 ボヲ アア スヌ 帽仔紋。帽仔の鏢。
 ボヲ アア ツヌ 磨仔磨。●石臼。碾白。●(植) (錦葵
 科) しまいちび。
 ボヲ アア ツヌ 帽仔磨。帽子の目庇。
 ボヲ アア ツヌ サウ 磨仔磨草。【磨仔磨】の草。
 ボヲ アア トア 帽仔帶。子供などの帽子の紐。
 ボヲ アイ ボヲ マイ 無曖無昧。(一) 曖昧でない。公
 明正大。
 ボヲ アウ ジアウ 無後爪。●鳥獸など足の後方の爪が
 無い。●遺放で締括が無い。做事一、一事を
 するに同上。

ボヲ イア チア 無影跡。跡方もない。無根。影も形も
 ない。談唐一、宋一唐朝の虚言に宋朝の法眼、
 影も影も無い空言。
 ボヲ イア ボヲ イア 無影無影。目に見えない。一、
 一、着了二擔竹一目に見えぬ二擔の竹が要つ
 た、目には見えないが案外に費用などが餘計に
 掛つた。
 ボヲ イア ボヲ チア 無影無跡。【無影跡】。
 ボヲ イア ウキヌ 無要緊。構はない。仔細ない。苦
 しうない。大事無い。差支無い。
 ボヲ イア ウボヲ キヌ 無要無緊。物事を氣に掛けず
 平氣なこと。無頓着。放一、一、無頓着に放
 つて置く。
 ボヲ イイ 無醫。醫療の方法が無い。不治。過症一、
 一、病氣が手後して同上。
 ボヲ イイ 無意。興がなくなる。失興。白ける。一
 一、一、同上。
 ボヲ イイ ヲア 無依倚。生活していく上に便るべき
 人が無い。寄頼る人が無い。
 ボヲ イイ カヌ 無意問。【無意問】。
 ボヲ イイ シエク 無意識。(一) 無意識。
 ボヲ イイ シヌ 無意神。氣拙い思。不興。不愉快。
 害伊一、一、彼に氣拙い思をさせる。

ボヲ

ボヲ

ボヲ

ボラ

ボラ イイチオン無意中。【無意中】。

ボラ イイホアツ無伊法。手に負へない。手に餘る。方法が無い。擔——擔ぎきれない。掠——捕へられない。

ボラ イイボラ イイ無意無意。【無意】。
ボラ イイボラ スウ無意無思。無意義。無意味。
ボラ イエヌトア無煙炭。(同)無煙炭。

ボラ イエン無閑。忙しい。暇がない。繁忙。繁多。多忙。繁劇。——頭頭——目の廻る程忙しい。
ボラ イエン莫應。勿れ。……するな。——去——往くな。——講——話すな。 「しない。」

ボラ イツチエン無一定。はっきりと極らない。一定
ボラ イヌチイトア無因致端。何の譯合も無く。理由無く。——去與伊冤家——何の理由無く往って彼と喧嘩する。

ボラ イヌトア無因端。前に同じ。
ボラ イヌボラトア無因無端。前に同じ。

ボラ イムシヌ無音信。消息が無い。音沙汰なし。無
ボラ イムボラシヌ無音無信。前に同じ。 「沙汰
ボラ ヲア無若。【無若】。

ボラ ヲアヌボラシウ無冤無仇。——没成父子——因果で父子の關係が出来た、不和の親子の間をいふ。

ボラ

ボラ ヲエ無話。話が無い。——講傀儡——話が無い。番人の話をする。色色根も無い事をいふ意。——講松柏椽——話が無くして松椽の事をいふ。同上。

ボラ カアボラ シイ無教無示。賑が無い。
ボラ カアリエンボラ ゴウニイ無鷓鴣無草蚌。【鷓鴣】も無ければ【草蚌】も無い、不得要領の意。
ボラ カウ磨鈎。礪白の柄。
ボラ カヌ莫幹。【莫應】。

ボラ カムボラ サム無坎無站。筋道が立つてゐない。秩序が無い。不規律。打人——無茶苦茶に人を打つ。

ボラ カンボラ スヌ無孔無樺。孔も無ければ柄も無い、取留の無いこと。講——的話——取留の無い話をする。

ボラ ガウクヌ無賢滾。(同)【無滾笑】。
ボラ ガウクヌ無賢滾。(同)【無滾笑】。
ボラ キアモエ無子債。甚だ高い利息。暴利。高利。
ボラ キアライ無子利。前に同じ。

ボラ キイ無去。往かなかつた。
ボラ キイ無去。●無なる。●死ぬ。死去。
ボラ キイザイ無齒菜。齒無し食物、豆腐など。
ボラ キイホオ無齒虎。經費や物の値段が一定しない。

ボラ

ボラ キウ無救。助からない。望が無い。救ふべき方
ボラ キウ帽球。帽子の頂上に附いてる球。
ボラ キウチエヌツヌ無救天尊。【無救】。
ボラ キエン磨間。白礪小屋。

ボラ キホク無局。詰ない。淋しい。淋しい。退屈。味氣無。徒然。徒然。無聊。所在ない。佗しい。辛氣。曲も無い。興味が無い。

ボラ キヲ莫却。【莫講却】。
ボラ キヌ母根。(同)【母根】。
ボラ キム母始。(同)【母始】。

ボラ キアアラン無業人。財産のない人。
ボラ ギイ無疑。思掛ない。思掛なく。不意に。圖らず。——伊要來——彼が來るとは思掛なかつた。打人——不意打をする。人の虚に附入る。

ボラ ギイゴオ無疑誤。前に同じ。
ボラ ギイニウ無藝量。徒然。無聊。佗しい。退屈。遊種がない。所在無い。徒然。淋しい。

ボラ ギイボラゴオ無疑無誤。【無疑誤】。
ボラ ギエヌボラグウ無言無語。一言も言はない。
ボラ ギヌ母銀。(同)【母銀】。

ボラ クイボエシイラン無鬼没死人。鬼が無ければ

ボヲ

ボヲ シイ 無時。……する時が無い。――定(チツト)し

てゐる時が無い。間断なく動いてゐる。――閑

閑な時が無い。――停(トム)休む時が無い。

ボヲ シイ ボヲ ツヌ 無時無候。時刻を一定せず。時

間を構はず。――要(タラ)来(キ)時刻を構はずにやっ

て来る。「が茂る。」

ボオ シエン 茂盛。茂る。繁茂する。草木――草木

ボヲ シオン カヌ 無相干。差支ない。構はぬ。大事

ない。――的(タケ)事情(シヨウ)差支(サシカ)のない事。

ボヲ シヨ 無俗。淋しい。

ボヲ シヨ タン 無相同。異ふ。同でない。異なる。

ボヲ シヨ ボヲ シヨ 無俗無俗。淋しい。淋しい。

淋しい。寂寞。荒れる。山内――山の中

は淋しい。【俗】。(案外)あつけない。くだらな

い。つまらない。わけもない。手こたへがない。

何でもない。氣乗がしない。看了――見

たがつまらない。食了――食たがあつ

ない。【無兩無想】。

ボヲ シヨ ボヲ リヲ 無俗無略。前に同じ。

ボヲ シヨ リヲ 無惜略。品物など粗末にする。惜氣

もなくする。ぞんざいにする。物件若――就

快夕(クワイ)品物を粗末にすると早く毀れる。

ボヲ シヌ 無神。恍惚する。ぼんやりする。臍拔の様

ボヲ

になる。喪心。氣抜。

ボヲ シヌ ザイ 無神彩。精神が朦朧とする。恍惚す

る。ぼんやりする。臍拔の様になる。暝時無眠

就――夜寐ないと精神が朦朧とする。

ボヲ シヌ ボヲ ザイ 無神無彩。前に同じ。

ボヲ シム 磨心。礪白の心棒。石白の心。

ボヲ シム コア 無心肝。忘っぽい。物覺が悪い。老

大人較――老人は物覺が悪い。

ボヲ シム チア 無心成。氣がない。物事をする氣に

なれない。――要(タラ)做(ス)生理(シヨウ)商賣(ショウバイ)をする氣に

ボヲ シム ミイ 無甚麼。【無甚】。「なれない。」

ボヲ ジイ 無字。文字がない。――無墨(ムシク)證文(シヨウモン)がな

い。理窟に合はない。詰らない。出鱈目。講到

――的(タケ)話(ワタ)詰らない話をする。想到――考へ

ても方法が無い。

ボヲ ジイ 無二。よく似た様。そっくり。まるうつし。

一般――同上。宛然――同上。與德老父

――彼の父と生寫た。

ボヲ ジイ ヲエ 無字話。理窟に合はぬ詰らぬ話。出鱈

ボヲ ジイ キエク 無字曲。出鱈目の歌。唱――同

上を唱ふ。

ボヲ ジイ ゴオ 無爾我。汝と我と隔が無い。與你

――同上。我と汝の間には關係が無い。

ボヲ

ボヲ ジイ ゼエヌ スウ 無字大書。神より與へられ

た白紙の本にて此を崇拜すれば應答が自由に出來

るといふ。――學者を裝ふ無學の士をいふ。

ボヲ ジイ バク 無字墨。次に同じ。

ボヲ ジイ ボヲ バク 無字無墨。證據となるべき書附

が無い。書記したものがない。

ボヲ ジツ 無日。好い日が無い。吉日が無い。此月

日――今月中に吉日が無い。――太陽が照つてゐ

ない。早起時較――朝の内は割合に日が照つ

てゐない。日が無い。時機が無い。――可去

往く日が無い。

ボヲ ジツ チイ 無日子。【無日】の(一)。

ボヲ スウ 無事。事が無い。事件が無い。無事。――

惹禍(セツカ)事が無いのに禍を惹起す。――天下瀾

有(ア)事(コト)天下(テンカ)狹(セ)事(コト)無(ム)ければ天下(テンカ)瀾(ラン)

下(カ)狹(セ)し。――討(ト)事(コト)無(ム)のに好んで事(コト)を惹

起(オ)す。――請(チ)祖(ソ)師(シ)公(コウ)事(コト)無(ム)のに御(オ)祖(ソ)師(シ)様(ヤマ)

迎(ムカ)へる。同上の意。――不入(フ)入(ニ)三(サン)寶(ホウ)殿(テン)事(コト)無(ム)

ければ三寶(サンボウ)の家(イヘ)に入(イ)らず、事(コト)無(ム)いと寺(テ)參(サン)をし

ない。

ボヲ スウ イア 無輸贏。勝負無し。

ボヲ スウ クイ 無兩鬼。無縁佛。

ボヲ スウ サイ 無事使。役に立たぬ。用に立たぬ。此

個人——この人は役に立たぬ。

ボク スウシアン 無輸雙。勝負無し。相子。

ボク スウタヌ 無廟亭。(息)次に同じ。

ボク スウチエン 無廟亭。無縁の佛を祭る宮。無縁佛を合祀する小祠。

ボク スウボオ 無廟墓。無縁塚。

ボク スウボロ コオ 無事無故。故なく。理由なく。

——去彼要創甚何の理由も無しに彼處へ往つて何をするのか。

ボク セエ 莫説。【莫講却】。

ボク セエ コン 莫説講。【莫講却】。

ボク ソア 無息。絶えず。間断なく。雨落——雨が絶えず降る。講——間断なく話す。

ボク ソアチエヌ 無線電。(國)無線電信。

ボク ソアボロ 無砂無稗。①砂も無ければ稗も無い。②圓滿な性格。温良な性格。人が善い。

ボク ソエジ 無細膩。①不注意。氣を附けない。油斷。迂闊。②遠慮しない。【所が無い】。

ボク ソオクイ 無所歸。歸する所が無い。持つて往く

ボク ソオヨヲ 無所靠。頼る所が無い。後立が無い。

ボク ソオパイ 無數次。【無賬次】。

ボク ソア 無若。餘り……で無い。——多——幾何もない。——早——餘り早くはない。

ボク ゴアク 無若久。間も無く。今に。程無く。臆て。近近。久しからずして。

ボク ゴアエ 無若多。餘多くは無い。幾何も無い。

ボク ゴア 無差。變ない。相違ない。違ない。

ボク ゴアボロ 無模無刺。①逆刺も刺もない。②人付がよい。角が取れてゐる。好人物。

ボク ゴエ 磨磨。水に浸した米を水と共に碾臼にて碾き之を袋に入れて水を絞つた粉。

ボク ゴラ 無錯。相違ない。違ない。其通。尤も。如何様。成程。

ボク ワンチエク 無踪跡。跡形が無い。踪跡が無い。

ボク ワンボロ 無踪跡。前に同じ。【瞻——尋——搜しても行方が分らぬ】。

ボク タア 無膽。度胸が無い。臆病。氣が弱い。小

ボク タアチエヌ 無奈何。仕方ない。餘儀ない。是非

ない。證術ない。證方ない。己むを得ず。——在弄米糶——證術無くして糶籠に當り散らす。入つ當。

ボク タアキヌ 無打緊。親みが有つて親切な。親切に

人の世話をしてこたはりが無い。

ボク タアチツア 無奈得何。【無奈何】。

ボク タアボロ 無算。少しも打算しない。少しも考が無い。のんびんだらり。

ボク タアボロ 無搭無接。依頼する所がない。たよる所がない。寄方がない。

ボク タイヲ 無奈何。【無奈何】。

ボク タイチツア 無奈何。前に同じ。

ボク タイボラ 無事無情。何の事も無い。何等の事故も無い。——濫慘叫人去——何事も無いのに矢鱈と人を呼出す。

ボク タウ 帽罩。帽子の被。

ボク タウキヲ 無頭轎。引廻しのとくに罪人を乗せる屋根のない轎。

ボク タウクイ 無頭鬼。首を斬られた人の死靈。

ボク タウコンア 無頭公案。加害者の不明な刑事事件。手掛りのない傷害事件。

ボク タウシヌ 無頭神。物覺が悪い。記憶力が無い。健忘症。

ボク タウチヌ 無頭藤。【豆虎】の③。

ボク タウツヌ 無頭船。船先のない船。使——同上を駛らす。危険をおかして事をなす。冒險。

ボク タウトオヒウ 無頭土香。【白香附】。

ボク タウヒウ 無頭香。【白香附】。

ボク タウボロ 無頭無尾。始めも終もない。秩序がない。做事情——事をすることに秩序

ボク タン 無處。【處】を見よ。【がない】。

ボラ

ボラタン 無同。違ふ。不同。

ボラキン 無可。【可】を見よ。

ボラチイ 無錢。●錢がない。無錢。——講無話 無話無ければ話も無し、凡て金の世の中。●錢のかわらぬこと。ただ。ろは。食——ただで食ふ。看——ただで見る。食——米、做——工課 錢の

かからない米を食つてゐるはの仕事を、人に寄食してゐる者など。

ボラチイ 帽墻。帽子のつば。

ボラチイ 帽匠。帽子製造職。

ボラチイ アアアア アアアア 無鬚仔 老大。鬚の無い老人、老人の事に干渉する青年を云ふ。

ボラチイ スン 無上算。勘定に入れない。取るに足らない。詰らない。無用な。駄目な。——的

人 取るに足らない者。 「い。

ボラチイ エン 無情。薄情。不人情。素氣ない。つれな

ボラチイ エン タウ アアアア 無指頭仔利。(港) 無指頭仔利。

ボラチイ エン ボラリイ 無情無理。不條理。不法。無

ボラチイ オン 帽草。(圓) 帽草。

ボラチイ エア アア 無一下仔。間も無く。——

就能來 間も無く来る。

ボラチイ エン 無一症。何事も出来ない。臍甲斐

ボラ

なり。何一つ取得がない。

ボラチイ 無真。明白でない。判明しない。聴——聴いても判明しない。講——話が明白でない。

ボラチイ エヌ 母親。(港) 母。母親。 「獨。

ボラチイ エヌ ボラチイ エヌ 無親無戚。身寄が無い。孤

ボラチイ エヌ 無定。次に同じ。

ボラチイ エヌ 無定着。●極らない。定らない。不

定。心肝——心が定らない。●事に依ると。……かも知れぬ。——要去 事に依ると

往く。無來 亦——来ないかも知れぬ。

ボラチイ エヌ 無定無着。さっぱり定らない。一向極らない。皆目一定しない。

ボラチイ エヌ タイ 無値事。關した事でない。知った事でない。與你——汝の關した事でない。

ボラチイ エヌ タイ 無底止。止處が無い。限がない。際限がない。

ボラチイ エヌ テ 無在得。居ない。不在。留守。

ボラチイ エヌ タン 無脚無端。藪から棒に。出拔

に。唐突。不意に。

ボラチイ エヌ トエ 無天無地。不徳義千萬な。少し

も良心の無い。不道理千萬な。

ボラチイ エヌ リイ 無天理。●不徳義千萬な。非道な。

●極く。非常に。——熱 酷暑。炎暑。極暑。

ボラ

——大 圖抜けて大い。

ボラチイ エヌ 無張持。●氣を附けない。不用心。無用心。油斷する。不用意。●圖らず。不意に。

つい。浮と。——損破的 不是 特意 故的 つい 毀したので態としたのではない。

ボラチイ エヌ ボラチイ 無張無持。前に同じ。

ボラチイ エヌ カク 無的確。必ずしもさうでない。あ

ながち。——伊要來 必ずしも彼が來るとは限らない。伊要承諾 亦——彼が承諾する

かも知れない。

ボラチイ エヌ エヌ 無得定。子供などちとしてゐない。大人しくない。

ボラチイ エヌ ボラチイ 無得無定。前に同じ。

ボラチイ エヌ ボラチイ リオン 無天無良。次に同じ。

ボラチイ エヌ リオン 無天良。胸然非道な。苛酷で少しも良心の無い。

ボラチイ エヌ オク 無着。●責任觀念の無い。無責任な。當

にならない。——的人 同上の人。●大人や

身分ある者などが子供又は身分の低い者をする様

な詰らないことをする。大人 尙 困仔 眞——

大人が子供を相手にして實に詰らないことをする。大人 尙 困仔 眞——

大人 尙 困仔 眞—— 紳士的人 與 鱷 鱷 人 交 陪 眞

—— 紳士が無頼漢と交るなんて實に詰らない。

ボラ

ない。容貌がよくない。

ボラ<ピ>無比。無比。無類。並無い。無雙。極勇。

―無類飛切に強い。

ボラ<ビ>イチア無平正。片手落。不公平。―

依怙負。依怙。偏頗。

ボラ<ビ>イパン無鼻縫。心當がない。端緒がない。

ボラ<ビ>エヌトン無變通。變通がきかぬ。機轉がきかぬ。融通がきかぬ。

ボラ<ビ>エヌボオ無變歩。同上。

ボラ<ビ>エヌリエヌ無變捺。駄目。つまらない。

ボラ<フ>ウヲアヌ無赴喘。息切。息が切れる。

ボラ<フ>ヌ磨粉。粉を碾く。

ボラ<フ>ヌボラ<イ>ア無痕無影。跡方もない。影も形も無い。

ボラ<フ>ヌボラ<ヘ>エ無分無會。―就共你打

譯も言はずに出抜に殴った。

ボラ<ブ>ウキア無母子。母の無い子。繼子。母

子の縁を切る。與你―お前と同上。

ボラ<ヘ>エボラ<ロ>ヲ無下無落。次に同じ。

ボラ<ヘ>エロヲ無下落。要領を得ない。不得要領。境があかない。事情到今向―事

が今に

なつてまだ要領を得ない。做事情―仕事

が不得要領。責任觀念のない。無責任。遺放

し。當にならない。―的人遺放しの人。

ボラ

物件寄去―品物を送つても届いたか届かぬか當にならない。

ボラ<ベ>エ無尾。行詰。底が知れない。懸到―

底抜の馬鹿。狂到―大狂氣。

ボラ<ベ>エ無要。爲ようと思はない。…する氣

がない。…爲ようと思はない。…去往かうと思はない。―給伊彼に遣る氣がない。

ボラ<ベ>エカン無尾港。行詰つて通じない川。

ボラ<ベ>エモエ無尾坐。尋―搜しても見當らない。越―追掛けたが見當らない。行方不明。

ボラ<ベ>エハン無尾巷。行詰の路地。袋路地。

ボラ<ベ>エ無胚。無派胚。

ボラ<ベ>エキア無父子。父の無い子。繼子。父

子の縁を切る。與你―お前と同上。

ボラ<ベ>エボラ<ブ>ウエエ無父無母的。孤子。無親子。孤兒。

ボラ<ホ>アツツ無法得。術がない。仕方ない。詮術ない。詮方ない。詮方盡きる。仕様ことない。據處ない。

ボラ<ホ>アツイイ無法伊。手に負へぬ。仕方ない。方法がない。致方がない。詮方ない。―奈何

同上。

ボラ

ボラ<ホ>アツツエ無法得。無法得。

ボラ<ホ>アツレエ無法得。無法得。

ボラ<ホ>ン無妨。妨無。構はない。氣遣ない。差支ない。各日來ホ―毎日來ても構はない。

ボラ<ホ>ンボライ無風無搖。風が少しも無い。―倒大叢樹風が少しも無いのに大きな樹が倒れる。何等原因無くて突然に物の倒れるな

どをいふ。

ボラ<ボ>エハン無尾巷。無尾巷。

ボラ<ボ>オボラ<カ>ウ無妻無猴。獨身者。擔保にすべき何ものもなく取引を安心してやれない人を

ボラ<ボ>ラ磨磨。磨の。

ボラ<ボ>ア無半。一文一文も無い。一人一人も居ない。―張一枚も無い。

ボラ<ボ>ア無盤。引合はぬ。損がゆく。算了―勘定しても引合はぬ。銀水若起走水的就―銀の相場が上れば密輸入業者は引合はぬ。

ボラ<ボ>ア磨破。碾割る。

ボラ<ボ>アカウ無盤口。無盤。

ボラ<ボ>アシイ無半絲。少しも無い。ちよつとも無い。

ボラ<ボ>アジイ無半字。無學。目に一丁字もない。

ボラ<ボ>アスツ無半屑。少しも無い。ちよつとも無い。皆無。

泡がぶくぶくいふ。水一出来水がぶくぶくと噴出る。人落水底人かぶくぶくと水に洗む。●花など房房としたさま。花真大一花が房房としてのる。

ボク 穢。(モ) 穢。

ボク 幕。(モ) 幕。

ボク 鄭。(モ) 鄭。

ボク 睦。(モ) 睦。

ボク 牧。(モ) 牧。

ボク 沐。(モ) 沐。●【沐】。

ボク 木。●木。草一草木。一本木木。木の類。一棍一棍棒。●五行の木。金一水。火土一金木水火土。一星一木星。

ボク 目。(モ) 目。一隙然一隙然。掩人耳一人の耳目を被ふ。人目を忍ぶ。一無尊長一眼中に尊長なし。尊長を蔑視する。

ボク 莫。(モ) 莫れ。有路一登舟一登舟路有れば舟に乗るな。旅行者の戒。一貪意外之財一意外の財を貪る莫れ。

ボク アア 木仔。小兒の棺。

ボク イイ 目夷。(モ) 目夷。

ボク イエク 沐浴。(モ) 沐浴。

ボク イエク チエン 沐浴亭。【沐浴亭】。

ボク イホク 沐浴。(モ) 沐浴。

ボク イホク チエン 沐浴亭。竹の骨に紙を貼った亭。死人の靈を祭るに用ひるもの。

ボク イオン 牧養。(モ) 家畜を飼養する。

ボク イオン チア 牧羊者。(モ) 羊飼。

ボク カン 木工。指物師。

ボク キエクトオ 木尅土。木は土を尅す。五行相尅の一。

ボク キヌ 木樅。(モ) 木樅。(錦葵科・庭園樹・生垣用となし又樹皮よりは纖維を得べし)。

ボク ギウ 木牛。(モ) 木牛。一流馬一木牛流馬。

ボク ギエウ 莫逆。(モ) 莫逆。一之友一莫逆の友。

ボク クヌ 木棍。棍棒。棒。

ボク グウ 木魚。(モ) 木魚。

ボク コア 木瓜。(モ) ババヤ。まんじゅくわ。木瓜(番瓜樹科、未熟果は漬物・煮食用に供し又糖藏して木瓜糖を製し婦人の泌乳劑となし、熟果は生食用として賞味さる)。

ボク コア キエン チヲ 木瓜苳蕉。(モ) バナナの一種。料理バナナ。(芭蕉科、果實を煮食用に供す)。

ボク コアイ 莫怪。怪むに足らない。當前。もつとも。一其然一其の然るを怪しむ莫れ。如此一それはもつともだ。

ボク ゴオ 木偶。(モ) 木偶。

ボク サツ サウ 木風草。(モ) 風節草の○。

ボク シアウ 沐精。(モ) 好い加減で無頓着な人。ずばらな人。

ボク シエウ 木石。(モ) 木石。

ボク ジエン ホエ 木生火。木は火を生ず。五行相生の一。

ボク シホク 苜蓿。(モ) 苜蓿。(豆科、綠肥として栽培し又家畜の飼料となす)。

ボク シホク 目俗。(モ) 俗目。

ボク シオン 木儵。(モ) 木儵。木儵。

ボク ジイ 木主。(モ) 木主。【木主】。

ボク ジイピエン 目字旁。漢字の目偏。

ボク ジイピエン 木字旁。漢字の木偏。

ボク スウ 牧師。牧師。

ボク スウイウ 莫須有。如何でもよい。爲ねばならぬ事ではない。一的事一如何でもよい事。●ズウ 莫如。(モ) ……に如く莫し。一道德一道德に如く莫し。

ボク セエ 木屋。(モ) 木屋科。木屋。銀木屋。

ボク ソア 木熊。木の崇神。

ボク チア 牧者。(モ) 牧者。

ボク チイ 木主。(モ) 木主。【木主】。

ボク、モイ木星。木星。

ボク、チエウ木賊。【接骨草】。

ボク、モオン木像。(文)木像。

ボク、チウ牧場。(圖)牧場。

ボク、チエウ目的。(圖)目的。

ボク、ツウ木主。位牌。【神主】。

ボク、ツウ目次。(圖)目次。

ボク、ツヌ木通。忍術の一、木通。

ボク、トア木炭。(圖)木炭。

ボク、トオ木豆。孔子を祭る時用ひる器具の名。

ボク、トン牧童。(文)牧童。牛飼童。

ボク、トン木通。(圖)木通の材を細切して乾したもの。

(解熱劑として煎服す)。

ボク、ニイ木耳。(植)木耳。あらげきくらげ。(菌類木耳科、食用に供す)。

ボク、ニイモウ木耳樹。(植)(樟科)あかはだぐす。

あかはだのき。【九芎舅】。

ボク、ニイビイ木耳耳。木耳耳。

ボク、ハア目下。(圖)目下。

ボク、ハク木斛。(植)黃花石斛。臺灣黃花石斛。(蘭科、莖・葉を水にて煎服し強壯劑となし又齋を散す)。

ボク、ドワウ目標。(圖)目標。

ボク、ビイチイ木籠子。(植)南蠻烏瓜。(葫蘆科、種子水を水にて煎服して解熱劑となし葉は毒蛇咬傷に用ふ)。

ボク、ビツ木筆。(植)葉木蓮。(木蘭科、觀賞用として栽培す)。

ボク、ビツキウ木筆頭。擬寶珠。擬寶珠。

ボク、ビツホエ木筆花。【木筆】。

ボク、フイ莫非。(文)……に非ざるは莫し。——君子君子に非ざるは莫し。

ボク、ブウツヌチオン目無尊長。眼中に尊長なし、尊長を蔑視する。

ボク、ブヌ木門。(植)木門。

ボク、ブウイオン木芙蓉。(植)芙蓉。(錦葵科、觀賞するの外、根を煎服して解熱劑となし或は關節痛を治す)。

ボク、ブヌ木本。●木の類。木本。大紅花是——的花。佛桑花は木の花だ。【草本】に對す。●木の根本。——水源。木の根本水の源、父母祖先等其根本をいふ。

ボク、ホオロオ莫胡盧。(植)莫胡盧。

ボク、ボク沐浴。【沐】の②。

ボク、ボク漢漢。滑——泥など泥泥する。腐——木など非常に腐つてゐる。

ボク、ボク嘆嘆。暗——眞暗。

ボク、ボク漢漢。滑——泥など泥泥する。

ボク、ボク嘆嘆。暗——眞暗。

ボク、ボクシウ沐浴。ぶくぶくと洗みかけてゐる。害我在——私を困難な地位に陥れて苦しめてゐる。

ボク、マア木馬。(圖)木馬。

ボク、ミイモウ木綿樹。(植)木綿。班芝樹。(錦葵科、材は各種の家具となし、樹皮・根は強壯劑其他の藥用に供し、種子の綿毛は填心料として寢具、椅子・枕等に入れ又織物となす)。

ボク、ミイホエ木綿花。前に同じ。

ボク、モアン木麻黃。(植)木麻黃。(木麻黃科、本種は生長速にして潮風に耐ふるを以て並木及び防潮林用に供す)。

ボク、ラヌチイ木蘭池。(圖)(英語 Brandy の轉訛)ブランデー。

ボク、ラヌホエ木蘭花。【樹蘭】。

ボク、リアウ木料。材木。木材。

ボク、リアウコフ木料館。材木屋。

ボク、リアウモウ木料廠。木場。

ボク、リエウ目録。(圖)目録。

ボク、リエウ木蓮。(植)(木蘭科)木蓮。しもくれん。

ボン

ボク、リエヌ子アウキエン 木蓮挑經。劇曲又は山車
ボク、リエヌホエ木蓮花。【木蓮】。「物の名。
ボク、リホク 目録。(圓) 目録。

ボク、レエロオ 木藜蘆。(種) はなひりのき。くさめの
き。(石南科、有毒植物にして葉を粉末となし之
を鼻に入れば嚏を發すといふ)。

ボク、ロク 木羅。【黄目子】。
ボク、ロク 沐浴。(沐浴)。

ボン

ボン 摸。●觸る。撫でる。弄くる。一頭壳 頭を撫
でる。伸手 心肝 手を伸して心に觸つて見る。
自分の良心に聞いて見る。鬼仔 閻羅王的
脚川 鬼が閻魔王の尻を撫でる、向見ずで大
膽なこと。●探る。捜出す。海底 針 海の底
から針を捜出す。到底 出来ない事又は至難の事を
いふ。一蚶仔 蚶を取る。一無頭 端緒を得な
い。●仕事をす。働く。一到無暇 無日 晝
となく夜となく働く。仕事が非常に忙しい。手
閑即來 手がすいたら來なさい。撒厥 一休
みなく仕事をす。●叢。塊。結歸 一塊に
なる。大 一 大な叢。大な塊。一 一 一 一
塊 一 塊。

ボン

ボン 蕪。●(毛) 蕪。●(毛) 粗陋。一夫 俗物。齒 一
疏漏 粗野。一懂 無分別。不注意。
ボン 鱗。鱗。大蛇。一蛇 同上。一換 鱗の鱗をした
官吏の妻の禮服。

ボン 罔。まあまあ。鬼も角。一度 どうかうな
り遣つていく。一行 一定の目的なくぶらぶら歩
く。一據 在伊 まあまあ彼のするまゝにさせて
おけ。一講 別に意味も無く好い加減に話す。四
界 一趕 當なしに諸處をぶらぶらつく。

ボン 槓。●頭が唐茄の形をした槓の類。金瓜 一 同
上。金 槓 同上。【金槓槓】参照。●塊。
結歸 一 塊になる。一 大母 一 大な塊
●拳などで突く。殴る。拖來 一 引張つて來て
殴る。

ボン 悞。遺放して無頓着な。做事 眞 一 事をするに
非常に無頓着である。一先 無頓着な者。
ボン 滂。噴出する。水 一 起來 水が噴出する。火
一 起來 火山など火が噴出する。

ボン 蒙。(毛) 蒙。
ボン 忘。(毛) 忘れる。一恩背義 恩を忘れ義に背く。
恩知らず。感恩 不 一 恩に感じて忘れない。
ボン 亡。(毛) 亡ぶ。滅 一 滅亡。一國調 亡國の
音。爲國身 一 國の爲に身が亡ぶ。陣 一 戰場

ボン

で亡ぶ、戦死。●亡魂。亡霊。新 一 新に死んだ
人の亡魂。舊 一 久しい前に死んだ人の亡霊。奉
一 巫子などが亡魂を連出す、神降する。口寄す
る。

ボン 曠。●ぼんやり。おぼろ。頭壳 一 頭がぼんやり
する。看了 一 ぼつととしてよく見えない。●
霧 一 霧がかかる。一霧 霧又は霞。
ボン 忙。(毛) 忙しい。繁忙 撥 一 忙しい中をさく。
荒 一 狼狽へる。周章てる。

ボン 望。(毛) 望。●名望。人望。眞好 一 非常に
人望がある。名 一 名望。●望。望む。伏 一
伏して望む。希 一 希望。一 無際 一 一望際無
し。●陰曆の十五日。一 月 一 十五夜の月。朔 一
朔日と十五日。

ボン 夢。(毛) 夢。空想 一 理想 一 空想夢想。一 遺 遺精。
一 洩 同上。一 墓 墓。
ボン 墓。墓。一 碑 一 墓の碑。一 擴 一 墓穴。上 一 墓參。
ボン アア 墓仔埔。墓原。墓地。墓場。
ボン イイ 蟒衣。官吏などの着る衣服の一種。
ボン イウ 忘憂草。【萱草】。

ボン ウイ 夢遺。遺精。妄憶。
ボン ウヌ 忘恩。恩を忘れる。忘恩。一 背義 一 恩を
忘れ義に背く。恩知らず。

ボン ヲアヌキア 望遠鏡。(國) 望遠鏡。

ボン ヲエボンケエ 罔挨罔過。遺練算段などして何

やら斯やらやうていく。

ボン ヲヲ 蟒袍。官吏の妻若しくは富家の妻の着る着物。

蟒の縫をした女の禮服。

ボン カヌボンケエ 罔牽罔過。【罔挨罔過】。

ボン キア 罔行。當なしに歩く。なんとなしに歩く。

當所なしに行く。

ボン キイ 罔去。暮などまあまあ何にか斯にか。

ボン クウ 墓龜。墓の土饅頭。

ボン クヌ 蟒裙。官吏又は富家の妻などの川ひる蟒を

纏した「襦」。

ボン ケエ 罔過。何か斯か暮してゐる。

ボン コア 摸看。觸つて見る。觸れて見る。

ボン コエ 墓糶。(津) 【墓糶】。

ボン コオ 蒙古。蒙古。

ボン コヲ 椽果。【椽仔】の○。

ボン コヲ 妄告。(文) 妄りに告訴する。

ボン コッ 亡國。(文) 亡國。 「同上。

ボン ヲン 墓墳。塚穴。墓穴。一孔同上。一窟

ボン ゴアツ 望月。(文) 望月。望月。

ボン マウ 莽草。【八角】の○。

ボン シアウ 芒硝。(粵) 芒硝。

ボン シエタ 砒石。(粵) 砒石。雲母。

ボン シエツ 夢洩。遺精。妄想。

ボン シエヌ 惘先。遺放して無頓着な者。

ボン シオン 妄想。(國) 妄想。 「亡兒。

ボン ジイ 亡兒。人に對して自分の死んだ子をいふ。

ボン モエ 亡妻。人に對して自分の死んだ妻をいふ。

亡妻。

ボン ソク 罔趨。當なしに諸處をぶらつく。油を賣る。

ボン ソヲ 子イ 摸搔掙。女などにふざけて撫でまは

す。

ボン ソンケエ 妄僞客。遊里にて豪遊する田舎大盡。

ボン ツア 蟒蛇。蟒蛇。蛇。蛇。

ボン ツア 墓紙。墓參の時に墓の上に置く紙。

ボン ツン 妄狀。性質の輕しい。輕率な。急遽しい。

一鬼粗忽者。

ボン ツン ハヌ 妄狀漢。粗忽者。輕率者。狼狽者。

ボン タア 惘瞻。前後を顧みずに突進するもの。向見

ず。猪武者。

ボン タウカイピヌ 蒙頭蓋面。突然の出來事で見當

が附かぬ。何か何だか分らぬ。めんくらふ。

ボン チア 罔且。まあまあ假に。まあまあ暫く。一

坐まあまあ一寸御掛なさい。

ボン チア 亡妻。人に對して自分の死んだ妻をいふ。

ボン チイピエン 墓誌銘。墓誌銘。

ボン チウ 墓手。墓の左右の袖。墓の兩翼。

ボン チエン 芒種。二十四氣の一にて陰曆五月の節、

芒種。

ボン チエンホオ 芒種雨。芒種の時節に降る雨。入

梅。梅雨。五月雨。梅雨。

ボン チオンチウ 罔將就。まあまあ假にそれで済す。

ボン チア 墓埴。墓の前の空地。墓前の平坦な庭。

ボン チオン 盲腸。(國) 盲腸。 「大振る。

ボン ツウツヌタイ 妄自尊大。(文) 妄りに自ら尊

ボン ツイ 墓堆。墓。土饅頭。

ボン トア 罔拖。【罔逐】。

ボン トエ 墓地。墓地。

ボン トオ 罔度。【罔逐】。

ボン トヲ 墓桌。墓の前の前に据えてある石。物を供

へる臺。

ボン トン 莽懂。無分別。無考。不心得。不量見。一

時一々一時の無分別。

ボン トン ハヌ 莽懂漢。無分別者。

ボン パイ 墓碑。石碣。墓碑。墓碑。

ボン パウ 蟒袍。官吏の着る着物の一種。蟒蛇の模樣

のある禮服。

ボン パツ 忘八。遊女屋の主人。忘八。

ボン

ボン

ボン

ボン

ボン ヒオンタイ 望郷臺。地獄にある故郷を望む臺。
 ボン ビエン 亡命。●死人の生年月日。●(四) 亡命。
 ボン フウ 莽夫。粗野な無法者。亂暴者。
 ボン フヌ 亡魂。亡魂。幽霊。亡霊。亡魂。被一牽去。神隠しに遇ふ。
 ボン ブウ 朦朧。霧。霞。
 ボン ブウ 霧雨。霧雨。霧雨。
 ボン ボア 摸磨。家事上のことで働くこと。煮洗一煮炊洗濯などして働く。
 ボン ボラ サ 摸無總。捜しても分らぬ。尋ねても見つからぬ。
 ボン ボラ ム 摸無門。戸惑。
 ボン ボラ ロ 摸無路。尋ねても分らぬ。捜しても見當らぬ。目當が附かぬ。
 ボン ボン 摸摸。●暗一真暗。●摸の(一)(二)(三)。
 ボン ボン 漠漠。潤一非常に廣い。だだ廣い。
 ボン ボン 惘惘。遺放しで無頓着な。
 ボン ボン 淋淋。【淋】。
 ボン ボン 損損。【損】の(三)。
 ボン ボン 茫茫。茫茫。海一海が茫茫としてゐる。一渺渺 茫茫。白一【白茫茫】。
 ボン ボン 朦朧。朧。ぼんやり。酔一非常に酒に酔ふ。一眩一頭がぼんやりして眩がする。

ボヤ

ボヤ ボン 朦朧。酔一酔潰れる。泥酔。酩酊。
 ボヤ ボン ヒヌ 朦朧眩。眩暈する。動揺つく。目がくらくらとする。烈しく目が廻る。【渺茫】。
 ボヤ ボン ビアウ ビアウ 茫茫渺渺。渺渺と。茫茫。山。
 ボヤ ボン ムエ 摸脈。脈をとる。診察。診断。
 ボヤ ボン モア 墓志。墓の左右及び後方を廻す馬蹄形の土。
 ボヤ ボン ラム 亡男。人に對して自分の死んだ子をいふ。
 ボヤ ボン リアウ 罔料。好い加減に當推量して見る。
 ボヤ ボン リエヌ ホエ 忘年會。(四) 忘年會。
 ボヤ ボン リエン 亡靈。亡魂。亡霊。
 ボヤ ボン リヌ ハン 摸乳巷。女が歩くと乳を弄られる路地。狭い路地をいふ。
 ボヤ ボン ロン 摸摸。【摸摸】の(三)。
 ボヤ ボン ロン 淋淋。【淋淋】。
 ボヤ ボン ロン 損損。【損損】。
 ボヤ ボヤ 尾。(尾) 【尾】。
 ボヤ ボヤ 要。(要) 【要】。
 ボヤ ボヤ 四。(同) 【四】。
 ボヤ ボヤ 糜。(糜) 【糜】。
 ボヤ ボヤ 妹。未。……(同) 【未】。妹。未。……。

ボヤ

ボヤ

ボヤ アウ 尾後。(尾) 【尾後】。
 ボヤ アウ ボヤ 尾後背。(尾) 【尾後背】。
 ボヤ アム 要暗。(要) 【要暗】。
 ボヤ アン 襟襖。(襟) 【襟襖】。
 ボヤ イア 蝴蝶。(蝶) 【蝴蝶】。
 ボヤ ウヌ 尾運。(尾) 【尾運】。
 ボヤ カア 尾子。(尾) 【尾子】。
 ボヤ カウ 尾口。(尾) 【尾口】。
 ボヤ キエツ 尾結。(尾) 【尾結】。
 ボヤ キエン 尾景。(尾) 【尾景】。
 ボヤ クウ 尾句。(尾) 【尾句】。
 ボヤ ゲエ 尾牙。(尾) 【尾牙】。
 ボヤ サイ 妹婿。(妹) 【妹婿】。
 ボヤ サウ 尾梢。(尾) 【尾梢】。
 ボヤ シア 糜杓。(糜) 【糜杓】。
 ボヤ シイ 要是。(要) 【要是】。
 ボヤ シイ 未是。(未) 【未是】。
 ボヤ シイ ボヤ ア 要死要活。(要) 【要死要活】。
 ボヤ シエン 尾省。(尾) 【尾省】。
 ボヤ シエン チエン 未成丁。(未) 【未成丁】。
 ボヤ シヌ 尾身。(尾) 【尾身】。
 ボヤ ソグ 襟束。(襟) 【襟束】。
 ボヤ アア 尾行。(尾) 【尾行】。

ボア

ボア半。半。一日半。一日。路中途。半途。

信疑半信半疑。一嘆夜中。

ボア絆。卷附く。絡まる。倒落まつて倒れる。馬

索馬の絆。

ボア盤。盆。盤。茶。茶盆。石。石盤。曲。曲

蓄音機のレコード。地。地盤。手。手の甲。

碁。碁盤。碁。碁盤。碁。碁盤。碁。碁盤

面。輸三。三面負けた。大きな皿。皿。碗

一茶碗と皿。一茶一皿の菜。商取引の

仕事又は種類。外。生理。店先に於ける商

取引の仕事。做頂。元賣商又は製造元をする。

大。的生理。大。商賣。歸。營業の全部。

和。勘定が引合ふ。合。同上。較有。割

が好い。開。値段を切出す。無甚。餘り算

盤が引合はない。餘り得にならぬ。婚禮の時男

家より女家に贈る十二種の食料品其他の禮物。

一擔。同上。辨。同上を調へる。轎前。結

婚式の前に贈る食料品其他の禮物。甲から乙

に入換へる。移す。水。過碗。亦能消蝕。茶碗

の水を他に入換へても少しは減る。轉居或は度度

業務を變改すると其度に損をする。裁。移植す

る。一賬簿。帳簿を寫換へる。總取る。鞋境

ボア

靴の縁に縫取をする。馬齒。布の縁に鋸齒

の模様を縫取る。言合ふ。言募る。話。没直

言合つて話が片附かぬ。嘴。嘴。つまらぬ事を言

争ふ。車。車。争ふ。越える。山過嶺

山を越え嶺を過ぎる。一。垣根を越える。優

る。較。伊。彼に優つてゐる。一。彼

り一級上だ。

ボア拌。拂子などで拂ふ。打拂ふ。振拂ふ。蚊

蚊を拂ふ。土粉。埃を打拂ふ。振る。揺頭

一。耳。頭や耳を振動す。一。獅。赤坊などが頭を

振る。

ボア破。破れる。破る。壊れる。壊す。衫。快。着

物が破易い。船。船が壊れる。拆。破る。

裂く。損。打つて壊す。嘴。口の中が爛れる。

一。田。水を引入れる為に畦を崩す。城。城

が陥落する。一。伊。的。法術。彼の法術を破る。

一。人的。因縁。人の因縁を破壊する。縁談などを

打壞す。割る。截割る。柴。連。柴。粘。粘

薪を割るに重までも割る。密告した事を話す上に

密告者の名前まで打明ける。一。腹。腹。腹を切

開いて花を検査する。花は婦人の生殖器の意處

女であるかないかを開腹して調べる。一。髮。梳。分

ボア

當面。伊不着。面前に於いて彼の非を指摘して

直言する。一。嘴。舌。何だ彼だと言つて止める。

一。嘴。口。口出して止めさせる。一。發。發

する。一。肚。同上。一。孔。同上。事。若。你就害

一。事。事。發覺したらあなたが困る。雞。管。法

螺がばれる。徹底する。看見。見。見。見

く。看破する。看。不。同上が出来ぬ。看我到

彼。私をそんなに見做してゐるのか、私をそん

なに見くびつてゐるのか。開。一。奥。義。など説明

す。講。同上。點。同上を解釋して示す。

糯米で。糯米をつくる時などに硬米を混ぜる。

三。交。糯米二分に硬米一分の割合に混ぜる。

一。斗。二。斗。一。斗の糯米に二。斗の硬米を混ぜ

る。對。半。糯米と硬米を半々に混ぜる。一。受

胎。分。娩。に。不。吉。な。月。一。月。同上。一。骨。不。吉。な。月

數の上に缺點のあるもの。一。相。不。具。者。今年

查。晴。一。九。月。今年は九月が男に不吉な月だ。

一。水。水などを振撒く。一。水。同上。被。人。尿

人に糞を掛けられる。水。落。地。難。得。收。水

地上に振撒けばそれを集めることは出来ぬ。覆。水

益に歸らず。一。浪。浪などを撥込む。撥。湧。入。來

一。浪。浪が撥込む。雨。入。厩。内。雨。が。家。の。中。に。降。込

ボア

身者は一條を、妻帯者は二條を掛ける。

ボアカア 伴駕。供奉。御伴をする。

ボアカア 拔脚。膝を組み、足を組合せる。

ボアカアレエ 搬傀儡。操人形の芝居をする。

ボアカイ 破戒。●(支) 破戒。●(破打)。

ボアカウ 盤口。(商取引に關する算盤の計算の意) 勘定。値段。開——値段を切出す。算無——勘定が引合はぬ。算盤が取れぬ。

ボアカウシア 半交除。半分は現金半分は掛。——在交關——同上で取引してゐる。

ボアカケ 破壳。殻を破る。

ボアカヌ 子オン 半奸忠。内股賣樂。奸佞。

ボアカム 半憨。半馬鹿。——不成願。馬鹿が氣違か

ボアカムアア 半坎仔。間口が普通の店の半分位の店。間口の極狭い家。

ボアカムチア 破甘蔗。【破蔗】。

ボアカン 撥工。●仕事の手を休める。仕事を繰合せ

る。特エ——去——態態仕事を繰合せて行った。●勞働者などの繰合をする。【事】。

ボアカン 半工。半日の手間。半工。——稽——半日仕

ボアカン 搬空。運んで空にする。物を運んで家など空ける。

ボア

ボアカン 破孔。●破目。破孔。補——同上を繕ふ。●破れて孔が出来る。破目が出来る。船——

●船に孔があく。●ばれる。露見する。事——

事がばれる。ボアキア 伴行。供をして歩く。爲你——御供をし

て上げます。ボアキアウ 博賭。博奕。博奕を打つ。賭博する。——

博徒。——錢沒做家伙。博奕で得た錢は財産にならぬ。——浪蕩。博奕道樂。——三分

の望がある。女を買へば錢が徒になり、阿片を飲めば死んだと同じだ。——蚰壳起

做賊偷賊米。賭博は貝殼遊が始り、賊は米を握盜む事から起る。——人三更窮、四更富

博奕する人は三更には貧乏になり四更には金持になる。——郎君買賣賊。賭博は若旦那の如く、

買賣は賊の如し、博奕打は氣前がよいが商賣人は根性が汚い。——聽尾聲。博奕をする時は

人の手札を知る爲に相手の言葉の語尾を注意して聞く、相談の時など聲の様子によつて其人の意向

【擲】なるべし。ボアキアウカア 博賭脚。博徒。博奕打の仲間。

ボアキアウシエヌ 博賭仙。博奕打。博奕に耽る者。ボアキアウトン 博賭黨。博奕打の仲間。ボアキアウハヌ 博賭漢。【博賭仙】。

ボア

ボアキイ 簸箕。箕。

ボアキイ 半期。半期。

ボアキイ 盤境。縁を勝る。ボアキイ 搬去。運び去る。運搬して行く。移轉して

ボアキイカア 簸箕甲。【簸箕】の縁。文あり(語原は【簸箕甲】なるべし)。

ボアキイキア 簸箕符。【簸箕甲】。

ボアキイニイ 半紀年。六年。ボアキイニイ 半紀年。前に同じ。

ボアキウヌン 半響軟。【半硬軟】。

ボアキエク 半刻。半刻。一寸の間。——久——同上。——亦沒使得延遷——一寸の間も延すことは出

ボアキエク 盤曲。歌の復習をする。ボアキエン 半徑。(圓) 半徑。

ボアキエンタウ 破肩頭。【童丸】が【刺球】を以て自

己の後肩部を傷けること。ボアキムタン 半金銅。金と銅を半分宛混ぜた合金。

ボアギア 半額。半數。半額。ボアギイヌン 半硬軟。強硬でもなく軟弱でもな

い。強くもなく弱くもない。伊是——的人
彼は硬派でもなく又軟派でもない。——討し
て、強く物を強請む。

ボア クイ半跪。片足跪く。打——同上の風をす

ボア タイ撥開。押分ける。引分ける。——衆人——大勢の中を押分ける。二個在冤家我爲伊——

ボア タイ半開。半開。——二人が喧嘩してゐる所を私が引分けてやった。

ボア タイ半開。半開。

ボア タイ破開。斷割る。割る。切開。切割る。割開

ボア クイ破開。斷割る。割る。切開。切割る。割開

用斧頭——斧で割る。腹肚——都無膏
腹を切開したら味噌がなかつた、試験して見る
と學問がない意。——心腸共伊講——腹の中を
割って彼に話す、打明けて彼に話す。

ボア タイ判開。離縁の問題など分離する様に捌く。

【判合】参照。

ボア クウ半舊。中古。

ボア クウヨエ半句話。半句。片言。不敢講——

一言半句も口に出しきらぬ。

ボア クウコア破龜卦。龜の甲を用ひて占ふ。龜卜。

ボア クウシウ半舊相。次に同じ。

ボア クウロ半舊落。中古。——的衫——古着。

ボア クツ破骨。不吉な月に受胎して生れた女。(舅姑
や夫の「八字」と合はず死後に「拾骨」をしないと

いふ。

ボア クヌ半斤。半斤。——蝦仔四兩秤——半斤の蝦

に四十匁の屑は(厚秤)屑が多い)だ、【厚秤】
は【厚秤】(気分がくしくしする)と同音なるよ
り振つて其の意味に用ふ。一個——曲、一個八

両橋——一方は半斤より一寸重く一方は八十匁よ
り少し重い、半斤も八十匁も同じことなれば雙方
とも五分五分といふ意。

ボア クヌ半勤。(薪)半日勤務。

ボア クヌ件晒。添寝。添臥。

ボア ケエ半價。半金。半額。半價。半値。

ボア ケエ盤過。越える。——山——山を越える。●
移換へる。積換へる。——車——車に乗換る。車
に積換へる。●優る。有——無輸伊——彼に優る
とも劣ることはない。

ボア ケエ破家。家を破る。破産する。俗物食——

安物身上を食潰す、安物買の銭失ひ。

ボア ケエ破練。破れた餅。餅の屑。——擲乞食——破

れた餅を乞食に投付ける、乞食にやってもよい位
に悪くなつてゐる意。

ボア ケエ破格。●不吉な月に生れ命數の上に缺點の
あるもの。●瑕疵。缺點。伊愛開較——彼は
よく金を使ふのが缺點だ。——雞母——痕持の親

鶏、きつぎやういふ女の意。

ボア ケエ盤過。(運)息【盤過】

ボア ケエウイ搬過位。轉宅。移轉。

ボア ケエキア破家子。道樂息子。

ボア ケエキア搬過車。車に乗換る。車に積換へる。

ボア ケエウイ搬過位。轉宅。移轉。

ボア ケエキア破家子。道樂息子。

ボア ケエウイ搬過車。車に乗換る。車に積換へる。

ボア ケエツウ搬過厝。轉宅。引越。移轉。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ボア ケエツウ盤過船。船に乗換る。船に積換へる。

ポア

ポア コオ半元。五十錢。――銀同上。一元――

一圓や五十錢の金。

ポア コオ破鼓。破太鼓。――救月破太鼓でも月蝕の時に打てば月を救ふ、平常無用の物も時には用をなすことあるをいふ。

ポア コオチイ破故子。破布子。

ポア ヨンチオン半空中。空中。空中。中天。飛機

飛起――飛行機が空中に飛上る。

ポア ゴン半懸。薄鈍。薄馬鹿。

ポア ゴンキアウ博懸賭。愚な賭博をする。馬鹿な博奕をする。

ポア サア破衫。破れ着物。破衣。

ポア サイ持獅。獅子舞の様に頸を振る。馬――馬が頸を振る。三兩雞仔、與虎――三十匁の鶏が虎に向つて頸を振る、螻蛄の脊。

ポア サイケエハク盤屎過岩。甲の便所の大便を乙の便所に移す、同じ事で徒勞する意。

ポア サウ半脆。半分破れてゐる。悪くなりかけてゐる。中古。物件都――物がもう同上になつてゐる。

ポア サク撥揀。拂除ける。伊的手共伊――彼の手を同上。取つて除ける。而頂歹的――表面にある悪い物を同上。

ポア

ポア サヌ半産。流産。半産。――鬮髪。

ポア サム拌參。髪など振亂す。――頭毛髪を亂す。

ポア サム破懸。破れてほつれてゐる、ぼろぼろに破れる。穿的衫褲眞――着てゐる着物がぼろぼろになつてゐて目窄らしい。――雞母羽根が糞を糞して穢い此鶏、見苦しい身形の女をいふ。門戸――、狸狗亂蹴門が破れて豚や犬が濫りに出入する、家風亂れて色色の者が出入する。

ポア サア半整。刃と柄とが同じ位の長さの刀。

ポア サア破柴。木を割る。薪を割る。――運粘破薪を割つて其釜までも割る、密告した事を話す上に密告者の名前まで打明ける。看人食肉、不可看人――人が肉を食べてゐるのは見ても木を割るのは見るな、喧嘩の場所に近寄るななど。

ポア サアクウ破柴龜。米搗龜。米搗龜。擧啄

ポア サアムン半開門。半蒜。小な蒜。――龜。

ポア サイ盤栽。移植する。植變へる。移植する。

ポア サイ破財。占者などのいふ語財産を失ふ。財産を無す。無――亦能破病金を損しなければ病氣をする様な運命。

ポア サウ搬走。運んで逃げる。持つて逃げる。物件――物を餘所へ持つていつて隠す。厝――家

ポア

ポア サヌ潑田。田に肥を撒く。

ポア サム半站。路文章話曲など半中途。

ポア サム破懸。阻む。阻止する。水をさす。止める。阻礙する。口を挿む。――人的親事人の縁談に水をさす。――伊不可做期米二期米をしてはいけないといつて彼を止めた。

ポア シア破城。壊れた城。荒廢した城。城を破

ポア シアポア半聲半。快く直様。文句無しに早速。――亦允伊二つ返事で引受ける。到是你我――錢就借你君の事なら言ふ迄もなく私に早速金を貸して上げる。

ポア シアウ蟻賬。帳簿から勘定を寫取る。書出を書

ポア シアウリエヌ破少年。家破る青年。放蕩息子。獄道者。

ポア シイ跋死。轉んで死ぬ。轉落ちて死ぬ。

ポア シイ半絲。半絲。極少。――都不知露知らぬ。ちつとも知らぬ。斷――少しもない。

ポア シイ半死。半死半生。打――半死半生になるまで厥る。

ポア シイ半時。半時。半時。

ポア シイ盤時。病氣の起つた時に何の方位の神を

ボア

ボア タウチイ 半頭生。【三八】。

ボア タウチイ 盤頭帖。【盤擔】の目録。

ボア タウヒウクヌ 盤頭表裙。【盤擔】と共に女家

に贈る給と【裙】。(婚禮の時花嫁の着用するもの)。

ボア タムタア 半浴乾。生乾。半乾。生干。

ボア タン半冬。半期。頂——上半期。下——下半期。

ボア タン 跋桶。釣瓶。——没離得鼓井——釣瓶は井

戸を離れることが出来ぬ。附物で必要なもの。

ボア タン 破童。【童乱】が刀を以って自分の體を傷付

ボア タン 拔桶。【跋桶】。「けること。

ボア タン サイ 半桶屎。●桶に半分入ってゐる大便。

——擔在搖——同上を擔いで揺がす。生半可の者が大いに威張る。●生半寂。半可通。猪小牙。

——的人——同上の者。讀書——生嚙な學問をする。

ボア タン ヒア 半桶靴。胴の短い長靴。

ボア チア 搬穿。物など穿返す。——新册仔舊曆

日——新しい【册仔】や舊い曆を同上する。口喧嘩の時お互に過去した事柄を提出して言合ふ。

ボア チア 搬請。迎へて移住してもらふ。——父母來站臺北——父母を臺北に迎へて住ませる。

ボア

ボア チア 盤車。車に積換へる。車に移る。

ボア チア 破蔗。甘蔗を立てて截割り其割取った部分の大小長短により勝負する遊戯。

ボア チア 伴食。相伴。伴食。陪食。

ボア チア コン 破蔗硫。【破蔗】。

ボア チア ゴアツ 半斜月。●斜になつてゐる三日月。斜にする。横に傾ける。柱仔抵——柱を斜に立てて支へる。「つ。

ボア チア ツ 博食迫。賭博。阿片吸食。遊蕩の三

ボア チア バア 半赤肉。半分赤身半分白身の肉。

ボア チア プイ 半赤肥。前に同じ。

ボア チア ペ 半赤白。前に同じ。

ボア チイ 撥錢。金を一時融通する。

ボア チイ 盤錢。【盤費】。

ボア チイ 半醒。半醒。半ば醒めてゐる。——半醒——半睡半醒。うつらうつらしてゐる。半醉——半醉半醒。微醉。

ボア チイ 破錢。【破財】。

ボア チイ キウ 搬生薑。生薑を運ぶ。老鼠——鼠が生薑を銜へて彼方へ運び此方へ運びする。家又は器物など度度移轉すること。「生物識。

ボア チイ シェク 半生熟。●半熟。生煮。●半可通。

ボア チイ トア 博錢攤。若干の錢を握り其を四で割

ボア

つた残りの數を言當てさせる賭博。

ボア チイ ハイ 半生殺。【半生熟】。

ボア チイ バイ 破之之。(女の罵詞) 破れてゐる陰部。

ボア チウ 跋手。【失手】。「すべた。

ボア チウ 盤墻。塀を乗り越える。大狗——細狗看様

——大犬が塀を乗り越えると小犬が見習ふ、子供が大人の眞似をする意。

ボア チウ 伴手。訪問の時の手土産。去人兜着帶——人を訪ねる時は手土産を持って行かなければならぬ。此の俚你返去可做——これはお土産に持つて歸つて下さい。

ボア チウ アア 半墻仔。低い塀。中垣。

ボア チウ ロオエ 半上路下。半途。中途。中途半端。講到——中途まで話をする。話を中途で止める。書讀到——勉強を中途半端で止める。——折扁擔——半途で荷擔棒が折れる、途中で挫折する。

ボア チエン リイ 盤情理。理窟をこねる。議論する。

ボア チラ ヲア 半招娶。結婚後男が女家に同居するも入婿とならざるもの、生兒をして女家を繼がしむるを例とす。

ボア チア 破鼎。●鍋が破れる。破れた鍋。●陰部が出血する。月經。被人強姦一下續——

強姦された爲に同上。――塞東布月經の時
に陰部に布を當てがふ。

ボアチア判定。断定。判定。

ボアチアウカウ博吊猴。【吊猴】の賭博をする。

ボアチアウミア半條命。半分の命。半死。死にさう
になつてゐる。看見一個――死にさうな弱
弱しい體をしてゐる。

ボアチアム半點。●(水・風など極少ない意)半點。半
滴。斷――雨半滴の雨もない、少しも雨が降ら
ぬ。無――風半少しも風がない。●半時。半時。

ボアチアムチェン半點鐘。半時。半時間。――久
――三十分間。

ボアチイ半滴。(水・風など極少ない意)半滴。水斷――
――水が半滴もない。斷――風半少の風もない。

ボアチイ半天。空中。中空。中天。――雲尾中
天の雲上。――秀才仔中天的【秀才】、短命
な奴といふ意、女が子供を罵つていふ語。

ボアチイアア半天仔。(動)雲雀。

ボアチエヌゴン半顆懸。馬鹿。阿呆。

ボアチエヌボアシアウ半顆半狂。氣違しみた。激
――――氣違しみた風をする。

ボアチエン半丁。痴者。無用の者。

ボアチオンサム半申站。半途。中途。中途半端。話

講――――言差す。

ボアチオンワン半中段。中頃。中半。中途。――
――息去半途です。中頃です。橋的――
――橋の中頃。

ボアチオンノア半中欄。●【半中段】。●上でもな
ければ下でもない。中位。普通位。買――的
貨中位の品物を買ふ。――的司早半熟

ボアチオンン半中央。中頃。【練の職工】。

ボアチツ拔直。反物巻物など手前に引張つて廣げる。
伸ばす。布――即好量反物を廣げてから量れ
ば工合がよい。

ボアチツトヲ博迫追。遊の賭事。賭事して遊ぶ。

ボアチヌ破陣。敵陣を破る。

ボアチヌトシ半□□。阿呆。剽輕。馬鹿。你此箍
成――お前は本當に阿呆だ。【附かず】。

ボアチムアウ半沉浮。沈みもせず浮びもせぬ。何方
ボアツイ半醉。半醉。――半醒半醉半醒。微醉。

ボアツイ破水。畦を壊して水を引入れ又は出す。――
――擲擲田の水を流出す。――淹田田に水を
引入れる。

ボアツイ激水。水を振撒く。水を掛ける。

ボアツイ破嘴。【破嘴】。

ボアツイギム盤嘴錦。些細なことを言合する。水掛

ボアツイサム破嘴盤。口出して止める。水を差す。
ちやちやを入れる。伊要轉途我共伊――
不可彼が職業を變へようとしたのを僕がいけ
ないといつて忠告した。要買不買由在伊你
没使得――買不買はぬは彼の勝手だ君は水
を差すべきでない。

ボアツイホエ盤嘴花。【盤嘴】。

ボアツイボアチ破嘴破舌。【破嘴】。「家移
ボアツイ搬厝。家を移す。引越す。移轉する。轉宅。

ボアツイ破厝。荒屋。廢屋。――漏鼎苦死妻子
荒屋と漏る鍋は妻子が困る、貧乏なこと。

ボアツイウタン破厝桶。荒屋。廢屋。

ボアツイウタンア破厝桶仔。前に同じ。

ボアツイ撥出。拂出す。借出す。共朋友――五十
元友達から五十圓を借出す。

ボアツイ跋準。【換準】。

ボアツイ破船。破船。――過海較贏酒酒くより
は破船で海を越える方が増た、悪くとも無いよ

ボアツン半全。半分揃つてゐる。半出来。「りは増た。
ボアツン半床。普通のものより半分小さい寢臺。

ボアヌトオ半吞吐。半分吞込んで半分話す。曖昧
に話す。講話――話が曖昧だ。

ボアヌエ半擡。次に同じ。

ボア

ボア

ボア

ボア

ボア テエトヲ 半擗倒。寐る様にして後へもたれる。

寝椅子などに凭掛る。

ボア トヲ 破蛋。●此鶏が初めて卵を生む。●(雌) 初めて子を生む。初産。

ボア トア 伴壇。賑にする爲に附添へる。枯木も山の賑ひ。●的語の言葉。我是。●的人客。私はお相伴として呼ばれた客だ。

ボア トア シア 破大舍。零落れた大家の息子。

ボア トア ヌ 判断。●判決。尙未。●未だ判決がない。●判断。●事理。●事理を判断する。

ボア トエ 破題。破題。

ボア トオ 半途。半途。中途。●而廢。●半途にして廢する。遺放し。中程で止める。

ボア トオ 破肚。●發覺。●發覺。食錢。●收賄が發覺する。●成立たない。破談。因爲有人破嘴親成績。●人が水を差した爲に遂縁談が成立たない。

ボア トオ 破土。工事の始に「土神」の祟を祓ふ式。地鎮式。●興工。●同上をして工事を興す。

ボア トヲ 跋倒。●轉る。●轉ぶ。●倒れる。●老大人愛。●年寄はよく轉ぶ。草枝。●一人。●草の枝で人も人を倒す。線香の火から火事。小事が大事など。●辯駁して言負かす。●先生。●先生を言負かす。

ボア トヲ 絆倒。繩などと絡んで倒れる。轉げる。

ボア トヲ 半桌。【半筵】。

ボア ニア 半嶺。山の半腹。山腹。

ボア ニア 半領。半枚の席。半疊。

ボア ニイ 半裡。月の半頃。中旬頃。初裡無錢。●即還。●你。●月初には金が無いから半頃に眞方に還す。

ボア ニイ 半年。半年。半年。●一千日。●半年を千日とする。算用を知らぬ者。馬鹿。

ボア ニイ アン 半年紅。【夾竹桃】。

ボア ニイ イイ 半年圓。六月十五日家神などを祭る爲に作る糯米の團子。

ボア ニイ チェン 半年清。半期拂。

ボア ノア 搬搬。【搬搬】。

ボア ノア 絆絆。【絆絆】。

ボア ノア 盤盤。●【打擗】。●實際ふ。交る。實際する。●不止久。●久しく實際してゐる。自細漢。阮二個。●到此候。●僕等二人は小さい時から一緒に遊んでゐたものだ。

ボア ノア 盤盤。【盤盤】。

ボア ノア 拌拌。【拌拌】。

ボア ノア 破爛。ぼろになる。ぼろぼろになる。●

ボア ノア 判判。【判判】。

ボア ノア 販販。【販販】。

ボア ノア 盤盤。【盤盤】。

ボア ノア 伴伴。【伴伴】。

ボア ハイ 半海。海中。大洋の中。

ボア ハツ 判合。離婚の問題など都合する様に捌く。●無判開。●同上の場合。仲裁者は都合する様に捌き、分離する様に捌くべきでない。

ボア バア 破媼。(女を罵る語)阿婆。すべた。

ボア バン 拌蚊。蚊を拂ふ。

ボア パア 半百。百の半分。五十。

ボア パア 破打。缺點。瑕瑾。有。●缺點がある。無。●一個無。●缺點のない人は一人もない。

ボア パイ 破牌。(女を罵る語)おたんちん奴。すべた。

ボア パイ 破敗。破る。●家財。●家財を無くする。破産する。

ボア バイ アア 博牌仔。骨牌で賭博する。

ボア パウ 伴包。秀才以上の者が禮服の裝飾品として用ひる腰巾着。

ボア バグ 破腹。●腹を割る。●一。●驗屍。●死體を解剖して調べる。●腹藏なく打明ける。披露する。●講。●同上。●一。●話。●同上の話。

ボア ノア 破爛。ぼろになる。ぼろぼろになる。●

ボア

ボア

ポア **パン** 破腹腸。【破腹】の②。

ポア **パン** 伴房。花嫁の御供をする。——的 **花嫁** に
附添うて用を辨する老婆。

ポア **パン** 破帆。①破れた帆。破れた幕。②二重の虹。
出——水流入 **二重**の虹が出ると大水が出る。

ポア **パン** 破縫。①破れて隙間が出来る。②發覺。發
覺。事情——事が發覺する。

ポア **パン** 半靴。【半靴】。

ポア **パン** 破額。①童乱など自分の額を割る。額を
傷つける。②額の中央に凹んだ理の通つてある
もの、悪相なりとせらる。生十個缺嘴、不生一
個——十人の兎唇を生むとも一人の額に理のあ
る者を生むな。

ポア **パン** 破靴黨。官吏の古手。三百代言。

ポア **パン** 搬戲。芝居をする。芝居を演ずる。——的
人 **役者**。

ポア **パン** 破魚。①夷鯛。血鯛。

ポア **パン** 破耳。獸などが耳を振る。搖頭——頭を
振り耳を動かす。

ポア **パン** 破表。破れた袷又は綿入。破衣。襤褸。
——公 **大**な同上。

ポア **パン** 破籾。米を籾る。

ポア **パン** 破篋。竹の皮を剥ぐ。竹の籾を作る。——

ポア **パン** 司卓 **同上**の職人。

ポア **パン** 博米賭。①轉賣・買戻・解合などに
よつて投機的に定期米を取引すること。

ポア **パン** 半面。①片顔。②半面。片面。
ポア **パン** シオンシエク 半面相熟。見知越。一寸の
面識。與伊——彼とは見知越た。

ポア **パン** 半壁。壁の中程。——掠仙 **盗賊**の隠語
捕はれて留置される。

ポア **パン** 破婁。①腐女郎。すべた。

ポア **パン** 撥邊。分けて除ける。拂除ける。

ポア **パン** 半片。半切。——肉 **半切**の肉。

ポア **パン** 破病。病氣。病。——身命 **病身**。——
不止久 **長**く病氣した。

ポア **パン** 破疔。①瘡蓋が破れる。②發覺。發覺る。

ポア **パン** 破蓮。①種 **水龍**とちかがみ屬。
ポア **パン** ロオ 破病路。缺點。有——缺點があ
る。短所がある。

ポア **パン** 撥兵。兵の一部を派遣する。

ポア **パン** 半旁。片側。片方。半分。
ポア **パン** 破旁。二つに割る。
ポア **パン** シヌ 半旁身。片身。
ポア **パン** ツヌ 破水船。①碎水船。
ポア **パン** 破筆。初めて入學する。初めて寺小屋に入

る。初學。到十二歳即——十二歳になつて
から同上。

ポア **パン** 破筆仔。初めて入學する者。初學の
子供。新入の生徒。

ポア **パン** ソエ 破鬢梳。前髪を左右に分け、鬢附の
如きものを塗つて固めたもの。分髪。「ない。
路銀。旅費。——欠 **旅費**が足り
ポア **パン** 破費。徒費。浪費。金を費す。去伊兜伊
就——我即無愛 **彼の**家へ行くと彼が金を使ふ
からそれで私は嫌だ。

ポア **パン** 半份。半分の分前。

ポア **パン** 判文。①判決原本。判決正本。判決文。

ポア **パン** 浮沉。半浮半沈む。

ポア **パン** 跋馬。【跋落馬】。

ポア **パン** 絆馬索。馬の綱。繩。

ポア **パン** 破皮。皮が剥ける。——無 **血流**皮が擦剥
けただけで血が出ない、大事に至らないで済む。

ポア **パン** 破壞。破毀。毀す。毀損する。

ポア **パン** 賭花會。【花會】といふ賭博をする。
ポア **パン** 破雨傘。破傘。——與 **展** **破傘**
を展けたがる、出来ないのに出来る風をして誇り
ポア **パン** 拔風。絹の男頭巾。
ポア **パン** 混血兒。間子。「たがる意。

ポア

ボア

ボア ボンコン 破墓壇。崩れた墓穴。
 ボア ボア 簸簸。【簸】。
 ボア ボア 撥撥。【撥】。
 ボア ボア 跋跋。【跋】。
 ボア ボア 博博。【博】。
 ボア ボア 搬搬。【搬】。
 ボア ボア 絆絆。【絆】。
 ボア ボア 盤盤。【盤】の㊦㊧㊨㊩。
 ボア ボア 破破。【破】の㊪㊫㊬㊭㊮。
 ボア ボア 潑潑。【潑】の㊯㊰。
 ボア ボア 拔拔。【拔】。
 ボア ボア 判判。【判】。
 ボア ボア 販販。【販】。
 ボア ボア 盤盤。【盤】。
 ボア ボア 伴伴。【伴】の㊱。
 ボア ボア ノアノア 破破爛爛。【破爛】。
 ボア ボア ツ 半鉢。五十錢銀貨。
 ボア ボア 跛等。神佛等に吉凶を問ふ時【聖筭】を落す。【聖筭】参照。
 ボア ボア エアア 博等仔。一厘錢三文を一定の高さより地に落し、表面の現れたるを勝とする賭博。【揀筭仔、叫筭仔】。

ボア

ボア ボア 半哺。午前、午後、半頃。頂——午前、半、九時頃。下——午後、三時頃。
 ボア ボア 搬鋪。【徙鋪】の㊲。
 ボア ボア 破布。襤褸切。襤褸。古切。水流——水に流れてゐる襤褸切、處處に引掛るといふ意にて一定の住所の無い者などをいふ。
 ボア ボア オオ 破布鳥。(植)紫草科)たいわんまるばちしやのき。
 ボア ボア オチイ 破布子。(植)いぬちしや。かきばちしやのき。(紫草科、未熟の果實を漬物として食用)
 ボア ボア 博寶。【撚寶】といふ賭博をする。「す」。
 ボア ボア 伴婆。花嫁に附添うて用を辨する老婆。
 ボア ボア 半命。半分の命、半死。被伊打着就——彼に殴られると半死になる。無死亦——死ぬまでにはならないが半死にはなる。
 ボア ボア ミイ 半暝。夜中。真夜中。中夜。半夜。夜半。三更——三更の夜中。——後——夜中過。——過——夜中過。——出——一ヶ月——夜中に一つの月が出て、思も據らず友達か訪ね来るなど。
 ボア ボア ミイ 破物。毀物。
 ボア ボア ミイチ、ケエチイ 破綿續假氈。破布團の綿を毛氈に似せる。假氈を假精(すばしい風をする)に振って、知らないくせに知った風をする者

ボア

ボア ボア ミイ、エ 半暝。夜中の粥。有食——過同上を食べて来た、夜中まで勉強して来たもの意、仕事に熟練した人をいふ。
 ボア ボア ムン 盤問。取調べる。——過關的人——關所の通行人を同上。
 ボア ボア ムン 拌毛。毛を拂ふ。毛をはたく。
 ボア ボア ムン アア 半門仔。中垣の戸。
 ボア ボア ライゴア 半内外。半分は内、半分は外。
 ボア ボア ライポア キイ 撥來撥去。互に融通する。繰合せ。差繰する。大家錢——お互に金を融通し合ふ。
 ボア ボア ラウ 半流。潮が半分満ちてゐる。
 ボア ボア ラウ、カウ 博六猴。【六猴】の賭博をする。三つの賽の内二つ同點で一つ六點を振出すをいふ。
 ボア ボア ラム 伴濼。連。同伴。無——連かない。
 ボア ボア ラム イウ 半男陽。【半陰陽】。
 ボア ボア ラム シイ、ヌン 半籠是二。【半掩是二】。
 ボア ボア ラム ハア 半籠懸。何方附かず。中ぶらり。中途で其の儘にしておく。中途半端。講——何方とも付かぬ話をする。辨——中途半端な仕事をする。
 ボア ボア ラン 撥人。錢を一時融通してやる。

ボアヌ

ボアヌ 拵。打返して搦雑せる。糖與麵粉着。俵伊
 齊。砂糖と饅頭粉をむらの出来な様様搦雑せ
 なさい。落去鼎裡。俵伊燒。鍋に入れて雑返
 しながら温める。一鹵。肉汁に食物を入れて搦
 雑せる。

ボアヌ 叛。叛く。反。謀叛。一心。反心。被伊。
 去。彼に疾返を打たれる。

ボアヌ 盤。一足の上に足を重掛ける。一腿。腰掛けて
 膝の上に片方の股を載せる。脚。起來在坐。同
 上して坐つてゐる。疊。膝を組む。女郎や
 藝者を買ふ。藝妯。藝者買をする。贅笑婦
 などが容を欺待する。取持つ。持成す。賢。客
 取持が上手。

ボアヌ イイビエン 半衣旁。洗字の衣偏。
 ボアヌ ヲエ 搬話。(主に女が)有る事無いことを言ふ。
 讒言する。共徳夫。夫に兄弟の事などを讒
 言する。

ボアヌ キウ 半球。地球の半面。
 「言する。」
 ボアヌ キエツ 搬話。(邊)べてんにかける。狡猾い。
 ボアヌ キエツ 盤詰。詰問。料問。
 「狡猾な。」

ボアヌ キオン 泮宮。(又)孔子廟。
 ボアヌ ギエウ 叛逆。(又)叛逆。
 ボアヌ ケエ 盤客。贅笑婦などが客を操る。取持つ。
 持成す。賢。客を旨く取廻す。

ボアヌ

ボアヌ コオ 盤古。盤古。太古の帝王の名。
 ボアヌ コン 手オン 半空中。半空。中空。
 ボアヌ ゴアツ ヒエン 半月形。半月の形。蒲鋒形。
 ボアヌ サヌ 叛産田。重大な犯罪者より没收し
 た田園。抄封田の一種。

ボアヌ サウ 搬奏。譏奏。
 ボアヌ シエヌ 半仙。仙人の様な者。豫言者。先見者。
 ボアヌ シエン 半生。半生。一生の半分。

ボアヌ シヌ 半身。半身。
 ボアヌ シヌ 叛臣。(又)反臣。逆臣。
 ボアヌ シヌ ブツ スイ 半身不隨。(國)半身不隨。

ボアヌ シム 叛心。反心。逆心。
 ボアヌ スイ 半癡。半身不隨。中氣。中症。你不在
 一物提到落去。お前は中風か、持つてゐる
 物を落すなんて。

ボアヌ ソアヌ 盤旋。「盤拔」。
 ボアヌ ソヲ 搬唆。「搬弄」。
 ボアヌ チエツ 半折。五掛。五割。講話無。一話
 の半分は嘘だ。收你。君に對して
 は五掛丈賈は、君なら半額でよい。

ボアヌ チエツ イイ 半截衣。上部と下部と異つた布で
 作つた長衣。
 ボアヌ チエツ トオ 半截堵。半分は板、半分は硝子な

ボアヌ

ボアヌ チエツ ベエ 半截襪。半分づつ異つた二様の布
 で作つた靴下。
 ボアヌ チエン 半晴。(又)半晴。
 ボアヌ チアム 半點。(又)半點。少しも。毫も。一
 不由人。半點も人に由らず、凡て天命である。

ボアヌ チエヌ ルイ 半天雷。「牛屎龜」。
 ボアヌ マヲ 搬挑。(主に女が)中傷する。譏言する。
 水を差す。離間する。

ボアヌ ツイ 搬嘴。(主に女が)告口をして中傷する。
 一。小姑。同上の小姑。小姑鬼千匹の意。

ボアヌ ツウ 半子。娘の婿。
 ボアヌ ツウ 藩主。屬國の王。
 ボアヌ ツツ 叛出。寢返して他に附く。「る」。
 ボアヌ ヲイ 盤腰。腰掛けて膝の上に片方の股を載せ
 ボアヌ ヲヌ トオ 半吞吐。半分吞込んで半分しか話さ
 ない。講話。一話が不明瞭な。話が曖昧な。

ボアヌ トオ 半途。中途半端。半途。一而廢。中程
 ボアヌ トヲ 半島。(國)半島。
 「で止める。」
 ボアヌ トヲ 蟠桃。仙人の桃。一。赴會。同上の御馳
 走に仙人が赴くといふ外是。

ボアヌ トン 叛黨。逆徒。
 ボアヌ ハア 半夏。「土半夏」。

を治す。

ボエキアム 佩劍。佩劍。帶劍。

「る。

ボエキエク 陪客。客に陪する。相伴する。接待す

ボエキエン 背景。(國) 背景。

ボエキエン 配景。●物や色などを取合せる。●あし

らって飾る。

ボエキホク 批局。郵便局。

ボエギイ 背義。義に背く。

ボエギエク 悖逆。悖逆。違犯。背く。

ボエクイ 八歸。八で割る。八算の八で割る部。

ボエクイ 摺開。(漢) 【摺開】。

ボエクツ 背骨。謀反の人相。 【調合する。

ボエクヌシ 配君臣。主薬に補助薬を配合する。

ボエグウ 批語。●文章などの批評の文句。請願書

などに書入れてある役人の意見。●判決原本。

判決正本。

ボエケエ 陪客。【陪客】。

ボエゲエ 八月。八月。――入落雨八箇月乾土

八月八日に雨が降れば八箇月間土が乾く、八箇

月間旱魃の意。

ボエ コオ 八股。八股文。

ボエ コグ 背國。國に叛く。――軍師 同上の軍師、

ボエゴオ 配偶。(交) 配偶。連合。

ボエサア 皮衫。(漢) 【皮衫】。

ボエサン 陪送。御供して見送る。

ボエザア 配挿。配合。取合。――去真好 旨く取

合せてある。無――釣合はぬ。相應しくない。

講話落――話に修飾を加へる。

ボエサイ 配載。船で貨物を運送する。回漕。

ボエサイ 皮指。(漢) 【皮指】。

ボエザウ 摺草。(漢) 【摺草】。

ボエザウ 皮草。(漢) 【皮草】。

ボエザク 筩鑿。幅二寸斗の鑿。

ボエザツ 楷擦。(漢) 【楷擦】。

ボエザツ 批札。書翰。書翰文。消息文。

ボエザヌ 皮襯。(漢) 【皮襯】。

ボエシアウ 批消。批判の文句を書入れて抹消する。

案件――訴案に同上。訴訟却下。

ボエシアウレ 陪差禮。(漢) 【陪差禮】。

ボエシイ 飛絲。(漢) 【飛絲】。

ボエシイ 羞恥。恥しい。恥。廉恥。没――恥しく

ボエシイ 胚死。(漢) 【胚死】。

ボエシイビエン 陪絲旁。漢字の糸偏。

ボエシウ 批首。一番の成績。進――一番の成績で

ボエシウ 批箱。●狀箱。●郵便函。

ボエシウ 皮箱。(漢) 【皮箱】。

ボエシエク 陪席。陪席。

ボエシエク 配色。色を取合はせる。色を配合する。

ボエシオン 賠償。(漢) 【賠償】。

ボエシヌ 答信。(漢) 【聖答】。

ボエシヌ 陪臣。陪臣。又家來。

ボエシヌ 批信。手紙。音信。書面。書翰。書信。文

通。――來往 文通する。手紙の取遣り。

ボエシム 陪審。(國) 陪審。

ボエシム 背心。逆心。異心。二心。

ボエジイ 八字。生れた年月日時其の干支八字

を其の人の【八字】といひ之に依て運性を判

断す。――相剋 同上が相剋する。――對衝

同上。――重 運性が好い。――輕 運性が好

くない。

ボエジイカア 貝字脚。貸質など漢字の下につく

貝の字。

ボエジイチアア 八字帖。【八字】を記載した書物。

年齢書。

ボエジイビエン 貝字旁。漢字の小貝。貝偏。

ボエジイミア 八字命。【八字】によって定まる運命。

ボエ

ボエ

ボエ

ボエ

も貴方の同上如何による。

ボエスイヲ又背水陣。(又) 背水の陣。

ボエスウ背師。師匠に背く。師の恩を忘れる。

ボエヒエ陪祭。副祭主。

ボエヒエ陪坐。陪席。陪乘。

ボエヒエ摯尋。(漢) 摯尋。

ボエツア飛蛇。(漢) 飛蛇。

ボエツア楮紙。(漢) 楮紙。

ボエツア批紙。● 状紙。書翰紙。卷紙。● 端書。

ボエツエ陪罪。謝罪。

ボエツオ背祖。祖先に背く。

ボエタア焙乾。(漢) 焙乾。

ボエタア配搭。● 手配。手配。配置。部署。――俾伊好勢。工合の好い様に同上する。● 釣合ふ。

相應しい。五行有――五官の配合が釣合つて

る。顔容がよく整つてゐる。

ボエタウ配頭。配合。附合。配。料理。参――

料理につまを取合せる。講話落――話に修飾

を加へる。話の色を附ける。

ボエタウツイ配頭對。配偶者にする。正妻にする。

ボエタツ配達。(漢) 配達。

ボエタン批筒。郵便筒。ポスト。

ボエタン批桶。前に同じ。

ボエ

ボエチア陪食。陪食。

ボエチアウ飛鳥。(漢) 飛鳥。

ボエモブン賠償。(漢) 賠償。

ボエチイ摯錢。(漢) 摯錢。

ボエチイ陪錢。(漢) 陪錢。

ボエチイ背旨。聖旨に背く。

ボエモイ飛鼠。(漢) 飛鼠。

ボエチイ批錢。郵税。郵便税。

ボエチウ八漿。(漢) 八漿。

ボエチウ陪酒。藝者などが酌をする。召花――

藝者を呼んで酌させる。

ボエチウ摯手。(漢) 摯手。

ボエチウ配酒。(漢) 配酒。

ボエチウ配親。連添ふ。配偶者になる。

ボエチウヒオンソオ背親向疎。親しい者に背いて疎い者に附く。

ボエチアウ批條。訂正又は批評の附箋。

ボエチアウアア批條仔。前に同じ。

ボエチアム皮篋。(漢) 皮篋。

ボエチイ配置。手配。手配。配置。

ボエチエウ悻德。(漢) 悻德。

ボエチオン批中。手紙の中。書中。

ボエチオンブツ杯中物。(又) 杯中の物。酒。

ボエ

ボエチヲ背銚。(漢) 背銚。『する。』

ボエツツ輩出。(又) 輩出。英雄――英雄が輩出

ボエツツ批准。● 認可。許可。● 批准。

ボエツツ批船。郵便船。郵船。飛脚船。

ボエツツ配船。船に載せる。船で運ぶ。――載去

船に載せて運ぶ。

ボエツツ批狀。訴狀又は上申書に批判を書入れる。

ボエツイ配對。配偶にする。配する。夫婦にする。

連合にする。

ボエテ陪隨。● 招待。贈物などに對して返禮をする。定定被人請亦是歹勢一半次仔亦着

一人即能用得。いつも馳走にばかりなつて

ては工合が悪い。適には返禮をしなければならぬ。

● 客をあしらふ。――一人客を接待する。

ボエテ焙茶。(漢) 焙茶。

ボエテ批袋。狀袋。封筒。

ボエテ配茶。(漢) 配茶。

ボエテアア皮袋仔。(漢) 皮袋仔。

ボエトア皮帶。(漢) 皮帶。

ボエトア被單。(漢) 被單。

ボエトオタウ摯土豆。(漢) 摯土豆。

ボエトラ佩刀。帶刀。佩刀。

ボエトラロロ貝多羅。『番花。』

ボエ トン 配當。(一) 配當。

ボエ トン キム 配當金。(二) 配當金。

ボエ ハナ 配合。● 連添ふ。配する。連合ふ。● 配合。配する。取合せる。

ボエ ハム 批函。郵便函。

ボエ パイ 陪拜。【隨拜】。

ボエ パウ 皮包。(一) 皮包。

ボエ パグ 批腹。状袋の中。封筒の中。

ボエ パグ 批腹。批判の文句を書いて辯駁する。

ボエ パンケエ 入房科。【六房科】に【承發房】及び税房(稅務課)を加へた役所の入つの部局。

ボエ パンツオ 入房租。元彰化縣【入房科】の經費に充つるための大租。

ボエ ヒイ 飛魚。(一) 飛魚。

ボエ ヒオン 配享。(一) 合祀。

ボエ ヒラ 背後。(一) 背後。

ボエ ビイ 擘米。(一) 擘米。

ボエ ビウ 背謬。(一) 間違。誤謬。誤。

ボエ ビエヌ 背面。(一) 背面。後向。

ボエ ビエン 批明。書入して意味を明かにする。證文などにて不足な點又は不明瞭な箇所を書加へて誤解の無い様にする。但書を入れる。追書をす。

隨條——箇條を逐ひ書入して意味を明かにする。契尾着——契約書の終に追書をしなければならぬ。

ボエ ビイ 配比。取計ふ。就所有的物件落去——有りたけの物を以つて手配する。你爲我——看算——君が取計つて見て下さい。二比去——當事者雙方で取計ひなさい。雙方二人で交渉しなさい。

ボエ ビエン 批評。● 非難する。加減——矢體に非難する。● 被入——一句就不値——人に非難される様なことがあつては詰らぬ。● 批評。

ボエ ビエヌ 陪賓。(一) 陪賓。

ボエ ビエヌ 八品。(位階) 八品。

ボエ フウ 皮膚。(一) 皮膚。

ボエ フヌ 配婚。結婚する。連添ふ。

ボエ フン 八方。八方。八荒。【の名】

ボエ プウ 貝母。(一) 祛痰鎮靜劑として用ひる漢方藥

ボエ ホアヌ 背反。【背叛】

ボエ ホエ 擘會。(一) 擘會。

ボエ ホオ 背後。(一) 後。背後。英雄——有英雄——英雄の背後に英雄あり、偉い者の上には又偉い者が居る、上には上がある。

ボエ ホラ 配和。調合する。——藥味——藥劑を調合する。

ボエ ボオ 貝母。【貝母】。

ボエ ボオ 胚模。(一) 胚模。

ボエ ボン 培墓。(一) 培墓。

ボエ ボア 陪伴。陪從する。陪伴する。相伴する。供をする。——人客——御客様の御供をする。

ボエ ボアヌ 杯盤。(一) 杯と皿。杯盤。

ボエ ボエ 飛飛。【飛】。

ボエ ボエ 擘擘。【擘】。

ボエ ボエ 楷楷。【楷】。

ボエ ボエ 陪陪。【陪】。

ボエ ボエ 陪陪。【陪】。

ボエ ボエ 背背。【背】。

ボエ ボエ 培培。【培】。

ボエ ボエ 焙焙。【焙】。

ボエ ボエ 拔拔。【拔】。

ボエ ボエ 批批。【批】の(一)。

ボエ

ボエ

ボエ

は善後策を講せなければならぬ。④營養になる。滋養になる。一藥一強壯劑。食一滋養物を食べる。一脾利水一脾を補ひ尿を通ぜしめる。身命一没起來一營養物を攝つても健康が恢復しない。

ボオ斧。斧。一頭一同上。大一一大な斧。擽一一手斧。

ボオ脯。乾枯びて小くなる。嘘一一萎びる。菜曝日能一去一日に晒すと菜が萎れて来る。乳一去

一乳が縮んで小くなる。①魚・野菜などを乾したもの。乾物。魚一雜魚の干物。菜一一大根を乾したもの。切乾。

ボオ保。(保)【保】。

ボオ傳。(傳)傳。

ボオ布。(布)布。反物。木綿物。布。敷一布を敷く。一店一吳服屋。一衫一木綿着物。網仔一絹の布。油一防水布。面一タオル。一布。配置する。一陣一陣を布く。愛一甚麼景

②撮影の時など何様な背景にしませう。③硬くて歯切が悪い。猪母肉較一一年取った雌豚の肉は歯切が悪い。

ボオ播。(播)播。稻を植ゑる。田植。一稻一同上。一田一田植。一内地種一内地種の稻を植ゑる。

ボオ報。(報)【報】。

ボオ

ボオ

ボオ

ボオ蒲。(蒲)蒲。

ボオ房。房。蜜一蜜蜂の巢。乳一乳房。蓮花一蓮の花の子房。蓮一同上。

ボオ模。形。手一大一掌が大きい。脚一細一足の形が小さい。面一顔の形。

ボオ苞。酒。醬油等の麴。堅一同上を造る。酒一酒の麴。豆一豆の麴。草木の叢。樹林一木の林。刺林一荆棘の林。

ボオ袍。着物の縁。縁。拗大一縁を大きく折る。搦一箆縁を取る。

ボオ暴。侮辱する。被伊一去一彼に侮辱された。ボオ捕。(捕)捕。捕。捕。捕。風捉影一風を捕へ影を捉へる。雲を掴む様な事。又根底の無

事。巡一警吏。捕吏。ボオ歩。(歩)歩。股。三一做二一三步を二歩にする。大急で歩く。大一行一大胆に歩く。十一九回頭一十歩に九度振返る。別れを惜む。

①方法。手段。手。無變一施す方法がない。秘訣一秘訣の方法。奥の手。想無一考へても方法がつかぬ。毒一悪辣な手段。不識棋一碁の手を知らぬ。欠二一碁など二手足らぬ。拳頭一拳術。賺食一手管。職業上必要な手段。

ボオ候。此一今。只今。現一現今。現在。

ボオ部。部。一類一部類。入在火一燃・炎・照などの字が字引の火の部類に屬してゐる。一分一部。六一尙書一吏部・戸部・禮部・兵部・刑部・工部の六部の長官。②内務一内務部。

ボオ哺。食物を嚙む。咀嚼する。無嘴齒沒一齒が無いので咀嚼することが出来ぬ。空嘴一舌に何も無く舌を嚙む。口先ばかり旨いことをいふ。

ボオ抄。物を括る爲の繩・藥の類。索仔一同上の繩。藤一砂糖俵などを括る藤。粽一粽を結ぶに用ふる草。草一藥を結び合せたもの。

ボオ暴。(暴)【暴】。

ボオ麵。頭一雲脂。麥一麥の糠。

ボオ燥。(朝起又は病氣の時など)口が悪い。嘴一同上。嘴内一無愛食一口が悪くて食べたくない。一敷く。敷並べる。一石頭仔一砂利を敷く。

一枋一板を敷く。一板一煉瓦を敷く。一綿一綿を敷く。一配頭一料理の上につまを並べる。一橋一橋板を敷く。橋をかける。一板を敷並べた簡単な寢床。一板一床板。換一寢床を換へる。打一床板を敷く。蚊單被一蚊帳と布圍と寢臺。寢具。一表面を飾る。體裁を裝ふ。外觀を張る。

ボオ

ボオ

ボオ

ボオ

一面前堅 同上。一面煙 同上。●機嫌を取る。一掛機嫌を取って持成す。講幾句仔共伊。一寸褒て彼の機嫌を取る。與伊上大。一彼に對して大いに持成す。包錢共伊。一お祝に金を包んで贈る。●豚の相場。替。猪。一同上。猪一眞貴。一豚の相場が高い。一個銀掠幾斤。一圓で何斤替か。彼隻猪有百五十斤。一あの豚は百五十斤の目方が有る。

ボオ浦。(姓)浦。

ボオ普。(姓)普。●孟蘭盆。盆祭。施餓鬼。一度。同上。困仔。一子供のする盆祭。市場。一市場の商人のする孟蘭盆。船仔。一船頭のする川施餓鬼。●盆祭をする。何時要。一何時盆祭をするか。七月初一。一初月尾止。七月一日より始めて月末迄盆祭をする。

ボオ頗。概略。ざつと。略。一略仔。同上。一知略。知つてゐる。少し知つてゐる。

ボオ譜。●譜。畫。一畫譜。族。一一族の系圖。曲。一曲の譜。外國。一外國の樂譜。●大體の見當。按一個。一大體の見當を見積る。掠。一凡の見當をつける。開。一値段などの概略を示す。

ボオ舖。●店。●店。●店。一同上。一戸。一大きな店。一屋。一老。一老舖。●(約六十丁に當る)舖。一千

ボオ

歩爲一里。十里爲一。一千里歩を二里と爲し十里を一舖と爲す。一站。一舖毎に有る驛。離天七。一七路。一天まで七舖掛離れてゐる。天淵の差。

ボオ破。(姓)破。

ボオ扶。●抱へて持上げる。支へて持上げる。一高。一抱へて上げる。●機嫌をとる。詔ふ。一脚踏手。一足を抱へて手を持上げる。大いに持成す意。賢。一上官。上官を旨く持上げる。詔ふ。一生葩。一陰囊を持上げる。詔ふ。●奪ふ。一伊的头路。一彼の職を奪取る。夥計被入。一去。一情婦を人に取られた。

ボオ簿。帳。帳面。帳。一同上。日清。一其日の出入勘定を記す帳面。閩君。一閩麗帳。

ボオ廊。製糖所。糖。一同上。蔗。一同上。機器。一機械製糖所。

ボオアア鋪仔。板を敷並べた簡單な寢床。板敷。ボオアア簿仔。帳面。手帳。帳簿。手控。

ボオアアシアウ簿仔。帳簿勘定。記。一帳簿に勘定をつける。通帳につける。提。一帳簿で物を取る。

ボオアン補。襖を修繕する。ボオイア捕役。捕吏。捕方。捕吏。

ボオイアム浦。山鹽。【山鹽菁】。

ボオ

ボオイイ布衣。(衣)布衣。無位無官。平民。

ボオイウ布幼。布屑。

ボオイエン補用。充用。補用。

ボオイエ恩補英。【鬼仔菜】。

ボオイエンツイ補英水。【補水】。

ボオイオン補養。養生。保養。滋養。營養。

ボオイオン補陽。強壯劑などで勢力を附ける。元氣を補ふ。食鞭仔。一【鹿鞭】を食つて勢力を附ける。

ボオイオン播揚。宣傳して廣める。宣傳する。一伊的名聲。一彼の名聲を宣傳する。

ボオイイ補藥。補藥。強壯劑。補藥。

ボオイイ布印。布に押した印。

ボオイイヌ布印花。置形。

ボオウイ補遺。補遺。

ボオウイ補胃。健胃。

ボオウイ部位。致命の局部。急所。禁穴。打。一急所を打つ。

ボオウヌ補運。神に祈つて不運を補ふ。運を神に祈る。

ボオウヌ歩韻。和韻。次韻。

ボオウヌチ補運錢。【補運】をする時に焼く【金紙】の一種。

ボオエエ布鞋。(鞋)布鞋。

ポオ エ工 部下。(國) 部下。配下。

ポオ オク 暴悪。(交) 暴悪。兇惡。

ポオ オエ 布鞋。(皇) 布鞋。

ポオ ヲア 補碗。茶碗を接ぐ。茶碗を燒接する。

ポオ ヲエ 布鞋。布の靴。

ポオ ヲエ 蒲鞋。「蒲草」で作った靴。藁靴。林投などで作った靴。「農夫」。

ポオ カア 廊脚。製糖會社に屬して砂糖黍を栽培する

ポオ カアサン テウ 扶脚挾手。足を抱へ手を持上げる。下にも置かないで持成す。好望的の人行到

塊各個都——|| 德望のある人が行く先で人人が皆歡迎する。生理人對人客——||

商賣人が客を大いに持成す。賢——|| 取持

が上手だ。よく詔ふ。

ポオ カイ 鋪蓋。寢具。夜具。

ポオ カウ 布郊。吳服の間屋。反物の間屋。

ポオ カウ 布教。(交) 布教。

ポオ キア 歩行。徒歩。歩行。歩く。

ポオ キアム 補欠。缺を補ふ。

ポオ キイ 簿記。(國) 簿記。

ポオ キイ ジエヌ 暴其然。「暴其然」。

ポオ キイ リホク 頗其略。●荒増。概略。大略。大

體說一個——|| 其の概略を話す。——|| 知

●荒増は知つてゐる。●普通。中位。工夫——

——|| 細工は普通の出来。做起來的文——|| 作

った文章は中位。

ポオ キイ リホク アア 頗其略仔。前に同じ。

ポオ キウ 埔姜。(植) たいわんにんじんぼく。(馬鞭草

科、葉は乾して茶の代用となし果實は煎服して感

目・神經痛・頭痛・眼病・毒蛇咬傷等を治す)。

ポオ キウ テエ 埔姜茶。「埔姜」の葉に紫蘇及び「林仔

抜」の葉を混ぜて日に乾し茶の如くにして飲むも

の。(解毒劑として用ひる)。

ポオ キエン 布景。●物を配置して景色を作る。花園

——|| 庭園に同上。戲臺——|| 舞臺に背景を作

る。●舞臺などの背景。

ポオ キエン テウ 歩弓手。徒歩で弓を射るもの。

ポオ キエン ツヌ 捕鯨船。(國) 捕鯨船。

ポオ キホク 布局。●碁や將棋などの局を布く。●仕

組む。計劃する。

ポオ キキヲ 鋪橋。橋を掛ける。橋を架する。橋を渡す。

——|| 造路|| 橋を掛け路を造る。

ポオ キキア 普及。(國) 普及。

ポオ キギア 補額。不足を補ふ。補足する。補充する。

ポオ クイ 布機。機。

製し嫩芽は食用に供することを得)。

ポオ クイ セエ 布機紗。機絲。

ポオ クツ シアウ 布骨硝。「金錢薄荷」の①。

ポオ クヌ 布衰。「衰條」。

ポオ クン ポオ アン 補缸補甕。壺や甕の修繕。陶磁

ポオ グヌ アア 蒲銀仔。「蒲崗」。

ポオ ケエ 補缺。●缺員になつてゐる官位に就く。●

ポオ コア 補襠。胸と脊に方形の縫飾のある官人の禮

ポオ コア 部官。「六部」の官員。「服」。

ポオ コアイ マン 捕快總。「捕快」を監督するもの。

ポオ コア ツ 補闕。(國) 補闕。

ポオ コエ 布瓜。「菜瓜」。

ポオ コエ 補缺。(海) 補缺。

ポオ コオ 布鼓。布で張った太鼓。

ポオ コヲ 佈告。布告。

ポオ コヲ ブヌ 佈告文。布告文。觸書。

ポオ コグ 布穀。(交) 郭公。

ポオ コン 廊公。製糖所の護神。

ポオ コン イエン 蒲公英。●「兔仔菜」。

●「馬尾

葉を煎服し解熱・解毒・健胃・強壯劑となす)。

ポオ コン タア タウ 歩光踏斗。道士などが並べてあ

ポオ

ポオ

ポオ

ボオ

る燈火と柵の上を跨いで魔術を使ふ。

ボオ コンチエン蒲公丁。【蒲公草】。

ボオ コイ 補欠。(鼻)【補欠】。

ボオ ゴアツ 蒲月。(又)五月の異名。早月。

ボオ ゴアツ 歩月。(又)月を賞する。「を繕ふ」。

ボオ サア 補衫。着物に縫をする。破綻を繕う。着物

ボオ サア 布衫。綿服。木綿着物。

ボオ サツ 菩薩。菩薩。

ボオ サマ 破産。(鼻)【破産】。

ボオ サマ 水歩山虎。【穿山甲】。

ボオ サン 扶換。【扶脚換手】。

ボオ サア 補束。補薬で體を丈夫にする。——身命

|| 同上。——的藥|| 強壯劑。

ボオ サア 補柴。入木。埋木。

ボオ サイ 布指。布で作った指貫。

ボオ サイ 頗知。略知つてゐる。

ボオ サウ 蒲草。(種)(香蒲科)ひめがま。

ボオ サウ イウ 埔草様。(種)まさばくさき。(馬鞭草

科、根を煎服してマラリヤを治す)。

ボオ サツ 部札。【六部】より出す指令。省の發する指

令。省令。

ボオ ツツ ミイ 補漆麵。パテを填めて繕ふ。

ボオ ツツ 又 播田。苗を植ゑる。田植。植付。——面憂

ボオ

憂、割稻卷、嘴鬚|| 田植の時の心配顔、刈入時の

鬚捻。早春緩|| 立春が舊曆十二月に來れば

雨が多い故田植が後れる、時機が尙早いなど。

ボオ サム 舗站。一【舗】毎にある驛。宿場。

ボオ サン 布綜。綜。

ボオ サン ソア 布綜線。綜線。

ボオ シイ 布司。布政司。

ボオ シイ 布施。施をする。施與する。

ボオ シイ 普施。施餓鬼。無縁佛を祭る。

ボオ シエツ 舗設。家具などを順序よく整へる。

ボオ ショク 部屬。部屬。部下。

ボオ シオン 布商。呉服屋。

ボオ シヌ 補腎。補薬で頭をよくする。

ボオ シヌ 布身。布地。織物の地合。地質。——肥

|| 布地が厚い。——幼|| 木目が精い。——結||

|| 同上。●布の長さ。布の尺。——短|| 同上が短

ボオ シヤ 補習。(國)補習。

ボオ シム 埔心。(種)茶樹の品種。

ボオ ジョク 暴辱。辱しめる。侮辱する。

ボオ ジム 補任。補任。

ボオ セエ 步勢。拳法などを演ずる時の姿勢。構。

ボオ エエ トン 普濟堂。【普濟院】。

ボオ ソオ 補所。果報。報。有孝有——孝行をす

ボオ

れば好い報がある。食了無——食った甲斐が

ない、食つて下痢をした時などにいふ。

ボオ ソオ 歩數。●方法。仕方。手段。工夫。

●手練手管。想看有好——何か好い方法を講ず

る。●(國)歩數。

ボオ ファ 布行。布の經緯の筋。布の絲筋。

ボオ フェ 補罪。罪を償ふ。罪滅。將功——功を

以つて罪を償ふ。

ボオ フオ 補助。(國)補助。

ボオ タア 補搭。填めたり貼つたりして繕ふ。補修す

る。修繕する。——舊厝|| 古い家屋を修繕する。

——破衣裳|| 破衣を繕ふ。【する。

ボオ タア 布搭。配置。手配。——軍兵|| 兵隊を配置

ボオ タア 扶撐。●兩手で抱へて持上げる。●詔ふ。

媚びる。機嫌を取る。

ボオ タイ ハ又 步大汗。(進)步大汗。

ボオ タウ 埠頭。●田舎の小さな町。●開港場。浪戸場。

ボオ タウ 斧頭。斧。自己的——液能削柄|| 斧は自

分の柄を削ることが出来る、醫者の自脈效驗なし。

ボオ タウ 布頭。織物の端。——布尾|| 小切。布屑。

ボオ タウ キエン 斧頭蓋。斧の背。

ボオ タウ チイ 斧頭擗。●斧の擗。●密偵を罵る語。

ボオ タウ チョ 斧頭石。雷斧石。雷斧。

ポオキク 補別。壁又は着物などを繕ふ。修補する。

ポオキク 破孔破れてゐる所を繕ふ。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキツ 補塞。補填する。填充する。補ふ。填める。

ポオキウ 捕捉。(又)逮捕。捕捉。

ポオキオン 褒獎。(又)「褒獎」。

ポオキオン 補充。(又)補充。

ポオキヨ 部照。【六部】の發した通告。通達。

ポオキヨ 鋪石。石を敷く。石を疊む。

ポオキツイウ 歩階又。(又)歩階又。

ポオキツヌ 暴珍。(又)暴珍。一、天物、天物を暴珍する。物を粗末にする。

ポオキツム 布枕。括枕。

ポオキツア 補鼎。鍋の破目を修理する。鑄掛る。一、續火、火の起つてゐる序に同上、一般に手序に事をするをいふ。

ポオキツア 補呈。前の訴狀に漏れた事を補ふ。願書。

ポオキツアム 布店。呉服屋。

ポオキツイ 布置。布置。手配。手配。配置。装置。仕組。一、傷濁、裝飾品など配置がしつこい。安排。一、家具など綺麗に整頓する。

ポオキツイ 補添。添足す。補足す。補充する。

ポオキツイ 一到。到り足るまで補ふ。

ポオキツイ 補紵。縫繕ふ。補繕する。一、破衫、破着物を縫繕ふ。

ポオキツイ 頗知。【略知】。

ポオキツウ 播稻。稻を植ゑる。田植。植附ける。

ポオキツウ 部長。(又)部長。

ポオキツウア 捕鵲仔。(又)雲雀。

ポオキツエヌ 暴珍。(又)暴珍。

ポオキツエヌハア 普天下。(又)普天の下。滿天下。

ポオキツエン 廊亭。砂糖製造所の小屋。

ポオキツヌ 布陣。陣を取る。陣を布く。陣立。

ポオキツイ 補水。打歩。(人民より徴収する銀貨は小片なるを以て之を改鑄する場合の損亡を補ふため、一兩に付一錢を増徴する慣例あり、其の増徴する錢を補水といふ)。

ポオキツイ 布碎。布の切屑。切。布の切端。

ポオキツイアア 布碎仔。前に同じ。

ポオキツイキイ 補嘴齒。齒を入れる。入齒をする。

ポオキツツ 歩卒。歩兵。歩卒。兵卒。

ポオキツツ 布莊。呉服問屋。

ポオキツツ 鋪磚。煉瓦を敷く。

ポオキツイ 補替。取換へて修繕する。入換へて繕ふ。補修する。厝壁柱棟計計。一、家の壁柱。税を皆同上する。

ポオキツイン 布長。布の丈。

ポオキツエヌ 布底。(又)「布底」。

ポオキツエヌ 布袋。米などを入れる麻の袋。ガンニー袋。一、奇。一、一つの麻の袋。一、擔。一、一荷の

ポオキツエヌ 布袋。米などを入れる麻の袋。ガンニー袋。一、奇。一、一つの麻の袋。一、擔。一、一荷の

ポオ

ポオ

ポオ

ボオ

袋の荷物。飼老鼠咬——鼠を飼つて袋を咬まれる。飼犬に手を咬まれる。

ボオオエ 菩提。菩提。

ボオオエ ヲア 菩提丸。(藥) 消化劑として用ひる

ボオオエ ギア 布袋鷹。(鳥) ベリカン。「丸薬の名。

ボオオエ クイ 布袋鬼。布袋腹してゐる大兵を罵つ

ボオオエ コヲ 菩提菓。「風鼓」の③。「ていふ。

ボオオエ フアヌア 布袋羊鴨。鷺の腹の中に刻んだ椎茸、筍、等を詰めて煮た料理。

ボオオエ テアウ 布袋鳥。(鳥) ベリカン。

ボオオエ テイ 菩提子。「黄目子」。

ボオオエ テウ 菩提樹。菩提樹。「形之居。

ボオオエ ヒイ 布袋戲。操人形の芝居。操芝居。人

ボオオエ ヒイ アンア 布袋戲店仔。操人形。

ボオオエ リヌ 布袋乳。でぶでぶと垂下つてゐる乳房。「包仔乳」に對す。

ボオオエ アヌ 蒲團。禮拜などの時除をつく爲の座蒲團。一塊——一枚の座蒲團。草——藁座蒲團。

ボオオエ エ 布底。①「布身」。②木綿地。木綿物。是——不是絲底——木綿物で絹物ではない。

ボオオトオ 普度。孟蘭盆。盆祭。孟蘭盆會。施餓鬼。

ボオトオ コン 普度公。盆祭に拜む無縁佛。

ボオトヲ 布道。傳道する。布教する。

ボオ

ボオトヲ 葡萄。葡萄。

ボオトヲ 歩道。(圖) 歩行する道。歩道。

ボオトヲ 蒲桃。「風鼓」の③。

ボオトヲ サヌ 普陀山。普陀山。寧波及び厦門の附近にある有名な山寺。

ボオトニ 普通。(圖) 普通。

ボオトオ 布袋。(鳥) 「布袋」。

ボオトオ エ 布底。(鳥) 「布底」。

ボオニイ 布陣。綿ネル。

ボオハア 部下。部下。手下。子分。配下。

ボオバツ 布目。①布の目。②疎布の目が粗い。③有錢出有——金を出した丈の効果が見れる。金の出映がある。了錢無——金の出し損。

ボオバン 補網。網を繕ふ。

ボオパイ 鋪排。①持成す。取持つ。持揚げる。取入る。②話——話とお世辭。③禮物などを贈つて祝ふ。包錢共伊——金を包んで同上。阮老父的生日無俾人——親爺の誕生祝には人の祝賀をことわる。

ボオパク エエ 部賤的。「六部」の土木、購買などを一手に引受けるもの。

ボオパヌ 鋪板。寢臺の敷板。

ボオパヌ エエ 部賤的。「六部」より賤布したもの。

ボオ

ボオパヌ パン 鋪板枋。寢臺の敷板。

ボオパン 布枋。布を貼重ねて板の如くしたもの。

ボオパン 布房。染物屋。紺屋。

ボオパン 布帆。①幕。②天幕。テント。「板を張る。

ボオパン 鋪枋。①寢臺の敷板。板張。②板を敷く。

ボオヒア 布靴。布で造つた長靴。

ボオヒエツ 捕獲。(圖) 捕獲。

ボオヒエツ 補血。補血。①藥——補血劑。

ボオヒエヌ ボオサツ 普賢菩薩。普賢菩薩。

ボオヒエン 步行。(圖) 步行。

ボオビヌ 鋪面。①表面に敷並べる。用石掃——砂利を同上。②表面を飾る。外觀を張る。

ボオビヌ タヌ 鋪面鯉。①表面に並べた鯉。——浸水鯉——同上と水に浸した牡蠣。魚屋が鮮しくて大な鯉を表面に並べ、牡蠣を水に浸して大きくする。上邊を飾る意。②表面を飾る。上邊を飾る。

ボオビヌ 好羅好羅 眞賢——何た彼だと言い事を書いて上手に上邊を飾る。

ボオビアウ 譜表。(圖) 譜表。

ボオビイ 保庇。(鳥) 「保庇」。

ボオビイ 補脾。補藥で胃を丈夫にして食欲を増進する。——利水——消化を助け利尿する。

ボオビイ 布棚。天幕。テント。結——同上を張る。

ボオ

ボオビイ 鋪平。●並べて平にする。面頂的(めんてい)石掃着(いしはき)——表面(うへめん)の砂利(せり)を均(な)して平にする。●取分(とりぶん)を公平(くわいへん)にする。叫公(けいこう)親來(しんらい)——仲裁者(ちゆうさいしや)に頼(たの)んで公平(くわいへん)に分配(ぶんぱい)する。

ボオビイ 鋪攤。一部分(いぶぶん)分配(ぶんぱい)する。——俾伊(せいい)平(へい)少し分(わ)けて平均(へんぐん)する。——寡藏(くわさう)下此(げし)旁(はた)少し分(わ)けて此方(こち)に置く。緩仔(かんざ)——分還(ぶんげん)にする。

ボオビエウ 暴白(ぼうはく)。辱(はか)しめる。侮辱(ぶじやく)する。嘲(あざ)む。

ボオビエン 歩兵(ぶへい)。(團)歩兵(ぶへい)。

ボオビツ 布帛(ふはく)。(交)布帛(ふはく)。

ボオビツ 布疋(ふて)。反物(たんもの)。

ボオビツアア 埔筆仔(ぽへいしや)。九螺仔花(くわらざな)。

ボオビヌ 暴瀨(ぼうぜん)。突然(とつぜん)に。出拔(でびやく)に——叫我(けいが)做此(しや)號(ごう)頭路(ごうど)——突然(とつぜん)にこんな仕事(しごと)をやれといふ。●今(いま)迄(まで)是迄(まで)以前(いぜん)從來(じゆんらい)従前(じゆんぜん)は——是好額(じやうがく)底(てい)——従前(じゆんぜん)は金持(かねもち)であった。——不曾(ふべん)行遠路(ぎんげん)——従前(じゆんぜん)は遠い路(とほい)を歩いたことがない。

ボオフイ 補磁(ほぢ)。瀬戸物(せともの)を接(つ)く。燒接(やまつ)する。

ボオフヌ 布痕(ふいん)。布目(ぬめ)。

ボオブツ 補物(ほぶつ)。滋養物(じやうえいぶつ)。營養物(えいようぶつ)。

ボオブヌ 部文(ぶぶん)。「六部(りくぶ)より出す文書(ぶんしよ)。

ボオベエ 布棚(ふたか)。(港)布棚(ふたか)。

ボオベエ 鋪平(ふへい)。(港)鋪平(ふへい)。

ボオ

ボオベエ 鋪攤(ふたい)。(港)鋪攤(ふたい)。

ボオホアツ 補法(ほぽう)。修繕(しゆせん)する方法(はたら)方法(はたら)直方(ちかた)。

ボオホエ 部會(ぶかい)。基督教(きりすと)の「中會(ちゆうかい)の委員會(かみんかい)部會(ぶかい)。

ボオホオ 鋪戶(ふこ)。(港)商家(せうか)問屋(もんや)大店(おほてん)。

ボオホオソア 布雨傘(ふうさん)。(港)編蝠傘(へんぷくさん)編蝠傘(へんぷくさん)。

ボオホン 蒲黃(ぼわう)。(港)香蒲(かや)の穂(ほ)の部分(ぶぶん)を採集(さいしゆ)したもの。(茶褐色(ちやくしやく)にして刻煙草(こくえんそう)状(じやう)をなし止血劑(ちけつざい)として「用ひらる)。

ボオホン 暴風(ぼうふう)。(團)暴風(ぼうふう)。

ボオホンチオウイエン 捕風捉影(ほふうとつえい)風(かぜ)を捕(と)り影(かげ)を捉(と)る。跡方(あとがた)もない。影(かげ)も形(かたち)もない。雲(うみ)を掴(つか)む様(よう)へる。

ボオボア 部盤(ぶばん)。(港)臍(へそ)の下(した)下腹(したはら)。「な。無根(むこん)。

ボオボアチエン 部盤頂(ぶばんてい)下腹(したはら)の脹(は)れた部(ぶ)。

ボオボオ 枯枯(ここ)。(港)枯(こ)。

ボオボオ 補補(ほほ)。(港)補(ほ)の(補)の(補)。

ボオボオ 肺肺(はいはい)。(港)飢(う)い——腹(はら)がへこへこになる。攝(しやく)——乾(かわ)からびて皺(しわ)だらけになる。●肺(はい)の(補)の(補)。

ボオボオ 布布(ふふ)。(港)屢(しばしば)——硬(かた)くて齒切(はきり)が悪い。●布(ふ)の(補)の(補)。

ボオボオ 播播(はは)。(港)播(は)の(播)の(播)。

ボオボオ 暴暴(ぼうぼう)。(港)暴(ぼう)。

ボオボオ 哺哺(ほほ)。(港)哺(ほ)。

ボオボオ 歩歩(ほほ)。(港)歩(ほ)。

ボオボオ 都着我(とちやくが)家の事(が)は——僕(ぼく)かするのだ。

ボオボオ 鋪鋪(ふふ)。(港)鋪(ふ)の(鋪)の(鋪)。

ボオ

ボオボオ 燥燥(そうそう)。(港)燥(そう)。

ボオボオ 普普(ふふ)。(港)普(ふ)の(普)の(普)。

ボオボオ 頗頗(ほんほん)。(港)能(よ)い——少(すく)し出來(き)る。とと判(わか)る。——識(し)識(し)略(りやく)知(し)つてゐる。

ボオボオ 破破(はは)。(港)破(は)。

ボオボオ 扶扶(ふふ)。(港)扶(ふ)。

ボオボオアア 頗頗仔(ほんほんざ)。(港)頗(ほん)。

ボオボオ 布綿(ふわた)。(港)布(ふ)の毳(わた)立(た)った毛(け)。

ボオボオ 布綿(ふわた)。(港)布(ふ)の端(はた)のささく

ボオボオ 鋪綿(ふわた)。(港)鋪(ふ)の綿(わた)。

ボオボオ 布毛(ふけ)。(港)布(ふ)の毳(わた)立(た)った毛(け)。

ボオボオ 譜脈(ふみやく)。(港)大體(たいたい)の見當(けんたう)掠(りやく)一個(いっご)——大體(たいたい)の見當(けんたう)をつける。知(し)一個(いっご)——概略(がいりやく)を知(し)つてゐる。

ボオボオ 哺流(ほりゅう)。(港)午後(ごご)の潮(しほ)。

ボオボオ 補漏(ほろう)。(港)漏(も)る所(ところ)を修理(しゆり)する。「する。俵(はたけ)る。

ボオボオ 扶生葩(ふせいば)。(港)陰囊(いんなん)を持揚(もちあ)げる。詔(めい)ふ。詔(めい)談(だん)。

ボオボオ 布條(ふじょう)。(港)細(こ)長い布(ぬ)の切(きり)。

ボオボオ 布料(ふりょう)。(港)布(ふ)の材料(ざいりょう)。

ボオボオ 布地(ふぢ)。(港)布(ふ)の地(ぢ)。

ボオボオ 布片(ふぺん)。(港)布(ふ)の片(ぺん)。

ボオボオ 埔黏(ぽねん)。(港)畑(はた)地に栽培(さいばい)する糯米(もろこ)。

ボオボオ 布裏(ふうら)。(港)布(ふ)の裏(うら)。

ボオボオ 布裏(ふうら)。(港)木綿(もくわた)の裏(うら)。

ボオボオ 布裏(ふうら)。(港)暖簾(のれん)裏(うら)。

ボオボオ 布裏(ふうら)。(港)暖簾(のれん)裏(うら)。

ボオボオ 布鈕(ふねう)。(港)紐(ひも)を結(むす)んで作(つく)った鈕(ねう)。

ボラト。(一)性ト。(二)萬一を僥倖する。一六勝負。目

險をする。山を張る。傾一同上。打一同上。

傾尾注與伊一。下一最後の賭金を張って一六

勝負をする。望。有一望がある。無一望が

ない。或は……であらう。ひよとすると。一

是如此一或は斯うであらう。一敢去喇咧一

或は行ったかも知れぬ。一上げる。

ボラ堡。堰。堤防。石一石の岸壁。作一堤防を築

駁。論争する。口論する。言合ふ。一嘴一同上。

住在一。口論してゐる。一來一去一互に言合ふ。

ボラ婆。一年取った女。老女。婆。阿一婆様。老阿

一同上。煮食一飯炊婆。媒人一女の仲人。

伯叔祖母などの稱號。婿一叔祖母。始一

祖母の兄弟の妻。姑一從祖母。婦人を卑ん

で言ふ。乞食一女乞食。賊一女泥棒。紅毛

一毛唐の女。日本一日本の女。

ボラ模。【模】。

ボラ暴。(一)暴。亂暴。狂一狂暴。一虐一暴虐。

自一自棄一自暴自棄。【暴】。

ボラ薄。(一)薄。薄。厚一厚薄。一皮一薄皮。

板仔一薄い板で作った棺桶。淺牆一壁一垣が

低く壁が薄い。家の中が容易に見られる締のな

い家。稀薄。茶泡較一茶を薄く入れる。

ボラ

ボラ

ボラ

ボラ

酒有厚一酒には濃いのと薄いのがある。(一)少

い。淡い。利真一利益が少い。色較一色

が淡い。

ボラ箔。箔。錫一錫箔。金一金箔。箔一金銀

紙に錫箔を貼る。一張一一枚の箔。

ボラ波。波。波。浪一波浪。水一水波。平地起

風一平地に風波を起す。波瀾を起す。電一電

波。音一音波。(一)シヤボン玉など直に消える泡。

雪文一石鹼の泡。起一泡が立つ。

ボラ有。海綿などふはふは軟い。麵包真一パンが非

常に軟い。土較一土がふはふはしてゐる。平

果較一水梨較有。林檎の方は軟く梨の方は硬

い。

ボラ破。破る。一伊的技術一彼の魔術を破る。一項

一項病には各其に適した薬がある。規那

一寒熱一キニーネはマラリヤを治す。菜頭一參

仔一大根は人參の滋養分を消す。【破】。

ボラ粕。滓。蔗一砂糖黍の滓。茶一茶滓。薬一

薬を煎した滓。

ボラ部。部。一册一一部の本。一二卷一一部二

册。(一)手髪。草木など一所に養生する。叢。草一

草叢。一竹一叢の竹。頭毛大一髪が

房房してゐる。一嘴鬚一一握の鬚。

ボラ

ボラ

ボラ

ボラ

ボラ抱。抱く。抱かかへる。抱へる。一団仔一

子供を抱く。雙手一雙孫一兩方の手に二人の

ボラアア報仔。早飛脚。傳令使。【孫を抱く。

ボラアア婆仔。年寄の女の召使。婆。新娘不食一

一額一花嫁が食べなければお供の婆が始末しなけ

ればならぬ。

ボラアア朴仔。(一)樫。樫。樹は並木となし材は

薪料となす。

ボラアアチイ朴仔子。樫の實。

ボラアアチウ朴仔樹。【朴仔】。

ボラアア保安。(一)保安。

ボラアアヌコラ保安課。(一)保安課。

ボラアアヌツヌオン保安尊王。鎮守の神の名。

ボラアアヌリム保安林。(一)保安林。

ボラアアム葡萄鹽。(一)酒石酸。

ボラアアイン保養。(一)保養。

ボラアアウ保養。(一)保養。養生。(一)保育。愛育。

ボラアアエン報應。報。應報。果報。

ボラアアエク破約。(一)破約。違約。

ボラアアオン褒揚。【褒獎】。

ボラアアオン保養。【保養】。

ボラアアオン報揚。言鞭す。觸廻る。觸散す。宣言

ボラアアイヌ報恩。(一)報恩。【報恩】。

ボラ

ボラ

ボラ

ボラ

ポロ

ポロ ウイ 寶位。寶祚。御位。
 ポロ ウウ 暴雨。(國) 暴雨。
 ポロ ウヌ 報恩。報恩。恩に報いる。恩を返す。
 ポロ ウヌ 抱穩。大事を取る。安全第一。我一生做事情權是——的平生私は安全第一で仕事を「してゐる。」
 ポロ ウヌ コアヌ 保温罐。魔法瓶。
 ポロ ウヌ 報恩。(泉) 【報恩】。
 ポロ オク 暴悪。(文) 暴悪。
 ポロ オン 播王。【播】をする時の石。
 ポロ ヲアヌ 報冤。復讐。仇討。意趣返。
 ポロ ヲアヌ 報怨。怨を報いる。怨を返す。仕返す。
 ポロ ヲエ 駭話。【駭】。
 ポロ カア 保駕。乗物を護衛する。
 ポロ カア 保甲。保甲。——役員 保甲役員。
 ポロ カア ト敢。ひよとすると。……だらう。……でせう。——無來 來ないだらう。
 ポロ カア キホク 保甲局。保甲局。
 ポロ カア シイト 敢是。【下是】。
 ポロ カア スウキイ 保甲書記。(新) 保甲書記。
 ポロ カア エ 保甲册。(新) 保甲用の戸籍簿。
 ポロ カア ホエギイ 保甲會議。(國) 保甲會議。
 ポロ カイ 寶蓋。(文) 天蓋。
 ポロ カイ 破戒。(文) 破戒。

ポロ

ポロ キア 寶鏡。寶鏡。講到蓮花成——蓮の花を寶の鏡の様に話する。誠らしい嘘をいふ意。
 ポロ キアム 寶劍。寶劍。名劍。
 ポロ キイ 紗境。船境。船縁。
 ポロ キイ 保舉。(海) 【保舉】。
 ポロ キイ 寶器。寶器。
 ポロ キイ ジエヌ 暴其然。突然。出抜に。藪から棒に。——叫我去生番巢 突然蕃界へ行けと言はれた。
 ポロ キエツ 保結。身元を保證する。叫朋友——友達に頼んで身元を保證して貰ふ。
 ポロ キエツツ 保結狀。●身元保證書。●保釋の願書。
 ポロ キエン 破鏡。(文) 破鏡。【願書】。
 ポロ キアツヌ 報急船。早船。
 ポロ キアベエ 報急馬。早馬。早打。
 ポロ キム 破金。病氣などで聲が出なくなる。聲は五行の金に屬する故にいふ。
 ポロ ギアム 剖驗。(新) 解剖して検査する。【參照】。
 ポロ ギイタイ フウ 保儀大夫。神の名。【底公】の
 ポロ ギイツヌ オン 保儀尊王。前に同じ。
 ポロ ギエク 寶玉。寶玉。寶石。
 ポロ ギホク 暴虐。(文) 暴虐。殘虐。
 ポロ クウ 保舉。推薦。推薦。引揚げる。——官半

ポロ

職 引立てて何かの官職に就かせる。
 ポロ クウ 保舉。(泉) 前に同じ。
 ポロ ケエ 保家。●保證する。請合ふ。保證人。請人。●保險。——字 保險證書。——單 同上。
 ポロ ゲエ 報牙。夕方蚊などが群をなしてぶんぶん鳴く。蚊仔——同上。
 ポロ コア 褒歌。情歌を唱ふ。查喃查茶愈挽茶愈——男と女が茶摘をしながら同上。
 ポロ コア 寶官。【燃寶】の賭博をする時親に屬して【燃寶】を取扱ふ人。
 ポロ コア 破瓜。(文) 破瓜。
 ポロ コアヌ 保管。保管。
 ポロ コアヌ 報關。輸出入の貨物などを税關に届出で新聞社。
 ポロ コアヌ 報館。新聞社。
 ポロ コアヌ 破關。關所破。
 ポロ コオ 寶庫。寶庫。寶藏。
 ポロ コロ 報告。(國) 報告。——書 報告書。
 ポロ コロ 抱告。人に代つて告訴する。民事訴訟代理人として法庭に出る。
 ポロ コケ 保國。保國。國を保つ。
 ポロ コグ 報國。報國。國に報いる。盡忠——忠を盡して國に報いる。
 ポロ サヌ 破産。(國) 破産。

ボヲサイ報知。知らせる。報ずる。報知する。

ボヲサイ破財。破産。

ボヲシア報謝。報酬。返禮。報謝。

ボヲシア報社。新聞社。

ボヲシイト是。或は……であるかも知れない。或は……でせう。你在講彼個賊仔——此個——あなたと話してゐる彼の泥棒といふのは此の人かも知れない。

ボヲシイシイ薄絲絲。【薄】。【薄】。「知れない。」

ボヲシイシイ薄閃閃。【薄】。【薄】。

ボヲシイミア保性命。生命保険。

ボヲシウ褒賞。褒美。褒賞。賞與。

ボヲシウ保守。大切にして守る。保守。——家伏——財産を保持する。

ボヲシウ保壽。生命保険。養老保険。

ボヲシウ報讐。復讐する。仇を報いる。仕返す。復讐。敵討。爲弟——弟の敵討をする。

ボヲシウ報賞。報賞。

ボヲシエック保釋。【釋】。保釋。——願保釋願。

ボヲシエヌアア薄錠仔。薄く磨滅した昔の一厘錢。

ボヲシエンタイテエ保生大帝。【大道公】。

ボヲシオンホン破傷風。【病】。破傷風。

ボヲシヨ保情。大切にする。大事にする。珍重。物體無——少しも物を大切にしない。——自

己的の子兒——自分の子供を大事にする。

ボヲシツ朴實。質素。質朴。素樸。田庄人較——田舎の人は素樸だ。

ボヲシヌ保身。護身。——符護符。

ボヲシヌ報信。主に不吉な事を知らせる。報ずる。

ボヲシヌフウ保身符。護符。

ボヲシム婆心。【老】。老婆心。

ボヲシム抱心。【血】。血液などが心臓で固まる。衝心。癲痺する。血——心臓癲痺。衝心。漢字の立心偏。

ボヲシムクイ抱心氣。心を衝く。胸かどきとする。

ボヲシムソア抱心痧。【病】。狭心症又は腦貧血。

ボヲシムピエン抱心旁。漢字の立心偏。

ボヲジイ保字。引受状。保證書。證明書。

ボヲジイ寶字。【撚寶】の寶の目。【撚寶】をする時親に屬して勝敗毎に金錢の授受をする人。

ボヲジホク暴辱。【文】。【暴辱】。

ボヲジヌ寶仁。【寶斗仁】の○。

ボヲジヌ保認。保證する。引請ける。你敢——我敢。錢借伊——君が保證するならば僕が金を彼に貸す。

ボヲジヌシウ保人壽。生命保険。

ボヲジヌラン保認人。保證人。證人。

ボヲスウコグ波斯國。波斯。

ボヲセエ報說。通知する。知らせる。——因仔的。下落——迷子などの在處を知らせる。

ボヲセエコアヌ報稅館。稅關に於ける船舶の出入又は貨物の輸出入を届ける所。

ボヲソエラヌ報歲蘭。【種】。報歲蘭。

ボヲソソ褒唆。褒唆す。煽動てる。褒立てる。餉をくはせる。因仔愛傳人——子供は人に褒められたがる。

ボヲソソ報喪。【報白】。

ボヲソア報紙。新聞紙。新聞。

ボヲソア薄紙。薄紙。

ボヲソアヌ保全。保全。——名節——名節を全うする。節操を全うする。

ボヲソア寶座。玉座。

ボヲソア寶塔。寶塔。

ボヲソア保胎符。【安胎符】。

ボヲソア寶斗。【撚寶】の賭博に用ひる器。

ボヲソア報頭。低氣壓。起——同上が起る。

ボヲソア左豆。中味がふははして軟い豆。臭頭假——腐頭を同上に似せる。物知顔をする人を嘲つていふ。

ボヲソアカグ寶斗亮。【撚寶】の賭博に用ひる小さな

ボヲ

金剛製の四角な箱。

ボヲ タウキエン 寶斗匣。●寶斗売。●四角形の木櫃。

ボヲ キウケエ 寶頭家。【燃賣】の賭博をする場所の家主又は親方。

ボヲ タウジヌ 寶斗仁。●【燃賣】の賭博に用ひる賽。

●正方形をなす町通をいふ。

ボヲ キウホン 報頭風。低氣壓の來る前に起る風。

ボヲ タヌ 寶丹。寶丹。【俄風】。

ボヲ タノ 報答。報いる。報ずる。報酬。返禮。報答。――皇恩。皇恩に報いる。厚禮。――厚い禮を以て報酬する。

ボヲ チア 保正。保正。【保】の頭。

ボヲ チア 婆姐。産神。子供を授ける女神。生兒を守る神。

ボヲ チア イイ 婆姐衣。【婆姐】に獻ける紙の衣【金銀紙】の如く焼く。

ボヲ チア キイ ホヲ 婆姐記號。赤子の腰の邊の青い處、其他生來の痣をいふ。【婆姐】が記をつけたものといふ。

ボヲ チア グヌ ヲヲ 婆姐銀襖。【婆姐】を祭るに用ひる【銀紙】と紙の衣。

ボヲ チア コン 婆姐公。子供を授ける男神。

ボヲ

ボヲ チア ブウ 婆姐母。子供を授ける女神。生兒を守る神。――創治在室女。同上が處女を困らせる、處女が私通して妊娠した時などにいふ。

ボヲ チア フン 褒獎。褒めて獎勵する。褒榮す。褒立てる。國家。――有功勞的人。國家が功勞のある人を褒めて獎勵する。

ボヲ チイ 薄錢。鏹。鏹錢。

ボヲ チウ 報酒。御産のありし時産婦の生家に【油飯】と【雞酒】を送ること。

ボヲ チウ 薄酒。薄い酒。粗酒。

ボヲ チエ ッ 報捷。〔又〕戰捷又は合格を報知する。

ボヲ チエ ヌ 保薦。【保舉】。

ボヲ チエン 保證。【國】保證。

ボヲ チエン 保正。【保正】。

ボヲ チエン キム 保證金。【國】保證金。

ボヲ チエン ジヌ 保證人。【國】保證人。請人。證人。

ボヲ チエン スウ 保證書。【國】保證書。

ボヲ チオン 褒獎。【褒獎】。

ボヲ チオン 寶島。紙の名、少し黃味を帯びた薬紙の如きもの、半紙一枚半位の大きさあり。

ボヲ チウ 寶石。寶石。

ボヲ チウ ラム 寶石藍。藍色の寶石の色。深綠色。

ボヲ チョウ 粘整。敬意を表して倚付く。無人要――

ボヲ

你。誰もお前を振向もしない。

ボヲ チア ト定。【ト是】。

ボヲ チア 抱定。心などをしっかりと極める。――心志。決意する。志を定める。

ボヲ チア シイト定是。【ト是】。

ボヲ チア ウ 報條。官位又は學位を得たものの家に知らせる報知。

ボヲ チア ウ ビエン 抱柱旁。漢字の立心偏。

ボヲ チイ 報知。報知。報告。告知らせる。――主人。主人に告知らせる。

ボヲ チウ 保長。上司に土地の出來事を報告したり探偵したりする職を取る者。保正の如きもの。――伯。保正の爺様。――公。同上。

ボヲ チウ 寶場。【燃賣】の賭博をする所。

ボヲ チエウ 報德。報德。恩返。

ボヲ チエヌ ホン 破天荒。〔又〕破天荒。

ボヲ チエン 紗頂。●舷上。船縁の上。●甲板。デッキ。

ボヲ チエン 紗頂。【紗頂】の◎。

ボヲ チエン ホオモエ 寶徴片冊。土地臺帳又は名寄帳の類。

ボヲ チオン 保重。大切にする。大事にする。自己。――自重する。自ら保養する。

ボヲ チオン 波中。波間。

ボヲ ツイ 報水。罪人の隠れ所又は密輸入品などを報

知する。密告する。無人一官人没知一人が密告しなければ役人が分らぬ。

ボヲ ツイ 駁嘴。言争ふ。言合ふ。口論する。站衆人面前在ー大勢の前で口論してゐる。

ボヲ ツイ 薄嘴。酒などが口につきく來ない。

ボヲ ツイ ヒアム 保水險。海上保險。

ボヲ ツウ 寶珠。寶珠。寶珠の玉。

ボヲ ツヌ 保存。(國) 保存。保存。

ボヲ ツヌ チエン キイ シヌ チエン スウ 保存登記申請書。(國) 保存登記申請書。

ボヲ ツヌ ラヌ 報春蘭。(種) (蘭科)するがらん。

ボヲ ツン 褒状。(國) 褒状。

ボヲ ツン 寶庄。他人の村に對する敬稱。

ボヲ ツン 保狀。(官廳などに提出する) 保證書。

ボヲ ツン 抱當。責任をもつて保證する。請合ふ。引受ける。我ー、你錢借伊ー僕が保證するから君金を貸してやれ。

ボヲ テエ 薄茶。粗茶。

ボヲ テエ アウ 薄茶甌。薄手の茶碗。

ボヲ トア 報單。●物價の高低を知らせ合ふ書付。●貨物送狀。

ボヲ トア コアヌ 報單館。税關に於ける船舶の出入

又は貨物の輸出入を届ける所。

ボヲ トヲ 寶刀。寶刀。

ボヲ トヲ 報到。領事などに到著の届をする。若起山你就去領事館ー君が上陸したらば直

同上しなさい。

ボヲ トヲ 波濤。(を) 波。波濤。

ボヲ トヲ 葡萄。(葡萄)。

ボヲ トヲ ゲエ コグ 葡萄牙國。葡萄牙。

ボヲ トヲ コア 葡萄干。乾葡萄。

ボヲ トヲ サン 葡萄叢。葡萄の株。

ボヲ トヲ チイ 葡萄青。葡萄の様な綠色。

ボヲ トヲ チウ 葡萄酒。葡萄酒。「の旗」。

ボヲ トク キイ 寶纛旗。龍を畫いた大旗。司令長官

ボヲ トン 暴動。(國) 暴動。

ボヲ ナウ シオン ホン 破腦傷風。(種) 破傷風。

ボヲ ニア 保領。保證する。引受ける。請合ふ。錢銀的の事情我ー金の事は僕が保證する。ー成功し成功を請合ふ。

ボヲ ニア ウツウ アア ヲアヌ 報老鼠仔怨。鼠の様な小な怨を報する。犬の糞の敵を打つなど。

ボヲ ヌン 波浪。波。ー真大波が非常に荒い。

ボヲ パヌ アア 薄板仔。薄い板でつくった棺桶。粗惡な棺桶。

ボヲ パン 報房。官衙などの告示報告などを掌る所。

ボヲ パン 薄枋。薄い板。

ボヲ ヒアム 保險。(國) 保險。ー卷保險證券。ー會社保險會社。ー料保險料。

ボヲ ヒイ 報喜。喜を知らせる。慶事を報する。

ボヲ ヒッヒッ 薄口口。甚だ薄い。薄っぺら。

ボヲ ヒエツ 破血。惡血を散する。血を下す。食藥ー藥を飲んで同上。

ボヲ ヒエン 暴行。(國) 暴行。

ボヲ ヒオン 報餉。貨物の輸出入又は船舶の出入に際し税關に届出でること。

ボヲ ヒオン トア 報餉單。税關に届出でる貨物目録又は船舶の出入港届。

ボヲ ビエウ 寶壘。他人の書狀の敬稱、芳壘。

ボヲ ビエン 報明。明かに報知する。

ボヲ ビエン イエヌ シエン 保命延生。(を) 命を保ち生を延す。延命。

ボヲ ビヌ 紗面。「紗頂」。

ボヲ ビヌ 紗面。甲板。デッキ。

ボヲ ビヌ ト面。有ー望がある。

ボヲ ビア 薄壁。薄い壁。壁が薄い。淺牆ー垣が低く壁が薄い、家の中が容易に見られる様な締ない家。

ボヲ

ボヲ

ボヲ

ボヲ

ボヲ ビア 薄餅。麥の粉で作った饅頭の皮の如きもの。
 (刻んだ肉又は菜などを包んで食するもの)。拭—
 —煎鍋で同上をつくる。
 ボヲ ビア カツ 薄餅餅。【薄餅】に刻んだ肉や菜などを包んだ食物。【灯】。
 ボヲ ビア チエン 薄餅燈。薄い餃子の形したる吊提。
 ボヲ ビイ 紗邊。船端。船縁。
 ボヲ ビイ 保庇。加護。利益。庇護。冥利。冥加。神が守る。—頭売有—頭が堅くなる様に加護して貰ふ。子供が丈夫になる様に加護して貰ふ。有食有行氣、有焼香有—食物を食すれば滋養あり、焼香すれば加護あり、袖の下を使うただけの効果が現れるなど。
 ボヲ ビイ 薄扁。薄くて扁い。
 ボヲ ビエヌ 褒貶。(又)褒貶。
 ボヲ ビヲ 保標。●土匪などに對し勢力ある者が匪難除の保證として貨物運送者などに賣る小な鎗、旗をつけて貨物の上に立てる。●護身の爲の武藝者。【用心棒】。
 ボヲ フヌ 堡分。【堡】の管轄内。
 ボヲ フヌ 薄煙。強くない煙草。
 ボヲ ブツ 寶物。寶物。寶物。寶。
 ボヲ ヘエ ヒアム 保火險。火災保險。

ボヲ

ボヲ ベエ 寶馬。寶の馬。駿馬。名馬。千里の馬。
 ボヲ ベエ 報尾。低氣壓の静る頃。颱風の終頃。
 ボヲ ベエ 報馬。●先拂。前道。先觸。●早飛脚。
 ボヲ ベエ アア 報馬仔。●報馬。●祭の行列の先頭に立って銅鑼など打って先觸して歩く者。●一寸とした事を直に諸處に言ひ振らす者。
 ボヲ ペエ 報白。親類に白い布を持って行って死亡を知らせる。死亡の通知。
 ボヲ ペエ 薄皮。●皮が薄い。薄い皮。●少しのこと。●痛がる人をいふ。●紅檜。(栢欄科、材は建築に用ふ)。
 ボヲ ペエ 薄被。煎餅布團。
 ボヲ ホアイ 破壊。(國)破壊。
 ボヲ ホオ 保護。(國)保護。
 ボヲ ホオ コク 保護國。(國)保護國。
 ボヲ ホオ チア 保護者。(國)保護者。
 ボヲ ホオ チア ウ 保護鳥。(國)保護鳥。
 ボヲ ホヲ 寶號。人の家號に對する敬稱。
 ボヲ ホヲ 薄荷。(種)薄荷。(屏形科、葉を蒸溜して薄荷を製す)。
 ボヲ ホヲ 薄荷。前に同じ。
 ボヲ ホヲ イウ 薄荷油。薄荷油。
 ボヲ ホヲ ビエン 薄荷氷。薄荷を固めたもの。

ボヲ

ボヲ ホク 薄福。【薄福】。
 ボヲ ホン 暴風。(國)暴風。
 ボヲ ホン ウウ 暴風雨。(國)暴風雨。
 ボヲ ポエ 寶貝。寶。什寶。寶物。寶物。珍寶。
 ボヲ ポエ 薄皮。(種)【薄皮】。
 ボヲ ポオ 寶舖。人の店に對する敬稱。
 ボヲ ホヲ 褒褒。【褒】の(三)。(三)。
 ボヲ ポヲ 報報。【報】の(三)。(三)。
 ボヲ ポヲ 播播。【播】の(三)。(三)。
 ボヲ ポヲ トト。【ト】の(三)。(三)。
 ボヲ ポヲ 駁駁。【駁】の(三)。(三)。
 ボヲ ポヲ 薄薄。稀薄な。薄い。薄に。薄と。—酒食能醉—薄い酒でも飲めば酔ふ。
 ボヲ ポヲ 波波。白—白波波】。
 ボヲ ポヲ 坡坡。平—平。平坦。平い。
 ボヲ ポヲ 右右。豆など軟い。脆い。
 ボヲ ポヲ 破破。【破】の(三)。(三)。
 ボヲ ポヲ 粕粕。かすかす。かすつく。食着—食べるとかすかすする。
 ボヲ ポヲ 抱抱。【抱】の(三)。(三)。
 ボヲ ポヲ アア 頗頗仔。少し。僅か。僅少。些少。—知—少し知ってゐる。

ボヲムンクン 冇毛管。【凸毛管】。

ボヲモオ 薄膜。薄い膜。薄皮。

ボヲラエ 波瀾。【文】波瀾。

ボヲラム 抱擁。抱かかへる。

ボヲリイ 薄利。【文】薄利。——多賣||薄利多賣。

ボヲリイ 寶吏。【燃賣】といふ賭博をする際其賭博器を掌る人、又は親方の助手。

ボヲリイシイ 薄葦絲。次に同じ。

ボヲリイシイ 薄葦絲。次に同じ。

ボヲリイリイ 薄葦葦。甚だ薄い。薄つべら。

ボヲリイリイ 薄葦葦。前に同じ。

ボヲリエウ 報録。考試に及第せし時官衙より受験者にする通知。

ボヲリエツ 破裂。【文】破裂。

ボヲリホク 報録。【報録】。

ボヲリホク 頗略。次に同じ。

ボヲリホク アア 頗略仔。概略。大略。僅。少し。

ほのかに。薄薄。——知||少し知ってる。少し分る。

ボヲリオン キホク 保良局。良民を保護する團體。

ボヲルイ 暴雷。【文】暴雷。烈しき落雷。

ボヲレエ 玻璃。硝子。硝子。玻璃。畫||硝子に刻みつける。

ボヲレエ 薄禮。薄儀。薄儀。

ボヲレエ アウ 玻璃罎。硝子のコップ。

ボヲレエ カヌ 玻璃罎。硝子瓶。瓶。

ボヲレエ キア 玻璃鏡。玻璃鏡。玻璃鏡。

ボヲレエ コアヌ 玻璃罎。硝子罎。瓶。

ボヲレエ ゴイ 高麗菜。【高麗菜】。

ボヲレエ アア 玻璃罎。コップ。

ボヲレエ タア 玻璃罎。洋燈の硝子の笠。玻璃罎。

ボヲレエ キン 玻璃窓。硝子窓。

ボヲレエ エン 玻璃燈。硝子の洋燈。【木框】。

ボヲレエ トオ 玻璃罎。戸又は窓の硝子を箝めたる一

ボヲレエ パヌ 玻璃瓶。硝子瓶。

ボヲレエ ビイ 玻璃片。硝子板。

ボヲレエ エ 玻璃杯。コップ。

ボヲロアヌ 暴亂。【文】暴亂。

ボヲロロ 襲襲。【襲襲】。

ボヲロロ 保保。【保保】。

ボヲロロ 報報。【報報】。

ボヲロロ 播播。【播播】。

ボヲロロ トト。【トト】。

ボヲロロ 駁駁。【駁駁】。

ボヲロロ 波蘿。【鳳梨】。

ボヲロロ 破破。【破破】。

ボヲロロ 抱抱。【抱抱】。

ボヲロロ ソヲ 襲襲。襲めそやす。襲める。襲揚げる。囚人愛人||子供は人に襲められたが

ボヲロロ ソウ 婆羅樹。次に同じ。

ボヲロロ ビツ 婆羅蜜。【文】婆羅蜜。【案科】果實は食用に供す。

ボヲロロ ブヌカウ 婆羅門教。婆羅門教。

ボヲロロ モア 波羅麻。【鳳梨】の纖維。

ボヲロク 暴落。【文】暴落。

ボヲロン 波浪。【文】波浪。波浪。

ボク ボク

ボクト 占ぶ。トする。未||先知||未だトせずして先に知る。豫言者。——運途||運勢を占ぶ。山醫命

——相||地相師・醫者・運命見・卜者・人相見の五者。

ボク北。【文】北方。一極||北極。東西南||東西南北。

ボク駁。【文】言込める。辯駁する。駁撃。——伊||不着||彼の間違を言込める。被伊||到大舌口||彼に辯駁されて嘔然として返す言葉がない。●書類などを撥附ける。突返す。被官廳||出來||官廳に撥附けられた。原單||同||書附を其儘突返す。批||倒返||手紙が着かずに元へ戻る。●ジャンク

ボヲ

ボヲ

ボク

ボク

船。【駁船】参照。一仔同上。泉州一泉州に通ふジャンク船。

ボク 焔。●煙草を吸ふ。ふかす。一煙煙草をふかす。

一水煙。●水煙を吸ふ。●外皮を破つて突出る。

一芽芽が出る。臭溝仔。●在燈仔溝からぶくぶくと泡が出てゐる。目調痛到要出来

●目が痛くて飛出さうだ。一目調刑罰の時など竹筒などを目に當てて目の玉を飛出させる。●

油で揚げて脹らせる。一肉豚の肉に衣をかけてからからに脹らせる。又その料理。一肉皮

豚の皮を油で揚げて脹らせる。

ボク 僕。●僕僕。●僕僕。下男。家一僕僕。奴

一奴僕。

ボク 薄。●薄。薄い。一情薄情。不厚不厚。厚くもなければ薄くもない。禮物又は待遇の相當な

こと。紅顔一命。紅顔の美人は薄命である。

ボク 焔。豆などを焼いて弾ける音。ばち。キルクなどを

を抜く音。ぼん。一一下。ばちといふ。ぼん

ボク 環。●環。環。

ボク 朴。●朴。質朴。一實實朴。儉儉。儉約にして質

朴な。

ボク 博。博識。何でも知つてゐる。生字引。一古通今

ボク

博く古今に通ず。非常に博識である。各項眞一いどんな事でもよく知つてゐる。假一物識顔をする。

ボク 焔。●丸く脹んで出る。泡の様に脹れ出る。日本

米的麻糍。●餅。較能。一日本米の餅は焼くとよく脹れる。一被火脹や水脹などが出来る。

●脹んだもの。脹れた形のもの。起一脹れたものが出来る。疔などが出来る。榕乳一仔風船

玉。雪文一シャボン玉。

ボク 焔。●栓などをぬく音。ぼん。草塞一一下。キ

ルクがぼんといふ。●動悸などするさま。ときき。心肝一一下。胸がとききとする。

ボク アア 駁仔。【駁船】。

ボク アア 焔仔。脹れた形のもの。雪文一シャボン玉。榕乳一風船玉。電火一電球。白

一艶消の電球。

ボク アア 焔仔。紙鐵炮。空氣銃。

ボク アア 朴仔。【朴仔】。

ボク アア 草ウ 朴仔草。【米籃草】。

ボク アア チイ 朴仔子。【朴仔子】。

ボク アア 草ウ 朴仔樹。【朴仔樹】。

ボク アイ 博愛。【博愛】。

ボク アイ 駁贏。辯駁して勝つ。言負かす。言伏せる。

ボク

議論に勝つ。博イエウ 博奕。●博奕。賭博。博イエヌ 薄燕。薄い絹織物の名。多く裏地に用ふ。

ボク イオン 漢陽。●漢陽。

ボク ヨヲ 薄荷。【薄荷】。

ボク ヨヲ ヒヨ 薄荷葉。●薄荷の葉。

ボク キエウ 北極。●北極。

ボク キエツ 駁子。殊更に人と異つた言動をする。變

な事を言ふ。

ボク キエツ 博子。前に同じ。

ボク キエツ 博臺。トランプでする賭博の一種。

ボク キオン 北宮。●北宮。

ボク クウ ト 居。●下居。

ボク コア ト 卦。占ふ。卜筮。占。易。一的卜者。

ボク コア シエヌ ト 卦先。次に同じ。

ボク コア シエヌ シイ ト 卦先生。賣卜者。易者。

ボク コア スウ ト 卦師。前に同じ。

ボク コア チアム ト 卦籤。筮竹。

ボク コオ 僕固。●僕固。

ボク コオ ヨア 博古碗。支那より来る花模様などのある鉢。

ボク コオ トン キム 博古通今。博く古今に通ずる。

ボク コン 焔管。壁など濕つて上塗がふくれ上る。壁

——同上。

ボク シアウ 砒礫。(英) 硫化曹達。砒石。

ボク シイト 姓。棄兒は其姓不明なるに依り吉凶を卜して姓を定むるをいふ。

ボク シエク 博識。(英) 博識。

ボク シツ 朴實。(英) 堅氣。質素。質朴。質素。素朴。樸直。——敦厚。朴實敦厚。

ボク シヌ 北辰。(英) 北辰。

ボク ジイクツ 駁字骨。字義を糺して突込む。字の本義を穿鑿する。

ボク ジホク 薄弱。(英) 薄弱。

ボク スウ 駁論。議論に負ける。言伏せられる。

ボク スウ 博士。博士。博士。

ボク ソオ 樸素。(英) 質素。質朴。素朴。質素。

ボク タイ 薄待。冷遇。

ボク チエン 薄情。薄情。不人情。情が薄い。強顔い。

ボク チエン ロン 薄情郎。薄情な男。

ボク チツ エエ 焮一。●栓などを抜く音。ぼんと。草塞——キルクがぼんといふ。●動悸などする様。どきどき。心肝——胸がどきどきとする。

ボク チエク 北狄。(英) 北狄。

ボク チエク 爆竹。(英) 爆竹。

ボク チエヌ キエツ 博天子。【博子】。

ボク チツ 樸直。(英) 朴直。素樸。

ボク ツツ ライ 焮出来。外皮を破って突出する。芽——芽が出る。目眇——目玉が飛出る。

ボク ツツ ライ 駁出来。却下される。不認可で突返される。稟被官廳——願書が官廳で撥附けられた。

ボク ツツ 駁船。支那形帆船。

ボク ツツ 駁船。支那形帆船。

ボク トロ 駁倒。言伏せる。

ボク トロ 駁倒。言伏せる。

ボク トロ ツン 駁倒轉。突返す。送返す。却下する。許可せずして返す。辨駁し返す。

ボク ハク 博學。博識。——多才。博學多才。

ボク パク 焮肉。豚の肉に衣をかけて油で揚げる、又その揚げたもの。

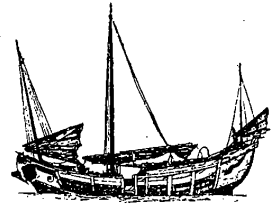
ボク バク 焮目。刑罰の時など竹筒を目に當てて目玉を飛出させる。目玉を出す。

ボク パク 焮。肉刺。火脹などが出来る。

ボク ビエツ 撲滅。(英) 撲滅。

ボク ビエツ 北面。(英) 北面。北向。

ボク ビエン 薄命。(英) 薄命。紅顔多——紅顔に薄命多し。美人薄命。



駁船

ボク ビアン 焮兵。綿打弓で綿を打つ時などの音、びんびん。

ボク ビアン マイ 焮兵槌。綿打弓に附屬した槌。

ボク フイ 北緯。(英) 北緯。

ボク フウ 搏拊。孔子を祭る時用ひる樂器の名。

ボク ブツ コア 博物館。(英) 博物館。

ボク ブツ ハク 博物館。(英) 博物館。

ボク ブツ 駁文。却下の書類。不認可の文書。文書に誤りを見出して却下するもの。

ボク ブツ 博聞。(英) 博聞。

ボク ヘエ 駁貨。解に貨物を載せる。

ボク ヘエ 駁回。突返す。突戻す。原單——書附を其儘突返す。

ボク ホラ 薄荷。(英) 薄荷。

ボク ホライウ 薄荷油。薄荷油。

ボク ホク 薄福。不運。不仕合。天地行災、——者受。天災地變があれば不運の者が其禍を受ける。

ボク ホン 薄俸。(英) 微祿。小祿。薄俸。

ボク ボオ 瀑布。(英) 瀑布。瀧。

ボク ボオ アヌ 瀑布泉。(英) 瀑布。瀧。

ボク ボオ ツイ 瀑布水。(英) 瀑布。瀧。

ボク ボツ ト。【ト】。

ボク ボツ 駁駁。【駁】の①②。

ボク

ボク

ボク

引込んだりする。一鏡凸鏡。●法螺を吹く。

一先法螺吹。眞賢一よく法螺を吹く。

ボン 碰。●偶然に出會す。紛中に當る。在路裡相

一着途中で互に出會った。試験被我一着紛中に試験に及第した。一造化運に任せて

やつて見る。●【麻雀】四色などに於いて手

に同種の札が一對ある時他の出した同種の札を取

合せる。合札を取る。一來合札を取って来る。

ボン 浮。物の水中に落ちた時などの音。どぶん。一

下就跳落去どぶんと水中に飛込む。

ボン 碰。【碰】の①。

ボン 咳。【咳】。

ボン アアジホク 凸存梅。彈機に入れてある敷蒲團。

ボン イア 誇影。無根の事を言觸らす。仰山に言ふ。

風聲一同上。

ボン イイ 凸椅。彈機仕掛のある椅子。「をいふ。

ボン ウイ 綁梳。櫛など別の木をあて鐵にて巻きたる

産柑橘類中最優良種にして生食用として珍重せら

ボン カム 極柑。前に同じ。「る。

ボン カン 嘩孔。隧道。

ボン ガヌ 榜眼。進士の試験成績の第二番の稱。

ボン キア 凸鏡。凸鏡。蟲眼鏡。顯微鏡。

ボン キエツ 凸橋。【甜橋】。

ボン ケエ 凸價。掛値。實價不是一本當の値段

で掛値ではない。一種。

ボン ケエ 凸髻。髻形を入れ髪を脹まして結ぶ鬘の一

ボン コアヌ 傍觀。傍觀。一者精陸目八目。

ボン コオ 嗒鼓。鼓。

ボン コヲ 平果。【平果】。

ボン コン 膀胱。膀胱。尿管。一石淋膀胱結

石。一炎症膀胱の疾患。一核炎尿道

及び攝護腺の疾患。

ボン コン 凸管。【尿管】。

ボン コン 嗒管。【尿管】。

ボン サイサイ 凸獅獅。ぶくぶく脹れてゐる。仔

一子供が肥太つてゐる。麵龜一餛飩

頭が脹れてゐる。

ボン ナイボア 鼻屎抹面。糞を擽つて自分の顔

に抹る、自分自身が馬鹿なことをする。

ボン シアウ 榜賤。收支決算書を貼出す。一俾衆人

看同上して衆人に見せる。

ボン シアウ 凸賤。實際の拂より多く記入する。附掛。

ボン シウ 榜首。秀才、舉人、進士の試験成績の第一番

の稱。

ボン シム 嗒心。大根などに心に鬆が出来てゐる。

ボン ジイ 凸字。盲の讀む點字。

ボン ジホク 凸梅。彈機に入れてある敷布團。

ボン ジット 房日鬼。二十八宿星の一。

ボン スウ 房事。房事。

ボン セエ 凸紗。毛絲。

ボン セエ 凸紗刺。毛絲針。

ボン ソア 凸線。浮上彫の線。

ボン ソン 嗒鬚。綿、海綿などはふはと嵩張る。ふ

つくらと。ふつくりと。一物的物着縛較結實

咧一同上の物は嵩張らぬ様にしつかりと縛りなさ

い。

ボン フヲ ホア 碰造化。運に任せてやつて見る。

ボン タイヲ アアホア 誇臺灣反。臺灣の反亂を言

觸す、針小棒大にいふ。

ボン タイハイ 凸大海。●●外皮ありて中味は棗

の實の如く黒く干乾びてゐるもの。水に浸すと膨

脹し解熱解毒劑として用ひる。●法螺吹。

ボン タウ 凸頭。●突出てゐる額。●●ふつくら

と脹れた髪の方。梳一同上を結ぶ。

ボン タテ 凸凹。凸凹。凸凹。

ボン タン 凸重。目方を多く帳簿につけ又は話す。

ボン テアン 凸唱。仰仰しい。仰山。大袈裟。見張

る。話眞一話が仰仰しい。人較一堅

ボン

ボン

ボン

ボン

ボン チイ 唼子。ダイナマイト。爆列薬。

ボン チイ 磅子。臺秤の錘。

ボン チツ エエ 唼一。下。ズどんと。ざんぶりと。ざんぶんと。ぱったりと。眞大塊的石頭。落。落来。大なる石がどしんと落ちて来た。聽見銃聲。ズどんと。二發銃聲が聞えた。

ボン チエン 傍聴。(圓) 傍聴。

ボン チエン 凸丁。大なる聲で叱る。嗚鳴る。被伊ー

彼に叱責される。

ボン チヲ 碰着。偶然に出會す。紛中に當る。

ボン ツイ 奔水。両手で水を掬ふ。

ボン ツイン 凸床。彈機仕掛のある寢臺。ベッド。

ボン ツッ カヌ 唐突間。「唐突間」。

ボン トア 榜單。收支決算書などを貼出す。

ボン トア 凸大。脹れて大なる。膨脹する。

ボン トエ 凸蹄。豚の脚を油で揚げたもの。

ボン トオ 凸堵。【蘇堵】。

ボン トオ 凸肚。腹が脹れる。

ボン ナア 凸凹。凸凹。凹凹。凹凹。

ボン パア 凸破。火脹が出来る。肉刺が出来る。水脹が出来る。

ボン パイ 豊厚。御馳走など豊富な。澤山のよい御馳

ボン

走。桌辨眞一。盛宴を張る。

ボン パツ 凸胖。子供などよく發育した様。ふくやか。ふっくり。困仔。子供がふっくりと肥えてる。

ボン ビヌ キア 凸面鏡。凸面鏡。凸鏡。「る。

ボン ビア 唼壁。金が無くして窮してゐる。我此候。無銭可還。僕は今困窮してゐるので還す金がな

ない。

ボン ビア 凸餅。結婚の時に用ひる菓子的一種。食。同上を食ふ。劍突を喰ふ。

ボン ビアン 唼兵。綿打音で綿を打つ時の音。びんび

ボン ビイ 傍邊。次に同じ。

ボン ビエヌ 傍邊。側。傍。邊り。近邊。一的人愛講是非。端の人がよく悪口を言ひたがる。

ボン ビラ 磅表。電氣瓦斯水道などの計量器。

ボン フィ 謗誹。(文) 誹る。誹謗する。

ボン フヌ 傍訓。(圓) 傍訓。

ボン フヌ 凸粉。圓く扁く固めた白粉。

ボン ベエ 凸碼。實際の數又は豫定の數より多い數を表す數字。開。附掛する。掠。落去算。數を餘計に見積つて計算する。

ボン ベエ 唼皮。油で揚げた豚の皮。

ボン ベエ 凸把。鬚形などを入れて前髪をふくらませる髪の結方。

ボン

ボン ペエ 凸皮。●肥太る。困仔不止。子供がよく肥太つてゐる。●物事について外觀をよくして人に見せかける。虚勢を張る。事事都愛。●事毎に同上したがる。

ボン ペエ 凸被。綿の脹らんだ掛布團。

ボン ペエ キエツ 凸把結。【凸把】を結ぶ時に用る棒。

ボン ホン 凸風。●中に氣體が満ちて脹らむ。脹れる。●腹肚。●腹が張る。●法螺。法螺を吹く。風呂敷を擡げる。仰仰しい。棒大。駄法螺。誇大。物間敷い。大袈裟。一話。法螺。加減。矢鱈と法螺を吹く。

ボン ホン 唼風。瓦斯が發生して腹が張つてゐる。●飽脹。同上。

ボン ホン クウ 凸風龜。●中に氣體が入つてゐる爲表面が脹れてゐる饅頭。●食豆餡。同上は餡が餘計に入つてゐる。法螺吹には嘘が多い。●法螺吹。虚勢を張るもの。此個是。此人は同上である。

ボン ボエ 凸皮。(●) 【凸皮】。

ボン ボン 榜榜。【榜】の①。

ボン ボン 綁綁。【綁】。

ボン ボン 謗謗。【謗】。

ボン ボン 焔焔。炎。火がぼぼと燃上る。揚

――煙や埃などが飛散する。

ボンボン 嘩嘩。【嘩】の㊸。

ボンボン 磅磅。【磅】の㊸。

ボンボン 滂滂。滝――大水が一杯つく。一杯になる。散――(亂雑な形容)ばらばら。ちらばら。

淀――一杯満ちてゐる。充滿してゐる。

ボンボン 轟轟。【轟】。

ボンボン 炸炸。ふはふはと。炎――火がかんかんとおこる。どンドン燃える。揚――煙や埃などが飛散する。

ボンボン 凸凸。【凸】。

ボンボン 碰碰。【碰】の㊸。

ボンボン 炸炸。揚――煙や埃などが上る。立つ。――煙も煙がもくもくと立上る。炎――火がぼうぼうと燃上る。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。鐵砲などを打つ音。ぼんぼんいふ。どんどんいふ。門打到――戸をとんとん叩く。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンボン キヲ 嘩嘩叫。前に同じ。

ボンムンクン 凸毛管。身の毛が彌立つ。總毛起つ。怖氣立つ。【毛管】。

ボン ラン 凸凹。起伏。凸凹。凹凸。

ボン ロン 磅磅。【磅】。

ボン ロン 綁綁。【綁】。

ボン ロン 誇誇。【誇】。

ボン ロン 嘩嘩。【嘩】。

ボン ロン 磅磅。【磅】。

ボン ロン 轟轟。【轟】。

ボン ロン 凸凸。【凸】。

ボン ロン 碰碰。【碰】。

ボン ロン ソン 嘩嘩鬆。【嘩鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボン ロン ソン ソン 嘩嘩鬆鬆。【嘩鬆鬆】。

ボ牙 ボ牙

ボ牙 皮。(鼻)【皮】。

ボ牙 被。(鼻)【被】。

ボ牙 沫。塌。屺。……【沫。塌。屺。……】。

ボ牙 アア □仔。(鼻)【□仔】。

ボ牙 イイ 皮椅。(鼻)【皮椅】。

ボ牙 オオ 飛鳥。(鼻)【飛鳥】。

ボ牙 オオ 皮鞋。(鼻)【皮鞋】。

ボ牙 カウ 皮猴。(鼻)【皮猴】。

ボ牙 ケエン 賠窮。(鼻)【賠窮】。

ボ牙 クイ 摺開。(鼻)【摺開】。

ボ牙 ウウ 摺草。(鼻)【摺草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボ牙 ウウ 皮草。(鼻)【皮草】。

ボン

ボ牙

ボ牙

ボア

ボア チアウ 飛鳥。(鳥) 【飛鳥】。
 ボア チイ 摺錢。(鳥) 【摺錢】。
 ボア チイ 賠錢。(鳥) 【賠錢】。
 ボア チウ 摺手。(鳥) 【摺手】。
 ボア チウ 配酒。(鳥) 【配酒】。
 ボア チアム 皮籐。(鳥) 【皮籐】。
 ボア ツウ 飛鼠。(鳥) 【飛鼠】。
 ボア テエ 焙茶。(鳥) 【焙茶】。
 ボア テエ 配茶。(鳥) 【配茶】。
 ボア トア 皮帶。(鳥) 【皮帶】。
 ボア トア 被單。(鳥) 【被單】。
 ボア トオ タウ 摺土豆。(鳥) 【摺土豆】。
 ボア トオ アア 皮袋仔。(鳥) 【皮袋仔】。
 ボア パウ 皮包。(鳥) 【皮包】。
 ボア ビイ 摺米。(鳥) 【摺米】。
 ボア フウ 皮膚。(鳥) 【皮膚】。
 ボア フウ 飛魚。(鳥) 【飛魚】。
 ボア ホオ 摺會。(鳥) 【摺會】。
 ボア ホオ 胚模。(鳥) 【胚模】。
 ボア ホオ 賠補。(鳥) 【賠補】。
 ボア ホオ 被鋪。(鳥) 【被鋪】。
 ボア ボオ 借箔。(鳥) 【借箔】。
 ボア ボオ 飛飛。(鳥) 【飛飛】。

ボア

ボア ボア 摺摺。(鳥) 【摺摺】。
 ボア ボア 借借。(鳥) 【借借】。
 ボア ボア 攤攤。(鳥) 【攤攤】。
 ボア ボア 賠賠。(鳥) 【賠賠】。
 ボア ボア 培培。(鳥) 【培培】。
 ボア ボア 焙焙。(鳥) 【焙焙】。
 ボア ボア 配配。(鳥) 【配配】。
 ボア ボア 嫖嫖。(鳥) 【嫖嫖】。
 ボア ボア アア 皮皮仔。(鳥) 【皮皮仔】。
 ボア ミア 賠命。(鳥) 【賠命】。
 ボア ミア 胚命。(鳥) 【胚命】。
 ボア ラン 焙籠。(鳥) 【焙籠】。
 ボア リエン 飛龍飛虎。(鳥) 【飛龍飛虎】。
 ボア ロオ 焙爐。(鳥) 【焙爐】。
 ボア ロン 皮囊。(鳥) 【皮囊】。
 ボア ロオ 飛飛。(鳥) 【飛飛】。
 ボア ロオ 摺摺。(鳥) 【摺摺】。
 ボア ロオ 借借。(鳥) 【借借】。
 ボア ロオ 攤攤。(鳥) 【攤攤】。
 ボア ロオ 賠賠。(鳥) 【賠賠】。
 ボア ロオ 焙焙。(鳥) 【焙焙】。
 ボア ロオ 培培。(鳥) 【培培】。

マア

ボア ロオ 配配。(鳥) 【配配】。
 ボア ロオ 嫖嫖。(鳥) 【嫖嫖】。

マア

マア 嗎。泣く聲、あんあん。一一下就哭出來わつと泣出した。
 マア 噯。酒に酔うてふらふらする。一酒同上。酒食到一—ふらふらする迄酒を飲む。
 マア 馬。(姓) 馬。(名) 馬。千里—千里の馬。塞翁失一、焉知非福—塞翁馬を失す焉んぞ福に非ざるを知らん、人間萬事塞翁の馬。單人獨一—一人に馬一疋、一人ぼっち。
 マア 媽。●祖母。祖母。公—祖父祖母。先祖。老—御婆様。先生—先生の母。(學生の祖母と同輩なるより斯く言ふ)。●女神の尊稱。觀音—觀音様。七娘—七娘様。
 マア 尙。けれども。だけれど。併し。一我不—けれどもも私はいやだ。一有個不去—併し或人は行かない。一彼當時無此號物—然し乍ら當時はこんな物はなかった。
 マア 麼。(語尾に附する疑問辭) ぢやないか。ではなか。でせう。であらう。是如此—斯ぢやないか。要去—行くのぢやないか。行くのだから

マウ

マイ 麩。(臭)(補)【麩】。

マイ 賣。(交) 賣る。一國||賣國。一身||賣父||身を賣つて父を葬る。一面不||身||藝妓など顔は賣つても身は賣らぬ。

マイ 妹。(連)【妹】。

マイ カヌ 賣姦。淫賣。密賣淫。

マイ コグ 賣國。(交) 賣國。

マイ コグ チュク 賣國賊。(交) 賣國奴。

マイ サイ 妹婿。(連) 妹婿。

マイ シヌ 賣身。(交) 身賣。一葬父母||身を賣つて父母を葬る。

マイ チオク 買囑。(交) 人を買収する。賄賂を使ふ。一人心||金などを使って人心を收攬する。

マイ ビヌ プツ 賣面不賣身。藝妓など顔は賣つても身體は賣らぬ。

マイ フウ 妹夫。(連) 妹の夫。妹婿。

マイ マイ 買賣。(交) 賣買。賣買。

マウ

マウ 貌。●縁が内方に向つて窄まる。巻込んである。鞋訂||落去||靴の踵の縁が内側へ捲込む。孔||穴の口が窄まる、しまった。しくじった。●へこたれる。参る。今都||落去||もうへこたれてしまった。

マウ

マウ 貌。●歯のない老人など唇が内へ捲込んである。一嘴||同上の口。●もぐもぐする。緩仔||歯の無い老人など唇を動かしてそろそろ食ふ。●錢共人||落去||人の金を着服してしまふ。

マウ 麻。(連) 麻。

マウ 茅。(植) 茅。(禾本科、地下莖を水煎して解熱劑。補血劑として服用す)。

マウ 貉。(交) 兜。頭||同上。穿甲戴||甲を着、兜

マウ 矛。(交) 矛。一盾||矛盾。「を被る。

マウ 茫。勘定高くない。好い加減にする。大抵にする。大ざっぱ。大まか。免傷頂眞着較||咧||餘り勘定をやかましくいはないで宜い加減にしなさい。没使||得||好い加減にすることは出来ぬ。

マウ 伊||彼に對して勘定をやかましくいはいぬ。【茫】。

マウ 貌。●(連) 貌。●容||容貌。面||同上。年||不和||年と容貌が釣合はぬ。

マウ オク 茅屋。(交) 茅屋。草屋。

マウ キイ 覗境。壺などの口が窄まっている。

マウ キイ 覗齒。内側に向つてある齒。【標齒】に對す。

マウ キイ 覗去。着服する。横領する。

マウ キエク 矛戟。(交) 鋒。

マウ

マウ ゲ 覗牙。【覗齒】。

マウ オウ 茅草。【茅】。

マウ ジイ チュク 貓兒竹。(植) 江南竹。孟宗竹。(材は軟質にして肉厚く荷棒・寢臺の横木等に用ひ又各種の工藝品原料となす、筍は特殊の芳香ありて全然苦味なく食用として優良なり)。

マウ スヌ 覗紋。壺など口の縁が内方に向つて窄まる。内方に巻込んである。

マウ キツ 覗食。着服する。横領する。

マウ ツイ 覗嘴。齒の無い老人の如く唇が内側に捲込んである口。

マウ ツヌ 覗脣。●齒の無い老人など唇が内側に捲込んである。●壺などの口の縁が巻込んである。

マウ ツヌ 矛盾。矛盾。自相||自ら相矛盾する。

マウ ナウ 覗貌。【覗貌】の③。

マウ ナウ 覗貌。【覗貌】。

マウ ビエン 毛病。性病。悪い癖。缺點。伊的人眞賢總是有一個||在得||彼は偉いが一つの性病を持つてゐる。

マウ マウ 覗貌。●嘴脣||唇が内方に向つて巻込んである。嘴||同上。●【覗】。

マウ マウ 覗貌。【覗】。

マウ マウ 茫茫。【茫】。

マウロキ 呪落去。雞管。風船玉が窄ん

でしまった、大なことを言うてみたがへこたれてしまった。歸個人。力が抜けて弱ってしまった。ぐったりと萎れてしまった。

ミ

ミア名。●(姓)名。●名前。●人。●人の名。

地號。地名。改。換姓。名を改め姓を換へる。

一。通京城。名が京城に通ずる、名聲が鳴響く。萬代臭。萬代に汚名を残す。做頭。一番になる。四。四名。四人。

ミア 構。樹の脂の多い部分。結。柴。樹脂の多い木。松明に適する木。松柏。肥松。癩瘡松。柏出。癩病の様な節くれ立った松は樹脂が出る、(出構)を「出名」(有名の意)に振って言ふ。

ミア 命。●(姓)命。●運命。●宿命。●運。運命。好。運が好い。仕合。男。無假。女。無真。男の生年月日には偽り無いが女のは眞實の無い、結婚の時など女の生年月日を偽るものが多いこと。

●命。生命。無。命がない。短。短命。蛇。亦要。鼠亦要。蛇でも鼠でも命は惜しい、誰も死にたい者は無い。

ミア アウジツ 明後日。明後日。明後日。

ミア アム 明暗。明暗。

ミア アイウ 満油。瀝青。

ミア ウメ 命運。運命。運。命。運性。天命。命。好。好運。概是。就着喇。總て運命であ

ミア サイ 明早。明日。明日。

ミア シア 名聲。名聲。評判。人氣。聲望。眞通。名が轟く。傳天下。名が世に聞える。響。響く。好。評判が好い。

ミア シイ 名姓。姓名。氏名。

ミア ジイ 名字。名前。姓名。猪辣。名が響く。名が聞える。

ミア ジツ 明白。明日。明日。

ミア モエ 命債。業。命運。歹。因業。不運。

ミア モエ 命册。占の本。三世相。

ミア リオ 命數。命數。運命。定命。

ミア ティ アア 名帖。名刺。名札。

ミア ティ 構箸。松の木の心で作った箸、(此と葱とを初めて入學する子供に與へる)葱構を「聰明」に振って祝福する意。

ミア ツウ 命書。占の本。三世相。

ミア トオ 命途。運。運命。多舛。運命が悪い。

ミア ビエヌ 名片。名札。名刺。手札。

ミア ホラ 名號。名稱。名。稱號。

ミア ポオ 名簿。名簿。人名簿。姓名簿。

ミイ

ミイ 城。五指で掴む。撮取る。一米飼雞。米を掴んで鶏にやる。雞屎不知臭。雞の糞を掴んでも臭いことを知らぬ、子供など東西を知らぬこと。

一鹽敗心肝。鹽を撮取つて心を漬ける。懲りて斷念する。懲りて諦める。握。脚手。倚來。瘵。瘵を起して虚空を掴む。手に汗を握る。心肝歸下。來。心がぎよんとする、心がひやんとする。握。一土豆。一擲の落花生。【城】。

ミイ 彌。●(姓)彌。

ミイ セ。●(姓)セ。直。前の語を受けて其の物事を指していふ代名詞。其物は。其事は。愛。是愛不拘我。無錢。欲しいことは欲しいが私には金が無い。講。有講。總是伊。不應。話したことは話したが併し彼は返事をしない。錢。有喇免驚。金其物は有るから心配には及ばぬ。熱。眞熱。寒。眞寒。暑いこと來たら馬鹿に暑しい寒いこと來たら馬鹿に寒い。愛。緊來。欲しいならば早く來なさい。無。如此。無ければ斯うしよう。

ミイ 麼。●何故。何うして。何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

何が故に。使。何が故

ミソアウツ 麵線屈。女の髪かみの一種。

ミソアヲエ 麵線話。長話ながはなし。冗長じゆうちやうな話。長談話ながだんわ。

ミソアケイ 麵線機。索麵まつめんを造る機械きかひ。

ミソアサン 麵線鬚。鬚まげの一種。

ミソアモエ 麵線篋。索麵まつめんを作るとき干す爲の横棒よこぼう。索麵まつめん棒。

ミソアモイ 麵線蛆。次つぎに同じ。

ミソアツウ 麵線蛆。赤子あかこ。赤子あかこ子。微塵子みじんこ。

ミソアマン 麵線湯。索麵まつめんに豚肉とんこつ干蝦しんじや・椎茸しじゆ等を混まじへ煮た料理れいり。

ミソアリウ 麵線鈕。束なになつてゐる〔麵線〕。

ミソア 綿紙。日本紙にほんしの如き質しつの強い紙。

ミソエ 麵糰。小麦粉こむぎこを捏こねたもの。〔麵糰〕参照。

ミソアペエ 麵糰白糰。楳いぬなつめ。

(風季科、核果は食用となすも良好ならず)。

ミソアアシイ 暝當時。夜よる。夜分やぶん。

ミソア 暝事。何事なにごと。

ミソア 暝事。何事なにごと。

ミソア 暝事。何事なにごと。

ミソア 暝事。何事なにごと。

ミソア 暝事。何事なにごと。

ミソア 暝事。何事なにごと。

ミソア 暝事。何事なにごと。

ミソア 暝事。何事なにごと。

を食くつて慈悲じひのある風かぜをする。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミソア 物食。路傍ろぼうなどで賣る飲食物いんじつじやう。擔かり。飲いん。

ミイ

ミイ

ミイ

ミイ

ミイヒウ 綿裘。綿入の短衣。〔芥〕
 ミイビイ 麵披。饅頭を乾すに用ひる扁い芥。饅頭乾
 ミイフヌ 麵粉。饅頭粉。小麦粉。メリケン粉。
 ミイフヌモエ 麵粉渣。小麦粉の滓。〔棒〕
 ミイフヌマイ 麵粉槌。饅頭粉を搗るに用ひる丸い
 ミイフヌパン 麵粉枋。饅頭粉を搗るに用ひる板。
 ミイフン 暝昏。夜。晩。彼―先夜。
 ミイベエ 綿尾。綿から糸を紡いだ残の屑。綿屑。
 ミイベエ 暝尾。夜明前。
 ミイベエ 綿襖。綿入の靴下。―改神仔 綿入の靴
 下を以て〔神仔〕に代用する、貧困の意。
 ミイペエ 綿被。蒲團。有―不蓋要抛車輪 蒲團
 が有るのに掛けないで顛倒る、内にぢつとして
 居れば好いのの外へ出て色色の事に手を出して失
 敗するなど。
 ミイペエ 麵皮。饅頭粉を捏ねて薄くしたもの、叩肉
 などを包むに用ひる。
 ミイペエ 物配。副食物。菜。お菜。
 ミイホエ 棉花。(種) 綿。草綿。綿花。(錦葵科、種子
 の毛を綿と稱し織物其他の用となし種子は製油の
 原料となす)。
 ミイホエツン 棉花瘡。(病) 微毒性皮膚病。〔夜〕
 ミイボア 暝半。夜中。夜半。三更―真夜中。深

ミイ

ミイボエ 綿被。(種) 綿被。〔綿被〕。
 ミイボエ 物配。(種) 物配。〔物配〕。
 ミイボオ 綿布。綿布。木綿物。木綿。
 ミイボオ 綿苞。生綿。
 ミイボン 麵磅。麵包。
 ミイボオ 綿被。(種) 綿被。〔綿被〕。
 ミイミア 暝。暝名麼姓。名は何、姓は何。
 ミイミ 滅滅。●心肝―心が亂れる。精神が混
 亂する。●〔滅〕の①②。
 ミイミ 綿綿。●根氣がよい。執拗い。―作 根
 よく働く。―趁 根氣よく稼ぐ。―求 根
 氣よく求める。―要 何處までも要求する。執
 拗く求める。●綿の様子に軟い。幼―同上。
 ミイミ 暝暝。毎晩。夜夜。―亦作到半暝過 毎
 晩夜中過まで働く。
 ミイミ 麵麵。幼―粉など細い。肌理が細い。
 ミイミ 綿綿。非常に根氣強い。甚だ執拗
 い。大層根が強い。頗る熱心な。
 ミイラウ 暝流。夜の潮。
 ミイラン 麼人。誰。
 ミイリエクイア 彌勒爺。次に同じ。
 ミイリエクフツ 彌勒佛。彌勒佛。
 ミイロオ 暝路。夜路。行―夜路を行く。

ミヌ

ミヌ明。一仔再 明日。
 ミヌアア 明仔暗。明晩。
 ミヌアア エエフン 明仔下昏。明晩。
 ミヌアア サアキイ 明仔早起。明朝。
 ミヌアア サイ 明仔再。明日。
 ム
 ム姆。●(父の兄の妻) 伯母。嬢―叔母と伯母。●伯
 母と同等の者に對する敬稱。伯母さん。親―家
 の母若くは婿の母。丈―妻の母。姑。厝邊―
 隣の伯母さん。
 ム梅。〔油松〕。〔と牝〕。
 ム母。(同) 豚などの牝。猪―牝豚。公的―的 牡
 梅。●梅。梅。一仔 梅の實。梅干。一餅 梅干で
 作った菓子。の如きもの。〔つ〕。
 ム蕾。蕾。花―同上。花打 植木などが蕾を持
 ム不。(姿) 次に同じ。
 ム不。●否。要らない。要也 要るか要らないか。
 一啊 要らない。決斷 斷じて否だ。●打消
 の意志を表す語。…しない。一講 話さない。
 一食 食べない。一來 來ない。一參 詳 相談を

しない。●打消を表す詞。……しない。……で
 ない。一知一知らない。一好一けけない。一肯一
 承知しない。一是一左様でない。一穩當一大丈夫
 でない。一爽快一爽快でない。●【着】【免】【使】
 【都】【拘】【尚】【即】【就】等の助動詞又は接續詞など
 に冠して其語意を強める詞。你一着緊去一汝
 は早く往かなくてははいけないではないか。一免
 來一來るには及ぶものか。伊一拘不肯一彼は併
 し承知をしない。如此一即不好一それだからい
 けないのだ。●副詞などに冠して其語意を強める
 詞。一山頂一眞寒一山の上は寒いだらう。你一
 緊來一汝はなぜ早く來ないのか。一敢眞痛一
 腹痛からうな。你一較緊一汝はもっと早くしな
 いか。如此一顛倒害一それでは却つて酷い目に
 逢つたではないか。你一尙未食早起勝一君は
 未だ朝食を食はないといふ譯だな。如此一太無
 情理一それは餘りに無法といふものだ。●名詞
 などに冠して開返す詞。然らば……ですか。では
 ……か。不是人一鬼傍一人でなければそれでは
 化物か。不是土炭一石頭傍一石炭でないとな
 ればでは石か。如此一甚貨一さうですともさう
 でなくて何ですか、勿論さうですとも。●形容詞
 などに冠する反語。……ではないか。恁老父一

老傍一汝のお父さんはもう年をとつてゐるでせう
 ね。錢賠你如此一好傍一金を償つてやつたらそ
 れで好いではないか。用雪文洗、今一清氣傍
 石鹸で洗つたらもう綺麗になつたではないか。●
 問掛くる意を表す語。……か。乎。是。然。で
 すか。要一好いですか。着一其通ですか。
 肯一承知しますか。如此好一それで好い
 ですか。
 ム十。(二三)の次に來る【十】の音便 三一五三三五。
 三一三三三三三。
 ムア 姆仔。(父の兄の妻の伯母。
 ムア 梅仔。●梅の實。梅。●梅十。
 ムア 不尙。【尙】。
 ムア コア 梅仔干。梅干。
 ムア アピア 梅仔餅。梅干で作つた菓子もの。
 ムア イ不愛。●厭。嫌。嫌。●體の工合が
 悪い。我今仔日人一私は今日體の工合が
 悪い。
 ムイ エン 不用。●使はない。用ひない。一大人一
 大人は使はない。●(主人が客に馳走を勧める時
 に用ひる語)你一どうぞ遠慮なく召上つて下
 ムイ エン カイ 不應該。【不應該】。
 ムイ 又 不應。答へぬ。叫一呼んでも答へぬ。

ムイ 又 不應。似合はぬ。釣合はぬ。不台釣。
 ムウ イ 不畏。恐れぬ。氣遣ふに及ばぬ。飢雞一筆
 一飢多た鶏は鞭を恐れぬ、人前も憚らず食食
 ムウ 又 不穩。次に同じ。「ふ人など。
 ムウ 又 タン 不穩當。危い。危い。險難。危險。心
 ムエ 又 母的。(同)豚などの牝。
 ムカ ア 不敬。●より爲きらぬ。一去一より行かぬ。
 一講一言ひきらぬ。言ひかねる。一做一爲か
 ねる。叫一折檻される小供がもう爲ません御
 免なさいといふ。●噓。一不止寒一噓寒いで
 せうね。一眞美一噓綺麗でせう。
 ムカ ア ツン 不敬當。(謙遜辭退の詞)敢て當らず。
 恐多い。勿體無い。恐入ります。你賢讚美我
 一貴方の御褒にあつかつて眞に恐縮しま
 す。
 ムカ ム 不甘。心残がある。斷念し難い。諦めが
 かね。殘惜しい。未練がある。一離開一別を
 惜しむ。名殘惜しい。一何としても諦
 められぬ。一給人一惜しくて人に遣りきれぬ。
 錢一用一金が惜しくて遣ひきれぬ。
 ムカ ム ゴア 又 不甘慮。●無念に思ふ。殘念に思ふ。
 悔しい。承知が出来ぬ。業腹。眞一遺恨に
 思ふ。●甘んじない。一輸一負けたことを甘

んじない。負惜。

ムカム シム 不甘心。承知が出来ぬ。納得が出来ぬ。

遺憾に思ふ。

ムキア 不驚。恐れぬ。――見笑。恥を何とも思はぬ。――死。命知らず。――生份。人馴れる。

ムキア ラン 不驚人。――人を恐れぬ。大膽不敵。――

人が驚かぬ。能好亦。――幾何金持になつても人が驚かぬ。大した事はない。

ムキア ムモエ 不欠債。物を無駄にする。勿體ないことをする。

ムキイ 不見。――見えなくなる。紛失する。無くなる。――去。失せた。打。失ふ。無くす。看。――見失ふ。――面會せぬ。伊。我。彼は私に面會せぬ。――承知。

ムキエ ン 不肯。承知せぬ。承諾せぬ。謝絶する。不

ムクイ ヲ 不快活。【不快活】

ムクウ 不拘。併し。けれども。だつて。乍併。――伊。不肯。併し彼は承知をしない。

ムケエ イ 不滿意。心持好く思はぬ。満足出来ない。被伊講到此款的話我真。――彼にこんな事を言はれて私は好い氣がしない。

ムケエ シム 不週心。心掛になつて氣が済まぬ。心苦しい。忍ばれぬ。看了真。――見るに忍び

ない。

ムケエ バク 不週目。氣に入らぬ。看了。――見

て氣に入らぬ。

ムコア ヲ 不快活。體の工合が悪い。不快。病氣。

ムコア イ コエ ブウ 不關雞母。――打鴨。――雌雞を圍はないで鳶を打つ、自分の子弟などを取

縮らないで反つて他人を非難する。

ムコア ヌ 不管。差支ない。構はぬ。係らぬ。管せず。――你東西二七八。何が何でも構はぬ。

どうならうと構はぬ。――伊。構はぬ。大事な

ムココ 不更。それだけれども。然れども。伊。不

來。それだけれども彼は來ない。

ムゴア ヌ 不慮。【不甘愿】

ムサイ 不使。……する必要があるものか。……するに及ぶものか。――掛意。心配するに及ぶもの

か。――彼多。そんなに澤山要るものか。

ムサイ 不知。知らぬ。知也。――知つてゐるか知らないか。――伊。要來不。彼は來るか知らん。

――去何位。何處へ行つたか分らぬ。――見笑

恥を知らぬ。――醜。身程を知らぬ。――天地幾斤重。天地の重さ幾斤なるを知らず、物が

少しも分らず愚鈍なるをいふ。

ムサイ キヲ シイ 不知叫是。……だと思つた。――

――你呢。汝だと思つた。――伊。在叫。彼

が呼んでゐるのだと思つた。

ムサイ シイ 不知死。醜い目に遇ふことを知らぬ。

恐しい目に遇ふことを知らぬ。你真。――嗚

較停仔即看真。お前は恐くないのか、後で見

てをれ。

ムサイ イクウ 不知頭。つい知らずに。つい浮と。つ

い無意識に。――去損着的請你不可怒氣

。――つい打當つたのですからどうか怒らないで下さ

ムサイ ラン 不知人。人事不省。續。――去。人事

不省になつてしまつた。

ムサブ 不挿。關係しない。放つて置く。――你長

。――你短。汝の事には關係しない。汝の事には

干渉しない。

ムサア シアウ 不挿精。(鼻)撥付ける。却ける。

ムサイ 不是。――いいえ。――喇。いいえ、違ひます。

――伊。死人。彼は悪人ではない。――成つてゐな

い。――欸。有様が成つてない。――所在。成つ

てない所。――脚賬。成つてない手合。――勢

面。成つてない形勢。

ムサイ カン 不是孔。成つてない場所。危い。危険な。

眞一―大變危い。

ムシイクウ 不是龜。成つてゐない龜。危険な人物。

ムシイコアヌ 不是欺。成つてゐない形。有様が成つてゐない。行などが成つてゐない。

ムシイシイ 不是時。時節外。時候後。時候外。時ならぬ。

ムシイシツ 不是穢。成つてない仕事。危い。危い。危険な。危険な。

ムシイシム 不死心。思切れぬ。諦められぬ。心残。尙且―まだ断念が出来ない。

ムシイスイ 不是事。危い。危険な。危い。危険な。形勢が危険な。形勢が不穩だ。

ムシイセエ 不是勢。形勢が危険な。形勢が不穩だ。閉口せぬ。減らず口をいふ。

ムシイツイ 不是嘴。成つてゐない口、よく人の悪口などをいふ口。

ムシイベエ 不是馬。輕佻な女。蓮葉者。

ムシイミイ 不是物。成つてない者。危険な者。

ムシイラン 不是人。人で無し。人非人。人面獸心。

ムシヲホク 不惜福。物を粗末に費消する。勿體ないことをする。

ムシヌシア 不信聖。神の靈驗などを信じない。

ムウエシア 不做聲。聲を出さぬ。

ムタアタア 不□□。分に安んぜぬ。勿體ないことをいふ。贅澤をいふ。

ムタツ 不值。●値打が無い。●價值が無い。―錢同上。庶公聖―庶媽定●男神の御利益は女神の御利益程に價值が無い。●噴天下など。講破

―半文錢||言つて仕舞へば半文の値打も無い。―一文歹錢 死||銀一文の値打も無い。●馬鹿らしい。詰らない。好意爲伊講反轉被伊

怨恨眞―好意で話をしたのに却つて恨まれて實に馬鹿らしい。

ムタツヲ 不值着。…に如かず。…に及ばぬ。…にも劣る。叫人去幾若次―本身去

一次||人を何度も遣るより自分で一度往く方が増だ。孔子公―孔方兄||孔子様も孔方兄(金錢)には及ばぬ。金の世の中の意。

ムタヌナア 不但若。【不但若】

ムタン不可。●いけない。…してはならぬ。勿。―去||往つてはいけない。―過嘴||口外するな。他言するな。―食水||水を飲んではいけない。―做||爲てはならぬ。●動詞の略される場合。―較好||するな、其方が好い。しない

ムチア 不即。【即】の◎。【方】が好い。

ムチア 不成。成つてゐない。成らぬ。成さぬ。つま

らない。僅かな。出―價||附價が成つてゐない。―様||不恰好。―粗―幼||文事も武事も出来ぬ。―天||天氣が不順な。氣候が不順な。

―童生―銃兵||學問も勞働も出来ない。―物||物が成つてゐない。―三二二||二にも三にも成つてゐない。物になつてゐない。―人||人に成つてゐない。

ムチアヲ 不即着。であるから。それだから。―共你講||それだから汝に話をするのだ。

―被人講||であるから人に彼此言はれるの

ムチイ 不止。【不止】の◎。【だ】

ムチウ 不就。●【就】の◎の反對。●【就】の◎。

ムチウ 不上。●…に足らぬ。…にならぬ。…を出でず。―十個||十以下。―一月日||一月足らず。―百人||百人足らず。―一目||眼中に置かぬ、輕蔑する。●上せる、入れる。―算||勘定に入れない。數に入れない。

ムチウチヌ 不秋清。氣分が悪い。體の工合が悪い。人―同上。

ムチウバク 不上目。眼中に置かぬ。

ムチエニイ 不稱意。氣に食はぬ。

ムチエンゴアヌ 不情愿。氣が進まぬ。不承不承に。厭厭。―做||遊蕩爲る。厭厭爲る。

ない。不可。一去往つてはいけない。一與伊交陪彼と交際してはいけない。○子供など死ぬ。一一個子去一人の子を無くした。

ムホヲキイ 不好去。(子供など)死ぬ。無くなる。無くす。

ムホヲコア 不好看。みつともない。見苦しい。較停仔你着。一後でお前は泣面をするな。(喧嘩の時などにいふ)。

ムホヲコン 不好講。言ひ悪い。好食到。一何とも言はれぬ。とても旨い。一了了。とてもお話にならぬ。

ムボヲ 不無。それでは。それなら。然らば。一勿。それでは君止めたまへ。一你更提五元。銀找我。それなら汝もう五圓釣を下さい。

ムボヲ 姆婆。祖父の兄の妻。大伯母。

ムミイ 不也。さうでなければ。然らざれば。一此。さうでなければ斯うしよう。一你勿返去。然らざれば君は歸ることを止めたらよい。

ムリアウジエ 不了然。未練敷い。心残り。諦をつけぬ。尙且。一未だ諦をつけぬ。

ムリイラン 不理人。子供が親の言附などをよく聞かぬ。言ふことをきかぬ。おとなしくない。

ムリオン 不涼暢。不快い。不愉快。氣色が悪

い。心持が悪い。胸糞が悪い。

ムイ

ムイ 麼。(連) 麼。

ムイ 毎。(連) 毎。毎。一年。毎年。一家。家。

ムイ 晚。(連) 晚。毎。一次。毎度。一。毎毎。

ムイ 枚。(連) 枚。

ムイ 梅。(連) 梅。(蔷薇科、花を觀賞し果實を食用となす)。(梅)。

ムイ 媒。(連) 媒。爲。媒。爲。媒。官。官媒。

ムイ 門。(連) 門。

ムイ 問。(連) 問。

ムイ アア コア 梅仔干。梅干。

ムイ アア 問安。(連) 問安。

ムイ アア 問案。(連) 問案。

ムイ アム 每晚。每晚。連夜。毎夜。

ムイ イウ 晚柚。(大斗柚)。

ムイ イウ 煤油。石油。

ムイ ウウ 梅雨。(又) 梅雨。梅雨。五月雨。

ムイ カウ 門口。(連) 門口。

ムイ キア 門堅。(連) 門堅。

ムイ エエ 每個。各。各自。銘銘。

ムイ キイ 煤氣。石炭瓦斯。

ムイ キイ 間起。(連) 間起。

ムイ キエヌ 門牽。(連) 門牽。

ムイ クイ 玫瑰。(種) 薔薇の一品種。玫瑰。

ムイ クイ チウ 玫瑰露。次に同じ。

ムイ クイ ロオ 玫瑰露。玫瑰の香を加へた強烈な酒。

ムイ クウ 門白。(連) 門白。

ムイ ケエ 每家。家家。門並。

ムイ ケエ 每過。度。度。度に。

ムイ ゲエ 梅月。四月の異名。

ムイ コエ 每過。(連) 每過。

ムイ コエ 每過。(連) 每過。

ムイ コエ 每過。(連) 每過。

ムイ ゴエ 毎月。(連) 毎月。

ムイ ゴエ 毎月。(連) 毎月。

ムイ ゴエ 毎月。(連) 毎月。

ムイ サア キイ 每早起。每朝。朝朝。

ムイ シイ 門扇。(連) 門扇。

ムイ シヌ 門神。(連) 門神。

ムイ ジツ 毎日。毎日。日日。日日。

ムイ スイ 門栓。(連) 門栓。

ムイ ツア 門門。(連) 門門。

ムイ タン 晚冬。(連) 晚冬。

ムイ

ムイツウ 每次。毎度。毎毎。度毎に。

ムイツシ 梅瘡。(瘡) 梅毒。

ムイツア 煤炭。石炭。煤炭。

ムイトク 梅毒。(瘡) 梅毒。

ムイニイ 毎年。毎年。毎年。年毎。年年。

ムイヌイ 問問。(問) 問問。

ムイバイ 門楣。(楣) 門楣。

ムイパイ 每次。毎回。毎度。度毎に。毎毎。

ムイホエ 梅花。梅花。梅花。

ムイホエコアヌ 梅花罐。梅花の模様のある花瓶。

ムイホエタン 梅花窓。梅花の形をした窓。

ムイホエロク 梅花鹿。梅花に似た斑のある鹿。

花鹿。小琉球に産すといふ。

ムイホオ 門戸。(戸) 門戸。

ムイボオ 晚哺。(哺) 晚哺。

ムイボヲ 媒婆。「三姑六婆」の一。良家の婦女に悪

事の媒介をする女。

ムイミイ 每喫。夜毎に。毎夜。毎晩。

ムイムイ 毎毎。毎毎。度毎に。每次。常常。

ムイムイ 問問。(問) 問問。

ムイラン 每人。各人。一人一人。一人毎に。

ムイラン 媒人。(媒) 媒人。

ムイリイ 門簾。(簾) 門簾。

ムウ

ムイリエヌ 門聯。(聯) 門聯。

ムイロオ 問路。(路) 問路。

ムイロン 門門。(門) 門門。

ムウ

ムウ 咩。(牛の鳴く聲)もお。

ムン

ムン 麼。毛の様に細い。雨一仔。霧雨。雨仔。一。同

上。字畫傷。一。字畫が餘に細い。【麼】。

ムン 晚。夕方。早。朝晩。朝夕。一。哺。夕方。一

遅い。傷。一。餘遅い。一。子。遅い子。晩年にな

つて生んだ子。一。稻。第二期作の稻。【晚】。

ムン 眠。(睡) 眠。

ムン 毛。一。毛。毛筋。發。一。毛が生える。

一。快長。一。毛脚が速い。頭。一。頭髮。烏。堅。到。白

一。一。黒髮が白髮になる迄住む。一。處に久しく居

住すること。【毛】。

ムン 門。一。門。門。出入口。關。一。門。一。門を

閉ぢ戸を締める。水。一。水門。前後。一。表と裏

の門。一。扇。一。戸。一枚。一。火砲。彈丸。臺。錠。釣

針などを數へる語。三。銃。三。挺の銃。一。大

砲。一。砲。一。一。噓子。一。ダイナマイト。一。筒。放

ムン

ムン 二。一。二。發打つ。五。一。風水。一。臺。五。基。六。一。礎。一

六つの礎。四。一。釣。仔。一。四つの釣針。【門】。

ムン 問。一。問。問。問。聞。尋ねる。質す。伺

ふ。一。字。一。字を問ふ。一。伊。一。彼に聞く。一。路。一。路

を尋ねる。凡事。着。先。一。父。母。一。凡ての事は先づ

親に伺はねばならぬ。一。訊問する。取調べる。

審問する。召來。一。召喚して訊問する。一。案。一

事件を審理する。

ムン 物。(葉) 物。

ムン ア。ア。ア。毛仔草。(種) 羊齒類裏白科) 裏白。

ムン ア。ア。門。門。玄關。門口。

ムン ア。ア。問。安。安否を問ふ。慰問。

ムン ア。ア。問。案。事件を訊問する。審理する。判官在

一。一。判官が事件を審理してゐる。

ムン ア。ム。毛。茂。毛深い。

ムン エ。エ。ク。ウ。門。下。白。【門。白】。

ムン オ。オ。チ。ア。ム。晚。烏。占。(種) 第二期作水稻類の無

ムン カ。ア。毛。脚。額際。生際。髮際。

ムン カ。ア。門。脚。戸。の。際。門。口。

ムン カ。ア。カ。ウ。門。脚。口。門。口。門。の。外。

ムン カ。ア。タ。ウ。門。脚。兜。前。に。同。じ。

ムン カ。ウ。門。狗。(同) 戸締の栓。門に挿す栓。戸の猿。

ムン カ。ウ。毛。厚。毛深い。

ムシカウ/門口。戸口。入口。門口。門先。門外。表。
ムシカウ/コン門口公。無縁佛。孝。――同上を祭る。

ムシカム/アア門坎仔。門の上段。上口。
ムシキア/晩子。晩年の子。老後の子。

ムシキア/物件。(泉)同【物件】。
ムシキア/門整。門の柱。――聯||門口の聯。

ムシキイ/毛柿。毛柿。黒柿。(柿樹科、邊材は淡紅白色なるも心材は黒色美麗なるを以て種種の器具を製す、果實は食用となす)。
ムシキイ/問起。問掛ける。問起す。對何一條――

||何の事から問掛けるか。
ムシキエヌ/門牽。門に取附けた環。扉に取附けた掛金。攀。――惡||門を開して暴れる。内辨廳。

ムシキエン/門匡。門框。框。戸の周圍の框。
ムシクイ/晩季。稻などの第二期。

ムシクイ/門鬼。門の戸に装置した落。戸の枠。猿。
ムシクイ/アア門鬼仔。前に同じ。

ムシクウ/門白。櫛。櫛。扉を廻轉する下の白。
ムシクン/毛管。毛穴。氣孔。――出汗的錢||苦勞して溜めた錢。――起凸||身の毛がよだつ。

ムシクン/チイ毛管筒。氣孔。
ムシクン/チイ毛管筒。――堅整||(褻又は畏の爲

ムシケエ/物件。(泉)同【物件】。
ムシゲエ/門牙。門齒。前齒。

ムシコン/門樅。門の貫木。
ムシゴア/門外。門外。

ムシサア/門蘭。家畜の圍の門。
ムシサア/アア門蘭仔。前に同じ。
ムシザウ/毛草。●毛皮。粗皮。――的裘||皮衣。●毛色。――眞美||毛色が甚だ綺麗だ。
ムシザツ/毛實。毛深い。
ムシシイ/門扇。扉。門の戸。戸。戸前。――後博了。楊褌蓋||扉の影で一人で賭博の眞似をすれば皆勝負が出る。口では盛に理窟を言ふが實際やらせて見ると何も出来ぬ。

ムシシイ/パア門扇板。門の戸。扉。戸板。戸前。
ムシシエク/毛色。毛色。

ムシシヌ/門神。門の神。――戸尉||門戸を守る神にて扉などに畫く。
ムシシヌ/問神。――托佛||神佛に願を掛ける。

ムシスイ/毛裘。髪を生際の周圍にのこす短い毛。後毛。或は前髪。撥。――同上を分ける。
ムシスイ/アア毛裘仔。前に同じ。

ムシスヌ/門樅。戸の樅。櫛。

ムシスノ/門樅。戸の樅。

ムシワア/毛蛇。(蛇)頭に来る腫物の名。毛囊炎。
ムシワア/毛行。頭髮の分目。

ムシワア/門門。門を閉すとき内部より横に差込む差
ムシタウ/門斗。鴨居。櫛。

ムシタウ/門喙。【門門】に落し込む枠。戸の猿。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。
ムシタウ/アア門喙仔。門喙。門喙。

ムシ

ムシチエン門政。【稿案】。
 ムシチエン門前。門前。
 ムシチオンクヌ毛將軍。(馬) (馬鞭草科) (むらさき) (しきり) (兔耳草)。
 ムシチアウ門柱。門柱。門の柱。
 ムシチウ晩稻。第二期の稻。晩稻。
 ムシチエン門閤。門の閤。地輻。【上の樞】。
 ムシチエンクウ門頂白。扉の上の軸をはめる孔。
 ムシツイカウ門嘴口。入口。入口。
 ムシツイン眠床。寢床。寢臺。
 ムシツイ門對。門口の聯。門聯。
 ムシツウ門抵。門の支柱。
 ムシツン晩頓。晩飯。夕飯。
 ムシトア門拖。門の引手。引戸。
 ムシヌト問問。【問問】。
 ムシハヌ門限。(門) 門限。
 ムシパイ門楣。鴨房。門楣。楣。冠木。笠木。
 ムシパイチエン門楣項。楣。風走。
 ムシパイ門牌。門札。表札。門札。宿札。
 ムシパカ門楸。扉軸を差込む孔のある臺木又は貫木を差込む孔のある臺木。
 ムシバクアア門楸仔。前に同じ。
 ムシパンホエ晩香花。【騰脂花】。

ムシ

ムシビラ門葉。門の扉の上方に四角く赤く塗った文字を記してある所。
 ムシビイ門邊。門の傍。門邊。
 ムシビイ間病。神靈を「童虫」に乗移らせ疾病の治不
 治及び醫治法を問ふ。
 ムシビイ門披。入口の楣に記した文字。
 ムシビヌ門屏。門口に下げる網代戸。出入の際左右に引くもの。
 ムシブツ問佛。神佛の託宣を受けんとする時「童虫」をして行はしむる神降の法。其法は「童虫」をして神前に据ゑたる卓に凭らしめ「豎桌頭」と呼ぶ一種の修法者をして金紙を焼きつつ念咒を爲さしむ斯くして漸く其靈は「童虫」に乗り遷り「童虫」は髪を亂し身を跳らし殆んど狂亂の状に陥り口に嚙語を放つに至る。「豎桌頭」は之を聞きて其意を人に傳ふるなり。
 ムシヘエ毛蟹。(毛) 毛蟹。【蒲團】。
 ムシペエ毛被。生番が樹の皮を獸の毛と混ぜて織った
 ムシホエ毛蟹。【毛蟹】。
 ムシホエザウ毛蟹草。(植) ねずみのを。(禾本科、牛畜の飼料となる) 【牛牝草】。
 ムシホエバク毛蟹目。【撥鼻草】。
 ムシホオ毛虎。(科) 頸筋などに出来る腫物の名。出

ムシ

―――同上が出来る。
 ムシホオ門戸。門戸。戸。戸前。門構。入口。―――
 白。樞。樞。門地。家柄。大。―――大な家柄。―――相對。門戸家柄が對等だ。―――破。破猪。狗亂。門が破れて豚や犬が濫りに出入する。家風悪しく色色の者が出入する意。
 ムシホエ毛蟹。(毛) 毛蟹。【毛蟹】。
 ムシホウ門楸。【門楸】。
 ムシホン門風。家風。門地。家柄。細。―――暮向の貧乏な家。大。―――大な家柄。
 ムシボヲ毛帽。毛の帽子。
 ムシボオ晩哺。晩方。暮方。七下り。夕方。
 ムシボク問ト。卜者に問ふ。占者に尋ねる。
 ムシボオ物配。(鬼) 物配。
 ムシムン麼麼。極細い。極細い。幼。―――毛。絲なと極細い。雨仔。―――小雨。
 ムシムン問問。【問】の(問)。
 ムシライ門内。門内。
 ムシラウ門樓。櫓のある門。門樓。―――雖。破。更。鼓。原在。門樓は破れても夜番の太鼓は元の通りに鳴る。古川に水絶えずといふに當る。
 ムシラウアア門樓仔。前に同じ。
 ムシライ門簾。入口に垂下げる布帛。帳。放。―――

モアサア 庠衫。着物を肩に引掛る。

モアサア 麻衫。麻の喪服。麻衣。麻衣。

モアサツバク 麻虱目。(動)魚の名。マサバ。

モアシア 滿城。都中。一尋社兄同村の者を尋ねて都中を搜廻る、見出す望の無いものを捜求めをいふ。

モアシアアア 庠斜仔。庠。

モアシアアア 庠城仔。城壁を利用して小屋掛する。

モアシアアア 庠城仔。城壁を利用して小屋掛する。

モアシアアア 庠城仔。城壁を利用して小屋掛する。

モアシアアア 庠城仔。城壁を利用して小屋掛する。

モアシイコエ 滿四界。一方方に澤山ある。到る處に有る。一都有何處にでも澤山有る。●到處。諸諸方。去到一處に往つた。

モアシイソア 滿四山。非常に込合ふ。立込む。廟口人。一廟の前に人が雑沓してゐる。

モアシヌ 滿身。次に同じ。

モアシヌクウ 滿身軀。滿身。體中。全身。身體全

モアシム 滿心。滿心。一怨恨深く恨む。滿心怨恨。一歡喜滿心の喜び。大喜び。

モアシア 庠遮。庇。差出。

モアジオン 麻絨。楨皮。舟綿。

モアジヌ 麻仁。麻の種。麻の實の仁。「滿ちる。

モアジム 滿任。任期滿了。三年一三年で任期が

モアモエ コアヌ 庠債權。債權の附帶してゐる不動産

モアソア 庠山。墓碑の後及び左右に高くした土をい

モアソア 滿山。滿山。全山。落雪落到一全山に雪が降る。

モアソア 麻線。麻繩。麻索。緒。

モアソア 麻線。麻繩。麻索。緒。

モアソア 麻線。麻繩。麻索。緒。

モアソア 麻線。麻繩。麻索。緒。

モアソオ 麻酥。菓子の名。

モアソア 麻蛇。葬式の時粗き麻布を捲りて男の帽子に捲きつくるもの。

モアソア 麻座。劇場など滿員。滿座。滿員。大入。

モアソア 麻糍。米の粉と胡麻とで作った菓子。

モアタウ 滿斗。一枱一杯。一枱の一種。處により白米・玄米又は雜穀を量るに用ふ、約六・四二斗に當る。

モアタウ 麻頭罩。葬式の時被る麻頭巾の類。

モアチア 庠遮。庇。差出。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイ 麻子。麻の實。

モアチイカク 麻絨角。切餅。

モアチイコオ 麻糍糊。餅を糊にしたもの。盤石糊の如きもの。

モアチイトア 麻絨且。非常に翹かな所作をする役

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モアチエン 麻症。(病)麻疹。

モア

モア

モア

セア

モアチエンモエ 麻燈債。放蕩息子などが自分が將來分配を受くべき親の遺産を引當に人から借りる高利の金。

モアツイイエンシエン 滿嘴應承。喜んで承諾する。二の句も繼がずに引受ける。

モアツツライ 滿出來。溢れる。溢れて出る。

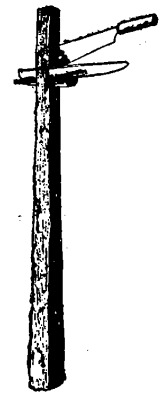
モアテエ 麻袋。麻の袋。

モアトエ 滿地。滿地。地に一杯滿ちる。

モアトエ 麻亭。麻亭。

モアトオカア 滿土脚。地に滿ちる。地べた一杯に。

モアトラ 麻刀。麻の皮を剥く刀。



刀 麻

モアトヲウイ 麻桌帷。【靈桌】の前面に垂れる麻の布。

モアニイ 麻簾。喪中などにかける麻の暖簾。

モアニイ 明年。明年。

モアナア 庄庄。【庄庄】。

モアナア 滿滿。【滿滿】。

モアナア 滿滿。【滿滿】。

モアナア 滿滿。【滿滿】。

モアナア 庄庄。【庄庄】。

モア

モアハア 滿孝。喪明け。忌明け。

モアハイ 滿海。海一杯。

モアハヌ 滿限。期限滿了。期限が滿ちる。

モアパグ 滿腹。滿腹。腹一杯。——文章||文章が腹に滿ちる、博學の意。

モアパン 麻香。胡麻を入れて作った菓子。粗枚の類。

モアパンアン 滿房紅。慶事の時など室内を赤布などで綺麗に飾ること。

モアパンアア 麻香斜。菱形。斜の格子。「妝の類」。

モアパンマン 麻香糖。胡麻を入れて作った菓子。粗

モアパンホアヌ 麻香龜。菱形。麻葉。網目。

モアヒイ 鰻魚。(動) 鰻。「格子模様」。

モアビイラウ 麻米老。【麻老】及【米老】。

モアビヌ 滿面。一面。總一面。滿面。顔一杯。——春風||滿面に喜色を湛へる。

モアピア 庄筵。(巻) 次と同じ。

モアピア 庄坪。壁から突出した片庇。突出庇。

漢字の雁垂。

モアピエヌ 騙騙。欺騙する。騙す。欺く。騙す。詐欺。誤る。騙る。騙す。騙かす。べてんに掛け

モアブン 饅飯。(圓) 饅井。饅飯。

モアペエ 麻紕。(巻) 【麻紕】。

モアペエ 麻皮。麻の皮。

モア

モアホエ パウヒイ 麻花鮑魚。鮑・豚肉・筍・葱等を材料として煮た料理。

モアホク 麻服。麻の服。喪服。

モアポア 滿盤。全部。全般の事。——權交伊||一切彼に渡す。全體彼に渡す。

モアポエ 麻紕。麻の茎より斜ぎ取った皮。麻絲を績む材料。

モアポオ 麻布。麻布。麻布。

モアポオクヌ 麻布裙。葬式などの時に女の用ひる

モアポオザイ 麻布彩。麻布で作った巾旗の如きも

モアポオモヲ 麻布尺。麻織物用の尺。

モアポオチエン 麻布燈。麻を附けた提燈。(喪中に

モアボン 滿禽。兩手に一杯。【用ふ】。

モアモア 庄庄。【庄】の○。

モアモア 滿滿。【滿】の○。

モアモア 滿滿。【滿】の○。

モアモア 滿滿。【滿】の○。

モアモア 庄庄。【庄】の○。

モアモア シイ 滿滿是。遍し。夥しい。澤山。到る處に夥しく有る。

モアラウ 麻老。菓子の名。【稗干】を油で煎りて膨らし之を水飴に浸し炒り胡麻の衣をかけたもの。【稗干】参照。

モアラウ 麻老包。葬式の時喪主の被る麻の頭巾。

モア ラウ ボラ 麻老帽。前に同じ。
モア ラク バヌ 滿六萬。【滿四山】。

モア リエク 麻栗。次に同じ。
モア リエク モウ 麻栗樹。チークの樹。チーク。(馬

鞭草科、東印度・暹羅地方の原産にして木材は亞
細亞第一の良材として知られ水に腐朽せざるを以
て船體材・建築材に用ひらる)。

モア リエン 麻龍。葬式の際棺桶を縛るに用ひる太い
麻繩の如きもの。

モア ロ、ロ、キイ 茫落去。着物など肩に引懸ける。
モア ロ、ア、ア 麻凹仔。(港) 【麻老包】。

モアイ

モアイ 糜。(港) 【糜】。
モアイ 妹。(港) 【妹】。
モアイ サイ 妹婿。(港) 妹婿。
モアイ プイ 糜沸。(港) 粥を煮るとき表面に浮く泡。

モエ

モエ 糜。(港) 【糜】。
モエ 妹。(港) 【妹】。
モエ サイ 妹婿。(港) 妹婿。
モエ ラン 媒人。(港) 媒人。

モオ

モオ 摸。●撫でる。觸れる。摩る。一十八下生葩即
要出門 || 翠丸を十八回撫でてからでなければ
外出しない、外出するに愚圖愚圖手間取る者
をいふ。●攫ふ。被鬼仔一去 || 妖怪に攫はれ
た。

モオ 膜。●べったりとくっつく。蟻蟲一在壁裡 || 守宮
が壁にべったりと吸付いてゐる。一在壁邊在偷
看 || 壁にくっついて窺に見てゐる。一我的尻脊
|| 私の脊中にべったりとくっつく。●兩手で抱持
つ。石頭一起來 || 石を抱へて上げる。一起一
倒 || 持ち上げたり下したりする。●べしゃんこにな
る。乳一落去 || 乳が小さくなる。腹肚飢到一
|| 腹がへつてべしゃんこになる。人歸個一落
去 || 人間が瘦こけてしまふ。生理一落去 || 商
賣が衰へてしまふ。

モオ 毛。●【毛】。●包装物と正味とを合せる。風
袋包。一重 || 風袋包の重さ。一若多 || 風袋包
で目方がいくらあるか。

モオ 摩。女を手に入れんが爲に言ひ寄つたり機嫌を取
たりする。女を張る。與查某在 || 女に同上
してゐる。食酒沒一酒は飲んでも女に手出し

はしない。

モオ 魔。魔。一鬼 || 惡魔。妖一鬼怪 || 妖魔怪物。

モオ 冒。偽騙る。一人的名 || 人の名を騙る。一告 ||
誣告。

モオ 莖。老莖れる。老 || 老莖。人 || 老莖れる。
モオ 膜。膜。甘皮。耳孔 || 鼓膜。竹 || 竹の中の
膜。角土豆仁 || 南京豆の薄皮をむく。

モオ イ、エ、ヌ 毛燕。下等な燕巢。
モオ ウイ 毛猬。【刺猬】。

モオ オオ ポオ 毛烏布。黒い棉布の一種。
モオ カア 毛脚。(港) 【毛脚】。

モオ カウ 毛猴。茶の一種。
モオ キイ 摸去。ちよろまかす。被人一去 || 人にちよ
ろまかされた。

モオ キイ 膜去。●べしゃんこになる。腹肚一 || 腹
がべしゃんこになる。●小いものなどをくすね
る。ちよろまかす。被人一 || 人にちよろまかさ
れた。

モオ キイ 毛柿。【毛柿】。
モオ キイ アア 毛蟻仔。(動) 金錢蟹。澤蟹。

モオ キヌ 毛虱。(港) 【毛虱】。
モオ クイ 魔鬼。惡魔。魔。惡鬼。
モオ クイ 毛管。(港) 【毛管】。
モオ クヌ 毛茸。(種) うまのあしがた。(毛茸科、有毒

モアイ モエ

モオ

モオ

モオ

植物の一にして、葉は搗碎して腫物の吸出薬又は
悪瘡の未だ破潰せざるものに貼附し、果實は止血
劑となす。

モオ コアヌ 膜棺。【摘棺】。

モオ コオ 毛蕨。松茸。

モオ コオアア チオン 毛蕨鴨掌。松茸・鷺の水掻等
を材料として煮た料理。 「理」。

モオ コオ コエ 毛蕨雞。雞肉に松茸を和して煮た料
モオ コオ スヌ 毛蕨筍。松茸と筍の料理。

モオ コロ 冒告。誣告。

モオ コン 魔公。天魔。起一々天魔が魅入る。魔が
さす。狂氣染たことをする。你亦成一々お前
は本當に氣狂染てゐる。 「の一種」。

モオ コン パイ 毛公牌。【四色牌】を用ひて行ふ賭博

モオ サツ チアン 毛咄鎗。モーゼル銃。

モオ ザウ 冒奏。偽り奏聞する。謾言。

モオ ザウ 毛草。【毛草】。

モオ シヌ 元神。【元神】。鬼神。魔神。【狂氣】。痴。馬
鹿。痴心。

モオ シヌ アア 魔神仔。小兒の姿にして球栗頭をな
し能く小兒を捕ふる怪物。被一々摸去一同上
に攫はれた。

モオ シヌ カウ 元神狗。【元神】。狂犬。

モオ

モオ シア パツ 摸十八。【十八】といふ賭博をする。

モオ ジイ カク 麻字亮。漢字の麻垂。麻冠。

モオ ジオン 毛絨。唐犬。天鵝絨。

モオ ジヌ 冒認。【冒認】。

モオ スイ 毛蕨。【毛蕨】。

モオ スウ 冒暑。【暑病】。中暑。暑中。

モオ スツ 魔術。【魔術】。

モオ ソロ チイ 摸搔掟。【摸搔掟】。

モオ ソロ 冒造。【偽製】。偽造。

モオ タヌ 毛毯。【毛毯】。

モオ タン 毛重。風袋共の重さ。包み共の重さ。

モオ タン 毛刺。【毛刺】。

モオ チイ 毛刺。【毛刺】。

モオ チイ モオリ アア 冒之冒攝。【冒攝】。

モオ チエ ク 冒籍。國籍を詐稱する。

モオ チエ ヌ 毛氈。毛布。毛布。毛布。

モオ チエン 冒證。虚偽の證言をする。偽證。

モオ チエン 冒稱。【冒稱】。

モオ チアウ 膜住。抱付く。取付く。べったりと粘着
く。びったりと倚り添ふ。

モオ チアウ カウ 摸吊猴。【吊猴】といふ賭博をする。

モオ ツイ ツウ 毛錐子。【毛錐】の別名。

モオ トク 冒演。【多冒演】。【真一】。你一々挨拶の語

モオ

お邪魔をしました。

モオ ノオ 摸摸。【摸摸】の②。

モオ ノオ 膜膜。【膜膜】の②。

モオ ノオ 魔魔。【魔魔】。

モオ ヒアム 冒險。【險を犯す】。冒險。一々の頭
路一危険な職業。

モオ ヒエツ 毛血。【山羊の血】。掩一々釋奠の時
山羊の血を供へて後にそれを地に埋めること。

モオ ビエン 冒名。偽名。名を騙る。名を冒す。氏名
を詐稱する。

モオ ビエン チエン トエ 冒名頂替。人の爲に偽名し
て身代となる。

モオ ビア クイ 膜壁鬼。べったりと壁にくっついてゐ
る鬼。黙つてこっそりと室内に入つて来たものなど
に對していふ。

モオ ビア ツウ 膜壁厨。袋戸棚。袋棚。

モオ ビア パン 膜壁枋。家の四面に打つ板壁。下見。

モオ ビア ホエ カヌ 膜壁花研。掛花瓶。

モオ ビウ イ 毛筆畫。【毛筆畫】。

モオ フィ 珉珉。モルヒネ。錠一々モルヒネを注射

モオ ヘエ 毛蟹。【毛蟹】。

モオ ホアツ 毛髮。【毛髮】。

モオ ホアツ パヌ 魔法瓶。【魔法瓶】。

ラア

ラア 獵。狩。一戸獵人。打獵をする。一狗獵犬。

ラア 蠟。蠟。一封蠟で封じる。面頂撃。表面に蠟を引く。赤・黄色など透通る様な好い色合。色緞真。透通る様なよい色合をしてゐる。腸透通る様な色をしてゐるソーセージ。烏魚子愈好。鱈子は透通つてゐるほど好い。

ラア 膺。膺。一日膺。

ラア アア 蚶仔。(動) 蜆貝。

ラア アア □仔。(動) 破傷風。着破傷風に罹る。

ラア アア サウ 蚶仔草。「遠志」。

ラア イイ 蠟膜。蜂蜜を取つたあとの蜂の巣。

ラア イエン 唸閉。暢氣そりに子供の様な茶目をする。窮合。貧乏なのに呑氣さうにする。

ラア イエン 唸閉。前に同じ。

ラア ファイ 唸歪。獨り悦に入る。上機嫌になる。有錢就能。金が出来れば同上して暢氣な風ができる。

ラア ラエタウ 撈話頭。意中を探る爲に話掛ける。

ラア カウ 拉鉤。事が面倒になる。引掛かる。ごたごたする。縫れる。紛糾する。各次要與人。何時もごたごたを起す。彼個人真。彼は甚だ面倒な人だ。一到到今尙未直。いま

ラア

だに纏れてゐて片附かぬ。ラア カウ 獵狗。獵犬。一嗅那。夜中獵犬の様に遊び廻つてゐる。

ラア カン 撈孔。穴を穿る。人の秘事を摘發する。

ラア ケエン 拉弓。弓を引く。

ラア ギア 螻蛄。(動) 平蜘蛛。平蜘蛛。一絲蜘蛛の絲。尿桶。尿桶の平蜘蛛。婦人又は花柳界の事を熟知する者を罵つていふ。

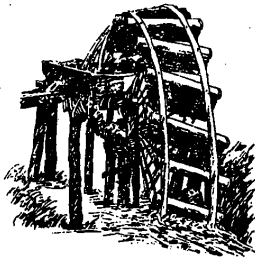
ラア ギア チア 螻蛄車。水車。水車。徑五六尺乃至丈餘の簡單なる竹製の水車にて側面に竹筒を付け置き車の回轉するに従ひ低きより高きに水を汲上げて田園に灌ぐ。「包む膜」。

ラア ギア モオ 螻蛄膜。平蜘蛛の太鼓。蜘蛛の子を

ラア クヌレエ 撈筋絡。靱帯を播廻す。人の秘事などを發くこと。

ラア サア 汚穢。穢い。不潔な。汚穢しい。真。非常に穢い。一鬼。起。皮膚に吹出物が出来る。

ラア サア シウ 汚穢相。穢らしい。穢氣な。一的



水車

ラア

查某。穢らしい女。穢はしい女。ラア サア ニアウ 汚穢猫。一咬錢鼠。穢い猫が地鼠を咬む。見ともない女が見ともない男と情交を結ぶなど。

ラア サア ファイ 汚穢血。産の下物。又は月經。

ラア サア リイ ロウ 汚穢唾。甚だ穢らしい。

ラア サム 汚穢。穢い。不潔な。汚穢しい。一物汚物。一鬼。穢しい。汚穢しい。

ラア サム シア 汚穢。腫物など出来て穢い。

ラア サウ 蚶草。「蚶壳草」。

ラア シイ サム 汚死穢。穢い。汚穢しい。汚穢しい。

ラア ジイ ビヌ 蠟字算。網代戸。

ラア ジイ ロエ 蠟字笠。網代笠。

ラア ジツ 曆日。年中行事又は月日の吉凶など記載してある曆。曆。過時。時の過ぎた後の曆。後の祭など。

ラア ジツ トオ 曆日圃。柱曆。

ラア セエ 勝垂。下斗。勝が垂下つてゐる。肥到。でぶでぶと肉が垂下つてゐる。講話。氣拔した様な物言をする。

ラア アア 蠟紙。蠟引の紙。パラフィン紙。

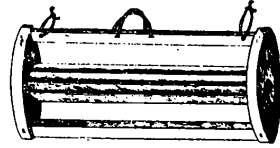
ラア タウ 撈倒。お流になる。おじゃんになる。ふいになる。駄目になる。事情。去。事が纏らな

い。事がお洗になる。

ラアキウ 劈頭。最初に手を着ける。始めて言出す。事情はイー。此の事は彼の人が始めて言出したのだ。彼が最初に手を着けたのだ。

ラアタ、タ、磔。●鋤車。農具にて四角の木の框に圓筒形の齒車の如きものを箱

めたもの、牛に曳かして稲の切株を土中に埋め同時に土塊を碎き又施肥後に之を用ひて施肥を均一ならしむると共に田地を均平ならしむるもの。●「楊荷」。



磔 磔

ラアチア 蠟蔗。(種) 甘蔗の一種。

ラアチア 蠟腸。豚肉の腸詰。ソーセージ。

ラアチイ 蠟刺。(植) (禾本科) はりはまむぎ。

ラアチウ 蚋樹。(植) はすのはざり。はまざり。(蓮葉桐科、材は漁具の浮子・下駄等を作り種子より油を得べし。又種子・嫩葉は下劑となし、樹は海岸地によく發育するを以て防風・防潮用となす)

ラアチエウ 蠟燭。蠟燭。

ラアチエウ 蠟燭。蠟燭。

ラアチエヌ 蠟箋。蠟引の紙。 「て来る。

ラアチヲ 拉借。錢を借る。四界。一方から借り

ラアチアウ 蠟條。西洋蠟燭。

ラアチエヌ 喇天。「喇頰」。

ラアヒ、ヲ 鴨鵝。(鳥) 「鴨鵝」。

ラアホオ 獵戶。獵人。

ラアポア 鑊鉢。小き鑊鉢にして専ら僧侶などの用ひるもの。

ラアポイ 蠟盤。(音) 著音器のレコード。

ラアゴエ 喇頰。●上機嫌で獨りで悦に入つてゐる。如何にも暢氣さうにしてゐる。食到。同上にして暮してゐる。●分外に奢る。贅澤。伊真。●彼は甚だ贅澤だ。

ラアムイ 臘梅。(種) 臘梅科、有毒植物なれども庭園樹として栽培す。

ラアラ 蠟蠟。赤。肉など白身がなくて赤い。

ラアリアン 勝涼。冗談。無駄話。講。冗談をいふ。打。同上。

ラアリイ 鯨鯨。(動) 穿山甲。鯨鯨。假死。當虜。穿山甲が死んだ真似をして蟻を捕へる、知らぬ風をして計略にかけるをいふ。

ラアリイアア 嘮哩仔。「黃藤樹」。

ラアリイカク 鯨鯨。穿山甲の甲。

ラアリイカン 鯨鯨孔。●穿山甲の穴。●(鯨) 汝の穴を搔廻はす。鯨鯨孔は撈你孔(汝の穴を搔

廻はす)と音相通するが故に振って斯くいふ。

ラアルム 微温。生微温。微温。一。仔。同上。

一。水。生微温の水。

ラアルムシヲ 微温燒。微温。温む。微温。酒。一。酒が同上。

ラアルムシヲツイ 微温燒水。微温湯。微温湯。

ラアレエ 喇囉。「喇頰」。

ライ

ライ 邨。(姓) 邨。

ライ 菜。(姓) 菜。

ライ 來。●(姓) 來。●來る。來る。要。來る。有。來た。尙未。未だ來ない。一。即更去。來て又往つた。返。歸つて來た。提。持つて來た。買。買つて來た。●動詞と動詞との間に在つて動作の繼續を示す詞。……して……する。

起。讀。立つて讀む。煮。食。煮て食ふ。筆。擧。寫字。筆を取つて字を書く。越頭。看。振向いて見る。起。火。焚。滾水。火を起して湯を沸す。

●形容詞の動詞化を示す詞。……くなる。病。漸。漸好。病氣が段段好くなる。面。青。顔が青くなる。一日。一日。愈。寒。一日。一日。と寒くなる。●誘ふ意を示す詞。しようではない

ライ

ライ

ライ

ライ

ライ

ライ

ライ

ライ

ライ

ライ

へる。

ライキイ 利器。双物。兇器。打物。武器。得物。手

擇一――手に双物を持つてゐる。

ライキイ シアウ 來去。取引勘定。出入勘定。

ライキエウ 來客。(國) 來客。

ライギヌ 利銀。(港) 【利銀】。

ライクイ 内櫃。店の奥に置く櫃にして金目の物など

を入れる。又同上を掌る人。【外櫃】に對す。

ライクウ 内裾。着物の下前。

ライクヌ 内勤。(國) 内勤。

ライクウ 内裾。(泉) 【内裾】。

ライグヌ 利銀。利息。利子。

ライグヌ 利銀。(泉) 前に同じ。

ライケエ 内科。内科。――醫生。内科醫者。

ライケエ 内容。内輪の客。【外客】に對す。

ライコアイ 内稈。内股。内股。――仔。同上。

ライコエ 内街。市街の中心となる町。

ライコオ 内禱。ずぼん下。猿股。

ライコヲ 内科。内科。

ライコヲ 内課。考試の際の一等賞。【外課】に對す。

ライコグ 内國。(國) 内國。

ライコン 内公。父方の祖父。祖父。【外公】に對す。

ライコンゴアイエン 内攻外應。内攻外應。

ライコオ 内科。(泉) 【内科】。

ライゴア 内外。内外。中外。裏表。半――

半分内。半分外。定らない。有出入――經

験がある。

ライゴア コン 内外攻。内攻外應。

ライゴア ハン 内外行。素人と黒人。

ライサア 内衫。下着。襦袢。胴着。【外衫】に對す。

ライザイ 内才。經書など詳しい。文章など巧みな。

學才がある。學力がある。學殖がある。好――

同上。【外才】に對す。

ライシア 内城。内廓。本丸。【外城】に對す。

ライシム シム 利内。よく切れる。菜刀――

――菜刀がよく切れる。

ライシイ 來世。來世。未來の世。

ライシイ 内勢。内側の方面。――嶼。内側の島。

ライシエク 利息。利息。利子。利。

ライシツ 利息。(港) 【利息】。

ライシヌ 來信。來信。來狀。來書。

ライシヌ 内身。内部。内側。内面。――較美。内側の方が綺麗だ。【外身】に對す。

ライシヌ 内腎。腎臟。【外腎】に對す。【炎】。

ライシヌ シウ ショク ビイ 内腎收縮病。【内腎發

ライシヌ トンゴア クイ 内神通外鬼。内の神が外

の鬼と通ずる、内部の秘密を他に洩すなど。

ライシヌ ホアツ アイム 内腎發炎。(鳥) 慢性腎臟炎。

ライスヌ 内孫。孫。息子の子。【外孫】に對す。

ライセエ 來世。來世。未來の世。

ライセエ 來下。(目下の人に對していふ) 一寸來なさい。

ライセエ 來下。春木。春木。一寸來なさい。

ライセエ 内債。(國) 内債。

ライセエ 内差。役所の内勤の使用人。當――役所

内で小使などとする。【外差】に對す。【に對す】。

ライセエ 内册。四書五經などを指していふ。【外册】

ライソア 内山。山奥。深山。奥山。――兄。田舎者。

――擧人。田舎者。――客。山家。野着な人。

――倉。田舎者を嘲笑していふ。鈍間。鈍痴氣。

――猴。同上。――人。奥山の人。――菅藜。

深山の薄。愚圖で融通のきかぬものをいふ。鈍

間。ぼんつく。

ライソア サア 内山早。(種) 稻の一品種。【に對す】。

ライソオ フウ 内祖父。(父) 父方の祖父。【外祖父】

ライソオ ブウ 内祖母。(父) 父方の祖母。【外祖母】

ライタウ 内頭。(中) 内側。查某顯。――女は

内を守る。妻。恁。有來無貴方の奥さん

は來ましたか。【外頭】に對す。

ライ

ライ

ライ

ライ

ライキウモネ内頭親。父方の親族。【外頭親】に對す。

ライタンチイ内冬子。(種)糧科なんばんくろもじ。

ライタンチイラム内冬子楠。【石楠】。

ライチアブウブウチアライ利車母母車利。利子が元(か)に重(かさ)り、元(か)が利(り)に重(かさ)る。利(り)が利(り)を生(う)む意(い)。

ライチアン内掌。【蔗廊】に居(ゐ)て金(かね)の出入(しゅつにゅう)を記(き)載(さい)する人(ひと)。【外掌】に對(たい)す。

ライチアン内障。(巻)【内障】。

ライチイ來錢。收入(しゅにゅう)入金(にゅうきん)。一(いち)五(ご)元(げん)入金(にゅうきん)五(ご)元(げん)。

ライチイ利錢。利子(りし)利息(りき)利金(りきん)金利(きんり)一(いち)瀧(たに)母(ぼ)錢(せん)利子(りし)を元(げん)金(かね)に繰(くり)入(い)れる。

ライモウ利手。使(つか)一(いち)手(て)腕(わづ)を振(ふる)ふ。

ライモエンキイビエン來清去明。收入(しゅにゅう)及(および)支(し)出(しゅつ)の金(かね)を皆(みな)帳(じやう)面(めん)に明(めい)白(はく)に記(き)載(さい)する。

ライチオン内障。(扇)内障眼(ないしやうがん)内障(ないしやう)明(めい)盲(めう)目(め)開(ひら)く致(いた)一(いち)目(め)が同(どう)上(じやう)に成(な)る。

ライチヌ内親。父(ちち)方(かた)の親(おや)戚(せき)親(しん)類(るい)【外親】に對(たい)す。

ライチヌゴアチエク内親外戚。内親(ないしん)外戚(がいせき)父(ちち)方(かた)の親(おや)戚(せき)類(るい)と母(ぼ)方(かた)の親(おや)戚(せき)類(るい)。

ライチア内庭。中庭(ちゆうてい)内側(ないがは)の庭(てい)【外庭】に對(たい)す。

ライチイ内痔。(病)穴痔(あなぢ)痔(ぢ)【外痔】に對(たい)す。

ライチイキエン來猪窮。一(いち)來(く)狗(いぬ)富(と)來(く)猫(ねこ)起(おこ)大(だい)厩(うま)豚(と)が入(い)っ(て)來(き)たの(の)を拾(ひろ)へば貧(ひん)乏(ぱふ)に成(な)り、犬(いぬ)が入(い)っ(て)來(き)たの(の)を拾(ひろ)へば金(かね)持(もち)に成(な)り、猫(ねこ)の入(い)っ(て)來(き)たの(の)を拾(ひろ)へば大(だい)きな家(いえ)が建(た)つ。

ライ

ライツヌ來春。來春(らいしゅん)明(めい)春(しゅん)原因(げんいん)が有(あ)る。

ライテエ内底。(巻)【内底】。

ライトアアラム内炭仔楠。【石楠】。

ライトエ内底。中(ちゆう)内(ない)側(がは)内(ない)幕(まく)奥(おく)。

ライトエ内地。(國)内地(ないち)一(いち)人(ひと)内(ない)地(ち)人(じん)。

ライトエサア内底衫。襯衣(しんい)下(した)着(ぎ)。

ライトエラン内地人。(國)内地(ないち)人(じん)。

ライトエ利刀。よく切(き)れる双(は)刀(たう)利(り)刀(たう)業(ごう)物(ぶつ)。

ライトエ内底。(泉)【内底】。

ライニアサア内領衫。胴着(どうぎ)下(した)着(ぎ)。

ライニイ來年。(國)來年(らいねん)。

ライニイ利年。惠(めぐみ)方(かた)に當(あた)る年(とし)廻(まわ)り家(いえ)又(また)は墓(はか)な(な)ど(ど)の方(かた)位(ゐ)に關(か)り利(り)有(あ)る年(とし)今(いま)年(とし)是(こゝ)レ一(いち)年(とし)今(いま)年(とし)は惠(めぐみ)方(かた)に當(あた)る年(とし)廻(まわ)り。

ライハイ内海。内海(ないかい)【外海】に對(たい)す。

ライハム來函。(文)手紙(てがみ)が來(き)る來(き)函(わん)。

ライ

ライハム内函。●蟻(あ)刺(し)な(な)ど(ど)を差(さ)込(こ)むた(た)めに兩(りやう)方(かた)に彫(ひょう)込(こ)んだ溝(ぞう)●位(ゐ)牌(はい)中(ちゆう)に記(き)す死(し)者(じや)の生(せい)年(ねん)月(げつ)日(にち)及(およ)び死(し)だ日(ひ)な(な)ど。

ライハン内行。其(その)道(みち)に(に)よ(よ)く通(つう)じ(じ)て(て)る(る)人(ひと)黒(くろ)人(じん)【外行】に對(たい)す。

ライパツツ内打出。内(ない)部(ぶ)の秘(ひ)密(みつ)を外(がい)部(ぶ)に言(い)觸(ふ)す。不(ふ)可(こ)一(いち)同(どう)上(じやう)に(に)は(は)い(い)け(け)な(な)い。

ライヒラ鳴鴉。(巻)【鳴鴉】。

ライビヌ内面。内(ない)面(めん)中(ちゆう)裏(り)面(めん)内(ない)部(ぶ)内(ない)側(がは)一(いち)衫(しん)下(した)着(ぎ)入(い)去(し)一(いち)中(ちゆう)に(に)入(い)る(る)【外面】に對(たい)す。

ライビエ内旁。内(ない)側(がは)内(ない)部(ぶ)内(ない)面(めん)内(ない)方(かた)【外旁】に對(たい)す。

ライビヌ來賓。(國)來賓(らいひん)。

ライビヌシエク來賓席。(國)來賓席(らいひんせき)。

ライブウ内務。(國)内務(ないむ)。

ライホヲ内河。入海(いりうみ)灣(わん)堀(ほり)運(うん)河(が)。

ライホヲ内號。官人(くわんにん)の使(つか)用(よう)す(する)小(こ)な(な)印(いん)。

ライホヲカウ内濠溝。城(しろ)の内(ない)側(がは)の堀(ほり)内(ない)堀(ほり)。

ライボヲシア來無聲。一(いち)去(し)無(む)影(かげ)來(き)る(る)に聲(こゑ)無(な)く往(い)く(く)に影(かげ)無(な)し去(し)來(き)の分(わか)らざ(ざ)る(る)をい(い)ふ隱(いん)顯(けん)出(しゅつ)没(ぼつ)す(する)。

ライポア内盤。●品物(しなぶつ)の仕入(しにい)又(また)は收支(しゆし)結算(けつざん)な(な)ど(ど)に關(か)る(る)。

する仕事。掌^ツ一^ツ同上を掌る。●原産地に於ける價格。仕入先の値段。【外艦】に對す。
ライポアヌ内叛。内訌。内曲探。不時在^ツ常に内曲探してゐる。

ライボク 來泊。(國)來泊。【對す】。

ライマア 内媽。父方の祖母。祖母。祖母。【外媽】に

ライライ 内内。青^ツ青^ツ。

ライライキイキイ 來^ツ來^ツ去^ツ去^ツ。往^ツたり來^ツたり。絡^ツ纏^ツ。行^ツ交^ツふ。往^ツ來^ツ。往^ツ來^ツ。大家不時^ツ。

何時もお互に往來してゐる。

ライリイ 内裏。●内裏。内面。内部。奥底。裏。不知影^ツ。一^ツ内裏を知らぬ。●着物の裏。衫的^ツ。

ライリエク 來歴。來歴。由緒。由。由來。履歴。一^ツ不明^ツ來歴が明かでない。伊的^ツ。一^ツ我知影^ツ。彼の履歴は私^ツが知^ツつてゐる。

ライリエヌ 來年。(國)來年。

ライリエン 來龍。地相見の詞。地脈が通つてゐる。有^ツ。

ライリム 來臨。(又)來臨。光來。光臨。撥駕^ツ。

ライロオ 來路。●來る路。有去路。無^ツ往^ツ路。有^ツ。

が有^ツつて來る路が無い。出費が多くて収入が少い。

ライロオ 利路。利。收入。有^ツ收入がある。

ラウ

ラウ 擲。散步する。漫歩する。ぶらつく。見物に出歩^ツく。四界^ツ。一^ツ咧^ツ方^ツへ往^ツつてぶらつく。一^ツ輪^ツ一^ツ廻^ツ散步する。

ラウ 嗽。相手が口を滑す様に鎌をかける。口車に乗せる。引掛ける。一^ツ伊講^ツ鎌をかけて言はせる。創話^ツ。一^ツ人^ツ旨^ツいことを言^ツつて引掛ける。

ラウ 蓼。(姓)蓼。

ラウ 老。●老いたる。古い。此個官真^ツこの役人は非常^ツに古い。一^ツ字號^ツ古い屋號。一^ツ早的^ツ卒業生^ツ古い卒業生。●老練。熟練。官話不^ツ止。一^ツ北京語が非常^ツにうまい。一^ツ手^ツ老練な腕。一^ツ司阜^ツ老練な職人。假^ツ一面^ツ經驗の積んだ老練な顔附をする。●社交上人を尊稱する語。一^ツ大^ツ兄貴。一^ツ細^ツ弟分、自分より若い者に對して親みを以^ツつていふ。一^ツ二^ツ次男に當る人を尊稱していふ。次郎様。●舌を巻いて話をする。べらべらいふ。一^ツ正字^ツ北京語をしゃべる。英國話^ツ一^ツ沒來^ツ英語をうまく言まはすことが出來ぬ。●

ラウ 落。(姓)落。●落る。脱漏する。外れ落る。一^ツ葉^ツ葉が落ちる。一^ツ字^ツ字が落ちる。一^ツ大腸^ツ頭^ツ脱肛。一^ツ陣^ツ行列又は連から脱離れる。細^ツ傷^ツ一^ツ餘に緩く縛る。一^ツ目^ツ竹など節と節との間が長い。●取外す。解く。一^ツ坪^ツ屋根瓦を取外す。一^ツ行李^ツ行李を解く。一^ツ桶枋^ツ桶の板を取外す。●下痢する。一^ツ屎^ツ同上。一^ツ合吐^ツ下痢する上に吐く。●漏出す。漏る。一^ツ田水^ツ田の水を出す。浴桶の水^ツ擲^ツ風呂桶の水を出してしまふ。一^ツ風^ツ空氣が漏る。一^ツ氣^ツ同上。●相手が口を滑す様に鎌をかける。一^ツ伊講^ツ鎌

ラウ 擲。骨筋など違ふ。違へる。違へる。一^ツ着筋^ツ筋を違へる。手骨^ツ着^ツ腕の筋を違へた。

ラウ 對。ちよろまかす。誤魔化す。一^ツ騙設^ツちよろまかす。騙す。ぺてんに掛ける。一^ツ仔^ツ人を欺き或は虚に乗じて財物を掠取るもの。大^ツ大詐欺師。ぺてん師。

ラウ 襪。骨筋など違ふ。違へる。違へる。一^ツ着筋^ツ筋を違へる。手骨^ツ着^ツ腕の筋を違へた。

ラウ 落。(姓)落。●落る。脱漏する。外れ落る。一^ツ葉^ツ葉が落ちる。一^ツ字^ツ字が落ちる。一^ツ大腸^ツ頭^ツ脱肛。一^ツ陣^ツ行列又は連から脱離れる。細^ツ傷^ツ一^ツ餘に緩く縛る。一^ツ目^ツ竹など節と節との間が長い。●取外す。解く。一^ツ坪^ツ屋根瓦を取外す。一^ツ行李^ツ行李を解く。一^ツ桶枋^ツ桶の板を取外す。●下痢する。一^ツ屎^ツ同上。一^ツ合吐^ツ下痢する上に吐く。●漏出す。漏る。一^ツ田水^ツ田の水を出す。浴桶の水^ツ擲^ツ風呂桶の水を出してしまふ。一^ツ風^ツ空氣が漏る。一^ツ氣^ツ同上。●相手が口を滑す様に鎌をかける。一^ツ伊講^ツ鎌

襪くちやになる。衫無漿漬較快^ツ一^ツ着物に糊をつけないと早く襪くちやになる。●萎れる。菜^ツ一^ツ去^ツ菜が萎れてしまふ。花^ツ花が凋んでゐる。●果物又は腫物など爛熟する。古くな^ツる。菓子^ツ了^ツ了^ツ果物が熟んでしまふ。魚無^ツ氷能^ツ去^ツ魚を冷蔵しないと古くなる。

ライ

ラウ

ラウ

ラウ

をかけて言はせる。出来喚出す。創話！
 人 或事を話して鎌をかける。愚弄す。與藝
 姐 藝者を愚弄す。對新人 婿様を愚弄す。
 ラウ 劉。(姓) 劉。

ラウ 樓。● 樓。● 二階。樓。一頂樓上。二階。
 脚 階下。堅土一看馬相隨 二階から馬の
 喧嘩してゐるのを見る、高見の見物の意。金收
 一 拆 金を受取っておいて樓を毀す、契約など破
 毀すること。五層 五階。

ラウ 留。● 留。● 止める。引止める。人客 客
 を引止める。伊住得 彼を止めて泊らせる。
 残す。一 地步 餘地を残す。一 起來 做老本
 養老金として残して置く。有 你的類 あな
 たの分は残して有る。● 髪などを剃らずに残す。
 生やす。一 鬚 鬚を生やす。一 全髮 髪を
 生やす。總髮。

ラウ 瘤。瘤。損 一 毆打って瘤が出来た。頭仔 頭
 子供の頭出来る瘤の様な腫物。
 ラウ 鏡。鏡。弄 一 做功德 の時道士又は僧侶が
 鏡を以って曲藝を演ずる祭式。一 鉢 鏡。
 ラウ 流。● 流。流れる。流す。溪 川の流。一 眞大
 流 大變大い。水在 水が流れてゐる。放
 水 水に流す。血 没止 血が出て止らない。

ラウ

目屎 涙を流す。一 清汗 冷汗が出る。● 潮。
 一 在返 潮が満ちてゐる。一 退 潮が退く。汚
 一 退潮。

ラウ 老。● 老。● 年を取る。年寄。老いる。年
 年を取る。一 罔 半 罔後 年は取つてゐるが
 夜中過から房事をする勢力を持つてゐる。臭 一
 見掛がふけてゐる。一 馬展 鬚 老馬が鬚を立
 てる、老いて益益壯なる意。

ラウ 漏。● 漏。● 漏れる。漏らす。厝頂 一 屋根が漏る。
 ● 漏れる。漏る。漏らす。厝頂 一 屋根が漏る。
 掠 一 漏を直す。餘 米 一 ころそりと米俵の米を
 漏出す。窃 一 米を持出す。一 泄 漏洩。漏らす。
 走 一 風聲 秘密が漏れる。● 灑 砂漏 水
 砂漉で水を漉す。一 俾伊 清氣 漉して清潔にす
 る。

ラウ 癩。微毒性の腫物。姦 一 微毒性の皮膚病の一種。
 生瘡 打 一 微毒の爲に瘡が出たり腫物が出来
 ラウ 鬧。[鬧]。
 ラウ ア 料仔。人を欺き或は虚に乗じて財物を掠
 取るもの。● 一 有 看見 雞無看見 一 愚な
 泥棒は雞ばかり見て人を見ない、耳を掩うて鈴
 を盗むなど。一 假 光棍 小盗人が詐偽師を眞
 似る、物を盗まんとして見附けられた時などに一

ラウ

寸借りよろとしたのだ等と誤魔化すなど。
 ラウ ア 漏仔。漏斗。
 ラウ ア ア 料仔指。薬指。紅差指。
 ラウ ア ア 厝仔頂。二階。階上。

ラウ ア ア 厝仔厝。二階建。二階造。
 ラウ ア ン チウ 老紅酒。舊貯藏された紅酒。
 ラウ イ ア 落映。書物の紙の脱落したもの。落丁。
 ラウ イ イ 樓檣。二階の梁。
 ラウ イ ウ 落油。油が垂れる。油が漏る。
 ラウ イ オン ホエ 開陽花。[蔓桃花]。
 ラウ ウ ヌ 老運。老後の運命。好 一 一 老年になつて運
 が好い。

ラウ エ エ 樓下。樓下。二階下。
 ラウ エ エ ハイ 落下頰。下唇が落ちる、嘘をつく。
 ラウ エ エ ハム 落下腰。前に同じ。
 ラウ エ エ ホアイ 落下頰。前に同じ。
 ラウ オ オ 落鳥。薬を流して鱈を殺す。
 ラウ オ オ 漏壺。昔の時計。水時計。
 ラウ オン イ ア 老主命。[北管曲]の祖師にて役者、
 音曲師に崇拜せらる。

ラウ ヲ ア 流按。大水の時などに流れ寄せる小な木屑
 など。藻屑。拾 一 同上を拾ふ。
 ラウ ヲ エ 老話。べらべら片言をいふ。學 一 一 片言

交に言ふ。

ラウヲエ 留話。言置く。言残す。遺言。一蔵得

ラウカア 樓脚。二階の下。階下。

ラウカアタン 漏脚桶。漏る脚桶。老人を罵る語。老耄。

ラウカウ 落溝。落ちる。漏。脱す。漏れる。落す。

ラウカウ 老猴。老年の猿。老人を侮辱していふ言葉。

ラウカウ 無粉頭。皺くちの顔は化粧したとして映しない。噴洞簫。老年の猿が洞簫を吹く。

ラウカウ 落口。口が滑る。口走る。講出來。うっかり口を滑らす。

ラウカウ ボエ 老交陪。舊い交際。舊交。

ラウカヌ 老奸。老寄の奸臣。

ラウカヌ 老爛。年寄った下女。婆。

ラウカムチアタウ 老甘蔗頭。古い甘蔗の根本。

ラウカン 落空。船車の往復に荷物や乗客の無いことなど。返來。空で歸って来る。車。返來。空で歸って来る。車。

同上。一船。船が同上。銃。空鐵砲を打つ。

ラウカン 流孔。流れ口。塞。流れ口を塞く。

ラウカン 留孔。孔を残す。後日苦情の起る種を残す。

ラウカン 漏孔。漏る口。挿。漏る口を塞く。

ラウカンチエン 落空銃。空鐵砲を打つ。人。同上して人を刺す。徒骨を折る。徒勞。

ラウキア 老子。年を取ってからの子。年寄り。早子。

ラウキア 劉寄奴。ばんごんさう。菊科。打撲傷の際煎服す。

ラウキアウキアウ 老啾啾。老聾れる。老果てる。

ラウキイ 老去。死ぬ。死去。

ラウキウカウ 老腔口。熟練した發音。

ラウキエン 落景。素見す。愚弄す。冷評する。

ラウギアウギアウ 老穢穢。老耄れる。老果てる。

ラウギムギム 老趁趁。年とって若い。よぼよぼする。老衰。

ラウクイ 落氣。極の悪い思をする。體裁が悪い思をする。男を下げる。權儀を出す。此帮我真。

ラウクウ 落句。脱文。文句が落ちる。

ラウクヌ 攪筋。筋を還へる。

ラウクヌ 老棍。老練な滑。甲の生えた羽織ころ。

ラウクンチエ 留藏得。藏込む。残す。残して置く。

ラウグウ 老牛。年取った牛。食幼膏。老牛が昔の若芽を食ふ。老人が年若き少女を娶るが如きをいふ。展春草。老牛が春の草の様に若若しい風をする。老人の冷水。

ラウケエロエ 老家備。家婆の。

ラウコエ 流掛。流按。

ラウコエ 流汗。汗をかき。汗を流す。流汗。

ラウコエ シウ 流汗滯。汗ばむ。汗含む。

ラウコエ ホエ 流汗花。少し汗をかき。

ラウコエ 落禪。ずぼんが外落ちる。落氣。

ラウコエ エ 落禪坐。だらしなくずぼんの上部を長く垂し又はずぼんの間から臀等の見えること。

ラウコエ オウタウ 老古樹頭。古木の株。老耄者といふ意。

ラウコオノオ 老孤老。年をとった鰥夫。孤者。

ラウコラ 老哥。敬稱。貴方。貴君。

ラウコラ 落膏。阿片の吸殻を混ぜない純粹の阿片煙膏。食。同上を吸ふ。

ラウコラ 樓閣。樓閣。高殿。

ラウコラ 老柝。老耄れる。老果てる。

ラウコン 樓樑。二階の梁。樑。同上。

ラウ

ラウ

ラウ

ラウ

ラウ コンアア 老公仔。老爺。老爺様。爺。年寄。梅干爺。

ラウ コンキエヌ 老康健。(老人に對する挨拶の語)御壯健で結構です。

ラウ コンクヌ 老光棍。騙の上手なもの。老練な詐欺師。騙。

ラウ コンボヲ 老公婆。年寄夫婦。

ラウ ゴン 老懸。老懸。老懸。

ラウ サイ 落屎。腹を下す。下痢。腹が下る。腹下。

ラウ サイ ツイ 落屎水。水瀉。水下。

ラウ サイ ベエ 落屎馬。●腹下の馬。●無能の者。駄目な人。

ラウ サア 老早。疾くの昔。ずっと以前。

ラウ サア サウ 老柴焦。老人を罵る語。老耄。

ラウ サア シイ 老早死。(女が男の年寄を罵る詞)このくたばり損奴。

ラウ サア ボオ 老査某。老婆。老婆さん。

ラウ サウ 老焦。舊化けて穢らしい。

ラウ

ラウ サム 落站。行列など近道を通つて或る宿場を省略すること。

ラウ ザン 老叢。年を経た木。古木。

ラウ ザン 老娼。年を取つた淫賣婦。

ラウ ザン タウ 老娼頭。【老娼頭】。

ラウ シア 落瀉。下痢する。腹下する。下る。

ラウ シア 落杓。汁を滴す孔のある金杓子。(料理人などの用ひるもの)。

ラウ シア ビイ 落瀉病。(腸加答兒)。

ラウ シア ム 老瞻。年寄臭い。老人染みた。【財産】。

ラウ シア ム グヌ 老瞻銀。養老金。

ラウ シウ 留相。●容姿を保つ。若若しくしてゐる。

ラウ シウ 老相。老人の相。

ラウ シェツ 漏泄。漏泄する。漏れる。――軍機。軍機を漏す。――機關。機密を漏す。――天機。天機を漏す。

ラウ シェン ツウ 劉先主。三國蜀の帝王。劉備。

ラウ

ラウ シェン チア 劉聖者。【三十六將の一にて獅子に乗るもの】。

ラウ ショク 老叔。見知らぬ老人を呼ぶ時の尊稱。お老人さん。御老人。

ラウ シオン 老相。【老相】。

ラウ シオン 流滯。汚れて穢らしい。不潔な。穢い。

ラウ シツ 老實。正直。正直。老實。忠實。實直。律儀。――人。――正直者。

ラウ ジイ 落字。落字。字を落す。字が脱ける。此行有――此の行に字が脱けてゐる。

ラウ ジイ ホヲ 老字號。老舖。老舖。

ラウ ジェツ 鬧熱。賑か。繁華。繁昌する。――的所在。繁華な所。此去漸漸。――これからだんだん繁昌する。●祭禮。明仔再街裡有――明日町に祭禮が有る。迎――祭禮の行列をする。●婚禮又は葬式の時など贈物をする。附屬をする。包錢共伊――金を包んで同上をする。

ラウ ジェツ パイ 鬧熱次。祭禮などのある時。物日。――各項有較貴。物日には何でも高價い。

ライ ジム 留任。(留任)。

ラウ スウ 鬧事。(鬧事)。

ラウ セエ 漏稅。脱稅。掠――脱稅を押へる。

ラウセエ老睡。(同) 老年。飼後生養。飼查某子别人的男の子を育てれば年取って養つて貰へるが女子は養へば他人のものになってしまう。

ラウモエ落續。次に同じ。

ラウモエ落坐。しだらない。だらしがなない。だらしない。你真——汝は實にだらしがなない。

ラウモエ漏泚。水などがざあざあ漏れる。

ラウソア落線。糸がばらばらに解ける。

ラウソエ老細。弟分。自分より若い者に對して親みを以ていふ。

ラウフオコン老祖公。曾祖公。

ラウフオママ老祖媽。曾祖母。

ラウタイ樓臺。樓臺。

ラウタイ開臺。【開臺】。

ラウタイ老太。官吏の母を敬つて云ふ語。御隠居様。

ラウタイ老到。老練。老成。物馴る。功勞經る。熟達。

ラウタウ漏斗。(同) 漏斗。漏斗。

ラウタウ流頭。●水源。源。水上。川上。●潮の干始め。

ラウタウ留頭。次の年に收獲する爲に残して置く甘蔗などの切株。剉——的甘蔗同上から出た甘蔗を刈取る。

ラウタウ老頭。古い植物の根元。

ラウタンコオ落桶箍。箍が外れる。

ラウチアウ老鳥。経験の多い人。老練者。

ラウチアン老将。老将。老武者。老練の將軍。

ラウチイ落糞。顔が下脹になつてゐる。

ラウチイ流糞。前に同じ。

ラウチイ樓井。二階板の一部を約一丈四角位に切開けた部分。商家などにて品物の上げ下しに便す。

ラウチイ老嫩。老幼。老若。老若。老少。

ラウチウ老手。手練。老練。巧な。上手な。功勞經る。名人。——的人老練家。敗筆假——悪筆の偽上手。

ラウチウ留鬚。鬚を伸す。

ラウチウ老樹。老木。

ラウチウアン漏酒甕。漏る酒甕。鏡鏡人買一個——利口者でありながら漏る酒甕を買った、上手の手から水が漏るなど。

ラウチエクコン老叔公。(老人に呼かける敬稱) お老人さん。御老人。

ラウチエヌボエ老前輩。年取った先輩。

ラウチエン開鐘。目醒時計。目醒。

ラウチエン落銃。彈丸をこめず銃を試射する。

ラウチオン老将。【老将】。

ラウチヌコア流清汗。冷汗をかく。

ラウチア落籍。戸籍登録漏れ。

ラウチア老爹。(舉人以上の學位にある人又は官吏の兄弟に對する敬語) 官人。大人。

ラウチア開廳。【開廳】。

ラウチイケエ落天格。雨上に透通つた雲が層をなして晴の前兆を示す空模様をいふ。早起——下晴敢能好天。今朝は同上の空模様だから午後は天氣になるだらう。

ラウチエヌ漏電。(同) 漏電。

ラウチエヌトヲ老顛倒。老聾れる。老聾する。

ラウチエヌトヲ老天既。年取つて狂氣じみたことをするもの。

ラウチエン樓頂。二階。樓上。

ラウチヲ攪着。筋など違へる。挫く。——筋筋を違へる。

ラウチヌ老藤。(種) きんま。(胡椒科、葉は檳榔の實を包みて咀嚼用に供す)。

ラウチヌ落陣。連に逸れる。

ラウツイ落水。●田等に水を引入れ又流出すること。——的所在同上する所。●水瀆。

ラウツイ流水。●流水。水流。流水。潮流。●潮。——流。●滿潮。

ラウ

ラウ

ラウ

ラウ

ラウツヌ 落船。船が風に追はれて走る。順風に船が行く。

ラウツイ 樓梯。梯子。二階の梯子。段梯子。事情能落。事(ト)が治まる。落着(ト)する。

ラウツイカム 樓梯蓋。段梯子を登り詰めた所を被ラウツイコアリ 樓梯杆。【樓梯子】。「ふ引上戸。

ラウツイヤヌ 樓梯棧。梯子段。ラウツイチイ 樓梯子。梯子の横木。格。

ラウツンタウ 落陽頭。脱肛。ラウテエ 落胎。流産。半産。小産。

ラウテエ 老嫗。【老嫗】。ラウテエシエツク 老茶色。醜茶。茶褐色。濃い茶。

ラウテミア 老短命。(女が男の年寄を罵る詞)このくたばり損老爺奴。

ラウトア 老大。兄貴。ラウトア 老大。●長者。宿老。故老。長老。父老。耆老。庄中の。●村の故老。●餓鬼。孤魂。

ラウトア 老且。芝居の老女に扮する役者。ラウトアコン 老大公。【好兄弟】の。

ラウトアラン 老大人。年寄。老人。●講の話。少年人着聴。●年寄の言ふことは若い者は聞くものだ。

ラウ

ラウトエ 老嫗。老耄して元気が無い。ラウトオ 落肚。魚など腸が出る。魚。魚が同上。魚が古くなる。

ラウトオ 落吐。吐瀉。吐下し。ラウトオソア 落肚痧。(急)急性の下痢。

ラウトオチエン 落吐症。(病)虎列刺。虎列刺。ラウトン 鬧動。【鬧動】。

ラウトンゴン 老倭戀。老耄れてる。老耄ラウトオ 落胎。(魚)【落胎】。

ラウニウ 留樑。近隣に棟上の祝ある時自宅の神(棟の神)が其所に行かない様に團子など作り自宅の棟へ供へて祭ること。

ラウニウ 老娘。(下婢が主人の母親を指していふ語)御婆様。御隠居様。

ラウノア 流涎。涎を流す。涎を垂す。垂涎。ラウハウ 老瘦。(魚)大(肉)豆蔻の類。●壳。同上の壳。●子。同上の質。●花。同上の花。

ラウハヌ 老漢。(謙遜の詞)愚老。ラウハム 落膈。竹や甘蔗などの節が長い。●的。竹。節の長い竹。

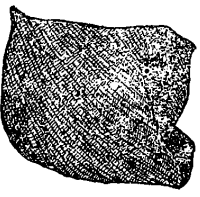
ラウバア 老猫。●古狸。●(屋)藝者屋。淫賣屋などの女將。女亭。

ラウ

ラウバツ 落目。【落膈】。ラウパイ 落機。●冷評する。愚弄す。●素見す。

ラウパイ 流次。折。時。時機。做事情。●時。機を見て仕事をやる。無閑的。●忙しい時。好。●好い潮時。

ラウパウ 老包。頭巾。麻。●葬のとき被る麻の頭巾。一頂麻。●傳你戴。一つの麻頭巾を被らせてやる。厄介な責任を負せる意。



包 老

ラウパツ 落空。事などが暴露する。暴露する。露顯する。事情續。●事(ト)が露顯した。

ラウパツ 落腹。下腹。腹下。下痢。下る。ラウパヌソヲ 老班嫂。娼妓・淫賣婦などの世話をする者。遺手婆。

ラウパン 樓枋。二階の床板。ラウヒア 老兄。同年輩の人を尊敬して言ふ言葉。●借問。●ももし一寸御尋します。●不可。怒氣。貴兄怒らんで下さい。

ラウヒアウ 老嫗。年寄った淫亂な女。ラウヒイ 老戯。大人のする芝居。歌舞伎。●跋落。脚。上手な役者が舞臺から轉落する。上手の手から水が漏る。猿も木から落ちる。

ラウ/ヒエン 老兄。【老兄】。

ラウ/ヒオン 漏餉。關稅を逃れる。脱稅。

ラウ/ヒヤ 茗葉。【茗葉】の葉。(檳榔の實を包みて咀嚼用に供す)。

ラウ/ヒヤ 落葉。落葉。葉が落ちる。

ラウ/ヒヤ アアチヌ 茗葉仔藤。【茗葉】。

ラウ/ヒヤ サン 茗葉叢。【茗葉仔藤】の株。

ラウ/ヒヤ チイ 茗葉子。【茗葉】に檳榔の實と石灰とを包みたるもの。【茗葉】參照。

ラウ/ヒヤ ビア 茗葉餅。【茗葉子】と菓子。送——

|| 過失を謝して同上を與へる。

ラウ/ビエン スウ 老名士。老練な名士。

ラウ/ピア 落坪。修繕の時など棟から廊までの屋根瓦を全部取除くこと。

ラウ/ピアウ 老嫗。年を取った淫賣婦。

ラウ/ピアウ タウ 老嫗頭。藝者屋・淫賣屋などの上様女將。女亭。

ラウ/ピイ 流鼻。漢水を垂す。漢を垂れる。感風——

水||風を引いて鼻水を垂す。因仔——子供が漢を垂れる。

ラウ/ピイ/フイ 流鼻血。鼻血が出る。(鼻) 仲が

好い。いろいろな縁故を求めて頼む。見親人

——|| 溺死者は其の家族が俵へ寄ると鼻血が出

る、知人を見ると馬鹿に親しむに似るものといふ。

ラウ/ピイ ラウ/フイ 流鼻流血。【流鼻血】。

ラウ/ピエヌ スツ 對騙術。【對騙設】。

ラウ/ピエン 老兵。老兵。

ラウ/ピエヌ シエツ 對騙設。ちよろまかす、騙す、欺く。

ラウ/フイ 流血。血が流れる。血を流す。出血。孔噴——|| 傷口から血が出る。

ラウ/フヌ 落雲。雲が散る。

ラウ/ブウ 老母。母。母親。お母さん。姦悠——|| 汝の母を姦す、最悪の罵詞として日常下等社會に用ひらる。

「多淫な。」

ラウ/ブツ シウ 老不修。老人の浮氣。年寄った男の

ラウ/ブヌ 老本。老練。熟練。老熟。經驗を積んだ。

ラウ/ブヌ 流沔。打返す潮。寄せては返す波。

ラウ/ブヌ 老本。養老の資。養老金。做——|| 養老の資に充てる。

ラウ/ヘエ 留下。残して置く。取って置く。——|| 藏給子孫||子孫に残して置く。

ラウ/ヘエ アア 老歲。老年。年を取る。

ラウ/ヘエ アア 老歲仔。年寄。老人。老爺さん。彼個

——|| 彼の年寄。

ラウ/ベエチエヌ サン 老馬展鬚。老人にて勇氣の衰へざる者。老いて益益壯んな。

ラウ/ベエチエン 樓尾頂。階上。二階。

ラウ/ペエ 老父。父。父親。親父。男親。父親。——|| 老母||父母。

ラウ/ホアヌ 老犯。永く牢屋にゐる囚徒。

ラウ/ホエ 老花。(菓子の名)餅を焼いて脹らし之を煮た砂糖に浸し炒米を漬けた菓子、婚姻の場合に用ふ。

ラウ/ホエアア 老歲仔。(童) 【老歲仔】。

ラウ/ホオ 漏雨。雨漏。厝頂——|| 屋根が漏る。

ラウ/ホオ シム 老虎心。【答肉刺】の①。

ラウ/ホオ ヒイ 老虎耳。【虎耳草】。

ラウ/ホン 落風。空氣が漏れる。自轉車——|| 自轉車の空氣が漏れる。

ラウ/ホン ソラ 老風騷。年寄が花柳の巷などに出入すること。

ラウ/ホオ アア 老歲仔。(童) 【老歲仔】。

ラウ/ポア 鑊鉢。(童) 【鑊鉢】。

ラウ/ポエ 老輩。年長者。老輩。先輩。

ラウ/ポエ 老輩。前に同じ。

ラウ/ポオ 老舖。老舖。老舖。

ラウ/ポオ チア 老步定。冒險をしない。穩健な。大

ラウ/ポオ チア 老步定。冒險をしない。穩健な。大

ラウ/ポオ チア 老步定。冒險をしない。穩健な。大

ラウ/ポオ チア 老步定。冒險をしない。穩健な。大

ラウ/ポオ チア 老步定。冒險をしない。穩健な。大

ラウ/ポオ チア 老步定。冒險をしない。穩健な。大

ラウ/ポオ チア 老步定。冒險をしない。穩健な。大

人。一一人六人。

ラッ カウ 落溝。脱す。落す。看了ー見落した。寫了ー書落した。

ラッ カウ 六猴。一囊の六點ある面。一各一個の囊を持ち同時に場面に回轉せしめ其の現れた数の多きものを勝とする賭博。博ー同上をする。一特激殊更に人並外れた事をする。

ラッ カウ ゴオザ、シイ 六九五十四。(九九)六九
ラッ カウ 六角。一六角。一六十錢。一五十四。

ラッ カウ 落壳。面目を失する。體面を汚す。不面目。
ラッ カウ アア 六角盒。六角の重箱の如きもの。

ラッ カウ イエン 六角莢。【鯽魚膽】の○。
ラッ カウ ザウ 六角草。一ひれぎく。(菊科)野生雜草にして全草を茶の代用となす。一(紫金牛科)たいわんせんりやう。

ラッ カウ ザエンキエンザウ 六角定經草。(種ときははぜ。(玄參科)莖葉を煎服して月經不順を治す。)

ラッ キイ 落齒。齒が脱ける。齒が落ちる。「治す」。
ラッ キイ 落去。脱す。落す。外れる。落ちる。二字

ラッ キイ 二字脱した。半路ー途中で落した。
ラッ キイ ライ 擲起來。擲取る。着物などを拾上げる。倒れたものを起す。抱起す。抱起す。衣など損ける。按手骨頭ー上腕を取って引起す。

す。一食擲んで食ふ。

ラッ クイ 六歸。六で割る。八算の六で割る部。
ラッ クウ 落句。【落句】。

ラッ ケエ 落價。下落する。直下。低落。價が下る。
ラッ ゲエ 六月。六月。一一日。一初。一雷止九歸。舊曆六月一日の雷鳴は九回の大風を止める。一十九無風水亦哮。舊曆六月十日に風が無くとも雨が降る。一無洗身軀

一六月に身體を洗はない、暑い時に體を洗はないから臭くて寄附けないといふことにて高慢にて鼻持がならないといふ意。一綿被辣人蓋。六月に蒲團を被るのは人による。命令又は依頼は其のする人によつて聽従するなど。

ラッ ゲエ オオ 六月鳥。(種)黒大豆。
ラッ ゲエ キオク 六月菊。(種)夏季六七月頃に開花する菊の品種。

ラッ ゲエ コアザイ 六月芥菜。一假有心。六月頃の芥菜は未だ若くして心が無い、それと心のある眞似をする。心ないことをする。偽善などの意。

ラッ ゲエ セエ 六月雪。(尖尾風)の○。
ラッ ゲエ タン 六月冬。第一期の收穫。
ラッ ゲエ テイ 六月天。盛夏。酷暑。

ラッ ゲエ ナイテイ 六月荔枝。一無生向人挽(他より喧嘩など仕向けられたる時)六月の荔枝は生らぬから採って貰ひたい、いくらでも相手にしてやる意。

ラッ ゲエ ベエ 六月白。舊曆六月に産する白菜の一種。舊曆六月に産する烏龍茶の一種。
ラッ ゲエ ラク 六月六。六月六日。一落雨百日見霜。舊曆六月六日に雨降れば百日目に霜が降る。其の年は早く寒くなるといふ。

ラッ ゴエタン 六月冬。(種)【六月冬】。
ラッ サイラク ジョ 擲屎擲尿。(子供の)大小便の世話。寵徳老母在。彼の母が一切大小便の世話をして居る。「くした」。

ラッ サク 落揀。落す。無くす。半路ー途中で無
ラッ サヌ 轆轤。蝦などを捕る網の一種。四手網。一轆魚。同上にて魚を捕る。

ラッ ザアカアチ 六十甲子。干支の一廻り。
ラッ ザム 落站。間が斷れる。中央ー真中が脱ける。中斷する。

ラッ シアウ 落賤。記帳漏。
ラッ シイ 擲死。擲殺す。
ラッ シエヌ 六仙。次に同じ。
ラッ シエヌ トロ 六仙桌。卓の一種。

ラッ

ラッ ジイ 落字。落字。脱字。脱字。字を落す。字を脱す。此篇文有——此の文章は字が脱けてゐる。 [銭]

ラッ ジイ チイ 六字錢。表に四字、裏に二字ある厘

ラッ スイ 落嘴。【落売】。

ラッ スヌ 落棒。棒が外れる。

ラッ スヌ 六旬。六七日。四十二日の供養。

ラッ ソリアヌ 轉鑽。轉鑽。舞鑽。——轉孔同上で孔をあける。

ラッ ソリョ 轉索。豚などを捕へる爲の輪差の如く輪狀にした繩。縋繩。——紐猪同上で豚を捉へる。

ラッ タウ アア 擲毬仔。賽を振る。博奕を打つ。

ラッ タク 礮礮。【礮礮】。

ラッ タク ザウ 礮礮草。とろろあふひもどき。りうき

らとろろあふひ。(錦葵科、葉・根を煎じ酒と共に内服して腫毒・痲疾を治す)。 [四十二]

ラッ チッ シイ ザ、ジイ 六七四十二。(九九六六七

ラッ チッ ビイ 落一邊。假りに其儘放つて置く。暫く

打遣つて置く。日——即創——暫くほつて置いて後からする。

ラッ チアム 落點。活券が下る。體面を下げる。面目

を失する。不面目。伊此次大——彼の人は此の度大いに男を下げた。

ラッ

ラッ チエヌ 六夫。賽が二つ共六點の出た場合。

ラッ チヌ 落陣。連に逸れる。

ラッ ツイ 落水。●水に漬ける。●水に浸す。●水下落——

●着物を水に浸す。●或る物事から手を引いて人を困らせる意。我要共你捐起來——俺が御前を申し上げて水に漬けてやる、俺は手を引いて御前を困らせてやるなど。

ラッ ツヌ アア 六寸仔。六寸角の瓦。

ラッ ツン 轉鑽。轉鑽。舞鑽。手轉鑽。



鑽 轉

ラッ テエ 藥袋。隠しポケット。

ラッ テエ アア 藥袋仔。隠しポケット。錢袋在——金をポケットに入れてゐる。

ラッ パグ アア チエン 六腹仔銃。●六連發銃。●拳銃。ピストル。

ラッ パンケエ 六房科。役所の六の局課。【房科】參

ラッ ヒアン アア チエン 六響仔銃。ピストル。短銃。

ラッ ヒアン チエン 六響銃。前に同じ。 [拳銃]

ラッ ヒラ 落葉。落葉。落葉。冬天樹——冬は木の葉が落ちる。

ラッ ビヌ 落面。不面目。不體裁。

ラッ ビヌ タウ アア 六面毬仔。——占無半面

ラッ

●賽の六面の中でその半面を占めない、敵に大部分を占領されて自分が孤立してゐる。又は何の道から論じても道理が成立たぬなど。

ラッ ビイ 落疔。瘡蓋がとれる。粒仔——腫物の瘡蓋がとれた。 [官吏]

ラッ ビヌ 六品。官位の階級。六品。——官同上

ラッ ポア 擲破。擲破す。擲破く。——鴨卵——鷄の卵を擲潰した。 [四十八]

ラッ ポエ シイ ザ、ポエ 六八四十八。(九九)六八

ラッ ムン 落毛。毛が脱ける。

ラッ ライ 擲來。擲取る。——擲去——擲台ふ。

ラッ ラッ 擲擲。擲——非常に淫奔な。

ラッ ラッ 落落。倦——非常に疲勞する。厭厭する。厭——厭になる。飽きる。鼻につく。舊——甚だ古びる。砂——砂だらけ。ざらざら。散

——ちりぢりばらばら。噺——非常に歪な。

ラッ ラッ 落落。前に同じ。 [三十六]

ラッ ラッ サア ザ、ラッ 六六三三六。(九九)六六

ラッ ラッ ザア 擲擲。怒り又は驚いた時がぶる震

へる。胸震。戰戰震へる。驚到脚手肉——

驚いて手足がぶるぶる震へる。

ラッ ラッ ハウ 礮礮。金錢の觸れる音。ぢらぢら

ら。ざくざく。藥袋仔錢——ポケットで

金がごくごくいてゐる。

ラ、リアムアア六捻仔。【黄藤樹】。

ラ、リエヌ落臉。赤恥をか。面目無い。恥しい。

間が悪い。面目を失ふ。今仔日眞——今日は實に面目を失つた。

ラ、リエン落量。手がすく。閑暇になる。等候——即爲你做手がすいたらしてやる。

ラッ

ラ、栗。(姓)栗。

ラ、力。(姓)力。力。出——力を出す。有——力が有る。有力。一用盡——力が盡きる。

ラ、働。(動)働。一魚——同上。

ラ、アアアアア働仔。働を捕る細い網。

ラ、ザウ力草。力。有——力が有る。一眞飽——力が甚だ強い。強力。

ラ、シウ力相。活潑な。勉勵する。勉強家。勤勉家。骨折る質。

ラ、チウ力頭。力。一眞飽——力が大變強い。大チウ力。栗子。(種)栗。(穀)斗科、果實を食用に供す。——樹——栗の木。——愈老自己開石榴。愈老自己破——栗の實は熟すと獨りで開き、石榴は熟すと獨りで割れる、其時機が來れば自然と

運が向いて來るなど。

ラ、チイコア。栗子干。乾栗。搗栗。【料理】。

ラ、チイコエ。栗子雞。鶏肉に栗の實を入れて煮た。

ラ、チイサア。コエ栗子炒雞。栗と鶏肉とを油で煎つた料理。

ラ、チイモオ。栗子膜。栗の澱皮。

ラ、ツイ力水。【力頭】。

ラ、ヒイ働魚。(動)働。

ラヌ

ラヌ。脚。脚結——足に脚が出来る。手結二——手に脚が二つ出来る。修脚——足の脚を削取る。

ラヌ。多。多の物の中より少し取る。引抜く。一錢仔頭——金を少しづつ掠取る。一切る。削る。一樹絡——木の枝を切る。

ラヌ。咱。(他人を除き自己と對話者とを包含して)我我。私共。私達。我等。吾人。お互。您是做武官。是做文官。總是——平平是政府的官吏。貴方は武官をしてあるし私共は文官をしてあるが併し我我は均しく政府の役人だ。

ラヌ。咱。(他人を除き自己と對話者とを包含して)我我。私共。私達。我等。吾人。お互。您是做武官。是做文官。總是——平平是政府的官吏。貴方は武官をしてあるし私共は文官をしてあるが併し我我は均しく政府の役人だ。

ラヌ。咱。(他人を除き自己と對話者とを包含して)我我。私共。私達。我等。吾人。お互。您是做武官。是做文官。總是——平平是政府的官吏。貴方は武官をしてあるし私共は文官をしてあるが併し我我は均しく政府の役人だ。

ラヌ。咱。(他人を除き自己と對話者とを包含して)我我。私共。私達。我等。吾人。お互。您是做武官。是做文官。總是——平平是政府的官吏。貴方は武官をしてあるし私共は文官をしてあるが併し我我は均しく政府の役人だ。

にも有る。一衙門——私達の役所。【阮】。【阮】。参照。

ラヌ。懶。懶い。倦疲れる。退屈。身軀——體が懶い。讀書不可想——勉強する時は大儀に思つてはいけない。一厭く。厭厭する。聽了——聞飽いた。食到——去——厭く程食べた。

ラヌ。蘭。(姓)蘭。一(種)蘭科植物中莖・葉・花を主として觀賞用に供するもの總稱。蘭。

ラヌ。零。(姓)零。零。餘り。強。一一百九百。〇九。三舖路——三十清里強。三十一年——三十餘年。

ラヌ。鱗。(姓)鱗。一(鱗)鱗。打——鱗をおとす。粗——鱗の大きい。

ラヌ。難。(姓)難。難。難い。難しい。家賊——防——家内の賊は防ぎ難い。一得做——爲し難い。百般起頭——諸般の事は最初が難しい。

ラヌ。刪。甘蔗の節などを削除ける。削取る。一竹目——竹の節を削取る。一俾伊平——削つて平にする。

ラヌ。鈴。(同)鈴。馬——馬の鈴。合——鈴。難。難。遭——難に遇ふ。災——災難。臨——相扶——難に遇へば互に助合ふ。救苦救——菩薩が衆生の苦難を救ふ。

ラヌ。難。難。難。難い。難しい。家賊——防——家内の賊は防ぎ難い。一得做——爲し難い。百般起頭——諸般の事は最初が難しい。

ラヌ。刪。甘蔗の節などを削除ける。削取る。一竹目——竹の節を削取る。一俾伊平——削つて平にする。

ラヌ。鈴。(同)鈴。馬——馬の鈴。合——鈴。難。難。遭——難に遇ふ。災——災難。臨——相扶——難に遇へば互に助合ふ。救苦救——菩薩が衆生の苦難を救ふ。

ラヌ。難。難。難。難い。難しい。家賊——防——家内の賊は防ぎ難い。一得做——爲し難い。百般起頭——諸般の事は最初が難しい。

ラヌ。刪。甘蔗の節などを削除ける。削取る。一竹目——竹の節を削取る。一俾伊平——削つて平にする。

ラヌ。鈴。(同)鈴。馬——馬の鈴。合——鈴。難。難。遭——難に遇ふ。災——災難。臨——相扶——難に遇へば互に助合ふ。救苦救——菩薩が衆生の苦難を救ふ。

ラヌ。難。難。難。難い。難しい。家賊——防——家内の賊は防ぎ難い。一得做——爲し難い。百般起頭——諸般の事は最初が難しい。

ラヌ。刪。甘蔗の節などを削除ける。削取る。一竹目——竹の節を削取る。一俾伊平——削つて平にする。

ラヌ。鈴。(同)鈴。馬——馬の鈴。合——鈴。難。難。遭——難に遇ふ。災——災難。臨——相扶——難に遇へば互に助合ふ。救苦救——菩薩が衆生の苦難を救ふ。

ラヌ。難。難。難。難い。難しい。家賊——防——家内の賊は防ぎ難い。一得做——爲し難い。百般起頭——諸般の事は最初が難しい。

ラヌ。刪。甘蔗の節などを削除ける。削取る。一竹目——竹の節を削取る。一俾伊平——削つて平にする。

ラヌ。鈴。(同)鈴。馬——馬の鈴。合——鈴。難。難。遭——難に遇ふ。災——災難。臨——相扶——難に遇へば互に助合ふ。救苦救——菩薩が衆生の苦難を救ふ。

ラヌ。難。難。難。難い。難しい。家賊——防——家内の賊は防ぎ難い。一得做——爲し難い。百般起頭——諸般の事は最初が難しい。

ラヌ。刪。甘蔗の節などを削除ける。削取る。一竹目——竹の節を削取る。一俾伊平——削つて平にする。

ラヌ。鈴。(同)鈴。馬——馬の鈴。合——鈴。難。難。遭——難に遇ふ。災——災難。臨——相扶——難に遇へば互に助合ふ。救苦救——菩薩が衆生の苦難を救ふ。

ラッ

ラヌ

ラヌ

ラヌ

ラヌ 年。陽物。陰莖。まら。奔。不知可轉肩。陰莖を擔いで肩を換へることを知らぬ。變通のきかぬこと。

ラヌ イイ 難移。移し難し。天數。運命は逃れることは出来ぬ。

ラヌ イイ 難易。難易。事有。事には難易がある。

ラヌ ウイ 難爲。難儀。困難。眞。眞に難儀だ。困らせる。窘める。苦しめる。慮める。要。伊。彼を苦しめてやる。

ラヌ ウイ チエン 難爲情。堪へられぬ。たまらぬ。忍びぬ。看着眞。見るに忍びぬ。見てゐて堪へられぬ。

ラヌ カヌ 欄杆。欄干。手摺。欄。衣服の袖口や襟などに縫着ける刺繍の類。縁。同上を縫着ける。領領困。襟にレースを縫着ける。

ラヌ カム 難堪。(又) 堪難し。堪へきれぬ。一重刑。烈しい拷問に堪難い。

ラヌ コイ 難怪。怪しむに足らぬ。一伊怒氣。彼の怒るのは怪しむに足らぬ。

ラヌ コン 蘭貢。(地名) 蘭貢。

ラヌ サヌ 零星。端。半端。切端。端。切端。零碎。

ラヌ 肉の切端。肉の屑。一銀。端金。零碎な金。講人。一話。人の悪口をいふ。人を彼

ラヌ

此いふ。一拾加全項。端の物を集めて一纏の物にする。一話。徒話。徒口。一紙。反故。紙屑。一錢。小錢。小銀貨。小使錢。

ラヌ サヌ 難産。(國) 難産。

ラヌ サヌ ツイルイ 零星碎襖。斷屑。端。切端。端。細い。小さい。一。的物。端。細い物。一。的布。布の切端。

ラヌ サヌ ポエ 零星賣。小賣。

ラヌ サヌ ミイ 零星物。半端物。端。端。ラヌ サヌ リイ レエ 零星致持。不揃で纏らぬ。零星。半端。端。一。的物。一。的物。

ラヌ サヌ ルイ ツイ 零星襖碎。零星碎襖。

ラヌ シイ 懶屍。懶ける。厭きる。怠ける。怠惰。無性。一。作。仕事。懶ける。

ラヌ シヌ 蘭幸。(紅玉蘭)。

ラヌ シヌ 半神。馬鹿氣た。たはけ。痴者。阿呆。忠厚看做。一。濃厚な者を阿呆と見る。

ラヌ シム 爛心。(植) 爛心木。とりばはぜのき。(漆樹科、材は各種の器具を製作す)。

ラヌ シム ボク 爛心木。前に同じ。

ラヌ スウ 難事。難事。一勤天下無。一。勤むれば

ラヌ

天下に難事なし。

ラヌ アア 生贖。(卑) 馬鹿。你真。你真。お前は馬鹿だ。

ラヌ タイケエ 咱大家。御同前。我我。御互。

ラヌ タウ 咱兜。私の家。私共の宅。

ラヌ タウ 難道。「總無」。

ラヌ タウ 零頭。上に出た端數。餘分になつた端。上端。零餘。一。免算。端は勘定しないでよい。

ラヌ タヌ 懶坦。懶ける。怠ける。懶惰。怠惰。

ラヌ タヌ 南談。「大戲」の一種。一。戲。同上。

ラヌ チアウ 午鳥。陽物。陰莖。陰莖。まら。一。頭。龜頭。龜頭。與。一。摺手面。陰莖と喧嘩する様な。こんな詰らない者を相手に出来ぬ意。一。比。雞腿。陰莖を雞の腿に比する。比較にならぬ。提燈に釣鐘といふに當る。

ラヌ チアウ ビヌ 午鳥面。(卑) 意氣地無。無能。あんぼんたん。間拔。

ラヌ チエク 蘭竹。一。蘭と竹。一。(植) 福州に於ける優良なる荔枝の品種。

ラヌ ツイ 零碎。半端。端。切端。端。切端。斷屑。屑。一。的物。同上。

ラヌ ツイ バア 零碎肉。肉の切端。

ラヌ トア 懶惰。懶惰。怠ける。怠惰。一。讀書。學

ラ

ラフサフ汚穢。【汚穢】。

ラフヤイ納来。(タ) 結納を送る。

ラフシイ踏死。踏殺す。蹂躪る。馬一一人馬が人を踏殺す。

ラフセエ納税。(ニ) 納税。税を納める。

ラフモエ凹績。見窄しい。零落。零落れる。近來家内比較一近頃内は稍零落した。穿到彼身軀真一あんな身形をして本當に見窄しい。

ラフフオ納租。小作料・水租などを納める。

ラフクウ凹頭。喰込む。損する。使込。年年都一毎年喰込む。

ラフモアノ納妾。(タ) 妾を納れる。

ラフテイニウ納錢糧。租税を納める。

ラフモエン納清。完納。皆納。地租權一喇地租は皆納めた。

ラフチヲ納席。疊を刺す。

ラフチアウテ踏住得。駘と踏へる。

ラフチホク納畜。(タ) 家畜を買入れる。

ラフチオン納寵。(タ) 妾を納れる。

ラフツイ踏水。水に踏込む。水に填る。脚一脚を水に踏入れる。

ラフツイ踏確。一足で白を春く。一踏白。

ラフテエ凹底。(タ) 次に同じ。

ラ

ラフトエ凹底。底が抜ける。底抜。桶一桶の底が抜ける。

ラフトエ納底。靴下などの底を幾重にもして厚くする。刺縫する。

ラフトラ踏倒。踏倒す。

ラフトエ凹底。(タ) 【凹底】。

ラフニウ納糧。租税を納める。税金を納める。

ラフヒオン納餉。税を納める。納税。去海關一税關へ税金を納めに往つた。

ラフピイ凹鼻。鼻が凹む。鼻が落ちる。

ラフブヌ凹本。資本を喰込む。損をする。生理做了續一商賣が喰込んだ。

ラフベエ納襪。足袋を刺す。

ラフボア踏破。踏碎く。踏潰す。

ラフポオ踏歩。一歩調をとる。一歩測する。

ラフボン凹凹。凹凹。凹凹。

ラフライ納利。利子を納める。

ラフラフ踏踏。油一油が澤山つく。油だらけ。滞一ねばねばする。にちやつく。にちやにちや。べたべた。どろどろ。

ラフラフ踏踏。前に同じ。

ラフラフチア食。ちやぶちやぶ食べる。

ラフラフハウ食。犬・豚などの物を食ふ時の

ラ

音) ばくばく。ちやぶちやぶ。食到一ばくばく食ふ。

ラフラン凹人。人を陥れる。創孔要一計略を設けて人を陥れる。

ラフリアン納涼。(ニ) 納涼。納涼。

ラフロラ凹落。損込む。窪む。凹む。落窪む。厝頂一屋根が落窪む。

ラフロロキイ凹落去。陥落。陥没。凹む。窪む。陥る。落込む。窪る。落入る。

ラム

ラム籠。鳥などの籠。鳥一鳥の籠。雞一雞の籠を入れる籠。鳥放出一鳥を籠から放す。

籠で鳥などを被せる。籠に入れる。用雞單一雞仔一雞の籠を被せる。一起來一籠に入れてしまふ。一衣類などを重着する。引掛ける。衫加一領一着物を一枚餘計に着る。一面頂衫一上着を着重ねる。一草木など總總と垂下る。被さる。稻仔葉一落來一稻の葉が垂下る。柳枝一落來一柳が枝垂れる。

ラム覽。(性) 覽。

ラム弱。一弱い。勇ましくない。查喃較勇查某較一男は強く女は弱い。一體の弱い。虚弱。

ラム

ラム キエウ 南極。南極。――星君。壽老人。――

仙翁。南極の仙人。――老人。星の名。

ラム キオク 藍菊。(種) 薩摩菊。

ラム キオン 南宮。(姓) 南宮。

ラム キム シヌ 浦金身。身に金の粧飾品などを許多

帯びること。金づくめ。總金。歸身軀。――

體中金づくめ。

ラム クヌ バグ ケツ 南拳北蹄。(武藝) 支那の南方の

人はよく拳で突き北方の人はよく蹴る。

ラム グウ 弱牛。――厚尿尿。弱い牛の糞便澤山、

下手の理窟だて。

ラム ケエ 男家。(漢) 【男家】。

ラム コア コア 襪嘩嘩。着物など大層だぶだぶする。

ラム コア ヌ 南管。●歌曲(北管)に對して稱する歌曲

の一種の流派にて其開祖は「相公爺」といひ之に

屬する曲名は「流水」「二凡」「平板」「緊中緩

【緩中緊】等にして之を「福路」と稱し「提絃

即ち「亮仔絃」を主に使用する。●悠長な南國情

調を表象する泉州府(晉江・南安・惠安・同安・安

溪)特有の音楽。

ラム コア ヌ キエウ 南管曲。【南管】。

ラム コア ヌ ルウ ケエ 男冠女笄。男子は冠し女子は

笄す、成人の禮を擧ぐること。

ラム

ラム コエ 南瓜。(種) 南瓜。唐瓜。(葫蘆科、果

實を煮食用に供す)。

ラム コオ 南糊。漳州より産する麻織物の一種。

ラム コン 南公。(姓) 南公。

ラム コン 藍貫。藍色の纏子。

ラム コン ソラ 纜綱索。帆繩。帆綱。帆の上端を樁に

引きつける綱。

ラム ゴオ ビイ チイ 南五味子。(種) 眞葛。美男葛。

(木蘭科、葉は婦人頭髮の塗料となし、根は毒蛇

咬傷其他の薬用に供す)。「犬。狗。

ラム サイ カウ 襪獅狗。(動) 毛深く足の短い犬。尨

ラム サム 濫摻。矢鱈に。無闇に。無茶苦茶。濫りに。

――用。濫用。――開。徒費。浪費。――講。出鱈目をいふ。――做。無茶な事をする。

ラム ザイ ホラ 藍彩和。「八仙」の一。

ラム ザヌ 歪田。沼田。泥田。深田。泥濘る田。

ラム シイ 南勢。南の方。南方。

ラム シイ ツイ 浦鏝水。鏝鏝を浴びる。我不拘没

――定。定在得。私は自分の體に鏝鏝を掛けて置

くわけにはいかない、何時までも生きてゐるわけ

にはいかないの意で子孫などを訓戒するときなど

ラム シウ 男壽。男の壽。「にいふ。

ラム シウ キオン 南壽宮。仙宮の名。

ラム

ラム シエウ 男色。雞姦。男色。男色。男色。好

男色を好む。

ラム シエウ 藍色。藍色。

ラム シエン 南星。(種) アルテミシア、ツラクンクル

ス。(菊科、よもぎ類にして薬用に供す)。

ラム シエン 男性。男の性質。

ラム シツ 浦熄。水などを掛けて火を消す。

ラム シヌ 弱身。弱い。虚弱。柔弱。病身。――的

人較驚寒。病身の人は寒さを恐れる。

ラム シヌ 襪身。着物など弛くてだぶだぶする。衫穿

了。――着物がだぶだぶする。だぶつく。

ラム シヌ ミア 弱身命。病身。體質が弱い。虚弱。

ラム ジイ 男兒。男兒。男子。男子。

ラム ジヌ 攪仁。(種) 攪仁。ももたまな。こはていし。

しまほほ。(使君子科、並木・庭園樹に適し果實は

食用となり樹皮は煎服して下痢を治す)。

ラム ジヌ 男人。男。――斷掌作相公女人斷掌

守空房。【斷掌】の男は官吏になり【斷掌】の女

は寡婦になる。――趁女人理。男は錢を儲けて

女は家を支える。――女體。不死悞。悞娘。奶

男の癖に女の様な風をして死にもしない母

を苦しめる、嘲罵の語。「る。

ラム ジヌ ルウ トエ 男人女體。男で女の様な風をす

ラム スウ 襪。 (襪身)。

ラム スウ 濫使。 (濫)。

ラム タウ 南斗。 南極の星の名。 南斗星。 一星君

同上。 下。 病氣のとき南斗星に願をかけ

る。 一註生、北斗註死。 南斗星は生を司り北

斗星は死を司る。

ラム タウ ゴオ トン 南投梧桐。 (大懸樹)。

ラム タウ 南斗星。 南斗星。 「女卵」。

ラム チエン 男精。 精蟲。 子種。 一 女血。 男精と

ラム チエン 藍青。 秀才の着用する禮服の名。

ラム チエン ポク チエヌ 南征北戰。 (南征北戰)。

ラム チエン ルウ ヒエツ 男精女血。 男精と女卵。 「昌府」。

ラム チオン フウ 南阜府。 (地名) 江西省の首府。 南

ラム チアウ 攪住。 抱締める。 組附く。

ラム チアウ 南朝。 南朝。

ラム チエヌ 藍靛。 (菁靛)。

ラム チエヌ チオク 南天竹。 (小藥科) 南天。

ラム チエヌ ビエン ルウ エエ コク 男天旁女下腰。

男は額の兩脇廣きがよく女は下腰の豊なるが

ラム チエヌ ブヌ 南天門。 劇の名。 「よし」。

ラム チエン 男丁。 男。 男子。 男兒。

ラム チエン 藍頂。 官帽に藍色の玉を附けたもの。 又

は同上を被る官位。

ラム チヌ 濫陣。 隊伍などちやちやに入難る。 又群

つたものの中に紛込む。 因仔。 續尋無子供

が人込の中に紛込んで見當らぬ。

ラム ツイ 浦水。 水を浴びる。 水を被る。 水を撒く。

熱天街路着。 暑い時は街路に水を撒かね

ばならぬ。

ラム ツウ 男子。 男子。 男子。 一 膝下有

黄金。 男子の膝下に黄金あり、男子たるものは

容易に膝を屈するものではない意。

ラム ツウ 濫子。 (濫)。

ラム ツウ ハヌ 男子漢。 男らしい男。 丈夫。 益荒雄。

男子。 大丈夫。 男兒。 無。 一 男らしくない。

大丈夫。 一 大丈夫たるもの、眞の男子たる

もの。

ラム ツヌ ルウ ビイ 男尊女卑。 (男尊女卑)。

ラム ツツ 濫子。 (濫)。

ラム ツン 浦湯。 汁を掛ける。

ラム ツン 浦湯。 糊薬を掛ける。

ラム テエ 弱茶。 下等の茶。

ラム テエ 南茶。 (茶梅)。

ラム トア チエツ 浦大燭。 (蠟燭を作る時) 溶した蠟を

上からかける。 交合の時男が下になる意。 倒

一 同上。

ラム トアルウイウ 男大女幼。 老若男女。 老若男

ラム トオ 李土。 泥濘。 泥濘。

ラム トオクツ 李土窟。 泥濘。

ラム トラ 攪倒。 振倒す。 振伏せる。

ラム トラルウチア 男倒女正。 男は左女は右、儀

式の時などの席次。

ラム ノア 弱懶。 不精で檢束がない。 一 査某。 一 査

だらな女。

ラム ハヌ 弱漢。 卑怯者。 弱蟲。 懦夫。 腰拔。 意氣地

ラム バヌ シヌ 南嶺辛。 (番薑)。

ラム パク 南北。 南北。 一 洋。 南洋と北洋。

一 曲。 一 南管と北管との曲。 一 二路行

透過。 南北の兩方行かざる所なし、各所旅行し

て知らざる所なき意。

ラム パン 弱房。 弱い支族。 (房)の◎を見よ。

ラム ヒイ 弱戲。 へぼ芝居。 安芝居。 一 賢拖櫛。 へ

ぼ芝居の運開場。

ラム ヒウ ボア 楠香末。 (濁粘香)。

ラム ヒエン 攪胸。 腕組。 雙手。 一 同上。

ラム ビイ 浦疔。 痘瘡を軽くする咒。 (痘瘡を患ひてよ

り十二日目に黑豆を炒りて椀に盛り、神に祈りて

頭から豆をかける)。

ラム

ラム

ラム

ラム

ラムビエン南旁。南の方。南方。

ラムファイ濫費。(多)濫費。徒使。

ラムフウロライウ男婦老幼。男女老幼。

ラムフン南方。南の方。南方。南。

ラムブウヲヲミイトヲフツ南無阿彌陀佛。南無阿彌陀佛。

無阿彌陀佛。

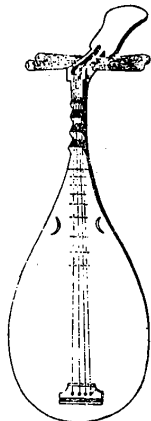
ラムヘエ弱貨。やくざもの。下等の品物。悪い代物。

ラムヘエ濫灰。石灰又は漆喰などをよく混淆する。

ラムベエ弱馬。驽馬。

ラムベエ攪尾。後を引受けて始末する。

ラムベエ南菖。【南管】に使ふ琵琶。



琵琶南

ラムホエ弱貨。(多)【弱貨】。

ラムホエ濫灰。(多)【濫灰】。

ラムホン南風。南風。南風。南風。

ラムホン男風。(多)男色。好い。男色を好む。

ラムホンヲア南方埃。南風を避ける。避。

ラムホンゴン南風懸。【海鷲、布袋鷲】。

ラムホンザウ南風草。(植)【菊科】【蝶仔草】の①。

ラムホンヒア南風蟻。(動)蟻の一種。

ラム

ラムホオ弱貨。(多)【弱貨】。

ラムホオ濫灰。(多)【濫灰】。

ラムボオ南部。(多)南部。

ラムボグ南北。(多)南北。

ラムボヲ攪抱。抱へる。抱く。抱く。

ラムミアボラケエ男命無假。——女命無真。

男の生年月日には偽り無いが女の生年月日は眞實の無い、結婚の時など女子の生年月日を偽るもの多きこと。

ラムミイ弱物。悪い代物。

ラムラム甘甘。酸——多少甘味あるも甚しく酸い。酸い中に甘味がある。

ラムラム弱弱。弱弱しい。虚弱。——馬亦有一歩。

随い弱い馬も蹴ることは知ってゐる、愚者も一得ある意。——査哨較贏査某弱くても男なら女に優る。

ラムラム本水。泥濁る。路——道が泥濁る。

ラムラム濫濫。入交る。混合する。混合す。——做。

下一混って一緒になる。混せて一緒にする。

ラムラムサムサム濫濫摻摻。無茶苦茶。

ラムラムノアノア弱弱懶懶。【弱懶】。

ラムラムルイルイ襪襪襪襪。【襪襪】。

ラムラン弱人。虚弱の人。病身。——厚性地弱。

ラン

ランリイ男女。(多)【男女】。

ランリエン浦冷。水をかけて冷す。

ランリエン藍綾。藍色の綾子。

ランリエン藍翎。功勞ある官吏の帽子に附ける孔雀の羽。鳥毛の青黒色なるものにて六品以下の文武官吏の軍功ある者に授くる名譽の標章。

ランリエンザウ南靈草。(植)【茄科】烟草の異名。

ランルイ襪襪。(多)襪襪。

ランルイ襪襪。見窄しい。見窄しく見える。衣裳——着物が同上。一身軀真——身形が同上。

家政の極めて苦しき様。悲惨。火の車。怨家内近來不止——彼の家庭は近來甚だ悲惨だ。

貧乏で手足纏が多い。徳老母真——没顯得別項彼の母は手足纏が多くて外の事をする暇がない。

ランルウ男女。男女。男女。——混雜男女が入雜。

ランルウパヌ男女班。男女合同劇。【する】。

ランルウハブイエヌ男女合演。男優女優共に出演。

ランロオ弱路。手際が悪い。工夫——同上。

ラン孔。陷弊。開——同上を廻る。開陷開——同上。

ラン

ラン ウヌ 人瘟。流行病。着——流行病に罹る。

ラン オオリエン 弄鳥籠。(盗賊の隠語) 頭巾をとる。

ラン オン 人主。村民に恐れられて自然に村の頭となつた者。村の幅利。做——同上になる、専横なことをする。

ラン カア 疎脚。竹藪又は稻など疎な。竹割了傷——竹を切り過ぎたので間が透き過ぎた。

ラン カア 噴脚。【疎脚】。

ラン カア カウ/ピイ 人脚狗鼻。——和尙頭——人の足、狗の鼻、坊主の頭。人は足が寒く、犬は鼻が寒く、坊主は頭が寒い。

ラン カア ジア 人脚跡。人跡。——能肥人(能肥)の足跡が肥える、権門富貴の家などに訪問者の多い

ラン カウ/ 弄狗。犬をじゃらす。犬を弄ぶ。「意」

ラン カウ/ ヒム 弄狗熊。子供の遊戯の一種。

ラン カケ 人壳。人の殻。人破病剩一個——人が病氣して木乃伊の様に瘦せ衰へる。

ラン カン 曠工。手隙。手明暇。暇。——即來暇の時來る。暇の時に來なさい。

ラン カン 人工。人手。人夫。——有幾個——人夫が幾人あるか。欠——人手が足りない。

ラン カン 曠孔。隙間をあける。空を残す。間をあける。——下藏得——空を残して置く。間をあけて置く。

ラン

ラン カン 疎孔。疎になつてゐる。竹圍——竹藪が置く。

ラン キアム 弄劍。劍舞。

ラン キイ 碧齒。細磨臼の齒。

ラン キイ 人氣。人の氣。——旺——群衆の中などで人の氣の爲に咬い。蒸される。——太迫——人氣が多い。人が澤山。人が羣集してゐる。——烟——人込などの中で蒸着い。

ラン キウ 弄球。球を弄ぶ。

ラン ギア 人類。人数。人員。人数。頭数。員数。算——人員を數へる。

ラン ギヌ 弄恨。殊更に人に嫌惡の念を起させる。嘲弄する。愚弄する。嘲る。侮弄す。冷す。黷る。茶にする。調戲ふ。伊特工要——我——彼は態と私を調戲ふ。

ラン ギヌ アア 弄罔仔。子供を慰す。子供を慰す。

ラン タイ 曠閑。離れる。離隔する。

ラン クヌ カウトン 人群狗黨。人の群犬の連、群をなし惡所に遊ぶ者などを罵つていふ。

ラン クン 籠慎。籠を擔ぐ棒。

ラン グヌ 弄恨。【弄恨】。

ラン グラヌ 弄恨。(愚)【弄恨】。

ラン ケエ 人客。客。客人。——應——客殿。客間。請

ラン

ラン ケエ 客を招待する。款待——客を款待する。

ラン ケエ キエン 人客間。客間。客室。

ラン ケエ パン 人客房。前に同じ。

ラン ゲエ 弄牙。【展牙】。

ラン コア 人干。(人壳)。

ラン コア 寒着。纏めて見る。積る。看有若多共伊——幾ら有るか積つて見る。

ラン コアイ 寒高。高くからげる。襪——ずぼんを高くからげる。

ラン コアイ アア ホエ 弄拐仔花。ステッキを振廻す。

ラン コアヌ 寒高。(寒)【寒高】。

ラン コアヌ 人歇。風體。様子。形振。甚麼——如何な様子の人か。

ラン コエ アア 人節仔。聲變する頃の子供。十五六歳位の子供。

ラン コオ 寒種。●ずぼんをからげる。ずぼんの裾を捲上げる。股立をとる。●勞働する際着ける潤いずぼんの一種。

ラン コン 人講。人が言ふ。人の話に。世間でいふ。聽——是如此——人の噂では斯うださうだ。——明仔再有運動會——人の話では明日運動會があるさうだ。

ラン ゴッ 人鷓。【社鷓】。

ラン

ランノアノア 人懶懶。無性でふしだらな。無氣力

で檢束がない。

ランバアキアムキアム 人肉鹹鹹。―――没食

得。人の肉は鹽辛くして食はれない、無い袖は振

られないではないか。(借金取の言分などにいふ)。

ランバカ 人目。人の目。掩―――人目を忍ぶ。

ランバツ 疎密。疎と密。疎密。

ランパア 人押。人の干物。剩一個―――肉が落ち

て骨と皮になったもの。

ランパヌ 人辨。人體。風體。人狀。人柄。甚厭――

。―――どんな人柄。

ランペン 曠縫。間を明ける。間を置く。排較――

間を明けて並べる。際。手透。手間暇。手明

き。―――行動。隙を見て逃げだす、機を見て手

を引く。―――潜込む。

ランペン 入縫。人と人との間。鑽―――人込の中に

ランヒアム 弄險。冒險。危險を冒す。

ランヒエン 人形。人の形。

ランヒム 人能。(動) 獅獅。

ランビヌ 人面。人の顔。(種) (漆樹科) 人面子。

スポンヂアス ツルシス。

ランビヌ シウシム 人面獸心。人面獸心。

ランファイ 人血。人の血。吸―――人の血を吸ふ。

ラン

ランファイ 膿血。膿血。血膿。穢―――針の先などで

抉って血膿を出す。

ランフヌ 曠雲。雲が切れて空が晴れて来る。―――就

能好天。雲が切れると天氣になる。

ランベエ 人馬。多人數。人出。人數。起―――來要打

。―――大勢人を集めて敵らうとする。

ランペエ 人胚。【仔豚】。

ランホエ 弄花。稻穂が花を持つ。稻仔―――同上。

ランホエコオ 弄花鼓。祭典の行列の際太鼓を持つ

て跳廻り其太鼓を人に打たせること。「花鼓」を

見よ。

ランホオペン 曠雨縫。雨の時間。―――即去。雨

の時間に往く。

ランホン 疎風。隙間などから風を通す。風を入れ

る。菜脯―――能歹。乾大根の漬物は風にあてる

と悪くなる。綿被不可―――病人などの掛け

てある蒲團に風を入れるな。(秘密など) 漏

す。口外する。彼條事情是不可―――彼の

事件は決して口外するな。

ランボエ 人胚。(海) (人胚)。

ランボオ 籠甯。鍋の上に置いて食物を蒸返すに使用

する具、竹を組合せて造りたる蒸籠の如きもの。

ランボオ 人胚。(魚) (人胚)。

ラン

ランミア 人名。人の名。人名。堅―――人の名前を

書く。

ランミア 人命。人命。人の命。生命。

ランミアボオ 人名簿。人名簿。

ランライケエ 人來客去。客が出入する。較

無―――餘り客が出入しない。

ランラウ 弄鏡。【做功德】の時道士又は僧侶が鏡鏡を

血廻の如く取扱ふ式。

ランラウバク 膿漏目。(癩) 風眼。

ランラン 疎疎。ちらちらと。ぼつぼつと。疎。疎疎。

疎―――疎。ちらちら。

ランラン 瓏瓏。青―――海など青靑としてゐる。

ランラン 曠曠。疎―――疎。ちらちら。

ランラン 人人。人人。諸人。―――都好。皆睦じい。

―――都知。人人が皆知つてゐる。

ランラン 疎疎。【疎】。

ランリアウ 曠曠。(動) 隨德寺。雲隱。逃隠れる。逃

げる。逃退く。避ける。

ランリエン 弄龍。舊正月十五日の晩又は七月中

旬の晩などに「龍」燈を擔回ること。「龍」燈。參

ランルツアア 人角仔。(人豚仔)。「照」。

ランニン 人影。人影。照見―――人影が映る。

ランニン 人主。(人主)。

リア

リア 割。裂割れてささくれが出来る。割目や折目などにささくれが出来る。一横逆鉋が出来る。桌境

一起來卓の縁が擦れて同上。樹枝一落來一木の枝が裂けて同上。山一落來一山が崩れて同

リア 喇。【喇】。「上。

リア 掠。一捉へる。捕へる。一賊一泥棒を捉へる。一魚一魚を捉へる。一話風一言葉尻を捉へる。一

生きた鶏や豚などを買ふ。雞一甚獨一幾らで鶏を買ったか。一猪一豚を買ふ。一手先で繕ふ。手

の先で細工をする。手の先で調へる。一漏一雨漏を修繕する。一筆仔一網代を編む。一草苴一鹿

を編む。一頭鬚尾一辮髪を編む。一宇一證文を取戻す。一摩る。揉む。一痧筋一腦貧血など

の時に筋を強く引き或は按摩して癒す。一龍一按摩。一拇指と中指とを壓擡げた距離。一長一

同上の長さ。一琴などを弾く。一播筆一立琴を弾く。一七絃琴一七絃琴を弾く。一大大ざっぱに

計上する。一貨底一賣残の品を大まかに計上する。一帳一取引勘定を計算する。一を以つ

て。一を。一伊做媒人一彼を媒人にする。一我做厓仔物一私を玩具にする。一にす

る。一直一眞直にする。一担倒一横にする。心肝一定一心をしっかり落著ける。

リア イア 掠影。一影を捕へる。一臆測を逞しくする。伊蓋賢一彼は實によく同上する。

リア イアウ 掠妖。妖怪を捕へる。リア オオ 應節。【應節】。「る。

リア ヲエ サツ 掠話風。言葉尻を捉へる。揚足をとリア カア コヲ 掠脚窩。拔手を切る。

リア カア リア キウ 掠脚掠手。一手や足を攪む。一出手をして仕事の邪魔する。不可與我一

私の邪魔をしてはいけない。リア カウ 掠猴。一猿を捉へる。一間男を捉へる。一

一割頭鬚一間男を捕へて髪の毛を切る。一呪文を唱へて一猴損を治す。

リア カヌ 掠姦。間男を取挿へる。一在床、掠賊上賊一姦夫を捕へるは現場を押へるに限る、賊を捕

ふるは贓物を上げるに限る。リア キアウ 掠賭。賭博をしてゐる人を捕へる。「す。

リア キアウ サツ 掠賭風。賭博の時の缺點を見付出席キヲ 掠叫。想像する。臆断する。……だと思ふ。

一是你一君だと思つた。リア キヲ 掠叫。前に同じ。リア キヲ 掠轆。一轆を上下するとき脇の者が手助す

る。一轆を雇ふ。

リア キヲ 掠棍。一貨をつける。一貨を修繕する。リア キヲ 掠徹。咒はれた者が道士などを頼んで解いてもらふこと。

リア キヲ 掠棍。【掠棍】。「を張る。リア キム 掠琴。琴を弾する。

リア ギイ ビイ 掠硬鼻。強く反対して服しない。剛情リア クイ 掠鬼。一化物を捕へる。一僻む。邪推する。

一掠怪一邪推する。悪く氣を廻す。リア クウ サウ ビイ 掠龜走龜。龜を捕へれば龜を逃

す、或る一揃の物を得んとする場合に一物を得れば他の一物を失ふ又は一方が旨くいけば他の一方

が旨いかな。リア クヌ 掠筋。腹痛を療治する方法として筋を揉む。

リア クヌ 掠拳。拳術の試合をする。拳法を試み合ふ。二個在一一二人が拳法の試合をしてゐる。

リア ケエ ベエ 掠過馬。被入一一乗馬の儘捕虜になる、人に一杯食はされた。

リア コア 掠着。概算する。大ざっぱに見積る。一若多貨底一賣残の品が幾許あるか大ざっぱに計上

する。リア コエ キア リア ニアウ 掠雜寄山猫。鶏を捕へて山猫に預ける、猫に臆節。盗人に鍵を預ける

リア

リア

リア

リ ア

など。
 リア コロ シウ 掠奪。拔手を切る。「以外的事」
 リア ゴア 掠外。例外。關係以外。——的事。關係
 リア サツ 掠風。風を捕へる。賢——よく人の間違つた言行を見付出す。よく人の缺點を探す。
 リア サツ ブウ サア カア 掠風母相咬。風を捕へて咬合せせる、非常に暇なこと。
 リア ザウ 掠草。藁を編む。藁を組む。藁を束ねる。
 リア ザツ 掠賊。泥棒を捕へる。——没待得到縣賊を捕へて役所に引渡すのが待きれないで打つ。早きを欲して待きれない。
 リア ザン 掠總。大本を擱む。端緒を捕へる。無塊可——端緒が捕へられない。手掛がない。
 リア シアウ 掠賬。取引勘定を計算する。
 リア シイ コアツ 掠死訣。固守する。頑張る。
 リア シイ タツ シイ 掠生寒死。生きた者を捕へて死んだ者を埋合す、損失などの埋合をする。
 リア シイ ナア 掠閃電。——刷白鋏。稻妻を捕へて白癩を擦る、稻妻の光つてゐる間に其方の氣を擱んで擦り附けると能く白癩を治すといふ。
 リア シウ サイ タア タア 掠秀才擔擔。【秀才】を捕へて荷を擔がせる、其用を誤るをいふ。
 リア ジイ 掠字。證文を取戻す。

リ ア

リア ソア 掠痧。【痧】を療治する爲に肩や脊中の筋をリア ソア クヌ 掠痧筋。前に同じ。「抓ること」
 リア ソア リエン 掠山龍。墓の地相を見る。
 リア ワア 剽樹。——逆刺が出来る。指甲——指に同上。●逆刺が出来る。此塊桌——この卓に同上。
 リア ワア 掠斜。斜交に向ふ。斜に横切る。「上」
 リア ワエ 掠做。【掠叫】。
 リア タヌ ホアイ 掠坦横。横にする。
 リア タン 掠童。●神が【童】に乗移る。佛公——同上。●【童】の跳狂ふ時抱へて卓前に居らしむること。
 リア タン カア ツン ギ フウ 掠蟲脚川抓。蟲を捕へて尻に這はせる、藪をつついて蛇を出す意。
 リア チェツ 掠折。率を下げる。割合を減する。割引する。伊的話着——聽。彼の話は割引して聞かねばならぬ。貨底着——即能用得。賣殘品は割引しなければいけぬ。
 リア チム サウ トイ 掠蟬走蟻。海蟹を捕へて【蟻】を逃がす、【掠】走【蟻】の意。
 リア チア 掠定。動かぬ様にしっかりと押附ける。心肝——心をしっかりと落着ける。
 リア チアウ 掠住。押付ける。押へる。腕と捕へる。
 リア チイ 掠猪。●豚を捕へる。●豚を買ふ。去庄裡

リ ア

——村に豚を買ひに往つた。
 リア チイ アア 掠猪仔。●豚の子を捕へる。●豚の子を買ふ。——的。豚を買ふ人。
 リア チョ 掠着。捕へた。捕獲した。——賊仔。賊を取抑へた。——死。死んだ鬚を捕へた、思ひがけぬ金銭など得たるをいふ。——勢面。骨を覺える。
 リア チツ 掠直。眞直にする。——去。眞直に行く。
 リア ツイ クイ 掠水鬼。——塞。涵孔。【水鬼】を捕へて下水の穴を埋める、手近な便宜な物で欠を補ふ意。
 リア ツヌ 掠準。臆断する。認定する。……かと思ふ。——伊。不。彼は好くまいと思つた。
 リア ツン ポオ テ 掠長補短。長所を取つて短所を補ふ。長短相補ふ。
 リア トア 掠大。歌留多などをする時親を定める爲札をめぐつて見ること。
 リア トア ゴオ 掠大誤。油断。不覺悟。不覺。
 リア ニアウ アア 掠猫仔。——看猫娘。子猫を捕へるなら親猫を見よ、親の善惡に依つて其の子の善惡が分る意。
 リア ハヌ ツウ 掠蕃薯。——不。五。甘。薯。五穀に準じない、要なもの尊重せざるが如きを

いふ。

リア バツ 掠目。目玉を捉へる。諷解を求め又は袖の下を使ふなどをいふ。對伊ー彼に同上。

リア バツ サツ 掠擧賊。【擧賊】と云ふ賭博をする。

リア パウ 掠包。勝負事などの時間違つた所を捕へる。法則に違つたところを指摘する。缺點を見出す。揚足を取る。被伊ー揚足を取られた。

リア パン 掠縫。缺點を見出す。揚足を取る。難辭を附ける。賢ーよく同上する。

リア ヒイ 掠魚。魚を取る。一的要息指籠的不息魚を捕る本人は止め様としても魚籠持は止め様としない。當事者以外の者がわいわい騒いで事を大きくするなど。

リア ヒオン 掠餉。脱税者を捕へる。密輸入を押へる。

リア ビス 剝面。木の面など逆剥ける。逆剥れる。

リア ビア キン 掠壁蝨。(盜賊の隠語)壁に穴をあける。

リア ヘトエ 掠貨底。賣残の品物を大まかに計上する。

リア ペトオ 掠白鬼。●船・車・酒などに酔つて吐くこと。酒食到ー酒を飲んで吐いた。●糞糞すること。

リア ホエテエ 掠貨底。【掠貨底】

リア ホオ 掠虎。●(遊戯の名)内地に於ける猫と鼠と

リア

の遊戯と同じく少しも異なることなし。十數人手を繋ぎ圓陣を作り虎を中央に置き捕手は圓外に在りて虎を捕へんとす。列の者は可成虎をして自由の内外に出入せしめ捕手の動作は可成之を妨ぐ。虎捕へらるれば彼は捕手となるか又は列中の者と交代し前の戯を反覆す。●虎を捕へる。ー着摘耳虎を捕へるに先に耳を握れ先要點を捕へよとの意。

リア ホラ 掠和。和解させる。仲裁する。和合させる。爲伊ー仲裁してやる。

リア ホンジア 掠風影。【捕風捉影】

リア ホトエ 掠貨底。(奥)【掠貨底】

リア ラアライ 掠鯉。●穿山甲を捕へる。●(盜賊の隠語)筒を盗む。

リア ラウ 掠漏。屋根の漏穴を繕ふ。雨漏を修繕する。

リア ラン 掠人。人を捕へる。人を捕へる。

リア リアン 掠涼。【勝涼】

リア リエン 掠龍。揉擦治。按摩する。揉む。

リア リエンアア 掠零仔。引網。

リア リエンクツ 掠龍骨。【掠龍】

リアウ

リアウ 瘰。手足などが引釣つて硬張る。硬化する。引附

リアウ

ける。一筋ー同上。脚手ー來ー手足が引付ける。心肝ー來ー心が縮まる。冷冷する。

リアウ了。●終る。盡きる。仕舞ふ。寫ー書終る。捉ー取つて仕舞ふ。等伊講ー彼の言終る迄待つ。●損する。無くする。一錢ー金を損する。家伙ー秀才無財産は無くする。秀才には落第する。泣面に蜂といふに當る。頭路ー去職を失ふ。●……して……したところ……

看ー不止合意ー見て大層氣に入つた。食ー無味ー食べたところ味が無い。事情轉ー没直

事ー事を仲裁したところうまく落著しない。●【能了】を見よ。

リアウ了。【喇】。

リアウ聊。●無聊。●ゆくり。緩緩。較ー咧ーゆくりしなさい。一天一地ーゆくり構へる。愚圖愚圖する。一量ー餘裕がある。

●態と愚圖愚圖して人を困らせる。ー人ー同上。

リアウ倅。●倅。●同。●同。●暮僚。

リアウ條。●條。●短册形の物の名詞に附する接尾語又其の助數詞。椅ー細長い腰掛。紙ー短册形の紙切。二椅ー二脚の腰掛。一圓ー短册形の畑一枚。●材木を大きな鋸で挽割る。挽く。

一柴ー材木を挽く。●紙を折つて折目をつけ手で

リアウ

リアウ

引斜く様にして其の折目の所から引切ること。一紙同上。●川などを渡る。横切る。水水を渡る。一溪川を渡る。徒渉する。一田岸水田を横切る。

リアウ 蕨。小屋。乞食。一乞食小屋。蕃薯。一甘薯の見張小屋。更。一夜番小屋。

リアウ 噫。音楽歌曲の拍子。轉。一拍子を換へる。過。一同上。無。無拍。一さつぱり拍子が合つてゐない。

リアウ 臑。餅。一豚などの肋骨の部分。一肉。肋の肉。リアウ 繯。帆網。一索。同上。帆。一索。同上。一母。太い帆網。過。一帆の方向を轉する。一時の凌をつける。硬。一帆が充分に風を孕む。仕事などきつい。

リアウ 繯。脚。一足を縛る鎖。脚。一手枯。一手足を

リアウ 繯。(盗人などの用ひる語)忍んで出入する。一

来。一屋根などから忍込む。一去。一屋根などから逃げる。一天。一屋根などを傳つて逃げる。曠。一

逃隠れる。隨德寺。

リアウ 繯。(姓) 繯。

リアウ 繯。●秤などの紐。稱。一同上。頭。一秤秤のものにある紐。二。一秤秤のものから二番目にある紐。●動かない様に紐。紐又は針金などで

リアウ

引張つて固定させる。厝蓋着。一得。驚。被風飛去。一屋根が吹飛ばされる恐があるから針金などで引張つて置く。用。用鉛線。銅線。批柱。一針金で張つて電信柱を支へる。桶底用。索仔。一住。桶の底を纏めて縛りつけて置く。

リアウ 料。●原料。材料。料。材。種。●硝子製の器具の總稱。一器。一硝子の器。一杯。一硝子のコップ。●推量。推測。推量。推察。不出。我所。一私の推量に違はず。被。一人。着。一人に感附かれる。

リアウ 了。(物の毀れ又は落ちなどしたとき驚きの聲) あり。おと。一。續打破。去。一あつ。毀れてしまつた。

リアウ アア 蕨仔。小屋。草。一藥小屋。

リアウ アア 聊仔。ゆっくり。徐徐。緩緩。一想。ゆっくり考へる。一一行。徐徐歩く。

リアウ アア シイ 聊仔是。●ゆっくり。緩緩と。徐徐に。徐徐と。●一寸待つて。一。去。一寸待つてから往きなさい。

リアウ アア アハン 料仔行。材木間屋。

リアウ アア アムン 蕨仔門。小屋の門。摸無。一。何處から手を着けてよいか分らぬ。

リアウ アア 了後。……してから。後で。返來。一

リアウ

歸つてから。算。一勘定をしてから。

リアウ ウイオン 療養。(療養) 療養。

リアウ エエ 料的。寶玉などの粉物。贗物。

リアウ オオケエ 簾筒架。(簾筒)を置く臺。類を乾かし或は茶を擇るに用ふ。

リアウ オオケエ 簾筒架。(簾筒)を置く臺。

リアウ ウアア 又遠遠。(又) 遠遠。

リアウ ウカイ 了解。(圖) 了解。

リアウ ウカウ 鏢格。手械足械。

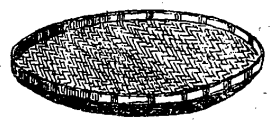
リアウ ウカン 了工。手間を潰す。手間損。一更蝕食。一暇を潰す上に尙食損ふ。

リアウ ウキイ 條鍋。(條) 條鍋。

リアウ ウキイ 了去。無くなつてしまつた。駄目になつてしまつた。蕩盡した。家伙。一財産が無くなつてしまつた。

リアウ ウキエツ 了結。局を結ぶ。完結。終結。治がつく。済む。若無到做。乞食没得。一放蕩者などをいふ。乞食にならねば局を結ばない。仕舞には乞食になる。

リアウ ウキホク 了局。前に同じ。



筒 簾

リアウキヲ 料叫。【掠叫】。

リアウクウ 條鋸。木挽の用ひる鋸。大鋸。大鋸。

リアウクヌ 瘵筋。【哨筋】。

リアウクンクン 了光光。悉皆失ふ。すっかり無く
なつてしまふ。

リアウクク 條鋸。(魚) 【條鋸】。

リアウグウ 練牛。大帆船。【家資分散】。

リアウケエ 了家。財産を無くする。身代を持戻す。

リアウケエキア 了家子。財産を無くする子。放蕩
息子。

リアウコア 了官。免官。免職。解職。役御免。解
任。お蔵箱になる。役に離れる。

リアウコア 了料館。材木屋。材木商。木屋。

リアウコエ 條溪。川を渡る。徒渡。徒渉する。

リアウコヲ 料膏。阿片の粉物。参——同上を混ぜ

リアウゴオ 了悟。悟る。悟を開く。會得する。「る。

リアウチア 條柴。材木を挽く。木挽。

リアウチア 聊邪。途方もない掛値をいふ。賣古董
的價錢真——骨董屋は途方もない掛値をい
ふ。

リアウシアウ 聊小。狭苦しくて餘裕が無い。小振。
小形。此塊桌的枝骨傷——此卓の骨組は
餘り小さい。

リアウシイ 料絲。極細く引延した硝子又は鍍金など
の總稱。

リアウシイチエン 料絲燈。【料絲】で装った提燈。

リアウシオン 料想。推量する。——不到——其處まで
は考へが届かなかつた。

リアウジエヌ 了然。●諦める。觀念する。愛想が
きる。愛想を盡す。絶念。思切。斷念。(一)(二)

了然。釋然。明かに覺る。

リアウスン 料算。推量する。

リアウソヲ 練索。帆船。

リアウワア 條紙。紙を折つて折目をつけ手で引割く様
にして其折目から引切ること。

リアウワエ 料做。【掠叫】。

リアウタン 遼東。(地名)遼東。

リアウチア 聊且。間合。暫時。暫く。一寸。假に。
——用——間に合に使ふ。【放蕩息子】。

リアウチアウキア 了鳥子。父の金錢を浪費する子。

リアウチアウベエ 了鳥胚。前に同じ。

リアウチイ 了錢。金を損する。錢を無す。——過厄
||金はかかったが禍から逃れた。金は失つたがそ
れが厄落になつた。

リアウチエツ 了捷。手取早くする。あっさり片づけ
る。てきぱきする。做事情着較——即好——物

事(こと)は手取早くせねばならぬ。

リアウチヌ 了盡。すっかり無くなす。盡果てる。皆盡
す。悉皆費す。家伙——財産をすっかり無く
なす。

リアウチアウ 了兆。●回復の出来ぬ様にして仕舞ふ。
取返しが付かぬ。今都——喇——もう取返が
かぬ。●(驕奢を極めるものなどにいふ)衰へる
兆。未だ。

リアウチイ 療治。(國)療治。治療。

リアウチエツ 了徹。●合點がいく。納得する。徹底
する。聽了没——聞いても合點がいかぬ。●
論をつける。さっぱりと思切。悟を開く。尙
且没——まだ諦がつかぬ。

リアウチエヌ 膠天。(盗人などの用ひる語)屋根を傳
て逃げる。

リアウチエヌ 了アウテエ 聊夫聊地。のそりのそり
する。ゆっくり構へる。愚圖愚圖する。

リアウチヲ 料着。推量して當てる。推察して當てる。
適被我——私の推察が丁度當つた。

リアウツイ 條水。徒涉。徒渡。

リアウツウ 料珠。價の眞珠。

リアウツツ 料出。考出す。思出す。

リアウテエ 了揚揚。悉皆失ふ。残らず無くす

リアウ

リアウ

リアウ

リアウ

リアウトア 料單。建築材料などの明細書。工事の仕
様書。

リアウバア 臛肉。肋の肉。

リアウバン 遠望。(を) 翹望。待望む。

リアウビエク 喉拍。過一―拍子をとる。程よく計

リアウブブ 繚母。太い帆船。大綱。

リアウブツエク 了不得。……せんとして得ず。

納がつかなくなる。拔差が出来なくなる。取返

しがつかない。打歹事情你就一―事を打

毀すと納がつかなくなるぞ。

リアウブツツイ 料不對。考が齟齬する。雁木鐘。

鳥の嘴。 「息子。」

リアウベエキア 了尾子。獄道者。道樂息子。放蕩

リアウボエキア 了尾子。(一) 前に同じ。

リアウボヲチ 料無着。想像が外れる。

リアウボヲツヌ 料無進。當が外れる。思慮が違ふ。

リアウボヲカア 了尾子。(息) 「了尾子。」

リアウボエ料杯。コップ。

リアウラン 諛人。態と思圖愚圖して人を困らせる。

リアウリアウ 癩癩。脚手一―來一―手足が引釣って硬

張つて来る。

リアウリアウ了了。……ばかり。……だらけ。生

分人一―見知らぬ人ばかり。砂一―砂だら

リアウ

け。●仕舞ふ。盡果てる。食一―食盡す。死一

一―死んで仕舞ふ。

リアウリアウ 條條。直一―死骸など固り真直に強

張る。

リアウリアウア 聊聊仔。徐ろに。緩り。じわり

と。徐徐と。徐りと。一―是一―同上。一―創

一―緩りする。

リアウリイ 了離。關係を絶つ。没一―關係を絶つ

ことが出来ぬ。能得一―關係を絶つことが出

来る。

リアウリイ 料理。●處理。捌く。取廻す。辨ずる。

取計ふ。取扱ふ。辨理。一―事情一―事を取扱

ふ。●(一) 料理。割烹。一―真好一―料理がらま

い。西洋一―西洋料理。

リアウリイチアム 料理店。(一) 料理屋。

リアウリエン 聊量。餘裕が出来ぬ。寛する。樂にな

る。近來較一―近頃金に餘裕が出来た。事情

有較一―仕事が少し寛してきた。

リアウリオン 聊量。前に同じ。

リアウロオ了路。玉無にする。無くなる。今一―

もう無くなった。性命一―生命を玉無にする。

リアウロラ 嘍囉。山城の部下。山城の手下。一―散

塞一―山城の手下が散散になった。

リアク

リアク 礮。算盤などを弾く音。がちゃがちゃ。ぐくぐく。

リアク 礮。算盤などを弾く音。がちゃがちゃ。ぐくぐく。

算盤子一―下一―算盤をがちゃとならす。棗袋

仔錢一直一―懐の金をがちゃがちゃとならす。

リアク 略。(一) 略。

リアク 略。(一) 略。

リアク 礮。●肛門など窄む。窄む。引締る。窄める。

引締める。花一―肺一―花が窄んで萎びる。尿管

強一―得一―無理に大便をこらへてゐる。上册就

没一―(一) 女が年四十になれば引締める力がな

い、四十歳になれば勢力が衰へる。能一―没一

一―引締める力があるかないか、やり得るかやり得

ないか。●皺などよる。よらせる。目調皮一―欄

一―險に皺がよる。裙要一―帯一―スカートに贅漬

を取る。●攫ふ。被鬼一―去一―化物に攫はれる。

妖精能一―人神魂一―妖怪が人の靈魂を攫ふ。●

びくびくする。尻込する。講着錢就一―落去一

寄附金などの話をする。直尻込する。那使一―

びくびくする。尿管一―各商功。●捏造する。

無影跡的話亂子一―根もない話を矢鱈と捏

造する。

無影跡的話亂子一―根もない話を矢鱈と捏

造する。

造する。一東一西色色な事を捏造する。

リアブ 毒。(毒) 毒。

リアブ 掘。(掘) 掘。

リアブ 捏。(捏) 捏。●手先で捏ねる。土庭仔(土) 人形を捏上げる。●薬丸(丸) 丸薬を捏ねる。●

手先で弄ぶ。弄る。粒仔(了) 能發癩(腫物)を弄ると炎症を起す。不可(多) 弄つてはいけな

リアブ 粒。●粒。飯(一) 飯粒。米(一) 米粒。●丸(一) 物を敷へる語。個。粒。一(柑) 柑仔(蜜柑) 一個。一

●藥丸(一) 一粒の丸薬。一(一) 一粒一粒。●飯などの粒が硬い。飯(一) 御飯が硬い。

リアブ アア 粒仔。腫物。出来物。腫物。吹出。吹出

物。腫物。一(汁) 膿汁。膿。一(堅) 疣(没) 記得痛(腫物)に痲が出来ると痛さを忘れる。喉元

リアブ アア ケエ 攝仔客。吝嗇坊。一返す。

リアブ アア ビイ 粒仔花。瘡蓋。

リアブ アイ エン 攝影。寫眞を撮す。撮影。

リアブ アイ オン 攝養。(攝) 攝養。

リアブ ウイ 攝位。(攝) 攝位。

リアブ エエ チア バヌ 攝的成萬。一(一) 大孔的成生(一) 吝嗇家は金持になり浪費者は無一

物になる。リアブ ヲア 攝倚。窄める。窄める。嘴(一) 來(口)を窄める。

リアブ カイ カイ 攝梘梘。非常に皺がよる。

リアブ キア ア 粒狭。吝嗇。

リアブ キエ エ 獵犬。(獵) 獵犬。

リアブ ケエ 攝欄。●糞を取る。裙(一) 袴に糞を取る。●皺がよる。面(一) 顔に皺がよる。

リアブ ゴア ヲ 臘月。(冬) 臘月。十二月。師走。

リアブ サイ ケエ 攝尿客。吝嗇坊。

リアブ サイ リア ア ジヲ 捏屎捏尿。糞、小便の世話をする。大小便の始末をする。

リアブ フヲ 捏造。(捏) 捏造。

リアブ タウ 粒頭。粒の形。粒の大きさ。一(有) 較大粒の形が大きい。

リアブ チア ア 粒捷。素早い。手早い。敏捷い。てきばきと。敏捷。脚手(一) 手足が敏捷だ。

リアブ チエ ク 粒積。少しづつ貯へる。蓄積。貯蓄。溜める。積立てる。積金をする。三代(一) 一旦傾空(三) 三代かかって積立てて一時に空しくする。

リアブ チエ ン 攝政。(攝) 攝政。

リアブ チエ ン キオン 攝政宮。(攝) 攝政の宮。

リアブ チエ ン 拉丁。拉丁。

リアブ ニイ 捏握。(捏) 捏握。

リアブ バア 粒仔。(粒) 粒仔。

リアブ ビイ 攝鼻。鼻を擽める。

リアブ プン 粒飯。飯粒の硬い御飯。喝拂食(一) 人に喧嘩をさせて置いて自分は旨い汁を吸ふ。

リアブ ボア ヲ 凜漿。(佛語) 凜漿。

リアブ ポオ 攝肺。乾からびて皺がよる。リアブ ポオ ポオ 攝肺。乾からびて非常に皺がよ

リアブ ミア 攝名。名を捏造する。偽名。氏名詐稱。

リアブ ムイ 臘梅。(臘) 臘梅。

リアブ リア ア 粒粒。●一粒一粒。一(好) 好食(一) どの粒も旨い。一(皆) 辛苦(一) 粒粒辛苦。●【粒】の(一)。

リアム

リアム 跣。差足。拔足。一(脚) 行(一) 拔足差足で歩む。一

リアム 臨。數など少し足ない。弱。一(一) 百(一) 百足らず。較(一) 少し足ない。

リアム 拈。二本又は三本の指で撮む。一(蜻) 蜓(一) 蜻蜒を撮む。一(着) 歹(一) 着歹(一) 着歹(一) 撮む。一(若) 多(一) 若多(一) 若多(一) 起(一) 來(一) 何程撮取ったか。一(香) 一(香) 焼香。

リアム 斂。●(斂) 斂。●減する。差引く。節約する。斂る。一(阿) 阿片(一) 阿片を飲む量を減する。一(所)

リアブ

リアブ

リアム

リアム コオ コアツ 念歌訣。(巻) 【念歌訣】。「み。

リアム コオ オイ 粘糊菜。(植) (菊科) つくしめなも

リアム コロ コアツ 念歌訣。●歌で言表した秘訣を

読む。●口やかましい。你免在ー||貴方は
やかましくいはなくともよい。

リアム コク 粘敷。(植) 水稻糯の総稱。

リアム コン 念誑。●生蕃など咒文を誑へる。呪ふ。

咒誑する。●ぶつぶつ不平をならす。

リアム サア 粘柴。樟科の樟の木の一種の材を薄く削

つたものにて水に浸して粘液を出し髪に塗料に用
ひるもの。

リアム サイ 捻奈。野菜を摘む。

リアム サメ イイ 拈蜻蜒。●蜻蜒を撮む。手で蜻蜒

を捕る。●(遊戯の名) 数人の兒童中一人場の中
央に立ち目をとち鬼となる、數人は周圍に立ち内

の一人又は二人が其の鬼に戯れ或は頭毛を引き
或は肩を叩き或は髻を打ち様様の悪戯をなす、

時を経て鬼なる者眼を開き悪戯をした人の名を言
ひ、中てられたる者は鬼となり更に場の中央に

立つなり。

リアム サム 粘參。一緒にする。雜加へる。附帶。一

緒に。ー||彼賣||彼も一緒に賣る。

リアム シアウ 念精。(巻) ぶつぶついふ。口やかまし

い。你免在ー||何をぶつぶつ吐すか。

リアム シイ 臨時。●直に。直に。直に。直に。即刻。

ー||要來去||直に往く。●臨時。

リアム シイ リアム ツ 臨時臨候。直に。直に。
即時に。即刻。ー||無彼號物||今直にはそ
んな物はない。

リアム シエク 斂色。房事を節する。你無ー||身命

没勇||汝は房事を節しなければ身體が丈夫にな
らぬ。

リアム シエク 念熟。暗誦してよく覺える。此本書

權||喇||此の本は皆暗誦してよく覺えた。

リアム シエン 斂省。節約。節儉。扣へる。節する。

節減。節約。節約。毎日的所費着較||每
日の費用は節約しなくてはいかぬ。

リアム ジツ 念日。(亥) 二十日。

リアム ジム パイ 檢衽拜。(女の手紙の文の終りに書

く敬語) かしく。かしく。【肅容拜】。「茹」。

リアム ズウ 念茹。口やかましい。謹||狂念

リアム モエ 念册。本を暗誦する。學生||生徒
が同上。

リアム ソオ 念疏。願文を読む。祈禱文を読む。司公

ー||道士が願文を読む。

リアム タウ 念頭。考。我無彼號||私はその

んな考はない。

リアム チアウ 粘鳥。糲で鳥を刺す。鳥刺。

リアム チアア 連捷。素早い。敏捷。てきばきと。手

快い。脚手||手足が敏捷だ。
リアム チイ 捻舌。舌を抓る。若愛講話要共你||
ー||若し話をすれば舌を抓るよ。

リアム チイ ビイ ツイ 捻糍比嘴。餅を作る時ちぎつ

て口の處へ持つていつて大さを計る。能く見積
る意。

リアム チウ 念咒。咒文を唱へる。呪ふ。念咒。

リアム チウ 捻手。●手を抓る。●物を指示する爲に
他の手を抓つて知らず。相||示合ふ。下相談
をする。打合をする。

リアム チエク 斂跡。跡を潜める。影を絶つ。鼠賊仔

ー||こそ泥棒が跡を潜める。

リアム チエツ 廉節。廉節。廉潔。廉直。有||的

人||廉節のある人。

リアム チエン 念情。恩を知る。無||恩を知らな

リアム チヲ 斂少。節減。經費||經費を節減する。

リアム チアウ 粘住。粘と貼附ける。用糊共伊||
||糊で粘と貼附ける。

リアム チイ 粘糲。糲。鳥糲。

リアム チイ 廉恥。(亥) 恥。廉恥。無||廉恥心が

リアム

リアム

リアム

リアム

ない。惜——廉恥を重んずる。「る。

リアムチイチイ粘鵜。ぺたぺたつくつく。粘粘す

リアムチイ念着。思ふ。銘記する。思念する。心に

記す。有——父母的恩——父母の恩を思ふ。

リアムツイクウ。斂嘴頭。食ふ物を節約する。

リアムツウ念珠。珠數。數珠。念珠。押——珠數を

リアムツウ念書。本を由で讀む。「爪録る。

リアムツン。腫瘍。(病)大膿疱疹。疔癬。

リアムツン捻斷。摘切る。「腹の肉。

リアムトオ。賺肚。豚などの脇腹。横腹。——肉脇

リアムトオ粘土。粘土。粘土。

リアムトンシイ。臨當時。突然。不意。出拔。——

三(三)的(三)事情(三)突然(三)の(三)事(三)。——想(三)没(三)出(三)其(三)の(三)場(三)で(三)思(三)出(三)せ(三)ない(三)。胸(三)忘(三)する(三)。

リアムトンリアムシイ。臨當時。前に同じ。

リアムニイ。捻握。街示す。欲しがらせる。

リアムヒイ。鯨魚。(鮫)鯨。

リアムヒウ。拈香。抹香を焚く。焼香。

リアムビイコア。拈米卦。【米卦】を見よ。

リアムビエヌ。臉面。體面。面目。外面。有——面

目がある。失——面目を失ふ。

リアムビイ。連鞭。次に同じ。

リアムビイ。連鞭。直に。直に。即時に。直様。直に。

リアム

即刻。——嗒——笑——泣くかと思ふと直ぐ又笑

ふ。——來——直に來る。

リアムビイシイ。連鞭時。次に同じ。

リアムビイシイ。連鞭時。直に。直に。即時に。今

が今。今といつて直に。——我那有便——今が

今どうして用意があるものか。

リアムビイ。連鞭。突然。直に。直と。急

に。忽。俄に。要寒——突然寒くなる。

リアムフツ。念佛。佛を念する。念佛を唱へる。

リアムプツ。念佛咒。佛法の咒を唱へる。

リアムヘエ。粘灰。石灰で着ける。厝瓦着——屋根

瓦は石灰で粘着させねばならぬ。

リアムホン。捻紅。(威張つてゐるものなどに)恥をかか

せる。面皮を剝く。鼻を折る。

リアムボエツ。捻沒斷。●捻み切れぬ。●心残。

斷念出來ぬ。未練がある。思切れぬ。尙且——

——まだ未練がある。

リアムボオ。念譜。譜を讀む。曲譜を稽古する。

リアムマア。鎌仔。【鎌仔】。

リアムミア。捻名。除名。

リアムミイ。連鞭。次に同じ。

リアムミイ。連鞭。次に同じ。

リアム

リアムミイシイ。連鞭時。【連鞭時】。

リアムラツ。斂力。力を加減する。——行——拔足して

歩く。脚骨——拔足差足。

リアムリアム。跼踏。差足。拔足。行路——驚足で

リアムリアム。臨臨。次に同じ。「歩行く。

リアムリアム。斂斂。稍不足。少し不足な位。五元銀

——無甚到——五圓では稍不足だ。

リアムリアム。粘粘。粘粘する。粘附く。べたつく。

リアムリアム。念念。念し入る。——不志——念頭を離

れない。心に記して忘れない。心心——片時

も忘れずに慕ふ。——有如臨敵日、心心常似

過橋時——心中常に敵に臨むが如く、又絶えず橋

を渡る時の如くすべし、細心注意すべき意。

リアムリアムアア。斂斂仔。【斂斂】。

リアムリアムクク。粘粘滑滑。ぬるりと。ぬら

つく。ぬらぬらと。ぬるぬると。「粘する。

リアムリアムシウシウ。粘粘滯滯。非常に粘る。粘

リアムリアムレエレエ。捻捻拵拵。手癖が悪い。手

が長い。手當り次第に人の物を取る。

リアムリアムレエレエ。粘粘拵拵。非常に粘る。

リアムリイ。淋漓。淋漓。雨——雨がどしどし降る。

リアムリイ。粘滴拵。粘粘する。

リアムリエ。鎌。小な鎌の一種。

リアムリエッタア 鎌劇仔。●小な鎌の一種。●(種)

くまのぎく。(菊科)莖・葉を腫物は治するに用ふ。

●(水仙花草)。

リアムレエ 粘持。粘粘する。

リアムレエ 念慮。ぶつぶつ小言をいふ。口喧しい。

リアム ロラ 粘濁。濃い汁。濃厚な液體。滑り。濃い重湯。濃い御粘。播り。濃い漸汁。濃い白水。

リアン

リアン 曉。●鈴などの音。ちりんちりん。一。下。ちりんと。●鈴を鳴す。一。曉仔。同上。

リアン 兩。(兼)【兩】。

リアン 涼。●涼しい。冷い。樹脚真。木の下は實に涼しい。仁丹食着嘴内真。仁丹を食べると口の中が涼しい。藥糊了就能較。藥を貼ると皮膚が涼しく感じる。聽着心肝不止。聞くと心が大層涼しくなる、聞くと非常に愉快だ。●(主に下級社會に使はれる)逃げる。警察來着。一。哨。巡查が來たから逃げなければいけな

いよ。趕緊。一。急いで逃げる。

リアン 梁。良。……(兼)【リオン 梁。良。……】。

リアン 亮。●透徹つてゐる。光。一。同上。玉仔不止。一。玉が非常に透徹つてゐる。天真。一。空が透

徹つてゐる。空が澄渡つてゐる。●音聲など朗か。聲。音響。一。音聲が響渡る。聲。一。聲が朗かな。

リアン 量。(兼)【量】。

リアン アア 曉仔。鈴。鈴。一。鳴り。同上が鳴る。

リアン イアク 量約。(兼)【量約】。

リアン イイ 兩意。(兼)【兩意】。

リアン イイ 良隣。(兼)【良隣】。

リアン イウ 良友。(兼)【良友】。

リアン イエヌ 良縁。(兼)【良縁】。

リアン イオン 兩用。(兼)【兩用】。

リアン イヲ 良藥。(兼)【良藥】。

リアン エ 涼鞋。靴の一種。

リアン ガヌ 兩眼。(兼)【兩眼】。

リアン キアム 兩兼。(兼)【兩兼】。

リアン キアン 涼腔。皮肉な戲言をいふ。弄れたことをいふ。告贏就能講。一。訴訟が勝てば皮肉な戲言も出るさ。

リアン キイ 涼氣。涼しい。

リアン キイ イアク 量其約。(兼)【量其約】。

リアン キウ 良久。(兼)【良久】。

リアン ケエ リイ 良家女。(兼)【良家女】。

リアン コオ 兩口。(兼)【兩口】。

リアン ゴアツ 涼月。七月の異名。

リアン ゴアヌ 兩願。(兼)【兩願】。

リアン ゴオ 兩誤。(兼)【兩誤】。

リアン サア 量早。(兼)【量早】。

リアン シアウ 良宵。(兼)【良宵】。

リアン シアン 揀揀。高。一。非常に高い。長。一。甚だ長い。長長しい。

リアン シアン 良相。(兼)【良相】。

リアン シアン 量想。(兼)【量想】。

リアン シアノクヌツウ 樑上君子。(兼)【樑上君子】。

リアン シエヌ 良善。(兼)【良善】。

リアン シヌ 良辰。(兼)【良辰】。

リアン シム 良心。(兼)【良心】。

リアン ジヌ 良人。(兼)【良人】。

リアン モエ 良妻。(兼)【良妻】。

リアン ファヌ 兩全。(兼)【兩全】。

リアン タイシアウ 量大小。(兼)【量大小】。

リアン チエン 諒情。(兼)【諒情】。

リアン チヌ 兩親。(兼)【兩親】。

リアン チエン 涼亭。納涼をする亭。四阿亭。亭。

リアン チエン 亮頂。官帽の頂に飾に附ける水晶の珠。又同上を被る官位。

リアン ツイ 凉水。サイダー又はラムネなどの如き飲料。

リアン トアヌ 兩端。(兼)【兩端】。

リアン

リアン

リアン

リイキイ 理氣。理窟。道理。理由。伊講的話有一
個——彼の話は理窟がある。

リイキイツウギイ 利己主義。(國) 利己主義。

リイキエツ 旅客。(海) 【旅客】。

リイキエツ 狡級。狡猾。ずるい。こすい。此個
存真——此の子供は非常にずるい。

リイキエン 離經。●豫想外の開がある。案外の差が
ある。意外の隔がある。差——てんから掛離れ
てゐる。價錢大——値段に非常な開がある。

伊的話太——彼の言ふことは常軌を逸してゐ
る。——離核——とんでもない大きな相違。非常
な隔。途方もない差。●打撃を受ける。痛手を
被る。此帮做風颶作田人成——今度の
暴風雨で百姓は大打撃を受けた。銀水若落
價生理人就能——銀相場が下落すると商人
は痛手を被る。

リイキオン 離宮。離宮。

リイキヌ 瀧巾。(海) 【瀧巾】。

リイキム 釐金。支那の國內税。釐金税。

リイキムキホク 釐金局。【釐金】を取扱ふ役所。

リイギイ 旅寓。(海) 【旅寓】。

リイギエヌ 俚言。(文) 諺。俚言。

リイタイ 離開。別れる。離れる。離散。遠かる。遠

退く。別離。——歹人悪人から遠かる。與伊
——彼と別れる。眠床不可打倚壁着——
「寝臺は壁に引着けず離して据多なさい。

リイタイ 離氣。【量氣】の(三)。

リイタイ 裂開。裂ける。割れる。

リイクヌヒオン 離根香。(海) 植物を乾燥した薬
品。(足の痺れたる時煎じて服用し又局部を洗滌
す)。

リイクヌリイフツ 離根離核。全く關係が無くな
る。與伊——彼と全然無關係になった。

リイグウ 俚語。(文) 俚言。

リイケエ 女家。(海) 【女家】。

リイケエ 理家。家政。家を治める。家を締る。愚妻
眞賢——彼の妻はよく家を治める。

リイコア 女官。(海) 【女官】。

リイコアヌ 旅館。(海) 【旅館】。

リイコアヌ 利權。(國) 利權。權利。——獨得の權利
を獨占する。

リイコアヌキホク 釐捐局。釐金税に關する事を掌
リイコアヌファイ 旅館費。(海) 【旅館費】。「る役所。

リイコオニ 姑。尼。比丘尼。尼法師。交——倒置仔
米——尼と交れば米糧が空になる。——生子累衆
人——尼が子供を生めば衆人に累を及ぼす。——做

滿月——尼が赤坊を生んで一箇月目の祝をする。
斯の如き道理なく非常に稀なる意。

リイコオ 利口。(文) 口巧者。口賢しい。口賢い。口
リイコオアム 尼姑庵。尼の庵。尼寺。【利巧】。

リイコオイト 尼姑院。尼寺。

リイコグ 利谷。利子に當つてる租穀。

リイコグキエツ 狡級。【狡級】。

リイゴアヌ 利源。利源。

リイゴアヌソエ 李元帥。【三十六將】の一にて麒
麟に乗る。

リイサイ 女婿。(海) 【女婿】。

リイサイ 理財。理財。

リイサン 勢棕。棕櫚の皮を剥く。

リイシイ 釐絲。僅。少し。無——少しもない。

リイシイアア 釐絲仔。極少し。ちよんぼり。ちよっ
ぱり。——同上。差——險被伊早戈
去——危ふく殺される所だった。

リイシウ 女囚。(海) 【女囚】。

リイシエウ 女色。(海) 【女色】。

リイシエウ 利息。利息。利子。利金。金利。納——
「利子を納める。」

リイシエヌコオ 李仙姑。【三十六將】の一にて鶴
リイシエヌオ 呂仙祖。(海) 【呂仙祖】。

リイ/シエン 理性。(圖) 理性。
 リイ/シオン 理想。(圖) 理想。
 リイ/シオンカア 利上加利。複利。重利。利子が利子を生む。

リイ/シオン 利上利。【利上加利】。
 リイ/シッ 利息。(漢) 【利息】。
 リイ/シヌ 女神。(漢) 【女神】。

リイ/シヌ 離身。身を離れる。手を外す。事情多没得——仕事が多くて手が離されぬ。
 リイ/シム 離心。離叛。

リイ/ジイ 女兒。(漢) 【女兒】。
 リイ/ジム 利刃。(文) 兇器。利刃。

リイ/ジム 離任。辭任。
 リイ/スイ 利水。尿を通ずる。——的藥 利尿劑。

リイ/スウ 女史。(漢) 【女史】。
 リイ/スウ 理事。(圖) 理事。
 リイ/スウ 離書。離縁狀。寫——同上を書く。

リイ/モエ 你坐。(客が歸る時に主人に向つていふ挨拶の語) 左様なら。
 リイ/ソア 離散。離散。

リイ/ソア 裂線坐。綻びる。衫——着物が
 リイ/ソソ 呂宋。(漢) 【呂宋】。
 リイ/ソソ 綻びる。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。
 リイ/ソソ 呂宋。呂宋。【呂宋】。

リイ/チッ 痢疾。(圖) 痢疾。痢疾。
 リイ/チエク 女德。(漢) 【女德】。
 リイ/チエツ コアイ 李鐵拐。【八仙】の一。

リイ/チエン 釐賦。釐等具。厘探。小な秤。
 リイ/チエン 里程。里數。行程。道程。若多——何程の道程か。

リイ/チエン 釐賦。釐等具の秤皿。
 リイ/ツウ 女子。(漢) 【女子】。
 リイ/ツウ 離書。離縁狀。去狀。三行半。

リイ/ツウ 理處。和解させる。仲裁する。勸解。彼條事情是我共伊——的——彼の事件は私が仲裁してやったのだ。
 リイ/ツヌ 船。理船廳。港内の事を司る役所又は役

リイ/トク 驢駝。(漢) 【驢駝】。
 リイ/トク コアイ 李托拐。【李鐵拐】。
 リイ/トン ビヌ 呂洞賓。(漢) 【呂洞賓】。

リイ/ハイ 利害。激烈な。危険な。恐ろしい。危い。
 リイ/ハイ 藥 劇藥。——病 危険な病氣。飛行機眞——飛行機は中恐しい。——鋭敏な。鋭い。

リイ/ハク 理學。(圖) 理學。
 リイ/ハク 女學。(漢) 【女學】。
 リイ/ハク 籬笆。竹垣。籬。籬。垣根。小柴垣。

リイ/ハク 籬笆。竹垣。籬。籬。垣根。小柴垣。
 リイ/ハク 籬笆。竹垣。籬。籬。垣根。小柴垣。
 リイ/ハク 籬笆。竹垣。籬。籬。垣根。小柴垣。

リイ

退折人ー着築墻仔還人ー人の竹垣を毀せば塀を作つて返さなければならぬ、不法の事をし他に損害を與ふれば其損害以上の賠償をせねばならぬの意。拆人離筈着造墻仔陪人ー同上。圍ー垣根を造る。

リイパン吏房。【知府】【知縣】などに屬し人事を司る官又は官衙。

リイバン離縫。隙間。間隙。桌面有ー卓の面に隙間がある。「の徒。」

リイヒアゴアチイ你兄我弟。好くない仲間。無頼

リイヒアンブツリイキアン離郷不離腔。郷里は離れても國の訛は取れぬ。

リイヒイ鯉魚。(動) 鯉。真鯉。「腔。」

リイヒウブツリイキウ離郷不離腔。【離郷不離腔】

リイヒエン旅行。(漢) 【旅行】

リイヒエンサヌカア裂胸散甲。【裂囊散甲】

リイヒヨ勢葉。煙草の葉など心を取除く爲に剝く。貼附けたものなど剝く。

リイビヌ裏面。(圖) 裏面。裏。

リイビイ奴婢。(漢) 【奴婢】

リイビイ利脾。食欲を増進させる。胃を轉ける。一的藥ー食欲を増進する藥。

リイビイ痢病。(病) 赤痢。痢病。

リイ

リイビエツ離別。別れる。離別する。別離。立別れる。ー後ー一別以來。相ー互に別れる。

リイビエツチウニノ鬚。八字鬚。

リイビエヌ利便。便利。便宜。調法。輕便。都合好い。立所にある。何時でも用意がある。口舌ー口がうまい。錢ー金は何時でも持合せてある。

リイフイ旅費。(漢) 【旅費】

リイフヌ離婚。離婚。離縁。伊與恩妻ー彼は妻と別れた。「ある。」

リイフヌ裂痕。裂目。割目。枋有ー板上に割目が

リイフン離遠。遠く離れる。懸離れる。立離れる。懸隔。遠さがる。遠遠く。隔絶。所在ー場所が遠く離れてある。

リイブウ女巫。(漢) 【女巫】

リイブウリイレエ哩武哩噶。べらべら秩序なくものをいふ。講話講到ーべらべら譯の分らないことを話す。

リイヘエ理會。納得のいく様に話す。了解する様にする。理解する様に。相ー互に了解する様に話合ふ。不聽人ー人の申分を聞かない。

リイペエ理梳。道理。理窟。格ー理窟を考へる。

リイ

リイホアヌ理蕃。(圖) 理蕃。

リイホエ理會。(漢) 【理會】

リイボアツ釐末。【釐末】

リイボオ離妻。妻を去る。離縁する。「る。」

リイボオ離妻。妻と離れる。ー離子ー妻子と離れる

リイボク吏目。州の役人。

リイボア勢破。引裂く。破る。ー衫ー着物を破る。

リイボア裂破。裂ける。破れる。衫ー着物が破れる。

リイボアビヌ勢破面。面の皮を引裂く。赤恥をか

リイボオ吏部。【六部】の一、官人の選擧・懲戒・授爵等を掌る所。吏部。

リイボオチアウ吏部執照。【吏部】の發する書附。貢生試験の及第者が就職の希望を吏部に申出でたるに對し其を承認したる吏部より發する文書、證明書など。

リイモア勢麻。麻の皮を剝く。

リイリア哩喇。【喇】の○。

リイライ哩歹。面倒な。煩しい。厄介な。此號事真ーこの事は甚だ面倒な。彼個人真ーあの人は甚だ難物だ。

リイラッ瘰癧。(病) 瘰癧。結核性淋巴腺炎。

リイラン理人。子供が親の言附などをよく聞く。お

リイライ哩歹。面倒な。煩しい。厄介な。此號事真ーこの事は甚だ面倒な。彼個人真ーあの人は甚だ難物だ。

リイラッ瘰癧。(病) 瘰癧。結核性淋巴腺炎。

リイラン理人。子供が親の言附などをよく聞く。お

●選分ける。撰分ける。撰ぶ。一歹錢ダイセン。撰錢せんせんを撰分ける。過ワタリ的菓子ワタリ撰分けた果物。●流ナリ。流派ナリ。下カカリ流。上シヨウ流。九ク流。●流刑リウケイ。一徒トク流刑にされたもの。充軍問チヨウグンモン。流罪リウザイに處する。

●手繰る。一索仔ソクジ繩ツナを手繰る。一風吹線フウフキセン。●風フウの絲イトを手繰る。●手繰る様にして引出す。被カガシ鬼仔カガシ腸肚チヨウヂ。鬼カガシに腸チヨウを引出される。一伊イ的イ大腸頭ダイチヨウヂョウ。彼カガシの大腸チヨウを引出す。彼の臍線セキセン金を騙して引出すなど。●一毛蟹モウカニ。水中スイチュウに餌エサをつけた繩ツナを張り其カガシを手繰カガシつて餌エサに咬かみついてゐる蟹カニを取る。●細ホソ長い布ヌイなどを手繰る様にして解く。解く。●藥水ヤクスイ。起キ來キ。●繩帶ツナオビを解く。一脚校キョウガウゲートルを解く。縛脚バクキョウ更マシ再マシ。一繩足ツナタラシを更に解く。

●蒸返す。一包仔ツツジ饅頭マンチョウを蒸返す。一甜アメ。●甘餅アムヒを蒸返す。●復習フクシユする。復習フクシユする。不フ時シ。一常ツネに復習フクシユする。三日サンニチ無ム。一扒上樹ハカシメツ。三日復習フクシユをせぬと習ナラつた事が木キの上に這ハ上ノる。一寸イチウの間復習フクシユをせぬと忘れてしまふ。●繰返す。講コウ了リョウ。更マシ再マシ。一話ワタした事を更マシに繰返す。古關コクワン提テイ起來キ。一過去カクゴつた事を取出トクして繰返す。臭臍話クシキ拾シ起來キ。一陳腐チンポな話を取出トクして繰返す。

●鈕仔ニウジ。鈕ニウ。一鈕ニウをはめる。

●鈕仔ニウジ。鈕ニウ。一鈕ニウをはめる。

●紐仔ニウジ。係蹄ケイテ。山猪サンシ。一猪シを捕る係蹄ケイテ。●アアキエヌ鈕仔ニウジ。鈕ニウの環ワ。●アアキエヌ鈕仔ニウジ。鈕ニウの環ワ。●生番茄セイハンカ。(根を煎服して熱病を治し葉を揉みて止血薬となす)。

●アアギエン鈕仔眼ニウジガン。(根(無患樹科)果實の小さく劣等な龍眼の一品種)。

●アアタウ鈕仔豆ニウジマメ。鈕ニウに似た小な落花生。●アアアアエ流仔豚ニウジブタ。(親が子を罵つていふ)末に諸處シヨを流浪リョウするに至る者。●アアアアポオ紐仔步ニウジフ。誤魔化ゴマカしの手。べてんの手。欺瞞セマの方法。使シ。一べてんの手を用ひる。●アアン柳仔黃ニウジワウ。(種)●ひよどりじゃうご。(茄科、根を煎服すれば感冒に効あり)。(菊科)【蝶仔草】の①。

●アアイ留意ニウジレイウイ。留意レイウイ。注意チュウイ。一做頭路サクダロ注意チュウイして仕事シゴトをする。

●アアオンキホク留養局ニウジオンキホクリウヤウキョク。孤老コロウ者を收養する所。●アアオオクヌ瑠烏巾ニウジオオクヌルウウキん。婚姻コンインのとき新郎シンヤウが新婦シンブの顔の被カを取る。

●カイ流巧カイリウキョウ。(又)宿無シュクム。●カウ瑠蘭カウルワン。蘭ランを引く。●カウ鈕カウニウ。鈕ニウを掛ける輪差リンサ。鈕ニウの穴。

●キアム柳劍キアムリウケン。横死者ヨコシヤを棺コファンに納める際に添ソへて入る柳ヤナギの枝エダ、此コノの柳ヤナギの枝エダは冥土メイツにて劍ケンに代カへ加害者カガイシャを搜索サウソクして仇討トクをさせる意。

●キアン瑠鏡キアンルキョウ。(鏡)避ヒける。逃ニげる。逐電シツデン。身ミを引く。一行動キョウドウ隙キを見て逃ニ出し責任セキインを逃ニれる。●キイ柳枝キイリウジ。柳ヤナギの枝エダ。●キウ扱吸キウキョク。(扱)扱キョク取る。せしめる。被伊カガシ去キ。一彼カガシにせしめられた。

●キウ琉球キウリウキウ。(地名)琉球リウキウ。●(主に子供が)憤ヒツクる。●キウチウ琉球酒キウチウリウキウシユ。泡盛アワモリ。●キエツ瑠級キエツルキウ。陰室インシツの皮カを剥ヒく。剥ヒる。●子供コドモなど悪賢ワカシい。擦スれて横着ヨウシヤクな。

●キキヲ鈕キキヲニウ。(糸)【鈕筋】。●キキヌ鈕筋キキヌニウジン。(種)【鈕筋】。●キキホクチオン柳玉簪キキホクチオンリウギョクサシ。【二十八宿星】の①。●キクヌ鈕筋キクヌニウジン。括鈕クツクニウを作るためにつけた紐イト。縫ヌ。一同上ドウジョウを結ムスぶ。

●クンタク瑠光頭クンタクルキョウダウ。帽子バウシを被カらない頭アたま。素頭ソダマ。●ククラヌ鈕筋ククラヌニウジン。(糸)【鈕筋】。

●クンタク瑠光頭クンタクルキョウダウ。帽子バウシを被カらない頭アたま。素頭ソダマ。●ククラヌ鈕筋ククラヌニウジン。(糸)【鈕筋】。

●クンタク瑠光頭クンタクルキョウダウ。帽子バウシを被カらない頭アたま。素頭ソダマ。●ククラヌ鈕筋ククラヌニウジン。(糸)【鈕筋】。

●クンタク瑠光頭クンタクルキョウダウ。帽子バウシを被カらない頭アたま。素頭ソダマ。●ククラヌ鈕筋ククラヌニウジン。(糸)【鈕筋】。

●クンタク瑠光頭クンタクルキョウダウ。帽子バウシを被カらない頭アたま。素頭ソダマ。●ククラヌ鈕筋ククラヌニウジン。(糸)【鈕筋】。

リウ

リウ

リウ

リウ

リウケエ 膈標。堅くなった【標】を蒸返す。

リウコエ 膈標。(漢)前に同じ。

リウコオシイアア 紐箍絲仔。引けば締る様にした輪差結。打——同上を作る。

リウコン 鱷。(動)蛇。

リウコオ 膈標。(英)【膈標】。

リウサヌ 流産。(國)流産。「上」透電。

リウサウ 溜走。外して逃げる。引外す。避ける。逃

リウサウ 溜走。●つるつると滑って外れる。鰻——

鰻が同上。●外して逃げる。賊仔——泥棒が同上。

リウサン 扭鬚。【扭掠】。

リウシイ 鈕絲癖。丸い絹の打紐。

リウシウ 溜溜。次に同じ。

リウシウ 溜溜。滑——つるつると滑る。尖——非常に尖っている。

リウシウ 溜溜。前に同じ。

リウシエン 流星。(國)流星。流星。

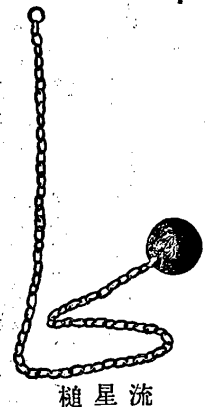
リウシエン キイ 留聲機。

留聲機。

(新) 留聲音

機。

リウシエン マイ 流星槌。武器の一にて鐘の一端に圓



流星槌

リウ

き鎌を附けたるもの、其用鎌と同一。

リウシヲ 膈燒。堅くなつてゐる餅などを蒸して軟く

する。

リウシヌ 留神。心を籠める。氣を止める。注意する。

做事情着——事をするには注意しなくてはな

らぬ。

リウシム 留心。注意する。氣を附ける。心懸ける。

心する。——致意。心を留め意を致す。よく注

意する。——做事情。注意して事をする。

リウジム 留任。(國)留任。

リウスイ 流水。●水の流。流水。●【福路】に屬する

歌曲の名。

リウスイボオ 流水簿。日記帳の如き帳簿の一種。

リウソラ 紐索。絹繩。

リウソク アア 紐束仔。【紐箍絲仔】。

リウソエ 流罪。(多)流罪。鳥流。

リウチアム 柳尖。(種)稻の一品種。

リウチアム 溜籤。抽籤。籤引。

リウチウ 柳州。(種)第一期作水稻稈の一品種。

リウチウ 溜鬚。——食目。目。敏捷で機智がある。目

が鋭い。目から鼻へぬける。

リウチウ 柳樹。(種)楊柳科。柳類の總稱にして、枝

垂柳。臺灣柳等十數種あり。

リウ

リウチウ 溜手。手から滑落ちる。碗捧了——續損

破。茶碗を手から滑落して壊した。

リウチヌ 扭進。舟など引張りよせる。

リウチア 扭碗。碗を手繰り上げる。

リウチアウ 柳條。細長く連つた龜甲形。水車堵做——

的。【水車堵】の③に同上を填め込む。

リウチアウソア ジオン 柳條線絨。【柳條】の模様

の織物の一種。「窓」

リウチアウタン 柳條窓。【柳條】になつてゐる目の細

リウチアウホエ 柳條花。【柳條】の綯。同上の模様。

リウチアウポオ 柳條布。【柳條】の模様ある綿布。

リウチアウムン 柳條門。【柳條】になつてゐる柴の

リウチイ 紐猪。輪差の繩で豚を捕へる。「戸」。

リウチイチウ 留置場。(國)留置場。

リウチヌアア 溜藤仔。(盜賊の隠語)牛を盗む。

リウツウ 流子。世間慣れてゐて悪賢い子供。

リウツウ キア 流子子。老成て撥枯しの子供。悪少年

リウツヌ 留存。残して置く。——做記念。記念の爲

残して置く。

リウツイ 溜對。花合の如き賭事。

リウツントオ 溜腸肚。豚などの腸を手繰り出す。要

共你——腸を手繰ってやる、汝の懐の物を

押出す意。

リウトアヌ 流傳。相傳。傳はる。傳來。傳へる。遺傳。因習。萬代——萬代に傳へる。對祖——到今——祖先から今まで傳はつて來た。

リウトオ 流徒。流刑に處せられた者。流罪人。リウトン 流動。(國)流動。

リウトン 流通。融通。錢銀大家相——錢を融通し合つてゐる。

リウハタ 留學。(國)留學。——生——留學生。リウパイ 留牌。骨牌を引抜く。

リウバイチイ 流歹錢。總錢を擲出す。リウパイ 鈕。鈕を掛ける輪差。鈕の穴。

リウピア 瑠額。額の上の兩方の禿げてゐるもの。額際が禿込む。

リウヒイ 鯨魚。鰻。

リウヒエン 流刑。遠島。流刑。流罪。島流。——的罪——流罪に擬せられた犯罪。

リウヒエン 流行。(國)流行。流行る。リウヒエンカムモオ 流行感冒。(國)流行感冒。

リウヒョキヲ 柳葉茄。「鈕仔茄」の③。リウヒョパイ 柳葉扇。柳扇。

リウビエン 留名。名を留める。人死——虎死留皮

リウビエ 流氓。流離人。流浪人。風來者。宿無し。天竺浪人。——仔——同上。

リウビイ 流疔。子供など悪賢い。擦れて横着な。——団仔——同上の子供。

リウビウ 流嘍。【流流嘍嘍】。

リウビエツ 留別。(國)留別。

リウビツ 柳筆。【亂童】が神の御告を書き時用ひる、長さ三尺位の三叉の桃の枝。【亂童】參照。

リウフウ 柳符。柳の木に書いた符。(邪惡病魔を拂ふ爲に十字路の邊に挿す)。

リウブツ 流孛。【流孛太歲】の偶像。(此偶像は裸體なり)。脱到一身那——呢——同上の様に着物を脱いで裸になる、丸裸のものを罵る詞。

リウブツタイソエ 流孛太歲。凶惡なる星の名。月蝕は月が此凶星の裸體にて現るるに遇ふを恥ぢて生ずるなりといふ。

リウヘエ 流霞。①帶——(古者の語)分曉の際に水を動かし又は赤色の物を見る時は死亡するといふ性を帯びてゐる。②(婦)分曉の際に起る病氣。起——同上が起る。

リウベエ 留尾。長い物の一端太く他の一端の次第次第に細くなること。尻細り。——竹——同上の竹。

リウベエ 留尾。一番端。びりっこ。卒業——りびりで卒業した。「薄息子」。

リウベエキア 留尾子。親の財産を蕩盡する息子。放

リウペエ 留皮。擦過傷などで皮が剥れる。皮が剥れる。擦剥く。

リウホアヌ 流犯。流罪に擬せられた犯罪人。リウホエ 留會。會がお流になる。

リウホン 硫磺。硫黄。【硫黄】。

リウホンピエツセエ 流芳百世。——遺臭萬年——芳を百世に流し、臭を萬年に遺す。

リウボエ 留尾。(國)留尾。

リウボヲ 留帽。帽子を脱ぐ。脱帽。

リウボオ 留尾。(魚)留尾。

リウボオカア 留尾子。(魚)留尾子。

リウボエ 留皮。(魚)留皮。

リウポオ 留步。【留仔步】。

リウボオ 留皮。(魚)留皮。

リウマア 流馬。(を)孔明の用ひしといふ自動運送車。木牛——同上。

リウラク 批薩。遣つてのける。始末をつける。難——

無。——伊無法得——始末のつけ様が

リウ

リウ/リア 扭掠。●身體が引縮つてゐて動作が敏捷な。素早い。てきぱきとしてゐる。伊身軀眞一。彼は中敏捷だ。●小形で扱好い。手頃。此枝鋤頭眞一。此の鋤は扱易い。【体杖】の反對。同條参照。

リウ/リイ 瑠璃。瑠璃。一會瑠璃光如來を尊信する同志の會。

リウ/リイ タウ 瑠璃頭。(註) 藥罐頭。禿頭。リウ/リイ チエン 瑠璃燈。(註) 佛前に懸ける燈明。●(註) 禿頭。藥罐頭。

リウ/リウ 瑠瑠。●つるつる滑る、障碍がない、純粹な等の意より轉じて非常の意となる。閉。非常に閉な。活。生生してゐる。趨。非常に趨る。縮れてゐる。非常に吝嗇な。金。目が輝く。光る。久。甚だ久しい。滑。つるつる滑る。光。禿頭の光る様。てかてか。又何物も無き意。無一物。潤。非常に潤い。高。非常に高い。熟。果物など十分に熟してゐる。十分に煮えてゐる。又非常に熟達してゐる。非常に懇意である。尖。非常に尖つてゐる。直。眞直。長。甚だ長い。長。長しい。遠。非常に遠い。●當所も無く諸處に往く様。一。走。當所もなく走廻る。四界。

リウ/リウ 瑠瑠。光。禿頭の光る様。輝輝と。輝と。又何物も無き様。無一物。リウ/リウ 瑠瑠。滑。つるつる滑る。光。禿頭の光る様。輝輝と。輝輝と。又何物も無き様。無一物。熟。果物など十分に熟してゐる。十分に煮えてゐる。非常に懇意である。尖。非常に尖つてゐる。直。眞直。長。甚だ長い。長。長しい。遠。非常に遠い。●當所も無く諸處に往く様。一。走。當所もなく走廻る。四界。

リウ

リウ/リウ 瑠瑠。滑。つるつる滑る。光。禿頭の光る様。輝輝と。輝輝と。又何物も無き様。無一物。リウ/リウ 瑠瑠。滑。つるつる滑る。光。禿頭の光る様。輝輝と。輝輝と。又何物も無き様。無一物。熟。果物など十分に熟してゐる。十分に煮えてゐる。又非常に熟達してゐる。非常に懇意である。

リウ/リウ 瑠瑠。滑。つるつる滑る。光。禿頭の光る様。輝輝と。輝輝と。又何物も無き様。無一物。高。非常に高い。浴。濡れて滑る。つるつるする。尖。非常に尖つてゐる。

リウ/リウ キウ キウ 琉琉球球。【琉球】の。リウ/リウ サウ 流流走。幼子などすたすたと歩く。小走りに歩く。

リウ/リウ ピウ ピウ 流流嘖嘖。油断も隙も無い。油断のならぬ。信用の置けない。リウ/リウ エク 柳絲。花紅。【花紅柳絲】。リウ/リウ エヌ 流年。六十一歳までの運勢を各年月に分ち詳記したもの。(依頼に應じ觀相師など之を作製す)。造。同上を作る。

リウ/リウ エヌ 流連。●流浪する。流離ふ。四界。●諸處を流離ふ。●(又) 流連。居續する。一。忘

リエク

返。流連して返るを忘る。●【六王時課】の。リウ/ロウ 流落。次に同じ。リウ/ロウ 流落。(又) 零落して流浪する。リウ/ロン 摺廊。インクライン。昇降機。エレベーター。リウ/ロン 流浪。(又) 流浪。流浪。リウ/ロン リエヌ 六時嘩。人形芝居の始めに音楽に伴うて樂屋で唱へる咒文の如きもの。

リウ/ン 硫黄。硫黄。

リエク 緊張してゐたものが急に力が抜けて收缩する。一。膽。驚いて縮上る。一。手。緊張してゐた手の力を急に緩める。●勢。勢など衰へる。一。勢。勢が衰へる。勢力が挫ける。一。流。水勢が衰へる。●卒倒する。人。落去。人が卒倒する。●縮まって皺がよる。縮めて皺をよらせる。一。痕。皺のよつた跡。一。欄。欄を取る。面。痕。顔に皺がよる。水。痕。大水が退いて壁などに跡が残る。一。鼻。鼻に皺をよせる。●縮める。少くする。少くなる。日子。較短。日目を少し切上げる。一。價。値段を安くする。水。較。大水など稍退く。

リエク 難題などを書いて困らせる。苦める。凌。

リエク 同上。被伊一眞泰一彼にひどく苦められた。

リエク 靱。(姓)靱。●手綱などを引く。引張る。馬加鞭一手綱を引き馬に鞭を加へる。一馬索一馬の手綱を引く。一緊一引締める。●繋げる。一

リエク 陸。●(姓)陸。●陸。●丘。●水。●水陸。●路。●陸路。●無理をして仕事を。過度に働く。一了能勞傷一無理をして過度に働く肺病に罹る。●路一烈しく路を急ぐ。

リエク 緑。●花紅柳一柳は緑花は紅。派出な

リエク 力。力。力。法一法力。一量一力量。盡一盡力。財勢一金・勢・力の三拍子。

リエク 録。●書抜く。書取る。寫取る。抄寫する。一起來一同上。一目錄一目錄を書く。一賬簿一附を書出す。●(補)【録】。

リエク 鑑。鍍金する。銀金一銀を鍍金する。リエク 歴。歴。一年一歴年。一代一歴代。一史一歴史。履一履歴。

リエク アイ溺愛。愛に溺れる。溺愛。一子一子煩

リエク イオン 櫻陽。(姓)櫻陽。「が見えぬ。

リエク キイライ 靱起來。牽ける。襪脚一―一ずぼんの裾を牽げる。

リエク キエン 櫻欄。襲債を取る。

リエク キム 鍍金。金着。鍍金。鍍金。金鍍金。

リエク ギエク チウ 緑玉樹。【緑珊瑚】。

リエク クイチアウ 録歸條。書抜いて一所に集める。一所に書寄せる。

リエク グヌ 鍍銀。銀鍍金。

リエク ケエ 櫻價。値段を下げる。値下をする。

リエク サヌホオ 緑珊瑚。(種)青珊瑚。緑珊瑚。(大戟科、有毒植物)。

リエク シアウ 録賬。帳簿の中から勘定を分類して書出す。

リエク シアム シアム 緑閃閃。非常に濃い緑。深緑。

リエク シエク 靱索。金錢などを強要する。強制して取る。

リエク シエク 櫻色。●恐怖などの爲め顔の色が變る。面一―一同上。●此飛ばす。面罵する。

リエク シエク 靱索。(文)【靱索】。

リエク シエク 綠色。綠色。綠色。緑。

リエク シエク 溺色。(文)色に溺れる。

リエク スウ 歴史。(姓)歴史。

リエク スヌ 櫻紋。●皺がよる。面一―一顔に皺がよる。●襲債を取る。揚をする。裾一―一袴に襲債を取る。手袖一―一袖に揚をする。

リエク セエ 櫻勢。勢が挫ける。頓挫。挫折。伊近來較一―一彼は近來勢が挫けた。

リエク ソオ 曆數。(文)曆數。

リエク ソヲ 靱索。●絆。●手綱。●手綱を引く。

リエク マアヌ 緑串。緑色の絹布の名。

リエク タア 櫻膽。驚いて縮上る。ぎよんとする。

リエク タイ 歴代。歴代。代代。代代。歴世。果代。

リエク タウ 緑豆。(種)綠豆。(莖料、種子は煮食用に供し或は萌として貴ばれ又豆素麵を製す)。

リエク タウ アア 綠豆餡。綠豆で作った餡。

リエク タウ カク 綠豆壳。綠豆の薄皮。

リエク タウ クイ 綠豆鬼。綠豆の中に雜つてゐる食用にならぬ小さな豆。削一―一庖丁で同上を擇去る。

リエク タウ コヲ 綠豆糕。煮た綠豆を粉にして作った落雁に似た菓子。

リエク タウ マン 綠豆湯。綠豆に砂糖を和して煮た

リエク タウ ビア 綠豆餅。綠豆の餡を入れた菓子。

リエク

リエク

リエク タウフヌ 緑豆粉。黄粉。

リエク タウベエ 緑豆糜。糯米に綠豆と砂糖を混ぜて煮た粥。

リエク チアン 歴掌。歴代管理してゐる。代代管掌

リエク テイ 瀝青。(瀝)瀝青。

リエク チウ 綠樟。(樟)なんばんあわぶき。(清風藤科、材は薪材に供す)。

リエク テウ 慄手。緊張してゐた手の力を急に緩め

リエク テウ 勒手。腕捲。

リエク テエン 瀝青。(瀝)瀝青。

リエク チエク 綠竹。(植)綠竹。(筍は食用として本

島産中の優品なり、特に此の目的を以て廣く栽培せられ且庭園に植えて觀賞用に供す、又筍、稗を加工して薬用となす)。

リエク チエクス 綠竹筍。【綠竹】の筍。

リエク ツイクイ 綠水桂。製茶の商品名。

リエク ツンリエク トオ 陸腸陸肚。汗水流して辛苦して働く。――趁的錢||汗水流して稼いだ金。

リエク テエ 慄短。着物などの場をして短くする。

リエク テエ 綠茶。綠茶。【同上】

リエク トオ 勒肚。腹帯で馬の腹を締める。馬――

リエク ニイ 歷年。歷年。累年。積年。多年。

リエク

リエク ビイ 綠米。青の染料。

リエク ビエン 匿名。(匿)匿名。

リエク ビイ 慄鼻。鼻に鐵をよせる。――慄目||顰面。顔を蹙める。

リエク フィ 勒血。腫物などの血を壓出す。

リエク フヌ 慄痕。襷。鐵線。

リエク ヘエ テエ 録下得。書置く。書留める。

リエク ベエ 勒馬。手綱を引く。馬を早める。

リエク ベエ ソ 勒馬索。●手綱。●手綱を引く。

リエク ミア 匿名。(匿)匿名。

リエク ライ 歴來。(古)古來。從來。從前。

リエク ラウ 慄流。水勢が衰へる。

リエク ラッ 慄力。緊張してゐた力が急に抜ける。

リエク ラン 勒人。難題などを言つて人を苦しめる。

リエク ラン 勒臆。臆を壓出す。

リエク リアン 力量。(海)【力量】。

リエク リエク 綠絲。烏――黒糖など青黒い。

リエク リエン 慄量。●弛める。緩める。能――得||緩めることが出来る。索仔着――繩を緩めなければならぬ。●緩か。緩慢。襤頭有較――

||仕事に少し楽だ。風――風勢が衰へる。

リエク リオン 力量。力量。力。才量。盡伊的――

||彼のありつたけの力量を出す。

リエツ

リエク ロオ 陸路。●陸路。陸行。――水師||陸軍と海軍。――提督||陸軍司令官。●烈しく

歩行する。無理をして努めて歩く。我昨昏――

今仔日脚骨續没行||私は昨日餘り歩いたので今日は歩けない。

リエク ロキ 慄落去。急に力が抜けて倒れる。

卒倒。氣絶。昏倒。

リエツ

リエツ 列。●(姓)烈。●烈。節――女など節義を守つて男らしい。――女||烈女。

リエツ 列。●列。並。――一||一列。一並。排||一列を爲して並ぶ。排做――一||一列に並ぶ。――在左

旁||左に列記してある。●諸。一||位||諸君||國

||列國。諸國。

リエツ 裂。●布帛などを裂く音、びりびり。――下就

破||びりびりと破れた。●機關銃などの音、ば

らばら。銃一直||鐵砲をばらばらと打つ。

リエツ ウイ 列位。各位。皆様。諸君。方方。――在

座||列座の諸君。

リエツ キオン 列強。(國)列強。

リエツ コク 列國。列國。

リエツ シェク 列席。(國)列席。參列。

リエヌ

リエヌアア燃仔。【阿片煙燃】。

リエヌアア鐘仔。鐘。

リエヌイオン練勇。●臨時に募集した兵。●同上を操練する。

操練する。

リエヌイムホエ燃音會。八種の文字を席に記して行

ふ賭博の一種。

リエヌウイ聯割。(新)ハイフエン。

リエヌオオ蓮幸。【土芝】。

リエヌカア年假。新年の休暇。

リエヌカア鞦韆。神輿を昇く人。

リエヌカウ連圍。阿彌陀圍の如き賭事。

リエヌカヌ欄杆。【欄杆】。

リエヌカブテヲ燃蓋笑。一厘錢を廻轉して手にて

押へ、出でたる面の表裏により勝負する賭事。【蓋

笑】参照。

リエヌカム年柑。歳着に贈る蜜柑。送——同上を

リエヌカン燃孔。●錐などを揉んで孔を開ける。●

揺る。騙取る。賢——財物など巧に捲上げる。

巧く騙取る。

リエヌガウ蓮藕。蓮根。蓮の根。

リエヌキアウ連翹。(植)(木犀科)連翹。

リエヌキイ年紀。年齢。你今年有若多——

貴方は今年お幾つですか。

リエヌ

リエヌキイ揀柳。連柳。麥打。連柳。轉棒。

リエヌキイ唾去。葉花などを萎れる。

リエヌキウ輪球。(海)【輪球】。

リエヌキエン燃弓。紙寫の風箏。

リエヌキエン年庚。(又)生年。生年月日。各叙——互に生年月日を言ふ。

リエヌキヲ鞦韆。神輿の一種。關——咒文を唱へ

神靈を乗移らせること。【關鞦】参照。

リエヌキム年金。(圖)年金。

リエヌキム連襟。(又)妻の姉妹の夫。【る】。

リエヌキム練琴。琴を復習へる。ピアノの稽古をす

リエヌギエウ煉獄。(又)淨罪所。煉獄。

リエヌクイ連櫃。【通戸櫃】

に連續して置かれたる

櫃にして上は卓として

利用し内に金錢を收

む。

リエヌクン鞦韆。【鞦韆】

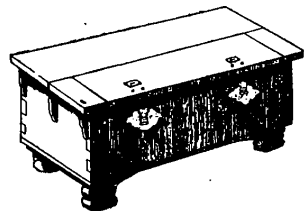
を捲く棒。

リエヌケエカブカウ連家合口。一家全體。——

一籠來——一家擧つて來た。

リエヌケエヌイ輪雞卵。(海)【輪雞卵】。

リエヌゲエ連月。累月。



連櫃

リエヌ

リエヌコアア聯環。輪環。

リエヌコアアカウ連環鉤。豚肉などを吊す鉤。

リエヌコアアキエツ連環結。連帶保證。合同保證。

リエヌコアアクウ聯環句。文字鎖。

リエヌコアアチエン連環銃。連發銃。

リエヌコアアポヲ連環保。連帶保證。合同保證。

リエヌコンニウ燃公量。數人の者が傾斜した長き

板の上に錢を轉し遠く轉りたるものが其錢を以つ

て次の位置に在る錢に打當て的中すれば勝となる

リエヌゴアツ年月。(又)年月。年月。【勝負事】。

リエヌサアテエ燃三塊。數人の者が先づ厘錢を廻

し手にて押へ裏面の出でたる順により順序を定

め、次に銘銘錢を出して第一番の者より順次其の

錢を地上に落し裏面の出たる錢を收得する賭事。

リエヌサイ連財。共同出資。合資。——夥計——共

同出資者の仲間。——做生理——共同して商賣

する。

リエヌシアアサウ連聲嗽。(病)百日咳。疫咳。瘧咳。

リエヌシアウ年少。年少。年若。——初登第皇都

得意回——年少にして初めて及第し意氣揚揚とし

て都より歸る、少年學生の理想とするもの。

リエヌシウ年首。(又)年首。年頭。年の初。

リエヌシエウ練熟。熟練。熟達。

リエヌ シエヌ 練仙。四方山の話をする。――打嘴鼓ウチヅメ同上。

リエヌ シエンチア 連聖者。「三十六將」の一にて豹ヒョウに乗るもの。

リエヌ シホク 連続。続く。連続する。做事情シゴト愛アイ――物事は繼續して行きたいものだ。

リエヌ シオン 聯想。(圖) 聯想。

リエヌ シブ 練習。練習。習練。稽古。

リエヌ シブシエン 練習生。(圖) 練習生。

リエヌ シブソ 練習所。(圖) 練習所。

リエヌ ジイ 聯字。「聯」の字。

リエヌ ジイ 練字。字を習ふ。習字。手習。

リエヌ ジホク 蓮肉。(圖) 蓮の實。(強壯劑、補藥として用ふ)。

リエヌ ジツ 連日。累日。連日。

リエヌ ジム 連任。勤績。任を續ける。

リエヌ ソア 連続。續く。繋ぐ。引續く。連絡。連絡。續様に。續々と。連なる。――高陞コウシヨウ果進ケウシン――打ウチ續様に打つ。――放ハナ連續發レツツキ。

リエヌ アクヌ 燃紙筋。紙燃を繕る。

リエヌ タア 練膽。膽力を練る。――養志ヨウシ膽を練り志を養ふ。

リエヌ ケア 連疊。續様に。續けて。――講コウ疊タカけて言ふ。――來ク引ヒキ切キなしに來る。

リエヌ タイ 連帶。(圖) 連帶。

リエヌ タイ 蓮臺。蓮臺。蓮華座。

リエヌ タイチライオンチエン 連帶借用證。(圖) 連帶借用證。

リエヌ タイポヲ 連帶保。次に同じ。

リエヌ タイポヲチエン 連帶保證。(圖) 連帶保證。

リエヌ タウ 燃鼓。●六角形の獨樂の如き鼓子。●同上を回轉し碗を以て之を蔽ひ倒れた獨樂の上の面に現れたる點によって勝負する賭事。

リエヌ タツ 練達。熟達。老練。熟練。

リエヌ タヌ 煉丹。●丹藥を煉る。――修道シュウド丹を煉り道を修む。●煉丹。煉藥。

リエヌ チアウ 連蕉。(圖) (曇華科) 曇華屬。カンナの總稱にして花を觀賞す。

リエヌ チアウキエツ コヲ 連招結果。連續して實を結ぶ意。(連招)は「連蕉(曇華)」と同音なるにより曇華が實を結ぶ、即ち子實を得る意にて「婚書」などに用ひる文句。

リエヌ チアア 連接。連る。續く。連續する。連接する。

リエヌ チイ 燃錢。●錢を指で拵ヒナつて廻す。●一文錢モンセンに竹の心を通したるもの。錢獨樂。●錢を擲る。●藥研にて藥種を粉砕する具。藥研車。【研錢】。●滑車。井戸車。

リエヌ チイ 蓮子。蓮の實。

リエヌ チイコヲ 蓮子糕。菓子の名。「もの」。

リエヌ チイワン 蓮子湯。蓮の實を氷砂糖の汁で煮た菓子の名。

リエヌ チイワン 蓮子糖。菓子の名。

リエヌ チエツ 連捷。次々と成功するなど。とんとん拍子。――昇ノボとんとん昇級する。――創つく贏イ拍子。――昇ノボとんとん昇級する。――創つく贏イ拍子。――昇ノボとんとん昇級する。――創つく贏イ拍子。

リエヌ チオク 練雀。「長尾山娘」。「連戰連勝」。

リエヌ チオン 年終。年の終り。年の暮。年末。――歲暮サイゴ同上。

リエヌ チイ 年底。(又)「年底」。

リエヌ チイ 煉鐵。製鐵。

リエヌ チウ 聯長。保甲内の一區の長。

リエヌ チエク 聯軸。甲辭を書いた掛物。

リエヌ

リエヌ

リエヌツウ年次。(多)年次。

リエヌツウクウ聯珠句。文字鎖。

リエヌツン燃鑽。舞鑽。轉鑽。

リエヌツン聯庄。庄が連合する。

リエヌツンキホク連庄局。連合した庄の事務所。保甲局の如きもの。

甲局の如きもの。

リエヌツイ聯對。聯。對幅。對の掛物。

リエヌツイ聯隊。(團)聯隊。

リエヌトオ年度。(團)年度。

リエヌニイ連年。累年。連年。

リエヌハイモアスイコエ燃海鰻水蛙。獨樂の四面に蛙、百足、海鰻等を書きたるものを回轉し、倒れた獨樂の面により勝負する賭事。

リエヌハブ聯合。(團)聯合。一軍一聯合軍。

リエヌパイ聯牌。彫刻を施した木の聯。

リエヌパウ連炮。長く繋合せた爆竹。

リエヌバグチヲ燃覆笑。「燃蓋笑」。

リエヌパン聯邦。(團)聯邦。

リエヌヒイ鱧魚。(動)鱧魚。淡水に養殖する魚にて魚苗は對岸より輸入し「魚塢」に放飼し全長二尺

リエヌヒオン聯郷。「聯庄」。

リエヌヒオンキエツ聯郷結。連合した村の自治的團體

リエヌヒヲパウ蓮葉包。「割包」の一種。「結」。

リエヌ

リエヌビエヌ臉面。面目。面目玉。失一一面目を「失ふ」。

リエヌビヌ隣側。「隣側」。

リエヌビアウ年表。(團)年表。年代記。

リエヌビイ連鞭。「連鞭」。

リエヌビイ連鞭。「連鞭」。

リエヌビイシイ連鞭時。「連鞭時」。

リエヌビイシイ連鞭時。「連鞭時」。

リエヌビエン練兵。(團)訓練。操練。練兵。

リエヌビエンチウ練兵場。(團)練兵場。

リエヌブウ聲霧。(接)おほふともも。レンブ。(桃金

藥科、果實を食用に供す)。

リエヌブヌ聯文。聯の文。

リエヌベエ練馬。馬乗の稽古をする。馬術を練習する。馬を馴らす。馬を訓練する。調馬。

リエヌホアヌキエツ連環結。連環保證。合同保證。

リエヌホアヌチエン連環銃。連環銃。

リエヌホエ蓮花。蓮の花。蓮華。蓮。一房

蓮の花房。講到一一成寶鏡蓮の花が寶鏡に

なる様なことをいふ、真らしい嘘をいふ意。

リエヌホエ連回。(女の罵る語)零落して恥を曝す。

緩仔一一一段段零落れるぞ。一四界去一一

方方へ行って恥を曝す。方方へ遊に行つた目下の

リエヌ

者などを罵る語。

リエヌホエクス蓮花根。蓮根。

リエヌホエチイチエン連回示家。零落して業曝する。恥を曝す。

リエヌホエツヲ蓮花座。蓮華座。蓮臺。

リエヌホエタウ蓮花豆。蠶豆を油で揚げたもの。

リエヌホエチイ蓮花舌。(唇)口腔の瘡腫。舌瘡。

リエヌホエチイ蓮花池。蓮池。

リエヌホエチイ蓮花痔。(唇)直腸瘡又は直腸腫。

リエヌホエチエン蓮花燈。蓮の花の様に飾つた燈籠。

正月十五日などに用ひる。

リエヌホエツイ蓮花嘴。蓮華

の口。口先が旨い。

リエヌホエボヲ蓮花帽。蓮花

の形した帽子。

リエヌホエボア蓮花簪。蓮花の形した鉢。

リエヌホエボオ蓮花房。「蓮房」。

リエヌホン年俵。(團)年俵。

リエヌボアツ年末。(團)年末。「の圓盤」。

リエヌボア擦盤。蓄音機の圓盤。又は自轉車の齒車

リエヌボオ唾肺。捲れて萎れる。萎える。萎む。花

一一去花が萎んだ。

リエヌボオ擦布。布を買ふ。



蓮花帽

リエンイ、冷藥。逆上又は熱などを下げる藥。冷劑。

リエンイ、靈藥。神藥。良藥。妙藥。

リエンウイ、稜威。(圓) 御稜威。稜威。

リエンウイ、能爲。能く爲す。爲能ふ。有——爲すことが出来る。爲得る。

リエンウイ、靈位。【靈桌】に紙の位牌を安置する場所。

靈位。有棺柴無——棺桶が有つて靈位がない。有名無實の意。

リエンウ、龍運。地相上より見た方位の吉凶。【山龍】参照。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンオン、龍王廟。龍神を祀る廟。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンオン、龍王廟。龍神を祀る廟。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンオン、龍王廟。龍神を祀る廟。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンオン、龍王廟。龍神を祀る廟。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンオン、龍王廟。龍神を祀る廟。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンオン、龍王廟。龍神を祀る廟。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンオン、龍王廟。龍神を祀る廟。

リエンオン、龍王。龍神。龍王。(晴雨を司る神として農民多く信仰す)。

リエンカク、玲角。角を薄くして作った透明なランプの

リエンカク、龍角。●

龍の角。● 錫で

作った喇叭の如き

管にて。道士の吹

くもの。

リエンカク、菱角。(種) 唐菱。角菱。(柳葉菜科、果肉

を料理に用ふ)。

リエンカク、龍角管。【龍

角】の。

リエンカク、龍角。首枷の一種。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンカク、龍角管。【龍角】の。

リエンガク、ヲオン令岳丈。他人の妻の父に對する

敬稱。御舅御様。

リエンガク、フウ令岳父。前に同じ。

リエンガク、ブウ令岳母。他人の妻の母に對する敬

稱。御姑御様。

リエンガク、冷眼。(多) 冷かな眼。冷眼。——相待

不親切な態度で人を待遇する。冷遇する。

リエンガク、能言。(漢) 【能言】。

リエンガク、ノアヌタイ另眼看待。特別の扱ひで人

を待遇する。

リエンガム、乳痛。(病) 乳痛。【ガ】がある。

リエンキアウ、靈察。靈覺。悟。變通。有——變通

リエンキアム、菱茨。孔子を祭る時の供物の一種。

リエンキイ、龍旗。天子の旗。錦旗。【ひらる】。

リエンキイ、令旗。令の字を書いた小さな旗、指揮に用

リエンキイ、乳齒。乳齒。

リエンキイ、冷氣。冷氣。

リエンキイ、龍齒。獸類の齒の化石。

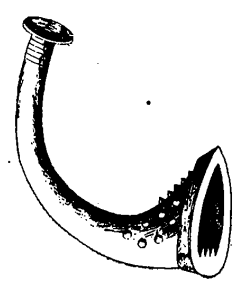
リエンキイ、靈氣。● 墓の地相など瑞氣が有る。● 子

供などと賢さうな。

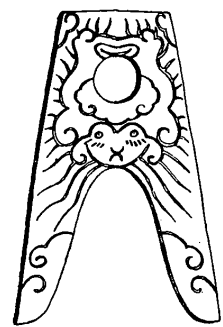
リエンキイ、冷暉。非常に冷い。

リエンキイ、冷暉。前に同じ。

リエンキウ、靈柩。靈柩。棺桶。



龍角



龍角

リエン

リエン

リエン

リエン

リエンキエン冷宮。別宮。禁落。王王妃などを別宮に閉籠めて寵愛せしむること。

リエンキエン龍宮。龍宮。

リエンキエン龍眼。龍眼。

リエンキオン龍宮。龍宮。

リエンキオンシア龍宮城。龍宮城。龍宮。

リエンキヲ拾轎。轎を擔ぎ上げる時他の者が扶けて持上げる。

リエンキヲブヌ令及門。他人の生徒に對する敬稱。

リエンキムヲオン令襟丈。他人の妻の姉妹の夫に對する敬稱。

リエンキムヒエン令襟兒。前に同じ。

リエンギアム靈驗。靈驗。感應。利益。效驗。効能。奇効。有。靈驗がある。

リエンギアム令嚴。令尊。能辯の士。

リエンギエヌ能言。能く言ふ。能辯。一之士。リエンギエン龍眼。龍眼。無患樹科、果肉は食用に供し滋養強壯の効あり。

リエンギエンカク龍眼壳。龍眼の實の殻。蝴蝶。戴。蠅が同上を被る。蠅が棒を振るなど。

リエンギエンケエ龍眼雞。蝶に似た美しい蟲の名。脚那。足が同上の様だ。女の足の小

くて美しきをいふ。

リエン

リエンギエンツン龍眼湯。龍眼肉を煎出した汁。リエンギエンビイ龍眼米。枝の附いてゐない一粒一粒の龍眼。

リエンギエンホエ龍眼花。龍眼の花。婦人病、痲病等を治す。

リエンギホク令玉。令愛。

リエンタイ踐開。手足で突退ける。踏張る。一緊走。同上して急いで逃げる。

リエンタイ量氣。筒。煙管など空氣の通りが良い。煙吹。煙管が同上。息を抜く。氣を休める。稽迫緊捕無可。仕事一杯で少しも息を抜くことが出来ぬ。金など餘裕がある。手頭。同上。家事。財産に餘裕がある。生活にゆとりがある。

リエンクウ令舅。他人の妻の兄弟又は他人の母の兄弟に對する敬稱。

リエンクウコグシツ另厨各食。住居食事を別する。別居。別家。

リエンクウソヲ令舅嫂。他人の妻の兄弟の妻に對する敬稱。

リエンクウブウ令舅母。他人の母の兄弟の妻に對する敬稱。

リエンクツ拾骨。剣がす様にして肉から骨を削取る。

リエンクツ龍骨。背骨。脊髓骨。一節。脊骨の

リエン

節。髓。脊髓。線。脊筋。龍骨。精を治すといふ。

リエンクツチア龍骨車。龍骨車。灌溉用水を揚げる器にて形龍骨に類す。内地の踏車に似て精巧なるもの。

リエングア龍銀。日本銀貨。龍銀。

リエンケエ龍髻。皇太后の冠。

リエンケエ另家。別居。一各食。住居食事を別する。二白。追啓。

リエンケエシウ令閨秀。令愛。

リエンゲエウ龍牙草。きんみづひぎ。薔薇科、全草を薬用となす、收斂劑として下痢を止め又腹痛・金創等に効あり。

リエンコア冷汗。冷汗。

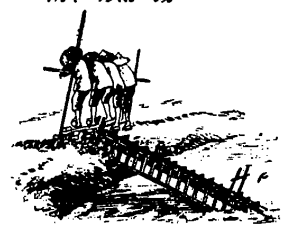
リエンコア龍肝。龍の肝。鳳髓。龍の肝、鳳凰の髓。珍貴の食物。珍珠。

リエンコアツイ龍趕水。龍卷。

リエンコアヌ龍冠。王冠。

リエンコアヌ龍罐。龍の模様のある土瓶。

リエンコオ龍砧。龍の模様のある茶瓶。



龍骨車

リエンゴオ 寧可。一層。一層の事。寧。一勿讀。寧讀まぬ方が増た。一來死較好。一層の事死んでしまった方がよい。

リエンゴオ 寧可。(多)一層。一層の事。寧。一信其有。不可信其無。寧有りと信すべし其無きを信すべからず。一負我切莫負人。寧ろ我に負くも切に人に負く莫れ。

リエンゴオ 寧可。(息)前に同じ。

リエンコン 龍債。大砲の一種。海底浮。一海底から同上が浮上る、とても望の無い意。

リエンゴア 另外。●別に。別別に。一堅別居。別家。一更寫更に書く。一食別に食ふ。一一間別棟。●(普通一般のものに比べて)特に。取分。圖抜けて。特別に。一有應効。特別に効果が有る。一欸待特別に欸待する。一一個脾氣。一特別な癖。一美取分美しい。

リエンゴエ シエン 令外甥。他人の姉妹の男子に對する敬稱。甥子様。

リエンサイ 令婿。他人の娘の夫に對する敬稱。御婿。

リエンサツ 龍風。【水龜】。

リエンサア 量早。【量早】。

リエンサウ 陵走。手足で突退けて逃げる。振放して

逃げる。犯人想要。一犯人が同上しようとする。リエンサヌ 令情。(多)【令婿】。

リエンサン 乳葱。海綿状になつてゐる乳房の肉。乳房の下。【房】。

リエンシア 冷瀉。(病)慢性腸炎。慢性腸加答兒。リエンシア 靈聖。靈驗。御利益。不止有。一靈驗が灼然な。

リエンシアウ ホエ 凌霄花。(種)(紫葳科)凌霄葛。リエンシイ シイ 冷閃閃。非常に冷い。大變冷こい。

リエンシウ 領袖。(多)領袖。【令室】。

リエンシエク 令室。他人の妻に對する敬稱。令閨。リエンシエク フウ 令媳婦。他人の子の妻に對する敬稱。【龍涎】。

リエンシエヌクヌ 令先君。他人の死んだ父に對する敬稱。

リエンシエヌチエン 令先正。他人の死んだ妻に對する敬稱。【る敬稱】。

リエンシエヌツヌ 令先尊。他人の死んだ父に對する敬稱。【る敬稱】。

リエンシエヌトン 令先堂。他人の死んだ母に對する敬稱。【る敬稱】。

リエンシエヌヒウ 龍涎香。【る敬稱】。リエンシオク 令叔。他人の叔父に對する敬稱。令叔。叔父御様。

リエンシツ 拎翼。翼を縛り又は羽を切つて飛ばぬ様にする。雞愛飛走着。一鶏が飛んで逃げるから同上しなければならぬ。

リエンシヌ 龍身。●龍の身。一借狗腹出世。龍が犬の腹を借りて生れる、鳶が鷹を生むなど。

●【山龍】の筋。リエンシヌ 龍神。龍神。雨を司る海神。

リエンシヌスウ 龍神祠。【龍王廟】。

リエンジフウソエ 龍爪黍。【鴨脚稷】。

リエンジフウタウ 龍爪豆。【白肉豆】。

リエンジイサウ 鈴兒草。【沙參】。

リエンジホク 冷辱。劍突を食はせて辱しめる。面罵する。一一場馬倒一番。

リエンジホク 凌辱。凌辱。辱しめる。いちめる。被伊。一眞忝。彼に非常に辱しめられた。【ます】。

リエンジツ 另日。他日。後日。一即來。又今度來る。

リエンジヌ 伶人。(多)樂人。伶人。リエンヌウ 領事。領事。リエンヌウ 龍書。男家より送る【婚書】。リエンヌウ 令師。他人の先生に對する敬稱。リエンヌウ コア 領事官。領事。リエンヌウ コアヌ 領事館。領事館。

リエン

リエン

リエン

【牲體】・【庫錢】などを靈前に供へ道士に依頼して經を讀み【庫錢】を焼くこと。【庫錢】の獻納式。主に漳州系の人の行ふもの。

リエンチオク 龍勺。孔子を祭る時用ひる器具の名。

リエンチヲ 冷笑。冷笑。嘲笑。嘲笑ふ。侮弄す。茶にする。被伊ー彼に冷された。

リエンチツ 龍脊。●龍の脊。●【山龍】の脊。長き山の上。山の陵線。

リエンチヌ 令親。他人の親に對する敬稱。親御様。

リエンチム 靈寢。(支) 御靈屋。

リエンチアウ 拾住。牛馬を捕へる。

リエンチアウ 龍柱。龍を彫つた柱。

リエンチイ 凌遲。●手足を順次に斷ち去りなどして成る可く多くの苦を與へて殺す。戮殺。●【凌遲】。

リエンチイ 凌遲。慮めて困らせる。いびつて苦める。

リエンチイ 凌遲。困仔不時都ー惣父母子。詞む。虐げる。困仔不時都ー惣父母子。供は常に我が儘な事をいって親を困らせる。一査某姻下女を慮める。

リエンチウ 綾綯。綾子。

リエンチウム 令丈母。他人の姑に對する敬稱。

リエンチエン 龍燈。竹の骨に紗を貼つた龍の形の燈籠。正月の十五日の晩などに點燈して十數人に擔廻るもの。長さ七八丈のものあり。

リエンチエン 冷盪。手を休める。緩める。此久仔真無閒捕無可ー近頃は太變忙しくて少しも休んでゐられない。

リエンチツ 令姪。他人の甥に對する敬稱。甥御。

リエンチツ サイ 令姪婿。他人の兄弟の婿に對する敬稱。【敬稱】。

リエンチツ スヌ 令姪孫。他人の兄弟の孫に對する敬稱。

リエンチツ フウ 令姪婦。他人の甥の嫁に對する敬稱。

リエンチツ ルウ 令姪女。他人の兄弟の娘に對する敬稱。姪御。

リエンチヌ 乳藤。(植) 夾竹桃科ごむかづら。

リエンツイ 冷水。水。冷水。冷水。冷水。

リエンツイ マン テエ 冷水燙炸。冷水で水母を湯掻く。嫌味を言つて調戲ふ。皮肉をいって當擦る。當付ける。諷刺する。被伊ー真忝僕は彼に當散當擦られた。

リエンツウ 乳珠。乳首。乳首。

リエンツウ 寧此。【寧可】。

リエンツウ 靈厝。【做功德】の時死人に獻する紙製の家。祭式後焼却する。

リエンツウ チエン 靈厝燈。【靈厝】の燈。間もなく焼かれるより役に立たぬ人をいふ。

リエンツウ リエヌ 靈厝聯。【靈厝】の聯。

リエンツウ 龍船。龍の形に造つた競漕用の船。扱ー同上の競漕。ポートルース。一雙頭發。目標が近くなつて同上の船先も船も脂も脂も乗つて来る。本店も支店も共に景氣づくなど。

リエンツヌ 令尊。父御。父君。御尊父。尊大人。

リエンツヌ クツ 龍船骨。【龍船】の龍骨。キール。

リエンツヌ サウ 龍船草。【龍船花】。

リエンツヌ サン 龍船髮。【龍船】の形をした鬘。

リエンツヌ トエ 龍船底。【龍船】の底。

リエンツヌ パク 龍船北。五月頃吹く強い北風。

リエンツヌ ホエ 龍船花。(植) 龍船花。しまひぎり。(馬鞭草科、根を煎服し痲病・月經不順を治し又肺病に効ありと云ふ)。

リエンツン 乳穿。乳の出る孔。

リエンツウ 寧此。(英) 【寧可】。

リエンマン 龍糖。砂糖を以て龍の形を作つたもの。

リエンテエ 令弟。令弟。

リエンテエ フウ 令弟婦。他人の弟の妻に對する敬稱。

リエンテエ 領地。領地。領土。

リエン トオ 令徒。他人の生徒に對する敬稱。

リエン トオ 領土。領土。

リエン

リエン

リエン

リエン トオツウ 龍吐珠。(種) ① たまごきふたばむぐら。(茜草科、全草を強壯解熱劑、根を眼病藥又は婦人病藥として用ふることあり) ② 蛇苳。

リエン トヲ 靈桌。【除靈】の時まで位牌などを安置する卓。

リエン トヲ ウイ 靈卓圍。(靈桌)の卓子掛。

リエン トヲ カヌ 靈卓燭。【桌頭燭】。

リエン トヲ サツジヌ 冷刀殺人。冷刀人を殺す、陰險な方法で人を殺害する。

リエン トン 令堂。(父) 母御。御母堂。

リエン トン 靈通。機轉が利く。聰い。明敏。聰明。機敏。伊有ー即能進中ー彼は聰明だから考

試に及第することが出来るのだ。

リエン ナウ 龍腦。(藥) 龍腦。

リエン ニアウ 乳猫。(稱) 乳に出来る腫物。

リエン ニイ 龍年。辰年。

リエン パア 乳葩。牛などの乳房。

リエン パイ 龍牌。皇帝萬歲萬萬歳の文字を刻める高さ三四尺の木牌にて寺廟などに奉安するもの。

リエン パウ 乳包。乳房。

リエン パウ 龍袍。哀龍の御衣。

リエン パン 冷房。【冷宮】。

リエン ヒエツ 靈穴。靈驗のある地域。墓地又は宅地

リエン

として此を擇ぶ。

リエン ヒエヌ 靈顯。【靈聖】。

リエン ヒエン 令兄。(父) 令兄。御兄様。

リエン ビアウ 靈妙。(父) 靈妙。奇妙。

リエン ビエン 領命。(父) 心得ました。畏りました。承

リエン ビヲ 靈廟。御靈屋。【知しました】。

リエン ビヌ 冷面。一攪人焼脚川ー冷い顔を人の

熱い聲に當てる。此方は熱心で先方が冷淡なるを

反對にいふ。

リエン ビヌ 靈敏。聰い。機敏。明敏。

リエン ビアウ テ 令表弟。他人の母の兄弟姉妹の

子又は父の姉妹の子に對する敬稱。御從弟様。

リエン ビアウ ヒエン 令表兄。他人の母の兄弟姉妹

の子又は父の姉妹の子に對する敬稱。御從兄様。

リエン ビイ 芥片。【茯苓】を薄く切つたもの。

リエン ビイ パヌ 龍比辨。遊戯の時の姿勢、體を長く

く伸ばして這ふ如くし頭髪を垂れ龍の尾の狀をな

リエン ビエヌ 能辯。(稱) 能辯。【すこと】。

リエン フウ 靈符。御符。呪符。畫ー同上を畫く。

リエン フウ ジヌ 令夫人。令夫人。令堂。令閨。奥

様。

リエン フヌ 靈魂。靈魂。魂。魂。一不滅ー靈魂

リエン ブウ 乳母。乳母。乳母。

リエン

リエン ブウ キム 令母姑。他人の母の兄弟の妻に對する敬稱。

リエン ブウ クウ 令母舅。他人の母の兄弟に對する

リエン ブウ ラツ 乳母力。底力。使ー底力を

出す。盡ー有丈の力を出す。

リエン ブヌ ソア 龍文鯊。(魚) 鱧の一種。

リエン プン 冷飯。冷飯。

リエン プントアヌ 冷飯團。【土茯苓】。

リエン ヘエ 龍蝦。(動) 伊勢蝦。鎌倉蝦。彫ー同上

上を縛つて曲げる。蝦の形に人の手足を縛上げ

る。

リエン ベエ 龍尾。龍の尾。【山龍】の終點。

リエン ベエ 拾馬。馬を引く。一的馬子。馬方。

リエン ベエ 令妹。令妹。【稱】。

リエン ベエ フウ 令妹夫。他人の妹の夫に對する敬

リエン ペエ 陵被。蒲團を蹴飛す。困仔賢ー子供

がよく同上。

リエン ホア カウ 龍華教。菜食教の一派。

リエン ホエ 鶴花。箭の羽。

リエン ホオ 乳虎。(稱) 乳に出来る腫物。乳瘤。

リエン ホオ 龍虎。龍虎。龍と虎。一交戰龍虎

受災ー龍と虎とが戦へば龍や龍が災を受ける、

小なる者が累を受けて困る意。一方の名稱。

龍を左方、虎を右方にいふ。――旁ヒシク左方右方。

リエンホオ令狐。(性)令狐。

リエンホオキイ龍虎旗。龍と虎を畫いた旗、祭禮

又は大官の行列の時使用する。

リエンホオタウ龍虎門。●龍虎の闕。●外題の一。

リエンホオチイ龍虎井。寺廟の中にある四角な中庭。

リエンホオブン龍虎榜。舉人の及第者の揭示。首

登テウ―――舉人の考試に一番で及第する。

リエンホンチムタウ龍鳳枕頭。一つに龍、一つ

に鳳凰を畫いた一對の枕。

リエンボオ乳模。乳房。

リエンボン牌樓。(植)芸香料)廣東レモン。姫レモ

ン。――油ウ桐油。レモン油。

リエンボオ乳房。乳首の周囲の黒い部分、又は乳房

リエンボオ龍袍。衰龍の御衣。「る布」

リエンボラ寧波。(地名)寧波。――布フ同上に産す

リエンムイ令妹。(女)令妹。「稱」

リエンムイフウ令妹夫。他人の妹の夫に對する敬

リエンメエ龍脈。(地相見の言葉)「山龍」の地脈。

山脈。山の筋。

リエンモオチイ鶴毛箭。羽根の附いてある箭。

リエンライ伶俐。(女子供など)賢しい。聰い。賢

い。利發。伶俐。利巧。精神――辨ハがあつて利巧な。

リエンラウ龍樓。皇城の中の樓。宮殿。――鳳

閣カク宮殿。

リエンラウ量流。●緩流。此條溪較ニ――此の

川は流が緩だ。●餘裕。此久錢較ニ――近頃

金に餘裕がある。尾帮車較ニ――終列車は坐

席がすいてゐる。

リエンラヌサウ龍鱗草。(植)――はんげつくじゃく。

(羊齒類瓦草科、葉を搗碎し刀傷局部に貼用す)。

●かたひば。(羊齒類卷柏科、莖・葉を煎服して婦

人通經の藥となす)。

リエンライ冷痢。(病)慢性腸炎。腸加答兒。

リエンライ伶俐。(女又は子供など)小ざっぱりと

して締のある。きちんとして綺麗好な。――的

查某チヤボク同上の女。●易しい。容易な。看伊擔

二百斤尙更ニ――彼は二百斤の重荷を擔いで

平氣な様だ。一個人辨得ニ――一人で容

易にやつてのける。

リエンリエク凌勒。難題ナンタイを持掛けて困らせる。苛め

て苦しめる。被伊ヒイ――眞忝マシム彼に非常に苛めら

れた。做乞食シキシキ没堪得マシマシ狗イヌ――乞食になつても

出來ぬ時などにいふ。

リエンリエク能力。(能)能力。「る」

リエンリエン龍龍。青アヲ――海水など青青としてゐ

リエンリエン寬寬。【寬】。

リエンリエン冷冷。【冷】の㊦㊧。

リエンリエン龍龍。勇イシ――非常に壯健な。活ツキ――

生生イシイシしてゐる。ぴちぴちしてゐる。ばたばたす

る。氣味氣味してゐる。

リエンリエン量量。【量】。

リエンリエンリエン冷冷冷冷。極冷い。

リエンリヌサウ龍鱗草。【龍鱗草】の㊦。

リエンリム冷麻。(病)麻痺。「暖あり」

リエンロアヌ冷暖。(女)冷暖。人情ニ――人情は冷

リエンロオ量路。樂ウツクシな。悠ユウ的テク稽頭較キコウカウ――貴方

の仕事は樂だ。

リエンロオキイサウ另爐起灶。別の竈カマドに火を起

す。省得シヤウタク――同上に及ばない、手序テウジにす

るなどの意。

リエンロラチウトアヌ綾羅綢緞。綾・羅・絹・緞子。

穿是センシ――着る物は皆同上である。御體括ミタイカク。

リエンロク冷落。零落レイラク。零落オチオチれる。彼家此呢ヒナケチナ――

リエンロン兩廊。【兩廊】。

リエン

リエン

リエン

リオク

リエンロン令郎。(又)令息。御子息。賢息。

リエンン龍主。【龍王】。

リエンン龍眼湯。【龍眼湯】。

リエンン龍眼米。【龍眼米】。

リオク

リオク録。●(巻)録。●録。目一録。登一録。秀才一録。新秀才の人名録。進士一録。新進士の人名録。【録】の(三)。

リオク陸。陸。一陸。陸路。一軍陸軍。一提陸軍。

リオク略。略。大略。約一同上。頗一略。

リオク六。陸。(又)六。六。六つ。【六】の(略)。

リオクイエン陸英。【鬼仔菜】。【した薬】。

リオクイッサヌ六一散。【滑石】と【甘草】と調合

リオクイッハアカアス六一下加四。(八算)六一下加の四。

リオクイム緑陰。(又)緑陰。

リオクウヌ陸運。(又)陸運。

リオクキエン六經。(又)六經。詩經。書經。易經。周禮。禮記。春秋をいふ。又詩經。書經。易經。禮記。樂記。春秋をいふ。

リオクキエン六卿。(又)六卿。六官。冢宰(天官)。

司徒(地官)・宗伯(春官)・司馬(夏官)・司空(秋)

リオク

官(司空(冬官)をいふ。

リオクギエヌシイ六言詩。六言。

リオククヌ陸軍。(又)陸軍。

リオククヌシエン陸軍省。(又)陸軍省。

リオククヌタイシヌ陸軍大臣。(又)陸軍大臣。

リオククヌボオリアウ陸軍幕僚。(又)陸軍幕僚。

リオクゲエ六藝。(又)六藝。禮樂射御書數の六をいふ。

リオクゴオパツシテジイ六五八十二。(八算)六五八十の二。

リオクゴクムイ緑萼梅。(梅の品種名。入房の六三添作の五。

リオクサウヲウ萼草。(梅類の總稱。

リオクシエヌ緑蠅。(羽衣蠅)。

リオクシホク陸續。●除除と引續いて。一做一少しづつ續けてする。一趁一少しづつ續けて儲ける。會員一那聚集來一會員が少しづつ段段と寄集つて来る。●(又)陸續。

リオクシホク略俗。雑と。好い加減に。大抵の所。一就好一雑とで好い。價數一賣人一値段は大抵の所で賣る。

リオクシホクアア略俗仔。前に同じ。

リオク

リオクシオン陸相。(又)陸相。陸軍大臣。

リオクシヌ六神。(又)建築のとき祭る道教の六神にして四季を司り四方に屬し五行に配す。青龍。(春にて東方に屬し木に配す)白虎。(秋にて西方に屬し金に配す)朱雀。(夏にて南方に屬し火に配す)玄武。(冬にて北方に屬し水に配す)騰蛇と勾陳。(仲陽にて中央に屬し土に配す)

リオクジイサムシテジイ六二三十二。(八算)六二三十の二。

リオクジムシイヨヲ六壬時課。【大安】(大吉)。

【流連】(凶)・【速喜】(大吉)・【赤口】(大凶)。

【小吉】(吉)・【空亡】(大凶)の順序により日又は時の吉凶を卜ふこと。

リオクスウ六書。(又)六書。象形指事會意諧聲假借轉注をいふ。

リオクスウ六四。紙の種類の名。

リオクスウリホクシテスウ六四六十四。(八算)六四六十の四。

リオクスヌ六順。(又)六順。君は義。臣は忠。父は慈。子は孝。兄は愛。弟は敬の六つをいふ。

リオクチエク陸續。【二十四孝】の一人。

リオクチエク六賊。●(又)六賊。(眼・耳・鼻・舌・身・心の六にて賊を働く媒をなすもの)。

●兇徒。破

落戸。無頼漢。無愛與你此號。一。擲手面。お前の様な破落戸は相手にしない。

リホク チエヌ 陸戦。(國) 陸戦。一隊。陸戦隊。

リホク チエン 六情。(又) 六情。喜怒哀樂・愛惡の六をいふ。

リホク チヌ 六親。(又) 六親。父・母・兄・弟・妻子をいふ。一。谷族。六親眷族。「をいふ。

リホク チアウ 六朝。(又) 六朝。吳・東晉・宋・齊・梁・陳。一。略知。略知つてゐる。少し知つてゐる。一。二。幾らか知つてゐる。「六つをいふ。

リホク チエク 六徳。(又) 六徳。智・仁・信・義・忠・和の六つをいふ。一。興旺。六畜が繁昌する、家の小屋に貼る聯の文句。

リホク テエ 陸地。陸地。陸上。

リホク テエ 陸提。陸軍の司令官。

リホク トロ 六韜。(又) 六韜。一。三略。六韜三略。

リホク ハゲ 六合。(又) 六合。天地四方をいふ。一。之内。六合の内。宇内。

リホク パツグヌ 六八銀。銀六匁八分を一圓とする支那の銀貨。

リホク パツピエン 六八秤。【庫秤】を六匁八分にはかること、又其の秤をいふ。

リホク ビイ 六味。(藥) 黒い丸薬の名。(解熱又は逆上引下の薬として用ふ)。一。丸。同上。

リホク ビエン 陸兵。陸軍。陸兵。

リホク フウ 六腑。六腑。大腸・小腸・膽・胃・三焦・膀胱の六つをいふ。五臟。一。五臟六腑。

リホク ブウ 六無。一。父母兄弟妻子の六親が無い。絶。一。同上。一。姑家。同上の姑。非常に悪い仕様がなくて困る。錢若被伊跑去你。就。一。金を持逃せられたら貴方が困るだらう。你此個成。一。お前は本當に仕様がなない奴だ。

リホク ホア 蓼花。【水紅花】。

リホク ホアツ 六法。(國) 六法。

リホク ボオ 六部。官省の名。【吏部】。【戸部】。【禮部】。【兵部】。【刑部】。【工部】の六つをいふ。一。尚書。同上の長官。

リホク ボヲ 六婆。良家の婦女に悪事を媒介する【牙婆】。【媒婆】。【師婆】。【度婆】。【藥婆】。【穩婆】の六つをいふ。

リホク リホク 略略。大概。粗方。荒増。大方。粗粗。一。就。好。大概で宜しい。

リホク リホク ピエン 六六秤。【庫秤】を六匁六分にはかること、又其の秤をいふ。

リホク リホク リヌ 六六鱗。鯉の異名。六六魚。鱗

が一行に三十六枚あるよりいふ。リホク ルツ 六律。(又) 六律。黃鐘・太簇・姑洗・蕤賓・夷則・無射をいふ。

リホク レエ 六禮。六禮。婚姻の時の納采・問名・納吉・納徵・請期・親迎の六つの禮をいふ。

リホク ロオ 陸路。陸路。陸路。

リホク ロオツイ 陸路水師。陸軍と海軍。

リホク ロオテエトク 陸路提督。陸軍の司令官。

リオン

リオン 兩。兩。二。一。旁。兩側。兩方。不。立。兩。立せず。三欺。一。欺。一。二。三。は二を侮り二は一を侮る、強が弱を壓制する意。進退。難。進退兩難。【難】。【兩】。

リオン 隴。(姓) 隴。

リオン 隆。(姓) 隆。

リオン 涼。(姓) 涼。

リオン 良。(姓) 良。一。良。一。良。一。良。一。心。良心。【良】。

リオン 龍。(又) 龍。一。牛の仲買人などの隱語。六。一。仔。銀。六圓。一。【龍】。

リオン 梁。(植) 大栗。高。一。高梁。蜀黍。【梁】。

リオン 亮。(姓) 亮。

リオク

リオク

リオン

リオン

リオン 諒。(姓) 諒。

リオン 量。●度量。大―度量が大い。無半點―

少しも度量がない。少しの察しもない。好心
好―心が好く慈悲深い。●量。分量。酒―酒
量。力―力量。有勢不可盡―勢力が有
ても有丈出してはいけない。物は八分目。限―

分量を限定する。●餘裕を残す。ゆとりを取る。
大―小―澤山残したり或は少く残したりする。
較早去―少し早めに往く。此領杉有―得―

此着物は少し大きく裁つてある。【量】。
リオン 讓。讓る。讓歩する。一伊在先―先を讓る。
我一個―恁二個―僕一人に君等二人掛で来い。
一伊下二子―(園基) 彼に二目置かせる。

リオン ア 龍仔。盜賊などが其仲間を呼ぶ語。相棒。
仲間。一水到喇―相棒、仲間の者が来たぞ。
リオン ア ア ギヌ 龍仔銀。(漢) 【龍仔銀】。

リオン ア ア 龍倉。圓い重箱。重箱の様に重なる圓い
リオン ア ム 諒闇。(文) 諒闇。 【龍】。

リオン イ ア 良夜。(文) 良夜。
リオン イ イ 兩意。●二心。此個人三心―此
の人は心が定らぬ。●二様の意味。此句話有―

一在得―此の文句には二様の意味が合はれてゐる。
リオン イ イ 良隣。(文) 良隣。

リオン

リオン イ ウ 良友。(文) 良友。

リオン イ ウ 梁由。(姓) 梁由。

リオン イ エ ヌ 良縁。(文) 良縁。
リオン イ エ ヌ 龍涎。【龍涎】。
リオン イ エ ヌ ヒウ 龍涎香。【龍涎香】。

リオン イ オ ク 量約。ざっと。大概。粗方。荒増。大
凡。大約。大略。一一看―ざっと見る。一有若
多―大凡幾らあるか。 【用に使ふ】。

リオン イ オ ン 兩用。兼用。一物―一つの物を兩
リオン イ ヲ 良藥。(文) 良藥。一苦口、忠言逆耳
●良藥は口に苦く忠言は耳に逆ふ。

リオン ウ ウ 梁餘。(姓) 梁餘。
リオン ウ ウ 龍輿。(文) 【龍車】。
リオン カ ア 良家。(文) 良家。一婦女―良家の婦女。
リオン カ ア 龍駕。(文) 天子の車駕。

リオン カ ア ツ イ 龍絞水。(漢) 【龍絞水】。
リオン カ ウ カ ア 兩交。何方つかず。兩天秤。講
一話―的話―何方にもつかぬ話をする。

リオン カ ウ カ ア 兩交。前に同じ。
リオン カ ヌ 兩間。(文) 天地の間。

リオン ガ イ 兩。猿(生蕃語より来る)。
リオン ガ ヌ 兩眼。(文) 雙眼。兩眼。
リオン ガ ヌ 龍顔。(文) 龍顔。天顔。一大怒―逆

リオン

鱗に觸れる。

リオン キ ア ム 兩兼。兼ねる。掛持。兼台。兼備。文
武―文武兼備。

リオン キ イ 龍旗。【龍旗】。
リオン キ イ オ ク 量其約。【量約】。
リオン キ ウ 良久。(文) 良久しく。暫く。

リオン キ ウ 龍丘。(姓) 龍丘。
リオン キ ウ 梁丘。(姓) 梁丘。

リオン キ ヲ 良薑。(種) 南薑草。南薑。
リオン キ エ ン 龍宮。(漢) 【龍宮】。
リオン ギ イ 兩儀。(文) 兩儀。陰陽。

リオン ギ ヌ 龍銀。(漢) 【龍銀】。
リオン ク ウ 龍車。(文) 天子の車駕。鳳輦。
リオン ク ツ 龍骨。(漢) 【龍骨】。
リオン ク ヌ 郎君。(漢) 【郎君】。

リオン ケ エ 龍溪。潭州の地名。龍溪。
リオン コ エ 龍髻。(漢) 【龍髻】。
リオン コ オ 兩口。(文) 二枚舌。二言。

リオン コ オ 寧可。【寧可】。
リオン コン 兩廣。廣東省と廣西省。兩廣。

リオン ゴ ア ヌ 兩應。雙方とも満足する。兩方とも納
得する。二比―同上。
リオン ゴ オ 兩誤。雙方の誤。兩方の思違。

リオン サア 龍砂。墓地の左側に突出した土饅頭の袖。――串堂、子孫興旺同上が墓の方向を遮ると子孫が繁昌するといふ。

リオン サツ 龍虱。【水龜】。

リオン サア 量早。前以つて。少し早めに。――發落

前以つて用意する。――去早に出掛ける。

リオン ザウ 跋走。(漢) 【跋走】。

リオン シア 龍蛇。(漢) ●龍と蛇。●草書の筆勢の形

リオン シアウ 良宵。(文) 良夜。

リオン シエヌ 龍涎。(漢) 龍涎香。

リオン シエヌ 良善。(文) 善良。

リオン シエヌ ヒウ 龍涎香。(漢) 龍涎香。

リオン シエン 隆盛。隆盛。旺盛。興隆。盛大。繁

リオン シエン 量剩。有餘。餘裕がある。錢水――

錢が有餘る。金錢が澤山ある。

リオン シエン リオン ツウ 龍生龍子。――虎

生豹兒。龍は龍の子を生み虎は豹の子を生む、

生れた子はよく親に似るといふ義。

リオン シオン 良相。(文) 良相。良い宰相。

リオン シオン 量想。思ふ。多分。――敢無此號事

多分此んな事はなからう。

リオン シオン クヌ ツウ 梁上君子。(文) 梁上の君

リオン シヌ 良辰。佳節。吉辰。吉日。【子。盜賊。

リオン シヌ 龍神。(漢) 【龍神】。

リオン シム 良心。良心。善心。有――解差無――

犯人。罪人を護送する者には良心あり、罪人に

は良心なし、寛大に附上つて勝手に振舞ふなど。

無――良心がない。意地が悪い。

リオン シム 龍心。(文) 宸慮。

リオン シム サツ 良心賊。良心のある賊、遠慮して

皆取らない賊。物を取らないで歸つた賊。

リオン ジヌ 良人。(文) ●良人。●賢人。――自斷

愚人公斷。賢人は自ら斷し愚人は人の決斷に

依る。

リオン ゴエ 良妻。(文) 良妻。良い妻。

リオン ファヌ 兩全。兩全。――其美――一舉兩得。

忠孝――忠孝兩全。

リオン ファヌ ツウ 龍泉痕。(漢) 行纏。

リオン タイ シアウ 量大小。見計ふ。取計ふ。配頭

出在。你――就好。配合は君の見計で好い。

リオン タイ リオン シアウ 量大量小。前に同じ。

リオン タウ カア 兩頭舎。【兩交舎】。

リオン タム ザウ 龍膽草。【龍膽草】。

リオン テア 龍車。天子の車駕。――鳳輦。鳳輦。

リオン チウ 龍舟。●天子の御座船。●【龍船】。

リオン チウ ザイ 龍鬚菜。【天門冬】。

リオン チエヌ 良賤。(文) 貴賤。

リオン チエン 諒情。諒察。思遺る。宥赦。宥恕。堪

忍。勸解。我不――伊。私は彼を赦さない。擧

手無――手を出したらもう宥赦しない。

リオン チヌ 兩親。兩親。二親。

リオン チフ 龍集。年廻。歳次。

リオン チアウ 龍柱。(漢) 【龍柱】。

リオン チウ 兩頭。(文) 兩頭。

リオン チウ シアピイ 龍頭蛇尾。(文) 龍頭蛇尾。

リオン チウ シホク ロロ シエン 龍頭屬老成。(文)

龍頭は老成に屬す、大器晩成など。

リオン チエン 龍燈。(漢) 【龍燈】。

リオン チヌ 涼暢。爽快な。心持が好い。心地が好

い。氣持が好い。我今仔日眞――私は今日

非常に氣持が好い。無――機嫌が悪い。

リオン ツヌ 龍船。(漢) 【龍船】。

リオン ツウ シオン 兩抵賞。差引殘金なし。相殺して

丁度なくなる。趁頭與開費適好――收益

と費用と相殺して残がない。

リオン テエ 龍體。玉體。

リオン トアヌ 兩端。(文) 兩端。

リオン トアヌ 兩斷。兩斷。一刀――一刀兩斷。

リオン トオシアピイ 龍頭蛇尾。(文) 龍頭蛇尾。

リオン

リオン

リオン

リオン

リオンノウ 龍腦。【龍腦】。
 リオンパウ 龍袍。(又)【龍袍】。
 リオンバクタイチヲ 兩覆開笑。首鼠兩端。何方にもつかぬ。講——的話——どっちにもつかぬ話をする。
 リオンパヌ 涼板。嬉しい。愉快な。
 リオンヒエツ 涼血。(又)【涼血】。
 リオンビヌ 良民。良民。
 リオンビエン 兩旁。兩方。雙方。——夾攻——挾打。
 リオンビエン 良朋。(又) 好い友達。良友。
 リオンビツ 諒必。大方。大概。多分。伊明仔日——能來——彼は明日多分來るだらう。
 リオンファイホオパイ 龍飛虎拜。(又) 天子の即位を龍飛と云ひ、臣下の拜謁を虎拜といふ。
 リオンブウテ 梁武帝。梁の武帝。
 リオンブヌ 龍文。(又) 龍の模様。神童。
 リオンブヌ 龍門。文廟の前の石門、笠木の上に三つの龍あり。龍門。登——龍門に登る。立身出世する。跳——同上。
 リオンブヌ ソア 龍文黨。(動) さかたさめ。
 リオンヘエ 龍蝦。(又) 【龍蝦】。
 リオンホア 龍華。榮食教の一派。
 リオンホオ 龍虎。(又) 【龍虎】。

リオン

リオンホオエ 龍虎井。(又) 【龍虎井】。
 リオンホオブン 龍虎榜。【龍虎榜】。
 リオンホン 龍逢。(又) 龍逢。
 リオンボエ 狼狽。零落する。落魄れる。本成は大富戸今真——元は大金持であったが今は非常に落魄れた。
 リオンボエ 跛被。(又) 【跛被】。
 リオンボオ 龍袍。(又) 衰龍の御衣。
 リオンボン 兩榜。進士の異稱。——出身——進士から出身した人。
 リオンボン 兩旁。(又) 兩旁。左右兩側。
 リオンマア 良馬。(又) 良馬。良い馬。
 リオンムイ 良媒。(又) 良い媒人。
 リオンメエ 龍脈。(又) 【龍脈】。
 リオンリエン 量量。餘裕がある。餘がある。充分ある。錢較——金が有餘る。按算較——餘裕を取って見積る。
 リオンリッ 兩立。(又) 兩立。
 リオンルヌ 兩輪。(又) 車の兩輪。日輪と月輪。
 リオンロオ 兩路。兩路。——夾攻——兩路から挾撃。
 リオンロヲ 龍腦。龍腦。「する。
 リオンロン 兩廊。母屋の兩側に袖を爲してゐる家、又は其の廊下。

リヲ

リヲ 瞭。ちらりと見る。瞥見する。——下就知——寸見れば直分る。偷——人的答案——人の試験答案を偷見する。
 リヲ 脹。(又) 【脹】。
 リヲ 瞭。【瞭】。
 リヲ 割。魚を三枚に下す。鱸などを割く。肉を薄く切る。削ぎ切る。剝く。——雞肉片——雞肉を剝く。
 リヲ 來。犬を呼ぶ時の聲。
 リヲ 樓。(又) 【樓】。
 リヲ 路。(又) 【路】。
 リヲ 遼。(又) 遼。
 リヲ 略。(又) 略。——少。僅か。——仔較好——少しよくなる。——仔——稍少し。無俗無——極些細な。極つまらない。
 リヲ アア 略仔。少し。僅か。——光——微明。——知——少し知ってゐる。——能談精得——少しは誤魔化しが利く。體裁が繕へる。
 リヲ コケ 樓閣。(又) 【樓閣】。
 リヲ シュッ 漏泄。(又) 【漏泄】。
 リヲ エエ 瞭下。ちらりと見る。一寸見る。——就知——一見して直解る。

リム

リムチウ 飲酒。飲酒。酒を飲む。

リムチエウ ガヌ 痲疾眼。(癩) 風眼。膿漏性結膜炎。

リムチエン 痲症。痲疾。

リムチオン 臨終。臨終。今際の時。死際。惣老父在要。一喇。彼の父はもう死にかかつてゐる。

リムチヌ 臨眞。【認眞】。

リムチアア 臨帖。法帖を習ふ。手本を習ふ。

リムチウ 臨場。(圖) 臨場。臨席。

リムチヌ 臨陣。陣に臨む。一退縮。陣に臨んで退縮する。其場に臨んで戻込する。

リムチヌ 飲樹。酒を飲んだり注いだりする。一損打。酒を飲んで喧嘩をする。

リムツイ 飲水。水を飲む。一愛念水源頭。水を飲む時は水源を思つて欲しい、恩を忘れるなどの意。

リムツイフウジヌ 臨水夫人。【臨水夫人】。

リムテエ 飲茶。茶を飲む。

リムトオ 林投。【林投】。

リムヒアム 臨險。危険に臨む。危急に臨む。一不險。同上にして併も危険がない、九死一生など。

リムビエン 痲病。痲病。

リムプヌ 臨盆。臨産。

リムポヲ 廩保。【廩生】。

ルイ

ルイラウ 飲流。潮時。此候適仔。一着開船。今は丁度潮がよから出帆しなければならぬ。

ルイラウ 痲瀉。(癩) 痲疾。

ルイリイ 淋漓。淋漓。だらだらと。たらたらと。目屎。一垂。涙がだらだら流れ出る。

ルイリイ 歛斂。(崖際など) 際疾。一堅在。一的所在。際疾い所に立つてゐる。一少し足らぬ。一弱。十元。一十圓足らず。

ルイリイ 凜凜。凜凜。威風。一威風凜凜。一な。一淋淋。満ちてゐる。水など一杯で溢れさう。

ルイリイ アア 歛斂仔。少しで。殆ど。一一到。今少しで間に合ふ。一要。一も少しで百になる、百足らず。

ルイ

ルイ鐘。銅貨。銅。一同上。二錢。一三錢銅貨。一錢。一錢銅貨。一錢。三。一三錢。

ルイ様。(同) 【様】。

ルイ壘。(性) 壘。壘。戰。一同上。砲。一砲。一花。開。一蕾が開く。含。一蕾がふくらむ。一花。眼などを敷へる語。一好花挿牛屎堆。一輪の好い花を牛の糞に挿す、美人が醜男に侍るなど。大。一花。大輪の花。目。一細。一眼が片

ルイ

ルイ累。一方から取つて他の一方に入れて揃へる。分けて平均させる。一重。重さを平均させる。一俾伊平。一様に平均させる。大細漢的學生着。一齊。生徒を大きいのと小さいのとを分けて揃へる。一鏡などを打込む。一釘。同上。一俾伊住。一しっかり打込む。

ルイ屢。屢屢。常に。一次。同上。一同上。

ルイ替。入換へる。取換へる。磨替へる。歹的。一起來。一好いものを入れて悪い物を取去る。好い物に取換へる。一替。互に交代して番をする。好的。被伊。去。彼に好い物を磨替へられた。

ルイ壘。(性) 壘。

ルイ雷。(性) 雷。雷。一鳴。雷が鳴る。一損。壘。百二日。啓蟄に雷が鳴れば百二十日も雨が降る。一鳴。認人。雷は鳴つてゐても能く人を見識つてゐる。悪人の所へは落ちるが善人の所へは落ちない。一打。秋。明年。一收。立秋の日に雷が鳴ると明年は收穫が半分しかない。一打。蟄。九日。啓蟄に雷が鳴れば雨が四十九日も降る。

ルイ様。松毬の様なもの。松柏。一松毬。松毬。鐘。一鐘の外側にある疣。腫歸。一腫れて瘤になる。瘤が腫上る。頭。一頭。一頭を打つて瘤

ルイ

ルイタン 果重。重さを平均させる。

ルイチエヌコオ 搦戦鼓。陣太鼓を打つ。

ルイチオン 内障。(鏡) 底鏡。黒内障。你不在——

ルイチエン 果釘。鋌を打込む。

ルイツイ 糲碎。端。端。切端。零星——同上。雜

—— 色色な切端。色色なからくた。

ルイツイ 搦碎。搦粉木などで搦潰す。搦碎く。

ルイツウ 屢次。屢屢。度度。何度も。—— 共伊講

伊不聽 何度も話してやったが彼は聞かない。

ルイツイ 椽堆。(筒) 次と同じ。

ルイツイ 椽堆。愚圖で頑固。わからずや。—— 人不知

識好歹話 わからずやで言葉の善悪が分らぬ。

ルイツイ 替替。入替る。取替へる。磨替へる。好的

被伊——去 彼に好い物を磨替へられた。——

願 互に交代して番をする。

ルイツイ 搦槌。搦粉木。連木。當木。乳棒。—— 長

幼の序を無視する。目上を崇めずに禮儀に外れる

ことをする。伊是真——的人 彼は實に禮儀

に外れることをする者である。

ルイツイ 雷槌。(槌) 第一期作水稻稔の一品種。

ルイツイ 果槌。【拖槌】。

ルイトロキイ 涙倒枝。生到—— 枝が折れる程

ルウ

鈴生に生つてゐる。

ルイトロワイ 涙倒堆。死到—— 屍の山を築く。

ルイトン 雷同。(冬) 雷同。附和—— 附和雷同。

ルイパアチウ 雷打秋。—— 年冬半收 立秋の日

に雷鳴があれば收穫は半減する。

ルイピア 雷兵。雷神の兵、又雷。

ルイピエヌ 雷鞭。(冬) 電光。稻妻。電光。

ルイプヌ 搦盆。搦鉢。

ルイヘエ 雷火。雷火。

ルイポア 搦鉢。搦鉢。乳鉢。

ルイポア 搦破。搦粉木などで搦碎く。

ルイラン 累人。人を連累にする。人を累す。伊常

常能—— 彼は何時も人に累を及ぼす。

ルイロイ 椽椽。肥—— でぶでぶと肥太つてゐる。

ルイロイ 蔬蔬。烏—— 黒目など真黒い。

ルイロイ 屢屢。【屢次】。

ルイロイツイツイ 褌褌碎碎。【褌碎】。

ルイロツライ 縫落來。繩など手繰つて物を下す。旗

—— 旗を下す。

ルウ

ルウ 噫。傾斜になつてゐる。厝坪創較 唎 屋根

の勾配をもつと傾斜をつけなさい。崎斜—— 傾

ルウ

斜になつてゐる。船頭—— 船先が斜に下向に

なつてゐる。—— ずるずると滑らして押進む。滑

押す。枋靠—— 即一貨一板を斜に掛けて勾配を

つくつてから荷物を滑らして下す。放俾伊一落

去 滑臺の上から滑らす。—— 草仔 草刈器

を轉して草を刈る。—— 頭繫 バリカンで髪をか

ける。用車箕仔 蝦仔 箕で蝦を捕る。—— 突附

ける。押附ける。差出す。紅包—— 來去 禮金

を押附合ふ。—— 片紅 名刺を差出す。不買強

強—— 買はないのに無理に押賣をする。—— 突

倒 突倒す。—— 頭を下けて突進する。直直—— 去

—— 霧地に突進する。透雨—— 來雨をおかしてや

つて來る。—— 争ふ。戦ふ。去法院 與伊—— 下

—— 法院へ行つて彼と争つて見る。

ルウ 堆。【堆】。

ルウ 樓。(姓) 樓。

ルウ 旅。—— 旅。—— 一行 旅行。—— 館 旅館。

—— 客 旅客。【旅、旅】。

ルウ 女。(姓) 女。女。女。男—— 男女。—— 德 女

德。—— 丈夫 丈夫。男勝。【女、女】。

ルウ 你。(同) 【你】。

ルウ 鐘。—— 擦る。磨く。磨る。擦れる。皮鞋—— 俾伊

ルウ

ルウ/ スウ 女史。(又) 女史。
 ルウ/ スウ 女士。(又) 女士。
 ルウ/ スヌ 女孫。(又) 孫女。女孫。女の孫。
 ルウ/ スヌ 旅順。(地名) 旅順。
 ルウ/ ソン 呂宋。呂宋。一 煙 葉卷煙草。一
 □□ 講 自 己 道 呂 宋 の カ ト リ ッ ク 教 の 宣 教 師 は 自 家 の 道 理 を 布 教 す る、 他 人 の 悪 い 所 を 責 め て 自 己 の 悪 い 所 を 直 さ ない。
 ルウ/ ソン クウ 呂宋龜。(一) 動 一 一 ころぬすともどぎ。
 ● 呂宋から歸つた金持をいふ。損 一 一 同上より金をせしめ取る。
 ルウ/ ソン ケエ 呂宋客。呂宋から歸つて来た客。呂宋から歸つて来た金持。
 ルウ/ ソン スウ クヌ ツウ 呂宋使君子。(一) 南洋より輸入する藥物(驅蟲劑として煎服す)。
 ルウ/ ソン ソア イ 呂宋様。(果實) マニラマンゴー。
 ルウ/ ソン フヌ 呂宋煙。マニラの煙草。シガー。
 ルウ/ コオ ビヲ 呂祖廟。【呂洞賓】を祭る廟。
 ルウ/ タイ 瀧篩。篩の一種。
 ルウ/ タン 瀧桶。水漉桶。
 ルウ/ チェン 女偵。【水蠟燭】。
 ルウ/ チェン 女僧。(又) 尼。比丘尼。尼法師。
 ルウ/ チェン 旅情。(又) 旅心。旅情。

ルウ

ルウ/ チオン 女將。(又) 女武者。女將。
 ルウ/ チヲ 噓縋。又手網又は同上を挿進めて魚を捕る。
 ルウ/ チウ 旅長。(一) 旅團長。
 ルウ/ チエ ク 女徳。女徳。淑徳。淑徳。貞淑。一 若好面水無要緊 一 婦徳さへ具へてをれば顔は如何でもよい。
 ルウ/ チオン 女中。(一) 女中。
 ルウ/ チオン フウ 女丈夫。女丈夫。男勝り。
 ルウ/ チヲ 鍍着。擦れる。一 一的傷 一 擦痕。
 ルウ/ ツウ 女子。女子。
 ルウ/ ツウ 愚圖。愚圖。愚蒙。頑愚。馬鹿。一 没曉分好歹話 一 馬鹿で言葉の善悪を辨別することが出来ぬ。
 ルウ/ ツン 鍍斷。摺切る。磨切れる。索仔 一 了了 一 一 繩が皆磨切れてしまった。
 ルウ/ テエ 女帝。女帝。女帝。
 ルウ/ トア 女且。女が扮する女形。
 ルウ/ トア ヌ 旅團。(一) 旅團。
 ルウ/ トオ ホク 女土蝠。【二十八宿星の一】。
 ルウ/ トヲ 鍍刀。刀を研ぐ。刀を磨く。
 ルウ/ トヲ 驢駝。(一) 驢馬。兎馬。
 ルウ/ トン ビヌ 呂洞賓。【八仙】の中の一、理髮業者の拜する仙人なり。狗咬 一 一 犬が同上を

ルッ

咬む、盲目蛇に怖ぢずなど。
 ルウ/ ニイ 女尼。尼。【尼姑】。
 ルウ/ ハク 女學。女學。
 ルウ/ ハク シェン 女學生。女學生。
 ルウ/ パヌ 女班。女の劇團。
 ルウ/ ハク スウ 女學士。女學士。
 ルウ/ ハク ハウ 女學校。(一) 女學校。
 ルウ/ ヒア 女靴。女の長靴。
 ルウ/ ヒイ 女戲。女芝居。
 ルウ/ ヒエン 旅行。(一) 旅行。
 ルウ/ ビイ 女婢。下婢。婢。下女。女中。下女。婢。
 ルウ/ フィ 旅費。(一) 旅費。
 ルウ/ ブウ 女巫。(又) 巫女。神子。
 ルウ/ ヘア ア 噓蝦仔。又手網で蝦を捕る。
 ルウ/ ホア ヌ 女鏡。(又) 眼鏡。
 ルウ/ ホア ヌ 女犯。女の罪人。女囚。
 ルウ/ リウ 女流。(又) 女流。
 ルウ/ ルウ 噓噓。● 嘴 一 一 口が突出してゐる。船頭 一 一 船の船先の方が下向に突出してゐる。高 一 一 山などが非常に高い。● 噓 一 一

ルッ

ルッ 用。● 剝ける。剝ける。脱落ちる。一 漆 一 漆が剝

ルヌ

さう區別をつけるものでない。●何處まで論じても。——亦與你論何處までも汝と争ふ。

ルヌ/キイ 忍氣。怒を堪へる。怒を押へる。——吞聲。怒を押へ聲を呑む。——求財。怒を堪へて財を求める。

ルヌ/キウ キウ 嬭縮縮。【嬭縮縮】。

ルヌ/キウ キウ 嬭縮縮。【嬭縮縮】。

ルヌ/クイ 忍氣。息を殺す。

ルヌ/クウ 喲喲。動物など萎縮する。いぢける。竦む。——雞仔。萎縮した雞。此個仔仔續——去。此の子供はいぢけてしまった。

ルヌ/グウ 論語。論語。

ルヌ/ゲエ 閏月。閏月。死人無——死人に閏月なし、人が三月に死んで其の年三月以後に閏があれば對年は翌年の二月にするが如し。無米兼——米がない上に閏月がある、泣面に蜂など。

ルヌ/コア 忍寒。寒さを堪へる。寒さに堪へる。儉食。——儉約して食ひ寒さを堪へる、衣食を非常に節する意。

ルヌ/コアイ コアイ 嬭□□。【嬭□□】。

ルヌ/コアイ コアイ 嬭□□。【嬭□□】。

ルヌ/ゴエ 閏月。(漢)【閏月】。

ルヌ

ルヌ/ゴオ 閏月。(魯)【閏月】。

ルヌ/サウ 喲走。後退する。尻込して逃げる。起頭。答應尾瑠——最初は引受けたが後になって尻込して逃げる。

ルヌ/シェン 潤性。好く落付いた性分。

ルヌ/シオン 倫常。(交)人倫。——乖舛、立見消亡。——人倫五常に乖かば立所に滅亡を見ん。

ルヌ/ジヲ 忍尿。小便を堪へる。

ルヌ/セエ キウセエ 喲下縮下。伸びたり縮んだり。出たり引込んだり。もじもじと。要出来就出来不可站在——出るならば出なさい出たり引込んだりしてはいけない。龜頭——龜の頭が伸びたり縮んだりしてゐる。

ルヌ/ソアツ 論語。(國)論語。

ルヌ/ソアツ 輪轉。(交)廻轉。

ルヌ/ソエ 論罪。罪を論ずる。

ルヌ/タア 忍膽。氣後れ。怖氣立つ。怖氣が付く。氣が引ける。氣が後れる。我無養成伊續——私が養成しないので彼は遂に怖けてしまった。

ルヌ/タウ 忍倒。【忍倒】。

ルヌ/タク 喲頭。●首を縮める。頭を引込める。——喲頭。頭をすくこめる。首を疎める。——慄頭。頭を縮め頸を匿す、少しも手出し顔出しをしな

ルヌ

い意。●頭を伸す。——出来看。頭を出して見る。

ルヌ/チウ 忍手。手を控へる。遠慮する。控目にする。你不可——貴方は遠慮してはいかぬ。

ルヌ/チヲ 確石。【石確】。

ルヌ/チツ エエ 忍一下。戰慄する。びくつとする。ぎくつとする。行去到彼到——あそこまで行ったらびくつとした。

ルヌ/チヌ 論真。實の所。本當は。——無了。實際は損しない。——不是如此。實際はさうでない。

ルヌ/チア 論定。結論。論定。蓋棺——棺を蓋うて定まる。

ルヌ/チア 忍痛。痛を忍ぶ。痛さを堪へる。

ルヌ/チアウ 喲住。引込む。引籠る。閉籠る。——厝内。家に閉籠る。

ルヌ/チエウ 潤澤。潤澤。光澤がある。黠黠する。

ルヌ/チエン 崑頂。高地の上。小山の頂。「潤がある。

ルヌ/チオン 潤腸。(漢方醫の語腸を潤す。秘結を和げる。便秘を止める。食此欬藥是要——的。此の様な藥を飲むのは腸を潤す爲だ。

ルヌ/チヲ 輪着。番に當る。——一年。年番に當る。

ルヌ/ツイ 忍嘴。食ふことを控へる。言ふことを控へる。——儉舌。口や舌を儉約する、食べたいも

ルヌ

のも食へずに儉約する。情を抑へて黙って居る。

ルヌ ヴン 輪當。順番に擔當する。——做||代番に

ルヌ トアヌ 論斷。(又) 結論。論斷。 「する。

ルヌ エイ 閏年。閏年。

ルヌ ネ 忍凹。恐れる。怖がる。恐怖する。恐しが

る。氣後れ。此個箇仔全無——此の子供は少しも恐れない。

ルヌ パヌ 輪班。(組を成したるものが) 交代する。輪

番に。交代り。代番に。——在顧更||交代りに夜番をしてゐる。

ルヌ パヌ 輪辨。順番。照——順番に依る。

ルヌ ヒイ 潤肺。(漢方醫の語) 肺を潤す。肺を補ふ。

食——的藥||肺を潤す藥を飲む。

ルヌ ビア 燻餅。【燻餅】。

ルヌ ビア カウ 燻餅餡。【燻餅餡】。

ルヌ ビア ペ 燻餅皮。【燻餅皮】。

ルヌ ビエヌ 論辯。(又) 論辯。

ルヌ ビツ 潤筆。【潤筆】。

ルヌ ブヌ 論文。(又) 論文。

ルヌ ベエ 吟麥。麥を碾割る。

ルヌ ベエ 崙尾。高地の端。小山の端。

ルヌ ホアツ 論法。——論法。——真好||論法が非常に

うまい。●法律・徳義・習慣・方法等に照せば。——

ルヌ

該斬||法律上では斬罪に當る。——不是如
此做||道徳上左様してはいけない。

ルヌ ホアヌ 輪番。(新) 【輪番】。

ルヌ ホエ 輪廻。輪廻。十殿閻羅掌——第十殿の閻魔が輪廻を掌る。

ルヌ ホオ 吟雨。雨籠。雨宿する。

ルヌ ポア 吟鉢。土鍋。浅い土鍋。

ルヌ ポオ 吟布。【研布】。

ルヌ ポオ ポオ 燻布布。【燻布布】。

ルヌ ボオ 燻皮。(臭) 【燻皮】。

ルヌ ラア 潤蠟。透過の様な色をして艶がある。色艶

がよい。魚子不止——鱧子が透過して非常に色艶がよい。

ルヌ リイ 論理。●論理。議論する。伊眞賢——彼

は議論がうまい。●理に照して論すれば。——着

去||實際は行くのが當然だ。

ルヌ リウ 輪流。交代に。代番に。——做||代番に

爲る。——顧||交代に番をする。

ルヌ ルヌ 吟喙。頷頸——頷が縮んでゐる。雞——

雞が元氣がなく萎縮してゐる。

ルヌ ルヌ 忍忍。びくつく。わるびれる。恐恐。恐る

恐る。びくびくと。——不取去||何だか恐くて

よう行かない。

ルウ

ルヌ ルヌ 潤漉。濕っぽい。如——非常に濕っぽい。

ルヌ ルヌ 燻燻。【燻】。

ルウ

ルウ 旅。女。……(臭) 【ルウ旅。女。……】。

ルウ 你。(臭) 【你】。

ルウ 閻。贖。……(臭) 【ルウ閻。贖。……】。

ルウ 呂。慮。漉。……(臭) 【ルウ呂。慮。漉。……】。

ルウ アア 驢仔。(臭) 【驢仔】。

ルウ イイ 女醫。(臭) 【女醫】。

ルウ オオ 女媧。(臭) 【女媧】。

ルウ オン 女王。(臭) 【女王】。

ルウ ヲウ ヲウ 女學堂。(臭) 【女學堂】。

ルウ カア 女家。(臭) 【女家】。

ルウ カン 女工。(臭) 【女工】。

ルウ キエウ 旅客。(臭) 【旅客】。

ルウ キエツ 女傑。(臭) 【女傑】。

ルウ グウ 旅寓。(臭) 【旅寓】。

ルウ ケエ 旅客。(臭) 【旅客】。

ルウ コアヌ 旅館。(臭) 【旅館】。

ルウ サイ 女婿。(臭) 【女婿】。

ルウ シア 廬舍。(臭) 【廬舍】。

ルウ ショク 女色。(臭) 【女色】。

レエ 割。刃の尖で肉などを割裂く。裂切る。水蛙割

好一做四腿一蛙を殺してから體を四つに裂く。

レエ 犁。(漢) 犁。

レエ 厲。(進) 厲。

レエ 隷。(進) 隷。隷書。一書一上。眞草一篆

楷書・草書・隷書・篆書。

レエ 例。例。大清律一清朝の律例。條一一條

例。庄一村の規則。留歹一惡例を残す。一

所在一個一一つの地方に一つの習。所によ

つて風習が違ふ意。新一無設古一無除一新例は

設けず古例は除かず。

レエ 勵。(文) 勵。勉一勉勵。獎一獎勵。

レエ 鍊。(漢) 鍊。

レエ 罈。未。……【ロエ罈。未。……】。

レエ 表。【表】の①。

レエ 霹。雷鳴又は瀬戸物の破れる音。磁仔到一

下一がらからと瀬戸物の音がした。一鳴一雷

がごろごろなる。

レエ 割。刃の尖で淺く割裂く。切開する。袖仔先一

即扒皮一朱樂を先に切つてから皮を剥く。一腹

肚一腹を切る。自己一着手一自分で手を切つた。

割目。裂目。割二一筋切つた。賊一

割目が一つ出来る。

レエ 笠。(漢) 笠。

レエ アア 仔。子供を守る椅子に飾附けたる竹の

輪。(子供をあやす爲に用ひるもの)。

レエ アア 螺仔。螺貝。細螺。

レエ アア 笠仔。(漢) 笠仔。

レエ アア サン 螺仔鬚。【螺鬚】。

レエ イアム 涙炎。(病) 眼の附屬器の疾患。涙管炎。

レエ ヲアヌ 梨園。(文) 梨園。

レエ カウ 犁鉤。(漢) 犁鉤。

レエ カク 螺壳。螺の殻。貝殼。

レエ カン 習招。(漢) 習招。

レエ ガク 禮樂。(文) 禮樂。

レエ キアチア 犁堅正。(漢) 犁堅正。

レエ キイ 禮記。(書名) 禮記。

レエ キム 例禁。(文) 禁制。禁令。

レエ ギイ 禮儀。①(文) 禮儀。②附屬。遺物。進物。

遺物。禮金。謝儀。贈物。送一贈物をする。

遺物をする。

レエ ギイ 禮誼。禮儀。不識一禮儀を知らぬ。

レエ ギイリアム 子イ 禮義廉恥。(文) 禮義廉恥。

レエ クイ 例規。(文) 定律。規則。定。例規。

レエ タイ 割開。切開する。切割る。割割る。切開く。

猪肉一即煤一豚の肉を切割つてから煤でる。

レエ 腹肚一腹を切開する。

レエ コア 禮官。禮儀を掌る官。

レエ ゴア 例外。(漢) 例外。

レエ サイ 子イ 犁尿猪。(漢) 犁尿猪。

レエ サウカク 螺哨角。陣貝。法螺貝。

レエ ザヌ 犁田。(漢) 犁田。

レエ サン 螺鬚。束髮。束髮。螺鬚。

レエ シイ 螺絲。(漢) 螺絲釘。一釘一同上。

レエ シェク 禮式。式作法。式。禮式。

レエ シエン 禮生。儀式の時に禮儀に關することを

レエ ジイ 隸字。隸書。

レエ ジオン 禮讓。(文) 禮讓。

レエ スウ 隸書。隸書。【抓ること】。

レエ ソア 捋痧。【痧】を治療する爲に肩や脊中の筋を

レエ ソオ 禮敷。禮儀。行儀。作法。禮節。儀式。

隔壁親家一原在親類や隣合でも禮儀は

有る。有一禮儀がある。

レエ ソオンジエ 禮所當然。禮の然らしむる

所。當然。當前。

レエ タウ 麗倒。綺麗。立派。素敵。素晴しい。此

間厝起去真一此の家は大變立派に出來た。

今仔日的天氣成一今日はとても好い天氣

だ。愉快。爽快。看着好戲心肝真一

好い芝居を見ると非常に愉快だ。

レエタウ 稗頭。(兼)「稗頭」。

レエタウ シイ 稗頭録。(兼)「稗頭録」。

レエチイ 荔枝。(兼)「荔枝」。

レエチイ 例鏡。官吏が人民から取る私得。

レエチオク 禮

一爵。錫の

大盃(祭

典などの

際「禮瓶」と共に用ひるもの。

レエチツ エエ 露。下。がらつと。ごろごろと。轟

然。一倒落。ばたと倒れる。雷公到。一

一ころごろと雷が鳴る。

レエチアア 禮帖。●進物の目録書又は儀式の順序書。

●婚姻前男女兩家互に交し合ふ結納の目録書に

して紅紙を十二折にし其の表面に男家より女家に

贈るものは端蕭の二字又女家より男家に贈るもの

は蕭復の二字を記しなどする。

レエチイ 螺蒂。螺の蓋。

レエチエヌ 螺鈿。螺鈿。入。一。同上を嵌込む。

レエツウ 禮書。禮儀の事を記載した書物。

レエツヌ ホエ 麗春花。(兼)雛嬰粟。虞美人草。(嬰粟

科、庭園に栽培して花を觀賞す)。



禮 瓶

レエツツ 螺旋。旋毛。旋毛。旋毛。

レエトア 禮單。贈物の目録。

レエトマジヌ ビツ サア 禮多人必詐。禮多き者は

レエニイ 例年。(兼)例年。年年の慣例。照。一。辨。一

例年の通にする。

レエハア 禮下。這踰踰ふ。平身低頭する。下にも置か

ずに欺待する。ちやはやする。一。於人必有所

求。禮人に下る者は必ず求むる所あり。我不免

去。一。你。僕はお前に頭を下げる必要がない。

レエバア 螺肉。螺の肉。榮螺の肉。罐頭。一。罐

詰の榮螺。

レエパイ 禮拜。●禮拜。去拜堂。做。一。教會に往

つて禮拜する。●週。週間。此。一。此の週。今

週。一。一。週間。週日。七曜。二。一。久。二

週間。●日曜。日曜日。等。一。即來去。山。一

日曜日になつたら山登をしよう。

レエパイジツ 禮拜日。日曜日。

レエパイワン 禮拜堂。

レエパイワン 禮拜堂。

レエパイワン 教會堂。

レエパヌ 禮瓶。儀式の時酒を盛る器。一。爵。同上



禮 瓶

と「禮瓶」。

レエパン 禮房。考試及び春秋の祭祀。壇廟等の事を

司る官。又は其の官衙。【房科】参照。

レエヒア 砌瓦。瓦を並べる。

レエヒイ 鱈魚。(兼)「鱈魚」。

レエヒウ 禮香。婚姻の贈物などに用ひる線香。

レエビイ 螺米。【花螺】の。

レエビエン 黎明。(兼)黎明。拂曉。明方。

レエビア 黎民。(兼)黎民。

レエビイ 黎壁。(兼)「黎壁」。

レエビイ 螺壳。●螺の蓋。●螺鈿。入。一。螺鈿を

レエビイ ツウ 螺壳珠。貝で作つた偽の眞珠。眞珠の

擬。

レエビエヌ 螺片。螺の肉の切。

レエフィ 荔非。(兼)荔非。

レエフィ 梨園。(兼)「梨園」。

レエフツ 禮佛。佛を拜む。誦經。一。經を讀み佛

を拜む。

レエプツ 禮物。進物。贈物。遺物。禮物。送。一。一

進物を贈る。

レエホアツ 禮法。禮式。作法。

レエホエ 翻花。双の尖で淺く切目をつける。庖丁を

入れる。一。鯨魚。鯛に庖丁を入れる。

ロアアア 若仔。【若仔】。

ロアアア 捋仔。鬚櫛。小櫛。

ロアアア ニイ 若仔呢。【若仔呢】。

ロアアア ム 捋鹽。鹽を少しにする。薄鹽をする。魚

一魚に少し鹽をする。

ロアア イ 辣菜。辛い野菜。【せる】。

ロアア ジ ヌ ビ エ ン 頼人命。人を誣ひて殺人の罪をき

ロアア ア 捋割。【捋割】。

ロアア ア エ 若多。【若多】。

ロアア ア ヲ 捋槽。豚が病氣の爲めに食物を食べぬ。

ロアア ア ン タ ウ 捋總頭。中年以上の女の髪の方

ロアア ア ヌ 捋頭。川の瀬又は同上の上。【一種】。

ロアア ア ン 捋筒。【捋筒】。【れた】。

ロアア ア ン 捋蟲。【捋蟲】。被一捋着。毛蟲にささ

ロアア ア ヌ 辣醬。廣東などより来る芥味噌。

ロアア ア ヲ 辣椒。【捋】きたちたうがらし。しまたうがら

し。(茄科、漿果は食用となす)。

ロアア ト ヲ ビ イ 捋倒肩。鬚の生際の毛を少し分けて

左より右に額際を通じて横に梳き鬚附を塗りて

之を固めたる前髪、既に疎したる者之を爲す。

ロアア バ イ ア ア 捋牌仔。骨牌を撫でる様にして引く。

ロアア ビ ア 捋瓦。瓦を並べる。

ロアア ビ イ 辣味。辛味。

ロアア

ロアア ラ ン 捋人。毛蟲などが刺す。捋蟲能一捋毛蟲

が人を刺す。

ロアア ラ ン 頼人。罪を被せる。言掛をする。誣ひる。

ロアア ロ ア 辣辣。辛一非非常に辛い。【立てる】。

ロアア ロ ア 辣辣。前に同じ。

ロアア ロ ア 捋持。一枝嘴一捋一振一べらべらと饒舌り

ロアアツ

ロアア ツ 劣。(又)劣。優一優劣。品性真一品性が

非常に劣等な。

ロアア ツ チ エ ヲ 劣蹟。(又)悪行。悪い行跡。

ロアア ツ チ ア ム 劣點。(又)缺點。

ロアア ツ チ エ ン 劣等。(又)劣等。

ロアア ツ マ ア 劣馬。(又)驛馬。駄馬。

ロアア又

ロアア 又 軟。(又)軟。一弱一軟弱。軟一軟かい。

ロアア 又 揆。力を入れて撫でる。揉む。瘤一傳伊散一

瘤を揉んで散らす。用手一發藥水的所在一注

射した所を手で揉撫る。

ロアア 又 戀。(又)戀。

ロアア 又 戀。(又)戀。(又)戀。食一戀戀として耽

溺する。一不捨一戀者。

ロアアツ

ロアア又

ロアア 又 戀。●神下をする時に使用する丁字形の枝。摺

一同上を持つ。神附一神靈が丁字形の枝に

乗移る。●神下をする時に丁字形の枝を持つ者。

正一神の乗移る時に丁字形の枝の一方を持つて

神の御告を記す主たる者。副一同上の時他の一

方の枝を支へる副たる者。

ロアア 又 亂。●亂。亂れる。反一亂。一世亂れて

る世の中。避一亂を避ける。心煩意一

煩へて意亂る。心肝一心が亂れる。國一國

が亂れる。●濫りに。矢艦に。一講一濫りに話す。

一寫一矢艦に書く。一打一滅茶苦茶に打つ。

ロアア 又 アイ 戀愛。(又)戀愛。

ロアア 又 ウウ 戀愛。(又)戀愛。

ロアア 又 エエ 燉鍋。中央に火を置き其周圍に菜を入れ

て煮る具。鍋と爐とを兼ねたるもの。【火鍋】の○。

ロアア 又 エエ 亂的。氣印。狂者。

ロアア 又 カア 鑿鴛。(又)鑿鴛。車鴛。

ロアア 又 カア カア 亂餃。非常に亂れる。紛亂する。

混亂する。○ごちゃごちゃ。亂雜。

ロアア 又 キエン 亂經。月經不順。

ロアア 又 ギエ又 亂言。(又)亂言。

ロアア 又 コン 亂講。滅茶苦茶を言ふ。出鱈目を言ふ。

亂言。一牌一無闇に出鱈目を言ふ。

ロアア又

ロアヌ

ロアヌ サア 亂播。濫りに播集める。四界——矢鱈に彼方此方から錢などを集める。

ロアヌ ウウ 亂操。心が亂れる。心配する。くしゃくしゃする。滅茶苦茶になる。錯亂する。大人——因仔愛年到。大人は金策などの爲に氣が氣でないのに子供は正月の來るのを喜ぶ。

ロアヌ ザア 亂譎。矢鱈に。滅茶苦茶に。濫りに。——講——濫りに言ふ。——打——無闇に打つ。

ロアヌ シウ 饅壽。(父母祖父母の誕生日の前夜兒孫が祝をいふこと)言祝ぐ。

ロアヌ シヌ 亂神。氣が狂ふ。氣が違ふ。狂氣。

ロアヌ シヌ 亂臣。(多)國を亂す臣。亂臣。——賊子——亂臣賊子。

ロアヌ シム 亂心。亂心。氣が狂ふ。氣が違ふ。狂氣。狂亂。

ロアヌ ジホク 軟弱。弱い。軟弱。柔弱。纖弱。身軀——身軀が弱い。

ロアヌ スウ 亂使。「亂子」。

ロアヌ セエ 亂世。亂世。

ロアヌ ワン 亂宗。同姓の男女が互に關係するをい

ロアヌ タイ 孽胎。(多)二子。

ロアヌ チアア 亂唆。「亂譎」。

ロアヌ モイアア 亂嘩吵。非常に多忙な。どさどさ

ロアヌ

する。混雜く。混雜する。ロアヌ モウ 樂樹。「黃目子」。

ロアヌ チエエ 亂戰。亂戰。

ロアヌ ツウ 亂子。無闇に。濫に。滅茶苦茶に。——削——滅茶切。——罵——無闇に罵る。——開——滅茶苦茶に浪費する。——來——無茶な行をする。無茶な行をする。

ロアヌ ツウ 亂子。(多)「亂子」。

ロアヌ ツン 鸞堂。(多)行者が神下しを行ふ所。

ロアヌ テエ 鸞鞞。(多)鸞鞞。

ロアヌ トア サム 樟大杉。(多)杉科)樟大杉。「香杉」。

ロアヌ ブウ 軟弱。「鞞」。

ロアヌ ホン 鸞鳳。鸞と鳳。——相隨——鸞鳳相隨。夫婦の常に相伴ふをいふ。

ロアヌ ボオ 戀慕。(多)戀慕。

ロアヌ ボウ 暖帽。冬用ひる暖い帽子の一種。

ロアヌ ポヲ 亂暴。(多)亂暴。

ロアヌ ライ 亂來。●猥がはしい行をする。對戀大姉——彼の姉に對して同上。●無茶なことをする。無茶なことをする。亂暴をする。伊真——別人的錢伊亦隨便提去開。彼は甚だ無茶なことをする。人の金を勝手に持って使って使ふなんて。

ロアヌ ラウ 亂擄。●着物などを無闇に擄む。妾に擄

ロエ

取る。餅不可——菓子は無闇に擄取つてはいけない。娶妻着先探聽不可——妻を買ふ時は先づよく調べて無闇に貰つてはいけない。●知つた風をして出鱈目を言ふ。事情不知不可——事情が分らないのに出鱈目を言ふな。

ロアヌ リアア 亂播。●出任せをいふ。開放なことをいふ。都不知亦——知らないのに出鱈目を言ふ。●好い加減に作る。没曉做亦——出来ないのに好い加減なものを作る。

ロアヌ リアム 亂念。(多)熱病患者など) 謔言を言ふ。病人熱無退嘴能——病人は熱が下らず謔言を言ふ。●執念く言ふ。くどく言ふ。阮姑家不時都——私の姑は何時もくどく言ふ。

ロアヌ ルヌ 亂倫。(多)不倫。亂倫。

ロアヌ フアア 撻撻。「撻」。

ロアヌ フアア 戀戀。戀戀。——不捨——戀着。

ロアヌ フアア 亂亂。無闇矢鱈に。無茶苦茶に。——講——無闇矢鱈に話す。——走——狂奔。——入——入。

ロアヌ フオ 燠燠。(多)燠燠。

ロアヌ フラ 軟羅。絹の類。

ロエ 罵。女が悪態つく。罵る。——人——人を罵る。——到

ロオ

出。事情敗—事態が暴露する。

ロオ 賂。賂賂。賂賂。用—賂賂を使ふ。下—袖の下を使ふ。使—同上。

ロオ 肉。●鹽の溶けた汁。鹽—苦鹽。鹹—肉や魚の鹽漬より出る汁。魚—魚の鹽漬より出る汁。肉—肉の鹽漬より出る汁。●甘鹽をする。漬ける。●熟魚—鯛に淡鹽をする。●蝦—蝦に鹽をする。

ロオ 植。●ぐらぐらする。ぐらぐら。●桌仔—桌がぐらぐら。柱仔—柱がぐらぐらする。●齧齒—齧齒が動く。●撼—ぐらぐら揺れる。●杙や釘などを軽く左右に動かす。●杙仔—杙を左右に動かす。●齧齒—俾伊—齧齒をぐらぐら様に動かす。

ロオ 嘯。【嘯】。

ロオ ア 鹵鴨。ぐつぐつと長く煮込んだ鶯の料理。

ロオ イ ア 露管。(圓) 露管。

ロオ イ ア ム 鹵鹽。鹽を入れる。鹽をする。鹽漬にする。菜頭—大根を鹽漬にする。

ロオ イ エ ヌ 槽様。船の槽を掛ける所。

ロオ イ エ ン 路用。用。効用。使路。役。無—用をなさぬ。役に立たぬ。有—的人—役に立つ人。

ロオ イ ヌ 路引。官廳より行脚僧などに給する通行券。

ロオ

ロオ ウ イ 蘆葦。(植) (禾本科) 葦。葦。

ロオ ヲ エ 路狭。路が細い。路が狭い。小犬無知嫌—思な小犬が路の狭きを彼はいふ、下手の物さしなど。

ロオ カ ア 奴家。女形役者が臺詞に使ふ言葉。妾。私。

ロオ カ ア 勞鴛。(鳥) 【勞鴛】。

ロオ カ ム 蘆柑。(植) 蜜柑の一種。凸柑。

ロオ カ ン 鷺江。厦門の別名。

ロオ カ ン 槽孔。槽を支へる棒の孔。

ロオ キ ア ウ 路賭。博—狡猾な方法で博奕する。不正な手段を以てする賭博。

ロオ キ イ 路徑。【路徑】。

ロオ キ イ 惱氣。子供など言附を聴かない爲に腹立たしい思をして世話が焼ける。子供着順情不可俾父母—子供は柔順にして父母に世話を焼かしてはいけない。

ロオ キ イ 怒氣。(多) 怒氣。憤怒。—衝天—怒氣天を衝く。—傷肝—怒氣肝を傷ぶ。

ロオ キ エ ヌ 蘆橋。【杜杷】。

ロオ キ エ ン 路戸。猪などを捕る爲に戸を仕掛けたわな。張—同上を仕掛ける。

ロオ キ エ ン 路徑。路。細路。小徑。—不平氣死—行人—路が平でないを通る人を怒らす。行人は

ロオ

閑人(無關係の人)と發音類似するより裁判など不公平なとき無關係の人まで腹を立てるといふ意。—要打對何去—何處を通って行くか。

ロオ キ ヲ 蔞葦。(草) 【蔞葦】。

ロオ キ ム コ オ 婁金狗。【二十八宿星】の一。

ロオ キ ヲ 蔞葦。(植) 蔞。(百合科、鱗莖を鹽漬として食用となし又民間薬用に供せらる)。—葱假大辨—蔞と葱とが頭ぶつて俾がる、卑賤の者が上流の眞似するなど、魚の眞似をする目高といふに當る。—葱不成蔞—蔞と葱とは蔞に成らない、不成蔞は(不成算)と同音なるより數ふるに足らぬといふ意となる。—一面十八重—辣蔞の顔で十八重の皮。鐵面皮の意。

ロオ ク イ 爐櫃。鑄物をするときの輪。

ロオ ク イ 路軌。(車) 鐵道線路。軌道。

ロオ ク イ チ ヲ ヲ 惱氣着力。【惱氣】。

ロオ ク ン 鹵缸。鹽田の鹽水を溜めて置く所。

ロオ コ ア ヌ 路關。關などある道筋。—要打對何去較好—何處を通って行く方が好いか。探—道筋を探査する、事柄の筋道を調べる。

ロオ コ ア ヌ パ イ 路關牌。祭の時など先頭に立つて持ち歩く高札の如きものにて神輿の行列が練り歩く道筋と其の所を記せるもの。

ロオ コ ア ヌ パ イ 路關牌。祭の時など先頭に立つて持ち歩く高札の如きものにて神輿の行列が練り歩く道筋と其の所を記せるもの。

ロオコオ 勞苦。(泉) 【勞苦】。

ロオコオチヲ 老古石。菊石。珊瑚石灰岩。

ロオコオベエ 路糊塵。どろどろした泥土。

ロオコク 魯國。魯の國。

ロオコク 樓閣。(文) 樓閣。高殿。

ロオサイ 爐屎。爐滓。

ロオサイ 路使。有——有用。使途がある。無——役に立たぬ。駄目。

ロオサウ 勞嗽。(泉) 【勞嗽】。

ロオサイ 奴才。金で買はれた奴僕。奴僕。奴隷。一仔——同上。一仔胚——奴輩。提錢買——來做——錢を出して奴隷の役をする、名譽職などを運動して得て後存外詰らぬ時などにいふ。

ロオサイ 函彩。【函先】。

ロオサウ 爐灶。金銀などを熔かす爐。鎔爐。

ロオサム 路站。宿。宿場。間宿。立場。繼立場。驛。繼場。馬繼。到——同上に着く。

ロオサム ビイ 路站碑。里程碑。

ロオシイ 螺絲。螺旋。螺旋。——高——螺旋釘の頭にある凹みたる溝。——釘——螺旋釘。

ロオシイ 鷲鷲。(鳥) 白鷲。

ロオシイ ウウ 螺絲窩。螺旋釘の頭にある凹みたる

ロオシイ カア 螺絲絞。螺旋廻。螺旋拔。

ロオシイ カア 鷲鷲脚。鷲の脚の如く細くて長いもの。

ロオシイ ワア 螺絲絞。螺旋。螺旋。

ロオシイ チエン 螺絲釘。螺旋釘。

ロオシウ 路滯。路がぬかる。路がどろどろ。

ロオシエツ 漏泄。(文) 【漏泄】。

ロオシエヌ 函先。(鳥) 詰らない。悪い。價値が無い。駄目。——貨——詰らない品。

ロオシエン 婁星。【婁金狗】。

ロオシオン 勞傷。(泉) 【勞傷】。

ロオシオン 路上。途中。路上。

ロオシヌ 勞神。(泉) 【勞神】。

ロオシヌ 路神。結婚又は葬式などの際路上に居るといふ邪神。祭——結婚の行列の際路上がら同上の祟を避くべく供物を携へながら往くこと。

ロオシム 勞心。(泉) 【勞心】。

ロオジイ 鷓鴣。(鳥) 【鷓鴣】。

ロオスウ 盧骨。(姓) 盧骨。

ロオスヌ 槽筍。槽の脰。

ロオスヌ 蘆筍。(植) 【蘆筍】。

ロオセエ アア 露西亞。(國名) 露西亞。

ロオセエ 露渣。零落する。零落れる。落魄する。

ロオモエ 路祭。排——葬式の行列が通過する時に死者の縁故者などが路傍に【牲體】を供へ【銀紙】

を焼いて敬意を表すること。置——同上。

ロオリア 路終。路に居る邪神。

ロオリア 路線。(駕籠界の合圖言葉) 路が細いぞ。

ロオリエ 蘆黍。(植) 蜀黍。高粱。(禾本科) 果實を食用とする。

ロオリエイ 蘆黍圓。黍圓子。

ロオリエ コロ 蘆黍稿。黍の莖。

ロオリオアア 函酥鴨。鷲の肉を永く煮て非常に軟かくした料理。

ロオリア 路行。線路。路條。——眞混雜——路條が甚だ錯雜してゐる。

ロオリア 路擔。屋臺店。露店。

ロオタウ 路頭。路。街頭。路頭。通り路。——遠——路が遠い。——路尾——路の始めと終り、旅行の始めと終り。——推起抵天——縦にすれば天に達する程の道、非常に遠き意。——擔燈心路尾——擔鐵槌——物を携へて路を歩く時、始は燈心の様に軽くとも終には鐵鎚の様に重くなる、始は易きも終には難しくなる意。

「の類。」

ロオタウ シツ 路頭檣。路傍でする檣。工夫や土方

ロオキウ アア 路頭紙。再嫁するとき死亡した先夫の亡靈の祟を避ける爲に路上で焼く【銀紙】。

焼——同上を焼く。

ロオ

ロオ

ロオ

ロオ

ロオキウチアア路頭貼。或事柄を一般に知らせる爲にする路頭の貼出。張札。

ロオタヌ爐丹。迷信的に薬用などにする場合の線香の灰。乞——神に祈って同上を乞ふ。

ロオチイ鷓鴣。鷓——縮領——鷓が喉に輪をはめる、如何にもならんといふ意。——不知尾後臭——鷓は尾の臭さを知らず、「口」の悪評判を知らぬ。

ロオチイ路箭。猪などを捕る爲に弓を仕掛けた係蹄安——同上を仕掛ける。

ロオチイ路錢。路などの通過料。討——(山賊など)同上を請求する。

ロオチイバヌ鷓鴣瓶。高くて頸の小さな金屬製の酒

ロオチウ路上。道中。路上。途中。——平安——道中無事。

ロオチエン奴前。(婢僕を叱るときいふ)馬鹿。馬鹿野郎。こん畜生。

ロオチヲ路照。旅行券。旅券。給——同上を買ふ。

ロオチア蘆荻。【蘆竹】。

ロオチイトア爐添炭。煤爐に炭を添へる、煽てて火の手を盛にさせる意。

ロオチエウ蘆竹。(種)(禾本科)高砂竹。蘆竹。

ロオチエウ蘆荻。【蘆竹】。

ロオチエウ蘆竹仔菜。【竹仔菜】。

ロオ

ロオチエン路燈。街燈。

ロオチエン路程。(同)次に同じ。

ロオチエン路程。路程。道程。行程。里程。道法。此到淡水有若多——此處から淡水までの道法は何程あるか。

ロオチオン路中。途中。道中。

ロオチオンリエヌ魯仲連。仲裁人(魯仲連は好んで人の紛議を仲裁せりといふ)我即來做——僕が仲裁人になってやらう。

ロオチヌ蘆藤。【老藤】。

ロオチヌ蘆藤。(種)毒藤。魚藤。(苦科、根は害蟲驅除劑として廣く應用せられ蕃人は根を搗碎し溪流に放ちて魚を捕ふ)。用——毒魚——同上で魚を殺す。

ロオツイ露水。露。——重——露ばい。——點——露の玉。——因縁——私通。情を通ずる。——食去深——泥棒になって久しくなる。多く賄賂をとる。食——不正の生計。——貨——擲擲って來た品。こそ泥などの盗んで來た品。

ロオツウ爐主。多數の氏子中より【跋笏】により順番を定め毎年一名苑主祭者となり祭事を擔當するもの。氏子總代。

ロオツッ露出。露す。露顯。暴露。——馬脚——馬脚を露す。——軍機——軍機を漏す、秘密を明

ロオツン槽床。船の槽を掛ける所。

ロオツン路長。才能。甲斐性。無——甲斐性が無い。較有——才能がある。

ロオツン路斷。路が絶える。交通が絶える。交を斷つ。絶交する。施すべき方法が絶える。詮方つぎる。

ロオツン路撞。通路。大通。大路。不可下在——大道に置いてはいけない。

ロオツン肉湯。煮汁。肉汁。煮出し。出汁。出。激——肉汁を煮出す。

ロオツン露體。素肌を露す。赤身——眞裸。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀。(櫃)【櫃底銀】。

ロオツン櫃底銀

ロオニイヒイ 捕籠擲。●吊下つたものがぶらぶらりと揺れる。ぶらぶらつく。地動的時電燈續——

―地震の時には電燈がぶらぶらと揺れる。●事が收拾すべからざる状態となる。纏がつかなくなる。納がつかなくなる。事情續——事事が到頭納がつかなくなった。

ロオニイヒエツ 捕籠擲。【捕籠擲】。ロオニイヒツ 捕籠擲。【捕籠擲】。ロオニイヒツ 捕籠擲。【捕籠擲】。ロオニイヒツ 捕籠擲。【捕籠擲】。

ロオヌン 鹵卵。鷺の卵をソップで煮たもの。ロオハア 墟下。氏子。―弟子―神佛に對して願掛をする時などに自分を指していふ語。弟子。信徒。門徒。氏子。

ロオハヌ 羅漢。【羅漢】。ロオバア 鹵肉。豚肉などをくつくつと永く煮る。又其の煮た肉。

ロオパヌ 魯班。大工の崇拜する神。【巧聖先師】。ロオパヌクツチヲ 魯班尺。大工の使用する曲尺。ロオパヌコン 魯班公。【魯班】。【尺】。

ロオパヌチヲ 魯班尺。大工の使用する尺。ロオヒイ 鱸魚。(動) 鱸。ロオヒエヌ 露現。露現。發覺。露れる。發露。

ロオピアウ 路標。(新) 指道標。

ロオビイ 奴婢。(文) 奴婢。婢僕。奴婢。ロオビイ 路邊。路邊。路傍。沿路。―店仔

―水茶屋。―尿壺衆人濺―路端の小便壺で多くの人が小便する。共同便所の意にて娼妓の如きものをいふ。―花―路端の花。淫賣稼の女をいふ。

ロオビイチアムア 路邊店仔。水茶屋。ロオビイ 水エ路邊花。路端の花。淫賣稼の女をいふ。ロオフイ 盧妃。(姓) 盧妃。【盧妃】。

ロオフイ 路費。旅費。路用。路費。路銀。ロオフウ 墟灰。寺廟の神佛に供へられたる線香の灰。(之を拜受し來りて病人に服用せしむ)。

ロオフウ 鱸魚。(同) 鱸魚。ロオフヌ 路痕。路の跡。彼有一條―彼處に路の跡がある。

ロオヘエ 蘆膏。(種) たうろくわい。(百合科、葉液は髮に塗り葉は下劑及び通經劑となす)。

ロオヘエ 鹵蝦。山東より出る鹽した蝦。ロオヘエイウ 蘆香油。【蘆膏】の油。ロオヘエチウ 鹵蝦醬。鹽蝦など混ぜた味噌。山東より出る蝦の鹽漬の汁。

ロオベエ 路尾。(一) 路の果。(一) 遂に。つまり。到頭。最終。結局。止詰り。學句の果。

ロオベエシヌ 路尾身。【路尾手】。

ロオベエチウ 路尾手。到頭。つまり。遂に。結局。ロオホアヌ 勞煩。(一) 勞煩。【勞煩】。【最後】。

ロオホエ 魯花。【有刺赤蘭】。ロオホエ 蘆花。蘆の花。ロオホエ 蘆膏。【蘆膏】。

ロオホエミイ 蘆花綿。蘆の熟果より得たる綿。ロオホン 露封。書狀など封緘しないもの。―的批―同上の書狀。

ロオホオ 蘆膏。(一) 蘆膏。ロオボン 鹵奔。疎瀆。―的人人同上の人。ロオポアア 鹵盤鴨。鷺の肉に鱸鮓粉を塗り油で煎げたる後、白菜などを混ぜて之を蒸し更に少許の煮出汁を加へて煮た料理。

ロオポエ 奴輩。(文) 奴輩。ロオポオ 魯歩。(姓) 魯歩。

ロオポオ 盧蒲。(姓) 盧蒲。ロオポク 奴僕。金銭で買取つた下男。奴僕。僕隸。ロオボン 路旁。路傍。路邊。路邊。【奴隸】。

ロオボンシイ 路旁屍。(女が男を罵る詞) 行倒れ。倒死。行倒れ。

ロオミイ 鹵麵。煮出汁を多く入れて煮た餛飩。臺灣。ロオモア 鱸鰻。(一) 鱸。【常に兇器を携へ他の】。

ロオ

ロオ

ロオ

所在傾斜してゐる所。

ケエ落談。女形の役者が観客に色目を使ふ。戯旦——女形役者が同上。

ケエ落客。客が舟などに乗る。客が乗船する。

コアヌ落館。留置場に入れられる。留置される。

コアヌ落歇。落歇。寫聯着——聯を書くに落歇を要する。

コエ落談。(落談)。

コオ籬鼓。銅籬と太鼓。金鼓。動——銅籬や太鼓を鳴らす。——鏗鏘鏘鏘——銅籬や太鼓がどん

ちゅんと鳴る。

コオ落股。共同經營の事業に加入する。共同出資する。

コオ勞苦。苦勞。苦辛。艱難。苦み。

コオア籬鼓仔。子供の打つ銅籬や太鼓。

コオオヤン老古葱。【葱管石】。

コオオチ老古石。菊目石。珊瑚石灰石。

コオオチ籬鼓陣。銅籬や太鼓を鳴して歩く隊伍。樂隊。

コオコ落階。(衣服の部分の名稱)脇下。【同上】。

コオコ落漕。干潮と共に流れ下る。船——船が

コオコン落公。財産などを公共の爲に提供する。

コオコン落壙。棺を墓の穴に埋める。

コンコン賑碯碯。脊が非常に高い。

コンスウ老公鬚。(鬚)榕樹の老木より採った氣根。(咯血の際に氷砂糖と共に煎服す)。

サア羅紗。(圍)羅紗。

サウ癆嗽。(癆)肺結核。

サウ落哨。哨船に乗込む。——越海洋見張船に乗って海賊を追ふ。

サア落挿。(錢や物などかけて勝負を決すること)賭をする。賭事。大家来——お互に賭をしようではないか。

サア落柴。納棺。入棺。

シアウ老少。(交)老幼。老少。老若。

シアウリエヌ老少年。【雁來紅】。

シアンシアン賑上上。非常に脊が高い。

シイ落蝕。資本が切れ込む。損をする。此帮生理大——此度商賣は大いに損した。

シイジツ落時日。日付をする。年月日を記入れる。

シエン老成。(性)老成。(志)老成。老功。屈志——急則可相依——老成の人には志を屈せよ、急場に臨んで依頼するを得べし。

シエン落性。馴れる。懐く。馴染む。此隻狗仔今不止——喇——此の子犬は大分懐いた。

シオン癆傷。(癆)肺癆。肺病。癆症。肺患。肺結核。

シヲ落俗。風習に慣れる。住——住慣れた。

シヲ落俗。(落俗)。

シヌ老身。(交)老身。

シヌ勞神。心神を勞する。

シヌ落身。流産。半産。

シム勞心。心配する。心痛する。苦心する。氣骨が折れる。苦慮。心遣。——扒腹——心配して悶える。——勞力——心を勞し力を勞する。——苦戰——苦心修業。

シム落心。心を落着ける。心肝若荒稿作没——外の事に氣を取られると安心して仕事が出来ない。——讀書——心を落着けて勉強する。

ジイブクコン勞而無功。勞して功無し。

ジエツ癆熱。(癆)肺結核。肺病。

ジホク老弱。(交)老衰。

ジヌ老人。(交)老人。年寄。【若男女】。

ジヌカア老人家。年寄株。【稱】。老師。

ジヌウ老師。【秀才】などを指導監督する者の敬稱。

ジヌ癆瘵。(癆)肺結核。癆症。肺癆。

ジヌヌ落棹。棹をはめる。棹を入れる。鋸釘——

面倒臭い。——的人厄介な者。此條事情
蓋——此の事件は一番厄介だ。——的病厄
介な病氣。講話眞——話が甚だくだい。

ロヲチイチイ囉啼啼。前に同じ。

ロヲチヌ羅藤。麻織物の一種。

ロヲツイ濁水。濁水。泥水。烏仔魚没堤得——
激——濁水の激するに堪へられぬ、人の嘲罵
などに憤慨して事をするなど。

ロヲツイ落水。——水に入る。——掠魚——水に入つて
魚を捕る。——舟に積む。貨要——貨物を船に
積む。——水に落ちる。水に落込む。——叫三界
——水に落ちると「三界」を呼ぶ、苦しい時の神頼
み。——平平沉沉——水に入れば均しく沈む、五分
五分。勝負無し。

ロヲツイツヌ落水船。川下に入る船。下船。

ロヲツイ老子。老子。

ロヲツイヒエツ脳出血。(病) 脳出血。

ロヲツイ落船。——船に乗る。乗船。船に乗込む。——
船に載せる。船に積む。舟積。行李重要——
行李を皆船に積む。

ロヲツイニイ落前年。一昨昨年。一昨昨年。

ロヲツイ羅繩。銅繩を叩く棒。銅繩の杓。

ロヲツイテエ脳袋。——脳蓋。——樟腦を入れる袋。

ロヲテエフウ落地府。「童丑」が地上に横臥し地下
の閻魔王に謁すること。

ロヲトエ落底。——事の起り。事の始り。——叱られな
どして再び悪事をせぬ様になる。懲りる。伊被
我教——刺——彼は私に誠められたので再び
悪事をせぬ様になった。

ロヲトエ落地。地に落ちる。

ロヲトエキエン落地耕。始め。最初。初手。伊
——就——彼は始めから厭でした。

ロヲトエサウ落地掃。——拳法のととき低く地上にし
ヤがんで敵の足を拂ふこと。——祭典の行列に加
はり道化姿に扮して歩行するもの。

ロヲトエシエンクヌ落地生根。【倒吊蓮】の○。
——地に落ちる。雞屎——亦有三寸
煙——鶏の糞でも地に落ちると三寸の湯気が立つ、
一寸の蟲にも五分の魂。——生落ちる。——時
生れ落ちる時。

ロヲトエ老童。五十歳以上にて尙秀才に及第せざる
讀書人。老人の「童生」。老書生。

ロヲトエ労働。——骨折。手敷。苦勞。——你——御手
敷を掛ける。——(骨) 労働。

ロヲトエチア労働者。(骨) 労働者。

ロヲトエヌン落軟。強硬な意見を主張しないやうにな

る。軟化。弱腰。折れる。講話眞硬備不——
——話が非常に強硬で少しも譲歩しない。快
——直に軟化する。

ロヲハイ落海。海に往く。海上に出る。船に乗って
出る。上山亦一日——亦一日——陸から往つて
も一日海から往つても一日。共に遊びに往つて一
人先づ歸らんとする時など止めて言ふ語、今家へ
歸つても何も出来はしないではないか、半日遊ぶ
も一日遊ぶも同じ事などいふ意。

ロヲハッ落岩。厠に往く。便所に往く。

ロヲハヌ羅漢。——羅漢。十八——十八の羅漢。——
——請觀音——羅漢が觀音様を招く、主人役が多く
て客の少いこと。——一定の住家無きもの。宿無。
流浪人。——「た長衣。

ロヲハヌイイ羅漢衣。上部と下部と異つた布で作
る。宿無。流浪人。天竺浪人。——一件——惡徒。惡
者。——神——乞食の性。有——查——查——
——查某——男には宿無はあるが女には宿無はない。

ロヲハヌコヲ羅漢果。【釋迦果】。

ロヲハヌサア羅漢整。上部と下部と異つた布で作
る。宿無。流浪人。天竺浪人。——一件——惡徒。惡
者。——神——乞食の性。有——查——查——
——查某——男には宿無はあるが女には宿無はない。

ロヲハヌフツ羅漢佛。羅漢。

ロヲバア落肉。瘦せる。肉が落ちる。消瘦——瘦

ロラ

こける。

ロ、バ、落目。目に入る。看了有——目にとま
る。確と認める。

ロ、バ、ザ、羅壘柴。堅い黒い材木。

ロ、バ、シ、羅網。鳥や魚を捕る網の總稱。

ロ、バ、ウ、落電。電が降る。霰が降る。

ロ、バ、ン、落帆。帆を下す。

ロ、バ、ン、シ、老蚌生珠。老いた(蚌)に珠が
出来る。老婦人が子を生むこと。

ロ、ヒ、落墟。市に往く。市場に行く。

ロ、ヒ、落耳。耳に入る。聴有——よく耳に入っ
た。よく分った。

ロ、ヒ、老朽。(文)老朽。

ロ、ヒ、エン、タイ、老兒喜。(文)老兒。貴君。

ロ、ヒ、落葉。落葉。葉が落ちる。到冬天樹就—
—冬になると木の葉が落ちる。

ロ、ビ、籬米。米を篩ふ。米を篩にかけて糠を篩落
す。米籬——【米籬】で糠を篩落す。

ロ、ビ、ヌ、勞民。(文)——傷財(人)民を疲らし損害を
被らしむ。

ロ、ビ、ヌ、落眠。寐入る。寐込む。熟睡。眠——寝
入った。咽没——寐られない。

ロ、ビ、ト、腦病。(病)腦の病氣。

ロラ

ロ、ビ、ト、癆病。(病)肺結核。

ロ、ビ、ト、腦朮。製腦原料にする樟木の木片。削—
—手斧で樟樹を削って木片を取る。

ロ、ビ、エン、老病。(病)老病。

ロ、ビ、エン、癆病。(病)肺結核。

ロ、ビ、ツ、落筆。筆を下す。書始める。書出す。書始
め。

ロ、フ、ウ、老夫。(文)愚老。

ロ、フ、イ、落肥。肥をする。肥をやる。稻仔無—
—没大叢(稻)は肥をやらないと大くならない。

ロ、フ、ウ、ソ、ア、チ、ラ、ヌ、羅浮山石蘭。【石斛】。
資本を下す。元手を入れる。——連
財——共同出資。

ロ、フ、ヌ、落糞。堆肥をやる。種豆仔着——豆を
蒔くには堆肥をやらねばならぬ。

ロ、フ、ベ、落馬。馬から下りる。下馬。下乗。旅
から歸った時など他人が芝居を催し又は酒宴を設
けて歓迎する。爲伊——旅より歸つた者又は
旅人を同上。搬——歓迎の芝居を催す。

ロ、フ、ベ、落尾。四人で賭博する時第四番目の者をい
ふ。

ロ、フ、ベ、エ、ホ、ン、落馬瘋。房事に原因する危険な病氣の
名。

ロ、フ、ホ、ヌ、勞煩。面倒を掛ける。煩勞。煩す。—
—你(御)手数をかけました。今(今日)眞——今

ロ、フ、ホ、ヌ、勞煩。面倒を掛ける。煩勞。煩す。—
—你(御)手数をかけました。今(今日)眞——今

ロ、フ、ホ、ヌ、勞煩。面倒を掛ける。煩勞。煩す。—
—你(御)手数をかけました。今(今日)眞——今

ロラ

日は御苦勞。

「天。」

ロ、ホ、オ、落雨。雨が降る。雨降。降雨。——天(天)雨
ロ、ボ、ラ、落磨。石臼に掛けて碾く。米——米を
同上する。(地獄の處刑の事)地獄に於て死んだ
悪人の靈魂を石臼に掛けて碾く。

ロ、ボ、ラ、テ、エ、ガ、落磨地獄。【落磨】の地獄。

ロ、ボ、ン、羅網。(文)【羅網】。

ロ、ボ、オ、羅布。布の一種。

ロ、ボ、オ、老舖。老舖。老舖。

ロ、ボ、オ、老舖。老舖。老舖。

ロ、ボ、ラ、落薄。零落れる。零落する。君子——扁擔
纏絡(君子)でも零落すると苦力になる。

ロ、ボ、ッ、老博。【古博】の。

ロ、マ、ア、ジ、羅馬字。羅馬字。

ロ、ミ、ア、落名。記名。署名。名を書く。

ロ、モ、オ、老耄。(文)老耄。耄れる。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ライ、落來。下りて来る。下る。——樓脚(階
下)に下りて来る。起去(即)更——登(上)つて又降り
る。——下り。——的(車)幾點(下)り汽車は何時
か。——以下。寫到此、——免寫(こ)こ迄書いて
以下は書かないでよい。——語に附いて語調を整へ
又は其語の働を補つて下る、下る等の意を表す。

ロ、ロ、モエ 勞落債。苦勞の負目。因果。――末

満 因果な性で苦勞が絶えぬ。

ロ、ロ、ミト 勞落命。苦勞をする運命。因果な性。

ロ、ク

ロ、ク 褰。●紙や布などでつくった袋。紙―紙袋。手

―手袋。―粉―粉の袋。二―火柴―二包

の隣寸。●袋の様なものを嵌める。手褰―手―手

袋を手に嵌める。頭壳―紙―頭に紙袋を嵌

める。用囊仔―往―サツクを嵌めて置く。

轉。●突刺して穿つ。用戕仔―孔―シャベルで穴

を掘る。―透過―穿通す。●(黒)姦する。査某

被人―去―女が人に水揚された。

落。●置く。―下桌頂―卓の上に置く。寄―得

預けて置く。●踏込む。―水―水に踏込む。―

落溝仔―溝に踏込む。

濃。じくじくする。どろどろする。路真―路が

非常に泥濘る。爛―爛れてじくじくしてゐる。

歸身軀―咽喉―體中ひよひよに濡れる。體

中爛れてじくじくする。負債だらけの意。

ロ、ク 離。(性) 離。ロ、ク 絡。(性) 絡。ロ、ク 祿。(性) 祿。●多 祿。俸―俸祿。官祿。福

―福祿。食人之、擔人之憂―人の祿を食

めば人の憂を負はざるべからず。

ロ、ク 諾。(性) 諾。●(多) 諾。一呼百―一呼百

ば百人答へる。高貴な地位にある意。唯唯―

唯唯諾諾。承―承諾。

ロ、ク 鹿。(性) 鹿。●(動) 鹿。―食火灰―鹿が灰を食

ふ。金儲のなきときなど非常に困難なる意。指

―爲馬―鹿を指して馬となす。贖物を本物とす

る。赤脚拉―穿鞋食肉―靴の者が鹿を逐つ

て靴を穿いてゐる者が其肉を食ふ。苦勞した者の

利益とならないで何もしない者の利益となる。椽

の下の力持。●陰間。做―同上になる。破―

陰間野郎。

ロ、ク 落。●がらがら。げろげろ。栗子―栗の實

ががらがら音がする。―下吐出来―げろと

吐出す。●がらがらいはせる。―看内面有甚

麼物―中―どんな物があるか箱などをがらがら

と振って見る。―嘴―口を漱く時、がらがらい

せる。

ロ、ク 樂。(多) 樂。樂しむ。―極生悲―樂み極つて悲

み生ず。快―快樂。安―安樂。在生不

―死了共鬼揷包袱―生前に樂しまず死んで鬼

の風呂敷包を提げて御伴をする。守錢奴を嘲つ

ていふ。

ロ、ク アア 鹿仔。●子鹿。鹿子。●男娘。

ロ、ク アア 鹿仔草。【鹿仔樹】。

ロ、ク アア 鹿仔樹。(性) 梶木。(桑科、樹皮は製紙

原料となり葉は鹿の飼料となる)。

ロ、ク アア 鹿仔店。日常雜貨及乾物などを賣

って活動する者をいふ。

ロ、ク イエ 洛陽。(地名) 洛陽。【剪絨】。

ロ、ク イオン 洛陽花。【瞿麥】。

ロ、ク ウイ 祿位。●祿位。●長壽を祈る爲に生前に

豫め造って置く位牌。―牌―同上。

ロ、ク ウイ 諾威國。(國名) 諾威。

ロ、ク カ 鹿角。鹿角。鹿の角。

ロ、ク カ 鹿角膠。(性) 鹿角の越幾斯。(病後の滋

養藥として用ふ)。

ロ、ク カ 鹿角茸。鹿の袋角。

ロ、ク カ 鹿角逆。鹿角茸。逆茂木。

ロ、ク カ 鹿角精。(性) 漢方藥の一種。(悪性の腫

瘍に内服せしめて其腫脹、疼痛を去るに用ふ)。

ロ、ク カ 鹿角。牡鹿。

ロウ

ロウ ニイ 鹿乳。鹿の乳。較惨乞ー鹿の乳を得る

よりも困難だ、事柄が非常に困難な意。

ロウ ハイ 鹿鹿。孔子を祭る時の供物の一種。

ロウ バア 鹿肉。鹿の肉。

ロウ バア 鹿肉。鹿の肉の乾したもの。

ロウ ビエ 鹿鳴宴。郷試の終りし後、府尹が主人となりて試験官、事務員及受験者を招きて開く饗宴。

ロウ ビエ 鹿鳴宴。郷試の終りし後、府尹が主人となりて試験官、事務員及受験者を招きて開く饗宴。

ロウ ビエ 鹿鞭。鹿の陰莖を乾したもの。(補養劑として用ふ)。(鹿)陽物。

ロウ フウ 鹿脯。鹿の肉の田麩。

ロウ フン 樂園。(基督教)樂園。パラダイス。

ロウ ブウ 鹿母。牝鹿。

ロウ プン 鹿飯。【牛乳房】。

ロウ ベエ 鹿尾。鹿の尾。

ロウ ベエ 鹿皮。鹿の皮。ー色 鹿色。

ロウ ホア シェン 落花生。【土豆】。

ロウ ホア リウスイ 落花流水。①落花流水。②慘憺たる光景を呈すること。家伙了到ー

ー財産を失って同上。

ロウ ホア リウスイ 落花流水。①落花流水。②慘憺たる光景を呈すること。家伙了到ー

ー財産を失って同上。

ー財産を失って同上。

ー財産を失って同上。

ー財産を失って同上。

ロウ

ロウ ホウ 鹿糞。【山肉豆】。

ロウ ラン 濃臍。臍がじくじくする。粒仔ー臍物

が臍んでじくじくする。

ロウ リエ 落臉。①零落れる。零落する。成下る。成ー非常に零落する。厖顯弟子ー神様

が繁昌すると信者が零落する、供物喜捨などに多くの金を費す意。②面目を失ふ。體面を失す

害我去ー私に面目を失はせた。

ロウ 落 踏込む。ー溝仔 溝に踏込む。

ロウ 濃 腐ー木などぼろぼろに腐る。鳥

ー眞黒くて汚い。餃ー粥など水分が多

くしてどぶどぶする。滑ー同上。臭ー非

じゃくじゃく腐る。滑ーびしょ濡。爛ー非

常に腐爛してゐる。

ロウ 藁 藁。右ー石木材など非常に軟い。

ロウ 濃 濃。【濃濃】。

ロウ 藁 藁。【藁藁】。

ロウ 落 落落。がらがら。ー哮 哮ががらする。

がらつく。ー叫 同上。

ロウ トオ 落落吐。げろげろ吐く。眩船ー

船に酔うて同上。

ロウ トオ 落落吐。【落落吐】。

ロウ 濃 濃。【濃濃】。

ロウ トオ 落落吐。【落落吐】。

ロム

ロム 凹。①水などを踏む。困仔在ー水 子供が水

をびちびちと踏んでゐる。

ロム 凹。②物の内部にある水の音、ぶくぶ

くとする。どぶどぶする。

ロム 籠。①檻の様な牢獄。收ー同上に監禁する。

ロム 壱。②壱。【壱】。

ロム アア テ 籠仔底。①檻の様な牢獄の中。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロム トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロム トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロム トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロム トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロム トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロム トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロム トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロム 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロン 壱。②壱。沼田。澤田。

ロン トオ 壱。泥。どろどろな土。

ロシ

ロシ浪。浪。波。同上。風平。一。靜。風止み浪靜まる。狂風大。狂風怒濤。

ロシ弄。弄。弄する。一。假成真。嘘が真になる。一。巧反拙。巧を弄して反つて拙くなる。一。咬す。けしかける。煽動する。一。狗相咬。犬をけしかけて咬合させる。使。煽動する。おだてる。

ロシ。牛馬など。出出す。跳ぶ。牛在。牛が走つてみる。

ロシア。門仔。廊仔。

ロシア。廊仔。留置場。座敷牢。櫛倉。櫛。未決監。關在。一。内。留置場の中に閉込める。

ロシエヌ。サヌ。ブウ。浪煙散霧。一。錢開到。一。一。錢をばつばと使ふ。

ロシエ。ニ。イ。オ。ン。ソ。ア。ツ。囊螢映雪。一。文。螢雪。ロシイ。オン。弄場。言觸す。觸流す。吹聴する。言散す。不可。一。動衆。一。多くの人に言觸してはいけ

ロシヲ。弄瓦。一。文。女の子の生れること。「ない。ロシカ。ア。農家。一。農家。百姓家。田家。一。上。九流。一。の。農家。

ロシカ。ア。シ。エ。ン。チ。ヌ。弄假成真。一。文。偽を弄して真と成る。嘘が真になる。

ロシカ。ウ。サ。ア。カ。ア。弄狗相咬。一。犬を嗾けて咬合させる。一。人を煽動して喧嘩をさせる。

ロシ

ロシカ。ウ。ホ。ア。ヌ。ア。ツ。弄巧反拙。一。文。巧を弄して反つて拙なり。

ロシガ。ア。チ。ウ。狼牙鎗。一。武器の名。鐵撮棒。ロシキ。ウ。撞球。一。撞球。

ロシキ。オン。撞共。都合。合計。一。五拾元。計五拾元。ロシギ。ア。フ。農業。一。農業。

ロシク。イ。弄鬼。尻押をする。咬す。水を差す。羅是伊在。一。皆彼が尻押をしてゐるのだ。

ロシク。イ。撞開。棒などで門を押開ける。突破。突ロシク。ウ。農具。一。農具。一。破す。

ロシク。ヌ。郎君。一。富家の子弟。貴公子。一。郎君。一。南管。一。南管の。一。を演奏するもの。の崇拜する神の名。

ロシク。ヌ。チ。ウ。郎君唱。合奏音楽の一種。一。南管。一。の。一。に。属する歌曲。

ロシク。ヌ。ツ。ウ。テ。郎君子弟。一。貴公子。富家の子弟。一。祭典の行列に加はり奏樂する。一。郎君。一。と。一。子弟。

ロシク。エ。撞價。値段を競合ふ。競る。彼塊土地大家在。一。相争買。一。彼の土地は皆がお互ひに値段を競合つて買はうとしてゐる。

ロシコ。ア。ヌ。弄權。威權を振舞す。權利を弄する。得

ロシ

ロシ。一。一。寵を得て權を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

ロシ。一。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。一。寵。一。寵を弄す。

つくり。ー來ライ皆みな來来る。

ロンパン 濃粧。(又) 濃厚粧。厚化粧。

ロンタク 髷頭。(前髪を分けざる髪結び方) 總髮。

ロンタク 籠頭。馬の口蓋。

ロンタク 濃淡。(又) 濃淡。ー得宜トクイ濃淡宜しきを

ロンチオン 弄璋。(又) 男子だんしの生なまれること。「得」

ロンチオン 囊中。(又) 囊中。

ロンツウ 浪子。放蕩息子。ー一回頭金不換ヒツトウ放蕩

息子の改善かんぜんしたのは金より貴い。

ロンツイ 撞植。手杵。杵。

ロントン 浪蕩。放蕩。放持。道樂。不身持。不品行。

ロントン ツウ 浪蕩子。道樂息子。道樂息子。放蕩者。獄道者。

ロントン ハヌ 浪蕩漢。道樂者。獄道者。

ロンハク 農學。(又) 農學。

ロンパン 弄藉。他人たにんの家に寄宿し仕事の手傳などして衣食するもの。掛人。食客。

ロンヒウム 弄險。險を犯す。冒險。ー的頭路テキトウロ

冒險な仕事。

ロンビヌ 農民。(又) 農民。ー組合クワヘ農民組合。

ロンファイ 浪費。(又) 浪費。

ロンフウ 農夫。農夫。百姓。ー裕國之基ヨクコクノキ農夫は國を富ます基。

ロンブウ 濃霧。(又) 濃霧。

ロンブウ シェン 農務省。(又) 農務省。

ロンブウ タイシヌ 農務大臣。(又) 農務大臣。

ロンブツ 農不稔。ー秀カブ不秀カブ不稔カブにして稔カブならず秀カブにして秀カブならず、帯カブに短カブかし稔カブに長カブといふに當る、稔カブも秀カブも害草ガイサウの名。「使喚シカウする。」

ロンペエ 弄弊。線センをする。窃セツに操る。尻押シラシをする。

ロンホアツ 梳髮。束髮。

ロンホエ 農會。(又) 農會。

ロンボアトン 撞破洞。横鎖ヨコジを入れて他人たにんの事を失敗しぱいに終らしめる。ちやちやを入れる。

ロンポエ 狼狽。零落する。零落れる。落魄らくはく。

ロンムン 撞門。戸を敲く。門を叩開ける。門を打開ける。

ロンリエヌリウ 浪嘩六。零落れて流浪する。去四界サイカイーコエ彼方あち此方こち放浪する。

ロンリエヌリウ 浪嘩六。零落れて流浪する。去四界サイカイーコエ彼方あち此方こち放浪する。

ロンリム 膿痂。(又) 痂痂。

ロンロク 籠絡。(又) 籠絡。

ロンロン 籠籠。腐クー木などぼろぼろに腐る。潤ツルー非常ヒジョウに廣ひろい。空カラー空カラ。空虚カラウ。曲マギー曲マギひぬ。高タカー非常ヒジョウに高たかい。深フカー非常ヒジョウに深ふかい。長ナガー非常ヒジョウに長ながい。

ロンロン 湯湯。滑ツルー粥カウなど水分すいぶんが多くてどぶとぶする。

ロンロン 濃濃。餃カウー粥カウなど水分すいぶんが多くてどぶとぶする。

ロンロン 濃濃。腐クー肉ニクなどちやちやに腐る。

ロンロン 噴噴。高タカー非常ヒジョウに高たかい。潤ツルー非常ヒジョウに廣ひろい。深フカー非常ヒジョウに深ふかい。長ナガー非常ヒジョウに長ながい。

ロンロンキヲ 撞撞叫。耳孔ミミナー耳ミミががんがん鳴る。大鼓ダイコー太鼓ダイコがどんでん鳴る。銃チウー鐵砲テツポウがどんでん鳴る。水ミヅー水ミヅがこころう流れる。

ロンロンヨニヨニ 噴噴噴噴。噴噴。

ロンロンハウ 瓏瓏嗒。(鈴スズちりちり鳴る。

ロンロンハウ 撞撞嗒。撞撞叫。

ロヤ 持。(又) 持。

ロヤ 螺。(又) 螺。

ロヤ アア 螺仔。(又) 螺仔。

ロヤ カカ 螺壳。(又) 螺壳。

ロヤ サン 螺螺。(又) 螺螺。

ロヤ タイ 螺蒂。(又) 螺蒂。

ロヤ 持。(又) 持。

ロヤ 螺。(又) 螺。

ロヤ アア 螺仔。(又) 螺仔。

ロヤ カカ 螺壳。(又) 螺壳。

ロヤ サン 螺螺。(又) 螺螺。

ロヤ タイ 螺蒂。(又) 螺蒂。

ロヤ 持。(又) 持。

ロヤ 螺。(又) 螺。

ロン

ロン

ロヤ

依レさあこれを上げる。●物事などに就つて變へんに思おもふ時に發はする語。おや。なんだ。一、敢あ是レ此レ項ことなつたのだ。一、你在講レ甚レ狂レ話レなんだ、御前おまへは何なにをぬかしてゐるか。

ニ黄。●(姓)黄。黄色。黄色い。一色レ黄色。

一金レ黄金。●黄ばんで衰やへる。枯かれる。一瘦レ子供こどもなど青あ白しろく萎し縮ちける。樹じ仔ざ一樹きが黄きばんで枯かれる。豎た一枯こ死しする。【黄】

ニ王。王わう様さま。頭かぶ。做人し一(子供など) 餓が鬼ま大だい將じやうにななる。海かい龍りゆう一海うみの龍りゆう王わう。

ニ何。●何なにか。何なにだ。一較かく大だい聲しやう咧れい何なにももと大おほい聲こゑで。一你在講レ甚レ懸けん話わ何なにだ馬ば鹿かな事ことを言いへ。●訝いる時ときなどに發はする語、果はな。怪あしいな。

一敢あ有此こ號ごう事じ果はな、ここんな事ことがあるものものでですか。

ニ暈。●目めが霞かむ。目めがももややする。目め開ひら一同上。

●ぼんやり見みえる影かげ。有あ一一個いっ一同上がある。

ニ。【曖】。

ニアア 秧仔。稻いねの苗なえ。苗なえ。早ま苗なえ。

ニアア 笕仔。目め方かたを計はかる時とき物ものを入いれる籃かご。自おの己の四よ兩りやう一無な除く一自おの己の四よ十じゆ匁もんの風ふう袋たいの目め方かたを減ひか

い、自おの己の事ことは棚たなへ上あげる、人ひとの一寸いっ寸すん我わがが一いち尺せきなど。【笕仔】。

ニアア 秧仔田。苗代。

ニアア フン 秧仔園。前に同じ。

ニアウ 向後。後うしろへ向むく。後うしろ向むき。

ニアア 掩掩。人ひとの目めを忍しのんでする。ここそりとすする。内ない内ないでする。窃ひそかにする。二個ふた相あ一い二ふた人にんでここそりややてゐる。不ふ時とき偷ひそ一い人にん的てき物ぶつ何いつ時とき人ひとの物ものを窃ひそかに偷ひそむ。【掩掩】。

ニイウ 向羊。山やま羊やぎの番ばんをする。

ニイエ 黄鶯。(鳥) 高麗鶯。

ニイエ 黄エ 黄菜花。(種) 金絲桃科 未央柳。

ニイオン 黄楊。(種) 臺灣あざまつげ。(黄楊科、材は堅硬にして彫刻・樂器・玩具等に用ふ)。

ニイヲ 黄帥。黄色の帥の骨牌札。【四色牌】を見よ。

ニイヲ 黄腰蜂。(鳥) 黄腰蜂。

ニウイ 黄喂。黄色を帯びた。黄色がかった。淡黄色の。皮かわ一皮かわが黄色があつてゐる。

ニウインウイ 黄喂黄喂。前に同じ。

ニウヌイエク 黄瘟疫。(病) 黄痘病。

ニオオチアア 黄蝴蝶。(種) 黄蝴蝶。葦科、觀賞用として庭園に栽培せられ、西印度諸島にては花・葉を熱病薬に用ひ又葉は下劑の効ありといふ、樹皮及

根は毒を有す)。

ニオン 黄主。【黄師】。

ニカウ 袂口。袖口。一傷狭しやう一袖口があまり狭せまい。

ニカム 黄柑。茶樹の一品種。

ニカム 掩蓋。●被おふ。被おせる。用い席せき仔ざ一筵じやうで被おふ。●隱ひそす。秘ひする。事情じやう一得え事じを隱ひそす。一没密めい一隱ひそしきれぬ。

ニガムガム 黄崑崑。眞黄色い。

ニガムガム 黄崑崑。前に同じ。

ニガム シェク 黄品色。稍薄い黄色。

ニキイ 黄施。(藥) 【黄施】。

ニキイ 黄杞。(種) ふぢばしで。(胡桃科、材は農具を製し樹皮は毒流しに用ひて魚類を捕ふ)。

ニキイ 黄耆。(藥) 苦參の根。(緩和強壯劑とし又諸瘡の聖藥として用ふ)。

ニキイ 黄施。(種) 八重山施。(茜草科、畑に栽培し花を收穫して茶に香氣をつけるに用ひ又庭園樹とす)。

ニキイ ホエ 黄棉花。山施類の花を總稱していふ。

ニキウキウ 黄縮縮。厭いやな黄色。白しろ衫しやん洗せん無む清せい氣き續ぞく一白しろい着物きものをよく洗あらはなかつたので黄色きいろくくなつてしまつた。【しあちか】。

ニキウ ホエ 黄毬花。(種) (馬鞭草科) ぐめりなあ

煎服して感冒を治す。

ニキオク 黄菊。(種) 臺灣寒菊。濱寒菊。(菊科、花を

ニキヌ 黄槿。(葉葉樹)。

ニキム 黄金。黄金。黄金。

ニキムクイ 黄金桂。(種) くわくわつがゆ。(桑科、果

實は食用に供す)。

ニキム 黄芩。(種) こがねばな。こがねやなぎ。わり

こん。(唇形科、根を解熱劑として用ふ)。

ニギツギツ 黄縮縮。(黄縮縮)。

ニギエツ 黄蘗。(種) 黄蘗。(芸香科、樹の内皮は染料

及び薬用に供し果實も亦薬用に供せらる)。

ニギムギム 黄趁趁。眞黄色い。

ニギムギム 黄趁趁。前に同じ。

ニクウ 黄伸。黄色の伸の骨牌札。【四色牌】を見よ。

ニクヌ 黄根。【常山】の①。【鳥踏刺】。

ニクヌ 黄斤。【山肉豆】。

ニグウ 向牛。牛の番をする。

ニグウ 黄牛。(動) 黄牛。

ニケエ 向下。下向。頭壳ー頭を俯向ける。

ニコア 秧割。四五尺の竹の中央に鎌を箆めたもので

苗の尖を切り去るに用ふ。

ニコア コア 黄汗汗。汗染みて黄色くなる。

ニコア シイ チェン 黄汗時症。【黄痲疫】。

ニコアイ 向高。上を向く。仰く。頭壳ー頭を上

ハ煮食用に供す)。

ニコエ 黄瓜。(蔬菜) 胡瓜。(葫蘆科、果實を生食又

ニコオアア 黄鼓仔。符等を書く薄い黄色の紙。

ニコクケエ 掩略雞。隱坊をする。「しなさい。

ニサイ □尿。(赤坊に大便をさせる時いふ) うんこを

ニサイ 向西。(家など) 西向。厩ー家が西向にな

ニサイイウ 黄西洋。黄いキヤラコ。「つてゐる。

ニサヌ 黄瘦。瘠せて青白い。人一直ー落去ー體

が段段瘠衰へる。

ニサヌコク 黄山谷。【二十四孝】の一人。

ニシヤム 秧田。苗代。

ニシヤム 黄根。(種) 果肉の黄色を帯びた李の一種。

ニシイヒイ 掩死魚。目隠遊。盲目鬼遊。

ニシウ 秧袖。袖。

ニシエク 黄色。黄色。黄。

ニシオククイ 黄蜀葵。(種) 黄蜀葵。(錦葵科、觀賞

用として栽培せられ、又根の粘液を製紙の糊料に

供す)。

ニシムアア 黄心仔。(種) くさのがき。くららがき。

(柿樹科、果實を食用とす)。

ニシムシム 黄趁趁。非常に黄色い。

ニスイグウ 掩水魚。次に同じ。

ニスイヒイ 掩水魚。目隠遊。盲目鬼遊。

ニスウ 黄仕。黄色の仕の骨牌札。【四色牌】を見よ。

ニスン 黄痲。次に同じ。

ニスンタヌ 黄痲痘。病氣又は發育不良などの爲に

青ざめる。青飄簞。面ー顔が青ざめてゐる。

ニスンヒア 黄痲蟻。(動) 赤蟻。賢嗅尋赤

蟻はよく物を嗅ぎつける、よく人の秘事を探り出

して金を捨るなど。

ニセエツイ 黄垂水。腫物又は水腫から出る黄色の

ニモエ 黄册。土地臺帳又は名寄帳。「汁」。

ニソア アン 映山紅。菊の變種の名。

ニソア 映山黄。菊の變種の名。

ニフア 黄紙。黄色い紙。

ニタア 秧擔。竹又は木製の擔ひ道具。(苗などを運ぶ

に使用す)。

ニタウ 黄豆。(種) 大豆の一種。

ニタヌ 黄痘。(病) 黄痘。豚猪肥、豚狗瘦、豚人成

ー大食させると豚は肥え、犬は瘠せ、人は黄

ニタム ホン 黄胆瘋。(病) 黄疽。「痘になる。

ニタン 向東。東向。

ニタン 黄銅。眞鍮。黄銅。

ニチア 秧刺。【秧挑】。

ニチアウ 黄鳥。【鶯仔】。

ニチアム 黄尖。(種) 第二期作水稻類の一品種。

ニチアムリイ 黄尖李。(種) 李の一種。

ニチウ 向上。上を向く。上の方を向く。

ニチウ 黄相。黄色の相の骨牌札。【四色牌】を見よ。

ニチウクヌチヌ 黄樹根藤。【細葉黄肉刺】。

ニチエウ 黄粟。(種) 黍。小黍。粳黍。(禾本科、炊ぎて食用となす)。

ニチエン 向前。前を向く。

ニチエン 黄腫。次に同じ。

ニチエンハム 萬腫腰。貧血性水腫。水腫。青脹。

水脹。面——顔が水脹になつてゐる。

ニチオン 黄帥。【黄帥】。

ニチウ 秧席。(草) 苗代。苗床。

ニチウチ 黄右脂。(種) 褐鐵鑛。

ニチア 秧埴。苗代。苗床。

ニチイ 向夫。仰く。上向く。上を向く。

ニチエン 向頂。上向く。仰く。

ニチヲ 秧挑。苗代の苗を鋤き起すに用ひる具。



挑 秧

ニチヌ 黄藤。【藤】。【青木香】の①。

ニチヌチウ 黄藤樹。(種) くすのはがしは。(大戟科、根を煎服して月經不順を治し又果實の表面にある赤褐色の粉状腺を採りて條蟲の驅除に用ふ)。

ニツイ 掩嘴。口を塞ぐ。口止をする。提五十元共伊——五拾圓やつて彼の口止料とする。

ニツイキヲ 黄水茄。(種) (茄科) ●もんばなすび。●てんぢくなすび。

ニツイチヲ 黄水蕉。(種) (曇華科) 黄化曇華。

ニツウ 掩。【掩】。

ニツウ 黄兵。【黄兵】。

ニツヌ 秧船。田植の時田の中を押廻して苗を運ぶに用ひる器。

ニツン 掩咳。要求する時など五月蠅く附纏ふ。與恐老父在——彼の父に同上。與查某在——しつこく女に附纏ふ。

ニツウツ 秧托。【秧挑】。

ニツン 向擲。捻拗れて強情な。拗ねる。此個囹仔眞——此の子供は大變拗ねる。

ニツン 向撞。前に同じ。

ニツエ 黄帝。黄帝。

ニツア 黄檀。【黄金桂】。

ニツア 黄段。【黄皮】。

ニツアヌ 黄緞。黄色い緞子。【蕉扇】。

ニツアヌシイ 黄緞扇。孔子を祭る時に用ひる。【芭】

ニツアヌソア 黄緞傘。孔子を祭る時に用ひる。【涼】

ニツヲ 秧刀。【秧挑】。

ニツヲ 秧套。女の着物の袖口を飾るものにて釘で附けたり外したりする様にしたもの。

ニツイ 黄連。(種) 黄連。きくば黄連。(毛茛科、地下莖を健胃薬となす) 甘草自來甜、——依舊苦

甘草は本来甘く、黄連は元から苦い、本性は作らざるも自然に斯くあるといふ義。啞口食——啞が黄連を食ふ、苦痛を訴へることが出来ぬ意。

ニツン 掩掩。【掩掩】。

ニツン 抗抗。【抗抗】。

ニツン 向向。【向向】。

ニツエ 阿奶。阿母様。母。

ニツアブイコエ 黄爛肥雞。鶏等を材料として煮た

ニツアハム 黄酒酒。眞黄色い。

ニツアヒイ 黄魴魚。(物) 赤鱒。

ニツアチウ 黄肉樹。(種) ●【檳榔】。●【鐵尿楠】。(樟科) 此に似くすものとき。

ニツアチイ 黄目子。(種) 無患樹。(無患樹科、果皮は石鹼の代用として洗濯用に供し種子は黑色堅硬に

して羽子の玉となす。

ニバク チウ 黄目樹。前に同じ。

ニバン 向望。望む。願ふ。冀ふ。無一望がない。
一後進出脱子孫の出世を望む。

ニバア バア 黄焔焔。真黄色い。

ニバア バア 黄焔焔。前に同じ。

ニバウ 黄炮。黄色の炮の骨牌札【四色牌】を見よ。

ニバウ チウ 黄泡樹。【黄目子】。

ニバク 向北。北向。北受。

ニバン 黄蜂。(動) 黄蜂。一出巢黄蜂が巢を出る。
蜂の巢の形状をなす地勢にて【結穴】があるとい

ニヒア 黄蟻。蟻の一種。黄色い蟻。「ふ。

ニヒイ 掩耳。耳を掩ふ。

ニヒイ 黄魚。(動) 幼魚。鱒。

ニヒウ ライ 黄香梨。梨の一種。

ニヒオン 黄香。【二十四孝】の一人。

ニヒョ バア 黄葉猫。(動) 臺灣麝香猫。

ニビヌ 掩面。顔を被ふ。覆面。

ニピア 秧肪。土のついてゐる苗。挑一上を採

ニピア 秧兵。真黄色い。

ニピア 秧兵。前に同じ。

ニピア 秧披。田植の時苗を運ぶに用ひる帑。

ニピア 秧庇。(動) 秧庇。

ニビイ 掩鼻。鼻を掩ふ。

ニビエン 黄兵。黄色の兵の骨牌札【四色牌】を見よ。

ニブン スイ コエ 黄漬水蛙。蛙等を材料として煮た料理。

ニブン スイ アア 黄漬肥鴨。鴨等を材料として煮た料理。

ニブン 黄榜。(黄紙に認めて掲示せられる)勅諭。勅

ニベエ 秧尾。袖の端。

ニベエ 黄尾。葉又は梢が黄んで枯れる。徒裁的

樹仔續一去移植した木が枯れてしまった。
悲惨な状態になる。被土匪治到要一土

匪に荒されてみじめな目にあつた。

ニベエ 黄馮。黄色の馮骨牌の札【四色牌】を見よ。

ニベエ コア 黄馬樹。騎馬の時用ひる黄色の陣羽織

軍功に由り賜はるもの。

ニベエ 黄柏。(植) 黄蘗。黄蘗。一樹頂彈琴同

上の木の上で琴を弾する、苦しい中に在って樂し

む意、黄蘗は苦き藥なるより斯くいふ。

ニベエ 黄皮。(植) 黄柑。(芸香料、果實は食用となす)。

ニホア 黄ア 黄幻黄幻。黄色がかつてゐる。薄黄。

黄味を帯びる。淡い黄色。

ニホエ 黄花。黄色い花。

ニホエ ウ 黄花草。(植) (金絲桃科)ひめおとぎり。

龍牙草。

ニホエ タウ 黄花草。(植) (黄料)はませんな。

ニホエ テエ 黄花草地す。【蒲公英】。

ニホウ ホウ 黄焔焔。真黄色い。

ニボク チイ 黄目子。【黄目子】。

ニマア 阿媽。祖母さん。

ニモア 黄麻。(植) 黄麻。(田麻科、纖維をとり米袋等

の原料となす)。

ニモア クツ 黄麻骨。麻幹。麻幹。

ニモア コラ 黄麻葉。前に同じ。

ニモア ソウ 黄麻索。麻繩。

ニモア チイ 黄麻箸。麻の皮を抜く竹又は木製の箸の

如きもの、長一尺五寸直径一寸位あり、麻の莖

を之に挟み其兩端を固く握り莖を引きて麻の皮

を分離す。

ニモア トウ 黄麻刀。【麻刀】。

ニラア 黄蠟。●蜜蠟。●黄色で透明な。魚子色。緻真

一鱗子の色合が同上。

ニライ 黄梨。【鳳梨】。

ニラム 向南。南受。南面。

ニリエン タウ 黄龍斗。阿片吸食用の煙管にて頭に

龍頭のあるもの。

ニリエン ベエ 黄龍尾。【龍牙草】。

ニレエ 黄鷗。(動) 高麗鷗。

